servicenow

Xanadu プラットフォームアナリティクス

最終更新日: **2025**年**12**月**17**日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

ビジネスプロセスの分析と最適化..... 5
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス..... 8
プラットフォームアナリティクス移行センター..... 10
アナリティクスセンター..... 20
のダッシュボード プラットフォームアナリティクス..... 26
のデータの可視化 プラットフォームアナリティクス..... 82
のフィルター プラットフォームアナリティクス..... 380
プラットフォームアナリティクスページの作成..... 401
の KPI ライブラリ プラットフォームアナリティクス..... 407
KPI 詳細..... 408
KPI シグナル..... 447
プラットフォームアナリティクスのデータキャッシュ..... 466
Platform Analytics (プラットフォームアナリティクス) のロール..... 468
アナリティクス 生成..... 472
パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)..... 481
パフォーマンスアナリティクス の詳細..... 482
パフォーマンスアナリティクス Fundamentals の構成..... 492
パフォーマンスアナリティクス高度な機能の構成..... 698
パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化..... 839
アナリティクスソリューション..... 842
利用可能な プラットフォームアナリティクスソリューション..... 843
ServiceNow Storeパフォーマンスアナリティクスコンテンツを含むアプリケーション..... 847
ガイド付きセットアップを使用したソリューションのアクティブ化..... 848
ダッシュボードのインストール..... 850
プラットフォームアナリティクスソリューション の構成..... 853
のデータを収集 プラットフォームアナリティクスソリューション..... 859
インストール済みパフォーマンスアナリティクスインジケーター..... 866
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス..... 938
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 以前のランディングページ..... 940
[store-future: BEGIN review]
[End]
ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの詳細..... 940
ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの構成..... 949
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の使用..... 951
ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの管理..... 986
プロセスマイニング..... 1002
プロセスマイニングの詳細..... 1003
プロセスマイニング のアクティブ化..... 1021
プロセスマイニングの構成..... 1052

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング の使用 1058
プロセスマイニング に関する参照情報 1181
のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア UI 1203
レポート 1206
コア UI のレスポンシブダッシュボード 1584
インタラクティブフィルター 1675
パフォーマンスアナリティクスウィジェット 1715
アナリティクスハブ 1827
インタラクティブアナリシス 1851
Automation Discovery 1860
オートメーションディスカバリーのインストール 1864
オートメーションディスカバリーレポートの作成 1867

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスプロセスの分析と最適化

プラットフォームアナリティクスアプリケーションを使用してプロセスを最適化し、生産性を向上させます。これらのアプリケーションには、 レポート、 パフォーマンスアナリティクス、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス、および プロセスマイニング が含まれます。コア UIエクスペリエンスまたはプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスを通じてデータを提示します。

開始するには

いずれかのタイルを選択すると、さまざまな種類のユーザーにさまざまな種類のデータを提供するのに役立つこれらのアプリケーションの詳細を確認できます。

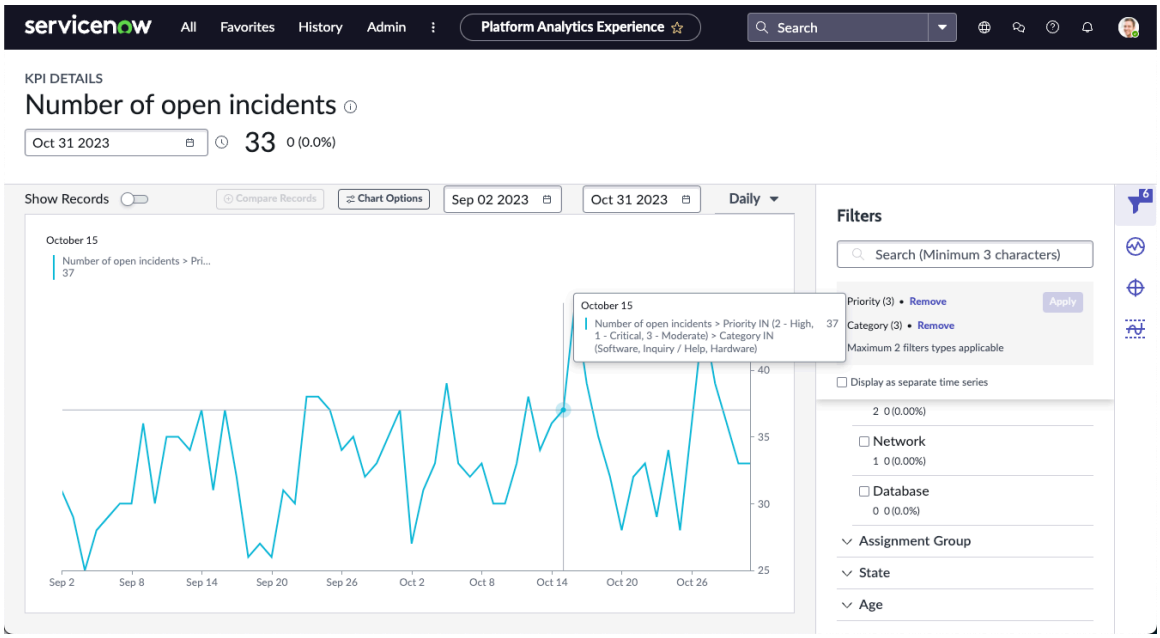
パフォーマンス アナリティクス  この一連のビジネス分析ツールを使用して、サービスの提供時間を短縮し、コストを削減します。	のレポートとダッシュボード コア UI  テーブルと パフォーマンスアナリティクス インジケーターデータを表示します。アナリティクスハブのインジケーターにドリルダウンします。	アナリティクス ソリューション  構築済みダッシュボード、重要業績評価指標 (KPI) などを備えた ServiceNow コンテンツパッケージを活用します。
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス  データ視覚化ツール、ダッシュボード、KPI を使用して分析を探索します。これらはすべて自然言語クエリからアクセスできます。	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス  ユーザーが複数の ServiceNow アプリケーションをどのように使用しているかをダッシュボードビューで示し、メトリクスやインタラクションなどを完全に可視化します。	プロセスマイニング  このアプリケーションを使用して自動化されたプロセスフローでデータを分析し、企業のワークフロー効率を向上させる方法を見つけます。

パフォーマンスアナリティクス

このアプリケーションがビジネスの継続的な改善にどのように役立つのかについて説明します。パフォーマンスアナリティクス Fundamentals を使用して重要業績評価指標を計画および実装します。さらに、高度な機能を構成し、管理者としてデータ構造を直接操作できるようにします。

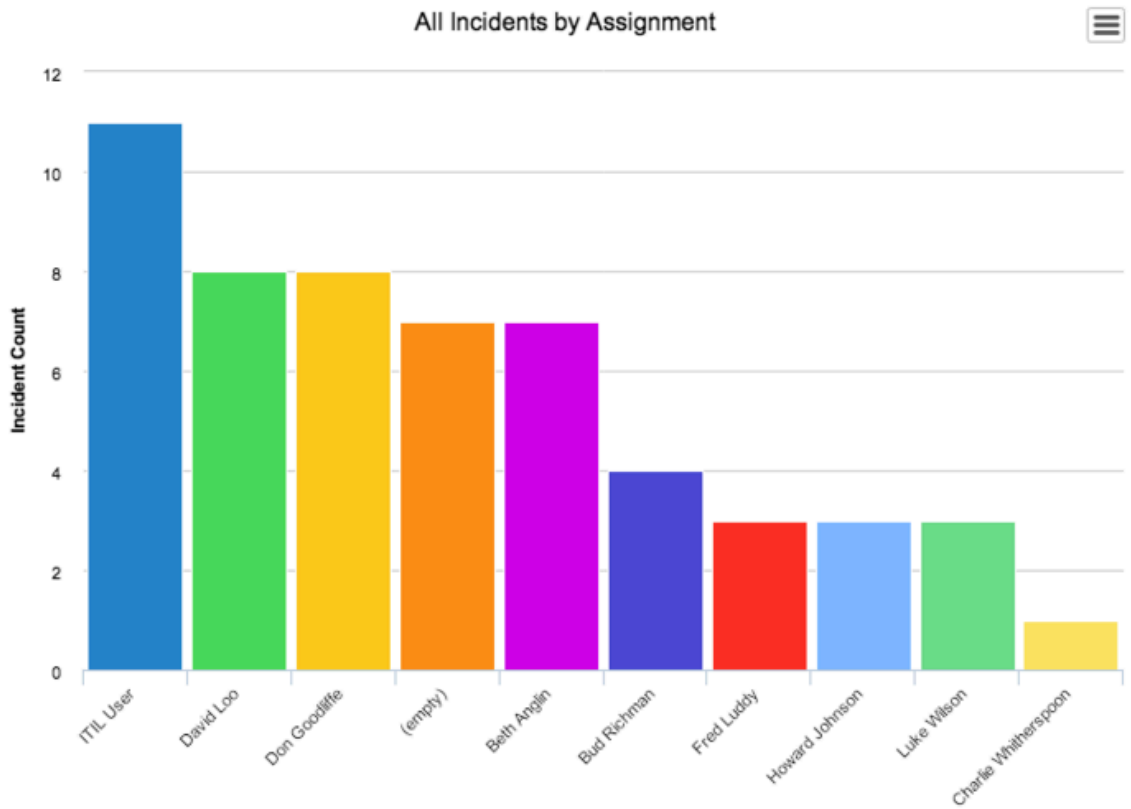
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



のレポートとダッシュボード コア **UI**

管理者やその他のステークホルダーが、 コア UI ダッシュボードを使用してリアルタイムのデータレポートを操作し、傾向を分析できるようにします。データとビジネスゴールに合わせて、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを作成および定義し、それらの視覚化を使用するクイックビューダッシュボードを構成します。アナリティクスハブ を使用して、オプションのアドオンとして詳細なデータ探索を実行し、アクティビティを経時的に調べ、スコアとベンチマークを比較し、その他のさまざまなターゲットや傾向を分析します。



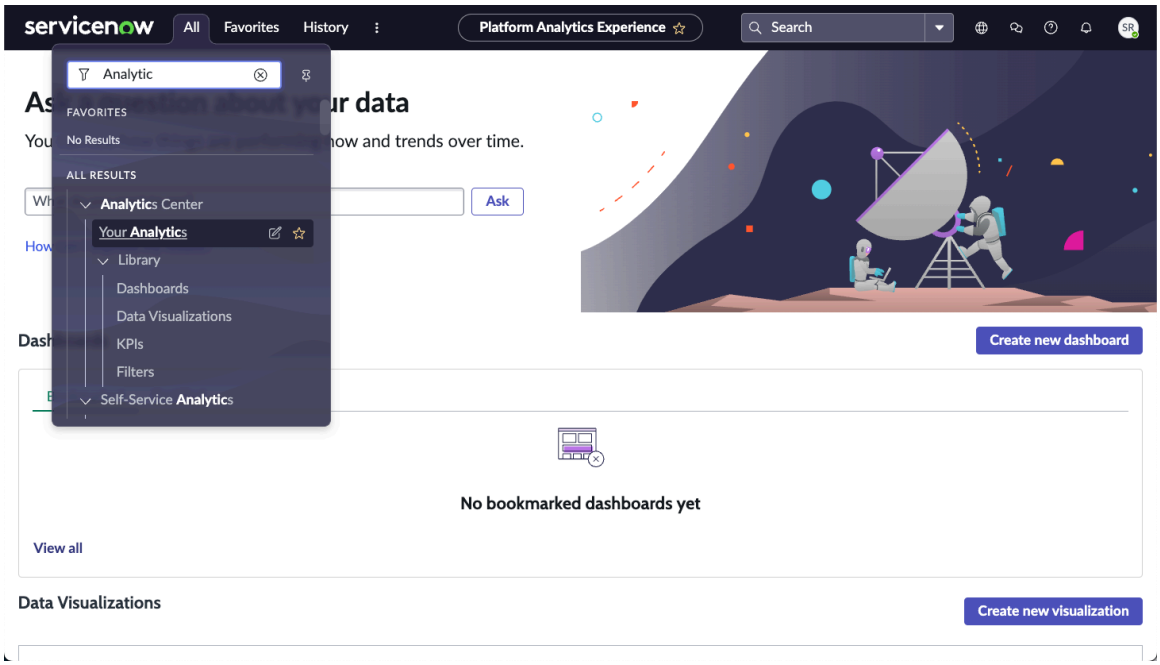
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスソリューション

ほとんどの ServiceNow 製品で利用可能なダッシュボードと KPI を備えた、事前パッケージ済みソリューションのフルセットを活用します。いくつかのアプリケーションは、組み込みの パフォーマンスアナリティクス コンポーネントにより、スタンドアロンで機能できます。標準のテーブルとフィールドのデータセットに留まらず、プラットフォームアナリティクスソリューション をカスタマイズして、分析のための手動およびスケジュールされたデータ収集を実行します。

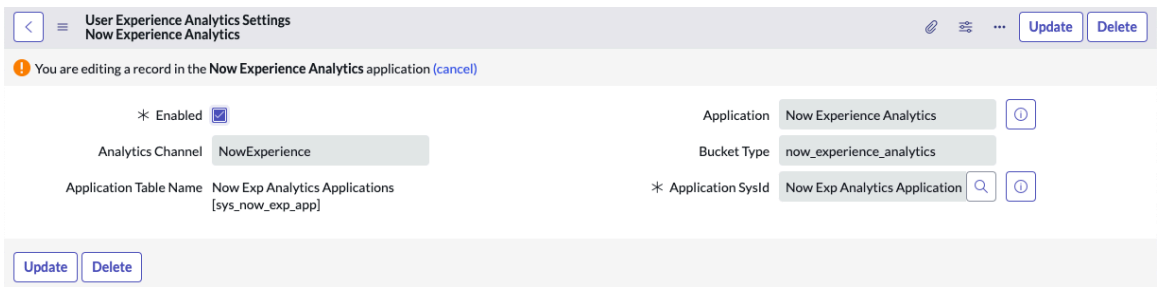
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス

アナリティクスセンターにデータを表示するためのさまざまなオプションを確認します。データの可視化とダッシュボードを作成、変更、共有します。ダッシュボードに表示されるデータをフィルタリングします。データ内の潜在的に重要なイベントがダッシュボードで通知されます。KPI 詳細を使用してプロセス動作のインジケーターを探索し、KPI シグナルを通じてこれらのインジケーターの重大な変化についてアラートを受け取ります。



ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

複数の ServiceNow アプリケーションの使用状況に関するダッシュボードベースのアナリティクスについて学習します。管理者は、ユーザー母集団、保持、動作など、モバイルアプリケーションと Web アプリケーションの両方でのユーザーエンゲージメントに関する情報を取得できます。



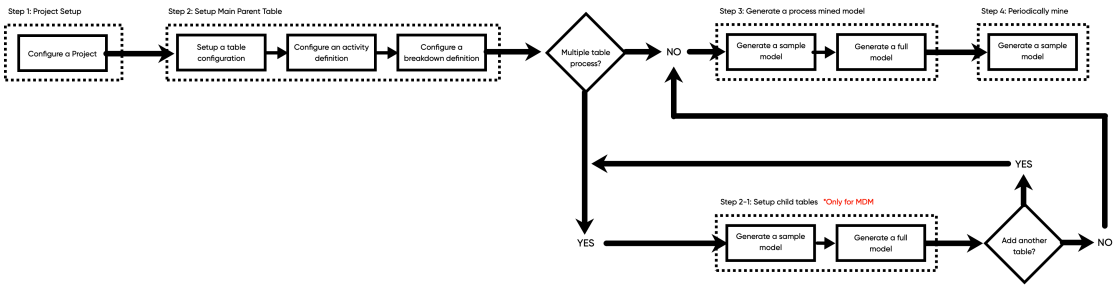
プロセスマイニング

ビジネスを簡素化する方法の発見、ワークフローのボトルネックと逸脱の検出、プロセスのフィルターおよび比較などを実行します。主要な プロセスマイニング 用語 の包括的なリストには、企業が

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

効果的なパフォーマンスを最大限発揮するのに役立つ注目すべき用語とその定義がすべて記載されています。



アプリケーションと機能

- パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)
- コア UI でのレポート
- パフォーマンスアナリティクスウィジェット
- レスポンシブ ダッシュボード コア UI の
- 構成可能なワークスペースでのレポート (データの可視化)
- のダッシュボード プラットフォームアナリティクス
- アナリティクスソリューション
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス
- プロセスマイニング
- オートメーションディスカバリー

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス

オプションのフィルターとともに、データの可視化とダッシュボードを通じて、プラットフォームアナリティクスを配布および消費します。KPI を検索し、データ内の重要なイベントに関するインサイトを受け取ります。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスは、複数のデータソースのデータを可視化するための統一インターフェイスです。統一ナビゲーションでアクセス すべて > プラットフォームアナリティクス.

> **注:**
> プラットフォームアナリティクス および移行センターの詳細については、ServiceNow Community で「プラットフォームアナリティクスのイネーブルメントツールキット」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスには、次の 2 つの主要なセクションがあります。

アナリティクスセンター

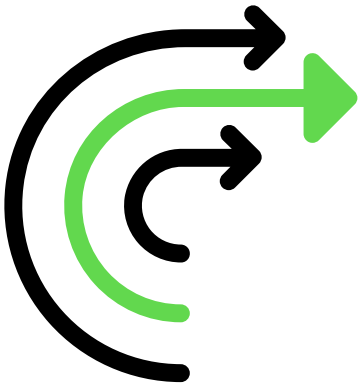
このページには、ブックマーク済みで会社認定済みのすべてのダッシュボードとデータの可視化が表示されます。さらにアナリティクス Q&A (自然言語を使用して質問することが可能で、関連するアナリティクスが可視化されて表示されるフィールド) も含まれます。

ライブラリ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

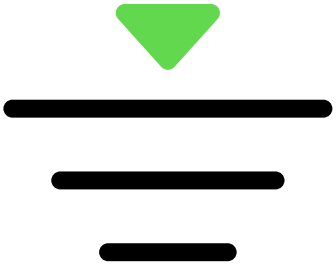
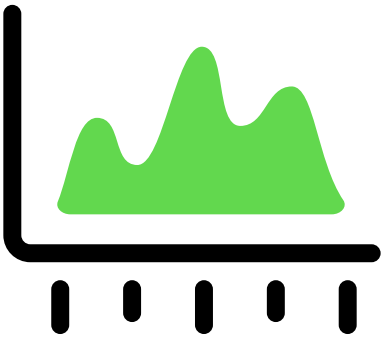
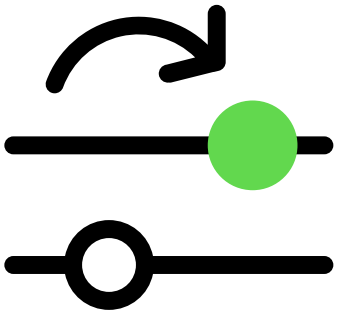
ライブラリは、アクセスできるプラットフォームアナリティクスのビジュアルコンポーネントすべてと、これらのコンポーネントに適用されるユーティリティを一覧表示する一連のページです。独自のダッシュボード、データの可視化、およびフィルターを作成することもできます。適切なロールがあれば、作成したコンポーネントを共有ライブラリに追加できます。

注:
ライブラリコンテンツのタブを含むアナリティクスセンターを独自の構成可能ワークスペースに追加できます。詳細については、「独自のワークスペースでの プラットフォームアナリティクス ページの作成」を参照してください。

Analytics Center (アナリティクスセンター)	**Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) ダッシュボード	データの可視化
		
インスタンスに関するすべてのダッシュボード、可視化、分析回答、インサイトを 1 ページにまとめます。	アクセス権を持つすべてのダッシュボードを表示し、自分が作成したダッシュボード、ブックマークしたダッシュボード、認定済みのダッシュボードでフィルタリングします。独自のダッシュボードを作成し、他のユーザーと共有することもできます。	テーブル、インジケーター、またはその他のデータに基づいて可視化を作成、更新、認定、共有し、他のユーザーと共有します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスフィルター	KPI 詳細	KPI シグナル
		
ダッシュボードのリストとデータの可視化を、データ値、値が true か false か、または日付でフィルタリングします。	重要業績評価指標 (KPI) スコアの背後にある情報を詳しく調べます。傾向、予測、および関連レコードを表示します。さまざまなブレークダウンと時間集計を試します。	ビジネスプロセスが予期しない動作をするタイミングを学習します。KPI スコアが大幅に変更された場合は、担当ユーザーに通知します。

プラットフォームアナリティクス移行センター

コア UI データを移行すると、既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブ フィルター、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットが プラットフォームアナリティクスに移動されます。その結果、すべてのデータソースに対して単一の可視化セットと統合フィルターが作成されます。

注:
プラットフォームアナリティクス および移行センターの詳細については、ServiceNow Community で「プラットフォームアナリティクスのイネーブルメントツールキット」を参照してください。

移行内容

移行プロセスでは、ダッシュボードのコンテンツを取得し、コア UI (クラシック環境のダッシュボードと可視化) から プラットフォームアナリティクス ライブラリに移行します。その後、統一ナビゲーションメニューからすべてのアナリティクスにアクセスできます。インジケーターを使用すると、重要な変更を警告するツールを入手できます。

移行されないもの

簡単に言うと、ほとんどすべてが移行されます。ほとんどのコア UI ダッシュボードコンテンツは プラットフォームアナリティクス でサポートされています。一部のコンテンツには同様の プラットフォームアナリティクス 機能がなく、コンテナー (iframe とも呼ばれます) に移行されます。これは互換モードと呼ばれます。iframe に移行されたコンテンツと、まったく移行されないいくつかのアイテムの詳細については、「 コンテンツが移行されていないか、互換モードで移行されました」を参照してください。

移行プロセスとは

移行プロセスには次の手順があります。

未使用のダッシュボードを削除

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

未使用のダッシュボードとレポートを削除して、プロセスの合理化を促進します。

- pa_dashboards.list に移動し、削除するダッシュボードを選択して、 **Actions on selected rows** (選択した行でのアクション) > 削除.
- 移動先 すべて > レポート > 管理 > すべてをクリックし、削除するレポートを選択してから、 **Actions on selected rows** (選択した行でのアクション) > 削除.

移行手順の実行

この手順では、 プラットフォームアナリティクス に直接移行できるものと、互換モードで移行されるものを識別します。

移行結果を確認する

未使用のダッシュボード、古くなった可視化、期待どおりに機能しないフィルターなど、移行したくないダッシュボードやその他のコンテンツを特定することができます。

移行を有効にする

移行するコンテンツの量によっては、アクティベーションに時間がかかる場合があります。

カスタムコンテンツの作成

UI ビルダー などのツールを使用して、移行されないコンテンツのニーズを満たすカスタムコンテンツを作成できます。

メニューはどうなりますか

移行前、ユーザーは セルフサービス > ダッシュボード ダッシュボードの概要を表示し、 レポート > 表示/実行 をクリックして、レポートのリストを表示します。移行を有効にすると、ダッシュボード、データの可視化、フィルター、KPI を含むすべてのアナリティクスコンテンツが プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ).

完全なデータ移行を実行する

既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブ フィルター、およびパフォーマンス分析ウィジェットを プラットフォームアナリティクスに移行します。

始める前に

必要なロール:完全な移行を実行し、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスをアクティブ化する場合:admin。他の管理者ロール (pa_admin、report_admin、dashboard_admin) を持つユーザーは、移行を評価するために移行センターにアクセスできます。

このタスクについて

このトピックでは、インスタンスがまったく新しい Xanadu インスタンスではないことを前提としています。移行センターは、インスタンスをアップグレードする場合にのみ使用できます。

単一の非本番インスタンスで移行を実行してテストします。完全なテスト移行の結果に満足したら、本番インスタンスで移行を開始します。[コンテンツを試す] を選択して、限られた数のダッシュボードで出力をテストします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:

移行後にコア UI ダッシュボードを変更して再度移行すると、変更されたダッシュボードによって最初に移行されたダッシュボードが上書きされます。

移行された資料を非本番インスタンスから本番インスタンスに移動することはできません。

互換モードで移行された可視化またはその他のウィジェットを含むダッシュボードでは、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

手順

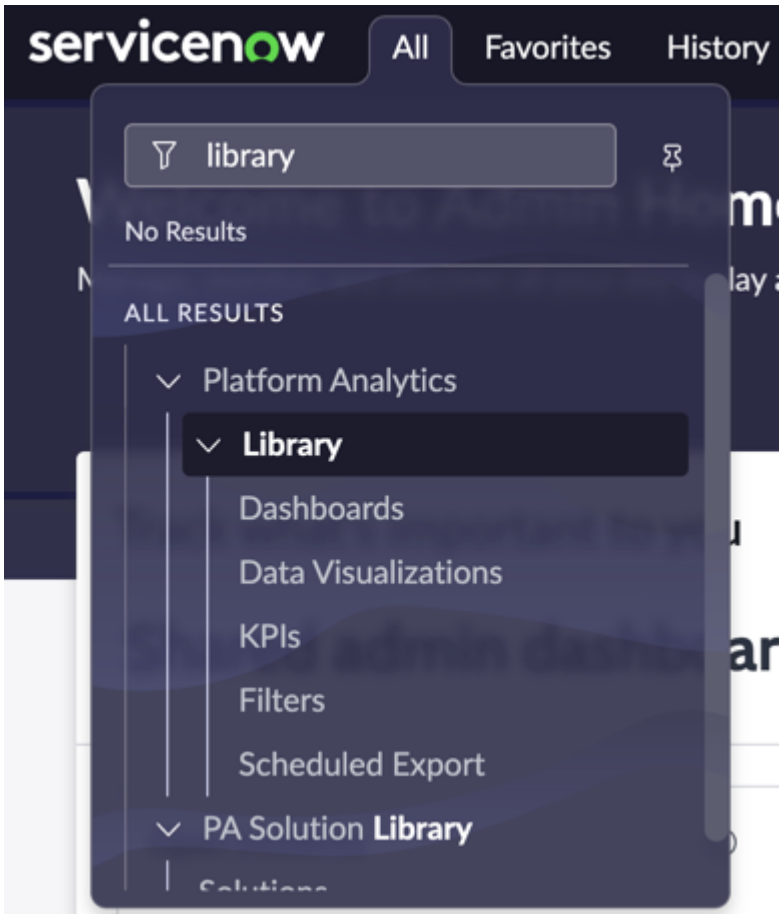
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 移行センター.
2. 「プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスについて」で、移行プロセスに関する情報を確認してください。
   これらのタブには、移行プロセスに関する詳細情報と、 プラットフォームアナリティクスで期待できることが表示されます。
3. [移動を開始] を選択して、すべてのコンテンツを移行します。
   移行プロセスの長さは、インスタンスにあるダッシュボード、レポート、フィルター、および パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの数によって異なります。
4. 結果を評価します。
5. [アクティブ化] を選択して、移行プロセスを完了します。
   以前にコア UI ダッシュボードとレポートに接続されていたメニュー項目は、新しく移行されたバージョンに自動的にリダイレクトされます。

タスクの結果

これで、ダッシュボードとその他の移行されたコンテンツがライブラリの下に見つかりました。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ).

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のタスク
完全なデータ移行の評価

完全なデータ移行の評価

移行プロセスが完了したら、結果を確認します。

始める前に
必要なロール:完全な移行を実行し、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスをアクティブ化する場合:admin。他の管理者ロール (pa_admin、report_admin、dashboard_admin) を持つユーザーは、移行を評価するために移行センターにアクセスできます。

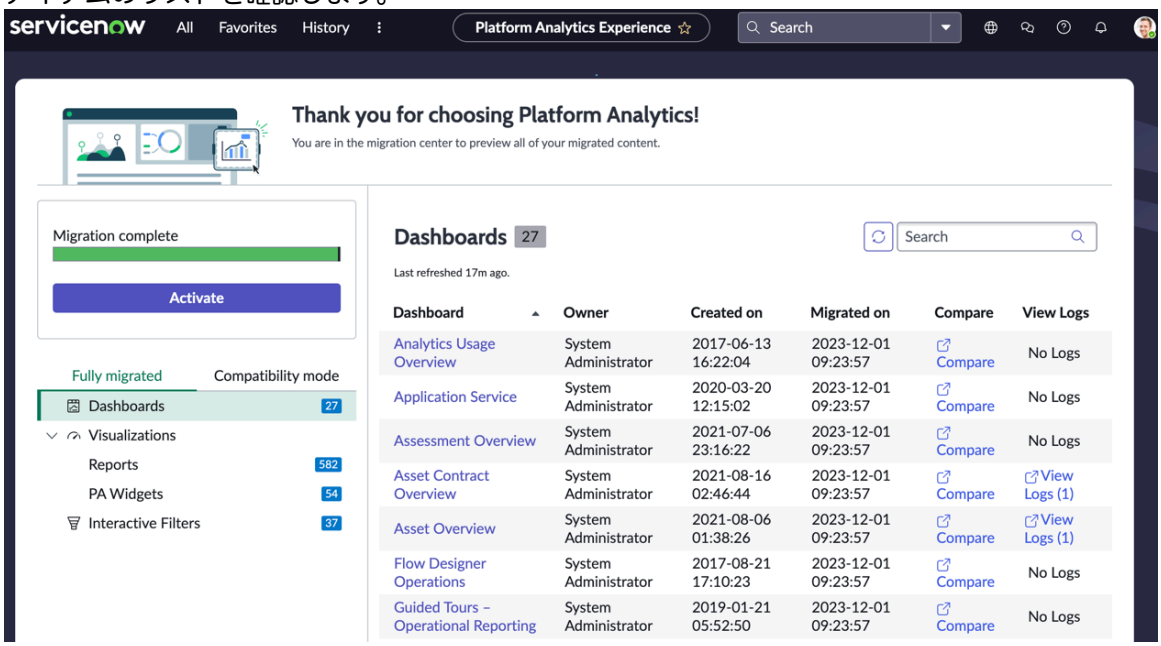
このタスクについて
データが移行されるとすぐに、移行の結果が表示されます。完全に移行されたコンテンツと互換モードで移行されたコンテンツを確認します。移行されたすべてのコンテンツを元のコア UI バージョンと比較できます。

自動翻訳

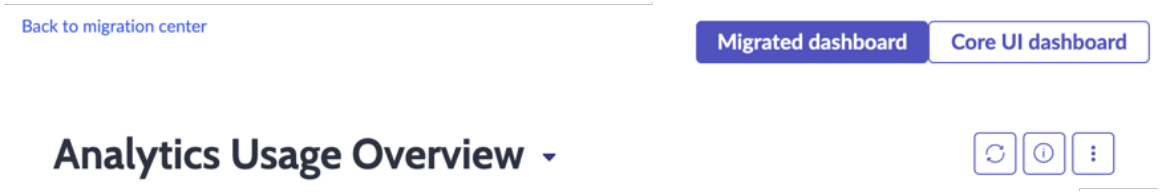
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移行センターで、[完全に移行された] 列、[ダッシュボード]、[可視化]、[レポート]、[PA ウィジェット]、または [インタラクティブフィルター] からアイテムを選択して、移行されたすべてのアイテムのリストを確認します。



2. 任意のダッシュボードの **[Compare** (比較)] リンクを選択すると、コア UI と移行されたコンテンツが連続して表示されます。



3. [互換モード] タブを選択して、コア UI ダッシュボードのコンテンツと互換モードで移行されたコンテンツを比較します。
コンテンツブロックと その他の コンテンツを含むダッシュボードに細心の注意を払ってください。これらのウィジェットをサポートするには、移行されたダッシュボードでさらに変更が必要になる可能性があります。
4. [ログを表示] リンクを選択して、移行された各要素に関連する問題を確認します。
5. [アクティブ化] を選択して、移行プロセスを完了します。
以前にコア UI ダッシュボードとレポートに接続されていたメニュー項目は、新しく移行されたバージョンに自動的にリダイレクトされます。

移行ログの場所

一連のログは、ブリッジ テーブル内のダッシュボード、レポート、フィルター、およびダッシュボード要素 (ウィジェット) ごとに格納されます。

移行センター内からログを表示するか、関連するリストに移動してログを確認できます。

ログ	タイプ
par_coreui_migration_bridge_dashboard.list	ダッシュボードログ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ログ	タイプ
par_coreui_migration_bridge_sysauto.list	スケジュール済みエクスポートログ
par_coreui_migration_bridge_widget.list	移行されたダッシュボード要素ログ
par_coreui_migration_bridge_component.list	ダッシュボード外で移行されたときにレポート、PA ウィジェット、およびフィルターに関連付けられたログ

注:
非互換性などの否定的なイベントのみがログに記録されるため、ログは空になる場合があります。

部分的な移行を実行する

既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブフィルター、およびパフォーマンスアナリティクスウィジェットの一部を プラットフォームアナリティクスに移行します。移行は、コンテンツの一部または全部を移行する場合と同様に機能します。ただし、プロセスを評価するため、または多数のダッシュボードがありセグメント単位で移行する場合は、一部のコンテンツを移動できます。

始める前に
必要なロール:admin または dashboard_admin

このタスクについて
最初に単一の非本番インスタンスで移行を実行してテストします。満足のいく結果が得られたら、本番インスタンスで移行を開始します。

注:

移行後にコア UI ダッシュボードを変更して再度移行すると、変更されたダッシュボードによって最初に移行されたダッシュボードが上書きされます。

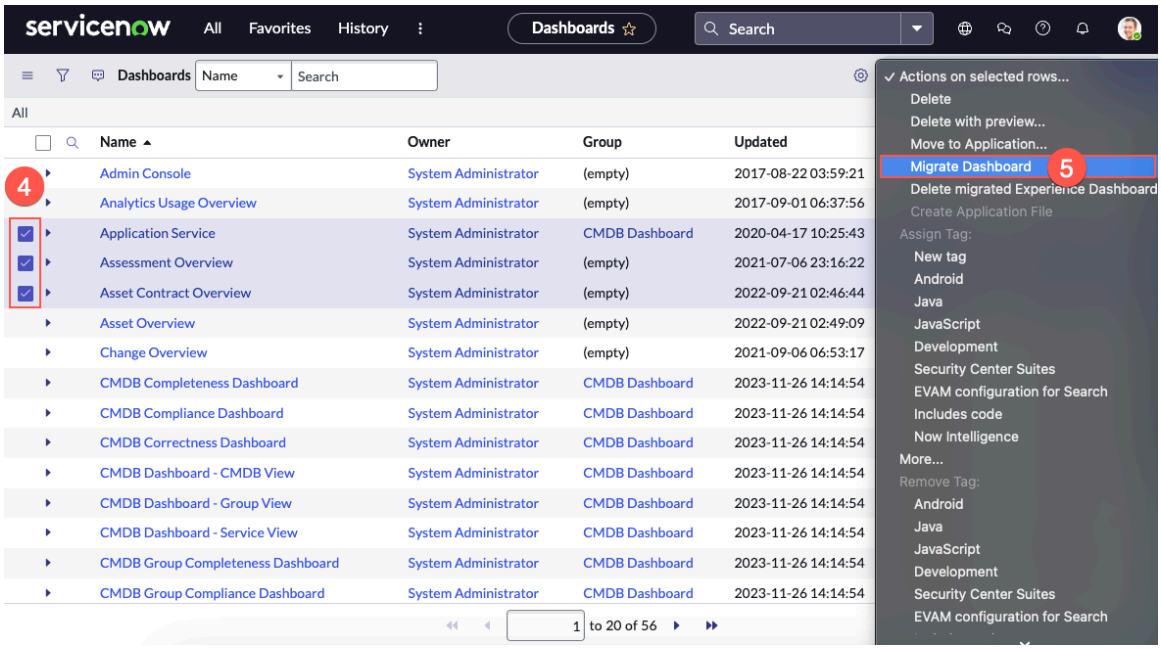
移行された資料を非本番インスタンスから本番インスタンスに移動することはできません。

手順

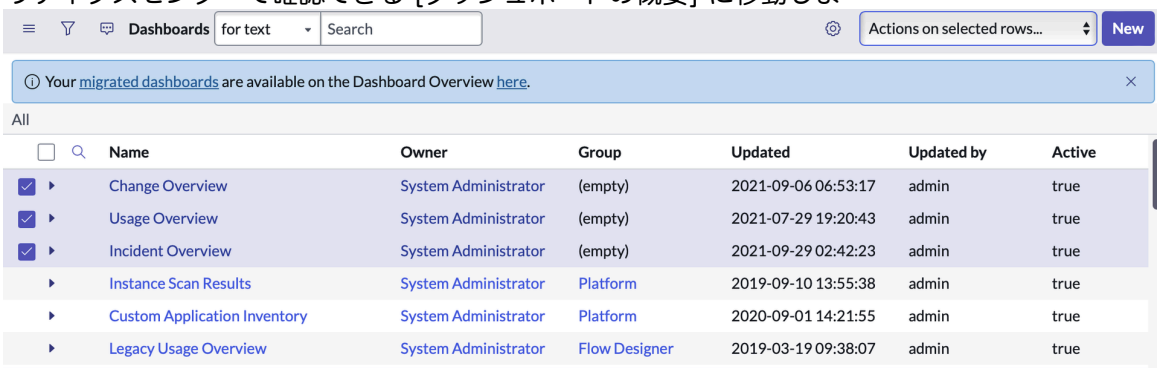
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 移行センター.
2. 「 プラットフォームアナリティクス について」で移行プロセスに関する情報を確認します。
3. [コンテンツを試す] を選択して、 プラットフォームアナリティクスするデータのサブセットを選択します。
4. [ダッシュボード] リストで、移行するダッシュボードを選択します。
5. (選択した行のアクション) メニューから、[**Migrate Dashboard]** (ダッシュボードの移行) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. 移行が完了したら、バナーリンクを選択して、ダッシュボードの概要に移行されたダッシュボードを表示します。
   最初のリンクから PAR ダッシュボードリストに移動します。ここでダッシュボードのフォームを確認できます。2 つ目は、移行されたダッシュボードをアナリティクスセンターで確認できる [ダッシュボードの概要] に移動します。



自動翻訳

次のタスク

移行されたダッシュボードに、コア UI ダッシュボードのすべての機能 (完全に移行されたコンテンツまたは iframe コンテンツ) があることを確認します。詳細については、「コンテンツが移行されていないか、互換モードで移行されました」を参照してください。

特定のアーティファクトの移行をブロックする

完全移行を実行する前に、移行プロセスから除外するアーティファクトにフラグを設定できます。

始める前に

必要なロール：admin。

手順

1. 次のいずれかのテーブルに移動して、アーティファクトを選択します。

テーブル	コンテンツ
sys_report.list	コア UI データの可視化 (レポート)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	コンテンツ
pa_widgets.list	パフォーマンス分析ウィジェット
sys_ui_hp_publisher.list	インタラクティブ フィルター
pa_dashboards.list	レスポンシブダッシュボード

2. [リストをカスタマイズ] アイコン () を選択して、リストに列を追加します。
3. 移動 [選択済み] 列に一括移行しないでください。
4. [**Do not migrate in bulk** (一括移行しない)] 列で、除外するアーティファクトのフラグを false から true に変更します。
   連続する複数のフィールドまたは連続していないフィールドを選択できます。詳細については、「Edit multiple records in a list using the list editor」を参照してください。

タスクの結果
完全なデータ移行を実行すると、選択したアーティファクトは除外されます。

コンテンツが移行されていないか、互換モードで移行されました

ほとんどのダッシュボードコンテンツは、新しい パフォーマンスアナリティクス エクスペリエンスに移行されます。ただし、一部の可視化、可視化の側面、およびフィルターは、互換モードとも呼ばれる埋め込みコンテンツ (iframe) として、移行されたダッシュボードに挿入されます。一部の構成はまったく移行されません。

移行されていません

移行されない一般的なダッシュボード構成:

- ダッシュボードグループ
- ウィジェットのヘッダーとタイトルの色
- ウィジェットタイトルの配置

移行されないフィルター

- グループのフィルター
- デバッグ フィルター
- ダッシュボードからユーザー設定をフィルタリング

移行されない可視化構成:

- ダッシュボードからチャート自体を PNG/JPEG にエクスポート
- データ可視化のデータテーブル

移行されないインジケーター/ブレークダウン スコアカード要素:

- 分布を表示
- ブレットグラフを表示

移行されないカレンダーコンポーネント要素:

- 年次ビュー
- ハイライト表示の基準

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

互換モードの移行

すべてのカスタムインタラクティブフィルター、カスタムコンテンツブロック、ゲージ、およびガジェットは、互換モードで iframe として移行されます。

パフォーマンスアナリティクスウィジェット、レポート、またはインタラクティブフィルター以外の他のすべてのコンテンツは、iframe として互換モードで移行されます。

注:
互換モードで移行された可視化またはその他のウィジェットを含むダッシュボードでは、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

カスタムのインタラクティブフィルターは互換モードで移行されますが、移行されたダッシュボードでは機能しない場合があります。カスタム機能が必要な場合は、ダッシュボードをコア UI バージョンにロールバックします。

汎用構成

互換モードで移行された汎用可視化構成:

- ドット連結フィールドでソート
- 変数/質問に関するレポート
- 個別/アグリゲートとして適用されるフィルターの構成
- レポートデザイナーで構成されたリストのデフォルトのドリルダウンビュー
- 時系列レポートのビジネスカレンダー (傾向の基準)
- ブレークダウン要素 = 選択肢フィールドに基づくブレークダウンでは空
- 選択肢フィールドの順序に基づく PA ブレークダウンでソート
- X 期間をさかのぼって比較する単一スコア
- 要素フィルターのピボットスコアカードのサポート
- 期間フィールドに基づくグループ化
- インジケータースコアカードと可視化の関連インジケーターのさまざまなフォローフィルター
- フィルター/データの可視化での階層ブレークダウンのサポート

リスト スコアカード構成

互換モードで移行されたリスト スコアカード構成:

- キーインジケーターを表示
- フィルター基準:パフォーマンス最高、パフォーマンス最低、改善、悪化
- 追加のインジケーターに対する異なるフォローフィルター

レポート

互換モードで移行されたレポート:

- コントロール
- Trendbox グラフ
- Box
- パレート図

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ヒストグラム
- 絞り込み
- ピラミッドグラフ
- ジオマップ

PA ウィジェット

互換モードで移行された PA ウィジェット:

- ワークベンチ
- テキストアナリティクス
- ツリーマップ
- 前期のチャート
- スパイダー
- 絞り込み
- ピラミッドグラフ
- パレート図
- 相対比較

移行されたダッシュボードをロールバック

移行された プラットフォームアナリティクス ダッシュボードをコア UI ダッシュボードに変換し直します。

このタスクについて

変更しない プラットフォームアナリティクス ダッシュボードをコア UI 形式に戻すことはできますが、コンテンツは iframe になります。これは、ダッシュボードにカスタムチャート、カスタムコンテンツブロック、またはカスタムインタラクティブフィルターがある場合に便利です。

注:
テクニカルダッシュボードをロールバックすることはできません。

始める前に

必要なロール:dashboard_admin

手順

1. par_dashboard.list に移動します。
2. リスト上のダッシュボードの名前の横にある 1 つ以上のチェックボックスをオンにします。
   テクニカルダッシュボードは、[Experience (エクスペリエンス)] 列の「Advanced Dashboards (詳細ダッシュボード)」というフレーズで識別できます。
3. [選択した行のアクション] メニューから [ロールバック] を選択します。

タスクの結果

ダッシュボードライブラリから表示されるロールバックされたダッシュボードのバージョンは、ネクストエクスペリエンスバージョンではなく、コア UI バージョンです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レスポンシブでないダッシュボードの移行

誰も開いていないレスポンシブでないダッシュボードは、空のタブがある プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行します。移行前にコア UI でこれらのダッシュボードを開いて入力します。

始める前に
必要なロール：admin

未開かずのレスポンシブでないダッシュボードには、空のキャンバスページがあります。ダッシュボードを開くと、移行センターが検索するキャンバスページが作成されます。キャンバスページが作成されたら、移行を再トリガーしてダッシュボードの プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスバージョンを作成します。

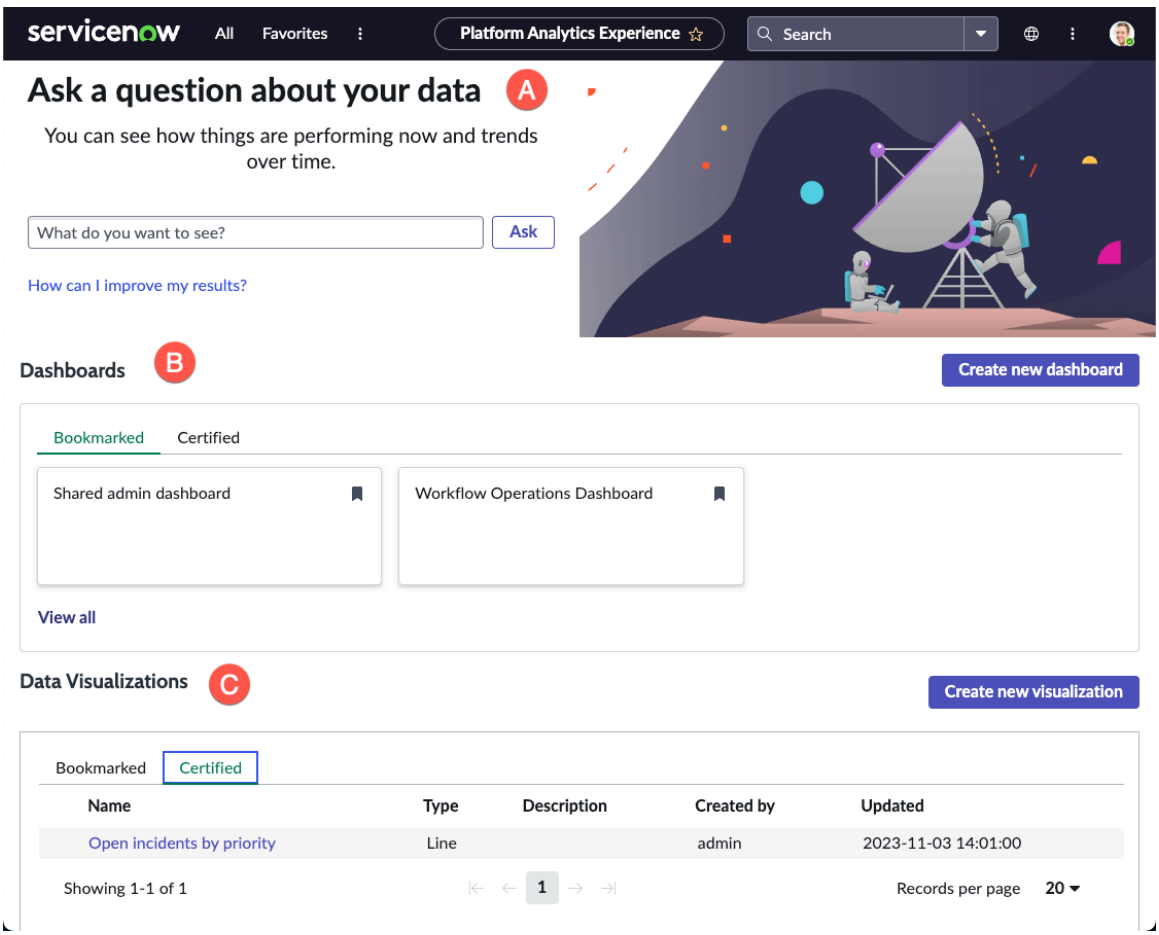
手順

1. pa_dashboards.list に移動します。
2. 問題のあるレスポンシブでないダッシュボードをそれぞれ開きます。
3. 完全なデータ移行を実行する をクリックして、これらのダッシュボードを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行します。

アナリティクスセンター

この アナリティクスセンター には、最も重要なダッシュボードとデータの可視化の概要と、分析に関する質問を行う場所が表示されます。

アナリティクスセンター。



この アナリティクスセンター には、次のコンポーネントが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

A アナリティクス Q&A

プロセスの傾向と健全性について自然言語で質問できるフィールドです(自然言語クエリ機能が必要です)。このコンポーネントの構成と使用の詳細については、開発者サイト のアナリティクス Q&A リファレンス を参照してください。

B ダッシュ ボード

ブックマーク済みのダッシュボードやアドミニストレーターが認定した各ダッシュボードの一連のタイル。タイルをクリックすると、そのダッシュボードが開きます。アクセスできるすべてのダッシュボードを表示するには、 [すべて表示] を選択します。このアクションにより、ダッシュボードライブラリが開きます。新しいダッシュボードの作成をすぐに開始するには、 [新しいダッシュボードの作成] を選択します。このアクションにより、ロールに応じてインラインエディターまたはテクニカルエディターを選択できるインラインダッシュボードエディターまたはダイアログが開きます。このコンポーネントの構成と使用については、「 のダッシュボード プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

C データの可視化

ロールに基づいてアクセスできる保存された可視化のリスト。ブックマーク済みの可視化、またはアドミニストレーターが認証した可視化を選択できます。さらにデータの可視化を表示するには、 [すべて表示] を選択します。このアクションにより、データの可視化ライブラリが開きます。新しいデータ可視化の作成をすぐに開始するには、 [**Create new visualization** (新しい可視化を作成)] を選択します。このアクションにより、可視化デザイナーが開きます。詳細については、「のデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

別のエクスペリエンスまたは構成可能ワークスペースにアナリティクスセンターを追加できます。詳細については、「独自のワークスペースでの プラットフォームアナリティクス ページの作成」を参照してください。

Analytics Q&A

アナリティクスセンターのアナリティクス Q&A から、インジケーター、テーブル、または列に関連する自然言語クエリを作成できます。

アナリティクス Q&A は、次の言語をサポートしています。

- English (英語)
- フランス語
- カナダフランス語
- スペイン語
- ドイツ語
- 日本語

この機能は、サポートされていない言語を使用するセッションでは使用できません。

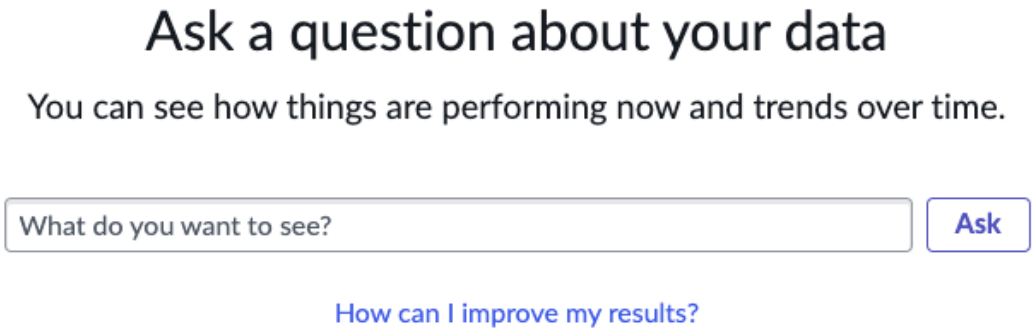
注:
分析 Q&A は、クラシック環境のレポートデザイナーでも使用できます。詳細については、「アナリティクス Q&A を使用したレポートの作成」を参照してください。

自動翻訳

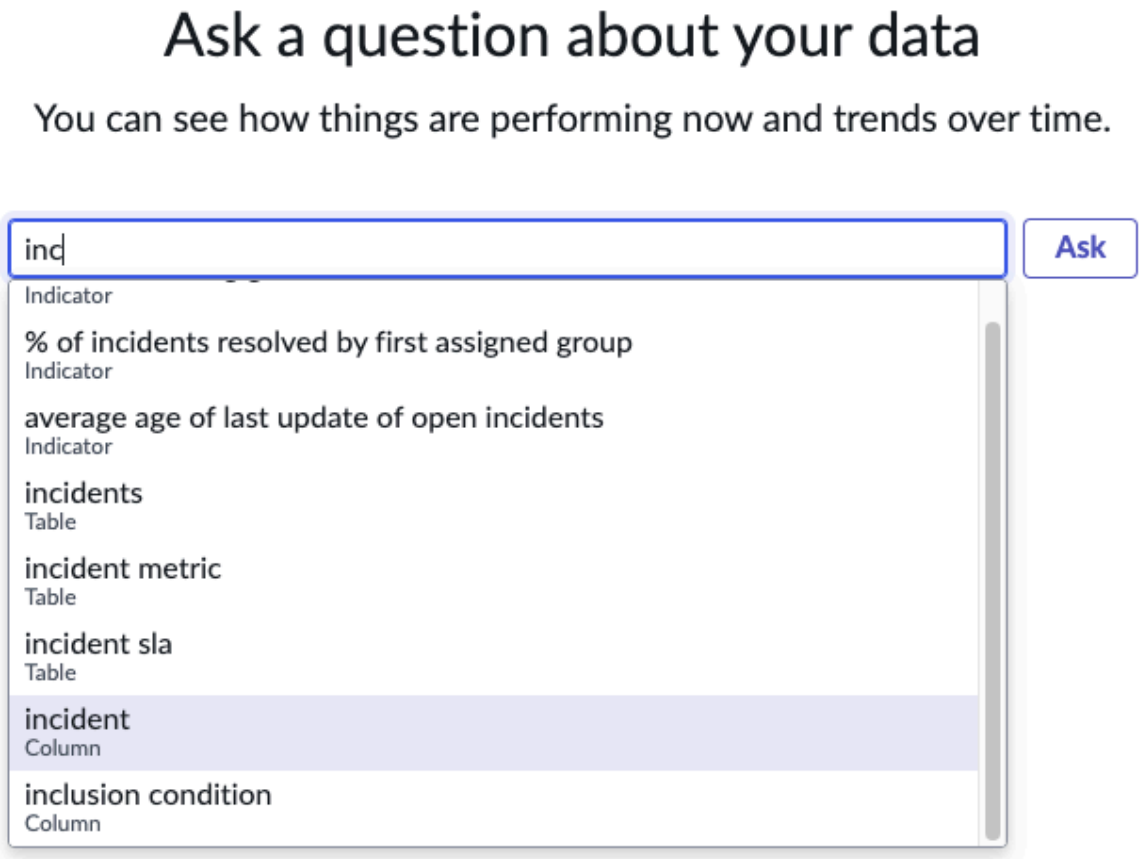
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリーの入力

クエリを入力する前の分析 **Q&A**



クエリを入力すると、分析 Q&A は、これまでに入力した内容に一致する最近の検索、インジケーター、テーブル、および列を提案します。アクセスできるテーブルと列のみが表示されます。



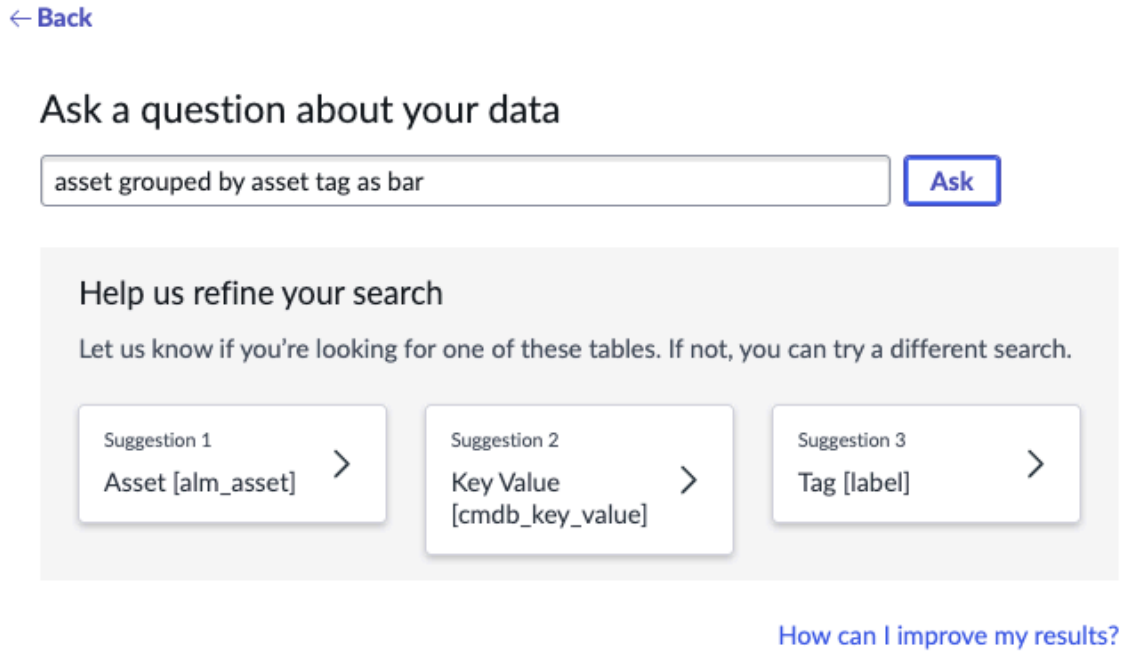
いくつかのありそうなテーブルから選択する

分析 Q&A で必要なテーブルを特定できない場合は、最大で 3 つの可能性のあるテーブルが表示されます。次のスクリーンショットでは、ユーザーは資産タグ別にグループ化され、棒グラフとして表示される資産を求めています。ただし、ユーザーが資産 [alm_asset]、キー値 [cmdb_key_value]、またはタグ [label] テーブルに関心があるかどうかは、システムでは判断できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索を絞り込んでテーブルを選択



結果

クエリが成功すると、Analytics Q&A は、指定した次のいずれかの可視化として結果を表示します。可視化を指定しない場合、分析 Q&A はどの可視化が最も適切かを判断します。

- リスト
- 傾向図
- 単一スコア
- 棒グラフ
- 円グラフによるチャート化

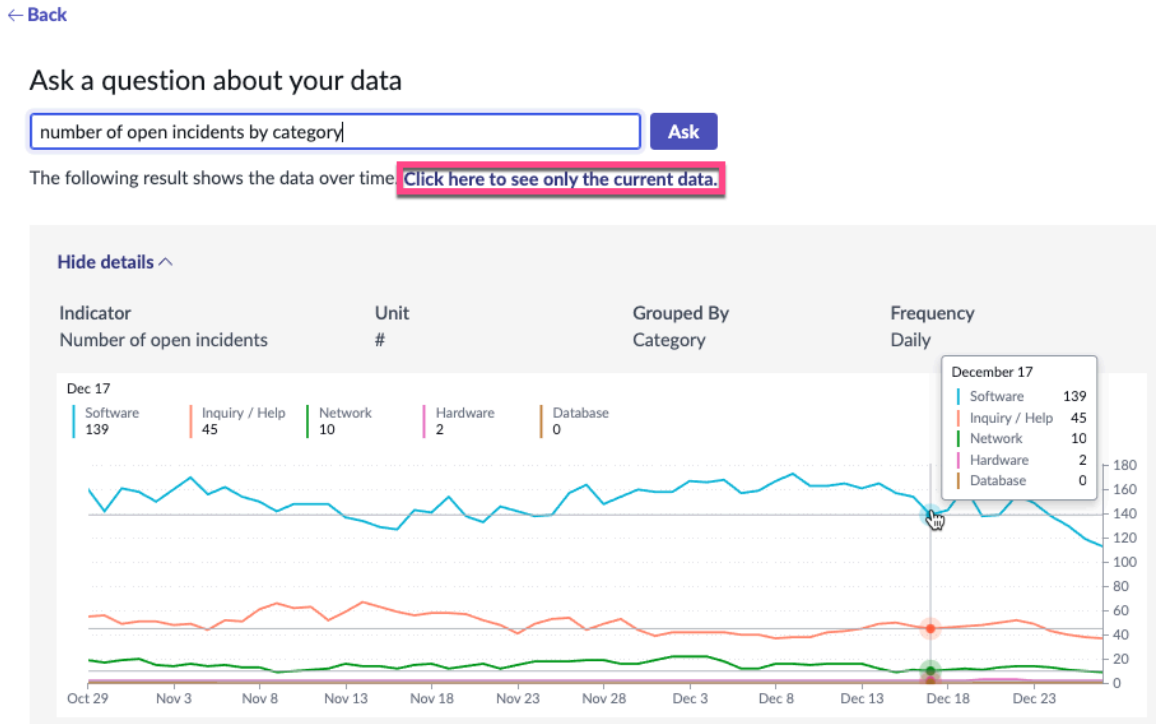
結果は、ロールに対する ACL セキュリティチェックの対象となります。テーブルに基づく可視化は、セキュリティ レポート に従います。パフォーマンスアナリティクスに基づく可視化は PA セキュリティに従います。

次の例は、結果をグループ化するためのブレークダウンを指定したクエリの結果を示しています。分析 Q&A は、クエリがインジケーターと一致すると判断します。インジケーターは経時的な傾向を示すため、分析 Q&A では傾向線が適切な視覚化であると判断されます。

自動翻訳

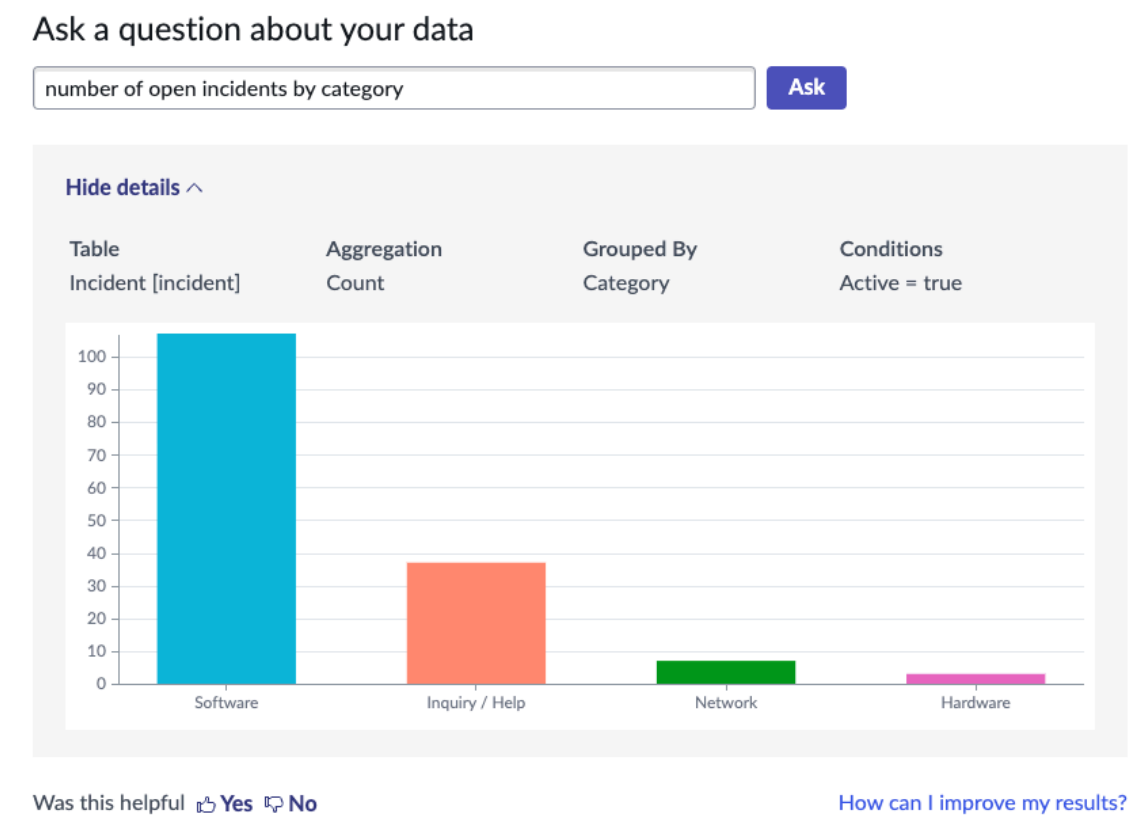
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクス **Q&A** の結果



時間の経過に伴うスコアの変化を確認しない場合は、[ここをクリックして現在のデータのみを表示] をクリックします。分析 Q&A は、インジケータースコアではなく、基になるテーブルの現在の値を返します。

アナリティクス **Q&A** の最新スコア結果



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チャートの上にカーソルを置くと、ブレークダウンに関する詳細情報が表示されます。時系列トレンドでは、選択した日のすべてのブレークダウンの値を取得します。最新のスコアの縦棒グラフでは、選択したブレークダウンのスコアが表示されます。結果がインジケーターの可視化である場合は、値をクリックしてインジケーターを KPI 詳細で開きます。

デフォルトでは、次の詳細も表示されます (該当する場合)。

- クエリを実行しているテーブル
- 値の単位
- データ集計方法
- グループ化の基準とする列
- 傾向を測定する日付フィールドと頻度
- クエリに適用する追加条件

最後に、賛成または反対を選択して、クエリ結果に関するフィードバックを送信できます。

注:
提案、インジケーター、またはテーブルからアイテムを 1 つだけ選択した場合、フィードバックオプションは使用できません。項目を 1 つだけ選択すると、クエリパーサーは使用されません。クエリパーサーを使用しない場合、クエリログは作成されません。フィードバックはクエリログに添付されますが、ログは既に存在している必要があります。

新しいクエリ

新しいクエリを作成するか、KPI のリストを表示するには、[戻る] をクリックします。Analytics Center に戻ると、最近成功した 5 つのクエリのリストが更新されます。

有効なクエリの作り方

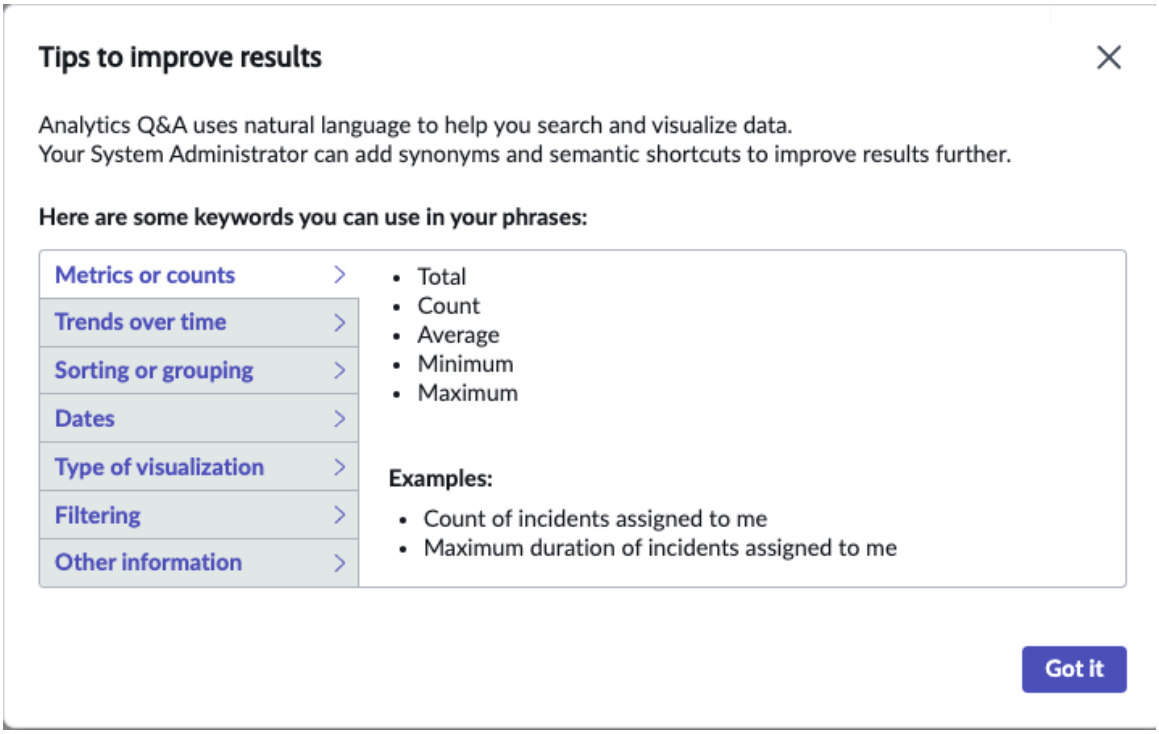
クエリを記述するときは、検索する情報の種類と範囲、適用するフィルター、およびその他のパラメーターを示す特別なキーワードを使用します。キーワードとその用途の完全なリストを表示するには、[結果を改善するにはどうすればよいですか?] をクリックします。

Now Platformアドミニストレーターに、キーワードの同義語とセマンティクスショートカットを追加するように依頼できます。詳細については、「 NLQ 同義語の作成 」および「 NLQ ショートカットの作成 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

キーワードガイド



のダッシュボード プラットフォームアナリティクス

ダッシュボードは、データの可視化、フィルター、およびその他のビジュアルコンポーネントを含む再利用可能なキャンバスです。

プラットフォームアナリティクスのダッシュボードにアクセスするには、 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード.

注:

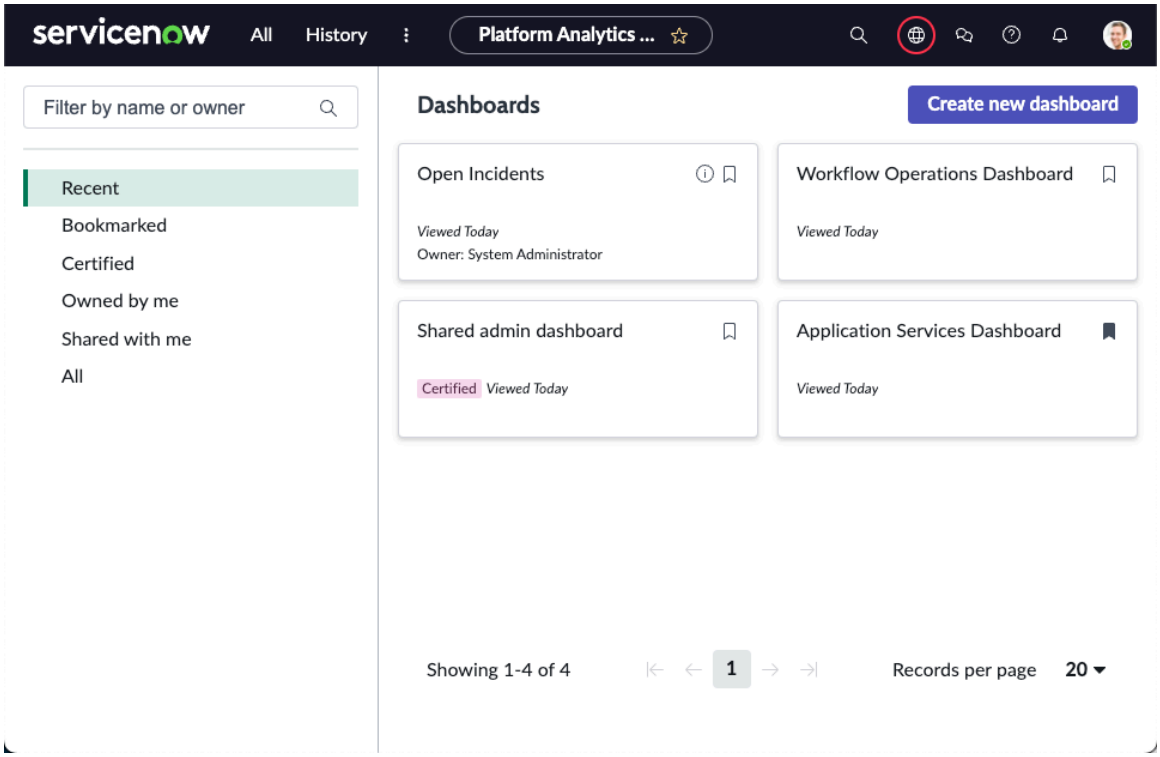
プラットフォームアナリティクスダッシュボードに関連付けられたロールの詳細については、「Platform Analytics (プラットフォームアナリティクス) のロール」を参照してください。

構成可能なワークスペースに [ダッシュボード] ページを追加する方法については、「 ダッシュボード ページへのダッシュボードの追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクス [ダッシュボード] タブの機能



ダッシュボードの概要を示すタイル

[ダッシュボード] ページの各セクションには、一度に最大 20 個のダッシュボード タイルが表示されます。[ダッシュボード] タブのタイルをフィルタリングして、以下を表示できます。

- [最近] には、表示した最新の ネクストエクスペリエンス ダッシュボードが表示されます。タイルには、最後にダッシュボードを開いた日時が表示されます。
- [ブックマーク済み] には、ブックマークされたダッシュボードのみが表示されます。アクセスできるダッシュボードをブックマークして、ここで簡単に見つけられるようにします。ダッシュボードのブックマークの詳細については、「プラットフォームアナリティクス ダッシュボードのブックマーク」を参照してください。
- [認定済み] には、管理者が認定したダッシュボードのみが表示されます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの認定」を参照してください。
- [自分が作成] には、自分が作成したダッシュボードが表示されます。
- [自分と共有] には、他のユーザーが自分と共有しているダッシュボードが表示されます。
- [すべて] には、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードが表示されます。

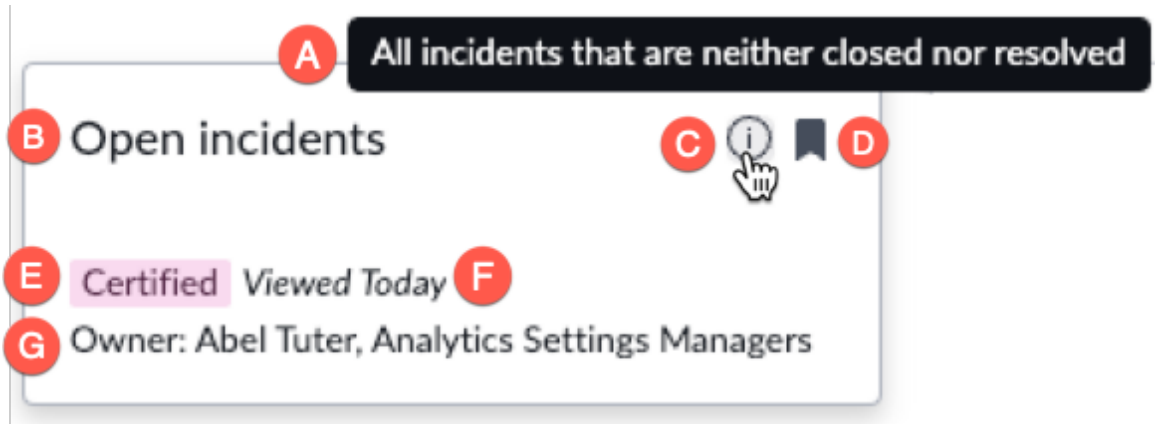
ダッシュボードタイルには、次の情報が表示されます。

- A 説明 (説明が書かれている場合、ツールヒント内)
- B ダッシュボードのタイトル
- C ダッシュボードに説明が記述されている場合にのみ表示される情報アイコン。説明ツールヒントを開く A
- D ブックマークアイコン。ダッシュボードがブックマークされている場合は点灯し、ブックマークされていない場合はクリアされます。
- E 認定バッジ (ダッシュボードが認定されている場合)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- F [最近] ビューのみで、ダッシュボードが最後に表示された日付
- G: ダッシュボード所有者の名前 (ユーザーとグループの両方)

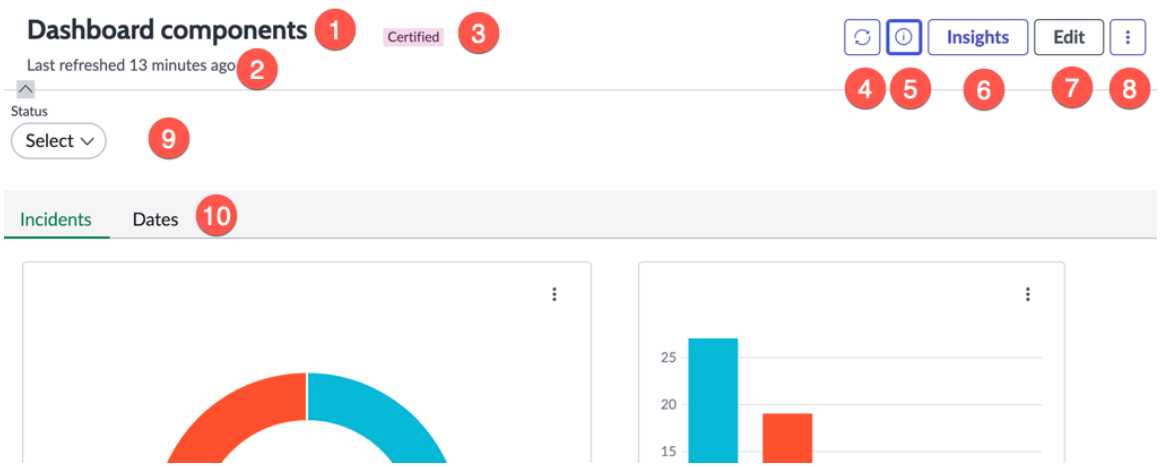


プラットフォームアナリティクス のダッシュボードの概要

インラインエディターでダッシュボードを作成する場合、ダッシュボード上の情報を整理して入力するために役立つ要素をいくつか使用できます。

ダッシュボードコンポーネント

ダッシュボードが編集されるのではなく表示されているときは、次のコンポーネントが表示されます。



1. ダッシュボードタイトル
2. 情報を更新

   ダッシュボードが更新された時間を示します。アドミニストレーターは更新間隔を設定できます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成」を参照してください。

3. 認定バッジ。

   認定は、ダッシュボードが会社によって承認され、使用が推奨されていることを示します。

4. [更新] ボタン

   ダッシュボード上のすべての可視化を更新する場合に選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [詳細] ボタン

   ダッシュボードに関する所有権と共有情報を表示する場合に選択します。詳細については、「プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの詳細を構成する」を参照してください。

6. [インサイト] ボタン

   構成済みインサイトカードを表示します。詳細については、「ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト」を参照してください。

7. [編集] ボタン

   編集権限を所有している、または権限を付与されているユーザーが、ダッシュボードのコンテンツを編集できるようにします。

8. [その他のアクション] ボタン

   ダッシュボードの作成、ダッシュボードの複製、共有、印刷、フィルターのクリア、ブックマーク、削除を行うメニューを開きます。

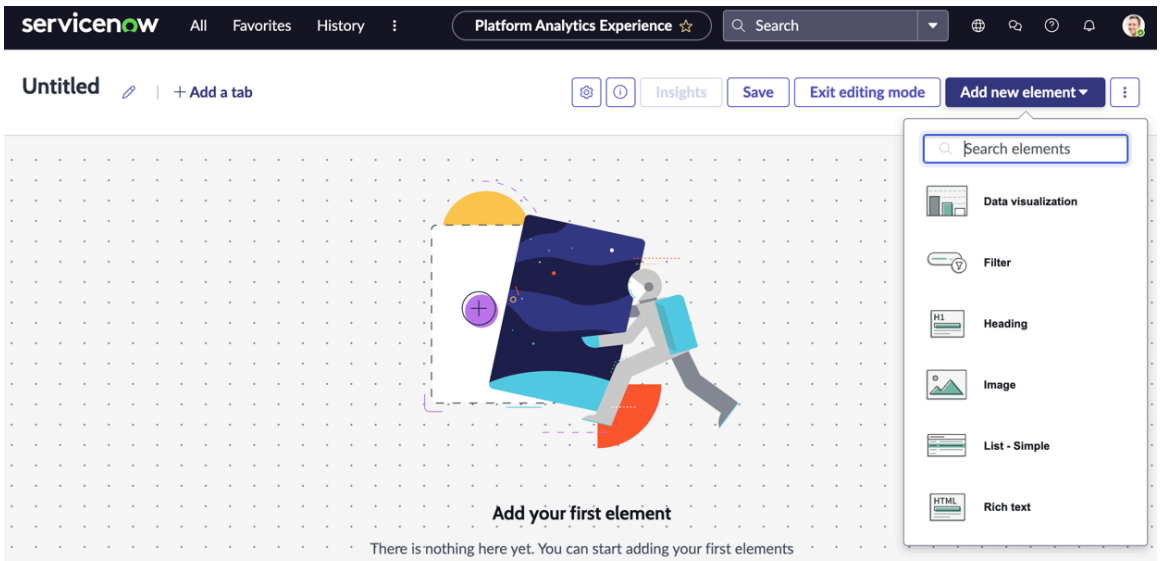
9. トップステージ

   このセクションの要素は、どのタブにフォーカスがあるかに関係なく表示されます。このセクションのフィルターは、すべてのタブの可視化に適用されます。

10. タブ

    タブは、ダッシュボードの情報を管理し、関連情報を同じ場所に保持するのに役立ちます。

ダッシュボード要素



データの可視化

データの可視化により、現在のインスタンスデータまたはインポートした一時データを視覚的に表現できます。データの可視化には、ダッシュボードデザイナーで作成した可視化と、ライブラリからのデータの可視化が含まれます。

フィルター

フィルターを使用すると、指定した基準に基づいてダッシュボードの可視化をフィルタリングできます。個々のタブまたはタブの上にフィルターを配置して、フィルターをすべてのタブの要素に適用できます。フィルターには、データフィルターとドメインフィ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ルターの両方が含まれます。フィルターは、ダッシュボードデザイナーで作成することも、ライブラリから選択することもできます。

見出し

見出しは、ダッシュボードの上部またはダッシュボードのセクションにテキストを配置する場所を提供します。見出しの書式設定は、6 つの見出しレベルに制限されています。

画像

画像要素は、ダッシュボード上の静止画像またはアニメーション画像を保持します。

リスト：簡易

簡易リストには、ダッシュボードの対象者に合わせてカスタマイズできるテーブルデータが表示されます。

リッチテキスト

リッチテキスト要素には、フォント選択、テキストサイズ、ハイライト表示、ハイパーリンクなど、テキストまたは HTML として書式設定できるテキストが保持されます。

デフォルトの要素寸法

各要素には、構成するステージに配置するときの高さと幅がデフォルト設定されます。要素のハンドルバーを選択してドラッグし、サイズを変更します。

フィルター

6 列 3 行

リスト、マルチピボット、インジケータースコアカードの可視化

48 列 x 18 行

その他すべてのコンポーネント

11 列 x 11 行

インラインエディターを使用したダッシュボードの作成

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスでは、データの可視化、フィルター、他のユーザーと共有できるその他の要素を含むダッシュボードを作成できます。インラインエディターから要素を作成したり、既存の要素を追加したりできます。

始める前に

作業内容は定期的に保存してください。

必要なロール:内部ロールを持つすべてのユーザーがダッシュボードを作成できます。

注:
テーブルデータに基づくデータの可視化は、ダッシュボードを共有しているユーザーと自動的に共有されます。

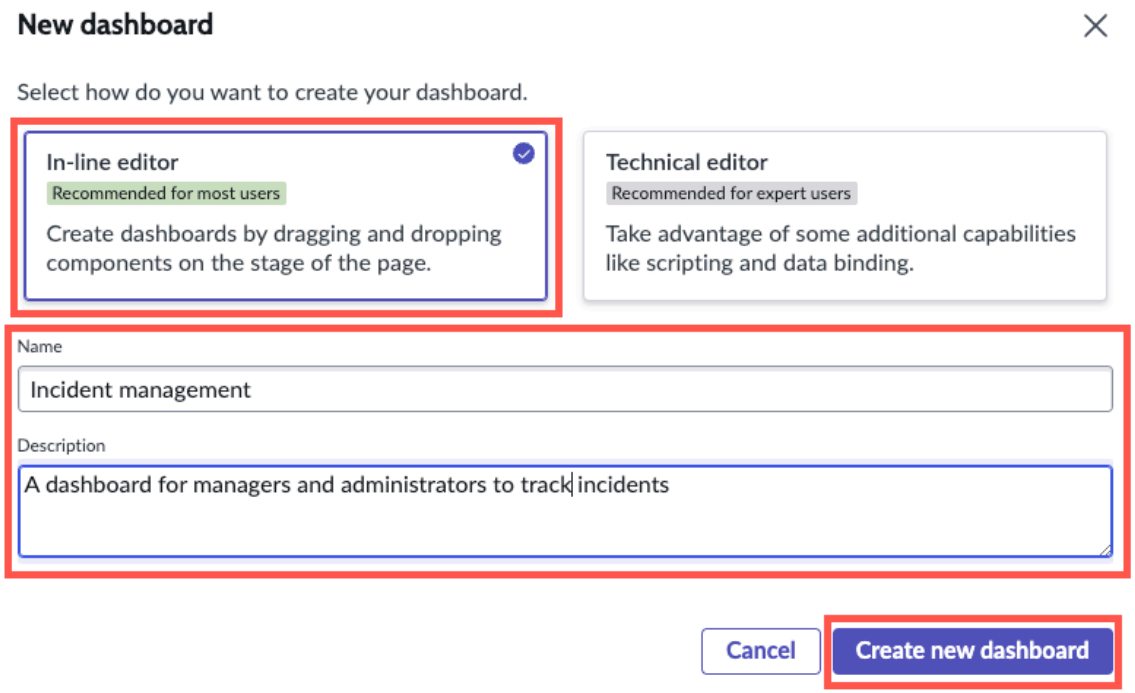
手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード.
2. **[Create new dashboard** (新規ダッシュボードを作成)] を選択します。
3. [インラインエディター] タイルを選択し、ダッシュボードに名前と説明を付けます。
   スクリプティング、データバインディング、およびその他の高度な機能を使用する場合は、[テクニカルエディター] タイルを選択して UI ビルダーに進みます。このエディターは、 UI ビルダーにアクセスできるユーザー (admin または ui_builder_admin ロールを持つユーザー) のみが使用できます。他のロールがある場合は、手順 6 に進みます。テクニカルエディターの詳細については、「 テクニカルダッシュボード」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. **[Create new dashboard** (新規ダッシュボードを作成)] を選択します。



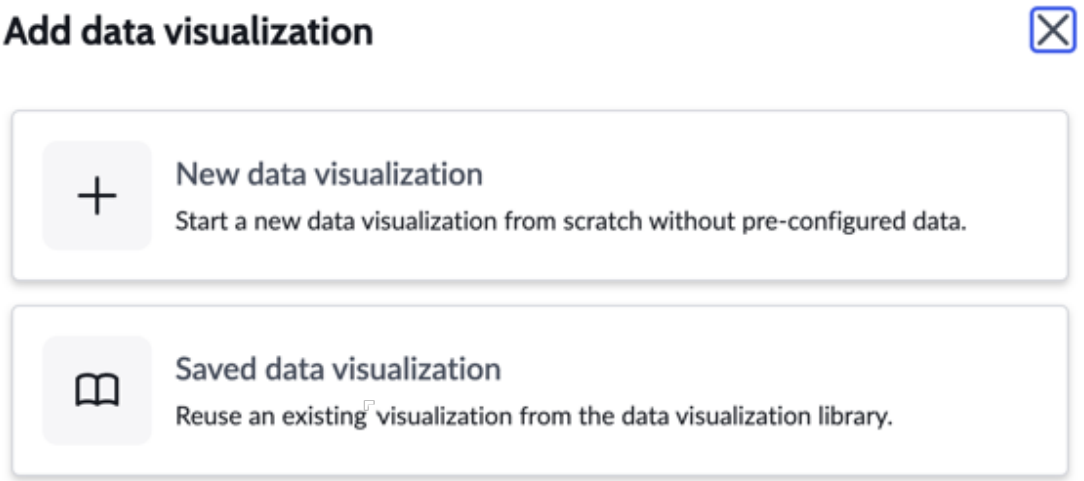
5. **[In-line editor**] を選択します。
[Technical editor (テクニカルエディター)] オプションを選択すると、ダッシュボードとして扱われる UI ビルダーのページが開き、使用可能なコンポーネントのリストが表示されます。UI ビルダーでダッシュボードを作成することは、開発者にお勧めします。詳細については、「UI ビルダー と でのテクニカルダッシュボードの作成 UI ビルダー」を参照してください。

6. [新しい要素の追加] を選択して、ダッシュボードにコンテンツを追加します。
ダッシュボードに追加できる項目の詳細については、「プラットフォームアナリティクス のダッシュボードの概要 」を参照してください。

   データの可視化を追加するときは、[**New data visualization** (新規データの可視化)] を選択して可視化を最初から作成するか、[**Saved data visualization** (保存済みデータの可視化)] を選択してライブラリから 1 つを選択します。フィルターを追加するときは、事前構成されたデータなしでフィルターを作成する場合は [新しいフィルター] を選択し、既存のフィルターを再利用する場合は [保存済みフィルター] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. 情報アイコン (ⓘ) を選択して [Details (詳細)] パネルを開き、ダッシュボードの名前と説明を入力します。
8. キャンバス上のデータを配置して、役に立つようにします。
   要素の角からクリックしてドラッグし、キャンバス上のサイズを変更できます。
9. 追加のタブの詳細については、[タブを追加して ルームを作成] を選択します。
10. [早めに 頻繁に保存 する] を選択します。
    ダッシュボードインラインエディターでは、ダッシュボードの作成時にダッシュボードが自動的に保存されません。必ず定期的に作業内容を保存してください。

次のタスク

- プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの詳細を構成する
- ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集

テクニカルダッシュボード

インラインエディターでは得られない高度な機能やカスタマイズされた機能をダッシュボードで必要とする場合は、テクニカルエディターでダッシュボードを作成できます。このエディターは、ユーザーと UI ビルダーをつなぎます。

テクニカルダッシュボードは、「詳細ダッシュボード」という名前の専用の UI エクスペリエンスに保持される UI ビルダー ページです。このページには、 UI ビルダー ページのすべての構成オプションがありますが、ダッシュボードライブラリからアクセスできます。

テクニカルダッシュボードを作成し、そのコンテンツを UI ビルダーで編集します。ui_builder_adminロールを持つユーザーのみが、テクニカルダッシュボードの作成、そのコンテンツの編集、または UI ビルダー ページオプションの構成を行うことができます。

テクニカルダッシュボードは、インラインで作成されたダッシュボードと同様に共有、印刷、ブックマークできます。他のワークスペースでテクニカルダッシュボードを共有し、他のダッシュボードの場合と同様に、ダッシュボードの詳細で他の設定を構成することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テクニカルダッシュボードとインラインで作成されたダッシュボードの比較

ダッシュボードがインラインで作成されました	テクニカルダッシュボード
任意のロールで作成できます。	ui_builder_adminロールでのみ作成できます。
次のものを含めることができます。 • データの可視化 • Filters (フィルター) • 見出し • イメージ • 簡易リスト • リッチテキスト	インラインで作成されたダッシュボードで利用可能なすべてのコンポーネントを含む、 UI ビルダー でサポートされている任意のコンポーネントを含めることができます。
データの可視化とフィルターは、事前定義されたデータソースのみをサポートします。	手動の JSON データソースとローカルデータインスタンスがサポートされています。(一般的に UI ビルダー ページの場合は true)。
イベント構成はありません。デフォルトおよび事前設定されたドリルダウンは利用できません。	閲覧者に可視化からドリルダウンしてもらいたい場合は、その可視化でドリルダウンイベントを構成する必要があります。他のイベントの構成が必要になる場合があります。
共有者のロールと共有されている権限に応じて、編集権限の有無にかかわらず共有できます。	インラインで作成されたダッシュボードと同じです。
他のエクスペリエンスや構成可能なワークスペースでのダッシュボードの公開など、ダッシュボードの詳細を指定できます。ダッシュボードの詳細を編集する権限は、ダッシュボードアドミンとダッシュボード所有者に制限されています。	インラインで作成されたダッシュボードと同じです。

自動翻訳

でのテクニカルダッシュボードの作成 **UI** ビルダー

テクニカルエディターオプションに従って、 UI ビルダーを使用してダッシュボードを作成します。UI ビルダーでは、スクリプティングやデータバインディングなど、インラインエディターよりも幅広い機能を使用できます。

始める前に

UI ビルダーでダッシュボードを作成することは、開発者にお勧めします。詳細については、「UI Builder」を参照してください。

テクニカルエディターでダッシュボードを作成する場合、 アナリティクスセンター でダッシュボードの詳細を編集することはできません。ただし、 アナリティクスセンターからテクニカルダッシュボードを共有することはできます。

注:
テーブルデータに基づくデータの可視化は、ダッシュボードを共有しているユーザーと自動的に共有されます。

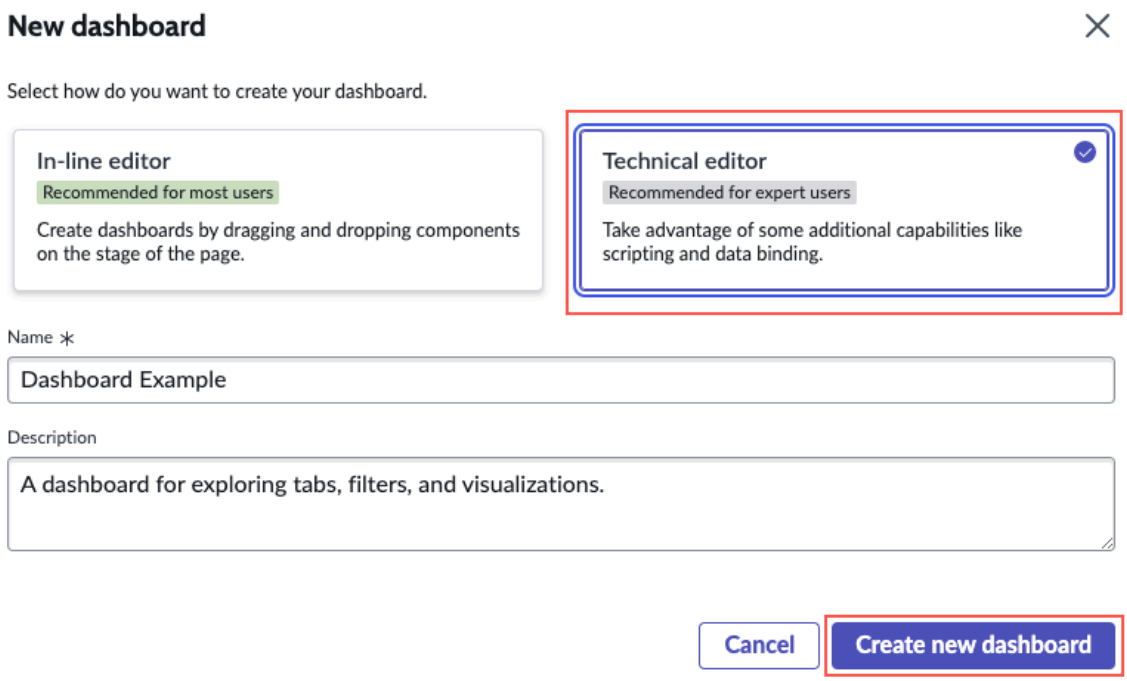
必要なロール：ui_builder_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
テクニカルエディターを使用すると、任意の UI ビルダー コンポーネントをダッシュボードに追加できます。データリソース、クライアントスクリプト、構成プロパティのデータバインディングなど、他のすべての UI ビルダー 機能を使用することもできます。テクニカルエディターは、Advanced Dashboards という名前の特別なワークスペースにダッシュボードを作成します。このワークスペースは、 UI ビルダーの [My Experiences] で使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード.
2. **[Create new dashboard** (新規ダッシュボードを作成)] を選択します。
3. **[Technical editor**] を選択します。



⚠ 警告:
UI ビルダーの詳細ダッシュボードエクスペリエンスでダッシュボードを直接作成しないでください。実行時には常にプラットフォームアナリティクスライブラリから開始します。ライブラリでテクニカルダッシュボードを開始すると、par_dashboardsテーブルに自動的に接続され、ダッシュボードの概要コンポーネントに一覧表示されます。

4. 作成するダッシュボードの名前と説明を入力し、[**Create new dashboard** (新しいダッシュボードの作成)] を選択します。
   [Technical editor] オプションを選択すると、空のダッシュボードが開きます。
5. **UI** ビルダーで **[Edit** (編集)] を選択します。
6. コンテンツツリービューで、レイアウトまたはコンテナコンポーネントを追加します。
   コンテナには、データの可視化、静的テキストボックス、画像などのダッシュボードコンポーネントが格納されます。タブ付きダッシュボードを作成する場合は、親タブコンポーネントの下に各タブをコンテナとして作成できます。詳細については、開発者サイト のタブコンポーネントリファレンス を参照してください。
7. UI ビルダー右側の [スタイル] タブで、レイアウトを選択します。

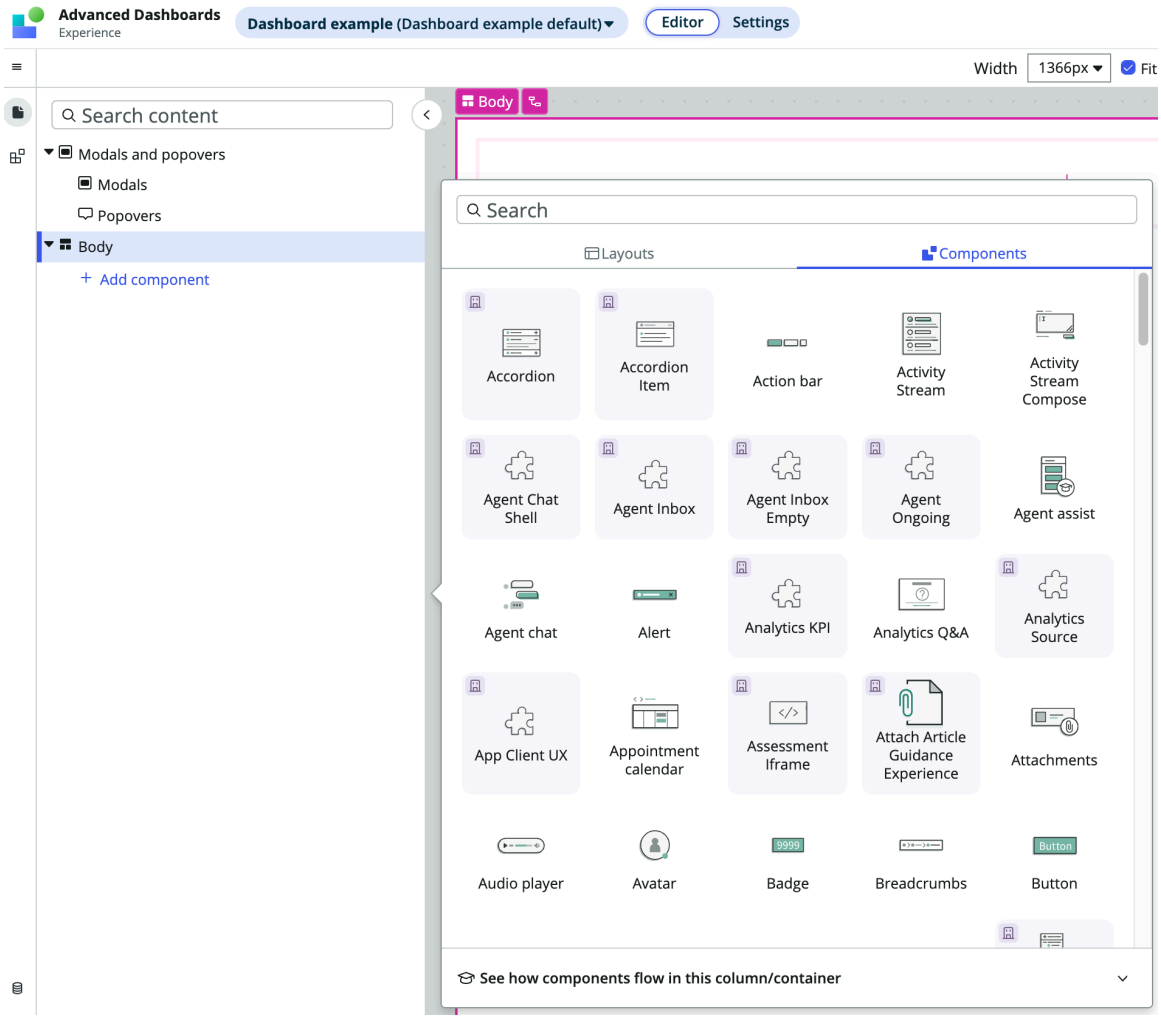
   レイアウトは、コンテナのコンテンツをパターンで整理します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [グリッド] を選択して、選択したコンテナの行数と列数を指定します。詳細については、「Using CSS Grid layouts to build a page」を参照してください。
- コンテナ間のレイアウトの柔軟性を高めるには、 **Flexbox** を選択します。詳細については、「Using Flexbox layouts in UI Builder」を参照してください。

8. コンテナにコンポーネントを追加します。
   左側の [コンポーネント] メニューから選択するか、ステージング領域の [コンテンツを追加] (**+**) アイコンをクリックします。

   右側の [構成] パネルでは、選択したコンポーネントを構成できます。



9. オプション: コンテナー、コンポーネント、および構成をさらに追加します。
10. データビジュアル化コンポーネントを追加し、ビューアーがそのコンポーネントからより詳細なデータビューにドリルダウンできるようにする場合は、 テクニカルダッシュボードのデータ可視化へのドリルダウンイベントの追加の指示に従ってください。
11. [保存] をクリックすると、いつでもダッシュボードに加えた変更を保存できます。

関連情報

のデータの可視化 プラットフォームアナリティクス

のフィルター プラットフォームアナリティクス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

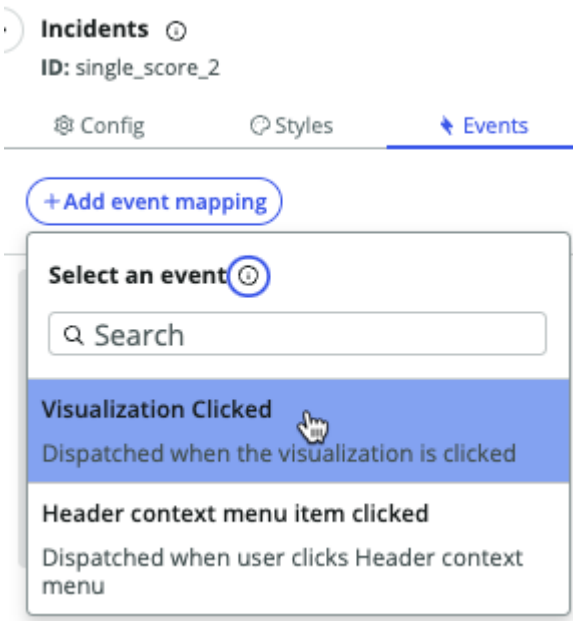
テクニカルダッシュボードのデータ可視化へのドリルダウンイベントの追加

テクニカルダッシュボードは、データの可視化からドリルダウンするための事前設定された宛先をサポートしていません。ビューアーがビジュアリゼーションを操作するときに、データのより詳細なビューを開くようにするには、カスタムドリルダウンイベントを構成します。

始める前に
この手順は、テクニカルダッシュボードが既に作成されており、データビジュアライゼーションコンポーネントが入力されていることを前提としています。
必要なロール:ui_builder_admin、テクニカルダッシュボードを編集する権限

手順

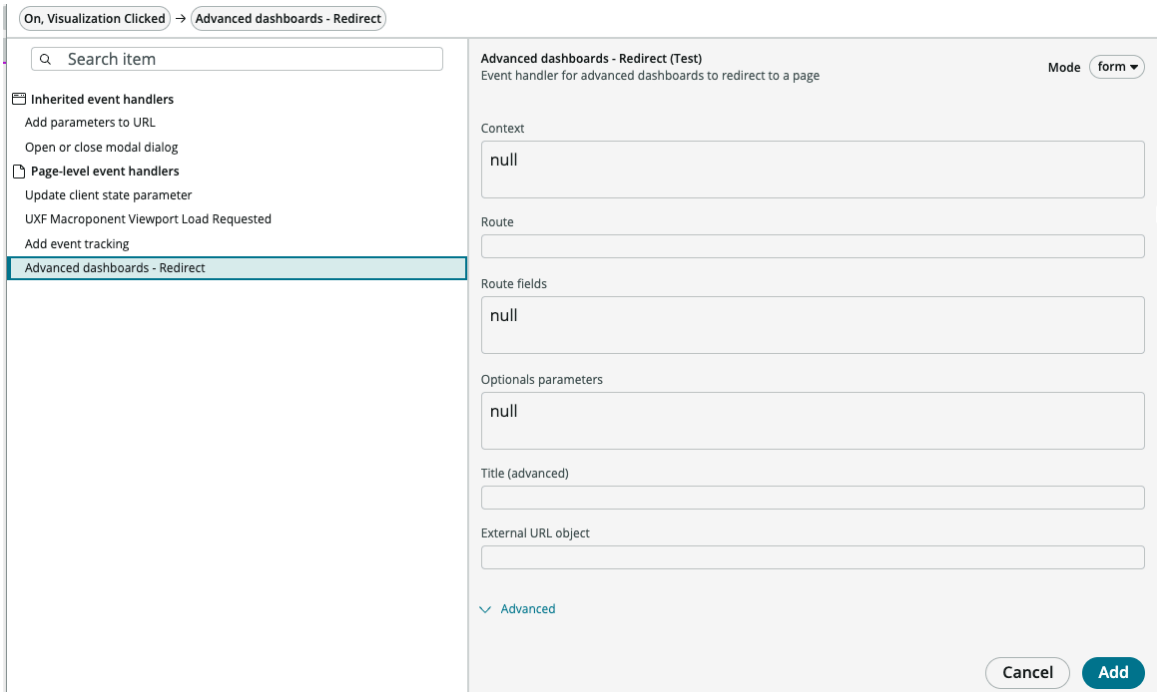
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード.
2. 目的のテクニカルダッシュボードを見つけて開きます。
3. **UI** ビルダーで **[Edit** (編集)] を選択します。
4. UI ビルダーダッシュボードで、目的のデータの可視化を選択します。
5. データ可視化の構成パネルで、[**Events** (イベント)] タブを開きます。
6. **[+** イベントマッピングを追加] を選択します。
   [イベントを選択] ダイアログが開きます。



7. **[Visualization Clicked** (可視化がクリックされました)] イベントを選択します。
   ダイアログが開き、利用可能なイベントハンドラーのリストが表示されます。
8. [詳細ダッシュボード - リダイレクト] イベントハンドラーを選択します。
   このイベントハンドラーの構成フィールドが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. イベントハンドラーを次のように構成します。

フィールド	**Description** (説明)
コンテキスト	宛先ページが存在するエクスペリエンスのパス。
ルーティング	宛先ページのルート名。
ルーティングフィールド	宛先ページの必須パラメーター。
オプションのパラメーター	宛先ページのオプションのパラメーター。

自動翻訳

10. **[Add** (追加)] を選択します。

Example: テーブルデータソースのドリルダウン

インシデント [incident] テーブルのレコード数を示す単一スコアデータの可視化がある。ビューアーがこのビジュアル化を操作するときに、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスでインシデントレコードのリストを開くようにする必要があります。

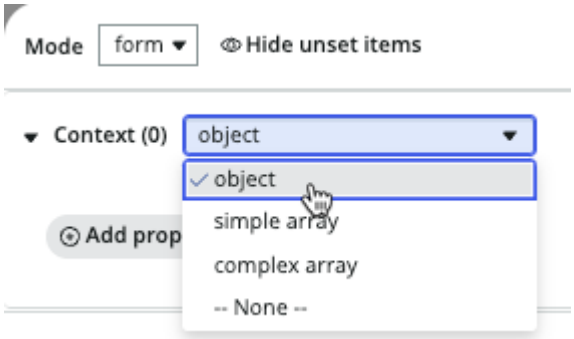
1. 一般的な手順のステップ 1 から 8 に従うと、単一スコアの可視化の [詳細ダッシュボード - リダイレクト] イベントハンドラーの構成が開かれるようになりました。

2. [コンテキスト] フィールドで、[編集] を選択します。

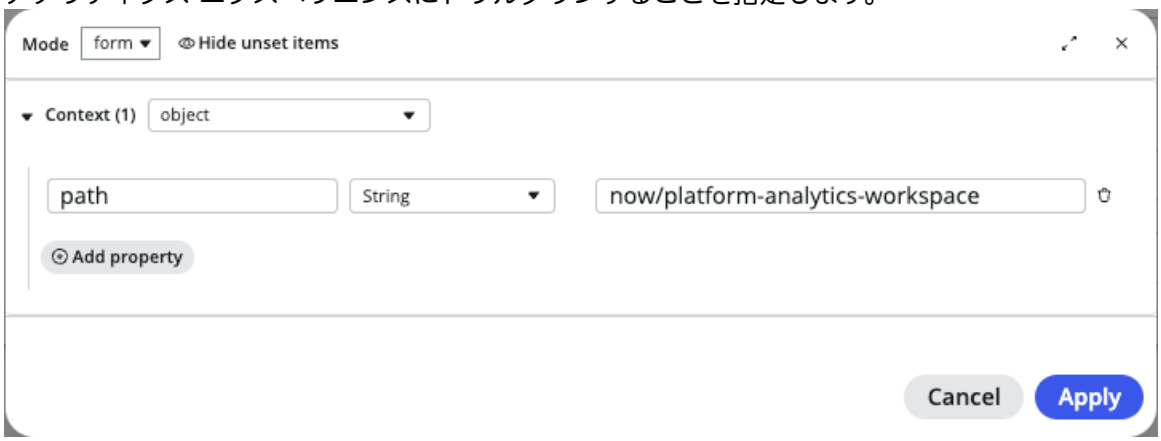


3. 編集ダイアログで、オブジェクトの JSON タイプを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [プロパティを追加] を選択し、プロパティ名として「パス」を、プロパティ値として「now/platform-analytics-workspace」を入力します。これらの値は、ビューアーが プラットフォーム アナリティクス エクスペリエンスにドリルダウンすることを指定します。



5. [適用] を選択し、次のフィールドに進みます。
6. [ルート] フィールドに「 simplelist」と入力します。このルートは、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのシンプルリストページにつながります。
7. [ルート] フィールドでは、最初にデータをバインドすることを選択します。 

次に、プロパティ {table: @payload.params.table} をフィールドに追加します。このプロパティは、可視化内のテーブルの名前を プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのシンプルリストページに渡します。

   ヒント:
   まず、オートコンプリートを使用してデータ パラメーター @payload.params.table を追加し、次にそのパラメーターを中かっこで囲んで table: を追加します。

8. 同様に、[オプションのパラメーター] フィールドのデータをバインドし、値 {query: @payload.params.query, listTitle: @payload.title} を設定します。

[詳細ダッシュボード - リダイレクト] イベントハンドラーのプロパティが次のように表示されます。

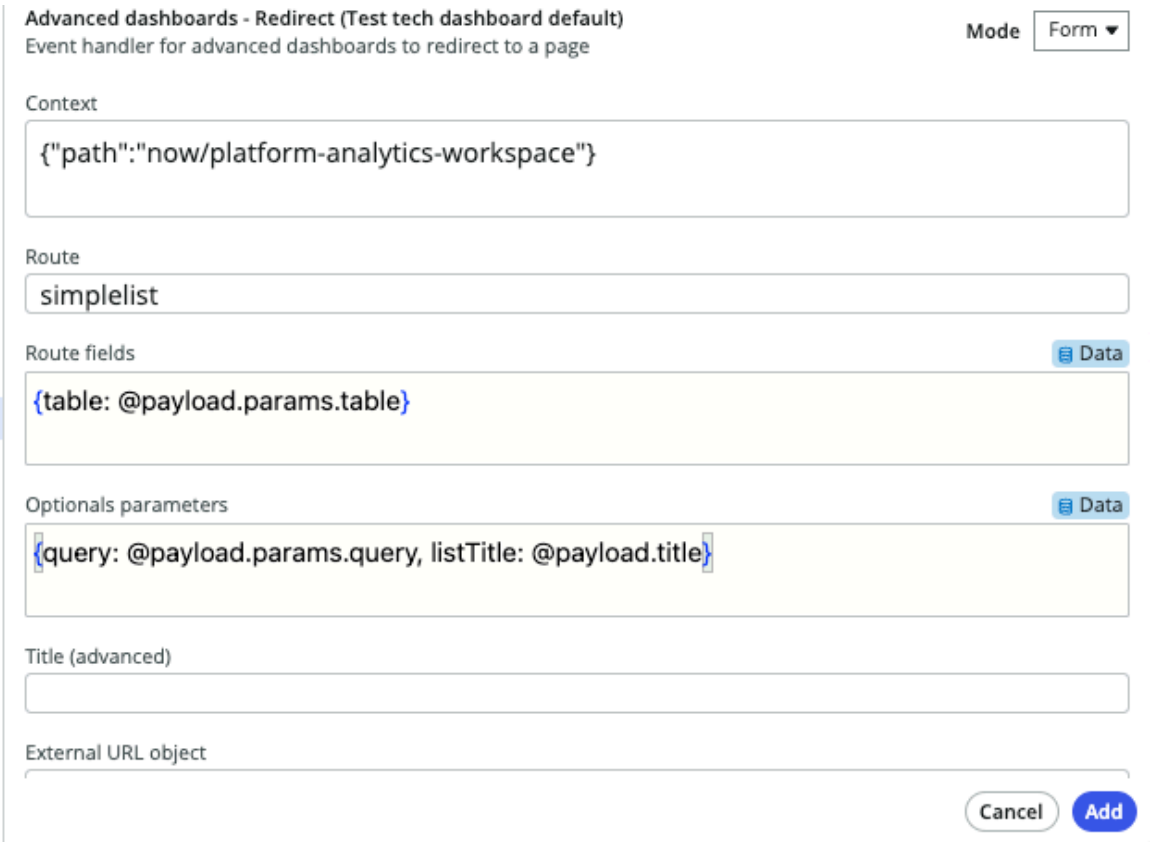
フィールド	値
コンテキスト	{"path":"now/platform-analytics-workspace"}

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
ルーティング	簡易リスト
ルーティングフィールド	{table:@payload.params.table}
オプションのパラメーター	{query:@payload.params.query, listTitle:@payload.title}

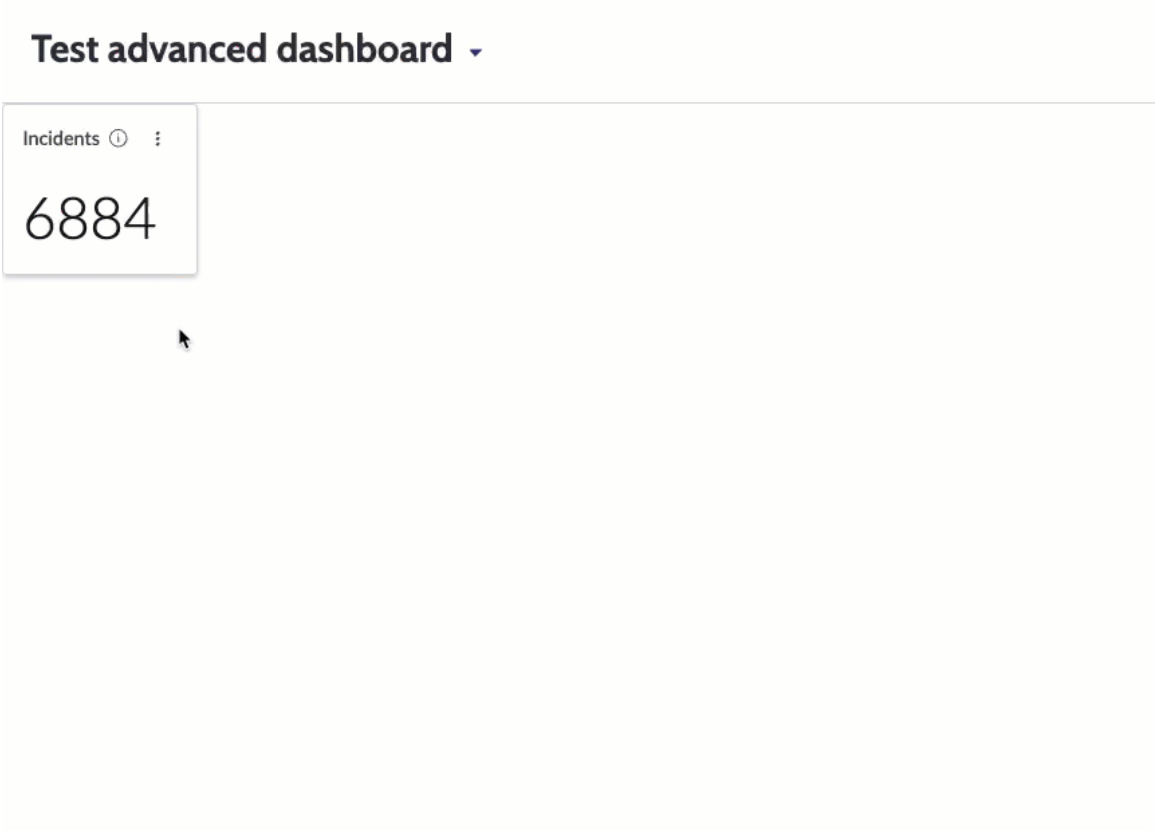
[追加] を選択してハンドラーをイベントマッピングに追加し、最後に [UI ビルダー] ページを保存します。



実行時に、ユーザーは可視化を操作してインシデントレコードのリストを開くことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Example: インジケーターデータソースのドリルダウン

オープンインシデントの数インジケーターの線グラフデータの可視化があります。ビューアーがこの可視化を操作するときに、そのインジケーターの KPI 詳細 ページを開く必要があります。

1. この場合も プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのページにドリルダウンするため、テーブルデータソースの例の手順 1 ～ 5 を繰り返します。
2. [ルート] に 「ac_kpi_details」と入力します。
3. [ルート] フィールドでは、最初にデータをバインドすることを選択します 

次に、「{uuid: @payload.params.indicatorSysid}」と入力します。このパラメーターは、インジケーターの ID (この場合はオープンインシデントの数) を プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス KPI 詳細 ページに渡します。

   ヒント:
   最初にオートコンプリートを使用してデータパラメータ @payload.params.indicatorSysidを追加し、次にそのパラメータを中括弧で囲んで uuid:を追加します。

   [詳細ダッシュボード - リダイレクト] イベントハンドラーのプロパティが次のように表示されます。

フィールド	値
コンテキスト	{"path":"now/platform-analytics-workspace"}
ルーティング	ac_kpi_details

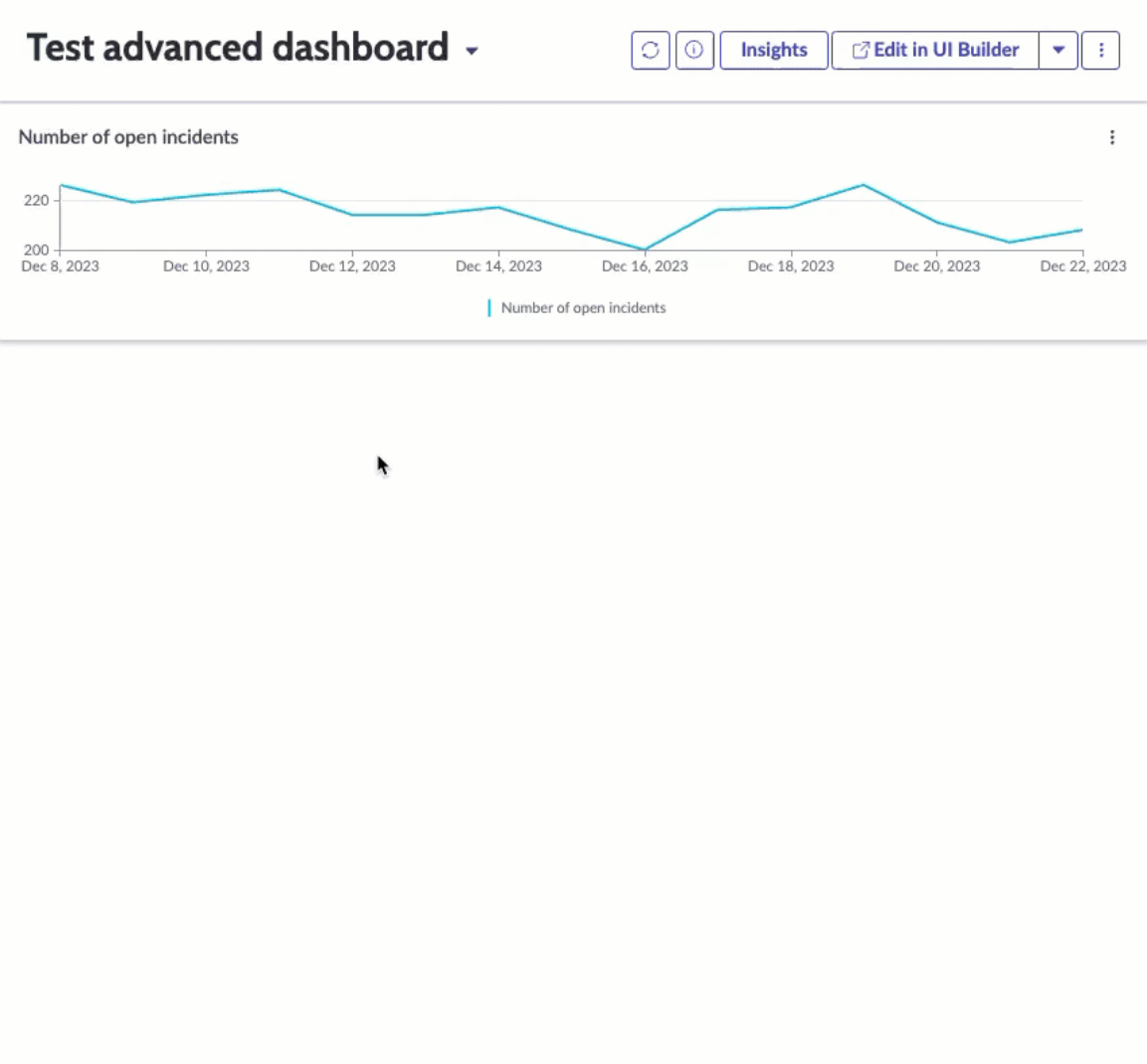
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
ルーティングフィールド	{uuid:@payload.params.indicatorSysid}

4. 他のパラメーターは必要ないため、 [追加] を選択し、UI ビルダー ページを保存します。

実行時に、ビューアーは可視化を操作して、[オープンインシデントの数] インジケーターの KPI 詳細を開くことができます。



フィルターコンポーネントのイベントハンドラーの構成

テクニカルダッシュボードで、フィルターコンポーネントにクライアントスクリプトベースの特別なイベントハンドラーを構成して、その後に任意のリストまたはデータの可視化が続くようにします。インラインダッシュボードでは、フィルターのイベントハンドラーを構成する必要はありません。

始める前に

この手順は、次のタスクが完了していることを前提としています。

1. フィルターコンポーネントを UI ビルダー ページに追加し、少なくとも 1 つのデータ可視化コンポーネントまたはリストコンポーネントを追加しました。フィルターは、複数のデータの可視化またはリストに適用できます。
2. フィルターコンポーネントに対して、ソースにフィルターを設定し、該当する場合はフィルターにデータを構成しました。フィルターコンポーネントがリストをフィルタリングすることになっている場合は、リストコンポーネントがフィルタリングするデータとして表示するテーブルを指定しています。

自動翻訳

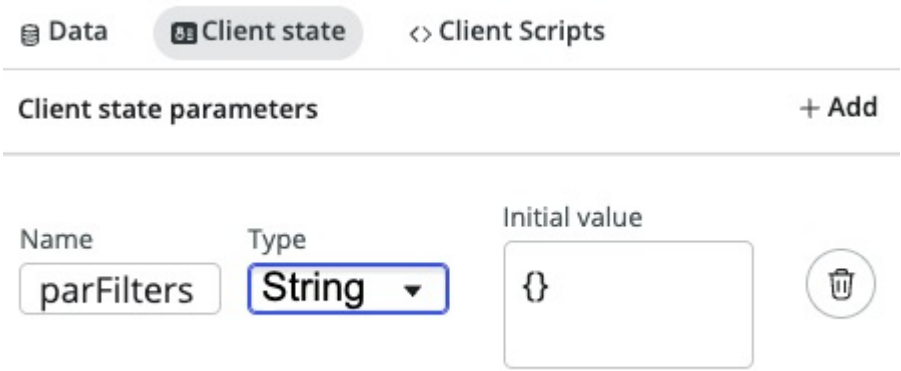
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. データ可視化コンポーネントのデータソースを構成しました。
4. リストコンポーネントのテーブルを指定しました。

必要なロール：ui_builder_admin、admin

手順

1. 関連する UI ビルダー ページを開きます。
   このページはテクニカルダッシュボードである可能性があります。
2. [UI ビルダー状態] セクションに移動し、初期値 {} を持つ文字列型の *parFilters* という名前の状態変数を追加します。
   詳細については、「 クライアントステータスパラメーターを作成してコンポーネントにバインド する」を参照してくださ



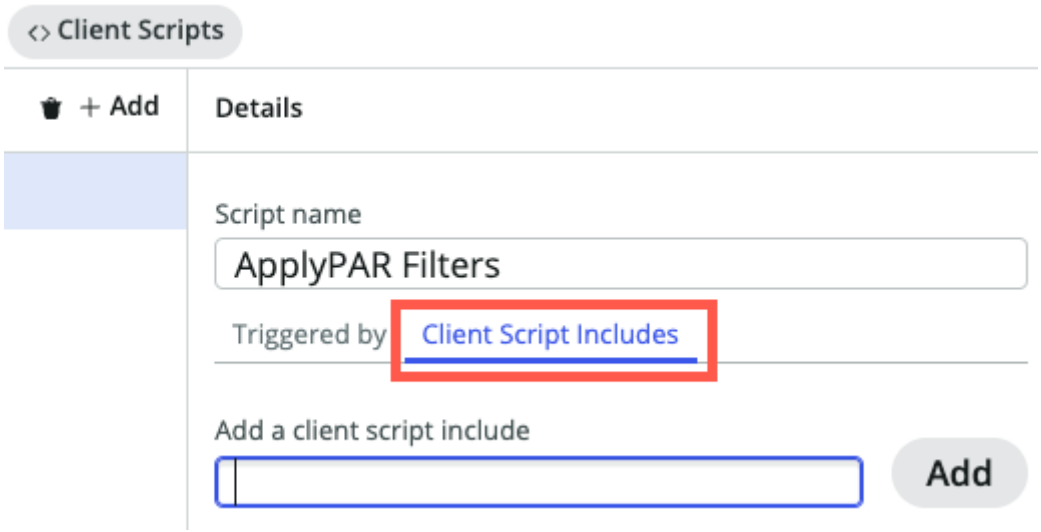
   い。
3. 初期値 {} を持つ JSON 型の *encodedQueries* という名前の 2 番目の状態変数を追加します。
4. [クライアントスクリプト] セクションに移動し、「PAR フィルターの適用」などの名前と、次の内容またはそれに相当する機能を持つカスタムスクリプトを作成します。

```
function handler({ api, event, helpers, imports }) {
 const mergePARFiltersV2 = imports["global.mergePARFilters"]().v2;
 const { appliedFilters } = event.payload;
 api.setState("parFilters", ({ currentValue, api }) => {
  const { parFilters, encodedQueries } = mergePARFiltersV2(
   currentValue,
   appliedFilters
  );
  api.setState("encodedQueries", encodedQueries);
  return parFilters;
 });
}
```

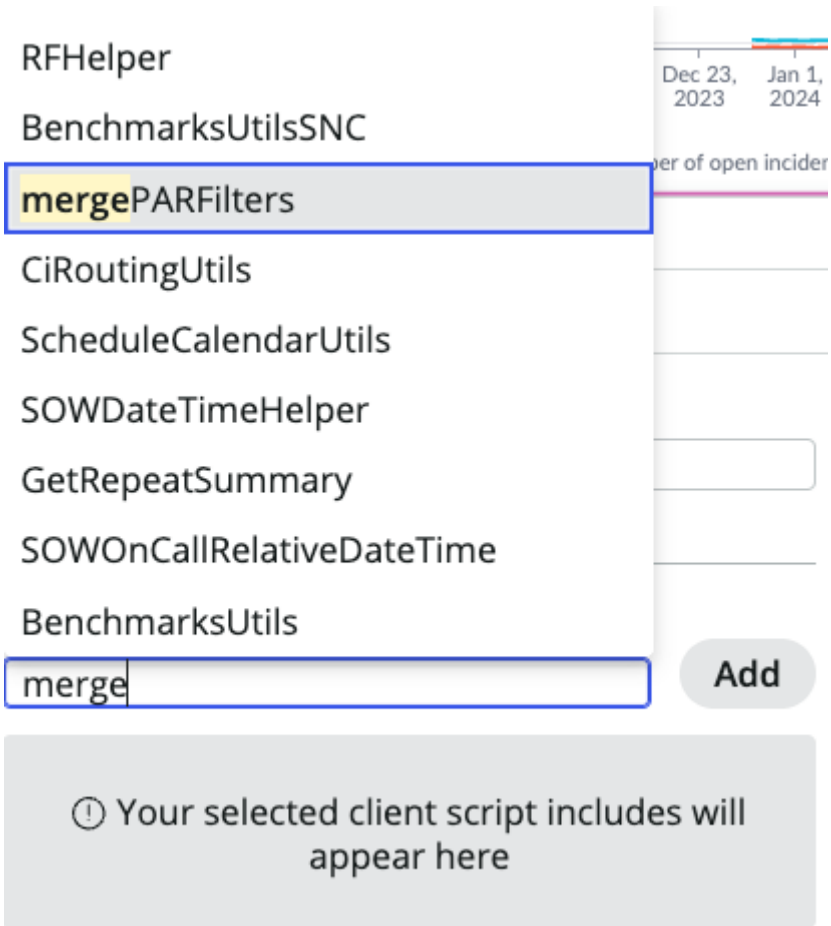
5. [クライアントスクリプト] セクションで、[クライアントスクリプトインクルード] タブを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



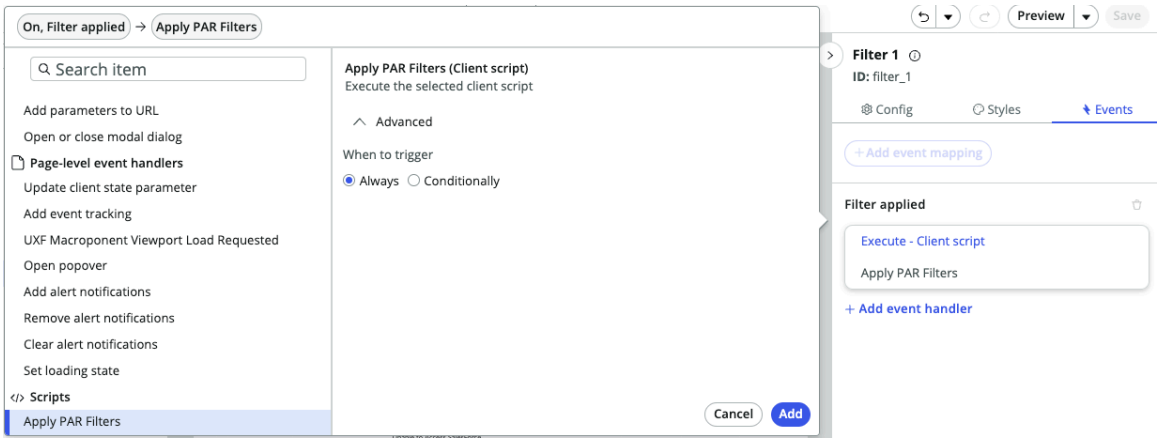
6. 「 スクリプト・インクルードの追加 」フィールドで、「 mergePARFilters 」を選択し、「 追加」をクリックします。



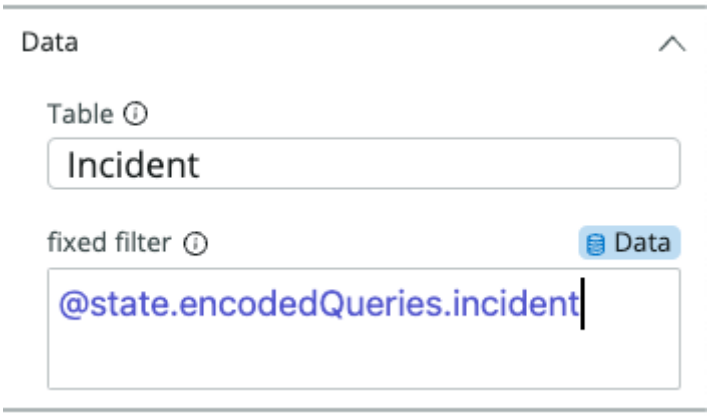
7. データ、クライアントステータス、およびクライアントスクリプトを構成するためのウィンドウを閉じます。
8. UI ビルダーで、Filter コンポーネントを選択します。
9. 構成パネルで [イベント] タブを選択し、作成したページスクリプト (この例では [PAR フィルターを適用]) をイベントハンドラーとして追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. UI ビルダーで、リストコンポーネントを選択します (存在する場合)。
11. [固定フィルターの編集] を選択し、このプロパティ [fixedQuery] を動的バインド式 @state.encodedQueries.<list-datasource> として設定します。
<list-datasource> は、リストコンポーネントのデータソースに置き換えます。たとえば、リストにインシデント [incident] テーブルのレコードが表示されている場合は、「@state.encodedQueries.incident」と入力します。



12. 他のリストコンポーネントについても、前の 2 つの手順を繰り返します。
13. ページを保存します。

データの可視化でのローカルデータインスタンスの使用

事前設定されたデータソースよりもきめ細かくデータソースを制御するには、ローカルデータインスタンスを作成します。次に、ローカルデータインスタンスをデータ可視化の *dataPassthrough* プロパティにバインドします。

始める前に

重要:
これは高度な手順です。ローカルデータインスタンスが必要かどうか、または標準データソースを使用できるかどうかを慎重に検討してください。

先に進む前に、 Dynamically expose data in UI Builder pages (advanced feature) を確認してください。

必要なロール：ui_builder_admin、admin

自動翻訳

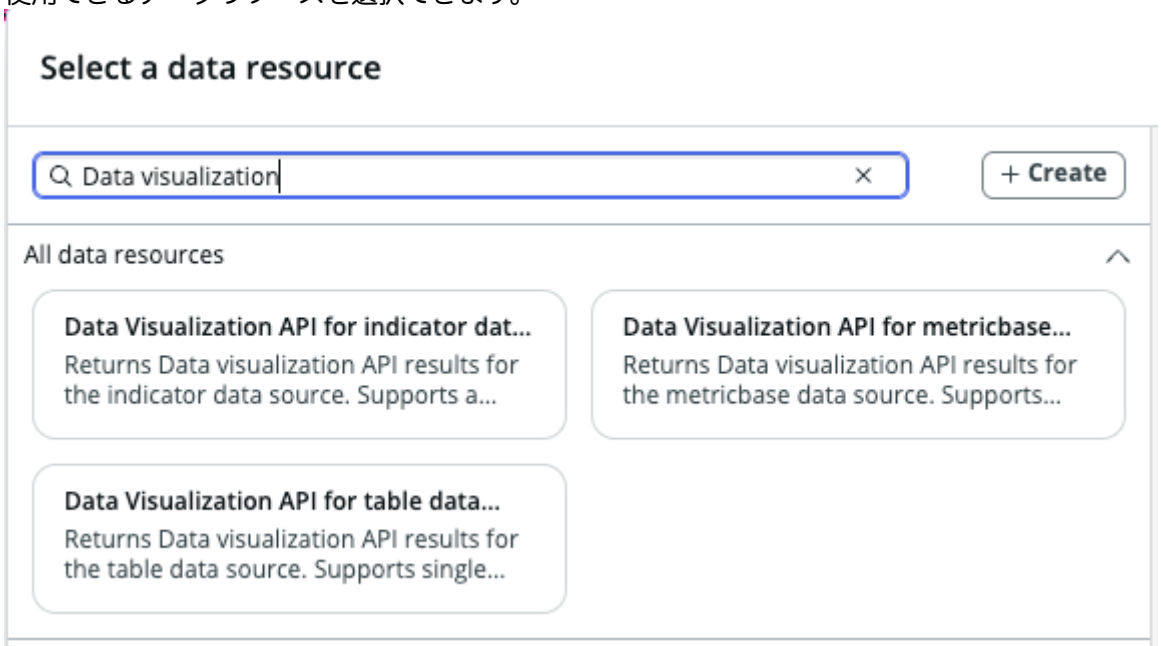
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. UI ビルダーでテクニカルダッシュボードまたはその他のUI ビルダーページを開きます。
2. [データとスクリプト] ドロワーの [データ リソース] で、 [+ データ リソースの追加] を選択します。



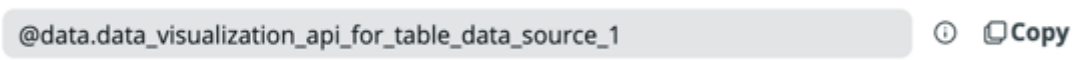
3. [Select a data resource (データリソースを選択)] ウィンドウで、「Data visualization (データの可視化)」を検索します。
使用できるデータリソースを選択できます。



4. 表示するデータのタイプに一致するデータリソースを選択します。
5. 情報ペインを読み、構成の詳細をコピーまたはメモします。
6. **[Add** (追加)] を選択します。
7. このデータインスタンスを使用する予定の可視化のタイプに必要な構成オプションを入力します。同じデータを使用するすべてのタイプの可視化に対して、個別のローカルデータインスタンスを作成して構成します。たとえば、同じインジケーターのスコアを表示する棒グラフと時系列を作成する場合は、棒グラフと時系列の可視化用にそれぞれ 1 つずつ、両方とも同じインジケーター上に、合計 2 つのローカルデータインスタンスを作成します。

   ヒント:
   データの可視化をページに追加し、その構成パネルをローカルデータインスタンスのオプションと比較できます。

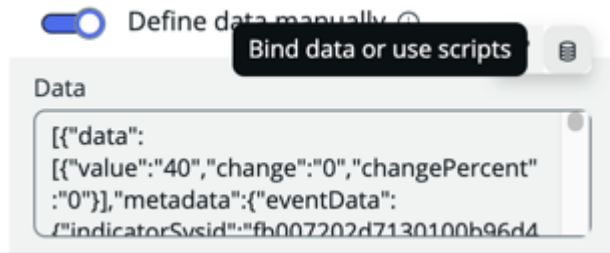
8. このデータソースの @data データバインドをコピーします。



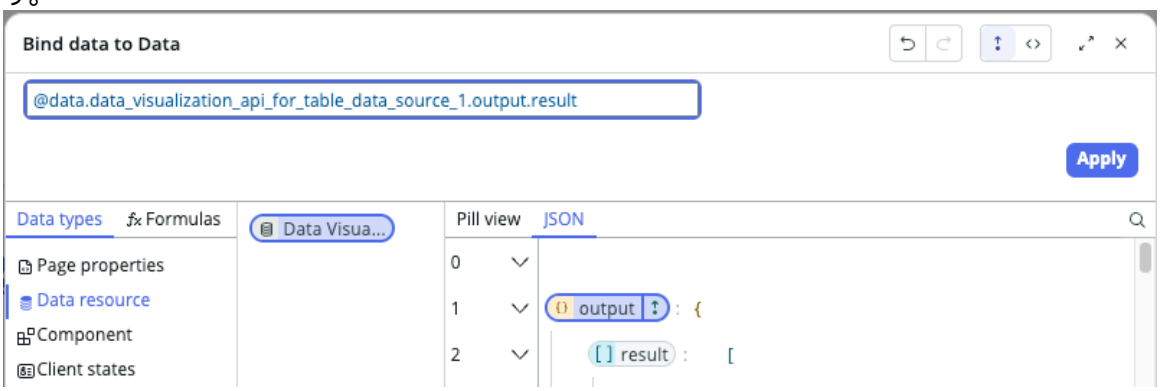
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 目的のデータ可視化コンポーネントをページに追加します。
10. そのデータ可視化の構成パネルの [データソース] セクションで、[データを手動で定義] をオンにします。
11. [データ] フィールドで、[データをバインドするかスクリプトを使用] を選択します。



12. [データをデータにバインド] ダイアログの [データ型] で、[データ リソース] を選択します。
13. [Add a data output to this area] (この領域にデータ出力を追加) セクションをダブルクリックし、ローカルデータインスタンスへのデータバインドを青いボックスに貼り付けます。
14. データバインドの末尾に .output.result を追加します。
たとえば、ローカルデータインスタンスdata_visualization_api_for_table_data_source_1への完了したデータバインドは @data.data_visualization_api_for_table_data_source_1.output.result です。



15. [適用] を選択します。

タスクの結果

ローカルデータインスタンスを作成し、データの可視化にバインドしました。これで、データの可視化の構成を完了できます。

ローカルデータインスタンスに適用するフィルターの有効化

データの可視化に表示されるフィールド値またはブレークダウン要素をビューアーが切り替えられるようにするには、 UI ビルダー ページにフィルターコンポーネントを追加します。これらのフィルターをローカルデータインスタンスに適用するには、そのインスタンスを適宜設定します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin、admin

このタスクについて

フィルターをローカルデータソースに適用できるようにするには、まず parFilters という名前のクライアントステータスパラメーターを作成してから、そのステータスパラメーターをローカルデータインスタンスに追加する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. フィルタリングするローカルデータインスタンスとデータの可視化を含む UI ビルダー ページを開きます。
2. [データとスクリプト] ドロワーで、 [クライアントステータスパラメーター] を選択します。
3. **[+** 追加] を選択します。
4. [クライアント状態パラメーターの編集] ダイアログで、新しいパラメーターに「parFilters」という名前を付け、JSON 型を割り当てて、{ } の初期値を設定します。



5. [クライアントステータスパラメーターの編集] ダイアログを閉じます。
6. (データとスクリプト) ドロワーの [Data resources (データリソース)] で、目的のローカルデータインスタンスを選択します。
7. [Edit <name of local data instance> ダイアログで、[**Filter configurations**] フィールドまで下にスクロールします。
8. [フィルター構成] フィールドに「@state.parFilters」と入力し、データインスタンスエディターを閉じます。
9. このローカルデータリソースを使用するデータ可視化の構成パネルで、[データ更新] セクションの [フィルターに従う] をオンにします。
10. オプション: [フィルターを表示] アイコンをオンにします。
11. UI ビルダーページを保存します。

次のタスク
フィルターコンポーネントを UI ビルダー ページに追加し、ローカルデータインスタンスの関連する値に対して構成します。

関連情報

のフィルター プラットフォームアナリティクス

ローカルデータインスタンスのデータキャッシュを有効にする

データの可視化のロード時間を短縮し、リアルタイムまたは非常に新しいデータが必要ない場合は、データソースでデータキャッシュを有効にします。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin、admin

手順

1. データをキャッシュするローカルデータインスタンスを含む UI ビルダー ページを開きます。
2. (データとスクリプト) ドロワーの [Data resources (データリソース)] で、目的のローカルデータインスタンスを選択します。
3. [データキャッシュを使用]まで下にスクロールしてオンにします。
   このデータソースを使用するデータの可視化では、データソースのキャッシュ設定が使用されます。可視化自体のデータキャッシュ設定は、構成パネルから削除されます。
4. 必要に応じて、他のキャッシュプロパティを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	**Description** (説明)
キャッシュ有効期限	一度作成されたキャッシュが、キャッシュ更新ジョブで更新されるまで保持される期間。
キャッシュを無効にする	この設定は、キャッシュを無効にして新しいデータをフェッチするために作成する追加のロジックとともに使用します。たとえば、ボタンコンポーネントをページに追加し、そのイベントハンドラーをスクリプト化してキャッシュを無効にすることができます。
追加キー	このデータインスタンスに作成された各データキャッシュの一意のハッシュキーの生成に寄与する文字列を入力します。ローカルデータインスタンスごとに一意の追加キー値を使用します。

ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集

ダッシュボードとダッシュボードタブの情報は、インラインエディターで編集できます。ダッシュボードが共有されている場合、加えた変更はすべてグローバルに適用されます。

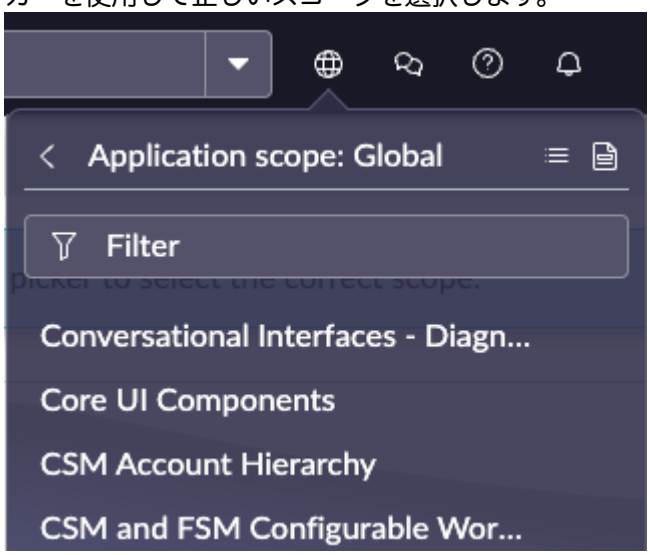
始める前に

作成したダッシュボードの詳細を編集できます。テクニカルエディターで作成されたダッシュボードのコンテンツを編集すると、UI ビルダーにリダイレクトされます。

必要なロール： 所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード.
2. 編集するダッシュボードを選択します。
   ダッシュボードとは異なるアプリケーション スコープ内にいる場合は、アプリケーション ピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



3. 次のいずれかのアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードを共有する

ダッシュボード要素 プラットフォームアナリティクス 編集

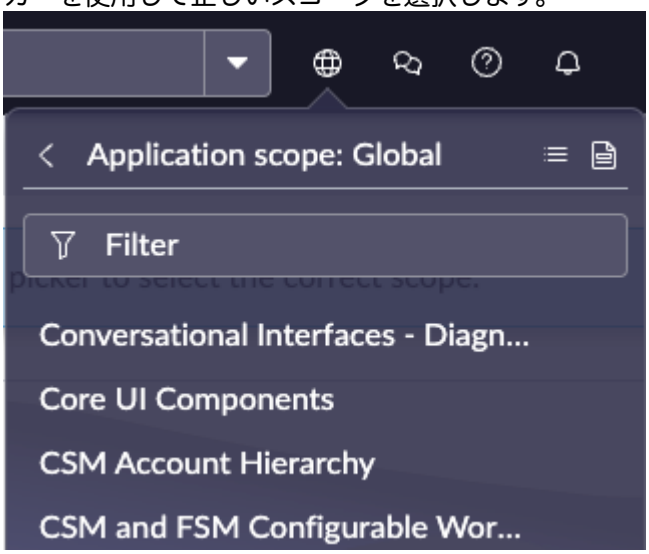
データの可視化やフィルターなど、ダッシュボードまたはダッシュボードタブのコンテンツを編集できます。ダッシュボードは共有されているため、変更した内容はすべてグローバルに適用されます。

始める前に
インラインエディターと 構成可能ワークスペースのテクニカルエディターで作成されたダッシュボードの詳細を編集できます。テクニカルエディターで作成されたダッシュボードのコンテンツを編集すると、UI ビルダーにリダイレクトされます。

必要なロール： 所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード.
2. [ダッシュボード] タブを選択して、編集するダッシュボードを選択します。
   ダッシュボードとは異なるアプリケーション スコープ内にいる場合は、アプリケーション ピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



3. 次のいずれかのアクションを実行します。

関連情報

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードを共有する

プラットフォームアナリティクスダッシュボードカードに画像を追加

アップロードされた画像でダッシュボードの概要のカードを区別します。

始める前に
必要なロール:画像プレビューを有効にするui_builder_admin。画像を追加するdashboard_admin。

このタスクについて
プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの概要のカードに画像を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ダッシュボードの概要コンポーネントで画像プレビューを有効にします。

   a. 移動先 **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.

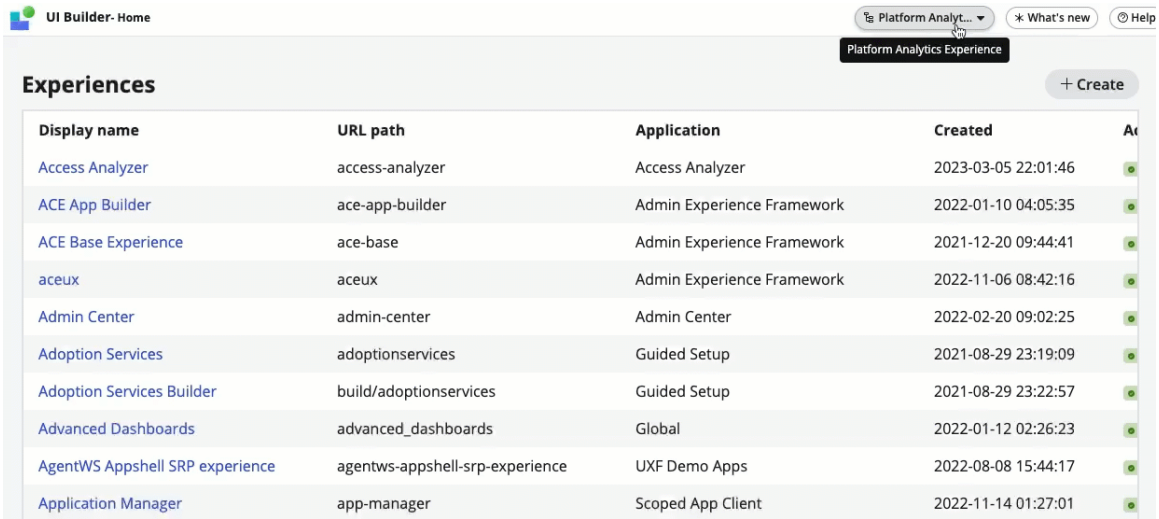
   b. アプリケーションスコープを [プラットフォームアナリティクス] に変更します。

   c. プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスを選択します。

   d. ダッシュボードライブラリー (デフォルト) アイテムを開きます。

   e. アウトラインで、 [ダッシュボードの概要 **1**] を選択します。

   f. コンポーネント構成で、[画像プレビューを表示] を選択します。



2. par_dashboard_user_metadata.list に移動します。

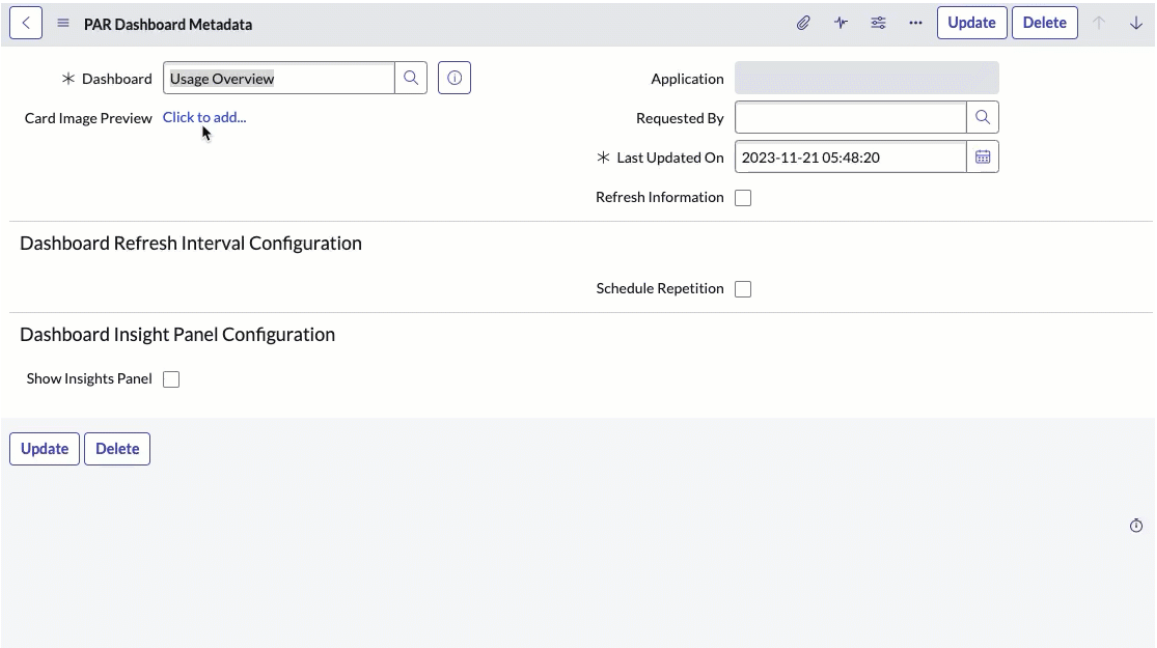
3. 画像を追加するダッシュボードの横にある [レコードのプレビュー] アイコン (ⓘ) を選択します。



4. [レコードを開く **(Open Record)]** を選択します。
5. [Card Image Preview (カード画像プレビュー)] の横にある **[Click to add** (クリックして追加)] を選択して、カードの背景画像を選択します。
   アップロードできる画像のサイズに制限はありませんが、カードのサムネイル領域は幅 260 ピクセル、高さ 110 ピクセルです。
6. 画像ファイルを選択し、[**OK]** を選択します。
   画像はダッシュボードのフォームに表示されます。

自動翻訳

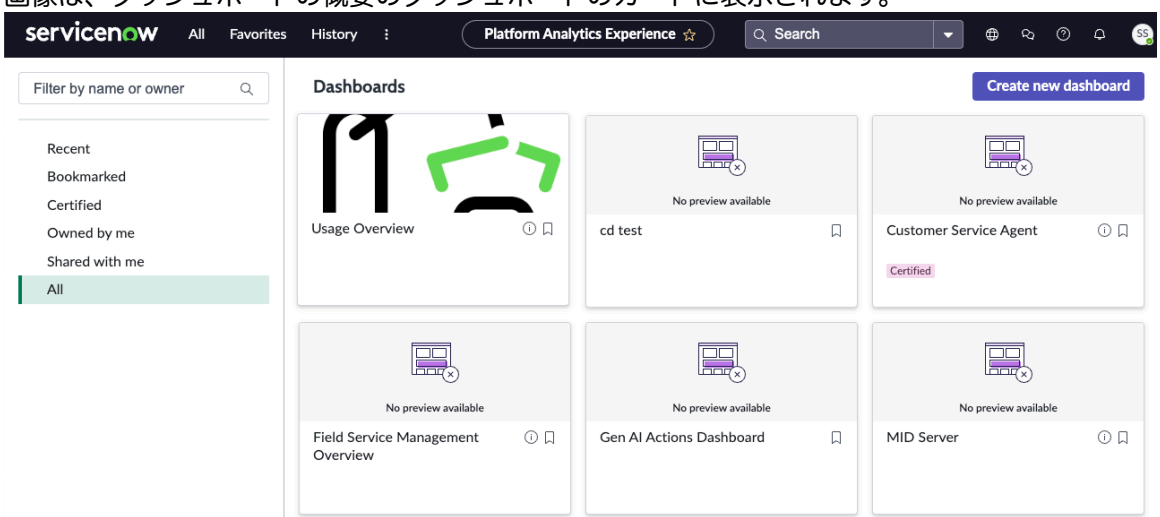
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [更新] を選択します。

タスクの結果

画像は、ダッシュボードの概要のダッシュボードのカードに表示されます。



プラットフォームアナリティクス ダッシュボードを共有する

ダッシュボードを他のユーザー、グループ、またはロールと共有して、共同作業に使用できるデータの共有ビューを作成します。表示権限、または表示権限と編集権限の両方を付与できます。

始める前に

必要なロール: 作成した任意のダッシュボードを共有できます。共有が許可されている場合は、共有されているダッシュボードを共有できます。共有されているダッシュボードを編集する権限がある場合は、その権限を共有相手に渡すことができます。admin または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードを共有できます。

注:
テーブルデータに基づくデータの可視化は、ダッシュボードを共有しているユーザーと自動的に共有されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード
2. 共有するダッシュボードを選択します。
3. [その他のアクション] ボタン ( ) を選択し、[共有] を選択します。
4. ダッシュボードを共有する 1 人以上のユーザー、グループ、またはロールの名前を入力します。
5. ダッシュボードを共有しているユーザーにもダッシュボードを共有できるようにするには、[このダッシュボードに関連付けられている共有権限の追加、編集、または削除を受信者に許可する] を選択します。
   ユーザー、グループ、またはロールをビューアーとして追加すると、ダッシュボードはビューアーとしてのみ共有できます。ユーザー、グループ、またはロールをエディターとして追加すると、ダッシュボードをビューアーまたはエディターとして共有できます。

   重要:
   ダッシュボードまたはデータ可視化を共有する権限には、そのダッシュボードまたはデータ可視化に対する、任意のユーザー、グループ、またはロールの共有権限を追加、編集、削除する権限が含まれます。最初に編集権限が付与されていないユーザーは、この機能を使用して自分や他のユーザーに編集権限を付与することはできません。

6. 次のオプションのいずれかを選択します。

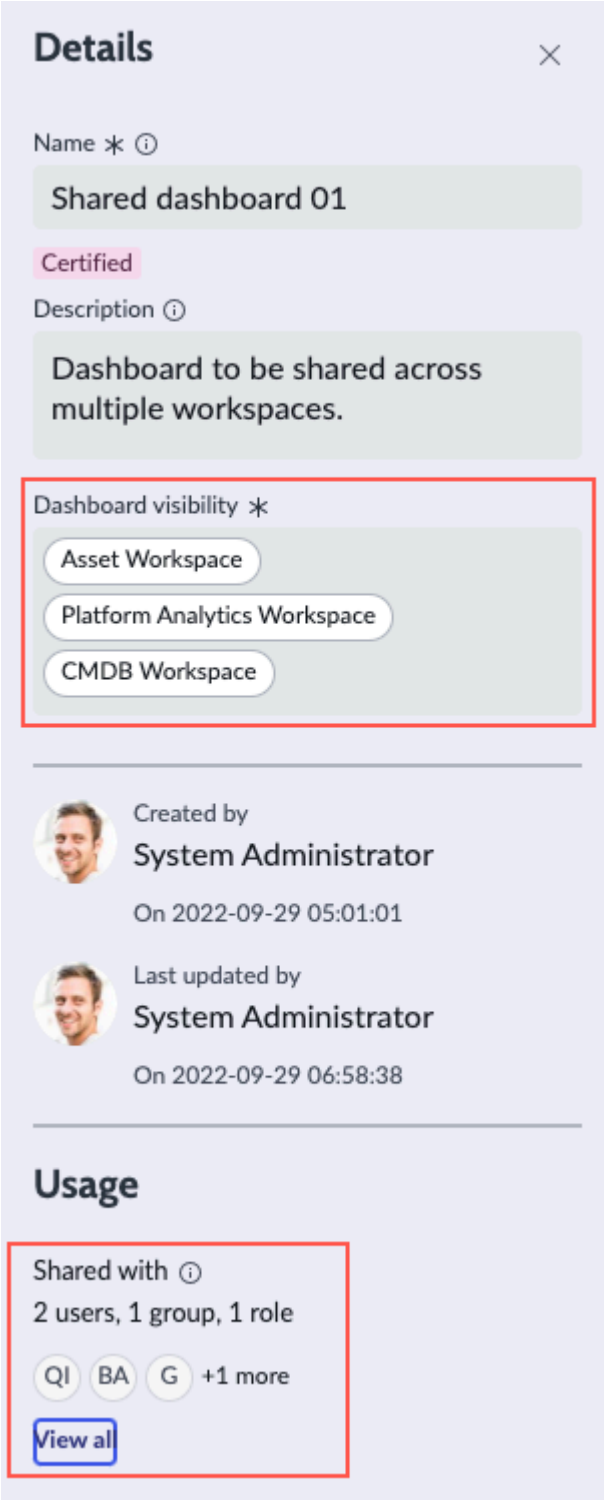
オプション	説明
閲覧者として追加	ダッシュボードを共有しているユーザー、グループ、またはロールにのみ表示権限を付与します。編集することはできません。
エディターとして追加	ダッシュボードを共有しているユーザー、グループ、またはロールに編集権限を付与します。 ユーザーをエディターとして追加するには、ダッシュボードと同じアプリケーション スコープ内にいる必要があります。

7. オプション: [フィルターを含むリンクをコピー] または [リンクをコピー] を選択して、ダッシュボードの URL をクリップボードにコピーします。
   この URL は、[ダッシュボードを共有] ダイアログを開いたときに開いていたタブを指します。フィルター付きリンクをコピー すると、ダッシュボードまたはダッシュボードタブで設定されているフィルターも適用されます。
8. [確認] を選択します。
9. オプション: ダッシュボードの詳細アイコン を選択すると、ダッシュボードの共有相手と表示場所が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
この例では、ダッシュボードは 3 つのワークスペースに表示され、1 つのグループと 1 つのロールの 2 人のユーザーと共有されています。



プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの詳細を構成する

ダッシュボード名の変更、説明の追加、認定、可視化の設定、および要求者、オーナー、オーナーグループの指定を行うことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
UI ビルダーで作成されたダッシュボードとインラインエディターで作成されたダッシュボードの両方で、 ダッシュボードの詳細 を編集できます。

必要なロール： 所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード.
2. [ダッシュボードの概要] で、構成するダッシュボードを選択します。
3. 情報ボタン (ⓘ) を選択して [**Details** (詳細)] パネルを開きます。
   [Details (詳細)] パネルでは、ダッシュボードのいくつかの側面を編集できます。

   a. [名前] フィールドを編集して、アナリティクスセンターとダッシュボードの概要でのダッシュボードの表示方法を変更します。

   b. [説明] に入力して、ダッシュボードの目的に関する詳細なコンテキストを提供します。

   c. ダッシュボードを 認定 済みとしてマークし、組織全体でのダッシュボードの使用が推奨されることをユーザーに通知します。

      注:
      ダッシュボードを 認定済みとしてマークするには、admin ロールが必要です。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの認定」を参照してください。

   d. [ダッシュボードの可視化] で、ダッシュボードを表示できるワークスペースを表示、追加、または削除します。
   admin または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、任意のダッシュボードのワークスペースを変更できます。他のユーザーは、自分が作成したダッシュボードのワークスペースのみを変更できます。詳細については、「ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集」を参照してください。

   e. ダッシュボードを要求したユーザーを指定します。
   このユーザーは責任ユーザーと見なされます。データの可視化は、編集権限を持つユーザーと共有されます。

   f. ダッシュボードの所有者を指定します。
   デフォルトでは、所有者はダッシュボードの作成者ですが、作成者または所有者は所有権を別のユーザーに割り当てることができます。

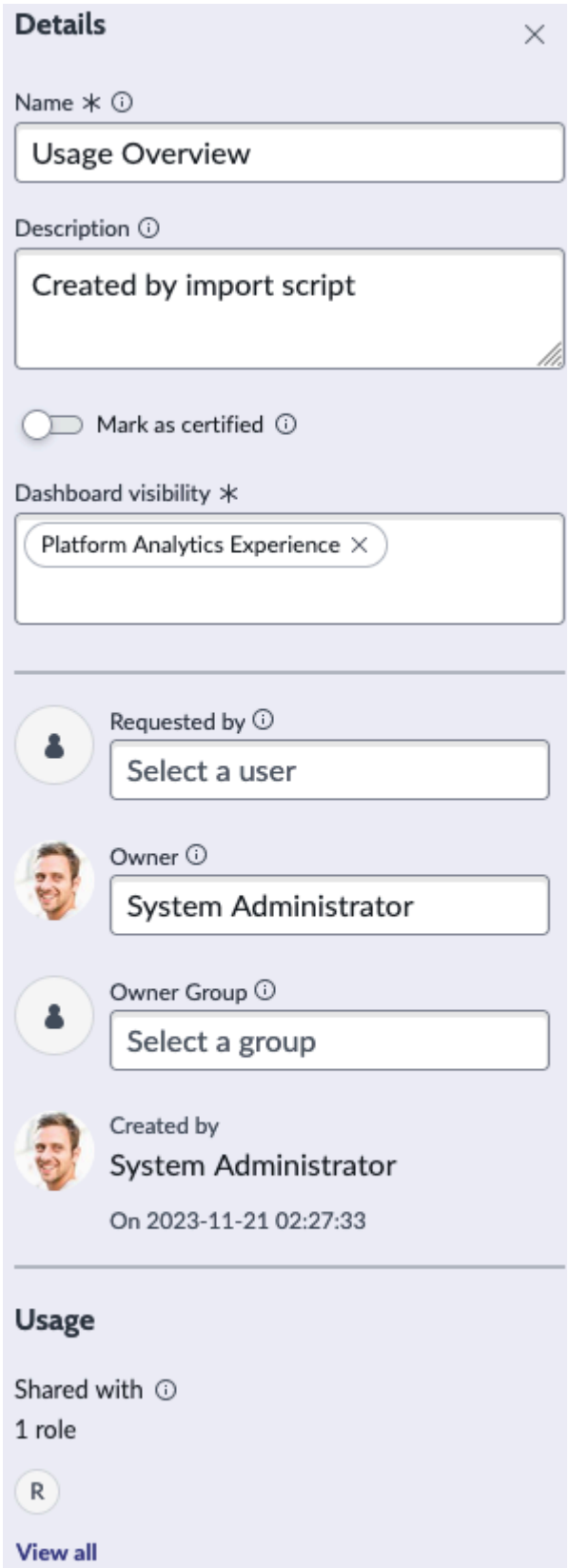
   g. オーナーグループを指定します。
   ダッシュボードの所有者は、1 人のユーザーではなくグループ全体である可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

h. ダッシュボードの作成者を確認します。

i. ダッシュボードが共有されているユーザーを表示します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成

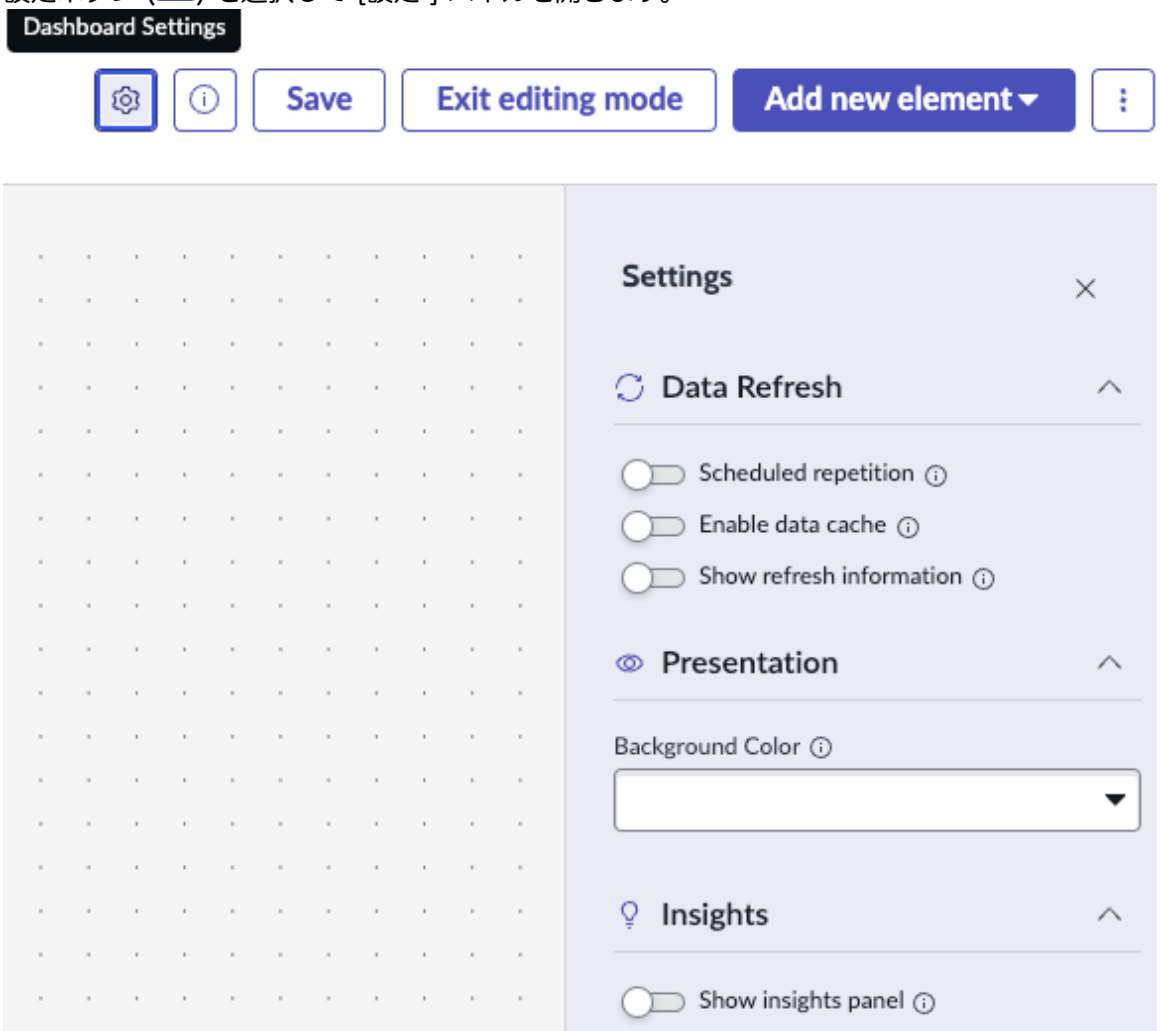
更新間隔の詳細と背景色を設定したり、データキャッシュを有効にしてページの更新を高速化したり、表示するインサイトカードを選択したりできます。

始める前に

必要なロール： 所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード.
2. ダッシュボードライブラリで、構成するダッシュボードを選択します。
3. [編集] を選択して編集モードに入ります。
4. 設定ボタン ( ) を選択して [設定] パネルを開きます。



5. 次のいずれかの設定を変更します。
   - 更新オプションを編集します。

     dashboard_admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボードの自動リフレッシュを設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [**Show refresh information**] を選択すると、ダッシュボードのタイトルの下にダッシュボードが最後に更新された時刻が表示されます。この情報は、ダッシュボードが自動的に更新されたとき、およびユーザーが更新ボタン()を選択したときに更新されます。
- [スケジュールされた繰り返し] を選択して、ダッシュボードを再ロードする頻度を分または時間で指定します。
- テーブルまたはインジケーターデータに基づくデータ可視化のページ更新時のロード時間を短縮するには、[データキャッシュを有効にする] を選択します。ServiceNow Store から最新の Data Visualizations アプリケーションがある場合、インジケータースコアカードはキャッシュもサポートします。ダッシュボードは、ページが更新されると、データベースを照会する代わりにキャッシュされたデータを使用します。

  注:

  - スケジュールされた繰り返しを有効にすると、データキャッシュが無効になり、その逆も同様です。
  - データの可視化で **X** 分間離れた後にリアルタイム更新またはリフレッシュを有効にすると、その可視化のキャッシュが上書きされます。このオプションを後で無効にすると、現在キャッシュされている値が期限切れになっていなければ表示されます。

  データキャッシュには有効期限があります。ページが更新され、キャッシュされたデータの有効期限が切れると、新しいデータが照会され、キャッシュされます。データ・キャッシングが使用可能な場合、キャッシュされたデータが有効である期間を 「キャッシュされた有効期限」で設定できます。オプションは、1、2、4、8、12、または 24 時間です。

  ダッシュボードまたは可視化のいずれかを更新することで、ダッシュボード全体またはデータの可視化のキャッシュされたデータを手動で更新できます。

- [プレゼンテーション] セクションで、ダッシュボードの 1 つ以上のタブの背景色を編集します。

  事前設定された色から選択するか、カラーパレットを使用して色を指定します。

- [インサイト] セクションに表示するかどうか、またどのアナリティクスを表示するかを選択します。

  [インサイト パネルを表示] を選択すると、ダッシュボードに [インサイト] ボタンが追加されます。ビューアーがこのボタンを押すと、選択したアナリティクスオプションに対応するインサイトカードが表示されます。詳細については、「ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードタブのキャッシュタイムアウトの設定

ダッシュボードのコンテンツは、ユーザーがタブ間を移動するたびに更新されるわけではありません。ダッシュボードタブのコンテンツが更新されるまでのキャッシュ時間 (分) を設定できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. sys_properties.list に移動します。
2. プロパティ *next_experience.dashboard.tab.timeout*を開きます。
   このプロパティはデフォルトで有効になっています。
3. 値を編集します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タブコンテンツが更新されるまでのデフォルトの分数は 20 分です。

4. [更新] を選択します。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの認定

ダッシュボードが会社によって承認され、使用が推奨されていることを示すために、ダッシュボードを認定します。

始める前に

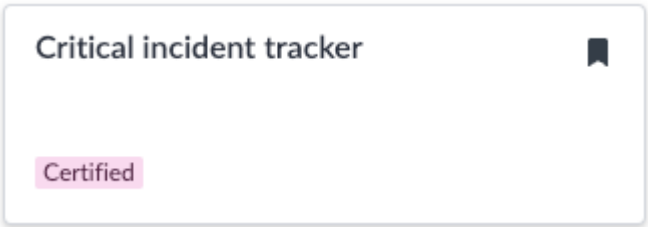
必要なロール:admin または dashboard_admin

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード
2. 認定するダッシュボードを選択します。
3. 情報ボタン (ⓘ) を選択して [Details (詳細)] パネルを開きます。
4. [編集] を選択します。
5. [認定済みとしてマーク] というラベルの付いたトグルを選択します。
6. [保存] を選択します。

タスクの結果

ダッシュボードの概要で、タイルは [認定済み] とマークされます。



プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの複製

インラインエディターで作成したダッシュボードを複製して、変更したバージョンを別のユーザーと共有できるようにします。

始める前に

必要なロール:ユーザーがダッシュボードにアクセスできる場合は任意。

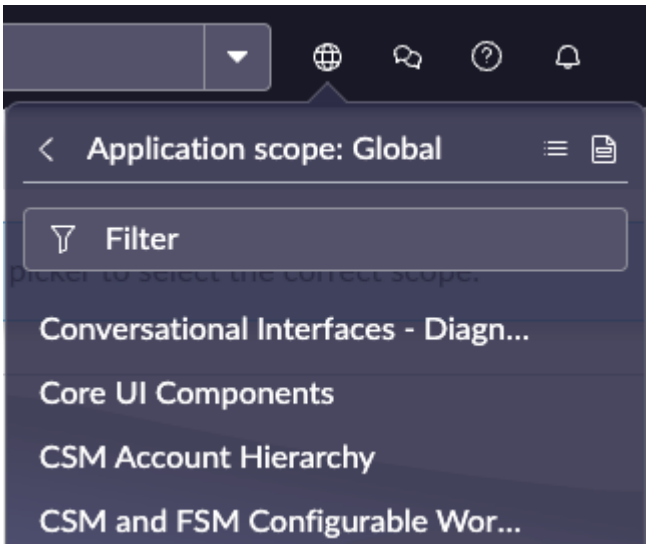
注:
このタスクは、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。UI ビルダーで作成されたダッシュボードを操作するには、「 UI Builder 」を参照してください。

手順

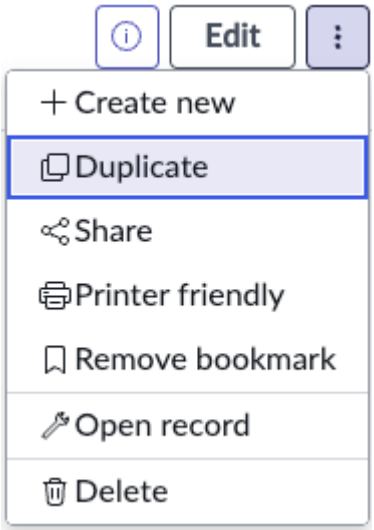
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [ダッシュボード] タブを選択します。
3. 複製するダッシュボードを選択します。
4. オプション: ダッシュボードとは異なるアプリケーション スコープ内にいる場合は、アプリケーション ピッカーを使用して正しいスコープを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [その他のアクション] メニュー ( ) を開き 、[複製] を選択します。



6. 複製に一意の名前を付け、[複製] を選択します。

タスクの結果

ダッシュボードが新しい名前でコピーされます。ダッシュボードの他のすべての側面は同じままです。

重要:
新しい複製が自動的に保存されます。

ダッシュボード タブの複製

関連する重要なコンテンツを追加できるように、インラインエディターで作成したダッシュボードタブを複製します。ダッシュボードに最初のタブを追加すると、タイトルの下とタブの上にレイアウトの新しい部分が表示されます。どのタブにフォーカスがあるかに関係なく、表示されるタブの上に要素を追加します。

始める前に

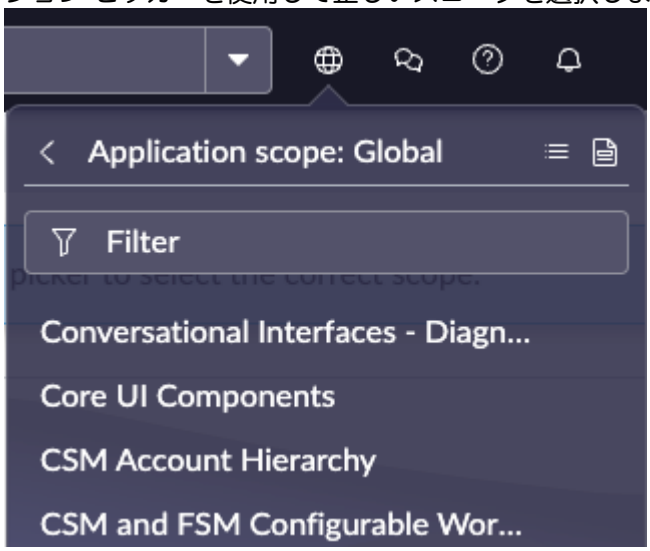
必要なロール:任意ですが、ダッシュボードに対する編集権限が必要です。

注:
このタスクは、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。UI ビルダーで作成されたダッシュボードを操作するには、「 UI Builder 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [ダッシュボード] タブを選択します。
3. 複製するタブを含むダッシュボードを選択します。
4. オプション: ダッシュボードとは異なるアプリケーション スコープ内にいる場合は、アプリケーション ピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



5. [タブを追加] を選択します。
   このリンクは、ダッシュボードのタイトルの隣にあります。
6. 元のタブで [その他のアクション] メニュー ( ) を開き 、[複製] を選択します。
   鉛筆アイコン ( ) を選択して、タブの名前を変更します。
7. 複製に一意の名前を付け、[複製] を選択します。

タスクの結果
ダッシュボードが新しい名前でタブコピーされます。ダッシュボードの他のすべての側面は同じままです。

重要:
新しい複製が自動的に保存されます。

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの印刷

ダッシュボードを印刷するには、印刷に適したコピーを作成し、ブラウザーからそのコピーを印刷します。

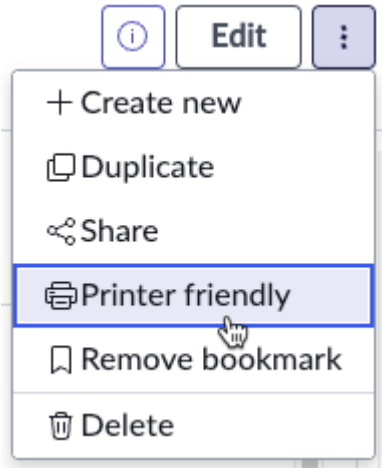
始める前に
必要なロール:任意

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード
2. 印刷するダッシュボードを開きます。
3. [その他のアクション] メニュー ( ) から 、[プリンター対応] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードの印刷対応コピーが新しいブラウザー タブで開きます。

4. ブラウザーの機能を使用して、印刷対応のダッシュボードのコピーをエクスポートまたは印刷します。

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードのブックマーク

ダッシュボードをブックマークして、 アナリティクスセンターで簡単に見つけられるようにします。

始める前に
必要なロール:任意の (ユーザーがダッシュボードにアクセスできる場合)

手順
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード.
2. ブックマークするダッシュボードを選択します。
3. [その他のアクション] メニュー ([⋮]) から 、[ブックマークに追加] を選択します。

タスクの結果
ダッシュボードの概要では、選択したダッシュボードが [ブックマーク済み] リストに表示されます。

次のタスク
ブックマークを削除するには、ブックマークされたダッシュボードを選択し、[その他のアクション] メニュー([⋮])から [ブックマークを削除] を選択します。

更新セットを含む プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの移動

ダッシュボードタブに関連するポータルページは、更新セットで自動的には転送されません。ダッシュボードのアンロード機能を使用して、ダッシュボードレコードから更新セットにポータルページを追加できます。ダッシュボードのアンロード機能は、ポータルページを含むすべての関連タブを含むダッシュボード全体をアンロードします。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
この手順では、ダッシュボード構造を更新セットに移動する方法について説明します。ダッシュボード構造には、ダッシュボード自体、タブ、関連するセキュリティ構成、およびヘッダーの色や境界線などのダッシュボード固有のウィジェット設定が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この手順では、ダッシュボードのコンテンツ (レポート、PA ウィジェット、コンテンツブロック、その他のウィジェットなど) は更新セットに移動しません。デフォルトのプラットフォーム機能を使用して、ダッシュボードコンテンツを更新セットに追加できます。

重要:
ダッシュボードの内容が、ダッシュボードレコードと同じ更新セット内にあるか、ターゲットインスタンスに既に存在することを確認してください。移動したダッシュボードがターゲットインスタンスに存在しないコンテンツを指している場合、エラーが発生します。

スコープ対象のアプリケーションでダッシュボードを移動する場合は、追加の手順が必要になることがあります。詳細については、「更新セット ID 「グローバル」が更新セットスコープ ID と異なります」を参照してください。

ヒント:
この手順に問題がある場合は、 カスタマーサービス & サポートに連絡してください。

手順

1. ソースインスタンスで、 par_dashboard.list に移動します。
2. 更新セットにアンロードするダッシュボードを選択します。
3. [他のアクション] アイコン ( ) を選択し 、[ダッシュボードのアンロード] を選択します。
   この手順は、ダッシュボードをアンロードする準備ができた後、つまりすべてのコンテンツをタブに追加した後にのみ実行してください。
4. 更新セットを移動する準備ができたら、更新セットを完了としてマークします。
5. ターゲット インスタンスで、標準の更新セット機能を使用して更新を移動します。
   詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。
   [リモートインスタンス] ページの [取得済み更新セット] 関連リストには、取得したすべての更新セットが表示されます。更新セットを選択して、エラーがあるかどうかを確認します。エラーは、[取得 済み更新セット] フォームの [更新セットプレビューの問題] という関連リストに表示されます。

タスクの結果
ダッシュボードとそのタブが、ターゲット インスタンスに移動されます。

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの削除

役に立たなくなったダッシュボードを削除することができます。アナリティクスセンターはワークフロースタジオを呼び出して、インスタンスからダッシュボードを削除します。

始める前に
ダッシュボードを表示できるすべてのユーザーに、ダッシュボードを削除することを通知します。削除されたダッシュボードをブックマークしているユーザーがそのダッシュボードにアクセスしようとすると、エラーが表示されます。

必要なロール: 作成した任意のダッシュボードを削除できます。admin または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードを削除できます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード.
2. 削除するダッシュボードを開きます。
3. [その他のアクション] メニュー ([ ]) から [削除] を選択します。
4. 削除を確定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この操作を取り消すことはできません。プラグインに関連付けられたダッシュボードを誤って削除してしまった場合、 システム管理者はダッシュボードを元のバージョンに復元できます。

a. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.

b. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

c. [その他のアクション] メニュー ボタン [⋮] を選択し、[修復] を選択します。

d. [プラグインのアクティブ化 (Activate Plugin)] ウィンドウで [修理] を選択します。

でのダッシュボード削除アクションの構成 ワークフロースタジオ

ワークフロースタジオを使用して、ダッシュボードの削除プロセスにアクションを追加できます。アクションには、ダッシュボードのユーザーへのメール送信や承認要求の生成などがあります。

始める前に

フローを呼び出す前に、インスタンスはダッシュボードが存在し、開始ユーザーが正しいロールを持っていることを確認します。

必要なロール: 作成した任意のダッシュボードを削除できます。admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードを削除できます。アドミニストレーターは、ユーザーロールに基づいて ワークフロースタジオ へのアクセスを許可および拒否できます。詳細については、「User access to Flow Designer (フローデザイナーへのユーザーアクセス)」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスの自動化 > **Flow Designer**

2. [サブフロー] を選択します。

3. [ダッシュボードを削除] サブフローを選択します。

4. [**Add an Action, Flow Logic, or Subflow**] を選択します。
利用可能な可能性の詳細については、「 Flow Designer」を参照してください。

5. オプション:
アクション番号の横にあるハンドルを使用して、アクションを並べ替えます。



6. 追加したアクションを使用してフローをテストします。
詳細については、「フローをテストする」を参照してください。

7. フローを保存します。

タスクの結果

次の 3 つの出力が考えられます。

削除に成功しました

出力コード 1。削除プロセスが成功したことを示します。

削除に失敗しました

出力コード 2.削除に失敗したことを示します。

削除が開始されました

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力コード 3.削除プロセスは開始されたが、承認などの中間ステップが完了していないことを示します。

詳細については、「アクションエラーの評価」を参照してください。

コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い

統合アナリティクスプロパティを有効にすると、 コア UI ダッシュボードと プラットフォームアナリティクス 内のダッシュボードをインスタンス内で共存させることができます。この参照を使用して、それらを区別します。

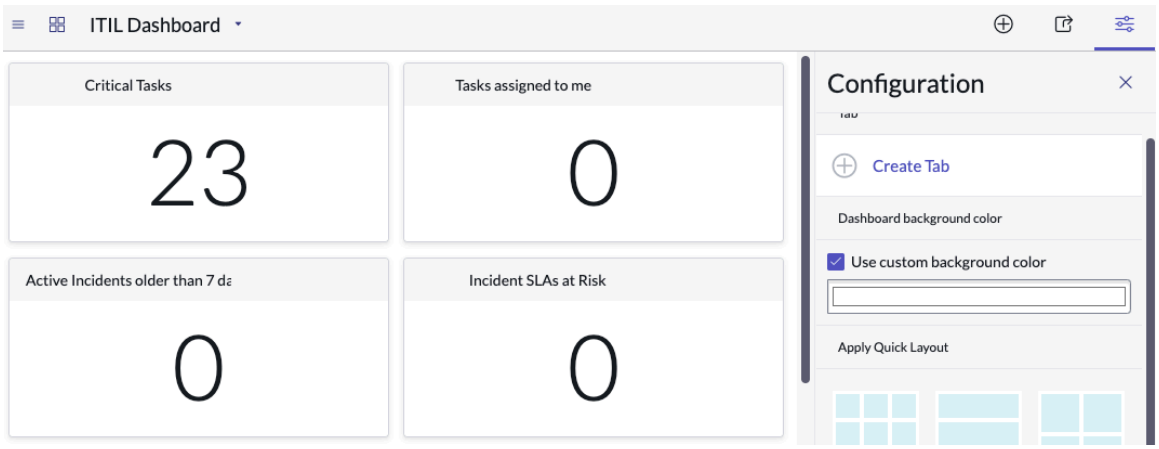
コア UI ダッシュボードと プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの両方で、データの可視化やフィルターなどのコンポーネントを共有可能なキャンバスに表示できます。*com.glide.par.unified_analytics.enabled*プロパティを有効にすると、すべてのダッシュボードが使用可能になります。

移行されたインスタンスでは、コア UI データ、既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブ フィルター、および パフォーマンスアナリティクス ウィジェットが プラットフォームアナリティクスに移動されます。その結果、すべてのデータソースに対して単一の可視化セットと統合フィルターが作成されます。詳細については、「プラットフォームアナリティクス移行センター」を参照してください。

コア UI ダッシュボード

コア UI ダッシュボードはクラシック UI で作成されたもので、レポート デザイナーで作成されたビジュアライゼーションと、PA ウィジェット フォームを使用して作成された パフォーマンスアナリティクス コンテンツを特徴としています。

ダッシュボードの例



メニューパス

すべて > セルフサービス > ダッシュボード

プラットフォームアナリティクス ダッシュボード

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードは、UI ビルダーまたはインラインダッシュボードエディターを使用して作成されます。これらのダッシュボードは、要素ライブラリ、ダッシュボードタブの上のコンテンツ (すべてのタブのコンテンツに適用されるフィルターなど) を含む複数のアイテムをサポートしています。

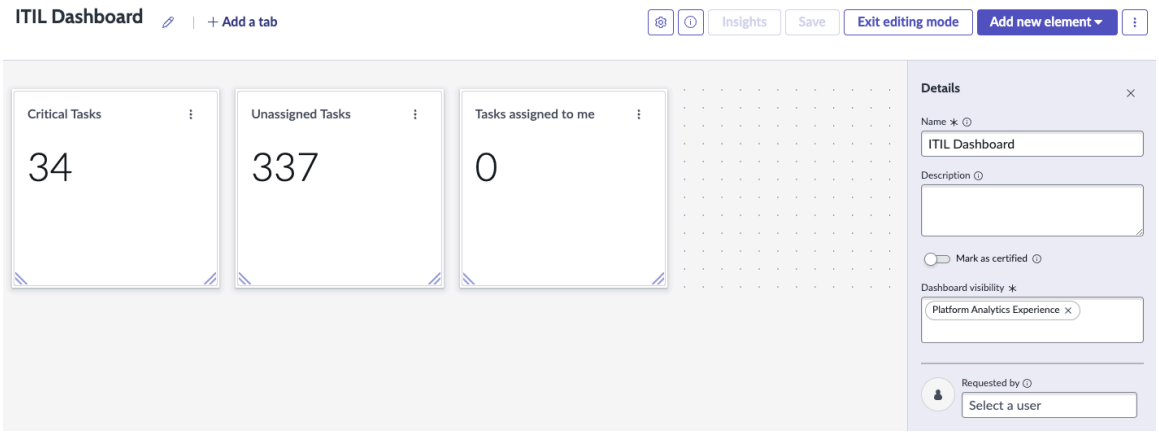
プラットフォームアナリティクスダッシュボードを作成するときは、権限を持つ既存の要素を追加することも、ダッシュボード内から新しい要素を作成することもできます。これらの要素には、インジケーター、テーブルデータ、MetricBase データ、および ユーザーエクスペリエンスアナリティクスに基づくデータに依存しない可視化が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードは、より多くの情報に基づいた意思決定をサポートするプロアクティブなインサイトも提供します。インサイトは相関関係を探り、潜在的な変化や問題が問題になる前にそれを明らかにします。詳細については、「ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト」を参照してください。

ダッシュボードの例



メニューパス

すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード

ダッシュボード要素の翻訳可能フィールド

[翻訳がオンになっています] バッジが表示されているフィールドでは、フィールド値の翻訳をメッセージ [sys_ui_message] テーブルに追加できます。

Now Platform® ユーザー インターフェイス (UI) 要素の翻訳は、Translation tables で説明されているように、5 つのテーブルのいずれかに格納されます。ダッシュボード要素の構成パネルにフィールドが表示され、このフィールドの [翻訳可能] バッジがオンになっている場合は、フィールド値の翻訳をメッセージ [sys_ui_message] テーブルに追加できます。

メッセージテーブルには、レコードにキー、言語、およびメッセージフィールドがあります。キーの値を元のテキストと等しく設定します。次に、言語を選択し、その言語の翻訳を [メッセージ] フィールドに入力します。これらのレコードを作成および編集できるのは、 Now Platform アドミンのみです。詳細については、「Translate a client script message」を参照してください。

注:
翻訳可能フィールドのキーの保存方法の詳細については、以下を参照してください。ServiceNow Community ブログ記事. この投稿には、ダッシュボードコンポーネントを含む、インスタンス上のすべての UI ビルダー コンポーネントのすべての翻訳可能フィールドを検索するローカリゼーションフレームワークのアーティファクトのプロトタイプも含まれています。

ダッシュボードページテンプレートにグローバルフィルターを渡す

グローバルフィルターはダッシュボードに送信され、ダッシュボード内の可視化のフィルターとして機能します。これらのフィルターは、ダッシュボード内の既存のフィルターと結合されます。

このタスクについて

グローバルフィルターは、ターゲットダッシュボードの可視化に適用されるフィルターです。これらのフィルターは、関連するすべてのデータ可視化に適用されます。globalFilter に渡される値の形式は、{encodedQueries: 'encoded-queries-string', filters: 'PAR-Filter'} の文字列化された形式です。encodedQueries とフィルターの両方が内部で プラットフォームアナリティクス フィルターに変換され、ダッシュボードの既存のフィルターとマージされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

encodedQueries、filters、またはその両方を指定できます。次の例では、同等の encodedQueries 値と フィルター 値の両方で、ステータスフィールド値 1 または 2 に基づいてインシデント [incident] テーブルのレコードを表示する可視化がフィルター処理されます。

```
JSON.stringify({
   encodedQueries: {incident: 'stateIN1,2'},
   parFilters: [{ order: 0, apply_to: ['incident.state'], values: ['1', '2'] }]
})
```

既にフィルタリングされているダッシュボードを開くには、 UI ビルダー ページでダッシュボードへのリンクを構成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. グローバルフィルターを追加する UI ビルダー に移動します。
2. ページ上のハイパーリンクまたはボタン (またはその他) の動作を、指定したsys_IDのダッシュボードを指すように構成します。
   この例では、sys_IDは 1238 です。

   showInfoMessage パラメーターは、true の場合、フィルターが渡されたときに、設定された infoMessage をリンクされたダッシュボードに表示します。

```
api.emit('NAV_ITEM_SELECTED', {
      route: 'dashboards',
      params: {
         sysId: '1238',
         unifiedFilters: JSON.stringify({
            showInfoMessage: true, // default false
            infoMessage: 'custom info message', // if not passed and if showInfoMessage is
 true then the default message is displayed
            encodedQueries: {
               incident: 'priority=1'
            },
         })
      }
   });
```

ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト

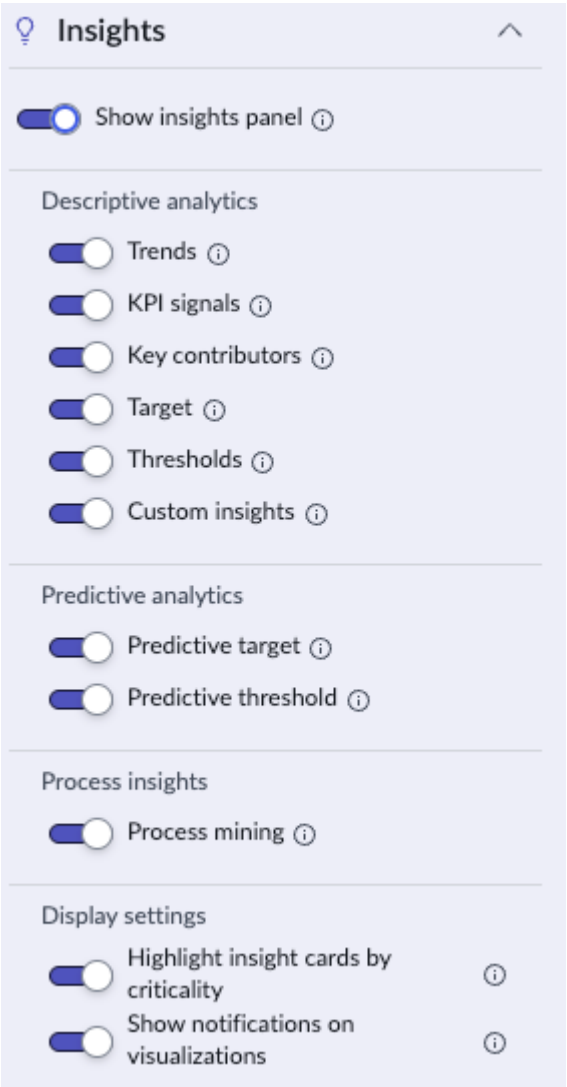
プロアクティブなアナリティクスにより、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターからのインサイトの抽出が自動化されます。プラットフォームアナリティクスダッシュボードで、プロセス内の興味深い可能性のある変更やイベントの通知を受信します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:

- プロアクティブインサイトは、プラットフォームアナリティクスダッシュボードのパフォーマンスアナリティクスインジケーターで使用するユーティリティです。この機能を利用するには、インジケーターを設定する必要があります。これらは、自分で作成したインジケーターまたは プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーターです。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)」を参照してください。
- プロアクティブ分析 パフォーマンスアナリティクス には、アクティブなサブスクリプションが必要です。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。
- プロアクティブアナリティクスをアクティブ化または非アクティブ化し、表示するインサイトカードのタイプを選択するには、ダッシュボード設定を開きます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成」を参照してください。



- プロアクティブなアナリティクスは、テクニカルダッシュボードを含む プラットフォームアナリティクス ダッシュボードでのみ使用できます。互換モードで プラットフォームアナリティクス に移行されたレスポンシブ ダッシュボードを含め、レスポンシブ ダッシュボードでは使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インサイト/アナリティクスのタイプ

プロアクティブなアナリティクスは、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボード上のインサイトカードで構成されます。インジケーターは毎日チェックされ、次のイベントのインサイトカードが生成されます。

傾向

インジケーターが最大化または最小化に設定されていても、逆の傾向にある場合は、インサイトカードが生成されます。

インジケーターターゲットまたはしきい値イベント

次のイベントに対してインサイトカードが作成されます。

- パフォーマンスアナリティクスインジケーター (KPI) のターゲットに達していません。
- インジケーターのターゲットが達成されない可能性があります (予測ターゲット)。
- インジケーターのしきい値に違反しています。侵害が過去最高または最低の場合は、その事実が言及されます。
- インジケーターのしきい値に違反する可能性があります (予測しきい値)。

インジケーターのターゲットとしきい値の設定については、「 パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値」を参照してください。KPI 詳細ページでターゲットとしきい値を設定することもできます。

プロセスマイニング

プロセスマイニングを使用している場合は、インジケーターに関連するプロセスフローの潜在的なボトルネックに対してインサイトカードを生成できます。これらのインサイトは、IT プロセスオーナーを支援することを目的としています。また、作成する プロセスマイニング プロジェクトの提案を受け取ることもでき、そのようなプロジェクトからもインサイトが生成されます。詳細については、「プロアクティブアナリティクスの提案からプロセスマイニングプロジェクトを作成する」を参照してください。

注:

- これらのインサイトを表示するには、sn_process_optimization_analystロールが必要です。
- プロセスマイニングインサイトは、DA プロセスマイニングインサイトプラグインに含まれています。

KPI シグナルイベント

KPI シグナル で定義されているシグナルが生成されます。KPI シグナル では、標準的な統計的プロセス動作チャートを使用して、プロセスの大幅な変更を特定します。次のシグナルによってインサイトカードが生成されます。

- 外れ値:3 つの標準偏差 (3 シグマ) の上限または下限を超えるスコア。
- 短期: 4 つの連続したスコアがすべて平均値より大きいか小さいか、スコアのうち 3 つが 2 つの標準偏差を超えています。
- ロングラン: 7 つの連続したスコアがすべて平均値より大きいか小さい。
- 「アンチシグナル」:インジケーターが長期間安定していることを示す情報メッセージ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> KPI シグナル は、インジケーターに対して KPI シグナル イベントを生成するように設定する必要があります。詳細については、「シグナル、シグナルなし、アンチシグナル」と「インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングを有効にする」を参照してください。

主要貢献者ガイダンス

主な要因は、システムが特定の影響を与えていると識別する パフォーマンスアナリティクス インジケーターのブレークダウンです。この決定は KPI シグナル を使用しますが、区分の KPI シグナル を有効化する必要はありません。システムは独自の KPI シグナル 構成を使用します。

> **警告:**
> システムが主要な貢献者の識別を開始した後に パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブを変更する場合は注意が必要です。KPI シグナルベースライン、評価間隔、あるいはその両方を変更できます。その結果、インサイトに不整合が生じる可能性があります。このような不整合に気付いた場合は、影響を受けるインジケーターとブレークダウンの組み合わせの UUID を特定します。次に、対応するレコードを PA 相関アナライザーステータス [pa_correlation_analyzer_state] テーブルから削除します。詳細については、「KPI 詳細 UUID」を参照してください。

カスタムインサイト

プラットフォームアナリティクスソリューション またはその他のアプリケーションに含まれる一部のダッシュボードには、カスタムインサイトがある場合があります。このようなインサイトの詳細については、関連する プラットフォームアナリティクスソリューション またはアプリケーションのドキュメントを参照してください。

ダッシュボードでのインサイトカードの表示

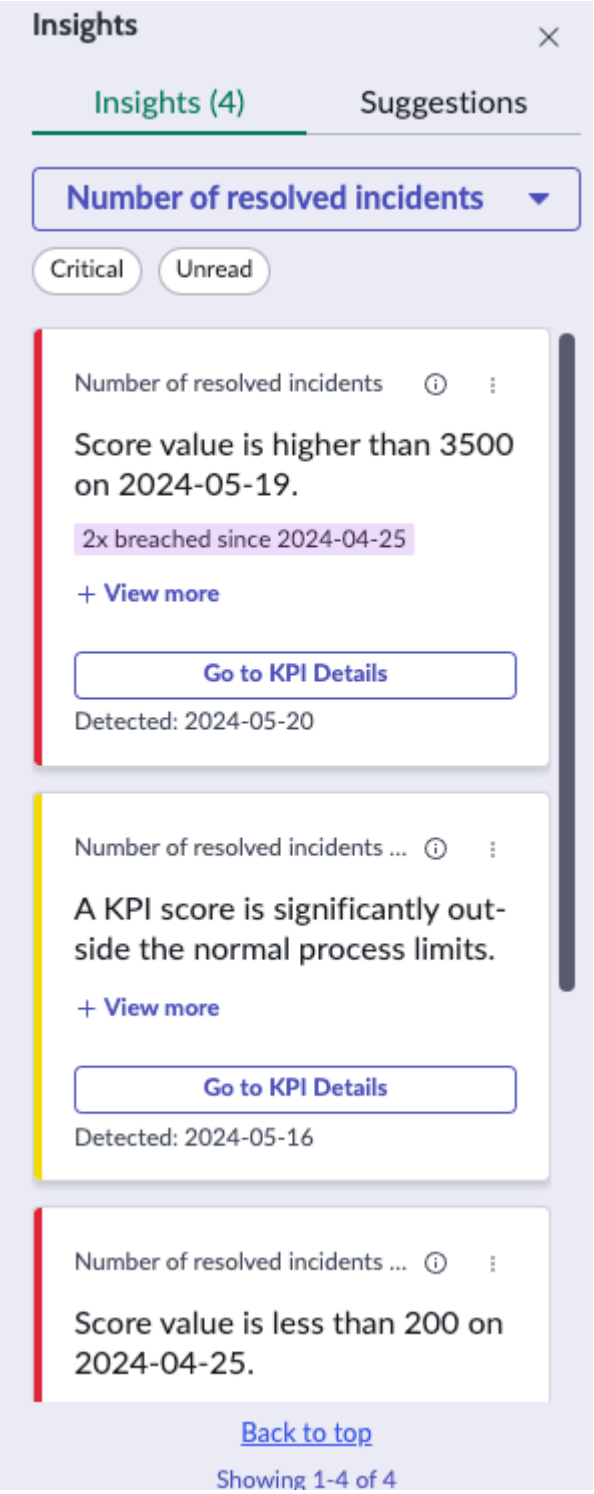
インサイト カードを表示するには、[編集] ボタンの横にある [インサイト] ボタンを選択します。表示する新しいインサイトがある場合、ボタンはオレンジ色の円でマークされます。



パネルが開き、インサイトカードが表示されます。これらのカードの有効期間は 30 日間です。カードをスクロールできます。同じタイプのインサイトは 1 つのカードにグループ化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



各カードには、発生したイベントのタイプとイベントの詳細が表示されます。各カードには、インサイトのタイプに応じて、フォローアップのために適切なページを開くボタンもあります。

インサイトタイプ	ページが開きました
ターゲットまたはしきい値	KPI 詳細
シグナル	[KPI シグナル] ペインが開いた KPI 詳細
主要貢献者	KPI 詳細 (主要な貢献者のフィルターを手動で設定する必要があります)

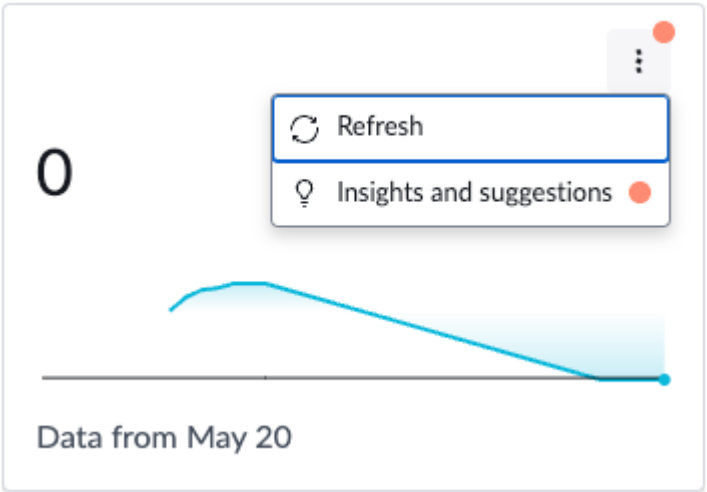
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インサイトタイプ	ページが開きました
プロセスマイニングの結果	アナリストワークベンチ

データの可視化に関するインサイト通知

ダッシュボードで [可視化に通知を表示] がオンになっている場合、その可視化に表示されるインジケーターに関連するインサイトがある場合、そのダッシュボードの可視化には通知アイコンが表示されます。その可視化の [その他のアクション] メニューから [インサイト] ペインを開くことができます。



グループ化されたインサイトカード

同じタイプの複数のインサイトが 1 つのカードに集約されます。カードの有効期限 (14 日) 前にこのタイプのインサイトがさらに生成された場合、それらは既存のカードに追加されます。ダッシュボードに傾向とターゲットまたはしきい値インサイトの両方が表示される場合、傾向は任意のターゲットまたはしきい値のインサイトカードに表示されます。この場合、個別のトレンドカードは生成されません。

制限事項と要件

プロアクティブアナリティクスの Xanadu バージョンは、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターにのみ適用されます。

ターゲットイベントとしきい値イベントは、インジケーターにターゲットまたはしきい値が設定されている場合にのみ表示されます。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値」を参照してください。

KPI シグナル イベントは、 KPI シグナル がアクティブ化されているインジケーターに対してのみ表示されます。詳細については、「インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングを有効にする」を参照してください。

主要貢献者ガイダンスは、日次頻度のパフォーマンスアナリティクスインジケーターに対してのみ提供されます。

主要貢献者イベントも KPI シグナルに基づいていますが、インジケーターで KPI シグナル をアクティブ化する必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Create a flow with a Proactive Analytics trigger

のインジケーターターゲット KPI 詳細

のインジケーターしきい値 KPI 詳細

プロアクティブアナリティクスの提案からプロセスマイニングプロジェクトを作成する

プロセスマイニング でプロアクティブアナリティクスを使用している場合、プロアクティブアナリティクスは新しいプロセスマイニングプロジェクトを提案できます。提案を 1 回クリックするだけで、プロジェクトが作成されて実行されます。

IT プロセスオーナーは、まだ作成されていない プロセスマイニング プロジェクトからメリットを得ることができるかもしれません。プラットフォームアナリティクスダッシュボードに表示されるインジケーターを通じてプロセスに従っている場合、この機能は作成するプロセスマイニングプロジェクトを提案できます。

この機能は、スケジュール済みジョブである PA インジケーターの推奨事項を介して機能します。このジョブは、過去 15 日間の パフォーマンスアナリティクス インジケーターの例外動作をスキャンし、その動作を一連の変数と関連付けてスコアを生成し、par_indicator_modelテーブルに保存します。このジョブは、各インジケーターが使用されているダッシュボードの数に対してスコアを重み付けし、結果が最も高い 3 つのインジケーターの提案を生成します。提案との 1 回のインタラクションで プロセスマイニング プロジェクトが作成され、そのプロジェクトに基づいてインサイトが生成されます。ただし、いくつかの要件を満たす必要があります。

ダッシュボード側の要件

- DA プロセスマイニング Insights プラグインをインストールする必要があります。
- 関連する各ダッシュボードで、プロセスマイニングインサイトをオンにする必要があります。
- 関連するダッシュボードビューアーには、sn_process_optimization_analystロールが必要です。

提案を作成するための要件

- 関連するインジケーターのファクトテーブルを設定して、監査ログを生成する必要があります。詳細については、「Configuring auditing for a table」を参照してください。
- 関連するインジケーターのファクトテーブルに対してプロセス構成が存在する必要があります。詳細については、「テーブルのプロセス構成レコードの作成」を参照してください。
- インジケーターのファクトテーブルに固有のテーブル構成を持つテンプレートプロジェクトが存在する必要があります。このようなプロジェクトを作成するには、「 プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

新しいプロジェクトからインサイトを作成するための要件

[影響を受ける **KPI]** フィールドを介してインジケーターがリンクされるようにするには、関連するプロセス構成内に自動検索定義が存在する必要があります。詳細については、「改善の機会の構成」を参照してください。

関連情報

のダッシュボード プラットフォームアナリティクス

提案からプロセスマイニングプロジェクトを作成する**Create a process mining project from a suggestion**

インスタンスが要件を満たしている場合は、[インサイト] パネルの [提案] カードから プロセスマイニング プロジェクトを作成できます。このようなプロジェクトは、独自の洞察を生み出します。

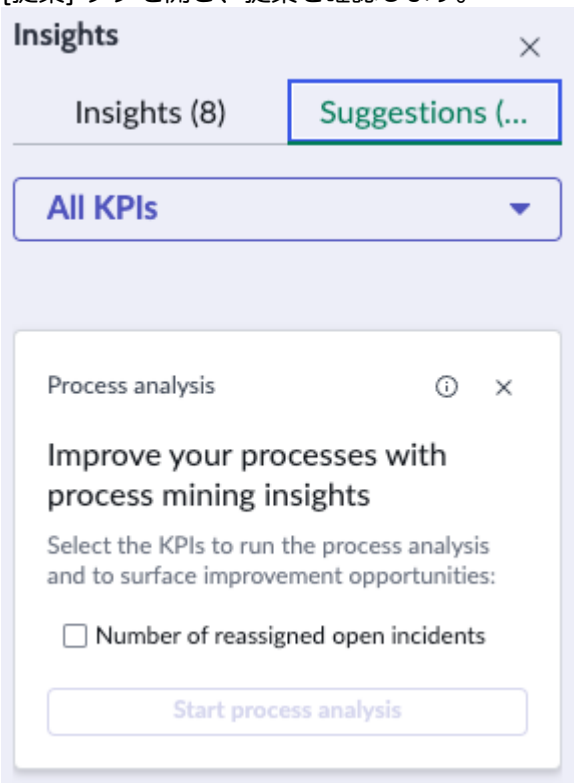
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

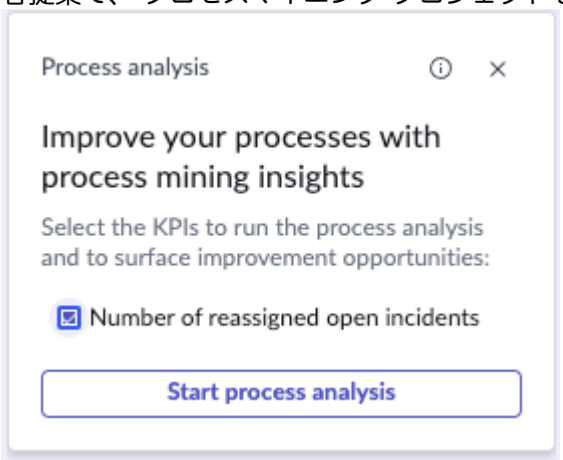
始める前に
必要なロール：sn_process_optimization_analyst

手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード.
2. 関連する プラットフォームアナリティクス ダッシュボードを開きます。
3. [インサイト] を選択して [インサイト] パネルを開きます。
   インサイトは、互換モードで プラットフォームアナリティクス に移行されたダッシュボードを含め、レスポンシブダッシュボードでは使用できません。
4. [提案] タブを開き、提案を確認します。



5. 各提案で、 プロセスマイニング プロジェクトを作成するすべてのインジケーターを選択します。

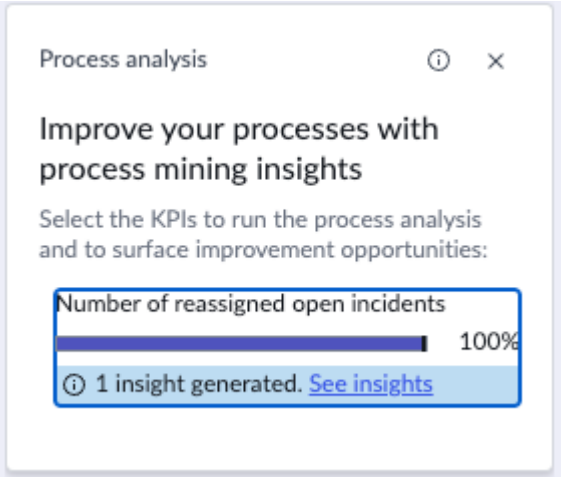


6. プロセス分析を開始します。

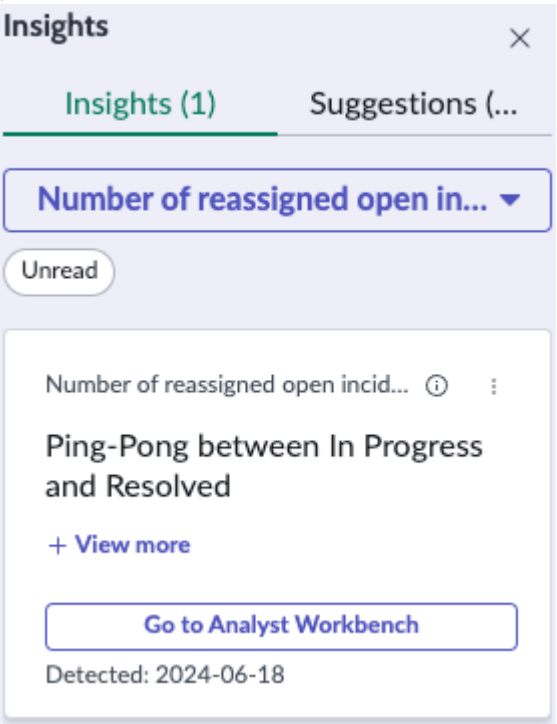
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
プロセスマイニングプロジェクトが生成され、実行されます。提案カードで進行状況を確認できます。プロセスが完了すると、提案には、プロジェクトが作成したインサイトへのリンクが表示されます。



[インサイトを表示] を選択すると、プロジェクトが作成したインサイトのカードが表示されます。このようなインサイトカードから、プロジェクトの プロセスマイニング アナリストワークベンチを開くことができます。



プロアクティブアナリティクスジョブ

プロアクティブなアナリティクスインサイトは、システムジョブ [sys_job] テーブルのいくつかのジョブを通じてアクティブ化および生成されます。すべてのジョブは、スケジュールアイテム [sys_trigger] レコードに設定された時刻に毎日実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロアクティブアナリティクスジョブ

名前	**Java** クラス	ジョブ詳細	スケジュールされたアイテム **[sys_trigger]**
KPI シグナルアナリティクスジョブ	com.snc.pa.job.SignalsAnalyticsJob	アクティブなシグナルをインサイトやプロアクティブアナリティクスフロートリガーイベントに変換します。	KPI シグナルアナリティクスジョブ
PA 予測ジョブ	com.snc.pa.forecast.PAForecastJob	古くなったターゲットを予測と照合し、トリガーされた通知を生成します。	PA Forecast Job Schedule (PA 予測スケジュール済みジョブ)
PA ターゲット	com.snc.pa.job.PATargetCheckJob	ターゲット通知サマリーイベントを発生させます。	Check PA Targets (PA ターゲットの確認)
PATレスホールド	com.snc.pa.job.PAThresholdCheckJob	条件が満たされたしきい値ごとにしきい値到達イベントを発生させます。	Check PA Thresholds (PA しきい値の確認)
トレンドインサイトジョブ	com.snc.pa.job.TrendAnalyticsJob	インジケーターの傾向を毎日分析し、過去 30 日以内の重大な逸脱にフラグを付けます。	トレンドインサイトのスケジュール済みジョブ
トリガー定義プロアクティブアナリティクス	com.snc.pa.job.TriggerDefinitionProactiveAnalyticsJob	パフォーマンスアナリティクス Premium プラグインが存在するかどうかを確認し、存在する場合は、sys_hub_trigger_definition でプロアクティブアナリティクストリガー定義をアクティブ化します。	プロアクティブアナリティクストリガー定義アクティベーションジョブ

プロアクティブアナリティクスのシステムプロパティ

インサイトカードの生成に影響を与えるいくつかのシステムプロパティを使用できます。

これらのプロパティは、システムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在するか、または作成できます。システムプロパティを設定するには、admin ロールが必要です。

注:
システムプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロアクティブアナリティクスのプロパティ

プロパティ	**Description** (説明)
com.snc.pa.insights.query_limit	インサイト API への GET 応答で par_computed_insight テーブルのクエリを実行するときの行数を制限します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：1000 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
com.snc.pa.insight.max_days_in_past	デフォルトでは、このプロパティで指定された過去の日数以内に作成されたインサイトを取得します。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 14 • 場所：値を変更するには、[システムプロパティ] テーブルでこのプロパティを作成します。 • その他の情報： Add a system property
com.snc.pa.correlation.enable_insights	主要な貢献者インサイトカードの生成を有効にします。 • タイプ：true/false (ブーリアン) • デフォルト値：true • 場所：値を変更するには、[システムプロパティ] テーブルでこのプロパティを作成します。 • その他の情報： Add a system property
com.sys_par_insights_enabled	プロアクティブなアナリティクス機能を有効にします。 • タイプ：true/false (ブーリアン) • デフォルト値：true • 場所：値を変更するには、[システムプロパティ] テーブルでこのプロパティを作成します。 • その他の情報： Add a system property

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成

プロセスの一部であるさまざまな状況とそれらの状況間の移行をマッピングします。プロセスのオブジェクトがどの状態にあるか、およびオブジェクトが状態を変更する速度を確認します。

始める前に

プロセスマイニングおよびプロセスプロジェクトに精通している必要があります。詳細については、「プロセスマイニング」を参照してください。

関連するプロセスプロジェクトが既に存在している必要があります。

必要なロール：sn_process_optimization_analyst

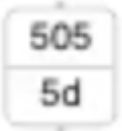
このタスクについて

プロセスマイニングマップコンポーネントを使用すると、分析対象の特定のデータセットに対してプロセスがどのように実行されているかを視覚化できます。たとえば、特定の日付範囲、ビジネスエリア、および地域のレコード数をユーザーに表示できます。

このコンポーネントは、 プロセスマイニング ワークスペースのプロセスマップから取得したダッシュボードで同様のコンテンツを提供します。プロセスマップの詳細については、「 プロセスの詳細ページ」を参照してください。

手順

1. ダッシュボードを作成するか、編集が許可されているダッシュボードに移動します。
   詳細については、「インラインエディターを使用したダッシュボードの作成」を参照してください。
2. [編集] を選択して編集モードに入ります。
3. [**Add new element** (新しい要素を追加)] を展開し、[プロセスマイニング - Map (- マップ)] まで下にスクロールします。
   この要素を選択すると、ダッシュボードに追加され、その構成パネルが開きます。
4. 「プロセスマイニング - マップ構成」パネルの「データ」で、プロセスマイニングプロジェクトを選択します。
   アクセスできる プロセスマイニング プロジェクトのみを選択できます。
5. マップがダッシュボードのフィルターに従うようにするには、[フィルターに従う] を選択します。
   詳細については、「プロセスマイニングマップへのフィルターの適用」を参照してください。
6. 表示する接続の割合を設定します。
   接続は、マップされたプロセスのサブジェクトの状態がどのように変化するかを示す線です。これらの線は矢印で終わり、変化の方向を示します。また、そのパスをたどったレコードの数と、移動する前の前のステータスで費やした平均時間を示すボックスもあります。たとえば、接続の途中

   のボックスに「505/5d」と表示され、505 件のレコードがこのステータスの変化に従っており、以前のステータスの平均時間は 5 日間でした。

   最も頻繁に変更されるものが最初に表示されます。したがって、デフォルトの 20% を受け入れると、ステータス間の最も頻繁な変更の 20% のみが表示されます。数値が小さすぎると、マップに表示されるデータが少なすぎます。数値が大きすぎると、マップがスパゲッティの塊になり、気にしないような状態間のまれな変化が多数表示されます。
7. 表示するアクティビティの割合を設定します。
   アクティビティ、またはノードは、プロセスのサブジェクトの可能な状態です。たとえば、インシデントを調べている場合、インシデントは [アサイン済み] ステータスまたは [対応中] ステータス

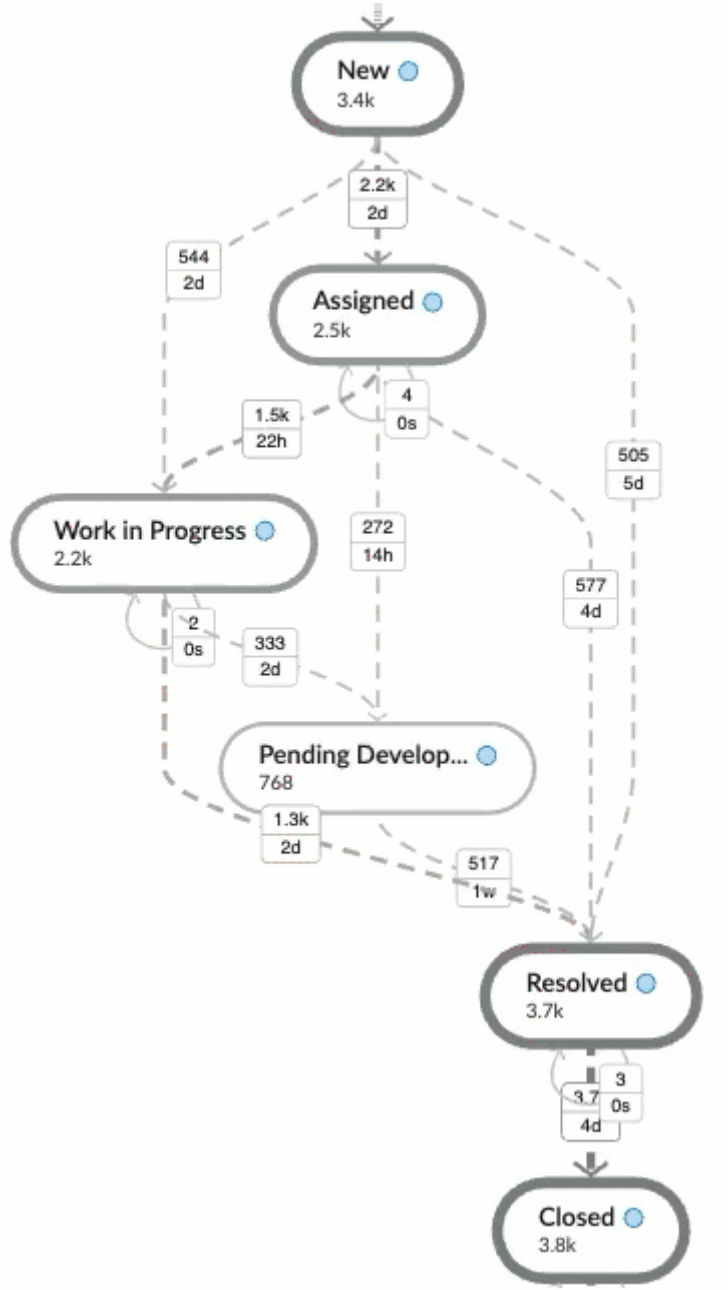
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

になります。アクティビティが多すぎるとマップが乱雑になることがありますが、通常はできるだけ多くのアクティビティを表示します。

8. オプション: **[Case follow simulation]** をオンにして、マップをアニメーション化します。
ケースフォローシミュレーションがアクティブな場合、接続の実線は移動する破線に置き換えられます。破線が移動する速度は、オブジェクトがある状態から次の状態に移動する速度を表します。破線の太さは、トラフィックの相対的な量を示しています。

Example



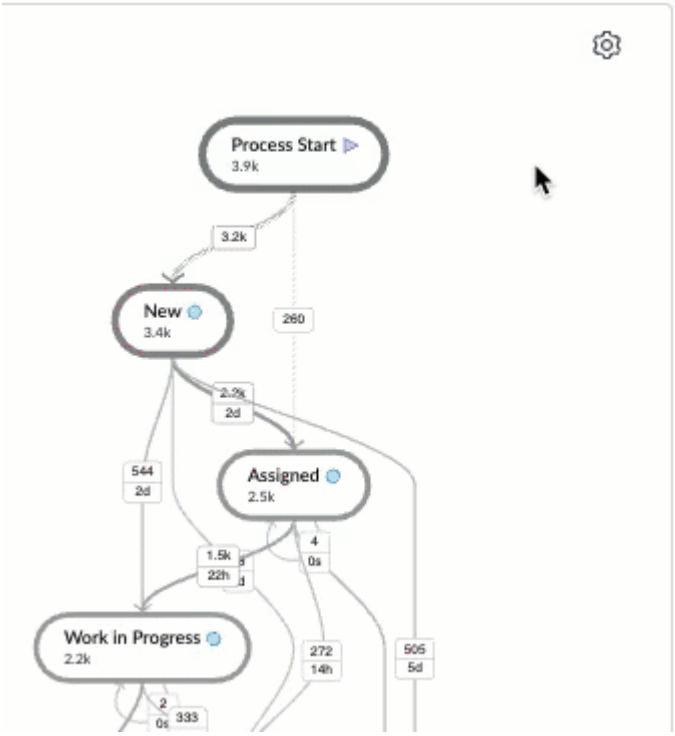
9. オプション: タイトルや説明など、ヘッダーと境界線の設定を指定します。

次のタスク

編集モード以外では、ユーザーはマップ上の歯  の設定を展開できます。これらの設定では、接続とアクティビティの割合を調整したり、アニメーションのオンとオフを切り替えたりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

- プロセスマイニング
- アナリストワークベンチ
- プロセスマップの絞り込み

プロセスマイニングマップへのフィルターの適用

ダッシュボードフィルターがプロセスプロジェクトのブレークダウンと同じテーブルにある場合、そのフィルターをそのプロジェクトの プロセスマイニング マップに適用できます。

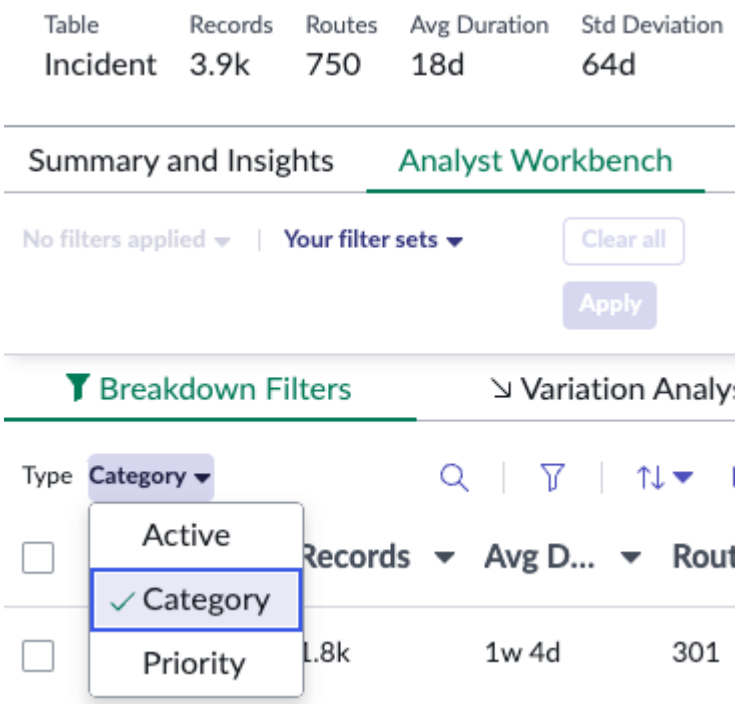
単一選択または true/false フィルターを プロセスマイニング マップに適用できます。

プロセスマイニングマップの単一選択フィルター

単一選択フィルターを プロセスマイニング マップに適用するには、フィルターソースとフィルター処理するデータの両方がプロセスプロジェクトのテーブルと同じテーブルにある必要があります。さらに、プロセスプロジェクトのブレークダウンでもあるテーブルのフィールドに存在する必要があります。

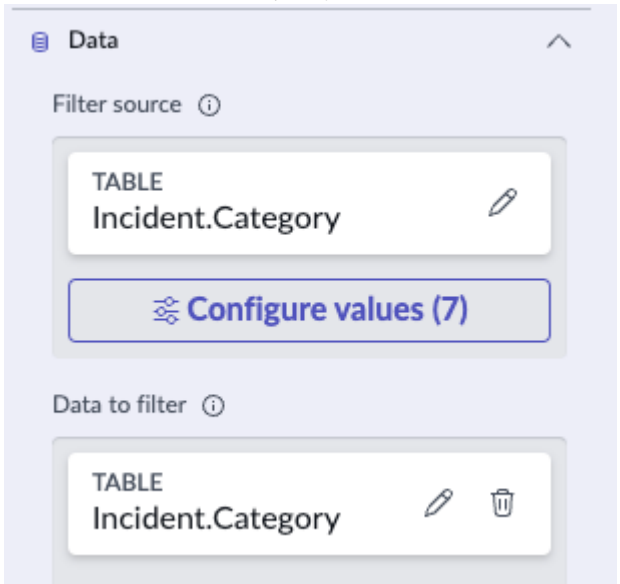
たとえば、インシデント [incident] テーブルのプロセスプロジェクトを考えてみましょう。このプロジェクトのブレークダウンフィルターには、[カテゴリ] フィールドが含まれています。プロセスマイニング ワークスペースでは、プロジェクトの Analyst Workbench の [ブレークダウンフィルター] 列にブレークダウンが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



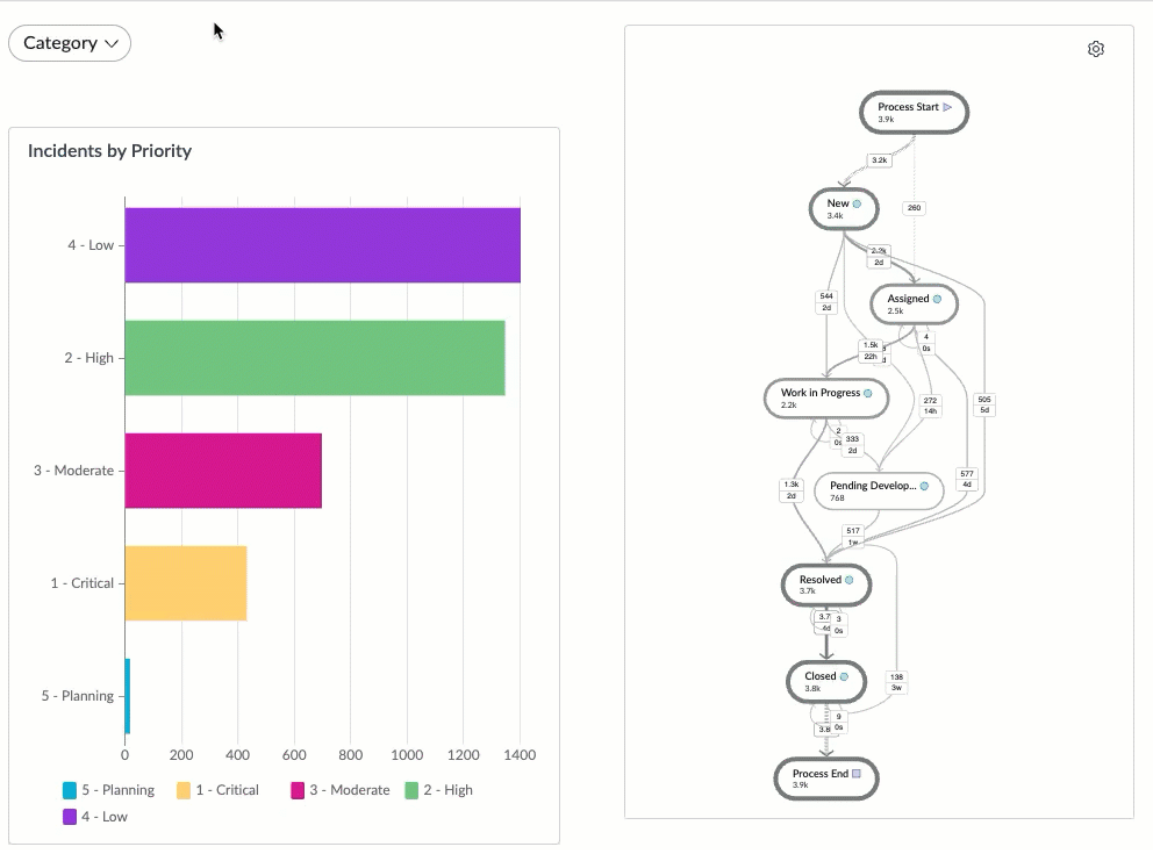
プロジェクトのテーブル設定レコードでブレークダウンを表示および変更することもできます。詳細については、「ブレークダウン定義の構成」を参照してください。

このプロジェクトの プロセスマイニング マップを追加したダッシュボードで、ユーザーがマップをカテゴリ別にフィルタリングできるようにします。カテゴリはプロセスプロジェクトのブレークダウンであるため、このようなフィルターを簡単に追加できます。フィルターを作成するときは、[Incident] テーブルを選択してから [Category] フィールドを選択します。この選択は、「 単一/複数選択またはカスケード フィルターを作成する」で説明されているように、フィルターソースとフィルタリングする日付の両方に自動的に適用されます。



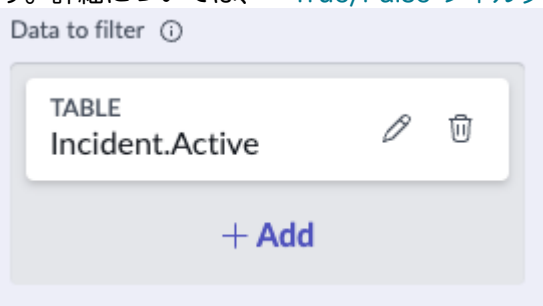
フィルターは、インシデント テーブルの棒グラフによるチャート化と同じように プロセスマイニング マップに適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロセスマイニングマップの **True/False** フィルター

true/false フィルターでは、フィルター処理するデータのみを選択します。もう一度、プロセスプロジェクトのテーブルと、ブレークダウンとして使用するフィールドを選択します。単一選択フィルターの例のプロジェクトを引き続き説明します。[アクティブ] は、ブレークダウンとして使用される true/false、つまりブール値のフィールドです。したがって、Incident.Active をフィルター処理するように true/false フィルターを設定すると、 プロセスマイニング マップがフィルター処理されます。詳細については、「True/False フィルターを作成する」を参照してください。



ここでも、フィルターはインシデントテーブルのデータ可視化と プロセスマイニング マップの両方に影響します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

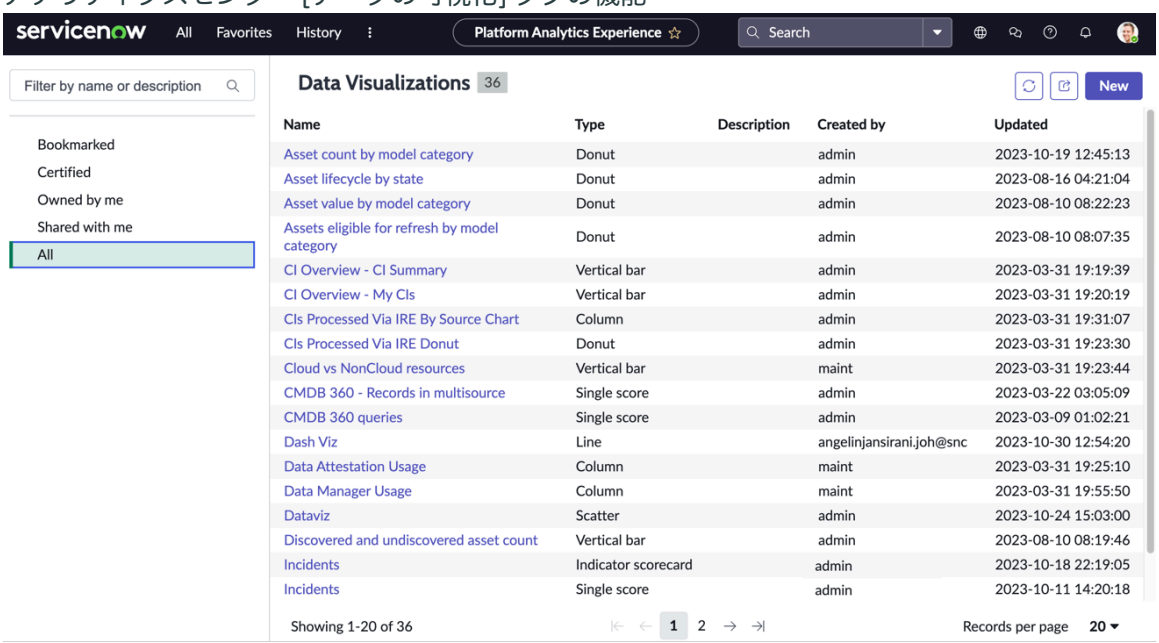


のデータの可視化 プラットフォームアナリティクス

データ可視化では、グラフィックを使用してテーブル、インジケーター、その他のデータを表示します。これらは、レポートの機能を組み合わせて拡張し、コア UIからウィジェットパフォーマンスアナリティクスます。

データの可視化にアクセスするには、 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.

アナリティクスセンター [データの可視化] タブの機能

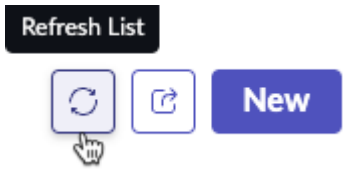


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストアクション

一連のボタンを使用すると、[データの可視化] リストで次のアクションを実行できます。



リストを更新

可視化を作成または削除した後に、可視化のリストに遅延が生じることがあります。[リストを更新] を選択してリストを更新します。



データの可視化のために URL をコピー [

データの可視化ライブラリの URL をクリップボードにコピーします。

追加

このセクションのサブトピックの可視化タイプで説明するように、データの可視化を作成します。データの可視化を作成できるユーザーについては、「 Platform Analytics (プラットフォームアナリティクス) のロール」を参照してください。

リストフィルター

検索ボックスを使用すると、データ可視化のリストを名前または説明でフィルタリングできます。フィルターパネルには、どのフィルターが適用されているかが表示されます。デフォルトでは、フィルター Active = true が常に適用されます。たとえば、「データ」という単語でフィルタリングすると、パネルに次のフィルターが表示されます。

- Active = true
- 名前にデータが含まれている
- 説明にデータが含まれています

または、次の事前定義フィルターのいずれかを選択することもできます。

- [すべて] には、アクセスできるすべての可視化が表示されます。
- [**Bookmarked** (ブックマーク済み)] には、ブックマークされた可視化のみが表示されます。アクセスできるデータ可視化をブックマークして、ここで簡単に見つけられるようにします。ビジュアリゼーションをブックマークするには、「 での可視化のブックマーク 可視化デザイナー」を参照してください。
- **[Certified** (認定済み)] には、アドミニストレーターが認定した Visualizations (可視化) のみが表示されます。データの可視化を認定するには、「 でのデータ可視化の認定 可視化デザイナー」を参照してください。
- [自分と共有] には、ユーザーとして、またはグループやロールのメンバーとして共有されている可視化が表示されます。データの可視化を共有するには、「 での可視化の共有 可視化デザイナー」を参照してください。
- [自分が作成] には、自分が作成した可視化のみが表示されます。

データの可視化タイプの概要

データの可視化を作成するときは、表示するチャートのタイプを選択します。各可視化タイプは、異なるデータの表示に適しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアの可視化

このタイプのデータの可視化では、単一の値またはスコアが数値またはパーセンテージとして表示されます。スコアは、特定の値または測定基準がターゲットまたはベンチマークとどのように比較されるかを示すためによく使用されます。進捗状況を追跡したり、改善が必要な領域を特定したりするのに役立ちます (会社や部門の全体的なパフォーマンスを示すなど)。

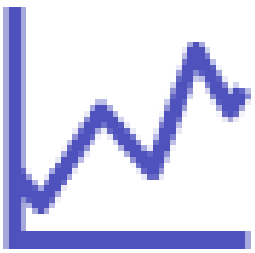
可視化	説明
単一スコアの可視化	単一スコアの可視化は、ビジネスにとって重要な単一のアグリゲート値を表示します。 単一スコアの可視化の例
目盛りの可視化	目盛りチャート化は、単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。「針」は値を指し、目盛りは針までの値が色分けされて視覚的に示されます。 目盛りの可視化の例
ゲージの可視化	目盛り同様、ゲージは単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。目盛り機能に加えて、色付きのデータ範囲を設定して、値が何を表しているかをユーザーが理解できるようにすることができます。 ゲージの可視化の例

時系列の可視化

時系列の可視化では、経時的なデータが示されます。すべての時系列可視化タイプは、構成オプションを共有します。データの傾向を強調するか、個々のデータポイントの違いを強調するかによって、ユースケースは異なります。これらのユースケースの詳細については、「 時系列の可視化を作成」を参照してください。

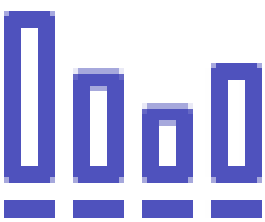
注:
インスタンス内およびインポートされたデータソース内のデータに加えて、時系列の可視化で MetricBase データを使用することもできます。詳細については、「MetricBase アプリケーション」を参照してください。

時系列可視化タイプ

可視化	説明とユースケース
データソースの傾向の可視化	
Line (線) 	一連のデータポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。線グラフによる可視化を使用して、データの傾向を強調します。 時系列を表示する場合は、線グラフによるチャート化をデフォルトの選択としてください。どのチャート化を使用すればよいかわからない場合は、線グラフを使用してください。 [store-future: BEGIN review]時系列の可視化の例[End]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列可視化タイプ (続く)

可視化	説明とユースケース
データソースの傾向の可視化	
Spline (スプライン) 	一連のデータ ポイントを近似曲線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。曲線は、個々のデータポイントの傾向を強調します。スプライングラフでは、既知のデータ ポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。
拡散 	X 軸の時間に対して、Y 軸の値の接続されていないポイントを表示します。通常は傾向ラインも表示されます。線でうまく接続できないデータの広がりに使用します。
データソース内のスコアの比較	
列 	比例する縦棒として値を表示することで、時間の経過に伴うデータの変化を示します。いずれかを使用して、1 つのデータソースの変化を可視化するか、データソースを比較します。データソースを縦棒グラフの可視化と比較するには、データソースを棒グラフの可視化に追加するか、複数の縦棒グラフの可視化をダッシュボードに並べて配置します。
ステップ 	個別の時点間でのデータソースの変化を強調します。特に線グラフによる可視化ではデータが不明瞭になる場合に、小さな増分変化を表示するために使用します。
データソース間のスコアまたは傾向の比較	
Area (エリア) 	線グラフによる可視化に似ていますが、軸と線の間の面を色付けして強調します。複数のデータソースで使用すると、各データソースが全体に与える相対的な貢献度を強調できます。

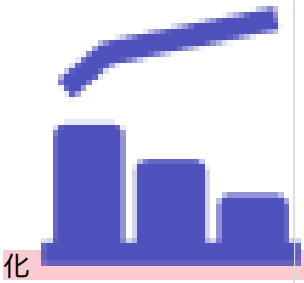
棒グラフの可視化

棒グラフによるチャート化では、データ次元全体でスコアを比較することができます。水平および垂直棒グラフの可視化タイプを使用できます。すべての構成オプションを共有します。一般に、名義データまたはカテゴリデータには水平バーを使用します。順序データまたは連続データには垂直バーを使用します。異なるグループやカテゴリを区別するために、異なる色やパターンを使用します。詳

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

細については、「Visualization Designer (可視化デザイナー) での棒グラフによる可視化の作成」を参照してください。

可視化	説明
水平バーの可視化 	棒グラフによる可視化では、一方の軸にカテゴリのラベルが付けられ、もう一方の軸に値が表示されます。垂直バーを使用して順序データを比較します (特に、バケットにグループ化された販売数など、カテゴリが多すぎない場合はなおさらです)。インシデントの重大度やアサイン先グループなどの名目データで水平棒グラフを使用します。 • 水平棒グラフによるチャート化の例 • 縦棒グラフによる可視化の例
垂直バーの可視化 	
[store-future: BEGIN review]パレート図による棒グラフの可視化  [End]	パレート図による棒グラフの可視化は、大規模なディメンション群の中で最も重要なディメンションを特定するのに役立ちます。棒グラフにはデータが降順で表示されます。線グラフは累積のパーセンテージを示します。パレート図には棒グラフと線グラフの両方が含まれています。棒グラフには、データが左から右に向かって降順で表示されます。線グラフには、カテゴリごとの累積合計が同じ順序で表示されます。左側の Y 軸はレコード カウントです。右側の Y 軸は、評価対象のレコードの合計数に占める累積のパーセンテージです。

円グラフとドーナツグラフによる可視化

円グラフとドーナツグラフによるチャート化は、データ セットの一部と全体の関係を示します。これらのグラフのセグメントの合計は 100% になります。詳細については、「Visualization Designer での円グラフまたはドーナツグラフによる可視化の作成」を参照してください。

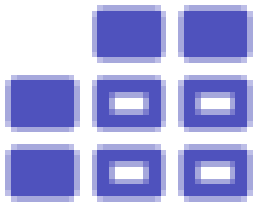
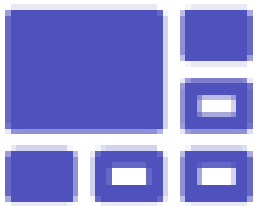
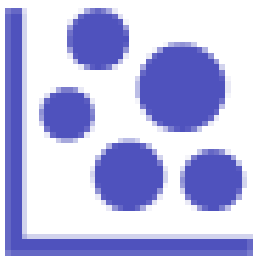
可視化	説明
円グラフの可視化 	円グラフは、合計が 100% の 5 ～ 7 つのセグメントを比較し、2 つのセグメントが互いに 10% 以内の値を持つ場合に最適です。 ドーナツグラフは、2 つのセグメントの値が互いに 10% 以内の値がない場合に、合計が 100% のセグメントを 5 つ以下と比較する場合に最適です。ドーナツの中心を使用して、追加情報を表示できます。 半ドーナツグラフは、2 つのセグメントの値が互いに 10% 以内でない場合に、合計が 100% のセグメントを 4 つ以下と比較する場合に最適です。 • 円グラフによる可視化の例 • ドーナツ可視化の例
ドーナツグラフの可視化 	
半ドーナツの可視化 	

マルチディメンションチャート

多次元の可視化を使用すると、複数の変数を 1 つのグラフに表示できるため、異なる変数間の関係を示すのに役立ちます。大量のデータがあり、すぐにはわからないパターンや傾向を見つけたい場合に便利です。また、3 つ以上の変数間の関係を表示する場合にも適しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明
ピボットテーブルの可視化 	ピボットテーブルでは、フィールド間でいくつかの種類の集計を行うことができます。データをフィルター処理することもできます。列は 1 つのフィールドまたはブレークダウンを表し、行の階層は他の複数のフィールドまたはブレークダウンを表します。 ピボットの可視化の例
ヒートマップの可視化  >	ヒートマップは、2 つのテーブルフィールド間またはインジケーターブレークダウン間の関係を示します。軸に沿って移動するにつれて色が変化することで、一方または両方のフィールド/ブレークダウンの値のパターンが明らかになります。 ヒートマップの可視化の例
バブルチャートの可視化  >	バブルチャートは、xy 軸に沿ったさまざまなサイズの円です。x 軸と y 軸は、値や金額などのさまざまな数値フィールドを表します。円の相対的なサイズと位置を使用して、フィールドを比較し、フィールドの関係を確認します。また、定性的な 3 番目のフィールドでデータをグループ化することもできます。3 番目のフィールドは色で区別されます。バブルチャートを使用して、2 つのフィールドに関係があるかどうかなどのバイナリ質問に答えたり、パターンを強調表示したりします。 バブルの可視化の例

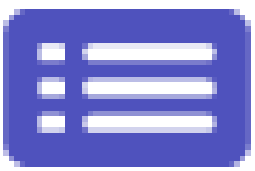
その他のチャート化

データの可視化では、カレンダー、簡易リスト、インジケータースコアカード、および場所を表示することもできます。

可視化	説明
カレンダーの可視化	データ駆動型のイベントをカレンダー形式で表示します。 [store-future: BEGIN review]カレンダーの可視化の例[End]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明
	
簡易リスト 	標準のServiceNow リストコンポーネント に似た拡張可能なリストの形式でデータを表示します。 簡易リストの可視化の例
インジケータースコアカード 	インジケータースコアカードコンポーネントを使用すると、複数の パフォーマンスアナリティクス インジケーター間でデータを可視化して比較できます。 [store-future: BEGIN review]インジケータースコアカードの可視化の例[End]
ジオマップ 	データを国、都道府県、都市別にデータを表示します。ユーザーは、位置情報を含むテーブルデータを使用してグラフを可視化できます。 [store-future: BEGIN review]ジオマップの可視化の例[End]

データ可視化のデータソース

各ワークスペースデータの可視化は、特定のデータソースを参照します。

データソース	利用可能	**Description** (説明)
テーブル	ベースシステム	テーブルデータソースは、データの現在のステータスをまとめて構成するデータベースレコードのコレクションです。テーブルの行はレコードに対応し、列はフィールドに対応します。多くの場合、データの可視化を構成するときは、多くの場合、テーブルとフィールドの両方を選択す

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データソース	利用可能	**Description** (説明)
		るか、フィールドごとにデータをグループ化します。テーブルデータのフィルタリングを選択すると、構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。
インジケーター	ベースシステム	インジケーターは重要業績評価指標 (KPI) とも呼ばれ、一定期間におけるテーブルデータの変更の記録です。インジケーターを使用して傾向を判断し、将来を予測します。インジケーターは、集計と条件をデータに適用します。たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、カウント集計をインシデントテーブルに適用し、インシデントの数を生成します。また、インシデントのステータスが [Closed] や [Canceled] であってはならず、[Active] フィールドが True でなければならないという条件も適用されます。 多くの場合、インジケーターにはブレークダウンが適用されています。ブレークダウンは、インジケータースコアをフィルタリングするための定性的なプロパティです。たとえば、インシデントデータの場合、インシデントの優先度、カテゴリ、およびアサイン先グループはすべて一般的に適用されるブレークダウンです。 詳細については「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス	デフォルトでアクティブになっています。ただし、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを可視化に含めるには、ServiceNow® Store から PAR 統合アプリケーションにユーザーエクスペリエンスアナリティクスが必要です。	ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションは、Web アプリケーションのほか、仮想エージェント、ServiceNow モバイル、サービスポータルアプリケーションの使用状況アナリティクスを監視するためのダッシュボードビューを提供します。測定基準とやり取りを可視化してユーザーエクスペリエンスをより的確に把握し、より直観的な操作をユーザーに提供します。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスに関する一般的な情報については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。データの視覚化に固有の詳細については、「 可視化用のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。
メトリックベース	個別のサブスクリプションが必要であり、ServiceNow 担当者によるアクティブ化が必要です。	メトリックベースアプリケーションは、一定の間隔でサンプリングされるデータである時系列データを保存します。保存されたデータをグラフ化するか、フローデザイナーを実行するトリガーで使用できます。MetricBase は、大量の機械生成データを監視または処理する IoT ベースのアプリケーションを使用する開発者を支援します。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。
ヘルスログアナリティクス	個別のサブスクリプションが必要であり、ServiceNow 担当者によるアクティブ化が必要です。	ヘルスログアナリティクス アプリケーションは、ユーザーが影響を受ける前に IT の問題を防止するのに役立ちます。このアプリケーションによって、関連ログをトリアージして生データを分析できるようになり、その結果、問題の根本原因を特定できるようになります。詳細については、「Health Log Analytics 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データソース	利用可能	**Description** (説明)
		注: ヘルスログアナリティクスのデータの可視化を作成および編集できるのはUI ビルダーのみであり、プラットフォームアナリティクス Visualization Designer やダッシュボードでは作成できません。

インジケーター管理とパフォーマンスアナリティクス

インジケーターデータソースは、以前の パフォーマンスアナリティクス アプリケーションのアーキテクチャを通じて作成および管理されます。この機能は プラットフォームアナリティクス 管理の一部になりました。

Now Platform® の長年のユーザーは、パフォーマンスアナリティクスに精通している可能性があります。パフォーマンスアナリティクス は、インジケーター (KPI) を作成するためのアプリケーションです。これには、インジケーターのバックエンド、ブレークダウン、インジケーターとブレークダウンソース、およびスケジュールされたデータ収集ジョブが含まれていました。また、レスポンシブダッシュボードに表示される PA ウィジェットの コア UI フロントエンドと、インジケーターを詳細に探索するための アナリティクスハブ も含まれていました。

プラットフォームアナリティクスでは、古いパフォーマンスアナリティクスフロントエンドが置き換えられます。多くのデータソースに適用できるデータの可視化は、PA ウィジェットとレポートの両方に代わるものです。新しいタイプのダッシュボードまたはUIBページに移動できます。KPI 詳細アナリティクスハブを置き換えます。これらの変更により、 パフォーマンスアナリティクス はスタンドアロンアプリケーションとして扱われなくなりました。代わりに、インジケーター管理は プラットフォームアナリティクスの一部と見なされます。

新規顧客である場合、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行した場合、インスタンスにパフォーマンスアナリティクスと呼ばれるものはありません。代わりに、 パフォーマンスアナリティクス のバックエンド機能は プラットフォームアナリティクス 管理の下にグループ化されます。ただし、少なくともバックエンドに関しては、 パフォーマンスアナリティクス に言及する次の資料が引き続き適用されます。

- トレーニング資料
- ServiceNow University つのコース
- ServiceNow Community 楨
- 製品ドキュメント

インスタンスをアップグレードしたが、まだ完全には プラットフォームアナリティクス に移行していない場合は、インスタンスに パフォーマンスアナリティクス が引き続き存在します。また、パフォーマンスアナリティクスコンテンツを含むサービスポータルページを管理するアドミニストレーターは、それらのページのコア UI パフォーマンスアナリティクスフロントエンドオブジェクトに引き続きアクセスできます。

ロール別のデータソースの可用性の制御

ユーザーがデータの可視化を作成できるデータソースをロールごとに制限します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

デフォルトでは、すべてのロールがすべてのデータソースに対してデータの可視化を作成できます。代わりに、許可リストを使用して使用可能なデータソースを制限できます。データソースの可視化 データソースの可視化 [sys_viz_data_source_role] レコードを作成すると、指定したロールの少なくとも 1 つを持つユーザーのみが、そのデータソースのデータの可視化を作成できます。許可リス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

トを作成する前に作成された可視化は、まだ存在します。ただし、可視化を作成したユーザーは、許可リストのいずれかのロールを持っていない限り、その可視化を編集できなくなります。

重要:
データソースの可視化データソースの可視化レコードを 1 つだけ作成します。

手順

1. 可視化データソースの可視化 [sys_viz_data_source_role] テーブルに新しいレコードを作成します。
   たとえば、テーブルのリストビューに移動して [新規] を選択できます。
2. [**Viz** データソース] フィールドで、使用を制限するデータソースを選択します。
   選択肢には、Viz フレームワークデータソース [sys_viz_data_source] テーブルで作成したカスタムデータソースが含まれます。
3. [ロール] の横にある [ユーザーロールの編集] アイコン ( ) を選択します。
4. **[Available** (利用可能)] フィールドで、このデータソースのデータ可視化を作成できるロールをハイライト表示します。
   追加したロールを持つユーザーのみがデータソースにアクセスできるようになります。このレコードを再度開いて、後でロールを追加または削除できます。ロールが削除されたユーザーがデータソースに基づいてビジュアライゼーションを編集しようとすると、そのデータソースにアクセスできないというメッセージが表示されます。
5. 右矢印の>ボタンを選択して、ハイライト表示されたロールをレコードに追加します。
6. [完了] を選択します。
7. [送信] を選択します。

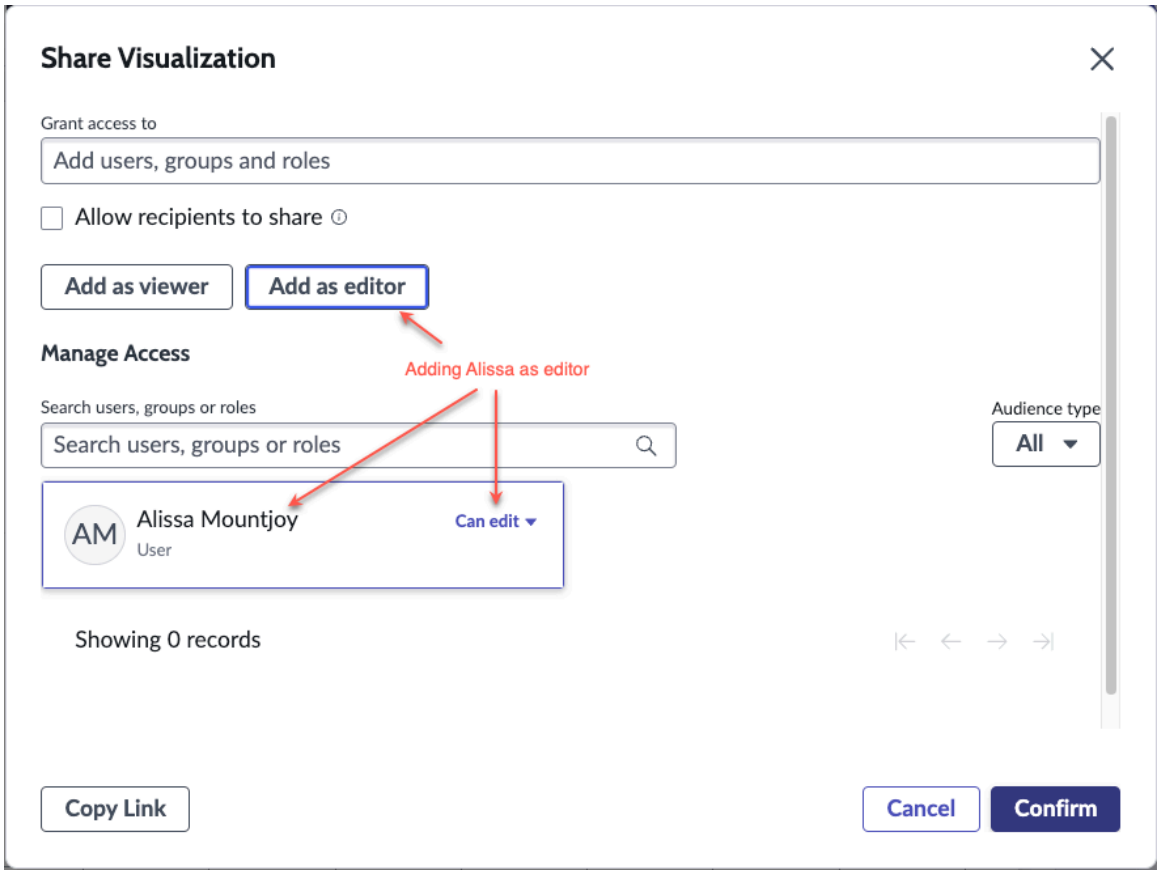
Example: ロール別にデータソースを制限した場合の影響

Abel Tuter はトップ ビジネス アナリストです。Abel にはpa_power_userロールがあり、インジケーターを作成できます。Alissa Mountjoy は、インジケーターのデータ収集ジョブをスケジュールする技術エキスパートですが、ビジネスアナリストではなく、インジケーターの作成は行いません。Alissa にはpa_data_collectorロールがあります。デフォルトでは、Abel と Alissa の両方がインジケーターに基づいてデータの可視化を作成できます。

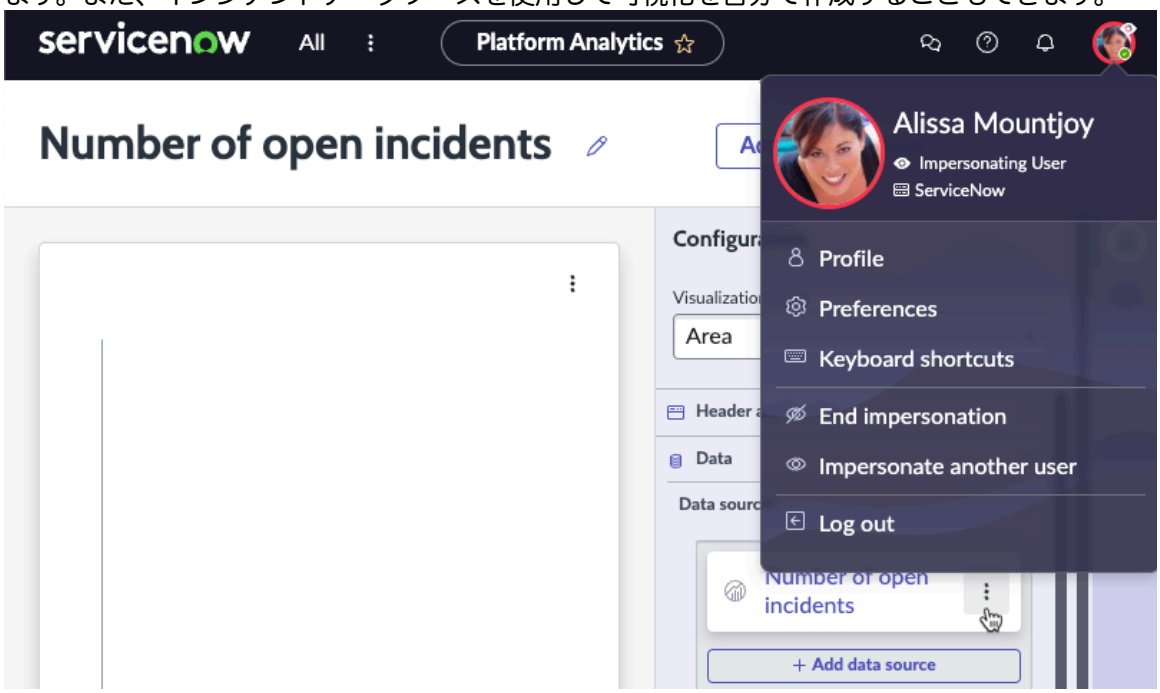
Abel は、[Number of Open Incidents (オープンインシデントの数)] インジケーターで時系列データの可視化を作成します。Abel はこの可視化を Alissa と共有し、編集権限も付与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



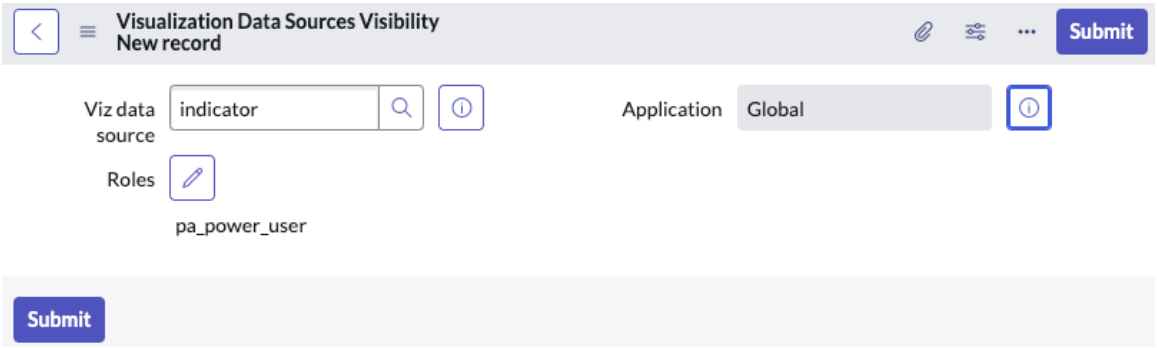
Alissa はこの可視化を編集モードで開き、構成パネルにアクセスできます。データソースを編集できます。また、インシデントデータソースを使用して可視化を自分で作成することもできます。



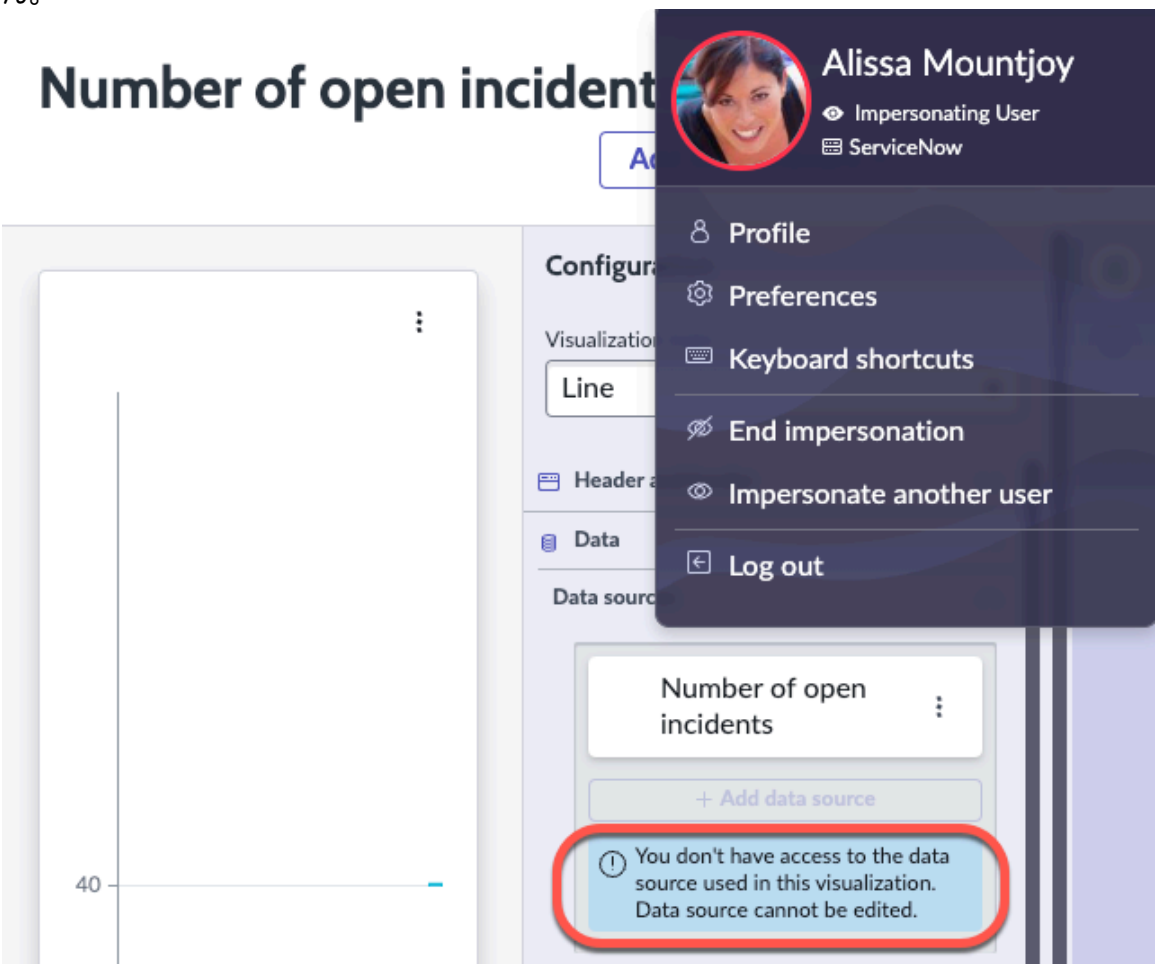
システムアドミニストレーターは、pa_power_userロールを持つビジネスエキスパートのみがインジケーターに基づいてデータの可視化を作成できるようにする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Alissa はデータの可視化に対する編集権限を引き続き持っていますが、データソースを編集することはできません。Alissa もインシデントデータソースを使用してデータの可視化を作成できません。



Visualization Designer (可視化デザイナー) での単一スコアデータの可視化の作成

値を数値またはパーセンテージで表示するには、単一のスコアを使用します。値がターゲットまたはベンチマークとどのように比較されるかを視覚化して、進捗状況を追跡し、改善が必要な領域を特定します。

始める前に
必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ダッシュボードでの単一スコア ビジュアリゼーションの使用方法の詳細については、「 the 開発者サイト.

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. [単一スコア ( )] チャート化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを切り捨てる場所を省略記号で指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

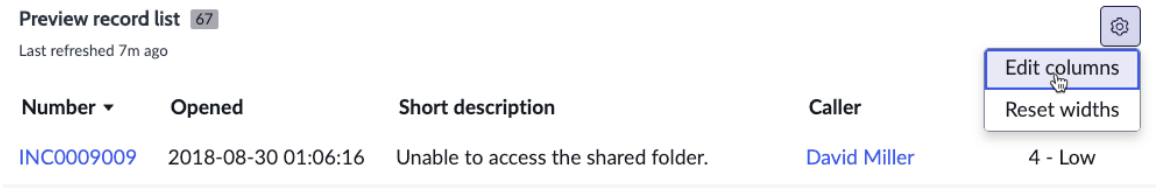
   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションの列として表示するフィールドと列の幅を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウン ソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、[カウント]、[最小化]、または [最大化] の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「可視化用のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

注:
JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - ビジュアリゼーションがテーブルデータを表す場合は、 単一スコアの可視化のためのテーブルデータオプションに移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[単一スコア可視化のインジケーターデータオプション] に移動します。
   - ビジュアリゼーションが ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 単一スコアのデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。.

フィールド	**Description** (説明)
表示設定	
スコアサイズ	スコアのサイズを設定します。次のオプションがあります。 ○ XS XS ○ S sm ○ M md ○ L LG電子 ○ XL XL ○ XXL XXL ○ 自動 自動: サイズは、ビューポートのサイズと、[追加設定]ですべての詳細が追加された後の使用可能なスペースに応じて、上記のサイズ間で自動的に調整されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
スコアアイコン	デザインシステムで提供されているアイコンの 1 つを選択して、スコアの前に表示します。オプション。 **注:** 詳細については、「https://developer.servicenow.com/dev.do#!/reference/next-experience/xanadu/now-components/now-icon/gallery」を参照してください。
アイコンスタイル	アイコンの背景に色を適用するには、「背景あり」を選択します。アイコン自体に色を適用するには、「背景なし」を選択します。
メトリクスラベルの位置	メトリクスラベルの位置。次のオプションがあります。 ○ 上位スコアを 上回る ○ スコアの下 このプロパティは、テーブルデータソースで、[メトリクスラベルを表示] が true の場合にのみ適用されます。
スパークラインスタイル	スパークラインチャートのスタイル。次のオプションがあります。 ○ エリア 領域: スパークラインを、そのポイントと横軸の間の領域が色付けされた線として表示するオプション。 ○ 線 グラフ:スパークラインを線として表示するオプション。 このプロパティは、インジケーターデータソースで、[スパークラインを表示] が true の場合にのみ適用されます。
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリックごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、一連のアイコンまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
	グされた色のリストがセレクターに表示されます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データの可視化のためのカラーリングルールの作成」を参照してください。

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

チャートの相互作用

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[グラフのやり取りを許可] がオンの場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化におけるチャートインタラクション」を参照してください。 ○ [データビューに移動] は、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 レコードビューを開きます。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースではサポートされていません。 ○ [**URL** に移動] をクリックすると、指定した URL が開きます。この URL はインスタンス上または外部にあります。ツールヒントのあるビジュアリゼーションでは、ツールヒントに表示されるページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータによってフィルタリングされた別のデータの可視化を開きます。親の可視化のメトリクスごとにドリルダウンによる可視化を追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの最後のレベルのドリルダウンは、常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 [チャートへのドリルダウン] では 、テーブルデータソースのみがサポートされています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

単一スコアの可視化のためのテーブルデータオプション

単一スコアによるチャート化のテーブル データ ソースを選択する場合、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	Visualization Designer (可視化デザイナー) での単一スコアデータの可視化の作成 でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプに一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、値がドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
スコア更新時間を表示	最終更新の時刻を表示するオプション。
相対スコア時間を使用	[スコア更新時間を表示] が選択されている場合に使用可能です。選択すると、スコアが最後に更新された時間が表示されます。
ゼロを表示	利用可能なデータがないときに 0 を表示する場合に選択します。デフォルトは true です。データソースをインジケーターに変更してからテーブルに戻すと、値は false に変更されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。リアルタイム更新とデータキャッシュの両方を有効にした場合、リアルタイム更新はデータキャッシュよりも優先されます。 注: リアルタイム スコア更新は、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計を使用したドット連結をサポートしていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データなしメッセージ このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

単一スコア可視化のインジケーターデータオプション

単一スコアによるチャート化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを利用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	Visualization Designer (可視化デザイナー) での単一スコアデータの可視化の作成 でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の集計や月別平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。 **注:** AVG または SUM の計算は、インジケーターの [時系列を結果に適用] 設定によって異なります。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で設定することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、値がドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
変化を表示	前のスコアまたは期間と比較した変化を表示します。
変化 % を表示	前のスコアまたは期間と比較した変化率を表示します。
変更元を表示	前の値、前の集計期間、または期間の開始時の値からの変化を表示します。
ターゲットを表示	インジケーターに対して定義されている場合にグローバルターゲット値を表示します。
ギャップ % を表示	現在の値とターゲットのパーセンテージの差を表示します。
スパークラインを表示	経時変化を表す線グラフを表示します。
スコア日を表示	スコアの日付を表示します。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	す。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。 注: • この設定は、スクリプト化されていないブレークダウンマッピングを持つ、自動化されたスクリプト化されていないインジケーターで使用できます。 • リアルタイム スコア更新 は、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計を使用したドット連結をサポートしていません。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 単一スコアのデータオプション

単一スコアによるチャート化に ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションが使用可能になります。

フィールド	説明
データ	
データソース	Visualization Designer (可視化デザイナー) での単一スコアデータの可視化の作成 でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
最大範囲を表示	利用可能な日付の最大範囲を表示するオプション。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、値がドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
ゼロを表示	利用可能なデータがないときに 0 を表示する場合に選択します。デフォルトは false です。true の場合、データなしのメッセージは 0 であるため、[データなしメッセージ **(No data message)]** セクションは使用できません。
データの更新	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

自動翻訳

単一スコアの可視化の例

全体的な収益やオープン インシデントの数など、単一の値または測定基準を表示する場合は、単一スコアによるチャート化を使用します。基本スコアでは、単一の値が、説明的な見出しと日付/時刻スタンプとともに視覚化されます。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

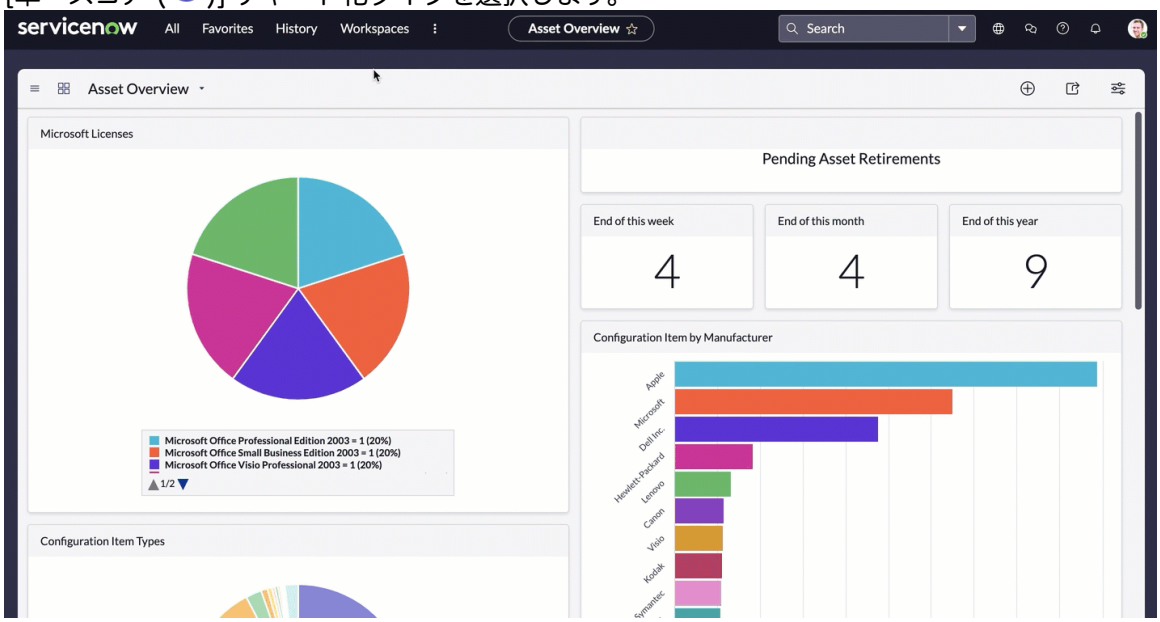
単一スコアの可視化には、値がビジネスにとって良いか改善が必要かを示すために色分けできるという利点があります。たとえば、オープンインシデントの数は低く抑えたい値です。一方、収益は高くしたいものです。オープンインシデントの単一スコアを作成しましょう。

この例では、オープン インシデントの数を示す単一スコアの可視化を作成し、その可視化を色分けして値の望ましさをハイライト表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 最初の手順に従って Visualization Designer (可視化デザイナー) での単一スコアデータの可視化の作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. [単一スコア ( )] チャート化タイプを選択します。

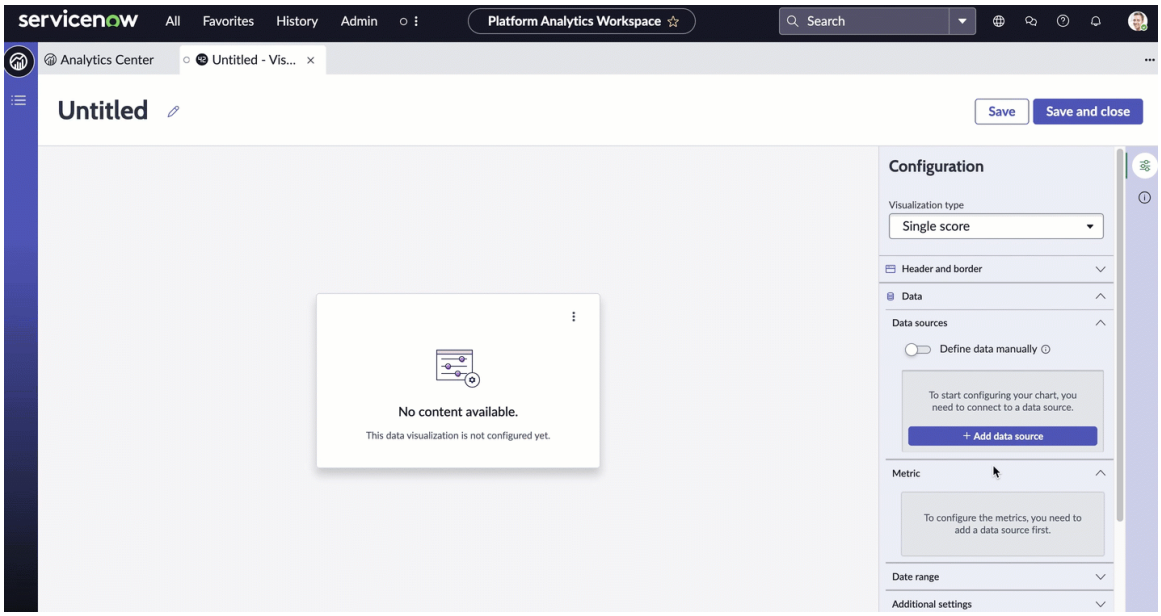


2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を含む単一スコアデータの可視化が可視化デザイナーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化が確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、グラフのタイトル である [オープンインシデントの数] を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、可視化デザイナーおよびリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: すべての優先度とカテゴリのオープンインシデントの数。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [メトリクス] セクションはスキップします。
一部のデータ可視化は複数のデータソースをサポートしていますが、単一スコアの可視化ではサポートされていません。オープンインシデントの数のみを表示するため、デフォルトの測定基準 [カウント] やそのラベル [インシデント] を変更する必要はありません。

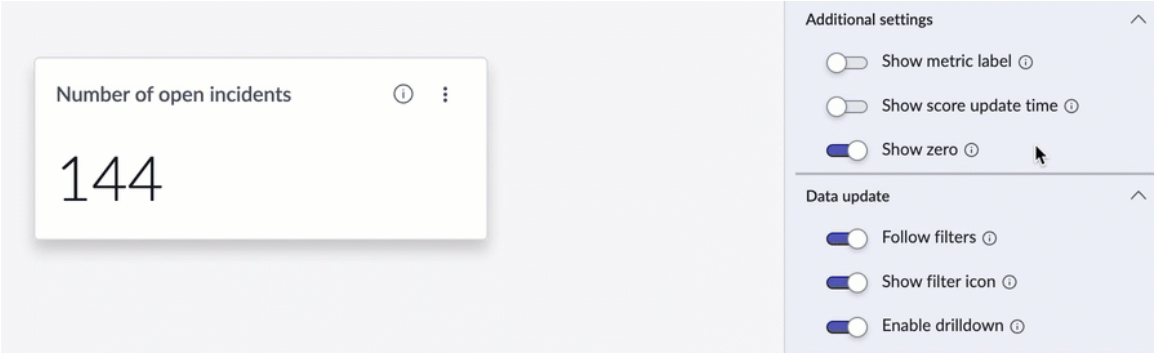
5. [追加設定] で、可視化に関する追加情報を構成します。

a. [メトリクスラベルを表示] はオフのままにします。
可視化の名前は「 Number of open incidents (オープンインシデントの数)」 であるため、測定基準ラベルの「インシデント」は冗長です。

b. [スコア更新時間を表示] を選択します。
このオプション単独では、スコアが最後に更新された時刻が表示されます。また、[相対スコア時間を使用] を選択して、最後の更新からの経過時間を表示することもできます (たとえば、今、5 分前など)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. [ゼロを表示] を選択します。
場合によっては、可視化の対象者は値 0 に関心がないことがあります。ただし、この場合は、オープンインシデントが 0 であることを示したいと考えています。

6. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はグラフ内のデータ ポイントを選択して関連情報に移動できます。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートの相互作用を許可] を反映しています。[チャートの相互作用] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

7. [プレゼンテーション] で、スコア値のサイズと基本色を構成します。

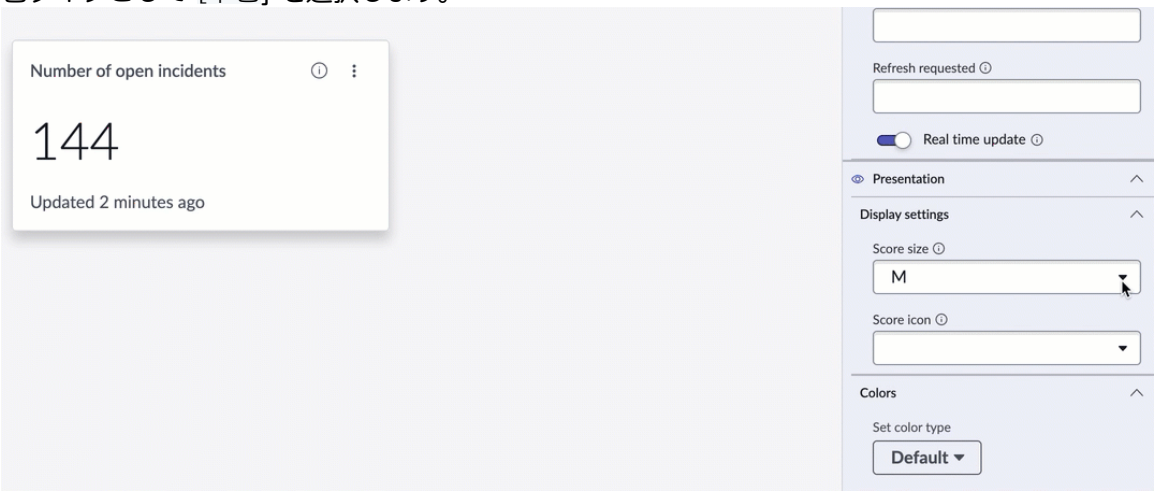
a. [表示設定] で、スコア サイズを既定の M (中) から XL (特大) に変更して強調します。

b. スコアアイコンとアイコンスタイルを選択して、このデータの可視化を、追加するダッシュボード上の他のデータ可視化と区別します。
たとえば、背景付きの [アクティビティアウトライン] アイコンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. 色タイプとして [単色] を選択します。



8. スコアのカラールールを構成します。
オープンインシデントのステータスを強調するため、値に基づいてスコアの色を変更する動的なカラールールを定義します。

a. [表示設定] で、[単色] の色タイプを選択します。

b. [色ルール] で [**+** ルールの追加] を選択します。

c. 最初の色ルールでは、[演算子] [より小さい**]** を選択し、[値 6] を入力し、色とアイコンの色の両方に [正の緑] を選択して [適用] を選択します。

値は指定された数までですが、含まれていません。

順序 100 を保持します。

自動翻訳

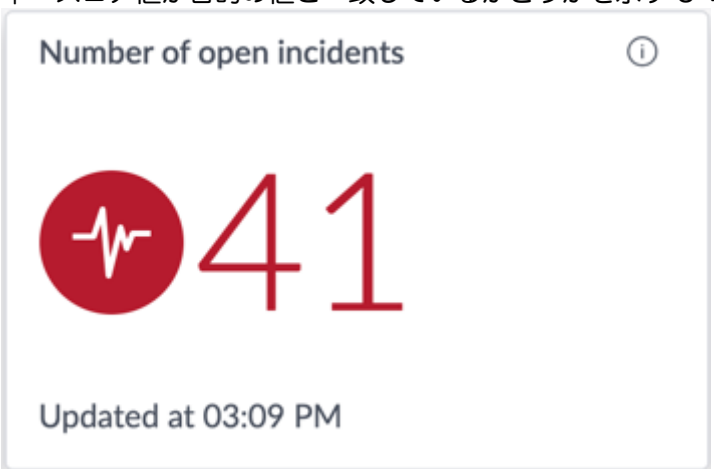
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. さらに注意が必要な値を示すには、 演算子を 間に挟んで、値 5 と 25、色とアイコンの色を 警告オレンジ、順序 を 50 にして 2 番目のルールを作成します。

e. 最も注意が必要な値を表示するには、[演算子] が [より大きい]、値が 25、色とアイコンの色が 赤、順序が 25 の 3 番目のルールを作成します。

単一スコア値が目的の値と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。



9. [保存] を選択します。

タスクの結果
オープン インシデントという 1 つの測定基準に基づいて単一スコアの可視化を作成しました。また、フィルターとドリルダウンに関するユーザーオプションを構成し、色、アイコン、および色分けルールも構成しました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

可視化デザイナーでの箱ひげ図による可視化の作成

箱ひげ図を使用して、数値データの中央値、下位四分位数、上位四分位数、および外れ値を表示します。また、このデータの異なるグループの分布を比較することもできます。

始める前に

重要:
箱ひげ図によるチャート化は、 ServiceNow® Store の最新のデータ可視化アプリケーションに含まれています。

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのボックス プロット ビジュアリゼーションの使用の詳細については、「 the 開発者サイト.

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. [箱ひげ図] ( ) ビジュアル化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを切り捨てる場所を省略記号で指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

5. データソースセレクターを開き、テーブルを選択します。
6. 「 箱ひげ図の可視化のためのテーブルデータオプション」の説明に従ってデータ設定を構成します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。.

フィールド	**Description** (説明)
表示設定	
Y 軸	
軸を非表示	第 1 軸を非表示にするオプション。
プライマリ軸のタイトル	可視化の縦軸に表示するタイトル。 このプロパティは 、[主軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。 複数の Y 軸がある場合は、yAxis1Title、yAxis2Title などのプロパティを表す追加の軸タイトルがあります。 メトリクスの [その他のオプション] メニューで、メトリクスの Y 軸スケールを追加します。
軸範囲 - 開始	第 1 軸の値の開始点。
軸範囲 - 終了	第 1 軸の値のエンドポイント。
軸位置	第 1 軸の位置。次のオプションがあります。 ○ Left (左) ○ Right (右) このプロパティは、[軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。縦棒グラフの可視化に複数の Y 軸がある場合など、主軸が複数ある場合は、各軸の位置を個別に設定できます。
グリッドを表示	第 1 軸に垂直な細い線のグリッドを表示し、その軸に対して値を揃えやすくします。
軸スタイル	第 1 軸のスタイル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
	○ クリーン クリーン: 主軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし noTicks:主軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ [標準] のデフォルト:主軸に線と目盛りを追加します。
X 軸	
X 軸タイトル	可視化の横軸に表示するタイトル。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリックごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、一連のアイコンまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データの可視化のためのカラーリングルールの作成」を参照してください。

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

チャートの相互作用

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[グラフのやり取りを

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	許可] がオンの場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化におけるチャートインタラクション」を参照してください。 ○ [データビューに移動] は、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 レコードビューを開きます。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ [**URL** に移動] をクリックすると、指定した URL が開きます。この URL はインスタンス上または外部にあります。ツールヒントのあるビジュアリゼーションでは、ツールヒントに表示されるページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータによってフィルタリングされた別のデータの可視化を開きます。親の可視化のメトリクスごとにドリルダウンによる可視化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの最後のレベルのドリルダウンは、常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 [チャートへのドリルダウン] では 、テーブルデータソースのみがサポートされています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

箱ひげ図の可視化のためのテーブルデータオプション

箱ひげ図の可視化のテーブル データ ソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データソース	可視化デザイナーでの箱ひげ図による可視化の作成 でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に、そのうちの 1 つでグループ化するオプションがあります。 **注:** [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプによってデータをグループ化またはスタックすることはできません。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
メトリクス	
[テーブル] のフィールド	Y 軸のテーブルの数値フィールド。ビューアーは、このフィールドを代替のグループ別フィールドに置き換えることはできません。
ソート	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。
ソート順	昇順または降順 制限事項： • [グループ] または [積み重ね 基準] フィールドでのみ並べ替えることができます。 • 並べ替えることができるのは 1 つのフィールドのみです。[他のグループ化] フィールドでソートすることはできません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

可視化デザイナーでのバブル可視化の作成

バブルによるチャート化を使用して、複数の個別のメトリクスを 1 つのチャートに表示します。バブルチャートを使用して、2 つのフィールドに関係があるかどうかなどのバイナリ質問に答えたり、パターンを強調表示したりします。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ダッシュボードでのバブル ビジュアリゼーションの使用については、「」を参照してください。 the 開発者サイト.

バブルの可視化では、X 軸、Y 軸、バブル サイズを使用して 3 つの異なるメトリクスの情報を集計します。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. バブル () 視覚化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨て省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを切り捨てる場所を省略記号で指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

1 つ以上のテーブルを選択できます (ベースシステムで利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

> **注:**
> JSON でデータソースを手動で定義することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. データソースのオプションを選択します。
「バブル可視化のテーブルデータオプション」に進みます。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。 [色] セクションで、色と色ルールを構成します。

フィールド	**Description** (説明)
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対する割合が含まれます。
凡例を表示	グループ化を設定する場合、または複数のメトリクスがある場合に使用できます。凡例を表示する場合に選択します。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左。
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリックごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、一連のアイコンまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[グラフのやり取りを許可] がオンの場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化におけるチャートインタラクション」を参照してください。 ○ [データビューに移動] は、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 レコードビューを開きま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	す。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ [**URL** に移動] をクリックすると、指定した URL が開きます。この URL はインスタンス上または外部にあります。ツールヒントのあるビジュアリゼーションでは、ツールヒントに表示されるページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータによってフィルタリングされた別のデータの可視化を開きます。親の可視化のメトリクスごとにドリルダウンによる可視化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの最後のレベルのドリルダウンは、常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 [チャートへのドリルダウン] では 、テーブルデータソースのみがサポートされています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- [その他のアクション] メニューアイコン ( ) を選択して、可視化を複製、共有、エクスポート、スケジュール設定、またはブックマークします。

バブル可視化のテーブルデータオプション

バブル可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションが使用可能になります。

フィールド	説明
データ	
データソース	可視化デザイナーでのバブル可視化の作成 で テーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
メトリクス (バブルサイズ)	データを集計するための計算方法と、可視化のバブルのサイズを決定するフィールドを選択し

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	ます。デフォルトの集計は [カウント] で、選択したレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
ディメンション	
Y 軸	バブルチャートの Y 軸の値を含む数値テーブルフィールド。
X 軸	バブルチャートの x 軸の値を含む数値テーブルフィールド。
グループごと	X 軸と Y 軸以外のテーブルフィールド。異なるグループはバブルの色によって区別されます。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

バブルの可視化の例

バブルデータの可視化は、フィールドを比較し、それらの関係を確認するために使用されます。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

バブルチャートを使用して、優先度と経過時間などの 2 つの序数フィールドを x-y 軸に沿って異なるサイズの円として表示します。円の相対的なサイズと位置を使用して、フィールドを比較し、フィールドの関係を確認します。また、定性的な 3 番目のフィールドでデータをグループ化することもできます。3 番目のフィールドは色で区別されます。

この例では、オープン インシデントの数を示すバブル ビジュアライゼーションを作成し、そのビジュアライゼーションを色分けして値の望ましさをハイライト表示します。

手順

1. 最初の手順に従って 可視化デザイナーでのバブル可視化の作成します。

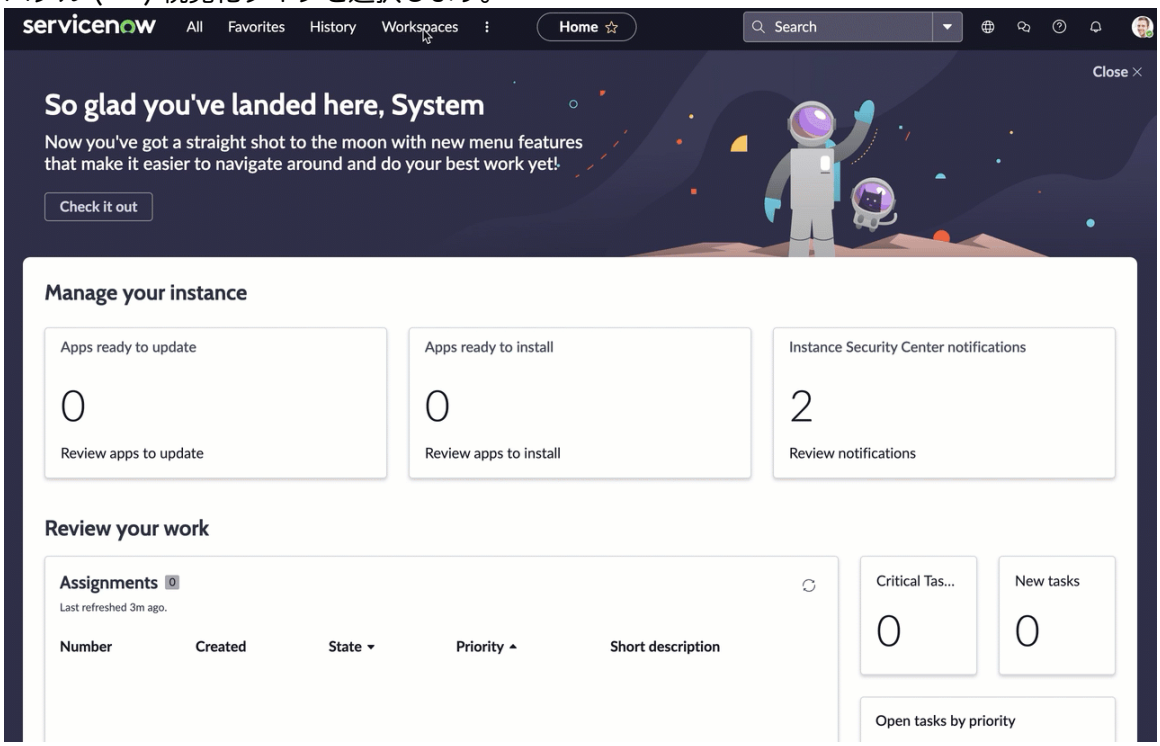
a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.

b. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. バブル ( ) 視覚化タイプを選択します。



2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。

a. [データソースを追加] を選択します。

b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

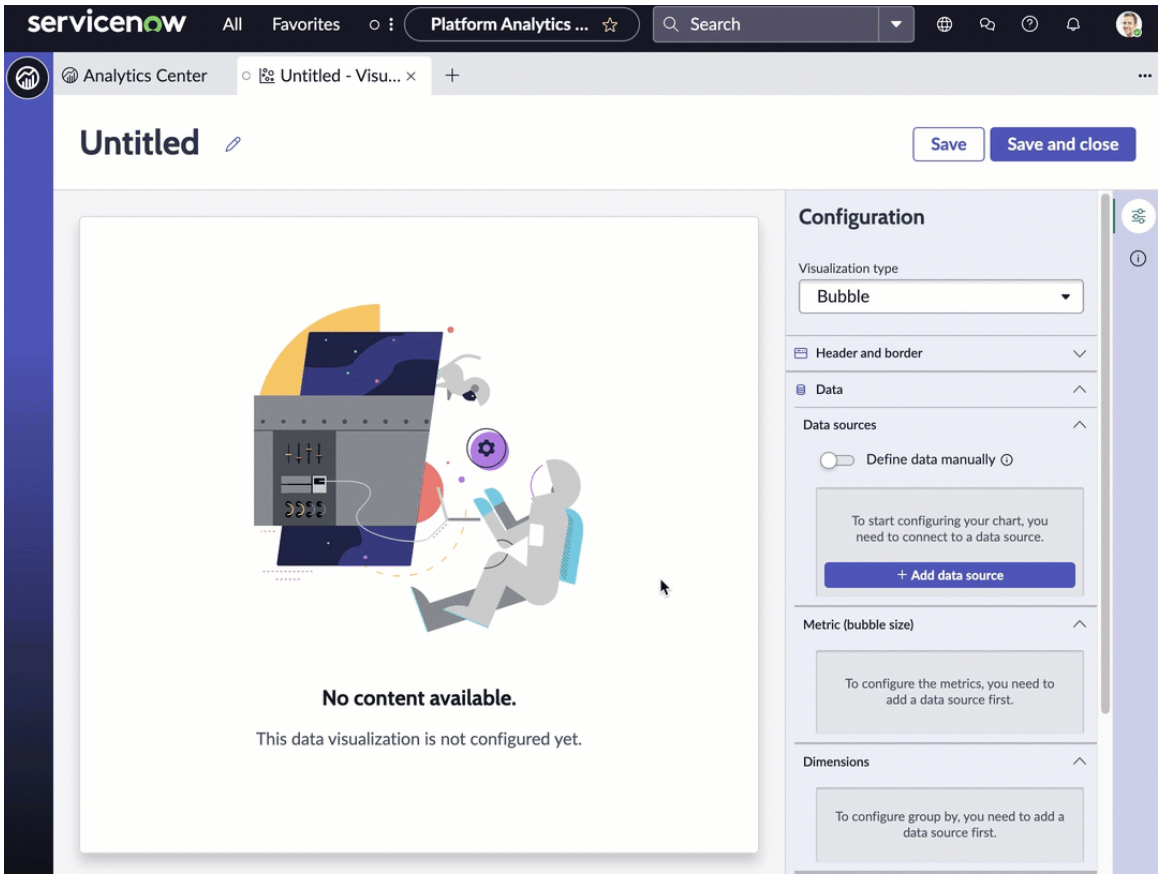
d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を含むバブルによる可視化が可視化デザイナーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化が確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、グラフのタイトルに [状態別の解決時間] を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、可視化デザイナーおよびリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

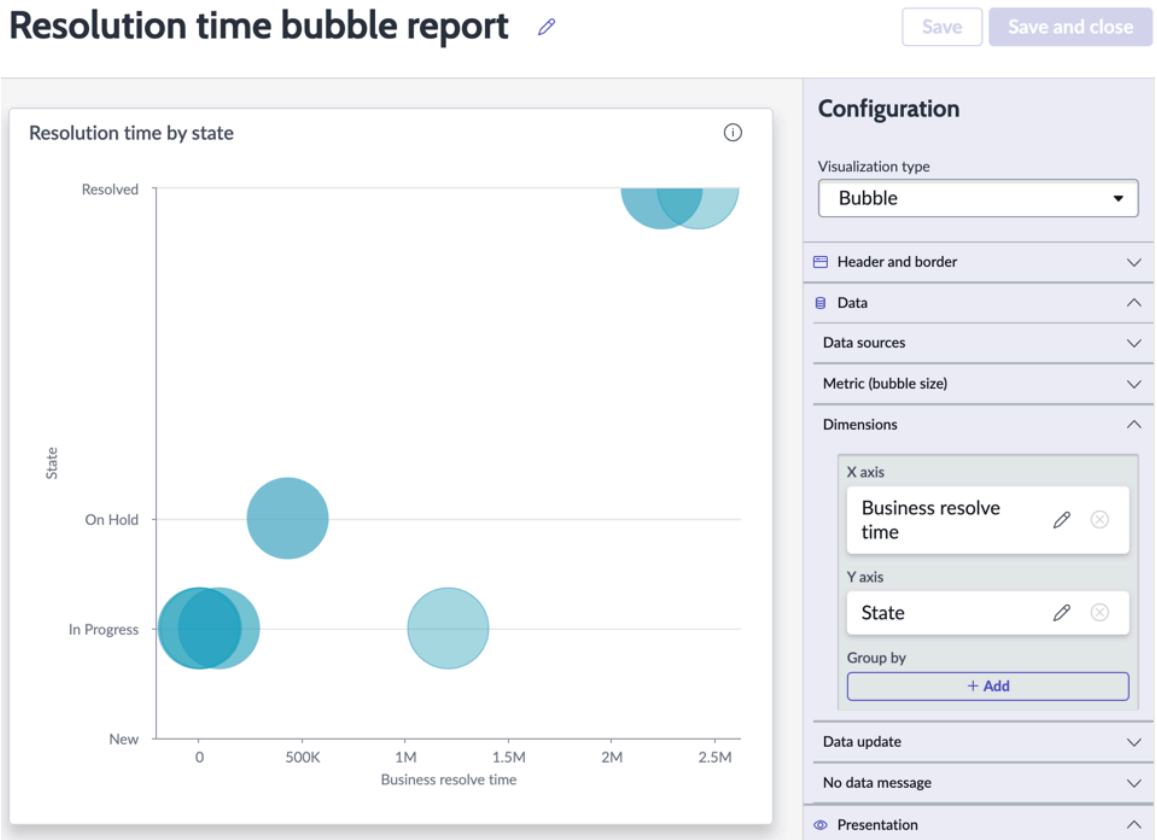
c. 表示方法の説明を入力します: インシデント解決時間とステータスを示すバブルレポート。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [データソース] セクションをスキップ
バブルレポートは複数のデータソースをサポートしていますが、ここではインシデントのみを扱っています。オープンインシデントの数のみを表示するため、デフォルトの測定基準 [カウント] やそのラベル [インシデント] を変更する必要はありません。

5. [ディメンション] セクションで、[X 軸] フィールドを [ビジネス解決時間] のままにして、[Y 軸] フィールドで [状態] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はグラフ内のデータ ポイントを選択して関連情報に移動できます。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートの相互作用を許可] を反映しています。[チャートの相互作用] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

7. ビジュアリゼーションの [デフォルト] の色タイプを選択します。

- [デフォルト] では、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- [単一] は、各バブルに同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

タスクの結果
2 つの値でソートされたバブルの可視化が作成されました。また、ビジュアリゼーションの色も構成しました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

可視化デザイナーでの目盛りによる可視化の作成

目盛りによるチャート化を使用して、値が予想される最小値と最大値の間のどこにあるかを示します。目盛りによるチャート化を使用して、値をターゲットまたはベンチマークと比較したり、進捗状況を追跡したり、改善が必要な領域を特定したりします。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのダイヤル ビジュアリゼーションの使用については、「」を参照してください。the 開発者サイト.

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. 目盛り ( ) 表示タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを切り捨てる場所を省略記号で指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

自動翻訳

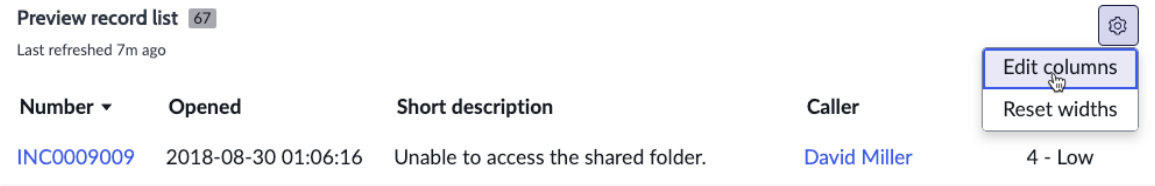
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションの列として表示するフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウン ソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、[カウント]、[最小化]、または [最大化] の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「可視化用のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

   注:
   JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - ビジュアリゼーションがテーブルデータを表す場合は、 目盛り可視化のためのテーブルデータオプションに移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[目盛りによる可視化のためのインジケーターデータオプション] に移動します。
   - ビジュアリゼーションが ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 目盛り可視化のデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	**Description** (説明)
表示設定	
値ラベルサイズ	動的サイズを表す文字:小 (S)、中 (M)、大 (L)。タイプの実際のサイズは、グラフのサイズに比例して変化します。
最小値	可視化に表示される最小値を設定します。指定しない場合、デフォルトは 0 です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
最大値	可視化に表示される最大値を設定します。
内半径	可視化の内半径と外半径の比率を指定します。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対する割合が含まれます。
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリックごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、一連のアイコンまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データの可視化のためのカラーリングルールの作成」を参照してください。

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[グラフのやり取りを許可] がオンの場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化におけるチャートインタラクション」を参照してください。 ○ [データビューに移動] は、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 レコードビューを開きます。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ [**URL** に移動] をクリックすると、指定した URL が開きます。この URL はインスタンス上または外部にあります。ツールヒントのあるビジュアリゼーションでは、ツールヒントに表示されるページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータによってフィルタリングされた別のデータの可視化を開きます。親の可視化のメトリクスごとにドリルダウンによる可視化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの最後のレベルのドリルダウンは、常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 [チャートへのドリルダウン] では 、テーブルデータソースのみがサポートされています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

目盛り可視化のためのテーブルデータオプション

目盛りによるチャート化のテーブル データ ソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	可視化デザイナーでの目盛りによる可視化の作成 でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプに一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、値がドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
ゼロを表示	利用可能なデータがないときに 0 を表示する場合に選択します。デフォルトは true です。データソースをインジケーターに変更してからテーブルに戻すと、値は false に変更されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。リアルタイム更新とデータキャッシュの両方

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	を有効にした場合、リアルタイム更新はデータキャッシュよりも優先されます。 **注:** リアルタイム スコア更新は、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計を使用したドット連結をサポートしていません。
データなしメッセージ このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

目盛りによる可視化のためのインジケーターデータオプション

目盛りによるチャート化のインジケーター データ ソースを選択すると、次のデータ構成オプションが使用可能になります。

フィールド	説明
データソース	可視化デザイナーでの目盛りによる可視化の作成 でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の集計や月別平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。 **注:** AVG または SUM の計算は、インジケーターの [時系列を結果に適用] 設定によって異なります。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ポーネントから取得することも、データの可視化で手動で設定することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、値がドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。 注: • この設定は、スクリプト化されていないブレークダウンマッピングを持つ、自動化されたスクリプト化されていないインジケーターで使用できます。 • リアルタイム スコア更新 は、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計を使用したドット連結をサポートしていません。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 目盛り可視化のデータオプション

目盛りによるチャート化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データ ソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データソース	可視化デザイナーでの目盛りによる可視化の作成 でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	ションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で設定することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、値がドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
ゼロを表示	利用可能なデータがないときに 0 を表示する場合に選択します。デフォルトは false です。true の場合、データなしのメッセージは 0 であるため、[データなしメッセージ **(No data message)]** セクションは使用できません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データなしメッセージ このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

目盛りの可視化の例

目盛りチャート化は、単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。「針」は値を指し、目盛りは針までの値が色分けされて視覚的に示されます。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

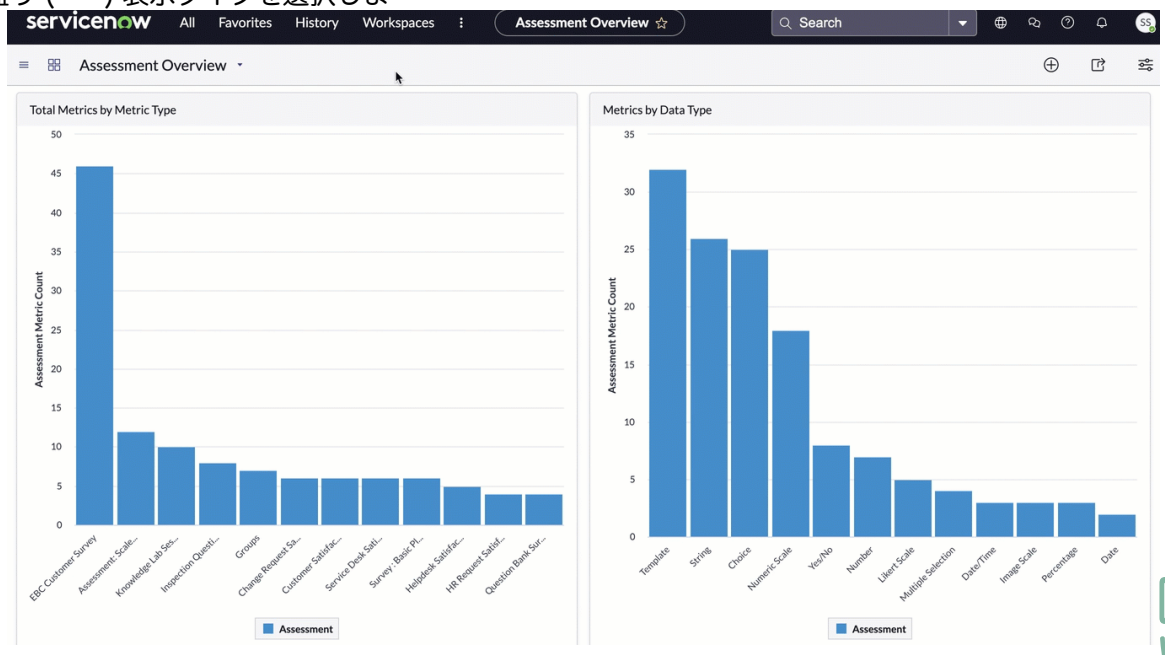
目盛りによるチャート化は、目標と比較した会社の売上など、現在の値をターゲットまたはベンチマークと比較する場合に使用します。目盛りの可視化を色で構成して、目標と比較して現在の値がどこにあるかを示すことができます。単一のスコアでは、値を色分けして、正または負の範囲内にあるかどうかを示すことができます。目盛りを使用して、値を表すビジュアリゼーションの部分を色分けします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 最初の手順に従って 可視化デザイナーでの目盛りによる可視化の作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. 目盛り ( ) 表示タイプを選択しま



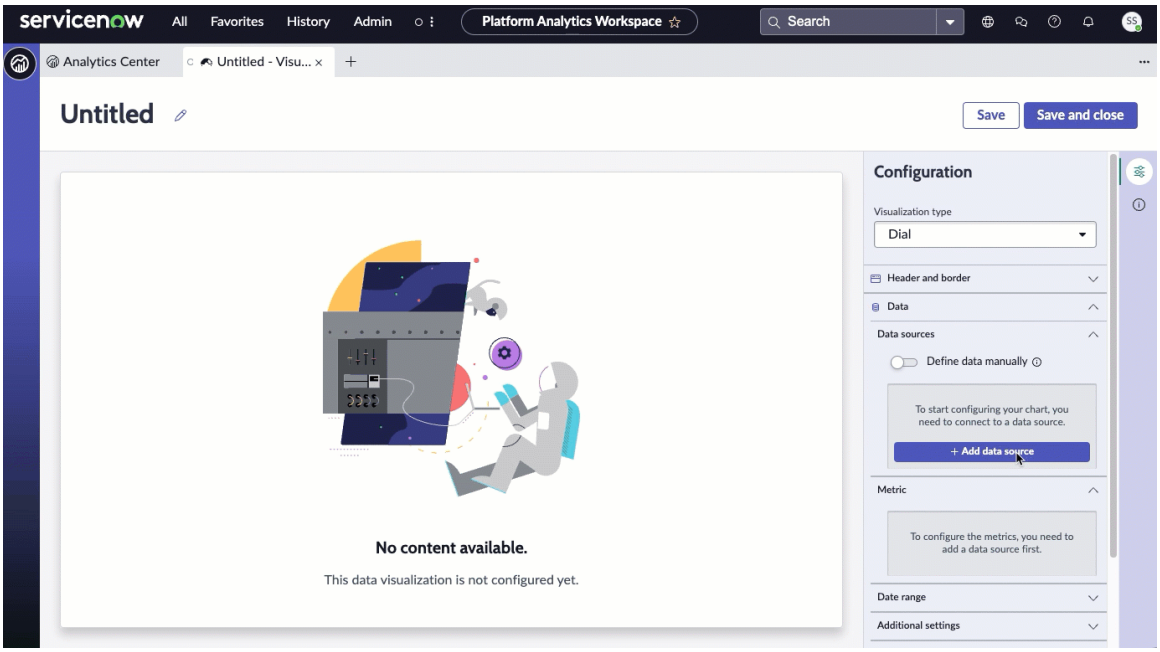
す。

2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を含む目盛りデータの可視化が可視化デザイナーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化が確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

   a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

   b. [**Show header** (ヘッダーを表示)] を選択し、グラフのタイトル「 Open incidents - Dial」を入力します。
   [ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、可視化デザイナーおよびリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

   c. 可視化の説明を入力します: すべての優先度とカテゴリのオープンインシデントの数。
   説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [メトリクス] セクションはスキップします。
   一部のデータの可視化は複数のデータソースをサポートしていますが、目盛りによる可視化ではサポートされていません。オープンインシデントの数のみを表示するため、デフォルトのメトリクスである [カウント] やそのラベルである [インシデント] を変更する必要はありません。

5. [Additional settings (追加設定)] で、[**Show metric label** (指標ラベルを表示)] を選択したままにして、[**Show Zero** (ゼロを表示)] を選択します。
   可視化の名前は「 Number of open incidents (オープンインシデントの数)」であるため、測定基準ラベルの「インシデント」は冗長です。

   場合によっては、可視化の対象者は値 0 に関心がないことがあります。ただし、この場合は、オープンインシデントが 0 であることを示したいと考えています。

6. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

   a. [フィルターに従う] を選択します。
   このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

   b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はグラフ内のデータ ポイントを選択して関連情報に移動できます。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートの相互作用を許可] を反映しています。[チャートの相互作用] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

7. [プレゼンテーション] で、スコアと目盛り自体のサイズ、およびビジュアリゼーションの最小値と最大値を構成します。

a. [表示設定] で、スコア サイズを既定の M (中) から L (大) に変更して強調します。

b. ダイヤルの最小値と最大値を選択します。
デフォルト値は 0 と 100 です。この場合、オープンインシデントがない場合の最小値はゼロです。最大値も既定値のままにしますが、独自の目盛りの視覚化を作成する場合は、現実的な最大値を考慮してください。

c. この例では、内側の半径パラメーターを無視します。
内側の半径は、ビジュアリゼーションの内側の半径と外側の半径の比率です。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。

8. スコアのカラールールを構成します。
オープン インシデントのステータスを強調するため、値に基づいてダイヤルの色を変更する動的な色ルールを定義します。

a. [表示設定] で、[単色] の色タイプを選択します。

b. [色ルール] で [**+** ルールの追加] を選択します。

c. 最初の色ルールでは、[演算子] [より小さい**]** を選択し、[値 6] を入力し、色とアイコンの色の両方に [正の緑] を選択して [適用] を選択します。

値は指定された数までですが、含まれていません。

順序 100 を保持します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



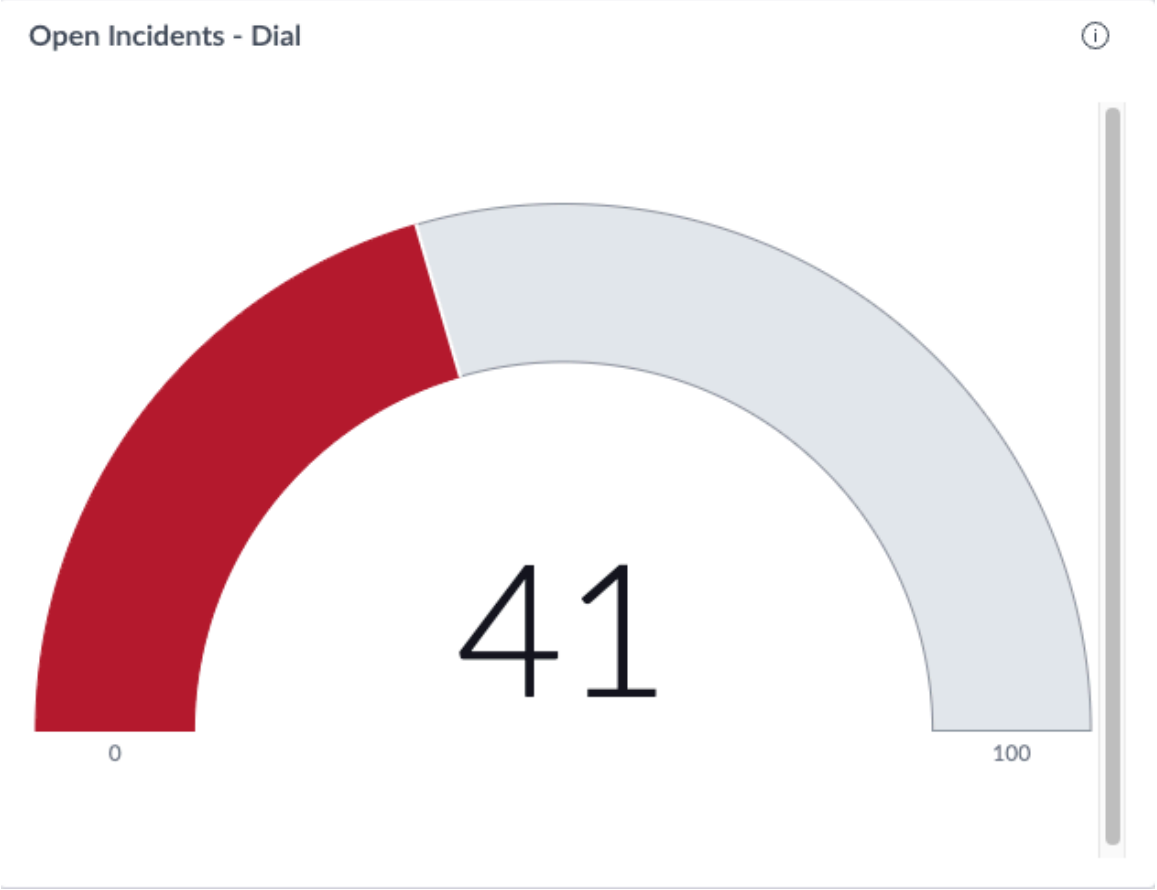
d. さらに注意が必要な値を示すには、 演算子を 間に挟んで、値 5 と 25、色とアイコンの色を 警告オレンジ、順序 を 50 にして 2 番目のルールを作成します。

e. 最も注意が必要な値を表示するには、[演算子] が [より大きい]、[値] が 25、[色とアイコンの色] が [赤]、順序が 25 の 3 番目のルールを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一スコア値が目的の値と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。



タスクの結果
オープンインシデントという単一のメトリクスに基づいて、ダイヤルによる可視化を作成しました。また、フィルターとドリルダウンに関するユーザー オプションを構成し、ビジュアリゼーションのサイズとカラーリング ルールも構成しました。

可視化デザイナーでのゲージによる可視化の作成

ゲージによるチャート化は、値が予想される最小値と最大値の間のどこにあるかを示します。ゲージによるチャート化を使用して、色分けされた値の範囲で進捗状況を追跡します。

始める前に
必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて
ダッシュボードでのゲージ ビジュアリゼーションの使用については、以下を参照してください。 the 開発者サイト.

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.

2. [新規] を選択します。

3. [ゲージ ( )] 可視化タイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

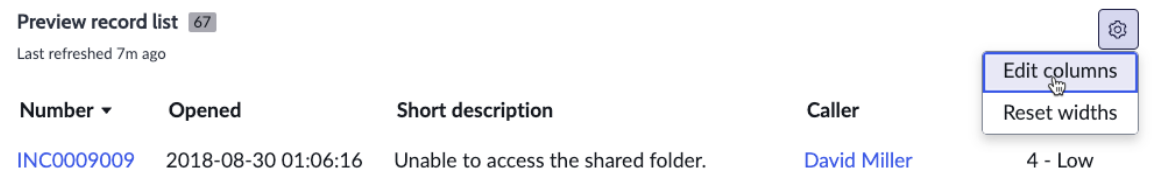
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを切り捨てる場所を省略記号で指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションの列として表示するフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウン ソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、[カウント]、[最小化]、または [最大化] の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。

- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「可視化用のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

注:
JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - ビジュアリゼーションがテーブルデータを表す場合は、 ゲージ可視化のためのテーブルデータオプションに移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[ゲージ可視化用のインジケーターデータオプション] に移動します。
   - ビジュアリゼーションが ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ゲージによる可視化のデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	**Description** (説明)
表示設定	
ゲージ円弧角度	ゲージのサイズの選択(度単位)。
値ラベルサイズ	動的サイズを表す文字:小 (S)、中 (M)、大 (L)。タイプの実際のサイズは、グラフのサイズに比例して変化します。
内半径	可視化の内半径と外半径の比率を指定します。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対する割合が含まれます。
範囲	
最小値	可視化に表示される最小値を設定します。指定しない場合、デフォルトは 0 です。
最大値	可視化に表示される最大値を設定します。
範囲の構成	ゲージを分割する範囲の数を指定します。既定値は 3 です。範囲の数、各範囲の開始値と終了値、ラベル、およびカラースペクトルを選択します。
伝説	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400%ズームで自動的にアクティブになります。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
凡例の向き	レジスターの表示方法のオプション。 ○ 水平 水平:凡例を水平に表示するオプション。 ○ 垂直:凡例を最大 5 行まで垂直に表示するオプション。 このプロパティは、[凡例の位置] が [下] の場合にのみ適用されます。
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中心、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。
ラベル	
スコアラベル [scoreLabel]	ゲージの中央にあるスコアのラベル: ○ ラベルなし (なし) ○ 可視化メトリクスと同じラベル (メトリクスラベル) ○ [範囲を構成 (範囲ラベル)] で、スコアが属する範囲に設定したラベル ラベルは無効になり、400% ズームで凡例に置き換えられます。
範囲の制限を表示 [showRangeLimit]	true の場合、範囲に設定した制限が表示されます。範囲を設定しなかった場合は、デフォルトの最小値と最大値が表示されます。
範囲ラベルを表示 [showRangeLabels]	true の場合、範囲に設定したラベルが表示されます。このプロパティは、範囲を設定し、ラベルを指定した場合にのみ使用できます。
ラベルをプライマリとして表示	スコアラベルが範囲ラベルとして構成されている場合に使用できます。スコア値とラベルの位置を変更して、スコア値を小さくし、範囲の値を強調します。

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。グラフ操作を許可 [chartInteractionEnabled] が true の場合にのみ適用されます。 ○ [データビューに移動] は、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 レコードビューを開きます。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ [**URL** に移動] をクリックすると、指定した URL が開きます。この URL はインスタンス上または外部にあります。ツールヒントのあるビジュアリゼーションでは、ツールヒントに表示されるページ名を指定するオプションがあります。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

ゲージ可視化のためのテーブルデータオプション

ゲージによるチャート化のテーブルデータソースを選択すると、以下のデータ構成オプションが使用可能になります。

フィールド	説明
データ	
データソース	可視化デザイナーでのゲージによる可視化の作成 でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプに一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
追加の設定	
ゼロを表示	利用可能なデータがないときに 0 を表示する場合に選択します。デフォルトは true です。データソースをインジケーターに変更してからテーブルに戻すと、値は false に変更されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。リアルタイム更新とデータキャッシュの両方を有効にした場合、リアルタイム更新はデータキャッシュよりも優先されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: リアルタイム スコア更新 は、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計を使用したドット連結をサポートしていません。
データなしメッセージ このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ゲージ可視化用のインジケーターデータオプション

ゲージによるチャート化のインジケーターデータソースを選択すると、以下のデータ構成オプションが使用可能になります。

フィールド	説明
データソース	可視化デザイナーでのゲージによる可視化の作成 でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の集計や月別平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。 注: AVG または SUM の計算は、インジケーターの [時系列を結果に適用] 設定によって異なります。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で設定することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • この設定は、スクリプト化されていないブレークダウンマッピングを持つ、自動化されたスクリプト化されていないインジケーターで使用できます。 • リアルタイム スコア更新 は、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計を使用したドット連結をサポートしていません。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ゲージによる可視化のデータオプション

ゲージによるチャート化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションが使用可能になります。

フィールド	説明
データソース	可視化デザイナーでのゲージによる可視化の作成 でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
ゼロを表示	利用可能なデータがないときに 0 を表示する場合に選択します。デフォルトは false です。true の場合、データなしのメッセージは 0 であるため、[データなしメッセージ **(No data message)]** セクションは使用できません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ゲージの可視化の例

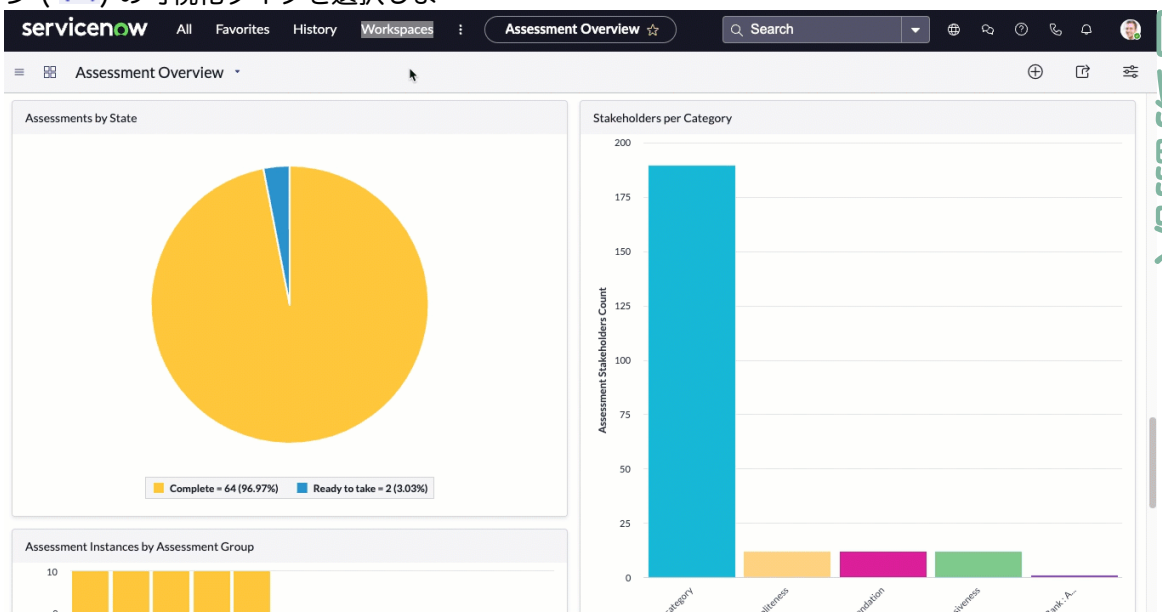
目盛り同様、ゲージは単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。目盛り機能に加えて、色付きのデータ範囲を設定して、値が何を表しているかをユーザーが理解できるようにすることができます。

始める前に
必要なロール: プラットフォームアナリティクスワークスペースを表示するのにロールは必要ありません。任意の内部ロールを使用してデータの可視化を作成できますが、可視化を可視化ライブラリに保存するには viz_creator ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて
ゲージによるチャート化は、目標と比較した会社の売上など、値をターゲットまたはベンチマークと比較する場合に使用します。目標と比較して現在の値がどこにあるかを示すために、視覚化を色で構成できます。目盛りを使用して、値を表すビジュアリゼーションの部分を色分けします。ゲージによる可視化では、範囲を色分けし、針が値を指します。

手順

1. 最初の手順に従って 可視化デザイナーでのゲージによる可視化の作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. ゲージ ( ) の可視化タイプを選択します。



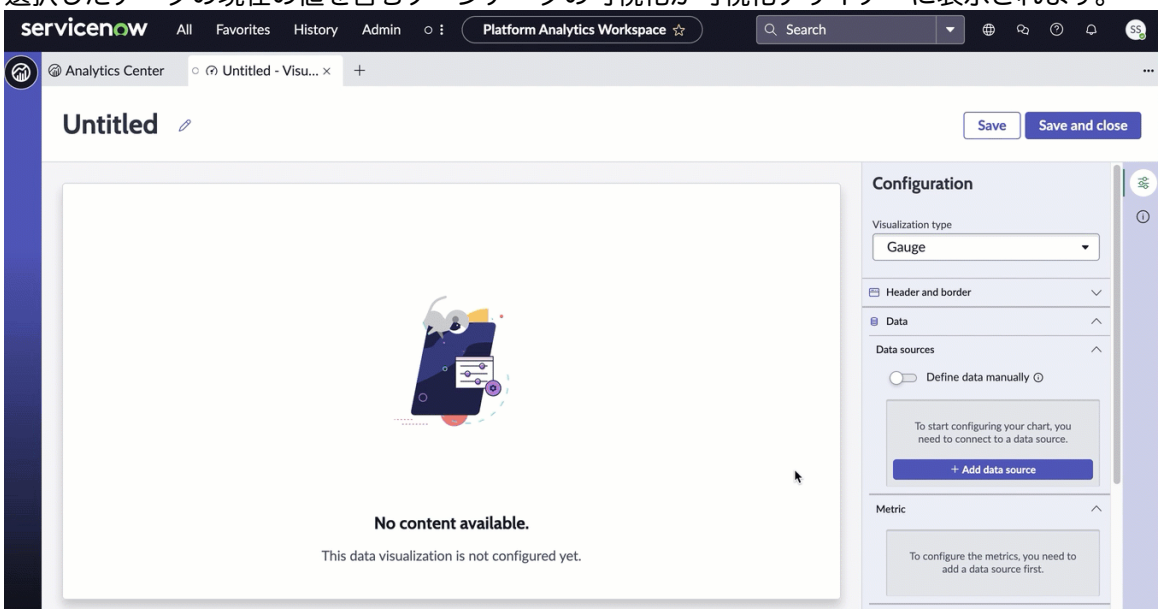
2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. [フィルター] セクションのオープン条件。
      この可視化はオープンインシデントを示しているため、インシデントを追加しましょう。このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

e. [Add this source (このソースを追加)] を選択します。

選択したデータの現在の値を含むゲージデータの可視化が可視化デザイナーに表示されます。



3. 可視化が確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、グラフのタイトル「 オープンインシデント - ゲージ」を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、可視化デザイナーおよびリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: すべての優先度とカテゴリのオープンインシデントの数。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [追加の設定] で、[ゼロを表示] を選択します。
場合によっては、可視化の対象者は値 0 に関心がないことがあります。ただし、この場合は、オープンインシデントが 0 であることを示したいと考えています。[ゼロを表示] を選択しない場合は、データがないときに表示するメッセージを構成するオプションがあります。

5. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

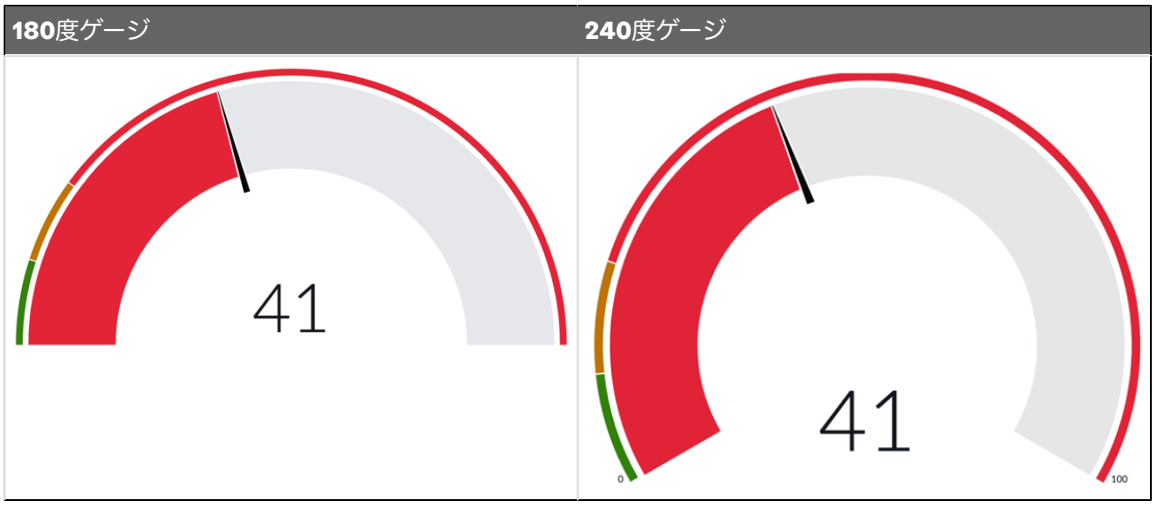
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択して、閲覧者が関連するデータを別の方法で表示できるようにします。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

6. [プレゼンテーション] で、ゲージの形状とゲージ値のサイズを構成します。

a. [表示設定] で、ゲージ円弧角度として 180 度を選択します。
180 度では、ゲージが半円として表示されます。240 度を指定すると、ゲージは円の 4 分の 3 になります。



b. スコアサイズをデフォルトの M (中) から L (大) に変更して強調します。

c. この例では、内側の半径パラメーターを無視します。
内側の半径は、ビジュアリゼーションの内側の半径と外側の半径の比率です。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。

7. [範囲] で、ゲージの最小値と最大値を選択します。
デフォルト値は 0 と 100 です。この場合、オープンインシデントがない場合の最小値はゼロです。最大値もデフォルト値のままにしますが、独自のゲージによるチャート化を作成する場合は現実的な最大値を考慮してください。

8. [範囲の構成] を選択します。
範囲は、値が可視化に関連付けられた目標をどのように満たしているかを示すカラーバンドです。この例では、値を示すために 3 つの範囲を構成します。

a. デフォルトの範囲数は 3 のままで、デフォルトの配色は緑 から赤のままにします。

b. 最初の範囲に [Good] というラベルを付け、[**Values less than** or equal] を 5 以下で指定します。

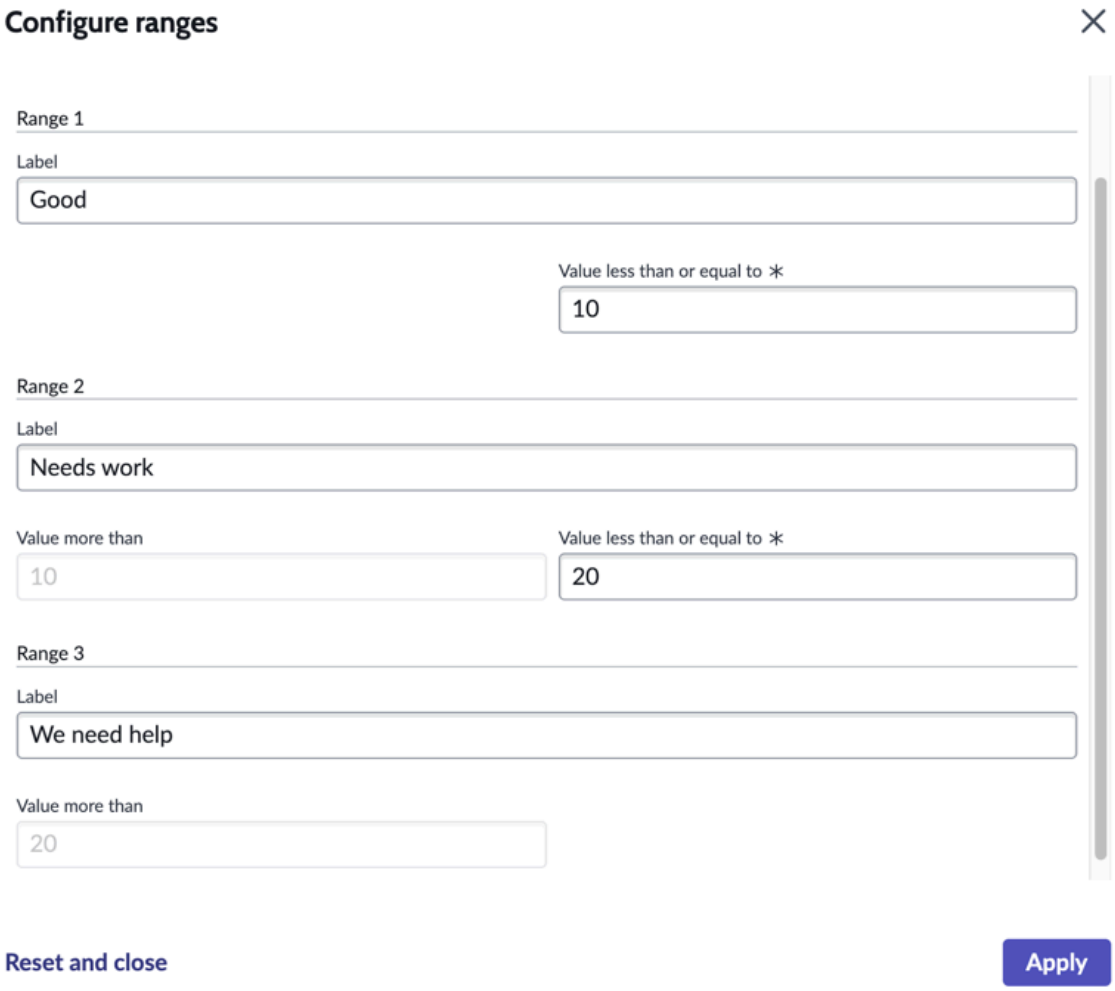
c. 2 番目の範囲に「Needs work (要作業)」というラベルを付け、**20** 以下の値 を指定します。
最初の範囲から低い値が取得されます。

d. 3 番目の範囲に 「We need help」というラベルを付けます。
この範囲の値は、2 番目の範囲から取得されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. [適用] を選択します。



9. ゲージの ラベル を設定します。

a. [Score] ラベル [None] を選択します。
他の選択肢は、[メトリクスラベル] と [範囲ラベル] です。メトリクスは可視化の名前にあるため、ゲージの値に「Incidents」というラベルを付けるのは冗長です。[範囲] ラベルには、ラベルを値ではなく可視化のプライマリ テキストにするオプションがあります。

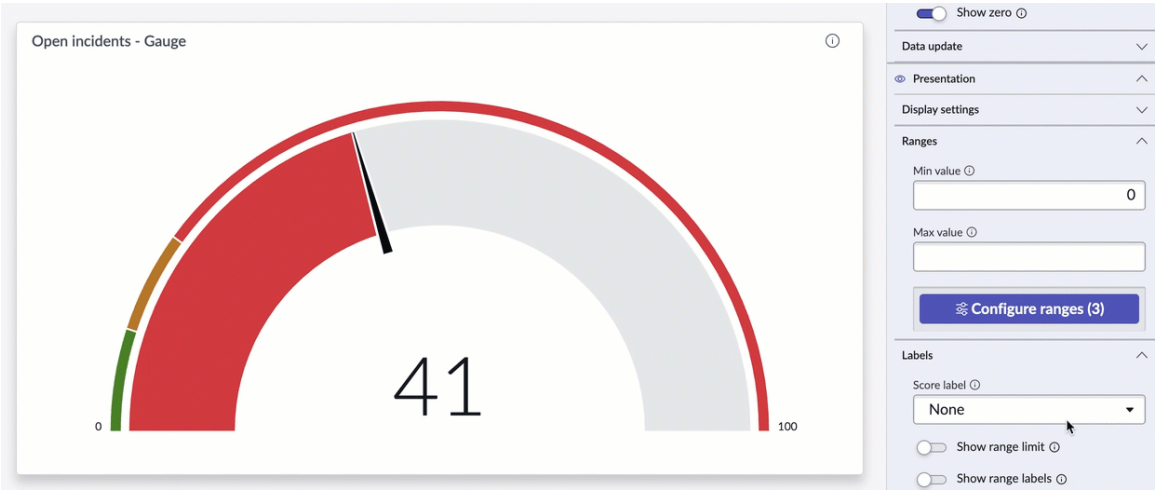
b. [範囲の制限を表示] を選択します。
範囲の制限は、各範囲の下限値とゲージの上限を可視化に追加します。

c. [範囲ラベルを表示] を選択します。
構成した範囲ラベルは、各範囲のコンテキストを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一スコア値が目的の値と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。



タスクの結果

オープン インシデントという単一の測定基準に基づいてゲージによるチャート化を作成しました。また、フィルターとドリルダウンに関するユーザーオプションを構成し、可視化のサイズ、ラベル付け、範囲も構成しました。

可視化デザイナーでのジオマップ可視化の作成

ジオマップによるチャート化は、世界、国、地域、または都道府県のデータの地理的分布を示します。ジオマップの使用 場所情報を含むテーブル データを使用します。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのジオマップ ビジュアリゼーションの使用については、「 the 開発者サイト .

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. [ジオマップ] ビジュアライゼーション タイプを選択します。
4. テーブルデータソースを選択します。
   データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   > **注:**
   > JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

   a. マップ設定を構成します。
   b. ドリルダウンを有効にして、レベル間のマップナビゲーションとリストリダイレクトを有効または無効にします。
5. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

6. データソースのオプションを設定します。
「ジオマップ可視化のためのテーブルデータオプション」に進みます。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対する割合が含まれます。
マップ	世界地図や国の地図などのデータをプロットするためのマップ。
データラベルの表示	データラベルを有効にします。
凡例	凡例を表示します。
凡例の位置	チャートに関連する凡例の場所。次のオプションがあります。 ○ 上 ○ 下 ○ Right (右) ○ Left (左)
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。以下から選択可能です。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	in Next Experience」を参照してください。 ○ 色の範囲: 最小値の色と最大値の色の間の色のスペクトル。これらの色は、アイコンのセット、アイコンを含む色のリストから選択するか、色名または 16 進値を検索することによって選択できます。色は、色定義 [sys_report_color] テーブルから取得されます。

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ジオマップでは、[データ ビューに移動] インタラクションのみを使用できます。このアクションにより、基礎となるレコードビューが開きます。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

ジオマップ可視化のためのテーブルデータオプション

ジオマップ可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを利用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	可視化デザイナーでのジオマップ可視化の作成でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプに一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	マップ ソースのジオマップにあるフィールドを選択します。デフォルトでは、選択できるフィールドは [アサイン先] などの場所 [cmn_location] テーブルを指しています。場所。マップ ソース [viz_map_source] テーブルにエントリが関連付けられている場所などのテーブルを指す参照フィールドを選択する必要があります。メインレベルの 1 つのフィールドのみが場所テーブルを参照する場合、このフィールドがデフォルトで選択されます。 ジオマップのマップ ソースの作成方法などの詳細については、「ジオマップデータ可視化のマップソース」をご参照ください。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

[store-future: BEGIN review]

ジオマップの可視化の例

ジオマップを使用すると、世界、国、地域、または州のデータの地理的分布を視覚化できます。

始める前に
必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて
ジオマップ ビジュアリゼーションを使用して、データを地理的なチャートで表示します。

手順

1. 最初の手順に従って 可視化デザイナーでの目盛りによる可視化の作成します。
   a. 移動先 ワークスペース > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) ワークスペース、または アナリティクスセンター ( ) コンポーネントを含む別のワークスペース。アクセスできるワークスペースは異なる場合があります。
   b. [データの可視化] タブを選択します。
   c. [新規] を選択します。
   d. ( ) ビジュアライゼーションタイプを選択します。
2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動できます。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. オープンインシデントを追加します。
      条件を開き、チャート化にアクティブなインシデントの数のみが表示されるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

4. データソースのオプションを設定します。
「ジオマップ可視化のためのテーブルデータオプション」に進みます。
5. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
マップ	世界地図や国の地図などのデータをプロットするためのマップ。
データラベルの表示	データラベルを有効にします。
凡例	凡例を表示します。
凡例の位置	チャートに関連する凡例の場所。次のオプションがあります。 ○ 上 ○ 下 ○ Right (右) ○ Left (左)
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。以下から選択可能です。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	in Next Experience」を参照してください。 ○ 色の範囲:最小値の色と最大値の色の間の色のスペクトル

6. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

[End]

ジオマップデータ可視化のマップソース

ジオマップデータの可視化は、特別なマップソースの場所テーブルに接続されます。

ジオマップのマップ ソースは、マップ ソース階層に整理されます。同じテーブルを参照するすべてのマップ ソースは、同じ階層内にあります。マップ ソース階層は、親ソースと最大 4 レベルの子ソースで構成されます。親ソースはテーブルのみを参照し、子ソースはテーブル内のフィールドを参照します。

デフォルトでは、インスタンスには場所 [cmn_location] テーブルを参照するジオマップのマップソース階層があります。そのため、ジオマップ上に [場所] のフィールドを参照する [グループ] フィールドを設定できます。[グループ] フィールドは、データ ソース テーブルの最上位に配置することも、ドット連結することもできます。カスタムロケーションテーブルを参照する追加のマップソース階層を作成できます。

データの可視化とレポートのマップソースの違い

コア UI のマップ レポートを使い慣れている場合は、ジオマップのマップ ソースがマップ レポートのマップ ソースとは異なることに気付いたかもしれません。これらは、異なるマップソーステーブル、sys_report_map_source、およびviz_map_sourceに存在するのに十分な違いがあります。最も大きな違いは、テーブルの参照方法です。

マップ レポートでは、マップ ソースはインシデント [incident] などのファクト テーブルを参照します。マップ ソースには、場所テーブルを指す参照フィールドも含まれています。子マップソースは、場所テーブルのフィールドにドット連結します。この構造により、マップのデータソースとして必要なデータテーブルごとに個別のマップソース階層が作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ レポートのマップ ソース

Name	Table	Field
Search	Search	Search
Table: change_request (4)		
Change request by location	Change Request [change_request]	location
Change request by location (level 1)	Change Request [change_request]	location.country
Change request by location (level 2)	Change Request [change_request]	location.state
Change request by location (level 3)	Change Request [change_request]	location.city
Table: change_task (4)		
Change task by location	Change Task [change_task]	location
Change task by location (level 1)	Change Task [change_task]	location.country
Change task by location (level 2)	Change Task [change_task]	location.state
Change task by location (level 3)	Change Task [change_task]	location.city

ジオマップのマップ ソースは、場所テーブルを直接指します。ファクトテーブルは参照しません。ファクトテーブルは、ジオマップデータの可視化でのみ指定されます。この構造により、表示されるデータに関係なく、インスタンス上のすべてのジオマップに対して 1 つのマップ階層を再利用できます。

ジオマップデータ可視化のマップソース

Name	Table	Field
Search	Search	Search
Location mapping	Location [cmn_location]	
Location mapping (level 1)	Location [cmn_location]	country
Location mapping (level 2)	Location [cmn_location]	state
Location mapping (level 3)	Location [cmn_location]	city

自動翻訳

データの可視化マップソースの作成

ジオマップデータの可視化でカスタムロケーションテーブルを使用するには、テーブルにリンクするマップソースを定義します。階層のさまざまなレベルにマップ ソースをさらに追加します。

始める前に

必要なロール:report_admin、viz_admin、pa_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. ブラウザーの [URL] フィールドで、インスタンス URL に 「viz_map_source_list.do 」を追加します。

   Example
   たとえば、インスタンスが https://instance.example.com の場合は、「 https://instance.example.com/viz_map_source_list.do」と入力します。
2. 参照する場所テーブルがマップ ソースで既に使用されているかどうかを確認します。
   同じテーブルを参照するマップ ソースのセットは、 マップ ソース階層と呼ばれます。
3. 目的の場所テーブルを参照するマップ ソースがない場合は、そのテーブルのトップレベルのマップ ソースを作成します。

   a. [新規] を選択します。
      空のマップソース [viz_map_source] レコードが開きます。

   b. 次の情報を指定します。

フィールド	説明
名前	マップ ソースの名前を追加します。テーブルの内容を示すわかりやすい名前を使用します。この名前は、この階層に作成する他のすべてのマップ ソースの名前の一部として含めます。
テーブル	データ可視化マップソースでまだ使用されていない場所テーブルを選択します。選択するテーブルは、データ可視化マップソースで既に使用されているテーブル (cmn_location など) も参照してはなりません。

   c. [送信] を選択します。

   これで、新しいマップソース階層の親マップソースが作成されました。階層にさらにレベルを追加できます。
4. テーブルのマップ ソース階層が存在する場合は、作成するマップ ソースの 1 つ上のレベルにあるマップ ソースを開きます。

   注:
   最上位の親の下にマップ ソースのレベルを 4 つまで設定できます。

5. [マップソース] 関連リストで、[新規] を選択します。
   新しいマップソース [viz_map_source] レコードが開き、[テーブル] フィールドと [親] フィールドが読み取り専用になります。
6. 次の情報を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ ソースのフィールド

フィールド	説明
名前	マップ ソースの名前を入力します。マップ ソース レベルの名前にはレベルを含めます。通常、同じ階層内のすべてのマップ ソースに同じルート名を付けます。ロケーションマッピング (レベル 2) とロケーションマッピング (レベル 3) のように、レベルによってのみ区別してください。
テーブル (読み取り専用)	同じテーブルがマップ ソース階層全体で使用され、最上位のマップ ソースで指定されます。
フィールド	表示しているマップよりも詳細度が 1 レベル高い位置データのフィールドを選択します。 たとえば、世界地図に表示されるレベル 1 のマップ ソースのデータを構成する場合は、各国のデータを世界地図上に表示するため、[場所：国] を選択します。同様に、都道府県の地図に表示するデータを構成する場合は、[場所：都道府県] を選択します。 **注:** 市区町村は、マップ レポートにドリル ダウンするときに表示できる最も詳細な場所レベルです。たとえば、都市内のさまざまな場所のレポートを作成して、最下位のマップ ソース フィールドの定義に location.name を含めた場合、マップ レポートには複数の場所が対応する市ラベルとして表示されます。その結果、同じ location.city の値を持つ複数の場所のレポートを作成すると、ラベルが同じで集計値が異なる複数のマップ ドットが表示され、異なる場所にドリル ダウンされます。
レベル	このマップ ソースの階層レベルを選択します。親マップ ソースのレベルより 1 つ低いレベルを選択する必要があります。最大 4 つのレベルを持たせることができます。マップ ソース レベルはそれぞれ、マップ階層のドリル レベルに対応し、それらのレベルはほとんど一致しています。同じレベルのマップ ソースは、階層内に同時に 1 つだけ存在できます。
アクティブ	マップ レポートの作成時にこのマップ ソースを使用できないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。

7. [データ変換] セクションで、次の情報を指定します。

フィールド	**Description** (説明)
データの使用方法	このマップ ソースでのデータの使用方法を選択します。 ○ テーブルのデータを使用: Now Platform® 内のデータを変換せずに使用します。データがマッピング先の JSON キー値と既に一致する場合は、このオプションを選択します。 ○ マッピングの使用:最も一般的なユースケースです。マッピング先の JSON キー値と一致するようにデータを変換します。hc キーの geoJSON キーを使用する地図のマップ ソースの場合は、常にこのオプションを選択します。 地域と都道府県は最下位レベルのマッピングであるため、このオプションは都道府県レベルより下位のデータには使用できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	**Description** (説明)
	○ 緯度と経度を使用: レベル 3 などの下位のマップ レベルでは、このオプションを常に選択します。データに緯度と経度の値があることを確認します。 ⚠ 警告: [経度と緯度を使用] オプションはドリルダウンを無効にするため、このオプションは階層の最下位レベルにあるマップ ソース レベルでのみ選択します。
次のマッピングを使用	[マッピングを使用] を選択した場合は 、使用するマッピング グループを選択します。マッピング グループは、データを変換するキーと値のペアのマッピングの集まりです。マッピング グループ内のマッピングを確認するには、[場所マッピング] の [sys_report_map_source_mapping] テーブルに移動します。 たとえば、フィールド値 **USA** を hc キー値 **us** に変換する場合は、関連するキーと値のペアのマッピングを含む [国のマッピング] を選択します。

8. **[JSON** キー] セクションで、マップ ソース データをマップに結び付ける JSON キーを選択します。
   地図では通常、hc キーを使用します。

   すべてのジオマップには JSON 定義があります。データのマップ先となる JSON のキーと値のペアを 1 つ選択します。マップに表示するデータは、JSON キー値と一致する必要があります。したがって、選択するキーによって、[データの使い方] セクションの設定でデータを変換する必要があるかどうかが決まります。すべてのデフォルトのプラットフォームマップとマップングは、geoJSON hc キーと ISO 3166 標準値を使用します。カスタム マップでは、別の JSON キーを入力できます。

9. [更新] を選択します。

可視化デザイナーでのヒートマップ可視化の作成

ヒートマップによるチャート化を使用して、2 つのテーブルフィールドまたはインジケーターブレークダウン間の関係を示します。軸に沿って移動するにつれて色が変化することで、一方または両方のフィールド/ブレークダウンの値のパターンが明らかになります。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのヒートマップ ビジュアリゼーションの使用方法の詳細については、「 the 開発者サイト .

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. ヒートマップ () の視覚化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを切り捨てる場所を省略記号で指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

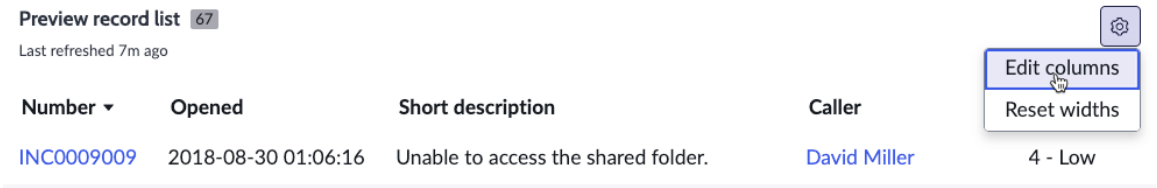
   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションの列として表示するフィールドと列の幅を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。詳細については「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。

> **注:**
> JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - ビジュアリゼーションがテーブルデータを表す場合は、 ヒートマップ可視化のためのテーブルデータオプションに移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[ヒートマップ可視化のためのインジケーターデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	**Description** (説明)
表示設定	
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対する割合が含まれます。
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400%ズームで自動的にアクティブになります。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
色	
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。以下から選択可能です。 ○ `デフォルト`:UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの色。具体的な色は、UX テーマ [sys_ux_theme]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
	テーブルのどのテーマバリアントがインスタンスに適用されるかによって異なります。 ○ 色の範囲:最小値の色と最大値の色の間の色のスペクトル

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[グラフのやり取りを許可] がオンの場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化におけるチャートインタラクション」を参照してください。 ○ [データビューに移動] は、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 レコードビューを開きます。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ [**URL** に移動] をクリックすると、指定した URL が開きます。この URL はインスタンス上または外部にあります。ツールヒントのあるビジュアリゼーションでは、ツールヒントに表示されるページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータによってフィルタリングされた別のデータの可視化を開きます。親の可視化のメトリクスごとにドリルダウンによる可視化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの最後のレベルのドリルダウンは、常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 [チャートへのドリルダウン] では 、テーブルデータソースのみがサポートされています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [保存] を選択します。
移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックして [Data Visualization (データの可視化)] リストに戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

ヒートマップ可視化のためのテーブルデータオプション

ヒートマップ可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	可視化デザイナーでのヒートマップ可視化の作成 でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプに一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
ツールヒントに元の数値を表示	書式設定されていない数値をポイントで表示するツールヒントを含めるオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] と [略語を有効化] が true の場合にのみ使用できます。
列と行のグループ化	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に、そのうちの 1 つでグループ化するオプションがあります。 **注:** [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプによってデータをグループ化またはスタックすることはできません。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。
その他の表示	可視化に他のフィールドを表示するオプション。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
ソート	
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ソート順	昇順または降順
追加の設定	
ゼロを表示	利用可能なデータがないときに 0 を表示する場合に選択します。デフォルトは true です。データソースをインジケーターに変更してからテーブルに戻すと、値は false に変更されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ヒートマップ可視化のためのインジケーターデータオプション

ヒートマップ可視化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションが使用可能になります。

フィールド	説明
データ	
データソース	可視化デザイナーでのピボットテーブルの可視化の作成 でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の集計や月別平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: AVG または SUM の計算は、インジケーターの [時系列を結果に適用] 設定によって異なります。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。
グループの最大数	列に表示するブレークダウン要素の最大数。このプロパティは行には適用されません。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
ソート	
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。
ソート順	昇順または降順
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で設定することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
ゼロを表示	利用可能なデータがないときに 0 を表示する場合に選択します。デフォルトは true です。データソースをインジケーターに変更してからテーブルに戻すと、値は false に変更されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ヒートマップの可視化の例

ヒートマップデータの可視化では、2 つのテーブルフィールドまたはインジケーターブレークダウン間の関係が、2 つの色の間の網掛けのスペクトルとして表示されます。軸に沿って移動する色が変化し、一方または両方のフィールドまたはブレークダウンの値のパターンを示します。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

各軸でセルの色がどのように変化するかを観察することで、一方または両方の変数の値にパターンがあるかどうかを観察できます。

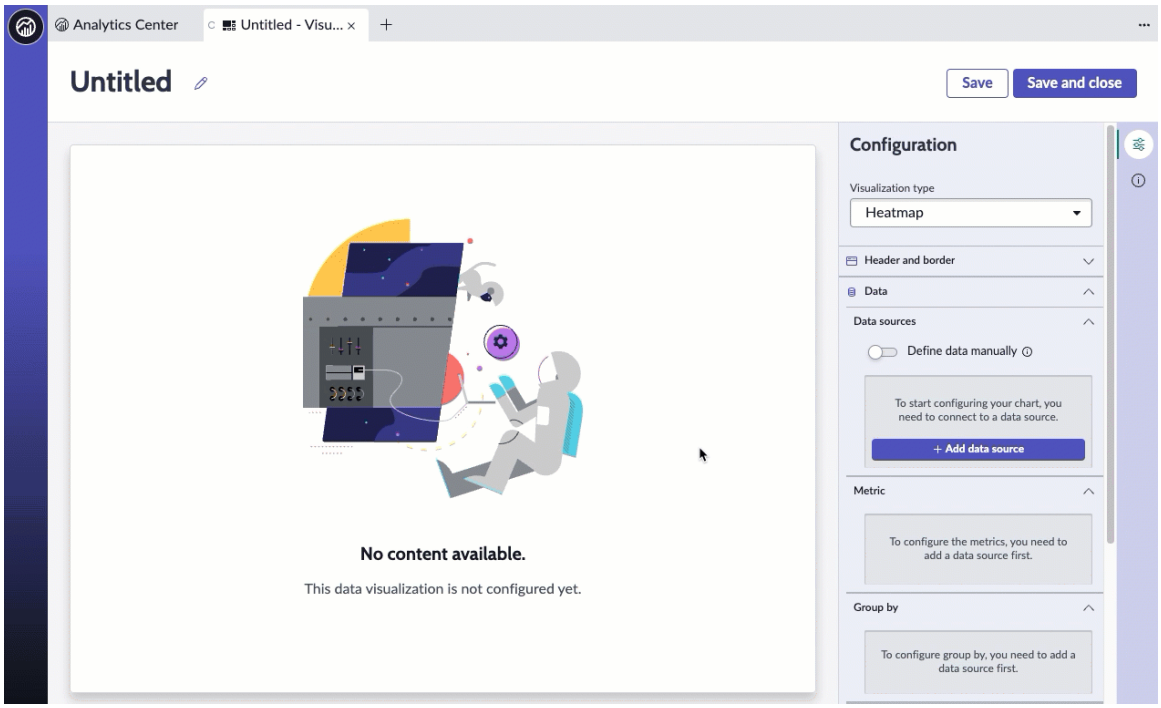
手順

1. 最初の手順に従って 可視化デザイナーでの目盛りによる可視化の作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. ヒートマップ ( ) の視覚化タイプを選択します。
2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化には完了したインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Closed 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化には非アクティブなインシデントのみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. **[Add this source** (このソースを追加)] を選択します。

選択したデータの現在の値を使用したヒートマップデータの可視化が可視化デザイナーに表示されます。指定した情報は、可視化がクローズしたインシデントを表すということだけなので、オープンインシデントを示すブロックは 1 つだけ表示されます。次の手順で列と行を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化が確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、グラフのタイトル「 Open incidents - Priority and Assignment Group」を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、可視化デザイナーおよびリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明として「 Open incidents of all assignment groups grouped by priority and assignment group」と入力します。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [保存] を選択し、レポートのタイトルを「ヒートマップ - オープンインシデント - 優先度とアサイン先グループ」にします。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ化] で、1 つの列と複数の行を追加して、複数の視点からデータを表示します。

a. [優先度] 列を追加して、最上位の情報を表示します。

b. [**Assignment group**] 行を追加します。

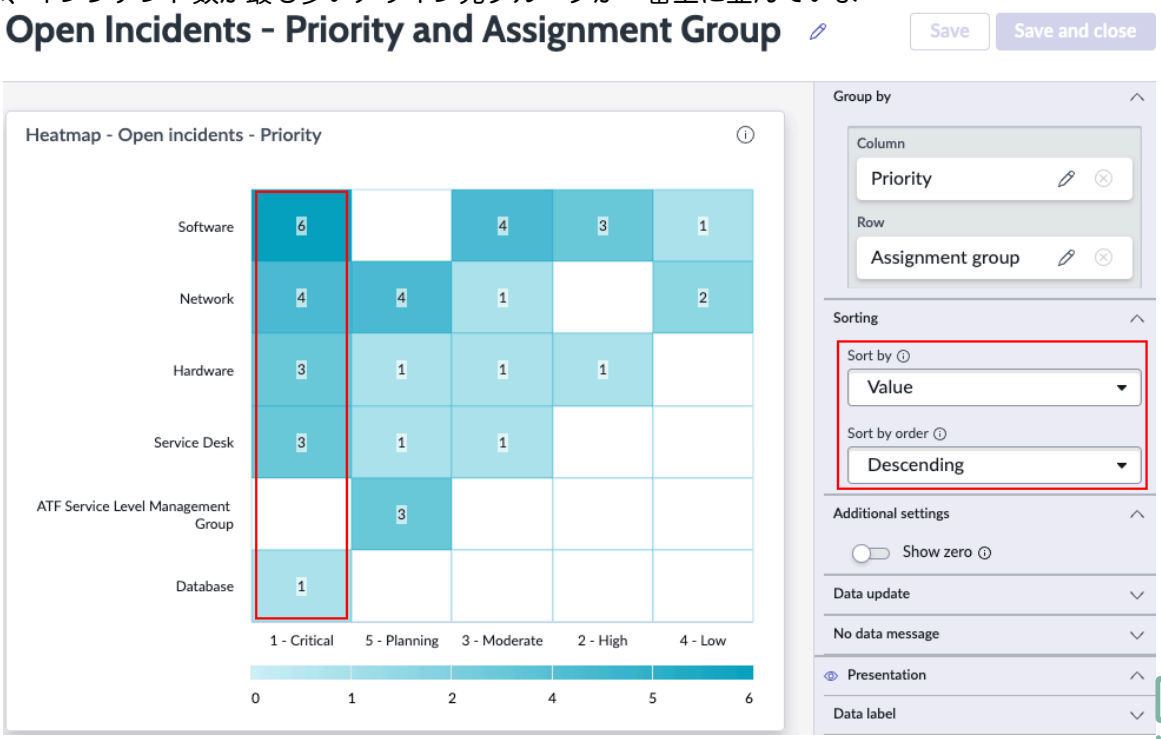
6. [並べ替え] で、並べ替えの基準となるフィールドと並べ替えの順序を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

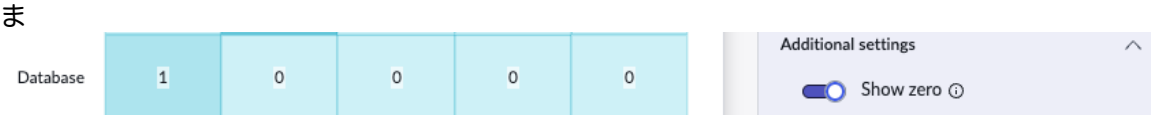
a. 値でソートする場合に選択します。

b. 並べ替え順序として [降順] を選択します。
列は、インシデント数が最も多いアサイン先グループが一番上に並んでいま



す。

7. [追加設定] で [ゼロを表示] を選択します。
ゼロを表示すると、空のままになるセルはありません。オープンインシデントのないセルも色分けされま



す。

8. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はグラフ内のデータ ポイントを選択して関連情報に移動できます。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートの相互作用を許可] を反映しています。[チャートの相互作用] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. ヒートマップ内のセルが示す内容を表示する方法を選択します。
   - [データ ラベルを表示] は、値がヒートマップのセルに表示されるかどうかを制御します。このオプションはデフォルトで有効になっています。無効にすると、色だけがセルの相対値を示します。
   - [凡例を表示] は、ビジュアリゼーションの各セルとそれに関連する値の色分けの例です。凡例を表示するかどうか、および凡例を配置する場所を選択できます。

   a. [凡例を表示] を選択して、凡例オプションを有効にします。

   b. ビジュアリゼーションの上に凡例を配置する場所を試してみてください。
   凡例は、可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

10. 色の設定で遊んでください。
    デフォルトの色タイプには青の階調があります。また、上限値と下限値の色を指定して、カスタムの色範囲を選択することもできます。

タスクの結果
2 つの値でソートされたヒートマップ可視化を作成し、その値、ラベル、およびデータ更新を構成しました。また、ビジュアリゼーションの色も構成しました。

Visualization Designer (可視化デザイナー) での棒グラフによる可視化の作成

棒グラフによるチャート化を使用して、その情報が表す値に比例するセグメント内の情報を表示します。縦棒グラフと水平棒グラフの可視化では、名義データまたは順序データを表す数値を比較します。

始める前に
必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このビジュアリゼーション タイプの詳細については、ServiceNow 開発者サイトの「棒グラフのビジュアリゼーションの概要」を参照してください。

このタスクについて
一般に、水平バーを使用して、各アサイン先グループのユーザー数などの名目データをグラフ化します。垂直棒グラフを使用して、さまざまな経過時間バケット内のオープンインシデントの数など、序数データをグラフ化します。ダッシュボードでの棒グラフによるチャート化の使用については、「the 開発者サイト.

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. 水平棒グラフ ( ) または垂直棒グラフ ( ) の視覚化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

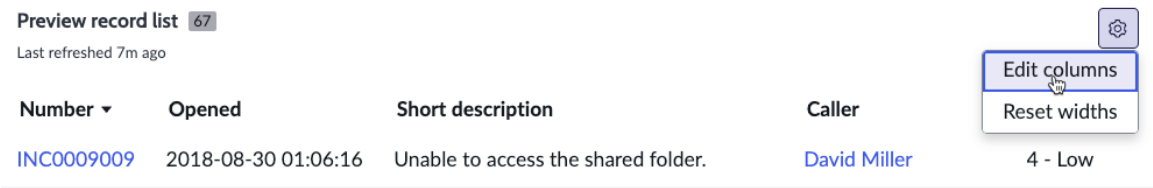
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを切り捨てる場所を省略記号で指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションの列として表示するフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウン ソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、[カウント]、[最小化]、または [最大化] の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「可視化用のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

> **注:**
> JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - ビジュアリゼーションがテーブルデータを表す場合は、 棒グラフによる可視化のためのテーブルデータオプションに移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[棒グラフによる可視化のインジケーターデータオプション] に移動します。
   - ビジュアリゼーションが ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 棒グラフによる可視化のデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

> **注:**
> 水平棒グラフによるチャート化では、X 軸がプライマリです。垂直棒グラフによるチャート化の場合、Y 軸はプライマリです。

フィールド	**Description** (説明)
表示設定	
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールチップにはカーソルを合わせているデータポイントのみが表示されます。オフにすると、ツールチップにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ(ズームが 400% の場合、自動的にオンになる)を除きます。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対する割合が含まれます。
X 軸と Y 軸 (一部のオプションは、第 1 軸または第 2 軸でのみ使用できます。水平棒グラフによるチャート化では、X 軸がプライマリです。垂直棒グラフによる可視化では、Y 軸がプライマリです。 **注:** ServiceNow Store から最新のデータ可視化アプリケーションがインストールされている場合は、棒グラフの可視化で X 軸と Y 軸の両方を非表示にするオプションがあります。	
軸を非表示	第 1 軸を非表示にするオプション。
軸タイトル	X 軸または Y 軸に表示するタイトル。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	**Description** (説明)
軸範囲 - 開始	第 1 軸の値の開始点。
軸範囲 - 終了	第 1 軸の値のエンドポイント。
軸位置	第 1 軸の位置。次のオプションがあります。 ○ Left (左) ○ Right (右) このプロパティは、[軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。縦棒グラフの可視化に複数の Y 軸がある場合など、主軸が複数ある場合は、各軸の位置を個別に設定できます。
グリッドを表示	第 1 軸に垂直な細い線のグリッドを表示し、その軸に対して値を揃えやすくします。
軸スタイル	第 1 軸のスタイル。 ○ クリーン `クリーン`: 主軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし `noTicks`:主軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ [標準] `のデフォルト`:主軸に線と目盛りを追加します。
ラベルを折り返す	長いラベルを 2 番目の軸で折り返します。
最大ラベルサイズ (px)。	第 2 軸のラベルが折り返されるか切り捨てられる位置の長さ (ピクセル単位)。
切り捨てタイプ	第 2 軸の長いラベルを切り捨てる場所を決定します。次のオプションがあります。 ○ 開始 `開始` ○ 中央 `中央` ○ 終了 `終了`
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400%ズームで自動的にアクティブになります。
凡例値を表示	カーソルを合わせたチャートの領域に対応する値を表示するオプション。値はツールヒントとしてチャートの凡例に表示されます。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中心、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
凡例を垂直に展開	オンにすると、凡例の内容は、最大 2 行ではなく、スクロールしなくても凡例に収まるように必要なスペースを占めます。
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
色	
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ カラーパレット：チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブル内の事前定義されたシステムパレットから選択するカラーパレットのリスト。グループ化されたデータまたは積み重ねデータの場合、色は最大値から最小値の順に適用されます。複数のデータソースの場合、パレットの色はデータソースの順番で適用されます。たとえば、パレットの最初の色は最初のデータソースに適用され、2 番目のパレットの色は 2 番目のソースに適用されます。同じカラーパレットを使用するすべての可視化は、表示するデータに関係なく、同じ色で表示されます。 ○ 単色/メトリックごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、一連のアイコンまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 ビジュアリゼーションに複数のメトリクスがある場合は、代わりに [メトリクスごとの色] オプションが表示されます。このオプションでは、メトリクスごとに 1 つの色を選択できます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データの可視化のためのカラーリングルールの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
	○ 固定要素の色：各要素のチャートの色テーブル [sys_report_chart_color] から特定の色を使用します。固定要素の色を使用するすべてのデータの可視化では、グローバルスコープの重要インシデントなどの同じ要素が同じ色で表示されます。 このオプションは、テーブルデータソースでのみ使用でき、複数のデータソースまたは測定基準が追加されておらず、[グループ] が定義されている場合にのみ使用できます。

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[グラフのやり取りを許可] がオンの場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化におけるチャートインタラクション」を参照してください。 ○ [データビューに移動] は、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 レコードビューを開きます。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ [**URL** に移動] をクリックすると、指定した URL が開きます。この URL はインスタンス上または外部にあります。ツールヒントのあるビジュアリゼーションでは、ツールヒントに表示されるページ名を指定するオプションがあります。 ○ [フィルターとして適用] は、ダッシュボード上のすべてのデータの可視化を、選択したセグメントの値 (該当する場合) でフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [フィルターとして適用] は、テーブルおよびインジケーターのデータソースでのみ使用できます。[グループ] フィールドが期間フィールドの場合は機能しません。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータによってフィルタリングされた別のデータの可視化を開きます。親の可視化のメトリクスごとにドリルダウンによる可視化を追加できます。 注: プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの最後のレベルのドリルダウンは、常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 [チャートへのドリルダウン] では 、テーブルデータソースのみがサポートされています。

9. [保存] を選択します。
移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックして [Data Visualization (データの可視化)] リストに戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

棒グラフによる可視化のためのテーブルデータオプション

横棒グラフまたは縦棒グラフによるチャート化のテーブル データ ソースを選択すると、次の [データ構成] オプションを使用できます。

注:
パレート図では、データソースと 1 つのメトリクスプロパティカメラのみを常に定義できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	Visualization Designer (可視化デザイナー) での棒グラフによる可視化の作成 でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
複数のメトリクスを設定できます。最新バージョンの Data Visualizations アプリケーションを ServiceNow Store から入手した場合は、特定の測定基準にのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスのグラフオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプに一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に、そのうちの 1 つでグループ化するオプションがあります。パレート図で定義できる グループは 1 つだけです。[代替グループ化] は、パレート図によるチャート化に対して定義できます。 複数のデータ ソースを持つ垂直棒グラフ、水平棒グラフ、およびピボット レポートの場合: 最初のソースを選択フィールドでグループ化する場合、2 番目のソースを該当する任意の選択フィールドでグループ化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプによってデータをグループ化またはスタックすることはできません。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。
その他の表示	可視化に他のフィールドを表示するオプション。
値が 0 の要素を非表示	値が 0 の要素を非表示にするオプション。
グループ	最初のグループ化によって、ビジュアリゼーションの棒が決まります。積み重ねの基準となる 2 番目の値を選択します。たとえば、最初に [優先度] を選択して各優先度のタスク数を表示し、次に [アクティブ] を選択して各優先度のアクティブなタスクと非アクティブなタスクを積み重ねます。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
ソート	
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。
ソート順	昇順または降順 制限事項：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• [グループ] または [積み重ね 基準] フィールドでのみ並べ替えることができます。 • 並べ替えることができるのは 1 つのフィールドのみです。[他のグループ化] フィールドでソートすることはできません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフィルターに従う	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスはフィルターに従います。 ServiceNow Store の最新のデータ可視化アプリケーションが必要です。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

棒グラフによる可視化のインジケーターデータオプション

水平棒グラフまたは垂直棒グラフによるチャート化のインジケーター データ ソースを選択すると、次の [データ構成] オプションを使用できます。

注:
パレート図では、データソースと 1 つのメトリクスプロパティカメラのみを常に定義できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データ	
データソース	Visualization Designer (可視化デザイナー) での棒グラフによる可視化の作成 でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスを設定できます。最新バージョンの Data Visualizations アプリケーションを ServiceNow Store から入手した場合は、特定の測定基準にのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスのグラフオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の集計や月別平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。 **注:** AVG または SUM の計算は、インジケーターの [時系列を結果に適用] 設定によって異なります。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボード フィルターではサポートされていません。 • 合計でサポートされるブレークダウンのレベルは、データの可視化とダッシュボードフィルターを含めて 2 つのみです。
Group By (グループ)	最初のグループ化によって、ビジュアリゼーションの棒が決まります。データ内の追加アイテムに基づいてプレゼンテーションを有効にするには、追加のグループ要素を構成します。 注: インジケーターデータに基づくデータ可視化でバーを積み重ねることはできません。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
ソート	
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。
ソート順	昇順または降順 制限事項： • [グループ] または [積み重ね 基準] フィールドでのみ並べ替えることができます。 • 並べ替えることができるのは 1 つのフィールドのみです。[他のグループ化] フィールドでソートすることはできません。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で設定することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフィルターに従う	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスはフィルターに従います。 ServiceNow Store の最新のデータ可視化アプリケーションが必要です。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 棒グラフによる可視化のデータオプション

水平棒グラフまたは垂直棒グラフによるチャート化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データ ソースを選択する場合、次の [データ構成] オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	Visualization Designer (可視化デザイナー) での棒グラフによる可視化の作成 でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスを設定できます。最新バージョンの Data Visualizations アプリケーションを ServiceNow Store から入手した場合は、特定の測定基準にのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスのグラフオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
イベントプロパティ	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース内のイベントのプロパティ。 **注:** イベントメトリクスにのみ適用され、イベントメトリクスの場合は必須です。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
ソート	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。
ソート順	昇順または降順 制限事項： • [グループ] または [積み重ね 基準] フィールドでのみ並べ替えることができます。 • 並べ替えることができるのは 1 つのフィールドのみです。[他のグループ化] フィールドでソートすることはできません。
日付範囲	
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフィルターに従う	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスはフィルターに従います。 ServiceNow Store の最新のデータ可視化アプリケーションが必要です。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

棒グラフの可視化の例

棒グラフによるチャート化では、さまざまなカテゴリまたはグループの比較サイズや頻度 (たとえば、異なる地域や異なる期間での売上など) を示すことができます。

水平バーのユースケース

水平バーを使用して、部門、機関、地域などの名前付き値別にデータを表示します。

垂直バーのユースケース

垂直バーを使用して、年齢、金額の範囲、期間などの番号付きの値を表示します。

水平棒グラフによるチャート化の例

水平棒グラフによるチャート化では、インシデントの優先度や営業グループなど、さまざまなカテゴリやグループのサイズや頻度の比較を表示できます。アサイン先グループなどの棒グラフによるチャート化に [グループ] または [積み重ね基準] を追加することもできます。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

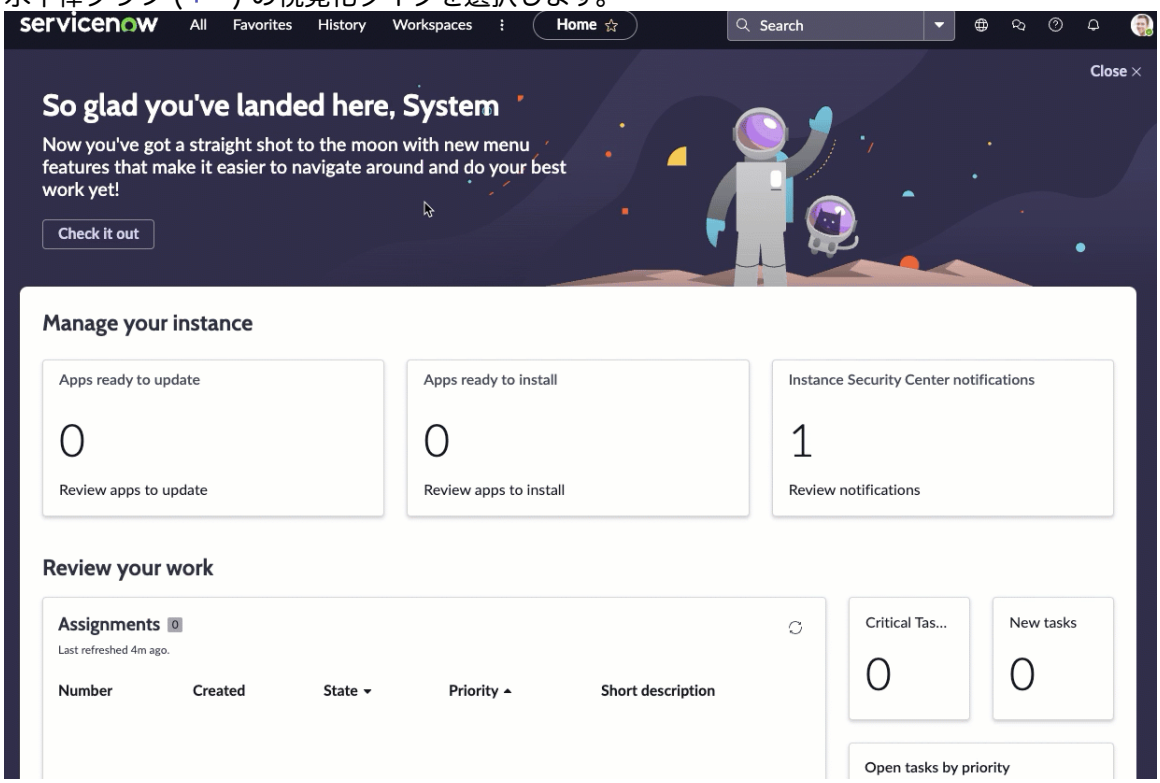
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
水平棒グラフによるチャート化タイプを使用すると、さまざまなカテゴリやグループを比較し、データ セットの分布を明確に示すことができます。この例では、優先度別にインシデントを表示し、アサイン先グループ別に積み重ねます。

手順

1. 最初の手順に従って Visualization Designer (可視化デザイナー) での棒グラフによる可視化の作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. 水平棒グラフ ( ) の視覚化タイプを選択します。

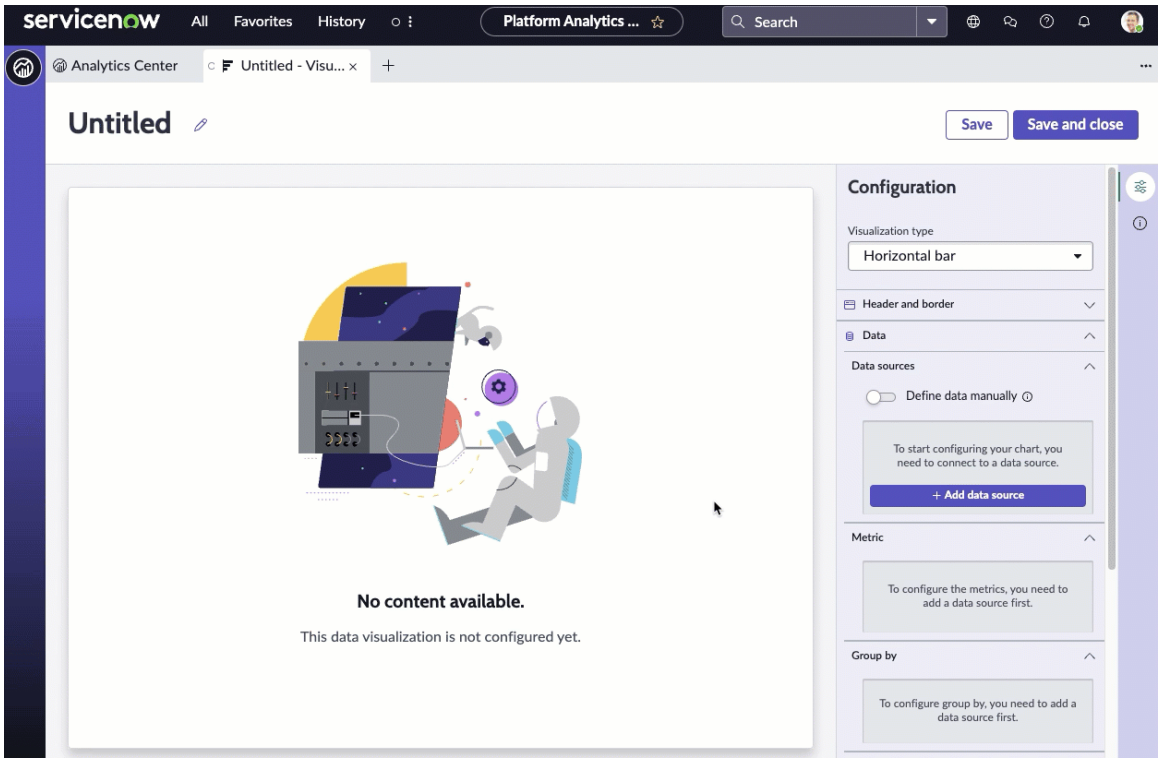


2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. [このソースを追加] を選択します。

   選択したデータの現在の値を含む水平棒グラフデータの可視化が可視化デザイナーに表示されます。指定した情報は可視化がアクティブなインシデントを表すことだけなので、ブロックは 1 つしか表示されません。優先度とアサイン先グループはステップ 4 で追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化が確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、グラフのタイトル「 Number of open incidents - Priority and Assignment group」を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、可視化デザイナーおよびリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: アサイン先グループによってグループ化されたすべての優先度のオープンインシデントの数。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [保存] を選択し、レポートのタイトルに「水平バー - オープン インシデント」と入力します。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. グラフ内の情報を区別するために [グループ] を追加します。
[グループ化] で [アクティブ] を選択し、グループ化を [優先度] に変更します。

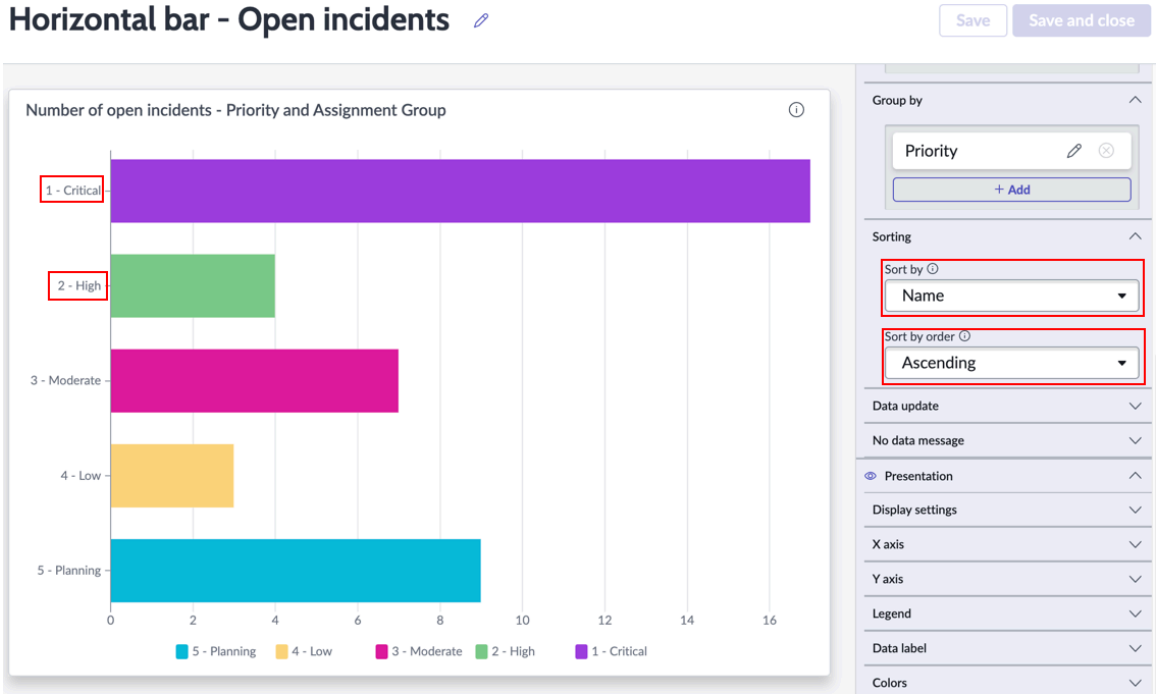
6. [並べ替え] で、並べ替えの基準となるフィールドと並べ替えの順序を選択します。

a. 名前でソートすることを選択します。
優先度名はそれぞれ数字で始まり、バーは 1 - 重大、2 - 高のようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. 並べ替え順序として [昇順] を選択します。
バーは、1 - 重大、2 - 高、3 - 中というように並べられます。



7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はグラフ内のデータ ポイントを選択して関連情報に移動できます。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートの相互作用を許可] を反映しています。[チャートの相互作用] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

8. X 軸を設定します。
軸上のテキスト、値の範囲、軸の位置など、いくつかのオプションを指定できます。軸とその値を非表示にして、バーの比較サイズのみを表示する場合は、[軸を非表示] を選択することもできます。

a. X 軸に「Open Incidents」というタイトルを付けることができますが、この情報は既に可視化のタイトルに含まれているため、空のままにしておきます。

b. 軸範囲の [開始] の値を既定値の 0 のままにします。

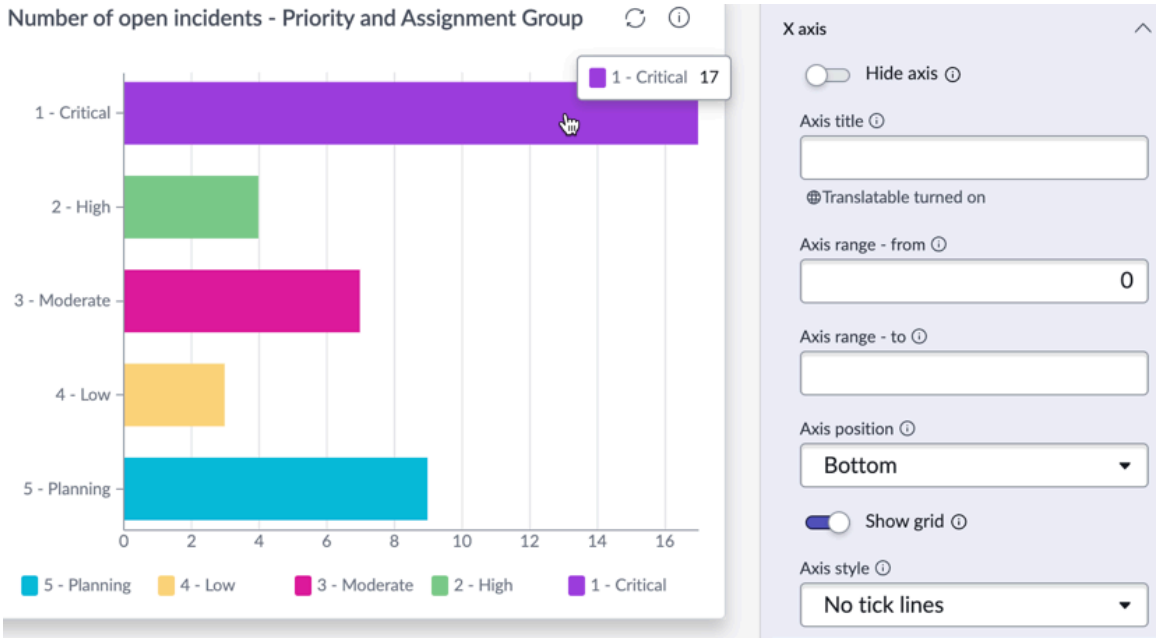
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

大きな値が意味をなす場合もありますが、欠点は、バーの相対的なサイズが不正確になり、誤解を招く可能性があることです。

c. 軸範囲 の終了値は デフォルトの空の値のままにします。
この値が空の場合、範囲内の最高値は、可視化内の最大のバーの最大値と同じになります。この例では、その値は 17 です。

d. [グリッドの表示] オプションと [軸のスタイル] オプションは、好みに合わせて調整できる小さな外観上の変更です。
この例では、表示されているグリッドを拡張するため、 目盛りなし を選択します。



9. Y 軸を設定します。
Y 軸の構成は、縦軸のラベルの表示方法に対応しています。この例では、ラベルが比較的短くなっています。ただし、ラベルの最大サイズがラベルよりも小さい場合は、ラベル テキストを切り捨てるか折り返すかを選択できます。ラベルの先頭または末尾のテキストは切り捨てることができます。

a. Y 軸に 「優先度」というタイトルを付けることもできますが、この情報は既に可視化のタイトルに含まれているため、空のままにしておきます。

b. [ラベルを折り返す] を選択します。
[最大ラベル サイズ] が 0 の場合は、最大のラベルによってサイズが決まるため、ラベルの表示に変化は見られません。

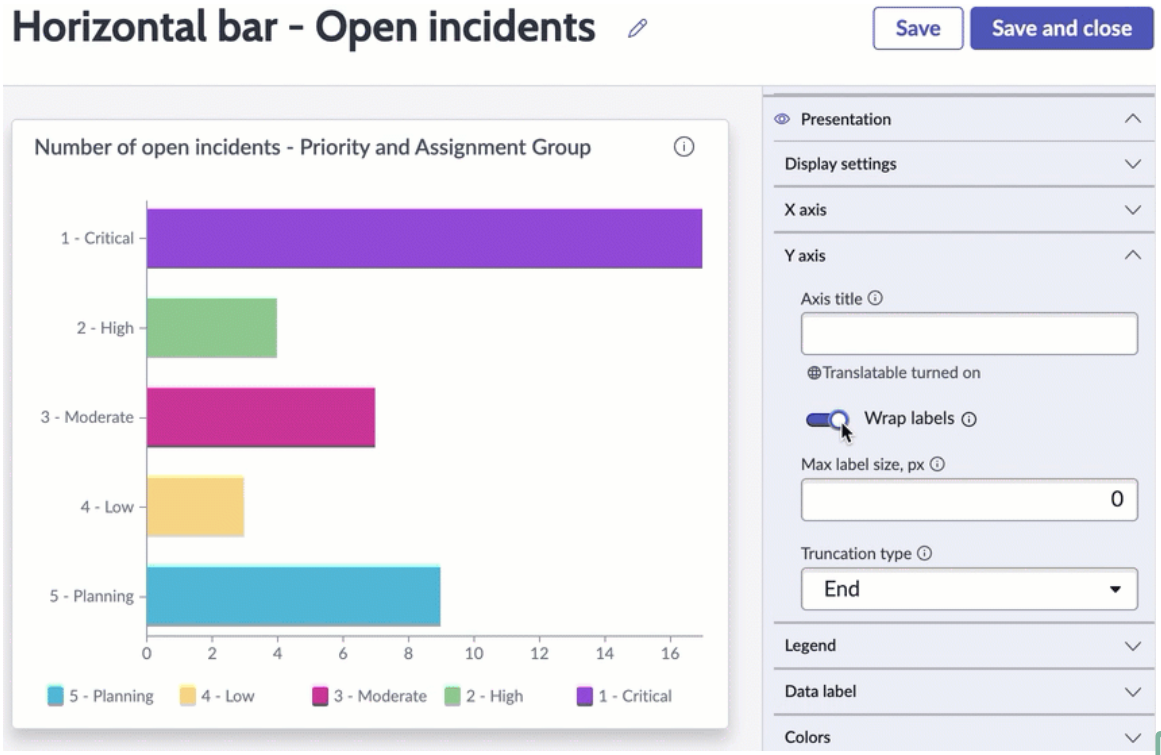
c. [最大ラベル サイズ] を 50 に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。切り捨てタイプは、ラベルが折り返されるため、違いはありません。

d. [ラベルを折り返す] オプションをオフにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[切り捨て] タイプを変更すると、End が長いラベルの端を 3 つのドットに置き換えていることがわかります。[開始] を選択すると、長いラベルの最初の部分が 3 つのドットに置き換えられます。中央を選択しても同じことが起こります。



10. 可視化の凡例を構成します。
凡例は、Y 軸の各値の色分けの例を示しています。凡例を表示するかどうか、配置場所、および表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースが広い場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースが広い場合は、上または下に配置します。

a. [**Show legend** (凡例を表示)] と [**Show legend value** (凡例値を表示)] を選択します。
[凡例値を表示] は、メトリクスに関連付けられた数値を追加します。この場合、[**1 - Critical incidents (1 -** 重大)] のインシデントに 17 が追加されます。これは、重大インシデントの数と同じ数であるためです。または、[データ ラベルの表示] ([データ ラベル] セクション) を選択して、この値をバー自体に配置することもできます。

b. 凡例を可視化の上に配置します。
凡例は、可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

c. [中央 **]**の[水平方向の配置]を選択します。
[開始] と [終了] は、凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語の場合、開始と終了は右と左です。

d. [凡例アイテムの最大幅] を変更して、これらの値に多かれ少なかれ余地を与えます。

e. 凡例を垂直方向に展開 すると、凡例に追加の行が表示されるため、ユーザーはデフォルトの 2 行を超えてスクロールする必要はありません。
この例では、5 つのインシデント優先度に対して必要なのは 1 行だけです。15 または 20 の異なる地域またはアサイン先グループのバーがある可視化では、スクロールバーなしで凡例でさらに多くの情報を表示したい場合があります。

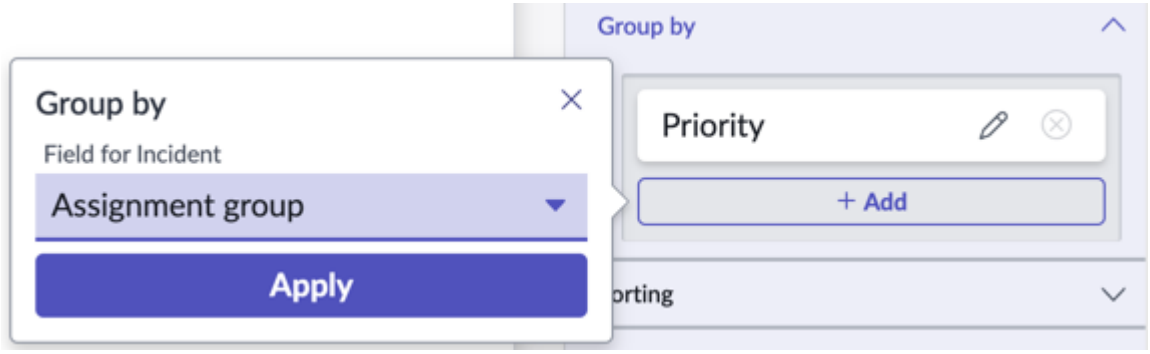
11. さらに [グループ] を追加して、可視化により多くの情報を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

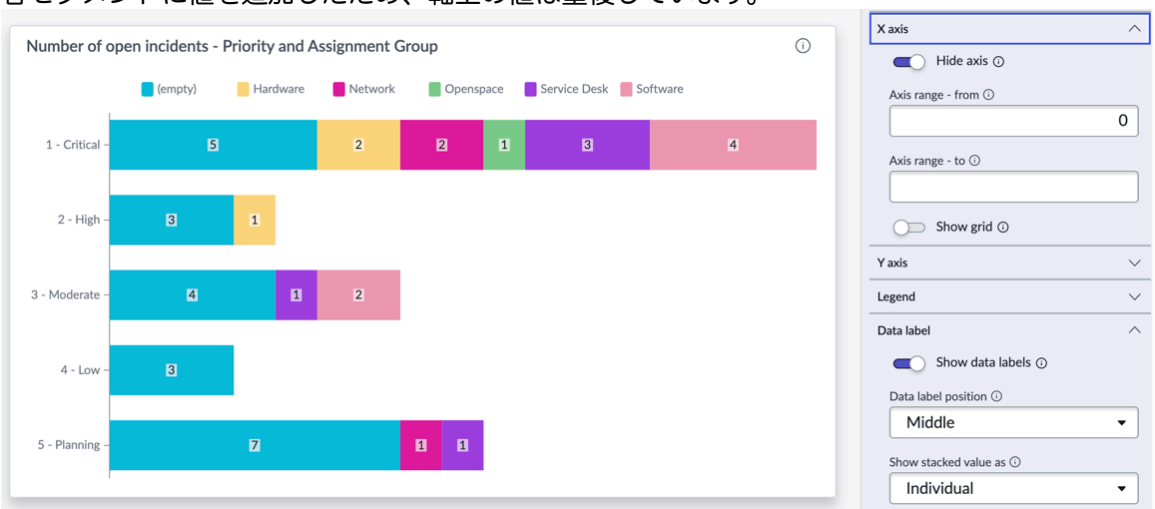
この可視化に「 Number of open incidents - Priority and Assignment Group (オープンインシデントの数 - 優先度およびアサイン先グループ)」という名前を付けたことを思い出してください。アサイン先グループを追加します。

a. [グループ化] で、 [+ 追加] を選択し、 [アサイン先グループ] を選択し、 [適用] を選択します。



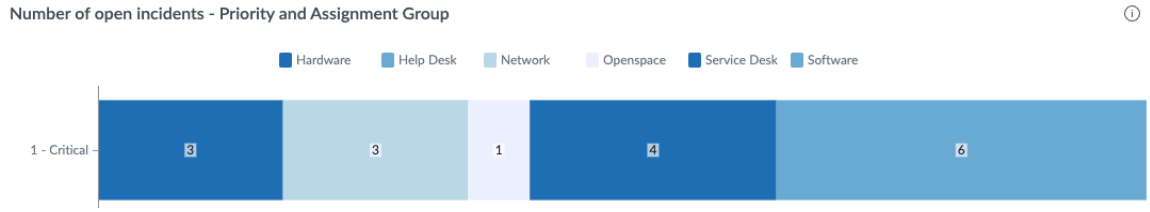
b. 中央にデータラベルを表示します。
追加のグループ化基準により、Assignment group on top of Priority という値が積み重なります。データ値は、アサイン先グループごとの個別のインシデント数として表示するか、累積値 (各セグメントが前の値に加算された値) として表示するか、または単に合計を表示するかを選択できます。各セグメントの値を表示するには、[個々] を選択します。

c. X 軸を非表示にします。
各セグメントに値を追加したため、軸上の値は重複しています。



12. ビジュアリゼーションの [デフォルト] の色タイプを選択します。

- [デフォルト] では、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- カラーパレット は、同じ色の色相を使用します (たとえば、青の明から暗)。



- [固定要素] では、ハードウェア インシデントなどの各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
2 つのフィールドでグループ化された水平棒グラフの可視化を作成しました。また、ビジュアライゼーションのラベル付け、凡例、範囲も構成しました。

縦棒グラフによる可視化の例

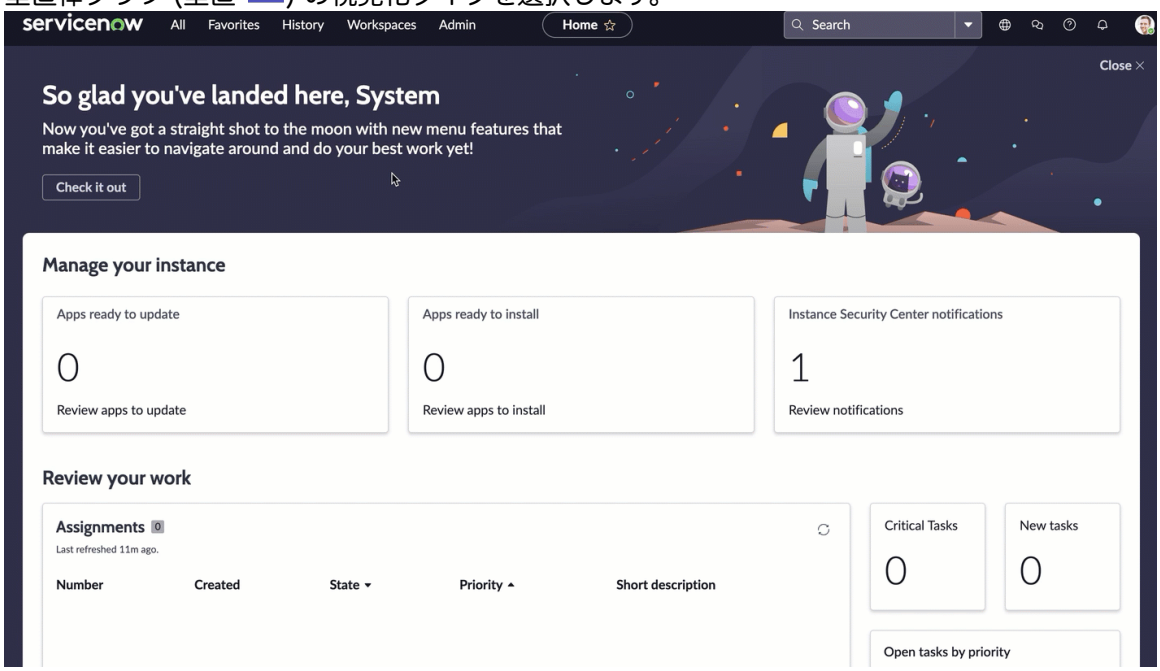
縦棒グラフによるチャート化では、異なる地域や異なる期間の売上など、さまざまなカテゴリまたはグループのサイズや頻度の比較を表示できます。縦棒の X 軸には、通常、年または日付範囲、年齢範囲、給与範囲などの数値が表示されます。

始める前に
必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて
垂直棒グラフによるチャート化タイプを使用すると、さまざまなカテゴリやグループを比較し、データ セットの分布を明確に示すことができます。この例では、機能停止をタイプ別に表示しています。

手順

1. 最初の手順に従って Visualization Designer (可視化デザイナー) での棒グラフによる可視化の作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. 垂直棒グラフ (垂直) の視覚化タイプを選択します。



2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動できます。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. [機能停止 [cmdb_ci_outage] テーブルを選択します。

自動翻訳

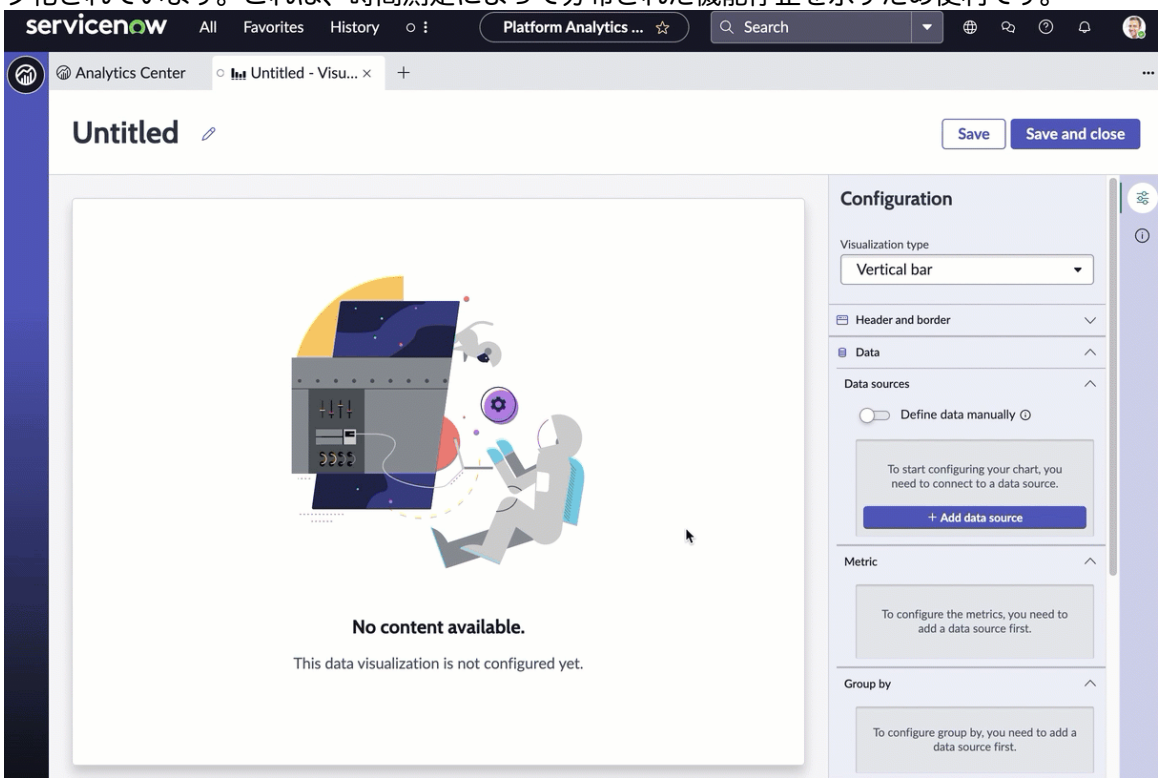
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この表には、さまざまなサービスの停止が一覧表示されています。

c. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

d. **[Add this source** (このソースを追加)] を選択します。

選択したデータの現在の値を含む垂直棒グラフデータの可視化が可視化デザイナーに表示されます。ビジュアリゼーションは、テーブルの最初のフィールド (アルファベット順) [Begin] でグループ化されています。これは、時間測定によって分布された機能停止を示すため便利です。



3. 可視化が確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、グラフのタイトルを [種類別の機能停止] に指定します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、可視化デザイナーおよびリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明として「 CMDB 機能停止が開始日時別にグループ化され、タイプ別に積み重ねられる」と入力します。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

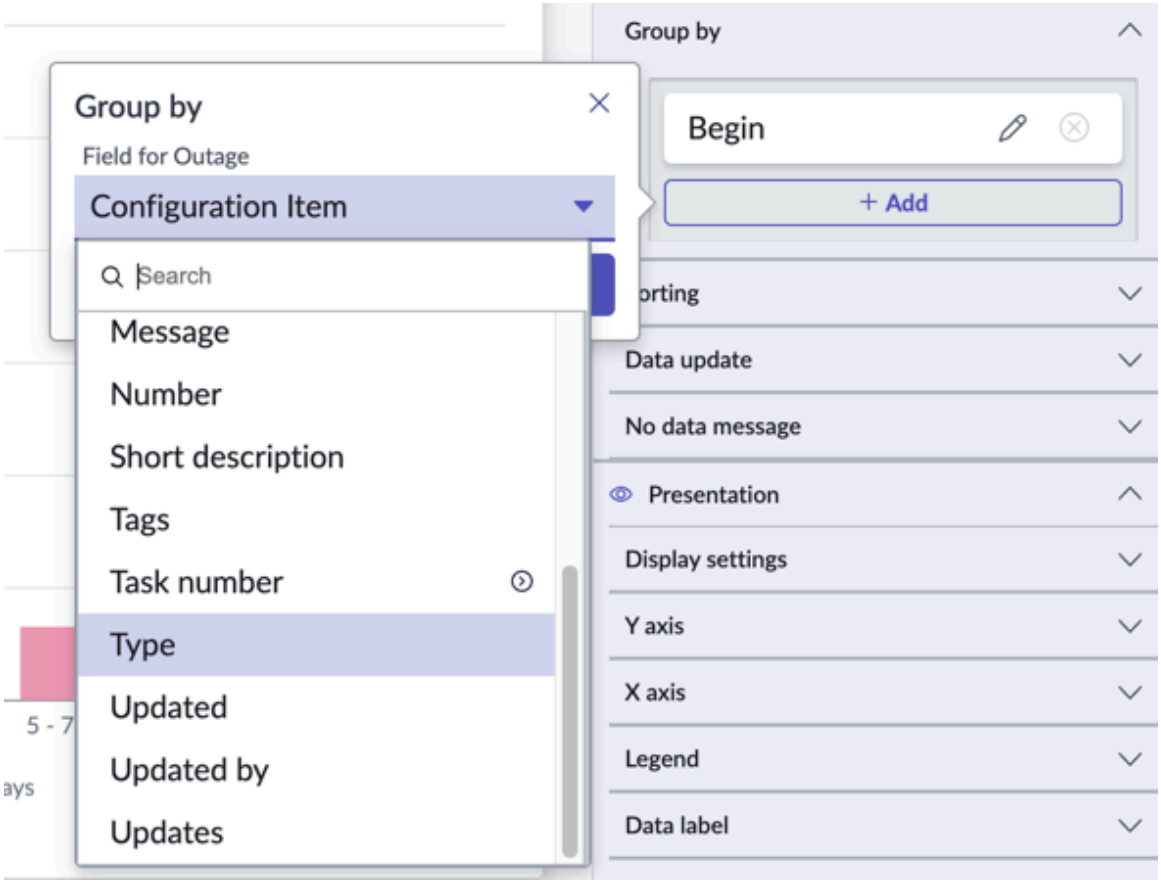
d. [保存] を選択し、レポートのタイトルを「垂直棒グラフ - CMDB 停止」にします。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ化] セクションで、[追加] を選択してグラフ内の情報を区別します。
[タイプ] を選択し、[適用] を選択します。機能停止のタイプを区別するために、列に異なる色が表示されるようになりました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [ソート] で、[値 でソート] と [降順でソート] を維持します。
   これらのオプションは、データを論理的に視覚化する方法の 1 つを示しています。並べ替えオプションを変更して、最適なものを確認します。
7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

   a. [フィルターに従う] を選択します。
   このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

   b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
   たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

   c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はグラフ内のデータ ポイントを選択して関連情報に移動できます。
   一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

   このコントロールは、[チャートの相互作用を許可] を反映しています。[チャートの相互作用] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

8. 次の 3 つの方法のいずれかでデータを表示するグラフのバリエーションを選択します。

   積み重ね

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

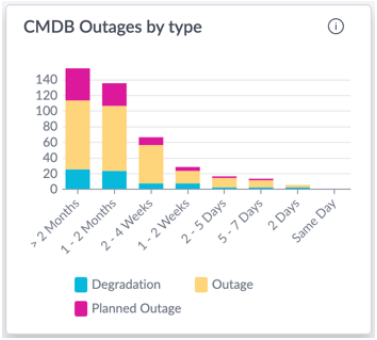
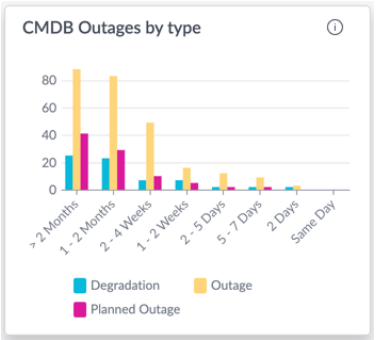
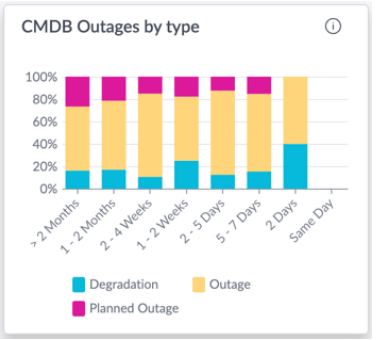
グループ化された要素 (この場合はタイプ) を 1 つのタイプの上に積み重ねて表示します。

並列表示

タイプごとに異なるバーを表示します。

正規化済み

グループごとに同じ高さの棒グラフを積み上げて表示し、色で合計に対する割合を示します。

積み重ね	並列表示	正規化済み
		

9. Y 軸を設定します。
軸上のテキスト、値の範囲、軸の位置など、いくつかのオプションを指定できます。軸とその値を非表示にして、バーの比較サイズのみを表示する場合は、[軸を非表示] を選択することもできます。

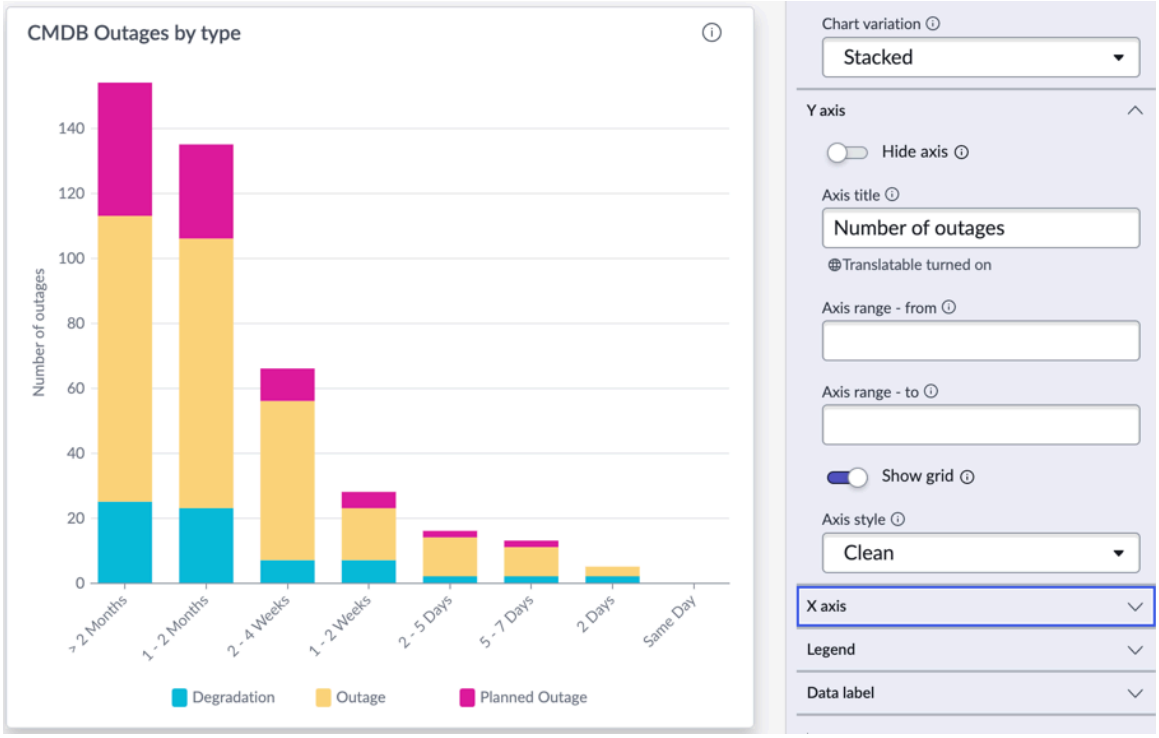
a. Y 軸に 「機能停止の数 (Number of outages)」というタイトルを付けることができますが、この情報は既に可視化のタイトルに含まれているため、空のままにしておきます。

b. バーの下限と上限の範囲を指定できますが、これらの値はどちらも有用であるため、[軸の範囲 **-** 開始] と [軸の範囲 **-**] を空のままにします 。
Fromの値を大きくした方が意味をなす場合もありますが、バーの相対的なサイズが不正確になるという欠点があります。[終了値] が空の場合、範囲内の最高値は、ビジュアリゼーション内の最大のバーの最高値と同じになります。

c. [グリッドの表示] オプションと [軸のスタイル] オプションは、好みに合わせて調整できる小さな外観上の変更です。
この例では、少しすっきりしているので [クリーン] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. [最大ラベル サイズ] を 50 に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。切り捨てタイプは、ラベルが折り返されるため、違いはありません。

10. X 軸を設定します。
軸上のテキスト、値の範囲、軸の位置など、いくつかのオプションを指定できます。

X 軸の構成は、縦軸のラベルの表示方法に対応します。この例では、ラベルが比較的短くなっています。ただし、ラベルの最大サイズがラベルよりも小さい場合は、ラベル テキストを切り捨てるか折り返すかを選択できます。ラベルの先頭または末尾のテキストは切り捨てることができます。

a. X 軸に「 CMDB Outages (CMDB の機能停止)」というタイトルを付けることができますが、この情報は既に可視化のタイトルに含まれているため、空のままにしておきます。

b. [ラベルを折り返す] を選択します。
[最大ラベル サイズ] が 0 の場合は、最大のラベルによってサイズが決まるため、ラベルの表示に変化は見られません。

11. 可視化の凡例を構成します。
凡例は、X 軸の各値の色分けの例を示しています。凡例を表示するかどうか、配置場所、および表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースが広い場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースが広い場合は、上または下に配置します。

a. [**Show legend** (凡例を表示)] と [**Show legend value** (凡例値を表示)] を選択します。
[凡例値を表示] を選択すると、選択したメトリクスに関連付けられた数値が追加されます。または、[データ ラベルの表示] ([データ ラベル] セクション) を選択して、これらの値をバー自体に配置することもできます。

b. 凡例を可視化の上に配置します。
凡例は、可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

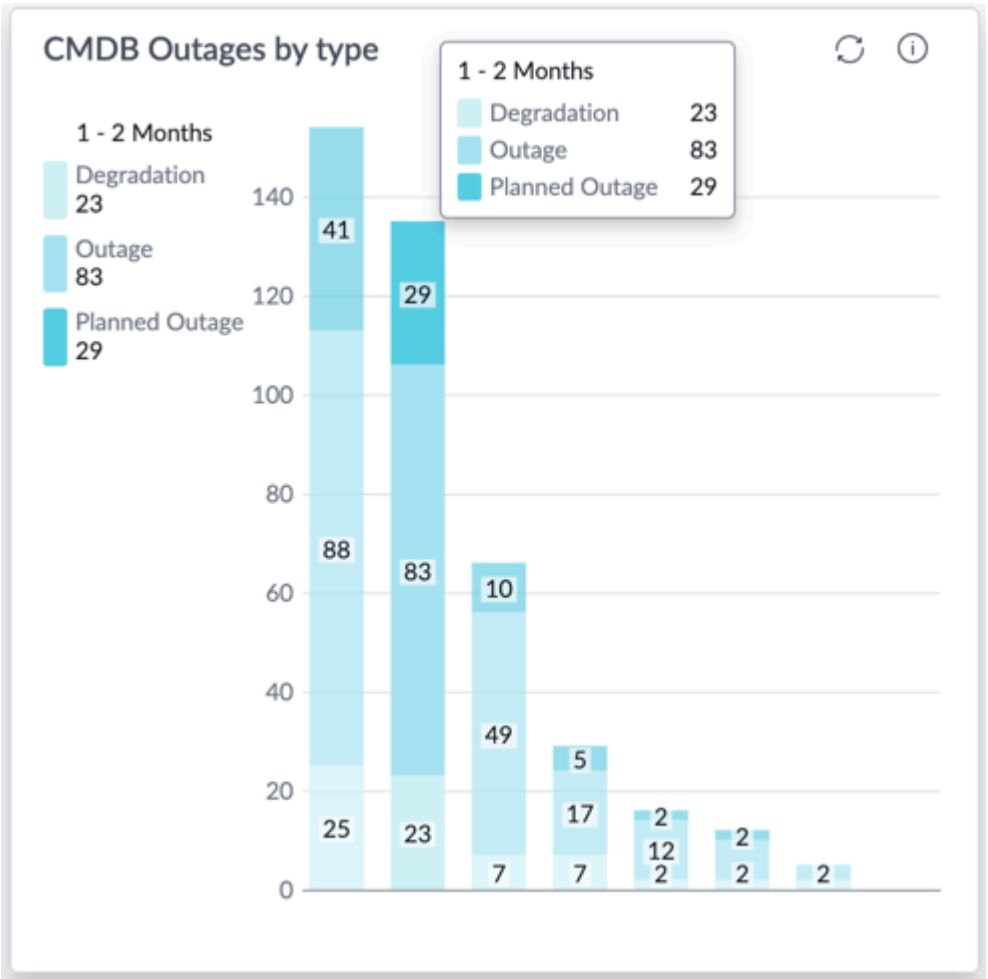
c. [中央]の[水平方向の配置]を選択します。
[開始] と [終了] は、凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語の場合、開始と終了は右と左です。

d. [凡例アイテムの最大幅] を変更して、これらの値に多かれ少なかれ余地を与えます。

e. 凡例を垂直方向に展開 すると、凡例に追加の行が表示されるため、ユーザーはデフォルトの 2 行を超えてスクロールする必要はありません。
この例では、3 つの機能停止タイプに対して必要なのは 1 行だけです。15 または 20 の異なる地域またはアサイン先グループのバーがある可視化では、スクロールバーなしで凡例でさらに多くの情報を表示したい場合があります。

12. ビジュアリゼーションの [デフォルト] の色タイプを選択します。

- [デフォルト] では、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- カラーパレット は、同じ色の色相を使用します (例:順次 - 青、明から暗)。



- [固定要素の色] では、ハードウェアインシデントなどの各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

タスクの結果
2 つのフィールドでグループ化された垂直棒グラフによる可視化が作成されました。また、ビジュアライゼーションのラベル付け、凡例、範囲も構成しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Visualization Designer での円グラフまたはドーナツグラフによる可視化の作成

円グラフ、ドーナツ グラフ、および半ドーナツ グラフによるチャート化を使用して、データ セットの各部分のサイズを全体と比較します。これらのグラフのセグメントの合計は 100% になります。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

この可視化タイプの詳細については、ServiceNow 開発者サイトの「円/ドーナツ可視化の概要」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化の使用については、「」を参照してください。 the 開発者サイト.

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. 円グラフ ( ) 、ドーナツグラフ ( )、または半ドーナツ ( ) の視覚化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを切り捨てる場所を省略記号で指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

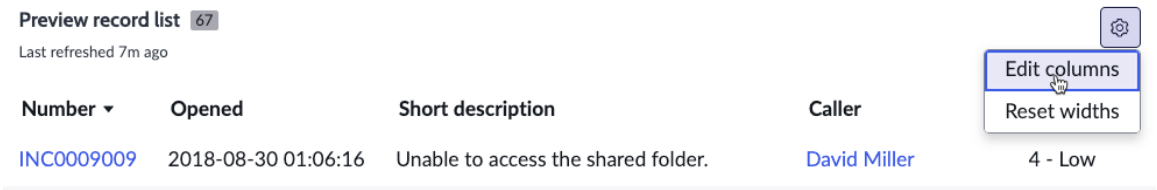
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
	ション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションの列として表示するフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウン ソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、[カウント]、[最小化]、または [最大化] の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「可視化用のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

   注:
   JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - ビジュアリゼーションがテーブルデータを表す場合は、 円グラフとドーナツグラフによるチャート化のテーブルデータオプションに移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[円グラフとドーナツグラフによるチャート化のインジケーターデータオプション] に移動します。
   - ビジュアリゼーションが ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 円グラフとドーナツグラフによるチャート化のデータオプション
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	**Description** (説明)
表示設定	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対する割合が含まれます。
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400%ズームで自動的にアクティブになります。
凡例値を表示	カーソルを合わせたチャートの領域に対応する値を表示するオプション。値はツールヒントとしてチャートの凡例に表示されます。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
凡例の向き	レジスターの表示方法のオプション。 ○ 水平 水平:凡例を水平に表示するオプション。 ○ 垂直:凡例を最大 5 行まで垂直に表示するオプション。 このプロパティは、[凡例の位置] が [下] の場合にのみ適用されます。
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中心、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。
凡例を垂直に展開	オンにすると、凡例の内容は、最大 2 行ではなく、スクロールしなくても凡例に収まるように必要なスペースを占めます。
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
色	
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
	○ カラーパレット：チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブル内の事前定義されたシステムパレットから選択するカラーパレットのリスト。グループ化されたデータまたは積み重ねデータの場合、色は最大値から最小値の順に適用されます。複数のデータソースの場合、パレットの色はデータソースの順番で適用されます。たとえば、パレットの最初の色は最初のデータソースに適用され、2 番目のパレットの色は 2 番目のソースに適用されます。同じカラーパレットを使用するすべての可視化は、表示するデータに関係なく、同じ色で表示されます。 ○ 固定要素の色：各要素のチャートの色テーブル [sys_report_chart_color] から特定の色を使用します。固定要素の色を使用するすべてのデータの可視化では、グローバルスコープの重要インシデントなどの同じ要素が同じ色で表示されます。 このオプションは、テーブルデータソースでのみ使用でき、複数のデータソースまたは測定基準が追加されておらず、[グループ] が定義されている場合にのみ使用できます。

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

チャートのインタラクション

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[グラフのやり取りを許可] がオンの場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化におけるチャートインタラクション」を参照してください。 ○ [データビューに移動] は、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 レコードビューを開きます。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースではサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [**URL** に移動] をクリックすると、指定した URL が開きます。この URL はインスタンス上または外部にあります。ツールヒントのあるビジュアリゼーションでは、ツールヒントに表示されるページ名を指定するオプションがあります。 ○ [フィルターとして適用] は、ダッシュボード上のすべてのデータの可視化を、選択したセグメントの値 (該当する場合) でフィルタリングします。 **注:** [フィルターとして適用] は、テーブルおよびインジケーターのデータソースでのみ使用できます。[グループ] フィールドが期間フィールドの場合は機能しません。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータによってフィルタリングされた別のデータの可視化を開きます。親の可視化のメトリクスごとにドリルダウンによる可視化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの最後のレベルのドリルダウンは、常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 [チャートへのドリルダウン] では 、テーブルデータソースのみがサポートされています。

9. [保存] を選択します。
移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックして [Data Visualization (データの可視化)] リストに戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

円グラフとドーナツグラフによるチャート化のテーブルデータオプション

円グラフまたはドーナツグラフによるチャート化のテーブル データ ソースを選択すると、次の [データ構成] オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データソース	Visualization Designer での円グラフまたはドーナツグラフによる可視化の作成 でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプに一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に、そのうちの 1 つでグループ化するオプションがあります。 注: [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプによってデータをグループ化またはスタックすることはできません。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
その他の表示	可視化に他のフィールドを表示するオプション。
値が 0 の要素を非表示	値が 0 の要素を非表示にするオプション。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
ソート	
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。
ソート順	昇順または降順
追加の設定	
合計値を表示	全体の合計値を表示するオプション。幅/高さの設定、ページのサイズ変更、または同様の問題により、値がドーナツに収まらない場合でも、値は非表示になります。合計値をクリックすると、インジケーターの貢献テーブルレコードまたは KPI 詳細のリストが開きます。
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、値がドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

円グラフとドーナツグラフによるチャート化のインジケーターデータオプション

円グラフまたはドーナツグラフによるチャート化のインジケーター データ ソースを選択すると、次の [データ構成] オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	Visualization Designer での円グラフまたはドーナツグラフによる可視化の作成 でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の集計や月別平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。 **注:** AVG または SUM の計算は、インジケーターの [時系列を結果に適用] 設定によって異なります。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボード フィルターではサポートされていません。 • 合計でサポートされるブレークダウンのレベルは、データの可視化とダッシュボードフィルターを含めて 2 つのみです。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
ソート	
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。
ソート順	昇順または降順
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で設定することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
合計値を表示	全体の合計値を表示するオプション。幅/高さの設定、ページのサイズ変更、または同様の問題により、値がドーナツに収まらない場合でも、値は非表示になります。合計値をクリックすると、インジケーターの貢献テーブルレコードまたは KPI 詳細のリストが開きます。
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、値がドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 円グラフとドーナツグラフによるチャート化のデータオプション

円グラフまたはドーナツ可視化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションが使用可能になります。

重要:
円グラフとドーナツグラフによるチャート化は、ユーザーやセッションではなく、イベントデータにのみ適しています。イベントのみにグループ化する値があります。

フィールド	説明
データ	
データソース	Visualization Designer での円グラフまたはドーナツグラフによる可視化の作成 でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
グループ	
イベントプロパティ	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース内のイベントのプロパティ。 **注:** イベントメトリクスでのみ利用可能で、イベントメトリクスの場合は必須です。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
ソート	
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。
ソート順	昇順または降順
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で設定することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

自動翻訳

円グラフによる可視化の例

円グラフデータの可視化では、円形を使用して、さまざまなカテゴリまたはグループの比率またはパーセンテージを示します。円の各部分 (または「スライス」) は異なるカテゴリまたはグループを表し、各スライスのサイズは、それが表すグループまたはカテゴリのサイズに比例します。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

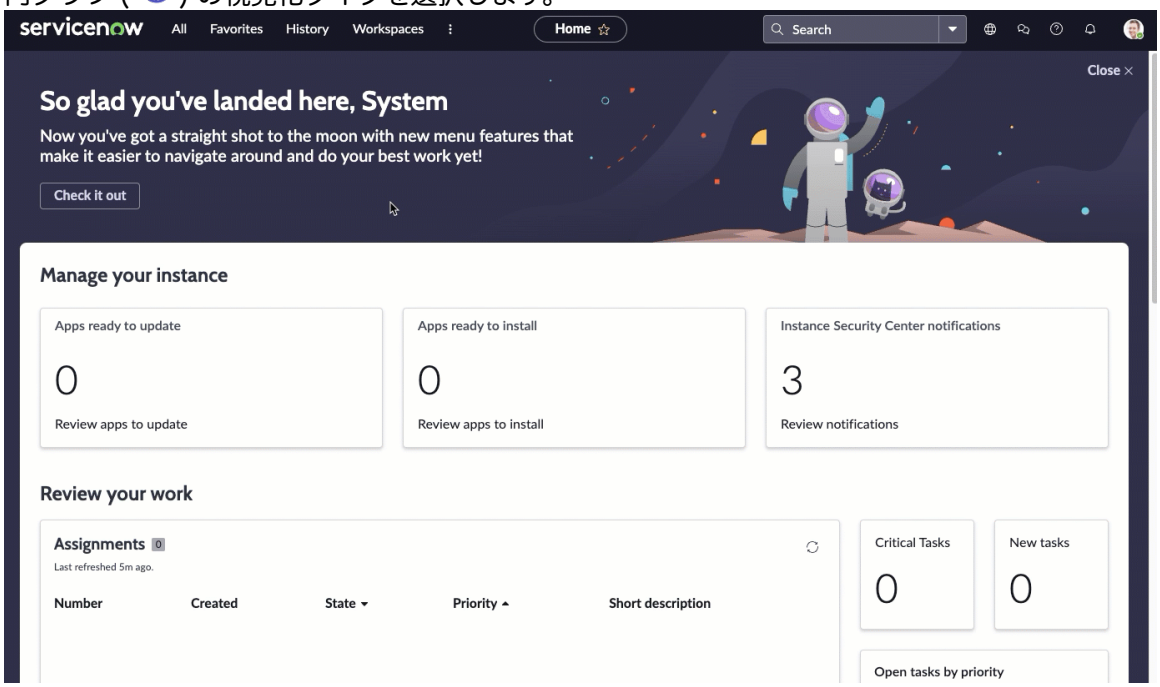
このタスクについて

この可視化タイプを使用して、予算内の経費の配分やアサイン先グループ全体のインシデントの分布など、全体を構成する部分の割合を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 最初の手順に従って Visualization Designer での円グラフまたはドーナツグラフによる可視化の作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. 円グラフ ( ) の視覚化タイプを選択します。

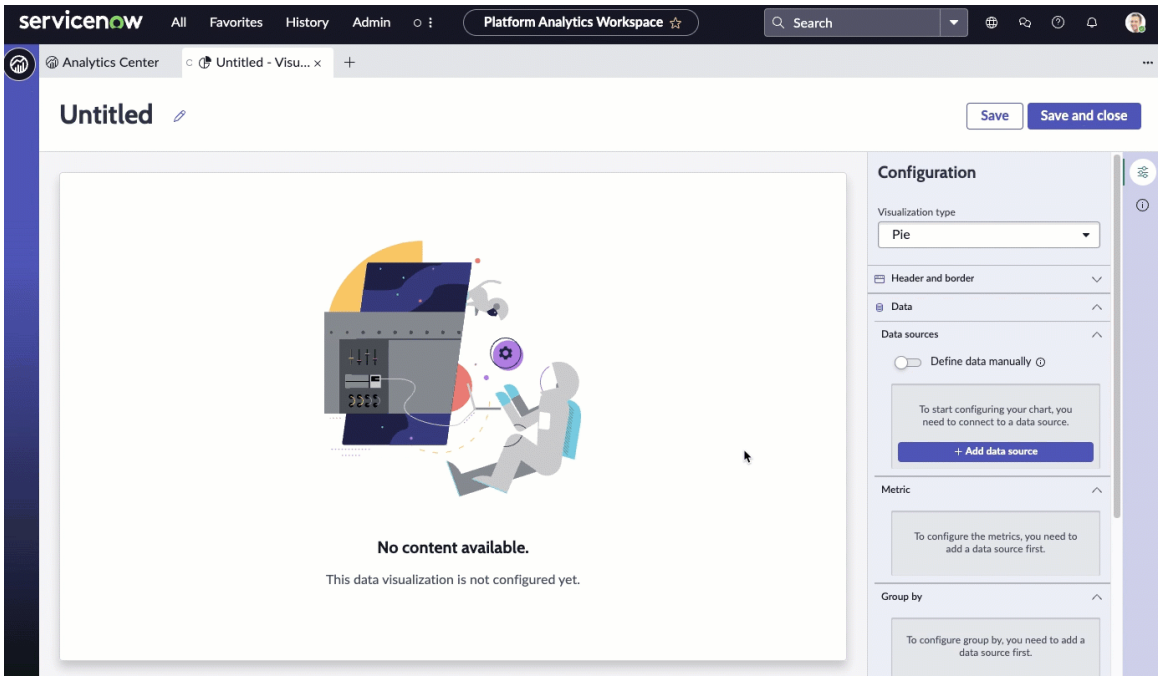


2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. [このソースを追加] を選択します。

   選択したデータの現在の値で円グラフによる可視化が可視化デザイナーに表示されます。指定した情報は可視化がアクティブなインシデントを表すということだけなので、「Active=True」と「Active=False」の 2 つの扇形しか表示されません。優先度とアサイン先グループはステップ 4 で追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化が確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

   a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

   b. [**Show header** (ヘッダーを表示)] を選択し、グラフのタイトル「 Open incidents - Assignment Group (オープンインシデント - アサイン先グループ)」を入力します。
   [ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、可視化デザイナーおよびリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

   c. 可視化の説明として「 Open incidents of all priorities by assignment group (アサイン先グループ別のすべての優先度のオープンインシデント)」と入力します。
   説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

   d. [保存] を選択し、レポートのタイトルに [円グラフ - オープン インシデント] を付けます。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. グラフ内の情報を区別するために [グループ] を追加します。
   [Group by (グループ化)] で **[Active** (アクティブ)] を選択し、グループ化を [Assignment group (アサイン先グループ)] に変更します。

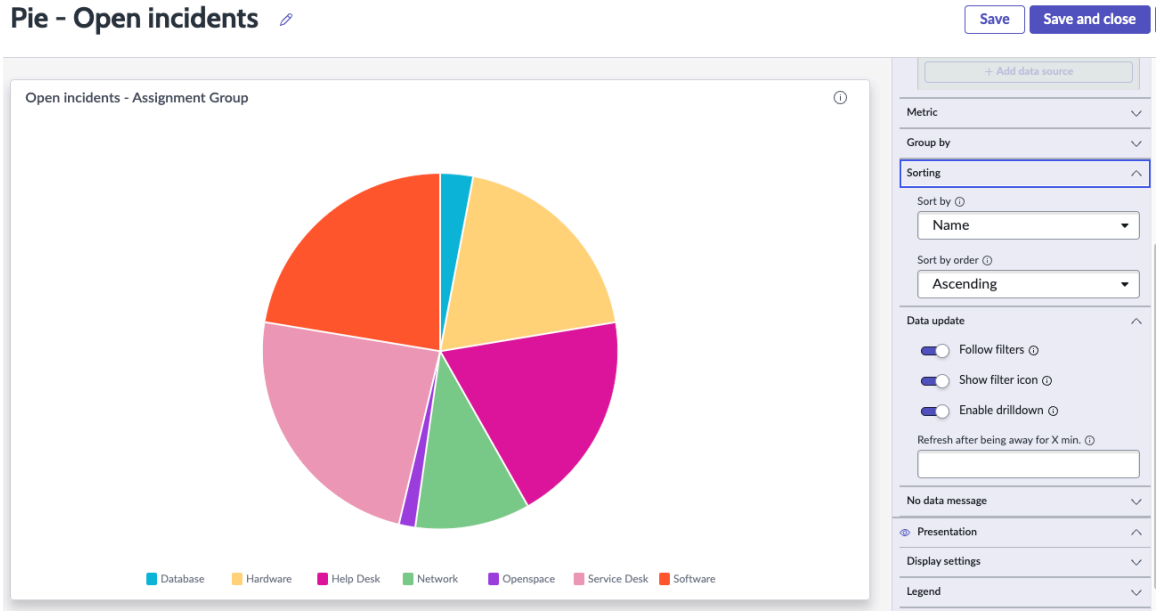
6. [並べ替え] で、並べ替えの基準となるフィールドと並べ替えの順序を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 名前でソートすることを選択します。

b. 並べ替え順序として [昇順] を選択します。
セグメントは、データベース、ハードウェアなどで始まるアサイン先グループ名の順序になりま



す。

7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はグラフ内のデータ ポイントを選択して関連情報に移動できます。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートの相互作用を許可] を反映しています。[チャートの相互作用] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

8. 円グラフの扇形が表す内容の表示方法を選択します。

- [凡例を表示] は、ビジュアリゼーションの各値の色分けの例を示しています。凡例を表示するかどうか、配置場所、および表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースが広い場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースが広い場合は、上または下に配置します。
- **[Show data labels** (データラベルを表示)] は、ビジュアリゼーションのセグメントの隣にラベルと値の情報を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [凡例を表示] を選択して、凡例オプションを有効にします。

b. [凡例値を表示] を選択します。
このオプションは、メトリクスに関連付けられた番号を追加します。この場合、ネットワークインシデントの数と同じ数であるため、 ネットワーク アサイン先グループにアサインされたインシデントに 7 が追加されます。

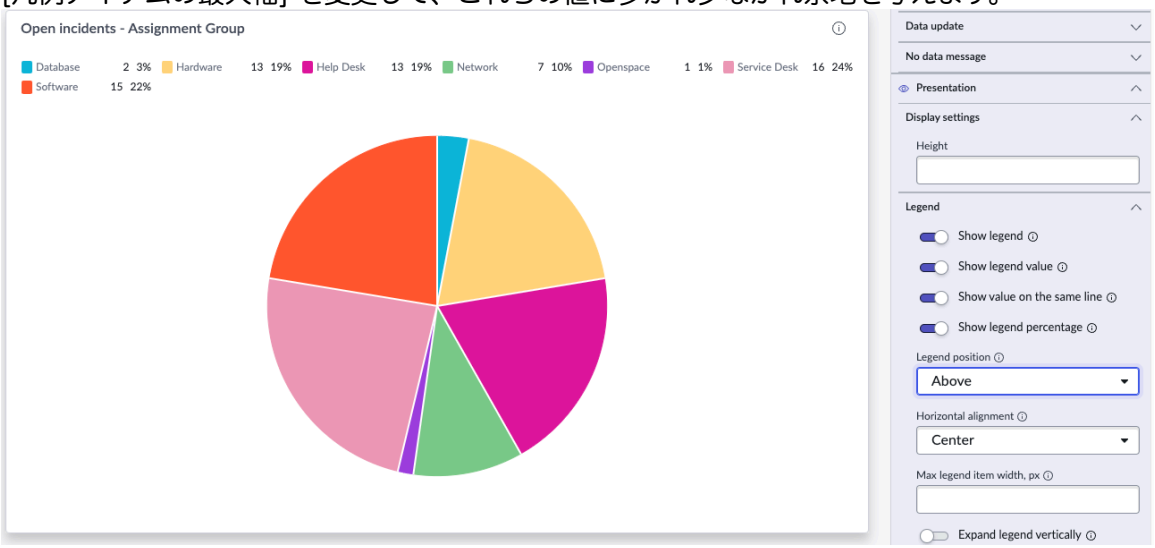
c. 同じ 行に値を表示 を選択して、アサイン先グループ名の値を保持します。

d. [凡例のパーセンテージを表示] を選択して、値に関する詳細情報を提供します。

e. ビジュアリゼーションの上に凡例を配置する場所を試してみてください。
凡例は、可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

f. [中央]の[水平方向の配置]を選択します。
凡例を可視化の右または左に配置した場合、水平配置は利用できません。[開始] と [終了] は、凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語の場合、開始と終了は右と左です。

g. [凡例アイテムの最大幅] を変更して、これらの値に多かれ少なかれ余地を与えます。



9. [凡例の表示] をオフにし 、[データ ラベルの表示] を選択します。

a. [データ] ラベルタイプを選択します。
ラベルの横に数値を表示する場合は [値] を選択し、値が表す割合を表示する場合は [パーセント] を選択し、両方を表示するには [値とパーセント] を選択できます。

b. [最大ラベル サイズ] を 50 に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。切り捨てタイプは、ラベルが折り返されるため、違いはありません。

c. [ラベルを折り返す] オプションをオフにします。
[切り捨て] タイプを変更すると、End が長いラベルの端を 3 つのドットに置き換えていることがわかります。[開始] を選択すると、長いラベルの最初の部分が 3 つのドットに置き換えられます。中央を選択しても同じことが起こります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. ビジュアリゼーションの [デフォルト] の色タイプを選択します。
    - [デフォルト] では、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
    - カラーパレット は、同じ色の色相を使用します (たとえば、青の明から暗)。
    - [固定要素] では、ハードウェア インシデントなどの各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

タスクの結果
1 つの値でグループ化された円グラフの可視化が作成されました。また、ビジュアリゼーションのラベル付け、凡例、および色も構成しました。

ドーナツ可視化の例

ドーナツ グラフによるチャート化では、中空の円形を使用して、さまざまなカテゴリまたはグループの比率またはパーセンテージを表示します。半ドーナツ グラフによるチャート化は、完全な円の代わりに半円を使用するドーナツと同じ働きをします。

始める前に
必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて
サブカテゴリや追加のデータセットをシンプルでわかりやすい形式で比較する場合に、この可視化タイプを使用します。

手順

1. 最初の手順に従って Visualization Designer での円グラフまたはドーナツグラフによる可視化の作成します。

   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.

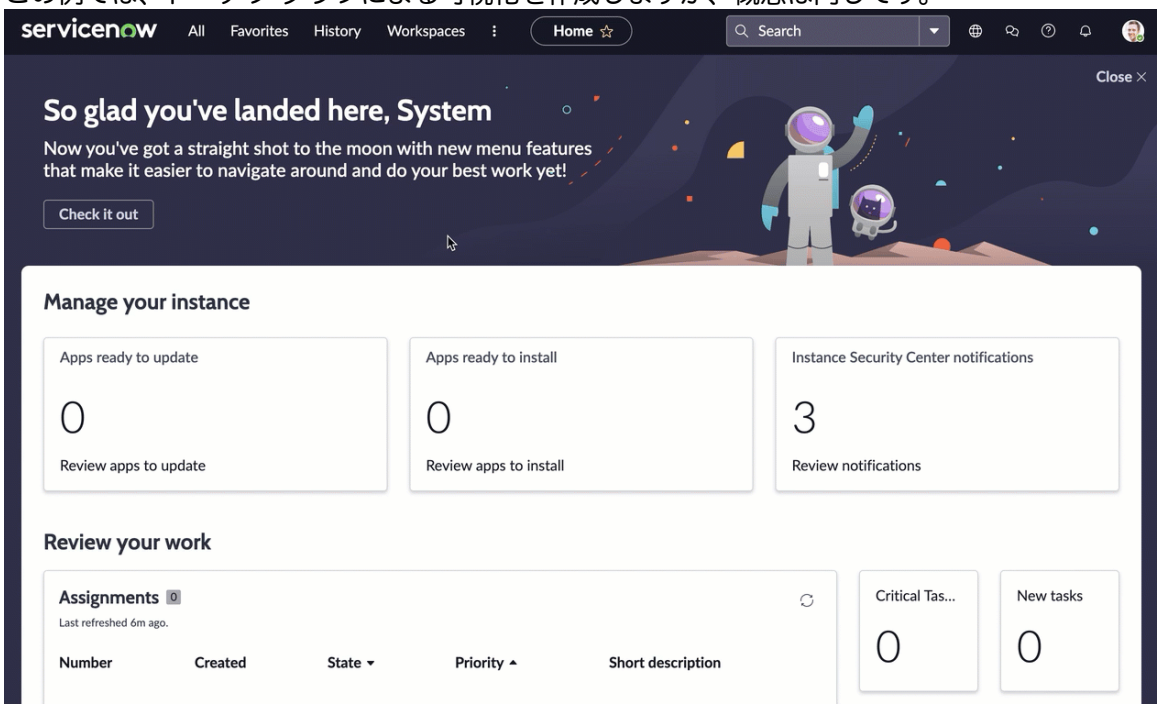
   b. [新規] を選択します。

   c. ドーナツ グラフ ( ) または) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、ドーナツ グラフによる可視化を作成しますが、概念は同じです。



2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動できます。

a. [データソースを追加] を選択します。

b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

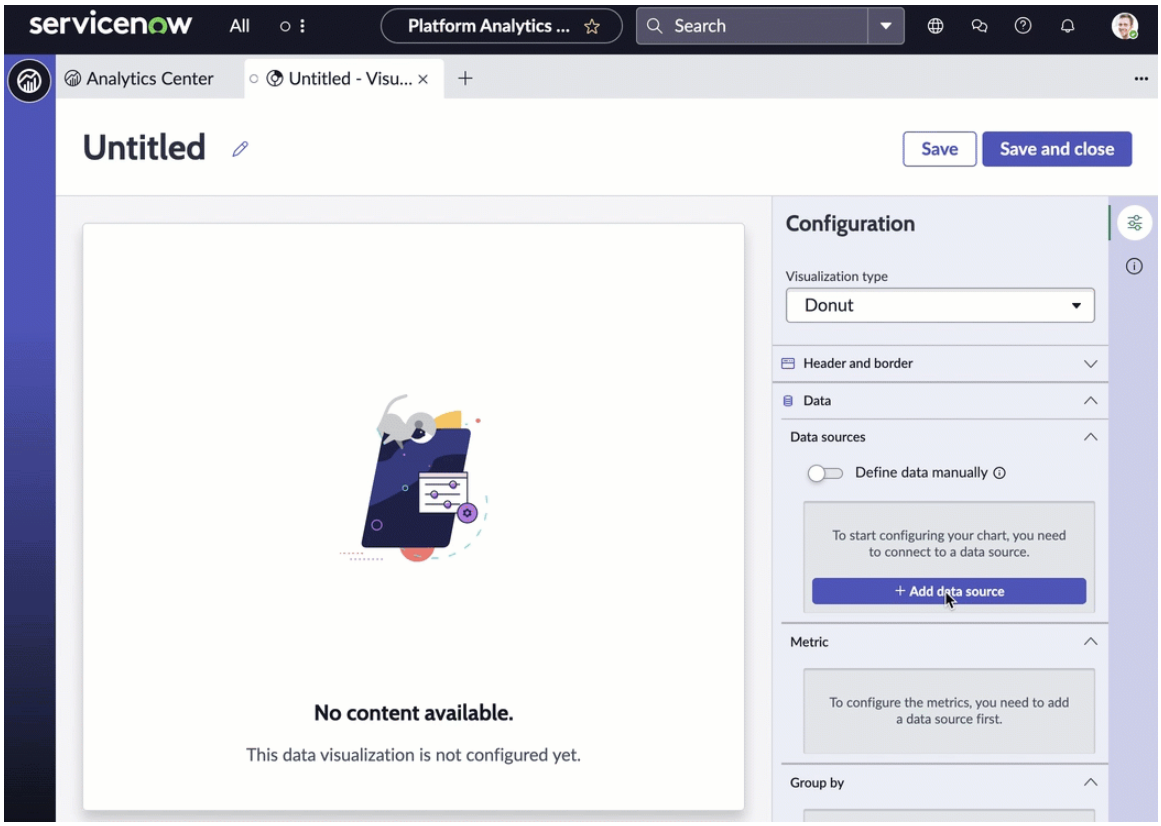
d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値で円グラフによる可視化が可視化デザイナーに表示されます。指定した情報は可視化がアクティブなインシデントを表すということだけなので、「Active=True」と「Active=False」の 2 つの扇形しか表示されません。優先度とアサイン先グループはステップ 4 で追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化が確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、グラフのタイトル「 オープンインシデント - 優先度」を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、可視化デザイナーおよびリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明として「 Open incidents of all priorities (すべての優先度のオープンインシデント)」と入力します。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [保存] を選択し、レポートのタイトルに「ドーナツ - オープン インシデント」を付けます。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. グラフ内の情報を区別するために [グループ] を追加します。
[グループ化] で [優先度] を選択します。

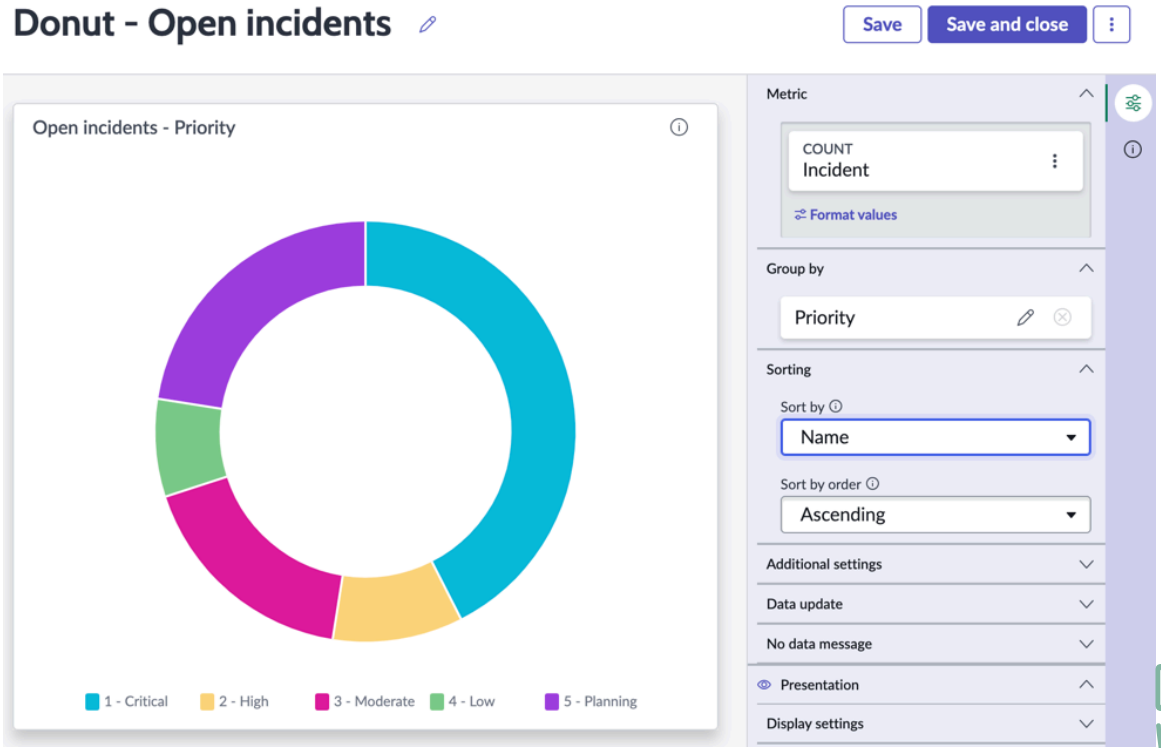
6. [並べ替え] で、並べ替えの基準となるフィールドと並べ替えの順序を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 名前でソートすることを選択します。

b. 並べ替え順序として [昇順] を選択します。
セグメントは、1 - 重大、2 - 高など、優先度順に並べられます。



7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はグラフ内のデータ ポイントを選択して関連情報に移動できます。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートの相互作用を許可] を反映しています。[チャートの相互作用] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

8. ドーナツグラフのセクションの説明内容を表示する方法を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [凡例を表示] は、ビジュアリゼーションの各値の色分けの例を示しています。凡例を表示するかどうか、配置場所、および表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースが広い場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースが広い場合は、上または下に配置します。
- **[Show data labels** (データラベルを表示)] は、ビジュアリゼーションのセグメントの隣にラベルと値の情報を追加します。

a. [凡例を表示] を選択して、凡例オプションを有効にします。

b. [凡例値を表示] を選択します。
このオプションは、メトリクスに関連付けられた番号を追加します。この場合、高優先度のインシデントの数と同じ数であるため、高優先度のインシデントに 4 が追加されます。

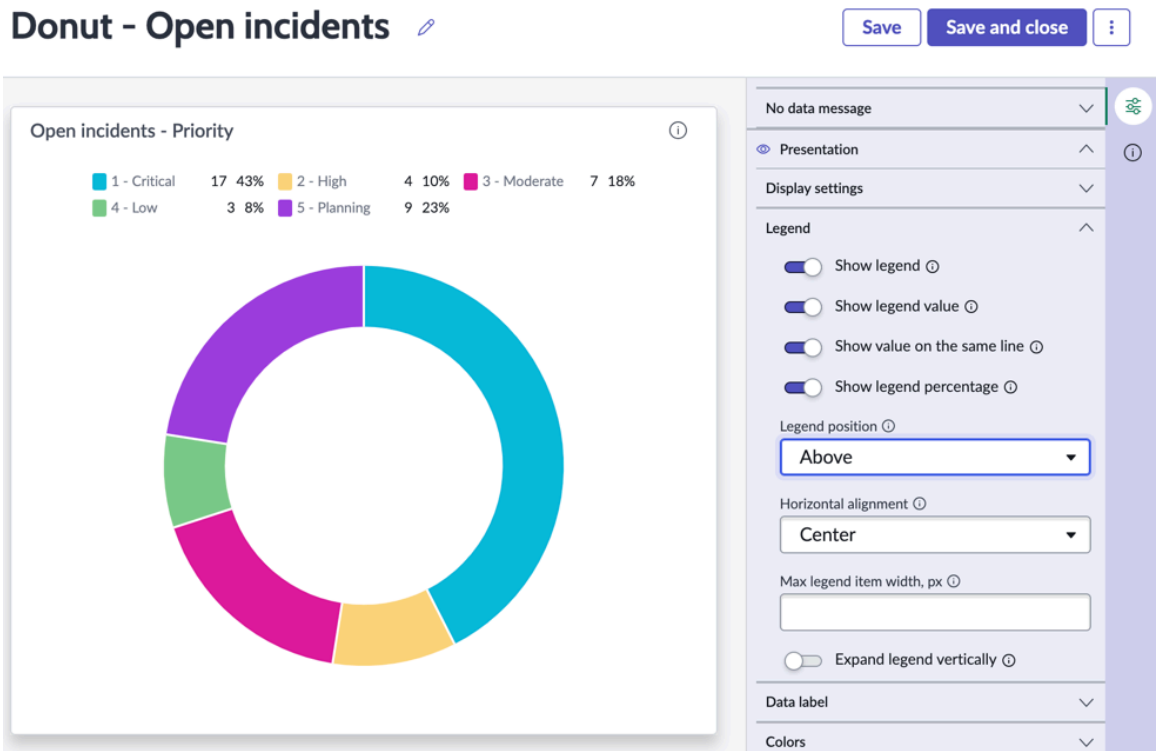
c. 同じ 行に値を表示 を選択して、アサイン先グループ名の値を保持します。

d. [凡例のパーセンテージを表示] を選択して、値に関する詳細情報を提供します。

e. ビジュアリゼーションの上に凡例を配置する場所を試してみてください。
凡例は、可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

f. [中央 **]**の[水平方向の配置]を選択します。
凡例を可視化の右または左に配置した場合、水平配置は利用できません。[開始] と [終了] は、凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語の場合、開始と終了は右と左です。

g. [凡例アイテムの最大幅] を変更して、これらの値に多かれ少なかれ余地を与えます。



9. [凡例の表示] をオフにし 、[データ ラベルの表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [データ] ラベルタイプを選択します。
ラベルの横に数値を表示する場合は [値] を選択し、値が表す割合を表示する場合は [パーセント] を選択し、両方を表示するには [値とパーセント] を選択できます。

b. [最大ラベル サイズ] を 50 に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。切り捨てタイプは、ラベルが折り返されるため、違いはありません。

c. [ラベルを折り返す] オプションをオフにします。
[切り捨て] タイプを変更すると、End が長いラベルの端を 3 つのドットに置き換えていることがわかります。[開始] を選択すると、長いラベルの最初の部分が 3 つのドットに置き換えられます。中央を選択しても同じことが起こります。

10. ビジュアリゼーションの [デフォルト] の色タイプを選択します。

- [デフォルト] では、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- カラーパレット は、同じ色の色相を使用します (たとえば、青の明から暗)。
- [固定要素] では、ハードウェア インシデントなどの各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

タスクの結果
1 つの値でグループ化されたドーナツ可視化を作成しました。また、ビジュアリゼーションのラベル付け、凡例、および色も構成しました。

次のタスク
半ドーナツ グラフによる可視化を作成します。

- [その他のアクション] ボタン ( ) を選択し、[複製] を選択します。
- 新しい可視化に「 Semi-donut - Open incidents (半ドーナツ - オープンインシデント)」という名前を付けて、[**Duplicate** (複製)] を選択します。
- [視覚化の種類] を [半ドーナツ] に変更し、 [保存] を選択します。

半ドーナツの設定はすべてドーナツと同じですが、完全な円ではなく半円になっています。

可視化デザイナーでのパレート図による棒グラフによる可視化の作成

パレート図による棒グラフによるチャート化を使用して、大規模なディメンション セットの中で最も重要なディメンションを特定します。パレート図による棒グラフの可視化列には、データが降順で表示されます。線グラフは累積パーセンテージを示します。

始める前に
必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて
ダッシュボードでの パレート図による棒グラフの可視化 の使用については、以下を参照してください。 the 開発者サイト .

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. パレート図による棒グラフの可視化 () の視覚化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを切り捨てる場所を省略記号で指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
   データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

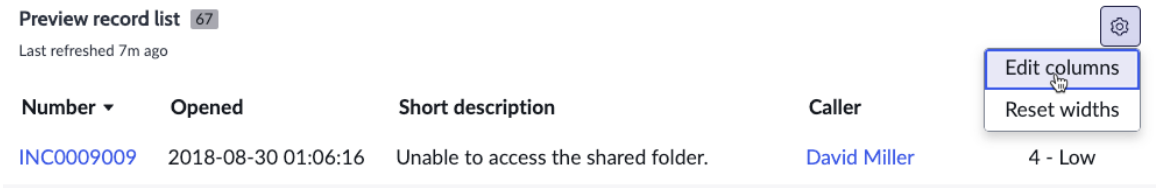
   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションの列として表示するフィールドと列の幅を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウン ソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、[カウント]、[最小化]、または [最大化] の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「可視化用のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

> **注:**
> JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - ビジュアリゼーションがテーブルデータを表す場合は、 パレート図による棒グラフによるチャート化のテーブルデータオプションに移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[パレート図による棒グラフの可視化のためのインジケーターデータオプション] に移動します。
   - ビジュアリゼーションが ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パレート図による棒グラフの可視化] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

   [表示設定] で、データテーブルを表示できます。この表は、スクリーンリーダーアクセスを容易にするためにグラフとチャートデータを示しています。また、データ値にカーソルを合わせると、すべてのデータ値を表示するツールヒントを開くか、選択したデータ値の詳細のみを表示するかを選択することもできます。

X 軸オプション

フィールド **[Property]**	**Description** (説明)
軸を非表示	棒メトリクスの Y 軸とパレート図 Y 軸の両方を非表示にします。
軸スタイル	X 軸のスタイル。 ○ クリーン `クリーン`: X 軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし `noTicks`: X 軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ [標準] `のデフォルト`: X 軸に線と目盛りを追加します。 **注:** 垂直棒グラフで [グリッドを表示] が true の場合にのみ使用できます。
軸タイトル (X 軸用)	可視化の横軸に表示するタイトル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド [Property]	Description (説明)
ラベルを折り返す	長いラベルを横軸で折り返します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	横軸の最大ラベルサイズ (ピクセル単位)。

Y 軸オプション

フィールド [Property]	Description (説明)
軸を非表示	棒メトリクスの Y 軸とパレート図 Y 軸の両方を非表示にします。
軸タイトル (Y 軸用)	棒軸にのみ影響し、パレート軸には影響しません。
グリッドを表示	チャートにグリッド線を追加します。このオプションは Y 軸にのみ適用されます。
軸スタイル	Y 軸のスタイル。 ○ クリーン `クリーン`: Y 軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし noTicks: Y 軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ 標準 `のデフォルト`:Y 軸に線と目盛りを追加します。 **注:** 垂直棒グラフで [グリッドを表示] が true の場合にのみ使用できます。

凡例オプション

フィールド	Description (説明)
凡例を表示	凡例を表示するオプション。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左

データラベルオプション

フィールド	Description (説明)
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
データラベルの位置	データラベルの位置:棒の上部、中央、または下部。 **注:** [データラベルを表示] が true の場合にのみ使用できます。

カラーバリエーション

フィールド	Description (説明)
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリックごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、一連のアイコンまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 ビジュアリゼーションに複数のメトリクスがある場合は、代わりに [メトリクスごとの色] オプションが表示されます。このオプションでは、メトリクスごとに 1 つの色を選択できます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データの可視化のためのカラーリングルールの作成」を参照してください。

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[グラフのやり取りを許可] がオンの場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化におけるチャート インタラクション」を参照してください。 ○ [データビューに移動] は、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 レコードビューを開きます。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースではサポートされていません。 ○ [**URL** に移動] をクリックすると、指定した URL が開きます。この URL はインスタンス上または外部にあります。ツールヒントのあるビジュアリゼーションでは、ツールヒントに表示されるページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータによってフィルタリングされた別のデータの可視化を開きま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	す。親の可視化のメトリクスごとにドリルダウンによる可視化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの最後のレベルのドリルダウンは、常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 [チャートへのドリルダウン] では 、テーブルデータソースのみがサポートされています。

9. [保存] を選択します。
移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックして [Data Visualization (データの可視化)] リストに戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

パレート図による棒グラフによるチャート化のテーブルデータオプション

パレート図による棒グラフの可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

注:
パレート図では、一度に定義できるデータソースと評価指標プロパティは 1 つだけです。

フィールド	説明
データ	
データソース	Visualization Designer (可視化デザイナー) での棒グラフによる可視化の作成 でテーブルデータソースを選択しました。 **注:** パレート図では、一度に定義できるデータソースは 1 つだけです。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。 **注:** 1 つの パレート図による棒グラフの可視化 に対して一度に定義できるメトリクスは 1 つだけです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプに一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に、そのうちの 1 つでグループ化するオプションがあります。パレート図で定義できる グループは 1 つだけです。[代替グループ化] は、パレート図によるチャート化に対して定義できます。 複数のデータ ソースを持つ垂直棒グラフ、水平棒グラフ、およびピボット レポートの場合: 最初のソースを選択フィールドでグループ化する場合、2 番目のソースを該当する任意の選択フィールドでグループ化できます。 注: [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプによってデータをグループ化またはスタックすることはできません。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
その他の表示	可視化に他のフィールドを表示するオプション。
値が 0 の要素を非表示	値が 0 の要素を非表示にするオプション。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で設定することもできます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

パレート図による棒グラフの可視化のためのインジケーターデータオプション

パレート図による棒グラフの可視化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	Visualization Designer (可視化デザイナー) での棒グラフによる可視化の作成でインジケーターまたはユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。 **注:** パレート図を一度に定義できるデータソースは 1 つだけです。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。 **注:** 1 つの パレート図による棒グラフの可視化 に対して一度に定義できるメトリクスは 1 つだけです。
時間集計	7 日間分の集計や月別平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。 **注:** AVG または SUM の計算は、インジケーターの [時系列を結果に適用] 設定によって異なります。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボード フィルターではサポートされていません。 • 合計でサポートされるブレークダウンのレベルは、データの可視化とダッシュボードフィルターを含めて 2 つのみです。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で設定することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パレート図による棒グラフの可視化

パレート図による棒グラフの可視化のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

重要:
パレート図によるチャート化は、ユーザーやセッションではなく、イベントデータにのみ適しています。イベントのみにグループ化する値があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データ	
データソース	Visualization Designer (可視化デザイナー) での棒グラフによる可視化の作成 でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。 注: パレート図に対して定義できるデータソースは、一度に 1 つだけです。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。 注: 1 つの パレート図による棒グラフの可視化 に対して一度に定義できるメトリクスは 1 つだけです。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
イベントプロパティ	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース内のイベントのプロパティ。 注: イベントメトリクスにのみ適用され、その場合は必須です。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
日付範囲	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
選択した期間のデータを以下として表示	[最新スコア]、[合計]、[平均] など、選択した期間のスコアの表示方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

可視化デザイナーでのピボットテーブルの可視化の作成

ピボット テーブルによるビジュアライゼーションを作成し、大きなデータ セットを 1 つのテーブル内で複数のディメンションに分類して要約します。セルには、各行と列の値の組み合わせが表示され、小計を表示することもできます。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのピボット ビジュアリゼーションの使用方法の詳細については、「 the 開発者サイト .

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. ピボット テーブル ( ) の視覚化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

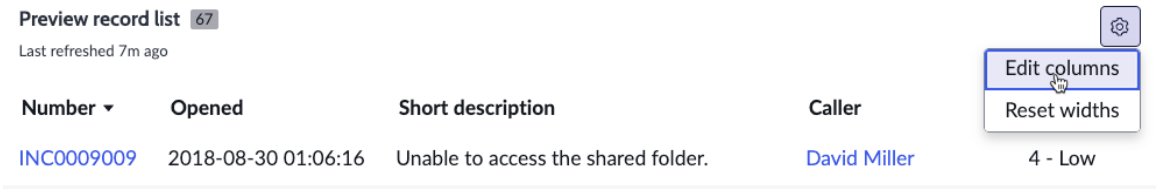
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
切り捨てタイプ	長いラベルを切り捨てる場所を省略記号で指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションの列として表示するフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウン ソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、[カウント]、[最小化]、または [最大化] の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「可視化用のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

   注:
   JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - ビジュアリゼーションがテーブルデータを表す場合は、 ピボットテーブル可視化のテーブルデータオプションに移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[ピボットテーブルの可視化のためのインジケーターデータオプション] に移動します。
   - ビジュアリゼーションが ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ピボットテーブルの可視化のデータオプション] に移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	**Description** (説明)
表示設定	
行ヘッダーを固定	ユーザーがチャート化内の別の領域にスクロールするときに、ヘッダーを表示したままにできるようにします。
行フッターを固定	ユーザーがビジュアリゼーション内の別の領域にスクロールするときに、フッターを表示したままにできるようにします。
最初の列を固定	スクロール中に最初の列を表示したままにします。
行の代替色を表示	代替行の背景色を切り替えて、可視化を読みやすくします。
列の代替色を表示	代替列の背景色を切り替えて、可視化を読みやすくします。
行の線を表示	行を区切るために境界線を表示します。
列の線を表示	列の区切りに境界線を表示します。
テーブルサイズ設定	
最初の列を切り捨てる [truncateFirstColumn]	true の場合、最初の列の幅を制限します。この幅を超える最初の列の内容は切り捨てられます。最初の列ヘッダーは切り捨てられません。この幅の制限を [最初の列の最大幅] に **px** 単位で指定します。
最初の列の最大幅 (px)	最初の列の最大幅。これを超えると内容が切り捨てられます。この最大幅は、切り捨てられない最初の列ヘッダーの幅より小さくすることはできません。ヘッダー幅より小さい値は無視されます。 [最初の列を切り捨て] がアクティブな場合にのみ有効になります。デフォルト値は 200px です。
列ヘッダーを折り返す	ヘッダーテキストをコンテンツ幅に一致する行に分割します (最小値は 100px)。最初の列には適用されません。 列ヘッダーの折り返しと切り捨ての両方を行うことはできません。
列ヘッダーを切り捨てる	ヘッダーテキストをコンテンツ幅に一致する行に切り捨てます (上限は 100px)。最初の列には適用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
	列ヘッダーの折り返しと切り捨ての両方を行うことはできません。
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリックごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、一連のアイコンまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 ビジュアリゼーションに複数のメトリクスがある場合は、代わりに [メトリクスごとの色] オプションが表示されます。このオプションでは、メトリクスごとに 1 つの色を選択できます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データの可視化のためのカラーリングルールの作成」を参照してください。

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[グラフのやり取りを許可] がオンの場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化におけるチャートインタラクション」を参照してください。 ○ [データビューに移動] は、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 レコードビューを開きます。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースではサポートされていません。 ○ [**URL** に移動] をクリックすると、指定した URL が開きます。この URL はインスタンス上または外部にあります。ツールヒントのあるビジュアリゼーションでは、ツールヒントに表示されるページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータによってフィルタリングされた別のデータの可視化を開きます。親の可視化のメトリクスごとにドリルダウンによる可視化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの最後のレベルのドリルダウンは、常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 [チャートへのドリルダウン] では 、テーブル データソースのみがサポートされています。

9. [保存] を選択します。
移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックして [Data Visualization (データの可視化)] リストに戻ります。

Example: 複数のデータソースを含むピボットテーブル

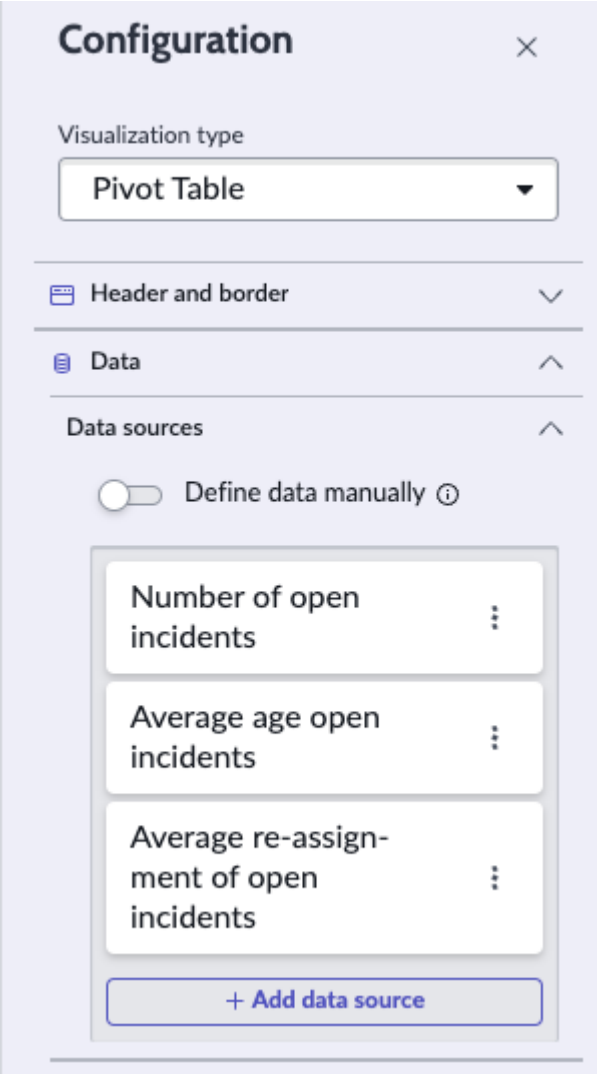
次の情報をアサイン先グループごとに分割して提示する場合を考えてみましょう。

- アサインされたオープンインシデントの数
- アサインされたオープンインシデントの平均経過時間
- インシデントが再アサインされた平均回数

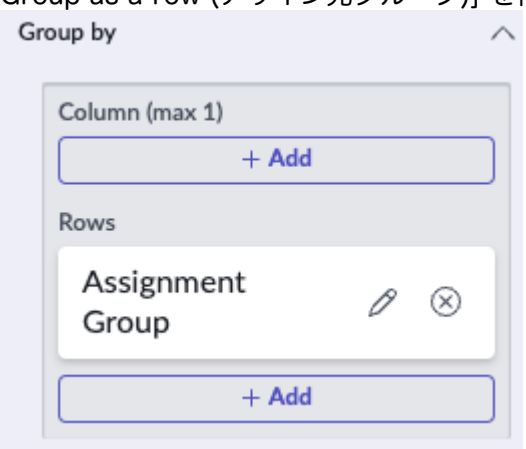
この情報は 1 つのピボット テーブルで表示できます。各情報セットは、異なるデータソースから取得されます。この情報を含む 3 つのテーブルまたは 3 つの パフォーマンスアナリティクス インジケーターを見つける必要があります。異なるタイプのデータ ソースを混在させることはできません。幸いなことに、インスタンスには 3 つの適切なインジケーターがすでに定義されています。それらをピボットテーブルのデータソースとして選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



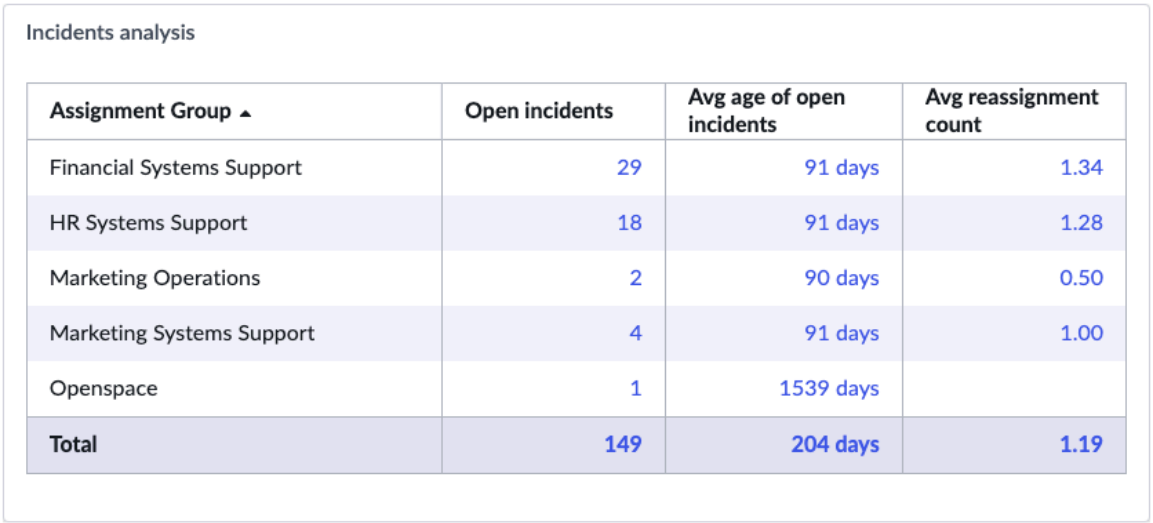
これらのインジケータースコアをアサイン先グループ別に表示するとします。したがって、[Group By (グループ化)] で [Assignment Group (アサイン先グループ)] を選択します。3 つのデータソースが 3 列として表示されるため、[**Column** (列)] フィールドをスキップして、[Assignment Group as a row (アサイン先グループ)] を行として選択します。



これで完了です。データの可視化を保存し、ダッシュボードで使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Incidents analysis

Assignment Group ▲	Open incidents	Avg age of open incidents	Avg reassignment count
Financial Systems Support	29	91 days	1.34
HR Systems Support	18	91 days	1.28
Marketing Operations	2	90 days	0.50
Marketing Systems Support	4	91 days	1.00
Openspace	1	1539 days	
Total	**149**	**204 days**	**1.19**

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

ピボットテーブル可視化のテーブルデータオプション

ピボット テーブル ビジュアリゼーションのテーブル データ ソースを選択すると、次の [データ構成] オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	可視化デザイナーでのピボットテーブルの可視化の作成 でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプに一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
グループ	
列を選択	値がそれぞれ垂直列で表されるフィールド。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。
その他の表示	可視化に他のフィールドを表示するオプション。
行	水平に表示される値を含むテーブルフィールドの階層。
のフィールド <table>	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に、そのうちの 1 つでグループ化するオプションがあります。 **注:** [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプによってデータをグループ化またはスタックすることはできません。
行の合計を表示	各行の合計を含む最後の列を表示するオプション
列の合計を表示	各列の合計を含む最終行を表示するオプション
親行の合計を表示	行に複数のフィールドの階層がある場合、このオプションは階層の上位にあるフィールドの小計を表示します。
ソート	
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。
ソート順	昇順または降順

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ピボットテーブルの可視化のためのインジケーターデータオプション

ピボット テーブル チャート化のインジケーター データ ソースを選択すると、次の [データ構成] オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	可視化デザイナーでのピボットテーブルの可視化の作成 でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の集計や月別平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: AVG または SUM の計算は、インジケーターの [時系列を結果に適用] 設定によって異なります。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 **重要:** • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボード フィルターではサポートされていません。 • 合計でサポートされるブレークダウンのレベルは、データの可視化とダッシュボードフィルターを含めて 2 つのみです。
グループの最大数	列に表示するブレークダウン要素の最大数。このプロパティは行には適用されません。
ソート	
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。
ソート順	昇順または降順
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ピボットテーブルの可視化のデータオプション

ピボット テーブル チャート化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データ ソースを選択すると、次の [データ構成] オプションを使用できます。

重要:
ピボットテーブルのビジュアル化は、ユーザーやセッションではなく、イベントデータにのみ適しています。イベントのみにグループ化する値があります。

フィールド	説明
データ	
データソース	可視化デザイナーでのピボットテーブルの可視化の作成でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースであるイベントアプリケーションを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
グループ	
列	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース内のイベントのプロパティ。 **注:** イベントメトリクスでのみ利用可能で、イベントメトリクスの場合は必須です。
行	水平に表示される値を含むテーブルフィールドの階層。
イベントプロパティ	列または行に対して選択するイベントのプロパティの選択。
行の合計を表示	各行の要素の合計値を表示します。
列の合計を表示	各列の下部に要素の合計値を表示します。
親行の合計を表示	行の階層の場合は、メトリクスのアグリゲーションに応じて、列ごとのすべての子行の合計を表示します。
ソート	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソート基準	特定の順序でソートするグループまたはカテゴリ。オプションには、[名前]、[値]、および [グループバケット] があります。
ソート順	昇順または降順
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ピボットの可視化の例

ピボットテーブルには、データセットの複数のディメンションまたは変数が表示されます。このチャート化では、行と列の値の組み合わせごとに個別のセルが表示され、第 1 レベルの行ごとに列の小計が表示されます。集計情報は、チャートの左上に表示されます。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

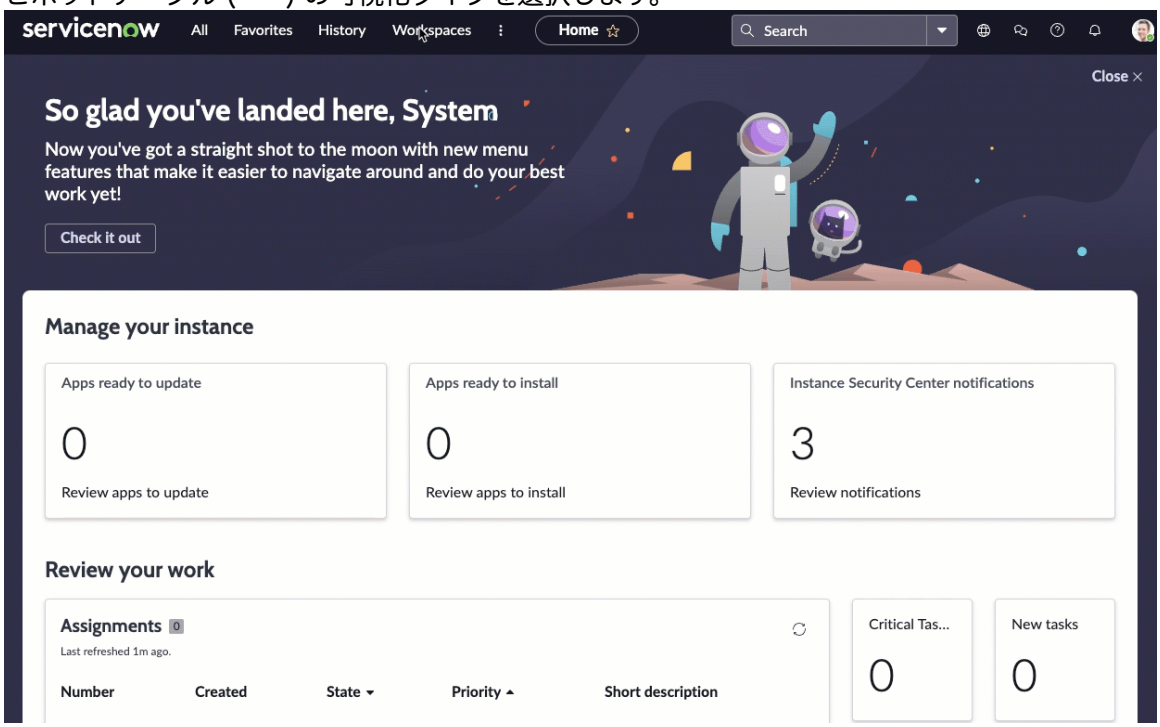
1 つのチャートに複数の変数を表示するには、この可視化タイプを使用します。これは、異なる変数間の関係を示すのに便利です。この例では、アサイン先グループ、優先度、および場所別にグループ化されたクローズ済みインシデントを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 可視化デザイナーでのピボットテーブルの可視化の作成の最初の手順に従います。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. ピボットテーブル ( ) の可視化タイプを選択します。

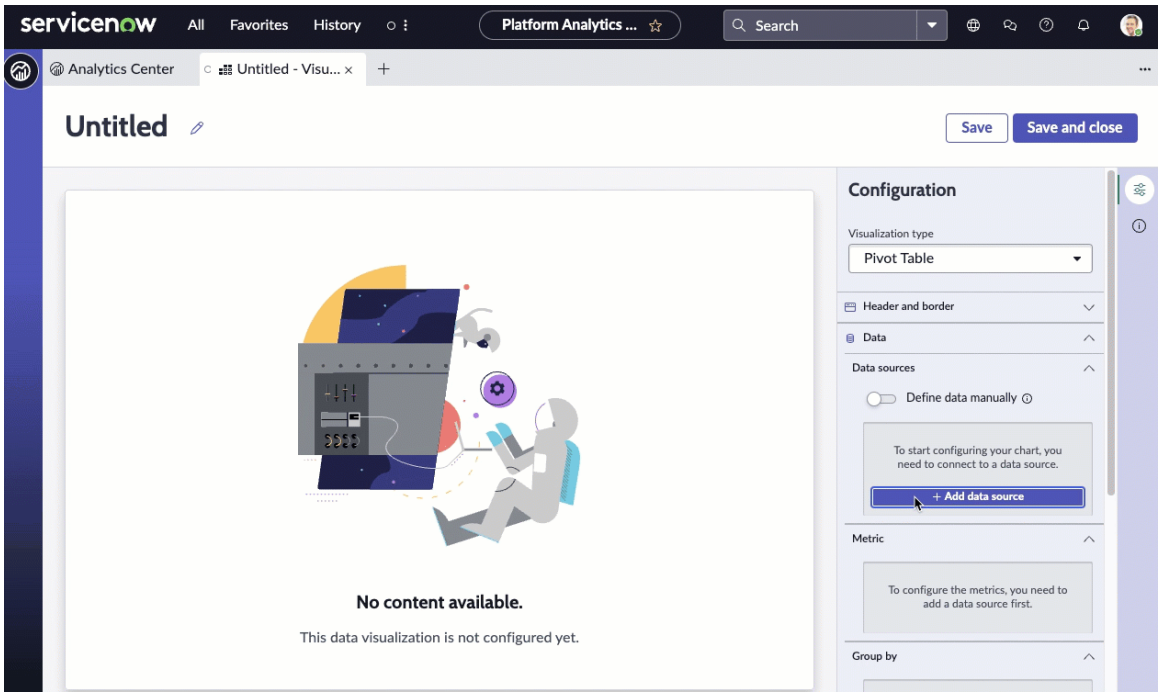


2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化には完了したインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Closed 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化には非アクティブなインシデントのみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. **[Add this source** (このソースを追加)] を選択します。

選択したデータの現在の値を含むピボットデータの可視化が可視化デザイナーに表示されます。指定した情報は、視覚化がクローズしたインシデントを表すことだけなので、表示される行は 1 つだけです。次の手順で列と行を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化が確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [**Show header** (ヘッダーを表示)] を選択し、グラフのタイトル を「Completed incidents - Priority, Location and Assignment Group (完了したインシデント - 優先度、場所、アサイン先グループ)」に指定します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、可視化デザイナーおよびリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明として「 Closed incidents of all assignment groups grouped by priority and location」と入力します。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [保存] を選択し、レポートのタイトルを「ピボット - クローズ済みインシデント」にします。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ化] で、1 つの列と複数の行を追加して、複数の視点からデータを表示します。

a. [アサイン先グループ] 列を追加して、トップレベルの情報を表示します。



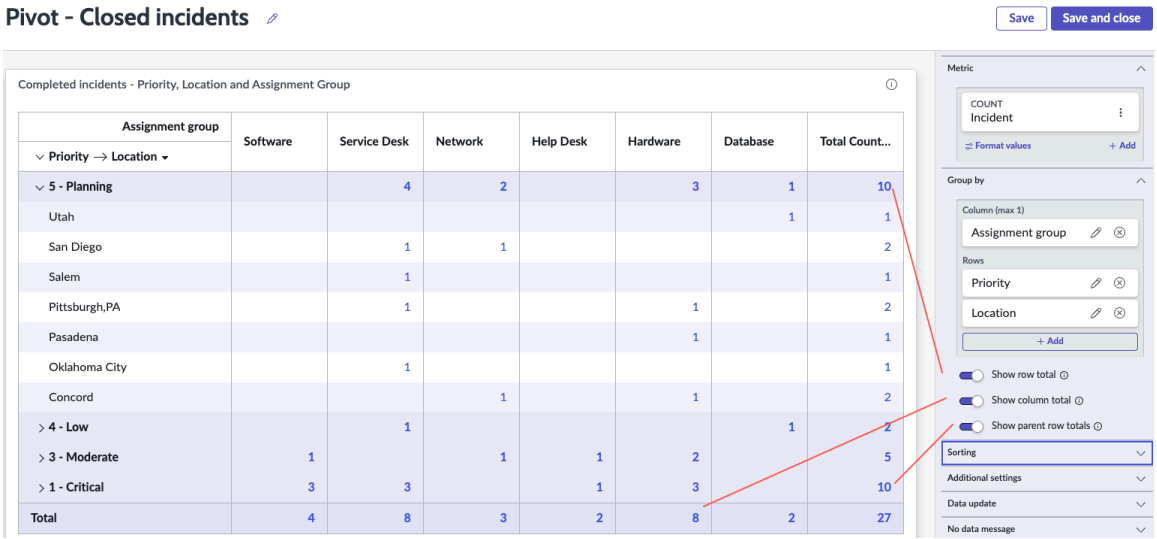
b. [Priority] と **[Location]** の 2 つの行を追加します。

c. すべての合計を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

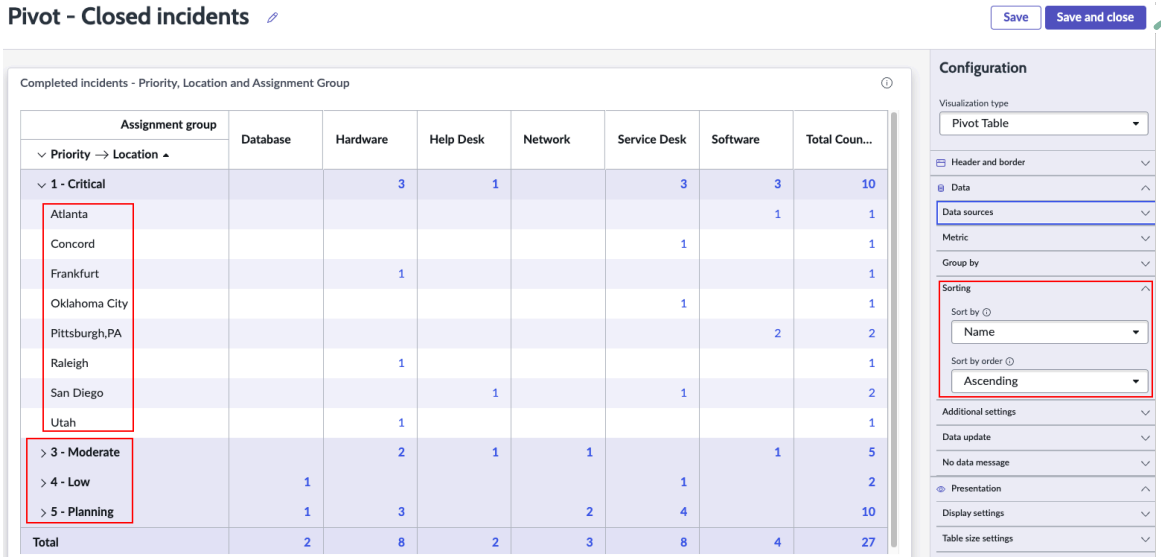
- [行の合計を表示] は、新しい列の各行の合計数を提供します。
- [列の合計を表示] は、新しい行の各列の合計を提供します。
- [親行の合計を表示] には、その下の要素の各最上位行の合計が表示されます。たとえば、3 つの異なる場所に 1 つずつ、合計 3 つの重要なハードウェアインシデントがあるとします。



6. [並べ替え] で、並べ替えの基準となるフィールドと並べ替えの順序を選択します。

a. 名前でソートすることを選択します。
優先度名はそれぞれ数字で始まるため、1 - 重大、2 - 高、3 - 中などの順序で表示されます。

b. 並べ替え順序として [昇順] を選択します。
バーは、1 - 重大、2 - 高、3 - 中というように並べられます。また、場所もアルファベット順に表示されます。



7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はグラフ内のデータ ポイントを選択して関連情報に移動できます。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートの相互作用を許可] を反映しています。[チャートの相互作用] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

8. 表示設定をいじってみましょう。
このセクションの設定を使用すると、行と列の固定、行と列の線と網掛け、およびテーブルの初回表示時の展開または縮小により、テーブルを読みやすくすることができます。

9. 色の設定で遊んでください。
[色タイプの設定] から [単色] を選択して、背景色の設定と色ルールの構成を有効にします。

10. 可視化の色ルールを構成します。
この例ではクローズ済みインシデントを扱いますが、オープンインシデントの場合は、値に基づいてスコアの色を変更する動的な色ルールを定義する必要があります。

a. [色ルール] で [**+** ルールの追加] を選択します。

b. 最初の色ルールでは、[演算子 (Operator lower than)] を選択し、[値 6] を入力し、色 [緑] を選択して [適用] を選択します。

値は指定された数までですが、含まれていません。

順序 100 を保持します。

c. さらに注意が必要な値を示すには、 演算子を 間に挟んで、値 5 と 25、色とアイコンの色を 警告オレンジ、順序 を 50 にして 2 番目のルールを作成します。

d. 最も注意が必要な値を表示するには、[演算子] が [より大きい]、値が 25、色とアイコンの色が 赤、順序が 25 の 3 番目のルールを作成します。

値が目的の値と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。

> **注:**
> 色ルールは個々の値にのみ適用され、指定された色と背景色を保持する列と行の合計には適用されません。

時系列の可視化を作成

経時的なデータの変化を表示します。さまざまな時系列グラフを使用して、傾向や個々の値など、データのさまざまな側面を強調します。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成す

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

るには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

時系列とは、時間の経過とともに連続的に取得された一連のメトリックを順序付けたものです。次のビジネスケースは、時系列の使用の一部です。

- データの傾向、パターン、外れ値を特定する。
- 転換点 (ポリシーの変更がインジケーター スコアの変化につながったかどうかなど) を特定する。
- データソース間の関係を評価する。

時系列のチャート化を選択するときは、データの傾向を強調するのか、それともデータの特定の変化を強調するのかを検討します。また、1 つのデータソースを表示するか、複数の関連するデータソースを比較するかを検討してください。

ダッシュボードでの時系列の可視化の使用については、「」を参照してください。 the 開発者サイト .

時系列の可視化の作成例については、「 時系列の可視化の例」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. 「 レスポンシブダッシュボードでの権限の問題の解決」で説明されている可視化タイプのいずれかを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。既定値 = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを切り捨てる場所を省略記号で指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

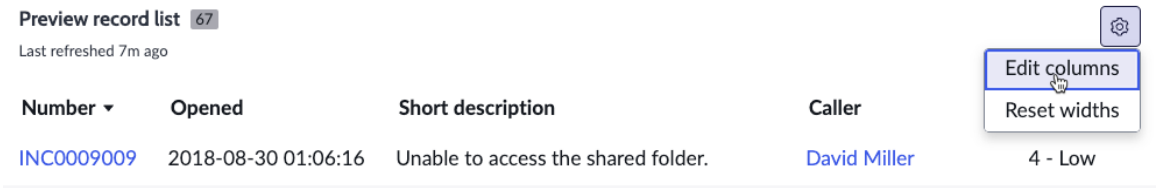
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションの列として表示するフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。ブレークダウンとブレークダウンの要素を選択してインジケーターをフィルタリングすることができます。
   - メトリックベース (メトリックベース が有効になっている場合に利用可能)。メトリックベースデータソースを選択するときは、テーブルデータソースと同様に、条件と関連リスト条件を使用してそのデータソースのカスタムフィルターを作成できます。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「可視化用のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

   注:
   JSON でデータソースを手動で定義することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - ビジュアリゼーションがテーブルデータを表す場合は、 時系列の可視化のためのテーブルデータオプションに移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[時系列可視化のインジケーターデータオプション] に移動します。
   - ビジュアリゼーションが ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 時系列の可視化のデータオプション] に移動します。
   - ビジュアリゼーションが メトリックベース データを表す場合は、[メトリックベース 時系列の可視化のデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	**Description** (説明)
表示設定	
行ストロークの幅	チャート上のアイテムの行ストローク幅をピクセル単位で設定します。
高さ	チャートの高さ。
ツールチップを無効にする	カーソルを合わせたときにツールヒントを削除するオプション。 デフォルト値：false
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールチップにはカーソルを合わせているデータポイントのみが表示されます。オフにすると、ツールチップにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ(ズームが 400% の場合、自動的にオンになる)を除きます。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対する割合が含まれます。
Y 軸	
軸を非表示	第 1 軸を非表示にするオプション。
プライマリ軸のタイトル	可視化の縦軸に表示するタイトル。 このプロパティは 、[主軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。 複数の Y 軸がある場合は、yAxis1Title、yAxis2Title などのプロパティを表す追加の軸タイトルがあります。 メトリクスの [その他のオプション] メニューで、メトリクスの Y 軸スケールを追加します。
軸範囲 - 開始	第 1 軸の値の開始点。
軸範囲 - 終了	第 1 軸の値のエンドポイント。
グリッドを表示	第 1 軸に垂直な細い線のグリッドを表示し、その軸に対して値を揃えやすくします。
軸スタイル	第 1 軸のスタイル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
	○ クリーン クリーン: 主軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし noTicks:主軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ [標準] のデフォルト:主軸に線と目盛りを追加します。
X 軸	
X 軸タイトル	可視化の横軸に表示するタイトル。
グリッドを表示	オンにすると、グラフにグリッド線が表示されます。
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400%ズームで自動的にアクティブになります。
凡例値を表示	カーソルを合わせたチャートの領域に対応する値を表示するオプション。値はツールヒントとしてチャートの凡例に表示されます。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中心、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。
凡例を垂直に展開	オンにすると、凡例の内容は、最大 2 行ではなく、スクロールしなくても凡例に収まるように必要なスペースを占めます。
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
色	
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
	○ カラーパレット：チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブル内の事前定義されたシステムパレットから選択するカラーパレットのリスト。グループ化されたデータまたは積み重ねデータの場合、色は最大値から最小値の順に適用されます。複数のデータソースの場合、パレットの色はデータソースの順番で適用されます。たとえば、パレットの最初の色は最初のデータソースに適用され、2 番目のパレットの色は 2 番目のソースに適用されます。同じカラーパレットを使用するすべての可視化は、表示するデータに関係なく、同じ色で表示されます。 ○ 固定要素の色：各要素のチャートの色テーブル [sys_report_chart_color] から特定の色を使用します。固定要素の色を使用するすべてのデータの可視化では、グローバルスコープの重要インシデントなどの同じ要素が同じ色で表示されます。 このオプションは、テーブルデータソースでのみ使用でき、複数のデータソースまたは測定基準が追加されておらず、[グループ] が定義されている場合にのみ使用できます。 **注:** [単一色] は、[グループ] が選択されていない場合にのみ使用できます。

8. [チャートの相互作用] で、ビューアーがビジュアリゼーション上のチャートまたはチャート セグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントを発生させることができます。
アクション	ユーザーがグラフまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[グラフのやり取りを許可] がオンの場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化におけるチャートインタラクション」を参照してください。 ○ [データビューに移動] は、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 レコードビューを開きます。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ [**URL** に移動] をクリックすると、指定した URL が開きます。この URL はインスタンス上または外部にあります。ツールヒントのあるビジュアリゼーションでは、ツールヒントに表示されるページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータによってフィルタリングされた別のデータの可視化を開きます。親の可視化のメトリクスごとにドリルダウンによる可視化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの最後のレベルのドリルダウンは、常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 [チャートへのドリルダウン] では 、テーブルデータソースのみがサポートされています。

9. [保存] を選択します。
移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックして [Data Visualization (データの可視化)] リストに戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

時系列可視化タイプのユースケース

時系列の視覚化では、データの傾向やデータの特定の変化を強調することができます。1 つのデータソースを表示することも、複数の関連するデータソースを比較することもできます。

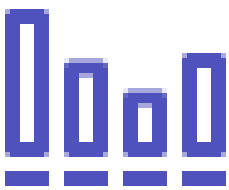
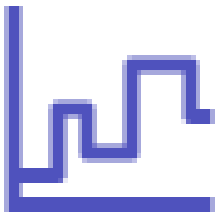
時系列可視化タイプ

可視化	説明とユースケース
インジケーターのスコアの傾向をチャート化する	
Line (線)	一連のデータポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。線グラフによる可視化を使用して、データの傾向を強調します。 線グラフによる可視化は、時系列を表示するための選択肢 (デフォルト) として考えてください。使用する可視化が不明な場合は、線グラフを使用してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

時系列可視化タイプ (続く)

可視化	説明とユースケース
インジケーターのスコアの傾向をチャート化する	
	
Spline (スプライン) 	一連のデータポイントを適合曲線で結び、1 つ以上の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。この曲線は、個々のデータポイントの傾向を強調しています。スプライングラフでは、既知のデータ ポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。
拡散 	X 軸の時間に対して、Y 軸の値の接続されていないポイントを表示します。通常は傾向ラインも表示されます。線でうまく接続できない広がりのあるデータで使用します。
データソース内のスコアの比較	
列 	比例する垂直列として表示して、値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。いずれかを使用して、1 つのデータソースの変化を可視化するか、データソースを比較します。データソースを縦棒グラフの可視化と比較するには、データソースを棒グラフの可視化に追加するか、複数の縦棒グラフの可視化をダッシュボードに並べて配置します。
ステップ 	個別の時点間でのデータソースの変化を強調します。特に線グラフによる可視化ではデータが不明瞭になる場合に、小さな増分変化を表示するために使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列可視化タイプ (続く)

可視化	説明とユースケース
インジケーターのスコアの傾向をチャート化する	
データソース間のスコアまたは傾向の比較	
Area (エリア) 	線グラフによる可視化に似ていますが、軸と線の間の面を色付けして強調します。複数のデータソースで使用すると、各データソースが全体に与える相対的な貢献度を強調できます。

時系列の可視化のためのテーブルデータオプション

次のデータ構成オプションは、テーブルデータのすべての時系列タイプの可視化で使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	時系列の可視化を作成 でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス 評価指標が複数ある場合は、[グラフタイプの変更] アイコンをクリックして、その評価指標の時系列グラフのタイプを変更できます。また、複数のメトリクスがある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインのメトリクスを選択し、各メトリクスの Y 軸を追加できます。最後に、最新バージョンの Data Visualizations アプリケーションを ServiceNow Store から入手した場合は、特定の測定基準にのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスのグラフオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプに一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に、そのうちの 1 つでグループ化するオプションがあります。 注: [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプによってデータをグループ化またはスタックすることはできません。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
トレンドの基準	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
集計期間	傾向を計算するために値を集計する期間。
[テーブル] の日付フィールド	集計の基準となるテーブルの日付フィールド。次のデータタイプのフィールドのみを選択できます。 • 日付 • 日付/時刻 • 期日 • 正確な時刻
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフィルターに従う	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスはフィルターに従います。 ServiceNow Store の最新のデータ可視化アプリケーションが必要です。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

時系列可視化のインジケーターデータオプション

次のデータ構成オプションは、インジケータースコアのすべての時系列タイプの可視化で使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データソース	時系列の可視化を作成 でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス 評価指標が複数ある場合は、[グラフタイプの変更] アイコンをクリックして、その評価指標の時系列グラフのタイプを変更できます。また、複数のメトリクスがある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインのメトリクスを選択し、各メトリクスの Y 軸を追加できます。最後に、最新バージョンの Data Visualizations アプリケーションを ServiceNow Store から入手した場合は、特定の測定基準にのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスのグラフオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の集計や月別平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。 **注:** AVG または SUM の計算は、インジケーターの [時系列を結果に適用] 設定によって異なります。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボード フィルターではサポートされていません。 • 合計でサポートされるブレークダウンのレベルは、データの可視化とダッシュボードフィルターを含めて 2 つのみです。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
日付範囲	
最大範囲を表示	利用可能な日付の最大範囲を表示するオプション。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
日付範囲の変更を許可	オンにすると、ビューアーに一連の事前定義されたオプションを含む日付範囲セレクターコントロールが表示されます。
追加の設定	
ターゲットを表示	インジケーターに対して定義されている場合にグローバルターゲット値を表示します。
予測を表示	現在の傾向データに基づいてチャートに予測データを表示するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 予測を生成するのに十分な履歴データがない場合、予測またはエラーは表示されません。
予測を構成	このデータ可視化の予測を構成するためのダイアログを開きます。データ可視化の予測の構成は、インジケーターなどのデータソースに設定されている構成を上書きします。この上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。 このオプションは、[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。詳細については、「時系列の可視化での予測の構成」を参照してください。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼区間を表示するオプション。[予測を表示] がオンの場合にのみ使用できます。
トレンドを表示	インジケーターの移動方向、または時間の経過に伴う値の変化を表示するオプション。
信頼帯を表示	インジケータースコアが移動している帯域幅を表示するオプション。
しきい値を表示	最高値や最低値など、選択したインジケーターに設定されたアクティブなしきい値セットを表示するオプション。しきい値は、選択したインジケーターに対して定義されている場合にのみ表示されます。
コメントを表示	データポイントに追加されたコメントを表示するオプション。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフィルターに従う	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスはフィルターに従います。 ServiceNow Store の最新のデータ可視化アプリケーションが必要です。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
フィルターを個別の系列として表示	オンに切り替えると、複数の要素を適用するフィルターがある場合、これらの要素はグラフに別々の線として表示されます。フィルターは、ダッシュボードまたは UIB ページに追加されるコンポーネントにすることも、データの可視化自体の「次のいずれか」フィルター条件にすることもできます。 この機能は、一度に 1 つのブレークダウンのみをサポートします。他のブレークダウンフィルターはチャートに影響しません。フィルターの優先順位は次のように機能します。 • データ可視化の最初の「is one of」フィルター条件は、他のすべてのフィルター条件およびすべての単一/複数選択フィルターコンポーネントを上書きします。 • 「次のいずれかである」フィルター条件がない場合、選択されている最初の複数選択フィルターが、他のすべての単一/複数選択フィルターとすべてのフィルター条件を上書きします。 • 最初のフィルターがクリアされると、別の複数選択フィルターが有効になります。 デフォルト:オフ。すべての要素に対して 1 本の集計線が表示されます。 ServiceNow Store の最新のデータ可視化アプリケーションが必要です。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 時系列の可視化のデータオプション

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータのすべての時系列タイプの可視化で、次のデータ構成オプションを使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データソース	時系列の可視化を作成 でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス 評価指標が複数ある場合は、[グラフタイプの変更] アイコンをクリックして、その評価指標の時系列グラフのタイプを変更できます。また、複数のメトリクスがある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインのメトリクスを選択し、各メトリクスの Y 軸を追加できます。最後に、最新バージョンの Data Visualizations アプリケーションを ServiceNow Store から入手した場合は、特定の測定基準にのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスのグラフオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
イベントプロパティ [eventPropertyValue]	プロパティを持つ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス イベントソースに対して選択するプロパティのリスト。 注: イベントメトリクスにのみ適用されます。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
トレンドの基準	
アグリゲーション期間 [trendByFrequency]	傾向を計算するために値を集計する期間。
日付範囲	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
最大範囲を表示	利用可能な日付の最大範囲を表示するオプション。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
日付範囲の変更を許可	オンにすると、ビューアーに一連の事前定義されたオプションを含む日付範囲セレクターコントロールが表示されます。
デフォルトで範囲ピッカーを表示	オンにすると、日付範囲セレクタがビューアーに表示されるので、ビューアーはこれを開かなくても済みます。オフの場合、ビューアーは [その他のオプション] メニューの日付範囲セレクタを開く必要があります。 デフォルト:オフ (false)
追加の設定	
予測を表示	現在の傾向データに基づいてチャートに予測データを表示するオプション。ライセンス パフォーマンスアナリティクスが必要です。 **注:** 予測を生成するのに十分な履歴データがない場合、予測またはエラーは表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
予測を構成	このデータ可視化の予測を構成するためのダイアログを開きます。データ可視化の予測の構成は、インジケーターなどのデータソースに設定されている構成を上書きします。この上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。 このオプションは、[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。詳細については、「時系列の可視化での予測の構成」を参照してください。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼区間を表示するオプション。[予測を表示] がオンの場合にのみ使用できます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフィルターに従う	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスはフィルターに従います。 ServiceNow Store の最新のデータ可視化アプリケーションが必要です。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メトリックベース 時系列の可視化のデータオプション

メトリックベースデータのすべての時系列タイプのチャート化では、次のデータオプションを使用できます。

フィールド	説明
データソース	時系列の可視化を作成 でメトリックベースデータソースを選択しました。
メトリクス 評価指標が複数ある場合は、[グラフタイプの変更] アイコンをクリックして、その評価指標の時系列グラフのタイプを変更できます。また、複数のメトリクスがある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインのメトリクスを選択し、各メトリクスの Y 軸を追加できます。最後に、最新バージョンの Data Visualizations アプリケーションを ServiceNow Store から入手した場合は、特定の測定基準にのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスのグラフオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
測定基準	測定基準は MetricBase データベースで決定されます。
変換	データに変換を適用するオプション。たとえば、[エンベロープ] を選択すると、データセット内の最小値と最大値 (エンベロープ) を表示できます。詳細については、「 メトリックベース変換」を参照してください。
時間範囲に基づく動的期間	有効にすると、時間範囲に従ってアグリゲーション期間が設定されます。時間範囲 < 4 時間：分単位の集計。時間範囲 4 時間 - 3 日：時間単位の集計。3 日間の時間範囲>:日次集計。 トランスフォームがリサンプル(Resample)の場合にのみ適用されます。
ラベル	変換に適用するラベル。 このプロパティは 、[変換] が [ラベル] の場合にのみ適用されます。
モデル	データの変換に使用する予測モデル。モデルがまだ存在しない場合は、作成できます。詳細については、「 予測モデルを使用したメトリックベースデータの異常の検出 」を参照してください。 このプロパティは 、Transform が Predict の場合にのみ適用されます。
カウント	メトリクスデータセットに表示する値の数を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティは、[変換] が [上] または [下] の場合にのみ適用されます。
被加数	データセットのデータポイントに追加する値を指定します。 このプロパティは 、[変換] が [追加] の場合にのみ適用されます。
減数	データセット内のデータ ポイントから減算する値を指定します。 このプロパティは、[変換] が [減算] の場合にのみ適用されます。
係数	データセット内のデータ ポイントに乗算する値。 このプロパティは 、[変換] が [乗算] の場合にのみ適用されます。
除数	データセット内のデータポイントを除算する値。 このプロパティは 、[変換] が [除算] の場合にのみ適用されます。
期間	結果の計算に使用される新しいデータポイントの指定された期間。 このプロパティは、[変換] が [補間] の場合にのみ適用されます。
小数部	新しいデータセットを作成する基になるデータのパーセンタイル。 このプロパティは 、[変換] が [変位値] の場合にのみ適用されます。
関数	新しいデータセットの計算に使用される集計関数。 このプロパティは、[変換] が [リサンプル]、[フィルター]、または [パーティション] の場合にのみ適用されます。
期間	データセットに適用する新しい期間。 このプロパティは 、Transform が Resample の場合にのみ適用されます。
ウィンドウ	新しいデータセットを作成するための、指定された期間のスライディング時間枠。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティは 、[変換] が [フィルター] または [パーティション] の場合にのみ適用されます。
ベース	パーティションウィンドウを整列するためのタイムスタンプ。 このプロパティは 、[変換] が [パーティション] の場合にのみ適用されます。
値をフォーマット	選択すると、[値の書式設定] ダイアログが開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
書式設定	デフォルト、数値、または期間の形式を選択
- 数値形式	
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下の桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションがあります。 • 上へ 上 へ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア FLOOR • ハーフアップ HALF_UP • 半分以下 HALF_DOWN • 偶数HALF_EVEN半分 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	1,000 単位のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
--期間形式	
単位形式	時間単位を短縮するか、完全な単語を使用するオプション
最大期間単位	表示時の最大の時間単位
最小期間単位	表示における最小の時間単位
期間が 1 分を超える場合は秒を非表示	秒が期間の最小単位である場合、これをオンにすると、期間が 1 分を超えると秒が非表示になります。
ツールヒントに元の値を表示	表示されたメトリクス値をポイントすると、デフォルトの書式設定された値がツールヒントに表示されます。
例	書式設定されたメトリクス値の例
グループ	
Group By (グループ)	グループ化の基準となる MetricBase データソースのフィールド。たとえば、[監視可能なアイテム] データソースを可視化する場合、[作成者]、[名前]、[プライマリ]、[タグ]、[タイプ]、または [更新者] でグループ化できます。
代替グループ化基準を追加	この選択によりダイアログが開き、ビジュアリゼーション内のデータをグループ化するための追加アイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「実行時にグループ化値を選択する」を参照してください。
日付範囲	
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
日付形式	X 軸の日付形式を定義します。 • デフォルト デフォルト • 日付 日付 • 月 月
日付範囲の変更を許可	オンにすると、ビューアーに一連の事前定義されたオプションを含む日付範囲セレクターコントロールが表示されます。
デフォルトで範囲ピッカーを表示	オンにすると、日付範囲セレクタがビューアーに表示されるので、ビューアーはこれを開かなくても済みます。オフの場合、ビューアーは [その他のオプション] メニューの日付範囲セレクタを開く必要があります。 デフォルト:オフ (false)
追加の設定	
予測を表示	現在の傾向データに基づいてチャートに予測データを表示するオプション。ライセンス パフォーマンスアナリティクスが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 予測を生成するのに十分な履歴データがない場合、予測またはエラーは表示されません。
予測を構成	このデータ可視化の予測を構成するためのダイアログを開きます。データ可視化の予測の構成は、インジケーターなどのデータソースに設定されている構成を上書きします。この上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。 このオプションは、[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。詳細については、「時系列の可視化での予測の構成」を参照してください。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼区間を表示するオプション。[予測を表示] がオンの場合にのみ使用できます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフィルターに従う	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスはフィルターに従います。 ServiceNow Store の最新のデータ可視化アプリケーションが必要です。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されないときに表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
位置調整	メッセージ内のイラストとテキストの配置。

時系列の可視化での予測の構成

時系列の可視化が予測を表示するように構成されている場合は、その可視化の予測を構成できます。

始める前に

この手順では、テーブル以外のデータソースの 時系列の可視化 を作成し、その可視化の予測を構成することを前提としています。

> **注:**
> テーブルデータの時間帯または曜日の集計はサポートされていません。

必要なロール:時系列の可視化を作成できる任意のロール。インジケーター以外のデータソースの場合は、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションも必要です。

このタスクについて

データの可視化で予測を構成する場合、データソースに設定されている予測構成 (インジケーターなど) を上書きします。上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。

手順

1. 時系列の可視化の構成パネルを開きます。
2. **[Additional settings** (追加設定)] で [**Show forecast** (予測を表示)] を有効にします。
   テーブルデータソースは予測をサポートしていません。
3. [予測の構成] を選択します。
   [予測の構成 **(Configure forecast**)] ペインが開きます。
4. 次のフィールドに入力します。

フィールド	**Description** (説明)
予測方法	このインジケーターの値を予測するためにシステムが使用する統計手法。デフォルト値は [自動] です。これは、システムによってデータに最適な方法が選択されることを意味します。詳細については、「予測方法」と「予測方法の自動選択」を参照してください。
期間の長さ	時系列のパターンを確立するために必要なデータポイントの数。 「 デフォルトを使用」を選択した場合、期間の長さはデータ・ソースの頻度によって異なります。たとえば、日次頻度の時系列の期間の長さは、デフォルトでは 7 データポイントです。詳細については、「デフォルトの予測期間の長さ」を参照してください。
先読みする期間の数	スコアを予測する将来のデータ期間の数。
予測範囲の下限	予測スコアの意味のある最小値。この値よりも低いスコアが予測されると、代わりにこの値が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
予測範囲の上限	予測スコアの意味のある最高値。この値よりも高いスコアが予測されると、代わりにこの値が表示されます。

5. 予測の基にするデータを選択します。

オプション	説明
可視化日付範囲	可視化の日付範囲内のすべてのデータ
前の期間	予測の基礎となる現在までのデータ期間の数。これらのデータ期間は、[期間の長さ] のデータ期間と同じ長さです。 前の期間を選択した場合は、[考慮する期間の数] フィールドで期間の数も指定します。
特定の開始日	開始日以降に収集されたすべてのスコア。[特定の開始日] を選択した場合は、[開始日] も指定します。

⚠ 警告:
予測を生成するのに十分なデータポイントがない場合、予測もメッセージも表示されません。

関連情報

パフォーマンスアナリティクススコア予測

予測方法

予測では、標準的な統計手法が使用されます。方法を選択することも、システムに自動的に選択させることもできます。

メソッド	説明
リニア	定数と傾向を説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。
季節雇用	季節ダミーを説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。 この分析の「季節」は 1 つの期間です。
季節傾向	季節性がありますが、説明変数として傾向が含まれています。
Loess による季節傾向分解 (STL)	最適な関数に基づいて季節予測を生成します。この方法は、指数関数的に重み付けされた移動平均アプローチを使用して、傾向、季節、およびランダムノイズプロセスをデータに適合させます。予測は完全なデータセットに基づいており、最近の観測結果ほど重み付けが高くなります この分析の「季節」は 1 つの期間です。
ランダムフォ	意思決定ツリーの組み合わせを作成し、これらのツリーによって生成された予測を平均して単一の予測を取得します。ランダム性は、利用可能なデータと入力のランダムなサ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メソッド	説明
レスト (RF)	ブセットからビルドされた各ツリーに由来します。ランダムフォレスト手法の詳細については、この「Medium の記事」を参照してください。
自己回帰 (AR)	自己回帰 (AR) モデルは、傾向、季節ダミー、および過去の値の線形結合を使用して、インジケーターの将来の値を予測します。ランダムフォレスト (RF) モデルと同様に、AR モデルは最適な遅延数をチェックします。ただし、AR モデルは現在と過去の値を直線的に関連付けますが、RF モデルは非線形です。

予測方法の自動選択

統計の専門家は、予測方法を手動で選択できます。デフォルトでは、インスタンスはメソッドの適合性に基づいて最適なメソッドを自動的に選択します。

最適な予測方法を決定するために、インスタンスは履歴データで各予測方法を使用して予測を生成します。インスタンスは、どの程度先まで予測するかに基づいて、それらの予測と最新のデータを比較します。インスタンスは、予測を表示するたびにこの評価を実行します。したがって、追加のスコアを収集したり、予測期間を変更したりすると、使用される予測方法が変更される可能性があります。

日次頻度の パフォーマンスアナリティクス インジケーターの時系列によるチャート化を考えてみましょう。7 日間の期間の長さを使用し、前の 2 つの期間に基づいて予測を行うように、視覚化で予測を構成します。インスタンスは、2 週間以上前の履歴データに各予測方法を適用します。次に、インスタンスはそれらの予測を最新の 2 週間のデータと比較します。次に、最新の 2 週間分のデータに最も近い予測が、データ セット全体を使用して再計算されます。可視化には、この最終計算の結果が表示されます。

デフォルトの予測期間の長さ

予測期間のデフォルトの長さは、データソースの頻度によって異なります。すべてのデータソースの頻度が同じというわけではありません。

すべてのデータソースに共通のデフォルトの期間の長さ

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
日次	7	1 週間
週次	13	1 四半期
隔週	6	1 四半期
4 週間ごと	13	1 年
月次	12	1 年
隔月	6	1 年
四半期ごと	4	1 年
会計四半期ごと	4	1 年
半年ごと	2	1 年
年次	4	4 年
会計年度ごと	4	4 年

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に固有のデフォルトの期間の長さ メトリックベース

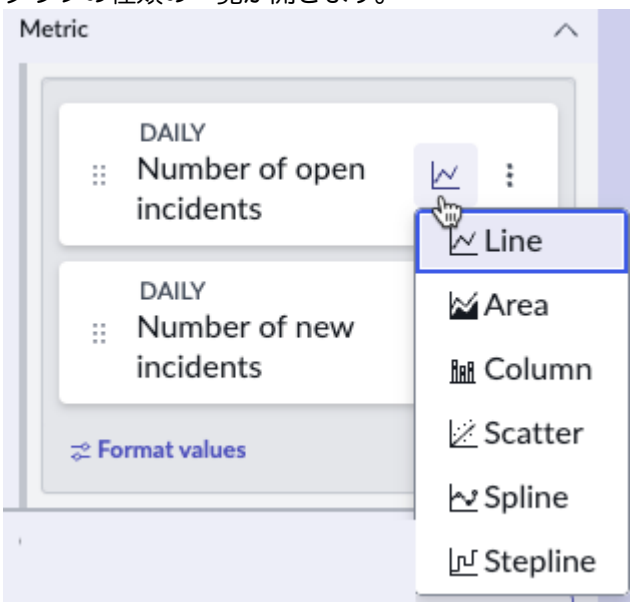
スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
毎分	100	動的、クエリに応じてデータソースによって制御

複数のメトリクスのグラフオプション

データの可視化で複数のメトリクスを表示する場合は、各メトリクスのビジュアリゼーションタイプと Y 軸スケールを設定できます。ServiceNow Store から最新の Data Visualizations アプリケーションがインストールされている場合は、ダッシュボードのフィルターを特定のメトリクスにのみ適用することもできます。

https://player.vimeo.com/video/1002743383?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

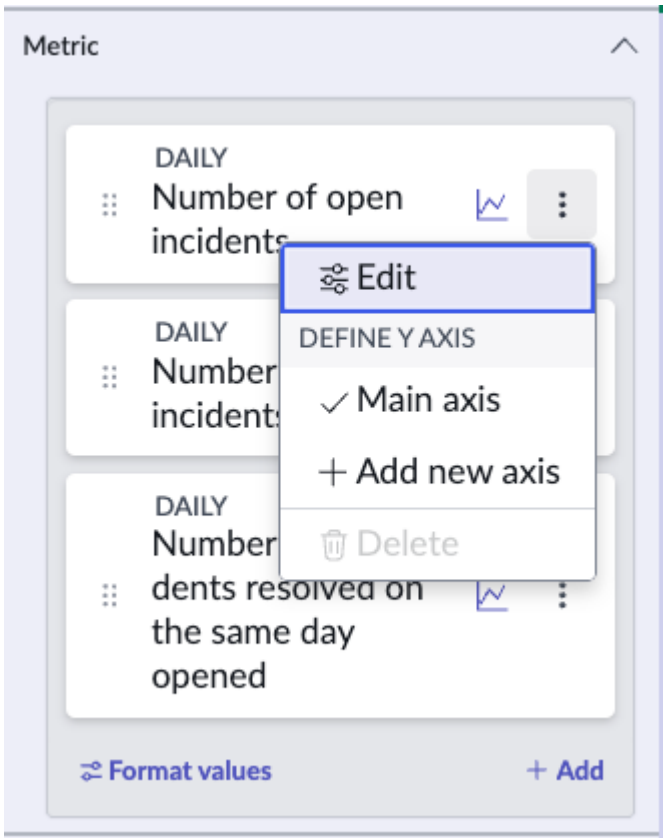
複数のデータソースを含むデータの可視化がある場合、データソースごとに個別のメトリクスがあります。時系列データの可視化では、メトリクスごとに個別のチャートタイプを選択して、チャートを読みやすくすることができます。各メトリック タイルでグラフ アイコンを選択すると、選択できるグラフの種類の一覧が開きます。



時系列によっては、メトリクスが同じ Y 軸スケールを共有している場合、メトリクスの値の範囲の差によってメトリクスの読み取りが困難になることがあります。この場合、メトリクスに個別の Y 軸スケールを設定できます。メトリクスタイルの [その他のオプション] アイコンを選択して、メトリクスの Y 軸を追加します。ただし、Y 軸の目盛りが多すぎるとグラフが読みにくくなるため、この関数は控えめにしてください。また、Y 軸が複数ある場合は、各 Y 軸に短くて明確なラベルを付けてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

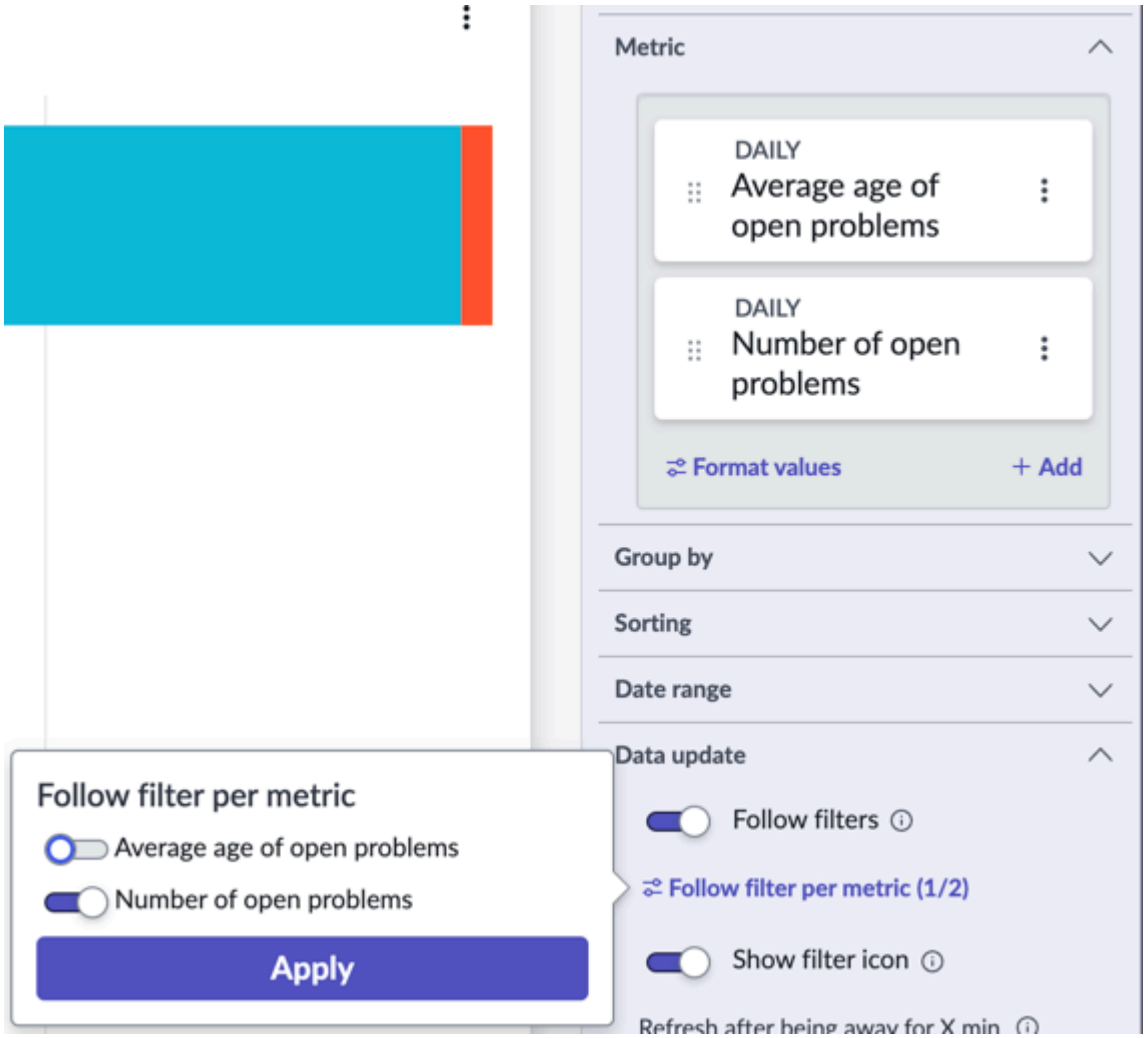


複数のメトリクスを表示する時系列または棒グラフの可視化で [フィルターに従う] がアクティブ化されている場合、構成パネルには [メトリクスごとにフィルターに従う] という展開可能なアイテムが表示されます。このアイテムを展開すると、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えることができます。

たとえば、[Number of open problems (未解決の問題の数)] と [Average age of open problems (未解決の問題の平均経過時間)] を示す棒グラフによるチャート化を考えてみましょう。この可視化を構成すると、[オープン問題の数] がダッシュボードの該当するフィルターに追従し、[問題の平均経過時間] には従わないようにできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



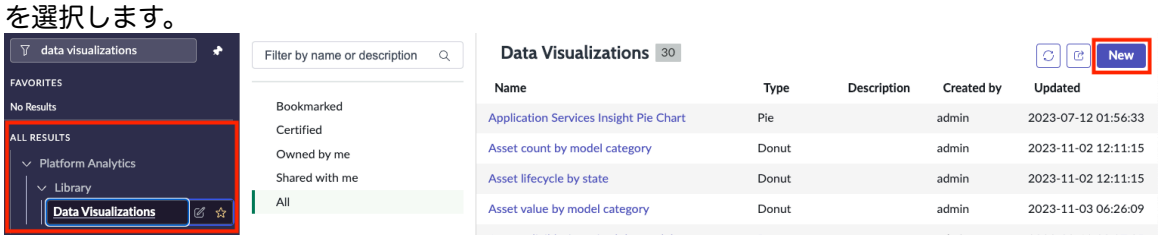
重要:
メトリクスごとにフィルターに従うオプションは、 ServiceNow® Store の最新の Data Visualizations アプリケーションに含まれています。

時系列の可視化の例

時系列の可視化では、時間の経過に伴うデータの変化が示されます。この例は、単一のインジケーターデータソースから開始し、複雑さを増しています。

この例では、オープンインシデント数の経時的な変化を示す必要があります。次に、傾向を表示し、優先度別に分類されたオープンインシデントの数を表示します。最後に、オープンインシデントの数と新規インシデントの数を比較します。

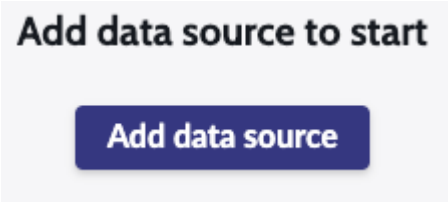
1. まず、統一ナビゲーションで「Data **Visualizations** (データの可視化)」を検索し、[**New** (新規)] を選択します。



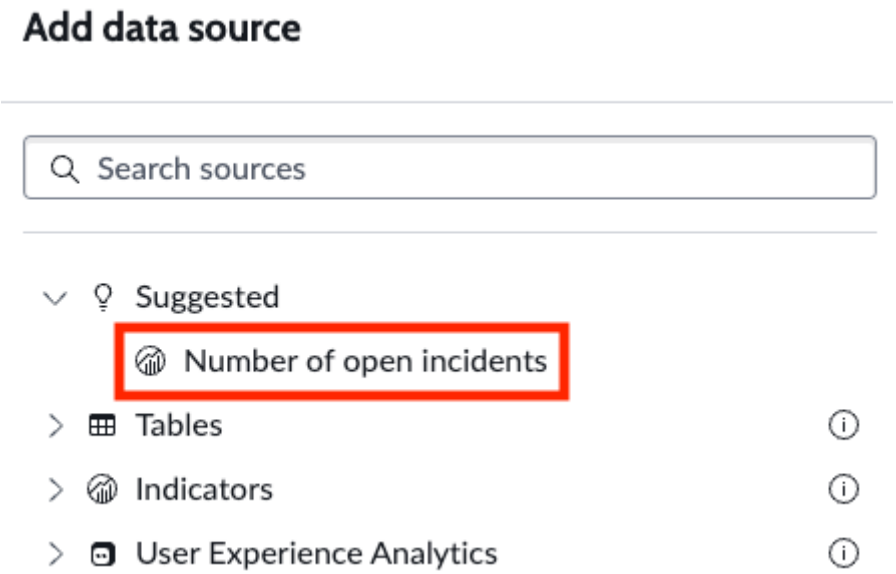
2. 空の新しいデータ可視化で、[**Add data source** (データソースを追加)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

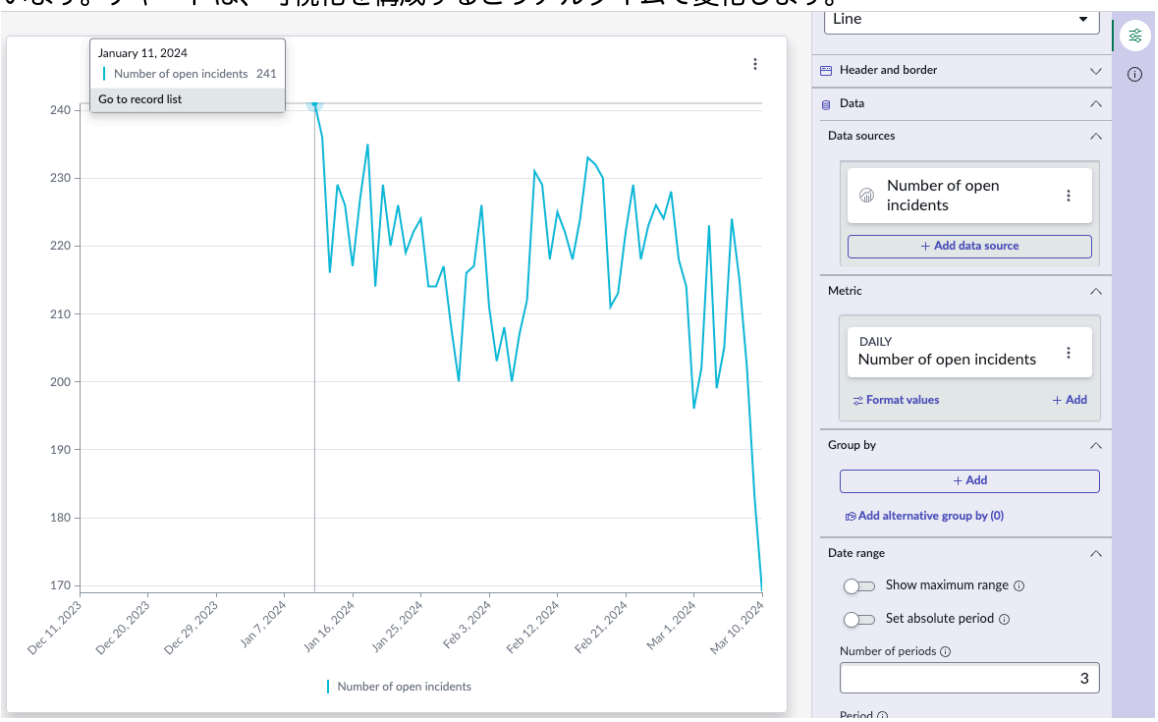
自動翻訳



3. インジケーター[オープンインシデントの数]を使用します。幸いなことに、このインジケーターは以前に使用されており、[提案されたデータソース]の下にリストされているため、検索の手間が省けます。[Number of open incidents (オープンインシデントの数)] は、その横に小さな列と傾向のアイコンが表示されていることから、インジケーターデータソースであることがわかります。



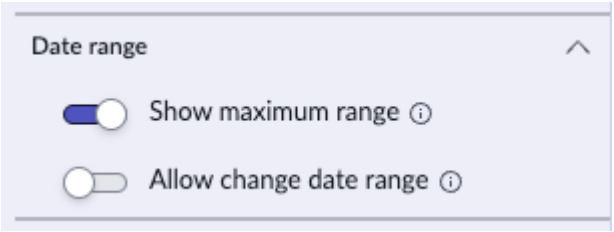
4. ビジュアリゼーションに戻ると、線グラフタイプがデフォルトで選択されていることがわかります。線グラフは時系列の最も一般的なタイプであり、時系列はインジケーターの通常の視覚化です。また、折れ線グラフの隣に、このデータ可視化用の [Configuration (構成)] パネルが開かれています。チャートは、可視化を構成するとリアルタイムで変化します。



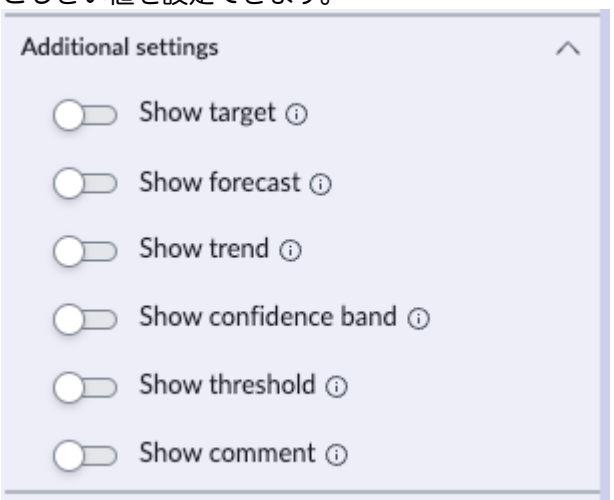
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. インジケーターを作成したばかりが 1 月 11 日であるため、データの表示はあまり良くありません。幸いなことに、[構成] パネルには、表示される日付をトリミングできる [日付範囲] セクションがあります。この場合、 [最大範囲を表示] を選択すると、データがあるすべての日付が表示されますが、それらの日付のみが表示されます。



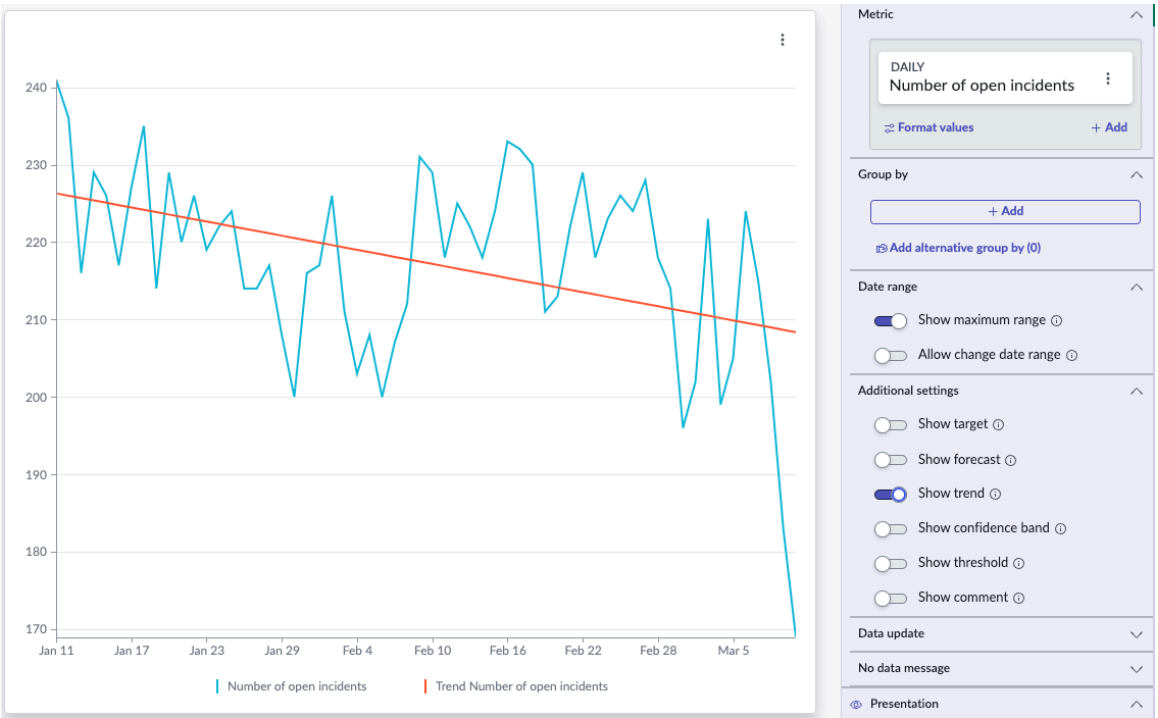
6. また、このデータについてさらにどのような情報を提供できるかを確認したいので、[**Additional settings**] セクションを展開します。インジケーターの場合、これらの設定は KPI 詳細 チャートオプションと同じです。詳細についてはのチャートオプション KPI 詳細KPI 詳細ドキュメントの「」を参照してください。必要なロールがある場合は、 KPI 詳細でインジケーターのターゲットとしきい値を設定できます。



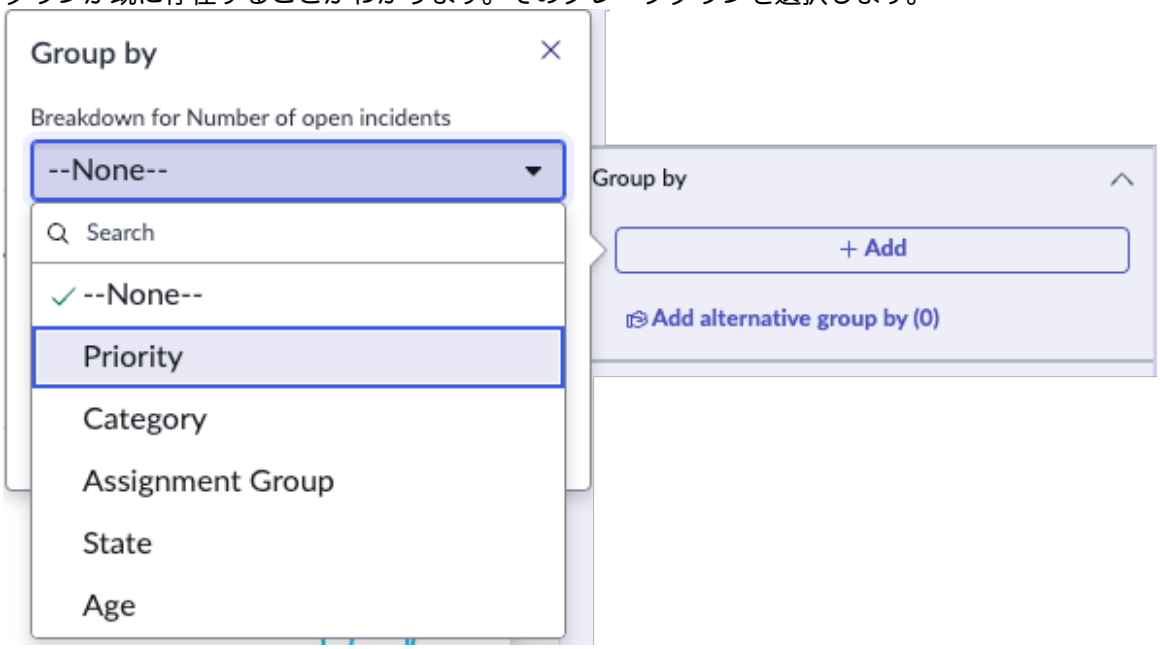
7. データの傾向を示して、クリスマス休暇前にインジケーターがどこに向かっていたのかを視聴者に伝えることにしました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. ここで、このデータの可視化を複製し、優先度に従ってインシデントの数をグループに分割するという新しいタスクが作成されました。時系列の可視化でデータをグループ化するには、構成パネルの [**Group by** (グループ化)] セクションを選択します。そのセクションを展開すると、[Number of open incidents (オープンインシデントの数)] インジケーターの [Priority (優先度)] ブレークダウンが既に存在することがわかります。そのブレークダウンを選択します。



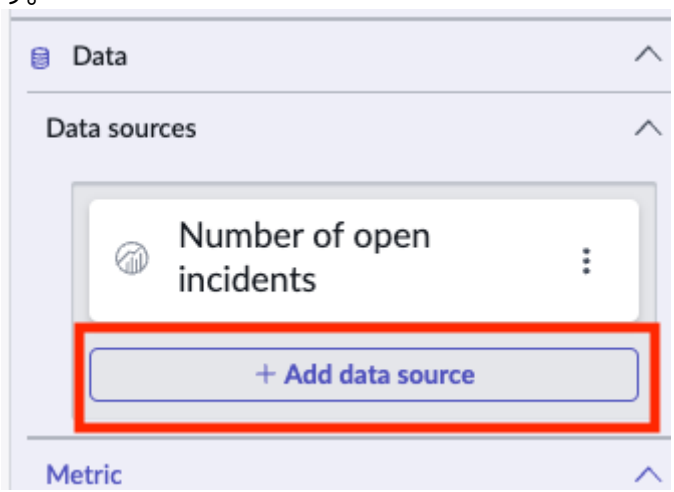
9. [グループ] の値ごとに個別の行が表示されます。ここでは、傾向を表示できなくなったことがわかります。構成パネルの 追加設定 セクションを再度展開すると、[グループ] の値を設定したため、予測以外の追加情報を表示できないことがわかります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



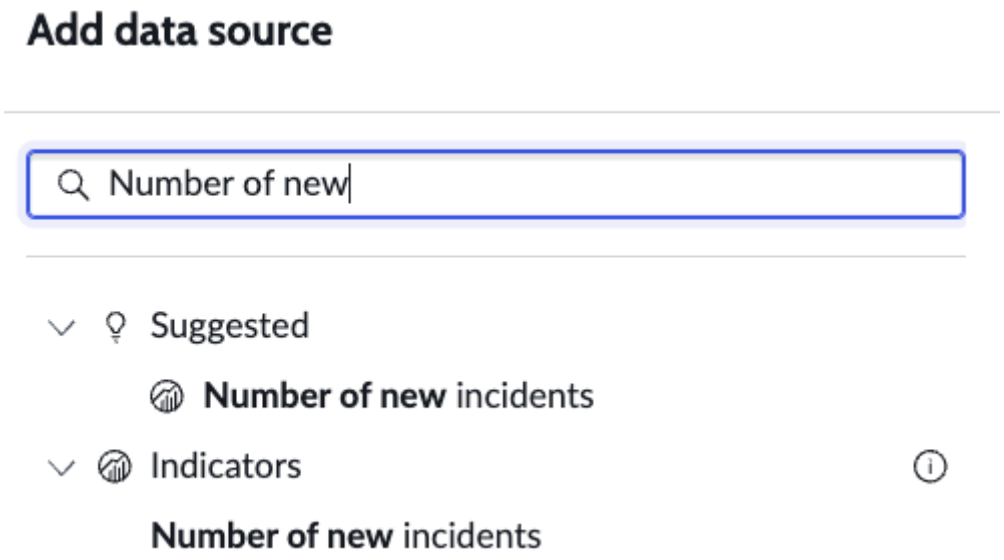
10. これで、比較のために同じ可視化に [Number of new incidents (新規インシデントの数)] インジケーターを表示するという追加の要件ができました。このインジケーターを表示するには、構成パネルの [データ] セクションを展開し、[データソース] で **[+** データソースの追加] を選択します。



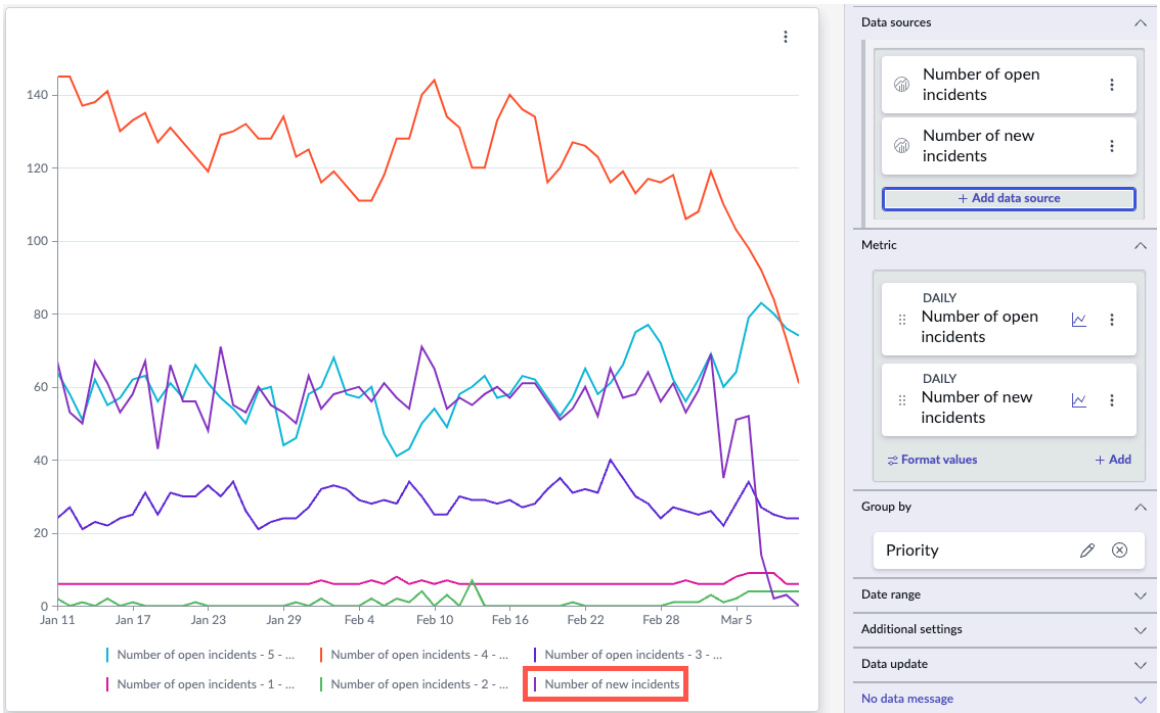
11. 次に、新規インシデントの数インジケーターを検索して追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



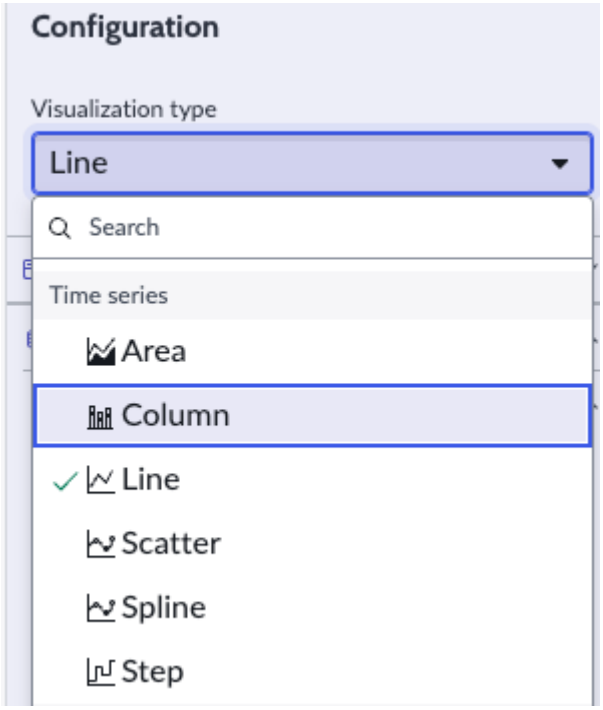
その結果、可視化に [Number of new incidents (新規インシデント数)] の新しい線が作成されます。



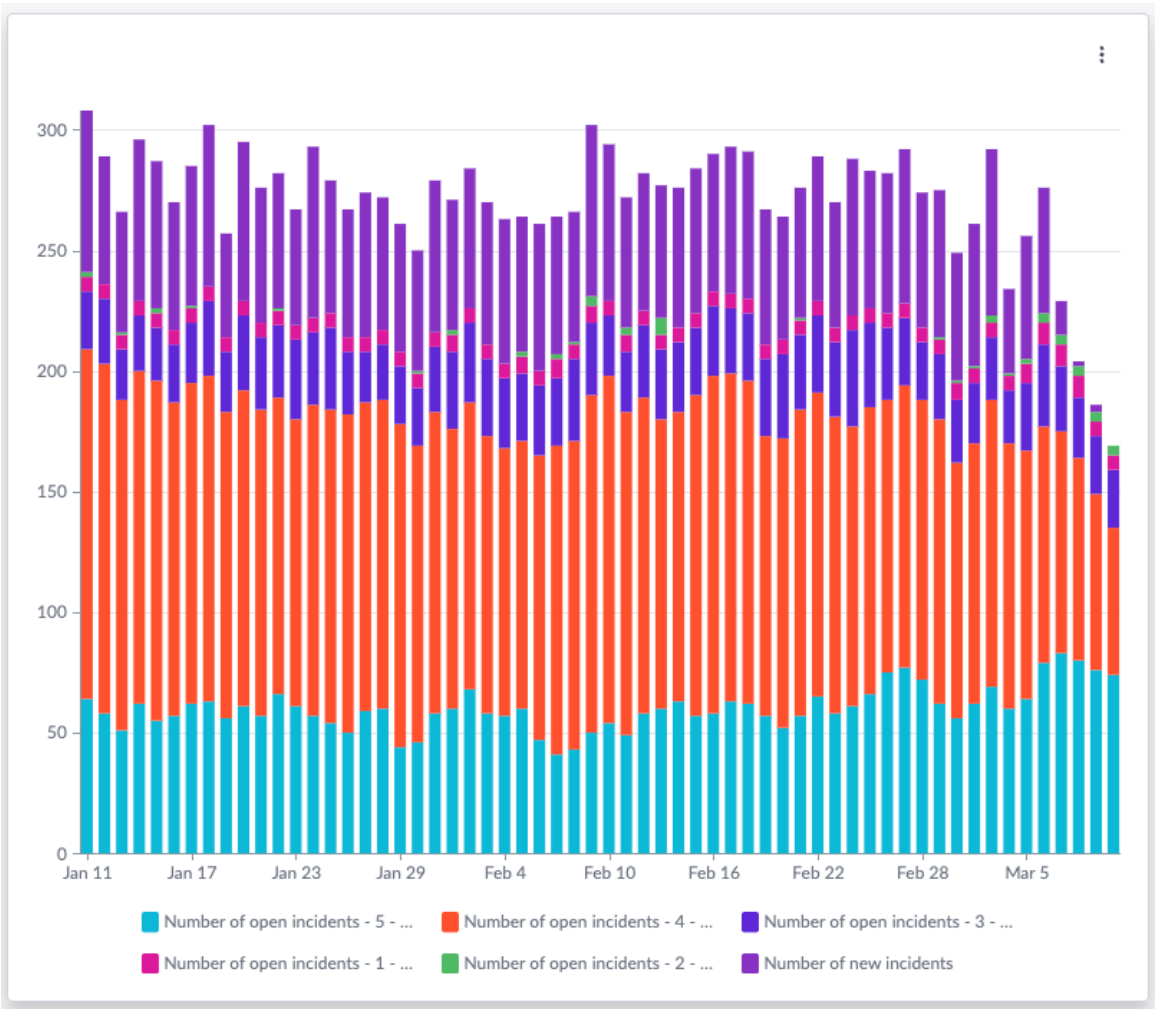
12. これは読みづらく、これが最適な視覚化かどうか確信が持てません。時系列可視化タイプのユースケースを読んだ後、視覚化を列表示に変更することにしました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



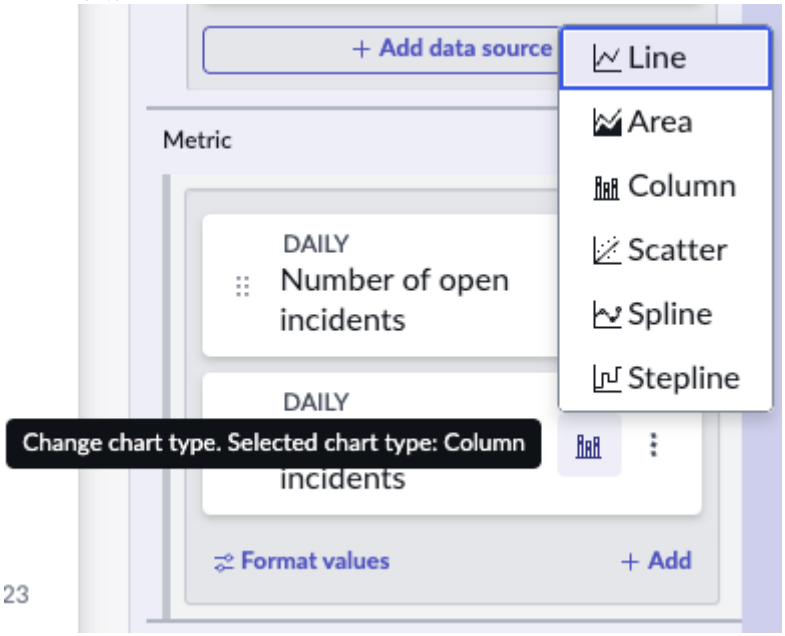
13. これは確かに改善ですが、あなたはまだ改善できると思います。



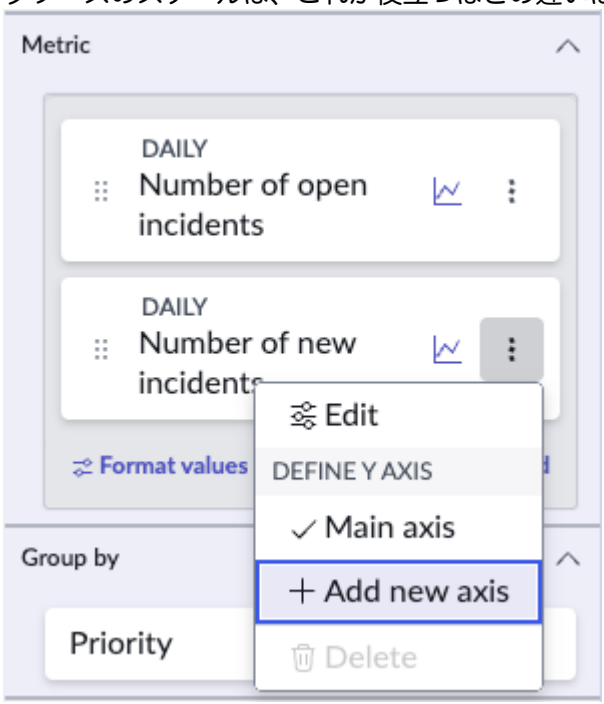
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

14. 幸いなことに、メトリックごとに異なる視覚化タイプを設定できます。[メトリクス] タイルに移動し、[新規インシデントの数] の可視化タイプアイコンの下にあるメニューを展開します。ここで、もう一度 [Line (線)] ビジュアライゼーションを選択します。これは、メトリクスが複数ある場合にのみ実行できます。



15. また、各メトリック タイルの [その他のオプション] メニューから、[オープン インシデントの数] と [新規インシデントの数] に異なる Y 軸を設定するオプションもあります。ただし、2 つのデータソースのスケールは、これが役立つほどの違いはありません。



16. ビジュアライゼーションはまだ少しビジー状態ですが、カーソルを列に合わせると、その日付のスコアの内訳を確認できます。

自動翻訳

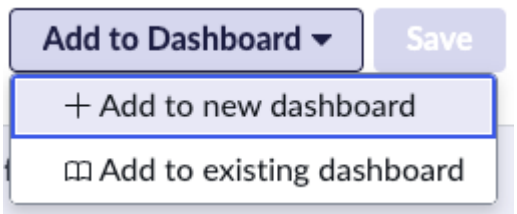
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

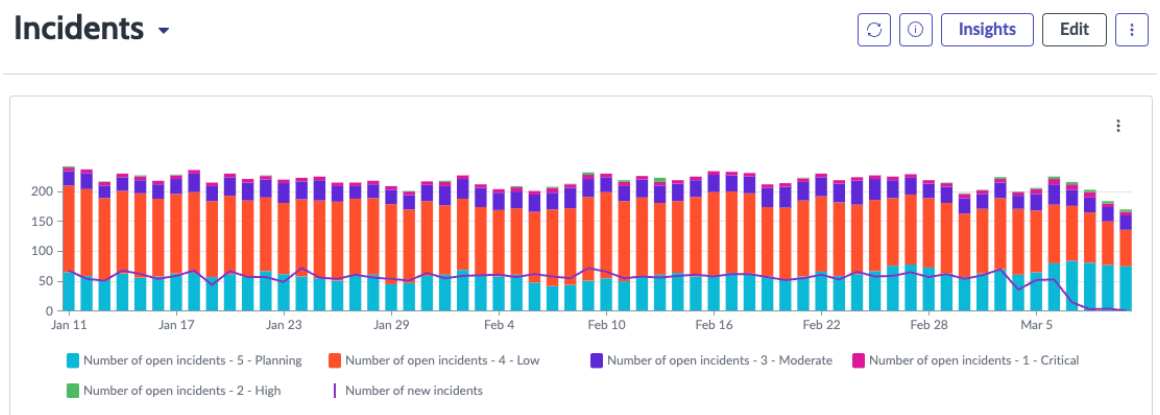


17. 最後に行うことは、凡例を読みやすくすることです。現時点では、各優先度が実際に何であるかを視聴者が確認する前に、エントリが切り捨てられています。そこで、凡例アイテムの幅を 300px に拡大してみます。



18. 上手くいきました。可視化を保存すると、ダッシュボードに追加する準備が整います。適切なロールがある場合は、他のダッシュボードデザイナーが使用できるように可視化をデータ可視化ライブラリに保存できます。





可視化デザイナーでのカレンダーの可視化の作成

カレンダーの可視化を作成して、日付駆動型のイベントを表示および強調表示します。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するに

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このビジュアル化タイプの詳細については、ServiceNow 開発者サイト の「カレンダー レポートの概要」を参照してください。

このタスクについて

カレンダーの可視化は、ほとんどのデータの可視化よりも長い期間にわたるアクティビティを表示するために使用されます。日付固有の情報を小さなスペースに凝縮する場合に使用します。

ダッシュボードでのカレンダー レポートのビジュアライゼーションの使用については、以下を参照してください。 the 開発者サイト .

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. [カレンダー ( )] 可視化タイプを選択します。
4. コンポーネントヘッダーを構成します。

フィールド	**Description** (説明)
コンポーネントタイトル	共有されている情報を反映したカレンダーの可視化のタイトルを指定します。
コンポーネントの説明	可視化に役立つ説明を入力します。
説明を表示	情報アイコン ( ) を可視化に追加する場合に選択します。

5. [構成] パネルで、ソーステーブル、事前定義された条件、日付範囲、およびフィルターオプションを指定します。

データフィールド	**Description** (説明)
テーブル	カレンダーイベントをレポートするテーブルまたはデータベースビューを選択します。インシデント [incident] テーブルを選択する
事前定義された条件	事前定義された条件でテーブルをフィルタリングします。[Active is true] を選択します。
フィルターテーブルを編集	可視化のフィルター条件を設定します。
開始日フィールド	イベントの開始日を含むテーブルのフィールドで [オープン] を選択します。
終了日フィールド	イベントの終了日を含むテーブルのフィールドである [クローズ済み] を選択します。
イベント表示フィールド	表示するイベントをテーブルから選択します。カレンダー ビジュアリゼーションのセルは比較的小さいため、小さい数を選択します。この例では、[number] と [short_description] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データフィールド	**Description** (説明)
フィルターに従う	有効にすると、可視化は、同じダッシュボードタブ内またはダッシュボード全体のすべてのフィルターに従います。
フィルターの概要を表示	事前定義された条件をすべて表示する可視化パネルを有効にします。
デフォルトビュー	カレンダーのデフォルトビューを選択します。オプションは、[日]、[週]、[作業週]、および [月] です。この可視化ではユーザーがビューを選択できるため、まずは [Week (週)] から始めます。

6. [保存] を選択します。
   移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックして [Data Visualization (データの可視化)] リストに戻ります。

タスクの結果
アクティブなインシデントを番号と簡単な説明で表示し、デフォルトの週のビューで表示するカレンダーの可視化を作成しました。

次のタスク
- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

[store-future: BEGIN review]

カレンダーの可視化の例

カレンダーデータの可視化では、日付駆動型のイベントがカレンダーグリッドに表示されます。

始める前に
必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて
X と Y を表示するには、この可視化タイプを使用します。

手順
1. 最初の手順に従って 可視化デザイナーでのカレンダーの可視化の作成します。
   a. 移動先 ワークスペース > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) ワークスペース、または アナリティクスセンター ( ) コンポーネントを含む別のワークスペース。アクセスできるワークスペースは異なる場合があります。
   b. [データの可視化] タブを選択します。
   c. [新規] を選択します。
   d. カレンダー ( ) の可視化タイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. ここでは、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動できます。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. オープンインシデントに関心があるため、Incidents.Open 条件を追加して、可視化にアクティブなインシデントの数のみが表示されるようにしましょう。

[End]

可視化デザイナーでのシンプルなリストによる可視化の作成

リスト レポートでは、拡張可能なリストの形でデータが表示されます。たとえば、優先度別にグループ化されたインシデント レポートには、優先度名と、ユーザーが優先度を選択した場合に表示されるレコード数のみが表示されます。リストを展開表示するか折りたたみ表示するかを構成できます。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの簡易リストの使用については、以下を参照してください。 the 開発者サイト .

> **注:**
> スポットライトの情報を簡易リストに含めることができます。スポットライト [spotlight] テーブルからの情報を表示するようにリストを設定します。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのスポットライト」を参照してください。スポットライト機能の一般的な情報については、「 スポットライトでレコードをランク付けする」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. 「リスト - シンプル」(☰) 可視化タイプを選択します。
4. タイトル、フィルター、表示列、ハイライト表示される値を構成します。

フィールド	説明
テーブル	簡易リストレポートのソーステーブルを選択します。
固定フィルターを編集	クエリ条件をテーブルに適用します。ここで指定する条件は、実行時に変更できません。
フィルターを編集	可視化に追加のフィルター条件を指定します。
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
列	表示する列を選択します。
表示される列の数	選択したビューの列が多すぎる場合は、表示する列の最大数を設定できます。
Group By (グループ)	リストをグループ化するフィールドを選択します。実行時には、このフィールドは折りたたまれており、ユーザーが展開できます。たとえば、優先度別にグループ化すると、ユーザーには優先度名のみが表示され、名前を選択してその優先度のすべてのレコードを表示できます。
最大行	表示される行の最大数を指定します。行数が (フィルタリングされた) リストの合計行数よりも小さい場合、[すべて表示] へのリンクが可視化の下部に追加されます。(このリンクを削除するには、[[すべて表示] フッターを非表示にする) を選択します。)
最大列数	表示される列の最大数を指定します。

5. エンドユーザー機能を構成します。
トグルスイッチを動かして、これらの機能を非表示にします。

フィールド	**Description** (説明)
列のパーソナライゼーションのオプションを非表示	列を追加、削除、および順序変更する機能を無効にする
ドット連結を無効化	リストのカスタマイズでドットウォーク機能を無効にします。(列をカスタマイズするオプションを非表示にするオプション がオフの場合にのみ有効です。
列をドラッグアンドドロップするオプションを非表示	チェックマークが付いていない場合、ユーザーは実行時にリストの列を並べ替えることができます。
レコードをグループ化するオプションを非表示	オフの場合、ユーザーは使用可能な列の値でリストをグループ化できます。
列のサイズ変更を非表示	オフの場合、ユーザーは列をドラッグして幅を変更できます。
列のフィルターを非表示	オフの場合、ユーザーは列ヘッダーからリストのコンテンツをフィルタリングできます。
列のソートを非表示	チェックマークが付いていない場合、ユーザーは列見出しからリストの内容をソートできます。

6. ヘッダーを構成します。
トグルスイッチを動かして、これらの機能を非表示にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
ヘッダーを非表示	可視化のタイトル、レコード数、最終更新時刻、リフレッシュオプションなど、すべてのヘッダーコンテンツを削除します。
タイトルを非表示	可視化のタイトルを削除します
タイトル	リストの可視化の名前を入力します。
合計レコード数を非表示	通常はタイトルの横に表示されるレコード数を削除します。
前回の更新情報を非表示	可視化が最後に更新された日時の表示を非表示にします。
更新するオプションを非表示	可視化からリフレッシュアイコン ( ) を削除します。

7. [保存] を選択します。
移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックして [Data Visualization (データの可視化)] リストに戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

簡易リストの可視化の例

簡易リストデータの可視化は、ソーステーブルから選択した生データを表示するために使用されます。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

リストの可視化では、ソーステーブルから選択したデータが直接表示されるだけでなく、列のカスタマイズ、並べ替え、フィルタリング、ソートなどの情報を操作できます。これらの機能の 1 つ以上を非表示にすることもできます。

手順

1. 最初の手順に従って 可視化デザイナーでのシンプルなリストによる可視化の作成します。

a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.

b. [新規] を選択します。

c. [シンプルリスト] ([ ) ビジュアリゼーション タイプを選択します。

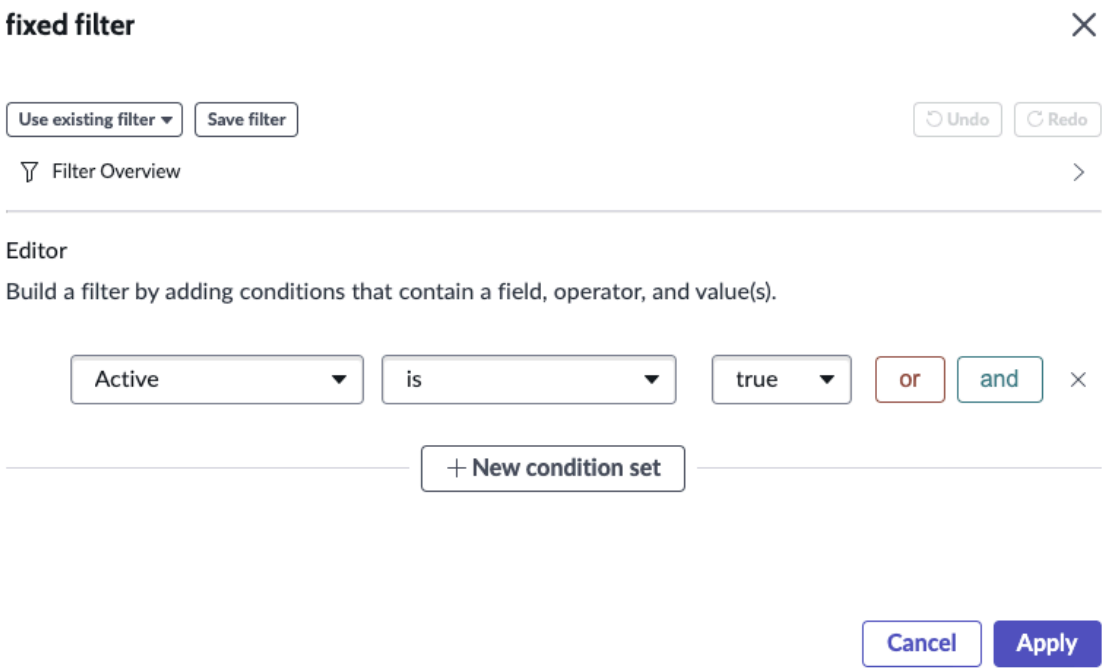
2. [データ] セクションで、タスク [task] テーブルを選択します。

3. [固定フィルターの編集] を選択して、リストに表示するデータを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アクティブなタスクに関心があるため、条件を [アクティブ] を [true] に設定し、 [適用] を選択します。



4. [デフォルトの表示] で、表示する列を編集します。
[期日] 列を追加します。表示される列のデフォルト数は 5 です。選択したすべてのフィールドを表示するには、[表示される列の数] を 7 に増やします。
5. グループ化基準を追加します。
リストが非常に長い場合は、いずれかのフィールドでグループ化できます。グループ化されたリストは、ユーザーが展開できるフィールドのエントリごとに 1 行に折りたたまれます。このリストをステータス別にグループ化します。
6. [最大行数] と [すべてのフッターを表示] を非表示にします。
[最大行数] では、実行時に表示するリストの行数を決定します。リストの下部にある [すべて表示] リンクを使用すると、リストまたは選択したグループ内のすべてのレコードを表示できます。そのリンクを非表示にして、最大行数のみを表示します。
7. エンドユーザー機能を構成します。
選択したすべての情報がユーザーに表示されるようにするため、カスタマイズ、列のフィルタリング、および列の並べ替えのオプションを非表示にします。

   列のパーソナライゼーションのオプションを非表示

   列の追加と削除、および並べ替え順序の変更機能を無効にします。

   ドット連結を無効にする

   列のカスタマイズが有効になっている場合でも、関連テーブルに移動する機能を無効にできます (ドット連結)。

   列をドラッグアンドドロップするオプションを非表示

   列のドラッグによる並べ替えを無効にします。

   レコードをグループ化するオプションを非表示

   選択したフィールドに基づくレコードのグループ化を無効にします。

   列のサイズ変更を非表示

   列幅のサイズ変更を無効にします。

   列のフィルターを非表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列見出しからのフィルタリングを無効にします。

列のソートを非表示

列見出しからのリストのソートを無効にします。

8. [Header (ヘッダー)] セクションで、ヘッダーとタイトルを表示したままにして、可視化に「All Active Tasks (すべてのアクティブなタスク)」というタイトルを付けます。
合計レコード数、最終更新情報、および更新オプションを表示したままにします。
9. [詳細設定] セクションで、[インライン編集を非表示にする] をオフのままにします。
選択すると、ユーザーはリスト内のどのセルも編集できなくなります。編集機能を使用すると、ユーザーはタスクのアサイン先や期日などを変更できます。

タスクの結果
ユーザーがすべてのレコードを編集して表示できる、ステータス別にグループ化されたリストの可視化が作成されました。

インジケータースコアカードの作成

インジケータースコアカードコンポーネントを使用すると、複数の パフォーマンスアナリティクス インジケーター間でデータを視覚化して比較できます。前回収集されたスコア、前のデータポイントからの変化、経時的な傾向、および達成すべきターゲット値に関する情報が強調表示されます。

始める前に
必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて
ダッシュボードでの インジケータースコアカード の使用については、以下を参照してください。the 開発者サイト .

注:
UI ビルダー では、以前のスコアでソートすることはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. [インジケータースコアカード] ( ) の表示方法タイプを選択します。
4. インジケータースコアカードのフィルタリングおよびソート機能を構成します。

フィールド	**Description** (説明)
スコアカードタイプ	スコアカードタイプから選択するリスト。次のオプションがあります。 ○ リスト:インジケーターとメトリクスのリストを列として表示します。 ○ ピボット:インジケーターを行として表示し、ブレークダウンを列として表示します。またはその逆も同様です。
ヘッダーを表示	ヘッダーの表示と非表示を切り替えます。
タイトル	コンポーネントのタイトル。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	**Description** (説明)
Description (説明)	実行時に情報アイコンに表示されるコンポーネントの説明。
ソース定義	表示するインジケーターの設定方法を選択します。次のオプションがあります。 ○ 条件ベース:表示するインジケーターを決定する条件を設定できます。 ○ 手動で選択:[データソースを追加] ペインからインジケーターを手動で追加できます。 ブレークダウンと要素を選択して、手動で選択した各インジケーターのインジケーターをフィルタリングできます。 インジケーターを 1 つだけ選択する場合は、[ブレークダウンのみを表示] を設定して、インジケータースコアなしでそのインジケーターの要素を表示できます。 ○ インジケーターグループ:インジケーターグループをソースとして設定します。
フィルター	表示するインジケーターをフィルタリングするためにエンコードされたクエリ文字列。フィルターを静的に作成するには、提供されている条件ビルダーを使用します。 **注:** [ソース定義] が [条件ベース] の場合にのみ使用できます。
インジケーターグループ	リストのインジケーターグループに基づいてテーブルをフィルタリングします。 **注:** [ソース定義] が [インジケーターグループ] の場合にのみ使用できます。
ブレークダウン	表示するブレークダウンを選択します。ブレークダウンタイルをドラッグして並べ替えることができます。
グループの最大数	ブレークダウンに表示する要素の最大数。[フィルター要素] に表示する要素を選択しない場合、表示される要素はブレークダウンソースと [ソートの方向] の値によって異なります。たとえば、グループ [sys_group] テーブルの [名前] フィールドを使用するアサイン先グループブレークダウンについて考えてみます。[グループの最大数] が既定の 5 の場合、並べ替え方向が昇順か降順かに応じて、最初の 5 つのグループ名または最後の 5 つのグループ名がアルファベット順に表示されます。このような場合は、[フィルター要素] フィールドで要素を選択することを検討してください。 デフォルト：5
要素をフィルター	関連するブレークダウンに表示する要素を選択します。要素を選択しない場合は、最大グループ数までのすべての要素が表示されます。
ブレークダウンを列として表示	true の場合、ブレークダウン要素はピボットテーブルの列として表示されます。false の場合、ブレークダウン要素は行として表示されます。1 つのブレークダウンのみをサポートし、ピボット スコアカードにのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
	デフォルト値：false
ブレークダウンのみを表示	true に設定すると、インジケーターの合計が非表示になり、ブレークダウン要素と選択されたメトリクスのみが表示されます。[ソース定義] が [手動で選択] で、インジケーターが 1 つだけ選択されている場合に、リストスコアカードでのみ使用できます。 デフォルト値：false
変更ブレークダウンを許可	true の場合、ビューアーは表示されるブレークダウンを変更できます。[ブレークダウンのみを表示] が true の場合にのみ使用できます。 デフォルト値：false
ブレークダウン可視化セレクター	true の場合、ブレークダウン セレクタがスコアカードの表示者に表示されます。false の場合、ブレークダウンセレクターは [その他のオプション] メニューから開く必要があります。[変更ブレークダウンを許可] が true の場合にのみ使用できます。 デフォルト値：false
メトリクス	インジケーターリストに表示するアナリティクスを選択します。メトリクスタイルをドラッグアンドドロップして並べ替えることができます。 デフォルト:lastScore、changeAndChangePercent、target、trend
時系列アグリゲーション	選択したすべてのインジケーターに適用する時系列集計。時系列集計の詳細については、「 時系列集計の適用」を参照してください。
ソート基準	インジケーターをソートするための列。 値:Name、Latest Score、Target、Change、changePercent、indicator_group **注:** 過去のスコアでソートすることはできません。 デフォルト:名前
ソートの方向	インジケーターやブレークダウン要素のソート方向。ブレークダウン要素への影響は、ブレークダウン ソースによって異なります。たとえば、Choice [sys_choice] テーブルのブレークダウン要素は Sequence フィールドの値に従ってソートされますが、Group [sys_group] のブレークダウン要素は Name フィールドに従ってアルファベット順にソートされます。 値:昇順 (昇順) または降順 (降順) デフォルト:Asc
追加の設定	
フィルターに従う	オンにすると、ダッシュボードで設定されたフィルターがインジケータースコアカードに適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
	デフォルト：true
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと、可視化に影響を与えるダッシュボードフィルターの数を表示します。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。 デフォルト：true
ドリルダウンを有効にする	ユーザーがデータポイントを選択したときに、基礎となるデータにリダイレクトします。このインタラクションを防ぐには、オフに切り替えます。 デフォルト：true
フィルター要素を表示	インジケーター名の横に適用されたフィルター要素を表示するオプション。フィルターを可視化に適用できない場合、要素は表示されません。フィルター要素を非表示にしてインジケーター名のみを表示するには、オフに切り替えます。 デフォルト：true
ブックマークを表示	ブックマークの列の表示と非表示を切り替えます。オンにすると、ユーザーは自分でインジケーターとブレークダウンをブックマークできます。 デフォルト：true
インジケーター情報を表示	インジケーター情報アイコンの表示と非表示を切り替えます。インジケーター情報が表示される場合、最後の収集日、収集頻度、および方向に関する情報が含まれます。 デフォルト：true
ブックマークされたアイテムのみを表示	オンに切り替えると、ブックマークされたインジケーターまたはブレークダウン要素のみが表示されます。 デフォルト値：false
表示設定	
ページあたりの最大要素数	ページに表示できるインジケーターまたはブレークダウン要素の最大数によって決定されるページサイズ。インクリメントは、10、20、50、および 100 のインジケーター/要素です。 デフォルト値：10
ターゲットのカラースキーム	ターゲットのカラースキームを選択します。デフォルトでは、[パフォーマンスアナリティクスプロパティ] ページの [デフォルトのインジケーターターゲットのカラースキーム] プロパティで定義された値が適用されます。
行の色を交互に表示	行の色を交互に表示します。
行の線を表示	行間に分割線を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
列の線を表示します	列間に分割線を追加します。
チャートのインタラクション	
チャートのインタラクションを許可	インジケーターの名前が選択されているインジケーターの KPI 詳細ページへのナビゲーションを有効にします。
アクション	[データ ビューに移動] インタラクションのみを使用できます。このアクションにより、インジケーターが KPI 詳細で開きます。

5. [保存] を選択します。
   移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックして [Data Visualization (データの可視化)] リストに戻ります。

次のタスク

- Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加
- での可視化の共有 可視化デザイナー
- での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

[store-future: BEGIN review]

インジケータースコアカードの可視化の例

インジケータースコアカードコンポーネントを使用すると、複数の パフォーマンスアナリティクス インジケーター間でデータを可視化して比較できます。

この可視化タイプを使用して、インジケーターのリストとそのスコアを表示します。また、インジケーターごとに最大 2 レベルのブレークダウンを表示し、この情報をリストではなくピボットテーブルに表示することもできます。

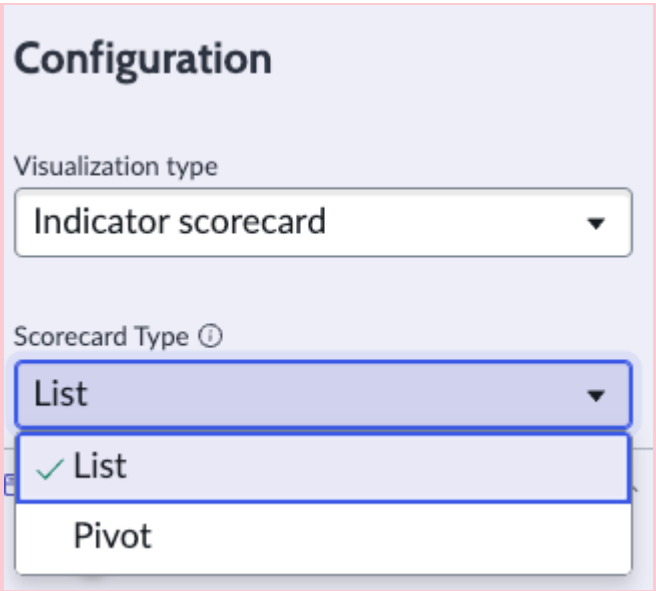
Example: 2 つのブレークダウンを持つインジケーターのリスト

この例では、オープンインシデントに関連するすべてのインジケーターのリストが必要です。各インジケーターの下で、ビューアーが [優先度] を展開して各要素のスコアを表示できるようにします。このデータの可視化を複数のダッシュボードで使用できるようにする予定です。

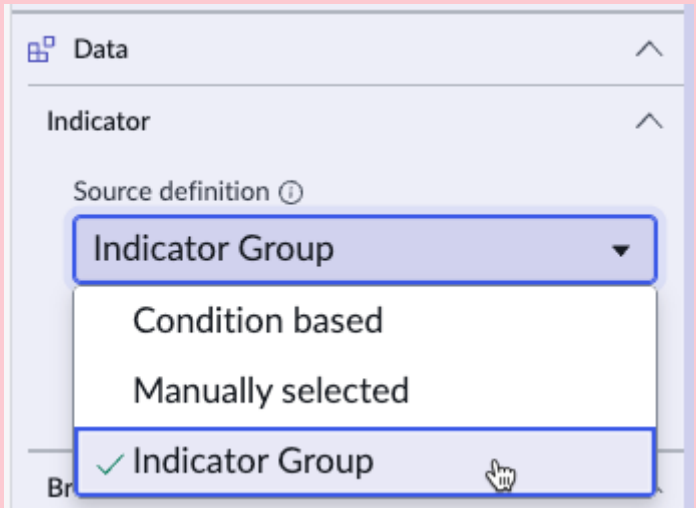
1. に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化. データ可視化ライブラリが開きます。インジケータースコアカードを特定のダッシュボードでのみ表示する場合は、代わりにそのダッシュボードを開くこともできます。
2. デフォルトでは、リスト スコアカード タイプが選択されていますが、これは希望どおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



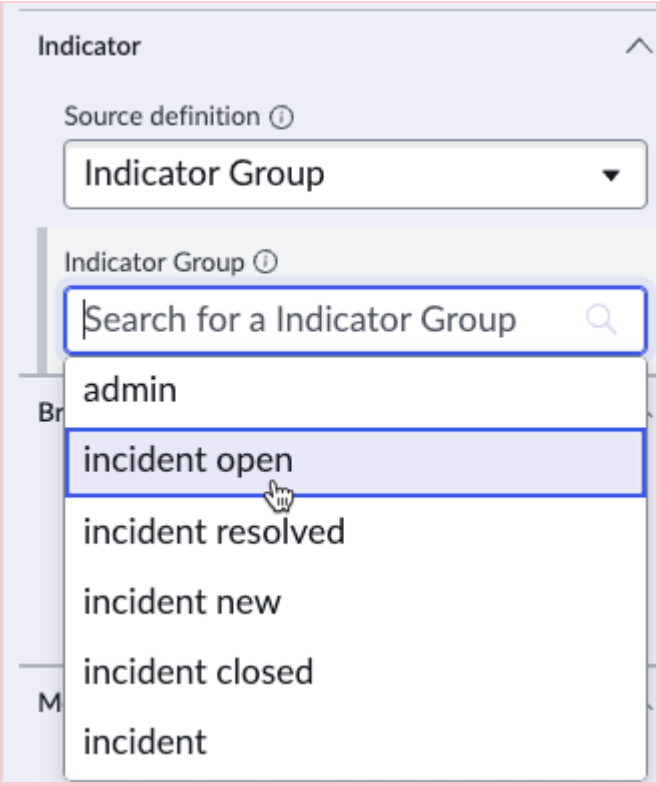
3. ここではヘッダーと説明をスキップして、[データ] 領域に移動します。インジケーターを選択する必要があるため、最初に [ソース定義] リストを展開します。オープンインシデントに対して既にインジケーターグループが定義されていると思われるため、[**Indicator group** (インジケーターグループ)] を選択します。



4. 次に、オープンインシデントのみを含むインジケーターグループを検索します。そして、あなたはラッキーです! 「オープンインシデント」グループが存在する場合、フィルター条件を作成したり、インジケーターを手動で選択したりする手間が省けます。

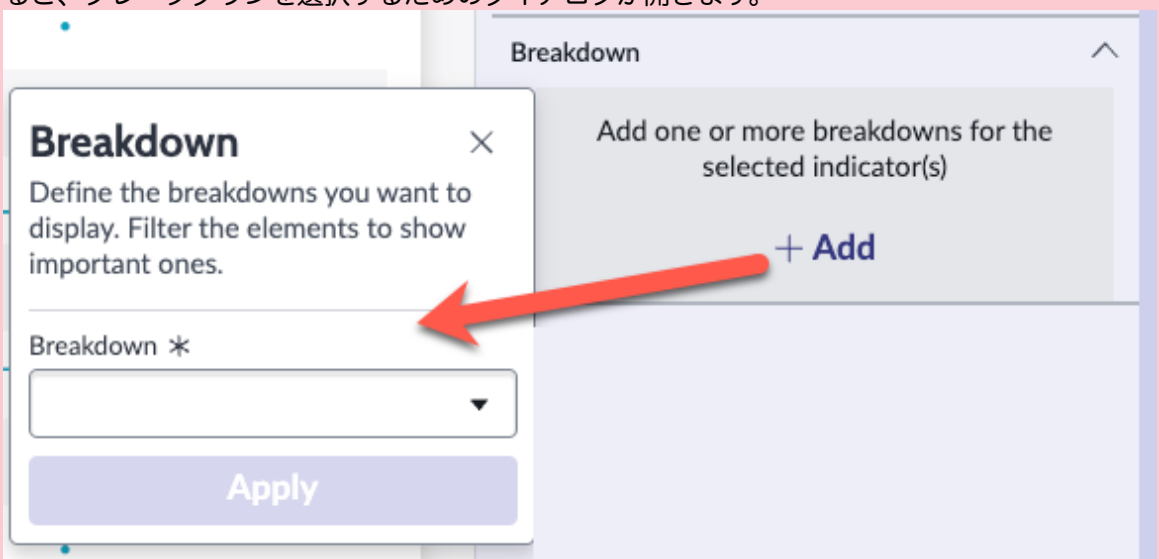
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[incident open (オープンインシデント)] を選択するとすぐに、可視化が更新され、グループ内の 13 個のインジケーターが表示されます。

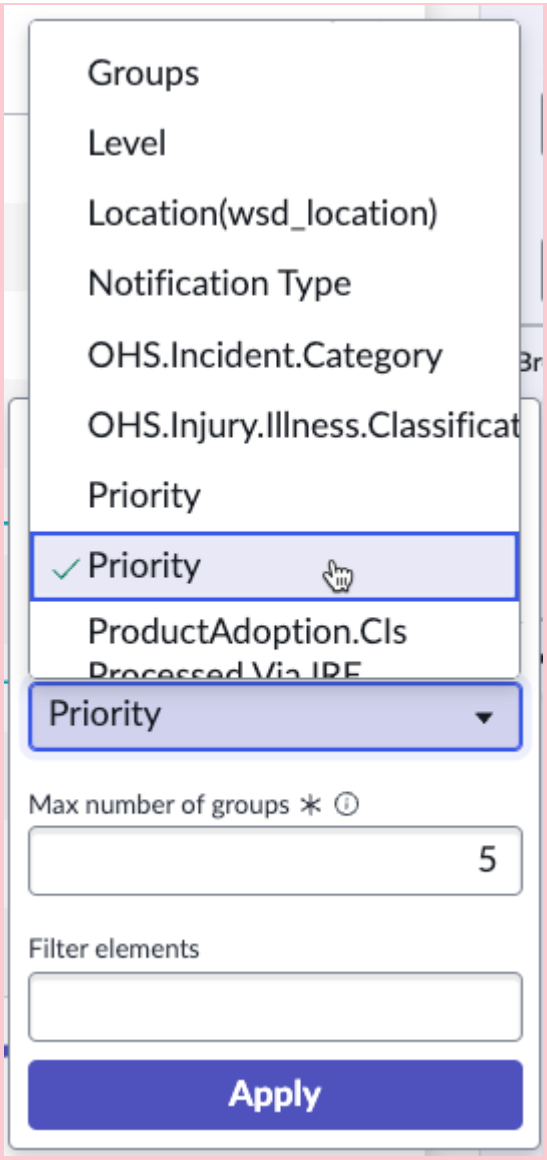
5. 次に、最初のブレークダウンを選択します。[ブレークダウン] セクションで [+ 追加] を選択すると、ブレークダウンを選択するためのダイアログが開きます。



6. リストを下にスクロールして [Priority] を表示します。残念ながら、[優先度] という名前のブレークダウンが 2 つあり、リストにはブレークダウンソースが表示されないため、どちらが正しいかわかりません。最初の方法を試し、 [適用] を選択して何が起こるかを確認します。可視化はまったく変わらないため、これは間違ったブレークダウンではないかと思われます。選択したブレークダウンを編集し、次に 2 番目の優先度ブレークダウンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

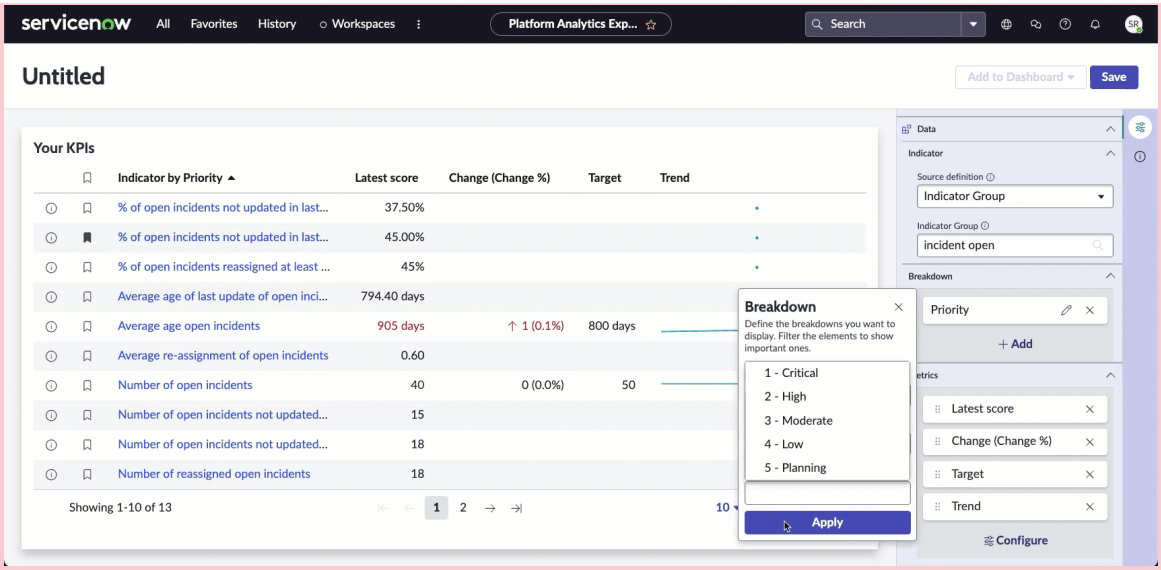


7. [グループの最大数] フィールドに従って、デフォルトで最大 5 つのブレークダウン要素を表示します。これでよろしいですか? [要素をフィルター] フィールドをクリックして、要素の数を確認します。ちょうど5つ! そのため、既定値のまま [適用] を選択します。

   今回は、 [適用] を選択すると、視覚化が更新され、関連する各インジケーターの下で [優先度] ブレークダウンが展開可能になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. ステップ 5 と 6 を繰り返して、カテゴリブレークダウンを追加します。



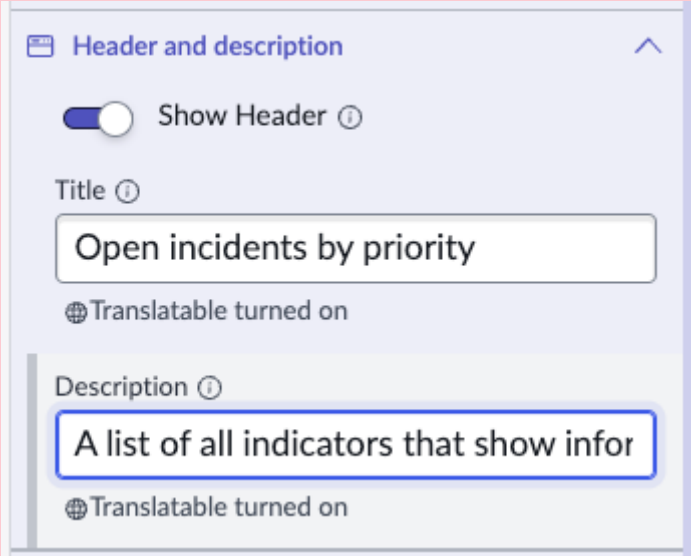
9. 優先度別のインシデントカテゴリではなく、カテゴリごとの優先度を表示することにした場合。そのため、構成パネルで [Priority (優先度)] の上に [Category (カテゴリ)] をドラッグします。



10. [**Header and description** (ヘッダーと説明)] セクションに戻り、可視化のタイトルを「Open incidents by priority (優先度別のオープンインシデント)」と簡単な説明で、技術者以外のユーザーが見ている内容を理解できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

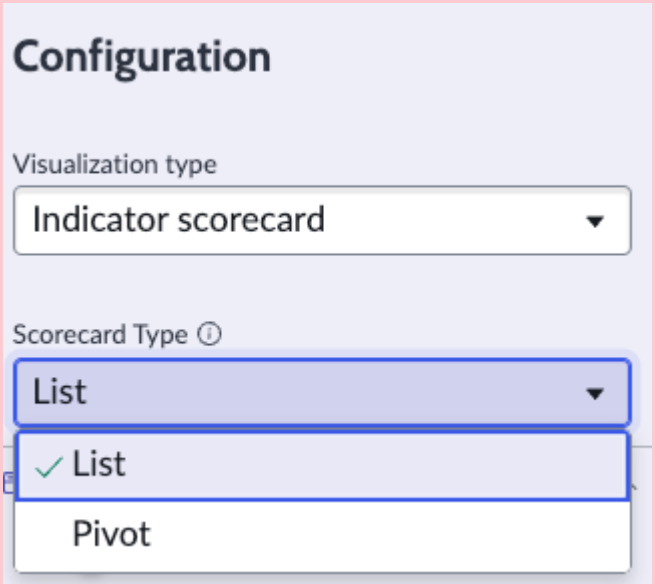


11. これで完了です。[保存] を選択し、ライブラリにアクセスできる他のユーザーがその目的を把握し、ダッシュボードで使用できるように、ビジュアリゼーションにわかりやすい名前を付けます。

Example: インジケーターのブレークダウンスコアカード

この例では、閲覧者が [オープンインシデントの数] インジケーターに対して表示するブレークダウンを選択できるようにします。

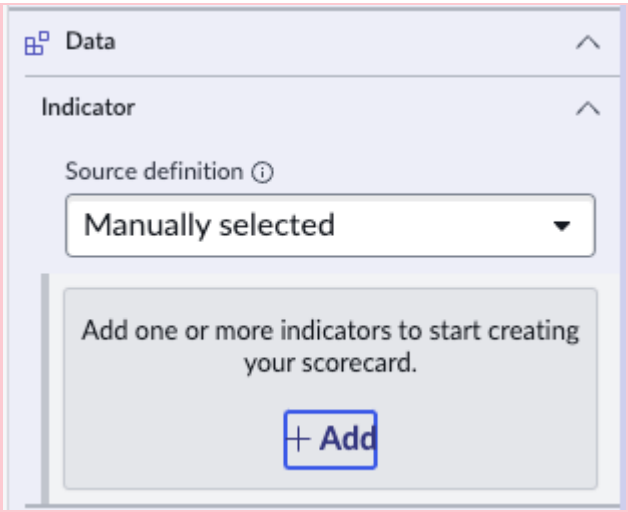
1. に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化. データ可視化ライブラリが開きます。インジケータースコアカードを特定のダッシュボードでのみ表示する場合は、代わりにそのダッシュボードを開くこともできます。
2. デフォルトでは、リスト スコアカード タイプが選択されていますが、これは希望どおりです。



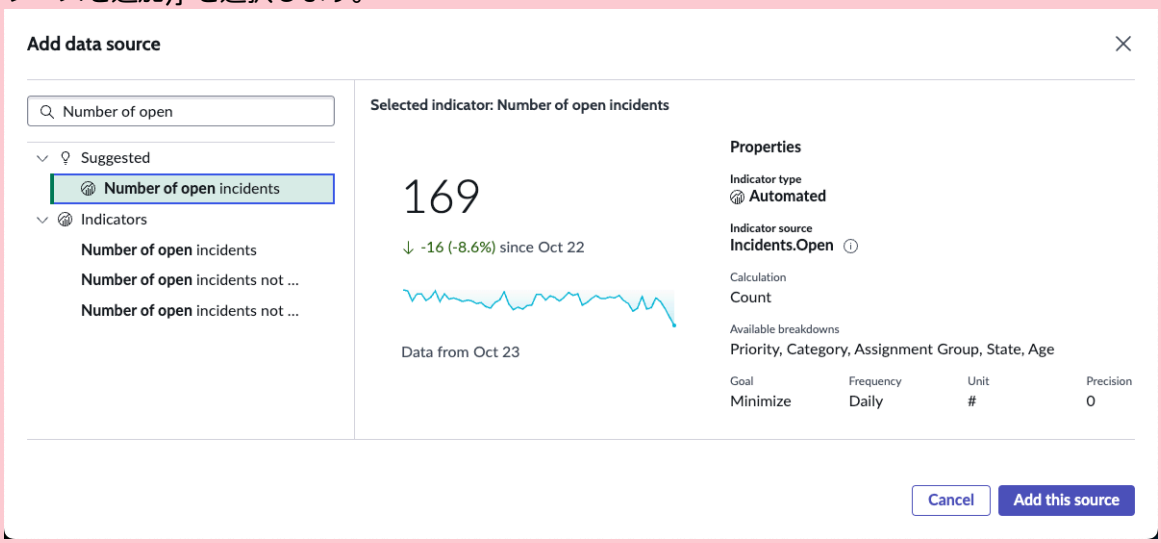
3. インジケーターを データ > インジケーター セクション。特定のインジケーターが 1 つあるので、[**Source definition** (ソース定義)] リストを展開して [**Manually selected** (手動で選択)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

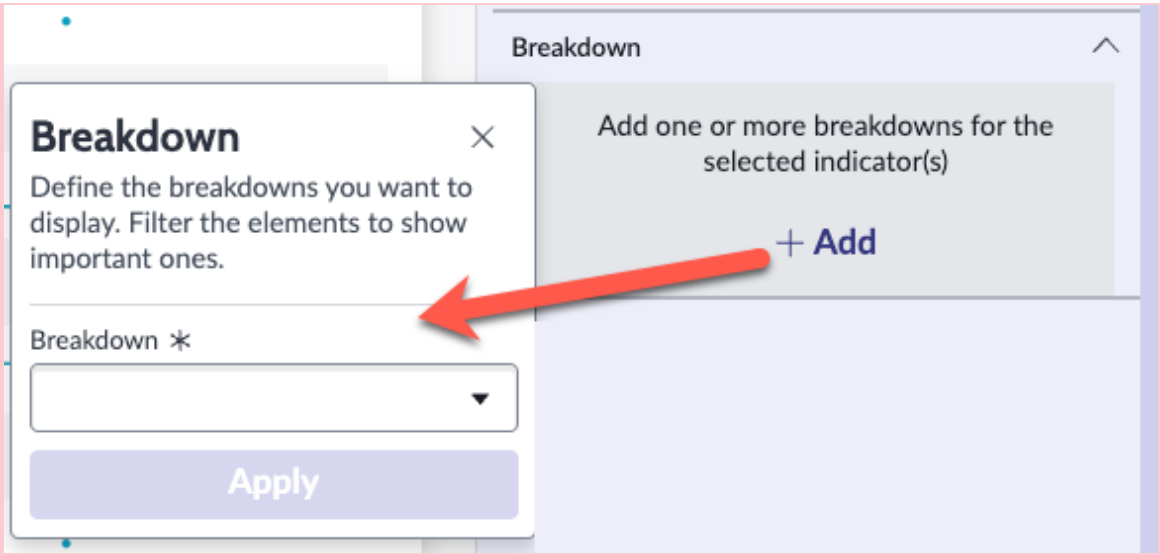


4. 引き続き [インジケーター] セクションで、 [**+** 追加] を選択して [データ ソースの追加] ページを開きます。
5. [Number of open incidents (オープンインシデントの数)] を選択し、 [**Add this source** (このソースを追加)] を選択します。

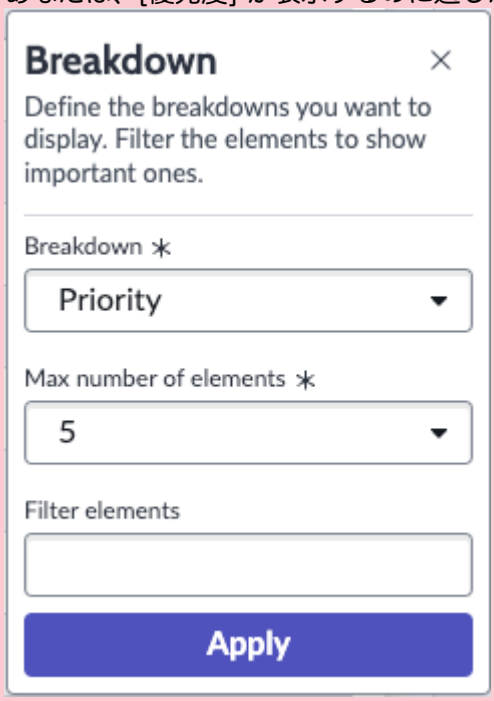


6. 次に、ブレークダウンを選択します。[ブレークダウン] セクションで [**+** 追加] を選択すると、ブレークダウンを選択するためのダイアログが開きます。

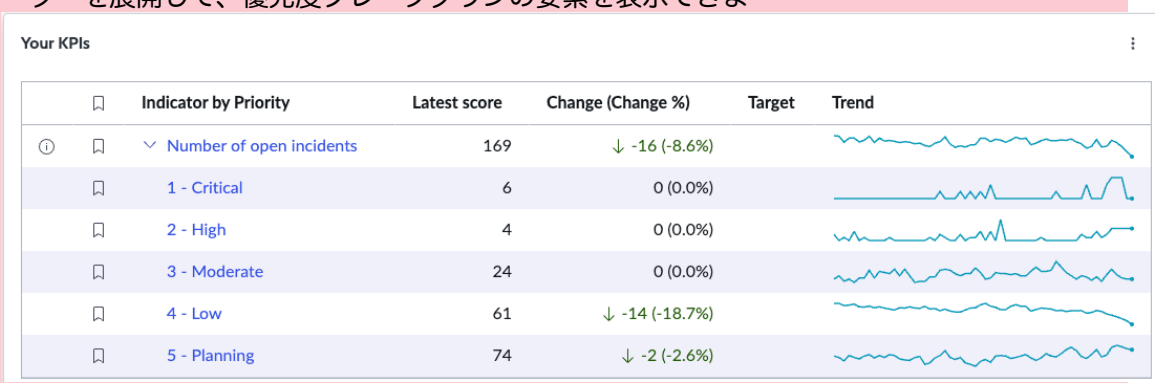
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. あなたは、[優先度] が表示するのに適したデフォルトのブレークダウンであると判断しました。



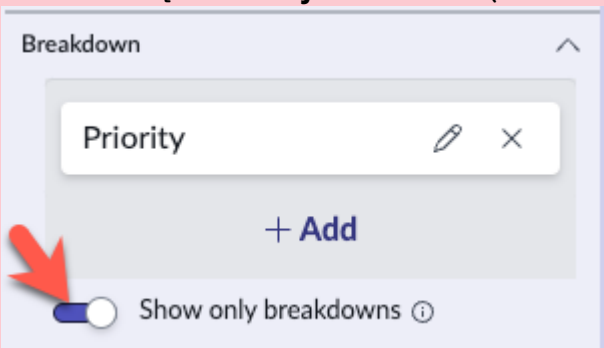
8. これで、[Number of open incidents (オープンインシデントの数)] インジケーターのスコアを示すグラフができました。ビューアーはインジケーターを展開して、優先度ブレークダウンの要素を表示できます。



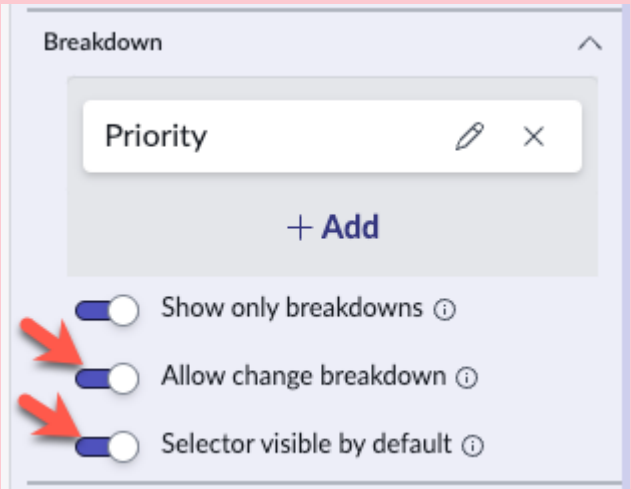
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. ただし、ステークホルダーは、オープンインシデントの数の内訳を確認できるようにしたいと考えています。まず、ブレークダウン要素のみを表示するようにビジュアリゼーションを変更する必要があるため、[**Show only breakdowns** (ブレークダウンのみ表示)] をオンに切り替えます。



10. これで、閲覧者に表示されるブレークダウンを変更できるようにするオプションが追加されました。また、閲覧者にデフォルトでブレークダウンセレクターを表示したいので、これをオンにします。



11. セレクターをテストすると、[Assignment Group] ブレークダウンを選択したときに、十分な要素が表示されていないことがわかりました。

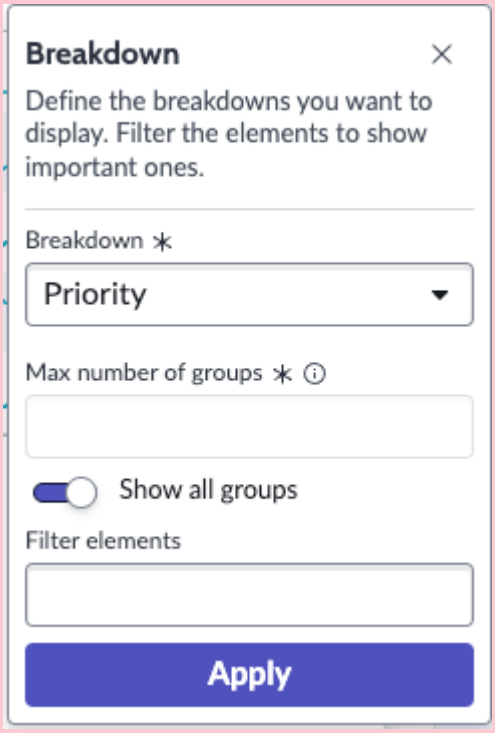


この問題を解決するには、[優先度] ブレークダウン カードを編集し、[すべてのグループを表示] をオンに切り替えます。このブレークダウンの設定は、ビューアーが選択したブレークダウンに影響します。2 番目のブレークダウンを追加すると、最初のブレークダウンの設定は第 1 レベルの

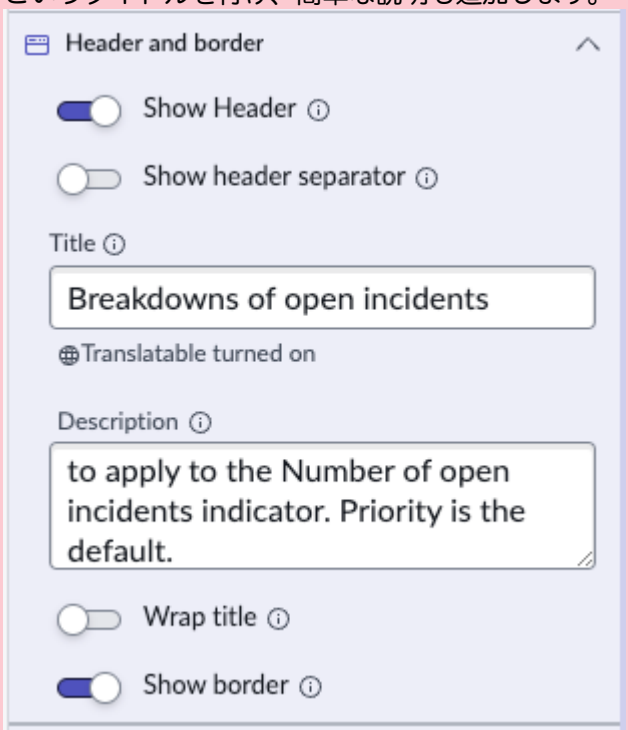
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンに影響し、2 番目のブレークダウンの設定は第 2 レベルのブレークダウンに影響することに注意してください。



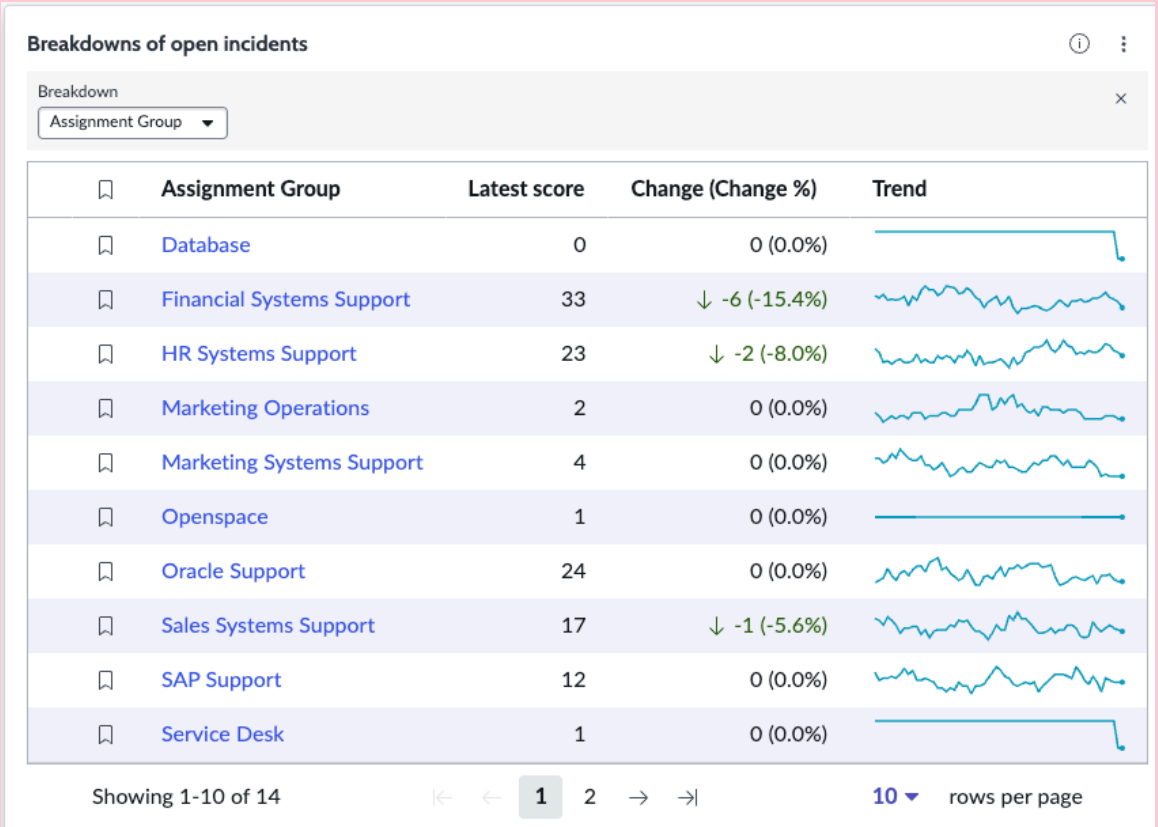
12. これで、[Number of open incidents (オープンインシデントの数)] インジケーターの [Priority (優先度)] ブレークダウン要素の値を示すグラフができました。しかし、視聴者はこれが自分が見ているものであることをどうやって知るのでしょうか? [Header and border (ヘッダーと境界線)] セクションに戻り、可視化に「Breakdowns of open incidents (オープンインシデントの内訳)」というタイトルを付け、簡単な説明も追加します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

13. これで、必要なブレークダウンスコアカードが作成されました。保存 を選択し、他のダッシュボード デザイナーが簡単に見つけて使用できるように、内部参照用に視覚化に意味のある名前を付けます。



[End]

可視化用のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース

データビジュアル化コンポーネントで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス に関連するメトリクスを表示できます。使用可能なメトリクスは、可視化タイプによって異なります。

注:
ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを可視化に追加するには、admin、analytics_admin、または analytics_viewer ロールが必要です。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス PAR 統合アプリケーションは、 ServiceNow® Store には、データソースとして使用できるいくつかの KPI があります。

イベント

この KPI は、アプリケーションでトリガーされるイベントを追跡します。可視化のデータソースとしてこの KPI を選択する場合は、アプリケーションとイベントも選択する必要があります。棒グラフまたは円/ドーナツ可視化では、[グループ] フィールドを使用してイベントプロパティを選択します。その後、その単一のイベントプロパティの発生回数と値の分布を表示できます。

セッション

この KPI は、アプリケーションでトリガーされたセッションの数を追跡します。

可視化のデータソースとしてこの KPI を選択する場合は、アプリケーションとカテゴリも選択する必要があります。単一スコアによるチャート化の場合のみ、条件をカテゴ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リとして選択できます。条件ビルダーで条件を追加または編集できます。フィルターは 90 日分のデータのみをサポートします。

- すべてのセッション:アプリケーションで作成されたすべてのセッションの数を表します。
- 新規セッション:直近の期間に作成されたセッションの数を表します。
- リピーター:複数のセッションを作成したユーザー。
- 常連ユーザー:5 つ以上のセッションを作成したユーザー。
- 短いセッション:20 秒未満のセッションの数。
- 長いセッション:300 秒を超えるセッションの数。
- カスタム:少なくとも 1 つの条件を作成して、このカテゴリを定義します。

ユーザー

アプリケーションを使用しているアクティブな一意のユーザーの数。可視化のデータソースとしてこの KPI を選択する場合は、アプリケーションとユーザーのカテゴリも選択する必要があります。単一スコアによるチャート化の場合のみ、条件をカテゴリとして選択できます。条件ビルダーで条件を追加または編集できます。フィルターは 90 日分のデータのみをサポートします。

- アクティブユーザー： アプリケーション内のすべてのユーザーの数を表します。
- 新規ユーザー：最初のセッションを実行したユーザーの数を表します。
- リピーター:複数のセッションを作成したユーザー。
- 常連ユーザー:5 つ以上のセッションを作成したユーザー。
- 戻らないユーザー:セッションを 1 つだけ作成したユーザー。
- マルチデバイスユーザー:複数のデバイスとのセッションを作成したユーザー。
- カスタム:少なくとも 1 つの条件を作成して、このカテゴリを定義します。

重要:
すべての可視化タイプのすべての ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースの日付範囲を指定する必要があります。

次のデータの可視化は、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースをサポートしていません。

- カレンダー
- ジオマップ
- ヒートマップ
- 簡易リスト
- インジケータースコアカード

次のデータ可視化はイベントのみをサポートしています。

- ピボット テーブル
- 円/ドーナツ
- 棒グラフ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列およびスコアデータの可視化は、すべての ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースをサポートします。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース

メトリクス	サポートされている可視化タイプ	**Group By** (グループ)	応答
イベント	• スコア(シングルスコア、ダイヤル、ゲージ) • 時系列 • パレート図を含むバー • 円グラフとドーナツグラフ • ピボットテーブル	棒グラフ、ピボットテーブル、円グラフ/ドーナツグラフ:イベントのプロパティでサポート その他の可視化タイプ:サポート対象外	時系列:日付範囲内のイベントの数 スコア:イベントの発生回数 棒グラフ、円/ドーナツグラフ、ピボット:日付範囲内のイベントのブレークダウン (プロパティ別)
セッション	• 時系列 • Scores (スコア)	サポート対象外	時系列:日付範囲内のセッションの数 スコア:作成されたセッションの数。単一スコアでは、条件でフィルタリングされた回答も可能です。
ユーザー	• 時系列 • Scores (スコア)	サポート対象外	時系列:日付範囲内のアクティブまたは新規ユーザーの数 スコア:アクティブまたは新規ユーザーの数。単一スコアでは、条件でフィルタリングされた回答も可能です。

でのデータ可視化の編集 可視化デザイナー

データの可視化を作成したら、そこに戻って、データの可視化の外観やその他の側面を編集できます。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.

2. 編集する可視化を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 可視化デザイナーで、[構成] アイコン ( ) を選択して、ヘッダー、データ、およびプレゼンテーションのオプションを編集します。
4. 情報アイコン ( ) を選択して、名前、説明、認定、および要求者の情報を編集します。

データの可視化の詳細

[詳細] ペインには、現在編集中のデータの可視化に関する重要な情報の概要が表示されます。

詳細アイコン Visualization Designer (可視化デザイナー) の を選択すると、編集中の可視化の詳細が表示されます。次の情報が表示されます。

フィールド	説明
名前	名前は意味のあるものにする必要があります。編集権限がある場合は、ここで名前を変更できます。
Description (説明)	説明は、他のユーザーが可視化の性質と目的を理解するのに役立つ情報にする必要があります。編集権限がある場合は、ここで説明を変更できます。
認定済みとしてマーク	組織で使用するデータ可視化を認定できるロールがある場合は、ここで可視化を認定または認定解除します。詳細については、「でのデータ可視化の認定 可視化デザイナー」を参照してください。
要求者	インスタンスのユーザーがこの可視化の作成または編集を要求した場合は、ここでユーザーの名前を指定できます。ユーザーは責任あるユーザーと見なされます。データの可視化は、編集権限を持つユーザーと共有されます。
作成者、最終更新者	この可視化を作成したユーザーと最後に更新したユーザー
使用法	
n 個のダッシュボード	可視化がいずれかのダッシュボードで使用されている場合、ダッシュボードの数がここに表示されます。 [ダッシュボードを表示] リンクをクリックすると、自分が作成または共有され、このデータの可視化が含まれているダッシュボードの簡易リストが開きます。リストされるダッシュボードの数は、可視化を含むダッシュボードの合計数よりも少なくなる可能性があります。
共有	可視化が共有されているすべてのユーザーのアイコン。アイコンをポイントすると、ユーザーのフルネームと共有の詳細が表示されます。詳細については、「での可視化の共有 可視化デザイナー」を参照してください。

でのデータ可視化の認定 可視化デザイナー

データの可視化を認定して、再利用が会社によって承認されていることを示します。

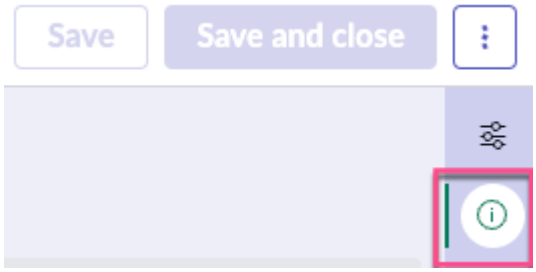
始める前に
必要なロール:admin、viz_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) ワークスペース、または認定するアナリティクスセンター ( ) ページとダッシュボードがあるワークスペース。
2. [データの可視化] タブで、認定するダッシュボードを選択します。
3. 情報ボタン ( ) を選択して [Details (詳細)] パネルを開きます。



4. [認定済みとしてマーク] というラベルの付いたトグルを選択します。
5. [保存] を選択します。

タスクの結果
認定バッジは、可視化デザイナーで可視化の名前の横に表示されます。

[Data Visualizations (データの可視化)] タブの [Certified data visualizations (認定済みデータの可視化)] の下に可視化が一覧表示されます。可視化は [Certified (認定済み)] 列でも True とマークされます。この列は表示されない場合があります。列の編集アイコン ( ) を選択して追加します。

インラインダッシュボードでのデータ可視化の編集

データの可視化は、インラインダッシュボードエディターおよび Visualization Designer (可視化デザイナー) 内から作成および編集できます。すべてのオプションが同じというわけではありません。インラインエディターとダッシュボードデザイナーの間を移動できます。

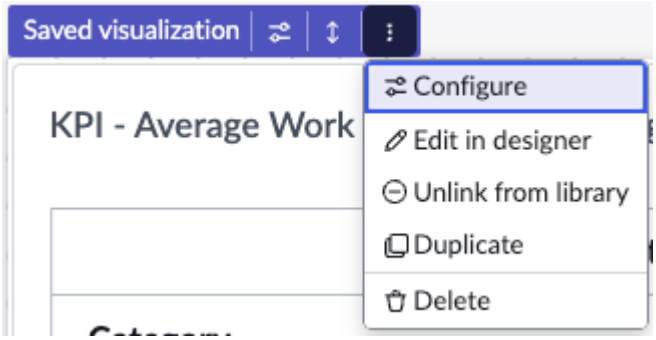
「ダッシュボード要素 プラットフォームアナリティクス 編集」で説明されているように、[新しい要素を追加] メニューからダッシュボードにデータの可視化を追加できます。ダッシュボードで可視化を編集するには、ダッシュボードを編集モードにして可視化を選択します。ただし、一部の動作は不便である可能性があります。

- 可視化がライブラリからのものである場合は、共通ライブラリのコピーを編集します。
- 一部のオプションは、インラインエディターと可視化デザイナーで異なる場合があります。たとえば、チャートのインタラクションでは、可視化デザイナーでのみ別のチャートにドリルダウンするようにチャートを設定できます。

ビジュアリゼーション自体の [アクション] メニューには、エディターを変更するためのオプションがあります。また、[Configure the visualization (可視化を構成)]、[Visualization on the dashboard (ダッシュボードで可視化を 複製)]、または [Delete the visualization from the dashboard (ダッシュボードから可視化 を削除)] を選択することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



可視化デザイナーのダッシュボードで可視化を開く

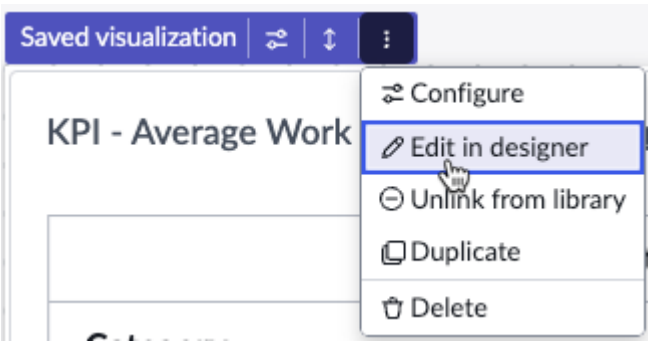
ダッシュボードエディターから、可視化デザイナーでデータの可視化を開きます。別のオプションセットがあります

始める前に
必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて
ダッシュボードエディターで作業しているときに、ダッシュボードエディターではなく可視化デザイナーでのみ可能な方法でデータの可視化を再構成したい場合があります。たとえば、[チャートへのドリルダウン] インタラクションを構成できます。データの可視化の [**Actions** (アクション)] メニューを使用すると、多くの操作を行うことなく、可視化デザイナーで可視化を 1 ステップで開くことができます。

手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード をクリックし、ダッシュボードを開きます。
2. [編集] を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
3. データの可視化がまだない場合は追加します。
   詳細については、「ダッシュボード要素 プラットフォームアナリティクス 編集」を参照してください。
4. データの可視化で、[アクション] メニューを展開します。



5. デザイナーで編集 を選択します。

データ可視化のダッシュボードコピーをライブラリからリンク解除

ダッシュボード上のライブラリから保存済みデータの可視化を編集し、変更がダッシュボードにのみ適用されるようにするには、ライブラリから可視化のローカルコピーのリンクを解除します。

自動翻訳

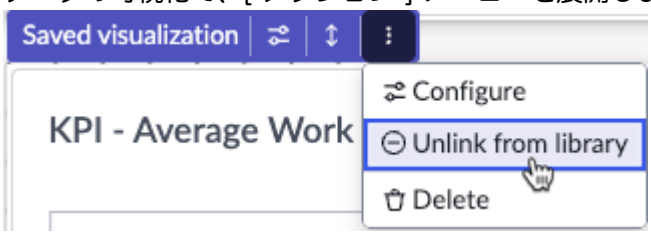
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:任意

このタスクについて
編集権限のあるダッシュボードでデータの可視化を変更する必要が生じる場合があります。ただし、ライブラリの共有ダッシュボードの場合は、他のユーザーが使用するライブラリのコピーを編集することになります。これをしたくない場合もあれば、許可されない場合もあります。ただし、ダッシュボードを編集できる限り、ダッシュボード上の可視化をライブラリからリンク解除できます。次に、自由に編集できるローカルバージョンがあります。

手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード をクリックし、ダッシュボードを開きます。
2. [編集] を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
3. ライブラリから保存済みデータの可視化を追加します (まだ追加されていない場合)。
   詳細については、「ダッシュボード要素 プラットフォームアナリティクス 編集」を参照してください。
4. データの可視化で、[アクション] メニューを展開します。



5. [ライブラリからリンク解除] を選択します。

> **注:**
> 可視化を複製する権限がない場合でも、ライブラリから可視化のリンクを解除できます。

タスクの結果
これで、データの可視化がダッシュボードにローカルコピーとして存在し、必要に応じて編集できるようになりました。

での可視化の複製 可視化デザイナー

ビジュアリゼーションを複製して、ビジュアリゼーションのコピーでソースの側面を使用できるようにします。

始める前に
必要なロール：viz_creator

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [データの可視化] タブを選択します。
3. 複製する可視化を選択します。
4. [その他のアクション] メニュー ( ) から 、[複製] を選択します。
5. 複製に一意の名前を付け、[複製] を選択します。

タスクの結果
可視化が新しい名前でコピーされます。可視化のその他の要素はすべて同じままです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:
可視化の新しいコピーが自動的に保存されます。

での可視化の共有 可視化デザイナー

可視化を共有して、ユーザー、グループ、またはロールに表示または編集の権限を付与します。ユーザーは、元のインスタンスの任意のワークスペースで共有されている可視化にアクセスできます。

始める前に

重要:
ダッシュボードまたはデータ可視化を共有する権限には、そのダッシュボードまたはデータ可視化に対する、任意のユーザー、グループ、またはロールの共有権限を追加、編集、削除する権限が含まれます。最初に編集権限が付与されていないユーザーは、この機能を使用して自分や他のユーザーに編集権限を付与することはできません。

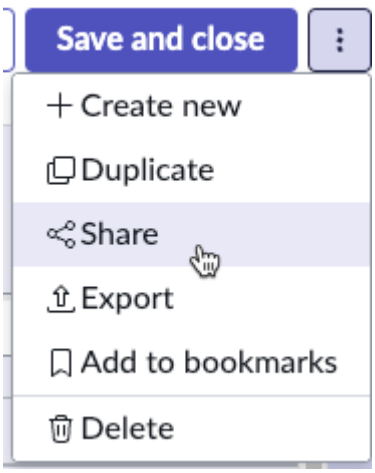
必要なロール: 作成したデータ可視化を共有できます。データの可視化を共有すると、その可視化をさらに共有する権限を継承できます。また、共有を編集権限で行うか、閲覧権限のみで共有するかも決定します。データの可視化が共有権限と編集権限で共有されている場合は、編集権限を渡すこともできます。

admin ロールと viz_admin ロールを持つユーザーは、すべてのデータの可視化を共有できます。アドミンロールとviz_adminロールを持つユーザーのみが、データの可視化をロールと共有できます。

可視化をユーザー、グループ、またはロールと共有すると、その可視化が [データの可視化] の概要の [自分と共有] タブに追加されます。ロールを持つすべてのユーザーは、テーブルレベルで任意の可視化をリストおよび表示できます。Report_view アクセス制御リスト (ACL) は、ユーザーがビジュアル化にアクセスする方法に関係なく適用されますが、ACL を変更すると、UI ビルダーで使用されるデータのビジュアル化が壊れる可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化、またはアナリティクスセンター ( ) コンポーネントと共有するデータ可視化があるワークスペースに移動します。
2. [その他のアクション] メニューを展開し、[共有] を選択します。



3. データの可視化を共有する 1 つ以上のユーザー、グループ、またはロールの名前を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- データの可視化を非アクティブなユーザーと共有することはできません。
- admin または viz_admin ロールを持つユーザーのみに、可視化をロールと共有するオプションが表示されます。

4. データ可視化を共有しているユーザーもそのデータ可視化を共有できるようにするには、[受信者に共有を許可] を選択します。
ユーザー、グループ、またはロールをビューアーとして追加すると、ビジュアリゼーションはビューアーとしてのみ共有できます。ユーザー、グループ、またはロールをエディターとして追加すると、ダッシュボードをビューアーまたはエディターとして共有できます。
5. 次のオプションのいずれかを選択します。

オプション	説明
閲覧者として追加	可視化を共有するユーザー、グループ、またはロールには、表示権限のみを付与します。受信者は編集できません。
エディターとして追加	可視化を共有するユーザー、グループ、またはロールに編集権限を付与します。

6. [確認] を選択します。

データ可視化へのアクセスを管理

データの可視化を共有しているユーザーのアクセス権を変更できます。

始める前に

重要:
ダッシュボードまたはデータ可視化を共有する権限には、そのダッシュボードまたはデータ可視化に対する、任意のユーザー、グループ、またはロールの共有権限を追加、編集、削除する権限が含まれます。最初に編集権限が付与されていないユーザーは、この機能を使用して自分や他のユーザーに編集権限を付与することはできません。

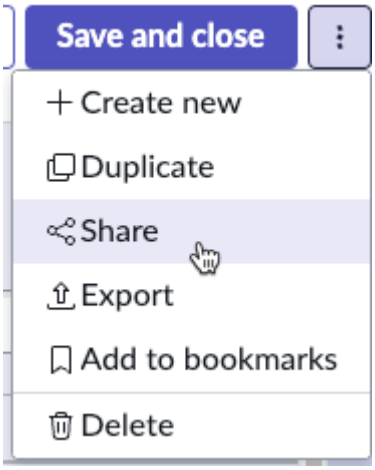
必要なロール:ロールに関係なく、作成した任意のデータ可視化へのアクセス権を変更できます。アドミンロールとviz_adminロールを持つユーザーは、すべてのデータ可視化へのアクセス権を変更できます。admin ロールと viz_admin ロールを持つユーザーのみが、データの可視化へのロール関連のアクセス権を変更できます。デフォルトでは、すべてのユーザーがデータの可視化を表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化、またはアナリティクスセンターテンプレート ( ) と共有するデータ可視化に基づくコンポーネントがあるワークスペースに関連付けます。
2. [**Data Visualizations** (データの可視化)] タブを開き、アクセスを管理するデータ可視化を選択します。
3. [その他のアクション] メニューを展開し、[共有] を選択します。

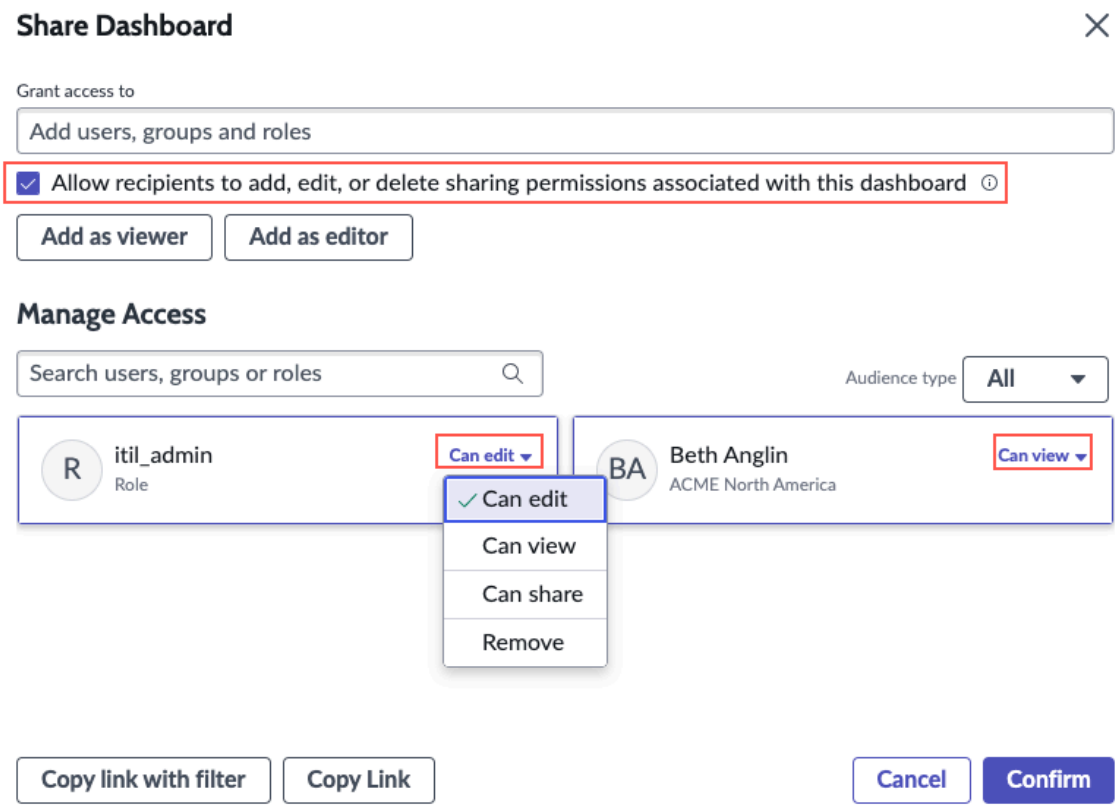
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[アクセスを管理] の下に、データの可視化が共有されているすべてのユーザー、グループ、またはロールのタイルが表示されます。

4. オプション: ユーザータイルをフィルタリングします。
   a. [対象者タイプ] で、ユーザーのみ、グループのみ、またはロールのみを表示するように表示するタイルを制限します。
   b. 検索フィールドにユーザー、グループ、またはロールの名前の一部を入力します。
5. 目的のタイルを見つけたら、権限のリストを展開し、付与する権限を選択します。編集権限を付与することも、表示権限のみを付与することもできます。データの可視化を共有する権限を付与または奪うことができます。最後に、ユーザーを削除して、データビジュアライゼーションを共有しないようにすることができます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Visualization Designer (可視化デザイナー) からの可視化のエクスポート

個々のデータ可視化をさまざまな形式やサイズにエクスポートします。エクスポートをダウンロードするか、電子メールで共有します。

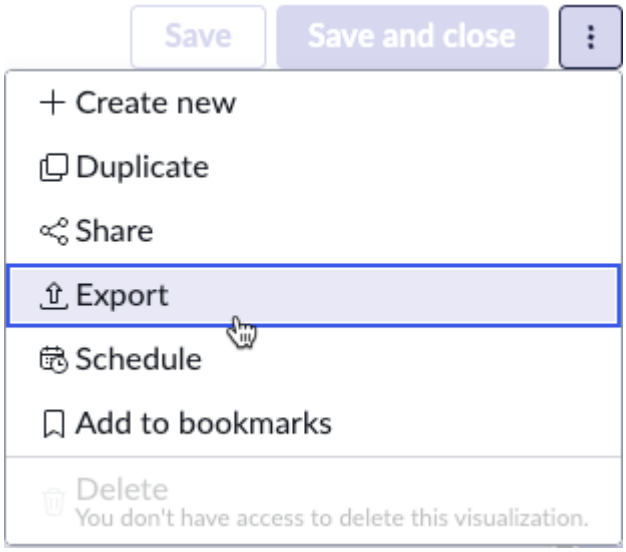
始める前に
必要なロール: 作成した可視化または共有された可視化をエクスポートできます。admin または viz_admin ロールを持つユーザーは、データの可視化をエクスポートできます。

このタスクについて

> **注:**
> カレンダー レポートまたはインジケーター スコアカードはエクスポートできません。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. エクスポートする可視化を選択します。
3. [その他のアクション] メニュー ( ) から [エクスポート] を選択します。



Export Visualizationダイアログが開きます。

4. [エクスポートするファイル] セクションで、次の情報を構成します。

フィールド	**Description** (説明)
File type (ファイルタイプ)	データの可視化を PDF、PNG、JPEG 形式でエクスポートします。添付ファイルまたは ZIP として送信するのではなく、メール本文に PNG を埋め込むには、[埋め込み **PNG**] を選択します。画像の周りのメールを編集できます。 リスト - シンプルな可視化は、PDF または Excel ファイルとしてエクスポートできます。
ページ形式	[レター]、[A4]、または [A3] を選択して、印刷されたビジュアリゼーションの用紙サイズに対応します。ピボットテーブルをエクスポートする場合は、[動的] を選択して、表示されているページに合わせて可視化のサイズを変更できます。 このオプションは、リスト - シンプルな可視化では使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
向き	「ポートレート」または「ランドスケープ」を選択します。ダイナミックフォーマットでは使用できません。

5. [配信] で、[ファイルのダウンロード] または [電子メールでファイルを送信] を選択します。

- ファイルのダウンロードを選択すると、エクスポートの完了後に [ダウンロード] ボタンが使用可能になります。<visualization-name>.<filetype> という名前のファイルが、デフォルトのローカル宛先にダウンロードされます。
- [ファイルを電子メールで送信] を選択した場合は、送信先のユーザーを選択します。インスタンスのユーザーのみを選択できます。セキュリティ上の制約により、メールを送信できる相手が制限される場合があります。件名を指定する必要があります。また、メッセージを追加できます。完了したら、 [エクスポート] を選択します。

データ可視化のエクスポートをスケジュール

データ可視化のエクスポートとメール送信を自動化します。同僚がプレゼンテーションを作成したり、外部ユーザーと情報を共有したり、データを経時的に追跡したりするのを支援します。

始める前に

必要なロール:par_scheduler、自分が作成した、または共有された可視化のエクスポートをスケジュールします。report_scheduler、admin、または viz_admin ロールを持っている場合は、任意のデータ可視化のエクスポートをスケジュールできます。

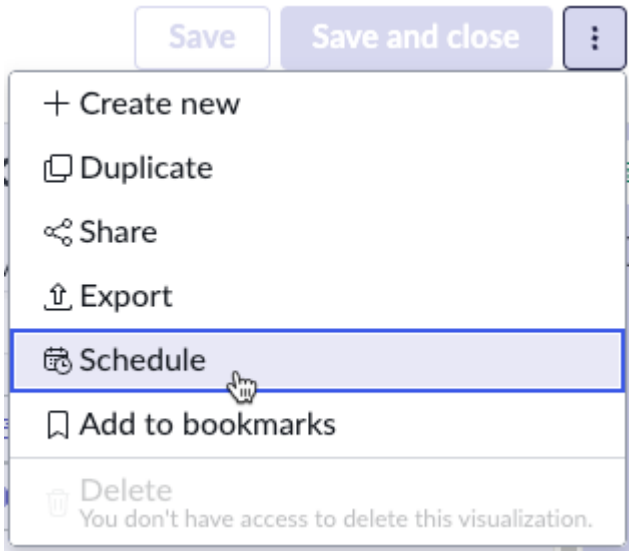
手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.

2. エクスポートする可視化を選択します。

> **注:**
> カレンダー レポートまたはインジケーター スコアカードはエクスポートできません。

3. [その他のアクション] メニュー ( ) から 、[スケジュール] を選択します。



4. [エクスポートするファイル] セクションで、次の情報を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	Description (説明)
File type (ファイルタイプ)	データの可視化を PDF、PNG、JPEG 形式でエクスポートします。添付ファイルまたは ZIP として送信するのではなく、メール本文に PNG を埋め込むには、[埋め込み **PNG**] を選択します。画像の周りのメールを編集できます。 リスト - シンプルな可視化は、PDF または Excel ファイルとしてエクスポートできます。
ページ形式	[レター]、[A4]、または [A3] を選択して、印刷されたビジュアリゼーションの用紙サイズに対応します。ピボットテーブルをエクスポートする場合は、[動的] を選択して、表示されているページに合わせて可視化のサイズを変更できます。 このオプションは、リスト - シンプルな可視化では使用できません。
向き	「ポートレート」または「ランドスケープ」を選択します。ダイナミックフォーマットでは使用できません。

5. オプション: このスケジュール済みメールにさらに可視化を含めるには、[**+** ファイルを追加] を選択します。
6. [メールスケジュール] セクションで、メールを送信するタイミングと頻度を指定します。

フィールド	説明
アクティブ	オンにすると、スケジュール済みレポートの配信が有効になります。
再発	可視化を送信する頻度を選択します。
日、時刻、その他のカレンダーフィールド	メールを送信するタイミングを指定します。オプションは、[繰り返し] でメールを送信する頻度によって異なります。時間フィールドは HH:MM:SS 形式です。
レコードがない場合は省略	オンにすると、空のレポートが配布されなくなります。
条件を使用	オンにすると、レポートを生成するためのスクリプト化された条件を指定できます。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)]** を選択した場合にのみ表示されます。ServiceNow プラットフォームのスクリプトの詳細については、「スクリプト」を参照してください。 **警告:** スケジュール済みレポートメールの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。

7. [メールの詳細] セクションで、受信者とメールの件名を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インスタンスのユーザーとグループのほか、メールアドレスを入力できます。セキュリティ上の制約により、レポートの送信先が制限される場合があります。メッセージを追加することもできます。

8. 埋め込みでない書き出しを ZIP ファイルとして送信するには、[**ZIP** ファイルとして送信] をオンにします。
9. [**Save** (保存)] を選択してスケジュールを保存するか、[**Save and close** (保存して閉じる)] を選択して Visualization Designer (可視化デザイナー) に戻ります。

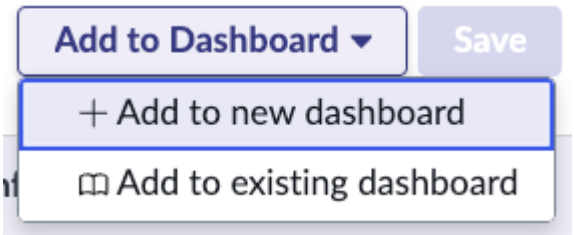
Visualization Designer (可視化デザイナー) からのダッシュボードへの可視化の追加

Visualization Designer (可視化デザイナー) から新規のダッシュボードまたは既存のダッシュボードに可視化を追加します。

始める前に
必要なロール:可視化内のデータへのアクセスを許可するロールが必要です。可視化を所有しているか、共有されている必要があります。可視化を追加するダッシュボードを編集する権限が必要です。

手順

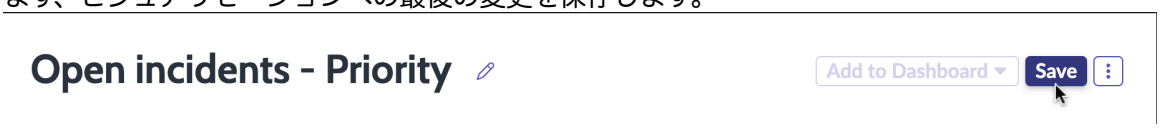
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. データの可視化を作成するか、ダッシュボードに追加するデータの可視化を開きます。
3. [ダッシュボードに追加] を展開し、次のオプションから選択します。



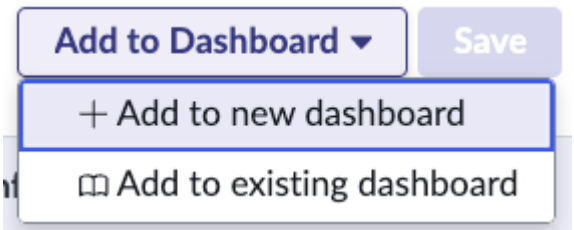
Example: 既存のダッシュボードへの可視化の追加

これで、データの可視化「オープンインシデント - 優先度」の作成が完了しました。これをダッシュボードの [インシデントの概要] に追加します。このダッシュボードには編集権限があります。

1. まず、ビジュアリゼーションへの最後の変更を保存します。



2. 保存すると、[ダッシュボードに追加] オプションが使用可能になります。



3. 既にダッシュボードを念頭に置いているため、[**Add to existing dashboard** (既存のダッシュボードに追加)] を選択します。ダイアログボックスが開きます。

自動翻訳

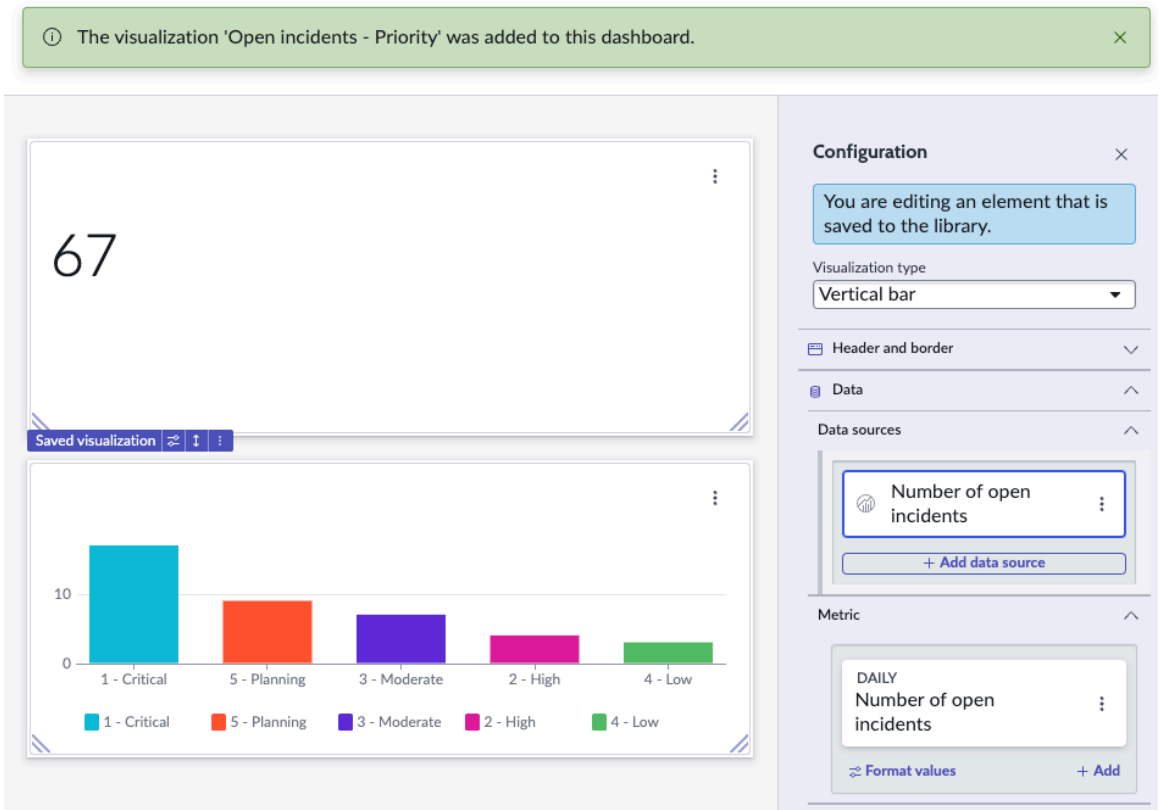
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [**Select dashboard**] フィールドに「Inc」と入力すると、[Incidents Overview] ダッシュボードがリストされます。



5. [インシデントの概要] ダッシュボードを選択し、[ダッシュボードに追加] を選択します。
6. インシデント概要ダッシュボードがインラインエディターで開きます。ブラウザーページを更新すると、最後に [Open Incidents - Priority (オープンインシデント - 優先度)] データの可視化が追加されているのがわかります。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

での可視化のブックマーク 可視化デザイナー

可視化をブックマークすると、 アナリティクスセンター内で簡単に見つけることができます。

始める前に

必要なロール：なしデータの可視化にアクセスできるユーザーは誰でも、自分でブックマークすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [データの可視化] タブを選択します。
3. ブックマークする可視化を選択します。
4. [その他のアクション] メニュー ( ) から、[ブックマークに追加] を選択します。

タスクの結果

[**Data Visualizations** (データの可視化)] タブで、選択した可視化が [Bookmarked (ブックマーク済み)] リストに表示されます。

次のタスク

ブックマークを削除するには、ブックマークされたビジュアリゼーションを選択し、[その他のアクション] メニュー ( ) から [ブックマークの削除] を選択します。

可視化デザイナーでの可視化の削除

役に立たなくなったデータの可視化は削除できます。

始める前に

可視化を表示できるすべてのユーザーに、削除することを通知します。可視化がダッシュボードで使用されているかどうかを確認するための検証は実行されません。

必要なロール: 作成したデータ可視化は削除できます。admin または viz_admin ロールを持っている場合は、データの可視化を削除できます。

手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > データの可視化.
2. 削除するデータの可視化を開きます。
3. [その他のアクション] メニュー ([ ) から [削除] を選択します。
4. 削除を確定します。
   この操作を取り消すことはできません。

データ可視化におけるサービスカタログ変数

選択したサービスカタログアイテムの変数別にグループ化されたデータの可視化を作成します。同じ変数でフィルターを作成することもできます。

変数に関するレポートは、たとえば、特定のカタログアイテムがインスタンスで有用かどうかを判断するのに役立ちます。

また、同じ変数に対してフィルターを作成することもできます。たとえば、特定の携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GBのストレージを持つ電話機のみを表示するレポートを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 変数別にグループ化するには、「サービスカタログ変数によるデータの可視化のグループ化」を参照してください。
- レポートをフィールドでグループ化し、変数でグループ化するには、「 サービスカタログの可視化への変数別のグループ化の追加」を参照してください。

レコード・プロデューサの場合、レポートの作成中に質問にフィルターを指定することで、設定された条件に基づいてレコードがフィルタリングされるようにすることができます。次のタイプの質問は、条件ビルダーに表示されません。

- ラベル
- リッチテキストラベル
- マクロ
- コンテナ

データの可視化でサービスカタログ変数を使用する

サービス カタログ データに基づくデータの可視化では、変数を積み重ねてグループ化し、リスト レポートでは列として、またマルチレベル ピボット テーブルでは列と行として変数を使用します。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

report_adminロールを持つユーザーは、サービスカタログ変数についてレポートできます。オプション [sc_item_option]、変数所有権 [sc_item_option_mtom]、および変数 [item_option_new] テーブルのアクセス制御リストにreport_adminロールを追加します。

注:

- 変数を使用するビジュアル化は、要求アイテムテーブル [sc_req_item] またはカタログタスクテーブル [sc_task] に基づいている必要があります。他のタイプの変数を使用すると、レポートを生成するときにエラーが発生します。
- Oracle Database CLOBフィールドには、レポート内の変数データを取得する機能はありません。4000 バイト未満の列文字列フィールドの場合は、列の型を varchar2 に変更できます。小さいサイズのCLOB列を比較するには、to_char()関数を使用します。サイズの CLOB が大きい場合は、dbms_lob.substr 関数を使用して比較用のサブストリングを取得する必要があります。

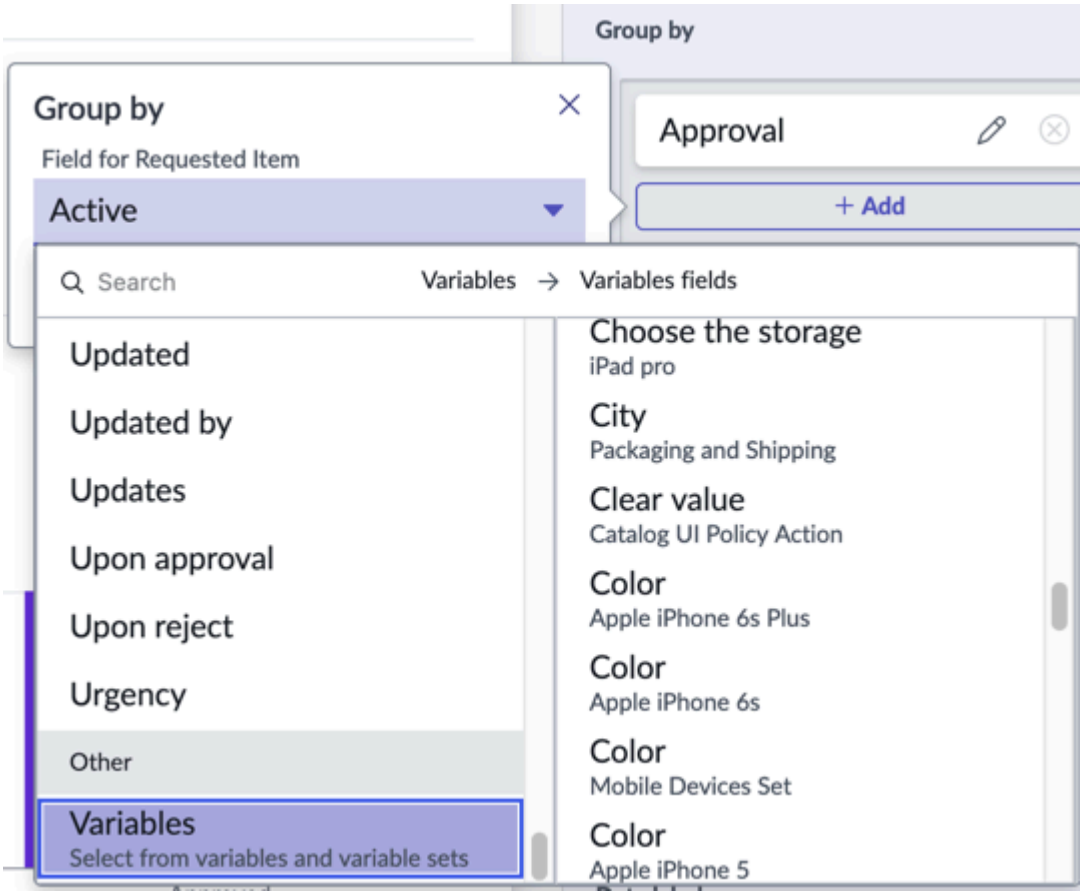
このタスクについて

プライマリの [グループ] と [積み重ね基準] の場合、これらの手順は直感的です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[グループ] フィールドと [積み重ね基準] フィールドでの変数の使用



注:
リスト、ボックス、Trendbox、およびピボットの各レポートでは、サービスカタログ変数をプライマリまたはセカンダリの [グループ化] として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも グループ化 をサポートしていません。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

変数は、追加の [グループ] として、リスト レポートの列として、またはマルチレベル ピボット テーブルの列または行として使用します。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックし、変数を追加する可視化を開きます。
2. 次のいずれかを実行します。

オプション	説明
別のグループとして追加	[**Group by** (グループ化)] で **[Add** (追加)] を選択し、[Search (検索)] リストの下部にある **[Variables** (変数)] を選択します。
ピボットテーブルの列または行として追加する	[グループ化] で、[列] または [行] に **[+** 追加] を選択し、リストの下部にある [変数] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: ○ 最初に変数をメインの [グループ] としてレポートを作成すると、内部結合として動作します。 ○ 最初にプライマリ グループ用の通常のフィールドと変数のセカンダリ グループを使用してレポートを作成すると、外部結合として機能します。

3. 変数を含むカタログアイテムを選択します。
   そのアイテムの変数が検索ウィンドウに表示されます。
4. 必要な変数を選択します。
5. [保存] を選択します。

サービスカタログ変数によるデータの可視化のグループ化

選択したサービスカタログアイテムの変数別にグループ化されたデータの可視化を作成できます。さらに、同じ変数でフィルターを作成することもできます。たとえば、携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、ストレージ容量が 32 GB の携帯電話のみを表示する可視化を作成できます。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

これらのステップは、レポートソースに変数が関連付けられている限り、任意のデータ可視化タイプに適用できます。レポートソースに変数がない場合、[変数] オプションは [グループ] フィールドと [積み重ね基準] フィールドに表示されません。

注:
リスト、ボックス、Trendbox、ピボットの可視化では、サービスカタログ変数をプライマリまたはセカンダリの [グループ] として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも グループ化 をサポートしていません。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

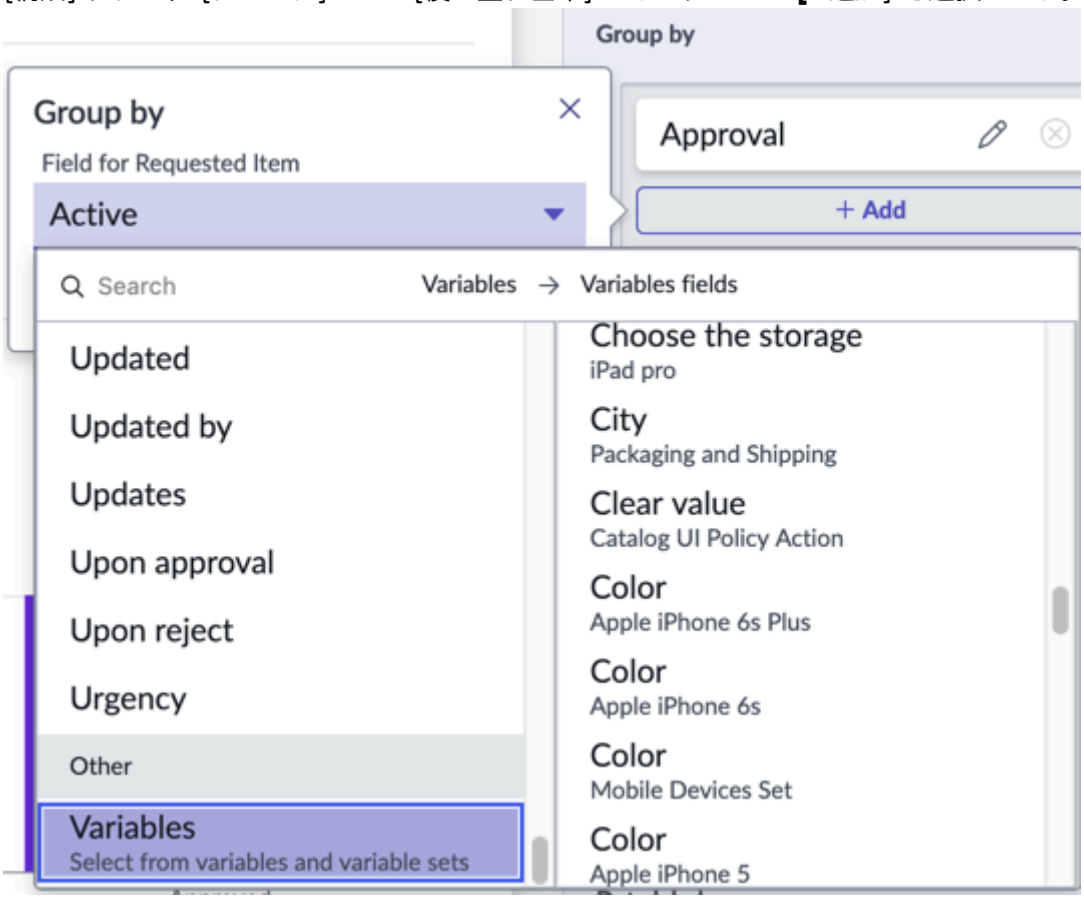
手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックし、[**New**] を選択します。
2. 可視化には、グループ化されている情報を反映した名前を付けます。
3. 変数をサポートする可視化タイプを選択します。
   リスト、ボックス、Trendbox、ピボットの可視化では、サービスカタログ変数をプライマリまたはセカンダリの [グループ] として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも グループ化 をサポートしていません。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。
4. 変数が関連付けられているデータソースを選択し、 [適用] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [構成] タブで、 [グループ] または[積み重ね基準] フィルターから **[+** 追加] を選択します。



6. グループ化または積み重ねの基準となるアイテムに関連付けられた変数を検索して選択します。
7. 続いて、タイプに応じた可視化の構成とスタイル設定を行います。

サービスカタログの可視化への変数別のグループ化の追加

選択したサービスカタログアイテムでは、追加のグループ変数を持つ任意のフィールドでグループ化されたデータの可視化を作成できます。さらに、同じ変数でフィルターを作成することもできます。たとえば、携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、ストレージ容量が 32 GB の電話機のみを表示するレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

これらのステップは、レポート ソースに関連付けられた変数があるかぎり、任意のレポート タイプに適用できます。レポートソースに変数がない場合、[変数] オプションは [他のグループ化基準] フィルターに表示されません。

手順

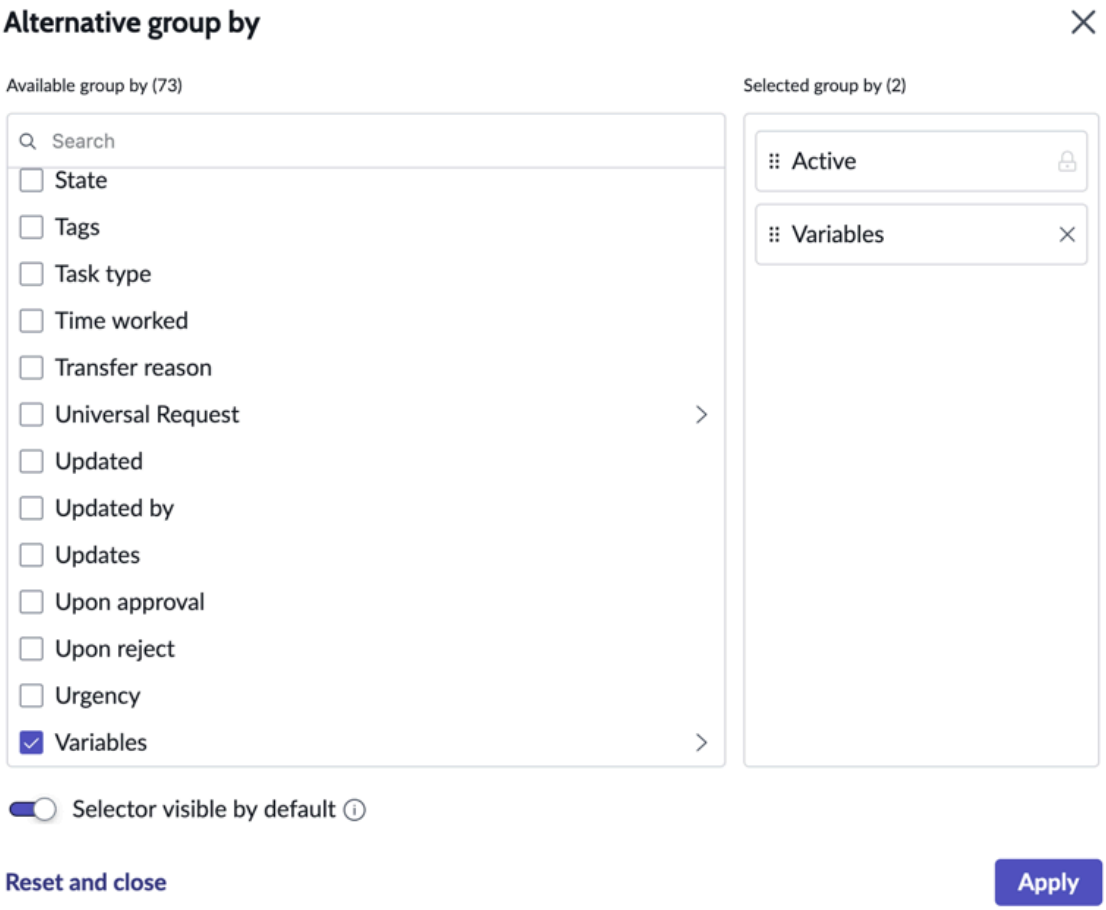
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化 をクリックし、[**New**] を選択します。
2. 可視化には、グループ化されている情報を反映した名前を付けます。
3. 変数をサポートする可視化タイプを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リスト、ボックス、Trendbox、ピボットの可視化では、サービスカタログ変数をプライマリまたはセカンダリの [グループ] として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも グループ化 をサポートしていません。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

4. 変数が関連付けられているデータソースを選択し、 [適用] を選択します。
5. [グループ] フィルター を選択します。
6. [**Additional group by**] をクリックします。
7. 変数 **[+]** を選択し、構造アイコン ( ) を選択してアイテムを選択します。

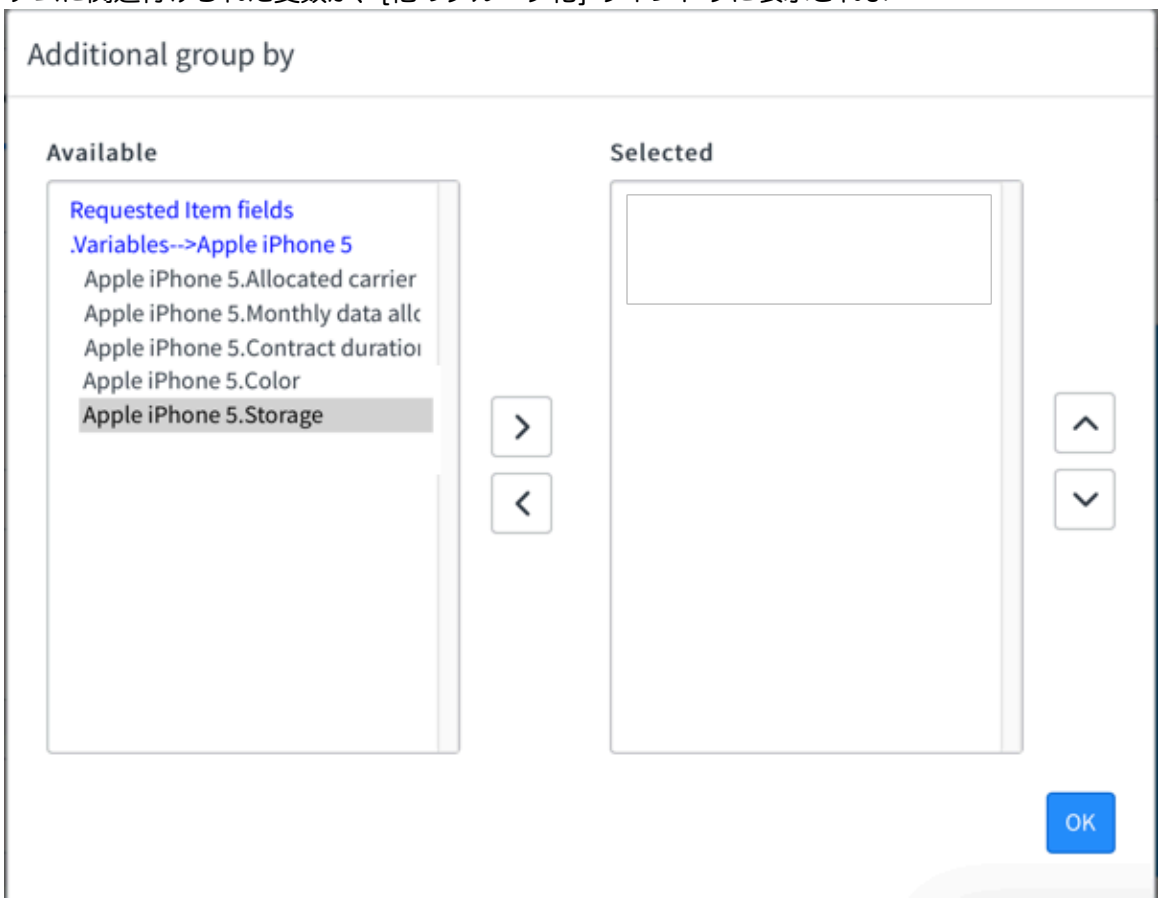


8. [カタログ アイテム] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテムに関連付けられた変数が、[他のグループ化] ウィンドウに表示されま



す。

9. 目的の変数を [選択済み] 列に追加し、[**OK]** を選択します。
10. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
「レポートタイプ」を参照してください。

データ可視化におけるチャートインタラクション

棒の列を選択するなどして、ユーザーがグラフを操作したときの動作を設定できます。URL への移動、 別のデータ可視化のオープン、 選択した値によるダッシュボード上のすべての可視化のフィルタリングなどが考えられます。

https://player.vimeo.com/video/1003324543?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

データの可視化の構成パネルには、[チャートのインタラクション] というラベルの付いたセクションがあります。このセクションでは、いわゆる「クリック時の動作」を設定します。この用語は、ユーザーが値を表すグラフのセグメントを操作したときに何が起こるかを指します。たとえば、時系列上の点や、円グラフやドーナツグラフのセグメントの選択などです。また、可視化のチャートのインタラクションを無効にすることもできます。

重要:
UI ビルダーでチャートの相互作用を構成することはできません。[ドリルダウンの有効化] トグルでオンまたはオフを切り替えることができますが、それ以外の場合は変更できません。

チャートのインタラクションでは、次のアクションを使用できます。

データビューに移動

データ型に適したデータのビューを開きます。各データ ソースのビューの詳細については、「 さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> [データ ビューに移動] は、サポートされているすべてのデータ ソースの既定の操作です。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データはサポートされていません。

URL に移動

指定した URL を開きます。この URL は、インスタンス上に配置することも、インスタンスの外部に配置することもできます。必要に応じて、ツールヒントで開くページの名前を指定できます。[URL に移動] は、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースのデフォルトのインタラクションです。

フィルターとして適用

選択したセグメントの値で、ダッシュボード上の適用可能なすべてのデータ可視化をフィルタリングします。[グループ] フィールドが期間の場合は適用されません。水平および垂直の棒グラフと円/ドーナツの可視化、およびテーブルとインジケーターのデータソースでのみ使用できます。UI ビルダーではご利用いただけません。

チャートへのドリルダウン

選択したデータでフィルタリングされた別のデータ可視化を開きます。親の可視化のメトリクスごとにドリルダウンによる可視化を追加できます。この新しいドリルダウンの可視化は、グラフの相互作用を構成するプロセスの一部としてシームレスに構成します。

> **注:**
> チャートへのドリルダウンには次の制限があります。
>
> - インラインダッシュボードエディターでは [Drill down to chart (グラフへのドリルダウン)] は構成できず、可視化デザイナーでのみ構成できます。
> - [チャートへのドリルダウン] は、テーブルデータソースでのみ使用できます。
> - カレンダー、ジオマップ、インジケータースコアカード、またはリストの可視化からチャートへのドリルダウンを設定することはできません。ただし、サポートされている可視化から、テーブルデータを表示できる任意の可視化にドリルダウンすることはできます。

異なるチャートインタラクションは、異なるデータソースとデータビジュアライゼーションタイプをサポートします。次の表に、サポートのマトリックスを示します。

チャート操作のサポート

アクション	サポートされているデータの可視化	サポートされているデータソース
データビューに移動	すべて	可視化がサポートするすべてのもの (除く) ユーザーエクスペリエンスアナリティクス
URL に移動	すべて	可視化がサポートするすべてのもの
フィルターとして適用 (インラインダッシュボードエディターでのみ使用可能)	• 水平バーと垂直バー • 円とドーナツ	テーブルとインジケーター
チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーでのみ使用可能)	カレンダー、インジケータースコアカード、リスト、ジオマップを除くすべて	テーブル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チャートの相互作用の構成

編集中のデータ可視化のために、ビューアーがチャートのセクションを操作したときの動作を選択します。

始める前に

必要なロール: このオプションは、作成する任意の可視化で設定できますが、データ可視化を表示するユーザーには、基礎となるデータを表示する権限が必要です。

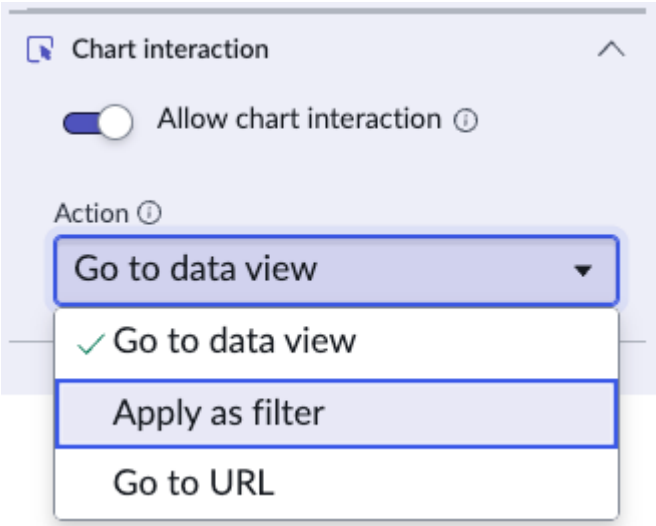
このタスクについて

チャートのインタラクションは、可視化デザイナーまたはインラインダッシュボードエディターでのみ構成でき、 UI ビルダーでは構成できません。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. 構成する可視化を選択または作成します。
3. [グラフの操作] で [グラフの操作を許可] をオンにします。
4. [アクション] で、利用可能なチャートの相互作用から選択します。
   可能な相互作用は次のとおりです。
   - データビューに移動
   - URL に移動
   - チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー内から利用可能):チャートの複数のレイヤーを追加して、ビジュアリゼーション内の各評価指標からドリルダウンできます。
   - フィルターとして適用 (ダッシュボード内で編集する場合のみ使用可能)

   相互作用については、 データ可視化におけるチャートインタラクションで説明します。



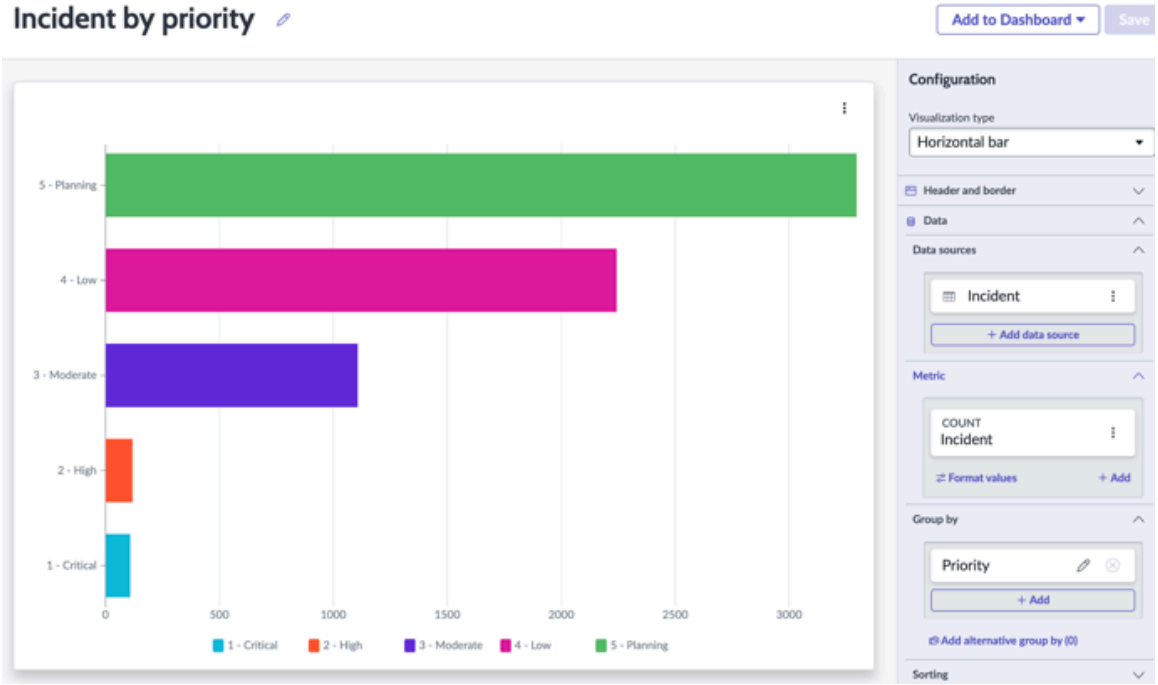
5. [保存] を選択します。

Example: チャートへのドリルダウン

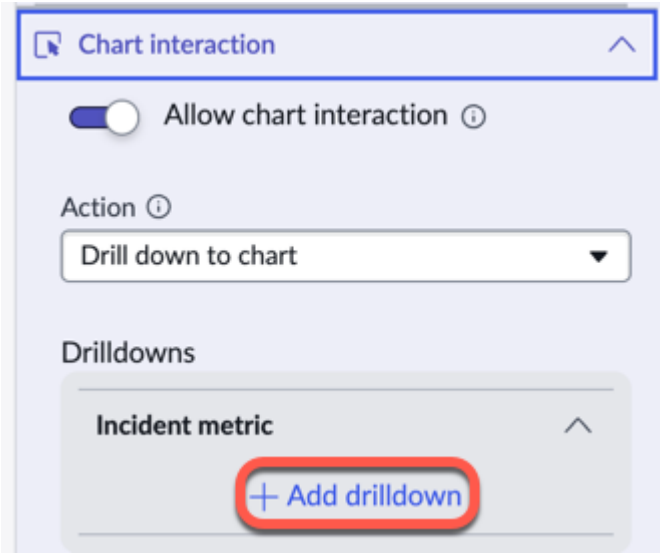
優先度別にグループ化されたインシデントテーブルのインシデント数を水平棒グラフで可視化したとします。このチャートの値から、インシデントの合計数を示す単一スコアチャートにドリルダウンする必要があると判断しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



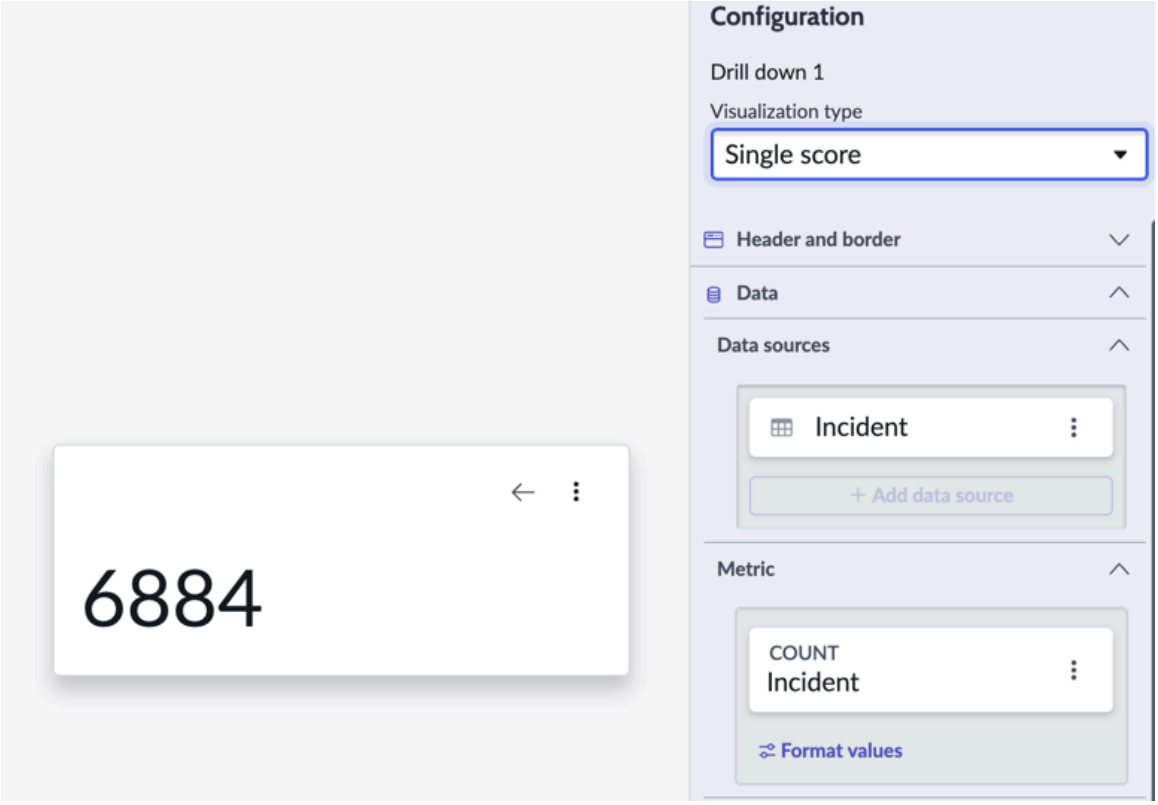
1. 構成パネルの [チャートのインタラクション] セクションに移動します。ここでは、アクションとして **[Drill down to chart** (チャートへのドリルダウン)] を選択します。可視化内の任意のメトリクスにドリルダウンチャートを追加できます。可視化では [Incident (インシデント)] 測定基準が唯一のものであるため、この測定基準が唯一の選択肢となります。



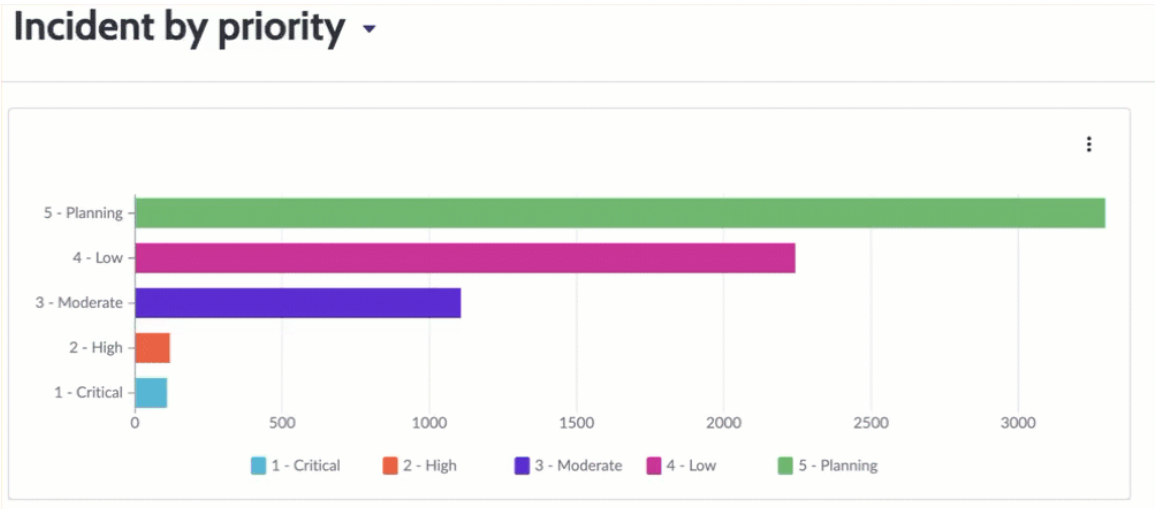
2. [インシデント] メトリクスの **[+** ドリルダウンを追加] を選択します。[ドリルダウン 1 (Drill down 1)] という新しいグラフの構成パネルが開きます。
3. インシデントテーブルのインシデントレコードの数を表す単一のスコアを表示するようにチャートを構成し、チャートを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 作成した単一スコアチャートからドリルダウンする別のチャートを追加することもできますが、その必要はないと考えています。
5. これで、閲覧者がダッシュボードでこの可視化を操作するときに、棒グラフから単一スコアチャートにドリルダウンし、上に戻ることができます。同様に、自分または可視化の別の編集者は、親チャートと子チャートの間を移動して、いずれかの構成を編集できます。



さまざまなデータソースのデータビュー

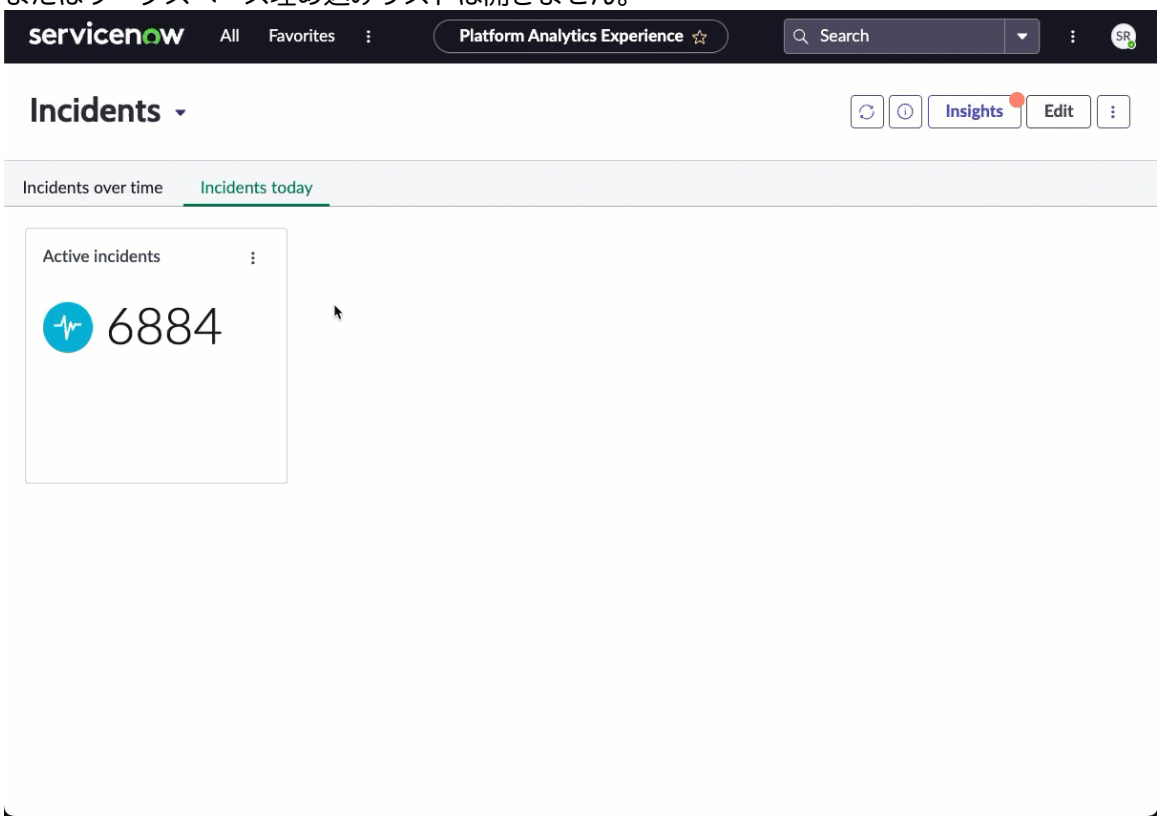
データ可視化のチャートインタラクションが [データに移動] に設定されている場合、チャート上のデータ値を操作すると、データソースに応じて異なるページが開きます。

注:
データの可視化に使用できるデータソースの概要については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルデータの可視化

テーブルデータの可視化からデータチャートインタラクションに移動し、関連するコア UI リストを開きます。このチャートインタラクションでは、 プラットフォームアナリティクス リストの可視化またはワークスペース埋め込みリストは開きません。

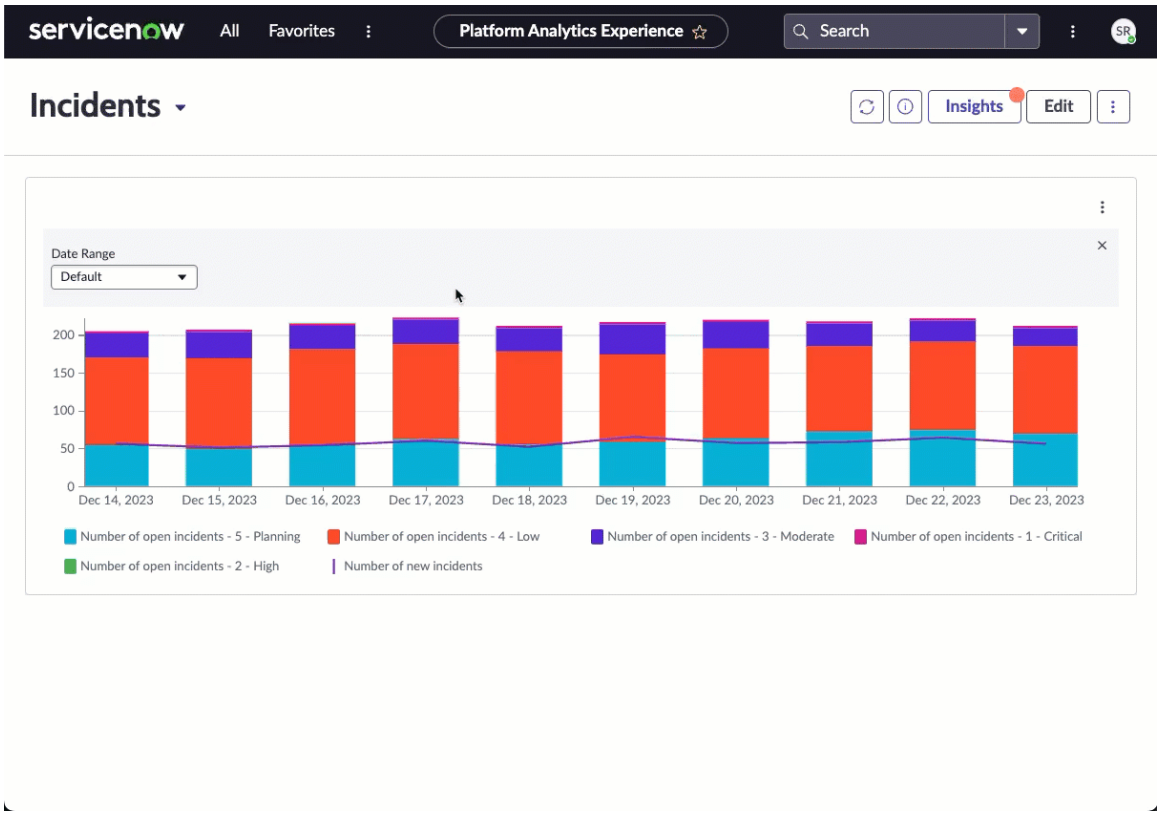


インジケーターの可視化

インジケーターの可視化からデータチャートインタラクションに移動し、関連するKPI 詳細ページを開きます。詳細については、「KPI 詳細」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ヘルスログアナリティクス

データの可視化からデータチャートのインタラクションに移動しヘルスログアナリティクスログビューアーを開きます。詳細については、「Health Log Analytics」を参照してください。

注:
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスからヘルスログアナリティクスのデータの可視化を作成または編集することはできず、UI ビルダーからのみ可能です。

メトリックベース

メトリックベース可視化からデータ・チャート・インタラクションに移動し、メトリックス・エクスプローラーを開きます。詳細については、「メトリックベース」を参照してください。

重要:
データグラフに移動 サービスオペレーションの Metric Explorer (sn_sow_metric_exp) プラグインが必要なメトリックベースのインタラクション。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は [データ チャートに移動] インタラクションをサポートしていません。

データの可視化の色

データの可視化に応じて、各 [グループ] 要素の固定色、事前定義されたカラー パレット、高い値と低い値にまたがるスペクトル、または単色など、さまざまな色を選択できます。

デフォルトでは、データの可視化は、インスタンスで使用される UX テーマ [sys_ux_theme] で設定されている色を使用します。これらの色は、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_properties] テーブルで定義されます。テーマには次の色が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- デフォルトの単色
- デフォルトのカラーパレット
- 色範囲の階調のデフォルトスペクトル

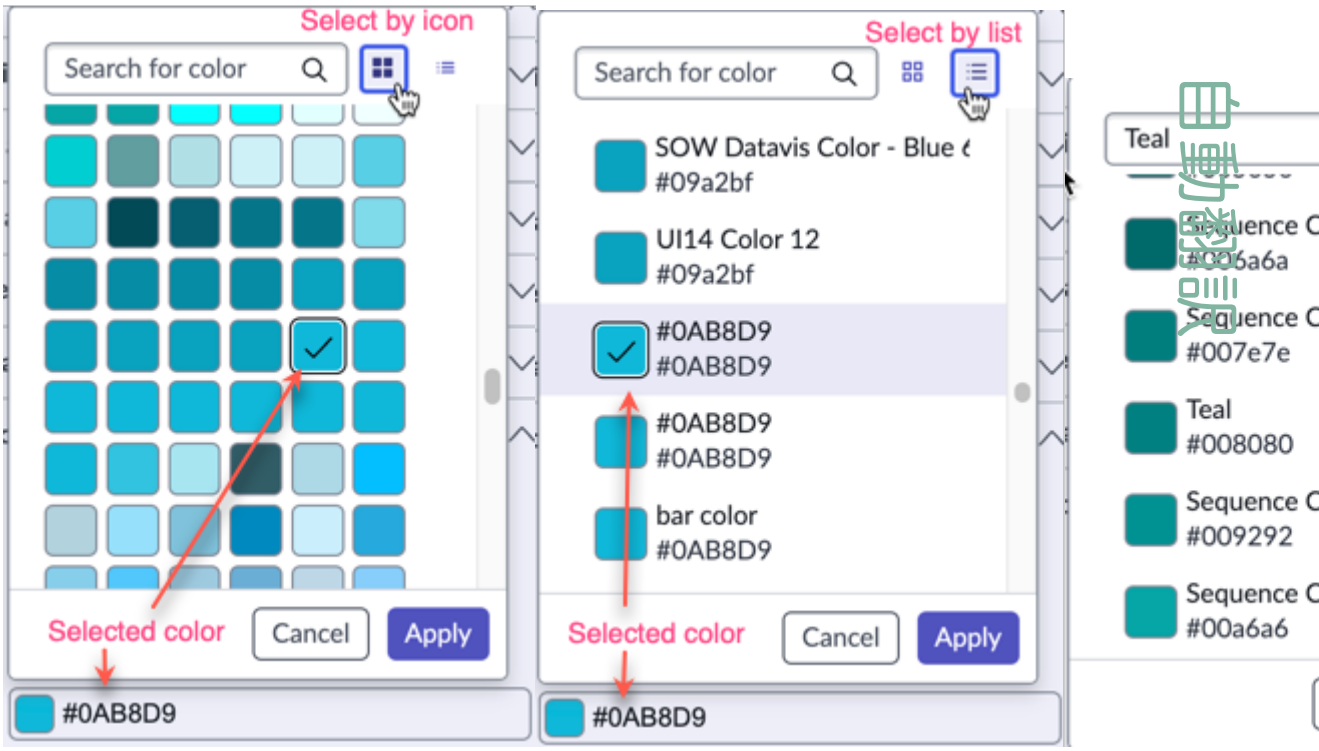
特定のビジュアリゼーションでは、UX テーマで設定された色を上書きできます。ビジュアリゼーションの構成パネルの [プレゼンテーション] セクションの [色] サブセクションで色を設定します。使用可能なオプションについては、「...」トピックを参照してください。

単一の値の色またはメトリックごとの色の選択

ゲージと円/ドーナツ以外の可視化に対して単一の値の色を選択できます。単一の色を選択すると、最初はデフォルトの色が提示されます。代わりに、[値の色を設定] フィールドで色を選択できます。そのフィールドを操作すると、セレクターが開き、色ごとのアイコンまたはリストから色を選択できます。リストには、各エントリのアイコンも表示されます。セレクターには検索フィールドもあります。その検索フィールドに値を入力すると、検索用語でフィルタリングされた色のリストが表示されます。これは、わかりやすい言葉または 16 進コードの一部です。

データの可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとに 1 つの色を選択できます。

アイコンモードとリストモードのカラーセレクター



ピボットテーブル、目盛り、単一スコアの可視化の色ルール

単一スコア、目盛り、およびピボット テーブルによるチャート化では、データが特定の条件を満たしたときに動的に設定される単一の色を使用できます。たとえば、25 未満の値のスコアを緑色で表示するルールを作成できます。詳細については、「データの可視化のためのカラーリングルールの作成」を参照してください。

テーブルデータソースの値によるグループ化の色オプション

テーブル データ ソースに基づくビジュアリゼーションで値別にグループ化する場合、次の 2 つの色の範囲オプションがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

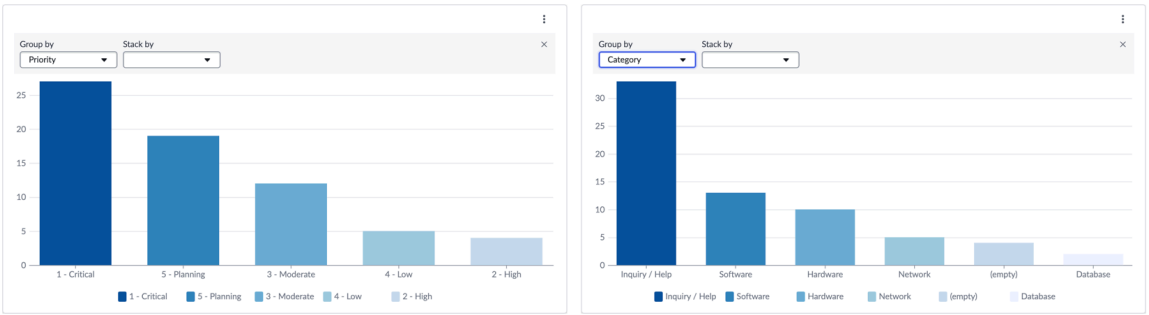
カラーパレット

[グループ] 要素に適用される一連の色。色は、値が大きいものから低いものの順に繰り返されます。色で順序を示す場合は、データの視覚化でカラーパレットを使用します。同じパレットを使用するビジュアリゼーションは、表示されているデータに関係なく同じ色を使用します。

カラーパレットは、[グループ] の値が定義されているデータ可視化におけるデフォルトのカラーリングパターンです。カラーパレットを指定しない場合は、UX テーマのカラーパレットが使用されます。

デフォルト以外のカラーパレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。カラーパレットを作成するには、admin または pa_admin ロールが必要です。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

次の例では、インシデントを示す 2 つのデータ可視化が表示されています。1 つの可視化には優先度別にグループ化されたインシデントが表示され、もう 1 つの可視化にはカテゴリ別にグループ化されたインシデントが表示されます。どちらの可視化も、6 階調の青を使用する青 (暗から明) (6) カラーパレットを使用します。値は異なりますが、どちらの可視化も同じ値のランキングに対して同じ色で表示されます。



固定要素の色

固定要素の色は、常に同じグループ化または積み重ね値に同じ色を適用します。異なるビジュアライゼーションのグループ化値と積み重ね値には、異なる色が付けられます。たとえば、Priority > 1 - Critical のような要素を常に同じ色にしたい場合は、固定要素の色を使用します。

重要:

固定要素の色は、テーブルデータソースの可視化でのみ使用できます。

固定要素の色を使用しているデータ可視化に要素が初めて表示されると、その要素に色が定義されます。その後、その要素は、それを表示するすべてのデータビジュアライゼーションで同じ色になります。色は、チャートの色 [sys_report_chart_color] テーブルの要素ごとに保存されます。要素に割り当てられた色を変更するには、admin または report_admin ロールが必要です。詳細については、「データカテゴリの色を定義する」を参照してください。

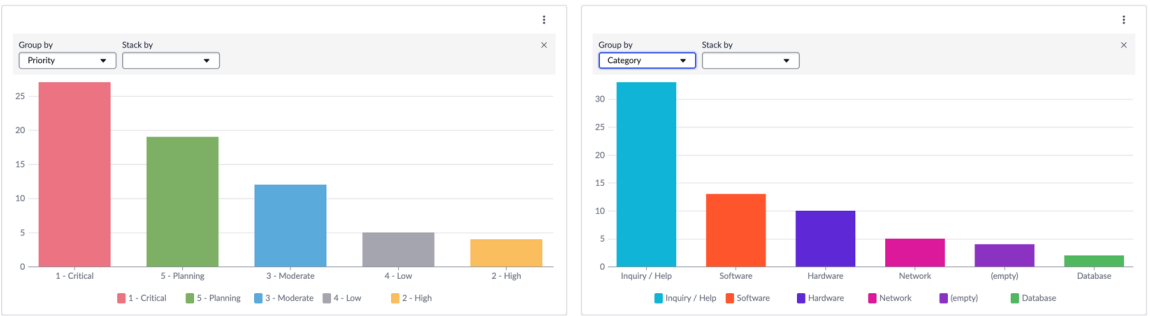
次の例では、同じフィールド [優先度] でグループ化されたインシデントを示す 2 つのデータ可視化が表示されています。どちらのビジュアリゼーションも固定要素の色を使用します。[優先度] の値が同じでも、順序は異なりますが、同じ色になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次の例では、データの可視化がさまざまなフィールドでグループ化され、固定要素の色を使用しています。各要素には一意の色があるため、バーは異なる色になっています。



関連情報

Working with themes in Next Experience

データの可視化のためのカラーリングルールの作成

値が重要である理由を簡単に強調表示できるように、数値の表示方法に関するルールを構成します。

始める前に

必要なロール：任意の内部ロールを使用して、ダッシュボードからデータの可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成し、可視化を可視化ライブラリに保存するには、viz_creator、viz_admin、または admin ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。 アクセスの詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクは、一部のデータ可視化の表示設定を構成する作業の一部です。

手順

1. 可視化デザイナー の [プレゼンテーション] タブで、[色] セクションを開きます。
2. [単色] タイプを選択し、[ルールの追加] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[色ルール] フィールド

フィールド	説明
演算子	値を評価するときに使用する演算子 (「より大きい 」や 「次の間」など)。たとえば、5 未満の値をスタイル設定するには、[未満] を選択し、[値 **1**] の値を 5 に指定します。
値 1	セル値を評価するための数値。[演算子] の値が [次の間] の場合、[値 **1]** フィールドには小さい方の値を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ カラー ルールが集計値に適用されます。 ○ 期間値に基づくルールを作成する場合は、期間を秒単位で指定します。
値 2	このルールに一致する最大値。このフィールドは、[演算子] の値が [次の間] の場合にのみ表示されます。
フォントの色	このルールに一致する値に適用するフォントの色。
ルール順序 (オプション)	ルールが適用される順序を決定する数値。 ルールは最低値から最高値の順に評価されます。たとえば、1 つ目のルールで値 7 に青色を適用し、2 つ目のルールで 1 から 10 の値に赤色を適用するとします。7 を青色にするには、1 つ目のルールの [ルール オーダー] の値の方を大きくして、2 つ目のルールによって上書きされないようにします。 ルール オーダーを指定しない場合、カラーリング ルールは作成された順に適用されます。

4. [適用] を選択してルールを保存します。
   新しいルールを作成するか、 可視化デザイナーに戻ります。

ドット連結を使用した拡張テーブルフィールドでのデータの表示方法の作成

ドット連結を使用すると、拡張または関連テーブルのフィールドにアクセスでき、それらのテーブルのフィールドでデータの可視化を作成できます。

構成パネルの [Group by/Stack by]、[Column/row]、または [Trend by] フィールドから拡張テーブルの参照にアクセスできます。[ソート] オプションを使用すると、拡張テーブルの該当する参照フィールドのソート順を設定することもできます。他のテーブルを参照するテーブルには、矢印 (⊙) アイコンが付きます。

ドット連結は、ドット (ピリオド) で区切られたフィールド名のチェーンを作成することによりフィールドを参照します。たとえば、 *incident.assigned_to.company* はインシデントに割り当てられたユーザーの会社を参照します。チェーンの長さの上限は 3 レベルを推奨します。

関連情報

ドット連結の例

可視化デザイナーの拡張テーブルでのデータの可視化

タスクテーブルを拡張するテーブルのフィールドを単一のデータ可視化に含める方法について説明します。たとえば、インシデントと問題の両方を 1 つのチャート化に含めることができます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。拡張テーブルに固有の列をレポートに含めるには、admin ロールを持つユーザーがシステム プロパティ [glide.ui.list.allow_extended_fields] を有効にする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > **UI** プロパティ.
2. [ベーステーブルリスト (タスク、cmdb_ciなど) に拡張テーブルフィールド (incident_state、os_version など) を含めることを許可し、拡張テーブルフィールド **(glide.ui.list.allow_extended_fields)** のフィルタリングを許可するプロパティを有効にします。
3. ページ下部の [保存] をクリックします。

必要なロール:report_admin

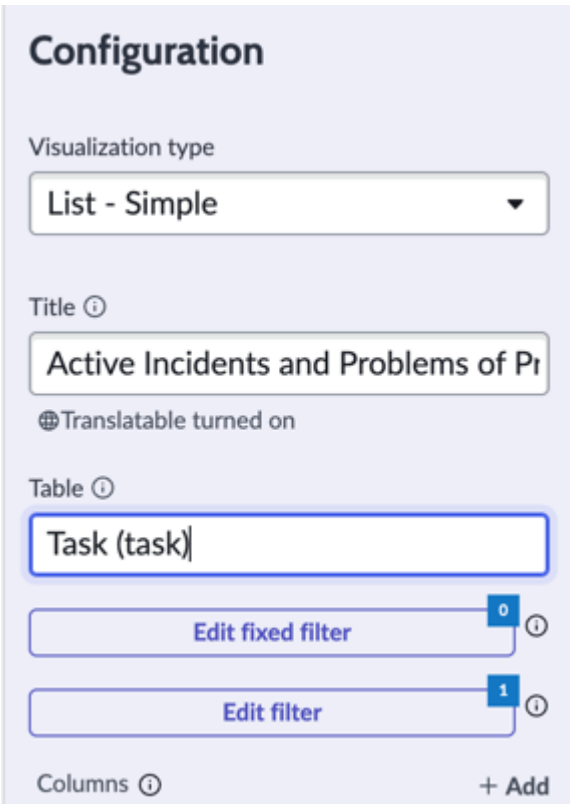
このタスクについて
親テーブルから始めて拡張テーブルのフィールドをレポートに含める方法については、この 6 分間のビデオをご覧ください。このビデオでは、データの可視化を作成するための以前のツールを紹介していますが、概念は構成可能なワークスペースでデータの可視化を作成する場合と同じです。

データの可視化で拡張テーブルにフィールドを含める方法 (ドット連結では利用できません) 。

このビデオでは、レポート デザイナーを使用して複数のテーブルのデータでレポートを作成する方法を説明します。ビジュアル化には、タスクテーブルの子テーブルであるインシデントと問題の両方が含まれています。可視化「優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題」を作成する方法は次のとおりです。

手順

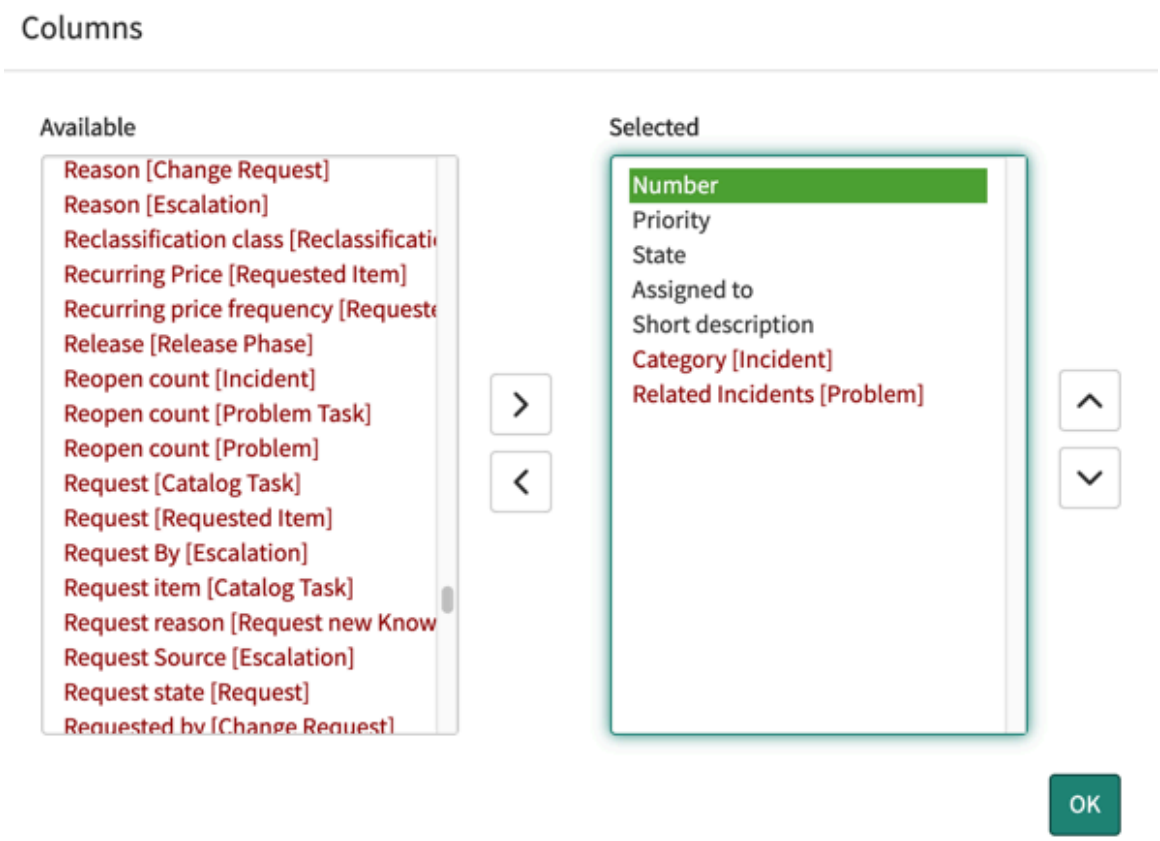
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. 簡易リスト ( ) 可視化タイプを選択します。
4. 構成パネルで、データの可視化に「 Active Incidents and Problems of Priority 1 or 2 (優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題)」という名前を付け、テーブルにタスク [task] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [Columns] フィールドで、[**+ Add**] を選択して、拡張テーブルフィールド Category [Incident] や Related Incidents [Problem] など、可視化に表示する列を選択し、[**OK]** をクリックします。



カテゴリ [Incident] フィールドと関連インシデント [Problem] フィールドは、拡張テーブル (インシデントと問題) に固有です。[インシデント] フィールドと [問題] フィールドには展開アイコン (⊙) があり、これらのテーブルのフィールドから選択できます。これらの 2 つのフィールドは、[ベーステーブルリストに拡張テーブルフィールドを含めることを許可する] プロパティと [拡張テーブルフィールドでのフィルタリングを許可する (glide.ui.list.allow_extended_fields)] を有効にしたために使用できます。
チャート化には、オープンインシデントとそのカテゴリ、およびオープンな問題が関連インシデントの数とともに表示されます。

6. 列 でグループ化 フィールドで、 **+** 追加 を選択し、 タスク タイプ を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストが更新され、すべてのタスクがそのタイプに折りたたまれます。



7. 条件ビルダーを使用して、可視化での表示内容を必要な情報のみに制限します。
[フィルターの編集] を選択して条件ビルダーを開きます。
8. 優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題のみを表示するには、これらの条件を設定して [適用] を選択します。
   - [アクティブ] が true です。
   - タスクタイプがインシデント、またはタスクタイプが問題。
   - 優先度は [1 - 重大] または [2 - 高] のいずれかです。



新しい可視化には、2 つのタスク タイプしかありません。アクティブなタスクのみを選択したため、各カテゴリのタスクの数も少なくなります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

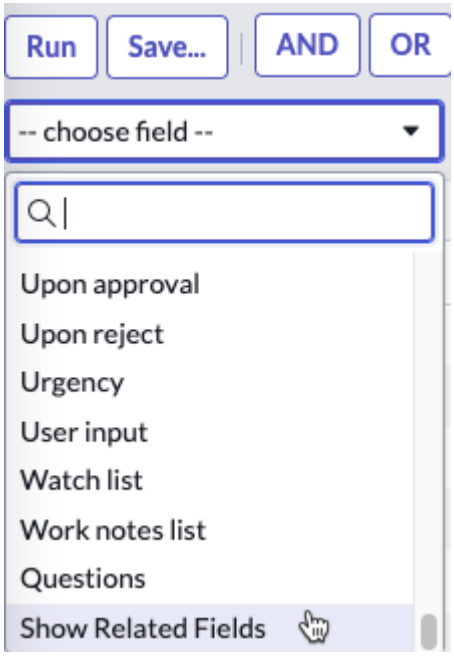
可視化デザイナーのドット連結の例

ドット連結を使用して、フォーム、リスト、またはスクリプトから関連テーブルのフィールドにアクセスします。このトピックには、可視化デザイナーでドット連結を行うさまざまな方法の例が含まれています。

リストフィールド

フィルターのフィールドリストなど、リスト内の関連フィールドにドット連結することができます。この例では、インシデントを登録した発信者の会社でインシデント [incident] テーブルをフィルタリングする方法を示します。

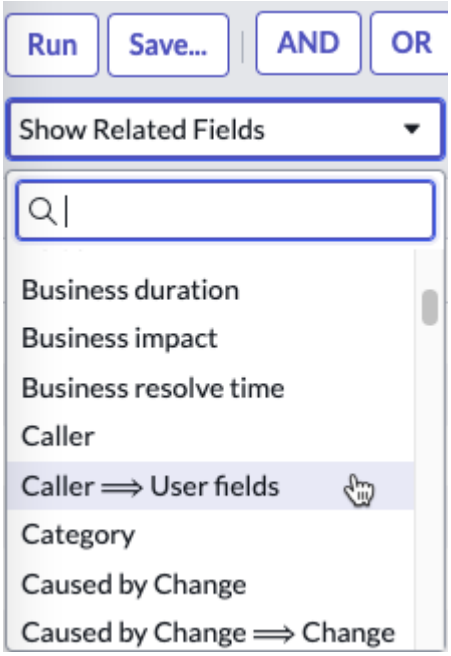
フィルタリングするフィールドのリストを開くと、使用可能なインシデントテーブルフィールドのリストが表示されます。参照フィールドの後に関連フィールドが続きます。たとえば、 **Caller** の後には 問い合わせユーザー > ユーザーフィールドこれは、 問い合わせユーザーが 参照フィールドであり、関連フィールドが 問い合わせユーザー レコードのユーザーフィールドであることを意味します。関連フィールドがリストに存在しない場合は、リストの一番下にある [関連フィールドを表示] を選択します。



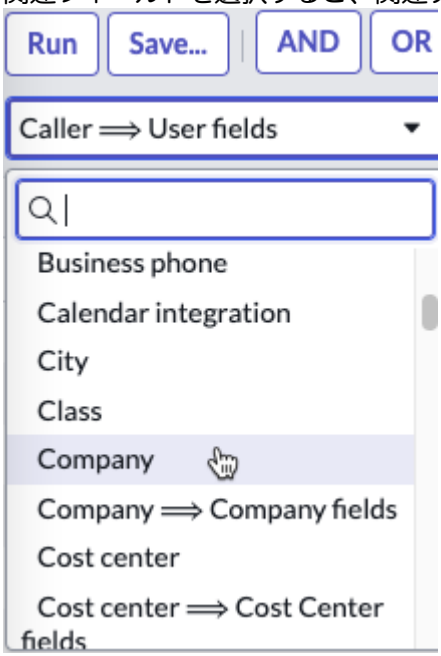
[関連フィールドを表示] を選択すると、メニューが再ロードされ、関連フィールドが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



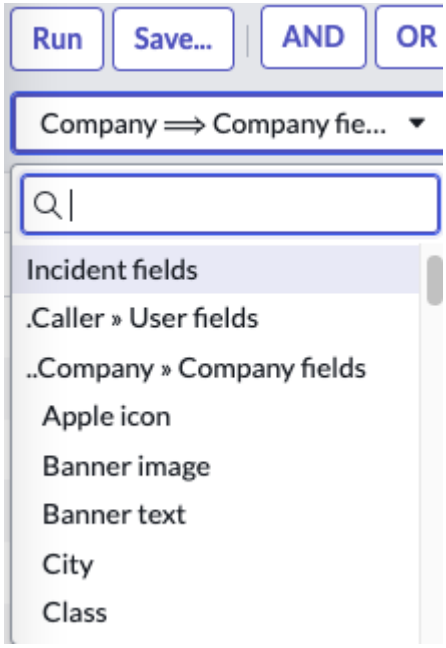
関連フィールドを選択すると、関連テーブルのフィールドとともにメニューが再ロードされます。



次の例は、ドット連結の現在位置を示しています。選択した各参照は、フィールドメニューの上部に保存されます。フィールドラベルの前のドット数は、ユーザーが最初のレコードから到達したドット数を示します。

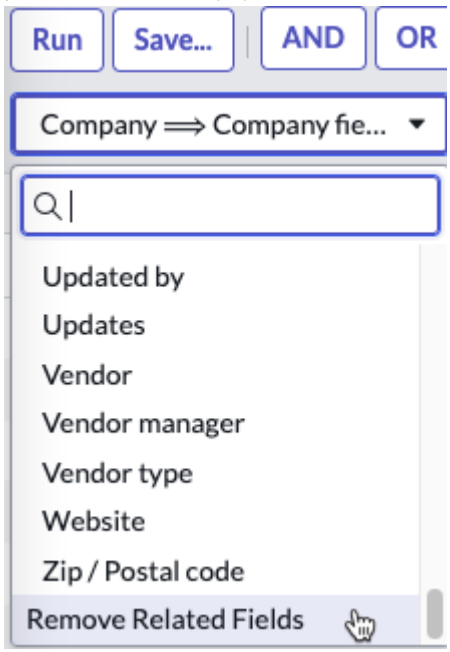
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



この例は、ユーザーが **Incident.Caller.Company** にいることを示しています。階層の上位レベルに戻るには、メニューの上部にあるフィールドを選択します。たとえば、[インシデントフィールド] を選択すると、インシデントフィールドのリストに戻ります。

関連フィールドを削除するには、リストの下部にある [関連フィールドを削除] を選択します。



Condition Builder

条件ビルダーでドット連結することで、テーブルに対して詳細なクエリを実行できます。

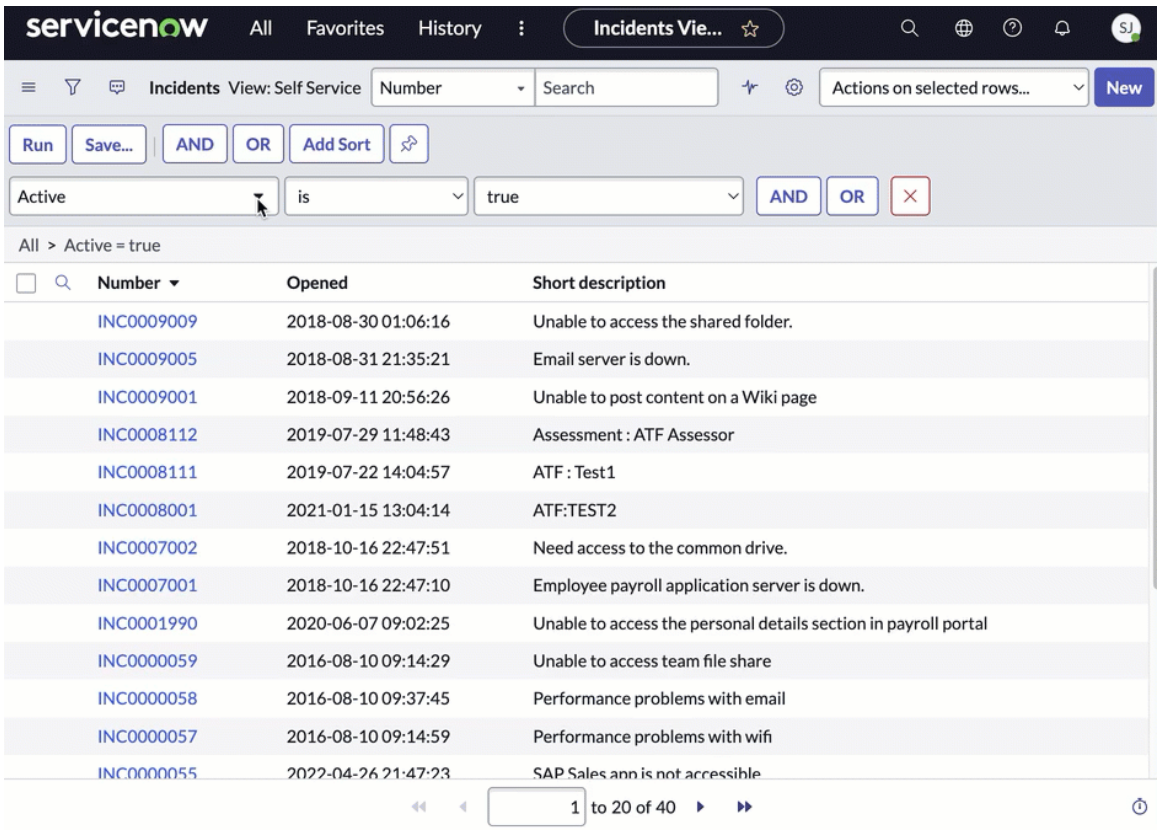
条件ビルダーでドット連結するには、まずフィールドメニューの [関連フィールドを表示] を選択します。このアクションにより、関連テーブルのフィールドをクエリに追加できます。

次の GIF は、条件ビルダーでフィールドをドット連結して、特定のユーザー Beth Anglin にアサインされたすべてのインシデントレコードを検索する方法を示しています。この例では、ユーザーはインシデント > オープン 次に、条件ビルダーを開きます。フィールドメニューで、ユーザーは最初に [関連フィールドを表示] を選択し、次にフィールドメニューを再度開いて **[Assigned to → User**

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

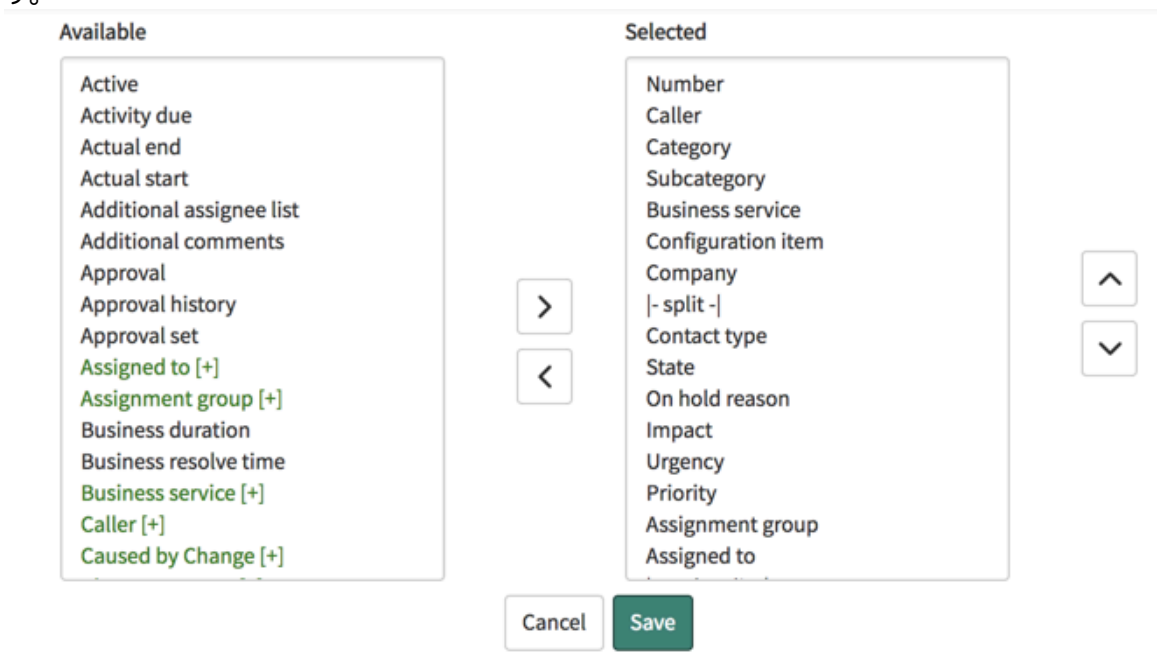
fields] を選択します。ユーザーはフィールドメニューを再度開き、[姓] を選択します。ユーザーは条件 [Last name] [is] [Anglin] を作成します。ユーザーが [**Run**] を選択すると、[Incident] リストに Beth Anglin にアサインされたレコードのみが表示されます。



リストコレクター

リストコレクターからフィールドのリストを選択するとき (フォームを設定するときなど) は、他のフォームのフィールドにドット連結することができます。

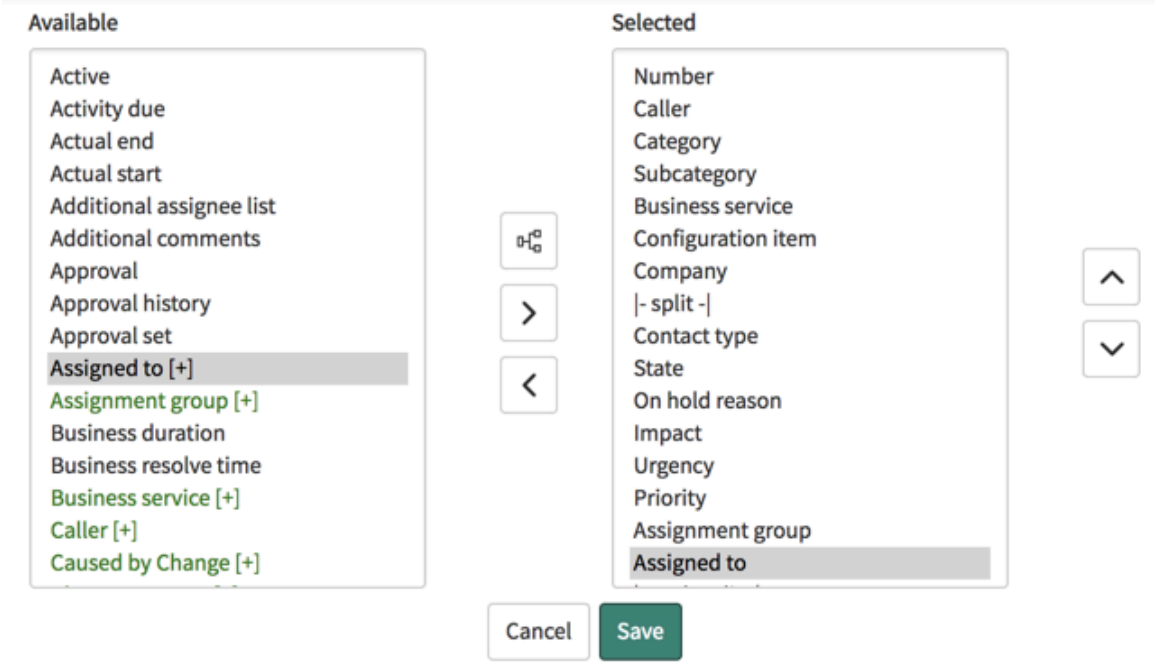
ドット連結できる参照フィールドを確認するには、プラス記号の付いた緑色のフィールドを探します。



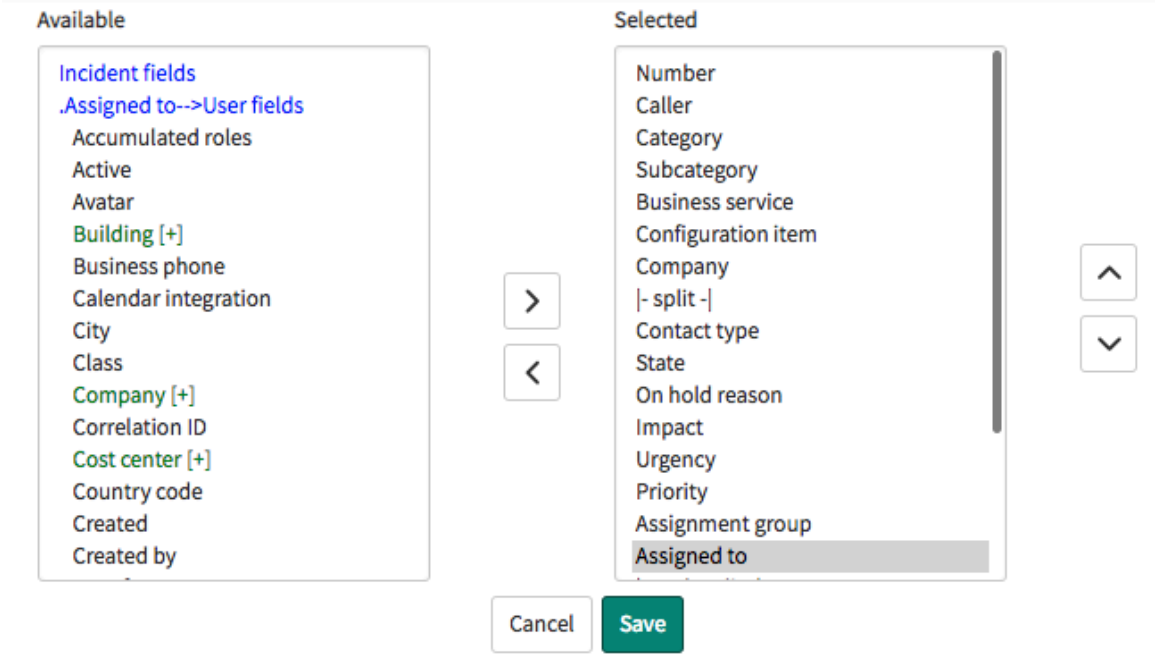
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

参照フィールドがハイライト表示されると、追加アイコンの上に展開アイコン ( ) が表示されます。

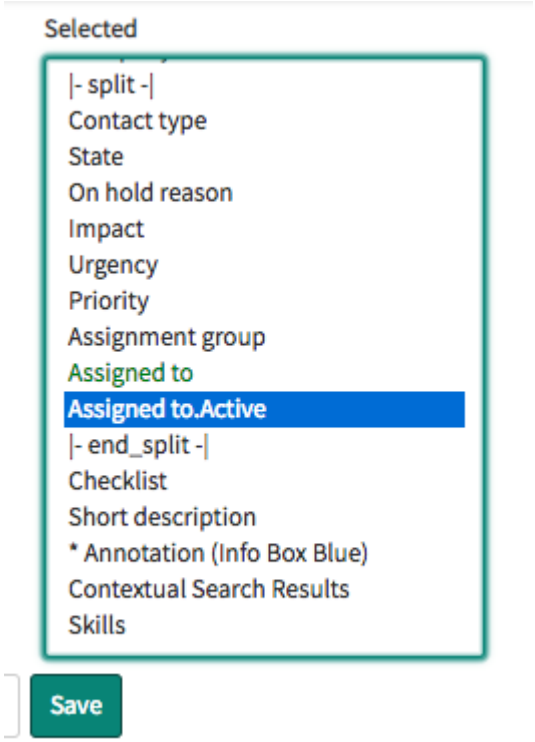


展開アイコンを選択すると、[利用可能] ペインの関連リストからフィールドのリストが開きます。次の例は、[アサイン先] フィールドが選択されたことを示しています。前のフィールドのリストがリストの一番上に表示されます。



フィールドが [選択済み] ペインに追加されると、完全なドット連結構文で表示されます。次の例は、[アサイン先] を示しています。[アクティブ] が選択されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



スクリプト

ドット連結構文を呼び出すことで、スクリプト内でドット連結を行うことができます。この機能を使用するには、JavaScript のナレッジが必要です。

ビジネスルールなど、サーバー側で実行されるスクリプトの場合は、 `current` を追加する必要があります。

たとえば、次のスクリプトは、チケットを開いたユーザーのマネージャーからの承認を要求するスクリプト化された承認ルールです。

```
try{
  current.opened_by.manager;
}
catch(err){}
```

クライアント・スクリプトなど、クライアント側で実行されるスクリプトの場合、 `current` は必要ありません。たとえば、次の VIP 発信者をハイライト表示スクリプトはクライアント側で実行されます。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading){
  //wait until there is a valid record in the field
  if(newValue){
    //get the caller object so we can access fields
    var caller = g_form. getReference('caller_id');
    var callerLabel = document.getElementById('label.incident.caller_id');
    var callerField = document.getElementById('sys_display.incident.caller_id');

  //check for VIP status
  if(caller.vip == 'true') {
    //change the caller label to red background
    //style object is CSSStyleDeclaration, style names are not standard css names
  if(callerLabel)
    document.getElementById('label.incident.caller_id').style.backgroundColor = 'red';
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 //change the caller's name field to red text
 if(callerField)
    document.getElementById('sys_display.incident.caller_id').style.color = 'red';
 }
   else { //not a VIP, remove temporary styles if(callerLabel)
    document.getElementById('label.incident.caller_id').style.backgroundColor = '';

   if(callerField)
     document.getElementById('sys_display.incident.caller_id').style.color = '';
   }
 }
}
```

変数

多くの場合、テンプレート、通知、またはフォームから値が呼び出されるその他のフォームに変数を追加できます。

たとえば、 *`${assigned_to}`* は **[Assigned to** (アサイン先)] フィールドの変数です。

例に示すように、任意の参照フィールドの元のレコードのフィールドにドット連結することができます。assigned_toレコードの任意のフィールドにドット連結することができます (例: *`${assigned_to.manager}`*)。

必要に応じて、ドット連結時にチェーンを長くすることができます。例: *`${assigned_to.department.manager.mobile_phone}`*。

ツリーピッカーからこの変数を選択できる場合があります。

ツリーピッカー

ツリーピッカーインターフェイスには、次のアイテムを検索するために使用できる拡張可能な階層ビューがあります。

- 別の上位レベルの CI に従属する構成アイテム (CI)。
- 特定のグループのメンバー。たとえば、ツリーピッカーを使用してサービスデスクグループ内のユーザーを検索します。
- 任意の階層テーブルの参照要素。階層テーブルとは、それ自体を指している親フィールドを持つテーブルのことです。たとえば、グループ [sys_user_group] テーブルは、特定のグループが親グループの子であるため、階層テーブルと見なされます。

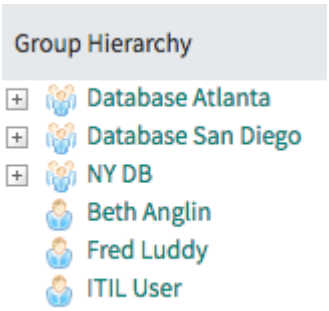
次の例は、ツリーピッカーを使用してインシデントレコードをデータベースグループのユーザーにアサインする方法を示しています。

まず任意のインシデントレコードに移動し、[**Assignment group**] フィールドに「Database」と入力します。

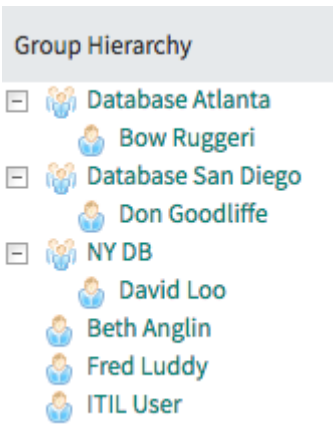


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、データベースグループは親グループであり、その下に複数の子グループがあります。[アサイン先] フィールドの横にある検索アイコン (を選択すると、ウィンドウに [データベース] グループの参照フィールドが表示されます。



参照フィールドには、名前の横に展開アイコン (+) があります。**[+]** をクリックすると、その参照フィールドのフィールドのリストが展開されます。この例では、[**Database Atlanta**] または [**Database San Diego**] フィールドを展開すると、各子グループ内のユーザーレコードのリストが開きます。



いずれかのユーザーレコードを選択して、[アサイン先] フィールドに値として追加します。



注:
*glide.ui.group_heirarchy.max_nodes*プロパティを構成するときに、最大 1,000 個のノードを選択するようにツリーピッカーを構成できます。プロパティを設定するには、フィールドの辞書属性を変更し、[属性] フィールドに tree_picker=true を追加します。属性が複数ある場合は、間にスペースを入れずにカンマで区切ります。

[store-future: BEGIN review]

可視化デザイナーのロール

Visualization Designer (可視化デザイナー) と Visualization Library (可視化ライブラリ) には、いくつかのロールが関連付けられています。ロールによって、ユーザーが Visualization (可視化) で実行できる内容が制限されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール

viz_admin
すべての可視化を作成、編集、削除、共有、スケジュール設定します。

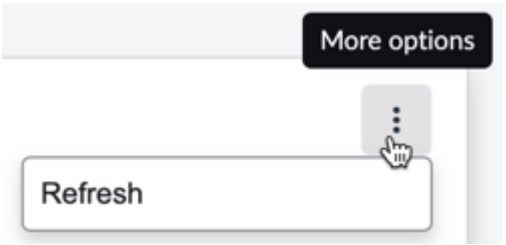
viz_creator
可視化を作成します。共有されている可視化は削除できません。

[End]

実行時のデータ可視化の更新

データ可視化のビューアーは、ページを更新したり編集権限を持たなくても、データの可視化を更新できます。

データ可視化を表示しているユーザーは誰でも、可視化の [More actions] メニューからその可視化を更新できます。



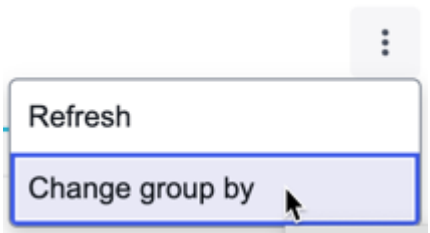
実行時にグループ化値を選択する

データの可視化のビューアーは、可視化内のデータをグループ化する値を選択できます。

データの可視化が代替のグループ別値で構成されている場合、ビューアーは適用する値を選択できます。編集権限は必要ありません。

注:
代替グループ化基準を構成する手順は、関連するデータの可視化のデータオプションのトピックに記載されています。

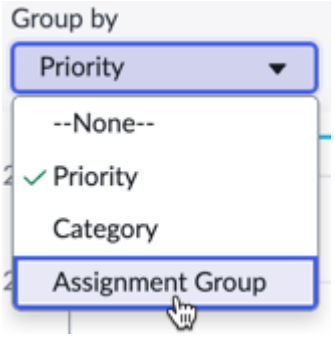
データ可視化の [More actions (その他のアクション)] メニューで [**Change group by** (グループ化基準を変更)] を選択して、グループ化値のセレクターの表示を切り替えます。可視化のエディターは、セレクターをデフォルトで表示するか非表示にするかを設定できます。



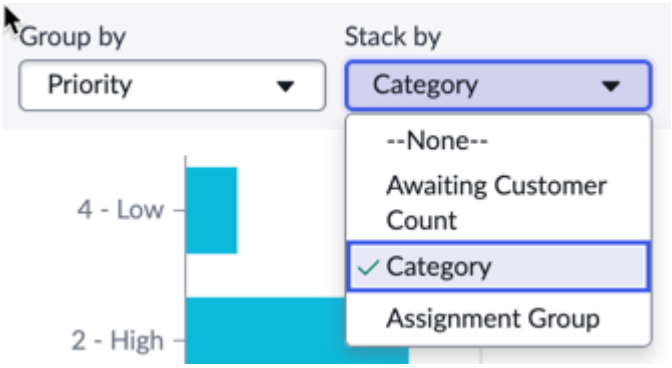
グループ化をサポートするすべてのデータ可視化では、ピボットテーブルを除き、閲覧者がグループ化の値を選択することもできます。棒グラフによる可視化を除くすべてのこのようなデータ可視化では、選択できるグループ化値は 1 つだけです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



棒グラフの可視化では、積み重ね値を選択することもできます。



のフィルター プラットフォームアナリティクス

可能なデータ値、値の true/false、または日付によって、ダッシュボードのリストとデータの可視化をフィルター処理します。 フィルターは、フィルターの配置に応じて、同じダッシュボードまたは同じダッシュボード タブ上のすべての要素に適用されます。

複数選択テーブル データ フィルターのダッシュボードへの追加

前のビデオは、フィルター (この場合はテーブル データの複数選択フィルター) を作成する方法を示しています。

ダッシュボードのインラインエディターを使用してフィルター要素を追加します。フィルターは、特定のタブに追加したり、ダッシュボード全体に適用したりできます。新しいフィルターを追加したり、フィルターライブラリのフィルターを使用したりできます。フィルターを作成する場合は、フィルターするターゲットを含めてフィルターを構成します。編集モード以外で、ユーザーはフィルター構成に応じて 1 つ以上のフィルター値を選択します。フィルターは、フィルターのターゲットを含むデータの可視化およびリストコンポーネントに適用されます。

フィルターを作成するときは、最初にフィルタータイプを指定します。それ以降の構成オプションはすべて、選択したタイプによって異なります。

analytics_filter_admin ロールを持っている場合は、フィルターをライブラリに保存できます。ダッシュボードを作成できるユーザーは誰でも、ライブラリからフィルターを追加できます。

インンラインエディターで作成されたダッシュボードでは、フィルターはログインやページの更新後も値を保持します。ただし、これらの値は、フィルター構成が編集されると保持されなくなります。その後、フィルターは、すべてのユーザーについて、次回のログイン時またはページの更新時にデフォルト値に戻ります。UI ビルダー で作成されたテクニカルダッシュボードおよびページでは、フィルターは、ログインまたは更新後は値を保持しません。例外については、「ダッシュボード ページへのダッシュボードの追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ドメインセパレーションされたインスタンスでは、ドメイン別に可視化をフィルタリングできます。ドメインフィルタリングは別のコンポーネントを使用します。詳細については、「ドメインフィルターを作成する」を参照してください。

ダッシュボードフィルターのフィルタータイプを選択します

フィルターに名前を付け、単一選択、複数選択、日付、または true/false フィルターを作成するかどうかを選択します。あるいは、ライブラリからフィルターを選択します。

始める前に

必要なロール：インラインダッシュボードエディターでは、ダッシュボードの所有者であるか、編集権限を所有者と共有している必要があります。テクニカルダッシュボードエディターでは、ui_builder_admin ロールが必要です。フィルターをライブラリに保存したり、フィルターデザイナーでフィルターを作成したりするには、analytics_filter_admin ロールが必要です。

手順

1. 「ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集」の説明に従って、アナリティクスセンター またはダッシュボードページでダッシュボードを見つけて開き、編集します。
   結果は、ダッシュボードがインラインエディターで作成されたか、テクニカルエディターで作成されたかによって異なります。テクニカルエディターで作成された場合、ダッシュボードは UI ビルダー で開きます。それ以外の場合は、ワークスペースのインラインエディターで開きます。テクニカルエディターは、ui_builder_admin ロールを持つユーザーのみが使用できます。
2. 次のようにフィルターコンポーネントを追加します。
   - フィルターライブラリに移動し、[新規] を選択してフィルターデザイナーを開きます。

     フィルターライブラリを開くには、リストアイコン ( ) を選択し、 **Library** (ライブラリ) > **Filters** (フィルター).
   - インラインエディターを開き、[新しい要素を追加] を選択してフィルター要素を追加します。
   - テクニカルエディターを開き、「コンポーネントの追加と構成」の説明に従ってください。

     テクニカルエディターを使用している場合は、開発者サイトのフィルターコンポーネント参照 を使用することを検討してください。この参照には、各構成フィールドの説明と、ダッシュボードのみに適用されるわけではない一般的な使用に関する情報が含まれています。
3. [**New filter** (新しいフィルター)] または [**Saved filter** (保存済みフィルター)] を選択します。
   - フィルターを最初から作成するには、[新しいフィルター] を選択します。
   - ライブラリからフィルターを再利用するには、[**Saved filter** (保存済みフィルター)] を選択します。

   [新規フィルター] を選択すると、選択したフィルターの [構成] パネルが開きます。[保存済みフィルター] を選択すると、既存のフィルターを選択してダッシュボードに追加できます。
4. 新しいフィルターを作成する場合は、フィルター処理するデータの種類を選択します。

   その他の構成オプションは、選択したデータタイプによって異なります。
   - 単一選択: 一連の選択肢からの単一の値。[Single select (単一選択)] はデフォルトのフィルターの種類です。
   - 複数選択:一連の選択肢からの複数の値 (高優先度と重大優先度の両方など)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 日付: カレンダーの日付。時間も設定できます。ページまたはタブ上のすべてのインジケーターデータに自動的に適用されます。
- True/False:フィールド値が true か false か。値が 2 つしかないバケットグループに基づくインジケーターブレークダウンでも使用できます。可視化タイプを変更できます。

5. [フィルターラベル] フィールドに、フィルターのわかりやすい名前を入力します。
この名前は、ランタイムユーザーに表示される名前です。

次のタスク
フィルタータイプに応じてフィルターの構成を続行します。

単一/複数選択またはカスケード フィルターを作成する

ユーザーが、インシデントの優先度など、一連の選択肢からの 1 つ以上の値でダッシュボードタブをフィルタリングできるようにします。単一または複数の選択フィルターをカスケード内の別のフィルターの後にすることができます。

始める前に
この手順は、フィルターデザイナーでフィルターを作成したか、フィルタータイプが [単一選択] または [複数選択] のフィルターをダッシュボードに追加していることを前提としています。「ダッシュボードフィルターのフィルタータイプを選択します」を参照してください。

必要なロール：インラインダッシュボードエディターでは、ダッシュボードの所有者であるか、編集権限を所有者と共有している必要があります。テクニカルダッシュボードエディターでは、ui_builder_admin ロールが必要です。フィルターをライブラリに保存したり、フィルターデザイナーでフィルターを作成したりするには、analytics_filter_admin ロールが必要です。

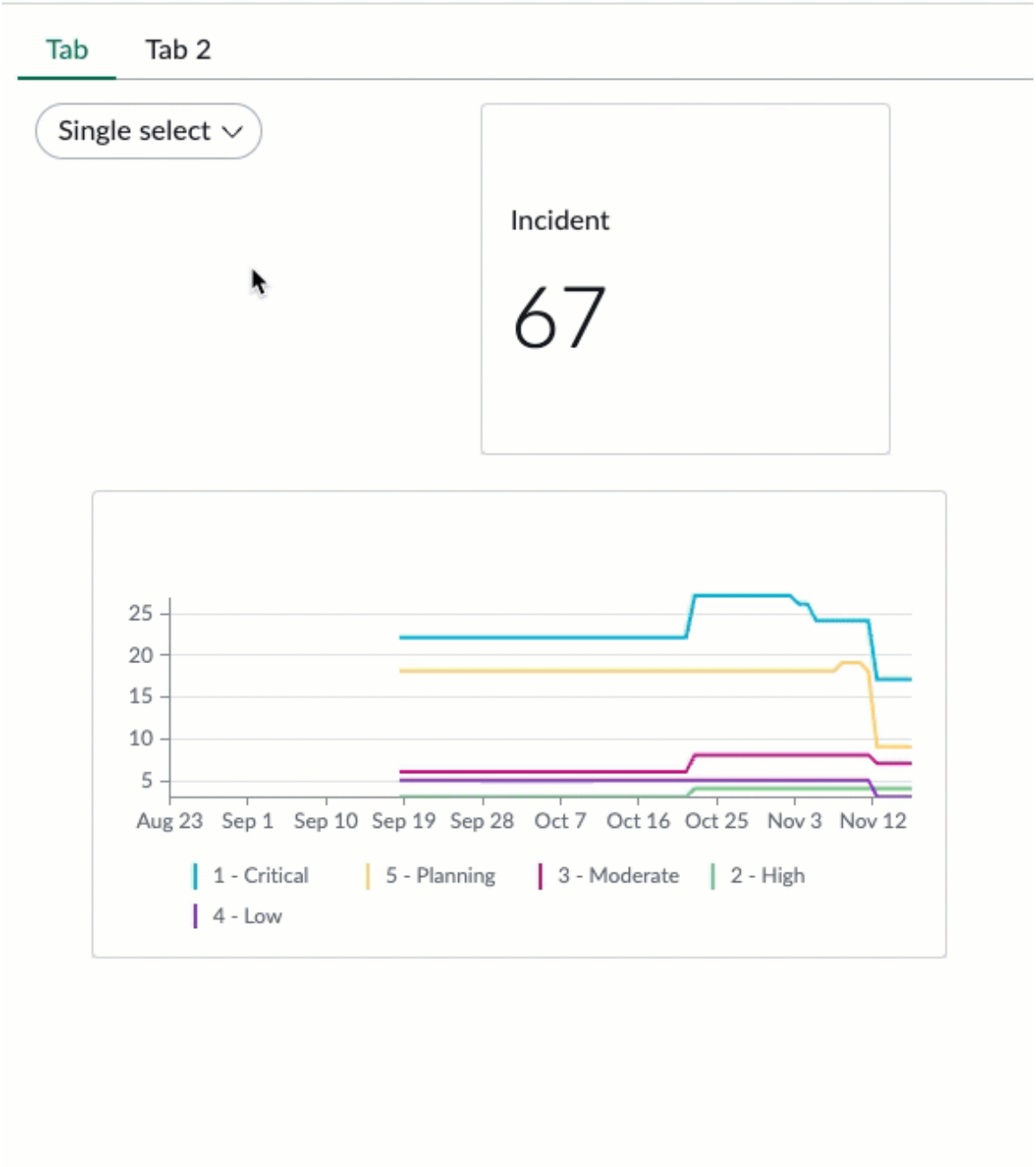
このタスクについて
フィルターは、データの可視化と簡易リストに適用されます。フィルターを特定のデータ可視化に適用するには、その可視化と同じテーブルまたはインジケーターのブレークダウンに基づいている必要があります。リストに適用するには、リスト内のフィールドをフィルタリングする必要があります。

タブ付きダッシュボードでは、フィルターを単一のタブ内のアイテムまたはダッシュボード全体に適用できます。フィルターを単一のタブに適用するには、そのタブにフィルターを追加します。フィルターをダッシュボード全体に適用するには、タブの上にフィルターを追加します。

単一選択フィルターを使用すると、ユーザーは 1 つの値でアイテムをフィルター処理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



複数選択フィルターを使用すると、ユーザーはフィールドまたはブレークダウンの複数の値を選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



手順

1. [フィルターソースタイプ] で、[テーブル] または [インジケーター] ブレークダウンを選択します。
   メトリックベース テーブルは [テーブル] で使用できます。
2. ソースタイプに応じて、フィルターソースを指定します。

自動翻訳

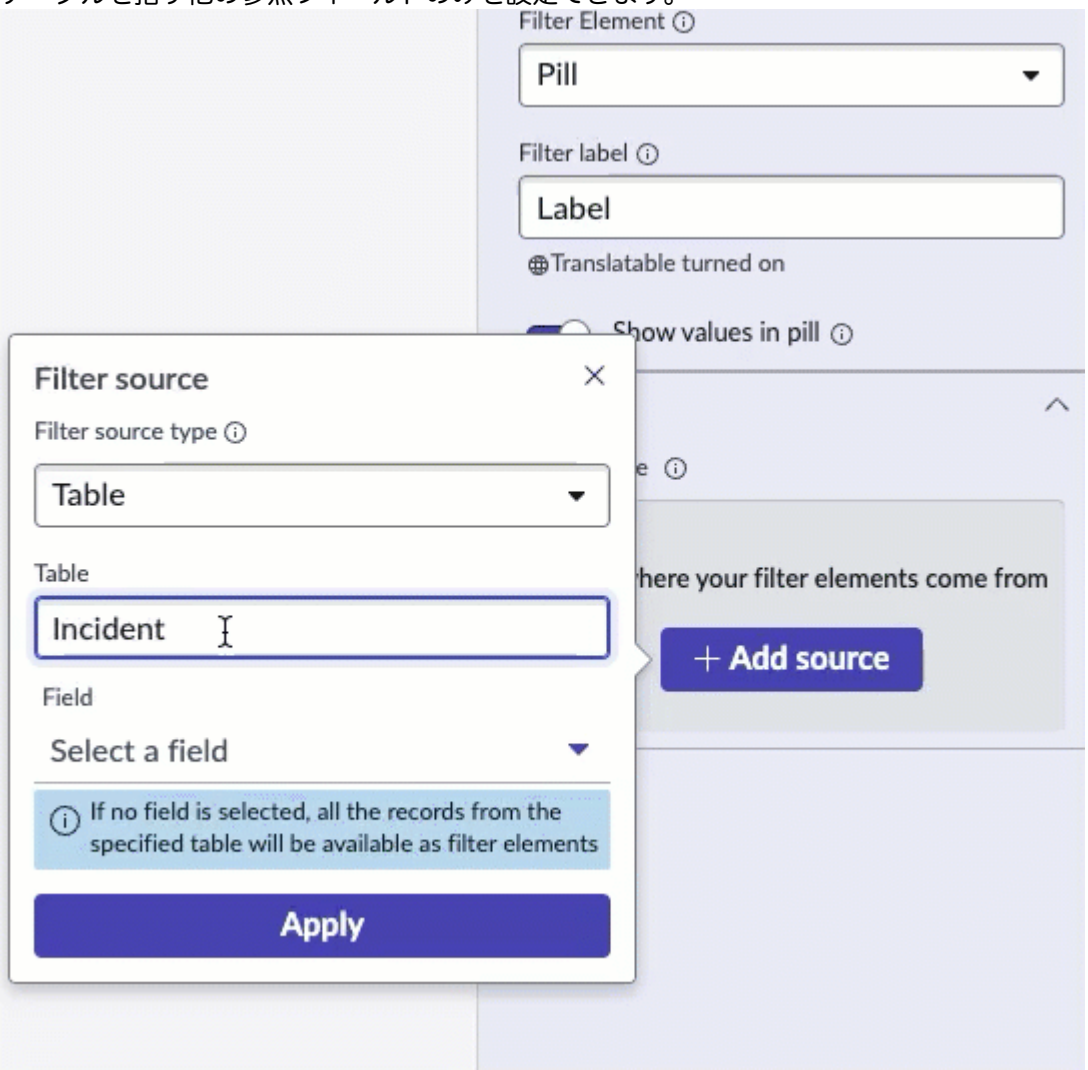
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [Table (テーブル)] タイプを選択した場合は、テーブルとフィールドを選択します。

  注:

  - 選択できるのは、参照フィールドと選択リストを持つフィールドのみです。テーブルに非参照文字列フィールドと数値フィールドしかない場合、選択できるフィールドはありません。
  - フィールドを選択しない場合は、そのテーブルまたはそのテーブルを指す参照フィールドのデータしかフィルター処理できません。たとえば、フィルターソースとして Company (会社) テーブルを選択した場合、Company (会社) テーブルまたは会社を指す参照フィールド (Incident.Caller.Company や Incident.Location.Company など) のみをフィルター処理できます。
  - メトリックベーステーブルを選択する場合は、フィールドを選択しないでください。

  - 別のテーブルへの参照フィールドであるフィールドを選択すると、フィールドが選択されていないそのテーブルを参照するようにフィルターソースがリセットされます。フィルタリングするデータは、最初に選択した参照フィールドに自動的に設定されます。フィルタリングする追加データとして、フィルターソース内のテーブル、またはそのテーブルを指す他の参照フィールドのみを設定できます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [Indicator Breakdown (インジケーターブレークダウン)] タイプを選択した場合は、インジケーターブレークダウンを選択します。

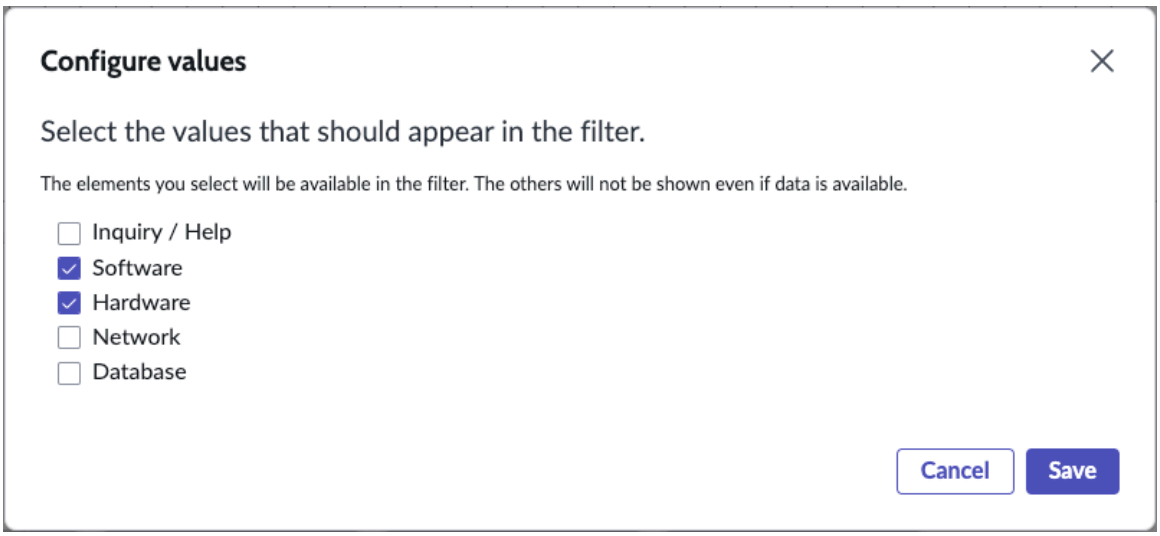
  重要:
  - 少なくとも 1 つのインジケーターで使用されているブレークダウンのみを選択できます。
  - データの可視化でのスクリプト化されたブレークダウンはサポートされていません。
  - インジケーターに同時に適用できるブレークダウンレベルは 2 つのみです。ダッシュボードでは、これは 2 つのフィルター、または 1 つのフィルターと、データの可視化で指定されたブレークダウンです。

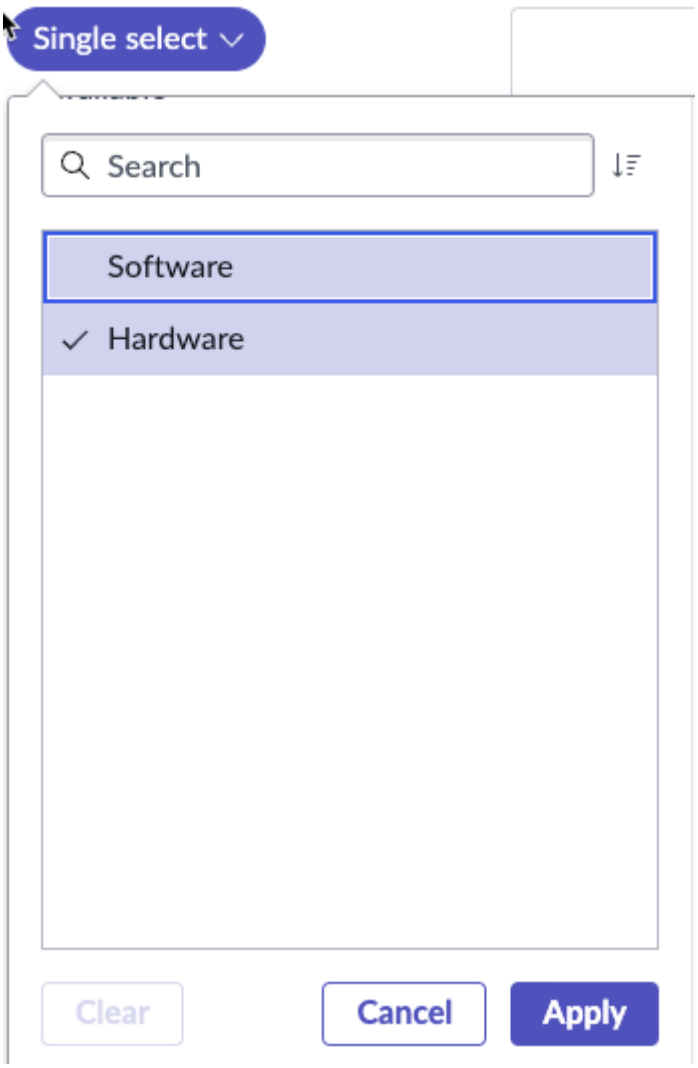
3. オプション: ランタイムユーザーがフィルターの基準として選択できる値を制限するには、[値 (数値) の構成 **(Configure values (number))**] を選択します。
   使用可能な値のリストが開きます。値をクリアすると、ランタイムユーザーがその値でフィルタリングできないようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

実行時に値リストと結果の選択肢を構成する





自動翻訳

注:
フィルターソースがテーブルへの参照である場合、構成する値のリストはありません。代わりに、フィルターの値を設定する条件を作成できます。関連リスト条件を設定することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. オプション: フィルターのデフォルト値を選択します。
   ユーザーがダッシュボードを開くと、ダッシュボードはこれらの値を適用します。
5. オプション: フィルタリングするデータを選択します。
   フィルターする一部のデータは、フィルターソースに応じて自動的に選択されます。たとえば、Incident.Category ブレークダウン ソースからカテゴリ インジケーター ブレークダウンを選択すると、フィルターによって、インシデント テーブルの [カテゴリ] フィールドと、カテゴリ ブレークダウンを持つインジケーターが自動的にフィルター処理されます。自動データ選択を編集したり、フィルタリングするデータを追加したりできます。

   注:
   フィルターソースの選択は、フィルターできるデータに影響を与える可能性があります。詳細については、「ステップ 2」を参照してください。

6. [従うその他のフィルター] で条件が満たされている場合は、現在のフィルターが階層内でフォローする別のフィルターを選択して、カスケードを作成できます。

   注:
   [その他のフィルター] は、フィルターデザイナーからではなく、ダッシュボードでフィルターを構成する場合にのみ設定できます。

   別のフィルターに従うようにフィルターを設定すると、次のフィルターで使用できる選択肢は、後続のフィルターでの選択によって制限されます。詳細については、 マネージャーとアサイン先グループのカスケードフィルターの例を参照してください。

   Conditions :
   - ピルがそのフィルターの UI 要素である場合にのみ、フィルターをフォローできます。
   - カスケードフィルターがサポートされているのは、テーブルとインジケーターのブレークダウンフィルターのみです。
   - 従うフィルターは、次のフィルターのフィルターソースと同じテーブルのデータをフィルター処理する必要があります。

   注:
   - 一部のフィルターには多対多の関係があり、両方のフィルターの値が他方のフィルターの複数の値と一致する可能性があります。このようなフィルターの 1 つは、接続テーブルを介してのみ別のフィルターに従うことができます。これらのカスケードフィルターを設定できるのはアドミンのみです。詳細については、「多対多の関係で別のフィルターに従うようにフィルターを設定する」を参照してください。
   - 2 つのフィルターを相互にフォローできますが、追加の要件があります。詳細については、「2 つのフィルターが互いに従う条件」を参照してください。

7. [ソートの方向] を選択します。
   [昇順] を選択すると、フィルタリングされたうちで最も低い値が最初に表示されます。[降順] を選択すると、最も大きい値が最初に表示されます。ユーザーはこの値を変更できます。
8. ユーザーがフィルターに対して選択した値を自分でクリアできるようにするには、[フィルターのクリアを許可]を有効にします。
9. オプション: 最初と各ページの更新時にロードされる要素の最大数を設定します。
   デフォルト値は 500 です。
10. [保存] を選択します。

タスクの結果
編集モードを終了すると、フィルターが使用可能になります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

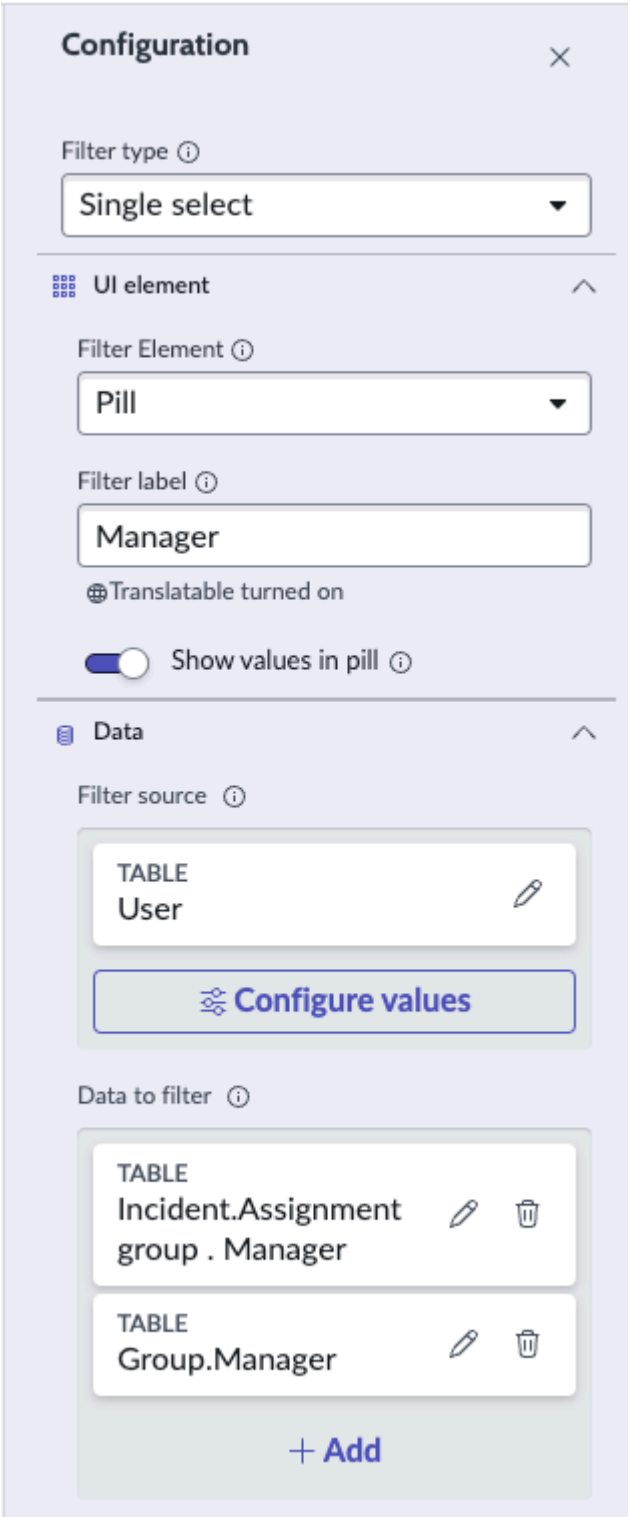
Example: マネージャーとアサイン先グループのカスケードフィルター

マネージャーまたはアサイン先グループ別にユーザーがインシデントをフィルタリングできるようにするケースを考えてみましょう。また、2 番目のフィルターで使用可能なアサイン先グループを、最初のフィルターでマネージャーが選択されているグループに制限するとします。

1. インシデント [incident] テーブルのインシデント数の単一スコアデータの表示方法など、インシデントのデータの表示方法を作成します。
2. インシデントをアサイン先グループマネージャーでフィルタリングするフィルターを作成します。これを実現するには、データ ソースとしてユーザー [sys_user] テーブルに基づいて、単一または複数の選択フィルターを作成します。[マネージャー] フィールドはそのテーブルにあります。このフィルターをインシデントテーブルデータのデータの可視化に適用するため、Incident.Assignment グループを指すようにフィルターするデータを編集します。支配人。また、グループ [sys_user_group] テーブルに [マネージャー] フィールドをフィルタリングするデータとして追加します。このフィールドは、後でカスケード フィルターを設定するときに必要になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

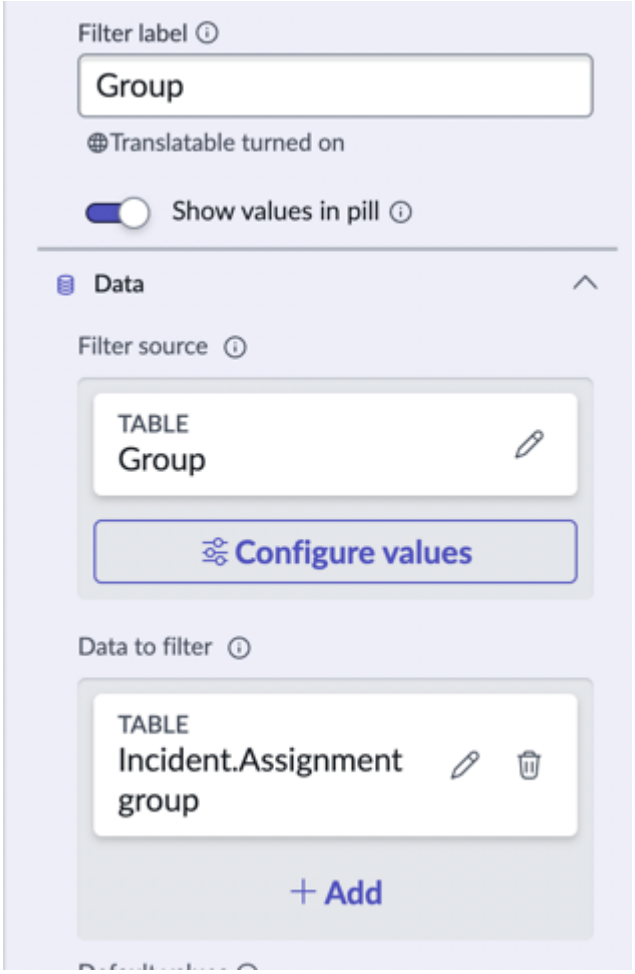


3. インシデントデータをアサイン先グループでフィルタリングするフィルターを作成します。
   a. まず、「グループ」というラベルの付いた複数選択フィルターを作成します。
   b. 次に、インシデント [incident] テーブルの [アサイン先グループ] フィールドをフィルターソースとして選択します。

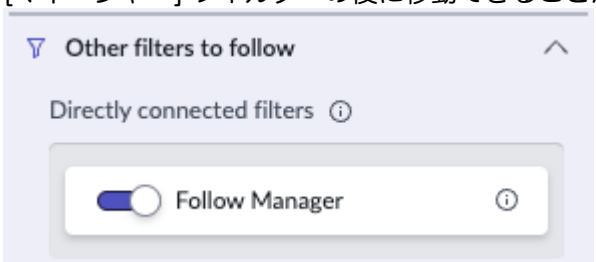
   アサイン先グループはグループ [sys_user_group] テーブルを参照する参照フィールドであるため、フィルターソースは自動的にグループテーブルにリセットされます。フィルタリングするデータは Incident.Assignment Group のままです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. マネージャーでフィルタリングしたグループをユーザーが選択できるようにすることを忘れないでください。そのためには、グループフィルターをマネージャーフィルターの後にする必要があります。このカスケードを可能にするには、グループテーブルのデータをフィルタリングするようにマネージャーフィルターを構成する必要があります。この要件が、フィルター処理するマネージャーフィルターのデータとして Group.Manager を追加した理由です。[構成] パネルの [フォローするその他のフィルター] まで下にスクロールすると、直接接続を介して [グループ] フィルターが [マネージャー] フィルターの後に移動できることがわかります。

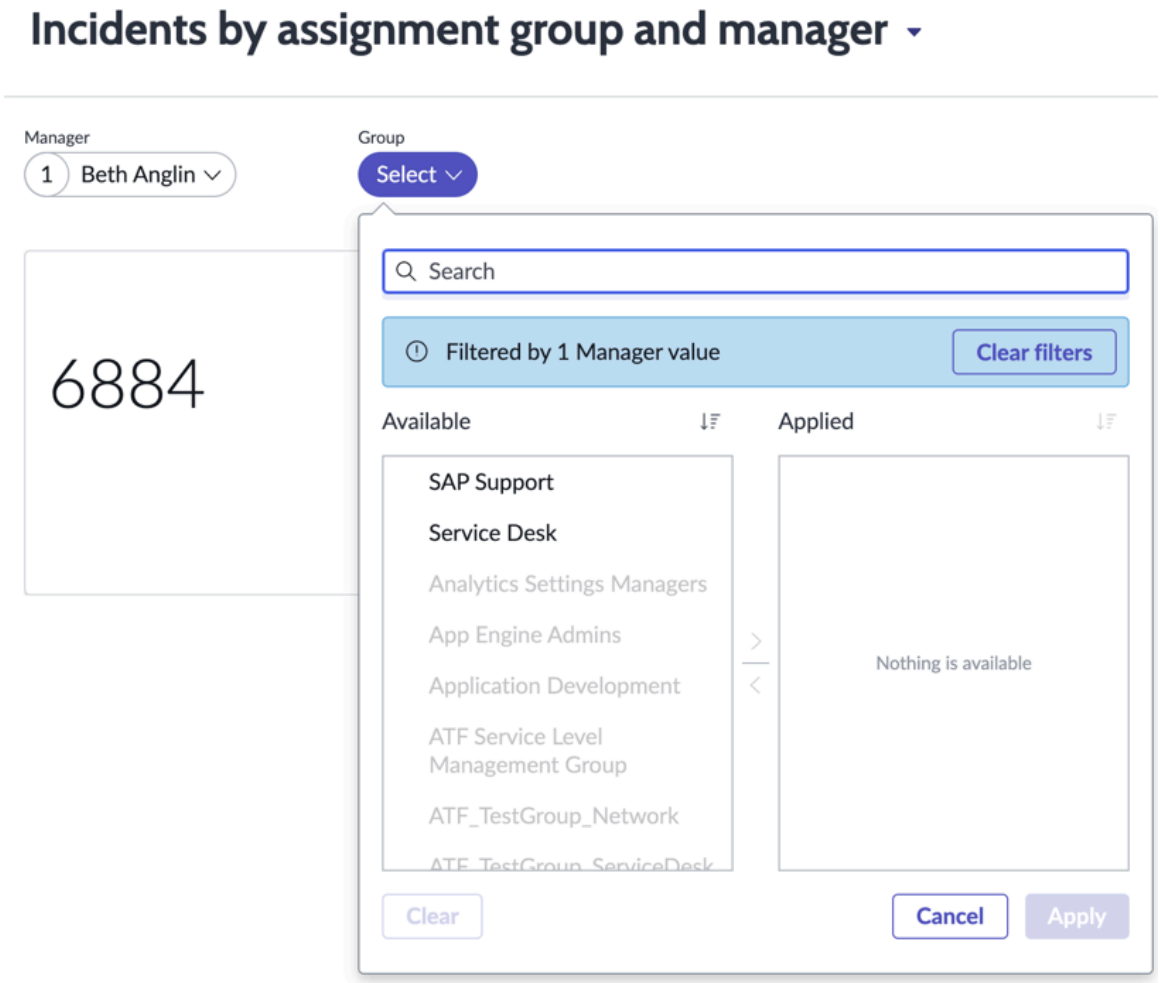


5. グループフィルターをマネージャーフィルターに従うように設定し、保存して編集モードを終了します。その後、ダッシュボードビューアーがマネージャーフィルターで Beth Anglin を選択しま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。次に、グループフィルターでアサイン先グループを選択すると、Beth Anglin をマネージャーとするグループのみが利用可能になります。



次のタスク

必要なロールがある場合は、フィルターをフィルターライブラリに追加します。フィルターを再構成、削除、または複製することもできます。詳細については、「プラットフォームアナリティクス フィルターを編集する」を参照してください。

関連情報

プロセスマイニングマップへのフィルターの適用

多対多の関係で別のフィルターに従うようにフィルターを設定する

場合によっては、フィルターのペアの値が互いの複数の値を参照することがあります。このようなフィルターが別のフィルターに従うには、接続テーブルを通過する必要があります。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

ほとんどの場合、フィルターは 1 対 1 のリレーションシップまたは 1 対多のリレーションシップで別のフィルターに従います。後者の場合、フィルターソースは参照フィールドです。ダッシュボードを編集できるユーザーは、直接接続で、そのダッシュボード上の別のフィルターをフォローするように、そのようなフィルターを 1 つ設定できます。詳細については、「 単一/複数選択またはカスケード フィルターを作成する」の例を参照してください。

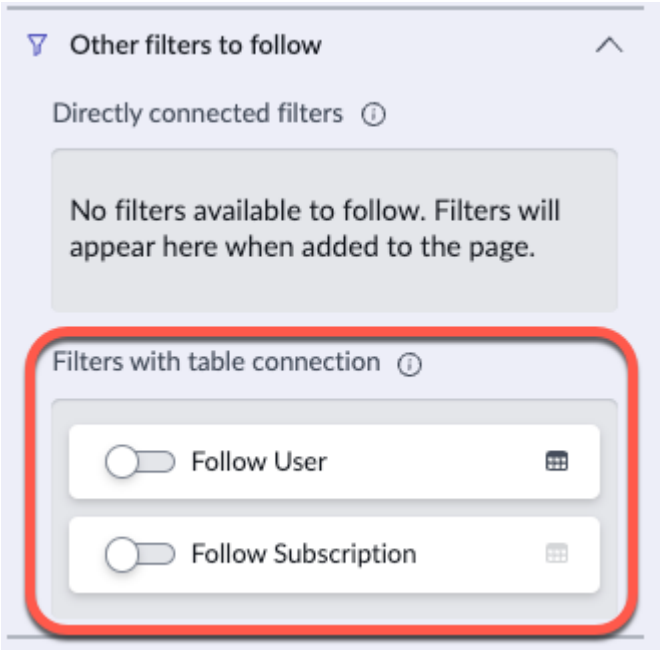
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各フィルターの値が他のフィルターの複数の値を参照できる場合 (多対多の関係)、接続テーブルを選択する必要があります。この接続テーブルには、2 つのフィルター間で考えられるすべての参照に対して一意のレコードがあります。2 つのテーブル間の接続テーブルは、コレクション [sys_collection] テーブルと多対多定義 [sys_m2m] テーブルで定義されます。アドミンのみがこれらのテーブルにアクセスできます。

接続テーブルは、 ベースシステム または プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれる関連テーブルに対して事前定義されています。ただし、多対多の関係でカスタムテーブルを使用する場合は、その関係を多対多定義テーブルで定義する必要があります。詳細については、「Create a many-to-many table relationship」を参照してください。

手順

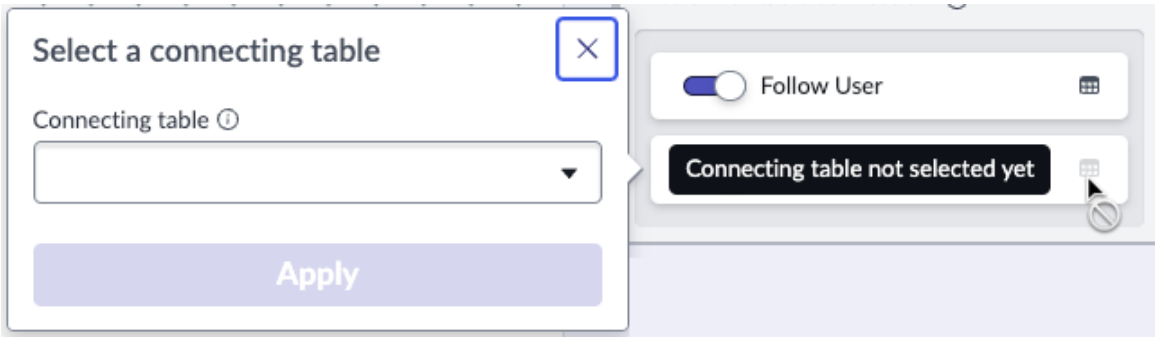
1. 関連するダッシュボードに少なくとも 2 つの単一または複数の選択フィルターを追加します。
   ダッシュボードへのフィルターの追加の詳細については、「 ダッシュボードフィルターのフィルタータイプを選択します」を参照してください。
2. ダッシュボードを編集モードにします。
3. 他のフィルターに従うフィルターの構成メニューを開きます。
   フィルターが多対多の関係でダッシュボードの他のフィルターに従うことができる場合、これらのフィルターは [従うその他のフィルター] セクションの [テーブル接続を含むフィルター] の下に一覧表示されます。



4. このフィルターがフォローするフィルターのフォローをオンにします。
5. そのフィルターに対して接続テーブルが選択されていない場合は、接続テーブルを選択するためのダイアログが開きます。
   接続するテーブルがまだ選択されていない場合、トグルの横のテーブルアイコンはグレー表示されます。

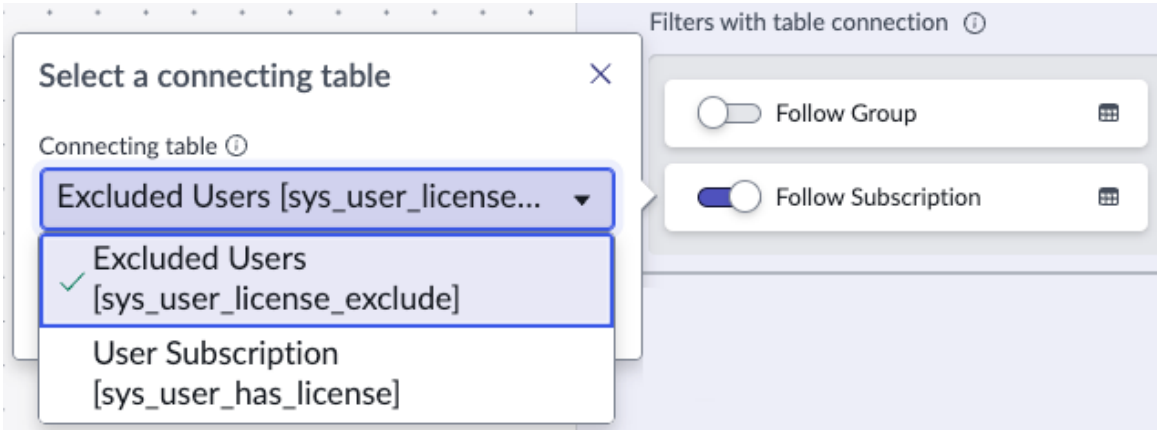
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



接続するテーブルを設定したら、テーブルアイコンを選択して変更できます。

Example
複数の接続テーブルから選択できる場合は、接続テーブルの名前によって選択するテーブルが示されます。たとえば、除外ユーザー [sys_user_license_exclude] はサブスクリプションを持たないユーザーをフィルタリングし、ユーザーサブスクリプション [sys_user_has_license] はサブスクリプションを持つユーザーをフィルタリングします。



6. ダッシュボードを保存し、編集モードを終了します。

2 つのフィルターが互いに従う条件

相互にフォローする 2 つのフィルターを設定できます。ただし、いくつかの技術的な制限があります。

単一/複数選択またはカスケード フィルターを作成するで説明したように、2 つの単一/複数選択フィルターは、直接接続を介して相互にフォローできます。このトピックで説明されている条件は、両方のフィルターに適用されます。たとえば、両方のフィルターが他方のフィルターソースのデータをフィルター処理する必要がある場合などです。

2 つの単一/複数選択フィルターは、 多対多の関係で別のフィルターに従うようにフィルターを設定するで説明するように、多対多接続を介して相互にフィルター処理することもできます。このような接続を設定できるのはアドミンのみです。

フィルターが別のフィルターに従うための一般的な条件に加えて、次の条件も適用されます。

混合接続タイプは無効です

両方のフィルターは、直接接続または多対多接続を介して相互にフォローする必要があります。一方のフィルターが他方のフィルターを直接フォローしたり、多対多接続でフォローしたりすることはできません。

多対多接続では同じ接続テーブルを使用する必要があります

2 つのフィルターが多対多接続を介して互いに従う場合は、両方の接続で同じ接続テーブルを使用する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

True/False フィルターを作成する

ユーザーが true/false フィールドとブレークダウン要素でフィルタリングできるようにします。たとえば、[アクティブ] フィールドが **true** に設定されているインシデントのみをユーザーが選択できるようにすることができます。

始める前に

必要なロール：インラインダッシュボードエディターでは、ダッシュボードの所有者であるか、編集権限を所有者と共有している必要があります。テクニカルダッシュボードエディターでは、ui_builder_admin ロールが必要です。フィルターをライブラリに保存したり、フィルターデザイナーでフィルターを作成したりするには、analytics_filter_admin ロールが必要です。

この手順は、フィルターデザイナーでフィルターを作成したか、フィルタータイプが True/False のフィルターをダッシュボードに追加していることを前提としています。「ダッシュボードフィルターのフィルタータイプを選択します」を参照してください。

このタスクについて

フィルターは、フィルターの配置に応じて、同じダッシュボードまたは同じダッシュボード タブ上のすべての要素に適用されます。

手順

1. オプション: 「True」と「False」の代わりに、「はい」や「いいえ」などのカスタム表示ラベルを設定します。
2. [フィルタリングするデータ] で、フィルタリングするテーブル フィールドまたはインジケーターブレークダウンを指定します。
   フィルターには任意の数のターゲットを追加できます。テーブルとフィールド、または特定のブレークダウンを持つすべてのインジケーターを選択します。テーブルを選択した場合は、関連するテーブルの階層 (親、子、兄弟、およびそのテーブルを含むすべてのデータベースビュー) にフィルターを適用することもできます。

   メトリックベース テーブルはフィルタリングでき、他のテーブルと一緒に一覧表示されます。

   注:
   - テーブルを選択する場合は、少なくとも 1 つの true/false (ブール) フィールドを選択する必要があります。選択できるのは true/false フィールドのみです。
   - true/false インジケーターブレークダウンのみを選択できるように、選択肢は 2 つの値のみを持つバケット [pa_buckets] に基づくブレークダウンに制限されています。ただし、システムはインジケーターブレークダウンが本当に true/false であるかどうかを確認することはできません。ブレークダウンがブール値であるかどうかは、自分で判断する必要があります。Now Platformアドミニストレーターにサポートを依頼してください。
   - フィールドには空 (null) 値を指定することができます。したがって、true 値と false 値の合計数は、レコードの合計数よりも少なくなる場合もあれば、レコードをカウントするインジケータースコアよりも少なくなる場合もあります。
3. オプション: true または false のデフォルト値を指定します。
   ダッシュボードを開くと、この値でフィルターが適用されます。
4. [ソートの方向] を選択します。
   [昇順] を選択すると、フィルタリングされたうちで最も低い値が最初に表示されます。[降順] を選択すると、最も大きい値が最初に表示されます。ユーザーはこの値を変更できます。
5. ユーザーがフィルターに対して選択した値を自分でクリアできるようにするには、[フィルターのクリアを許可]を有効にします。
6. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
編集モードを終了すると、フィルターが使用可能になります。

次のタスク
必要なロールがある場合は、フィルターをフィルターライブラリに追加します。フィルターを再構成、削除、または複製することもできます。詳細については、「プラットフォームアナリティクス フィルターを編集する」を参照してください。

関連情報
- プロセスマイニングマップへのフィルターの適用

日付フィルターを作成する

ユーザーが事前定義された期間を選択したり、ダッシュボードタブでデータのカスタムの開始日と終了日を指定したりできるようにします。

始める前に
必要なロール：インラインダッシュボードエディターでは、ダッシュボードの所有者であるか、編集権限を所有者と共有している必要があります。テクニカルダッシュボードエディターでは、ui_builder_admin ロールが必要です。フィルターをライブラリに保存したり、フィルターデザイナーでフィルターを作成したりするには、analytics_filter_admin ロールが必要です。

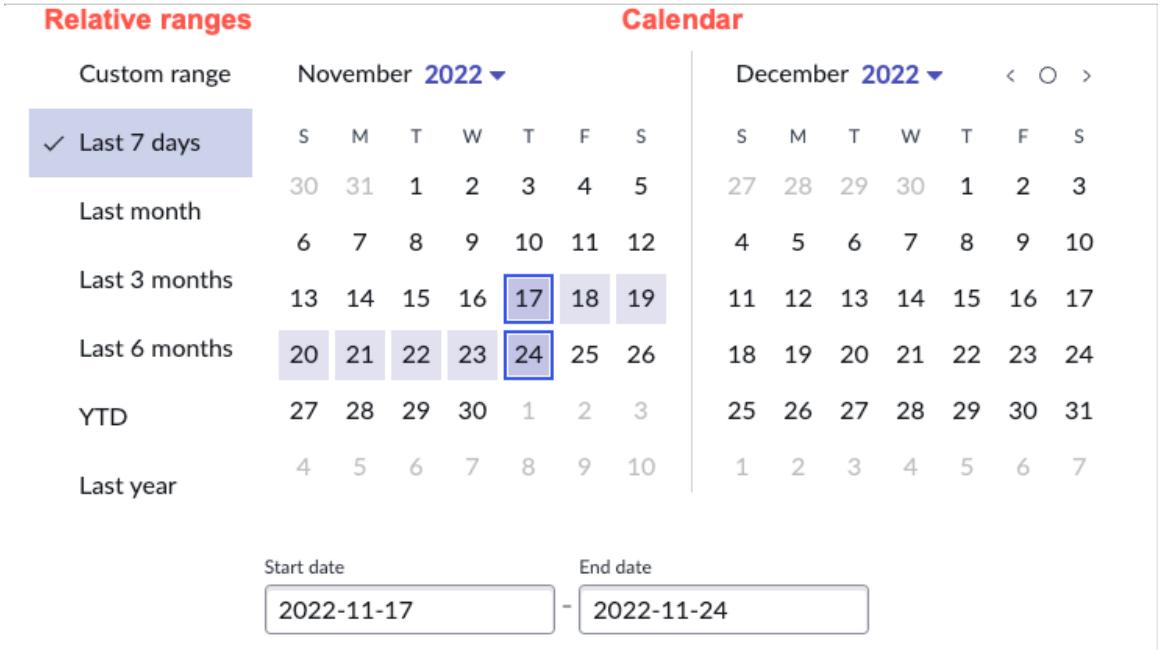
この手順は、フィルターデザイナーでフィルターを作成したか、日付フィルタータイプを使用してダッシュボードにフィルターを追加していることを前提としています。「ダッシュボードフィルターのフィルタータイプを選択します」を参照してください。

このタスクについて
日付フィルターは、インジケーターの時系列の可視化と、テーブルの棒グラフ、円グラフ、ドーナツグラフ、および単一スコアの可視化に適用されます。フィルターは、フィルターと同じダッシュボード (タブの上に配置されている場合) またはダッシュボード タブ内のそのようなすべての可視化に適用されます。

手順
1. フィルタリングするデータを指定します。
   フィルターは、タブまたはダッシュボードのすべての パフォーマンスアナリティクス インジケーターと メトリックベース KPI に自動的に適用されます。フィルターを適用する日付フィールドをいくつでもテーブルに追加できます。テーブルフィールドを追加する場合は、関連するテーブルの階層 (親、子、兄弟、およびテーブルを含むすべてのデータベースビュー) にフィルターを適用するように選択することもできます。
2. [日付フィルタービュー] で、ランタイムユーザーが日付範囲を選択できるオプションを選択します。
   - カレンダーと相対範囲の両方 (7 日間や年度累計 (YTD) など)
   - カレンダーのみ
   - 相対範囲のみ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. オプション: ユーザーが相対的な範囲から選択できるようにする場合は、[定義済みの範囲の選択] で選択できる相対的な範囲を選択できます。
   ビジネスカレンダーなど、独自の事前定義された範囲を追加することはできません。
4. ユーザーが日付だけでなく、時間と分で時間をフィルタリングできるようにするには、[時間の選択を許可] を有効にします。
5. オプション: [既定値] で、ダッシュボードを開いたときに自動的にフィルター処理する相対範囲を指定します。
6. ユーザーがフィルターに対して選択した値を自分でクリアできるようにするには、[フィルターのクリアを許可]を有効にします。
7. [保存] を選択します。

タスクの結果
編集モードを終了すると、フィルターが使用可能になります。

次のタスク
必要なロールがある場合は、フィルターをフィルターライブラリに追加します。フィルターを再構成、削除、または複製することもできます。詳細については、「プラットフォームアナリティクス フィルターを編集する」を参照してください。

ドメインフィルターを作成する

ドメインセパレーションされたインスタンス内のドメインでデータの可視化をフィルタリングできるように、ドメインフィルターを作成します。ドメインフィルターを使用すると、ユーザーは 1 つ以上のドメインに関連付けられたデータを表示できます。

始める前に
ドメインフィルターは、ドメインセパレーションが有効になっているインスタンスで使用できます。ドメインフィルターは、デフォルトでは自動的に有効になりません。これらを有効にするには、次の 2 つのプラグインをインストールします。

- com.glide.domain.msp_extensions.installer
- com.snc.pa.domain_support

詳細については、「サービスプロバイダーのドメインセパレーション」を参照してください。ドメインフィルターは、フィルターコンポーネントとは異なるコンポーネントです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール:ui_builder_admin または admin

このタスクについて
ドメインフィルターは、インスタンスのドメインリストと パフォーマンスアナリティクス ドメイン構成の両方をサポートします。ドメインリストに基づくフィルターは、ドメイン構成に基づくフィルターとは異なる結果を提供します。詳細については、「ドメインリストフィルターとドメイン構成フィルターの違い」を参照してください。

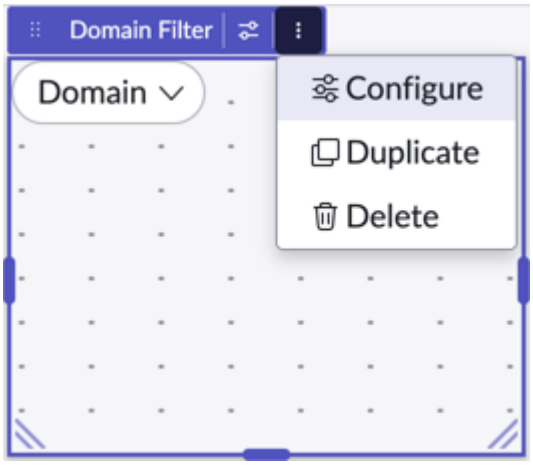
フィルターは、フィルターの配置に応じて、同じダッシュボードまたは同じダッシュボード タブ上のすべての要素に適用されます。 ダッシュボード タブのフィルターは、トップレベルのフィルターよりも優先度が高くなります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) ワークスペース、または アナリティクスセンター ( ) コンポーネントを含むワークスペース。

   注:
   これらの手順は、インラインダッシュボードエディターを使用するためのものです。UI ビルダーでテクニカルダッシュボードを編集している場合は、開発者サイトのコンポーネント参照 を参照してください。

2. ドメインフィルターを追加するダッシュボードを作成するか、開きます。
   詳細については、「ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集」を参照してください。
3. [編集] を選択します。
4. [新しい要素を追加] メニューから [ドメインフィルター] を選択します。
   ドメインフィルターは、ダッシュボードレイアウトの最初の利用可能なスペースに追加されます。この場所は、既存のダッシュボード要素の下にある場合があります。
5. ドメインフィルターの 3 つのドットメニューを選択し、[構成] を選択します。



6. [フィルターラベル] フィールドに、フィルターのわかりやすい名前を入力します。
   この名前は、ランタイムユーザーに表示される名前です。
7. フィルターに表示するデータを決定するには、ドメイン表示と、ドメインデータを含めるかどうかを構成します。

   a. [ドメイン] 表示を選択します。
      ドメイン構成または標準ドメインリストのいずれかでフィルタリングできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	Description (説明)
パフォーマンスアナリティクスドメイン構成を使用する	ユーザーがドメイン構成に基づいて結果をフィルタリングできるようにします。ドメイン構成の詳細については、「 パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。
標準ドメインリストを使用	ユーザーがドメインのリストに基づいて結果をフィルタリングできるようにします。リストには、アクティブなドメインのみが表示されます。集計は含まれません。

これらのプロパティがフィルターの結果にどのように影響するかの詳細については、「 ドメインリストフィルターとドメイン構成フィルターの違い」を参照してください。

b. グローバルドメインデータを含めるかどうかを選択します。
選択すると、フィルターにグローバルドメイン内のレコードの値が含まれます。通常、グローバルドメインには設定レコードのみが含まれます。

8. [保存] を選択します。

ドメインリストフィルターとドメイン構成フィルターの違い

パフォーマンスアナリティクスドメイン構成に基づくドメインフィルターは、プラットフォームドメインのリストに基づくドメインフィルターとは異なる動作をします。

相違点の概要

ドメインフィルタリングの結果は、子ドメインの存在とグローバルドメインの包含によって異なります。ドメイン構成を使用する場合、結果は集計にも依存します。

プラットフォームドメインリスト

グローバルドメインが含まれる

インジケーターデータに基づく可視化

選択したドメインのスコアのみを表示します。子ドメインとグローバルドメインのスコアは含まれません。値は、データ収集ジョブと手動入力の両方から取得できます。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

グローバルドメインと選択されたドメイン、および子ドメインまたは親ドメインの値を結合します。

グローバルドメインが含まれていません

インジケーターデータに基づく可視化

選択したドメインのスコアのみを表示します。子ドメインとグローバルドメインのスコアは含まれません。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

選択したドメインの値と子ドメインの値を結合します。

パフォーマンスアナリティクス ドメイン構成

ドメイン構成の詳細については、「 パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でドメインをグループ化した後、その構成でドメインをフィルタリングする際には、次の 2 つの考慮事項があります。

- ドメインに子がありますか、それともスタンドアロンドメインですか?
- データは集計されていますか?

グローバルドメインが含まれる

インジケーターデータに基づく可視化

選択したドメインのスコアのみを表示し、データ収集ジョブがそのドメインのインジケータースコアを収集した場合にのみ表示します。

集計されたスコアは、ドメイン構成内のすべてのドメインから取得されますが、子ドメインは除外されます。グローバルドメインも除外されます。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

選択したドメイン、そのドメインの子ドメイン、およびグローバルドメインの値を含めます。

集計された結果は、構成内のすべてのドメイン (子ドメインを含む) とグローバルドメインから取得されます。

グローバルドメインが含まれていません

インジケーターデータに基づく可視化

選択したドメインのスコアのみを表示します。子ドメインとグローバルドメインは除外されます。

集計されたスコアは、ドメイン構成内のすべてのドメインから取得されますが、子ドメインは除外されます。グローバルドメインも除外されます。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

選択したドメインの値と、選択したドメインの子 (存在する場合) を含めます。グローバルドメイン値は含まれません。

集計された結果は、ドメイン構成内のすべてのドメインと、その構成内のドメインの子から取得されます。グローバルドメイン値は含まれません。

関連情報

ドメインセパレーションを使用したパフォーマンス分析へのアプローチ

プラットフォームアナリティクスフィルターを編集する

フィルターを作成したら、作成したダッシュボードでのみ使用することも、ライブラリに保存することもできます。ライブラリから、他のユーザーが自分のダッシュボードに追加できます。フィルターをライブラリに保存するには、analytics_filter_admin ロールが必要です。

始める前に

必要なロール：インラインダッシュボードエディターでは、ダッシュボードの所有者であるか、編集権限を所有者と共有している必要があります。テクニカルダッシュボードエディターでは、ui_builder_admin ロールが必要です。フィルターをライブラリに保存したり、フィルターデザイナーでフィルターを作成したりするには、analytics_filter_admin ロールが必要です。

手順

1. 編集するフィルターがあるダッシュボードに移動します。
2. [編集] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 編集するフィルターを選択し、[その他のアクション] ( ) アイコンを選択します。
4. 次のいずれかのオプションを選択します。
5. [保存] を選択して変更を保存し、編集を続行するか、[編集モードの終了] を選択して編集を終了します。
   フィルターへの変更を保存する場合、次の 2 つの選択肢があります。
   - 現在のダッシュボードの変更のみを保存します。

     このアクションにより、新しいバージョンのフィルターが作成されます。ライブラリにフィルターのバージョンがある場合、そのバージョンは変更されません。
   - ライブラリへの変更を保存します。

     この選択を行うと、新しいバージョンのフィルターが、それを使用するすべてのダッシュボードで有効になります。

独自のワークスペースでの プラットフォームアナリティクス ページの作成

App Engine Studio で事前設定されたプラットフォームアナリティクスページを使用して新しいワークスペースを作成するか、独自のワークスペースにプラットフォームアナリティクスページを追加することができます。

ワークスペースに プラットフォームアナリティクス を追加するには、次のいずれかの方法を選択します。これらのアプローチは、提供されるカスタマイズの程度が異なります。

- App Engine Studio から構築済みのワークスペース全体を追加します。
- UI ビルダーで提供されているページテンプレートを使用します。すべてのエクスペリエンス プラットフォームアナリティクス 再現することも、選択した部分のみを追加することもできます。

からの プラットフォームアナリティクス ワークスペースの作成 App Engine Studio

App Engine Studioには、アプリケーションに追加できる事前構築済みのワークスペースが含まれています。このワークスペースには、[アナリティクスセンター] ページと、アナリティクスセンターがリンクしているページが含まれています。

ワークスペースのアナリティクスセンターコンポーネントのイベントハンドラーはすべて事前設定されています。たとえば、インジケータースコアカードでインジケーターを選択すると、そのインジケーターが KPI 詳細で開きます。

App Engine Studio を使用してアナリティクスセンターを備えたワークスペースを作成する方法の詳細については、「アプリケーションエクスペリエンスの追加」を参照してください。

への プラットフォームアナリティクス ページの追加 構成可能ワークスペース

ページテンプレートを使用して、 アナリティクスセンター とその関連ページを独自のワークスペースに追加します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

ワークスペースでは、 アナリティクスセンター は、 プラットフォームアナリティクスに関連する他のすべてのページのタブを含む中央ページを提供します。アナリティクスセンターを追加する必要はありませんが、この手順では例としてそのページを使用します。テンプレートから他の プラット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

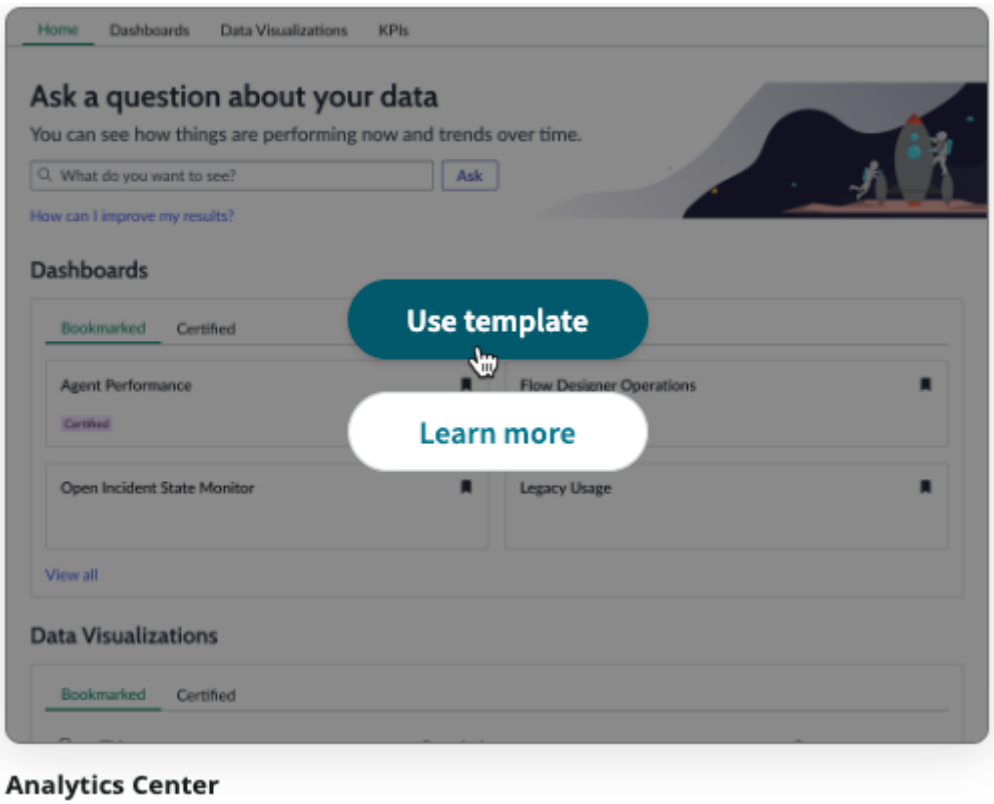
フォームアナリティクス ページを追加する場合も、同じ手順が適用されます。これらのページの詳細については、このトピックの最後に記載しています。

手順

1. UI ビルダーで構成可能ワークスペースを開きます。
2. [ページとバリアント] の横にあるプラス記号を選択し、[新しいページの作成] を選択します。



3. 「ページ・テンプレートの選択」ダイアログで、「 レガシー・テンプレートの表示」を展開します。
4. Analytics Center テンプレートの上にカーソルを置き、[テンプレートを使用] を選択します。



Analytics Center

5. ページの名前とパスを指定します。
6. [元のページを使用する (カスタマイズ制限あり)] を選択します。

> ⚠ 警告:
> [ページのコンテンツをコピー] オプションでは、完全に機能する アナリティクスセンターは得られません。イベントを正しくディスパッチするには、元のページを使用する場合にのみ含まれるクライアントスクリプトが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [作成] をクリックします。
   ワークスペースのページのリストに戻ると、新しい Analytics Center (アナリティクスセンター) が含まれています。
8. Analytics Center ページ (ページのバリアントではない) のエントリで、[設定] を開きます。
   「一般設定」ダイアログが開きます。
9. [ページ パラメーター] で、次のオプションのパラメーターを追加します。
   - タブ
   - filter

   これらのパラメーターにより、ページの更新時に、アナリティクスセンターの最後に開いたタブが開きます。また、最後に選択したフィルター (ブックマーク済みなど) も有効になります。

タスクの結果
これで、すべてのコンポーネントを含む完全に構成された アナリティクスセンターを含むページが作成されました。ただし、それらのページが追加されて構成されるまで、他のページへのリンクは機能しません。

次のタスク
次のテンプレートを使用してページを作成します。コンテンツをコピーする代わりに元のページを使用するなど、 アナリティクスセンター ページの作成に使用したのと同じプロセスに従います。ページに次のパスとパラメーターを指定します。

注:

- KPI 詳細、簡易リスト、およびダッシュボードの概要は、アナリティクスセンターなどの従来のページテンプレートです。これらのページのパラメーターは手動で指定する必要があります。新しいページテンプレートでは、ページ作成の過程でパラメーターが提供されます。
- プラットフォームアナリティクス モジュール式です。一部のページのみを作成し、スタンドアロン機能を取得できます。たとえば、ダッシュボードのサポートまたは KPI 詳細のみが必要な場合は、その機能を備えたページを作成し、 アナリティクスセンターを作成しないでください。

自動翻訳

テンプレート名	関数	必要なパラメーター	オプションのパラメーター	パス
KPI 詳細	単一のインジケーターの詳細を表示します	uuid	スコア日、ブレークダウン、ドメイン、アグリゲート	ac_kpi_details
簡易リスト	テーブルレコードリストを表示します	テーブル	listTitle、query、displayInlineEditing、listView	簡易リスト
標準レコード	テーブルレコードの詳細を表示します	table、sysId	query、extraParams、views、selectedTabIndex	record
ダッシュボードの概要	すべてのダッシュボードタイルを表示します	なし	なし	all-dashboards
ダッシュボード	ダッシュボードを作成、編集、および表示し、それらのダッシュボード	なし	edit、sysId、tabSysId、filter	dashboard

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テンプレート名	関数	必要なパラメーター	オプションのパラメーター	パス
	内のデータの可視化に使用します。このページテンプレートは、ダッシュボードをサポートするための最小要件です。			
可視化デザイナー	ダッシュボードエディターを使用せずに、ダッシュボードから独立してデータの可視化を作成および編集するために使用します。	sysid	なし	visualization-designer

重要:
これらのパスを使用する必要があります。これらのパスは、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのページのパスと同じです。ページ上の事前構成されたイベントハンドラーは、これらのパスを使用します。ページにこれらのパスを指定しないと、イベントハンドラーは機能しません。

関連情報

ダッシュボード ページへのダッシュボードの追加

ダッシュボード ページへのダッシュボードの追加

テクニカルダッシュボードまたはインラインエディターで作成したダッシュボードを、ダッシュボードページテンプレートからビルドしたページに追加できます。そのページでダッシュボードコンポーネントを構成します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

UI ビルダー のページにダッシュボードを追加するには、ダッシュボードページテンプレートからページを作成します。その後、インラインエディターでダッシュボードを入力するか、既存のダッシュボードを公開することができます。既存のダッシュボードは、テクニカルダッシュボードでも、インラインエディターで作成されたダッシュボードでもかまいません。ダッシュボード全体または選択したタブのみを表示できます。

手順

1. エクスペリエンスに表示する既存のダッシュボードがある場合は、そのダッシュボードの詳細にある [ダッシュボードの可視化] フィールドにエクスペリエンスまたは構成可能ワークスペースを追加します。
   ダッシュボードの詳細は、テクニカルダッシュボードの場合でも、インラインエディターから利用できます。詳細については、「プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの詳細を構成する」を参照してください。

   注:
   表示する既存のダッシュボードがない場合は、この手順を無視してください。代わりに、ステップ 2、6、および 7 のみを実行して、インラインエディターでダッシュボードに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. 移動先 すべて > エクスペリエンス ワークスペースを開きます。
3. ダッシュボードページテンプレートを使用してワークスペースにページを作成するか、テンプレートから作成された既存のページを開きます。
詳細については、「Create a page from a template」と「への プラットフォームアナリティクス ページの追加 構成可能ワークスペース」を参照してください。

   注:
   ダッシュボードコンポーネントをページに追加することはできません。ダッシュボードテンプレートからのみページを作成できます。このページにはダッシュボードコンポーネントが含まれます。

   これで、空のダッシュボードに入力できます。
4. ページでダッシュボードコンポーネントを開き、構成パネルに移動します。
5. [既定のダッシュボード] で、ページに追加するダッシュボードを選択します。
   - 表示する特定のダッシュボードが 1 つある場合は、ドロップダウンリストから選択します。ダッシュボードがリストにない場合は、ステップ 1 の説明に従って、このワークスペースまたはエクスペリエンスに表示されていることを確認してください。
   - ビューアーがページで行った選択に従って異なるダッシュボードを表示する場合は、データ バインディングを使用して、@state変数に従ってダッシュボードを選択します。
   - ダッシュボードを動的に選択する他の方法として、スクリプトを作成します。

   注:
   インラインエディターで作成されたダッシュボードを選択した場合、そのダッシュボードのフィルターは、フィルター構成を編集しない限り、ログインまたはページの更新後も値を保持します。

6. インポートされたダッシュボードの特定のタブのみを表示する場合は、 タブ **SysID** を指定します。
ダッシュボード自体と同様に、タブを指定することも、データ バインディングまたはスクリプトを使用して動的に選択することもできます。
7. ページ内のダッシュボードコンポーネントをページの URL パラメーターから切り離して使用する場合は、[埋め込みとして使用] を選択します。
つまり、オンにすると、URL パラメーターに関係なく、ダッシュボードがレンダリングする内容を完全に制御できます。[URL のコピー] および [フィルターを使用して URL をコピー] オプションは、このような埋め込みダッシュボードでは使用できません。
8. その他の構成オプションは、 開発者サイトのダッシュボードコンポーネントリファレンス の説明に従って設定します。

次のタスク

実行時にダッシュボードを開き、インラインエディターで編集できます。編集権限を持つ閲覧者なら誰でも同じことができます。閲覧者がダッシュボードをライブラリに保存する権限を持っている場合は、ダッシュボードをローカルに保存するか、 プラットフォームアナリティクスライブラリ内の元のダッシュボードを変更するかを選択できます。

ダッシュボードからのカスタムリダイレクトの構成

ダッシュボードページテンプレートからワークスペースにページを作成した場合は、インラインエディターで作成されたそのページのダッシュボードコンポーネントからのクリック時のリダイレクトをカスタマイズできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ダッシュボードページテンプレートから生成されたページを使用して、 UI ビルダー でワークスペースを作成しました。次に、「 ダッシュボード ページへのダッシュボードの追加」の説明に従ってダッシュボードを追加しました。ダッシュボードは、インラインエディターで作成されている必要があります。

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

> **重要:**
> ここで説明する手順は、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。テクニカルダッシュボードでは、データの可視化ごとにドリルダウンイベントによるリダイレクトを構成します。詳細については、「テクニカルダッシュボードのデータ可視化へのドリルダウンイベントの追加」を参照してください。

手順

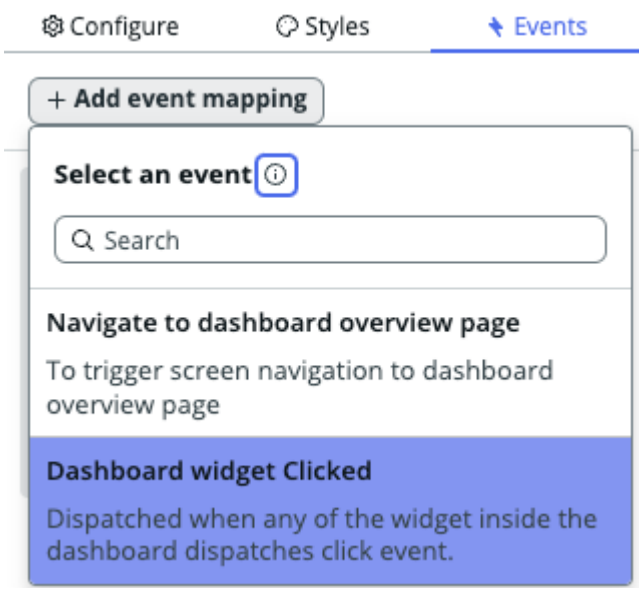
1. UI ビルダー でワークスペースを開きます。
2. 関連するページを開きます。
   このページは、ダッシュボードページテンプレートを使用して構築しました。
3. ダッシュボードコンポーネントを選択します。
4. 設定パネルで、[デフォルトのリダイレクトを使用] をオフにします。



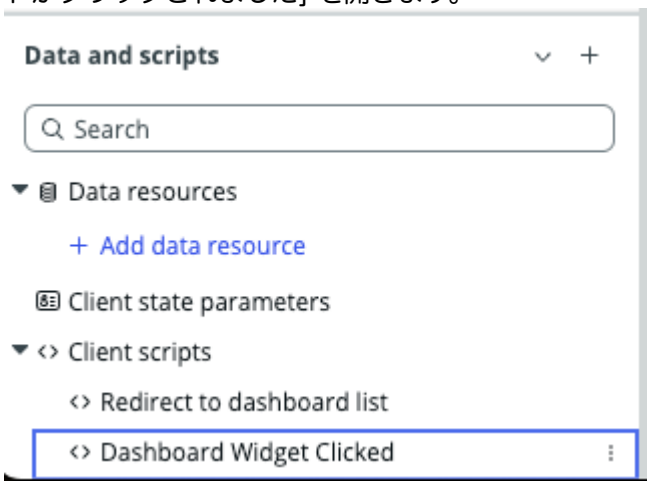
   リダイレクトをオフにしました。実行時にチャートをクリックしても、アクションはトリガーされません。
5. イベントパネルで、[+ イベントマッピングを追加] を選択します。
6. 利用可能なイベントのリストから、[ダッシュボードウィジェットがクリックされました] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. ページの [データとスクリプト] 領域の [クライアントスクリプト] で、[ダッシュボードウィジェットがクリックされました] を開きます。



8. [クライアントスクリプトの編集] ペインで、 `api.emit('NAV_ITEM_SELECTED', payload);` という行を見つけます。
9. ペイロードを更新してカスタムリダイレクトロジックに合わせます。

タスクの結果
そのダッシュボードのデータ可視化からのすべてのリダイレクトで、指定したターゲットが開きます。

の **KPI** ライブラリ プラットフォームアナリティクス

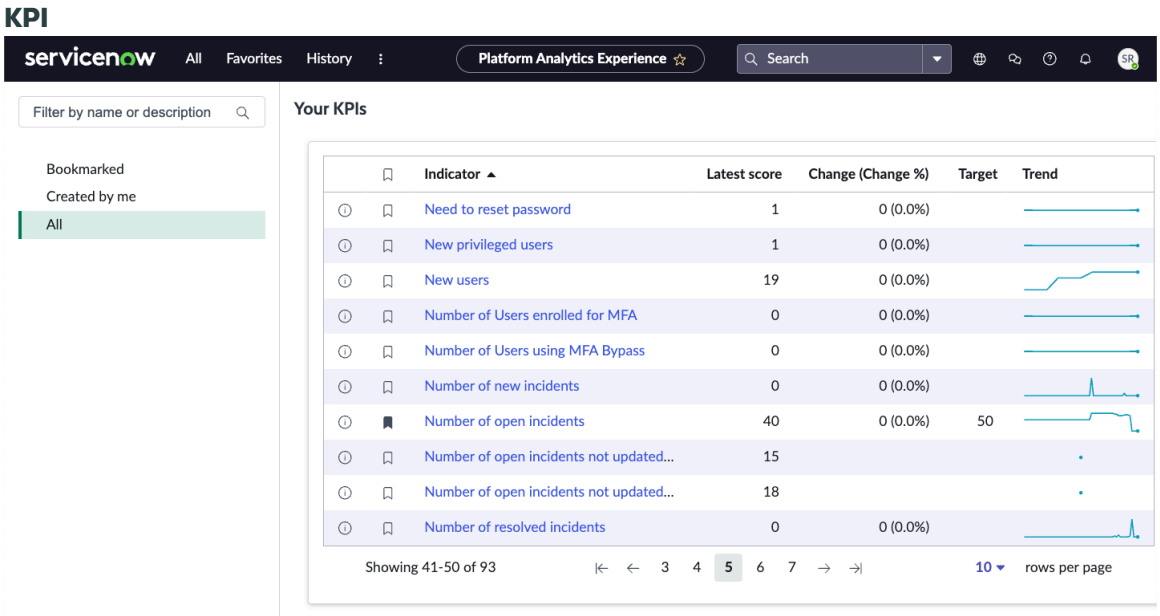
KPI ライブラリには、アクセスできるすべての パフォーマンスアナリティクス インジケーター/KPI が一覧表示されます。デフォルトでは、このページの名前は「Your KPI」です。

で KPI のリストを開きます。 プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > **KPI**. KPI のリストには、名前、傾向、スコア、変化、およびターゲットが含まれます。KPI は、アルファベット順または数値列の 1 つで昇順または降順でソートできます。KPI をフィルタリングするには、縦に並んだ 3 つの点をクリックし、開いたダイアログにフィルター用語を入力します。フィルターは KPI の名前と説明に適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールによってアクセス権が付与される自動インジケーター、式インジケーター、外部インジケーター、または手動インジケーターを表示できます。ただし、ベンチマークインジケーターは表示されません。実際のベンチマーク データには、クラシック アナリティクスハブ の [比較] タブからのみアクセスできます。また、インジケーターレコードで [アナリティクスハブでの公開] が有効になっているインジケーターのみを表示することもできます。

KPI の名前をクリックして、その KPI 詳細を開きます。



KPI フィルター

- [ブックマーク済み] には、ブックマークされた KPI のみが表示されます。アクセスできる KPI をブックマークして、ここで簡単に見つけられるようにします。
- [自分が作成] には、自分が作成した KPI のみが表示されます。
- [すべて] には、自分がアクセスできるすべての KPI が表示されます。

関連情報

KPI 詳細

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

Performance Analytics Essentials トレーニング

KPI 詳細

KPI 詳細 は、より詳細な分析に使用されるインジケーターの探索的ビューです。特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードを表示することができます。 KPI 詳細ページでは、重要業績評価指標の背後にある情報を詳しく調べることができます。

KPI 詳細を使用すると、次のような質問に答えることができます。

- 「毎日の新規重大インシデントは前回の更新以降に増加していますか?」
- 「重大インシデントの増加は P3 インシデントの増加よりも速いか?」
- 「過去 4 四半期に重大なインシデントが最も増加した上位 3 つのグループはどれですか?」

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 「先週のインシデントの急増に対応するのは具体的にどのようなインシデントですか?」
- 「過去 3 週間の新規インシデントの通常の (中央値/平均/合計) 数はいくらか? この2ヶ月?」

KPI 詳細を使用して次のタスクを実行する方法について説明します。

- インジケーターの全体的な健全性を確認します。
- 任意のインジケーターの傾向を調べる。
- 任意の日付に対応する個々のレコードをレビューします。
- インジケーターの ターゲット と しきい値 を管理します。

KPI シグナルの重要な傾向の通知を設定することで、KPI 詳細を強化します。

ヒント:
KPI 詳細 向けの無料トレーニングは、NOW ラーニングセンター から入手できます。

注:
10,000 ～ 999,999 の値は、最も近い千単位に丸められ、K で省略されます (例：11,234 の場合は 11K)。100 万から 999,999,999 までの値は最も近い 100 万単位に丸められ、M で省略されます。10 億以上の値は、最も近い 10 億単位に丸められ、G で省略されます。

KPI 詳細を表示

インジケーターのリストからインジケーターを選択して、 KPI 詳細 ページを開きます。

始める前に
必要なロール：なしただし、アップグレードされたインスタンスにはpa_viewerが必要な場合があります。

このタスクについて
次のアクションが KPI 詳細開きます。

手順

- プラットフォームアナリティクスライブラリの KPI ページでインジケーターを選択し、 プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > **KPI**.
  インジケーターをそのリストに表示するには、そのインジケーターレコードの [アクセス制御] タブの [アナリティクスハブに公開] 設定を選択 (true) する必要があります。
- データの可視化でインジケーターのグラフ上の点を選択します。
  デフォルトでは、これは KPI 詳細開きますが、特定のデータの可視化は開かないように設定されている場合があります。
- Analytics Q&A のクエリがインジケーターを返す場合は、インジケータースコアをクリックして KPI 詳細でインジケーターを開きます。
- ネクストエクスペリエンスのコンポーネントでビルドされたアプリケーションでは、インジケータースコアカードなどのコンポーネントがKPI 詳細にリンクする場合があります。

タスクの結果
選択したインジケーターの KPI 詳細 ページが開きます。

でのインジケーターの探索 KPI 詳細

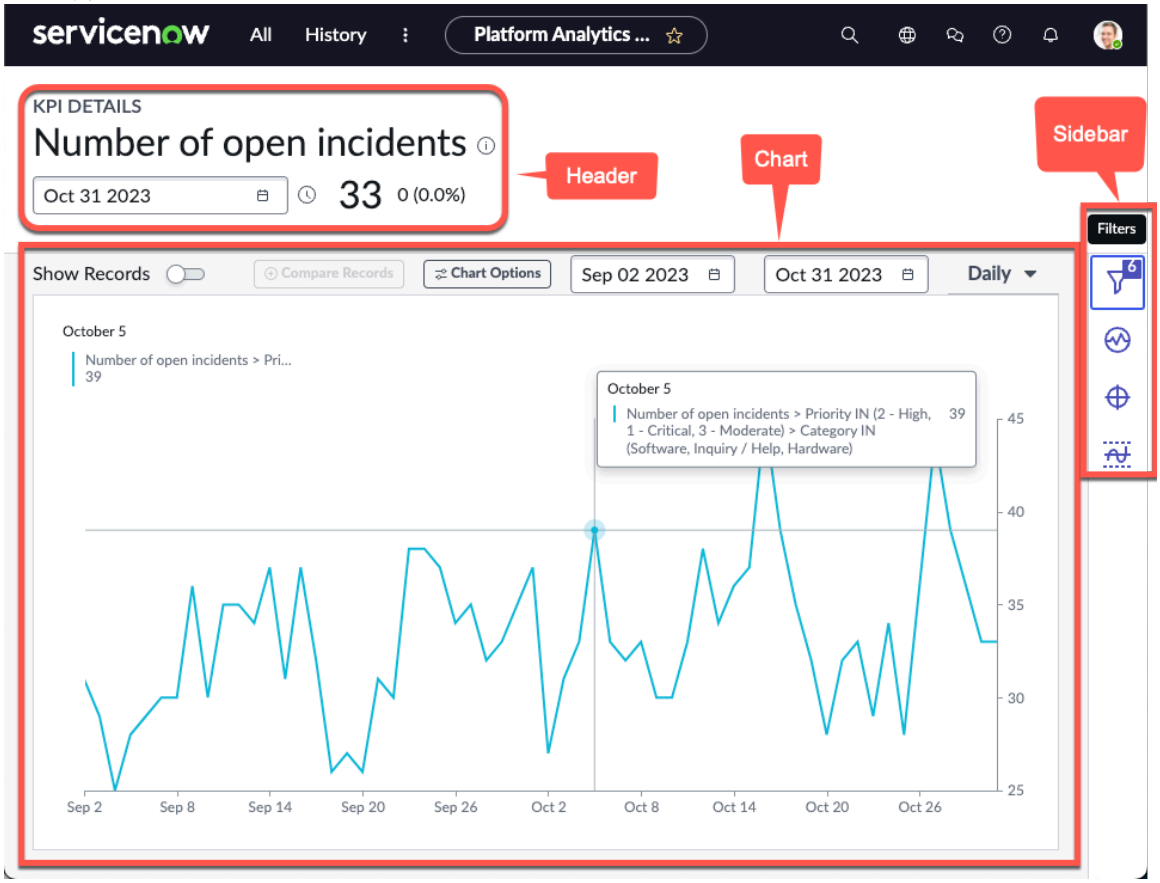
KPI 詳細機能を使用すると、重要業績評価指標の背後にある情報を掘り下げることができます。予測、傾向、ターゲット、しきい値を適用します。ブレークダウン要素でフィルタリングするか、時系列集計を適用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

KPI 詳細 の概要

KPI 詳細ページには 3 つのセクションがあります。



ヘッダー

ヘッダーには、インジケーターの名前、前回のデータ収集日、およびスコア自体が含まれています。選択した日付に設定されているターゲットのヘッダーには、選択した日付のターゲット値とターゲットからのギャップも表示されます。

インジケーターに対してリアルタイムスコアが有効になっている場合は、それらをヘッダーに表示するかどうかを選択できます。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

> **警告:**
> リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。

インジケーターチャート

インジケーターチャートには次の情報が表示されます。

- チャートオプションメニュー
- 可視化内の情報の日付範囲を選択する日付ピッカー
- インジケーターの時系列グラフィック表現
- 時系列集計セレクター
- [レコードを表示] トグルには、選択した日付のインジケータースコアに関連付けられたレコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

警告:
場合によっては、第 2 レベルのブレークダウンを収集すると、スコアとレコード数が一致しないことがあります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「KB0748969」を参照してください。

重要:
フィルターで「不一致」ブレークダウン要素を選択した場合、そのブレークダウン要素のレコードはリストされません。

注:
表示されるレコードのリストビューは、優先度順に次のいずれかの設定に従います。

1. UI ビルダーのレコードリストビュー構成プロパティの値 (設定されている場合)
2. インジケーターソースの [リストビュー] フィールドの値 (設定されている場合)
3. デフォルトビュー

サイドバー

サイドバーコントロールを使用して、次の操作を行います。

- ブレークダウンと要素 でフィルタリングします。
- インジケーターの KPI シグナル を表示します ( )。「KPI シグナル」を参照してください。
- インジケーターターゲット ( ) を設定します。「のインジケーターターゲット KPI 詳細」を参照してください。
- インジケーターのしきい値 ( ) を設定します。「のインジケーターしきい値 KPI 詳細」を参照してください。

ヘッダー

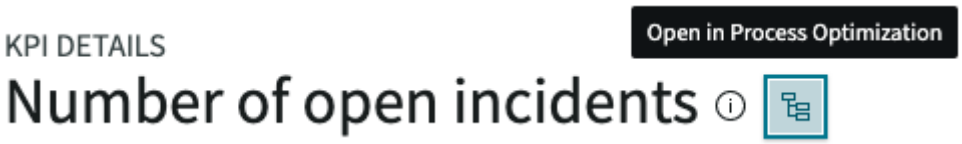
タブの左上には、次の情報が表示されます。

- インジケーターの名前の後に情報アイコン ( ) が続きます。KPI の説明、頻度、および方向のアイコンをクリックします。式インジケーターに基づく KPI も、情報パネルに式を表示します。
- 選択したデータ収集期間のスコア。デフォルトでは、スコアは最新のデータ収集期間に対するものです。
- そのスコアと前の収集期間のスコアとの間の絶対値とパーセンテージの両方の変化。
- データ収集期間を選択するためのカレンダー。この期間のスコアが表示され、可視化に表示される最新の期間でもあります。デフォルトでは、最新のデータ収集期間が選択されます。
- インジケーターレコードでリアルタイムスコアが有効になっている場合は、リアルタイムスコアを表示するためのアイコンが表示されます。このアイコンは、リアルタイムスコアが表示されている場合(になっている場合)に点灯します。リアルタイム スコアがオフの場合 ( ) は透過的です。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロセスマイニングが有効になっている場合は、プロセスマイニングダッシュボードでインジケーターを開くためのリンクが表示されます。詳細については、「 プロセスマイニング」を参照してください。



結果は色分けされて好感度を示します。インジケーターの方向が [最大化] の場合、スコアの増加は緑で表示され、減少は赤で表示されます。インジケーターの方向が [最小化] の場合、スコアの増加は赤で表示され、減少は緑で表示されます。同様に、カラーバーはターゲットが達成されたかどうかを示します。色は、ターゲットに設定されているカラースキームによって異なります。詳細については、「ターゲットのカラー スキームの作成」を参照してください。

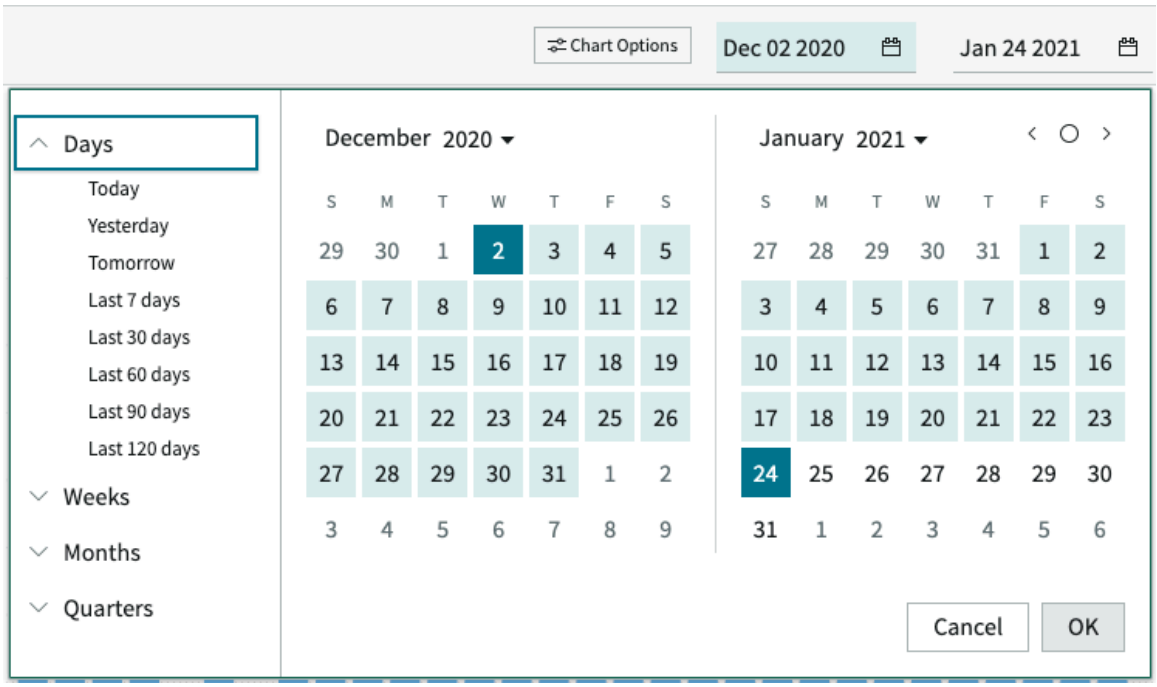
スコアに関連付けられている期間はスコアの上に表示されます。コントロールを使用すると、期間間を移動できます。ここで選択した日付は、スコア、変化、変化割合、および時系列グラフに反映されます。別のタブに切り替えても、選択した期間は維持されます。期間 (日、月、四半期など) の長さは、インジケーターの頻度と同じです。

時系列グラフをクリックして日付を選択することもできます。ウィジェットから KPI 詳細 に移動すると、ウィジェットで選択した日付が保持されます。

日付範囲

KPI 詳細ページに示されるスコアの期間を設定できます。そのためのコントロールは、ビジュアリゼーションの右側の上にあります。選択した期間は、スコア、変化、変化率、および時系列のグラフに反映されます。カレンダーを調整して期間を設定します。

KPI 詳細 日付範囲の例



カレンダーから日付の範囲を選択するか、左側のメニューから事前設定された相対期間を選択します。過去の期間のみが有効です。将来の期間を選択すると、エラーメッセージが表示されます。

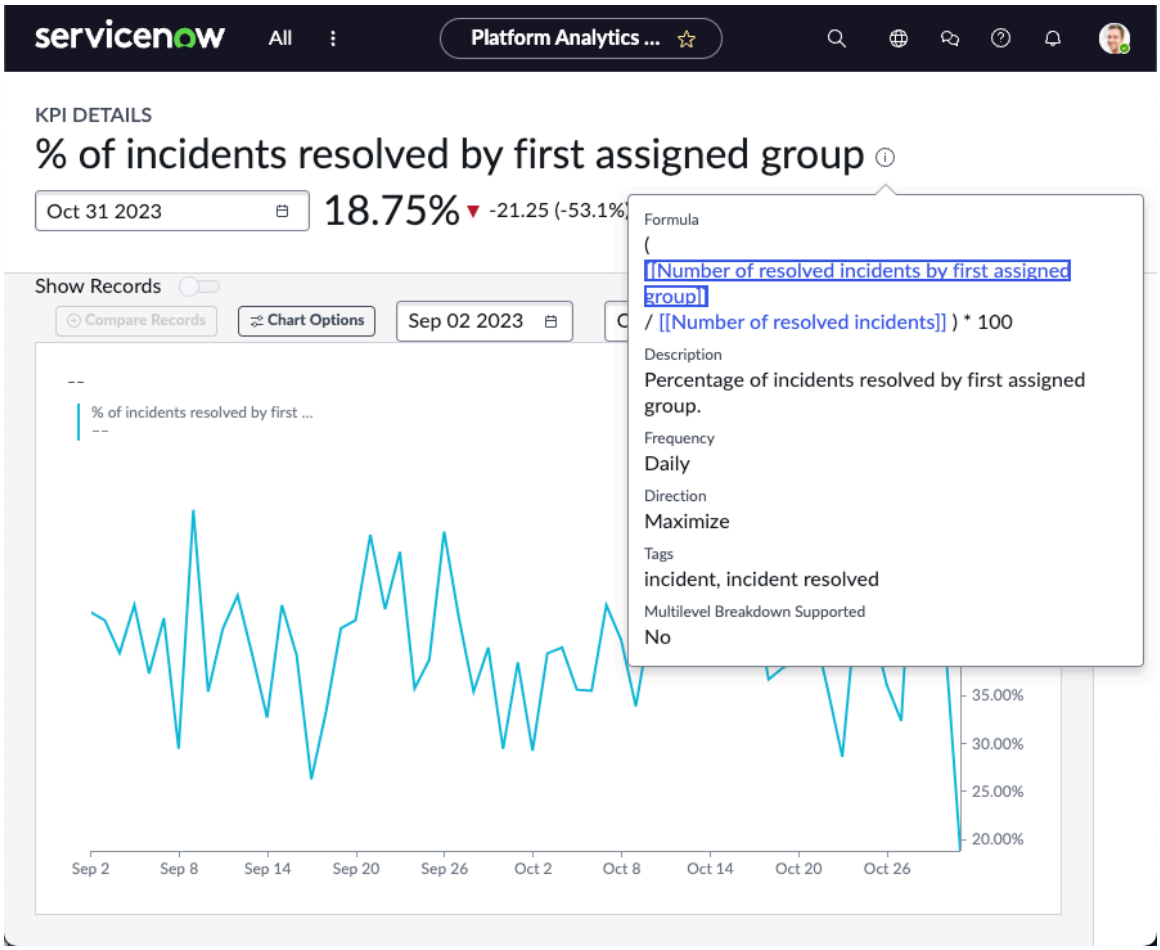
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

での式への貢献インジケーターの表示 **KPI** 詳細

KPI 詳細 で式インジケーターを表示している場合は、その式に貢献しているインジケーターを一覧表示できます。KPI 詳細構成によっては、KPI 詳細 で貢献インジケーターを開くことができます。

情報アイコン インジケーターの名前の横に情報ペインが開きます。インジケーターが式インジケーターの場合、情報ペインには式が含まれます。



表示しているKPI 詳細コンポーネントに対するUI ビルダーアドミンの構成方法に応じて、貢献インジケーターの名前をクリックできます。クリック可能な場合、インジケーター名を選択すると、そのインジケーターが KPI 詳細で開きます。ここでも、構成に応じて、インジケーターは同じ KPI 詳細タブで開くか、同じワークスペースの新しいタブで開くことができます。

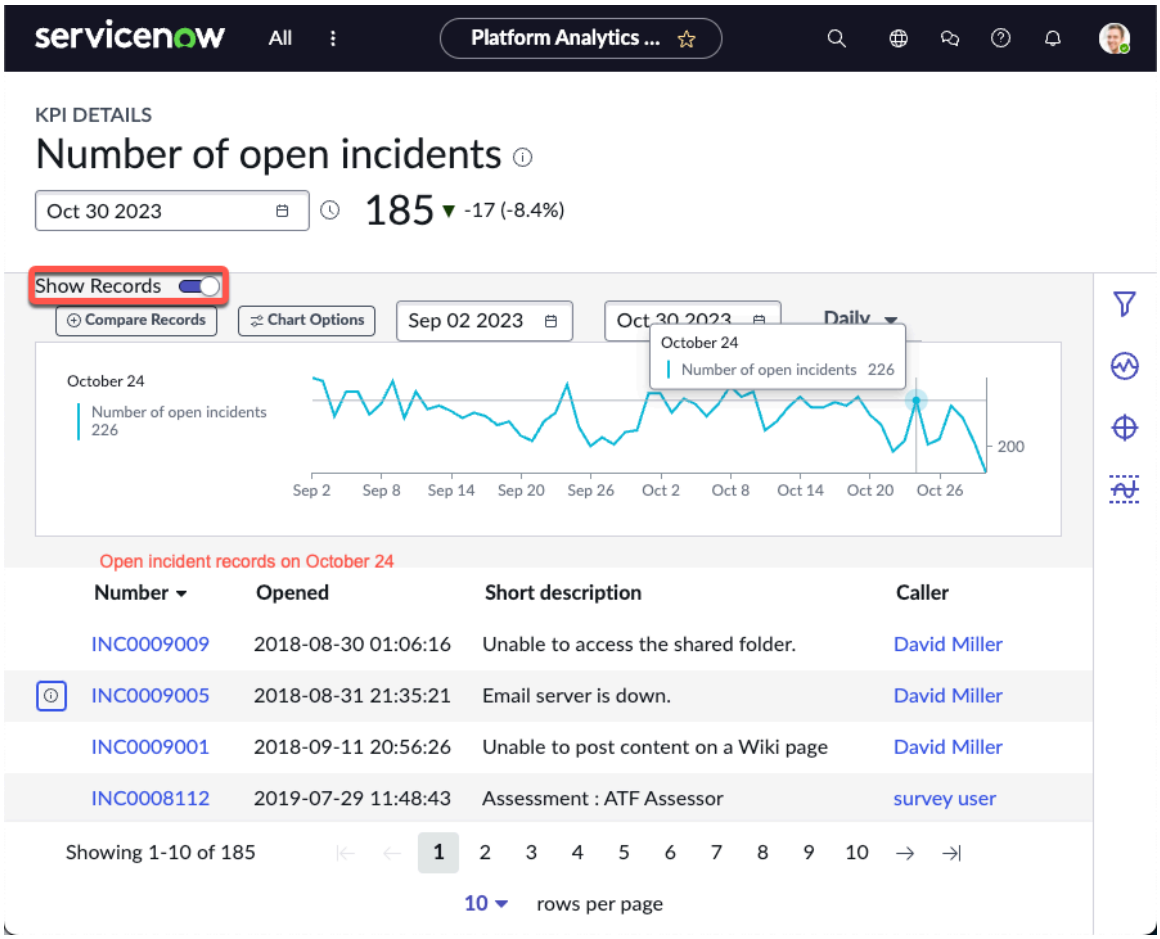
KPI 詳細でのレコードの表示、比較、編集

インジケータースコアの基礎となるレコードのリストを表示できます。個々のレコードを編集したり、レコードを比較したりできます。

自動インジケーターのスコアは、テーブルレコードから収集された値に基づいています。KPI 詳細で自動インジケーターを表示している場合は、[レコードを表示] を切り替えて、インジケータースコアの基礎となるレコードのリストを表示します。選択した日付のスコアの背後にあるレコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
パーセンテージや平均を計算するインジケーターなどの式インジケーターではレコードを使用できません。

レコードを表示または編集する

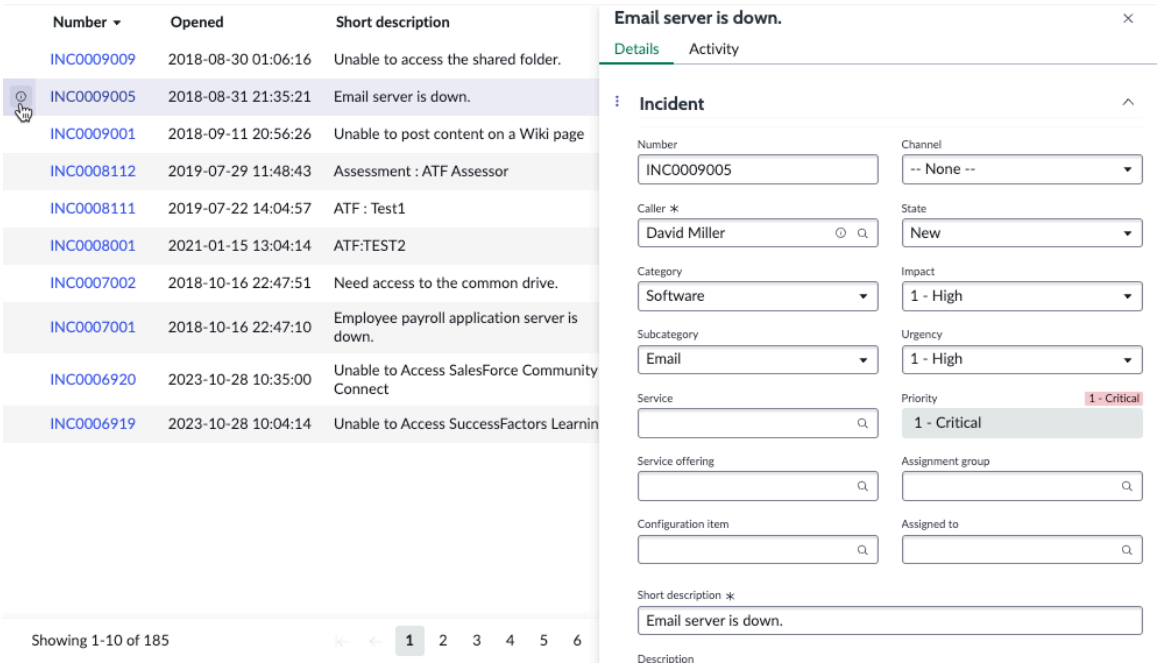
[レコードを表示] をオンにしている場合は、 アナリティクスセンター内からいずれかのレコードを編集できます。

KPI 詳細 コンポーネントの構成方法に応じて、次のいずれかの方法でリストされたレコードを編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

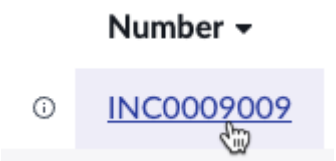
- [クイックビュー] ペイン内。レコードのクイックビューを開くには、レコードのリストエントリの横にある情報アイコン (ⓘ) をクリックします。レコードのアクティビティを表示したり、レコードを編集したりできます。完了したら [更新] をクリックしま



す。

簡易表示ウィンドウは、 UI ビルダー でオンになっている場合にのみ使用できます。

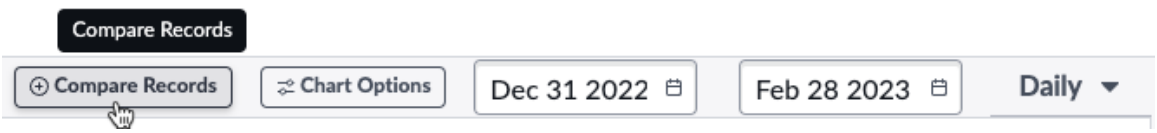
- レコードの別のタブ。レコードを新しいタブで開くには、リストエントリの最初の列の値をクリックします。



比較レコード

任意の 2 つの期間のインジケータースコアと基礎となるレコードを比較できます。これらの期間の間に移動、共有、または移動されたレコードを一覧表示します。

グラフの上にある [レコードを比較] をクリックして、レコード比較ビューを開きます。



日付を入力するか、カレンダーを使用して、比較する期間を選択します。日付は [Jan-Dec] DD YYYY 形式です。左側の期間は、右側の期間と同じか、それより前である必要があります。左側で後の期間を選択し、右側で前の期間を選択しようとすると、両方のスコアが選択した期間に切り替わります。

2 つのスコアの間には、これらの期間の間に移動、共有、または移動されたレコードの数が表示されます。これらの値はそれぞれボタンです。値を選択すると、対応するレコードが一覧表示されます。

それぞれが 1 つの要素を含む最大 2 つのブレークダウンでフィルタリングされたレコードを比較できます。複数のレベル 1 要素でフィルタリングされたレコードを比較することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

過去の期間のレコードをリアルタイムスコアと比較できます。リアルタイムスコアがオンになっている場合、デフォルトでは、最後に収集された期間のスコアがリアルタイムスコアと比較されます。

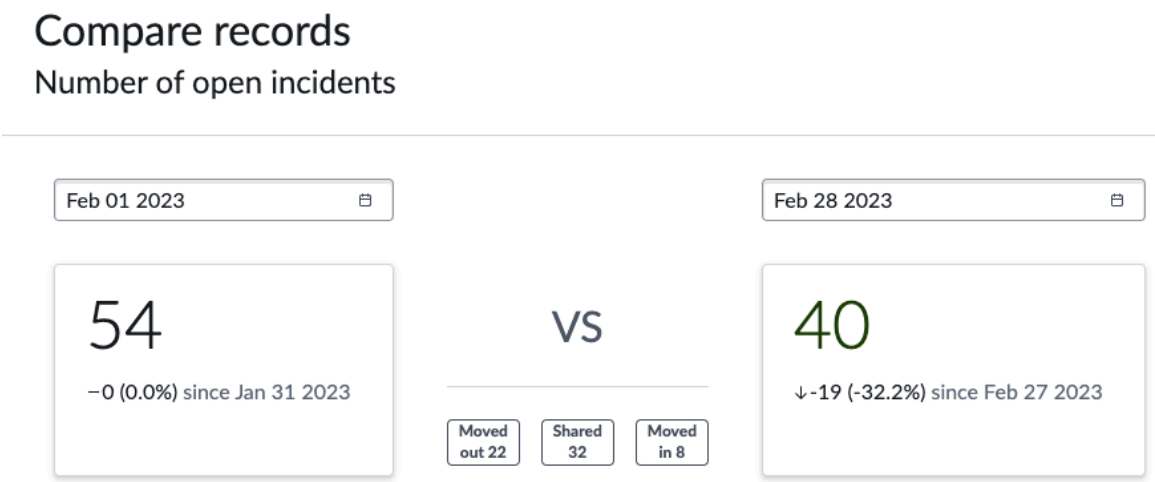
重要:
レコード比較は、レコード収集がオンになっている自動インジケーターでのみ使用できます。また、時間集計を適用すると、比較できるのはスコアのみで、レコードは比較できません。

Example: レコードの比較

この例では、2023 年 2 月 1 日のオープンインシデントレコードの数が 2 月 28 日のインシデントレコードの数と比較されます。次の変更が表示されます。

2月1日	2月28日
54 レコード	40 レコード
01年1月から0%の変化	2月27日より19件少ない(-32.2%)

- 退去 (日付間で削除): 22
- 共有 (両方の日付に存在): 32
- 入居 (日付の間に追加): 8



のチャートオプション **KPI** 詳細

KPI 詳細 [チャートオプション] メニューを使用すると、インジケーターの可視化要素を表示、非表示、または変更できます。選択したグラフオプションは、各インジケーターのユーザーごとに保持されます。チャートオプションは、分析、時系列、およびチャートタイプのオプションに分けられます。

分析オプション

注:
インジケータースコアが複数の要素で集計されている場合、ターゲット、しきい値、傾向、およびコメントは KPI 詳細 ではサポートされません。

ターゲット

ターゲットは、インジケーターの目的のスコアです。可視化に インジケーターターゲット を表示する場合に選択します。インジケーターにターゲットが設定されていない場合、このオプションは使用できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

しきい値

しきい値は、インジケーターの通常のスコアの範囲を定義します。選択すると、可視化に インジケーターのしきい値 が表示されます。インジケーターにしきい値が設定されていない場合、このオプションは使用できません。

予測

予測を使用すると、既存の傾向に基づいて将来のスコアを予測できます。予測を構成するには、「 パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。インジケーターで予測が構成されていない場合、このチャートオプションは使用できません。

傾向図

選択した期間のスコア値の線形トレンドを表示します。傾向は、複数の要素でフィルタリングされたインジケーターでは利用できません。

コメント

アナリティクスハブのインジケーターに追加されたコメント、またはシステム計算によって生成されたコメントを表示する場合に選択します。システム計算には、しきい値違反の通知が含まれます。

ラベル

ラベルには、インジケーターの主な時系列値が表示されます。ターゲットやしきい値などの派生時系列ラインのラベルは表示されません。

統計情報

統計情報



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[統計情報] グラフオプションを有効にすると、 KPI 詳細 グラフに表示される日付範囲にわたって次の統計情報が表示されます。

スコア数
: 選択した時間範囲内のインジケータースコアの数。

最大
: 選択した時間範囲内の最高スコアまたは最大スコア値。

最小
: 選択した時間範囲内の最低または最小のスコア値。

合計
: 選択した時間範囲内のスコアの合計。

平均
: 選択した時間範囲の平均スコア。合計をスコアの数で除算して計算されます。平均は、外れ値がないかほとんどないスコアの正規分布がある場合に、中央値よりも優先されます。

中央値
: スコアの分布の中央の数字。スコアの半分はこの数値より高く、スコアの半分は低くなります。中央値は、スコアに 1 つ以上の外れ値が含まれている場合 (系列 2、3、3、5、7、130 の 130 など) に平均よりも適しています。平均値と中央値の差が大きい場合は、中央値の方が有意な統計量である可能性があります。

変更
: 選択した時間範囲の最後のスコアと最初のスコアの差。

変更 %
: 選択した時間範囲内での最後のスコアと最初のスコアの差 (最初のスコアに対するパーセンテージ)。

標準偏差
: 選択した時間範囲のスコアの平均値からの変動量。標準偏差が低いということは、スコアが平均に近いことを意味します。 KPI 詳細 母標準偏差ではなく、標本標準偏差を計算します。

すべての統計がすべての指標に適用できるわけではありません。インジケーターレコードでは、適用されない統計情報を除外して、 KPI 詳細 または アナリティクスハブに表示されないようにすることができます。たとえば、単位がパーセンテージであるインジケーターでは、変化率の統計情報が表示されないようにすることができます。詳細については、「インジケーターの詳細設定」を参照してください。

時系列オプション

時系列オプションは、グラフに表示する測定値の種類を設定します。すべての測定値は 一緒に表示できます。

- スコア (デフォルト)
- 変更
- 変更 %

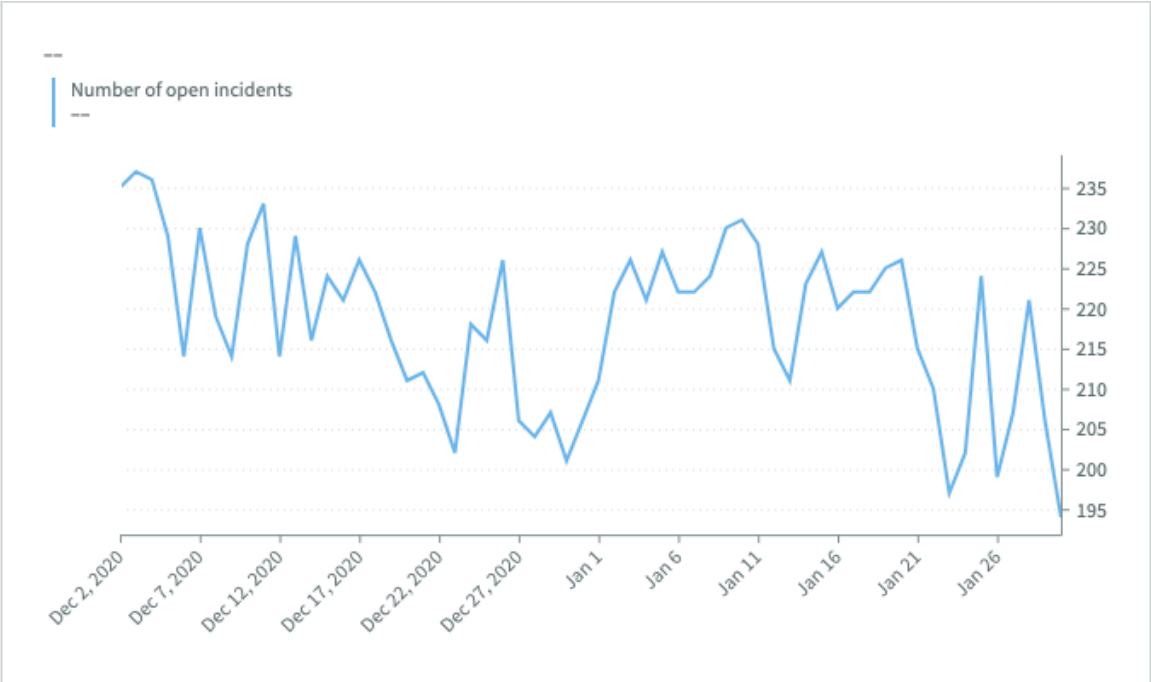
グラフの種類のオプション

次のチャートのビジュアル化から選択します。

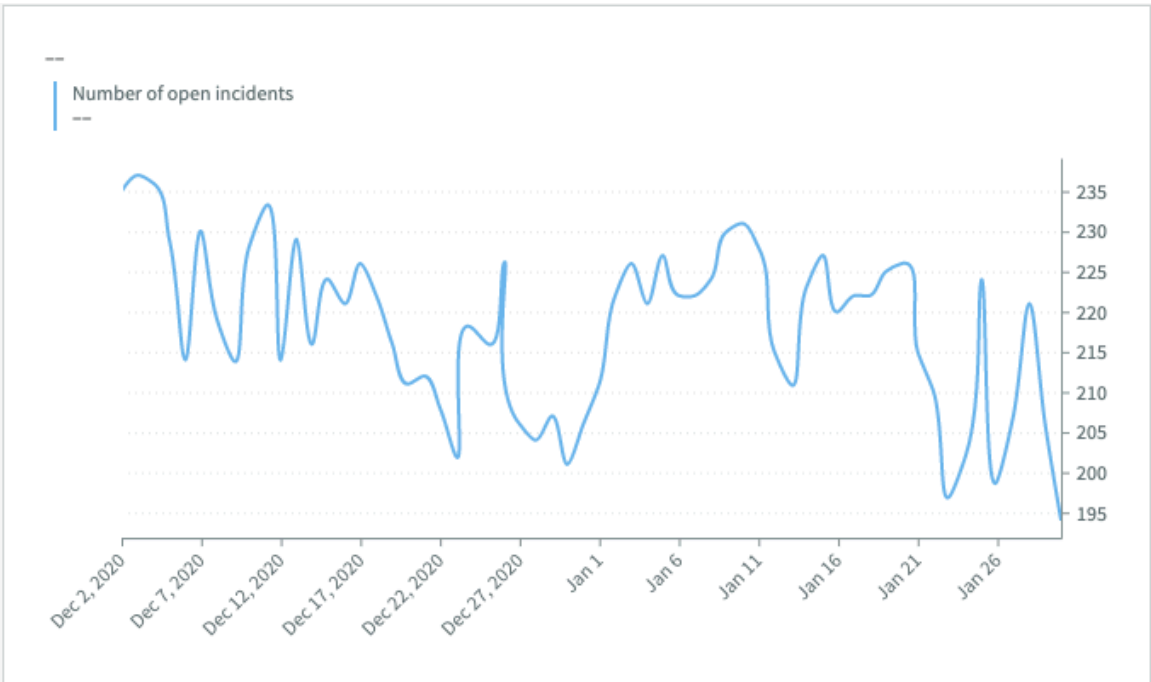
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 折れ線グラフ (デフォルト)



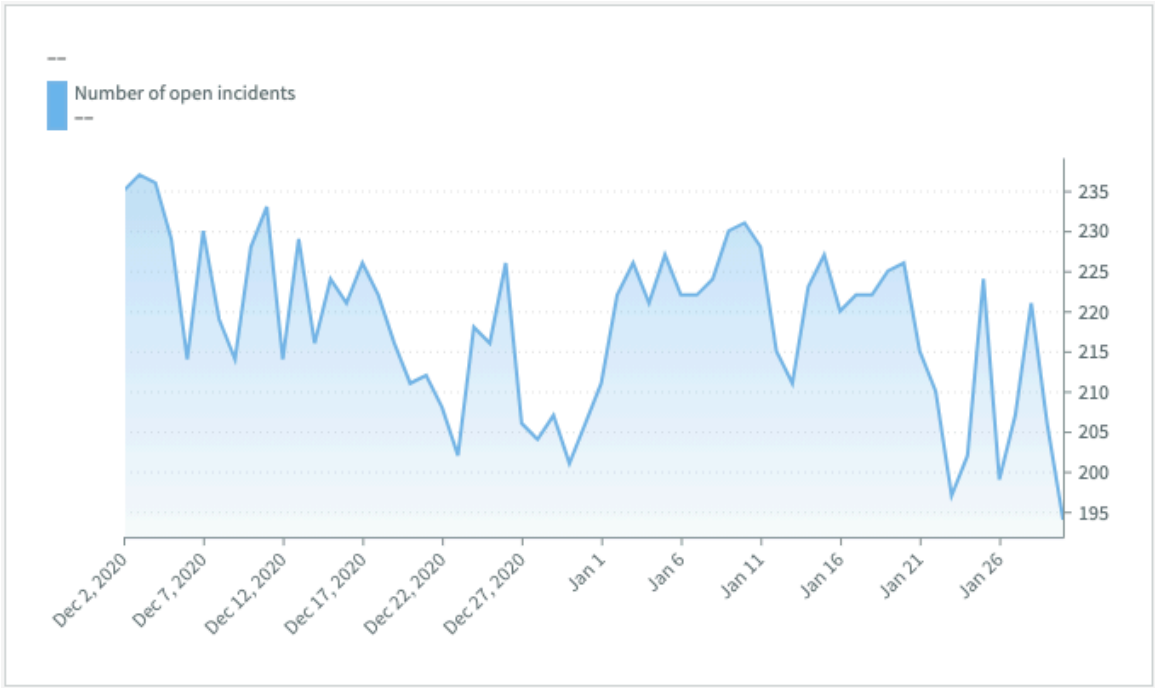
- スプライン



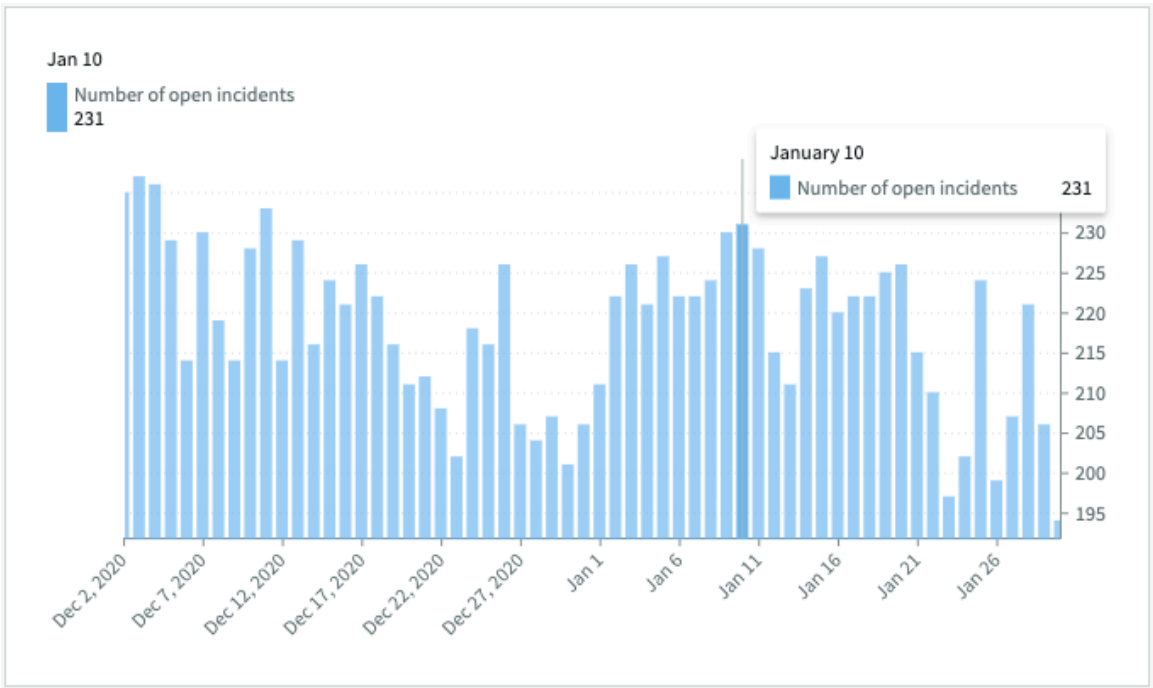
- エリア

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- 列



自動翻訳

での時間アグリゲーションの選択 **KPI** 詳細

インジケーターの変化を個別の時間間隔に集計できます。時間集計は、AVG または SUM 関数と時系列 (四半期別など) の組み合わせで構成されます。

始める前に

必要なロール：なしただし、アップグレードされたインスタンスにはpa_viewerが必要な場合があります。

このタスクについて

インジケーターの別の時間的側面を調べるには、次のいずれかの時間集計を適用します。

実行中

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スパイクを滑らかにして傾向を明らかにします。たとえば、日次インシデント数を見ると毎週末に減少しているように見えるかもしれませんが、7 日間の移動平均ではその減少を平準化できます。

期間

頻度の低い期間にデータを集計します。たとえば、P1 インシデントの数を毎日追跡したいが、スコアを毎日考慮すると頻度が高すぎる場合があります。代わりに、「月別」時系列を使用して月レベルでターゲットを設定できます。

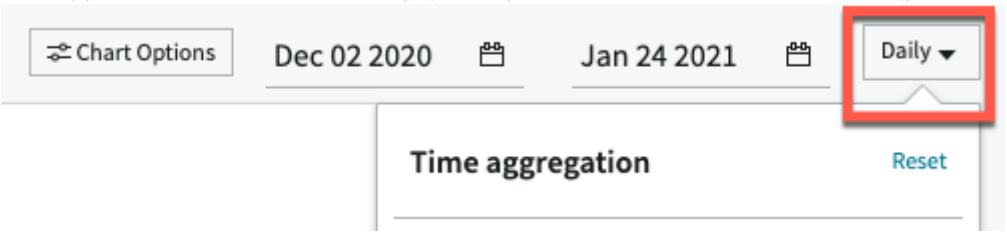
終了日

累積スコアを表示します。これらの時間集計は、達成する月次目標があるが、月全体の速度も確認する必要がある場合に便利です。

時間集計の使用、動作、および制限の詳細については、「 時系列集計の適用」を参照してください。インジケーターで時系列集計を使用する例と詳細については、この パフォーマンスアナリティクス Academy ビデオを参照してください。 での時系列の活用 パフォーマンスアナリティクス.

手順

1. KPI 詳細で、インジケーターの可視化の時間アグリゲーションメニューを展開します。



> **注:**
> 時間集計は、リアルタイムスコアには使用できません。時間アグリゲーションを選択すると、リアルタイムスコアは無効になります。デフォルトの頻度に戻すと、リアルタイム スコアは再び有効になりますが、オフになります。必要に応じてオンにすることができます。

2. 構成する [実行中]、[期間]、または [終了日] 集計のいずれかを選択します。
3. 期間を選択します。
   インジケーター頻度の無効な期間および除外された期間は有効になっていません。除外された期間の詳細については、「 インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。
4. 平均関数または合計関数のいずれかを選択します。
5. [期間] 集計を選択した場合は、部分期間を含めるかどうかを決定します。
   部分期間を含めると、現在の期間がまだ完了していなくても、現在の期間のスコアが表示されます。部分的な期間を含めると平均が歪む可能性があるため、注意が必要です。

タスクの結果

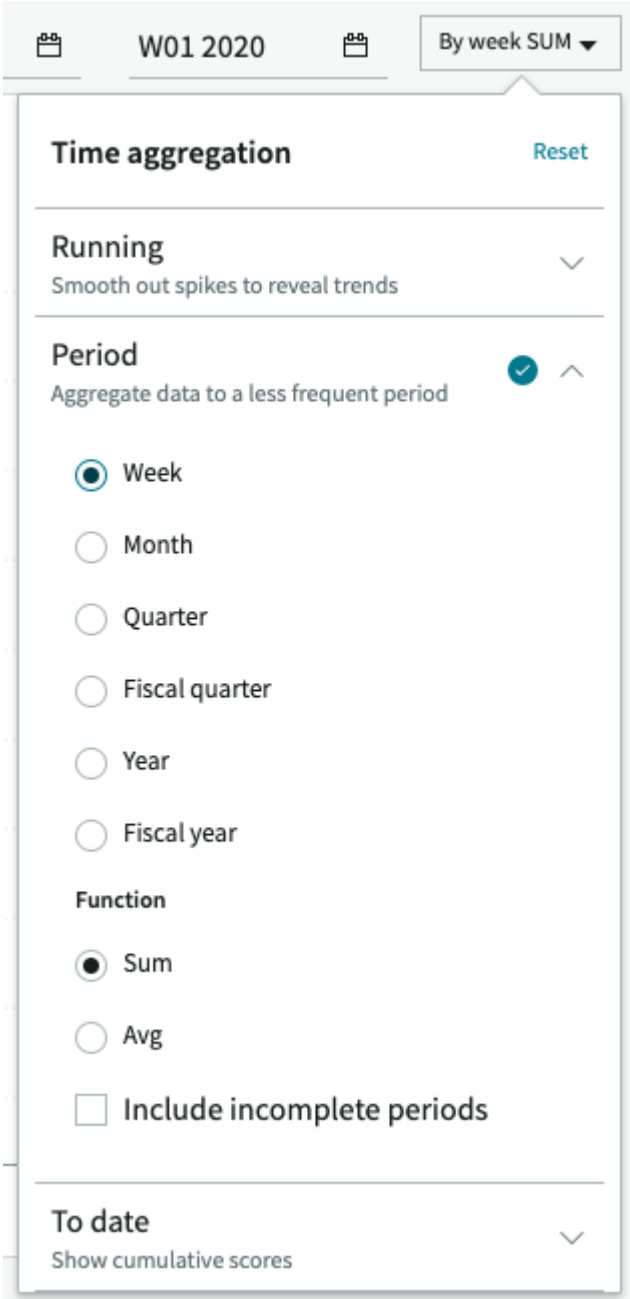
インジケーターの可視化は、選択を行うたびに更新されます。選択内容を好きなだけ変更してください。インジケーターのデフォルトの時間集計に戻すには、[リセット] を選択します。

Example: 日次インジケーターでの時間アグリゲーション

次の時間アグリゲーションメニューでは、日次インジケーター「オープンインシデントの数」が期間ごとに週次合計に集計されます。部分的な週は含まれません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ブレークダウン要素による **KPI** 詳細 のフィルタリング

KPI 詳細 では、[フィルター] サイドバーのインジケーターにブレークダウンと要素を適用します。

始める前に
必要なロール：なしただし、アップグレードされたインスタンスにはpa_viewerが必要な場合があります。

このタスクについて
最大 2 つのブレークダウンを選択できます。最初のブレークダウンでは複数の要素を選択できますが、2 番目のブレークダウンでは 1 つの要素しか選択できません。

手順

1. KPI 詳細 のサイドバーで、[フィルター] アイコンを選択します。
   このインジケーターのブレークダウンのリストが表示されます。
2. ブレークダウンを展開します。

自動翻訳

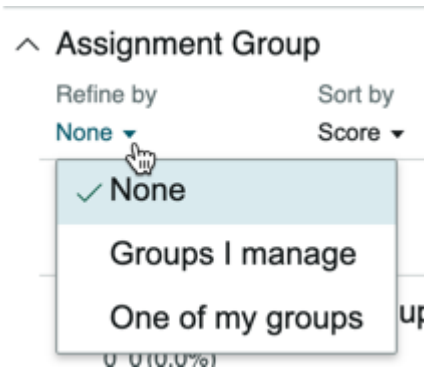
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンの要素のリストが表示されます。

3. ブレークダウンの要素フィルターが存在する場合は、それを使用して要素のリストを絞り込むことができます。

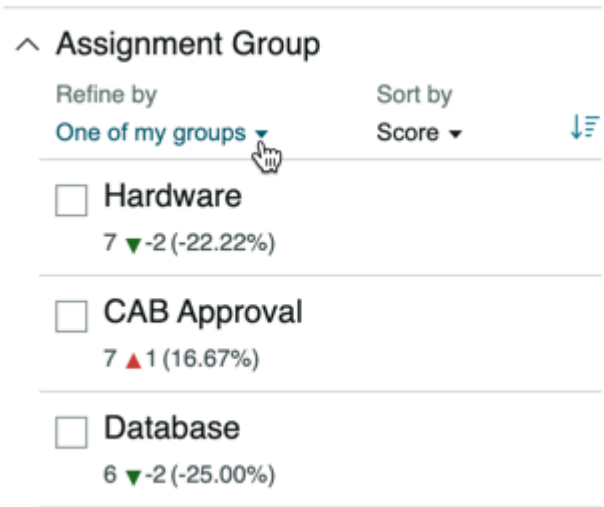
   a. [絞り込み基準] リストを展開して、使用可能な要素フィルターを表示します。

   Example
   この画像は、 ベースシステムのアサイン先グループブレークダウンで使用できる [自分が管理するグループ] および [自分のグループの 1 つ] 要素フィルターを示しています。



   b. 要素フィルターを選択します。

   Example
   この画像では、「自分のグループの 1 つ」が選択されています。要素の一覧には、ログオンしているユーザーが属するアサイン先グループのみが含まれるようになりました。



4. [ソート基準] メニューで、名前、選択した日付のスコア、または前の日付からの変化で要素をソートします。
   リアルタイムスコアが有効になっている場合は、名前によるソートのみを使用できます。
5. 1 つまたは複数の要素を選択します。
   要素がスコアでソートされている場合、フィルターパネルには、選択した日付の各ブレークダウン要素のスコアが表示されます。要素が変更順にソートされている場合、フィルターパネルには、選択した日付の前回の収集期間以降の変化率が表示されます。リアルタイム スコアが有効になっている場合、プレビューは利用できません。
6. オプション: 第 2 レベルのブレークダウンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

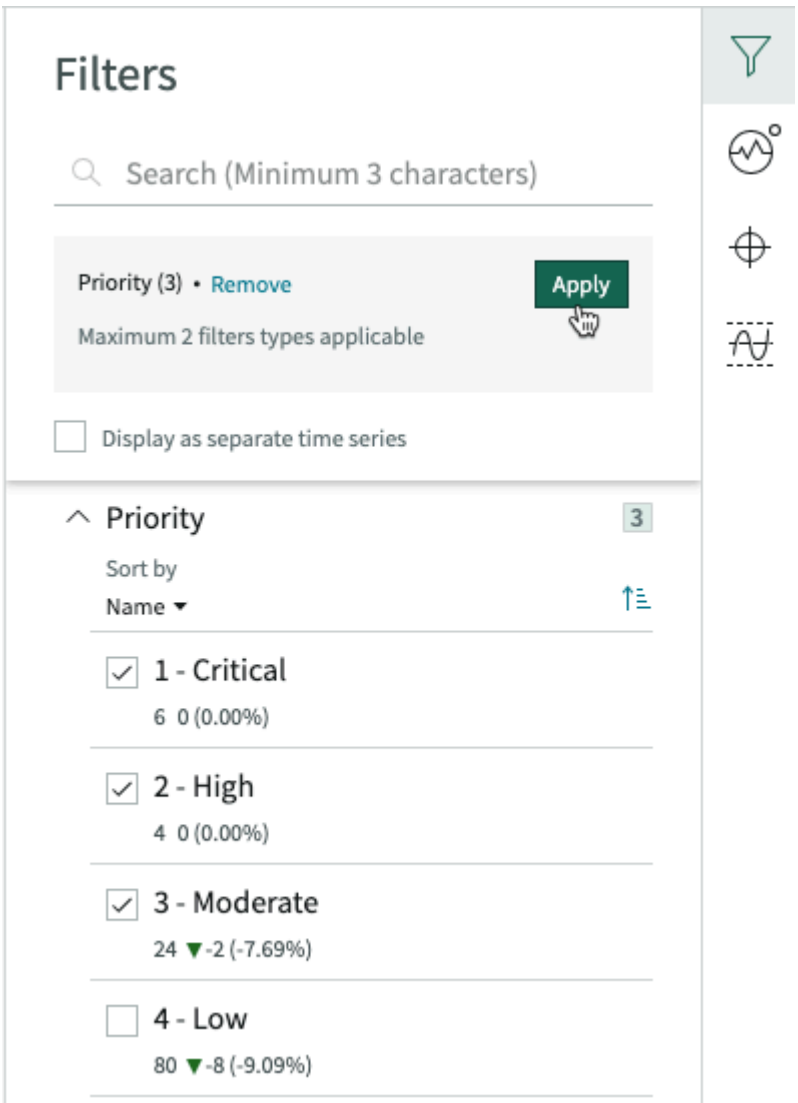
a. 2 番目のブレークダウンを展開します。

b. 要素を 1 つだけ選択してください。

7. 複数の要素を選択した場合は、要素の表示方法を選択します。
デフォルトでは、集計スコアが表示されます。各要素を個別に表示するには、[個別の時系列として表示] を選択します。集計と個別のスコア表示の両方が可能な場合にのみ選択できます。詳細については、「複数の要素のアグリゲートスコア」を参照してください。
8. [**Apply** (適用)] をクリックします。

Example: フィルター基準となる要素の選択

この例では、フィルターサイドバーが開いています。[優先度] ブレークダウンを展開し、[1 - 重大]、[2 - 高]、および [3 - 中] 要素を選択します。[適用] をクリックしようとしています。[Display as separate **time series** (個別の時系列として表示)] を選択しなかったため、これらの要素の値は単一の集計として表示されます。



複数の要素のアグリゲートスコア

複数のブレークダウン要素でインジケーターをフィルタリングする場合、すべての要素の単一の集計スコアを表示することも、要素ごとに個別のスコアを表示することもできます。ただし、すべてのインジケーターが複数の要素のアグリゲートスコアをサポートしているわけではありません。

次のインジケーターは、複数の要素のアグリゲートスコアをサポートしています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- カウント、合計、最小、または最大値としてデータをアグリゲートする自動インジケーター

  注:
  ここでは、「集計」という用語は、複数のインジケータースコアの集計ビューと、インジケーターに設定されたデータ集計の 2 つの異なる目的で使用されます。

- 手動インジケーター
- SQL ステートメントで `SQL AVG()` または `SQL COUNT(DISTINCT...)` を使用しない外部標識
- インジケーターレコードで集計要素ビューが有効になっている式インジケーター。詳細については、式インジケーターの作成 の [その他] タブにある [複数のブレークダウン要素スコアのアグリゲーションを許可] フィールドのエントリを参照してください。

注:
ワークスペースエクスペリエンス上のパフォーマンスアナリティクスウィジェットからKPI 詳細に移動し、このウィジェットが複数の要素を返す要素フィルターを使用している場合、最初の要素のみが適用されます。

インジケーターが複数の要素のビューをサポートしている場合、 KPI 詳細 は [フィルター] サイドバーに [個別の時系列として表示] コントロールを表示します。このコントロールの動作は、サポートされている複数の要素のビューによって異なります。

- インジケーターがアグリゲートビューと個別ビューの両方をサポートしている場合は、デフォルトでアグリゲートビューが表示されます。ブレークダウンの要素ごとに個別の線を表示するには、[個別の時系列として表示] を選択します。
- インジケーターが複数の要素を個別の線として表示することのみをサポートしている場合、[個別の時系列として表示] が選択され、選択は無効になります。

注:
[個別の時系列として表示] コントロールは、複数の要素を選択するまで有効になりません。

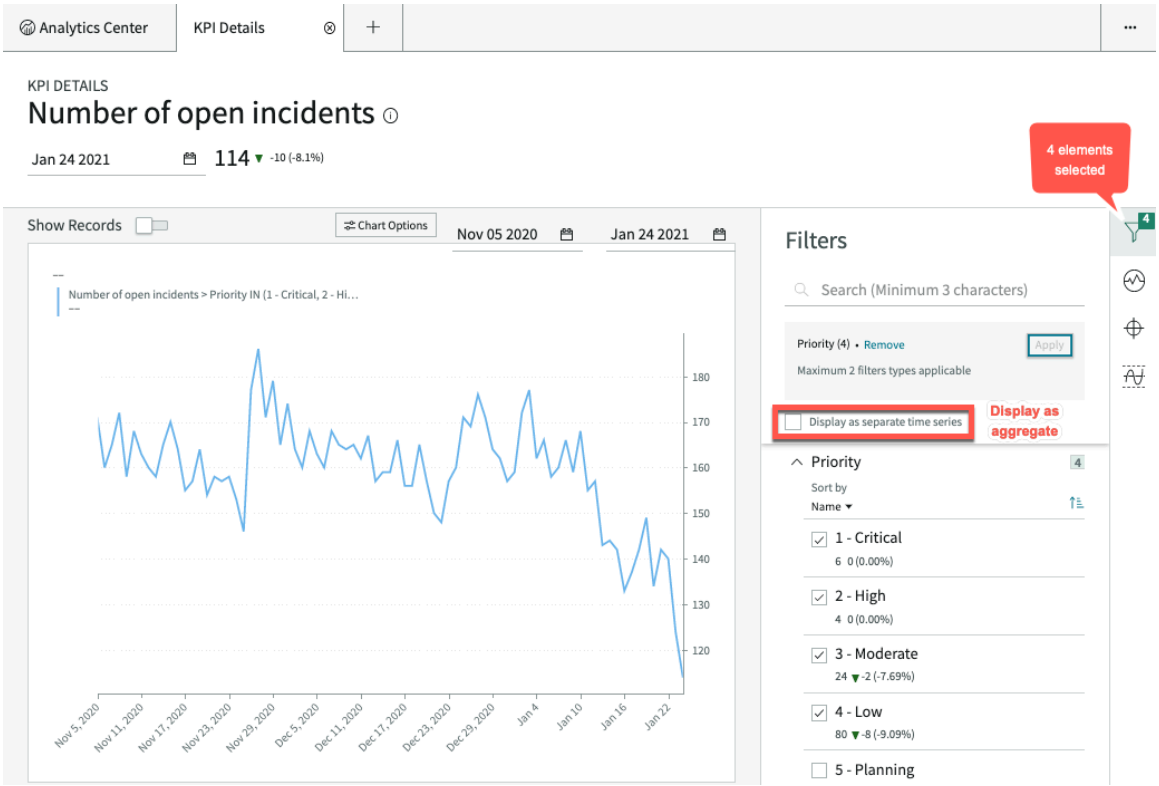
Example: 複数の要素の個別のビューと比較した集計

この例では、オープンインシデントの数インジケーターがカウント別に集計されるため、複数の要素の集計ビューをサポートしています。集計ビューと個別ビューの両方が表示されます。

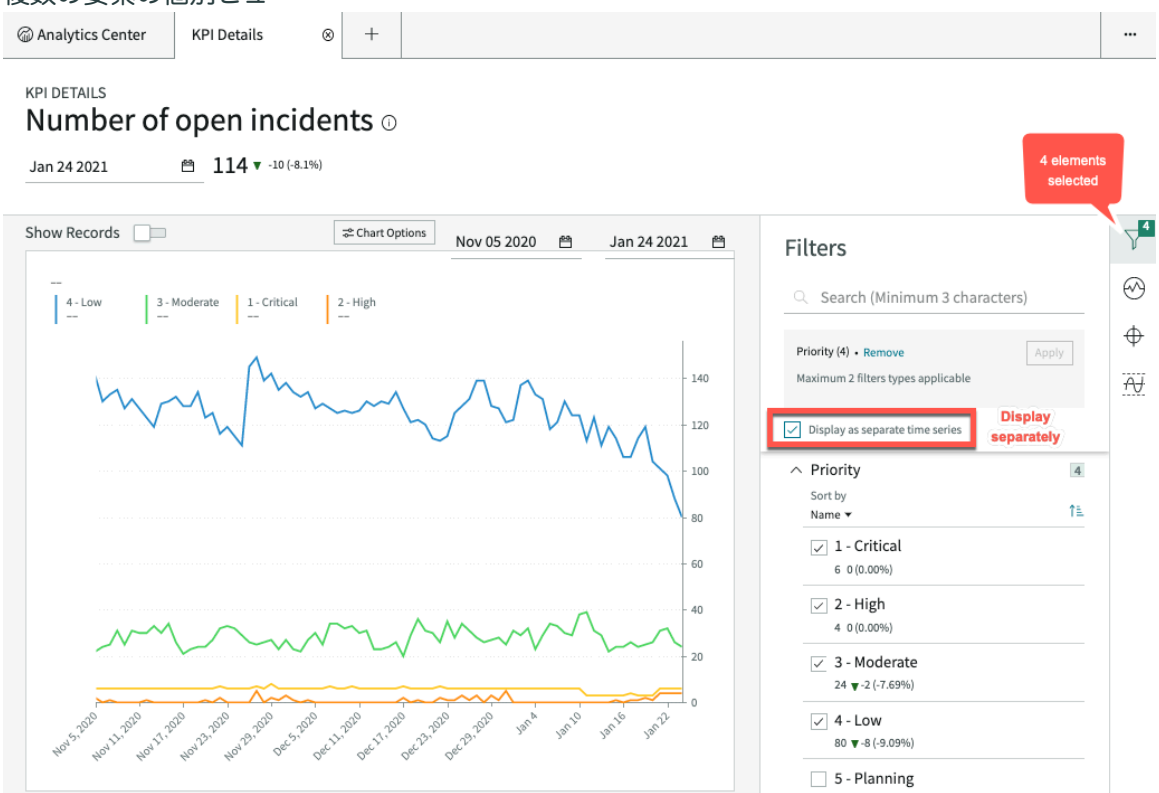
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素のアグリゲートビュー



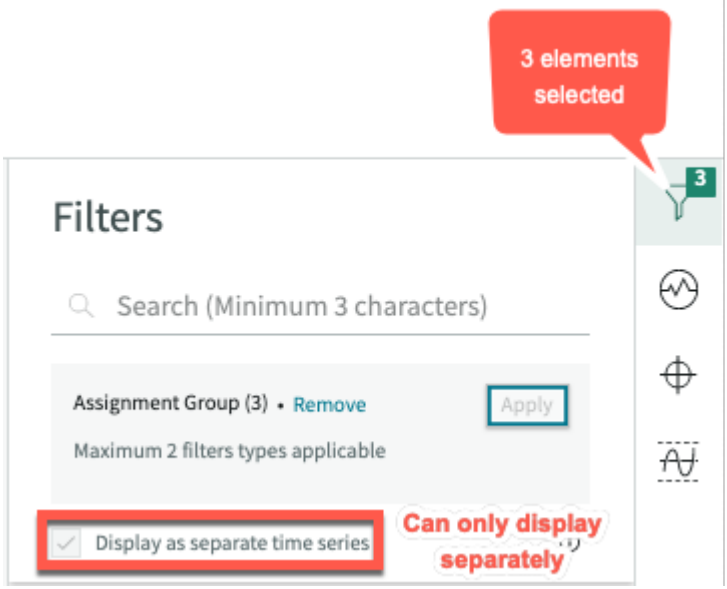
複数の要素の個別ビュー



次の式インジケーターでは、複数要素の集計ビューが有効になっていません。[個別の時系列として表示] オプションは自動的に選択され、変更することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アグリゲートビューをサポートしていないインジケーターのフィルターサイドバー



関連情報

パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン

のインジケーターターゲット **KPI** 詳細

ターゲットは、組織が達成したい目標です。これらは、特定の日付におけるインジケーターの望ましいスコアと実際のスコアの差を示します。

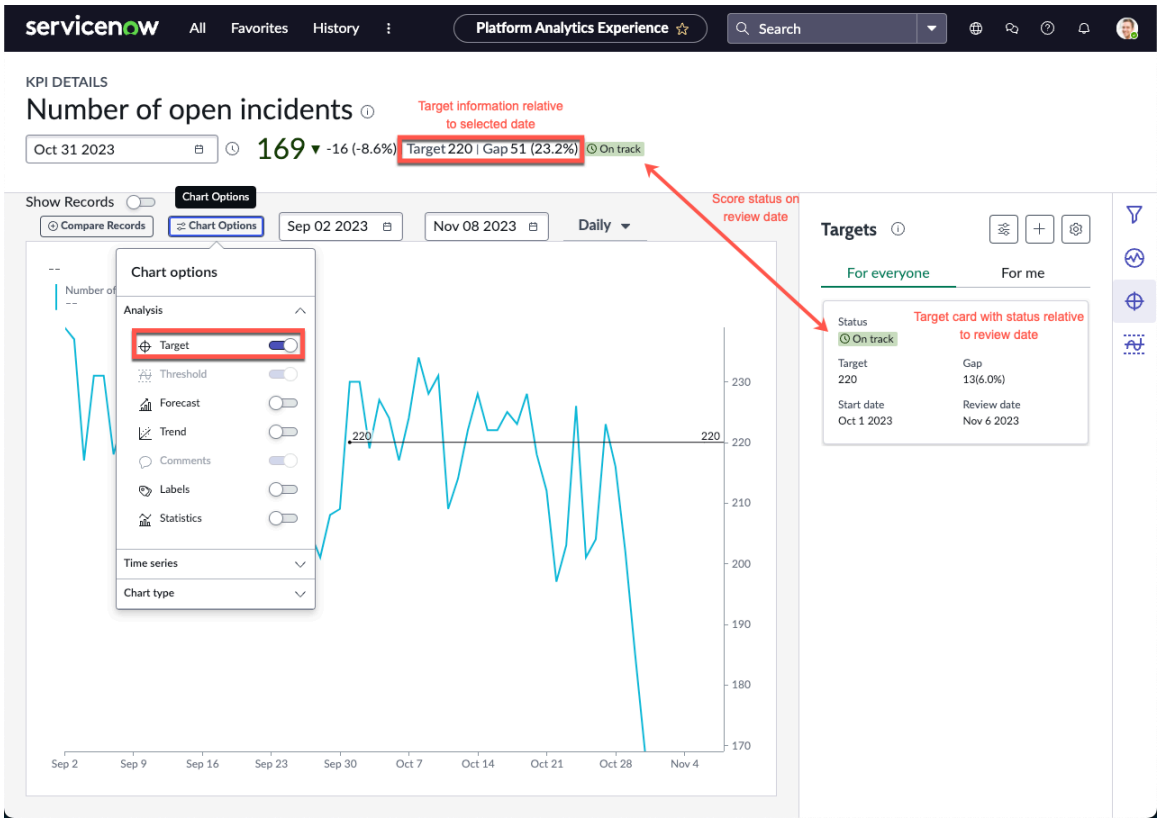
ターゲットは、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のターゲットは、作成したユーザーだけが見ることができ、明るい線で表示されます。グローバル ターゲットは、すべてのユーザーに表示され、暗い線で表示されます。個人のターゲットは共有できないため、 KPI 詳細 と アナリティクスハブにのみ表示されます。グローバルターゲットは、時系列および単一スコアデータの可視化にも表示できます。ダッシュボードは、 プロアクティブアナリティクスインサイトカードを通じて、ターゲットに関連するイベントを閲覧者にアラートできます。

Example: 現在のターゲットの **KPI** 詳細

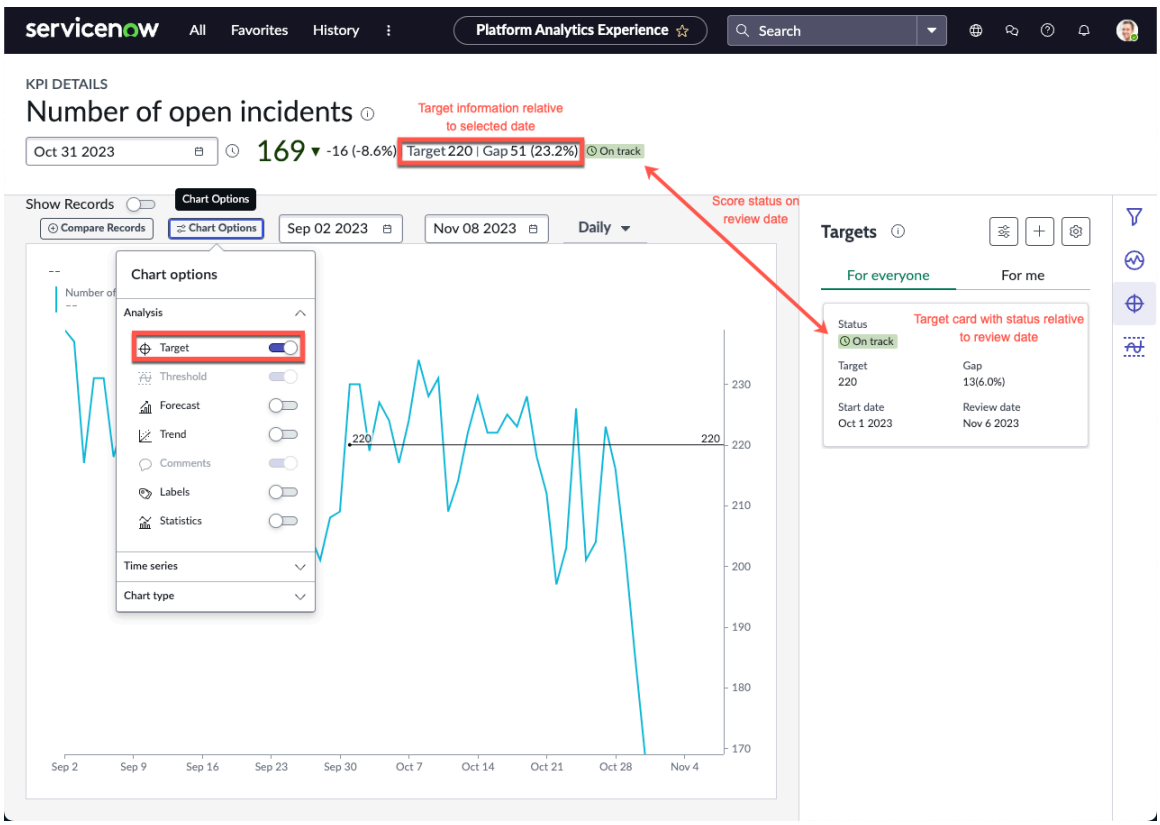
次の例では、インジケーターに 1 つのターゲットが設定されています。この目標は10月1日に設定され、11月6日を見直し日としました。10月31日のスコアは169だった。3 月 15 日のギャップは、 ターゲット値 - 選択した日付のスコアとして計算されます。したがって、ギャップは51、つまり23.2%です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ターゲット] パネルのターゲットのカードには、異なるギャップ値が表示されます。このギャップは、 レビュー日のターゲット値 - 予測スコアと等しくなります。[チャートオプション] で [予測] を有効にすると、このギャップがどのように計算されるかがより明確にわかります。次の例では、レビュー日の予測スコアが 29、ターゲットが 30 であることがわかります。したがって、タイル上のギャップは 1 つです。



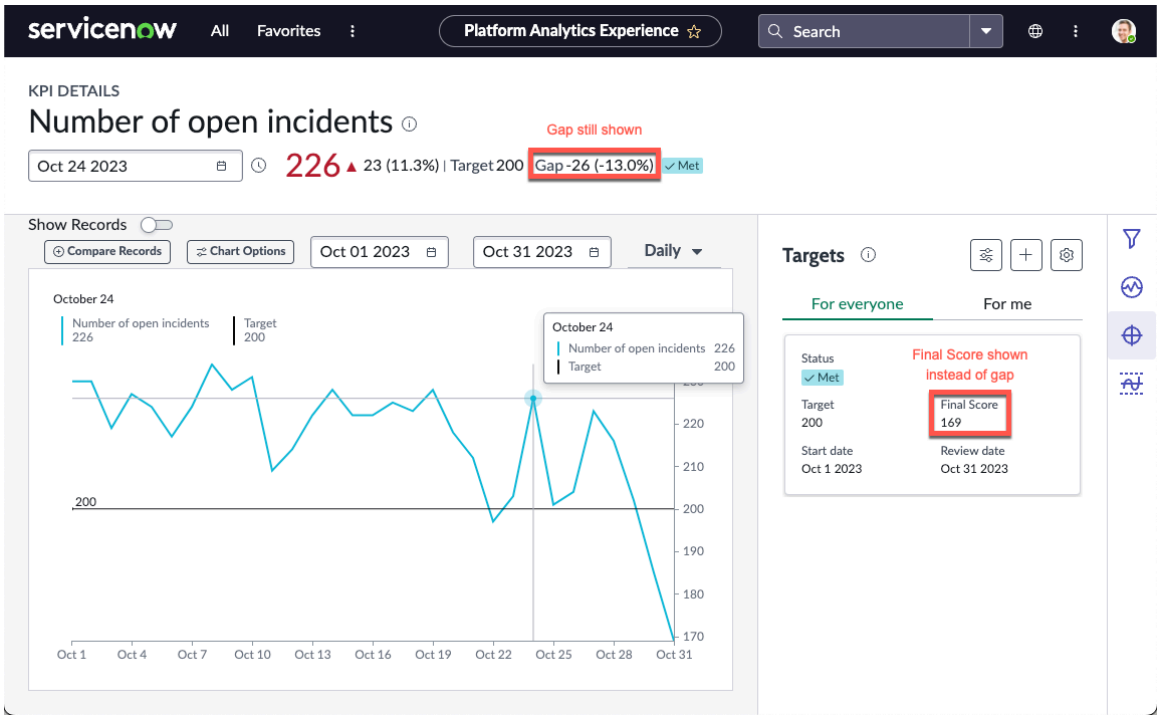
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコンには、ステータスが [オントラック]、[オフトラック]、または [早すぎて追跡できません] と表示されます。このアイコンは、チャートと [ターゲット] パネルの両方に表示されます。ステータスは、レビュー日におけるターゲットとスコアの間の予測ギャップに基づいています。予測されたスコアがターゲットよりも優れているため、[オントラック] アイコンが表示されます。目標よりも悪かった場合は、オフトラックアイコンが表示されます。ターゲットが達成されるかどうかを予測するのに十分なデータがない場合は、「追跡するには早すぎる」アイコンが表示されます。

Example: 過去のターゲットを含む **KPI** 詳細

ターゲットがレビュー日に達すると、目標が達成されたかどうかがわかります。[オントラック]、[オフトラック]、および [追跡するには早すぎる] アイコンは適用されなくなりました。代わりに、[Met] または [Not met] アイコンが表示されます。次の例では、インジケーターはレビュー日に 2 マージンでターゲットを達成しました。カードでは、ギャップ情報がレビュー日の最終スコアに置き換えられます。このスコアは、チャートで選択された日付に関係なく表示されます。グラフには、選択した日付のスコアとターゲットとのギャップが引き続き表示されます。

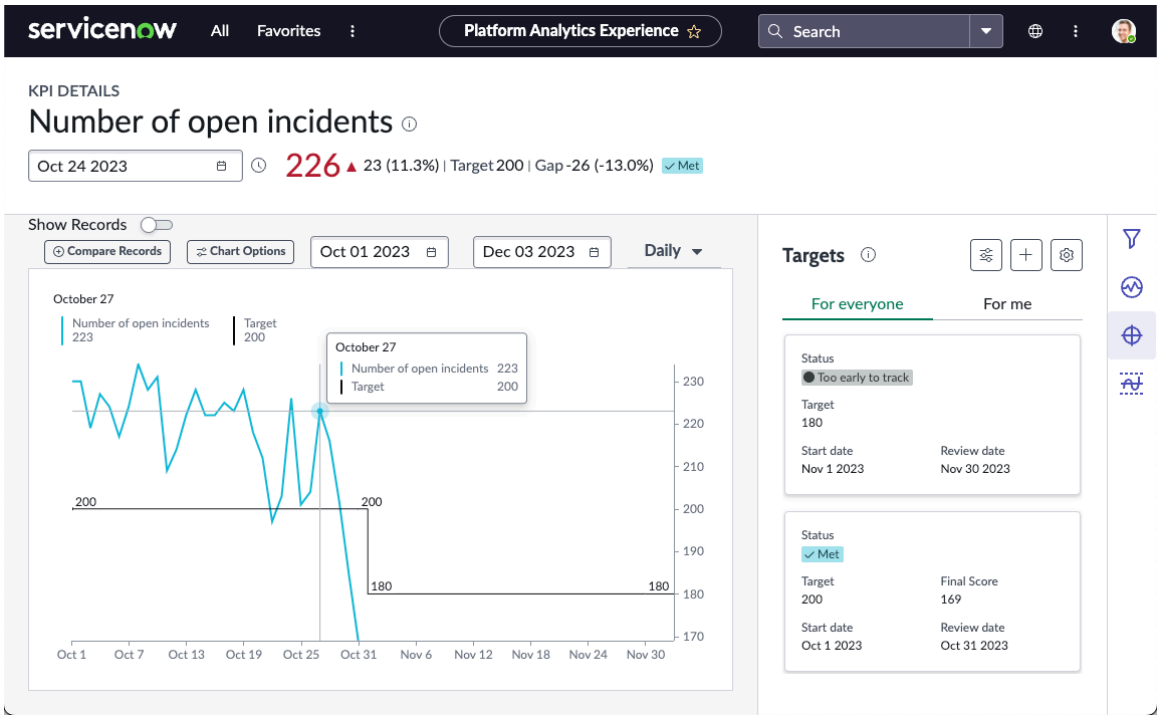


Example: 過去と現在の目標

ターゲットはレビュー日に達すると、アクティブではなくなります。通常は、新しいターゲットを有効にする必要があります。新しいターゲットを追加しても、期限切れのターゲットはチャートとカードの両方に表示されます。ここでは、前の例のターゲットが期限切れになった後に、新しいターゲットがインジケーターに追加されます。この目標は、 でのターゲットの作成 KPI 詳細で説明した以前の目標から 10% 改善されたことを前提としています。グラフには、選択した日付に有効なターゲットに関する情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



でのターゲットの作成 **KPI** 詳細

特定のブレークダウン要素と時系列集計にのみ適用されるインジケーターのターゲット値を設定できます。ターゲットは選択した日付に適用が開始され、次のターゲットを設定するまで適用され続けます。ターゲットへの到達が見込まれる日付を設定し、その日に新しいターゲットを設定できます。

始める前に
必要なロール:すべてのユーザーに表示されるグローバルターゲットを作成する pa_target_admin。KPI 詳細でインジケーターを表示できるユーザーは、ターゲットを表示し、個人ターゲットを作成できます。個人のターゲットとしきい値は、それらを作成したユーザーのみが KPI 詳細 に表示されます。

責任ユーザーは、ロールに関係なく、グローバルターゲットを作成して、担当するターゲットを置き換えることができます。詳細については、「グローバルインジケーターターゲットに対する責任」を参照してください。

手順

1. 作業するインジケーターのあるワークスペースに移動します。
2. そのインジケーターの KPI 詳細 ページを開きます。

   [Analytics Center (アナリティクスセンター)] アイコン ( ) を選択して、 **KPI** のリストを開きます。

   インジケーターは、プラットフォームアナリティクスワークスペース (ServiceNow® Store から入手可能) に用意されているアナリティクスセンターにあるような、インジケータースコアカードまたはアナリティクス Q&A のクエリ結果から開くことができます。
3. ターゲットをスコアのサブセットに制限するには、フィルターを開き、ブレークダウンとブレークダウン要素を選択します。

   第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 複数のブレークダウン要素のターゲットを追加するには、「 での複数のブレークダウン要素に対するターゲットの追加 KPI 詳細」を参照してください。

4. ターゲットを特定の時系列集計に適用する場合は、時系列を選択します。
   時系列集計の詳細については、「 時系列集計の適用」を参照してください。
5. ターゲットアイコン ( ) をクリックします。
   [ターゲット] パネルが開きます。
6. 「ターゲットの作成」アイコン( )をクリックします。
7. [全員用] または [自分用] を選択します。
   [全員用] オプションは、グローバルターゲットを作成します。[自分用] オプションでは、個人ターゲットを作成します。
   選択したブレークダウン要素または時系列に適用される、このインジケーターの既存のグローバルターゲットまたは個人ターゲットがすべて表示されます。ブレークダウン要素または時系列を対話形式で選択および選択解除でき、ターゲットのリストが更新されます。

   > **注:**
   > 新しいターゲットを作成する代わりに、これらの既存のターゲットの 1 つを編集できます。ターゲットのタイルを選択して、そのターゲットを編集します。ターゲットの絶対値、開始日、レビュー日のみを変更できます。より高度なターゲット編集については、「 でのターゲットの編集 KPI 詳細」を参照してください。

8. [基準] フィールドで、[新しい値]、[平均スコア]、または [前のターゲット] のいずれかを選択します。
   新しい値は 、入力するターゲットの絶対値です。[平均スコア] では、平均スコアの改善としてターゲットが選択されます。改善の量を設定します。平均は、グラフに示されている期間にわたって計算されます。この平均は、[平均値] フィールドに読み取り専用の値として表示されます。

   [前のターゲット] は、前のターゲットが存在する場合にのみ使用できます。新しいターゲットは、アクティブなターゲットからの変更に基づいて計算された値です。アクティブなターゲットが読み取り専用の [参照値] フィールドに表示されます。
9. [新しい値] を選択した場合は、[新しい値] フィールドにターゲット値を入力します。
10. [平均スコア] または [前回のターゲット] を選択した場合は、次のオプションを入力します。

オプション	**Description** (説明)
Direction (方向)	[増加] または [減少] を選択します。増加は 、ターゲットが平均スコアまたは以前のターゲットよりも高くなることを意味し、 減少 は、平均スコアまたは以前のターゲットよりも低くなることを意味します。デフォルトでは、値はインジケーターの方向に対応しています。
変更	ターゲットを平均スコアまたは前のターゲットと差異にする量を入力します。この値は、絶対単位またはパーセンテージで表すことができます。
%/単位	変更が絶対単位かパーセンテージかを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

これらのフィールドに入力すると、計算されたターゲット値が読み取り専用の [新しい値] フィールドに表示されます。

11. 開始日を選択します。
    将来の日付を設定できます。
12. レビュー日を選択します。
    ターゲットは、選択した開始日から次のターゲットの開始日まで適用されます (存在する場合)。後のターゲットを定義しない場合、ターゲットは無期限に適用されます。したがって、レビュー日は、ターゲットの変更を検討するためのリマインダーとして機能します。レビュー後にターゲット値を変更するかどうかにかかわらず、将来の新しいレビュー日を選択することを検討してください。

    レビュー日を選択すると、その日にターゲットの達成に向けて順調に進んでいるかどうかを示すステータスアイコンがチャートに表示されます。

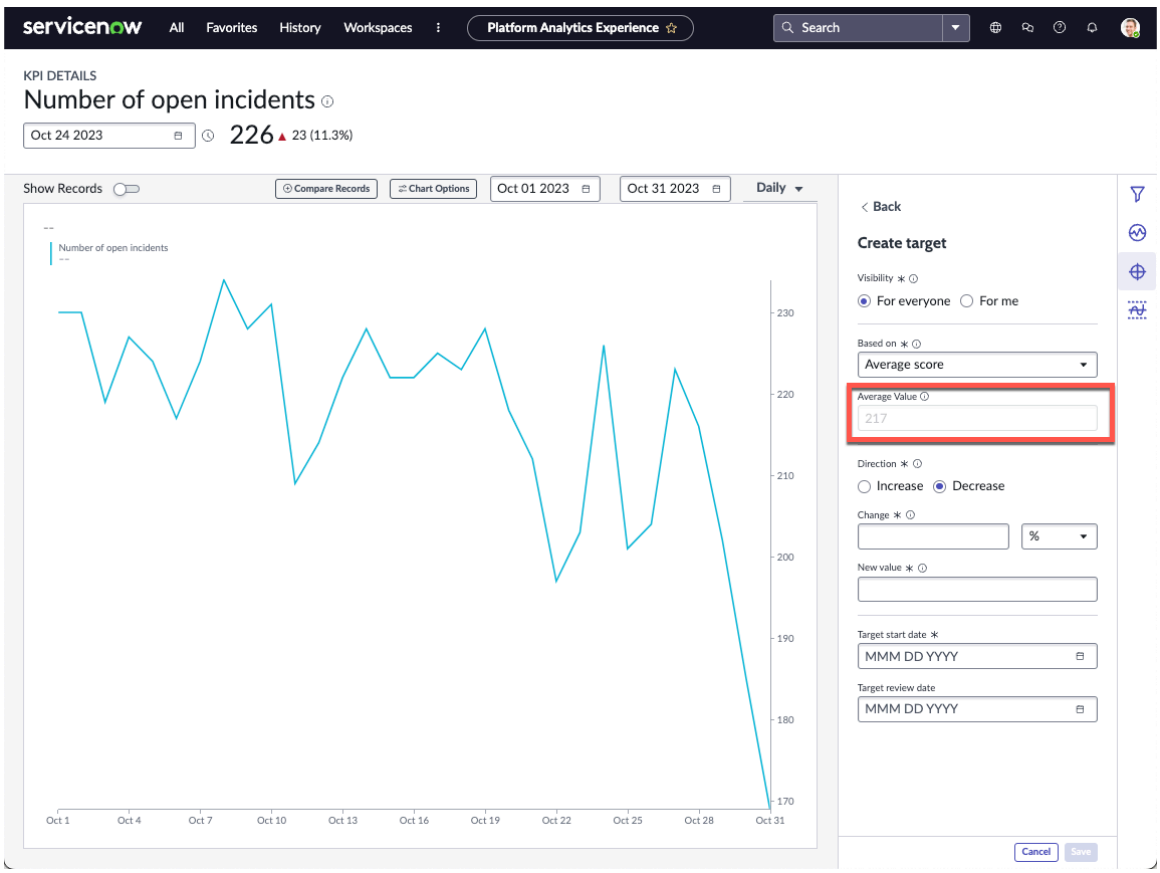
    > **注:**
    > KPI 詳細では、重複するターゲットはサポートされていません。一度にアクティブにできるターゲットは 1 つだけです。

13. [保存] をクリックします。

Example: ターゲットの作成

今日は 11 月 1 日です。ネットワークカテゴリのオープンインシデントの数は先月で大きく変化しており、最近急激に減少しています。

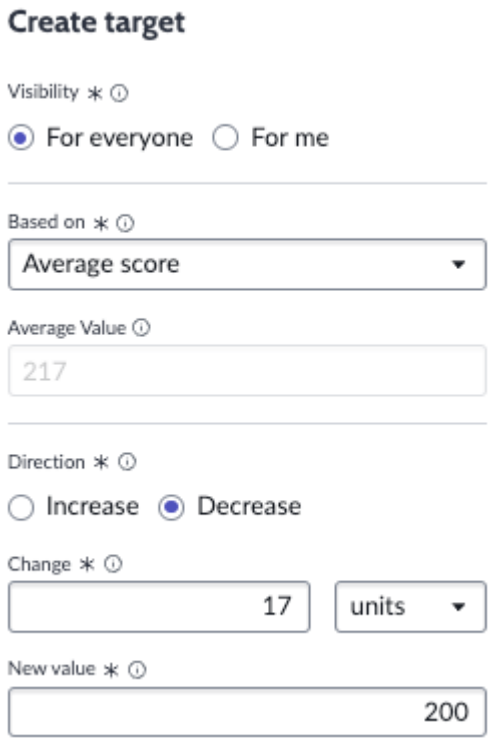
インシデントマネージャーとして、オープンインシデントの数を減少させたいと考えている。スコアから設定すべき適切なターゲットがわからない。10月の平均を下回っていれば幸いです。そのため、まずその月の平均スコアに基づいてターゲットを設定します。



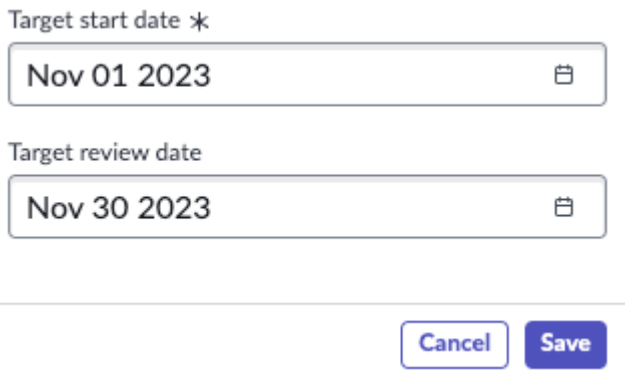
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

平均値は 217 ですが、あなたは楽観主義者であり、チームはもう少しうまくいくかもしれないと考えています。インシデント数を減少させたいので、[**Decrease**] を選択したままにします。チャートの最低点のほとんどは 200 前後だったので、それを新しいターゲットとして決定します。



最後に、翌月の初めにターゲットを有効にすることにしました。月末までに目標を達成したいので、月の最終営業日をレビュー日として設定します。



「 保存」をクリックすると、ターゲットが作成されます。このようなターゲットが KPI 詳細 でどのように見えるかの例については、「 のインジケーターターゲット KPI 詳細」を参照してください。

次のタスク
グローバルターゲットを作成したら、ターゲットを管理する責任を自分または別のユーザーに設定してください。「グローバルインジケーターターゲットに対する責任」を参照してください。

でのターゲットの編集 **KPI** 詳細

既存のターゲットを終了して後日から新しいターゲットを開始するのではなく、開始日から遡って 1 つ以上の既存のターゲットを変更します。複数のターゲットを編集して、同じ値、同じ値の変更、または同じ日付にすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:すべてのグローバルターゲットを編集するpa_target_admin。個人ターゲットを持つすべてのユーザーは、そのターゲットを編集できます。

責任ユーザーは、ロールに関係なく、担当するグローバルターゲットを編集できます。詳細については、「グローバルインジケーターターゲットに対する責任」を参照してください。

このタスクについて
同じインジケーターに複数のターゲットが設定されている場合、 KPI 詳細 の [ターゲット構成] パネルでは、同じ開始日、レビュー日、または値を持つように一括で設定できます。マネージャーは、この機能を使用して、一連のセグメントのターゲットを変更できます。

同一のターゲット値のみを新しい値に変更できます。異なる開始日とレビュー日を、新しい同一の開始日またはレビュー日に変更できます。ただし、ターゲットが適用される新しい期間は、同じフィルターに一致する他のターゲットの期間と重複することはできません。

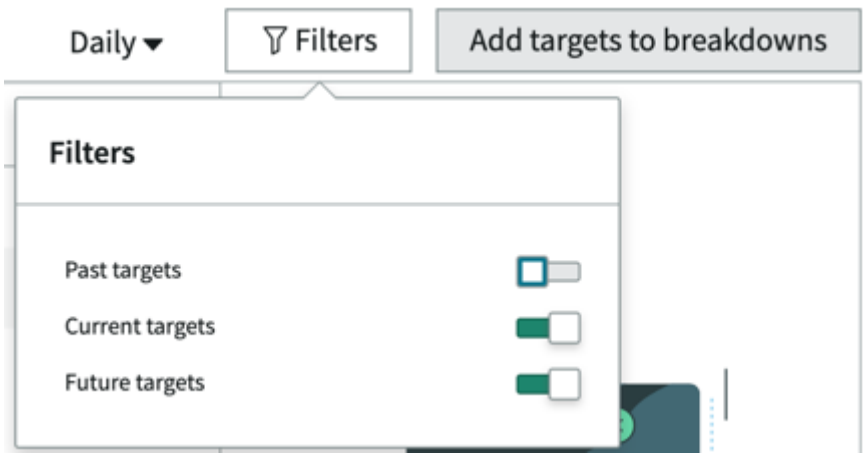
注:
1 つのターゲットをすばやく編集するための代替インターフェイスを使用できます。[ターゲット] パネルを開き、ターゲットのタイルを選択します。ターゲットの絶対値と開始日およびレビュー日を変更できます。ターゲットを編集するためのその他のオプションを使用する場合、または複数のターゲットを編集する場合は、代わりに次の手順を使用します。

手順

1. インジケーターの KPI 詳細 を開きます。
2. ターゲットアイコンをクリックします。
   [ターゲット] パネルが開きます。
3. 歯車をクリックして、「 ターゲット構成 」ページを開きます。



   [ターゲット構成] ビューが開きます。
4. [フィルター] をクリックして、期限切れのターゲット、現在有効なターゲット、または将来有効になるターゲットのいずれを表示するかを設定します。
   デフォルトでは、現在有効なターゲットと今後有効になるターゲットが表示されます。

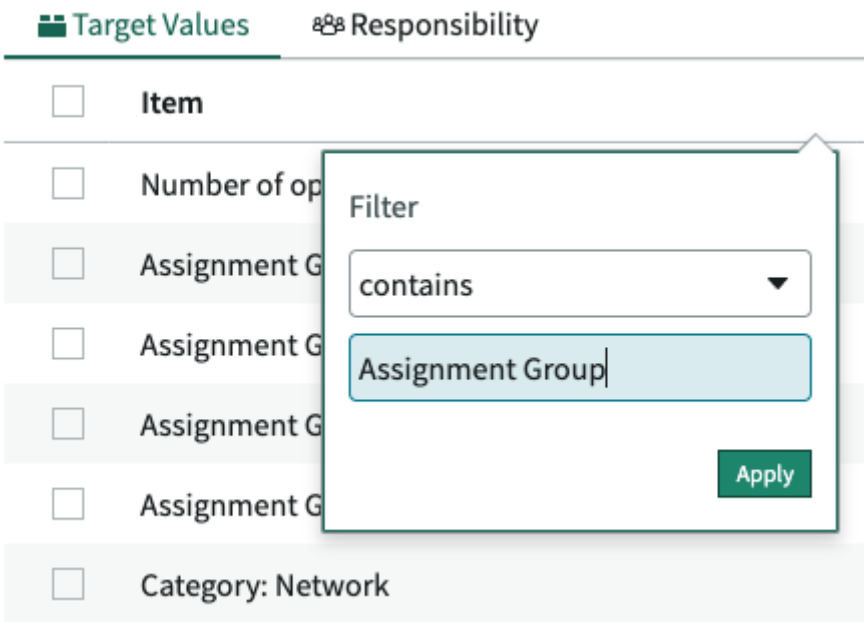


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. ターゲットの選択をさらにフィルタリングするには、各列ヘッダーの右側にある非表示のフィルターアイコンを選択します。
アイテム名、値、開始日、またはレビュー日でフィルターまたはソートできます。次の例では、[**Item**] 列で priority を含む名前がフィルタリングされようとしています。[優先度] ブレークダウンのターゲットのみが表示されます。

ヒント:
ブレークダウンまたは時間集計のいずれかのアイテム名でフィルタリングできます。たとえば、 7 日間 でフィルタリングすると、週次時間集計のターゲットのみが返されます。



6. 1 つ以上のターゲットを選択します。
7. 絶対値または計算によって新しいターゲット値を設定します。
   - ターゲットの絶対値を設定するには、[ターゲット計算] で [なし] を選択し、[値] フィールドで絶対値を選択します。
   - 現在のターゲットからの変更を選択するには、以下を選択します。

フィールド	値
ターゲット計算	現在のターゲット (単位) または現在のターゲット (%)
Direction (方向)	新しいターゲット値を現在のターゲットより高くするには [増加] を選択し、新しい値を現在のターゲットより低くするには [減少] を選択します。
変更 (単位) または変更 (%)	[方向] の設定に応じて、新しいターゲットを計算するために現在のターゲットに加算または減算される値。入力する値は、絶対値 (単位) またはパーセンテージです。 たとえば、値が 20 と 5 の 2 つのターゲットを選択したとします。また、目標の計算として [現在の目標 (単位)] を選択し、方向として [減少] を選択しました。[変更 (単位)] に 2 を

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	入力すると、新しいターゲット値は 18 と 3 になります。代わりに、ターゲット計算として [現在のターゲット (%)] を選択し、[変更 (%)] に 25 を入力すると、新しいターゲット値は 15 と 4 になります。
最小ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最小値。値を指定する必要はありません。
最大ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最大値。値を指定する必要はありません。

- 一定期間の平均スコアから変化を選択するには、以下を選択します。

フィールド	値
ターゲット計算	平均スコア (単位) または平均スコア (%)
最初のスコア	平均スコアを計算する期間の開始日
最後のスコア	平均スコアを計算する期間のクローズ日
Direction (方向)	ターゲットが平均スコアより高くなるようにするには [増加] を選択し、平均スコアより低くなるようにするには [減少] を選択します。
変更 (単位) または変更 (%)	[方向] の設定に応じて、新しいターゲットを計算するために平均スコアに加算または減算される値。入力する値は、絶対値 (単位) またはパーセンテージです。
最小ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最小値。値を指定する必要はありません。
最大ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最大値。値を指定する必要はありません。

8. 開始日、ターゲットが有効になる日付、およびレビュー日を選択します。
   レビュー日までに目標を達成するか、少なくともその時点で進捗状況を確認することを期待しています。

での複数のブレークダウン要素に対するターゲットの追加 **KPI** 詳細

KPI 詳細ターゲット構成パネルで複数のブレークダウン要素を選択します。各要素にターゲットを追加します。このターゲットは、絶対値ではなくベースラインの改善にすることができます。

始める前に

必要なロール:pa_admin、pa_target_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. インジケーターの KPI 詳細 を開きます。
2. ターゲットアイコン ( ) をクリックします。
   [ターゲット] パネルが開きます。
3. 歯車をクリックして、「 ターゲット構成 」ページを開きます。

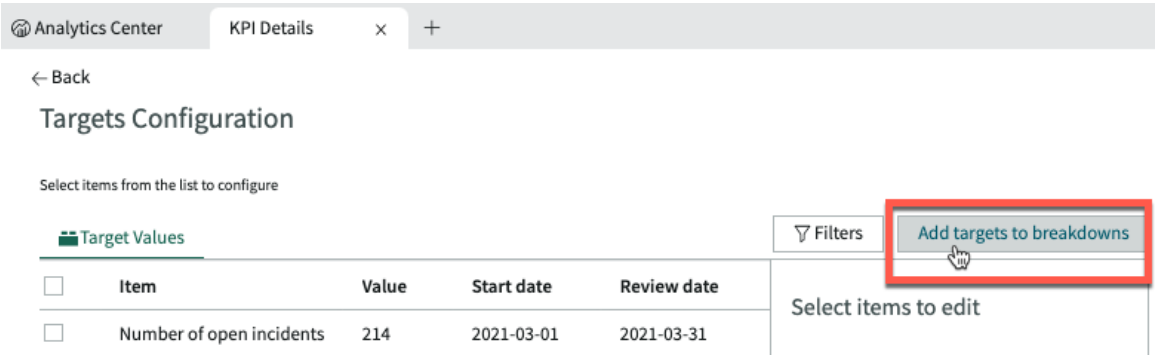
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ターゲット構成] ビューが開きます。

4. [ブレークダウンにターゲットを追加] を選択します。



[ブレークダウン要素にターゲットを追加] ダイアログが開きます。

5. インジケーターのブレークダウンのリストからブレークダウンを 1 つ選択します。
6. ブレークダウンの要素をいくつでも選択し、[次へ] をクリックします。

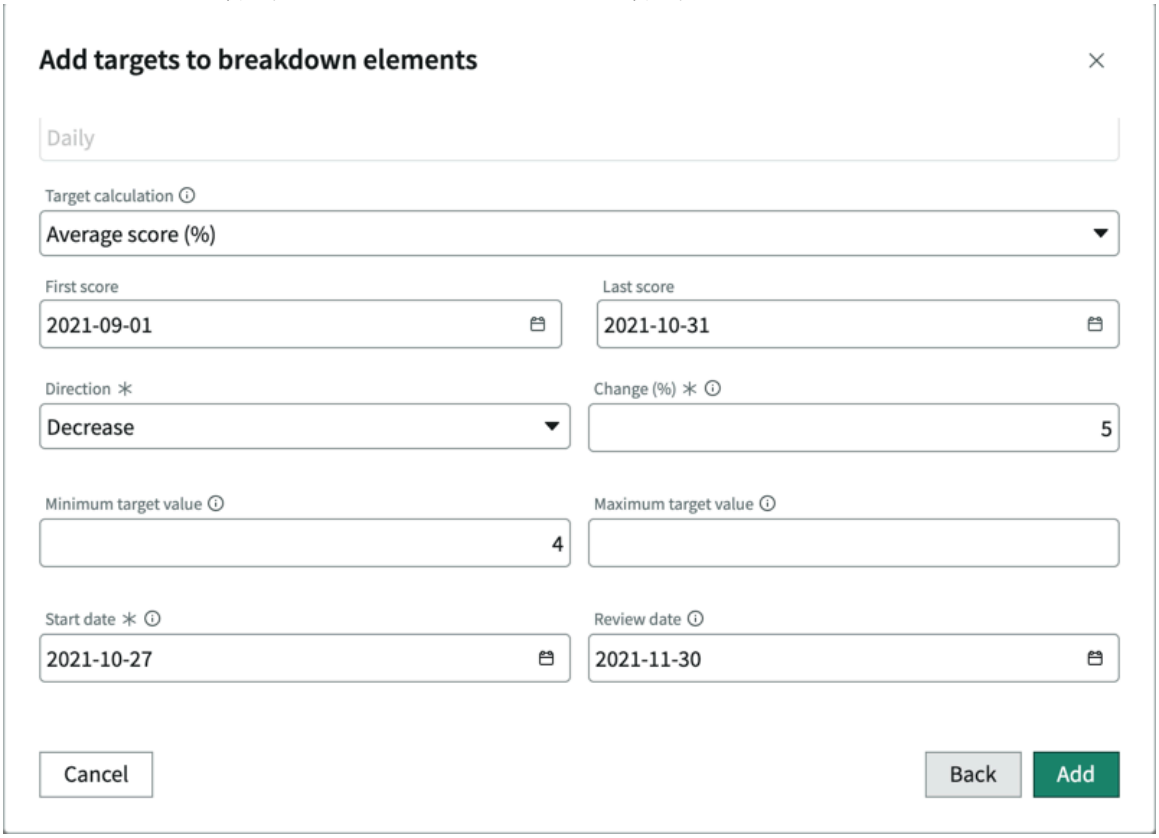
> **ヒント:**
> スクロールする要素が多数ある場合は、いずれかの列の値をソートまたはフィルタリングします。[フィルター] をクリックし、条件ビルダーを使用して選択を絞り込むこともできます。

7. でのターゲットの編集 KPI 詳細のステップ 7 の説明に従って、要素のターゲットを設定します。
8. 開始日、ターゲットが有効になる日付、およびレビュー日を設定します。
9. オプション: 平均または以前のスコアからターゲットを計算しており、新しいターゲットが特定の値を上回ったり下回ったりしないようにする場合は、最小値と最大値を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
このダイアログでは、最小値は 4 に設定されています。最大値は設定されていませ



ん。

10. **[Add** (追加)] を選択します。

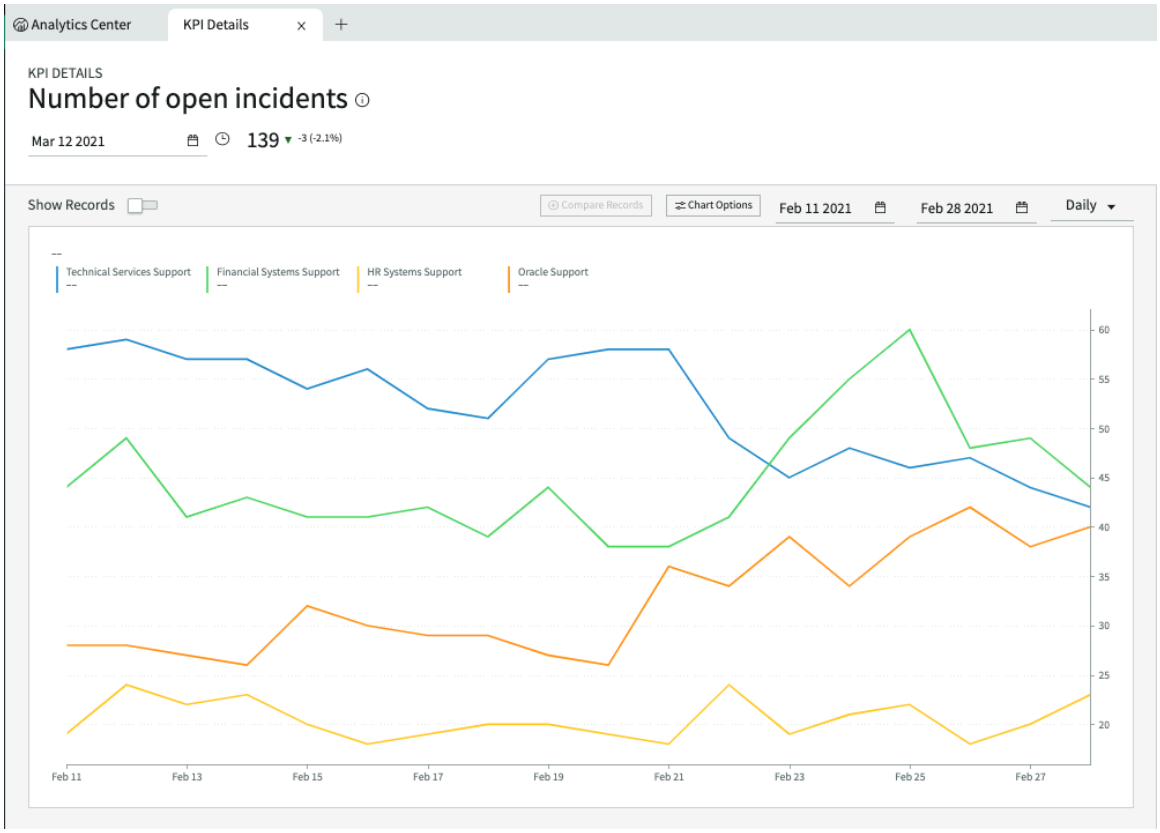
タスクの結果
バッチターゲットの作成は非同期的に行われます。進行状況バーが表示される場合があります。

Example: 複数要素のターゲットの構成

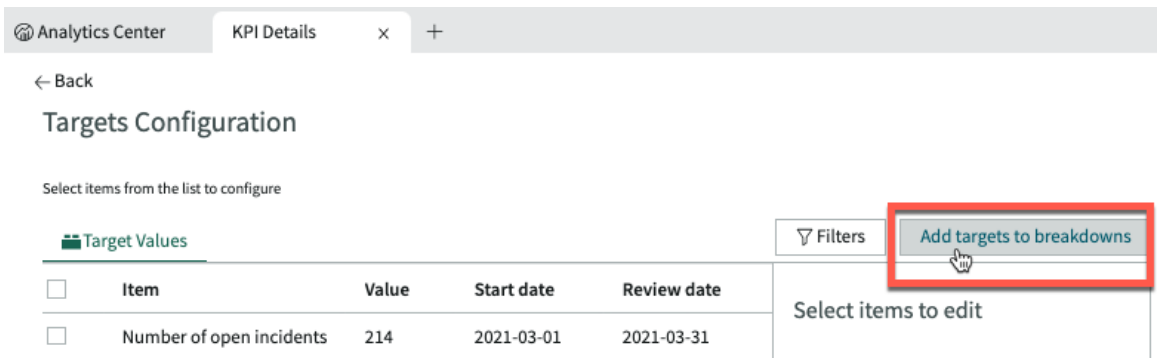
2 月 11 日以降、会社では各アサイン先グループのオープンインシデントの追跡を開始しました。月末までに、上位 4 つのグループにアサインされたオープンインシデントの数は 18 から 60 に変化しました。また、傾向も大きく変動しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

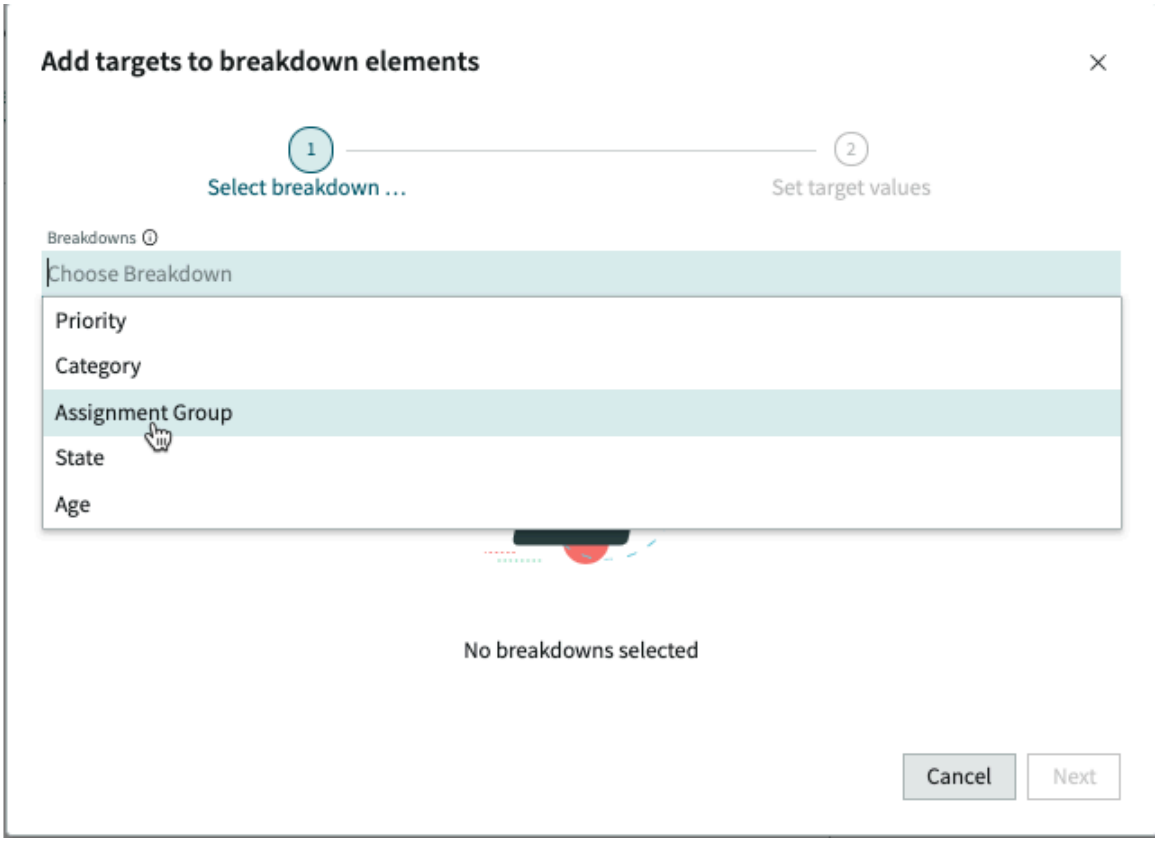


この 4 つのグループ全体で一貫した改善が求められます。したがって、絶対値の違いにかかわらず、同等のターゲットを設定する必要があります。また、ターゲットを一緒に設定する必要があります。この目的を達成するには、 ターゲット構成 ビューを開き、[ブレークダウンにターゲットを追加] をクリックします。

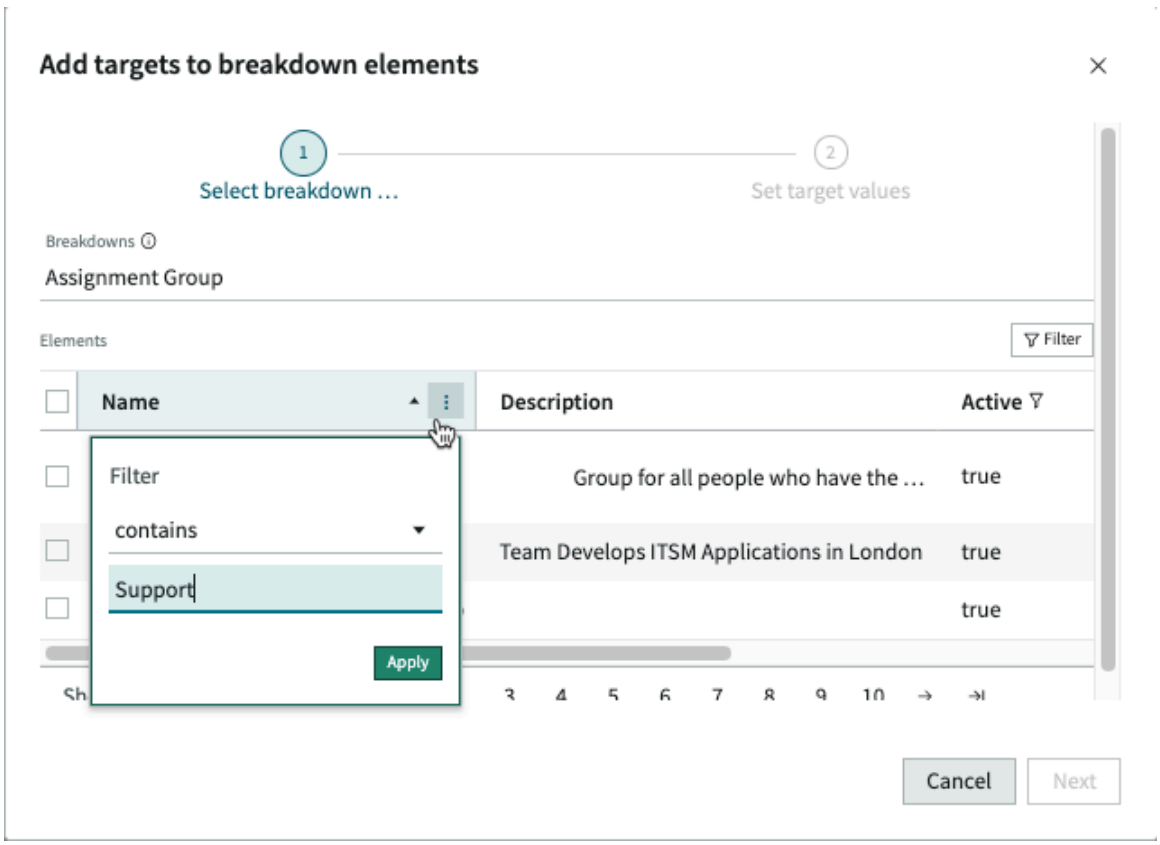


アサイン先グループブレークダウンを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アサイン先グループブレークダウンの要素のリストが表示されます。多くの要素があります。探している 4 つの要素はすべて名前に「Support」が含まれているため、[**Name**] 列を [Support] でフィルタリングします。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

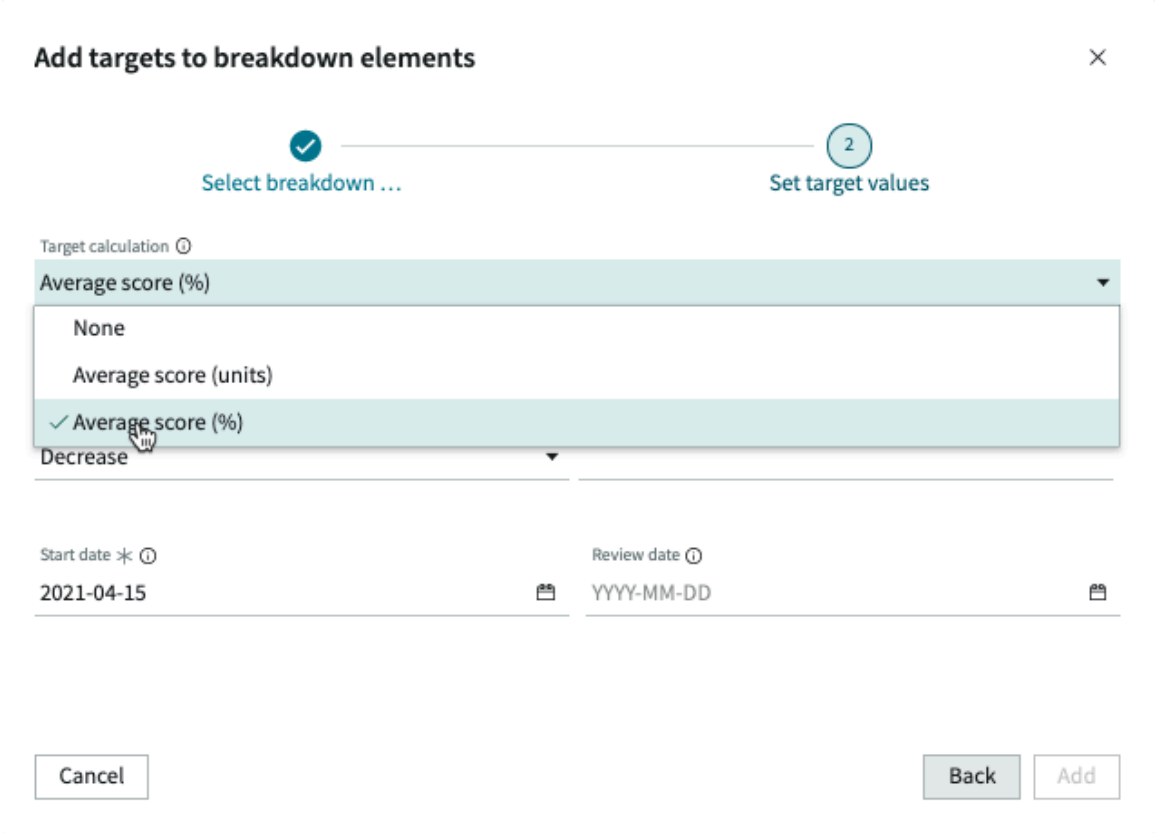
自動翻訳

フィルターによって参照する要素の数が 9 つに減るので、目的の 4 つを簡単に選択して [次へ] をクリックできます。

ターゲット値を指定することも、計算に基づいて設定することもできます。HR システムサポートと他の 3 つの要素との差が大きすぎるため、4 つの要素すべてに同じ目標値を指定することはできません。したがって、各要素に適用される計算に基づいてターゲットを設定します。

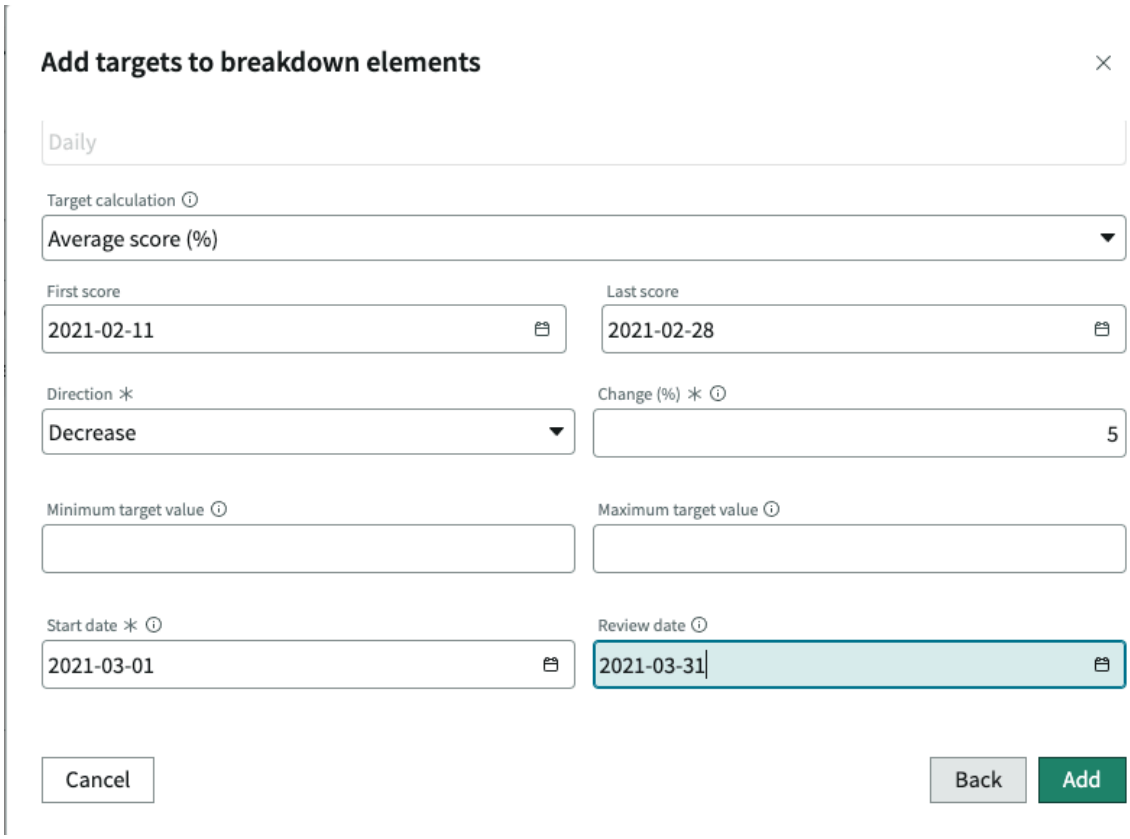
計算は、既存のターゲットまたは一定期間の平均スコアに基づいて行うことができます。これらの要素には既存のターゲットがないため、平均スコアを選択する必要があります。

ターゲットは、平均スコアの改善単位数 (3 や 4.5 など) として設定することも、改善の割合として設定することもできます。スコアは十分に近いので、おそらくユニット番号を使用できます。ただし、平均スコアの改善率としてターゲットを設定することにします。

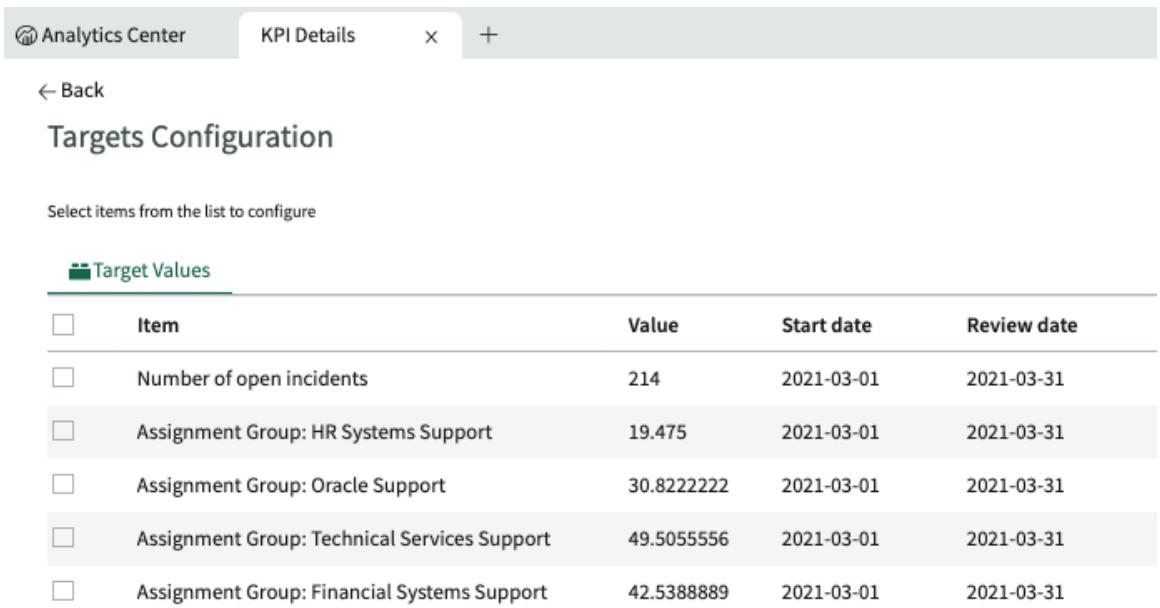


2 月 11 日から 2 月 28 日までの平均スコアを取ります。5% が来月の適切な改善目標であると考え、目標を 3 月 1 日に開始し、3 月 31 日に見直すように設定します。範囲内のターゲット値を制約したくないと思われるため、最大値または最小値は設定しません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[追加] をクリックして成功メッセージを閉じると、作成した 4 つのターゲットが表示されます。



以下は、作成したターゲットとその値を示す表です。すべての目標は3月1日に発効し、3月31日に見直される予定です。

ターゲット	値 (整数に丸められます)
アサイン先グループ:HR システムサポート	20
アサイン先グループ: Oracleサポート	31

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲット	値 (整数に丸められます)
アサイン先グループ:テクニカルサービスサポート	50
アサイン先グループ:金融システムサポート	43

グローバルインジケーターターゲットに対する責任

ユーザーは、1 つ以上の パフォーマンスアナリティクス インジケーター/ブレークダウンの組み合わせ (KPI) のターゲットを担当する場合があります。責任ユーザーは、ターゲットに対する進捗状況を追跡することが期待されており、KPI のターゲットを変更できます。

責任はアクセス制御リスト (ACL) ベースのロールとは別です。pa_target_admin などのターゲット管理者ロールを使用すると、ユーザーは一意のインジケーター/ブレークダウン要素の組み合わせ (ここでは KPI と呼びます) でグローバル ターゲットを作成および編集できます。このような役割は、通常、少数の パフォーマンスアナリティクス 専門家に限定されます。ただし、マネージャーなどのビジネス領域の専門家は、特定の KPI に設定する適切なターゲットについて詳しく知っている可能性があります。逆に、 パフォーマンスアナリティクス の専門家は、組織内のすべての KPI に対して適切な目標を維持できる可能性は低いです。

ここで、責任の概念が登場します。任意のロールを持つユーザーが、誰でも表示できる KPI のグローバルターゲットの管理を担当できます。 新しいターゲットを作成することも、担当する任意の KPI のターゲットを編集することもできます。責任ユーザーは、 KPI 詳細 またはクラシック アナリティクスハブのいずれかでターゲットを作成または編集できます。ただし、この権限は、明示的に責任を負う KPI に対してのみ与えられます。また、ACL でユーザーによる KPI の表示が禁止されている場合、ユーザーはその KPI に対する責任を負わないものとします。

グループではなく、ユーザーのみが責任を持つことができます。責任ユーザーは、自分の KPI の責任を他のユーザーにアサインしたり、他のユーザーや自分自身から責任を削除したりできます。ユーザーは複数の KPI のターゲットを担当することができ、KPI は複数のユーザーがそのターゲットを担当する場合があります。

注:
ターゲットに対する責任は、シグナルに対する責任など、KPI に対する他の責任とは無関係です。

ターゲットアドミンロールを持つユーザーは、KPI の初期グローバルターゲットを作成する必要があります。そのターゲットを作成した後、ユーザーが KPI を表示できる場合は、任意のロールを持つすべてのユーザーに責任を割り当てることができます。その後、担当ユーザがその KPI のターゲットを更新します。想定されるワークフローは次のとおりです。

1. ターゲットアドミニストレーターは、KPI の初期グローバルターゲットを作成します。このターゲットは、意味のある値にすることも、責任ユーザーが変更することが予想されるプレースホルダーにすることもできます。
2. ターゲットアドミニストレーターは、自分自身または別のユーザーを KPI のターゲットの責任者にします。
3. どの時点でも、責任のあるユーザーは、他のユーザーに責任を負わせたり、ユーザーから責任を削除したりします。
4. 責任ユーザーは、担当するターゲットを置換または編集します。

注:
KPI 詳細のターゲットにのみ責任をアサインできます。KPI ターゲットコンポーネントから責任をアサインすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットへの責任のアサイン

アドミニストレーターがターゲットを作成したら、ターゲットのレビューと編集の責任をビジネスエリアの対象分野のエキスパート (SME) にアサインします。

始める前に

必要なロール:pa_admin、pa_target_admin、pa_power_user、または admin。

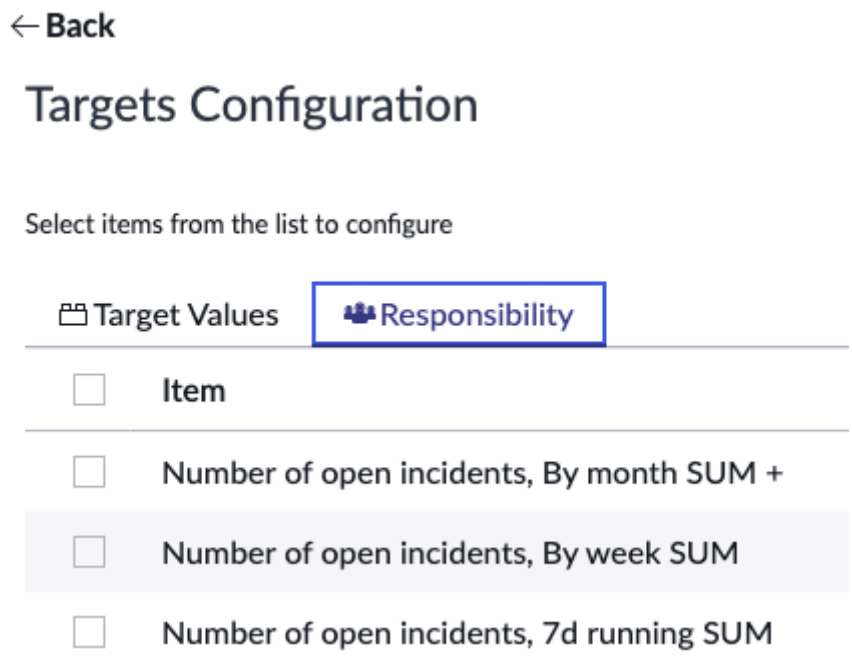
手順

1. ワークスペースでKPI 詳細を開きます。
2. いずれも：
   - でのターゲットの作成 KPI 詳細の説明に従ってターゲットを作成します。
   - でのターゲットの編集 KPI 詳細の説明に従って、既存のターゲットを開きます。
3. 歯車をクリックして、「 ターゲット構成 」ページを開きます。



[ターゲット構成] ビューが開きます。

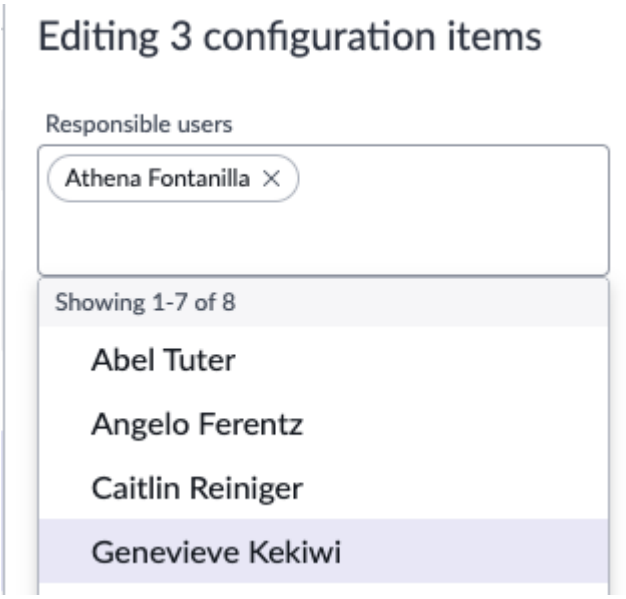
4. [責任] タブを開きます。



5. 一意のインジケーター/ブレークダウン要素の組み合わせ (KPI) を 1 つ以上選択します。
6. [構成アイテムの編集] パネルで、責任者を 1 人以上選択します。
   一度に選択できるユーザーは 1 人だけですが、選択プロセスは何度でも繰り返すことができます。選択したすべての KPI を表示できるユーザーのみが利用可能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [更新] をクリックします。

タスクの結果

選択したユーザーが、選択した KPI の [責任ユーザー] 列に表示されます。

のインジケーターしきい値 **KPI** 詳細

しきい値は、インジケーターの通常のスコアの範囲を定義し、スコアが常に高い状態であるなど、特定のイベントが発生したときに警告します。

しきい値がトリガーされると、インスタンスではメール通知が生成されます。このメッセージはインジケーターに関連付けられており、 KPI 詳細 経由で直接利用できます。

しきい値は、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のしきい値は、それを作成したユーザーにのみ表示されます。薄いグレーの点線で表示されます。グローバルしきい値はすべてのユーザーに表示され、濃い灰色の点線で表示されます。個人のしきい値は共有できないため、 KPI 詳細 と アナリティクスハブにのみ表示されます。グローバルしきい値は、時系列データの可視化にも表示できます。ダッシュボードは、 プロアクティブアナリティクスインサイトカードを通じて、しきい値に関連するイベントを閲覧者にアラートできます。

でのしきい値の追加、変更、または削除 **KPI** 詳細

個人のしきい値を追加、変更、または削除します。必要なロールがあれば、すべてのユーザーのしきい値を追加、変更、削除することもできます。

始める前に

必要なロール:あなた自身の個人的なしきい値のための任意のロール。グローバルしきい値および他のユーザーが作成した個人しきい値のpa_threshold_adminロールまたはそれを含むロール(pa_power_user、pa_admin、またはアドミン)。

このタスクについて

注:
複数のブレークダウン要素が選択されている場合は、しきい値を使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 作業するインジケーターのあるワークスペースに移動します。
2. [アナリティクスセンター] アイコン () をクリックし、[KPI] タブに移動します。
3. しきい値アイコン () をクリックします。
4. [グローバルしきい値] または [個人のしきい値] を選択します。
   このインジケーターには、既存のグローバルまたは個人のしきい値がすべて表示されます。
5. 「しきい値の作成」アイコン()をクリックするか、既存のターゲットを選択して編集します。
6. しきい値のヴィジビリティを [グローバル] または [パーソナル] から選択します。
7. しきい値タイプを選択または変更します。
   - All time high (最大値)
   - 最小値
   - 次の値未満

     インジケーターの値がしきい値を下回った場合にメッセージをトリガーするしきい値を入力します。
   - より大きい

     インジケーターの値がしきい値を超えた場合にメッセージをトリガーするしきい値を入力します。
8. しきい値を作成する場合は [保存] をクリックし、しきい値を変更する場合は [更新] をクリックします。

KPI 詳細 パフォーマンスアナリティクス のプロパティ

KPI 詳細 はいくつかの パフォーマンスアナリティクス プロパティをサポートしています。これらのシステムプロパティは、KPI 詳細コンテキストでのパフォーマンスアナリティクス要素の動作を制御します。

プロパティを設定するには、次の場所に移動します **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > システム > プロパティ または **sys_properties.list**に。

プロパティ	説明
com.snc.pa.indicator_target_default_color_schema	デフォルト インジケーターのターゲット カラー スキーム
com.snc.pa.chart_default_color_schema	デフォルトのチャート化のカラー スキーム
com.snc.pa.scorecards.max_breakdown_elements	KPI 詳細リスト内のブレークダウン要素の最大数。
com.snc.pa.target_batch_operation_limit	[KPI 詳細 ターゲット設定] ページで 1 回の一括アクションで挿入または更新できるターゲットの最大数。ターゲットの一括挿入または更新中にタイムアウトが発生した場合は、この制限を減らすことを検討してください。 デフォルト：100

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	説明
com.snc.pa.default_chart_line_color	トレンドラインとブレットグラフを含む、 KPI 詳細 ページとウィジェット内のスコアの色。
com.snc.pa.defaut_chart_target_color	チャート内のターゲットの色。
com.snc.pa.default_chart_personal_target_color	KPI 詳細ページに表示される個人ターゲットの線の色です。
com.snc.pa.default_chart_threshold_color	チャート内のしきい値の色。
com.snc.pa.default_chart_personal_threshold_color	KPI 詳細ページに表示される個人しきい値の線の色。

KPI 詳細 UUID

インジケーターに指定するブレークダウン、要素、時系列集計、およびドメインの組み合わせには、すべて一意の識別子 (UUID) があります。KPI 詳細 および KPI シグナル アプリケーションがどのように機能するかを理解するには、これらの UUID がどのように構築されているかを理解する必要があります。

アナリティクスハブ とワークスペースの KPI 詳細でインジケーターを選択し、次のようにさらに指定できます。

- 最大 2 レベルのブレークダウン
- 要素フィルタ
- レベルごとに複数の要素を含む、最大 2 レベルのブレークダウン要素 (集計スコア)
- 時系列集計
- ドメインセパレーション

各組み合わせは、いわゆるUUIDで表されます。UUID は、インジケーターのsys_IDsとこれらの指定子のいずれかから、次の順序で連結されます (ドメイン ID の前のセミコロンに注意してください)。

<indicator_sys_id>:<breakdown_sys_id>:<elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<lvl-2 breakdown_sys_id>:<lvl-2 elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<aggregate_sys_id>;<domain_sys_id>

indicator_sys_id 以外のすべての指定子はオプションですが、1 つの例外があります: *breakdown_sys_id*を指定する場合は、少なくとも 1 つの*element_sys_id*でなければなりません。ブレークダウンを指定し、要素を指定しない場合 (たとえば、すべての要素のリストを取得する場合)、ブレークダウンsys_idは別のパラメーターに入力します。例については、この GET/now/pa/scorecards REST API の例を参照してください。指定されたブレークダウンのどの要素とも一致しないスコアを参照するために、*element_sys_id*の代わりに文字列 unmatched が入ります。

ターゲット、しきい値、およびその他の アナリティクスハブ および KPI 詳細機能は、UUID ごとに適用されます。つまり、インジケーター、ブレークダウン、要素と要素フィルター、時系列集計、およびドメインの一意の組み合わせに個別に適用されます。また、 KPI シグナル アプリケーションは、UUID ごとに完全に指定された各インジケーターを個別に監視します。

KPI シグナル

KPI シグナル プロセスの動作が大幅に変更されたときに通知します。この機能は、標準的な統計プロセス動作チャートを パフォーマンスアナリティクス インジケーターに適用します。

ヒント:
KPI シグナル 向けの無料トレーニングは、NOW ラーニングセンター から入手できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

すべてのプロセスにはバリエーションがあります。この変動のほとんどは、正常、または名前に署名するたびにの小さな違いなど、「一般的な原因」の変動です。知っておく必要があるのは、オフハンドでサインをする場合など、異常または「特殊原因」の変動です。 KPI シグナル 、異常な変動が発生していることを知らせます。 KPI シグナル にはプロセス動作チャートが組み込まれています。これらのチャートは、標準的な統計的手法を使用して、共通原因変動のノイズから特殊原因変動のシグナルを抽出します。

KPI シグナル 標準の 3 シグマ パラメーターを使用します。「スリーシグマ」とは、工程の指標スコアがほぼ常に標準の3標準偏差以内にとどまると予想されることを意味します。チャートでは、パラメーターを計算するために少なくとも 5 つの連続スコアが必要です。

無効 **KPI** シグナル

KPI シグナル はデフォルトでアクティブ化されています。この機能が必要ない場合は、 Now Platform アドミニストレーターにプロパティ *com.snc.pa.activate_kpi_signals* を *false* に設定するように依頼してください。このプロパティはデフォルトでは存在しないため、アドミニストレーターが追加する必要があります。「 システムプロパティの追加 」を参照してください。

重要:
KPI シグナルを再度アクティブ化すると、機能を再アクティブ化したときではなく、最初に非アクティブ化した時点からシグナル検出が再開されます。

シグナル、シグナルなし、アンチシグナル

KPI シグナル は、KPI のスコアの異常な変動を検出すると、シグナルを生成します。KPI シグナルは、長期間にわたって異常な変動を検出しない場合、「アンチシグナル」を生成します。アンチシグナルは、ワークフローが制御されていることを知らせます。

シグナルの存在と不在の両方が情報を伝えます。

- シグナルの存在は、ワークフローが変更されたか、少なくとも統計的に安定していないことを示します。
- 長期間のシグナルの不在は、ワークフローが統計的に安定していることを示します。この情報を使用して、たとえばプロセス改善イニシアチブの開始を決定できます。

注:
デフォルトでは、 KPI シグナル が有効になっているインジケーターを表示するダッシュボードには、生成されるシグナルのインサイトカードがあります。詳細については、「ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト」を参照してください。

シグナル

KPI シグナル アプリケーションでは、特殊原因の変動を「通知」するために次の動作を考慮します。

外れ値
: 3 標準偏差 (3 シグマ) の上限または下限を超えるすべてのスコア。

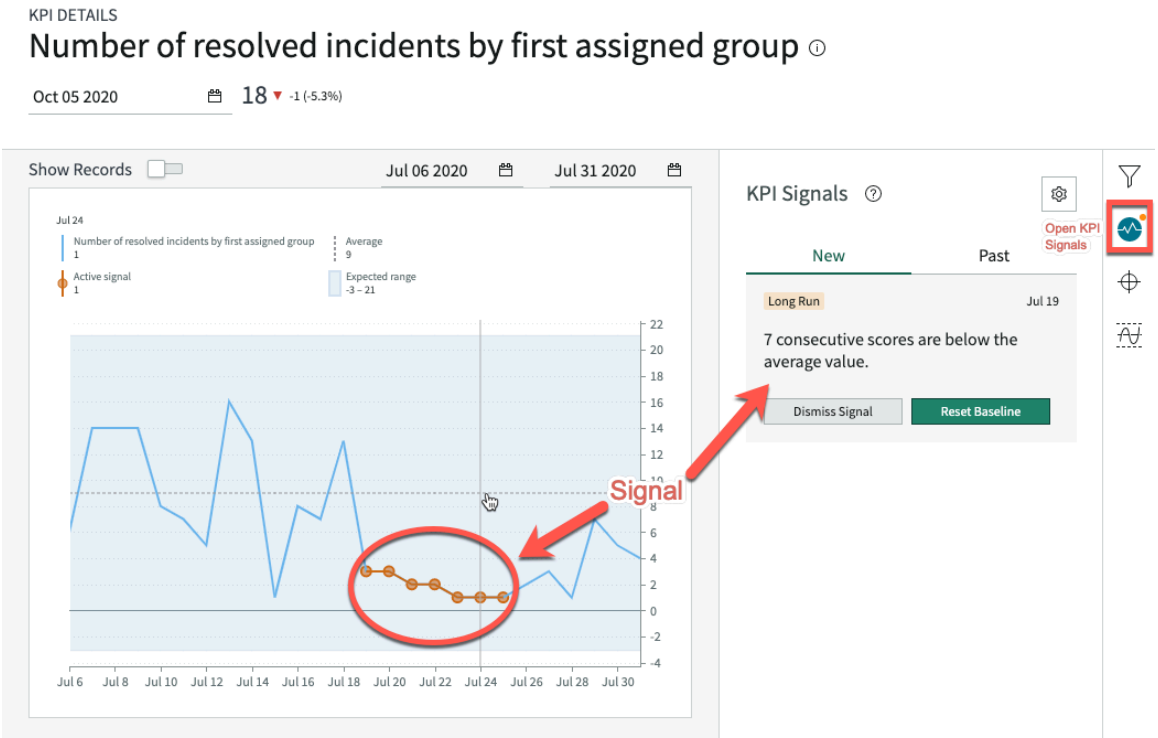
短時間実行
: 中央線の同じ側に 4 つの連続スコアがあり、そのうち 3 つのスコアが上限または下限に近い。「限界に近い」とは、2 つの標準偏差の外側と定義されます。

長時間実行
: 中央ラインの同じ側で7連続得点。つまり、7 つのスコアが連続して、すべて平均値より大きいか小さいということです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
KPI シグナルアプリは、短期実行と長期実行のどちらが発生したかを計算するときに、外れ値をカウントします (却下されたかどうかにかかわらず)。

次の例では、中心線の上または下に 7 つの連続したスコアを示す「ロングラン」シグナルが表示されます。



注:
KPI シグナルアプリケーションは、第 1 レベルのブレークダウン要素が 1 つしかないインジケーターのシグナルを検出できます。アプリケーションは、複数のブレークダウン要素または第 2 レベルのブレークダウンをサポートしていません。

アンチシグナル

アプリケーションは、次の式に等しい時間にわたって信号を検出しなかった場合、アンチシグナルを発行します。

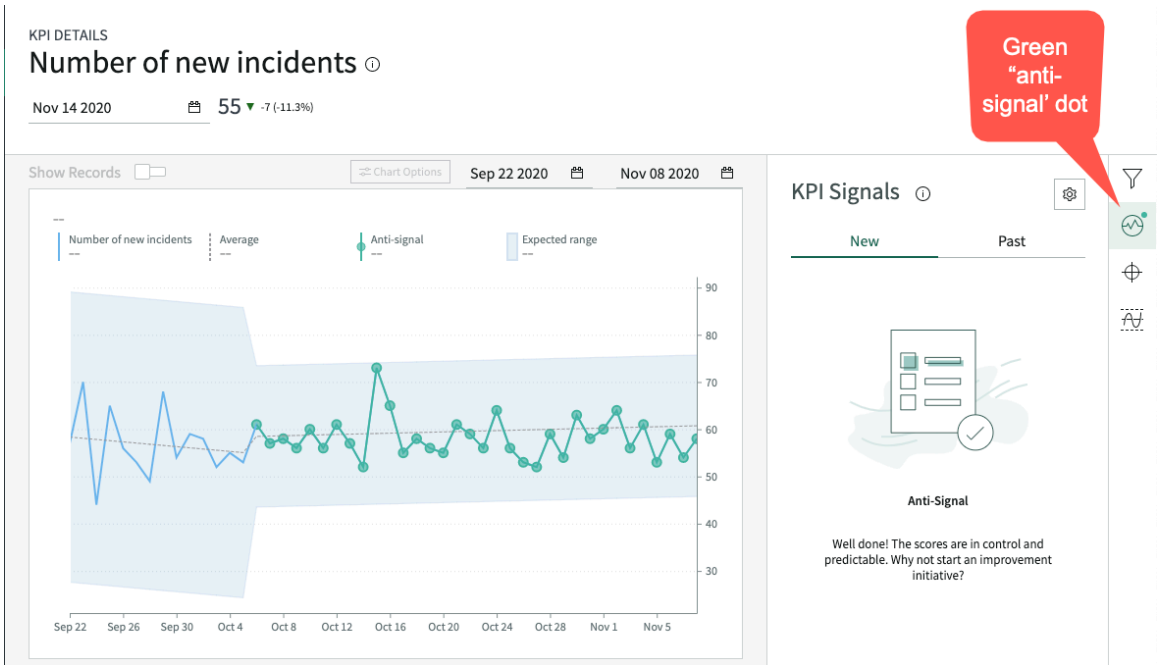
```
Length of time to calculate the baseline for the KPI * Anti-signal factor
```

アプリケーションでは、日次インジケーターのベースラインを計算するのにデフォルトで 14 日かかります。デフォルトのアンチシグナル係数は 2 です。したがって、日次インジケーターでアンチシグナルを検出するデフォルトの時間の長さは 28 日です。ベースラインを計算する時間の設定の詳細については、「シグナル検出の構成」を参照してください。アンチシグナル係数の設定の詳細については、「シグナル通知の構成」を参照してください。

この例では、デフォルトの構成値が日次インジケーターに適用されます。アプリケーションは 28 日間シグナルを検出していないため、28 日間のアンチシグナルが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

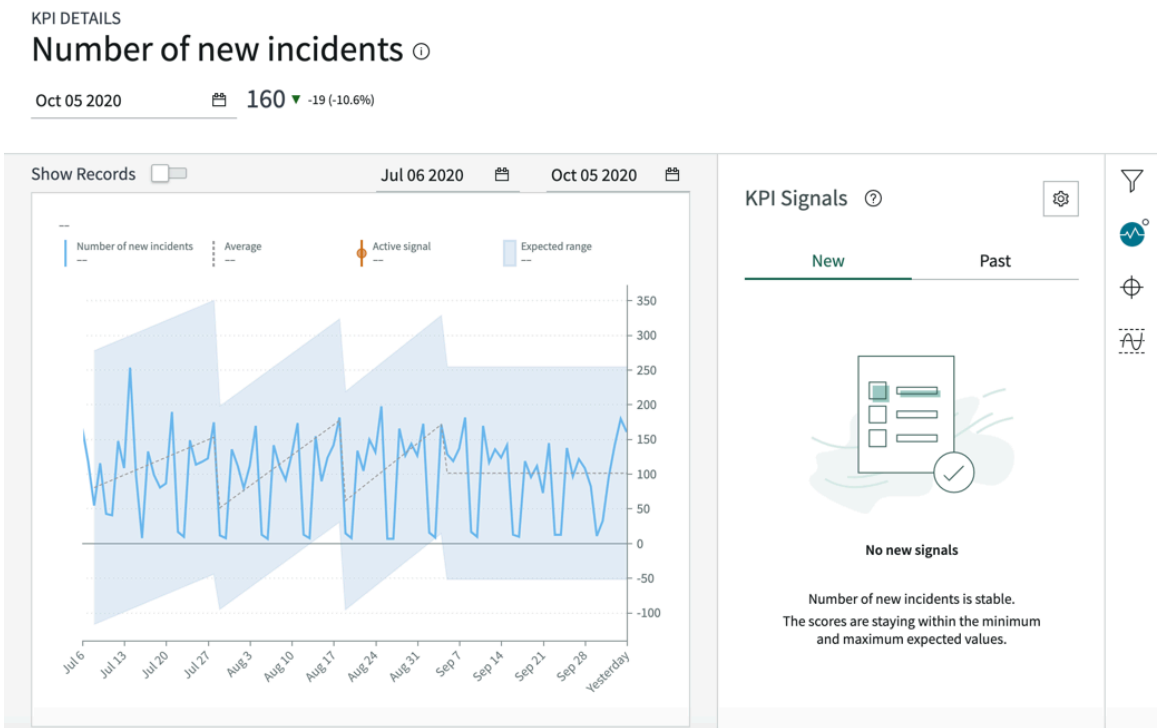


アンチシグナルが生成されると担当ユーザーに通知されますが、アクションは必要ありません。

シグナルなし

通常、アンチシグナルを検出するのに要する時間よりも短い時間、信号は検出されません。この場合、アプリケーションは単純な「シグナルなし」メッセージを表示します。通知は送信されず、アクションは必要ありません。

次の例では、ベースラインが最後にリセットされてから 5 日間、シグナルが検出されません。表示されている期間内にベースラインが 3 回リセットされました。



KPI シグナルを表示

KPI 詳細ページからKPI シグナルにアクセスします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:ワークスペースへのアクセスに必要なロール。インジケーターとブレークダウンのアクセス制御リスト (ACL) も考慮されます。

手順

1. 「KPI 詳細を表示」で説明されているように、インジケーターのKPI 詳細を開きます。
2. オプション: [フィルター ( )] パネルを開き、1 つのブレークダウンと 1 つの要素を選択します。
   KPI シグナル インジケーターに適用される各第 1 レベルのブレークダウンと要素を監視できます。第 2 レベルの内訳を監視することはできません。

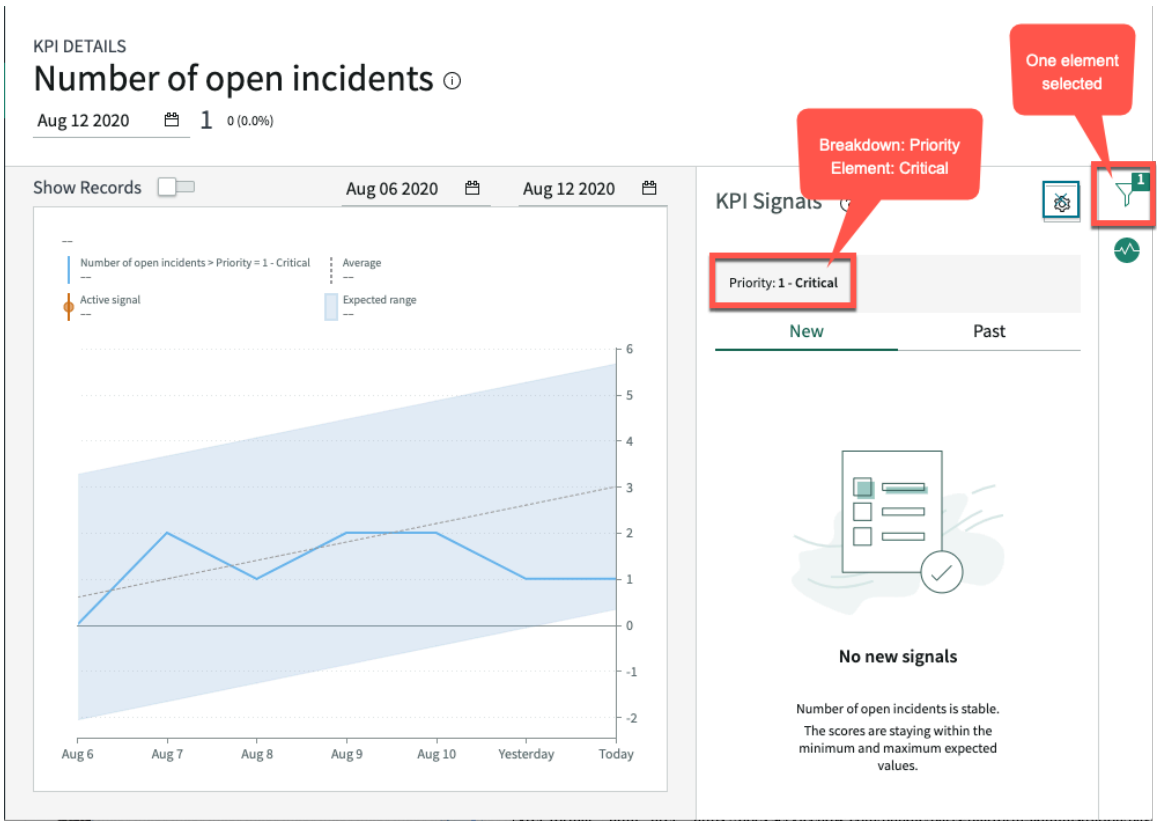
   注:
   KPI シグナル のコンテキストでは、*KPI* という用語は、オプションで第 1 レベルのブレークダウンと要素を持つインジケーターを指します。

3. [KPI シグナル を開く] アイコンを選択します。

   KPI シグナルパネルが開きます。
4. この KPI に対して監視 KPI シグナル アクティブでない場合は、 インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングを有効にするの指示に従うことができます。
   KPI の KPI シグナル モニタリングをアクティブ化できるロールがない場合は、代わりにアドミニストレーターにお問い合わせください。

Example: ブレークダウン要素を含む KPI シグナル

次の例では、[オープンインシデントの数] インジケーターの KPI シグナル パネルが表示されています。このインジケーターは、[優先度:1:重大] ブレークダウン要素でフィルタリングされています。シグナルが検出されませんでした。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングを有効にする

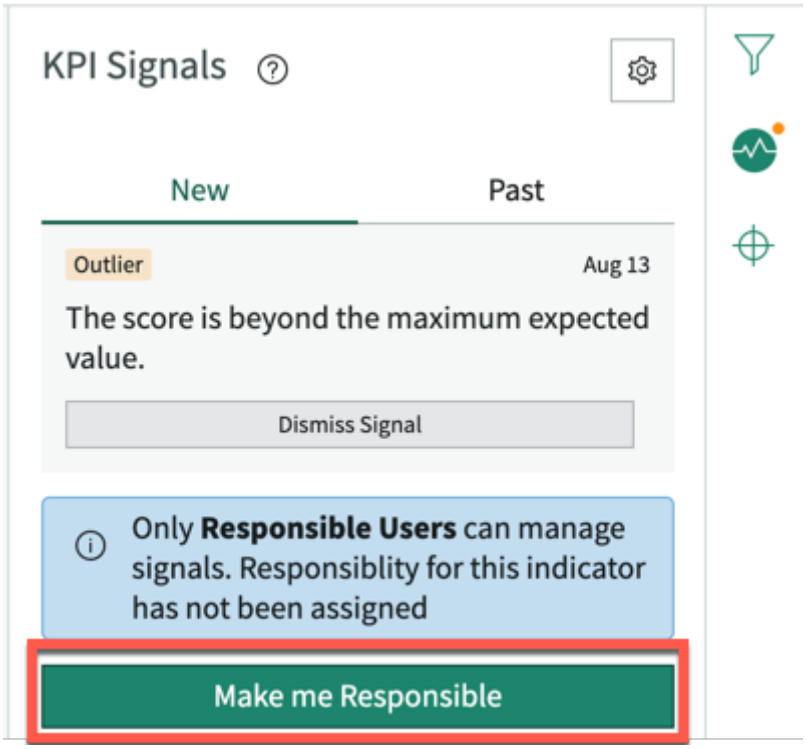
KPI シグナル は、デフォルトではインジケーターを監視しません。個々のインジケーターの監視を有効化します。インジケーターの KPI シグナル をアクティブ化すると、そのインジケーターの責任ユーザーになります。

始める前に

必要なロール:pa_kpi_signals_admin、pa_admin、または admin

手順

1. KPI シグナルを表示の説明に従って、インジケーターのKPI シグナルを開きます。
2. インジケーターのKPI シグナル監視がアクティブ化されていない場合は、KPI シグナルパネルで [責任を取る] をクリックします。

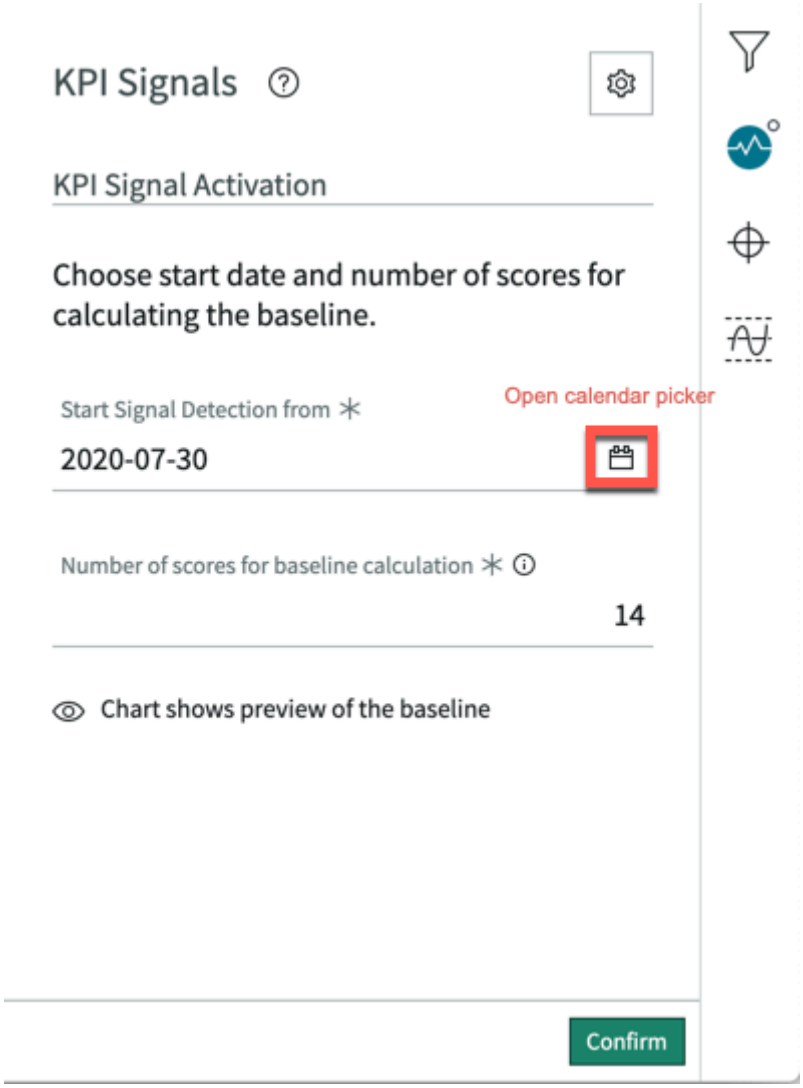


KPI シグナル 少なくとも 1 人の責任ユーザーがいない限り、インジケーターの監視をアクティブにすることはできません。したがって、監視をアクティブ化すると、自動的に責任を問われるユーザーになります。その後、責任を再アサインできます。詳細については、「KPI シグナルの責任を構成」を参照してください。

3. シグナルのインジケーターを評価する開始日を選択します。
デフォルトでは、シグナルはインジケーターの KPI シグナル をアクティブ化する 3 か月前から計算されます。ベースラインを計算するための重要なデータがこの日付より前または後に開始される場合は、日付を変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. ベースラインの計算に使用するインジケータースコアの数を設定します。
   ベースラインを計算するためのデフォルトのスコア数は、インジケーターの頻度によって異なります。正当な理由があると確信できる場合を除き、この番号を変更しないでください。最小数は 5 です。
5. [確認] をクリックします。

次のタスク

インジケーターの KPI シグナル モニタリングを有効にすると、次のことができます。

- インジケーターの監視を非アクティブ化する
- 監視が非アクティブ化されていた場合は、再アクティブ化します
- ベースラインを計算するためのポイント数を再構成します
- ベースライン計算の開始日を変更
- ベースラインの傾向計算のタイプを変更する

詳細については、「シグナル検出の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シグナル検出の構成

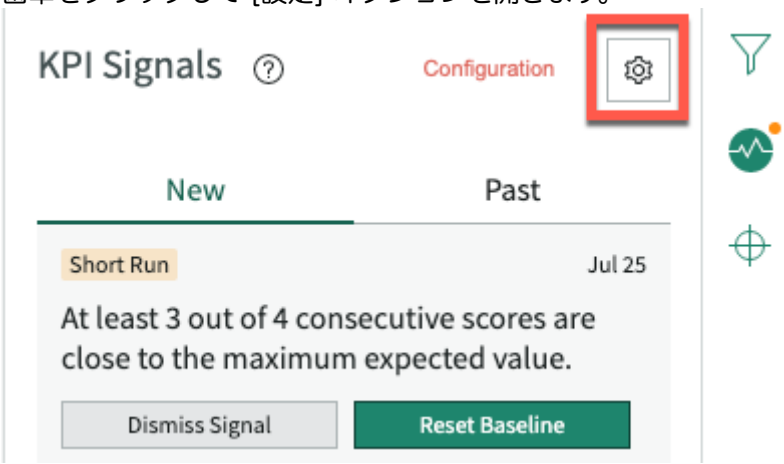
現在のベースライン計算の開始日、ベースラインの計算に使用するスコアの数、および傾向手法を設定できます。KPI の KPI シグナル Monitoring を非アクティブ化または再アクティブ化することもできます。

始める前に

必要なロール:admin、または責任ユーザーである必要があります。

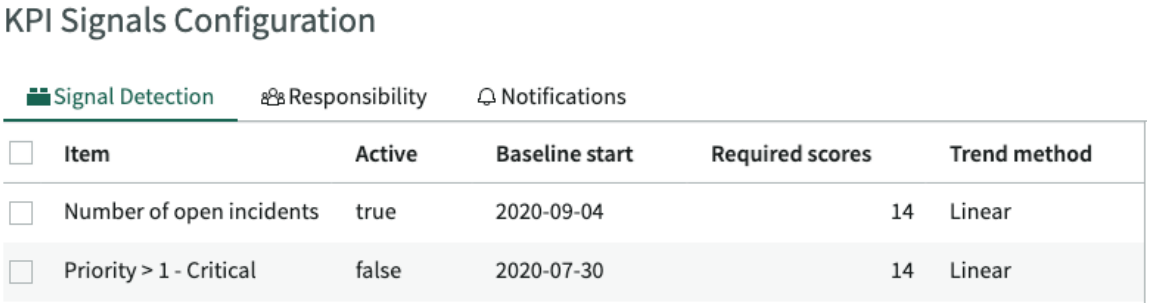
手順

1. KPI の KPI シグナル を開きます。
2. 歯車をクリックして [設定] オプションを開きます。



3. [信号検出] タブを開きます。

この画像には、ブレークダウンのない [Number of open incidents (オープンインシデントの数)] インジケーターと、[Priority (優先度)] = [1 - Critical (1 - 重大)] ブレークダウンと要素を持つ同じインジケーターが表示されています。[優先度] = [1-重大] ブレークダウンの KPI が非アクティブ化されました。このリストには、ある時点でアクティブ化された KPI のみが表示されます。



4. 編集する KPI を選択します。
5. 次のフィールドに入力します。

フィールド	**Description** (説明)
アクティブ (チェックボックス)	選択を解除すると、KPI の KPI シグナル 監視が無効になります。その後、KPI はリストに残ります。KPI の監視を再度アクティブにするには、[後で有効 にする] を選択します。KPI の監視を再アクティブ化する場合、監視を再アク

自動翻訳

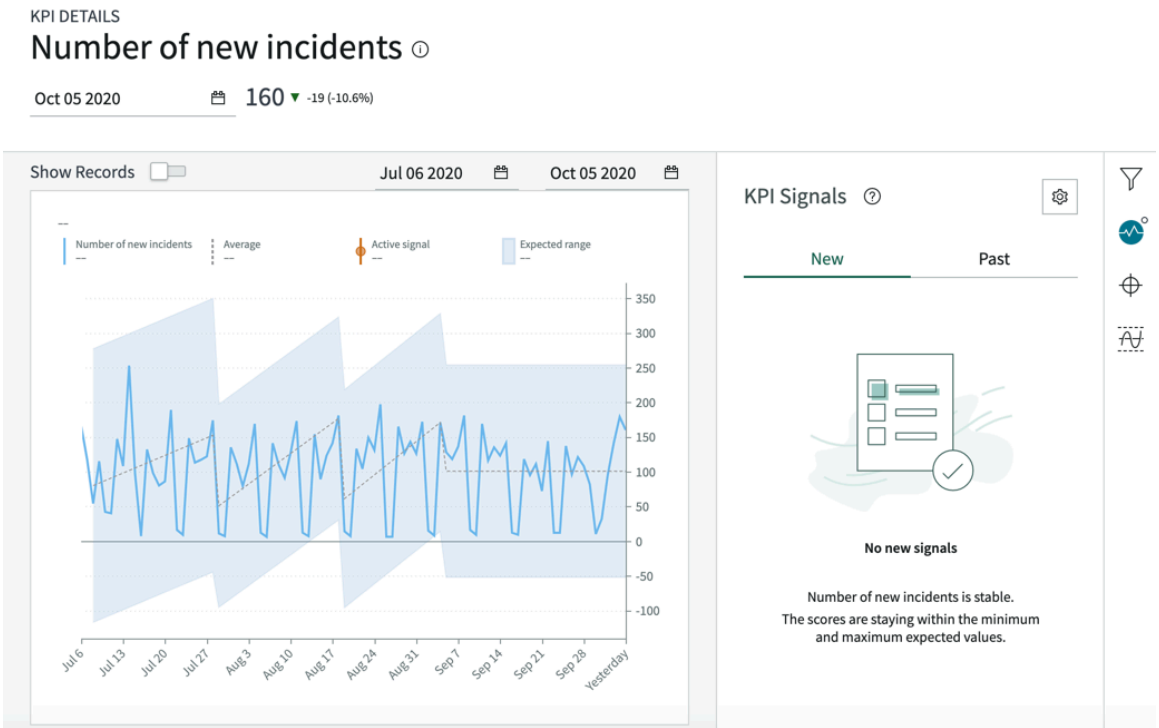
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
	ティブ化した日ではなく、非アクティブ化した日から開始されます。
ベースライン開始	ベースラインの計算に使用されるデータポイントの開始日。この日付は、最新の解決済みシグナルに基づいています。解決済みのシグナルがない場合は、KPI の監視が最初にアクティブ化されたときに日付が設定されます。
ベースライン計算のスコア数	アプリケーションがベースラインを計算するために使用するスコアまたはデータポイントの数。 ベースラインを計算するためのデフォルトのスコア数は、インジケーターの頻度によって異なります。正当な理由があると確信できる場合を除き、この番号を変更しないでください。最小数は 5 です。
トレンド手法	ベースラインを計算するための統計的手法。オプションは次のとおりです。 ○ 線形回帰によって計算された線形トレンド ○ 傾向はなく、平均スコアのみ

6. [保存] をクリックします。

Example: 線形トレンドとトレンドなし

次の例では、平均が安定しているにもかかわらず、最初の線形トレンドがシグナルを生成し続けました。9月上旬のシグナルに続いて、シグナル検出は「トレンドなし」に変更されました。この変化の後、平均は安定しており、それ以上のシグナルは検出されませんでした。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI シグナルの責任を構成

セキュリティアクセスに加えて、ユーザーにはシグナルを処理するための一定レベルの責任が必要です。KPI シグナルアプリケーションが監視する個々のインジケーター/ブレークダウン要素の組み合わせに対して責任が与えられます。

KPI には、複数の責任 ユーザーを含めることができます。

admin、pa_admin、または pa_kpi_signal_admin ロールを持つユーザーは、明示的に責任ユーザーでなくても、ベースラインをリセットしたりシグナルを却下したりできます。他のロールを持つユーザーは、そのようなアクションを実行する責任のあるユーザーになる必要があります。これらのユーザーには、関連するワークスペースへのアクセス権を付与するロールも必要です。

責任ユーザーは、以下に関するメール通知を受け取ります。

- 新しいシグナル
- 未解決のシグナル
- シグナルを解決するアクション
- KPI が長期的に安定していることを示す「アンチシグナル」

ワークスペースへのアクセス権を持たない責任のあるユーザーでも、これらのメール通知を受け取ります。

関連情報

シグナル通知の構成

シグナルに対する責任のアサイン

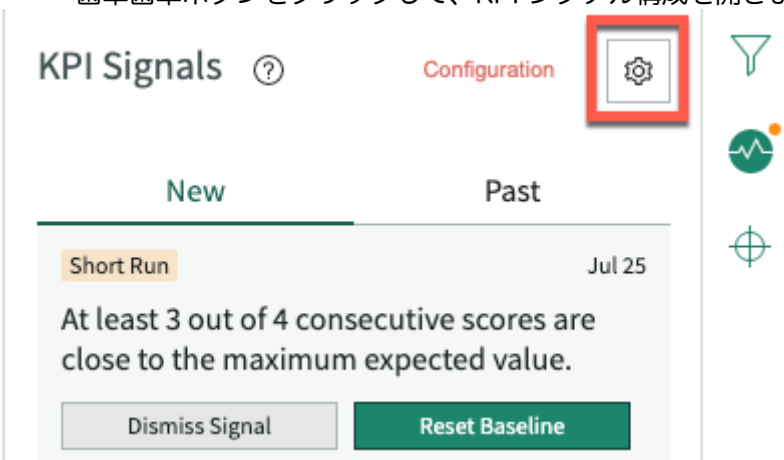
KPI の KPI シグナル の責任を自分または他のユーザーに割り当てることができます。責任のアサインを解除することもできます。

始める前に

必要なロール:責任ユーザー、pa_admin、またはアドミンである場合の任意のロール

手順

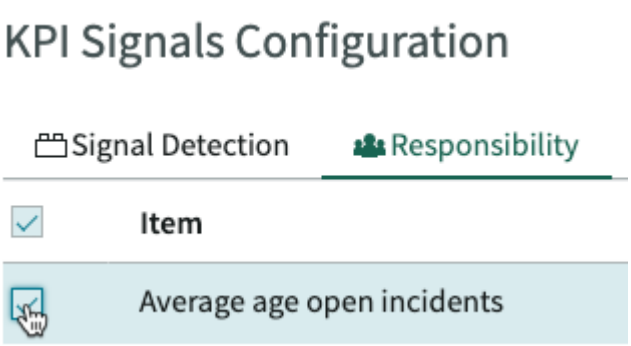
1. KPI シグナルを表示の説明に従って、インジケーターのKPI シグナルを開きます。
2.  歯車歯車ボタンをクリックして、KPI シグナル構成を開きます。



3. [KPI シグナル構成] 画面で、[責任] タブを開きます。
4. 責任を割り当てる KPI を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



シグナルを表示または処理するには、関連するワークスペースロールが必要です。ただし、これらのロールを持たない責任ユーザーは、未解決のシグナルまたはシグナルに対するアクションに関するメール通知を受け取ります。

5. [構成アイテムの編集] パネルで、ユーザーのリストを開き、責任を割り当てるユーザーを選択します。
6. 責任のアサインを解除するには、ユーザー名の横にある [x] をクリックします。
7. [保存] をクリックします。

シグナル通知の構成

責任ユーザーは、解決されていないシグナルに関するリマインダーメールを受信します。これらのリマインダーを取得する頻度と、シグナルに対して取得するリマインダーの最大数を設定できます。

始める前に
必要なロール:admin、または責任ユーザーである必要があります

このタスクについて
次の状況では、責任ユーザーはメール通知を受信します。

- 担当している KPI で新しいシグナルが検出されました。
- 長期的に安定していると見なされるのに十分な期間 (「アンチシグナル」) のシグナルが KPI で検出されていません。
- 担当している KPI のシグナルが解決されました (ベースラインのリセットまたは却下)。
- 担当している KPI のシグナルが、後続のシグナル収集ジョブによって解決されていません。

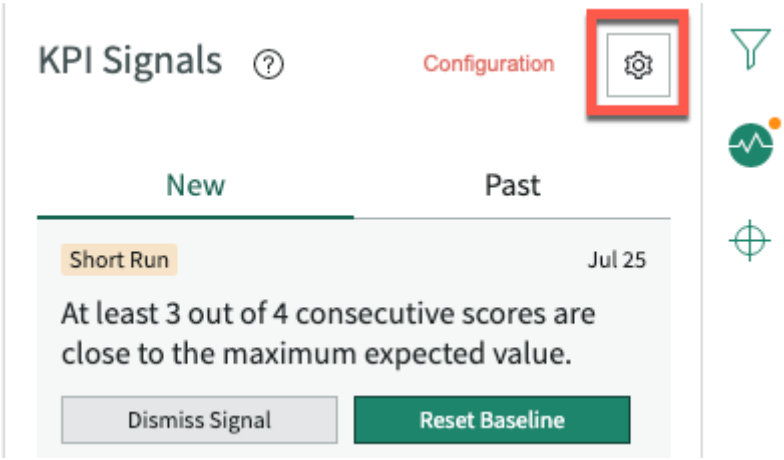
この最後のケースでは、KPI の解決を確認する頻度を設定できます。受信するリマインダーの最大数を設定することもできます。

手順

1. KPI の KPI シグナル を開きます。
2. 歯車をクリックして [設定] オプションを開きます。

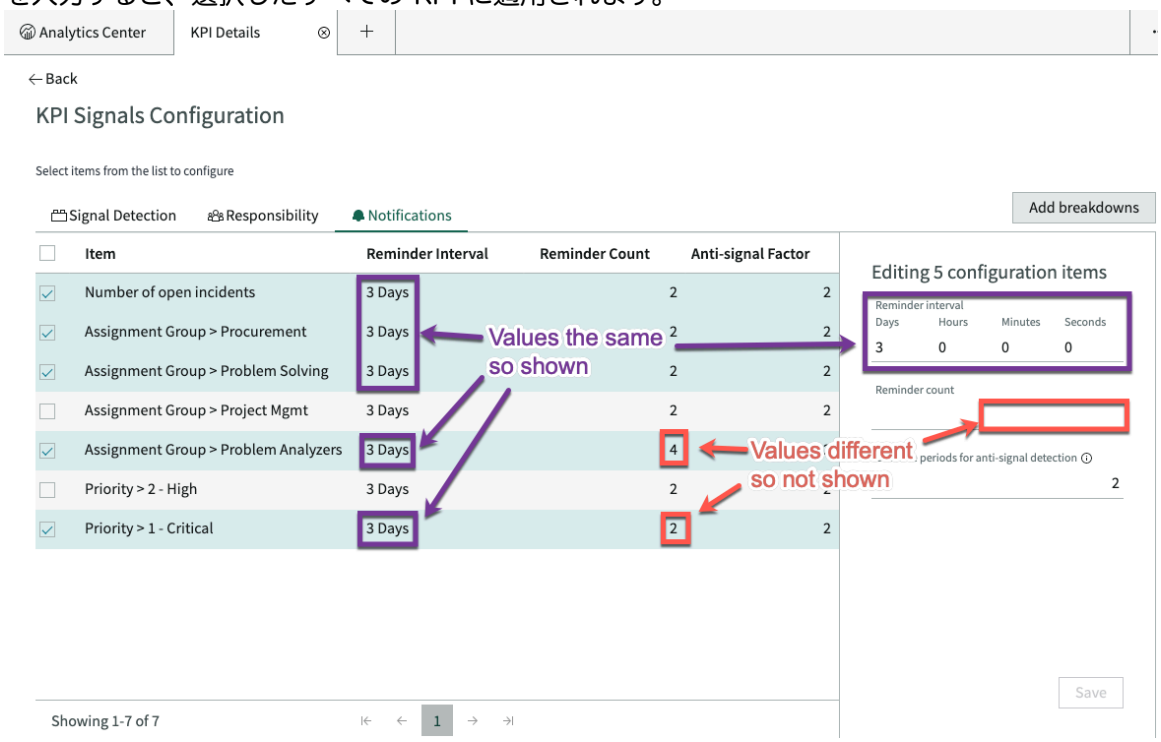
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [通知] タブを開きます。
このインジケーターで担当しているすべての KPI のリストが表示されます。*KPI* は、0 から 1 のブレークダウンと要素のペアを持つインジケーターの組み合わせを指します。

4. 編集する KPI を選択します。
KPI を 1 つ選択すると、その設定が [構成アイテムの編集] パネルに表示されます。複数の KPI を選択すると、これらすべての KPI で同じ値のみがパネルに表示されます。そのパネルに新しい値を入力すると、選択したすべての KPI に適用されます。



5. 未解決のシグナルに関するリマインダーを取得する間隔を設定します。

6. 未解決のシグナルについて受信するリマインダーの最大数を設定します。

7. アンチシグナル係数を設定します。
この要因は、次の式に従って、KPI が「アンチシグナル」を生成するのに十分なほど安定しているかどうかを判断するのに役立ちます。

Length of time to calculate the baseline for the KPI * Anti-signal factor

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトのアンチシグナル係数は 2 です。変更する必要があると判断した場合は、この要素を設定します。詳細については、「シグナル、シグナルなし、アンチシグナル」を参照してください。

8. [保存] をクリックします。

ブレークダウン要素のシグナルを構成する

シグナル検出を構成し、1 つのインジケーターで複数のブレークダウンとブレークダウン要素の責任をアサインします。

始める前に

アドミニストレーターは、インジケーターの KPI シグナル を有効にする必要があります。詳細については、「インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングを有効にする」を参照してください。

必要なロール:インジケーターの責任ユーザーまたは admin。

このタスクについて

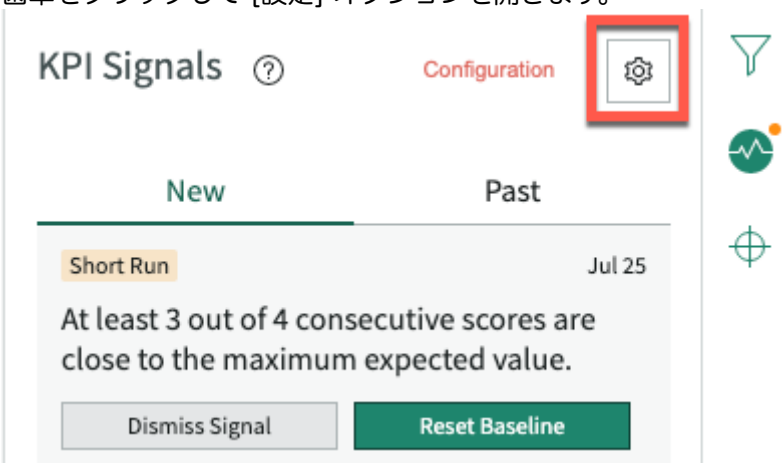
たとえば、 KPI シグナル 次のインジケーターとブレークダウンを同時に監視できます。

- オープンインシデントの数 (ブレークダウンなし)
- オープンインシデントの数、優先度 = 1-重大
- オープン中のインシデントの数、優先度 = 2 - 高
- オープンインシデントの数、カテゴリ = ソフトウェア

ただし、「オープンインシデントの数、優先度 = 1 - 重大、カテゴリ = ソフトウェア」 KPI シグナル 監視できませんでした。

手順

1. 最初にKPI 詳細でフィルタリングブレークダウンを選択せずに、インジケーターのKPI シグナルを開きます。
2. 歯車をクリックして [設定] オプションを開きます。

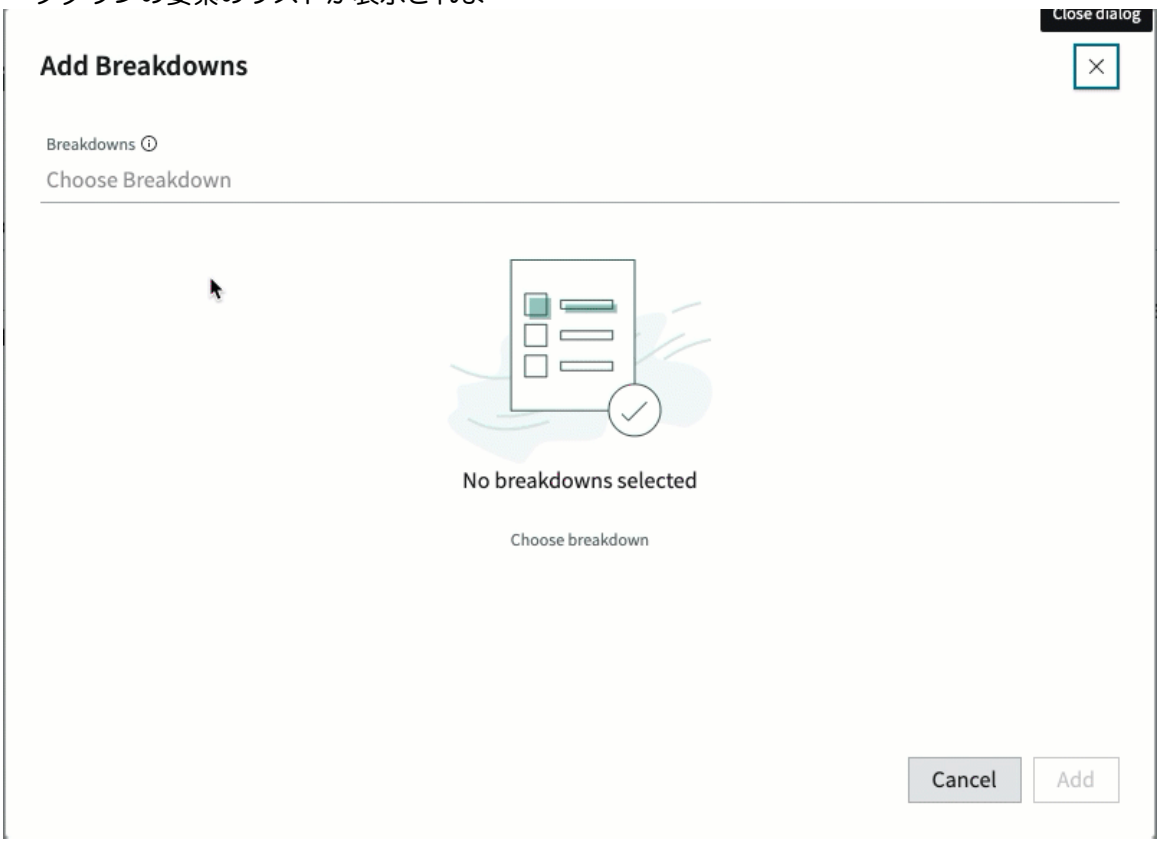


3. [ブレークダウンを追加] をクリックします。
   [ブレークダウンを追加] ダイアログが開きます。
4. [ブレークダウン] フィールドをクリックし、ブレークダウンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンの要素のリストが表示されま



す。

5. オプション: [フィルター] をクリックし、条件ビルダーを使用して要素のフィルターを作成します。
6. 少なくとも 1 つの要素を選択し、[追加] をクリックします
7. 別のブレークダウン要素のシグナルを監視するには、もう一度 [ブレークダウンを追加] をクリックして手順を繰り返します。
8. [シグナル検出] タブで、KPI の監視を有効にし、ベースラインの計算に必要なベースラインの開始とスコアの数を設定します。
   [Signal Detection] タブの設定の詳細については、「 シグナル検出の構成」を参照してください。
9. [責任] タブを開き、各 KPI に責任ユーザーをアサインします。
   責任ユーザーと [責任] タブの設定の詳細については、「 KPI シグナルの責任を構成」を参照してください。
10. [通知] タブを開き、未解決のシグナルのメール通知を担当ユーザーが受け取る頻度を設定します。また、未解決のシグナルに対して担当ユーザーが受け取るリマインダーの合計数を設定することもできます。また、信号のないスコアがいくつアンチシグナルになるかを計算するために使用されるアンチシグナル係数も設定します。アンチシグナルの詳細については、「 シグナル、シグナルなし、アンチシグナル」を参照してください。[通知] タブの設定の詳細については、「 シグナル通知の構成」を参照してください。

ベースラインをリセットまたはシグナルを却下

異常な変動が発生したという信号を受信した場合は、信号を無視するか、パラメーターを再計算します。

始める前に

必要なロール:admin、pa_admin、またはpa_kpi_signal_adminロールを持っていない場合は、 責任あるユーザーである必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ベースラインをリセットするかシグナルを却下するかを決定する前に、変動の理由を調査します。信号が「ニューノーマル」を表すと判断した場合は、ベースラインを再計算します。シグナルが一時的な状況の結果であると判断した場合は、シグナルを無視します。

手順

1. KPI 詳細からKPI シグナルを開きます。
   インジケーターの [KPI 詳細] ページでは、[KPI シグナル] タブに通知ドットが表示されます。このドットは、インジケーターのシグナルがあることを示しています。 

   注:
   KPI シグナル は、1 つの第 1 レベルのブレークダウン要素でフィルタリングされたインジケーターのシグナルを検出できます。複数の要素や第 2 レベルのブレークダウンはサポートされていません。

2. シグナルを調べて、プロセスの動作のこの変動の背後にあるビジネス上の理由を調査します。
   - シグナルに一時的な動作の変化が見られると判断した場合は、[シグナルを却下] をクリックします。一時的な動作の変化は、状況の一時的な変化、または迅速に修正できる問題が原因である可能性があります。
   - 信号がプロセス動作の長期的かつ実際の変化を示していると判断した場合は、[ベースラインのリセット] をクリックします。

3. ベースラインを再計算する場合は、次のフィールドに入力します。

フィールド	**Description** (説明)
日付からリセット	新しいベースラインの計算を開始する日付。デフォルトでは、この日付はシグナルの最初の日付です。シグナルが不規則な場合、または直後により多くの変動が続く場合は、開始日を遅くすることを検討してください。
ベースライン計算のスコア数	ベースラインを計算するためのデフォルトのスコア数は、インジケーターの頻度によって異なります。正当な理由があると確信できる場合を除き、この番号を変更しないでください。最小数は 5 です。

4. シグナルを却下するか、ベースラインをリセットするかにかかわらず、決定の理由を入力します。
   [変更内容] というラベルの付いた必須フィールドが [KPI シグナル] パネルに表示されます。シグナルに関する調査の結果を簡単に説明してください。

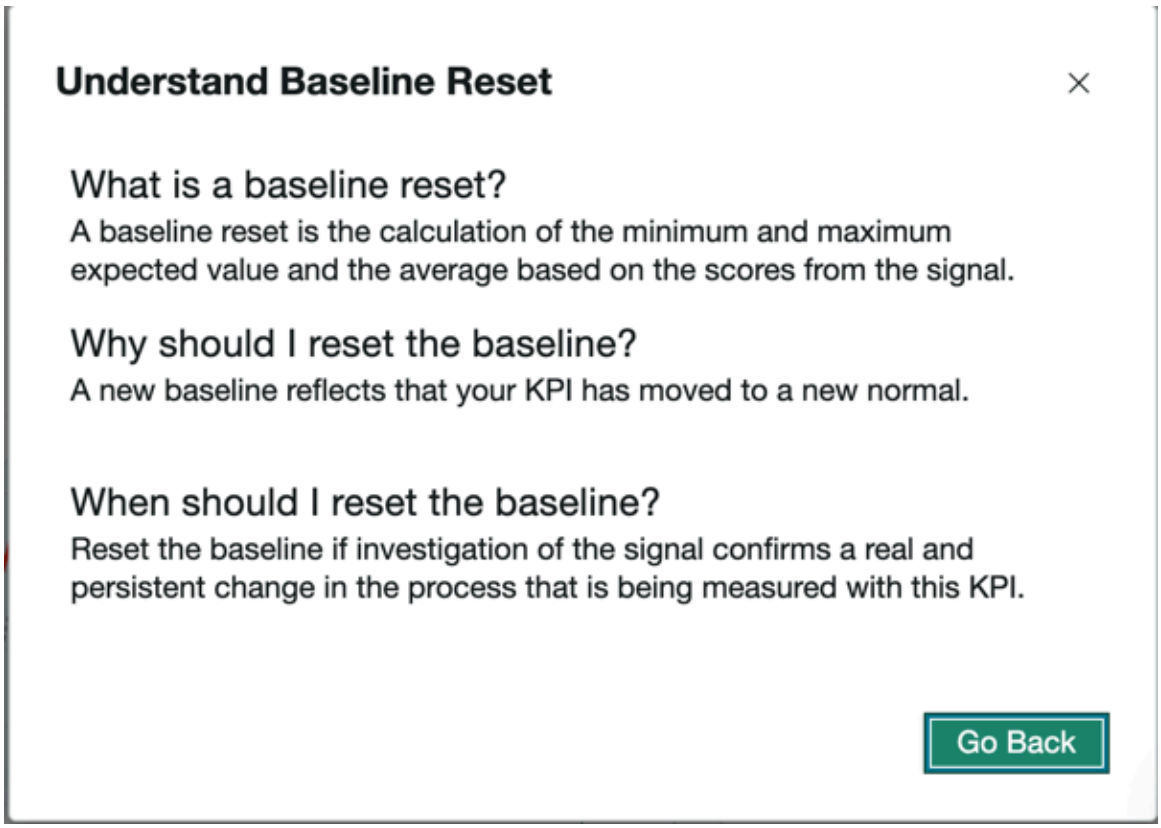
   決定の理由は、 過去の シグナルを表示するときに表示されます。これは、シグナル却下またはベースラインリセットのどちらを元に戻すかを決定するための重要な情報です。

5. [シグナルを却下] または [確認] をクリックして、シグナルを却下するか、ベースラインをリセットします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベースラインをリセットするためのダイアログで、最初に [どのように機能しますか?] これにより、ベースラインリセットとは何か、およびベースラインリセットを実行するタイミングに関する情報を含むウィンドウが開きます。



タスクの結果
ベースラインをリセットすると、ベースラインがリセットされたことを示すメッセージが表示されます。また、処理したシグナルよりも新しいシグナルがあるかどうかも確認できます。[過去] タブで、却下したシグナルとベースラインのリセットを確認できます。

ベースラインリセットまたはシグナル消去を元に戻す

以前の決定を確認して、 KPI シグナル ベースラインをリセットするか、シグナルを却下します。必要に応じて決定を元に戻します。

始める前に
KPI 詳細へのアクセス権が必要です。

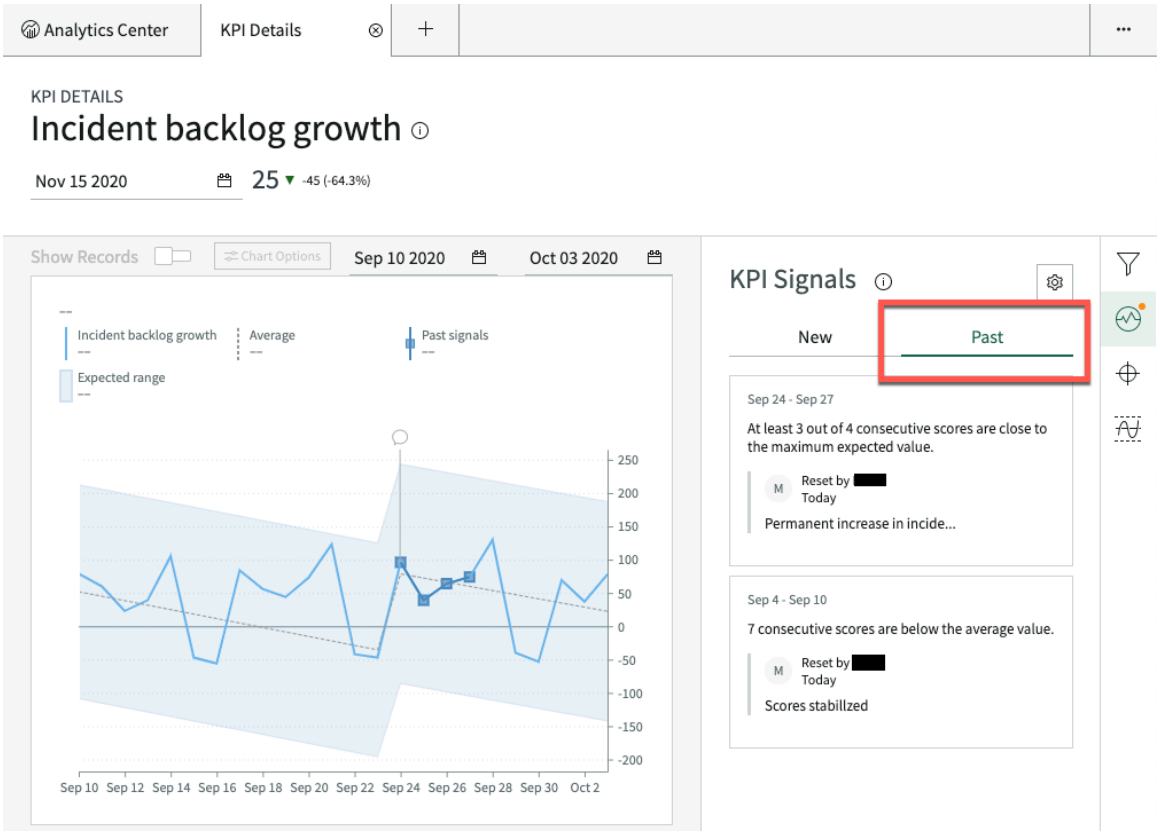
必要なロール:KPI の責任ユーザーであるか、admin、pa_admin、または pa_kpi_signal_admin ロールを持っている必要があります。

手順

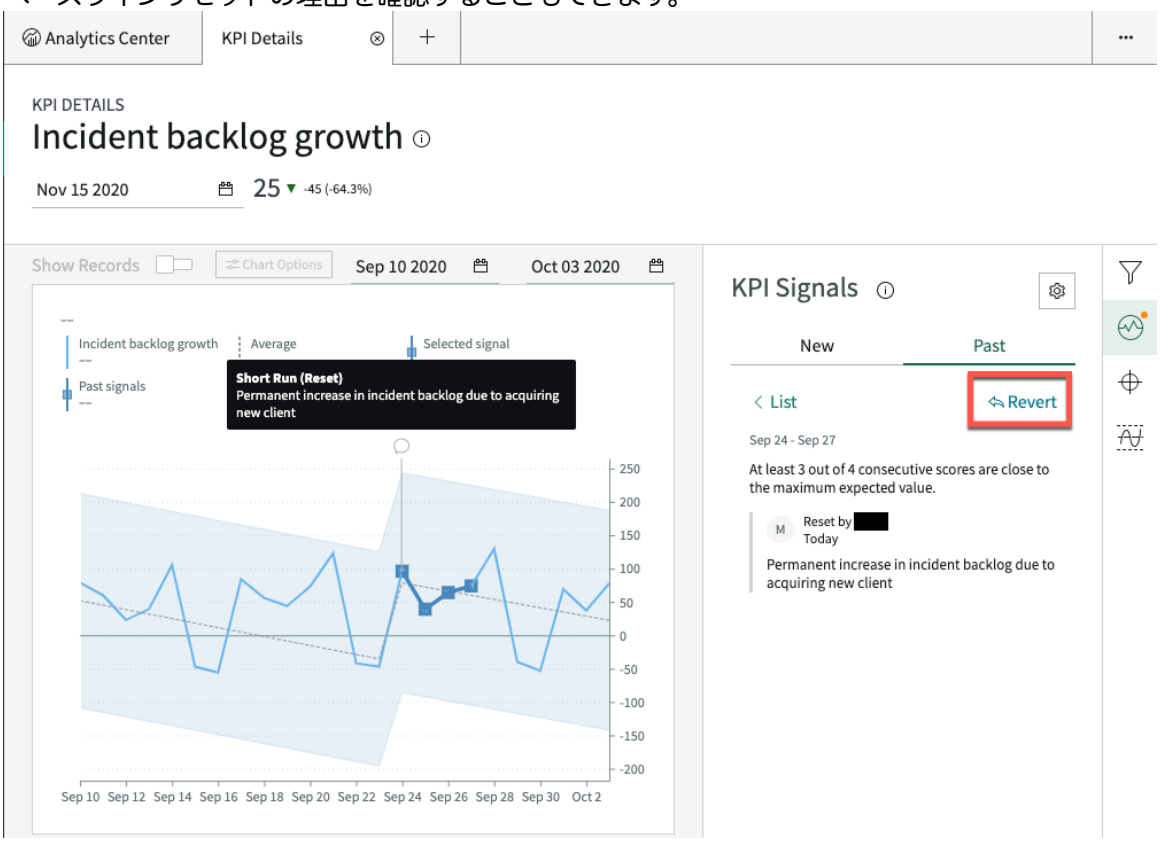
1. [KPI 詳細] から [KPI シグナル] パネルを開きます。
2. [過去] タブに切り替えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. ベースラインリセットまたはシグナル消去にフォーカスするには、その意思決定のカードをクリックします。
シグナルの吹き出しをポイントして、却下の理由または
ベースラインリセットの理由を確認することもできます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
アンチシグナルを元に戻すことはできません。

4. シグナルを却下するか、ベースラインをリセットするかという以前の決定が間違っていたと判断した場合は、「 戻す」をクリックします。
5. 元に戻すすべての意思決定のリストをレビューします。
シグナル却下またはベースラインリセットを元に戻すと、それ以降のすべての決定も元に戻されます。



6. 決定を元に戻す場合は、「 確認」をクリックします。

次のタスク
次に、決定を元に戻した最も古いシグナルに対して新しい決定を行います。次に、後続のシグナルを処理します。

KPI シグナル自動検出ジョブ

KPI シグナルアプリケーションには、シグナルを自動的に検出するジョブが含まれています。これらのジョブは、アプリケーションを開かずに責任のあるユーザーに新しいシグナルを通知できるように実行されます。式インジケーターのシグナルのジョブにはスケジューリングが必要です。

KPI 詳細でインジケーターを表示してKPI シグナルパネルを開くと、そのインジケーターのシグナルがチェックされます。したがって、常に最新のシグナルを利用できます。ただし、 KPI シグナル アプリケーションには自動信号検出ジョブもあります。これらのジョブは、アプリケーションを開かなくても、登録済みユーザーにシグナルに関する通知を送信します。

自動インジケーターの場合、これらのジョブはデータ収集ジョブが実行されるたびに実行されます。KPI シグナルアプリケーションは、アクティブになっているすべてのインジケーターとブレークダウン要素の組み合わせをチェックします。データ収集ジョブはドメイン固有であるため、シグナルもドメイン固有です。

式インジケーターでは状況が異なります。式インジケーターの式は、他のインジケーターのスコアを使用します。これらの他のインジケーターは、 貢献インジケーターと呼ばれます。これらのインジケーターのスコアは、さまざまなデータ収集ジョブで収集できます。KPI シグナル計算では、最後に検出された貢献インジケータースコアが使用されることに注意してください。KPI シグナルジョブは、すべての貢献インジケーターのスコアが検出された後に実行する必要があります。

式インジケーターのシグナルが適切なタイミングで確実にチェックされるように、 KPI シグナル アプリケーションにはスケジュール済みジョブ (PA - KPI シグナル - 式インジケーターシグナル計算ジョブ) が付属しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

式インジケーターのシグナルを検出するジョブをスケジュール

PA - KPI シグナル - 式インジケーターシグナル計算ジョブを、すべてのデータ検出ジョブの実行後に実行するように設定します。

始める前に
パフォーマンスアナリティクスデータ検出ジョブを確認します。これらのジョブが実行されてから、式インジケーターのシグナルを検出するタイミングを決定します。

> **注:**
> この手順はオプションです。ジョブスケジュールを変更すると、式インジケーターの新しいスコアと新しいシグナルの間の遅延を防ぐことができます。ただし、8 時間ごとのデフォルトの信号検出ではエラーは発生せず、十分な場合があります。

必要なロール：admin。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. 名前に 「KPI シグナル」が含まれるジョブのリストをフィルタリングします。
3. PA - KPI シグナル - 式インジケーターシグナル計算ジョブを開きます。
4. 次のフィールドを変更して、ジョブをスケジュールします。

フィールド	説明
ラン	ジョブを実行する頻度。後続のフィールドの選択は、このフィールドの設定によって異なります。 デフォルトでは、ジョブは 定期的に実行されます。
日	スケジュール済みジョブを実行する日。 [実行] フィールドで [週次 **(Weekly)]** を選択した場合、このフィールドには曜日が表示されます。[実行] フィールドで [月次 **(Monthly)]** を選択した場合、このフィールドには月日が表示されます。
時刻	スケジュール済みジョブを開始する時間。
繰り返し間隔	スケジュール済みジョブが再度実行されるまでの日数と時間。このフィールドは、[実行] リストから [定期的] が選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、ジョブは 8 時間ごとに実行されます。
開始中	定期的な更新を開始する日時。このフィールドは、[実行] リストから [定期的] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスのデータキャッシュ

データキャッシュは、古い応答が利用可能な場合に再利用することで、データの可視化のロードを高速化するのに役立ちます。ユーザーは、ダッシュボードを手動で更新することで、常に最新のデータを取得できます。

データキャッシュは、特に大規模なデータセットの場合、次の理由により、ダッシュボードとデータの可視化のロード時間を高速化する可能性があります。

- キャッシュにより、データに変更がない場合に長時間の集計計算を回避できます。
- キャッシュにより、同じ集計結果データにアクセスできるユーザーの集計計算を回避できます。
- キャッシュにより、長時間実行される要求の蓄積によるインスタンスの負荷を軽減できます。
- キャッシュは、ユーザーがデータの鮮度よりもダッシュボードの読み込み速度に関心があるユースケースに適している場合があります。

サポートされているデータソース

テーブルとインジケーターのデータはキャッシュをサポートしています。

データ・キャッシングのアクティブ化

データキャッシュを有効にする前に、プロパティ *glide.analytics.cache.enabled* を true に設定する必要があります。

インラインダッシュボードエディターでは、ダッシュボードごとにデータキャッシュを有効または無効にできます。キャッシュは、それをサポートするデータソースを持つダッシュボード上のすべてのデータ可視化に適用されます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成」を参照してください。

UI ビルダーでは、データの可視化ごとにデータキャッシュを有効または無効にすることができます。例については、「単一スコア UIB セットアップ」のテーブルまたはインジケーターデータソースの *useDataCache* プロパティを参照してください。

UI ビルダーでは、テーブルまたはインジケータータイプのローカルデータインスタンスのデータキャッシュを有効にすることもできます。詳細については、「ローカルデータインスタンスのデータキャッシュを有効にする」を参照してください。

デフォルトのダッシュボードキャッシュ

デフォルトでは、インラインエディターで作成する新しいダッシュボードでは、キャッシュは有効になっていません。前のセクションで説明したように、ダッシュボードごとにキャッシュを有効にする必要があります。ただし、デフォルトの動作を変更して、インラインエディターで作成するすべての新しいダッシュボードでキャッシュを有効にすることができます。これを行うには、プロパティ *glide.analytics.cache.enable_dashboard_default* を true に設定します。

新しいダッシュボードでキャッシュを有効にするようにデフォルトの動作を設定する場合は、デフォルトの有効期限を変更するかどうかを検討してください。デフォルトの有効期限のデフォルト値は 24 時間です。この値は、プロパティ *glide.analytics.cache.dashboard_default_value*で設定できます。オプションは、1、2、4、8、12、または 24 時間です。この値を設定する場合は、データ・プリフェッチへの影響を考慮してください。

デフォルトでは、 UI ビルダーで作成されたデータの可視化に対してキャッシュを有効にすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データのプリフェッチ

ダッシュボードの最初の読み込みでは、使用するキャッシュ データがないため、読み込み時間が遅くなる可能性があります。たとえば、IT エージェントがその日初めてログインしたときは、前日のキャッシュデータの有効期限が切れているため、ダッシュボードがロードされる前にシステムがデータを取得するのを待つ必要があります。プリフェッチメカニズムは、頻繁に使用されるダッシュボードや、キャッシュの有効期限が長いデータの可視化について、この問題に対処します。

プリフェッチは、キャッシュが有効期限に近づくと、ユーザーの操作なしでデータを自動的にリフレッシュすることにより、キャッシュエントリを存続させます。スケジュール済みジョブは、エントリが 30 分以内に期限切れになるキャッシュエントリを、プリフェッチが有効になっている状態で検索します。ジョブは、そのようなレコードをすべて収集し、更新のためにキューに入れます。更新後、有効期限はリセットされます。このスケジュール済みジョブは 15 分ごとに実行されるため、テーブルクリーナーはまだ処理されていない有効なキャッシュエントリを削除しません。

プリフェッチの設定とデフォルト

プリフェッチはデフォルトでアクティブになっており、システム負荷の最小化とユーザーにとっての価値の最大化のバランスを取るように選択された設定になっています。管理者はこれらの値を変更できますが、緊急の理由がある場合にのみ、十分に注意して行う必要があります。

プロパティ	設定	値	メモ
glide.analytics.cache.prefetch.min_age_in_seconds	プリフェッチの対象となるデータのキャッシュ有効期限 [cacheExpirationTime] の下限	8 時間	8 時間は、プリフェッチされるキャッシュ・データの最小安全有効期間です。この値を増やす必要がある場合もありますが、減らさないでください。
glide.analytics.cache.prefetch.max_refresh_counter	このデータのプリフェッチが停止するまでに、キャッシュヒットなしでデータが連続してプリフェッチされた回数	10	プリフェッチは、頻繁に使用されるデータを対象としています。システム負荷を軽減するために、ユーザーがデータを表示せずに

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	設定	値	メモ
			データを 10 回連続してプリフェッチすると、プリフェッチは停止します。その後、データはデフォルトのキャッシュ動作に従い、次回表示されたときに再ロードされます。週末をカバーするためにデフォルト値が選択されました。この値を減らす必要がある場合もありますが、大きくしないでください。

自動翻訳

Platform Analytics (プラットフォームアナリティクス) のロール

プラットフォームアナリティクス には、固有のロールと、適用される他のアプリケーションのロールの両方があります。

ロールがある、またはロールを持たないユーザー

任意のロールを持つユーザーはデータの可視化を作成できますが、ライブラリには追加されません。これらのユーザーは、作成したビジュアリゼーションを引き続きグループやユーザーと共有できます。また、共有権限も付与されている場合は、共有されているデータのビジュアリゼーションを共有できます。また、許可された場合は、編集権限を渡すこともできます。

ロールのないユーザーは、ダッシュボードを作成して、グループ、ユーザー、およびロールと共有できます。これらのユーザーは、共有権限も付与されている場合、共有されているダッシュボードを共有できます。許可されている場合は、編集権限を渡すことができます。

ユーザーグループ

個々のユーザーではなく、特定のペルソナに必要なすべてのロールを含むグループを作成することで、ユーザー管理を簡素化します。個々のユーザーをそれらのグループにアサインできます。ユー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ザーが新しいロールに移行したときは、そのグループメンバーシップを再アサインして、ユーザーが予期しないロールを保持するシナリオを回避できます。

ユーザー、グループ、およびロールの管理方法の詳細については、「ユーザー管理」を参照してください。

ロールの説明

次の表に、 プラットフォームアナリティクス に関連付けられた各ロールに関する情報を示します。

ロール名
: ロール [sys_user_role] テーブルの [名前] フィールドのロールの名前。

Description (説明)
: ロールとその使用目的の説明。

ロールを含む
: ロール内に含まれるロールのリスト。

ロール別に含まれる (admin を除く)
: ロールを含むアドミン以外のロール。admin ロールには、すべてのロールが含まれています。

次の属性は、すべてのロールで共有されます。

- デフォルトでは、どのロールもグループにアサインされません。
- 有料サブスクリプションの一部としてユーザーを割り当てる必要のあるロールはありませんが、ほとんどの パフォーマンスアナリティクス 機能には有料サブスクリプションが必要です。
- どのロールも昇格されていません。つまり、どのロールも高セキュリティ設定へのアクセスを許可しません。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス と プロセスマイニング にそれぞれ含まれている analytics_admin と sn_process_optimization_analyst を除き、すべてのロールがベースシステムに含まれます。

ヒント:
必要なアクセス権を引き続き提供する、最も包括的でないロールをアサインするようにしてください。たとえば、ユーザーがライブラリでデータの可視化を作成してユーザーと共有できるようにするが、エクスポートをスケジュールすることは許可しない場合は、そのユーザーにviz_adminではなくviz_creatorを付与します。

ロール名	**Description** (説明)	含まれるロール	ロール別に含まれる (**admin** 以外)
platform_analytics_admin	プラットフォームアナリティクス ワークスペースのアドミン権限のロール。このロールには、パフォーマンスアナリティクス や ユーザーエクスペリエンスアナリティクス など、プラットフォームアナリティクス ワークスペースに接続されて	• analytics_admin • analytics_filter_admin • dashboard_admin • pa_admin • par_scheduler • viz_admin	なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール名	**Description** (説明)	含まれるロール	ロール別に含まれる **(admin** 以外)
	いる製品と機能の管理権限が含まれます。		
analytics_admin	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス管理権限のロール	その他すべての ユーザーエクスペリエンス アナリティクス admin ロールと viewer ロール。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。	platform_analytics_admin
analytics_filter_admin	構成可能なワークスペースのダッシュボードフィルターを編集または削除するためのロール。フィルターライブラリにフィルターを追加できます。	なし	• platform_analytics_admin • dashboard_admin • pa_admin • report_admin • viz_admin
dashboard_admin	すべてのダッシュボードを作成、編集、複製、共有、削除できます。これらの権限は、プラットフォームアナリティクス ダッシュボードとレスポンシブ ダッシュボードの両方に適用されます。詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。	analytics_filter_admin	platform_analytics_admim
pa_kpi_signals_admin	インジケーターの KPI シグナル をアクティブ化できます	なし	なし。ただし、pa_adminには同じ権限があります
pa_admin	パフォーマンスアナリティクス管理権限のロール	• viz_admin • analytics_filter_admin • 他のすべての パフォーマンスアナリティクス ロール。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス ロール」を参照してください。	platform_analytics_admin
par_scheduler	表示または編集できるデータ可視化のメール	なし	platform_analytics_admin

自動翻訳

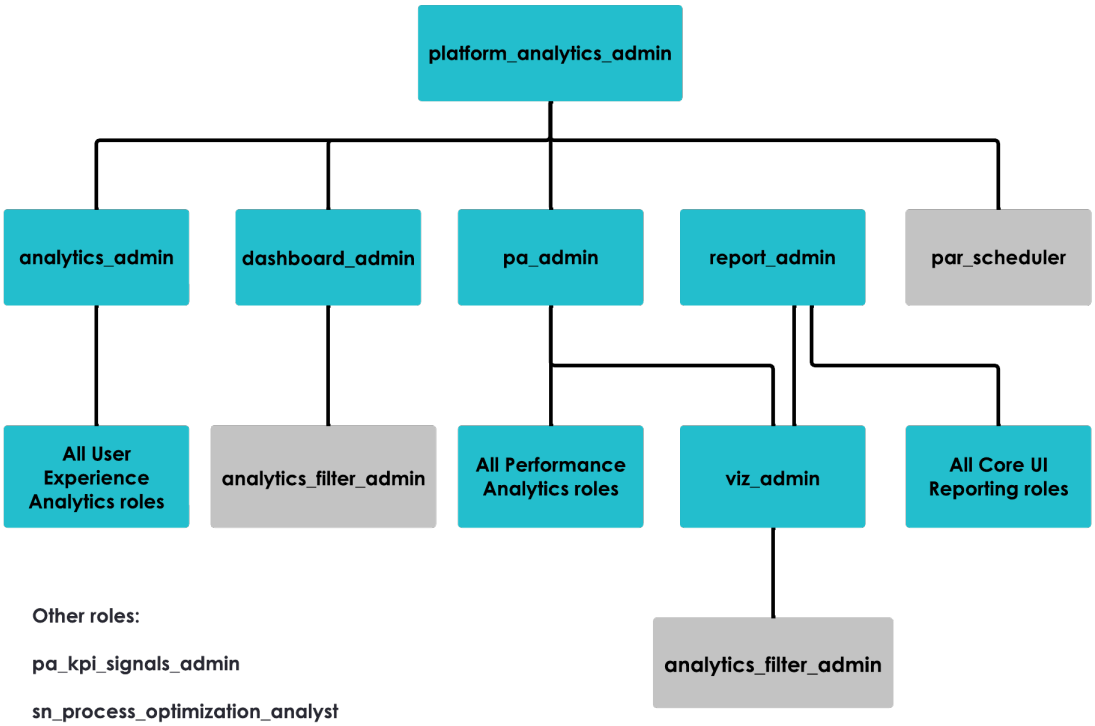
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール名	**Description** (説明)	含まれるロール	ロール別に含まれる **(admin** 以外)
	配信をスケジュールできます		
report_admin	に関する コア UI レポートを作成するためのロール サービスポータル	• viz_admin • analytics_filter_admin	
sn_process_optimization_analyst	ダッシュボードで プロセスマイニング マップを構成できます	なし	なし
viz_admin	可視化ライブラリでデータの可視化を作成できます。ロールとの共有を含め、すべてのデータ可視化を編集、削除、エクスポート、および共有することもできます。可視化のエクスポートをスケジュールすることもできます。	analytics_filter_admin viz_creatorと同じ権限も含まれる	platform_analytics_admin
viz_creator	可視化ライブラリでデータの可視化を作成できます。作成したデータの可視化を編集、削除、エクスポート、および共有することもできます。可視化はグループおよびユーザーとのみ共有できます。	なし	report_user (レポートユーザー [report_user] で説明) また、viz_adminにはviz_creator権限も含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル内のロール階層は、次の図にも示されています



関連情報

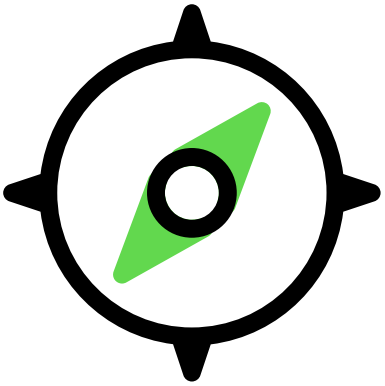
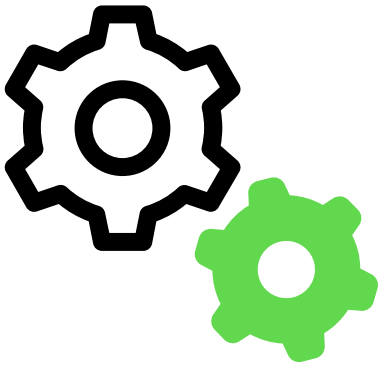
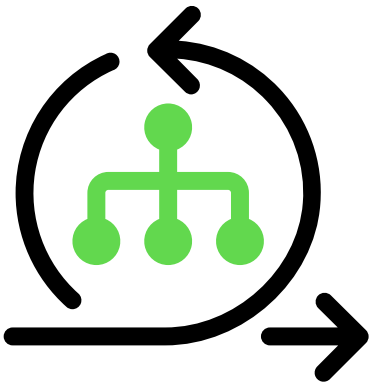
- パフォーマンスアナリティクス ロール
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるコンポーネント
- レポート ロール

アナリティクス 生成

アナリティクス生成を使用して、会話のインタラクションから プラットフォームアナリティクス アーティファクトを生成します。たとえば、オープンインシデントの数に関する情報を要求し、単一スコアのデータを可視化できます。アナリティクス生成は クリエーターの Now Assist アプリケーションの一部です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始するには

探索	Configure (構成)	使用
		
Analytics Generation でサポートされる内容の詳細	インスタンスのアナリティクス生成を有効にする	AI を使用してアナリティクスを生成する

重要:
Now Assist の一部の製品/機能は現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。詳細については、Now Support ナレッジベース 記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

重要:
現在、一部の地域のお客様は一部の Now Assist 製品/機能をご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

自動翻訳

トラブルシューティングとサポート

- ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに適した精度についてこのアプリケーションの使用をテストおよび評価し、必要に応じて人間によるレビューを採用し、意思決定の目的のために AI で生成された出力のみに依存しないようにすることを強くお勧めします。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは アナリティクスの生成に使用されるテーブルとインジケーターからの情報。たとえば、インシデントデータの可視化の要求について、インシデントテーブルまたはオープンインシデントの数インジケーターから情報を収集できます。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ 」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

詳細については、Now Assistドキュメント を参照してください。

アナリティクス生成の詳細

アナリティクス生成を使用して、会話のインタラクションから プラットフォームアナリティクス アーティファクトを生成します。たとえば、オープンインシデントの数に関する情報を要求し、単一スコアのデータを可視化できます。

概要

アナリティクス生成には現在、データ可視化生成スキルが含まれています。データ可視化生成スキルを使用すると、開発者は プラットフォームアナリティクスを活用して、自然言語クエリと利用可能なデータに基づいて関連するグラフとスコアを作成できます。グラフには、任意の プラットフォームアナリティクス データソースからのデータを表示できます。このスキルにより、データの可視化の生成と構成のプロセスが簡素化され、効率が向上する可能性があります。

ロール

now_assist_creator ロールは必須です。ユーザーは、可視化を要求しているデータへのアクセス権も必要です。

ダッシュボードが開いているときにユーザーがデータの可視化を要求し、そのユーザーがそのダッシュボードの編集権限を持っている場合、そのダッシュボードに可視化を追加できます。

アクティベーション

Analytics Generation は、 クリエーターの Now Assist (sn_now_creator) アプリケーションとともにインストールされます。このアプリケーションは、 ServiceNow Store Web サイトからインストールできます。

サポートされている **Now Assist** スキル

アナリティクスの生成は現在、データの可視化生成スキルのみをサポートしています。

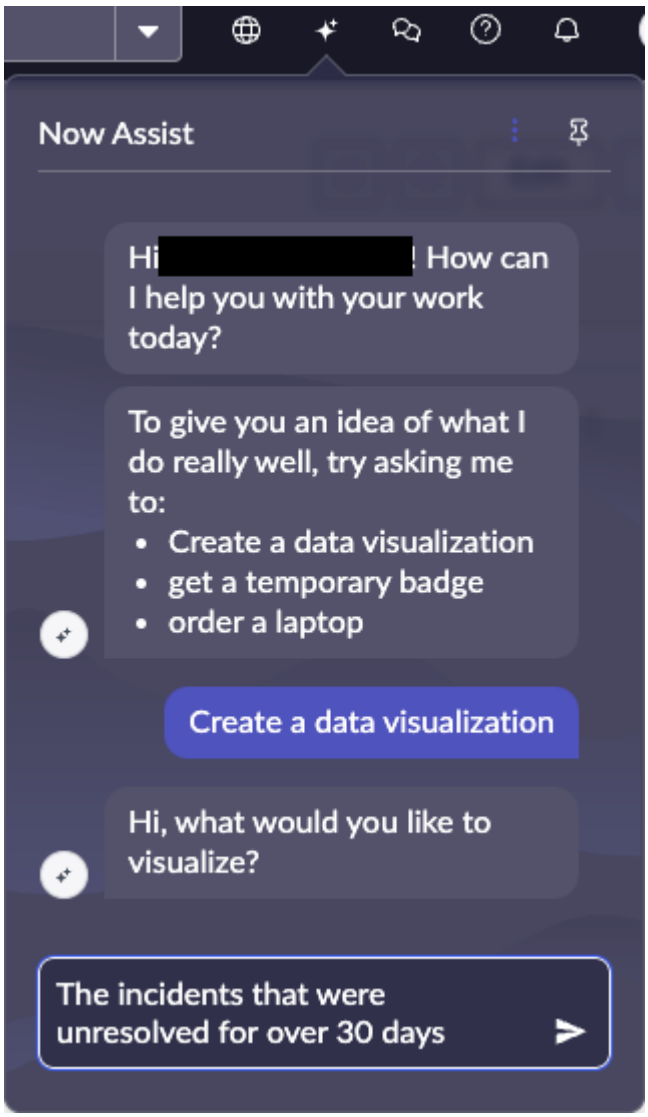
サポート対象のユーザーインターフェイス

Now Assist で会話を開始し、プラットフォームアナリティクスデータソースから利用可能な情報を求めることで、データ可視化生成スキルにアクセスします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

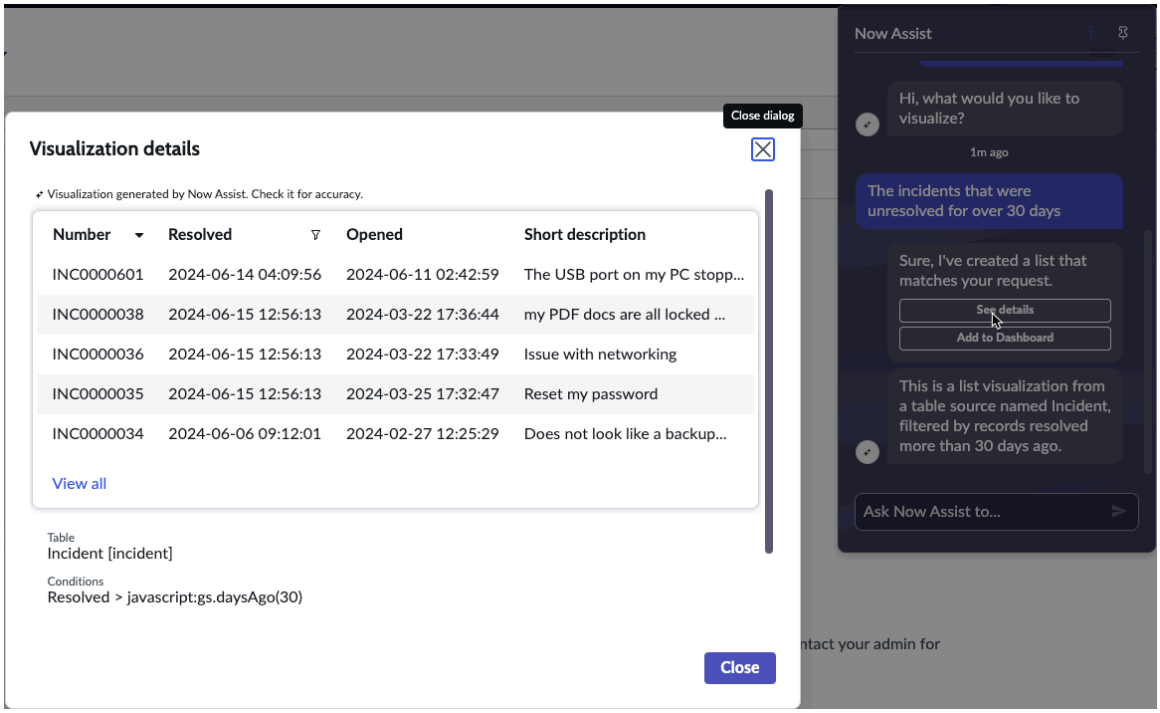
Now Assist にデータの可視化を依頼する



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

生成されたデータの可視化の例



アナリティクス生成の構成

クリエーターの Now Assist アプリケーションでアナリティクス生成スキルを有効にして、アナリティクスによる生成 AI 機能をユーザーに提供します。

始める前に

クリエーターの Now Assist application をインストールします。詳細については、「Install Now Assist for Creator」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

データの可視化の生成は、現在アナリティクスの生成で利用できる唯一のスキルです。このスキルにより、組織全体の開発者は、 プラットフォームアナリティクス データの可視化を会話形式で生成できます。

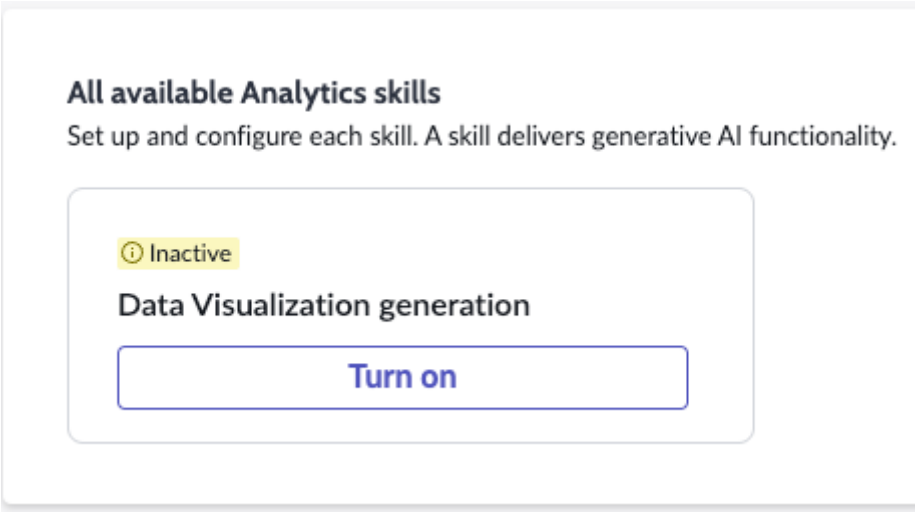
重要:
データ可視化生成スキルには、 クリエーターの Now Assistするための別のサブスクリプションが必要です。

手順

1. 移動先 すべて > *Now Assist* アドミン > 機能.
   既に *Now Assist* アドミン コンソールが表示されている場合は、[Now Assist 機能] タブを選択します。
2. ナビゲーションパネルで、 **Creator** ワークフローを選択します。
3. [アナリティクス生成 (Analytics Generation)] カードで、 [詳細を表示] を選択します。
4. [利用可能なすべてのアナリティクススキル] で、[データの可視化を生成する] のカードを見つけます。

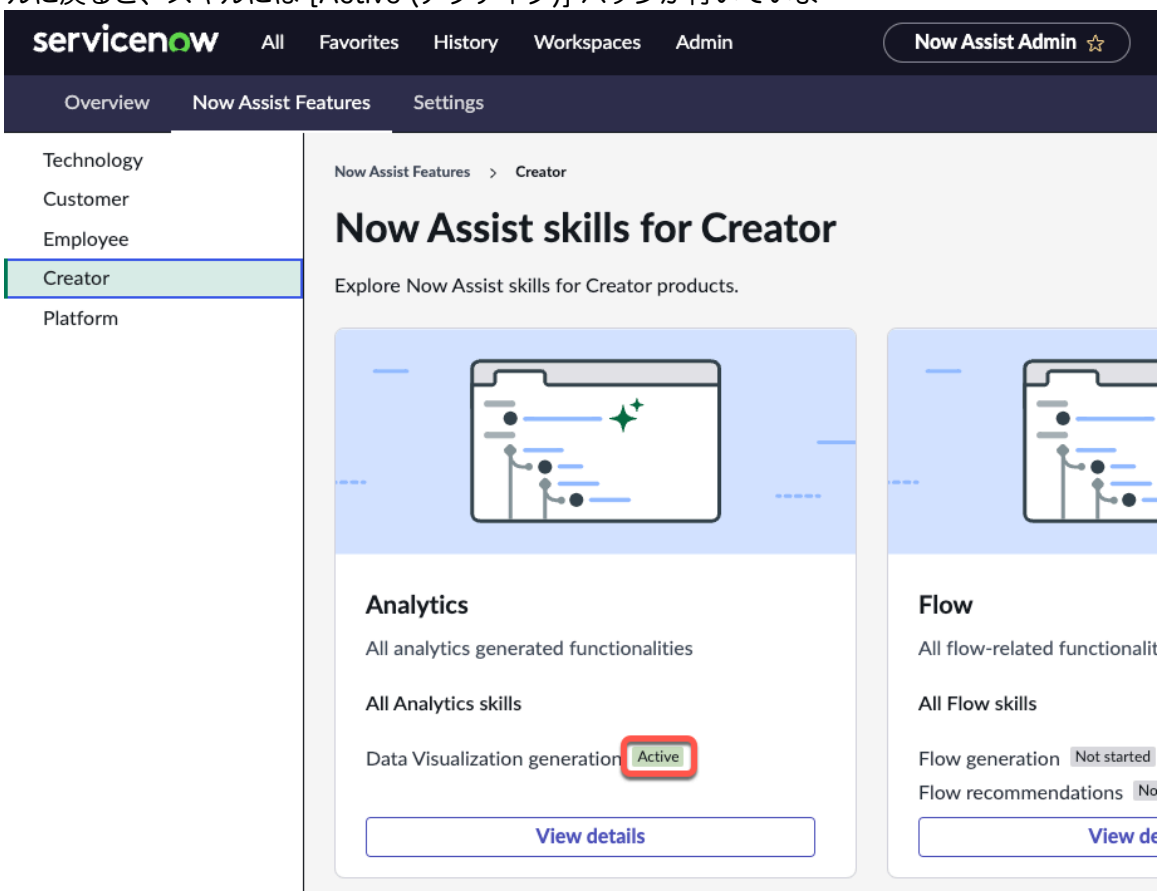
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [オンにする] を選択します。

タスクの結果
スキルが正常にアクティブ化されると、システムから通知されます。また、Creator スキルに戻ると、スキルには [Active (アクティブ)] バッジが付いていま



す。

アナリティクス生成の使用

Now Assistパネルで、表示するデータの可視化を作成する生成 AI を要求します。編集可能なダッシュボードを表示している場合は、そのダッシュボードに可視化を追加できます。

自動翻訳

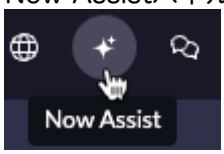
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
クリエーターの Now Assist をインスタンスにインストールし、データ可視化スキルをアクティブ化する必要があります。これが当てはまらないと思われる場合は、アドミニストレーターに相談してください。

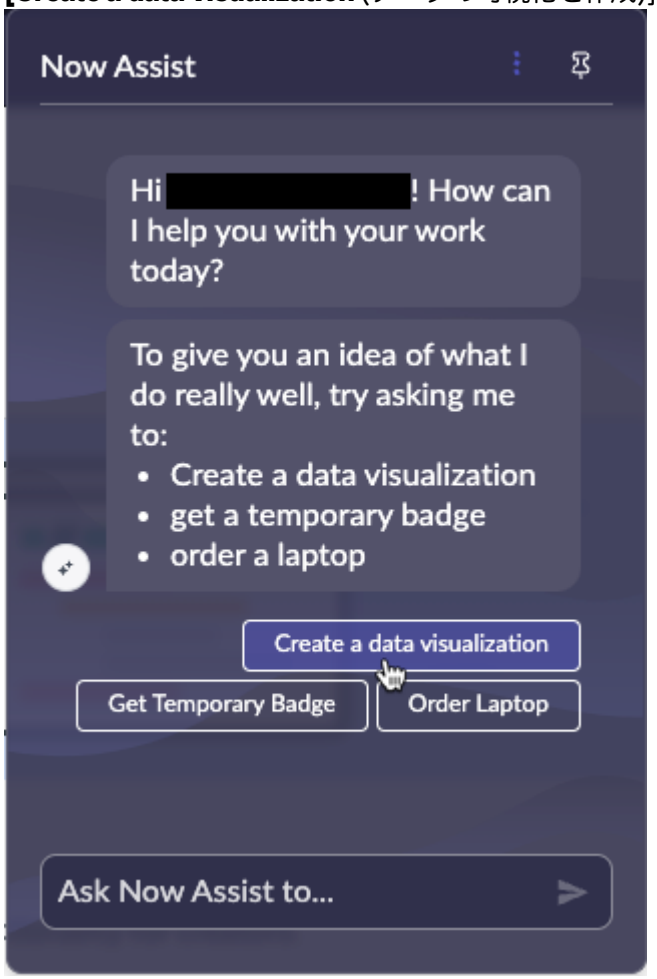
必要なロール:now_assist_creator 表示したいデータにアクセスする必要がある。可視化をダッシュボードに追加するには、そのダッシュボードに対する編集権限が必要です。

手順

1. ダッシュボードに編集可能な可視化を追加する場合は、 すべて > プラットフォームアナリティクス > **Library** (ライブラリ) > ダッシュボード.
2. Now Assistパネルを開きます。



3. **[Create a data visualization** (データの可視化を作成)] を選択します。



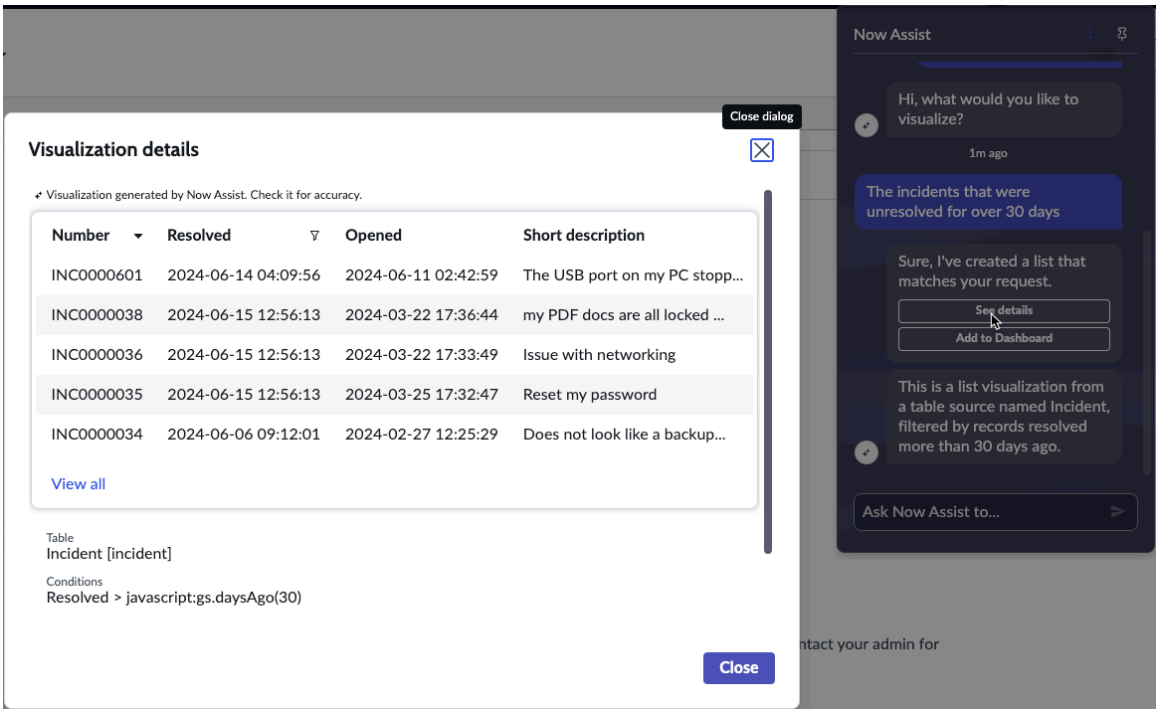
4. 確認するデータを要求します。
たとえば、「オープンインシデントを優先度別に表示できますか?」と尋ねます。すると、active=true の時間範囲での優先度の数のリストチャートが表示されます。質問例のリストを参照してください。また、質問の種類に関する制限にも注意してください。
5. 編集可能なダッシュボードを表示している場合は、ビジュアリゼーションで [ダッシュボードに追加] を選択してダッシュボードに追加できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 可視化を編集するには、 可視化デザイナーで編集を選択します。
   viz_creator ロールを持っている場合は、可視化をデータ可視化ライブラリに保存できます。詳細については、「でのデータ可視化の編集 可視化デザイナー」を参照してください。

タスクの結果
生成されたデータの可視化が得られます。この可視化は、 Now Assist パネル内にあります (収まる場合)。その場合は、ポップアウトするオプションがあります。可視化が収まらない場合は、デフォルトでポップアウトされます。

生成されたデータの可視化の例



ガイドラインと質問例

このセクションでは、データの可視化を生成するために [Now Assist] パネルで行うことができるガイドラインと一般的な質問をいくつか紹介します。

Now Assistにデータの可視化の生成を依頼するときは、次のガイドラインに従ってください。

質問は正確に答えてください

- 必要なデータの件名には、「インシデント」や「変更要求」など、適切な用語を使用します。テーブルまたはインジケーターの名前がわかっている場合は、その名前を質問に含めます。
- 条件はできるだけ詳細かつ正確にしてください。「30 日以内に解決されなかったすべてのインシデント」とは言わず、「作成から 30 日経過してもまだオープンだったすべてのインシデント」と言います。
- 特定の可視化タイプが必要な場合は、その旨を伝えます。

質問を試す

質問を、変更したバージョンも含めてどこかに保存してください。質問を保存すると、結果を簡単に比較できます。

データの可視化を生成するときは、注意深く目を通してください。それが本当にあなたが知りたいことを示しているかどうかを確認してください。満足するまで質問を洗練させ続けてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
データの可視化の生成では、Analytics Q&A と同じエンジンが使用されます。したがって、詳細については、 Analytics Q&A の質問のガイドラインを参照してください。

例

優先度別のオープンインシデントの数を表示

優先度ブレークダウンに従ってグループ化されたオープンインシデントインジケーターの数の時系列グラフを提供します。

タスク SLA を円グラフとして表示

ここでは、タスク SLA レコードの円グラフを求めていますが、レコードをグループ化するフィールドを指定していません。 Now Assist 、選択できるフィールドのリストが表示され、選択内容に基づいて円グラフが表示されます。

アサイン先グループが空でない未解決の問題を表示

問題 [problem] テーブルのレコードリストを、[アサイン先グループ] フィールドに値を持つレコードのみを表示するようにフィルタリングして提供します。

優先度の高いタスクの合計数を表示

タスクテーブルで優先度が 2 (高) の一意のレコード (個別のカウント、アグリゲーション) の数を示す単一スコアチャートを提供します。

今月作成され、優先度別にグループ化されたタスク

今月作成されたタスクテーブルのレコードを、[優先度] フィールドの値でグループ化して棒グラフで表示します。

データ可視化の生成に関する制限事項

分析の生成は幅広いクエリとシナリオを処理するように設計されていますが、特定のケースは現在サポートされていないか、部分的にしかサポートされていません。

サポートされていないクエリ

クエリコンテンツ	例	制限事項
[複数のグループ化] 条件	「グループおよびステータス別のオープンインシデントを表示 (Show me open incidents by group and state.)」	分析の生成では結果が生成されますが、最初の「group by」句(group)のみが考慮されます。2 番目の 'group by' 句 (state) は、現在の出力では無視されます。
複数の期間	「先週、先月、昨年のオープンインシデントを表示してください。」	現在、アナリティクス生成では、複数の期間のデータを同時に要求するクエリを処理できません。一度に処理できる期間は 1 つだけです。
相反する条件または補完的な条件	「先週の解決済みケースと未解決ケースを表示してください。」	アナリティクスの生成では、ステータス列の最初の条件 (解決済み) のみが検出されます。2 番目の条件 (未解決) は誤って解釈され、別の列に誤ってマップされたり、無視されたりする可能性があります。
複数のデータテーブル	「優先度の高いインシデント、問題、変更を表示」	アナリティクスの生成では、最初のテーブルのみを識別し、他のテーブルは無視します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限を回避するための可能な方法

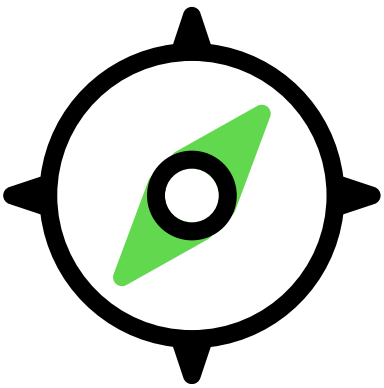
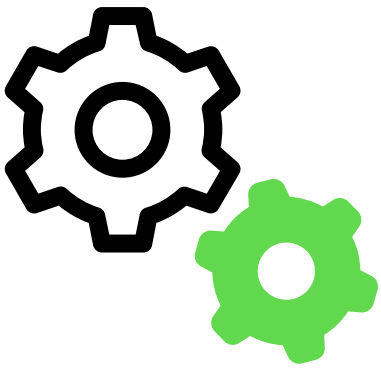
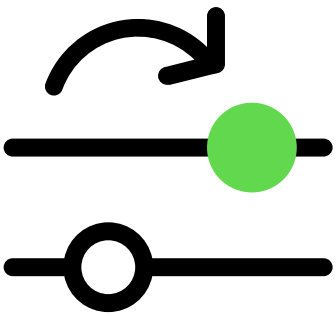
- 一度に 1 つの「group by」句に焦点を当てることで、クエリを簡素化します。
- クエリごとに 1 つの期間を指定します。
- 1 つのクエリで競合する用語や補完的な用語は避けてください。

パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)

ServiceNow® パフォーマンスアナリティクス は、管理ダッシュボードを作成し、KPI とメトリクスに関するレポートを作成し、重要なビジネス上の質問に回答することで、品質向上とサービスデリバリのコストの削減に役立つプラットフォーム内のプロセス最適化ソリューションです。

開始するには

KPI Composer、KPI 詳細、スポットライトなどの パフォーマンスアナリティクス ツールを使用すると、管理者やその他のステークホルダーがリアルタイムデータを使用して現在のステータスに対処し、傾向を正確に評価できます。

パフォーマンスアナリティクス の詳細	パフォーマンスアナリティクス **Fundamentals** の構成	詳細構成 パフォーマンスアナリティクス
		
インジケーター、ブレークダウン、データ収集などの パフォーマンスアナリティクス の概念と機能について説明します。	パフォーマンスアナリティクスソリューションを設計し、インジケーターとブレークダウンを構成し、集計を適用する方法について説明します。	スポットライト、診断、ログ記録などの高度な機能について詳しく調べます。

トラブルシューティングとサポート

- に関する質問や専門知識の共有 ServiceNow Community
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート
- Performance Analytics トレーニング

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Performance Analytics Essentials
- Performance Analytics Fundamentals
- Performance Analytics Advanced

パフォーマンスアナリティクス の詳細

パフォーマンスアナリティクスユースケース、コンポーネント、およびアーキテクチャを確認し、製品の実装を開始します。

パフォーマンスアナリティクス 企業が目標に対する進捗状況を設定、追跡、分析できるようにすることで、ビジネスの変革を促進します。より短い時間でより多くの人々をより良いデータに結び付け、本当に重要なことに集中できるようにします。

重要:
本番インスタンスで設定する前に、非本番インスタンスで パフォーマンスアナリティクス を設定してテストします。

パフォーマンスアナリティクスは、以下によってパフォーマンスを向上させ、継続的なサービス改善を加速させます：

- 重要なプロセスの測定基準と傾向を追跡します。
- 組織のターゲットに対するプロセスの健全性と動作の測定。
- プロセスパターンと潜在的なボトルネックを発生前に特定する。
- ロールベースのダッシュボードでプロセスの健全性の履歴統計とリアルタイムの統計情報を継続的に視覚化し、個々のステークホルダーが情報に基づいた意思決定を行えるようにします。

パフォーマンスアナリティクスを使用するメリットは次のとおりです。

インサイトを瞬時に提供

従業員は、データベースやスプレッドシートからデータをエクスポートする代わりに、ボタンをクリックするだけで、関連するパーソナライズされたインサイトを得ることができます。すぐに古くなってしまうレポートを手動で作成する必要はありません。

唯一の真実の確立

ビジュアライゼーションを定義し、それが一貫性のある正確なデータに基づいていることを確認することで、チームが前向きな変化を推進するために使用できる単一のバージョンの現実を提供します。

価値実現までの時間を短縮

数か月ではなく数週間以内に パフォーマンスアナリティクス を実装し、データのインサイトを迅速に活用します。

継続的な改善の推進

パフォーマンスアナリティクス は、改善が必要な領域を特定するのに役立ちます。主要指標、モバイル対応スコアカード、タイムチャート、ドリルダウン、およびダッシュボードに基づいて行動します。

この 5 分間のビデオを見て、 ServiceNow パフォーマンスアナリティクス 概念を理解してください。

このビデオでは、サンプル ビジネス シナリオと、パフォーマンス分析がそのシナリオをどのようにサポートするかを示します

この 7 分間のビデオでは、パフォーマンスアナリティクス によって各ダッシュボードがさまざまなユーザーにどのようなメリットをもたらすのかを説明します。

このビデオでは、ダッシュボードに関してさまざまな目標とニーズを持つ役員、プロセスオーナー、およびフロントラインワーカー向けの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	Performance Analytics ダッシュボードについて説明します。

ヒント:
パフォーマンスアナリティクス の使用法の概要については、「Performance Analytics Essentials」 コースを受講してください。

パフォーマンスアナリティクス コンセプト

ServiceNowプラットフォームには独自性があるため、パフォーマンスアナリティクスでは業界の標準とは異なる用語や概念を使用しています。

注:
パフォーマンス分析は、ベンチマークなどの他のアプリケーションで使用されます。以下の情報は、パフォーマンス分析のコア機能について説明しています。パフォーマンス分析を使用するその他のアプリケーションについては、それらのアプリケーションのドキュメントを参照してください。

パフォーマンスアナリティクス には次の概念とコンポーネントが含まれています。

主要コンポーネント

インジケーター

ビジネスサービス、アクティビティ、または組織行動の定期的な間隔で実行されるパフォーマンス測定値を定義します。これらのパフォーマンス測定では、時間とともに一連のインジケーター スコアを得られます。企業はこれらのスコアを追跡して、現在の状況を測定し、傾向を予測します。

技術的には、インジケーターは、データセットとデータ集計 (カウントなど) をオプションの条件と組み合わせます。

インジケーターの主な特徴は次の通りです。

- インジケータースコアは、インジケーターソースで定義された一連のレコードから自動的に生成することや、手動で入力したり、その他のインジケーターから計算したりできます。
- インジケータースコアは、分析ハブで表示や分析することや、ダッシュボードのウィジェットから示すことができます。

利便性を向上させるために、インジケーターをテーマ別にインジケーターグループに整理することができます。

同義語：メトリック、ビジネス評価指標、KPI

ブレークダウンおよび要素

を使用して、優先度、カテゴリ、アサイン先グループなどの定性的属性別にインジケータースコアをグループ化またはフィルタリングすることができます。ブレークダウンは、 アナリティクスハブ、KPI 詳細、およびダッシュボードに適用できます。

例えば、[アサイン先グループ別] の [未解決の変更の数] を確認することができます。または、[優先度別] の [新規変更の数] を表示できます。

各ブレークダウンの値は、ブレークダウン要素と呼ばれます。たとえば、優先度ブレークダウンに [重大]、 [高]、 [低] の要素があるとします。ブレークダウンは、これらの要素の発生元により、自動、手動、または外部に分類されます。自動ブレークダウンの要素は、ブレークダウンソースで指定されます。手動ブレークダウンには、組織を定義するために手動入力された要素があります。最後に、外部ブレークダウンでは、ブレー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クダウン要素を取得するための JDBC データ ソースと SQL ステートメントを指定します。

インジケーターに 2 レベルを超えるブレークダウンを適用することはできません。

同義語：様相、ドリルダウン

データコレクター

は、プロセステーブルの定期的なスナップショットを取得してスコアテーブルとスナップショットテーブルに保存するエンジンです。データコレクタージョブを設定することで、スケジュールに従って自動的に実行できます。通常、インジケーターソースの頻度と一致するスケジュール済みジョブを設定します。1 つのジョブは、通常、同じインジケーターソースを使用する複数のインジケーターのスコアを生成します。履歴ジョブなど手動で実行するジョブを設定し、新しいインジケーターのデータを収集するときにのみ実行することもできます。

クラシックのビジュアル化

分析ハブ

は、より詳細な分析に使用されるインジケーターの探索的ビューです。特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードを表示することができます。そのインジケーターを アナリティクスハブ に含めるかどうかをインジケーターレコードに設定します。

アナリティクスハブ は、以前は「詳細スコアカード」と呼ばれていました。

コア UI のレスポンシブダッシュボード

は、複数の Performance Analytics、レポート、およびその他のウィジェットのコレクションであり、対象者向けに論理ビューに配置されています。ダッシュボードには、レスポンシブとレスポンシブでないものがあります。レスポンシブ ダッシュボードを作成、共有するには、少なくとも 1 つのロールが必要ですが、これはどのロールでもかまいません。レスポンシブ ダッシュボード上ではウィジェットをドラッグして移動したり、サイズを変更することができます。レスポンシブでないダッシュボードでは、柔軟性の低いドロップ ゾーン レイアウトが使用されており、表示、作成、編集するにはパフォーマンス分析のロールが必要となります。

時系列

は次のいずれかの項目を参照することができます。

- ある期間にわたって収集されたインジケーターの複数のスコアを集計して表示するウィジェットの一種。「時系列ウィジェット」を参照してください。
- アナリティクスハブ またはウィジェットである期間に収集されたインジケータースコアに適用される統計関数。 集計関数とも呼ばれます。「時系列集計の適用」を参照してください。

ターゲット

は、組織が達成したい目標で、インジケーターの得点として操作されます。ターゲットを使用すると、特定の日付の希望のスコアとインジケーターの実際のスコアとの差異を視覚化することができます。

ターゲットは、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のターゲットは、作成したユーザーだけが見ることができ、明るい線で表示されます。グローバル ターゲットは、すべてのユーザーに表示され、暗い線で表示されます。個人のターゲットは アナリティクスハブ にのみ表示され、グローバルターゲットは アナリティクスハブ と時系列ウィジェットに表示されます。

しきい値

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

は、インジケーターの通常のスコアの範囲を定義し、スコアが常に高いか低いかなど、特定のイベントが発生したときに警告します。

しきい値がトリガーされると、インスタンスではメール通知が生成されます。このメッセージはインジケーターに関連付けられており、メッセージは アナリティクスハブ を使用して直接利用できます。

しきい値は、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のしきい値は、作成したユーザーだけが見ることができ、ライト グレーの点線で表示されます。グローバルのしきい値は、すべてのユーザーに表示され、暗いグレーの点線で表示されます。個人のしきい値はインジケーターの アナリティクスハブ にのみ表示され、グローバルしきい値は アナリティクスハブ と時系列のウィジェットの両方に表示されます。

ウィジェット

パフォーマンスアナリティクス の はインジケータースコアの再利用可能なビジュアル化です。例えば、ウィジェットはインジケーターの時間を伴う進化、インジケーターのブレークダウン方法、複数のインジケーターの並行表示を表示できます。多くのバリエーションが可能です。ウィジェットは、ダッシュボードに追加された場合にのみ表示されます。

その他の概念

集計/集計

次のいずれかの機能を参照できます。

- 時間に伴った集計、収集、インジケーター スコアの パフォーマンスアナリティクス機能。このインジケーター構成にはインジケーター スコアが収集される周期が含まれます。
- ある期間に集められたインジケーター スコアに適用される統計機能。例えば、インジケーター スコアに 3 か月の合計を適用することができます。集計関数は、インジケーターフォーム、または アナリティクスハブ かウィジェットの後のいずれかに追加できます。アナリティクスハブ またはウィジェットの集計関数は、時系列の名前が付けられます。

ブレークダウンマッピング

インジケーターソースへの関係または「マッピング」ブレークダウンを指定します。ブレークダウンマッピングは、インジケーターソースのフィールドを指定するか、インジケーターソースをクエリするスクリプトを指定します。後者はスクリプト化されたブレークダウンマッピングと呼ばれることがあり、このようなマッピングを使用するブレークダウンはスクリプト化されたブレークダウンと呼ばれます。

ブレークダウンソース

ブレークダウンに含まれる一意の値 (ブレークダウン要素) を指定します。 ブレークダウンソースは、テーブルやデータベースビューからのレコードのセット、またはバケットグループとして定義されています。複数のブレークダウンで同じブレークダウンソースを使用できます。たとえば、[未解決の変更の数] インジケーターにすべてのアサイン先グループを表示する代わりに、ブレークダウンソースを構成することで、変更プロセスの一部であるグループのみに要素リストを制限することができます。

バケットグループ

たとえば、値の範囲を個別のバケットにグループ化することで、データを分類してブレークダウンとして使用できるようにするために使用されます。

バケットグループを操作するには、バケット [pa_buckets] をファクトテーブルとして使用し、条件でバケットグループを指定するブレークダウンソースを作成します。このソースに基づいて構築されたブレークダウンがスクリプトを含むブレークダウンマッピングを使用する場合、ブレークダウンはスクリプトが返す値をバケットにグループ化し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。ブレークダウンマッピングでスクリプトを使用する代わりにフィールドを指定すると、ブレークダウンはマッピングされたフィールドの値をバケットにグループ化します。

データアーキテクチャでは、バケットグループはバケットグループ [pa_bucket_groups] レコードで、バケットはバケット [pa_buckets] レコードで定義されます。各バケット [pa_buckets] レコードには、バケット グループ [pa_bucket_groups] レコードへの参照であるバケットグループフィールドが含まれています。

日

パフォーマンスアナリティクスの 1 日は常に 24 時間で定義されます。パフォーマンスアナリティクス では「営業日」という概念を使用しません。

インジケーターソース

は、1 つのテーブルまたはデータベースビューからフィルタリングされたレコードで構成されるデータセットです。インジケーターソース構成では、インシデント [incident] などのテーブル、そのテーブルからレコードをフィルタリングするための条件、および条件に基づく頻度を指定します。インジケーターソースは、ローテーションされたテーブルを指定できません。複数のインジケーターで同じインジケーター ソースを使用できます。データコレクションジョブは、インジケーターソースごとに 1 回データベースをクエリします。したがって、同じインジケーターソースを使用するすべてのインジケーターは、同じ時点からデータを取得します。

通常、インジケーターは特定の日付の状況を追跡します。インジケーターソースの条件には、通常、[オープン] [次の値に等しい **(=)**] [今日] のような日付関連のフィルターが含まれます。収集頻度の低いインジケーターでは、[クローズ済み] [次の値に等しい **(=)**] [今月] のような広い日付範囲を指定できます。

スクリプト化されたブレークダウン

スクリプトを使用してインジケーターソースをブレークダウンマッピングとしてクエリするブレークダウンです。

スナップショット

は、これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

レコードのスナップショット/リストは、アナリティクスハブ で取得できます。

スナップショットは、メインのインジケーターと最初のレベルのブレークダウン用に保持されます。ブレークダウレベル 2 のスナップショットは、ブレークダウンレベル 1 の 2 つのスナップショットリストの共通部分として派生されます。

レコードにスポットライトを当てる

スポットライト機能を使用して、見落としがちなレコードを照らします。

重み付けされた条件を定義すると、インシデントのトリアージ時またはリード スコアリングの実行時など、注意が必要なレコードを特定してランク付けできます。優先度などの 1 つのフィールド値ではなく、複数の次元に基づいてレコードをランク付けできます。ほとんどの組織は、優先度の高いアイテムに適切なタイミングで対処しますが、優先度の低いアイテムは長時間処理されないことがあります。スポットライトは、ビジネスニーズに基づいてアイテムに重点を置くのに役立ちます。

試用： 無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクスはベース システムに含まれているパフォーマンスアナリティクスの限定版であり、これを使って機能に慣れることができます。パフォーマンスアナリティクス に登録すると、すべての機能を利用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> 無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス を使用する代わりに、非本番インスタンスでサブスクリプションなしで パフォーマンスアナリティクス の全機能を備えたプラグインをアクティブ化することができます。

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス には次の機能と制限があります。

- パフォーマンスアナリティクス 管理コンソールが含まれており、これを使用して パフォーマンスアナリティクス の全機能セットをアクティブ化することができます。
- インジケーターの追加や削除はできません
- 本日の日付から数えて最大 180 日間の履歴スコアが可視化されます。
- グローバル ドメインでのみ使用可能です

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクスを試すには、 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ガイド付きセットアップ インシデント管理のガイド付きセットアップを起動します。この設定では、インジケーター、ブレークダウン、ソース、データ収集、および結果表示のガイドが表示されます。

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクスを使用してスポットライト機能を試すこともできます。スポットライトは、複数の重み付き条件に基づいてレコードを評価することにより、作業を優先順位付けできるようにします。ライセンスがない場合は、スポットライトをインシデント・レコードでのみ使用でき、スポットライトのインタラクティブ分析にはアクセスできません。スポットライトを試すには、パフォーマンス分析 - スポットライト - インシデント スポットライト プラグインを有効にし、次のガイド付きセットアップに従ってください。 スポットライト > ガイド付きセットアップ. プラグインを有効にするには admin ロールが必要です。

2 時間の無料コース Performance Analytics Essentials では、無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクスで使用できる PA コンポーネントと概念を紹介しています。(登録が必要です。)

Performance Analytics と Reporting の比較

パフォーマンスアナリティクス と レポート は 2 つの異なるアプリケーションです。異なるユースケースに対応し、相互に補完します。

> **注:**
> レポート アプリケーションは段階的に廃止され、Xanadu 以降の新しいインスタンスでアドミン以外のユーザーは利用できなくなります。ただし、この比較は、テーブルデータソースを使用したデータの可視化と パフォーマンスアナリティクスを使用したデータの可視化の間でも適用されます。

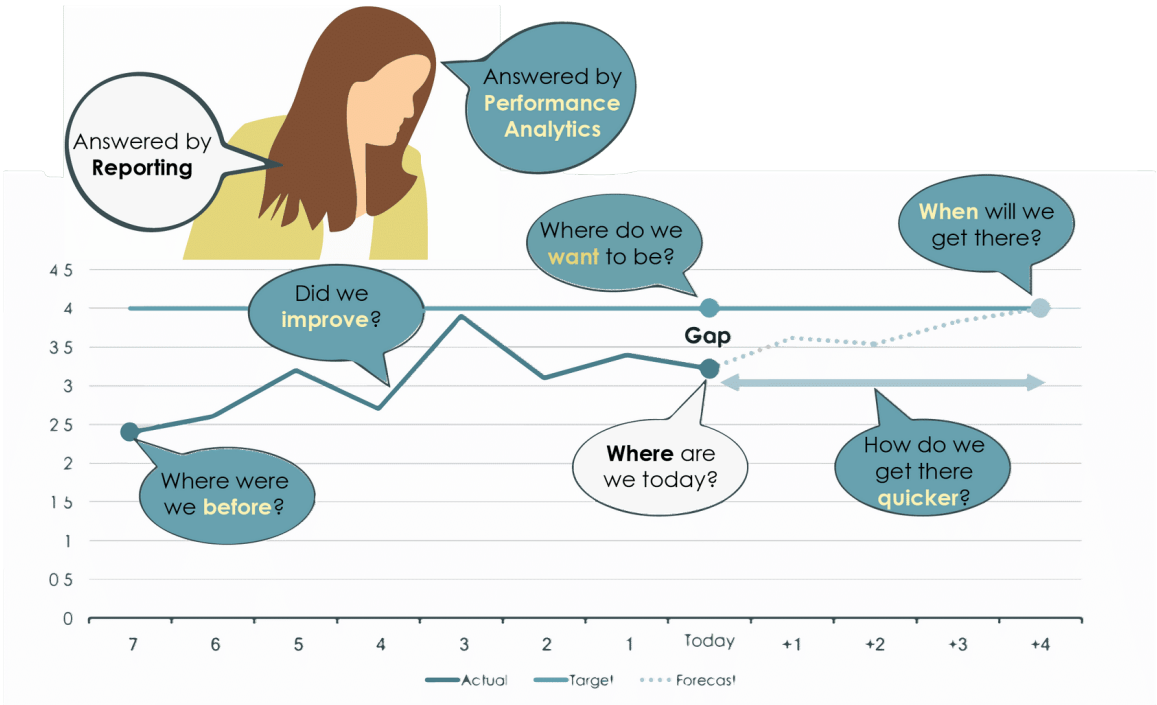
レポートと分析の境界線は必ずしも明確ではありません。一般的に、レポートは現在の状態を示し、分析は傾向を示します。レポートはレコードの管理に適しており、分析はプロセスの管理に重点を置いています。両方必要です。

パフォーマンスアナリティクス は、定期的なスケジュールで継続的なスナップショットをキャプチャすることで、正確な履歴傾向を生成できます。次の図に示すように、 レポート は「現在の状況」という質問に答え、 パフォーマンスアナリティクス は時間の経過とともに何が起こっているかという質問に答えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートおよびプロセスインサイトに関する一般的な質問パフォーマンスアナリティクス



スナップショットから傾向を計算できるだけでなく、 パフォーマンスアナリティクス では次のことができます。

- ターゲットに対するパフォーマンスを追跡します。
- しきい値を満たしたときにアラートを出します。
- 将来のパフォーマンス予測
- 異なる時点でのパフォーマンスを比較します。
- ベストプラクティスの測定基準を使用して価値実現までの時間を短縮します。

最後に、試行錯誤しながら Reporting ソリューションを開発することもできますが、Performance Analytics には機能の仕組みに関する予備知識が必要です。本番環境に実装する前に、 パフォーマンスアナリティクス ソリューションを慎重に計画し、テストする必要があります。

重要:
トレーニングなしで パフォーマンスアナリティクス 構成しようとしないでください。パフォーマンスアナリティクスソリューションの設計が適切でないと、パフォーマンスに深刻な影響を与え、インスタンスが不安定になることさえあります。初回トレーニングである Performance Analytics Essentials は無料で受講できます。

関連情報

インジケーターの計画

インジケーターを作成するためのワークフロー

を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI Composer

パフォーマンスアナリティクス の実装

サービスレベルを向上させるための パフォーマンスアナリティクス の使用を開始するには、次の手順に従います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画して準備する

改善を評価して推進するための目標と測定を定義します。

1. 測定して改善するビジネスプロセスを特定します。
2. これらのビジネスプロセスの健全性に影響を与える要因と動作を特定します。
3. 測定する測定基準を決定します。

パフォーマンスアナリティクスソリューションの計画と準備に役立つツールについては、「を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI Composer」を参照してください。

端を発する プラットフォームアナリティクスソリューション

新しいインジケーターを作成する前に、 プラットフォームアナリティクスソリューション で利用可能な組み込みのダッシュボードとインジケーターを試してください。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

1. アナリティクスソリューションの説明に従って、ライセンスエンタイトルメントを確認し、該当するソリューションをアクティブ化します。
2. インジケーターとブレークダウンのソースが正しいテーブルを参照していることを確認します。
3. インジケーターとブレークダウンをカスタマイズして、組織のニーズを満たします。

.

データの収集

収集ジョブは、必要な頻度で実行するように構成し、アクティブ化する必要があります。

1. データコレクタージョブをスケジュールしてアクティブ化します。
2. 履歴データコレクタージョブを 1 回限りで実行して、空のインジケーターに入力します。

結果を共有

ビジネスプロセスのストーリーを伝えるアクション可能な KPI を表示し、対象となる閲覧者に適切なレベルの情報を表示します。

1. 利用可能な事前構成済みコンテンツを調べてデータの感触をつかみ、ダッシュボードのカスタマイズを決定します。
2. ステークホルダーにダッシュボードへのアクセス権を付与します。
3. 組み込みのリアルタイム分析により、誰もがアクションを実行できるようにします。

インジケーターの計画

インジケーターを作成する前に、インジケーターで達成したい目標を明確にします。

インジケーターを作成する前に、次の質問をしてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 何を
  - 何を測定しますか? 測定したいものは、ビジネスゴールに向けた進捗状況に基づいていますか? ビジネス目標から始めて、測定対象を決定することを検討してください。あなたは使うことができます KPI Composer お役に立ちます。

    オープンインシデントの数のような単純なカウントが必要ですか、それともインシデントの平均クローズ時間のようなより高度なカウントが必要ですか?
  - 多い方が良いですか、それとも少ない方が良いですか?

    たとえば、オープンインシデントの数はできるだけ少なくし、営業の数は増やすとします。
  - この数字に最も寄与する要因は何か?
  - この数値を歪める要因は何ですか?

    季節。スタッフの数や構成の変化?
  - 数値が良いものから悪いものになったらどうしますか?
- 誰が
  - このインジケーターの責任者は誰ですか?

    要求履行者? マネージャー?
  - この情報を表示すべきでないのは誰ですか?
- [Why (目的)]
  - 次の質問は何ですか?

    たとえば、オープンインシデントの数がわかったら、そのうちの何パーセントが 30 日以上オープンになっているかを知りたい場合があります。
  - この数字は、何が起こるかを予測していますか、それとも何が起こったかを示していますか?
- How (方法)
  - 今日、これを測定しましたか?
  - はいの場合、あなたはそれで何をしますか?
  - 「いいえ」の場合、なぜですか?
- いつ
  - データはどのくらいの速さで変化しますか?
  - 見つめるのに意味のある期間とは?

    日々の変化は意味があるのか、それともうるさすぎるのか? 実際のトレンドを確立するには、どのくらいの時間がかかりますか?
- ユースケースに一致するインジケーターが既に存在しますか、それとも独自に構築する必要がありますか?
  - サブジェクト領域の プラットフォームアナリティクスソリューション はインストールされていますか? これらのソリューションには、多くの一般的なユースケースのインジケーターが含まれています。
  - インジケーターリストで、要件と一致する、またはほぼ一致するインジケーターはありますか? 既存のインジケーターを複製して微調整することはできますか?
  - 要件を満たす既存のインジケーターから式インジケーターを作成できますか?

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

アナリティクスソリューション

を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI Composer

パフォーマンスアナリティクスのデータフロー

パフォーマンスアナリティクスを開始する前に、データがプラットフォームをどのように流れるかを理解し、最終的にプロセスの改善を可視化できるようにします。

1. 日々の事業運営とデータ連携から生成されたデータが、それぞれのビジネスプロセスのテーブルに入力されます。

   例:新しいインシデントを送信すると、インシデントテーブルにレコードが作成されます。

2. アクティブなスケジュール済みジョブが定期的に実行され、プロセス動作のスナップショットが定期的に取得されます。各ジョブは、PA インジケーターとブレークダウンのメタデータに基づいてインジケーター (KPI) スコアを計算します。時間が経つにつれて、この連続的なスコアのストリームが傾向を構築します。

   例:収集ジョブは、インシデントテーブル内のインシデントの数を毎日カウントします。1 か月後、約 30 のデータポイントを含む傾向を表示できるようになります。

3. データのスナップショットとスコアは、 パフォーマンスアナリティクス データテーブルに保存されます。これらのテーブルは、 パフォーマンスアナリティクス すべての可視化のソースです。
4. ウィジェットは、傾向ラインや棒グラフなどの特定の形式でインジケータースコアを表示します。

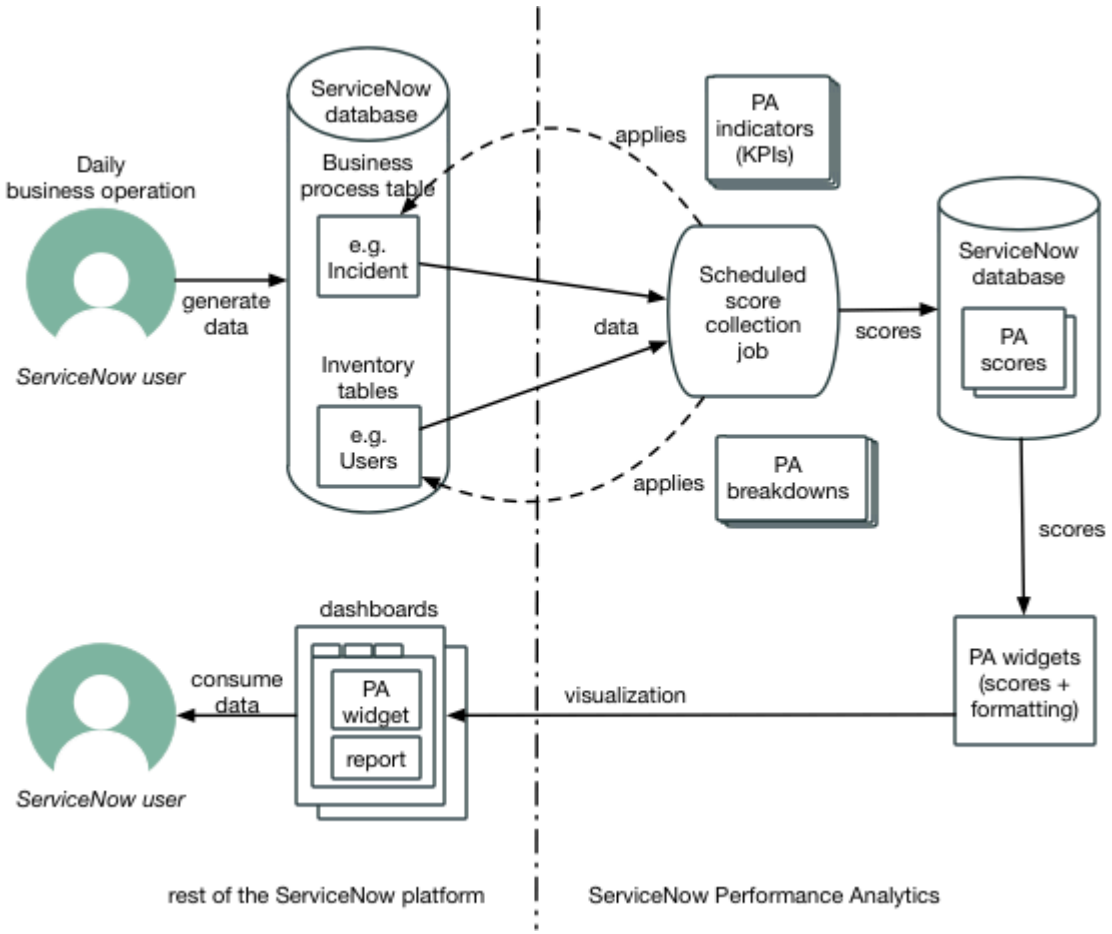
   例:新規インシデントの数は、追跡できるインジケーターです。このインジケーターは、適切なウィジェットを構成することで、単一のスコアまたは時間の経過に伴う毎日の読み取り値の傾向として視覚化できます。

5. 複数の パフォーマンスアナリティクス ウィジェットが単一のダッシュボードビューに表示されるため、ステークホルダーは関連するすべてのビジネスプロセス情報を 1 か所で表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンス分析のデータフロー



パフォーマンスアナリティクス **Fundamentals** の構成

インジケーターとブレークダウンを作成および構成します。データを収集します。計算された パフォーマンスアナリティクス スコアを表示します。

パフォーマンスアナリティクス の本質的な使用法の概要については、無料のトレーニング「Performance Analytics Essentials」を受講してください。

注:
すべての可視化において、メトリクスシステムに従って高スコアが短縮されます。したがって、100 万単位のスコアは M で省略され、(米国の) 10 億単位のスコアは G で省略されます。

を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 **KPI Composer**

KPI Composer パフォーマンス管理戦略がビジネスゴールと一致し、エグゼクティブスポンサーからのサポートが得られるようにします。KPI Composerを使用して、パフォーマンス測定戦略を定義することと、パフォーマンスアナリティクス内からその戦略を実現することの間のギャップを埋めます。ビジネスゴールから始めて、インジケーターから最終的なダッシュボードまでのすべてのコンポーネントを計画します。

KPI Composer は、実装目標、望ましいビジネス成果、および必要な技術的成果物を簡潔で視覚的なサマリーで視覚化することで、パフォーマンス管理要件を引き出し、ステークホルダーの調整を促進するのに役立ちます。この包括的なアプローチにより、実装者が技術的な成果物の作業に時間を費やす前に、ステークホルダーが望ましい結果と要件について完全に一致していることが保証されます。準備が整うと、パフォーマンスアナリティクスの実装者は、目標をサポートするために作成する必要があるもの (インジケーター、ブレークダウン、レポート、ダッシュボード) を正確に記載した

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクリストを取得できます。また、KPI Composer を使用して実装の進捗状況を追跡することもできます。

ServiceNow University では、KPI Composer の無料トレーニングを利用できます。

KPI Composer のアクティブ化

KPI Composer は ServiceNow Storeで利用できます。移動先 システムアプリケーション > **ServiceNow Store** を検索をクリックするか、ブラウザで https://store.servicenow.com/sn_appstore_store.do#!/store/homeします。KPI Composerという名前のアプリケーションを検索します。アプリケーションを本番インスタンスにダウンロードする場合は、 Now Support アカウントが必要です。

アプリケーションをダウンロードしたら、 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.KPI Composerアプリケーションを検索してインストールします。例については、以下を参照してください。 のアクティブ化 ServiceNow Store application .

注:
KPI Composerを最大限に活用するには、パフォーマンスアナリティクスを使用するための適切なエンタイトルメントが必要です。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス ロール

アクセス先：**KPI Composer**

KPI Composerへのアクセスレベルによって、ユーザーがKPI Composerプロジェクトを作成、編集、または表示のみできるかどうかが決まります。また、ユーザーがアクセスできるプロジェクトと、基になるレコードにアクセスできるか、または UI にのみアクセスできるかも決定します。

KPI Composerへのアクセスは、単独または組み合わせて、次のものに依存します。

- ユーザーロール
- 責任
- 共有中に許可されるアクセス

ロールベースのアクセス

アドミニストレーターは、ユーザーに KPI Composer アドミンまたはユーザーのロールを付与できます。KPI Composerアドミンには、KPI ComposerのNow Platformアドミンと同じ権限があります。KPI Composerユーザーは、自動的にすべてのプロジェクトにアクセスできるわけではなく、インジケーターまたはブレークダウン定義を実際のパフォーマンスアナリティクスエンティティに関連付けることはできません。

のユーザーロール **KPI Composer**

ロール	次の値を含む	**Description** (説明)
sn_kpi_composer.admin または admin	pa_viewer	• レコードを含む KPI Composerのすべてのコンポーネントへのフルアクセス。 • すべてのプロジェクトへのフルアクセス。 • プロジェクトの責任を共有またはアサインできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のユーザーロール **KPI Composer** (続く)

ロール	次の値を含む	**Description** (説明)
		• インジケーターとブレークダウンの定義を パフォーマンスアナリティクス インジケーターとブレークダウンに関連付けることができます。
sn_kpi_composer.user	なし	• 自分が作成したプロジェクトにのみアクセスできます。 • 自分が作成したプロジェクトを共有したり、責任をアサインしたりできます。 • これらのプロジェクトのデザインタブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、およびブレークダウン定義にのみアクセスできます。 • パフォーマンスアナリティクスインジケーターまたはブレークダウンをそれぞれの定義に追加することはできません。 このロールを持つユーザーは、責任または共有されているプロジェクトに基づいて、より多くのプロジェクトにアクセスできる場合があります。

KPI Composer設計をパフォーマンスアナリティクスに実装するには、適切なパフォーマンスアナリティクスロールも必要です。

プロジェクトの責任

責任ユーザーは、担当するプロジェクトに対して次のアクセス権を持ちます。

- プロジェクトを表示および編集できます。
- プロジェクトの責任を共有またはアサインできます。
- これらのプロジェクトのデザインタブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、およびブレークダウン定義にのみアクセスできます。
- パフォーマンスアナリティクスインジケーターまたはブレークダウンをそれぞれの定義に追加することはできません。

このレベルのアクセスは、sn_kpi_composer.user ロールによって付与されるものと同等です。また、プロジェクトを編集権限で共有することと同じです。責任は、まず、どの役割からも独立しているという点で異なります。2つ目の違いは、技術的なものではなく、手続き上の違いです:責任あるユーザーは、プロジェクトの監督と実装を担当すると理解されています。したがって、プロジェクトの作成者でさえ、自動的に責任を負うわけではありません。

責任ユーザーは、プロジェクトのプロパティで指定されます。編集権限を持つユーザーは、責任ユーザーを指名できます。責任ユーザーの命名の詳細については、「 プロジェクトのプロパティの定義」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有プロジェクト

編集権限を持つすべてのユーザーがプロジェクトを共有できます。プロジェクトを共有する場合は、次の 2 つのアクセスレベルのいずれかを付与します。

アクセスを編集

このレベルのアクセスは、技術的には、責任ユーザーまたは sn_kpi_composer.user ロールを持つユーザーのアクセスと同じです。最初の違いは、ロールは必要ないということです。2つ目の違いは、プロジェクトを監督または実装する責任が含まれていないことです。

ビューアクセス

表示アクセス権を持つユーザーは、共有プロジェクトのデザインタブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、およびブレークダウン定義を読み取ることができます。検索やフィルターなど、すべての表示ユーティリティを使用できます。ただし、プロジェクト内で何も変更することはできません。追加できるのはジャーナルエントリのみです。

詳細については、「KPI Composer プロジェクトの共有」を参照してください。

KPI Composer プロジェクト

KPI Composer は プロジェクトに基づいています。KPI Composer の各プロジェクトは、重要業績評価指標 (KPI) ツリーと、それらのツリー内のすべての成果物の機能的および技術的定義で構成されます。複数のプロジェクトを作成できます。

KPI Composerプロジェクト UI には、一連の 4 つのタブがあり、それぞれがプロジェクトのフェーズに対応しています。

分析

このフェーズでは、ビジネスゴール、重要な成功要因、および測定 (または KPI) の階層ツリーを作成します。KPI を概念的に定義し、目標と成功要因にマッピングすることで、必要なすべてのパフォーマンスアナリティクス構成の詳細な機能仕様が生成されます。この仕様はビジネススポンサーによって吟味され、技術的な実装者に明確な方向性を提供します。

ダッシュボードデザイン

このフェーズでは、1 つ以上の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードの設計仕様を作成します。実装の早い段階でプレゼンテーションの [Dashboard Visualization (ダッシュボードの可視化)] タブを使用してタイムリーなフィードバックを得ることで、プロジェクトが完了したときに、ダッシュボードの閲覧者が期待どおりのビジュアル化を取得できます。

データの定義

このフェーズでは、分析中に定義した KPI に一致する パフォーマンスアナリティクス インジケーターの技術仕様を提供します。KPI は、既に存在する、または後で作成する適切な パフォーマンスアナリティクス インジケーターにリンクできます。

レビュー

このフェーズでは、プロジェクト内の設計コンポーネントを検証し、システム定義の健全性チェックを実行し、 パフォーマンスアナリティクス でプロジェクトを実装するためのタスクリストを生成します。

KPI Composer プロジェクトの作成

KPI Composer を使用する最初のステップとして、プロジェクトを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

自動翻訳

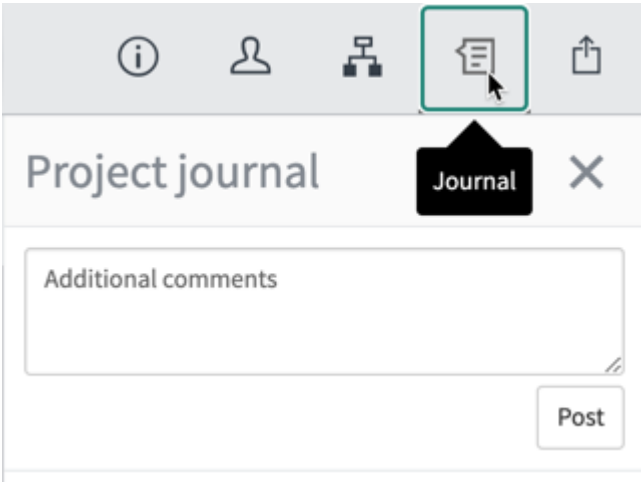
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** > プロジェクト をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. 「新規プロジェクトの作成」ダイアログで、プロジェクトにわかりやすい名前を付け、「 保存」をクリックします。

タスクの結果
プロジェクトが作成され、[プロジェクト] ページに表示されます。

次のタスク
プロジェクトの作業中は、プロジェクトジャーナルで共同で追跡します。



プロジェクトのプロパティの定義

プロジェクトプロパティでは、ナレッジ記事、所有者、および連絡担当者をプロジェクトに関連付けることができます。

始める前に

> **注:**
> 「プロジェクト・プロパティー」は、「アーティファクト・プロパティー」の「情報」タブと似ています。異なるのはスコープだけです。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. [分析] タブで、画面の右上にある [情報] アイコン ( ) をクリックします。
3. プロジェクトにわかりやすい名前を付けます。
4. 他のユーザーがプロジェクトの目的を理解できるように、プロジェクトの詳細な説明を追加します。
5. このプロジェクトで達成したい事業達成目標を指定します。
6. 次のいずれかの詳細を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロジェクトに関連する情報を含むナレッジ記事。ナレッジ記事はいくつでもリンクできます。
- 責任のあるユーザー。責任ユーザーは完全な編集権限を持ちますが、プロジェクトの実装にも責任を負うことが期待されます。この責任により、責任のあるユーザーと、プロジェクトが編集権限で共有されているユーザーと区別されます。
- 連絡担当者

プロジェクトにペルソナを追加する

各プロジェクトには、設計している パフォーマンスアナリティクス ソリューションで異なるロールを持つ複数のペルソナがいます。ペルソナは、サービスデスクマネージャーやサービスオーナーなど、社内のロールです。

始める前に

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

手順

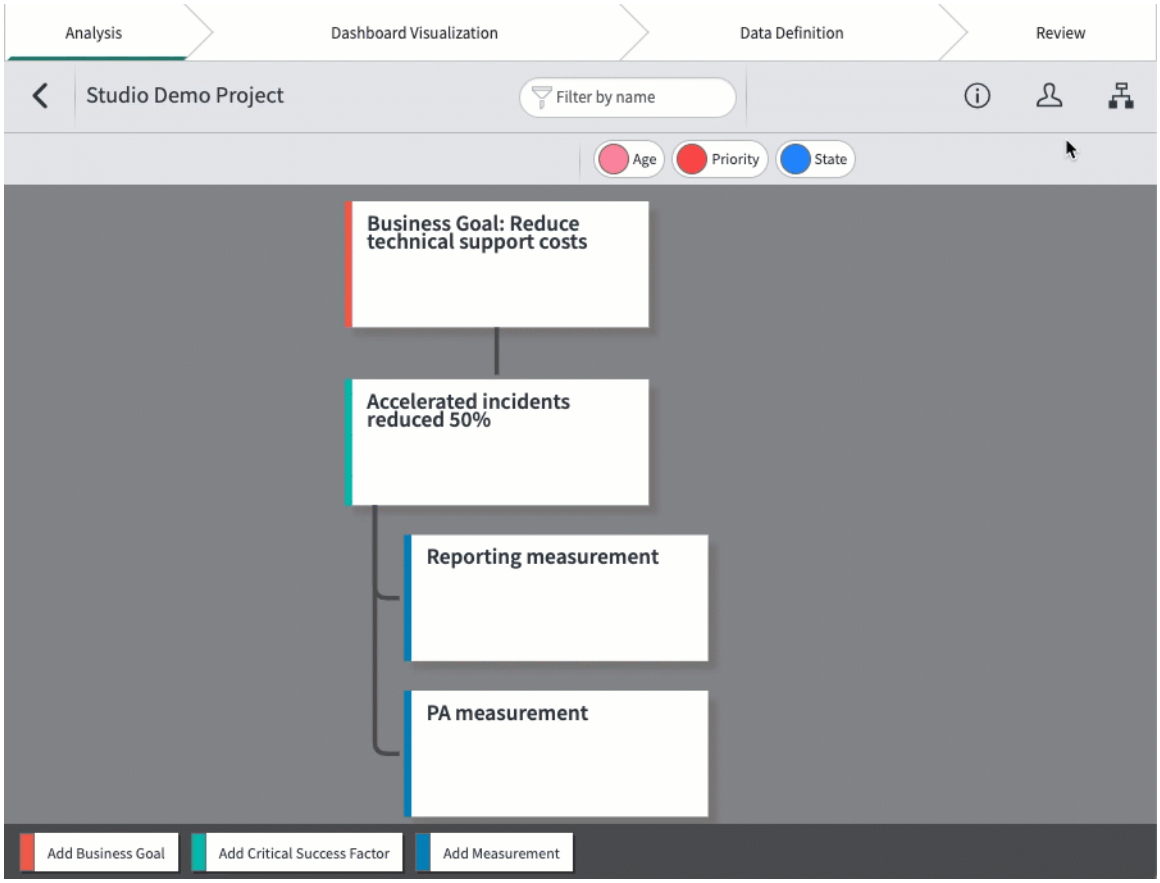
1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. [分析] タブで、画面の右上にあるペルソナアイコン ( ) をクリックします。
3. [ペルソナ] ダイアログで、[アイテムの追加] をクリックします。
4. 新しいペルソナの名前を入力し、テキストボックスの外側をクリックします。
   ペルソナは、KPI ツリーキャンバスのヘッダーに表示されます。各ペルソナは、名前に含まれる最初の 2 つの単語 (1 つの単語のみの場合は最初の 2 文字) に基づく 2 文字の識別子を自動的に取得します。
5. ペルソナをさらに追加するには、これらの手順を繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: KPI Composerプロジェクトへのペルソナの追加

次の短いアニメーションでは、ペルソナ (エージェント) と CIO をプロジェクトに追加する方法を説明します。次に、CIO ペルソナをビジネスゴールに追加する方法を見ていきます。



次のタスク

ペルソナをキャンバス上の既存のアーティファクトにドラッグして、それらのアーティファクトに追加します。アーティファクトに追加できるペルソナの数に制限はありません。アーティファクトに 3 つ以上のペルソナがある場合、ペルソナのフルネームは非表示になります。フルネームを表示するには、ペルソナにカーソルを合わせます。

Ctrl/Command キーまたは Alt/Option キーを押しながらペルソナをアーティファクトにドロップすると、次の高度な機能が有効になります。

Ctrlを押しながらドロップ

ドロップ先のアーティファクトと、そのアーティファクトのすべての子アーティファクトにペルソナを追加します。

Alt キーを押しながらドロップ

ドロップ先のアーティファクトからペルソナを削除します。

Ctrl キーと Alt キーを押しながらドロップ

ドロップ先のアーティファクトと、そのアーティファクトのすべての子アーティファクトからペルソナを削除します。

ブレークダウン定義によるデータのグループ化

各プロジェクトには、KPI のデータをグループ化するために使用できる一連のブレークダウン定義を含めることができます。これらのブレークダウン定義は、最終的に作成する パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンの仕様を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

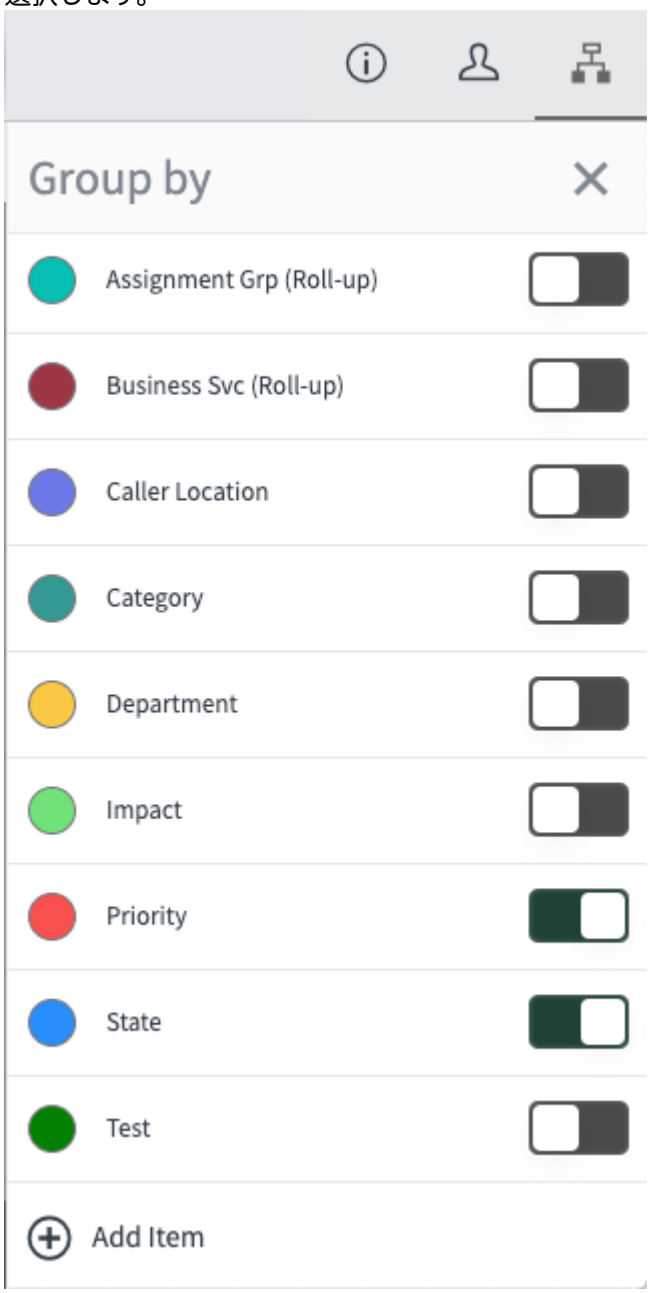
始める前に
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. [分析]タブで、画面の右上にある[グループ化]アイコン( )をクリックします。
3. [グループ化] ダイアログで、スライダーを使用して、プロジェクトに含めるブレークダウン定義を選択します。



選択したブレークダウン定義が、KPI ツリーキャンバスのヘッダーに表示されます。ここから、アーティファクトにドラッグできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

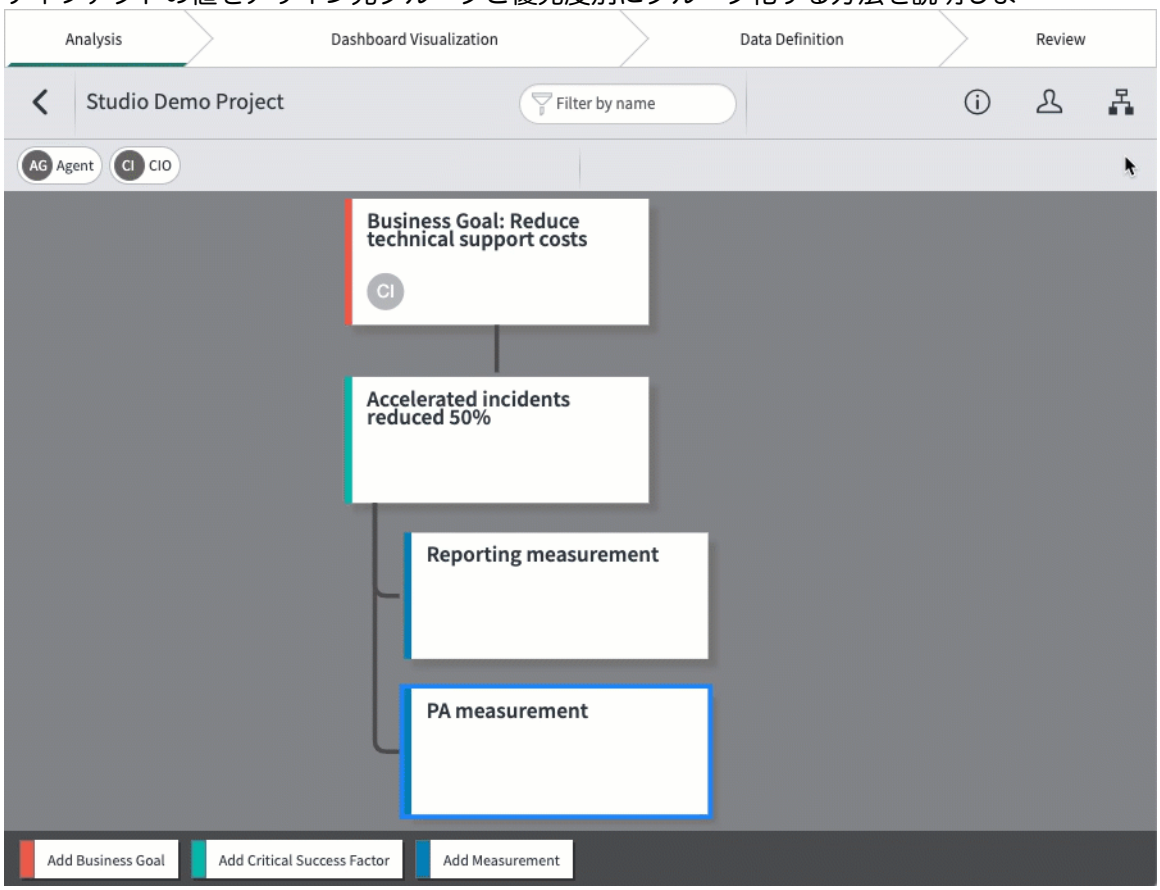
4. 新しいブレークダウン定義をプロジェクトに追加するには 、「項目を追加」 をクリックし、用語を入力します。



新しいアイテムが [グループ] リストに表示され、一致するブレークダウン定義レコードが作成されます。

Example: KPI Composerプロジェクトのブレークダウン定義の選択

次の短いアニメーションでは、プロジェクトに対するブレークダウン定義 [アサイン先グループ]、[影響度]、および [優先度] を選択する方法を示しています。次に、KPI ツリーアーティファクトの値をアサイン先グループと優先度別にグループ化する方法を説明します。



次のタスク

ブレークダウン定義 ([グループ] アイテム) をキャンバス上の既存のアーティファクトにドラッグします。アーティファクトに関連付けられたデータは、任意の数のブレークダウン定義でグループ化できます。アーティファクトの色付きの点は、アーティファクトがグループ化されているブレークダウン定義を示します。これらのブレークダウン定義の名前を表示するには、アーティファクト上の色付きの点のいずれかをポイントします。

Ctrl/Command キーまたは Alt/Option キーを押しながらブレークダウン定義をアーティファクトにドロップすると、次の詳細機能が有効になります。

Ctrlを押しながらドロップ

ブレークダウン定義を、ドロップ先のアーティファクトと、そのアーティファクトのすべての子アーティファクトに追加します。

Alt キーを押しながらドロップ

ドロップ先のアーティファクトからブレークダウン定義を削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Ctrl キーと Alt キーを押しながらドロップ

ドロップされたアーティファクトと、そのアーティファクトのすべての子アーティファクトからブレークダウン定義を削除します。

ブレークダウンの定義

ブレークダウン定義で実際の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンを構築する方法の機能の説明を提供します。適切な パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンが存在すると、ブレークダウン定義でそのブレークダウンにリンクできます。

始める前に

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin (パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンにリンクするため)、admin。責任ユーザーまたは編集アクセス権を持つユーザーには、 パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンへのリンクへのリンクを除き、ロールは必要ありません。

このタスクについて

KPI Composer プロジェクトに追加するブレークダウン定義は、実際の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンではありません。これらは、 パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンがどうあるべきかを説明するプレースホルダーにすぎません。KPI Composerブレークダウン定義では、次のいずれかまたは両方の情報を指定します。

- パフォーマンスアナリティクスエキスパートが実際のブレークダウンを作成するために必要な詳細。
- 要件を満たす既存の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンへの参照。

手順

1. [分析] タブで、[グループ化] アイコン () をクリックします。
2. 定義するブレークダウンの名前をクリックします。
3. 次の情報を入力します。

フィールド	**Description** (説明)	メモ
PA 明細 (sn_kpi_composer.admin および admin ロールに制限)	このインスタンスに存在する パフォーマンスアナリティクス ブレークダウン。	ブレークダウン定義に パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンへの参照がない場合は、そのブレークダウンを作成することを検討してください。
ファクトテーブル	パフォーマンスアナリティクスブレークダウンのブレークダウン ソースが参照する必要があるテーブル。	ブレークダウンを作成するための重要な情報。
条件	ブレークダウン ソースまたはブレークダウン自体のファクト テーブルに適用するフィルタ条件。	

プロジェクトのジャーナルエントリーを書き込みます

ジャーナルエントリで KPI Composer プロジェクトを追跡します

始める前に

必要なロール: KPI Composer プロジェクトへのアクセス権 (表示アクセス権を含む) を持つユーザーは誰でも、日誌エントリを書き込むことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

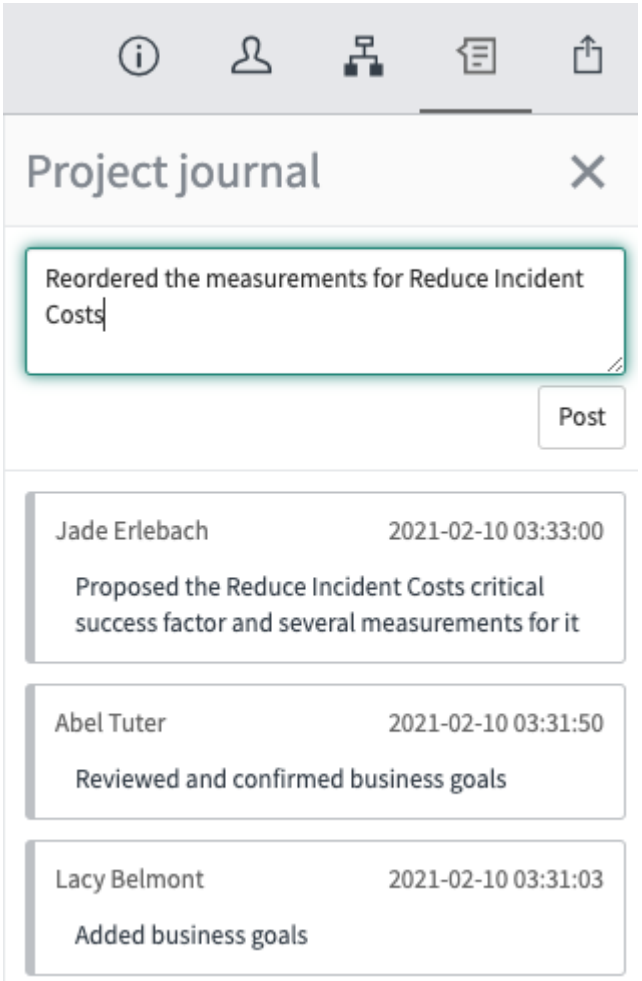
前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

手順

1. ジャーナルアイコン ( ) をクリックします。
2. ジャーナルエントリを書き込みます。
3. [**Post**] をクリックします。

タスクの結果
転記されたすべての仕訳入力は、降順で表示されます。



自動翻訳

KPI Composer プロジェクトの共有

自分が所有するプロジェクトまたは担当する KPI Composer プロジェクトを共有できます。ユーザーには、読み取り/書き込みアクセスまたは読み取り専用アクセスのいずれかを提供できます。

始める前に
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

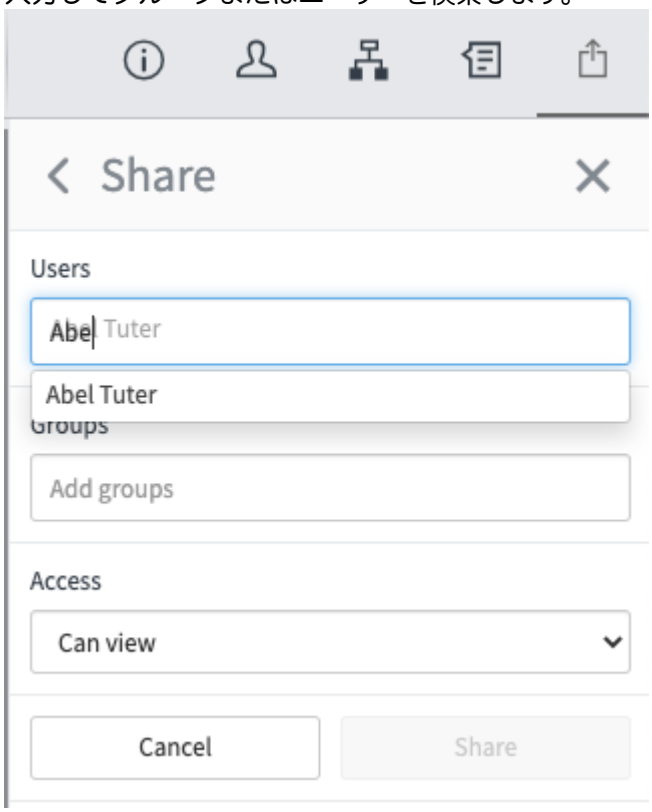
KPI Composer プロジェクトの作成

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
編集権限を持つプロジェクトを共有すると、そのユーザーは技術的には責任ユーザーと同じ権限を持ちます。この違いはプロジェクト管理に関係しており、プロジェクトを共有したユーザーはプロジェクトを簡単に編集できますが、責任あるユーザーはプロジェクトの実装を成功させる責任があります。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. ツールバーの [共有] アイコン ( ) をクリックします。
3. [グループとユーザーを追加] をクリックします。
4. 入力してグループまたはユーザーを検索します。



5. [表示可能] または [アクセスを編集可能] を選択します。
6. [共有] または [キャンセル] を選択します。

KPI Composer プロジェクトをエクスポートする

インスタンス間で KPI Composer プロジェクトをコピーするには、まずプロジェクトを JSON ファイルとしてエクスポートします。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

このタスクについて
次のフィールドは、プロジェクトではエクスポートされません。

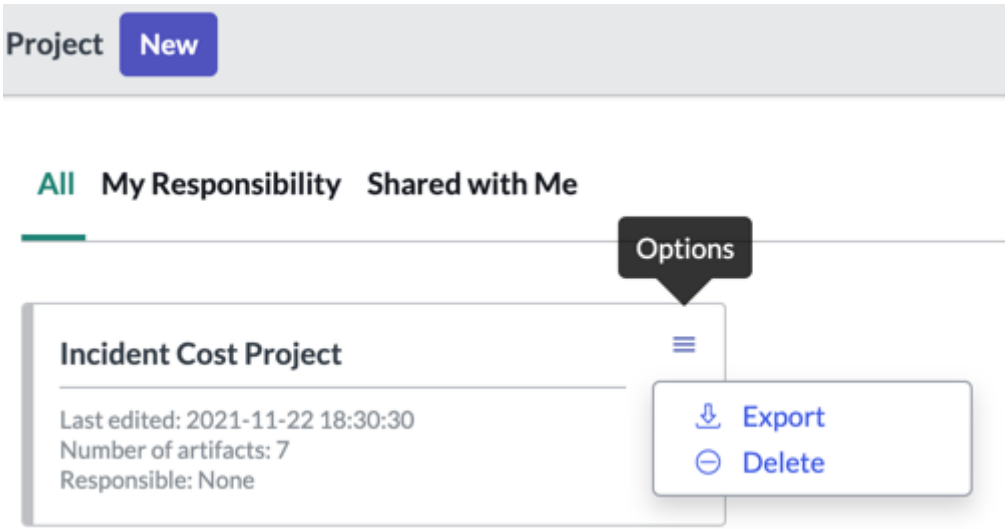
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 責任ユーザー
- 連絡先
- プロジェクト仕訳
- ナレッジ記事への参照

手順

1. **KPI Composer** に移動します。
   プロジェクトカードのページが開きます。
2. エクスポートするプロジェクトの [オプション] メニューから 、[エクスポート] を選択します。



3. エクスポートされないフィールドに関する通知をお読みください。
4. [ダウンロード] をクリックします。

タスクの結果
KPI Composerプロジェクトは、コンピューターのダウンロード先にある JSON ファイルに保存されます。ファイル名の形式は ProjectExport です。Project_name]。[タイムスタンプ].json. たとえば、「インシデントコストプロジェクト」という名前のプロジェクトの場合、エクスポートファイル名は 「ProjectExport.Incident_Cost_Project.2021-11-22_19_13_20.json」です。

KPI Composerプロジェクトのインポート

エクスポートされた KPI Composer プロジェクトがある場合は、インスタンスにインポートできます。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** > プロジェクトをインポート.
2. [ファイルの選択] を選択し、ファイル システム内のエクスポートされたプロジェクトに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [インポート] を選択します。
   同じプロジェクトのコピーが既にある場合は、インポートによって上書きされます。

タスクの結果
これで、プロジェクトを KPI Composerで開くことができます。

分析と KPI ツリー

KPI Composer の [分析] タブで、KPI ツリーを設計します。ビジネスゴール、関連する重要な成功要因、およびそれらの要素に関連する測定を指定します。これらの要因とそれを担当するペルソナの間の論理的な関係を図式化します。

KPI ツリーには、次の階層的に関連する アーティファクトが含まれています。

ビジネス目標

通常、KPI ツリーの一番上にビジネスゴールを配置します。この目標は、このプロジェクトから生まれるダッシュボードで達成したいことを表します。ビジネス目標は、「コスト効率」や「品質保証」などです。

重要な成功要因

これらの要素をビジネスゴールの下に置き、ビジネスゴールを達成するために組織が何を行う必要があるかを特定します。重要な成功要因は、ビジネスゴールまたはその他の重要な成功要因の下に配置できます。

測定

重要な成功要因のパフォーマンスを測定する方法を決定します。測定は、KPI ツリーで最も「インジケーターに似た」アーティファクトです。それらには、測定方法の機能説明が含まれています。さらに、測定の責任者と、この測定が異なるプロジェクトで使用される場合の連絡先を保存できます。

KPI ツリーには、次のドラッグアンドドロップアイコンを含むヘッダーとフッターがあります。

- フッターの左側にあるアーティファクト
- ヘッダーの右側のブレークダウン定義 (ブレークダウン定義によるデータのグループ化参照)
- ヘッダーの左側にあるペルソナ (プロジェクトにペルソナを追加する を参照)

フィルタリング

[分析] タブでは、次のフィルター オプションを使用できます。

- ペルソナでフィルタリングします。ヘッダーのペルソナアイコンを選択して、ペルソナにリンクされているアーティファクトをハイライト表示します。複数のペルソナを選択できます。この場合、選択したペルソナの少なくとも 1 つにリンクされているアーティファクトが強調表示されます。
- ブレークダウン定義でフィルタリングします。ヘッダーの [ブレークダウン定義] アイコンを選択して、ブレークダウンにリンクされているアーティファクトをハイライト表示します。複数のブレークダウンを選択できます。この場合、選択したブレークダウンの少なくとも 1 つにリンクされているアーティファクトが強調表示されます。
- テキストにフィルターを適用します。フィルターフィールドにテキストを入力し、フィールドから終了します。テキストを含むすべての成果物が強調表示されます。

すべてのフィルター関数は相互に使用できます。

ツリーノードの展開と折りたたみ

大きな KPI ツリーを操作する場合は、現在作業していないツリーの部分を閉じることができます。ツリーの一部を折りたたむには、子アーティファクトを持つアーティファクトのマイナス - アイコン

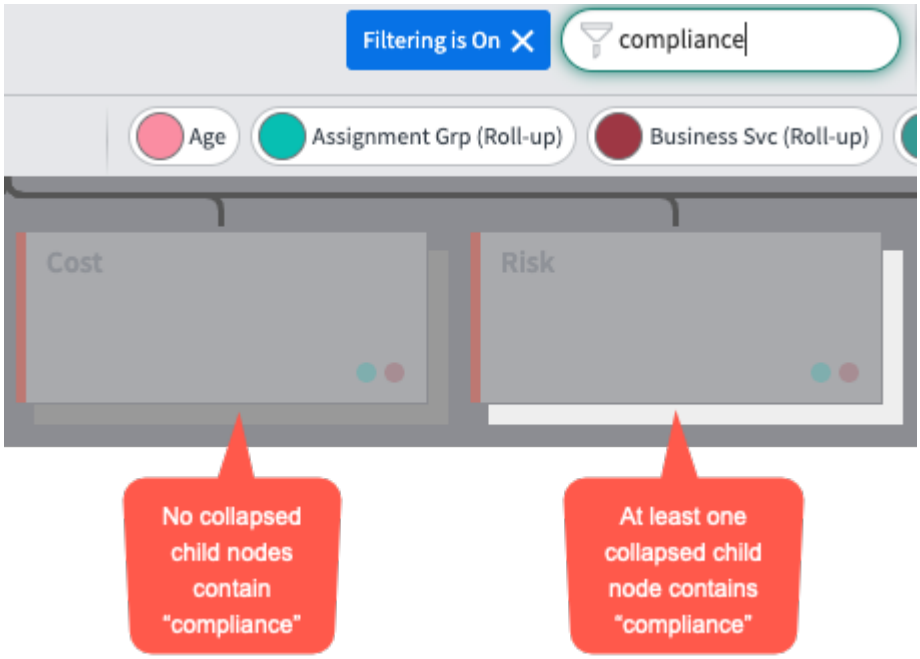
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

をクリックします。折りたたまれたノードは、最上位のノードの下に影として表示されます。折りたたまれたノードを展開するには、プラス + アイコンをクリックします。



折りたたまれた非表示のアーティファクトにフィルターまたは検索が一致する場合、ツリーは展開されません。代わりに、「影」は白に変わりますが、最上位の要素は灰色のままです。



KPI ツリーへのアーティファクトの追加

プロジェクトキャンバスの下部にあるドラッグアンドドロップタイルを使用して、KPI ツリーにアーティファクトを追加します。

始める前に

プロジェクトの作業を開始する前に、ビジネスゴールと重要な成功要因について考えてください。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

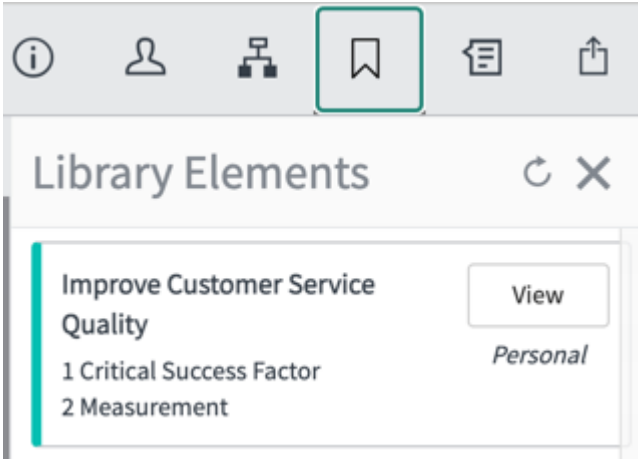
1. **KPI Composer** に移動し、プロジェクトを開くか作成してから、[分析] タブに移動します。
2. 画面の下部で KPI ツリーのアーティファクトを見つけます。
3. ビジネスゴールアイコンをプロジェクトの上部にドラッグします。
   計画をシンプルに保つために、通常はプロジェクトごとに 1 つのビジネス目標を設定しますが、ビジネス目標を他のビジネス目標の子として設定することもできます。
4. 「アーティファクトのプロパティ」の説明に従って、ビジネスゴールのプロパティを設定します。
   これらのプロパティは、アーティファクトタイルの編集アイコン ( ) をクリックして後で編集できます。
5. [Critical Success Factors and Measurements] でこのプロセスを繰り返します。
   アーティファクトを別のアーティファクトの上にドロップすると、新しいアーティファクトが既存のアーティファクトの子として表示されます。重要成功要因は、ビジネスゴールまたはその他の重要成功要因の子にすることができます。Measurement は、任意の成果物の子にすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. すべてのアーティファクトを作成して構成する代わりに、既存のライブラリ要素を追加できます。

   a. ブックマークアイコンを選択して、[ライブラリ要素] リストを開きます。

   b. 適切なライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグします。



詳細については、「プロジェクト間ライブラリ要素」を参照してください。

次のタスク
ツリー内の関係について気が変わった場合は、既存のアーティファクトを選択して別のアーティファクトにドラッグできます。アーティファクトの順序を変更することもできます。子アーティファクトをその親にドラッグして、兄弟の中で一番上の位置に移動します。

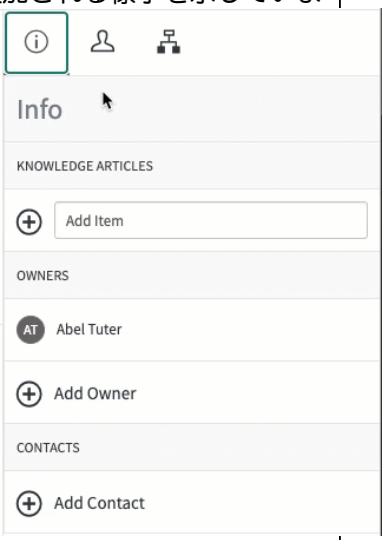
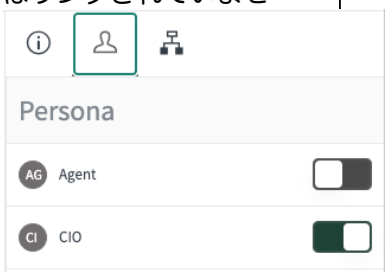
アーティファクトのプロパティ

KPI ツリー内の各アーティファクトは、ナレッジベース記事、ペルソナ、またはブレークダウン定義を参照できます。

プロパティ	説明	例
名前	一意で意味のある名前	高品質で費用対効果の高いビジネス解決 (ビジネス目標成果物用) 合計インシデント解決コスト (測定アーティファクトの場合)
Description (説明)	他のユーザーがその目的を理解し、冗長性を回避するのに役立つアーティファクトの詳細な説明	インシデントが発生してから解決されるまでの金銭的コストの合計 (推定給与および機会費用を含む)
ターゲット	パフォーマンスアナリティクスから必要な将来のパフォーマンス改善。インジケーターの定量的ターゲットスコアがまだない場合は、ターゲットを定性的に記述します。	最終値の 40 に達するまで、毎月 10% の削減。
この要素をライブラリリンクに追加	KPI ツリー内のこのアーティファクトと子アーティファクト	詳細については、「プロジェクト間ライブラリ要素」を参照してください。

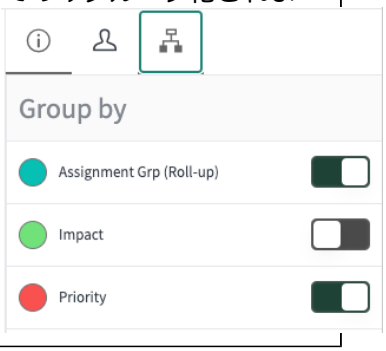
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明	例
	を、マルチプロジェクトの再利用可能なライブラリ要素に追加します。	
情報 	次のいずれかの詳細を指定します。 • アーティファクトに関する詳細な説明を含むナレッジ記事。ナレッジ記事はいくつでもリンクできます。 • アーティファクトオーナー • 連絡担当者	この短いアニメーションは、ナレッジ記事がアーティファクトに追加される様子を示しています。 
ペルソナ 	現在プロジェクトにリンクされているペルソナ。アーティファクトプロパティでは、アーティファクトにペルソナの追加と削除のみを行うことができます。プロジェクトへのペルソナの追加については、「プロジェクトにペルソナを追加する」を参照してください。	この画像では、エージェントと CIO のペルソナがプロジェクトにリンクされています。CIO ペルソナはアーティファクトにリンクされていますが、エージェントペルソナはリンクされていません。 
Group By (グループ) 	アーティファクトに関連付けられているデータを、プロジェクトに対して選択された 1 つ以上のブレークダウン定義別にグループ化します。プロジェクトにブレークダウン定義を追加する方法については、「ブレークダウン定義によるデータのグループ化」を参照してください。	この画像では、アサイン先グループ、影響度、および優先度のブレークダウン定義をアーティファクトで使用できます。アーティファクトのデータは、アサイン先グループに

自動翻訳

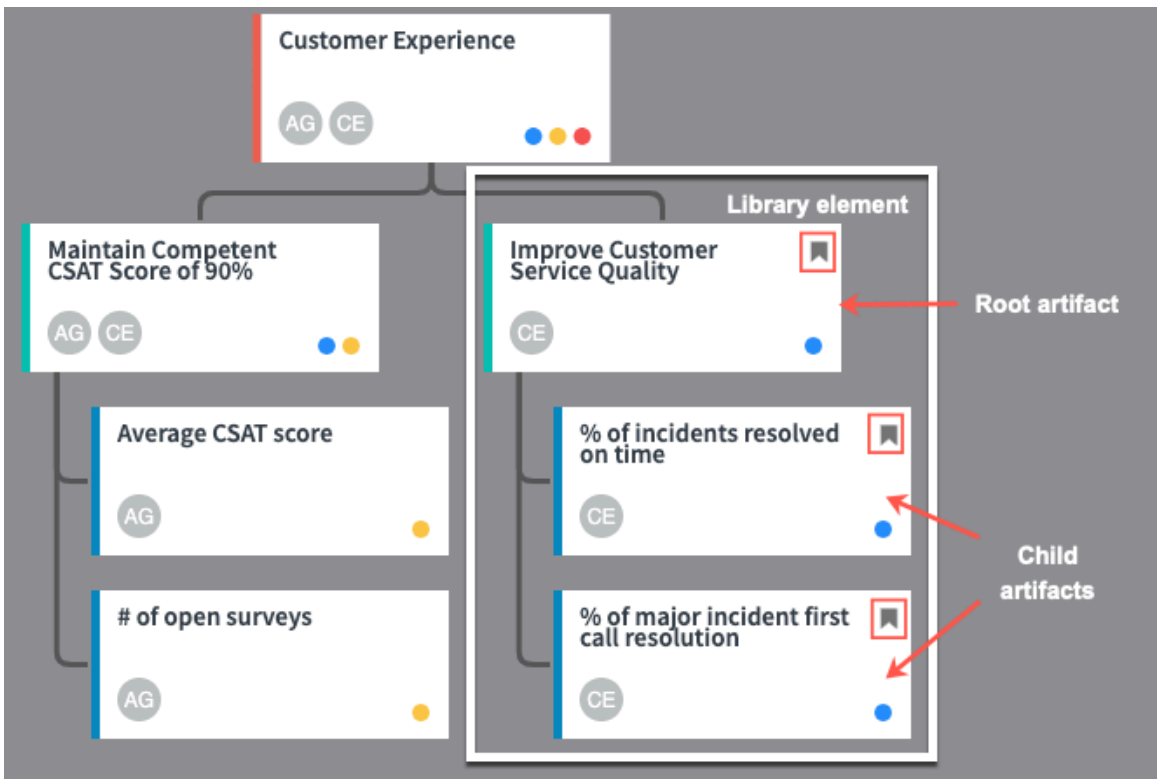
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明	例
		よってのみグループ化されます。 

プロジェクト間ライブラリ要素

ライブラリ要素は、複数のプロジェクトで再利用できる単一の成果物または成果物のツリーです。

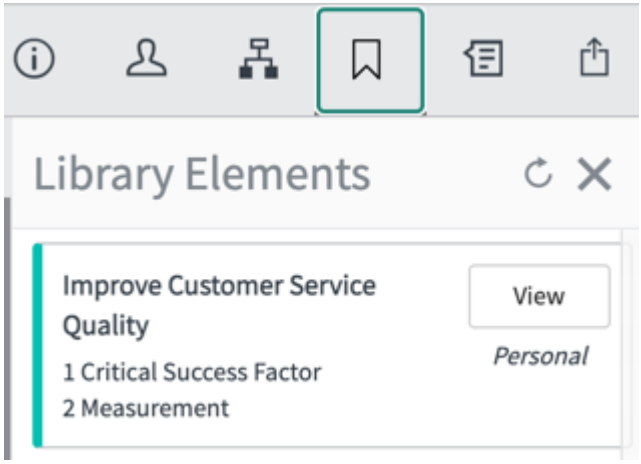
各ライブラリ要素には 1 つのルートアーティファクトがあります。そのアーティファクトのすべての子アーティファクトがライブラリ要素に含まれます。次の画像は、「カスタマーサービス品質の向上」の重要な成功要因に基づくライブラリ要素を示しています。その子である 2 つの測定アーティファクトは、ライブラリ要素に自動的に含まれます。



任意のプロジェクトの [分析] タブにある [ライブラリ要素] メニューから、ライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ライブラリ要素の作成

KPI ツリー内のアーティファクトとその子を、 KPI Composer クロスプロジェクトライブラリ要素に変換します。

始める前に

少なくとも 1 つのアーティファクトを含む KPI ツリーを持つ既存のプロジェクトが必要です。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

このタスクについて

注:
ライブラリ要素はネストできます。つまり、子孫の中に別のライブラリ要素を含む成果物からライブラリ要素を作成できます。元のライブラリ要素の要素は、新しい上位レベルの要素に含まれます。元のライブラリ要素はまだ存在し、単独で KPI ツリーに含めることができます。

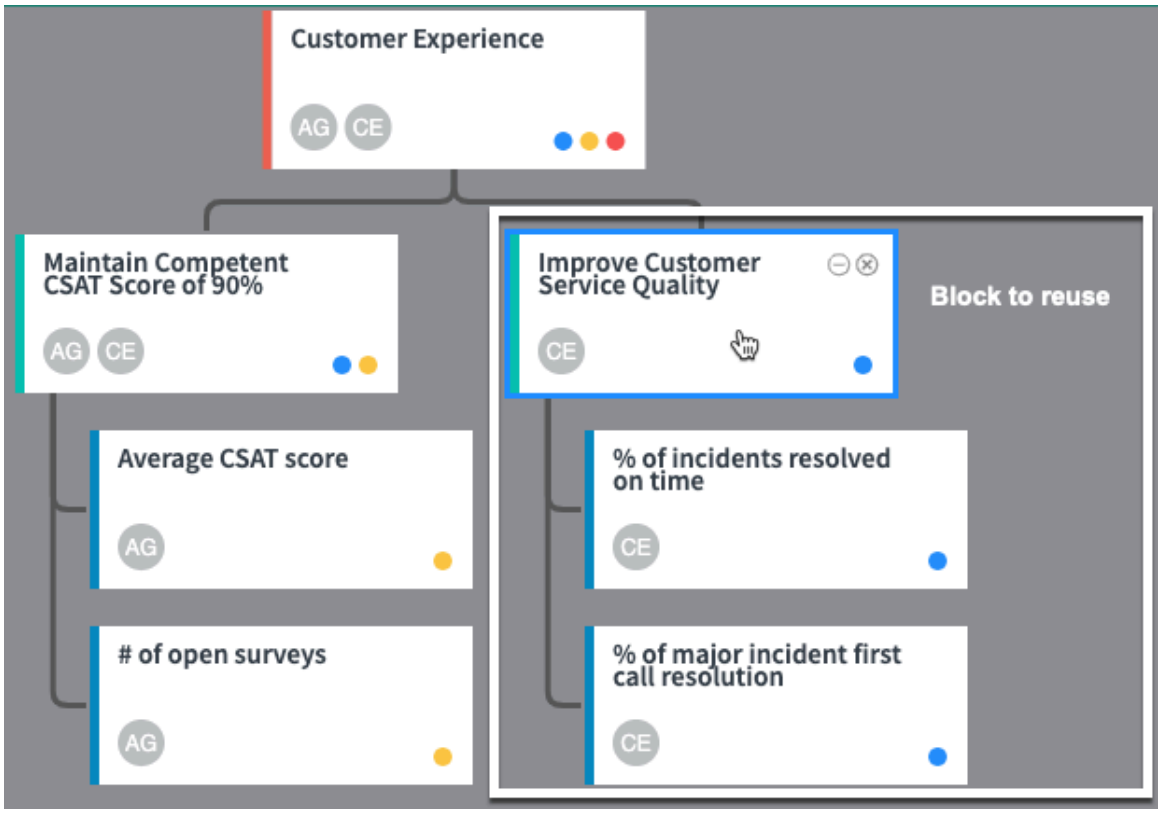
手順

1. KPI Composer プロジェクトの [解析] タブを開きます。
2. ツリー内のアーティファクトを選択します。
   他のプロジェクトで再利用できるようにするアーティファクトを選択します。アーティファクトのグループを再利用する場合は、ルートアーティファクトを選択します。ルートアーティファクトのすべての子孫アーティファクトがライブラリ要素に含まれます。

   Example
   この例では、「カスタマーサービス品質の向上」という重要な成功要因を再利用します。この測定を、「時間どおりに解決されたインシデントの割合」と「重大なインシデントの初回コールでの解決の割合」という 2 つの子測定とともに使用します。

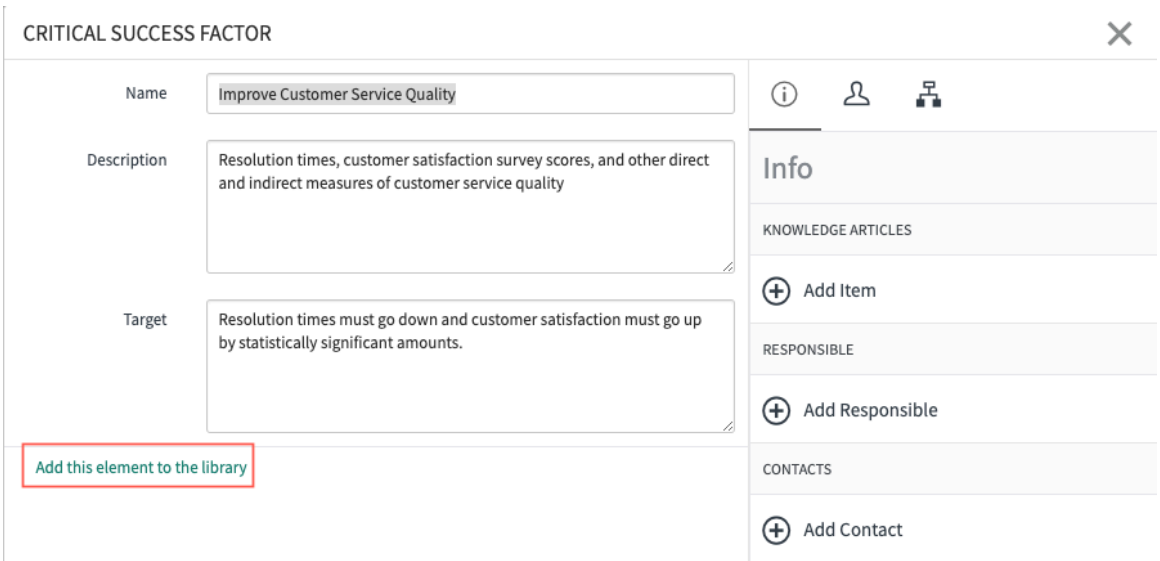
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 成果物のプロパティ ウィンドウで、 [この要素をライブラリに追加] を選択します。

Example
この例では、「Improve Customer Service Quality」アーティファクトのプロパティを開き、[**Add this element to library** (この要素をライブラリに追加)] をクリックしようとしています。

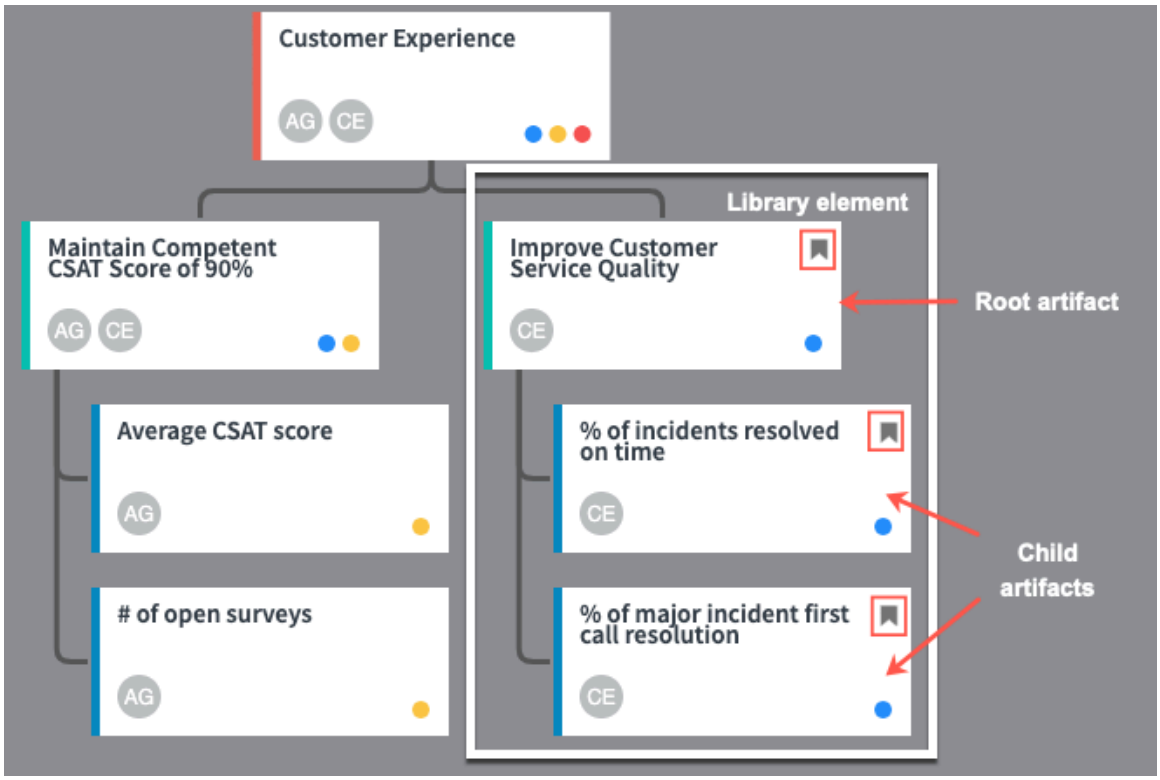


タスクの結果
選択したアーティファクトとその子孫がライブラリ要素に変換されます。ブックマークアイコンが各タイルに追加され、ライブラリ要素に属していることが識別されます。元のプロジェクトでは編集できなくなります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 「カスタマーサービス品質の向上」ライブラリ要素

この例は、プロシージャー・ステップの結果として得られるライブラリー要素を示しています。根本的な成果物は「カスタマーサービス品質の向上」です。ライブラリ要素は、ライブラリ要素と、2 つの測定値「時間どおりに解決されたインシデントの割合」と「重大なインシデントの最初のコールでの解決の割合」で構成されます。



次のタスク
ライブラリ要素は、最初はスコープが Personal です。KPI ツリーに追加できるのは、作成したユーザーのみです。admin または sn_kpi_composer_admin ロールを持っている場合は、ライブラリ要素のスコープをグローバルに変更できます。すべてのユーザーは、グローバルライブラリ要素を KPI ツリーに追加できます。
プロジェクト内からライブラリ要素を編集することはできません。

ライブラリ要素を使用

任意の KPI Composer プロジェクトの KPI ツリーにライブラリ要素を追加します。

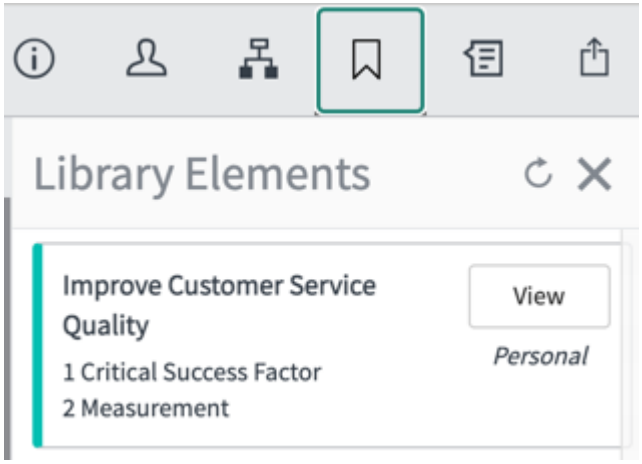
始める前に
使用できるライブラリ要素が少なくとも 1 つ必要です。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション > モジュール.
2. ブックマークアイコンを選択して、[ライブラリ要素] リストを開きます。
3. 適切なライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグします。
   ライブラリ要素のタイルには、要素に含まれる成果物の数と種類が一覧表示されます。次の画像は、1 つの重要な成功要因と 2 つの測定値を持つライブラリ要素のタイルを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. KPI ツリーからライブラリ要素を削除するには、ルートアーティファクトを削除します。
   ライブラリ要素内の他の成果物からの削除オプションはありません。

次のタスク
KPI ツリーには、必要な数のライブラリ要素を追加できます。同じライブラリ要素は何度でも追加できます。

ライブラリ要素の編集または削除

アーティファクトをライブラリ要素に追加したり、ライブラリ要素をプロジェクトベースのアーティファクトに変換し直したりできます。ライブラリ要素内のアーティファクトのデータ定義を編集することもできます。

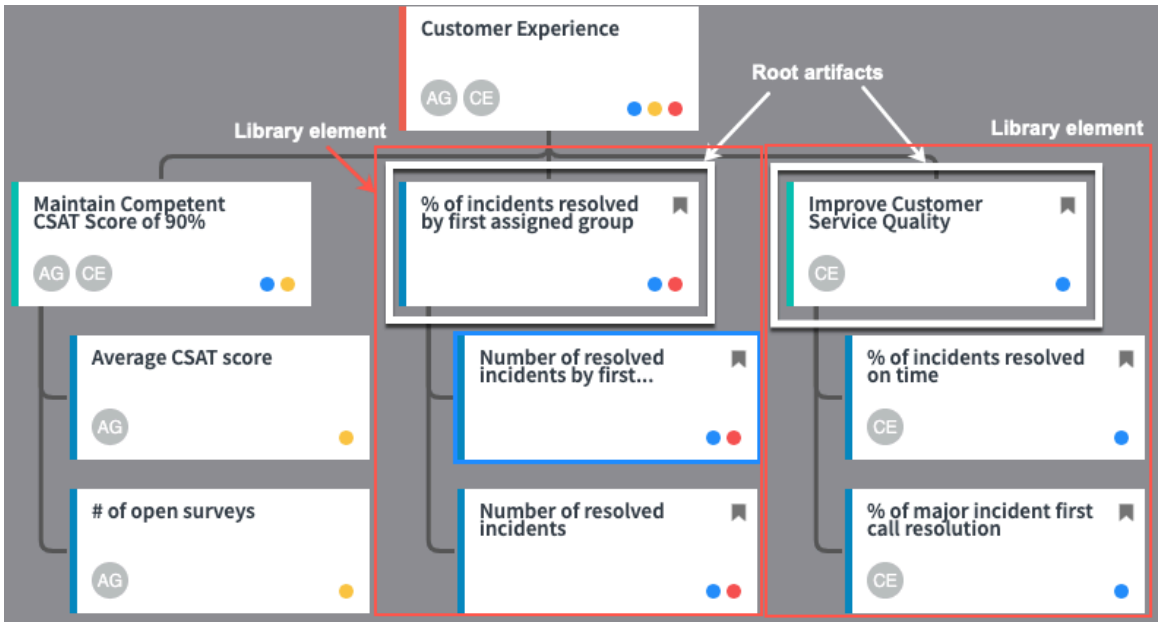
始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin または admin (完全な編集機能の場合)

手順

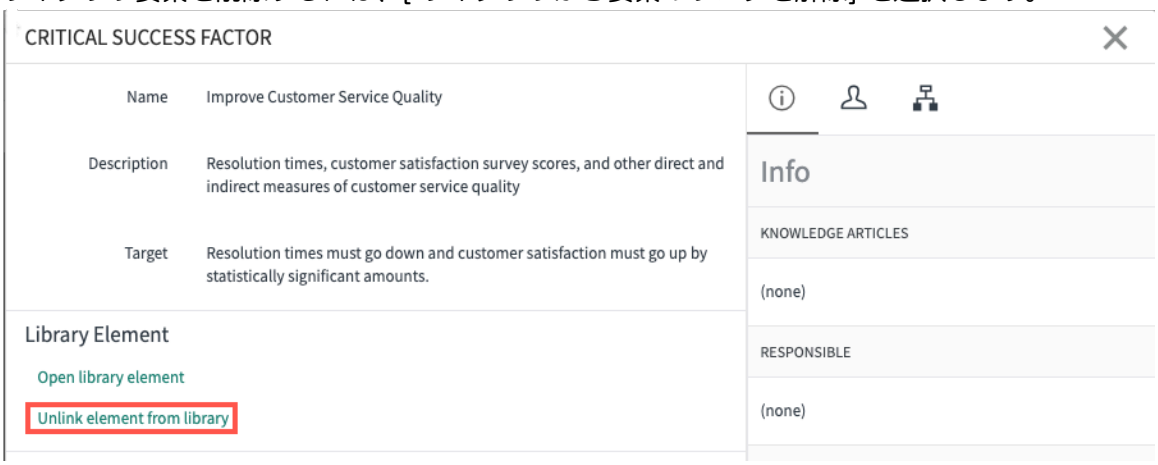
1. KPI Composer プロジェクトの [解析] タブを開きます。
2. KPI ツリー内のいずれかのライブラリ要素のルートアーティファクトを選択して、そのプロパティを開きます。
   ブックマークアイコン ( ) は、ライブラリ要素内のアーティファクトを識別します。ルート成果物 (親成果物) は、各ライブラリ要素の最上位の成果物です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. ライブラリ要素を削除するには、[ライブラリから要素のリンクを解除] を選択します。



成果物は、そのライブラリ要素のメンバーではなくなります。ただし、そのライブラリ要素を含むすべての KPI ツリーには、これらのアーティファクトが引き続き含まれており、各ツリー内の通常のアーティファクトの個別のセットになっています。

4. ライブラリ要素を編集するには、「 ライブラリ要素を開く」を選択します。

> **注:**
>
> - ライブラリ要素は、ルートアーティファクトだけでなく、その要素内の任意のアーティファクトから開くことができます。
> - sn_kpi_composer.admin または admin ロールを持っている場合は、代わりに **KPI Composer** > **Library** (ライブラリ) をクリックし、ライブラリ要素タイルのセットからライブラリ要素を開きます。

5. アーティファクトをライブラリ要素に追加するには、「 KPI ツリーへのアーティファクトの追加」の手順に従います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 新しいアーティファクトのプロパティで [この要素をライブラリに追加] をクリックする必要はありません。このリンクをクリックすると、このライブラリ要素内にネストされている新しいライブラリ要素に新しいアーティファクトが追加されます。
- 新しいアーティファクトを追加する代わりに、別のライブラリ要素を追加して、このライブラリ要素内にネストすることができます。詳細については、「ライブラリ要素を使用」を参照してください。

6. インジケーターとレポートの定義をライブラリ要素のアーティファクトに追加するには、「データ定義」タブを開き、「 インジケーターとレポートの定義」の指示に従います。
7. 情報アイコン ( ) を選択して、ライブラリ要素のスコープがグローバルか個人用かなど、ライブラリ要素のプロパティを表示または編集します。
プロパティを編集するには、sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。それ以外の場合は読み取り専用です。

ライブラリ要素のプロパティ

各 KPI Composer ライブラリ要素には、次のプロパティがあります。編集するには、sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。

プロパティ	説明	例
名前	一意で意味のある名前	デフォルトでは、名前は「カスタマーサービス品質の向上 (Improve Customer Service Quality)」など、ルートアーティファクトの名前と同じです。
Description (説明)	他のユーザーがアーティファクトの目的を理解し、冗長性を防ぐのに役立つアーティファクトの詳細な説明	インシデントが発生してから解決されるまでの金銭的コストの合計 (推定給与および機会費用を含む)
目的	パフォーマンスアナリティクスから必要な将来のパフォーマンス改善。インジケーターの定量的ターゲットスコアがまだない場合は、ターゲットを定性的に記述します。	最終値の 40 に達するまで、毎月 10% の削減。
グローバル はい |いいえ	[はい] の場合、すべてのユーザーがこのライブラリ要素を KPI ツリーに追加できます。いいえの場合、このライブラリ要素はパーソナルであり、作成したユーザーのみが使用できます。デフォルト: いいえ	該当なし
ナレッジ記事	ライブラリ要素に関する詳細な説明を含むナレッジベースの記事。次のいずれかの詳細を指定します。	KB0000006 スパイウェアやウイルスへの対処

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明	例
	• アーティファクトに関する詳細な説明を含むナレッジ記事。ナレッジ記事はいくつでもリンクできます。 • アーティファクトオーナー • 連絡担当者	
責任者	責任ユーザーは完全な編集権限を持っていますが、ライブラリ要素の保守も担当することが期待されています。詳細については、「アクセス先：KPI Composer」を参照してください。	Abel Tuter
連絡先	ライブラリ要素に責任はありませんが、利害関係者または関連する主題の専門家に相談している人。	エイブラハム・リンカーン

ダッシュボードの設計

[Dashboard Visualization (ダッシュボードの可視化)] タブでは、[Analysis (分析)] タブのアーティファクトに対応する可視化を使用して、複数のダッシュボードのモックアップを作成できます。このモックアップのウィジェットを パフォーマンスアナリティクス ウィジェットにリンクできます。

プロジェクトの最終出力は パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードであり、おそらく重要な成功要因に対応する個別のダッシュボードまたは個別のタブと、測定値を表示するウィジェットがあります。パフォーマンスアナリティクス では、基礎となるすべてのインジケーターとブレークダウンが作成されるまで、これらのダッシュボードを作成することはできません。これらのインジケーターのウィジェットの設計もやや技術的で、少なくともpa_power_userロールが必要です。最終的なダッシュボードを共有すると、ダッシュボードを必要とする閲覧者から、デザインがニーズや期待を完全に満たしていないというフィードバックが送信されることがよくあります。

[KPI Composer Dashboard Visualization (ダッシュボードの可視化)] タブでは、ワークフローのかなり早い段階でダッシュボードの設計を開始できます。[分析] タブに成功要因と測定値の概念ツリーのみがある場合は、視覚化の作業を開始できます。さらに、プロセスの早い段階で他の関係者を関与させることができます。早い段階でプレゼンテーションで KPI Composer を使用してタイムリーなフィードバックを取得し、プロジェクトが完了したときにダッシュボードの閲覧者が期待するビジュアライゼーションを取得できるようにします。

ダッシュボードの追加

ダッシュボードを設計する最初のステップとして、空のダッシュボードを [KPI Composer ダッシュボードの可視化] タブに追加します。

始める前に

[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

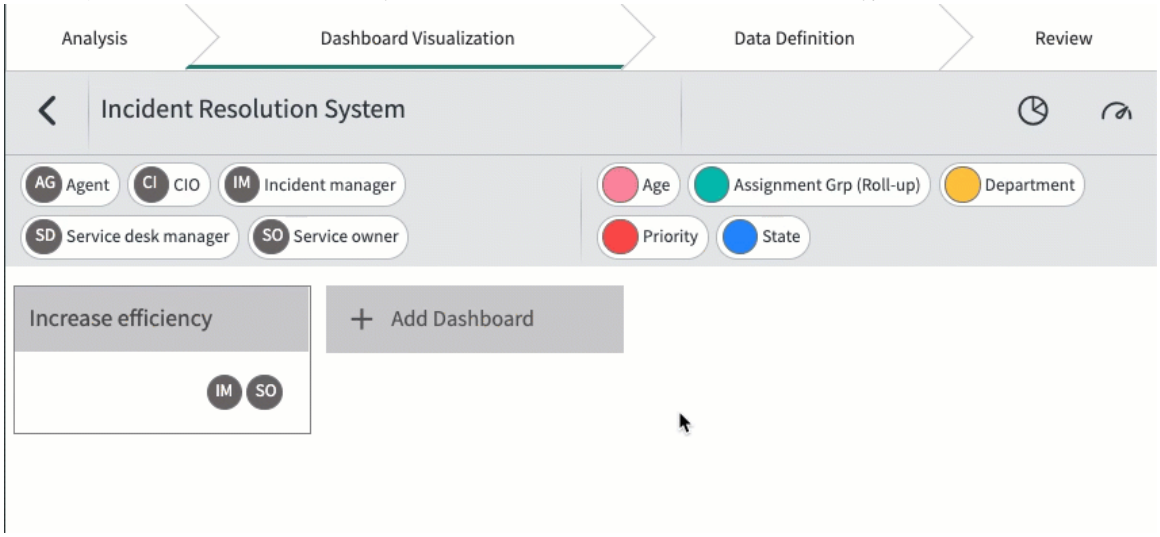
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. [ダッシュボードの可視化] タブに移動します。
3. [**+ Add Dashboard**] をクリックします。
4. ダッシュボードにわかりやすい名前を付けます。おそらく、KPI ツリー内のビジネスゴールまたは上位レベルの重要成功要因に対応します。
5. オプション: ダッシュボードのアーティファクトの [アイテムの編集] アイコン ( ) をクリックして、ダッシュボードのプロパティを編集します。
6. ダッシュボードを作成するすべてのビジネスゴールまたは重要な成功要因について、このプロセスを繰り返します。

Example: [デザイン] タブへのカスタマーエクスペリエンスダッシュボードの追加

次の短いアニメーションでは、ユーザーが重要な成功要因にちなんで「Customer Experience (カスタマーエクスペリエンス)」という名前のダッシュボードを作成しています。ユーザーは、ダッシュボードを表示することが想定されるエージェントと CIO のペルソナを追加します。ユーザーは、ダッシュボード上のすべてのウィジェットをアサイン先グループ別にグループ化し、ブレークダウンダッシュボードを作成します。



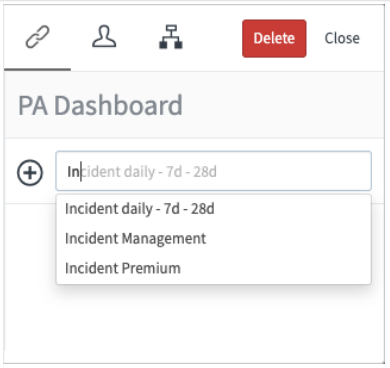
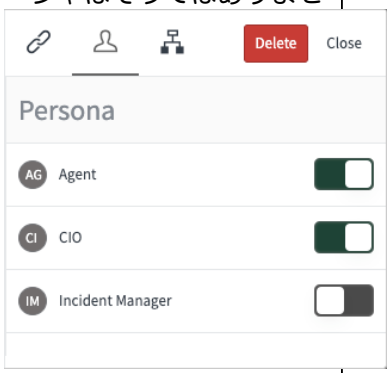
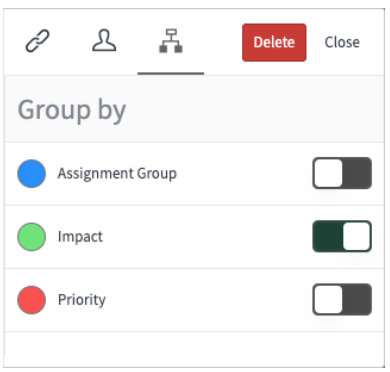
KPI Composer ダッシュボードの詳細

各 KPI Composer ダッシュボードのモックアップは、プロジェクトペルソナまたは「グループ」カテゴリ、または既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードを参照できます。

詳細	**Description** (説明)	例
PA ダッシュボード	既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードへのリンク。これは、ユースケースに対応する古いダッシュボードでも、この KPI Composer 設計に基づいて作成した新しいダッシュボードでもかまいません。作成時にダッシュボードをリンクすることで、プロジェクトのステータスを追跡できます。	この画像では、既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードが「Incident」という単語でフィルタリングされていることがわかります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細	Description (説明)	例
		
ペルソナ	最終的なダッシュボードを表示する予定のペルソナ。現在プロジェクトにリンクされているペルソナから選択します。プロジェクトへのペルソナの追加については、「 プロジェクトにペルソナを追加する」を参照してください。 ペルソナをダッシュボードのモックアップにリンクすると、それらのペルソナに関連付けられている [アナリティクス] タブのアーティファクトのみが使用可能になります。	この画像では、エージェント、CIO、およびインシデントマネージャーのペルソナがプロジェクトにリンクされています。エージェントと CIO のペルソナはダッシュボードにリンクされています。インシデントマネージャはそうではありません。 
Group By (グループ)	ダッシュボードに配置するすべてのウィジェットを 1 つ以上のブレークダウン定義でグループ化します。(結果として得られる設計は、 パフォーマンス アナリティクス ブレークダウン ダッシュボード用です。プロジェクトに対して現在選択されているブレークダウン定義から選択します。プロジェクトにブレークダウン定義を追加する方法については、「 ブレークダウン定義によるデータのグループ化」を参照してください。	この画像では、アサイン先グループ、影響度、および優先度のブレークダウン定義をプロジェクト内のダッシュボードで使用できます。ダッシュボードのデータは、影響度のみでグループ化されます。 

関連情報

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボードへのタブと行の追加

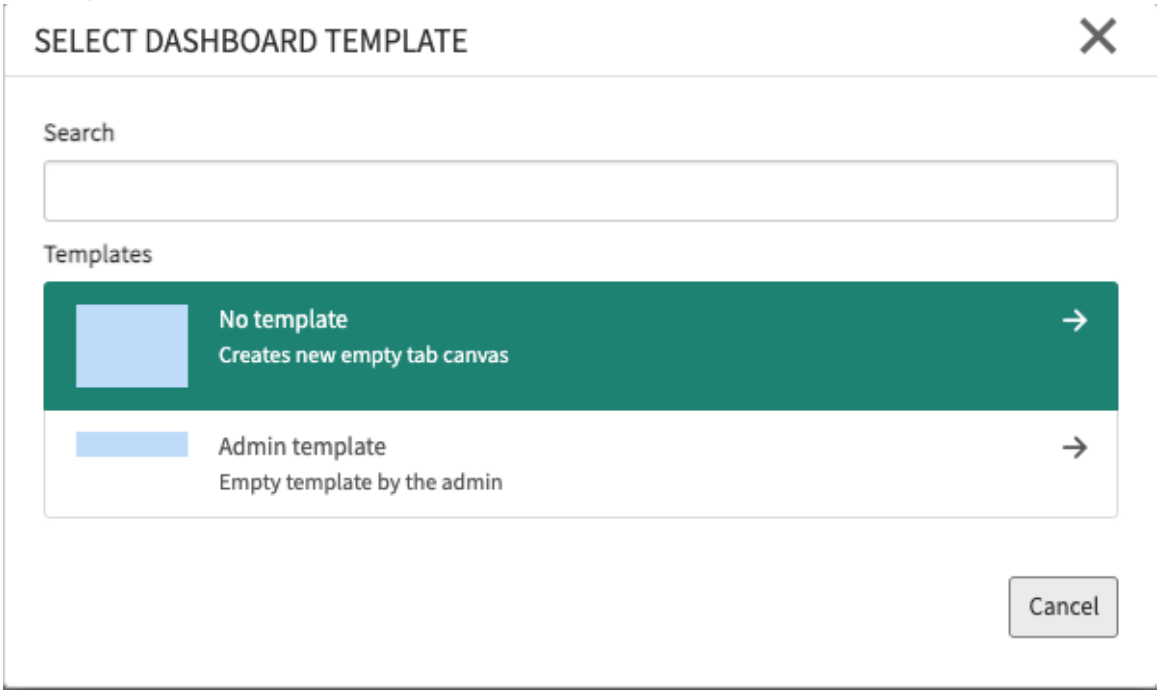
KPI Composer のダッシュボードのモックアップでは、ビジュアルコンポーネントを追加する前にタブと行をレイアウトする必要があります。

始める前に
[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。[ダッシュボードの可視化] タブで少なくとも 1 つのダッシュボードが定義されている。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

1. を開く **KPI Composer** [Dashboard Visualization (ダッシュボードの可視化)] タブに移動します。
2. タブ内のいずれかのダッシュボードを選択します。
3. ダッシュボードの下にある [+] アイコンをクリックして。
4. いずれも：
   - タブテンプレートを選択します。タブは、テンプレートから継承された名前、行、キャンバスを使用して作成されます。行やキャンバスを追加する必要はありませんが、手持ちの行やキャンバスは編集できます。
   - [テンプレートなし] を選択します。この手順の残りの部分で説明するように、空のタブを作成し、行とキャンバスを設定します。



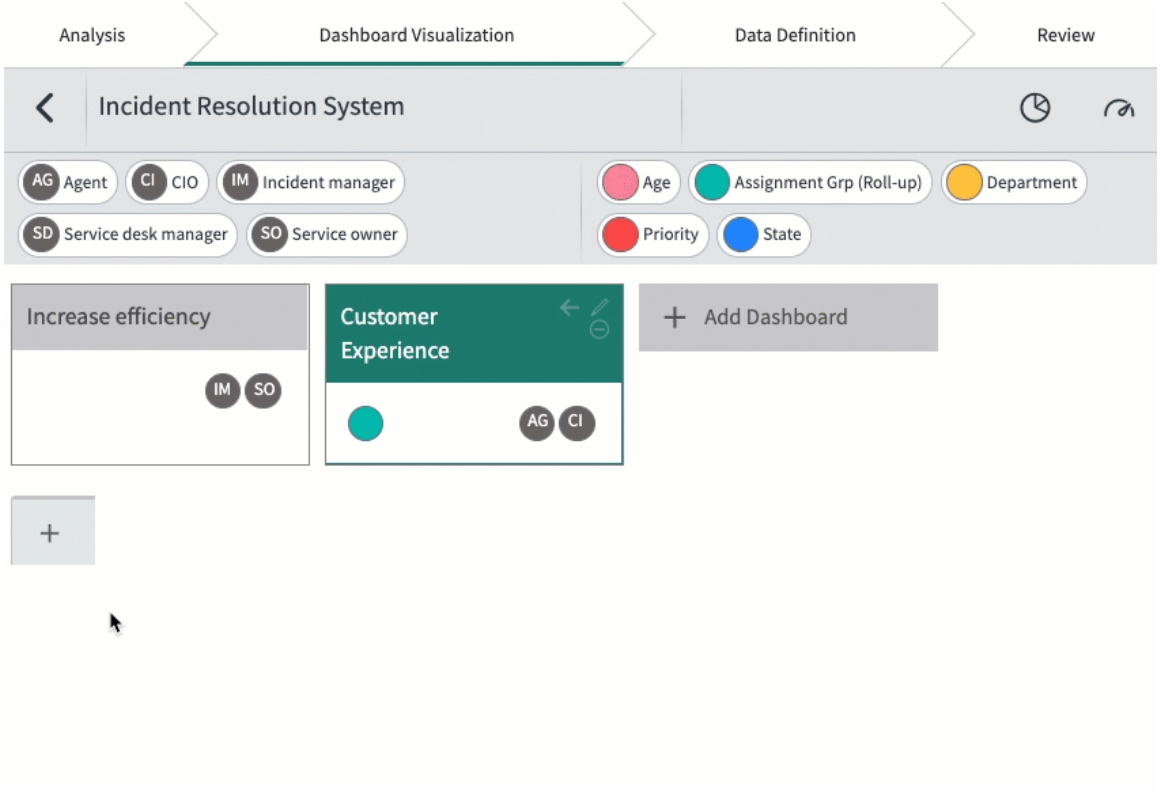
5. タブに意味のある名前を付けます。おそらく、下位レベルの重要な成功要因と一致します。
6. [**Add Row**] をクリックします。
   行は水平方向のデザイン領域です。各タブに少なくとも 1 行を追加します。
7. [行の詳細] ダイアログで、行のキャンバスの数を選択します。
   ここでの「キャンバス」という用語は、ウィジェットを保持するスペースを指し、アーティファクトを指します。行に水平方向に配置するキャンバスの数を決定します。最大 3 つのキャンバスを選択できます。この番号を変更したり、行を後に移動したりすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ダッシュボードへのタブと行の追加

次の短いアニメーションでは、ユーザーが [サービス品質] タブをカスタマーエクスペリエンスダッシュボードのモックアップに追加しています。ユーザーは、このタブの最初の行に 3 つのキャンバスを指定します。



自動翻訳

次のタスク

この手順に従って、行またはタブをさらに追加します。または、作成した行にキャンバスを追加し、後で戻ってタブや行を追加することもできます。

ダッシュボード タブにキャンバスを追加する

アナリティクスアーティファクトとウィジェットを組み合わせて、 KPI Composer ダッシュボードのモックアップ上にキャンバスと呼ばれるビジュアルコンポーネントを作成します。「ウィジェット」には、レポート、インタラクティブフィルター、スポットライト、およびコンテンツブロックが含まれます。

始める前に

[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。[ダッシュボードの可視化] タブで少なくとも 1 つのダッシュボードが定義されている。最後に、これらのダッシュボードの 1 つには、少なくとも 1 つの行を含むタブが少なくとも 1 つあります。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

ダッシュボードの追加

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. を開く **KPI Composer** [Dashboard Visualization (ダッシュボードの可視化)] タブに移動します。
2. タブ内のいずれかのダッシュボードを選択します。
   少なくとも 1 つのタブと空のキャンバススロットがある行を含むダッシュボードを選択します。
3. [Dashboard Visualization (ダッシュボードの可視化)] タブの右上にある [Artifacts (アーティファクト)] アイコン ( ) を展開します。
4. キャンバススロットで表現するアーティファクトを選択し、そのアーティファクトをスロットにドラッグします。
   これらの アーティファクトは、以前に [分析] タブの KPI ツリーで定義しました。

   複数のアーティファクトを同じキャンバススロットにドロップできます。キャンバススロットにウィジェットを追加した後、そのスロットにアーティファクトをドロップすることもできます。ただし、コンテンツブロックまたはインタラクティブフィルターウィジェットを含むキャンバススロットにアーティファクトをドロップすることはできません。

   アーティファクトを名前のないキャンバスにドラッグすると、アーティファクトの名前がキャンバスに付けられます。追加のアーティファクトをキャンバスにドラッグしても、名前は変更されません。

   ダッシュボードのプロパティでペルソナを選択した場合は、それらのペルソナにリンクされているアーティファクトのみを使用できます。
5. [ダッシュボードの可視化] タブの右上にある [ウィジェット] アイコン ( ) を展開します。
6. 以前に選択したアーティファクトのデータを表すウィジェットを決定し、同じキャンバススロットにドラッグします。
   ウィジェットの設計では、実際のデータの視覚化ではなく、静的な画像が使用されます。

   インタラクティブフィルターウィジェットは、同じダッシュボード上にあるレポートウィジェットにのみ影響します。

   スポットライトの「ウィジェット」はスポットライトのインタラクティブ分析を表し、通常はダッシュボード上のレポートではなく共有 URL を介してアクセスされます。詳細については、「スポットライト インタラクティブ分析」を参照してください。

   キャンバス上のウィジェットを置き換えるには、別のウィジェットをその上にドラッグします。元のウィジェットのタイトルは、コンテンツブロックに置き換えない限りそのまま残ります。ウィジェットを置き換えても、キャンバスに関連付けられたアーティファクトには影響しません。

   ウィジェットをドラッグすると、[キャンバスの詳細] ダイアログが開きます。
7. 次のようにキャンバスの詳細を入力します。

> **注:**
> 既存のウィジェットのキャンバスの詳細を変更するには、キャンバス上の鉛筆アイコン ( ) をクリックします。このアイコンは、キャンバスの右上隅をポイントすると表示されます。

すべてのウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
ウィジェットタイプ	アーティファクトを表すウィジェットのタイプを選択します。ウィジェット タイプを既に選択している場合は、そのタイプを変更できま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	コンテンツ
	す。その他のフィールドは、選択したウィジェット タイプによって異なります。
タイトル	「 アサイン先グループあたりのインシデントの割合 (Percent of incidents per assignment group)」など、わかりやすいタイトルを入力します。
Description (説明)	式インジケーターに基づくウィジェットなど、内部使用のためのウィジェットに関する情報 ア サイン先グループ別のオープン中のインシデントの割合 . このエントリはウィジェットに表示されません。

パフォーマンス分析ウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
可視化タイプ (Visualization type)	どの可視化が要素を最もよく表しているかを決定します。
要素をフォロー	このウィジェットが、 パフォーマンスアナリティクス ブレークダウン ダッシュボードでビューアーが選択したブレークダウン要素に従うかどうかを設定します。
時系列	日次、週次、または月次の増分で結果を表示します。
測定	このウィジェットで測定されたアーティファクト。このフィールドでは、[Measurements (測定)] だけでなく、任意のアーティファクトを選択できます。
PA ウィジェット	このモックアップウィジェットに一致する既存の パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを選択します。詳細については、「 パフォーマンス分析ウィジェット」を参照してください。

コンテンツブロックウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
コンテンツ ブロック	既存のコンテンツブロックから選択します。詳細については、「 コンテンツブロック」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インタラクティブフィルターウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
UI コントロール タイプ	インタラクティブ フィルターの UI スタイルを選択します。
インタラクティブフィルター	既存のインタラクティブ フィルターを選択します。詳細については、「インタラクティブ フィルター」を参照してください

レポートウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
可視化タイプ (Visualization type)	どの可視化が要素を最もよく表しているかを決定します。
インタラクティブフィルターに従う	ダッシュボードのインタラクティブフィルターでレポートをフィルタリングできるかどうかを設定します。[はい] を選択した場合は、インタラクティブフィルターウィジェットも含めます。
測定	このレポートに表示される [Measurements (測定)] アーティファクトを選択します。
レポート	既存のレポートを選択します。詳細については、「レポートの作成」を参照してください。

スポットライト ウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
測定	このレポートに表示される [Measurements (測定)] アーティファクトを選択します。
スポットライトグループ	既存のスポットライト グループを選択します。詳細については、「 スポットライトによるレコードのランク付け」を参照してください。

タスクの結果

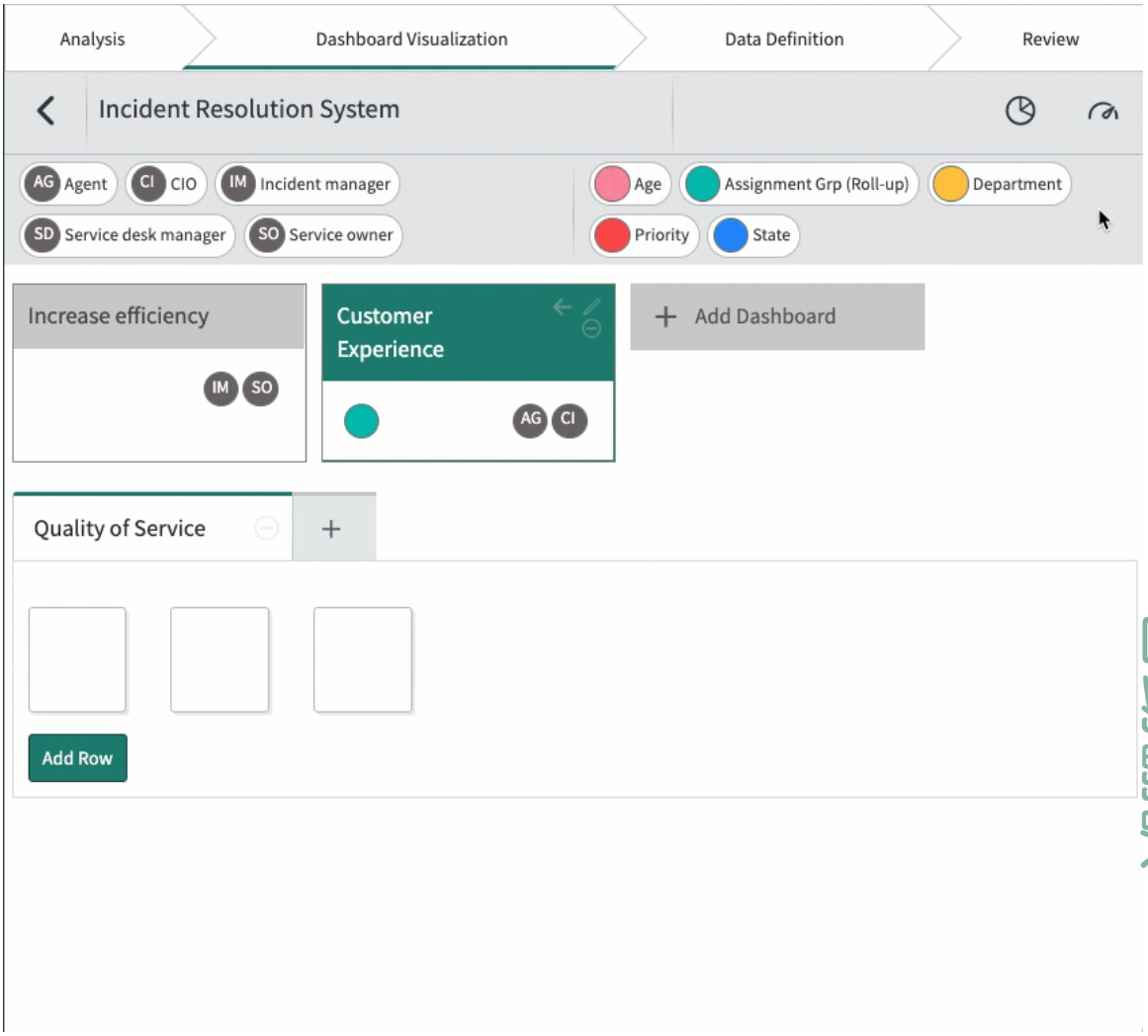
分析からの アーティファクトと、そのアーティファクトをダッシュボードに示すビジュアライゼーションがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ダッシュボードへのキャンバスの追加

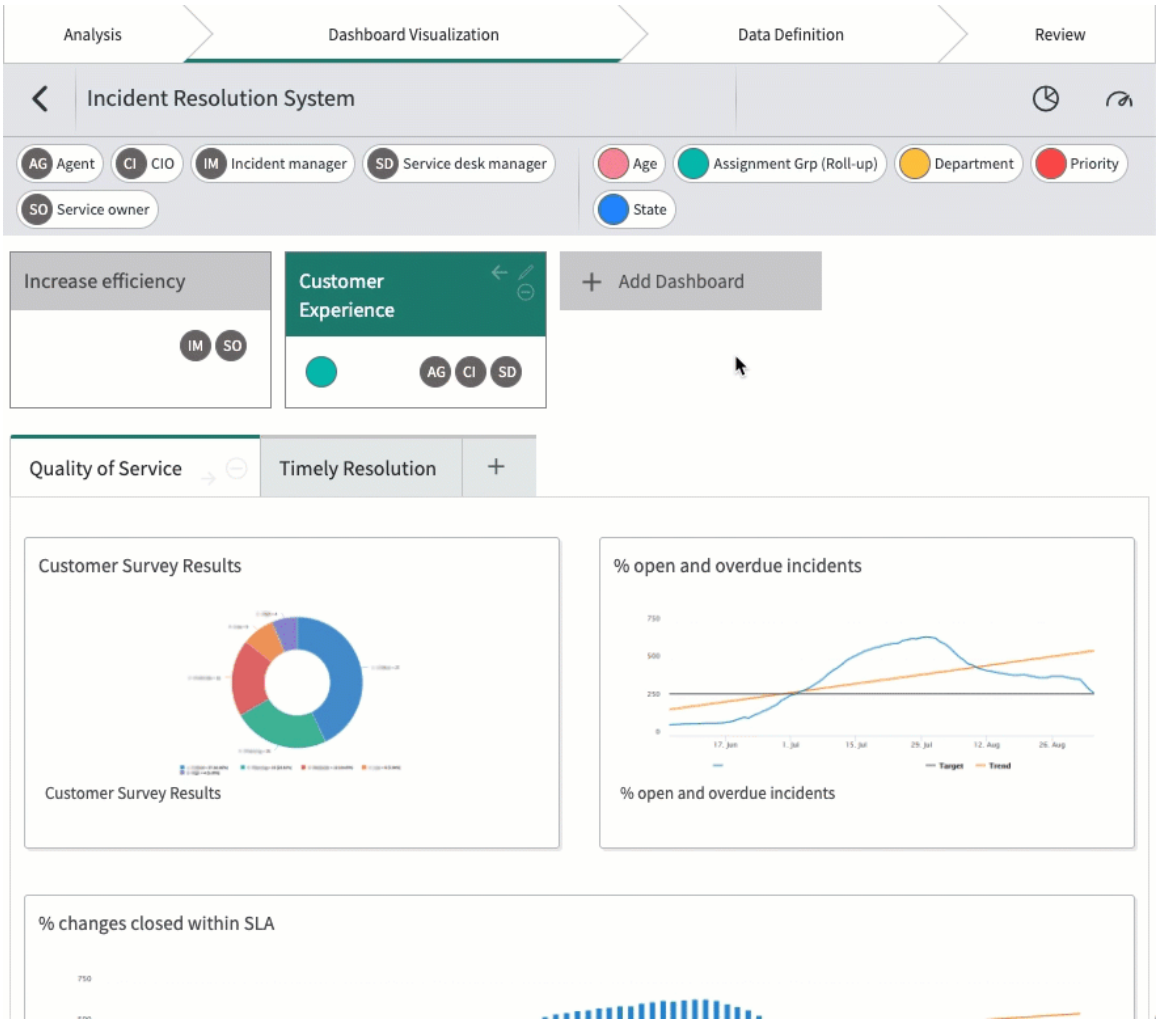
注:
この短いアニメーションでは、カスタマーエクスペリエンスダッシュボードの [サービス品質] タブにキャンバスが追加されています。ユーザーはまず KPI ツリーからアーティファクトを選択し、次にそのアーティファクトを説明するウィジェットを選択します。



次のタスク
ダッシュボードに入力したら、アーティファクトバナーの行順序、ウィジェット順序、またはウィジェットタイトルを変更できます。次の短いアニメーションは、ダッシュボードコンポーネントを移動する方法を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

ダッシュボード タブ テンプレートの作成

ダッシュボード タブのデザインを再利用するには、そのタブからテンプレートを作成します。

始める前に

キャンバスが入力されたタブを含むダッシュボードを作成します。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

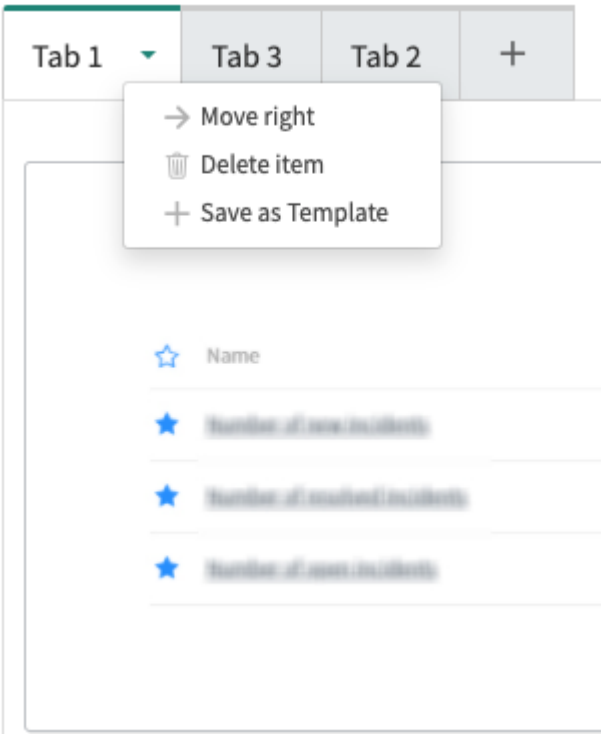
ダッシュボードの追加

ダッシュボードへのタブと行の追加

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ダッシュボード タブでメニューを開き、[テンプレートとして保存] を選択します。



2. テンプレートにわかりやすいタイトルと説明を付けます。
3. [保存] を選択します。

タスクの結果
ダッシュボードに新しいタブを作成するために使用できる個人用テンプレートを用意しました。このテンプレートは編集できません。

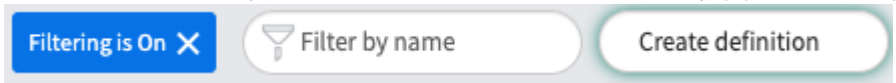
次のタスク
このテンプレートを他のユーザーが利用できるようにするには、 KPI Composer アドミンに依頼して、テンプレート のグローバル 値を true に設定してもらいます。 **KPI Composer** > ダッシュボードタブテンプレート.

インジケーターとレポートの定義

[KPI Composer データ定義] タブでは、分析中に定義したアーティファクトをさらに指定し、それらをインジケーターおよびレポート定義にリンクします。

[データ定義] タブを開くと、[分析] タブで定義したのと同じ KPI ツリーが表示されます。ペルソナとブレークダウン定義を含むヘッダーと新しいアーティファクトを含むフッターはなくなりました。

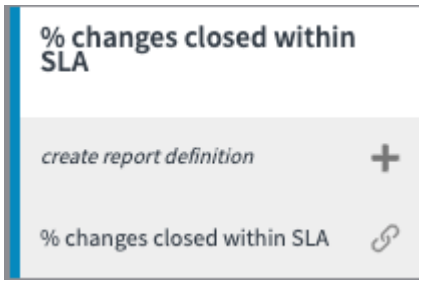
ダッシュボードの可視化で パフォーマンスアナリティクス ウィジェットに関連付けられている各アーティファクトは、インジケーター定義を参照する必要があります。レポートウィジェットに関連付けられている各アーティファクトは、レポート定義を参照する必要があります。アーティファクトは、インジケーターとレポート定義の両方に関連付けることができます。定義がない場合は、クリック可能なプラス記号 + が表示され、定義を作成するためのメッセージが表示されます。アーティファクトがいずれかの定義にリンクされている場合は、各定義を開くためのハイパーリンクが表示されます。 [定義を作成] でフィルター処理することで、定義が欠落しているアーティファクトの概要をすばやく取得できます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

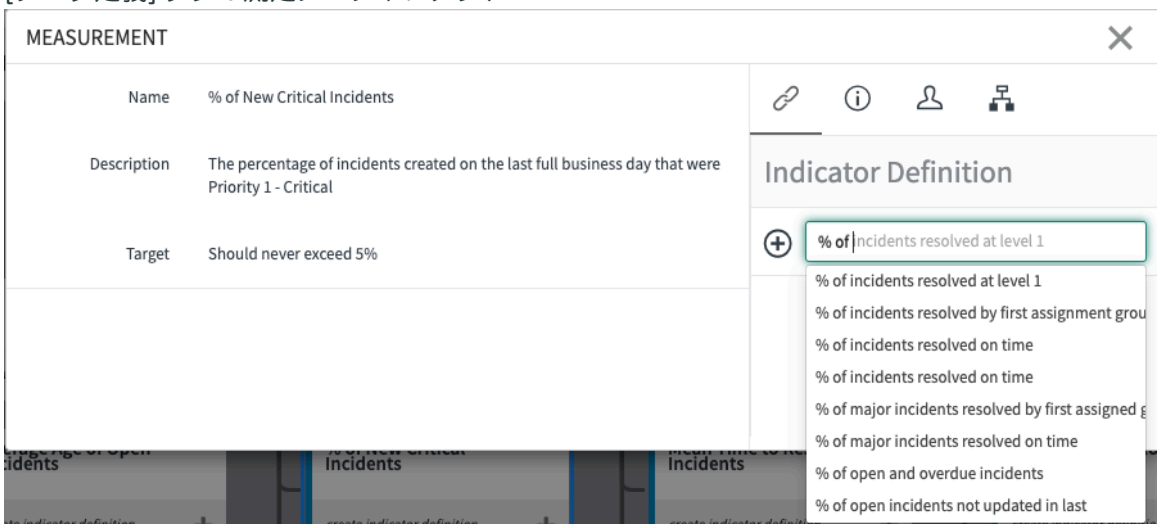
自動翻訳

次の図は、レポートとインジケーター定義の両方を必要とする測定アーティファクトを示しています。「SLA 内でクローズされた変更の割合」という名前のアーティファクト定義がリンクされています。アーティファクトにはまだレポート定義が必要です。



新しい定義を作成する前に、適切な定義が既に存在するかどうかを確認してください。アーティファクトをクリックして、そのプロパティを開きます。[分析] タブで設定したプロパティの読み取り専用ビューが 1 つ追加されて表示されます。 アーティファクトを既存のインジケーターやレポート定義にリンクできます。入力を開始して、一致する定義のリストを入力します。既存の定義のリンクは、インジケーターやレポート定義レコードよりもプロパティダイアログの方が簡単です。

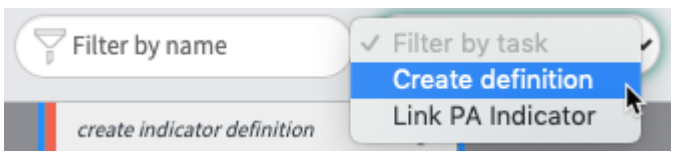
[データ定義] タブの測定アーティファクト



フィルタリング

[データ定義] タブでは、次のフィルター オプションを使用できます。

- [名前でフィルター (Filter by name)]:アーティファクト名に含まれる 1 つ以上の単語でフィルタリングします。
- タスクでフィルター
- インジケーターまたはレポート定義が必要かどうかでフィルタリングするための定義を作成します
- パフォーマンスアナリティクスインジケーターにリンクされていないインジケーター定義を持つアーティファクトでフィルタリングする場合の PA インジケーターをリンク



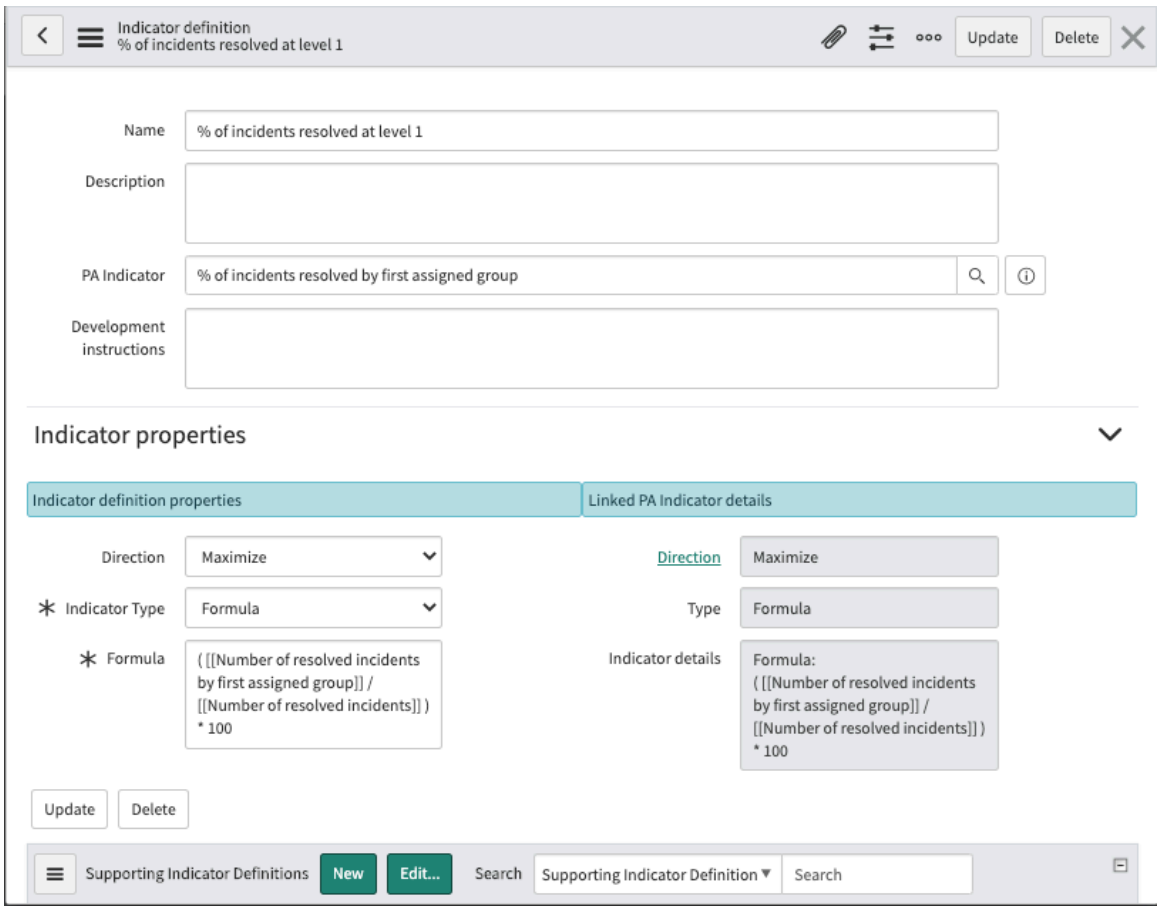
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター定義

インジケーター定義には、特定の パフォーマンスアナリティクス インジケーターの開発方法の説明が含まれています。インジケーター定義自体は パフォーマンスアナリティクス インジケーターではありません。インジケーター定義は、KPI ツリーの機能指向アーティファクトと パフォーマンスアナリティクス でのインジケーターの技術的実装を橋渡しします。

適切なインジケーター定義が存在しない場合は、アーティファクトタイルの [インジケーター定義を作成] リンクをクリックします。インジケーターの必要なプロパティを指定します。また、提供されたフィールドに開発手順を記入します。自動インジケーターを定義する場合は、インジケーターソースのファクトテーブルを指定します。インジケーター自体またはインジケーターソースの条件についても記述します。条件ビルダー形式に従うのではなく、定性的に条件を記述できます。式インジケーターを定義する場合は、その貢献インジケーターの定義を追加します。

適切な パフォーマンスアナリティクス インジケーターが存在する場合は、インジケーター定義にリンクを追加できます。リンクされたインジケーターの技術的な詳細を確認できます。パフォーマンスアナリティクスインジケーターを正確に再現するか、変更されたバージョンを指定します。

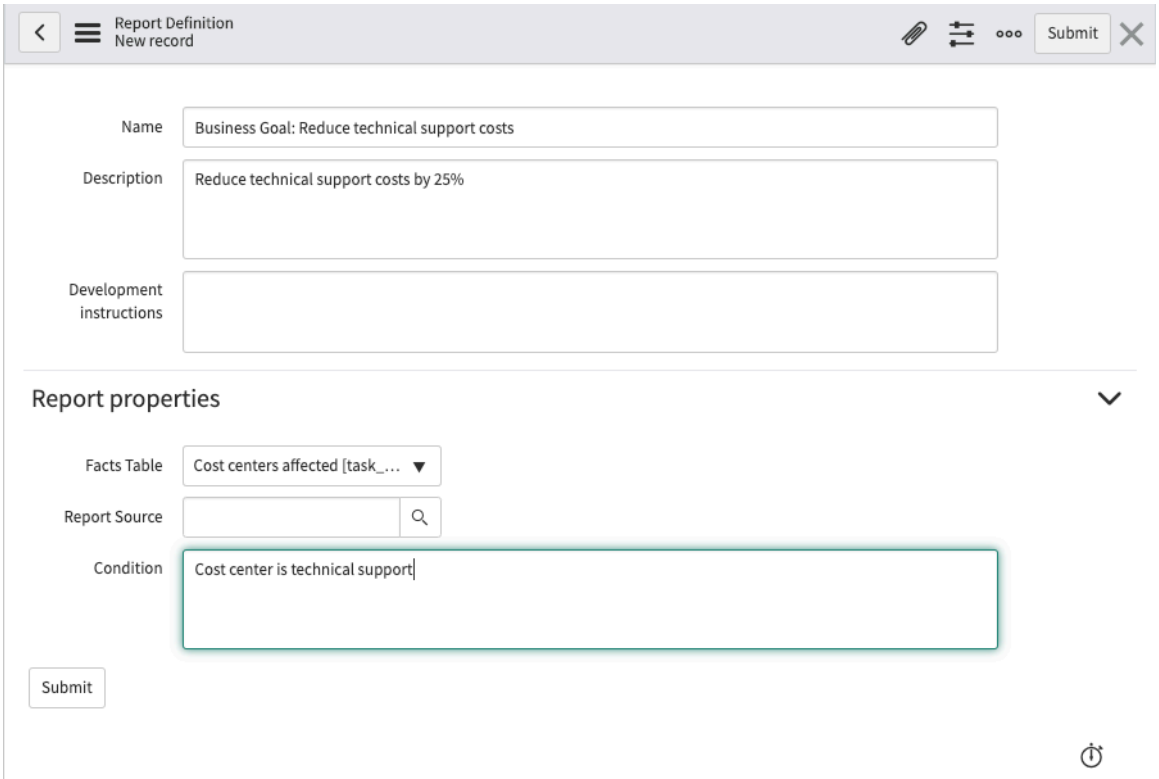


レポート定義

レポート定義には、レポートを作成するための説明が含まれています。重要な情報は、ファクトテーブルまたはレポート ソース、および条件です。条件を記述するときに技術的な形式に従う必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



インジケーター定義の作成

[データ定義] タブの関連するアーティファクトから、新しい KPI Composer インジケーター定義を直接作成できます。パフォーマンスアナリティクスインジケーターを作成するために必要な情報をインジケーター定義に入力します。

始める前に

既存の KPI Composer プロジェクト [アナリティクス] タブの KPI ツリー の完全なドラフト。また、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターに関する技術的な知識も必要です。

必要なロール: パフォーマンスアナリティクス インジケーターにリンクする場合は sn_kpi_composer.admin または admin、その他の機能にリンクする場合は sn_kpi_composer.user。責任ユーザーまたは編集アクセス権を持つユーザーには、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターにリンクする場合を除き、ロールは必要ありません。

このタスクについて

インジケーター定義は、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットに関連付けられているかどうかに関係なく、プロジェクト内のすべてのアーティファクトに対して作成できます。アーティファクトに複数のインジケーター定義を追加することはできません。ただし、アーティファクトを式インジケーターにリンクすると、式内のすべての貢献インジケーターに自動的にリンクされます。

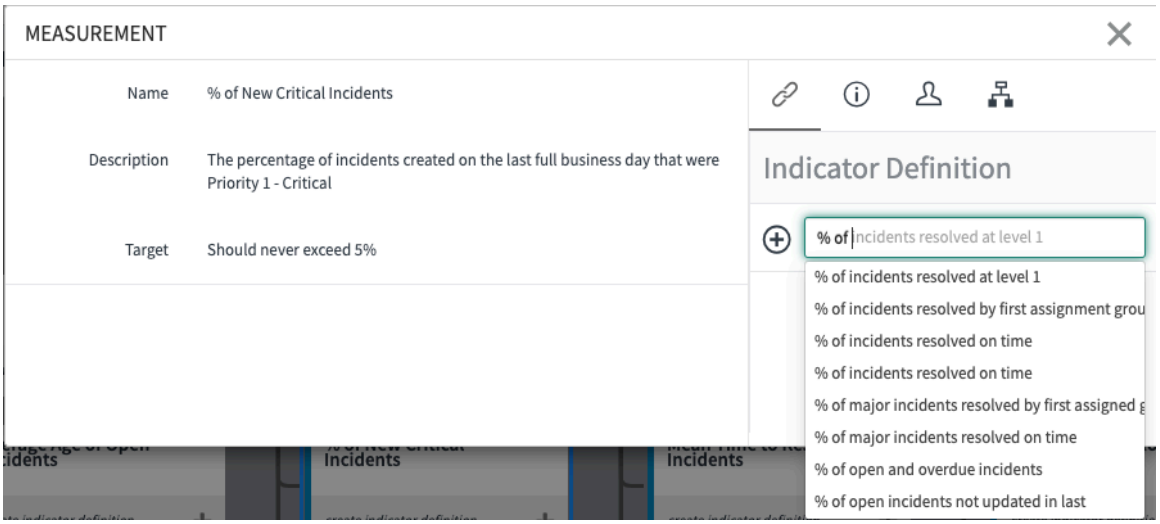
手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、関連するプロジェクトを開きます。
2. [データ定義] タブに移動します。
3. インジケーターを定義するアーティファクト (おそらく測定) を見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
インジケーター定義の作成を続行する前に、適切なインジケーター定義が既に存在するかどうかを確認してください。アーティファクトをクリックして、そのプロパティを開きます。次に、利用可能なインジケーター定義のリストを参照します。

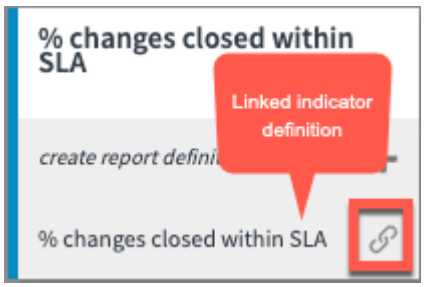


4. プラス記号 + を選択します。
5. **[PA** インジケーター] フィールドで、このインスタンスの既存のパフォーマンスアナリティクスインジケーターを検索して、このインジケーター定義に一致するものがあるかどうかを確認できます。
パフォーマンスアナリティクスインジケーターを選択すると、そのプロパティは [リンクされた PA インジケーターの詳細] 列に読み取り専用で表示されます。この情報は、リンクされたインジケーターに基づいてインジケーター定義を行うのに役立ちます。

   注:
   sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。

   インジケーターは名前でのみ検索できます。

   パフォーマンスアナリティクスインジケーターにリンクされているインジケーター定義の名前の横のアーティファクトにリンクアイコンが表示されます。



6. フォームの残りの部分にない開発者向けの情報を [開発手順] フィールドに入力します。
開発手順の情報は、内部開発者のみが使用するためのものです。[説明] フィールドにインジケーターの詳細を入力することもできます。[説明] フィールドの情報は、結果のパフォーマンスアナリティクスインジケーターの [説明] フィールドに複製されます。
7. インジケーターの 方向 を決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 自動、式、または手動インジケーターのどれがアーティファクトの情報を最もよく表しているかを判断します。

9. 残りのフィールドに入力します。
   - 手動インジケーターを定義する場合は、これ以上情報を追加する必要はありません。
   - 式インジケーターを定義する場合は、式の作成方法を パフォーマンスアナリティクス アドミニストレーターに明確に説明してください。実際の式インジケーターの JavaScript 構文を使用する必要はありません。
   - 自動インジケーターを定義する場合は、次の情報を含めます。

フィールド	説明
Aggregation (集計)	インジケーターソースからのデータに適用する集計関数。
周期	データ収集の予想される周期性。通常、インジケーター頻度はインジケーターソースの頻度値の有効値と一致します。
ファクトテーブル	インジケーターソースが参照するテーブル。
条件	ファクトテーブルからレコードをフィルタリングするための条件のテキストによる説明。条件ビルダー構文を使用する必要はありません。

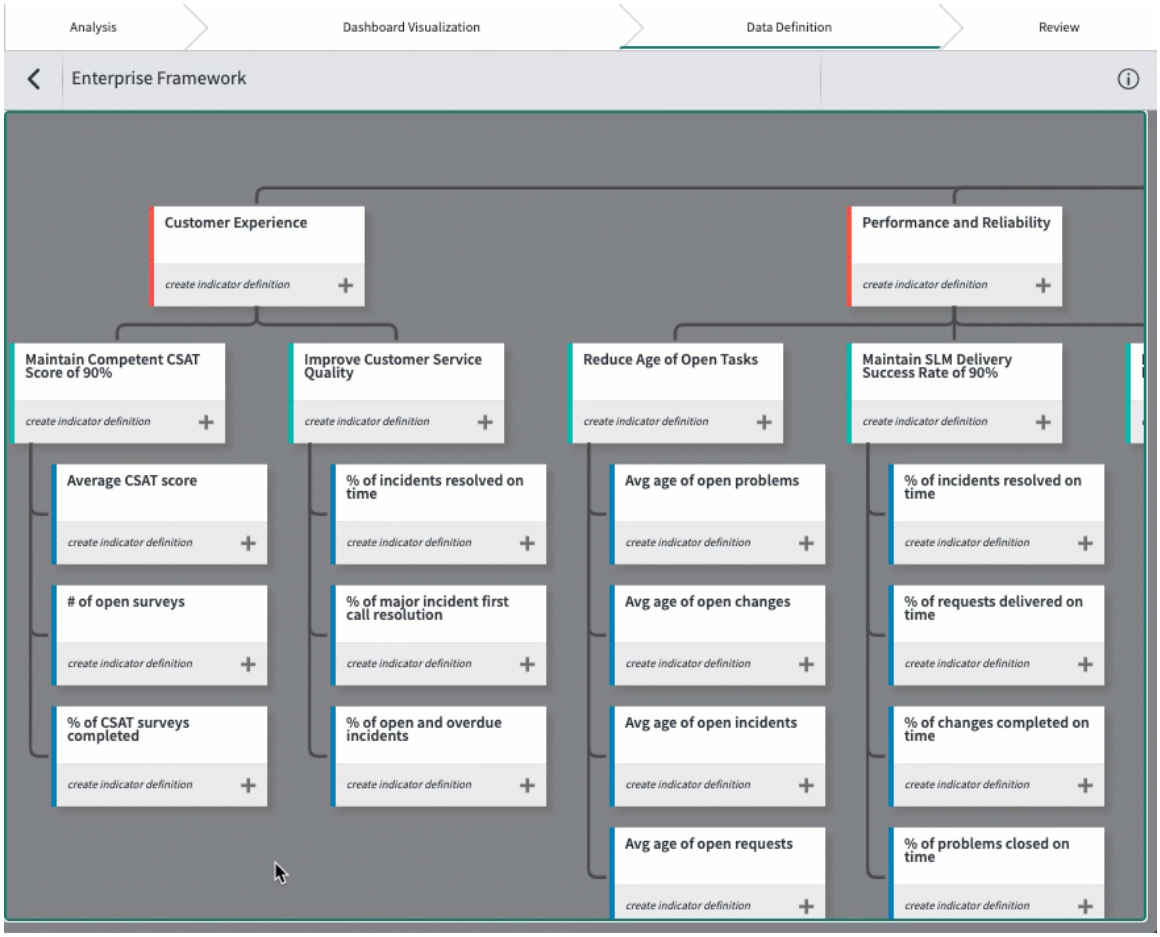
10. [送信] をクリックするか、サポートインジケーターを定義する場合は、コンテキストメニューを開いて [保存] をクリックします。

Example: インジケーター定義の作成

次の短いアニメーションでは、ユーザーが「重大なインシデントの最初のコールでの解決率 (%) (% of major incident first call resolution)」という測定の式インジケーターを定義しています。このインジケーターは、同様のパーセンテージを計算する既存の PA インジケーターに基づいていますが、優先度ではフィルタリングされません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

- 自動インジケーター
- インジケーターソース
- インジケーター (計算)
- 手動インジケーター

貢献インジケーターの追加

KPI Composer でインジケーター定義を作成した後、その定義に貢献インジケーターを追加できます。式インジケーター定義では、式に 1 つ以上の他のインジケーターが含まれているため、貢献インジケーターが完全である必要があります。

始める前に

[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。このプロジェクトには、他のインジケーターへの参照を必要とするインジケーター定義が少なくとも 1 つあります。

パフォーマンスアナリティクスインジケーターに関する技術的な知識が必要です。

必要なロール:インジケーター定義の作成と同じ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [データ定義] タブの関連するアーティファクトで、インジケーター定義名をクリックしてインジケーター定義を開きます。



2. [サポートインジケーター定義] 関連リストで、次のいずれかのボタンをクリックします。
   - [新規] をクリックして、新しいインジケーター定義を作成します。インジケーター定義の作成と同じ手順に従います。
   - [編集] をクリックして、このプロジェクトの既存のインジケーター定義のリストを開きます。インジケーターは必要な数だけ選択できます。

   インジケーターが重複しないように、新しいインジケーター定義を作成する前に既存のインジケーター定義を検索してください。

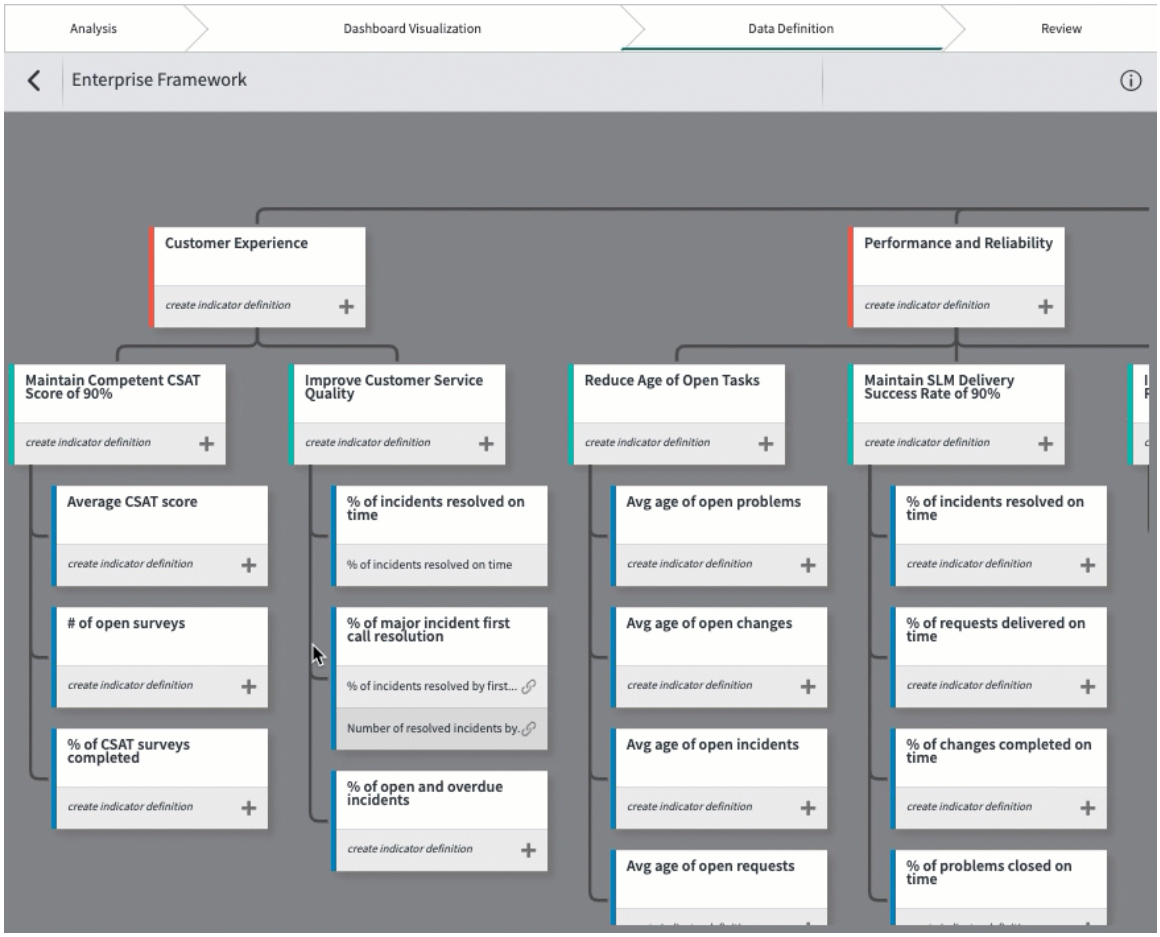
タスクの結果
変更を保存すると、[Data Definition (データ定義)] タブのアーティファクトのメインインジケーター定義の下に、背景が暗くなって貢献インジケーター定義が表示されます。

Example: 貢献インジケーターの追加

この例では、貢献インジケーター [解決済みインシデントの数 (Number of resolved incidents)] が [重大なインシデントの最初のコールでの解決の割合 (% of major incident first call resolution)] アーティファクトに追加されます。このインジケーターは、既存のインジケーター定義と一致します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポート定義を作成する

新しい KPI Composer レポート定義は、[データ定義] タブの関連するアーティファクトから直接作成できます。レポートの作成に必要な情報をレポート定義に入力します。

始める前に
既存の KPI Composer プロジェクト [アナリティクス] タブの KPI ツリー の完全なドラフト。また、 レポートの技術的な知識も必要です。

必要なロール:既存のレポートにリンクする場合は sn_kpi_composer.admin または admin、その他の機能にリンクする場合は sn_kpi_composer.user 責任ユーザーおよび編集アクセス権を持つユーザーは、既存のレポートへのリンク以外の機能も使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、関連するプロジェクトを開きます。
2. [データ定義] タブに移動します。
3. [レポート定義を作成] リンクがあるアーティファクトを見つけて、そのリンクを開きます。
   [Dashboard Visualization (ダッシュボードの表示方法)] タブのレポートウィジェットに関連付けられたアーティファクトにのみ、レポート定義を作成するためのリンクがあります。
4. レポートの名前と説明を入力します。
   デフォルトでは、レポート定義には、それを含むアーティファクトと同じ名前が付けられます。このデフォルト名は、そのアーティファクトのインジケーター定義のデフォルトと同じであるため、区別することを検討してください。
5. [開発手順] フィールドで、レポートのプロパティ以外に必要な技術情報を開発者に提供します。
   [説明] フィールドには、ユーザーの情報を含める必要があります。**[Development instructions** (開発手順)] フィールドには、開発者向けの内部情報を含める必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [ファクト テーブル] または [レポート ソース] を選択します。
7. [条件] フィールドで、レポートのフィルター条件を記述します。
   条件ビルダー構文の代わりにプレーンテキストで条件を記述できます。

プロジェクトのレビュー

作成された KPI Composer プロジェクトの成果物と計画されている パフォーマンスアナリティクス コンポーネントの両方を要約します。プロジェクトの内容を検証します。計画された パフォーマンス アナリティクス コンポーネントをビルドするタスクを生成します。

[Review] タブにいつでも移動して、完了した設計作業と処理待ちのパフォーマンス分析構成の最新のアカウントを確認できます。

[レビュー] タブには、次の 4 つの情報ボックスが表示されます。

サマリー

[分析] タブで定義されたアーティファクトとペルソナの数を合計します。アイテムタイプをクリックすると、それらのアイテムのリストが開きます。

PA アーティファクト

プロジェクト内のインジケーター定義とブレークダウン定義の数を表示します。アーティファクトタイプをクリックして、それらのアーティファクトのリストを開きます。

プロジェクト検証

新しい定義を追加するか、既存の定義を編集した後は、[データをリフレッシュ] をクリックします。次のレベルの問題が特定されています。

- 警告:重要な成功要因がインジケーター定義にリンクされていません。
- エラー:測定がインジケーター定義にリンクされていないか、インジケーターまたはブレークダウン定義がファクトテーブルにリンクされていません。

タスク

プロジェクトで定義した パフォーマンスアナリティクス 要素と レポート 要素を作成するためのタスクを生成して一覧表示します。詳細については、「KPI Composer でのタスクの生成」を参照してください。

KPI Composer でのタスクの生成

プロジェクト内の KPI Composer アーティファクトごとに、同等の パフォーマンスアナリティクス 要素を作成するタスクを生成できます。すべてのタスクは 1 回のアクションで作成されます。タスクは、分析を実装する担当グループに自動的にアサインされます。

タスクを生成して、KPI Composerプロジェクトの定義に基づいて次のパフォーマンスアナリティクスおよびレポート要素を作成できます。タスクは、要素のタイプごとに次の順序で生成されます。

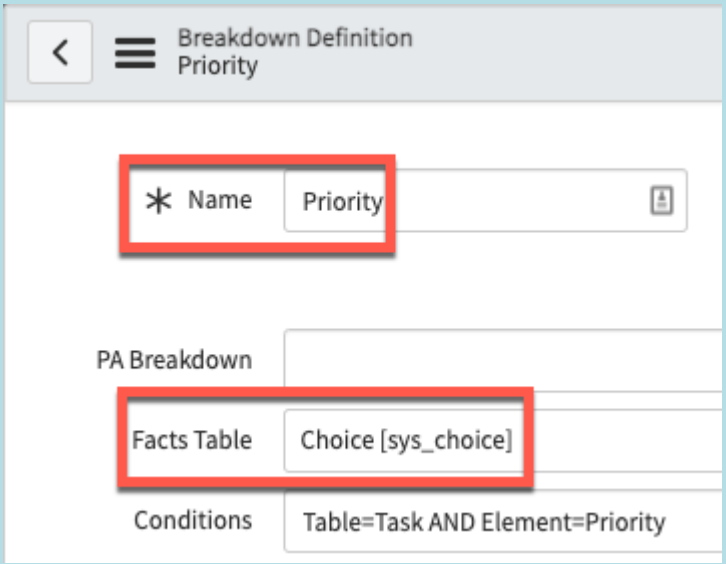
- ブレークダウン
- レポート
- インタラクティブフィルター
- インジケーター
- ウィジェット
- スポットライトグループ
- コンテンツブロック
- ダッシュボード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
要素を作成するタスクを生成するには、関連する KPI Composer アーティファクト定義に必要なすべての情報が含まれている必要があります。たとえば、ブレークダウンまたは自動インジケーターを作成するタスクを生成するには、名前とファクトテーブルをそれぞれの定義で指定する必要があります。

タスクに必要な情報を示す優先度ブレークダウンの定義



KPI Composerタスクをアサイン

KPI Composerプロジェクトのタスクをグループにアサインします。デフォルトでは、タスクはAnalytics 実装者のアサイン先グループにアサインされます。このグループにユーザーとグループを追加することも、別のアサイン先グループを選択することもできます。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

このタスクについて
KPI Composerプロジェクトのすべてのタスクは、同じアサイン先グループにアサインされます。タスクを生成すると、グループは通常のワークフローでタスクを処理します。

デフォルトでは、タスクは KPI Composer に付属する Analytics Implementers グループにアサインされます。このグループには、デフォルトでpa_adminロールが含まれています。このグループに追加したすべてのユーザーに、このロールが付与されます。このグループへのアクセス元ユーザー管理 > グループをクリックするか、[Review] タブの [Tasks] タイルにある **[Analytics Implementers**] リンクをクリックします。このグループを編集するには、user_adminロールが必要です。このグループのユーザーの追加と削除の詳細については、「 ユーザー グループの作成 」を参照してください。

アサイン先グループを変更するには、次の手順に従います。

手順

1. KPI Composer プロジェクトを開きます。
2. [レビュー] タブを開きます。
3. [タスク] タイルを見つけます。
4. 現在のアサイン先グループの名前の横にある クリア アイコンを見つけて選択します。

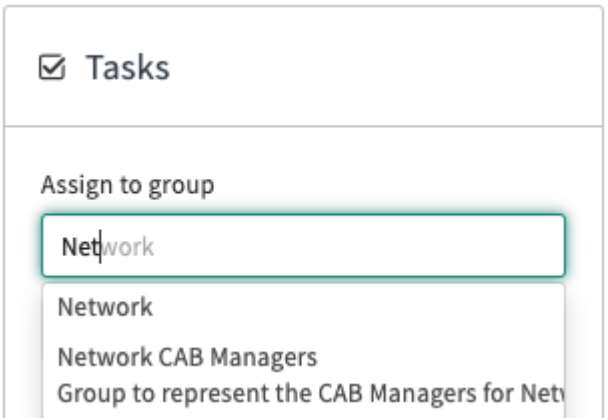


5. アサイン先グループをクリアすることを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. 目的のアサイン先グループの名前の入力を開始します。
KPI Composer では、予測される一致のリストが表示されます。



7. グループを選択します。

次のタスク
タスクを生成して、選択したグループにアサインします。

タスクを生成

十分に定義されたすべての KPI Composer アーティファクトのタスクを 1 回のアクションで生成します。

始める前に

- Analytics 実装者グループにユーザーを入力します。
- KPI Composerプロジェクトの設計を完了します。必要なアーティファクトをすべて定義する必要があります。ただし、後で変更する場合は、タスクを再生成できます。タスクを再生成することは、タスクの完了を追跡する良い方法です。

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

手順

1. [KPI Composer] に移動し、完全に定義されたプロジェクトを開きます。
2. [レビュー] タブを開きます。
3. [タスク] タイルを見つけます。
4. [タスクを生成] を選択します。

タスクの結果
パフォーマンスアナリティクスおよびレポートアーティファクトを作成するためのタスクを生成します。これらのタスクは、Analytics 実装者のアサイン先グループに自動的にアサインされます。

次のタスク
作成したタスクを表示します。[タスク] タイルには、アクティブなタスク、保留中のタスク、および完了したタスクへのリンクがあります。リンクをクリックすると、タスク定義 [sn_kpi_composer_task_definition] テーブルに移動します。

タスク定義レコード

KPI Composer タスクは、タスク定義 [sn_kpi_composer_task_definition] レコードで定義されます。タスクを生成するときは、これらのレコードを作成するか、ステータスを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[レビュー] タブの [タスク] タイルにあるリンクから、既存のタスク定義レコードにアクセスできます。これらのリンクをクリックすると、次のようにフィルタリングされたレコードリストに移動します。

リンク	フィルター
アクティブなタスク	• プロジェクトに<プロジェクト名>が含まれる • (作成、更新) のステータス • 依存関係を待機中 = false
保留中のタスク	• プロジェクトに<プロジェクト名>が含まれる • (作成、更新) のステータス • 依存関係を待機中 = true
完了したタスク	• プロジェクトに<プロジェクト名>が含まれる • ステータス = OK

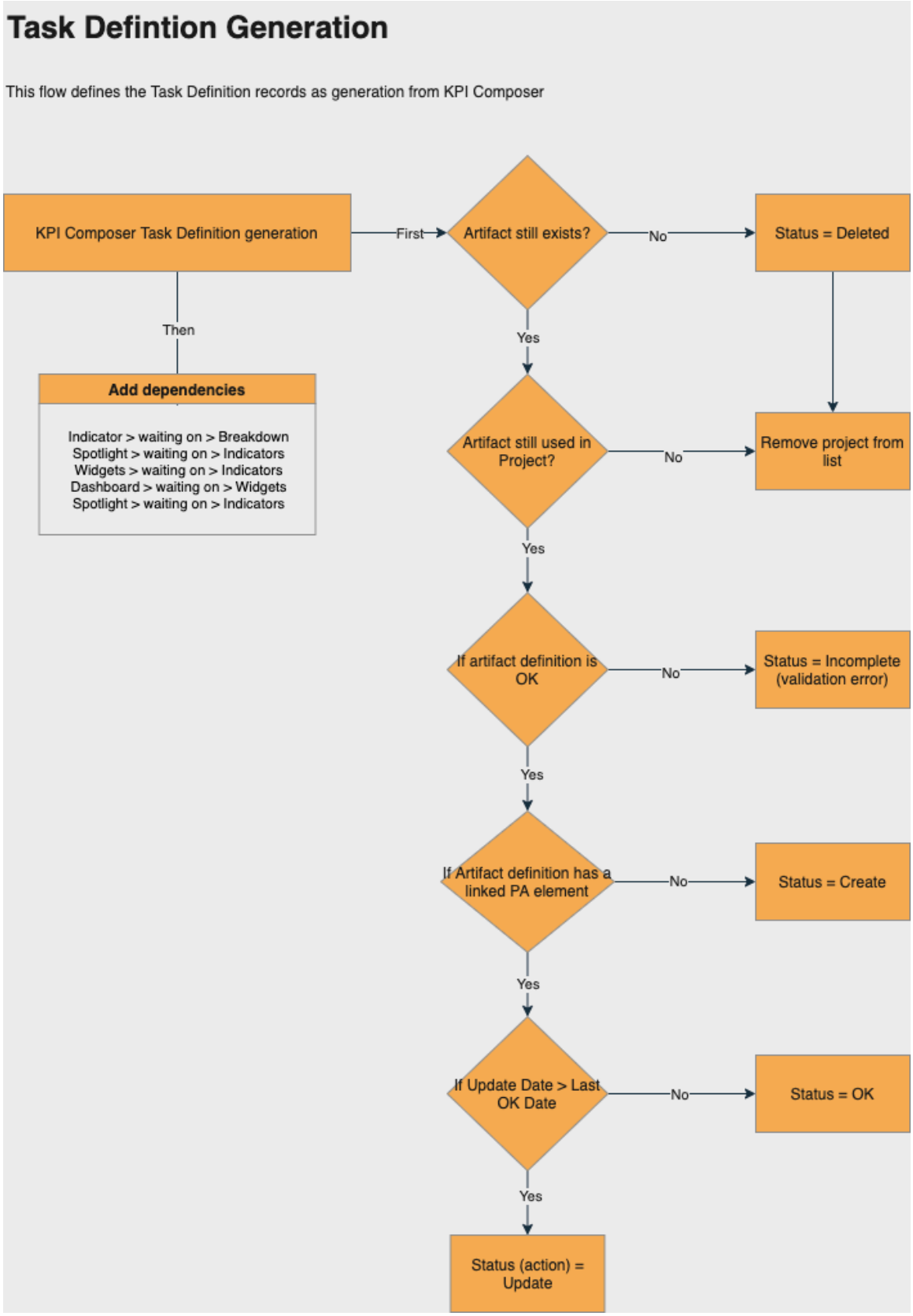
タスクステータス

タスクジェネレータを実行すると、すべてのタスクのステータスが決定されます。タスク生成では、次のロジックを使用してタスクを作成し、そのステータスを設定します。

1. KPI Composerアーティファクトはまだ存在しますか? そうでない場合、ステータスは [削除済み] になります。
2. 既存の KPI Composer アーティファクトに有効な定義がありますか? そうでない場合、ステータスは未完了です。
3. 有効なKPI Composerアーティファクト定義は、パフォーマンスアナリティクスインジケーターやCMS コンテンツブロックなどの既存のNow Platform要素にリンクされていますか? そうでない場合、ステータスは [作成] です。
4. リンクされた要素が存在し、ステータスが以前に [OK] に設定されていた場合、アーティファクト定義は後で更新されましたか? その場合、ステータスは [更新] です。
5. それ以外の場合、リンクされた要素が存在する場合、ステータスは OK になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アーティファクト更新の追跡

タスク生成では、ステータスが「OK」のタスク定義を含むすべてのタスク定義がチェックされます。タスクステータスが「OK」に設定されてからアーティファクト定義が変更された場合、次のタスク生成ジョブでタスクステータスが「更新」に変更されます。変更がチェックされる成果物定義の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドは、成果物タイプによって異なります。他の関連する成果物を変更すると、ステータスが [更新] に変わることもあります。次の表に、フィールドと関連アーティファクトを示します。

アーティファクト定義	フィールド	関連アーティファクトの変更
ブレークダウン	条件	
	ファクトテーブル	
	名前	
インジケーター	Aggregation (集計)	追加されたブレークダウン
	条件	削除されたブレークダウン
	Direction (方向)	
	ファクトテーブル	
	Formula (計算式)	
	周期	
	インジケータータイプ	
	名前	
レポート	Aggregation (集計)	
	条件	
	Description (説明)	
	ファクトテーブル	
	名前	
	レポートソース	
	ソースタイプ	
インタラクティブフィルター	UI コントロール タイプ	
	タイトル	
	Description (説明)	
	インタラクティブフィルター	
PA ウィジェット	ウィジェットタイプ	
	可視化タイプ	
	タイトル	
	Description (説明)	
	要素をフォロー	
	時系列	
	アーティファクト	
スポットライト	タイトル	
	Description (説明)	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アーティファクト定義	フィールド	関連アーティファクトの変更
	アーティファクト	
ダッシュボード	名前	追加されたブレークダウン
	Description (説明)	削除されたブレークダウン
		変更されたキャンバスレイアウト:キャンバスの並べ替え/削除/追加

タスクフロー

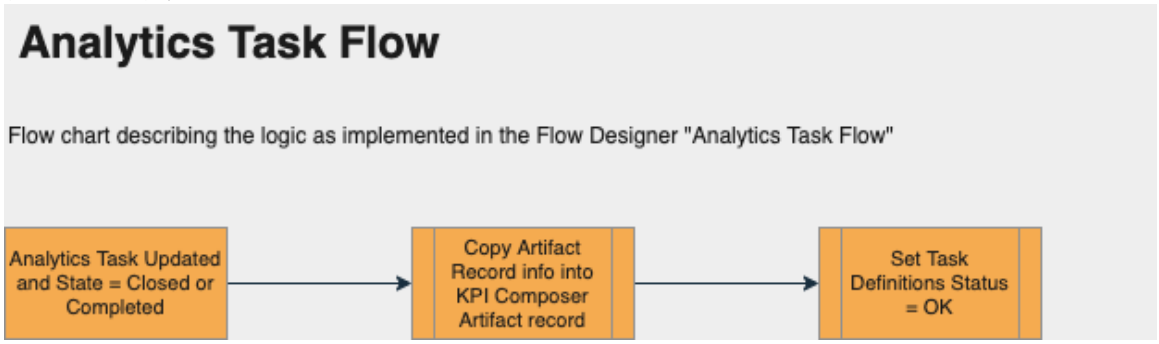
KPI Composer タスクは、 Now Platform® フローデザイナーで作成されたフローを利用します。

KPI Composer には、タスクステータス間の移行を管理するための 2 つのフローが用意されています。

- KPI コンポーザー - アナリティクスタスクフロー
- KPI コンポーザー - タスク定義フロー

これらのフローはいずれも、フローデザイナーで変更できます。ただし、フローを直接変更するのではなく、フローをコピーしてそのコピーを変更する必要があります。コピーをアクティブにし、提供されたフローを非アクティブ化します。これを行う理由は、 KPI Composer の更新にはフローの更新が含まれる可能性があるためです。提供されたフローを変更すると、それらのフローの更新が失敗する可能性があります。代わりに、更新後に、提供されたフローの変更を調べることができます。コピーしたフローにこれらの変更を組み込みます。

次の図は、提供されているフローをまとめたものです。

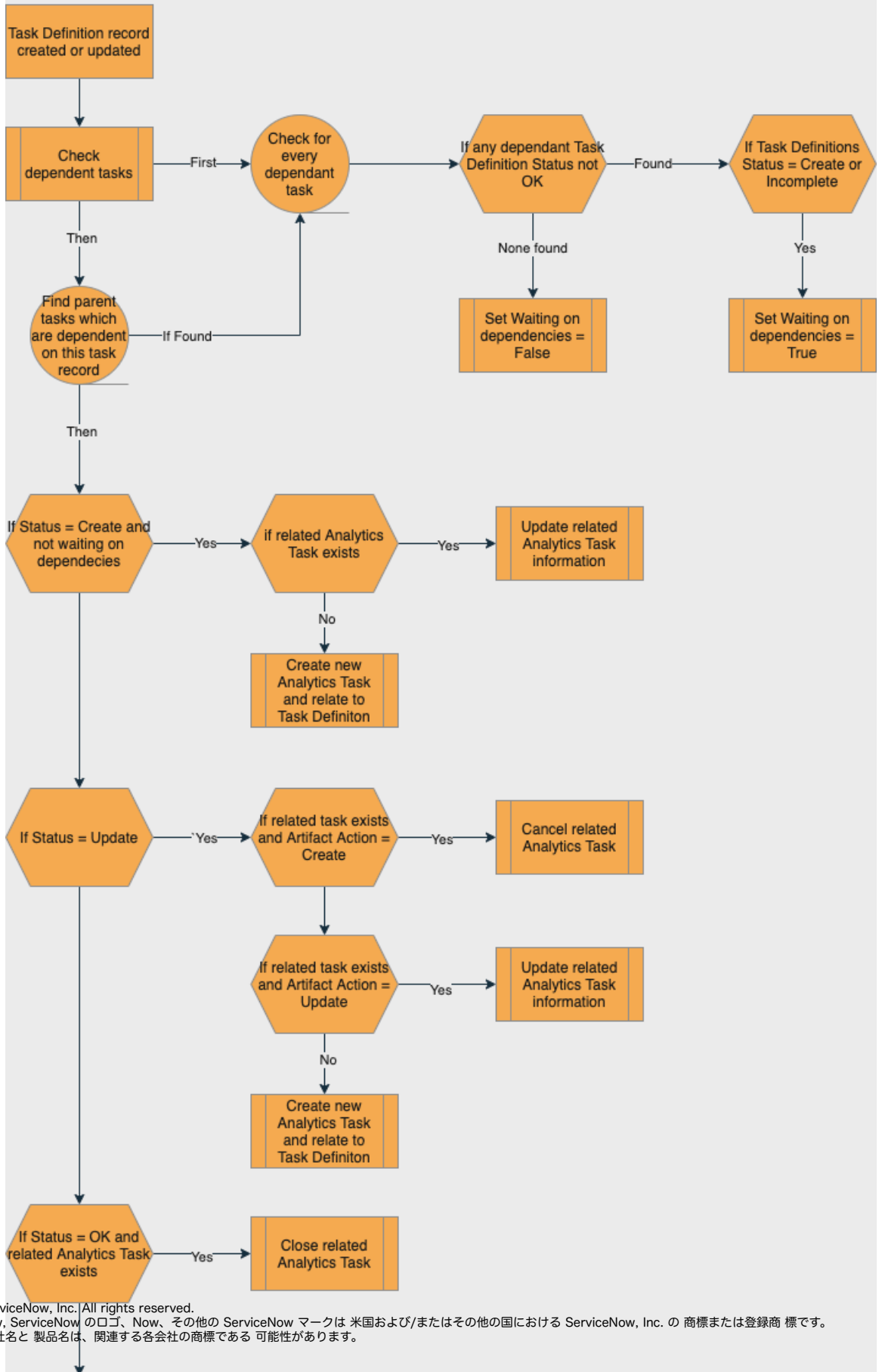


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Task Definition Flow

Flow chart describing the logic as implemented in the Flow Designer "Task Definition Flow"



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

Flow Designer

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

インジケーター ビジネスサービス、アクティビティ、または組織行動の定期的な間隔で実行されるパフォーマンス測定値を定義します。これらのパフォーマンス測定では、時間とともに一連のインジケーター スコアを得られます。

https://player.vimeo.com/video/995194468?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

さまざまな種類のインジケーターとその作成方法の詳細については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

インジケーターの主な特徴は次の通りです。

- インジケータースコアは、インジケーターソースで定義された一連のレコードから自動的に生成することや、手動で入力したり、その他のインジケーターから計算したりできます。
- インジケータースコアは、分析ハブで表示や分析することや、ダッシュボードのウィジェットから示すことができます。

インジケーターソースに直接基づいているインジケーターは、最も一般的なタイプのインジケーターです。これらのインジケーターは 、自動インジケーターと呼ばれます。他のインジケーターのスコアから式で計算されるインジケーターは、 式インジケーターと呼ばれます。スコアが手動で入力されるインジケーターは 、手動インジケーターと呼ばれます。手動インジケーターは、主にテスト目的で使用するためのものです。最後に、高度な機能として、外部データソースからインジケーターを作成できます。

関連情報

自動インジケーター

インジケーター (計算)

手動インジケーター

外部データとのパフォーマンス分析の使用

インジケーターを作成するためのワークフロー

Now Platformテーブルから始めて、ダッシュボードで共有できるスコアコレクションを使用して、完成したインジケーターまで作業します。

始める前に

KPI を作成する前に設計してください。KPI Composerを使用して、パフォーマンスアナリティクスで達成したいビジネスゴールを決定することから始めます。各ビジネスゴールについて、そのゴールの重要な成功要因を決定します。最後に、これらの重要な成功要因の進捗状況を確認するために行う必要がある測定を決定します。これらの測定値は、実装する必要がある KPI に対応しています。パフォーマンス分析ソリューションの設計の詳細については、「 を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI Composer」を参照してください。

PA インジケーターを設計したら、ServiceNow から入手可能なパッケージ済みプラットフォームアナリティクスソリューションの 1 つがニーズを満たしているかどうかを確認します。一般的に言えば、これらのパッケージ済みソリューションの 1 つをカスタマイズする方が、ゼロから構築するよりもはるかに簡単です。詳細については、「アナリティクスソリューション」を参照してください。

必要なロール：なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
必要な KPI がわかったら、インジケーターとブレークダウン、および必要に応じてそれらのデータソースの作成を開始できます。次のワークフローは、Now Platformデータベーステーブルからスコアを収集する KPI の実装である自動インジケーターに適用されます。(式インジケーターでは、操作を組み合わせて自動インジケーターに適用できることに注意してください。また、Now Platformデータベースをまったく参照しない手動インジケーターと外部インジケーターを使用することもできます。

重要:
Performance Analytics は、資格のある担当者が実装する必要があります。こちらで説明しているように、いくつかのトレーニングコースが利用可能です ServiceNow Community article. このドキュメントは、トレーニングの代わりになるものではありません。

パフォーマンスアナリティクスの KPI の設計はトップダウンのプロセスですが、インジケーターの技術的な実装はボトムアップのプロセスです。

手順

1. 分析するデータがあるテーブルを特定します。

   最小ロール:pa_data_collector

   KPI はどのテーブルを参照していますか? たとえば、KPI がインシデントに関するものである場合、情報はインシデント [incident] に含まれます。KPI が変更要求に関するものである場合、テーブルは変更要求 [change_request] です。KPI Composerを使用して KPI を設計する場合、この情報は既にあります。

2. KPI に関連するレコードのサブセットを決定します。

   最小ロール:pa_data_collector

   ほぼ確実に、テーブルのすべてのレコードを参照する KPI はありません。代わりに、オープンインシデントの数、少なくとも 1 回再アサインされたオープンインシデント、オープン日に解決されたインシデントなど、レコードのサブセットを参照する KPI があります。テーブルごとに、レコードの関連するサブセットを定義するために使用できる条件 (「オープン」、「少なくとも 1 回は再アサイン」、「解決済み」、「ステータス>オープン日に解決済み」など) をメモします。

   繰り返しになりますが、 KPI Composer を使用して KPI を設計する場合、この情報は既にあります。

3. KPI に関連するレコードのサブセットを定義する条件に基づいて、必要なインジケーターソースを決定します。

   最小ロール:pa_data_collector

   インジケーターソースは、ServiceNow テーブルとそのテーブルのレコードをフィルタリングする 1 つ以上の条件を参照するデータソースです。インジケーターソースはできるだけ少なくする必要があります。この倹約の主な理由は効率です。データ収集では、各インジケーターではなく、インジケーターソースを共有するインジケーターのセットをデータベースにクエリします。インジケーターソースの数を最小限に抑えると、インジケーター全体で信頼できる唯一の情報源を維持するのにも役立ちます。条件を変更する必要がある場合は、インジケーターソースで条件を変更し、この変更を関連するすべてのインジケーターに自動的に伝播できます。

   インジケーターソースを設計するときに、複数のインジケーターに適用できる共通の条件を探します。次の KPI を考慮してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- オープン中のインシデントの数。
- 少なくとも 1 回再アサインされたオープンインシデントの数。
- 30 日以上オープンになっているインシデント。
- 「解決済み」とマークされたインシデント。
- オープン日に解決されたインシデント。

これらすべての KPI についてスコアを収集する 2 つのインジケーターソースを作成できます。

- 1 つは [インシデント] テーブルで、オープンなインシデントをフィルタリングします。
- もう 1 つはインシデントテーブルで、解決されたインシデントをフィルタリングします。

4. ニーズに合った既存のインジケーターとインジケーターソースを検索します。

   最小ロール:pa_data_collector、pa_power_user (インジケーターのみ)。

   冗長なインジケーターとインジケーターソースは一般的な問題です。適切なインジケーターまたはインジケーターソースが存在しないことを確認した場合にのみ、インジケーターおよびインジケーターソースを作成します。

   ニーズを満たすインジケーターソースが見つかった場合は、設計した KPI に一致するインジケーターがそれらのソースに既に存在するかどうかを確認します。

   > **注:**
   > KPI Composer 適切な既存の パフォーマンスアナリティクス インジケーターの検索を設計プロセスに組み込みます。

5. 必要な不足しているインジケーターソースを作成します。

   最小ロール:pa_data_collector

6. 必要な KPI に一致する、不足している自動インジケーターを作成します。

   最小ロール:pa_power_user

   インジケーターソースを入手した後、ビジネスアナリストなどのpa_power_userロールを持つユーザーが自動インジケーターを作成できます。

   インジケーターを作成するときは、 条件を追加します。これらの条件は 1 つまたは 2 つのインジケーターにのみ適用され、インジケーターソースのレベルで適用するのは効率的ではありません。インジケーターソースとインジケーターの間で条件を効率的に分割した場合、インジケーターソースの一部のインジケーターには追加の条件がありません。これらのインジケーターは、インジケーターソースの列の単なる集計です。

7. 関連するブレークダウンを新しいインジケーターに関連付けてマッピングします。

   最小ロール:pa_power_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターを設計するときに、インジケーターに適用するブレークダウンも設計する必要があります。ブレークダウン設計は KPI Composerに含まれています。場合によっては、新しいブレークダウンまたはブレークダウン ソースを作成する必要がありますが、それはこのワークフローの範囲外です。

8. ブレークダウンのマトリクスを収集して管理します。

   最小ロール:pa_power_user

   優先度とカテゴリ別の両方によるブレークダウンなど、複数のレベルのブレークダウンを収集する場合は、ブレークダウンマトリクスを設定します。不必要または無意味なブレークダウンの組み合わせは除外してください。

9. インジケーターのジョブを編集します。

   最小ロール:pa_data_collector

   1 つのスケジュール設定済みデータ収集ジョブと 1 つの (通常は) スケジュール設定されていないデータ収集ジョブをインジケーターに追加します。履歴データが存在する場合は、スケジュールされていないジョブを実行してインジケーターの履歴データを収集します。通常、このジョブはインジケーターの作成時にのみ実行し、二度と実行しません。スケジュール済みジョブをアクティブ化して、通常はインジケーターの頻度に続いて定期的なデータを収集します。1 つの期間のみ収集します。たとえば、頻度が [日次] のインジケーターがある場合、前 (最後に完了した) 日を毎日収集するようにスケジュール済みジョブを設定します。

タスクの結果
このワークフローの最後に、データが入力された自動インジケーターが作成されます。この自動インジケーターは、KPI Composer で設計した測定、重要な成功要因、またはサポートインジケーターに対応しています。

次のタスク
このインジケーターを式インジケーターに含めることができます。また、インジケーターを可視化するウィジェットを設計し、ダッシュボードを作成して、これらの可視化を適切なステークホルダーと共有することもできます。

インジケーターソース

インジケーター ソース は、1 つのテーブルまたはデータベースビューからフィルタリングされたレコードで構成されるデータセットです。

インジケーターソース構成では、インシデント [incident] などのテーブル、そのテーブルからレコードをフィルタリングするための条件、および条件に基づく頻度を指定します。インジケーターソースは、ローテーションされたテーブルを指定できません。複数のインジケーターで同じインジケーター ソースを使用できます。データコレクションジョブは、インジケーターソースごとに 1 回データベースをクエリします。したがって、同じインジケーターソースを使用するすべてのインジケーターは、同じ時点からデータを取得します。

通常、インジケーターは特定の日付の状況を追跡します。インジケーター ソースの条件には、[オープン済み][日付][今日] のような日付関連のフィルタが含まれている必要があります。収集周期の低いインジケーターでは、[クローズ済み][日付][今月] のようなより広い日付範囲を指定できます。

注意深くインジケーター ソースを作成します。インジケーター ソースには複数のインジケーターがリンクされる可能性があるため、インジケーター ソースを作成した後に変更することは容易ではありません。さらに、インジケーターソースを変更すると、既に収集したスコアと不整合が生じる可能性があります。

注:
インジケーターを作成する前に、インジケーター ソースを作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターソースの定義

1 つ以上のインジケーターで評価できるレコードのフィルター済みデータセットを提供するには、インジケーターソースを作成します。

始める前に

次の理由から、インジケーターソースのリストを確認してください。

- 要件を満たすインジケーターソースが既に存在している可能性があります。インスタンスの維持に役立てるため、重複するインジケーターソースを作成しないでください。
- 作成するインジケーターソースには必ず一意の名前を付けてください。異なるインジケーターソースに同じ名前を付けると、混乱を招く可能性があります。

必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクスに移行していないアップグレードされたインスタンスを使用している場合は、 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ソース > インジケーターソース をクリックし、[**New**] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクス に移行した場合は、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > データソース > インジケーターソース をクリックし、[**New**] を選択します。
2. インジケーターソースの使用目的を簡単に確認できる一意の [名前] を入力します (例 **:Incidents.Open**)。
3. 他のユーザーがこのインジケーターソースの使用法と目的を理解し、重複を作成しないように、詳細な [説明] を追加します。
4. [カレンダー] フィールドで、インスタンスで定義されている標準カレンダーまたはビジネスカレンダーのいずれかを選択します。

   ⚠ 警告:
   ビジネスカレンダーを使用し、後でそのビジネスカレンダーのエントリを変更すると、 パフォーマンスアナリティクス データが無効になります。エントリを変更する前に収集したスコアは、エントリを変更した後に収集したスコアと互換性がありません。この警告は、会計カレンダーのスケジュールにも適用されます。

   ビジネスカレンダーを使用する場合は、「ビジネスカレンダー:エントリ開始時間」または「ビジネスカレンダー:エントリ終了時間」に実行するデータ収集ジョブを作成できます。

5. [**Valid for frequency**] または **[Calendar Frequency**] フィールドに入力します。
   - 標準カレンダーを選択すると、[有効期間] の [頻度] フィールドが表示されます。このフィールドでは、標準インジケーター頻度を選択できます。デフォルトの選択は [日次] です。
   - ビジネスカレンダーを選択すると、[カレンダー頻度] フィールドが表示されます。このフィールドは必須です。選択したビジネスカレンダーによって、使用可能な頻度の範囲が決まります。

   このインジケーターソースに基づくインジケーターは、このフィールドの値をインジケーター 頻度として使用します。デフォルトでは、インジケーターのスコア収集期間はこの頻度に従います。この動作はインジケーターレコードで上書きできます。

   設定する周期がわからない場合は、ビジネス サイクルの周期を基準にします。

6. ファクト テーブルを直接選択するか、レポート ソースを再利用して選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ 警告:

- パフォーマンスアナリティクス はリモートテーブルをサポートしていません。
- データの収集を開始した後は、ソースのファクトテーブルを変更しないでください。ファクトテーブルを変更すると、次のスコア収集時に関連するインジケーターのすべての履歴スコアが失われます。

7. ファクト テーブルを直接選択する場合は、データをサブセットに含める前に満たす必要がある 条件 を追加します。

Example
たとえば、条件 [有効][次の値に等しい (=)][true]、[作成日][次の値もしくはそれ以前（<=）][日付] などと設定します。

ヒント:

- テキスト フィールドのインジケーター ソース条件では、大文字と小文字は区別されません。
- インジケーターソースとインジケーターに設定された条件がすべて適用されます。
- インジケーターにリアルタイムスコアを表示するには、インジケーターまたはインジケーターソースのいずれかに条件を設定します。
- インジケーター ソースを再利用できるように、上位レベルの条件のみを使用してインジケーター ソース条件を定義してください。データをより深く理解するには、個々のインジケーターの詳細フィルタを使用します。
- インジケーターソースには、[作成日時][日付][今日] などの日付条件が少なくとも 1 つ必要です。
- 通常、日付条件はインジケーター頻度と同じ期間を参照する必要があります。たとえば、日数に関する条件は、日次インジケーターにのみ指定する必要があります。月数に関する条件は、月次インジケーターにのみ設定する必要があります。
- テーブルのsys_id値または表示値へのドット連結は避けてください。不要な結合が作成されないように、代わりに参照フィールドを単独で使用してください。
- インジケーターソース条件を適切に設計すると、そのソースのインジケーターの少なくとも 1 つに独自の追加条件はありません。

条件の構築に関する一般的な情報については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

8. オプション: 関連 リスト条件 を定義して、別のテーブルとの関係をフィルターに含めます。詳細については、「 関連リスト条件の追加 」を参照してください。
9. このインジケーターソースが返すレコードの数を確認するには、[プレビュー] をクリックします。

⚠ 警告:

プレビュー機能の表示内容にかかわらず、収集されるレコードの上限を超える可能性があります。プレビュー機能に表示されるレコードの数は、データコレクターが実際にフェッチする数よりも少なくなります。データコレクションジョブはレコードをフェッチするときに ACL とビジネスルールを無視しますが、プレビュー機能はそれらに従います。詳細については、「 KB0756238 」を参照してください。

10. [レコードビュー] タブのリスト ビューで、デフォルトビューを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトのビューは、ワークベンチウィジェットと、 アナリティクスハブ および KPI 詳細でこのインジケーターソースに対して収集されたレコードのリストに適用されます。使用可能なビューは、ファクト テーブルによって異なります。

11. オプション: [レコード収集] タブで、ジョブが単一のインジケーターソースに対して収集できるレコードの最大数を、このインジケーターソースについてのみ上書きします。
[レコード収集を上書き] を選択し、[収集されるレコードの最大数] に値を入力します。プロパティ *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source*に設定されているデフォルト値を上書きしています。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス のプロパティ」を参照してください。
12. コンテキストメニューを展開して [保存] をクリックします。
13. オプション: ビジネスカレンダーを使用するようにこのインジケーターソースを構成した場合は、スコアとスナップショットを保持し、季節パターンを検索するための期間数を設定します。
これらの設定は、同じカレンダー頻度を使用するすべてのインジケーターソースとインジケーターに適用されます。インジケーターのオーナーは、そのインジケーターのこれらの設定を上書きできます。インジケーターソースでこれらの値を設定しない場合、誰かがこのカレンダー頻度を使用して初めてインジケーターを作成するときに、これらの値を設定するように求められます。

    a. 関連リンクで、[保持期間の設定] をクリックします。
    PA ビジネスカレンダー保存期間レコードが開きます。

    b. [季節性を確立するエントリ数] フィールドに、季節パターンを見つけるために必要な、ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリで定義されている期間の数を入力します。
    ビジネスカレンダーエントリの詳細については、「 ビジネスカレンダーの作成 」を参照してください。

    c. ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリの定義に従って、スコアとスナップショットを保持する期間の数を設定します。
    デフォルト値は 1 ですが、変更を検討する必要があります。

Example: シンプルなインジケーターソース

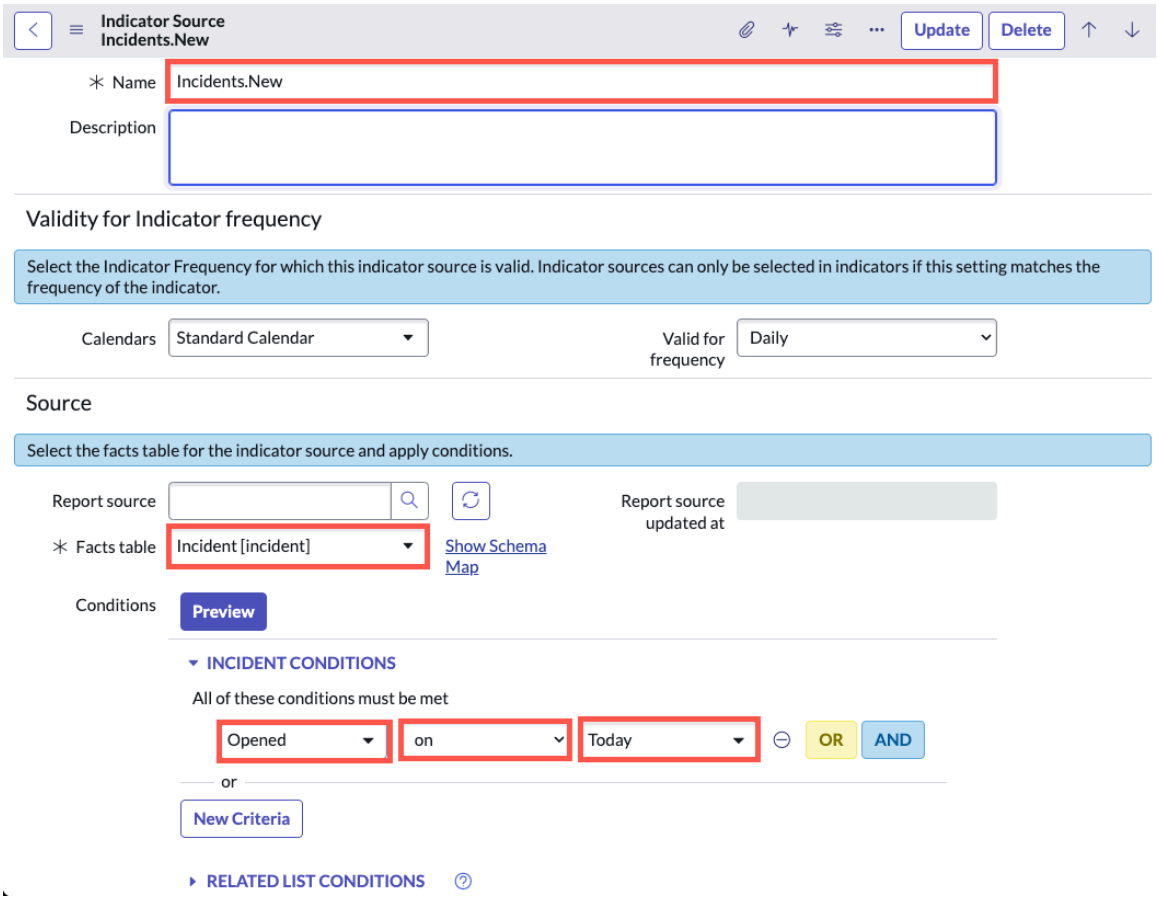
次の設定は、毎日新しいインシデントを収集するインジケーター ソースを作成します。

- [名前]：Incidents.New
- [周期]：日次
- [ファクトテーブル]：インシデント [incident]
- [条件]：[オープン済み][日付][今日]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター ソースの作成



次のタスク
インジケーターソースを作成したら、レコードの関連リストでテキストインデックス構成を定義できます。これらの構成を使用して、ワード クラウドで パフォーマンスアナリティクス テキスト ウィジェットを作成します。詳細については、「テキスト分析の設定」を参照してください。

レポートソースを再利用している場合にレポートソースが変更されると、インジケーターソースレコードに警告が表示されます。レポートソースと一致するようにインジケーターソースを更新するには、[レポートソースの更新] をクリックします。[**Report source**] フィールドの横にある更新ボタンをクリックすることもできます。

読み取り専用の [レポートソース更新日時] フィールドにレポート ソースが最後に更新された時刻が表示されます。この日付と時刻は、常に GMT タイムゾーンで表示されます。

関連情報

- レポートソース
- ビジネスカレンダーの作成

インジケーター ソースでのデータベース ビューの使用

インジケーター ソースのファクト テーブルとしてデータベース ビューを選択できます。データベース ビューを使用すると、デフォルトでは接続されていないServiceNowインスタンスのテーブルのデータを統合することができます。

始める前に
必要なロール：pa_admin

自動翻訳

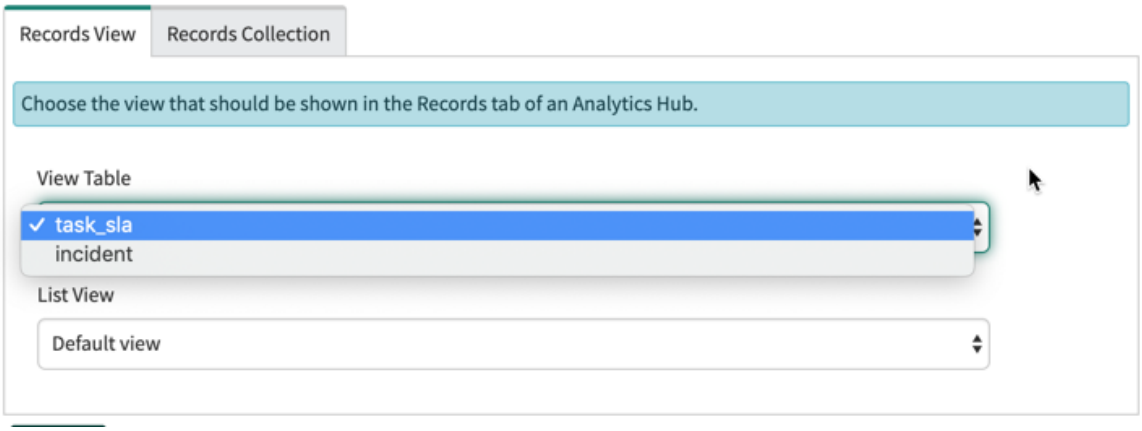
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
データベースビューでテーブルを結合すると、ビューを呼び出すことで簡単にアクセスすることができます。次に、ビューに含まれる任意のテーブルからフィールドを選択できます。たとえば、違反した SLA の数をレポートする場合、SLA とインシデント テーブル両方のフィールドが必要です。

手順

インジケーター ソースのファクト テーブルとしてデータベース ビューを選択した場合は、インジケーター ソース フォームの [レコードビュー] セクションで追加の構成を行います。

インジケーターソースフォームの [レコードビュー] セクション



フィールド	**Description** (説明)
ビューテーブル	レコードのスナップショットは、データベースビューの 1 つのテーブルからのみ収集されます。レコードを収集するテーブルを選択します。 **重要:** この値を変更すると、以前のすべてのスナップショットが事実上削除されます。この変更は、次回データ収集ジョブが実行されたときに有効になります。この変更は履歴スコアには影響しません。
リストビュー	収集されたレコード セットの表示に使用するリスト ビューを選択します。デフォルトビュー が提案されますが、 ワークスペースなどの定義済みのビューを選択できます。

注:
一意のシステム ID を生成しないビューテーブルで第 2 レベルのブレークダウンを収集すると、スコアとレコード数が一致しないことがあります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。レコード数は一意でないsys_idsのアーティファクトであるため、正しくありません。

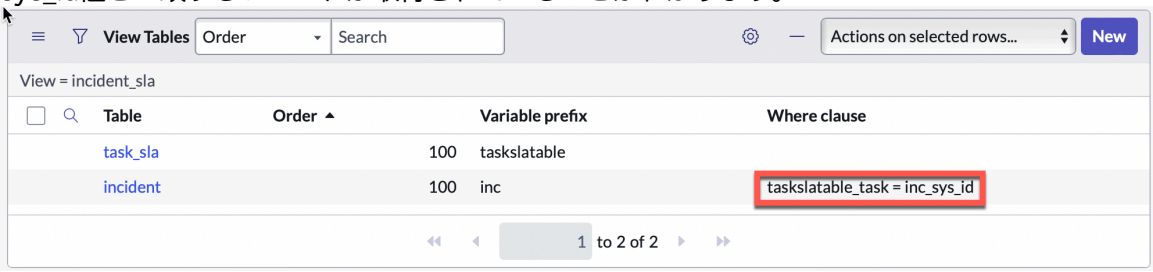
Example: データベースビューからのインジケーターソース

SLA に違反するインシデントの数を追跡するインジケーターを作成するとします。ベースシステムには、タスク SLA [task_sla] テーブルとインシデント [incident] テーブルを結合する incident_sla というデータベースビューがすでに含まれています。したがって、このデータベースビューを使用して新しいインジケーターソースを作成します。

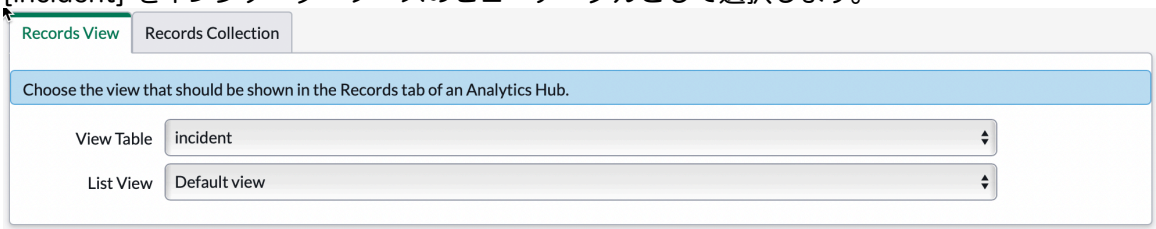
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データベースビューを見ると、タスク SLA テーブルのタスクがインジケーターテーブルの一意の sys_id値と一致するレコードが取得されていることがわかります。



スナップショットは 1 つのテーブルからのみ取得できます。通常は、一意の値を持つフィールドを含むテーブルのスナップショットを作成することをお勧めします。したがって、インシデント [incident] をインジケーターソースのビューテーブルとして選択します。



関連情報

データベースビュー

自動インジケーター

自動インジケーターは、データセットとしてインジケーターソースを使用します。インジケーターソースは、テーブル、そのテーブルのレコードをフィルタリングするための条件、およびデータを表示する頻度を指定します。インジケーターは、このデータに集計関数とオプションの条件を適用します。

自動インジケーターは、最も頻繁に使用されるタイプのインジケーターであり、おそらく パフォーマンスアナリティクスの最も基本的なコンポーネントです。自動インジケーターを使用して、変更要求や HR ケースなどのビジネスプロセスに関する情報を格納するテーブルから一連のレコードのスコアを計算します。スケジュール設定済みデータ収集ジョブでスコアが自動的に計算されます。このジョブはインジケーターソースの頻度と同じ周期性に従います。また、最初にインジケーターを作成するときに履歴データのスパンを収集するなど、手動で実行する 1 つ以上のデータ収集ジョブも設定します。

インジケーターを任意の数のブレークダウンに関連付けて、インジケータースコアをスライスまたはフィルタリングできます。たとえば、オープンインシデントの数を示すインジケーターがある場合、このインジケーターを優先度ブレークダウンに関連付けて、優先度が「重大」のインシデントの数を確認できます。また、インジケーターをカテゴリブレークダウンに関連付けて、ハードウェアとソフトウェアのインシデント数を比較することもできます。

使用するインジケーターソースがあり、非常に簡単な自動インジケーターを作成する場合は、ウィザードを使用できます。インジケーターをより詳細に指定する必要がある場合は、このセクションで説明するフォームを使用します。ウィザードからインジケーターを作成する方法の詳細については、「 ウィザードを使用した自動インジケーターの作成」を参照してください。いずれかの方法でインジケーターを作成する前に、 インジケーターの計画の説明に従ってインジケーターを計画します。また、適切なインジケーターがベースライン パフォーマンスアナリティクス ソリューションコンテンツパックのいずれかで既に利用可能かどうかも確認します。

自動インジケーターを式インジケーターへの入力として使用して、たとえば、オープンインシデントのうち新規インシデントの割合を計算することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動インジケーターの作成

ServiceNowテーブルに記録されているビジネスプロセスのパフォーマンスを分析するには、自動インジケーターを使用します。適切なインジケーターが プラットフォームアナリティクスソリューションに指定されていない場合は、新しいインジケーターを作成します。

始める前に

「 自動インジケーター」で説明されているように、適切なインジケーターソースが必要です。また、「 を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI Composer と インジケーターの計画」で説明されているように、KPI を作成する前に、ビジネス戦略の一部として KPI を設計する必要もあります。また、 インジケーターを作成するためのワークフローについてもよく理解してください。

注:

- インジケーターを作成するには、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが必要です。
- ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在のドメインに作成されます。

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて

このフォームには、自動インジケーターを作成するための多くのオプションがすべてあります。単純な自動インジケーターをすばやく作成するには、「ウィザードを使用した自動インジケーターの作成」を参照してください。ただし、インジケーターオプションの詳細とヒントについては、最初にこのトピックをお読みください。

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクスに移行していないアップグレードされたインスタンスを使用している場合は、 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > インジケーター > インジケーター (自動) をクリックし、[**New**] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクス に移行した場合は、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > インジケーター (自動) をクリックし、[**New**] を選択します。
2. [名前] フィールドで、[重要なインシデントの数] など、記述名をインジケーターに指定します。
3. いずれも：
   - カレンダーと頻度を選択してから、インジケーターソースを選択します。手順 4 に進み、手順 5 を実行します。
   - 最初にカレンダーや頻度を選択せずにインジケーターソースを選択します。ステップ 4 をスキップして、ステップ 5 を実行します。

   カレンダーと頻度を手動で設定する場合は、カレンダーと頻度が一致するインジケーターソースのみを選択できます。カレンダーと頻度を設定しない場合は、任意のインジケーターソースを選択できます。後者の場合、インジケーターはそのインジケーターソースのカレンダーと頻度を継承します。

   注:
   このインジケーターの無制限のブレークダウンを有効にすると、インジケーターに設定したカレンダーと頻度が上書きされ、頻度が日次になります。
4. オプション: カレンダーと頻度を設定します。

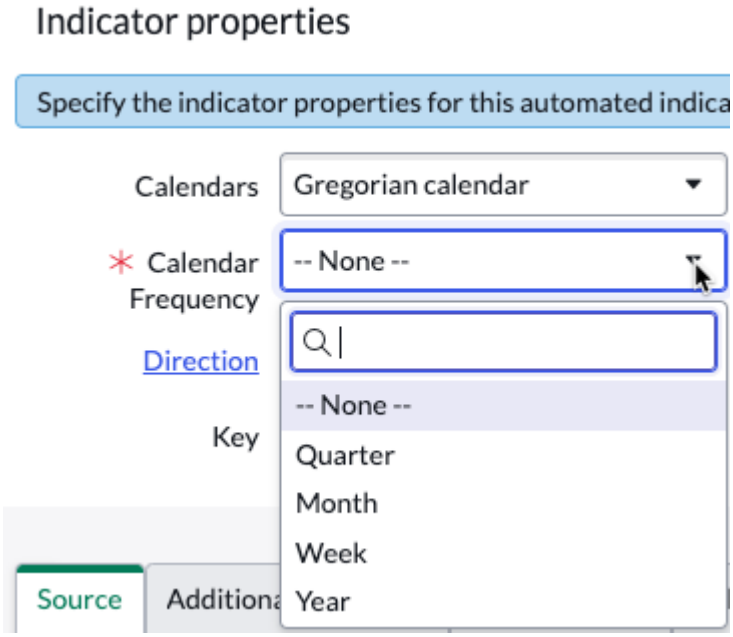
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [カレンダー] フィールドで、標準カレンダー、ビジネスカレンダー、または会計カレンダーグループを選択します。

b. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択した場合は、カレンダー頻度を選択します。カレンダー頻度の選択は、ビジネスカレンダーエントリまたは会計カレンダースケジュールの設定によって異なります。

Example
たとえば、グレゴリオ暦には、四半期、月、週、および年の頻度があります。グレゴリオ暦を使用している場合は、これらの頻度のいずれかを選択する必要があります。

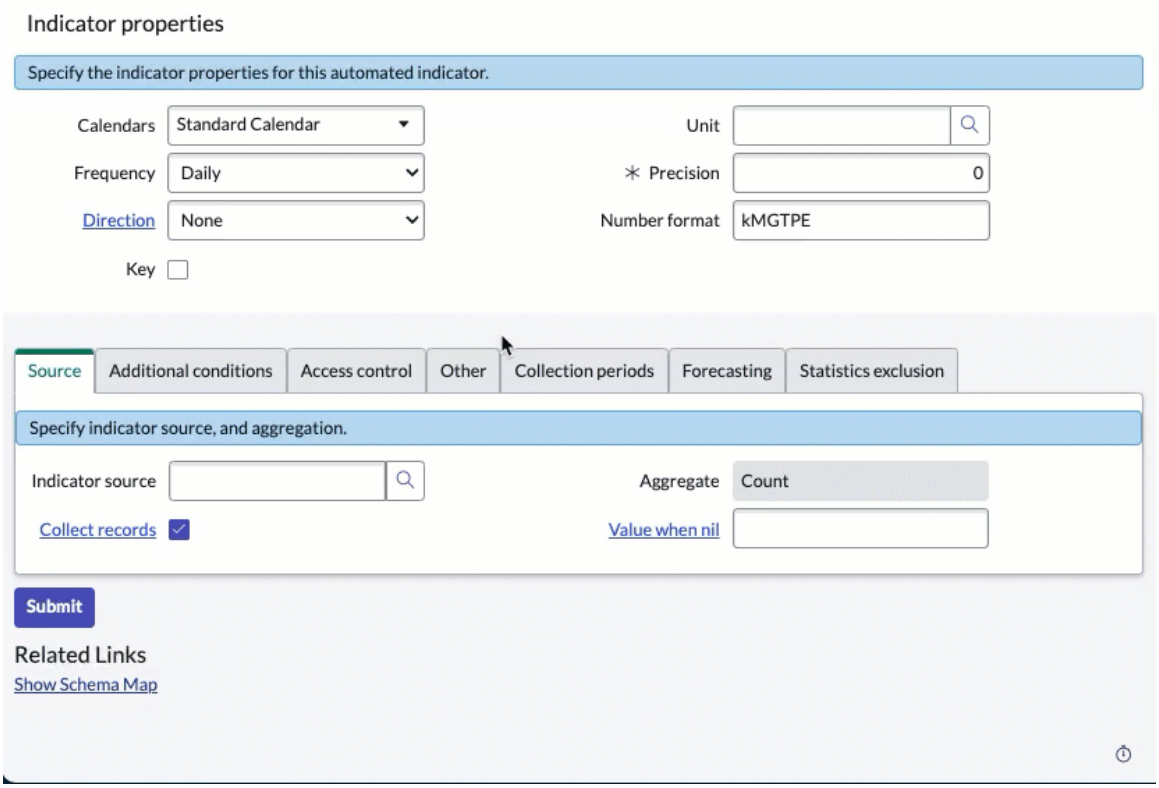


c. オプション: 標準カレンダーを選択した場合は、インジケーター頻度を選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター頻度を選択しない場合、頻度はインジケーターソースから継承されます。



5. [ソース] タブまでスクロールし、[インジケーターソース] を選択します。
フィールドに名前の一部を入力すると、それに応じて使用可能なインジケーター ソースのリストがフィルタリングされます。

   ドメインセパレーションを使用している場合は、可視化が設定されているインジケーターソースのみを選択できます。

   [カレンダー頻度] または [頻度] が指定されている場合は、カレンダーと頻度が一致するインジケーターソースからのみ選択できます。

6. [ソース] タブの [集計] フィールドで、インジケーターソースのデータに適用する集計関数を選択します。

   [カウント] は、レコード数を数えます。[個別のカウント] は、レコードの総数ではなく一意の値の数をカウントします。例えば、ユーザーの名前がリストに複数回表示される場合、そのユーザーは 1 回のみカウントされます。他の選択肢は、レコード間のフィールドの値の合計など、指定されたアグリゲート演算を実行します。

   [合計]、[最小]、または [最大] 集計を選択する場合は、インジケーターへの適用から一部のタイプの時系列を除外することを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。

   > **ヒント:**
   > 平均集計は時系列の使用を複雑にする可能性があるため、この集計は使用しないようにしてください。代わりに、[合計] 自動インジケーターと [カウント] 自動インジケーターを作成します。次に、合計インジケーターをカウントインジケーターで除算して平均を計算する式インジケーターを作成します。

7. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターは、最大化または最小化に設定する必要があります。

8. [ソース] タブで、残りのフィールドを入力します。
[Aggregate] が **[Count]** に設定されている場合は、[**Collect records**] フィールドと **[Value when nil]** フィールドのみが使用可能です。

[ソース] タブのフィールド

フィールド	説明
レコードの収集	インジケーターが収集されたときに個々のレコード sys_ids が格納されているかどうかを示すチェック ボックス。このチェックボックスをオンにすると、 アナリティクスハブ とウィジェットの詳細にドリルダウンできます。利用可能な場合、収集されたレコードが [記録] タブに表示されます。 ヒント: 通常、カウントと合計以外の集計を含むレコードの収集は避けてください。ユーザーが最小または最大に入るレコードを表示することはめったになく、[個別のカウント] のレコード数はスコアと異なる場合があります。ユーザーから要求された場合にのみ、これらの他の集計を使用してインジケーターのレコードを収集することを検討してください。 スポットライト グループのメイン インジケーターに対して、このオプションを有効にする必要があります。そうしないと、[スポットライト] グループは収集したレコードのスナップショットを評価できません。詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。
スクリプト化	スクリプトに基づいて値を集計するかどうかを示すチェック ボックス。このオプションは、[集計] が [カウント] に設定されていない場合にのみ利用できます。[スクリプト化済み] チェック ボックスをクリアしてフィールドの値を集計します。
フィールド	集計操作を実行するフィールド。このフィールドは、[集計] で [カウント] ではなく [スクリプト化済み] を選択している場合にのみ表示されます。
スクリプト	集計のスクリプトを選択するか、スクリプトを作成します。このオプションは、[スクリプト化済み] チェック ボックスが選択されている場合にのみ利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

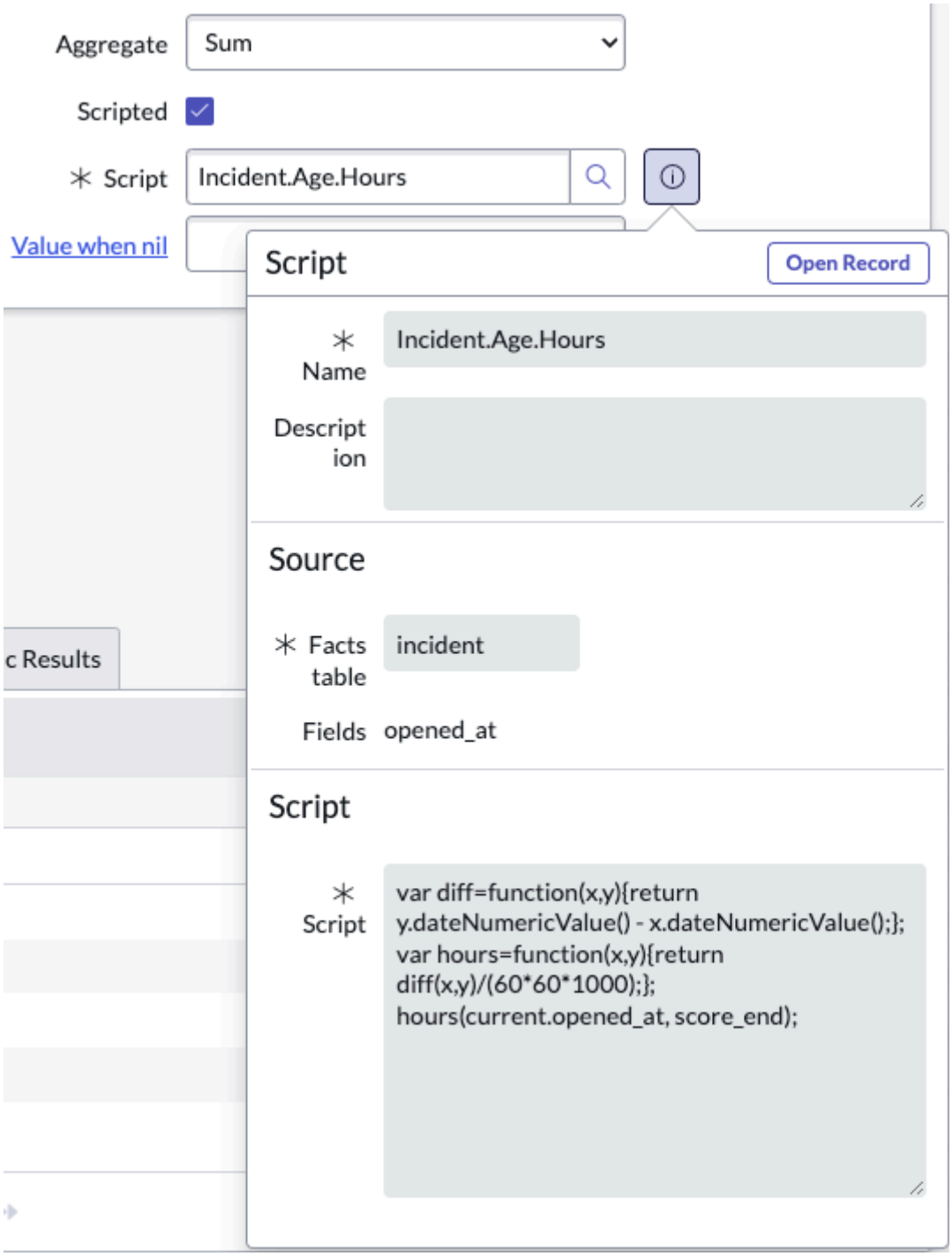
フィールド	説明
	詳細については、「スクリプト： パフォーマンスアナリティクス」を参照してください。
値がない時の挿入値	値が収集されない場合にスコアとして挿入される値。この値は、ブレークダウンが適用されるかどうかに関係なく挿入されます。 この値は、平均などの数式や集計の計算には使用されません。

Example

たとえば、「オープンインシデントの合計経過時間」インジケーターは、合計集計を使用します。この集計を使用するため、フィールドまたはスクリプトのいずれかを指定する必要があります。この場合はスクリプト化され、Incident.Age.Hours スクリプトを使用します。

自動翻訳

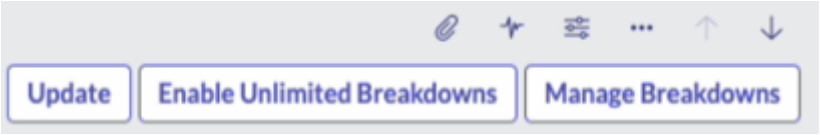
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびユーザー、グループ、またはロール別にインジケーターの表示を制限するかどうかを設定します。ライブラリへの共有を有効にすると、インジケーターが次の場所で使用できるようになります。
   - プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスライブラリの KPI のリスト
   - KPI 詳細
   - アナリティクスハブに完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスに限ります プラットフォームアナリティクス
10. このインジケーターに 3 レベルを超えるブレークダウンを適用できるようにするには、[無制限のブレークダウンを有効にする] を選択します。

自動翻訳

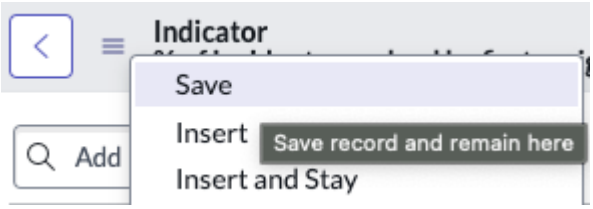
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



すべてのインジケーターが無制限のブレークダウンをサポートしているわけではありません。このインジケーターが無制限のブレークダウンをサポートしていない場合は、理由を示すメッセージが表示されます。詳細については、「無制限のブレークダウン」を参照してください。

無制限のブレークダウンを有効にすると、インジケーターに設定したカレンダーと頻度が上書きされます。インジケーターは日次になります。

11. コンテキストメニューを展開して [保存] をクリックします。



12. 次のいずれかの手順を実行します。
    - それ以上のアクションを実行するためのプロンプトが表示されず、インジケーターが要件を満たしている場合は、[ブレークダウンの管理] を選択してインジケーターにブレークダウンを追加します。詳細については、「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。
    - さらにアクションを実行するように求められた場合、またはより複雑なインジケーターを設計した場合は、インジケーターの詳細設定を完了します。

関連情報

インジケーター グループの作成

ブレークダウン マトリクスの収集と管理

インジケーターの詳細設定

必要な設定で自動インジケーターを作成した後、オプションの詳細設定を構成できます。

始める前に

自動インジケーターを作成して保存しました。
必要なロール：pa_power_user

手順

1. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択し、このインジケーターがこのカレンダー頻度で作成された最初のインジケーターである場合は、周期性を設定するように求められます。
   これらの設定は、[収集期間] タブの設定を上書きしない限り、同じカレンダー頻度を持つすべてのインジケーターに適用されます。詳細については、「ビジネスカレンダーのインジケーター」を参照してください。

   a. 「関連リンク」セクションで、「 周期性の構成」をクリックします。
      PA ビジネスカレンダー保存期間レコードが開きます。

   b. [季節性を確立するエントリ数] フィールドに、季節パターンを見つけるために必要な、ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリで定義されている期間の数を入力します。
      ビジネスカレンダーエントリの詳細については、「 ビジネスカレンダーの作成 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリの定義に従って、スコアとスナップショットを保持する期間の数を設定します。
デフォルト値は 1 ですが、変更を検討する必要があります。

2. [他の条件] タブで、インジケーターが評価するレコード セットを制限する条件を追加します。
インジケーター ソースの条件に加えてインジケーターの条件が適用されます。リアルタイムスコアを表示するには、インジケーターまたはインジケーターソースで条件を設定する必要があります。

ただし、次の演算子はインジケーターではサポートされていません。代わりに、インジケーターソース条件で次の演算子を使用できます。

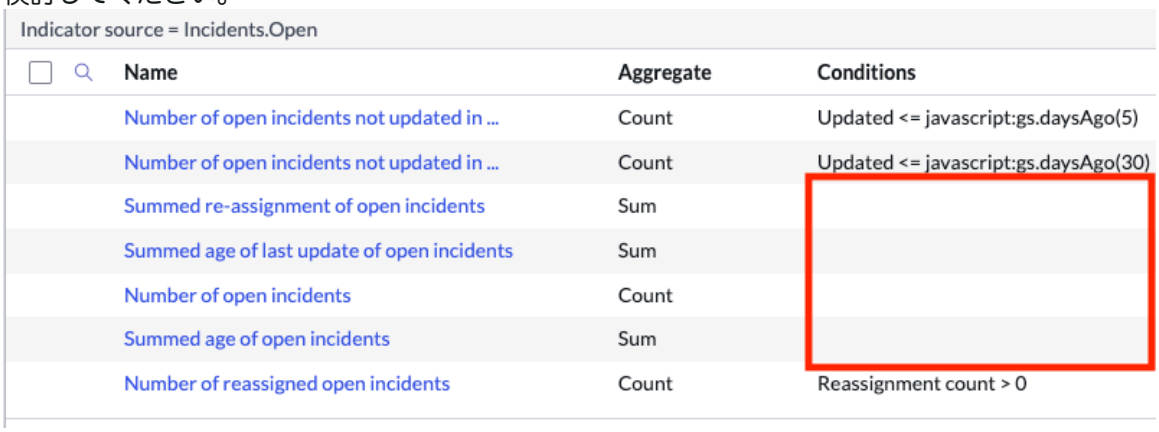
- キーワード
- 次のフィールド値を超える **(>)**
- 次のフィールド値未満 **(<)**
- 次のフィールド値以上 **(>=)**
- 次の値以下 **(<=)**

⚠ 警告:
データ収集ジョブがエラーで完了しないようにするには、次の制限事項に従ってください。

- ロールを参照する条件をインジケーターに追加しないでください。ロールテーブルは、インジケーターソースでのみ参照できます。
- ドット連結フィールドのみを参照する条件を定義する場合は、少なくとも 1 つのブレークダウンをインジケーターに関連付ける必要があります。

一般に、sys_idまたはテーブルの表示値へのドット連結は避けてください。ドット連結を行うと不要なテーブル結合が作成されるためです。

ヒント:
条件が適切に設計されていることを確認するには、インジケーター ソースのインジケーターを一覧表示し、ビューに [条件] フィールドを含めます。インジケーターソースの条件のみを使用するインジケーターが少なくとも 1 つ必要です。そうでない場合は、インジケーターソースが未使用のデータを収集している可能性があります。この場合、共通条件をインジケーターからインジケーターソースに移動するか、インジケーターソースを分割することを検討してください。



3. オプション: 次のインジケータープロパティのいずれかを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) [価格]、[通貨]、または [FX 通貨] フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。 単位として % または期間を選択する場合は、インジケーターへの適用から一部のタイプの時系列を除外することを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時間は [日]、[時間]、および [分] で指定されます。システムプロパティ *glide.ui.duration.seconds.enabled* が存在し、true である場合は、秒も表示されます。この場合、インスタンスのすべての時間フィールドにも秒が表示され、 Microsoft Excel へのエクスポートに含まれます。
Precision (精度)	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。 このフィールドは、単位が [参照通貨を使用] の場合は使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。
数値形式	数千から五分数までの多数の略語に使用されます。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。のインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > アナリティクスハブ.プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。

4. オプション: [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

[その他] タブのフィールド

フィールド	説明
デフォルトの時系列	(Optional) インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の移動平均などの事前定義された分析関数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターには、デフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	(Optional) ライブフィードグループのライブグループプロフィール [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取るようにします。 Now Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。
注文	(Optional) インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。最小値のインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターにのみ数値を入力すると、インジケーターが表示される順序が a から z に戻ります。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。
デフォルトのグラフ種別	(Optional) このインジケーターのデフォルトのチャート タイプ (行、列、スプライン、または領域) を設定します。このインジケーターの アナリティクスハブ または KPI 詳細 を初めて開くときは、デフォルトのグラフタイプが使用されます。アナリティクスハブまたはKPI 詳細でグラフの種類が変更された場合、その設定が記憶されます。
実線のレンダリング	(Optional) 選択すると、特定の日付にデータがない場合でも、このインジケーターの アナリティクスハブ と KPI 詳細 に切れ目のないデータ線が表示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットを表示する場合や、在庫情報など定期的に更新されないデータを表示する場合に便利です。

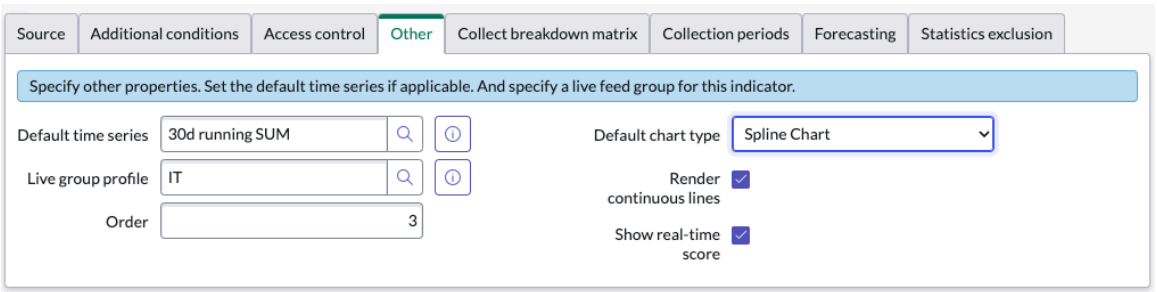
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	インジケーター、 アナリティクスハブ 、または KPI 詳細に時系列が設定されている場合、実線は表示されません。
リアルタイムスコアを表示	(Optional) 選択すると、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 に、このインジケーターのスコアと関連レコードの現在のステータスがリアルタイムで表示されます。第三者のソースからのデータを使用した統合などインジケーター データがリアルタイムで利用できない場合は、このチェックボックスをオフにします。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。 注意:リアルタイムスコアを表示するには、インジケーターまたは関連するインジケーターソースに条件を設定する必要があります。

Example
たとえば、[その他] タブでは、インジケーターを次のように設定できます。

- デフォルトでは、ウィジェットには 30 日間分のスコアの合計が表示されます。このデフォルトは、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、ダッシュボードウィジェット、またはワークスペースのデータの可視化で上書きできます。
- IT Live グループにインジケーターの変更が通知されます。
- インジケーターは、インジケーターの アナリティクスハブ リストの 3 番目にリストされています。他のすべてのインジケーターにも位置が指定されています。この設定は、 KPI 詳細上のインジケーターの順序には影響しません。
- デフォルトのグラフの種類は、 アナリティクスハブ と KPI 詳細の [スプライン] です。
- インジケーターのデータ行は、データが欠落している場合でも途切れることなく表示されます。
- アナリティクスハブとKPI 詳細は、このインジケーターのスコアをリアルタイムで表示できます。



5. オプション: [ブレークダウンマトリクスフィールドを収集] タブで、インシデントを [優先度別カテゴリ別に開く] など、インジケーターのブレークダウンレベル 2 を有効にすることができます。ブレークダウンレベル 2 を有効にすると、パフォーマンスに重大な影響を与える可能性があります。詳細については、「ブレークダウン マトリクスの収集と管理」を参照してください。
6. オプション: [収集期間] タブで、スコアとスナップショットが収集され、保持される今日までの最大期間数を設定するプロパティを上書きします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
   詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。
8. オプション: [統計の除外] タブで、KPI 詳細または アナリティクスハブに表示しない統計を選択します。

   Example
   たとえば、パーセンテージ単位でインジケーターの変化 % を表示したくない場合があります。
9. [ブレークダウンを管理] をクリックします。

ビジネスカレンダー付きのインジケーター

ビジネスカレンダーと会計カレンダーには標準期間がありません。 パフォーマンスアナリティクスは、これらのカスタム期間に対応するためにいくつかのイノベーションを導入しました。それに応じて、インジケーターを作成するためのワークフローが異なります。

重要:
インジケーターの新規作成ウィザードは、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーに基づくインジケーターをサポートしていません。

期間の定義方法の違い

標準カレンダーとは異なり、ビジネスカレンダーにはビジネスカレンダーエントリに基づくカスタム期間があります。この違いに対応するために、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターでは、次のプロパティが異なる方法で定義されています。

- インジケーター頻度は、静的な選択肢のリストではなく、ビジネスカレンダーから導出されます。インジケーターレコードの [頻度] 列は無視されます。代わりに、[カレンダー頻度] 列が使用されます。
- 予測では、季節パターンを見つけるために必要な期間の数を指定する必要があります。この値は、標準カレンダーのように、カレンダー期間から自動的に決定することはできません。この値は、PA ビジネスカレンダー保持期間 [pa_calendars_retention] レコードのカレンダ頻度ごとに設定します。
- スコアとスナップショットを保持するカレンダー期間の数を設定する必要があります。データを保持するためのデフォルトのカレンダー期間数を設定するシステムプロパティは無視されます。代わりに、PA ビジネスカレンダー保持期間レコードのカレンダー頻度ごとにこれらの数値を設定します。

PA ビジネスカレンダー保持期間レコードとその上書き

特定のカレンダー頻度を使用するインジケーターを初めて作成すると、PA ビジネスカレンダー保持期間レコードを完了するように求められます。そのカレンダー頻度で将来作成するすべてのインジケーターは、同じPAビジネスカレンダー保持期間レコードを使用します。

特定のインジケーターの PA ビジネスカレンダー保持期間レコードの設定を上書きできます。標準カレンダーインジケーターの場合と同様に、インジケーターレコードの [収集期間] タブのデフォルトを上書きします。ただし、最初に [保持期間の上書き] を選択すると、標準カレンダーの日次インジケーターのデフォルトの保持期間が表示されます。これらの値は表示アーティファクトのみであり、無視してかまいません。必要な値を入力すると、PA ビジネスカレンダー保持期間レコードの値が上書きされます。

注:
「PA ビジネスカレンダー保持期間」レコードの「 季節性を確立するエントリ数 」の値を上書きすることはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネスカレンダーグループ

標準カレンダー以外の [カレンダー] フィールドでエントリを選択すると、実際にはビジネスカレンダーグループまたは会計カレンダーグループが選択されます。ビジネスカレンダーグループと会計カレンダーグループの両方が ビジネスカレンダー > ビジネスカレンダーグループ. 各ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーグループには、一連のビジネスカレンダーが含まれており、[カレンダー頻度] でこれを選択します。各ビジネスカレンダーには、ビジネスカレンダーと会計カレンダーのそれぞれについて、ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリのセットが含まれています。

会計カレンダーを生成するプロセスでは、会計カレンダーグループが自動的に作成されます。ビジネスカレンダーの場合、ビジネスカレンダーの作成者はビジネスカレンダーグループも手動で作成する必要があります。ご不明な点がございましたら、ビジネスカレンダーの作成を担当するアドミニストレーターにお問い合わせください。詳細については、「 ビジネスカレンダーグループの作成 」を参照してください。

式の自動インジケーター

式インジケーターには、ビジネスカレンダーを使用する自動インジケーターを含めることができます。式インジケーターは、貢献している自動インジケーターの少なくとも 1 つと同じビジネスカレンダーを使用する必要があります。詳細については、「式インジケーターの作成」を参照してください。

ブレークダウンのアサインとマップ

インジケーターにアサインするブレークダウンを選択します。ブレークダウン ソースを参照するインジケーター ソースのフィールドをマップします。適切なフィールドがない場合は、スクリプトを指定してインジケーターとブレークダウン ソースを関連付けます。

始める前に
必要なブレークダウンが、ブレークダウン ソースで定義されている必要があります。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
同じブレークダウンに対して複数のマッピングを作成し、複数のインジケーターにそのブレークダウンを使用できます。

注:

- ブレークダウンは自動インジケーターにのみマッピングできます。ブレークダウンを式インジケーターにアサインする場合は、式の自動インジケーターに既にマッピングされているブレークダウンを選択してみてください。
- データ収集に含めることができるブレークダウン要素の最大数は、プロパティ `com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit`で設定されます。この値を超えると、ツールに警告が表示されます。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス のプロパティ」を参照してください。
- このページの手順では、グラフィカル ツールを使用します。代わりに、インジケーター フォームの [ブレークダウン] 関連リストでインジケーターのブレークダウンを選択できます。ブレークダウン フォームでインジケーター ソースのインジケーター フィールドまたはクエリをマップすることもできます。詳細については、「ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成」を参照してください。

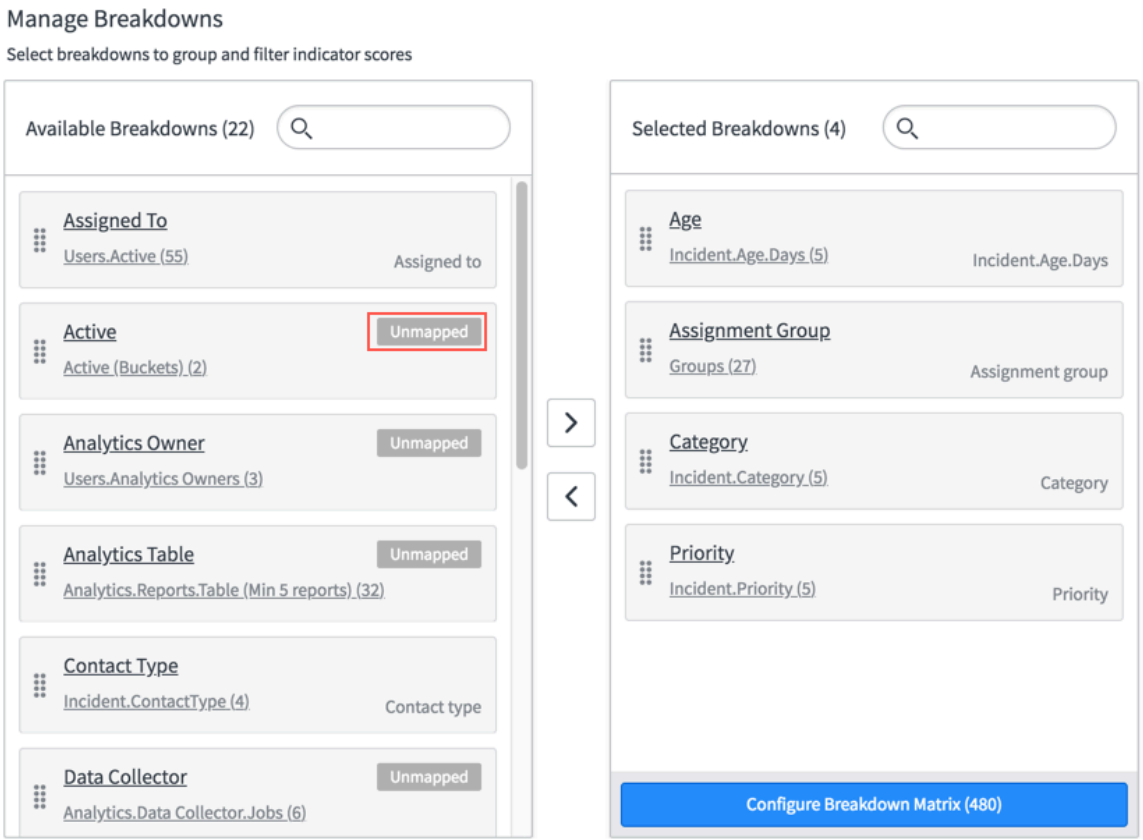
手順

1. ブレークダウンをアサインするインジケーターに移動します。
2. [ブレークダウンを管理] をクリックします。

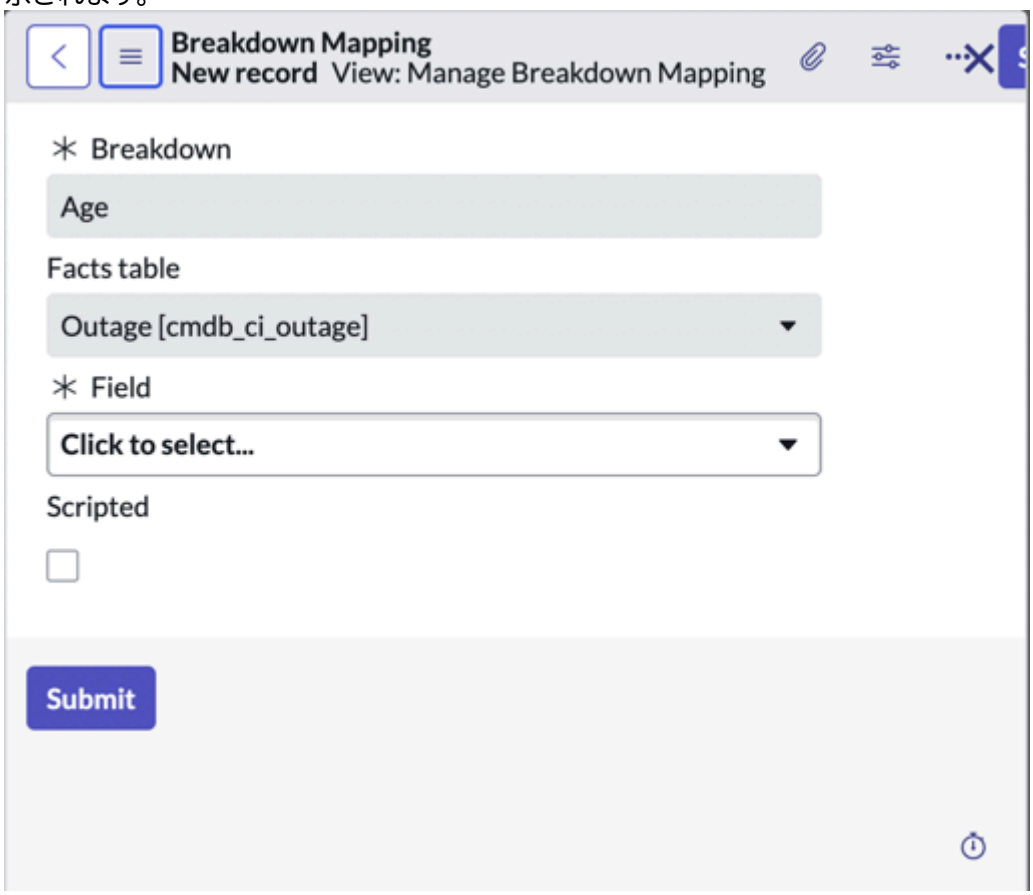
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [利用可能なブレークダウン] から [選択済みのブレークダウン] に、インジケーターにアサインするブレークダウンを移動します。



マップされていないブレークダウンを追加すると、[ブレークダウンマッピング] ダイアログが表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

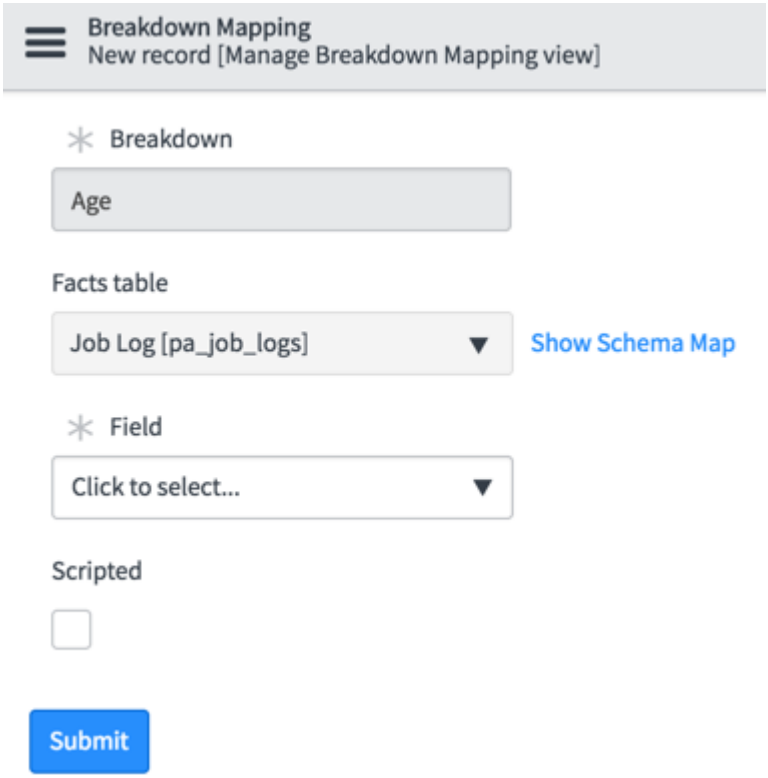
注:
式インジケーターにブレークダウンをアサインする場合、[マップされていない] アイコンは表示されず、[ブレークダウンマッピング] ダイアログは表示されません。ブレークダウンを式インジケーターにマップすることはできません。ブレークダウンを式インジケーターに正常に適用するには、式内のすべての自動インジケーターにブレークダウンがマッピングされていることを確認します。計算式に他のインジケーター (計算) が含まれている場合は、それらのインジケーター (自動) を確認します。再帰的にチェックします。ブレークダウンをフォローできない自動インジケーターをチェックする必要はありません。

4. 次のようにブレークダウンマッピングを完了します。

オプション	説明
フィールドを使用して値を要素にマップします。	ブレークダウンのレコードにマッピングするインジケーター ソースのフィールドを選択します。 [カテゴリ] フィールドの使用方法について、「例：フィールド マッピング」を参照してください。
スクリプトを使用して値を要素にマップします。	[スクリプト化] を選択してから [スクリプト] を選択し、インジケーター レコードとブレークダウン要素との関連付けを定義します。 ブレークダウン ソース テーブルにマップするインジケーター ソースのフィールドに簡単なユース・ケースがない場合は、スクリプトを使用します。スクリプトでは、広範なマッピング関係を定義できます。最も一般的なユース・ケースは、ブレークダウン ソースがバケット グループであり、スクリプトがバケットにインジケーター スコアを割り当てるための整数を返す場合です。「例：スクリプト マッピング」を参照してください。 スクリプト化されたブレークダウンを使用するインジケーターのリアルタイムスコアは表示できません。 **ヒント:** [レベル 1 のマッピングとレベル 2 のマッピング] が [レベル 1 のマッピング] と [レベル 2 のマッピング] の共通部分と等しくなるように、スクリプト化されたブレークダウンマッピングを実装してみてください。そうしないと、スコアとレコード数が第 2 レベルのブレークダウンで一致しない可能性があります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「KB0748969」を参照してください。Now Support ログインが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[ファクトテーブル] 選択リストをクリックすると、選択リストが表示されますが、別のファクト テーブルを選択することはできません。



5. [送信] をクリックします。

6. 必要に応じてステップ 2 ～ 5 を繰り返し、追加のマッピングを定義します。

次のタスク
自動インジケーターに少なくとも 2 つのブレークダウンをアサインすると、2 つのブレークダウンの組み合わせを収集できます。そうすると、意味のない組み合わせのブレークダウンが収集されなくなり、システム リソースが節約されます。「ブレークダウン マトリクスの収集と管理」を参照してください。

次のいずれかの方法でブレークダウンを適用します。クラシック環境の場合:

- オン アナリティクスハブ
- ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェット を構成する場合
- ブレークダウン ダッシュボード上
- ダッシュボードの ブレークダウン ウィジェット 内

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの場合:

- KPI 詳細の
- インジケーターデータソース のデータ可視化 を構成する場合

ブレークダウン マトリクスの収集と管理

インジケーターの 2 つのブレークダウンの組み合わせのマトリクスを収集します。不必要な、または意味のないブレークダウンの組み合わせは収集から除外します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
ブレークダウンにはインジケーターをアサインする必要があります。「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
すべてのブレークダウンの組み合わせが有用な情報を提供しないこともあります。たとえば、[国, 地域] の組み合わせは、国ブレークダウンと同じスコアを返します。ブレークダウン マトリクスの除外を使用して、これらの無効な組み合わせのデータをインスタンスが収集しないようにすることができます。これらの除外は、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、またはスコアシートには表示されません。また、ウィジェットまたはデータの可視化を作成するときに、除外されたブレークダウンの組み合わせを選択することもできません。

パフォーマンスの問題を防ぐために、このプロパティ `com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_level2_limit` 、データ収集に含まれるブレークダウン接続の要素の数を制限します。この制限を超えると、マトリクス内の一部の組み合わせがグレー表示されます。一部のブレークダウンの組み合わせを除外することで、この制限を超えないようにすることができます。詳細については「パフォーマンスアナリティクス のプロパティ」を参照してください。

注:

- これらのブレークダウンの組み合わせが除外されても、個々のブレークダウンのスコアは収集されます。
- ブレークダウンの組み合わせの以前のジョブで収集されたスコアは、組み合わせが後で除外されても、削除されません。これらの組み合わせの新しいスコアは収集されません。
- 以下の手順は、グラフィカル ツールを使用してブレークダウン マトリクスの除外を管理するためのものです。ただし、インジケーター フォームの [ブレークダウンマトリクスの除外] タブで管理することもできます。

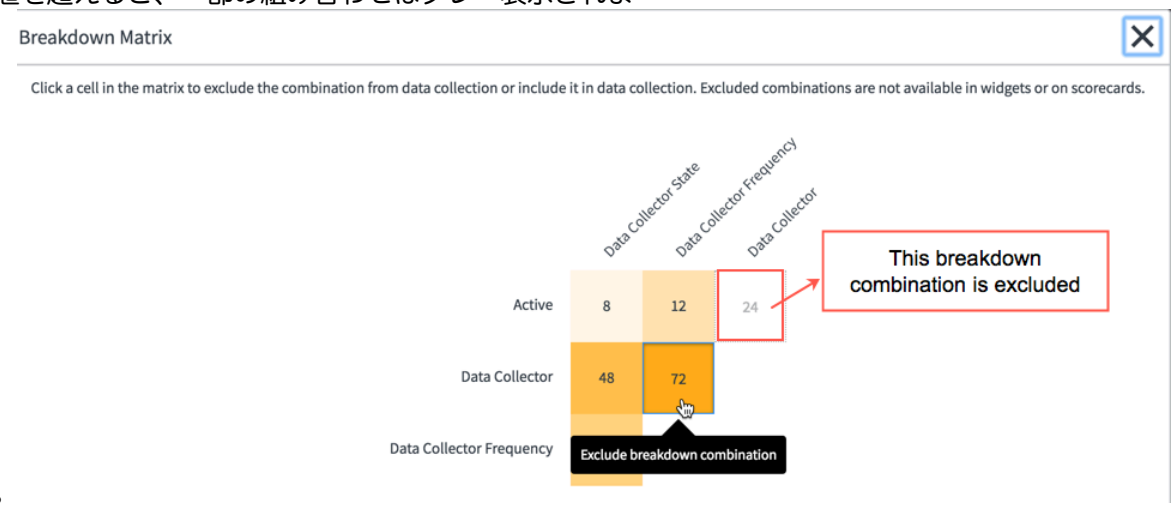
手順

1. 移動先 インジケーター (自動).
2. ブレークダウン マトリクスを構成する自動インジケーターを選択します。
3. [インジケータープロパティ] で、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブを選択します。
4. [ブレークダウンマトリクスを収集] チェック ボックスをオンにします。
5. [ブレークダウンを管理] をクリックします。
6. [ブレークダウンマトリクスの構成] をクリックします。
   マトリクスは、2 つのブレークダウンの要素数を乗算して計算された、各ブレークダウンペアの要素の組み合わせの数を示します。組み合わせ数が多いブレークダウンのペアは濃い色で表示され、潜在的なパフォーマンスのボトルネックを一目で見つけることができます。デフォルトでは、すべての組み合わせがデータ収集に含まれます。データ収集から除外する組み合わせを選択できます。
7. オプション: [ブレークダウンマトリクス] ポップアップで、 アナリティクスハブ およびダッシュボードウィジェットから除外するブレークダウンの組み合わせを選択します。
   ブレークダウン マトリクスで、含まれる組み合わせは網掛けされています。除外された組み合わせは白です。ブレークダウンの組み合わせの数が `com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_level2_limit`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の値を超えると、一部の組み合わせはグレー表示されま



す。

8. オプション: インジケーター フォームで [ブレークダウンマトリクスの除外] タブを開き、除外されたブレークダウンの組み合わせを確認します。
グラフィカル ツールを使用する代わりに、このタブで、除外するブレークダウンの組み合わせを管理できます。

インジケーターに収集ジョブを追加する

自動インジケーターのスコアを収集するには、そのインジケーターに収集ジョブを追加します。

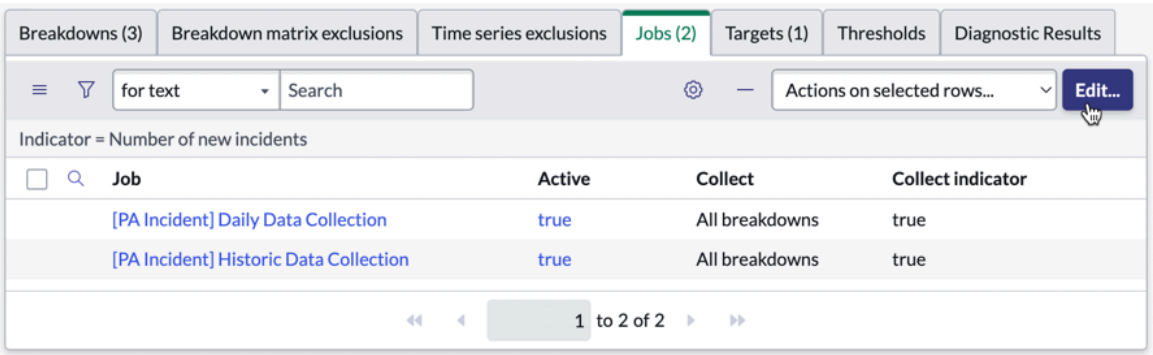
始める前に

注:
この手順では、完全に構成されたデータ収集ジョブをインジケーター側から自動インジケーターに追加する方法を示します。データ収集ジョブを構成し、ジョブ側からインジケーターに追加する方法については、「ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。パフォーマンスアナリティクスアドミニストレーターなど、pa_data_collectorロールを持つユーザーのみがジョブインジケーターを設定できます。

必要なロール:pa_power_user、または admin

手順

1. 既存の自動インジケーターを開きます。
2. [ジョブ] 関連リストで、[編集] をクリックします。



3. オプション: [フィルタを追加] および [フィルタ実行] を使用してジョブの選択を制限します。
4. [コレクション] または [ジョブリスト] で 1 つまたは複数のジョブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

明確なユースケースがない限り、インジケーターに対して選択するスケジュール済みジョブを 1 つだけにして、ジョブを管理しやすくします。関連するスケジュールされていないジョブをすべて選択します。通常、新しいインジケーターで 1 回だけ実行する履歴ジョブを 1 つ追加します。

5. 矢印ボタンを使用して、ジョブを他のリストに移動します。
6. [保存] をクリックします。

パフォーマンスアナリティクススナップショット

スナップショットは、それらのレコードのスコアが収集されたときに収集されるレコード (sys_ids) のリストです。スナップショットを使用すると、ユーザーは パフォーマンスアナリティクス インジケーターの可視化からレコードにドリルダウンできます。

スナップショットを持つことができるのは自動インジケーターのみです。スナップショットは、[レコードの収集] が有効になっている自動インジケーターに対してのみ作成されます。次の機能を使用するには、レコードを収集する必要があります。

- パフォーマンスアナリティクスウィジェットのスコアから個々のレコードにドリルダウンする。
- レコードを アナリティクスハブで表示しています。
- レコードを KPI 詳細で表示しています。

保存期間

デフォルトでは、スナップショットは 183 日間保持されます。この期間は、グローバルに、または特定の区分に対して変更することができます。

- グローバルスナップショットの保持期間を変更するには、システムプロパティ *com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for.frequency*を編集します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス のプロパティ」を参照してください。
- インジケーターのスナップショット保持期間を変更するには、インジケーターフォームの [収集期間] タブで [収集期間の上書き] を設定します。詳細については、「インジケーターの詳細設定」を参照してください。

ウィザードを使用した自動インジケーターの作成

パフォーマンスアナリティクス自動インジケーターを、そのインジケーターのブレークダウン、ウィジェット、およびデータ収集ジョブとともに迅速に作成します。このウィザードを使用するには、パフォーマンスアナリティクス のトレーニングを受け、KPI を計画する必要があります。

始める前に

パフォーマンスアナリティクス コンセプトをよく理解し、分析戦略の一環としてのみインジケーターを作成してください。で KPI を計画する KPI Composer.インジケーターを作成するためのワークフローを研究する。

インジケーター ソース ファクト テーブルに少なくとも 1 つのインジケーター ソースとデータ収集ジョブがあることを確認してください。

> **⚠ 警告:**
> このウィザードでは、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用したインジケーターの作成はサポートされていません。

必要なロール：pa_contributor、pa_data_collector、pa_power_user、または pa_admin

このタスクについて

これらの手順は、ウィザードを使用して簡単な自動インジケーターを迅速に作成するためのものです。インジケーター パラメータの全範囲にアクセスする必要がある場合は、「自動インジケーターの作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在のドメインに作成されます。

手順

1. 移動先 インジケーター > 新規作成.
2. [全般] タブに入力します。

[全般] タブのフィールド

フィールド	**Description** (説明)
インジケーター名	「オープンインシデントの平均数」などのわかりやすい名前。
Description (説明)	インジケーターのテキストによる説明 (オプション)。目的と内部ロジックを含めることができます。説明は、自分や他のユーザーがインジケーターの目的を思い出すのに役立ちます。
Direction (方向)	次のいずれかを選択します。 ○ なし:インジケーターに優先する上昇トレンドまたは下降トレンドはありません。 ○ 最小化:インジケータースコアは時間の経過とともに減少します。 ○ 最大化:インジケータースコアは時間とともに増加します。
Unit (単位)	インジケーターのスコアの単位。可能な単位は次のとおりです。 ○ **#**:単純な数字(デフォルト) ○ **$**:ドル ○ **%**:パーセント
グループ	インジケーターが属するインジケーターグループ (存在する場合)。

3. 「 次へ 」をクリックし、「 データソース 」タブに入力します。

[データソース] タブのフィールド

フィールド	**Description** (説明)
Indicator Source (インジケーターソース)	利用可能なインジケーターソースの選択。インジケーターソースは、 Now Platform テーブルと、そのテーブルのレコードをフィルタリングする 1 つ以上の条件を参照するデータソースです。ソースを選択した後、 このインジケーターソースの [レコードをプレビュー] を選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
	ドメインセパレーションを使用している場合は、可視化が設定されているインジケーターソースのみを選択できます。
集計	インジケーターソースのインジケーターを計算するときに適用する集計関数。 [カウント] は、レコード数を数えます。[個別のカウント] は、レコードの総数ではなく一意の値の数をカウントします。例えば、ユーザーの名前がリストに複数回表示される場合、そのユーザーは 1 回のみカウントされます。他の選択肢は、レコード間のフィールドの値の合計など、指定されたアグリゲート演算を実行します。
フィールド/スクリプト	カウント以外のアグリゲートの場合は、インジケーターソースが使用するテーブルのフィールドまたはスクリプトのいずれかを指定する必要があります。集計関数は、フィールドの値またはスクリプトが返す値のいずれかに適用されます。
条件	インジケーターソースが使用するテーブルのフィールドに適用する値と操作のオプションのリスト。これらの条件は、インジケーターソースで指定された条件とスタックします。 インジケーターの条件にはいくつかの制限があります。詳細については、 自動インジケーターの作成 で条件を追加する手順を参照してください。

4. [ブレークダウン] タブで、このインジケーターに適用する利用可能なブレークダウンを選択します。
   2 つのレベルのブレークダウンを適用するには、[**Collect breakdown matrix** (ブレークダウン マトリクスを収集)] も選択します。
5. [データ収集] タブで、このインジケーターのスコアを収集するデータ収集ジョブを選択します。スコアは、ジョブのスケジュールに応じて収集されます。ジョブを手動で実行することもできます。
6. 過去のスコアを収集して傾向を作成するには、[過去からデータを収集する] を選択し、期間を指定します。
   このジョブは、インジケーターの作成時に 1 回だけ実行されます。すべてのインジケーターで遡及的スコア収集ができるわけではありません。別の方法として、履歴データ収集ジョブをインジケーターに手動で関連付けて実行します。
7. [ウィジェット] タブで、時系列、前回のスコア、およびブレークダウン ウィジェットの任意の組み合わせを選択して作成します。
   既存のダッシュボードのタブにウィジェットを配置することもできます。このウィザードからのウィジェットの作成と表示の詳細については、「 インジケーター作成ウィジェットのオプション」を参照してください。
8. 「概要」タブで変更を確認し、「 適用」をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターが作成され、選択したインジケーター ソース、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブにリンクされます。インジケーターに関連付けられたウィジェットが作成され、指定したダッシュボード タブに追加されます。

9. オプション: [別のインジケーターを作成] をクリックして、新しいインジケーターでプロセスを再開します。

次のタスク

データ収集ジョブが過去のスコアを収集するように構成されている場合、[実行] の値が **[1** 回] の一時的なデータ収集ジョブが作成されます。このジョブ レコードは、ジョブの実行後に削除できます。

関連情報

- 自動インジケーターの作成
- インジケーターソース
- インジケータースコアの収集

インジケーター作成ウィジェットのオプション

インジケーターと関連レコードを作成するときにインジケーター データを表示するウィジェットを作成するためのオプションがいくつかあります。利用可能なウィジェットタイプのいずれかまたはすべてを作成できます。

時系列ウィジェットのオプション

フィールド	**Description** (説明)
時系列ウィジェットのオプション	
時系列ウィジェット	インジケーター データを表示する時系列ウィジェットを作成するには、このチェックボックスをオンにします。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
可視化	データの表示に使用するチャートの種類を選択します。[線]、[列] など。

最新スコアウィジェットオプション

フィールド	**Description** (説明)
最新のスコア ウィジェット	[チャート化] の値を [最新スコア] にしてインジケーター データを表示するスコア ウィジェットを作成する場合、このチェックボックスをオンにします。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最新スコアウィジェットオプション (続く)

フィールド	**Description** (説明)
	注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
期間を遡る	スコアを比較する期間の数を選択します。たとえば、[時系列] が [週別合計] の場合は、現在のスコアと過去 4 週間のスコアを比較するために [期間を遡る] の値に **4** を入力します。

ブレークダウンウィジェットのオプション

フィールド	**Description** (説明)
ブレークダウンウィジェット	このインジケーターに適用される各ブレークダウンのスコアカードによるチャート化でブレークダウン ウィジェットを作成するには、このチェック ボックスをオンにします。

ウィジェットのダッシュボード表示オプション

フィールド	**Description** (説明)
ダッシュボードの新しいタブにウィジェットを配置	これらのウィジェットを追加するダッシュボードを選択します。ダッシュボードを選択しない場合、ウィジェットレコードは作成されますが、どのダッシュボードにも追加されません。
新しいタブ名	これらのウィジェットを表示するために作成された新しいタブの名前を入力します。このフィールドは、ダッシュボードを選択する場合に必要です。

関連情報

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

インジケーター (計算)

式インジケーターは、他のインジケーターのデータを使用して新しいメトリクスを計算します。

自動インジケーターとは異なり、式インジケーターはデータ収集中に入力されるインジケーターソースに基づいていません。式インジケーターのスコアは、1 つ以上の他のインジケーターからのデータを含む数学ステートメントから計算されます。このデータは、インディケータのスコアまたはインディケータの `PAFormulaUtils()` 計算値です。たとえば、インジケーターのスコアと アナリティクスハブ または KPI 詳細に設定されたインジケーターターゲット値とのギャップ (差異) を式に含めることができます。

重要:
式インジケータースコアは、ユーザーがダッシュボード、 KPI 詳細 、または アナリティクスハブでインジケーターを表示したときに計算されます。

次の場合に式インジケーターを作成します。

- 2 つのインジケーターの平均など、複数のインジケーターからスコアを計算する。
- `PAFormulaUtils()` API からインジケーターの計算値を抽出し、その値に対して操作を実行します。
- 複数の組み合わせインジケーター (インデックスインジケーター) の全体的なターゲットに対するギャップを測定すること。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ヒント:
式インジケーターを作成および使用するためのトレーニングを利用できます。NOW ラーニングセンターの 「式インジケーターの概要」 コースを参照してください。

式インジケーターの作成

式インジケーターを作成して、1 つ以上の他のインジケーターから新しい計算済みスコアを生成します。式には、インジケータースコアに加えて、インジケータースコアとインジケーターターゲットの間のギャップなどの計算を含めることができます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
多くの場合、式は以下の目的で使用されます。

- 比率とパーセンテージを計算する。
- 異なるアプリケーションのデータを結合する。
- 履歴パフォーマンスに基づいて予測インジケーターを構築する。

式インジケーターのフィールドは、自動インジケーターのフィールドに似ています。ただし、[ソース]、[追加条件]、および [コレクション] プロパティの代わりに、式ステートメントが定義されています。式は、他のインジケーター、定数、変数、時系列、またはこれらの要素の任意の組み合わせで構成できます。

注:
- インジケーターを作成するには、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが必要です。
- ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在のドメインに作成されます。

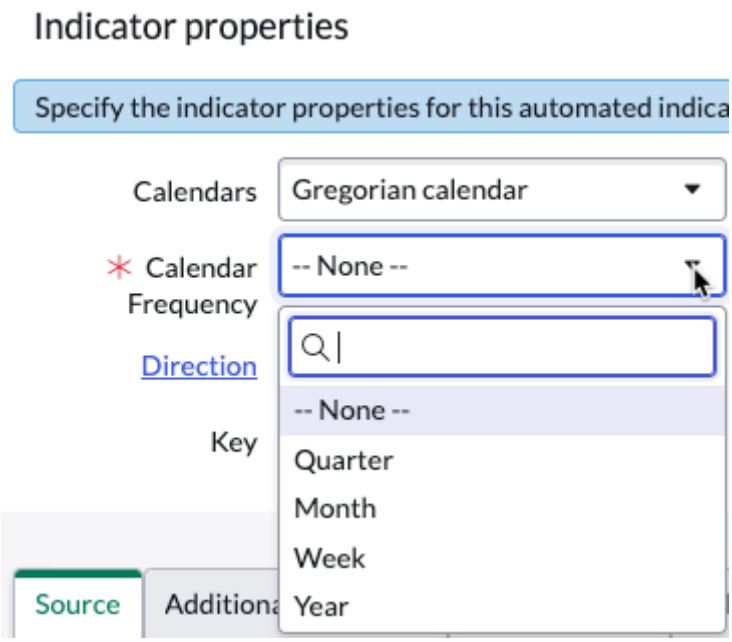
自動翻訳

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクスに移行していないアップグレードされたインスタンスを使用している場合は、 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > インジケーター > 式インジケーター をクリックし、[**New**] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクス に移行した場合は、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > 式インジケーターをクリックし、[**New**] を選択します。
2. [名前] フィールドで、インジケーターにわかりやすい名前を付けます (例:オープンインシデントの平均期間)。
3. [カレンダー] フィールドで、標準カレンダー、ビジネスカレンダー、または会計カレンダーグループを選択します。
4. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択した場合は、カレンダー頻度を選択します。
   式内の少なくとも 1 つのインジケーターが、指定されたカレンダー頻度と一致する必要があります。カレンダー頻度の選択は、ビジネスカレンダーエントリまたは会計カレンダースケジュールの設定によって異なります。

   Example
   たとえば、グレゴリオ暦には、四半期、月、週、および年の頻度があります。グレゴリオ暦を使用している場合は、これらの頻度のいずれかを選択する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

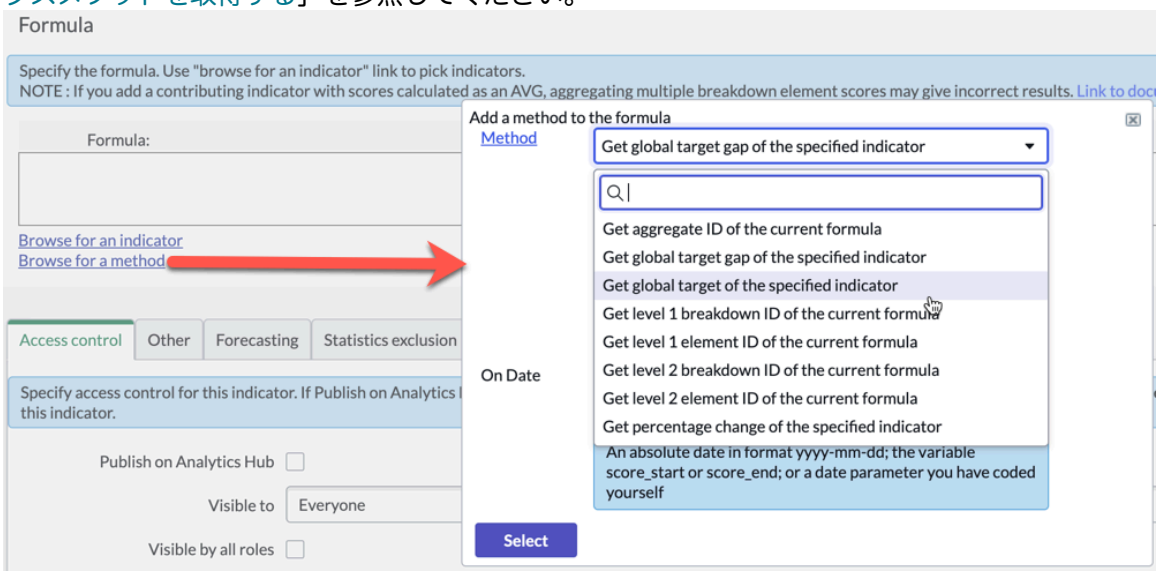


5. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

> **ヒント:**
> 可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターは、最大化または最小化に設定する必要があります。

6. このインジケーターの計算式を定義します。

   a. 計算された値を数式で使用するには、方法 (反復可能) の [参照] をクリックします。
   PAFormulaUtils() のメソッドを式に挿入するためのダイアログが開きます。この API は、インジケーターの計算値を返します。この API の使用の詳細については、「 数式のアナリティクスメソッドを取得する」を参照してください。



   b. インジケーターのスコアを式に入れるには、[インジケーターを参照] リンクをクリックし、ダイアログに入力します (繰り返し可能)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーター選択ダイアログ

フィールド	説明
インジケーター	貢献インジケーターとして式に挿入するインジケーター。 このインジケーターにビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用する場合、式内の少なくとも 1 つのインジケーターで、一致するカレンダーとカレンダー頻度を使用する必要があります。
ブレークダウン、要素、第 2 レベルのブレークダウン、第 2 レベルの要素	インジケーターのスコアをフィルタリングするための最大 2 レベルのブレークダウンと要素。ブレークダウンを指定する場合は、そのブレークダウンの要素を指定する必要があります。これらのブレークダウンと要素は、この貢献インジケーターにのみ適用され、式インジケーター全体には適用されません。
時系列	インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の移動平均などの事前定義された分析関数。 この時系列は、この貢献インジケーターにのみ適用され、式インジケーター全体には適用されません。
ブレークダウンを許可	式内の個々のインジケーターではなく、式インジケーター全体に適用されるブレークダウンを適用して、この貢献インジケーターに適用します。デフォルトで有効になっています。詳細については、「式内の貢献インジケーターがブレークダウンをフォローしないようにする」を参照してください。 ブレークダウンは、インジケーターの保存後に使用できる [ブレークダウンの管理] ダイアログを使用して式全体に追加されます。ステップ 12 を参照してください。
メソッドで使用します。	このインジケーターのスコアの代わりに一意の識別子を返します。式でメソッドのインジケーターを指定する場合は、このボックスを選択します。これらのメソッドは、 アナリティクスハブからインジケーターの計算値を取得します。これらのメソッドの使用の詳細については、「 数式のアナリティクスメソッドを取得する」を参照してください。

インジケーターは手動で追加できます。ただし、 インジケーターの参照 機能を使用することで、インジケーターとブレークダウン要素に適切な表記があることを確認できます。

式インジケーターを保存すると、式のインジケーターが [貢献インジケーター] 関連リストに表示されます。式インジケーターを含めると、その貢献インジケーターもリストされます。

c. 必要に応じて、算術演算子と記号を 式 に追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

式に含める演算子や数値を入力します。+、-、/、%、>、< などの有効な演算子記号を使用します。式にインジケーターを追加することもできます。たとえば、オープンインシデントの合計経過時間とオープンインシデントの数に基づいてオープンインシデントの平均経過時間を計算するには、[[オープンインシデントの合計経過時間]] / [[オープンインシデント]] / 24 の計算式を使用します。

式でデータ収集期間を指定するには、変数 score_start と score_end を使用して、データ収集期間の開始と終了をそれぞれ参照します。ただし、 ユーザーのタイムゾーンが異なることによる score_start/終了の変更の注意事項を参照してください。

> ⚠ 警告:
> パフォーマンスアナリティクス スクリプトまたは式インジケーターで `GlideRecords` または `GlideAggregates` を使用しないでください。必要なものを取得するためにこれらの操作を使用する必要がある場合もありますが、これらはコストがかかり、数十万回実行する可能性があります。使用する前に、代替が存在しないことを確認してください。

7. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびユーザー、グループ、またはロール別にインジケーターの表示を制限するかどうかを設定します。
8. [その他] タブで、その他のプロパティを設定します。
これらのプロパティは、式インジケーター全体に適用されます。

[その他] タブのフィールド

フィールド	説明
デフォルトの時系列	7 日間の実行平均など、事前定義された分析関数。[結果に時系列を適用] が設定されているかどうかに応じて、この時系列は、結果が計算される前の各コンポーネント インジケーターまたは結果に適用できます。
ライブグループプロファイル	ライブフィードグループのライブグループプロフィール [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取るようにします。 Now Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。
注文	インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。最小値のインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターにのみ数値を入力すると、インジケーターが表示される順序が a から z に戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

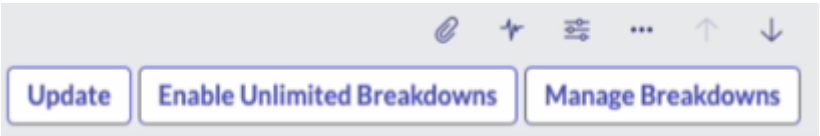
フィールド	説明
	プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。
実線のレンダリング	選択すると、特定の日付にデータがない場合でも、このインジケーターの アナリティクスハブ と KPI 詳細 に切れ目のないデータ線が表示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットを表示する場合や、在庫情報など定期的に更新されないデータを表示する場合に便利です。 インジケーター、 アナリティクスハブ 、または KPI 詳細に時系列が設定されている場合、実線は表示されません。
時系列を結果に適用	結果が計算される前に、各コンポーネントインジケーターではなく、式の計算結果に時系列集計を適用します。このオプションは、ウィジェットまたは アナリティクスハブのインジケーターに対して選択された時系列に適用されます。インジケーターにデフォルトの時系列が指定されている場合、このオプションはその時系列にも適用されます。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
計算式コンポーネントが NULL となることを許可する	null スコアが含まれている場合でも計算式が計算されます。トラブルシューティングに役立ちます。詳細については、「式にスコアがないインジケーターを検出する」を参照してください。
複数のブレークダウン要素のスコアのアグリゲーションを許可	ウィジェットがこのインジケーターの複数のブレークダウン要素の合計スコアを表示できるようにします。このフィールドが選択されている場合、このインジケーターを使用するブレークダウンダッシュボードのフォームで集計値または分離値のいずれかを選択できます。加算、減算、または乗算に基づく数式は、通常、集計を許可するのに適した候補です。パーセンテージの合計が 100% の場合は、パーセンテージもサポートされます。一方、平均で要素を集計した結果、または関連のないパーセンテージの結果は、通常、意味がありません。 ⚠ 警告: これらの集計は、数学的妥当性はチェックされません。

9. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

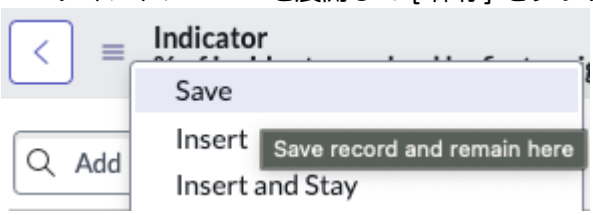
10. このインジケーターに 3 レベルを超えるブレークダウンを適用できるようにするには、[無制限のブレークダウンを有効にする] を選択します。



すべてのインジケーターが無制限のブレークダウンをサポートしているわけではありません。このインジケーターが無制限のブレークダウンをサポートしていない場合は、理由を示すメッセージが表示されます。詳細については、「無制限のブレークダウン」を参照してください。

無制限のブレークダウンを有効にすると、インジケーターに設定したカレンダーと頻度が上書きされます。インジケーターは日次になります。

11. コンテキストメニューを展開して [保存] をクリックします。



12. 数式インジケーター全体にブレークダウンを適用するには、ページ上部の [ブレークダウンの管理] をクリックします。
デフォルトでは、式のすべての貢献インジケーターに対して構成されたブレークダウンのみを適用できます。

> **注:**
> システムプロパティ *com.snc.pa.formula_indicator_valid_breakdown* この動作を制御します。デフォルトでは true です。false に変更すると、少なくとも 1 つの貢献インジケーターがブレークダウンを使用する場合に、式インジケーターにそのブレークダウンを適用できます。ウィジェット、 アナリティクスハブ、または KPI 詳細 でサポートされていないブレークダウンのスコアを表示しようとすると、値ではなく警告メッセージが表示されます。

式インジケーターレコードでブレークダウン要素を選択することはできません。ブレークダウンを選択できます ブレークダウンは、インタラクティブ、つまり アナリティクスハブ、 KPI 詳細、適切に構成されたウィジェット、およびブレークダウンダッシュボードでのみ使用できます。[ブレークダウンを管理] ツールの使用方法の詳細については、「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

Example: インシデントバックログの増加

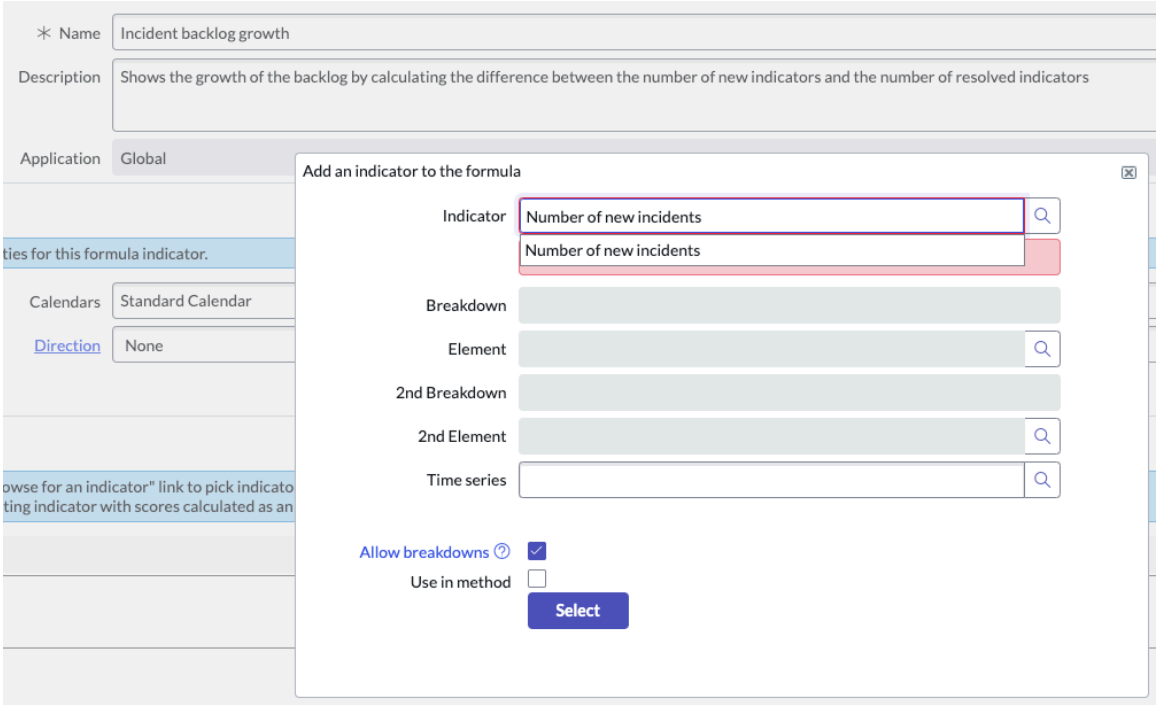
あなたはインシデントマネージャーとして、インシデント解決の効率を向上させたいと考えています。新規および解決済みのインシデントは、既に [新規インシデントの数] および [解決済みインシデントの数] インジケーターとして追跡されています。ただし、これらのインジケーターでは、インシデント解決を改善するという目標を達成できているかどうかはわかりません。

未処理のインシデントの量を測定するための新しいバックログ増加 KPI が必要です。この KPI を実装するには、次の式を使用して、「インシデントバックログの増加」という名前の式インジケーターを作成します。

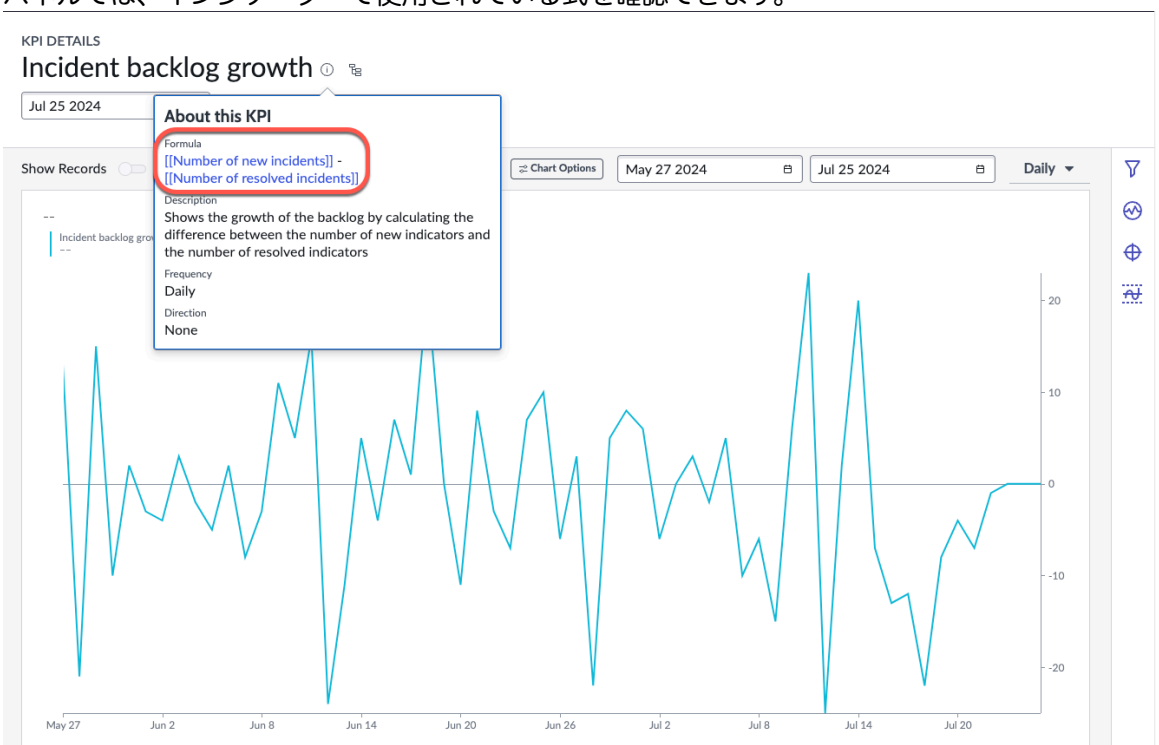
```
[[Number of new incident]] - [[Number of resolved incidents]]
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ライブラリに表示] をオンにすると、インジケーターがKPI 詳細に表示されます。KPI 詳細 の情報パネルでは、インジケーターで使用されている式を確認できます。



数式のアナリティクスメソッドを取得する

アナリティクスハブから計算された値を数式に挿入するには、数式のメソッドを使用します。

始める前に

必要なロール:pa_power_user、admin

このタスクについて

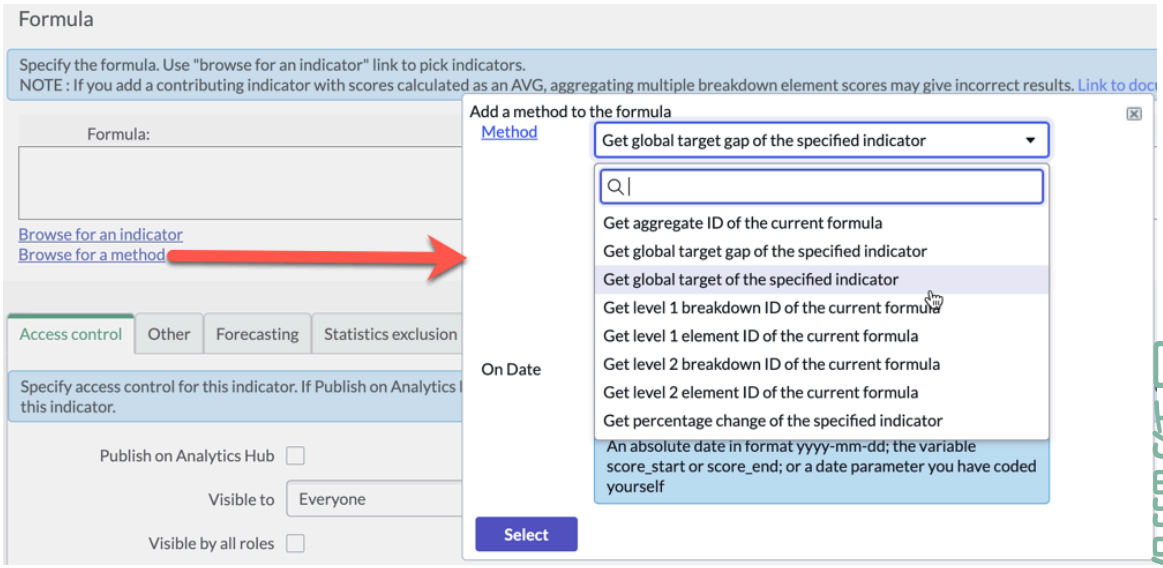
アナリティクスハブで計算された値を式の入力として使用できます。その値は、現在の式インジケーター自体を含む、任意のインジケーターから取得できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスハブから値を取得するには、`PAFormulaUtils()` のメソッドを式に挿入します。これらのメソッドの 1 つを呼び出すには、 パフォーマンスアナリティクス 変数 pa を使用します。たとえば、 `PAFormulaUtils.getScore` メソッドを使用するには、 pa.getScore を呼び出します。詳細については、「PAFormulaUtils API」を参照してください。

手順

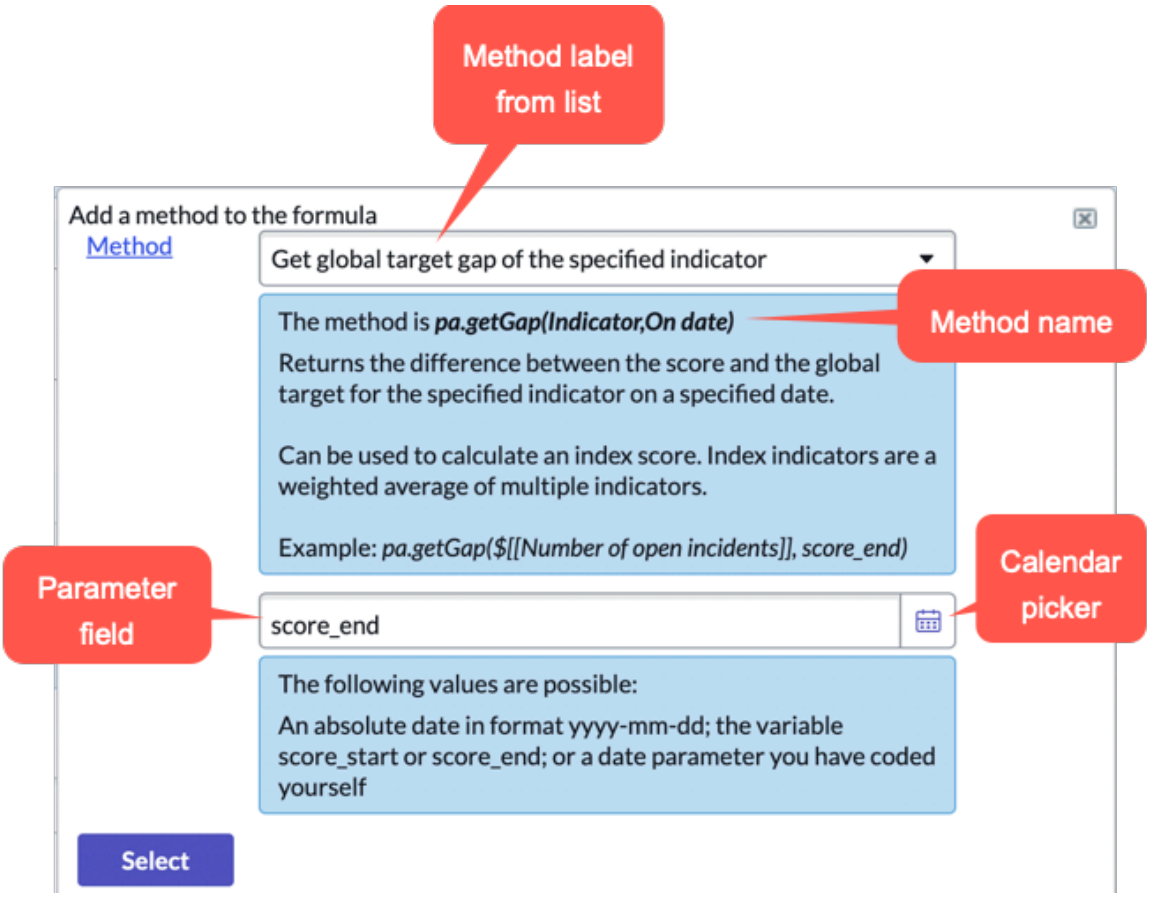
1. 式インジケーターレコードを開きます。
2. [数式] ボックスで、 メソッドの [参照] をクリックします。
   メソッドを選択できるダイアログボックスが開きます。
3. ニーズに合った方法を参照します。
   メソッドは、編集中の現在の式、または指定する必要がある別のインジケーターのいずれかを参照します。リストには、メソッド名の代わりに各メソッドの説明ラベルが表示されます。



4. メソッドを選択します。
   メソッドを選択すると、メソッドの名前やパラメーターフィールドなどの説明が開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



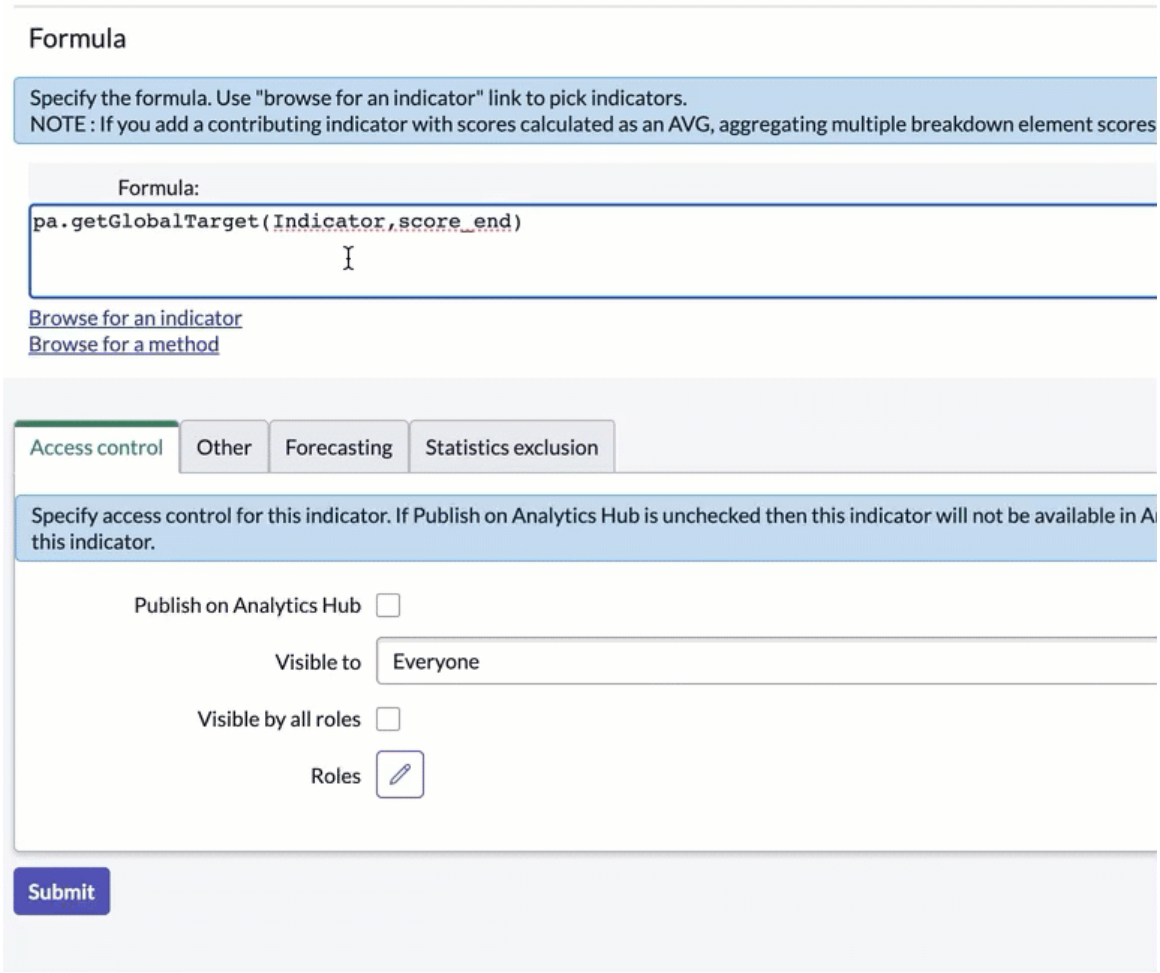
日付フィールドには、次の値を指定できます。

- 2018-12-21 などの YYYY-MM-DD 形式の絶対日付。
- 変数 score_start または score_end。これらの変数は、参照されるインジケーターに対して計算される収集期間の最初と最後の 1 秒を表します。時刻は、ユーザのタイムゾーンとデータベースサーバのタイムゾーン (GMT) の時差から計算されます。詳細については、「ユーザーのタイムゾーンが異なることによるscore_start/終了の変更」を参照してください。
- `GlideDate` または `GlideDateTime` API を使用して自分でコーディングした日付パラメーター。

5. パラメータを入力し、「 選択」をクリックします。
ダイアログが閉じ、メソッドがインジケーターフォームの式フィールドに表示されます。
6. メソッドでインディケータを指定する必要がある場合は、カーソルで `インディケータ` パラメータを選択し、 インディケータの参照をクリックします。
インジケーター選択ダイアログが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

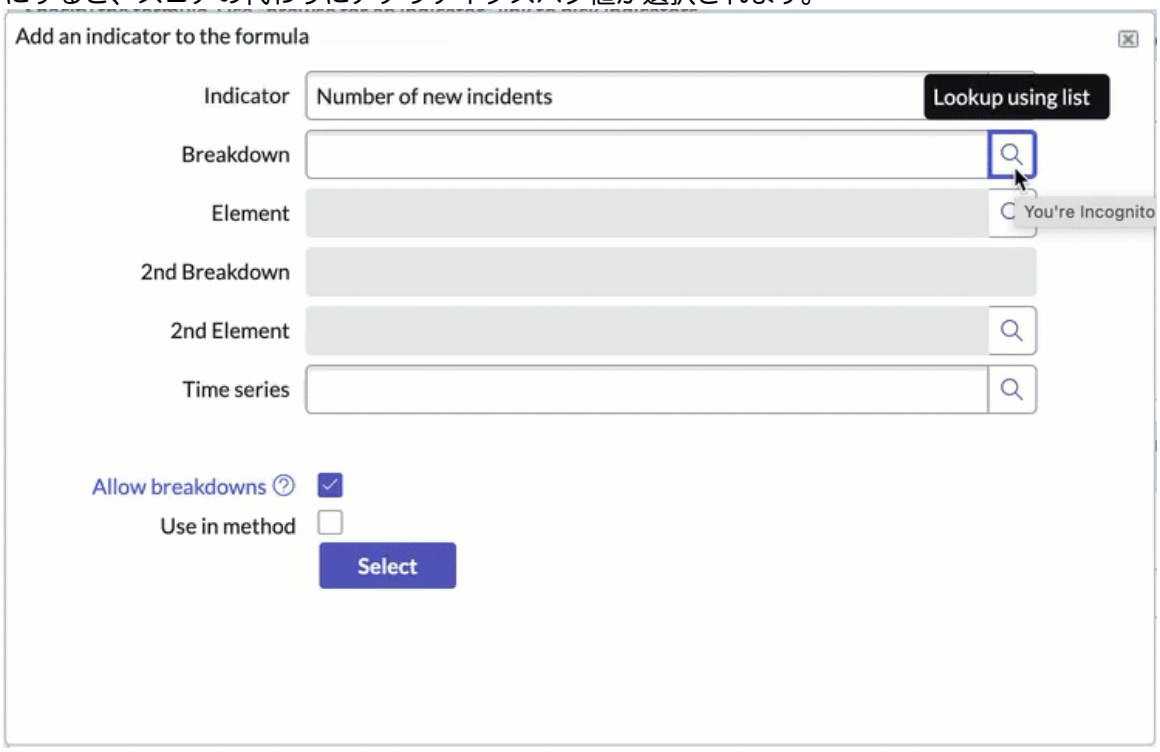


7. インジケーターを選択します。
8. オプション: ブレークダウンまたは要素と時系列集計を選択します。
9. [メソッドに使用]を選択し、[送信]をクリックします。
   メソッドが完了し、インジケーターが選択されます。インジケーターの前にはドル記号 $ が付いていることに注意してください。このドル記号は、インジケータースコアではなくインジケーターの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスハブ 値が返されることを意味します。[メソッドで使用] チェック ボックスをオンにすると、スコアの代わりにアナリティクスハブ値が選択されます。



Example: インデックスインジケーター

インデックスインジケーターは、複数のインジケーターを表す単一のスコアを生成するための式インジケーターのユースケースです。次の例では、次のインジケーターのスコアとグローバル ターゲットの間のギャップを集計する単一のインデックスが必要です。

- 期限切れのインシデントの割合。
- オープンインシデントの最終更新の平均経過時間。
- オープンインシデントの合計数。

この単一のインデックスを取得するには、[方向] を [最大化] に設定して式インジケーターを作成します。すべてのインデックスインジケーターを最大化する必要があります。次に、 メソッドの参照関数と インジケーターの参照 関数を使用して、次の式を作成します。

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[% of
 open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[Number
 of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

Example: 変更自体にターゲットを設定する

インシデントバックログで前月比 10% 削減というチームの目標を設定しようとしています。次の式を使用して式インジケーターを作成し、 アナリティクスハブでこのインジケーターのターゲットを -10% に設定します。

```
var lastPeriod = new GlideDateTime(score_start.getYear() + '-' + score_start.getMonth() +
 '-01');
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
lastPeriod.addDaysUTC(-1);
pa.getChangePercentage($[[Number of open incidents]], lastPeriod.addDaysUTC(-1),
 score_start);
```

Example: ブレークダウンと要素に基づいてスコアを除外する

優先度 = 1 - 重大のインシデントのスコアを除外するとします。

1. [優先度] ブレークダウンと [1 - 重要] 要素の一意のレコード識別子を取得します。ブレークダウンレコードはブレークダウンテーブルにあります。要素レコードの場所はさまざまですが、ブレークダウンのブレークダウンソースで識別されます。この場合、要素は選択肢 [sys_choice] レコードです。一意のレコード識別子を取得する方法については、「一意のレコード識別子 (sys_id)」を参照してください。

   一意のレコード識別子は、優先度ブレークダウンの場合は baec0752bf130100b96dac808c0739ed、1 - 最重要要素の場合は 8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7 です。

2. 次の式でインジケーターを作成します。

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
{
res = 0;
}
res;
```

PAFormulaUtils API

PAFormulaUtils API を使用すると、 アナリティクスハブ で計算された値を取得し、その値を式の入力として使用できます。

PAFormulaUtils API を使用するには、次の要件を満たす必要があります。

- パフォーマンスアナリティクス を有効にする必要があります。
- この API を使用する式インジケーターを作成するユーザーには、pa_power_user、pa_admin、または admin ロールが必要です。

この例の [オープンインシデントの数] インジケーターのように、 *PAFormulaUtils* パラメーターのインジケーター名の前にドル記号 $ が付きます (例: pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_end);。このドル記号は、インジケータースコアの代わりにインジケーターの アナリティクスハブ 計算値が返されることを意味します。

PAFormulaUtils メソッドの日付パラメータは、次のいずれかの形式を取ります。

- 2018-12-21 などの YYYY-MM-DD 形式の絶対日付。
- 変数 score_start または score_end。これらの変数は、参照されるインジケーターに対して計算される収集期間の最初と最後の 1 秒を表します。時刻は、ユーザのタイムゾーンとデータベースサーバのタイムゾーン (GMT) の時差から計算されます。詳細については、「ユーザーのタイムゾーンが異なることによるscore_start/終了の変更」を参照してください。
- *GlideDate* または *GlideDateTime* API を使用して自分でコーディングした日付パラメーター。

> ⚠ 警告:
> *PAFormulaUtils* API は式インジケーターでのみ使用でき、スクリプトでは使用できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

`PAFormulaUtils` API には、次のメソッドが含まれています。

getChange(文字列インジケーター, オブジェクト **fromDate,** オブジェクト **toDate)**

指定された 2 つの日付間のインジケーターのスコアの変化を返します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
インジケーター	文字列	変化を計算するインジケーターの一意の識別子。
fromDate	オブジェクト	比較の最初の日付。
toDate	オブジェクト	比較の終了日。

返される内容

タイプ	説明
番号	2 つの日付間の指定されたインジケータースコアの差。

Example: 月初から最終収集期間までの変更

この例では、スコアが毎日収集されるオープンインシデントの数というインジケーターがあります。fromDate パラメーターは、現在の月の最初の 1 秒で、最後の収集期間 (score_start) のタイムスタンプを取得し、タイムスタンプから年と月を抽出し、その日の数字 01 を付加することによって構成されます。toDate パラメーターは、最後の収集期間の開始時のタイムスタンプで、タイムゾーンの違いに応じて前日の最初の 1 秒になります。

```
pa.getChange($[[Number of open incidents]], new GlideDateTime(score_start.getYear() + '-' +
 score_start.getMonth() + '-01'), score_start);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getChangePercentage(文字列インジケーター, オブジェクト **fromDate,** オブジェクト **toDate)**

指定された 2 つの日付間のインジケーターのスコアの変化率を返します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
インジケーター	文字列	変化率を計算するインジケーターの一意の識別子。
fromDate	オブジェクト	比較の最初の日付。
toDate	オブジェクト	比較の終了日

返される内容

タイプ	説明
番号	指定された 2 つの日付間の指定されたインジケーターの変化率。

例：

```
var lastPeriod = new GlideDateTime(score_start.getYear() + '-' + score_start.getMonth() +
 '-01');
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
lastPeriod.addDaysUTC(-1);
pa.getChangePercentage($[[Number of open incidents]], lastPeriod, score_start);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentAggregateID()

現在の式のインジケーターから時系列集計識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択が変更されると、sys_idが動的に返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブ での選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的な時系列集計 ID。時系列集計 ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentAggregateID() == '89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc')
  {
    res = 0;
  }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentBreakdownID()

現在の式のインジケーターからレベル 1 ブレークダウン識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択が変更されると、sys_idが動的に返されます。

特定のブレークダウンの式を変更するときに、この方法を使用してレベル 1 ブレークダウンのsys_idを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブでの選択によって変化する、現在の式のインジケーターからの動的レベル 1 ブレークダウン ID。レベル 1 のブレークダウン ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownSysID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementSysID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
  }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentBreakdownLevel2ID()

現在の式のインジケーターからレベル 2 ブレークダウン識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択が変更されると、sys_idが動的に返されます。

特定のブレークダウンの式を変更するときに、この方法を使用してレベル 2 ブレークダウンのsys_idを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブでの選択によって変化する、現在の式のインジケーターからの動的レベル 2 ブレークダウン ID。レベル 2 のブレークダウン ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownLevel2ID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementLevel2ID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentElementID()

現在の式のインジケーターからレベル 1 ブレークダウン要素識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択が変更されると、sys_idが動的に返されます。

特定の要素の式を変更する場合は、この方法を使用します。たとえば、変化しないグループから変更のスコアを除外するなど、さまざまな属性をカウントするクエリーを実行するときに、このメソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブでの選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的レベル 1 ブレークダウン要素 ID。レベル 1 のブレークダウン要素 ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
 {
 res = 0;
 }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentElementLevel2ID()

現在の式のインジケーターからレベル 2 ブレークダウン要素識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択が変更されると、sys_idが動的に返されます。

特定の要素の式を変更する場合は、この方法を使用します。たとえば、変化しないグループから変更のスコアを除外するなど、さまざまな属性をカウントするクエリーを実行するときに、このメソッドを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブでの選択によって変化する現在の式のインジケーターの動的レベル 2 ブレークダウン要素 ID。レベル 2 のブレークダウン要素 ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownLevel2ID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementLevel2ID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
  }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getGap(文字列インジケーター, オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターのグローバル ターゲット ギャップを返します。

ギャップは、指定された日付のスコアとターゲットの差です。MAXIMIZE 方向のインジケーターの場合、ギャップはスコアからターゲットを引いた値として計算されます。MINIMIZE 方向または方向なしのインジケーターの場合、ギャップはターゲットからスコアを引いた値として計算されます。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
インジケーター	文字列	ギャップ情報を提供するインジケーターの一意の識別子。
日付	オブジェクト	ターゲットスコアと比較するために使用するスコアの日付。

返される内容

タイプ	説明
番号	指定された日付のスコアとグローバルターゲットスコアの差。

例：

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[% of
 open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[Number
 of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getGlobalTarget(文字列インジケーター, オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターに関連付けられたグローバル ターゲットを返します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
インジケーター	文字列	インジケーターの一意の識別子。
日付	オブジェクト	グローバルターゲットを返す日付。

返される内容

タイプ	説明
番号	指定された日付とインジケーターのグローバルターゲット。

例：

```
pa.getGlobalTarget($[[% of open overdue incidents]],score_start);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getPersonalTarget(文字列インジケーター, オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターに関連付けられた個人ターゲットを返します。

このメソッドを使用して、個人インデックス・スコアを取得します。「個人」とは、 アナリティクスハブを見ているアクティブなユーザーを指します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
インジケーター	文字列	インジケーターの一意の識別子。
日付	オブジェクト	個人ターゲットを返却する日付。

返される内容

タイプ	説明
番号	指定された日付とインジケーターの個人ターゲット。

例：

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getPersonalTarget($[[%
 of open overdue incidents]],score_start);
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getPersonalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) /
 pa.getPersonalTarget($[[Number of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getScore(文字列インジケーター, オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターのスコアを返します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
インジケーター	文字列	スコアを取得するインジケーターの一意の識別子。
日付	オブジェクト	スコアを返す日付。

返される内容

タイプ	説明
番号	指定された日付とインジケーターのスコア。

例：

```
pa.getScore($[[Number of open incidents]], score_end);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

式内の貢献インジケーターがブレークダウンをフォローしないようにする

計算式内の貢献インジケーターを選択して、ブレークダウンしないようにすることができます。ユーザーが式インジケーターにブレークダウンを適用すると、ブレークダウンはこれらのインジケーターには適用されません。

ブレークダウンダッシュボードなどで式インジケーターにブレークダウンを適用すると、ブレークダウンはすべての貢献インジケーターに適用されます。{{Indicator}} 構文を使用して、貢献インジケーターがブレークダウンされないようにします。[インジケーターの参照] ダイアログの [ブレークダウンを許可] チェックボックスをオフにすることで、貢献インジケーターがブレークダウンをフォローしないようにすることもできます。このダイアログは、

たとえば、式 [[インシデント]] / [[顧客]] を考えてみます。このインジケーターに地域ブレークダウンを適用し、ブレークダウン要素として EU を指定すると、この式インジケーターは式 [[インシデント > 地域 = eu]] / [[顧客 > 地域 = eu]] を使用してスコアを返します。しかし、すべての地域のインシデントの合計数で割った EU のインシデント数を表示するために、式 [[インシデント]] / {{Customers}} を記述することができます。{{Indicator}} 形式を使用すると、顧客インジケーターはブレークダウンを無視します。この方法で、EU ブレークダウン要素で地域ブレークダウンを適用するしたときに、この式インジケーターは式 [[インシデント > 地域 = EU]] / [[顧客]] と等しくなります。

式インジケーター全体のブレークダウンをフォローしない貢献インジケーターのブレークダウンと要素を指定することはできます。式 [[Incidents]] / {{Customers > importance = high}} を考えてみま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

しょう。この例では、式の分母は常に重要度の高い顧客のみを含むように分解されます。地域ブレークダウンなど、式インジケーターに適用されたブレークダウンは、顧客インジケーターには適用されません。

式インジケーターのブレークダウン マトリクス

式インジケーターは、式内のインジケーターからブレークダウン マトリクスを継承します。

式内のすべてのインジケーターがブレークダウン マトリクスを収集する場合、式インジケーターで第 2 レベルのブレークダウンを使用できます。式内のインジケーターがブレークダウン マトリクスを収集しない場合、式インジケーターで第 2 レベルのブレークダウンは使用できません。式内の一部のインジケーターだけがブレークダウン マトリクスを収集する場合、それらのインジケーターのみを第 2 レベルで分解することができます。

Example: 一方または両方のインジケーターについてブレークダウンマトリクスが計算される **2** つの貢献インジケーターを持つ式

「オープンインシデントの合計経過時間」と「オープンインシデントの数」というインジケーターのブレークダウンマトリックスが収集されるケースを考えてみましょう。次に、次の式でインジケーターを作成します。

```
[[Summed age of open incidents]]/[[Number of open incidents]]/24
```

特定の日に、この式インジケーターのスコアは 170 で、次のように計算されます。

```
Summed age of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 8,152 hours
Number of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 2
Formula: 8152/2/24=170
```

ブレークダウンマトリクスが「オープンインシデントの合計経過時間」に対してのみ計算されるとどうなるか? この場合、「オープンインシデントの数」はカテゴリ別にのみ分類され、優先度別には分類されません。同じ日の同じ式インジケーターのスコアは 11 で、次のように計算されます。

```
Summed age of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 8,152 hours
Number of open incidents with Category = Software: 31
Formula: 8152/31/24=11
```

結果または貢献インジケーターへの時系列の適用

式インジケーターの場合、時系列集計は、式の各インジケーターに個別に適用することも、式の結果に適用することもできます。

[時系列を結果に適用] オプションを使用して、時系列集計の適用方法を決定します。このオプションは、式インジケーターレコードの [その他の プロパティ] タブで選択または無効にできます。このオプションは、 コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェット と アナリティクスハブ、または のデータの可視化 プラットフォームアナリティクス のインジケーターに適用するすべての時系列集計に適用されます。このオプションは、デフォルトの時系列がインジケーターに設定されている場合にも適用されます。

注:

- デフォルトの時系列は、 アナリティクスハブ と KPI 詳細にのみ適用されます。ウィジェットまたはデータの可視化で時系列集計を選択しない場合、デフォルトの時系列は適用されません。
- アナリティクスハブまたはKPI 詳細で設定を有効にするには、インジケーターにデフォルトの時系列が設定されていない場合、実際の集計を選択する必要があります。時系列がインジケーター頻度 (日次、週次など) のみの場合、[時系列を結果に適用] 設定は適用されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

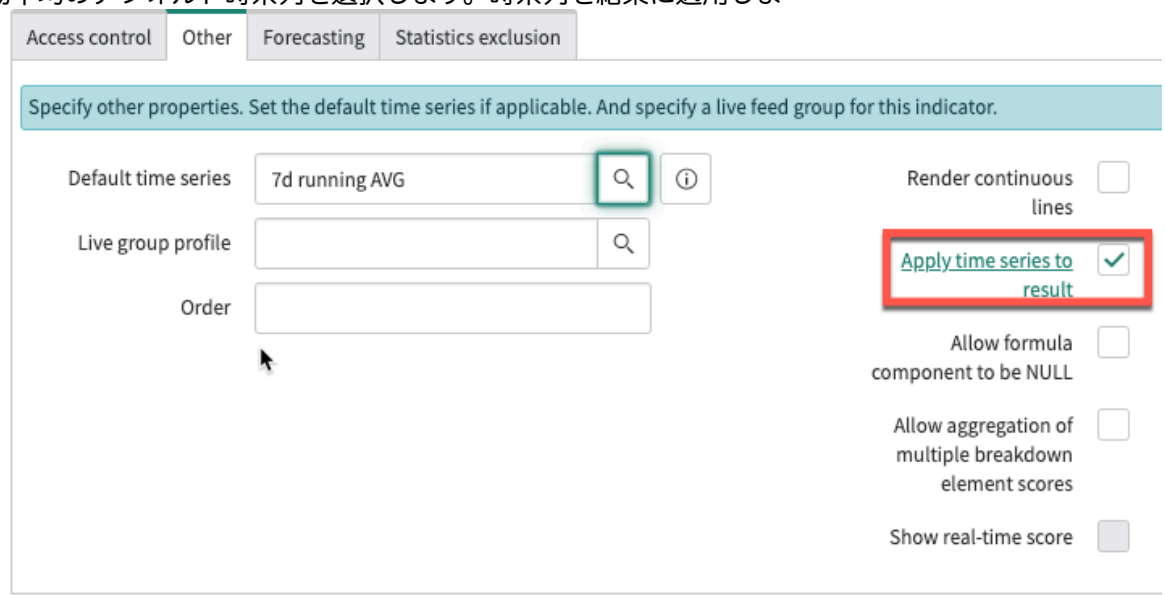
[結果に時系列を適用] をオンにすると、最初に式が評価され、次に選択した時系列が最終結果に適用されます。[時系列を結果に適用] がオフの場合、各貢献インジケーターが評価され、デフォルトの時系列が適用されます。次に、式が評価されます。この 2 つの設定では、結果が大きく異なる可能性があります。どちらの設定も間違っているわけではありませんが、選択する前に測定対象を慎重に検討する必要があります。

Example: 時系列を結果に適用する場合と、貢献インジケーターに適用する場合の比較

式インジケーター「新規 P1 インシデントの割合」について考えてみます。このインジケーターは毎日、優先度 1 - 重大の新規インシデントの割合を計算します。

([[優先度>新規インシデントの数 = 1 - 重大]] / [[新規インシデントの数]]) * 100

結果の 7 日間の実行平均をデフォルトで アナリティクスハブに表示することにします。インジケーターレコードの [その他] タブで、7 日間移動平均のデフォルト時系列を選択します。時系列を結果に適用します。



結果の計算では、式は日ごとに解決されます。次に、その日とその前の 6 日間の結果の平均が取得されます。

((新規 P1/すべて新しい$_{1\ 日目}$ * 100) + (新しい P1/まったく新しい$_{2\ 日目}$ * 100)+ ...(新P1/新7$_{日目}$ *100)/ 7

最終結果の 7 日間平均と各インジケーターの 7 日間平均のどちらが必要かわからない。したがって、同じ時系列を持つ前の式インジケーターをコピーしますが、[時系列を結果に適用] はチェックを外します。これで、時系列は、計算式が解決される前に、 `優先度 = 1 - 重大>新規インシデント` の数と新規 `インシデント` の貢献インジケーターの数に個別に適用されます。

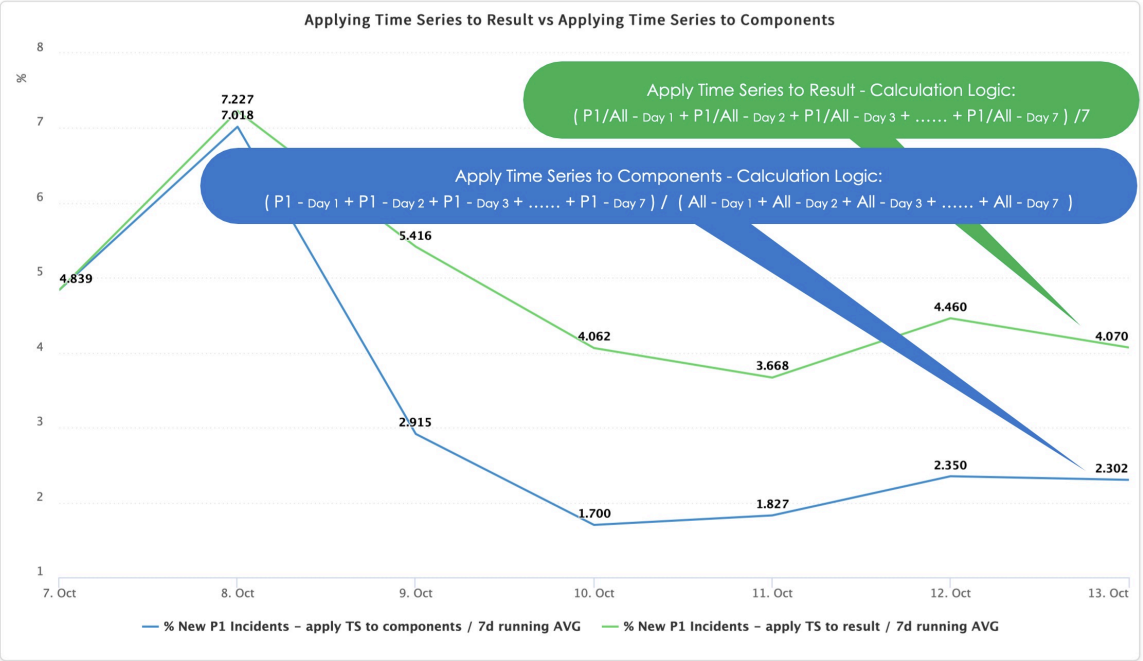
(新P1$_{1日目}$ + 新P1$_{2日目}$ + ...新しいP1$_{の7日目}$)/(まったく新しい$_{1日目}$ +まったく新しい$_{2日目}$ + ... まったく新しい$_{7\ 日目}$) * 100

時系列ウィジェットに両方の式インジケーターをプロットして、2 つの設定の結果の差を確認します。デフォルトの時系列は アナリティクスハブにのみ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

適用されるため、7 日間移動平均の時系列もウィジェットに追加します。同じ



関連情報

時系列集計の適用

式にスコアがないインジケーターを検出する

計算式の作成者は、スコアが null の貢献インジケーターを処理できます。まず、計算式に null スコアが含まれている場合でも計算式を計算するように式インジケーターを設定します。

始める前に

必要なロール:pa_power_user、admin

このタスクについて

式インジケーターの式には、通常、1 つ以上の他のインジケーターが含まれています。これらのインジケーターのいずれかにスコアがない場合、デフォルトでは式は計算されず、式インジケーターはスコアを返しません。ただし、式インジケーターが null を返す代わりに、スコアのないインジケーターを識別するユースケースがいくつかあります。まず、式内のインジケーターにスコアがない場合に計算式が計算されるようにします。その後、スコアのないインジケーターに値を割り当てることができます。

手順

1. 対象の式インジケーターを開きます。
2. [計算式コンポーネントを **null** にすることを許可する] を選択します。
3. [計算式] で、スコアがないときにインジケーターに値を割り当てる `if{} else {}` ステートメントを追加します。

Example: 計算式コンポーネントの **null** が許可されているフィールドインジケーター

クローズ済みインシデントがないため、クローズ済みインシデントの数にスコアがない収集期間について、次の式インジケーターを検討してください。

フォーミュラ1:

```
[[Number of open incidents]] / [[Number of closed incidents]]
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーミュラ2:

```
[[Formula 1]] + 23
```

式3:

```
if ([[Formula 1]] == null) { 23 } else { 11 }
```

式 4:

```
[[Formula 2]] || 64
```

式 5:

```
(([[Formula 1]] == null && [[Formula 2]] == null) ? 11 : 18)
```

式インジケーターのいずれに対しても [式コンポーネントの **null** を許可] が選択されていない場合、式インジケーターにはスコアがありません。

すべての式インジケーターで [計算式コンポーネントの **null** を許可] が選択されている場合、次のスコアが得られます。

- 式 1 = null
- 式2 = 23
- 式3 = 23
- 式4 = 64
- 式5 = 11

フォーミュラ 2、フォーミュラ 3、フォーミュラ 4、およびフォーミュラ 5 は、null スコアを処理する 4 つの異なる方法を表します。

式内の複数のインジケーターのインデックス作成

複数の組み合わされたインジケーターの全体的なターゲットに対するギャップを測定する式を記述できます。このような式指標は「インデックス指標」と呼ばれます。

プロセス、サービス、グループ、およびその他のビジネスエンティティのパフォーマンスは、多くの場合、複数のインジケーターを使用して追跡および監視されます。これらのプロセス、ビジネスサービス、またはワークグループのパフォーマンスを表示および分析すると、全体像が複雑であいまいになる可能性があります。例：

- 3つの指標のスコアはやや改善しましたが、そのうち2つの指標は依然として目標を下回り、1つの指標は目標を上回っています。
- 1つの指標のスコアはほぼ同じままで、依然として目標を下回っています。
- 1つの指標のスコアは大幅に悪化しましたが、幸いなことに目標をわずかに上回っています。

この情報を見ると、次の質問に対する答えが明確ではありません。

- プロセス/サービス/グループの全体的なパフォーマンスは、依然として目的レベル以上でしょうか？
- 全体的なパフォーマンスは向上しましたか？

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インデックスインジケーターは、これらの質問に回答できます。インデックスインジケーターを使用すると、複数のインジケーターのスコアが 1 つのスコアに集計されます。これは、いくつかの指標の加重平均です。これらの指標の加重合計が改善している場合、指数式の計算スコアは上昇します。他のインジケーターと同様に、インデックスインジケーターは、スコアが良好かどうか、およびスコアが改善されたかどうかを示します。

インデックスインジケーターの背後にある原則は、インジケーターごとに 100 にインデックス付けされたスコア値を計算することです。これらのインデックス付きスコアがある場合、数学的にはそれらの全体の平均を計算できます。

インデックスインジケーターに含めるには、インジケーターに方向とターゲットが必要です。最大化方向を持つインジケーターのインデックス付きスコアを計算するための基本的な式は次のとおりです。

```
100 + (((actual score - target) / target) * 100)
```

最小化方向を持つインジケーターの場合、式は次のようになります。

```
100 - (((actual score - target) / target) * 100)
```

インジケーターを均等に重み付けしている場合は、個々のインジケーターを 100 にインデックス付けする代わりに、最終的な集計を 100 にインデックス化できます。

`PAFormulaUtils()` API のメソッドを使用して、アナリティクスハブからインジケーターのスコアとターゲットのギャップを取得できます。詳細については、「数式のアナリティクスメソッドを取得する」を参照してください。

```
pa.getGap(indicator, On date) / pa.getGlobalTarget(indicator, On date)
```

異なる方向に対して異なる演算子があるため、基になるインジケーターのスコアが改善 (上昇または下降) している場合、インデックスインジケータースコアは上昇しています。したがって、インデックス インジケーターの方向は常に [最大化] に設定してください。

インジケーターにターゲット値が設定されていない場合は、代わりに標準値を使用します。ターゲット値またはノルム値が 0 に等しいインジケーターは、0 で割る必要があるため、インデックスインジケーターでは使用できません。

各インデックスインジケーターのターゲットを 100 に設定します。基礎となるすべてのインジケーターの実際のスコアがターゲット値または標準値と等しい場合、このターゲットは計算された総合的なインデックス付きスコアです。

インデックスインジケーターは、複数の組み合わせインジケーターの全体的なターゲットに対するギャップを測定します。「目標達成率」を測定しています。

Example: PAFormulaUtils() メソッドを使用したインデックスインジケーター

次の例では、次のインジケーターのスコアとグローバル ターゲットの間のギャップを集計する単一のインデックスが必要です。

- 期限切れのインシデントの割合。
- オープンインシデントの最終更新の平均経過時間。
- オープンインシデントの合計数。

この単一のインデックスを取得するには、次の手順に従ってインデックスインジケーターを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. に移動します **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 式インジケーター をクリックし、[**New**] をクリックします。インデックスインジケーターは、式インジケーターのユースケースです。
2. インジケーターにわかりやすい名前を付けます (例 **:**インシデントギャップの集計)。
3. インデックス インジケーターを作成しているため、[方向] を [最大化] に設定します。
4. [式] フィールドで、メソッドの [参照] 関数とインジケーター関数の [参照] を使用して、次の式を作成します。

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[%
 of open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Number of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

3 つのインジケーターは均等に重み付けされるため、集計のインデックスは個々のインジケーターではなく 100 になります。

ユーザーのタイムゾーンが異なることによる**score_start/**終了の変更

式インジケーターの場合、変数 score_start および score_end の値は、式を実行しているユーザーのタイムゾーンに基づいて計算されます。異なるタイムゾーンのユーザーが同じ計算式を実行すると、score_start と score_end の値が変わります。

警告:
異なるタイムゾーンのユーザーが同じ式を表示すると、 score_start 変数と score_end 変数の日付値がシフトする可能性があります。

式には 、式 が参照するインジケーターのパラメーターとしてscore_start変数または score_end 変数を含めることができます。これらの変数は、参照されるインジケーターに対して計算される特定の収集期間の最初と最後の 1 秒を表します。score_start変数とscore_end変数の値は、式を実行しているユーザーのタイムゾーンとデータベースサーバーのタイムゾーン (GMT) の差から計算されます。ユーザーは、ダッシュボードウィジェットまたは アナリティクスハブで式インジケーターを表示するたびに式を実行します。その結果、異なるユーザーが同じ数式を表示すると、収集期間の開始または終了の日付値がずれる可能性があります。

Example: 異なるユーザーのタイムゾーンに対する異なる**score_end**値

日次頻度と次の式を持つ式インジケーターを考えます。

```
pa.getScore($[[Number of open incidents]], score_end);
```

10 月 18 日に、3 人の異なるユーザーがこの式インジケーターを含むダッシュボードウィジェットを表示します。データベースサーバーは、10 月 18 日の score_end を 10 月 18 日の 23:59:59 GMT と見なします。

- 1 人のユーザーがヨーロッパ/ベルリンタイムゾーンにいます。score_end値は「2019-10-18 21:59:59」で、10 月 18 日のスコアが返されます。
- 1 人のユーザーが米国/太平洋タイムゾーンにいます。score_end値は「2019-10-19 06:59:59」で、日付 10 月 19 日のスコアが返されます。
- 1 人のユーザーが GMT タイムゾーンにいます。score_end値はデータベース サーバー "2019-10-18 23:59:59" と一致し、10 月 18 日の日付のスコアが返されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス の変数

手動インジケーター

手動インジケーターは、データベースから収集されたスコアを使用しません。 手動インジケーターは通常、ServiceNow インスタンスから取得できないデータに使用されます。データが第三者の営業システムからの顧客データなど外部システムからのものであるためです。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
手動インジケーターは、インジケーター ソースに関連付けられていません。手動インジケーターのスコアは、データ収集ジョブによって自動的に生成されません。代わりに、スコアシートに手動でスコアを追加することで、これらのインジケーターに入力します。

注:

- インジケーターを作成するには、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが必要です。
- ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在のドメインに作成されます。

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクスに移行していないアップグレードされたインスタンスを使用している場合は、 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > インジケーター > 手動インジケーター をクリックし、[**New**] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクス に移行した場合は、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > 手動インジケーター をクリックし、[**New**] を選択します。
2. [名前] フィールドで、[重要なインシデントの数] など、記述名をインジケーターに指定します。
3. [周期] フィールドで、スコアが設定される周期を選択します。
   デフォルト値は [日次] です。

   注:
   手動インジケーターの周期では、そのデータをチャート化する方法を指定します。たとえば、チャートで 1 日あたりまたは 1 か月あたりのデータ ポイントを設定した場合、この設定はスコアシートにも影響するため、日次または月次のどちらの値を入力できるかが決まります。

4. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
   分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

   ヒント:
   可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターは、最大化または最小化に設定する必要があります。

5. オプション: 次のインジケータープロパティのいずれかを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) [価格]、[通貨]、または [FX 通貨] フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。 単位として % または期間を選択する場合は、インジケーターへの適用から一部のタイプの時系列を除外することを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時間は [日]、[時間]、および [分] で指定されます。システムプロパティ *glide.ui.duration.seconds.enabled* が存在し、true である場合は、秒も表示されます。この場合、インスタンスのすべての時間フィールドにも秒が表示され、 Microsoft Excel へのエクスポートに含まれます。
Precision (精度)	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。 このフィールドは、単位が [参照通貨を使用] の場合は使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。
数値形式	数千から五分数までの多数の略語に使用されます。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。のインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > アナリティクスハブ.プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。

6. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびユーザー、グループ、またはロール別にインジケーターの表示を制限するかどうかを設定します。ライブラリへの共有を有効にすると、インジケーターが次の場所で使用できるようになります。
   - プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスライブラリの KPI のリスト
   - KPI 詳細
   - アナリティクスハブに完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスに限ります プラットフォームアナリティクス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [アクセス制御] タブで、インジケーター スコア追加の権限を持つ貢献者になるユーザーを設定します。
   pa_admin、pa_power_user、または pa_contributor ロールを持つユーザーのみを選択できます。
8. [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

フィールド	**Description** (説明)
デフォルトの時系列	インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の移動平均などの事前定義された分析関数。 詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターには、デフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	ライブフィードグループのライブグループプロフィール [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取るようにします。 Now Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。
値がない時の挿入値	値が収集されない場合にスコアとして挿入される値。 この値はインジケーター スコアにのみ適用されます。ブレークダウン要素のスコアには影響しません。
注文	インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。最小値のインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターにのみ数値を入力すると、インジケーターが表示される順序が a から z に戻ります。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
実線のレンダリング	選択すると、特定の日付にデータがない場合でも、このインジケーターの アナリティクスハブ と KPI 詳細 に切れ目のないデータ線が表示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットを表示する場合や、在庫情報など定期的に更新されないデータを表示する場合に便利です。 インジケーター、 アナリティクスハブ 、または KPI 詳細に時系列が設定されている場合、実線は表示されません。

9. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。

次のタスク
手動ブレークダウンを作成して、このインジケーターにアサインします。次に、スコアを手動で追加します。

関連情報

手動ブレークダウン

インジケーターのスコアの手動での追加または編集

パフォーマンスアナリティクススコア予測

パフォーマンスアナリティクス を使用すると、過去の動作に基づいて将来のスコアを予測できます。時系列ウィジェット、時系列データの可視化、 KPI 詳細、および アナリティクスハブでスコアを予測できます。予測スコアは点線で表示されます。

予測は、インジケーター レコードの [予測] タブで設定します。予測に含まれるデータポイントの数は、インジケーター頻度と、インジケーターで構成されている 予測期間 の数によって異なります。期間は、インジケーターの頻度に基づいて設定されたスコア数です。設定や予測方法に関係なく、生成される予測データポイントは 2688 個までです。

注:
構成可能ワークスペースの時系列データの可視化では、インジケーターに設定されている予測構成を上書きできます。この上書きは、そのデータ可視化にのみ適用されます。

また、時系列データの視覚化では、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターの予測に限定されません。パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションバージョンを使用している場合は、テーブルを除くすべてのデータソースの予測を生成できます。詳細については、「時系列の可視化を作成」を参照してください。

この機能には、ServiceNow® Store のデータの可視化 24.0.x アプリケーションが必要です。

関連情報

自動インジケーターの作成

インジケーターでの予測の設定

自動インジケーターのレコードで、 アナリティクスハブ、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット、時系列データの可視化に表示されるとおりに予測を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:pa_power_user、pa_admin、admin

手順

1. 移動先 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > インジケーター > 自動インジケーター.
2. 予測を構成する自動インジケーターを開きます。
3. [予測] タブに移動します。
4. 以下の値を設定します:

フィールド	**Description** (説明)
使用した予測方法	このインジケーターの値を予測するためにシステムが使用する統計手法。デフォルト値は [自動] です。これは、システムによってデータに最適な方法が選択されることを意味します。詳細については、「予測方法の選択」を参照してください。
予測期間	スコアを予測する将来のデータ期間の数。 **注:** 期間の長さは、インジケーター頻度に基づいています。詳細については、「インジケーター予測期間」を参照してください。
予測下限	予測スコアの意味のある最小値。この値よりも低いスコアが予測されると、代わりにこの値が表示されます。
予測上限	予測スコアの意味のある最高値。この値よりも高いスコアが予測されると、代わりにこの値が表示されます。

5. 予測の基にするスコアを選択します。

オプション	説明
すべてのスコア	このインジケーターについて収集されたすべてのスコア
前の期間	予測の基礎となる現在までのデータ期間の数。これらのデータ期間は、 予測する期間のデータ期間と同じ長さです。 [前の期間] を選択した場合は、[期間] 項目に期間の数も指定します。
開始日（固定）	開始日以降に収集されたすべてのスコア。[固定開始] を選択した場合は、[開始日] も指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予測方法の選択

統計の専門家は、予測方法を手動で選択できます。デフォルトでは、インスタンスはメソッドの適合性に基づいて最適なメソッドを自動的に選択します。

最適な予測方法を決定するために、インスタンスは履歴データで各予測方法を使用して予測を生成します。インスタンスは、どの程度先まで予測するかに基づいて、それらの予測と最新のデータを比較します。インスタンスは、予測を表示するたびにこの評価を実行します。したがって、追加のスコアを収集したり、予測期間を変更したりすると、使用される予測方法が変更される可能性があります。

たとえば、2 期間先を予測するように日次頻度のインジケーターを設定した場合、インスタンスは 2 週間より前の履歴データに各予測方法を適用します。次に、インスタンスはそれらの予測を最新の 2 週間のデータと比較します。次に、最新の 2 週間分のデータに最も近い予測が、データ セット全体を使用して再計算されます。インスタンスは、この最終計算の結果を アナリティクスハブ または KPI 詳細で表示します。

予測方法

パフォーマンスアナリティクス では、次の標準的な予測方法を使用できます。

メソッド	説明
リニア	定数と傾向を説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。
季節雇用	季節ダミーを説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。 この分析の「季節」は 1 つの期間です。
季節傾向	季節性がありますが、説明変数として傾向が含まれています。
Loess による季節傾向分解 (STL)	最適な関数に基づいて季節予測を生成します。この方法は、指数関数的に重み付けされた移動平均アプローチを使用して、傾向、季節、およびランダムノイズプロセスをデータに適合させます。予測は完全なデータセットに基づいており、最近の観測結果ほど重み付けが高くなります この分析の「季節」は 1 つの期間です。
ランダムフォレスト (RF)	意思決定ツリーの組み合わせを作成し、これらのツリーによって生成された予測を平均して単一の予測を取得します。ランダム性は、利用可能なデータと入力のランダムなサブセットからビルドされた各ツリーに由来します。ランダムフォレスト手法の詳細については、この「Medium の記事」を参照してください。
自己回帰 (AR)	自己回帰 (AR) モデルは、傾向、季節ダミー、および過去の値の線形結合を使用して、インジケーターの将来の値を予測します。ランダムフォレスト (RF) モデルと同様に、AR モデルは最適な遅延数をチェックします。ただし、AR モデルは現在と過去の値を直線的に関連付けますが、RF モデルは非線形です。

インジケーター予測期間

スコアの頻度に応じて、異なる期間の長さが選択されます。表を参照して、シリーズに使用されている期間の長さを確認してください。

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
日次	7	1 週間

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
週次	13	1 四半期
隔週	6	1 四半期
4 週間ごと	13	1 年
月次	12	1 年
隔月	6	1 年
四半期ごと	4	1 年
会計四半期ごと	4	1 年
半年ごと	2	1 年
年次	4	4 年
会計年度ごと	4	4 年

予測とターゲット

インジケーターに対して予測が有効になっており、グローバルターゲットが定義されている場合、予測にはターゲットに到達するタイミングが表示されます。

さらに、インスタンスは、ターゲットへの到達が予想される 14 日前に通知を送信します。`pa.job.forecast.target.days_to_check` プロパティを設定することで、通知が何日前に送信されるかを変更できます。

この機能は、グローバル ターゲットでのみ使用できます。しきい値と個人のターゲットは、予測に関係しません。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値

時系列集計による予測

インジケーターに時系列集計を適用すると、予測期間の長さが変更されます。変化は時系列のタイプによって異なります。

予測期間に対する時系列集計の影響

時間アグリゲート	予測期間への影響	例
実行中	期間内のポイント数は「範囲」フィールド値と等しくなります。	7 日間の移動合計の場合、予測期間には 7 つのデータポイントがあります。28 日間の実行合計の場合、28 個のデータポイントがあります。
期間別	選択した期間は、インジケーター頻度であるかのように扱われます。	日次インジケーターに適用される「週別」時間アグリゲートには、予測期間 (四半期全体) ごとに 13 個のデータポイントがあります。この予測期間は、時間集計のない週次インジケーターの場合と同じです。
終了日	期間の長さは、集計のタイムスパンと一致します。期間ごとのデータポイントの数は、この時間スパンとインジケーター頻度の積です。	このセクションの残りの部分を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

頻度が日次であるインジケーターの場合、これまでの集計では、期間ごとに次の数のデータポイントがあります。

現在までの時間アグリゲーションを含む日次インジケーターの期間あたりのデータポイント

週度累計	月度累計	四半期累計	年度累計
7	30	91	365

1 つの例外を除き、非日次頻度のインジケーターは、過去累計の時間集計のうち年度累計のみをサポートします。月次インジケーターは例外です。また、四半期累計の時間集計もサポートされています。四半期累計集計の月次インジケーターには、期間ごとに 3 つのデータポイントがあります。さまざまなインジケーター頻度の予測期間あたりのデータポイントの数と年度累計の集計は次のとおりです。

年初来の時系列集計の予測期間あたりのデータポイントの数

インジケーターの周期	期間、年度累計あたりのデータポイント
日次	365
週次	52
4 週間ごと	13
隔週	26
四半期ごと (会計)	4

関連情報

時系列集計の適用

インジケータースコア予測の表示

クラシック環境では、時系列ウィジェットまたは アナリティクスハブに予測を表示します。構成可能ワークスペースでは、時系列データの可視化またはKPI 詳細で予測を表示します。

時系列ウィジェットに予測を表示するには、ウィジェットフォームの [表示設定] セクションで [予測を表示] を選択します。[予測範囲を表示] を選択すると、予測の 95% 信頼間隔を表示することもできます。詳細については、「時系列ウィジェット」を参照してください。

アナリティクスハブに予測を表示するには、グラフ設定アイコン ( ) をクリックし、[予測] オプションを有効にします。同様に、 KPI 詳細 で **[Chart options]** を開き、[**Forecast]** を有効にします。

時系列データの視覚化で予測を表示するには、[Additional settings (追加設定)] を展開して [**Show forecast** (予測を表示)] をオンにします。その後、予測範囲を表示するオプションがあります。[予測を構成] を開くことで、この特定のデータ可視化のインジケーターの予測構成を上書きできます。

KPI 詳細のインジケーターの予測を表示するには、のチャートオプション KPI 詳細で予測をオンにします。

関連情報

時系列ウィジェットの追加設定

アナリティクスハブ 特定のインジケーターの

時系列可視化のインジケーターデータオプション

でのインジケーターの探索 KPI 詳細

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーター グループの作成

便宜上、関連するインジケーターをインジケーターグループに整理できます。複数のインジケーターを表示する一部の可視化を構成する場合は、個々のインジケーターの代わりにインジケーターグループを指定できます。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
インジケーターグループを作成することで、最も役立つテーマに沿ってインジケーターを整理できます。インジケーターは、同じタイプである必要はなく、インジケーターソースまたはデータコレクタージョブを共有する必要もありません。インジケーターグループを使用すると、次のオブジェクトを設定するときに複数の個別のインジケーターを指定する手間が省けます。

- リストウィジェット
- 相対比較によるチャート化を使用した時系列ウィジェット
- インジケーターに関するメール通知
- セキュリティインシデントアナリティクスツリーマップ

インジケーターグループを作成した後、グループにインジケーターを追加したり、グループから削除したりできます。この変更は、インジケーターグループを使用するすべてのオブジェクトに反映されるため、オブジェクトの構成を編集する必要はありません。

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクスに移行していないアップグレードされたインスタンスを使用している場合は、 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > インジケーター > インジケーターグループ をクリックし、[**New**] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクス に移行した場合は、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > インジケーターグループ をクリックし、[**New**] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. インジケーター グループの [ラベル] を入力します。
4. [Additional actions] メニュー ( ) を開き、[**Save**] をクリックします。
   [インジケーター] 関連リストが表示されます。
5. [インジケーター] 関連リストで [編集] をクリックし、グループにインジケーターを追加します。
6. [保存] をクリックしてインジケーターの追加を終了し、[更新] をクリックしてインジケーターグループレコードを終了します。

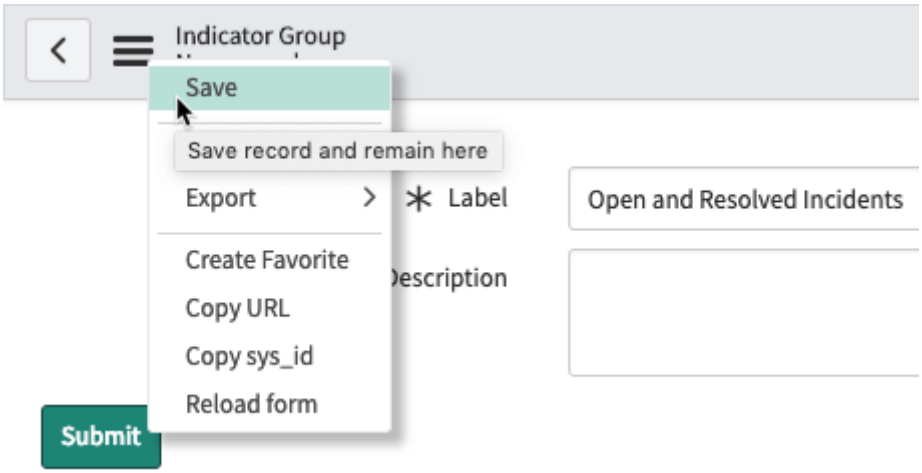
Example: 「オープンインシデントおよび解決済みインシデント」インジケーターグループの作成と使用

この例では、オープンまたは解決済みのインシデントを参照するすべてのインジケーターを含むインジケーターグループを作成します。インシデントはすべて パフォーマンスアナリティクスデモデータに含まれています。インジケーターグループを作成したら、インジケーターグループを使用するリストウィジェットを作成し、そのウィジェットをダッシュボードに追加します。

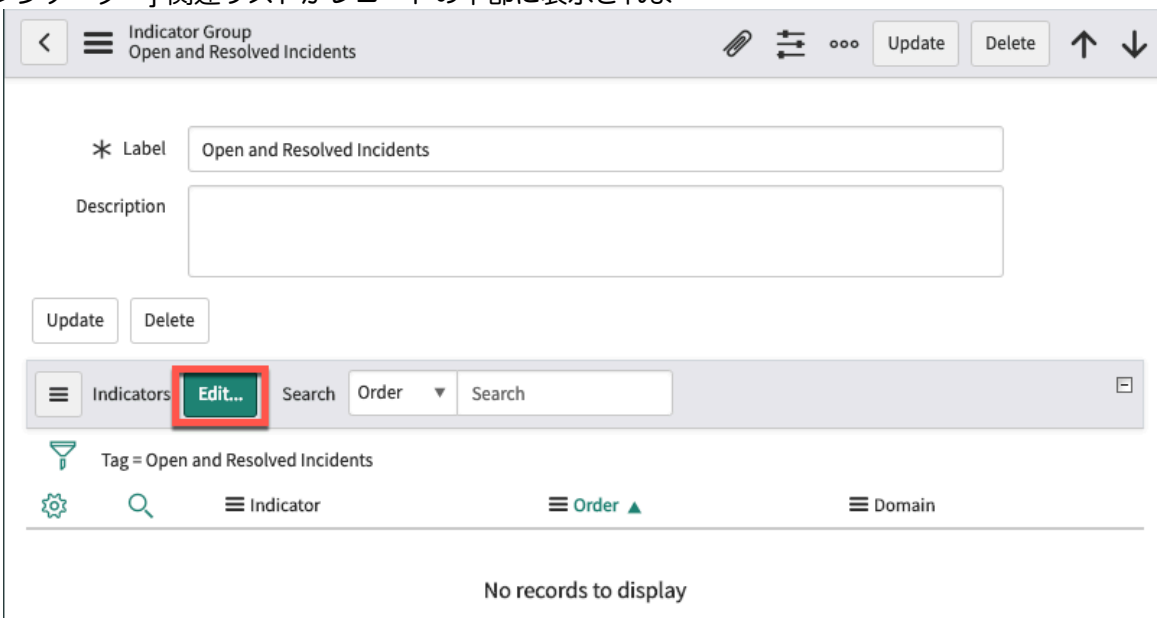
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. まず、 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > インジケーターグループ をクリックし、[**New**] をクリックします。空のインジケーターグループフォームが開きます。
2. インジケーターグループに「 Open and Resolved Incidents」というラベルを付け、[Additional actions] メニューからフォームを保存します。



[インジケーター] 関連リストがレコードの下部に表示されま

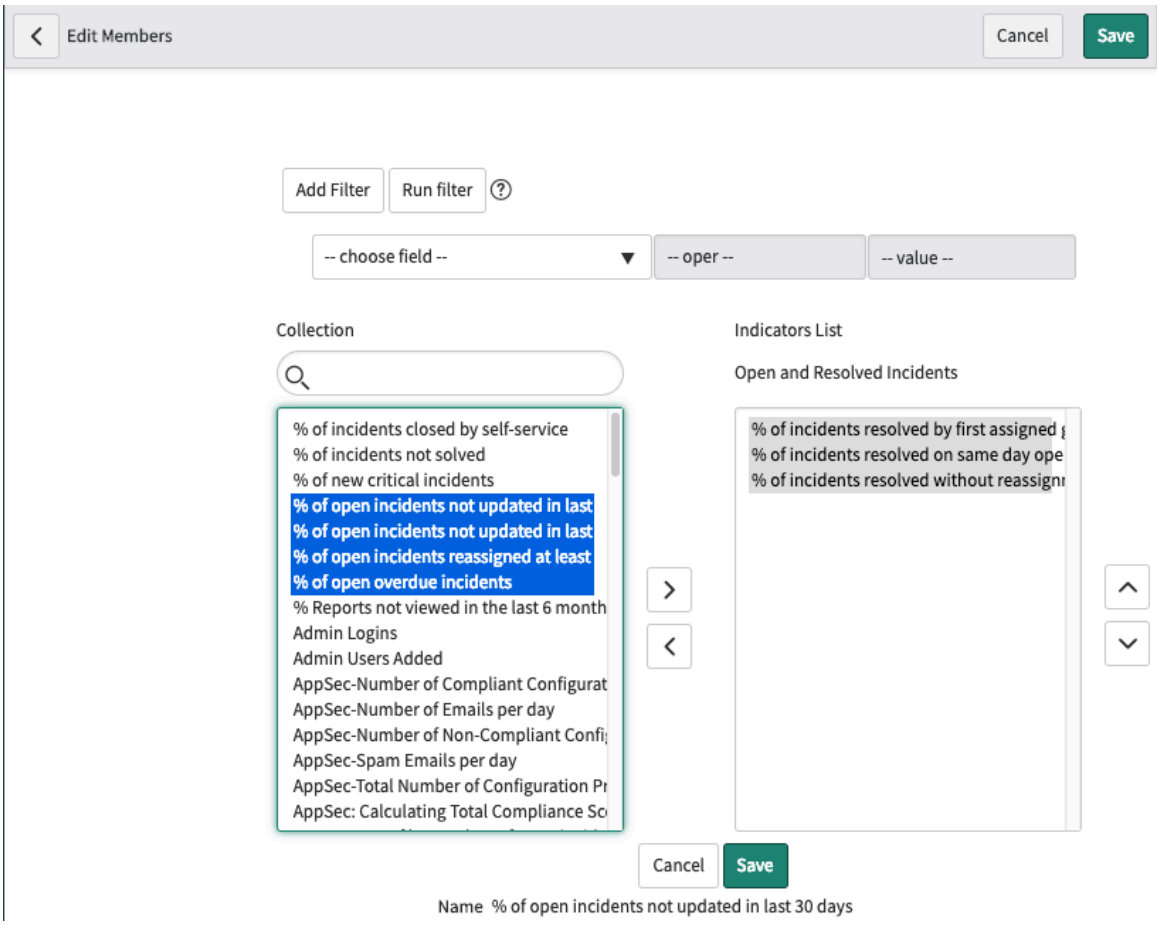


す。

3. 「編集」をクリックすると、「メンバーの編集」ダイアログが開きます。解決済みまたはオープン中のインシデントに関連するすべてのインジケーターをグループ化するには、名前に「解決済み」または「オープン」を含むすべてのインジケーターを追加します。インシデントバックログの増加インジケーターも追加します。

自動翻訳

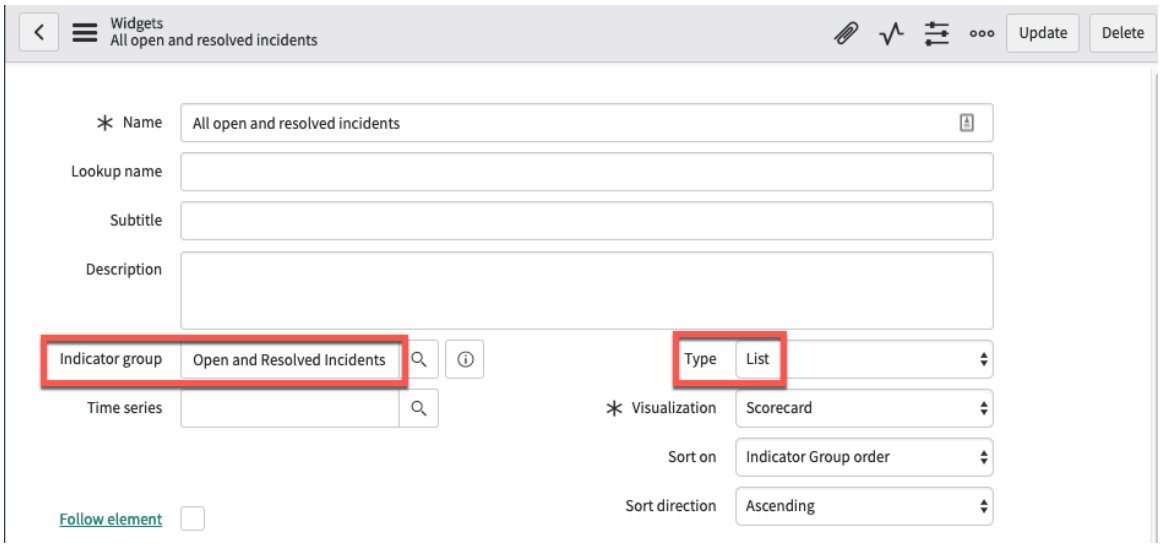
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



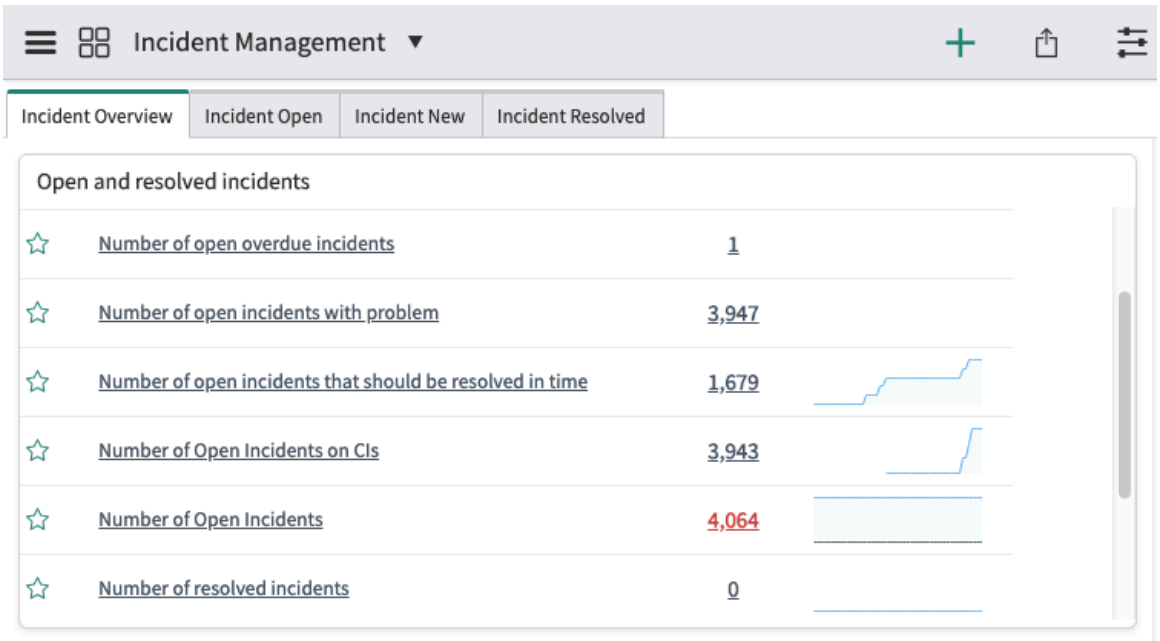
4. インジケーターグループが完了しました。[メンバーの編集] ダイアログで [保存] をクリックし、インジケーターグループレコードで [更新] をクリックします。
5. 次に、 パフォーマンスアナリティクス リストウィジェットを作成し、[Open and Resolved Incidents (オープンインシデント)] および [Resolved Incidents (解決済みインシデント)] インジケーターグループを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. ウィジェットを他のユーザーと共有するには、ウィジェットを [インシデント管理] ダッシュボードに追加しま



す。

関連情報

- リストウィジェット
- 時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成
- インジケーターのメール通知の作成
- ツリーマップカテゴリの作成または更新 (セキュリティインシデントアナリティクス)

インジケーターの丸めと精度

インジケーターは、インジケーター [精度] に応じて、「銀行家の丸め」または数学的な丸めを使用して、結果の小数部を丸めます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10,000 未満のスコア

インジケーターの [精度] が 0 の場合、インジケーターは結果を最も近い偶数の整数に丸めます。たとえば、[精度] が 0 のインジケーターが値 7 + (5 / 2) を計算した場合、結果は 10 に丸められます。ただし、式が 2 + (5 / 2) を計算した場合、インジケーターは結果を 4 に丸めます。

インジケーターの [精度] が 0 より大きい場合、指定された精度に最も近い小数点に丸めます。たとえば、[精度] が 1 のインジケーターは、4.45 の結果を 4.5 に丸めます。

10,000 を超えるスコア

10,000 を超えるインジケータースコアの場合、スコアは四捨五入され、次のように単位の省略形で表示されます。

大きな数字の表示

番号	略称	例: **precision=0**	例: **precision=1**
10,000-999,999	最も近い千、k	13,291 は 13 k と表示	13,291 は 13.3 k として表示
1,000,000-999,999,999	最も近い 100 万、M	17,824,391 は 18 M で表示	17,824,391 は 17.8 M として表示
1,000,000,000	最も近い 10 億、G	2,378,425,321 を 2 G として表示	2,378,425,321 は 2.4 G として表示
1,000,000,000,000	最も近い兆、T	3,456,398,231,094 は 3 T として表示	3,456,398,231,094 は 3.5 T と表示
1,000,000,000,000,000	最も近いクアドリオン、P (ペタの場合)	18,103,456,398,231,094 は 18 P として表示	18,103,456,398,231,094 は 18.1 P と表示
1,000,000,000,000,000,000	最も近いクインティリオン、E(エクサの場合)	7,618,103,456,398,231,094 は 8 E として表示	7,618,103,456,398,231,094 は 7.6 E と表示

注:

- 10,000 未満の数値とは異なり、precision = 0 の場合、大きな数値は最も近い偶数に丸められません。
- 単位の略語は構成できません。

例外

線グラフまたは縦棒グラフにプロットされた Y 軸の値は丸められません。チャート上の値をポイントすると表示されるスコアとツールヒントは、インジケーターの [精度] に基づいて丸められます。

注:
式インジケーターでは、丸めは式の結果にのみ適用されます。式内の値は丸められません。

参照通貨でのインジケータースコア

価格、通貨、または FX 通貨タイプの通貨フィールドの傾向を追跡できます。これらのフィールドのいずれかに基づくインジケーターのスコアは、参照通貨値で収集されます。

これらのスコアを収集するには、インジケーターの単位として [参照通貨を使用] を選択します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ 警告:
インジケーターの設定後にフィールドの参照通貨が変更されると、スコアが正しく収集されなくなります。

場合によっては、標準通貨に換算された金銭的 KPI をユーザーに提供する必要があります。例えば、グローバルプロジェクトマネージャーやCFOが、さまざまなオリジナル通貨でプロジェクトコストを扱っているとします。これらのコストをすべてグローバル企業通貨に変換して、グローバルなトレンドに基づいて意思決定を行えるようにする必要があります。このようなユーザーに必要な KPI を提供するために、参照通貨建てのスコアを収集するように パフォーマンスアナリティクス インジケーターを設定できます。

参照通貨でインジケータースコアを収集するには、次の特性を持つインジケーターを作成します。

- インジケーターは自動インジケーターであり、式や手動インジケーターではありません。
- アグリゲートが [カウント] または [個別のカウント] ではなく、インジケーターが スクリプト化されていない。
- 集計するために選択された フィールドの タイプが、価格、通貨、または FX 通貨である。
- スコアに選択されている 単位 は [参照通貨を使用] です。

このようなインジケーターを作成する完全な手順については、「 自動インジケーターの作成」を参照してください。

注:

- インジケーターで FX 通貨フィールドを使用する前に、通貨アドミニストレーターが設定する必要があります。
- [参照通貨を使用] が選択されている場合、インジケーターフォームで [精度] フィールドは使用できません。代わりに、精度は FX 通貨構成から継承されます。

スコアが収集されたら、 アナリティクスハブ でさらに詳しく調べたり、ウィジェットを通じて共有したりできます。参照通貨の精度と記号は、スコア値、変更値、ターゲット、しきい値、ツールヒントなど、すべての視覚要素で使用されます。

システム参照 通貨参照

パフォーマンスアナリティクスエキスパートは、参照通貨を設定しません。通貨アドミニストレーターロールを持つユーザーがこのタスクを実行します。ただし、参照通貨が Now Platformでどのように機能するかを知りたい場合があります。以下に、リンク付きの簡単な要約を示します。

価格または通貨フィールドの場合、システム参照通貨はローカリゼーションプロパティで設定された `glide.system.locale` の値です。このプロパティが設定されていない場合は、物理的な場所に基づくシステムのデフォルトが使用されます。これらのフィールドの参照通貨の設定の詳細については、「 標準通貨フィールドの設定と運用」 を参照してください。

注:
パフォーマンスアナリティクス インジケーターはセッション通貨値を使用しません。

FX 通貨フィールドの場合、インジケータースコアは次の構成設定の階層に基づいています。

1. フィールドレベルの FX 通貨構成が設定されている場合は、これらが優先されます。設定されていない場合
2. グローバル FX 通貨構成が使用されます。グローバル構成が設定されていない場合
3. `glide.system.locale` の設定が使用されます。このプロパティに値が設定されていない場合...
4. システムのデフォルトが使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FX 通貨フィールドの構成の詳細については、「 FX 通貨フィールドの設定と操作 」を参照してください。

単位の作成

パフォーマンス分析インジケーターのスコアが表示される単位を定義できます。単位は、数値、パーセンテージ、通貨、時間数、または定義したその他のエンティティにすることができます。よく使用される単位は、デフォルトで提供されています。

始める前に

必要なロール：pa_admin または pa_data_collector

> **重要:**
> デフォルトで提供されているユニットは削除しないでください。たとえば、[参照通貨を使用] の単位を削除すると、インジケータースコアを参照通貨で表示できなくなります。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > システム > 単位.
2. [新規] をクリックします。
3. 単位の名前を入力します。

   Example
   たとえば、Gallon と入力します。
4. 単位を書式設定する方法を指定します。

   Example
   たとえば、{0}Gal とすると、略語 Gal でガロン数が表現されます。通貨の場合、${0} のように数値の前に単位記号を置くことができます。
5. [送信] をクリックします。
   単位は、自動、手動、および式インジケーターで使用できます。

インジケーターからの時系列の除外

時系列集計の中には、インジケーターに適用するのに不適切なものがあります。自動、数式、および手動インジケーターでは時系列を除外できます。除外された時系列は、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、またはウィジェットから選択できません。他の時系列は選択可能なままになります。

インジケーターから時系列を除外するには、インジケーターフォームの [時系列の除外] 関連リストで時系列を選択します。

時系列を除外するユースケースの 1 つは、インジケーター集計と時系列集計の間の論理関係です。たとえば、それ自体が平均であるインジケーターの SUM または AVG を取る時系列集計を許可したくない場合があります。

インジケーターアグリゲーションに基づく時系列除外の可能性

インジケーターアグリゲート	時系列を除外することを検討してください。
Average (平均)	すべての合計、平均すべての部分ピリオド (+)。
合計	すべての合計
最低	すべての合計
最大	すべての合計

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーターの単位タイプに基づいて時系列を除外することもできます。たとえば、スコアがパーセンテージ値であるインジケーターがある場合、これらのパーセンテージの SUM を表示しない場合があります。同様に、日単位、週単位、月単位、四半期単位、または年単位で測定されるインジケーターの時系列集計は、あまり意味をなさない場合があります。

最後のポイントとして、インジケーターの主題を検討します。一部の時系列集計は、定性的な理由によりインジケーターに適していない場合があります。

インジケーターへのアクセスの制御

特定のインジケーターに対して、どのユーザー ロールにアクセス権を付与するかを制御できます。インジケーターへのアクセスは、インジケーター レコードによって規制されます。

始める前に

必要なロール：pa_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > インジケーター (自動) または該当する場合は、 手動インジケーター または 式インジケーター に。
2. インジケーター レコードを選択します。
3. [アクセス制御] の選択で [全てのロールに公開] チェック ボックスをクリアします。
4. インジケーターへのアクセス権を付与する [ロール] を選択します。
5. [更新] をクリックします。

関連情報

ブレークダウン要素を表示する機能を制御する

レスポンシブ ダッシュボードの共有

インジケーターのメール通知の作成

パフォーマンス分析では、1 つ以上のインジケーターのスコア、変化率、ターゲット、およびスコアとターゲットのギャップ % を含むメールを自動的に生成できます。

始める前に

サマリー メールを使用する前に、メール通知を有効にして構成します。

必要なロール：pa_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 自動化 > サマリー メールの設定.
2. [新規] をクリックします。
3. サマリー メールの [名前] と [説明] を入力します。
4. [アクティブ] チェック ボックスをオンにすると、サマリー メールを作成する、スケジュール設定済みジョブが実行されます。
5. ジョブをいつ実行するかを選択します。
   - 日次
   - 週次
   - 月次
   - 定期的

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 1 回
- オンデマンド

6. 時、分、秒を変更してジョブを実行する時間を設定します (24 時間表記を使用)。
   デフォルトでは、ジョブは深夜に実行されます。
7. サマリーに含めるインジケーターを動的または手動で選択します。

   動的

   [条件別] チェック ボックスをオンにします。条件ビルダーを使用して、サマリー メールに含まれるインジケーターを決定する条件を定義します。たとえば、条件を [Key] [is] [true] に設定することで、すべてのキーインジケーターを選択できます。

   手動

   [条件別] チェック ボックスをオフにします。[スケジュール済みメールのサマリー] フォームを保存した後、[インジケーター] 関連リストでサマリーに含めるインジケーターを個別に選択します。

8. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   関連リストが利用可能になります。
9. [ユーザー] 関連リストで任意の数のユーザーを選択します。
10. インジケーターを手動で選択する場合は、[インジケーター] 関連リストでインジケーターを選択します。

タスクの結果

サマリー メール ジョブは、設定したスケジュールに基づいて実行されます。[今すぐ実行] をクリックして、ジョブを手動で実行することもできます。

関連情報

メール通知/SMS 通知

インジケーターのエクスポートと配布のスケジュール設定

インジケーターにスケジュールを設定し、配布を自動化します。

始める前に

この機能を使用するには、パフォーマンスアナリティクス のライセンス バージョンが必要です。

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > スケジュール設定済みインジケーター 新しいレコードを作成します

[スケジュール設定済みインジケーター] のフィールド

フィールド	説明
インジケーター	エクスポートするインジケーターを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウン	ブレークダウンを選択して、インジケーターのスコアをフィルタします。
要素	ブレークダウンを選択した場合は、ブレークダウン要素を選択し、その要素に関連付けられたスコアのみを表示します。
チャート	このチェックボックスを選択すると、PDF にスコアのチャート化を含めることができます。可視化は、インジケーター アナリティクスハブに表示されるものと同じです。
ブレークダウン	このチェックボックスを選択すると、PDF の下部の各テーブルにブレークダウンおよびブレークダウン要素のスコアを含めることができます。[ブレークダウン] および [要素] を選択した場合、PDF の下部に表示されるブレークダウンは第 2 レベルのブレークダウンになります。
ユーザー	インジケーターを受け取るユーザー。 インジケーターを受信するには、ユーザーにメール アドレスが定義されていてユーザー レコードの [通知] が [有効化] に設定されている必要があります。
グループ	インジケーターを受け取るグループ。
メール アドレス	インジケーターを受け取るが、システムにないユーザーのメール アドレス。
アクティブ	インジケーターのスケジューリングを有効 (選択) または無効 (クリア) にするチェックボックス。
実行	インジケーターをエクスポートする頻度。
時刻	インジケーターをエクスポートする時刻。
条件節	[条件節] フィールドを表示 (選択) するか、または非表示にする (クリア) チェック ボックス。このフィールドでは、インジケーターがエクスポートされる条件を指定できます。
条件	インジケーターをエクスポートする前に特定の条件が満たされているかどうかをチェックするユーザー作成のスクリプト。 このフィールドは、[条件節] が選択されている場合にのみ表示されます。
件名	配布メールの件名に表示されるテキスト。
導入メッセージ	インジケーターとともに提供される追加メッセージ。
一緒に含める	追加で送信するスケジュールされたインジケーター。
向き	横向きまたは縦向きで、ページの向きを選択します。
ZIP 出力	インジケーターを ZIP ファイルとして送信するには、このチェック ボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動インジケーターをベンチマークにリンクする

インジケーターを ITSM および ITOM ベンチマークと比較できるようにするには、自動インジケーターを対応するベンチマーク KPI にリンクします。ベンチマーク KPI は 1 つのインジケーターにのみリンクできます。リンクされたインジケーターを アナリティクスハブで比較できます。

始める前に
ServiceNow® ベンチマーク アプリケーションにオプトインする必要があります。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

注:
sn_bm_client.benchmark_admin ロールを持っている場合は、ベンチマーク セットアップインターフェイスを使用してパフォーマンスアナリティクスインジケーターをベンチマークインジケーターにリンクできます。そのインターフェイスを介してインジケーターをリンクする手順については、「 ベンチマーク KPI のリンクまたはカスタマイズ 」を参照してください。

このタスクについて
ベンチマーキングと パフォーマンスアナリティクス を併用することで、企業の ITSM と ITOM を業界標準に照らして測定しながら、すべての重要な測定基準の改善を促進できます。詳細については、「 ベンチマーク 」を参照してください。

手順

1. 自動インジケーターのリストまたは式インジケーターのリストで、どのベンチマークインジケーターを他のどのインジケーターにリンクするかを特定します。
   ベンチマークインジケーターの名前は 、「ベンチマーク」という単語で始まります。
2. ベンチマークインジケーターとリンクされたインジケーターが互換性を持って設定されていることを確認します。
   具体的には、次のプロパティが両方のインジケーターで一致していることを確認します。
   - インジケーターソース
   - Unit (単位)
   - 計算式 (式インジケーター用)

   警告:
   プラットフォームアナリティクスソリューションのインジケーターは、一致するベンチマークインジケーターと同じようには構成されていません。
3. ベンチマークインジケーターレコードを開きます。
4. [インジケーターのプロパティ] の [リンクされたインジケーター] フィールドで、ベンチマークにリンクする自動インジケーターを選択します。

   注:
   - パフォーマンスアナリティクスの自動インジケーターと式インジケーターの完全なリストを表示するには、パフォーマンスアナリティクスのフルライセンスバージョンをアクティブ化する必要があります。
   - [リンクされたインジケーター] フィールドを編集するには、レコードの上部で作業しているスコープ対象のアプリケーションを変更する必要がある場合があります。
   - ベンチマークインジケーターの名前とリンクするインジケーターが一致しない可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ベンチマーク KPI レコードを更新した後、自動インジケーターのアナリティクスハブの [比較] タブでベンチマーク KPI と自動インジケーターを比較できます。詳細と例については、「 スコアを比較」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン

故障 を使用して、優先度、カテゴリ、アサイン先グループなどの定性的属性別にインジケータースコアをグループ化またはフィルタリングすることができます。ブレークダウンは、 アナリティクスハブ、KPI 詳細、およびダッシュボードに適用できます。

各ブレークダウンの値は、ブレークダウン要素と呼ばれます。たとえば、優先度ブレークダウンに [重大]、 [高]、 [低] の要素があるとします。ブレークダウンは、これらの要素の発生元により、自動、手動、または外部に分類されます。自動ブレークダウンの要素は、ブレークダウンソースで指定されます。手動ブレークダウンには、組織を定義するために手動入力された要素があります。最後に、外部ブレークダウンでは、ブレークダウン要素を取得するための JDBC データ ソースと SQL ステートメントを指定します。

例えば、[アサイン先グループ別] の [未解決の変更の数] を確認することができます。または、[優先度別] の [新規変更の数] を表示できます。

ウィザードからブレークダウンを作成する

ブレークダウン、ブレークダウン ソース、およびブレークダウンマッピングを作成し、ブレークダウンをインジケーターに関連付けます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_data_collector、または admin

> **注:**
> pa_power_user ロールしかないユーザーは、ブレークダウン ソースを作成できません。

このタスクについて
既存のインジケーターに基づいて、単純なブレークダウンを作成します。複雑なフィルタを使用してデータ セットを制限するなど、より高度なブレークダウンやブレークダウン ソースを作成するには、ブレークダウンやブレークダウンのソース レコードを直接作成または更新します。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ブレークダウン > 新規作成.
2. ブレークダウンを作成するインジケーターを選択します。
   [テーブル] フィールドは、インジケーター ソース テーブルに基づいて自動的に入力されます。[インジケーターへのリンク] タブの同じソース テーブルを使用し、新しいブレークダウンを他のインジケーターに適用することができます。
3. どのフィールドに基づいてブレークダウンを作成するかを選択します。
   ブレークダウンでは、このフィールドの値をブレークダウン要素として使用し、各レコードのこのフィールドの値に基づいて収集されたデータに基づいてブレークダウンを作成します。
4. [次へ] をクリックします。
   [ブレークダウンを定義] タブには、指定したインジケーター、テーブル、およびフィールドのブレークダウン、ブレークダウン ソース、またはブレークダウンマッピングが存在するかどうかによって異なるデータが表示されます。
5. 次のいずれかの操作を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
ブレークダウン、ブレークダウン ソース、およびマッピングを作成する	指定したテーブルにブレークダウンまたはブレークダウン ソースが存在しない場合は、新しいブレークダウンの名前を入力します。選択したテーブルおよびフィールドのブレークダウン ソースおよびマッピングは、自動的に作成されます。[フィルタを表示して調整する] をクリックし、ブレークダウン ソースに含まれるデータをフィルタします。
既存のブレークダウン ソースを使用してマッピングを作成する	指定したテーブルに少なくとも 1 つのブレークダウン ソースが存在し、ソースを使用する 1 つ以上のブレークダウンがある場合は、マッピングを作成するブレークダウンを選択します。 選択したソースを持つブレークダウンとインジケーター テーブルの親のフィールドとの間にマッピングが存在する場合は、マッピングを作成する既存のブレークダウンを選択するだけしかできません。そのような親テーブルのマッピングが存在しない場合は、既存のブレークダウンを選択するか、新しいブレークダウンを作成することができます。
既存のレコードを確認する	指定したテーブルのブレークダウンおよびブレークダウン ソースが存在し、指定したブレークダウンおよびフィールドのブレークダウン マッピングが存在する場合は、設定を確認します。何も変更する必要はありません。

6. [次へ] をクリックします。
7. [インジケーターへのリンク] タブで、ブレークダウンを適用する追加のインジケーターを選択します。
   最初に選択したインジケーターと同じソース テーブルを持つ他のインジケーターにブレークダウンを適用できます。ブレークダウンが既にインジケーターに適用されている場合、そのインジケーターは表示されません。
8. [次へ] をクリックします。
9. [データコレクション] タブで、過去何日分のブレークダウンされたスコアおよびスナップショットを収集するかを選択します。または、[過去のデータを収集します] をクリアします。
10. [次へ] をクリックします。
11. 設定を確認し、正しいレコードが作成されたことを確認してから、[適用] をクリックします。
    作成後、各レコードの横にチェック マークが表示されます。すべてのレコードが作成されると、[別のブレークダウンを作成] ボタンが表示されます。

ブレークダウンソース

ブレークダウン ソース ブレークダウンに含まれる一意の値 (ブレークダウン要素) を指定します。

ブレークダウンソースは、テーブルやデータベースビューからのレコードのセット、またはバケットグループとして定義されています。複数のブレークダウンで同じブレークダウン ソースを使用できます。たとえば、[未解決の変更の数] インジケーターにすべてのアサイン先グループを表示する代わりに、ブレークダウンソースを構成することで、変更プロセスの一部であるグループのみに要素リストを制限することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウン ソースの定義

ブレークダウンのデータ ソースとして機能するファクト テーブルを指定します。条件を適用して、このブレークダウンソースの要素を指定します。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector、pa_admin、または admin。ブレークダウン ソースの作成者には、インジケーター ソースが使用するテーブルおよび参照列へのアクセス権が必要です。

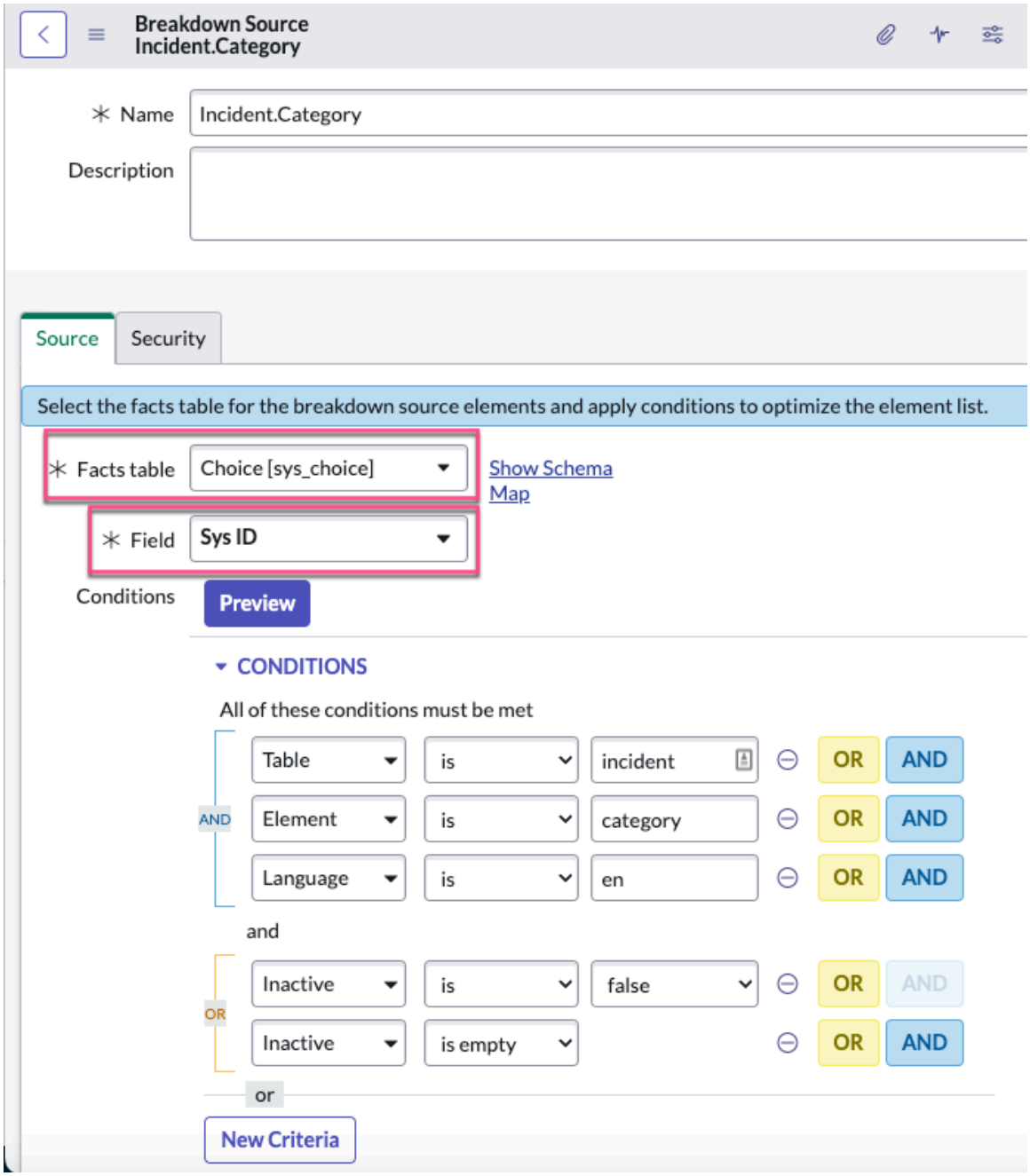
このタスクについて

レコードごとに一意の値があるフィールドを持ったファクト テーブルを常に使用します (通常は、**Sys ID**)。たとえば、Incident.Category ブレークダウン ソースは、[選択肢] テーブルから要素を取得します。その要素は、**[Sys ID]** フィールドによって特定されます。ブレークダウン ソースは、[インシデント] テーブル上に存在し、英語で、非アクティブでないものに、選択肢を絞り込みます。

ヒント:
この例のように、ファクト テーブルに選択肢 [sys_choice] を使用する場合は、[テーブル]、[要素]、および [言語] フィールドに条件を設定します。非アクティブなレコードも除外します。

自動翻訳

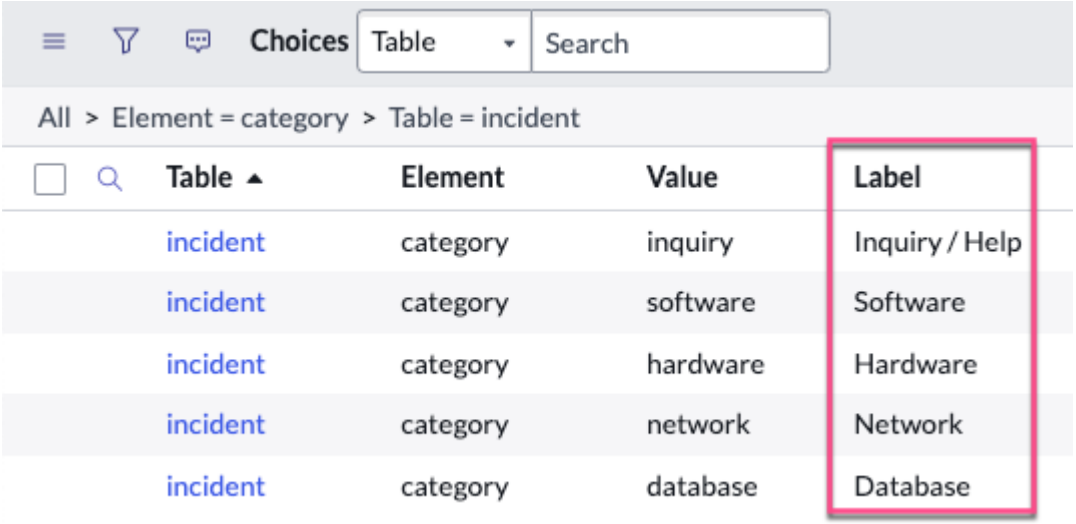
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ブレークダウン ソースは、選択肢テーブルの次のレコードを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
[選択肢] テーブルには、すべてのテーブルからの可能な選択肢がすべて含まれています。そのため、[テーブル] 列と [要素] 列があります。ブレークダウン ソースに使用するその他のファクト テーブルは、ほとんどが単純です。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ブレークダウンソース をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. ブレークダウン ソースにわかりやすい名前を付けます。
3. 他のユーザーがこのブレークダウンソースの使用法と目的を理解し、重複を作成しないように、詳細な 説明 を追加します。
4. ファクトテーブルでは、ブレークダウン ソースが要素を取得するテーブルを選択します。
たとえば、ブレークダウン ソースでユーザー グループを要素として指定するには、グループ **[sys_user_group]** を選択します。

   警告:
   データの収集を開始した後は、ソースのファクトテーブルを変更しないでください。ファクトテーブルを変更すると、次のスコア収集時に関連するインジケーターのすべての履歴スコアが失われます。

5. [フィールド] テーブルで、各レコードの一意の値を含むフィールドを選択します。
このフィールドは通常、**[Sys ID]** です。
6. 不要な要素を除外するための 条件 を設定します。
選択肢 [sys_choice] をファクト テーブルとして設定する場合は、常にテーブル、要素、および言語でフィルター処理し、非アクティブなレコードを除外します。例：

   [テーブル] [次の値に等しい **(=)**] [インシデント] および

   [要素] [次の値に等しい **(=)**] [カテゴリ] および

   [言語] [次の値に等しい **(=)**] **[en]** および

   [無効] [次の値に等しい **(=)**] **[false]** または

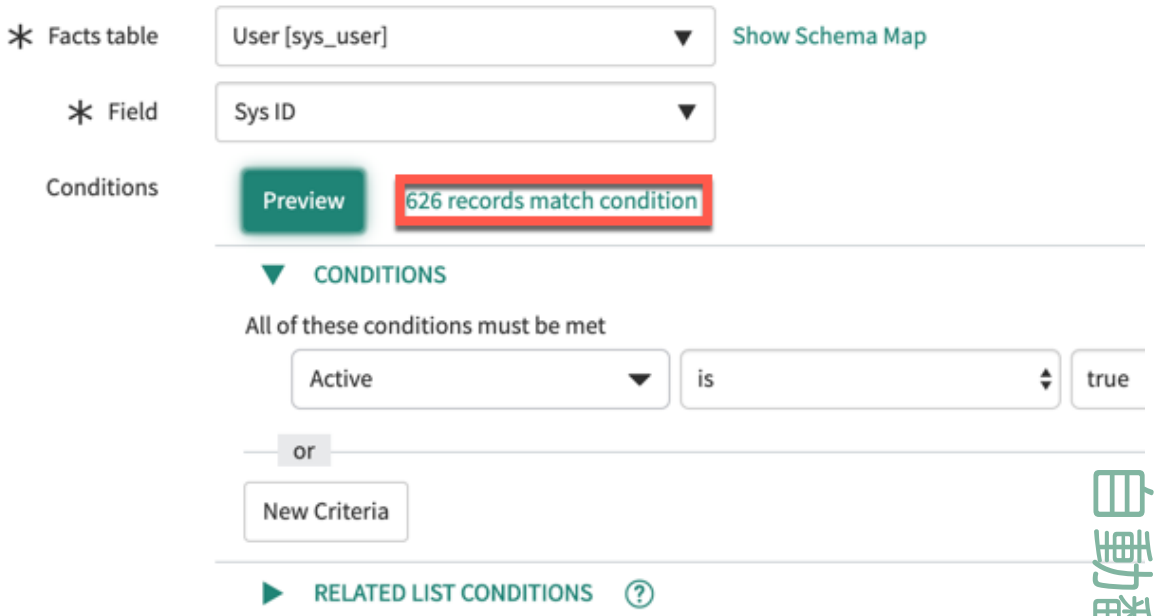
   [非アクティブ] [次の値に等しい **(=)**] [空]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 選択した条件に一致するレコードの数を確認するには、[プレビュー] をクリックします。
8. オプション: 関連 リスト条件 を定義して、別のテーブルとの関係をフィルターに含めます。
   詳細については、「 関連リスト条件の追加 」を参照してください。

   Example
   たとえば、構成アイテム (CI) マネージャーのブレークダウンソースを考えてみましょう。ファクト テーブルはユーザー [sys_user] ですが、このテーブルから適用できる唯一の条件は、アクティブなユーザーをフィルター処理することです。テーブルのどのフィールドも、CI マネージャーであるユーザーのみを選択できません。何百もの結果が得られます。

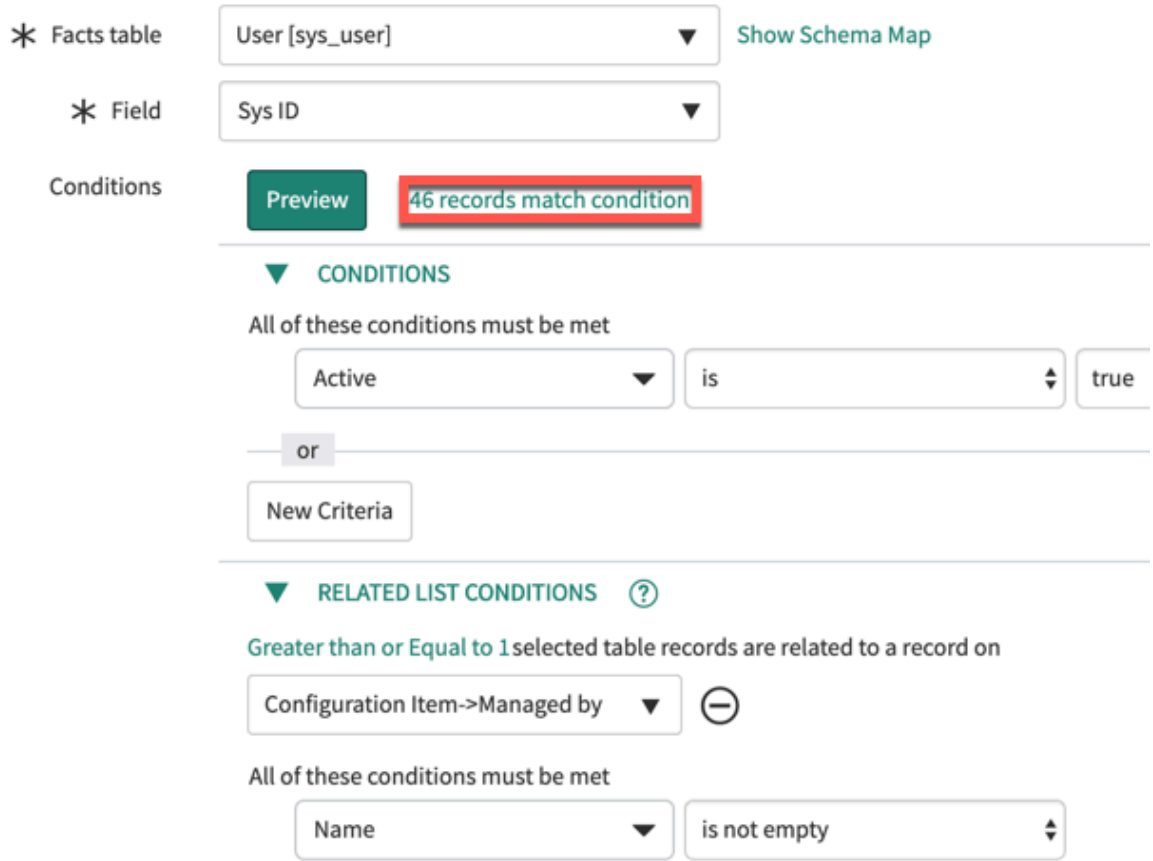


   (Optional)

   ユーザーレコードの名前が構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの [管理担当者] 列の少なくとも 1 つのエントリーと一致する必要があるという条件を追加すると、ブレークダウンソースは CI マネージャーであるユーザーのみを返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: [不一致のラベル **(Label for unmatched)]** に、インジケーターソースレコードのマッピングされたフィールドの値がブレークダウンソースのどの要素とも一致しない場合に使用するカスタムラベルを記述します。
デフォルトのラベルは、[不一致] です。

   Example
   Incident.Category ブレークダウン ソースは、Choices [sys_choices] テーブルのレコードを参照し、Table フィールドの値は incident で、Element フィールドの値は category です。カテゴリ ブレークダウンには、Incident.Category ブレークダウン ソースからインシデント [incident] テーブルのカテゴリ フィールドへのマッピングが含まれています。インシデントレコードの [カテゴリ] フィールドに null 値がある場合、このレコードにカテゴリブレークダウンを適用したときの値はデフォルトで [不一致] になります。

10. [セキュリティ] タブで、要素のセキュリティリストに基づいて、ブレークダウン ソースの要素をロール別に除外するか、または含めるかを設定します。
詳細については、「要素のセキュリティ リストの定義」を参照してください。

次のタスク
このブレークダウンソースを使用するブレークダウンを作成します。[ブレークダウン] タブを開いて [新規] をクリックします。「自動ブレークダウンの作成」で説明したように、[ブレークダウン] フォームが開きます。このソースを使用するブレークダウンを作成すると、これらのブレークダウンが [ブレークダウン] タブに一覧表示されます。

ブレークダウンソースのバケットグループ

バケット グループ たとえば、値の範囲を個別のバケットにグループ化することで、データを分類してブレークダウンとして使用できるようにするために使用されます。

データアーキテクチャでは、バケットグループはバケットグループ [pa_bucket_groups] レコードで、バケットはバケット [pa_buckets] レコードで定義されます。各バケット [pa_buckets] レコー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ドには、バケット グループ [pa_bucket_groups] レコードへの参照であるバケットグループフィールドが含まれています。

バケットグループを操作するには、バケット [pa_buckets] をファクトテーブルとして使用し、条件でバケットグループを指定するブレークダウンソースを作成します。このソースに基づいて構築されたブレークダウンがスクリプトを含むブレークダウンマッピングを使用する場合、ブレークダウンはスクリプトが返す値をバケットにグループ化します。ブレークダウンマッピングでスクリプトを使用する代わりにフィールドを指定すると、ブレークダウンはマッピングされたフィールドの値をバケットにグループ化します。

関連情報

ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成

バケットへのフィールド値のグループ化

スクリプトを使用しないブレークダウンマッピングでバケット グループを使用して、マップされたフィールドの値をバケットにグループ化できます。

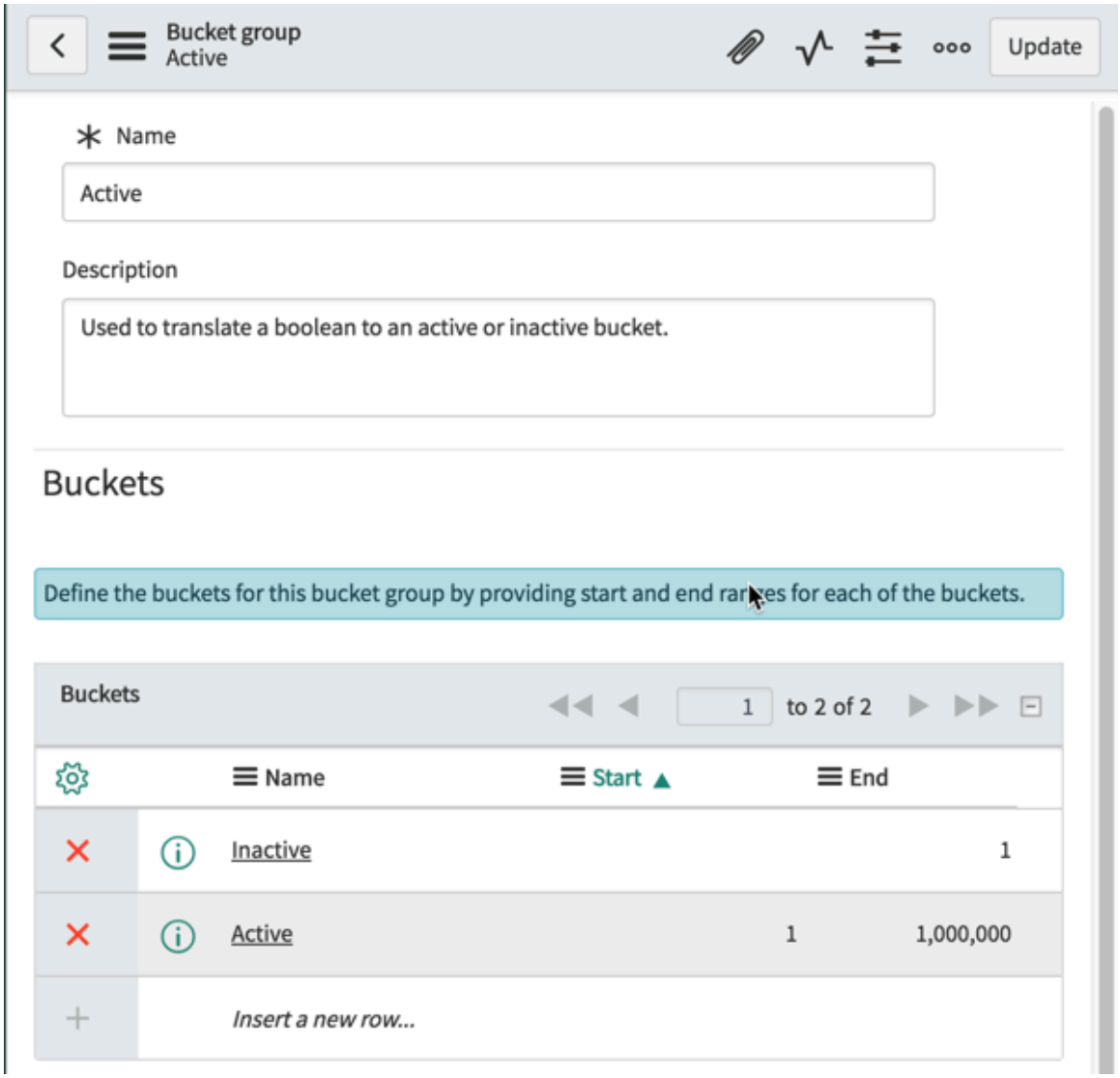
ユースケースは、ブール値の `true` 値と `false` 値を意味のあるラベルを持つ 2 つのバケットに変換するのと同じくらい簡単です。

Example: ブール値をバケットにソートする

ベース パフォーマンスアナリティクス インストールには、アナリティクス使用状況の概要の一部として [アクティブ] ブレークダウンが含まれています。このブレークダウンでは、ジョブ履歴 [pa_jobs_logs] テーブルの job.active ブールフィールドへのマッピングを使用します。ブレークダウン ソースはバケット グループを使用し、job.active の `true` 値は [アクティブ] バケットにソートされ、 `false` 値は [非アクティブ] バケットにソートされます。`false` の値は数値的に 1 未満の値と見なされ、true の値は数値的に 1 以上であることに注意してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

スクリプトの結果をバケットにグループ化する

ある範囲の値を収集するブレークダウンマッピングスクリプトがある場合は、バケットグループを定義してそれらの値を個別のバケットに分割できます。

バケット グループを作成したら、バケット グループに基づいてブレークダウン ソースを作成します。次に、そのブレークダウン ソースを使用するブレークダウンを作成します。ブレークダウンのブレークダウンマッピングを作成するときは、マッピングのスクリプトを定義または選択します。ブレークダウンは、スクリプトが返す結果をバケットグループのバケットにグループ化します。例については、「例：スクリプト マッピング」を参照してください。

既存のスクリプトのバケット グループを書き込むこともできますし、最初にバケット グループを書き込んでからスクリプトを書き込むこともできます。ブレークダウンを作成するには、両方が存在する必要があります。

注:
同じスクリプトを任意の数のバケット グループで使用できます。また、原則として、同じ種類のデータを返すスクリプトは、同じバケット グループで使用できます。

バケット グループの作成

データを再分類するバケットのグループを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 移動先 すべて > ブレークダウン > バケットグループ.
2. [新規] をクリックします。
3. バケット グループを明確に特定する名前 (経過範囲（日数） など) を入力します。
4. [新規行を挿入] をダブルクリックし、新しいバケットを追加します。
5. 最初のバケットに名前を入力し、Enter キーを押すか、緑のチェック アイコンをクリックします。
6. [開始] および [終了] 列をダブルクリックし、開始値と終了値を入力します。
   終了値に一致するレコードはバケットから除外されます。したがって、1 つのバケットの終了値と次のバケットの開始値を同じに設定します。その値と完全に一致するレコードは、その値を開始値として持つバケットにソートされます。

   ⚠ 警告:
   あるバケットの終了値が次のバケットの開始値と一致しない場合、レコードがどのバケットにもソートされない「穴」ができあがります。たとえば、20 で終了し、次のバケットが 21 から始まるバケットがある場合、スクリプトが 20.0000~ ～ 20.9999~ の値を返すレコードは、どのバケットにもソートされません。

7. すべてのバケット範囲を定義した後、[送信] をクリックします。

Example: [インシデント経過時間範囲] バケット グループ

次のように、インシデントを経過時間別にグループ化する場合を考えてみましょう。

- 1 日未満
- 1 – 5 日
- 6–30 日
- 31 – 90 日
- 90 日を超える

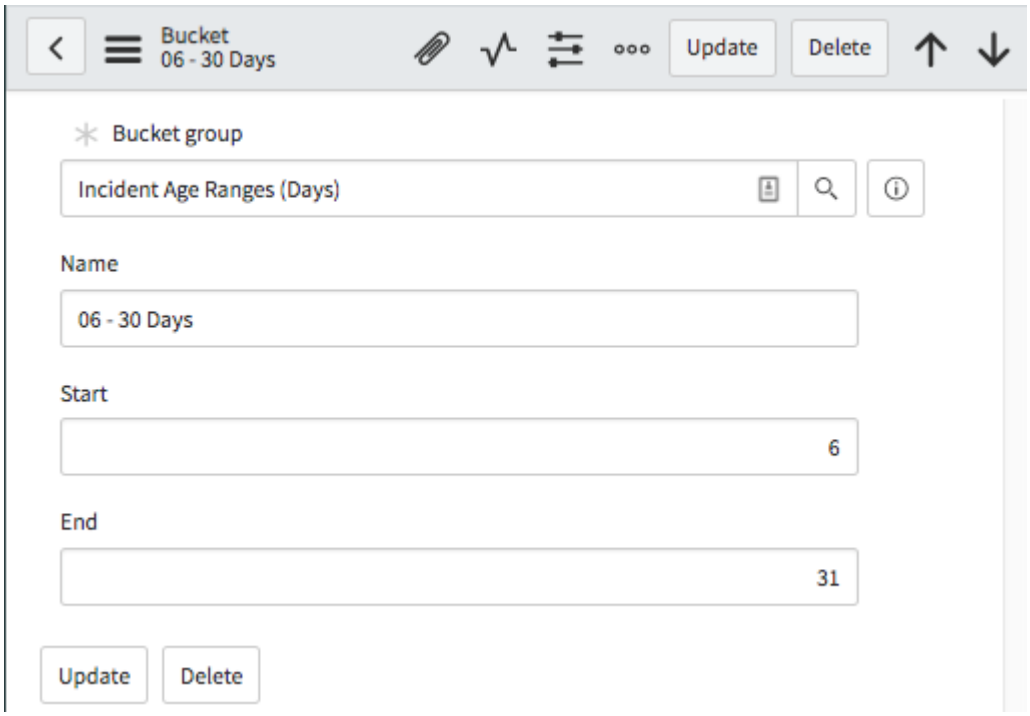
受信 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > スクリプトには、Incident.Age.Days という名前のスクリプトが既にあります。このスクリプトは、インシデントの開始日からスコアが収集された最新の日付までの経過時間 (日数) を導出します。

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

Incident Age Ranges (Days) という名前の新しいバケット グループを作成します。このバケットグループでは、目的の日付に開始し、次のバケットの先頭で終了するバケットのセットを定義します。たとえば、06 ～ 30 日のバケットは 6 で開始し、31 で終了します。

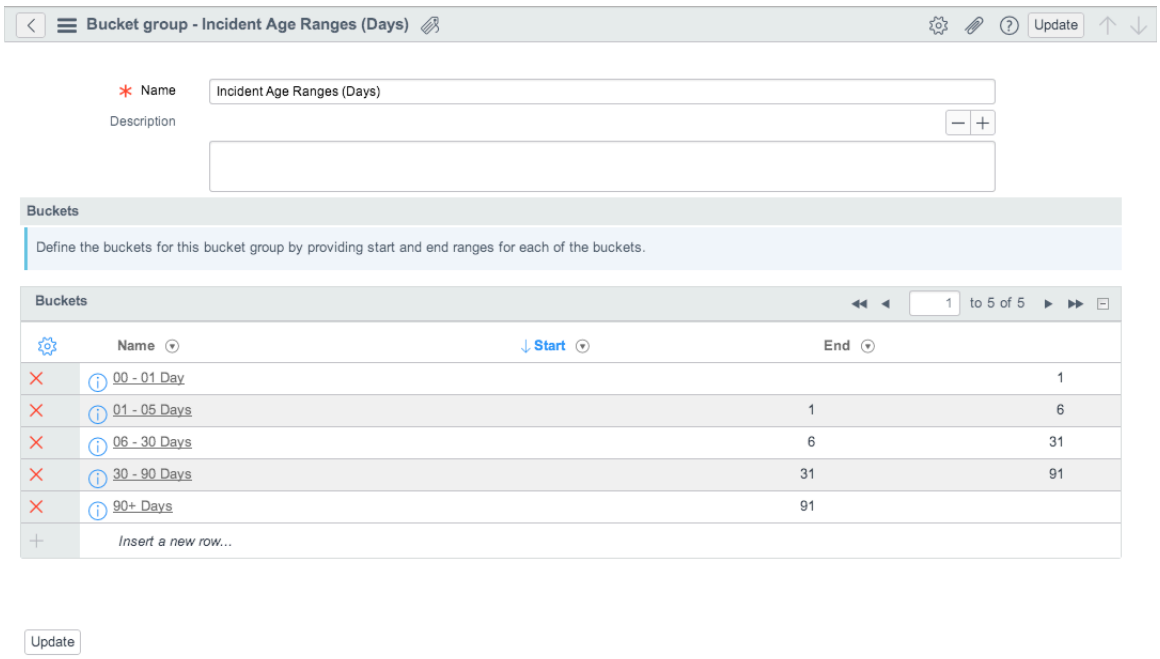
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



このバケットには、経過時間が正確に 6 日から 30 日と 23 時間 59 分 59 秒までのインシデントが含まれます。

最終的に、インシデントを分割する経過時間範囲に対応する 5 つのバケットを含むバケット グループが作成されます。



スクリプトマッピングの例は、このバケットグループとスクリプトを使用するブレークダウンを示しています。

次のタスク
バケット [pa_buckets] ファクト テーブル、[Sys ID] フィールド、および条件 [バケット グループ] [Is][<作成したバケット グループの名前>] を使用するブレークダウン ソースを作成します。次に、このブレークダウン ソースを使用し、ブレークダウンマッピングに関連するスクリプトを使用するブレークダウンを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

例：スクリプト マッピング

スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

自動ブレークダウン

自動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースを使用して選択可能な要素を決定します。

自動ブレークダウンは、テーブルの一連のレコードであるブレークダウン ソースに基づいています。ブレークダウンは、ブレークダウン要素と呼ばれるこれらのレコードを、インジケーターがスコアを収集するテーブルのフィールドとともにマッピングします。マッピングされたテーブルから収集したスコアは、マッピングされたフィールドやブレークダウン要素の値に基づいてグループ化、フィルタリングされます。

たとえば、[グループ] のブレークダウン ソースは、このグループの [sys_user_groups] テーブルからのレコードを含み、デフォルトで使用できます。このブレークダウン ソースはフィルタ [アクティブ] [次の値に等しい **(=)] [true]** を指定し、要素としてアクティブになっているグループのみを含みます。このブレークダウン ソースは、インシデントの [アサイン先グループ] フィールドなど、[グループ] テーブルを参照する他のテーブルのフィールドにマップできます。マップされたテーブルから収集されるスコアは、そのフィールドの値に基づいてグループ化されます。ハードウェア グループにアサインされたインシデントのスコアのみを表示するなど、ブレークダウンと要素を選択することで、 アナリティクスハブ やダッシュボードのスコアをフィルタリングできます。

自動ブレークダウンの作成

自動ブレークダウンを作成するには、そのブレークダウン ソースを選択し、アクセス制限を適用します。次に、インジケーター ソースのどのフィールドがブレークダウン ソースを参照しているかをマップします。最後に、インジケーターをブレークダウンに割り当てます。

始める前に

ブレークダウン全般、また特に自動ブレークダウンについて、その定義と使用方法を理解してください。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

自動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースを使用して選択可能な要素を決定します。 既存のブレークダウン ソースを使用することも、新しいブレークダウン ソースを定義することもできます。

> **注:**
> このプロセスにより、完全にカスタマイズされたブレークダウンを作成することができます。簡単な自動ブレークダウンを作成するには、「ウィザードからブレークダウンを作成する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 自動ブレークダウンをクリックし、[**New**] をクリックします。
2. わかりやすい名前を付けます。
   ブレークダウンの名前は、ブレークダウンマッピングで使用されているフィールドのラベルに基づいていることがよくあります。
3. [自動] タブで、[ブレークダウンソース] を選択します。
4. オプション: [デフォルトフィルタ] を選択します。
   要素フィルタを使用して、ユーザーが表示できる要素を制限します。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: [アクセス制御] タブで、ブレークダウンを表示できるユーザーを設定します。
これらの制限は、ブレークダウンのリストでのブレークダウンの表示、 アナリティクスハブ またはダッシュボードでのブレークダウンの表示、またはウィジェットの作成時のブレークダウンの使用など、すべての場合に適用されます。

次のタスク
ブレークダウンマッピングを作成し、インジケーターをブレークダウンに関連付けます。これは、グラフィックツールを使用してインジケーターから行うことができます (ブレークダウンのアサインとマップを参照)。

ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成

インジケーター ソースのどのフィールドがブレークダウン ソースを参照しているかを指定します。適切なフィールドがない場合は、インジケーター ソースをクエリするためのスクリプトを指定します。

始める前に
マッピングを作成する前に、ブレークダウン ソースをブレークダウンに割り当てます。

必要なロール:ブレークダウンを作成する場合と同じです。

このタスクについて
同じブレークダウンに対して複数のマッピングを作成し、複数のインジケーターにそのブレークダウンを使用できます。

> **注:**
> このページの手順では、ブレークダウン フォームの関連リストを使用しています。代わりに、インジケーター フォームからアクセスするグラフィカル ツールも使用できます。「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

手順
1. 既存のブレークダウンにマッピングを追加する場合は、該当するリストのブレークダウンを見つけて開きます。
2. [ブレークダウンマッピング] 関連リストで、[新規] をクリックします。
3. [ファクトテーブル] を選択します。
このテーブルは、ブレークダウンを作成するインジケーター ソースです。
4. 次のいずれかのアクションを実行します。

オプション	説明
フィールドを使用して値を要素にマップします。	ブレークダウンのレコードにマッピングするインジケーター ソースのフィールドを選択します。 [カテゴリ] フィールドの使用方法について、「例：フィールド マッピング」を参照してください。
スクリプトを使用して値を要素にマップします。	[スクリプト化] を選択してから [スクリプト] を選択し、インジケーター レコードとブレークダウン要素との関連付けを定義します。 ブレークダウン ソース テーブルにマップするインジケーター ソースのフィールドに簡単なユース・ケースがない場合は、スクリプトを

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	使用します。スクリプトでは、広範なマッピング関係を定義できます。最も一般的なユース・ケースは、ブレークダウン ソースがバケット グループであり、スクリプトがバケットにインジケーター スコアを割り当てるための整数を返す場合です。「例：スクリプト マッピング」を参照してください。 スクリプト化されたブレークダウンを使用するインジケーターのリアルタイムスコアは表示できません。 ヒント: [レベル 1 のマッピングとレベル 2 のマッピング] が [レベル 1 のマッピング] と [レベル 2 のマッピング] の共通部分と等しくなるように、スクリプト化されたブレークダウンマッピングを実装してみてください。そうしないと、スコアとレコード数が第 2 レベルのブレークダウンで一致しない可能性があります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「KB0748969」を参照してください。Now Support ログインが必要です。

5. [送信] をクリックします。

6. 必要に応じてステップ 2 ～ 5 を繰り返し、追加のマッピングを定義します。

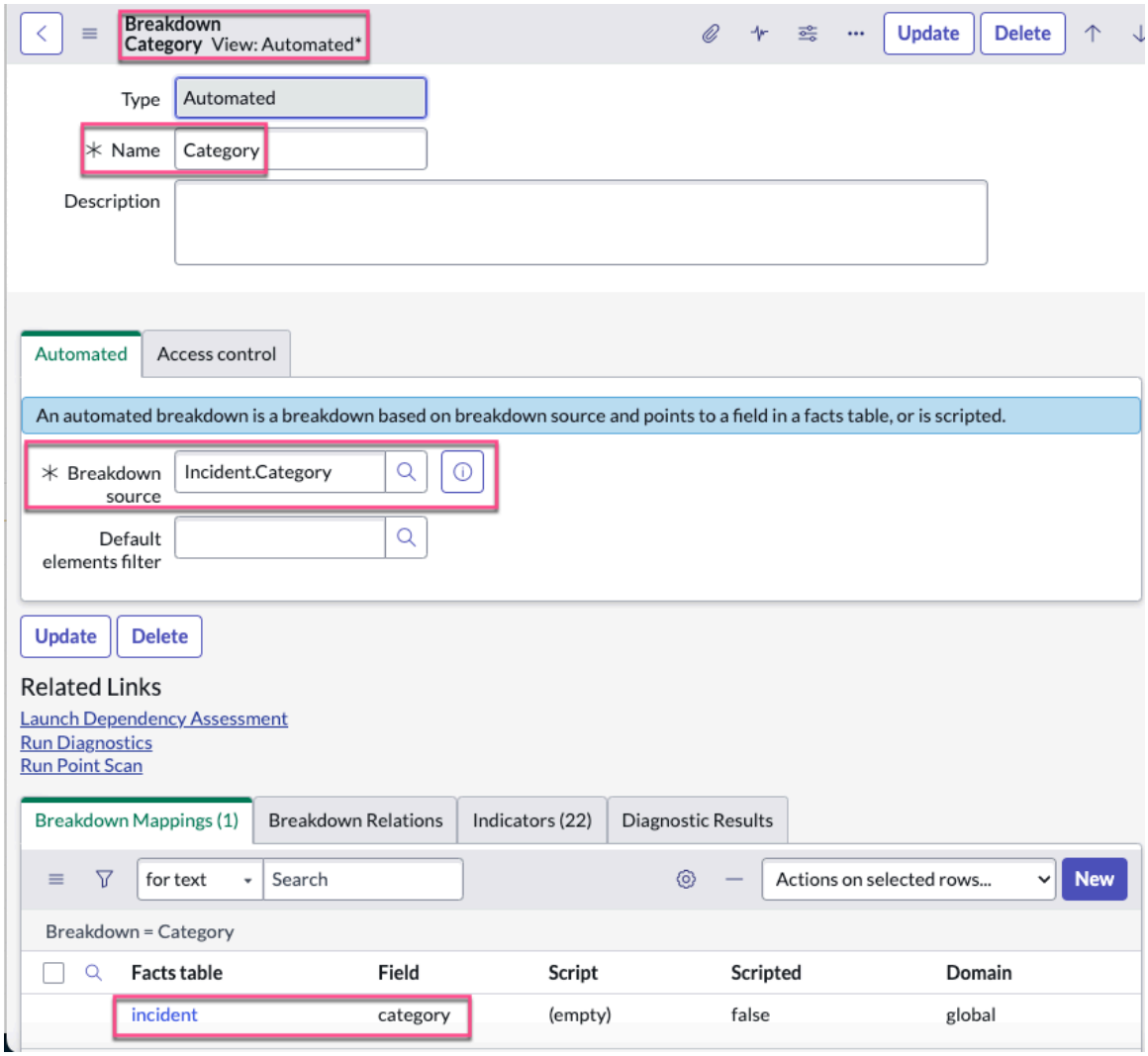
例：フィールド マッピング

[カテゴリ] ブレークダウンは、インシデント テーブルの [カテゴリ] フィールドを Incident.Category ブレークダウン ソースにマップします。このブレークダウン ソースは、選択肢 [sys_choice_list] テーブルを参照します。

最初の画像では、Incident.Category ブレークダウン ソースとともに [カテゴリ] ブレークダウンが表示されています。このブレークダウンには、インシデント テーブルの [カテゴリ] フィールドに対するブレークダウンマッピングがあります。

自動翻訳

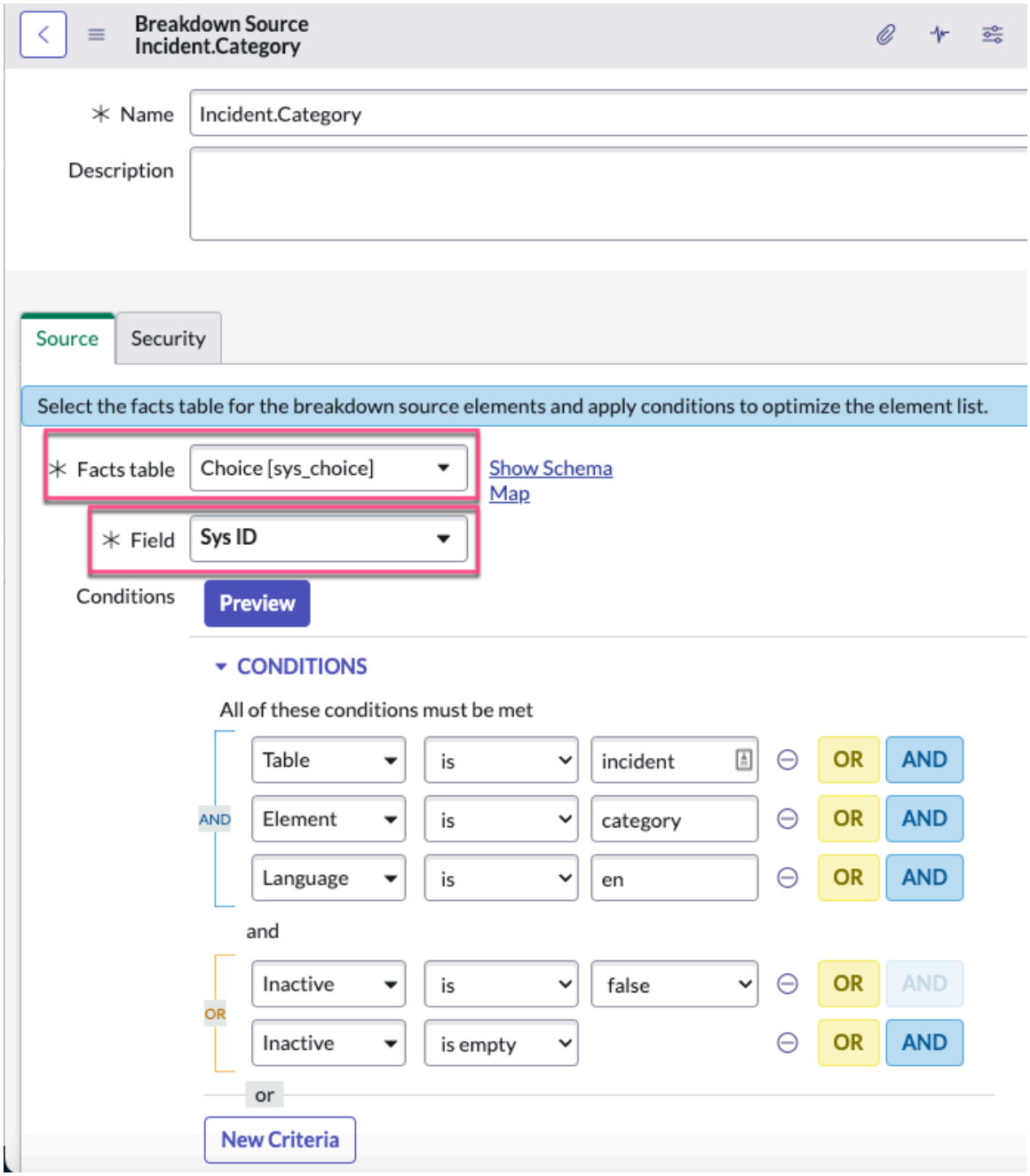
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Incident.Category ブレークダウン ソースは、選択肢 [sys_choice_list] テーブルのレコードを使用します。

自動翻訳

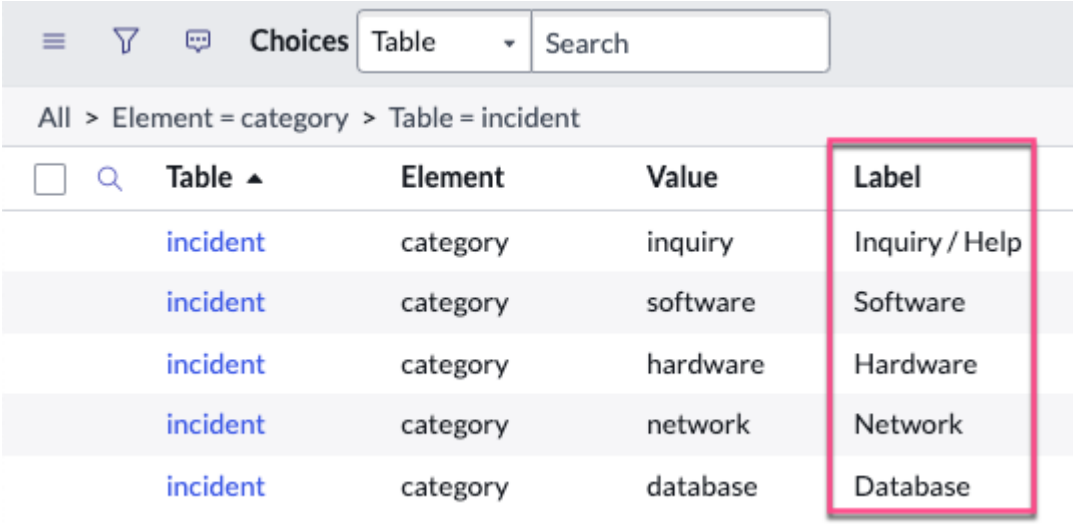
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



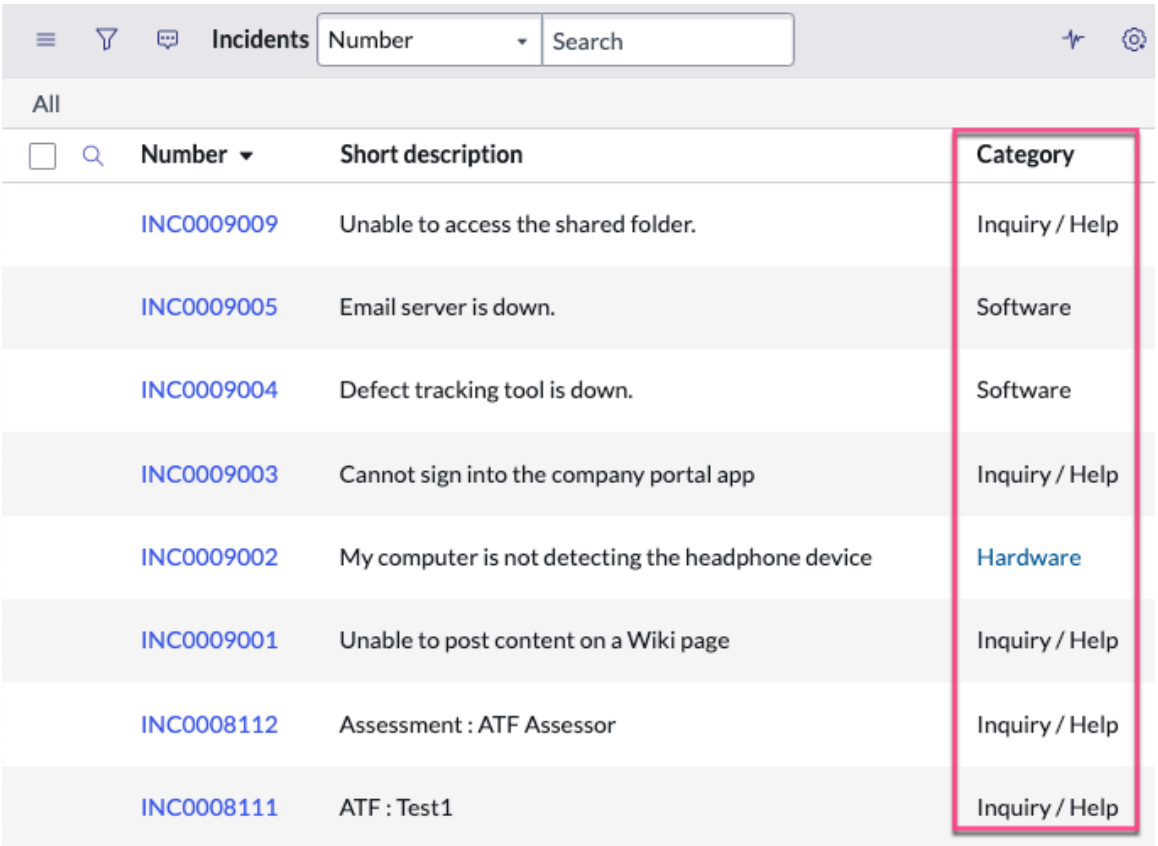
次の画像は、Incident.Category ブレークダウン ソースで指定された条件を満たす選択肢 [sys_choice] テーブル レコードを示しています。[ラベル] フィールドの値に注目してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



最後に、[インシデント] テーブルのいくつかのレコードの [カテゴリ] フィールドが表示されます。このフィールドは [カテゴリ] ブレークダウンにマップされています。このフィールド値は、Incident.Category ブレークダウン ソースがフィルタリングする選択肢 [sys_choice_list] テーブルのレコードの [ラベル] フィールドと一致します。



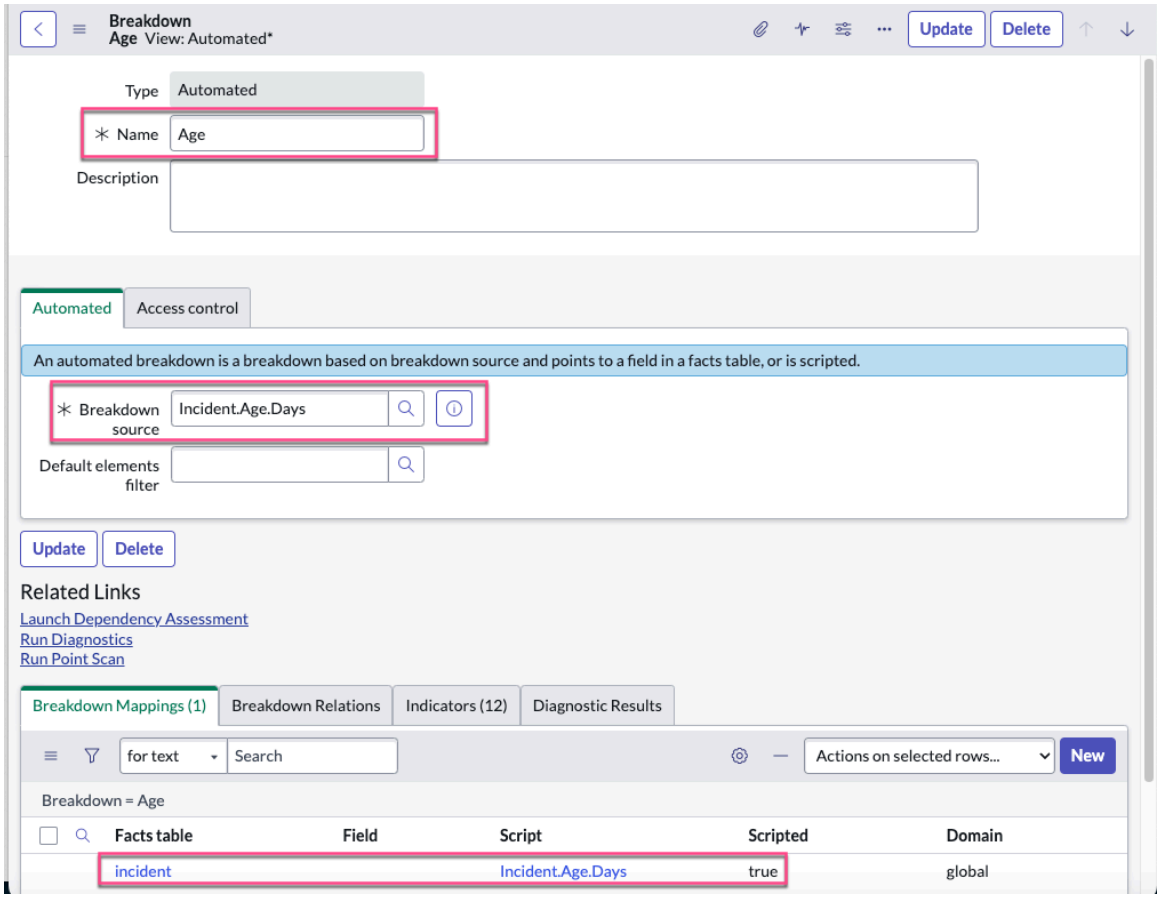
例：スクリプト マッピング

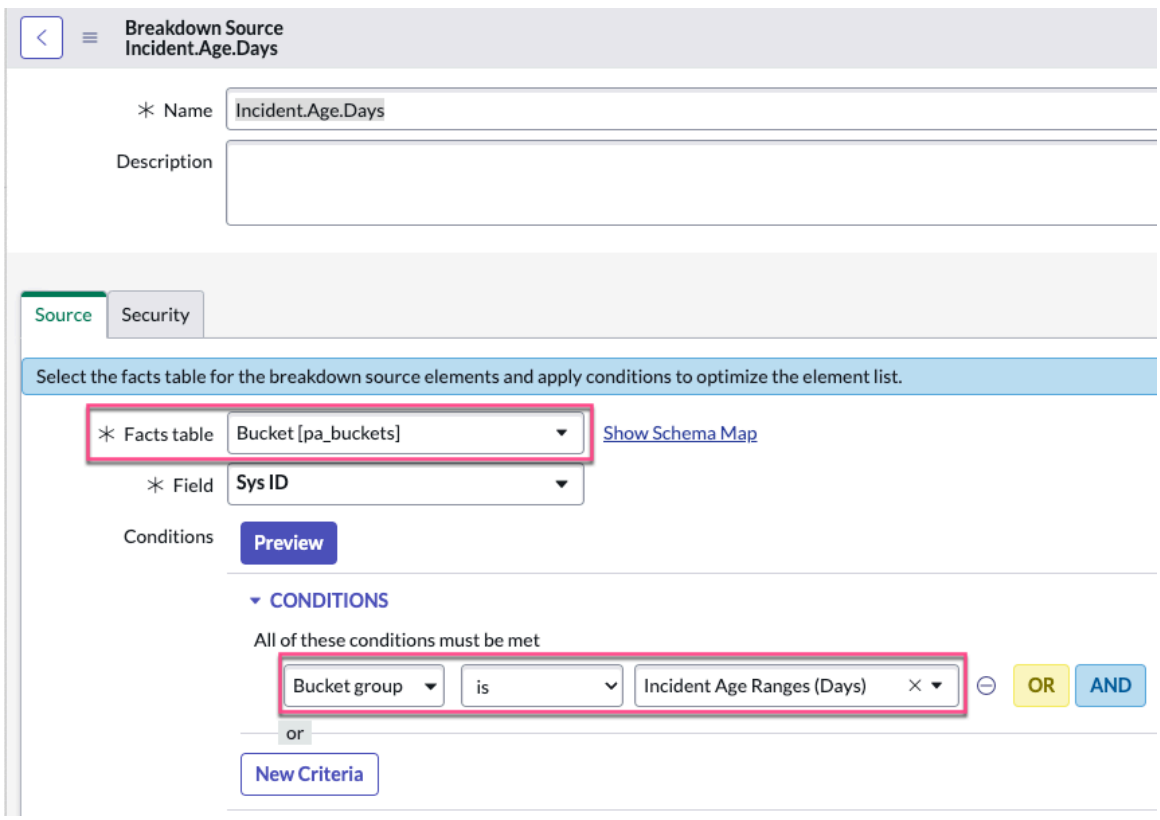
[経過時間] ブレークダウンでは、Incident.Age.Days スクリプトを使用してインシデントの日数を計算し、その値を [インシデント経過時間範囲] バケット グループにマップします。

最初の 2 つの画像では、[経過時間] ブレークダウンが表示されており、Incident.Age.Days ブレークダウン ソースと、ブレークダウンマッピング用の Incident.Age.Days スクリプトを使用しています。また、ブレークダウン ソースは、[インシデント経過時間範囲 (日数)] バケット グループを参照していることがわかります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





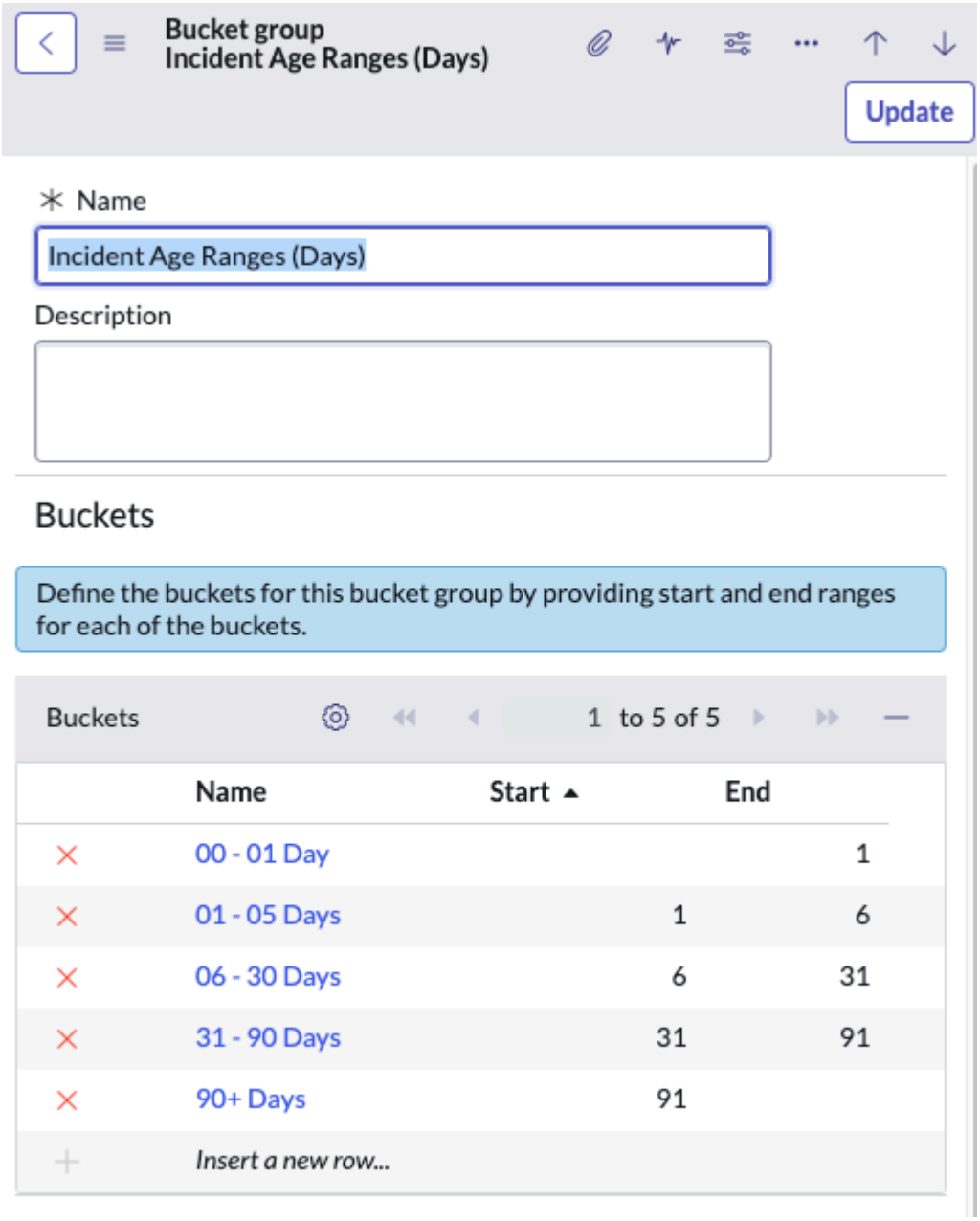
Incident.Age.Days スクリプトは、インシデントがインシデント テーブルからオープンになったときにタイムスタンプを取得し、これを収集期間の最後のタイム スタンプから差し引きます。スクリプトは、この値をミリ秒から日数に変換します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

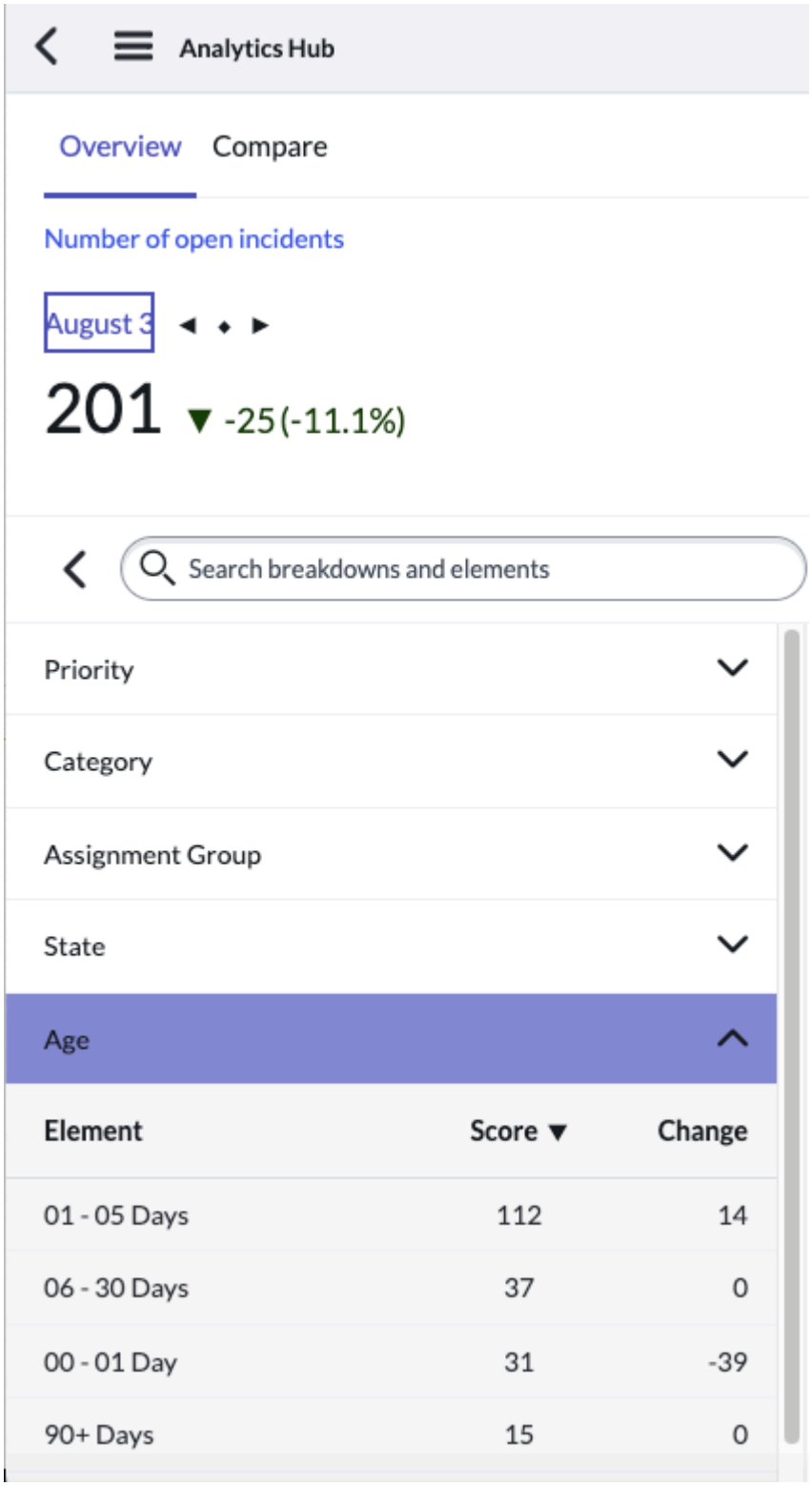
結果の日数は、バケット グループのバケットにソートされます。



以下に、オープン インシデント インジケーターの [番号] についてこのスクリプトを実行した結果を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

自動ブレークダウンへのインジケーターのを割り当て

自動または式インジケーターをブレークダウンに関連付けて、それらのインジケーターのブレークダウンされたスコアの収集を可能にします。

始める前に
ブレークダウンには、インジケーター ソース テーブルへのブレークダウンマッピングが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 自動ブレークダウン.
2. ブレークダウン レコードを選択します。
3. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. スラッシュ・バケットを使用して、このブレークダウンに割り当てるインジケーターを選択します。
5. [保存] をクリックします。
6. オプション: [インジケーターブレークダウン] 関連リストで、[表示] 値を false に設定して、アナリティクスハブ ウィジェットとダッシュボードウィジェットでブレークダウンを非表示にします。
   [表示] フィールドが false の場合でも、ブレークダウンされたスコアはデータ収集中に入力されますが、アナリティクスハブまたはダッシュボードウィジェットでブレークダウンを選択することはできません。

次のタスク
インジケーターでデータ収集ジョブを実行して、新しいブレークダウンのスコアを収集します。

重要:
既にスコアがある既存のインジケーターにブレークダウンを追加する場合は、収集されたスコアを上書きせずに新しいブレークダウンのスコアを収集するように注意してください。

このために、特別なワンオフ収集ジョブを作成します。必要なだけ遡ってデータを収集するようにジョブを設定します。このブレークダウンを追加したインジケーターのみを選択します。結果のジョブインジケーターを設定して、他のすべてのブレークダウンを除外します。ジョブインジケーターの [インジケーターを収集] オプションをオフにします。次に、ジョブを実行します。

お使いのロールで収集ジョブを作成できない場合は、 パフォーマンスアナリティクス アドミンにお問い合わせください。

詳細については、「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」と「ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。

手動ブレークダウン

手動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースからのレコードを使用する代わりに、各要素のブレークダウン要素とインジケーターのスコアを手動で定義します。

自動ブレークダウンとは異なり、手動ブレークダウンはインジケーター ソース テーブルのどのフィールドにもマッピングしません。代わりに、ユーザーはブレークダウンしたスコアを手動で入力する必要があります。

手動ブレークダウンの作成

スコアを手動で追加するインジケーターのブレークダウンを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 手動ブレークダウン.
2. [新規] をクリックします。
   [タイプ] が自動的に [手動] に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 内容を端的に表す名前を入力します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. [手動] セクションで、[新規行を挿入] をダブルクリックし、新しいブレークダウン要素を追加します。
6. Enter を押すか、緑色のチェック マークをクリックしてエントリを保存します。
7. オプション: [順番] の値を変更します。
   [順序] の値が小さい要素は、アナリティクスハブやダッシュボードなど、要素のリストの上位に表示されます。
8. 手順 5 ～ 7 を繰り返して、さらにブレークダウン要素を追加します。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
手動インジケーターをこのブレークダウンに関連付け、スコアシートを使用してスコアを入力します。

手動ブレークダウンへの手動インジケーターの割り当て

手動インジケーターを手動ブレークダウンに関連付けて、インジケーターのブレークダウン スコアを入力できるようにします。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
注:
手動インジケーターのスコアは、一度に 1 つのブレークダウンのみでブレークダウンすることができます。手動インジケーターに第 2 レベルのブレークダウンを適用することはできません。

手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 手動ブレークダウン.
2. ブレークダウン レコードを選択します。
3. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. スラッシュ・バケットを使用して、このブレークダウンに割り当てるインジケーターを選択します。
5. [保存] をクリックします。
6. オプション: [インジケーターブレークダウン] 関連リストで、[表示] 値を false に設定して、アナリティクスハブ ウィジェットとダッシュボードウィジェットでブレークダウンを非表示にします。
   [表示] フィールドが false の場合でも、ブレークダウンされたスコアはデータ収集中に入力されますが、アナリティクスハブまたはダッシュボードウィジェットでブレークダウンを選択することはできません。

次のタスク
スコアシートを使用してインジケーターのブレークダウン スコアを入力します。

無制限のブレークダウン

パフォーマンスアナリティクス アドミニストレーターとパワーユーザーは、一部のインジケーターに対して 2 レベルを超えるブレークダウンを有効にすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2 レベル以上のブレークダウンを適用できることで、 パフォーマンスアナリティクスの長年の問題点の 1 つに対処できます。この機能により、データ分析能力が深まり、 パフォーマンスアナリティクスを通じて得られるインサイトが広がります。

重要:

- Data Snapshots (com.snc.pa.mlb) プラグインには、無制限のブレークダウンが含まれています。このプラグインをアクティブ化すると、無制限のレベルのブレークダウンを取得できます。パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションと admin ロールが必要です。本番インスタンスでアクティブ化する前に、開発環境で無制限にテストすることを検討してください。
- データスナップショットプラグインを有効にした場合でも、システムプロパティを介して無制限のブレークダウンをオンにし、サポートされているインジケーターに対して有効にする必要があります。詳細については、「無制限のブレークダウンを有効にする」を参照してください。
- プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスコンポーネント (データの可視化、KPI 詳細) のみが無制限のブレークダウンをサポートしています。PA ウィジェットやアナリティクスハブなどのコア UIコンポーネントに 2 レベルを超えるブレークダウンを表示することはできません。

新しい分析モデルプラグインを有効にすると、一部のインジケーターが新しいバックエンドソースタイプに移行され、単一のソースのブレークダウンが優先されてブレークダウンソースが削除されます。マトリクスに複数レベルのブレークダウンが適用されなくなったため、リソース消費量が幾何学的に増加することはありません。その結果、これらのインジケーターに最大 250 レベルのブレークダウンを適用できます。

次のインジケーターは、無制限のブレークダウンをサポートしています。

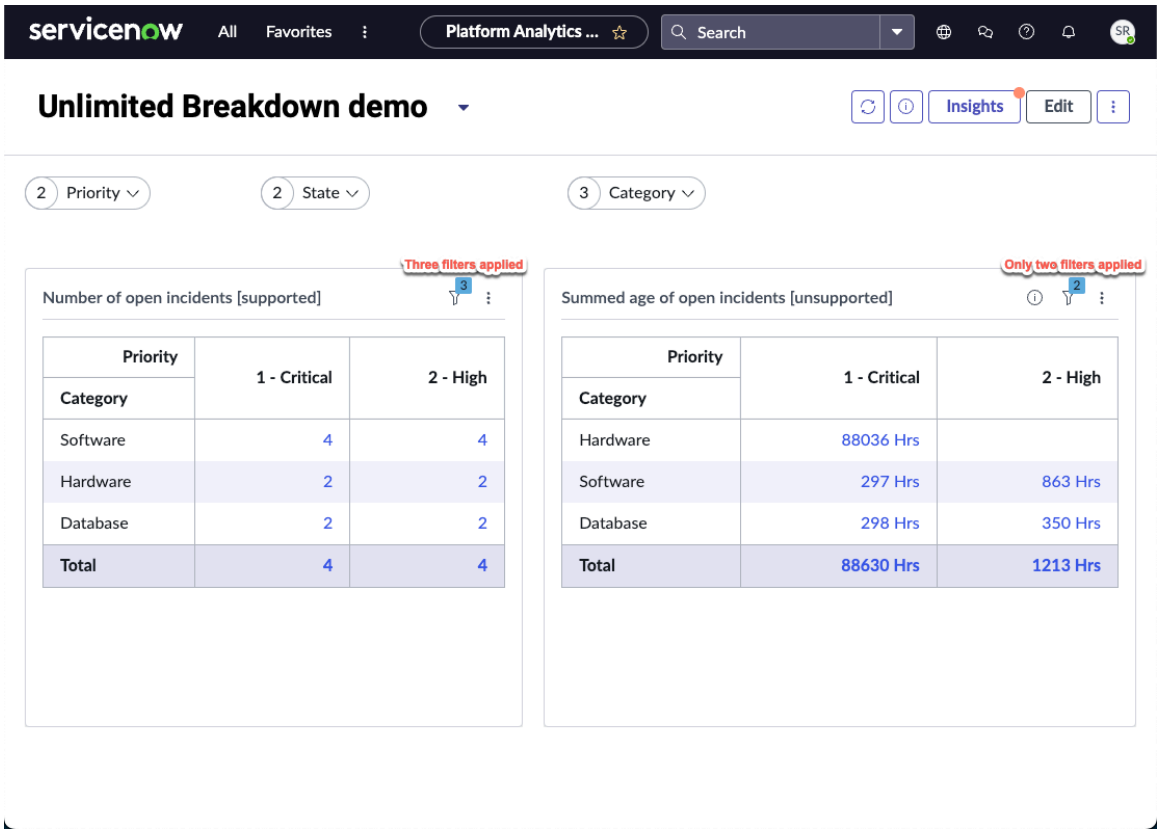
- スクリプト化されていない自動インジケーター
- スクリプト化されていない自動貢献インジケーターのみを持つ式インジケーター
- 他の式インジケーターを含む式インジケーター (ただし、最終的に基礎となるインジケーターがスクリプト化されておらず、自動化されている場合)。

重要:
機能がアクティブ化される前に収集されたデータに無制限のブレークダウンを適用することはできません。このようなデータに適用できるブレークダウンのレベルは 2 つだけです。さらに多くのレベルのブレークダウンを適用しようとすると、データの視覚化または KPI 詳細チャートでその日付範囲の空白の領域が作成されます。

Example: サポートされているインジケーターとサポートされていないインジケーター

フィルターは、無制限のブレークダウンをサポートするインジケーターとサポートしないインジケーターの視覚化に異なる方法で適用されます。この例では、2 つのピボットテーブルデータの可視化を含むダッシュボードがあります。1 つのピボットテーブルには、[オープンインシデントの数] インジケーターが表示されます。このインジケーターはスクリプト化されていないため、無制限のブレークダウンがサポートされます。もう 1 つのピボットテーブルには、[オープンインシデントの合計経過時間] インジケーターが表示されます。このインジケーターはスクリプト化されているため、無制限のブレークダウンはサポートされていません。ダッシュボードには 3 つのフィルターがあり、それぞれが両方のインジケーターにあるブレークダウンをフィルターします。3 つのフィルターがすべて適用されています。フィルターは、最初の優先度、次にカテゴリ、次にステータスという時系列順で適用されました。[Number of open incidents (オープンインシデントの数)] の可視化には 3 つのフィルターが適用されていることが示されていますが、[Summed age of open incidents (オープンインシデントの合計経過時間)] の可視化には 2 つのフィルターしか表示されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



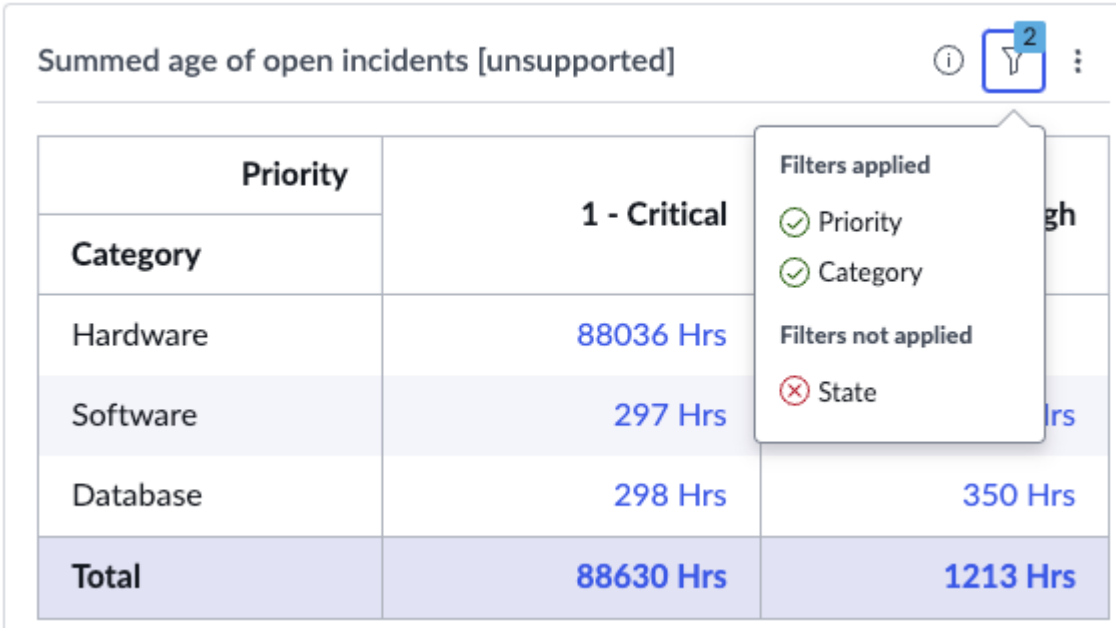
[Number of open incidents (オープンインシデントの数)] インジケーターに適用されるフィルターを調べると、3 つのフィルターがすべて適用されていることがわかります。



[オープンインシデントの合計経過時間] インジケーターでは、ダッシュボードに適用された最初の 2 つのフィルターのみがこのインジケーターに適用されることがわかります。

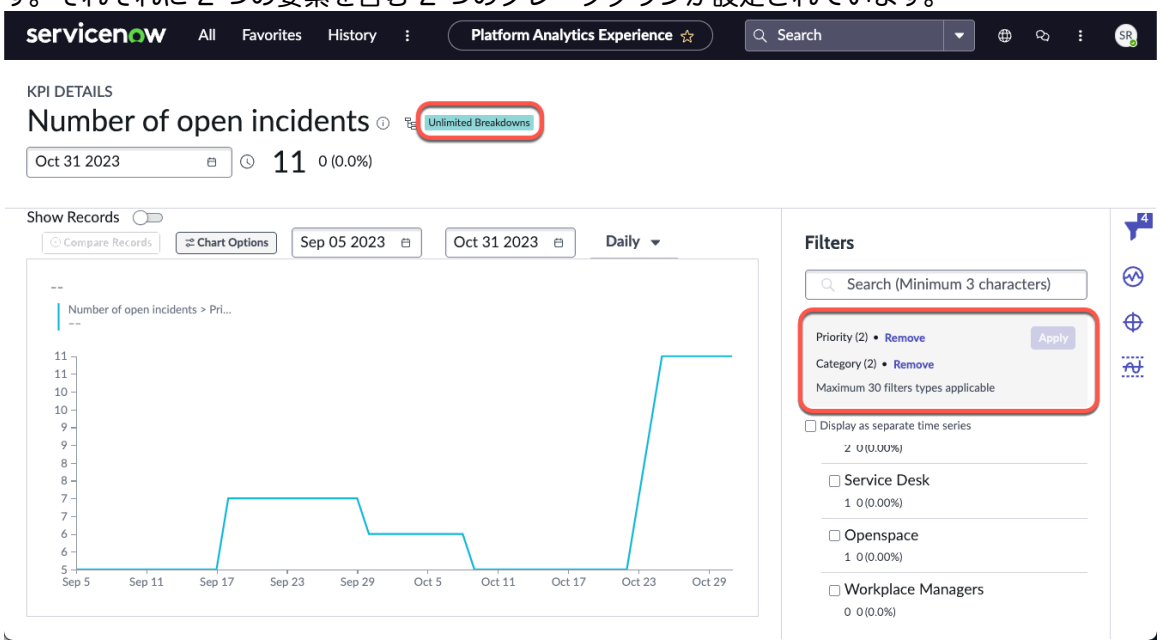
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



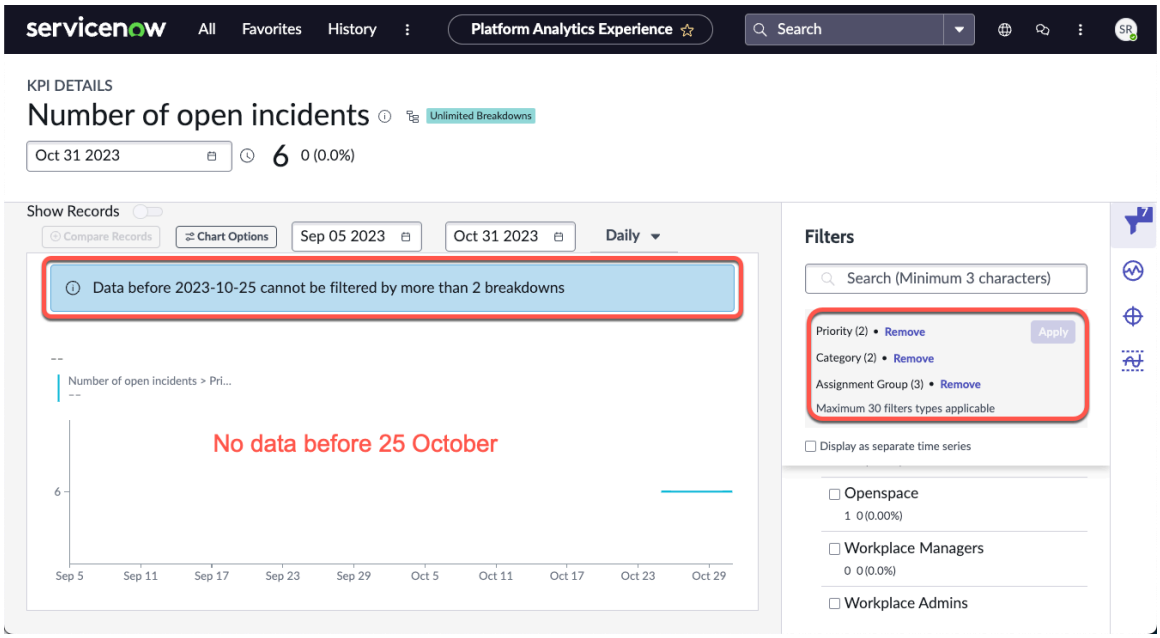
Example: 無制限のブレークダウンを持つインジケーターの **KPI** 詳細

この例は、インジケーター [オープンインシデントの数] の KPI 詳細 を示しています。このインジケーターは、ヘッダーのバッジで示されているように、無制限のブレークダウンをサポートしています。それぞれに 2 つの要素を含む 2 つのブレークダウンが設定されています。



3 番目のブレークダウンを選択できます。ただし、無制限のブレークダウンのサポートは、数日前にこのインスタンスに実装されたばかりです。3 番目のブレークダウンを選択すると、この日付より前のデータは表示されません。この旨を警告するバナーが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



無制限のブレークダウンを有効にする

インスタンス全体およびインスタンスの個々の既存のインジケーター (KPI) で複数レベルのブレークダウンを有効にします。

始める前に
インスタンスでデータスナップショット (com.snc.pa.mlb) プラグインをアクティブ化する必要があります。
必要なロール：admin

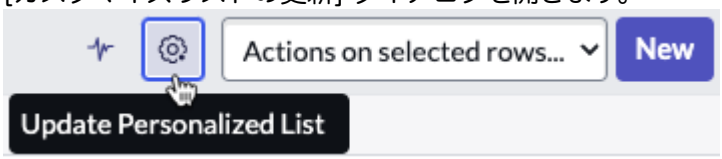
このタスクについて
特定のインジケーターは、2 レベルを超えるブレークダウンをサポートしています。この機能は、無制限のブレークダウンと呼ばれます。この機能は、すべてのインジケーターで使用できるわけではありません。制限のリストについては、「 無制限のブレークダウンの制限」を参照してください。

`com.snc.pa.dm.enable.mlb`と各インジケーターを個別に設定して、インスタンスの無制限のブレークダウンを有効にする必要があります。インジケーターの無制限のブレークダウンをアクティブ化した後、そのインジケーターの変換ジョブを実行します。

手順

1. **sys_properties_list.do** に移動し、`com.snc.pa.dm.enable.mlb` を `true` に設定します。
   このステップは、インスタンスに対して 1 回だけ実行する必要があります。
2. 自動インジケーターまたは式インジケーターのリストに移動します。
3. 2 レベルを超えるブレークダウンをサポートするように複数のインジケーターを設定するには、次のアクションを実行します。

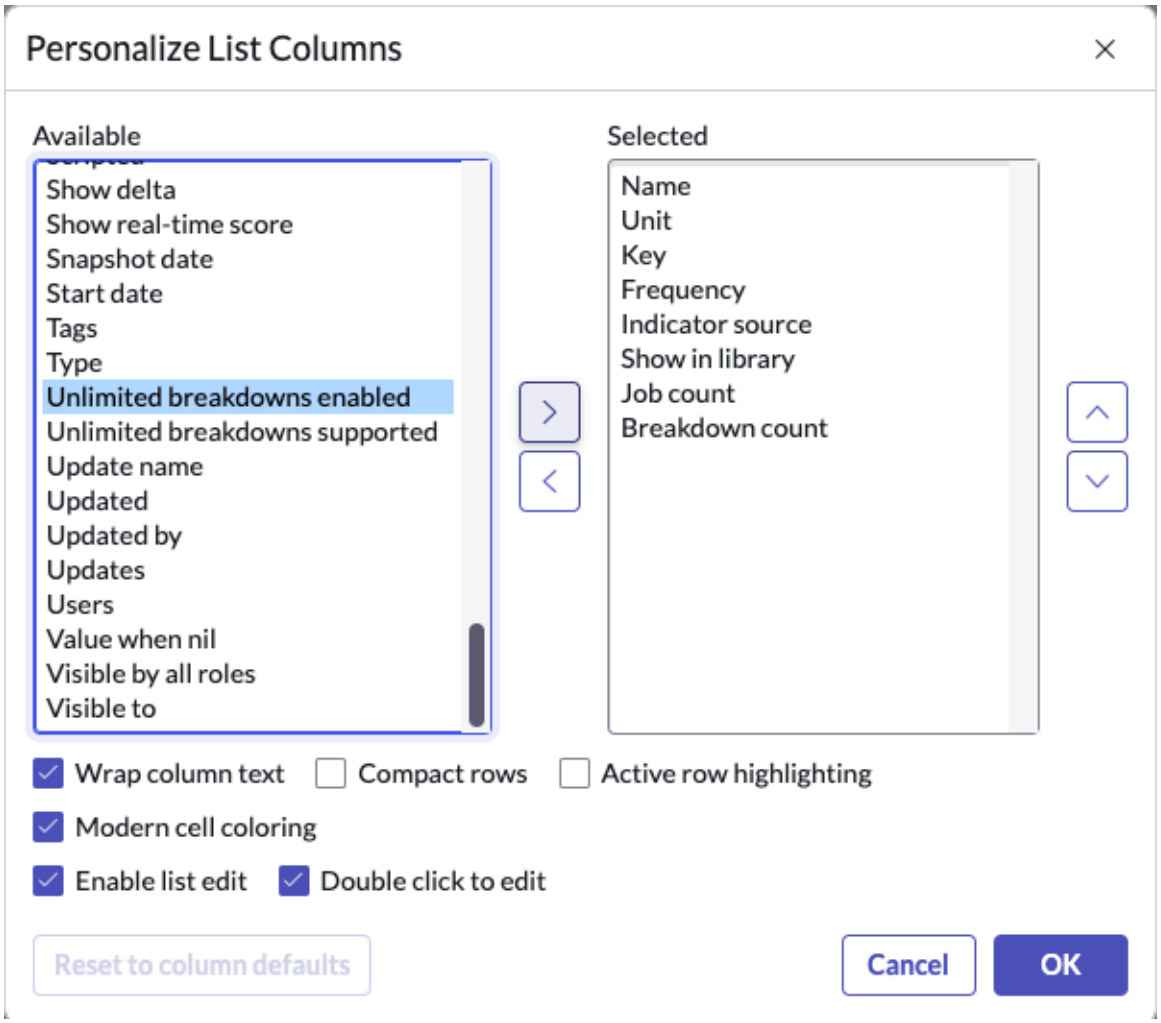
   a. [カスタマイズリストの更新] ダイアログを開きます。



   b. [無制限のブレークダウンを有効にする] 列を [選択済み] リストに移動し、[OK] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. 目的のインジケーターの [無制限のブレークダウンを有効にする] フィールドを選択します。



Indicators View: Automated | for text | Search | Actions on selected rows...

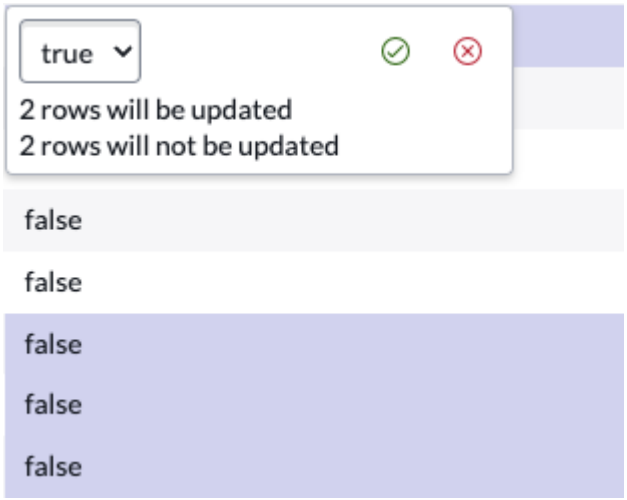
All > Type = Automated

Name	Unit	Key	Unlimited breakdowns enabled
Platform UX In Testing Stories - Current Family	#	false	true
Vancouver EA - Success	#	false	true
RA: All Xanadu Epics (Family Only)	#	false	true
Polaris Incoming Defects: A11y	#	false	true
SDLC-NowX-IoT: ALL v1.1 Stories	#	false	false
PlatformX Search Defects Addressed (No Action)	#	false	true
Number of open incidents that should be resolved in time	#	false	false
Haraka - Number of queries route to MySQL	#	false	false
Defects: UXE New Open External Security (INT)	#	false	false
CSM Defectsin WIP (Daily)	#	false	false
Voltron UXF: Testing Stories	#	false	false
Platform UX - UI Builder - Defects - Merge Blockers	#	false	false
Sum Business Services Impact Time of Critical Services	Hours	false	false

d. これらのフィールドの値を変更できるダイアログを開くには、選択したフィールドの 1 つをダブルクリックします。
ダイアログには、変更されるフィールドの数が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

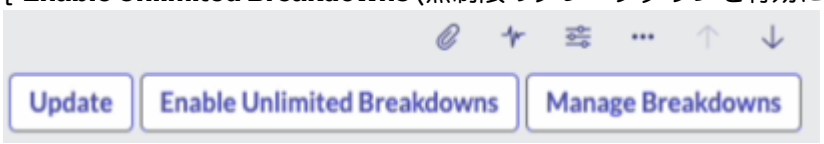


e. 値を「false」から「true」に変更して確認します。

4. 2 レベルを超えるブレークダウンをサポートするように個々のインジケーターを設定するには、次のアクションを実行します。

a. インジケーターレコードを開きます。

b. [**Enable Unlimited Breakdowns** (無制限のブレークダウンを有効にする)] を選択します。



このボタンをクリックすると、変換ジョブが起動します。ジョブが実行された後、インジケーターは無制限のブレークダウンをサポートする新しいデータソースタイプを使用します。

次のタスク

スケジュールされた変換プロセスは 1 時間ごとに実行され、既存のインジケーターへの変更を同期します。このジョブは、新しく作成されたインジケーターも変換します。変換プロセスをトリガーし、変更を手動で同期するには、[無制限のブレークダウンステータスを更新]を選択します。たとえば、サポートされていないインジケーター構成を修正し、そのインジケーターに対して無制限のブレークダウンを有効にした後で、変更を手動で同期します。

一部のインジケーターで無制限のブレークダウンが有効になっていない場合、インジケーターレコードには、そのインジケーターに互換性がない理由を示すメッセージが含まれます。また、インジケーターに互換性を持たせる方法についての提案も得られます。

関連情報

自動インジケーターの作成

式インジケーターの作成

無制限のブレークダウンの制限

インジケーターとブレークダウンのいくつかの機能は、無制限のブレークダウンではサポートされていません。

制限またはサポートされていない機能	メモ
ベンチマーキングインジケーター	サポート対象外

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限またはサポートされていない機能	メモ
スクリプト化されたブレークダウンマッピング/集計	サポート対象外
文字列および数値タイプのフィールドでのブレークダウン/集計はサポートされていません	文字列または整数である選択フィールドのブレークダウンがサポートされています。純粋な文字列フィールドと数値フィールドのみがサポートされていません。たとえば、カテゴリは選択肢フィールドであるため、Incident.Category のブレークダウンがサポートされます。[Short Description (簡単な説明)] のブレークダウンは純粋に文字列であるため、サポートされません。
一部のクエリ演算子のみがサポートされています	サポートされていない演算子: • より小さい/より大きい • 次の値未満/次の値以上 • [より小さい]/[より大きい] フィールド • [次の値以下/次の値以上] フィールド • は次の値と同じ • は次の値と異なる
インジケーター (計算)	すべての貢献インジケーターは、無制限のブレークダウンをサポートする必要があります。
式メソッド	式でメソッドを使用する式インジケーターはサポートされていません。
ブレークダウンマトリクス	無制限のブレークダウンでは、ブレークダウンマトリックスは使用されません。
データコレクターに設定された収集期間	すべてのコレクションは毎日です。
不適合時のラベル	ブレークダウンソースの [不一致のラベル] オプションは、無制限のブレークダウンでは無視されます。
値がない時の挿入値	自動インジケーターの [値 **(Value when nil**)] オプションは、無制限のブレークダウンでは無視されます。
セキュリティタイプ	ブレークダウンソースで定義されたセキュリティタイプは、新しいバックエンドソースではサポートされていません。
データ収集ジョブの設定	開始/終了期間、特定の時間構成、およびその他の設定は、無制限のブレークダウンには影響しません。すべてのデータ収集は毎日行われます。データ収集レコードに設定されたタイムゾーンのみが有効です。
バケットグループ	サポート対象外
関連リスト条件	無制限のブレークダウンでは関連リスト条件は適用されません

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限またはサポートされていない機能	メモ
手動または外部のインジケーターまたはブレークダウン	自動インジケーター、式インジケーター、および自動ブレークダウンのみがサポートされています。式インジケーターがサポートされるためには、式インジケーターのすべての貢献インジケーターがサポートされている必要があります。
履歴処理	有効化日より後に収集されたデータのみがサポートされます。古いデータに 2 レベルを超えるブレークダウンを適用しようとしても、結果は返されません。
250 を超えるブレークダウン/アグリゲーションフィールドを持つインジケーター	250 レベルのブレークダウンのみがサポートされています。
収集ジョブに複数のタイムゾーンがあるインジケーター	日次収集と 1 つのタイムゾーンのみがサポートされています。
ターゲットとしきい値	最大 2 つのフィルターのみをサポートします。
KPI シグナル	1 つのフィルターのみをサポートします。
インジケータースコアカードの可視化	最大 2 つのフィルターのみをサポートします。
データベースビューに基づくインジケーター	結合条件に sys_id 以外のフィールドが含まれていない場合にのみサポートされます。
スコアシート	無制限のブレークダウンが有効になっているインジケーターのスコアシートを手動で変更しても効果はありません。
条件のないインジケーター	サポート対象外
インジケーターまたはソース条件の文字列フィールド	4,000 文字の制限

自動翻訳

インジケーターの無制限のブレークダウンを非アクティブ化する

インジケーターが無制限のブレークダウンをサポートしている場合は、インジケーターの無制限のブレークダウンをオフまたはオンに戻すことができます。

始める前に

必要なロール：pa_admin

このタスクについて

マルチレベルブレークダウンの制限により、インジケーターが使用できなくなる可能性があります。この場合、そのインジケーターの無制限のブレークダウンを非アクティブ化できます。そのインジケーターのブレークダウンは無制限に後で再アクティブ化できます。詳細については、「無制限のブレークダウンの制限」を参照してください。

重要:
アドミニストレーターは、システムプロパティ com.snc.pa.dm.enable.mlb を false に設定することで、インスタンス全体で無制限のブレークダウンを無効にすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > インジケーター > 自動インジケーター または すべて > インジケーター > インジケーター (計算)、インジケーターによって異なります。
2. 以前のインジケーター、ブレークダウンソース、およびブレークダウンマトリクスに復元するインジケーターを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [**Disable Unlimited Breakdowns**] を選択します。
4. [更新] を選択します。

次のタスク

この手順は、後でいつでも取り消すことができます。その後、インジケーターは無制限のブレークダウンをサポートする新しいソースタイプに移動されます。アドミンがインスタンスの無制限のブレークダウンを無効にしてから再度有効にすると、以前に有効にしていたインジケーターに対して無制限のブレークダウンが自動的に再度有効になります。

データスナップショットのソースとコレクション

[無制限のブレークダウン] には、データスナップショットソースのテーブルと、インジケーターとこれらのソース間のマッピングが含まれます。

インジケーターとデータスナップショットソース間のマッピング

無制限のブレークダウンが正常にアクティブ化されたインジケーターごとに、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターとブレークダウンソースがデータスナップショットソースに置き換えられます。これらのソースとインジケーター間のマッピングは、インジケーターからデータスナップショットへのマッピング [pa_cdc_indicator_analytics_mapping] テーブルに表示されます。pa_admin ロールは必須です。このテーブルには、各インジケーターのデータスナップショットデータソースのリストと、インジケーターで無制限のブレークダウンのサポートが開始された日付が表示されます。この日付より前から無制限のブレークダウンスコアを収集することはできないため、この日付は重要です。

[データスナップショット] フィールドから、データスナップショットデータソースに移動できます。

データスナップショットデータソース

データスナップショットソースは、PA アナリティクスソース [pa_dm_analytics_source] テーブルに対するpa_adminロールを持つユーザーが使用できます。デフォルトでは、このテーブルの内容は読み取り専用です。ただし、admin ユーザーはフォームに [データ収集を有効にする] チェックボックスを追加できます。この場合、pa_adminユーザーはデータ収集ジョブを有効または無効にすることができます。

データスナップショット収集ジョブ

データスナップショットジョブは、pa_adminユーザーが読み取り専用でアクセスできます。ジョブを開くには、 プラットフォームアナリティクス管理 > データコレクション > データスナップショット

要素フィルタ

要素フィルターを使用すると、ビジュアル化で表示されるブレークダウン要素を指定または制限することができます。

要素フィルターは、条件付きフィルターまたは関連リスト条件と、条件が適用されるブレークダウンソースで構成されます。

ヒント:
動的条件で要素フィルターを使用して、ウィジェットにパーソナライズされたビジュアルを作成します。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

アナリティクスハブ

でのインジケーターの探索 KPI 詳細

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

要素フィルターを作成する

ブレークダウン ソースを選択し、そのブレークダウン ソースからブレークダウン要素をフィルタリングするフィルタ条件を選択します。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

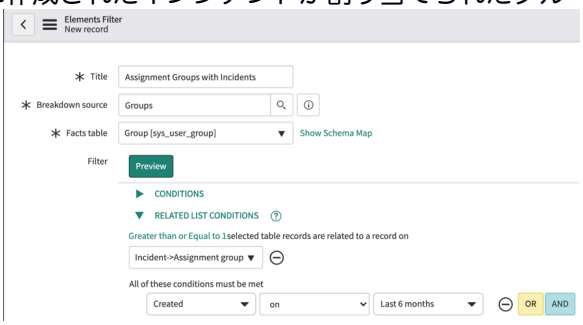
移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 要素フィルター をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

要素フィルタ フィールド

フィールド	説明
ブレークダウンソース	要素フィルタを作成するブレークダウン ソースを選択します。要素フィルタは、このブレークダウン ソースに基づくブレークダウンに使用できます。
ファクトテーブル	読み取り専用。ブレークダウン ソースのファクト テーブルを表示します。
フィルター	CONDITIONS:使用可能な要素を制限するフィルター条件を指定します。この要素フィルタを適用すると、これらの条件を満たす要素のみが表示されます。 たとえば、ブレークダウン ソースのファクト テーブルがユーザー [sys_user] の場合、HR 部門のユーザーのみを含めるフィルター条件を追加できます。このフィルター条件は [部門][次の値に等しい][HR] です。 パーソナライズされたビジュアルの場合、フィルター条件の演算子は [is (dynamic)] である必要があります。
	関連リスト条件:他のテーブルとの関係を条件に含めます。たとえば、グループ [sys_user_group] テーブルを使用するグループブレークダウン ソースに要素フィルタを作成できます。インシデント [incident]->アサイン先グループに関連リスト条件を追加すると、インシデントがアサインされているグループのみが取得されます。この条件に [[作成][日付][過去 6 か月]] が含まれている場合は、過去 6 か月以

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	内に作成されたインシデントが割り当てられたグループが表示されます。 
ロール	ウィジェットフォームでこの要素フィルターを選択するためにユーザーが必要とするロールを選択します。ユーザーには、指定されたロールの少なくとも 1 つが必要です。ロールを指定しないと、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを編集できるすべてのユーザーがこの要素フィルターを追加できます。

次のタスク
動的条件で要素フィルターを使用して、ウィジェットにパーソナライズされたビジュアルを作成します。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

この要素フィルターを使用するすべてのウィジェットインジケーターと、この要素フィルターに言及するすべての診断結果が、要素フィルターレコードの下部に一覧表示されます。

ビジュアリゼーションの要素フィルター

要素フィルターは、 プラットフォームアナリティクス データの可視化または KPI 詳細で表示できます。コア UIでは、パフォーマンスアナリティクスウィジェットまたはアナリティクスハブに表示されます。いくつかの制限が適用されます。

さまざまなビジュアル化で、次の方法で要素フィルターを選択できます。

- クラシック アナリティクスハブ：ブレークダウンを選択すると、そのブレークダウンに要素フィルターがある場合は、それらのリストが表示され、そこで選択できます。
- パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの場合：ウィジェットを設定するときに、[要素設定] タブの [要素フィルター] フィールドに入力します。ブレークダウン、時系列、およびスコアのウィジェットのみが要素フィルターをサポートしています。時系列ウィジェットとスコアウィジェットでは、要素フィルターが第 1 レベルのブレークダウン要素を置き換えます。ブレークダウンウィジェットの場合、要素フィルターは表示される要素を制限します。
- 時系列ウィジェットのウィジェットインジケーターの場合： [要素設定] の [要素フィルター] フィールドでフィルターを選択します。まず、ブレークダウンソースで要素フィルターを使用してブレークダウンを選択する必要があります。

  注:
  適用されるすべての要素の名前がインジケーターの名前またはラベルに追加されます。

- プラットフォームアナリティクス ワークスペースの KPI 詳細：[フィルター] ペインでブレークダウンを選択すると、そのブレークダウンに要素フィルターがある場合は、それらのリストが表示され、そこで選択できます。
- プラットフォームアナリティクス データのビジュアル化：データのビジュアル化を設定するときに、インジケーターデータソース、ブレークダウン、および [is (dynamic)] 演算子を選択します。そのブレークダウンの要素フィルターが [要素] フィールドで使用できるようになります。Count、Min、Max のアグリゲートを使用した自動インジケーターのみがサポートされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

いずれの場合も、要素フィルターを選択できるのは、ブレークダウン ソースに少なくとも 1 つの要素フィルターがあるブレークダウンを最初に選択した場合のみです。また、フィルターの構成によっては、要素フィルターを選択するために特定のロールが必要になる場合もあります。

可視化で要素フィルターを指定するだけでなく、ブレークダウンレコードで デフォルト要素フィルター を指定することもできます。その要素フィルターは、任意の可視化のブレークダウンに対して自動的に選択されます。アナリティクスハブまたはKPI 詳細のブレークダウンを表示するユーザーは、選択した要素フィルターを変更またはクリアできます。

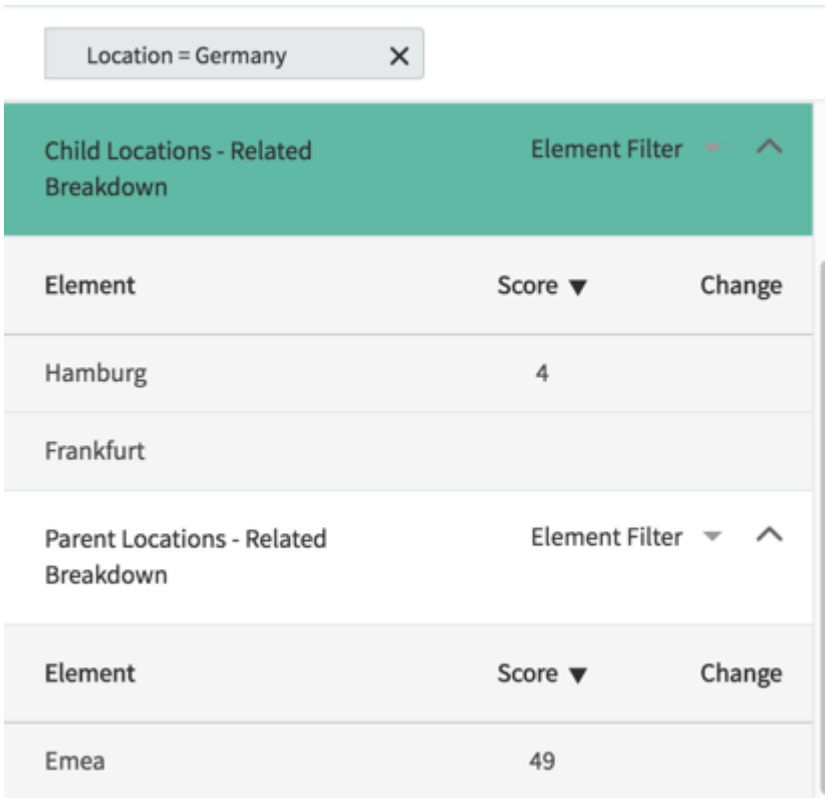
注:
ダッシュボードまたはワークスペースでビジュアルを表示するだけでは、ビジュアルのカスタマイズに使用される要素フィルターを変更することはできません。基礎となるウィジェットまたはデータの可視化を編集する権限を持つユーザーのみが、要素フィルターを変更できます。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

ブレークダウンの関連付けによるブレークダウン要素のナビゲーション

ブレークダウンの関連付けは、あるブレークダウン要素から別のブレークダウン要素に移動することによって、ブレークダウンスコアを表示するための新しいナビゲーションパスを開きます。ブレークダウンの関連付けは、異なるブレークダウンの要素間にある場合もあれば、同じブレークダウンの要素の階層構造内に存在している場合もあります。ブレークダウンの関連付けは、 アナリティクスハブ およびブレークダウン ウィジェット内のナビゲーションに影響します。

ブレークダウンの関連付けを使用すると、階層関係にある単一のブレークダウンの要素間を移動できます。たとえば、場所ブレークダウンには「親」要素と「子」要素の階層があり、国を都市の親にすることができます。ブレークダウン リレーションを使用すると、 アナリティクスハブ ビューアーは国から都市へ、都市から国へ、または同じ国内の都市間を移動できます。

同じブレークダウンの要素間の アナリティクスハブ での移動

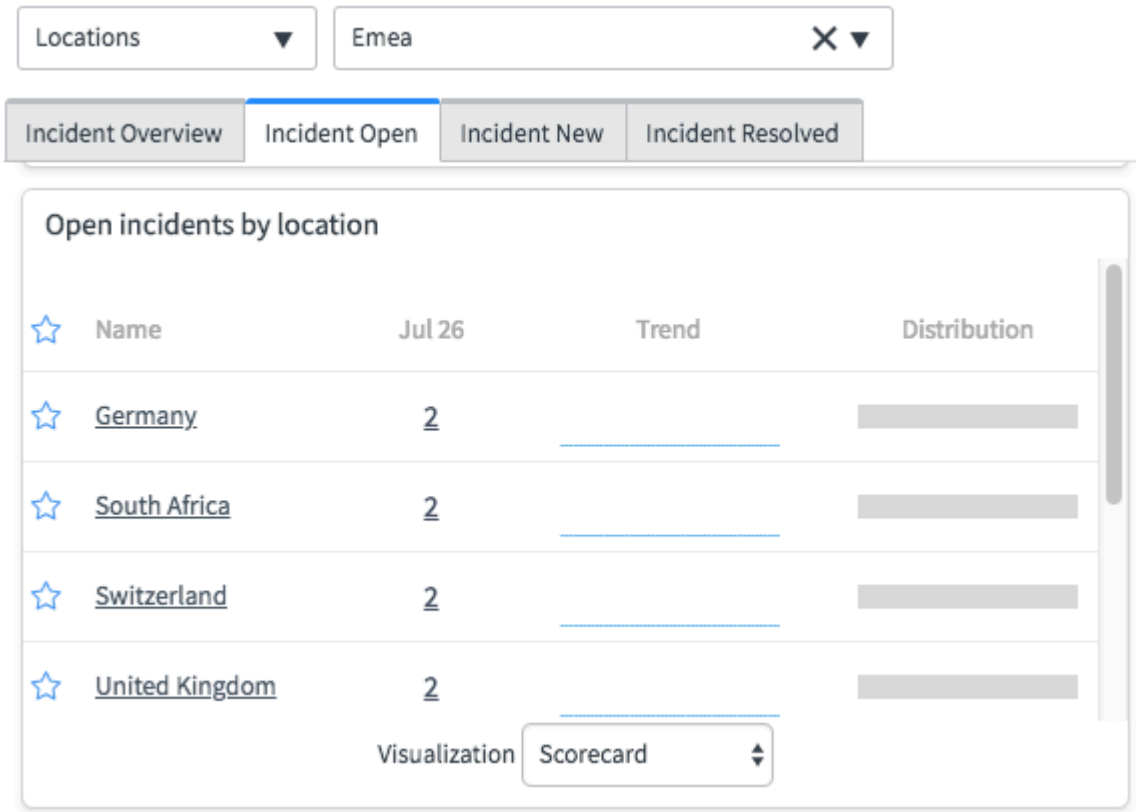


同様に、ブレークダウン ウィジェットには、ブレークダウン ダッシュボード用に選択された要素の親、子、または兄弟要素を表示できます。ブレークダウン ダッシュボードでのブレークダウンの関

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

連付けの使用の詳細については、「 ダッシュボードのブレークダウン関係の表示」を参照してください。

EMEA 要素の子を表示するブレークダウンダッシュボード

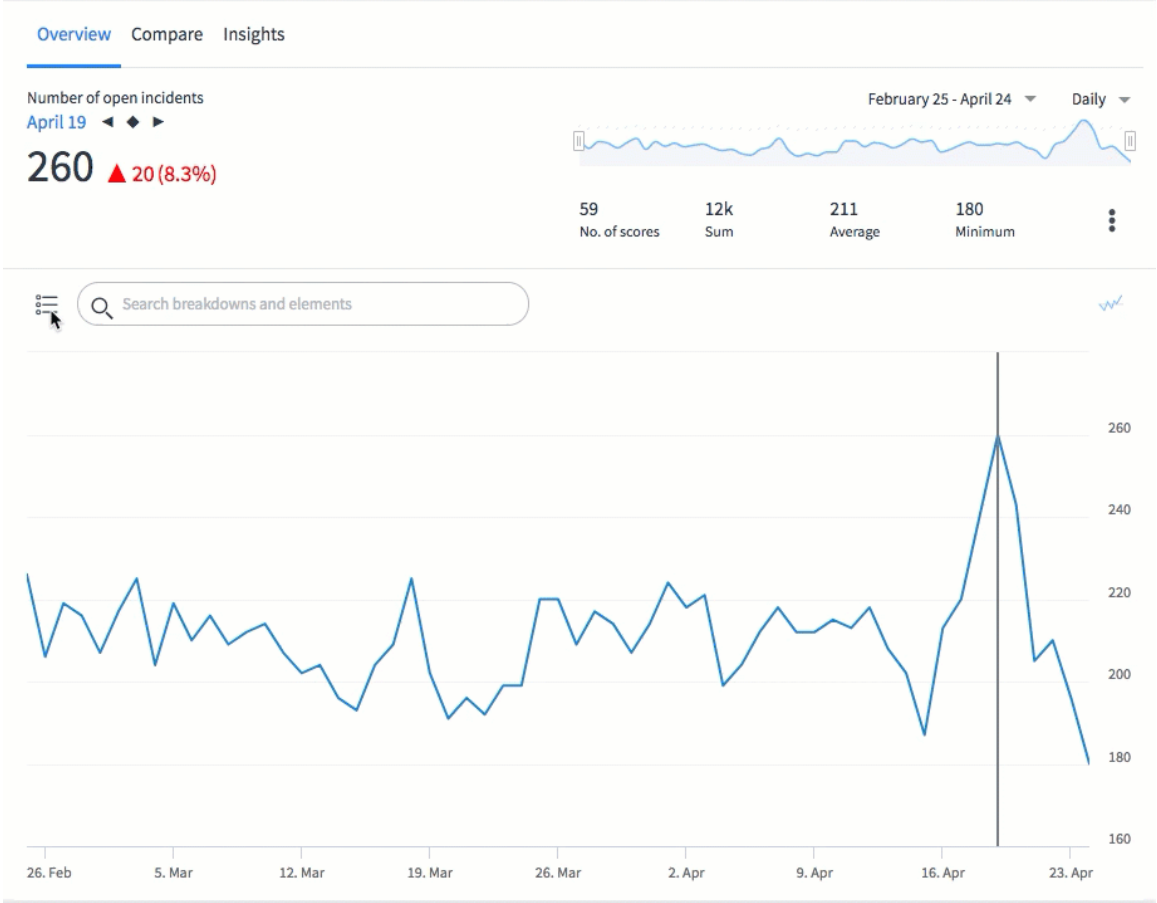


ブレークダウンの関連付けにより、異なる第 1 レベルのブレークダウンの要素間を移動することもできます。たとえば、最初にアサイン先グループブレークダウンの要素を選択し、次にメンバーブレークダウンの関連付けを確認します。この関係で、[アサイン先] ブレークダウンの要素に移動します。[アサイン先] の選択されたメンバーは、必ずしもアサイン先グループのメンバーであるとは限りません。さらに、[アサイン先] のメンバーのアサイン数が、選択したアサイン先グループのアサイン数を超えています。最初に選択したアサイン先グループのアサインだけでなく、すべてのアサインの合計が表示されます。表示している第 1 レベルのブレークダウンを変更しているのであって、第 2 レベルのブレークダウンや要素にドリルダウンしているわけではありません。繰り返しになりますが、このブレークダウンの関連付けは、 アナリティクスハブ とブレークダウン ダッシュボードのブレークダウン ウィジェットの両方で使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

異なるブレークダウンの要素間の アナリティクスハブ での移動



ブレークダウンの関連付けを使用するこれらのケースの詳細については、ブレークダウンの関連付けの作成に関するトピックを参照してください。

ブレークダウン間のブレークダウンの関連付けの作成

同じレベルにある 2 つのブレークダウンの要素間のビジュアリゼーションでナビゲーションを設定するには、ブレークダウン間にブレークダウンの関連付けを作成します。両方のブレークダウンのレコードを参照するフィールドを含むテーブルが存在する必要があります。

始める前に

ブレークダウンの関連付けによるブレークダウン要素のナビゲーション のブレークダウンの関連付けのユースケースを確認します。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

> **注:**
> 通常、pa_power_userロールを持つビジネスアナリストは、作成するブレークダウン関係を知っている可能性が最も高いですが、それらを作成するには、pa_data_collectorを持つ技術エキスパートの知識とテーブルへのアクセス権が必要です。pa_adminは両方を理解している可能性が高いです。pa_adminが関係を作成するか、pa_power_userとpa_data_collectorの間でコラボレーションを行うことを検討してください。

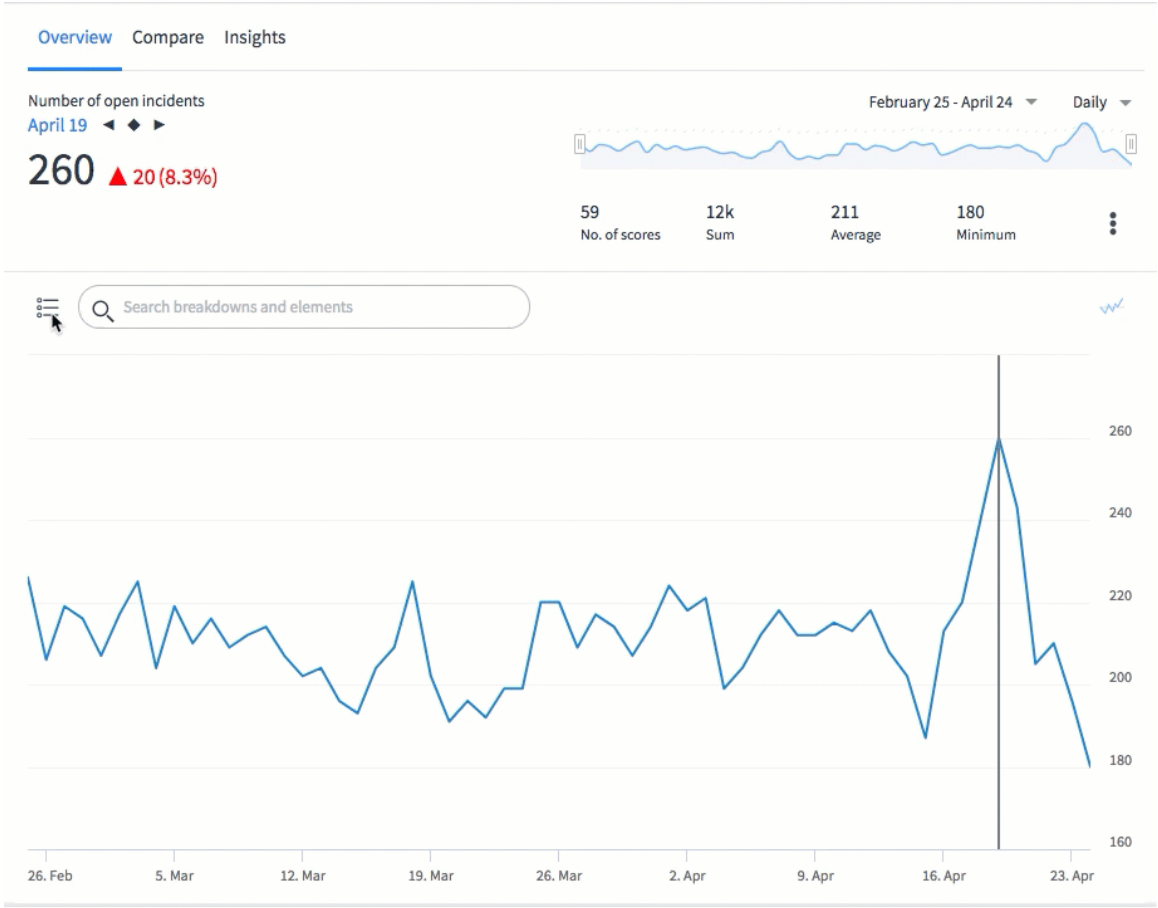
このタスクについて

論理的に関連する同じレベルの 2 つのブレークダウン間をすばやく移動できるようにする必要があります。このトピックで使用する例には、インジケーター [オープンインシデントの数] のブレークダウン [アサイン先グループ] と [アサイン先] が含まれます。次のアニメーションでは、Oracle Support グループに割り当てられたインシデントの数の表示から、Candace Bruckman に割り当てられたインシデントの数の表示に切り替わります。どちらのブレークダウンも第1レベルであり、Oracleサポートにアサインされたインシデントの合計数とCandace Bruckmanにアサイン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

された合計が表示されます。ブレークダウン関係ではなく、第 2 レベルのブレークダウンとして Candice を選択した場合は、Candice が対応していた Oracle サポートの問題のみが表示されま



す。

注:
ブレークダウンの関係は、一方向の関係です。双方向の関係を作成するには、複数のブレークダウン関係を定義します。

手順

1. 移動先 すべて > ブレークダウン > ブレークダウンの関連付け をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. 次のようにフォームのフィールドに入力します。

[ブレークダウンの関連付け] フォーム

フィールド	説明	例
ブレークダウン	この関係が属しているブレークダウンを選択します。このブレークダウンからのみ、関連付けられたブレークダウンにアクセスできます。	この例では、アサイン先グループを選択したときにグループメンバーの選択を表示する場合、 ブレークダウンはアサイン先グループになります。
関連ブレークダウン	最初のブレークダウンと関連付けるブレークダウンを選択します。	この例では、アサイン先グループメンバーとの関連ブレークダウンは [Assigned To] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明	例
テーブル	両方のブレークダウンのソースのファクトテーブルレコードを参照するフィールドを持つテーブルを選択します。多対多の関係の場合は、多対多のテーブルを選択します。1 対多の関係の場合は、ファクト テーブルを選択します。	アサイン先グループブレークダウンはグループデータを使用します。[アサイン先] ブレークダウンでは、ユーザーデータが使用されます。アサイン先グループには多くのメンバーを含めることができ、1 人のユーザーが複数のアサイン先グループのメンバーになることができるため、多対多の関係になります。したがって、グループとユーザーを結合する多対多テーブルであるグループメンバー [sys_user_grmember] テーブルを選択します。
明細フィールド	指定したテーブルから、移動元となるブレークダウン要素を識別するフィールドを選択します。	この例では、[**Group** (グループ)] フィールドを選択します。グループメンバー [sys_user_grmember] テーブルのこのフィールドは、アサイン先グループブレークダウンの要素を識別します。
関連ブレークダウンフィールド	指定されたテーブルから、この関連付けを表示するときに移動できるブレークダウン要素を識別するフィールドを選択します。	この例では、[**User** (ユーザー)] フィールドを選択します。グループメンバー [sys_user_grmember] テーブルのこのフィールドは、[アサイン先] ブレークダウンの要素を識別します。
共通フィールド	ブレークダウン間の関係を定義する場合は、このフィールドを空のままにします。	
条件	この関係の関連ブレークダウンとして表示するためにレコードが満たす必要があるその他の条件を定義します。	この例では、条件 **[User.Active] [is] [true]** を追加して、非アクティブなグループメンバーをフィルタリングします。

自動翻訳

タスクの結果

[ブレークダウンの関連付け] フォームを送信すると、関連するインジケーターの アナリティクスハブ でナビゲーションオプションを使用できるようになります。最初にデータ収集ジョブを実行する必要はありません。

次のタスク

すべてのインスタンスでデフォルトで出荷されるブレークダウンの関連付けの例を表示します。ここに示されている例は、 メンバー のブレークダウンの関連付けです。[メンバー **(Member)]** ブレークダウンの関連付けは、[アサイン先] の要素から始まって [アサイン先グループ] に移動するという逆方向のナビゲーションを提供します。最後に、 マネージャー のブレークダウンの関連付けは メンバーと似ていますが、各アサイン先グループにはマネージャーが 1 人しかいないため、多対 1 の関係を示します。そのため、多対多のテーブルではなくファクト テーブルが使用されます。

1 つのブレークダウンの要素間の関係を作成する

ブレークダウンの関連付けを使用して、同じブレークダウン内の要素の階層間の アナリティクスハブ 上のナビゲーションを設定します。ブレークダウンレコードのフィールドは、あるレコードから別のレコードへの階層関係を識別する必要があります。

始める前に

ブレークダウンの関連付けによるブレークダウン要素のナビゲーション のブレークダウンの関連付けのユースケースを確認します。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
通常、pa_power_userロールを持つビジネスアナリストは、作成するブレークダウン関係を知っている可能性が最も高いですが、それらを作成するには、pa_data_collectorを持つ技術エキスパートの知識とテーブルへのアクセス権が必要です。pa_adminは両方を理解している可能性が高いです。pa_adminが関係を作成するか、pa_power_userとpa_data_collectorの間でコラボレーションを行うことを検討してください。

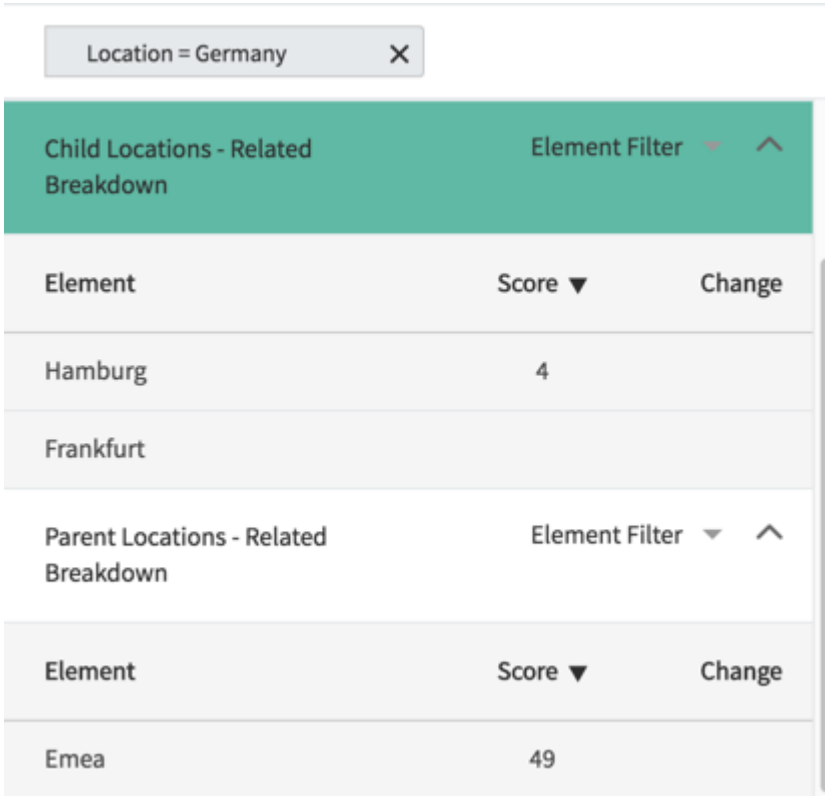
このタスクについて

ブレークダウンの関連付けを作成して、ブレークダウンの要素間の次の階層関係をナビゲートできます。

- 親要素からその子への移動のための子関係
- 子要素からその親に移動するための親関係
- 同じ親要素を共有する要素間を移動するための兄弟またはピア関係

要素間の階層関係があるブレークダウンでは、要素レコード内の 1 つのフィールドが階層内の要素の位置を識別します。通常、このフィールドは [親] で、親要素を識別します。1 つの要素の親である要素自体が親要素を持つことができ、このマルチレベル階層を アナリティクスハブ内で移動できます。

このトピックで使用される例は、[オープンインシデントの数] インジケーターの場所ブレークダウンです。子関係と親関係は、地域から国、市区町村へ、またその逆など、複数の階層レベルを移動するために必要です。



注:
ブレークダウンの関係は、一方向の関係です。複数のブレークダウンを定義し、双方向の関係を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ブレークダウン > ブレークダウンの関連付け をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [ブレークダウン] フィールドと [関連ブレークダウン] フィールドで、要素間を移動するブレークダウンを選択します。
   同じブレークダウンの要素間の関係を作成する場合、これらのフィールドは同じ値になります。この例では、両方のフィールドで **[Location** (場所)] ブレークダウンを選択します。
3. [テーブル] フィールドで、ブレークダウン ソースのファクト テーブルと同じテーブルを選択します。
   この例では、 場所 **[cmn_location]** を選択します。
4. 作成するのが子、親、または兄弟/ピア関係のいずれであるかに応じて、フォームの残りの部分に入力します。

[ブレークダウンの関連付け] フォーム

フィールド	子関係	親関係	兄弟/ピア関係
明細フィールド	親要素を識別するフィールドを選択します。 [場所] ブレークダウンで [親] を選択します。	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 場所のブレークダウンでは、ほとんどのブレークダウンと同様に、[システム **ID]** を選択します	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 場所のブレークダウンでは、ほとんどのブレークダウンと同様に、[システム **ID]** を選択します
関連ブレークダウンフィールド	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 場所のブレークダウンでは、ほとんどのブレークダウンと同様に、[システム **ID]** を選択します	親要素を識別するフィールドを選択します。 [場所] ブレークダウンで [親] を選択します。	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 場所のブレークダウンでは、ほとんどのブレークダウンと同様に、[システム **ID]** を選択します
共通フィールド	空のままにします。	空のままにします。	親要素を識別するフィールドを選択します。 [場所] ブレークダウンで [親] を選択します。

5. [条件] で、この関係の関連ブレークダウンとして表示されるためにレコードが満たす必要のあるその他の条件を定義します。

タスクの結果

[ブレークダウンの関連付け] フォームを送信すると、関連するインジケーターの アナリティクスハブ でナビゲーションオプションを使用できるようになります。最初にデータ収集ジョブを実行する必要はありません。

次のタスク

すべてのインスタンスでデフォルトで出荷されるブレークダウンの関連付けの例を表示します。場所ブレークダウンには、 子場所 と 親場所の ブレークダウン関係が含まれます。兄弟グループブレークダウン関係は、兄弟関係またはピア関係の一例です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウン要素を表示する機能を制御する

ユーザーのサブセットがインジケーターで表示できるブレークダウン要素を制限するには、要素セキュリティを実装します。要素セキュリティは、ウィジェット、ワークスペース、および アナリティクスハブ に適用されます。

始める前に
必要なロール：pa_admin または admin

このタスクについて
ブレークダウンの表示オプションはありません。代わりに、ブレークダウンへのアクセスは、ブレークダウン ソースの ACL によって制限されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ブレークダウンソース.
2. アクセス権を設定するブレークダウンのブレークダウン ソース レコードを開きます。
3. [セキュリティの種類] の一覧で、次の選択肢から選択します。
4. 要素セキュリティリストレコードを定義し、次のいずれかを行います。
   - リストの要素を選択します。
   - リスト上の要素を定義する条件を設定します。
5. 要素のセキュリティ リストを適用するロールを指定します。

要素のセキュリティ リストの定義

要素のセキュリティリストは、ブレークダウン要素への不正アクセスを防ぎます。

始める前に
必要なロール：pa_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ブレークダウンソース.
2. 既存のブレークダウン ソース レコードを開きます。
3. [要素のセキュリティリスト] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 必要に応じてフィールドを入力します。

名前	説明
名前	要素のセキュリティ リストの記述名
説明	要素のセキュリティ リストの実行内容と、その目的の詳細な説明。
アクティブ	要素のセキュリティ リストをアクティブ (選択) にするか、または非アクティブ (クリア) にするためのチェック ボックス。
すべての	リストがすべてのロールに適用されることを示す場合に選択します。この要素のセキュリティ リストに属するロールを指定するには、チェック ボックスをオフにして、ロック アイコンをクリックします。特定のロールを検索するには、検索ボタンを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
ロール	
セキュリティタイプ	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースのために選択されたセキュリティ タイプ。
様相	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースに対して選択された様相。
ファクトテーブル	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースに対して選択されたファクト テーブル。
要素の選択	このセキュリティリストが適用される要素を明示的に指定する場合に選択します。このオプションをオフにした場合は、[条件] を使用して、含める要素を決定します。
すべての要素	セキュリティリストにすべての要素を含める場合に選択します。このセキュリティリストの個々の要素を指定するにはクリアします。デフォルト:オン
空オプションを表示	ブレークダウンダッシュボードのユーザーがブレークダウン要素を指定せずにスコアを表示できるようにする場合に選択します。これをクリアすると、ブレークダウン ダッシュボード上のユーザーが、そのユーザーのロールに表示されるブレークダウン要素のスコアのみを表示できるようになります。 この設定は、ブレークダウン ダッシュボード要素をフォローするウィジェットにのみ影響します。admin ロールを持つユーザーは、ブレークダウン ダッシュボードでフィルター処理されていないスコアを常に表示できます。
条件	セキュリティリストが適用されるブレークダウン要素を決定するための条件。たとえば、[**User.Manager] [is (dynamic)] [Me]** などです。条件は、ブレークダウンのソース条件で最優先のものとして適用されます。このフィールドは、[要素を選択] が選択されていない場合にのみ使用できます。

5. [送信] をクリックします。

拒否リストによるロール制限

拒否リスト セキュリティがブレークダウン ソースに指定されており、ユーザーのロールのいずれかがそのブレークダウン ソースの要素セキュリティ リストにある場合、そのユーザーはそのセキュリティ リストが適用される要素を表示できません。

拒否リストセキュリティを使用したユーザーロール別のブレークダウン要素の可視化

要素セキュリティリストのユーザーロールは?	要素の可視化
ユーザーのロールはいずれも要素セキュリティリストに含まれていません。	セキュリティリストが適用されるすべての要素が表示されます。
ユーザーのロールのいずれかが要素セキュリティリストに含まれています。	セキュリティリストが適用される要素はいずれも表示されません。
ユーザーには admin ロールがあります。	すべての要素が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

許可リストによるロール制限

ブレークダウンソースに許可リスト・セキュリティが指定されており、ユーザーのいずれかのロールがそのブレークダウン・ソースの要素セキュリティ・リストにある場合、そのユーザーはそのセキュリティ・リストが適用される要素を表示できます。

許可リストセキュリティを使用したユーザーロール別のブレークダウン要素の可視化

要素セキュリティリストのユーザーロールは?	要素の可視化
ユーザーのどのロールもセキュリティ リストに含まれていません。	セキュリティリストが適用される要素はいずれも表示されません。
ユーザーのいずれかのロールがセキュリティ リストに含まれています。	セキュリティリストが適用されるすべての要素が表示されます。
ユーザーには admin ロールがあります。	すべての要素が表示されます。

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

ダッシュボードにブレークダウン ソースを追加できます。ダッシュボード ユーザーは、ブレークダウン ソースと 1 つ以上のブレークダウン要素を選択して、ダッシュボード上の可視化でスコアをフィルタリングできます。

選択した要素は、次の条件に従うダッシュボード上の パフォーマンスアナリティクス ウィジェットをフィルタリングします。

- ウィジェットのインジケーターは、選択したブレークダウンソースに基づくブレークダウンを使用します。式インジケーターの場合、式内のすべての貢献インジケーターは、このソースに基づくブレークダウンを使用する必要があります。
- ウィジェットは、ブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローします。

選択した要素は、次の条件下でダッシュボード上のレポートをフィルタリングします。

- ブレークダウン ソースをインタラクティブ フィルターとして使用するようにダッシュボードを構成しました。
- レポートは、ダッシュボードのインタラクティブフィルターに従います。

ダッシュボード ユーザーが複数の要素を選択した場合、ウィジェットのタイプと構成に応じて、ウィジェットはそれらの要素のスコアを個別に表示することも、単一の集計を表示することもできます。詳細については、「複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

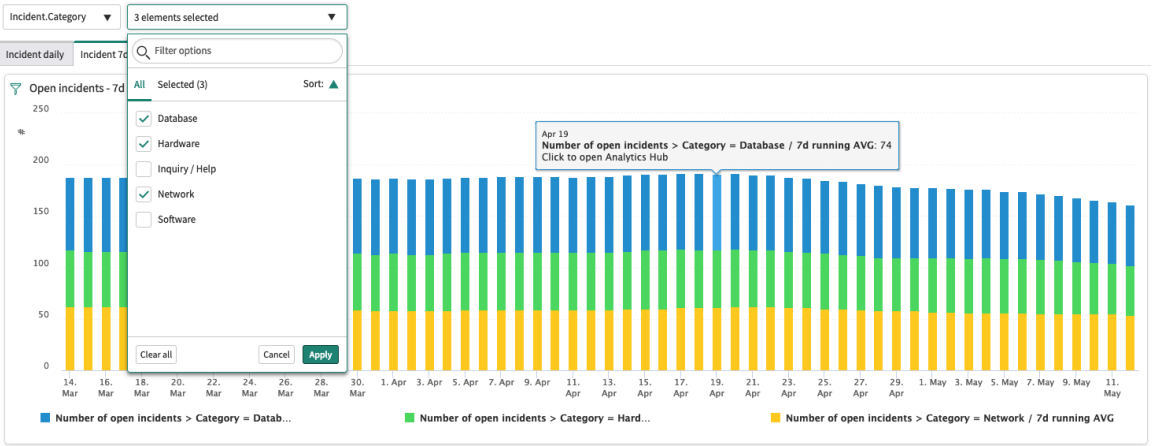
注:
ウィジェットにブレークダウンの関連付けを表示する場合、そのウィジェットに複数の要素を表示することはできません。詳細については、「ダッシュボードのブレークダウン関係の表示」を参照してください。

次の図は、カテゴリブレークダウンの選択された要素ごとに個別にスコアが指定されたブレークダウンウィジェットを示しています。ダッシュボード ユーザーは、Incident.Category ブレークダウン ソースの 3 つの要素を選択しました。このユーザーが アナリティクスハブへのアクセス権を持っている場合は、任意のスコアをクリックして、 アナリティクスハブ内のスコアの傾向を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンダッシュボードの時系列ウィジェット



注:
ブレークダウンが適用されていても要素がないブレークダウンダッシュボードを表示する場合、ウィジェットにはベースインジケータースコアが表示されます。ブレークダウンはスコアをフィルタリングしません。通常、これらのスコアは、ブレークダウンとすべての要素を選択した場合のスコアよりも高くなります。多くの場合、要素のセキュリティや要素フィルターが原因で、すべての要素が利用できるわけではありません。また、インジケータースコアに貢献する未アサインスコアも通常は選択できません。

関連情報

- パフォーマンスアナリティクスウィジェット
- パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン
- ブレークダウン ソースの定義
- アナリティクスハブ 特定のインジケーターの
- ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる

ダッシュボードへのブレークダウン ソースの追加

ダッシュボード ユーザーがブレークダウン要素によってダッシュボードの可視化をフィルタリングできるようにするには、ダッシュボードにブレークダウン ソースを追加します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

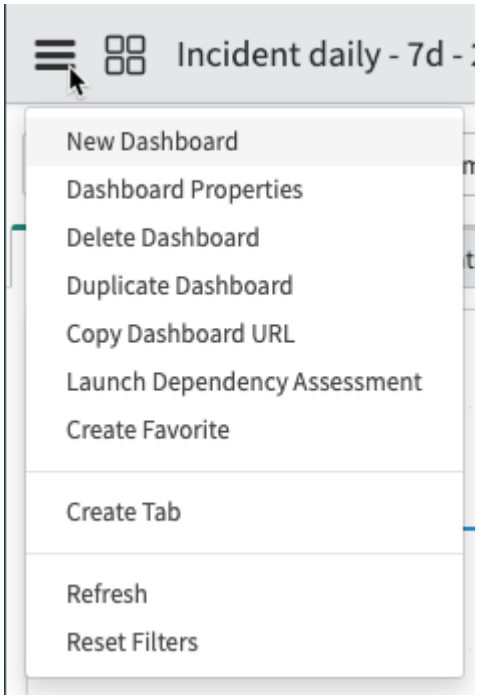
このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 関連するダッシュボードを開きます。
3. コンテキスト メニューから、[ダッシュボード プロパティ] を選択します。

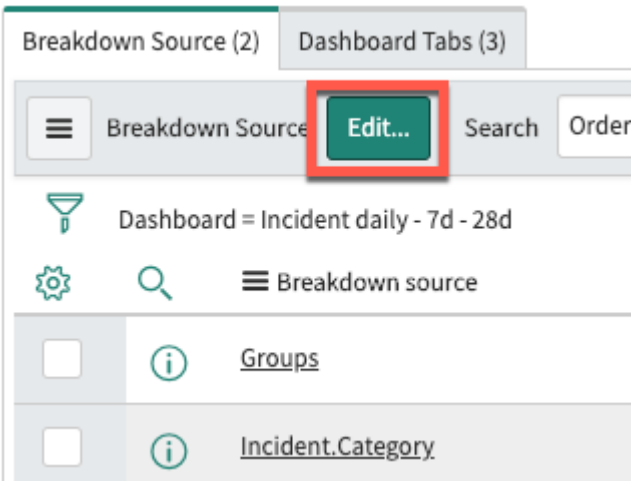
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードレコードが開きます。

4. ブレークダウン ソース関連リストの [編集] をクリックします。



ダイアログが開き、ブレークダウン ソースをリスト内外に移動できます。

5. 適用するブレークダウン ソースをブレークダウン ソース リストに移動します。
6. [保存] をクリックします。

タスクの結果

ブレークダウンソースはダッシュボードで利用できます。ユーザーは、選択した要素でダッシュボードをグループ化できます。

次のタスク

- ダッシュボードのレポートがブレークダウンソースをインタラクティブフィルターとして使用できるように、[ブレークダウンソース] 関連リストのエントリを設定できます。最初に、ブレークダウン ソースと同じテーブルに基づくインタラクティブ フィルターを作成します。詳細については、「ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる」を参照してください。

- ユーザーがダッシュボードでブレークダウン要素を選択してフィルタリングできるように、ダッシュボードで パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを構成します。詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成

ブレークダウンダッシュボードに表示される各ウィジェットを構成します。構成によって、ウィジェットがダッシュボードで選択した要素に従うかどうか、またどのようにフォローするかが決まります。一部のウィジェットとインジケーターでは、複数の要素値を個別に表示するか、集計として表示するかを選択できます。

始める前に

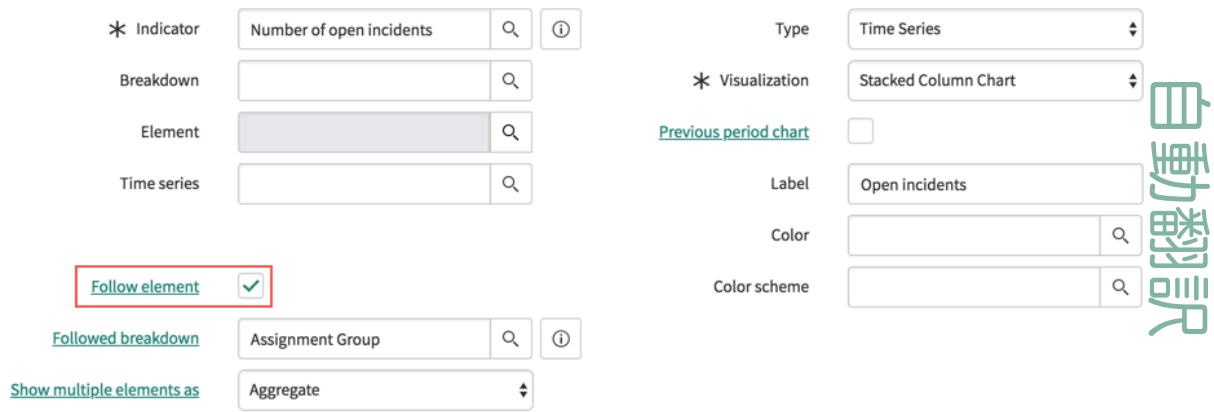
このタスクは、オープン ブレークダウン ダッシュボードから開始していることを前提としています。

必要なロール:pa_power_user、admin

手順

1. ブレークダウンダッシュボードで、プラス記号 ( ) をクリックしてダッシュボードを編集モードにします。
2. ウィジェットをポイントし、鉛筆アイコン ( ) をクリックします。
   ウィジェットレコードが開きます。
3. ウィジェットレコードの [**Follow element** (要素をフォロー)] を選択します。

オプションを表示するウィジェットレコード



ウィジェットの [要素を フォロー] を選択しない場合、そのウィジェットはダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をフォローしません。[フォローしているブレークダウン] オプションと [複数の要素を表示] オプションは表示されません。

ウィジェットが式インジケーター用である場合、式のすべての貢献インジケーターが、ダッシュボードで選択したブレークダウンソースをサポートしている必要があります。それ以外の場合、ウィジェットにスコアは表示されません。この場合、状況を通知するメッセージが表示されます。

> **重要:**
> ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されているすべての要素を上書きします。

4. 複数のブレークダウンがダッシュボードのブレークダウン ソースの 1 つを使用する場合は、[フォローしているブレークダウン] のウィジェットに適用するブレークダウンを指定します。

Example

たとえば、オープン担当者、要求元、要求、アサイン先などのブレークダウンは、Users.Active ブレークダウン ソースを使用します。ダッシュボードに Users.Active を追加する場合は、そのダッシュボードにある各ウィジェットの [フォローしているブレークダウン] で関連するブレーク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダウンを選択します。このオプションは、ダッシュボードに追加した他のブレークダウン ソースには影響しません。

5. [複数の要素を表示] フィールドで、ダッシュボードビューアーが複数のブレークダウン要素を選択したときのスコアの表示方法を選択します。
次の 2 つの可能性から選択します。

   - [集計] は、選択したすべての要素の単一の集計スコアを示します。
   - [分離] では、選択した各要素が個別に表示されます。

   すべてのウィジェットとインジケーターのタイプが両方のビューをサポートしているわけではありません。一部のタイプでは、複数の要素の選択がまったくサポートされていません。ウィジェットとインジケーターの組み合わせに複数の要素を選択できない場合は、フィールドに [利用不可] と表示されます。詳細については、「複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する

ダッシュボードで複数の要素を選択すると、それらの要素に従うウィジェットは、それらの値を個別に、または集計として表示できます。

ウィジェット フォームで、[複数の要素を表示] フィールドを使用して、複数の要素を個別に表示するか、集計として表示するかを設定します。ビュータイプが [独立] のウィジェットでは、選択したブレークダウン要素ごとに異なる値が表示されます。ビュー タイプ が [アグリゲート] のウィジェットには、選択したすべてのブレークダウン要素の集計値を表す単一の値が表示されます。

ウィジェット タイプによって、集計ビュー、個別ビュー、またはその両方を使用できるかどうかが論理的に決まります。また、式インジケーターは、インジケーターレコードで集計ビューが明示的に有効になっている場合にのみ、集計ビューをサポートします。たとえば、スコアウィジェットでは集計ビューのみを表示できます。集計ビューが有効になっていない場合、式インジケーターのスコアウィジェットを複数の要素でフィルタリングすることはできません。この場合、[複数の要素を表示] フィールドには [利用不可] と表示され、グレー表示されます。詳細については、「 複数の要素のアグリゲートをサポートするインジケーター」セクションを参照してください。

集計ビューと個別ビューのウィジェットサポート

- 時系列ウィジェットは、集計ビューと個別ビューをサポートしています。
- リストウィジェットは、集計ビューと個別ビューをサポートしています。
- スコアウィジェットは集計ビューのみをサポートしています。
- ブレークダウンウィジェットは、アグリゲートビューのみをサポートしています。

注:
ピボット、ワークベンチ、またはテキストの可視化で複数の要素を選択することはできません。

複数の要素のアグリゲートをサポートするインジケーター

次のインジケーターは、集計ビューをサポートしています。

- カウント、合計、最小、または最大値としてデータをアグリゲートする自動インジケーター

注:
ここでは、「集計」という用語は、複数のインジケータースコアの集計ビューと、インジケーターに設定されたデータ集計の 2 つの異なる目的で使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 手動インジケーター
- SQL ステートメントで SQL AVG() または SQL COUNT(DISTINCT...) を使用しない外部標識
- インジケーターレコードで集計要素ビューが有効になっている式インジケーター。詳細については、式インジケーターの作成 の [その他] タブにある [複数のブレークダウン要素スコアのアグリゲーションを許可] フィールドのエントリを参照してください。

重要:

- 平均または個別のカウントとしてデータを集計するインジケーターは、集計ビューをサポートしていません。
- [複数の要素を表示] の値は、メインウィジェットとインジケーターウィジェットの両方に適用されます。[アグリゲート] が選択されていても、インジケーターウィジェットの 1 つがアグリゲートビューをサポートしていない場合、そのインジケーターはブレークダウンダッシュボードの要素をフォローしません。代わりに、インジケーターは、ウィジェット構成で設定されている第 1 レベルのブレークダウンと要素に従います。他のインジケーターは、ブレークダウンダッシュボードの要素をフォローし、それらの値のアグリゲートを表示します。

アグリゲートビューを表示したときの結果

複数の要素のアグリゲートビューには、インジケーターのデータアグリゲーションに応じて異なる結果が表示されます。

自動インジケーターデータアグリゲーション	外部標識 **SQL** ステートメント	ウィジェットで、複数の要素の集計ビューに表示される内容
COUNT (カウント)	SQL カウント()	選択した要素のスコアの合計
SUM (合計)	SQL 合計()	選択した要素のスコアの合計。それ自体が合計です
最大	SQL MAX()	各時点で最も高い値を持つ要素
最小	SQL MIN()	各時点で最小値だった要素

アグリゲートビューを選択した場合、すべてのウィジェットで、またはユーザーがウィジェットからアナリティクスハブに移動したときに、一部の機能を利用できない場合があります。

- アグリゲートビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。
- ターゲットとしきい値は、時系列ウィジェットでは使用できません。
- ターゲットとブレットグラフは、リストウィジェットでは使用できません。

ウィジェットインジケーターとブレークダウンダッシュボード

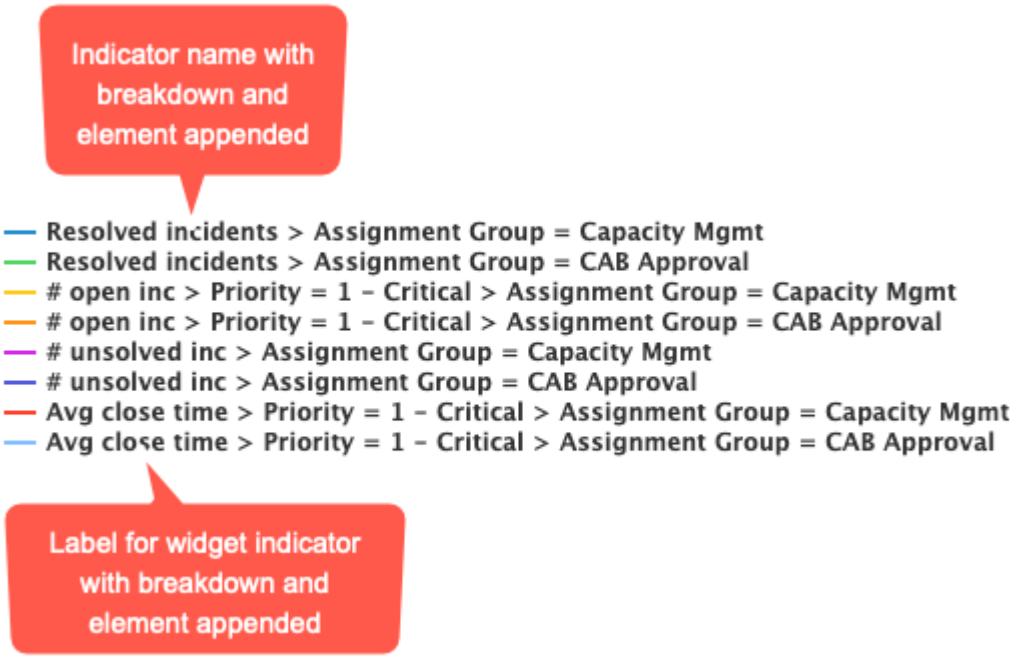
ユーザーがブレークダウンダッシュボードでブレークダウン要素を選択すると、ブレークダウンと要素名がウィジェットインジケーター名に追加されます。ウィジェットインジケーターのラベルには、ブレークダウンと要素の名前も追加されます。次の状況では、ブレークダウンと要素の名前はウィジェットインジケータの名前とラベルに追加されません。

自動翻訳

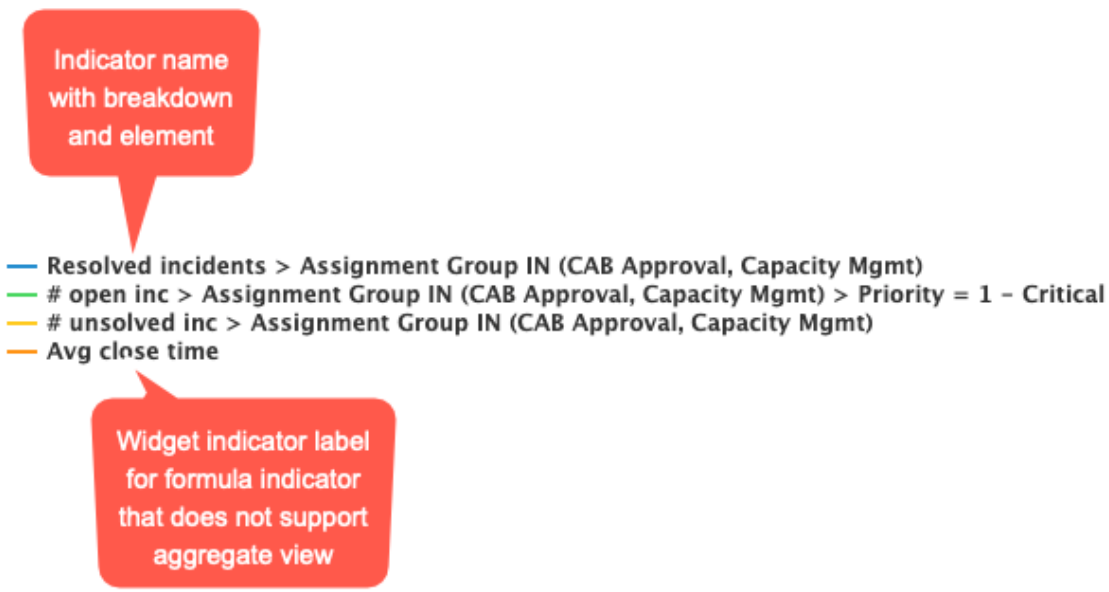
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットは複数の要素のアグリゲートビューを表示しますが、ウィジェットインジケーターはこのビューをサポートしていません。
- ウィジェットは要素をフォローしません。
- ウィジェットインジケーターは、選択したブレークダウン要素をサポートしていません。

複数の要素が選択された個別のビューのウィジェットインジケーターの名前とラベル



複数の要素が選択されたアグリゲートビューのウィジェットインジケーターの名前とラベル

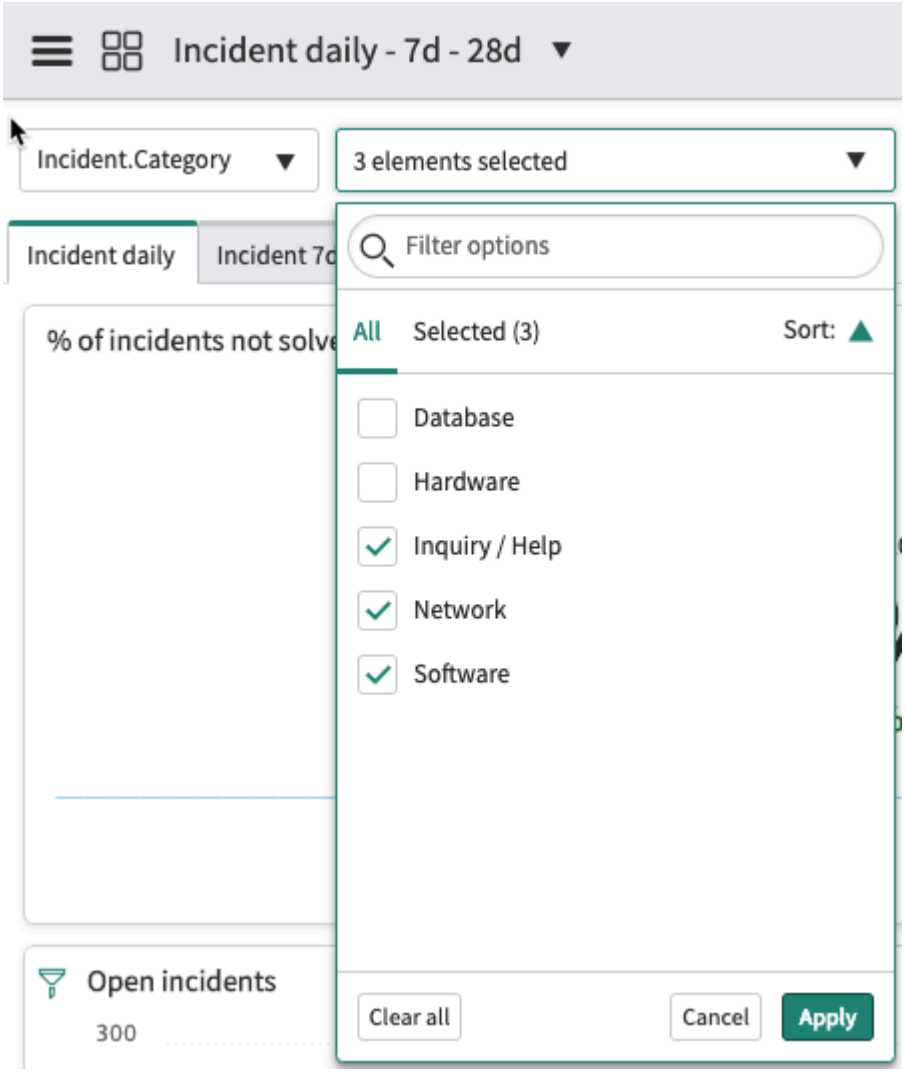


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 複数の要素の集計値と個別の値を含むオープンインシデント

ブレークダウン ソースが Incident.Category で、[問い合わせ/ヘルプ]、[ネットワーク]、および [ソフトウェア] の 3 つの要素が選択されているブレークダウン ダッシュボードを考えてみましょう。



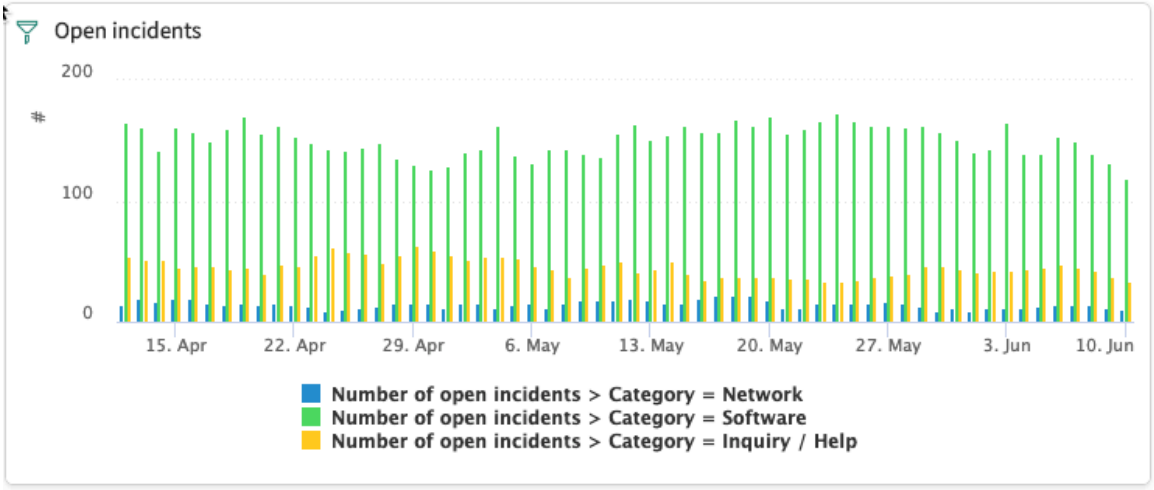
ダッシュボードには、[オープンインシデント] と呼ばれる時系列ウィジェットが含まれています。このウィジェットには、[カウント] アグリゲートを持つ [オープンインシデントの数] インジケーターが表示されます。ウィジェットは、ダッシュボードで選択されている要素に従います。したがって、ウィジェットでは、ダッシュボードで選択された複数の要素を個別に、または集計値として表示できます。**[Show multiple elements as]** フィールドが **[Separate]** に設定されている。



自動翻訳

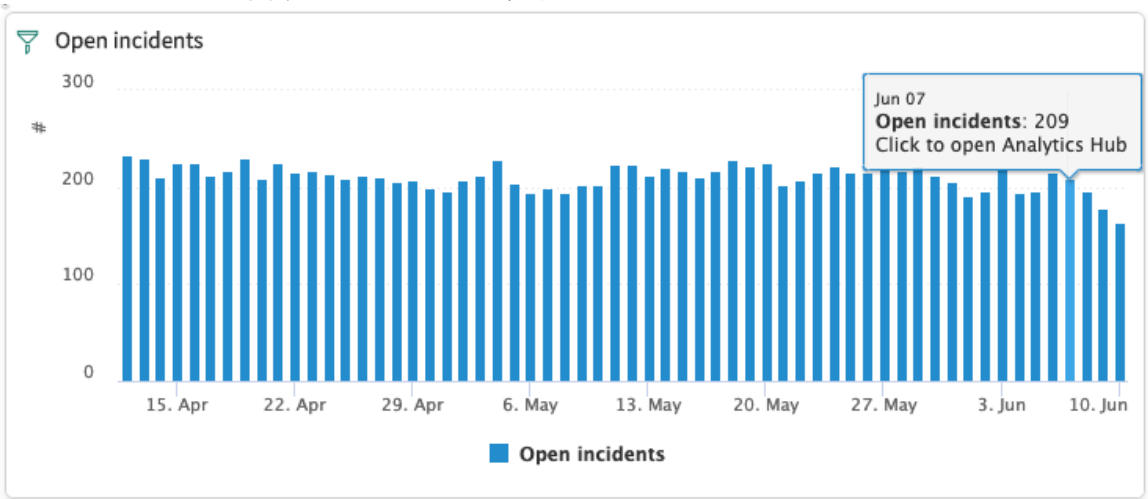
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードでは、日ごとに選択された 3 つの要素ごとに個別の列が表示されま



す。

[**Show multiple elements as**] フィールドを [**Aggregate**] に設定すると、選択した 3 つの要素に対して 1 つの集計スコアが表示されま



す。

ウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウン

ウィジェットがダッシュボードと同じブレークダウンを使用する場合、ダッシュボード ブレークダウンは適用されません。

ウィジェットを設計するときは、そのウィジェットに適用するブレークダウンのレベルを最大 2 つ指定できます。その後、そのウィジェットを、ブレークダウン ダッシュボードを含む任意のダッシュボードに追加できます。ダッシュボードのブレークダウンの 1 つがウィジェットのブレークダウンの 1 つと同じである場合、そのダッシュボード ブレークダウンはウィジェットに影響しません。そのブレークダウンの動作は、このウィジェットで [要素をフォロー] が無効にされた場合と同じになります。

インタラクティブなブレークダウン選択を備えたブレークダウン タイプ ウィジェットをダッシュボードに追加する場合、この制限は完全には適用されません。ユーザーがウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウンを選択すると、ダッシュボードのブレークダウンは無視されます。しかし、ユーザーが他の組み合わせのブレークダウンをウィジェットとダッシュボードで選択すると、両方のブレークダウンが適用されます。

Example: ブレークダウン ダッシュボードのブレークダウン ウィジェット

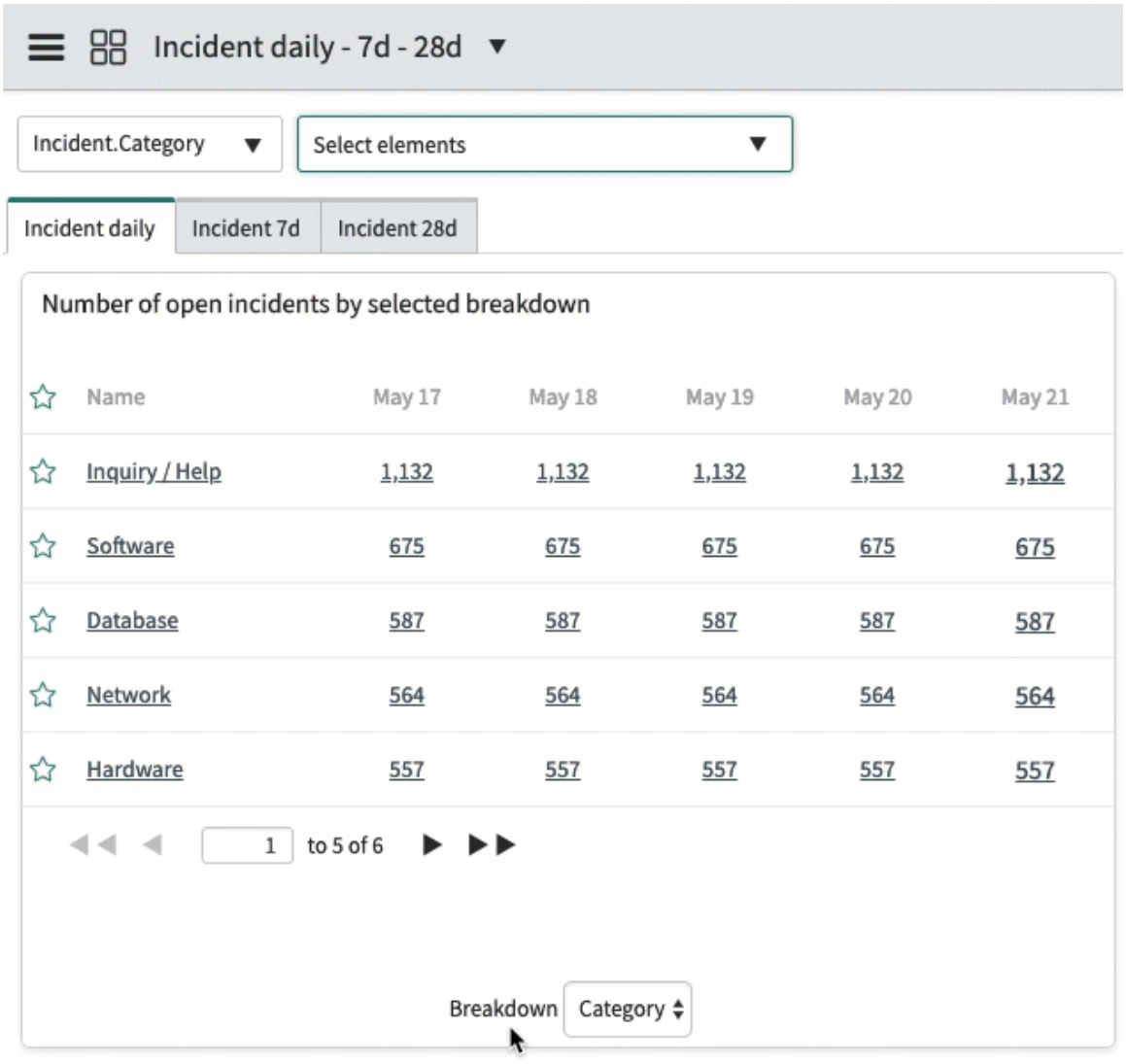
次のアニメーションは、ブレークダウン ダッシュボードにブレークダウン ウィジェットを示しています。ウィジェットの構成で [要素をフォロー] が選択されている。ダッシュボードとウィジェットの両方で、カテゴリブレークダウンの要素が使用されています。ダッシュボード上の要素を選択して

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

も、ウィジェットには影響しません。次に、ウィジェットで緊急度ブレークダウンを選択します。ダッシュボードで要素を選択すると、ウィジェットに影響するようになりました。ウィジェットのブレークダウンではなく、ダッシュボードのブレークダウン ソースを変更した場合は、ダッシュボード上の要素の選択もウィジェットに影響を与えます。

ブレークダウン ダッシュボードのインタラクティブなブレークダウン選択を持つウィジェット



ダッシュボードのブレークダウン関係の表示

ブレークダウン ウィジェットは、ダッシュボード用に選択された要素に関連する第 1 レベルのブレークダウン要素を表示できます。ウィジェットはブレークダウン ダッシュボード上になければなりません。そのダッシュボードには、関連するブレークダウンのブレークダウン ソースが含まれている必要があります。

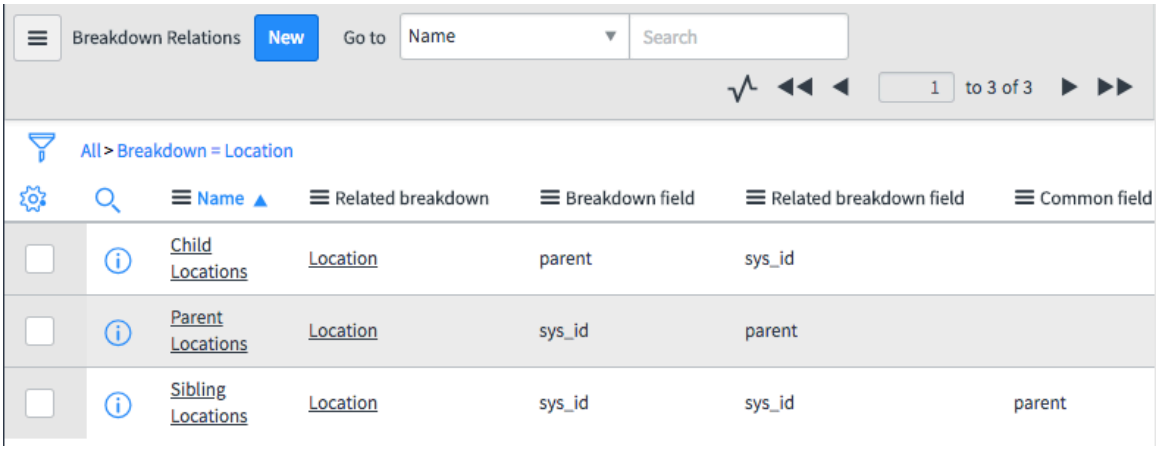
注:
ブレークダウンの関連付けを表示するウィジェットのダッシュボードで複数の要素を選択することはできません。

オープン インシデントの数などのインジケーターを考えてみましょう。このインジケーターは、場所ブレークダウンを使用します。場所ブレークダウンには、その要素間に 3 つのブレークダウン関係があります。場所の要素の場合、これらの関係は次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

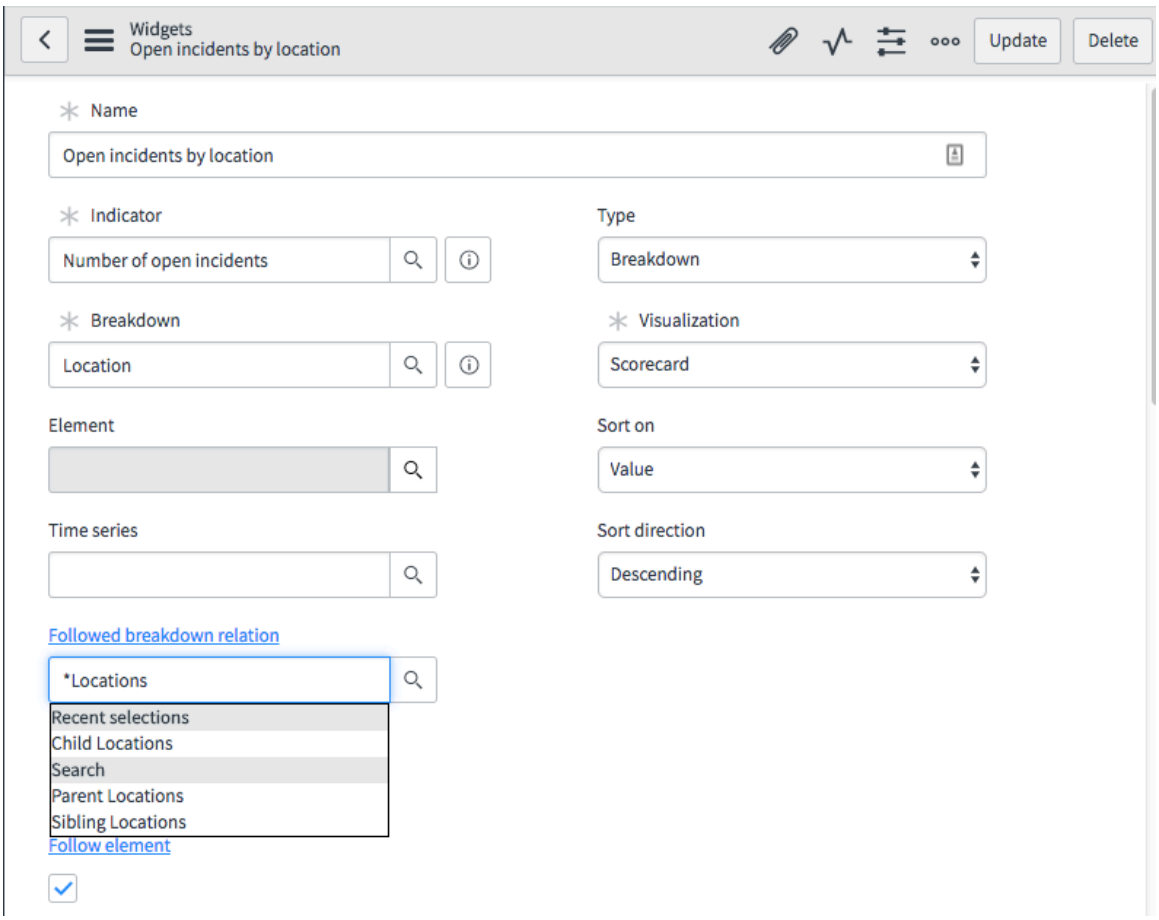
- 親場所。Sys ID 値が他の場所要素の [親] フィールドにあります。
- 子場所。その [親] フィールドの他の場所要素のSys ID 値を持ちます。
- 兄弟場所。[親] フィールドで同じ値を共有する場所要素で構成されます。

場所の要素間のブレークダウン関係



ここで、場所別にグループ化されたオープン インシデントの数インジケーター スコアを表示するウィジェットを考えてみましょう。ブレークダウン ダッシュボードで選択された要素をフォローするようにウィジェットを設定します。ここで、フォローするブレークダウン関係を選択する必要があります。

ブレークダウン関係別に要素を表示するウィジェットの設定



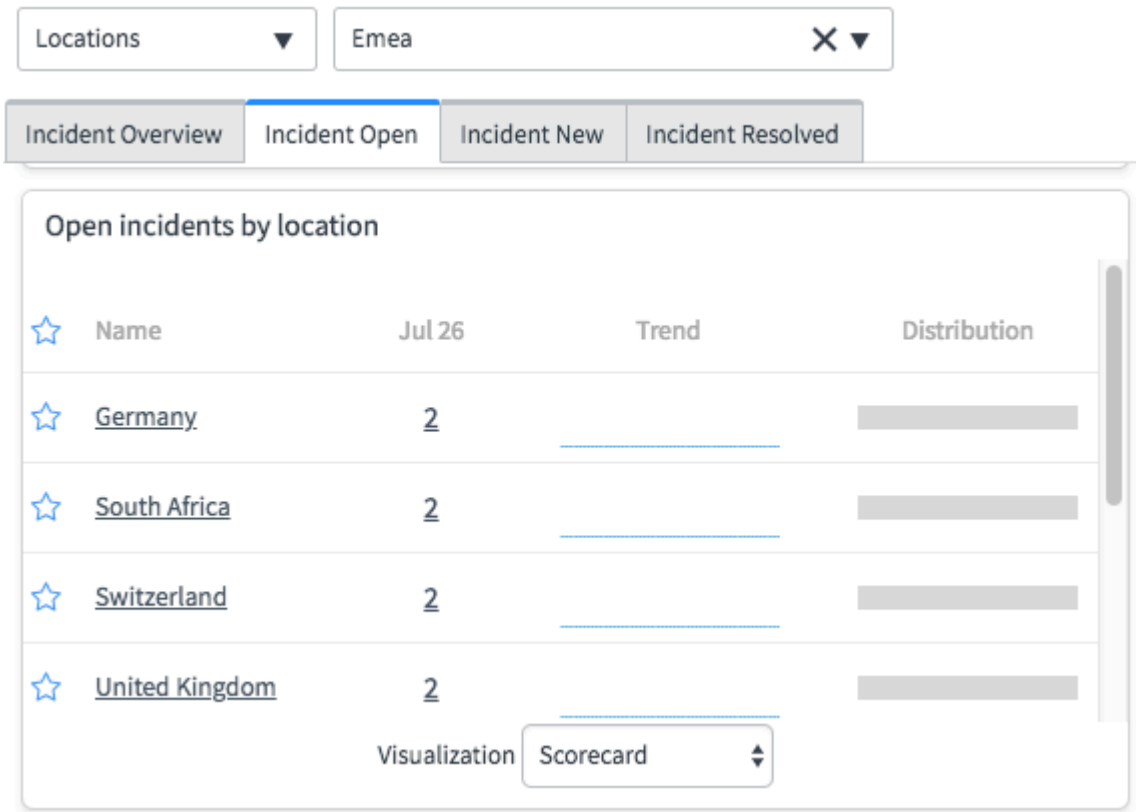
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
[フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、[スコアカード] のチャート化が選択されている場合にのみ機能します。ユーザーが他のチャート化でブレークダウン関係をフォローできるようにするには、ウィジェット フォームで [表示方法セレクタを表示] を選択します。

子場所を選択します。これで、場所ブレークダウン ソースを使用するブレークダウン ダッシュボードにウィジェットを配置しました。場所は場所ブレークダウンのブレークダウン ソースなので、ダッシュボードで場所の要素を選択することができます。EMEA を選択すると、EMEA を親とする場所がウィジェットに表示されます。

ダッシュボード要素の子を表示するブレークダウン ダッシュボードのウィジェット

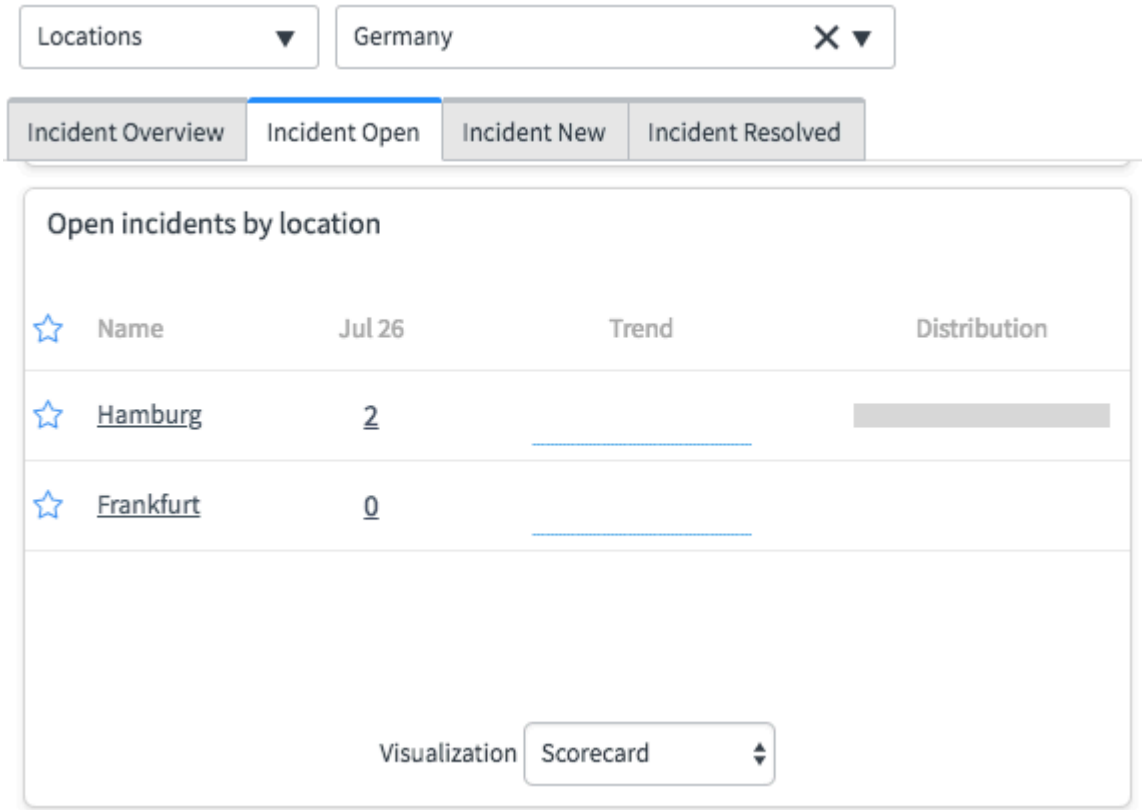


「孫」要素や「曾孫」要素まで、レベルを下げることができます。たとえば、ここではドイツの場所が選択されています。

自動翻訳

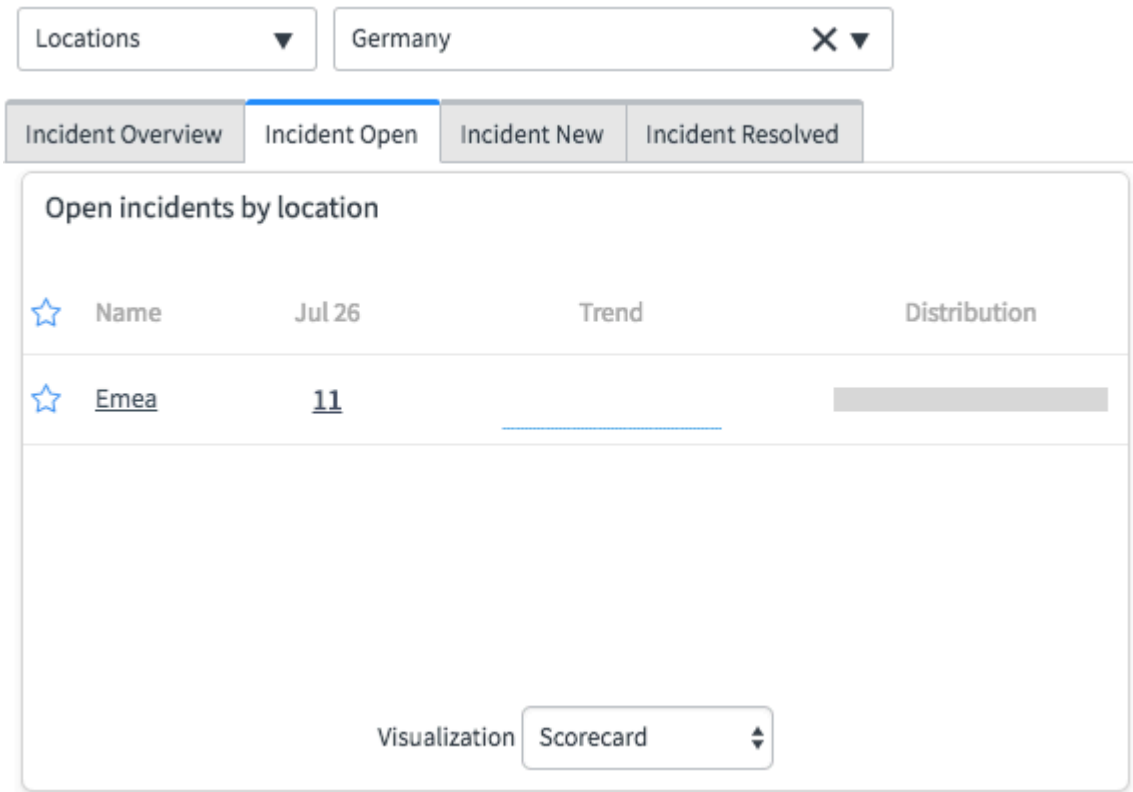
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EMEA の子が選択されているブレークダウン ウィジェット



子場所の代わりに親場所を表示するようにウィジェットを編集し、ダッシュボードで再度ドイツを選択すると、ドイツの親場所が表示されます。

ダッシュボード要素の親を表示するブレークダウン ウィジェット



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

ブレークダウンの関連付けによるブレークダウン要素のナビゲーション

ブレークダウン ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値

ターゲットとしきい値を使用すると、データ内の重要なポイントを定義し、スコアが特定のポイントに達したときに通知を行うことができます。

パフォーマンスアナリティクス ターゲット

ターゲットは、組織が達成したい目標です。ターゲットは、特定の日付における目的のスコアとインジケーターの実際のスコアとの差を示します。

ターゲットは、KPI 詳細 またはそれと同等コア UIアナリティクスハブに対して作成できます。

ターゲットは、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のターゲットは、作成したユーザーだけが見ることができ、明るい線で表示されます。グローバル ターゲットは、すべてのユーザーに表示され、暗い線で表示されます。個人のターゲットは共有できないため、 アナリティクスハブと KPI 詳細にのみ表示されます。ターゲットの可視化のマトリックスは次のとおりです。

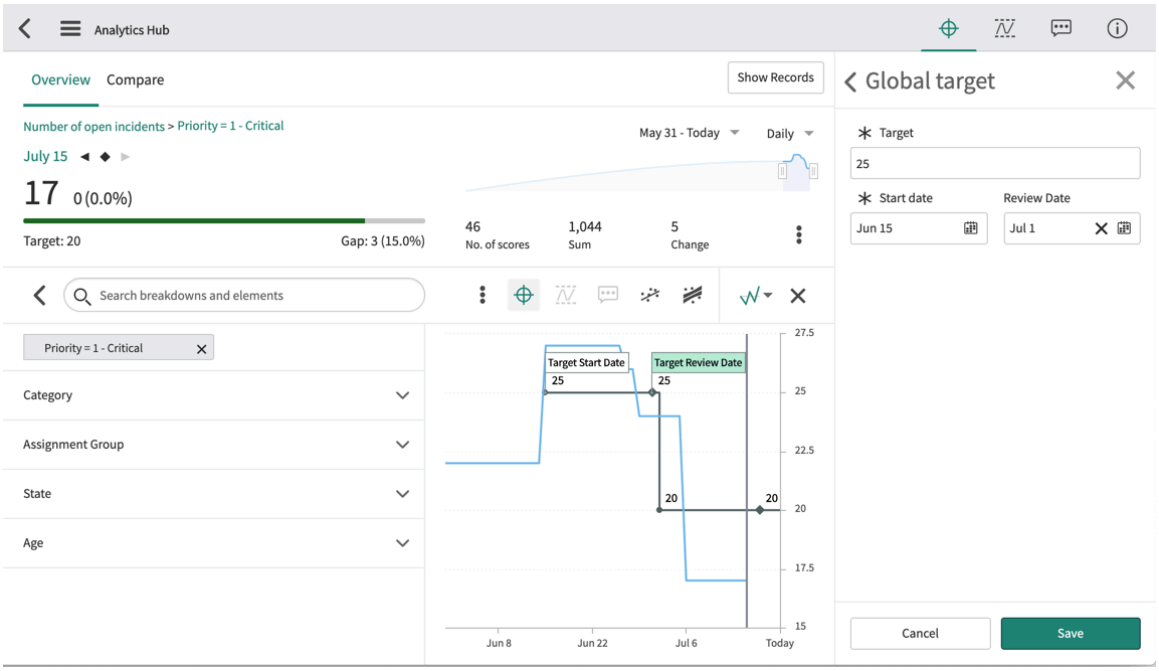
ターゲットを示す機能

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルまたは個人ターゲット	表示または設定
KPI 詳細	アナリティクスハブ	グローバルおよびパーソナル	設定と表示
時系列 および 単一スコア プラットフォームアナリティクス データの可視化	時系列 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	グローバル	表示のみ
のダッシュボード プラットフォームアナリティクス ターゲットを示す時系列または単一スコアデータの可視化を含む	ターゲットを表示する時系列パフォーマンスアナリティクスウィジェットを含むレスポンシブダッシュボード	グローバル	表示のみ
プラットフォームアナリティクスダッシュボード上のプロアクティブなアナリティクスインサイトカード。ターゲットの達成または違反が表示されます	同等のものはありません	グローバル	表示のみ
UI ビルダー ターゲットを示す時系列または単一スコアデータの可視化を含むページ	同等のものはありません	グローバル	表示のみ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットを編集用に開く



ターゲットを作成または編集

インジケーターのターゲット値を設定できます。ターゲットは、特定のブレークダウン要素と時系列にのみ適用できます。ターゲットは選択した日付に適用が開始され、次のターゲットを設定するまで適用され続けます。ただし、ターゲットを再検討するレビュー日を設定することはできます。

始める前に

必要なロール:すべてのユーザーに表示されるグローバルターゲットを作成する pa_target_admin。アナリティクスハブまたはKPI 詳細でインジケーターを表示できるユーザーは、ターゲットを表示して個人ターゲットを作成できます。pa_target_admin、pa_power_user、またはpa_adminは、任意のグローバルターゲットを編集できます。

手順

1. いずれも：
   - インジケーターの アナリティクスハブ を開きます。
   - プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスで作業している場合は、インジケーターのKPI 詳細を開きます。詳細については、「でのターゲットの作成 KPI 詳細」を参照してください。

     注:
     KPI 詳細 には、複数のブレークダウン要素に対してターゲットを一括で設定する追加オプションがあります。詳細については、「での複数のブレークダウン要素に対するターゲットの追加 KPI 詳細」を参照してください。

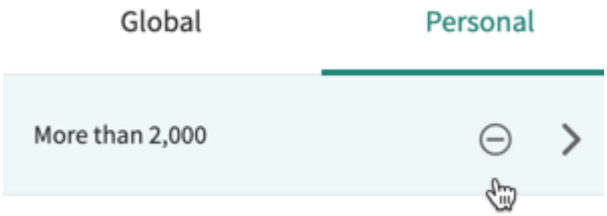
2. ターゲットをスコアのサブセットに制限するには、ブレークダウンとブレークダウン要素を選択します。
   第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択することもできます。
3. ターゲットを特定の時系列 (7 日間の合計など) にのみ適用する場合は、時間集計を選択します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
4. 「ターゲット」アイコン( )をクリックします。
   [ターゲット] パネルが開きます。
5. [ターゲット] パネルで、[グローバル ターゲット] または [個人ターゲット] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択したブレークダウン要素または時系列に適用される、このインジケーターの既存のグローバルターゲットまたは個人ターゲットがすべて表示されます。ブレークダウン要素または時系列を対話形式で選択および選択解除でき、ターゲットのリストが更新されます。

6. 新しいターゲットを作成するか、既存のターゲットを編集または削除します。
   - ターゲットを作成するには、[+] プラス記号をクリックします。
   - 既存のターゲットを編集するには、ターゲットパネルでそのターゲットをクリックします。
   - アナリティクスハブ内の既存のターゲットを削除するには、削除アイコンをクリックします。



7. 次のいずれかの方法で、スコアのターゲット値を入力します。
   - [ターゲット] に絶対値を入力するか、
   - [ベースラインの改善としてターゲットを設定] を選択します。このオプションを選択すると、次のフィールドが使用可能になります。

フィールド	**Description** (説明)
ターゲット計算	改善のパーセンテージまたは改善するインジケーターの単位数を選択します。
Direction (方向)	インジケーターに方向が定義されている場合、このフィールドは読み取り専用です。インジケーターの方向が変わると、このフィールドも変更されます。それに応じてターゲットが再計算されます。 インジケーターに方向がない場合は、ここでターゲットの方向を設定できます。ただし、通常はインジケーターで方向を定義することをお勧めします。たとえば、改善または悪化を示すスコアの色は、インジケーターで方向が定義されている場合にのみ機能します。
KPI のパーセンテージ/単位	ベースラインに対するターゲット変更として必要な KPI のパーセンテージまたは単位数を入力します。
ベースライン	改善を既存のターゲットに適用するか、 アナリティクスハブ で選択した日付範囲の平均値に適用するかを決定します。既存のターゲットを選択するには、別のターゲットが既に存在している必要があります。日付範囲の詳細については、「 アナリティクスハブのスコアの日付範囲」を参照してください。
ベースライン値	ターゲットの基礎となる読み取り専用の計算値。
ターゲット	この値は、ベースラインとターゲット計算から計算されます。この値を調整して、たとえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
	ばカウントの小数値を整数に変更することができます。ターゲットを調整すると、KPI のパーセンテージ/単位が再計算されます。

8. 開始日を選択します。
   将来の日付を設定できます。
9. レビュー日を選択します。
   ターゲットは、選択した開始日から次のターゲットの開始日まで適用されます (存在する場合)。後のターゲットを定義しない場合、ターゲットは無期限に適用されます。したがって、レビュー日は、ターゲットの変更を検討するためのリマインダーとして機能します。レビュー後にターゲット値を変更するかどうかにかかわらず、将来の新しいレビュー日を選択することを検討してください。

   > **注:**
   > 重複するターゲットは許可されません。一度にアクティブにできるターゲットは 1 つだけです。

10. [保存] をクリックします。

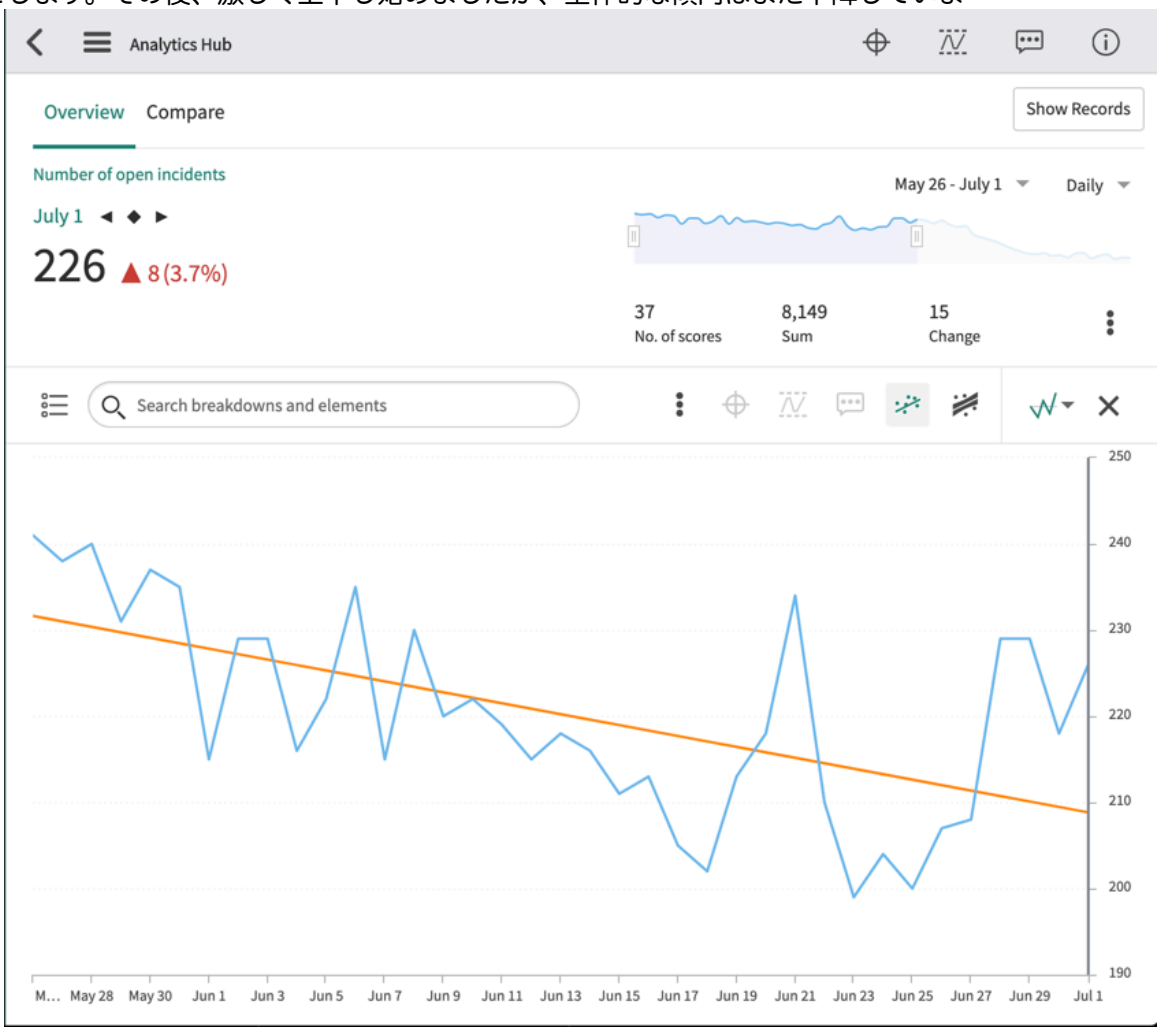
Example: ターゲットの作成、レビューおよび編集

ここでは、より高度なターゲット機能を見ていきます。今日が 7 月 1 日で、オープンインシデントの数が 5 月下旬から 6 月中旬まで定期的に変化し、徐々に減少傾向にあ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

るとします。その後、激しく上下し始めましたが、全体的な傾向はまだ下降していま



す。

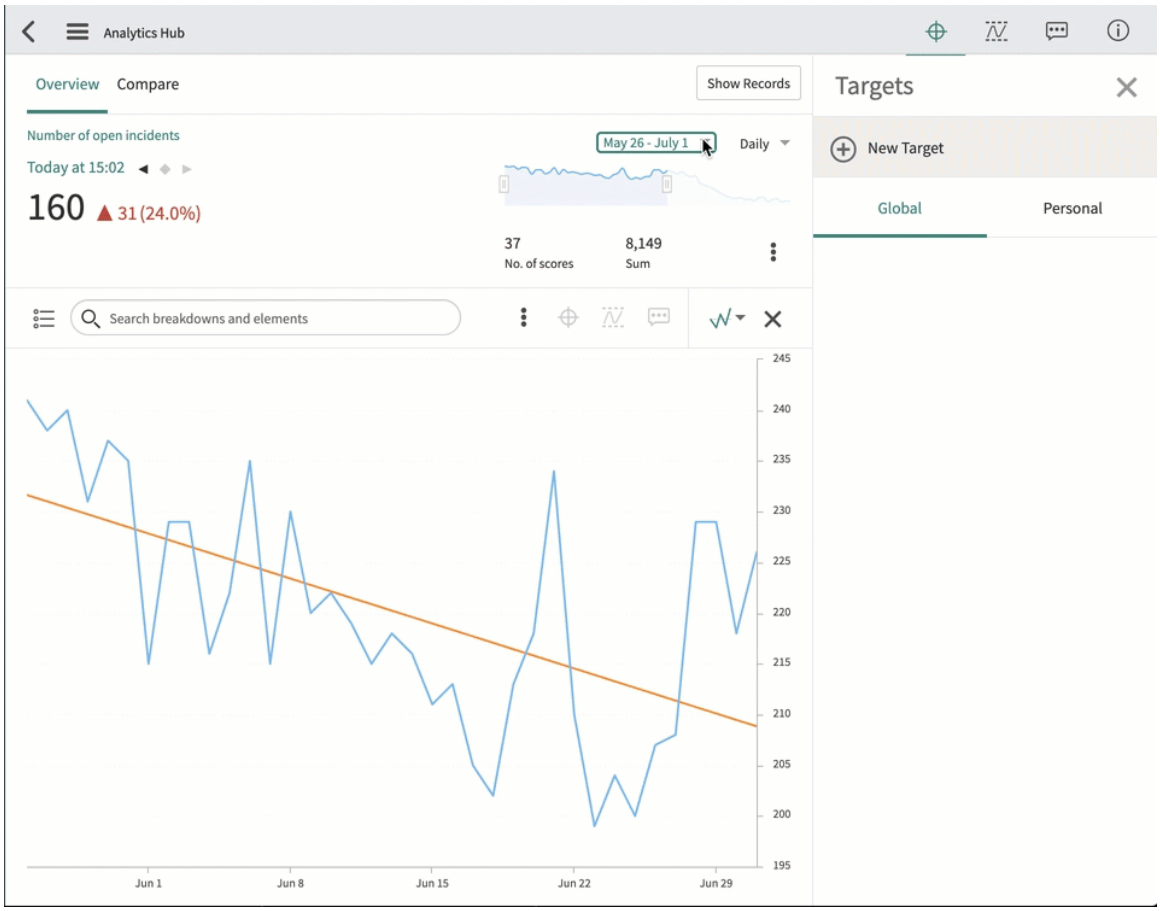
インシデントマネージャーとして、オープンインシデントの数を減少させたいと考えている。スコアから設定すべき適切なターゲットがわからない。しかし、6月中旬までの数字は信頼できるので、それまでの平均スコアが10%下がるのは妥当なようです。そのため、チームの新しいグローバルターゲットを作成します。6 月 15 日までの日付範囲を選択し、その期間の平均の 10% 減少をターゲットとして設定します。今日からターゲットを開始し、7 月 15 日に評価することにします。

最初のターゲットのフィールド設定

フィールド	値
ターゲット計算	割合 (%)
パーセンテージ	10
ベースライン	選択した日付範囲の平均スコア (古いターゲットが設定されていないため、選択肢のみ)
ターゲット	当初の計算値は 202.5 です。インシデント数は整数でしか指定できないため、この値を四捨五入して 203 とすることにします。
開始/終了日	7月1日/7月15日

自動翻訳

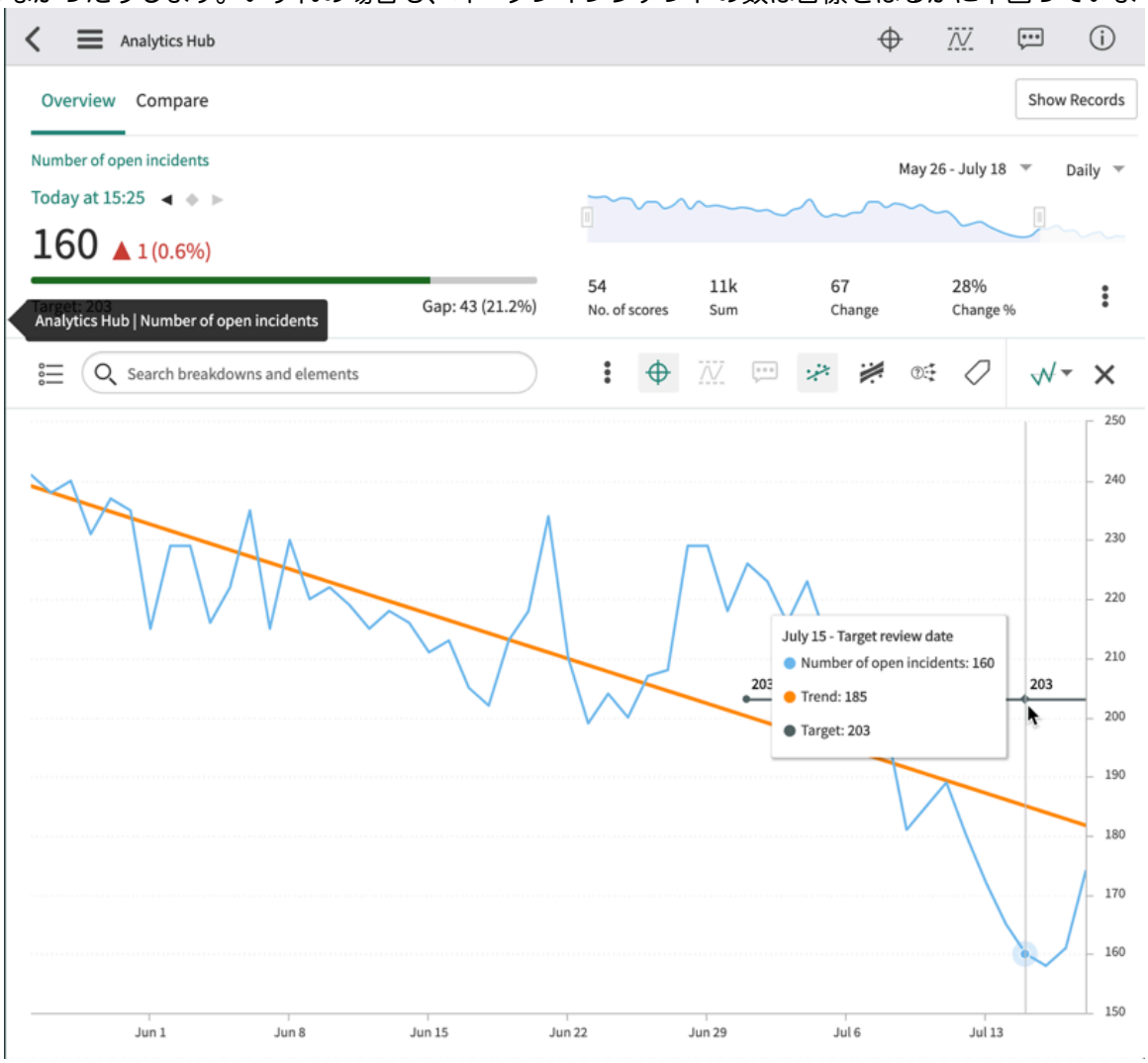
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7 月 15 日が近づき、チームがすべての期待を上回ったか、顧客が全員休暇中でインシデントを報告しなかったりします。いずれの場合も、オープンインシデントの数は目標をはるかに下回っていま



す。

いくつかのオプションがあります。

- 既存のターゲットを編集します。新しいターゲット値と新しいレビュー日 (160 や 8 月 15 日など) を設定します。
- 別のターゲットを作成します。古いターゲットは、新しいターゲットの開始日に適用されなくなります。新しいターゲットは、やはりベースラインの改善である可能性があります。古いターゲットを新しいターゲットのベースラインとして設定することもできます。

次のタスク

通知を受信するユーザーを選択します。通知は、ターゲットが達成されたとき、または 14 日以内に達成が見込まれるときに送信されます。詳細については、「ターゲット通知を受信するユーザーの構成」を参照してください。

KPI 詳細でターゲットの責任ユーザーを指名することもできます。詳細については、「グローバルインジケーターターゲットに対する責任」を参照してください。

関連情報

KPI 詳細

ターゲットのカラー スキームの作成

ターゲットのカラー スキームを使用すると、ターゲットに対するインジケーター スコアの位置を可視化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
たとえば、オープンになっているインシデントの数をフィルタリングする場合、25% 増加のスコアは赤で、10% 増加のスコアはオレンジで、変化なしは黄色で表示することができます。一方、たとえば、25% の減少は暗緑色で示すことができます。パフォーマンス分析では、デフォルトで 3 色の信号と 5 色の信号の 2 つのターゲットのカラースキームが利用できます。

注:
カラースキームはグローバルターゲットにのみ設定でき、個人ターゲットには設定できません。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > システム > ターゲットのカラースキーム.
   ベースシステムには、いくつかのターゲットのカラースキームが用意されています。
2. [新規] をクリックします。
3. [名前] と [説明] を入力します。
4. 5 つの範囲のそれぞれとそれに関連する色を定義します。

   すべての範囲を使用しない場合は、複数の範囲の制限に対し、同じ範囲の色を使用できます。

   色定義 [sys_report_color] テーブルから色を選択します。その他の色を定義する方法については、「 アナリティクスのシステムの色の定義」を参照してください。
5. [送信] をクリックします。

   デフォルトインジケーターのターゲットカラースキームは、 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > システム > プロパティ. これは、インジケーター ターゲットに対してカラー スキームが選択されていない場合に使用されます。

ブレークダウンのすべての要素へのターゲットの追加

ブレークダウンのあるインジケーターのデータの各サブセットに個別に適用されるターゲットを指定できます。

始める前に
必要なロール：pa_target_admin または admin

このタスクについて
たとえば、各アサイン先グループのスコアに個別に適用されるインシデント インジケーターにターゲットを設定することができます。

注:
この機能は、グローバル ターゲットでのみ使用できます。[すべての要素] チェック ボックスは、個人のターゲットには表示されません。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ターゲット.
2. ターゲットを設定する [インジケーター] を選択します。
3. [ブレークダウン] を選択します。
   [すべての要素] チェック ボックスはデフォルトで選択されています。このチェック ボックスをオフにしないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. オプション: [時系列] を選択します。
   たとえば、クローズされたインシデントを毎日測定し、クローズするインシデントの月間目標を設定することができます。
5. オプション: ターゲットの [カラースキーム] を選択します。
6. [送信] をクリックします。

次のタスク
新しいターゲットのターゲット値を定義します。

ターゲット通知を受信するユーザーの構成

ターゲットが達成されたときに通知を受け取るユーザーを制御できます。通知は、今後 14 日以内に目標が達成されると思われる場合にも送信されます。

始める前に
必要なロール：pa_target_admin

このタスクについて
この機能はグローバル ターゲットにのみ適用されます。個人のターゲットの場合、ターゲットの所有者は自動的に通知を受け取ります。

手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ターゲット.
2. ターゲットを選択します。
3. [ユーザー] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. 通知するユーザーを [コレクション] 列から [ユーザーリスト] 列に移動します。
5. [保存] をクリックします。

次のタスク
通知は、ターゲットに達すると自動的に送信されます。通知を受信するユーザーは、その通知の登録を解除することができます。

関連情報
通知

パフォーマンスアナリティクス しきい値

しきい値は、インジケーターの通常のスコアの範囲を定義し、スコアが常に高い状態であるなど、特定のイベントが発生したときに警告します。

しきい値がトリガーされると、インスタンスではメール通知が生成されます。このメッセージはインジケーターに関連付けられており、 アナリティクスハブ または KPI 詳細から直接利用できます。

しきい値は、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のしきい値は、それを作成したユーザーのみが表示でき、明るい灰色の点線で表示されます。グローバルしきい値はすべてのユーザーに表示され、濃い灰色の点線で表示されます。個人のしきい値は、 アナリティクスハブ と KPI の詳細にのみ表示されます。しきい値の可視化のマトリクスは次のとおりです。

しきい値を示す機能

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルまたは個人ターゲット
KPI 詳細	アナリティクスハブ	グローバルおよびパーソナル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

しきい値を示す機能 (続く)

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルまたは個人ターゲット
時系列 プラットフォームアナリティクス データの可視化	時系列 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	グローバル
のダッシュボード プラットフォームアナリティクス しきい値を示す時系列データの可視化を含む	しきい値を表示する時系列ウィジェットパフォーマンスアナリティクスを含むレスポンシブダッシュボード	グローバル
プラットフォームアナリティクスダッシュボード上のプロアクティブなアナリティクスインサイトカード。しきい値違反が表示されます	同等のものはありません	グローバル
UI ビルダー しきい値を示す時系列データの可視化を含むページ	同等のものはありません	グローバル

グローバルしきい値は パフォーマンスアナリティクス 、時系列ウィジェット や データの可視化にも表示できます。 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードは、 プロアクティブアナリティクスインサイトカードを通じて、しきい値に関連するイベントを閲覧者にアラートすることができます。

しきい値の作成または編集

正常と見なされるスコアの範囲を定義するためのしきい値を作成します。

始める前に

必要なロール:あなた自身の個人的なしきい値のための任意のロール。グローバルしきい値および他のユーザーが作成した個人しきい値のpa_threshold_adminロールまたはそれを含むロール(pa_power_user、pa_admin、またはアドミン)。

このタスクについて

しきい値は任意のインジケーターに設定できます。しきい値が適用されるブレークダウンと要素の組み合わせ、および時系列集計を指定できます。

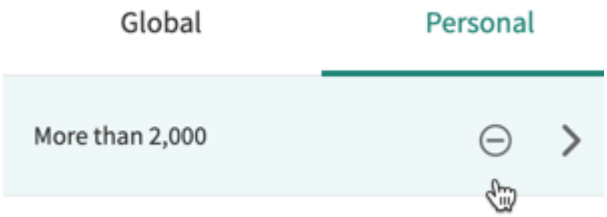
手順

1. いずれも：
   - インジケーターの アナリティクスハブ を開きます。
   - ワークスペースを使用している場合は、インジケーターのワークスペースで KPI 詳細 を開きます。詳細については、「のインジケーターしきい値 KPI 詳細」を参照してください。
2. しきい値をスコアのサブセットに制限するには、ブレークダウンとブレークダウン要素を選択します。
   第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択することもできます。
3. しきい値をデータの特定の集計にのみ適用する場合は、時系列集計を選択します。
4. しきい値アイコン ( ) をクリックします。
   [しきい値] パネルが開きます。
5. [しきい値] パネルで、グローバルしきい値またはパーソナルしきい値を選択します。
   個人のしきい値は自分にのみ表示されますが、admin ロールを持つユーザーは編集または削除できます。個人のしきい値はウィジェットには表示されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. 新しいしきい値を作成するか、既存のしきい値を編集または削除します。
   - しきい値を作成するには、プラス + 記号をクリックします。
   - 既存のしきい値を編集するには、しきい値パネルでそのしきい値をクリックします。
   - アナリティクスハブの既存のしきい値を削除するには、削除アイコンをクリックします。



   KPI 詳細 で既存のしきい値を削除するには、そのしきい値を編集用に開き、[削除] をクリックします。

7. しきい値を作成または編集している場合は、しきい値通知をトリガーする条件を選択します。スコアが最高値に達したとき、またはスコアが特定の値より下がったときが条件になります。
8. [保存] をクリックします。

次のタスク
しきい値を作成したら、しきい値通知を設定します。

関連情報
KPI 詳細

しきい値通知を受信するユーザーの構成

しきい値に達したときにメールを受信するユーザーを設定します。

始める前に
必要なロール:pa_threshold_adminロールまたはそれを含むロール (pa_power_user、pa_admin、または admin)

このタスクについて
この手順は、グローバルしきい値に適用されます。個人のしきい値の通知は、そのしきい値の所有者にのみ送信されます。メッセージ内容を構成するには、PA しきい値到達通知を変更します。詳細については、通知に関するドキュメントを参照してください。

手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > インジケーター > しきい値.
2. しきい値を開きます。
3. [ユーザー] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. [メンバーの編集] 画面で、スラッシュ・バケットを使用してメンバーを追加します。
5. [保存] をクリックします。
   各インジケーターの通知に加えて、しきい値に達したすべてのインジケーターの概要を示す通知を送信することもできます。

しきい値のコメントの設定

[PA しきい値のチェック] ジョブは、PA しきい値到達コメント スクリプト アクションをトリガーします。このアクションは、しきい値に達したインジケーターにコメントを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
インジケーターの アナリティクスハブ を開くと、コメントが表示されます。異なるテキストを表示するには、しきい値コメントを設定します。

手順

1. 移動先 すべて > システムポリシー > イベント > スクリプトアクション.
2. **[PA** しきい値到達コメント] を開きます。
3. スクリプト内の `buildMessage` 関数を変更します。
4. [更新] をクリックします。

しきい値の概要通知の構成

各インジケーターの通知に加えて、しきい値に達したすべてのインジケーターの概要を示す通知を送信することもできます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
この手順では、概要通知にアクセスし、通知を受け取るユーザーおよび通知の内容を変更する方法について説明します。

手順

1. 移動先 すべて > システムポリシー > メール > 通知.
2. **[PA** しきい値通知] を選択します。
3. オプション: [受信者] セクションに、[ユーザー] または [グループ] のいずれかのロック アイコンをクリックしてから適切なユーザーまたはグループを選択し、追加します。
4. オプション: [メッセージ] フィールドを変更し、メッセージの内容を変更します。
5. [更新] をクリックします。

ターゲット/しきい値を一括削除するか、別のユーザーの個人ターゲットまたはしきい値を削除します

グローバルターゲットまたはしきい値を作成できる場合は、一括で削除できます。同じプロセスを使用して、別のユーザーの個人ターゲットまたはしきい値を削除します。

始める前に
必要なロール:pa_target_admin、pa_threshold_admin、pa_power_user

このタスクについて
ロールでグローバルターゲットまたはしきい値の作成が許可されている場合は、ターゲットまたはしきい値リストから任意のターゲットまたはしきい値 (個人のものを含む) を削除できます。

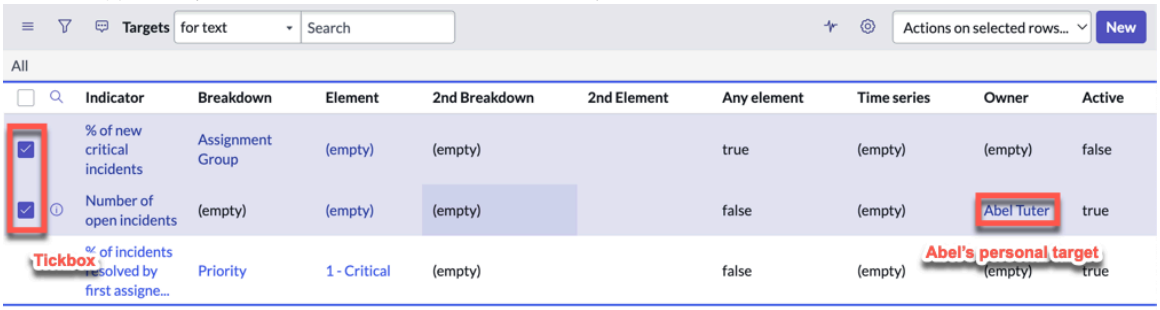
手順

1. 移動先 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ターゲット または **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > しきい値.
2. 削除するターゲットまたはしきい値のチェックボックスを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

所有者がターゲットまたはしきい値に指定されている場合、それは所有者の個人的なターゲットまたはしきい値です。



3. [**Actions on selected rows...**] リストを展開し、[**Delete**] を選択します。
「確認」ダイアログが開きます。
4. [確認] ダイアログの警告を読み、安全であることが確実な場合は [削除] を選択します。

他のユーザーの個人ターゲットまたはしきい値の追加または変更

グローバルターゲットまたはしきい値を作成できる場合は、任意のユーザーの個人のターゲットまたはしきい値を変更または追加できます。

始める前に

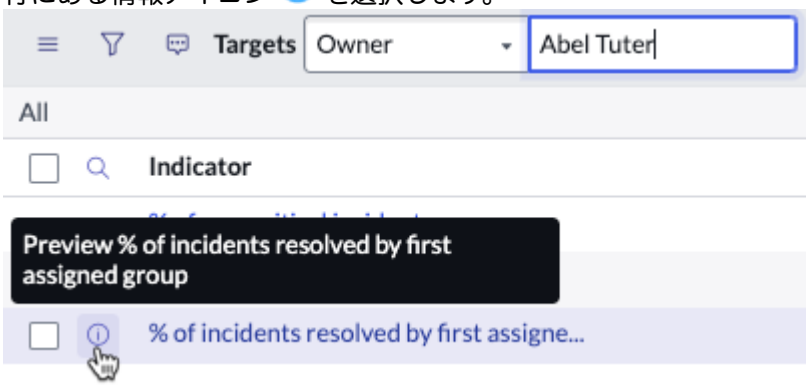
必要なロール:pa_target_admin、pa_threshold_admin、pa_power_user

このタスクについて

ユーザーの個人的なターゲットまたはしきい値を検索するか、新しいターゲットまたはしきい値を作成してユーザーに割り当てることができます。

手順

1. 移動先 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ターゲット または **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > しきい値.
2. 既存の個人しきい値またはターゲットを開いて変更するには、次の手順に従います。
   a. オーナーでレコードを検索します。
   b. 変更するターゲットまたはしきい値が見つかったら、そのターゲットまたはしきい値レコードの行にある情報アイコン ⓘ を選択します。



そのターゲットまたはしきい値レコードのプレビューが表示されます。

   c. プレビューで [**Open Record** (レコードを開く)] を選択します。
プレビューされたレコードが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 新しい個人のしきい値またはターゲットを作成するには、次の手順に従います。

   a. [ターゲット] または [しきい値] リストで、[新規] を選択します。

   b. 開いたターゲットフォームまたはしきい値フォームで、 オーナーを指定します。
   所有者は、インジケーターの KPI 詳細 または アナリティクスハブでこのターゲットまたはしきい値を確認することができる唯一のユーザーです。

   しきい値の場合、単一の所有者を選択する代わりに、関連リストに複数のユーザーを指定できます。これらのすべてのユーザーには、インジケーターの KPI 詳細 と アナリティクスハブ にこのしきい値が表示されます。

4. ターゲットまたはしきい値の インジケーター とブレークダウン、ブレークダウン要素、または時系列集計を指定または変更します。
5. その他の関連フィールドに入力します。
6. 新しいターゲットを作成する場合は、保存してください。
   [ターゲット値] 関連リストが表示されます。
7. ターゲットの場合は、既存のターゲット値の開始日、レビュー日、または値を変更するか、[新規] を選択して新しいターゲット値を作成します。
   複数のターゲット値を設定できますが、開始とレビューの日付範囲を重複させることはできません。

リアルタイムスコア

一部の パフォーマンスアナリティクス スコアは、最新のデータ収集ジョブからではなくリアルタイムで表示できます。リアルタイム スコアが有効になっている場合は、 アナリティクスハブ 、一部のウィジェット、レポートでリアルタイム スコアを表示できます。

通常、可視化で表示できる最新のスコアは、正常に実行された最新のデータ収集ジョブのスコアです。ただし、一部の可視化では、インジケータースコアをリアルタイムで表示できます。

次の基準を満たすインジケーターのリアルタイムスコアを表示できます。

- インジケーターは自動インジケーターです。
- リアルタイムスコアを表示するように構成されています。
- インジケーターのアグリゲート関数はスクリプトを使用しません。
- インジケーターソースはデータベースビューを使用しません。
- インジケーターに適用されるブレークダウンは、スクリプト化されたブレークダウンソースを使用しません。

次の可視化では、スコアをリアルタイムで表示できます。

- アナリティクスハブ。
- 構成可能なワークスペースでは、リアルタイム更新をサポートするデータの可視化。
- KPI 詳細
- パフォーマンスアナリティクス リアルタイム チャート化によるスコア ウィジェット
- 単一スコアレポート
- ワークベンチウィジェット、メインインジケーター用

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

警告:
リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。

重要:
アナリティクスハブ はリアルタイムスコアを自動的に更新しません。 アナリティクスハブ で最新のスコアを表示するには、ブラウザーページを更新します。ウィジェットと KPI 詳細 は自動的に更新されます。

関連情報

- 自動インジケーターの作成
- アナリティクスハブ 特定のインジケーターの
- スコア ウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成
- 単一スコア レポート
- ワークベンチ プロセス ウィジェットによるワークフローの監視

時系列集計の適用

インジケーターの変化を個別の時間間隔に集計できます。これらの集計により、傾向が見やすくなったり、ターゲットに対する進捗状況を追跡したりするのに役立ちます。

時系列集計は、平均や SUM などの関数と、四半期別などの時系列の組み合わせで構成されます。これらの集計は、アナリティクスハブ、ワークスペースエクスペリエンス内のKPI 詳細、またはパフォーマンスアナリティクスウィジェットのいずれかで設定できます。

例えば、毎日何歩いたかを記録する時計、スマートフォン、フィットネストラッカーなど。これらのデバイスはすべて、測定値を分単位で収集して保存します。ただし、アプリとレポートは、多くの場合、先週、先月、または昨年と比較してアクティビティがどのように進行しているかを示すように設計されています。午前10時と正午のどちらでより活動的だったかを確認するのは1つのことです。ただし、本当に知りたいのは、時間の経過とともに改善し続けているかどうかです。歩数を週次、月次、および年次スコアに集計すると、アクティビティの傾向を簡単に特定できます。

日次インジケータースコアは基本的なものであり、ほとんどの場合望ましいものですが、週、月、または四半期ごとにスコアを利用できるようにしたい場合もあります。それ以外の場合は、現在の時点までの累積的な進捗状況を示す月/四半期/年度累計の数値が必要です。パフォーマンスアナリティクスでは、複数のインジケーターソースと各間隔を追跡するインジケーターを定義する代わりに、データを一度キャプチャしてからビューを調整することができます。次のいずれかのシナリオで時系列集計を使用します。

- 期間時系列を使用して、頻度の低い期間にデータを集計します。
- データのスパイクを平滑化し、実行中の時系列で傾向を明らかにします。
- 終了日時系列を使用して、期間累計の累積スコアを決定します。

注:
ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットまたは アナリティクスハブ エントリに時系列集計を設定することはできません。

インジケーターで時系列集計を使用する例と詳細については、この パフォーマンスアナリティクス Academy ビデオを参照してください。 での時系列の活用 パフォーマンスアナリティクス.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

部分期間

一部の時系列には、不完全な収集期間のインジケーター スコアが含まれます。これらの期間には、現在の期間とデータ収集の開始からの期間を含めることができます。名前のプラス記号 + で、このような時系列を識別します。

部分期間のデータを含まない時系列には、期間の始めと終わりのデータが必要です。たとえば、 月別合計 の時系列集計では、月の初めと終わりのスコアが存在する必要があります。そうでない場合、その月は含まれません。[月別合計 +] など、部分的な期間のデータを含む時系列では、期間内の 1 日のデータのみが必要です。

警告:
部分期間は、平均などの特定の集計の結果を歪める可能性があります。

アグリゲーション定義

パフォーマンスアナリティクス には、デフォルトの SUM、AVG、およびその他の時系列集計定義が付属しています。

危険:
これらの定義を変更しないでください。新しい定義を追加しないでください。集計定義を変更すると、予期しない結果が生じる可能性があります。新しい定義を作成すると、データコレクタージョブが実行されなくなる可能性があります。

許可されていない時系列集計

% を単位とするインジケーターに SUM 集計を設定することはできません。パーセンテージを合計しても意味がありません。

時系列集計の検証

時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効なアグリゲーションがあるという警告が表示される場合があります。

インジケーターの時系列集計の除外

一部の時系列集計は、技術的には許容されますが、インジケーターに適用するには役に立ちません。たとえば、パーセンテージ値の合計では、有用なインサイトが得られない可能性があります。これらの時系列集計をインジケーターから除外できます。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。

日付範囲セレクターを使用した時系列集計の表示

ウィジェットで [月別合計] などの時系列集計を日付範囲セレクタと組み合わせると、予想よりも 1 つ多くの期間が表示されることがあります。その理由は、日付範囲セレクターで 3m などの期間を選択すると、インスタンスはそれを 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示するためです。

関連情報

結果または貢献インジケーターへの時系列の適用

時系列集計のユースケース

パフォーマンスアナリティクス には 4 種類の時系列があります。それぞれのユースケースを理解して、どのタイプを使用すべきかを把握します。

平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列の各タイプのユースケースと例

タイプ	例	ユースケース
実行中	28 日間分の移動平均/合計 30 日間分の移動平均/合計 7 日間分の移動平均/合計 12 か月間分の平均/合計を実行 3 か月間分の平均/合計を実行 6 か月間分の平均/合計を実行 13 週間分の平均/合計を実行 4 週間分の平均/合計を実行 4 四半期分の移動平均/合計	データのスパイクを平滑化して、傾向を見つけやすくします。たとえば、毎日のインシデント数を見ると毎週末に減少していることがわかるかもしれませんが、7 日間の移動平均ではこれらの減少が平準化されます。
終了日	会計四半期累計平均/合計 会計年度累計平均/合計 月度累計平均/合計 四半期累計平均/合計 週度累計平均/合計 年度累計平均/合計	期間の累積スコアを表示します。これらの時系列集計は、達成する月次ターゲットがあるものの、月全体の速度も確認する必要がある場合に非常に役立ちます。
期間別	By week AVG/SUM 月別平均/合計 会計四半期別の平均/合計 四半期別平均/合計 会計年度別の平均/合計 年別平均/合計	全期間の累積スコアを表示します。P1 インシデントの数を毎日追跡したい場合もありますが、スコアを毎日考慮すると頻度が高すぎます。代わりに、「月別」時系列を使用して月レベルでターゲットを設定できます。現在の期間は不完全であるため、結果に表示されません。
期間別 (部分的を含む)	週別 + 平均/合計 月別 + 平均/合計 会計四半期別 + 平均/合計 四半期別 + 平均/合計 会計年度別 + 平均/合計 年別 + 平均/合計	「別」時系列の「+」バージョンには部分的な期間が含まれているため、現在の期間のスコアが常に提供されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列集計でのインジケーター頻度の制限

インジケーターのスコアが収集される周期で、適用可能な時系列が決まります。一部の時系列には、部分収集期間のデータが含まれます。

時系列集計を選択すると、インジケータースコアの収集頻度によって、選択できる時系列が制限されます。スコアが収集されるよりも頻繁にスコアに適用される時系列集計は選択できません。たとえば、 週別合計 時系列集計は、日次頻度のインジケーターに適用できます。ただし、[週別合計] は、週次、月次、四半期ごと、または年次の頻度を持つインジケーターには適用できません。

注:

- 週次インジケーターのみが、 **4** 週間の実行 と **13** 週間の実行 の時系列をサポートしています。週次インジケーターは、週次および年次の時系列のみをサポートします。
- 隔月および年ごとのインジケーターは、時系列集計をサポートしていません。

次の表は、どのインジケーター頻度に対してどの時系列がサポートされているかを示しています。これらの関係は、どの集計 (AVG、SUM、またはカスタム) が時系列と組み合わされるかとは無関係であるため、時系列のみが表示されます。

時系列および関連するインジケーター周期

時系列	インジケーターの頻度			
	日次	週次	月ごと	四半期ごと (会計四半期、4 週間ごと、隔週)
日次	はい	いいえ	いいえ	いいえ
7 日間移動	はい	いいえ	いいえ	いいえ
28 日間移動	はい	いいえ	いいえ	いいえ
30 日間移動	はい	いいえ	いいえ	いいえ
4 週間移動	いいえ	はい	いいえ	いいえ
13 週間移動	いいえ	はい	いいえ	いいえ
3 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ
6 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ
12 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ
四半期移動	いいえ	いいえ	いいえ	はい
週別、週別 +	はい	いいえ	いいえ	いいえ
月別、月別 +	はい	いいえ	いいえ	いいえ
四半期別、会計四半期別、四半期別 +、会計四半期別 +	はい	いいえ	はい	いいえ
年別、会計年度別、年別 +、会計年度別 +	はい	あり	あり	はい
週度累計	はい	いいえ	いいえ	いいえ
月度累計	はい	いいえ	いいえ	いいえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列および関連するインジケーター周期 (続く)

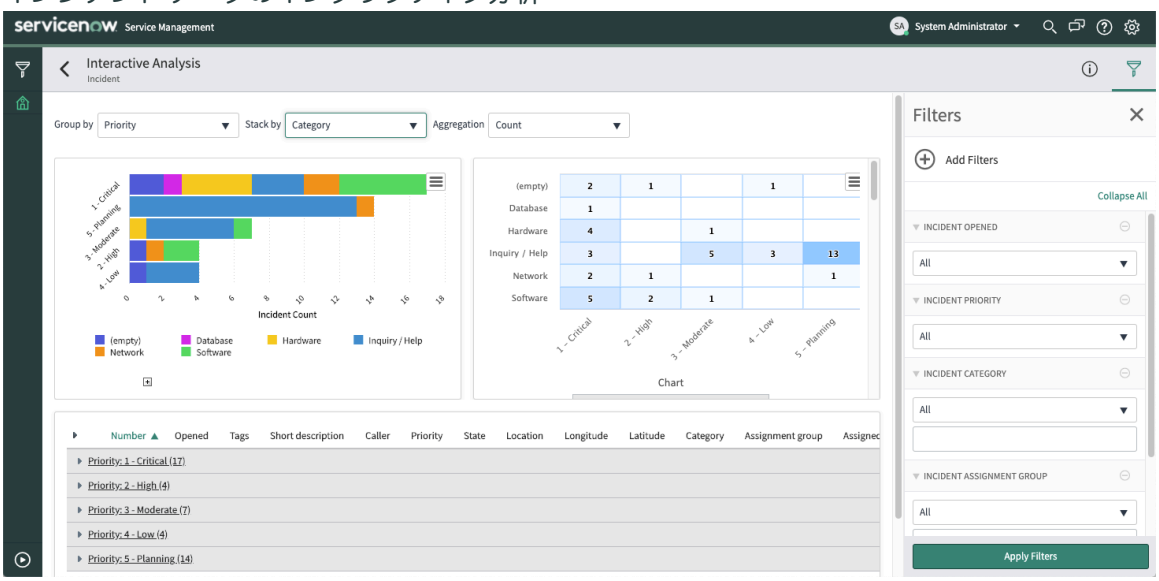
時系列	インジケーターの頻度			
	日次	週次	月ごと	四半期ごと (会計四半期、4 週間ごと、隔週)
四半期累計、会計四半期累計	はい	いいえ	はい	いいえ
年度累計、会計年度累計	はい	あり	あり	あり

パフォーマンス分析のインタラクティブ分析

インタラクティブ分析では、可視化を使用して パフォーマンスアナリティクス データをすばやく探索できます。

レコードの任意の コア UI リストから、リストデータに関するインタラクティブなレポートセットにアクセスできます。また、インタラクティブ フィルタをグループ化、スタッキング、集計、および適用することで、データを操作することもできます。チャート化をクリックし、データにドリルダウンします。情報アイコン ( ) をクリックしてソース フィルタを編集し、適用されたフィルタのリストを表示し、分析の URL をコピーします。

インシデント データのインタラクティブ分析



インタラクティブアナリシスの起動

リストからインタラクティブ分析を起動します。

始める前に
必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 任意のリストに移動します。
2. オプション: リストに表示される列を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インタラクティブ分析を起動する場合にリストに表示される列によって、分析に含まれるフィールドが決まります。含まれるフィールドによって、使用できる [グループ] と [積み重ね基準] オプションおよびデフォルトで表示されるインタラクティブ フィルタが決まります。

3. 参照、選択肢、日付/時刻、整数、またはブール フィールドの列ヘッダーを右クリックし、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
   インタラクティブ分析を起動する列は、デフォルトの [グループ] 値として使用されます。
4. オプション: [データ] と [積み重ね基準] に異なる値を選択することでデータの集計方法を変更するか、1 つ以上のインタラクティブ フィルタを適用してデータをフィルタリングします。
5. オプション: 棒グラフの棒やヒートマップのセルなど、チャート化をクリックしてデータのサブセットにドリルダウンします。

フォーム内分析

フォーム内分析により、パフォーマンスに関する見識がフォームに統合されるため、ユーザーはコンテキスト内の重要なメトリクスにアクセスしてより適切な意思決定を行うことができます。

フォーム内分析には、ブレークダウンに基づいてダッシュボードのビューを開くフォームの UI アクションが関係します。このブレークダウンダッシュボードは、フォームに入力しているユーザーに有用なパフォーマンスのインサイトを提供します。たとえば、サポートエンジニアがインシデントの作成中に、インシデントカテゴリに基づいてインシデントをクローズする予定時間を確認できるようにするとします。エンジニアがこの情報を表示できるようにするには、インシデントフォームのフォーム内分析 UI アクションを作成します。この UI アクションは、インシデントを開きます。インシデントのクローズ予想時間を表示するウィジェットを含むカテゴリブレークダウンダッシュボード。

重要:
フォーム内分析では、 プラットフォームアナリティクス アーティファクトはサポートされていません。コア UIレスポンシブ ダッシュボードのみが開きます。プラットフォームアナリティクス への完全移行後、フォーム内分析は使用できなくなります。

インシデント:カテゴリのフォーム内分析



フォーム内分析の UI アクションは、フォーム上のフィールドの横にある、ブレークダウンを表すアイコンによってアクティブになります。そのフィールドがフォームビューに表示されていない場合は、アイコンも表示されません。フォーム内分析を設定するときに、フォームに [関連アクション] リンクを含めることもできます。このリンクはいつでも利用できます。

関連情報

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

UI アクション

フォームへのフォーム内分析の追加

ユーザーがフォームの入力中に関連する分析を表示できるようにする UI アクションを作成します。UI アクションは、フォームを使用するテーブル、そのテーブルで使用されるブレークダウン、およびブレークダウンダッシュボードを関連付けます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin パフォーマンス分析のロールに加えて、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにレコードを作成できる必要があります。

特定のテーブルとブレークダウンのフォーム内分析を追加する前に、そのテーブルとそのブレークダウンのブレークダウン ソースを使用するブレークダウン ダッシュボードを作成します。そのテーブルでレコードを作成するユーザーにとって最も有用な情報が目立つようにダッシュボードを設計する。ブレークダウン ダッシュボードの詳細については、「 ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーム内分析を作成するには、パフォーマンス分析を有効にする必要があります。

このタスクについて

手順

移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > フォーム内アナリティクス をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

フォーム内分析のフィールド

フィールド	説明
名前	UI アクションのわかりやすい名前。
テーブル	分析を表示するテーブル。このテーブルのフォームにページ内アイコンが表示されます。
ブレークダウン	テーブルを分析するためのブレークダウン。フィールドがフォームビューに含まれている場合、このブレークダウンに対応するフィールドの横に UI アクションアイコンが表示されます。
ダッシュボード	表示するブレークダウン ダッシュボード。ダッシュボードでは、選択した テーブル と ブレークダウンのブレークダウン ソースを使用する必要があります。
アイコン	フォームのブレークダウン関連フィールドの横に表示されるアイコン。
アイコンの色	フォーム アイコンの色。
フォーム内リンクを作成	このチェックボックスをオンにすると、アイコンに加えてフォーム上に関連リンクを表示します。関連リンクはアイコンと同じダッシュボードに誘導します。

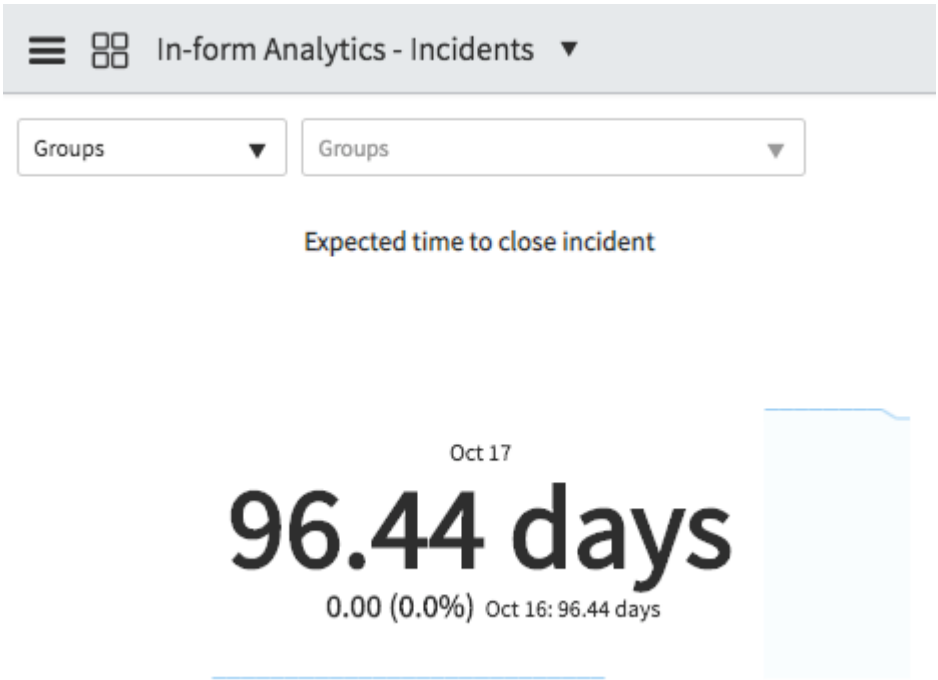
Example: インシデントアサイン先グループのフォーム内分析

インシデントを作成するサポートエンジニアが、アサイン先グループに基づいてインシデントをクローズする予定時間を確認できるようにする場合を考えてみましょう。インシデントをクローズする予定時間を表示するウィジェットを設計しました。このウィジェットを、グループブレークダウンソースを使用するフォーム内分析ブレークダウンダッシュボードに追加しました。「グループ」は、アサイン先グループブレークダウンのソースです。

自動翻訳

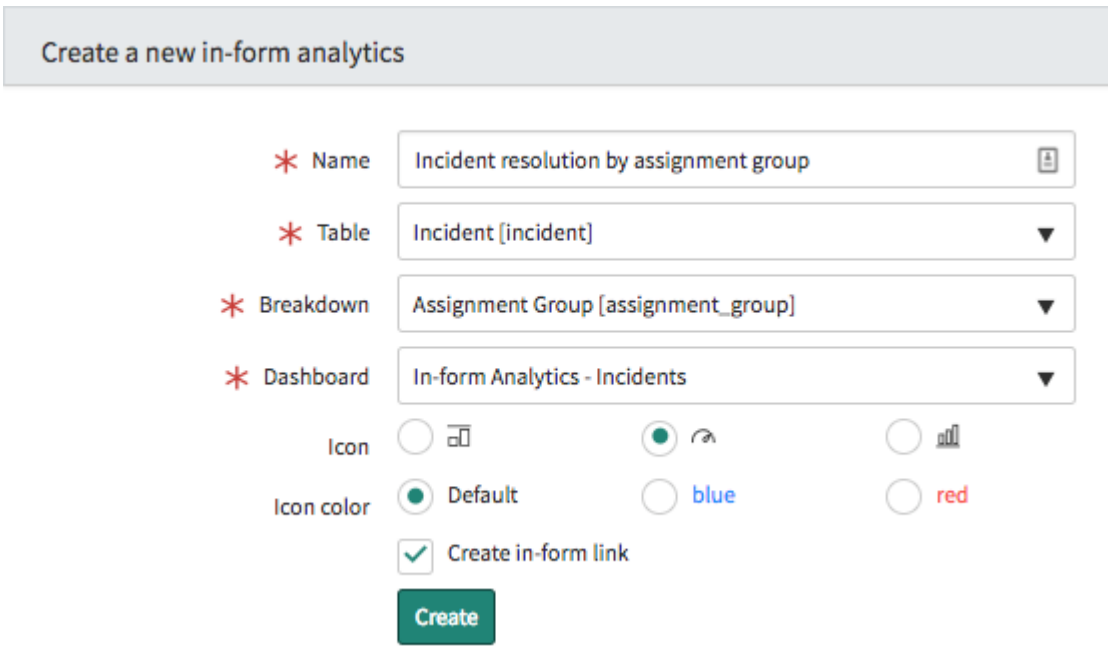
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン ダッシュボード



次に、インシデント [incident] テーブル、アサイン先グループブレークダウン、およびフォーム内分析 - インシデントダッシュボードのフォーム内分析を作成します。UI アクションのアイコンを選択します。このアイコンは、[Assignment Group] フィールドの横に表示されます。また、ダッシュボードへの関連リンクも作成します。

フォーム内分析の作成



ダイヤルアイコンをクリックすると、ダッシュボードのポップアップビューが開きます。ポップアップウィンドウには、ダッシュボード名の代わりに「[ブレークダウン名] の分析 (Analysis of [Breakdown name])」というタイトルが付けられています。

インシデントフォームからダッシュボードビューを開く

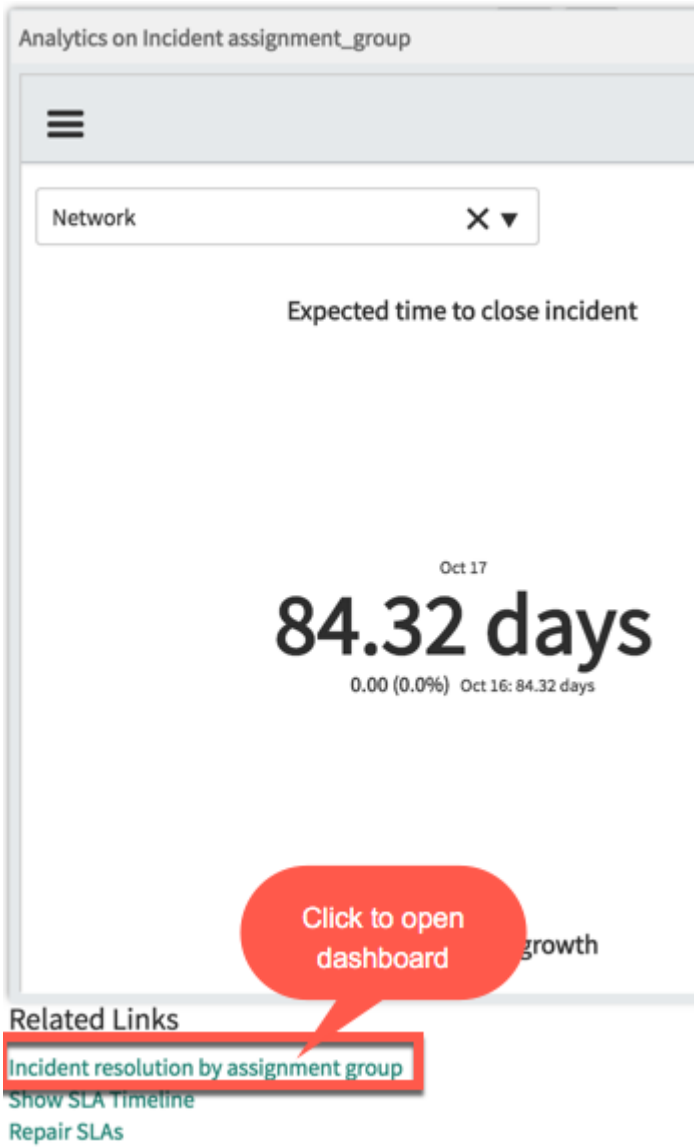


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトでは、セルフサービスビューに [Assignment Group] フィールドは表示されません。この場合でも、関連リンクから分析を表示できます。

アナリティクスへの関連リンク



事前構成されたフォーム内分析

事前設定されたフォーム内分析は、いくつかのアプリケーションおよび関連するテーブルやフォームのプラグインとして使用できます。

フォーム内分析プラグインと関連テーブル

プラグイン名	プラグイン ID	テーブルとフォーム
パフォーマンスアナリティクス - 変更管理のためのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.change.context_sensitive_analytics	変更要求 [change_request]
パフォーマンスアナリティクス - チャットのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.chat.context_sensitive_analytics	チャットキューエントリー [chat_queue_entry]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーム内分析プラグインと関連テーブル (続く)

プラグイン名	プラグイン ID	テーブルとフォーム
パフォーマンスアナリティクス - カスタマーサービスのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.cs.context_sensitive_analytic	ケース [sn_customerservice_case]
パフォーマンスアナリティクス - インシデントのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.incident.context_sensitive_analytic	インシデント [incident]
パフォーマンスアナリティクス - 問題管理のためのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.problem.context_sensitive_analytic	問題 [problem]

注:
事前設定されたフォーム内分析のプラグインをアクティブ化すると、そのアプリケーションのパフォーマンスアナリティクス ソリューションもアクティブ化されます。詳細については、「アナリティクスソリューション」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス高度な機能の構成

主要評価指標とスコアを生成するデータ構造を定義します。

このセクションのトピックは、主にデータ構造を直接扱う パフォーマンスアナリティクス 管理者を対象としています。

パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソール

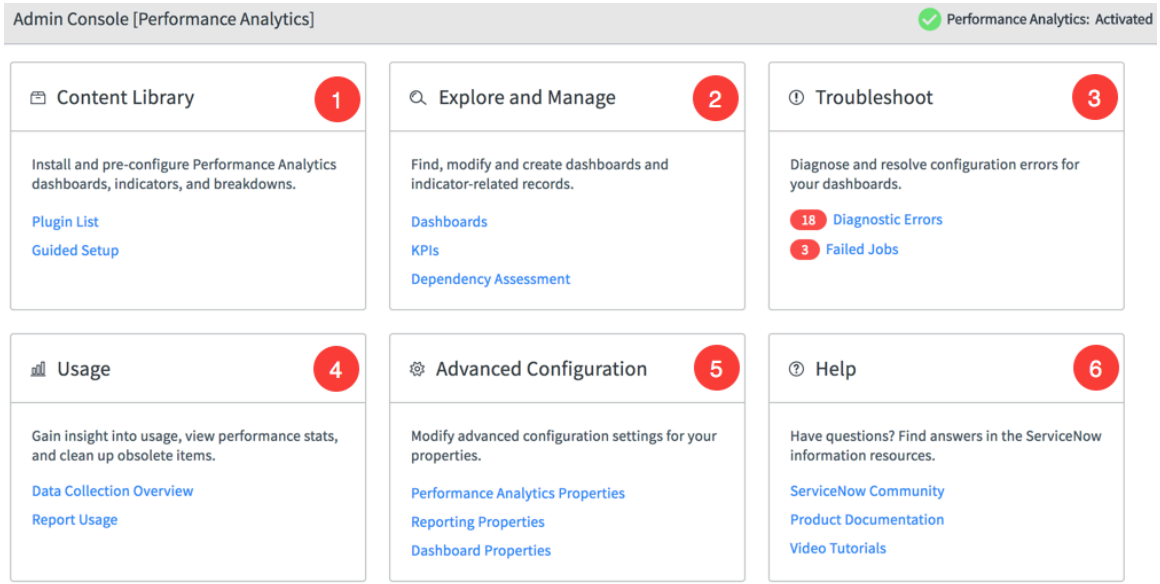
管理者は、単一のコンソールから、 プラットフォームアナリティクスソリューション コンテンツの管理、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットとダッシュボードの管理、エラーの診断と解決、利用状況分析の表示、構成設定の変更、 ServiceNow ヘルプへのアクセスを行うことができます。

重要:
この管理コンソールは、 プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットとレスポンシブ ダッシュボードの情報のみが表示されます。

admin または pa_admin ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > アドミンコンソール.パフォーマンスアナリティクスが有効になっていない場合は、[詳細] をクリックして有効にする方法を確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



1 コンテンツライブラリ

プラットフォームアナリティクスソリューションのガイド付きセットアップ。

[プラグインリスト] をクリックして、非アクティブな プラットフォームアナリティクスソリューションで使用可能なシステムプラグインのリストを表示します。

> **注:**
> プラグインのリストを表示するには、admin ロールが必要です。

[ガイド付きセットアップ] をクリックして、 プラットフォームアナリティクスソリューション のガイド付きセットアップを起動します。

2 探索および管理

1 か所で、自分のパフォーマンスアナリティクス要素間の関係をすばやく特定して管理したり、変更の影響度を評価したりします。たとえば、フィールド名を変更した場合に影響を受ける、ダッシュボード グループ内のすべてのレポート、インジケーター、インタラクティブ フィルタを特定できます。

[ダッシュボード] をクリックすると、グループ別にソートされたインスタンス内のすべてのダッシュボードを探索できます。グループを展開して、個々のダッシュボードを表示します。

KPI をクリックしてアナリティクスハブを開くと、インジケーターの探索的ビューが表示されます。

依存関係アセスメントを使用して、パフォーマンスアナリティクスコンポーネントを表示、分析、および管理します。

3 トラブルシューティング

[トラブルシューティング] パネルを使用すると、ServiceNowアプリケーションが提供する診断を利用して、エラー警告や失敗したデータ収集ジョブの原因となったテストを調査できます。すぐに使用できる診断はスケジュールに従って実行されますが、オンデマンドで実行することもできます。[スケジュールされたデータ収集] リストは、一度だけ実行されるジョブと、オンデマンドでのみ実行されるジョブを除外します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> [トラブルシューティング] カードのいずれかの数字が 0 より大きい場合、パフォーマンスアナリティクスの実装に何らかの問題がある可能性があります。

- [診断エラー] をクリックすると、[診断実行] リスト、実行された診断テストの数、および見つかった問題の数が表示されます。[状態] フィールドを使用して、解決された問題を追跡します。診断実行の詳細については、「 分析診断」を参照してください。
- [失敗したジョブ] をクリックすると、[スケジュールされたデータ収集] リストが表示されます。失敗したジョブは、最新の完了した実行の状態が **collected_error** であるスケジュール設定済みジョブです。データ収集の詳細については、「 パフォーマンス分析のデータ収集とクリーンアップ」を参照してください。

4 使用率

データ収集ジョブに関する統計情報とレポートの使用率に関するダッシュボード。

- [データ収集の概要] ダッシュボードを使用して、データ収集を追跡および管理します。データ収集ジョブはデフォルトでは実行されないことに注意してください。関連するデータ収集ジョブを実行するまで、ダッシュボードウィジェットにデータは表示されません。詳細については、「 パフォーマンス分析のデータ収集とクリーンアップ」を参照してください。
- [レポートの使用率] ダッシュボードを使用して、レポートの使用率を追跡および管理します。詳細については、「 レポート統計情報」を参照してください。

5 詳細設定

詳細設定のクイック リンク。

- パフォーマンスアナリティクスプロパティ
- レポートのプロパティ
- レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

6 ヘルプ

コミュニティ、製品ドキュメント、およびServiceNow YouTube チャンネルのビデオチュートリアルでは、パフォーマンスアナリティクス機能を詳しく紹介しています。

関連情報

インタラクティブ分析情報パネル

インジケータースコアの収集

パフォーマンスアナリティクス はデータ収集ジョブを使用して、スコアとスナップショットを収集して消去します。インジケータースコアを手動で設定することもできます。

既存のレコードのデータをすぐに収集するには、履歴データ収集ジョブを実行します。

進行中のデータ収集では、次のいずれかの方法を選択し、データの頻度と完全性に基づいてインジケーター スコアとスナップショットを収集します。

- インジケーターを 1 か月、四半期、または 1 年に 1 回測定する必要がある場合は、手動でスコアを入力するか、スコアをインポートします。
- インジケーターをより頻繁に測定する必要がある場合や、人間の関与を排除したい場合は、スケジュールされたデータ収集ジョブを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
パフォーマンスアナリティクス スナップショットは これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブは、プロパティ *com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for*で指定されたスコアより古いスコアを収集しません。この値より古いスコアまたはスナップショットは、データ収集中に収集されません。

履歴データの収集

履歴データ収集ジョブを実行し、既存のレコードのスコアとスナップショットを収集します。新しいインジケーターなど、初めてのデータ収集では、履歴データ収集を 1 回実行して、既存のレコードのスコアとスナップショットを生成します。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin

このタスクについて
パフォーマンスアナリティクス は、継続的にデータからスコアを定期的に収集します。アプリケーションにパフォーマンスアナリティクスを最初にセットアップしたとき、または新しいインジケーターまたはインジケーター ソースを作成したときは、履歴データ収集を実行して既存のデータのスコアを収集します。履歴データ収集を使用すると、設定前に存在していたデータを分析できますパフォーマンスアナリティクス。

警告:
- 履歴収集ジョブを複数回実行することは避けてください。たとえば、新しいインジケーターを作成する場合は、既存のジョブに追加するのではなく、そのインジケーターの新しいデータ収集ジョブを作成することを検討してください。
- 履歴データ収集ジョブは、ジョブが対象とする期間およびインジケーターに対し、以前に収集したデータを削除します。その日付範囲外のデータやその他のインジケーターは削除されません。

履歴ジョブは、既存のデータのスナップショットも収集します。パフォーマンスアナリティクススナップショットは、これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > データコレクタ > ジョブ.
2. [PA 変更] 履歴データ収集などの履歴データ収集ジョブを選択するか、新規履歴データ収集ジョブを作成します。
3. 履歴データ収集ジョブを作成または編集する場合は、データ収集ジョブの作成またはスケジュールの手順に従ってください。

   重要:
   履歴データ収集ジョブの場合は、[実行] を [オンデマンド] に設定します。履歴データ収集ジョブを、固定のスケジュールで実行しないでください。

4. ジョブ インジケーターで、履歴収集期間中に値が変更される可能性のあるフィールドに基づくブレークダウンは除外します。これについては、「ジョブ インジケーターの構成」で説明しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

たとえば、提供されている [PA インシデント SLA] 履歴データ収集ジョブでは、ジョブ インジケーター [未解決で期限切れのインシデントの数] には、[アサイン先グループ] と [状態] ブレークダウンが含まれません。これらのブレークダウンの両方の値は、データ収集期間にわたって変化する可能性があり、その結果は無意味になります。

5. [今すぐ実行する] をクリックします。

次のタスク
履歴データを収集した後は、スケジュールされたデータ収集ジョブを使用し、定期的に新しいスコアを収集します。

データ収集ジョブの作成またはスケジュール

パフォーマンスアナリティクスインジケーターのスコアとスナップショットを定期的に収集するようにデータ収集ジョブをスケジュールします。

始める前に
データ収集ジョブを定義する前に、インジケーター ソース、ブレークダウン ソース、およびインジケーターが定義されていることを確認してください。そうしないと、ジョブは結果を返すことができません。

必要なロール：pa_data_collector または admin

このタスクについて
データ収集ジョブを構成するときに知っておくべき重要な項目は、次のとおりです。

- 収集期間
- 収集タイムゾーン
- ドメインが使用される場合は、収集されるスコアのドメイン。
- コレクション ジョブは、どのような制限もなく実行されます。実行するユーザーの権限は使用しません。

データ収集ジョブは、スコアを収集するため、およびテキスト分析データを収集するために、異なるステップを実行します。デフォルトでは、ジョブは両方のタイプのデータを収集します。パフォーマンスを向上するため、スコアとテキスト分析データに別々のジョブをスケジュールすることもできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > データコレクタ > ジョブ をクリックし、[**New**] をクリックします。
   代わりに、ジョブの実行スケジュールを変更するなど、既存のデータ収集ジョブを編集することもできます。この場合は、 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > データコレクタ > ジョブ をクリックし、ジョブ名をクリックします。
2. [名前] フィールドには、わかりやすい名前を付けます。
   [PA インジケーター] 日次データ収集や [PA インジケーター] 履歴データ収集など、データ コレクタ ジョブの命名のための標準形式に従います。
3. [演算子] フィールドで、データ収集を絶対時間でするのか、または相対時間でするのか選択します。
4. [期間指定] を演算子として選択した場合、[開始日（固定）] 日付と [終了日（固定）] 日付を選択します。
5. [相対] を演算子として選択した場合、データを収集する実行時間より前の間隔を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [開始日（相対）] と [開始日指定（相対）] のフィールドで、データを収集する過去の期間の数と長さをそれぞれ設定します。

b. [終了日（相対）] と [終了日指定（相対）] のフィールドで、データの収集を開始する過去の最後の期間の数と長さをそれぞれ設定します。

ヒント:

- ほとんどのインジケーター、つまりほとんどのデータ収集ジョブは毎日実行されます。通常、日次スケジュール済みジョブは、最後に完了した日について収集する必要があります。したがって、1 日前の相対的な開始と相対的な終了の両方が必要です。収集期間が長い履歴データ収集ジョブは、一度だけ実行します。
- ビジネスカレンダーを使用するインジケーターでこのジョブを使用する場合は、 前の期間 の間隔を考慮してください。この間隔は、ビジネスカレンダーに定義されている期間に基づいています。

Example
たとえば、同じインジケーターソースを使用して、日次頻度で複数の新しいインジケーターのセットのスコアを収集するとします。まず、2 か月前から昨日までのデータを収集する履歴データ収集ジョブを作成します。このジョブで、[開始日（相対）] に **60** を、[開始日指定（相対）] に日前を入力します。[終了日（相対）] に **2** を、[終了日指定（相対）] に日前を入力します。[実行] フィールドを [オンデマンド] に設定します。[今すぐ実行] をクリックし、このジョブを 1 回実行して最初のスコアを収集します。

開始日 (相対) と終了日 1 日前で 2 番目のジョブを作成し、[実行] フィールドを [日次] に設定します。このジョブを有効化し、昨日のスコアと、そのジョブが実行される前日について、将来のスコアをすべて収集します。

6. 必要に応じて [ジョブパラメータ] を入力します。

ジョブ パラメータ	説明
実行方法	ドメインセパレーションインスタンスの場合は、このジョブを実行するユーザーを選択します。このジョブは、グローバルドメインを持つか、このユーザーのドメイン内にあるファクトテーブルと パフォーマンスアナリティクス レコードからスコアを収集します。 データ収集ジョブはドメインのみに従い、このユーザーの権限は実行されません。ACL およびビジネスルールは、データ収集ジョブには適用されません。すべてのユーザーがジョブを実行できます。 重要: このジョブのドメイン構成を選択すると、 実行ユーザーが上書き されます。このトピックの手順 9 を参照してください。
Run as tz (実行時のタイムゾーン)	クエリがジョブから実行されるときに使用するタイムゾーンを選択します。会社のレポートタイムゾーンがある場合は、それを使用します。デフォルトでは、システムのタイムゾーンが使用されます。 このタイムゾーンは、[[Opened][on][Today]] のような条件の "今日" の日を決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブ パラメータ	説明
アクティブ	オンの場合、デフォルトではスケジュールされた日時にデータ収集が行われます。
実行	データを収集するスケジュールを選択します。選択肢は次のとおりです。 ○ 日次 ○ 週次 ○ 月次 ○ 定期的 ○ 1 回 ○ オンデマンド ビジネスカレンダーを使用している場合は、ビジネスカレンダー期間の開始と終了に次のオプションもあります (ビジネスカレンダーエントリの定義 を参照)。 ○ ビジネスカレンダー: エントリ開始 ○ ビジネスカレンダー: エントリ終了 履歴データ収集ジョブを作成する場合は、オンデマンドで実行するようにジョブをスケジュールします。
曜日	○ [実行] が [週次] の場合は、曜日を指定します。 ○ [実行] が [月次] の場合は、日付を指定します。 月末に収集するには、1 日目に設定し、[時刻] を午前 0 時過ぎに設定します。この設定では、月の長さに関係なく、完了した月のデータが収集されます。
繰り返し間隔	[実行] が [定期的] の場合は、スケジュールされるデータ収集の間隔を日数と時間数で指定します。
開始中	[実行] が [定期的] または **[1** 回] の場合、スケジュールされる最初のデータ収集の日時を指定します。
時刻	ジョブの実行時刻 (24 時間形式)。フィールドは [アクティブ] を選択した後に表示されます。 ○ 実行 時のタイム ゾーンではなく、ユーザーセッションのタイムゾーンに基づく時間。 ○ 通常、会社で午前 0 時から午前 6 時までの 1 時間に設定して、最後の完全な期間を収集します。 たとえば、ニューヨークにいて、ロサンゼルス時間の会社のデータを午前 5 時に収集する場合は、時刻を 08:00:00 に設定します。
Collect (収集)	データ収集ジョブには、スコア収集とテキスト分析の収集のために個別のステップがあります。次のいずれかを選択します。 ○ スコアのみ ○ テキストインデックスのみ ○ スコアとテキストインデックスの両方 (デフォルト)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブ パラメータ	説明
	詳細については、「テキスト分析の設定」を参照してください。
条件節	オンにすると、特定の条件が満たされた場合にのみデータ収集が行われます。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)**] を選択した場合にのみ表示されます。 **警告:** パフォーマンスアナリティクス データコレクションジョブの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。 アップグレード後に、これらの許可されていない API コンポーネントを含む条件付きスクリプトがあるジョブは、「収集済み (エラーあり)」というメッセージが出て終了します。これらのジョブはスコアを収集しません。 com.snc.pa.dc.script.use.sandbox システムプロパティは、データ収集スクリプトがサンドボックスを使用するかどうかを制御します。このプロパティを有効化できるのは、security_admin ロールを持つユーザーに限られます。このプロパティをオフにするときは注意が必要です。false に設定すると、権限のないユーザーがインスタンスに対して悪意のあるアクションを実行する可能性があります。

7. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
8. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックし、このジョブがデータを収集するインジケーターを選択します。

重要:

- ジョブのインジケーターを少なくとも 1 つ含めます。そうしないと、ジョブは結果を返すことができません。
- ジョブを保守可能に保つために、明確なユースケースがない限り、インジケーターを複数のアクティブな収集ジョブに関連付けないようにしてください。リアルタイムデータを取得しようとしている場合は、リアルタイムインジケーターの使用を検討してください。
- データ収集ジョブは、関連するインジケーターのインジケーターソースごとに 1 つのデータベースクエリを生成します。したがって、インジケーターソースを共有するすべてのインジケーターのデータは、同じ時点を表します。

9. ドメイン構成を有効にしている場合は、[ドメイン構成] 関連リストでこのジョブに関連付けるドメイン構成を選択できます。
ドメイン構成は、ユーザーグループに対する可視化またはその他の条件に基づいてドメインをグループ化します。これらのグループ化には、親子関係を含めることができます。ジョブのドメイン構成を選択すると、ジョブはグローバルドメインを含む、構成のドメイン内のレコードのスコアを収集します。ドメイン構成は、 ユーザーとして実行 を上書きします。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- デフォルトでは、各ジョブ インジケーターごとに、すべてのブレークダウンとインジケーター自体のデータが収集されます。インジケーターのこの設定を変更するには、「ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。
- ドメイン サポートを有効にしている場合は、[ドメイン設定] という関連リストがあります。このタブで、[編集] をクリックし、既存のドメイン設定とこのジョブを関連付けます。または、[新規] をクリックして新しいドメイン設定を作成します。詳細については、「ドメイン構成の作成」を参照してください。

ジョブ インジケーターの構成

必要かつ合理的なデータのみを収集するようにジョブ インジケーターを構成することにより、データ収集の効率を向上させます。

始める前に

必要なロール：admin、pa_admin

このタスクについて

デフォルトでは、ジョブ インジケーターは、インジケーター自体のデータと、そのインジケーターに関連付けられているすべてのブレークダウンのデータを収集します。ただし、特定のデータ収集ジョブで、すべてのブレークダウン データが意義あるものというわけではありません。たとえば、アサイン先グループや状態など、収集期間中に変更される可能性のあるフィールドに基づくブレークダウンは、通常、履歴ジョブから除外されます。多くの場合、ジョブはジョブの実行時にのみアサイン先グループとステータスの値を収集します。6 か月前のインシデントは、うまくいけば完了しても、6 か月の履歴全体で完了ステータスになる可能性があります。このような値は誤解を招く恐れがあります。

あるいは、ブレークダウン データのみを収集する必要があり、インジケーター スコアを計算する必要がない場合もあります。不要なデータや無意味なデータを収集しないようにジョブ インジケーターを構成することで、ジョブのリソース消費を削減できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ジョブ.
2. ジョブ インジケーターを構成するジョブを開きます。
   ジョブ インジケーターは、ジョブ インジケーターを使用するジョブに固有のものです。
3. [インジケーター] タブで、構成するジョブ インジケーターの名前をクリックします。
4. 必要に応じてフィールドを入力します。

フィールド	説明
ジョブ	ジョブ名から自動的にコピーされます。
インジケーター	関連付けられた自動インジケーター。スケジュール済みデータ収集レコードの [編集] ボタンを使用してジョブインジケーターを追加する場合は、自動インジケーターを選択します。
Collect (収集)	[すべてのブレークダウン] を収集するか、[ブレークダウンなし] を選択するか、または特定のブレークダウンを除外するように選択します。
インジケーターの収集	インジケーター自体のデータを収集するには、このチェック ボックスをオンにします (デフォルト)。ブレークダウンのデータのみを収集する場合は、このチェック ボックスをオフにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ヒント: 既存のインジケーターにブレークダウンを追加した場合は、これらのインジケーターに対して 1 回限りの履歴収集ジョブを実行して、そのブレークダウンのスコアを取得することを検討してください。インジケーター自体ではなく、追加されたブレークダウンでのみ収集します。

5. [収集] フィールドで **[1** ブレークダウン] を選択した場合は、除外するブレークダウンを選択します。

   a. コンテキストメニューを開いて [保存] をクリックします。
   除外されたブレークダウンの関連リストが表示されます。

   b. [ブレークダウンを除外] リストで [編集] をクリックし、除外するブレークダウンを追加または削除します。

データ収集ジョブのキャンセル

ジョブがスコアを収集しないようにするには、アクティブなデータ収集ジョブをキャンセルします。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector および schedule_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > データコレクタ > ジョブ.
2. キャンセルするジョブを選択します。
3. [ジョブのキャンセル] をクリックします。

インジケーターのスコアの手動での追加または編集

自動インジケーターと手動インジケーターのスコアデータを手動で入力できます。自動インジケーターのスコアを編集するときは注意が必要です。

始める前に
必要なロール：pa_contributor、pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
通常、月に 1 回以下の頻度でのみ更新が必要なインジケーターに対しては、手動でスコアを追加します。さらに、顧客などの一部のエンティティで自動的にデータを収集できない場合は、手動でデータを入力またはインポートすることができます。

ジョブが収集したデータは手動で上書きできます。ただし、次回このデータを収集するジョブが実行されると、今度は手動で入力したデータが上書きされます。

注:

- 監査では、スコアシートへの手動変更は追跡されません。手動による挿入、更新、および削除は、すべてのpa_scoresテーブルに対してディクショナリレベルで監査が有効になっている場合でも監査されません。
- 式インジケーターのスコアを手動で編集することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > スコアシート > .
2. 手動スコアを入力するインジケーターを選択します。
3. オプション: 日付範囲の左または右の矢印をクリックし、選択されている日付を変更するか、日付範囲をクリックして新しい範囲を選択します。
4. [インジケータースコア] 行のインジケーターでメイン スコアを入力します。
   または、インジケーターにブレークダウンが含まれている場合は、ブレークダウン要素ごとのインジケータースコアを入力します。

   注:
   スコアの各列の上にあるパーセンテージバーは、スコアを含むブレークダウン要素のパーセンテージを示します。値 0 はスコアとしてカウントされます。値が存在しない場合にのみ、空としてカウントされます。

   a. [スコアの集計] をクリックします。

   b. インジケーターの特定のブレークダウンのメイン スコアを計算するために、合計を使用するのか、平均を使用するのかを選択します。

   c. [優先度] など、集計するブレークダウンを選択し、[適用] をクリックします。

      そのブレークダウンのすべてのスコアが合計されるか、それらの平均が計算されます。

      第 2 レベルのブレークダウンを収集し、2 つ以上のブレークダウン ソースに基づく自動インジケーターの場合、複数レベルのブレークダウンをスコアシートに入力できます。たとえば、ワークグループ別の優先度によるオープン インシデントでは、ワークグループ (第 1 レベル) の要素と優先度 (第 2 レベル) の要素の両方のスコアを入力できます。これらのインジケーターの集計は、他の内訳と同じ方法で計算されます。

関連情報

手動インジケーター

スポットライトでレコードをランク付けする

スポットライトを使用して、複数の重み付けされた条件に基づいて対象のレコードを識別し、ランク付けします。

スポットライトにより、見逃しやすいレコードがわかりやすくなります。 重み付けされた条件を定義すると、インシデントのトリアージ時またはリード スコアリングの実行時など、注意が必要なレコードを特定してランク付けできます。優先度などの 1 つのフィールド値ではなく、複数の次元に基づいてレコードをランク付けできます。ほとんどの組織は、優先度の高いアイテムに適切なタイミングで対処しますが、優先度の低いアイテムは長時間処理されないことがあります。スポットライトは、ビジネスニーズに基づいてアイテムに重点を置くのに役立ちます。

たとえば、インシデントが長期間オープンになっていた場合や、インシデントが複数回再アサインされている場合は、たとえこれらのインシデントの優先度が低くても、インシデントに注意を喚起することができます。このようなインシデントの中で、長期間オープンされ、複数回アサインされているインシデントを、長期間オープンされているインシデントよりも上位にランク付けすることができます。

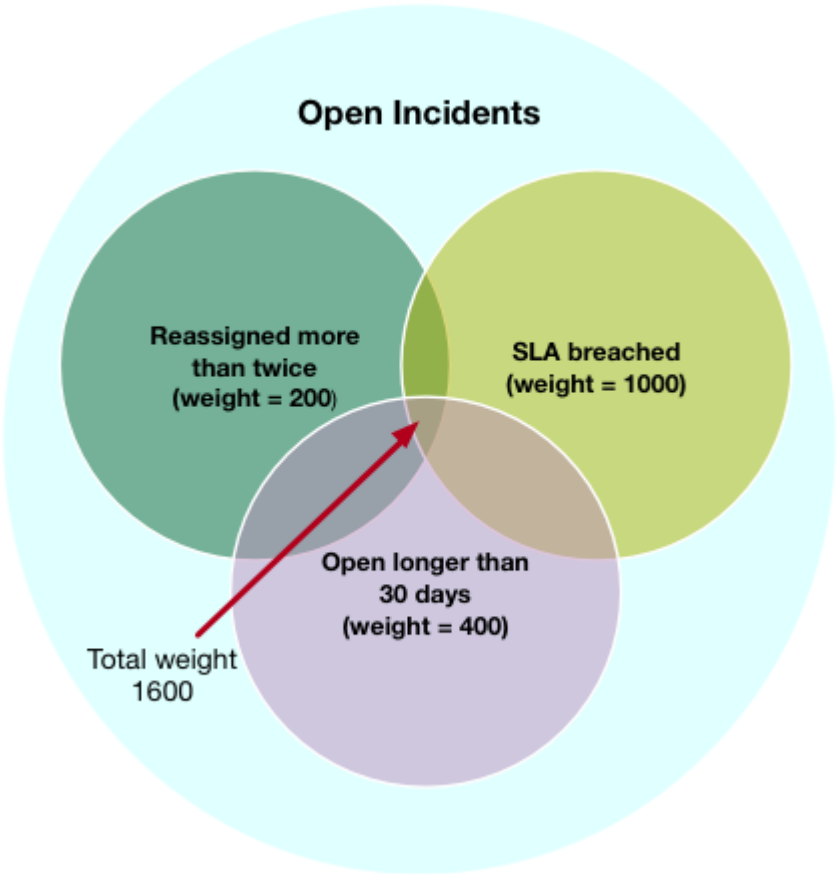
スポットライトは、レコードを評価するために実行されるスケジュール済みのジョブを使用します。これらのジョブの結果は、スポットライトの対話型分析で表示できます。スポットライトの結果を共有するには、pa_spotlight_viewerロールを持つすべてのユーザーと分析の URL を共有します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次の図は、スポットライトのスコアリングを示します。大きな円は、すべてのオープン インシデントの集合を表します。小さな円は、オープン インシデントのサブセットに適用される重み付けされたスポットライト条件を表します。

スポットライトの図



注:
スポットライトを使用するには、管理者がスポットライト プラグインまたは分析およびレポート スポットライト ソリューションの 1 つを有効にする必要があります。詳細については、「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

スポットライトの設定

評価して重要度別にランク付けするテーブル レコードのセットごとにスポットライトを設定します。レコードはインジケーターと関連付ける必要があります。

スポットライト グループを作成して評価するレコードを指定します。複数のスポットライト条件を作成し、レコードの重み付け方法を定義するグループと関連付けます。スポットライト グループで、スポットライトの作成がトリガーされるように、レコードが一致する必要がある条件の重み付けの合計を設定します。

注:
スポットライトの使用を開始する前に、アドミニストレーターがスポットライト プラグインを有効にする必要があります。スポットライトを有効にする場合は、分析およびレポートのスポットライトソリューションのいずれかを有効にすることを検討してください。最初に、このソリューションの 1 つがビジネス ユース・ケースに対応しているかどうかを確認します。次に、それでも新しいスポットライト グループまたはスポットライト条件を作成する必要がある場合は、分析およびレポート ソリューションが便利なテンプレートになります。詳細については、「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライト グループと複数のスポットライト条件を作成したら、スポットライト グループを有効にします。グループがアクティブ化されると、スポットライト グループのジョブ スケジュールに従ってスポットライト スコアが自動的に収集されます。また、アクティブなグループのスポットライト スコアをいつでも手動で収集することもできます。スポットライト スコアがスポットライト グループのしきい値を超えるレコードにはスポットライトが自動的に作成されるため、最も優先度の高い作業をすばやく特定できます。

関連情報

- 分析およびレポートのスポットライトソリューション
- パフォーマンスアナリティクス コンセプト

スポットライト グループの作成

スポットライト グループを作成して、評価するレコードを定義します。スポットライトの作成がトリガーされるためには、スポットライト グループで、レコードのスコアが超える必要のあるしきい値も設定します。

始める前に

アドミニストレーターは、スポットライト プラグインまたは分析およびレポート スポットライト ソリューションの 1 つを有効にしておく必要があります。「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて

スポットライト グループでは、評価するレコードのセットおよびしきい値を指定します。データセット内のレコードのスコアがしきい値を超えると、このレコードに対してスポットライトが作成されます。レコードのスコアは、スポットライト グループ内で利用可能なすべてのスポットライト条件の重み付け合計です。

評価するレコードのセットは パフォーマンスアナリティクスインジケーターと関連付ける必要があります。スポットライト グループはこのインジケーターを指定します。スポットライト グループは 1 つのファクト テーブルのみを参照できます。グループのメイン インジケーターとすべてのスポットライト条件の両方が同じテーブルを参照する必要があります。

注:
既存のスポットライトグループのメインインジケーターを変更できます。ただし、グループの基準を選択した後は、メインインジケーターを同じファクトテーブルを使用する別のインジケーターにのみ変更できます。

ドメインセパレーションを有効にしている場合は、スポットライトグループの作成時にログインしているドメインにスポットライトグループを作成します。スポットライトグループを設定したら、「スポットライト グループをドメインにコピーする」で説明されているように、複数のドメインにコピーできます。

警告:
グローバル ドメインでスポットライト グループを作成すると、すべてのドメインがグループにアクセスできます。

手順

1. 移動先 すべて > スポットライト > スポットライトグループ をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. フィールドを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライト グループ フォーム

フィールド	説明
しきい値	スポットライトの作成がトリガーされるように、レコードが一致する必要があるスポットライト条件の重み付けの合計。 スポットライト条件に重み付けを割り当てる場合は、この値を再検討します。
メイン インジケーター	このスポットライト グループを評価するレコードを収集するインジケーター。 メイン インジケーターは次の要件を満たしている必要があります。 ○ 自動インジケーターである。 ○ インジケーターの collect_records プロパティを [true] に設定する必要がある。このプロパティはインジケーター フォームの [ソース] タブで設定する必要があります。 ○ インジケーターのインジケーター ソースは、データベース ビューではなく、実際のテーブルを参照する必要がある。 このスポットライト グループを評価するためのすべての条件は、メイン インジケーターのインジケーター ソースと同じファクト テーブルを使用します。

3. オプション: 評価するレコードをフィルタするには、[ブレークダウン] および [要素] を選択します。

   重要:
   スポットライト グループの作成では、ブレークダウン ソース テーブルのアクセス制御リスト (ACL) が優先されます。したがって、ACL によっては、アドミンロールであっても、ブレークダウンの既存の要素の一部が表示されない場合があります。

   スポットライト グループが完成したら、完成したスポットライト グループを同じブレークダウン内の他の要素にコピーできます。[ブレークダウンのスポットライト グループをコピー] をクリックします。詳細については、「スポットライト グループをブレークダウン要素にコピーする」を参照してください。

4. [スコアの評価元] フィールドで、スポットライト ジョブがスナップショットまたはプラットフォームのスコアを評価するかどうかを選択します。
   詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。

5. コンテキスト メニューで、[保存] を選択します。

タスクの結果

インジケーターとしきい値を含むスポットライトグループを作成し、スナップショットとプラットフォームデータのどちらに基づいてスコアを収集するかを定義しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- スポットライト グループのスポットライト条件を作成し、スポットライト スコアを収集するスケジュールを設定します。「スポットライト条件の作成」を参照してください。
- ドメインセパレーションを使用している場合、グループの作成時に属しているドメインにスポットライトグループが作成されます。条件やスケジュールなど、スポットライト グループの構成が完了したら、[ドメインにコピー] をクリックして、スポットライト グループを別のドメインにコピーできます。
- メインインジケーターのブレークダウンと要素を指定した場合は、スポットライト グループを同じブレークダウン内の他の要素にコピーできます。これを行うには、[ブレークダウンのスポットライト グループをコピー] をクリックします。まず、条件やスケジュールなど、スポットライト グループを完成させます。

注:
スポットライト グループを他のドメインまたは他のブレークダウン要素にコピーした場合、元のスポットライト グループに対して既に生成されているスポットライト ジョブの結果はコピーされません。

関連情報

スポットライトによるドメインセパレーション

スポットライト インタラクティブ分析

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

インジケータースコアの収集

スナップショットまたはプラットフォームデータの評価

スポットライト ジョブが実行されると、収集されたレコードのスナップショットが評価されるか、プラットフォームから直接データを収集して評価します。

注:
新しいスポットライト スコアは、スコアがスナップショットからのものかプラットフォームデータからのものかに関係なく、以前のスコアを上書きします。

スナップショット レコードの評価

デフォルトでは、新しいスポットライトグループはレコードのスナップショットを使用します。スナップショットが これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。 スポットライトグループのメインインジケーターと基準インジケーターの パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブがスナップショットを作成します。これらのジョブは、スポットライト評価ジョブが実行される前に実行され、レコードを収集する必要があります。

スナップショット レコードを使用するスポットライト グループの場合、データ収集とスポットライト評価ジョブは次の条件を満たす必要があります。

- スポットライト グループの条件で使用されるメイン インジケーターおよびすべてのインジケーターでは、レコード収集が有効になっています。

  注:
  インジケーター フォームの [レコードの収集] オプションでは、自動インジケーターの作成の説明のとおりにレコード収集が有効になります。

- スポットライト グループ条件で使用されるメイン インジケーターとすべてのインジケーターで、同じデータ収集頻度を使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- すべてのスポットライトグループインジケーターのデータコレクションジョブをできるだけ一緒に実行し、データを同期させた状態に保ちます。基準インジケーターのスナップショットの日付は、メインインジケーターの最終スコア日と同じである必要があります。メインインジケーターとすべての基準インジケーターが同じデータコレクションジョブ内にあると理想的です。
- スポットライト スコア収集ジョブは、ジョブの完了後にすぐにデータ収集ジョブと同じ頻度で実行します。スポットライト スコア収集をこの方法でスケジュールすると、最新で役立つ結果になります。

注:
インジケーターベースのスポットライト基準のみがスナップショットレコードを評価します。スナップショットからのデータを評価するようにグループを設定した場合でも、クエリベースの基準は常にプラットフォームデータを評価します。

プラットフォームデータの評価

スポットライトでは、スポットライトジョブの実行時にプラットフォームから直接レコードを収集して評価できます。結果のスポットライトスコアは、最新のスポットライトジョブの時点でのプラットフォームのステータスを反映します。

プラットフォームデータに基づくスポットライトスコアは、真に「リアルタイム」ではありません。レコードはプラットフォームで変更される可能性がありますが、次にスポットライト ジョブが実行されるまで、レコードのスポットライト スコアにはこの変更が反映されません。

プラットフォームデータの評価では、スナップショットのレコードの評価に比べ、インジケーターデータをクエリするためにより多くのシステムリソースを必要とします。

また、スクリプト化されたブレークダウンが適用されている場合、インジケーターベースの基準を使用してプラットフォームデータを評価することはできません。特定の制限は次のとおりです。

- 基準のインジケーターが、スクリプトに基づくブレークダウンを使用する場合は、この特定の条件を使用できません。プラットフォームデータの代わりにスナップショットを収集するか、インジケータベースの基準の代わりにクエリベースの基準を作成します。
- スポットライトグループのメインインジケータがスクリプトに基づくブレークダウンを使用する場合、プラットフォームデータを評価することはできません。スナップショットのみに基づいてデータを収集するようにスポットライトグループを設定します。

スポットライト条件の作成

レコードの重み付けのタイミングと割り当てる重み付けを定義するスポットライト条件を作成します。

始める前に

スポットライト グループの作成

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて

スポットライト条件は、特定の属性に基づいてレコードに重みを付ける方法を定義します。各スポットライト条件はスポットライト グループと関連付けます。

スポットライト条件では、インジケーターを参照するか、ファクト テーブルに対して直接クエリを使用できます。前者の条件はインジケーターベースの条件と呼ばれ、後者はクエリベースの条件と呼ばれます。インジケーターベースの条件のインジケーターは、次の要件を満たす必要があります。

- 自動インジケーターである必要がある。
- レコードを収集するように設定する必要がある。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- これは、メインインジケーターのインジケーターソースが基づいているものと同じテーブルに基づいている必要があります。このテーブルをデータベースビューにすることはできません。
- スポットライトグループがプラットフォームデータを評価する場合、インジケーターはスクリプト化されたブレークダウンを使用できません。

クエリーベースの基準は、メインインジケーターのインジケーターソースが基づいているものと同じテーブルをクエリーします。インジケーターベースとクエリベースの基準の適合性は、スポットライトグループがプラットフォームデータを評価するか、レコードのスナップショットを評価するかによっても異なります。詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。

一部の条件は他の条件よりも重要で、重み付けが高くなる場合があります。複数の条件の重み付けはスポットライト グループ内で累積されます。レコードのスコアは、スポットライト グループ内で利用可能なすべてのスポットライト条件の重み付け合計です。

ドメインセパレーションを有効にしている場合:

- グローバル スポットライト グループのスポットライト条件を作成すると、条件はログインしているユーザーのドメインに作成されます。
- 特定のドメイン内のスポットライト グループに対してスポットライト条件を作成すると、スポットライト条件はそのドメインに作成されます。

スポットライト条件を作成すると、ドメインの状況を通知するメッセージが表示されます。詳細については、「スポットライトによるドメインセパレーション」を参照してください。

手順

1. スポットライトグループレコードで、[スポットライト条件] 関連リストを見つけて [新規] をクリックします。
2. この条件を満たすレコードに割り当てる [重み付け] を入力します。
   関連するスポットライトグループに設定されている しきい値 を再検討することを検討してください。グループとグループのしきい値のスポットライト条件を互いに比較して重み付けを最適化します。
3. [基準タイプ] を選択すると、指定した重み付けが割り当てられるレコードが特定されます。

オプション	説明
インジケーター	[インジケーター] を選択すると、このインジケーターに含まれるすべてのレコードに重み付けが割り当てられます。必要に応じて、1 つまたは 2 つのブレークダウンと要素を選択し、指定したブレークダウン要素値を含むレコードのみにレコードを制限します。
クエリ	[フィルタ条件] を設定します。指定した重み付けは、フィルタ条件と一致するファクト テーブルのすべてのレコードに割り当てられます。スポットライト グループのメイン インジケーターのファクト テーブルは自動的に選択されます。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果

スポットライト グループの基準を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 3 つの基準が含まれるスポットライト グループ

インジケーターを参照する次の 3 つの基準すべてが含まれるスポットライト グループを検討します。

- 30 日間更新されないオープン インシデントで、重み付けが 1000 である。
- 再アサイン> 3 回、重み付け 800
- 説明が空で、重み付けが 300 である

この例では、4 回再アサインされ、[Description] フィールドが空のオープンインシデントの合計スコアは 1100 です。このインシデントは、合計スコアが 1000 の 30 日間更新されていないインシデントよりも優先されます。

次のタスク
手順を繰り返して、必要な数の基準を作成します。次にスコアを収集します。「スポットライト スコアの収集」を参照してください。

スポットライト スコアの収集

スポットライト スコアを収集するには、スコアの収集をスケジュールし、スポットライト グループを有効にします。また、アクティブなスポットライト グループのスコアを手動で収集することもできます。

始める前に

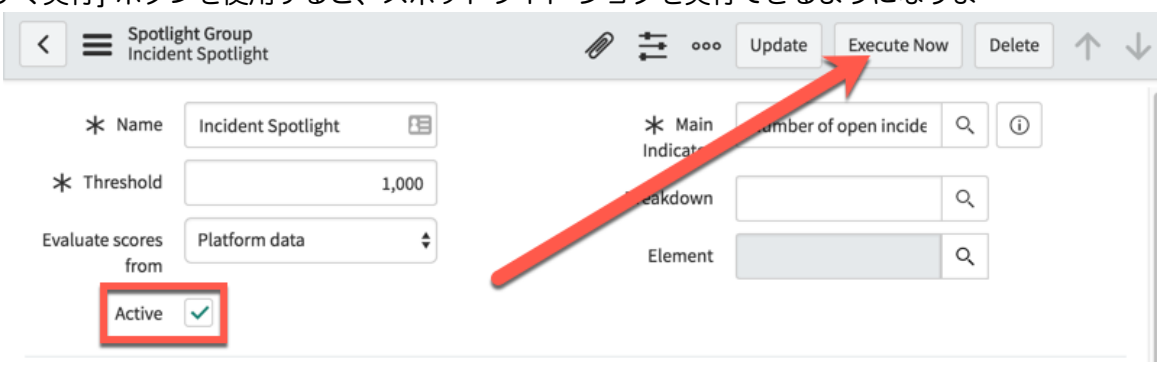
1. スポットライト グループの作成
2. スポットライト条件の作成

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて
スポットライトがスコアを収集する場合、スポットライトは、例外なく関連するスポットライト グループの古いスポットライト レコードもすべて削除します。

手順

1. スコアを収集するスコア グループを開きます。
2. まだ選択されていない場合は、チェックボックスで [有効] を選択し、スポットライト グループ フォームを保存します。
   デフォルトでは、新しいスポットライト グループは有効です。
   [今すぐ実行] ボタンを使用すると、スポットライト ジョブを実行できるようになりま



す。

3. スコアをすぐに収集するには、[今すぐ実行] をクリックします。
4. [スケジュール] セクションに移動し、[実行] フィールドでスポットライト スコアを収集する頻度を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. スポットライト スコアを収集するタイミングの具体的な情報を入力します。
必要な情報は、[実行] フィールドで選択した期間に応じて異なります。たとえば、[日次] を選択した場合は、実行する日時を入力する必要があります。[月次] を選択した場合は、実行する月の日付と時刻を入力する必要があります。
6. ドメインセパレーションを使用している場合は、[実行方法] フィールドでユーザーを指定します。

   実行ユーザーを指定しない場合、スコアはグローバルドメインに対して評価されます。この場合、スポットライトスコアリングは、すべてのドメインのすべての一致するレコードに対して実行されます。

   詳細については、「スポットライトによるドメインセパレーション」を参照してください。

タスクの結果

スポットライトでは、設定したスケジュールに従ってスコアの収集が開始されます。また、[今すぐ実行] をクリックすると、スコアをいつでも手動で収集することができます。スケジュールのトラブルシューティングが必要な管理者は、「スポットライトのスケジュール [sys_trigger] レコード」を参照してください。

次のタスク

スポットライト スコアに寄与する基準の詳細を確認できます。詳細については、「スポットライト スコアの詳細の確認」を参照してください。また、結果のインタラクティブな分析を確認および共有することもできます。

スポットライト スコアの詳細の確認

スポットライト スコアに寄与した重み付けの基準を確認するには、スポットライト レコードの詳細を確認します。

始める前に

必要なロール：pa_spotlight または admin

手順

1. 移動先 すべて > スポットライト > スポットライト または、スポットライトグループレコードのスポットライト 関連リストを表示します。
2. 目的のスポットライトを見つけて、情報アイコン をクリックします。
3. [レコードを開く] をクリックします。

タスクの結果

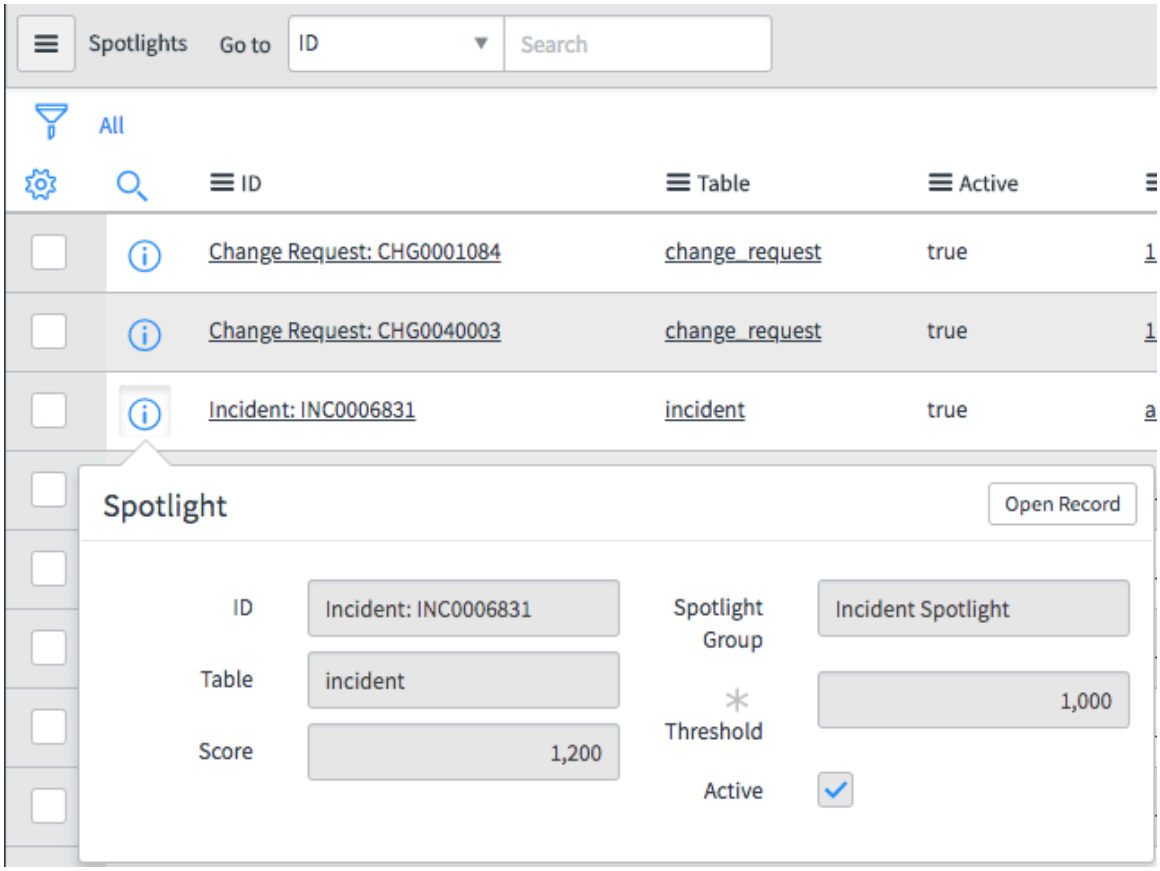
スポットライト レコードが開きます。スポットライト監査関連リストでは、レコードが一致したスポットライト基準と、合計スコアに対する各基準の寄与を確認できます。

Example: 合計スコアに寄与するスポットライト条件

しきい値 1,000 に対するスポットライト スコアが 1,200 のインシデント INC0006831 のスポットライト レコードを検討します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択したレコードのスポットライト リスト



スポットライト レコードを開くと、合計スコアに寄与する次の条件の重み付けが表示されます。

条件	重み付け
30 日間更新されていないオープン インシデント	1,000 日
28 日間より古いインシデント	25
7 日間より古いインシデント	25
5 日間更新されていないオープン インシデント	100
14 日間より古いインシデント	25
90 日間より古いインシデント	25
合計スコア：	1,200

スポットライト インタラクティブ分析

スポットライト インタラクティブ分析は、スポットライト ジョブの重要な結果を示します。スポットライトグループレコードから分析にアクセスします。

スポットライト インタラクティブ分析を開くには、対象のグループのスポットライト グループ レコードを開き、[インタラクティブ分析の起動] 関連リンクをクリックします。pa_spotlight または admin ロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
インタラクティブ分析では、スポットライト データベース ビューを使用します。スポットライトは、グループを作成すると、スポットライト グループごとにデータベース ビューを作成します。データベースビューがない場合は、警告が表示されます。pa_spotlight または admin ロールを持っている場合は、データベースビューを生成するためのリンクも表示されます。詳細については、「スポットライト データベース ビュー」を参照してください。

インシデント以外のテーブルでインタラクティブ分析を使用するには、 完全に有効化されたサブスクリプションバージョンの パフォーマンスアナリティクスが必要です。「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションの有効化」を参照してください。

インタラクティブ分析 Interactive Analysis には、次の情報が含まれています。

- スポットライト レコードの数。また、この値は、スポットライト グループのしきい値を超えた対応するファクト テーブル レコードの数でもあります。
- スポットライトしきい値を超えた未アサインのファクトテーブルレコードの数。これらのレコードの [アサイン先] 列には値がありません。
- スポットライト テーブルとメイン インジケーターのファクト テーブルを結合するデータベース ビュー。このビューの各行には、スポットライト レコードの列と対応するファクト テーブル レコードが表示されます。

  注:
  - ユーザーがこのテーブルの値を表示できない場合は、itil ロールを使用していることを確認します。
  - ドメインセパレーションが有効になっている場合、ユーザーは、ドメインに含まれる対応するファクト テーブル レコードのスポットライト レコードのみを表示できます。
  - このデータベース ビューをデータソースとして使用すると、レポートを作成できます。これらのレポートをダッシュボードに含めることができます。Analytics and Reporting Spotlight の各ソリューションには、このようなダッシュボードとレポートが含まれています。

  詳細については、「スポットライト データベース ビュー」を参照してください。

インタラクティブなフィルタを分析に適用できます。一致する列を含むファクト テーブルでは、次のフィルタが使用できます。

- ファクト テーブル レコードの [優先度] (タスクのみ)
- レコードが [オープン] である場合
- レコードの [経過時間]
- [アサイン先グループ] (タスクのみ)
- レコードの [状態]

これらのフィルターの追加または削除については、「 インタラクティブ分析へのフィルタの追加 と インタラクティブ分析からのフィルタの削除」を参照してください。

注:
スポットライト インタラクティブ分析用のインタラクティブ フィルタを作成する場合は、関連するスポットライト データベース ビューの上部にフィルタを作成する必要があります。データベース ビューにアクセスするには、admin ロールが必要です。このロールを持っていない場合は、システム管理者に連絡してください。

インタラクティブ分析を共有するには、フィルタ情報から URL を共有します。インタラクティブ分析を共有するユーザーには、pa_spotlight_viewer ロールが必要です。フィルタ情報の詳細については、「インタラクティブ分析情報パネル」を参照してください。

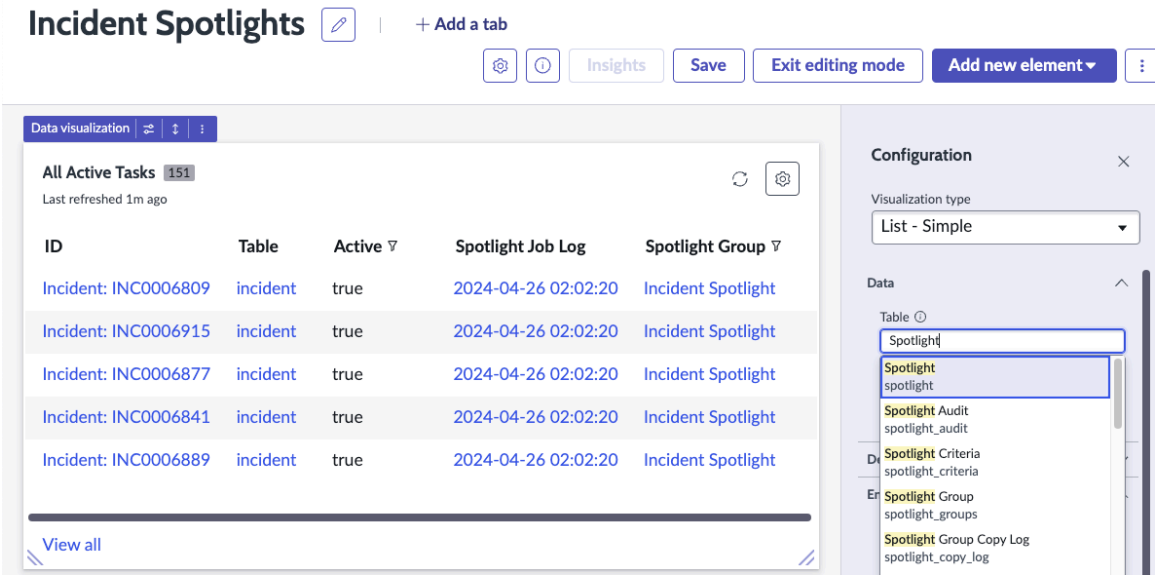
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのスポットライト

スポットライトを一覧表示し、構成可能なワークスペースのダッシュボードに表示できます。

スポットライトを プラットフォームアナリティクスで表示するには、インラインエディターでダッシュボードを作成します。スポットライト [spotlight] テーブルのレコードを表示するリストをダッシュボードに追加します。インシデントスポットライトなどのスポットライトグループでフィルタリングできます。



関連情報

- のダッシュボード プラットフォームアナリティクス
- 可視化デザイナーでのシンプルなリストによる可視化の作成

スポットライトジョブログ

スポットライト ジョブの手順はログに記録されます。このログを使用して問題をデバッグします。

pa_spotlight または admin ロールを持つユーザーは、スポットライト ジョブ ログを読み取りおよび削除できます。

ログには次の場所にリストされます。

- 時間： スポットライト > スポットライトログ.
- 関連するスポットライトグループレコードのスポットライトジョブログ関連リストとして。

スポットライト グループ フォームではなく、同じスポットライト ジョブ ログ リストは両方の場所で開き、リストはこのスポットライト グループによってフィルタリングされます。

スポットライト ジョブをデバッグするには、リストからジョブ ログを開き、ジョブ ログの行フィールドを調査します。

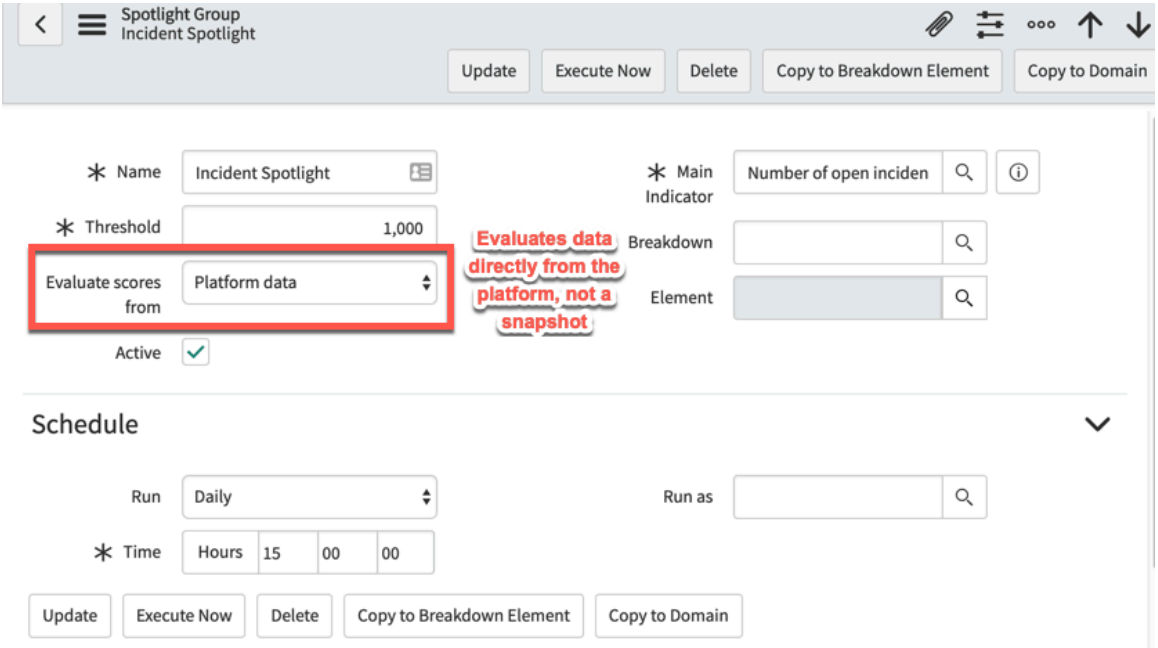
Example: スポットライト ジョブのデバッグ

インシデント [incident] テーブルのリアルタイム データを評価するインシデント スポットライト グループを考えてみましょう。このテーブルは、[オープンインシデントの数] インジケーターのインジケーターソースが使用するテーブルです。ス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

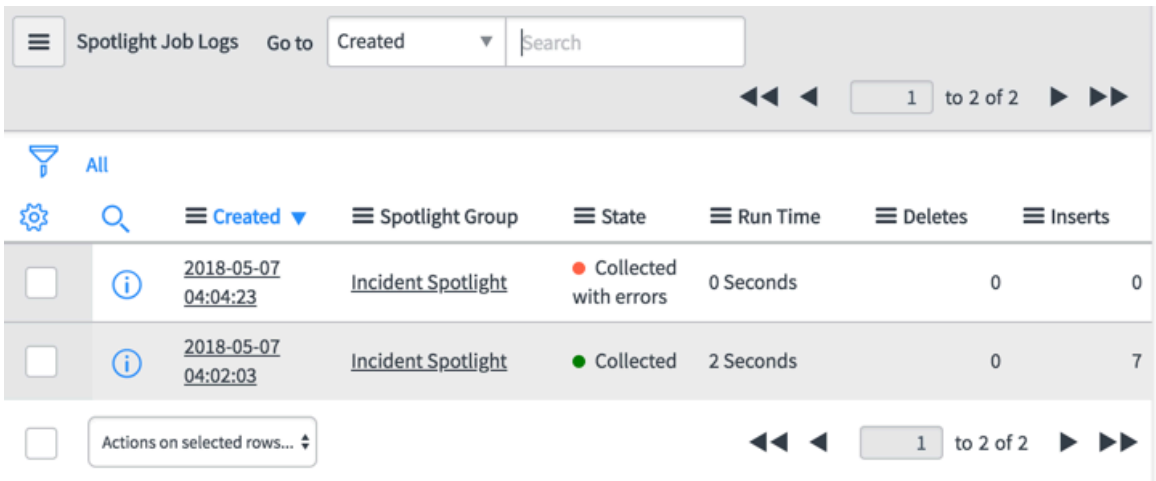
ポットライト ジョブは、このスポットライト グループで毎日 15:00 に実行されま



す。

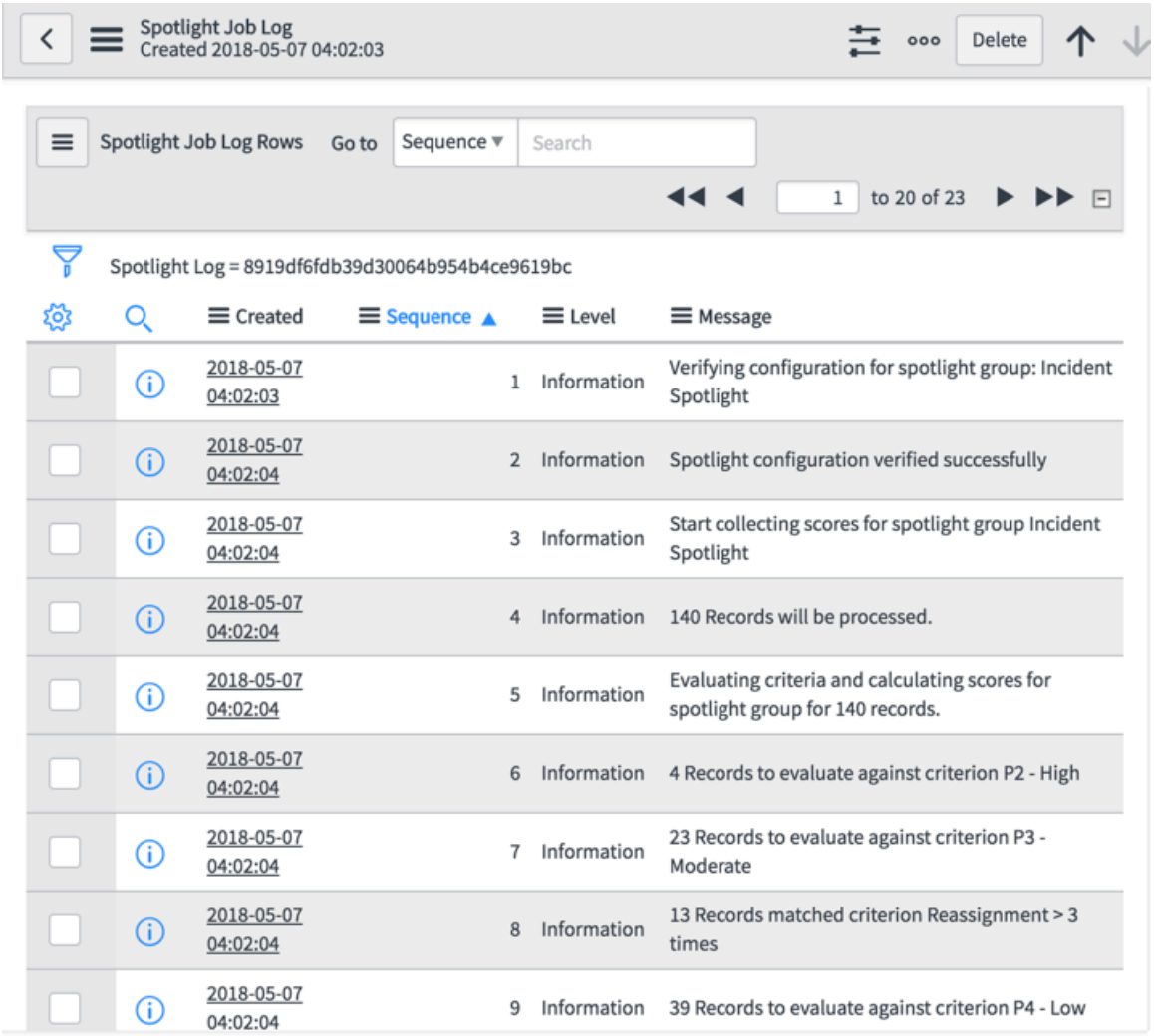
このグループのスポットライト ジョブは、最新のジョブがエラーで完了したスポットライト ジョブ ログの次のリストを生成します。

スポットライトジョブログ

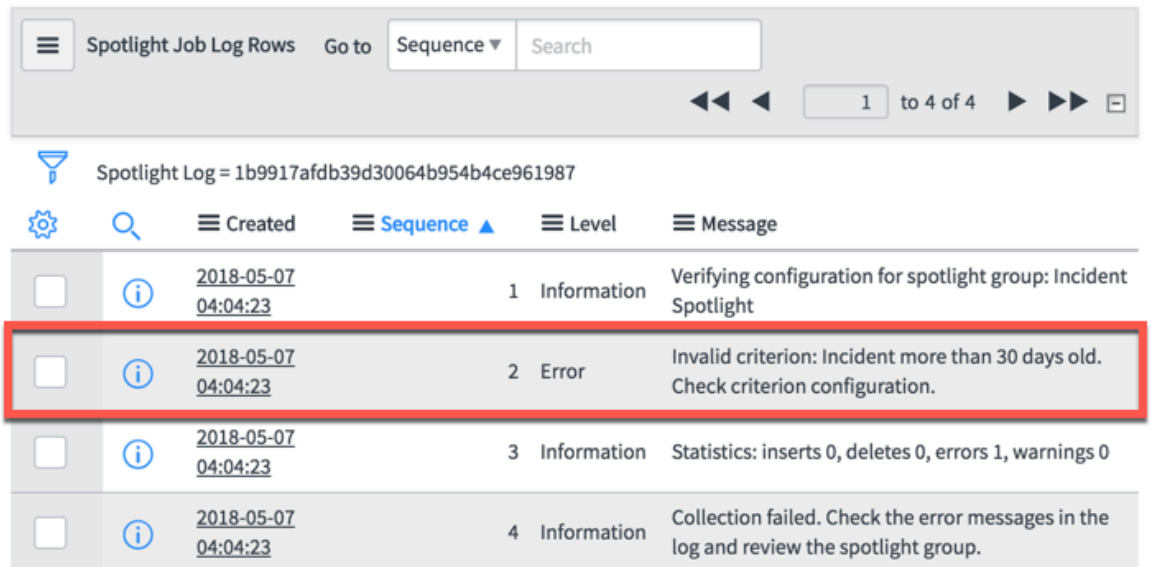


04:02:03 ジョブのタイムスタンプをクリックすると、情報メッセージのみを含む成功したジョブが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

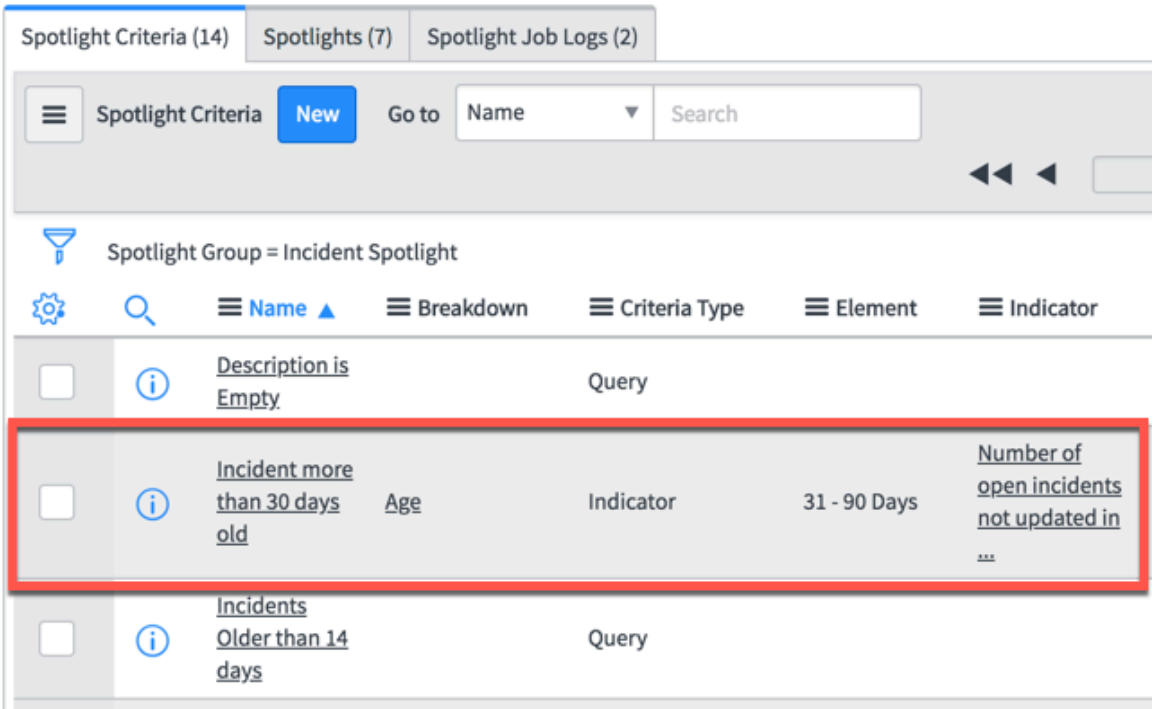


リストに戻り、エラーが発生したジョブのログを開くと、スポットライト基準 **[30** 日間より古いインシデント] は無効であることがわかります。

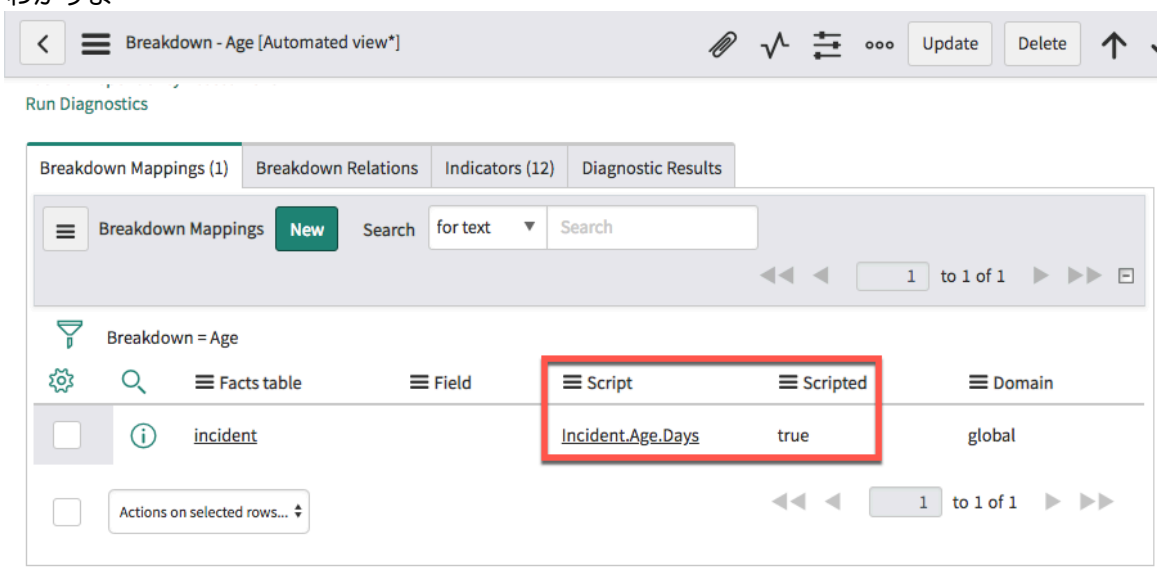


スポットライト基準に移動すると、**[30** 日間より古いインシデント] が経過時間ブレークダウンを使用するインジケーターベースの基準であることがわかります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



経過時間ブレークダウンを表示すると、ブレークダウンマッピングでスクリプトが使用されていることがわかりま



す。

上部に示すように、インシデント スポットライト グループはリアルタイム データを評価します。したがって、グループはスクリプト化されたブレークダウンを使用する基準をサポートできません。ジョブをエラーなしで実行するには、この基準を、インジケーターとブレークダウンの代わりにクエリを使用する基準に置き換えます。たとえば、次の条件でインシデント [incident] テーブルをクエリする基準を作成します。

- [[オープン済み][相対的][当日以前][30][日間][前]]
- [[オープン済み][相対的][当日以降][90][日間][前]]

詳細については、「スポットライト条件の作成」を参照してください。

スポットライトによるドメインセパレーション

ドメインセパレーションを有効にしている場合、スポットライトはスポットライトジョブ中にドメインセパレーションを適用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スポットライトグループのドメイン

スポットライト グループを作成するときは、グループの作成時にログインしているユーザーのドメインにスポットライト グループを作成します。たとえば、ACME 製品ドメインのユーザーがスポットライト グループを作成すると、そのグループは ACME 製品ドメインに作成されます。どのドメインにも属さないユーザーとしてスポットライト グループを作成した場合、そのスポットライト グループはグローバル ドメインに属します。

Now Platform® ドメインセパレーションの定義に従って、スポットライトグループを他のドメインにコピーできます。

セッションドメインとスポットライトグループドメイン

スポットライト グループのドメインとは異なるドメインにログインしている場合、そのスポットライト グループ レコードを編集することはできません。この場合、スポットライト グループは別のドメインにのみコピーできます。

スポットライト条件ドメイン

- グローバル スポットライト グループのスポットライト条件を作成すると、条件はログインしているユーザーのドメインに作成されます。
- 特定のドメイン内のスポットライト グループに対してスポットライト条件を作成すると、スポットライト条件はそのドメインに作成されます。

スポットライト条件を作成すると、ドメインの状況がメッセージで通知されます。

ドメインセパレーションを使用したスコアの評価

スポットライトグループがプラットフォームデータを評価する場合、メインインジケーターとすべての基準は、 実行 ユーザーのドメインとドメインの可視化に従って照会されます。スポットライト グループがスナップショットのレコードを評価する場合、メイン インジケーターとインジケーター ベースの基準は、実行ユーザー ドメイン用に特別に収集されたパフォーマンスアナリティクススナップショットを使用します。この場合、 実行 ユーザーのドメインの可視化はインジケーターに適用されません。(スポットライト グループがスナップショットを評価するように構成されている場合でも、クエリベースの条件は常にプラットフォーム データを評価します。したがって、クエリベースの基準は、常に 実行 ユーザーのドメインとドメインの可視化の両方に従います)。

注:
各インジケーターのスナップショットは、スナップショットを作成する パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブのドメイン構成によって異なる場合があります。

関連情報

- スポットライト グループの作成
- スナップショットまたはプラットフォームデータの評価
- スポットライト グループをドメインにコピーする
- ドメインセパレーションとパフォーマンスアナリティクス

スポットライト グループをドメインにコピーする

スポットライト グループを他のドメインにコピーして、ドメインごとにグループを手動で再現する手間を省くことができます。

始める前に
コピーするスポットライト グループの構成を完了します。
必要なロール:admin、pa_spotlight_copy_domain

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
スポットライト グループを初めて作成すると、ログインしているドメインにスポットライト グループが作成されます。他のドメインに同一のスポットライト グループを作成するには、コピー機能を使用します。コピー機能は、 Now Platform ドメインセパレーションに従います。

手順

1. スポットライトグループリストからスポットライトグループレコードを見つけて開きます。
2. [ドメインにコピー] をクリックします。
3. 「スポットライトグループをコピー」ダイアログで、「 名前の設定」の値を選択します。
4. 「 スポットライトグループをコピー 」ダイアログの残りのフィールドに次のように入力します。

フィールド	**Description** (説明)
新しい名前	作成しているスポットライト グループ コピーの名前を示す編集可能なフィールド。このフィールドは 、[名前設定] で [名前を変更しない] 以外の値を選択した場合に表示されます。[ドメイン名 を接頭辞として新しい名前に追加] または [ドメイン名 を接尾辞として新しい名前に追加] を選択しない限り、すべてのコピーに同じ名前が付けられます。ドメイン名のプリフィックスまたはサフィックスは、このフィールドには表示されません。
ドメイン	任意の数のドメインを選択します。選択肢には、親ドメインとすべてのサブドメインが含まれます。スポットライト グループのコピーは、選択したドメインごとに作成されます。

5. **[OK]** をクリックします。
スポットライト グループがコピーされます。コピーが成功すると、作成したスポットライト グループのリストが開きます。コピー処理中にエラーメッセージまたは警告が表示された場合は、スポットライトグループコピーログを読みます。
6. 作成したスポットライトグループをそれぞれ開き、次の手順を実行します。
   a. 実行ユーザーがスポットライト グループのドメインにアクセスできることを確認し、必要に応じてこのユーザーを変更します。
   b. スポットライト ジョブのスケジュールを確認し、必要に応じて調整します。
   c. スポットライト グループをアクティブにします。

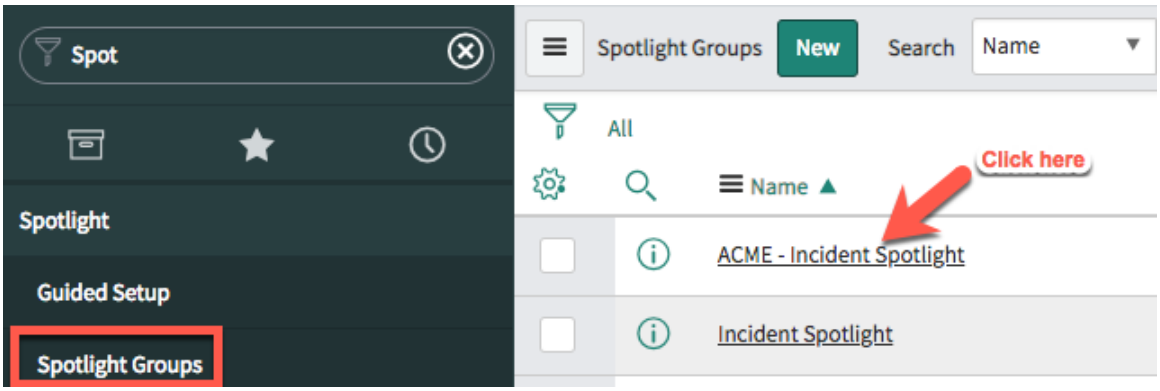
Example: スポットライト グループを複数のドメインにコピーする

この例では、ACME ドメインで作成された ACME - インシデントスポットライトグループが、ACME 社の製品部門のサブドメインにコピーされます。

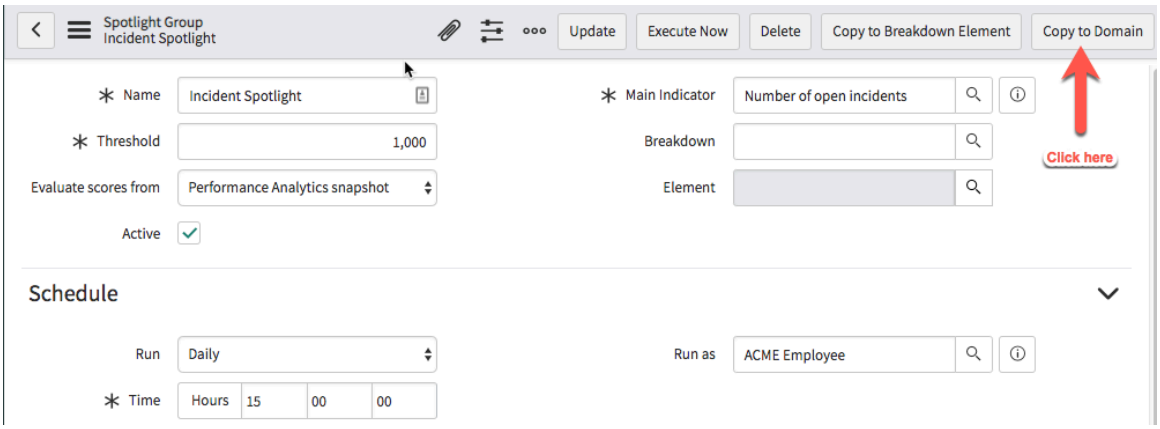
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. スポットライトグループリストを開き、[**ACME -** インシデントスポットライト] をクリックします。



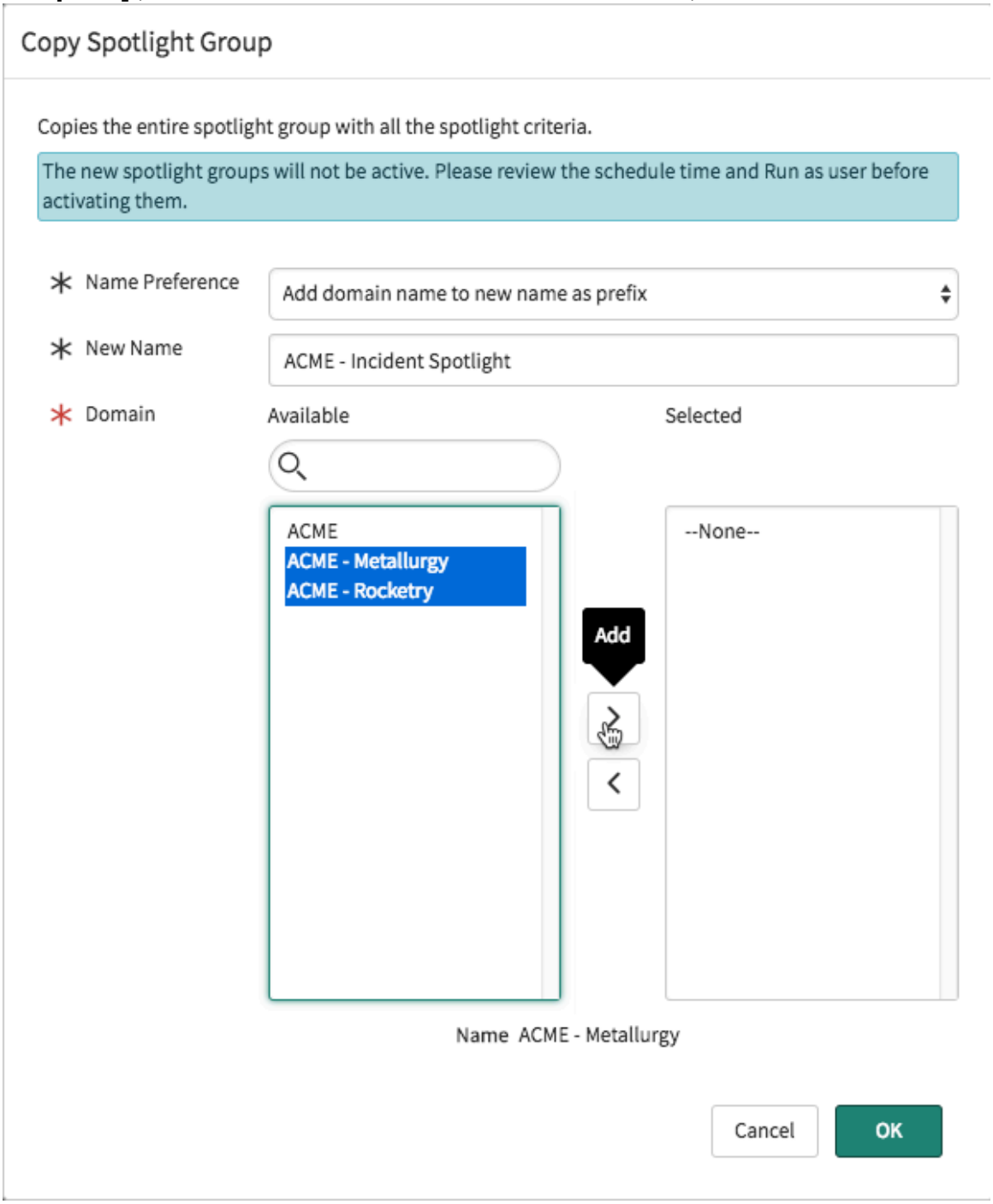
2. インシデント スポットライト グループ レコードが開くので、[ドメインにコピー] をクリックします。



3. [スポットライト グループのコピー] ダイアログで、[ACME - Metallurgy] および [ACME - Rocketry] サブドメインを選択します。元のスポットライトグループが ACME ドメインに作成されているため、ACME と ACME サブドメインのみを使用できます。ドメイン名をグループ名の先頭に表示したいので、[**Add domain name to new**

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

name as prefix] (プレフィックスとしてドメイン名を新しい名前に追加) も選択しま

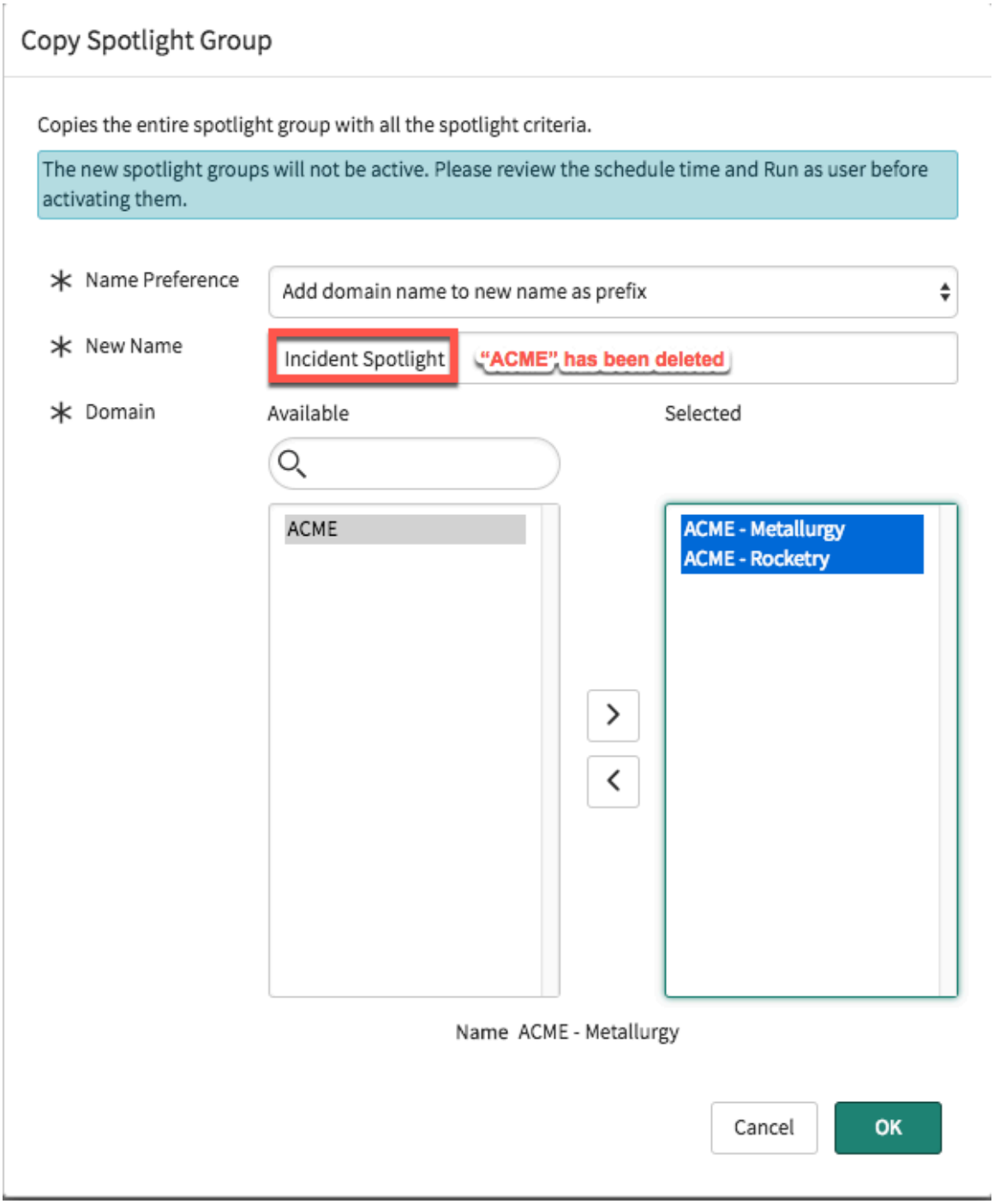


す。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. プレフィックスとして追加されるドメイン名は ACME で始まるため、グループの基本名に ACME は必要ありません。したがって、それを削除します。

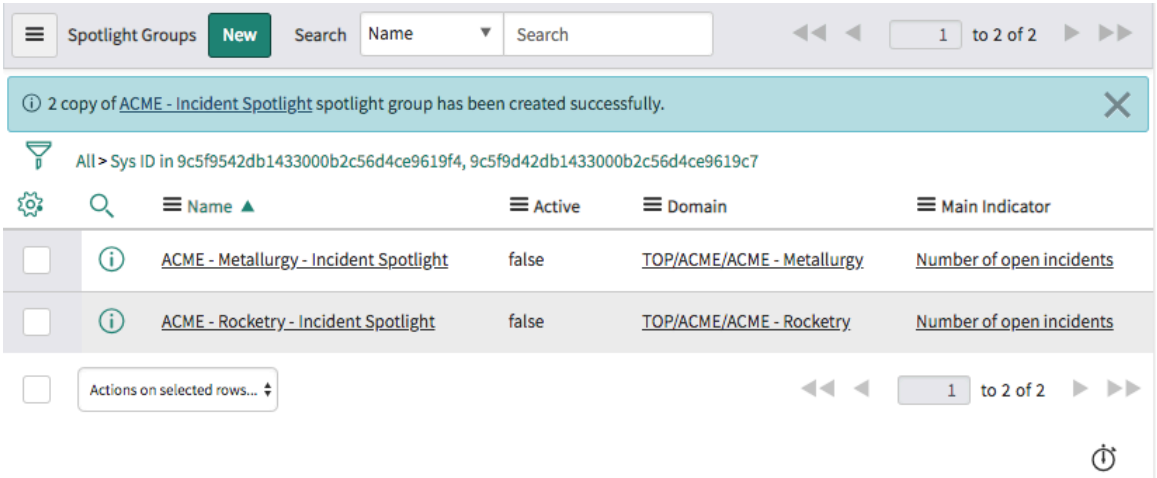


5. [**OK]** をクリックすると、作成したスポットライト グループを示すリストが表示されます。「 スポットライト グループをコピー 」ダイアログの「新しい名前」フィールドに表示されるように、どちらもベース名が「インシデント スポット

自動翻訳

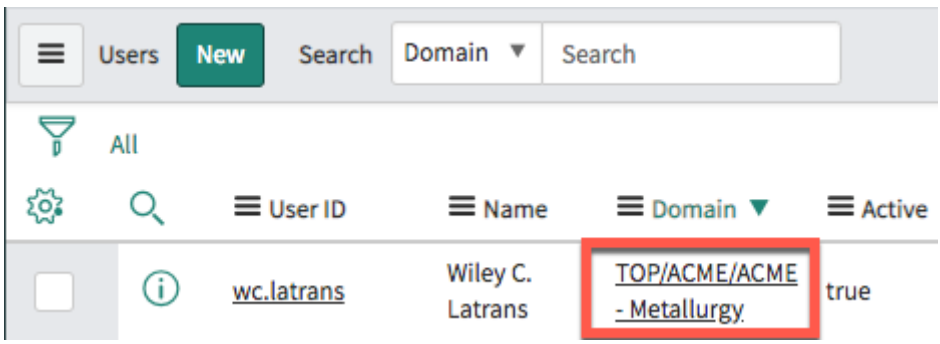
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライト」で、ドメイン名が接頭辞として追加されていることに注意してくださ

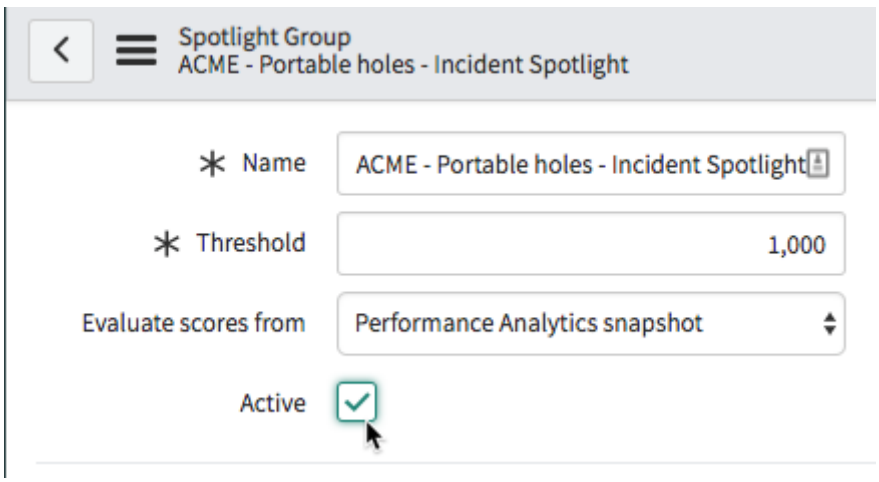


い。

6. [**Run as** (実行方法)] フィールドで、ACME - Metallurgy (ACME - 冶金) ドメインのユーザーを参照し、[Wiley C. Latrans] を選択します。グローバルユーザーとスポットライトグループのドメイン内のユーザーのみが利用可能です。スポットライト ジョブは、スポットライト グループと同じドメイン内の 実行 ユーザーを使用すると、このドメインに表示されるレコードのみが評価されるため、より効率的に実行されます。



7. スポットライト ジョブの実行スケジュールを確認し、スポットライト グループを有効にします。



8. ACME - Rocketry - インシデント スポットライト グループのスケジュールを確認し、グループをアクティブ化します。

次のタスク
コピー処理中にエラーメッセージまたは警告が表示された場合は、 スポットライトグループコピーログを読みます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライト グループをブレークダウン要素にコピーする

スポットライト グループは、1 つのブレークダウンの複数の要素にわたってコピーできます。

始める前に
コピーするスポットライト グループの構成を完了します。
必要なロール:admin、pa_spotlight、pa_spotlight_copy_breakdown

このタスクについて
スポットライト グループを最初に作成するときは、1 つのブレークダウンの 1 つの要素に最大で関連付けることができます。ブレークダウンの複数の要素に対して同一のスポットライト グループを作成するには、コピー機能を使用します。たとえば、 国 ブレークダウンの複数の要素に同じスポットライト グループ構成を使用する場合は、1 つの国のスポットライト グループを作成し、それを他の国にコピーします。

手順

1. スポットライトグループリストからスポットライトグループレコードを見つけて開きます。
2. [ブレークダウン要素にコピー] をクリックします。
3. 「スポットライトグループをコピー」ダイアログで、「 名前の設定」の値を選択します。
4. 「 スポットライトグループをコピー 」ダイアログの残りのフィールドに入力します。

フィールド	**Description** (説明)
新しい名前	作成しているスポットライト グループ コピーの名前を示す編集可能なフィールド。このフィールドは 、[名前設定] で [名前を変更しない] 以外の値を選択した場合に表示されます。[接頭辞として新しい名前に要素名を追加] または [接 尾辞として新しい名前に要素名を追加] を選択しない限り、すべてのコピーは同じ名前になります。要素名のプリフィックスまたはサフィックスは、このフィールドには表示されません。
ブレークダウン	元のスポットライト グループの作成時にブレークダウンを指定した場合は、このフィールドにブレークダウン名が表示されます。それ以外の場合は、ブレークダウンを選択します。メインインジケーターに関連付けられているブレークダウンのみが利用可能です。
要素	指定したブレークダウンの要素をいくつでも選択します。選択した要素ごとにスポットライト グループのコピーが作成されます。

5. **[OK]** をクリックします。
スポットライト グループがコピーされます。コピーが成功すると、作成した新しいスポットライト グループのリストが開きます。コピー処理中にエラーメッセージまたは警告が表示された場合は、スポットライトグループコピーログを読みます。
6. 作成した各スポットライトグループを開き、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

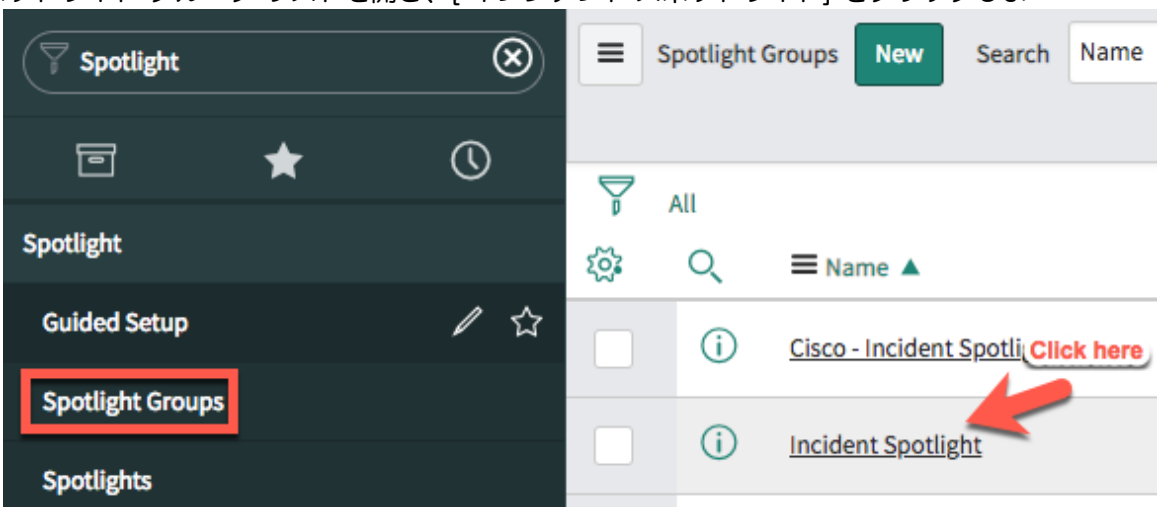
a. スポットライト ジョブのスケジュールを確認し、必要に応じて調整します。

b. スポットライト グループをアクティブにします。

Example: 複数のブレークダウン要素のスポットライトグループのコピー

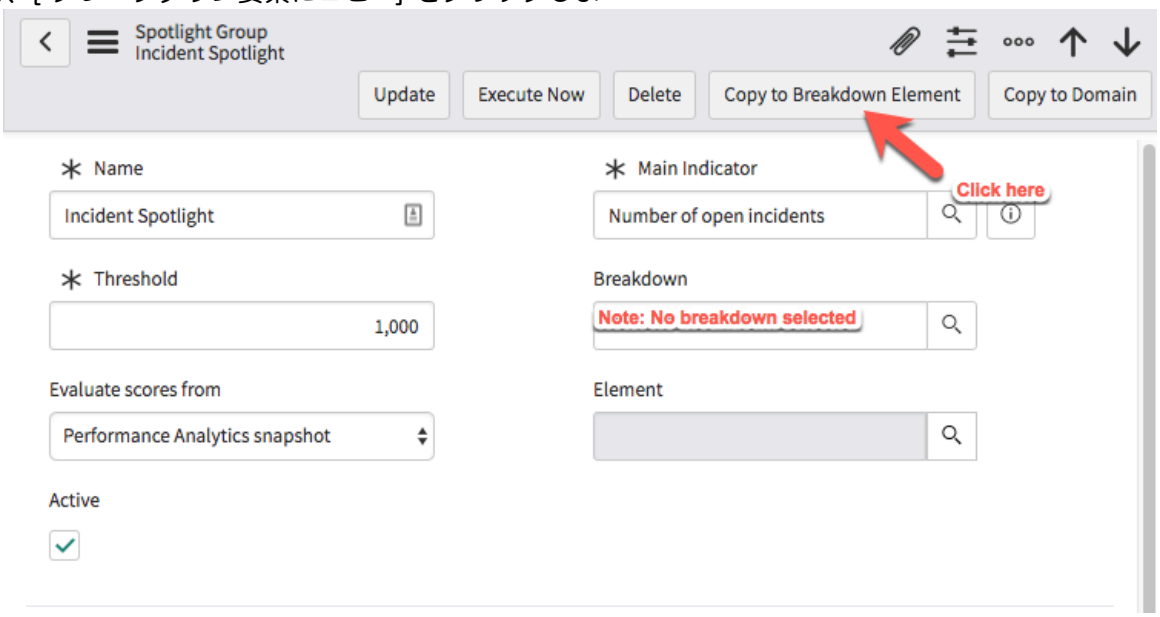
この例では、ブレークダウン要素 [カテゴリ] [ハードウェア] および [カテゴリ] [ソフトウェア] の [インシデント スポットライト] グループをコピーします。

1. スポットライト グループ リストを開き、[インシデント スポットライト] をクリックしま



す。

2. インシデント スポットライト グループ レコードが開くので、[ブレークダウン要素にコピー] をクリックしま



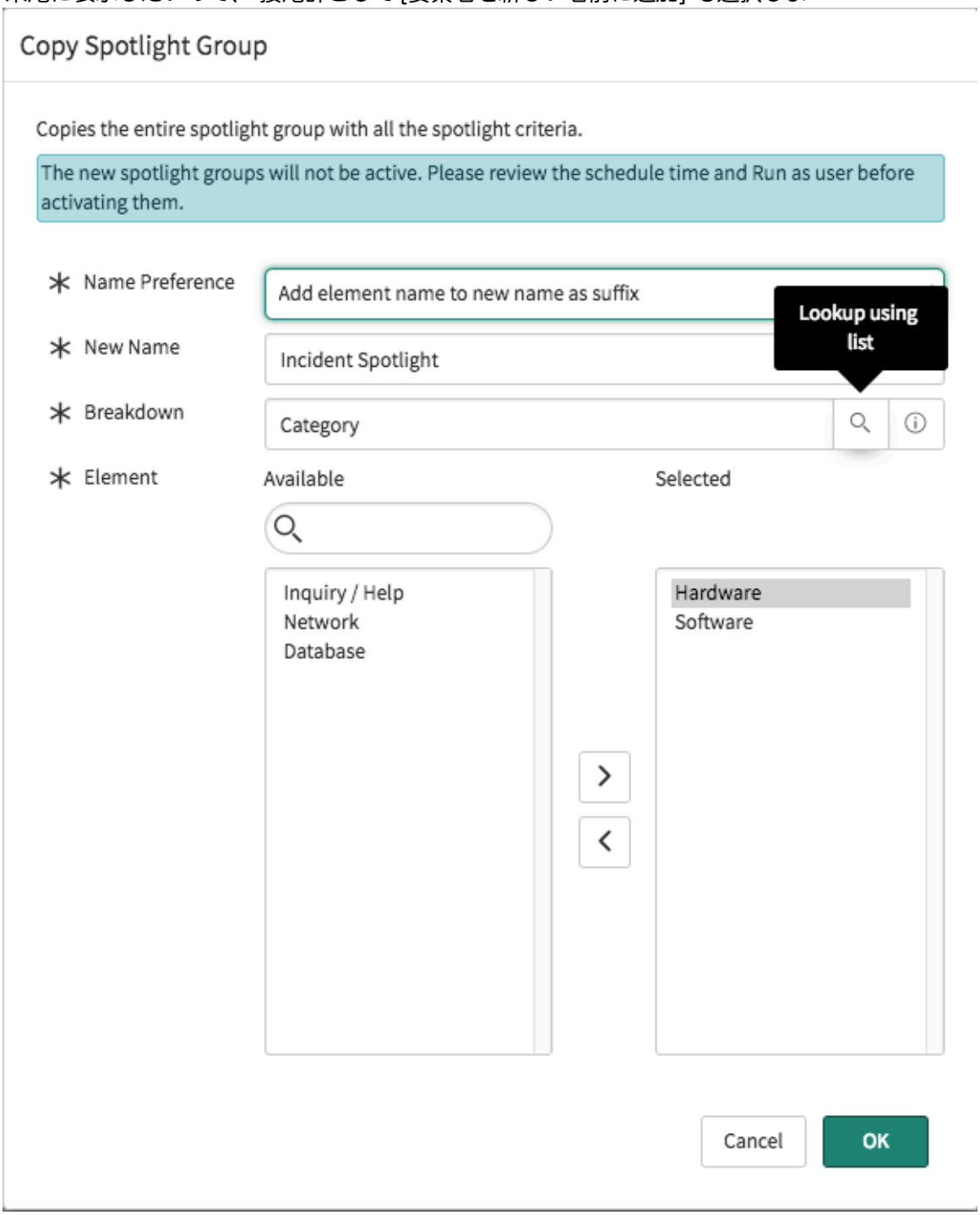
す。

3. [スポットライト グループのコピー] ダイアログで、[カテゴリ] ブレークダウンを指定し、[ハードウェア] 要素と [ソフトウェア] 要素を選択します。要素名をグループ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名の末尾に表示したいので、 接尾辞として [要素名を新しい名前に追加] も選択しま



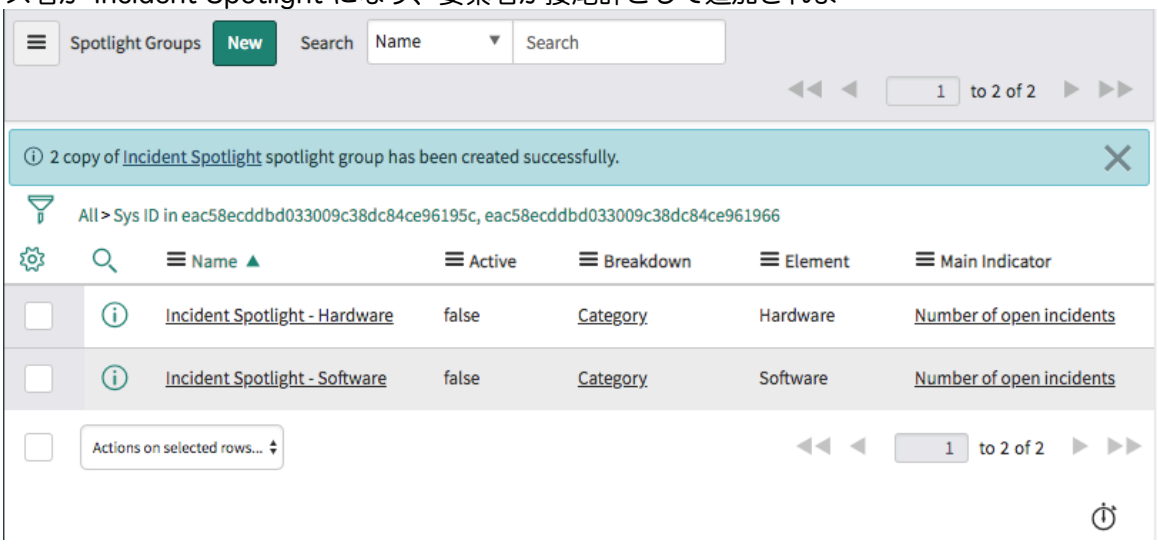
す。

4. [**OK]** をクリックすると、作成したスポットライト グループを示すリストが表示されます。どちらのスポットライト グループにも、[スポットライト グループのコピー] ダイアログの [新しい名前] フィールドに表示されるように、

自動翻訳

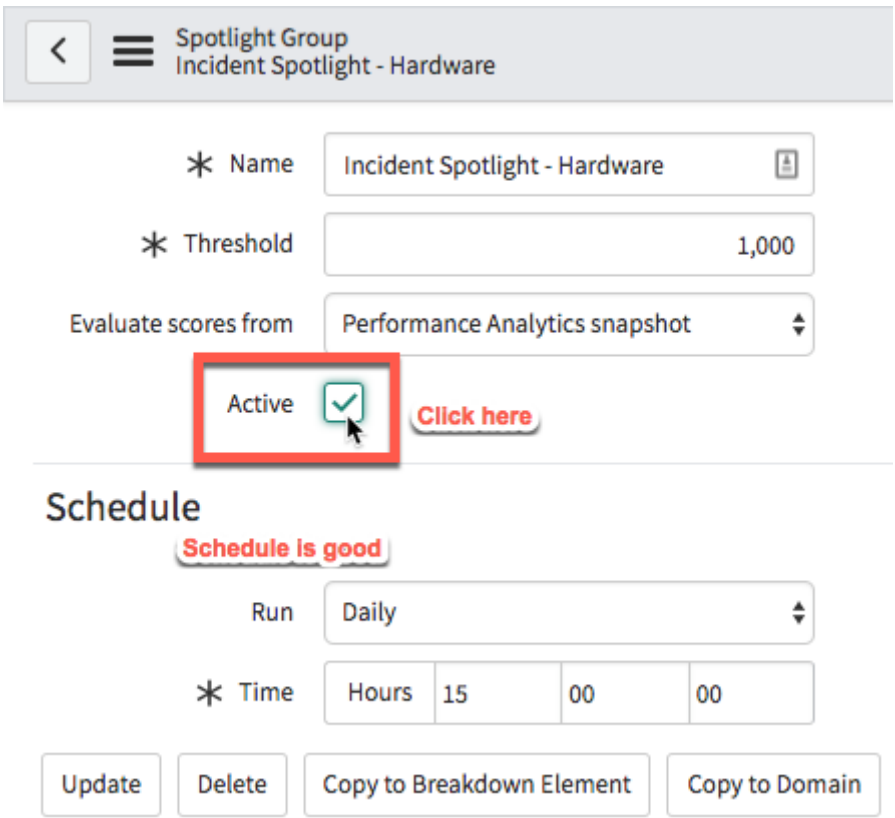
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベース名が Incident Spotlight になり、要素名が接尾辞として追加されま



す。

5. [Incident Spotlight - Hardware] グループを開きます。ここで、スポットライト ジョブ スケジュールが適切であることを確認し、グループをアクティブ化します。



6. インシデントスポットライト - ソフトウェアグループのスケジュールを確認し、グループをアクティブ化します。

次のタスク

コピー処理中にエラーメッセージまたは警告が表示された場合は、 スポットライトグループコピーログを読みます。

スポットライトグループコピーログ

スポットライト グループをコピーすると、コピー処理のステップがログに記録されます。このログを使用して問題をデバッグします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

pa_spotlight または admin ロールを持つユーザーは、スポットライト ジョブ ログを読み取りおよび削除できます。

ログには次の場所にリストされます。

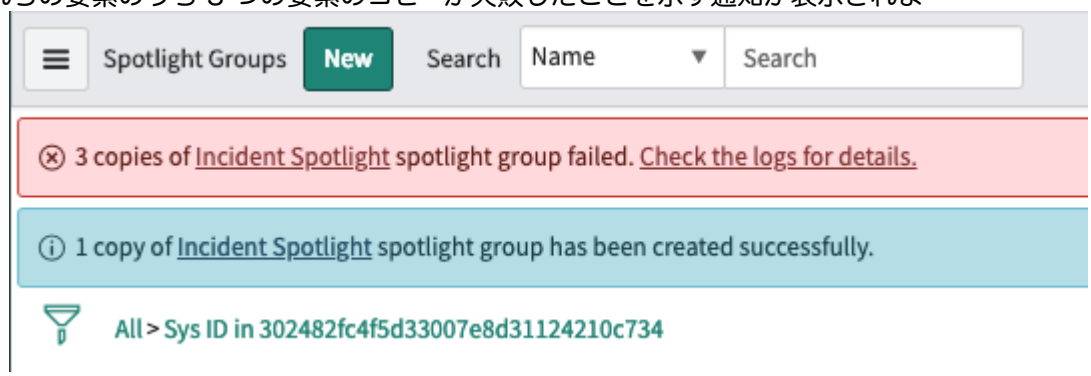
- 時間： スポットライト > スポットライトグループコピーログ.
- スポットライトグループとして、関連するスポットライトグループレコードの [ログをコピー] 関連リストを作成します。

同じスポットライト グループ コピー ログ リストが両方の場所で開きますが、スポットライト グループ フォームでは、リストはそのスポットライト グループによってフィルタリングされます。

スポットライト グループ コピー ジョブをデバッグするには、リストからグループ コピー ログを開き、ログ行フィールドを調べます。また、コピー ジョブの最後に表示される通知からグループ コピー ログを開くこともできます。

Example: エラーのあるグループコピーログ

この例では、[Assignment Group] ブレークダウン要素 [Database]、[Field Services]、[Hardware]、および [US Presidents] Group 1 の [Incident Spotlight] グループがコピーされています。ただし、コピー ジョブが完了すると、これらの要素のうち 3 つの要素のコピーが失敗したことを示す通知が表示されます。

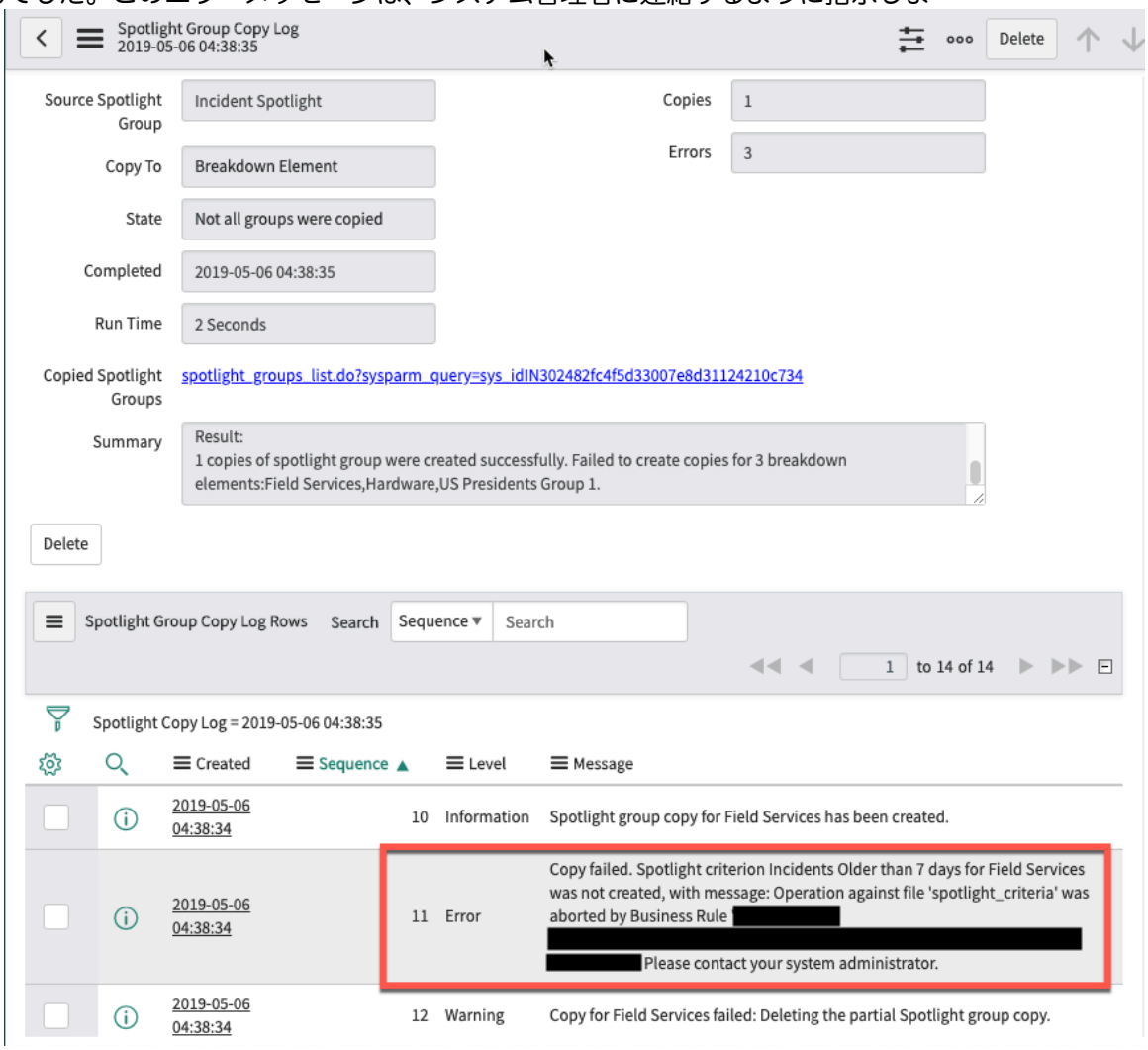


[**Check the logs for details**] をクリックすると、このコピー ジョブのスポットライト グループ コピー ログが開きます。このログでは、各エラーの原因となったエラーを確認できます。次の例では、ビジネスルール違反によりコピーを作成できま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

せんでした。このエラーメッセージは、システム管理者に連絡するように指示しま



す。

スポットライトの管理

admin ロールを持つユーザーは、スポットライトの下位コンポーネントにアクセスできます。

スポットライト データベース ビュー

スポットライトでは、データベース ビューがスポットライト グループで評価されるレコードのスポットライト [spotlight] テーブルとファクト テーブルを結合します。スポットライト インタラクティブ分析を使用するには、このデータベース ビューが必要です。アドミニストレーターは、このデータベースビューにアクセスして、レポートの作成や問題の診断を行うことができます。

データベース ビューを作成した後、スポットライトは、スポットライト グループ [spotlight_groups] テーブルの関連するスポットライト グループ レコードにそのビューへの参照を追加します。参照は、レコードのdatabase_view列にあるデータベースビューのプライマリーキーフィールド値で構成されます。

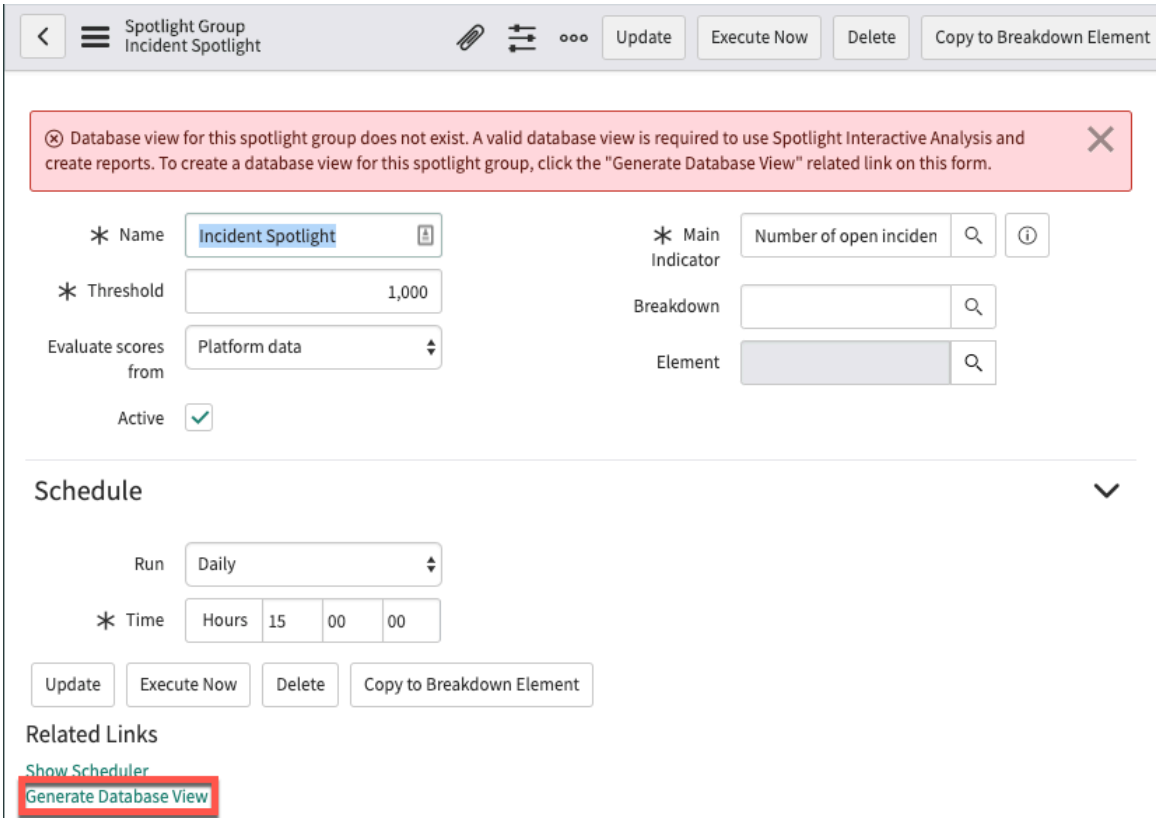
注:
London より前のバージョンからアップグレードする場合は、spotlight_groupsレコードの [database_view] 列のdatabase_view値が空の値から開始されます。この空の列は影響を与えません。ユーザーがspotlight_groupsテーブルのレコードを変更すると、列が入力されます。

管理者の場合は、データベース ビューに直接アクセスできます。スポットライト グループのデータベース ビューを表示するには、スポットライト グループ フォームの [データベースビューを表示] 関連リンクをクリックします。また、[データベースビュー] 列をスポットライト グループ リストにも追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データベースビューがないか無効な場合、スポットライトグループレコードにエラーメッセージが表示されます。この場合、[データベースビューを生成] 関連リンクをクリックすると使用可能になります。その後、データベースの生成が成功したかどうかを通知するメッセージが表示されます。

データベースビューが欠落しているスポットライトグループ



スポットライト グループを削除すると、安全に行うことができる場合、スポットライトはそのグループに関連付けられたデータベース ビューを削除します。データベース ビューを削除しても安全かどうかを判断するために、スポットライトは次の条件を確認します。

- 他のスポットライト グループにそのデータベース ビューへの参照が含まれていますか？
- 削除するグループのメインインジケーターと同じファクトテーブルを使用するメインインジケーターで、他のスポットライトグループが定義されていますか?

どちらの条件も true でない場合、スポットライトはデータベース ビューを削除します。

データベース ビューを作成、変更、または削除する場合、スポットライトは次のビジネス ルールを実行します。

- データベース ビューの更新
- データベース ビューの削除
- 挿入時の DB ビューの設定

関連情報

データベースビュー

分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化

スポットライトのスケジュール **[sys_trigger]** レコード

スポットライト グループを [有効] に設定すると、スケジュール [sys_trigger] レコードが作成されます。管理者は、このレコードにアクセスしてスケジューリングをトラブルシューティングします。このレコードには、スポットライト グループで設定されたスケジュール情報が含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライト グループ レコードのスケジュールを編集すると、スケジュール [sys_trigger] レコードが新しいレコードに置き換えられます。スポットライト グループを無効または削除すると、スケジュール レコードが削除されます。スポットライト グループを再び有効にする場合は、新しいスケジュール レコードを作成します。

注:
アドミニストレーター スポットライト グループ フォームの [スケジューラーを表示] をクリックすることで、スポットライト グループのスケジュール [sys_trigger] レコードにアクセスできます。

スケジュール [sys_trigger] レコードの作成、編集、および削除のプロセスでは、次のようなビジネス ルールが使用されます。

スポットライト グループの有効化、ビジネス ルール、スケジューリング

アクション	ビジネス ルール	スケジュール レコードへの影響
スポットライト グループの有効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	新しいスケジュール [sys_trigger] レコードはスケジューリング情報とともに作成されます。
スポットライト グループ レコードのスケジュールの編集	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは、新しいスケジューリング情報を含む新しいレコードに置き換えられます。
スポットライト グループの無効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの削除	このスポットライト グループに関連付けられた既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは削除されます。
スポットライト グループの再有効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	新しいスケジュール [sys_trigger] レコードはスケジューリング情報とともに作成されます。
スポットライト グループの削除	スケジュール [sys_trigger] レコードの削除	このスポットライト グループに関連付けられた既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは削除されます。

分析およびレポートのスポットライトソリューション

次のソリューションには、事前設定されたスポットライト コンポーネントが含まれます。また、ソリューションには、スポットライト インタラクティブ分析と同じ情報を表示するダッシュボードも含まれます。

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス では次のスポットライトソリューションが利用可能です。

- スポットライト - スポットライト パフォーマンス分析ソリューションの変更 (com.snc.pa.spotlight.change)
- スポットライト - インシデント スポットライト パフォーマンス分析ソリューション (com.snc.pa.spotlight.incident)
- スポットライト - 問題スポットライト パフォーマンス分析ソリューションの変更 (com.snc.pa.spotlight.problem)
- スポットライト - 要求スポットライト インシデント パフォーマンス分析ソリューション (com.snc.pa.spotlight.request)

スポットライト グループは、パフォーマンスアナリティクス の完全にライセンスされたバージョンを必要とする他の プラットフォームアナリティクスソリューション に含まれている場合がありま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。たとえば、Customer Service (com.snc.pa.customer_service) ソリューションにはケーススポットライトグループが含まれます。

分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化

スポットライトを使用するには、スポットライト プラグインを有効にします。また、製品の使用方法に適用されるスポットライト ソリューション プラグインも有効にします。スポットライト ソリューションをインストールしたら、「ガイド付きセットアップ」に従ってそのソリューションを確認およびカスタマイズします。

始める前に

- インシデントスポットライト以外の分析およびレポートのスポットライトソリューションには、完全に有効化されたサブスクリプションバージョンの パフォーマンスアナリティクスが必要です。「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションの有効化」を参照してください。 が必要です。
- パフォーマンスアナリティクス レスポンシブ ダッシュボードは有効である必要があります。詳細については、「レスポンシブダッシュボードの操作」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

スポットライト機能は、パフォーマンスアナリティクス - スポットライト プラグイン (com.snc.pa.spotlight) を有効にするまで利用できません。プラグインの有効化は、直接または最初のスポットライト ソリューション プラグインを有効にすることでも行うことができます。

各スポットライト ソリューションは、次の機能を提供します。

- 関連するアプリケーションのスポットライト ダッシュボード。このダッシュボードの情報は、スポットライト インタラクティブ分析の情報に似ています。このダッシュボードのレポートは他のダッシュボードでも使用できます。
- 事前設定されたスポットライト グループ。スポットライト グループでは、指定したインジケーターに基づいて優先度を評価するレコードを定義します。また、スポットライト グループでは、データ評価用のデータとスケジュールの評価に使用する基準を定義します。
- 一般的なビジネス ユース・ケースに基づく複数のスポットライト基準
- スポットライト グループのメイン インジケーターのソースであるファクト テーブルにスポットライト テーブルを結合するデータベース ビュー。ソリューションのスポットライト ダッシュボードとインタラクティブ分析の両方がこのデータベース ビューを使用します。詳細については、「スポットライト データベース ビュー」を参照してください。

スポットライト ソリューションが有効になると、「ガイド付きセットアップ」を使用してスポットライト ソリューションを確認します。移動先 スポットライト > ガイド付きセットアップ その指示に従います

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。

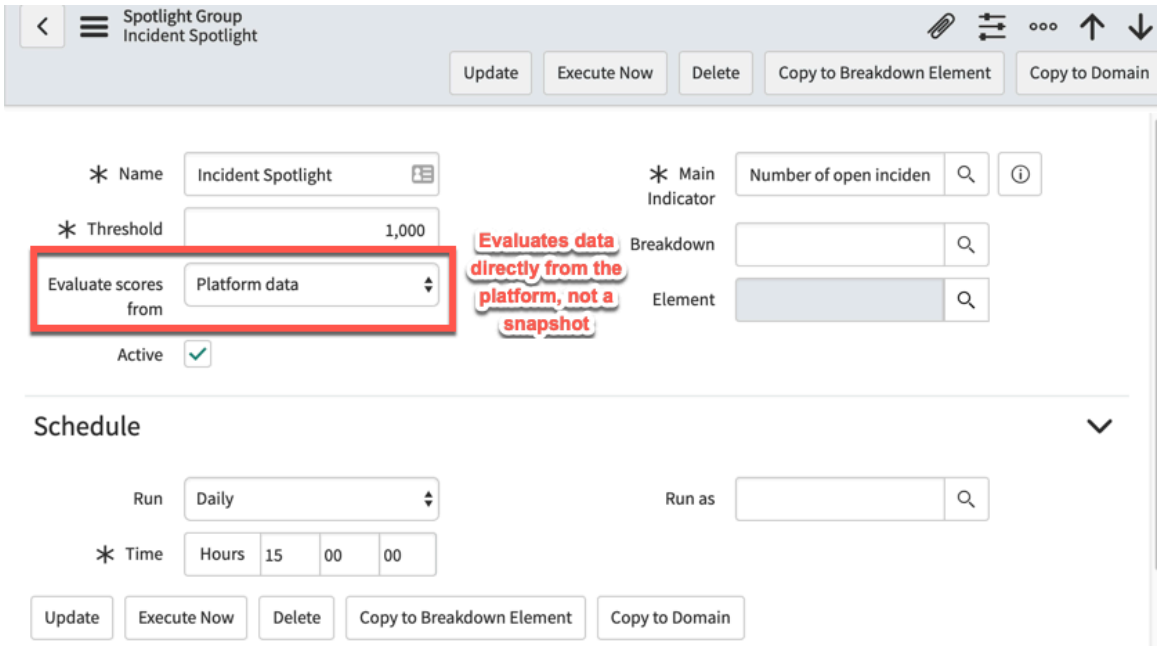
次のタスク
スポットライト ソリューションを有効にしている場合は、このソリューションのスポットライト グループとスポットライト基準を調査します。ガイド付きセットアップは、ソリューションの確認に使用できます。移動先 スポットライト > ガイド付きセットアップ その指示に従います

例：インシデント スポットライト

この例では、[インシデント スポットライト] プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれる [インシデント スポットライト] グループの設定について説明します。この例には、スポットライト ジョブの結果と生成されるスポットライト レコードの詳細が含まれます。

インシデント スポットライト ソリューションには、スポットライト グループのインシデント スポットライトが含まれます。このグループはインジケーター [オープンインシデントの数] を使用し、しきい値は 1000 です。[オープンインシデントの数] インジケーターがインシデント ファクト テーブルをソースとして使用するため、スポットライト ジョブはそのテーブル内のレコードを評価します。

インシデント スポットライト グループには、毎日実行するようにスケジュールされたジョブが 1500 あります。グループを [有効] に設定し、ジョブがスケジュールに従って実行されるようにします。



インシデント スポットライト グループには、以下に関連するスポットライト基準があります。

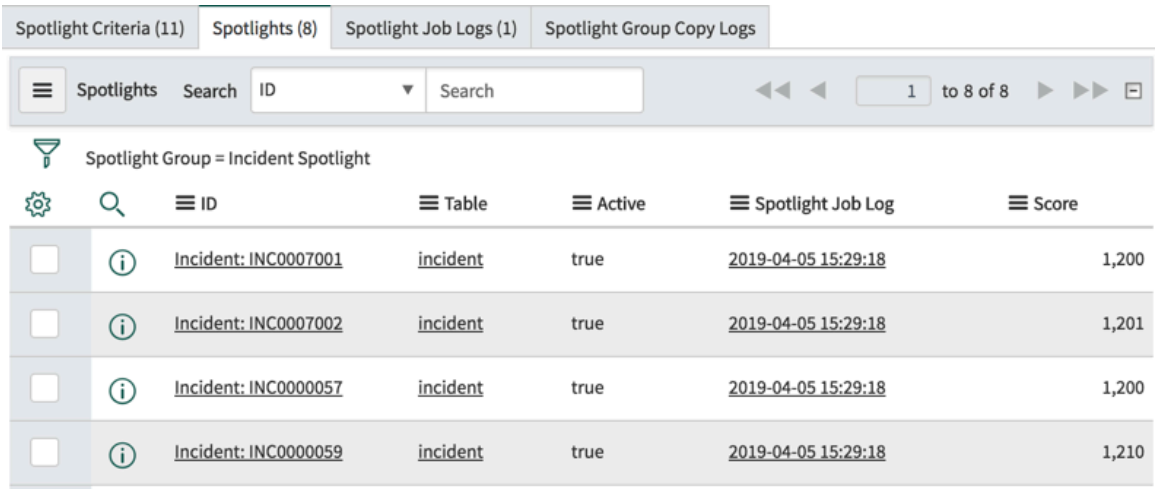
- インシデントがオープンになっている期間
- インシデントが更新されてからの経過時間
- インシデントに説明があるかどうか

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インシデントが 3 回以上繰り返し割り当てられているかどうか
- インシデントの優先度が「低」か「中」か。(重大および高優先度のインシデントにはスポットライトは必要ない)

各基準には重み付けが割り当てられます。この場合は、優先度が P4 低の 1 から、30 日を超えて更新されないことの 1000 までさまざまです。

データ評価ジョブが実行されると、インシデント ファクト テーブルのレコードが評価されます。各レコードには、レコードが満たす基準の重み付けの合計に等しいスコアが与えられます。ジョブでは、グループしきい値が 1000 以上のスコアを持つインシデント・レコードごとにスポットライトが生成されます。



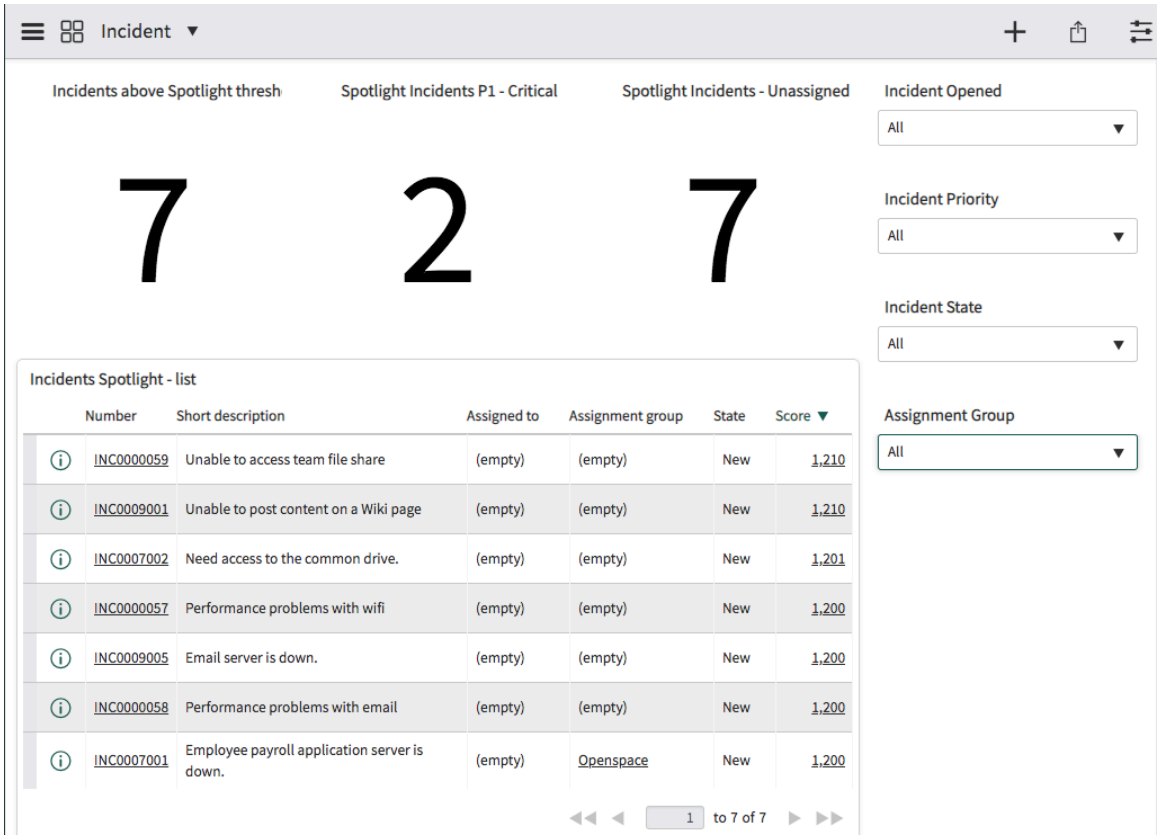
スポットライトの情報アイコンをクリックすると、スコアに寄与した基準の詳細が表示されます。たとえば、インシデントINC0007001は次のスポットライト基準を満たしています。

クライテリア	重み付け
28 日間より古いインシデント	25
14 日間より古いインシデント	25
30 日間更新されていないオープン インシデント	1,000
7 日間より古いインシデント	25
90 日間より古いインシデント	25
5 日間更新されていないオープン インシデント	100
合計スコア：	1,200

スポットライト ジョブの結果は、スポットライト グループ内にあるインシデント ダッシュボードに表示されます。このダッシュボードは、インシデント スポットライト グループのインタラクティブ分析と同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データ収集プロセスとログ記録

パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブはインジケータースコアを収集します。データ収集をデバッグするには、データ収集プロセスと、それがジョブログにどのように反映されるかを理解しておくと役に立ちます。

管理者として、データ収集ジョブをデバッグする必要が生じることがあります。各ジョブはログを生成しますが、このログのエントリを理解するには、データ収集プロセスのどのステップでエントリが生成されたかを知る必要があります。 パフォーマンスアナリティクス には、次の 3 つのレベルのログがあります。

- 実行されたジョブを示すジョブイベント。
- 実行された各ジョブの概要を示すジョブログ。
- 実行されたジョブの各ステップで何が起こったかを示すジョブログの詳細。

管理コンソールには、データ収集ジョブの日次、週次、月次の概要も表示されます。

データ収集の最適化

最適化された パフォーマンスアナリティクス データコレクターは、大規模なデータセットを処理するための時間、メモリ、および CPU 使用率を削減します。

最適化されたデータコレクターは、Tokyo 以降すべてのインスタンスでデフォルトでアクティブになります。アップグレード時にアクティブ化されます。最適化されたコレクターを非アクティブ化するには、システムプロパティ `com.snc.pa.dc.hsql` を作成して false に設定します。詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> Oracle データベースはサポートされていません。パフォーマンスアナリティクススコア [pa_scores] テーブルを引き続き使用する他のインスタンスもサポートされません。最適化されたデータコレクターは、インジケータースコアがスコアレベル 1 [pa_scores_l1] とスコアレベル 2 [pa_scores_l2] の 2 つのテーブルにあるインスタンスのみをサポートします。詳細については、「パフォーマンス分析スコアの移行」を参照してください。

最適化されたデータコレクターは、次の機能をサポートしています。

- パフォーマンスに悪影響を与えることなく 1,000 万件を超えるレコードを処理できます。
- ブレークダウンマトリクスが有効になっている少なくとも 10 のブレークダウンのサポート。ブレークダウンのサポートには次のものが含まれます。
  - ドット連結条件
  - 最大 100 万件のレコードを含む 2 つの大きなブレークダウン
  - ブレークダウンの関連付け
- インジケーターとブレークダウンの追加条件のサポート。
- 個別のカウント集計の最適化。

> **注:**
> データ収集を最適化するために、データ収集のためにインジケーターソースごとに許可されるデフォルトの最大レコード数が増加しました。詳細については、パフォーマンスアナリティクス のプロパティ の *com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_source* プロパティを参照してください。

最適化は、組み込みデータベースの使用に由来します。標準データ収集ジョブは、ジョブ中にすべてのスコアをノードメモリに保存します。ただし、最適化されたデータ収集ジョブは、スコアのパケットをディスク上の一時ストレージに移動します。ジョブの最後に、スコアがスコアテーブルに書き込まれ、一時データベースがクリアされます。

> **注:**
> 遅延読み込みを使用したメモリの最適化が実装され、メモリ不足エラーが排除されました。ただし、このメモリの最適化により、CPU 使用率が増加し、大規模なジョブの処理時間が長くなる可能性があります。詳細については、 カスタマーサービス & サポートにお問い合わせください。

データ収集ジョブのイベントの表示

ジョブ イベントは、パフォーマンス分析のために実行されたジョブと、ServiceNow インスタンスでどのようなアクション (通知やビジネス ルールなど) がトリガーされたかを示します。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > データコレクタ > ジョブイベント.
2. [作成日時] をクリックし、特定のジョブ イベントの詳細を表示します。
   ジョブ イベントに関する追加情報が表示されます。

関連情報

データ収集ジョブ履歴の表示

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データ収集ジョブ履歴の表示

ジョブ履歴には、パフォーマンス分析のために実行されたデータ収集ジョブに関する情報が表示されます。ジョブ履歴を表示したり、イベントを作成したり、イベントレジストリを表示および編集したりできます。リスト ビューには、フィルタリングされていない限り、すべての履歴エントリが表示されます。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > データコレクタ > ジョブログ.
   履歴には、すべての履歴に関して次の情報が表示されます。

   データ収集ジョブ履歴

フィールド	説明
作成日時	データ収集ジョブが開始された日時。
ステータス	[収集中]、[収集済み]、または [収集済み (エラーあり)] のいずれかの値です。
名前	ジョブの名前。
完了	データ収集ジョブが終了した日時。
挿入	挿入された新規レコードの数。
更新	更新された既存のレコードの数。
警告	データ収集プロセス中に発生した警告の数。
エラー	データ収集プロセス中に発生したエラーの数。
実行時間	ジョブの所要時間。

2. [作成日時] をクリックし、特定のジョブの詳細を表示します。
   ジョブ設定およびシーケンス ステップに関する追加情報が表示されます。通知が有効になっている場合は、データ収集結果に関するメールをユーザーに送信できます。

次のタスク
ジョブの詳細ログを表示するには、リスト内のジョブをクリックします。 個々のジョブ・ログの内容については、 クラシックデータコレクターのログ詳細 を参照してください。

注:
ログがエラー「 java.lang.IllegalStateException: Sparse storage format has one field, sys_id」を返す場合は、「 KB0550063 」を参照してください。

関連情報

データ収集ジョブのイベントの表示

最適化されたデータコレクターのログ詳細

Tokyo リリース以降、最適化された新しいデータコレクターが利用可能です。このデータコレクターのログの詳細は、従来のデータコレクターのログの詳細とは異なります。

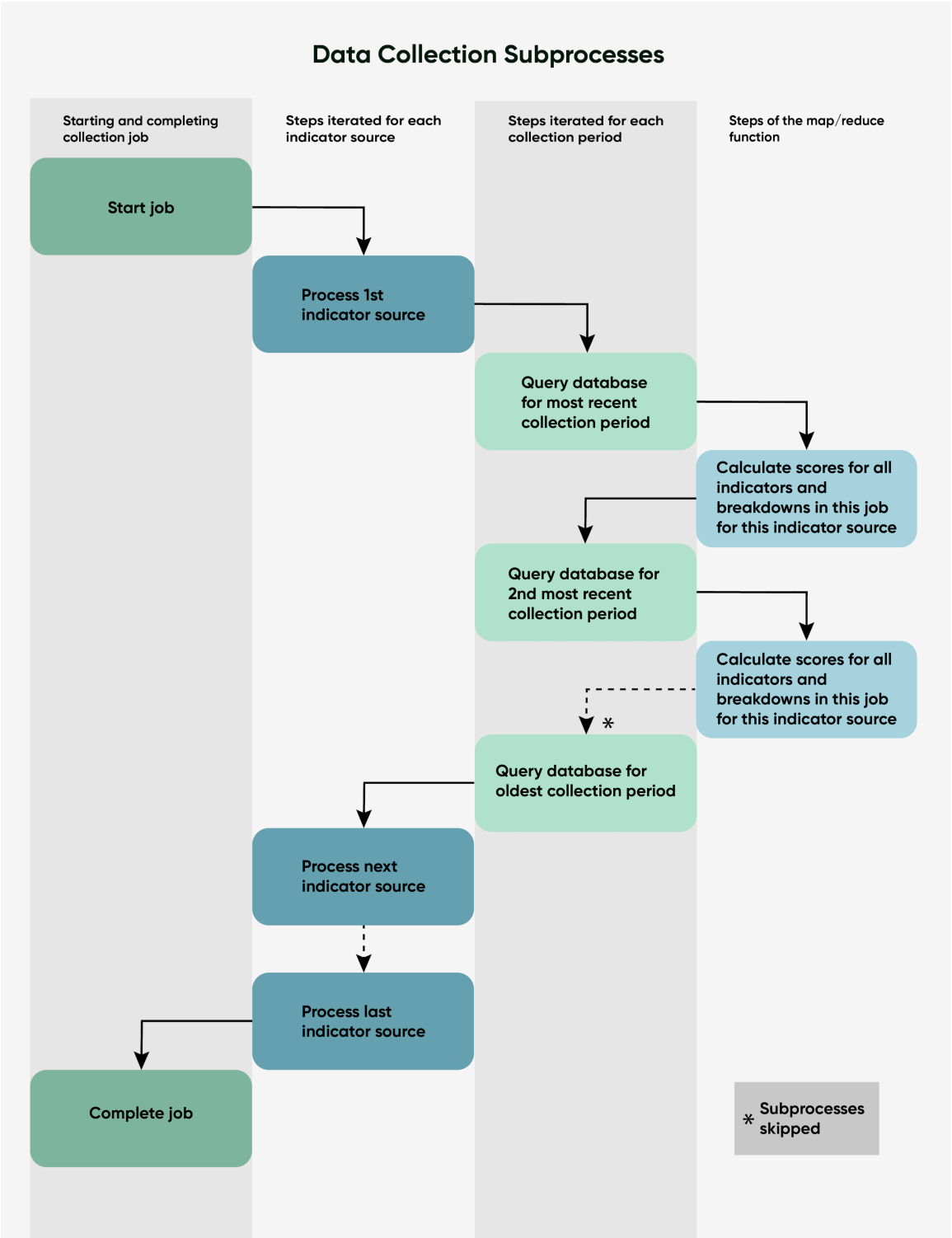
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コレクションの概要

データ収集ジョブでは、データ コレクタを使用する各インジケーター ソースに対して SQL クエリを実行します。クエリーは、開始日から終了日までの収集時間ごとに繰り返されます。次に、次のインジケーターソースに対してクエリが実行されます。クエリを実行する各ステップは、データ収集ジョブ ログに記録されます。

データ収集ジョブの概要



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブを開始して完了しています

ログメッセージに表示されるデータ収集プロセスに従います。各サブプロセスのログメッセージは、独自のテーブルに分離されています。

注:
このログは、 データ収集の最適化で説明されているように最適化された HSQL データコレクター用です。`com.snc.pa.dc.hsql`が「false」の場合、従来のデータコレクターを使用しています。それ以外の場合は、最適化されたデータコレクターを使用しています。このログの詳細については、「 クラシックデータコレクターのログ詳細」を参照してください。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの [ユーザーとして実行] のドメインを表示します。	ユーザー <admin> はドメイングローバルに属しています
収集が開始されます。ジョブ開始は、スコア、テキストインデックス、またはその両方を収集するかどうかを指定します。メッセージには、最適化された HSQL データコレクターが使用中であることと、デバッグログが有効になっているかどうかも示されます。デバッグログを有効にできるのは カスタマーサービス & サポート のみです。	スコアとテキストインデックスの両方の収集を開始します。システム内のプロパティの値: HSQL データコレクターを使用:true 有効なデバッグログ:true ノード名:vsr007
スコアが収集されるドメインを表示します。ドメインに関するその他の関連する詳細も表示されます。	DomainConfig:ドメイン構成収集ログのテスト - 3d359877b77000106886e664de11a97c、タイプ:conditions、RollUpType:roll_up_children、collectAggregat はい、collectChildren?: はい、AggregateDomain: 名前: 3d359877b77000106886e664de11a97c - SysID: d1659c77b77000106886e664de11a91e、ドメイン: デフォルト、MSP、ACME、Cisco、Initech、Oceanic Airlines
ジョブがデータを収集するインジケーターソース (一意の ID を含む) を一覧表示します。	収集するインジケーターソース: Incidents.New: b54f2c23d7030100b96d45a3ce61032f, Incidents.Open: b5cf2c23d7030100b96d45a3ce6103cc, Incidents.Closed: 2ac8dd31ff2302001e68ffffffffff3d, Incidents.Resolved: 4c207c23d7030100b96d45a3ce610308
ジョブに関連付けられている各インジケーターと、データ収集に関連するインジケータープロパティを一覧表示します。 • レコードはスナップショットに収集されていますか? • 除外されているブレークダウンはありますか? • インジケーターソースの収集期間は上書きされていますか?	JobIndicator:オープンインシデントの数 - de537dc3d7131100b96d45a3ce610305 ジョブインジケーターのプロパティ:collectIndicator?:はい、BreakdownCollectionType:WITH_EXCLUDE 除外されたブレークダウン:アサイン先グループ、ステータスインジケータープロパティ=> CollectingRecords:はい、上書きされた収集期間:いいえ、スクリプト化済み:いいえ、ブレークダウンの組み合わせ:はい、除外されるブレーク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
• ブレークダウンマトリクスは収集されていますか? • ブレークダウンマトリクスが収集された場合、ブレークダウンの組み合わせは除外されますか?	ダウンの組み合わせ:いいえ、除外される組み合わせはありません。
各インジケーターソースのステップを繰り返す	各 インジケーターソースの反復ステップの表を参照してください。
データ収集ジョブの統計情報の表示	統計: 挿入数 184、更新数 0、削除数 92、エラー数 0、警告数 0
ジョブを完了	収集が終了しました

インジケーターソースごとに反復されるステップ

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
インジケーター ソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.Open を処理しています。
最適化されたHSQLデータコレクターが使用されていることを繰り返します。	
インジケーターソースから継承された条件以外に、追加の条件を持つインジケーターを一覧表示します。	インジケーター:admin ログイン - [インジケーターのsys_id]、他の条件:ref_isc_login_event.login_type=login_admin、レコードの収集:true
収集期間ごとにステップを反復します。	表「収集期間ごとに反復されるステップ」を参照してください。
次のインジケーターソースを取得します。	処理インジケーターソース Incidents.New

収集期間ごとに繰り返されるステップ

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの開始日。	インジケーターソース Incidents.Open の 20191103収集中
次のフィールドをフェッチします。 • ブレークダウンソースの一意のフィールド (通常はsys_id) • ブレークダウンマッピングで使用されるインジケーターフィールド • スクリプト化されたブレークダウンマッピングで使用されるテーブルフィールド • テキストインデックスが収集される場合にテキスト分析で使用されるインジケーターソースフィールド (通常はshort_descriptionを含む)	「インシデント」から「short_description、sys_id、opened_at、assignment_group 説明、優先度、カテゴリ」を取得しています

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
インジケーター ソースで指定されている条件に基づいて SQL を生成します。 **注:** インジケーター ソースがいずれかの条件で今日を指定している場合、今日はデータ収集ジョブが実行される期間に関連して考慮されます。たとえば、Incidents.New インジケーター ソースには、条件 [オープン] [次の値に等しい **(=)**][今日] が含まれています。07:00:00 に開始するように日が定義されていて、2019-10-28 のデータが収集されると、ジョブは右側の SQL スクリプトを生成します。	SELECT task0.'sys_id' FROM task task0 WHERE task0.'sys_class_name' = 'incident' AND (task0.'opened_at' >= '2019-10-28 07:00:00' AND task0.'opened_at' <= '2019-10-29 06:59:59')
SQLで取得したレコード数を表示します。	インジケーターソース Incidents.Open から 150 行をフェッチしました (ファクトテーブル: インシデント)
以前の結果を削除します。	インジケーター:代理操作の以前の結果 1 を削除しました
map/reduce 関数を実行してインジケータースコアを計算します。	map/reduce 関数の手順の表を参照してください
テキスト インデックス作成がアクティブで、インジケーター ソース用に設定されている場合、データ コレクタは結果のテキスト インデックスを格納します。	インジケーターソース Incidents.Open のテキストインデックスを保存中 Incidents.Open のテキストインデックス 41,984 に使用されるバイト
オブジェクトは、次のいずれかのしきい値を超えるたびにHSQLデータベースにオフロードされます。 • スコア数 • スナップショットの数 • 個別のカウント値の合計数 オブジェクトのカテゴリごとにオフロード制限を超えた回数をログに記録します。1つのカテゴリでオフロード制限を超えるたびに、すべてのオブジェクトがHSQL一時データベースストレージに移動されます。map/reduce 関数の最後に、残りのレコードはすべてオフロードされます。通常、残りのレコード数はしきい値より少なく、このオフロードもログに記録されます。	オフロード制限がスコアのしきい値を超えた回数:275 オフロード制限がスナップショットのしきい値を超えた回数:0 オフロード制限が個別値のしきい値を超えた回数:0 しきい値を超えなかったレコードのオフロードバッチ:1
インジケーターソース用に新しく収集された結果の保存を開始します。	インジケーターソース Incidents.Resolved の収集された結果の保存
null 値を持つインジケーターはすべてログに記録されます。	保存された「値がない時の値」:インジケーターのスコアとして 0.0:ナレッジによって回避されたインシデントの数
結果の保存を完了します。	保存されている収集結果

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
データ コレクタがスコアを収集しないインジケーターを指定します。	インジケーターの収集ではありません：オープンインシデントの合計経過時間除外されたブレークダウン付き：アサイン先グループ
その期間のインジケーター ソースのデータ収集を完了します。	インジケーターソースの20200519のコレクション Incidents.Open が終了しました
インジケーターに設定された追加条件を処理するためにレコードに費やされた平均時間を表示します。	各レコードの追加インジケーター条件の処理に要した平均時間:138 ミリ秒

map/reduce 関数の手順

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
マップ/低減機能が実行されます。	インジケーターソース Incidents.Open のマップ/低減機能を適用しています。
ジョブに対してテキストインデックス作成がアクティブであるが、テキストインデックス構成が見つからないか無効であるために実行できない場合は警告します。	テキストインデックス設定がないか、無効であるため、テキストインデックスの収集をスキップしています
インジケーターソースの各レコードを処理してスコアを計算します。ログメッセージは、処理されたレコードの累計を追跡します。 結果のスコアまたはスナップショットの数が制限を超えるたびに、すべてのオブジェクトがHSQLデータベースにオフロードされます。オフロードは、map/reduce 機能の完了後にログに記録されます。 各レコードの処理には、次のものが含まれます。 • スクリプトを実行または評価します。 • インジケーター条件を検証します。 • インジケータースコアを計算します。 • 各ブレークダウンについて： 1. ブレークダウン スコアを計算するか、ブレークダウン スクリプトを実行します。 2. すべてのブレークダウンの一意の値を取得します。 3. スコアまたはスナップショットの配列を作成または更新します。アレイは 、インジケーター、ブレークダウン 1、アーティファクト 1、ブレークダウン 2、アーティファクト 2、ドメイン、値、[sys_id] のアレイです。	15.8% (3) 件のレコードを処理 31.6% (6) 件のレコードを処理 47.4% (9) 件のレコードを処理 63.2% (12) 件のレコードを処理 78.9% (15) レコードを処理 94.7% (18) レコードを処理 処理済み 100% (4) レコード、結果オブジェクトサイズ: 20 MB
マップ/低減機能が完了します。	適用されたマップ/低減関数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- データ収集の最適化
- データ収集ジョブ履歴の表示

クラシックデータコレクターのログ詳細

パフォーマンスアナリティクス スコア収集は、ここで説明するプロセスに従います。トラブルシューティングを支援するために、ジョブステップとログエントリ間のマッピングが提供されています。

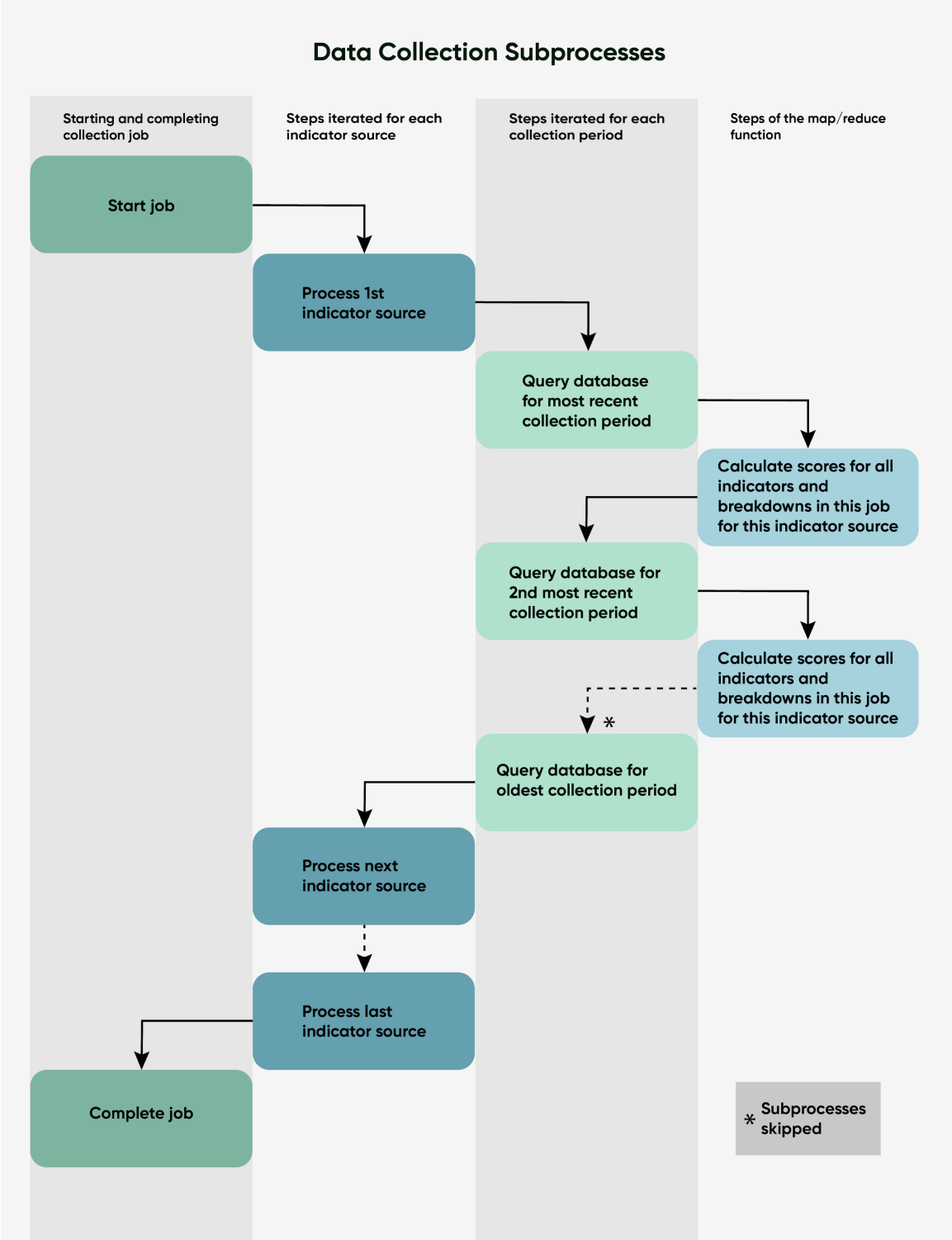
コレクションの概要

データ収集ジョブでは、データ コレクタを使用する各インジケーター ソースに対して SQL クエリを実行します。クエリーは、開始日から終了日までの収集時間ごとに繰り返されます。次に、次のインジケーターソースに対してクエリが実行されます。クエリを実行する各ステップは、データ収集ジョブ ログに記録されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ収集ジョブの概要



ログに表示される最適化プロパティ

データコレクターには、システムのプロパティでオンまたはオフにできるいくつかの最適化があります。ジョブ・ログの先頭には、これらのプロパティーの状態が含まれます。

注:
これらの最適化プロパティを、最適化された新しいデータコレクターと混同しないでください。これらのプロパティは、クラシックデータコレクターにのみ適用されます。新しいデータコレクターは、より基本的なレベルで最適化されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ収集の最適化に関するプロパティ

最適化	**Description** (説明)	システムプロパティ
ネストされたコレクション	フラットマッピングを置き換えて、冗長なオブジェクトを削減します。たとえば、そのインジケーターのすべてのブレークダウンと要素に同一のインジケーターオブジェクトを作成する代わりに、インジケーターに対して 1 つのオブジェクトのみが作成されます。	*com.snc.pa.dc.nested_collection* デフォルト：true
スナップショットのフラッシュ	Now Platformは、最大数のパフォーマンスアナリティクススナップショットをメモリに格納してから、それらをデータベースにオフロードします。	*com.snc.pa.dc.flush_snapshot_c* デフォルト：1000
個別のカウントにハッシュコードを使用	個別の集計を個別の値としてではなくハッシュコードとして格納します。	*com.snc.pa.dc.use_hashcode_for* デフォルト：true

収集ジョブを開始して完了しています

ログメッセージに表示されるデータ収集プロセスに従います。各サブプロセスのログメッセージは、独自のテーブルに分離されています。

注:
このログは元のデータコレクター用です。インスタンスでこのデータコレクターを使用する場合、システムパラメーター *com.snc.pa.dc.hsql* 存在し、「false」です。それ以外の場合は、「データ収集の最適化」で説明されているように最適化されたデータコレクターを使用しています。このログの詳細については、「最適化されたデータコレクターのログ詳細」を参照してください。

自動翻訳

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの [ユーザーとして実行] のドメインを表示します。	ユーザー <admin> はドメイングローバルに属しています
収集が開始されます。ジョブ開始は、スコア、テキストインデックス、またはその両方を収集するかどうかを指定します。メッセージでは、データ収集の最適化プロパティの設定も指定します。	スコアとテキストインデックスの両方の収集を開始します。システム内のプロパティの値: フラッシュスナップショット数:1,000 ネストされたコレクション: true 個別のカウントにハッシュコードを使用:true
スコアが収集されるドメインを表示します。ドメインに関するその他の関連する詳細も表示されます。	DomainConfig:ドメイン構成収集ログのテスト - 3d359877b77000106886e664de11a97c、タイプ:conditions、RollUpType:roll_up_children、collectAggregatはい、collectChildren?: はい、AggregateDomain: 名前: 3d359877b77000106886e664de11a97c - SysID: d1659c77b77000106886e664de11a91e、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
	ドメイン: デフォルト、MSP、ACME、Cisco、Initech、Oceanic Airlines
ジョブがデータを収集するインジケーターソース (一意の ID を含む) を一覧表示します。	収集するインジケーターソース: Incidents.New: b54f2c23d7030100b96d45a3ce61032f, Incidents.Open: b5cf2c23d7030100b96d45a3ce6103cc, Incidents.Closed: 2ac8dd31ff2302001e68ffffffffff3d, Incidents.Resolved: 4c207c23d7030100b96d45a3ce610308
ジョブに関連付けられている各インジケーターと、データ収集に関連するインジケータープロパティを一覧表示します。 • レコードはスナップショットに収集されていますか? • 除外されているブレークダウンはありますか? • インジケーターソースの収集期間は上書きされていますか? • ブレークダウンマトリクスは収集されていますか? • ブレークダウンマトリクスが収集された場合、ブレークダウンの組み合わせは除外されますか?	JobIndicator:オープンインシデントの数 - de537dc3d7131100b96d45a3ce610305 ジョブインジケーターのプロパティ:collectIndicator?:はい、BreakdownCollectionType:WITH_EXCLUDE 除外されたブレークダウン:アサイン先グループ、ステータスインジケータープロパティ=> CollectingRecords:はい、上書きされた収集期間:いいえ、スクリプト化済み:いいえ、ブレークダウンの組み合わせ:はい、除外されるブレークダウンの組み合わせ:いいえ、除外される組み合わせはありません。
各インジケーターソースのステップを繰り返す	各 インジケーターソースの反復ステップの表を参照してください。
データ収集ジョブの統計情報の表示	統計: 挿入数 184、更新数 0、削除数 92、エラー数 0、警告数 0
ジョブを完了	収集が終了しました

インジケーターソースごとに反復されるステップ

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
インジケーター ソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.Open を処理しています。
インジケーターソースから継承された条件以外に、追加の条件を持つインジケーターを一覧表示します。	インジケーター:再アサインされたオープンインシデントの数 - ffb59561ff2302001e68ffffffffff33、他の条件:reassignment_count>0
スコア収集がフラットマッピングを使用する代わりにネストされたデータ構造に従っているかどうかを示します。入れ子になったコレクションは、メモリ内に作成される冗長なオブジェクトが少なくなります。	入れ子になったコレクションを使用します。 注 - スコアのバッチ挿入は、ネストされたコレクションではサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
ネストされていないコレクションは、スコアのバッチ処理をサポートしています。	
収集期間ごとにステップを反復します。	表「収集期間ごとに反復されるステップ」を参照してください。
次のインジケーターソースを取得します。	処理インジケーターソース Incidents.New

収集期間ごとに繰り返されるステップ

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの開始日。	インジケーターソース Incidents.Open の 20191103収集中
次のフィールドをフェッチします。 • ブレークダウンソースの一意のフィールド (通常はsys_id) • ブレークダウンマッピングで使用されるインジケーターフィールド • スクリプト化されたブレークダウンマッピングで使用されるテーブルフィールド • テキストインデックスが収集される場合にテキスト分析で使用されるインジケーターソースフィールド (通常はshort_descriptionを含む)	「インシデント」から「short_description、sys_id、opened_at、assignment_group 説明、優先度、カテゴリ」を取得しています
インジケーター ソースで指定されている条件に基づいて SQL を生成します。 **注:** インジケーター ソースがいずれかの条件で今日を指定している場合、今日はデータ収集ジョブが実行される期間に関連して考慮されます。たとえば、Incidents.New インジケーター ソースには、条件 [オープン] [次の値に等しい **(=)**][今日] が含まれています。07:00:00 に開始するように日が定義されていて、2019-10-28 のデータが収集されると、ジョブは右側の SQL スクリプトを生成します。	SELECT task0.'sys_id' FROM task task0 WHERE task0.'sys_class_name' = 'incident' AND (task0.'opened_at' >= '2019-10-28 07:00:00' AND task0.'opened_at' <= '2019-10-29 06:59:59')
SQLで取得したレコード数を表示します。	インジケーターソース Incidents.Open から 150 行をフェッチしました (ファクトテーブル: インシデント)
map/reduce 関数を実行してインジケータースコアを計算します。	map/reduce 関数の手順の表を参照してください
テキスト インデックス作成がアクティブで、インジケーター ソース用に設定されている場合、	インジケーターソース Incidents.Open のテキストインデックスを保存中

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
データ コレクタは結果のテキスト インデックスを格納します。	Incidents.Open のテキストインデックス 41,984 に使用されるバイト
インジケーターソース用に新しく収集された結果の保存を開始します。	保存されるスコア:374,842 (インジケーターの遅延評価されたレベル 2 カウントの個別スコアを除く - ID - 3 つのブレークダウンすべてを含むすべてのインシデント)
null 値を持つインジケーターはすべてログに記録されます。	保存された「値がない時の値」:インジケーターのスコアとして 0.0:ナレッジによって回避されたインシデントの数
結果の保存を完了します。	保存されたスコア:1,125,057
	保存されている収集結果
データ コレクタがスコアを収集しないインジケーターを指定します。	インジケーターの収集ではありません：オープンインシデントの合計経過時間除外されたブレークダウン付き：アサイン先グループ
その期間のインジケーター ソースのデータ収集を完了します。	インジケーターソースの20200519のコレクション Incidents.Open が終了しました
インジケーターに設定された追加条件を処理するためにレコードに費やされた平均時間を表示します。	各レコードの追加インジケーター条件の処理に要した平均時間:138 ミリ秒

map/reduce 関数の手順

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
マップ/低減機能が実行されます。	インジケーターソース Incidents.Open のマップ/低減機能を適用しています。
ジョブに対してテキストインデックス作成がアクティブであるが、テキストインデックス構成が見つからないか無効であるために実行できない場合は警告します。	テキストインデックス設定がないか、無効であるため、テキストインデックスの収集をスキップしています
インジケーター ソースを使用するインジケーターとブレークダウンの以前のスコアを削除します。	インジケーターソース Incidents.Open の以前の結果を削除しています。
	インジケーターの以前の結果 38 を削除しました:外部ログイン
	インジケーターの以前の結果 21 を削除しました:失敗したログイン
インジケーターソースの各レコードを処理してスコアを計算します。ログメッセージは、処理されたレコードの累計とメモリ使用量を追跡します。各レコードの処理には、次のものが含まれます。 • スクリプトを実行または評価します。 • インジケーター条件を検証します。 • インジケータースコアを計算します。 • 各ブレークダウンについて：	処理済み 18%% (1) 件のレコード、結果オブジェクトサイズ:5 MB
	処理済み 42% (2) レコード、結果オブジェクトサイズ:9 MB
	76% (3) レコードを処理しました。結果オブジェクトサイズ:14 MB
	処理済み 100% (4) レコード、結果オブジェクトサイズ: 20 MB

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
1. ブレークダウン スコアを計算するか、ブレークダウン スクリプトを実行します。 2. すべてのブレークダウンの一意の値を取得します。 3. スコアまたはスナップショットの配列を作成または更新します。アレイは 、インジケーター、ブレークダウン 1、アーティファクト 1、ブレークダウン 2、アーティファクト 2、ドメイン、値、[sys_id] のアレイです。	
マップ/低減機能が完了します。	適用されたマップ/低減関数

データ収集の使用法の表示

データ収集ジョブに関する統計を表示するには、パフォーマンスアナリティクス管理コンソールの [使用法] タイルにある [データ収集の概要] をクリックします。

始める前に
必要なロール：pa_admin、admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > アドミンコンソール.
2. [使用法] タイルで、[データ収集の概要] をクリックします。

タスクの結果
次のウィジェットが表示されます。

- 新しいネット スコア、平均実行時間、および 1 日のエラー数
- 週次の新しいネット スコアと平均実行時間
- 経時的なデータ収集ジョブの挿入および削除の回数

次のタスク
デフォルトでは、週次の統計はデータコレクター別に分類された アナリティクスハブに表示されます。ウィジェット内のさまざまなチャート化とブレークダウンを選択できます。

パフォーマンス分析診断

無効なレコードについてデータベースで検証し、問題解決に向けた提案を提供するための事前定義されたスクリプトを使用して、構成の問題を特定、診断します。

各診断には、重大度コード、メッセージ テキスト、推奨されるソリューションを含むスクリプトまたはデータベース クエリが含まれます。診断は読み取り専用です。診断の作成や編集はできません。

適用可能なすべてのレコードに対して 1 つまたはすべての診断を実行したり、1 つのレコードに対して適用可能なすべての診断を実行したりできます。

警告:
パフォーマンスアナリティクス 診断は、 プラットフォームアナリティクス アーティファクトには適用されません。たとえば、どのウィジェットでも使用されていないインジケーターが、プラットフォームアナリティクス データの可視化で引き続き使用されている可能性がありますが、診断ではその使用を認識できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべてのレコードの診断を実行

構成の問題が パフォーマンスアナリティクス 実装に影響を与える可能性があるかどうかを判断するには、診断を実行します。1 つの診断を実行するか、すべての診断を実行するかを選択できます。診断では、論理的に適用される パフォーマンスアナリティクス レコードのサブセットを調べます。

始める前に
必要なロール:sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 診断.
2. 実行する診断を選択します。
   すべてのアクティブな診断を実行するには、リストから [すべて実行] をクリックします。
3. [診断を実行] をクリックします。
   診断スクリプトは、実行に 2 分以上かかると自動的にキャンセルされます。
4. 診断が完了したら、[結果を表示] をクリックします。

次のタスク
診断で警告またはエラーが返された場合は、指定したソリューションを確認し、問題を解決するための手順を実行します。

1 つのレコードに対してすべてのアクティブな診断を実行する

レコードの設定詳細のいずれかがパフォーマンスアナリティクスの実装に影響するかどうかを判断するには、そのレコードに対して適用可能なすべての診断セットを実行します。

始める前に
必要なロール:sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic

手順

1. [パフォーマンス分析] に移動し、インジケーター、インジケーター ソース、ブレークダウン、ブレークダウンソース、ウィジェットなどのコンポーネントのリストを開きます。
2. 対象のレコードを特定して開きます。
3. [診断を実行] リンクをクリックします。
   診断の進行状況を示すダイアログが開きます。
4. 診断実行が完了したら、進行状況ダイアログの [結果を表示] をクリックします。

次のタスク
診断で警告またはエラーが返された場合は、指定したソリューションを確認し、問題を解決するための手順を実行します。

パフォーマンスアナリティクス ロール

ユーザーが必要なすべてのアクションを確実に実行できるようにロールを割り当てます。

ロールとペルソナ

> ⚠ **警告:**
> 誰かにpa_adminロールまたはpa_data_collectorロールを与えることは、セキュリティの観点からアドミンを与えることと同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
ロールなし	• サービスポータルでパフォーマンス分析のビジュアルを表示します。 • このユーザーと共有されているダッシュボードを表示します。 一部のダッシュボードでは、HR エージェントダッシュボードの sn_hr_core_basic など、表示に該当分野に関連するロールが必要です。ダッシュボードの所有者と管理者は、ロールごとにダッシュボードのアクセスを制限することもできます。詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。	結果の特定の可視化以外の パフォーマンスアナリティクス へのアクセスを必要としない要求者
任意のロール (パフォーマンスアナリティクスロールである必要はない)	• ダッシュボードを作成します。 • ロールによるアクセスを作成したダッシュボードに制限します。 • 自分が所有するダッシュボードを共有します。	
pa_viewer 次のものに含まれる：pa_contributor 以外のすべてのロール	Quebec前は、このロールは次のアクションに必要でした。アップグレードされたインスタンスでも引き続き必要になる場合があります。	重要業績評価指標の詳細を必要とし、理解している要求者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
	• アナリティクス ハブ を表示します。 • インジケーターの個人のしきい値とターゲットを作成します。 • 作成したしきい値とターゲットを読み込み、更新、および削除します。 • ダッシュボード上のテキスト分析ウィジェットを表示します。	
sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic 次のものに含まれる：pa_admin	• 診断テーブルから読み込みます。 • 診断を有効または無効にします。 • 診断を実行します。 • メッセージ レコードと診断ログを削除します。	特定のペルソナはありませんが、このロールは通常、個々のビジネス アナリストまたは担当者のグループに割り当てられます。
pa_contributor 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	ユーザーが貢献者として指定されたインジケーターの場合： • スコアシートのスコアを読み込んで更新します。 • アナリティクスハブを表示します。 このユーザーは、共有されているダッシュボードを読み込むこともできます。	特定のペルソナはありませんが、このロールは通常、インジケーターのスコアを手動で設定できる個々の担当者またはグループに割り当てられます
pa_kpi_signal_admin 次のものに含まれる:admin	ユーザーが信号を却下したり、 KPI シグナルのベースラインをリセットしたりできるようにします。	パフォーマンス アナリティクス のトレーニングも受けたプロセスオーナー。pa_viewer ロールも必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
pa_target_admin 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• ターゲットを作成します。 • 所有していないターゲットを含め、すべてのターゲットを読み込み、更新、および削除します。 • ターゲットをインジケーターに割り当てます。	設定するターゲットを知っているが、それ以上の入力がない可能性のあるマネージャ パフォーマンスアナリティクス
pa_threshold_admin 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• グローバルしきい値を作成します。 • 所有していないしきい値を含め、すべてのしきい値を読み込み、更新、および削除します。 • しきい値をインジケーターに割り当てます。	設定するしきい値を知っているが、それ以上の入力がない可能性のあるマネージャ パフォーマンスアナリティクス
pa_analyst 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• テキスト分析のキーワード、フレーズ、ストップワードの CRUD 操作を実行します • インジケーターソースを読み込みます。	特定のペルソナはありませんが、このロールは、ワード クラウドのキーワード、フレーズ、ストップ ワードを専門とする個々の担当者またはグループに割り当てられます。
pa_power_user 次のものに含まれる：pa_admin pa_power_user ロールには、pa_viewer、pa_contributor、pa_target_admin、pa_analyst、および pa_threshold_admin ロールが含まれます。	• インジケーターとブレークダウンの CRUD 操作を実行します。 • ウィジェットの CRUD 操作を実行します • ダッシュボードにパフォーマンスアナリティクスウィジェットを追加します。	ビジネス アナリスト。パフォーマンスアナリティクスのビジネス ユース・ケースおよびインジケーターとブレークダウンの要件を理解します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
	• テキスト分析のテキスト インデックス構成の CRUD 操作を実行します。 • バケット グループの CRUD 操作を実行します。 • インジケーター グループの CRUD 操作を実行します	
pa_data_collector 次のものに含まれる：pa_admin	• データ収集ジョブを CRUD、スケジュール設定、および実行します • インジケーターとブレークダウンのソースの CRUD 操作を実行します • 一部のシステム プロパティを読み込みます • システム ユニットの CRUD 操作を実行します • スクリプトと自動通知の CRUD 操作を実行します • バケット グループの CRUD 操作を実行します	の基礎となるデータベースレコード構造を理解している技術エキスパート パフォーマンスアナリティクス
pa_admin pa_admin ロールには、pa_power_user、sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic、および pa_data_collector ロールが含まれます。	• プロパティ パフォーマンスアナリティクス 読み取ります。 • 管理コンソールにアクセスします • 依存関係アセスメントを起動	パフォーマンスアナリティクス ビジネス ニーズを理解している技術エキスパート。
アドミン	システムアドミニストレーターロール。admin ロールを持つユーザーは、すべてのpa_admin 機能の実行、プロパ	システムアドミニストレーター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
	ティの編集、データベース ビューの作成、ダッシュボードの CRUD 操作、およびダッシュボードへの所有権の割り当てを行うことができます。	

スポットライトの役割

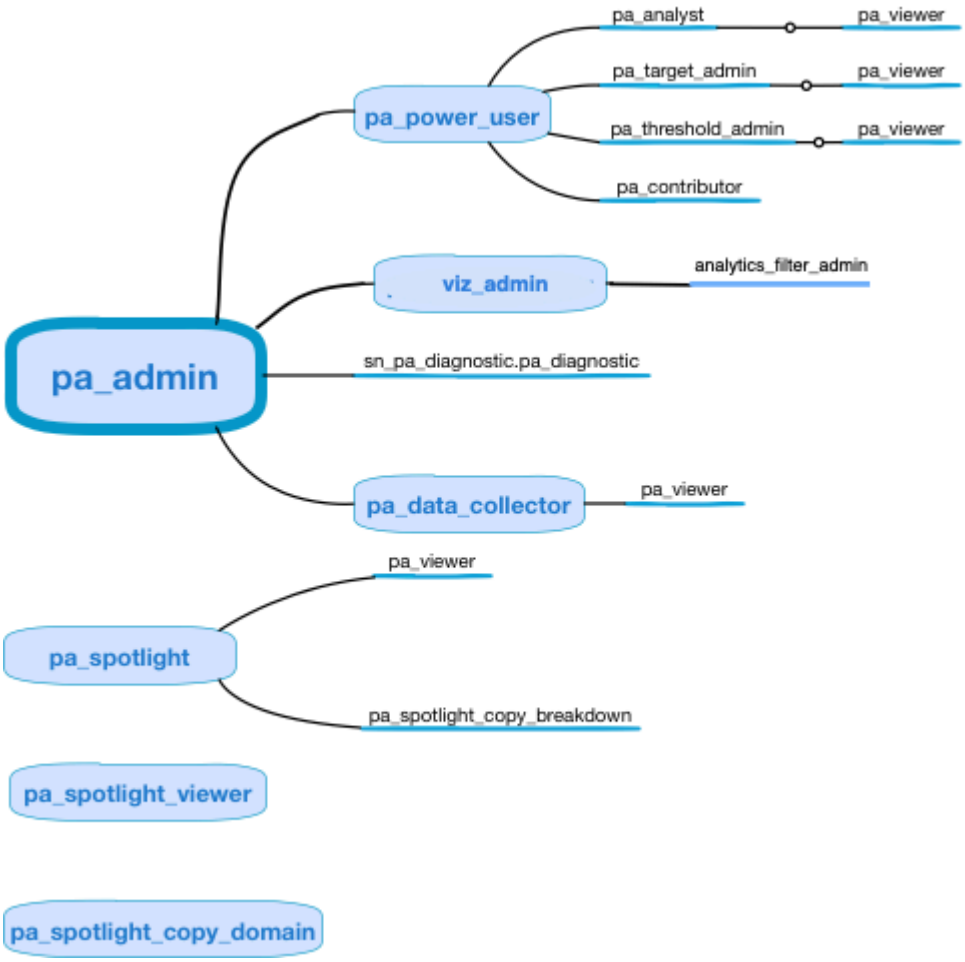
ロール	認証	典型的なペルソナ
pa_spotlight 次を含む:pa_viewer、pa_spotlight_copy_breakdown	スポットライト グループと条件の CRUD です。	どのレコードにリマインダーが必要かというビジネスロジックを理解しているエキスパート。
pa_spotlight_viewer	分析およびレポートスポットライトソリューションからダッシュボードにアクセスします。	アクションが必要なレコードをリマインドするために、単純な優先度設定以上のものを必要とする履行者。
pa_spotlight_copy_breakdown	スポットライト グループをブレークダウンの複数の要素にコピーできます。	ブレークダウン要素別のスポットライト グループの適用性を理解しているスポットライトのエキスパートまたはビジネス アナリスト。
pa_spotlight_copy_domain	スポットライトグループを複数のドメインにコピーできます	パフォーマンスアナリティクス専門知識を持つドメインアドミニストレーター

ロール階層

pa_power_user や pa_admin などの特定のロールには、他のロールも含まれます。たとえば、pa_power_user には pa_contributor が含まれます。この図は、ロール階層を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アクションに必要なロール

モジュール	アクション	最低限必要なロール
管理コンソール	アクセス	pa_admin
アナリティクスハブ (スコアカード)	ビュー	Quebec 年以降、なし。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続き pa_viewerが必要な場合があります。
自動インジケーター	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
自動化スケジュール	読み込みと削除 (他のセキュリティ制限が適用される可能性があります)	pa_data_collector
自動化スクリプト	CRUD	pa_data_collector
ブレークダウンと要素 (ブレークダウン関係を含む)	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
バケット グループ	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュール	アクション	最低限必要なロール
チャートとターゲットのカラースキーム	CRUD	pa_power_user
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	ダッシュボードを作成してください。ロールによるアクセスを制限するなど、作成したダッシュボードを更新します。	表示するデータにアクセスするために必要なロール、またはいずれかのロール
レスポンシブダッシュボード	所有するレスポンシブ ダッシュボードに パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを追加します。	pa_power_user
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	共有されているダッシュボードを読み込みます	デフォルトではロールはありませんが、ダッシュボードにはデータを表示するためにロールが必要になる場合があります。詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	自分が所有するダッシュボードを更新、削除、または共有します。	pa_power_user
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	任意のダッシュボードを更新、削除、または共有します。ダッシュボードの所有権を再割り当てします。	admin (およびダッシュボードのロール dashboard_admin)
データ コレクタ ジョブ	読み込み、書き込み、実行します	pa_data_collector
依存関係アセスメント	インジケーターまたはブレークダウン フォームから依存関係アセスメントを開始します	pa_admin
外部インジケーターとブレークダウン	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
計算式およびマニュアル インジケーター	CRUD	pa_power_user
インジケーター グループ	CRUD	pa_power_user
ソース (インジケーターまたはブレークダウン)	CRUD	pa_data_collector
インジケーター ターゲット	自分が所有していないターゲットを読み込みおよび編集します	pa_target_administrator
インジケーター ターゲットまたはしきい値	新規作成します。自分が所有しているものを読み込みまたは編集します。	Quebec 年以降、なし。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続き pa_viewerが必要な場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュール	アクション	最低限必要なロール
インジケーター しきい値	自分が所有していないしきい値を読み込みおよび編集します	pa_threshold_administrator
フォーム内分析	CRUD	pa_power_user
KPI シグナル	ベースラインをリセットまたはシグナルを却下	pa_kpi_signal_admin
すべてのアプリケーション内のリスト	インタラクティブ分析にアクセスします	デフォルトでロールはありませんが、一部のインタラクティブ分析にはテーブルを表示するためのロールが必要です
診断の管理	読み込み、実行、削除します	sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic
スケジュール設定済みメール概要ジョブ	CRUD	pa_power_user
スコアシート	CRUD	pa_power_user
サービスポータル	パフォーマンス分析のビジュアルを表示します	ロールなし
システム プロパティ	編集	アドミン
システムプロパティ	読み込み	一部の人に pa_data_collector、すべての人にpa_admin
システム ユニット	CRUD	pa_data_collector
テキスト分析	テキスト インデックス構成を設定します	pa_power_user
テキスト分析	ダッシュボード上にテキストウィジェットを表示します	Quebec 年以降、なし。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続き pa_viewerが必要な場合があります。
テキスト分析のキーワード、フレーズ、またはストップ ワード	CRUD	pa_analyst
ニュース移動ルールと統計情報ジェネレータに関する情報	読み込みおよび編集します	pa_power_user
コア UI パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	CRUD	pa_power_user

関連情報

- ダッシュボード権限
- レポートの管理

パフォーマンスアナリティクス のプロパティ

これらのシステム プロパティがパフォーマンスアナリティクスの動作を制御します。

プロパティを設定するには、次の場所に移動します **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > システム > プロパティ または sys_properties_list.doに

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
ここでは、[パフォーマンスアナリティクス プロパティ] ページのプロパティのみを説明します。sys_properties.list ページには、パフォーマンスアナリティクスに影響するその他のプロパティが含まれています。詳細については、「 利用可能なシステムプロパティ 」を参照してください。

コレクションのクリーンアップ パフォーマンス分析プロパティ

いくつかのプロパティにより、パフォーマンスアナリティクスのスコアとスナップショットが、スケジュール設定済みのクリーンアップ ジョブにより削除される前に維持管理される期間が決まります。

プロパティ	説明
com.snc.pa.dc.keep_scores_for.頻度	スコアが収集されて保持される、今日までの期間の最大数。期間の数は、次のようにスコアの収集周期に応じて変化します。日次、週次、隔週、4 週間ごと、月次、隔月、四半期ごと、会計四半期ごと、半年ごと、年次、会計年度ごと。 この制限よりも古いスコアは、データ収集中に収集されません。 **注:** このプロパティは、個々のインジケーターで上書きできます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：732;105;53;40;60;30;20;20;20;10;10 • [Location (場所)]： **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > システム > プロパティ
com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for.頻度	スコアに関連するレコードリスト (スナップショット) が収集されて保持される、今日までの期間の最大数。期間の数は、次のようにスコアの収集周期に応じて変化します。日次、週次、隔週、4 週間ごと、月次、隔月、四半期ごと、会計四半期ごと、半年ごと、年次、会計年度ごと。 この制限よりも古いスナップショットは、データ収集中に収集されません。 **注:** このプロパティは、個々のインジケーターで上書きできます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：183;26;13;10;15;8;5;5;5;3;3 • [Location (場所)]： **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > システム > プロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

会計年度のパフォーマンス分析プロパティ

これらのプロパティは、会社の会計年度と一致するようにパフォーマンスアナリティクスの年を設定します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.fy_start	会社の会計年度の開始 範囲: 1 (1 月) - 12 (12 月) デフォルト値：1

デフォルトのカラースキーム パフォーマンス分析プロパティ

これらのプロパティは、チャート全体とインジケーター ターゲットのデフォルトの色を設定します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.indicator_target_default_color_schema	デフォルト インジケーターのターゲット カラー スキーム デフォルト:3 色の信号
com.snc.pa.chart_default_color_schema	デフォルトのチャート化のカラー スキーム デフォルト:デフォルトの UI14

ブレークダウンとインジケーター パフォーマンスアナリティクスプロパティ

これらのプロパティは、主に可視化のコンテキストで、ブレークダウン要素とインジケーターに制限を設定します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.scoresheet.max_要素	スコアシートで表示できるブレークダウン要素の最大数 デフォルト：500
com.snc.pa.breakdown_element_cutoff	アナリティクスハブとKPI 詳細がスコアレス要素を表示するブレークダウンの要素の最大数。 要素は、次のいずれかの条件を満たす場合にスコアレスになります。 • リアルタイムスコアの場合、要素にスコアがありません。 • 式インジケーターの場合、要素が 1 つ以上の貢献インジケーターでスコアを獲得したことがない。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• 自動インジケーターの収集スコアでは、要素にスコアがありません。ただし、表示される要素の数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* 値を超えた場合は、選択した日付のスコアまたは変更値を持つ要素のみが表示されます。詳細と例については、「収集されたスコアとcom.snc.pa.breakdown_element_cutoff」を参照してください。 **注:** このパラメータは、一致しない要素が表示されるかどうかには影響しません。 デフォルト：50
com.snc.pa.scorecards.max_breakdown_element	アナリティクスハブリスト内のブレークダウン要素の最大数 デフォルト：1000 最大:10,000。10,000 を超える値は 10,000 として扱われます。 **ヒント:** この値がインジケーターに対して十分に高くない場合は、 パフォーマンスアナリティクス ソリューションの再設計を検討してください。
com.snc.pa.scorecard.breakdown.chart.max_rows	チャート化のブレークダウン要素の数 デフォルト値：10
com.snc.pa.thresholds.frequency_intervals_in_the_past_limit	しきい値インジョブが分析する過去の周波数間隔の最大数 デフォルト値：2
com.snc.pa.scorecard.max_record_num	1 つのインジケーターに対して アナリティクスハブ のレコードタブに自動的にロードされるレコードの数。レコードの数がこのプロパティの値を超えると、レコードは自動的にロードされません。この場合は、メッセージとすべてのレコードをロードするためのボタンがユーザーに表示されます。 デフォルト:50,000
com.snc.pa.breakdown_element_ui_max_records	アナリティクスハブ で使用廃止。ブレークダウンのためにフェッチされる要素数の制限。ルックアップ フィールド (ブレークダウン ダッシュ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	ボード、古い詳細スコアカードなど) に使用されます。 デフォルト：100
com.snc.pa.target_batch_operation_limit	KPI 詳細にのみ適用：[ターゲット構成] ページで 1 回の一括アクションで挿入または更新できるターゲットの最大数。ターゲットの一括挿入または更新中にタイムアウトが発生した場合は、この制限を減らすことを検討してください。 デフォルト：100
com.snc.pa.widget.max_widget_indicators	ウィジェットに追加できるメインインジケーターに加えて、ウィジェットインジケーターの最大数 デフォルト値：7
com.snc.pa.widgets.respect_acl	インジケーターとブレークダウンの ACL に従ってウィジェットのヴィジビリティを制限します。True|false。 • 新しいインスタンスのデフォルト:true • Quebecより前からアップグレードされたインスタンスのデフォルト:false

パフォーマンス分析のチャートプロパティ

チャート とは、 ここでは、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットまたは アナリティクスハブのグラフィカルコンポーネントを指します。これらのプロパティはコア UI にのみ適用され、構成可能なワークスペースの可視化には適用されません。

プロパティ	説明
com.snc.pa.default_chart_line_color	トレンドラインとブレットグラフを含む、 アナリティクスハブ とウィジェットのスコアの色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,1
com.snc.pa.text.trendline_points_for.頻度	テキストアナリティクストレンド ラインに表示されるポイントの最大数 デフォルト値：30
com.snc.pa.default_chart_target_color	グラフ内のターゲットの色。 • 形式：16 進数 • デフォルト:#506163

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	説明
com.snc.pa.default_chart_personal_target_color	単一のインジケーターの アナリティクスハブ に表示される個人ターゲットの線の色。 • タイプ：文字列 • デフォルト値:#879394
com.snc.pa.default_chart_threshold_color	チャート内のしきい値の色。 • 形式：16 進数 • デフォルト:#506163
com.snc.pa.default_chart_personal_threshold_color	単一のインジケーターの アナリティクスハブ に表示される個人しきい値の線の色。 • タイプ：文字列 • デフォルト値:#879394
com.snc.pa.default_chart_area_color0	グラフの最初のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,1
com.snc.pa.default_chart_area_color1	グラフの 2 番目のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,0
com.snc.pa.navigator_line_color	チャート ナビゲータの線の色。 • 形式：RGBA • デフォルト:106,183,239,1
com.snc.pa.navigator_area_color0	チャート ナビゲータの最初のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：204,204,204,0.25
com.snc.pa.navigator_area_color1	チャート ナビゲータの 2 番目のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：204,204,204,0.5
com.snc.pa.navigator_mask_fill_color	アナリティクスハブでは廃止されました。 チャート ナビゲータのマスク塗りつぶし色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,0.25

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
com.snc.pa.spark_line_width	チャートの線のピクセル幅。ワークベンチ ウィジェットでのみ使用されます。 デフォルト値：1
com.snc.pa.scorecard.breakdown.chart.name_max_length	ブレークダウン ウィジェットにある凡例の要素名の最大数。 デフォルト：27

データコレクタ パフォーマンスアナリティクスプロパティ

データ コレクタのプロパティを使用すると、パフォーマンスアナリティクスのデータ収集のさまざまな制限を設定できます。このプロパティは、データ収集プロセスを保護するために設定されます。デフォルト値はほとんどの環境に適しています。

注:
これらの値を必要以上に増やさないようにしてください。実装によっては、これらの値を増やすとパフォーマンスに影響する場合があります。可能であれば、ドメインの専門家または実装パートナーに相談してください。この専門家は、資産価値を高めるための代替ソリューションを見つけることができるかもしれません。

プロパティ	説明
com.snc.pa.dc.script_timeout	インジケーター ソース スクリプトやブレークダウン スクリプトなどのスクリプトをデータ収集サイクル中に実行できる最大時間 (秒)。 この制限は、データ収集ジョブによって処理されるレコードごとに個別に適用されます。スクリプトがこの制限を超えると、データ収集ジョブは現在のレコードをスキップします。 スクリプトが頻繁にデフォルトの制限に達する場合は、このプロパティを変更する前にスクリプトを可能な限り簡素化してください。 • タイプ：整数 • デフォルト値：30
com.snc.pa.dc.query_time_limit	警告がログに記録される前にデータ収集ジョブの単一クエリを実行できる最大期間 (分)。 • タイプ：整数 • デフォルト値：60
com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source	単一のインジケーター ソースからジョブが収集できるレコードの最大数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	重要: このプロパティーは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。最適化されたデータ収集が有効になっている場合 (デフォルトの条件) は、プロパティ *com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_sou* 参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるインジケーターソースごとに個別に適用されます。各インジケーター ソースに関連付けられたインジケーターの数は、この制限に影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのインジケーターソースから 12 のインジケーターのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 150,000 レコード (各インジケーターソースから 50,000) を収集できます。 **警告:** • 単一のインジケーター ソースに含まれるレコードの数がこのプロパティの値よりも多い場合、そのインジケーター ソースのインジケーターは収集されません。 • このプロパティは、個々のインジケーターソースで上書きできます。この場合、行数が *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* の値よりも小さくても、個々のインジケーターソースが収集されない可能性があります。 • タイプ：整数 • デフォルト値：50,000
com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_source	単一インジケーター ソースからジョブが収集できるレコードの最大数。 **重要:** このプロパティーは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。それ以外の場合は、*com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* が適用されます。詳細については、「データ収集の最適化」を参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるインジケーターソースごとに個別に適用されます。各インジケーター ソースに関連付けら

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	れたインジケーターの数は、この制限に影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのインジケーターソースから 12 のインジケーターのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 300 万レコード (各インジケーターソースから 100 万レコード) を収集できます。 San Diego より後のバージョンにアップグレードすると、最適化されたデータコレクターが有効になります。その後、このプロパティは *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source*を上書きします。*com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source*値が 100 万を超えない限り、新しいプロパティの値はデフォルトの 100 万に設定されます。後者の場合、元のプロパティ値は保持されます。 ⚠ 警告: • 単一のインジケーター ソースに含まれるレコードの数がこのプロパティの値よりも多い場合、そのインジケーター ソースのインジケーターは収集されません。 • このプロパティは、個々のインジケーターソースで上書きできます。この場合、行数が *com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_s* の値よりも小さくても、個々のインジケーターソースが収集されない可能性があります。 • タイプ：整数 • デフォルト値 ：1,000,000
com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit	ブレークダウンソースごとのデータ収集によって取得されるブレークダウン要素の最大数。ブレークダウンソースの要素数がこの制限を超えると、データコレクターはそのブレークダウンソースからスコアを収集しません。 ℹ 重要: このプロパティーは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。最適化されたデータ収集については、プロパティ *com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_limi* 参照してください。「データ収集の最適化」も参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるブレークダウンソースごとに個別に適用さ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	れます。各ブレークダウンソースに関連付けられたブレークダウンの数は、この制限に影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのブレークダウン ソースから 12 のブレークダウンのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 30,000 レコード (各ブレークダウン ソースから 10,000 レコード) を収集できます。 ⚠ 警告: この制限を増やすと、ノードの処理負荷が増加します。 このプロパティは、ネストされたコレクションが有効かどうかによって異なる方法で処理されます。 ネストしたコレクションが有効になっている場合は、null 以外のスコアを持つ要素のみがこの制限に対してカウントされます。カウントは、データ収集ジョブの実行時に取得されます。スコアを持つ要素の数がこの制限に達すると、ブレークダウンソースは無効になり、スコアはメモリからクリアされます。 ネストした収集が有効になっていない場合、ブレークダウン ソースのすべての要素が制限に対してカウントされます。カウントは、スコアが収集される前に取得されます。 デフォルトの制限である 10,000 要素が、100 万要素のブレークダウン ソースに適用され、そのうち 5,000 要素にスコアがある場合を考えてみましょう。ネストされたコレクションでは、ジョブはこれらの 5,000 個の要素のスコアを収集します。ネストされた収集をオフにすると、ジョブはこのブレークダウンソースのスコアを収集しません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：10,000
[com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_limit]	ブレークダウンソースごとのデータ収集によって取得されるブレークダウン要素の最大数。ブレークダウンソースの要素数がこの制限を超えると、データコレクターはそのブレークダウンソースからスコアを収集しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	重要: このプロパティーは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。それ以外の場合は、*com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* が適用されます。詳細については、「データ収集の最適化」を参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるブレークダウンソースごとに個別に適用されます。各ブレークダウンソースに関連付けられたブレークダウンの数は、この制限に影響しません。 デフォルトでは、ブレークダウン要素の数に制限は設定されていません。多数の要素を含むブレークダウンソースを含むジョブでパフォーマンスの問題が発生した場合は、 カスタマーサービス & サポートと相談して制限を設定することを検討してください。 San Diego より後のバージョンにアップグレードすると、最適化されたデータ収集が有効になります。その後、このプロパティは *com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* を上書きします。 • タイプ：整数 • デフォルト値：-1
[com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_level2_limit]	2 つのブレークダウンのマトリクスで許容されるブレークダウン要素の最大数。この制限を超えると、マトリクス内のブレークダウン要素は収集されません。 **重要:** このプロパティーは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。最適化されたデータ収集については、プロパティ *com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_leve* 参照してください。「 データ収集の最適化」も参照してください。 たとえば、デフォルトの制限が 100 万要素で、第 1 レベルのブレークダウンが 10,000 要素、第 2 レベルのブレークダウンが 500 要素の場合、結果として得られる 500 万要素のマトリックスは収集されません。第 1 レベルのブレークダウンに 1,000 個の要素しかない場合、結果として得られる 500,000 個の要素が収集されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	注: この制限は、*com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* プロパティの影響も受けます。ブレークダウンソースの 1 つがその制限を超える場合、ブレークダウンマトリクスは収集されません。 • タイプ：整数 • デフォルト値 ：1,000,000
com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_level2_limit	2 つのブレークダウンのマトリクスで許容されるブレークダウン要素の最大数。この制限を超えると、ブレークダウン要素は収集されません。 **重要:** このプロパティーは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。「データ収集の最適化」を参照してください。 デフォルトでは、マトリクス内のブレークダウン要素の数に制限は設定されていません。多数の要素を含むブレークダウンソースを含むジョブでパフォーマンスの問題が発生した場合は、カスタマーサービス & サポートと相談して制限を設定することを検討してください。 **注:** この制限は、*com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_limi* プロパティの影響を受ける可能性があります。この制限が設定されている場合、いずれかのブレークダウンソースがその制限を超えた場合、ブレークダウンマトリクスは収集されません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：-1
com.snc.pa.dc.max_error_count	データ収集が停止されるまでに単一のデータ収集ジョブ実行で発生できるエラーの最大数。 データ収集中のエラーは、通常、無効なスクリプトやスクリプトのタイムアウト制限が原因で発生します。 この制限が適用された場合は、データ収集中に実行されるすべてのスクリプトを調べて、スクリプトが有効であり、想定どおりに機能することを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値： 500
com.snc.pa.dc.max_records	1 つのスナップショット [pa_snapshots] レコードに保存される Sys ID の最大数。スナップショットレコードは収集されたスコアごとに作成され、このレコードのフィールドには、スコアに寄与するレコードのすべての Sys ID が含まれます。この制限を超えると、最大数のレコードでスナップショットレコードが作成されます。この制限は、インジケーターに [レコードの収集] が選択されている場合にのみ適用されます。 たとえば、デフォルトの制限である 5,000 を使用していて、5,010 レコードがスコアに寄与するジョブを実行するとします。システムは、[sys_id] フィールドの最初の 5,000 個の sys ID をカンマで区切ったリストを持つスナップショットレコードを作成します。 一般には、デフォルトの限界値によって、収集されたレコードの十分な詳細が得られます。この制限を増やすと、データ収集時やスナップショットテーブルで操作を実行するときのパフォーマンスに影響を与える可能性があります。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 5000

収集されたスコアと**com.snc.pa.breakdown_element_cutoff**

選択した日付の アナリティクスハブ と KPI 詳細 に表示されるブレークダウンの要素は、要素の数と *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*の値によって異なります。

一般に、ブレークダウンの要素数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* を超えると、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 には、これまでにスコアが設定された要素のみが表示されます。

式インジケーターの場合、貢献しているすべての自動インジケーターのスコアを持つ要素が表示されます。これらのスコアは同じ日付である必要はありません。要件は、貢献インジケーターごとに、ある日付に要素のスコアがあったことだけです。

自動インジケーターの収集されたスコア (つまり、リアルタイムスコア以外のすべてのスコア) には、次の 2 つの動作があります。

- スコアを持つ要素の数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*で設定された制限よりも少ない場合、これらのすべての要素が選択した日付に対して一覧表示されます。選択した日付のスコアがない要素も、その日付ではリストされます。この動作は、リアルタイム スコアの動作と同じです。
- スコアを持つ要素の数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*で設定された制限を超える場合、選択した日付のスコアまたは変更値を持つ要素のみがその日付にリストされます。その日付のスコアまたは変更値を持たない要素は、他の日付のスコアがあるかどうかにかかわらず、リストに含まれません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

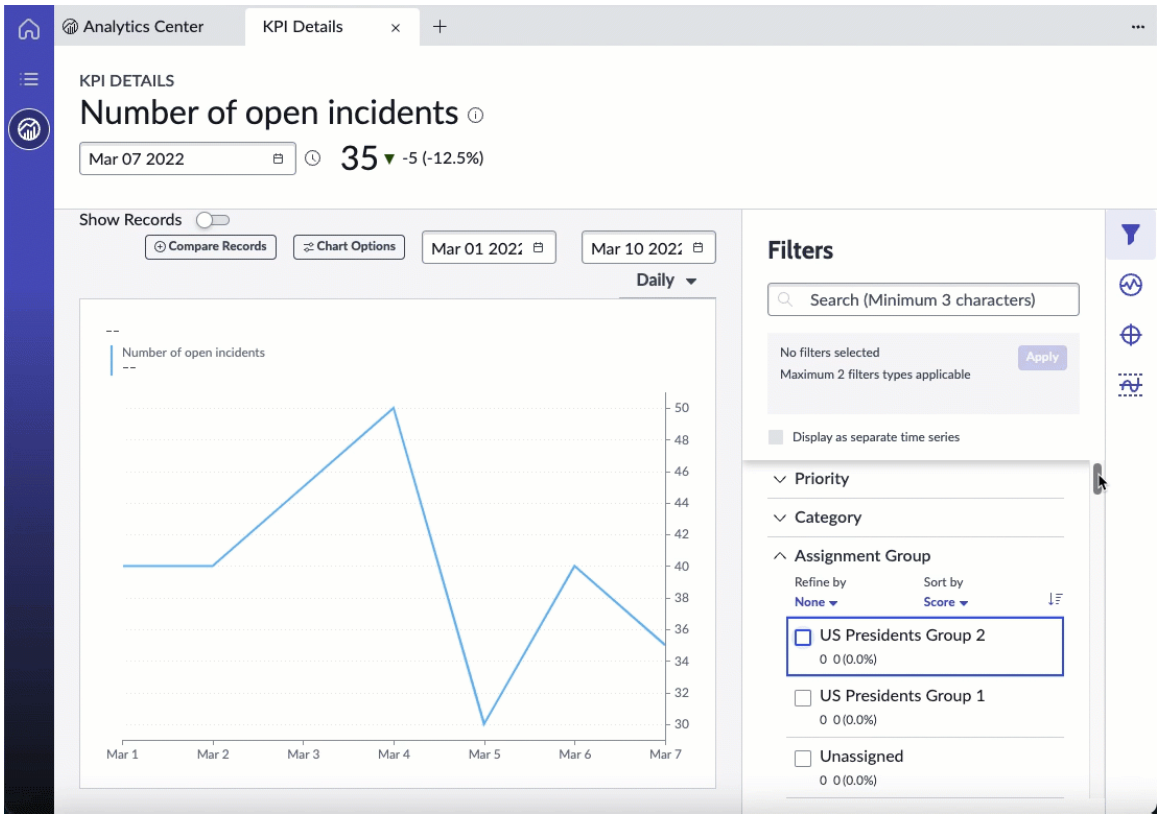
ヒント:

自動インジケーターの アナリティクスハブ または KPI 詳細 に null スコアを持つ要素が表示されないようにするには、 *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*に 0 や 1 などの低い値を設定することを検討してください。ただし、リアルタイムスコアと式インジケーターでは、スコアが null の要素が引き続き表示される場合があります。

Example: com.snc.pa.breakdown_element_cutoffのさまざまな値を持つ自動インジケーターに表示されるスコア

この例では、 KPI 詳細 を使用して、「オープンインシデントの数」インジケーターのアサイン先グループブレークダウンを調べます。例で使用されているインスタンスのアサイン先グループブレークダウンには、50 個弱の要素があります。

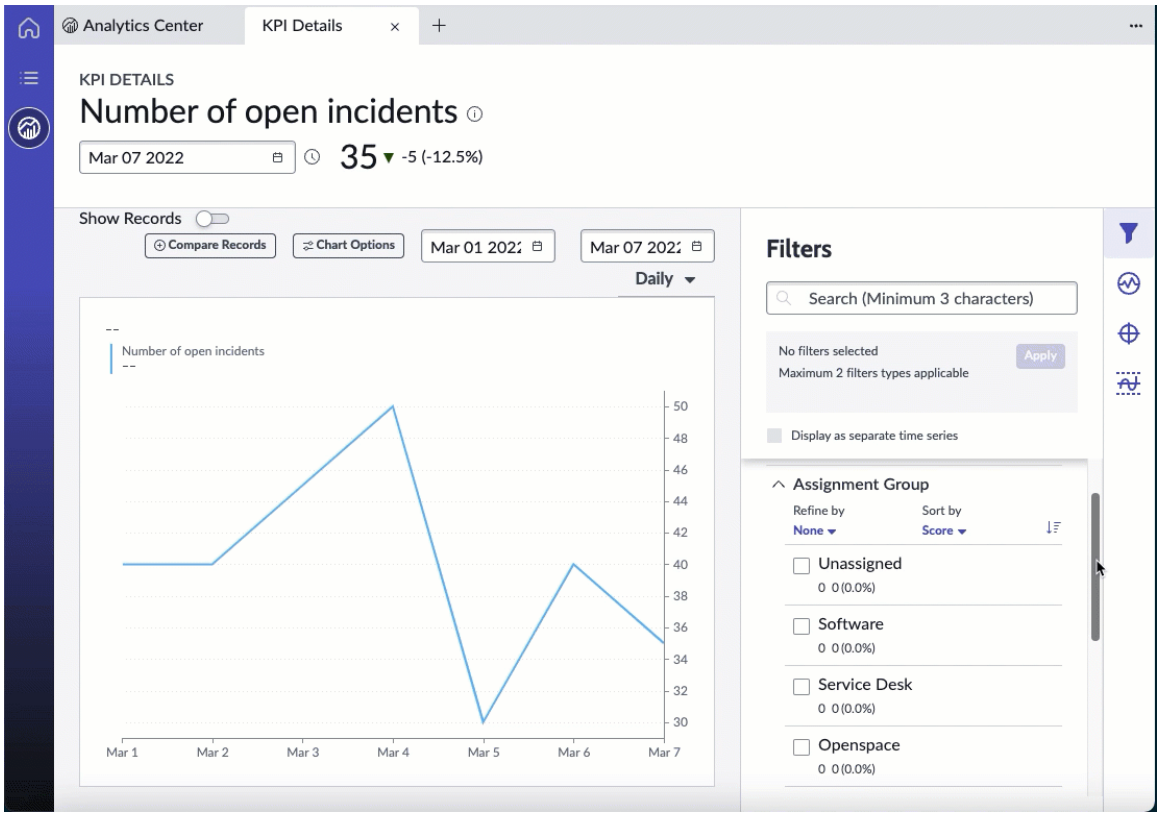
1 つ目はデフォルトのケースで、 *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*=50 です。この値は、アサイン先グループの要素数よりも大きくなっています。したがって、選択した日付について、ブレークダウングループのすべての要素が表示されます。



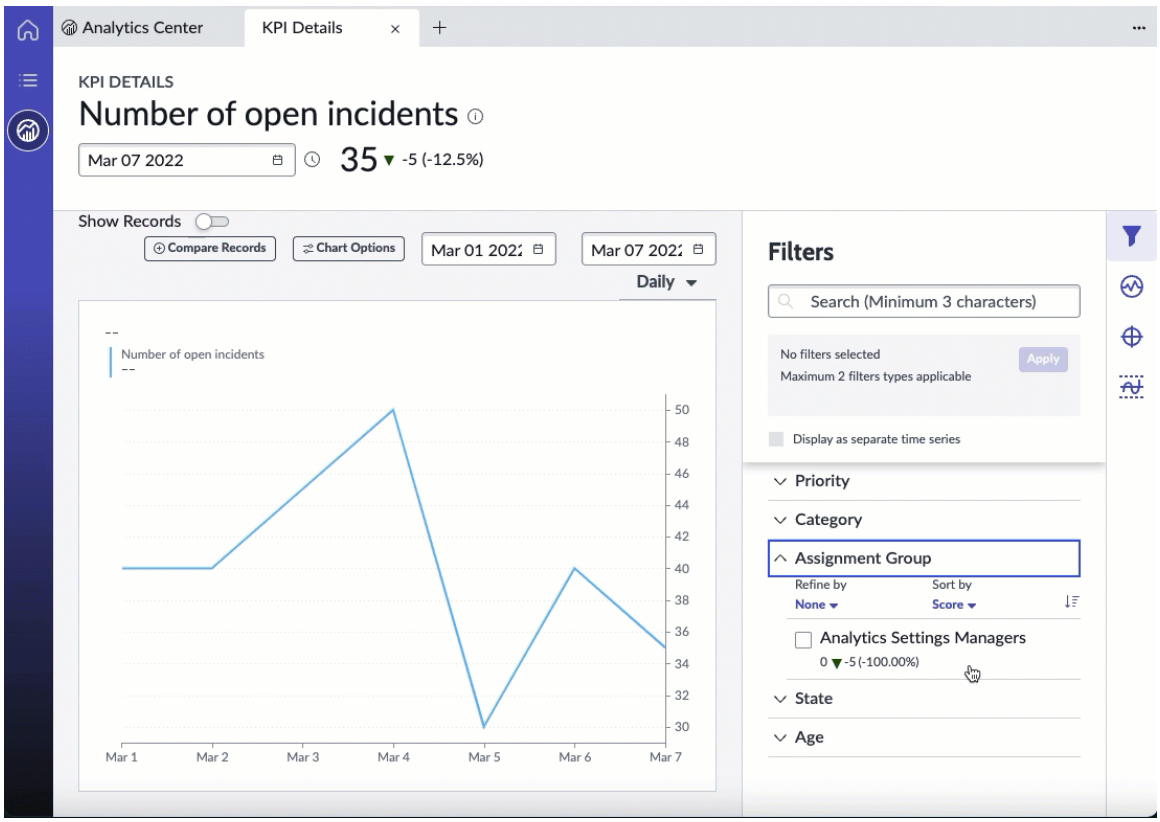
次のケースは *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*=10 です。アサイン先グループブレークダウンの要素数がこの値をはるかに超えています。ただし、これまでにスコアが付けられたのは 8 つの要素のみです。この数値はカットオフ値の 10 より小さいため、どの日付でも、null の場合でも 8 つの要素がすべて表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



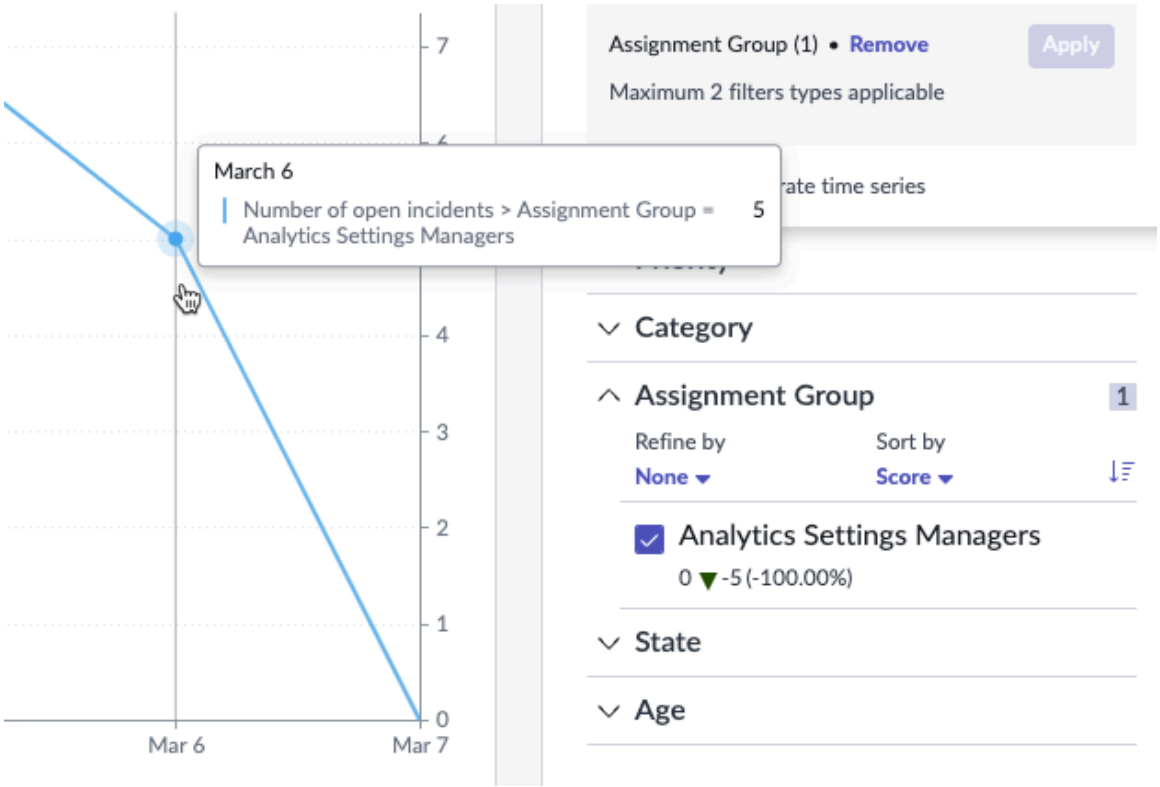
最後に、 *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*=5 の場合があります。この数は、これまでにスコアが設定された要素の数よりも少なくなります。これで、選択した日付に null 以外の値または変更値を持つ要素のみがその日付に表示されます。したがって、異なる日付に対して異なる要素が表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

3 月 7 日のアナリティクス設定マネージャー要素が、null 値であるにもかかわらず表示されます。前回の収集期間の値が 5 であるため、3 月 7 日の変更値が -5 であるため、この値が表示されています。



依存関係アセスメント

依存関係アセスメントを使用すると、ウィジェット、インジケーター、ブレークダウンなどのパフォーマンス分析コンポーネントを単一のビューから表示、分析、編集できます。コンポーネントの階層とそれらの関係を表示することで、変更の影響を受けるユーザーと変更の影響をすぐに確認できます。

重要:
依存関係アセスメントは、 プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの情報のみを分析し、データの可視化プラットフォームアナリティクス分析しません。また、 コア UI レスポンシブダッシュボードからは依存関係アセスメントを起動できますが、 プラットフォームアナリティクスダッシュボードからは起動できません。

依存関係アセスメントは、いくつかのコンポーネントで構成されています。

トップダウン ツリー ビュー

トップダウン ツリー ビューは、パフォーマンス分析エンティティのコンポーネントを階層ビューで表示します。 ダッシュボードで依存関係アセスメントを開始すると、たとえばトップダウン ツリー ビューには各ダッシュボード タブのノードが表示されます。ダッシュボード タブを選択すると、ツリー ビューが展開され、ダッシュボード上の各ウィジェットを表すノードが表示されます。

ボトムアップ ツリー ビュー

ボトムアップ ツリー ビューは、インスタンスでパフォーマンス分析エンティティが使用されている場所を表示します。ツリー ビュー コンポーネントのコンテキスト メニューから [使用者を表示] を選択した場合、ツリー ビューにはそのエンティティが使

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

用されているすべての場所が表示されます。リセットアイコン ( ) をクリックして、トップダウンツリービューに戻ります。

コンポーネントの概要

情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、コンポーネントの概要が表示されます。

その他のアクション

任意のコンポーネントでコンテキスト メニュー アイコン (☰) をクリックすると、そのコンポーネントで使用可能なアクションが表示されます。たとえばコンポーネントの編集、コンポーネントのスキーマ マップの表示、ウィジェットのプレビューなどがあります。

注:
ツリー ビューは永続的です。依存関係アセスメントに戻ると、ツリー ビューには前回訪問したときと同じ構成が表示されます。

依存関係アセスメントを起動

依存関係アセスメントのツリー ビューを使用して、ウィジェット、インジケーター、ブレークダウンなどの パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを単一のビューから表示および編集します。変更の影響はすぐに確認できます。

始める前に
必要なロール:pa_admin

このタスクについて
依存関係アセスメントのツリー ビューは、起動したときと同じブラウザ ウィンドウで開きます。編集ウィンドウはポップアップで開くため、ブラウザ ウィンドウ間を移動したりコンテキストを失ったりする必要はありません。このタスクでは、[ダッシュボード] リストから依存関係アセスメントを起動する方法について説明します。次の場所のいずれかに移動し、リストからアイテムを選択し、関連リンクの [依存関係アセスメントを起動] をクリックする方法もあります。

- **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット
- **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > スクリプト
- **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > インジケーター > インジケーター (自動)
- **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > インジケーター > 手動インジケーター
- **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ソース > インジケーターソース
- **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ブレークダウン > 自動ブレークダウン
- **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ブレークダウン > 手動ブレークダウン
- **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ソース > ブレークダウンソース
- **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > スコアカード

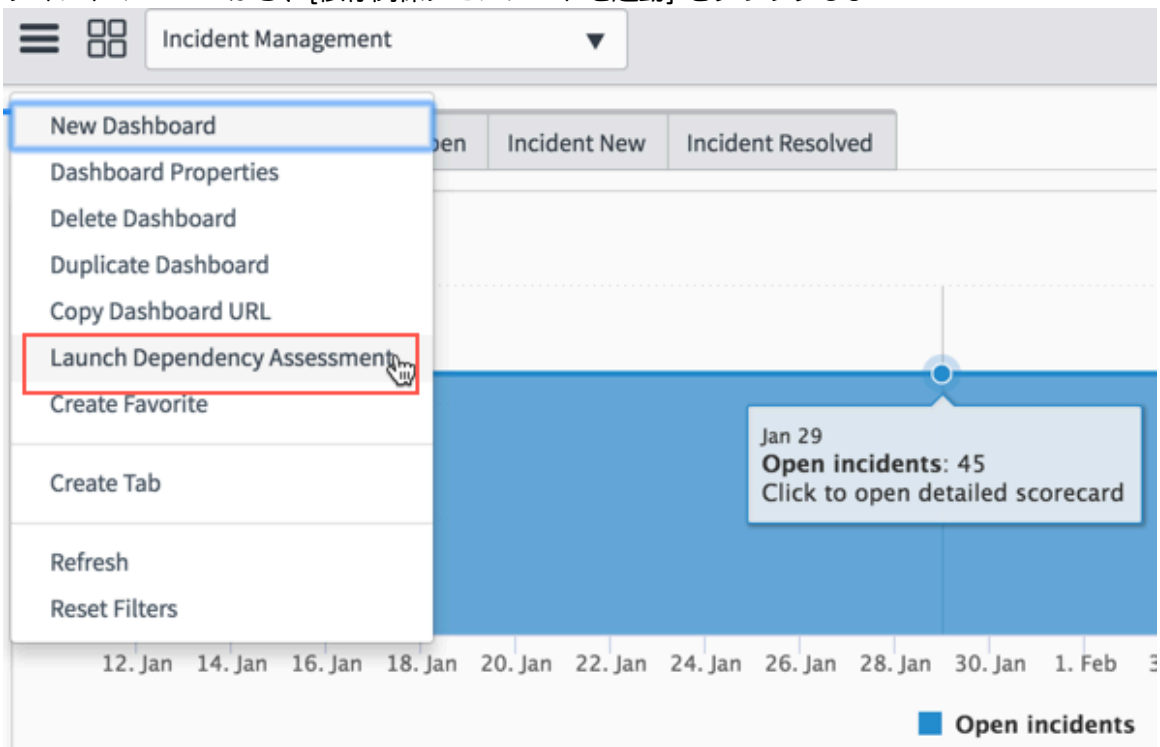
注:
アナリティクスハブ から、コンテキスト メニューを選択し、 [依存関係アセスメントの起動] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ダッシュボード > または セルフサービス > ダッシュボード.
2. 分析するダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト メニューから、[依存関係アセスメントを起動] をクリックしま



す。
また、[ダッシュボードプロパティ] を選択し、関連リンクの [依存関係アセスメントを起動] をクリックすることもできます。

タスクの結果
選択したダッシュボードのツリー ビューが開きます。

依存関係アセスメントのツリー ビュー

ツリー ビューを使用すると、管理者ユーザーは PA エンティティ間の関係を確認したり、ツリー ビュー階層内の任意のノードに対する変更の影響を把握したりすることができます。

依存関係アセスメントのツリー ビューは、さまざまなノードと凡例から構成されています。ノードは、パフォーマンス分析エンティティを表します。ノードを指すと、ノードのタイプが凡例でハイライトされます。ツリー ビューでノードをクリックすると、子ノードが開きます。ツリー ビューのあるレベルに 8 つ以上のノードがある場合は、6 つが表示され、7 番目のノードには表示されていないノードの数が示されます。このノードをクリックすると、他のノードのリストが表示されます。

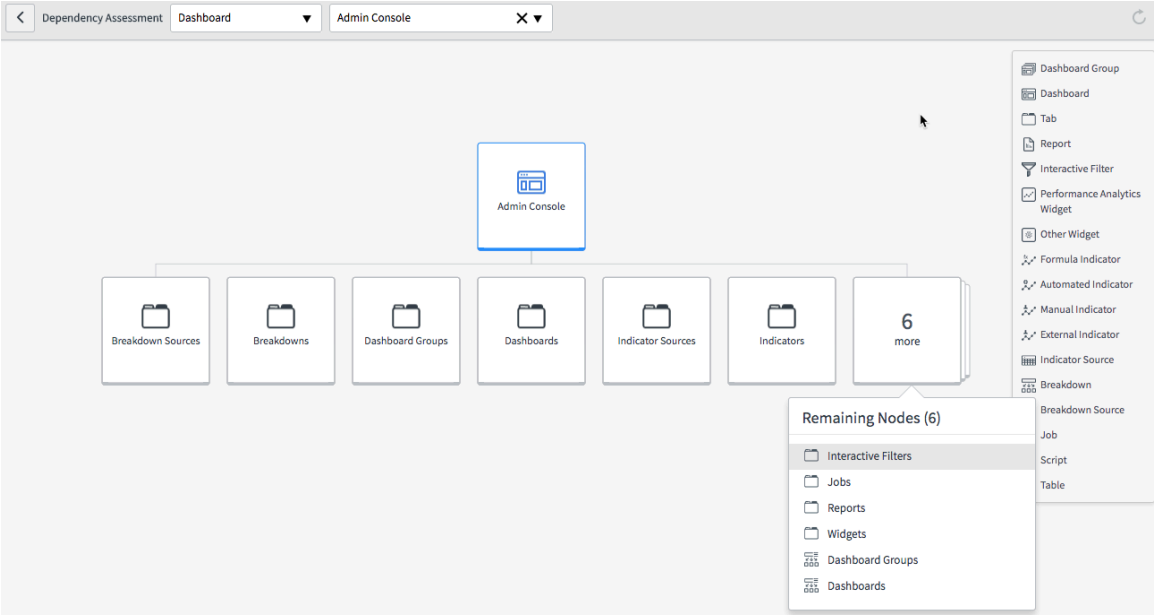
ツリー ビュー ヘッダーには、PA エンティティタイプと値を変更するための選択リストが含まれています。選択した内容に応じてツリー ビューが更新されます。 リセットボタン( )をクリックして、ツリービューを第1レベルの親ノードとその直接の子ノードのみを含む開始点に戻します。

各ノードにはコンテキスト メニュー ( ) があり、いくつかのアクションから選択できます。[使用者を表示] を選択すると、ツリー ビューが変更され、インスタンスでノードが使用されている場所が表示されます。詳細については、「ボトムアップ ツリー ビュー」を参照してください。

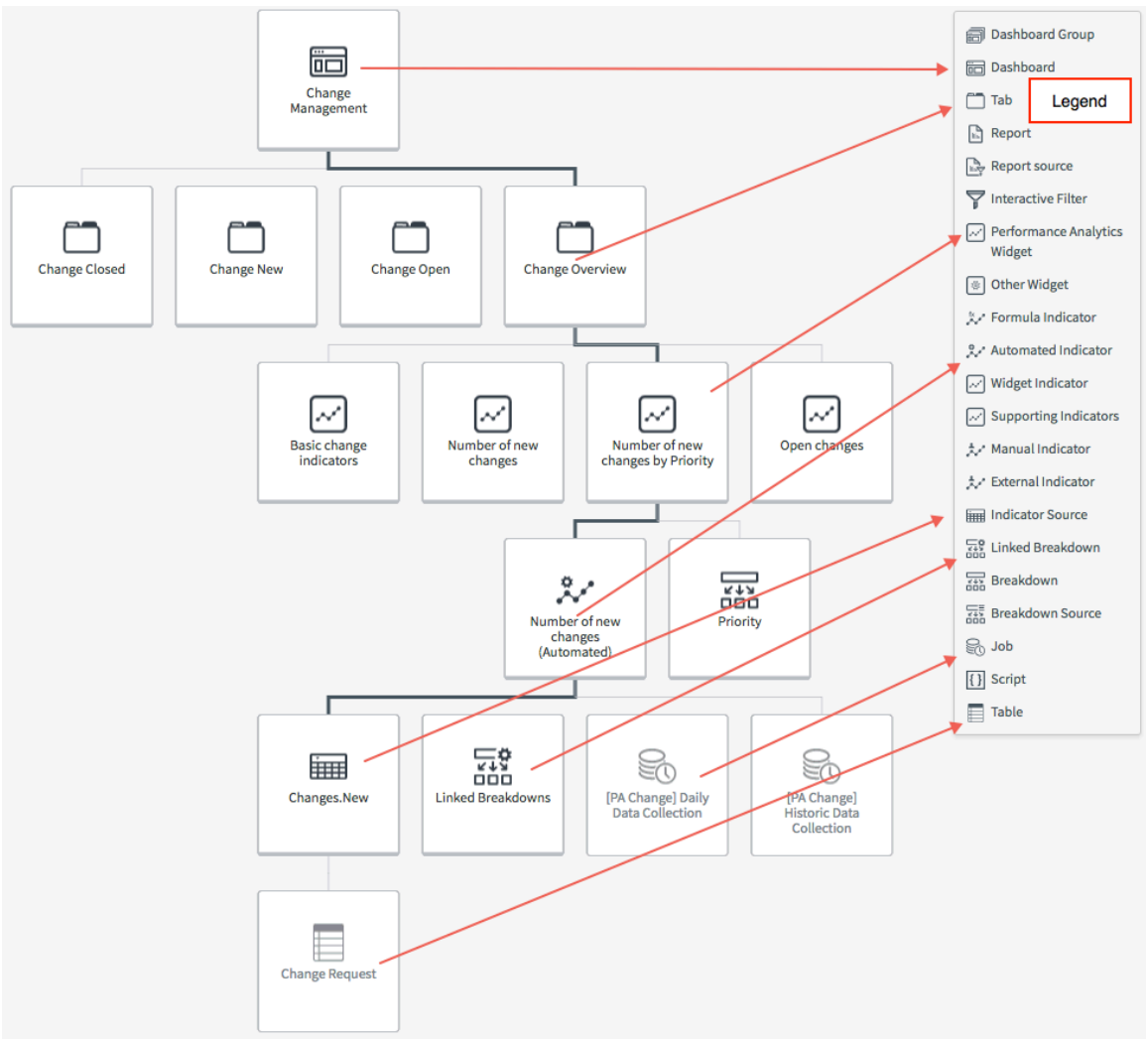
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

依存関係アセスメントのツリー ビュー



下の図は、トップダウン ツリー ビューの例を示しています。トップ レベルにダッシュボード、第 2 レベルにタブ、第 3 レベルにいずれかのダッシュボード タブのウィジェットがあります。この例のツリー ビューには、ブレークダウン フォームで定義されているすべてのブレークダウンとサポートされているインジケーターが表示されています。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン

ボトムアップ ツリー ビュー

ツリー ビュー内で要素が使用されている場所を確認できます。これは、インジケーターやブレークダウンなどの要素を変更するときに、変更が他の PA 要素に及ぼす影響を確認する場合に便利です。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 依存関係アセスメントを起動 (調査対象のパフォーマンス分析エンティティ上)。

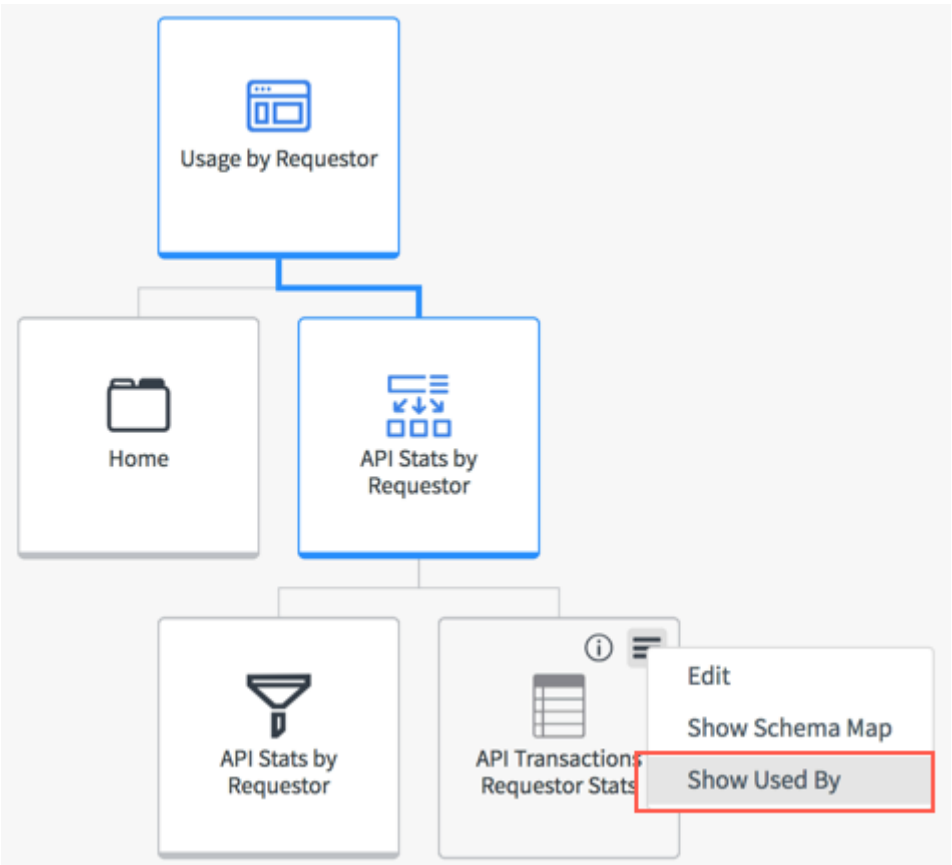
   a. 移動先 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ダッシュボード.

   b. 調査するダッシュボード、または調査対象のエンティティを使用するダッシュボードを選択します。
   この例では、[要求者別の使用率] ダッシュボードから始めます。

   c. コンテキスト メニュー ( ) から [依存関係アセスメントの起動] を選択します。

2. ツリー ビューを展開して、調査対象のエンティティを探します。

3. エンティティのコンテキストメニュー ( ) をクリックし、[使用者を表示] を選択します。

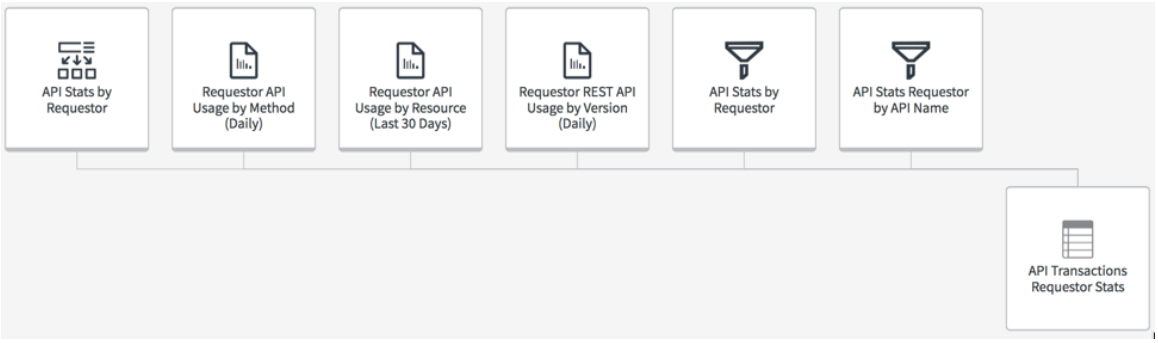


4. トップダウン ツリー ビューは、選択されたエンティティを使用するすべてのエンティティを表示するビューに置き換えられます。

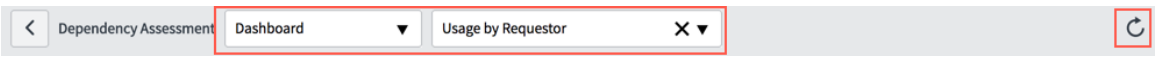
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、[API トランザクション要求者の統計情報] テーブルは、1 つのブレークダウン ソース、3 つのレポート、および 2 つのインタラクティブ フィルタで使用されています。



5. リセットボタン( )をクリックすると、ツリービューがヘッダーに示されているベース選択に戻ります。



ツリー ビュー ナビゲーション

管理コンソールのツリー ビューを効果的にナビゲートするには、ツリー ビューのさまざまなアイコンやその他のビジュアル データの意味を理解しておくとよいでしょう。

ツリービュー内を移動する

ツリー ビューをクリックしてドラッグすると、画面の外にあるノードを表示できます。また、Ctrl +A を使用してから矢印キーを使用してツリー ビューを移動することもできます。[Tab]を使用して、ツリーの最初のノードに戻ります。

ノードタイプ

ノードタイプは、 パフォーマンスアナリティクスのさまざまな機能を反映しています。ノードをクリックすると、ツリー ビューの次のレベルの子フィーチャに展開されます。

ダッシュボード関連のノード

ダッシュボード グループ ノードはダッシュボードが展開されます。ダッシュボードにタブが 1 つしかない場合でも、ダッシュボードはダッシュボード タブに展開されます。ダッシュボード タブは、タブの内容に展開されます。

ウィジェット

ウィジェットは、その構成要素を表示するノードを開きます。

インジケーター

すべてのインジケーターノードが、コンポーネントソース、ブレークダウン、ジョブ、およびスクリプトのノードに開かれます。インジケーターノードには、自動インジケーター、式インジケーター、ウィジェットインジケーター、手動インジケーター、外部インジケーター、およびサポートインジケーターが含まれます。

レポート

レポートは、コンポーネント テーブルを表示するノードを開きます。

ブレークダウン

ブレークダウンは、ソースを表示するノードをオープンします。

ソース

すべてのソース ノード (ブレークダウン、インジケーター、およびレポート ソース) は、ソース テーブルを表示するノードを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テキスト ウィジェットをクリックすると、基になるファイルがツリー ビューの上にポップアップとして表示されます。コンテキストメニューからの選択項目もポップアップに表示されます。

アイコン

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	ダッシュボード グループ	編集
	ダッシュボード	• 編集 • ダッシュボードを表示 [ダッシュボードを表示] を選択すると、ダッシュボードがツリー ビューの上にポップアップで表示されます。共有、レイアウト構成、ウィジェットの追加など、ダッシュボードのすべての機能を利用できます。ポップアップを閉じると、ツリー ビューが再び表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	ダッシュボード タブ	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	レポート	• 編集 レポート デザイナーのレポートをポップアップ ウィンドウに開きます。ポップアップを閉じると、ツリー ビューが再び表示されます。 • 使用者を表示

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
		このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	レポート ソース	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	インタラクティブフィルター	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	その他のウィジェット	コンテキスト メニューなし。
	式インジケーター	• 編集 • アナリティクスハブ を表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	自動インジケーター	• 編集 • アナリティクスハブ を表示 • スコアを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリービュー を起動します。
	ウィジェットインジケーター	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。
	サポート インジケーター	編集
	手動インジケーター	編集
	外部インジケーター	編集
	インジケーターソース	• 編集 • スキーマ マップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリービュー を起動します。
	リンクされているブレークダウン	コンテキスト メニューなし。タイルをクリックすると、関連するブレークダウンが表示されます。
	ブレークダウン	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリービュー を起動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	ブレークダウンソース	• 編集 • スキーマ マップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	ジョブ	• 編集 • 今すぐ実行 • すべてのログを表示 • 最後に実行されたログを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	スクリプト	編集
	テーブル	• 編集 • スキーマ マップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	ウィジェットをフィルタ	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その他のビジュアル データ

各ノードには、これらのアイコンが 1 つ以上あります。ノードの右上隅をポイントすると表示されます。

情報ボタン [ⓘ]

情報ボタンをクリックすると、ノードの詳細が表示されます。ノードの情報パネルには、ノードのタイプに応じて異なる情報が表示されますが、すべての情報パネルに [レコードを開く] ボタンがあります。[レコードを開く] をクリックして編集するレコードを開きます。

コンテキスト メニュー [☰]

コンテキスト メニュー アイコンをクリックすると、ノードのソースに対してさらにアクションを実行できます。

エラー インジケーター [⚠]

問題を修正できるように、ノードが参照する要素を開きます。

ドメインセパレーションとパフォーマンスアナリティクス

ドメインセパレーションは、 パフォーマンスアナリティクス でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。 パフォーマンスアナリティクス は、複数のドメインからのスコアの収集をサポートし、ドメイン固有の管理を有効にするように構成できます。拡張ドメイン構成機能は、複雑なドメインを持つ顧客が利用できます。

サポートレベル：拡張

- ベーシックレベルと標準レベルを含みます。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別のユーザーに影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

要件

- A完全に有効化されたサブスクリプションバージョンの パフォーマンスアナリティクスが必要です。「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションの有効化」を参照してください。
- Domain Support — Domain Extension Installer プラグイン

⚠ 警告:
複数のサービスプロバイダー (MSP) で一般的であるように、多数のドメインを持つインスタンスでは、 パフォーマンスアナリティクス スコアを取得するときにパフォーマンスが低下する可能性があります。考えられる解決策については、「 KB1516963 」を参照してください。Now Supportへのアクセスが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメインセパレーションへのアプローチ

パフォーマンスアナリティクス でのドメインセパレーションには、次の 3 つのアプローチがあります。

グローバル

インジケーターやブレークダウンなどの パフォーマンスアナリティクス レコードは、すべてグローバルドメイン内にあります。データ収集ジョブは、インジケータースコアを収集するときに、インシデントなどのファクトテーブルレコードのドメインを尊重します。ユーザーには、自分が可視化できるドメインのスコアのみが表示されます。 プラットフォームアナリティクスソリューション このアプローチを使用します。ほとんどの場合、これが最適なアプローチです。

ドメイン固有

パフォーマンスアナリティクスレコード自体はドメインセパレーションされています。各ドメインには、 パフォーマンスアナリティクスを管理するためのpa_adminおよびその他のロールを持つユーザーがいます。

ハイブリッド

インジケーターソースなどの低レベルの パフォーマンスアナリティクス レコードはグローバルです。ウィジェットなどの上位レベルの パフォーマンスアナリティクス レコードは、ドメインセパレーションされています。pa_adminユーザーは、下位レベルのグローバルレコードを管理します。各ドメインには、上位レベルのレコードを管理するpa_power_userなどのロールを持つユーザーがいます。このアプローチは高度です。

詳細については、以下を参照してください。

- ドメインセパレーションを使用したパフォーマンス分析へのアプローチ
- マネージドサービスプロバイダーのパフォーマンスアナリティクス
- SPM プロジェクトポートフォリオ管理、ドメインセパレーション、マネージドサービスプロバイダー

複合ドメイン向けの拡張機能

複雑なドメインを管理する顧客向けに特別に設計された次の機能を使用して、 パフォーマンスアナリティクス のドメインセパレーションサポートを拡張できます。

階層型マルチドメイン構成

ユーザーグループに対するヴィジビリティまたはその他の条件に基づいて、ドメインをグループ化します。これらのドメインの子ドメインの一部またはすべてについてスコアを収集するか、まったく収集しません。子ドメインスコアを親ドメインにロールアップするかどうか、すべての子に対して行うか、構成で明示的に子のみに対してロールアップするかを決定します。

アグリゲートスコアを収集

ドメイン構成内の複数のドメインのスコアを結合して、集計スコアを作成します。

ドメインによるダッシュボードのフィルタリング

ダッシュボードをフィルタリングして、ブレークダウンの場合と同様に、ドメイン別またはドメインアグリゲート別にスコアを表示します。

拡張機能は、パフォーマンス分析 - ドメインセパレーションサポートプラグインで利用できます。パフォーマンスアナリティクス におけるドメインセパレーションの一般的な要件も適用されます。

拡張機能は、ドメインセパレーションに対するグローバルアプローチのみをサポートします。

この拡張機能の詳細については、以下を参照してください。 パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

ドメインセパレーションを使用したパフォーマンス分析へのアプローチ

ドメインセパレーションとともに パフォーマンスアナリティクス を使用すると、ドメイン固有のスコアを収集できます。グローバルまたはドメイン固有の パフォーマンスアナリティクス テーブルレコード、あるいはその両方の組み合わせを使用できます。

グローバルなアプローチとドメイン固有のスコアの収集

インジケーター、ブレークダウン、ウィジェットなどのすべての パフォーマンスアナリティクス レコードをグローバルドメインに保持できます。この場合、ドメイン固有のデータ収集ジョブを通じてドメインセパレーションを適用します。

データ収集ジョブをドメイン固有に構成するには、実行ユーザー を ジョブに追加します。実行ユーザーは、データ収集ジョブが実行される場所のドメインコンテキストを決定します。詳細については、「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」を参照してください。

ドメイン構成を指定することもできます。ドメイン構成は、ドメインサポート用の パフォーマンスアナリティクス プラグインの一部であり、複雑なドメイン管理を支援することを目的としています。詳細については、「データ収集ジョブへのドメイン構成の関連付け」を参照してください。

データ収集ジョブは、グローバルドメイン内のファクトテーブルレコードに対してスコアを収集します。このジョブは、 実行 ユーザーのドメイン内のレコードに対するスコアも収集します。ジョブは、スコアを収集したドメインにスコアを格納します。データの可視化では、ユーザーには可視化が可能なドメインのスコアのみが表示されます。

[ユーザーとして実行] のみを指定した場合、すべての子ドメインのスコアが親にロールアップされます。ドメイン構成も指定する場合は、さらに多くのオプションを使用できます。子ドメインスコアを収集してロールアップするためのオプションの詳細については、「 パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。

ジョブがスコアを収集するドメインの 1 つのメンバーである pa_admin ロールを持つユーザーのみが、ドメインセパレーションされたデータ収集ジョブを変更できます。pa_adminを持つグローバルユーザーは、任意のジョブを変更できます。

デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクスソリューション グローバルアプローチが使用されます。

注:
ドメイン構成には、ドメインセパレーションに対するグローバルなアプローチが必要です。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。

ドメイン固有のアプローチ

ドメイン固有の パフォーマンスアナリティクス レコードを使用することで、ドメインユーザーにpa_adminロールを付与して、独自のドメイン固有のコンポーネントを作成できます。ユーザー(管理者を含む)は、ドメイン内でのみ パフォーマンスアナリティクス レコードを作成および編集できます。子ドメインのユーザーは、親ドメイン パフォーマンスアナリティクス レコードを読み取ることはできますが、編集することはできません。

パフォーマンスアナリティクスレコードをそのドメインで使用するには、そのドメイン固有のコピーを作成する必要があります。たとえば、ドメイン固有の条件をインジケーターソースに追加するには、そのドメインにインジケーターとインジケーターソースのコピーを作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

別のドメインからインジケーターまたはブレークダウンと関連データをすばやくコピーできます。インジケーターフォームまたはブレークダウンフォームで [挿入と維持 **(Insert and Stay with Relations**)] UI アクションを使用します。ブレークダウン、ブレークダウンの除外、または時系列の除外の関係もコピーされます。関連付けられているスケジュール設定済みジョブは、そのジョブの [実行ユーザー] が現在のユーザーの場合にのみコピーされます。

スコアを収集するには、ドメイン固有のインジケーターに関連付けられた新しいデータ コレクタ ジョブを作成します。

注:
ドメイン ユーザーは、`com.snc.pa` で始まるパフォーマンスアナリティクスプロパティを設定できません。グローバルドメインの admin または pa_admin ロールを持つユーザーのみが、これらのプロパティを表示または設定できます。

ハイブリッドアプローチ

ハイブリッドアプローチでは、インジケーターソースなどの再利用可能な基盤 パフォーマンスアナリティクス レコードをグローバルドメインまたは親ドメイン内に保持します。同時に、他のドメインのアドミニストレーターは、インジケーターやウィジェットなどのドメイン固有の上位レベルのパフォーマンスアナリティクス レコードを作成します。

注:
ハイブリッドアプローチは高度なオプションです。ハイブリッドアプローチを使用する前に、グローバルまたはドメイン固有のアプローチを正常に実装してください。

ハイブリッドアプローチを使用する場合、基本レコードはグローバルドメインまたは親ドメイン内でのみ管理する必要があります。ウィジェットやインジケーターなどの他のすべての パフォーマンスアナリティクス レコードは、各子ドメイン内で個別に管理する必要があります。次のレコードタイプは基本レコードと見なされます。

- バケットグループ
- バケット
- スクリプト
- ブレークダウンソース
- インジケーターソース
- フィルター
- ブレークダウン
- 管理ソース
- 手動ブレークダウン
- ブレークダウンマッピング
- ブレークダウンの関連付け

ドメイン間での パフォーマンスアナリティクス レコードのコピー

複数のドメインで パフォーマンスアナリティクス レコードを再利用できます。*`PADomainUtils`* API は、アドミニストレーターがドメイン間でパフォーマンスアナリティクスレコードを移動またはコピーできるようにする機能を提供します。

パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化

特定のユーザーのドメインの パフォーマンスアナリティクス を構成する代わりに、再利用可能なドメイン構成を作成します。ユーザーのグループに表示されるドメインを選択するか、ドメインを直接

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルタリングします。ドメイン構成を使用すると、階層関係を定義し、複数のドメイン間でスコアを集計できます。

注:
パフォーマンスアナリティクス ドメイン構成は、 パフォーマンスアナリティクス – Domain Separation Support プラグインで有効になります。プラグインの詳細については、「 プラグインを有効にする 」を参照してください。

これらのドメイン構成を特定のデータ収集ジョブおよびダッシュボードに関連付けて、関連するスコアをユーザーに提供します。同時に、インジケーター、ブレークダウン、ソースなどの パフォーマンスアナリティクス レコードをグローバルドメインで管理します。

重要:
ドメイン構成が使用されているかどうかに関係なく、[実行 ユーザー] は常にデータ収集ジョブが実行されるドメインコンテキストを決定します。

構成内のすべてのドメインにアクセスできる パフォーマンスアナリティクス アドミンのみが、ドメイン構成が適用されているデータ収集ジョブを編集できます。

求められるアプローチ

ドメイン構成をサポートするのは、ドメインセパレーションによる パフォーマンスアナリティクス に対するグローバルアプローチのみです。詳細については、「ドメインセパレーションを使用したパフォーマンス分析へのアプローチ」を参照してください。

データテーブル、プロセステーブル、およびユーザーとして実行

実行ユーザーは、データ収集ジョブが実行されるドメインコンテキストを常に決定します。インシデント [incident] などのデータテーブルでのみスコアを収集する場合は、グローバルドメインのアドミニストレーターを 実行 ユーザーとして設定します。このユーザーとその下で実行されているデータコレクターは、すべてのデータテーブルレコードを完全に可視化できます。

プロセスドメインでスコアを収集する場合は、別のアプローチが必要です。プロセスドメインでは、ビジネスルールや SLA などのプロセスレコードを定義するのが一般的です。この場合、グローバル管理者である 実行 ユーザーは、これらのテーブルのグローバル ドメイン レコードのみを表示できます。この制限は、たとえば contract_sla のような SLA テーブルへの結合が行われた場合など、データベースビューを通じて収集されるスコアにも影響します。このような場合は、関連するプロセスドメインを明示的に表示できるユーザーを 実行 ユーザーとして設定します。

収集、ロールアップ、および集計のオプション

ドメイン設定レコードは、ドメインレコードがスコアに寄与する方法に柔軟性を提供します。ドメインサポートプラグインが利用可能になる前は、子ドメインのレコードは「ロールアップ」され、親ドメインのスコアに寄与していました。ドメインサポートプラグインには、子ドメインのレコードの処理方法に関する追加オプションが用意されています。

- 個々の子ドメインからスコアを収集するかどうかを選択します。
- 子ドメインのスコアを親ドメインのスコアにロールアップするかどうかを選択します。個々のスコアの収集の有無にかかわらず、子ドメインスコアをロールアップできます。
- 子ドメインから親ドメインにスコアをロールアップする場合は、すべての子ドメインをロールアップするか、ドメイン構成に明示的に含まれているもののみをロールアップするかを選択します。
- 収集された個々のドメインスコアをすべて集計して集計スコアにするかどうかを選択します。このスコアは別のドメインに保存されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の表は、親ドメインと 3 つの子顧客ドメインを持つさまざまな構成について収集されるスコアを示しています。このテーブルには集計値も表示されます。

3 つの子を持つ単一の親ドメインのドメイン構成の例

構成	親ドメイン:MSP					
	子ドメイン:顧客			**MSP** には顧客が含まれている		
	A	**B**	**C**	**MSP**	顧客	集計
			データ			
新しいインシデントレコード	30	100	50	20	0	-
			結果			
アグリゲートオプションなし	-	-	-	20	-	-
アグリゲートオプションなし + アグリゲート	-	-	-	20	-	20
子の収集	30	100	50	20	0	-
子の収集 + 集計	30	100	50	20	0	200
子の収集 + 選択したドメインのみをロールアップ (A および C)	30	100	50	100	80	-
子の収集 + 選択したドメインのみのロールアップ (A および C) + 集計	30	100	50	100	80	200
子の収集 + すべての子ドメインをロールアップ	30	100	50	200	180	-
子の収集 + すべての子ドメインのロールアップ + 集計	30	100	50	200	180	380
選択したドメイン (A および C)	-	-	-	100	-	-

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3 つの子を持つ単一の親ドメインのドメイン構成の例 (続く)

構成	親ドメイン:MSP					
	子ドメイン:顧客			**MSP** には顧客が含まれている		
	A	**B**	**C**	**MSP**	顧客	集計
のみをロールアップ						
選択したドメインのみをロールアップ (A および C) + アグリゲート	-	-	-	100	-	100
すべての子ドメインをロールアップ	-	-	-	200	-	-
すべての子ドメインをロールアップ + 集計	-	-	-	200	-	200

ドメイン構成レコード

パフォーマンスアナリティクス – Domain Separation Support プラグインは、ドメイン構成 [pa_domain_configurations] テーブルをインスタンスに追加します。各ドメイン構成の詳細は、これらのレコードのいずれかに保存されます。

インスタンス間でのレコードの転送

更新セットを使用して、インスタンス間でドメイン構成を転送します。ドメイン構成で [集計の収集] が有効になっている場合は、集計ドメインも個別に転送します。詳細についてはスコア集計を使用するドメイン構成の転送を参照してください。

ドメイン構成の作成

ドメイン構成を作成して、スコアを収集するドメインと、ドメイン階層内にスコアを格納する方法を定義します。

始める前に
必要なロール:pa_admin または admin
パフォーマンス分析 - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

手順

移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ドメイン構成 新しいレコードを作成します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
構成タイプ	この構成に含めるドメインを決定する方法を指定します。 特定のグループに関連付けられた既存の可視化ドメインに基づいて、そのグループに表示されるすべてのドメインを含めるには、[可視化グループ] を選択します。 条件を使用してドメインを直接指定するには、[条件] を選択します。
可視化グループ	構成タイプが可視化グループの場合は、少なくとも 1 つの可視化ドメインを持つグループ [sys_user_group] を選択または作成します。このドメイン構成には、このグループで利用可能なすべてのヴィジビリティドメインが含まれます。ヴィジビリティドメインの詳細については、「 ヴィジビリティドメイン」および「包含ドメイン 」を参照してください。
条件	[構成タイプ] が [条件] の場合に、この構成に含まれるドメインを決定する条件を指定します。選択した条件がドメイン [domain] テーブルに適用されます。たとえば、すべての管理対象サービスプロバイダーのドメインを選択するには、[[タイプ][次の値に等しい][MSP]] を選択します。
アグリゲートを収集	指定したドメイン階層からのスコアを集計します。集計スコアは、ドメイン階層の外にあり、スコアのみを含む別のドメインに格納されます。 [集計の収集] が選択されているドメイン構成ごとに 1 つの集計ドメインが作成されます。このドメインの名前は、読み込み専用の [集計ドメイン] フィールドに表示されます。 集計ドメインは、パフォーマンスアナリティクスの集計コンテナ ドメインの子として格納されます。
子の収集	指定したドメインの子からスコアを収集するには、このオプションを選択します。指定したドメインの直接の子のドメインだけでなく、すべての子ドメインからスコアが収集されます。 子ドメインから収集されたスコアは、そのドメインに格納されます。
ロールアップ	子ドメインの収集されたスコアを階層内の最上位の親ドメインにロールアップするには、このオプションを選択します。
ロールアップタイプ	指定したドメインとそのすべての子ドメインからスコアをロールアップするには、[すべての子ドメイン] を選択します。ドメイン構成に明示的に含まれている子ドメインからのみスコアをロールアップするには、[選択したドメインのみ] を選択します。可視化グループの場合、ドメイン構成に子ドメインが明示的に含まれます (子ドメインとその親ドメインがグループの可視化ドメイン内にある場合)。条件の場合、条件によってそのドメインとその親ドメインが選択されている場合、ドメイン構成には子ドメインが明示的に含まれます。

関連情報

ドメインセパレーションのセットアップと管理

データ収集ジョブへのドメイン構成の関連付け

ドメイン構成で指定されたドメインから パフォーマンスアナリティクス インジケータースコアを収集するには、そのドメイン構成を収集ジョブに関連付けます。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin
パフォーマンス分析 - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

重要:
ドメイン構成が使用されているかどうかに関係なく、[実行 ユーザー] は常にデータ収集ジョブが実行されるドメインコンテキストを決定します。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ジョブ.
2. データ収集ジョブを選択します。
3. 「ドメイン構成」関連リストで、「編集」をクリックします。
4. このジョブに関連付けるドメイン構成を選択します。
   構成に含まれるドメインごとに個別のデータ収集ジョブが実行されます。
5. [保存] をクリックします。
6. オプション: ドメイン構成の [順番] を変更します。
   複数のドメイン構成が収集ジョブに関連付けられている場合、含まれているドメインの重複が原因で、スコアが正しく収集されない場合があります。重複しているドメインでは、[順番] の値が最も大きいドメイン構成の収集されたスコアのみが保持されます。

   ヒント:
   単一のジョブに複数のドメイン構成を使用する場合は、各ドメイン構成で一意のドメインのセットが指定されていることを確認します。

ダッシュボードへのドメイン構成の関連付け

ダッシュボードにドメイン ピッカーを表示して、そのダッシュボードのユーザーが特定のドメインのスコアを表示できるようにします。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin
パフォーマンス分析 - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

このタスクについて
ダッシュボードでドメイン固有のスコアを表示するには、ユーザーにドメイン構成内のすべてのドメインの可視化が必要です。

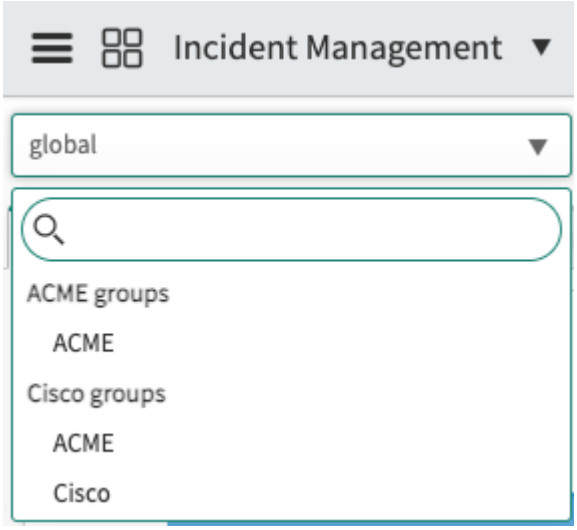
手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ダッシュボード管理.
2. ダッシュボードを選択します。
3. [ドメイン構成] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. このダッシュボードに関連付けるドメイン構成を選択します。
5. [保存] をクリックします。

タスクの結果
ドメイン構成内のすべてのドメインを表示できるユーザー (アドミンなど) は、ドメインを選択できます。ダッシュボードのレポートとウィジェットには、そのドメインのスコアと値のみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のタスク
ドメインピッカーを使用してダッシュボードから アナリティクスハブ を開くと、選択したドメインについて収集されたスコアのみが表示されます。追加するターゲット、しきい値、またはコメントは、現在のドメインに自動的に関連付けられます。[スコアを編集] オプションは使用できません。

スコア集計を使用するドメイン構成の転送

スコアを集計するように構成されたパフォーマンスアナリティクスドメイン構成をインスタンス間で転送するには、構成と集計ドメインの両方を転送します。

始める前に
更新セットを使用してドメイン構成を転送します。更新セットを使用してインスタンス間で構成を転送する方法の詳細については、「 システムアップデートセット 」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. ドメイン構成の転送元のソース インスタンスに、admin としてログインします。
2. 移動先 データコレクタ > ドメイン構成.
3. 更新セットで転送したドメイン構成レコードを開きます。
4. フォームのヘッダーを右クリックし、**[XML** 表示] を選択します。
5. aggregate_domain要素の値である sys_id をコピーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.


```
▼<xml>
  ▼<pa_domain_configurations>
    <aggregate_domain
    display_value="OpCos">676a49440fa8060094a9716ce1050e14</aggregate_domain>
    <aggregate_domain_parent display_value="PA aggregation
    container">a42da8e7d70022006ecfa3b20e61037f</aggregate_domain_parent>
    <collect_aggregate>true</collect_aggregate>
    <collect_children>true</collect_children>
    <conditions table="domain"/>
    <domain_table>domain</domain_table>
    <name>SILVA PA OPCOS</name>
    <roll_up>true</roll_up>
    <roll_up_type>roll_up_children</roll_up_type>
    <sys_class_name>pa_domain_configurations</sys_class_name>
    <sys_created_by>laetitia.dano@servicenow.com</sys_created_by>
    <sys_created_on>2018-02-15 12:11:40</sys_created_on>
    <sys_customer_update>true</sys_customer_update>
    <sys_id>1b30e2e94f589300a02a4c318110c7f7</sys_id>
    <sys_mod_count>4</sys_mod_count>
    <sys_name>SILVA PA OPCOS</sys_name>
    <sys_package display_value="Global" source="global">global</sys_package>
    <sys_policy/>
    <sys_replace_on_upgrade>false</sys_replace_on_upgrade>
    <sys_scope display_value="Global">global</sys_scope>
  ▼<sys_update_name>
      pa_domain_configurations_1b30e2e94f589300a02a4c318110c7f7
    </sys_update_name>
    <sys_updated_by>laetitia.dano@servicenow.com</sys_updated_by>
    <sys_updated_on>2018-06-05 15:11:06</sys_updated_on>
    <type>visibility_group</type>
    <visibility_group display_value="SILVA PA OPCOS" name="SILVA PA
    OPCOS">e3bf9aa54f589300a02a4c318110c75d</visibility_group>
  </pa_domain_configurations>
</xml>
```


6. 移動先 ドメイン管理 > ドメイン.
7. 転送されたドメイン構成からコピーした sys_id でドメインのリストをフィルタリングします。
8. フィルタリングされたドメインを開き、コンテキスト メニューからドメイン レコードを XML にエクスポートします。
9. ターゲット インスタンスに admin としてログインします。
10. 移動先 ドメイン管理 > ドメイン.
11. コンテキスト メニューから、ドメイン レコードの XML ファイルをソース インスタンスからインポートします。

タスクの結果

転送されたドメインのデータ収集ジョブを実行できます。

PADomainUtils - グローバル

`PADomainUtils` API を使用すると、同じインスタンス上の異なるドメイン間でパフォーマンスアナリティクスレコードをコピーできます。

サーバースクリプトでこの API を使用して、インジケーターやブレークダウン、ダッシュボードなどの パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインにコピーします。この API を使用すると、1 つのドメインに パフォーマンスアナリティクス レコードを作成し、そのレコードを任意の数の追加ドメインにコピーできます。

注:
この API では、レコードをグローバル ドメインにコピーすることはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

⚠ 警告:
設定レコードを別のドメインに移動すると、スコアにアクセスできなくなります。

PADomainUtils を使用するには、次の要件を満たす必要があります。

- パフォーマンスアナリティクス を有効にする必要があります。
- スクリプトを実行するユーザーには admin ロールが必要です。
- インスタンスがドメインセパレーションを使用する必要があります。
- グローバル ドメインからスクリプトを実行する必要があります。
- レコードを移動またはコピーする場合は、ソース ドメインとターゲット ドメインが異なる必要があります。

PADomainUtils - PADomainUtils()

新しい PADomainUtils オブジェクトのインスタンスを作成して、グローバルドメインから パフォーマンスアナリティクス のレコードを移動またはコピーします。

グローバルドメイン以外のドメインからレコードを移動またはコピーする際は、代わりに PADomainUtils(文字列 *domainFrom)* コンストラクターを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
// PADomainUtils initialized with the global domain
var globalUtils = new SNC.PADomainUtils();
```

PADomainUtils - PADomainUtils(文字列 domainFrom)

新しい PADomainUtils オブジェクトのインスタンスを作成して、指定したドメインから パフォーマンスアナリティクス のレコードを移動またはコピーします。

グローバルドメインから移動またはコピーする際は、代わりに *PADomainUtils()* コンストラクターを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
domainFrom	文字列	レコードのコピー元のドメイン

```
// c90d4b084a362312013398f051272c0d is the sys id of the ACME domain
var acmeUtils = new SNC.PADomainUtils('c90d4b084a362312013398f051272c0d');
```

PADomainUtils - setFoundation(ブーリアン foundation)

ハイブリッドドメイン構成の基盤レコードのみを移動またはコピーするには、このメソッドを使用します。

レコードの一部のタイプを親ドメイン内で管理し、一部のタイプを子ドメイン内で管理することで、ハイブリッドアプローチを実施できます。通常、親ドメインには基盤レコードが入り、子ドメインにはウィジェットなどの上位レベルのレコードが入ります。基盤レコードとみなされるのは以下のタイプのレコードです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- バケットグループ
- バケット
- スクリプト
- ブレークダウンソース
- インジケーターソース
- フィルター
- ブレークダウン
- 管理ソース
- 手動ブレークダウン
- ブレークダウンマッピング
- ブレークダウンの関連付け

他の パフォーマンスアナリティクス のレコード (ウィジェットやインジケーターなど) は、基盤レコードではありません。これらの追加レコードも移動またはコピーするには、このメソッドを false に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
foundation	ブーリアン	この PADomainUtils オブジェクトで基盤レコードのみをコピーまたは移動する必要があるかどうかを示します。

返される内容

タイプ	説明
DomainUtils	この関数を呼び出すオブジェクト。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils().setFoundation(true);
pa.copy('bb6b58b01f1310005a3637b8ec8b70dd');
```

PADomainUtils - setOverrides(ブール **overrides)**

レコードをコピーして新しいレコードの sys_override 値を元の親レコードに設定する前に、このメソッドを使用します。

このメソッドを使用すると、親ドメインのレコードを自動的に上書きできます。親レコードを上書きすることで、親レコードから子ドメインに影響を与えることはありません。レコードのコピー時にソースドメインがターゲットドメインの親でない場合は、sys_override 値を設定しても動作に影響はありません。レコードの移動時ではなく、レコードのコピー時にのみ上書きを指定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
overrides	ブーリアン	子ドメインのコピーされたレコードが、親ドメインのソースレコードを上書きする必要があることを示します。この値のデフォルトは true です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
DomainUtils	この関数を呼び出すオブジェクト。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils('c90d4b084a362312013398f051272c0d');
pa.setOverrides(false);
pa.copy('bb6b58b01f1310005a3637b8ec8b70dd');
```

PADomainUtils - copy(文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインにコピーします。

ダッシュボードまたはスケジュール設定済みジョブをコピーするには、「copyDashboard」および「copyJob」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
runAs	文字列	レコードのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// copy all the Performance Analytics records from global to user's domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.copy('09ff3d105f231000b12e3572f2b4775d');
```

PADomainUtils - copyJob(文字列 **paJob,** 文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクスのスケジュール設定済みデータ収集ジョブ レコードを別のドメインにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paJob	文字列	パフォーマンスアナリティクスのスケジュール設定済みデータ収集ジョブ [sysauto_pa] レコードの sys_id。
runAs	文字列	ジョブのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーが発生した場合はエラー メッセージが表示され、エラーがなければ空の文字列が返されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// No source domain needs to be set
var pa = new SNC.PADomainUtils();
// copy the '[PA Incident] Daily Data Collection job'
// set the 'run as' of the new record to be the 'acme.itil' user
// first argument is the sys_id of the sysauto_pa record
// the second is the sys_id of the acme.itil user record
pa.copyJob('82ba2023d7101100b96d45a3ce6103cd','797d14341f1310005a3637b8ec8b7010');
```

PADomainUtils - copyDashboard(文字列 **dashboardId,** 文字列 **runAs)**

ダッシュボードを別のドメインにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dashboardId	文字列	コピーするダッシュボードのSys_id。
runAs	文字列	ダッシュボードのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//Copy Incident Management dashboard from global to user's domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.copyDashboard('a64b7031d7201100b96d45a3ce610335','09ff3d105f231000b12e3572f2b4775d');
```

PADomainUtils - move(文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインに移動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
runAs	文字列	レコードのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// move all the Performance Analytics records from the global to the customers domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.move('774190f01f1310005a3637b8ec8b70ef')
```

PADomainUtils - isWriteable(文字列 **table,** 文字列 **id)**

table と sys_id によって識別される特定のレコードに書き込むことができるかどうかを評価します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	pa_indicators などの、クエリーするレコードを含むテーブルの名前。
ID	文字列	クエリするレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたレコードに書き込めることを示します。レコードが現在のユーザーのドメイン内に存在する場合は true を返します。レコードが存在しないか、別のドメインにある場合は false を返します。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.isWriteable('pa_incidents','cd8125b5140012007665a83e633b028d');
```

パフォーマンスアナリティクス の統合

パフォーマンスアナリティクスを外部システムと統合して、リモートデータに基づいてスコアを収集したり、アナリティクスハブ情報を公開したりします。

クエリの作成に REST API と Javascript API を使用できます。

パフォーマンス分析 **API** の例

次の例では、cURL コマンドを使用して REST クエリを実行し、各コマンドで返されるデータを表示する方法を示しています。以前の例で返されるデータを使用した次の各例は、最後の例を基に作成されます。

に表示されているすべてのインジケーターを返します アナリティクスハブ

一意のレコード識別子を含む、アナリティクスハブ に表示されるすべてのインジケーターのリストを要求できます。

注:
これらの例では、curl コマンドに macOS 構文を使用しています。Windows 構文は異なる場合があります。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards"
```

次の応答は、このページの他の例で使用されている [オープンインシデントの数] インジケーターのみを表示するように短縮されています。

```
//{
  "result" : [
...

    {
      "change_formatted" : "",
      "key" : false,
      "value_unit" : "",
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "value_formatted" : "",
    "period_title" : null,
    "gapperc" : null,
    "gap" : null,
    "target" : null,
    "period" : null,
    "target_formatted" : "",
    "favorite" : false,
    "direction_label" : "Minimize",
    "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
    "name" : "Number of open incidents",
    "value_color" : "#000000",
    "frequency_label" : "Daily",
    "change" : null,
    "gap_formatted" : "",
    "gapperc_formatted" : "",
    "value" : null,
    "unit" : {
      "display_value" : "#",
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "changeperc_formatted" : "",
    "direction" : 2,
    "frequency" : 10,
    "precision" : 0,
    "changeperc" : null,
    "indicator" : {
      "display_value" : "Number of open incidents",
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
  },
...

 ]
}
```


インジケーターの詳細を返す

sysparm_uuid パラメーターにインジケーター sys_id 値を指定することで、特定のインジケーターの アナリティクスハブ をクエリできます。この場合、アナリティクスハブ 内のすべてのインジケーターを取得したときに、最初の例で取得した [オープンインシデントの数] インジケーターの sys ID を使用します。


```
"uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
"name" : "Number of open incidents",
```


コマンド：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4"
```

応答：


```
{
  "result" : [
    {
      "change_formatted" : "",
      "key" : false,
      "value_unit" : "",
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "gapperc" : null,
      "gap" : null,
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "name" : "Number of open incidents",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
        "display_value" : "#",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce
6103ad",
        "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "changeperc_formatted" : "",
      "direction" : 2,
      "frequency" : 10,
      "precision" : 0,
      "changeperc" : null,
      "indicator" : {
        "display_value" : "Number of open incidents",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45
a3ce6103b4",
        "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
    }
  ]
}
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターのすべてのブレークダウンと集計を返す

sysparm_include_available_breakdowns および *sysparm_include_available_aggregates* パラメーターを true に設定することで、インジケーターの利用可能なブレークダウンと集計のリストをクエリすることができます。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4&sysparm_include_available_breakdowns=true&sysparm_include_availa
ble_aggregates=true"
```

応答：

```
{
  "result" : [
    {
      "key" : false,
      "change_formatted" : "",
      "aggregates" : [
        {
          "display_value" : "7d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/89ea4c11d7001100ba98
6f14ce6103dc",
          "value" : "89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
        },
        {
          "display_value" : "28d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/4dfa4c11d7001100ba986
f14ce6103e2",
          "value" : "4dfa4c11d7001100ba986f14ce6103e2"
        },
        {
          "display_value" : "30d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/3e409011d7001100ba98
6f14ce610319",
          "value" : "3e409011d7001100ba986f14ce610319"
        },
        // Aggregates truncated for brevity

      ],
      "changeperc" : null,
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "gapperc" : null,
      "value_unit" : "",
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "gap" : null,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "name" : "Number of open incidents",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "value_color" : "#000000",
    "frequency_label" : "Daily",
    "change" : null,
    "gap_formatted" : "",
    "gapperc_formatted" : "",
    "value" : null,
    "unit" : {
      "display_value" : "#",
      "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "breakdowns" : [
      {
        "display_value" : "Priority",
        "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
        "value" : "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
      },
      {
        "display_value" : "Category",
        "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe",
        "value" : "1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe"
      },
      {
        "display_value" : "Assignment Group",
        "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
        "value" : "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      // Information for State and Age indicators truncated

    ],
    "changeperc_formatted" : "",
    "frequency" : 10,
    "precision" : 0,
    "direction" : 2,
    "indicator" : {
      "display_value" : "Number of open incidents",
      "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
  }
 ]
}
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケータースコアの時系列集計を返す

sysparm_uuid 値と集計の sys_id を使用して、[7 日間分の集計を実行] 集計を アナリティクスハブ に適用できます。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4:89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
```

応答：


```
{
  "result" : [
    {
      "key" : false,
      "change_formatted" : "",
      "value_unit" : "",
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "aggregate" : {
        "display_value" : "7d running SUM",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/89ea4c11d7001100ba98
6f14ce6103dc",
        "value" : "89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
      },
      "gapperc" : null,
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "gap" : null,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc",
      "name" : "Number of open incidents / 7d running SUM",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
        "display_value" : "#",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce
6103ad",
        "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "changeperc_formatted" : "",
      "direction" : 2,
      "frequency" : 10,
      "precision" : 0,
      "changeperc" : null,
      "indicator" : {
        "display_value" : "Number of open incidents",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45
a3ce6103b4",
      "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
   }
 ]
}
```

ブレークダウンの要素を返す

ブレークダウンの各要素に関連付けられたスコアを取得し、それらの要素の sys_id を取得するには、ブレークダウンの sys_id とともに *sysparm_breakdown* パラメーターを使用します。この例では、[オープンインシデントの数] インジケーターのアサイン先グループブレークダウンの要素を取得します。前の例では、[オープンインシデントの数] インジケーターの sys_id が fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4 で、アサイン先グループブレークダウンの sys_id が baec0752bf130100b96dac808c0739ed になっています。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
```

応答は一連の indicator オブジェクトで構成され、それぞれに 1 つの element オブジェクトが含まれています。element オブジェクトにはそれぞれ、オブジェクトの名前と sys_id が含まれています。インジケーターに関する情報は各 indicator オブジェクトで同じであるため、この例では最初の indicator オブジェクトのみが詳細に示されています。

応答：

```
{
  "result":[
    {
      "indicator": {
        "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6
103b4",
        "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gap_formatted":"",
      "benchmarking":false,
      "frequency_label":"Daily",
      "changeperc_formatted":"0.0%",
      "direction_label":"Minimize",
      "precision":0,
      "breakdown": {
        "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808
c0739ed",
        "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      "personal_target":null,
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:unmatched",
    "frequency":10,
    "gap":null,
    "value_unit":"14",
    "indicator_frequency":10,
    "value":14.0,
    "indicator_aggregate":1,
    "facts_table": {
      "name":"incident",
      "label":"Incidents"
    },
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
    "direction":2,
    "element": {
      "display_value":"Unassigned",      //Element name

 "link":"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/unmatched",
      "value":"unmatched"               //No sys_id for unmatched scores
    },
    "period_title":"Jul 22",
    "period":"Jul 22",
    "target_formatted":"",
    "change":0.0,
    "gapperc_formatted":"",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^ORopened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript:gs.endOfToday()^state!=8",
    "realtime_enabled":true,
    "changeperc":0.0,
    "target":null,
    "unit": {
      "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "type":"formatted",
      "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "value_formatted":"14",           // Score where Assignment Group=Unassigned
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Unassigned",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":false,
    "personal_target_formatted":""
  },
  {"indicator": {

    "element": {
      "display_value":"Software",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a4dde73c6112278017a6a4ba
f547aa7",
       "value":"8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"    // sys_id of element Software
     },
     ...

     "value_formatted":"6",                    // Score where Assignment Group: Software
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Software",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
   },
   {"indicator": {
     ...

     "element": {
       "display_value":"Service Desk",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/d625dccec0a8016700a222a0f
7900d06",
       "value":"d625dccec0a8016700a222a0f7900d06"   // sys_id of element Service Desk
     },

     ...

     "value_formatted":"5",                    // Score for Assignment Group: Service Desk
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Service Desk",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
   },
   {"indicator": {

     ...

     "element": {
       "display_value":"Hardware",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a5055c9c61122780043563ef
53438e3",
       "value":"8a5055c9c61122780043563ef53438e3"   // sys_id for element Hardware
     },

     ...

     "value_formatted":"3",                    // Score for Assignment Group: Hardware
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Hardware",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   },
   {"indicator": {

 ...

     "element": {
       "display_value":"Network",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e",
       "value":"287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e"},  // sys_id for element Network

...

     "value_formatted":"3",                    // Score for Assignment Group: Network
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Network",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
   },
 ...
 ]
...
}
```

ブレークダウンと要素でフィルタリングされたインジケーターを返す

ブレークダウンを適用するには、ブレークダウンおよびブレークダウン要素 sys_id 値を *sysparm_uuid* パラメーターに付加します。この例では、優先度 1 インシデントを表示するためにデータがブレークダウンされています。優先度ブレークダウンの sys_id は 0df47e02d7130100b96d45a3ce610399 で、「インジケーターのすべてのブレークダウンと集計を返す」の例にあります。「1：重大」要素の sys_id を取得するには、「ブレークダウンのすべての要素を返す」と同じコマンドを実行しますが、アサイン先グループではなく優先度ブレークダウンを使用します。「1：重大」要素の sys_id は 5f012106db5123003ee8f93baf9619bd です。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:5f012106db5123003ee8f93baf9619bd"
```

応答：

```
{
// The request is made Dec 12. The
// score is 76, which is unchanged from
// Dec 11, and which exceeds the
// target of 70.
  "result": [
    {
      "indicator": {
        "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gap_formatted":"-6",
      "benchmarking":false,
      "frequency_label":"Daily",
      "changeperc_formatted":"0.0%",
      "direction_label":"Minimize",
      "precision":0,
      "breakdown": {
        "display_value":"Priority",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
        "value":"0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
      },
      "personal_target":null,
      "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
      "value_color":"#ff8c00",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:5f012106db5123003ee8f93baf9619bd",
      "frequency":10,
      "gap":-6.0,
      "value_unit":"76",
      "indicator_frequency":10,
      "value":76.0,
      "indicator_aggregate":1,
      "facts_table": {
        "name":"incident",
        "label":"Incidents"
      },
      "key":false,
      "indicator_frequency_label":"Daily",
      "direction":2,
      "element": {
        "display_value":"1 - Critical",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/5f012106db5123003ee8f93baf9619bd",
        "value":"5f012106db5123003ee8f93baf9619bd"
      },
      "period_title":"Dec 12",
      "period":"Dec 12",
      "target_formatted":"70",
      "change":0.0,
      "gapperc_formatted":"-8.6%",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^ORopened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript:gs.endOfToday()^state!=8^priority=1^EQ",
      "realtime_enabled":true,
      "changeperc":0.0,
      "target":70.0,
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "unit": {
      "display_value":"#",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "type":"formatted","value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "value_formatted":"76",
    "name":"Number of open incidents > Priority = 1 - Critical",
    "gapperc":-0.08571428571428572,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":true,
    "personal_target_formatted":""
  }
 ]
}
```


場所別にブレークダウンしたインジケーターを返す

パフォーマンス分析 API は、利用可能な場合に位置情報データを返します。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=656d5662eb23310065deac6aa206fee7"
```

応答：


```
{
 "result": [
  {
    ...
    "element": {
      "display_value": "San Diego",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/cmn_location/108752c8c611227501d
4ab0e392ba97f",
      "value": "108752c8c611227501d4ab0e392ba97f",
      "longitude": -117.15726,
      "latitude": 32.71533
    },
    ...
  }
  {
    ...
    "element": {
      "display_value": "Florida",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/cmn_location/8e3e85f037d0200044e
0bfc8bcbe5d14",
      "value": "8e3e85f037d0200044e0bfc8bcbe5d14",
      "longitude": -95.71289,
      "latitude": 37.09024
    },
    ...
  }
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 ]
}
```

第 1 および第 2 レベルのブレークダウンスコアを返す

複数のブレークダウンを適用するには、複数のブレークダウン sys_id を *sysparm_uuid* パラメーターに付加します。この例では、優先度 1 インシデントを表示するために優先度別にデータをブレークダウンし、データベース インシデントを表示するためにカテゴリ別にデータをブレークダウンしています。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597829 9a
805f3:1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe:9e418d4020033100766597829 9a805c1"
```

応答：

```
{
 "result": [
  {
   "value_formatted": "",
   "indicator": {
    "display_value": "Number of open incidents",
    "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a
3ce6103b4",
    "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
   },
   "gapperc": null,
   "change": null,
   "value_color": "#000000",
   "direction": 2,
   "target_formatted": "",
   "frequency": 10,
   "changeperc_formatted": "",
   "direction_label": "Minimize",
   "period_title": null,
   "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
   "name": "Number of open incidents / Priority / 1 - Critical / Category / Database",
   "value": null,
   "key": false,
   "gap_formatted": "",
   "element": {
    "display_value": "1 - Critical",
    "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/e590014020033100766597829
99a805f3",
    "value": "e590014020033100766597829 9a805f3"
   },
   "precision": 0,
   "element_level2": {
    "display_value": "Database",
    "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/9e418d4020033100766597829
99a805c1",
    "value": "9e418d4020033100766597829 9a805c1"
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "breakdown": {
      "display_value": "Priority",
      "link":
"http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
      "value": "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
    },
    "period": null,
    "favorite": false,
    "change_formatted": "",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "breakdown_level2": {
      "display_value": "Category",
      "link":
"http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe",
      "value": "1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe"
    },
    "target": null,
    "changeperc": null,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033
1007665978299a805f3:1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe:9e418d40200331007665978299a8
05c1",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "",
    "gap": null
  }
 ]
}
```


第 2 レベルのブレークダウンの日付の範囲のスコアを返す

すべての使用可能な日付の個々のスコアのリストを要求するには、*sysparm_include_scores* パラメーターを true に設定します。スコアの日付範囲を指定するには、*sysparm_from* パラメーターと *sysparm_to* パラメーターも使用します。この例では、第 1 レベルのブレークダウンと要素は [アサイン先グループ：ソフトウェア] (sys_id baec0752bf130100b96dac808c0739ed と 8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7) です。第 2 レベルのブレークダウンと要素は [優先度：1：重大] (sys_id 0df47e02d7130100b96d45a3ce610399 と e590014020033100766597829 9a805f3) です。2018 年 11 月 30 日以降のスコアのみが返されます。

コマンド：

```
curl -v -u "resttest:resttest" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4b
af547aa7:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597829 9a805f3&syspar
m_include_scores=true&sysparm_from=2018-11-30"
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

応答：


```
{
 "result": [
  { "indicator": {
      "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6
103b4",
      "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "gap_formatted":"",
    "benchmarking":false,
    "frequency_label":"Daily",
    "scores": [
     { "end_at":"2018-12-04",
       "period":"Dec 04",
       "value_formatted":"2",
       "start_at":"2018-12-04",
       "value":2.0
     },
     ...

     { "end_at":"2018-11-30",
       "period":"Nov 30",
       "value_formatted":"0",
       "start_at":"2018-11-30",
       "value":0.0
     }
    ],
    "changeperc_formatted":"",
    "direction_label":"Minimize",
    "precision":0,
    "breakdown": {                  //First-level breakdown
     "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808
c0739ed",
      "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "personal_target":null,
    "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73
c6112278017a6a4baf547aa7:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597 8
299a805f3",
    "frequency":10,
    "gap":null,
    "value_unit":"2",
    "indicator_frequency":10,
    "value":2.0,
    "indicator_aggregate":1,
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "direction":2,
    "element": {                    //First-level breakdown element
      "display_value":"Software",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7",
       "value":"8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"
    },
    "period_title":"Dec 04",
    "period":"Dec 04",
    "target_formatted":"",
    "change":2.0,
    "gapperc_formatted":"",
    "realtime_enabled":false,
    "changeperc":null,
    "target":null,
    "unit":{
      "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
       "type":"formatted",
       "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "value_formatted":"2",              //Second-level breakdown and element
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Software > Priority =
 e5900140200331007665978299a805f3",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"2",
    "favorite":false,
    "breakdown_level2": {
      "display_value":"Priority",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
       "value":"0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
    },
    "personal_target_formatted":""
   }
  ]
}
```


ブレークダウンと要素のブレークダウンの関連付けを返す

インジケーターに関連付けられたすべてのブレークダウンの関連付けの sys_id 値を取得するには、*sysparm_include_available_breakdowns* パラメーターを使用します。*sysparm_uuid* パラメーターには、第 1 レベルのブレークダウンの sys_id と、目的の関連付けを持っている要素を含めます。この例では、*sysparm_uuid* パラメーターには、アサイン先グループブレークダウンの sys_id とソフトウェア要素の sys_id が含まれています。アサイン先グループの sys_id は、すべてのブレークダウンと集計が返された例で取得されました。ソフトウェア要素の sys_id は、アサイン先グループのすべての要素が返された前の例で取得されました。アサイン先グループブレークダウンの sys_id は baec0752bf130100b96dac808c0739ed であり、ソフトウェア要素の sys_id は

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7 です。sys_id が fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4である [オープンインシデントの数] インジケーターのブレークダウンの関連付けが取得されます。

注:
[アサイン先グループ：未アサイン (Assignment Group: Unassigned)] など、ブレークダウンの要素値と一致しないインシデントのブレークダウンの関連付けを検索するには、要素 sys_id の代わりに文字列 unmatched を使用します。この場合、パラメーターは sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:unmatchedになります。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4b
af547aa7&sysparm_include_available_breakdowns=true"
```

応答：

```
{
  "result": [
    {
      "value_formatted": "37",
      "indicator": {
        "display_value": "Number of open incidents",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96
d45a3ce6103b4",
        "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gapperc": null,
      "change": 9.0,
      "value_color": "#455464",
      "direction": 2,
      "target_formatted": "",
      "frequency": 10,
      "changeperc_formatted": "32.1%",
      "direction_label": "Minimize",
      "period_title": "Jul 22",
      "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
      "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Software",
      "value": 37.0,
      "key": false,
      "gap_formatted": "",
      "element": {
        "display_value": "Software",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ee6fea9fe198100
ada7950d0b1b73",
        "value": "8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"
      },
      "precision": 0,
      "breakdowns": [
        // Information about each breakdown

      ],
      "breakdown_relations": [
        {
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "Child Groups",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/301fd511eb
23310065deac6aa206fe31",
        "value": "301fd511eb23310065deac6aa206fe31"
       },
       {
        "display_value": "Parent Group",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/790b6e11eb
23310065deac6aa206fe1c",
        "value": "790b6e11eb23310065deac6aa206fe1c"
       },
       {
        "display_value": "Sibling Groups",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/15e15a12eb
233100871aac6aa206fe59",
        "value": "15e15a12eb233100871aac6aa206fe59"
       }
     ],
     "breakdown": {
       "display_value": "Assignment Group",
       "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b
96dac808c0739ed",
       "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
     },
     "period": "Jul 22",
     "favorite": false,
     "change_formatted": "9",
     "unit": {
       "display_value": "#",
       "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f1
4ce6103ad",
       "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
     },
     "frequency_label": "Daily",
     "target": null,
     "changeperc": 0.32142857142857145,
     "uuid":
 "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112
278017a6a4baf547aa7",
     "gapperc_formatted": "",
     "value_unit": "6",
     "gap": null
   }
 ]
}
```


ブレークダウンの関連付けを使用してインジケーターを返す

ブレークダウンの関連付けを使用するには、*sysparm_uuid* パラメーターにインジケーター、ブレークダウン、および要素の sys_id 値を含め、*sysparm_breakdown_relation* パラメーターに

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウンの関連付けの sys_id を含めます。この例では、前の例の [アサイン先グループ：ソフトウェア] の兄弟グループ値が返されます。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7&sysparm_breakdown_relation=15e15a12eb233100871aac6aa206fe59"
```

応答：

```
{
 "result": [
  {
   "indicator": {
    "gap_formatted":"",
    "benchmarking":false,
    "frequency_label":"Daily",
    "changeperc_formatted":"0.0%",
    "direction_label":"Minimize",
    "precision":0,
    "breakdown": {
     "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "personal_target":null,
    "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty",
    "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2",
    "frequency":10,
    "gap":null,
    "value_unit":"0",
    "indicator_frequency":10,
    "value":0.0,
    "indicator_aggregate":1,
    "facts_table": {
     "name":"incident",
     "label":"Incidents"
    },
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
    "direction":2,
    "element": {
     "display_value":"Application Development",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2",
      "value":"0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2"
    },
    "period_title":"Dec 03",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "period":"Dec 03",
    "target_formatted":"",
    "change":0.0,
    "gapperc_formatted":"",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^O
ROpened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript
:gs.endOfToday()^state!=8^assignment_group=0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2^EQ",
    "realtime_enabled":true,
    "changeperc":0.0,
    "target":null,
    "unit": {
      "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103a
d",
       "type":"formatted",
       "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
     },
    "value_formatted":"0",
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Application Development",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":false,
    "personal_target_formatted":""
   }
   // Followed by an indicator object with an element object for every element in the Sibling
 Group
 ]
}
```

ブレークダウンの要素のフィルタリングされたセットを返す

パフォーマンスアナリティクス要素フィルターレコードのsys_idで **sysparm_elements_filter** パラメーターを使用して、アナリティクスハブデータにフィルターを適用できます。

「」の説明に従って、要素フィルターレコードから要素フィルターのsys_idを取得します。

この例では、要素フィルターが [[Parent][is][Database]] の条件でグループブレークダウンソースに適用されます。この要素フィルターの sys_id は 7b9eb563eb11020065deac6aa206fe11 です。この例では、要素データベースを親として持つアサイン先グループブレークダウンの要素を取得します。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=baec0752bf130100b96dac808c0739ed&syspa
rm_elements_filter=7b9eb563eb11020065deac6aa206fe11"
```

応答：

```
{
  "result": [
    {
      "value_formatted": "37",
      "indicator": {
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
      "display_value": "Number of open incidents",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "gapperc": null,
    "change": 9.0,
    "value_color": "#455464",
    "direction": 2,
    "target_formatted": "",
    "frequency": 10,
    "changeperc_formatted": "32.1%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database",
    "value": 37.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
      "display_value": "Database",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
      "value": "287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "9",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.32142857142857145,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "37",
    "gap": null
  },
  {
    "value_formatted": "20",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "indicator": {
      "display_value": "Number of open incidents",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    // Database Atlanta
    "gapperc": null,
    "change": 4.0,
    "value_color": "#455464",
    "direction": 2,
    "target_formatted": "",
    "frequency": 10,
    "changeperc_formatted": "25.0%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database Atlanta",
    "value": 20.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
      "display_value": "Database Atlanta",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b",
      "value": "db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "4",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.25,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "20",
    "gap": null
  },
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  {
    "value_formatted": "19",
    "indicator": {
      "display_value": "Number of open incidents",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96
d45a3ce6103b4",
      "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    ...

    // Database San Diego
    "gapperc": null,
    "change": 0.0,
    "value_color": "#455464",
    "direction": 2,
    "target_formatted": "",
    "frequency": 10,
    "changeperc_formatted": "0.0%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database San Diego",
    "value": 10.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
      "display_value": "Database San Diego",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/db53a9290a0a0a650
091abebccf833c6",
      "value": "db53a9290a0a0a650091abebccf833c6"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
"http://localhost:8080/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739
ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "0",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"http://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14
ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.0,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:db53a9290a0a0
a650091abebccf833c6",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "10",
    "gap": null
   }
  ]
}
```

スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクスは、パフォーマンスアナリティクスデータのクエリのためのスクリプトと API で使用するための、いくつかのスクリプト オブジェクトを提供しています。このスクリプトはブレークダウンマッピングとして機能するか、インジケーターから値を計算します。

スクリプトに関するヒント

- 一般に、スクリプトは、 score_start 変数と score_end 変数を使用して、日付処理を伴う経過時間などのインジケーターをサポートする場合にのみ使用します。
- 不要なフィールドを制限します。追加のドット連結フィールドを含めるたびに、クエリに追加の結合が追加されます。
- パフォーマンスを向上させるために、手動によるブレークダウンをデータベースビューに置き換えてみてください。
- 一般的な関数にはスクリプトインクルードを使用してください。詳細については、「スクリプトインクルード」を参照してください。
- データがレポートに必要な構造になっていない場合は、スクリプトを作成する代わりに、運用テーブルに「レポートフィールド」を追加してみてください。詳細については、この コミュニティの投稿 を参照してください。
- パフォーマンスアナリティクススコアまたはスナップショットテーブルを照会するバックグラウンドスクリプトを実行している場合、アプリケーションに適切なロールがないかぎり、スコープ対象のアプリケーションに関するデータにアクセスすることはできません。

⚠ 警告:
パフォーマンスアナリティクス スクリプトまたは式インジケーターで *GlideRecords* または *GlideAggregates* を使用しないでください。必要なものを取得するためにこれらの操作を使用する必要がある場合もありますが、これらはコストがかかり、数十万回実行する可能性があります。使用する前に、代替が存在しないことを確認してください。

ブレークダウンマッピングとインジケータースクリプト

ブレークダウンマッピング スクリプトは、通常、ブレークダウン要素の sys_id または整数を返し、スコアをバケットに入れます。インジケーター スクリプトは、1 つ以上のフィールドから計算されたスコアを返します。同じスクリプトを、ブレークダウンマッピング スクリプトとインジケーター スクリプトの両方として機能させることができます。

Example: ブレークダウンスクリプト

たとえば、提供されている Incident.Age.Days スクリプトは、インシデント テーブルの opened_at フィールドを使用します。このスクリプトは、インシデント経過時間範囲 (日数) バケット グループをブレークダウン ソースとして使用する、経過時間ブレークダウン用のブレークダウンマッピングとして機能します。

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、 current.opened_at 現在評価されているレコードが開かれたときのタイムスタンプを取得します。score_end スクリプト変数はデータコレクターから取得され、収集される期間にバインドされます。たとえば、月次インジケーターが収集されている場合、 score_end は月末です。ここでは、インシデントがオープンされたときのタイムスタンプが、収集期間の終わりのタイムスタンプから減算され、結果が日に変換されます。

この例には、このスクリプトの [フィールド] フィールドで指定されている Incident.opened_at フィールドが含まれています。score_startとscore_endは、[フィールド] フィールドで定義せずに使用できます。

関連情報

ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成

サーバースコープ API リスト

パフォーマンス分析でのスクリプトの作成

スクリプトを作成するには、まず、スクリプトを適用するファクト テーブルを選択し、明示的にフィールドを選択します。

始める前に

必要なロール:admin、pa_adminパフォーマンスアナリティクステーブル内のスコープ対象アプリケーションのデータにアクセスするには、そのアプリケーションに対する適切な admin ロールも必要です。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > スクリプト をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. スクリプトにわかりやすい [名前] を付けます。
3. スクリプトを適用する [ファクトテーブル] を選択します。
   これと同じファクト テーブルを使用するインジケーターのみが、このスクリプトを使用できます。
4. スクリプトで使用されるファクト テーブルの [フィールド] がある場合は、選択します。
   フィールドはラベルで選択します。
5. スクリプトを記述します。
   スクリプトは、次の関係と制限に従う必要があります。
   - このフォームとスクリプト変数で選択されているフィールドのみを含めることができます。詳細については、パフォーマンスアナリティクス変数に関するセクションを参照してください。
   - スクリプトでフィールドを使用する場合は、列名を使用します。必要に応じて、ファクト テーブルの列名をルックアップします。
   - データベース ビューのフィールドを使用する場合は、プリフィックスを含める必要があります。たとえば、incident_sla データベース ビューには、taskslatable というプリフィックスを持つ task_sla テーブルが含まれています。task_sla には、business_duration 列が含まれています。incident_sla データベースビューから business_duration フィールドを使用するには、*`taskslatable_business_duration`* として記述します。データベース ビューにアクセスできない場合は、システム管理者にプリフィックスの検索を依頼してください。

次のタスク

スクリプトを作成したら、スクリプトを使用するブレークダウンマッピングまたはインジケーターを作成します。ブレークダウンマッピングまたはインジケーターフォームを開くには、ブレークダウンマッピングまたはインジケータータブで [新規] をクリックします。これらのタブには、このスクリプトを使用するブレークダウンマッピングとインジケーターが一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクス の変数

いくつかの変数は、 パフォーマンスアナリティクス スクリプトと式インジケーターで使用できます。

パフォーマンスアナリティクススクリプトと式では、次の変数を使用できます。

- score_start:最初のインジケータースコア収集の日の最初の 1 秒。スクリプトの場合、時間は、収集ジョブの実行ユーザーのタイムゾーンとデータベースのタイムゾーン (GMT) の時差に基づいて計算されます。計算式の場合、時間は計算式を実行するユーザーのタイムゾーンと GMT の時差に基づいて計算されます。ユーザーは、ダッシュボードウィジェットまたは アナリティクスハブで式インジケーターを表示して式を実行します。
- score_end:前回のインジケータースコア収集の日の最後の秒。時間は score_startと同じ方法で計算されます。
- pa:一連の アナリティクスハブ 属性とメソッドを提供する、スクリプトでは使用できない式変数。

スクリプトでは、スコア収集の開始変数と終了変数は *GlideElementGlideObject* オブジェクトです。これらの変数から *GlideDateTime* オブジェクトを取得するには、次の例のように *getGlideObject()* を呼び出します。 gs.log("Score main = " + score_end.getGlideObject().getDayOfWeek());

式では、スコア収集の開始変数と終了変数は既に *GlideDateTime* オブジェクトになっています。したがって、次の例のように、 *getGlideObject()* を呼び出さずに変数を直接使用できます。 gs.log("Score main = " + score_end.getDayOfWeek());

開始変数と終了変数の値は、収集される期間にバインドされます。たとえば、月次インジケーターが収集されている場合、 score_end は月末です。

score_startとscore_endの値は、関連するユーザーのタイムゾーンに基づいて計算されます。パフォーマンスアナリティクススクリプトの場合、これは収集ジョブの実行タイムゾーンです。式の場合、これはダッシュボードウィジェットまたは アナリティクスハブで式インジケーターを表示するユーザーのタイムゾーンです。したがって、タイムゾーンが異なれば、式の score_start や score_end の日付も異なる場合があります。

関連情報

数式のアナリティクスメソッドを取得する

ユーザーのタイムゾーンが異なることによるscore_start/終了の変更

外部データとのパフォーマンス分析の使用

外部データソースに対するパフォーマンス分析により、ServiceNow インスタンスにないデータに対して詳細な分析を実行できます。

外部データのスコアを収集する場合、パフォーマンス分析は、インスタンスに外部データのスコアとブレークダウン要素を保存します。分析される生データは外部データソースに残り、インスタンスにはコピーされません。この機能を使用すると、基礎となるデータを複製せずにメトリックを分析および共有できます。

パフォーマンス分析の外部データ収集では、次の 3 つのタイプの構成レコードが使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スコアを収集するために使用される JDBC データソースと SQL ステートメントを指定する外部インジケーター
- ブレークダウン要素を指定するために使用される JDBC データソースと SQL ステートメントを指定する外部ブレークダウン
- 外部インジケーターとブレークダウンの関係を定義する外部インジケーター ブレークダウンと、そのインジケーターの各ブレークダウン要素のスコアを収集するために使用される SQL ステートメント

外部データでサポートされているデータベース形式

パフォーマンスアナリティクス は、 ServiceNow がデフォルトでサポートするデータベース形式のみをサポートしています。サポートされていないデータベース形式の JDBC ドライバーを追加した場合、 パフォーマンスアナリティクス はそのデータベース形式を外部データソースとしてサポートしません。

サポートされているデータベース形式

SQL Server タイプ	ポート
MySQL	3306
Microsoft SQL Server	1433
Oracle	1521

関連情報

JDBC タイプのデータソース

外部データのインジケーターの作成

外部インジケーターを作成して、評価するデータと、インジケーター スコアを決定するために使用される SQL ステートメントを定義します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 外部インジケーターをクリックし、[**New**] をクリックします。
2. インジケーターにわかりやすい [名前] を付けます。
3. [周期] フィールドに、[日次]、[週次]、または [月次] などの、インジケーターのデータ ポイントの周期を指定します。
4. [ソース] タブで、スコアを収集する [データソース] を選択します。

   パフォーマンス分析では、JDBC タイプのデータ ソースのみがサポートされています。データ ソースの設定については、データソースのドキュメントを参照してください。

   注:
   データソースで定義された [SQL ステートメント] と [インポート・セット] の両テーブルはパフォーマンス分析では使用されません。

5. スコア値を計算するために使用する **[SQL** ステートメント] を指定します。
   SQL ステートメントは、別名 *value* を使用して集計値を返し、日付フィールドに基づいてデータをフィルター処理する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:
集計の別名は、[値] である必要があります。

Example
単純なインジケーターの場合、SQL ステートメントは SELECT count(*) AS value FROM... のようになります。ここで、DATE(date_field) >= DATE(${start_at}) です。

より複雑な標識の場合は、DATE が DATEADD が戻す日付より前であるという条件も必要になる場合があります。ここで、複合データを含む月次インジケーターには、SQLステートメント SELECT count(*) AS value FROM... ここで、DATE(date_field) >= DATE(${start_at}) AND DATE(date_field) < DATEADD(month, 1, ${start_at})<c0/>。

6. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

ヒント:
可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターは、最大化または最小化に設定する必要があります。

7. オプション: 次のインジケータープロパティのいずれかを指定します。

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) [価格]、[通貨]、または [FX 通貨] フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。 単位として % または期間を選択する場合は、インジケーターへの適用から一部のタイプの時系列を除外することを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時間は [日]、[時間]、および [分] で指定されます。システムプロパティ *glide.ui.duration.seconds.enabled* が存在し、true である場合は、秒も表示されます。この場合、インスタンスのすべての時間フィールドにも秒が表示され、 Microsoft Excel へのエクスポートに含まれます。
Precision (精度)	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。 このフィールドは、単位が [参照通貨を使用] の場合は使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
数値形式	数千から五分数までの多数の略語に使用されます。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。のインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > アナリティクスハブ.プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。

8. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびユーザー、グループ、またはロール別にインジケーターの表示を制限するかどうかを設定します。ライブラリへの共有を有効にすると、インジケーターが次の場所で使用できるようになります。
   - プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスライブラリの KPI のリスト
   - KPI 詳細
   - アナリティクスハブに完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスに限ります プラットフォームアナリティクス
9. オプション: [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

[その他] タブのフィールド

フィールド	説明
デフォルトの時系列	(Optional) インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の移動平均などの事前定義された分析関数。 詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターには、デフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	(Optional) ライブフィードグループのライブグループプロフィール [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取るようにします。 Now Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。
注文	(Optional) インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。最小値の

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

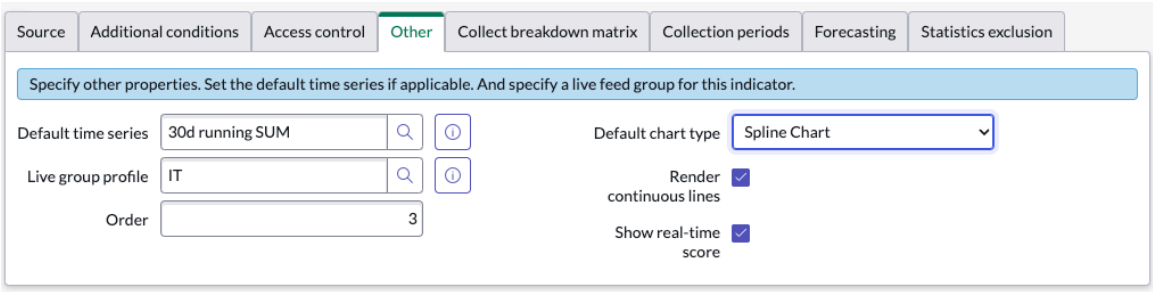
フィールド	説明
	インジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターにのみ数値を入力すると、インジケーターが表示される順序が a から z に戻ります。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。
デフォルトのグラフ種別	(Optional) このインジケーターのデフォルトのチャート タイプ (行、列、スプライン、または領域) を設定します。このインジケーターの アナリティクスハブ または KPI 詳細 を初めて開くときは、デフォルトのグラフタイプが使用されます。アナリティクスハブまたはKPI 詳細でグラフの種類が変更された場合、その設定が記憶されます。
実線のレンダリング	(Optional) 選択すると、特定の日付にデータがない場合でも、このインジケーターの アナリティクスハブ と KPI 詳細 に切れ目のないデータ線が表示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットを表示する場合や、在庫情報など定期的に更新されないデータを表示する場合に便利です。 インジケーター、 アナリティクスハブ 、または KPI 詳細に時系列が設定されている場合、実線は表示されません。
リアルタイムスコアを表示	(Optional) 選択すると、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 に、このインジケーターのスコアと関連レコードの現在のステータスがリアルタイムで表示されます。第三者のソースからのデータを使用した統合などインジケーター データがリアルタイムで利用できない場合は、このチェックボックスをオフにします。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。 注意:リアルタイムスコアを表示するには、インジケーターまたは関連するインジケーター ソースに条件を設定する必要があります。

Example
たとえば、[その他] タブでは、インジケーターを次のように設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- デフォルトでは、ウィジェットには 30 日間分のスコアの合計が表示されます。このデフォルトは、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、ダッシュボードウィジェット、またはワークスペースのデータの可視化で上書きできます。
- IT Live グループにインジケーターの変更が通知されます。
- インジケーターは、インジケーターの アナリティクスハブ リストの 3 番目にリストされています。他のすべてのインジケーターにも位置が指定されています。この設定は、 KPI 詳細上のインジケーターの順序には影響しません。
- デフォルトのグラフの種類は、 アナリティクスハブ と KPI 詳細の [スプライン] です。
- インジケーターのデータ行は、データが欠落している場合でも途切れることなく表示されます。
- アナリティクスハブとKPI 詳細は、このインジケーターのスコアをリアルタイムで表示できます。



10. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。
11. インジケーターを保存します。
12. **[Test Collection]** を押します。
このアクションは、インジケーターのメインクエリをテストします。

次のタスク
インジケーターのブレークダウン スコアを収集する場合は、外部ブレークダウンを定義し、インジケーターに関連付けます。

外部データを使用したブレークダウンの作成

外部ブレークダウンを作成して、外部インジケーター スコアのブレークダウンに使用できる要素を定義します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
デフォルトでは、外部ブレークダウンには最大で 5000 個の要素を含めることができます。この制限は、プロパティ `com.snc.pa.dc.max_external_elements` によって制御されます。

外部ブレークダウン要素は、pa_ext_elements テーブルに格納されます。

手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 外部ブレークダウン.
2. [新規] をクリックします。
3. ブレークダウン要素として使用するレコードが含まれている [データソース] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンス分析では、JDBC タイプのデータ ソースのみがサポートされています。データ ソースの設定については、データソースのドキュメントを参照してください。

> **注:**
> データソースで定義された [SQL ステートメント] と [インポート・セット] の両テーブルは パフォーマンス分析では使用されません。

4. **[SQL** ステートメント] を指定して、ブレークダウン要素を選択します。
   SQL ステートメントは、エイリアス *id* を持つ各ブレークダウン要素の一意のキーと、エイリアス *name* を持つ要素表示名 (SELECT guid AS id, user_name AS name FROM..." など) を返す必要があります。

   > **重要:**
   > 一意のキーの別名は **[ID]**、表示名の別名は [名前] である必要があります。

5. ブレークダウンを保存します。
6. **[Test Collection]** を押します。
   このアクションは、ブレークダウン要素を選択するクエリをテストします。

次のタスク

ブレークダウン要素の収集方法を定義したら、外部ブレークダウンを 1 つ以上の外部インジケーターに関連付けます。

外部ブレークダウンを使用するための外部インジケーターの構成

外部インジケーターと外部ブレークダウンを関連付けて、インジケーターのブレークダウンスコアの収集方法を定義します。

始める前に

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 外部インジケーター.
2. [インジケーター] を選択します。
3. [ブレークダウン] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 外部の [ブレークダウン] を選択してこのインジケーターに適用します。
5. **[SQL** ステートメント] フィールドに、各ブレークダウン要素のスコア値を計算する SQL ステートメントを入力します。
   SQL ステートメントには、COUNT などの、インジケーター SQL ステートメントと同じ集計関数を使用する必要があります。SQL ステートメントは、別名 *value* を持つ集計値と別名 **ID** を持つブレークダウン要素の一意のキーを返す必要があります。また、SQL ステートメントは、ブレークダウン要素の値を含む列でデータをグループ化する必要があります。

   例: `SELECT count(*) AS value, guid as id FROM... WHERE DATE(date_field) >= DATE({$start_at}) GROUP BY GUID`

   > **重要:**
   > 集計の別名は [値]、ブレークダウンの一意のキーの別名は **[ID]** である必要があります。

6. 変更内容を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. **[Test Collection]** を押します。
   このアクションは、ブレークダウン要素のスコア値を計算する SQL ステートメントをテストします。

次のタスク
前の手順を繰り返して、インジケーターにブレークダウンを追加します。SQL ステートメントをそれぞれ追加した後、テストします。

外部インジケーターとブレークダウンのテスト

外部インジケーターとブレークダウンをテストし、外部データソースに接続して期待するデータを収集できることを確認します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
インジケーターをテストして、そのインジケーターのクエリと、すべてのブレークダウン要素のクエリをテストします。ブレークダウンをテストして、利用可能なブレークダウン要素を決定するために使用されるクエリをテストします。

インジケーターまたはブレークダウンをテストするときは、スコアまたはブレークダウン要素は保存されません。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 外部インジケーター または **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 外部ブレークダウン.
2. テストするインジケーターまたはブレークダウンを選択します。
3. [テスト] ボタンをクリックします。
   クエリが正常に実行されると、収集されるスコアまたはブレークダウン要素の数が表示されます。テスト中にエラーが発生すると、エラー メッセージが表示されます。

次のタスク
すべてのクエリが正常に実行され、期待するデータが返されることを確認したら、データ収集ジョブに外部インジケーターを追加して、スコアの収集を開始します。

日付による外部データのフィルタリング

外部データとともにパフォーマンス分析を使用する場合は、スコアを収集する SQL ステートメントを日付によりフィルタリングする必要があります。

インジケーターおよびインジケーターブレークダウン SQL ステートメントでは、 `WHERE DATE(my_date_field) >= DATE(${start_at})` のように、クエリを日付でフィルタリングします。ブレークダウン SQL ステートメントは、スコアではなく要素のみを収集するため、ブレークダウン SQL ステートメントを日付によりフィルタリングする必要はありません。

変数 ${start_at} には、収集される期間の日付が YYYYMMDD の形式で含まれます。日次インジケーターの場合、この値は常に収集される日付です。週次や月次などの、収集頻度の長いインジケーターの場合、この日付は収集期間の最初の日となります。データ収集ジョブが実行される日付は、この変数に影響しません。

インジケーターまたはブレークダウンをテストすると、${start_at} 変数は常に現在の日付に設定されます。

外部データとパフォーマンス分析を使用する場合の制限事項

外部データを測定するときは、特定のパフォーマンス分析機能が利用できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- スナップショットは収集できません。
- リアルタイム スコアは表示できません。
- 第 2 レベルのブレークダウンは適用できません。
- 外部データを持つ第 2 レベルのブレークダウンに依存するウィジェットのチャート化を使用することはできません。これには、ピボットやヒートマップによるチャート化が含まれます。
- スナップショットが利用できないため、収集されたレコードの変更を表示できません。

収集されたパフォーマンスアナリティクスデータのクリーニング

パフォーマンスアナリティクス のスコアとスナップショットは時間とともに増加する可能性があるため、最適なパフォーマンスと正確なデータを確保するために定期的にクリーニングする必要があります。

パフォーマンスアナリティクス は、スケジュール設定済みジョブを使用して古いスコアとスナップショットを削除します。

PA 収集のクリーニングのスケジュール設定済みジョブは、デフォルトでアクティブであり、パフォーマンスに影響を与えません。デフォルトでは、このジョブは毎日実行されるため、削除する必要があるのは少量のデータのみです。

注:
テーブル属性の attributes nibble_size と nibble_sleep は、属性がスコアまたはスナップショットのテーブルに定義されている場合、コレクションクリーナー ジョブの動作に影響します。

このスケジュール設定済みジョブは、関連するインジケーターまたはブレークダウンがないスコア [pa_scores]、スコア レベル 1 [pa_scores_l1]、スコア レベル 2 [pa_scores_l2]、またはスナップショット [pa_snapshots] のレコードも削除します。たとえば、ユーザーがインジケーターを削除した場合、スケジュール設定済みジョブは、削除されたインジケーターに関連付けられたスコアまたはスナップショットをクリーンアップします。

関連情報

Altering tables and fields using dictionary attributes

KB0720725:パフォーマンスアナリティクススコアデータのクリア

PA 収集のクリーニング ジョブの変更

スケジュール設定済みジョブを変更して、パフォーマンス分析のスコアとスナップショットがいつクリーニングされるかを設定します。スケジュール設定済みのクリーンアップ ジョブは、データ収集ジョブの実行中は実行しないでください。

始める前に

必要なロール：pa_admin または admin

このタスクについて

デフォルトでは、PA 収集のクリーニング ジョブは 05:00 に実行されます。これは、デフォルトのデータ収集ジョブを使用する場合に適切です。追加のデータ収集ジョブを作成する場合は、PA 収集のクリーニング ジョブの開始時間を変更する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 自動化 > スケジュール.
2. **[PA** 収集のクリーニング] ジョブを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 必要な変更を行います。
   たとえば、ジョブが実行される時間を変更するには、[実行時間] フィールドの値を変更します。
4. [更新] をクリックします。

関連情報

スケジュール済みジョブ

KB0721309: パフォーマンスアナリティクス テーブルクリーナーの構成

パフォーマンス分析スコアの移行

パフォーマンスアナリティクス Scores [pa_scores] テーブルが 2 つのテーブルに分割されました。この構造は、多数のスコアを処理する場合に役立ちます。スコア移行ツールを使用して、古いテーブル構造から新しいテーブル構造にスコアを移行できます。

警告:
新しいテーブル構造は Oracle データベースではサポートされていません。

Istanbul では、スコア [pa_scores] テーブルはスコア レベル 1 [pa_scores_l1] とスコア レベル 2 [pa_scores_l2] に分割されました。pa_scores_l2テーブルにはスコアの第 2 レベルのブレークダウンマトリクスが含まれ、pa_scores_l1テーブルには他のすべてのスコアが含まれます。このスコアの分離により、スコアの収集および分析時に最適なパフォーマンスが保証され、より大きなスコアのセットが可能になります。Istanbul リリース以降に作成された新しいインスタンスは、デフォルトで新しいスコアテーブルを使用します。

Istanbulより前に作成されたインスタンスは、アップグレード後も元のスコア [pa_scores] テーブルを使用します。

移行モニター

移行を開始した後、次の場所に移動して移行ステータスを追跡できます **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > スコア移行モニター。

移行中にエラーが発生した場合は、問題を解決するためにカスタマーサービス & サポートにお問い合わせください。

開始スコア移行の遅延

次のいずれかのプロセスが実行されている場合、スコアの移行は停止するまで [待機中] ステータスのままになります。

- データ コレクタ ジョブ
- コレクションクリーナージョブ
- スコアシートの編集

パフォーマンス分析スコアの移行のスケジュール

自動化された移行プロセスをスケジュールして、既存のスコアを新しいテーブル構造に移動します。

始める前に

必要なロール：admin pa_admin ロールを持つユーザーは、移行モニター ページを表示できますが、移行をスケジュールすることはできません。

このタスクについて

スコアの移行により、パフォーマンスアナリティクスのパフォーマンスとスケーラビリティが向上します。移行はピーク時間外に実行する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

移行中はスコアの収集、変更、または削除を行うことはできません。スケジュール設定済みデータ収集ジョブは、移行中は実行されません。移行の完了後に、移行時に実行するようにスケジュール設定されたデータ収集ジョブを確認してください。これらのジョブは一時停止されました。

注:

- スコアの数に応じて、スコアの移行には数時間かかる場合があります。非本番インスタンスでの移行をスケジュールしてから、本番インスタンスでの移行を慎重に計画します。
- 移行に成功してから 10 日後に元のスコア [pa_scores] テーブルが切り捨てられます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > スコアの移行モニター.
2. [スコアの移行のスケジュール] ボタンをクリックします。
   スコアの移行がスケジュールされます。このページには、移行の開始がスケジュールされた時間と、完了予定時間が表示されます。
3. オプション: 移行に関する追加情報を表示するには、[ログ] リンクまたは [アクティブジョブ] リンクをクリックします。
   移行を開始したときに実行中のデータ収集ジョブまたはクリーンアップ ジョブがある場合は、移行の開始前にそれらのジョブの完了が待機されます。移行中は、すべてのスケジュール設定済みの収集ジョブとクリーンアップ ジョブが一時停止されます。

次のタスク
何らかの理由で移行が失敗した場合は、カスタマーサービス & サポートに連絡してサポートを受けてください。既存のスコアはそのまま残ります。

(レガシー)タスクテーブルの パフォーマンスアナリティクス をすばやく構成する

構成ジェネレータを使用すると、パフォーマンスアナリティクスをすばやく構成して任意のタスクテーブルのデータを表示することができます。

注:
構成ジェネレータはレガシー機能です。パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、ダッシュボードを含む パフォーマンスアナリティクス コンポーネントのコンテンツパックです。これらの パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、過去数回のリリースで大幅に拡張されました。個別の構成ジェネレータは、その価値のほとんどを失いました。カスタムアプリケーションの場合は、密接に関連する パフォーマンスアナリティクス ソリューションを見つけてインストールし、必要に応じて変更する方が合理的です。詳細については、「アナリティクスソリューション」を参照してください。

レポートするタスクベースのテーブルを指定することができ、構成ジェネレータによりインジケーター、ブレークダウン、計算、データ収集ジョブ、およびダッシュボードが自動的に作成されます。この構成ではパフォーマンスアナリティクスのインシデント解決と同じ要素が提供されますが、任意のタスク テーブル用です。ドメインセパレーションを使用する場合は、すべてのレコードが現在のユーザーのドメインに作成されます。

注:
タスクを拡張するテーブルでのみ構成ジェネレータを使用できます。ジェネレーターによって作成されたファイルの使用を開始する前に、構成を調整する必要がある場合があります。

構成ジェネレータにアクセスするには、次の場所に移動します。 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 構成ジェネレータ.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択したテーブルの構成を生成した後は、[設定レコードに移動]、[生成済みインジケーター]、および [生成済みジョブ] 関連リンクを使用して作成したレコードを表示できます。生成されたレコードは、必要に応じて標準のパフォーマンスアナリティクスの設定オプションを使用して変更できます。

パフォーマンスアナリティクス構成ジェネレータの有効化

管理者として、パフォーマンスアナリティクス構成ジェネレータ プラグイン (com.snc.pa.configurationgenerator) を有効にすることができます。

始める前に

必要なロール：admin
この手順を開始する前に、 パフォーマンスアナリティクスするためのサブスクリプションが必要です。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

   注:
   ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

   インストールが完了するとメッセージが表示されます。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化

有料の パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションがない場合、使用は 180 日間のデータ収集 (月次インジケーターの場合は 5 か月) と ServiceNow が提供する特定のインジケーターに制限されます。すべての機能に無制限にアクセスするには、 パフォーマンスアナリティクスのサブスクリプションを購入してください。

サブスクリプションを購入した後、本番インスタンスでそのサブスクリプションに関連付けられたプラグインをアクティブ化することが必要になる場合があります。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションを使用すると、ベースシステム で利用可能な機能以外に次の機能を使用できます。

- カスタム パフォーマンスアナリティクス インジケーター、ブレークダウン、ウィジェット、またはその他の設定レコード
- スコアが 180 日以上保存されている (月次インジケーターの場合は丸 5 か月)
- テキスト分析ウィジェット (コア UI のみ)
- ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト

Professional または Enterprise オファリングを通じて パフォーマンスアナリティクス を購入した場合、次の状況では制限なしで使用できます。

自動翻訳

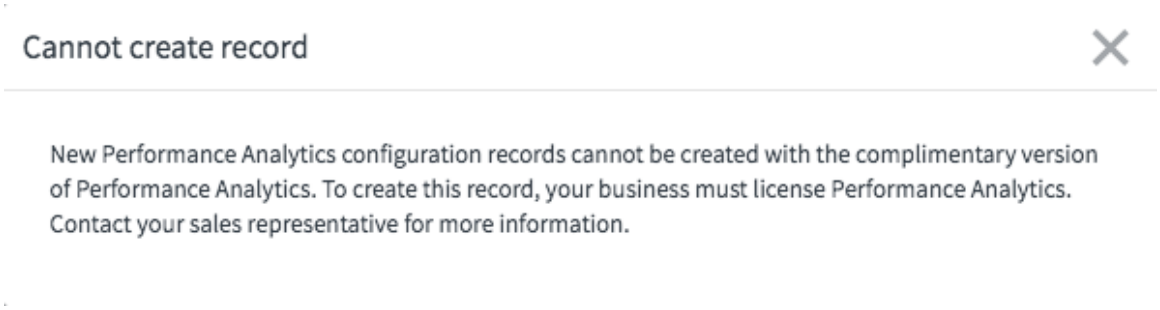
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 関連付けられた ServiceNow ストアアプリを含む、関連付けられたサブスクリプションのテーブル上
- ナレッジ管理、CMDB、カタログなどの任意のプラットフォームと一般的なアプリを使用
- 有料のパートナーストアアプリの場合

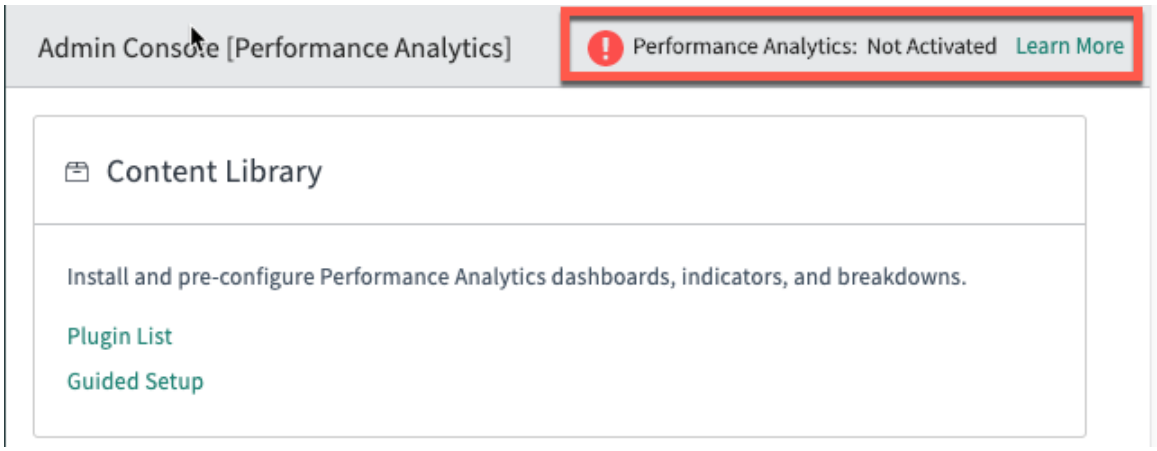
重要:
無料のパートナーストアアプリで ServiceNow を使用することはできません。

パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのない本番インスタンスでこれらのタスクを実行しようとすると、サブスクリプションが必要であるという警告が表示されます。

サブスクリプションが必要であるという警告



パフォーマンスアナリティクス Admin Console は、インスタンスでフルバージョンの パフォーマンスアナリティクス がアクティブ化されていない場合にも警告を発します。



パフォーマンスアナリティクスのサブスクリプション管理

パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションでは、機能が自動的にアクティブ化されます。

Tokyo 以降、サブスクリプション管理パフォーマンスアナリティクスに適用されます。サブスクリプション管理 を使用する場合は、パフォーマンスアナリティクス プラグインを手動でアクティブ化する必要はありません。このページの残りの部分では、サブスクリプションをアクティブ化するための古い手動システムについて説明します。

この機能は、ホストされたインスタンスでのみ使用できます。セルフホスト型インスタンスおよび非本番インスタンスでは、適切な パフォーマンスアナリティクス プラグインを手動でアクティブ化する必要があります。詳細については、「 サブスクリプション管理 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に対するエンタイトルメントを特定する パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス製品ラインのサブスクリプションを購入すると、本番インスタンスで対応するプラグインをアクティブ化できます。

アドミニストレーターは、次の場所に移動して パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションを表示します サブスクリプション管理 > サブスクリプション. [Subscription Management (サブスクリプション管理)] から、アクティブ化できる パフォーマンスアナリティクス プラグインを確認できます。詳細については、「Exploring Subscription Management」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのプラグインを有効にする

パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションを購入し、関連付けられているプラグインを特定したら、次のようにそのプラグインを有効にします。

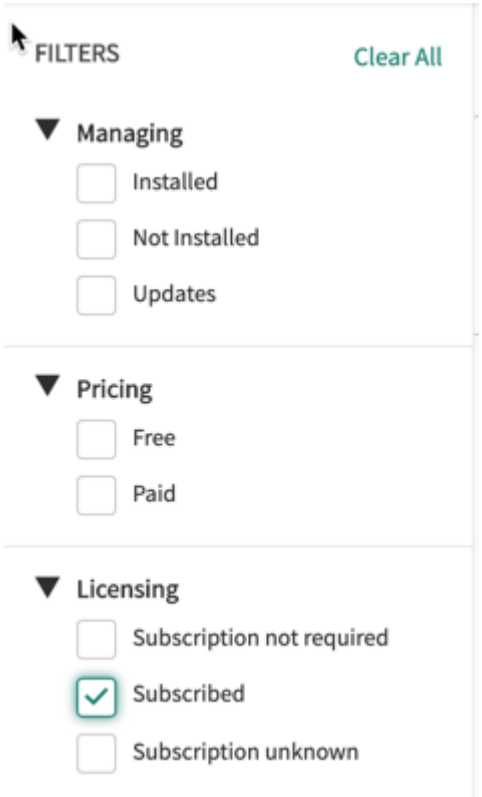
始める前に

重要:
本番インスタンスで設定する前に、非本番インスタンスで パフォーマンスアナリティクス を設定してテストします。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. [フィルター] で [ライセンス] セクションを見つけて [サブスクライブ済み] を選択します。



3. 名前に 「Performance Analytics Premium (パフォーマンスアナリティクスプレミアム)」 が含まれるプラグインを検索します。
4. エンタイトルメントに一致する パフォーマンスアナリティクス プレミアムプラグインを見つけて、[インストール] をクリックします。
フィルタリングされたリストには、サブスクリプションを所有しているパフォーマンス分析プレミアム版プラグインのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プラグインをアクティブ化] ダイアログが開きます。

5. [プラグインを有効にする] ダイアログで、[有効化] をクリックします。

タスクの結果
進捗状況バーには、プラグインの有効化の進捗状況が表示され、その後に表示内容を決めるオプションがいくつかあります。

次のタスク
プロセスが完了したら、事前構成済みのダッシュボードと必要なすべての基本コンポーネントを含むアナリティクスおよびレポートソリューションのインストールを検討してください。詳細については、「アナリティクスソリューション」を参照してください。

また、スポットライトを有効にすることを検討してください。スポットライトは、複数の重み付き条件に基づいてレコードを評価することにより、レコードを優先順位付けできるようにします。詳細については、「スポットライトでレコードをランク付けする」を参照してください。

アナリティクスソリューション

パッケージ済みソリューションには、データの可視化や重要業績評価指標 (KPI) を備えた プラットフォームアナリティクス ダッシュボードが搭載され、多くの ServiceNow　製品で利用できます。これらのソリューションを使用して簡単に始めることができます。

ソリューション内の パフォーマンスアナリティクス

プラットフォームアナリティクス のデータ可視化では、パフォーマンスアナリティクス インジケーターデータによりデータが経時的に表示されるので、ビジネスプロセスの分析や改善が必要な領域の特定に役立ちます。プラットフォームアナリティクスソリューション を使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。いつでも独自のオブジェクトを作成することもできます。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

プラットフォームアナリティクスソリューション には、デフォルトアプリケーションの分析に必要なすべての設定レコードが用意されています。本番環境で使用するために、これらのレコードをカスタマイズします。詳細については、「構成：プラットフォームアナリティクスソリューション」を参照してください。

必要な パフォーマンスアナリティクス エンタイトルメント

プラットフォームアナリティクスソリューション を有効にするには、関連する ServiceNow 製品で パフォーマンスアナリティクス を使用できる資格が必要です。適切なエンタイトルメントがないと、パッケージがアクティブ化できないか、パッケージのデータ範囲が制限される可能性があります。たとえば、すぐに利用可能なカスタマーサービス管理 (CSM) -アドバンスト プラットフォームアナリティクスソリューション ソリューションを有効にするには、パフォーマンスアナリティクスカスタマーサービス管理 (CSM) を使用する資格が必要です。

パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを含まない プラットフォームアナリティクスソリューション には パフォーマンスアナリティクス エンタイトルメントは必要ありません。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能な プラットフォームアナリティクスソリューション

以下のプラットフォームアナリティクスソリューションは、対応する ServiceNow パフォーマンスアナリティクス のエンタイトルメントで利用可能です。ソリューションには追加料金はかかりませんが、基盤となるアプリケーションには適切なライセンスが必要です。

プラットフォームアナリティクスソリューションは、ダッシュボードと基礎となる パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを提供します。これらのダッシュボードは、 パフォーマンスアナリティクスを活用して、それぞれのプラットフォームアナリティクスソリューションがサポートする製品の価値を高めます。

一般的な パフォーマンスアナリティクス ソリューション

次の パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、有料の パフォーマンスアナリティクス エンタイトルメントで有効になります。

- 構成管理 (CMDB) (com.snc.pa.cmdb)
- ガイド付きツアーダッシュボード
- ナレッジ管理 (com.snc.pa.knowledge_v2)
- サービスデスク チャット (com.snc.pa.chat)

APM 向け パフォーマンスアナリティクス ソリューション

APM エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- プリケーションポートフォリオ管理と変更管理 (com.snc.pa.apm.change_request)
- アプリケーションポートフォリオ管理と 問題管理 (com.snc.pa.apm.problem)
- ファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm)
- カスタマーサービスのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.csm)
- フィールドサービス管理のファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.fsm)
- ファイナンシャルプランのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.financial_planning)
- ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート (com.snc.financial_planning_pmo) New York以降、このソリューションは プロジェクトポートフォリオスイート(com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。タイムカード管理のダッシュボードが含まれています。

カスタマーサービスソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

カスタマーサービスエンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- 高度なワークアサインメント (com.snc.pa.awa)
- 変更管理 (com.snc.pa.change)
- Communities (com.snc.pa.communities)
- カスタマーサービス (com.snc.pa.customer_service) - スポットライトグループとレポートを含みます。また、アクティブ化により、スポットライトプラグインも有効になります。「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。
- カスタマーサービス管理 (CSM) - Advanced (com.snc.pa.customer_service_advanced) - カスタマーサービス管理 (CSM) の事前設定済みパフォーマンスアナリティクスインジケーターと

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン。旧 OOTB カスタマーサービスパフォーマンスアナリティクスソリューションのコンテンツを備え、次の機能もサポートしています。

- ケース管理
- 重大な問題管理
- カスタマーサービスケースアクションステータス
- 要求管理によるカスタマーサービス
- サービス管理によるカスタマーサービス
- エージェントチャット
- CSM 向け高度なワークアサインメント
- パフォーマンスアナリティクス - Content Pack - 高度なワークアサインメント

- フィールド サービス管理(com.snc.work_management_pa)
- インシデント管理 (com.snc.pa)

> **注:**
> インシデント管理コンテンツは、パフォーマンスアナリティクスの 試用： 無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス でデフォルトで使用できます。

- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- ITSM ダッシュボード (com.snc.pa.itsm_dashboards)
- 重大インシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)
- カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクス (com.snc.pa.self_service_analytics_csm)

> **注:**
> パフォーマンスアナリティクス をセルフサービスアナリティクスでカスタマーサービス管理 (CSM) 以外のアプリケーションで使用するには、「Self-Service Analytics」を参照してください 。

- 仮想エージェントコンテンツパック：この プラットフォームアナリティクスソリューションは、Quebec リリースから廃止されました。代わりに対話型アナリティクスダッシュボード を使用します。
- スポットライト - インシデントスポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.incident)
- スポットライト - 問題スポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.problem)
- スポットライト - 要求スポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.request)

> **注:**
> パフォーマンスアナリティクススポットライトソリューションについては、「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

GRC エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、まず GRC：パフォーマンスアナリティクス プレミアム統合プラグインをアクティブ化します。次のソリューションをアクティブ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- GRC: Audit Management
- GRC：ポリシーとコンプライアンス管理
- GRC: Risk Management

人事リソース管理ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

人事リソース管理エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- Content Analytics
- ヒューマンリソース (HR) 従業員ドキュメント管理スコープ対象アプリ (com.sn_hr_employee_files_pa)
- ヒューマンリソース (HR) スコープ対象アプリ (com.sn_hr_pa)

  注:
  ヒューマンリソース (HR) のスコープ外バージョンのソリューション (com.snc.pa.hr_core) は不使用になりました。ヒューマンリソース (HR) のスコープ外バージョンを使用していて、そのソリューションプラグインを有効にする場合は、カスタマーサポートカスタマーサービス & サポート に連絡してください。

- ヒューマンリソース (HR) ライフサイクルイベントスコープ対象アプリ (com.sn_hr_lifecycle_pa)

ビジネス管理、ファイナンシャルマネジメント、およびサービス戦略ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

ビジネス管理向け パフォーマンスアナリティクス、ファイナンシャルマネジメント向け パフォーマンスアナリティクス、サービス戦略向け パフォーマンスアナリティクス のエンタイトルメントがある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- Agile 2.0 (sn_scrum_dashboard - ServiceNow Store)
- Essential SaFE
- ファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm)
- Application Portfolio Management の Financial Management (com.snc.pa.apm)
- カスタマーサービスのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.csm)
- フィールドサービス管理のファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.fsm)
- ファイナンシャルプランのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.financial_planning)
- Financial Services Operations (sn_bom_pa)
- ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート (com.snc.financial_planning_pmo) New York以降、このソリューションはプロジェクトポートフォリオスイート(com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。タイムカード管理のダッシュボードが含まれています。

ITOM ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

IT 運用スイート向け パフォーマンスアナリティクス または IT Operations Management エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ディスカバリ (com.snc.pa.discovery)
- イベント管理 (com.snc.pa.em)
- オペレーショナルインテリジェンス (com.snc.sa.metric.pa.content)
- サービスマッピング (com.snc.service-mapping.pa.content)

プロジェクトポートフォリオ管理ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

プロジェクトポートフォリオ管理エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションを有効にします：ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート(com.snc.financial_planning_pmo) 。New York 以降、このソリューションは、Project Portfolio Suite (com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。タイムカード管理のダッシュボードが含まれています。

セキュリティインシデントと **Vulnerability Response** ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

セキュリティインシデントレスポンスエンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- セキュリティインシデントレスポンス (com.snc.security_incident.analytics - ServiceNow Store)
- 脆弱性対応(com.snc.vulnerability.analytics - ServiceNow Store)

サービス管理 ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

サービス管理 エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- 変更管理 (com.snc.pa.change)
- インシデント管理 (com.snc.pa)

> **注:**
> インシデント管理コンテンツは、パフォーマンスアナリティクスの 試用： 無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス でデフォルトで使用できます。

- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- ITSM ダッシュボード (com.snc.pa.itsm_dashboards)
- ITSM 予測インテリジェンスワークベンチダッシュボード - ITSM Pro SKU で利用可能な 予測インテリジェンス アプリケーションが必要です。
- 重大インシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)
- サービスレベル管理 (com.snc.pa.sla.overview)
- スポットライト - インシデントスポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.incident)
- スポットライト - 問題スポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.problem)
- スポットライト - 要求スポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.request)

> **注:**
> パフォーマンスアナリティクススポットライトソリューションについては、「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア資産管理ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

サービス管理エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) ソリューションをアクティブ化します。

[セルフサービスアナリティクス] ウィジェットをダッシュボードまたはサービスポータルに追加

セルフサービスアナリティクスをインスタンスでアクティブ化してある場合は、セルフサービスアナリティクスウィジェットを パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードまたはサービスポータルに追加できます。インジケーターとブレークダウンの既製セットを取得するには、セルフサービスアナリティクス PA (*com.snc.pa.self_service_analytics*) プラグインをアクティブ化してください。セルフサービスインジケーターを パフォーマンスアナリティクス アドミンコンソールで検索して、ウィジェットを作成してダッシュボードまたはポータルに追加します。[SSA] セルフサービスアナリティクスデータコレクションジョブもアクティブ化します。

注:
カスタマーサービス管理 (CSM) カスタマーは、カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクスの プラットフォームアナリティクスソリューション をインストールできます。このソリューションには、追加のカスタマーサービス固有のインジケーターとブレークダウンに加えて、ウィジェットとダッシュボードが含まれています。詳細については、「カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクス」を参照してください。

ITSM ダッシュボードソリューション

ITSM ダッシュボードプラグイン (com.snc.pa.itsm_dashboards) は、以下のソリューションと、一連の追加ダッシュボードをアクティブ化します。

- 変更管理 (com.snc.pa.change)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)
- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- 重大インシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- スポットライト - インシデントスポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.incident)

  注:
  パフォーマンスアナリティクススポットライトソリューションについては、「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

- 固定費 (fixed_costs snc)

ServiceNow Store® パフォーマンスアナリティクスコンテンツを含むアプリケーション

ServiceNow Store上の次のアプリケーションには、インジケーターのウィジェットを表示するダッシュボードなどのパフォーマンスアナリティクスコンポーネントが含まれています。

Platform Analytics (プラットフォームアナリティクス) ソリューションとは異なり、これらのアプリケーションにはスタンドアロン機能が含まれています。アプリケーションに含まれる パフォーマンスアナリティクス コンポーネントがこの機能をサポートします。

パフォーマンスアナリティクスアドミニストレーターは、これらのアプリケーションとともに提供されるデータ収集ジョブのスケジュール変更が必要になる場合があります。ほとんどのアプリケーショ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ンには履歴データ収集ジョブがなく、スケジュール済みジョブはデフォルトでアクティブになっています。

注:
これらのアプリケーションにはライセンス要件がある場合があることに注意してください。ServiceNow Store上のアプリのエントリを確認します。

構成管理データベース **(CMDB)** アプリケーション

CSDM と CMDB のデータ基盤ダッシュボード

カスタマーサービスアプリケーション

- Conversational Analytics dashboard in Platform Analytics experience
- カスタマーサービス管理 (CSM) のワークフォース最適化

DevOps アプリケーション

DevOps インサイト

従業員サービス管理 **(ESM)**

セーフワークプレイスダッシュボード

IT Asset Management アプリケーション

クラウドインサイト

戦略的ポートフォリオ管理 **(SPM)** アプリケーション

Strategic Spend Tracking for PPM

IT Operations Management アプリケーション

Firewall Audits and Reporting

IT Service Management アプリケーション

- コーチング
- 継続的改善の管理
- オンコールスケジューリング
- サービスポートフォリオ管理 Premium (Service Owner Workspace)

AI エクスペリエンスアプリケーション

NLU ワークベンチ

ガイド付きセットアップを使用したソリューションのアクティブ化

製品に パフォーマンスアナリティクス ガイド付きセットアップがある場合は、そのガイド付きセットアップを使用して、関連するアナリティクスおよびレポートソリューションを迅速かつ一貫して有効化して構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
パフォーマンスアナリティクス ガイド付きセットアップでは、関連製品のアナリティクスおよびレポートソリューションを有効にしてテストする手順を説明します。ガイド付きセットアップを完了すると、データを収集し、 アナリティクスハブ および事前設定されたソリューションダッシュボードでインジケータースコアを表示できます。

> **重要:**
> 本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

ソリューションに対してガイド付きセットアップが利用できない場合は、プラグインリストからそのソリューションをインストールできます。ソリューションがプラグインリストにない場合は、ServiceNow Storeで探します。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ガイド付きセットアップ.
   ガイド付きセットアップは、 パフォーマンスアナリティクス 管理コンソールから実行することもできます。
2. [**Get Started** (開始する)] を選択します。
3. インシデントやカスタマーサービスなど、ソリューションをセットアップするアプリケーションまでスクロールします。
4. プラグインがまだ有効でない場合、ソリューション プラグインを有効にするまでガイド付き設定はロックされます。

   > **注:**
   > これらの手順を実行するには、admin ロールが必要です。

   a. [プラグインの表示] を選択します。

   b. [アクティブ化/アップグレード] 関連リンクを選択します。

   c. [アクティブ化] を選択します。
      パフォーマンス分析ソリューション プラグインを有効にすると、関連付けられているアプリケーションのプラグインも有効になります (有効でない場合)。たとえば、パフォーマンス分析 - コンテンツパック - カスタマーサービス プラグインを有効にすると、カスタマーサービス プラグインが有効になっていない場合は有効になります。

   d. プラグインが有効になったら、プラグイン ウィンドウを閉じてガイド付き設定に戻ります。

5. 設定しているアプリケーションの [開始] を選択します。
6. ガイド付き設定の手順に従って、インジケーター、ブレークダウン、ウィジェット、ダッシュボードなどの提供されたレコードをレビューし、パフォーマンス分析スコアの収集を開始します。
   各ステップを実行すると、右側の [ヘルプ] メニューに追加情報が表示されます。

関連情報

ガイド付きセットアップの使用

プラグインのリスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボードのインストール

ソリューション ライブラリーを使用して、ダッシュボードとそれに関連するすべてのビジュアライゼーション (ウィジェットやレポートなど) をインストールし、既存のダッシュボードを構成します。

始める前に
必要なロール:pa_admin

このタスクについて
パフォーマンスアナリティクスソリューションをインストールまたはアップグレードすると、インスタンス内のそのままの状態のコンテンツが上書きされ、新しいコンテンツがダッシュボードに追加されます。以前にダッシュボードでカスタマイズしたコンテンツは変更されません。

同じダッシュボードで使用されている他のレコードに影響を与えずに、ウィジェットなどのダッシュボードからソリューションメタデータレコードを再インストールするには、「 単一のソリューションメタデータレコードのインストール」を参照してください。

手順

1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > **Solutions** (ソリューション).
2. インストールするダッシュボードを選択します。

   ソリューションライブラリで提供されるダッシュボードは、インジケーター、インジケーターソース、またはその他の設定レコードによって異なる場合があります。ソリューション ライブラリのコンテンツには、関連する可視化および構成コンテンツが常に含まれます。
3. [インストール] をクリックします。
4. 確認ウィンドウで、[インストール] をクリックします。
   確認後、インストールが完了するまでに時間がかかる場合があります。この間に [キャンセル] をクリックすると、確認ウィンドウは閉じますが、進行中のインストールは停止されません。
   インストールが完了すると、確認ウィンドウが消え、[インストールされたメタデータ] 関連リストにインストールされたレコードが入力されます。

次のタスク
ダッシュボードに移動して、データの分析を開始します。

関連情報
プラグインを有効にする

ダッシュボードのアップグレード

ダッシュボードをアップグレードすると、ダッシュボードに追加された新しいレコードを含む、利用可能な更新があるソリューションメタデータがインストールされます。カスタマイズしたソリューションメタデータレコードは、それらのレコードが新しいリリースで更新された場合でも影響を受けません。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
パフォーマンスアナリティクスソリューションをインストールまたはアップグレードすると、インスタンス内のそのままの状態のコンテンツが上書きされ、新しいコンテンツがダッシュボードに追加されます。以前にダッシュボードでカスタマイズしたコンテンツは変更されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > **Solutions** (ソリューション).
   [Update Available] フィールドが true になっているレコードはアップグレードできます。
2. アップグレードするダッシュボードを選択します。
3. [ソリューション メタデータ] 関連リストをレビューします。
   [アップグレード] をクリックすると、update_available = true のソリューションメタデータレコードがインストールされます。以前にカスタマイズされたレコードは上書きされません。
4. [アップグレード] をクリックします。
   [アップグレード] ボタンは、少なくとも 1 つのソリューションメタデータレコードに利用可能な更新があり、ソリューションコンテンツが少なくとも 1 回インストールされている場合に使用できます。
5. 確認ウィンドウで、[アップグレード] をクリックします。
   確認後、アップグレードが完了するまでに時間がかかる場合があります。この間に [キャンセル] をクリックすると、確認ウィンドウは閉じますが、進行中のアップグレードは停止されません。

タスクの結果
新しいダッシュボードレコードがダッシュボードに追加されます。カスタマイズされていないダッシュボードレコードへの更新が適用されます。カスタマイズしたダッシュボードレコードは変更されません。

次のタスク
ソリューションコンテンツをインストールした後、ダッシュボードが期待どおりに表示されない場合は、アンインストールされたレコードが顧客アップデートテーブルに表示されるかどうかを確認してください。このテーブルのアンインストールされたレコードは、すべて以前にカスタマイズされています。顧客アップデートテーブルを表示するには、フィルターナビゲーターに「sys_update_xml.list 」と入力します。

単一のソリューションメタデータレコードのインストール

ウィジェットなどのダッシュボードで使用される単一のソリューション メタデータ レコードをインストールして、同じダッシュボードで使用される他のレコードに影響を与えることなく、レコードの最新バージョンと一致させます。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
ダッシュボード全体と関連するすべてのレコードをインストールするには、「 ダッシュボードのインストール」を参照してください。

> **注:**
> レコードをインストールしても、そのレコードに対して行ったカスタマイズは上書きされません。

利用可能なソリューションメタデータ型:

- ブレークダウン
- ブレークダウンソース
- バケットグループ
- ダッシュボード
- ダッシュボードグループ
- フィルター

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- インジケーター
- インジケーターのソース
- 権限
- レポート
- レポートソース
- スケジュールされたデータ収集
- スクリプト
- タグ
- ウィジェット

手順

1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > **Solutions** (ソリューション).
2. インストールするレコードを使用するダッシュボードを選択します。
3. [ソリューションメタデータ] 関連リストで、インストールするレコードを選択します。
4. [インストール] をクリックします。
5. 確認ウィンドウで、[インストール] をクリックします。

アナリティクスおよびレポートソリューションダッシュボードの複製

タブ、ポータルページ、キャンバスレコードを含む プラットフォームアナリティクスソリューション ダッシュボードをコピーします。ダッシュボードのウィジェットは複製されません。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
ダッシュボードを複製すると、他のダッシュボードに影響を与えることなく、1 つのコピーを変更またはアップグレードできます。

> **注:**
> ダッシュボードを複製しても、ダッシュボードに表示されるウィジェットは複製されません。他のダッシュボードに影響を与えることなく、1 つのダッシュボード コピーからウィジェットを再配置または削除できます。ただし、ウィジェット レコードを変更すると、元のダッシュボードと複製の両方が影響を受けます。

プラットフォームアナリティクスソリューションの一部ではないダッシュボードをコピーするには、「レスポンシブ ダッシュボードの管理」を参照してください。

手順

1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > **Solutions** (ソリューション).
2. [ソリューション] リストで、コピーするダッシュボードの名前をクリックします。
3. ソリューションフォームで、 ダッシュボードの複製 アイコン ( ) をクリックします。
4. ダッシュボードを複製することを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ダッシュボードのコピーが、「(元のダッシュボード名) のコピー」という名前で作成されます。ダッシュボードの概要で表示できます。

プラットフォームアナリティクスソリューション の構成

プラットフォームアナリティクスソリューション は、 Now Platform データをテーブルとフィールドの標準セットに保持することを想定して構成されています。異なるフィールドを使用している場合は、正しい場所を指すようにソリューションを構成します。

ヒント:
パフォーマンスアナリティクス管理コンソールをプラットフォームアナリティクスソリューション設定の開始点として使用すると便利な場合があります。管理コンソールから、次のアクションを実行できます。

- プラグインリストから、またはガイド付きセットアップ (利用可能な場合) を使用してソリューションをアクティブ化します。(管理コンソールから ServiceNow Store でのみ利用可能なソリューションをアクティブ化することはできません)。
- このインスタンスで パフォーマンスアナリティクス が完全にアクティブ化されているかどうかを確認します。
- 診断を実行します。
- 構成する KPI を検索します。
- 依存関係アセスメントを使用して、ソリューションに関連するインジケーター、ブレークダウン、およびソースを検索します。

詳細については、「パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソール」を参照してください。

診断を実行

プラットフォームアナリティクスソリューションをインストールしたら、「すべてのレコードの診断を実行」の説明に従って、すべてのレコードに対してすべての診断を実行します。これらの診断では、プラットフォームアナリティクスソリューション とテーブルの構成間の不一致が多数検出される可能性があります。

ドメインセパレーションと「別のユーザーとして実行」ユーザー

デフォルトでは、システムアドミニストレーターは、プラットフォームアナリティクスソリューション内のデータ収集ジョブの実行ユーザーです。このユーザーがインスタンスに存在すること、およびこのユーザーが適切なレベルのアクセス権を持っているかどうかを検証します。不適切な別のユーザーとして実行ユーザーでは、エラーが発生したり、収集されるデータが制限されたりすることがあります。ドメインセパレーションを有効にしている場合は、各ドメインに適切な 実行 ユーザーを設定してください。

インジケーターソースをレビューする

パフォーマンス分析を有効にする各アプリケーションで探しているデータが含まれているフィールドを決定します。

始める前に
エンタイトルメントに従って パフォーマンスアナリティクス を有効にしました。また、関連する分析およびレポートソリューションをインストールし、診断を実行しました。

必要なロール：pa_admin、admin

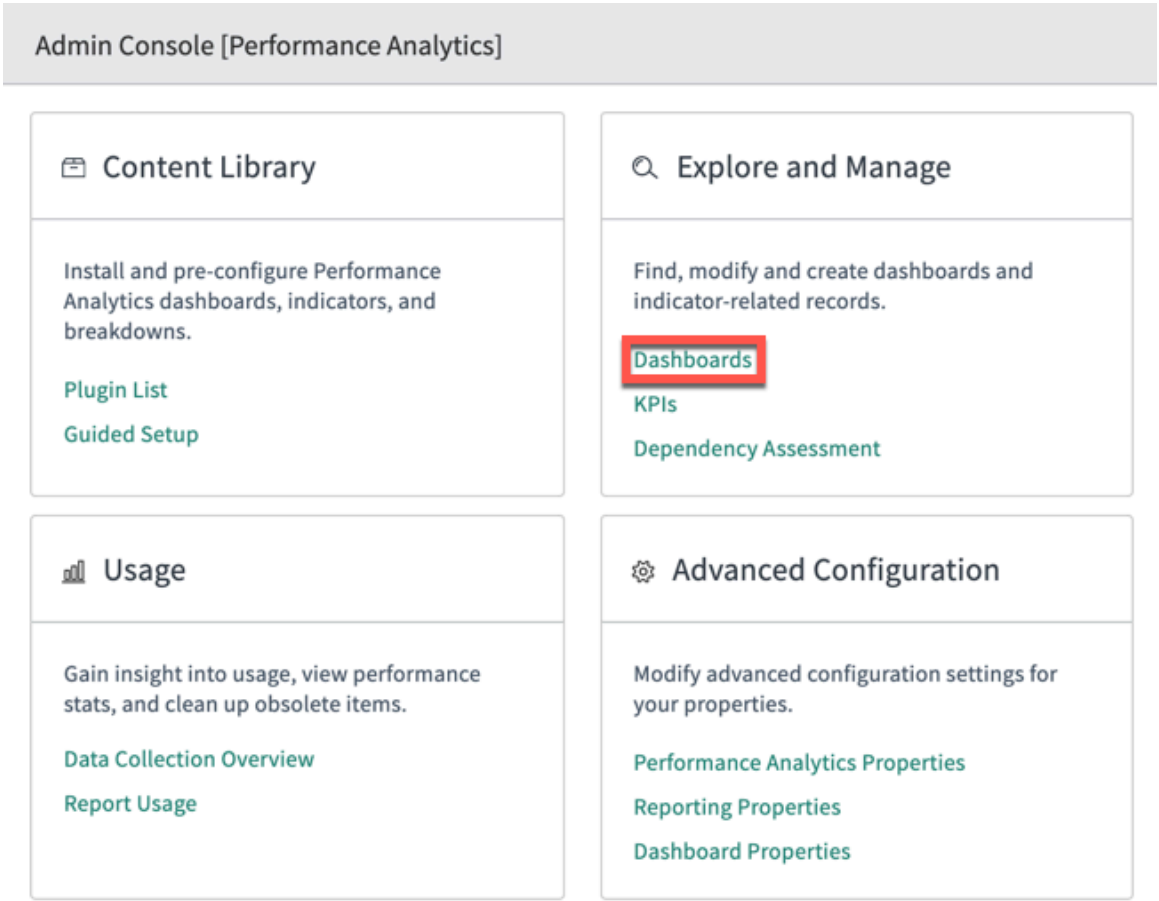
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
含まれているインジケーターソースが、プロセスのパフォーマンスを測定する プラットフォームアナリティクスソリューション 正しいフィールドを指していることを確認します。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 管理コンソール.
2. [探索および管理] タイルの [ダッシュボード] リンクをクリックします。



3. このプラットフォームアナリティクスソリューションとともにインストールされているダッシュボードの名前を確認します。
4. [インジケーターソース] タブを開きます。
5. この プラットフォームアナリティクスソリューション に含まれる各ダッシュボードで、以下のことを行います。

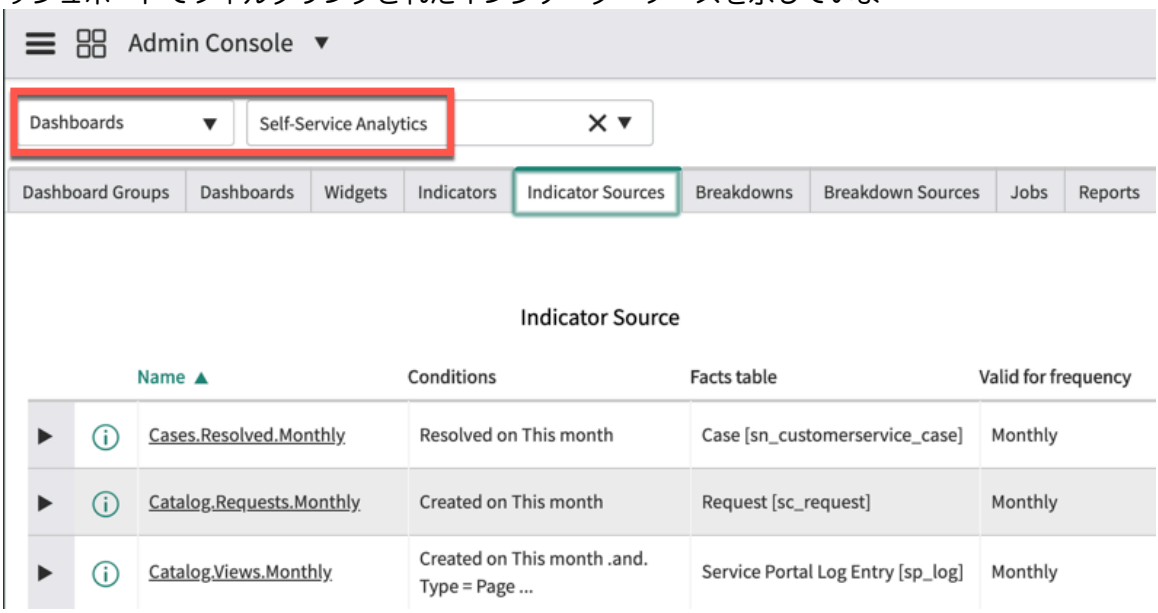
   a. ダッシュボード名のインジケーターソースをフィルタリングします。

   Example
   このスクリーンショットは、CSM のセルフサービスアナリティクス プラットフォームアナリティクスソリューションからセルフサービスアナリティク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スダッシュボードでフィルタリングされたインジケーターソースを示していま
す。



b. インジケーターソースのファクトテーブル、条件、および頻度を、使用中のインスタンスのデータ構造と比較して確認します。

> **重要:**
> [条件] の [解決済み]、[オープン]、[作成済み] などのタイムスタンプフィールドに特に注意してください。別のタイムスタンプフィールドを使用することが必要になる場合があります。

c. 必要に応じて、インジケーターソースを開き、修正します。

d. インジケーターソースレコードを編集している場合は、[インジケーター] 関連リストに移動し、各インジケーターの [条件] フィールドを確認します。
インジケーターソースを変更すると、個々のインジケーターの追加条件にも影響を与える可能性があります。

e. [更新] をクリックして変更を保存します。

関連情報

インジケーターソース

パフォーマンスアナリティクススクリプトの更新

プラットフォームアナリティクスソリューション レコードで計算を実行するための パフォーマンスアナリティクス スクリプトを含めます。これらのスクリプトは、インジケーターソースのタイムスタンプフィールドを使用します。インジケーターソースのタイムフィールドスタンプを変更する場合は、関連するスクリプトも変更してください。

始める前に

> **重要:**
> プラットフォームアナリティクスソリューションでインジケーターソースを更新していない場合は、このタスクをスキップします。

必要なロール：pa_admin、admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

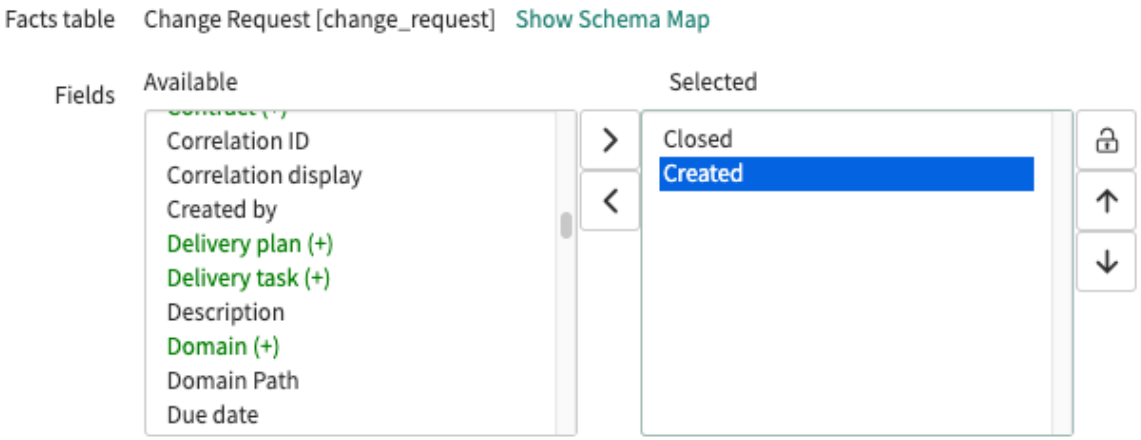
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 自動化 > スクリプト.
2. スクリプトをクリックすると、その詳細が開きます。

   Example
   たとえば、Change.CloseTime.Hours スクリプトレコードには次のスクリプトが含まれています。

   ```
   var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
   var hours=function(x,y){return diff(x,y)/(60*60*1000);};
   hours(current.opened_at, current.closed_at);
   ```

3. [ソース] セクションで、フィールドのリストの横にあるロックアイコンをクリックします。  フィールドセレクターが開きます。
4. 目的のフィールドをスクリプト用に 選択されている フィールドに移動し、適切でないフィールドを削除します。

   Example
   たとえば、組織で [作成日時] タイム スタンプ フィールドを使用して新しい変更を定義する場合は、[開始日時] を [作成日時] に置き換えます。

5. [スクリプト] フィールドで、使われなくなったフィールドへの参照を、選択したフィールドへの参照に置き換えます。

   Example
   この例では、[**Opened**] フィールドへの参照が **[Created]** への参照に置き換えられています。

   ```
   var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
   var hours=function(x,y){return diff(x,y)/(60*60*1000);};
   hours(current.opened_atcurrent.sys_created_on, current.closed_at);
   ```

6. [更新] をクリックして変更を保存します。

ブレークダウンソースをレビュー

ブレークダウンソースは、KPI をより詳細に調べるために使用する要素を表します。ブレークダウンソースを変更して、データ分析に意味のあるアイテムのみに要素リストを制限します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
たとえば、アサイン先グループの自動ブレークダウンでは、グループのブレークダウン ソースが使用されます。このブレークダウンソースはインスタンス内のすべてのアクティブなグループを返します。システムはこれらすべてのグループを使用してデータを調べます。[Number of Open Changes] インジケーターを見て [Assignment Group] のブレークダウンを調べると、変更要求に実際に対応しているグループだけでなく、インスタンス内のすべてのグループが表示されます。

ブレークダウン ソースが返す要素の数を制限することには、次の利点があります。

- 要素リストを小さくすると、コンシューマーは必要なデータを見つけやすくなります。特定のプロセスに関連付けられている 25 個のグループの一覧を並べ替える方が、数千のグループを並べ替えるよりも簡単です。
- 要素リストが小さいほど、データ収集が少なくなり、データをより効率的に使用できます。データコレクターは 1,000 の異なるグループを処理する代わりに、プロセスにとって重要な 25 のグループを分析できます。

注:
プラットフォームアナリティクスソリューションのブレークダウンソースを変更する必要はおそらくありません。ただし、プロセスで測定されているものを正確に確認して理解することは役立つ場合があります。

手順

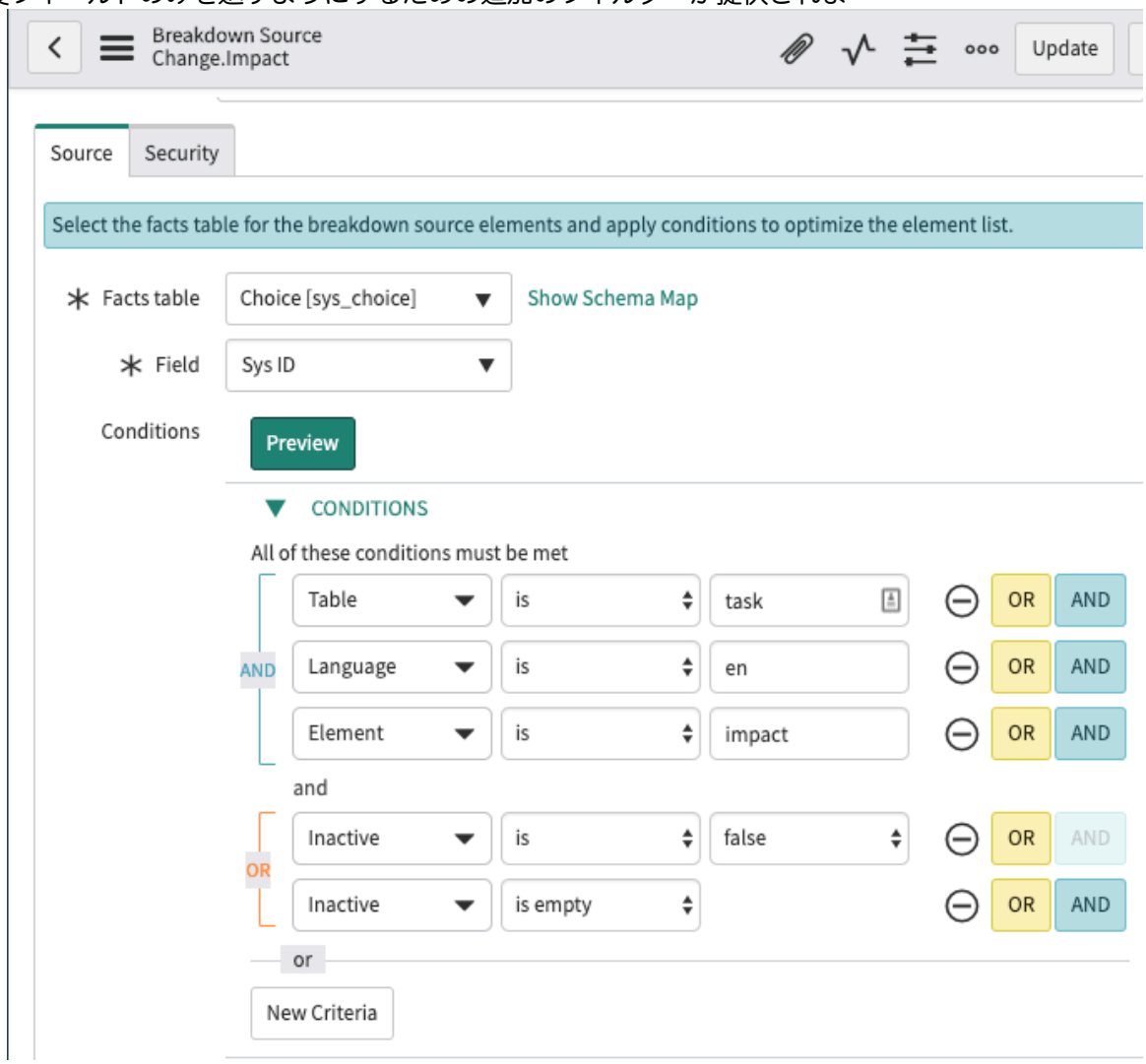
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ソース > ブレークダウンソース.
2. ブレークダウン ソースをクリックすると、その詳細が表示されます。
3. [ソース] タブで、一意のsys_idsリストを含むテーブルを含むブレークダウン要素の定義を調べます。

Example
たとえば、Change.Impact ブレークダウン ソースでは、[変更要求の影響度] フィールドに含まれる一意の値は、選択肢 [sys_choice] テーブルから取得されます。条件では、クエリが選択肢 [sys_choice] テーブルの変更の影

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

響度フィールドのみを返すようにするための追加のフィルターが提供されま



す。

4. [プレビュー] をクリックして、クエリが返す要素の数を確認します。

Example
この例では、クエリは 3 つの impact 要素を返します。

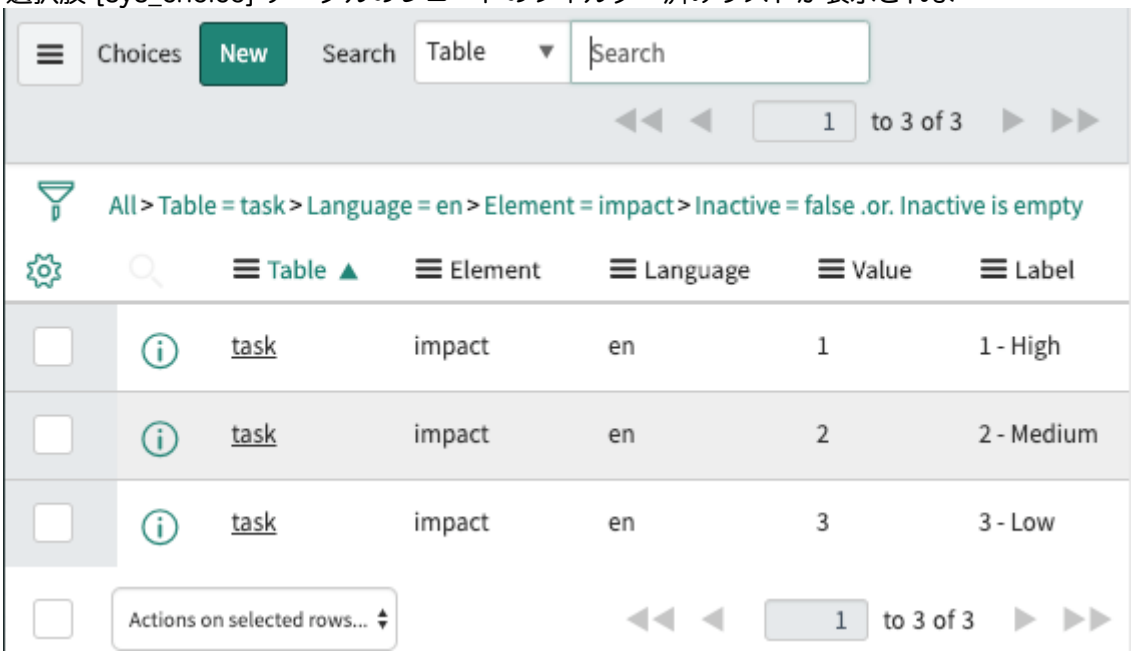


5. [x 件のレコード一致条件] をクリックすると、クエリが返した特定の値が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
この例では、[**3** 件のレコード一致条件] をクリックすると、新しいブラウザタブが開き、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードのフィルター済みリストが表示されます。



6. レコードのリストが、ブレークダウン要素リストに表示される内容と一致することを確認します。
7. レコードが予想と異なる場合は、ブレークダウンソースの [ソース] タブで条件を環境に合わせて変更し、満足するまで手順 4 ～ 6 を繰り返します。
8. [更新] をクリックして変更を保存します。

次のタスク
これで、 のデータを収集 プラットフォームアナリティクスソリューションの説明に従ってデータを収集する準備が整いました。

関連情報

ブレークダウン ソースの定義

のデータを収集 プラットフォームアナリティクスソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューションをインストールし、インスタンス内の正しいデータ構造を指していることを確認したら、インジケーターとブレークダウンのデータを収集します。

プラットフォームアナリティクスソリューションをアクティブ化するたびに、そのソリューションのデータコレクタージョブが自動的にインストールされます。これらのデータコレクタージョブは、ソリューション内のインジケーターとブレークダウンの分析情報を収集します。ジョブの実行後、ソリューションのウィジェットとダッシュボードでデータを確認できます。技術的には、データコレクタージョブは次のアクションを実行します。

- 定期的に (通常は毎日) 実行
- 運用テーブルの読み取り
- インジケーターおよびブレークダウンで指定されている定義に照らして、期間 (通常は 1 日) のデータを測定します
- 結果の測定スコアと (オプションで) 生データを パフォーマンスアナリティクス テーブルに保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスソリューションのプラグインまたはServiceNow Storeアプリケーションは、通常、次の 2 つのジョブをインストールします。

履歴データ収集

プラットフォームアナリティクスソリューション を初めてインストールするときに、履歴データコレクタージョブを実行します。デフォルトでは、履歴データコレクタージョブは、ジョブで指定されたインジケーターの過去 60 日間のデータを収集します。さらに時間をさかのぼる場合は、より多くの履歴データを収集するようにジョブを構成できます。履歴データコレクタージョブは、収集期間中のすべてのデータを上書きします。したがって、 プラットフォームアナリティクスソリューション を初めてインストールするときには、一度だけ実行してください。後続のすべてのデータに対して定期的なデータコレクタージョブを実行します。

定期的なデータ収集 (通常は毎日)

このジョブにより、 パフォーマンスアナリティクス テーブルに今後のデータが入力されます。定期的なデータコレクターが、データを収集するインジケーターの頻度と同じ周期で実行されるようにスケジュールします。ほとんどのインジケーターの頻度は日次であるため、ほとんどのデータコレクタージョブも毎日実行されます。ジョブをスケジュールしたら、そのジョブが [アクティブ] であることを確認します。そうしないと実行されません。

関連情報

インジケータースコアの収集

の履歴データ収集の実行 プラットフォームアナリティクスソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューションをアクティブ化した後、履歴データ収集ジョブを実行します。このジョブでは、既存のデータからすぐにインサイトを得ることができます。

始める前に
必要なロール：pa_admin、admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > データコレクタ > ジョブ.
2. ジョブのリストをフィルタリングして、「Historic」という単語を含むジョブを探します。
3. 新しい プラットフォームアナリティクスソリューションに対応する履歴ジョブを見つけて開きます。
4. [Collection Parameters (収集パラメーター)] セクションに移動し、[**Relative start** (相対開始)] フィールドと [**Relative start interval** (相対開始間隔)] フィールドを設定して、必要な範囲からデータを収集します。
   データコレクターは、フォームで指定された日数 (または他の収集期間) と同じ回数実行されます。たとえば、デフォルト構成の 60 日では、データコレクターは 60 回連続して実行されます。データコレクターは T-60 日後に開始され、日付が 60 日前であるかのようにすべてのレコードを調べます。これらのレコードを処理した後、データコレクターは T-59 日後に再度実行されます。データコレクターは、現在の日付に到達するまでこのプロセスを繰り返します。

   テーブルのサイズによっては、毎日の収集が完了するまでに 1 分か 2 分かかる場合があります。数か月にわたる履歴データ収集は、完了するまでに時間がかかる場合があります。

   プラットフォームアナリティクスソリューションをインストールした製品またはアプリケーションが新しい場合は、履歴データがあまりない可能性があります。この場合、相対開始間隔を短くすることができます。製品またはアプリケーションをまだ使用していない場合は、履歴データの収集を完全にスキップできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [実行方法] フィールドで指定されたユーザーが存在することを確認します。
   ドメインセパレーションを使用している場合は、 実行 ユーザーが表示できるドメインからレコードのみを収集します。ただし、 実行 ユーザーの ACL 権限はデータ収集には影響しません。
6. 実行時のタイムゾーンが会社に適していることを確認します。
   このインジケーターソースに基づくデータベースクエリは、このタイムゾーンを使用します。このタイムゾーンは、データ収集ジョブのタイムスタンプに影響します。このタイムゾーンは、[[Created][on][Today]] のような条件の "今日" の日も定義します。
7. [今すぐ実行] をクリックして、スケジュール設定済みジョブを実行します。
8. 移動先 データコレクタ > ジョブログ.
9. 実行中のジョブ のステータス を確認します。
   ジョブが完了するまで、定期的にビューを更新します。ジョブが成功すると、[ステータス] が [収集済み] に変わります。

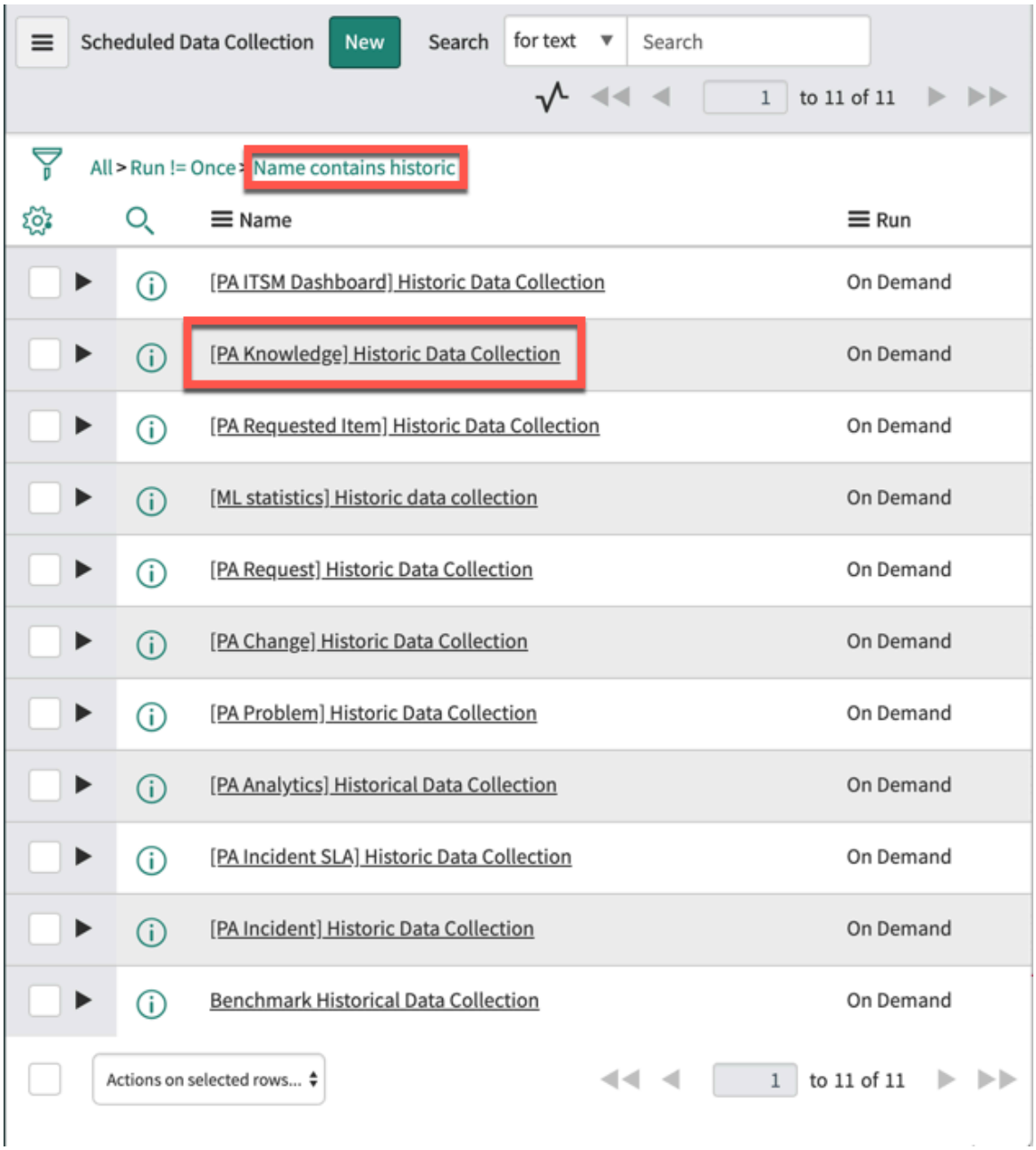
Example: 新規インストールの履歴データの収集 プラットフォームアナリティクスソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューションセットをインストールしました。それらに対して最初の履歴データ収集ジョブを実行するため、 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > データコレクタ > ジョブ.プラットフォームアナリティクスソリューションの履歴ジョブを見つけるには、[[名前][含む][履歴]]でリストをフィルタリングします。

ヒント:
独自のヒストリカル・データ・コレクター・ジョブの作成を開始する場合は、名前に「Historic」という語を含めます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

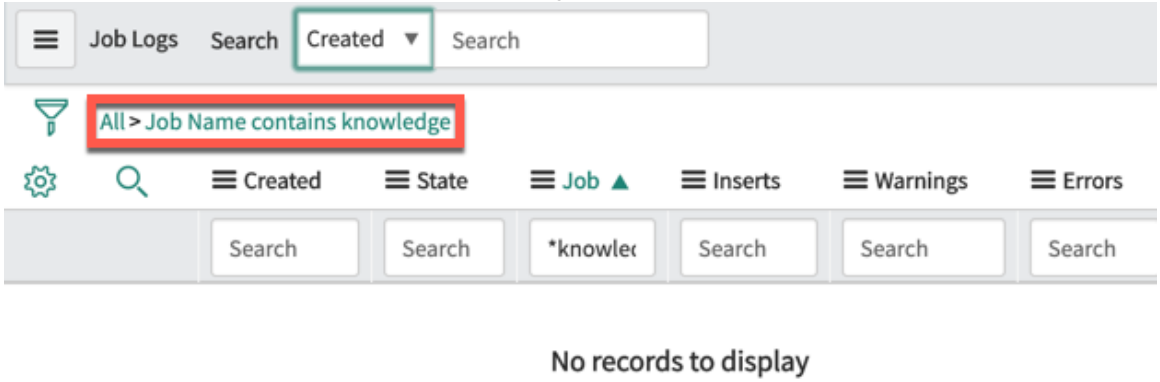


最初にナレッジ管理ソリューションのジョブを実行することにした場合。ナレッジ管理履歴ジョブをまだ誰も実行していないことを確認するには、 データコレクタ > ジョ

自動翻訳

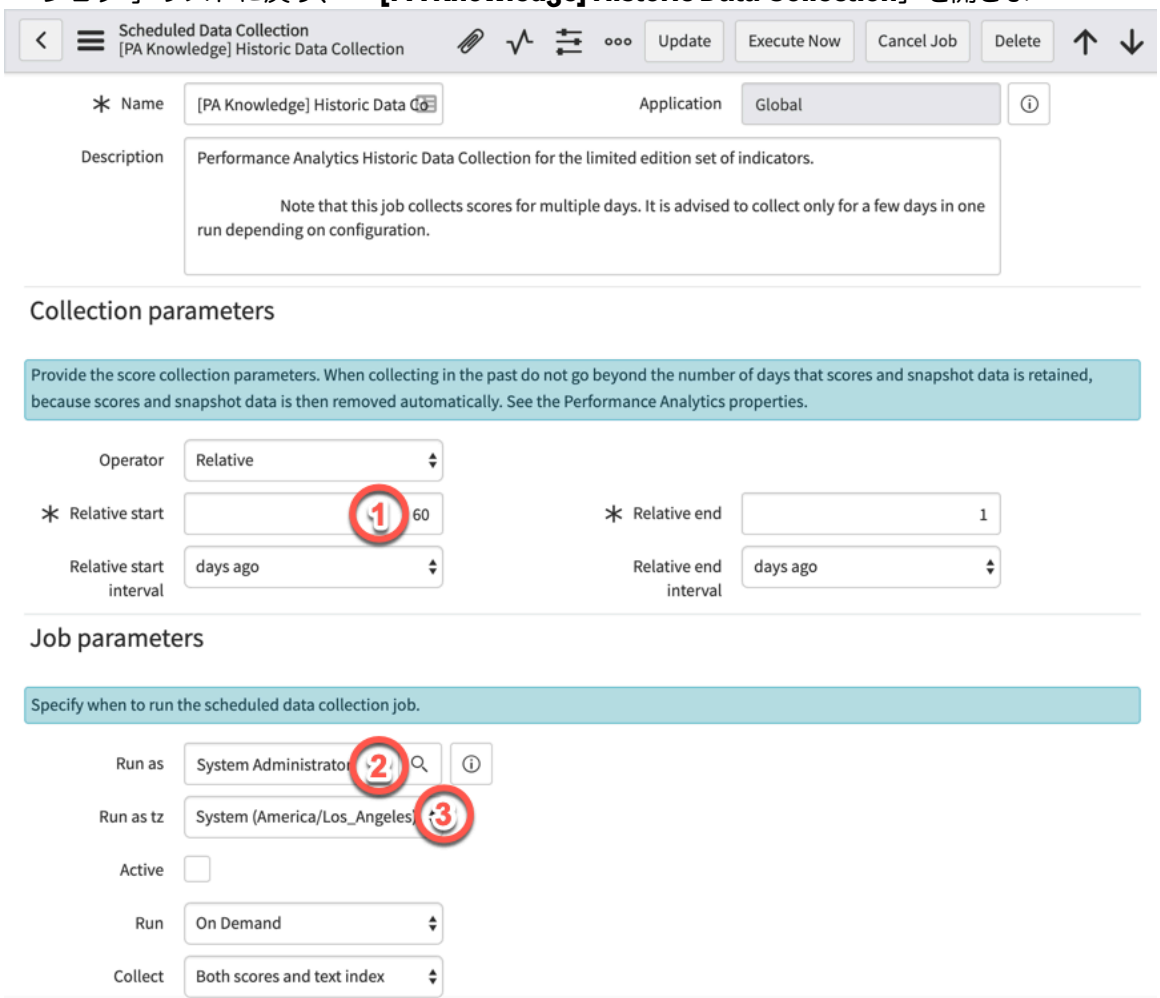
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブログ をクリックし、[[Job][contains][knowledge]]でリストをフィルタリングしま



す。

この場合、前回の zBoot 以降、ジョブが実行されていないことがわかります。そのため、「 ジョブ 」リストに戻り、「 **[PA Knowledge] Historic Data Collection**」を開きま



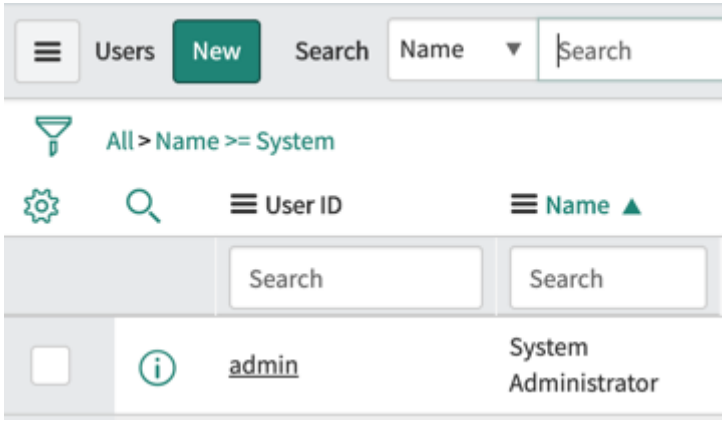
す。

フォームで、次の詳細を確認します。

1. [**Relative start** (相対開始)] フィールドはデフォルトの 60 日に設定されています。これで問題ありません。
2. 実行ユーザーがインスタンスに存在します。それ以外の場合は、別のユーザーを選択する必要があります。

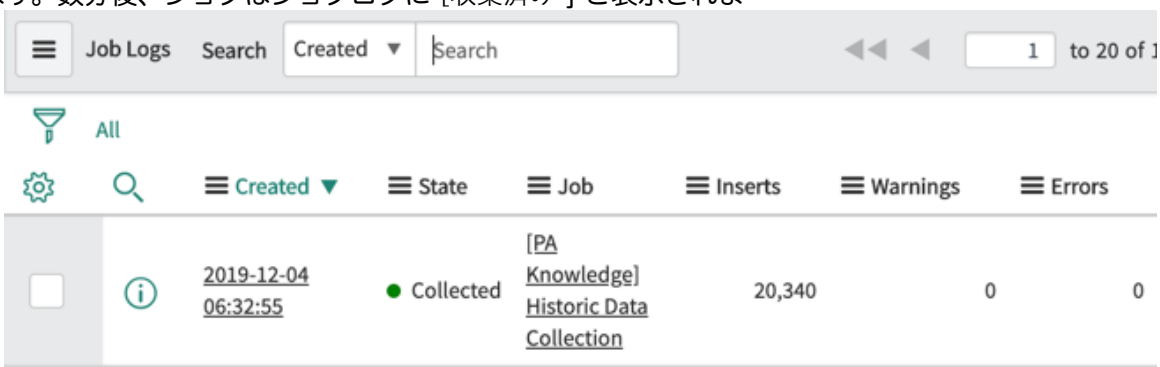
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



3. タイムゾーンは会社に適しています。

履歴ジョブの設定に問題がなければ、「 今すぐ実行」をクリックします。数分後、ジョブはジョブログに [収集済み] と表示されます。



関連情報

履歴データの収集

のデータ収集をスケジュールする プラットフォームアナリティクスソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューションの定期的なデータ収集ジョブを有効にします。実行時間が正しいことを確認してください。

始める前に

必要なロール：pa_admin、admin

このタスクについて

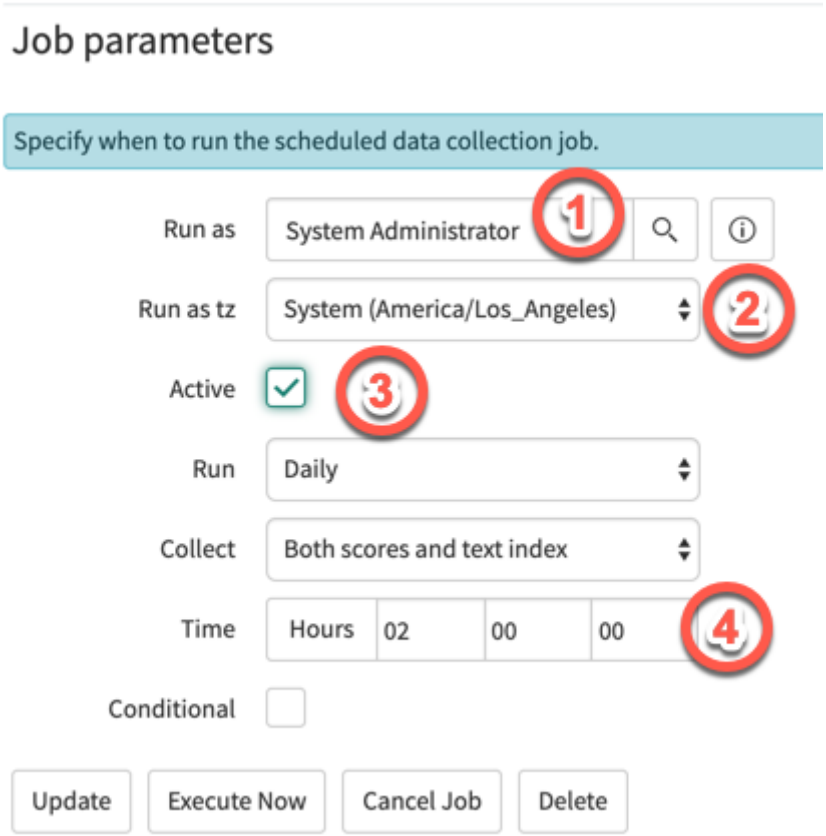
すべての プラットフォームアナリティクスソリューション には、定期的なデータ収集ジョブが含まれています。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > データコレクタ > ジョブ.
2. [[[実行][次の値のいずれでもない][1 回 |On Demand]] かつ [[Active][is][false]]]。
   アクティブ化していない定期的なデータ収集ジョブのみが表示されるようになりました。
3. プラットフォームアナリティクスソリューションの定期的なデータ収集ジョブを開きます。
   次の手順は、ジョブレコードの [ジョブパラメーター] セクションを参照しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [実行方法] フィールドで指定されたユーザーが存在することを確認します。
ドメインセパレーションを使用している場合は、 実行 ユーザーが表示できるドメインからのみレコードを収集します。ただし、[実行ユーザー] ユーザーのアクセス制御リスト権限は、データ収集には影響しません。
5. 実行時のタイムゾーンが会社に適していることを確認します。
このジョブに対して作成されたデータベースクエリは、このタイムゾーンを使用します。このタイムゾーンは、このジョブのログに反映されます。このタイムゾーンは、[[作成日時][日][今日]] のようなインジケーター条件の「今日」の日も決定します。
6. [アクティブ] を選択して、ジョブのスケジュールされた実行を有効にします。
スケジュールオプションを使用できるようになりました。
7. ジョブの実行時間が会社のダウンタイム中であることを確認してください。
   - [時間] の値は、[実行時のタイムゾーン] タイムゾーンではなく、ユーザーセッションのタイムゾーンに基づいています。
   - その日の正確な測定値を得るには、その日が完了している必要があります。日次ジョブの場合、前日に収集するには、[時間] の値は [実行時のタイムゾーン] タイムゾーンの午前 0 時から 06:00 の間である必要があります。たとえば、ニューヨークからログインし、システム/ロサンゼルスタイムゾーンの 05:00 にジョブを実行する場合は、[時刻] を 08:00:00 に設定します。
   - 月次ジョブの場合は、ジョブを実行する日も設定します。通常、月の初日、つまり [実行時のタイムゾーン] の真夜中過ぎに実行するように設定します。この設定では、月の長さに関係なく、前月のすべてのデータが取得されます。

タスクの結果
次の収集期間の後、ダッシュボードとウィジェットにはその期間のスコアが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
ジョブログをチェックして、次の期間の後にジョブが正常に実行されたかどうかを確認します。

関連情報

データ収集ジョブの作成またはスケジュール

インストール済みパフォーマンスアナリティクスインジケーター

このセクションには、 プラットフォームアナリティクスソリューション およびその他のアプリケーションに含まれるインジケーターのリストが含まれています。

パフォーマンスアナリティクスインジケーターを含まないものを含むプラットフォームアナリティクスソリューションの完全なリストについては、「利用可能な プラットフォームアナリティクスソリューション」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスインジケーターを含む他のアプリケーションの完全なリストについては、「ServiceNow Storeパフォーマンスアナリティクスコンテンツを含むアプリケーション」を参照してください。

高度なワークアサインメントインジケーター

高度なワークアサインメント プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 高度なワークアサインメント (com.snc.pa.awa) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
超過ターゲットタスク作業アイテムの割合	ニューヨーク
超過ターゲットインタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
承認されたタスク作業アイテムの数	ニューヨーク
タイムアウトしたタスク作業アイテムの数	ニューヨーク
却下されたタスク作業アイテムの割合	ニューヨーク
超過ターゲットインタラクション作業アイテムの割合	ニューヨーク
承認されたタスク待ち時間の合計	ニューヨーク
却下されたタスク作業アイテムの数	ニューヨーク
却下されたインタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
承認されたインタラクション待ち時間の合計	ニューヨーク
タイムアウトしたインタラクション作業アイテムの割合	ニューヨーク
却下されたインタラクション作業アイテムの割合	ニューヨーク
タスク作業アイテムの数	ニューヨーク
破棄されたインタラクション作業アイテムの割合	ニューヨーク
超過ターゲットタスク作業アイテムの数	ニューヨーク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
タイムアウトしたインタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
インタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
承認されたタスク作業アイテムの割合	ニューヨーク
タイムアウトしたタスク作業アイテムの割合	ニューヨーク
破棄されたインタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
承認されたタスク待ち時間の平均	ニューヨーク
承認されたインタラクション作業アイテムの割合	ニューヨーク
承認されたインタラクション待ち時間の平均	ニューヨーク
承認されたインタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
AWA メッセージング:破棄率	Paris
AWA メッセージング:キャンセルされた会話	Paris
AWA メッセージング:クローズされた会話の合計	Paris

エージェントグループ管理インジケーター

ServiceNow® Store のエージェントグループ管理アプリケーションには、次のインジケーターが含まれています。

インジケーター	追加されたバージョン
WFO：クローズされた顧客満足度サーベイの数	Paris
WFO：顧客満足度サーベイの数	Paris
WFO：新規インシデントの平均顧客満足度	Paris
WFO：新規インシデントの正規化された顧客満足度スコア	Paris
WFO：新規インシデントの顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
WFO：CSAT 応答率	Paris
WFO：P5 インシデントの平均顧客満足度	Paris
WFO：P4 の平均顧客満足度	Paris
WFO：P3 インシデントの平均顧客満足度	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	追加されたバージョン
WFO：P2 インシデントの平均顧客満足度	Paris
WFO：P1 インシデントの平均顧客満足度	Paris
WFO：P5 インシデントの正規化された顧客満足度スコア	Paris
WFO：P4 インシデントの正規化された顧客満足度スコア	Paris
WFO：P3 インシデントの正規化された顧客満足度スコア	Paris
WFO：P2 インシデントの正規化された顧客満足度スコア	Paris
WFO：P1 インシデントの正規化された顧客満足度スコア	Paris
WFO：P5 インシデントの顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
WFO：P4 インシデントの顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
WFO：P3 インシデントの顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
WFO：P2 インシデントの顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
WFO：P1 インシデントの顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
WFO：平均顧客満足度	Paris
WFO：顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
WFO：正規化された顧客満足度スコア	Paris
WFO：再オープンされたクローズ済みインシデントの数	Paris

自動翻訳

Agile 2.0 インジケーター

Agile 2.0 (sn_scrum_dashboard on ServiceNow Store) プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

このダッシュボードの詳細については、「Agile 2.0 のパフォーマンスアナリティクスコンテンツパックのインストール」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
スクラム：現在のリリースのアクティブストーリーのストーリーポイントの合計	ニューヨーク
スクラム：現在のスプリントのアクティブストーリーのストーリーポイントの合計	ニューヨーク
スクラム：アクティブなリリースのすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	ニューヨーク
スクラム：エピック内のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	ニューヨーク
スクラム：現在のスプリントのすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	ニューヨーク
スクラム：アクティブなリリースの完了したストーリーのストーリーポイントの合計	ニューヨーク
スクラム：エピック内の完了したストーリーのストーリーポイントの合計	ニューヨーク
スクラム：スプリントでの経過時間	ニューヨーク
スクラム：ストーリーの平均ステータス期間	Orland
スクラム：ポイントによる完了率	Orland
スクラム：リリースのポイントによる完了率	Orland
スクラム：ストーリーのステータス期間	Orland
スクラム：現在のスプリントの完了したストーリーのストーリーポイントの合計	Orland
スクラム：リリースでの経過時間	Orland
スクラム：アクティブなリリースのすべてのストーリーの数	Paris
スクラム：現在のエピックのすべてのストーリーの数	Paris
スクラム：現在のスプリントのストーリー数	Paris

アプリケーションポートフォリオ管理インジケーター

パフォーマンスアナリティクス アプリケーションポートフォリオ管理 プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 アプリケーションポートフォリオ管理 (com.snc.pa.apm) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
会計四半期ごとの合計アプリスコア	キングストン以前
合計アプリケーションインジケータースコア - 四半期ごと	キングストン以前
ユーザーあたりの平均コスト 四半期別	キングストン以前
合計アクティブユーザー数	キングストン以前

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションセキュリティインジケーター

パフォーマンスアナリティクスアプリケーションセキュリティコンテンツパックおよび基本機能、com.snc.pa.instance_sec_dashおよびcom.glide.instance_sec_centerに含まれるインジケーター。

インジケーター	導入されたバージョン
AppSec：設定プロパティの合計数	London
AppSec - 非準拠設定プロパティの数	London
AppSec：準拠構成プロパティの数	London
外部ログイン	London
管理ログイン	London
失敗したログイン	London
AppSec：合計コンプライアンススコアの計算	London
セキュリティ昇格	London
代理操作	London
追加された管理者ユーザー	London
1 日あたりの AppSec - スパムメール	Madrid
AppSec：1 日あたりのメールの数	Madrid
SNC ログイン	ニューヨーク

ケース管理インジケーター

パフォーマンスアナリティクスケース管理コンテンツパックに含まれるインジケーター、com.snc.pa.customer_service_advanced。

インジケーター	導入されたバージョン
# 最初の問い合わせで解決されたケースの数	Kingston
最初の問い合わせで解決されたケースの割合	Kingston
SLA に違反しているオープンケースの数	Kingston
再オープンされた解決済みケースの割合	Kingston
アサインされていないオープンケース #of	Kingston
クローズ済みケースのエージェントの再アサイン数の合計	Kingston
プロモータの数 (NPS)	Kingston
再オープンされたオープンケースの数	Kingston
NPS	Kingston
CSAT	Kingston
オープンケースのエージェントの再アサイン数の合計	Kingston
再オープンされたオープンケースの割合	Kingston

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
再アサインされたオープンケースの数	Kingston
P1 オープンケースの割合	Kingston
最初の応答時間の合計期間	Kingston
オープンケースの数	Kingston
エスカレーションされたオープンケースの割合	Kingston
満足している顧客の数 (CSAT)	Kingston
CSAT サーベイの回答者数	Kingston
エージェントが再アサインされたオープンケースの割合	Kingston
NPS サーベイの回答者数	Kingston
エスカレーションされたオープンケースの数	Kingston
解決済みケースの合計再オープン数	Kingston
プロモータの割合 (NPS)	Kingston
反対者の割合 (NPS)	Kingston
PRB が指定されたオープンケースの数	Kingston
SLA に違反しているオープンケースの割合	Madrid
過去 5 日間更新されていないオープンケースの割合	Madrid
エージェントあたりのオープンケースの数	Madrid
再アサインされたクローズ済みケースの割合	Madrid
未解決ケースの前回の更新の経過時間合計	Madrid
ケースの平均 NPS	Madrid
オープンケースの前回の更新の平均経過時間	Madrid
エージェントあたりの週ごとのクローズ済みケースの数	Madrid
再アサインされたクローズ済みケースの数	Madrid
アクティブなエージェントの数	Madrid
解決済みのケースの数	Madrid
新規 P1 ケースの割合	Madrid
オープンケースの経過時間合計	Madrid
オープンケースの平均再アサイン回数	Madrid
クローズされたケースの所要時間合計	Madrid
オープン日にクローズされたケースの数	Madrid
エージェントあたりの月ごとのクローズ済みケースの数	Madrid
過去 30 日間更新されていないオープンケースの数	Madrid
オープンケースの平均経過時間	Madrid
過去 5 日間更新されていないオープンケースの数	Madrid
オープンケースの再アサイン回数の合計	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
エージェントあたりの月ごとの新規ケースの数	Madrid
総合顧客満足度のケース平均	Madrid
エージェントあたりの週ごとの新規ケースの数	Madrid
新規ケースの数	Madrid
ケースの平均解決時間	Madrid
SLA 違反をしているクローズ済みケースの割合	Madrid
オープン日にクローズされたケースの割合	Madrid
クローズされたケースの数	Madrid
SLA に違反しているクローズ済みケースの数	Madrid
ケースの平均クローズ所要時間	Madrid
過去 30 日間更新されていないオープンケースの割合	Madrid
解決済みのケースの合計期間	Madrid
ブロックされた未解決ケースの数	Madrid
変更によって発生したオープンケースの数	Madrid
再オープン率	Madrid
オープンしている重大なケースの数	Madrid
解決済みの重大なケースの割合	Madrid
重大なケースから自動作成された子ケースの割合	Madrid
インシデントのあるオープンケースの数	Madrid
重大なケースの子であるケースの数	Madrid
重大なケースの候補の割合	Madrid
インシデントのあるクローズ済みケースの数	Madrid
解決済みの重大なケースの数	Madrid
重大なケースにより影響を受ける顧客の数	Madrid
重大なケースの子である解決済みケースの数	Madrid
インシデントのあるオープンケースの割合	Madrid
再オープンされた解決済みのケースの数	Madrid
重大なケースの子であるオープンケースの数	Madrid
応答ケース数	Madrid
ケースバックログの増加	Madrid
要求のあるオープンケースの数	Madrid
変更によって発生したクローズ済みケースの割合	Madrid
要求のあるクローズ済みケースの数	Madrid
反対者の数 (NPS)	Madrid
オープンしている重大なケースの割合	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
変更によって発生したオープンケースの割合	Madrid
オープンのケース SLA	Madrid
問題のあるクローズ済みケースの割合	Madrid
変更によって発生したクローズ済みケースの数	Madrid
重大なケースの候補の数	Madrid
重大なケースから自動作成された子ケースの数	Madrid
変更のあるオープンケースの割合	Madrid
問題のあるオープンケースの割合	Madrid
変更のあるクローズ済みケースの数	Madrid
変更のあるクローズ済みケースの割合	Madrid
問題のあるオープンケースの数	Madrid
ブロック解除されたオープンケースの数	Madrid
要求のあるクローズ済みケースの割合	Madrid
要求のあるオープンケースの割合	Madrid
ケース平均応答時間	Madrid
問題のあるクローズ済みケースの数	Madrid
変更のあるオープンケースの数	Madrid
オープンケースごとのエージェント再アサインの平均 #	Madrid
インシデントのあるクローズ済みケースの割合	Madrid
クローズ済みケースごとのエージェント再アサインの平均#	Madrid
PCSO:重大なケースに昇格された内部で報告されたケースの割合	ニューヨーク
PCSO:ケースが空でないアラートの数	ニューヨーク
PCSO:影響を受ける展開の数	ニューヨーク
PCSO：積極的ケースの数	ニューヨーク
PCSO:積極的ケースを生成した重大なアラートおよび確認済みアラートの割合	ニューヨーク
PCSO:重大および確認済みアラートの数	ニューヨーク
PCSO:影響を受けた顧客の数	ニューヨーク
PCSO：重大に昇格された積極的なレポート済みケースの数	ニューヨーク

変更管理インジケーター

変更管理 プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 変更管理 (com.snc.pa.change) を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
終了予定日時前のクローズした変更の数	キングストン以前
再度割り当てられたオープンな変更の数	キングストン以前
クローズした変更の平均実装時間 (緊急の変更の割合)	キングストン以前
クローズされた変更の平均再アサイン回数	キングストン以前
新規の高リスク変更の割合	キングストン以前
却下された変更の割合	キングストン以前
変更バックログの増加	キングストン以前
未解決の変更の数	キングストン以前
1 回以上再アサインされたオープン中の変更の割合	キングストン以前
オープン中の変更の平均経過時間 失敗した変更の割合	キングストン以前
未解決の変更の平均再割り当て数	キングストン以前
却下されたクローズした変更の数	キングストン以前
新規変更の数	キングストン以前
変更の平均クローズ時刻	キングストン以前
未解決の変更の更新後の合計経過時間	キングストン以前
クローズした変更の数	キングストン以前
オープン中の変更の更新後の平均経過時間	キングストン以前
終了予定日時前のオープン中の変更の割合	キングストン以前
新規の緊急変更数	キングストン以前
クローズした変更の合計期間	キングストン以前
クローズされた変更の作業時間合計	キングストン以前
新規の緊急変更の割合	キングストン以前
終了予定日時前にクローズした変更の割合	キングストン以前
終了予定日時前のオープン中の変更の数	キングストン以前
未解決の変更の合計経過時間	キングストン以前
変更失敗の数	キングストン以前
終了予定日時後のオープン中の変更の数	キングストン以前
未解決の変更の合計再割り当て数	キングストン以前

変更の成功スコアインジケーター

変更管理 - 変更の成功スコアアプリケーションに含まれるインジケーター com.snc.change_management.change_success_score。

詳細については、 変更管理 (com.snc.pa.change) を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
失敗した変更の割合	Paris
成功したが問題のある変更の割合	Paris
成功した変更の割合	Paris
変更の成功スコア平均	Paris
変更の成功スコア	Paris
失敗した変更	Paris
変更による P3 インシデント	Paris
変更による P2 インシデント	Paris
変更による P1 インシデント	Paris
成功したが問題のある変更	Paris
変更に成功	Paris
合計変更回数	Paris
合計変更回数	Paris
変更の成功スコア.変更による P3 インシデント.乗数	Paris
変更の成功スコア.変更による P2 インシデント.乗数	Paris
変更の成功スコア.変更による P1 インシデント.乗数	Paris
変更の成功スコア。成功したが問題のある変更.乗数	Paris
変更の成功スコア。失敗した変更.乗数	Paris
変更の成功スコア。成功した変更.乗数	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
変更の成功スコア.昨日のスコアの調整	Paris
P3 incidents caused by change.Yesterday	Paris
P2 incidents caused by change.Yesterday	Paris
P1 incidents caused by change.Yesterday	Paris
変更失敗。昨日	Paris
問題を残したまま変更に成功。昨日	Paris
変更に成功。昨日	Paris

クラウドインサイトインジケーター

ServiceNow Store上のすべてのクラウドインサイトアプリケーションは、次のインジケーターを共有します。

インジケーター	追加された日付
クラウドインサイトの見込み節減額の推奨事項	2020-03-16
クラウドインサイトの実現された節減額	2020-02-18
クラウドインサイトの見込み節減率	2020-02-18
クラウドインサイトの消費量	2020-02-18
クラウドインサイトの見込み節減額	2020-02-18

クラウド管理インジケーター

パフォーマンスアナリティクス クラウド管理コンテンツパック (com.snc.pa.cmp) に含まれるインジケーター。

重要:

Tokyo リリースでは、パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - クラウド管理プラグイン (com.snc.pa.cmp) のサポートは廃止されました。このプラグインは、 Paris リリースで廃止されたクラウド管理 v1 プラグインの一部です。

インジケーター	導入されたバージョン
1 日あたりの Cloud Management 請求コストの合計	キングストン以前
コスト総額の割合	キングストン以前
1 日あたりの使用 GB 時間の合計	キングストン以前
1 日あたりの使用時間の合計	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
1 日あたりの使用 GB の合計	キングストン以前

クラウド支出インジケーター

ServiceNow Store の Cloud Spend Core アプリケーションは、次のインジケーターを使用します。

インジケーター	追加された日付
現在の SaaS 支出	2020-03-27
SaaS の見込み節減率	2020-03-24
SaaS 推奨事項の概要	2020-04-28
SaaS サブスクリプション再利用候補	2020-03-27
低実績 SaaS 支出	2020-03-27

CMDB と CSDM のデータファンデーションダッシュボードインジケーター

ServiceNow Store 上の CMDB and CSDM Data Foundations Dashboards アプリケーションは、次のインジケーターを使用します。

CSDM データ基盤ダッシュボードで使用されるインジケーター

これらのインジケーターは、CSDM データ基盤ダッシュボードで使用されます。

基盤のインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアリゼーションの例
製品所有者がいない指定製品モデル	2020-12-17 バージョン 1.2.0	製品所有者がいない指定製品モデル
親がない所在地	2020-12-17 バージョン 1.2.0	親がない所在地
会社なしの事業部門	2020-12-17 バージョン 1.2.0	会社なしの事業部門

クロールのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアリゼーションの例
ビジネスアプリケーションの関係が正しくないアプリケーションサービス	2020-12-17 バージョン 1.2.0	次に消費されない、アプリサービスとビジネスアプリの関係：
ビジネスアプリとの関係がないアプリケーションサービス	2020-12-17 バージョン 1.2.0	ビジネスアプリとの関係がないアプリケーションサービス
アプリケーションサービスとの関係がないビジネスアプリケーション	2020-12-17 バージョン 1.2.0	アプリサービスとの関係がないビジネスアプリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウォークのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアリゼーションの例
テクニカルサービスへの参照がないテクニカルサービスオファリング	2020-12-17 バージョン 1.2.0	テクニカルサービスへの参照がないテクニカルサービスオファリング
テクニカルサービスオファリング	2020-12-17 バージョン 1.2.0	テクニカルサービスオファリング
サポートまたは変更グループがないテクニカルサービスオファリング	2021-03-26 バージョン 1.3.0	サポートまたは変更グループがないテクニカルサービスオファリング
CMDB グループがないダイナミック CI グループ	2021-03-26 バージョン 1.3.0	CMDB グループがないダイナミック CI グループ

実行中のインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアリゼーションの例
カスタム CMDB テーブルを使用するサービス	2020-12-17 バージョン 1.2.0	カスタム CMDB テーブルを使用するサービス
カスタムサービステーブル	2020-12-17 バージョン 1.2.0	カスタムサービステーブル
ビジネスサービスオファリングがないアプリケーションサービス	2020-12-17 バージョン 1.2.0	ビジネスサービスオファリングとの関係がないアプリサービス
アプリサービスとの関係がないビジネスサービスオファリング	2020-12-17 バージョン 1.2.0	アプリサービスとの関係がないビジネスサービスオファリング

フライのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアリゼーションの例
ビジネスアプリとの関係がない情報オブジェクト	2020-12-17 バージョン 1.2.0	ビジネスアプリとの関係がない情報オブジェクト
情報オブジェクト	2020-12-17 バージョン 1.2.0	情報オブジェクト

CMDB データ基盤ダッシュボードで使用されるインジケーター

これらのインジケーターは、CMDB データ基盤ダッシュボードで使用されます。

ベストプラクティスのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアリゼーションの例
シリアル番号がないハードウェア CI	2020-12-17 バージョン 1.2.0	シリアル番号がないハードウェア CI
所有者のいないサービス	2022-07-28 バージョン 2.0.0	所有者がいないサービス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタマイズのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアリゼーションの例
カスタムビジネスアプリケーションテーブル	2022-07-28 バージョン 2.0.0	カスタムビジネスアプリケーションテーブル
標準の命名規則を使用しないカスタム CMDB テーブル	2022-07-28 バージョン 2.0.0	標準の命名規則を使用しないカスタム CMDB テーブル
カスタム CMDB リレーションシップタイプ	2022-07-28 バージョン 2.0.0	カスタム CMDB リレーションシップタイプ
削除および再作成されたベースシステム CMDB 関係タイプ	2022-07-28 バージョン 2.0.0	削除および/または再作成されたベースシステム CMDB 関係タイプ

データ管理プラクティスにおけるインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアリゼーションの例
IRE で処理されない CI	2022-07-28 バージョン 2.0.0	IRE で処理されない CI
未処理の重複 CI	2020-12-17 バージョン 1.2.0	未処理の重複 CI
名前のない CI	2020-12-17 バージョン 1.2.0	名前のない CI
90 日間更新されていないアクティブな CI	2020-12-17 バージョン 1.2.0	90 日間更新されていないアクティブな CI
モデルエントリーがない管理対象 CI	2022-07-28 バージョン 2.0.0	モデルエントリーがない管理対象 CI
ホスト名を反映していないインストール済みサーバー CI の命名	2022-07-28 バージョン 2.0.0	ホスト名を反映していないインストール済みサーバー CI の命名
重複する場所	2022-07-28 バージョン 2.0.0	重複する場所
孤立 CI	2020-12-17 バージョン 1.2.0	孤立 CI
サーバーの場所がありません	2022-07-28 バージョン 2.0.0	サーバーの場所がありません

ITSM プロセスのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアリゼーションの例
CI を参照していないインシデント	2022-07-28 バージョン 2.0.0	CI を参照していないインシデント
CI を参照していない変更	2022-07-28 バージョン 2.0.0	CI を参照していない変更
サービスにも CI にも関連しないインシデント	2022-07-28 バージョン 2.0.0	サービスにも CI にも関連しないインシデント
サービスにも CI にも関連しない変更	2022-07-28 バージョン 2.0.0	サービスにも CI にも関連しない変更

CMDB ワークスペースインジケーター

ServiceNow Store の CMDB ワークスペースでは、次のインジケーターが使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	追加されたバージョン
CI 概要	San Diego
更新されたサービスマップ	San Diego
新規サービスマップ	San Diego
新しいアプリケーション	San Diego
新規デバイス	San Diego
アプリケーションサービスの機能停止	San Diego
更新されたアプリケーションサービス	San Diego
新しいアプリケーションサービス	San Diego
アプリケーションサービス合計	San Diego
更新された CI	San Diego
作成された CI	San Diego

コーチングインジケーター

コーチングアプリケーションに含まれるインジケーター、com.sn_coaching。

インジケーター	追加された日付
コーチングアセスメントがクローズされました	2020-04-13
フィードバックが「不満」でクローズしたコーチングアセスメント	2020-02-11
フィードバックが「やや不満」でクローズしたコーチングアセスメント	2020-02-11
フィードバックが「普通」でクローズしたコーチングアセスメント	2020-02-11
フィードバックが「良い」でクローズしたコーチングアセスメント	2020-02-11
フィードバックが「とても良い」でクローズしたコーチングアセスメント	2020-02-11
コーチング：計算済みのアセスメントフィードバックスコア	2020-02-12
品質評価 -フィードバック評価	2020-02-12
コーチング：インシデント関連アセスメントの数	2020-04-20
コーチング：完了したインシデント関連アセスメントの数	2020-04-20
コーチング：インシデントありでクローズされたアセスメントの割合	2020-04-13
コーチングの研修生の品質評価	2021-08-23
研修生のコーチングのサーベイインスタンス	2021-08-23
コーチング正規化研修生スコア	2021-08-23

Communities インジケーター

コミュニティ プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 コミュニティ (com.snc.pa.communities) を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
コミュニティ - アクティビティのあるコンテンツの割合	Kingston
コミュニティ - 解決済みとしてマークされた質問の割合	Kingston
コミュニティ - 未回答の質問の割合	Kingston
コミュニティ - コンテンツアイテムごとの回答/コメントの平均数	Kingston
コミュニティ - コンテンツアイテムごとのソーシャルアクティビティの平均数	Kingston
コミュニティ - コンテンツアイテムごとの平均表示回数	Kingston
コミュニティ - アクティブな貢献者の数	Kingston
コミュニティ - コンテンツの表示回数	Kingston
コミュニティ - 新しい寄稿コンテンツの数	Kingston
コミュニティ - 新規メンバーの数	Kingston
コミュニティ - 回答された質問の数	Kingston
コミュニティ - 解決された質問の数	Kingston
コミュニティ - 検索の数	Kingston
コミュニティ - コミュニティに含まれるセッションの数	Kingston
コミュニティ - メンバーの合計数	Kingston
コミュニティ - 未回答の質問の数	Kingston
コミュニティ - ブログ、ビデオ、およびドキュメントの合計数	Kingston
コミュニティ - コンテンツ全体でのコメントと回答の合計数	Kingston
コミュニティ - コンテンツの合計数	Kingston
コミュニティ - コメントまたは回答以外のコンテンツの合計数	Kingston
コミュニティ - アクティビティのあるコンテンツの合計数	Kingston
コミュニティ - 貢献者の合計数	Kingston
コミュニティ - ディスカッションの合計数	Kingston
コミュニティ - 役に立ったマークの合計数	Kingston
コミュニティ - 付与されたポイントの合計数	Kingston
コミュニティ - 質問の合計数	Kingston
コミュニティ - 賛成票の合計数	Kingston
コミュニティ - 合計ソーシャルアクティビティ	Kingston
コミュニティ - 注目のコンテンツ	ニューヨーク
コミュニティ - アクティビティから移動されたコンテンツの数	ニューヨーク
コミュニティ - アクティビティに移動されたコンテンツの数	ニューヨーク

構成管理 (CMDB) インジケーター

構成管理 プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、 Configuration Management (CMDB) (com.snc.pa.cmdb) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
合計 CI 購入コスト	キングストン以前
CI のオープン中のインシデントの数	キングストン以前
CI 不具合発生回数の平均	キングストン以前
CMDB ヘルス評価結果 - ブレークダウン	キングストン以前
CMDB 精度比率	キングストン以前
CI のコスト合計	キングストン以前
CMDB ヘルススコアカード	キングストン以前
CI 不具合発生回数の合計	キングストン以前
新規 CI の数	キングストン以前
CMDB ヘルス評価結果	キングストン以前
検出された CI の数	キングストン以前
構成アイテムの数	キングストン以前
監視対象構成アイテムの割合	キングストン以前
CI のオープン中の変更の数	キングストン以前
インストールされた CI の数	キングストン以前
購入済み CI 数	キングストン以前
CI 所有率	キングストン以前
監視対象構成アイテム数	キングストン以前

コンテンツアナリティクスインジケーター

コンテンツアナリティクスの プラットフォームアナリティクスソリューション に含まれるインジケーター。

詳細については、「 コンテンツアナリティクス (Content Analytics) [com.sn_content_analytics] 」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
過去 365 日間のすべての訪問数	Madrid
セッションあたりの平均ページビュー	Madrid
1 日あたりの訪問	Madrid
1 日あたりのページビュー	Madrid
本日のトップページ	Madrid
今週のトップページ	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツ公開 インジケーター

コンテンツ公開 向けのプラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、「 コンテンツアナリティクスで従業員のエンゲージメントを測定する 」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
実行日数	Madrid
エンゲージメント総数	Madrid
経時的イベントアクティビティ	Madrid
経時的コンテンツ別イベント	Madrid
経時的アクション別イベント	Madrid
キャンペーン：影響度ターゲット	Orland
キャンペーン：影響度の評価	Orland
キャンペーン：影響度ベースライン	Orland

継続的サービス改善インジケーター

パフォーマンスアナリティクス継続的サービス改善コンテンツパックに含まれるインジケーター、sn_cim。

インジケーター	導入されたバージョン
CIM: オープンイニシアチブ	London

カスタマーサービス管理 **(CSM) -** 詳細インジケーター

カスタマーサービス管理 (CSM) の プラットフォームアナリティクスソリューション に含まれるインジケーター。

詳細については、「 カスタマーサービス管理 - 詳細 (com.snc.pa.customer_service_advanced)」 を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
CSAT	Madrid
最初の問い合わせで解決されたケースの割合	Madrid
超過チャットターゲット	Madrid
超過ケースターゲット	Madrid
平均解決時間	Madrid
ケースバックログの増加	Madrid
重大なケースにより影響を受ける顧客の数	Madrid
重大なケースから自動作成された子ケースの割合	Madrid
ブロックされた未解決ケースの数	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
ブロック解除されたオープンケースの数	Madrid
5 日間更新されていないオープンケースの割合	Madrid
オープンしている重大なケースの割合	Madrid
SLA に違反しているオープンケースの割合	Madrid
P1 オープンケースの割合	Madrid
エスカレーションされたオープンケースの割合	Madrid
問題のあるオープンケースの割合	Madrid
エージェントが再アサインされたオープンケースの割合	Madrid
重大なケースの候補の割合	Madrid
再オープンされたオープンケースの割合	Madrid
要求のあるオープンの割合	Madrid
問題のあるクローズ済みケースの割合	Madrid
変更によって発生したクローズ済みケースの割合	Madrid
オープン日にクローズされたケースの数	Madrid
再オープンされた解決済みケースの割合	Madrid
解決済みの重大なケースの割合	Madrid
再アサインされたクローズ済みケースの割合	Madrid
SLA に違反しているクローズ済みケースの割合	Madrid
変更のあるクローズ済みケースの割合	Madrid
インシデントのあるクローズ済みケースの割合	Madrid
要求でクローズされた割合	Madrid
エージェントの効率性の傾向	Madrid
エージェントおよびアカウント別のクローズ済みケース	Madrid
超過ターゲットタスク作業アイテムの割合	Madrid
承認されたタスク作業アイテムの割合	Madrid
承認されたインタラクション作業アイテムの割合	Madrid
破棄されたインタラクション作業アイテムの割合	Madrid
オープンケースの数	Madrid
PCSO：アクティブケースの機能停止	Orland
PCSO：平均機能停止期間	Orland
PCSO：影響を受けるインストールベースアイテムの数	Orland
PCSO：クローズ済みの機能停止の数	Orland
PCSO：影響を受けた顧客の数	Orland
PCSO：影響を受けた顧客の数	Orland
PCSO：機能停止の数	Orland

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
PCSO：機能停止の合計期間	Orland
ケースの最も遅い解決時間	Rome
ケースの最速解決時間	Rome
ケースの最も遅い応答時間	Rome
ケースの最速応答時間	Rome

DevOps インサイトインジケーター

ServiceNow Store上の DevOps インサイトアプリケーションは、次のインジケーターを使用します。

インジケーター	追加された日付
DevOps 変更によって発生した解決済みインシデントの平均所要時間	2020-05-10
DevOps 変更によって発生した解決済みインシデントの平均所要時間	2020-04-05
過去 30 日間の DevOps 変更によって発生した解決済みインシデントの平均所要時間	2020-04-10
DevOps 変更によって発生した解決済みインシデントの平均解決時間	2020-04-05
過去 30 日間の平均サービス可用性	2020-04-10
変更失敗率	2020-04-07
過去 30 日間にクローズされた DevOps の変更	2020-05-10
クローズされた DevOps の変更 (日次)	2020-05-10
インシデントの数 (日次)	2020-04-27
機能停止の数 (日次)	2020-04-27
インシデントに関連付けられた DevOps 変更要求の数	2020-04-07
DevOps 変更によって発生した解決済みインシデントの数	2020-04-05
変更を伴う本番展開の成功数	2020-04-07
サービス可用性 - 昨日	2020-03-20
過去 30 日間のサービス可用性	2020-05-06
DevOps の変更の合計数	2020-05-07

デジタルポートフォリオ管理インジケーター

ServiceNow Store 上のデジタルポートフォリオ管理アプリケーションは、次のインジケーターを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	サポートされているバージョン
アラートの数	San Diego
アラートによって引き起こされたインシデント	San Diego
時間の経過に伴うサービスの重大度	San Diego
サービスの影響率	San Diego
アラート期間の合計	San Diego
最重要のインシデント:解決までの平均時間	San Diego
解決済みの重要インシデントの数	San Diego
解決済みの重大なインシデントの合計期間	San Diego
アラートによって引き起こされた重大なインシデント	San Diego
重大度が「最重要」のアラート	San Diego
クローズした高リスクの変更	San Diego
クローズした緊急変更	San Diego
P1 インシデント数	San Diego
P2 インシデント数	San Diego
最重要のインシデント	San Diego
クローズ済み要求アイテムの数	San Diego
新規 P5 問題の数	San Diego
新規 P4 問題の数	San Diego
新規 P3 問題の数	San Diego
新規 P2 問題の数	San Diego
新規 P1 問題の数	San Diego
新規 P1 インシデントの数	San Diego
新しい重大なインシデントの数	San Diego
インシデントの平均顧客満足度	San Diego
インシデントの正規化された顧客満足度スコア	San Diego
インシデントの顧客満足度サーベイインスタンス	San Diego
CSAT 評価 1	San Diego
CSAT 評価 2	San Diego
CSAT 評価 3	San Diego
CSAT 評価 4	San Diego
CSAT 評価 5	San Diego
解決済みのインシデントの数	San Diego
解決済みのインシデントの合計期間	San Diego

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	サポートされているバージョン
解決に要する平均時間	San Diego
アイテム別のカタログアクティビティ	San Diego
アイテム別の平均クローズ所要時間	San Diego
RITM スキップしてクローズ	San Diego
RITM がスキップしてクローズされている割合	San Diego
RITM 完了してクローズの割合	San Diego
RITM 完了してクローズ	San Diego
RITM 未完了でクローズ	San Diego
RITM 未完了でクローズされた割合	San Diego
クローズに要する平均時間	San Diego
新規の緊急変更	San Diego
予定されている機能停止	San Diego
デグレードによる機能停止	San Diego
平均機能停止期間	San Diego
機能停止	San Diego
予定されている機能停止時間 (分)	San Diego
デグレードによる機能停止時間 (分)	San Diego
予定外の機能停止時間 (分)	San Diego
未解決の要求の数	San Diego
新規要求の数	San Diego
未解決の変更の数	San Diego
新規変更の数	San Diego
未解決の問題の数	San Diego
新規の問題の数	San Diego
変更バックログの増加	San Diego
クローズした変更の数	San Diego
今後の変更の数	San Diego
合計機能停止時間 (分)	San Diego

ディスカバリーインジケーター

ディスカバリー プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、「ディスカバリー (com.snc.pa.discovery)」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
本日実行したジョブの合計期間	キングストン以前
本日完了した新規ディスカバリー数	キングストン以前

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーター	導入されたバージョン
ディスカバリーログ	キングストン以前
新規検出デバイス問題の割合	キングストン以前
問題のある新規検出デバイス	キングストン以前
新規検出デバイス	キングストン以前
デバイスの平均的な問題	キングストン以前
新たに検出されたデバイスの問題の合計	キングストン以前

必須SaFEインジケーター

ServiceNow Storeの Essential SAFe プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 Essential SaFE を参照してください。

インジケーター	追加されたバージョン
SAFe：ストーリーの平均ステータス期間	
SAFe：ポイントによる完了率	
SAFe：PI のポイントによる完了率	
SAFe：ストーリーのステータス期間	
SAFe：現在の PI のアクティブストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：現在のスプリントのアクティブストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：現在の PI のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：現在のスプリントのすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：現在の PI の完了したストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：現在のスプリントの完了したストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：PI での経過時間	
SAFe：現在のエピックのすべてのストーリーの数	Paris
SAFe：現在の PI のすべてのストーリーの数	Paris
SAFe：現在のスプリントのストーリー数	Paris
SAFe：エピック内のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	Paris
SAFe：機能内のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	Paris
SAFe：エピック内の完了したストーリーのストーリーポイントの合計	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	追加されたバージョン
SAFe：機能内の完了したストーリーのストーリーポイントの合計	Paris

イベント管理インジケーター

イベント管理 プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 イベント管理 (com.snc.pa.em) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
オープンアラートの合計経過時間	キングストン以前
オープンで未確認のアラートの割合	キングストン以前
再オープンしたアラートの数	キングストン以前
全アラート中のプライマリアラートの数	キングストン以前
全アラート中のプライマリアラートの割合	キングストン以前
今日作成されたすべてのアラート (仮想を除く) の数	キングストン以前
オープン日にクローズされたアラートの割合	キングストン以前
オペレータによってクローズされたアラートの割合	キングストン以前
重要な新規アラートの割合	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンアラートの数	キングストン以前
オープンアラートの最終更新の平均経過時間	キングストン以前
過去 2 日間更新されていない未解決アラートの数	キングストン以前
オープンな未確認アラートの数	キングストン以前
クローズされたアラートの合計期間	キングストン以前
1 回以上再オープンされたアラートの割合	キングストン以前
今日影響を受けるビジネスサービスの割合	キングストン以前
割り当てられたタスクのないアラートの割合	キングストン以前
フラッピングしているアラートの割合	キングストン以前
クローズ済みアラートの平均解決時間	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンアラートの割合	キングストン以前
フラッピングしているアラートの数	キングストン以前
クローズ済みアラートの数	キングストン以前
平均経過時間のオープンアラート	キングストン以前
グループ化されていないアラートの数	キングストン以前
過去 2 日間更新されていないオープンアラートの割合	キングストン以前
オープン日にクローズされたアラートの数	キングストン以前
オープンアラートの最終更新の合計経過時間	キングストン以前
イベントのアラートへの圧縮率 (今日)	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
グループ化されていないアラートの割合	キングストン以前
未解決アラートの数	キングストン以前
本日作成されたすべてのイベントの数	キングストン以前
ビジネスサービスの合計数の割合	キングストン以前
今日のビジネスサービスアップタイムの割合	キングストン以前
影響を受ける新規ビジネスサービス	キングストン以前
影響を受けるサービスの合計数の割合	キングストン以前
今日の影響時間の割合	キングストン以前
影響を受けるビジネスサービス	キングストン以前
新規ビジネスサービス	キングストン以前
平均ビジネスサービス影響時間	キングストン以前
ビジネスサービス影響時間の合計	キングストン以前
新規アラートの数	キングストン以前
ビジネスサービスの数	キングストン以前
新規非セカンダリ アラートの数	Madrid
アラート グループのカバー範囲の割合 (%)	Madrid
アラート グループの数	Madrid
新規仮想アラートの数	Madrid
アラート グループの圧縮の割合 (%)	Madrid
割り当てられたタスクのないアラートの数	ニューヨーク
新規のグループ化されたアラートの数	ニューヨーク
システムアドミン以外によってクローズされたアラートの数	ニューヨーク

フィールドサービス管理 (FSM) インジケーター

フィールドサービス管理 (FSM) プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、「フィールドサービス管理 (com.snc.work_management_pa)」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
新規作業指示の数	キングストン以前
作業指示タスクの所要時間合計	キングストン以前
作業指示タスクの作業時間合計	キングストン以前
クローズされた作業指示タスクの予定所要時間に対する実際の所要時間の割合	キングストン以前
作業指示タスクのエージェント稼働率	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
クローズされた作業指示の数	キングストン以前
作業指示の平均クローズ所要時間	キングストン以前
作業指示タスクの予定所要時間の合計	キングストン以前
作業指示タスクの計画所要時間の合計 (時間)	キングストン以前
クローズされた作業指示の所要時間合計	キングストン以前
作業指示タスクの合計実績所要時間 (時間)	キングストン以前
作業指示タスクのエージェント生産時間の割合	キングストン以前
オープン作業指示の数	キングストン以前
クローズされた作業指示タスクのユニークエージェント数	キングストン以前

ファイナンシャルマネジメントインジケーター

ファイナンシャルマネジメント プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、次を参照してください。 ファイナンシャルマネジメント プラットフォームアナリティクスソリューション.

インジケーター	導入されたバージョン
Sum Charges Service.Charge.Expense.Line.Details	キングストン以前
Sum Cost Service.Charge.Expense.Line.Details	キングストン以前
前回の期間の料金差異合計	キングストン以前
会計四半期ごとの投資合計	キングストン以前
会計四半期ごとの合計経費	キングストン以前
製品のケース当たりのコスト	キングストン以前
会計四半期にクローズされたケースの数	キングストン以前
アカウントのケース当たりのコスト	キングストン以前
ケース当たりのコスト	キングストン以前
会社の作業指示タスク当たりのコスト	キングストン以前
製品の作業指示タスク当たりのコスト	キングストン以前
ミクロネシア連邦。作業指示当たりのコスト	キングストン以前
ミクロネシア連邦。四半期の総コスト	キングストン以前
ミクロネシア連邦。四半期ごとの作業指示の数	キングストン以前
FSM.Total cost for fiscal quarter	キングストン以前
年次計画実績	Kingston
保留中のタスクの数	Kingston
予算計画アイテム合計金額	Kingston

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
承認済みタスクの数	Kingston
合計経費金額	Kingston
合計投資金額	Kingston
計画タスクの数	Kingston
月次予算実績	Kingston
合計予算金額	Kingston
予算と実績の差異	Kingston
予算と予測の差異	Kingston
承認済みタスクの合計額	Kingston
合計予測金額	Kingston
承認済みタスクの割合	Kingston
保留中のタスクの合計額	Kingston
会計四半期ごとの経費合計 - サービスコストモデル	Madrid
会計四半期ごとの経費合計 - ビジネス機能コストモデル	Madrid
会計四半期ごとの経費合計ブレークダウン - ビジネス機能コストモデル	Madrid
ユーザーごとのコスト平均	Madrid
会計四半期ごとの経費合計 - ビジネスサービスコストモデル	Madrid
集計からの会計四半期ごとの経費合計 - 共有サービス	Madrid
集計からの会計四半期ごとの経費合計 - アプリケーションコストモデル	Madrid
ユーザーあたりの平均コスト - アプリケーション	Madrid
総支出のアプリケーションコストの割合 (%)	Madrid
会計四半期ごとの経費合計 - アプリケーションコストモデル	Madrid
会計四半期ごとの合計ユーザー	Madrid
会計四半期ごとの経費合計のブレークダウン - ITSS - アプリケーションコストモデル	Madrid
会計四半期ごとの経費合計 - アプリケーション	Madrid
会計四半期ごとの経費合計ブレークダウン - ビジネスサービスコストモデル	ニューヨーク
会計四半期ごとの経費合計	ニューヨーク
会計四半期ごとの経費合計のブレークダウン - アプリケーションコストモデル	ニューヨーク
年次合計ターゲット計画	ニューヨーク

ファイナンシャルサービスオペレーション **(FSO)** インジケーター

ファイナンシャルサービスオペレーション プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれ、ServiceNow Storeで利用可能なインジケーター。

詳細については、「Financial Services Operations のアナリティクスおよびレポートソリューション」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーター	導入されたバージョン
エージェントの生産性	1.0.1
クローズされた支払ケースの数	1.0.1
エージェントの数	1.0.1
クローズされたケースの数 (今日クローズされたケース)	1.0.1
クローズされたケースの数 (本日クローズされた SLA)	1.0.1
SLA に違反しているクローズ済みケースの数	1.0.1
SLA を満たしたクローズ済みケースの数	1.0.1
結果に基づく銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
実際の処理が [例外] の銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
実際の処理が [保護] の銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
要求された処理が [例外] の銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
要求された処理が [保護] の銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
実際の処理が [例外] の顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
実際の処理が [保護] の顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
例外として要求された処理と顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の数 (Number of closed external claims having customer error with requested treatment as exception)	1.0.1
要求された処理が [保護] の顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
新規ケースの数	1.0.1
オープンケースの数	1.0.1
要求された処理が [保護] のオープンケースの数	1.0.1
例外として要求された処理があるオープンケースの数	1.0.1
要求された処理が [なし] のオープンケースの数	1.0.1
SLA に違反しているオープンケースの数	1.0.1
SLA 違反の割合が 80% を超えるオープンケースの数	1.0.1
要求された処理が [なし] の銀行エラーカテゴリがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
要求された処理が [なし] の銀行エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
要求された処理が [例外] の銀行エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
要求された処理が [保護] の銀行エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
支払プロセッサが [例外] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
支払プロセッサが [なし] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
支払プロセッサが [保護] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
要求された処理が [例外] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
要求された処理が [なし] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
要求された処理が [保護] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
支払:SLA に違反しているオープンケースの数	1.0.1
クローズされた請求の請求金額の合計	1.0.1
クローズされた請求の払い戻し金額の合計	1.0.1
銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の払い戻し金額の合計	1.0.1
実際の処理に基づく顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の払い戻し金額の合計	1.0.1
銀行エラーがあるオープンな内部請求の合計額	1.0.1
顧客エラーがあるオープンな内部請求の合計額	1.0.1
オープンケースの経過時間合計	1.0.1
クローズされたケースの所要時間合計	1.0.1
クローズされた支払ケースの所要時間合計	1.0.1
要求された処理に基づく銀行エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
実際の処理に基づく銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
合計数の復旧で使用された銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
実際の処理に基づく顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
結果に基づく顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
クローズされた内部請求の合計数	1.0.1
要求された処理が [例外] のオープンケースの合計数	1.0.1
要求された処理が [保護] のオープンケースの合計数	1.0.1
オープンな内部請求ケースの合計数	1.0.1
銀行エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
エラーカテゴリに基づく銀行エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
支払プロセッサ別に分類された銀行エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
顧客エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
支払プロセッサ別に分類された顧客エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
カスタムエラーカテゴリの顧客エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の払い戻し金額の合計	1.0.1
顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の払い戻し金額の合計	1.0.1
合計ボリューム	1.0.1

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイアウォール監査およびレポートインジケーター

ServiceNow Store の Firewall Audits and Reporting アプリケーションに含まれるインジケーター。

インジケーター	作成日
ファイアウォールデバイス	2020-04-01
ファイアウォールセキュリティ方針	2020-04-06
新しいファイアウォールセキュリティポリシー	2020-04-06
未完了のファイアウォール監査応答	2020-04-06
未完了のファイアウォールタスク	2020-04-06

GRC:詳細ダッシュボードインジケーター

GRC: Advanced Dashboards (com.sn_grc_pa_advanced) プラグインに含まれるインジケーター。

インジケーター	追加された日付
承認された問題	2020-03-08
承認済み例外	2020-03-09
重要な優先度の問題	2020-03-06
期限切れの例外	2020-03-09
高優先度の問題	2020-03-06
高リスク	2020-03-31
本日クローズした問題	2020-03-02
本日作成された問題	2020-03-02
今月で解決する問題	2020-03-02
今四半期で解決する問題	2020-03-02
今週で解決する問題	2020-03-02
今年で解決する問題	2020-03-02
今日で解決する問題	2020-03-02
低リスク	2020-03-31
中リスク (Moderate Risks)	2020-03-31
承認された例外の数	2020-03-09
要求された例外の数	2020-03-09
オープンな例外	2020-03-09
オープン中の問題	2020-03-06
期限切れの問題	2020-03-06
期限切れの問題新規	2020-03-02
期限切れの問題ステータス分析	2020-03-02

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	追加された日付
対応のステータスにある期限切れの問題	2020-03-02
期限切れの問題ステータスレビュー	2020-03-02
期限切れの修復タスクオープン	2020-03-02
対応のステータスにある期限切れの修復タスク	2020-03-02
レビューのステータスにある期限切れの修復タスク	2020-03-02
対応中のステータスにある期限切れの修復タスク	2020-03-02
今月が期限の保留中の例外承認	2020-03-10
今四半期が期限の保留中の例外承認	2020-03-10
今週が期限の保留中の例外承認	2020-03-10
今日が期限の保留中の例外承認	2020-03-10
今月が期限の保留中の例外延長承認	2020-03-10
今四半期が期限の保留中の例外延長承認	2020-03-10
今週が期限の保留中の例外延長承認	2020-03-10
今日が期限の保留中の例外延長承認	2020-03-10
却下された例外	2020-03-09
今日クローズした修復タスク	2020-03-02
今日作成された修復タスク	2020-03-02
今月で 完了する修復タスク	2020-03-02
今四半期で 完了する修復タスク	2020-03-02
今週で 完了する修復タスク	2020-03-02
今年で完了する修復タスク	2020-03-02
今日で完了する修復タスク	2020-03-02
今月予定されている受け入れタスク有効期限	2020-03-31
今四半期予定されている受け入れタスク有効期限	2020-03-31
今週予定されている受け入れタスク有効期限	2020-03-31
今年予定されている受け入れタスク有効期限	2020-04-13
今日予定されている受け入れタスク有効期限	2020-03-31
来週予定されている例外有効期限	2020-03-31
今月予定されている例外有効期限	2020-03-31
今週予定されている例外有効期限	2020-03-31
今日予定されている例外有効期限	2020-03-31
明日予定されている例外有効期限	2020-03-31
非常に高いリスク	2020-03-31
非常に低いリスク	2020-03-31

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC:高度なリスクインジケーター

GRC: 高度なリスク (sn_risk_advanced) アプリケーションの GRC: リスクイベント、GRC: リスクステートメント別のエクスポージャー、GRC: エンティティ別のエクスポージャー、および GRC: オペレーショナルリスク管理ダッシュボードに含まれるインジケーター。

インジケーター	導入されたバージョン
アクティブイベント	ニューヨーク、変更されたオーランド
この四半期に対して計算された ALE 平均の平均 [ActiveGRCEntities から]	ニューヨーク
この四半期に対して計算された ALE 平均の平均 [ActiveGRCRiskStatements から]	ニューヨーク
この四半期に対して計算された ALE 合計の平均 [ActiveGRCRiskStatements から]	ニューヨーク
この四半期に対して計算された ALE 合計の平均 [ActiveGRCEntities から]	ニューヨーク
優先度別の自分のリスクタスク	ニューヨーク
チームリスクバックログ	ニューヨーク
チームの非常に高いリスク	ニューヨーク
未アサインのリスク	ニューヨーク
期限切れのリスクアセスメント	ニューヨーク
計算済みスコア別のチームリスク	ニューヨーク
引用権限ドキュメントのコンプライアンス	ニューヨーク
全体的なプロファイルコンプライアンス (四半期)	ニューヨーク
平均引用権限ドキュメントのコンプライアンススコア	ニューヨーク
この四半期に対して計算された最大 ALE の最大値 [ActiveGRCEntities から]	ニューヨーク
この四半期に対して計算された最大 ALE の最大値 [ActiveGRCRiskStatements から]	ニューヨーク
この四半期に対して計算された最小 ALE の最小値 [ActiveGRCEntities から]	ニューヨーク
この四半期に対して計算された最小 ALE の最小値 [ActiveGRCRiskStatements から]	ニューヨーク
# 財務以外の影響度が高いイベントの数 (月次)	Orland
# 非財務的影響度の高いイベントの数 (四半期)	Quebec
# 影響度> 1 M のイベント (月次)	Orland
# of events with impact > 1 M (四半期ごと)	Quebec
年間損失予測 [ActiveGRCMonthlyEntities から]	Orland
年次損失予測 [ActiveGRCMonthlyRiskStatement から]	Orland
イベントあたりの平均追加コスト	Orland

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
イベントあたりの平均総損失	Orland
イベントあたりの平均純損失	Orland
損失イベントあたりの平均復旧数	Orland
総損失 (日次)	Orland
ニアミス	Orland
純損失 (日次)	Orland
財務以外の影響	Orland
イベント数	Orland
高残存リスクの数	Paris
無効なコントロールの数	Paris
# リスクに関連するリスクイベント	Paris
平均コントロール有効性	Paris
平均固有リスク	Paris
平均残存リスク	Paris
非財務リスクイベント	Paris
リスクアセスメント (オープン)	Paris
監視ステータスのリスクアセスメント	Paris
合計予想損失	Paris
リスクの合計総損失	Paris
リスクの合計純損失	Paris
合計潜在的損失	Paris
エンティティの残存リスク傾向	Quebec
残存リスク	Quebec
PPM：プロジェクトリスクアセスメント	Quebec
PPM：エンタープライズリスクアセスメント	Quebec
PPM：評価されたリスク	Quebec
PPM - Enterprise Impace のリスク	Quebec
PPM：合計リスク	Quebec
失敗したコントロールのある高リスク	Quebec
失敗したインジケーターのある高リスク	Quebec
リスク傾向	Quebec
コントロールアセスメントスコア	San Diego
残存アセスメントスコア	San Diego
固有のアセスメントスコア	San Diego

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC:Audit Management インジケーター

GRC: Audit Management プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、「GRC: Audit Management Analytics and Reporting Solution (Audit Management アナリティクスおよびレポートソリューション)」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
すべてのコントロールテスト数	Quebec
今四半期に作成されたコントロールテスト	Quebec
失敗したコントロールテスト (四半期ごと)	Quebec
失敗したコントロールテスト	Quebec
コントロールテスト失敗率 (過去 6 か月間)	Quebec
不合格のコントロールテストの割合	Quebec
失敗したコントロール	Quebec
テストされていないキーコントロール	Quebec
進行中のコントロールテスト	Quebec
オープンな監査問題	Quebec
成功したコントロール	Quebec

GRC:ポリシーとコンプライアンスインジケーター

ServiceNow Store の GRC: Policy and Compliance アプリケーションに含まれるインジケーター。

インジケーター	作成日
失敗したコントロールインジケーターの数	2020-03-30
失敗したコントロールテストの数	2020-03-30
コントロール (廃止されていない)	2020-03-30
証明書の失効数	2021-03-26、バージョン 12.0.1
失敗したコントロールインジケーターの数	2021-03-26、バージョン 12.0.1
# 失敗したコントロールテストの数	2021-03-26、バージョン 12.0.1
アクティブコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
過去 6 か月間のすべてのアクティブなコントロールインジケーター	2021-03-26、バージョン 12.0.1
権限ドキュメントのコンプライアンススコアの割合	2021-03-26、バージョン 12.0.1

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	作成日
引用コンプライアンススコア (%)	2021-03-26、バージョン 12.0.1
証明されていないコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
コントロール目標に対するコンプライアンススコア (%)	2021-03-26、バージョン 12.0.1
KCI のないコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
テスト計画のないコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
エンティティコンプライアンス スコア (%)	2021-03-26、バージョン 12.0.1
除外されたコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
過去 6 か月間の失敗したコントロールインジケーター数	2021-03-26、バージョン 12.0.1
キーコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
失敗したインジケーターのあるキーコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
必須コントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
新しいコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
孤立コントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
Policy and Compliance スコア (%)	2021-03-26、バージョン 12.0.1
合計コントロールインジケーター	2021-03-26、バージョン 12.0.1
月ごとの失敗したコントロールインジケーターの割合	2021-05-06、バージョン 14.2.0
毎月実行されているコントロールインジケーターの合計数	2021-05-06、バージョン 14.2.0
月ごとの失敗したコントロールインジケーターの数	2021-05-06、バージョン 14.2.0

GRC:プロファイルインジケーター

ServiceNow Store の GRC: Profiles アプリケーションに含まれるインジケーター。

インジケーター	作成日
インジケータータスク (今四半期作成)	2020-03-31

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	作成日
問題 (今四半期作成)	2020-03-31
すべてのオープン中の問題	2021-03-27
すべてのオープンな問題 (前四半期比)	2021-03-27
すべての未アサインの問題	2021-03-27
今月 (すべてのオープンな問題 (月次)	2021-03-27
今月 (すべてのアクティブな修復タスク (月次)	2021-03-27
今四半期 (四半期ごとのすべてのオープンな問題)	2021-03-27
今四半期 (四半期ごとのすべてのアクティブな修復タスク)	2021-03-27
今週 (週次のすべてのオープンな問題)	2021-03-27
今週 (週次のすべてのアクティブな修復タスク)	2021-03-27
今年 (すべてのオープンな問題 (年次)	2021-03-27
今年 (年ごとのすべてのアクティブな修復タスク)	2021-03-27
今日 (すべてのオープンな問題 (日次)	2021-03-27
今日 (すべてのアクティブな修復タスク (日次)	2021-03-27
経過時間インジケーターの問題	2021-03-27
新しい問題	2021-03-27
オープンな修復タスク	2021-03-27
修復タスクの経過時間インジケーター	2021-03-27
今月	2021-03-27
今四半期	2021-03-27
今週	2021-03-27
今日	2021-03-27

自動翻訳

GRC:リスク管理インジケーター

ServiceNow Store の GRC: Risk Management アプリケーションに含まれるインジケーター。

インジケーター	作成日
失敗したリスクインジケーターの数	2020-03-30
オープン中の軽減タスク	2020-03-30
コントロール目標に対するリスクステートメント	2021-01-07
リスク傾向	2021-03-22
オープンな問題の合計数	2021-01-18
月ごとの失敗したリスクインジケーターの割合	2021-01-17
月ごとの失敗したリスクインジケーターの数。	2021-01-17
月ことの合計リスクインジケーター数	2021-01-17
新規リスク	2021-01-07

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	作成日
KPI のないリスク	2020-07-26
未評価リスク	2020-07-26
孤立リスク	2020-07-26
コントロールを軽減しないリスク	2020-07-26
アクティブなリスク	2020-07-26
失敗したリスクインジケーターの割合	2020-05-19
合計リスクインジケーター (四半期)	2020-05-19

ガイド付きツアーインジケーター

ガイド付きツアー プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。このソリューションは、 ServiceNow Store アプリケーションとして利用できます。

詳細については、「) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
ガイド付きツアー：すべての認定ツアーユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：ツアーを完了したユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：失敗したツアー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：一意のユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：週次の一意のユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：合計セッション時間	ニューヨーク
ガイド付きツアー：完了したツアー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：却下されたツアー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：プレイ	ニューヨーク
ガイド付きツアー：週次のツアーを完了した一意のユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：平均セッション期間 (秒)	ニューヨーク
ガイド付きツアー：予約がないユーザーの数	ニューヨーク
ガイド付きツアー：すべてのツアー完了ユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：認定ツアーユーザーに対する完了ユーザー	ニューヨーク

ハードウェア資産管理インジケーター

プラットフォームアナリティクスソリューション for ハードウェア資産管理 に含まれるインジケーターは、ServiceNow Store で入手できます。

詳細については、「 ハードウェア資産管理のパフォーマンス分析ソリューション 」を参照してください。

インジケーター	互換バージョン
% モデル正規化	San Diego

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	互換バージョン
合計モデル数	San Diego
モデル正規化数	San Diego

ヘルスログアナリティクスインジケーター

プラットフォームアナリティクスソリューション for ヘルスログアナリティクス に含まれるインジケーターは、ServiceNow Store で入手できます。

詳細については、次を参照してください。 プラットフォームアナリティクスソリューション ヘルスログアナリティクス向け

インジケーター	作成日
節減額 (USD)	2021-03-28 バージョン 19.1.4
節減額 (MTTR)	2021-03-28 バージョン 19.1.4
アクティブなストリーミングエンドポイント	2021-03-28 バージョン 19.1.4
アラート圧縮率	2021-03-28 バージョン 19.1.4
KB を伴ったアラート	2021-03-28 バージョン 19.1.4
Alerts.Open	2021-03-28 バージョン 19.1.4
HLA アラート発生時刻からアラートクローズ時刻までの平均時間	2021-03-28 バージョン 19.1.4
ITSM チケットを伴わなかったクローズ済みアラート	2021-03-28 バージョン 19.1.4
Detections.accepted	2021-03-28 バージョン 19.1.4
重要としてマークされた HLA アラート	2021-03-28 バージョン 19.1.4
ITSM チケットになった HLA アラート	2021-03-28 バージョン 19.1.4
ITSM チケットを伴う HLA アラート	2021-03-28 バージョン 19.1.4

ヒューマンリソース **(HR)** インジケーター

ヒューマンリソース (HR)、ヒューマンリソース (HR):労務 (ER)、およびヒューマンリソース (HR) ライフサイクルイベント プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、「 HR パフォーマンスアナリティクススコープソリューション 」および 「労務 (ER) のアナリティクスおよびレポートソリューション」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
オープンケースの平均経過時間	キングストン以前
新規ケースの数	キングストン以前
クローズされたケースの所要時間合計	キングストン以前
最初の 30 日間に記録されたケースと要求の合計数	Kingston
雇用後の最初の 30 日間に記録された HR ケースの数	Kingston
雇用後の最初の 30 日間に記録された IT 要求の数	Kingston
雇用後の最初の 30 日間に記録された設備要求の数	Kingston
オープンケースの平均再アサイン数	Kingston
クローズ済みケースの平均経過時間	Kingston
オンボーディングアクティビティの平均所要時間 - 従業員	Kingston
離職する従業員の数	Kingston
オンボーディングアクティビティの平均所要時間 - 履行者	Kingston
オンボーディングケースごとのオンボーディングアクティビティの平均数 - 履行者	Kingston
オンボーディングケースごとのオンボーディングアクティビティの平均数	Kingston
オンボーディングケースごとのオンボーディングアクティビティの平均数 - 従業員	Kingston
オンボーディングアクティビティの平均所要時間	Kingston
オープンケースの合計再アサイン回数	Kingston
再アサインされたオープンケースの数	Kingston
HR ケースの増加	Kingston
SLA に違反しているオープンケースの数	Kingston
過去 10 日間更新されていないケースの数	Kingston
クローズ済み HR ケースの数	Kingston
オープンケースの合計期間	Kingston
過去 3 日間更新されていないケースの数	Kingston
アサインされていないオープンケースの数	Kingston
平均ケースサーベイスコア	Kingston
オープンケースの数	Kingston
クローズ済み HR ケースの数	Kingston
新規雇用満足度の平均サーベイスコア	London
新規ライフサイクルイベントケースの数	London
クローズされたオンボーディングアクティビティの数 - 従業員	London

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
オープンライフサイクルイベントケースの数 - プレ 1 日目	London
クローズされたオンボーディングアクティビティの数	London
オープンライフサイクルイベントケースの数 - ポスト 1 日目	London
オンボーディングアクティビティの合計期間	London
オンボーディングアクティビティの合計期間 - 履行者	London
クローズ済みライフサイクルイベントケースの数	London
オンボーディングアクティビティの合計期間 - 従業員	London
クローズされたオンボーディングアクティビティの数 - 履行者	London
オープンライフサイクルイベントケースの数 - 従業員 (今後 7 日以内に開始)	London
コンテンツアナリティクス.1 日のページビュー	Madrid
ContentAnalytics.すべての訪問	Madrid
ContentAnalytics.Daily Visits	Madrid
ContentAnalytics.Weekly Page Views	Madrid
コンテンツアナリティクス.Daily Unique Users	ニューヨーク
コンテンツアナリティクス.Daily Events	ニューヨーク
コンテンツアナリティクス.イベント.ServiceNowTracking のみ	ニューヨーク
コンテンツアナリティクス. 1 日のページビュー.ServiceNowTracking のみ	ニューヨーク
コンテンツアナリティクス. デイリーバウンスレート	ニューヨーク
コンテンツアナリティクス.Daily 新規ユーザー	ニューヨーク
ContentAnalytics.ページ当たりの 1 日の平均時間	ニューヨーク
コンテンツアナリティクス.セッション当たり全期間平均ページビュー.ServiceNow 追跡のみ	ニューヨーク
コンテンツアナリティクス. 1日のブラウザ訪問	ニューヨーク
ContentAnalytics.Weekly Visits	ニューヨーク
ContentAnalytics.Average session duration	ニューヨーク
コンテンツアナリティクス.すべてのページビュー.ServiceNowTracking のみ	ニューヨーク
ContentAnalytics.Daily Total Session Duration	ニューヨーク
ContentAnalytics.セッション当たりの週間平均ページビュー	ニューヨーク
コンテンツアナリティクス. 1 週間のページビュー.ServiceNowTracking のみ	ニューヨーク
ContentAnalytics.Daily Bounces	ニューヨーク
Campaign.To-dos.All	ニューヨーク
ERCases.AllegationTypes	Quebec
ERCases.CorrectiveActions	Quebec
ERCases.NewThisWeek	Quebec
ERCases.Open	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
ERCases.PastSLA	Quebec
ERCases.Restricted	Quebec

Idea Manager Dashboard のインジケーター

ServiceNow Store から Idea Manager Dashboard for PPM に含まれるインジケーター。

インジケーター	作成日
失敗したリスクインジケーターの数	2020-03-30
オープン中の軽減タスク	2020-03-30

インシデント管理インジケーター

パフォーマンスアナリティクス インシデント管理コンテンツパックに含まれるインジケーター:com.snc.pa、com.snc.pa.itsm_dashboards、com.snc.pa.itsm_dashboards。

インジケーター	導入されたバージョン
オープンインシデントの前回の更新の平均経過時間	キングストン以前
1 回以上再度割り当てられたオープンインシデントの割合	キングストン以前
未解決のインシデントの数	キングストン以前
新規インシデントの数	キングストン以前
過去 30 日間更新されていないオープン中のインシデントの割合	キングストン以前
未解決の期限切れインシデントの割合	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンインシデントの数	キングストン以前
クローズされたインシデントの所要時間合計	キングストン以前
オープンインシデントの前回の更新の合計経過時間	キングストン以前
オープン中のインシデントの数	キングストン以前
インシデントの平均クローズ所要時間	キングストン以前
オープン中のインシデントの平均再アサイン数	キングストン以前
オープン日に解決されたインシデントの数	キングストン以前
オープン日に解決されたインシデントの割合	キングストン以前
過去 30 日間更新されていないオープンインシデントの数	キングストン以前
クローズされたインシデントの数	キングストン以前
解決済みインシデントの平均解決時間	キングストン以前
解決済みのインシデントの合計期間	キングストン以前
オープンインシデントの合計経過時間	キングストン以前
インシデントバックログの増加	キングストン以前
未解決の期限切れインシデントの数	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
オープンインシデントの合計再割り当て数	キングストン以前
セルフサービスによりクローズされたインシデントの割合	キングストン以前
セルフサービスによりクローズされたインシデントの数	キングストン以前
重要な新規インシデントの割合	キングストン以前
再アサインなしで解決されたインシデントの割合	キングストン以前
解決済みのインシデントの数	キングストン以前
未解決のインシデントの割合	キングストン以前
最初のアサイン先グループにより解決されたインシデントの数	キングストン以前
最初のアサイン先グループにより解決されたインシデントの割合	キングストン以前
平均経過時間のオープンインシデント	キングストン以前
再度割り当てられたオープンインシデントの数	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンインシデントの割合	キングストン以前
SLA を満たさなかったオープンインシデントの割合	Kingston
問題があるオープンインシデントの割合	Kingston
期限切れの要求アイテムの割合	Kingston
アクティブである重大なインシデント	Kingston
クローズ済み作業負荷	Kingston
ITSM 総合平均顧客満足度	Kingston
ITSM 正規化された満足度スコア	Kingston
ITSM サーベイインスタンス	Kingston
Major Incidents Opened Today (本日オープンされた重大なインシデント)	Kingston
新規作業負荷	Kingston
SLA を満たさなかったインシデントの数	Kingston
7 日以内に計画されている未解決の変更の数	Kingston
アサインされていないオープンインシデントの数	Kingston
問題があるオープンインシデントの数	Kingston
解決済みの重大なインシデントの数	Kingston
オープン作業負荷	Kingston
解決済みの重大なインシデントの合計期間	Kingston
作業負荷バックログの増加	Kingston
違反した SLA のある解決済みインシデントの数	Madrid
ITSM サーベイインスタンス	Madrid
SLA 違反をしているクローズした要求の割合 (%)	Madrid
SLA を満たさなかったオープンインシデントの割合	Madrid
未解決のインシデントの予測平均コスト	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
SLA 違反を含む解決済みインシデントの割合	Madrid
要求あたりの平均コスト	Madrid
7 日以内に計画されている未解決の変更の数	Madrid
クローズ済み作業負荷	Madrid
問題があるオープンインシデントの数	Madrid
アサインされていないオープンインシデントの数	Madrid
アクティブなタスク SLA の数	Madrid
本日のアクティブな違反された SLA	Madrid
期限後にクローズされた要求の数	Madrid
違反 SLA のあるクローズ済み要求の数	Madrid
作業負荷バックログの増加	Madrid
解決されたインシデントのコスト	Madrid
ITSM 正規化された満足度スコア	Madrid
ITSM 平均総合顧客満足度	Madrid
期限切れの要求アイテムの割合	Madrid
オープン作業負荷	Madrid
完了した要求のコスト	Madrid

インシデント **SLA** 管理インジケーター

インシデント SLA 管理 プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 インシデント SLA (com.snc.pa.sla) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
未解決で期限切れのインシデントの数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの更新後の合計経過時間	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントアサインの割合	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの更新後の平均経過時間	キングストン以前
時間内に応答したインシデントアサインの数	キングストン以前
時間内に解決しなければならない未解決インシデントの数	キングストン以前
時間内に解決されたインシデントの割合	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの割合	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの平均経過時間	キングストン以前
# 時間内に応答しなければならなかったインシデントアサインの数	キングストン以前
時間内に応答したインシデント割り当ての割合	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの合計経過時間	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
時間内に解決しなければならなかった解決済みインシデント #of	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの合計再アサイン回数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの平均再アサイン回数	キングストン以前
時間内に解決されたインシデントの数	キングストン以前
# 時間内に応答すべきオープンインシデントアサインの数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントアサインの数	キングストン以前

インスタンスセキュリティセンターに含まれるグローバルインジケーター

インジケーターはインスタンスセキュリティセンターに含まれており、すべてのインスタンスで使用できます。

インジケーター	追加された日付
アクティブな MFA ユーザー	2021-08-16
ロックアウトされた MFA ユーザー	2021-08-16
MFA バイパスを使用しているユーザーの数	2021-08-16
MFA に登録されているユーザーの数	2021-08-16
PCI:合計コンプライアンススコアの計算	2021-08-16
PCI:準拠構成プロパティの数	2021-08-16
PCI:構成プロパティの合計数	2021-08-16
エクスポート	2021-01-11
非アクティブなユーザー	2020-08-24
アクティブユーザー	2020-08-24

ITSM インジケーター

ITSM プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター (ITSM エージェント、ITSM マネージャー、ITSM エグゼクティブ)。

詳細については、「ITSM ダッシュボード (com.snc.pa.itsm_dashboards)」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
SLA 違反をしているクローズした要求の割合 (%)	Madrid
最初のアサイン先グループにより解決されたインシデントの割合	キングストン以前
重要な新規インシデントの割合	キングストン以前
重要な新規問題の割合	キングストン以前
SLA を満たさなかったオープンインシデントの割合	Kingston
過去 5 日間更新されていないオープンインシデントの割合	キングストン以前
問題があるオープンインシデントの割合	Kingston

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
過去 30 日間更新されていない未解決問題の割合	キングストン以前
期限切れの要求アイテムの割合	Kingston
未解決で期限切れのインシデントの割合	Orland
SLA 違反を含む解決済みインシデントの割合	Madrid
本日のアクティブな違反された SLA	Madrid
未解決問題の平均経過時間	キングストン以前
未解決の要求の平均経過時間	キングストン以前
オープンインシデントの平均経過時間	キングストン以前
要求の平均クローズ時刻	キングストン以前
インシデントあたりの平均コスト	Madrid
要求あたりの平均コスト	Madrid
要求あたりの平均コスト - 週次 =	Madrid
解決済インシデントあたりの平均コスト - 週次	Madrid
オープン中のインシデントの平均再アサイン数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの平均再アサイン数	キングストン以前
解決済みインシデントの平均解決時間	Orland
クローズ済み作業負荷	Madrid
解決されたインシデントのコスト	Madrid
完了した要求のコスト	Madrid
ITSM 平均総合顧客満足度	Madrid
ITSM 正規化された満足度スコア	Madrid
ITSM サーベイインスタンス	Madrid
新規作業負荷	Madrid
アクティブ タスク SLA の数	Madrid
本日の違反タスク SLA の数	Madrid
クローズ済みの完了した要求の数	キングストン以前
クローズされたインシデントの数	キングストン以前
クローズした問題の数	キングストン以前
クローズした要求の数	キングストン以前
違反 SLA のあるクローズ済み要求の数	Madrid
SLA を満たさなかったインシデントの数	Kingston
新規インシデントの数	キングストン以前
新規の問題の数	キングストン以前
新規要求の数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの数	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
今後 7 日間に計画されているオープン中の変更の数	Madrid
アサインされていないオープンインシデントの数	キングストン以前
オープン中のインシデントの数	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンインシデントの数	キングストン以前
時間内に解決しなければならない未解決インシデントの数	キングストン以前
問題があるオープンインシデントの数	キングストン以前
未解決の問題の数	キングストン以前
過去 5 日間更新されていない未解決の問題の数	キングストン以前
1 つ以上のオープンインシデントを含むオープンな問題の数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの数	キングストン以前
期限日前の未解決の要求アイテムの数	キングストン以前
未解決の要求の数	キングストン以前
期限後にクローズされた要求の数	Madrid
解決済みのインシデントの数	キングストン以前
最初のアサイン先グループにより解決されたインシデントの数	キングストン以前
違反した SLA のある解決済みインシデントの数	Madrid
オープン作業負荷	Kingston
オープンインシデントの予測平均コスト	Madrid
未解決の要求の予測平均コスト	Madrid
オープンインシデントの合計経過時間	キングストン以前
未解決の問題の合計経過時間	キングストン以前
未解決の要求の合計経過時間	キングストン以前
クローズした要求の合計期間	キングストン以前
解決済みのインシデントの合計期間	キングストン以前
オープンインシデントの合計再割り当て数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの合計再アサイン回数	キングストン以前
作業負荷バックログの増加	Kingston

ナレッジ管理インジケーター

ナレッジ管理 プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、「 ナレッジ管理 (com.snc.pa.knowledge_v2)」 を参照してください。

ナレッジ管理、London より前のバージョン (使用廃止)

インジケーター	導入されたバージョン
公開されたナレッジ記事の合計評価	キングストン以前
新規ナレッジフィードバックの評価の合計	キングストン以前

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ナレッジ管理、London より前のバージョン (使用廃止) (続く)

インジケーター	導入されたバージョン
アクティブな質問の数	キングストン以前
閲覧された公開記事の数	キングストン以前
ナレッジ記事が公開されるまでの平均時間	キングストン以前
使用された公開記事の数	キングストン以前
ナレッジ記事あたりの平均閲覧回数	キングストン以前
公開記事の平均閲覧回数	キングストン以前
却下されたインシデントの数 ナレッジ別	キングストン以前
回答されたアクティブな質問の数	キングストン以前
平均質問回答数	キングストン以前
新規ナレッジフィードバックの数	キングストン以前
フラグ付けされた公開記事の数	キングストン以前
新規ナレッジ記事の数	キングストン以前
公開されたナレッジ記事の閲覧回数合計	キングストン以前
役に立たないとマークされた公開記事の割合	キングストン以前
役に立ったとマークされた公開記事の割合	キングストン以前
閲覧されたナレッジ記事の数	キングストン以前
ナレッジ記事を閲覧したユニークユーザー数	キングストン以前
公開されたナレッジ記事の使用回数合計	キングストン以前
公開されたナレッジ記事の数	キングストン以前
記事の平均評価	キングストン以前
閲覧されたナレッジ記事の使用率	キングストン以前
フラグ付けされた公開記事の割合	キングストン以前
ナレッジ記事あたりの平均使用回数	キングストン以前
閲覧された公開記事の割合	キングストン以前
回答された質問の割合	キングストン以前
フラグ付けされたナレッジ記事の数	キングストン以前
役に立ったとマークされた公開記事の数	キングストン以前
平均質問閲覧回数	キングストン以前
使用された公開記事の割合	キングストン以前
フラグ付けされたナレッジ記事の割合	キングストン以前
公開記事の所要時間合計	キングストン以前
役に立たないとマークされた公開ナレッジ記事の数	キングストン以前
評価済みの新規ナレッジフィードバックの数	キングストン以前
使用されたナレッジ記事の数	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ナレッジ管理、London より前のバージョン (使用廃止) (続く)

インジケーター	導入されたバージョン
ナレッジ記事の数	キングストン以前

ナレッジ管理 **v2**

インジケーター	導入されたバージョン
公開されたナレッジ記事の割合	London
平均クリックランク	London
公開までの平均時間	London
クリックスルーレート	London
記事の月次平均評価	London
検索を実行したアクティブなユーザーの数 - 月次	London
記事を表示したアクティブなユーザーの数 - 月次	London
アクティブなナレッジ記事の数	London
公開されたナレッジ記事の数	London
評価されたナレッジ記事の数 - 月次	London
ナレッジ検索の数とランク - 月次	London
ナレッジ検索の数 - 月次	London
ナレッジ記事の評価合計 - 月次	London
ナレッジ検索ランクの合計 - 月次	London
非認証ユーザーの平均クリックランク	Quebec
非認証ユーザーのクリックスルー率	Quebec
非認証ユーザーによる記事の閲覧回数 - 月次	Quebec
非認証ユーザーによるナレッジ検索の数 - 月次	Quebec
非認証ユーザーのナレッジ検索の数とクリックランク - 月次	Quebec
非認証ユーザーによるナレッジ検索ランクの合計 - 月次	Quebec

法務サービスデリバリのインジケーター

法務サービスデリバリのパフォーマンスアナリティクスコンテンツパックに含まれるインジケーター。

インジケーター	導入されたバージョン
コンテンツレビュー	Rome
利益相反	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
SLA を満たしたプライバシーおよびコンプライアンス要求の割合	Rome
SLA で完了した法務に関する要求の合計	Rome
SLA 内で完了した要求	Rome
プライバシー影響度評価	Rome
株式事前承認	Rome
デジタルフォレンジック	Rome
販売契約レビュー	Rome
NDA 要求	Rome
一般的な法務要求	Rome
プライバシーアセスメント	Rome
弁護士ごとの平均要求数	Rome
法務グループのメンバー数	Rome
プライバシーとコンプライアンスの平均要求完了時間	Rome
YTD 法務プライバシーおよびコンプライアンス要求	Rome
経過時間 > 60 日	Rome
経過時間 30 ~ 60 日	Rome
経過時間 < 30 日	Rome
法的要求の MoM 傾向	Rome
実務エリアごとの平均要求完了時間	Rome
年初来の法務に関する要求	Rome

重大インシデント管理インジケーター

重大インシデント管理 プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 重大インシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
アクティブである重大なインシデント	Madrid
アクション用のレコードを選択:重大なインシデントの平均昇格時間	Orland
アクション用のレコードを選択:重大なインシデントの平均解決時間	Madrid
アクション用のレコードを選択:本日オープンされた重大なインシデント	Madrid
アクション用のレコードを選択:昇格された重大なインシデントの数	Orland
アクション用のレコードを選択:解決済みの重大なインシデントの数	Madrid
アクション用のレコードを選択:昇格された重大なインシデントの合計期間	Orland

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
アクション用のレコードを選択:解決済みの重大なインシデントの合計期間	Madrid

NLU ワークベンチインジケーター

NLU ワークベンチプラグイン (com.snc.nlu_studio) に含まれるインジケーター。

インジケーター	追加されたバージョン
NLU インテント予測カウント	Paris

オンコールスケジューリングインジケーター

オンコールスケジューリングプラグイン (com.snc.on_call_rotation) に含まれるインジケーター。

インジケーター	追加されたバージョン
オンコール：確認済みのエスカレーション連絡試行の割合 (%)	Paris
オンコール：確認済みのエスカレーションの割合	Paris
オンコール：確認されていないエスカレーション連絡試行の割合 (%)	Paris
オンコール：確認されていないエスカレーションの割合 (%)	Paris
オンコール：平均エスカレーション応答確認	Paris
On-Call：平均レベル応答確認	Paris
オンコール:平均通知確認応答	Paris
オンコール：確認済みの連絡試行回数	Paris
オンコール：エスカレーション連絡試行の数	Paris
オンコール：エスカレーション通知数	Paris
オンコール: 確認されたエスカレーション通知の数	Paris
オンコール：確認されていないエスカレーション通知の数	Paris
オンコール：エスカレーション数	Paris
オンコール：確認されたエスカレーションの数	Paris
オンコール：確認されていないエスカレーションの数	Paris
オンコール：エスカレーション連絡試行の確認されていない数	Paris

メトリックインテリジェンスインジケーター

プラットフォームアナリティクスメトリックインテリジェンスコンテンツパック (com.snc.sa.metric.pa.content) に含まれるインジケーター

インジケーター	導入されたバージョン
昇格した異常アラートの割合	London
クローズされた昇格済み異常アラートの合計期間	London
クローズされた昇格済み異常アラートの数	London

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
新規昇格済み異常アラートの数	London
新規異常アラートの数	London
昇格したアラートの平均解決時間	London

パフォーマンスアナリティクス使用状況の概要インジケーター

パフォーマンスアナリティクス の基本インストールに含まれている、パフォーマンスアナリティクス使用状況の概要コンテンツパックとダッシュボードに含まれるインジケーター:com.snc.pa.usage.overview

インジケーター	導入されたバージョン
PA：日次エラー数	Kingston
PA：日次ジョブ	Kingston
PA：日次削除回数	Kingston
PA：日次削除回数 (マイナス)	Kingston
PA：日次合計実行時間	Kingston
PA：日次実行時間 (分)	Kingston
PA：エラーが発生した日次ジョブ	Kingston
PA：警告が発生した日次ジョブ	Kingston
PA：日次警告回数	Kingston
PA：レポート	Kingston
過去 6 か月間に表示されていないレポートの割合	Kingston
PA：日次ネットスコア挿入回数	Kingston
PA：日次挿入回数	Kingston

プラットフォーム使用状況インジケーター

パフォーマンスアナリティクス の基本インストールに含まれる、パフォーマンスアナリティクス プラットフォーム使用状況コンテンツパックおよびダッシュボードに含まれるインジケーター:com.snc.usage_admin.dashboards

インジケーター	導入されたバージョン
合計カスタムテーブル数	Madrid
マッピングされていないテーブル	Madrid
サブスクリプションごとにマップされたテーブル	Madrid
サブスクリプションごとに含まれるテーブル	Madrid

予測インテリジェンスインジケーター

予測インテリジェンスレポートコンテンツパックに含まれるインジケーター:com.glide.platform_ml_pa

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
本日の作成に基づく試行予測の数	London
予想負担	London
最終実行日に基づいてスキップされない成功予測の数	London
予測精度	London
最終実行日に基づいた予測結果の数	London
本日の作成に基づずき適用された予測の数	London
最終実行日に基づく推定試行数	Orland
予測の取り消し	Orland

予測インテリジェンスワークベンチ - ITSM コンテンツインジケーター

予測インテリジェンスレポートコンテンツパックに含まれるインジケーター:com.glide.platform_ml_pa

インジケーター	導入されたバージョン
低実績しきい値プロパティ値	Paris
ネット自動化しきい値 PIWB インシデント	Paris
推定ネット自動化	Paris
インシデントの予測精度	Paris
インシデントの予測範囲	Paris
インシデントの最終実行日に基づいてスキップされなかった成功予測の数	Paris
インシデントの最終実行日に基づいた予測結果の数	Paris
本日のインシデントの作成に基づき試行された予測の数	Paris
本日のインシデントの作成に基づき適用された予測の数	Paris
インシデントのネット自動化	Paris
インシデントの予測数	Paris

問題管理インジケーター

問題管理 プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 問題管理 (com.snc.pa.problem) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
クローズした問題の合計期間	キングストン以前
クローズした問題における関連インシデントの数	キングストン以前
1 回以上再度割り当てられた問題の割合	キングストン以前
問題バックログの増加	キングストン以前
新規の問題の数	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
既知のエラーとして分類された未解決の問題の数	キングストン以前
過去 90 日間更新されていない未解決の問題の数	キングストン以前
最初のアサイン先によりクローズされた問題の数	キングストン以前
再度割り当てられたオープンな問題の数	キングストン以前
未解決の問題における関連インシデントの数	キングストン以前
重要な新規問題の割合	キングストン以前
既知のエラーとして分類された未解決の問題の割合	キングストン以前
未解決の問題の更新後の合計経過時間	キングストン以前
オープン中の問題の平均再割り当て数	キングストン以前
クローズした問題の数	キングストン以前
未解決の問題の更新後の平均経過時間	キングストン以前
未解決問題の平均経過時間	キングストン以前
1 つ以上のオープンインシデントを含むオープンな問題の数	キングストン以前
未解決の問題の合計再割り当て数	キングストン以前
過去 30 日間更新されていない未解決の問題の数	キングストン以前
クローズメモなくクローズした問題の割合	キングストン以前
過去 30 日間更新されていない未解決問題の割合	キングストン以前
最初のアサイン先によりクローズされた問題の割合	キングストン以前
未解決の問題の数	キングストン以前
未解決の問題の合計経過時間	キングストン以前
クローズメモの記述なくクローズされた問題の数	キングストン以前
問題の平均クローズ時刻	キングストン以前
過去 90 日間更新されていない未解決問題の割合	キングストン以前
1 つ以上のインシデントを含む未解決の問題の割合	キングストン以前
クローズされた問題の平均再アサイン回数	キングストン以前

調達サービス管理インジケーター

ソーシングと調達オペレーションのパフォーマンスアナリティクスに含まれるインジケーター。

インジケーター	導入されたバージョン
すべての購買要求数：月次	Paris
すべてのソーシング要求数：月次	Paris
交渉による購入明細の合計削減額	Paris
発注書：合計明細金額	Paris
注文明細リビジョン後の明細金額	Paris
交渉による親明細の削減額	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
クローズされた購買要求数：月次	Paris
ソーシング要求：平均サイクル時間 (日数)：月次	Paris
オープン中の発注書明細の合計明細金額	Paris
オープンな購入タスク数	Paris
失敗した交渉の合計数	Paris
コスト回避の合計交渉数	Paris
契約条件の合計交渉数	Paris
標準削減額の合計交渉数	Paris
合計交渉数	Paris
交渉による購入明細の削減額	Paris
購買要求の合計数 (ATF)	Paris
(ATF) 購入明細 - 合計明細金額	Paris
オープンな交渉数	Paris
注文明細合計明細金額 (履歴明細)	Paris
期限切れ間近の契約数	Paris
オープンなソーシング要求数	Paris

Project Portfolio Suite with Financials インジケーター

ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート プラットフォームアナリティクス ソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 Project Portfolio Suite with Financials (com.snc.financial_planning_pmo) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
プロジェクトタスクの期限超過時間合計	キングストン以前
オープンなプロジェクトの平均完了割合	キングストン以前
プロジェクトの見積コスト合計	キングストン以前
ポートフォリオの数	キングストン以前
オープンプロジェクトタスクの数	キングストン以前
期限切れのプロジェクトタスクの数	キングストン以前
期限切れプロジェクトの割合	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
プロジェクトのリソース実コスト合計	キングストン以前
プロジェクトの実績コストの合計	キングストン以前
期限切れプロジェクトタスクの割合	キングストン以前
プロジェクトあたりの未解決プロジェクトタスクの数	キングストン以前
期限切れプロジェクトタスクの平均期限超過時間	キングストン以前
クローズされたプロジェクトタスクの数	キングストン以前
プロジェクトの予算コスト合計	キングストン以前
新規プロジェクトタスクの数	キングストン以前
期限切れのプロジェクトの数	キングストン以前
プロジェクトのリソース計画コスト合計	キングストン以前
プロジェクトマネージャーあたりの未解決プロジェクトの数	キングストン以前
期限切れプロジェクトの平均完了割合	キングストン以前
ポートフォリオあたりのプロジェクトの数	キングストン以前
オープンプロジェクトの数	キングストン以前
プロジェクトタスクバックログの増加	キングストン以前
プロジェクトの期限超過時間合計	キングストン以前
PPM - 今月のプロジェクトのデマンドの数	Madrid
PPM - オープンプロジェクトの合計経過時間	Madrid
PPM - 送信済み、スクリーニング、認定済み、承認済みステータスのオープンデマンドの合計経過時間	Madrid
PPM - 今月のプロジェクトに対するデマンドの合計経過時間	Madrid
PPM - 計画コストより大きい EAC	Madrid
PPM - オープンなアイデアの数	Madrid
PPM - ステータスが [オープン]、[処理待ち]、[対応中] のアクティブなプロジェクト	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
PPM - 送信済み、スクリーニング、認定済み、または承認済みのオープンデマンド	Madrid
PPM - 未解決のアイデアの合計経過時間	Madrid
PPM - 今月の合計デマンドの数	Madrid
PPM - 今月のデマンドのあるアイデアの数	Madrid

要求管理インジケーター

要求管理 (要求アイテム) および 要求管理 (要求) のパフォーマンスアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

インジケーター	導入されたバージョン
未解決の要求アイテムの合計再アサイン数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの平均再アサイン数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの平均経過時間	キングストン以前
却下された要求アイテムの割合	キングストン以前
過去 30 日間更新されていない未解決要求アイテムの数	キングストン以前
期日前のクローズ済み要求アイテムの割合	キングストン以前
過去 5 日間更新されていない未解決要求アイテムの数	キングストン以前
キャンセルされたクローズ済み要求アイテムの数	キングストン以前
却下されたクローズ済み要求アイテムの数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの合計経過時間	キングストン以前
期限日前の未解決の要求アイテムの割合	キングストン以前
クローズ済み要求アイテムの数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの更新後の平均経過時間	キングストン以前
期日前のクローズ済み要求アイテムの数	キングストン以前
過去 30 日間更新されていない未解決の要求アイテムの割合	キングストン以前
要求アイテムの平均クローズ時間	キングストン以前
未解決の要求アイテムの更新後の合計経過時間	キングストン以前
新規要求アイテムの数	キングストン以前
要求されたアイテムのバックログの増加	キングストン以前
期限日前の未解決の要求アイテムの数	キングストン以前
クローズ済み要求アイテムの合計期間	キングストン以前
過去 5 日間更新されていない未解決要求アイテムの割合	キングストン以前
キャンセル済み要求アイテムの割合	キングストン以前
期日前の未解決の要求の数	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
新規要求の数	キングストン以前
期日前にクローズされた要求の割合	キングストン以前
要求の平均クローズ時刻	キングストン以前
要求バックログの増加	キングストン以前
未解決の要求の平均再アサイン数	キングストン以前
期日前の未解決の要求の割合	キングストン以前
未解決の要求の数	キングストン以前
未解決の要求の合計再アサイン数	キングストン以前
期日前にクローズされた要求の数	キングストン以前
未解決の要求の合計経過時間	キングストン以前
クローズした要求の合計期間	キングストン以前
クローズした要求の数	キングストン以前
過去 30 日間更新されていない未解決の要求の割合	キングストン以前
未解決の要求の更新後の平均経過時間	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープン中の要求の数	キングストン以前
未解決の要求の平均経過時間	キングストン以前
未解決の要求の更新後の合計経過時間	キングストン以前
過去 30 日間更新されていないオープン中の要求の数	キングストン以前
過去 5 日間更新されていない未解決の要求の割合	キングストン以前

自動翻訳

セーフワークプレイスインジケーター

ServiceNow Storeのセーフワークプレイスダッシュボードに含まれるインジケーター。

インジケーター	追加された日付
作業への復帰を望む従業員の割合	2020-05-14
予約済みスペースの割合	2020-05-15
アクティブなケース	2020-06-16
調査中の連絡先	2020-06-17
従業員拒否率 (前日からの変化)	2020-05-15
新たに確認されたケース	2020-05-14
新たな死亡者数	2020-05-14
入所した従業員数	2020-05-13
復帰準備ができていない従業員数	2020-05-12
復帰可能な従業員数	2020-05-12
却下された従業員数	2020-05-13
復職準備状況について調査した従業員数	2020-05-14

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	追加された日付
職場の予約可能スペース数	2020-05-13
職場の予約済みスペース数	2020-05-13
作業スペースの数	2020-05-13
職場タスクの数	2020-05-13
PPE インベントリ	2020-05-13
PPE インベントリ割合 (前日からの変化)	2020-05-15
確認された症例の総数	2020-05-14
総死亡者数	2020-05-14

Strategic Spend Tracking for PPM インジケーター

ServiceNow Store の Strategic Spend for PPM アプリケーションに含まれるインジケーター。

インジケーター	作成日
調整済みと未調整の実績コスト	2020-03-19
調整済みとゴールに対する実績コストが調整されていません	2020-03-19
調整済みと調整されていない利益	2020-03-27
調整済みと調整されていない利益目標	2020-03-27
調整済みと調整されていない予定コスト	2020-03-19
調整済みと未調整の予定コストとゴール	2020-03-19
調整済みと調整されていないプロジェクト	2020-03-18
調整済みと未調整プロジェクト:ゴール	2020-03-19
ゴールに対して調整済みのプロジェクトの数	2020-03-18
戦略に対して調整済みのプロジェクトの数	2020-03-18
ゴールに対して未調整のプロジェクトの数	2020-03-18
戦略に対して未調整のプロジェクトの数	2020-03-13
すべてのゴールの合計実コスト	2020-03-18
すべての戦略の合計実コスト	2020-03-18
すべての未調整プロジェクトの合計実コスト	2020-03-10
すべての未調整プロジェクトのゴールに対する合計実績コスト	2020-03-18
すべてのゴールの合計メリット	2020-03-27
すべての戦略の合計メリット	2020-03-27
すべての未調整プロジェクトの合計メリット	2020-03-27
すべての未調整プロジェクトのゴールに対する合計メリット	2020-03-27
すべてのゴールの合計計画コスト	2020-03-18
すべての戦略の合計計画コスト	2020-03-18
すべての未調整プロジェクトの合計計画コスト	2020-03-10

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	作成日
すべての未調整プロジェクトのゴールに対する合計計画コスト	2020-03-18

セキュリティインシデントレスポンスインジケーター

セキュリティインシデントレスポンス プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーターで、 ServiceNow Store上のアプリケーションとして利用できます。

詳細については、「 セキュリティインシデントレスポンス (com.snc.security_incident.analytics)」 を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
SI：インシデント中度リスク	キングストン以前
過去 30 日間更新されていないオープンセキュリティの割合	キングストン以前
SI：インシデント優先度 1	キングストン以前
最初のアサイン先によりクローズされたセキュリティインシデントの数	キングストン以前
オープンセキュリティインシデントの平均経過時間	キングストン以前
オープンセキュリティインシデントの数	キングストン以前
SI：平均期間	キングストン以前
クローズされたセキュリティインシデントタスクの所要時間合計	キングストン以前
セキュリティインシデントタスクの平均クローズ所要時間	キングストン以前
SI： 超高リスクインシデント	キングストン以前
クローズされたセキュリティインシデントタスクの数	キングストン以前
未解決のセキュリティインシデントの割合	キングストン以前
SI：インシデントすべてのリスク	キングストン以前
SI:インシデント事業上の重要度 - 重大ではない	キングストン以前
クローズ済みセキュリティインシデントの平均解決時間	キングストン以前
セキュリティインシデントの平均クローズ所要時間	キングストン以前
再アサインされたオープンセキュリティインシデントの割合	キングストン以前
セキュリティインシデント - クローズ	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンセキュリティインシデント #of	キングストン以前
未解決セキュリティインシデントの再アサイン回数合計	キングストン以前
オープンセキュリティインシデントの平均再アサイン回数	キングストン以前
SLA に違反している HR オープンケースの割合	キングストン以前
SI：平均識別時間	キングストン以前
オープンセキュリティインシデントの合計経過時間	キングストン以前
SI：インシデント重大度 1	キングストン以前
新規セキュリティインシデントの割合	キングストン以前
過去 30 日間更新されていないオープンセキュリティインシデント #of	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
最初のアサイン先によりクローズされたセキュリティインシデントの割合	キングストン以前
SI：インシデント優先度 2	キングストン以前
SI：インシデント重大度 2	キングストン以前
SI：インシデント影響度 2	キングストン以前
再アサインされた未解決セキュリティインシデントの数	キングストン以前
SI：インシデント優先度すべて	キングストン以前
オープン日にクローズされたセキュリティインシデント #of	キングストン以前
SI:インシデントの事業上の重要度 - 高	キングストン以前
SI：合計インシデント数	キングストン以前
オープン日にクローズされたセキュリティインシデントの割合	キングストン以前
SI：インシデント影響度すべて	キングストン以前
SI：インシデント影響度 1	キングストン以前
セキュリティインシデントバックログの増加	キングストン以前
重大な新規セキュリティインシデントの割合	キングストン以前
クローズ済みセキュリティインシデントの数	キングストン以前
クローズ済みセキュリティインシデントの合計期間	キングストン以前
オープンセキュリティインシデントの合計経過時間	キングストン以前
セキュリティインシデントの前回の更新の平均経過時間	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンセキュリティの割合	キングストン以前
SI：サービス拒否	キングストン以前
SI：高リスクインシデント	キングストン以前
SI：重大度インシデントすべて	キングストン以前
新規セキュリティインシデントの数	キングストン以前
未解決セキュリティインシデントの前回の更新の経過時間合計	キングストン以前
SI:インシデント事業上の重要度 - 重大	キングストン以前
平均識別時間 (週次)	キングストン以前
平均封じ込め時間 (週次)	キングストン以前
平均除去時間 (週次)	キングストン以前
今週の新規セキュリティインシデント	キングストン以前
今週クローズされたセキュリティインシデント	キングストン以前
優先度別のセキュリティインシデントの数	キングストン以前
新規とクローズされたセキュリティインシデント (週次)	キングストン以前
セキュリティインシデントマップ	キングストン以前
セキュリティインシデントのあるビジネスサービス - ビジネスインパクト	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セルフサービスアナリティクス PA インジケーター

セルフサービスアナリティクス PA プラグインに含まれるインジケーター。このプラグインは、セルフサービスアナリティクスをダッシュボードに配置するための パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを作成するために必要なインジケーターとブレークダウンを提供します。このプラグインは、カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクスコンテンツパックの依存関係として自動的にインストールされます。

インジケーターソース

インジケーターソース	導入されたバージョン
Catalog.Views.Monthly	Paris
Catalog.Requests.Monthly	Paris
Community.Feedback.Monthly	Paris
Community.Views.Monthly	Paris
Knowledge.Views.Monthly	Paris
Knowledge.Feedback.Monthly	Paris
VA.Conversations.Monthly	Paris
Deflections.Created.Monthly	Paris
Cases.Resolved.Monthly	Paris

インジケーター

インジケーター	導入されたバージョン
カタログ：要求の割合	Paris
カタログ：成功率	Paris
カタログ：今月のビュー	Paris
Communities：有用なフィードバック	Paris
Communities：閲覧されたコミュニティの割合	Paris
Communities：今月の閲覧数	Paris
ナレッジ：今月閲覧された記事	Paris
ナレッジ：役立つフィードバック	Paris
ナレッジ：閲覧された記事の割合	Paris
カタログ要求の数	Paris
有用なコミュニティコンテンツの割合	Paris
役立つナレッジ記事の割合	Paris
セルフサービス：エンゲージメント	Paris
セルフサービス：成功率	Paris
セルフサービス：完了エンゲージメント	Paris
セルフサービス:コスト削減	Paris
VA：今月の会話	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター (続く)

インジケーター	導入されたバージョン
VA：会話の割合	Paris
VA：成功率	Paris
VA：成功した会話	Paris
VA：回避	Paris
カタログ：回避	Paris
Communities：回避	Paris
セルフサービス：潜在的な回避	Paris
セルフサービス：確認済みの回避	Paris
ナレッジ：回避	Paris
回避回数	Paris
解決済みのケースの数	Paris

カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクスインジケーター

カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクスプラグインに含まれるインジケーター。このコンテンツパックをインストールすると、セルフサービスアナリティクス PA が依存関係として自動的にインストールされます。2 つのコンテンツパックには、カスタマーサービス管理 (CSM) のセルフサービスの プラットフォームアナリティクスソリューション のすべてのインジケーターが含まれています。

詳細については、「 セルフサービスアナリティクス PA」を参照してください。

インジケーターソース

インジケーターソース	導入されたバージョン
Cases.Resolved.Monthly	Paris
Deflections.Created.Monthly	Paris

インジケーター

インジケーター	導入されたバージョン
カタログ：回避	Paris
Communities：回避	Paris
ナレッジ：回避	Paris
解決済みのケースの数	Paris
回避数	Paris
セルフサービス：確認済みの回避	Paris
セルフサービス：コストが削減されました	Paris
セルフサービス：潜在的な回避	Paris
VA：回避	Paris

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスデスクチャットインジケーター

サービスデスクチャット プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 サービスデスクチャット (com.snc.pa.chat) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
新規チャットの数	キングストン以前
クローズされたチャットの合計数の割合	キングストン以前
平均応答時間	キングストン以前
チャットキュー平均対応時間	キングストン以前
クローズされたチャットの平均所要時間	キングストン以前
クローズされたチャットの数	キングストン以前

サービスレベル管理 インジケーター

サービスレベル管理 向けのプラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

インジケーター	導入されたバージョン
本日の違反タスク SLA クローズの平均時間	London
本日クローズしたタスク SLA の数	London
本日達成された SLA の平均時間	London
本日達成したクローズ済みタスク SLA の数	London
本日の達成した SLA	London

詳細については、「プラットフォームアナリティクスソリューション for サービスレベル管理」を参照してください。

サービスマッピングインジケーター

パフォーマンスアナリティクスサービスマッピングコンテンツパックに含まれるインジケーター:com.snc.service-mapping.pa.content

インジケーター	導入されたバージョン
サービスマップステータス	Kingston
サービスマッピングエラーカテゴリ	Kingston

サービスポートフォリオ管理のインジケーター

サービスポートフォリオ管理プレミアムに含まれるインジケーター:snc_spm

インジケーター	導入されたバージョン
SPM 可用性	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
SPM P1 インシデントと重大なインシデントの数	Madrid
SPM カタログアクティビティ	Madrid
サービスオファリング：登録者	Madrid
サービスパフォーマンス	Madrid
SLA 違反の SPM	Madrid
分類ノードのパフォーマンス	Madrid
SPM SLA%	Madrid
サービスオファリング別 SPM CSAT	Madrid
オファリングメトリクスの加重	ニューヨーク
オファリングパフォーマンス	ニューヨーク
サービス CSAT	ニューヨーク
サービスポートフォリオのパフォーマンス	Orland

シフト計画インジケーター

ServiceNow Store上の Shift Planning アプリケーションに含まれるインジケーター。シフト計画は ITSM のワークフォース最適化 の機能です。

インジケーター	導入されたバージョン
スケジュールの順守	San Diego
スケジュールの適合率	San Diego
作業していない時間の合計	San Diego
予定時間の合計	San Diego
予定外利用可能時間の合計	San Diego
作業時間合計	San Diego
エージェントスケジュールの適合率	San Diego
エージェントスケジュールの遵守	San Diego
利用可能な予定されていない週次時間の合計	San Diego
作業していない週次時間の合計	San Diego
週次の合計計画時間の合計	San Diego
週次の合計作業時間の合計	San Diego

ソフトウェア資産管理インジケーター

ソフトウェア資産管理 インジケーターは、プロフェッショナル プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれています。

詳細については、 ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
ライセンス供与過剰金額	キングストン以前
節減見込み	キングストン以前
コンプライアンス違反のパブリッシャー	キングストン以前
ライセンス供与過剰パブリッシャー	キングストン以前
節減見込み	キングストン以前
ライセンス供与過剰製品	キングストン以前
コンプライアンス違反のパブリッシャー	キングストン以前
ライセンス供与過剰製品	キングストン以前
ライセンス供与過剰金額	キングストン以前
ライセンス供与過剰パブリッシャー	キングストン以前
コンプライアンス違反製品	キングストン以前
準拠製品の割合	Kingston
使用中の支出の割合	Kingston
アクティブな削除候補	Kingston
これまでの実際の削減	Kingston
製品の数	Kingston
使用されていない支出の割合	Kingston
コンプライアンス遵守製品	Kingston
SAM % ソフトウェア支出の変化 (月次)	Kingston
コンプライアンス違反 SAM 製品	Kingston
ソフトウェア支出	Kingston
総調整コスト	Kingston
調整コスト	Kingston
使用されていない支出の割合	London
準拠製品の割合	London
未使用のサブスクリプションの割合	London
使用中の支出の割合	London
調整コスト	London
ライセンス供与過剰金額	London
節減見込み	London
ライセンス供与過剰パブリッシャー	London
コンプライアンス違反のパブリッシャー	London
ライセンス供与過剰製品	London
コンプライアンス違反製品	London
アクティブな削除候補	London

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
節減実績の年度累計	London
ソフトウェア支出	London
アクティブな権限の合計	London
現在のサブスクリプション支出	London
未使用のサブスクリプション	London
利用可能なサブスクリプション	London
製品の数	London
コンプライアンス違反 SAM 製品	London
総調整コスト	London
コンプライアンス遵守製品	London
SQL Server のインストール数	London
コンプライアンス違反のソフトウェアモデル	London
アサインされたサブスクリプション	London
使用された権限	Madrid
所有している権利	Madrid
月次の SAP 固有ユーザー	Madrid
SAP の節減見込み	Madrid
名前付きユーザーアサインのない SAP システムユーザー	Madrid
90 日以上前に最後にログオンした SAP ユーザー	Madrid
ライセンスを消費しているロックされた SAP ユーザー	Madrid
名前付きユーザーアサインのない SAP 非ダイアログユーザー	Madrid
SAP ライセンス供与過剰金額	Madrid
SAP 総調整コスト	Madrid
コンプライアンス違反の指名ユーザー	Madrid
ロールに基づく最適化の SAP の潜在的ユーザー	ニューヨーク
SaaS で利用可能なサブスクリプション	ニューヨーク
SAP ユーザーアクティビティ	ニューヨーク
月ごとのアサインされたサブスクリプション	ニューヨーク
低実績サブスクリプション支出	ニューヨーク
残りのエンベロープ	ニューヨーク
サブスクリプション再利用候補	ニューヨーク
古いサブスクリプションの割合	ニューヨーク
消費済みエンベロープ	ニューヨーク
経費	ニューヨーク
SAP Web アクティビティ	ニューヨーク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
未払金	ニューヨーク
使用中のサブスクリプション	ニューヨーク
ソフトウェアサブスクリプション調整コスト	ニューヨーク
古い	ニューヨーク
アクティブに使用	ニューヨーク
SAM:エンジニアリングアプリの現在の支出	Orland
SAM:エンジニアリングアプリの節減見込み	Orland
SAM:潜在的な PA SAP ユーザーアクティビティ	Orland
SAM:間接アクセスのための SAP PA Web アクティビティ	Orland
SAM の期限切れメンテナンス	Orland
SAP アクティブエンジン	Paris
コンプライアンス違反の SAP エンジン	Paris
SAP エンジンの使用率は 90% 以上に達しました	Paris
SAP 未使用エンジン	Paris
Citrix ライセンス消費履歴	Quebec
ハイブリッド環境全体の Microsoft 製品	Quebec
ライセンスの最適化による節減見込み	Quebec
ソフトウェアサブスクリプションの節減額見込み	Quebec
SAM：SAP 合計節減見込み額	Quebec
トランザクションベースのライセンス最適化の SAP の潜在的ユーザー	Quebec
SAP 削除候補からの節減見込み	Quebec
SAM 削除候補からの節減見込み	Quebec
古いサブスクリプション	Quebec
アクティブなサブスクリプション	Quebec
注意が必要な候補	Quebec
削除される未割り当てのインストール	Quebec
削除されるライセンスなしのインストール	Quebec
削除される制限付きインストール	Quebec
残りのユニット	Quebec
消費されたユニット	Quebec
二重ライセンスユーザーを削除する	Quebec
Office 365 E3 から E1 にダウングレード	Quebec
Office 365 E5 から E3 にダウングレード	Quebec
二重ライセンスユーザー	Quebec
ダウングレード	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
O365 使用状況レポート	Quebec
製品の合計数	Quebec
ライセンス供与過剰金額	Quebec
調整コスト (週次)	Quebec
合計支出	Quebec

スポットライトインジケーター

パフォーマンスアナリティクス スポットライトコンテンツパックに含まれるインジケーター:com.snc.pa.spotlight.incident

インジケーター	導入されたバージョン
スポットライトを受けているオープンインシデントの数	キングストン以前
スポットライトを浴びているオープンインシデントの割合	キングストン以前

ユニバーサル要求インジケーター

ユニバーサル要求のパフォーマンスアナリティクスとレポートコンテンツパックに含まれるインジケーター:com.snc.universal_request.pa。この パフォーマンスアナリティクス コンテンツを使用するには、ユニバーサル要求アプリケーションが必要です。

インジケーター	導入されたバージョン
ユニバーサル要求のプライマリチケット転送 (解決なし)	Quebec
ユニバーサル要求のプライマリチケット SLA 違反	Quebec
プライマリチケットを使用したユニバーサル要求の解決 SLA に違反した割合 (%)	Quebec
プライマリチケットを使用したユニバーサル要求の解決 SLA	Quebec
プライマリチケットを使用したユニバーサル要求の解決 SLA 違反	Quebec
ユニバーサル要求の解決 SLA 平均	Quebec
ユニバーサル要求の応答 SLA 平均	Quebec
プライマリチケットを使用したユニバーサル要求の解決 SLA 平均	Quebec
ユニバーサル要求の応答 SLA 違反	Quebec

ベンダー管理ワークスペースのベンダーサクセスインジケーター

ServiceNow Store のベンダーサクセスインジケーターアプリケーションに含まれるインジケーター。このアプリケーションは、 ベンダー管理ワークスペースのインジケーターを提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーター	導入されたバージョン
平均要求実行	Rome
平均要求実行 SLA 達成度	Rome
平均インシデント SLA 達成度	Rome
違反 SLA のあるクローズ済み要求の数	Rome
SLA を満たしたクローズされた要求の数	Rome
違反した SLA のある解決済みインシデントの数	Rome
SLA を満たした解決済みインシデントの数	Rome
作成されたインシデントの合計	Rome
サービスオファリングの平均パフォーマンススコア	Quebec
ベンダースコア	Quebec
平均安定性：重大なインシデント	Quebec
SLA の平均達成度	Quebec
平均要求アクティビティ	Quebec
平均顧客満足度	Quebec
平均可用性	Quebec

脆弱性対応インジケーター

脆弱性対応 プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれ、ServiceNow Store上のアプリケーションとして利用可能なインジケーター。

詳細については、 Vulnerability Response (com.snc.vulnerability.analytics) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
脆弱なアイテムの数	London
脆弱性 - 重大な脆弱性のあるサービス	London
脆弱性一致アイテム:重大な脆弱性スコア	London
脆弱性一致アイテム - 高脆弱性スコア	London
脆弱性一致アイテム - 重大ではない脆弱性スコア	London
脆弱性の数	Madrid
脆弱性一致構成アイテム	Madrid
リスク評価別の脆弱性一致アイテム	Madrid
経過時間およびリスク評価別の脆弱性一致アイテム (Vulnerable Items by Age and Risk Rating)	Madrid
脆弱性グループの数	Madrid
修復ターゲットを満たした脆弱性一致アイテムの割合	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
VI 平均修正時間 (MTTR)	Madrid
期限間近の重大な脆弱性グループ	Madrid
新規およびクローズされた脆弱なアイテム	Madrid
修復ターゲットステータス別のクローズされた脆弱性一致アイテム	Madrid
アサイン先グループ別の重大な脆弱なアイテム	Madrid
重大な脆弱なアイテム	Madrid
期限切れの重大な脆弱なアイテム	Madrid
高リスク脆弱性一致アイテム	Madrid
サービスオーナー別の重大な脆弱性一致アイテム	Madrid
サービスオーナー別の重大な期限切れの脆弱なアイテム	Madrid
期限切れの高リスク脆弱性一致アイテム	Madrid
理由別の保留された脆弱なアイテム	Madrid
期限切れ間近の保留要求 (Deferral Requests About to Expire)	Madrid
リスク評価とステータス別の脆弱性グループ	Madrid
リスク評価と修復ターゲットステータス別の脆弱性グループ	Madrid
アサイン先グループ別の期限切れの重大な脆弱性グループ	Madrid
アサイン先グループ別の重大な脆弱性グループ	Madrid
未アサインの脆弱性グループ	Madrid
未アサインの脆弱なアイテム	Madrid
脆弱性グループ (ステータス別)	Madrid
修復ターゲットステータス別の脆弱性一致アイテム	Madrid
脆弱性グループの詳細	Madrid
個別の脆弱性	Orland
保留された重大な脆弱性一致アイテム	Paris
保留要求 (作成済み)	Paris
クローズされたターゲットに一致した脆弱性一致アイテムの割合	Quebec
アクティブな脆弱性一致構成アイテム	Quebec
アクティブな脆弱性一致アイテム	Quebec
脆弱なアイテムの平均経過時間	Quebec
資産あたりの平均脆弱性	Quebec
クローズされた脆弱なアイテム	Quebec
クローズされた脆弱性一致アイテム (ターゲット達成)	Quebec
現在のスキャン範囲	Quebec
保留された脆弱なアイテム	Quebec
月次修復効率	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
新しい脆弱なアイテム	Quebec
スキャンが可能な資産	Quebec
スキャンされた資産	Quebec
最も脆弱なサービス	Quebec
クローズされた脆弱性一致アイテムの合計期間	Quebec
脆弱性一般アイテムの平均修復時間	Quebec

カスタマーサービスのワークフォース最適化インジケーター

カスタマーサービスのワークフォース最適化に含まれるインジケーター。

インジケーター	バージョン
最初の問い合わせで解決されたケースの数	Quebec
最初の問い合わせで解決された P1 ケースの数	Quebec
最初の問い合わせで解決された P2 ケースの数	Quebec
最初の問い合わせで解決された P3 ケースの数	Quebec
最初の問い合わせで解決された P4 ケースの数	Quebec
チャットの平均処理時間	Quebec
チャットの平均待ち時間	Quebec
チャットの CSAT	Quebec
ケースの CSAT	Quebec
P1 ケースの CSAT	Quebec
P2 ケースの CSAT	Quebec
P3 ケースの CSAT	Quebec
P4 ケースの CSAT	Quebec
ケースの MTTR	Quebec
P1 ケースの MTTR	Quebec
P2 ケースの MTTR	Quebec
P3 ケースの MTTR	Quebec
P4 ケースの MTTR	Quebec
破棄されたチャットの数	Quebec
処理されたチャットの数	Quebec
クローズされたケースの数 (週次)	Quebec
クローズされたケースの数 (日次)	Quebec
クローズされたチャットの数	Quebec
クローズ済み P1 ケースの数	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	バージョン
クローズ済み P2 ケースの数	Quebec
クローズ済み P3 ケースの数	Quebec
クローズ済み P4 ケースの数	Quebec
受信ケースの数	Quebec
解決済みのケースの数	Quebec
解決済みの P1 ケースの数	Quebec
解決済みの P2 ケースの数	Quebec
解決済みの P3 ケースの数	Quebec
解決済みの P4 ケースの数	Quebec

ITSM のワークフォース最適化インジケーター

ITSM のワークフォース最適化に含まれるインジケーター。

インジケーター	バージョン
WFO コンテンツパック研修生のサーベイインスタンス	Rome
WFO コンテンツパックの正規化された研修生スコア	Rome
研修生の品質評価	Rome
すべてのインシデントの平均処理時間	Quebec
最初のコールで解決した P5 インシデントの割合	Quebec
最初のコールで解決した P4 インシデントの割合	Quebec
最初のコールで解決した P3 インシデントの割合	Quebec
最初のコールで解決した P2 インシデントの割合	Quebec
最初のコールで解決した P1 インシデントの割合	Quebec
最初のコールで解決したインシデントの割合	Quebec
最初のコールでの解決で解決したインシデントの数	Quebec
最初のコールでの解決 P5 で解決したインシデントの数	Quebec
最初のコールでの解決 P4 で解決したインシデントの数	Quebec
最初のコールでの解決 P3 で解決したインシデントの数	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	バージョン
最初のコールでの解決 P2 で解決したインシデントの数	Quebec
最初のコールでの解決 P1 で解決したインシデントの数	Quebec
解決済みインシデント P5 の数	Quebec
解決済みのインシデント P4 の数	Quebec
解決済みインシデント P3 の数	Quebec
解決済みインシデント P2 の数	Quebec
解決済みインシデント P1 の数	Quebec
平均処理時間	Quebec
P5 インシデントの平均処理時間	Quebec
P4 インシデントの平均処理時間	Quebec
P3 インシデントの平均処理時間	Quebec
P2 インシデントの平均処理時間	Quebec
P1 インシデントの平均処理時間	Quebec
解決済み P5 インシデントの合計期間	Quebec
解決済み P4 インシデントの合計期間	Quebec
解決済み P3 インシデントの合計期間	Quebec
解決済み P2 インシデントの合計期間	Quebec
解決済み P1 インシデントの合計期間	Quebec
クローズされた P5 インシデントの数	Quebec
クローズした P4 インシデントの数	Quebec
クローズした P3 インシデントの数	Quebec
クローズした P2 インシデントの数	Quebec
クローズした P1 インシデントの数	Quebec

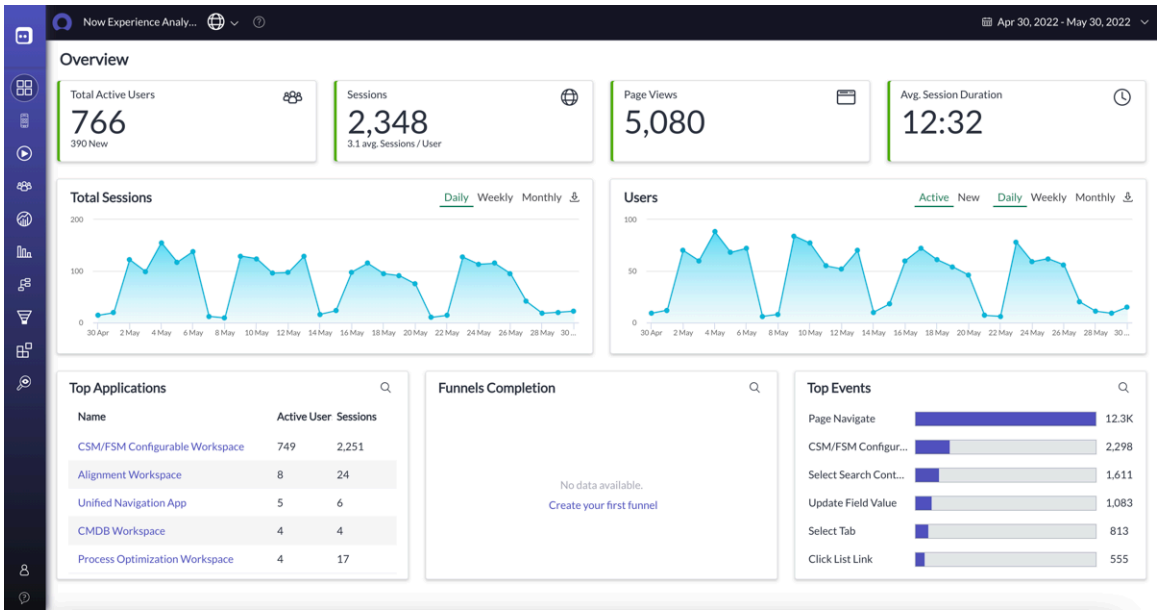
自動翻訳

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションは、ネクストエクスペリエンス Web アプリケーションと 仮想エージェント、ServiceNow モバイル、および サービスポータル アプリケーションの使用状況分析を監視するためのダッシュボードビューを提供します。

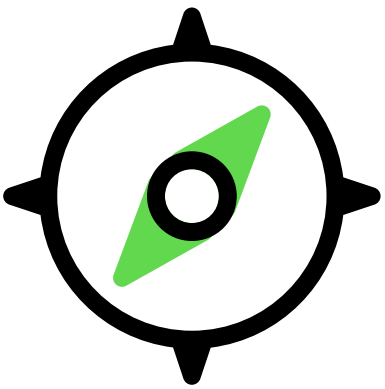
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概要



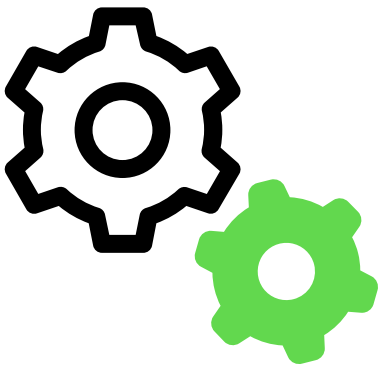
開始するには

探索



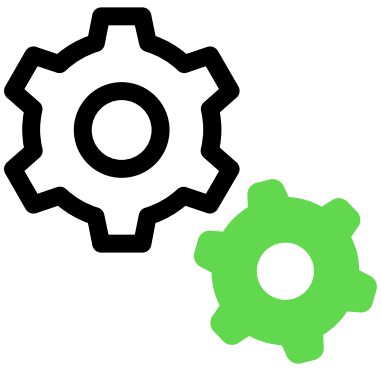
測定基準とやり取りを可視化してユーザーエクスペリエンスをより的確に把握し、より直観的な操作をユーザーに提供します。

Web 経由のユーザーエクスペリエンスアナリティクスの構成



使用状況を追跡するアプリケーションを選択します。

サービスポータルを介したユーザーエクスペリエンスアナリティクスの構成



サービスポータルでユーザーエクスペリエンスアナリティクスを有効にし、アナリティクスを追跡するユーザーを選択します。

トラブルシューティングとサポート

- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

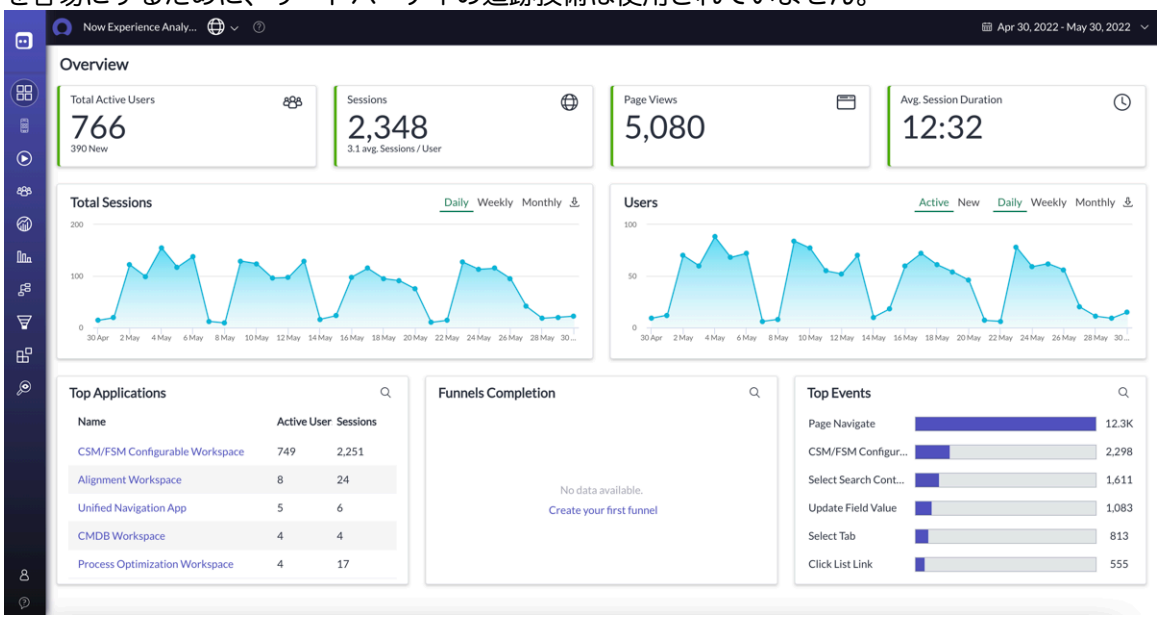
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 以前のランディングページ

ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションは、ネクストエクスペリエンス Web アプリケーションと 仮想エージェント、ServiceNow モバイル、および サービスポータル アプリケーションの使用状況分析を監視するためのダッシュボードビューを提供します。測定基準とやり取りを可視化してユーザーエクスペリエンスをより的確に把握し、より直観的な操作をユーザーに提供します。

User Experience Analytics の操作方法と使用方法を示すビデオ

このビデオでは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を使用してアプリケーション内のユーザーエクスペリエンスを分析する方法を紹介します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス が収集したデータを分析目的で使用し、レポート機能を提供することで、ServiceNowプラットフォームのさまざまなチャネルで使用される製品の使用状況と採用をよりよく理解できるようにします。ユーザーエクスペリエンスアナリティクス顧客側の追跡を容易にするために、サードパーティの追跡技術は使用されていません。



ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データへのアクセス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データには次のいずれかでアクセスできます。

- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボードを使用する。詳細については、「ユーザー エクスペリエンス分析の使用」を参照してください。
- データ視覚化コンポーネントを通じてデータを公開する。詳細については、「のデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの詳細

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードから、またはデータをUI ビルダーにエクスポートして、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータにアクセスします。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの概要

ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションは、ネクストエクスペリエンス Web アプリケーションと 仮想エージェント、ServiceNow モバイル、および サービスポータル アプリケーションの使用状況分析を監視するためのダッシュボードビューを提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスワークフロー

インフォグラフィックは存在しません。

情報 t/k

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス のメリット

メリット	機能	ユーザー
ユーザーエクスペリエンスアナリティクスのトラッキングを有効または無効にする	UXA を構成するためのリンク	now_experience_admin ロールを表示
ドメインセパレーションデータの表示	Web とモバイルの両方	
セッションリストの表示	Web とモバイルの両方	
セッションイベントのタイムラインの表示	Web とモバイルの両方	

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボードの概要

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボードとリストビューに詳細な KPI データを表示します。プロダクトマネージャーは、Web またはモバイルアプリケーションの使用状況とアダプションに関する適切なインサイトを得ることができます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス閲覧者ロールを持つユーザーは、次の場所に移動してダッシュボードにアクセスできます。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > ダッシュボード.

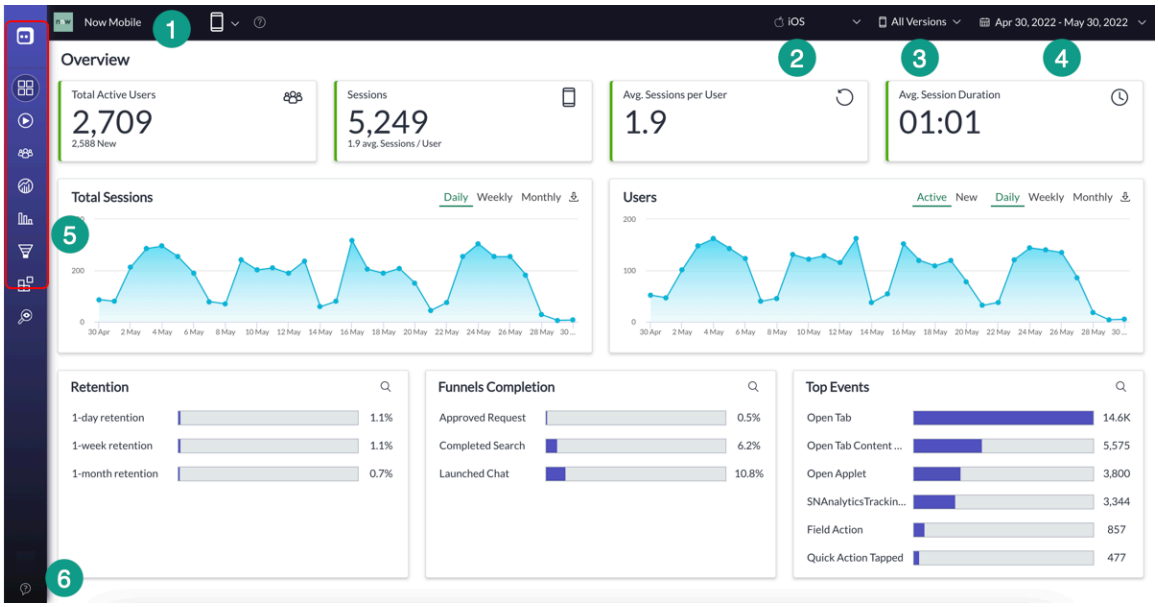
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボードのカウンターには、集計されたユーザー数が含まれています。

注:
[無効] という名前の追跡同意ポリシーが選択されている場合、ユーザー メトリックは追跡されません。

ダッシュボードでは、次のモジュールとコントロールにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボード

上部のメニューには、最も頻繁に使用するダッシュボードタスクを実行するために選択する Web またはモバイルアプリケーション、プラットフォーム、およびバージョンのリストが含まれています。

アプリケーション、プラットフォーム、およびバージョンのメニュー

特長エリア	UI コンポーネント	説明
1	Web およびモバイルアプリケーションリスト	登録済み Web およびモバイルアプリケーションのリスト。次のビューから選択できます。 • [すべてのアプリケーション] (デフォルトのランディングページ) には、現在のインスタンス内のすべてのアプリケーションにわたる基本的な統計情報が表示されます。 • 分析を表示する個々のアプリケーションを選択します。
2	モバイルプラットフォームリスト (モバイルアプリケーションの 1 つを選択した場合に表示されます)。	アナリティクスを表示するモバイルプラットフォームを選択します。 • すべてのプラットフォーム **注:** このオプションを選択すると、UI Analysis モジュールと Conversions モジュールは表示できません。 • **iOS** • **Android**
3	モバイルアプリケーションバージョンリスト (モバイルアプリケーションを選択し、モバイルプラットフォーム	アナリティクスを表示するために選択できるアプリケーションバージョンのリスト。

自動翻訳

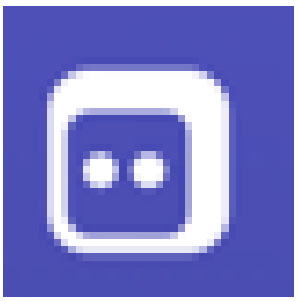
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション、プラットフォーム、およびバージョンのメニュー (続く)

特長エリア	UI コンポーネント	説明
	を指定した場合に表示されます。)	
4	日付範囲セレクター	日付を入力するか、スライダーを使用して表示するデータの日付範囲を選択します。デフォルトは [過去 **30** 日間] です。

モジュールメニューでは、セッション、アナリティクス、コンバージョンレポートの各モジュールにアクセスできます。

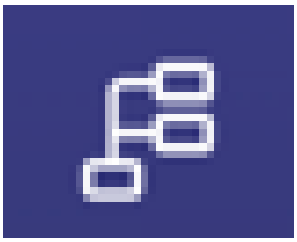
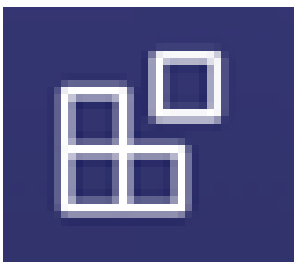
モジュールメニュー

特長エリア	UI コンポーネント	**Description** (説明)
5	ロゴ 	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスロゴ。
	概要 	選択したアプリケーションまたは現在のインスタンス内のすべてのアプリケーションについて、KPI の概要を 1 つの画面に表示します。
	アプリケーション 	アプリケーションリストを表示します。このオプションは、[アプリケーション] リストから [プラットフォームアナリティクス] を選択した場合に使用できます。
	セッション 	フィルタリング、ドリルダウン、およびエクスポートが可能なユーザーセッションリストを表示します。
	ユーザー 	フィルタリング、ドリルダウン、エクスポートが可能なユーザーリストを表示します。
	UI 分析 	アプリケーションの UI に関するインサイトを表示します。このモジュールは、[モバイルプラットフォーム] リストから [すべてのプラットフォーム] が選択されている場合は利用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュールメニュー (続く)

特長エリア	UI コンポーネント	Description (説明)
	分析 	次の分析を表示します。 • 使用法 • 技術的 • 地理的 • イベント • 保持
	ドメイン 	関連するユーザーアクティビティ専用のドメイン ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表示します。このデータには、指定されたドメイン内のアクティブなユーザーとセッションの数が含まれます。
	じょうごグラフ 	関連するユーザーコンバージョンプロセスに基づいてじょうごグラフレポートを表示し、作成できます。このモジュールは、[モバイルプラットフォーム] リストから [すべてのプラットフォーム] が選択されている場合は利用できません。
	コホート 	ユーザーが目標を達成するために実行した一連のアクションに基づいてコホートレポートを表示し、作成できます。このモジュールは、[モバイルプラットフォーム] リストから [すべてのプラットフォーム] が選択されている場合は利用できません。
	検索のアナリティクス 	検索アナリティクスダッシュボードを表示します。このオプションは、高度な AI 検索管理ツールアプリを使用している場合に使用できます。
6	ヘルプ	関連ドキュメントへの URL リンクを提供します。

自動翻訳

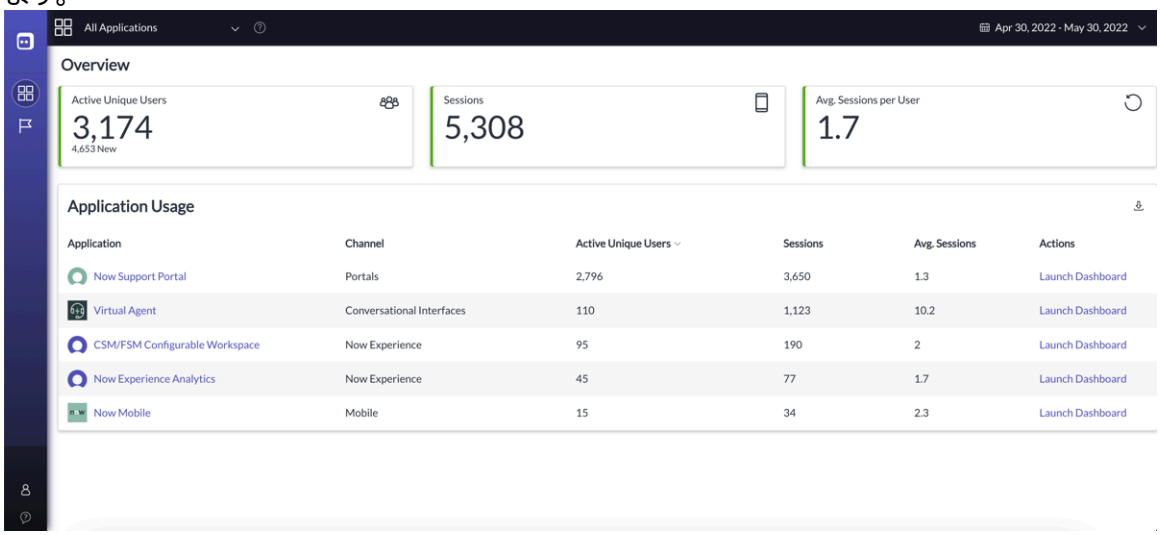
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュールメニュー (続く)

特長エリア	UI コンポーネント	Description (説明)
		

すべてのアプリケーションのメトリクス

ダッシュボードから、インスタンス内のすべてのアプリケーションの基本的なアプリケーション使用状況とイベントの詳細を表示できます。これらのメトリクスを同時に表示するには、Web アプリケーションおよびモバイルアプリケーションリストから [すべてのアプリケーション] をクリックします。



ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるコンポーネント

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグインとともに、ユーザーロール、スケジュール済みジョブ、テーブルなどのいくつかのコンポーネントがインストールされます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、これらのロール、スケジュール済みジョブ、テーブル、およびビジネスルールを使用します。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	**Description** (説明)
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定	sys_sg_native_clientテーブルを 1 時間ごとに照会し、対応するユーザーエクスペリエンスアナリティクス設定がsys_analytics_bucketテーブルで定義されていないモバイルアプリケーションを処理します。
分析	一致するエントリがないsys_analytics_bucketのエントリをsys_analytics_authenticationに登録します (認証設定のないアナリティクスバケット)。

テーブル

テーブル	**Description** (説明)
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定 [sys_analytics_bucket]	プライマリテーブル。参照するアプリケーションを ServiceNow サーバーに関連付ける情報が含まれています。

ビジネスルール

ビジネスルール	テーブル	**Description** (説明)
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス設定の作成	sys_sg_native_client	新しい Web アプリケーションまたはモバイルアプリケーションが作成されるたびに ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定を作成します。
新しい Web およびモバイルアプリケーションの登録	sys_sg_native_client	新しい Web アプリケーションやモバイルアプリケーションをすぐに登録できます。

ロール

アナリティクスアドミン **[analytics_admin]**

アプリケーションナビゲーターの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 内でダッシュボードのリンクと設定を表示し、各モバイル、Web、およびサービスポータルアプリケーションのユーザーエクスペリエンスアナリティクス設定を制御します。アサインされたユーザーは、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードからじょうごグラフレポートとコホートレポートを作成できます。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- analytics_viewer
- chat_analytics_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- mobile_analytics_admin
- sdk_anaylitcs_admin
- web_analytics_admin

- アプリケーションナビゲーターの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 内でダッシュボードのリンクと設定を表示できます。
- モバイル、Web、サービスポータルの各アプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定を制御できます。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードからじょうごおよびコホートレポートを作成できる **admin** ロール権限を持っている。

グループ

分析管理者 [analytics_admin] は、分析設定マネージャーグループに含まれています。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

モバイルアナリティクスアドミン**[mobile_analytics_admin]**

アプリケーションナビゲーターのユーザーエクスペリエンスアナリティクス内のダッシュボードリンクと設定を表示し、各モバイルアプリケーションのユーザーエクスペリエンスアナリティクス設定を制御します。アサインされたユーザーには、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードからじょうごおよびコホートレポートを作成できる admin ロール権限があります。

含まれるロール

モバイルアナリティクスアドミン [mobile_analytics_admin] には、モバイルアナリティクスビューアー [mobile_analytics_viewer] ロールが含まれています。

グループ

モバイルアナリティクスアドミン [mobile_analytics_admin] は、モバイルアナリティクス設定マネージャーグループに含まれています。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

ウェブ解析管理者**[web_analytics_admin]**

アプリケーションナビゲーターの [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス] の下にある [ダッシュボード] リンクと設定を表示し、各 Web アプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定を制御します。アサインされたユーザーには、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードからじょうごおよびコホートレポートを作成するためのアドミンロール権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- core_ui_analytics_admin
- now_experience_analytics_admin
- portal_analytics_admin
- web_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスビューアー **[analytics_viewer]**

アプリケーションナビゲーターの [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス] の下にある [ダッシュボード] リンクを表示します。アサインされたユーザーには、モバイルおよび Web アプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ビューアーロール権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- web_analytics_viewer
- mobile_analytics_viewer
- sdk_analytics_viewer
- chat_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

モバイルアナリティクスビューアー **[mobile_analytics_viewer]**

アプリケーションナビゲーターの [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス] の下にある [ダッシュボード] リンクを表示します。アサインされたユーザーには、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス for mobile アプリケーションの表示権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

Web 分析ビューアー [web_analytics_viewer]

アプリケーションナビゲーターの [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス] の下にある [ダッシュボード] リンクを表示します。アサインされたユーザーには、Web アプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス に対するビューアーロールの権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- portal_analytics_viewer
- core_ui_analytics_viewer
- now_experience_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの構成

アドミンは、 ServiceNow® モバイルプラットフォーム上に構築されたサービスポータルと Web アプリケーションを構成して、ユーザーアナリティクスを追跡できます。

構成の概要

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン (com.glide.appsee) は、新しい Vancouver インスタンスおよびアップグレードされたインスタンスのNow Platformで、デフォルトで有効になっています。このプラグインは以下を担当します。

- ServiceNow ユーザーエクスペリエンスアナリティクス サーバーに登録する新しいアプリケーションを 1 時間ごとにチェックする
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボードへのアクセスを提供します。

> **注:**
> ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はオンプレミスインスタンスではサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の有効化

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス設定テーブルを使用して、特定のアプリケーションのユーザーエクスペリエンスアナリティクスを有効または無効にすることができます。

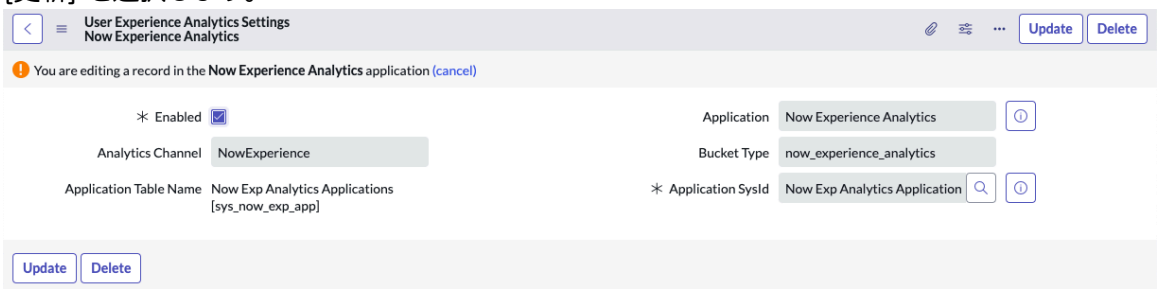
始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

> **注:**
> サービスポータルのユーザ分析トラッキングを有効にするには、「」を参照してください。 のユーザーエクスペリエンスアナリティクス設定の作成 サービスポータル.

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > 設定.
2. リストで、アナリティクスの追跡を有効にするアプリケーションのレコードを見つけます。
   アプリケーション名が [名前] 列に表示されます。
3. 同じ行で、[有効] 列の値が **false** に設定されていることを確認します。
4. フォームで [有効] を選択します。
5. [更新] を選択します。



次のタスク

ユーザーにweb_analytics_viewerまたはportal_analytics_viewerロールを割り当てて、ユーザーがダッシュボードを表示できるようにします。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の設定

アドミンは、ServiceNow モバイルプラットフォーム上に構築されたサービスポータルおよびWebアプリケーションを構成して、ユーザー分析を追跡できます。

サービスポータルのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータの設定については、「サービスポータルのユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン (com.glide.appsee) は、Now Platformでデフォルトでアクティブ化されています。このプラグインは以下を担当します。

- ServiceNow サーバーに登録する新しいアプリケーションを 1 時間ごとにチェックします。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボードへのアクセスを提供します。

> **注:**
> ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はオンプレミスインスタンスではサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のドメインセパレーションのサポート ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ドメインセパレーションは、基本レベルの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス でサポートされています。詳細については、「ドメインセパレーションの #unique_623 とアプリケーションのサポート」を参照してください。

関連情報

- プラグインのリスト (San Diego)
- のユーザーエクスペリエンスアナリティクス サービスポータル

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の使用

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスを使用して、Web およびモバイルアプリケーションの使用状況とアダプションを把握します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を使用すると、Web アプリケーションやモバイルアプリケーションの使用状況とアダプションに関するインサイトを得て、より直感的なユーザーエクスペリエンスをどこで作成できるかを理解できます。アプリケーションを利用したユーザーの数と時間の経過に伴うリテンション率を確認することに加えて、ステップを実行するときのユーザーの行動を表示し、ナビゲート方法のより大きなビューを提供するユーザー フローを確認できます。さらに、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス には、場所、セッションの長さ、オペレーティング システムなどの分析に関するレポートを作成するユーザー レポートを作成するツールが用意されています。

アドミンは、次の ServiceNow アプリケーション内のアプリケーションのユーザーアプリケーションの使用状況、イベント、およびユーザーレベルの分析を確認できます。

- プラットフォームアナリティクス
- サービスポータル
- モバイルプラットフォーム (モバイルエージェント、Now Mobile、および Now Mobile アドミンを含む)
- 仮想エージェント

注:
データをUI ビルダーにエクスポートしてユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータにアクセスすることもできます。「データの可視化 UIB セットアップ」を参照してください。

注:

モバイルオンボーディング アプリは廃止されます。

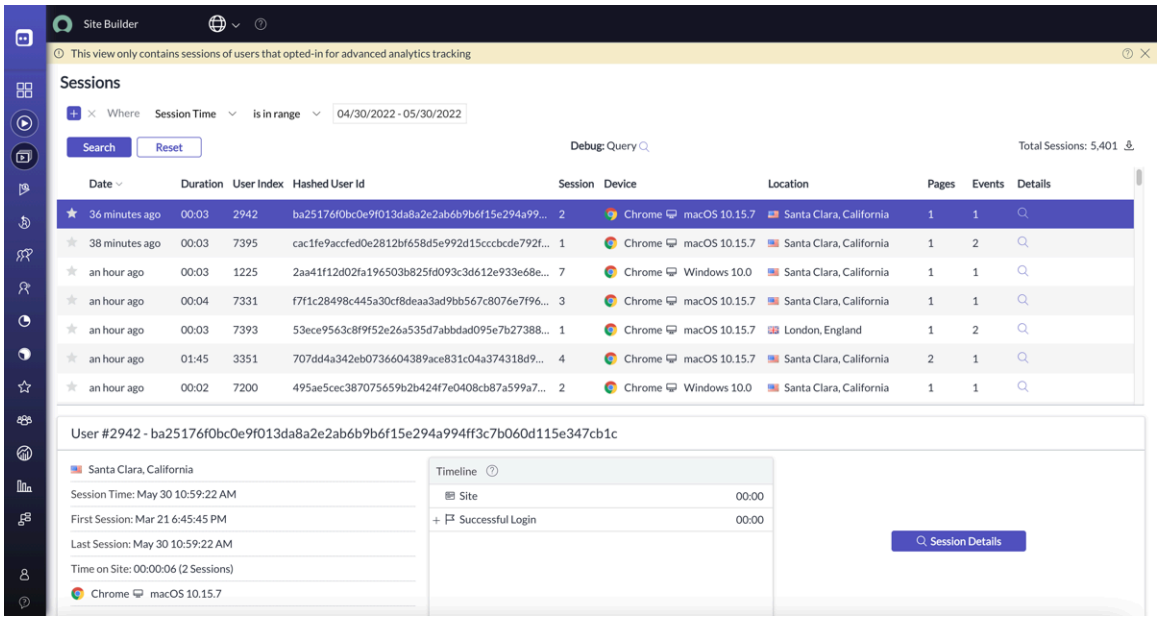
Now Platform Rome リリース以降、モバイルオンボーディング アプリのサポートは段階的に廃止され始めました。アクティブ化することはできなくなり、機能拡張や重大ではないバグ修正は開発されません。Mobile Onboarding 機能は 、HR Service Delivery 向けの Now Mobile アプリ で利用できます。

セッション分析の表示

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスセッションモジュールには、より詳細なインサイトを得るためにドリルダウンできるフィルター可能なアプリケーションセッションが一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



セッションモジュール - セッションリスト

フィールド	説明
リフレッシュ	選択したフィルターと更新されたセッションデータでセッションリストをリフレッシュします。
リストフィルター	セッションリストをフィルタリングするためのプロパティオプション。
日付	セッションが発生した日付。
合計セッション	選択したプラットフォーム、アプリケーションバージョン、日付範囲、およびフィルターオプションで利用可能なセッションの合計数。
期間	セッションが継続した時間の長さ。 **注:** ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 最大セッション長 4 時間を追跡します。
バージョン	モバイルアプリケーションのバージョン。
ユーザーインデックス	アプリケーションバージョンの一意の各ユーザーにアサインされる自動生成された番号。内部ユーザー ID の代わりに使用できます。
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーごとに生成されたハッシュ sys_id 値。実際のユーザー ID は表示されず、代わりに SHA-256 ハッシュ関数によって自動的にハッシュ化されます。 **注:** ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」として表示されます。
セッション	ユーザーの一意のセッション番号。ユーザーがセッションを開始するたびに、新しい連続したセッション番号が追跡されます。
デバイス	ユーザーセッションが発生した特定のデバイス。
所在地	ユーザーがアプリケーションにアクセスした場所。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セッションモジュール - セッションリスト (続く)

フィールド	説明
画面/ページ	ユーザーがセッション中に訪問した画面または表示したページの数。
アクション	セッション中にユーザーが実行したアクションの数。
詳細	選択したモバイルセッションのセッション詳細レコードを開きます。
インジケーター	セッションまたはユーザーレコードに関連付けられたインジケーターとタグを表示します。
ユーザーセッションレコードペイン	個々のセッションの概要を示し、個々のセッションの詳細に移動できるようにします。レコードペインはセッションリストの下にあります。

注:
セッションリストは、セッションの日付でのみ並べ替えることができます。

フィルターオプション

セッションリストは、次のプロパティでフィルタリングできます。

- アクション
- アプリが強制終了されました
- ブラウザの種類
- ブラウザーバージョン
- 市区町村
- 接続性
- 国
- デバイス
- デバイスタイプ
- 期間
- イベント
- ハッシュ化されたユーザー ID
- ロケール
- オフライン
- オペレーティングシステム
- オペレーティングシステムバージョン
- ページ
- スクリーニング
- セッション#
- 州/地域
- タグ
- ユーザーインデックス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

セッションの詳細 レコード

セッションリストの表示

事前にフィルタリングされたセッションリストを表示し、追加のプロパティでセッションを検索します。

始める前に

必要なロール：ユーザー

手順

1. ダッシュボードから、 セッション をクリックし、表示するセッションリストを選択します。

セッションリストオプション	Description (説明)
すべて	すべてのユーザーセッションをリストします。
最初のセッション	初めてアプリを開いたユーザーのセッションを一覧表示します。各ユーザーの最初のセッションのみを表示します。
リピーター	アプリを複数回開いたユーザーのセッションを一覧表示します。2 番目のセッションから開始されたユーザーセッションのみを表示します。
常連ユーザー	アプリを 5 回以上開いたユーザーのセッションを一覧表示します。ユーザーの 5 回目のセッションから開始したセッションとその後のセッションを表示します。
クイック破棄	ユーザーが最初のセッションで 20 秒未満しか費やさなかったすべてのセッションをリストします。
ショートセッション	20 秒未満続いたセッションをリストします。
長いセッション	5 分以上続いたセッションをリストします。
オフラインセッション	すべてのオフラインセッションを一覧表示します。
お気に入り	お気に入りとしてマークされた個々のセッションを一覧表示します。

2. フィルターを定義して、リストの結果を絞り込みます。
3. セッションのリストを表示するか、個々のレコードをクリックして特定のユーザーセッションの詳細を表示します。

関連情報

ユーザーとセッションの詳細の表示

セッションリストのフィルタリング

セッションリストを絞り込んで、アプリケーションに対して選択した画面やイベントなどのデータに焦点を当てます。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. **Where** 条件行で、フィルターメニューからプロパティを選択します。
2. 必要に応じて演算子と値を選択します。
3. 別のプロパティを追加するには、プロパティの追加アイコン (プロパティ ) をクリックします。

- フィルターをクリアしてセッション・リストの元のフィルター・セットに戻すには、「 リセット」をクリックします。
- フィルタプロパティを削除するには、プロパティの横にある削除アイコン () をクリックします。

4. [検索] をクリックしてフィルターを適用し、リストを更新します。

セッションおよびユーザーリストインジケーター

セッションリストまたはユーザーリストのインジケーターとタグを表示およびフィルタリングできます。

リストフィルターから、使用可能なインジケーターまたはタグでユーザーまたはセッションのリストをフィルタリングできます。

> **注:**
> セッションモジュールまたはユーザーモジュール内からレコードに追加されたインジケーターは、そのモジュール内でのみ表示されます。たとえば、ユーザーモジュール内からユーザーレコードに追加されたタグは、[ユーザー] リストにのみ表示され、[セッション] リストには表示されません。

リストインジケーター

アイコン	**Description** (説明)
	オフラインセッションを示します。オフラインセッションは、ユーザーが接続できないか、携帯ネットワークが不十分な場合に発生します。 **注:** ユーザーエクスペリエンスアナリティクス デフォルトではオフラインセッションを追跡します。
	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアカウントユーザーがセッションにタグを追加したことを示します。

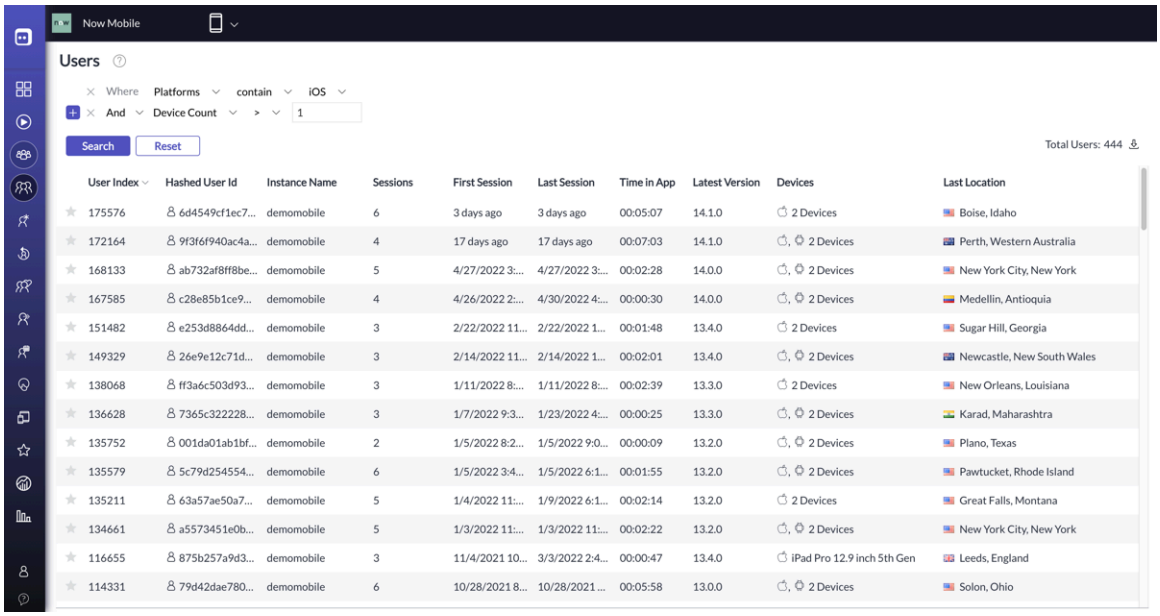
ユーザーアナリティクスの表示

ユーザーモジュールを使用すると、アプリケーションでのセッションの開始から終了までの、アプリケーションを介した個々のユーザージャーニーを表示できます。

タップやスワイプ、その他のタイムラインアクションなど、ユーザーのアナリティクスと行動を表示します。表示するユーザーを選択し、フィルターを設定し、個々のユーザーセッションにドリルダウンして、より詳細なインサイトを得ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ユーザーモジュール - ユーザーリスト

フィールド	**Description** (説明)
リストフィルター	ユーザーリストをフィルタリングするためのプロパティオプション。
合計ユーザー数	選択したアプリケーションバージョンとフィルターオプションの合計ユーザー数。
ユーザーインデックス	アプリケーションバージョンの一意の各ユーザーにアサインされる自動生成された番号。内部ユーザー ID の代わりに使用できます。
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーごとに生成されたハッシュ sys_id 値。実際のユーザー ID は表示されず、代わりに SHA-256 ハッシュ関数によって自動的にハッシュ化されます。 **注:** ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」として表示されます。
インスタンス名	インスタンスの分かりやすい表示名。
セッション	すべてのバージョンとデバイスでユーザーが実行したセッションの合計数。
最初のセッション	ユーザーがアプリケーションに初めてアクセスした日時。
前回のセッション	ユーザーが最後にセッションを開始した日時。
アプリ内の時間/サイトでの時間	すべてのバージョンとデバイスでユーザーがアプリケーションで費やした平均時間。
デバイス	ユーザーがアプリケーションをインストールしたすべての Web デバイスまたはモバイルデバイス。
前回の場所	ユーザーがアプリケーションにアクセスした最後の場所。
インジケーター	セッションまたはユーザーレコードに関連付けられたインジケーターとタグを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ユーザーリストは、ユーザーインデックスでのみ並べ替えることができます。

フィルターオプション

ユーザーリストは、次のプロパティでフィルタリングできます。

- アプリケーションバージョン
- ブラウザ
- ブラウザーバージョン
- 国
- デバイス数
- デバイスタイプ
- お気に入り
- 最初のセッション時間
- ハッシュ化されたユーザー ID
- 前回のセッション時間
- ロケール
- オペレーティングシステム
- セッション数
- セッションが存在します
- タグ
- 現地滞在時間
- ユーザーインデックス
- カスタムプロパティ

ユーザーリストの表示

事前にフィルタリングされたユーザーリストを表示し、より多くのユーザーまたはセッションプロパティでユーザーを検索します。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. ダッシュボードから、 ユーザーをクリックし、表示するリストを選択します。

ユーザーリストオプション	**Description** (説明)
すべて	すべてのユーザーをリストします。
新規ユーザー	指定された期間内に初めてアプリを開いたユーザーを一覧表示します。各ユーザーの最初のセッションのみを表示します。
リピーター	すべてのデバイスでアプリを複数回開いたユーザーを一覧表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーリストオプション	**Description** (説明)
常連ユーザー	アプリを 5 回以上開いたユーザーを一覧表示します。ユーザーの 5 回目のセッションから開始したセッションとその後のセッションを表示します。
返されない	アプリを 1 回だけ開いたユーザーを一覧表示します。
先週アクティブ	過去 7 日以内にアプリを開いたユーザーを一覧表示します。
マルチプラットフォーム	iOS と Android の両方にアプリをインストールしたユーザーを一覧表示します。
マルチデバイス	複数のデバイスにアプリをインストールしたユーザーを一覧表示します。
お気に入り	お気に入りとしてマークされた個々のユーザーを一覧表示します。

2. フィルター条件を追加して、リスト結果をさらに絞り込みます。

次のタスク
リストアイテムをクリックすると、選択したユーザーのセッションレコードが表示されます。

ユーザーリストのフィルタリング

ウェブやモバイルプラットフォーム、ユーザーの国などのデータに焦点を当てるようにユーザーリストを絞り込むか、カスタムフィルターを追加します。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. Where 条件行で、フィルターメニューからプロパティを選択します。

2. 必要に応じて演算子と値を選択します。

3. 別のプロパティを追加するには、プロパティの追加アイコン (プロパティ ) をクリックします。

- フィルターをクリアしてユーザーリストの元のフィルターセットに戻すには、[リセット] をクリックします。
- フィルタプロパティを削除するには、プロパティの横にある削除アイコン () をクリックします。

4. [検索] をクリックしてフィルターを適用し、リストを更新します。

セッションイベントのタイムラインの表示

ユーザーセッションのタイムラインを表示すると、ユーザーがセッション内でページ上の要素とやり取りした時間を示すイベント時間が一覧表示されます。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. に移動します。 すべて > セッション または ユーザー モジュールを選択し、リストアイテムを選択してユーザーセッションレコードを表示します。
2. ユーザーセッションレコードのタイムラインを表示するか、タイムラインからユーザージェスチャーリストアイテムを選択して [セッションの詳細] 画面から表示します。

ユーザーとセッションの詳細の表示

ユーザーセッションの詳細とセッションの履歴を、ユーザーセッションとセッションの詳細 レコードで確認します。

[ユーザー] または [セッション] モジュールに移動し、個々のユーザーセッションレコードを表示するリストアイテムを選択します。

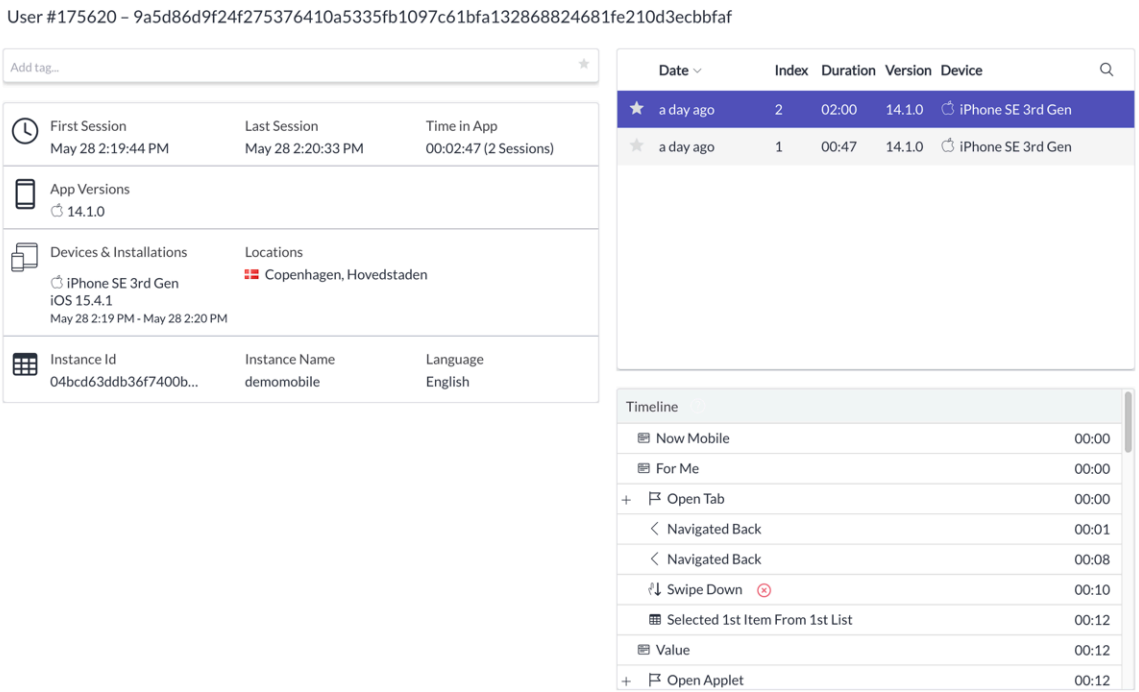
注:
ユーザーデータはデバイスによって追跡され、ユーザーの下でセッションがログに記録されます。ただし、ユーザーが複数のアプリケーションインスタンスまたは言語にアクセスした場合、履歴データは追跡されず、インスタンス ID、インスタンス名、および言語にはユーザーの最新のログインのみが反映されます。

ユーザーセッションレコード

ユーザーの全体的なセッション統計情報と、ユーザーの特定のセッションのイベントタイムラインの詳細を表示します。

セッション画面またはユーザーリスト画面からユーザーセッションレコードにアクセスできます。

- セッションリスト画面で、タイムラインイベントをクリックします。
- ユーザーリスト画面で、リストからユーザーレコードをクリックします。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ユーザー ID	ユーザーごとに生成されたハッシュ sys_id 値。実際のユーザー ID は表示されず、代わりに SHA-256 ハッシュ関数によって自動的にハッシュ化されます。 **注:** ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」として表示されます。
タグの追加	ユーザーのレコードに関連付けるテキストラベル名を入力します。[ユーザー] または [セッション] リストの個々のレコードに割り当てられたタグを表示できます。
検索	ユーザーが実行したすべてのセッションでフィルタリングされたセッションリストを開きます。
最初のセッション	ユーザーがアプリケーションに初めてアクセスした日時。
前回のセッション	ユーザーが最後にセッションを開始した日時。
アプリ内の時間/サイトでの時間	すべてのバージョンとデバイスでユーザーがサイトまたはアプリケーションで費やした平均時間、およびユーザーが実行したセッションの合計数。
ロケール	ユーザーがアプリケーションを表示した言語とアクセス元の国。
アプリケーションバージョン	ユーザーがすべてのデバイスにインストールしたすべてのアプリケーションバージョン。
デバイスとインストール	ユーザーが使用したブラウザーの種類、デバイス、デバイスのバージョン、およびインストールごとにユーザーがアクティブであった日付範囲のリストを表示します。ユーザーがアプリを再インストールするたびに、新しい日付範囲が表示されます。
所在地	ユーザーがセッションにアクセスした場所のリスト。
カスタムプロパティ	カスタムプロパティの追加に関する情報を提供する利用可能な SDK API リファレンスドキュメントを開きます。
インスタンス ID	インスタンスの一意の識別子。
インスタンス名	インスタンスの分かりやすい表示名。
言語	セッションを実行するためにユーザーのデバイスに設定された優先言語。
ログイン数	ユーザーがメールとパスワードを入力してアプリにログインした回数。
「セッション」ウィンドウ	次のセッションの詳細を表示します。 • 日付:セッションが発生した日付。 • インデックス:ユーザーのセッションの連続番号。 • 期間:セッションが継続した時間。 • バージョン:セッションが発生したモバイルアプリケーションのバージョン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• デバイス:ユーザーがセッションを実行したモバイルデバイス。 • 検索 - 選択したユーザーのセッションに固有のセッションリストに移動します。 セッションは、日付、インデックス番号、セッション期間、またはアプリのバージョンで並べ替えることができます。
Timeline (タイムライン)	ユーザーセッションのイベントのタイムラインを表示します。 イベントの詳細を表示するには、タイムライン上のイベントの横にある展開アイコン + をクリックします。
セッション 詳細	選択したセッションの セッション の詳細 レコードを表示します。

関連情報

セッションの詳細 レコード

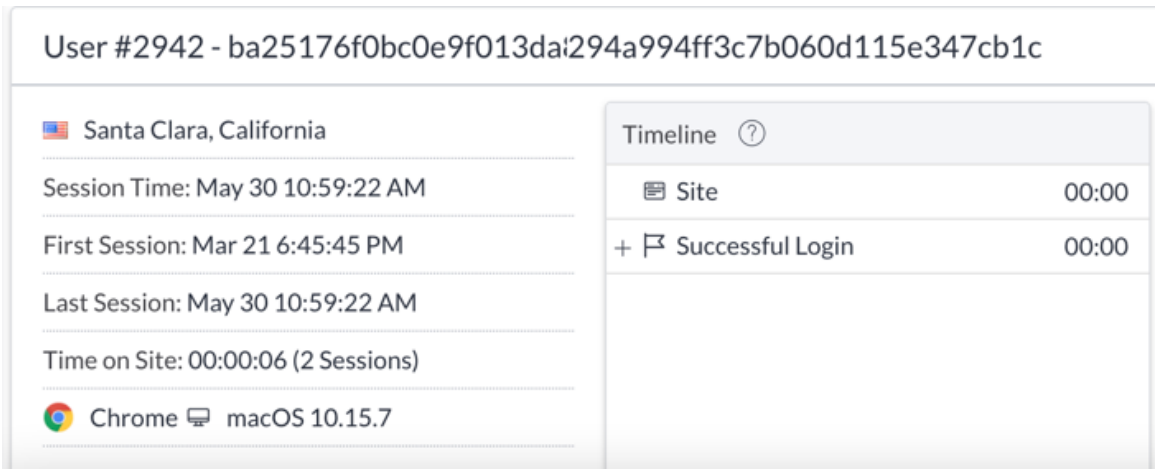
セッションの詳細 レコード

特定のユーザーセッションの統計情報とタイムラインの詳細を表示します。

ユーザーセッションレコードからセッション詳細 レコードにアクセスします。

- セッションリスト画面から:ユーザーセッションレコードで、[セッションの詳細] ボタン 、またはタイムラインイベントをクリックします。
- ユーザーリスト画面で、リストからユーザーレコードをクリックし、タイムラインイベントをクリックします。

セッションの詳細 レコードからタグを表示および追加したり、ユーザーのセッション履歴を表示したりすることもできます。



関連情報

ユーザーセッションレコード

お気に入りのユーザーレコードとセッションレコードのブックマークと表示

お気に入りのユーザーレコードとセッションレコードのブックマークと表示

ユーザーレコードとセッションレコードを手動で選択して、お気に入りリストに表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

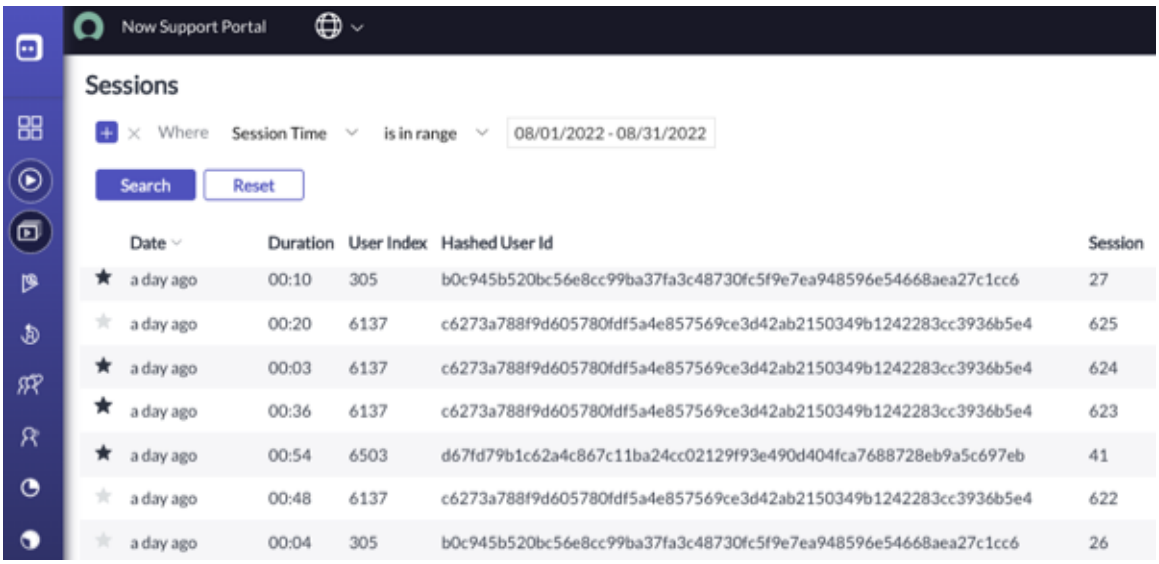
自動翻訳

始める前に
必要なロール：ユーザー

このタスクについて
ダッシュボードの各ユーザーとセッションレコードには、ユーザーインデックスまたはセッション日付の左側に星アイコンがあります。星形アイコンを選択して、レコードをお気に入りリストにブックマークします。

星をオンまたはオフにして、お気に入りリストのユーザーまたはセッションレコードを追加または削除し、選択したレコードからお気に入りを表示します。

セッションリストでお気に入りとしてブックマークされたレコード



手順

1. ユーザーモジュールまたはセッションモジュールで、レコードの左側にあるお気に入りアイコン (★) を選択してレコードをブックマークします。
2. 次のいずれかを実行して、ユーザーまたはセッションに対してブックマークされたレコードを表示します。
   - モジュールメニューで、 ユーザー > お気に入り. お気に入りの結果をフィルタリングするには、「 ユーザーリストのフィルタリング」を参照してください。
   - モジュールメニューで、 セッション > お気に入り. お気に入りの結果をフィルタリングするには、「 セッションリストのフィルタリング」を参照してください。

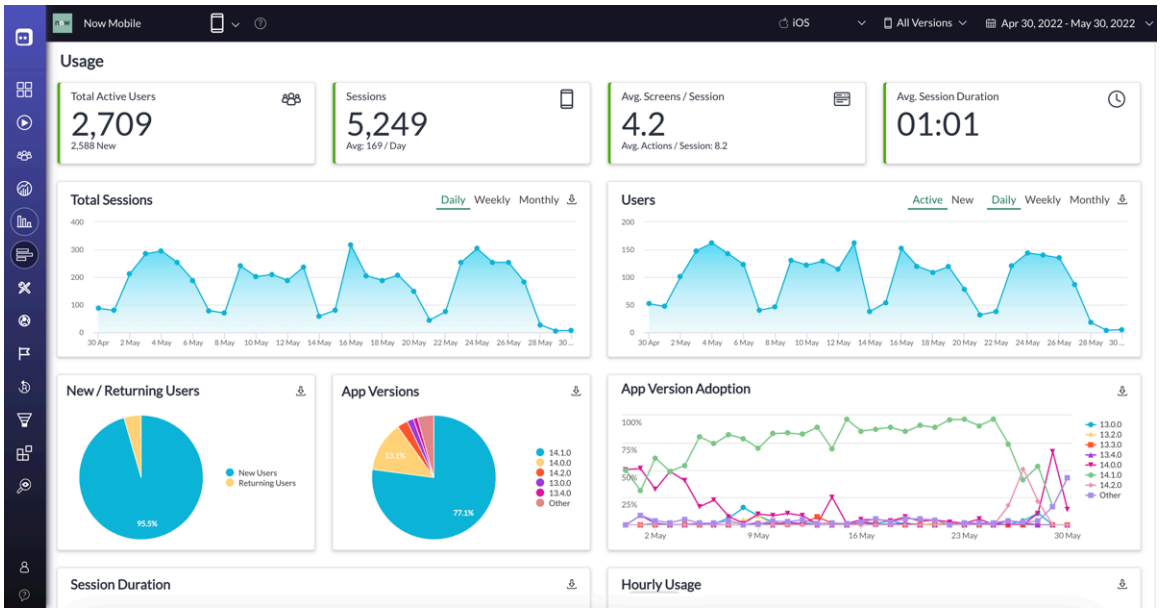
アナリティクスモジュールの使用

シングルユーザーと集計されたインサイトをリアルタイムで取得します。

分析モジュールには、アプリの使用状況、技術的、地理的、イベント、およびユーザーのつなぎとめのデータがいくつかの視覚化タイプで表示されます。KPI は、選択したプラットフォーム、アプリバージョン、および日付範囲に固有に表示されます。特定の可視化では、日次、週次、月次のデータビューを表示するように選択できます。

自動翻訳

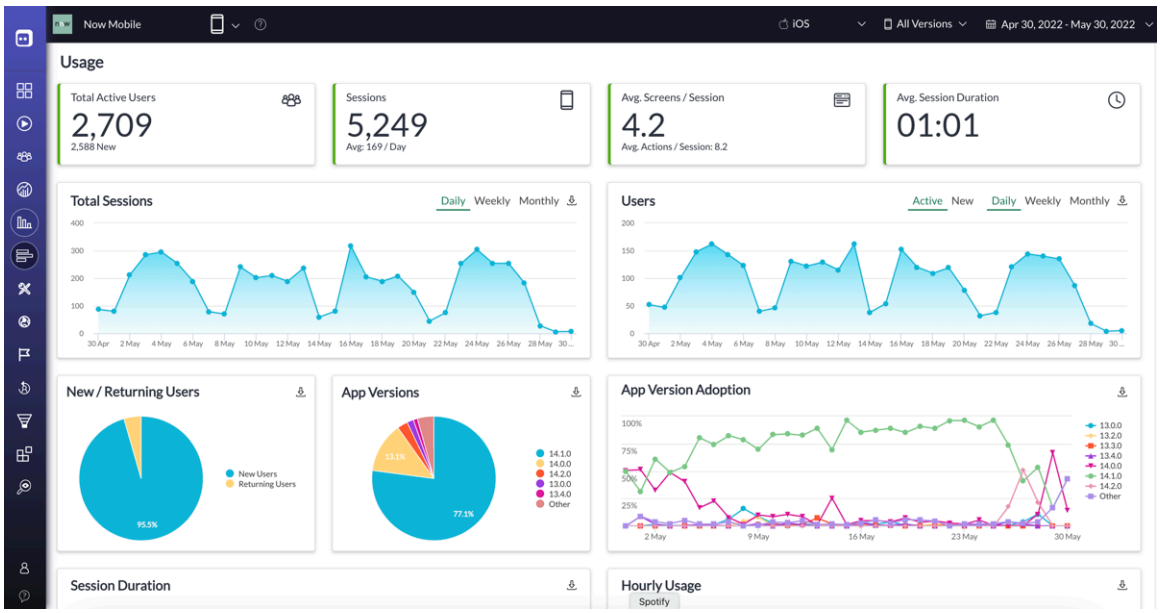
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリ使用率

使用状況モジュールでは、ユーザーによる採用状況や、サイトやアプリのユーザー総数、毎日オープンされたセッションの平均数、セッションの平均継続時間などの分析が表示されます。

移動先 分析 > 使用法 を使用して、使用 KPI の概要を確認します。ほとんどの可視化をポイントすると、セッションの日付、ユーザーの数と割合、アプリのバージョン番号など、簡潔で関連する詳細を表示できます。



アプリ使用率 **KPI**

KPI	**Description** (説明)
合計アクティブユーザー数	指定された期間内に最初のセッションが発生したユーザーの合計数 (新規ユーザーを含む)。
セッション	発生したセッションの合計数と 1 日あたりの平均セッション数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリ使用率 **KPI** (続く)

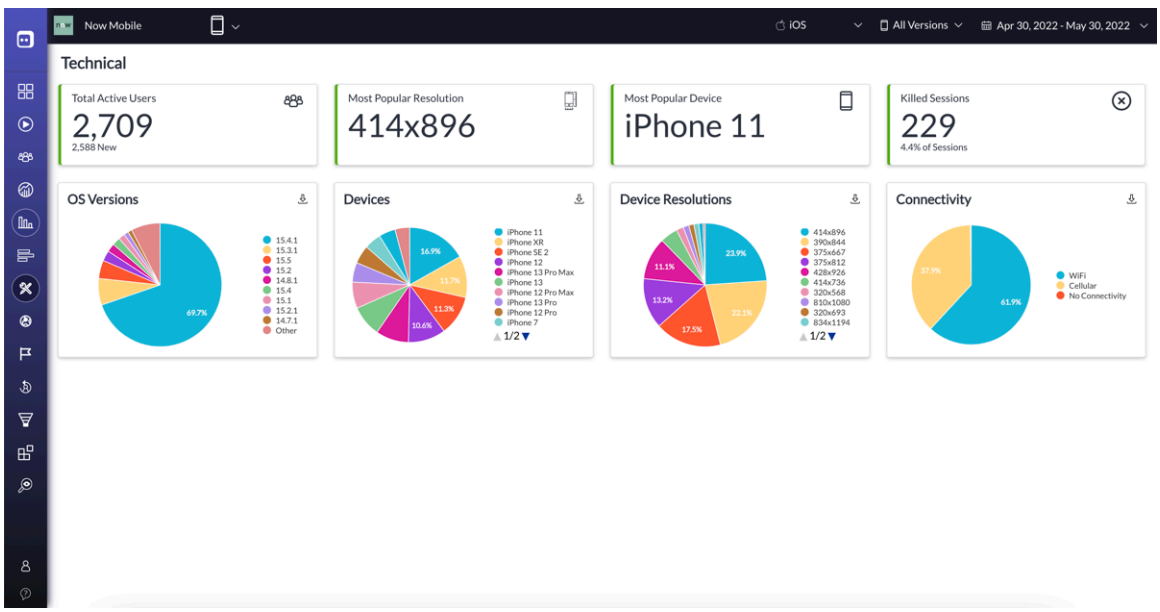
KPI	Description (説明)
平均画面数/セッション	セッションごとに表示されたページまたは画面の平均数と実行されたアクション。
平均セッションの期間	すべてのユーザーのセッション全体での平均所要時間。
合計セッション	日次、週次、月次のセッションの合計数。
ユーザー	日次、週次、月次のアクティブユーザーと新規ユーザーの合計数。
新規/リピーター	指定された期間内に最初のセッションが発生したユーザーの割合と、その後 2 番目のセッションを開始したユーザーの割合。
アプリケーションバージョン	選択したプラットフォームのユーザーによってインストールされたアプリのバージョン。
アプリバージョンの採用	アプリの異なるバージョン間のセッションセグメンテーションを表示します。たとえば、新しいアプリバージョンが昨日リリースされ、今日がすべてのアプリセッションの 10% を示している場合、新しいアプリバージョンの現在の採用率は 10% です。
セッションの期間	長さ/期間でセグメント化されたセッションの割合。
毎時の使用状況	全日の特定の時刻に発生したアプリの平均起動回数。

テクニカル分析

ユーザーのオペレーティングシステム、デバイス、解決データなどのアナリティクスを表示します。

テクニカル分析には、特定のオペレーティングシステムまたは特定のデバイスを使用するユーザーの数、特定の解像度でアプリケーションを使用するユーザーの数、Wi-Fiで接続しているときにアプリにアクセスするユーザーの数などのデータが表示されます。

特定の可視化をポイントすると、追加のパーセンテージまたは数値の詳細が表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

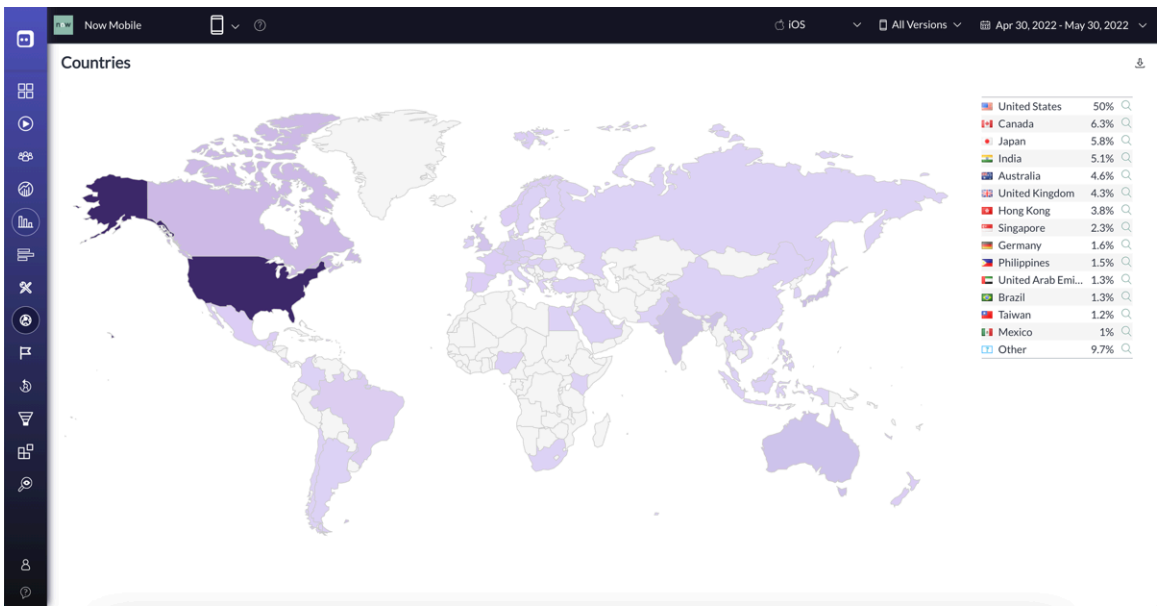
技術 **KPI**

KPI	Description (説明)
合計アクティブユーザー数	指定された期間内に最初のセッションが発生したユーザーの合計数 (新規ユーザーを含む)。
最も人気のある解決策	最も一般的に設定された解像度のユーザーデバイスは、セッション中に設定されました。
最も人気のあるデバイス	セッション中に最も一般的に使用されるデバイス。
強制終了されたセッション	ユーザーによって強制終了されたセッションの数と、オープンされたすべてのセッションにおける強制終了されたセッションの割合。
OS バージョン	ユーザーがセッションを実行した OS バージョン。
デバイス	ユーザーがセッションを実行したモバイルデバイス。
デバイス解像度	セッション中にユーザーデバイスが設定された解像度。
接続性	ユーザーがセッションのためにインターネットにアクセスしたネットワーク方式。

地理解析

モバイルユーザーがアプリケーションにアクセスする 地域、 国、 および都道府県 を表示します。

移動先 分析 > 地理的 をクリックして、国別のアプリの使用状況を確認します。



国の州、都道府県、またはテリトリーのブレークダウンにドリルインするには、マップ内の国をクリックするか、パネルリスト内の国名をクリックします。

「その他」は、ユーザーがどの国でセッションを行ったかが不明であることを示します。

リストされた国の横にある拡大アイコン [拡大 その国のセッションのフィルター済みリストに移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

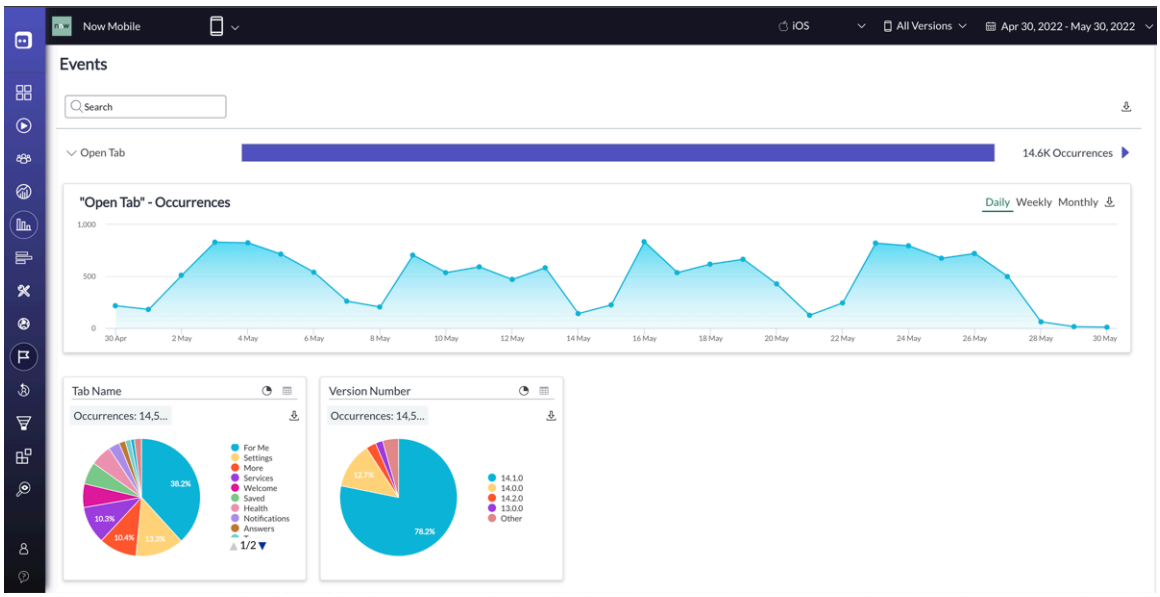
イベント

ユーザーアナリティクスイベントの発生を表示して、ビジネスプロセス内のコアステップを分析するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：ユーザー

このタスクについて
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、アプリ内のすべての画面、ジェスチャー、ユーザーアクションを自動的に検出するため、時間を節約し、ワークフローを改善します。メニューの選択、ボタンのクリック、スワイプなど、ユーザーがトリガーしたイベントの発生を表示できます。

円グラフビューまたはテーブルビューのいずれかの切り替えオプションを選択して、円



注:
「サンプリングされたデータ」を示すイベントプロパティは、最新の 10,000 件のレコードのみに基づくブレークダウン分析です。

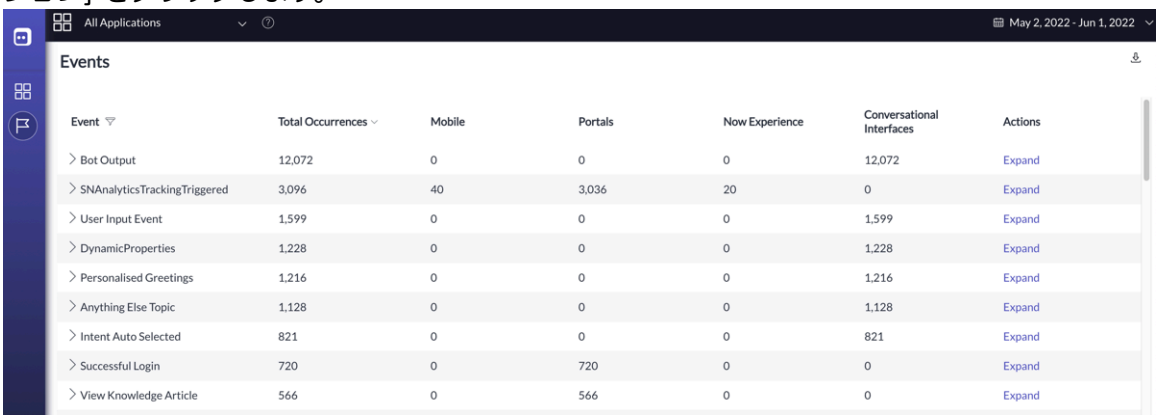
手順

1. 移動先 すべて > 分析 > イベント.
2. 次のいずれかのオプションに従います。
   - イベントの検索:
     a. 検索フィールドにイベントの名前を入力して「イベント」リストでフィルタリングするか、スクロールして「イベント」リストを検索します。
     b. 表示するイベントの横にある右矢印アイコン (をクリックします。
     c. イベントの横にあるセッションリストアイコン (をクリックすると、セッションリストから類似の発生を確認できます。
   - すべてのアプリケーションにわたってイベントを表示します。

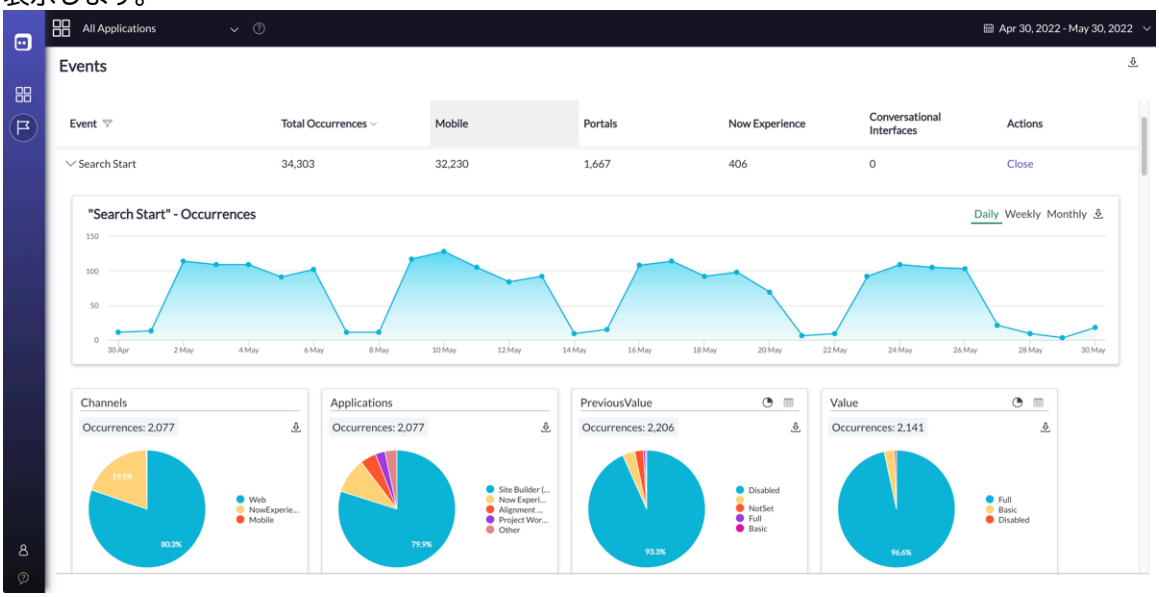
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ダッシュボードの [Web およびモバイルアプリケーション] リストから [すべてのアプリケーション] をクリックします。



- [選択したイベントの アクション] で、選択 展開 して、視覚化されたイベントの詳細をさらに表示します。



ユーザーアナリティクスイベント **KPI**

これらのイベント KPI は、Web およびモバイルプラットフォームで追跡されます。

イベント **KPI**

KPI	次の場合にイベントがログに記録されます。
外部アプリ起動	ユーザーは、通知またはディープリンクからアプリケーションを起動します。
ユーザーログイン	ユーザーが正常にログインしました。
アプリ/ALP を開く	ユーザーが ALP/画面をタップします。
アプレットを開く	ユーザーがアプレットを開きます。
音声検索タップ	ユーザーが [マイク] アイコンをタップします。
タップされたサポートへの連絡	ユーザーが [サポートに連絡] アイコンをタップします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イベント **KPI** (続く)

KPI	次の場合にイベントがログに記録されます。
フィールドアクション	ユーザーが [電話] や [メール] などのボタンをタップします。
検索開始	検索アクションが開始します。
検索完了	検索アクションが完了しました。この時間はミリ秒単位で記録されます。

UI 分析

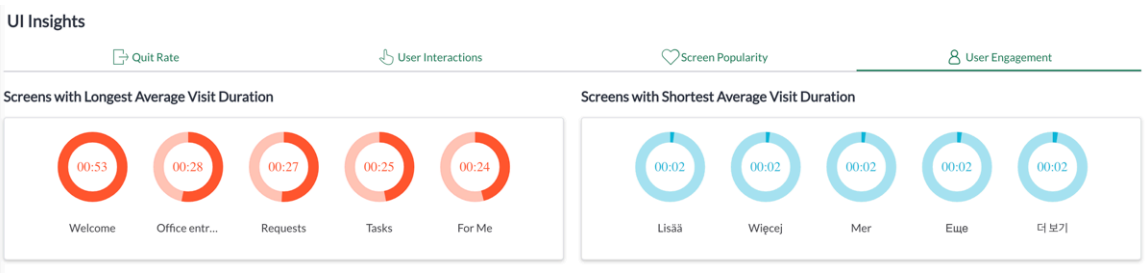
モバイルアプリケーションの UI に関するインサイトと、それに対するユーザーのインタラクションを確認します。最も人気のある画面や画面から離脱したユーザーの割合などの分析は、ユーザーの進捗状況や、画面上で問題が発生している可能性がある場所を把握するのに役立ちます。

注:
[すべてのプラットフォーム] が選択されている場合、この機能は使用できません。これらの分析情報を表示するには、個々のデバイス プラットフォームを選択します。

アプリケーションの UI インサイトを表示するには、次の場所に移動します。 **UI** 分析 およびインサイトを表示するモジュール。

UI インサイト

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードの UI 分析のインサイトモジュールには、画面 KPI の概要がタブ付きで表示されます。



次のいずれかのタブで画面イメージをクリックすると、画面の詳細な分析に移動できます。

UI インサイトのタブ

タブ	**Description** (説明)
終了率	終了率が最も高い画面 - アプリの合計終了数に対する、画面で終了したセッションの合計数で測定して、ユーザーが最も多く終了した画面を表示します。
ユーザーのインタラクション	ユーザー操作が最も多い画面 - アプリ内のすべてのユーザーが実行したジェスチャーの合計数に対する、画面内で実行されたジェスチャー (タップやスワイプなど) の数で測定され、ユーザーが最も操作する画面を表示します。
画面の人気	最も閲覧された/最も閲覧されていない画面 - アプリセッションの合計数に対する、その画面を含むセッション数で測定された、視聴率が最も高い画面と最も低い画面を表示します。

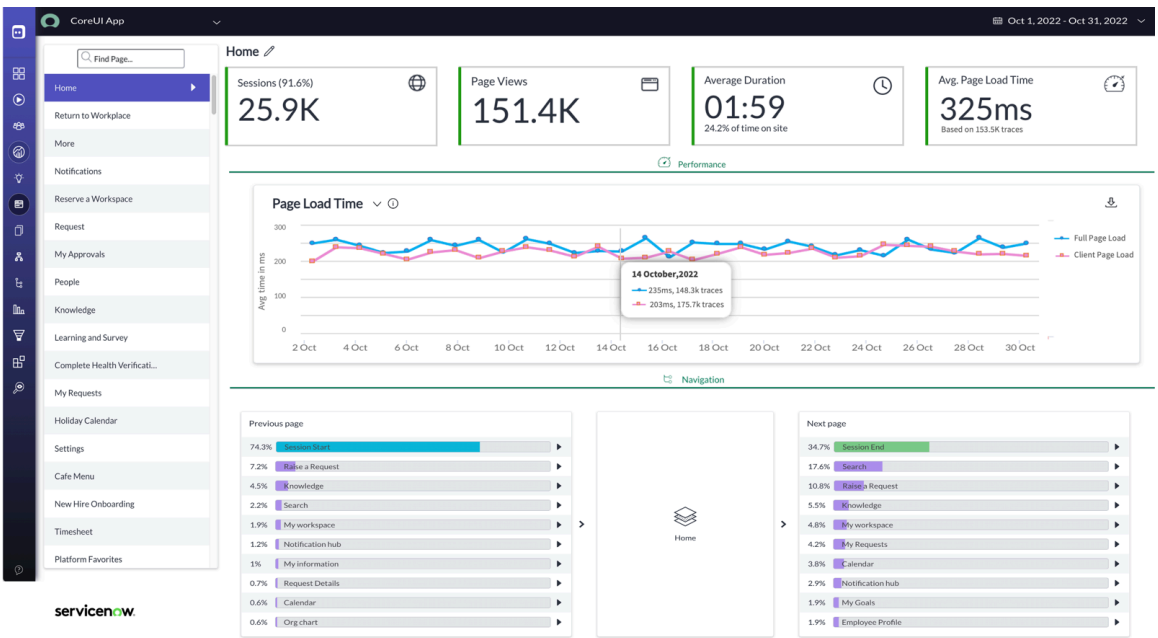
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI インサイトのタブ (続く)

タブ	**Description** (説明)
ユーザーエンゲージメント	最長/最短の訪問期間がある画面 - 最長の訪問期間と最短の訪問期間の画面を、画面の平均訪問時間とともに表示します。
ユーザビリティの問題	• ジェスチャーが応答しない画面 - ユーザーのジェスチャーに応答しなかった画面など、最も反応しないジェスチャーがある画面を表示します。すべてのユーザーが画面で実行したジェスチャーの合計数に対する、無反応ジェスチャーの数によって測定されます。 • 最初のアクションまでの時間が遅い画面 - 最初の画面表示から実行された最初のジェスチャまでの平均時間を示すことで、最初のアクションまでの時間が最も長い画面を表示します。これらは、ユーザーを混乱させる画面を示している可能性があります。

Web ページ

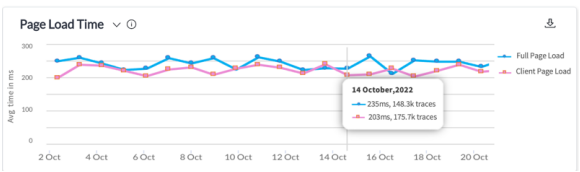
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボードの UI 分析のページモジュールには、Web ベースの UI のページに固有の分析が表示されます。各 Web ページのユーザーアクション、パフォーマンス、およびナビゲーションの詳細を表示します。



アイテム	**Description** (説明)
ページ名	選択したページの名前。ページの名前を変更するには、編集アイコンをクリックします。
セッション	指定したページに含まれるセッションの数を表示します。セッション中にページが複数回開かれた場合、1 回のみカウントされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アイテム	Description (説明)
平均時間	ページで費やされた平均時間を表示します。また、セッション中にアプリ全体で費やされた平均時間に対する、ページで費やされた時間の割合。
平均ページロード時間	ページが表示された回数に基づいて、ページのロードにかかった平均時間を表示します。
パフォーマンスグラフ	選択したトレースタイプの日次パフォーマンス傾向をグラフで表示します。メニュー矢印から、クライアント時間、ネットワーク時間、サーバー時間、およびページロード時間のいずれかのトレースタイプを選択します。 必要なデータが利用可能になると、選択したトレースの種類のパフォーマンス グラフに、ページ全体の読み込みとクライアント ページの読み込みの傾向線が表示されます。 • ページのフルロード – Web ドキュメント全体を再ダウンロードしてページをレンダリングするために必要な時間。 • クライアントページのロード - 新しいコンテンツのみをダウンロードしてページをレンダリングするために必要な時間。たとえば、クライアント側のルーティングなどです。 
ページのロード時間	ブラウザーでページが完全にレンダリングされた時間からユーザーがページを要求した時間を差し引いた、ページの全体的な配信時間
サーバー時間	サーバーがトランザクションを処理するのにかかる時間
ネットワーク時間	ネットワークが要求を処理するのにかかる時間。ブラウザーでページのロードが開始された時間からユーザーの要求の時間を差し引き、さらにサーバーの処理時間を差し引いて計算されます。
クライアント時間	ブラウザーでページのロードを開始した時間から、ページが完全にレンダリングされた時間を差し引いた、ブラウザーがページを配信するためにかかった時間
ナビゲーション	
前のページ	ユーザーがどのページから選択したページに到達したかを表示します。また、各ページへのナビゲーションの合計数に対する、各ページから到着したセッションの割合。まれなアクションは省略される場合があります。
次のページ	選択したページからユーザーがアクセスした上位ページを表示します。また、各ページからのナビゲーションの合計数に対する、各ページに移動したセッションの割合。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Web ページ分析の表示

各ページのユーザーアクション、パフォーマンス、ナビゲーション分析を表示します。

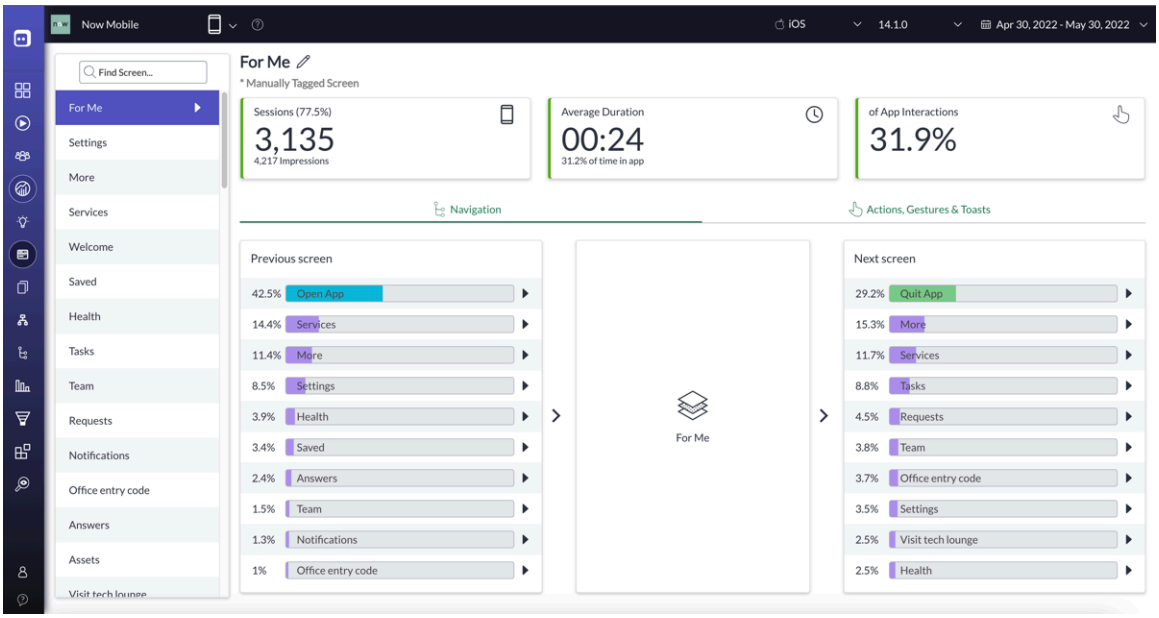
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **UI** 分析 > ページ.
2. ページリストをスクロールするか、[検索] フィールドにテキストを入力してページを見つけて選択します。

モバイルアプリ画面

画面モジュールには、モバイルアプリケーションの画面に固有のアナリティクスが表示されます。各モバイルアプリ画面のユーザーアクションとナビゲーションの詳細を表示します。



アイテム	**Description** (説明)
画面名	選択した画面の名前。画面の名前を変更するには、編集アイコンをクリックします。
セッション	画面が含まれていたセッション数とインプレッション数が表示されます。セッション中に画面が複数回開かれた場合、1 回のみカウントされます。
平均時間	画面で費やされた平均時間を表示します。また、セッション中にアプリ全体で費やされた平均時間に対する、画面で費やされた時間の割合。
アプリインタラクションの割合	実行されたジェスチャーの数によって測定された、画面の相対的な操作率を示します。
アクション、ジェスチャー、トースト	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム	Description (説明)
上位のユーザーアクション	• % 発生件数 • % セッション • 平均/セッション
ジェスチャー	画面あたりのユーザージェスチャーの比率、および応答しないジェスチャーの割合。
結合アクション 結合	アクションを結合できます。
ナビゲーション	
前の画面	ユーザーが選択した画面に到達した上位の画面と、その画面へのナビゲーションの合計数に対する各画面からのセッションの割合が表示されます。まれなアクションは省略される場合があります。
次の画面	選択した画面からユーザーがたどり着いた上位の画面と、各画面からのナビゲーションの合計数に対する各画面に移動したセッションの割合を表示します。

利用可能な場合は、特定の画面を含むセッションを表示できます。「セッション」リスト・アイコン をクリックして、これらのセッションを「セッション」リストから表示します。

モバイルアプリの画面アナリティクスの表示

各画面のユーザーアクション、ジェスチャー、ナビゲーション分析を表示します。

始める前に
必要なロール：ユーザー

手順

1. 移動先 すべて > **UI** 分析 > スクリーニング.
2. 画面リストをスクロールするか、[検索] フィールドにテキストを入力して画面を見つけて選択します。

結合画面アクション

画面の追跡対象となる 2 つ以上のアクションを結合します。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

このタスクについて
アクションの結合は新しいセッションにのみ適用され、既存のデータは変更されません。

> **注:**
> 合併が実行された後は、アクションを取り消すことはできません。

手順

1. 移動先 すべて > **UI** 分析 > スクリーニング.
2. 結合するアクションを含む画面を検索して選択します。

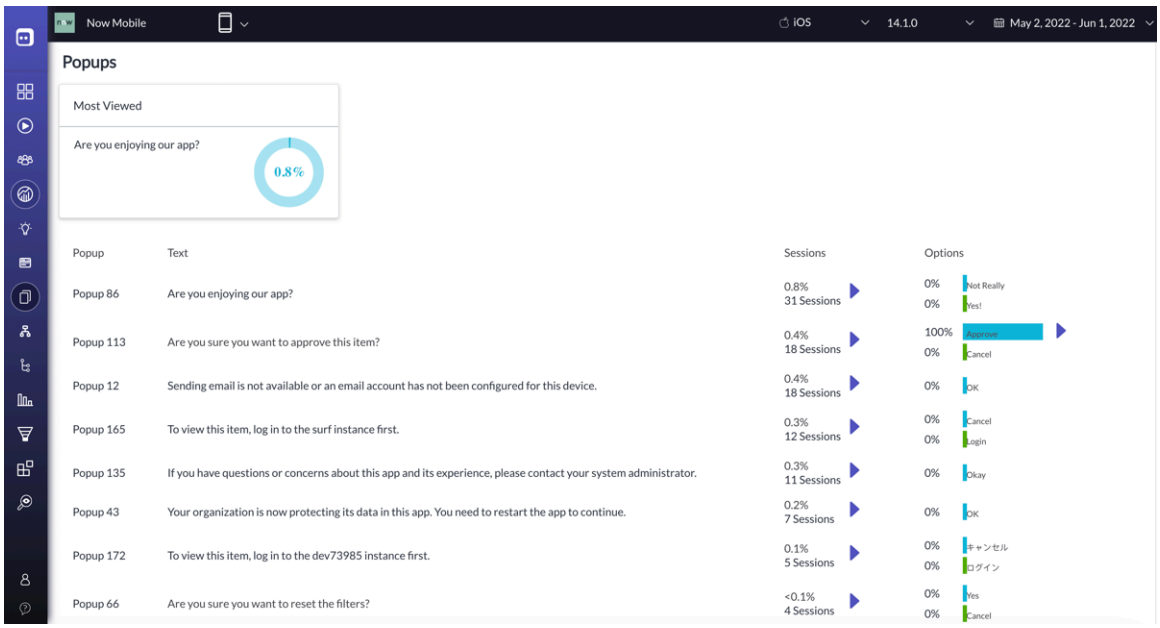
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 結合する最初のアクションの横にある結合アイコン ( ) をクリックします。
4. 結合する 2 番目のアクションの横にあるチェックボックスをオンにします。
5. 画面に結合するすべてのアクションを選択したら、[適用] をクリックします。
   結合されたアクションは、最初にリストされたアクションの名前の下にリストされます。

ポップアップ

特定のポップアップが表示されたモバイルアプリユーザーのセッションを表示します。ポップアップ分析は、ユーザーが遭遇するバグやエラーを簡単に特定するのに役立ちます。



ポップアップ画面要素

アイテム	**Description** (説明)
もっとも表示された	ビュー数とすべてのポップアップのすべてのビューに対するパーセンテージで、アプリで最も表示されたポップアップ。
最高退職率	ユーザーが最も多く終了した画面を表示します。アプリの合計終了数に対する、画面で終了したセッションの合計数で測定されます。
ポップアップ	ポップアップの名前。 ポップアップの名前を変更するには、ポップアップ名をポイントし、編集 アイコンをクリックしてポップアップの名前を変更します。
テキスト	ポップアップでユーザーが読むテキスト。
セッション	ポップアップが表示されたセッションの割合。選択したポップアップのセッションリスト ( ) アイコンをクリックすると、ポップアップを含むセッションのリストが表示されます。
オプション	ポップアップでユーザーに表示されたオプションを表示します。たとえば、「確認」や「キャンセル」などです。

自動翻訳

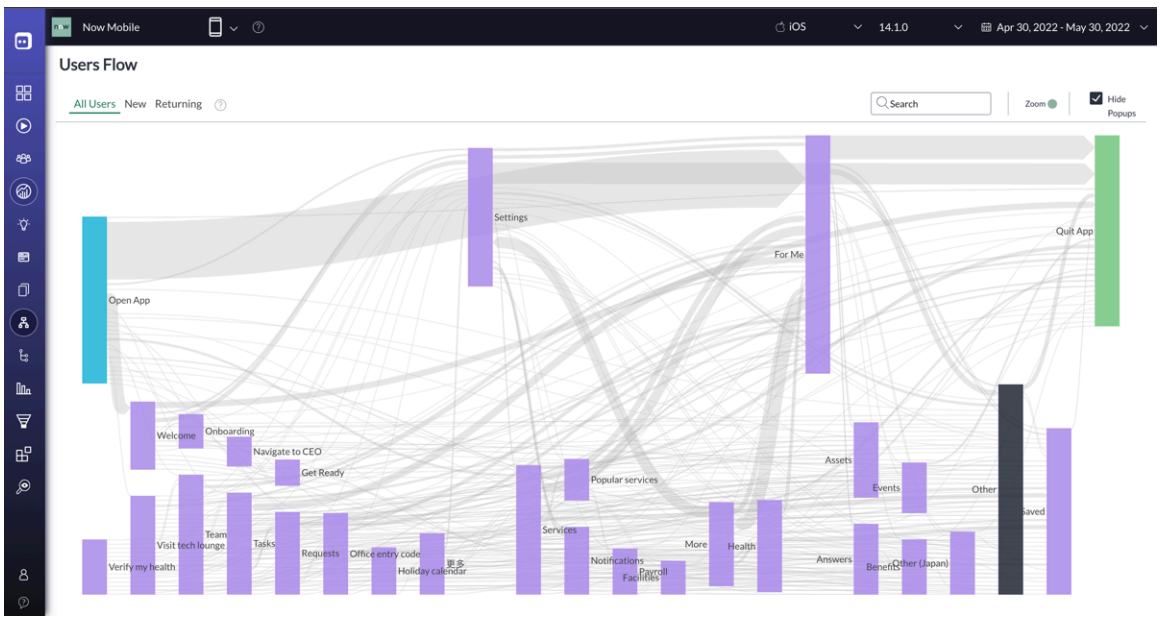
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポップアップ画面要素 (続く)

アイテム	**Description** (説明)
	セッションリスト ( ) アイコンをクリックすると、選択したポップアップオプションのオプションでフィルタリングされたセッションのリストが表示されます。

ユーザーフロー

Web アプリやモバイルアプリのユーザーがたどる一般的なフローとさまざまな経路を確認して、ユーザーがどのように操作しているかをより詳細に把握します。



ユーザーフローは、ほとんどのユーザーが異なる画面間を移動する場所をすばやく把握するのに役立ちます。フローには、アプリ内の各画面とポップアップのインバウンドジャーニーとアウトバウンドジャーニーが表示されます。ユーザーフローインサイトを使用すると、次のことができます。

- 問題のある画面を調査して、画面の使いやすさやパフォーマンスの問題を把握します。
- ユーザーの意図を理解します (たとえば、リピーターよりもアプリ内を検索する新規ユーザーとの間で傾向の違いなど)。
- ナビゲーションパターンを定期的に監視します。
- デバイス、ユーザー人口統計、オペレーティングシステムなどのさまざまな要素にわたる行動傾向を検出します。

ユーザーフローとナビゲーションパスの違い

ユーザーフローには、アプリ内の各画面の受信トラフィックと送信トラフィックが表示されるため、各画面との間のナビゲーションの傾向を把握できます。フローの可視化では、各画面は 1 回だけ表示されます。これらのフローは、ユーザーが特定の画面の後にどこに移動するのかという質問に答えるのに役立ちます。

ナビゲーションパスには、アプリ内の特定の順序付けされたナビゲーションの頻度が表示されるため、ユーザーがアプリでたどる最も一般的なパスを確認できます。各画面は、ナビゲーションパス内に複数回表示される場合があります。次に例を示します。 **A** > **B** > **A** > **C**.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーフローの表示と操作

アナリティクスを示すフローを [すべてのユーザー]、[新規 ユーザー]、[リピーター] のいずれに表示するかを選択できます。画面にアクセスしたユーザーの比率は、パスフローの幅の多かれ少なかれ表示されます。画面のパス線をポイントすると、特定の画面に移動したユーザーの割合が表示されます。

フローをより簡単に視覚化するためのヒント

これらのヒントを使用すると、フローの可視化を簡単に表示できます。より簡単に表示するには:

- 特定の画面からのフロー:検索フィールドに画面名を入力し、リストから選択します。
- ユーザーの移動先:画面バーをクリックして目的の位置にドラッグすることで、フロー内の画面の位置を変更します。

さらに、次の方法でユーザー フローを操作できます。

アクション	ステップ
ビジュアリゼーションのポップアップを表示または非表示にします。	**Hide Popups & Menus** ボックスをオンまたはオフにして、表示または非表示にします。
特定の画面にドリルダウンして、セッション数、インプレッション数、それに関連する受信画面または送信画面数を確認します。	画面バーをポイントして表示するか、さらに受信または送信の切り替えをクリックして対応する画面パスをハイライト表示します。
ナビゲーションを含むセッションのリストを表示します。	フローをポイントし、 セッションリスト アイコンをクリックします。
ほとんどのユーザーが使用する特定の順序付けされたナビゲーションの頻度を表示します。	該当する画面をポイントし、[ナビゲーションパスを表示] ナビゲーション アイコンをクリックします。

ナビゲーションパス

ナビゲーションパスを使用すると、Web アプリケーションまたはモバイルアプリケーションを介したユーザーのジャーニーをすばやく理解し、分離できます。ユーザーがたどる最も一般的なナビゲーションパスと最も一般的でないナビゲーションパス、およびそれらをどのように改善できるかを評価します。

ナビゲーションパスは、ユーザーがルート画面からたどるパスについてのインサイトを提供します。これらは、次のことに役立ちます。

- 2 つの画面間を行ったり来たりするナビゲーションなど、ユーザーの混乱を示すユーザージャーニーを特定します。
- 途中で終了する重要なジャーニーを特定します。
- ポップアップがユーザーナビゲーションに及ぼす影響を理解します。

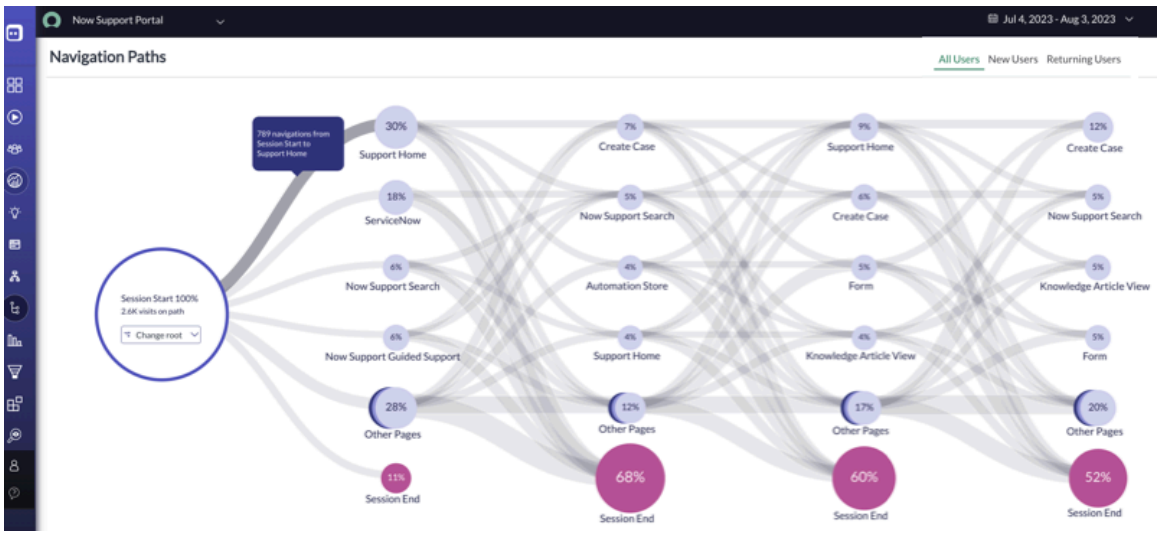
ユーザーフローとナビゲーションパスの違い

ユーザーフローには、アプリ内の各画面の受信トラフィックと送信トラフィックが表示されるため、各画面との間のナビゲーションの傾向を把握できます。フローの可視化では、各画面は 1 回だけ表示されます。これらのフローは、ユーザーが特定の画面の後にどこに移動するのかという質問に答えるのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ナビゲーションパスには、アプリ内の特定の順序付けされたナビゲーションの頻度が表示されるため、ユーザーがアプリでたどる最も一般的なパスを確認できます。各画面は、ナビゲーションパス内に複数回表示される場合があります。次に例を示します。 **A** > **B** > **A** > **C**.



ナビゲーションパスの表示と操作

[ナビゲーション パス] 画面には、アプリに含まれるすべての画面のデータを含む最初の視覚化が表示されます。ビジュアリゼーション上の各円はナビゲーションレベルを表し、前の画面からのナビゲーションの数 (最大 5 レベル) を示しています。アナリティクスとともに可視化を [すべてのユーザー]、[新規 ユーザー]、[リピーター] のいずれに表示するかを選択できます。

下部のグラフには、すべてのパスの 1 番目と 2 番目のナビゲーションの集計が表示されます。

次の方法でナビゲーションパスを操作できます。

アクション	ステップ
ビジュアリゼーションのポップアップを表示または非表示にします。	**Hide Popups & Menus** ボックスをオンまたはオフにして、表示または非表示にします。
ルート画面を変更して、画面への以前のナビゲーションに関係なく、その画面以降のナビゲーションパスを表示します。	ルート画面をいくつかの方法で変更します。 • 該当する画面をポイントし、[ナビゲーションパスの表示 ] アイコンをクリックして、選択した画面からルートとしてパスを表示します。 • 検索フィールドに画面名を入力し、リストから選択します。
画面に移動して UI アナリティクスを表示する。	画面をポイントし、その画面タイトルをクリックします。

変換レポートの作成

イベントベースおよびアクションベースのアナリティクスレポートを表示および作成して、ユーザーが Web アプリケーションまたはモバイルアプリケーションでどの程度効果的にステップやプロセスを実行しているかを確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[すべてのプラットフォーム] が選択されている場合、この機能は使用できません。個々のデバイスプラットフォームを選択して、レポートを表示および作成します。

のじょうごグラフ レポート ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

じょうごグラフレポートは、アグリゲートユーザー行動のコンバージョン率と傾向を示し、特定のアプリケーション内ユーザー目標の成功または失敗の背後にある理由を明らかにします。コンバージョンファネルを調査すると、アプリケーション内の関連プロセスのコンバージョン率を測定して最適化するのに役立ちます。

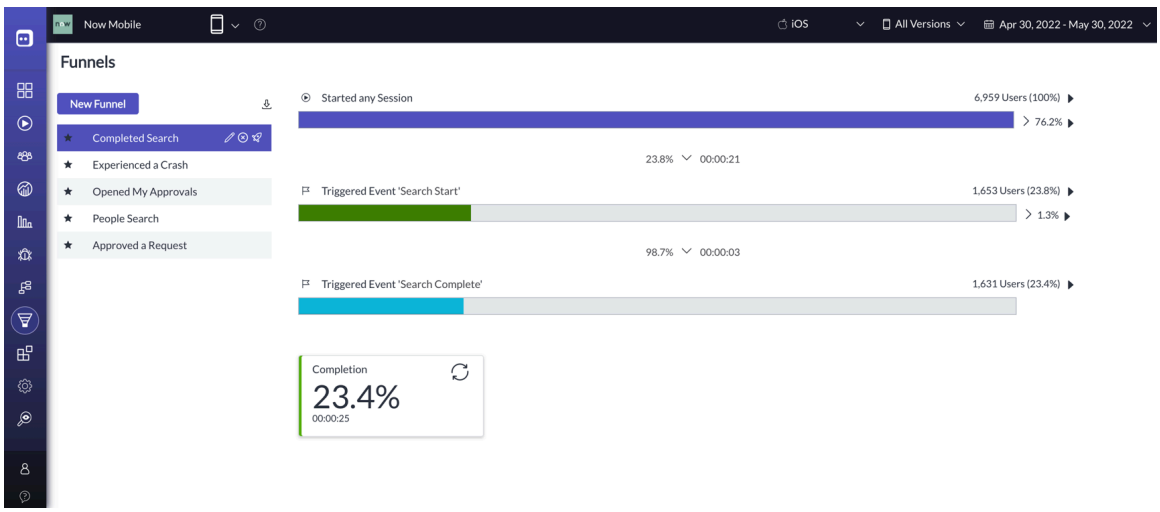
じょうごグラフ レポートの作成方法と使用方法を詳しく説明します。

このビデオでは、じょうごグラフ レポートを作成して使用する方法を説明します。

じょうごグラフ分析では、オンボーディングの完了など、アプリケーションのクリティカルパスに沿って目的のアクションを完了したユーザーの割合を示します。また、ユーザーが離脱する理由を見つけることもできます。

目標到達プロセスには、コンバージョンの成功または失敗に至るまでのさまざまなアクションを含めることができます。ユーザーが目標を達成するためにたどる経路は複数ある可能性があるため、複数のコンバージョン目標到達プロセスを構築して、どの目標経路がユーザーにとって最も関連性が高く効果的かを判断することをおすすめします。特定の目標に対するユーザーのコンバージョン率を測定するには、コンバージョンファネルの全体的な効果をベースラインで評価するために、次の 3 つの主要な指標を検討する価値があります。

- あるステップから次のステップに進むユーザーの数
- 関連する換算率
- ユーザーが次のステップに進むのにかかる平均時間



じょうごグラフ レポートを作成する

アグリゲートユーザー行動のコンバージョン率と傾向を表示して、特定のアプリケーション内ユーザー目標の成功または失敗の背後にある理由を明らかにします。コンバージョンファネルを調査すると、アプリケーション内の関連プロセスのコンバージョン率を測定して最適化するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > ダッシュボード をクリックし、アプリケーションを選択します。
2. ダッシュボードから、じょうごアイコン () を選択し、[**Create Your First Funnel** or **New Funnel** (最初のじょうごグラフまたは新しいじょうごグラフを作成)] を選択します。
3. 測定する関連プロセスの名前を入力します。
4. 含めるセッションの期間を選択し、 [次へ] を選択します。

オプション	説明
今	レポートは、レポートが保存された時点からデータの収集を開始します。
1 週間前	現在の日付の 7 日前のデータをレポートします。日付の午前 12 時 (GMT) に生成されたデータが含まれます。
1 か月前	現在の日付の 30 日前のデータをレポートします。日付の午前 12 時 (GMT) に生成されたデータが含まれます。
3ヶ月前	現在の日付の 90 日前のデータについてレポートします。日付の午前 12 時 (GMT) に生成されたデータが含まれます。
元の日付	このオプションは、既存のレポートを編集するときに使用できます。レポートの元の日付からのデータについてレポートします。

5. [ステップタイプ] オプションから、測定するステップを選択し、必要に応じて画面、イベント、またはアクションを選択します。

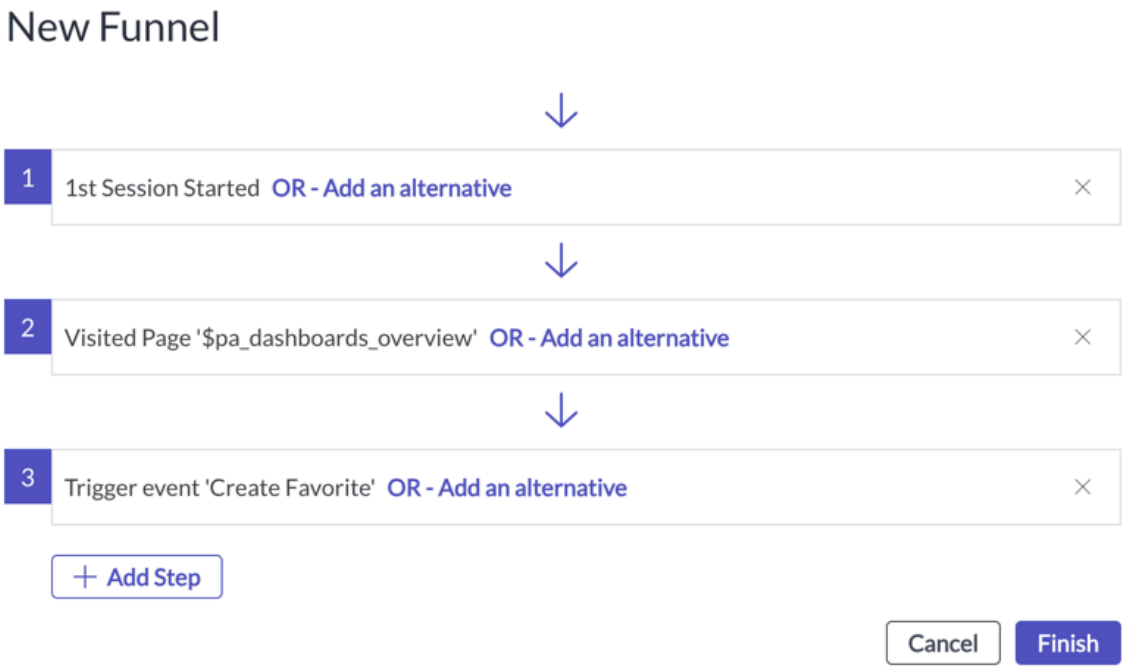
オプション	説明
イベントトリガー	測定する ユーザーアナリティクスイベント KPI を選択します。 選択したイベントを特定のプロパティで照合するには、[プロパティで照合] をクリックし、ドロップダウンからプロパティを選択して、プロパティの値を入力します。
画面アクション	画面と適用可能なアクションタイプを選択します。
画面ビュー	画面を選択します。
セッション開始(1回目)	ユーザーの最初のセッションを測定する場合に選択します。
セッション開始 (任意)	ユーザーセッションを測定する場合に選択します。

6. [イベント名] を選択し、[追加] を選択します。
7. 該当する場合は、ユーザーがパス内のその時点で選択できる代替のステップタイプを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. じょうごグラフに追加するステップを選択します。



9. [完了] を選択します。

じょうごグラフを編集

収集するじょうごグラフデータ、または分析に含めるステップを編集します。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. [じょうごグラフ] モジュールで、既存のじょうごグラフのリストから編集するじょうごグラフを選択します。

2. 編集 アイコンを選択します。

3. じょうごグラフ名、含めるセッションの期間を変更し、必要に応じてステップを編集または追加します。

4. [完了] を選択してじょうごグラフ構成を更新します。

じょうごグラフを削除する

じょうごグラフを簡単に削除できます。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [じょうごグラフ] モジュールで、削除する既存のじょうごグラフをじょうごリストから選択してハイライト表示します。
2. [の削除] アイコンを選択してじょうごグラフを削除します。
3. [**OK]** を選択して、じょうごグラフを削除することを確認します。

じょうごグラフ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 一致する方法

ユーザーが目標に到達する前に表示すると予想される一連のページと ユーザーエクスペリエンスアナリティクス がどのように一致するかについて説明します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス じょうご照合はセッションではなく一意のユーザーに基づいているため、セッション間でステップを一致させることができます。たとえば、ユーザーは最初のセッションでじょうごグラフの最初のステップを開始し、別のセッションで次のステップに進むことができます。ユーザーは選択した時間範囲に対して 1 回のみカウントされ、ステップの完了はユーザーごとに 1 回のみカウントされます。

じょうごグラフは、30 日以内にじょうごグラフのステップを完了したユーザーを測定するため、ユーザーは 1 月 1 日にステップ #2 を完了し、1 月 30 日にステップ #3 を完了するとカウントされます。

じょうごグラフのステップは緩やかに一致しています。ユーザーは、じょうごを定義するステップ間で他のステップを実行できます。例：

じょうご A > B > C の場合:

- A > B > C が一致します。
- A > B > D > C も一致し、D は任意のユーザー アクションにすることができます。
- A > B > E が一致しない場合、ユーザーはステップ B のみを完了したと見なされます。

重複するステップを照合する場合、じょうご分析では、じょうごを進行させる最初の発生が選択され、重複する発生は無視されます。たとえば、じょうご A > B > C の場合、B > C >> A を実行するユーザーの場合、2 番目の B は無視されます。

時間範囲を選択すると、その時間範囲内でじょうごグラフ全体を完了したユーザーのみが分析に表示されます。ユーザーが選択した時間範囲の前または後に最初のステップを開始した場合、そのユーザーはカウントされません。

じょうごグラフ分析では、重複するじょうごグラフの入り口が考慮されます。たとえば、じょうご A > B、> C に対して、ユーザーは次のアクションを実行します。

A（日曜日）> B（月曜日）> A >（火曜日）> B（水曜日）> C（木曜日）

日曜日 - 木曜日、月曜日 - 木曜日、火曜日 - 木曜日を選択するとユーザーは戻りますが、水曜日 - 木曜日を選択すると戻りません。

この動作は、レビュー 個々のセッション、および集計されたユーザー数の両方に当てはまります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 無視された発生を除く、選択したステップのじょうごに沿って進行するすべてのセッションを表示し、ユーザーの複数のセッションを表示できます。

アプリケーションバージョンでフィルタリングすると、選択したバージョンから最初のアクションを実行したユーザーのみが分析に表示されます。

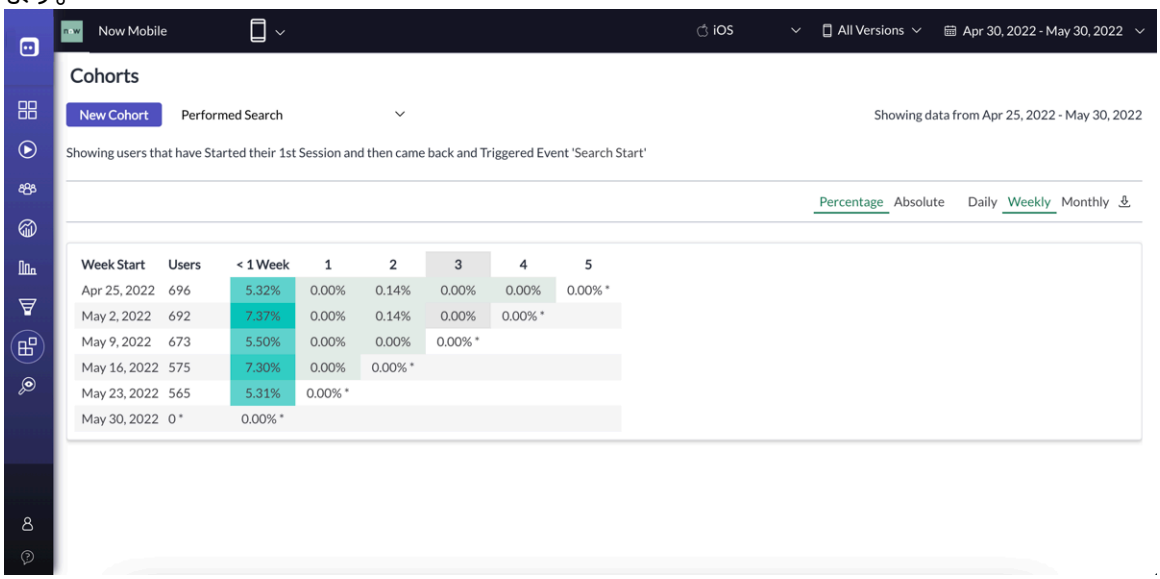
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスコホート

コーホートを使用すると、あらかじめ決められた一連のアクションを完了したユーザーを分析して、コンバージョン率を追跡できます。

コホートを使用すると、特定の期間内にユーザーがどのくらいの頻度でアプリに戻り、特定のアクションを実行するかを把握できます。指定された期間内に集計されたユーザーグループによって実行された一連のアクションを分析します。このように、コホートレポートは、あるアプリ内アクションが別のアプリ内アクションとどのように関連しているかに関する情報を提供します。一連のアクション間の経過時間の測定値と、一定期間にわたるユーザーの行動とエンゲージメントの傾向を確認できます。



コホートの作成

事前定義された一連のアクションを完了したユーザーの分析を作成して、各ステップのコンバージョン率を追跡できるようにします。

コホートを作成して使用する方法を詳しく説明したビデオ。

このビデオでは、コホートを作成して使用する方法を説明します。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

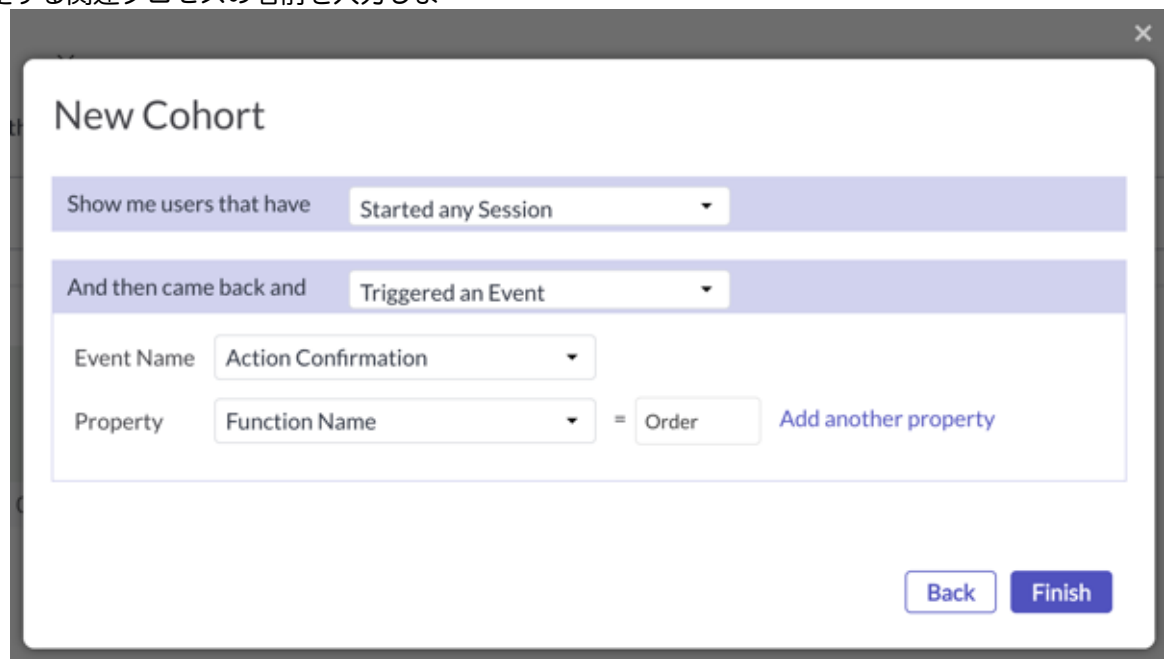
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. ダッシュボードから、 コホートをクリックし、「最初のコホートまたは新しいコホートを作成」をクリックします。
2. 測定する関連プロセスの名前を入力しま



す。
3. 含めるセッションの期間を選択します。
4. [次へ] をクリックします。
5. コホートを定義するオプションから最初のアクションを選択します。
定義されたアクションを実行するユーザーは、コホートの行にグループ化されます。

- 画面にアクセスしました
- イベントをトリガーしました
- アクションを実行しました
- いずれかのセッションを開始しました
- 第1回セッション開始

6. [プロパティで一致] をクリックし、アクションを照合するプロパティ値を選択して入力します。
7. コホートを定義する 2 番目のアクションと、必要に応じて画面、イベント、またはアクションを選択します。
8. [完了] をクリックします。

次のタスク
コホートを表示して、最初に定義されたアクションを実行したユーザーのうち、2 番目のアクションを実行するために戻ったユーザーの数を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
コホート分析に示されたデータが最終データでない場合は、遡及的なデータがまだ処理中であることを示す注記が表示されます。画面を更新して、最終データを含むレポートを表示します。

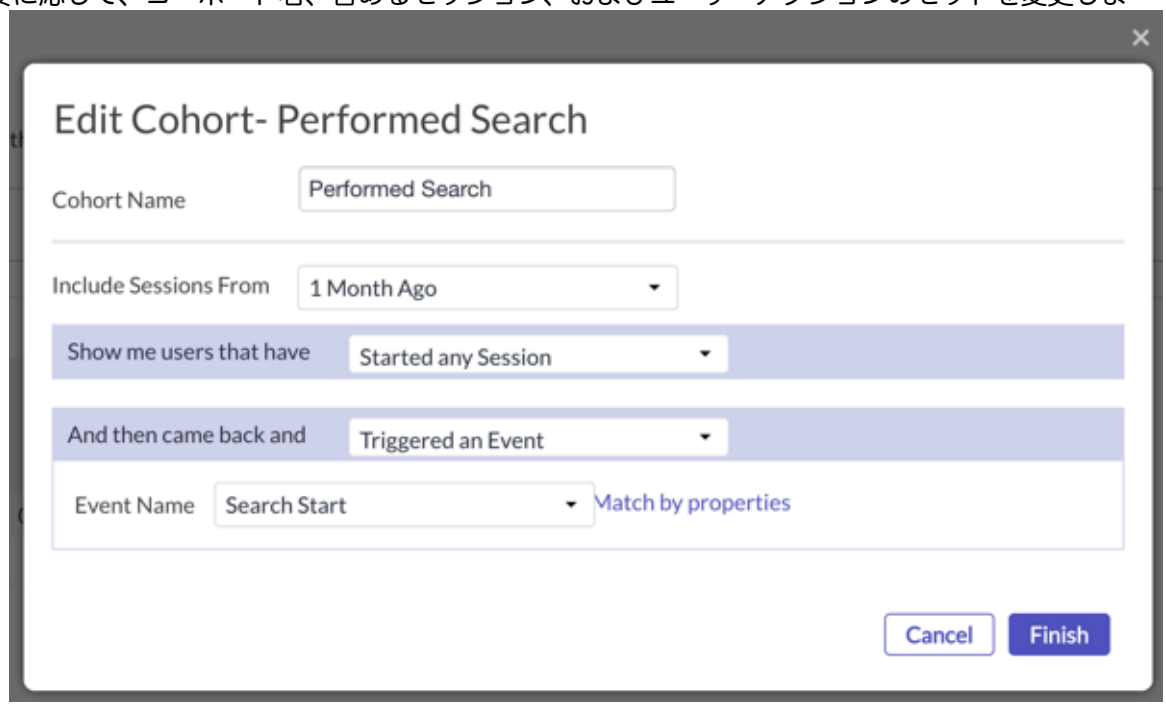
コーホートを編集する

分析に含めるコホートセッションデータを編集します。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. [コホート] モジュールで、ドロップダウンから編集するコホートを選択します。
2. オプションを表示するコホート名をポイントし、編集アイコン [
3. 必要に応じて、コーホート名、含めるセッション、およびユーザーアクションのセットを変更します。



4. [完了] をクリックして、コホート構成を更新します。

コホートを削除する

コホートレポートを簡単に削除できます。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. [コホート] モジュールで、削除するコホートをドロップダウンリストから選択します。
2. オプションを表示するコホート名をポイントし、[削除] アイコンをクリックします。
3. [**OK]** をクリックして、コーホートを削除することを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー維持

ユーザー維持率レポートは、アプリがユーザーのニーズと期待を満たしているかどうかを把握し、アプリの最適化の取り組みがユーザー維持にどのように影響するかを測定するのに役立ちます。

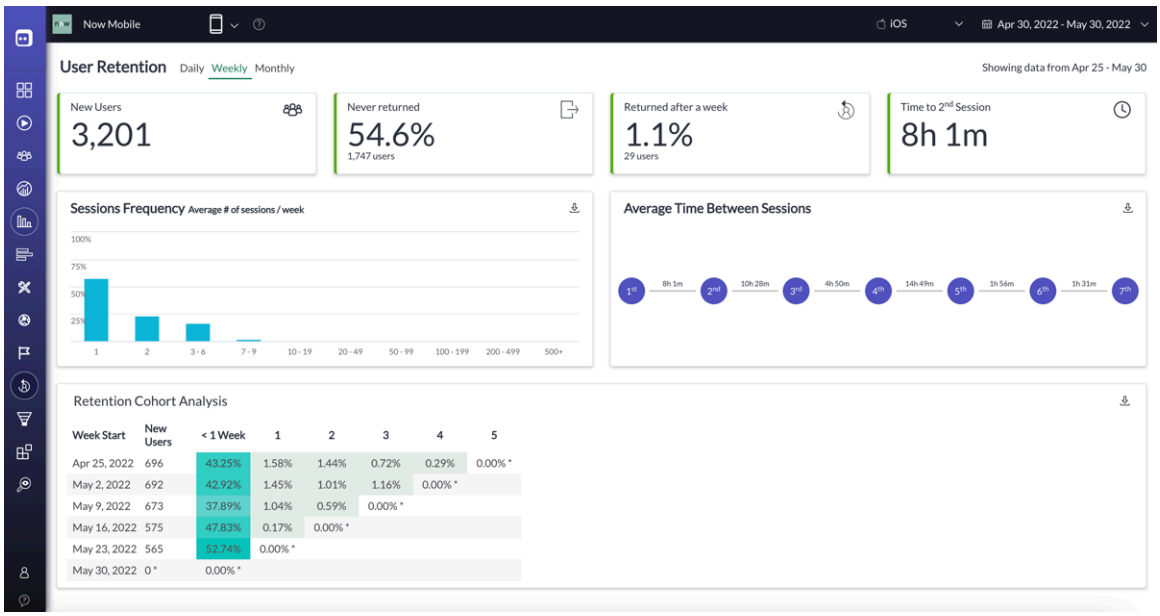
始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

このタスクについて

新規ユーザーの数、戻ってこなかったユーザーの数、翌日に戻ったユーザーの数などのデータを表示します。ユーザー維持データには、ユーザーセッションの頻度と、特定のタイムバケットでのセッション間の平均時間も表示されます。ユーザー維持分析は、次のような場合に役立ちます。

- コホート分析を使用して、定着率が低い月、週、または日を特定します。
- バージョンやデバイス間で保持分析を比較します。



手順

1. 移動先 すべて > 分析 > 保持.
2. 日次、週次、月次のインサイトを表示するかどうかを選択します。

リテンション **KPI**

KPI	**Description** (説明)
新規ユーザー	指定されたタイムバケット内の新規ユーザーの数。
返却なし	最初のセッション後に再びアプリを使用しなかったユーザーの割合と数。
1日/週/1か月後に返却される	最初のセッションの翌週にアプリを使用したユーザーの割合と数。
2回目のセッションまでの時間	最初のセッションと 2 番目のセッションの間の平均時間間隔。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI	Description (説明)
セッション頻度	選択したタイムバケット (日次/週次/月次) 内の平均セッション数を測定します。たとえば、ユーザーの 25% が 1 日に 2 回アプリを使用しました。
セッション間の平均時間	最初のセッションから後続のセッションまでの平均時間。
リテンションコホート分析	指定したタイムバケットの間にアプリの使用を開始した新規ユーザーの数と、後の週にアプリの使用に戻ったユーザーの数を表示します。

保持期間の計算方法

アナリティクス がユーザーとアクションのリテンションを計算する方法を理解します。

ユーザー維持

ユーザー維持分析では、ユーザーの合計数ではなく、新規ユーザーがグループ化されます。コホートには、定義された期間と選択した日付バケット (日次/週次/月次) 内にアプリを使用するすべての新規ユーザーが含まれます。新規ユーザーはコホートごとに 1 回のみカウントされますが、複数のコホートに含めることができます。

たとえば、週次コホートを見ると、リテンションレポートの上部にある 1、2、3 の数字は週次のバケットを示します。各週次バケットの下の割合は、その特定のバケット中にアプリケーションを使用するために戻ったユーザーの数を表します。

各バケットの開始と終了は、コホート内の新しいユーザーごとに異なります。「1」とマークされたバケットは、ユーザーの最初のセッションから 7 日間の期間を示します。たとえば、ユーザーの最初のセッションが日曜日の 10:00 に開始された場合、そのユーザーのバケット 1 は翌週の日曜日の 10:00 に開始されます。ユーザーのバケット 1 は、最初のセッションから 7 日から 13 日間に拡張されます。

アクションの保持

リテンションコホート分析は、アプリケーションユーザーの合計数ではなく、コホートに定義された最初のアクションを実行したユーザーの数をグループ化します。コホートには、アプリを使用し、定義された期間と日付バケット (日次/週次/月次) 内で最初のアクションを実行するすべてのユーザーが含まれます。

たとえば、週次コホートを見ると、リテンションレポートの上部にある 1、2、3 の数字は週次のバケットを示します。各週次バケットの下の割合は、アプリケーションの使用に戻り、その特定のバケット中に 2 番目のアクションを実行したユーザーの数を表します。

各バケットの開始と終了は、コホート内の新しいユーザーごとに異なります。「1」とマークされたバケットは、ユーザーの最初のセッションから 7 日間の期間を示します。たとえば、ユーザーの最初のセッションが日曜日の 10:00 に開始された場合、そのユーザーのバケット 1 は翌週の日曜日の 10:00 に開始されます。ユーザーのバケット 1 は、最初のセッションから 7 日から 13 日間に拡張されます。

新規ユーザーはコホートごとに 1 回のみカウントされますが、複数のコホートに含めることができます。たとえば、週次コホートがログインイベントに基づいている場合、毎週少なくとも 1 回ログインする顧客がすべてのコホートに表示されます。

ユーザーが 2 番目のアクションを実行すると、最新のアクションだけでなく、期間内に実行された最初のアクションごとにカウントされます。各コホートセルは一意です。ユーザーが同じバケット内で 2 番目のアクションを 2 回実行した場合は、1 回としてカウントされます。両方のステップが類

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

似しているコホートを作成する場合、すべてのアクションは最初のアクションと 2 番目のアクションの両方として機能します。

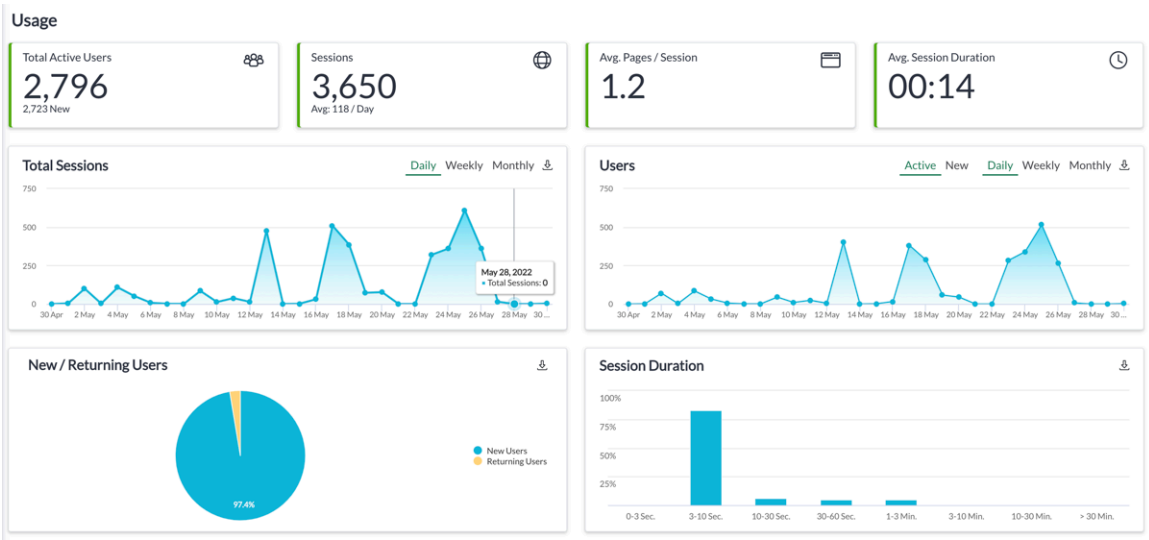
たとえば、コホートが 2 つの類似したログインアクションを定義したとします。ユーザーが日曜日、月曜日、火曜日の 3 回ログインした場合、月曜日に実行されたアクションは、日曜日のログインの 2 番目のアクションとしてカウントされます。また、火曜日のアクションで完了する新しいコホートも開かれます。

アプリケーションバージョンでフィルタリングすると、選択したバージョンから最初のアクションを実行したユーザーのみが分析に表示されます。

データのエクスポート

データレコードをCSV形式でエクスポートできます。ユーザーリスト、セッションリスト、その他の分析データの CSV へのエクスポートは、ダウンロードアイコン ( ) が表示されている場所ならどこでも使用できます。

(を選択して、データの自動エクスポートを開始します。



ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの管理

X と Y を実行して UXA を管理します。

構成の概要

ガイド付きセットアップを使用した ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の実装

ガイド付きセットアップには一連のタスクがあり、ServiceNow のインスタンスで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を設定するために役立ちます。ユーザーエクスペリエンスアナリティクスのガイド付きセットアップを開くには、 .

詳細については、「」を参照してください。

でのユーザーのプライバシー、追跡、およびユーザーの同意管理 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、ユーザーアクティビティを追跡して KPI の採用、維持、使用状況を測定し、製品と実装に関するより適切な意思決定を行うのに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのユーザーの追跡 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、 プラットフォームアナリティクス、 コア UI、 ServiceNow モバイルプラットフォーム、 サービスポータル、および 仮想エージェントの対話型アナリティクス領域全体のユーザーの行動を追跡するために使用できます。Web アプリケーションまたはモバイルアプリケーションで使用される ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、個別に割り当てられた UX アナリティクスユーザー ID、ハッシュ化されたシステムユーザー ID、セッションの開始時間と期間、都市レベルの場所など、限定的な情報を収集します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス でユーザーを追跡すると、ユーザーの同意管理 (UCM) 機能を利用して、アドミニストレーターは追跡対象のすべてのアプリケーションでアナリティクス追跡設定を構成できます。この機能により、国ごとに同意ポリシーをカスタマイズし、ユーザーの場所を検出する方法を柔軟に選択できます。

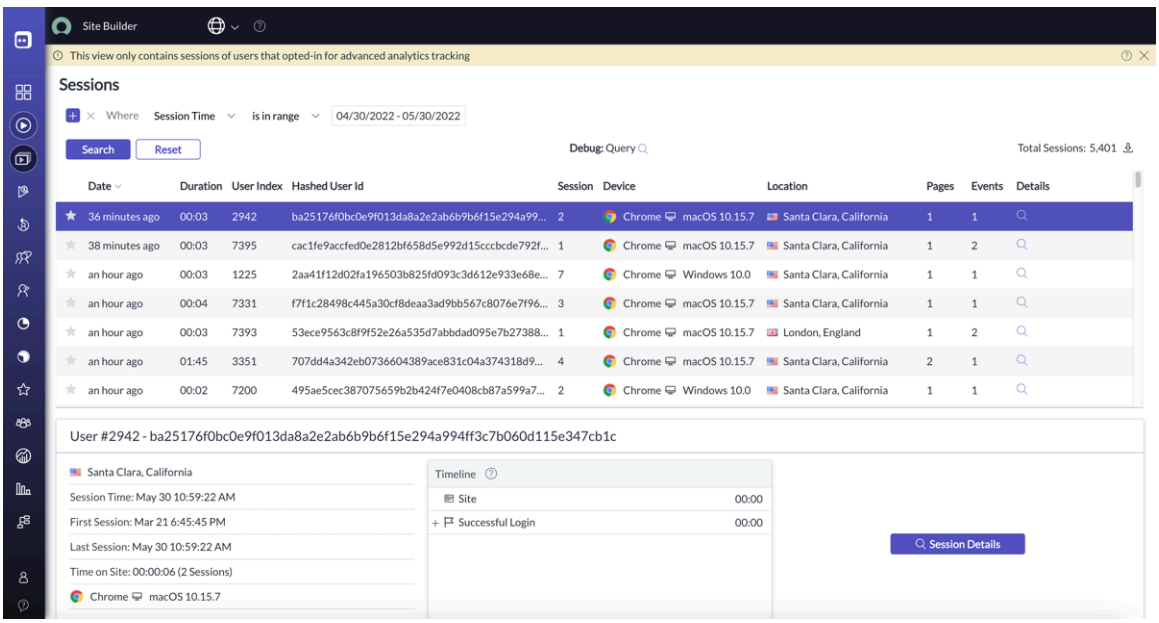
ユーザーの同意管理で利用できるオプションには、次のようなものがあります。

- 国ごとに異なる追跡同意ポリシーを適用する。
- 特定のユーザーを追跡したり、特定のロールを持つユーザーを追跡したりします。
- ユーザーの場所を検出する方法を定義します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボードのカウンターには、集計されたユーザー数が含まれています。

注:
[無効] という名前の追跡同意ポリシーが選択されている場合、ユーザーメトリクスは追跡されません。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス セッションビュー



のユーザー追跡設定 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

高度な追跡は、いつでもオプトインまたはオプトアウト ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 選択できます。

始める前に

必要なロール：ユーザー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
高度な追跡は、モバイルデバイス、 サービスポータル、または Web ベースの UI 内でオプトインまたはオプトアウトできます。オプトインまたはオプトアウトの選択は、高度な追跡が行われるすべての領域 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 適用されます。

手順

プラットフォームにアクセスし、モバイルアプリケーション、サービスポータル、または Web ベースの UI を使用して、高度なトラッキング設定ユーザーエクスペリエンスアナリティクスを構成します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクストラッキングを有効または無効にする

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス設定を更新することで、プラットフォームアナリティクス、ServiceNow モバイルプラットフォーム、サービスポータル、および 仮想エージェント の対話型アナリティクス領域のトラッキングをオフまたはオンにすることができます。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、now_experience_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > 設定.
2. リストから、アナリティクスの追跡を無効にするアプリケーションのレコードを見つけます。アプリケーション名が [名前] 列に表示されます。
3. 同じ行で **[true**] または **[false**] を選択してレコードを開きます。
4. フォームで、次のいずれかの操作を行います。
   - [有効] チェックボックスをオンにして、追跡をオンにします。
   - 追跡をオフにするには、[有効] チェック ボックスをオフにします。
5. [更新] を選択します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの追跡同意ポリシーのタイプ

個々の国に対して定義できる追跡同意ポリシーには 5 つのタイプがあります。このオプションを使用すると、国やユーザーやロールに応じて追跡ポリシーを柔軟に定義できます。

次の 3 つの異なるユーザーグループに対してデフォルトの設定があります。

- 米国からのユーザー
- EU、英国、欧州自由貿易連合 (EFTA) 諸国 (アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、スイス) のユーザー
- 他のすべての国のユーザー。

デフォルトの同意ポリシーは、エンドユーザーの位置情報管理によって異なります。

上記の一覧では、使用可能な追跡同意ポリシーの詳細と、米国のユーザー、EU、EFTA、英国のユーザー、 他のすべての場所からのユーザーのデフォルトの設定が取り上げられています。

明示的オプトイン

ユーザーには、追跡をオプトインするか拒否するかを選択するためのメッセージが表示されます。このポリシーは、EU、EFTA、英国のユーザー のデフォルトの同意ポリシーです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

通知

ユーザーには、アプリケーションでのアクティビティが追跡されることを説明するメッセージが表示されます。このポリシーは、米国以外および EU、EFTA、英国のユーザー 以外のデフォルトの同意ポリシーです。

同意不要

ユーザーは自動的に追跡され、オプトインするか追跡を拒否するかを尋ねるメッセージは表示されません。このポリシーは、米国ユーザーのデフォルトの同意ポリシーです。

基本追跡

基本追跡同意ポリシーにより、アドミンロールを持つユーザーは使用状況メトリクスのみを取得できます。この同意ポリシーは、ユーザーアクティビティを追跡および処理しますが、基本的なユーザーデータのみを保存します。この基本データには、ハッシュ化されたユーザー ID (情報がServiceNow ユーザーエクスペリエンスアナリティクスサーバーに送信される前にエンドユーザー識別子をハッシュするプロセス) と、セッション時間を含む部分的なセッションの詳細の保存内容が含まれます。

無効

どのユーザーエクスペリエンスアナリティクス追跡対象アプリケーションでもユーザーの追跡は行われません。使用状況メトリクスは、これらのユーザーからは取得されません。

注:
同意ポリシーは、関連するカウンターを更新することで、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードの数値 KPI に影響を与えます。このプロセスでも、ユーザーベース全体のメトリクスを表示できます。たとえば、すべてのユーザーに関連するイベント数といったアグリゲートデータなどです。

国に応じた同意ポリシーの定義

さまざまな国内のユーザーの追跡同意ポリシーを定義します。すべての国に同じ追跡同意ポリシーを選択するか、割り当てられたデフォルト値を使用することも、国ごとに異なる同意ポリシーを定義することもできます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
このタスクでは、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 同意ポリシー] ページにあるさまざまな追跡同意ポリシーオプションを設定する方法について詳しく説明します。ポリシーをデフォルト値に戻すオプションがあります。次のデフォルトの国の追跡同意ポリシーを使用できます。

注:
EFTAは、欧州自由貿易連合(アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、スイス)の略です。

- 米国のユーザー:同意不要
- EU、EFTA、英国のユーザー – 明示的なオプトイン
- 米国外および非EU、EFTA、英国のユーザー – 通知

追跡ポリシーの詳細については、「 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの追跡同意ポリシーのタイプ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > 同意ポリシー.
   [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス同意ポリシー (User Experience Analytics consent policies)] ページが表示されます。

   注:
   ポリシーを選択すると、選択したポリシーに関連付けられているすべての国のリストが表示されます。

2. 次のいずれかの操作を実行します。

   注:
   追跡同意ポリシーを特定の国に適用する手順については、「 個々の国の同意追跡ポリシーの表示と更新ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。

通知および明示的オプトインのユーザー同意管理ポリシーのテキストの定義

デフォルトで表示されるテキストから、通知および明示的なオプトイン同意ポリシーのテキストを編集する方法について説明します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて.
2. ナビゲーターで、「 sys_ui_message.list 」と入力して「メッセージ」ページを開きます。
3. [キー] フィールドに、次のいずれかを入力します。
   - glide.analytics.consent.text.notice
   - glide.analytics.consent.text.explicit_opt_in
4. 編集するキーメッセージを選択します。
5. メッセージ領域に、更新したテキストを入力し、[更新] を選択します。

ユーザーの同意管理ポリシーの表示

ユーザーとその追跡選択設定に関する詳細を表示および分析します。

始める前に
必要なロール:analytics_admin

手順

1. 移動先 すべて.
2. ナビゲーターに「 sys_analytics_user_consent_decision.list 」と入力して、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスのユーザーの同意決定ページを開きます。
3. ユーザーのトラッキング選択に適用されるデータを確認します。
   このテーブルには、検出ポリシープロバイダーと、廃止されたテーブル [m2m_user_consent_info] からの移行日も含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーの場所を検出する方法を定義する

検出ポリシーを選択して優先順位を付けることで、ユーザーを検出します。これらのポリシーが適用される順序を定義することもできます。事前定義された検出ポリシーもありますが、カスタムスクリプトを作成して定義に柔軟性を持たせることができます。

始める前に

必要なロール:analytics_admin

このタスクについて

ユーザーの位置情報を検出するには、4 つの方法があります。[順序] フィールドを使用してメソッドに優先順位を付け、ポリシーをアクティブにするかどうかを選択します。

> **注:**
> 検出プロバイダーがアクティブでない場合、またはスクリプトが応答を返さない場合は、明示的なオプトインのシステムデフォルトポリシーが実装されます。

利用可能な検出ポリシープロバイダーは次のとおりです。

ユーザーの国

ユーザー テーブル [sys_user] に格納されている国コード [country] 列を使用します。

国 顧客スクリプト

ServiceNow Platform にロードしてユーザーの場所を特定し、国の ISO 3166-2 コードを返すカスタムスクリプト。

> **注:**
> 顧客スクリプトが定義されていても [Active (アクティブ)] フィールドが選択されていない場合は、[Order (順序)] テーブルの次の優先度がアクティブになります。

ポリシー顧客スクリプト

ServiceNow Platform にロードしてユーザーの同意ポリシーを決定し、ユーザーエクスペリエンスアナリティクス同意ポリシーテーブル [sys_analytics_detection_policy_provider] からポリシー名の 1 つを返すことができるカスタムスクリプト。

> **注:**
> 顧客スクリプトが定義されていても [アクティブ] フィールドが選択されていない場合、注文テーブルの次の優先度がアクティブになります。

GeoIP

内部サービスを使用してユーザーの地理的位置を特定する IP ベースの検出プロバイダー。このプロバイダーは、検出ポリシーが選択されていない場合のデフォルトのオプションです。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > 検出ポリシープロバイダー.
   [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 検出ポリシープロバイダー] ページが表示されます。
2. いずれかの検出ポリシープロバイダーを選択して、そのアクティブステータスを更新し、ポリシーが適用される順序を変更します。

> **注:**
> ポリシーを適用するには、ポリシーがアクティブである必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. オプション: [国顧客スクリプト] または [ポリシー顧客スクリプト] のいずれかを選択し、ユーザーの場所またはユーザーの同意ポリシーを特定して値を返すスクリプトを入力します。

   注:
   システムプロパティ *glide.analytics.consent.script_timeout* を使用して、スクリプトの実行時間を定義できます。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ」を参照してください。

   スクリプトの使用の詳細については、「JavaScript syntax editor」を参照してください。

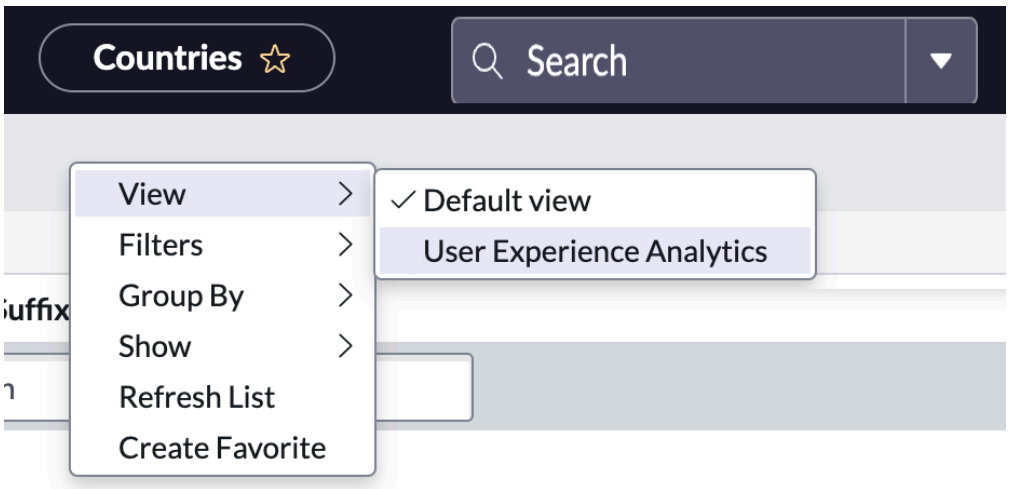
個々の国の同意追跡ポリシーの表示と更新ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

すべての国の同意追跡ポリシーを表示するか、既存のポリシーを更新する国を選択します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > 国.
   [国] ページが表示されます。
2. ページヘッダーで右クリックしてメニューを表示し、 ビュー > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス



   選択したビューには、すべての国と割り当てられた同意追跡ポリシーが表示されます。
3. 同意追跡ポリシーを更新する国名を選択します。
4. [国] ページの [アナリティクス同意ポリシー] フィールドで、検索アイコン (
5. 新しい追跡同意ポリシーを選択します。
6. [更新] を選択します。

追跡対象アナリティクスフィールドと **cookie**

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、Web およびモバイル分析フィールド、クライアント側の Cookie など、複数のソースからのデータを追跡します。

の追跡対象 **Web** アナリティクスフィールド ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス Web アプリケーションからデータを収集します。次のテーブルには、追跡対象のフィールドが一覧表示されています。これらのフィールドからレポートとグラフが生成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの使用の詳細については、「 ユーザーアナリティクスの表示」を参照してください。

Web セッションに従って収集されたデータ

名前	Description (説明)	サンプル出力値
ユーザー ID	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの内部ユーザー ID (シーケンシャル ID)	1
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーの ServiceNow sys_idの SHA256 ハッシュ	f4a9baa650ab13d429abacf9f8c78d14fcf5c
セッション ID	一意のセッション ID	
セッションインデックス	特定のユーザーのセッションの順次インデックス	5
開始時間	セッションの開始時間 (UTC 形式)	2023-03-23T23:59:58
セッションの期間	セッションの期間 (ミリ秒)	5165
デバイスタイプ	電話/タブレット/デスクトップ	電話
デバイス	デバイスのメーカーとモデル。モバイルおよびタブレットデバイスのみ。	iPhone 12
OSType	デバイスのオペレーティングシステム	iOS
OSVersion	OS のバージョン	16.5
市区町村レベルの場所	市区町村の場所は、エンドユーザーの IP アドレスから変換されます。IP はデータベースに保存されません。IP は、都市レベルのおおよその位置を示すためにのみ使用されます。	カリフォルニア州ロサンゼルス
ブラウザタイプ	Web ブラウザのタイプ	Chrome
ブラウザーバージョン	Web ブラウザのバージョン	(クローム)30.0
ロケール	ユーザーロケール文字列	EN-US

ページ訪問ごとに収集されるデータ

名前	Description (説明)	サンプル出力値
Description (説明)	ページ訪問で収集されるデータに関する追加情報	ホームページ
ページ ID	ページの一意の識別子	ホーム
開始時間	セッション内の相対開始時間	2023-03-23T23:59:58

顧客イベント用に収集されたデータ (オプション)

これらのイベントは、クライアント側 API を呼び出すことによって追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)	サンプル出力値
名前	イベントの名前	カタログ要求の送信
時刻	セッションの開始からのイベント時間 (ミリ秒)	945

イベントプロパティ用に収集されたデータ

名前	Description (説明)	サンプル出力値
ページ ID	現在のページの ID	ホーム
プロパティ名と値	プロパティ名と値のキー値コレクション	{"バージョン" : "1.0", "アクティブ" : "false"}

オプションのプロパティについて収集されるデータ

名前	Description (説明)	サンプル出力値
プロパティ名と値	プロパティ名と値のキー値コレクション	{"言語" : "英語"}

の追跡対象モバイルアナリティクスフィールド ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、モバイルデバイス上のモバイルアプリケーションからデータを収集します。次のテーブルには、モバイルアプリケーションで追跡されるフィールドが一覧表示されています。これらのフィールドからレポートとグラフが生成されます。

データの使用の詳細については、「 ユーザーアナリティクスの表示」を参照してください。

モバイルアプリセッションに従って収集されたデータ

名前	Description (説明)	サンプル出力値
ユーザー ID	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの内部ユーザー ID (シーケンシャル ID)	1
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーの ServiceNow sys_idの SHA256 ハッシュ	f4a9baa650ab13d429b185d12b14fcf5c
セッション ID	一意のセッション ID	5a2b73857345abc3546243
セッションインデックス	特定のユーザーのセッションの順次インデックス	5
開始時間	セッションの開始時間 (UTC 形式)	2023-03-23T23:59:58
セッションの期間	セッションの期間 (ミリ秒)	5165
アプリケーションバージョン	アプリケーションのバージョン番号	3.4.0
デバイスタイプ	電話/タブレット	電話

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)	サンプル出力値
デバイス	デバイスのメーカーとモデル。モバイルおよびタブレットデバイスのみ。	iPhone X13 Pro
ROM のバージョン	ROM版(Androidのみ)	4.3.9
オペレーティングシステムバージョン	デバイスのオペレーティングシステムのバージョン	iOS 16.5
ネットワーク接続	WiFi / セルラー	WiFi
市区町村所在地	ユーザーの IP アドレスから変換された市区町村レベルの場所	カリフォルニア州ロサンゼルス

画面訪問ごとに収集されるデータ

名前	Description (説明)	サンプル出力値
画面名	データが収集される画面の名前	ログイン
開始時間	セッション内の相対開始時間	2023-03-23T23:59:58

画面アクションのために収集されるデータ

名前	Description (説明)	サンプル出力値
種類	UI アクションのタイプ (ボタンタップ、リスト選択など)	ボタンタップ
説明	UI アクションを説明するラベル	ログイン
開始時間	セッション開始時刻からの時間 (ミリ秒)	780

画面ジェスチャーのために収集されたデータ

名前	Description (説明)	サンプル出力値
ジェスチャータイプ	ジェスチャーのタイプ (タップ、スワイプなど)	蛇口
座標	タッチ ジェスチャの X、Y 座標	タップ (X=100, Y=200)
応答	ジェスチャーが反応したかどうかを示します	真
開始時間	ジェスチャー開始時間 (ミリ秒)	925
終了時間	ジェスチャー終了時間 (ミリ秒)	933

顧客イベント用に収集されたデータ (オプション)

これらのイベントは、クライアント側 API を呼び出すことによって追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)	サンプル出力値
名前	イベントプロパティの名前 (文字列)	購入完了
時刻	イベントプロパティの値 (文字列、ブール、日付、数値)	9456

イベントプロパティ用に収集されたデータ

名前	Description (説明)	サンプル出力値
プロパティ名	イベントプロパティの名前 (文字列)	記事名、言語
プロパティ値	イベントプロパティの値 (文字列、ブール、日付、数値)	KB0050925

ユーザープロパティのために収集されたデータ

名前	Description (説明)	サンプル出力値
プロパティ名	ユーザープロパティの名前 (文字列)	English (英語)
プロパティ値	ユーザープロパティの値 (文字列、ブール値、日付、数値)	5

自動翻訳

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス クライアント側のストレージ **cookie**

クライアント側のユーザーアクティビティを追跡するために、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は プラットフォームアナリティクス、 コア UI、および サービスポータル に埋め込まれている SNAnalytics JavaScript SDK を使用します。

SNAnalytics SDK は、セッションストレージ変数とローカルストレージ変数の組み合わせを使用して、分析の追跡を容易にするために必要な情報を追跡します。

セッションストレージとローカルストレージの詳細については、 JavaScript.Info ドキュメントを参照してください。

SNAnalytics SDK の詳細については、開発者コミュニティの「 SNAnalytics - Client and SNAnalytics 」を参照してください。

キー構造

ローカルに保存されたすべてのキーは、`sn:{API_KEY}:{KEY NAME}` という構造を使用して格納されます。

追跡される各ポータルには、インスタンスに保存される一意のAPI_KEYがあります。たとえば、API キー abcd とキー名 tab を持つポータルの場合、ローカルキー値は sn:abc:tab になります。

セッションストレージ

セッションストレージは、Web ページの更新とユーザーナビゲーションの間の情報フローを維持するために使用されます。セッションストレージ内の情報は一時的であり、現在のタブの有効期間中のみ利用可能です。タブを閉じると、セッションストレージ情報は削除されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の表には、セッションストレージに保存されているキーと値が一覧表示されます。

キー	**Description** (説明)
SRT	サーバーの応答時間。SNAnalytics が前回 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス サーバーと正常に通信した日時
データ	一時的に保存されたアナリティクスデータポイントのキュー。バックエンドに定期的にフラッシュされます。
ページ	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス サーバーによって自動的にキャプチャされた現在のページの名前。
タブ	現在のタブに対してランダムに生成された一意の識別子。

ローカルストレージ

ローカルストレージは、トラッキング同意情報、ユーザーのハッシュ化された ID (同意が取り消されるとクリアされます)、およびブラウザーに対してランダムに生成された識別子を維持するために使用されます。ローカルストレージ変数はローカルで永続的であり、ユーザーが閲覧データを消去すると削除されます。

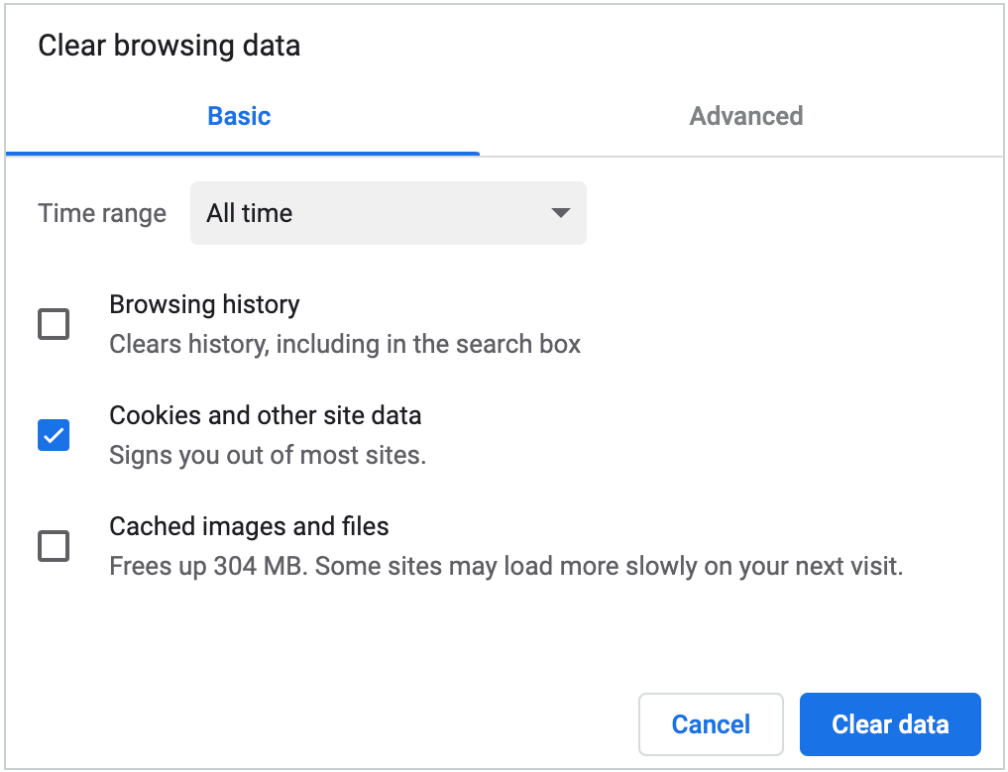
次の表には、ローカルストレージに保存されているキーと値が一覧表示されます。

キー	**Description** (説明)
ブラウザ	現在のブラウザーに対してランダムに生成された一意の識別子。
クライアント	ブラウザーのキー値にマップされたサーバー割り当て ID。
user	顧客から提供されたハッシュ化されたユーザー ID。
同意	ユーザーが追跡に同意するかどうかを示すブール値 (はい/いいえ)。

ローカルストレージの削除

ローカルストレージ変数を削除するには、ユーザーはブラウザ内から閲覧データを消去する必要があります。たとえば、Chrome ブラウザーで、 履歴 > 全履歴を表示 > 閲覧データを消去する. [閲覧履歴データの消去] ウィンドウで、[**Cookie** とその他のサイト データ] を選択し、[データの 消去] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ドメインセパレーションと ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ではドメインセパレーションがサポートされています。ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、ドメインセパレーションを完全にサポートしています。ドメインセパレーションには、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

注:
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス内のドメインセパレーションは、モバイルプラットフォーム、サービスポータル、およびプラットフォームアナリティクスに適用されます。ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 内のドメインセパレーションは、対話型アナリティクスには適用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概要

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスのドメインセパレーションでは、関連するユーザーアクティビティ専用のドメインユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータが表示されます。このデータには、指定されたドメイン内のアクティブなユーザーとセッションの数が含まれます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスにおけるドメインセパレーションの仕組み

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスのドメインセパレーションでは、アナリティクスビューアーはドメインごとにアナリティクスデータを表示できます。ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータは中央の ServiceNow データセンターから格納および取得され、インスタンスには保存されません。

のドメインセパレーションの設定方法 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ドメインセパレーションプラグイン を有効にした後は、ユーザーエクスペリエンスアナリティクス のドメインセパレーションを設定するために必要な追加の手順はありません。インスタンスに追跡データを含むドメインが複数含まれている場合、モジュールのメニューに [ドメイン] モジュールアイコンが表示されます。

でのドメインセパレーションデータの表示 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス のドメインセパレーションデータにアクセスして、指定したドメイン内のアクティブなユーザーとセッションの数を表示します。

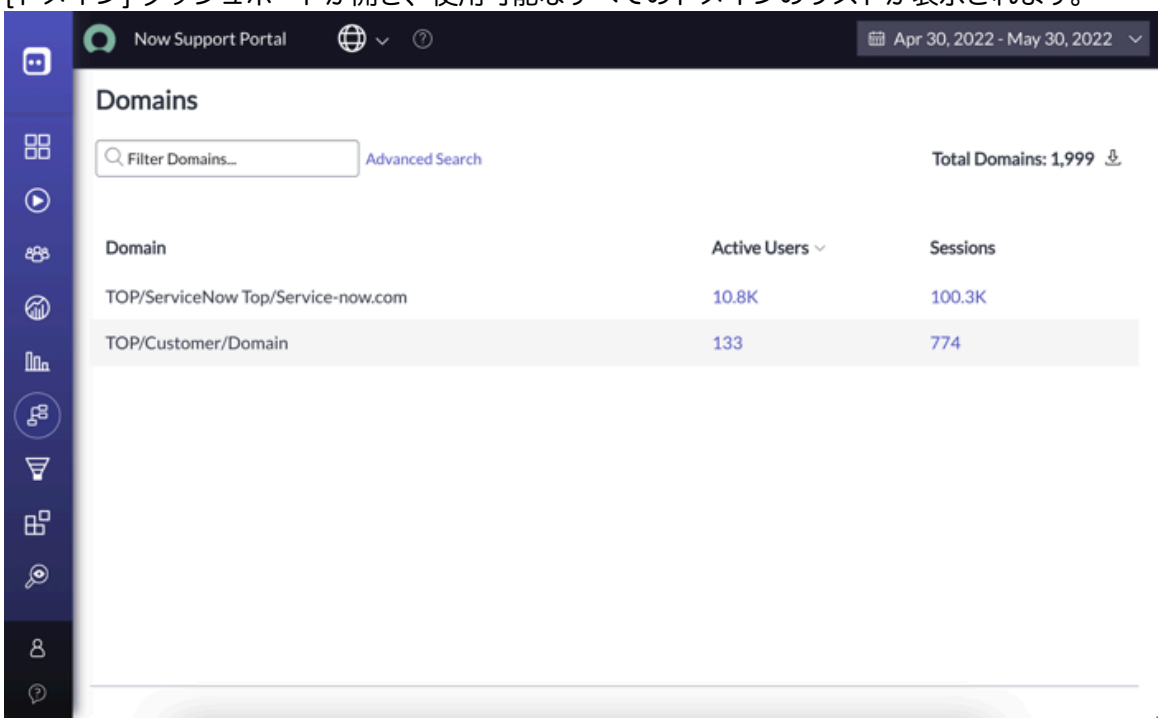
始める前に

必要なロール:analytics_viewer

ドメインセパレーションプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. [ドメイン] モジュールアイコン ([ドメイン]
   [ドメイン] ダッシュボードが開き、使用可能なすべてのドメインのリストが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ドメインダッシュボードで、次のいずれかのアクションを実行します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

システムプロパティを使用して、プラットフォームアナリティクス、ServiceNow モバイルプラットフォーム、サービスポータル、および 仮想エージェント の対話型アナリティクス領域でユーザーエクスペリエンスアナリティクスを構成します。

一般的な ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

プラットフォームアナリティクス、ServiceNow モバイルプラットフォーム、サービスポータル、および 仮想エージェント の対話型アナリティクス領域で、次のシステムプロパティを使用します。

glide.analytics.enabled

ユーザーアナリティクスを追跡するオプションを有効にするかどうかを選択します。

- タイプ：true | false
- デフォルト値：false

glide.analytics.user.consent.script_timeout

プロバイダーのカスタムスクリプトをトリガーするときに、ユーザーエクスペリエンスアナリティクス同意ポリシーメカニズム中にスクリプトを実行できる最大時間 (ミリ秒)。最小値は 100 ミリ秒です。最大値は 5000 ミリ秒です。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：2000

サービスポータル の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

次のシステムプロパティは、 サービスポータル でのみ使用します。

glide.analytics.tracking.force_allowed.portals

指定されたポータルのユーザーの同意ポップアップをオフにします。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：なし

glide.analytics.tracking.restricted.portals

指定されたポータルのユーザー分析の追跡をオフにします。

このプロパティは *glide.sp.analytics.enabled.portals* プロパティを上書きします。ポータルを指定するには、その sys_id を [値] フィールドに貼り付けます。複数のポータルを指定するには、スペースを入れずにカンマ区切りのリストを入力します。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：なし

glide.sp.analytics.enabled.portals

指定されたポータルのユーザー分析の追跡を有効にします。デフォルトでは、ベースシステムのサービスポータルで追跡が有効になっています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- タイプ：文字列
- デフォルト値：81b75d3147032100ba13a5554ee4902b

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の KPI

UI ビルダー でサポートされているユーザーエクスペリエンスアナリティクス KPI をインポートできます。

サポートされている KPI

KPI	定義	必須項目	サポートされている可視化タイプ
イベント	アプリケーションでトリガーされるイベント。この KPI を選択すると、1 つのイベントプロパティの発生回数と値の分布を表示できます。	• application • イベント名	• 単一スコアチャート • 時系列 • 棒グラフ • 円グラフ
セッション	Web アプリケーションまたはモバイルアプリケーションでトリガーされたセッションの数。 • Web アプリケーション: セッションは、30 分間の非アクティブまたは 4 時間の継続的なアクティビティとして定義されます。 • モバイルアプリケーション：アプリケーションがフォアグラウンドとバックグラウンドで切り替えられるたび。	application	• 単一スコアチャート • 時系列
ユーザー	アプリケーションを使用しているアクティブな一意のユーザーの数。 • アクティブユーザー:アプリケーション内のすべてのユーザーの数を表します。 • 新規ユーザー:最初のセッションを実行したユーザーの数を表します。	• application • ユーザータイプ (アクティブまたは新規ユーザー)	• 単一スコアチャート • 時系列

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスと プラットフォームアナリティクスの統合

ServiceNow Store から ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス 統合 プラグインの更新を取得します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータとパフォーマンスアナリティクスの統合は、ベースシステムに含まれています。このタスクでは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マンスアナリティクス統合 プラグインをアンインストールして再インストールするシナリオについて説明します。ServiceNow Storeアプリケーションの詳細については、「Install a ServiceNow Store application」を参照してください。

UI ビルダー へのデータのエクスポートの詳細については、「データの可視化 UIB の設定」を参照してください。

手順

1. インスタンスで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン [com.glide.appsee] が有効になっていることを確認します。
2. ServiceNow Storeに移動し、ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合を検索します。
3. 最新バージョンの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合を選択します。
   ストアは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合 ツールとデータ構成ツールの更新プログラムをインストールします。

プロセスマイニング

プロセスマイニング は、アナリストとプロセスオーナーがビジネスプロセスを迅速に分析して最適化するのに役立ちます。

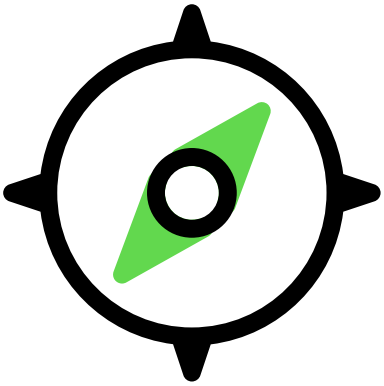
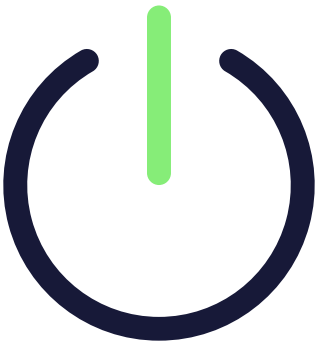
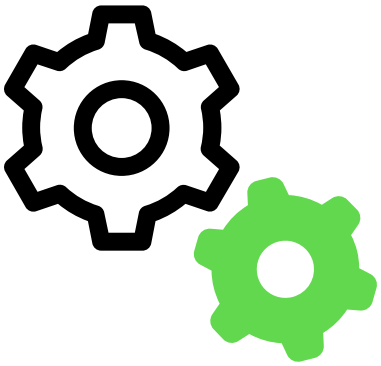
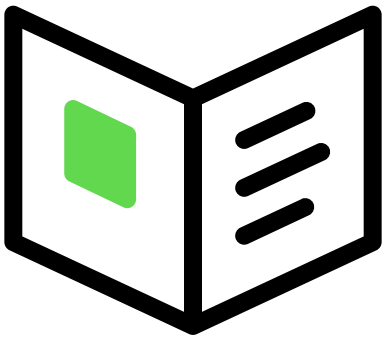
データから自動化されたビジネスプロセスフローを作成し、プロセスの非効率性を監視し、より迅速に検出できるようにします。プロセスマイニングでは、次のことができます。

- プロセスの実行またはカスタマージャーニーを可視化し、採用およびユーザーエクスペリエンスについてのインサイトを提供します。詳細については、「アナリストワークベンチ」を参照してください。
- ボトルネックを特定し、重要業績評価指数に与える影響を確認して、根本原因となる問題を解決できるようにします。詳細については、「自動化された根本原因分析」を参照してください。
- 複数のテーブルを 1 つのビューにマイニングすることで SLA 違反が発生する理由を理解します。詳細については、「多次元マイニングの構成」を参照してください。
- 自分が作成したプロジェクト、自分と共有したプロジェクト、またはすべてのプロジェクトに基づいて、Analyst Workbench にフィルターを適用します。詳細については、「プロジェクトデータのフィルタリング」を参照してください。
- プロセスの監査により、重要な変更や潜在的な問題がビジネスに悪影響を及ぼす前に、すぐに検出することができます。
- ServiceNow® パフォーマンスアナリティクスと継続的改善管理を統合して、プロセスを改善する機会を見つけます。詳細については、「インジケーターデータソース (PA) との統合」および「継続的改善管理 との統合」を参照してください。
- プロセスを比較して、パフォーマンスの違いや逸脱を調査します。詳細については、「プロジェクトの比較」を参照してください。
- メインの業務に影響しているものをより包括的に把握するために、連携しているプロセスをリンクします。詳細については、「プロセスマイニングコンテンツパックのアクティブ化」を参照してください。
- アクティビティ移行を表示して、特定のメトリクスにおける上位の貢献アクティビティ移行を確認します。詳細については、「アクティビティへの移行フィルターの適用」を参照してください。
- 機械学習と AI の拡張性によって、高度な計算を実行します。
- 機械学習 (ML) ベースのクラスター分析を実行して、インスタンスまたはレコードの類似したグループまたはパターンを見つけます。詳細については、「クラスター分析」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始するには

探索	アクティブ化	**Configure** (構成)
		
プロセスマイニングの概念と機能について学ぶ	アクティブ化方法を学ぶ プロセスマイニング	プロセスマイニング の構成
使用	参照	
		
使用方法を学習するプロセスマイニング	主要な用語やインストールされているコンポーネント情報など、 プロセスマイニング に関する詳細を取得します	

自動翻訳

プロセスマイニングの詳細

プロセスマイニングを使用して、ビジネスプロセスを分析し、最適化します。

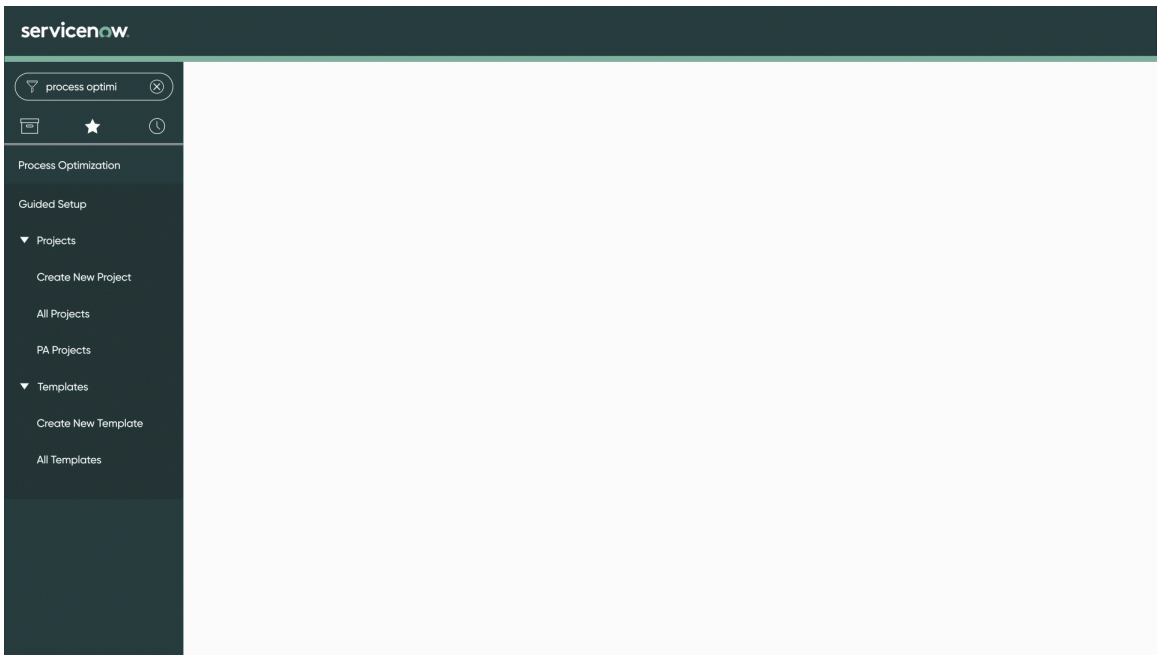
プロセスを評価し、ボトルネックを特定して、ビジネスの成果を促進 プロセスマイニング

プロセスマイニング を使用すると、次のようなプロセス改善の質問に対する回答を見つけることができます。

- ビジネスで最も時間を費やしている場所、または時間を浪費している場所はどこですか?
- プロセスのパフォーマンスが遅い根本的な原因は何か?
- ビジネスはプロセスのどこで自動化を適用すべきでしょうか?

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- どこでやり直しが行われていますか?
- プロセス内の各アクティビティの推定コストと節減見込みは?
- ビジネスでは、そのプロセスでどの程度の逸脱が見られますか?



アナリストは、次のことができます。

- ITSM の CSM、 ファイナンシャルサービスオペレーション、 HR サービスデリバリ (HRSD) プロセスを積極的に評価し、改善します。
- デジタルトランスフォーメーションを加速します。データとベストプラクティスコンテンツに基づいて、改善と自動化の領域を見つけます。

プロセスオーナーは、次のことができます：

- プロセスを可視化し、コラボレーションを開始します。
- プロセスのボトルネックを評価し、弱点のある領域を見つけて、最適化が可能な領域を見つけます。

プロセスマイニング の主な機能

このトピックでは、 プロセスマイニング の主な機能の一部を示します。

自動プロセス検出

プロセステーブルを選択し、マイニングするアクティビティとブレークダウンを選択して、プロジェクトを定義します。プロジェクトビルダーでプロジェクトを編集することもできます。

ビジネスプロセスに対して少なくとも 1 つのアクティビティ定義を構成します。アクティビティは、ビジネスプロセスの一部として発生する可能性のあるさまざまなステップを定義します。

フィルターとして機能し、カテゴリボリューム、速度、および適合率に関するインサイトを提供するブレークダウンを構成する必要があります。

[サマリーとインサイト] ページ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスのパフォーマンスをすばやく把握します。[サマリーとインサイト] ページから、重要業績評価指標、改善の機会の概要、および改善の機会のリストを表示します。詳細については、「[サマリーとインサイト] ページ」を参照してください。

アナリストワークベンチ

インタラクティブなプロセスマップ、探索的フィルターパネル、および事前構築されたパフォーマンスメトリクスを使用して、ビジネスワークフローを視覚的に分析します。プロセスのばらつき、ブレークダウン、ボトルネック分析、ML とスマートルールベースのインサイトを確認できます。また、重複する監査がすべて削除され、グラフ内のすべての自己ループが削除されます。詳細については、「アナリストワークベンチ」を参照してください。

簡単なコラボレーションと共有

ステークホルダーとプロジェクトを共有し、プロジェクト内のメモやスクリーンショットを使用して共同作業を行います。プロジェクトの共有の詳細については、「 プロセスマイニングプロジェクトを共有する」を参照してください。メモの作成の詳細については、「 プロジェクトにメモを追加する」を参照してください。

統合された継続的な最適化

改善イニシアティブのステータスを作成および表示します。詳細については、「継続的改善管理 との統合」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスとベンチマークとの統合

- パフォーマンスアナリティクス統合により、根本原因分析のためにパフォーマンスの低いインジケーターを分析します。詳細については、「インジケーターデータソース (PA) との統合」を参照してください。
- ベストプラクティスベースの実装を使用します。事前定義された ITSM プロセスマイニング プロジェクトと改善イニシアチブにより、価値実現までの時間を短縮できます。詳細については、「のコンテンツパック ITSM」を参照してください。

プロセスの比較

プロセスを比較して、パフォーマンスの違いや逸脱を調査します。詳細については、「プロジェクトの比較」を参照してください。

多次元プロセス

多次元プロセスとは、テーブルの階層をマイニングすることを指します。これはマルチテーブルマイニングです。プロセスの依存関係をより包括的に把握するために使用されます。詳細については、「多次元マイニングの構成」を参照してください。

ボトルネック分析

ボトルネック分析機能で定義したアクティビティ移行を表示します。詳細については、「ビジネスインサイトの表示」を参照してください。

ML ベースのクラスタリングを使用してプロセスを分析する

類似のレコードを機械学習パターンで識別されたクラスターにグループ化します。詳細については、「クラスター分析」を参照してください。

業績評価指標とレコードリストの背後にあるプロセスを迅速に分析する

不適切なサービスレベルアグリーメントや CSAT スコアなどのシナリオの背後にあるわかりやすいプロセス。任意のプラットフォームリストまたはレポートから分析を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング の評価プロジェクト インシデント管理

プロセスマイニングインシデント管理 の評価プロジェクトは、プロセスマイニング プラグインの一部として出荷される プロセスマイニング の限定バージョンであり、ITSM のプロセスマイニング資格がないお客様が利用できます。これにより、 プロセスマイニング 機能を使用してプロセスを改善することに慣れることができます。

注:
プロセスマイニング プラグイン (sn_po) はデフォルトで有効になっています。これにより、任意のテーブルでサンプルマイニング操作 (プロジェクトあたり最大 3.6 K レコード) を実行して、準本番環境で プロセスマイニング を試すことができます。本番インスタンスではサンプルマイニングが有効になっていません。

この評価版は、エンタープライズのテーブルに保存されたデータに対して機能します。インシデント管理の評価プロジェクトについてはプロセスマイニング次の点に注意してください。

- 3600 万件のレコードを持つインシデントテーブルで事前構成済みのプロセスマイニングプロジェクトにアクセスできる。インシデントは過去 7 日間で解決する必要がある。
- デフォルトのアクティビティ定義は、ステータスとアサイン先グループです (ステータスとアサイン先グループを分析できます)。
- 卓球、やり直しなど、すぐに使える改善の機会が含まれています。
- 紹介ビデオ、FAQ、アカデミーセッション、ユースケースが含まれています。

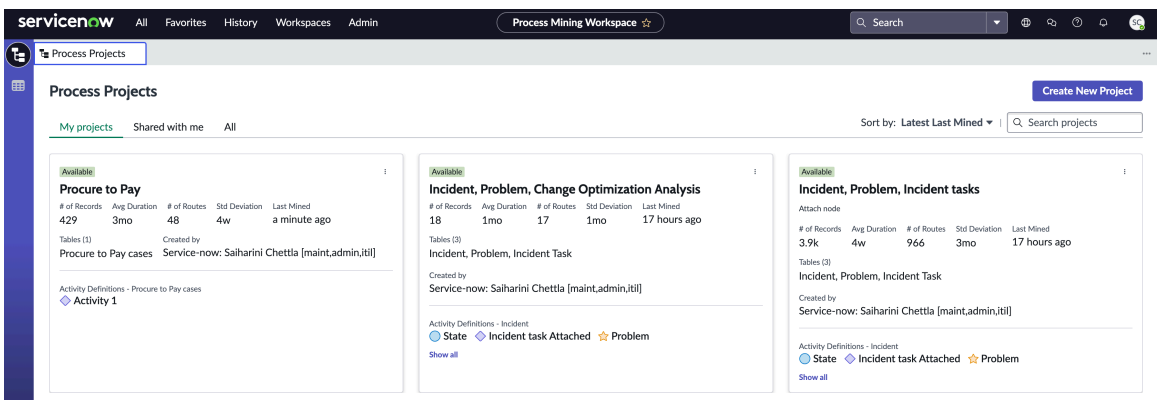
必要なロールがある場合は、 パフォーマンスアナリティクス KPI またはプロセスマイニングワークスペースから評価プロジェクトにアクセスできます。

パフォーマンスアナリティクス KPI 詳細とアナリティクスハブアイコンは、itil、sn_sd.success_dashboard_read、sn_sd.success_dashboard_details_read、および business_stakeholder ロールでのみ使用できます。sys_propertyテーブルに promin.evaluation_pa_integration_rolesを追加することで、KPI 詳細とアナリティクスハブで評価プロジェクトが公開されるロールをカスタマイズできます。デフォルトのロールを上書きします。

プロセスマイニング ワークスペース

ビジネスプロセスとワークフローを プロセスマイニング ワークスペースから可視化して表示します。

プロセスマイニング ワークスペースには、プロジェクトと、ビジネスプロセスの分析と最適化に役立つ詳細、サマリー、およびビジュアル化が表示されます。インスタンスフィルターナビゲーターから プロセスマイニング ワークスペースにアクセスして開始します。



プロセスマイニングワークスペースには次の機能が含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

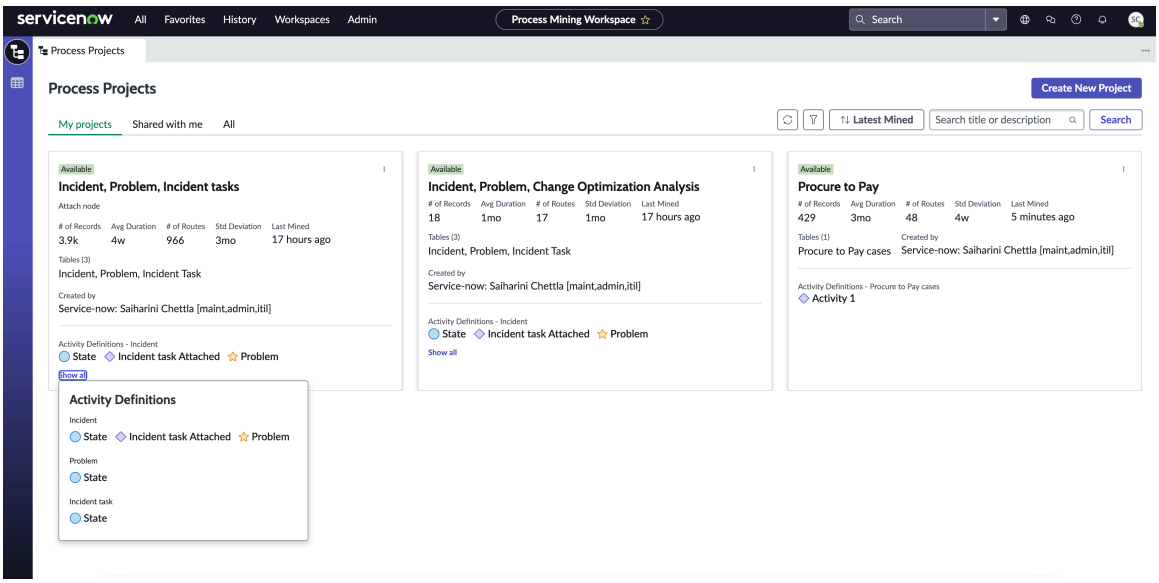
自動翻訳

プロジェクトのランディングページ

プロセスマイニング のプロジェクトランディングページから、生成されたプロジェクト、ビジネスプロセスインサイト、および Analyst Workbench にアクセスできます。

プロジェクトのランディングページには、作成された、または表示用に共有されたプロジェクトのプロジェクトカードが表示されます。作成済みだが、まだ生成されていないプロジェクトには、グレー表示されたタイトルの横に警告アイコン ⚠ が表示されます。この警告は、プロジェクトを表示できないことを示します。

プロジェクトのランディングページ



プロジェクトカードには、マイニングされたプロジェクトの概要の詳細が表示されます。テーブル、作成者、プロジェクト、アクティビティ定義、名前、または簡単な説明でフィルタリングできます。

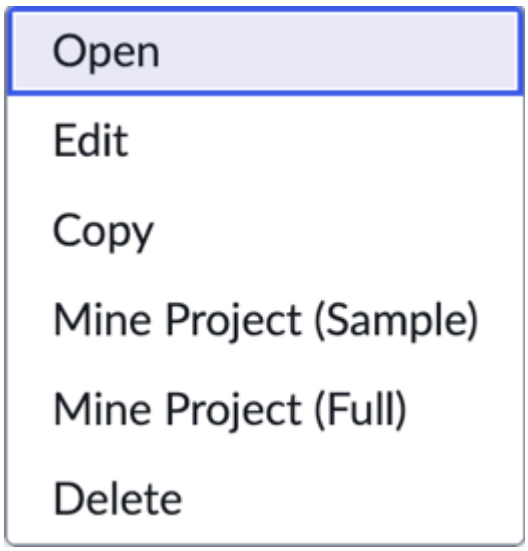
プロジェクトカードの詳細

フィールド	説明
プロジェクト名	プロジェクトの名前。プロジェクト名を選択すると、Analyst Workbench が開き、ビジネスの結果にアクセスできます。
ステータス	プロジェクトの使用ステータスの指定。
プロジェクトの簡単な説明。	プロジェクトに関する簡単な説明が記載されています。
作成者	プロジェクトを作成したユーザー。
テーブル	プロジェクトがレポートする選択されたテーブル。
最終マイニング日	プロジェクトのデータが最後にマイニングされた日時 (日単位)。
レコード数	プロジェクトの選択されたデータテーブルとフィルター構成に適用されるレコードの数。
プロセスバリエーション	プロセスステップ不確実性パーセンテージプロファイル。例：複数のルートをたどっているユーザー数と目標への理想的なパスの比較。パーセンテージは、バリアントの数をレコードの数で割って算出されます。
平均時間	クローズされたすべてのフィルター済みレコードに関するオープンされてからクローズされるまでの平均時間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトカードから、関連するユーザーロールはカードのメニューを選択することで次のタスクを実行できます。



プロジェクトカードのメニュー

メニュー項目	説明
オープン	選択してプロジェクトを開きます。
編集	プロジェクトを編集する場合に選択します。
コピー	構成をコピーしてプロジェクト定義を作成する場合に選択します。
プロジェクトのマイニング (サンプル)	完全なデータ抽出を実行する代わりに、限られたデータを使用してサンプルプロジェクトをマイニングします。
プロジェクトのマイニング (フル)	プロジェクトの完全なデータ抽出をマイニングします。
削除	プロジェクトを削除します。

自動翻訳

プロセスの詳細ページ

プロセスマイニングのプロセス詳細ページでは、インタラクティブに可視化されたプロセスマップに加えて、高レベルのインサイトと機会にアクセスできます。

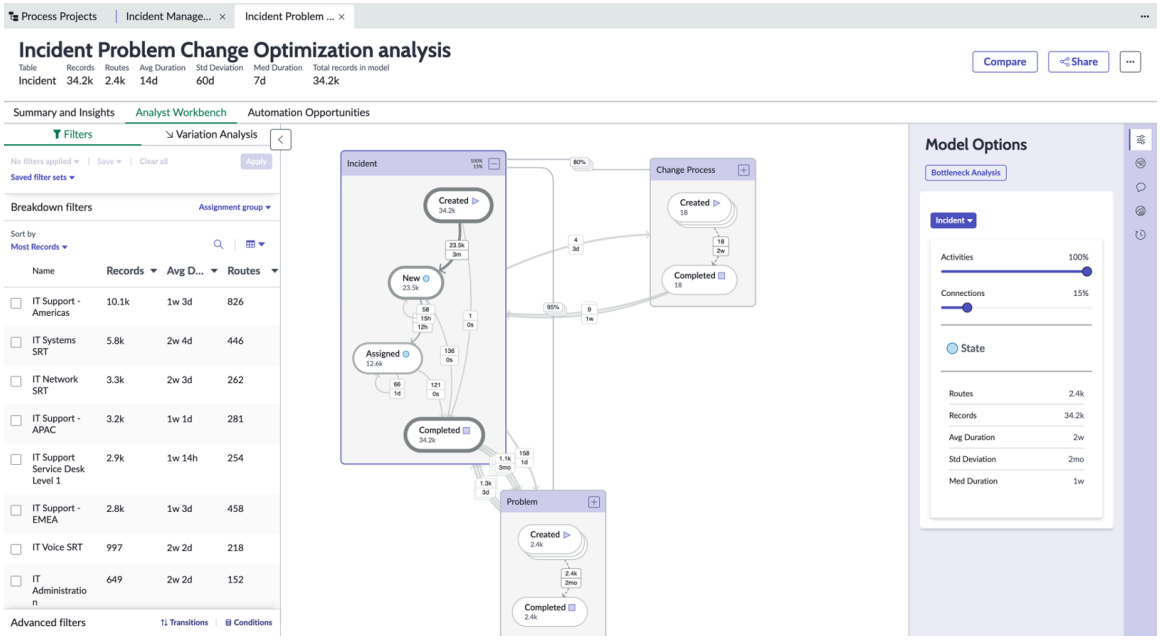
プロセスの詳細ページから、次の操作を実行できます。

- [サマリーとインサイト] タブを選択して、プロセスに影響を与える速度、品質、コストのインサイトを確認します。
- [**Analyst Workbench**] タブを選択してプロジェクトダッシュボードにアクセスすると、プロジェクトの可視化されたプロセスマップを表示できます。
- [自動化機会] タブを選択し、機械学習とプロセスベースの分析を使用して自動化機会を見つけます。

注:
すべてのプロジェクトカードを表示できるプロジェクトのランディングページに戻るには、[プロジェクトを処理] タブを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概要パネル



プロジェクトの概要パネルには、次の概要の詳細と簡単なコンテキストメニューが表示されます。

UI 要素	Description (説明)
概要の詳細	プロジェクトに関する重要な情報。 • プロジェクト名 • データがレポートするテーブル • 適用されたフィルターに従ったプロジェクトのスコープ内の合計レコード数 • レコード内で表されるルートの数 • レコードのクローズに要した平均日数 • ルート期間平均値からの標準偏差の変動。 • 期間中央値 • プロジェクトのデータに含まれるレコードの数
メニューアイコン (…)	追加オプションのメニューにアクセスします。 プロジェクトを編集 現在のプロジェクトを編集するには、このオプションを選択します。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。 バージョンを編集 プロジェクトバージョンの名前を変更するには、このオプションを選択します。詳細について

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI 要素	Description (説明)
	は、「 プロジェクトのバージョン名を変更する」を参照してください。

プロジェクトパネル

プロジェクトビュー内のプロジェクトパネルには、ビジネスインサイト、データビューを絞り込むためのフィルターツール、およびルートの詳細へのアクセスが表示されます。

UI 要素	Description (説明)
[サマリーとインサイト] タブ	ビジネスゴール、重要業績評価指標のサマリーインサイト、移行、およびルートのバリエーションを確認します。
[アナリストワークベンチ] タブ	このタブを選択すると、以下にアクセスできます。 • [ブレークダウンフィルター] タブ:フィルターセットを作成および削除し、詳細なフィルター条件を設定します。 • [バリアント分析] タブ: データセット内のレコードに分布するルートを表示します。
[自動化機会] タブ	ワークフローの自動化機会を特定するのに役立ちます。ITSM でのみ使用できます。

プロセスマップ

プロセスマップには、可視化されたプロジェクトとルートが表示され、そのビューをフィルタリングおよびドリルダウンするための次のツールが提供されます。[Analyst Workbench] タブからプロセスマップにアクセスできます。

UI 要素	Description (説明)
メトリクス	プロセスマップに表示するプライマリメトリクスとセカンダリメトリクス。
絞り込み	マップ上のアクティビティと接続を調整します。このタブを選択すると、以下にアクセスできます。 • [アクティビティ] タブ:プロセスマップ上のアクティビティの詳細ビューを拡大または縮小します。 • [接続] タブ:プロセスマップ上のアクティビティ間の接続の詳細ビューを増減します。
レコードを表示	選択した 1 つ以上のルートのレコードを表示します。
モデル統計	プロセスモデルの統計は、モデル統計全体と比較する際に全体像を示すのに役立ちます。このタブには、フィルタリングされたレコードまたは選択したバリアントルートの次の統計情報が表示されます。 • メトリック:比較されたプロジェクト間のメトリック値の合計、プロジェクト固有、または差を示します。 • レコード:選択したルートをたどるフィルター済みレコードの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI 要素	Description (説明)
	• ルート:フィルタリングされたレコードがたどったルートの数。 • 平均期間:フィルタリングされたレコードまたは選択したルートのレコードがクローズするまでにかかった平均日数。この値は、モデル内のすべてのレコードの平均日数と比較されます。 • 標準偏差:ルート平均所要時間値からの変動。 • Med Duration: ルートの中間期間の値。
ボトルネック分析	指定したメトリクスフィルターに基づいて上位の移行を表示します。
アクティビティの凡例	アクティビティカテゴリを示す記号とともにプロセスマップ上に表示される定義済みのプロジェクトアクティビティ。
プロセスマップ	プロセスのメトリクスを表示したり、アクティビティ条件を追加してフィルターしたり、その他のアクションを実行したりできるインタラクティブマップ。
ズーム	プロセスマップのビューを拡大または縮小します。

メモ、イニシアチブ、スケジュール設定済みのタスク パネル

[メモ]、[イニシアチブ]、および [スケジュール設定済みタスク] パネルには、メモ、スナップショット、および改善イニシアチブを作成および表示するためのツールが用意されています。また、スケジュールしたマイニングタスクのステータスを確認することもできます。

UI 要素	Description (説明)
メモアイコン	メモリストの表示、メモの作成、メモの編集または削除を行います。
イニシアチブアイコン ( )	イニシアティブリストの表示、新しいイニシアティブの作成、既存のイニシアティブへのリンク、またはイニシアティブの削除を行います。
[スケジュール設定済みタスク] アイコン ( )	スケジュールされたマイニング、フィルタリング、および要求されたクラスター分析タスクのステータスを表示します。

[サマリーとインサイト] ページ

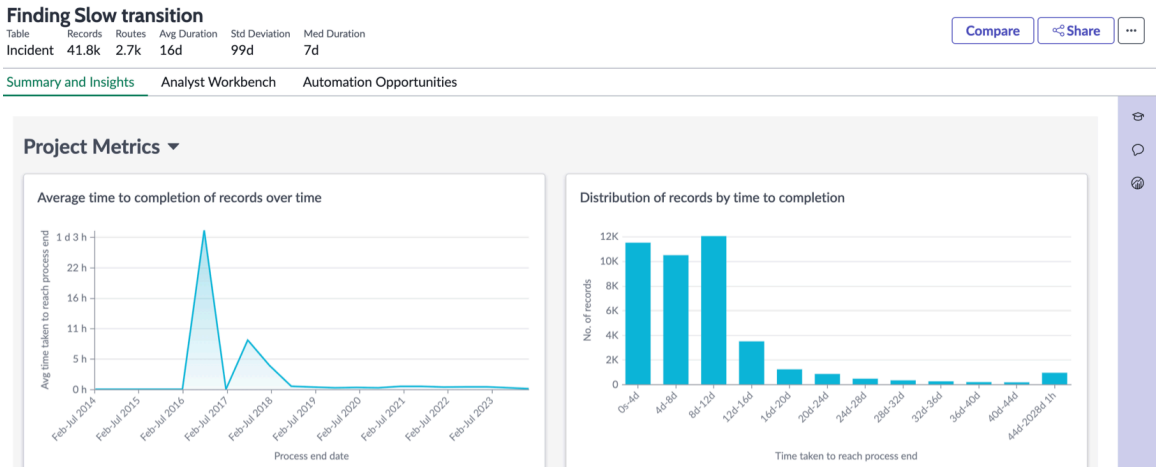
[サマリーとインサイト] ページでは、プロセスを最適化する機会を表示できます。プロセスマイニングプロジェクトからダッシュボードにアクセスします。

プロジェクトメトリクスダッシュボードを表示すると、マイニングされたデータに関する初期情報を確認できます。これは、次の 2 つのグラフで示されています。

- 時系列グラフ:レコードの完了に要した平均時間を経時的に示すトレンドライン。
- ヒストグラム:プロセスの終了までにかかった時間別のレコードの分布。

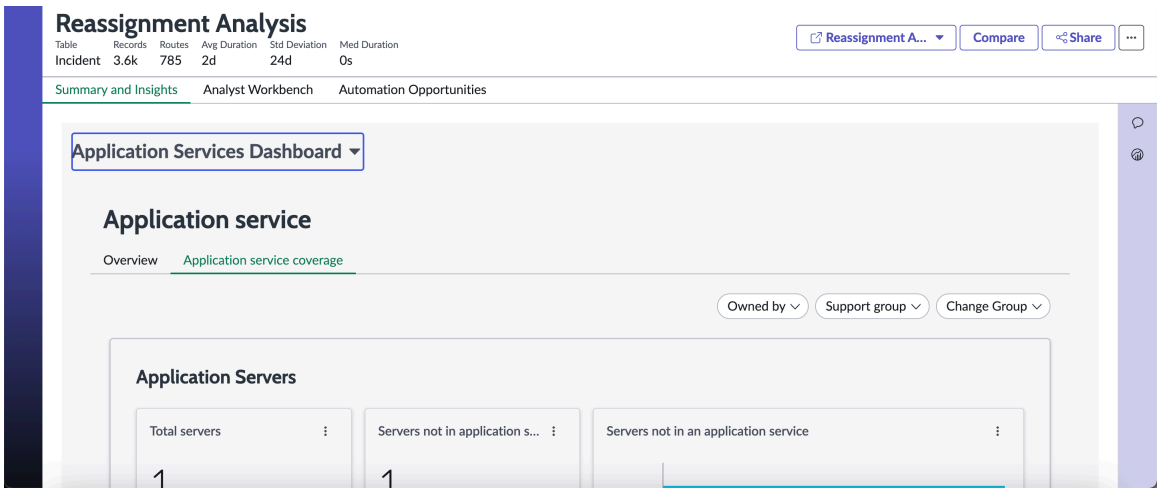
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



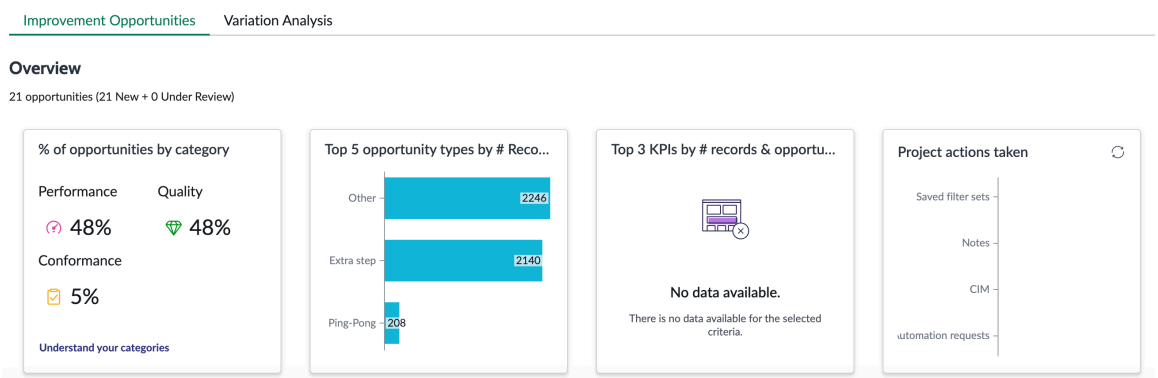
プロジェクト構成で KPI ダッシュボードを設定する場合は、[プロジェクトメトリクス] ドロップダウンを選択して KPI ダッシュボードを表示できます。アドミニストレーターは、 プロセスマイニング Workspace からプロセスグラフを表示するように構成することもできます。ビジネスプロセスとユーザーのニーズに合わせてダッシュボードが構成されている場合は、これらのダッシュボードセクションからクイックスナップショットを表示できます。

次の図は、プロジェクト構成で設定された KPI アプリケーションサービスダッシュボードを示しています。



改善の機会の概要

[サマリーとインサイト] ページで、「改善の機会の概要」を参照してください。ここでは、プロジェクトで生成されるプロジェクト関連の統計の概要を確認できます。



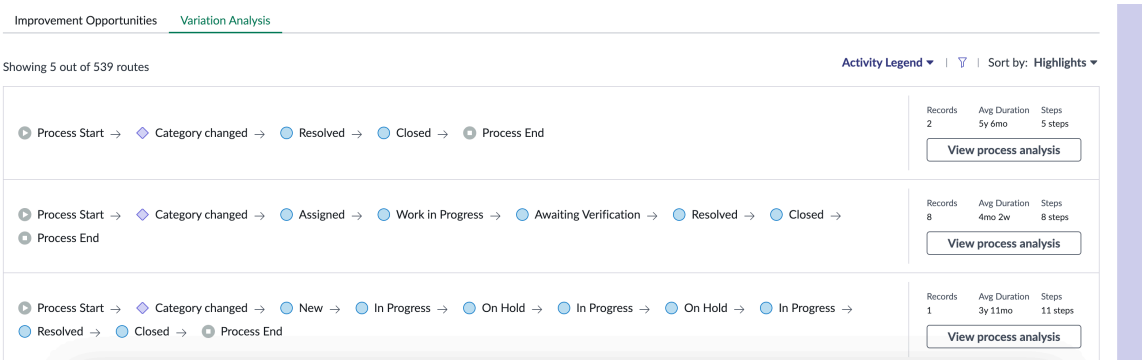
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バリアント分析

[サマリーとインサイト] ページでは、データの変動分析を確認することもできます。

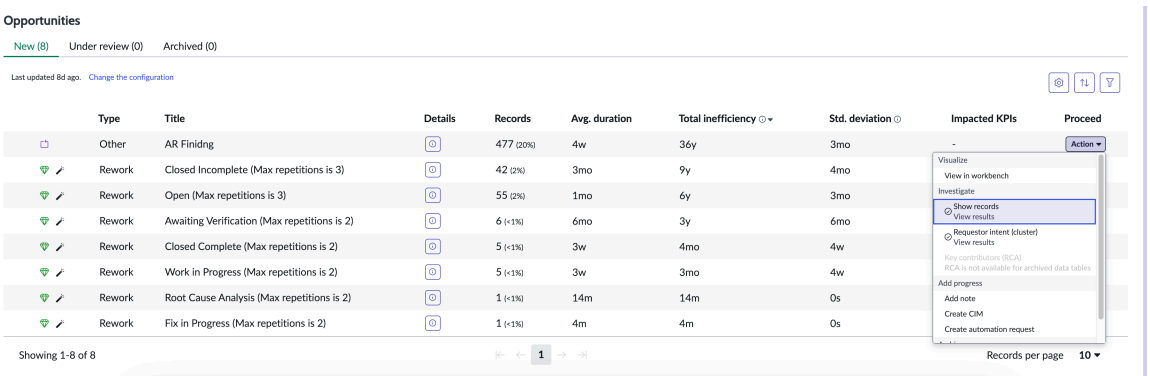
バリアント分析を使用すると、マイニングされたプロジェクトのさまざまなバリアントを比較し、選択したバリアントの分析を表示できます。



- フィルターアイコンを使用してルートをフィルタリングします。
- [ソート基準] リストを使用して結果をソートします。
- [プロセス分析を表示] を選択して、選択したバリアントのグラフを Analyst Workbench で表示します。

オポチュニティ

機会セクションでは、プロジェクトに関連付けられたルールベースの自動改善の機会のリストを表示できます。



次の詳細を表示できます。

- 新規、レビュー中、およびアーカイブされた改善の機会。
- すべての詳細を含む、プロジェクトに関連付けられた改善の機会のリスト。
- タイトルの横にある ⓘ を選択すると、改善の機会に関する詳細が表示されます。
- [アクション] を選択し、リストから任意の項目を選択して詳細を表示します。
- ⚙ を選択して、列の表示と非表示を切り替えます。
- ⇅] を選択して列を並べ替えます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [ ] を選択して、改善の機会のリストをフィルタリングします。
- [構成の変更] リンクを選択して、改善の機会を作成します。このリンクをクリックすると、プロジェクトビルダーの [改善の機会を選択] タブに自動的に移動します。詳細については、「改善の機会を設定する」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスダッシュボードとの統合

パフォーマンスアナリティクスダッシュボードを統合して、必要な KPI と可視化を含めます。ダッシュボードビルダーを使用すると、プロジェクト専用のカスタムウィジェット/KPI を含む独自のダッシュボードを作成できます。これらのダッシュボードは、プロジェクトまたはプロセス構成レベルでリンクできます。

アナリストワークベンチ

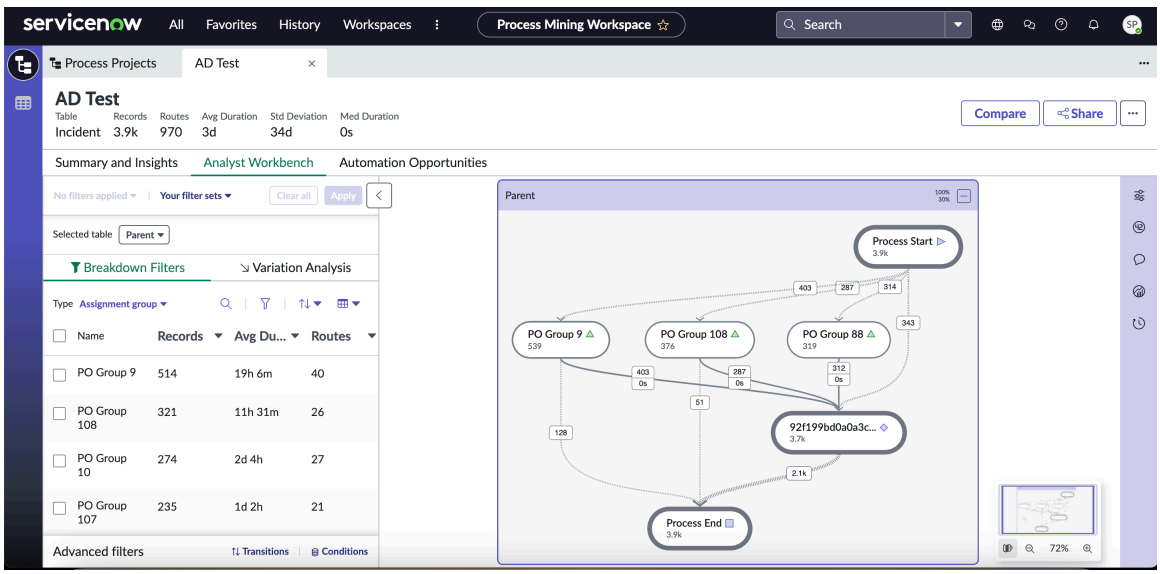
可視化を管理し、プロジェクトのページから分析タスクを実行するためのツールを使用して、可視化されたプロセスマップを表示します。

アナリストワークベンチへのアクセス

Analyst Workbench から、可視化されたプロセスワークフローデータと、データを分析するためのツールにアクセスできます。

Analyst Workbench にアクセスするには、以下の手順を実行します。

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを開き、Analyst Workbench に移動します。



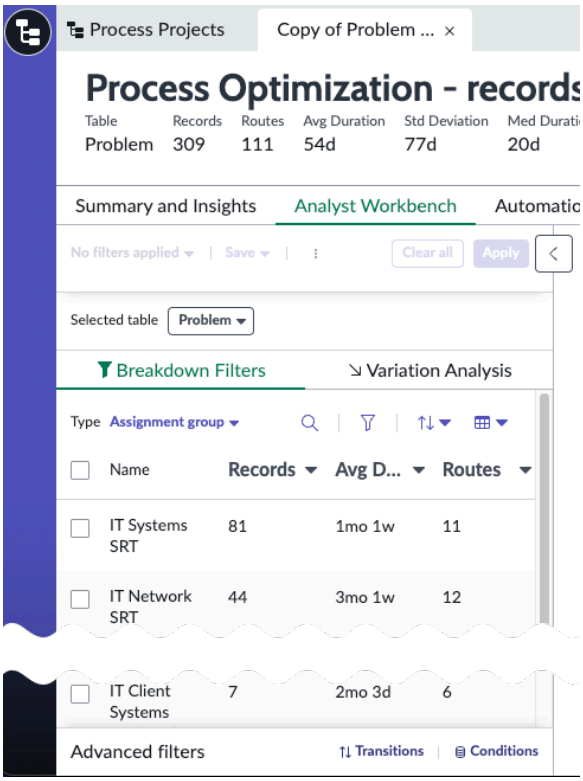
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンフィルター

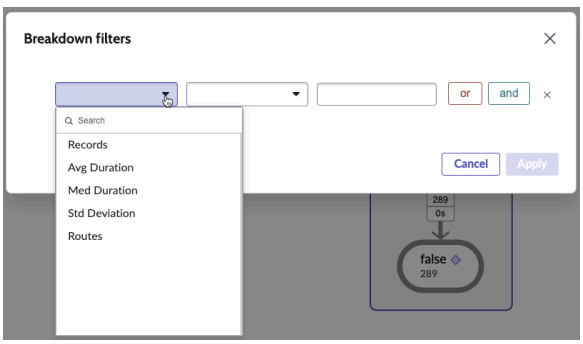
[ブレークダウンフィルター] タブを使用して、フィルターセットの作成と削除、および詳細フィルター条件の設定を行います。

[選択したテーブル] ドロップダウンを使用するか、プロセスマップ内の要素を選択して、さまざまな要素のブレークダウンを表示します。

注:
ブレークダウンフィルターは親テーブルにのみ適用できます。ただし、ブレークダウン統計は子テーブルと親テーブルの両方で使用できます。



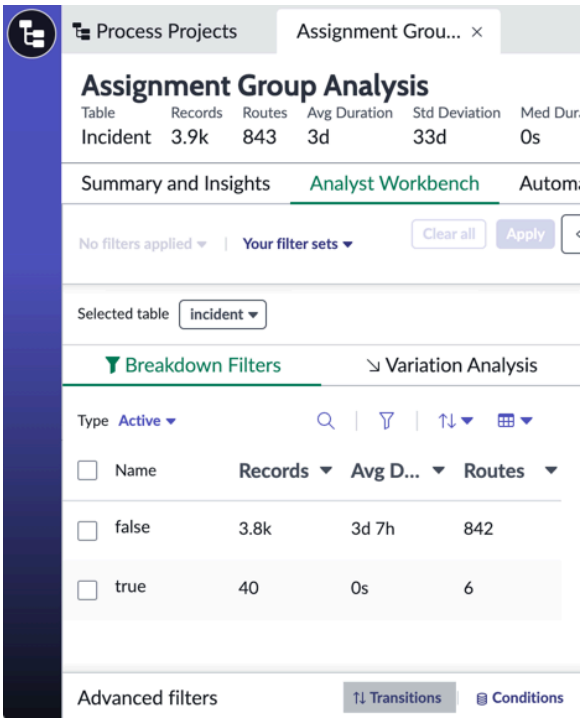
[ブレーク ダウンをフィルター **(Filter Breakdown)**] アイコン ([ ]) を使用して、



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

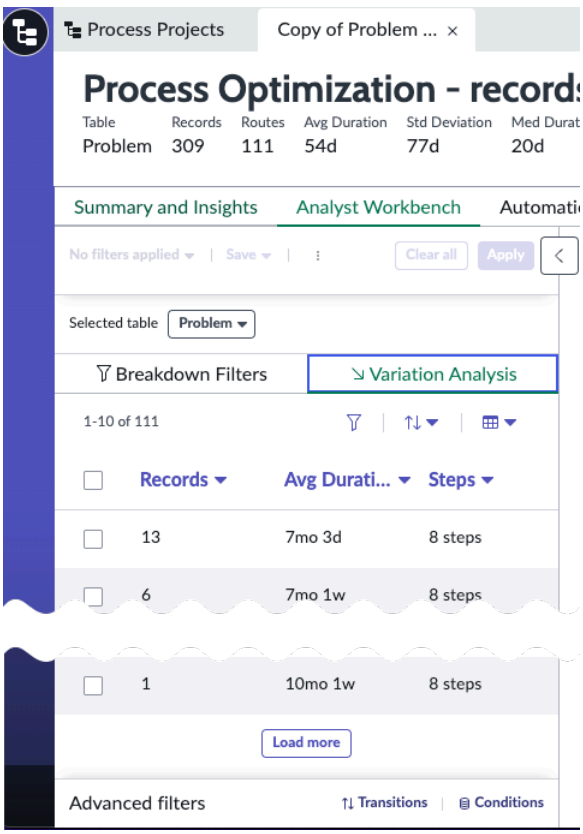
[トランジション] ボタンを使用して、トランジションの詳細フィルターを定義します。このプロセスの詳細については、「アクティビティへの移行フィルターの適用」を参照してください。



バリアント分析

[バリアント分析] タブを使用して、レコードがたどったルート、ケース数、平均期間、および各ルートに関連するステップ数を表示します。プロセスマップでルートをハイライト表示するルートを選択します。

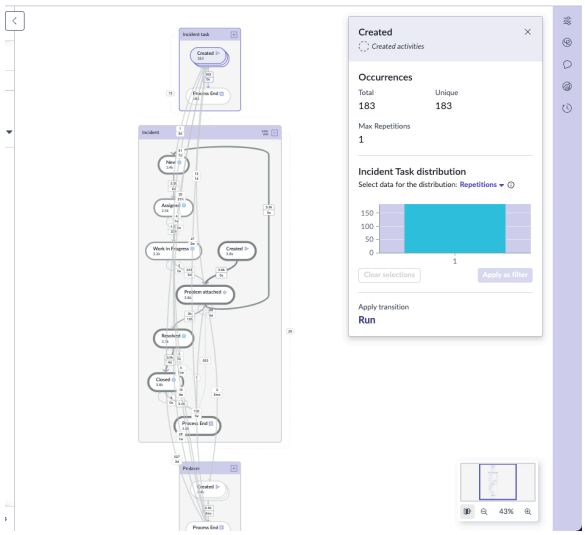
[選択済み] テーブルを使用するか、プロセスマップ内の要素を選択して、さまざまな要素の分析を表示します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマップ

プロセスマップを使用して、プロジェクトの可視化されたマップを表示します。マップ内で、ビジネスプロセスをドリルダウンして、ビジネスプロセスをよりよく理解して最適化できます。プロセスマップには、表示または測定する KPI に応じたルートも表示されます。



マップ内のノードまたは移行線を選択すると、選択したアイテムに関する追加の詳細がモーダルウィンドウに表示されます。

これらのウィンドウには、追加情報を表示する棒グラフのヒストグラムが含まれています。

- ノードを選択すると、分布または繰り返しの情報が表示されます。
- 移行線を選択して、継続時間または繰り返しの情報を表示します。

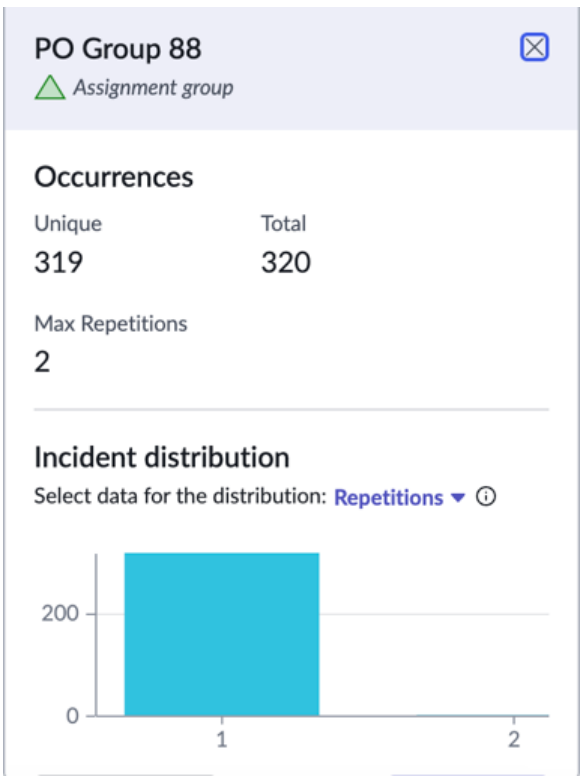
棒グラフを選択し、[フィルターとして適用] を選択して、これらの結果でフィルター処理します。

このツールの使用方法の詳細については、 プロセスマップの絞り込み.

ノードを選択すると、モーダルウィンドウに、選択したノードを介したレコードの送信および受信配布が表示されます。

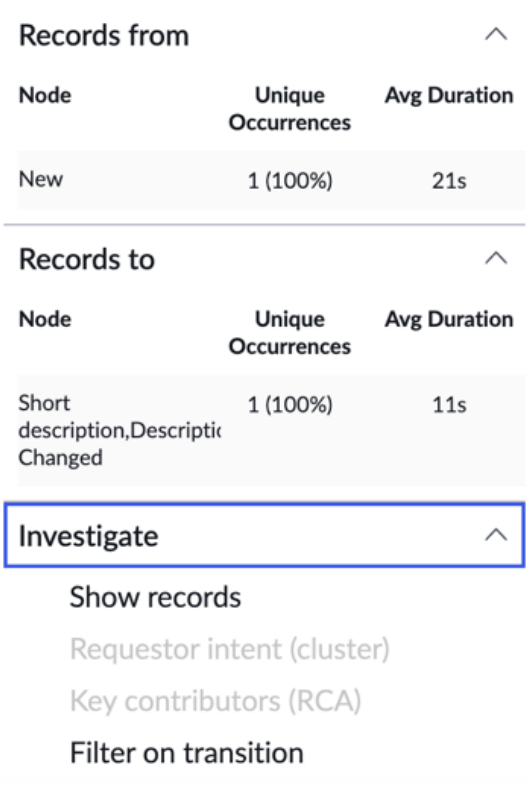
この情報は、[レコード元] と [レコード先] の折りたたみ可能なセクションに表示されます。

[調査] ドロップダウンから、関連するレコードの表示、クラスター分析の実行、根本原因分析の実行、または移行の適用を行うこともできます。これらのタスクは、バックグラウンドで実行されるスケジュール設定済みタスクを使用して実行されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移行線を選択すると、モーダルウィンドウにその移行の出現回数、繰り返し回数、および継続時間が表示されます。

[調査] ドロップダウンから、関連するレコードの表示、作業メモ分析、クラスター分析の実行、根本原因分析、または移行の適用を行うこともできます。これらのタスクは、バックグラウンドで実行されるスケジュール設定済みタスクを使用して実行されます。

各分析の詳細については、次のトピックを参照してください。

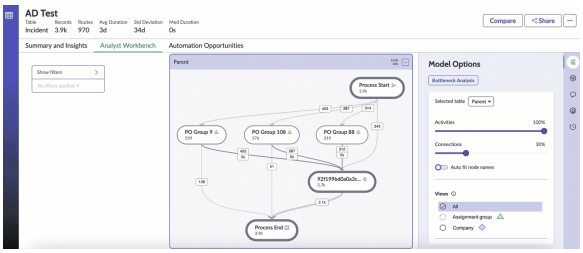
- クラスター分析
- 作業メモアナリシス
- 自動化された根本原因分析



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

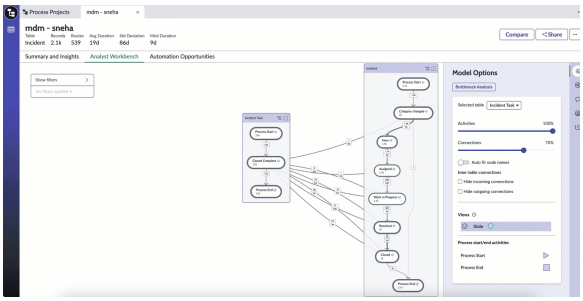
ノード名が長く、切り捨てられている場合は、そのフルネームを表示できます。モーダルオプションウィンドウから、 ノード名の自動調整 オプション。



入力アークのみ、送信アークのみ、またはその両方を非表示にするかを選択できます。

[モーダルオプション] から、[着信接続を非表示にする]、[発信接続を非表示にする]、またはその両方を選択して、必要に応じて接続を表示します。

注:
このオプションは、複数テーブルプロジェクトでのみ使用できます。

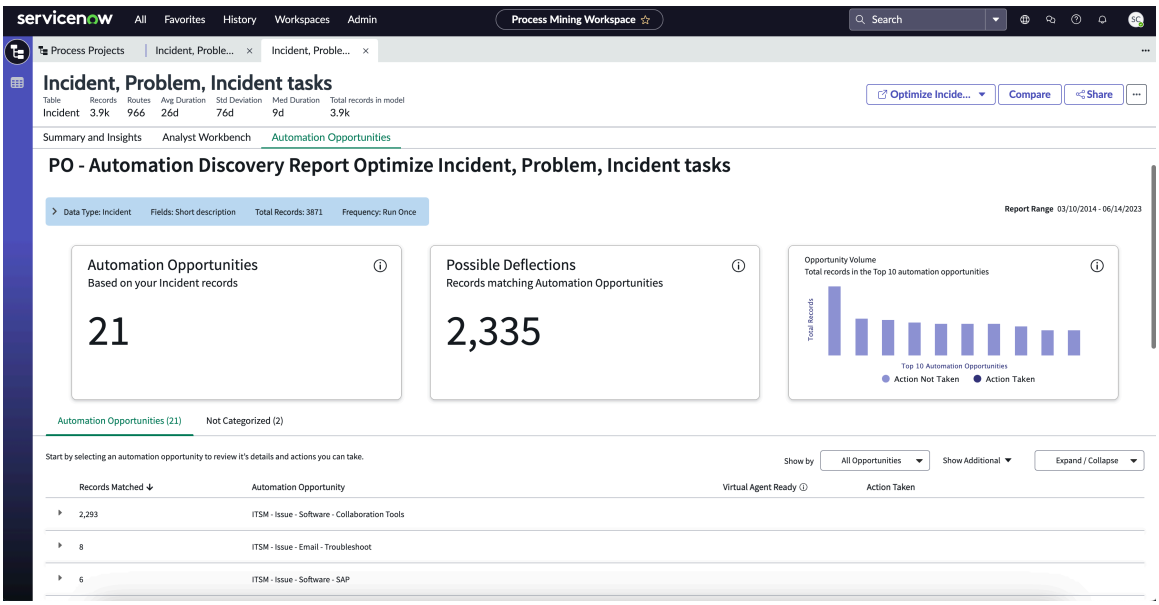


注:
プロセスマップの機能のほとんどは、構成可能なワークスペースのダッシュボードで再現できます。詳細については、「ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成」を参照してください。

自動化機会ページ

自動化機会ページを使用して、機械学習とプロセスベースの分析を使用して自動化機会を見つけます。

自動化機会ページ



サマリーカード

ページの上部に表示されるカードには、検出された機会の概要が簡単に示されます。概要には、影響を受けるレコードの数と、これらの自動化機会を使用して節約できる推定時間が表示されます。

自動化機会

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化機会カードには、オートメーションディスカバリーによって検出された数が表示されます。このカードセクションの下にある [自動化機会] リストで、検出された機会を確認します。

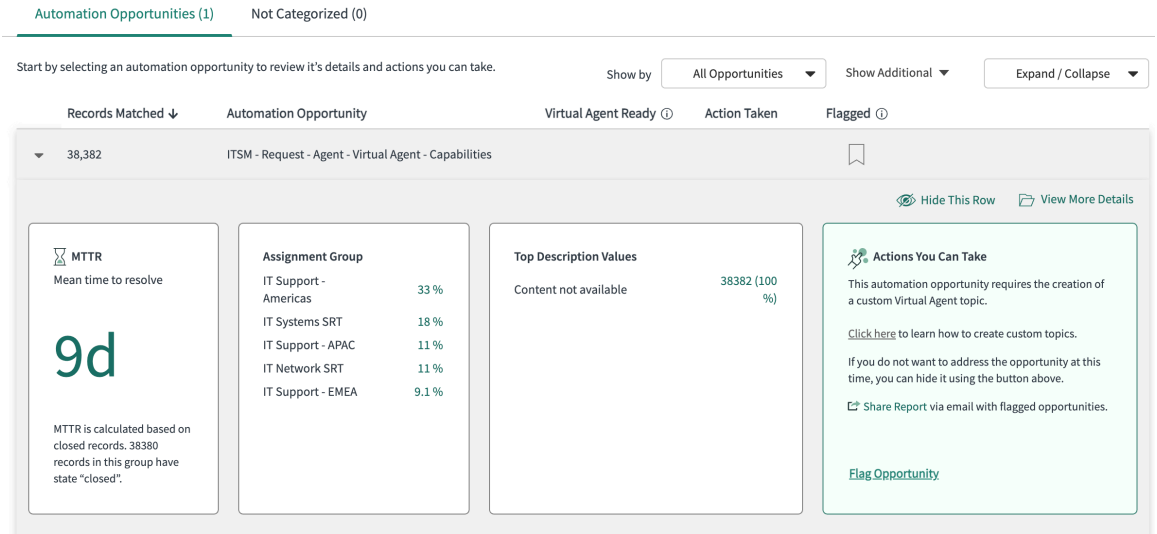
可能な回避

[可能な回避 **(Possible Deflections)]** カードには、検出された自動化機会の対象となるレコードの数が表示されます。この数は、このカードセクションの下にある [自動化機会] リストにも表示されます。

機会ボリューム

機会ボリュームカードには、上位 10 件の自動化機会の合計レコードが表示されます。

自動化機会リスト



[自動化機会] リストを使用して、機会の概要、解決までの推定平均時間、およびこれらの自動化を実装するために実行できるアクションを確認します。

注:
自動化分類は ITSM でのみ使用できます。

プロセスマイニング のアクティブ化

プロセスマイニングをアクティブ化してアプリケーションを使用し、メリットを活用します。

プロセスマイニングの要求

Now Support サービスカタログから プロセスマイニング Core プラグイン (com.sn_po) を要求して、プロセスマイニングを有効にします。このアプリケーションにはデモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に
プロセスマイニング では、他の Now Platform とは別のサブスクリプションが必要です。

サブスクリプションを購入するには、ServiceNow アカウントマネージャーにお問い合わせください。サブスクリプションを購入すると、特定のプラグインが自動的にアクティブになります。有料プラグインが自動的にアクティブになっていない場合は、インスタンスの [すべてのアプリケーション] リストから手動でアクティブ化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

サブスクリプションを購入する前に、Now Support サービスカタログ から非本番インスタンスを要求することによって、その機能を課金なしに評価できます。

必要なロール：administrator

このタスクについて
プロセスマイニング とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ロール
- テーブル

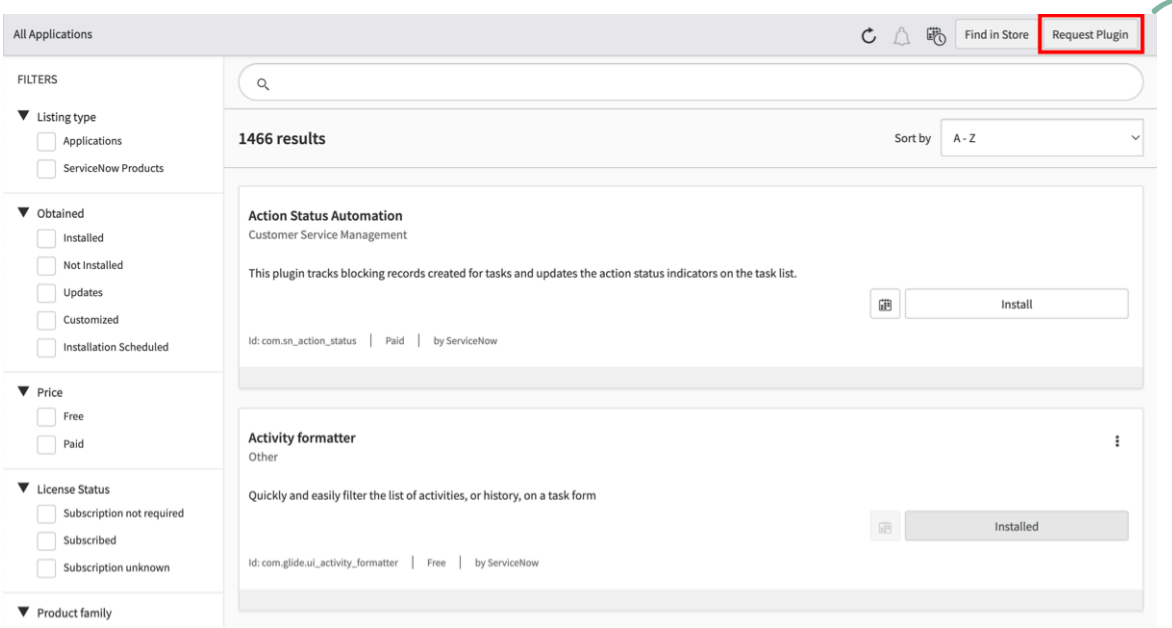
詳細については、「プロセスマイニングとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

注:

準本番クローンインスタンスで プロセスマイニング アクティブ化して探索する場合は、コピー監査およびログデータを使用して本番環境からクローンを作成します。これを行うには、[クローン作成時に 監査およびログデータを除外 する] の選択を解除します。この手順を実行すると、監査ログを使用して プロセスマイニングを使用して完全なプロセスマップを作成できるようになります。

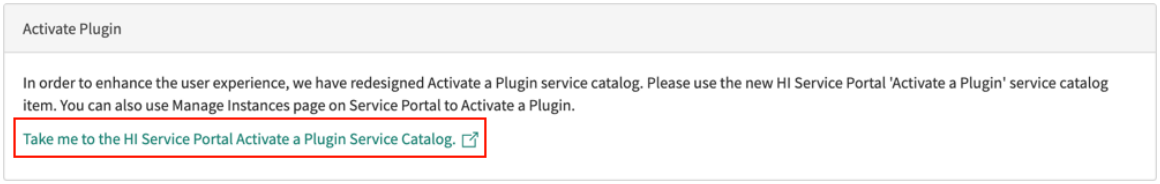
手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. [すべてのアプリケーション] ページで [プラグインの要求] をクリックして、Now Support で [プラグインをアクティブ化] フォームを開きます。



3. Now Support で、Now Support サービスポータル サービスカタログ にアクセスするリンクを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. フォームのフィールドに入力します。

プラグインアクティブ化の要求フォーム

フィールド	説明
ターゲットインスタンスは何ですか	プラグインをアクティブ化するインスタンス。
プラグイン名	入力: プロセスマイニングプラグイン (com.sn_po)
メンテナンスの日時を選択 (Select Maintenance Date and Time)	プラグインをアクティブ化する日時。 **注:** プラグインは、米国太平洋標準時で、毎営業日の朝と夕方の 2 回のバッチでアクティブ化されます。特定の時刻にプラグインをアクティブ化する必要がある場合は、[理由/コメント **(Reason/ Comments)]** フィールドに要求を入力します。

5. [送信] を選択します。
プラグインの要求に関するその他の詳細については、Now Support ナレッジベース の記事「サービスカタログからのプラグインの要求 (Requesting a Plugin from the サービスカタログ) (KB0751715)」を参照してください。

プロセスマイニングコンテンツパックのアクティブ化

プロセスマイニングコンテンツパックをアクティブ化して、ビジネスの特定の領域向けにビルド済みのプロジェクトにアクセスします。

Jumpstart プロセスマイニング with content pack

プロセスマイニング コンテンツパックには、プロセスモデル定義、プロセス検索定義、およびビジネスの特定領域に対するビルド済みプロセス改善インサイトを含むビルド済みプロジェクトが含まれています。

注: プロセスマイニングコンテンツパックのアクティブ化はオプションの手順です。プロセスマイニング で利用可能なコンテンツパックのいずれかを使用する場合は、このタスクを実行する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能なコンテンツパック

コンテンツパック	**Description** (説明)
のコンテンツパック ITSM	ITSM プロセスマイニング コンテンツパックは、IT Service Management (ITSM) プロセス用に事前設定されたプロセスマイニングモデルと改善イニシアチブを提供します。
のコンテンツパック SPM	デマンドの 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) プロセスマイニング コンテンツパックは、アナリストとプロセスオーナーがデマンドプロセスの有効性を理解するのに役立ち、継続的なパフォーマンス改善の機会を提供する、事前構成済みの プロセスマイニング プロジェクトを提供します。
のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション	ファイナンシャルサービスオペレーション (FSO) を含む プロセスマイニング コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、FSOケースに関連するボトルネックを特定できます。
のコンテンツパック カスタマーサービス管理 (CSM)	プロセスマイニング Content Pack for カスタマーサービス管理 (CSM) を使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。
通信事業注文のコンテンツパック	プロセスマイニング Content Pack for 通信事業とメディア向け注文管理 を使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、通信事業注文に関連するボトルネックを特定できます。
のコンテンツパック HR サービスデリバリ (HRSD)	プロセスマイニング Content Pack for HR サービスデリバリ (HRSD) を使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。

コンテンツパックのアクティブ化

インスタンスのアプリケーションリストからコンテンツパックをアクティブ化する

始める前に
必要なロール:sm_cim_requestor、アドミニストレーター

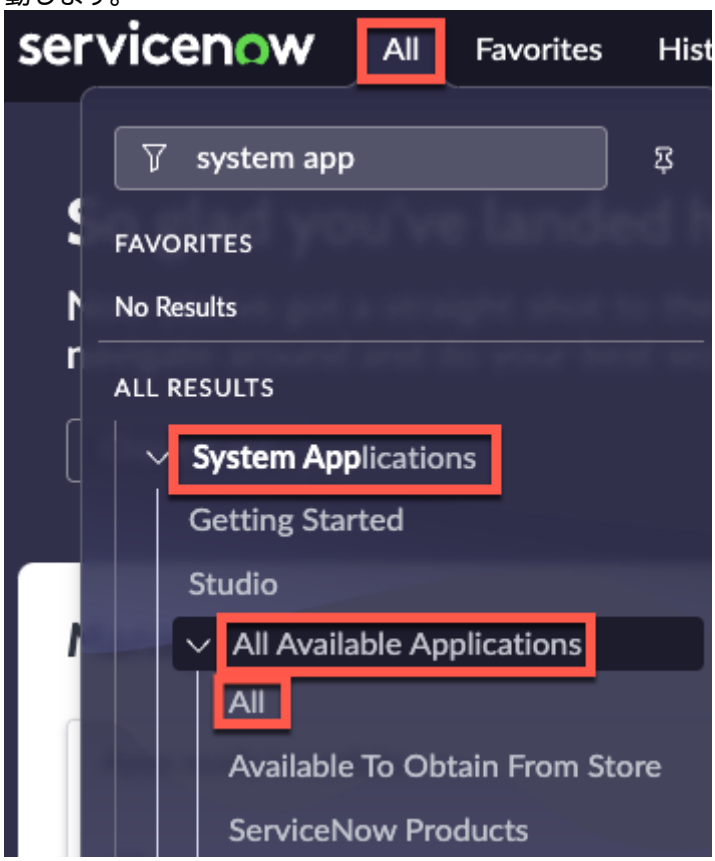
- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、「ServiceNow 製品またはアプリケーションのエンタイトルメントの取得」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準と検索バーを使用して、インストールする プロセスマイニング コンテンツパックを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、コンテンツパックをインストールする前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

5. [インストール] を選択します。

のコンテンツパック **ITSM**

ITSM プロセスマイニング コンテンツパックは、IT Service Management (ITSM) プロセス用に事前設定されたプロセスマイニングプロジェクトと改善イニシアチブを提供します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ITSM プロセスマイニング コンテンツパック (sn_itsm_po) は、次のITSMプロセスのビルド済みプロセスマイニングプロジェクト定義を追加します。

- インシデント管理
- 問題管理
- 変更管理
- Request Management (要求管理)

このパックには、インシデントおよび変更プロセス用の事前定義された 継続的改善管理 (CIM) イニシアチブも含まれています。改善イニシアチブと プロセスマイニング プロジェクトは自動的にリンクされます。

このコンテンツパックを有効にするには、 ServiceNow Storeに移動します。詳細については、「プロセスマイニングコンテンツパックのアクティブ化」を参照してください。

ダッシュボード

ITSM プロセスマイニング コンテンツパック内のプロジェクトのデフォルトの KPI ダッシュボードを使用できます。ダッシュボードを作成し、要件に応じて要素を追加することもできます。

ITSM 作業アイテムのクラスター分析構成

プロセスマイニング アプリケーションは、インシデント、問題、変更要求、要求アイテムのソリューション定義を提供します。これらの定義を使用して、これらの作業アイテムのクラスター分析を構成できます。

> **重要:**
> この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング ITSM コンテンツパック v1.2 で使用できます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

クラスターリングソリューション定義の構成

プロセスマイニングアドミニストレーター (sn_process_optimization_admin) は、次の場所に移動して ITSM 作業アイテムソリューション定義の構成にアクセスできます。 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション定義.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
デフォルトでは、これらのソリューション定義は次のように構成されています。

- [フィールド] フィールドが [簡単な説明] に設定されている。
- [クラスターあたりの最小レコード数] フィールドの値は 150 に設定されています。
- [ワードコーパス] フィールドは、対応するワードコーパスレコードに対して設定されます。たとえば、インシデントクラスタリング定義は、インシデントワードコーパスレコードに対して設定されます。各ワードコーパスレコードは、過去 12 か月間のすべての説明と簡単な説明のデータを収集します。

クラスタリングソリューション定義には、以下の表にリストされている純度フィールドも含まれています。

クラスタリングソリューション定義	純度フィールド
インシデント	• アサイン先グループ • カテゴリ • Configuration item (構成アイテム) • サービス
問題	• アサイン先グループ • カテゴリ • Configuration item (構成アイテム) • CMDB CI • ビジネスサービス
変更要求	• アサイン先グループ • カテゴリ • モデル • リスク • タイプ
要求アイテム	• アサイン先グループ • カテゴリアイテム • 要求元 • アサイン先

プロセスマイニング アプリケーションからクラスター分析を実行する方法については、「クラスター分析の実行」をご参照ください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング ダッシュボードで **ITSM** 作業アイテムの **KPI** を構成する

[プロセスマイニング サマリーとインサイト] ページで、目的の重要業績評価指標 (KPI) を追加して ITSM 作業アイテムのパフォーマンスを監視します。使用しなくなったインジケーターを削除します。

始める前に

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング ITSM コンテンツパック v1.2 で使用できます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール：administrator

手順

1. KPI を表示する ITSM 作業アイテムアプリケーションのプラグインを有効にします。
   インシデント管理プラグインはデフォルトで有効になっています。

2. 目的のインジケーターデータソースを [サマリーとインサイト] ページに追加します。
   以下の表にリストされている KPI は、デフォルトで利用可能です。

作業アイテム	重要業績評価指標
インシデント	○ インシデントの解決に要する平均時間 ○ 最初のアサイン先により解決されたインシデントの割合
問題	○ 問題の平均クローズ時刻 ○ 最初のアサイン先によりクローズされた問題の割合
変更要求	○ 変更の平均クローズ時刻 ○ 新規の緊急変更の割合
要求アイテム	○ 要求アイテムの平均クローズ時間 ○ 却下された要求アイテムの割合

プロセスマイニング ダッシュボードで **ITSM** 作業アイテムのインサイトを構成する

インシデント、問題、変更要求、または要求アイテムのルール定義を構成して、[サマリーとインサイト] ページでインサイトを検出します。

始める前に

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング ITSM コンテンツパック v1.2 で使用できます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_power_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. 目的の検索定義を構成します。
   デフォルトでは、以下の表にリストされているインサイトフィルターを使用できます。

ITSM 作業アイテムのインサイトフィルター

作業アイテム	インサイトフィルター
インシデント	○ マルチホップの問題 ○ ソリューション却下の問題 ○ 保留中ステータスの誤用 ○ SLA 未達成の問題
問題	○ 問題がキャンセルされました ○ 問題リスクが受け入れられました ○ 解決済みの問題が再分析されました ○ 問題の修正が完了していない ○ 問題が再オープンされました
変更要求	○ モデルがプロセスで変更される ○ 事前に承認された変更要求 ○ 失敗した変更要求
要求アイテム	○ RITM ステータスが未完了でクローズまたはスキップしてクローズ ○ マルチホップ:2 回以上の再アサインを行う RITM

検索ルールが更新されると、ダッシュボードの [インサイト] セクションに表示されます。

3. [サマリーとインサイト] ページで、選択したインサイトについて、次の操作を行います。
   - プロセス分析を実行するには、[プロセス分析]を選択します。フィルターが適用された プロセスマイニング マップを表示できます。
   - クラスター分析を実行するには、[クラスター分析] を選択します。[クラスターの表示] を選択して結果を表示します。詳細については、「 クラスター分析の表示」をご参照ください。

のコンテンツパック **SPM**

デマンドの 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) プロセスマイニング コンテンツパックは、アナリストとプロセスオーナーがデマンドプロセスの有効性を理解するのに役立ち、継続的なパフォーマンス改善の機会を提供する、事前構成済みの プロセスマイニング プロジェクトを提供します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード

SPM プロセスマイニング コンテンツパック内のプロジェクトのデフォルトの KPI ダッシュボードを使用できます。ダッシュボードを作成し、要件に応じて要素を追加することもできます。

SPM作業アイテムのクラスター分析構成

プロセスマイニング アプリケーションは、クラスター分析の構成に使用できるデマンドのソリューション定義を提供します。

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング SPM コンテンツパック v1.0 で使用できます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

クラスターリングソリューション定義の構成

プロセスマイニングアドミニストレーター (sn_process_optimization_admin) は、次の場所に移動して、SPM作業アイテムソリューション定義の構成にアクセスできます。 すべて > 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション定義.

注:
デフォルトでは、これらのソリューション定義は次のように構成されています。

- [フィールド] フィールドが [説明] に設定されます。
- [クラスターあたりの最小レコード数] フィールドの値は 150 に設定されています。
- [ワードコーパス] フィールドは、対応するワードコーパスレコードに構成されます。たとえば、デマンドクラスタリング定義は、デマンドワードコーパスレコードに構成されます。各ワードコーパスレコードは、過去 12 か月間のすべての説明と簡単な説明のデータを収集します。

クラスタリングソリューション定義には、デマンドの純度フィールド (部門、business_unit、および優先度) も含まれています。

プロセスマイニング ダッシュボードでSPM作業アイテムの KPI を構成する

目的の重要業績評価指標 (KPI) を追加して、[プロセスマイニング サマリーとインサイト] ダッシュボードでSPM作業アイテムのパフォーマンスを監視します。使用しなくなったインジケーターを削除します。

始める前に

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング SPM コンテンツパック v1.0 で使用できます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

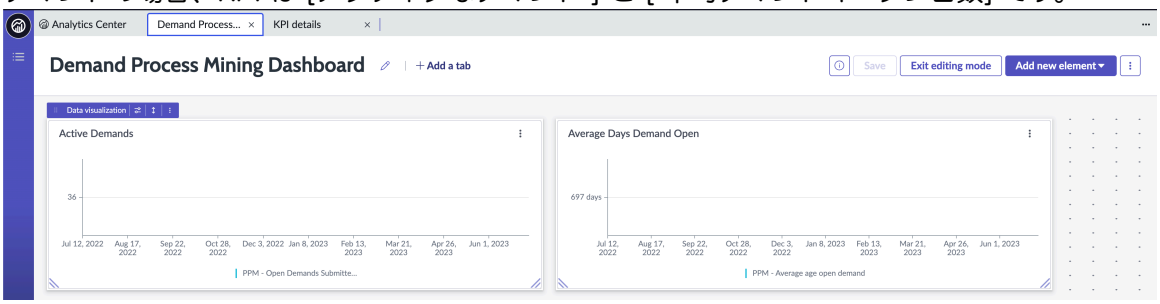
必要なロール：administrator

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. **Project Portfolio Management Standard** プラグインがインストールされていることを確認します。
2. 目的のインジケーターデータソースを [サマリーとインサイト] ページに追加します。
デマンドの場合、KPI は [アクティブなデマンド] と [平均デマンドオープン日数] です。



プロセスマイニングダッシュボードで**SPM**デマンドのインサイトを構成する

デマンドのルール定義を構成して、[サマリーとインサイト] ダッシュボードでインサイトを検出します。

始める前に

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング SPM コンテンツパック v1.0 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_power_user

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. 目的の検索定義を構成します。
デマンドに対してデフォルトで利用可能なインサイトフィルターを次の表に示します。

のデマンドに関するインサイト プロセスマイニング

検索定義	認定なしで承認されたデマンド
	承認されずに次のステージに移動されたデマンド
自動検索定義	やり直し

検索ルールが更新されると、ダッシュボードの [インサイト] セクションに表示されます。

3. [サマリーとインサイト] ダッシュボードで、選択したインサイトについて、次の操作を行います。
   - プロセス分析を実行するには、[プロセス分析]を選択します。フィルターが適用された プロセスマイニング マップを表示できます。
   - クラスター分析を実行するには、[クラスター分析] を選択します。[クラスターの表示] を選択して結果を表示します。詳細については、「 クラスター分析の表示」をご参照ください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション

ファイナンシャルサービスオペレーション (FSO) を含む プロセスマイニング コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、FSOケースに関連するボトルネックを特定できます。

重要:
Vancouver リリース以降、Process Optimization アプリケーションの名前が プロセスマイニング に変更されました。

FSO プロセスマイニングコンテンツパックを有効にする方法については、「プロセスマイニングコンテンツパックのアクティブ化」を参照してください。

最適化プロジェクト

コンテンツパックは、これらのファイナンシャルサービスオペレーションアプリケーションのビルド済みプロセスマイニングプロジェクトモデル定義を追加します。

- Financial Services Business Deposit Operations
- Financial Services Business Loan Operations
- Financial Services Business Lifecycle
- Financial Services Card Operations
- Financial Services Client Lifecycle
- Financial Services Complaint Management
- Financial Services Payment Operations
- Financial Services Personal Loan Operations
- Financial Services Personal Deposit Operations
- Financial Services Treasury Operations
- Individual Life Servicing
- Group Life Servicing
- 企業保険請求
- 個人向け保険請求
- Intelligent Servicing for Fraud

ビルド済みプロジェクトに基づく新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

ロール

プロセスマイニングアプリケーションを使用しているファイナンシャルサービスオペレーションアプリケーションに基づいて、次のロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のファイナンシャルサービスオペレーションに必要なロール プロセスマイニング

ファイナンシャルサービスオペレーション アプリケーション	必要なロール
Financial Services Card Operations	異議申し立て管理: sn_bom_credit_card.dispute_manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Payment Operations	sn_bom_payment.payments_manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Business Loan Operations	sn_bom_loan_b2b.manager と sn_process_optimization_analyst
Financial Services Personal Loan Operations	sn_bom_loan.b2c_manager および sn_process_optimization_analys
Financial Services Business Lifecycle	sn_bom_clo_b2b.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Client Lifecycle	sn_bom_clo_b2c.manager と sn_process_optimization_analyst
Financial Services Complaint Management	sn_bom_compl.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Business Deposit Operations	sn_bom_deposit_b2b.manager と sn_process_optimization_analyst
Financial Services Personal Deposit Operations	sn_bom_deposit_b2c.manager および sn_process_optimization_analyst
企業保険請求	sn_ins_claim_cml.manager および sn_process_optimization_analyst
個人向け保険請求	sn_ins_claim_pers.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Treasury Operations	sn_bom_treasury.admin および sn_process_optimization_analyst
Individual Life Servicing	sn_ins_indiv_life.manager および sn_process_optimization_analyst
Group Life Servicing	sn_ins_group_life.manager および sn_process_optimization_analyst
Intelligent Servicing for Fraud	sn_bom_fraud.manager および sn_process_optimization_analyst

関連情報

プロセスマイニングの例ファイナンシャルサービスオペレーション

プロセスマイニングの例ファイナンシャルサービスオペレーション

金融サービスケースのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、あなたが金融機関のプロセスアナリストであり、金融サービスケースに関連する現在のプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。アナリストワークベンチを使用して、ファイナンシャルサービス支払業務、ローン業務、および苦情管理のプロジェクト定義のマイニングされたプロセスにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケースプロセスフローを分析し、次のワークフロー (たとえば、 **B2C** でのローン返済猶 予プロジェクト定義) を使用して、プロセスを改善する方法を提案できます。

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブで開きます。

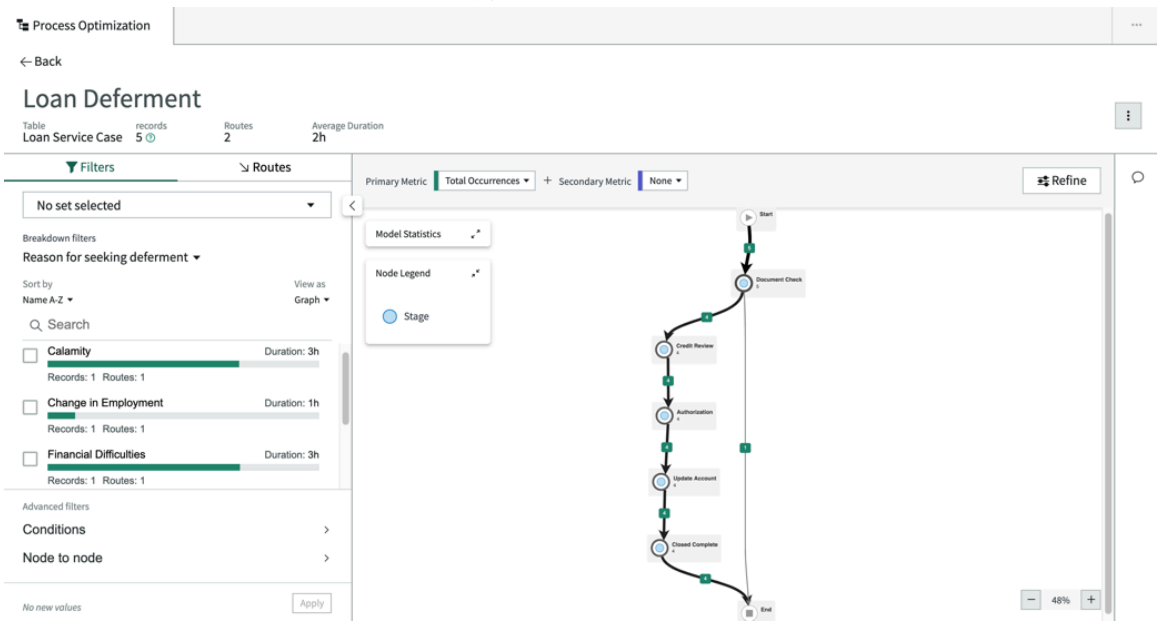
   ローン返済猶予ケースレコードがクローズされるまでの平均所要時間を確認できます。

2. [プライマリメトリクス] と [セカンダリメトリクス] のリストをそれぞれ [一意の発生件数] と [平均期間] に設定して、プロセスマップのメトリクスを表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してプロセスマップを絞り込み、メトリクスの完全なリストを表示します。

   状況移行とその期間を確認できます。

4. [フィルター] タブで、カテゴリのブレークダウンフィルターリストを設定し、アクティビティ移行フィルターを使用してレコードを除外します。
5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケース数、平均期間、およびルートに関連するステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ上のルートがハイライト表示されます。
6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

プロセスマイニング **B2C** でのローン返済猶予向け



関連情報

プロセスインサイトの分析と取得

のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション

のコンテンツパック カスタマーサービス管理 **(CSM)**

プロセスマイニング Content Pack for カスタマーサービス管理 (CSM) を使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。

プロセスマイニング CSM のコンテンツパックを有効にする方法の詳細については、「プロセスマイニングコンテンツパックのアクティブ化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、Analyst Workbench を使用して、可視化されたプロセスワークフローデータや、カスタマーサービスケースに関連するデータの分析ツールにアクセスできます。詳細については、「アナリストワークベンチ」を参照してください。

プロセスマイニング アプリケーションを カスタマーサービス管理 (CSM) で使用するには、次のロールの組み合わせが必要です。

ロールの組み合わせ

プロセスマイニング ロール	カスタマーサービス管理 (CSM) ロール
sn_process_optimization_admin	sn_customerservice_manager
sn_process_optimization_power_user	sn_customerservice_manager
sn_process_optimization_analyst	sn_customer_service_agent

カスタマーサービスケースの最適化プロジェクト

プロセスマイニング Content Pack for CSM (sn_csm_po) は、カスタマーサービスケースの事前定義されたカスタマーサービスケースプロジェクト定義を含むビルド済みプロジェクトを追加します。デフォルトでは、カスタマーサービスケースプロジェクトは、過去 2 四半期のカスタマーサービスケースをフィルタリングします。ビルド済みプロジェクトに基づいて新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

カスタマーサービスケースプロジェクトには、カスタマーサービスケースのデフォルトのアクティビティ定義とブレークダウン定義が含まれており、そのまま使用することも、カスタム構成用に変更することもできます。

- アクティビティ定義を使用して、対応中ステータスからソリューション提案ステータスに移行するケースなどの状況移行を把握し、問題 (PRB) レコードなどのリンクされたプロセスを分析します。
- ブレークダウン定義を使用して、レコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。たとえば、カスタマーサービスケースデータをさまざまなチャネル、製品、アサイン先グループ、および場所でフィルタリングできます。

カスタマーサービスケースの 継続的改善管理 イニシアチブ

継続的改善管理 (CIM) アプリケーションが有効になっている場合は、Analyst Workbench から CIM プロジェクトを使用して、カスタマーサービスケースの改善イニシアチブの進捗状況を追跡することもできます。改善イニシアチブと プロセスマイニング プロジェクトは自動的にリンクされます。詳細については、「継続的改善管理 との統合」を参照してください。

カスタマーサービスケースの パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス (PA) アプリケーションが有効になっている場合は、利用可能なテンプレート構成を使用して、カスタマーサービスケースデータに基づいてパフォーマンスアナリティクス (PA) インジケーターから プロセスマイニング アプリケーションを開くこともできます。詳細については、次を参照してください。 統合: パフォーマンスアナリティクス.

関連情報

プロセスマイニングの例CSM

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニングの例CSM

カスタマーサービスケースのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑えて、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、あなたが ACME 社のプロセスアナリストで、カスタマーサービスケースに関連付けられている現在のプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。アナリストワークベンチを使用して、 カスタマーサービスケース プロジェクトのマイニングされたプロセスにアクセスします。

ケースのプロセスフローを分析し、次のワークフローを使用してプロセスを改善する方法を提案します。

1. カスタマーサービスケースプロジェクト定義から [ワークスペースで表示] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブで開きます。

   カスタマーサービスケースレコードがケースをクローズするまでにかかる平均期間が 16 日であることがわかります。

2. [プライマリメトリクス] と [セカンダリメトリクス] のリストをそれぞれ [一意の発生件数] と [平均期間] に設定して、プロセスマップのメトリクスを表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してプロセスマップを絞り込み、メトリクスの完全なリストを表示します。

   [**Work In Progress - Awaiting Info**] 移行ステータスに 2 日以上かかっていることがわかりました。

4. [フィルター] タブで、[ブレークダウンフィルター] リストを [アサイン先グループ] に設定し、アクティビティフィルターを使用して、[対応中 - 情報待ち] アクティビティと [対応中] アクティビティ間のプロセスフローを表示します。
5. [ルート] タブで、選択したアクティビティ間の平均期間 (2 日間) よりも長くかかったすべてのレコードを表示するため、[並べ替え基準] ボックスの一覧で [ほとんどのレコード] を選択します。次に、任意のプロセスパスを選択して、そのルートのケースを表示します。

   ほとんどのケースがメールに関連していることがわかります。

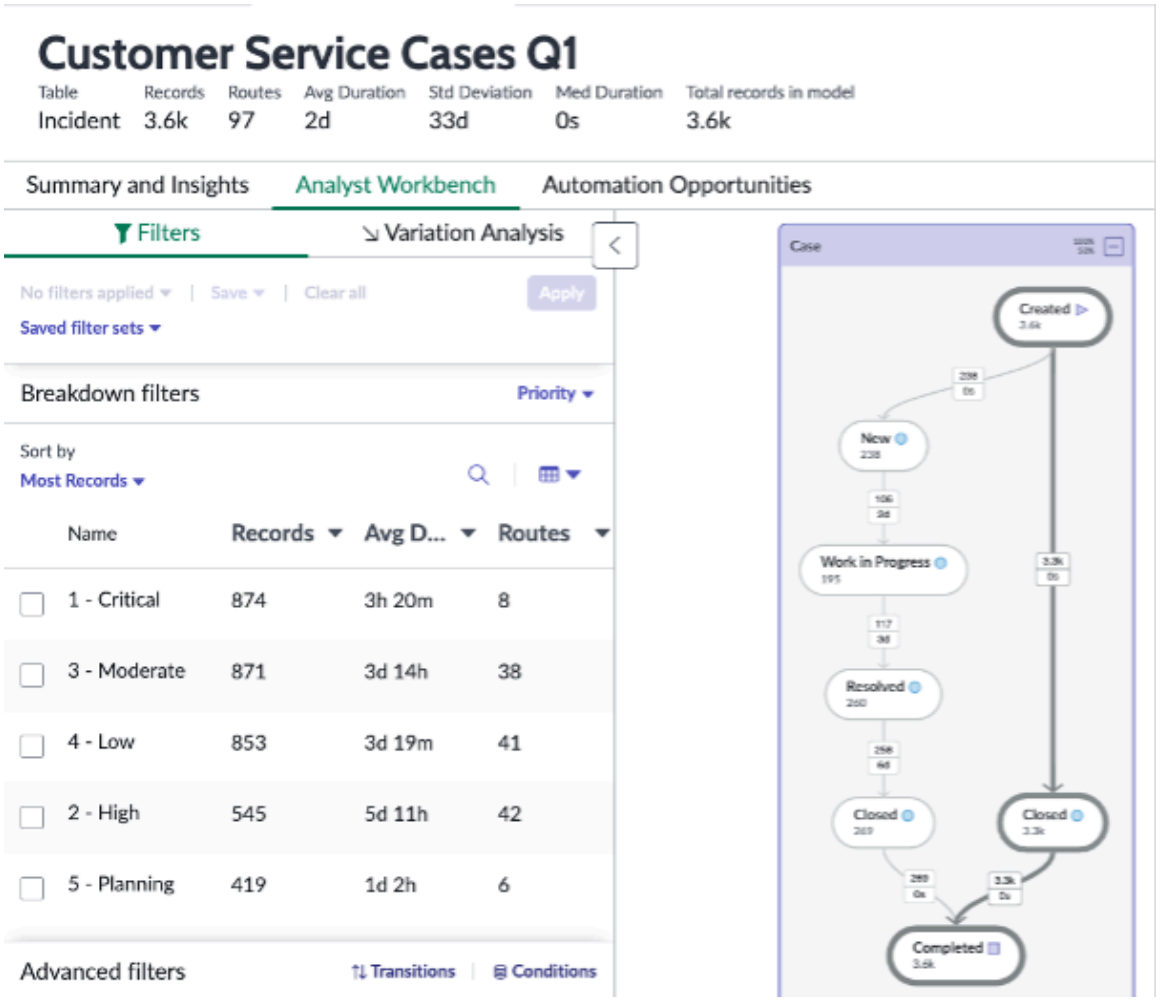
6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

   メモでは、エージェントと顧客間のメールトランザクションを改善するために、標準化されたテンプレートを使用することを提案します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタマーサービスケースの プロセスマイニング



関連情報

- プロセスインサイトの分析と取得
- のコンテンツパック カスタマーサービス管理 (CSM)

通信事業注文のコンテンツパック

プロセスマイニング Content Pack for 通信事業とメディア向け注文管理 を使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、通信事業注文に関連するボトルネックを特定できます。

通信事業のプロセスマイニングを有効にする方法については、「プロセスマイニングコンテンツパックのアクティブ化」を参照してください。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、Analyst Workbench を使用して、可視化されたプロセスワークフローデータや、電気通信注文に関連するデータを分析するためのツールにアクセスできます。詳細については、「プロセスマイニング ワークスペース」を参照してください。

プロセスマイニングアプリケーションを使用している通信事業アプリケーションに基づいて、次のロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 電気通信製品の注文の場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us
- 電気通信サービス注文の場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、および sn_process_optmization_power_user
- 電気通信リソース注文の場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、および sn_process_optmization_power_user
- 電気通信注文タスクの場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、および sn_process_optmization_power_user

通信事業アプリケーションの最適化プロジェクト

コンテンツパックは、次の 通信事業とメディア向け注文管理 アプリケーションエンティティのビルド済みプロセス最適化プロジェクト定義を追加します。

- 製品注文
- サービス注文
- リソース注文
- 注文タスク

ビルド済みプロジェクトに基づく新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

関連情報

プロセスマイニングの例通信事業

プロセスマイニングの例通信事業

電気通信注文のプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、あなたが通信サービスプロバイダーのプロセスアナリストであり、電気通信の注文に関連付けられている現在のプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。Analyst Workbench を使用して、電気通信製品の注文、サービス注文、リソース注文、注文タスクのプロジェクト定義のマイニングされたプロセスにアクセスできます。

電気通信プロジェクト定義の製品注文に対して次のワークフローを使用して、ケースプロセスフローを分析し、プロセスを改善する方法を提案できます。

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブで開きます。

   電気通信業界の顧客の注文が履行されるまでにかかった平均時間を確認できます。

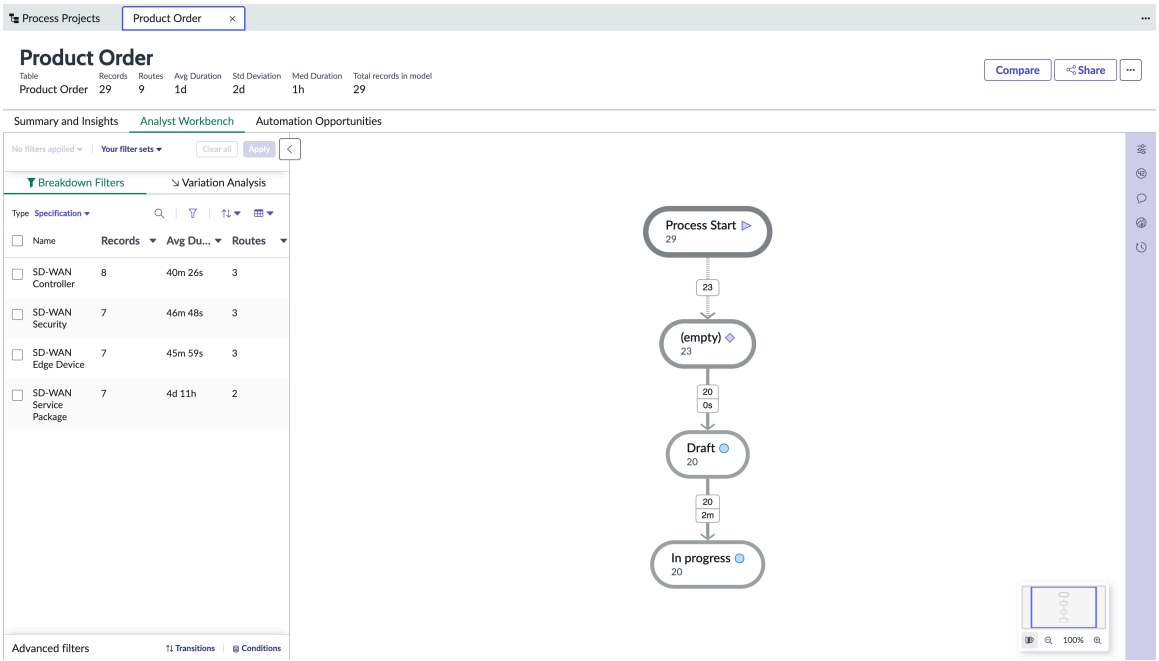
2. [プライマリメトリクス] と [セカンダリメトリクス] のリストをそれぞれ [一意の発生件数] と [平均期間] に設定して、プロセスマップのメトリクスを表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してプロセスマップを絞り込み、メトリクスの完全なリストを表示します。

   状況移行とその期間を確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [フィルター] タブで、カテゴリのブレークダウンフィルターリストを設定し、アクティビティ移行フィルターを使用してレコードを除外します。
5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケース数、平均期間、およびルートに関連するステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ上のルートがハイライト表示されます。
6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

プロセスマイニング 電気通信における製品注文の場合



関連情報

プロセスマイニング ワークスペース

プロセスインサイトの分析と取得

通信事業注文のコンテンツパック

のコンテンツパック **HR** サービスデリバリ **(HRSD)**

プロセスマイニング Content Pack for HR サービスデリバリ (HRSD) を使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

HRSD プロセスマイニング コンテンツパックの有効化の詳細については、「プロセスマイニングコンテンツパックのアクティブ化」を参照してください。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、Analyst Workbench を使用して、可視化されたプロセスワークフローデータや、カスタマーサービスケースに関連するデータの分析ツールにアクセスできます。詳細については、「アナリストワークベンチ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング アプリケーションを HR サービスデリバリ (HRSD) で使用するには、次のロールの組み合わせが必要です。

ロールの組み合わせ

プロセスマイニング ロール	HR サービスデリバリ (HRSD) ロール
sn_process_optimization_admin	sn_hr_core.admin
sn_process_optimization_power_user	sn_hr_core.case_writer
sn_process_optimization_analyst	sn_hr_core.basic

HR ケースの最適化プロジェクト

HRSD プロセスマイニング Content Pack (com.sn_hr_process_optimization) は、事前定義された HR サービスケースと、インストールされている場合はライフサイクルイベントケースのプロジェクト定義を含むビルド済みプロジェクトを追加します。デフォルトでは、プロジェクトは過去 2 四半期のケースをフィルタリングします。ビルド済みプロジェクトに基づいて新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

プロジェクト定義には、ケースのデフォルトのアクティビティ定義とブレークダウン定義が含まれており、そのまま使用することも、カスタム構成に変更することもできます。

- アクティビティ定義を使用して、対応中ステータスからソリューション提案ステータスに移行するケースなどの状況移行を把握し、問題 (PRB) レコードなどのリンクされたプロセスを分析します。
- ブレークダウン定義を使用して、レコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。たとえば、さまざまなチャネル、製品、アサイン先グループ、および場所でケースデータをフィルタリングできます。

HR ケースの 継続的改善管理 イニシアチブ

継続的改善管理 (CIM) アプリケーションが有効になっている場合は、Analyst Workbench から CIM プロジェクトを使用して、HR ケースの改善イニシアチブの進捗状況を追跡することもできます。改善イニシアチブと プロセスマイニング プロジェクトは自動的にリンクされます。詳細については、「継続的改善管理 との統合」を参照してください。

HR ケースの パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス (PA) アプリケーションが有効になっている場合は、利用可能なテンプレート構成を使用して、カスタマーサービスケースデータに基づく PA インジケーターから プロセスマイニング アプリケーションを開くこともできます。詳細については、次を参照してください。 統合: パフォーマンスアナリティクス.

プロセスマイニングの例HR サービスデリバリ (HRSD)

HR サービスのプロセスを分析するか、インストールされている場合はケース ライフサイクルイベント 、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、あなたがサービスデリバリの速度または品質を向上させたいと考えている HR オンボーディングプロセスアナリストで、現在のケースプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。Analyst Workbench を使用して、HR サービスのマイニングされたプロセスにアクセスし、インストールされている場合はケースのプロジェクト定義 ライフサイクルイベント ことができます。

次のワークフローを使用して、ケースプロセスフローを分析し、プロセスを改善する方法を提案できます。たとえば、標準的な HR サービスケースモデル定義の場合、次のことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブで開きます。

   [すべて **HR** サービス別] タブで、HR サービスケースレコードがクローズされるまでの時間を確認できます。

2. [プライマリメトリクス] リストと [セカンダリメトリクス] リストをそれぞれ [合計発生件数] と [平均期間] に設定して、プロセスマップのメトリクスを表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してプロセスマップを絞り込み、メトリクスの完全なリストを表示します。

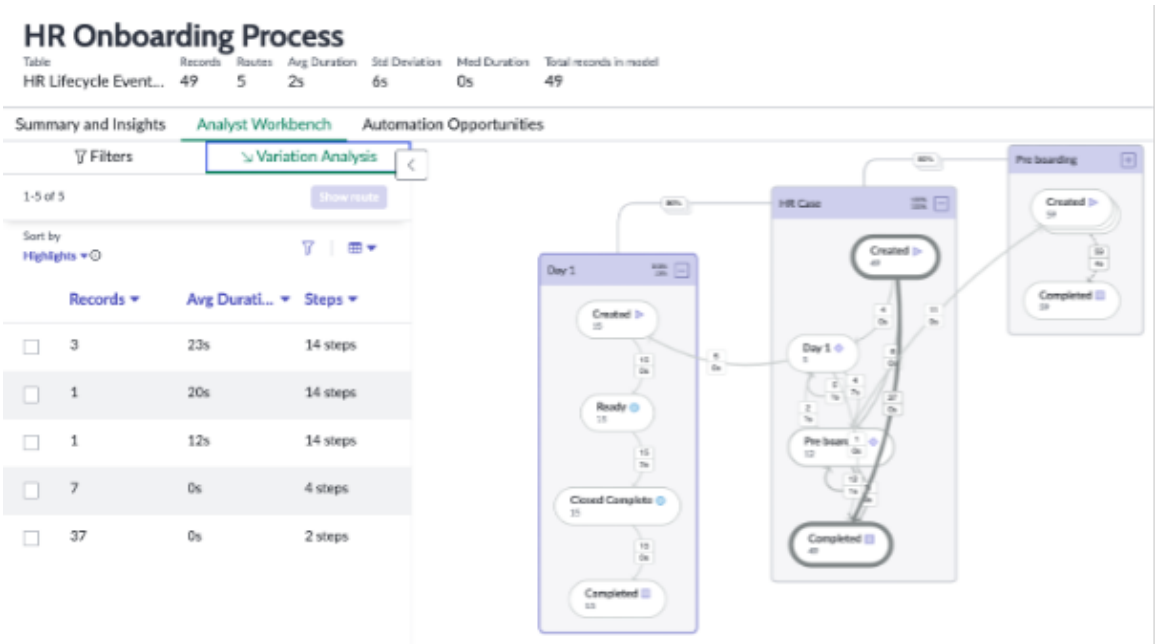
   状況移行とその期間を確認できます。

4. [ブレークダウン] タブで、カテゴリのブレークダウンフィルターリストを設定し、アクティビティ移行フィルターを使用してレコードを除外します。
5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケース数、平均期間、およびルートに関連するステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ上のルートがハイライト表示されます。

   注:
   1 つ以上のルートを適用すると、[ブレークダウンフィルター] タブに一覧表示されるブレークダウンには、それらのルートに適用可能なブレークダウンのみが表示されます。

6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

プロセスマイニング 標準の **HR** サービスケースの場合



FSM のコンテンツパックの例

作業指示タスクのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してワークフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

この例では、あなたは ACME 社のプロセスアナリストであり、作業指示タスクに関連付けられている現在のプロセスに関する分析を送信する必要があります。Analyst Workbench を使用して、 作業指示タスク プロジェクト定義のマイニングされたプロセスにアクセスします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

作業指示プロセスフローを分析し、次のワークフローを使用してプロセスを改善する方法を提案します。

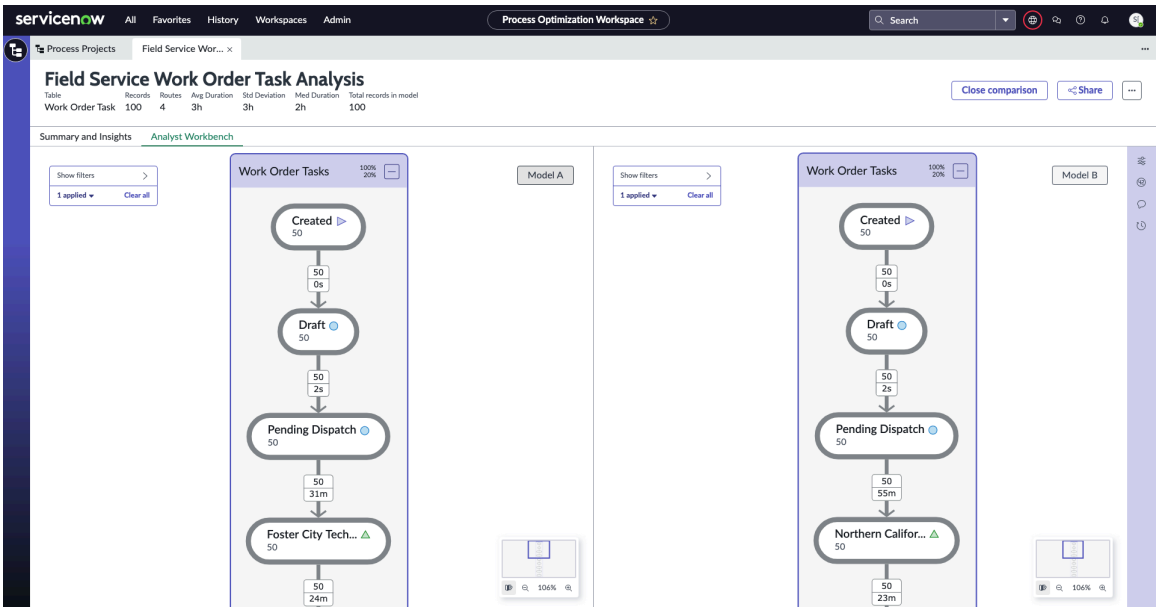
1. **[Analyst Workbench]** を選択します。Analyst Workbench が新しいタブに表示されます。
2. [**Breakdown filters** (ブレークダウンフィルター)] リストを [**Assignment group** (アサイン先グループ)] に設定し、[**Apply** (適用)] を選択して、プロセスマップ内のすべてのレコードのスタンドアロン分析を表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してプロセスマップを絞り込み、メトリクスの完全なリストを表示します。

   タスクのスケジューリングが遅れている理由を観察し、分析します。
4. データをフィルタリングしてレコードを表示するには、[Show records**>View** (レコードを表示)] を選択します。

   ほとんどのタスクがインストールに関連していることがわかります。
5. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

   メモでは、インストールタスクでディスパッチ時間が長くなった理由を確認することを提案しています。

プロセスマイニング フィールドサービス作業指示タスクの



関連情報

Process Mining for Field Service Management

プロセスマイニング の統合

継続的改善のライフサイクル全体を通じて プロセスマイニング を使用して、プロセスを一貫して正確に分析します。

アドミニストレーターは、プロセスマイニング を 継続的改善管理、パフォーマンスアナリティクス、ITSM、カスタマーサービス管理 (CSM)、ファイナンシャルサービスオペレーション などの他のServiceNowアプリケーションと統合できます。

改善の機会を見つけ、これらのステージを通じてプロセスの変更と進捗状況を監視します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. 特定: プロセスマイニング を使用して、現在のプロセスを積極的に評価し、改善の機会を見つけます。
2. 計画と実行:問題領域の根本原因を特定し、新しいタスクや不足している手順を明らかにします。
3. 対策:最新のプロセスデータを監視します。
4. 結果を表示する: プロセスを再分析し、測定可能な結果を示します。



自動翻訳

継続的改善管理 との統合

ServiceNow® 継続的改善管理 アプリケーションと統合すると、改善の機会を特定した後で要求を作成できます。

ServiceNow® 継続的改善管理 (CIM) アプリケーションとの統合により、プロセス改善関連のイニシアチブを要求および表示し、既存のイニシアチブにタスクを追加できます。

プロセスマイニング プラグイン (com.sn_po) は、プロセスマイニング アプリケーションと 継続的改善管理 アプリケーション間の統合を提供します。継続的改善管理 は、CIM (com.sn_cim) プラグインのアクティブ化と統合されます。

プロセスマイニングから:メモとスナップショットをタスクとして既存の CIM イニシアチブで共有します。プロセスマイニング から改善イニシアチブを作成すると、要求はプロセスマイニングプロジェクト内で作成されたメモに関連付けられ、プロセスマイニング KPI が改善イニシアチブに追加されます。

継続的改善管理から:CIM から プロセスマイニング アナリストワークベンチを起動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール

継続的改善管理 との統合では、プロセスマイニングロールにロールは追加されません。継続的改善管理機能を有効にするには、この機能を必要とするユーザーにagent_workspace_userロールを追加する必要があります。

関連情報

- を使用した 継続的改善管理 の例 プロセスマイニング
- 継続的改善管理
- Continual Improvement Management を要求する

CIM から プロセスマイニング を起動

CIM ワークベンチから プロセスマイニング を起動して、既存のプロセスを分析し、改善の新たな機会を見つけます。

始める前に
必要なロール:improvement_manager

継続的改善管理 プラグイン (com.sn_cim) と プロセスマイニング プラグイン (com.sn_po) をアクティブ化します。

手順

次のいずれかの方法で、 プロセスマイニング ワークベンチに移動します。

を使用した 継続的改善管理 の例 プロセスマイニング

改善要求を作成または追跡する方法を理解します。

改善マネージャーは、 継続的改善管理 ワークベンチダッシュボードを毎日使用して、運用作業と進行中のイニシアチブを表示します。インシデントプロセスを最適化し、平均解決時間 (MTTR) を短縮するオープンなイニシアチブがある。

イニシアチブフォームから、[プロセスマイニングに移動] を選択します。このアクションにより、プロセスマイニング アナリストワークベンチで生成されたプロジェクトに移動し、過去 3 か月間にクローズされたケースが表示されます。

プロセスマイニングとの統合により、継続的改善をルーチンの一部にする

ベンチマーク との統合

ITSM ベンチマーク と統合すると、KPI に関連するプロセスを分析し、関連するインシデントを作成および表示できます。

関連情報

- を使用した ベンチマーク の例 プロセスマイニング
- のコンテンツパック ITSM

ベンチマークダッシュボードからプロセスマイニングを起動

ベンチマークダッシュボードからプロセスマイニングを起動して、低パフォーマンスの KPI に関連するプロセスを分析します。

始める前に
必要なロール:sn_bm_client.benchmark_recommendation_viewer

プロセスマイニング プラグイン (com.sn_po) を有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Benchmarks** (ベンチマーク) > ダッシュボード.
2. [プロセスマイニングに移動] アイコン ([ ]) を選択します。

> **注:**
> KPI で必要なプロセスモデルが利用できない場合は、ダッシュボードによって自動的に作成されます。

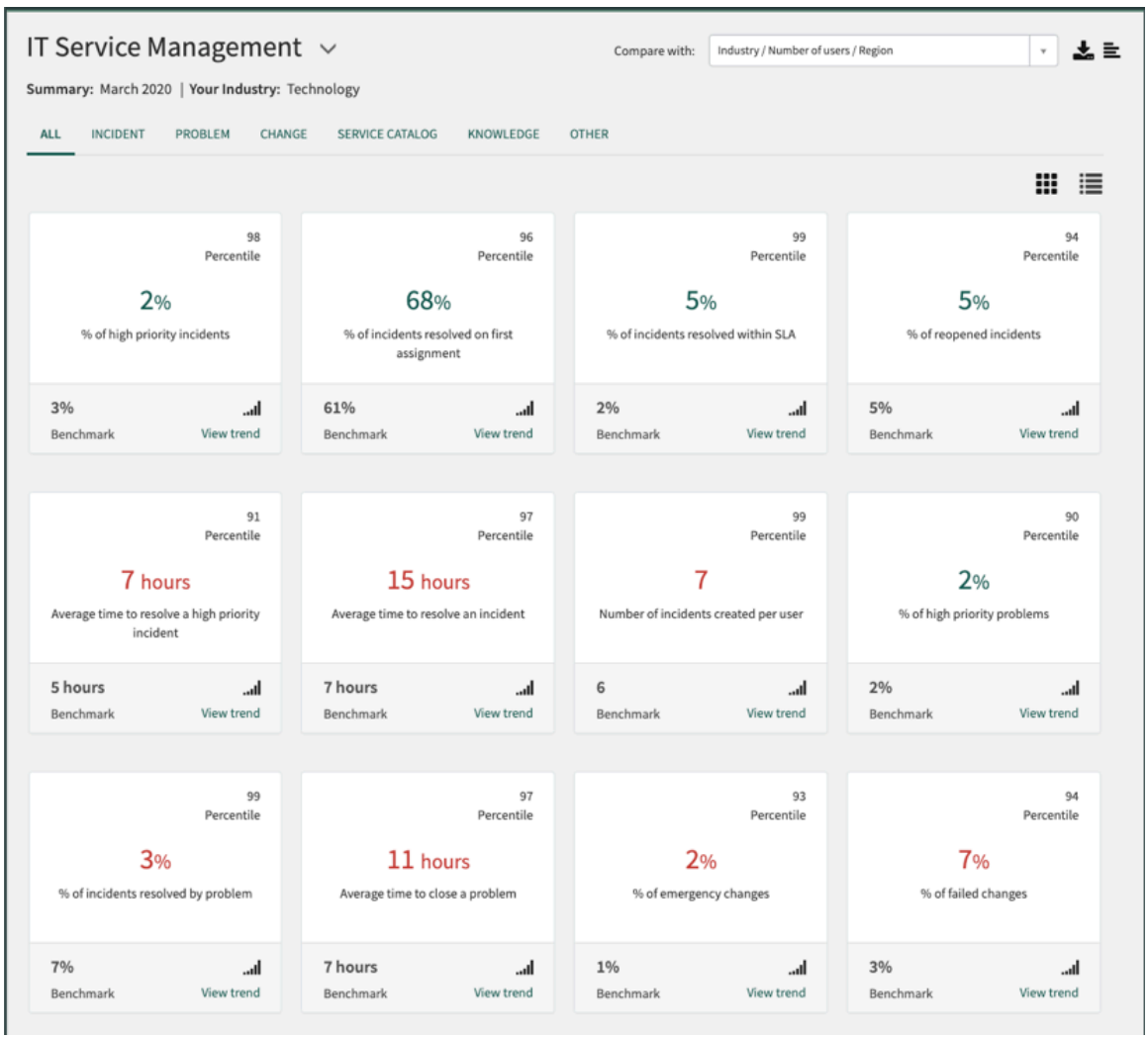
を使用した ベンチマーク の例 プロセスマイニング

KPI に関連するプロセスを分析する方法を理解します。関連インシデントのステータスを作成または表示します。

特定、分析、実施: Now Platform でプロセスマイニング簡素化

IT アナリストが月次 ベンチマーク レポートを確認します。彼らは、「高優先度インシデントの MTTR」KPI のパフォーマンスが同業他社と比較してマイナスであることに気付きました。CIO はその理由を理解したいと考えています。

アナリストは、ベンチマーク KPI から [プロセスマイニングに移動] アイコンを選択します。このアクションにより、新しいタブの プロセスマイニング アナリストワークベンチに移動します。改善が必要な領域をすぐに発見し、CIM イニシアチブを送信します。CIM イニシアチブが完了すると、 ベンチマーク 業界の同業他社比較表で改善を確認できます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターデータソース (PA) との統合

プラットフォームアナリティクスインジケーターデータソースでプロセスマイニングを使用すると、インジケーターからデータ抽出を実行し、解決時間などの KPI に関連付けられたプロセスを分析できます。

プロセスマイニング プラグイン (com.sn_po) は、プロセスマイニング データソースとインジケーターデータソースの統合を提供します。統合は、 プロセスマイニング プラグインを有効にすると自動的に行われます。その後、インジケーターの KPI 詳細 から プロセスマイニング ワークベンチを開くことができます。

プロセスマイニング プラグインは、次のテーブルを使用するインジケーターソースのテンプレート構成を提供します。

- カスタマーサービスケース [sn_customerservice_case]
- Incident [incident]
- 問題 [problem]
- 変更 [change]
- 要求アイテム [sc_req_item]

他のテーブルに基づくインジケーターをサポートするには、それらのテーブルのテンプレートを作成します。詳細については、「テーブル構成の設定」を参照してください。

注:

- プロセスマイニング は自動インジケーターのみをサポートします。式インジケーターの KPI 詳細 から、 プロセスマイニングを開くことはできますが、式内の貢献している自動インジケーターの 1 つを選択する必要があります。
- プロセスマイニング は、データベースビューに基づくインジケーターソースをサポートしていません。

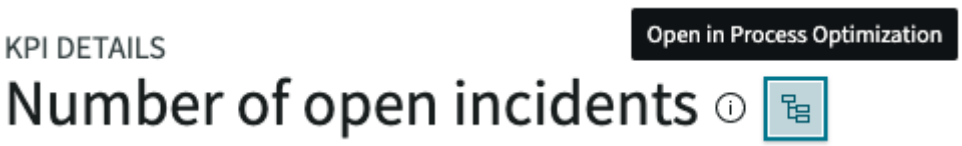
ロール

インジケーターと統合しても、 プロセスマイニング ロールにロールは追加されません。統合機能を有効にするには、この機能を必要とする プロセスマイニング ユーザーに PA ビューアーロール (pa_viewer) を追加する必要があります。同様に、インジケーターを管理し、プロセスマイニング機能を必要とするユーザーには、適切なプロセスマイニングロールを追加します。

起動して使用する プロセスマイニング

インジケーターと統合すると、 KPI 詳細 メニューに [データの抽出] オプションが追加されます。ユーザーは次のことができます。

- KPI 詳細から特定のインジケーターのプロセスマイニングを開きます。



- パフォーマンスアナリティクスインジケーターからのデータ抽出をスケジュールします。

インジケーターのデータ抽出を開始すると、抽出の進捗状況が表示されます。完了すると、 プロセスマイニング アナリストワークベンチからプロジェクトを表示できます。同じインジケーター設定で別の日付に後で抽出を開始すると、作成された新しい PA プロジェクトが プロセスマイニング > プロジェクト > **PA** プロジェクト 少し特別なマジックを 適用します

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

を使用したインジケーターの例 プロセスマイニング

KPI 詳細を含むインジケーターの探索

を使用したインジケーターの例 プロセスマイニング

インシデント、問題、変更、カスタマーサービスケース、または要求プロセスデータに基づいて、インジケーターからデータを抽出する方法を理解します。

プロセスアナリストがダッシュボードを表示し、[Number of resolved incidents (解決済みインシデントの数)] インジケーターが過去 2 か月間で減少していることを確認したとします。この種のメトリクスが低下すると顧客満足度が低下し、ビジネスコストが増加することを理解している。数値を詳しく調べるには、インジケーターの KPI 詳細 を開きます。

KPI 詳細 解決済みインシデントの数インジケーター



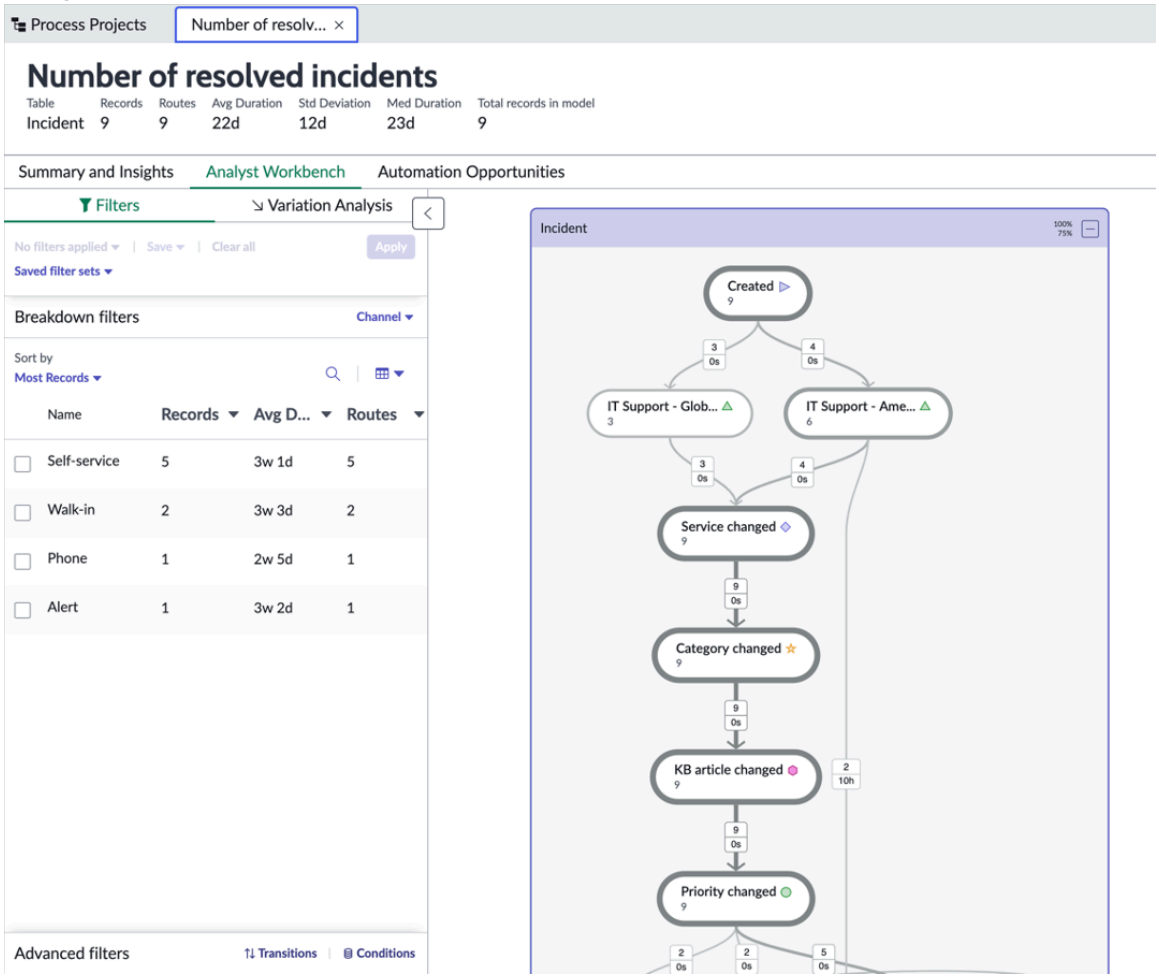
KPI 詳細 の多くの分析ツールの中で、プロセスマイニングワークベンチを開く機能があります。プロセスマイニングすることで、このインシデントの増加を解決できる場合があります。

[プロセスマイニングで開く] アイコンを選択します。

このアクションにより、インジケーターのコンテキストでプロセスマップが自動的に作成されます。プロセスマイニング アナリストワークベンチに移動して、根本原因を調査します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Analyst Workbench の [解決済みインシデントの数] インジケーター



関連情報

インジケーターデータソース (PA) との統合

オートメーションディスカバリーとの統合

プロセスマイニング内からオートメーションディスカバリーを実行します。

使用方法の概要

Automation Discovery はレコードを分析して、自動化の機会を特定するのに役立ちます。

アプリを使用すると、構築済みの分類に対して指定されたレコードのデータセットを分析する検出レポートを実行できます。このプロジェクトでは、180 件を超える自動化の機会をレコードから特定します。機会は、システムがユーザーのクエリに自動的に応答できるインテントと考えてください。

レポートは、自動化の予測される機会別にレコードをグループ化します。未分類のレコードの場合、レポートはレコードを関連するクラスターにグループ化します。

仮想エージェント などのアプリケーションの場合、オートメーションディスカバリー は、回避と迅速なインシデント解決につながる自動化機会の実装に役立ちます。

オートメーションディスカバリーの詳細については、「 オートメーションディスカバリー」を参照してください。

オートメーションディスカバリーの構成

オートメーションディスカバリーは、レコードを分析し、自動化の機会を特定するのに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

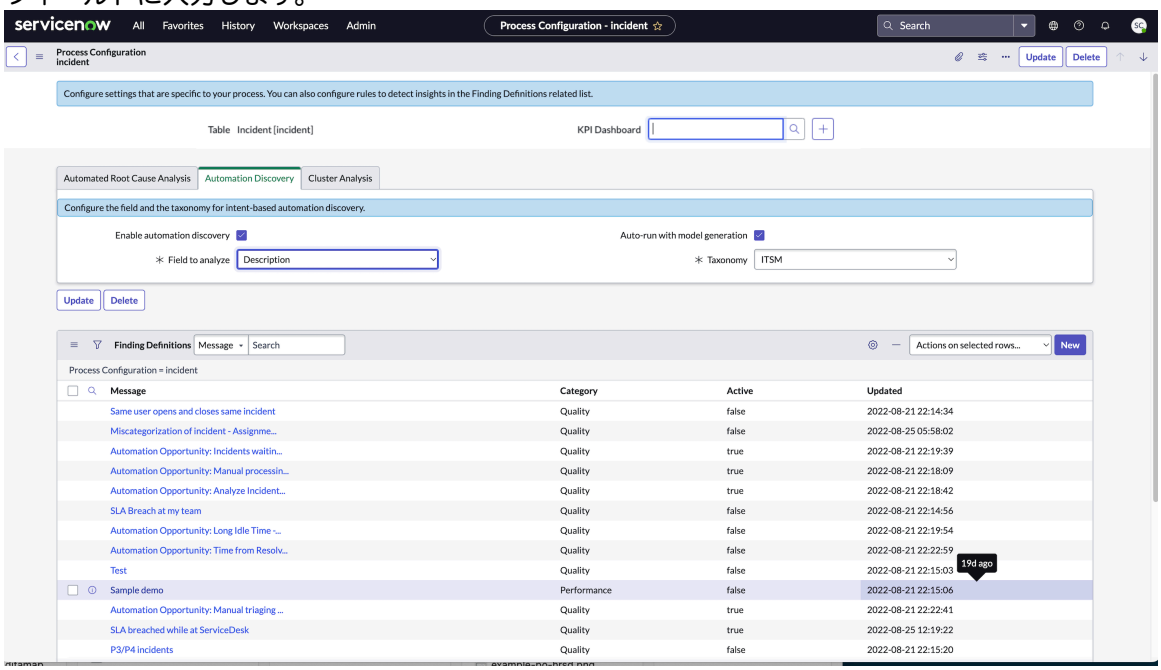
自動翻訳

始める前に
構成する前に、オートメーションディスカバリーアプリケーション (sn_auto_discovery) をインストールする必要があります。詳細については、「オートメーションディスカバリーのインストール」を参照してください。

必要なロール：administrator

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. インシデントテーブル [incident] を選択します。
3. オプション: [**KPI** ダッシュボード] フィールドを使用して、このプロセス構成に関連付ける KPI ダッシュボードを選択します。
4. [オートメーションディスカバリー] タブに移動します。
5. [オートメーションディスカバリーを有効にする] と [モデル生成による自動実行] を選択し、必須フィールドに入力します。



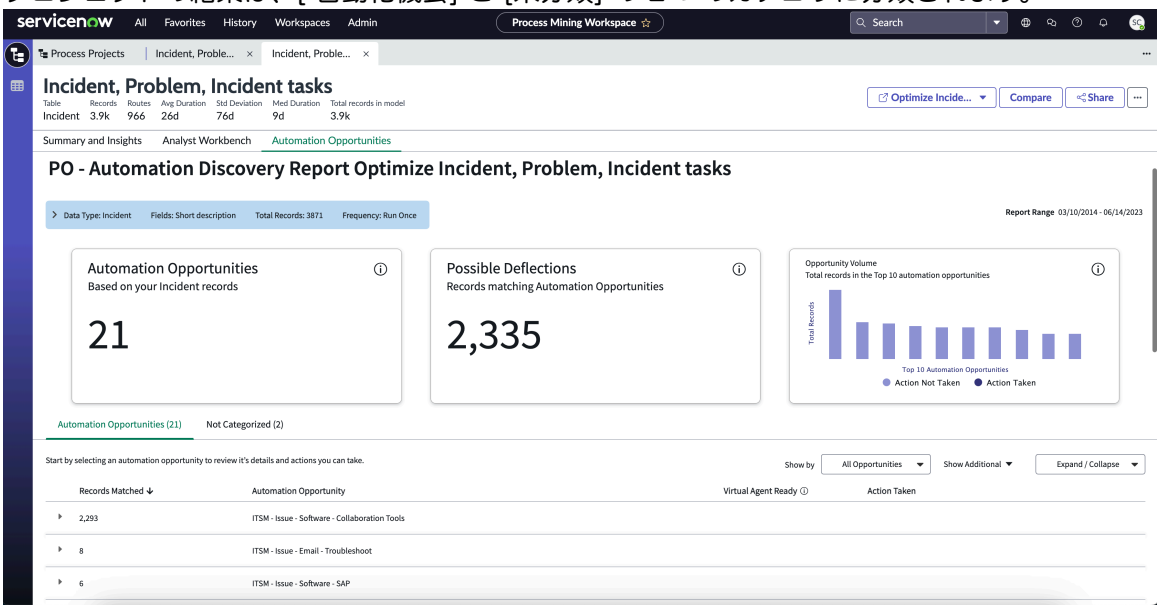
両方のオプションが選択されている場合、プロジェクトではモデル生成による自動ディスカバリーが実行されます。

6. [更新] を選択します。
7. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
   [プロセスマイニング ワークスペース] ページが開きます。
8. プロジェクトを開き、[自動化機会] を選択します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

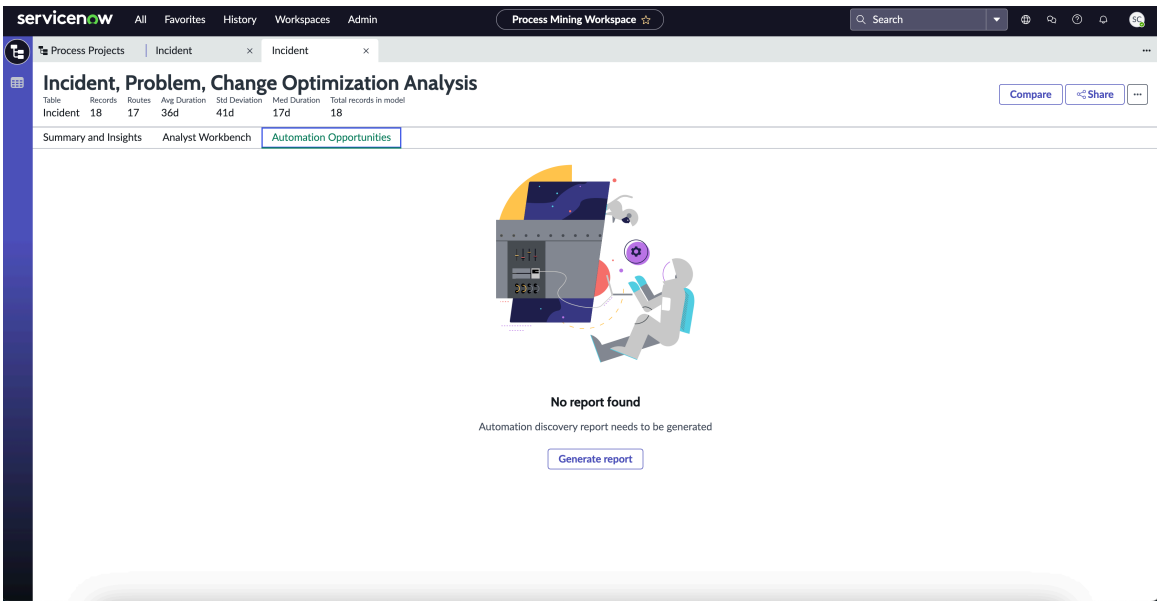
プロジェクトの結果は、[自動化機会] と [未分類] の 2 つのカテゴリに分類されます。



9. 追加情報のレコードを選択します。

[プロセスマップを開く] をポイントして、追加のマイニングをトリガーします。

[オートメーションディスカバリーを有効にする] または [モデル生成による自動実行] を選択しない場合、自動化機会は表示されません。**Analyst Workbench** から、[レポートを生成] を選択してレポートを作成します。



必須フィールドに入力してレポートを作成します。

オートメーションセンター との統合

オートメーションセンター との統合により、オートメーションセンターワークスペースから自動化要求にアクセスできます。

プロセスマイニングから、オートメーションセンターワークスペースに表示する自動化要求を作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化アイデアの送信

オートメーションセンターワークスペースを使用して、さまざまなソースからの自動化要求を検出、優先順位付け、および管理します。

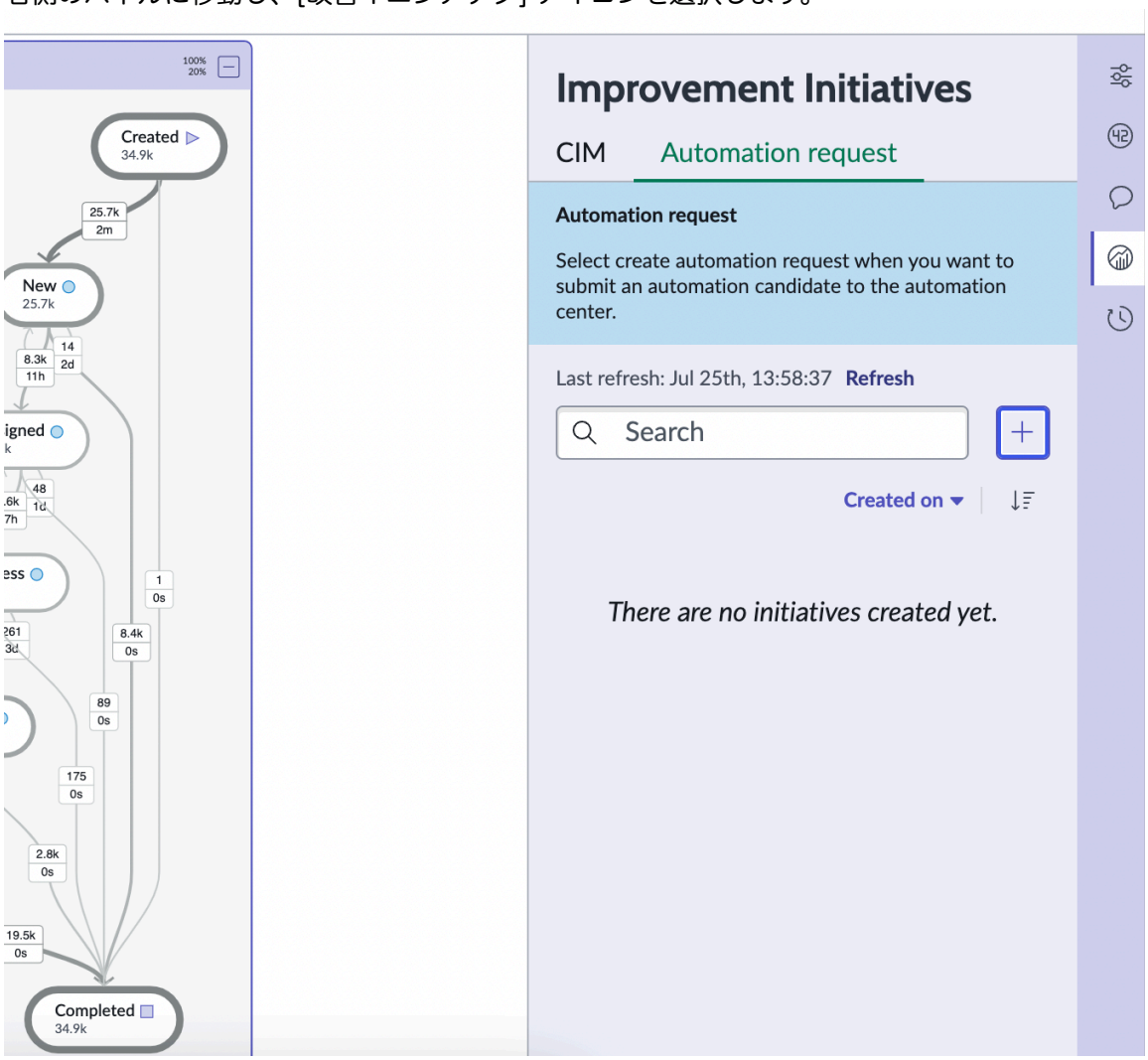
始める前に

構成する前に、Automation Center プラグインをインストールして構成する必要があります。詳細については、「Install Automation Center」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
   オートメーションセンター機能は、[サマリーとインサイト] または [アナリストワークベンチ] タブに表示されます。
3. 右側のパネルに移動し、[改善イニシアチブ] アイコンを選択します。

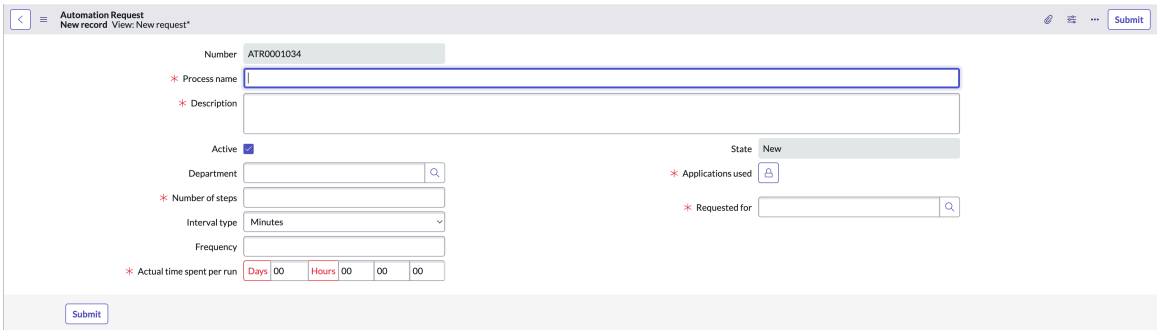


4. プラス記号を選択して自動化アイデアを作成します。
   新しい [自動化要求] ページが開きます。

自動翻訳

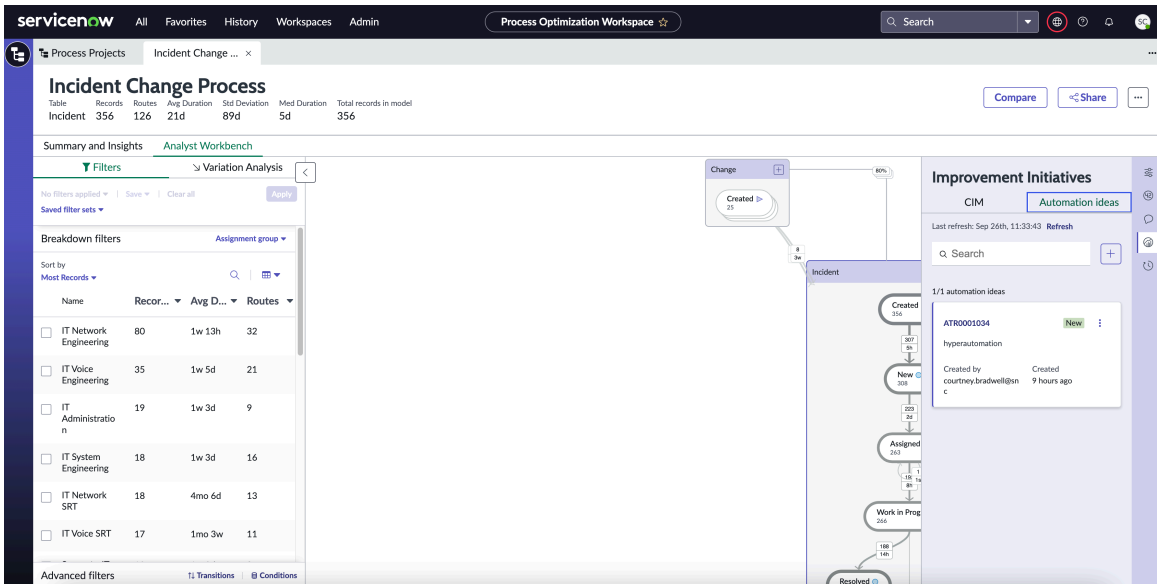
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 要求の必須フィールドに入力し、[送信] を選択します。



詳細については、「Automation request form from Automation Center」を参照してください。

タスクの結果
新しい要求が [改善イニシアチブ] パネルに表示されます。



プロセスマイニングの構成

アドミニストレーターは、アナリストとマネージャーがアナリストワークベンチにアクセスし、プロジェクトを作成および管理できるように プロセスマイニング を設定できます。

注:
プロセスマイニング は、インスタンスに 予測インテリジェンス が設定されている場合にのみ、オンプレミスインスタンスでサポートされます。セルフホスト環境の詳細については、KB 記事 KB0782052 を参照してください。

プロセスマイニング を設定するには：

- プロセスマイニング (com.sn_po) プラグインをアクティブ化します。
- ロールを割り当てて、ユーザーがアプリケーションナビゲーターからプロジェクトを作成したり、Analyst Workbench からプロジェクトを表示または管理したりできるようにします。
- (オプション) プロセスマイニング を他のアプリケーション (ITSM、カスタマーサービス管理 (CSM)、カスタマーサービス管理 ファイナンシャルサービスオペレーション(CSM) など) と統合する場合は、それぞれのコンテンツパックを有効にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメインセパレーションがサポートされている

このアプリケーションはドメインセパレーションをサポートしています。詳細については、「ドメインセパレーションと プロセスマイニング」を参照してください。

アクセス制御

プロジェクトを生成または共有するとき、 プロセスマイニング はテーブルのアクセス制御ルール (ACL) に従います。

プロジェクトを生成する際、 プロセスマイニング はプロジェクトがレポートするテーブルの ACL を優先し、監査テーブルの ACL を無視します。promin_viewer ロールを持つユーザーには読み取り専用アクセス権があります。

プロジェクトを共有する場合:

- Analyst Workbench 内のすべての表示データは、プロジェクトへのアクセス権を持つすべてのユーザーに表示されます。
- すべてのマイニング操作は、プロジェクト作成者の [sys_created_by] アクセス権に従って実行されます。これには、より高い権限レベルを持つロールによって実行されるマイニングも含まれるため、マイニングされるデータが少なくなる可能性があります。

[Summary and Insights (サマリーとインサイト)] ページ:

- KPI は、関連する KPI にアクセスするために必要な権限を持つすべてのユーザーに表示されます。
- インサイトは、プロジェクトにアクセスできるすべてのユーザーに表示されます。

プロセスマイニング データのクリーンアップ

プロセスマイニングプロパティページには、プロセスマイニングの構成オプションが表示されます。

データクリーンアッププロパティ

スケジュールされたクリーンアップ ジョブによって削除されるまで パフォーマンスアナリティクス プロジェクトを維持する期間を決定するプロパティを設定します。

これらのプロパティはプロセスマイニングで利用可能です。

プロセスマイニングデータクリーンアップのプロパティ

プロパティ	**Description** (説明)
最終更新日から PA プロジェクト (プロジェクト定義) を保持する日数を定義します **promin.persist.pa_model**	パフォーマンスアナリティクス (PA) プロジェクトが最後に更新された日から保持される日数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 30 (日) • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ
非アクティブな**promin.auto_retire_days**のためにプロジェクトを廃止する日数を定義します	プロジェクトが廃止されるまでの非アクティブな日数を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニングデータクリーンアップのプロパティ (続く)

プロパティ	**Description** (説明)
	• タイプ：整数 • デフォルト値:90 (日) • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ
廃止されたプロジェクトをクリーンアップする日数の定義 **promin.auto_clean_days**	廃止後、プロジェクトがクリーンアップされるまでの日数を設定します。ただし、プロジェクト構成は保持されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値:90 (日) • 場所：プロセスマイニング システム プロパティ

関連情報

を使用したインジケーターの例 プロセスマイニング

バージョンクリーンアップのジョブをスケジュール

スケジュール済みスクリプト **ProminVersionCleanup** を実行して、古いバックアップバージョンを削除し、クラスター分析レコードをクリーンアップするジョブをスケジュールします。

始める前に

必要なロール：administrator

このタスクについて

プロジェクトを再生成すると、 **ProminVersionCleanup** ジョブによって、キャッシュされた古い統計が削除されます。古い統計は以前のバージョンに移動され、更新されたプロジェクトに対して新しいバージョンが作成されます。

プロジェクトを再生成または削除すると、このジョブはクラスター分析中に作成されたレコードを消去します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > バックグラウンドジョブ.
2. スケジュール済みジョブ **ProminVersionCleanup** を選択します。
3. 以下をオンまたは設定します。

   a. [アクティブ] チェックボックスをオンにします。

   b. [実行] フィールドが [日次] になっているかどうかを確認します。

   c. 時間を時間単位で設定します。

4. [今すぐ実行] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
バックアップバージョンとクラスターレコードのクリーンアップは毎日実行されます。

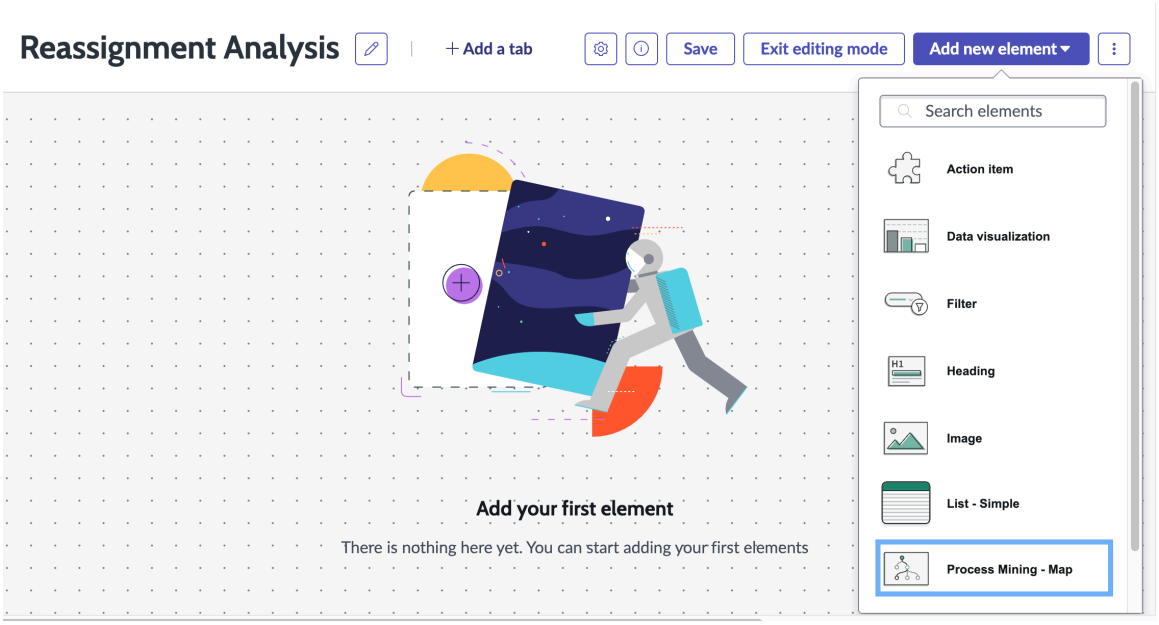
PAR ダッシュボードで プロセスマイニング マップを構成

PAR ダッシュボードにプロセスグラフを表示する プロセスマイニング マップを構成します。

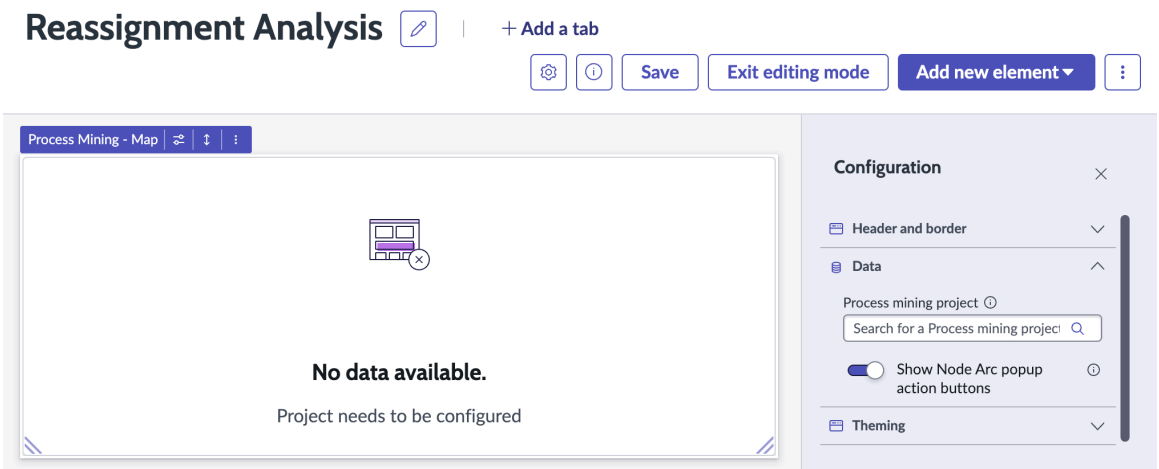
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. PAR ダッシュボードに移動します。
2. プロセスマイニングマップを構成します。
   a. [新しい要素を追加] を選択します。
   b. リストから [プロセスマイニング - マップ] を選択します。



3. マップの プロセスマイニング プロジェクトを構成します。
   a. [構成] 領域の [プロセスマイニングプロジェクト] リストからプロセスマイニングプロジェクトを選択します。

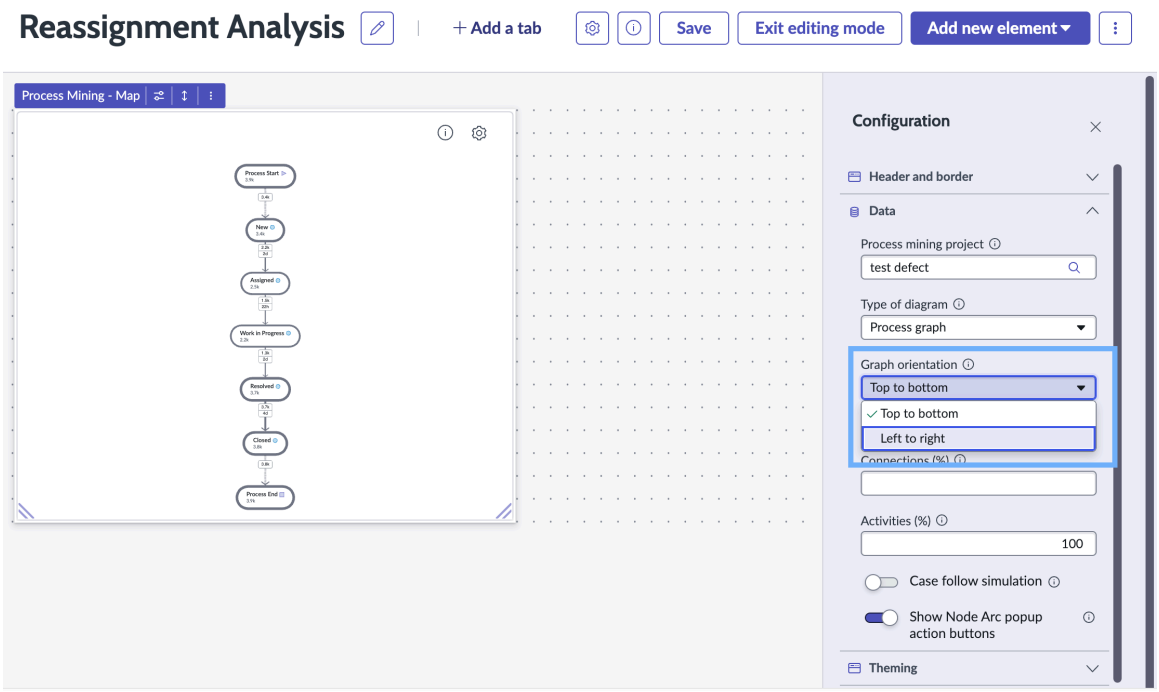


4. グラフ内にあるノードの現在のプロジェクトワークベンチに設定されたプロセスグラフのアウトラインの向きをカスタマイズします。

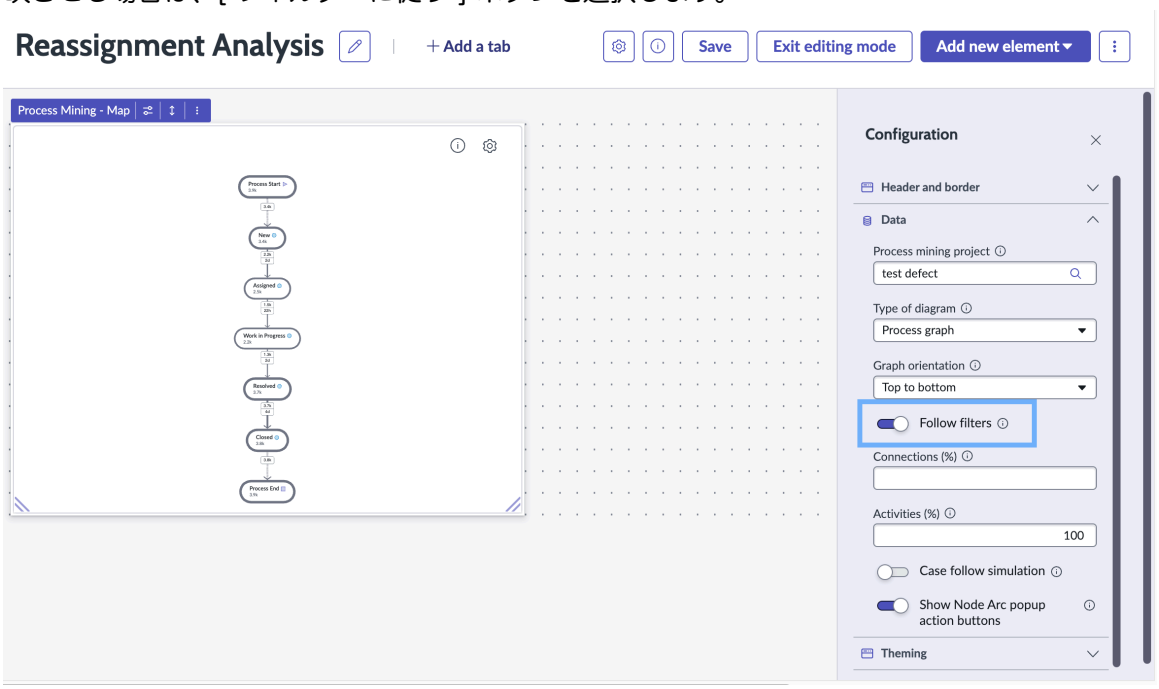
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

たとえば、垂直方向のウィジェットを使用する場合、グラフと星形図を水平レイアウトではなく垂直レイアウトで表示したい場合があります。



5. ダッシュボードでフィルターを構成し、適用されたフィルターを プロセスマイニング マップに反映させる場合は、[フィルターに従う] ボタンを選択します。

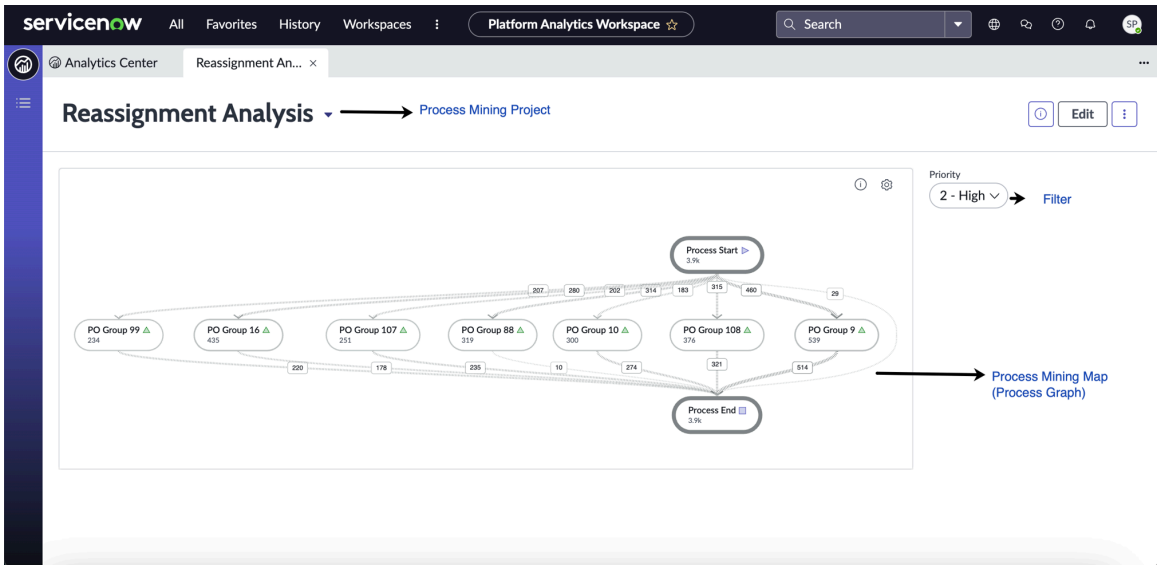


6. [保存して編集モードを終了] を選択します。

タスクの結果
プロセスマイニングマップは PAR ダッシュボードで使用できます。

自動翻訳

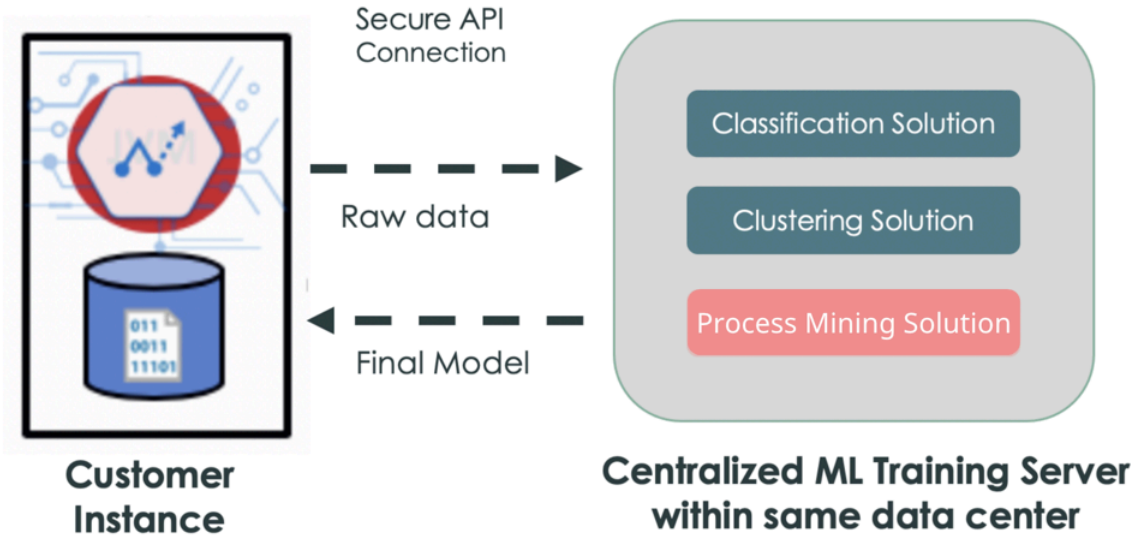
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロセスマイニング アーキテクチャ

プロセスマイニングアーキテクチャの基本属性を理解します。

- プロセスマイニングマイニングエンジンは、プロジェクト設定に基づいて監査履歴からデータを抽出します。その後、データファイルは集中トレーニングサーバー(ServiceNow® 予測インテリジェンス) を同じデータセンター内に挿入します。一元化されたトレーニングサーバーにより、新しいメトリックの高度なコンピューティングが可能になります。一元化されたサーバーは、インスタンスにパフォーマンス負荷をかけることなく、スケーラビリティのためにより多くのデータをサポートします。
- プロセスマイニングプロジェクトの準備が整うと、トレーニングサーバーは最終プロジェクトをインスタンスに送り返し、サーバーからすべてのプロジェクトデータを削除します。データは、セキュリティで保護され暗号化された API を使用して転送されます。
- プロジェクトの最新バージョンは、インスタンスの Analyst Workbench UI で可視化されます。



関連情報

予測インテリジェンス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング の使用

最適化するプロセスを選択し、プロセスデータを生成して、可視化された実用的なインサイトを取得します。

冗長性の排除、変更の予測、ワークフローの合理化などの分野でビジネスプロセスの改善を目指す場合、 プロセスマイニング はこれらの目標の達成を支援します。 プロセスマイニング は、エンドツーエンドの可視化の確保、リスクの軽減、市場コンプライアンスの維持などに役立ちます。

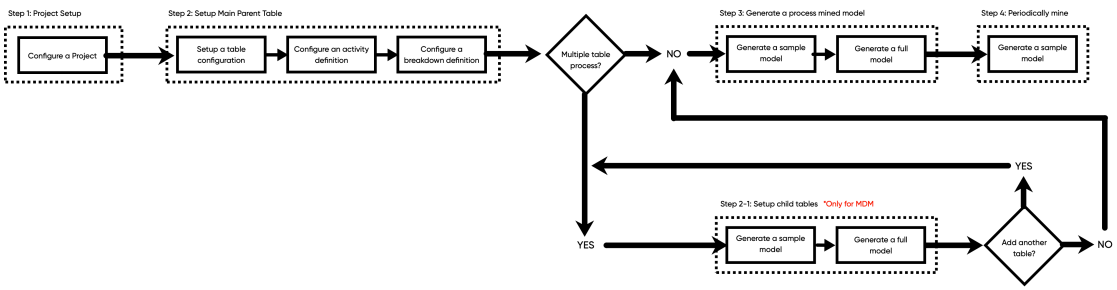
実装の計画

プロセスマイニング工数を最大化するために、次の手順を計画します。

- 特定:最適化が必要な問題のあるプロセス領域を特定します。
- 視覚化: プロセスに含める必要がある重要な要素を特定します。目標、開始と終了、アクティビティ、およびプロセスに含める必要があるユーザーを理解します。
- 分析:最適化のために領域を分析して、目的の目標を満たさない場所と理由を特定します。
- 最適化:プロセスに重要でないステップを削除します。
- 監視:プロセスのパフォーマンスを継続的に監視し、領域が目的の目標を達成するまで改善します。

プロセスマイニング ワークフロー

次のフローチャートは、 プロセスマイニングプロジェクトを設定するために使用する手順を示しています。これらの手順の一部はオプションであるか、多次元マイニング機能を利用するかどうかによって異なります。



テーブルのプロセス構成レコードの作成

インスタンスからテーブルを使用するたびに同じデフォルト構成を使用するように、テーブルのプロセス構成を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス構成フォーム

フィールド	説明
テーブル	構成を作成するテーブルを選択します。
KPI ダッシュボード	KPI ダッシュボードを選択します。
自動化された根本原因分析	自動根本原因分析を設定する場合に選択します。詳細については、「自動化された根本原因分析」を参照してください。
オートメーションディスカバリー	オートメーションディスカバリーを設定する場合に選択します。詳細については、「オートメーションディスカバリーの構成」を参照してください。
クラスター分析	クラスター分析を設定する場合に選択します。詳細については、「クラスター分析」を参照してください。
検索定義	ルールベースの改善の機会をクラシックビューまたは検索ビルダーから設定する場合に選択します。 詳細については、「プロセステーブルの改善の機会を設定する」を参照してください。
自動検索定義	クラシックビューまたは検索ビルダーから自動改善の機会を設定する場合に選択します。 詳細については、「プロセステーブルの改善の機会を設定する」を参照してください。

4. [更新] を選択します。

プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

プロジェクトビルダーを使用してプロジェクトを作成およびマイニングし、ビジネスプロセスを分析および最適化します。テンプレートを作成して、同じプロジェクト条件を複数回使用する場合に再利用します。プロジェクトビルダーでは、プロセス全体が 3 つのセクションと概要に分割され、タスクをより簡単かつ効率的に行うことができます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

プロジェクトをマイニングするには、プロジェクトの親テーブルの 監査ログ が有効になっていることを確認します。

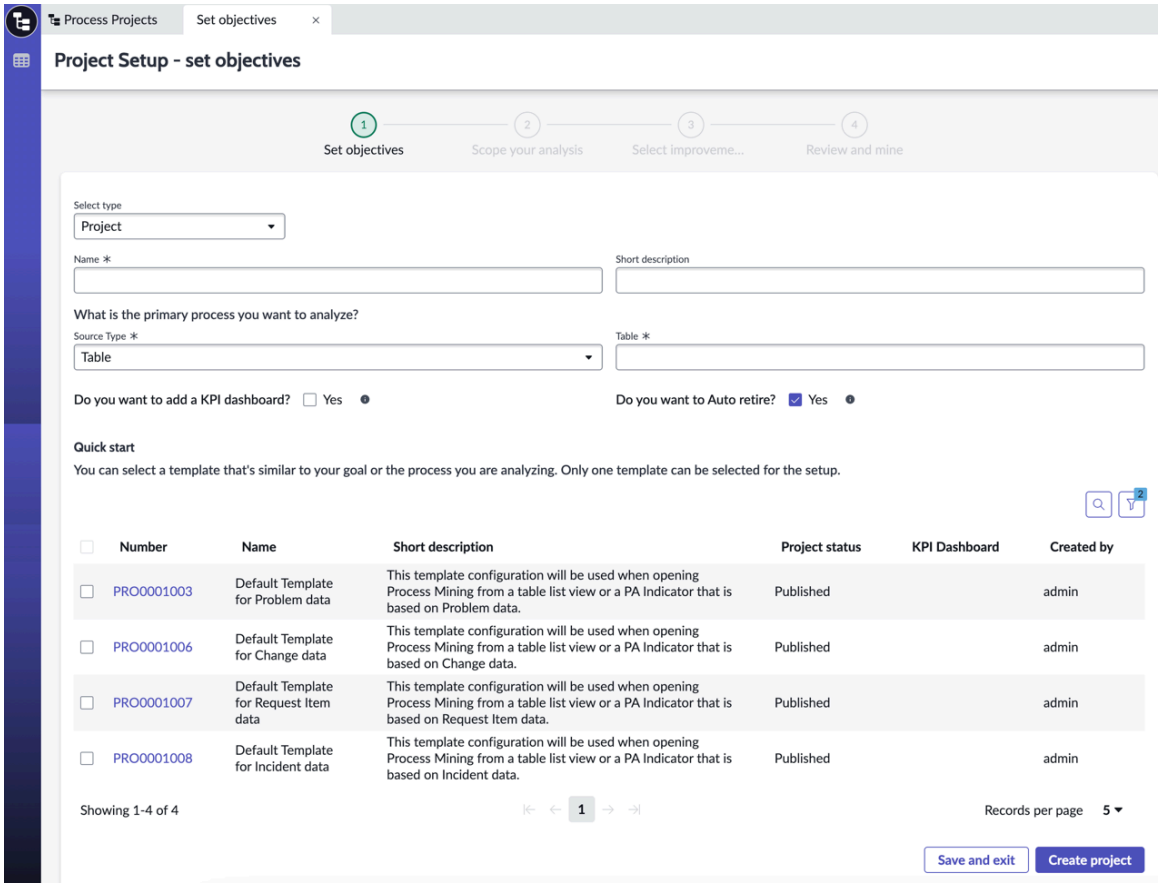
手順

1. [ワークスペース] > [プロセスマイニングワークスペース] に移動します。
2. 右上隅にある [新しいプロジェクトの作成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プロジェクトのセットアップ] ページが表示されます。



次のタスク
次のステップを実行します。

目標の設定

グラフで表示および分析するデータまたはプロセスの種類を定義します。分析するデータを含む特定のテーブル (親テーブル) を選択する必要があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. [新しいプロジェクトの作成] を選択すると、 [目標の設定] タブに移動します。
2. 次の詳細を入力します。
3. [プロジェクトの作成] を選択します。
   [分析のスコーピング] タブが表示されます。
4. オプション: テンプレートを選択してプロジェクトを作成することもできます。
   既存のテンプレートを選択した場合は、テンプレートを選択した後、[レビューとマイニング **(Review and Mine**)] ページに移動します。

分析のスコーピング

グラフに表示するデータを定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データを表示するテーブルを選択しました。おそらく、データの 1 つの側面に焦点を当てる必要があります。グラフに表示するデータのみを表示するフィルターによって、プロジェクトの範囲が設定されます。

次のセクションで詳細について説明します。

フィルター条件を設定

分析の範囲を制限するフィルター条件を設定します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

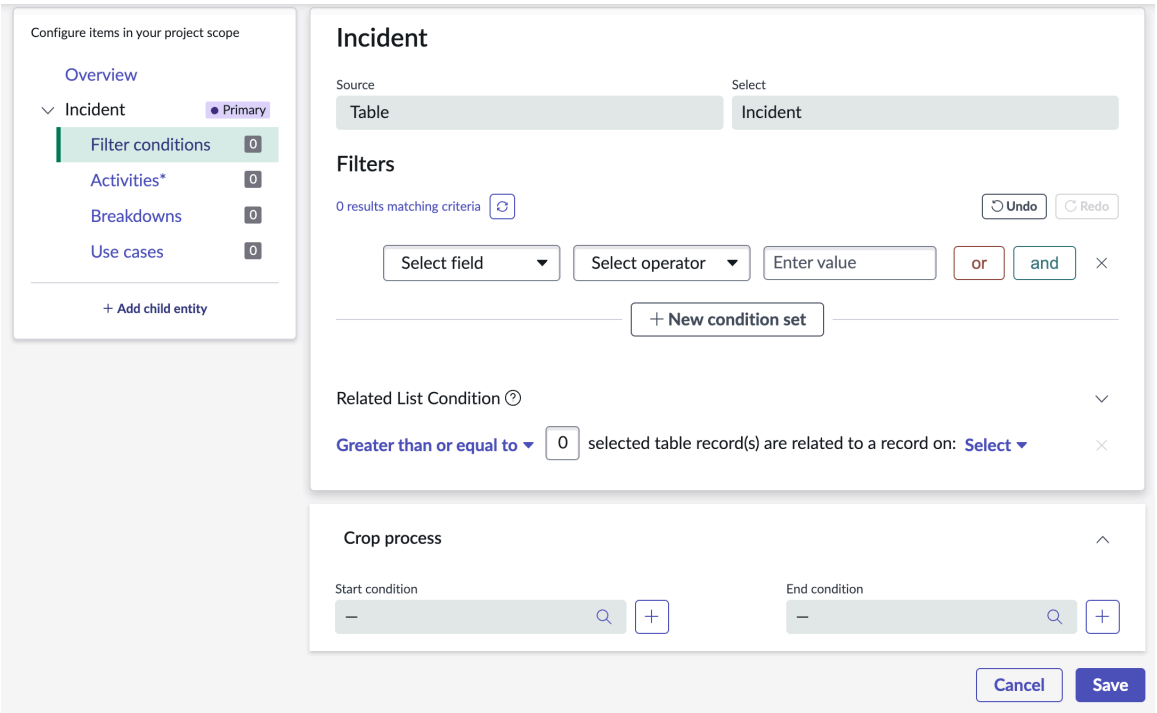
このタスクについて

フィルターの設定は、プロジェクト作成のオプションのタスクです。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析のスコーピング] セクションの編集ボタンを選択します。
4. 左側のバーから [フィルター条件] を選択します。

   ヒント:
   クラシック ビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅の [詳細ビュー] を選択します。



5. フォームに詳細を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フィルター] フォーム

ソース	[**Set objectives** (目標を設定する)] タブでの選択に基づいて自動的に入力されます。
選択	[目標の設定] タブで選択したテーブルに基づいて自動的に入力されます。
Filters (フィルター)	データをフィルター処理するルートテーブルの任意のフィールドを選択します。
関連リスト条件	表示するレコードの数を選択します。
切り取りプロセス	開始条件と終了条件を指定して、プロセスをトリミングし、プロセスの特定の領域を表示します。開始条件の前と終了条件の後に発生したすべてのイベントは、プロセスグラフに表示されません。 **注:** 切り取りプロセスは、アクティビティ定義を設定するために選択したのと同じフィールドで指定できます。したがって、切り取りプロセスを設定する前に、プロジェクトのアクティビティ定義を設定してください。 [Start condition] と [End condition] の横にある + 記号を選択します。プロセスの開始条件と終了条件を設定します。 例:プロジェクトがアクティビティ定義としてステータスで設定されている場合、次のパスがあります。 新規 **->** オープン **->** 対応中 **->** 解決済み **->** 対応中 **->** 解決済み **->** クローズ済み 最後の「解決済み」の発生時に停止条件が指定されている場合、モデルは「新規 **->** オープン **->** 対応中 **->** 解決済み **->** 対応中 **->** 解決済み」のようになります。 [Resolved] が最初に発生したときに停止条件が設定された場合、モデルは次のように [New]、**[>** Open]、**[> Work in Progress->Resolved**] になります。

6. [保存] を選択します。

アクティビティ定義の設定

プロセスグラフに表示する内容を決定するアクティビティ定義を指定し、多くの場合、[ステータス]、[アサイン先グループ]、[アサイン先] などのアクティビティを選択します。アクティビティ定義を使用すると、視覚的表現を通じて実際のプロセスを検出、監視、および改善できます。視覚的表現により、ワークフローのボトルネック、逸脱、非効率性を特定することで、動作とパフォーマンスを理解できます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

注:

1 つのテーブルに対して最大 5 つのアクティビティ定義を設定できます。アクティビティ定義に対して 5,000 を超える要素を生成することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
アクティビティ定義の設定は、プロジェクトを作成するために必要なタスクです。

プロセスマイニング は、定義したアクティビティの監査ログフィールドデータを収集します。少なくとも 1 つのアクティビティを設定して、 プロセスマイニング プロジェクトを作成します。

注:
プロジェクトを構成するときは、まずメイン (親) テーブルを設定し、アクティビティとブレークダウンの定義を定義します。必要なテーブルが 1 つだけの場合は、データを含むプロジェクト全体を生成します。複数のテーブルの場合は、追加の (子) テーブルを作成し、それらをメインテーブルに関連付けて、アクティビティ定義を定義します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析のスコーピング] セクションの編集ボタンを選択します。

   ヒント:
   クラシック ビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅の [詳細ビュー] を選択します。

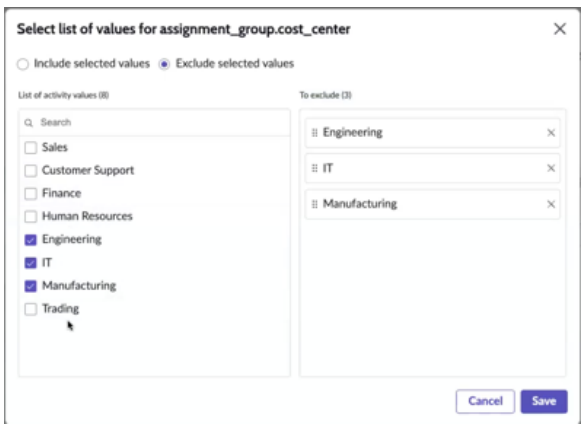
4. 左側のバーから [アクティビティ] を選択します。
5. [アクティビティ] 領域で [新規] を選択します。
6. フォームに入力します。

新しいアクティビティフォーム

タイプの選択	マイニングする値のタイプ。 次の値があります。 ○ フィールド値 (デフォルト):これがデフォルトの選択です。このオプションは、アクティビティ定義を作成するたびに使用できます。 ○ 添付された子:このオプションは、テーブル構成に 2 つのテーブルを選択し、子と親の関係を設定した場合に使用できます。このオプションは、親テーブル構成でのみ使用できます。グラフでは、プロセスで子がいつアタッチされたかを確認できます。 ○ 日時:監査履歴ではなく実際のレコードの日時値を使用し、プロセスマップにグループ化されたノードとして表示されます。 ○ 複合:営業、経理、セキュリティなどの特定のプロセスで任意の値に更新される 2 つ以上のアクティビティ定義の複合イベント。土壇場での変更により、別の承認プロセスが推測され、追加の手順が課せられ、結果的に解決時間が長くなる可能性があります。また、コンプライアンス違反につながる可能性もあります。たとえば、アクティビティ定義が 4 つあるものの、1 つだけが更新される場合は、複合イベントでキャプチャする必要があります。 複合アクティビティ定義を使用するには、複合以外のタイプのアクティビティ定義が少なくとも 1 つ必要です。
フィールド	プロセスグラフにデータを表示するテーブルのフィールドまたは列を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

添付されるテーブルの構成	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [添付された子] を選択した場合にのみ使用できます。 リストからテーブル名を選択します。ただし、子エンティティに使用されるテーブルのみが表示されます。
関連フィールドを表示	このフィールドは、[**Select type**] フィールドで [**Field Values (Default)**] または [**Date Time**] を選択した場合にのみ使用できます。 関連フィールドのリストを表示するには、[関連フィールド] アイコン ( ]) を選択し、フィールドを選択します。 このフィールドは、レコードにドット連結を設定するのに役立ちます。
Display name (表示名)	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [フィールド値 (デフォルト)] を選択した場合にのみ使用できます。 このアクティビティに表示する名前。名前を入力しない場合、[表示名] には [フィールド] に指定された値が表示されます。
特定のアクティビティを選択します	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [フィールド値 (デフォルト)] を選択した場合にのみ使用できます。 選択したフィールドの特定のアクティビティ値をマイニングすることを選択できます。分析する特定のアクティビティ値を選択します。 値を選択し、含めるか除外するかを選択できます。  たとえば、 インシデント テーブルを選択したとします。ここで、アサイン先グループのサービスデスクとアサイン先グループのデータベースを経由したレコードを表示します。このデータを表示するには、[フィールド] として [アサイン先グループ] を選択し、[値のリスト] から [サービスデスク] と [データベース] を追加する必要があります。
グループアクティビティ	このフィールドでは、アクティビティ定義のすべての変更を 1 つのノードとしてグループ化して表示するか、アクティビティ定義の各変更を個別のノードとして表示するかを選択できます。 このフィールドには 2 つのオプションがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 一意の値をそれぞれ個別のアクティビティステップとして表示する:このオプションを選択すると、プロセスマップにアクティビティの変更グループが個別のアイテムとして反映されます。

  > **注:**
  > これは、フィールド値 (デフォルト)、添付された子、日時、および複合ではデフォルトで無効になっています。

- 一意の値をグループ化し、単一のアクティビティステップとして表示:このオプションを選択すると、プロセスマップにアクティビティの変更グループが 1 つの変更アイテムとして反映されます。

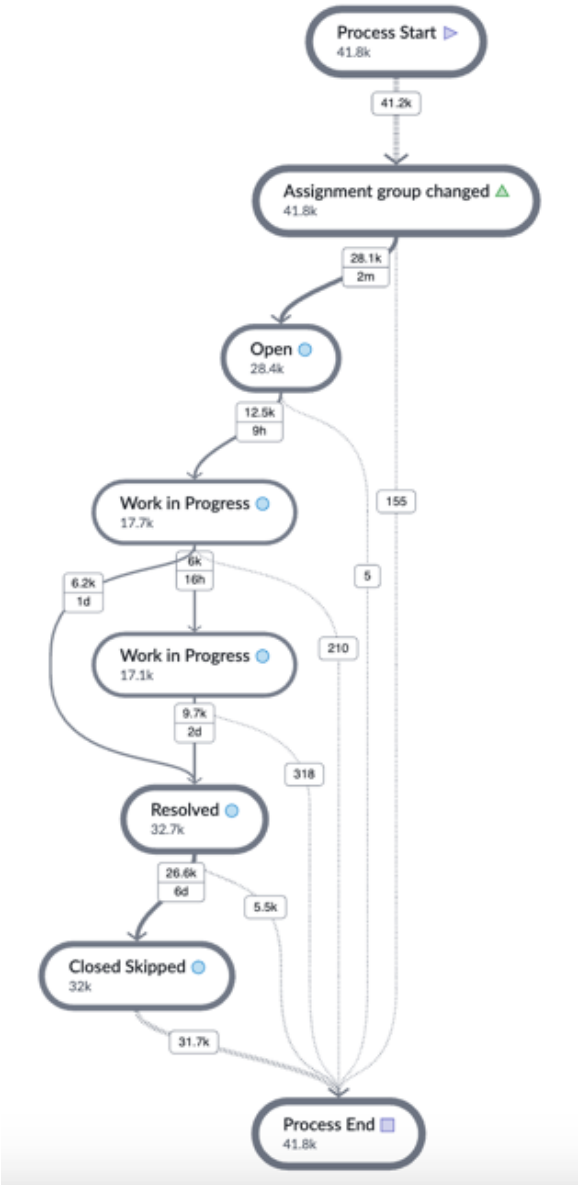
たとえば、アサイン先グループとレポートするステータスを設定します。[アサイン先グループ] で [一意の値をグループ化し、単一のアクティビティステップとして表示 **(Group unique values and display as a single activity step**)] を選択し、[ステータス] で [一意の各値を個別のアクティビティステップとして表示 **(Display each unique value as separate activity steps**)] を選択します。

アサイン先グループへの変更は、「アサイン先グループが変更されました」という 1 つのノードとして表示されます。レコードを表示するか、または詳細を表示して、どのレコードがどのように影響を受けるかを確認できます。ステータスに対するすべての変更は、個別のノードとして表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更がグループ化される



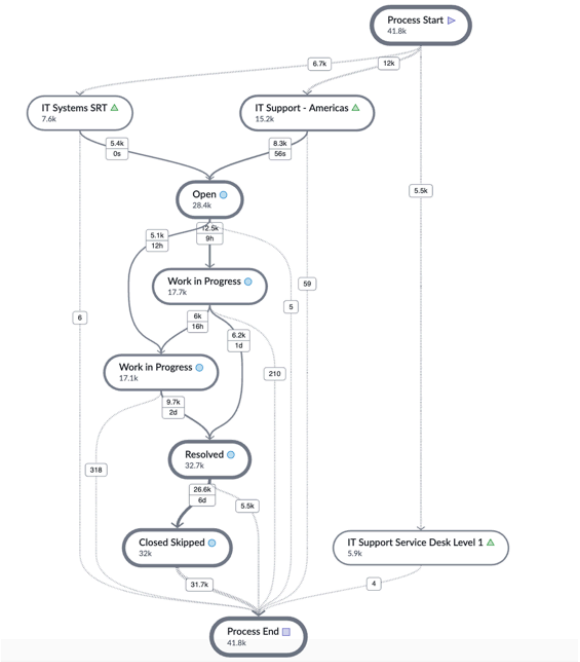
次のシナリオでは、[Assignment group (アサイン先グループ)] と [State to report on (レポートするステータス)] を構成し、[Assignment group (アサイン先グループ)] と [State (ステータス)] に対して [**Display each unique value as separate activity steps** (各一意の値を個別のアクティビティステップとして表示)] を選択します。

[Assignment group] と [State] に対する変更はすべて個別のノードとして表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更がグループ化されない



グループ化されたアクティビティ名	グループ化されたアクティビティの名前。 [一意の値をグループ化し、単一のアクティビティステップとして表示] オプションを選択すると、[グループ化されたアクティビティ名] フィールドが表示されます。 デフォルトでは、表示される名前は <field-name changed> です。例:「アサイン先グループが変更されました」。
対象のアクティビティ	このフィールドは、アクティビティをグループ化することを選択していない場合にのみ使用できます。 このオプションを選択すると、アクティビティ定義はプロセスグラフには表示されませんが、検出結果と移行で使用できます。
開始ノード	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [フィールド値 (デフォルト)] を選択した場合にのみ使用できます。 このオプションを選択すると、選択したアクティビティ定義フィールドがレコード作成時に空の場合に、プロセスグラフに空のノードが表示されます。

注:
アクティビティ定義を編集するには、リストからアクティビティ定義を選択して編集します。アクティビティ定義を削除するには、リストからアクティビティ定義を選択し、「削除」アイコン ( ) を選択します。

7. [保存] を選択します。
作成したアクティビティ定義のリストが表示されます。
8. オプション: これらのエンティティのいずれかを追加する場合は、左側のパネルで [ブレークダウン]、[ユースケース]、または [子エンティティを追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 改善の機会を選択して、改善の機会を設定します。
   詳細については、「改善の機会を設定する」を参照してください。

関連情報

ブレークダウン定義の設定

ユースケースの設定

子エンティティの追加

ブレークダウン定義の設定

プロジェクトのフィルターとして機能するブレークダウン定義を設定します。ブレークダウン定義は、特定の基準または属性に基づいてデータをフィルタリングおよび分析するために使用されます。これらの定義により、プロセスの特定のディメンションまたはパースペクティブに焦点を当てて、分析をより小さなサブセットに分割できます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

このタスクについて
これはオプションのタスクです。

注:
親テーブル構成には最大 10 のブレークダウン定義を、子テーブル構成には最大 5 のブレークダウン定義を設定できます。ブレークダウン定義に対して 5,000 を超える要素を生成することはできません。

これはオプションのタスクです。

手順

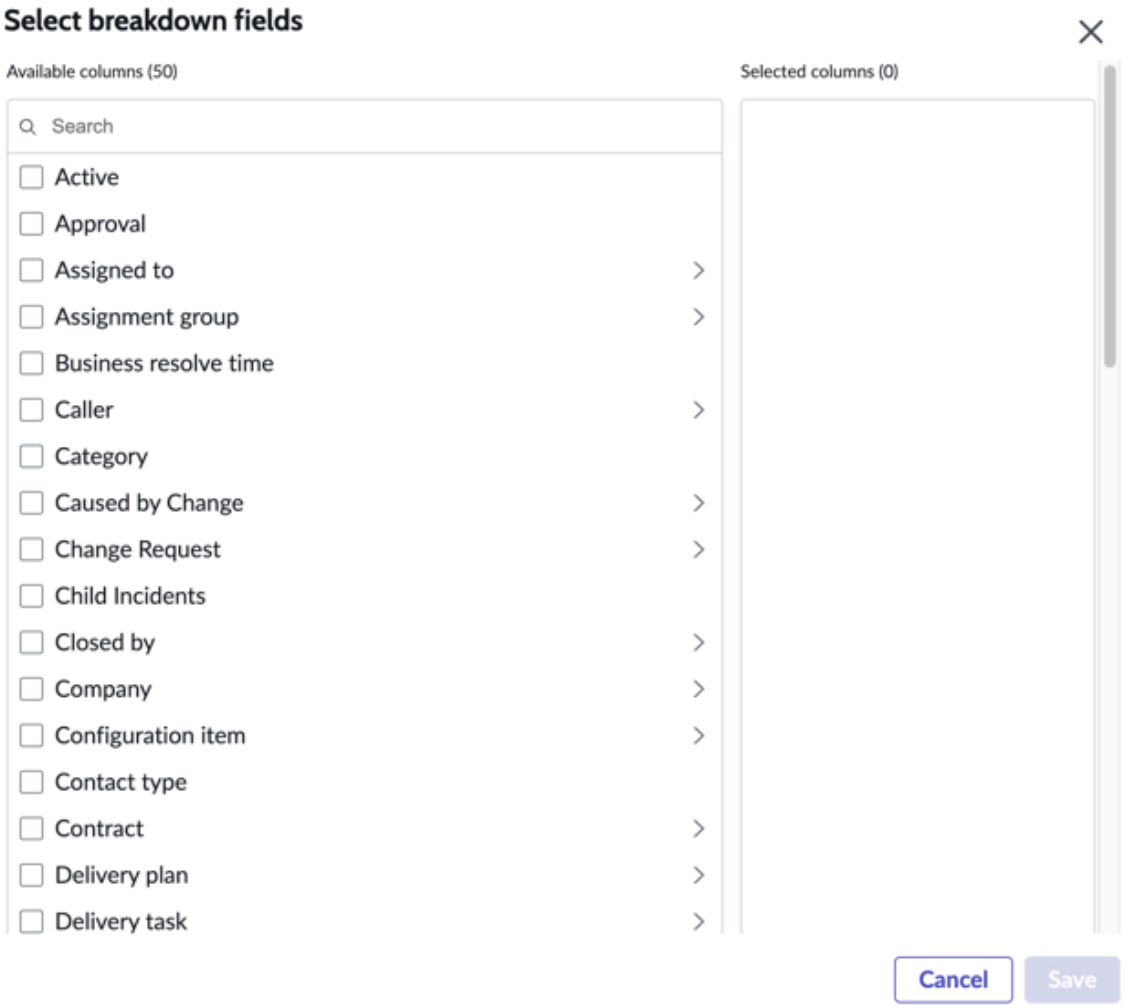
1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析のスコーピング] セクションの編集ボタンを選択します。
4. 左側のバーから [ブレークダウン] を選択します。

   ヒント:
   クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅の [詳細ビュー] を選択します。

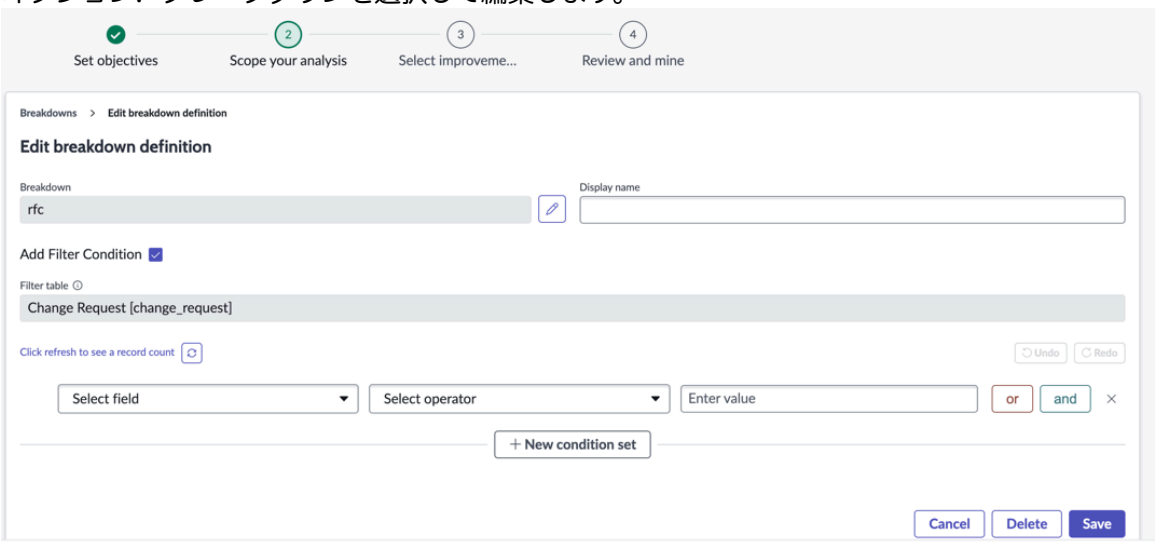
5. [ブレークダウン] 領域で [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [保存] を選択します。
   ブレークダウンがプロジェクトに追加されます。
7. オプション: ブレークダウンを選択して編集します。



   表示名とフィルター条件をブレークダウンに追加できます。

8. [改善の機会を選択] を選択します。
   [分析のスコーピング] ページで何かを追加または編集する場合は、[前へ] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユースケースの設定

ユースケースは、分析に関心を持つ可能性がある一般的なパターンです。有効にすると、プロジェクトに対して自動的に構成されます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析のスコーピング] セクションの編集ボタンを選択します。
4. 左側のバーから [ユースケース] を選択します。

   ヒント:
   クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅の [詳細ビュー] を選択します。

5. プロセスに存在する承認の詳細を表示する場合は、[承認を含める] オプションを選択します。
   sysapproval_approverテーブルは、プロジェクトの親テーブルに子エンティティとして添付されます。フィルター条件、アクティビティ、およびブレークダウンは、簡単に選択できるように既に選択されています。要件に応じて、これらをレビューおよび編集できます。

   注:
   [承認を含める] オプションが選択されている以前のリリースのプロジェクトがある場合、マイニングされたプロジェクトは使用停止になります。プロジェクトは現在の変更に自動的に更新されます。結果を表示するには、プロジェクトを再マイニングする必要があります。

6. プロセスの違反箇所を表示する場合は、[**Include SLA breach (SLA** 違反を含める)] オプションを選択します。
   task_slaテーブルは、プロジェクトの親テーブルに子エンティティとして添付されます。フィルター条件、アクティビティ、およびブレークダウンは、簡単に選択できるように既に選択されています。要件に応じて、これらをレビューおよび編集できます。
7. [保存] を選択します。

子エンティティの追加

子テーブルまたは関連テーブルを追加して、関連プロセスからのアクティビティを追跡します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて
多くの場合、完全なワークフローの開始と終了は、ビジネスプロセスのライフサイクル外で発生します。これらの外部イベントの分析に役立つ場合は、プロセスに関連する他のイベントを追跡するための別のテーブルを追加できます。たとえば、インシデントテーブルが親テーブルであり、インシデントタスク [incident_task] テーブルをインシデントテーブルの子テーブルとして定義した場合、インシデントタスク [incident_task] テーブルのレコードが作成されると、プロセスマップに「インシデントタスクが作成されました」アクティビティとして表示されます。「作成済み」または「クローズ済み」のイベントのみが、プロセスグラフにアクティビティとして表示されます。

自動翻訳

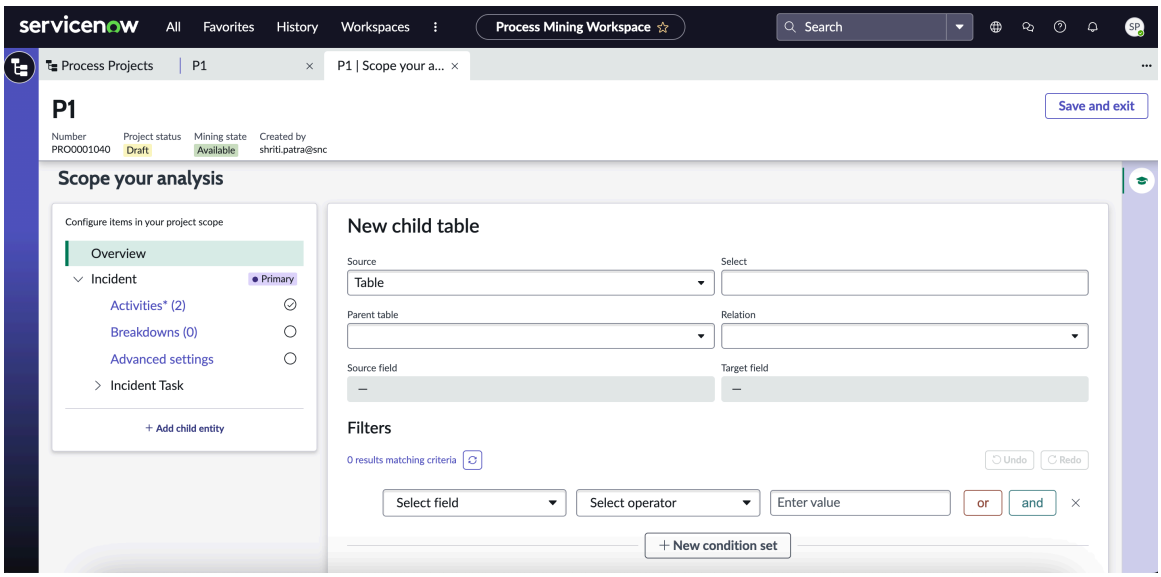
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
定義された子テーブルの外部イベントは、移行または条件フィルターの条件オプションとして表示されません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析のスコーピング] セクションの編集ボタンを選択します。
4. 左側のバーから [子エンティティの追加] を選択します。

ヒント:
クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅の [詳細ビュー] を選択します。



5. フォームに詳細を入力します。

新しい子テーブルフォーム

ソース	テーブル構成のソース。ソースタイプを選択できます。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポート ソース:レポートを含むテーブル ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブル
選択	プロジェクトの親テーブルと関係があるテーブルを選択します。
Parent Table (親テーブル)	プロジェクトのプライマリテーブルを選択します。
関連	テーブル間の関係は、 子 または 参照のいずれかになります。
ソースフィールド	[子] 関連を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つ子テーブルからフィールドを選択します。 [参照] 関連を選択すると、[ソース] フィールドが自動入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットフィールド	[参照] 関連を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つ子テーブルからフィールドを選択します。 [子] 関係を選択すると、[ターゲット] フィールド が自動入力されます。
フィルター (オプション)	必要に応じて、子テーブルのフィルターを設定できます。
関連リスト条件 (オプション)	フィルターセットに対して選択した数の関連レコードを表示します。さらにフィルタリングできます。

6. [保存] を選択します。

改善の機会を設定する

改善の機会を設定して、チームがプロセスを最適化できる改善領域を見つけます。利用可能なルールのリストから選択するか、独自のルールを設定できます。設定したルールに基づいて、改善領域を表示できます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

設定できる改善の機会には、次の 2 つのタイプがあります。

- ルールベースの改善の機会:これらの改善の機会は、順番に実行される 1 つ以上の検索ルールチェーンで構成されます。これらの仕様のロジックに一致するレコードは、改善の機会の一致として分類されます。
- 自動化された改善の機会:改善の機会は、既に選択可能なデフォルトのパターンに基づいて表示されます。

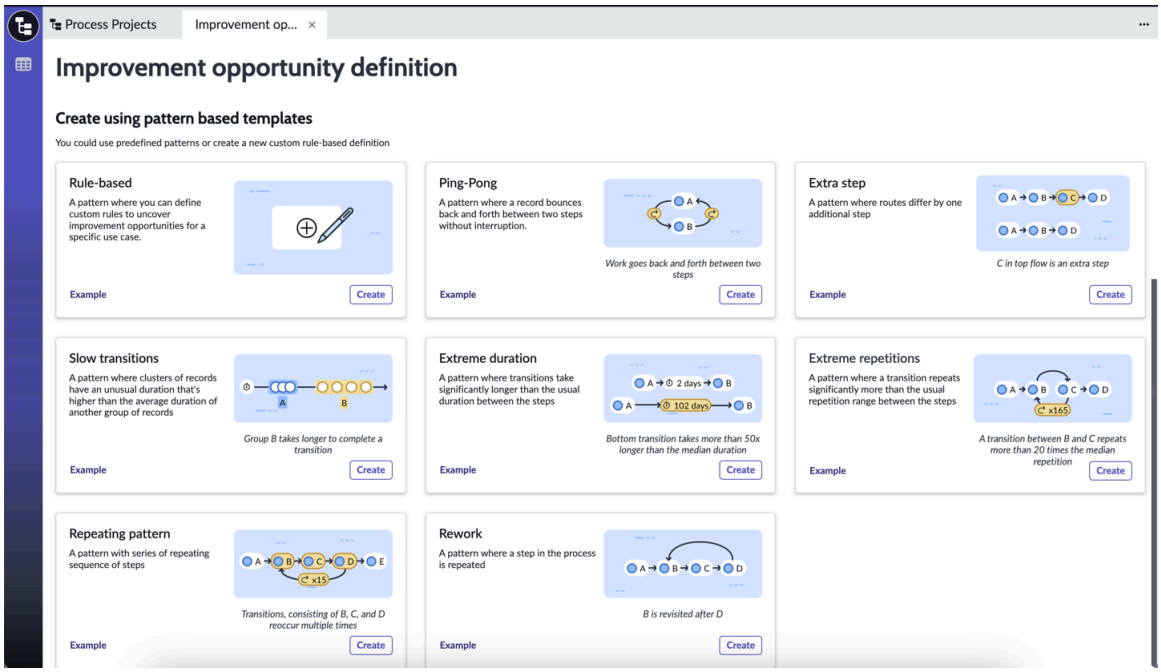
手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [分析のスコーピング] ページから続行する場合は、[改善の機会の設定] タブを選択します。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [改善の機会] セクションの編集ボタンを選択します。
4. 改善の機会の選択 タブで、新規 を選択します。

   [改善機会の定義] ページが表示されます。このページには、利用可能なすべての改善の機会の定義が表示されます。各改善の機会の定義を、図と例とともに見つけることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. いずれかのカードで [作成] を選択して、その種類の改善の機会を作成します。

   ルールベースの改善の機会の詳細については、「 ルールベースの改善機会を設定する」を参照してください。

   自動化された改善の機会の詳細については、「 自動化された改善の機会」を参照してください。

6. 改善の機会を編集するには、改善の機会を選択して詳細を編集します。
7. 改善の機会を削除するには、検索定義を選択し、 削除 を選択します。
8. オプション: ライブラリから改善の機会を選択するには、 ライブラリから追加 を選択し、改善の機会を選択します。
   これらのルールは、テーブル構成から利用できます。プロジェクト用に選択したテーブルに対して改善の機会が構成されている場合は、その結果がライブラリに表示されます。テーブル構成の詳細については、「 テーブルのプロセス構成レコードの作成」を参照してください。
9. [レビューとマイニング] を選択します。

プロジェクトのレビューとマイニング

目標を設定し、分析のスコーピングを行い、改善の機会を追加してプロジェクトを作成したら、プロジェクトをマイニングします。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

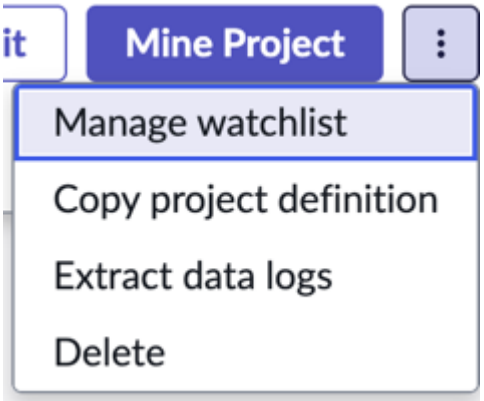
手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [改善の機会] ページから続行すると、[レビューとマイニング] ページが表示されます。
2. レビューしてマイニングするプロジェクトの [編集] を選択します。
   [**Review and mine** (レビューとマイニング)] タブが表示されます。
3. [レビューとマイニング] タブで、プロジェクトをレビューします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

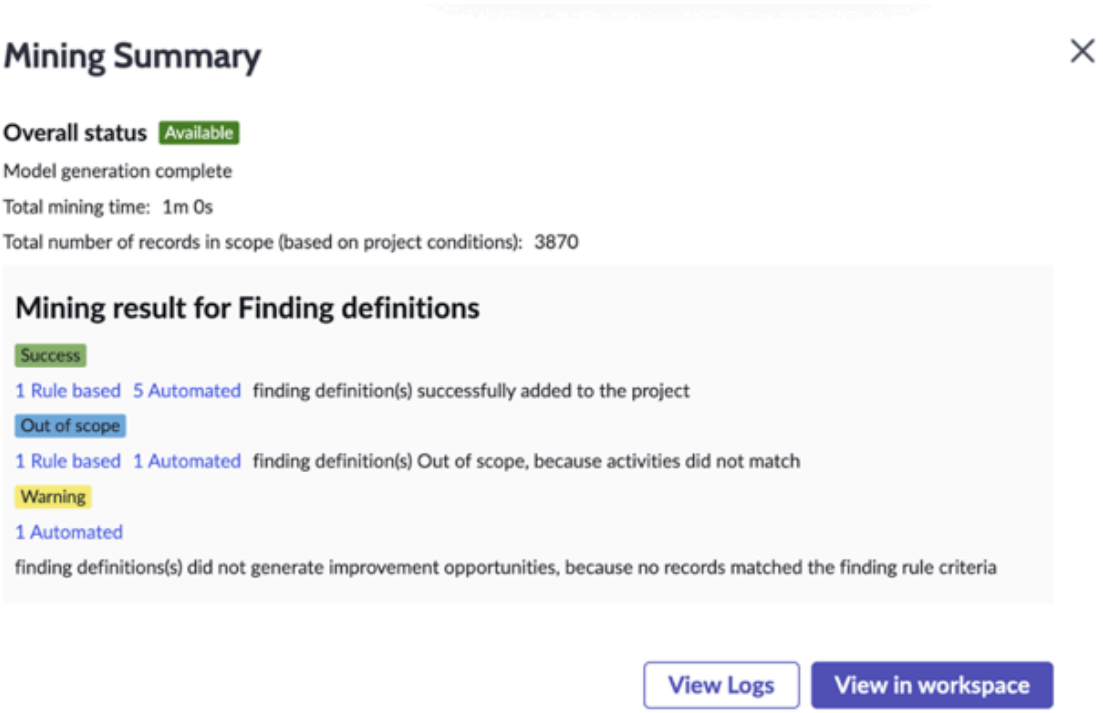
このページでは、いくつかの追加の手順を実行できます。



- [ウォッチリストの管理] を選択して、マイニングされたプロジェクトのステータスに関する通知を受け取るユーザーを追加します。
- 「 プロジェクト定義のコピー 」を選択して、プロジェクトをコピーします。
- [データ ログの抽出] を選択して、使用可能なログを表示します。
- [削除] を選択してプロジェクトを削除します。

4. [プロジェクトのマイニング] を選択して、プロジェクトをマイニングします。
5. 「 **Mine** 」ウィンドウで、「 **Sample Mine** 」または「 **Full Mine**」を選択し、「 **Confirm & Mine**」を選択します。

タスクの結果
[マイニングの進捗状況] ページが表示されます。マイニングが完了すると、[マイニングの概要] ページが表示されます。このページでは、マイニングに関する追加の詳細を提供します。また、マイニングに含まれなかった検出結果定義が一覧表示され、実際の原因を理解するためのリンクも提供されます。ログを表示するか、 プロセスマイニング ワークスペースに移動してグラフを表示することもできます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラシックビューを使用したプロジェクトの作成

プロジェクトのステータスと分析するプロセスのアウトラインを構成および管理します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

プロジェクトのモデルを生成するために選択したテーブルの 監査ログ を有効にする必要があります。

このタスクについて

プロセス情報のフローのルートを可視化してインタラクティブに表示するプロジェクト定義を構成します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「プロジェクト定義フォーム」を参照して ください。

4. [保存] を選択します。

   プロジェクト定義レコードが作成されます。

テーブル構成の設定

グラフで表示および分析するデータまたはプロセスの種類を定義します。分析するデータを含む特定のテーブル (親テーブル) を選択する必要があります。

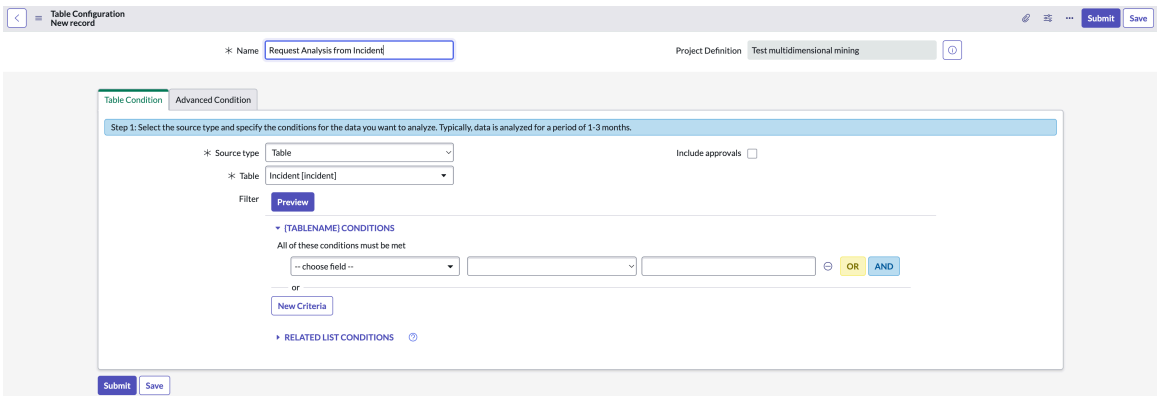
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. プロジェクトを開き、[**Table Configurations** (テーブル構成)] タブを選択します。
2. [新規] を選択します。

   新しい [テーブル構成] ページが表示されます。



3. [名前] フィールドにテーブル構成の名前を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [テーブル条件] タブで、フィールドに入力します。

テーブル条件フィールド

フィールド	**Description** (説明)
ソース タイプ	テーブル構成のソース。ソースタイプを選択できます。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポート ソース:レポートを含むテーブル ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブル
承認を含める	承認が含まれているかどうか。
テーブル	適切なテーブルを選択します。
フィルター	[フィルター] セクションの条件を使用して、分析するデータを選択します。 **注:** データを 1 ～ 3 か月の期間に制限することで、長いトランザクション時間を回避します。 [プレビュー] を選択して、設定したフィルターで使用可能なレコードの数を確認します。

5. [送信] を選択して、テーブル構成を保存します。

作成したテーブル構成を表示する [テーブル構成] ページが表示されます。テーブル構成のアクティビティ定義を構成します。詳細については、「アクティビティ定義の構成」を参照してください。

多次元マイニングの構成

多次元マイニングを使用して非効率性を特定し、複数の関連テーブルのデータを評価することでパフォーマンスを向上させます。

始める前に

テーブルで多次元マイニングを構成する前に、 プロセスマイニング プラグインをインストールして構成する必要があります。

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

多くの場合、完全なワークフローの開始と終了は、ビジネスプロセスのライフサイクル外で発生します。これらの外部イベントの分析に役立つ場合は、プロセスに関連する他のイベントを追跡するための別のテーブルを追加できます。たとえば、インシデントテーブルが親テーブルであり、インシデントタスク [incident_task] テーブルをインシデントテーブルの子テーブルとして定義した場合、インシデントタスク [incident_task] テーブルのレコードが作成されると、プロセスマップに「インシデントタスクが作成されました」アクティビティとして表示されます。「作成済み」または「クローズ済み」のイベントのみが、プロセスグラフにアクティビティとして表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

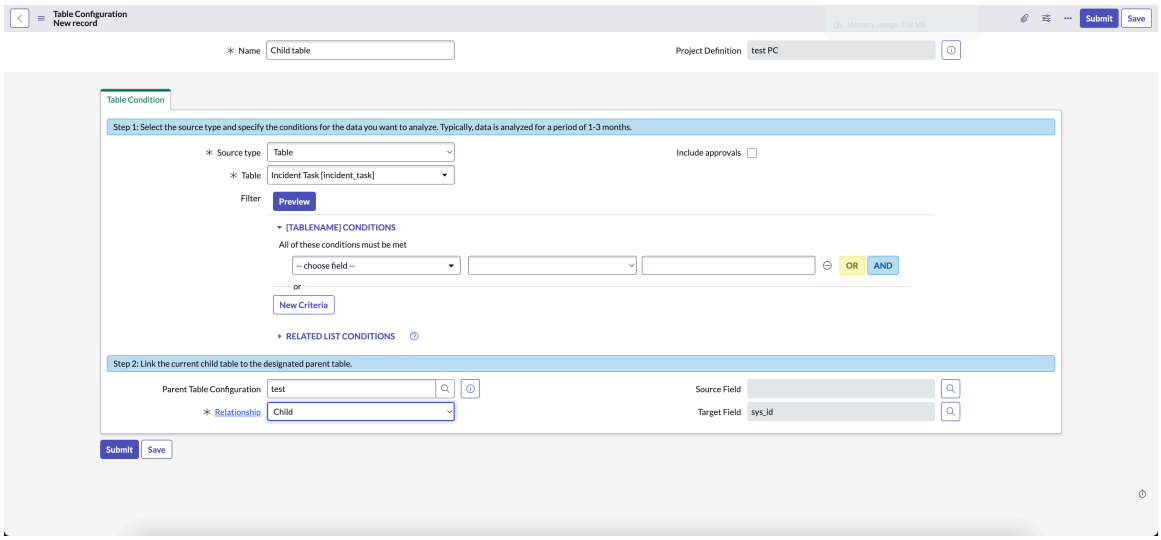
注:
定義された子テーブルの外部イベントは、移行または条件フィルターの条件オプションとして表示されません。

手順

1. 多次元マイニングを構成するプロジェクトを選択します。
2. [**Table Configuration** (テーブル構成)] タブに移動し、[**New** (新規)] を選択します。

注:
プロジェクトには、親テーブル構成が既に設定されている必要があります。

新しいテーブル構成ページが表示されます。



3. [名前] フィールドに子テーブル構成の名前を入力します。
4. [ステップ **1**] セクションで、テーブル構成の場合と同様に詳細を入力します。
詳細については、「テーブル構成の設定」を参照してください。
5. 関係を設定するには、[ステップ **2**] セクションのフィールドに入力します。

フィールド	**Description** (説明)
親テーブル構成	[親テーブル構成] の横にある検索アイコンを選択し、親テーブル構成を選択します。
関係性	関係タイプに応じて、「関係」**(Relationships)** のドロップダウンリストから「参照」**(Reference)** または「子」**(Child)** を選択します。 参照フィールドには、別のテーブルのフィールドへの参照が格納されます。たとえば、Incident テーブルの **Problem** フィールドは Problem テーブルへの参照です。子レコードは特定の親レコードに関連付けられています。たとえば、要求アイテムにはサービスカタログタスクまたはインシデントと SLA レコードがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
ソースフィールド	[子] 関連を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つ子テーブルからフィールドを選択します。 [参照] 関連を選択すると、[ソース] フィールドが自動入力されます。
ターゲットフィールド	[参照] 関連を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つ子テーブルからフィールドを選択します。 [子] 関係を選択すると、[ターゲット] フィールドが自動入力されます。

6. [送信] を選択します。

   新しい子テーブル構成が作成されます。

   テーブル構成のアクティビティ定義を構成します。詳細については、「アクティビティ定義の構成」を参照してください。

詳細条件を構成

テーブル構成のカスタムの開始条件と終了条件を構成して、プロセスのどの部分を プロセスマイニング プロジェクトに含め、分析に使用できるようにするかを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. テーブル設定レコードの [詳細条件] タブで、[プロセス開始条件] フィールドの横にあるプラス記号を選択します。
   詳細条件を使用すると、プロセスマップから特定の開始条件と終了条件を設定できます。たとえば、プロセスの終了ステータスとして [クローズ済み] ではなく [解決済み] を指定できます。もう 1 つの例として、「新規」ステータスの最初の発生から最後の「解決済み」発生までのプロセスのみを検出し、クローズ済みステータスを分析から除外します。

   開始条件を既に構成している場合は、参照アイコンを使用して、既存の条件を [プロセス開始条件] フィールドに追加できます。

2. [新しいプロセス開始条件を作成 **(Create new process start condition)]** フォームの各フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「新しいプロセス開始条件を作成」を参照して ください。
3. [送信] を選択して条件を保存します。
4. 終了条件を作成するには、[プロセス終了条件] フィールドの横にあるプラス記号を選択します。
5. [新しいプロセス終了条件の作成] フォームで、フィールドに入力します。

   > **注:**
   > フィールドと説明は、[新しいプロセス開始条件を作成 **(Create a new process start condition)]** フォームの場合と同じです。

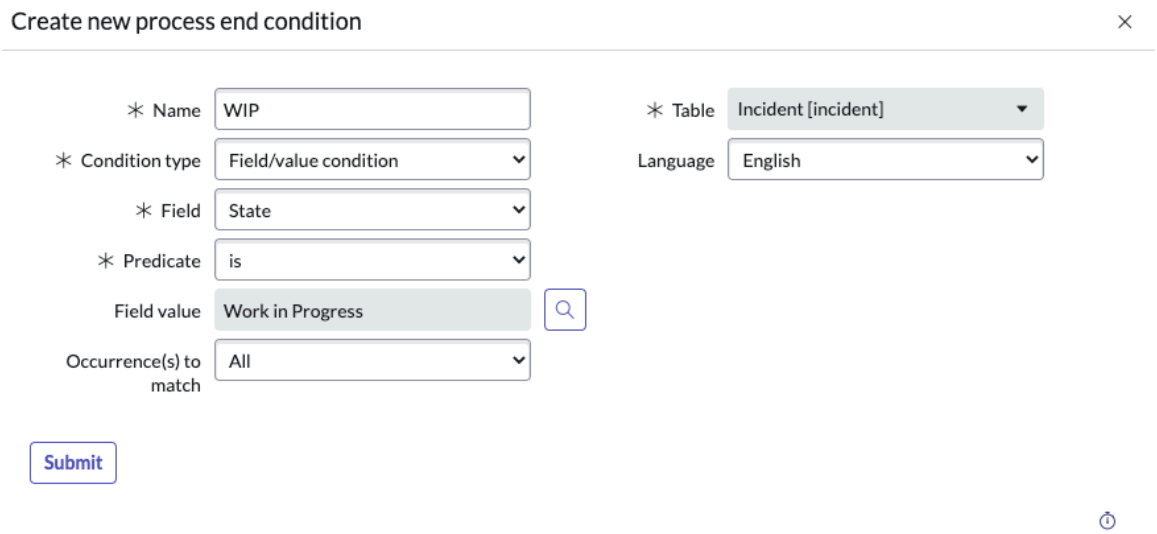
6. [送信] を選択して条件を保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Example: 設定されたプロセス条件

この例では、インシデントレコードが [対応中] ステータスになったときにプロセスの終了条件が設定されます。[**Occurrence(s) to match** (照合する発生件数)] フィールドが [First only (最初のみ)] に設定されているため、レコードのステータスが初めて [Work in progress (対応中)] に変更されたときにのみ条件がトリガーされます。



アクティビティ定義の構成

ビジネスプロセス内で発生するステップについてレポートします。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

注:
親テーブル構成には最大 10 個、子テーブル構成には最大 5 個のアクティビティ定義を設定できます。アクティビティ定義に対して 5000 を超える要素を生成することはできません。

このタスクについて
プロセスマイニング は、定義したアクティビティの監査ログフィールドデータを収集します。少なくとも 1 つのアクティビティを構成して、特定のアクティビティを開始、終了、または通過させるレコードを抽出してプロセスマップに表示します。

注:
プロジェクトを構成するときは、最初にメイン (親) テーブル構成を設定し、アクティビティ定義を定義し、ブレークダウン定義を設定する必要があります。必要なテーブルが 1 つだけの場合は、定期的にマイニングしてデータを使用してスケジュールできる完全なプロジェクトを生成できます。複数のテーブルが必要な場合は、追加の (子) テーブルを作成し、それをメイン (親) テーブルに関連付けて、アクティビティ定義を定義する必要があります。子テーブルでブレークダウン定義を構成することもできます。

追跡するあらゆる種類の変更にフラグを立てるアクティビティにドット連結を設定できます。

大規模な組織では、構成アイテム (CI) やビジネスサービスを変更することが非効率的または非準拠であると感じています (特に、それらが法人や地理的エンティティに関連付けられている場合)。これに対処するために、ドット連結フィールドでデータマイニングを実行し、これらの重要な属性を変更することなくインサイトを得ています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティ定義を追加するときに、参照フィールド (ドット連結フィールド) を追加して、そのような非準拠にフラグを付けることができます。例:Assigned_to。場所。マイニングが完了すると、グラフにさまざまな場所のデータフローが表示され、コンプライアンス違反を簡単に追跡できます。

複数のアクティビティをグループ化して、各アクティビティに加えられた変更を追跡することもできます。このために、タイプ「複合」のアクティビティ定義を追加し、フィールドを選択できます。マイニングが完了すると、これらのフィールドに変更が加えられたことがグラフに表示されます。これにより、グラフが簡略化されます。詳細を知るために、さらにフィルタリングできます。

手順

1. テーブル設定レコードの [アクティビティ定義] タブから、[新規] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[アクティビティ定義] フォーム」を参照してください。
3. [送信] を選択します。

次のタスク

ブレークダウンを構成するか、プロジェクトを生成します。

ブレークダウン定義の構成

ブレークダウンを追加してレコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成
- 多次元マイニングの構成

このタスクについて

注:
親テーブル構成には最大 10 のブレークダウン定義を、子テーブル構成には最大 5 のブレークダウン定義を設定できます。ブレークダウン定義に対して 5000 を超える要素を生成することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース をクリックし、プロジェクトレコードを選択します。
2. ブレークダウン定義を構成するテーブルを特定し、[テーブル構成] タブから関連するテーブル構成レコードを開きます。
3. [ブレークダウン定義] タブで、[新規] を選択して新しいブレークダウン定義レコードを開きます。
4. [ブレークダウン定義] フォームで、必要に応じてフィールドに入力します。

ブレークダウン定義フィールド

フィールド	説明
フィールド	ブレークダウンに使用するフィールドを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
表示名	このブレークダウンに表示する名前。名前を入力しない場合、ブレークダウンには [フィールド] フィールドの値が表示されます。

5. オプション: [フィルター条件の追加] を選択し、さらにブレークダウンをフィルタリングするための条件を選択します。

   注:
   フィルター条件は、[フィールド] フィールドで参照フィールドが選択されている場合にのみ使用できます。

6. [送信] を選択します。

次のタスク
プロジェクトのマイニング。

改善の機会の構成

[サマリーとインサイト] ページでインサイトを表示する改善の機会を構成します。

改善の機会によって、指定されたテーブルに基づくプロセスに関連するインサイトを検索するルールが作成されます。定義を構成すると、関連するレコードが [サマリーとインサイト] ページの [インサイト] セクションに機会として表示されます。

改善の機会には次の 2 つのタイプがあります。

- ルールベースの改善の機会
- 自動化された改善の機会

どちらの改善機会も同じ目的を果たしますが、作成方法は異なります。

ルールベースの改善の機会が作成され、セカンダリテーブルに基づいて開始条件と停止条件を持つようにテーブルを変更できます。検索ルールと検索制約があり、ユーザーが設定する必要があります。

自動化された改善の機会は、より簡単に作成できます。このプロセスは短く、いくつかの手順で完了できます。

検索定義の作成の詳細については、「 クラシックビューからの改善の機会の設定」を参照してください。

改善の機会のインポート

改善の機会をテンプレートとして、テーブルに関連付けられたプロジェクトにインポートします。アクティブ状態の親テーブルの改善の機会をインポートできます。プロセステーブルから改善の機会をインポートしない場合、改善の機会はプロジェクトマイニング中に使用されません。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. 検出結果をコピーするプロジェクトを開きます。
3. [関連リンク] セクションで、[プロセス検索テンプレートをインポート] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
プロジェクトにインポートされたルールベースの改善の機会と自動化された改善の機会の数を示すメッセージが表示されます。

プロジェクトのマイニング

視覚化するデータを構成したら、プロジェクトのマイニングを開始できます。

始める前に
必要なロール:po_analyst

このタスクについて
プロセスマイニング 最大 500,000 レコードを抽出します。選択したテーブルでその制限に達した場合は、フィルターを追加してデータセットを絞り込みます。

注:

- プロジェクトの最適化には、かなりの時間がかかる場合があります。プロジェクトの抽出の進行中は、そのプロセスマップを探索できません。
- フルマイニングまたはサンプルマイニング中に、 プロセスマイニング 監査ログを分析します。

手順

1. アプリケーションナビゲーターから、 プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのカードメニューから、次の項目を選択します。
   - プロジェクトのマイニング (フル) プロジェクト全体をマイニングする場合。
   - プロジェクトに適用可能なすべてのレコードをマイニングするのではなく、プロジェクトをマイニング (サンプル) して最大 3,600 レコードをマイニングします。

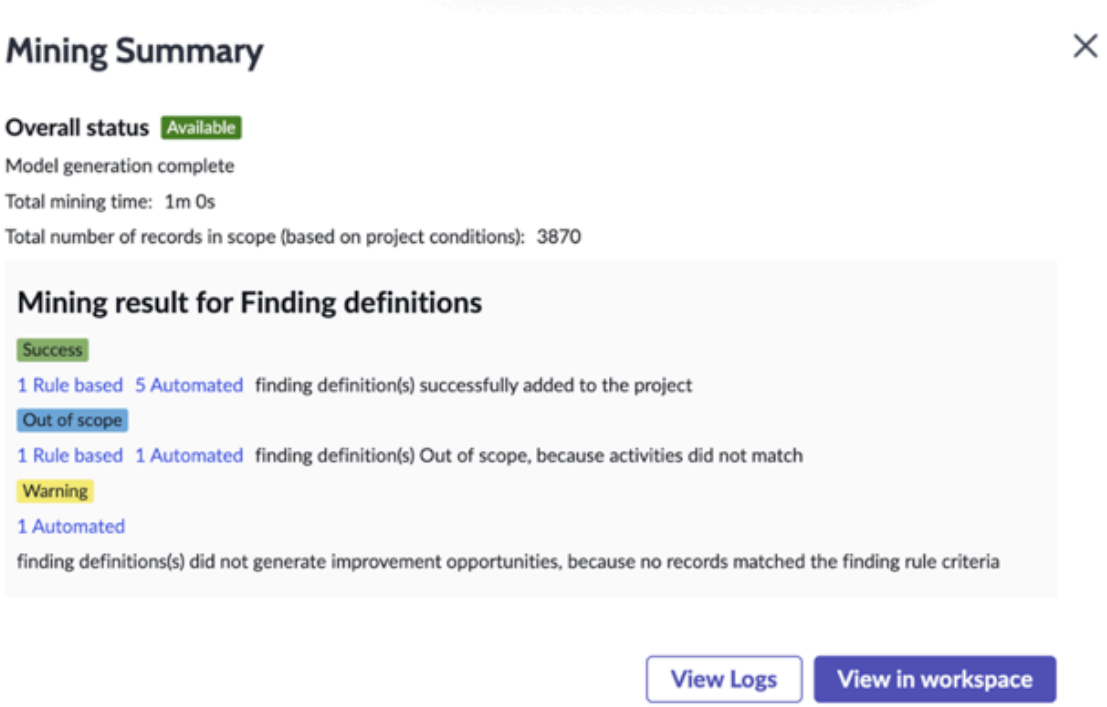
     注:
     サンプルをマイニングすると、アナリストはプロジェクトの完全なデータ抽出を実行する前にプロジェクト構成設定を検証できます。
3. [**OK**] を選択して、プロジェクトのマイニングを開始することを確認します。
4. オプション: ウォッチリストに追加する場合は 、[完了したら通知] を選択します。
   マイニングが完了すると、メール通知が届きます。デフォルトでは、1 日あたりのジョブ制限は 50 に設定されています。制限を超えると、エラーメッセージが表示されます。
5. オプション: [進行状況の表示] を選択して、マイニングの詳細を表示します。

   (Optional) マイニングが完了すると、[マイニングの概要] ページが表示されます。このページでは、マイニングに関する追加の詳細を提供します。また、マイニングに含まれなかった検出結果定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

義が一覧表示され、実際の原因を理解するためのリンクも提供されます。ログを表示するか、 プロセスマイニング ワークスペースに移動してグラフを表示することもできます。



タスクの結果
抽出が正常に完了すると、プロジェクトカードにマイニングステータスが [利用可能] と表示されます。

マイニングジョブのキャンセル

アナリスト、パワーユーザー、またはアドミニストレーターは、現在処理中のマイニングジョブをキャンセルできます。

始める前に
必要なロール：なし

手順

プロジェクトのマイニング中に [キャンセル] を選択して、プロセスをキャンセルします。

キャンセルプロセスが完了するまでに数分かかる場合があります。マイニングをキャンセルする時点で進行中の作業ユニットは、キャンセルが発生する前に完了する必要があります。

[プロジェクト定義] フォームのマイニングステータスは [キャンセル済み] と表示されます。

マイニングステータス

プロジェクトをマイニングしようとすると、プロジェクトワークフローレコードに次のいずれかのステータスが表示されます。

ワークフローレコードのマイニングステータス

状況	説明
追加	プロジェクトデータに対するマイニングは試行されていません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフローレコードのマイニングステータス (続く)

状況	説明
マイニングデータ	プロジェクトのマイニングが進行中です。
取り消し中	マイニングは、ユーザーが開始したキャンセルの処理中です。
キャンセル	ユーザーがプロジェクトの処理中のマイニングをキャンセルしました。
Available (利用可能)	データに対してマイニングが実行され、プロセスマップの可視化が表示可能になりました。
エラー	マイニングが試行されましたが、正常に完了しませんでした。 • まだ正常にマイニングされていない新しいプロジェクトは、Analyst Workbench で開くことができません。 • ワークフローレコードから正常にマイニングされたプロジェクトについて、アナリストワークベンチからデータ更新を試みることができます。プロジェクトデータが正常に更新されない場合は ⚠ エラーアイコンが表示されます。詳細を調べるには、[プロジェクト定義] フォームの [データログの抽出] タブを表示します。
[Scheduled (スケジュール済み)]	プロジェクトが指定された時間間隔でマイニングされるようにジョブがスケジュールされています。 **注:** ジョブ内でマイニングがスケジュールされているプロジェクトが複数ある場合、プロジェクトは順番に実行されます。たとえば、プロジェクト 1 と 2 がスケジュールされているジョブは、最初にプロジェクト 1 をマイニングし、プロジェクト 1 のマイニングが完了した後にプロジェクト 2 のマイニングを開始します。

自動翻訳

プロセスマイニングジョブをスケジュール

後で 1 つ以上のプロジェクトをマイニングする プロセスマイニング ジョブをスケジュールします。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

注: プロジェクトごとに作成できるスケジュール済みジョブは 1 つだけです。ただし、複数のプロジェクトをジョブに関連付けることはできます。ジョブ内でマイニングがスケジュールされているプロジェクトが複数ある場合、プロジェクトは順番に実行されます。たとえば、プロジェクト 1 と 2 がスケジュールされているジョブは、最初にプロジェクト 1 をマイニングします。次に、プロジェクト 1 のマイニングが完了した後、プロジェクト 2 のマイニングを開始します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > スケジュール済みジョブ > 新規作成.
2. [スケジュール済み プロセスマイニング ジョブ] フォームで、作成するジョブの該当するフィールドに入力し、[送信] を選択します。
   スケジュール済みジョブレコードのフィールドの説明 を参照してください。
3. 「プロジェクト定義」セクションで、「 編集」を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 「 メンバーの編集 」フォームから、マイニングするプロジェクトを「 コレクション 」列で選択し、「 プロジェクト定義リスト 」列に移動します。
5. [保存] を選択します。
   スケジュール済みジョブは、設定した頻度で実行されます。

次のタスク

- Analyst Workbench から正常に生成されたプロジェクトを表示します。
- 移動先 すべて > プロセスマイニング > スケジュール済みジョブ > すべてのジョブ をクリックして、スケジュールされたプロセスマイニングジョブを表示します。

プロジェクトの編集

[プロジェクト定義] フォームからプロジェクトを編集して、更新されたプロセスマップを生成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- sn_process_optimization_analystロールは、自分が作成したプロジェクトを編集できます。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. [プロジェクト] リストから、編集するプロジェクトの横にある省略記号を選択します。
3. [編集] を選択します。
4. 目的のフィールドに変更を入力し、[更新]を選択します。
   アクティビティ、ブレークダウン、または子テーブルを定義した後にテーブルを変更することはできません。

次のタスク

更新されたプロジェクトでデータ抽出を実行して Analyst Workbench に表示し、関連するフィルターを適用します。

プロジェクトの削除

使用していないプロジェクトを削除して、データをクリーンアップします。プロジェクトを削除すると、プロジェクトの構成とバージョン、またはプロジェクトが生成したプロジェクトが削除されます。Analyst Workbench のワークフロー定義レコードまたはプロジェクトカードからプロジェクトを削除できます。

アプリケーションナビゲーターからのプロジェクトの削除

プラットフォームナビゲーターから構成済みのプロジェクトを削除します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

sn_process_optimization_analystロールは、自分が作成したプロジェクトを削除できます。

[プロジェクト定義] リストから、プロジェクトリストまたはワークフローレコードからプロジェクトを削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

- プロジェクトリストから:
  1. プロジェクトリストから削除するプロジェクトの横にあるチェックボックスをオンにします。
  2. 行アクション リストから、 削除 を選択します。
  3. [削除] をもう一度選択して確定します。
- ワークフローレコードから:
  1. プロジェクトの名前または番号を選択して、そのワークフローレコードを開きます。
  2. レコードで [削除] を選択します。
  3. [削除] をもう一度選択して確定します。

Analyst Workbench からのプロジェクトの削除

Analyst Workbench 内から構成済みのプロジェクトをすばやく削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

sn_process_optimization_analystロールは、自分が作成したプロジェクトを削除できます。

手順

Analyst Workbench から、プロジェクトカードのメニューアイコンを選択し、[削除] を選択します。

改善の機会の作業

改善の機会を設定して、プロセスを最適化できる改善領域を見つけます。利用可能なルールのリストから選択するか、独自のルールを設定できます。設定したルールに基づいて、改善領域を表示できます。

次の改善の機会を作成します。

- プロセステーブル:プロセステーブルの改善の機会がテーブルに設定されます。ライブラリから追加することで、そのテーブルに基づくプロジェクトに追加できます。
- プロジェクト:プロジェクトの改善の機会はプロジェクトに固有です。

改善の機会には次の 2 つのタイプがあります。

- ルールベースの改善の機会:これらの改善の機会は、順番に実行される 1 つ以上のルールチェーンで構成されます。これらの仕様のロジックに一致するレコードは、改善の機会の一致として分類されます。
- 自動化された改善の機会:改善の機会は、既に選択可能なデフォルトのパターンに基づいて表示されます。

改善の機会を作成できる UI の場所は 2 つあります。

- クラシックビュー
- 検索ビルダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセステーブルの改善の機会を設定する

クラシックビューまたは検索ビルダーから、プロセステーブルのルールベースまたは自動化された改善の機会を設定します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

プロセステーブルに設定された改善の機会は、ライブラリで利用できます。そのテーブルに基づく任意のプロジェクトに追加できます。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. まだリストされていないテーブルの改善の機会を作成する場合は、[新規] を選択します。
   リストからテーブルの改善の機会を作成する場合は、リストからテーブルを選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「テーブルのプロセス構成レコードの作成」を参照してください。
4. クラシック ビューからテーブルの改善の機会を設定するには、[検索定義] タブまたは [自動検索定義] タブで [新規] を選択します。

   [検索定義] タブで、ルールベースの改善の機会を作成します。詳細については、「クラシックビューからのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。

   [自動検索定義] タブで、自動改善の機会を作成します。詳細については、「クラシックビューからの自動化検索定義フォーム」を参照してください。
5. 検索ビルダーからテーブルの改善の機会を設定するには、[検索定義] タブまたは [自動検索定義] タブで [検索ビルダーを使用] を選択します。

   [改善機会の定義] ページが表示されます。
6. ルールベースの改善の機会を作成するには、ルールベースのカードで 作成 を選択します。
   詳細については、「ルールベースの改善機会を設定する」を参照してください。
7. 自動化された改善の機会を作成するには、自動化された機会カードのいずれかで [作成] を選択します。
   詳細については、「自動化された改善の機会」を参照してください。

プロジェクトの改善機会の設定

プロジェクトに改善の機会を設定し、チームがプロセスを最適化できる改善領域を見つけます。利用可能なルールのリストから選択するか、独自のルールを設定できます。設定したルールに基づいて、改善領域を表示できます。

改善の機会は、検索ビルダーまたはクラシックビューを使用して、次の場所から設定できます。

- クラシックビューからプロジェクトを作成または編集する。
- プロジェクトビルダーからのプロジェクトの作成または編集。
- [サマリーとインサイト] ページからプロジェクトの改善の機会を追加する。

クラシックビューからの改善の機会の設定

クラシックビューから改善の機会を設定します。

クラシックビューからルールベースで自動化された改善の機会を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラシックビューを使用したルールベースの検索定義の設定

検出されたインサイトを [サマリーとインサイト] ページに提供するように、ルールベースの検索定義を構成します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- ルールベースの検索定義は、[プロセス構成] ページまたは [プロジェクト] ページから作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. プロジェクトを選択します。
3. **[Project Finding Definitions]** で **[New]** を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「クラシックビューからのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。

次のタスク

- 検索ルールを作成します。このプロセスの手順については、「 検索ルールを構成」を参照してください。
- 検索制約を作成します。このプロセスの手順については、「 検索制約の構成」を参照してください。

検索ルールを構成

検索定義の検索ルールを構成します。検索ルールは、検索定義をトリガーするレコード基準を定義します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 検索ルールを追加する検索定義レコードを開きます。
2. 「 検索ルール 」タブで、「 新規」を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「検索ルールフォーム」を参照して ください。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択して検索ルールレコードを保存します。
5. オプション: 同じチェーン内に追加の検索ルールを作成するには、[次のルールを作成 (同じチェーン)] を選択します。

自動翻訳

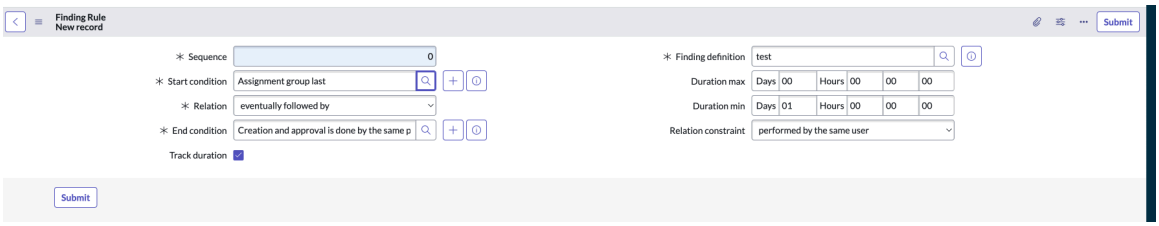
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このオプションは、同じチェーン内で新しい検索ルールを開きます。シーケンス値は、現在のルールより 1 つ大きくなっています。

6. オプション: 新しいチェーン内に追加の検索ルールを作成するには、[次のルールを作成 (新しいチェーン)] を選択します。
このオプションは、新しいチェーン内の新しい検索ルールを開きます。

Example:
この例では、誰かがインシデントレコードの承認を要求し、その承認が同じユーザーによって承認された場合を検出する検索ルールが作成されます。[最小期間] フィールドが 1 日に設定されているため、ルールは、承認が要求されてから 24 時間以上経過してから承認された場合にのみトリガーされます。

ルールレコードの検索例



次のタスク

- 自動化された根本原因分析を構成して、望ましくないプロセス動作の根本原因を見つけます。この機能の詳細については、を参照してください。「自動化された根本原因分析」を参照してください。

- ワークフローの自動化機会を特定できるように オートメーションディスカバリー を構成します。この構成の詳細については、「 オートメーションディスカバリー」を参照してください。

- パターンを識別できるように、類似のレコードをクラスター (1 つのグループ) にグループ化するようにクラスター分析を構成します。この構成の詳細については、「 クラスター分析」を参照してください。

検索制約の構成

検索定義の検索制約を構成します。検索ルールに加えて、検索制約は、期間や関係制約などのメトリクスを使用して、検索定義の範囲をさらに絞り込みます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 検索制約を追加する検索定義レコードを開きます。
2. 検索 制約 タブで、 新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「検索制約フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

使用例:a-**b-a** 移行

検索ルールを使用して、レコードがいつ前のステータスに戻るかを識別します。

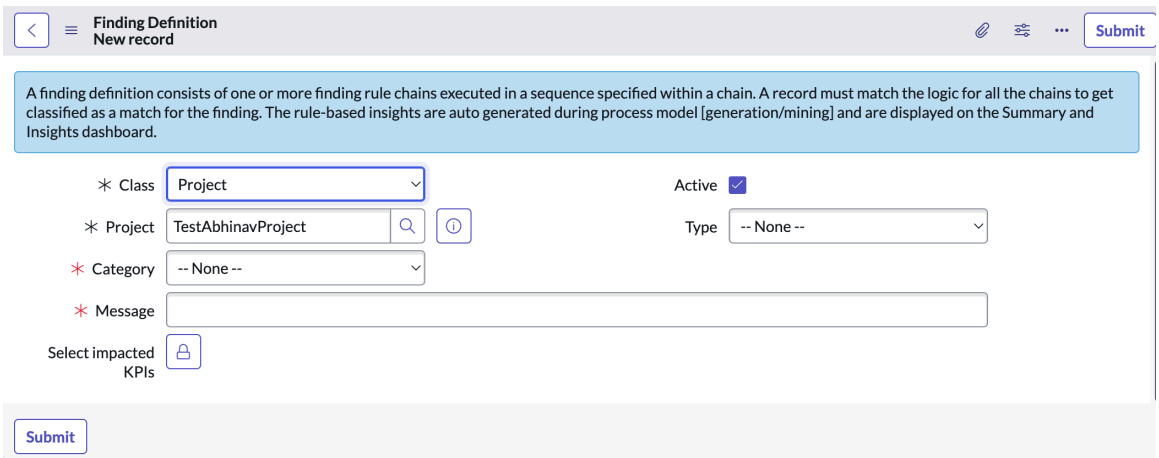
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

この例では、2 つの検索ルールと検索制約を使用して、インシデントがグループ (この例ではデータベース グループ) にアサインされてから元のアサインに戻されるタイミングを特定する検索定義を作成します。次のような検索定義を使用して、インシデントが誤って割り当てられている状況を特定します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクトをクリックし、この結果を含めるプロジェクトを開きます。
2. [プロジェクト検索定義] タブで、[新規] ボタンを選択して検索定義を作成します。
3. 検索定義レコードに詳細を入力します。
詳細については、「クラシックビューを使用したルールベースの検索定義の設定」を参照してください。



4. フォームヘッダーを右クリックし、コンテキストメニューから [保存] を選択します。
保存後、[検索ルール] タブと [検索制約] タブが表示されます。
5. 「 検索ルール 」タブで、「 新規 」ボタンを選択して検索ルールを作成します。
6. [**Start condition** (開始条件)] フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンを選択して、開始条件の作成を開始します。

   注:
   ルールごとに条件を作成する必要があります。既存のルールを選択するオプションはありません。

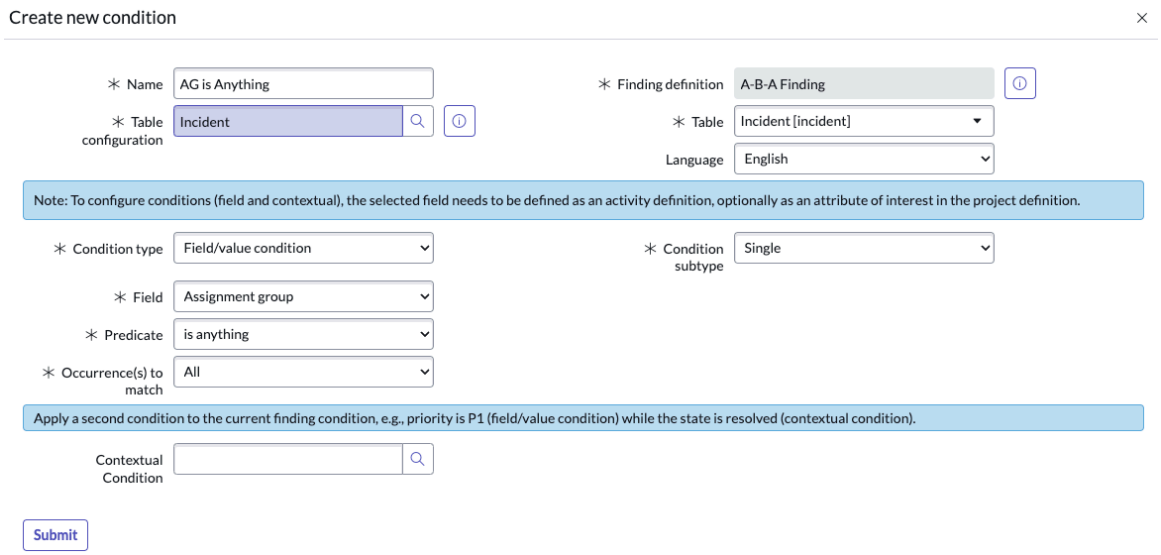
7. [新しい条件を作成] フォームのフィールドを使用して、最初の条件を作成します。

   開始条件では、[アサイン先グループ] フィールドの任意の値を使用してインシデントが作成される条件を作成します。

フィールド	値
名前	AG は何でもあり
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
述語	すべての値
一致する出現	すべて
条件サブタイプ	単一



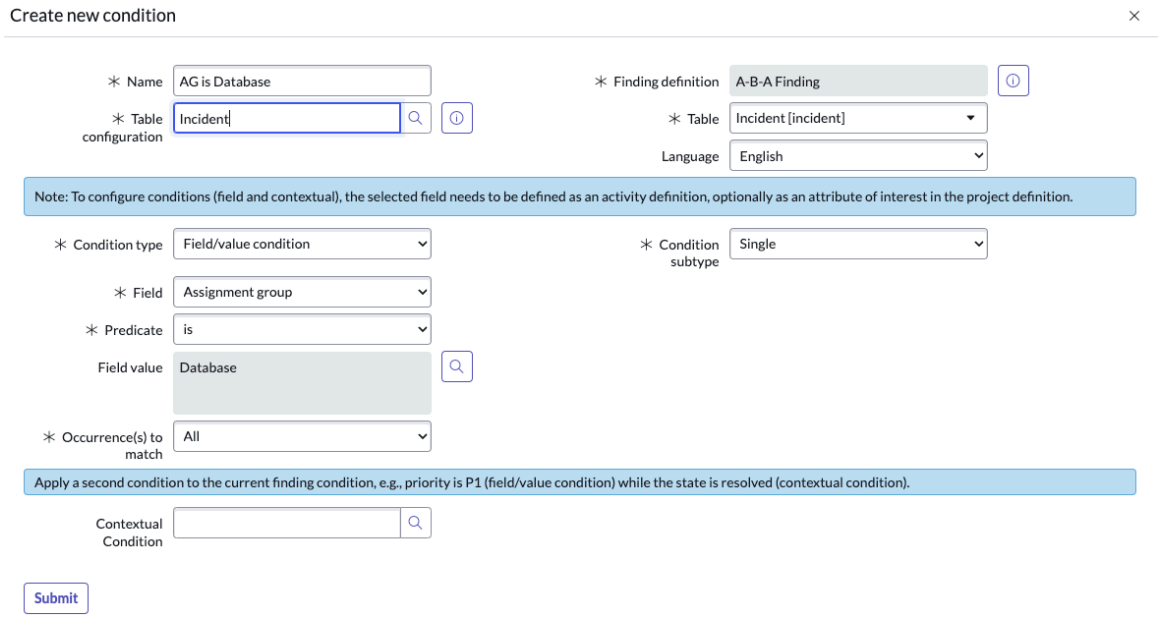
8. [送信] を選択して条件を保存します。
9. [関係] フィールドで、[最終的に次が続く] を選択します。
10. [終了条件] フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンを選択して、終了条件の作成を開始します。
11. [新しい条件を作成] フォームのフィールドを使用して、2 つ目の条件を作成します。

    2 つ目の条件では、インシデントがデータベースグループに割り当てられている条件を作成します。

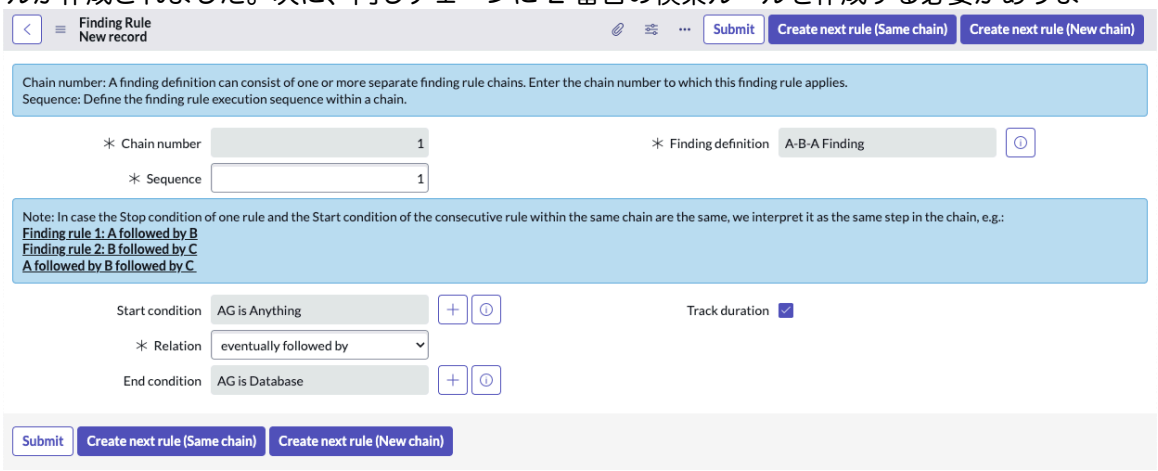
フィールド	値
名前	AG は何でもあり
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ
述語	次の値に等しい (=)
フィールド値	データベース
一致する出現	すべて
条件サブタイプ	単一

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

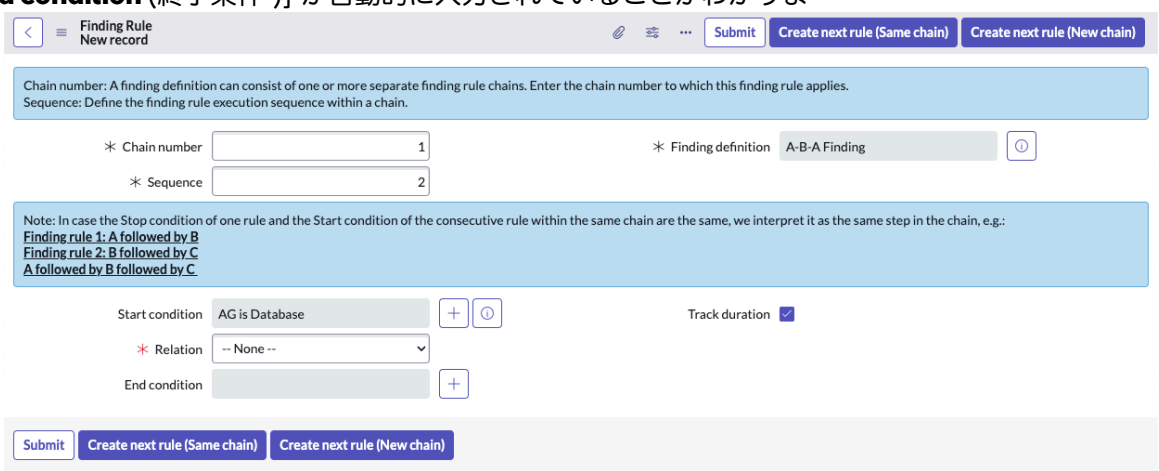


12. [送信] を選択して条件を保存します。
これで、インシデントがデータベースグループにいつアサインされたかを識別する最初の検索ルールが作成されました。次に、同じチェーンに 2 番目の検索ルールを作成する必要がありま



す。

13. **[Create new rule (Same chain)** (新しいルールの作成 (同じチェーン))] を選択します
これは同じチェーンの新しいルールです。[**Sequence** (シーケンス)] フィールドが 2 で、[**Start condition** (開始条件)] フィールドに前のルールの **[End condition** (終了条件)] が自動的に入力されていることがわかりま



す。

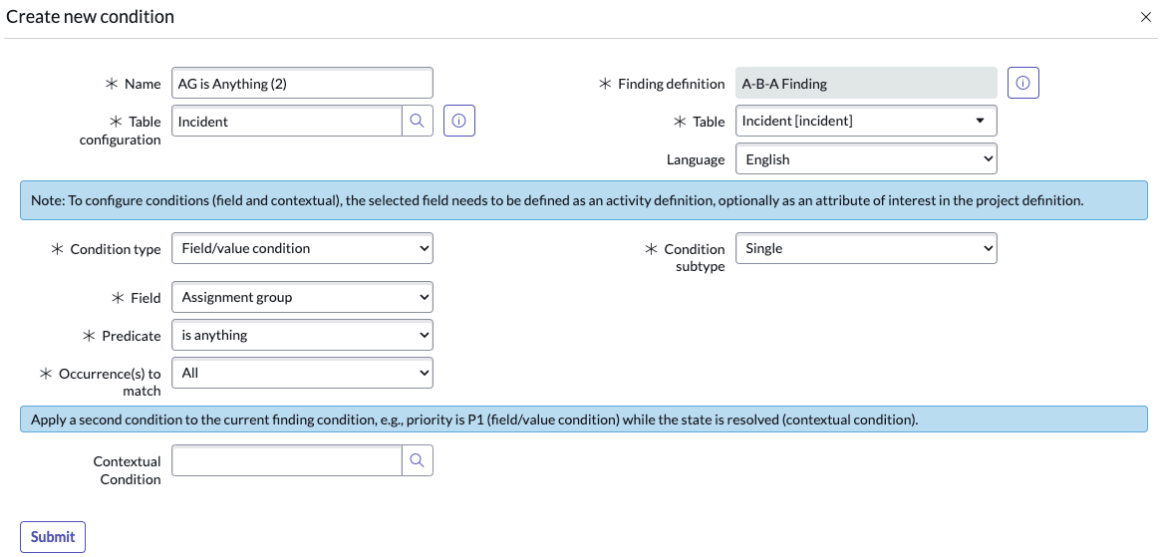
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

14. [関係] フィールドで、[最終的に次が続く] を選択します。
15. [**End condition**] フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンをクリックして、2 番目の終了条件の作成を開始します。
16. [新しい条件を作成] フォームのフィールドを使用して、終了条件を作成します。

    2 つ目の条件では、インシデントがデータベースグループに割り当てられている条件を作成します。

フィールド	値
名前	AGは何でも (2)
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ
述語	すべての値
一致する出現	すべて
条件サブタイプ	単一



17. [送信] を選択して条件を保存します。
    これで、2 番目の検索ルールが完成しました。
18. [送信] を選択して検索ルールを保存します。
19. プロジェクトレコードを再度開きます。
20. [プロジェクト検索定義] タブから、前の手順で作成した検索定義を開きます。

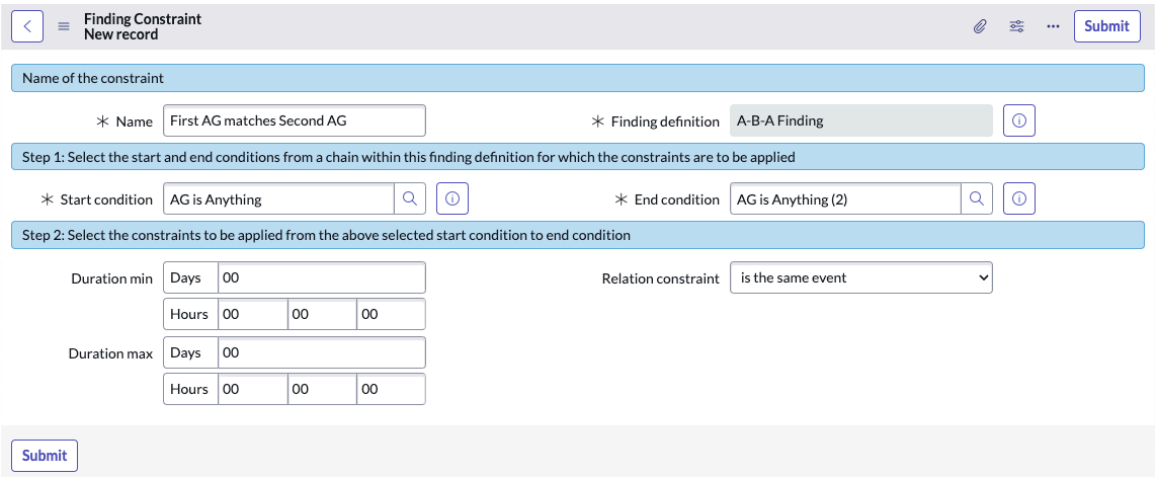
    注:
    これは、手順 3 で作成したものである必要があります。

21. [検索条件] タブで、[新規] ボタンを選択します。
22. [検索制約] フォームのフィールドを使用して、制約を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
名前	最初の AG が 2 番目の AG に一致
開始条件	AG は何でもあり
終了条件	AGは何でも(2)
関係制約	が同じイベントである



この検索制約により、検索ルールが絞り込まれます。これで、たとえば、インシデントが ネットワークにアサインされ、次に データベースにアサインされ、その後 ネットワークに戻った場合、この検索ルールによって検出されます。

23. [送信] を選択します。

クラシックビューを使用して自動化された改善の機会を設定する

[サマリーとインサイト] ページで指定したインサイトを表示するように自動検索定義を構成します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. プロジェクトを選択します。
3. [自動検索定義] タブで [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   詳細については、「クラシックビューからの自動化検索定義フォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。

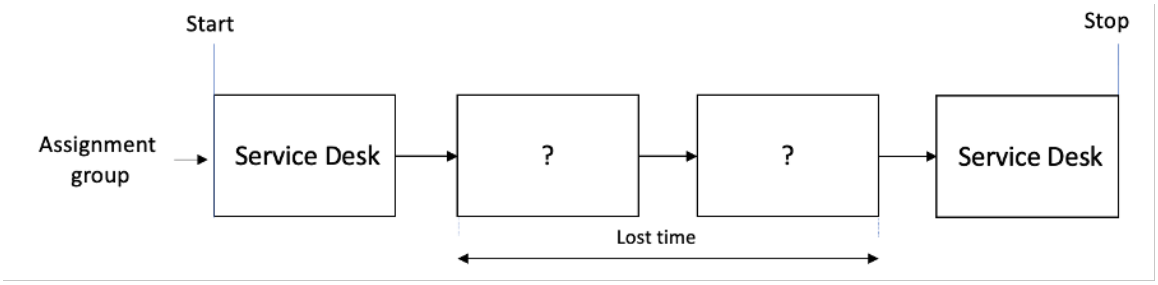
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

改善の機会の例

検索定義のユースケースを以下で説明します。

ユースケース 1a:グループ間でのレコードのバウンスアナリストは多くの場合、特定のグループ (サービスデスクなど) から送信されたレコードを特定し、別のグループに再アサインし、最終的に最初のグループによって再度解決されたレコードを特定したいと考えます。



最初のグループがわかっている場合は、メッセージとカテゴリの検索ルールを使用します。

- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件
  - 名前:グループ名 (Service Desk など)
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語 = 次の値に等しい
  - フィールド値 = サービスデスク
  - 一致する発生件数:最初のみ

関係:最終的に次が続く

- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:グループ名 (Service Desk など)
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語 = 次の値に等しい
  - フィールド値 = サービスデスク
  - 一致する発生件数:最後のみ
  - 追跡期間:true

ユースケース 1b:類似した初期グループを持つグループ間でバウンスするすべてのレコードを特定する必要がある場合は、メッセージとカテゴリの検索ルールを使用します。

- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件
  - 名前:アサイン先グループはすべて
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ

自動翻訳

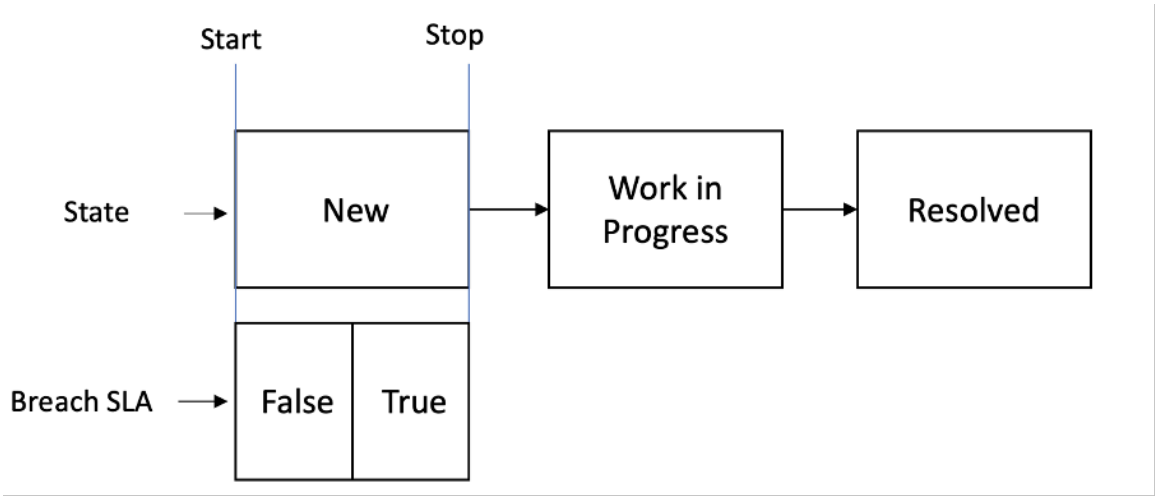
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 述語 = すべて
- 一致する発生件数:最初のみ

関係:最終的に次が続く

- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:アサイン先グループはすべて
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語=は何でも
  - 一致する発生件数:すべて
  - 追跡期間:true
  - 関係制約:同じアサイン先グループを持つ

ユースケース 2:SLA 違反SLA 違反が発生したときにステータスが [新規] であったすべてのレコードを表示しま



す。

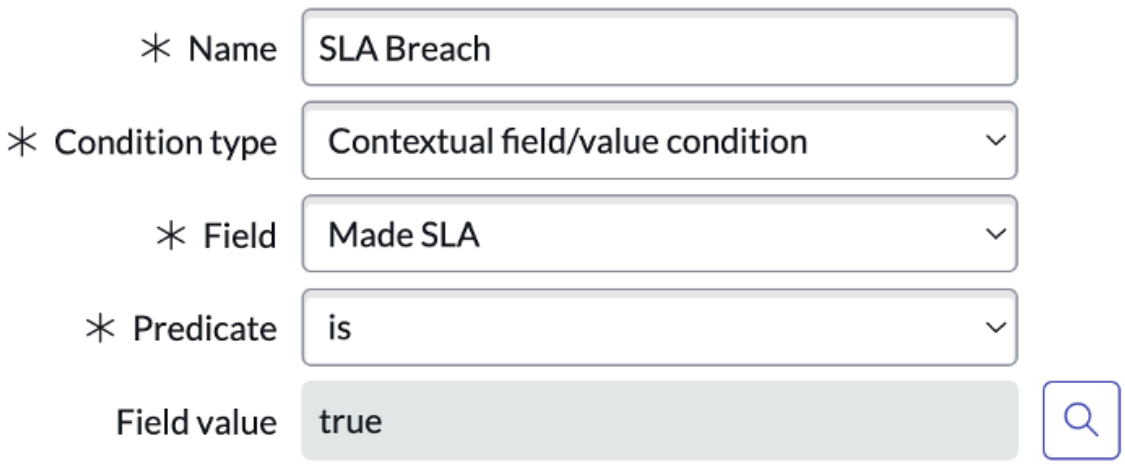
検索定義にメッセージとカテゴリを指定した後、次のように検索ルールを指定します。

- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件
  - 名前 = state
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = 都道府県
  - 述語 = 次の値に等しい
  - フィールド値 = 新規
  - 一致する発生件数 = 最初のみ
- コンテキスト条件:
  - 名前 = SLA 違反
  - Finding Def = 検索定義メッセージを追加します
  - 条件タイプ = コンテキストフィールド/値条件

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

  - Field=SLA 達成 (プロジェクトでアクティビティ定義として SLA が定義されていることを確認してください)
  - Predicate=is not (述語=ではない)
  - フィールド値 = true
- 関係:直行
- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:都道府県
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = 都道府県
  - 述語=is
  - フィールド値 = 対応中
  - 一致する発生件数 = 最初のみ
- コンテキスト条件:
  - 名前 = SLA 違反
  - 条件タイプ = コンテキストフィールド/値条件
  - Field=SLA 達成 (プロジェクトでアクティビティ定義として SLA が定義されていることを確認してください)
  - 述語=is
  - フィールド値 = true
- 追跡期間:true

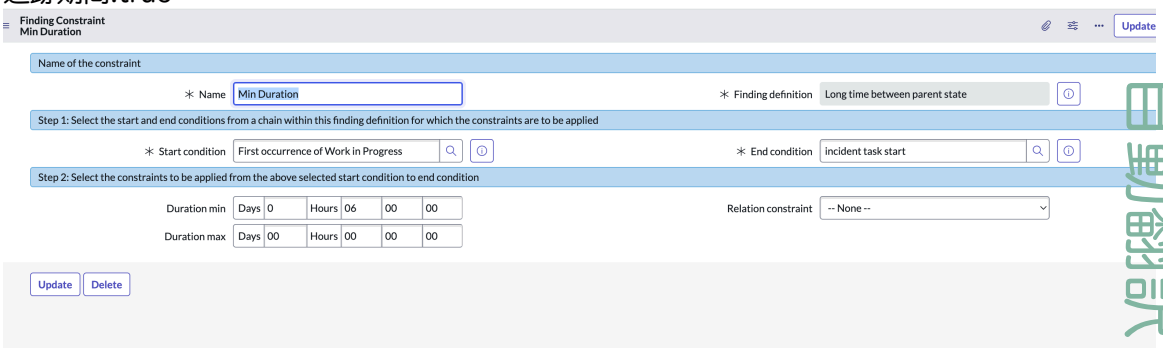


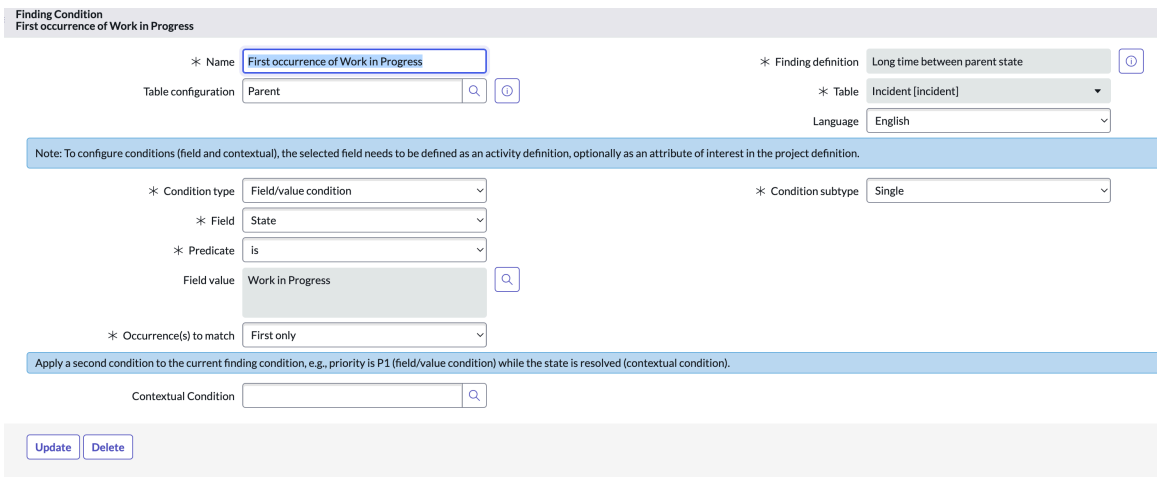
ユースケース 3:親ステータスが [対応中] になってからタスクが作成されるまでの時間が 6 時間を超えている。解決時間またはレコードは、多くの場合、1 つ以上のタスクの完了に依存します。したがって、メイン レコードの解決時間を改善するには、メイン レコードが 対応中 ステータスに達した後、できるだけ早くタスクを開始することが重要です。この例では、ユーザーは、メインレコードが [対応中] になってから基になるタスクの作成に 6 時間以上かかったすべてのレコードを検索したいと考えています。検索定義にメッセージとカテゴリを指定した後、次のように検索ルールを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 開始条件テーブルの構成:インシデントなどの親
- 開始条件
  - 名前:対応中の最初の発生
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = 都道府県
  - 述語 = 次の値に等しい
  - フィールド値 = 対応中
  - 一致する出現件数:first、only
    - 関係:最終的に次が続く
    - 終了条件テーブルの構成:インシデントタスク
    - 終了条件
      - 名前 = incident task start
      - [条件タイプ] = [プロセスの開始]
        - 制約:最小期間は 6 時間です
        - 追跡期間:true





クラシックビューからの検索ビルダーを使用した改善の機会の設定

検索ビルダーから改善の機会を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- ルールベースの検索定義は、[プロセス構成] ページまたは [プロジェクト] ページから作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. プロジェクトを選択します。
3. 「プロジェクト検索定義」タブまたは「自動検索定義」タブで「検索定義を使用」を選択します。
   [改善機会の定義] ページが表示されます。
4. ルールベースの改善の機会を作成するには、ルールベースのカードで 作成 を選択します。
   詳細については、「ルールベースの改善機会を設定する」を参照してください。
5. 自動化された改善の機会を作成するには、自動化された機会カードのいずれかで [作成] を選択します。
   詳細については、「自動化された改善の機会」を参照してください。

プロジェクトビルダーからの改善の機会の設定

プロジェクトビルダーから改善の機会を設定します。

プロジェクトの作成または編集中に、プロジェクトビルダーからルールベースの自動化された改善の機会を作成します。

ルールベースの改善機会を設定する

ルールベースの検索定義は、ユースケースの改善の機会を [サマリーとインサイト] ページに表示するカスタムルールです。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

独自のルールを設定することで、詳細を知りたいプロセスの特定の領域に焦点を当て、特定のユースケースの改善の機会を特定できます。

たとえば、「 検証待ち 」から 「解決済み」まで 7 日以上かかったレコードを表示するルールを設定できます。

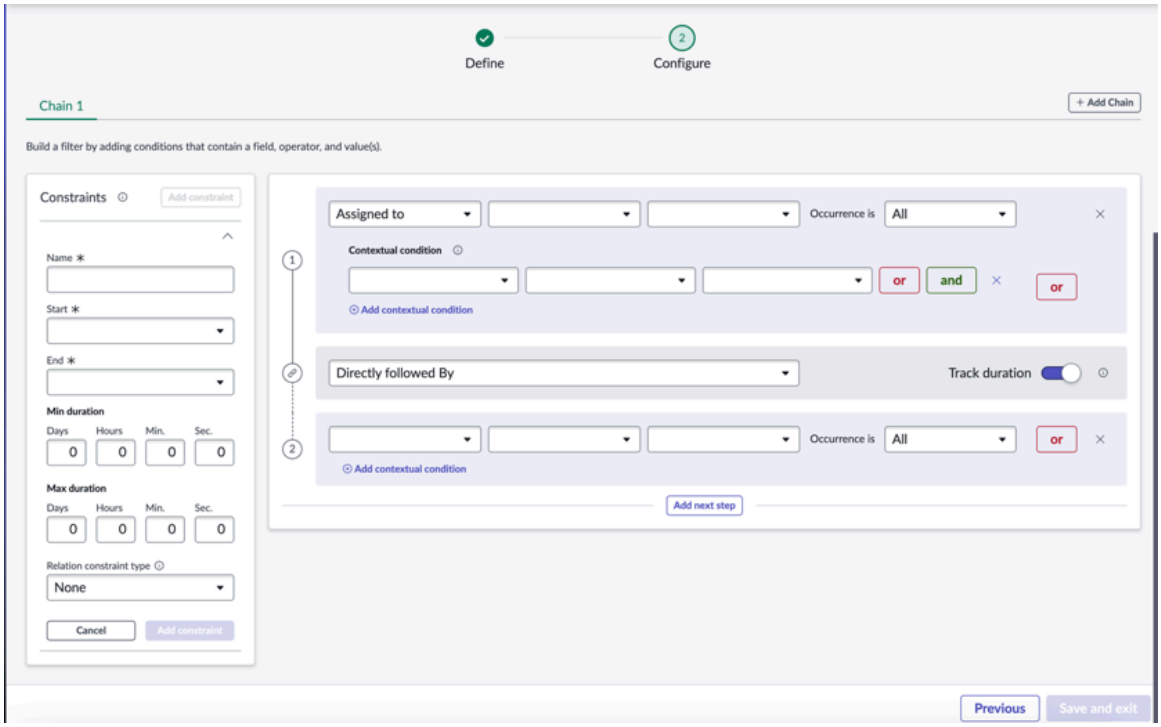
手順

1. 改善機会の定義ページに移動します。
   改善機会の定義ページの詳細については、「 改善の機会を設定する」を参照してください。
2. [ルールベース] カードで [作成] を選択します。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーからのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [構成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[構成] タブが表示されます。



5. フォームに詳細を入力します。

   a. フィールド、演算子、および値を含む条件を追加して、フィルターを定義します。

      [発生件数] フィールドを使用して、この条件の最初、最後、またはすべての発生件数にフィルターを適用するかどうかを定義します。

   b. [コンテキスト条件を追加] ボタンを使用して、このフィルターの追加のコンテキスト条件を定義します。

      [and] および または **[or]** ボタンを使用して、コンテキスト条件を必要な数だけ作成します。

   c. [次のステップを追加] を選択して、このチェーン内に別のフィルターを定義します。

      フィルターを作成すると、2 つのフィルターの間に関係セクションが表示されます。このセクションでは、すぐ上とすぐ下のアクティビティ間の関係を定義します。

   d. フィルター間の関係を選択します。

      - 次が直接続く
      - Eventually followed by
      - 次が直接続かない
      - 最終的に次が続かない

   e. [追跡期間] フィールドを選択します。

      このフィールドは、指定された検索ステップ間の時間を追跡して、改善機会に表示される検索プロセスの合計期間を計算します。

   f. [**+** チェーンの追加] (右上) を選択して、フィルターの追加のチェーンを作成します。

      チェーンは、リンクされたフィルターのセットです。チェーンを作成して、true と評価される必要があるが、別のチェーンのフィルターとの関係を持たない関連フィルターの個別のセットを

自動翻訳

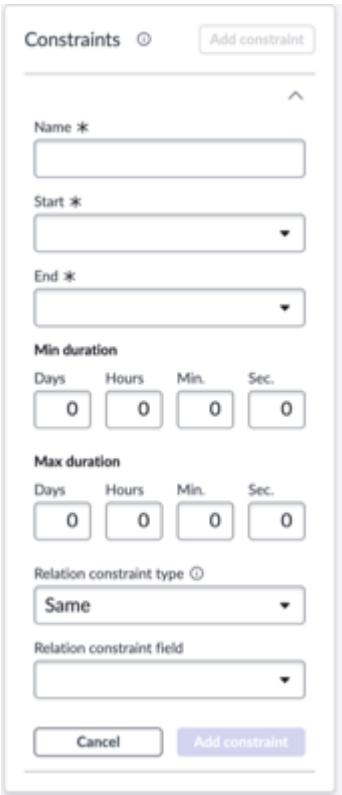
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

定義します。チェーンを作成したら、ウィンドウの上部にある チェーン <番号> タブを使用してチェーン間を移動できます。

g. [制約の追加] を選択します。

制約パネルが右側に表示されます。検索制約を使用して、特定のステップ間の期間や関係の制約など、検索定義ステップ間に特定の条件を設定します。これにより、基本的な検索ルールを超えてスコープを絞り込むことができます。

h. [制約の追加] を選択し、すべての詳細を入力して、 [制約の追加] を選択します。



フィールド	説明
名前	制約の名前
開始	検索制約をトリガーするイベント。使用可能なオプションは、フィルターで提供される手順です。
終了	検索制約を終了するイベント。使用可能なオプションは、フィルターで提供される手順です。
最小期間	[開始] フィールドで定義されたイベントと [終了] フィールドで定義されたイベントの間の最小期間を指定します。[終了] フィールドのイベントは、このフィールドで指定された時間の後に発生する必要があります。
最大期間	[開始] フィールドで定義されたイベントと [終了] フィールドで定義されたイベントの間の最大期間。[終了] フィールドのイベント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	は、このフィールドで指定された時間より前に発生する必要があります。
関係制約タイプ	制約がトリガーされるタイミングをさらに詳細に定義するオプションの制約条件。 なし 関係制約なし 同じ レコードは、特定のフィールドで同じ値を持つ必要があります。このフィールドは、[関係制約フィールド] フィールドに指定します。 異なる レコードは、特定のフィールドに異なる値を持つ必要があります。このフィールドは、[関係制約フィールド] フィールドに指定します。 同じユーザー 開始条件と終了条件は、同じユーザーがトリガーする必要があります。 別のユーザー 開始条件と終了条件は、異なるユーザーがトリガーする必要があります。 同じイベント 開始ステップと停止ステップは同じですが、中間ステップは異なっていてもよいことを示します。これは、A -> B -> A など、最初と最後のステップのみが一致する必要があるピンポンパターンを識別するのに役立ちます。 異なるイベント 開始ステップと停止ステップが互いに異なることを示しますが、中間ステップは異なる場合もあれば同じ場合もあります。これにより、A -> B -> C など、最初のアクティビティと最後のアクティビティが同じではないシーケンスを識別し、プロセスが異なるイベントで開始および終了することを保証できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
関係制約フィールド	関係制約タイプに関連付けられたフィールド。 このフィールドは、[関係制約タイプ] フィールドで [同一] または [異なる] が選択されている場合に表示されます。 注: 「 開始条件 」または 「終了条件 」フィールドが選択されていない場合、使用可能な関係制約フィールドは空で表示されます。

6. [保存して終了] を選択します。

自動化された改善の機会

自動化された改善の機会は、 プロセスマイニングで利用可能な改善の機会です。これらを設定して、プロセスの改善の機会を理解します。

プロセスマイニング、次の改善の機会を利用できます。

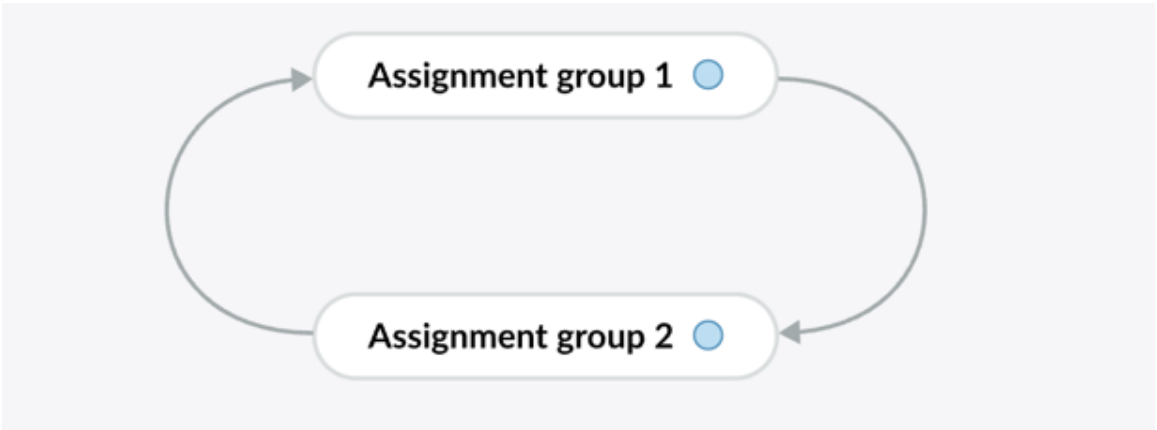
ピンポン検索定義を構成

レコードが中断なしに 2 つのステップ間でバウンスするパターンを表示するようにピンポン検索定義を構成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

ピンポン検索定義では、レコードが 2 つのステップ間で連続的にバウンスするプロセス内の領域を明らかにします。これらのループを特定することで、必要な改善点を判断できます。



Ping pong is seen here between both assignment groups, caused by continuous reassignment

手順

1. 改善機会の定義ページに移動します。
   改善機会の定義ページの詳細については、「 改善の機会を設定する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

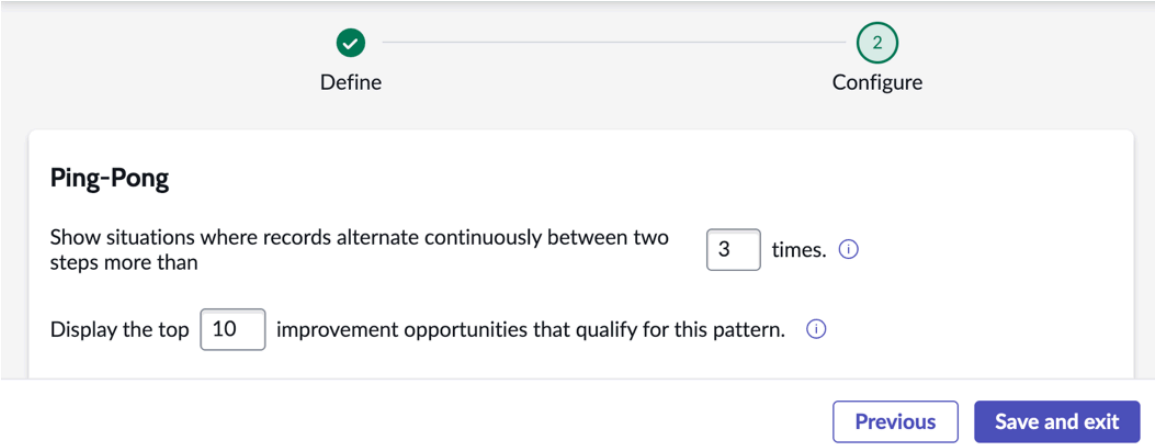
2. ピンポン カードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。

プロジェクト定義フォーム

フィールド	説明
名前	自動検索定義の名前を指定します。
パターンタイプ	このフィールドは自動入力されます。作成することを選択した自動検索定義がここに表示されます。 必要に応じて変更できます。
パターンを検出するフィールド	このパターンを検出するテーブルから任意のフィールドを選択します。このフィールドでは、検索定義全体が機能します。
カテゴリ	自動検索定義が属するカテゴリを指定します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 ○ 品質 ○ 自動化 ○ 適合率 ○ パフォーマンス
アクティブ	この検索定義をアクティブにする場合は、フィールドを選択します。デフォルトではオンになっています。
テーブル	選択したテーブル名が表示されます。このフィールドは編集できません。
プロセスに適用	選択したテーブル名が表示されます。このフィールドは編集できません。
影響を受ける KPI	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、プロセスマイニングワークスペースのインサイトパネルで確認できます。

4. [構成] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

- レコードは、2 つのプロセス間で交互に繰り返される中断のない 3 回の最小回数を持つ必要があります。
- [サマリーとインサイト] ページには、最大 10 件の改善の機会が表示されます。

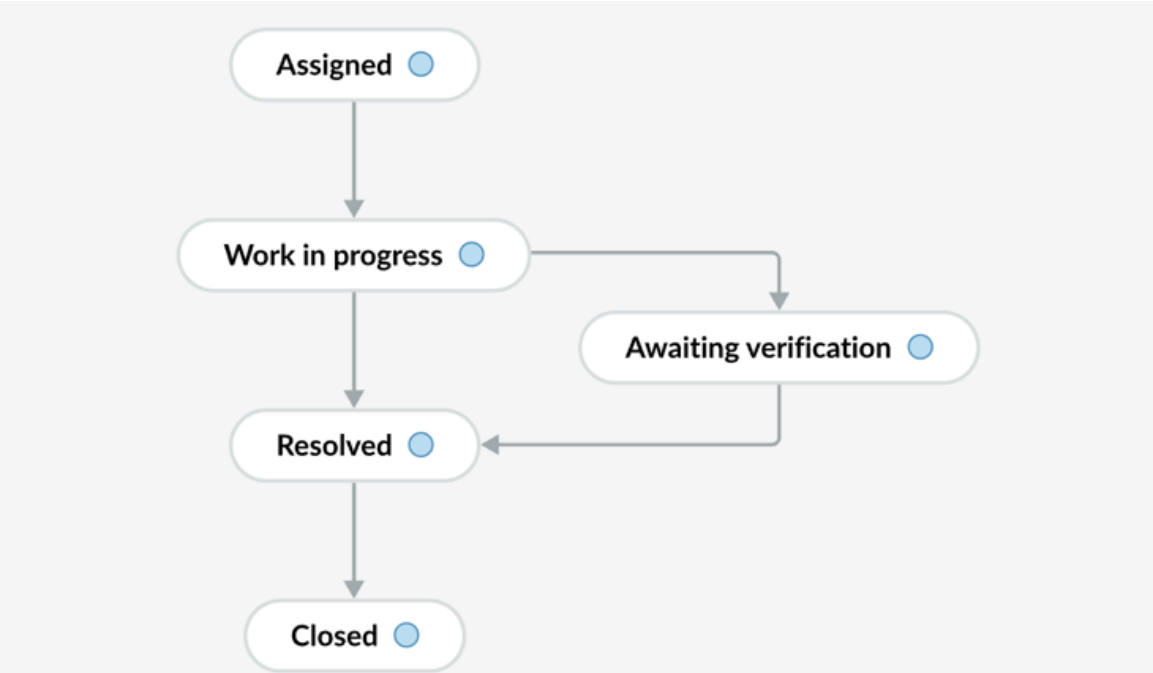
5. [保存して終了] を選択します。

追加ステップの検索定義を構成

追加ステップ検索定義を構成して、ルートがさらに 1 ステップ異なるパターンを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

追加ステップ検索定義では、プロセス内のバリアント (ルート) が 1 つだけ異なるバリアント (ルート) が表面化されます。これは、時間を節約するために自動化または削除できる可能性があります。

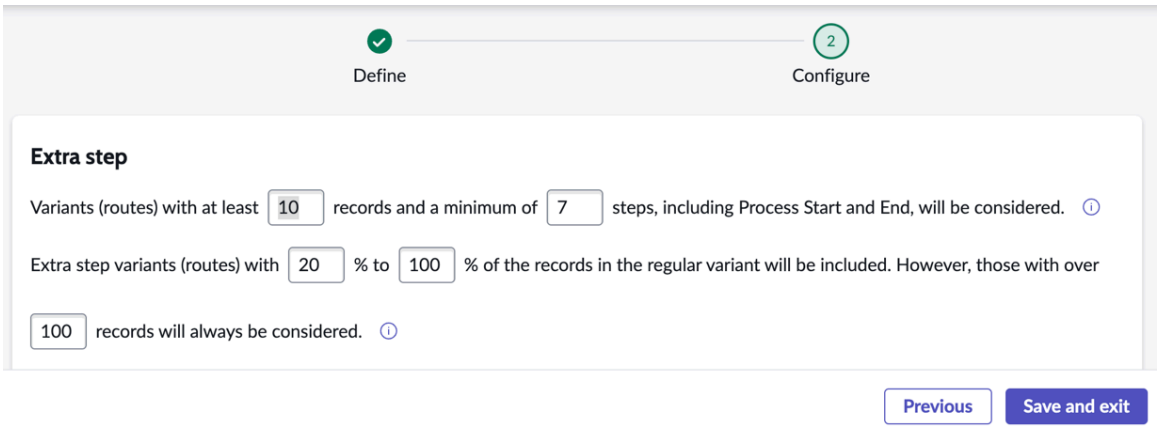


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 改善機会の定義ページに移動します。
   改善機会の定義ページの詳細については、「 改善の機会を設定する」を参照してください。
2. [追加ステップ] カードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーからのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [構成] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。



   例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

   - 最低 7 ステップのバリアント (ルート) をチェックして、追加のステップで類似のバリアントを検索します。ステップには、 プロセスの開始 と プロセスの終了が含まれます。また、バリアントには少なくとも 10 個のレコードが必要です。
   - 効率的なルートの体積の20%から100%のバリアントのみが考慮されます。ただし、100 レコードを含むバリアントは、パーセンテージに関係なく常に考慮されます。
   - 上位 10 個のバリアントのみが [Summary and Insights (概要とインサイト)] ページに表示されます。
6. [保存して終了] を選択します。

遅い移行の構成

低速移行検索定義を構成して、レコードのクラスターが別のレコードグループの平均期間よりも長い異常な期間を持つパターンを表示します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

低速移行検索定義には、別のレコードグループの平均期間よりも長い異常な期間を持つレコードのクラスターが表示されます。これは、重要なレコードグループの進行が遅いことを識別するのに役立ちます。

自動翻訳

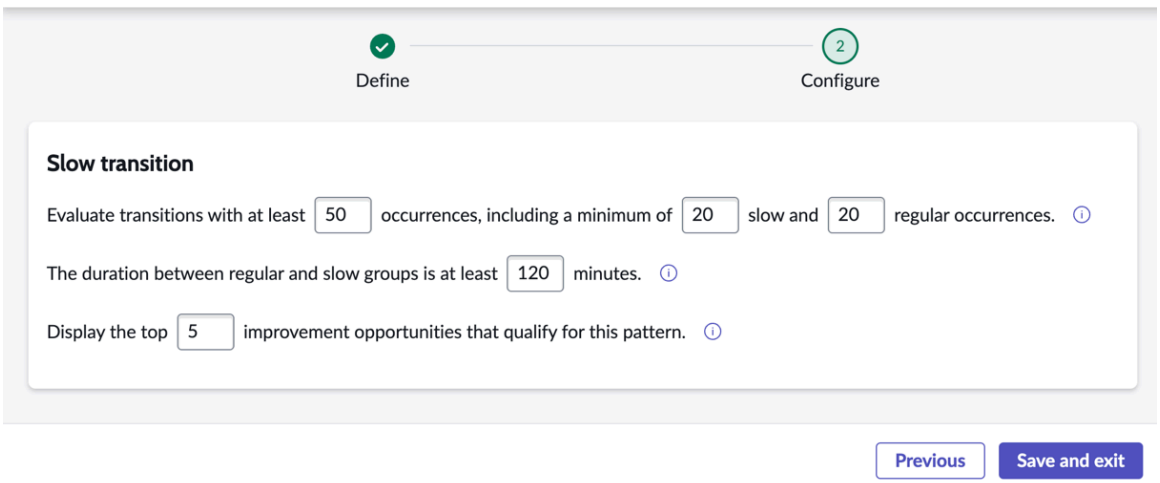
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Group B takes longer to transition from "New" to "Assigned"

手順

1. 改善機会の定義ページに移動します。
   改善機会の定義ページの詳細については、「 改善の機会を設定する」を参照してください。
2. [低速移行 (Slow transitions)] カードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーからのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [構成] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。



   例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。
   - 移行には少なくとも 50 回のオカレンスが必要であり、少なくとも 20 回の遅い移行と 20 回の通常の移行が必要です。
   - 低速移行グループの最短移行と通常の移行グループの最長移行の差は、少なくとも 120 分である必要があります。
   - [サマリーとインサイト] ページには、上位 5 つの遅い移行のみが表示されます。
6. [保存して終了] を選択します。

極端持続期間検索定義の構成

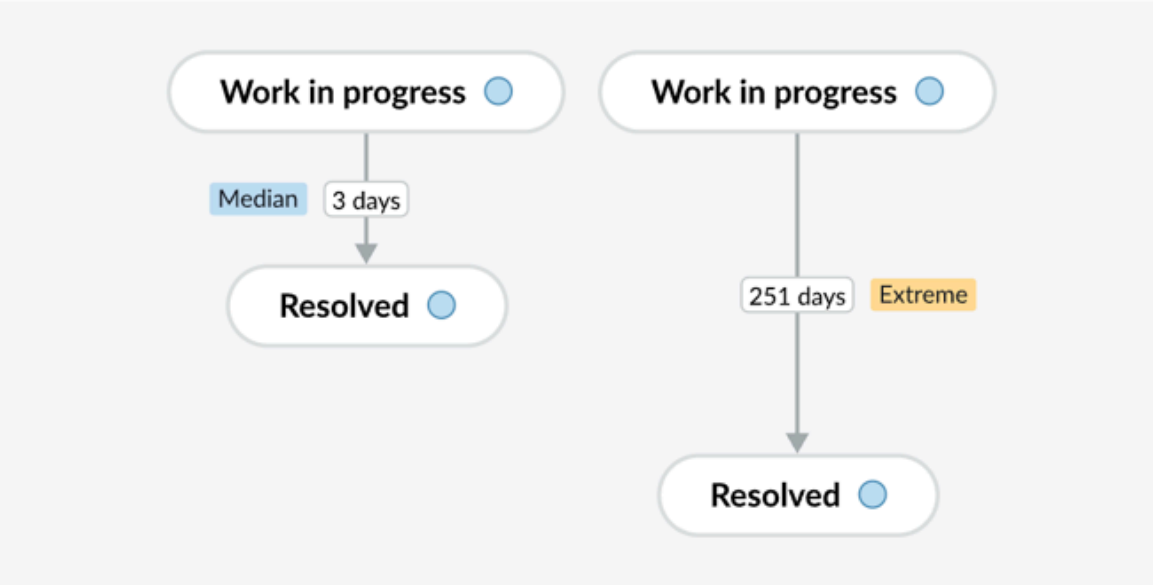
極端な期間の検索定義を構成して、ステップ間の移行にかかる時間よりも大幅に長いパターンを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

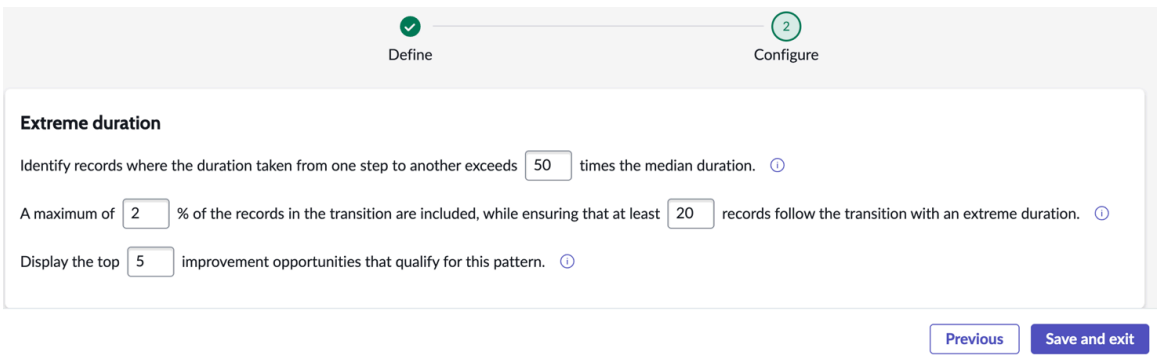
極端期間検索定義には、期間中央値よりも大幅に長い時間がかかる移行が表示されます。これにより、潜在的な期間の異常を発見できます。



Right-hand side transition takes significantly longer than the median duration (3 days) to complete

手順

1. 改善機会の定義ページに移動します。
   改善機会の定義ページの詳細については、「 改善の機会を設定する」を参照してください。
2. 極端な期間 カードで 作成 を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーからのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [構成] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 指定された回数に期間中央値を掛けた最短時間かかるレコード。
- 多数のレコードが表示されないように、合計レコードの 2% のみが含まれます。また、最低 20 件のレコードが考慮されます。
- [サマリーとインサイト] ページには、上位 5 つの極端な期間の移行のみが表示されます。

6. [保存して終了] を選択します。

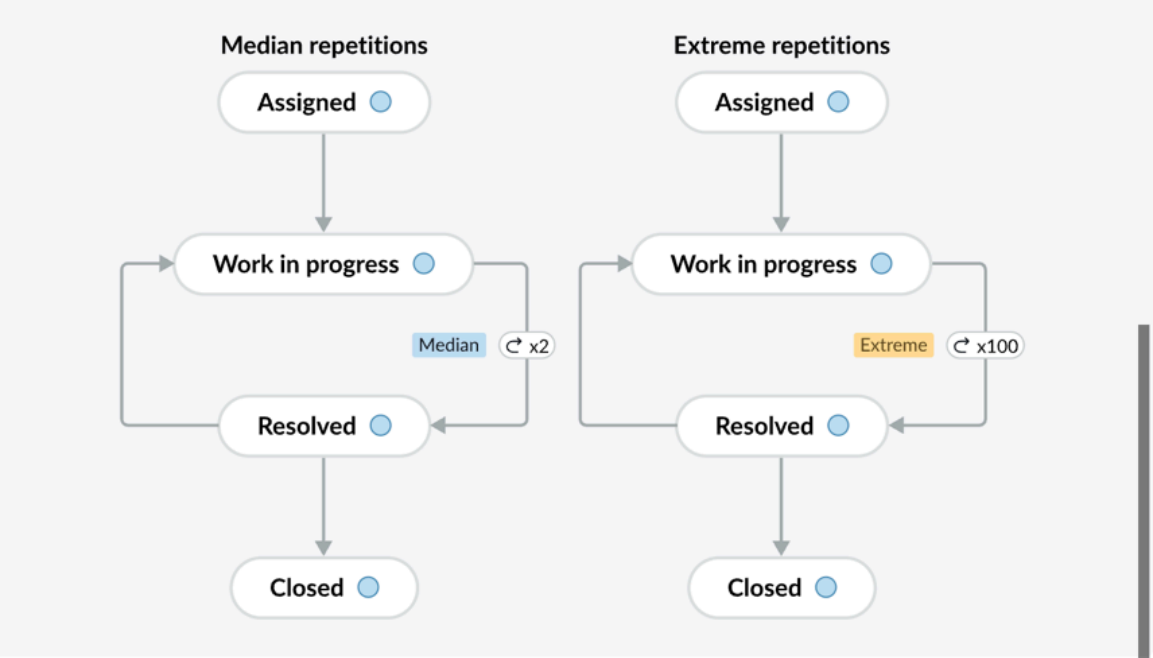
極端な繰り返し検索定義を構成

極端な繰り返し検出定義を構成して、ステップ間で移行が通常の繰り返し範囲を超えて繰り返されるパターンを表示します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

極端期間検索定義には、期間中央値よりも長い時間がかかる移行が表示されます。これにより、潜在的な期間の異常を発見できます。



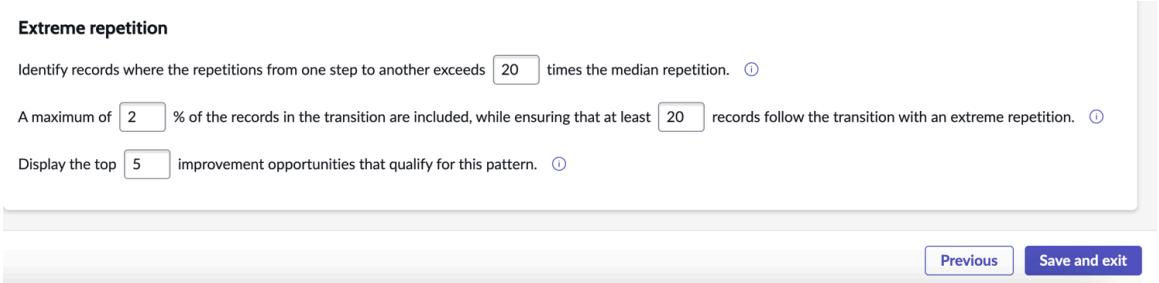
Right-hand side transition between "Work in progress" and "Resolved" occurred significantly more than the median repetition

手順

1. 改善機会の定義ページに移動します。
   改善機会の定義ページの詳細については、「 改善の機会を設定する」を参照してください。
2. [極端な繰り返し] カードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーからのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [構成] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

- 指定された回数に期間中央値を掛けた最短時間かかるレコード。この例では、期間の中央値は 20*です。
- 多数のレコードが表示されないように、合計レコードの 2% のみが含まれます。また、最低 20 件のレコードが考慮されます。
- [サマリーとインサイト] ページには、上位 5 つの極端な期間の移行のみが改善の機会として表示されます。

6. [保存して終了] を選択します。

繰り返しパターン検索定義の構成

一連の繰り返しシーケンスのステップがあるパターンを表示するには、繰り返しパターン検索定義を構成します。

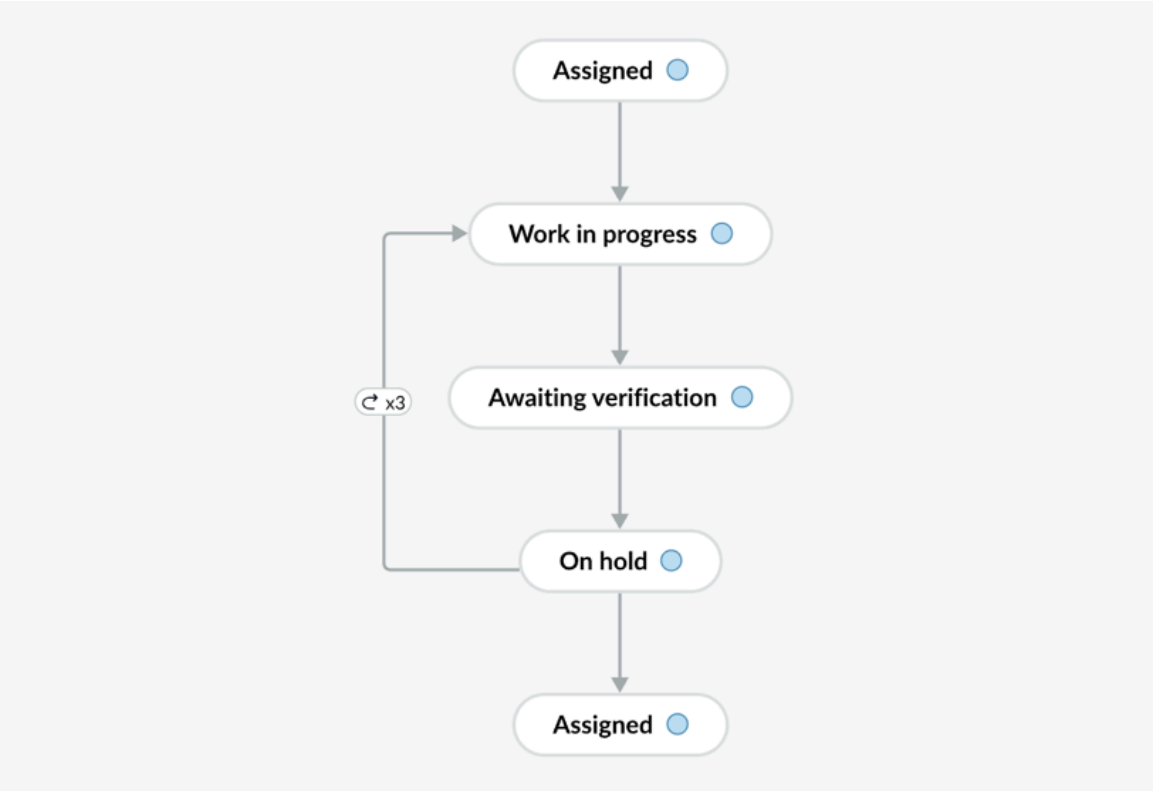
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

繰り返しパターン検索定義では、特定のステップ順序の繰り返しが表示されます。これにより、特定の部分やプロセスを改善したり自動化したりする領域に焦点が当てられ、見直されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



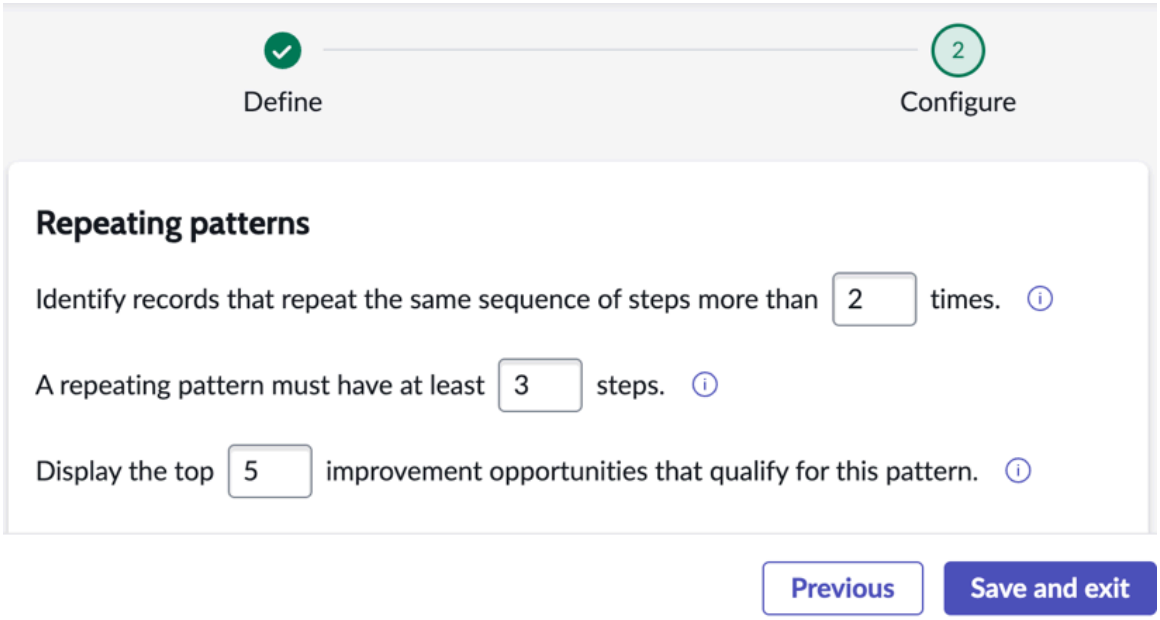
"Work in progress", "Awaiting verification", and "On hold" were executed multiple times

手順

1. 改善機会の定義ページに移動します。
   改善機会の定義ページの詳細については、「 改善の機会を設定する」を参照してください。
2. 繰り返しパターン カードで 作成 を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーからのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [構成] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

- レコードは少なくとも 2 回繰り返す必要があります。
- 繰り返しパターンには少なくとも 3 つのステップが必要です。
- [サマリーとインサイト] ページには、上位 5 つの繰り返しパターンのみが表示されます。

6. [保存して終了] を選択します。

やり直し検索定義を構成

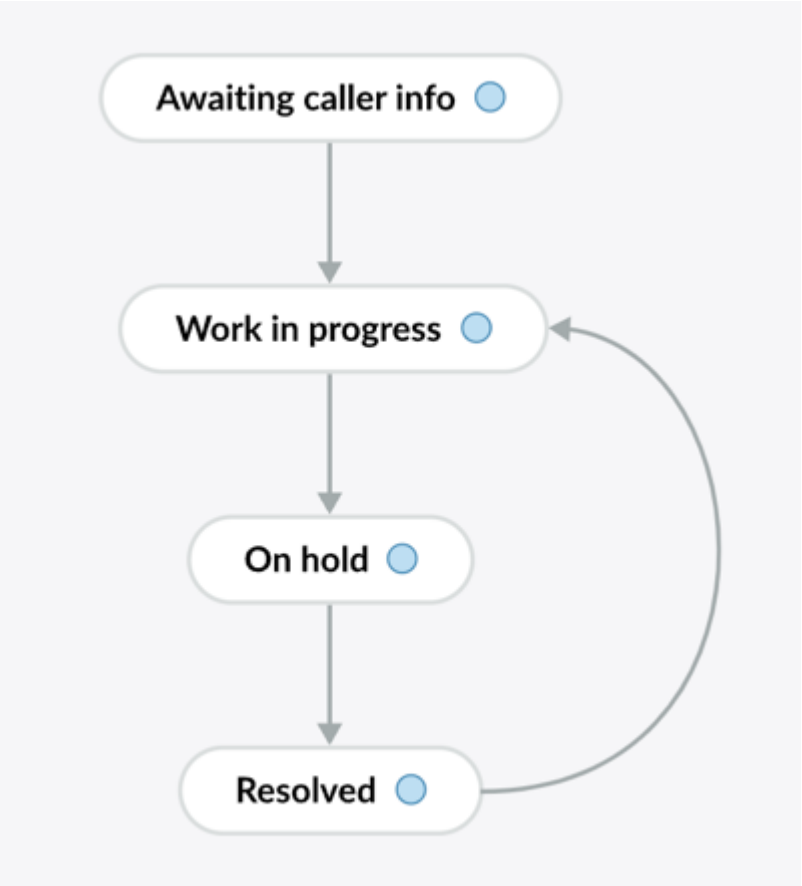
リワーク検索定義を構成して、プロセスのステップが繰り返されるパターンを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

検索定義のやり直しには、繰り返されるプロセスステップが表示されます。これは、作業が頻繁に繰り返される可能性がある状況を特定するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



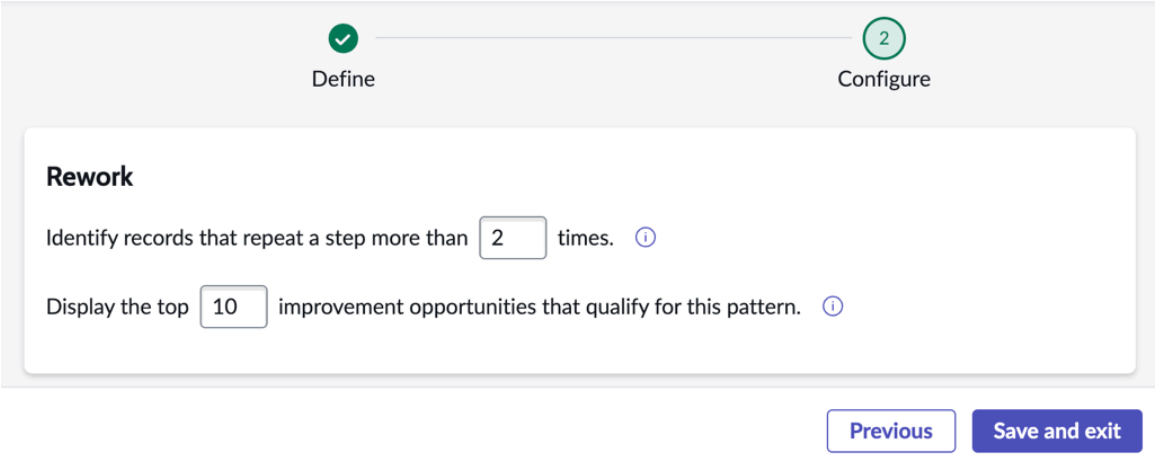
"Work in progress" has been revisited

手順

1. 改善機会の定義ページに移動します。
   改善機会の定義ページの詳細については、「 改善の機会を設定する」を参照してください。
2. やり直しカードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーからのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [構成] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

- 1 つのステップが 2 回以上繰り返されるレコード。
- 上位 10 件のレコードのみが [サマリーとインサイト] ページに表示されます。

6. [保存して終了] を選択します。

[サマリーとインサイト] ページからの改善の機会の設定

[サマリーとインサイト] ページから改善の機会を設定して、プロジェクトの改善の機会を構成します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- ルールベースの検索定義は、[プロセス構成] ページまたは [プロジェクト] ページから作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
   プロジェクトに改善の機会が設定されていることを確認します。
3. [**Opportunities** (機会)] セクションで [**Change the configuration** (構成の変更)] リンクを選択します。
   プロジェクトビルダーの [改善の機会] ページが表示されます。
4. [新規] を選択します。
   改善機会の定義ページが表示されます。
5. カードで [作成] を選択して、そのタイプの改善の機会を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ルールベースの改善の機会については、「 ルールベースの改善機会を設定する」を参照してください。

自動化された改善の機会の詳細については、「 自動化された改善の機会」を参照してください。

プロセスインサイトの分析と取得

自動化されたプロセスデータからビジネスフローを可視化して分析し、それらのインサイトに基づいて行動します。

[サマリーとインサイト] ページ

プロセスを視覚化するだけでなく、プロセスの改善に役立つ興味深い事実を確認することもできます。 プロセスマイニング は、接続、アクティビティ、およびルートのルールとクラスター分析を使用して、これらの計算されたインサイトを提供します。[サマリーとインサイト] ページから、スピード、品質、コストがビジネスに与える影響などのメトリクスに関する統計的に関連する結果にアクセスできます。改善の機会の概要と詳細なレポートを表示できます。ここからプロジェクトの新しい検索ルールを作成することもできます。

アナリストワークベンチ

ビジネスプロセスをより適切に分析するには、プロジェクトデータから生成されたプロセスマップを絞り込みます。Analyst Workbench からマップを絞り込むことができます。ワークベンチから、2つのプロジェクトを並べてさらに分析したり、改善イニシアチブで共同作業したり、メトリクスを表示したりできます。

注:
Analyst Workbench には、プロジェクトが構成され、そのデータがプロセスマップに生成された後にのみアクセスできます。

ページまたはワークベンチから、クラスター分析やプロセス分析などのタスクを実行できます。

関連情報

プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

ビジネスインサイトの表示

[サマリーとインサイト] ページからビジネスプロセスに関する重要な情報を表示します。目標とパフォーマンスインジケーターを確認し、改善の機会に関するインサイトを取得します。

[サマリーとインサイト] ページには、プロセスを最適化する機会が表示されます。次のスナップショットを表示できます。

- 達成済みまたは未達成の目標と KPI
- 改善の機会の概要
- 新しい改善の機会

自動翻訳

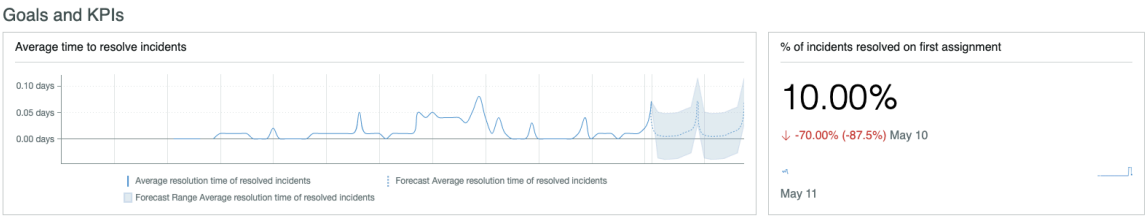
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ゴールと KPI

> **注:**
> [目標と KPI] セクションは、 パフォーマンスアナリティクス の統合により使用できます。

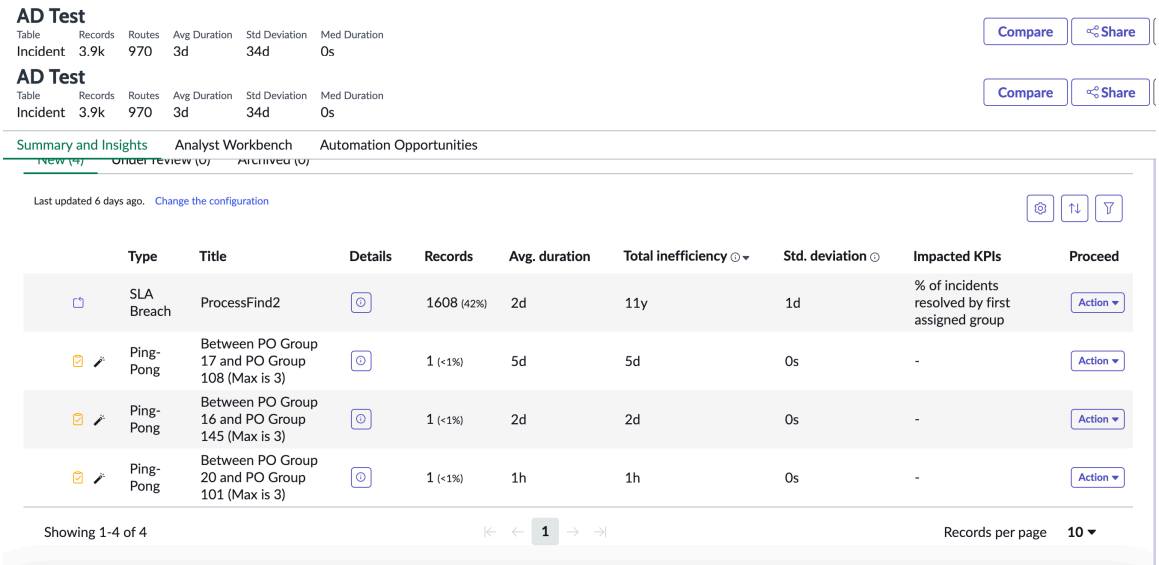
[目標と KPI] セクションは、 UI ビルダーから構成されます。

[目標と KPI] セクションから、可視化を選択して KPI 詳細 ビューからインジケーターの詳細をより詳細に分析します。KPI 詳細には、特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードが表示されます。[KPI 詳細] ページでは、重要業績評価指標の背後にある詳細情報が表示されます。



改善の機会の概要

改善機会の概要セクションでは、カテゴリ、タイプ、KPI 別にソートされた機会を 3 つの異なるカードで確認できます。



構成するルールは、ビジネスに関する所見を検出します。たとえば、次のようなルールを設定できます。

- [クローズ済み] または [解決済み] ステータスに直接移行したレコード
- 顧客が受け入れなかったソリューション、またはステータスが「解決済み」から「対応中」に変更されたソリューションを使用してレコードを作り直しました。
- グループ割り当てが間違っているか多数

ダッシュボードに表示するインサイトカテゴリの組み合わせを選択します。

- 品質
- パフォーマンス
- 適合率

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

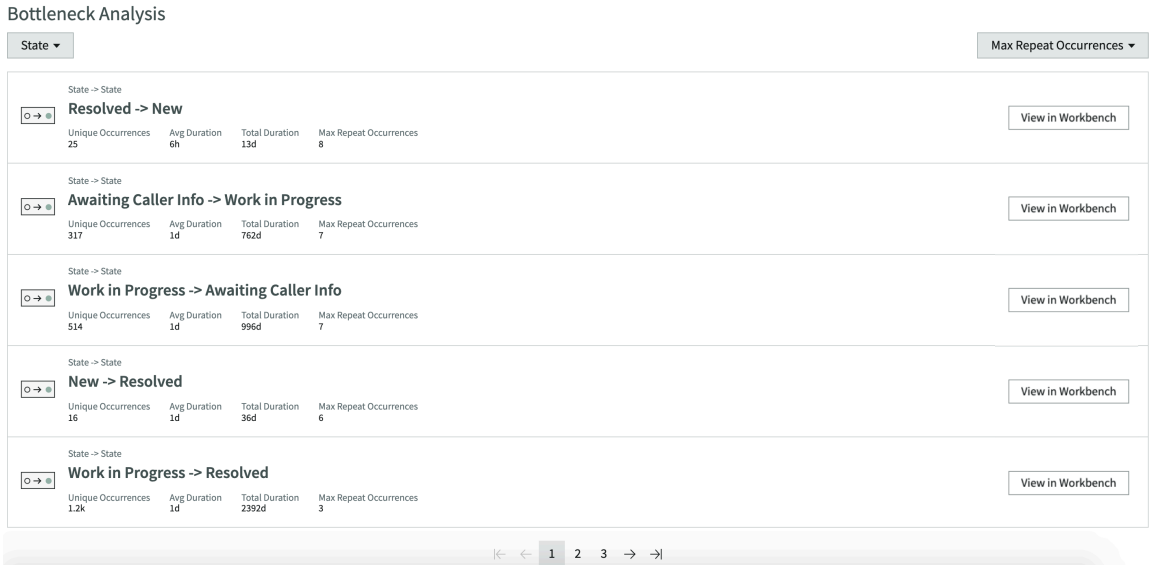
自動翻訳

各インサイトから、完了したクラスターまたはプロセス分析を要求または表示し、ワークベンチから完了したクラスターまたはモデルを表示できます。

選択したインサイトのプロジェクトを生成するには、カードを選択して、カードデータのアナリストワークベンチに移動します。プロジェクトが表示可能になったら、[プロセス分析の表示] を選択します。

ボトルネック分析

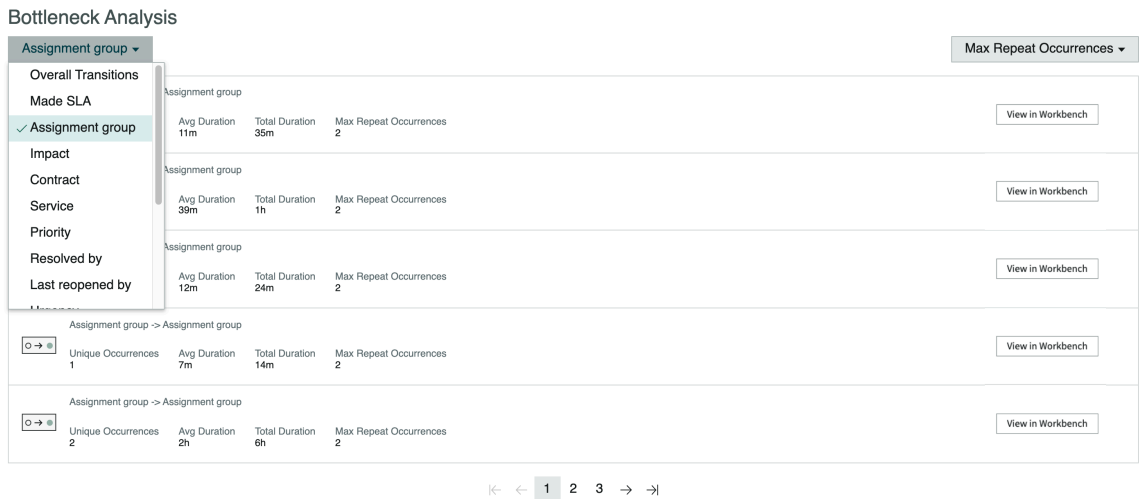
[ボトルネック分析] セクションから、プロセスレコードで検出された特定済みのボトルネックソースを確認できます。



ブレークダウンを選択してルートリストを絞り込み、リストを次の基準でソートします。

- 一意の発生
- 合計時間
- 平均期間
- 最大繰り返し発生件数
- 合計発生件数

ボトルネック分析 - ブレークダウン

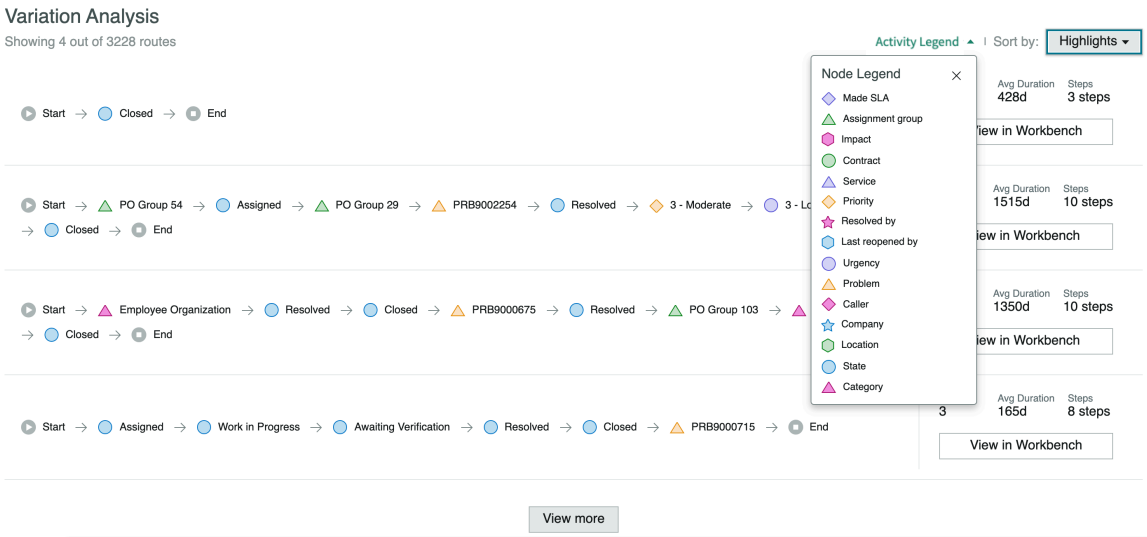


「 ワークベンチで表示 」を選択して、選択したトランジションのプロジェクトを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バリアント分析

工程のすべてのルートが「変動分析」セクションに表示されます。ハイライト、レコード数、平均時間、またはステップでルートの順序をソートできます。



[ワークベンチで表示] を選択して、個々のルートのプロジェクトを表示します。

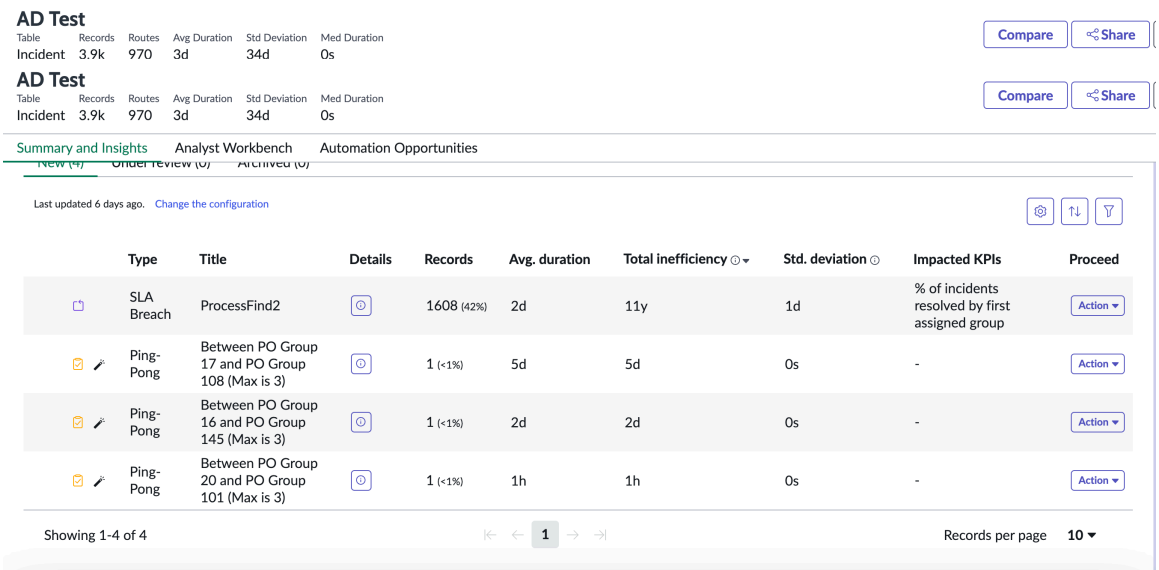
関連情報

KPI 詳細

検索定義の操作

検索定義を使用して、検出されたインサイトを [サマリーとインサイト] ダッシュボードに配信します。

検索定義には、 プロセスマイニング プロジェクトで収集された情報が表示されます。これらは、[サマリーとインサイト] ページ内にリストとして表示されます。この情報を使用して、ビジネスプロセスに関する重要な情報を表示し、ボトルネックやルートのバリエーションなどに関するインサイトを取得します。



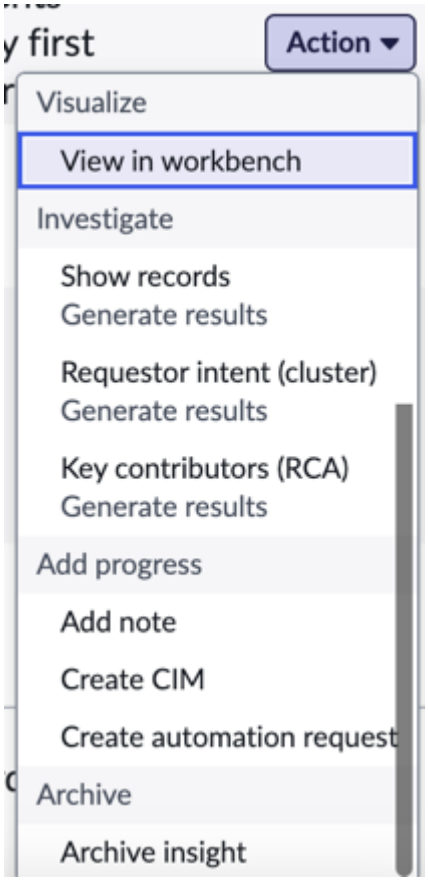
- 新しい検索定義を作成するには、[構成の変更] リンクを選択します。

  検索定義の作成については、「 改善の機会の構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- を選択して、列の表示と非表示を切り替えます。
-] を選択して列を並べ替えます。
- [ ] を選択して、結果のリストをフィルタリングします。
- [アクション] を選択し、リストから任意の項目を選択して詳細を表示します。



自動翻訳

グラフのビューを選択

1 つのアクティビティ定義の観点からグラフを表示するか、プロジェクトに設定されたすべてのアクティビティ定義の観点からグラフを表示するかを選択します。

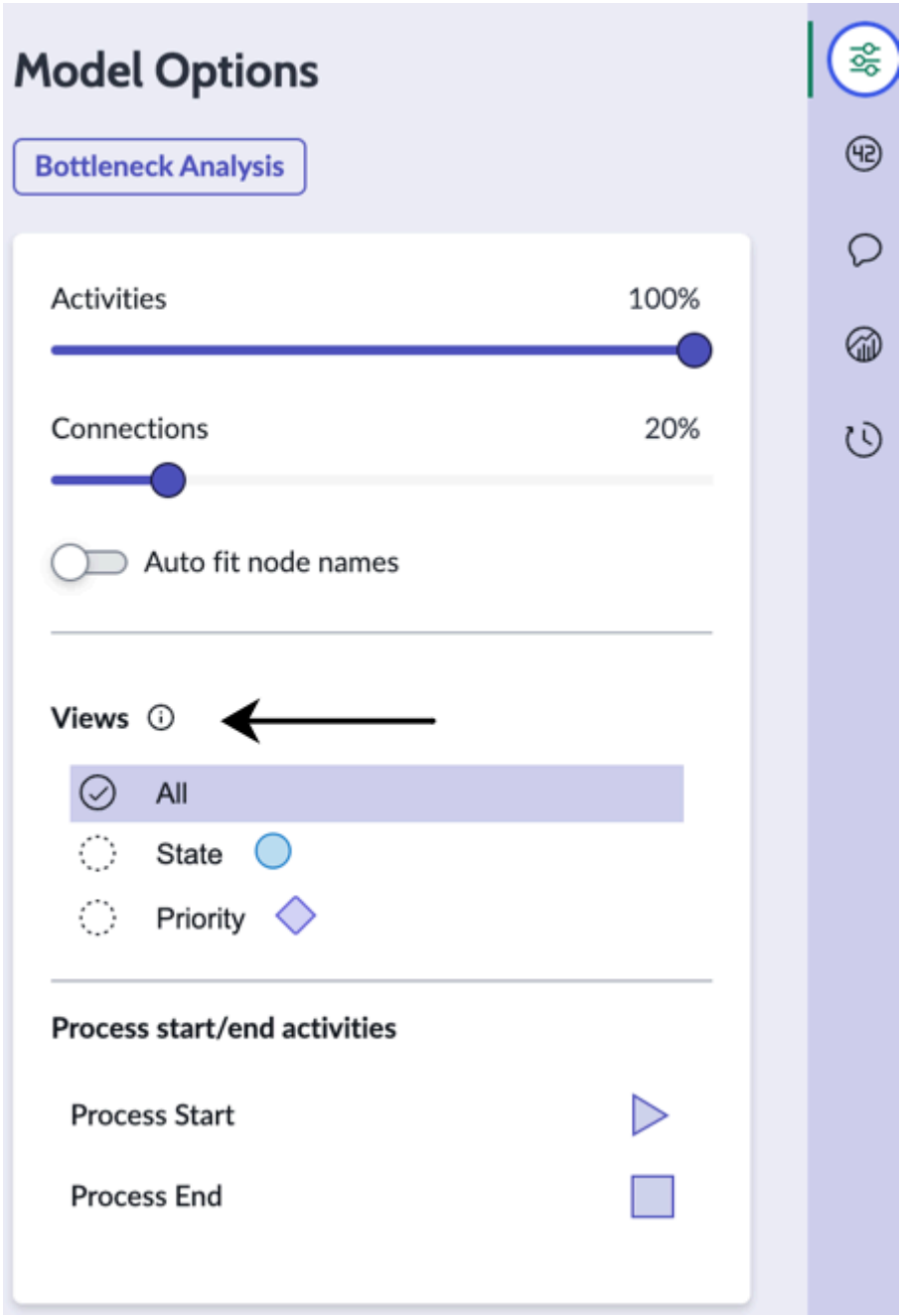
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. [**Analyst Workbench**] タブを選択します。
4. 右側のバーからモデルオプション( )を選択します。
5. [ビュー] 領域で、 アクティビティ 定義のすべてまたはいずれかを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. スケジュールされたタスクが完了したら、[結果の表示] を選択します。

タスクの結果
グラフには、選択したアクティビティ定義のすべてのデータが表示されます。

プロセスマップの絞り込み

可視化されたワークフロープロジェクトを表示して、ビジネスプロセスのインサイトと改善の機会を確認します。

視覚化されたプロセスマップは、問題に固有のデータを確認するのに役立ちます。マップ内でドリルダウンして根本原因を把握できます。また、表示または測定するKPIに従ってルートを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
プロセスマップの機能のほとんどは、構成可能なワークスペースのダッシュボードで再現できます。詳細については、「ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成」を参照してください。

- アクティビティスライダーと接続スライダーを使用して、最も頻繁に発生したプロセスステップに焦点を当てます。また、より低い頻度で発生したステップを含めることもできます。
- マップワークスペース上の別の位置にアクティビティを移動します。
- 接続に沿ってメトリクスの数値をスライドして、視覚的な表示を改善します。
- アクティビティまたは接続を選択して、 メトリクス の詳細を表示します。

アクティビティと接続スライダー

例	定義
	最小 1 つと最大 2 つのパフォーマンスメトリクスを示す通常のノード移行ライン。次のパフォーマンスメトリクスを表示できます。 • 合計発生件数 • 一意の発生件数 • 最短期間 • 最大期間 • 平均期間 • 合計時間 • 標準偏差 • 中央期間
	モデル間移行スライダーには、グラフに非表示になっている移行の数が表示されます。ユーザーは、モデル間の移行線を選択して、グラフショー内の移行の割合を変更できます。親子関係ごとに 1 本の線が表示されます。
	人工的な線は、ユーザーがどのノードからプロセスが終了するかを理解するのに役立ちます。異なるノードからエンティティごとにプロセス終了までの複数の人工的な線が発生する可能性があります。
	破線は、エンティティが折りたたまれていることを示しています。ユーザーが + アイコンを選択してエンティティを展開すると、線は消えます。
	円弧の方向は、アクティビティの発生順序を示します。たとえば、2.2k 件のレコードの場合、[新規] ステータスは、[アサイン済み] ステータスに移行する平均 10 か月前に発生します。

プロジェクトデータのフィルタリング

フィルターを適用して、プロセスマップの特定の側面を絞り込み、ドリルダウンします。

プロセスマイニング には、プロセスマップを絞り込むためのフィルタリングツールがあり、[フィルター] タブとプロセスマップからアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フィルター] タブ

- ブレークダウンフィルター:カテゴリ別にグループ化されたレコードを表示します。
- 条件 - 条件ビルダーを使用して、テーブルフィールドの条件でフィルタリングします。
- 移行フィルター:アクティビティ条件でフィルタリングして、アクティビティを移行したルートを表示します。

プロセスマップ

- メトリクスフィルター - アクティビティと接続について選択したメトリクスを表示します。
- アクティビティと接続フィルター - スライダーを使用して、表示するアクティビティや接続の数を増減します。

ブレークダウンフィルターの適用

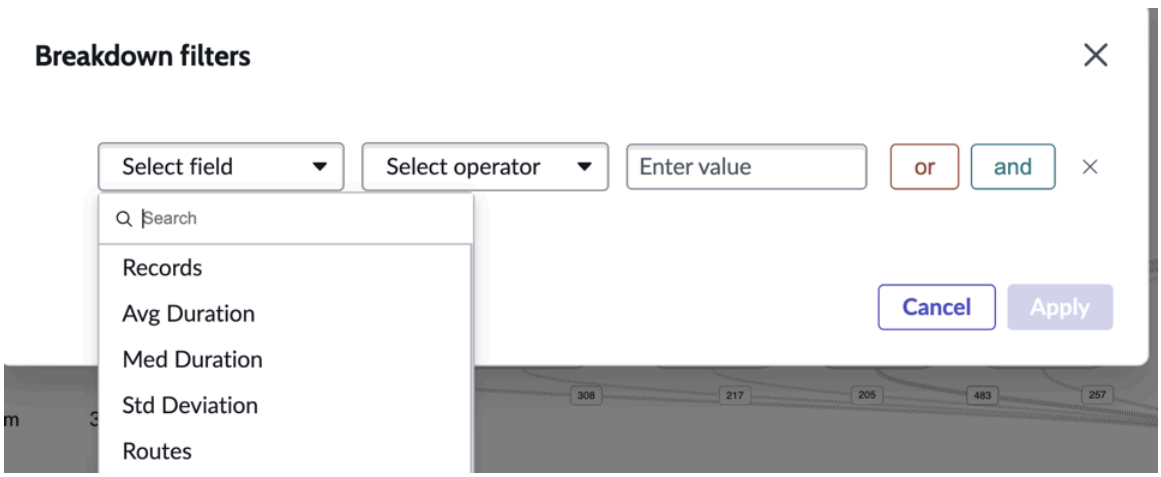
自分が作成、共有した、またはすべての Analyst Workbench プロジェクトをフィルタリングします。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. [**Analyst Workbench**] タブを選択します。
4. [ブレークダウンフィルター] セクションで、フィルターアイコン] を選択します。

   [ブレークダウンフィルター] ウィンドウが表示されます。



5. フィルターを指定し、 [適用] を選択します。

フィルターセットの作成

現在のフィルター選択を後で同じプロセスマップに適用できるように、フィルターセットを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. ブレークダウンまたは詳細フィルターを適用します。
2. [フィルター] タブで、[セットとして保存] を選択します。
3. フィルターセットに名前を付けて、[保存] を選択します。

タスクの結果
[フィルターセット] リストには、新しいフィルターセットが含まれています。

フィルターセットの更新

保存したフィルターを編集します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. [フィルター] タブで、[フィルターセット] リストを選択します。
2. プロセスマップに適用する保存済みのフィルターセットを選択します。
3. ブレークダウンまたは詳細フィルターの変更を追加します。
4. 必要に応じて [適用] を選択し、 [フィルターセットの更新] を選択します。
5. 表示される [フィルターセットの更新] ダイアログで、必要な変更を確認し、[保存] を選択します。

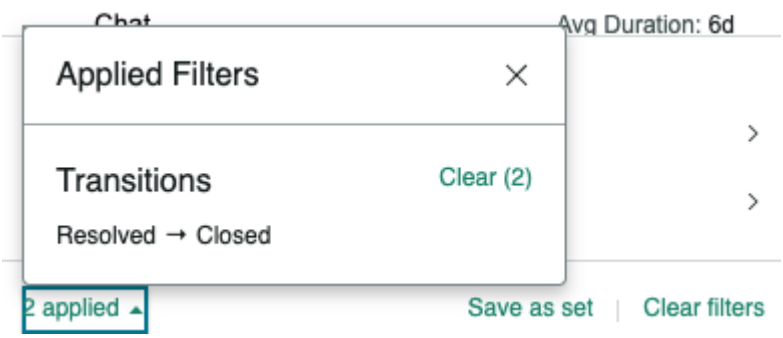
タスクの結果
フィルターセットが更新されます。

フィルターをクリア

適用されているフィルターを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

[フィルター] タブからフィルターを追加すると、選択したフィルターのリストに、現在選択されているがまだ適用されていない新しい値が表示されます。[適用済みフィルター] リストには、現在適用されているフィルター値と、それらが追加されたパネルカテゴリも表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [フィルター] タブに移動します。
2. 適用されたフィルターリストを選択します。
3. 削除する個々の適用済みフィルターの横にある [クリア] を選択します。
   現在適用されているフィルターをすべてクリアするには、 [フィルターのクリア] を選択します。

タスクの結果
プロセスマップは、以前に適用したフィルターが削除されて自動的に更新されます。

フィルターセットの削除

プロジェクトに役立たなくなったフィルターセットを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. [フィルター] タブで、[フィルターセット] リストを選択します。
2. 削除するフィルターセットの横にあるごみ箱アイコンを選択します。
   フィルターセットが削除されます。

アクティビティへの移行フィルターの適用

アクティビティ移行フィルタリングを使用すると、レコードが通過するさまざまなルートを詳細に表示できます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

移行フィルターを使用して、指定したアクティビティを移行する実行済みワークフローのレコードをフィルタリングします。これにより、対応する値を詳しく調べることができます。

ヒント:
プロセスマイニング 完了した非アクティブなワークフローアイテムを分析します。ただし、データがマイニングされた時点でアクティブだった不完全なレコードで構成されている場合があります。プロジェクトを定義するときに「締め切り」などの日付関連の条件を選択することに加えて、移行フィルターを使用して不完全なレコードを削除します。

このタスクについて
トランジションフィルターは、次の 2 つの方法で適用できます。

- 特定の条件を手動で作成する
- 事前定義フィルターに移行フィルターを適用する

移行フィルターを手動で作成する

ニーズを満たす移行フィルターを作成し、それを適用してプロセスグラフに結果を表示します。

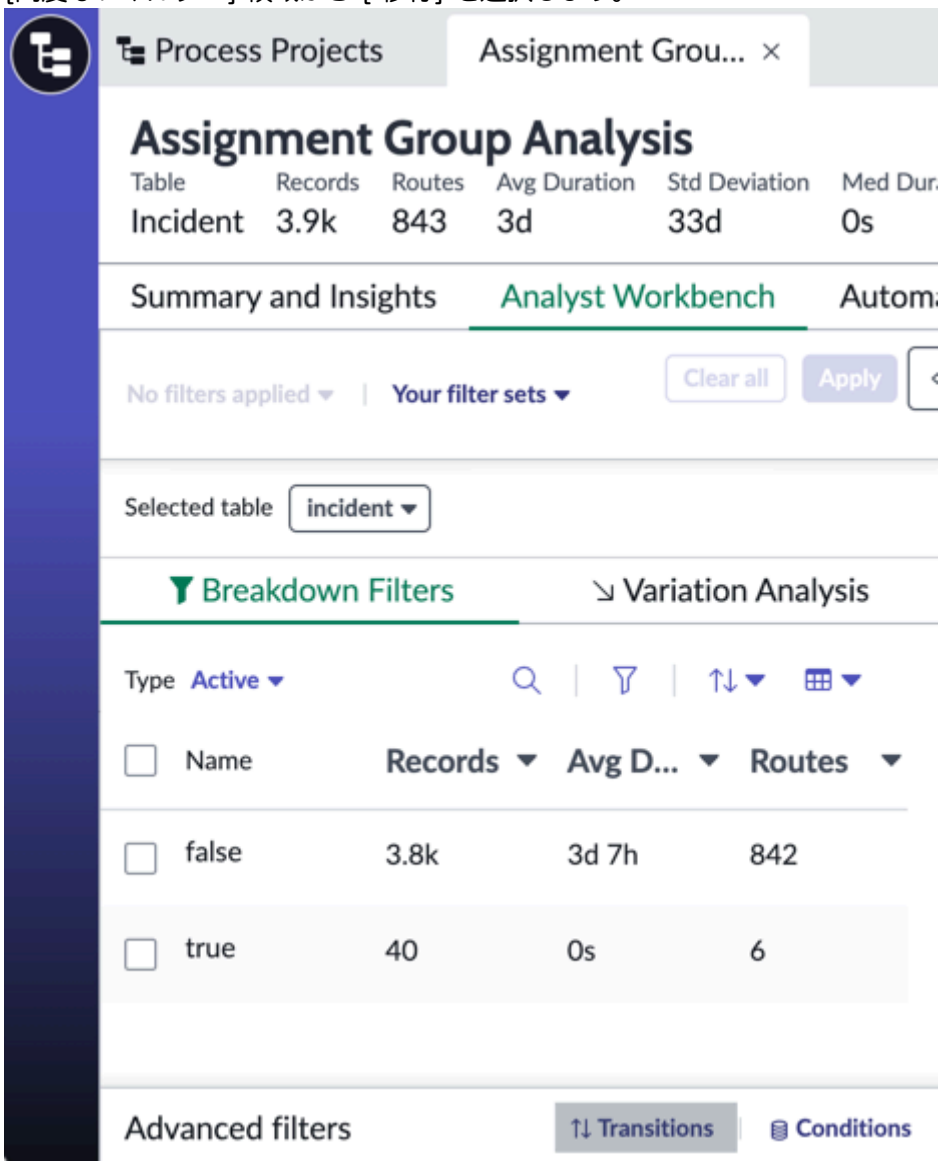
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. トランジションフィルターを設定するプロジェクトを開きます。
3. [**Analyst Workbench**] タブに移動します。
4. [高度なフィルター] 領域から [移行] を選択します。

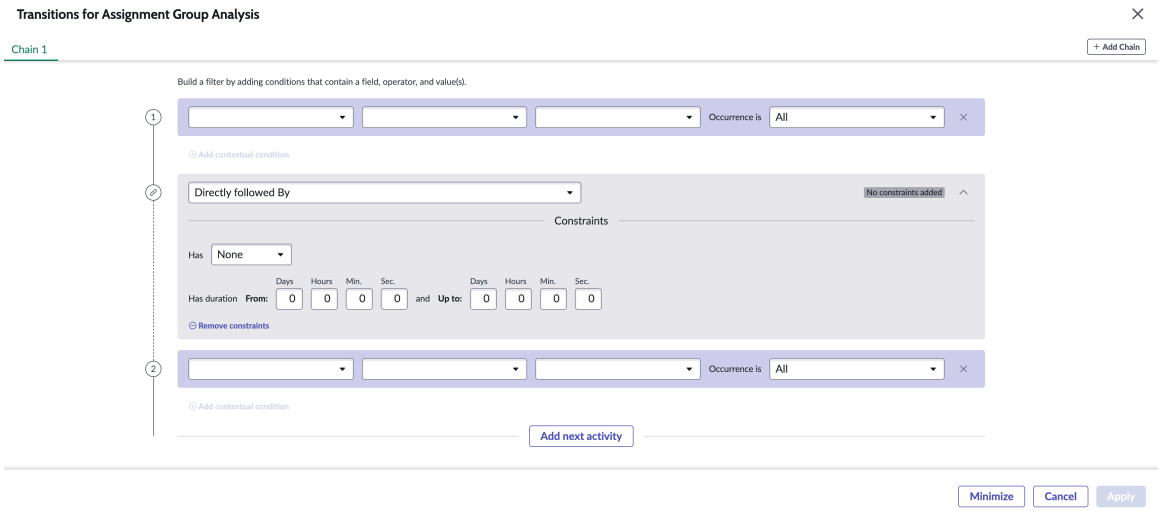


移行フィルターフォームが表示されます。

5. 移行フィルターフォームに必要な条件を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



a. フィールド、演算子、および値を含む条件を追加して、アクティビティを定義します。
[発生件数] フィールドを使用して、この条件の最初、最後、またはすべての発生件数にフィルターを適用するかどうかを定義します。

b. [コンテキスト条件を追加] ボタンを使用して、このアクティビティの追加のコンテキスト条件を定義します。
[and] および または **[or]** ボタンを使用して、コンテキスト条件を必要な数だけ作成します。

c. 次のアクティビティを追加 を選択して、このチェーン内の別のアクティビティを定義します。
新しいアクティビティを作成すると、2 つのアクティビティの間に [関係] セクションが表示されます。このセクションでは、すぐ上とすぐ下のアクティビティ間の関係を定義します。

d. アクティビティ間の関係を選択します。

- 次が直接続く
- Eventually followed by
- 次が直接続かない
- 最終的に次が続かない

e. [制約が追加されていません] テキストの横にある ([トラン]) を選択して、この関係の制約を編集します。
制約を作成した後、 ( ) を選択して、制約エディターを最小化できます。

f. [**+** チェーンを追加] (右上) を選択して、アクティビティの追加のチェーンを作成します。
チェーンは、リンクされた一連のアクティビティです。新しいチェーンを作成して、同様に true と評価される必要があるが、別のチェーン内のアクティビティとの関係を持たない関連アクティビティの個別のセットを定義します。新しいチェーンを作成したら、ウィンドウ上部の チェーン**<**番号**>** タブを使用してチェーン間を移動できます。

g. フィルターの作成が完了したら、[適用] を選択して保存し、 アナリストワークベンチに戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

h. フィルターの作成が完了したら、[適用] を選択して保存し、 アナリストワークベンチに戻ります。
タスクはバックグラウンドで実行されます。

6. タスクが完了したら、Analyst Workbench の [Scheduled tasks] パネルで [**View result**] を選択します。

事前定義フィルターへの移行フィルターの適用

選択したノードまたは接続に遷移フィルターを適用します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

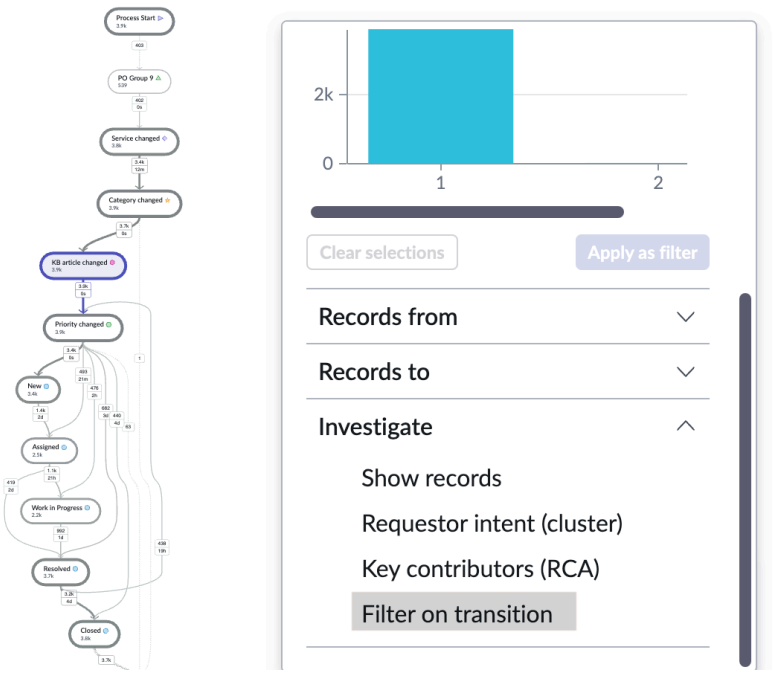
1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.

2. トランジションフィルターを設定するプロジェクトを開きます。

3. [**Analyst Workbench**] タブに移動します。

4. グラフ上のノードまたは接続を選択します。
[メトリクス] ウィンドウが表示されます。

5. [Metrics] ウィンドウから **[Investigate > Filter on transition**] を選択します。



タスクはバックグラウンドで実行されます。

6. タスクが完了したら、Analyst Workbench の [Scheduled tasks] パネルで [**View result**] を選択します。

メトリクスを適用

プロジェクトのビジュアル化を調整して、プロセスの目標により関連性の高い KPI と測定基準を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

注:
期間メトリクスはアクティビティには適用されないため、表示されません。

手順

1. プロセスマップ画面で、マップに表示する プライマリメトリクス をリストから選択します。

2. オプション: 表示する セカンダリメトリクス を選択します。

タスクの結果
プロセスマップが自動的に更新され、メトリクスの選択が表示されます。ルート上のメトリックボックス () の番号は、選択したメトリックに対応しています。

アクティビティと接続のフィルタリング

アクティビティビューと接続ビューを絞り込んで、アクティビティがプロセスにどのように関連しているかに焦点を当てます。

プロセスマップ画面で、アクティビティスライダーと接続スライダーを移動して、アクティビティに関連する差異の表示を増やすか減らすかを選択できます。

[アクティビティ] スライダーを使用して、特定のアクティビティを特定のしきい値よりも多かれ少なかれ通過するレコードにズームインします。

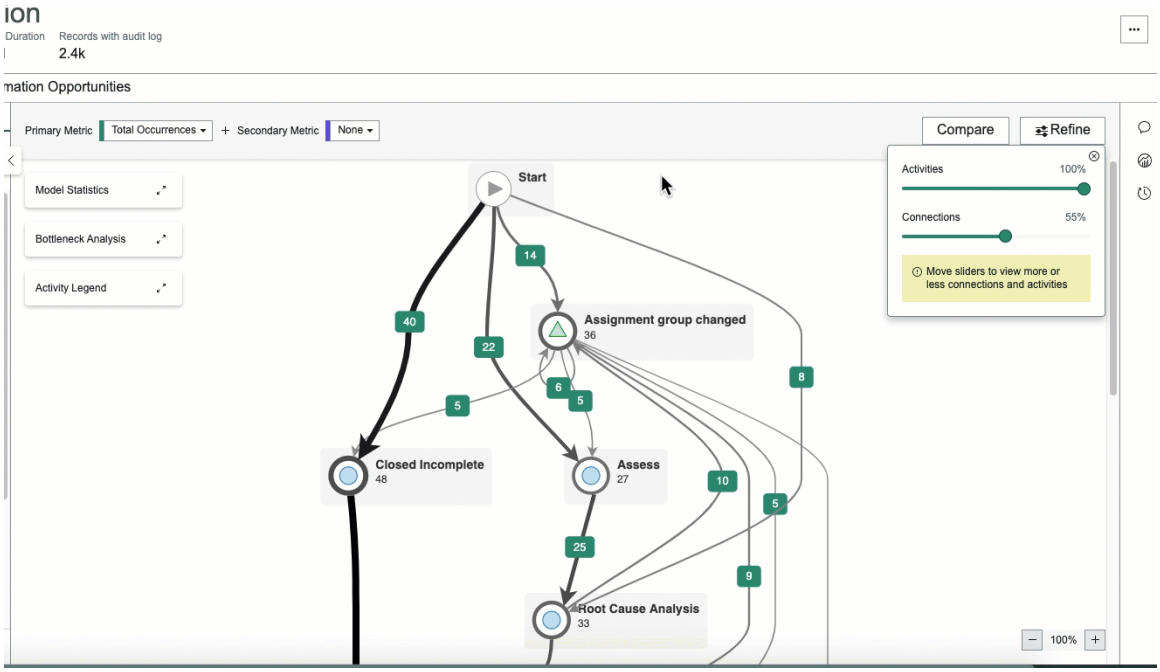
[接続] スライダーを使用して、ルート内のアクティビティシーケンスに従ったレコードの下限を拡大します。

注:

- プロセスマイニング 定義されたアクティビティごとに 5000 要素の制限を生成します。
- [アクティビティ] と [接続] の両方のスライダーを最大範囲にスライドすると、プロセスマップのレンダリングが影響を受ける可能性があります。マップのレンダリングを最適化するには、定義されているより多くのアクティビティをグループ化するようにプロジェクトを構成します。「アクティビティ定義の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロセスマップのさまざまなルートの接続を比較すると、幅が異なる可能性があることがわかります。幅は、接続または経路をたどるレコード数の増減に対応します。

データフィルターとマップフィルターを設定

要件に従ってデータにフォーカスするようにデータとマップフィルターを設定します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

フィルターには次の 2 つのタイプがあります。

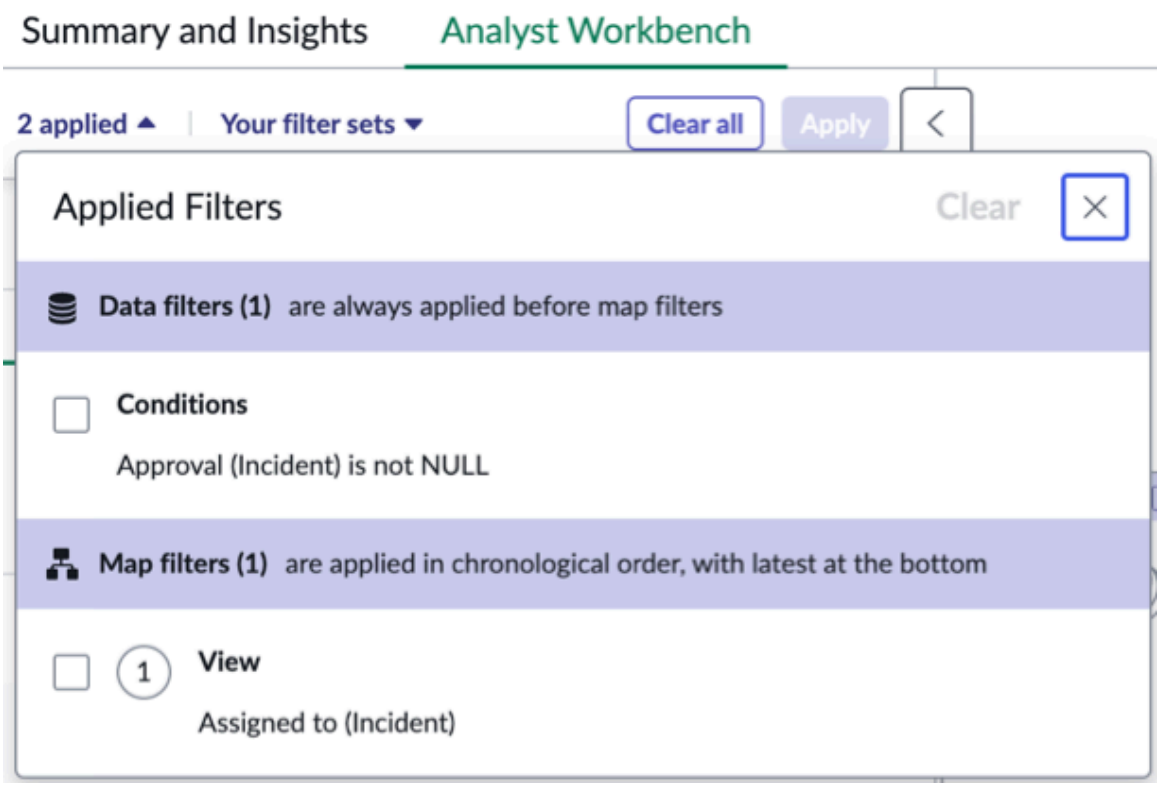
- データフィルター:データフィルターは常にマップフィルターの前に適用されます。これらは任意の順序で適用でき、結果は変わりません。それらは順序付けられていません。すべての詳細データフィルター、ブレークダウンフィルター、バリアントフィルター、検索結果、オートメーションディスカバリーフィルターがデータフィルターとしてリストされます。
- マップフィルター:マップフィルターは時系列順に適用され、最新のものが一番下に表示されます。それらは注文されます。すべてのトランジションフィルター、繰り返しフィルター、表示条件、切り抜き条件がマップフィルターとして一覧表示されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. [**Analyst Workbench**] タブを選択します。
4. フィルターリストには、プロジェクトに適用されているフィルターが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 任意のフィルターを選択し、 [クリア] を選択してフィルターを削除します。

メトリクスとアクティビティ移行の表示

定義したメトリクスとアクティビティ移行を表示します。

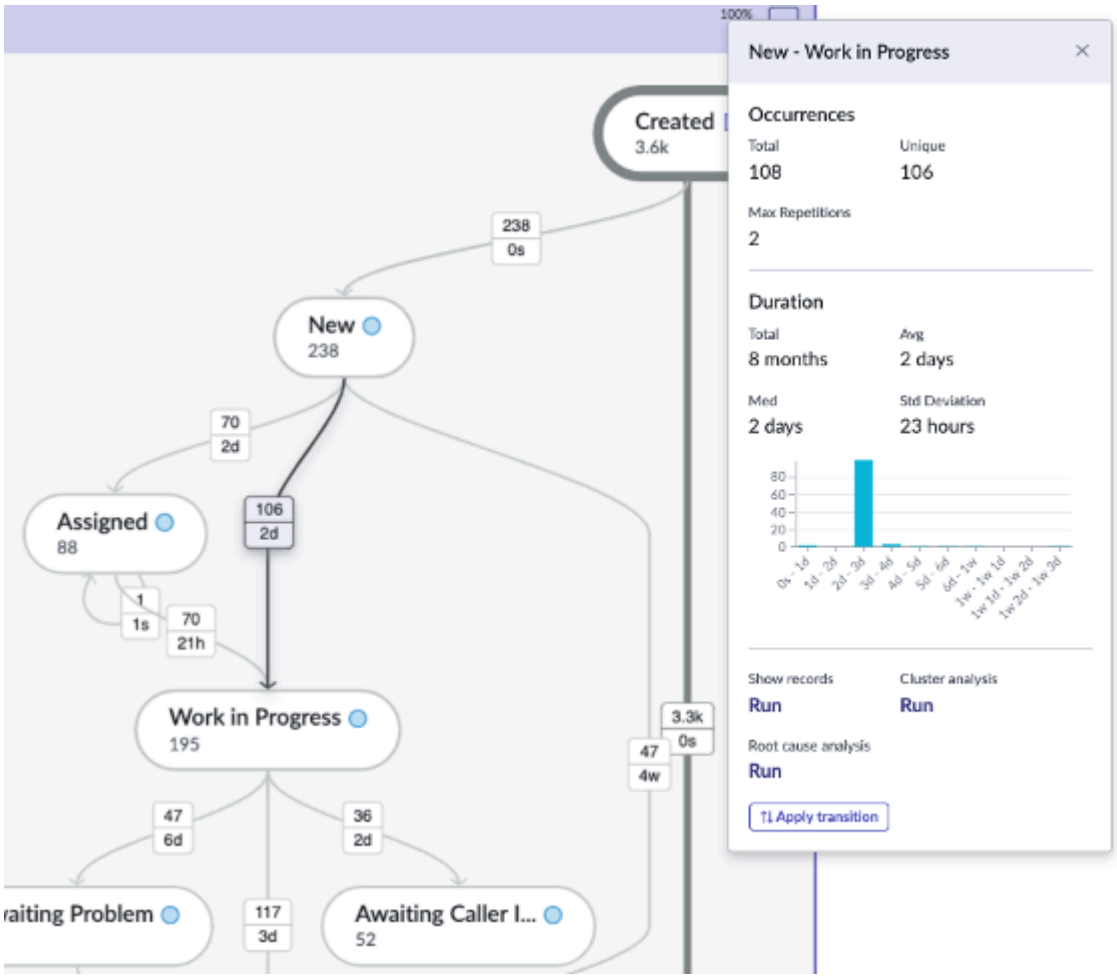
メトリクスを表示

選択したメトリクス、またはアクティビティや接続のメトリクスの完全なリストを表示します。ルート上のメトリクスボックス ( ) には、プロセスマップに表示するように選択されたプライマリおよびセカンダリメトリクスが表示されます。

アクティビティまたは接続を選択すると、メトリクスの完全なリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アクティビティーの遷移の表示

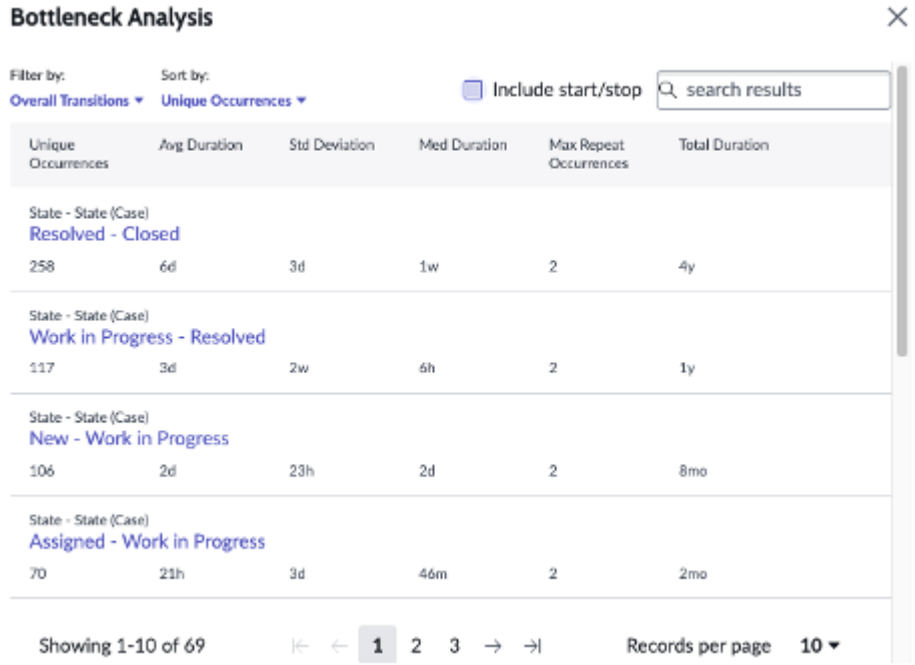
ボトルネック分析機能から定義したアクティビティ移行を表示します。

[Bottleneck Analysis (ボトルネック分析)] ボックスを展開すると、これらの特定のメトリクスにおける全体的および特定のアクティビティステータスの上位 5 つの移行が表示されます。

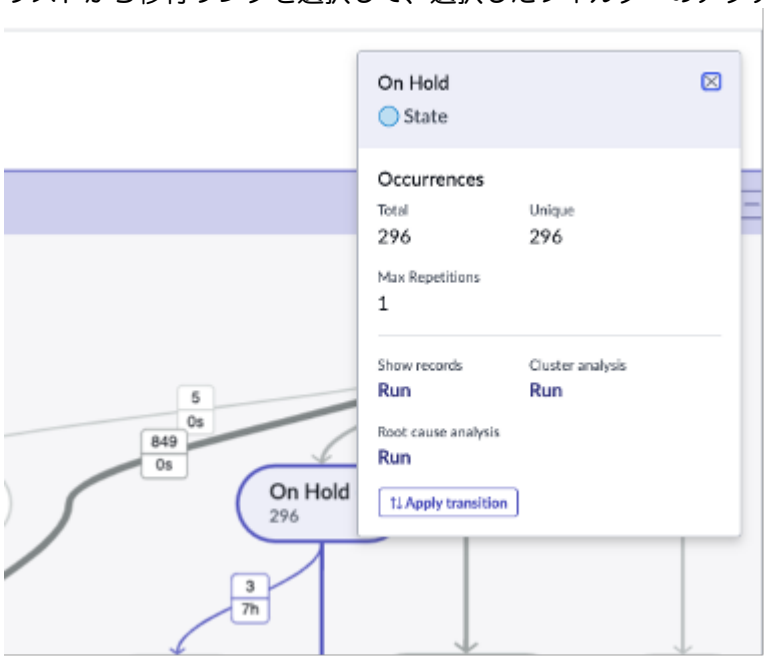
- 一意の発生
- 最大繰り返し発生回数
- 平均時間
- 合計時間
- 合計発生件数

リストから選択した移行とメトリクスを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



リストから移行リンクを選択して、選択したフィルターのアクティビティを編集します。



関連情報

アクティビティへの移行フィルターの適用

アクティビティまたは接続のレコードの表示

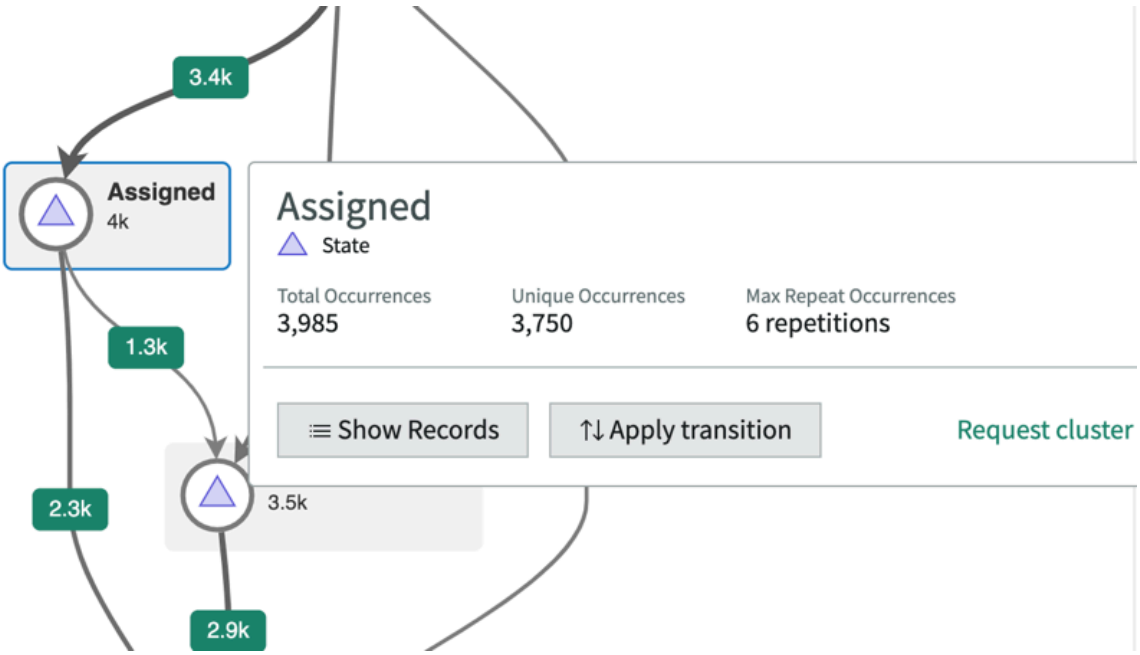
アクティビティまたは接続を通過したレコードのリストを参照して、データをより詳細に分析します。

ルート上のアクティビティまたは接続を選択して、メトリクス ボックスを表示します。その後、[レコードを表示] を選択して、通過したレコードのリストを開くこともできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[レコードを表示] リンクは、アクティビティまたは接続に対して返される最大 100,000 レコードに対して表示されます。アドミニストレーターは、promin.show_records.limit システムプロパティを追加して、この制限を変更できます。sn_process_optimization_analystロールには、promin.show_records.limit システムプロパティへの読み取りアクセス権が必要です。プロパティの追加手順については、「 システムプロパティの追加 」を参照してください。



ワークフロールートの探索と比較

主要指標を比較し、最適ルートと例外または代替ルートの違いを分析します。

プロセスマップは、ルートがレコード全体にどのように分布しているかを視覚的に示します。ルートは、プロセス内のステップまたはアクティビティを通る開始から終了までのパスで構成されます。プロセス内のさまざまなルートには、プロセスサイクル (レコード) のさまざまなステップの組み合わせを含めることができます。 プロセスマイニング はデータからプロセスルートを自動的に抽出し、プロセス内で何がうまくいっていて何がうまくいっていないかを把握できます。

たとえば、ルートを探索して、次の問題を調査または特定します。

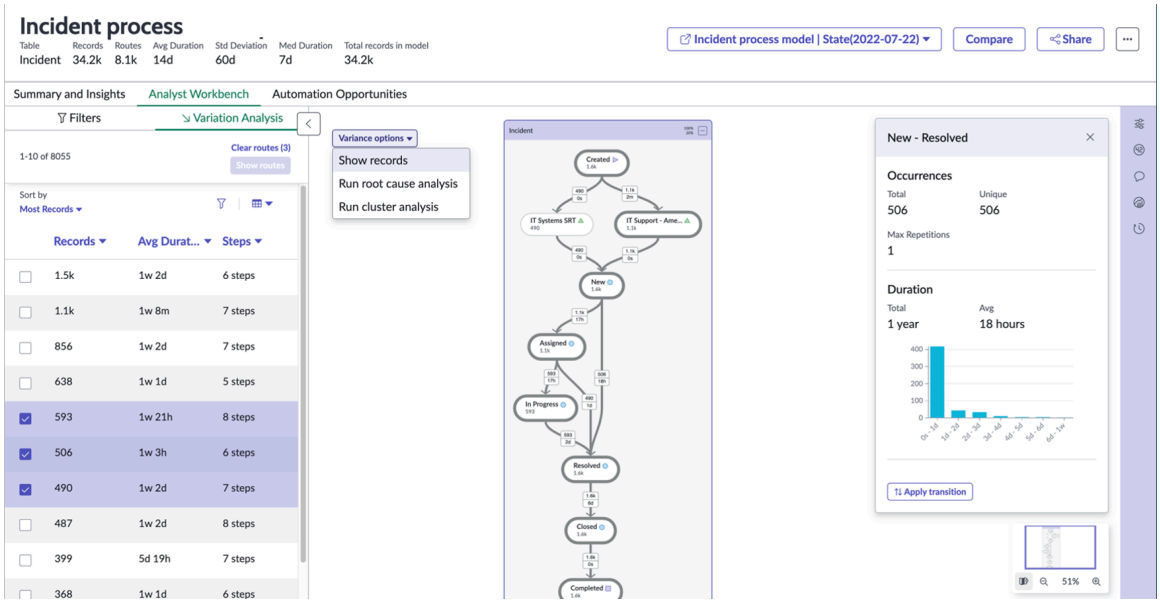
- 最も一般的なルートでカバーされるレコードの数、またはルートのバリエーションの量。
- ほとんどのルートがプロセスを完了するのにかかる時間。
- 特定のアクティビティで長い待ち時間が発生しているかどうか、またはプロセスステップ数が時間の経過とともに変化しているかどうか。
- 予期しない、または一般的でないレコードのステータスまたはルートの移行 (レコードが閉じられた後に再オープンされた場合や、期間がかなり経ってから再分類された場合など)。
- 成功したプロセスと効率の悪いプロセスからのインサイトを比較してベンチマークを行います。
- クラスター化された類似性 ルート内のグループ化。

[バリアント分析]パネル

[バリアント分析] パネルには、ルートで表されるレコードの累積数、各ルートのステップ数、およびルートの完了にかかった期間 (日数) が表示されます。バリエーションにカーソルを合わせると、ルートのバリエーションを示すポップアップが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[並べ替え] を使用して、リストに表示されるルートの順序を並べ替えることができます。

サンプルパネルには、取得された 130 の異なるルートが表示されます。例のリストに表示されているルートから、各ルートが 18 回から 244 回まで取得されたことがわかります。ルートごとに平均所要時間または標準偏差が計算され、たとえば、130 の平均または標準偏差が得られます。リストは、これらの平均で最高/最長から最低/最短の順にソートされます。

ルートリストのソート順

ハイライト	期間の長い方に向かって最も大きく逸脱している順にルートをソートします。
最多レコード	ルートを通過したレコード数が多いものから少ないものの順にルートをソートします。
最小レコード	ルートを、ルートを実行したレコード数が最も少ないものから多いものの順にソートします。
最長平均期間	各ルートの平均期間の計算に基づいて、平均値 (プロセスの開始から終了までの平均時間) の長いものから短いものの順にルートをソートします。
最短の平均期間	各ルートの平均期間の計算に基づいて、平均値 (プロセスの開始から終了までの平均時間) の短いものから長いものの順にルートをソートします。
最長の MED 期間	各ルートの期間の中間値 (または中間 2 つの平均値) の計算に基づいて、中央値の長いものから短いものの順にルートを並べ替えます。
最短の MED 期間	各ルートの期間の中間値 (または中間 2 つの平均値) の計算に基づいて、中央値が短いものから長いものの順にルートをソートします。
ほとんどのステップ	ルートをステップ数の多い順にソートします。
最小ステップ	ルートをステップ数の少ないものから多いものの順にソートします。
最高の標準偏差	各ルートの所要時間の標準偏差の計算に基づいて、ルート平均値からの変動が大きい順にルートをソートします。
最低の標準偏差	各ルートの所要時間の標準偏差の計算に基づいて、ルート平均値からの変動の少ないものから大きいものの順にルートをソートします。

これらのアクションは、[バリアント分析] パネルから実行することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ルートリストをグラフまたはテーブルとして表示します。
- ハイライトされたルート:
  - リストからルートを選択して、プロセスマップでハイライト表示します。
  - リスト内の 2 番目のルートをポイントすると、そのルートが同時にハイライト表示されます。
  - 選択したルートは、ページの下部にポップアップとして表示されます。
- クラスター分析を実行します。

ルートを表示

プロセス内の異なる一連のステップをたどった 1 つ以上のルートを表示します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

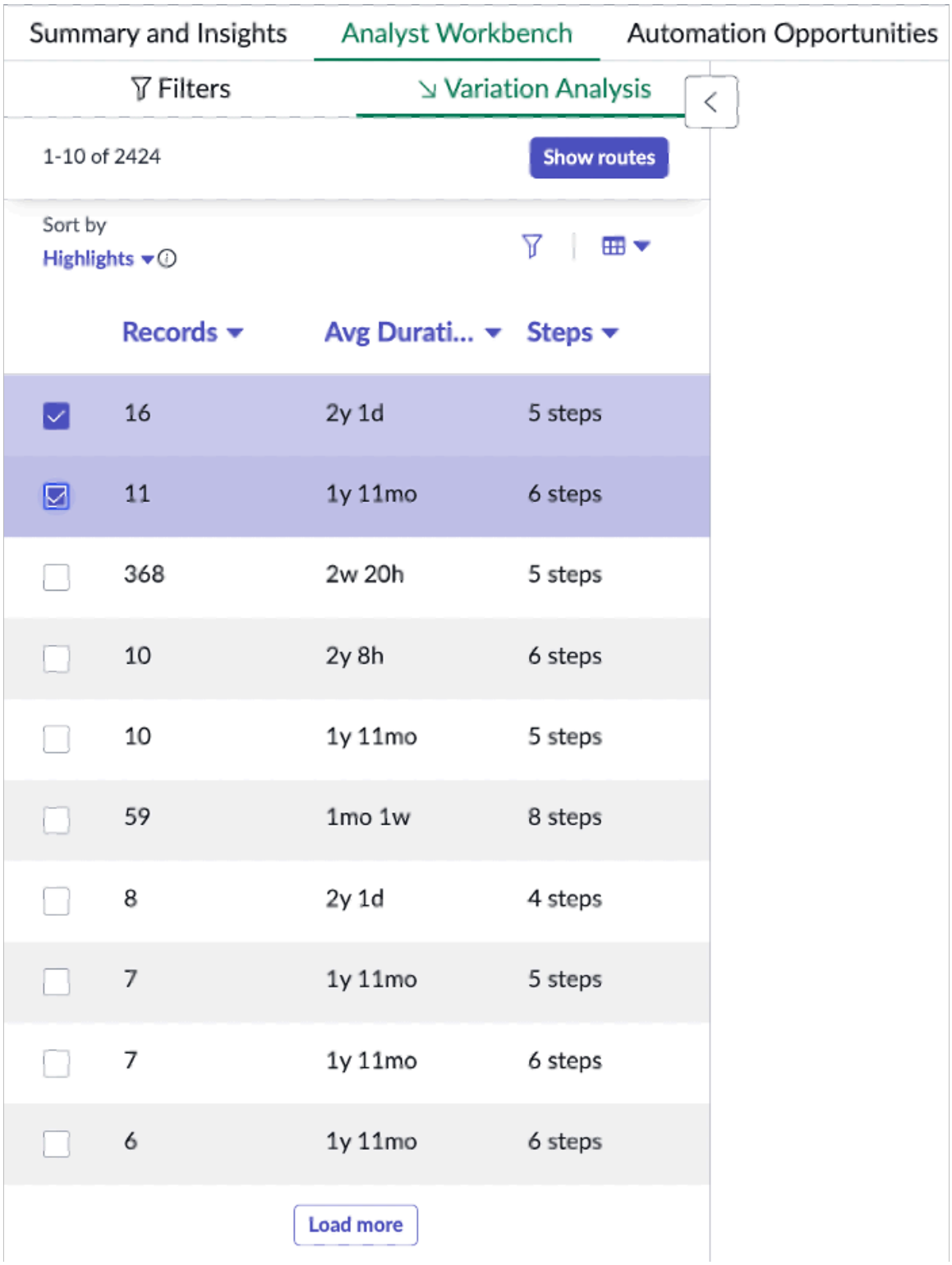
ルートを分析すると、プロセスの複雑さを確認し、代替の成功パスまたはエラーのある例外パスを判断するのに役立ちます。たとえば、IT プロセスマネージャーは、インシデントの管理に適したルートを確認できます。

手順

1. [変動分析]タブに移動します。
2. リストから 1 つ以上のルートを確認します。
3. [ルートの表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
1 つ以上のルートを適用すると、[ブレークダウンフィルター] タブに一覧表示されるブレークダウンには、それらのルートに適用可能なブレークダウンのみが表示されます。

次のタスク

- 元のプロセスマップに戻るには、 ルートのクリア を選択します。
- 別のルートを表示するには、リストから他のルートを選択し、[ルートの表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ルートのレコードを表示

[バリアント分析] パネルから、選択した 1 つ以上のルートをたどったレコードのリストを表示します。

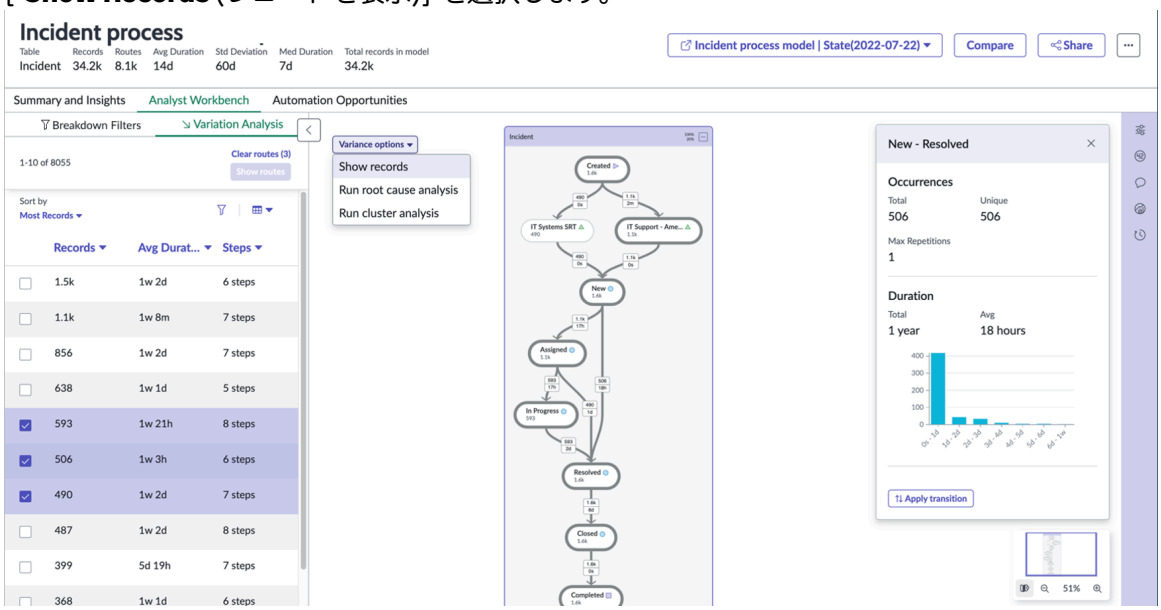
始める前に

必要なロール：なし

- ルートのレコードを表示するには、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_adminロールが必要です。
- プラットフォームリスト ACL が適用されます。ユーザーには、アクセス権を持つレコードのみが表示されます。
- [レコードを表示] は、レコード数が 100,000 未満の場合に使用できます。

手順

1. [バリアント分析] パネルから、レコードを表示する特定のルートを選択します。
2. [ルートの表示] を選択します。
3. [**Show Records** (レコードを表示)] を選択します。



> **注:**
> 1 つ以上のルートを適用すると、[ブレークダウンフィルター] タブに一覧表示されるブレークダウンには、それらのルートに適用可能なブレークダウンのみが表示されます。

準備ができたら、要求されたレコードが新しいタブで開きます。

次のタスク

レコードリストから、次のことができます。

- レコードのフィルタリング
- レコードを Excel、CSV、JSON、または PDF 形式にエクスポートしてダウンロード/メール送信します
- レコードの編集
- インシデントレコードの自己アサイン
- 新しいインシデントを作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトにメモを追加する

プロジェクトのメモを追加、表示、削除して、タスク、アイデア、およびインサイトの管理に役立てます。他のユーザーにタグを付けて、メモを表示するように通知します。

プロジェクトの概要パネルから、メモを追加したり、プロジェクトに関連付けられたメモのリストを表示したりできます。

注:

- メモを追加または削除するには、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、またはsn_process_optimization_adminロールが必要です。
- sn_process_optimization_viewerは、共有されているプロジェクトにメモを追加できます。

メモを表示

プロジェクトに投稿されたメモをレビューします。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、sn_process_optimization_admin または sn_process_optimization_viewer

メモは、メインプロセスまたはリンクされたプロセスから表示できます。メモは、メモが作成されたプロセスマップから編集または削除できます。

注:
メモは比較ビューに表示されません。

手順

1. メモを表示するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、メモアイコン( )を選択して[メモ]パネルを開きます。
3. [表示] リストから、次のオプションを 1 つ以上表示するかどうかを選択します。
   - 現在のモデル メモ - 現在表示しているプロセスで作成されたメモを表示します。
   - メイン モデル メモ : リンクされたプロセスから、メイン プロセスで作成されたメモを表示します。
   - すべてのリンクされたメモ :メインプロセスおよびすべてのリンクされたプロセスで作成されたすべてのメモを表示します。

メモを追加

後でレビューするためにプロジェクトにメモを追加します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、sn_process_optimization_admin または sn_process_optimization_viewer

手順

1. メモを追加するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、メモ ( ) アイコンを選択して [メモ] パネルを開きます。
3. [新しいメモ] を選択し、ボックスにメモを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その人をメンションすることで、メモで誰かの注意を引くことができます。通知するユーザーごとに、ユーザーの名前を含む@mentionを追加します。メモが保存されると、ユーザーはメール通知を受信します。

4. オプション: [スナップショットを添付] をオンにして、現在のプロセスマップビューのスナップショットを追加します。
   ビューをスクロールして、スナップショットを作成する領域を含めます。プロセスマップ画像を拡大または縮小するには、スナップショットとして追加する前にメイン画面でマップを拡大します。
   - スナップショットを追加すると、後で設定を復元するのに役立ちます。たとえば、メモに再度アクセスするときに、添付されたスナップショットをプレビューして、スナップショットが追加された時点で構成された設定を確認できます。プロジェクトを同じ状態にレプリケートする方法がおわかりいただけたと思います。
   - リンクされたプロセスを表示すると、メインプロジェクトとリンクされたプロジェクトの両方のスナップショットがメモに追加されます。
5. [投稿] を選択します。

メモを編集

プロジェクトメモを更新します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

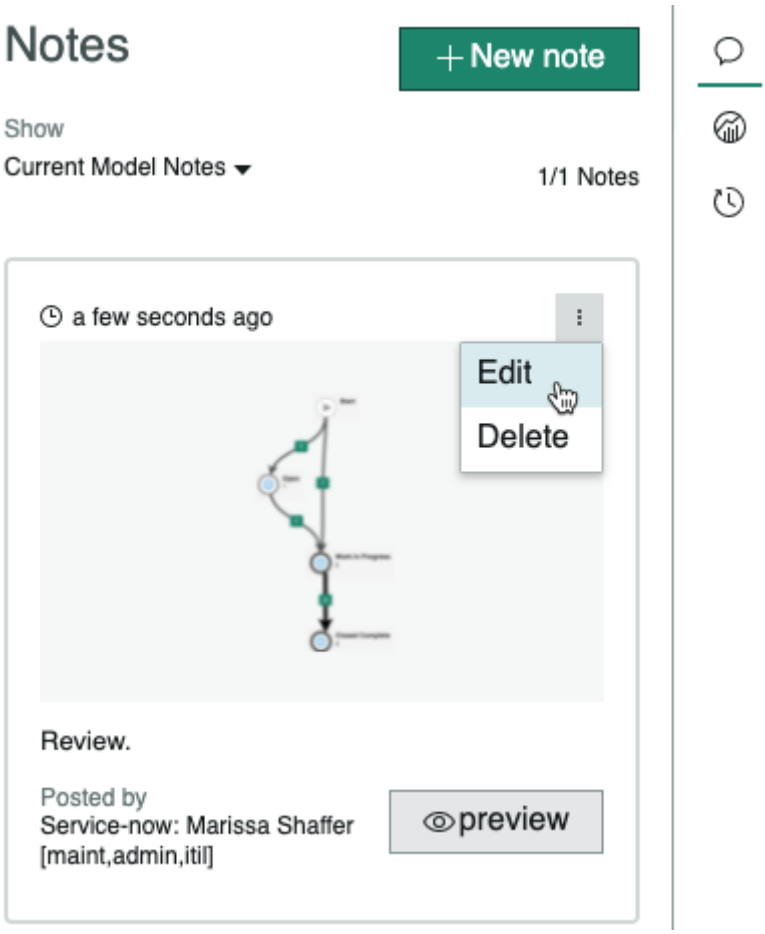
メモは、メモが作成されたメインプロセスまたはリンクされたプロセスから編集できます。

手順

1. プロジェクトビューから、[メモ] アイコン ( ) を選択します。
2. [メモ] パネルから、メモのコンテキストメニューを選択し、[編集] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. メモを編集したら、 更新 を選択します。
   更新が更新されたリストに表示されます。

メモを削除

解決時または削除したいプロジェクトメモを削除します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

メモは、メモが作成されたメインプロセスまたはリンクされたプロセスから削除できます。メモを削除しても破棄されず、プロジェクトビューから削除されるだけです。メモのレコードには、[関連リスト] セクションの [メモ] タブから引き続きアクセスできます。

手順

1. プロジェクトビューから、[メモ] アイコン ( ) を選択します。
2. [メモ] パネルで、メモのコンテキストメニューを選択し、[削除] を選択します。
3. [はい] を選択して確定します。
   メモが更新されたリストから削除されます。

スナップショットを表示

プロジェクトに投稿されたプロセスマップのスナップショットを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

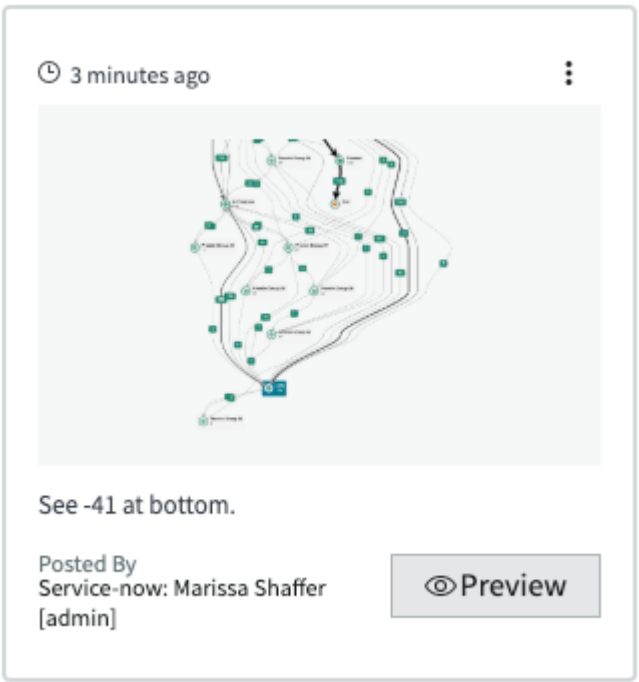
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、sn_process_optimization_admin または sn_process_optimization_viewer

このタスクについて
スナップショットは、スナップショットが追加された時点のプロセスマップとその構成設定を確認するのに役立ちます。メインおよびリンクされたプロセスマップからスナップショットを表示できます。

> **注:**
> このタスクでは、メモが作成されたプロセスマップのスナップショットを表示する方法について説明します。「プレビュー」**(Preview)** オプションは、別のモデルで作成された注記には使用できません。

手順

1. スナップショットを表示するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、メモアイコン( )を選択して[メモ]パネルを開きます。
3. メモの [プレビュー] ボタンを選択します。
   スナップショットのメイン マップ ウィンドウに、モデルの統計情報とともにプレビューが表示されます。



   - プレビューマップでは、プライマリおよびセカンダリメトリクスの表示を調整したり、表示するアクティビティと接続を選択したり、ズームインおよびズームアウトしたりすることができます。ただし、スナップショットのプレビューからフィルターとルートを表示することはできません。
   - スナップショットを更新できません。
4. スナップショット プレビューの表示が完了したら、[プレビューの停止] を選択して前のマップ ツールとフィルター ツールに戻るか、別のスナップショットのプレビューを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

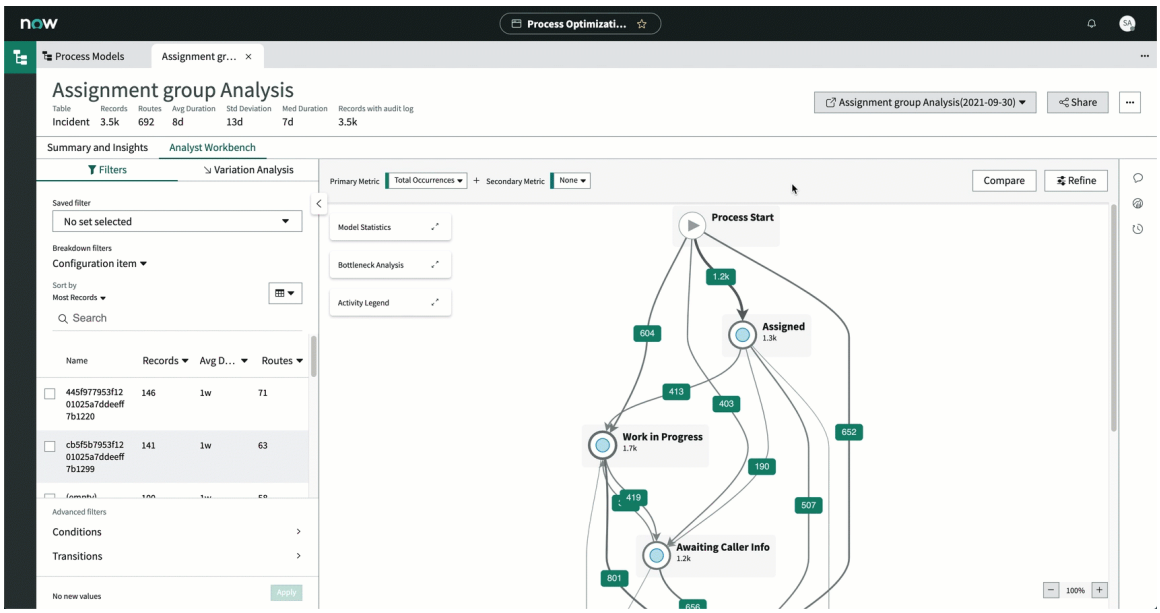
プロジェクトの比較

プロジェクトを並べて比較することで、パフォーマンスの違いや理想的なルートからの逸脱を調査できます。

マネージャーは、ある地域が他の地域よりも平均解決時間が大幅に短縮された理由を理解するために、地域チーム間のパフォーマンスを比較したいと考えています。マネージャーは、プロセス比較機能を使用して、プロセスマップにブレークダウンとフィルターを適用し、ボトルネックを調査します。マネージャーは以下を比較します。

- 場所や過去の期間でのチームのパフォーマンス。
- 採用率と逸脱に関するインサイトを得るための理想的なルートに反する地域。

プロジェクトを比較すると、同じプロジェクトの 2 つのバージョンまたはシナリオを同時に分析できます。比較するときは、プロジェクトバージョンを選択したり、さまざまなフィルターを設定したり、表示するルートを選択したり、レコードを個別に表示したりできます。



プロジェクト比較ビューから、各マップのアクティビティと接続を絞り込むことができます。また、フィルターとルートを適用し、それらの統計を比較することもできます。

比較を開始

プロジェクトを並べて比較します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

メインプロジェクトまたはリンクされたプロジェクトの比較を実行できます。

手順

1. 比較するプロジェクトを選択します。
2. **Analyst Workbench** 内のプロセスマップから、[**Compare**] を選択します。
   メインプロセスまたはリンクされたプロセスから比較ビューにアクセスします。
3. 次のいずれかのルートを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [フィルターの適用] を選択して、比較するフィルターまたはルートを選択します。
- [バージョンの比較] からプロジェクトバージョンを選択します。

4. [フィルターの適用] を選択した場合は、次のいずれかのアクションを実行します。

a. [フィルター] パネルで、ブレークダウンフィルターと詳細フィルターから選択して比較します。

b. [バリアント分析] パネルから、比較するルートを選択します。

5. フィルターを選択した場合は [適用] を選択し、比較するルートを選択した場合は [ルートの表示] を選択します。
フィルターが適用された 2 つ目のモデルがメインモデルの横に表示されます。ブレークダウンフィルターのアイテムも、適用されたルートに従ってフィルタリングされます。

> **注:**
> フィルターを適用した後、ウィンドウの右上隅にあるセレクターを使用して、別のモデルバージョンを表示できます。

次のタスク
2 つのプロジェクト間の遷移または統計を比較します。

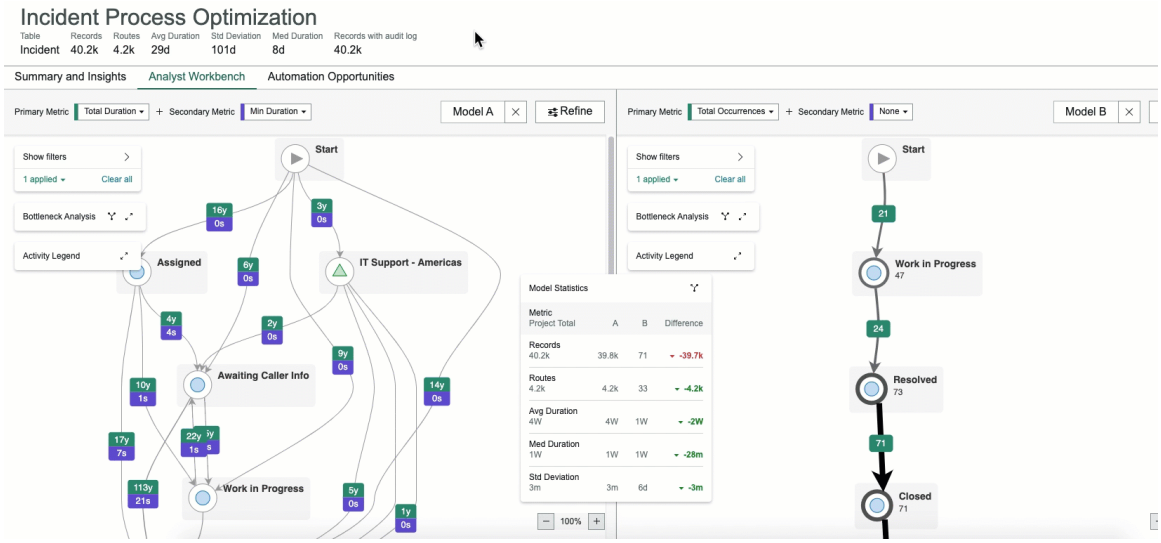
2 つのプロジェクト間の統計と移行の比較

2 つの隣り合わせのプロジェクトのレコード、ルート、平均ケース期間、および移行を比較します。

始める前に
必要なロール：なし

手順

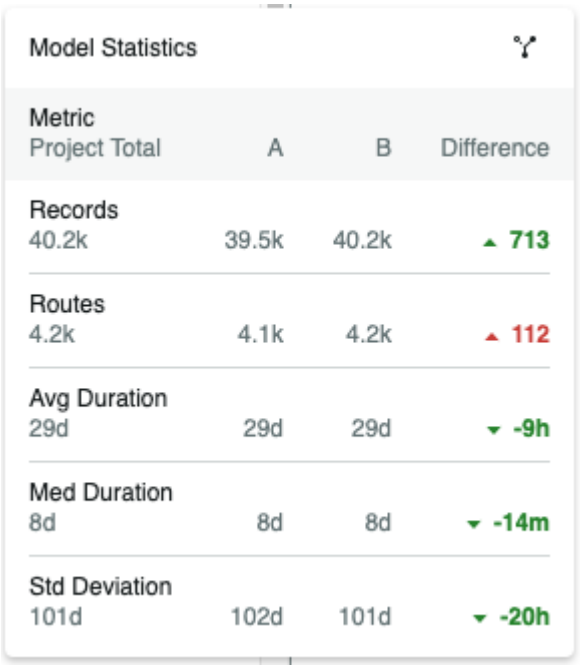
1. いずれかのプロジェクトの [ボトルネック分析] テーブルを展開し、結合/分割アイコン ( ) を選択して、両方のプロジェクトの統計または遷移を結合されたテーブルに表示します。



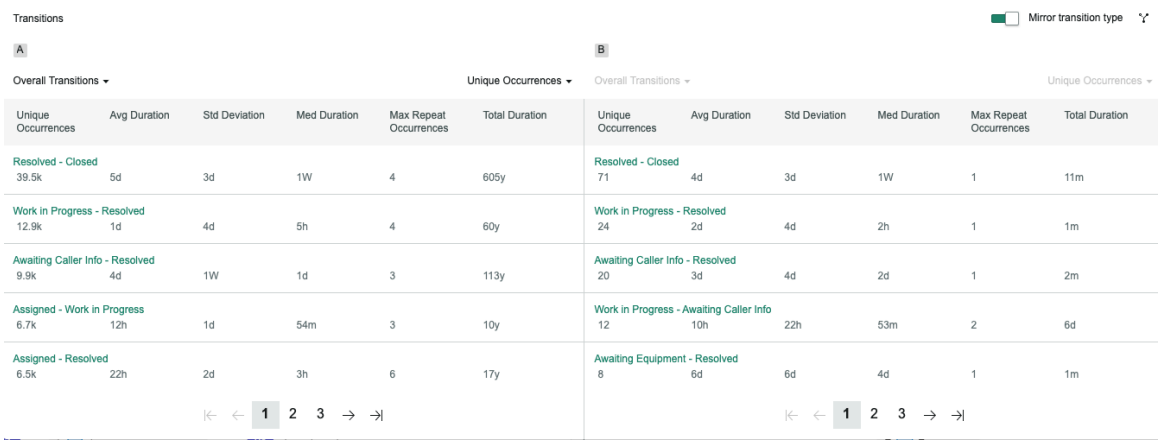
結合された統計テーブルには、各プロジェクトのレコードとルートの数、平均ケース期間の統計、およびそれらの間の差異統計が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



結合された移行テーブルには、各プロジェクトに表示するように指定した 全体的な移行 または 状況移行 が並べて表示されます。**[Mirror transition type]** トグルを有効にすると、同じトランジションタイプとメトリクスを持つ両方のプロジェクトが自動的に表示されます。トグルを無効にすると、プロジェクト間で異なる移行タイプとメトリクスを選択できるようになります。



2. 各プロジェクトの統計テーブルを対応するマップに再配置するには、分割アイコン ( ) を選択します。

次のタスク

比較ビューからのレビューが完了したら、表示を停止するプロジェクトの比較ビューの停止アイコン ( ) を選択します。残りのプロジェクトは、適用したフィルターを含むメインビューとして表示されます。

プロジェクトのバージョン名を変更する

表示時および比較時に参照しやすいように、プロジェクトバージョンの名前を変更します。

始める前に

必要なロール：administrator

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. 名前を編集するバージョンを持つプロジェクトを選択します。
3. 画面の右上隅にある省略記号 (...) メニューを選択し、[バージョンの編集] を選択します。
4. [バージョンを編集] リストで、変更するバージョンの名前を選択します。
5. 「プロジェクト定義バージョン」フォームで、プロジェクトバージョンの新しい名前を「名前」フィールドに入力します。
6. [保存] を選択します。

自動化された根本原因分析

自動化された根本原因分析を使用して、プロセス内で非効率性が発生する場所と理由を特定します。

自動化された根本原因分析により、特定のプロセスパフォーマンスが発生する理由と場所を特定します。これにより、問題の根本原因を解決するための適切なアクションを実行できます。また、どの属性がそれらに影響を与えているかも理解できます。

> **注:**
> 自動化された根本原因分析は、レコード数が 100 を超える場合にのみ使用できます。

インサイトから、または Analyst Workbench 内の特定のマップ接続で根本原因分析を実行します。

プロセスオーナーとアドミニストレーターは、自動化された根本原因分析をカスタマイズして分析するフィールドを指定し、オプションで分析を自動的に実行するように構成できます。

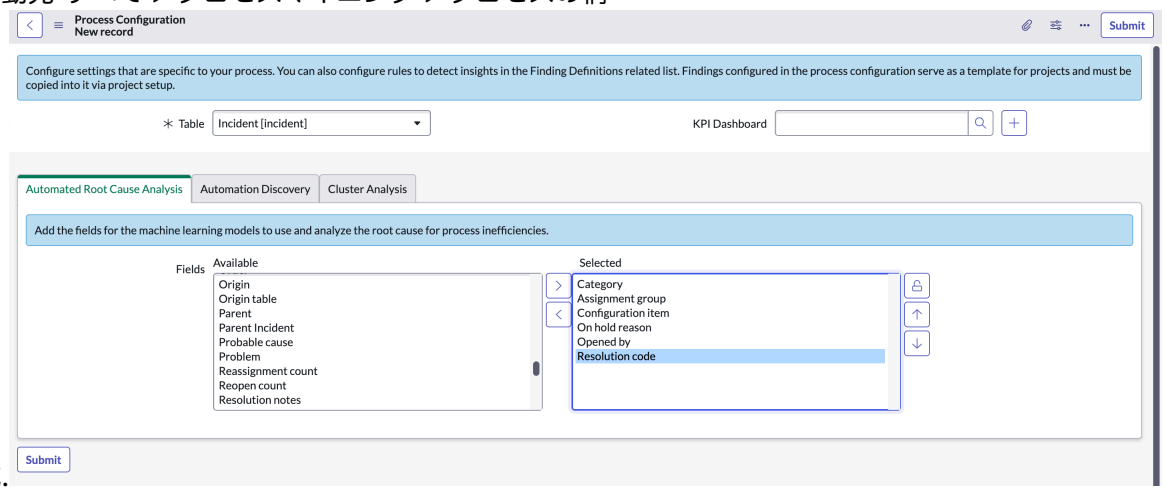
自動根本原因分析の構成

プロセス構成レコードから自動化された根本原因分析を構成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_analyst

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.



2. 自動根本原因分析を構成するプロセス構成を開きます。
   または、[新規] を選択して新しいプロセス構成を作成することもできます。詳細については、「テーブルのプロセス構成レコードの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [自動根本原因分析] タブで、分析に含めるフィールドを選択します。
4. [送信] または [更新] を選択します。

タスクの結果
自動化された根本原因分析がテーブルに対して構成されています。

自動化された根本原因分析レポートの実行

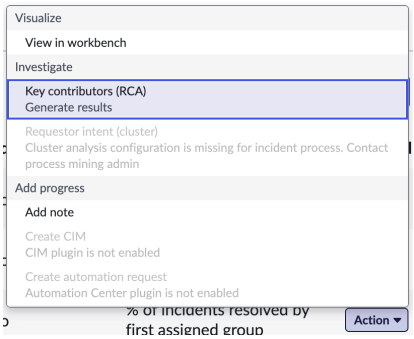
自動化された根本原因分析を実行して、プロセスを最適化します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_analyst

手順
1. 次のいずれかの場所から、自動化された根本原因分析を実行します。

プロジェクトを開きます。

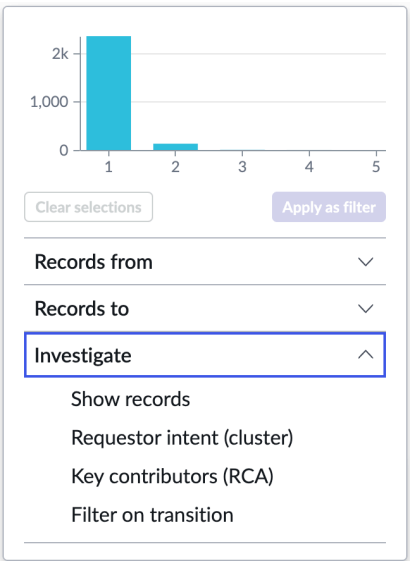
[サマリーとインサイト] ページで、[改善の機会] セクションに移動します。利用可能な改善の機会から、[アクション] > [主要な貢献者 **(RCA)]** を選択します。



プロジェクトを開きます。

[Analyst Workbench] ページで、ノードまたはコネクターを選択します。

ポップアップ ウィンドウから、[主要な貢献者 **(RCA)** の調査 **(Investigate > Key contributors (RCA))**] を選択します。



根本原因分析タスクの実行が開始されます。分析が完了すると、通知が表示されます。画面の右側にあるスケジュール設定済みタスクアイコン ( ) を選択すると、タスクの進捗状況の更新を確認できます。

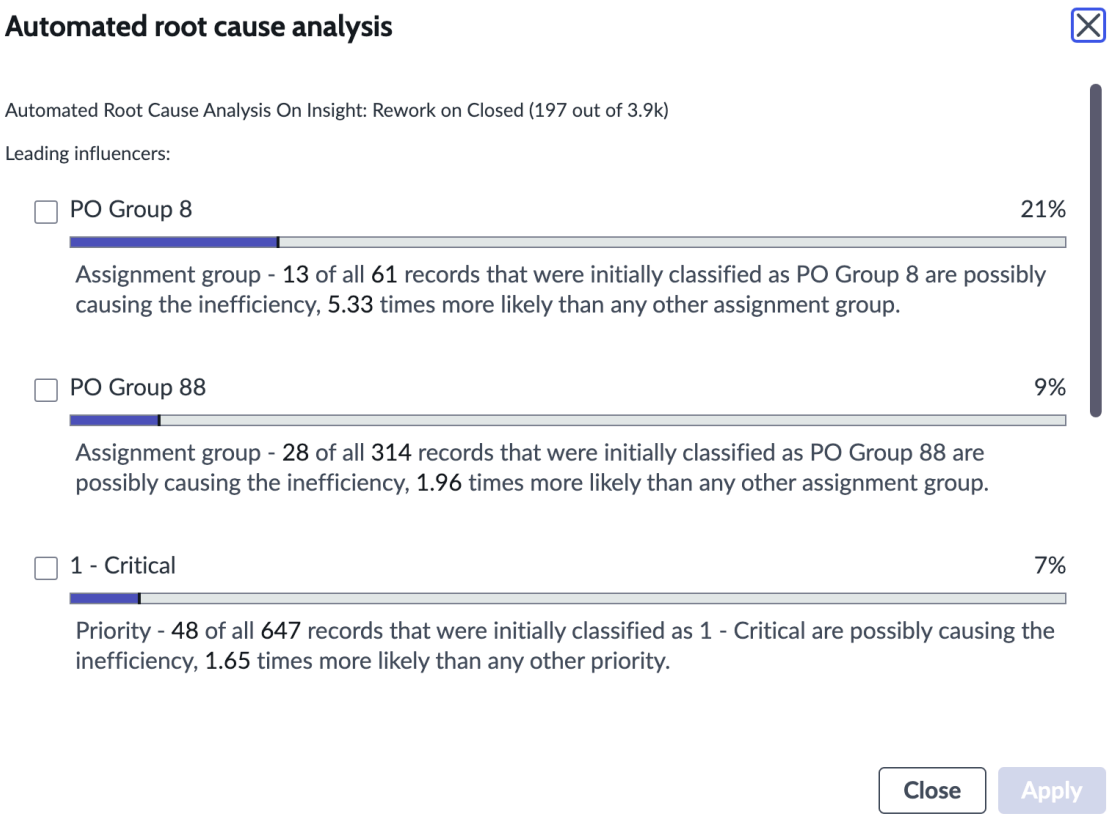
2. 根本原因分析が完了したら、Analyst Workbench の [スケジュール設定済みタスク] パネルで [結果を表示] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[概要と分析情報] ページから [結果の表示] を選択することもできます。

根本原因分析の結果は次のようになります。



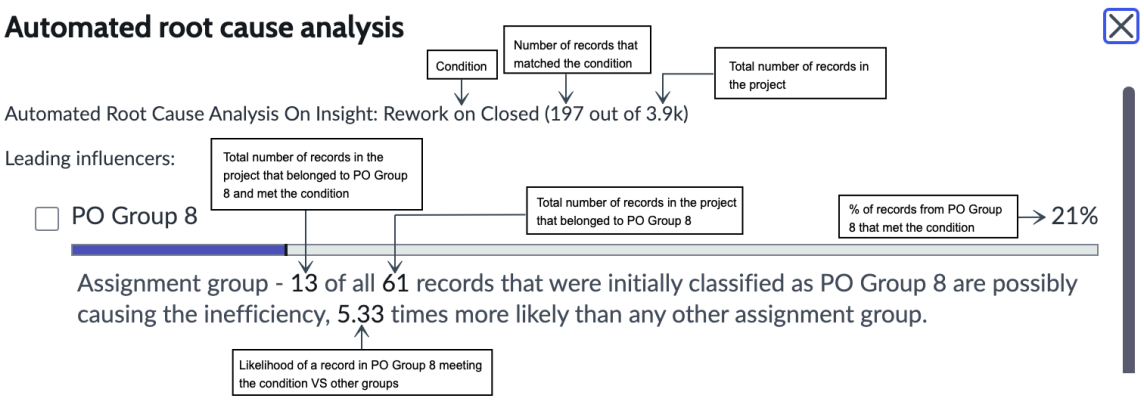
自動翻訳

自動化された根本原因分析のレビューと解釈

分析レポートを確認し、パフォーマンスの問題の根本原因を理解します。この情報を使用して、プロセスを最適化します。

> **注:**
> 結果を確認および解釈するには、自動化された根本原因分析を実行しておく必要があります。詳細については、「自動化された根本原因分析レポートの実行」を参照してください。

次のように、自動化された根本原因分析の結果を読んで理解する必要があります。



上記の例では、根本原因分析はリワークタイプの検索定義に対して実行されます。レコードが [Closed (クローズ済み)] ステータスになった後にやり直しが行われたレコードを調べています。こ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

れは、レコードが [クローズ済み] ステータスの後に [プロセス終了] に進まない理由を示しています。

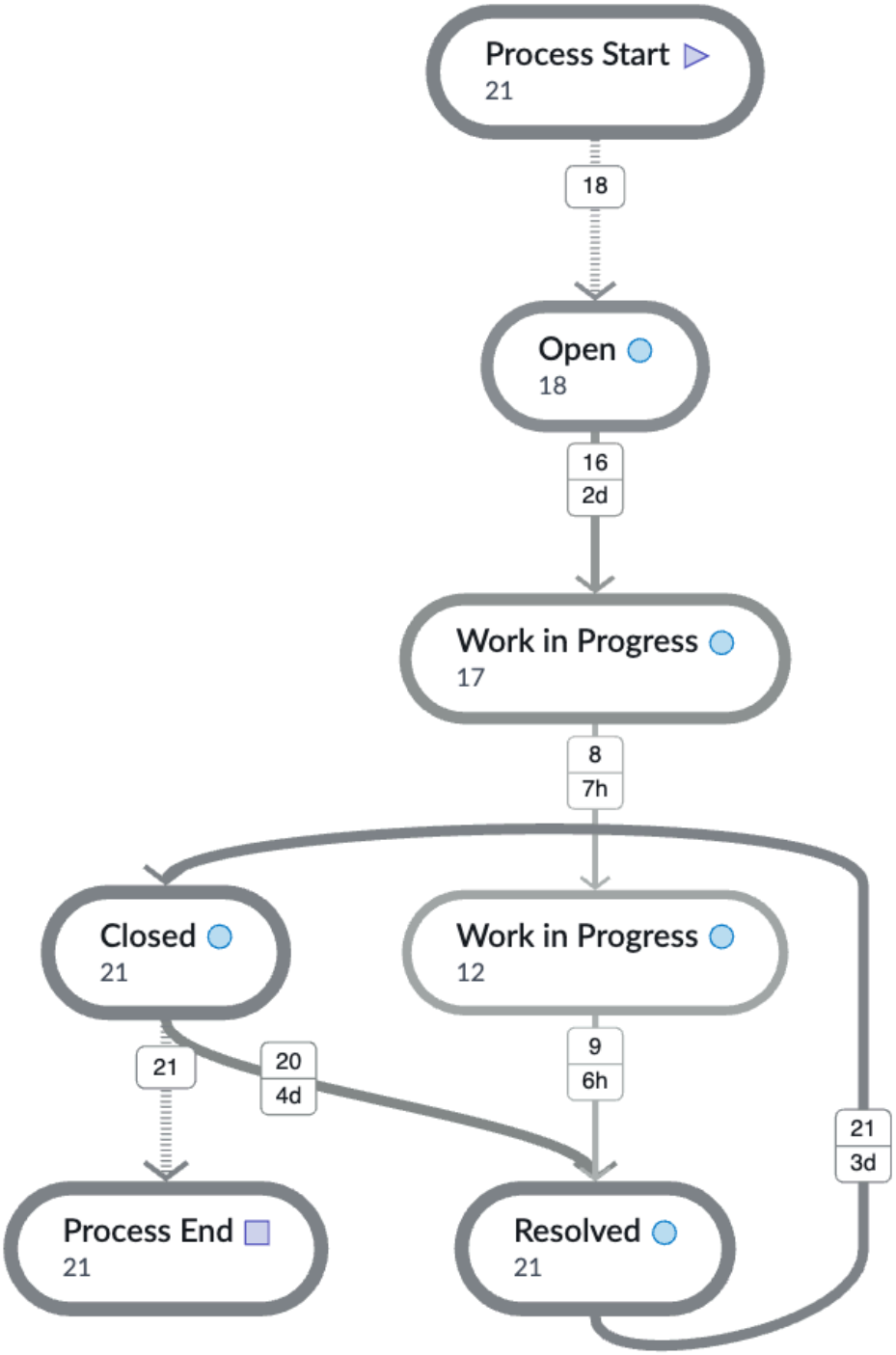
この分析によると、最初に PO グループ 8 にアサインされたインシデントのうち 13 件は、[クローズ済み] ステータスでやり直しがありました。この数字は、POグループ8にアサインされ、このプロジェクトの一環として採掘されたインシデントの総数の21%に相当します。最初にこのグループにアサインされたインシデントは、他のどのグループよりも 5.33 倍高い確率で [Closed] ステータスでやり直しが行われます。

結果を解釈した後、特定のインフルエンサーを選択して、その詳細を表示できます。インフルエンサーを選択し、 [適用] を選択します。別のスケジュールされたタスクが開始され、スケジュールされたタスクパネルで進行状況と結果を確認できます。

この例では、PO グループ 8 が適用されている場合、次のような結果が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



このグラフから、一部のレコードが [プロセス終了] に移動する前に [クローズ済み] から [解決済み] に移行している理由を分析できます。

クラスター分析

アクティビティ、接続、改善の機会、またはルーティングを潜在的なボトルネックとして特定する場合は、キーワードの説明とアサイン先グループのクラスターを表示してインサイトを得ます。

クラスター分析では、類似したレコードをクラスター (1 つのグループ) にグループ化して、パターンを識別できるようにします。データセットは、指定されたラベルに基づくグループ化ではなく、さまざまな自然な類似性グループに分類されます。この教師なし機械学習手法により、関係のないケースやレコードがプロジェクトの一部になるのを防ぐことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
クラスタリングは、100 ～ 300,000 のレコード数で使用できます。

クラスタリングがどのように機能するかの概念的な例を使用してみましょう。自動車修理工場では、顧客は多数のサービスオプションから選択できます。ゼネラルマネージャーは、最も使用されていないサービスを特定したいと考えています。マネージャーは、これらの領域を担当する専門家の数を減らしてコストを削減したいと考えています。マネージャは、キーワードの説明とサービス・カテゴリ領域のビューを生成するクラスタ分析を開始します。サービスアクティビティの類似したグループのクラスターが生成された後、マネージャーは限られた数のサービスを使用する顧客グループのより小さく、よりパターン化されたデータセットを持つことになります。マネージャーは、より詳細な分析のために、より小さなデータセットにさらにフィルターを適用します。

クラスタリングソリューションのプロセスの構成

クラスター分析を生成できるようにプロセスを構成します。

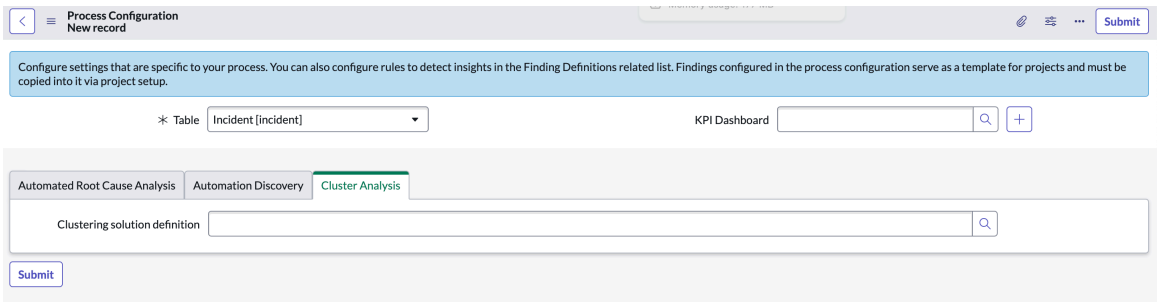
始める前に

注:

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_admin ロールと sn_process_optimization_power_user ロールは、クラスタリングソリューション定義をプロジェクトに関連付けることはできますが、定義を作成することはできません。
  - sn_process_optimization_analystロールはクラスタリングソリューション定義を表示できますが、定義を作成、編集、関連付け、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. クラスター分析を構成するプロセス構成を開きます。
   または、[新規] を選択して新しいプロセス構成を作成することもできます。詳細については、「テーブルのプロセス構成レコードの作成」を参照してください。



3. [クラスター分析] タブで、[クラスターリングソリューション定義] フィールドから検索アイコンを選択します。
4. [クラスタリング定義] リストから既存の定義を選択するか、[新規] を選択して新しいクラスタリングソリューション定義フォームを作成します。
   - アドミニストレーターロールとml_adminロールは、新しいクラスターリングソリューション定義を作成できます。
   - 新しい定義を作成する場合は、 クラスタリングソリューションの作成とトレーニング のガイダンスに従ってフィールドを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [送信] を選択します。
   クラスタリングソリューション定義は、選択したテーブルのプロセスに関連付けられています。

次のタスク
クラスター分析の実行

クラスター分析の実行

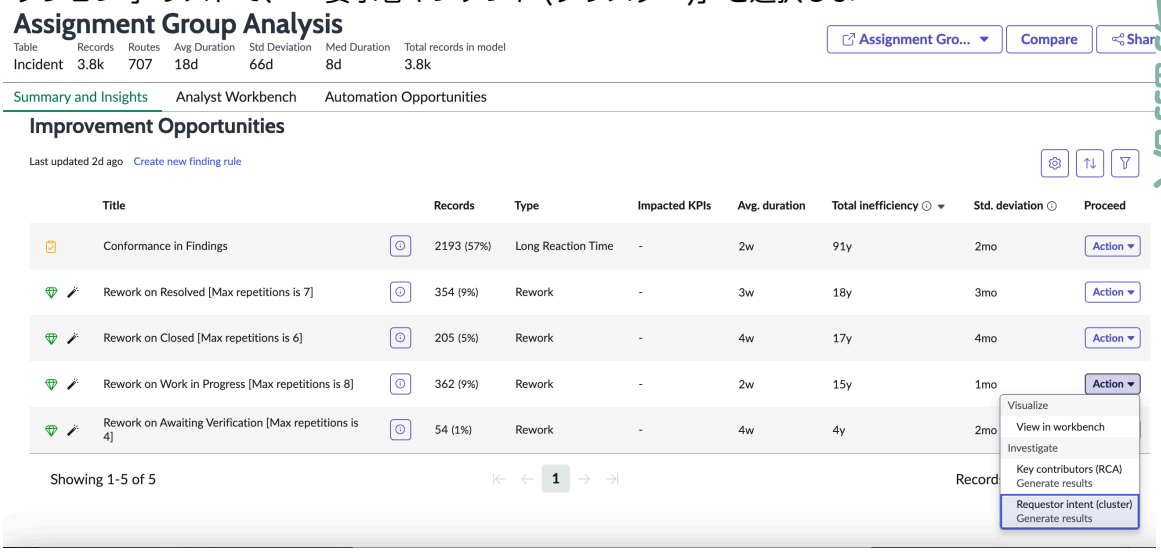
アクティビティ、アクティビティ間の接続、ルート、または改善の機会に関するクラスター分析を生成します。

事前準備

- クラスタリングソリューションのプロセスの構成. クラスター分析を生成するには、プロジェクトのプロセスが関連するテーブルのクラスタリングソリューションで構成されている必要があります。
- 必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin
- 分析は、最小 100 レコード、最大 300,000 レコードのアクティビティ、接続、改善機会、または組み合わせルートで実行できます。

次のいずれかの方法でクラスター分析を実行します。

- [サマリーとインサイト] ページから:
  1. [改善の機会] セクションから、結果を選択します。
  2. 「 アクション 」リストで、「 要求者インテント (クラスター)」を選択します。



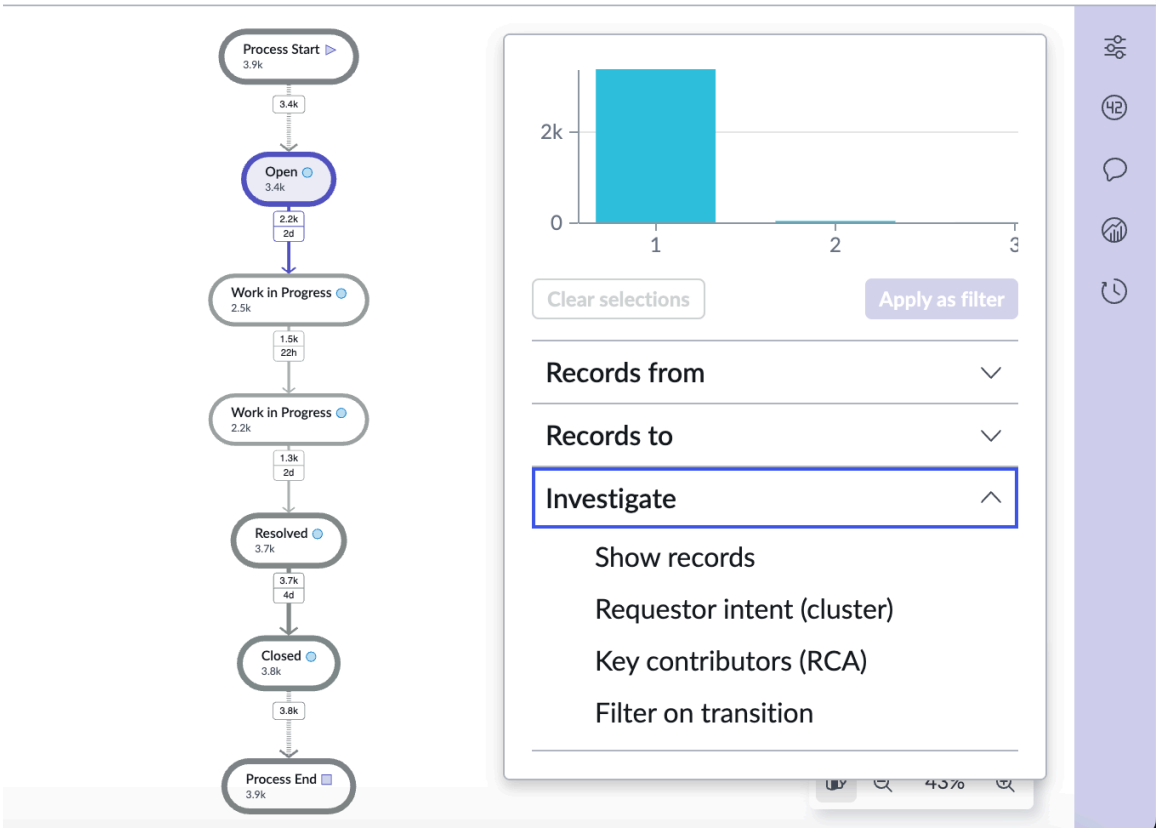
す。

> **注:**
> 要求のステータスは、タスクが完了するまで [進行中] と同じオプションに表示されます。

- プロセスマップ上のアクティビティまたは接続から:
  1. プロセスマップからクラスター分析を実行するアクティビティまたは接続を選択します。
  2. [メトリクス] ボックスから [**Investigate** > **Requestor intent (cluster)** (リクエスタインテント (クラスター) の調査)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクがバックグラウンドで実行されているという通知が届きます。通知を閉じることができます。タスクが完了すると、通知されます。[スケジュール済みタスク] ウィンドウで詳細を確認できます。



3. クラスター分析が要求された [スケジュールされたタスク] パネルまたはメトリクスボックスから、 [生成の完了後に 結果を表示] を選択します。

関連情報

クラスター分析の表示

クラスター分析要求の再送信

構成の問題またはクラスタリング ソリューションの変更が発生した場合は、フォローアップ クラスター分析をスケジュールできます。

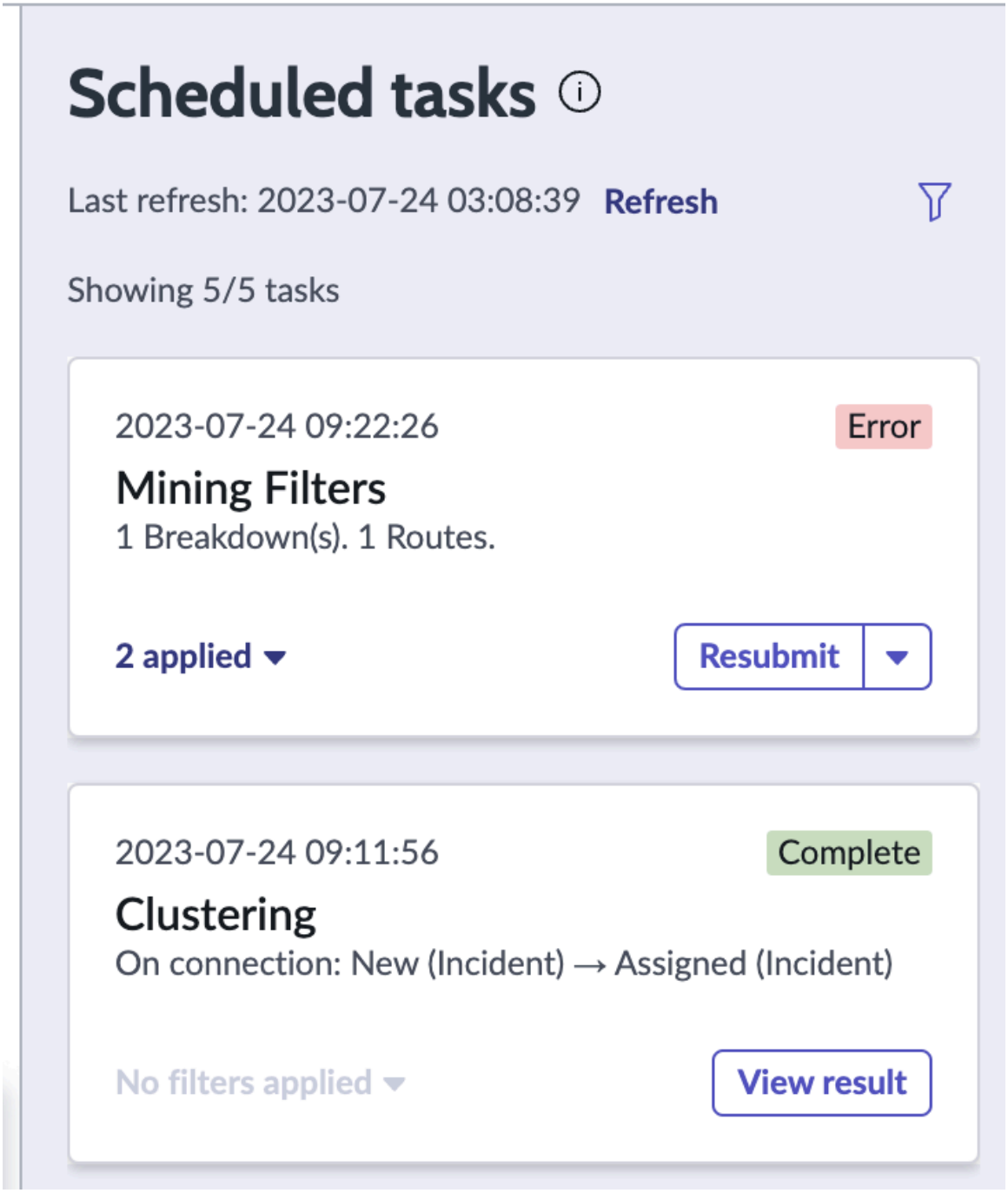
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [スケジュールされたタスク] パネルから、更新された分析を生成するアクティビティまたは改善機会の [再送信] を選択します。



前のクラスター分析要求の詳細を表示するには、 [エラーの詳細の表示] を選択します。[エラーの詳細を表示] をクリックすると、失敗したタスクの ML ソリューションフォームに移動します。

2. タスクが完了したら、 [結果の表示] を選択します。

次のタスク

ツリーマップでのクラスターの表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスター分析の表示

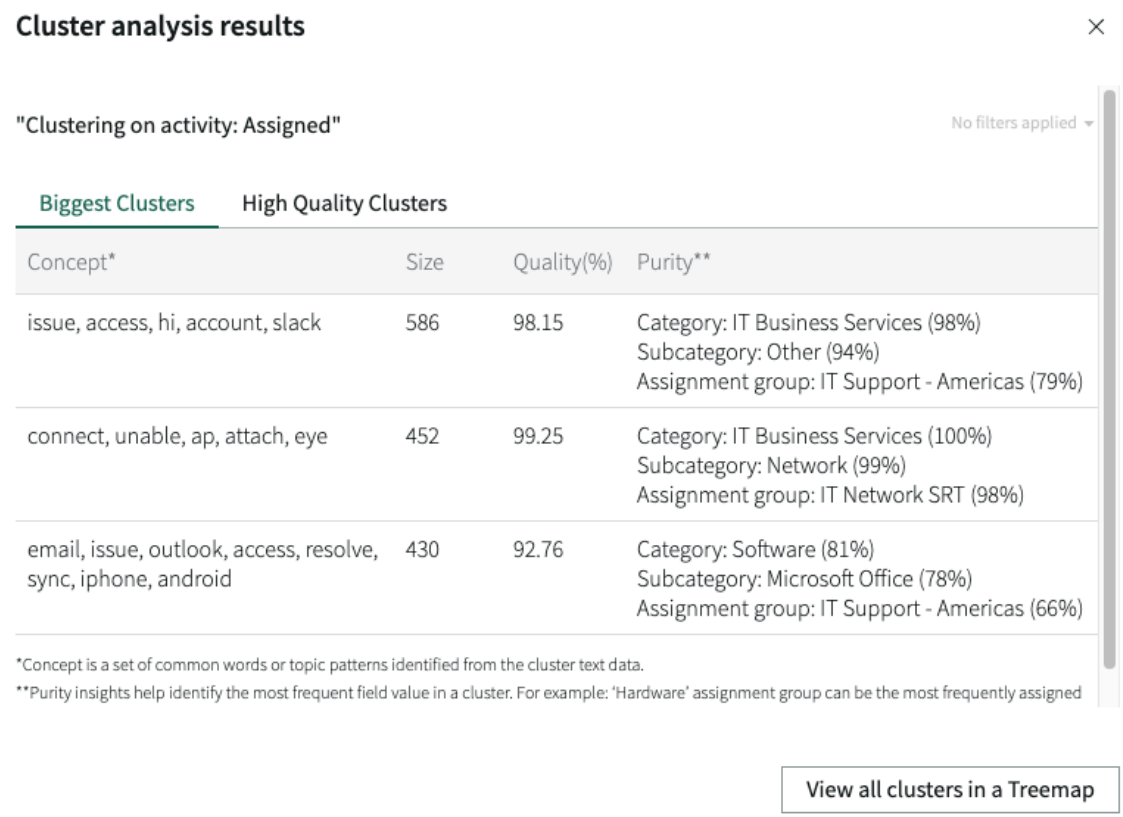
アクティビティ、アクティビティ間の接続、またはルートの上位 3 つのクラスターのクラスター分析を表示します。

完了したクラスター分析を次のいずれかの方法で表示します。

- クラスター分析が実行されたプロセスマップから接続またはアクティビティを選択します。メトリック ボックスで、 [表示] を選択します。
- [スケジュールされたタスク] パネルから、選択したクラスタータスクの結果 の表示 を選択します。
- [サマリーとインサイト] ページで、表示するインサイトのボックスにある [要求者のインテント (クラスター) 結果を表示] を選択します。

クラスター分析結果

[クラスター分析結果] ダイアログには、上位の最大のクラスターと高品質のクラスターが表示されます。



結果ダイアログには、接続またはアクティビティのタイトル、または解析が実行されたルートの数が表示されます。結果には、上位の最大かつ高品質のクラスターについて、これらの統計情報が表示されます。

コンセプト	クラスター内で見つかった最も目立つ単語またはコンテンツのリスト。クラスターに含めるレコードをシステムが識別するのに役立つ入力フィールドタイプとして、[Short description (簡単な説明)] を使用しました。したがって、上記のクラスター分析結果には、レコードの簡単

自動翻訳

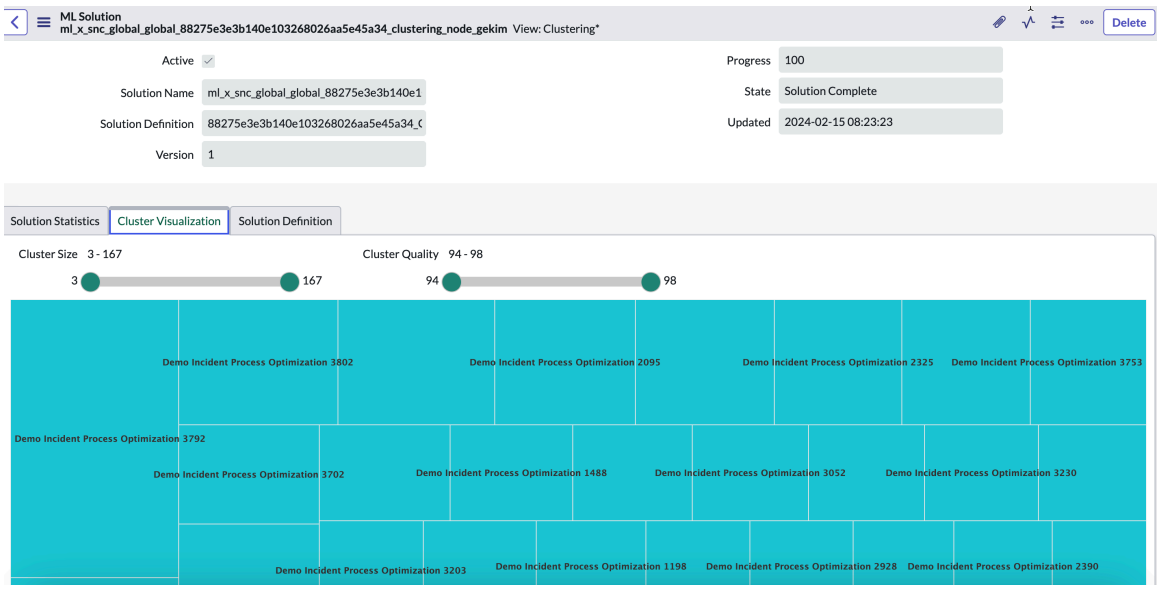
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	な説明に最も頻繁に出現する単語が表示されます。
サイズ	クラスター内のレコードの数。
品質	ケースの類似度のパーセンテージ値。
純度	分布の有意性に基づいて、クラスターに最も頻繁に出現するクラスのメトリクス。純度のインサイトは、クラスター内で最も頻繁に使用されるフィールド値を特定するのに役立ちます。

ツリーマップでのクラスターの表示

結果ダイアログにリストされた上位 3 つを超えるクラスター (存在する場合) を含むクラスターの詳細を表示するには、[ツリーマップ内のすべてのクラスターを表示] を選択します。

ツリーマップによるチャート化を使用すると、クラスターのさまざまな側面をよりよく理解し、最初に焦点を当てるクラスターを決定できます。ツリーマッププロットが [クラスターの可視化] タブに表示されます。



ツリーマップの使用の詳細については、「 クラスタリング ソリューションの作成とトレーニング 」をご参照ください。

作業メモアナリシス

作業メモ分析は、作業メモとコメントに記録されているように、アクティビティ移行の背後にある運用上の理由を理解するのに役立ちます。一般的な例としては、解決済みから対応中への移行や、サービスデスクからスペシャリストグループへの変更などのアサイン先グループの変更があります。

作業メモを分析すると、移行の背後にある理由を明確にするのに役立ちます。このプロセスでは、移行が発生する直前と直後にエージェントと要求者が作成した作業メモを抽出します。その後、クラスタリング手法を使用して、類似した作業メモを含むレコードを分類します。

注:
作業メモ分析は、100～300,000のレコード数で使用できます。

作業メモ分析の構成

プロセステーブルの作業メモ分析を構成して、そのプロセステーブルに基づいてプロジェクトの作業メモ分析を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

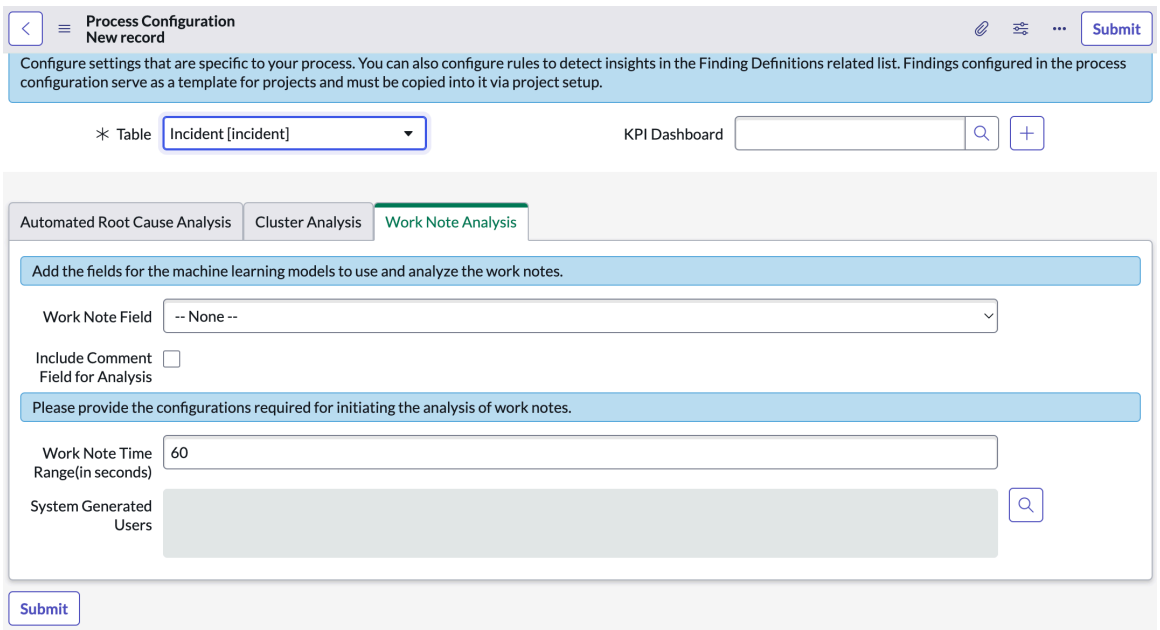
始める前に

注:

- 1 つのプロセステーブルに対して 1 つの構成を作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、作業メモ分析定義をプロジェクトに関連付けることはできますが、定義を作成することはできません。
  - sn_process_optimization_analystロールは、作業メモ分析定義を表示できますが、定義を作成、編集、関連付け、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. リストで利用可能なテーブルの作業メモ分析を構成する場合は、リストからテーブルを選択します。
   テーブルが表示されていない場合は、 新規 を選択します。詳細については、「テーブルのプロセス構成レコードの作成」を参照してください。



3. [作業メモ分析] タブで、フィールドに入力します。

フィールド	**Description** (説明)
作業メモフィールド	分析対象として考慮する作業メモフィールドを選択します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 ○ なし:分析は利用できません。 ○ 追加コメント:分析が利用可能になり、コメントが要求者に表示されます。 ○ 作業メモ:分析が利用可能であり、コメントは履行者にのみ表示されます。
アナリシスにコメントフィールドを含める	メモとともにコメントを分析する場合に選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
作業メモの時間範囲 (秒)	移行前後の作業メモを取得する時間間隔を秒単位で入力します。たとえば、60 秒を指定すると、移行時間の前後 60 秒に投稿された作業メモが分析でキャプチャされます。これは、分析のために最近の関連する作業メモをキャプチャするのに役立ちます。
システム生成のユーザー	システム生成作業メモに関連付けられているユーザー名を入力して、それらの特定のシステムユーザーによって作成された作業メモまたはコメントを除外します。システムで生成された作業メモには、移行の説明がないことがよくあります。

4. [送信] を選択します。

作業メモ分析の実行

移行に関する作業メモ分析を生成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

> **注:**
> 単語数が 5 を超え 50 語未満の作業メモが分析対象として考慮されます。

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのリストからプロジェクトを選択します。
3. 任意のトランジションを選択します。
   ウィンドウにすべての詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

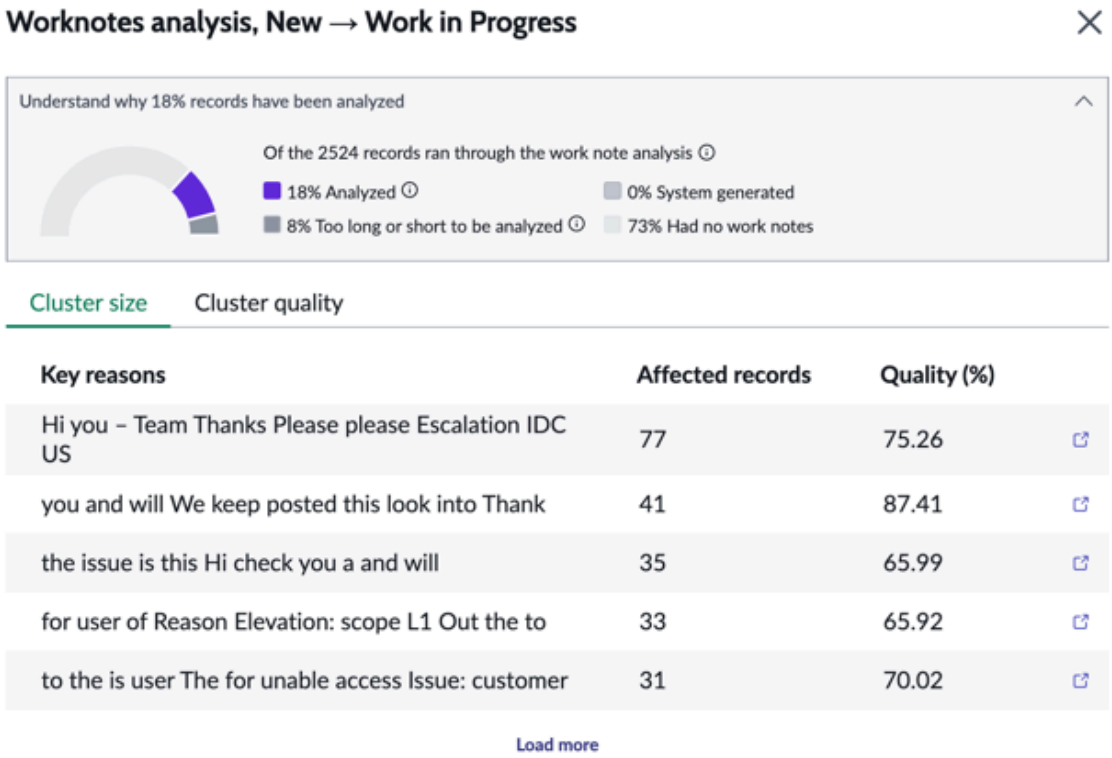


4. [調査] セクションから [作業メモ分析] を選択します。
   スケジュール設定済みのタスクが開始されます。
5. スケジュールされたタスクが完了したら、 [結果の表示] を選択します。

   結果が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



を選択して、同じ理由のすべてのアイテムを表示します。

作業メモ分析を再送信

なんらかの理由で作業メモ分析が失敗した場合は、再送信できます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

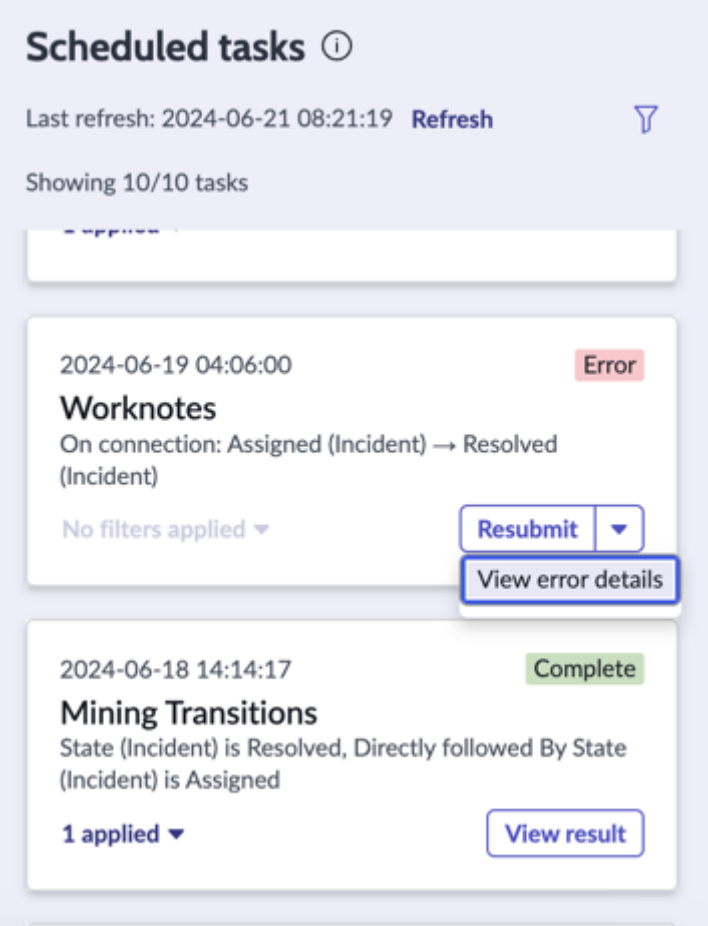
手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのリストからプロジェクトを選択します。
3. [スケジュールされたタスク] ペインで、失敗した作業メモ分析の [再送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エラーの詳細を表示するには、[エラーの詳細を表示] を選択します。



改善イニシアチブの作成と追跡

プロセスマイニングアプリケーション内から改善イニシアチブを表示、作成、および関連付けます。

改善イニシアチブには、成功を測定するための目標と、フェーズが含まれます。フェーズには、改善を完了するための特定のアクションを持つタスクが含まれます。

改善イニシアティブを表示、作成、または関連付けるには、継続的改善管理プラグインをアクティブ化し、ユーザーがイニシアティブを表示または作成する権限を持っている必要があります。

イニシアチブリストの表示

プロセスプロジェクト用に作成された、またはプロセスプロジェクトに関連付けられている改善イニシアチブのリストを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、sn_process_optimization_admin または sn_process_optimization_viewer

手順

1. プロジェクトビューを開きます。
2. [メモとイニシアチブ (Notes and initiatives)] パネルでイニシアチブアイコン ( ) を選択します。
   イニシアチブリストが表示され、各イニシアチブの CIM ID、簡単な説明、作成の詳細、および現在のステータスが表示されます。以下のことを行うことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 以下を表示するかどうかを選択します。
  - 現在のモデルイニシアチブ:現在表示しているプロセスで作成されたイニシアチブを表示します。
  - メインモデルイニシアチブ:リンクされたプロセスから、メインプロセスで作成されたイニシアチブを表示します。
  - リンクされたすべてのイニシアチブ:メインプロセスおよびリンクされたすべてのプロセスで作成されたすべてのイニシアチブを表示します。
- 必要に応じて、作成日、作成者、またはステータスの昇順または降順でリストをソートします。
- 検索フィールドに簡単な説明または CIM 番号の後に 3 文字以上を入力して、特定のイニシアチブを検索します。

3. オプション: イニシアチブのコンテキストメニューを選択して、詳細を表示、編集、または削除します。

からの改善イニシアチブの作成 プロセスマイニング

プロセスマイニング で分析しているプロジェクトに関連付けられた改善イニシアチブを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. プロジェクトビューを開きます。

2. 次のいずれかの方法で、新しい改善イニシアチブフォームを開きます。

- 概要パネルメニュー を選択し、[新しい改善イニシアチブ] を選択します。
- [Notes and initiatives (メモとイニシアチブ)] パネルから:

a. イニシアチブアイコン ( ) を選択します。

b. 選択 作成 > 新しいイニシアチブ
新しい改善イニシアチブフォームが別のタブに表示されます。

3. フォームフィールドに記入します。
フィールドの詳細については、「 改善イニシアチブを作成する 」を参照してください。

4. オプション: サポートドキュメントを添付する場合は、[参照] を選択し、ファイルを選択します。

5. [保存] を選択します。

6. プロジェクトビューで [イニシアチブ] アイコンを選択してリストを更新します。

タスクの結果

プロジェクトに対して作成された改善イニシアチブを表示できます。

次のタスク

レコードを変更するには、CIM レコードから以下の手順を実行します。

- レコードを更新する: レコードに変更を加え、[保存] を選択します。
- イニシアチブを削除する: レコードからメニューアイコンを選択し、[削除] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イニシアチブを関連付ける

既存の改善イニシアチブをプロジェクトに関連付けます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. プロジェクトビューを開きます。
2. [メモとイニシアチブ] パネルからイニシアチブアイコン ( ) を選択します。
3. プロジェクトに関連付ける 1 つ以上のイニシアチブを検索してオンにします。
4. [リンク] を選択します。

タスクの結果
関連する改善イニシアティブが、更新されたイニシアティブリストに表示されます。

イニシアティブを削除する

関連するタスクを完了またはキャンセルしたら、関連する改善イニシアチブをプロジェクトから削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて
改善イニシアチブは、それが作成されたメインプロセスまたはリンクされたプロセスから削除できます。イニシアティブを削除してもイニシアティブは削除されませんが、プロジェクトからイニシアティブのリンクが解除されます。

手順

1. プロジェクトビューを開きます。
2. [メモとイニシアチブ] パネルからイニシアチブアイコン ( ) を選択します。
3. リストからイニシアチブのコンテキストメニューを選択し、[削除] を選択します。
4. **[OK]** を選択して、イニシアチブを削除することを確認します。

タスクの結果
更新されたイニシアチブリストからイニシアチブが削除されます。

流入・流出解析:ノードスター図

プロセスグラフをノードの星形図として表示します。ノードの星形図には、選択したノードに入っているアクティビティと、選択したノードから出ているアクティビティが明示的に表示されます。

プロセスグラフを表示し、グラフ内の 1 つのノードの詳細を知りたい場合は、ノードスター図を使用する必要があります。

次のプロセスグラフは、再アサイン分析の詳細を示しています。

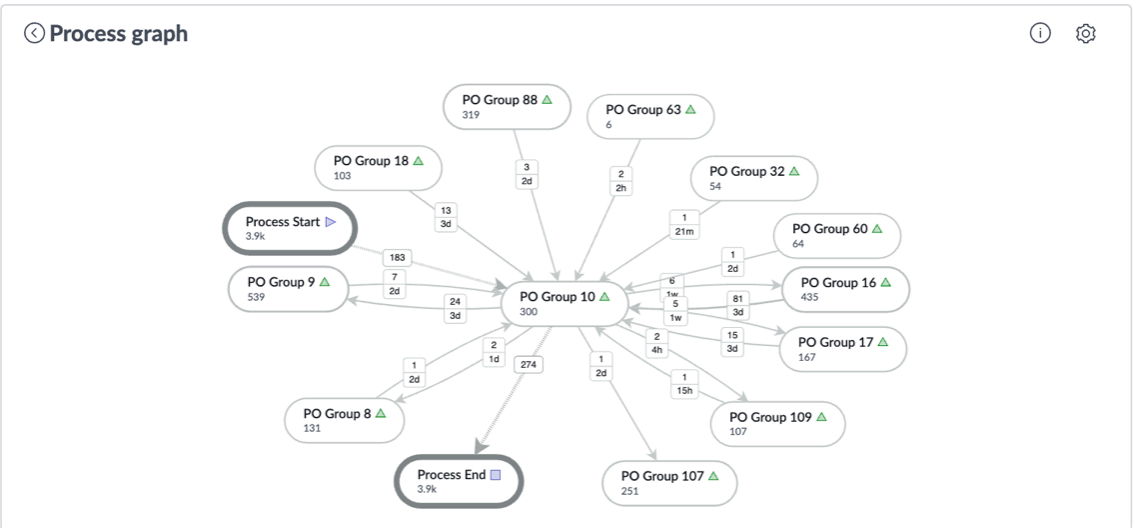
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



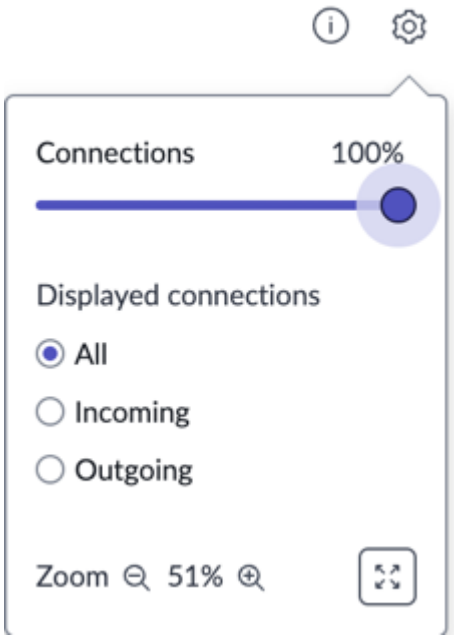
プロセスグラフの任意のノードを選択すると、グラフがノードスター図に変わり、選択したノードからのすべての受信および出力アークが表示されます。[プロセスグラフ] ボタンをもう一度選択すると、グラフ全体がプロセスグラフとして表示されます。

発注書グループ 10 を選択すると、次の図のようなノードの星形図が表示されます。PO グループ 10 に割り当てられたレコードを表示できます。発注書グループ 10 から他のグループにアサインされたレコードを表示することもできます。

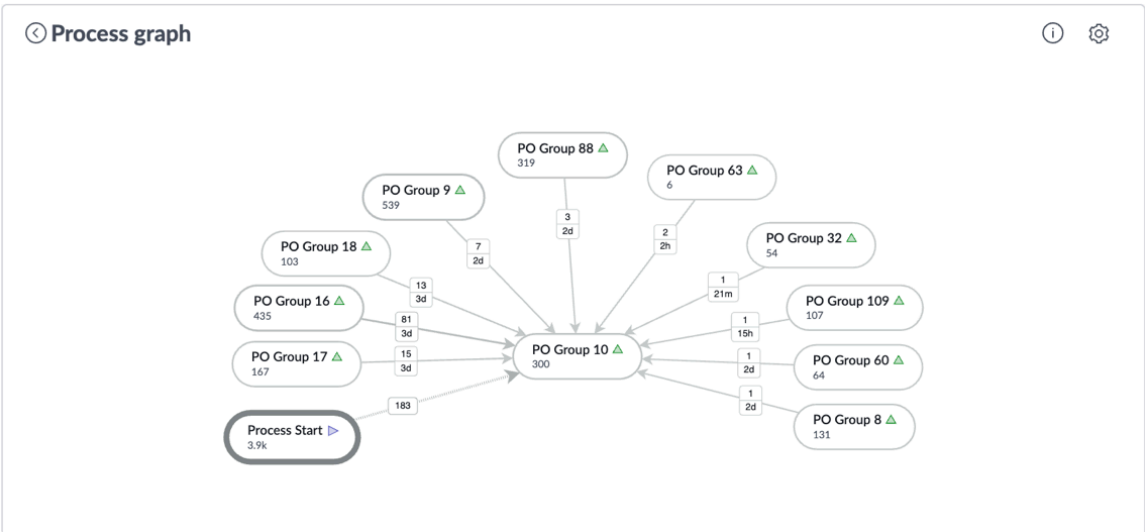


送信レコードまたは受信レコードでフィルタリングできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



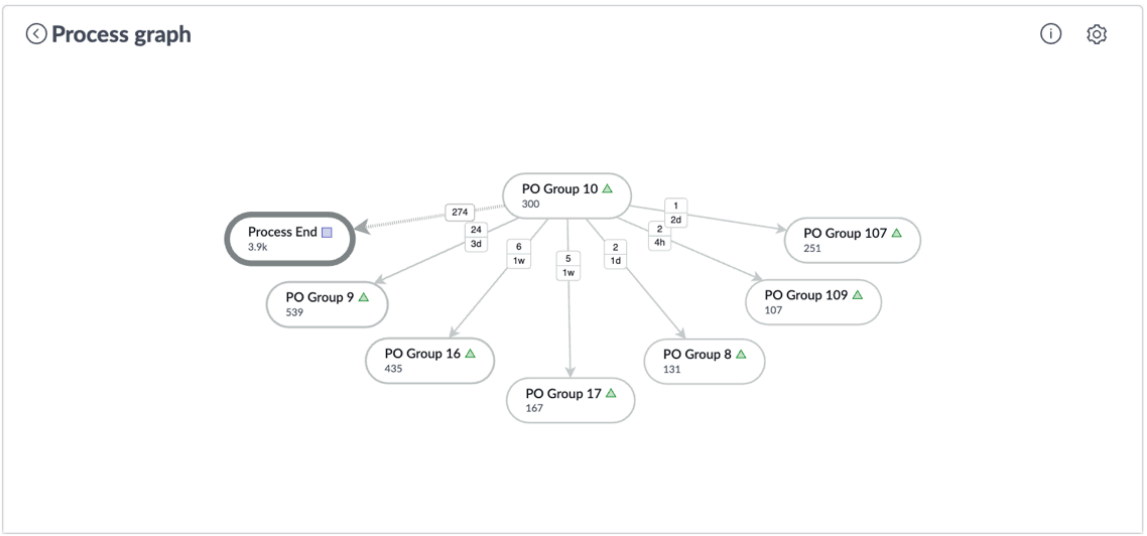
入庫 でフィルター処理すると、発注書グループ 10 に割り当てられているすべてのレコードが表示されます。PO グループ 10 のマネージャーは、どのグループがグループにいくつのレコードを割り当てているかを確認できます。その後、発生した問題の修正に集中できます。



送信 でフィルター処理すると、発注書グループ 10 によって他のグループに割り当てられているすべてのレコードが表示されます。PO グループ 10 のマネージャーは、PO グループ 10 からどのグループに再アサインされたレコードの数を確認できます。その後、発生した問題の修正に集中できます。

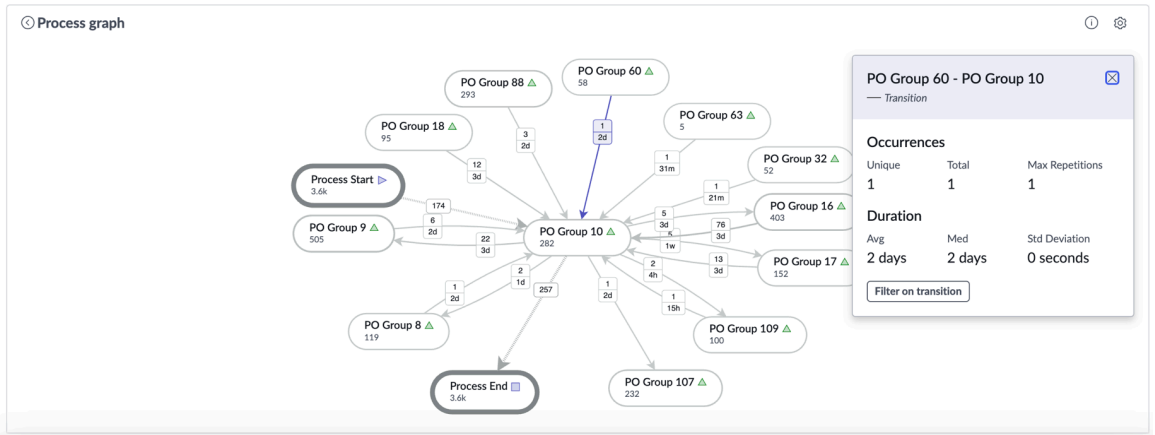
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

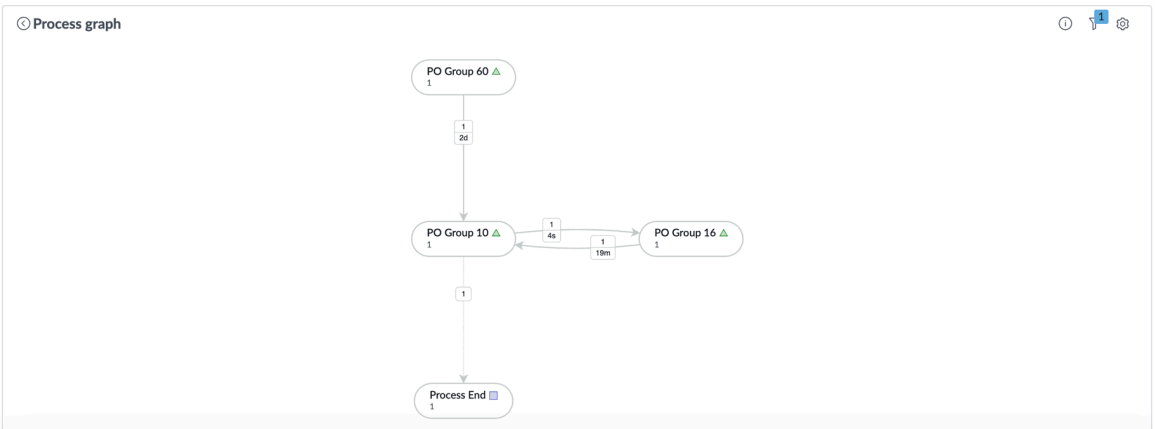


トランジションでフィルタリングすることもできます。任意の円弧を選択すると、ウィンドウに遷移の詳細が表示されます。

発注書グループ 60 を選択すると、次のようなウィンドウが表示されます。



[移行時にフィルター] を選択します。ノードの星形図には、その 1 つの遷移の結果のみが表示されます。図は、PO グループ 60 がレコードを PO グループ 10 に割り当てたことを示しています。その後、PO グループ 10 はレコードを PO グループ 16 に割り当てました。その後、PO グループ 16 はレコードを PO グループ 10 に割り当てました。最後に、レコードは閉じられました。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

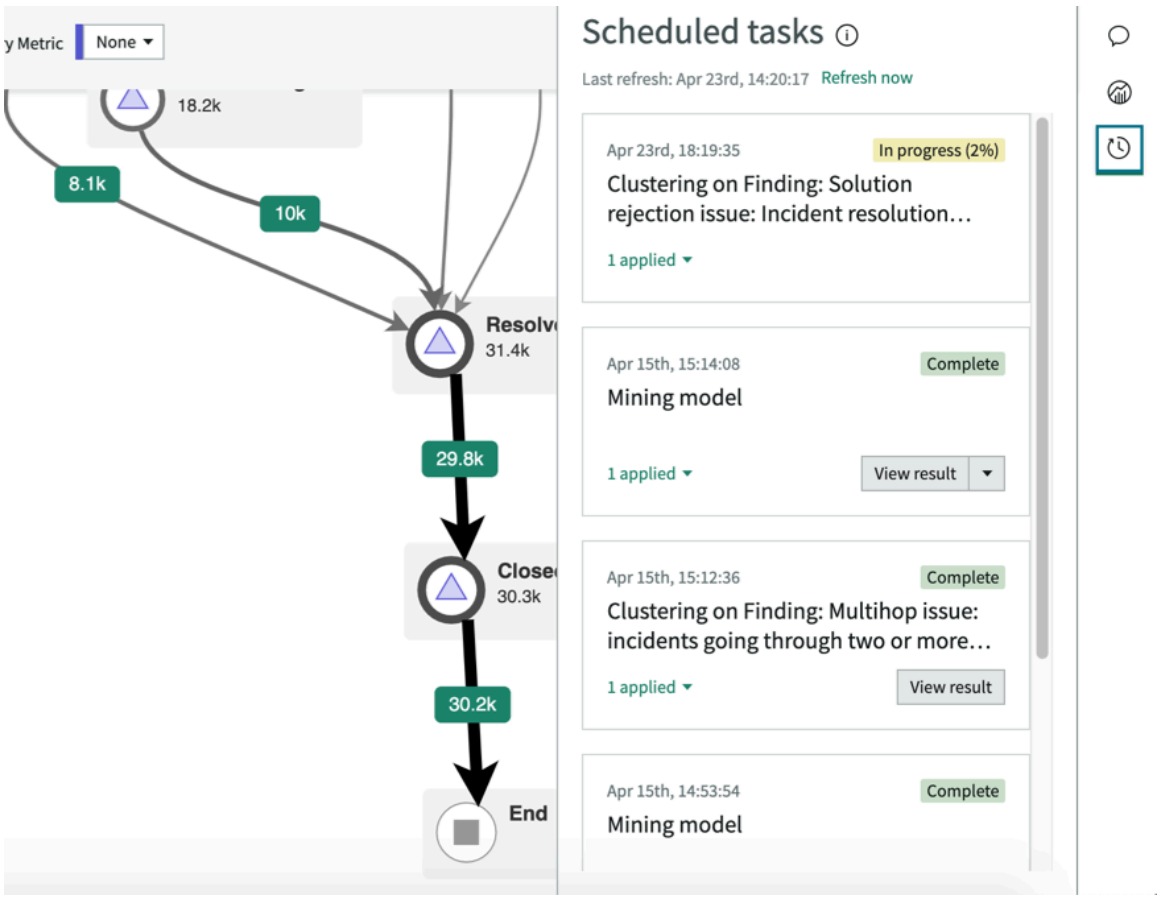
任意のノードまたはアークを選択すると、[レコードを表示] ボタンが表示されます。[レコードを表示] ボタンを選択します。スケジュール設定済みのタスクが開始されます。スケジュールされたタスクが完了したら、[スケジュールされたタスク] ウィンドウで [結果の表示] を選択します。

スケジュールされたタスクの表示

[スケジュールされたタスク] パネルから、ステータスを表示し、要求されたクラスター分析や適用されたフィルタービューなどのオンデマンドのスケジュール済みマイニングタスクの結果にアクセスします。

[スケジュールされたタスク] パネルには、これらのスケジュールされたマイニング タスクの現在の [キューに格納]、[処理中]、[エラー]、または [完了] ステータスが表示されます。

- クラスター分析要求
- リンクされたプロセスマイニング
- フィルター、ブレークダウン、移行、およびルートの適用



[スケジュールされたタスク] パネルから、結果またはビューにさらにアクセスできます。

外部データセットの操作

プロセスマイニング の環境外で利用可能なデータを使用してServiceNow® プロセスを最適化し、ビジネス上の課題を解決します。外部データセットを使用するには、まず外部データセットServiceNow 環境にインポートする必要があります。

注:
外部データのライセンスとパッケージ化に関する情報の プロセスマイニング については、アカウントチームにお問い合わせください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

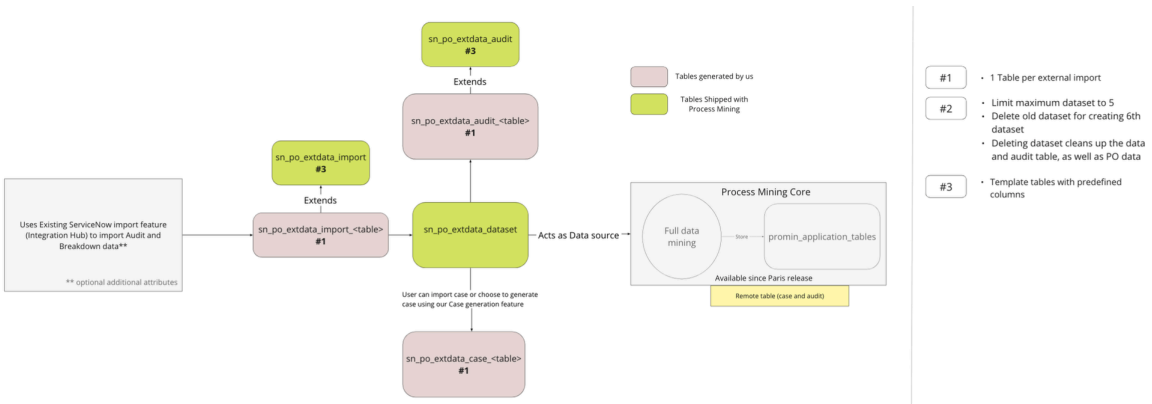
自動翻訳

外部データセットを ServiceNow® 環境にインポートすると、ソースを考えずに任意のデータで プロセスマイニング を使用できるため、作業が楽になります。

外部データセットを ServiceNow® にインポートし、それを使用してプロジェクトを作成してマイニングするには、次の手順を実行する必要があります。

- 監査テーブルの作成
- 監査テーブルへの外部データのインポート
- インポートされたデータを検証する
- レコードテーブルを作成する
- プロジェクトを作成してマイニングする

外部データセットのアーキテクチャ



監査テーブルの作成

データを格納する監査テーブルを作成します。監査テーブルは、外部データを入力するために必要な列で作成されるステージングテーブルです。

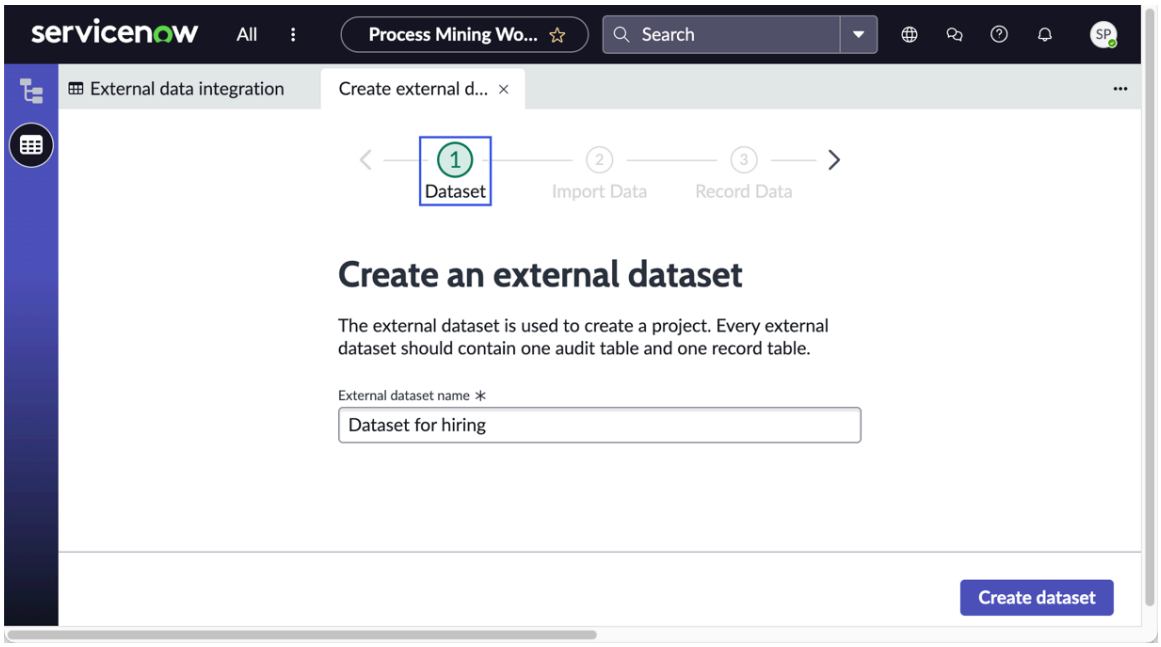
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

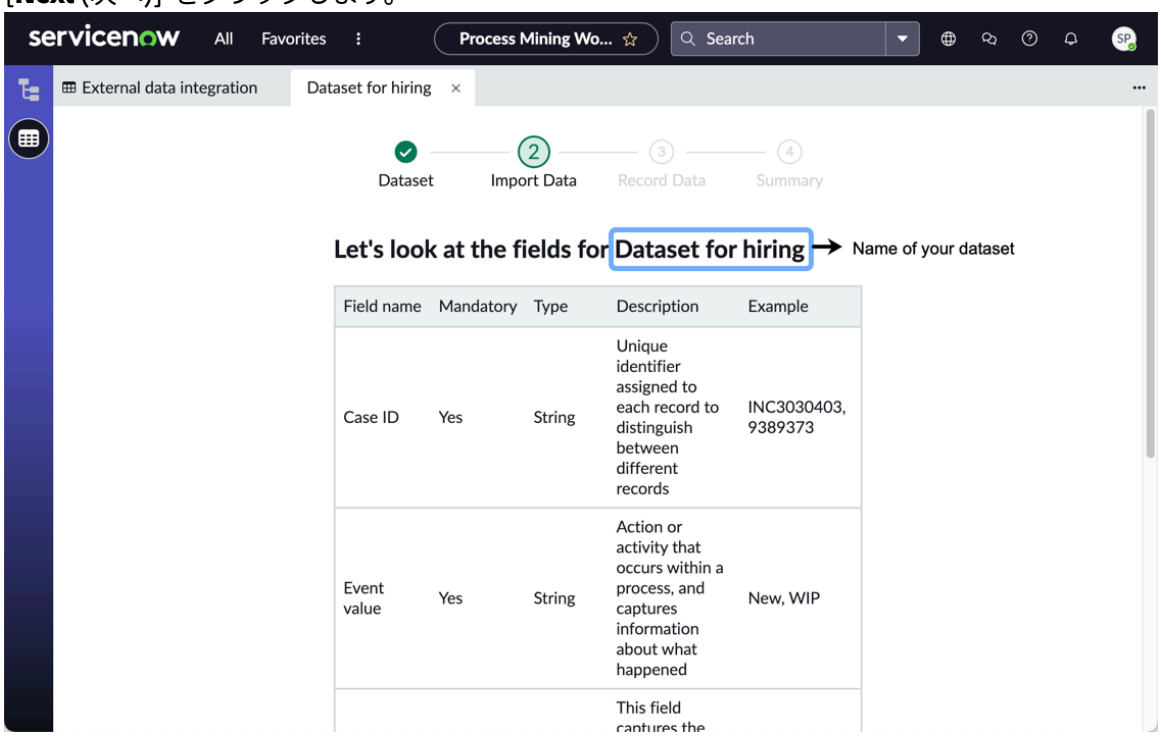
1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン ( ) を選択します。
3. [データセットの作成] を選択します。
   [外部データセットを作成] タブが開きます。
4. データセットの名前を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
データセット名は一意である必要があります。後で簡単に使用できるように、データのタイプとソースを明確にするわかりやすい名前にしてください。

5. [データセットの作成] を選択します。
次の画面には、監査テーブルの列のリストが、その説明と例とともに表示されます。
6. [**Next** (次へ)] をクリックします。



次の画面では、テーブルのカスタム列を追加できます。すでに提供されている列よりも多くの列が必要な場合は、ここで行うことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルに自動的に追加される列

列タイトル	**Description** (説明)
ケース ID	異なるレコードを区別するために各レコードに割り当てられる一意の識別子を参照します。
イベント値	プロセス内で発生するアクションまたはアクティビティを指し、何が起こったかに関する情報をキャプチャします。
タイムスタンプ	イベントが発生した日時をキャプチャします。
ユーザー	(オプション)アクションを実行したユーザーを指します。
イベントタイプ	(オプション)イベントログに記録されている特定の種類のアクティビティを指します。イベントタイプは、類似したタイプのイベントを 1 つの列にまとめるためによく使用されます。

7. [**Next** (次へ)] をクリックします。

監査テーブルへのカスタムフィールドの追加

カスタムフィールドは、プロセスグラフを表示するときのブレークダウンフィルターとして形成されます。カスタムフィールドがないと、ブレークダウンフィルターは存在しません。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. [追加フィールドの追加] ページで、[カスタム フィールドの追加] を選択します。

> **注:**
> 最大 5 つのカスタムフィールドを追加できます。

2. 名前を入力し、タイプを選択します。
タイプには次のオプションがあります。

- 文字列:サイズの場合、許可される最大長は 4000 文字です。デフォルト値は 80 です。
- ブール
- 日時
- 日付
- **10** 進数: サイズの場合、許可される最大長は 20 文字です。デフォルト値は 15 です。
- 整数:サイズの場合、許可される最大長は 20 文字です。デフォルト値は 15 です。
- 参照: [参照] を選択した場合は、参照テーブルと参照フィールドを選択する必要があります。これにより、外部データセットを使用して多次元マイニングを実行するときに、ソースフィールドとターゲットフィールドを構成できます。

3. [**Next** (次へ)] をクリックします。
次の画面には、作成している監査テーブルのすべての列が表示されます。

4. オプション: カスタム フィールドを変更する場合は、[戻って詳細を追加または削除する] を選択します。

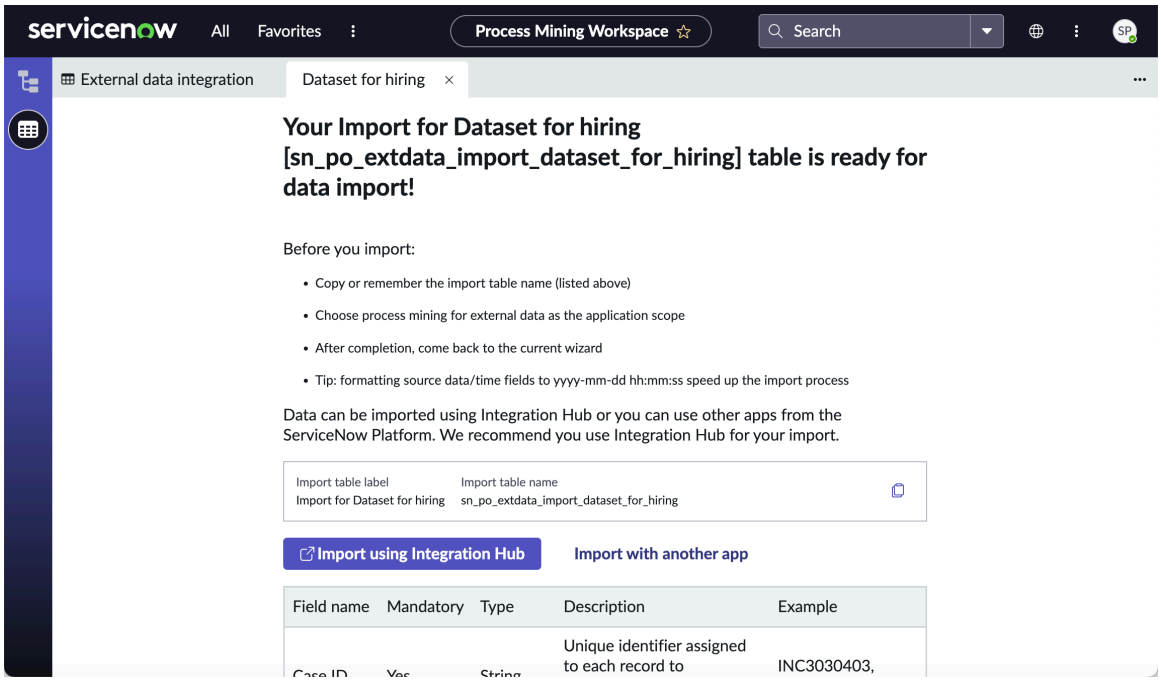
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更を行った後、 [次へ] を選択します。

5. 列のリストを検証した後、 [インポートテーブルの作成] を選択します。

> **注:**
> この画面には、作成されるテーブルの名前が表示されます。このテーブル名は、次のステップでデータをインポートするときに必要になります。



監査テーブルの準備が完了しました。これで、テーブルにデータをインポートする準備が整いました。

監査テーブルにデータをインポートする

外部データセットを監査テーブルにインポートして、 プロセスマイニングでデータの操作を開始します。

始める前に

- 監査テーブルの作成

ServiceNow 統合ハブまたはその他のアプリケーションを使用してインポートできます。このセクションでは、 ServiceNow 統合ハブ を使用してデータをインポートする方法について説明します。

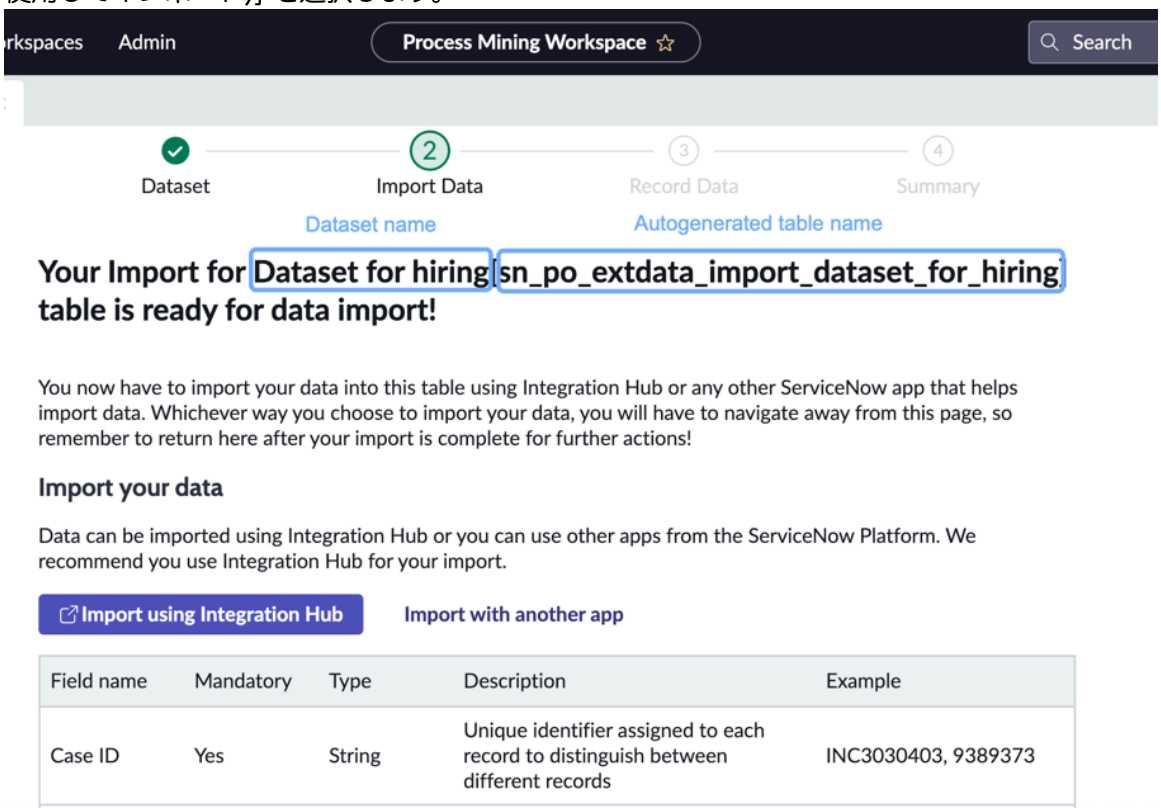
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [Import Data (データのインポート)] セクションで、[**Import using Integration Hub** (統合ハブを使用してインポート)] を選択します。



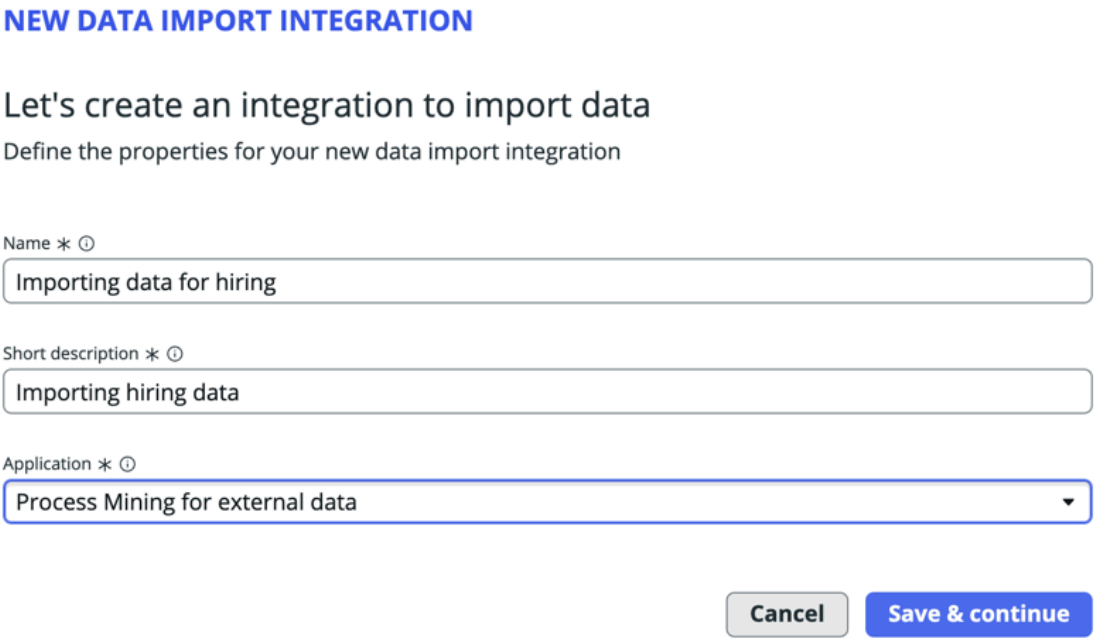
選択内容を確認するダイアログボックスが表示され、Integration Hub からデータをインポートした後、このページに再度移動する必要があることが通知されます。

2. [**Proceed to Integration Hub** (統合ハブに進む)] を選択します。
統合ハブ が新しいタブで開きます。
3. [新しい統合を作成] を選択します。
4. [新しいデータインポートの統合 (NEW DATA IMPORT INTEGRATION)] ページで、フィールドに入力します。

> **注:**
> [アプリケーション] フィールドで、外部データのプロセスマイニングを指定していることを確認してください。

自動翻訳

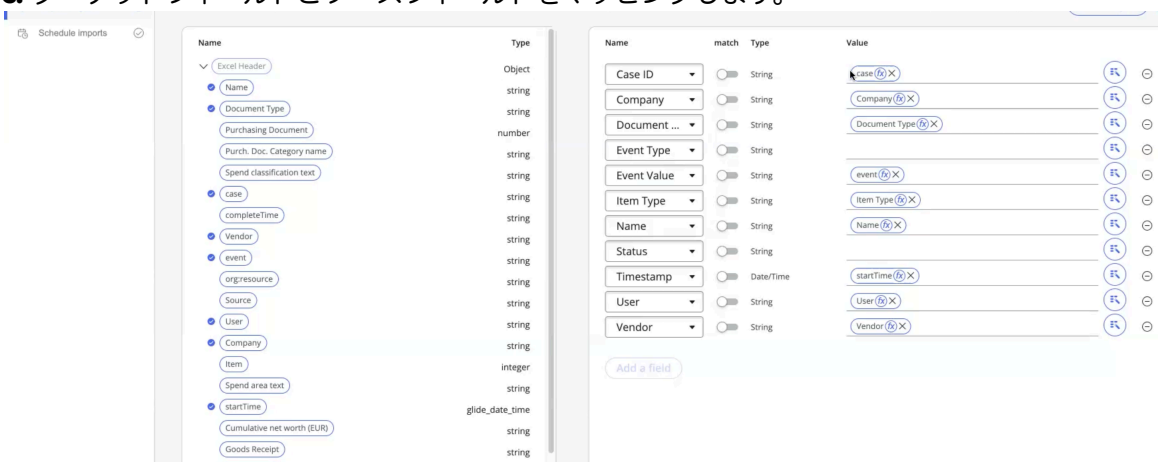
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [保存して続行] を選択します。
6. データソースを選択して構成します。
   a. ドロップダウンリストからソースタイプとして [ファイル] を選択します。
   b. データの保存方法に応じて、Excel または CSV のいずれかを選択します。

      注:
      日付の形式が jjjj-mm-dd uu:mm:ss の場合が適切です。これにより、統合ハブの変換時間が短縮されます。また、インポートしやすいように CSV ファイルを使用することをお勧めします。

7. 次に、ソースをターゲットにマップする必要があります。
   a. [テーブルの追加] を選択します。
   b. ターゲットテーブルを選択します。これは、作成したものと同じテーブルである必要があります。
   c. ターゲットフィールドとソースフィールドをマッピングします。



8. インポートをスケジュールします。
   詳細については、「Integration Hub - Import」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インポートされたデータを検証する

インポートされたデータを検証し、データが正確であることを検証します。データマイニングが成功するかどうかは、インポートされたデータの精度にかかっています。

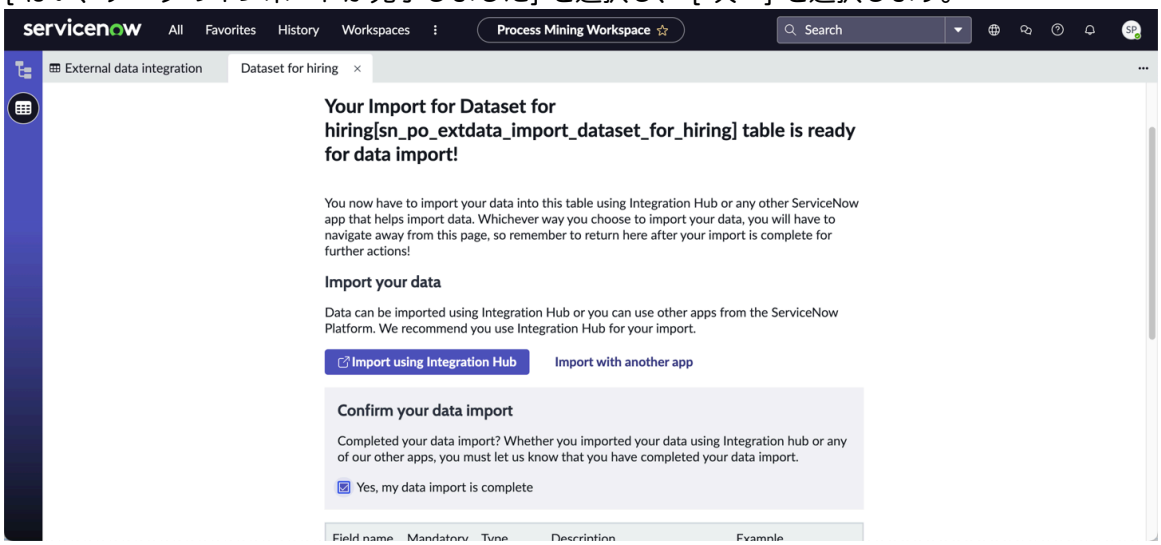
始める前に

- 監査テーブルの作成。
- 監査テーブルにデータをインポートする.

必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. [監査テーブルにデータをインポートする] セクションで [統合ハブを使用してインポート] を選択したステップに移動します。
2. [はい、データのインポートが完了しました] を選択し、 [次へ] を選択します。



3. 次のページで、 [プレビュー] を選択して、インポートしたデータを確認します。
必須フィールドとカスタムフィールドに、ソースファイルで指定した値があることを確認します。
4. オプション: データセットを再度インポートする場合、またはインポートしたデータセットを編集する場合は、[データセットの編集] リンクを選択します。
5. データを検証した後、 [確認して続行] を選択します。

インポートされたデータのケースレコードを作成

インポートされたデータはプロジェクトの作成とマイニングに重要なので、ケースレコードを作成します。レコードテーブルがないと、プロジェクトを作成できません。

始める前に

- 監査テーブルの作成
- 監査テーブルにデータをインポートする
- インポートされたデータを検証する

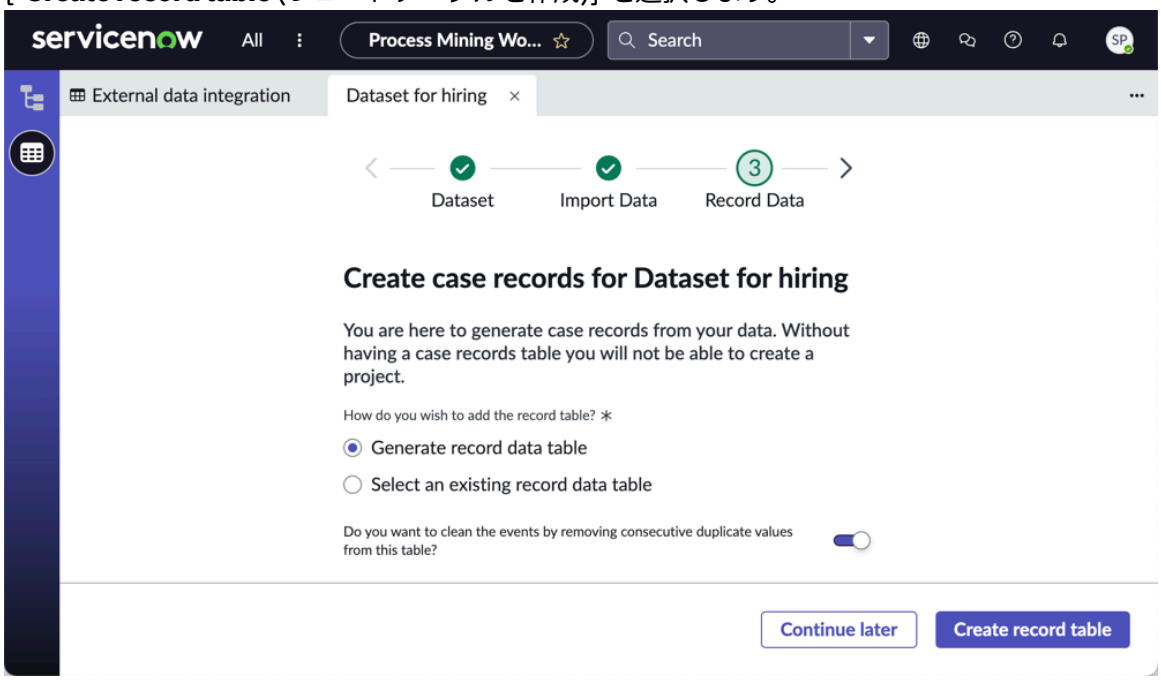
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

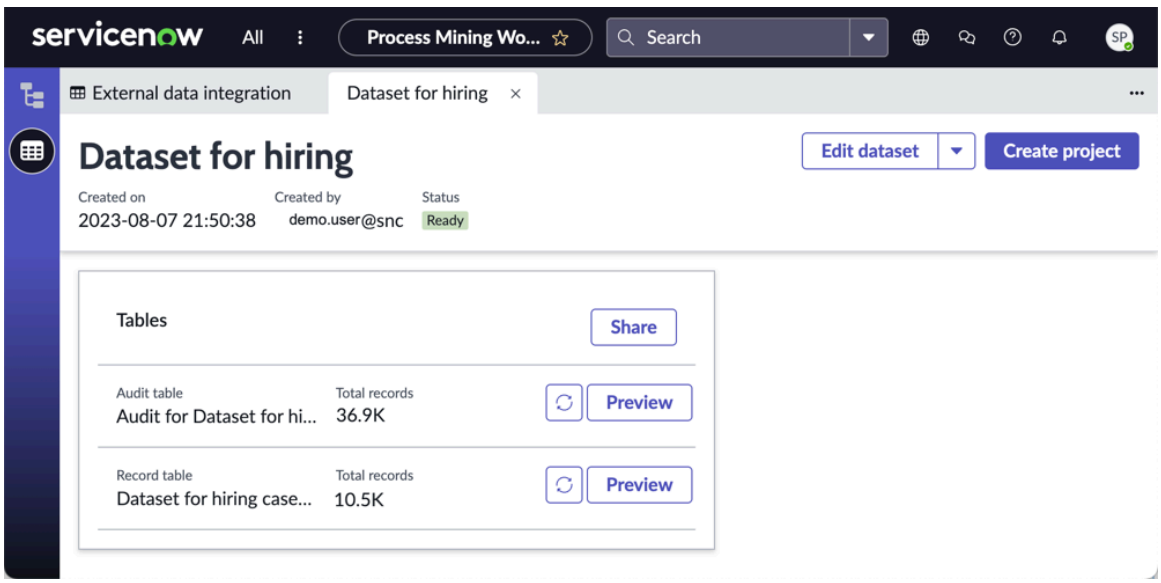
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. インポートしたデータを検証したら、[レコードデータ] セクションからレコードテーブルを作成します。
2. [レコードテーブルをどのように追加しますか?] でオプションを選択します。
   監査テーブルにカスタムフィールドがある場合、2 つのオプションはグレー表示されます。デフォルトでは、[レコードデータテーブルを生成] が選択されています。
3. [**Create record table** (レコードテーブルを作成)] を選択します。



レコードテーブルが作成されると、タブが開き、監査テーブルとレコードテーブルの詳細が表示されます。



プロジェクトを作成する

インポートされた外部データを使用してプロジェクトを作成します。データを分析してプロセスを改善するには、プロジェクトをマイニングする必要があります。

始める前に

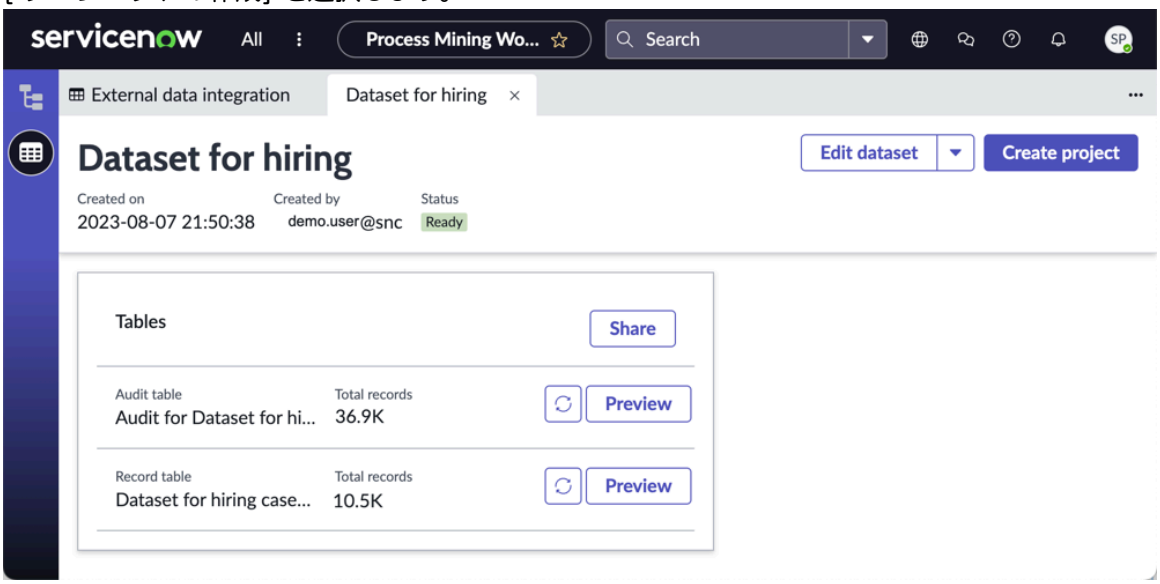
必要なロール:sn_process_optimization_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン ( ) を選択します。
3. プロジェクトを作成する基になるデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [プロジェクトの作成] を選択します。



プロジェクトビルダーの [分析のスコーピング] ページに自動的に移動します。

5. アクティビティ定義をプロジェクトに追加します。

   必要に応じて、ブレークダウン フィルターを追加できます。

   詳細については、「分析のスコーピング」を参照してください。

6. オプション: [子エンティティの追加] を選択します。

   注:
   外部データを使用して多次元マイニングを実行する場合は、子エンティティを追加する必要があります。

7. オプション: フォームのフィールドに入力します。

新しい子テーブルフォーム

フィールド	説明
ソース	次のいずれかのソースタイプを選択できます。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポートソース:レポートを含むテーブルを選択します ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブルを選択します。
選択	外部データセットとリンクするテーブルを選択します。
親テーブル	プロジェクトの作成に使用する外部データテーブルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
関連	これは参照フィールドになるため、[参照] を選択します。
ソースフィールド	これは自動的に入力されます。
ターゲットフィールド	ターゲット参照フィールドを選択します。 **注:** このフィールドに値を指定するには、監査テーブルの作成時に 参照 タイプのカスタムフィールドを作成する必要があります。これにより、ソースフィールドとターゲットフィールドを適宜構成できます。詳細については、「監査テーブルへのカスタムフィールドの追加」を参照してください。

注:
必要なアクティビティ定義またはブレークダウンフィルターを追加できます。

8. [Next (次へ)] を選択します。
9. 必要に応じて改善の機会を作成します。
   詳細については、「改善の機会を設定する」を参照してください。
10. プロジェクトをレビューしてマイニングします。
    詳細については、「プロジェクトのレビューとマイニング」を参照してください。

監査テーブルの管理

インポートされたデータで監査テーブルとレコードテーブルを作成したら、それらを使用してプロジェクトを作成できます。テーブルを共有、編集、空にしたり、削除したりすることもできます。

監査テーブルとレコードテーブルを共有する

監査テーブルとレコードテーブルをアナリストと共有してデータを分析します。監査テーブルとレコードテーブルは、アドミニストレーターのみが使用できます。ただし、アドミニストレーターはアナリストにテーブルを見てもらい、プロジェクトを作成してもらうこともできます。

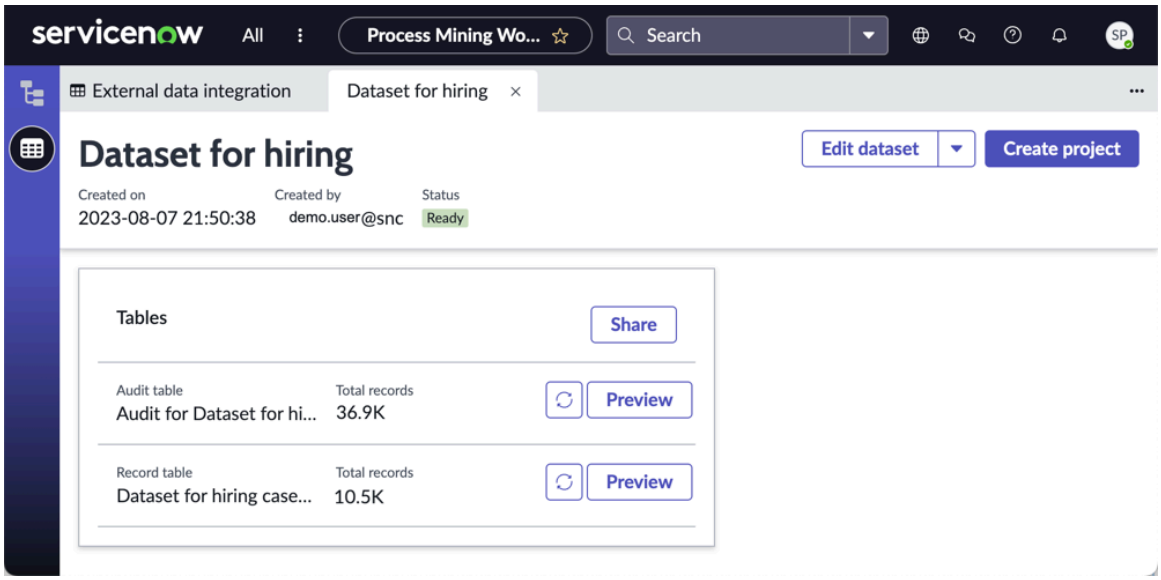
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン () を選択します。
3. 共有するデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. **[Share** (共有)] を選択します。

自動翻訳

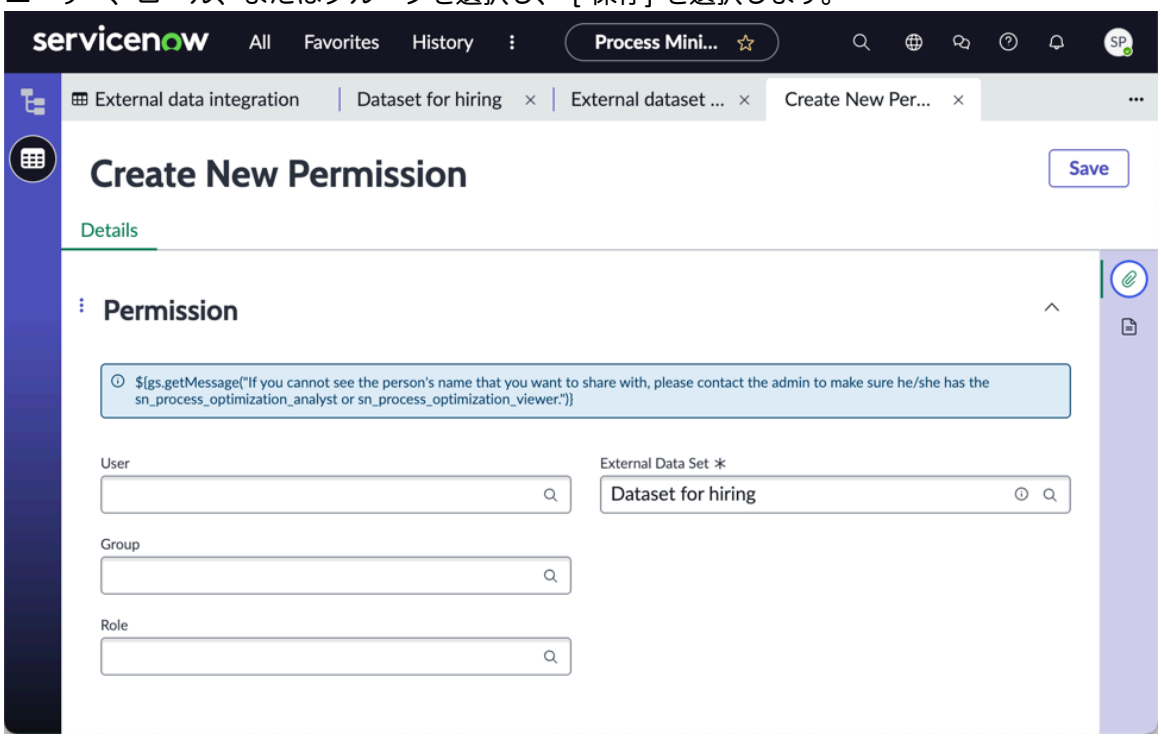
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[外部データセットのアクセス許可] タブが表示されます。

5. [新規] を選択します。
[新しい権限を作成 **(Create New Permission)]** ページが表示されます。

6. ユーザー、ロール、またはグループを選択し、 [保存] を選択します。



指定された権限を持つすべてのユーザーは、監査テーブルとレコードテーブルにアクセスできます。

データセットの編集

現在のデータセットのデータを追加または削除するなど、データセットを変更する場合は、データセットを編集します。

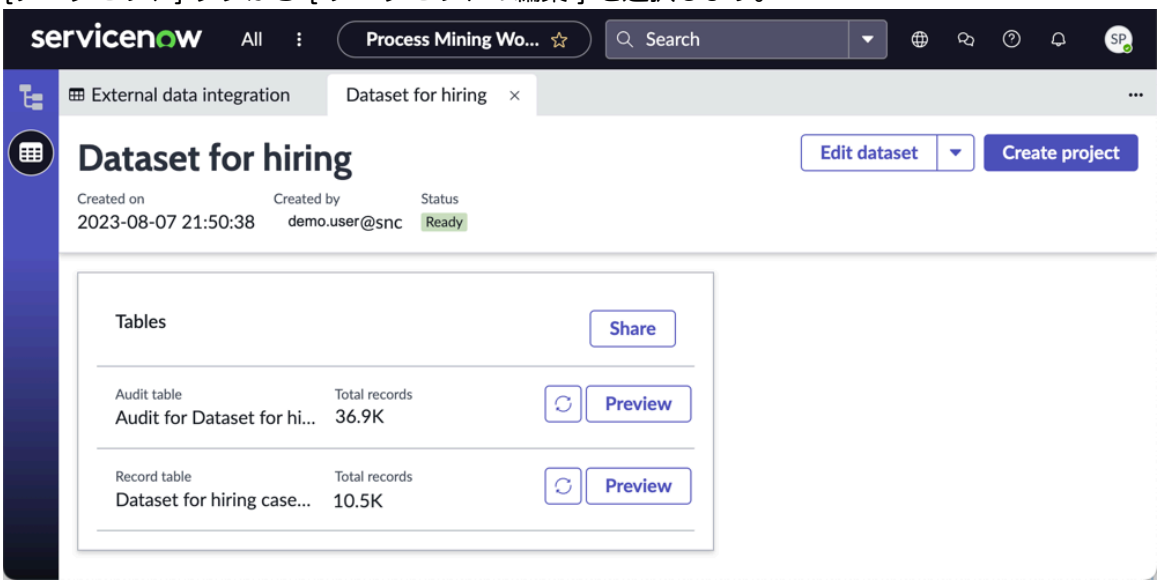
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン ( ) を選択します。
3. 編集するデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [データセットの編集] を選択します。



[データのインポート] タブに戻ります。テーブルに入力する新しいデータをインポートできます。データをインポートする手順については、「 監査テーブルにデータをインポートする」を参照してください。

データセットを空にする

古いデータを削除し、同じ外部システムから同じテーブルに新しいデータをインポートする場合は、データセットを空にします。

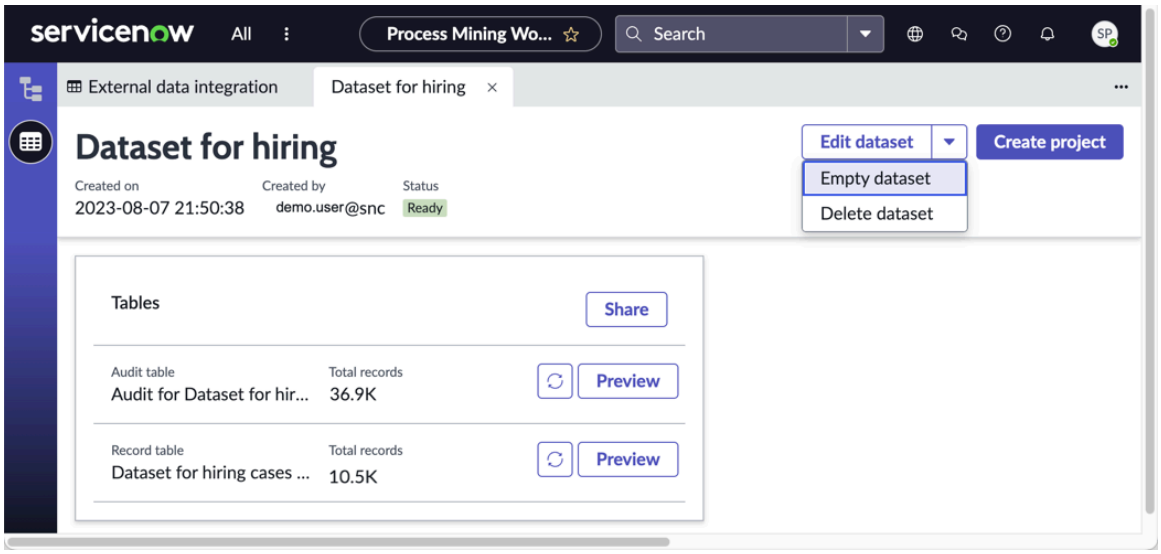
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン ( ) を選択します。
3. 空にするデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [空のデータセット] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



選択したデータセットを空にすることを確認するダイアログボックスが表示されます。

5. 確認領域に「Empty」と入力し、 [空のデータセット] を選択します。
監査テーブルとレコードテーブルの内容が削除されます。データセットを空にした後は、任意のデータセットを再度インポートできます。データをインポートする手順については、「 監査テーブルにデータをインポートする」を参照してください。

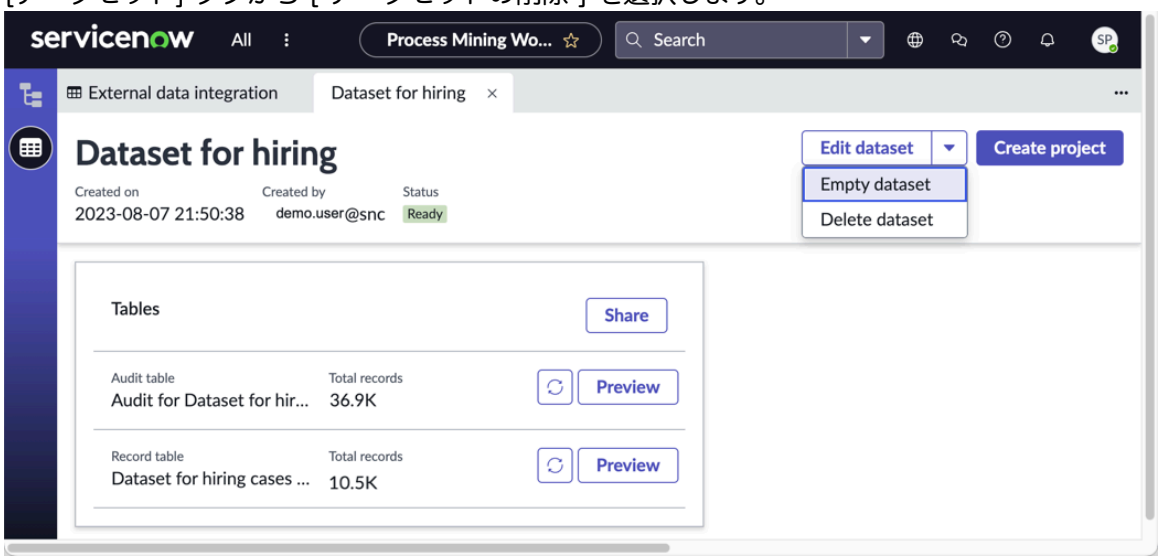
データセットを削除する

データセットが不要になったら、データセットを削除します。分析が完了したので、テーブル全体を削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン ( ) を選択します。
3. 削除するデータセットを選択します。
データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [データセットの削除] を選択します。



選択したデータセットを削除することを確認するダイアログボックスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 確認領域に「削除」と入力し、 [データセットの削除] を選択します。
   監査テーブルとレコードテーブルのデータ、および関連する プロセスマイニング プロジェクトが削除されます。

   > **注:**
   > テーブルは削除されません。削除されるのはデータのみです。テーブルを削除する場合は、アドミニストレーターが手動で削除する必要があります。管理者は、テーブルを定期的に削除する必要があります。

プロセスマイニングプロジェクトを共有する

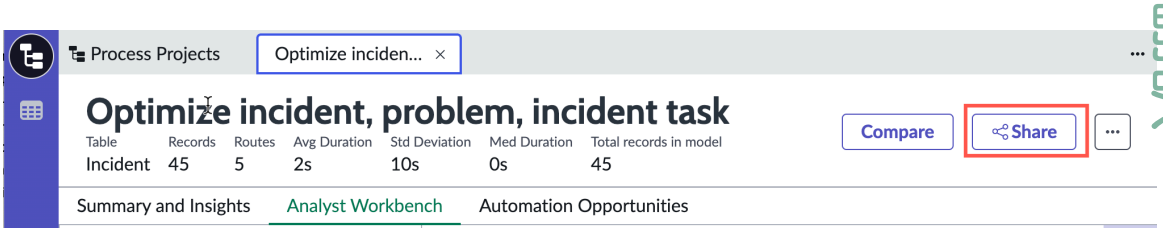
プロジェクトを共有して、自分が見ているものを他のユーザーに公開し、プロセスオーナーがさらに分析できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

> **注:**
> プロジェクトを共有するユーザーには、sn_process_optimization_analystロールが必要です。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. [**Summary and Insights** (サマリーとインサイト)]、[**Analyst Workbench** (アナリストワークベンチ)]、または **[Automation Opportunities** (自動化機会)] タブから、[**Share** (共有)] ボタンを選択します。



   [プロジェクトを共有] ウィンドウが表示されます。

3. プロジェクトを共有するユーザー、ロール、およびグループを入力し、ドロップダウンリストから正確な名前を選択します。
4. **[Add** (追加)] を選択します。
5. [確認] を選択します。
   このウィンドウには、プロジェクトが共有されているすべてのユーザー、ロール、およびグループが表示されます。このリストは、[対象者タイプ] リストで選択した値 ([すべて]、[ユーザー]、[ロール]、または [グループ]) によってフィルタリングされます。
6. オプション: プロジェクトへのアクセス権の付与からユーザー、グループ、またはロールを削除するには、そのユーザー、グループ、またはロールの [アクション] リストから [削除] を選択します。

プロジェクトデータをリフレッシュ

プロジェクトのデータを更新するには、Analyst Workbench からプロジェクトをマイニングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. アプリケーションナビゲーターから、 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. データを更新するプロジェクトのコンテキストメニュー を選択します。
3. [プロジェクトのマイニング (完全)] を選択します。
   a. ヒストグラムの範囲と複数の検索ルールを選択します。
      最初のルールで繰り返しが選択されている場合、他の検索ルールは見つかりません。
4. **[OK]** を選択して、プロジェクト データをマイニングすることを確認します。

   進行状況ウィンドウが開き、監査ログ分析とプロジェクトマイニングの進行状況が表示されます。
5. マイニングが正常に完了したら、[ワークスペースで表示] を選択して、更新されたプロジェクトデータを表示します。

プロジェクトをコピー

既存の定義をコピーして、関連する構成を新しいプロジェクト定義に適用します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. [プロジェクト] リストから、コピーするプロジェクトの横にある省略記号を選択します。
3. [コピー] を選択します。
4. [**OK**] を選択して、構成をコピーし、そこからプロジェクト定義を作成することを確認します。
   以下を含む新しいプロセスモデル定義が作成されます。
   - 同じ説明
   - ソースタイプ
   - フィルター条件
   - アクティビティ定義
   - ブレークダウン定義
   - 子テーブル定義
5. 必要に応じて名前、説明、フィルター条件、または定義を変更し、[更新] を選択します。

次のタスク
プロジェクトのマイニング

プロセスマイニング に関する参照情報

参照トピックは、プロセスマイニング を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニングとともにインストールされるコンポーネント

com.sn_po プラグインが有効になると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、スケジュール済みジョブなど) がインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされたスケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	**Description** (説明)
ProminVersionCleanup	古いバックアップバージョンを削除します。

インストールされるテーブル

テーブル	**Description** (説明)
プロセスマイニング 定義 [ml_capability_definition_promin]	プロセスマイニングソリューションを識別する識別子。
プロセスマイニング インタラクティブ定義 [ml_capability_definition_interactive]	プロセスマイニングをその場で識別する識別機能。
プロセスマイニング レコード定義 [ml_capability_definition_record]	プロセスマイニングビューレコードソリューションを識別する識別子。
アクティビティ定義 [promin_activity_def]	監査ログの変更を示すアクティビティをプロセスグラフのフィールドに保存します。
プロセスの接続 [promin_arc]	プロジェクトの接続統計を保存します。
ブレークダウン定義 [promin_breakdown_field]	プロセスマップが分類されるブレークダウンを保存します。
ブレークダウン統計情報 [promin_breakdown_stats]	プロジェクトのブレークダウン統計を保存します。
フィルターセット [promin_filter_set]	プロジェクト定義に適用される複数のフィルターセットを格納します。
データログの抽出 [promin_log]	プロジェクトバージョンのマイニング時に生成された抽出された監査ログデータエントリを保存します。
スケジュール済み プロセスマイニング ジョブ [promin_job]	プロセスマイニングスケジュール済みジョブを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	**Description** (説明)
プロセスモデル [promin_model]	プロジェクトバージョンの複数のモデル統計を保存します。
バージョン [promin_model_def_version]	マイニングされたプロジェクトのバージョン。
プロセスノード [promin_node]	プロジェクト定義のアクティビティを保存します。
プロセスノード統計情報 [promin_node_stats]	アクティビティの統計情報を保存します。
注意 [promin_note]	メモ レコードを保存します。
権限 [promin_permission]	プロジェクト定義が共有されているユーザー/グループを保存します。
プロセスルート [promin_route]	特定のプロジェクトのルート統計情報を格納します。
ケースレコード [promin_case_record]	アクティビティ、接続、またはルートからのレコードの詳細を保存します。
プロセスマイニングトラッカー [promin_ua_mining_tracker]	以前の鉱山に関する情報を保存します。
フィルター設定条件 [promin_conditions]	プロジェクトに対応するフィルター条件を保存します。
プロセススケジュール済みタスク [promin_scheduled_task]	要求されたクラスター分析、データマイニング、および プロセスマイニング タスクを保存します。
プロセスの構成 [promin_process_def]	プロセス構成のデフォルトを保存します。
検索定義 [promin_finding_def]	検索定義レコードを保存します。
結果 [promin_finding]	プロジェクトについて検出された結果を保存します。
検索ルール	検索ルールレコードを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	Description (説明)
[promin_finding_def_rule]	
検索条件 [promin_finding_def_condition]	検索条件を保存します。
検索制約 [promin_finding_def_constraint]	2 つの条件に作用する検索条件を保存します。
自動検索定義 [promin_automated_finding]	自動検出の定義を保存します。
自動検索構成 [promin_automated_finding_configuration]	自動検出の構成を保存します。
プロセスノード統計情報 [promin_route_stats]	ルートの統計情報を格納します。
顕著なケースデータ [promin_case_data]	フルマイニング中に収集されたログを保存します。
ジョブプロセスマイニングプロジェクト [promin_job_m2m_project]	ジョブに添付されたプロジェクトに関する情報を保存します。

プロセスマイニング ロール

プロセスマイニング は、これらのロールを追加します。

ロールは、アプリケーションおよびモジュールの機能へのアクセスを制御します。

ロールにアクセス権を与えると、そのロールにアサインされたすべてのグループまたはユーザーがアクセスを許可されます。ロールに他のロールを含めることができます。他のロールを含むロールでは、他のロールに許可されているすべてのアクセスが許可されます。

プロセスマイニングアドミニストレーター **[sn_process_optimization_admin]**

すべてのプロジェクトにアクセスし、すべてのプロジェクト設定と構成を管理し、バックグラウンドとジョブをスケジュールします。

含まれるロール

プロセスマイニングアドミニストレーター [sn_process_optimization_admin] ロールには、sn_process_optimization_power_userロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

プロセスマイニングパワーユーザー **[sn_process_optimization_power_user]**

このロールにアサインされた場合は、次のアクションを実行します。

- すべてのプロジェクトにアクセスでき、すべてのプロジェクト設定と構成を管理できます。
- プロジェクトを作成および共有できます。
- 他のユーザーが作成し、他のユーザーと共有しているプロジェクトを表示、編集、共有、および削除できます。
- プロセスマイニングジョブをスケジュールできます。

含まれるロール

プロセス最適化パワーユーザー [sn_process_optimization_power_user] ロールには、sn_process_optimization_analystロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

プロセスマイニングアナリスト **[sn_process_optimization_analyst]**

このロールにアサインされた場合は、次のアクションを実行します。

- プロジェクトを作成して共有します。
- 他のユーザーが作成し、他のユーザーと共有したプロジェクトを表示、編集、共有、および削除します。

含まれるロール

プロセスマイニングアナリスト [sn_process_optimization_analyst] ロールには、sn_process_optimization_viewerロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

このロールを持つユーザーは、すべてのプロジェクトにアクセスできるわけではありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニングビューアー **[sn_process_optimization_viewer]**

プロジェクトを表示し、他のユーザーが作成して共有したプロジェクトのメモや改善イニシアチブを作成します。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

このロールを持つユーザーは、プロジェクトまたはプロジェクト設定を作成、編集、または削除できません。

プロセスマイニング のプロパティ

システムプロパティは、システムの動作を制御します。このセクションのプロパティは、 プロセスマイニング アプリケーションに固有のものです。

これらのプロパティはプロセスマイニングで利用可能です。

注:
システムのプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーション フィルターに「sys_properties.list」と入力します。

プロセスマイニング のプロパティ

プロパティ	**Description** (説明)
promin.limit.node_def	プロセスマイニングプロセスマップ内の親ノードのアクティビティの最大数を定義します。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 10 **注:** この値を 10 以下に設定することで、パフォーマンスの問題や雑然とした UI を避けることができます。
promin.limit.child_node_def	プロセスマイニングプロセスマップ内の子ノードのアクティビティの最大数を定義します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：5 **注:** この値を 5 以下に設定することで、パフォーマンスの問題を回避します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング のプロパティ (続く)

プロパティ	**Description** (説明)
promin.limit.breakdown_def	プロセスマイニングプロセスマップ内の親ノードのブレークダウンの最大数を定義します。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 10 **注:** この値を 10 以下に設定することにより、パフォーマンスの問題を回避します。
promin.limit.child_breakdown_def	プロセスマイニングプロセスマップ内の子ノードのブレークダウンの最大数を定義します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：5 **注:** この値を 5 以下に設定することで、パフォーマンスの問題を回避します。
promin.primary_metric	Analyst Workbench で使用されるプライマリメトリクス。 • タイプ:選択リスト • デフォルト値:caseFreq • 利用可能な値 ◦ 平均期間 = avgDuration ◦ 最大期間 = maxDuration ◦ 期間中央値 = medianDuration ◦ 最小期間 = minDuration ◦ 標準偏差 = 標準偏差 ◦ 合計期間 = totalDuration ◦ 合計発生件数 = absoluteFreq ◦ 一意の発生件数 = caseFreq
promin.rca.min_condition_and_effect	主要なインフルエンサーリストに表示するために必要なレコードの最小割合。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 10
promin.rca.min_odds_ratio	最低限必要なオッズ比。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング のプロパティ (続く)

プロパティ	**Description** (説明)
	• タイプ：文字列 • デフォルト値： 1
promin.rca.result_count	表示する上位インフルエンサーの数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20
promin.secondary_metric	アナリストワークベンチで使用されるセカンダリメトリクス。 • タイプ:選択リスト • デフォルト値:avgDuration • 利用可能な値 ○ 平均期間 = avgDuration ○ 最大期間 = maxDuration ○ 期間中央値 = medianDuration ○ 最小期間 = minDuration ○ 標準偏差 = 標準偏差 ○ 合計期間 = totalDuration ○ 合計発生件数 = absoluteFreq ○ 一意の発生件数 = caseFreq
promin.perf.result_page_size	マイニング結果ページを構成します デフォルト値は 700 です。

主要な プロセスマイニング 用語

プロセスマイニングで使用される主要な用語です。

プロセスマイニング主要な用語

用語	**Description** (説明)
アクティビティ	追跡対象フィールドなど、プロジェクトの視覚化に使用される監査ログからキャプチャされたタスクまたはアクションの選択。アクティビティは、プロセス内の 1 つのステップ、またはルート内で発生した 1 つのステップで構成されます。接続はアクティビティ間で実行されます。
対象の属性	プロセスグラフ、ブレークダウン、または差異統計に表示されないアクティビティ。これらの定義は、ルール検出結果ロジックで引き続き使用できます。
監査ログ	日付、時刻、アクティビティなど、タスクの実行時に発生する運用システムイベントまたはアクティビティのレコード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング主要な用語 (続く)

用語	**Description** (説明)
接続	マップ内で 2 つのアクティビティまたはプロセスステップを結合する線。接続は、2 つの連続した接続されたステップを持つプロセスの一部を反映します。
結果	ビジネスプロセスについて検出された主要業績インサイト。検出結果は、さらに注意が必要な領域を確認するのに役立ちます。
生成	運用システムのイベントログからデータを抽出またはマイニングし、ビジネスプロセスフローの傾向と詳細な全体像を明らかにするアルゴリズムを適用するプロセス。
リンクされたプロセス	メインプロセスにリンクされている接続プロセス、またはサブプロセス。
プロセスマップ	データ抽出が実行された後に生成されたプロジェクトで、定義されたビジネスプロセスの一部であるシステムの監査ログから収集されたイベントを視覚的に表します。マップは、定義された開始から終了までの一連のステップで構成される実際のイベントまたはルートを表します。また、プロセスマップは、実際のルートと定義されたターゲットルートを比較して、ビジネスプロセスのパフォーマンスのビューを提供します。
プロジェクト	プロセスマイニング 構成されたプロセスモデルの用語。
レコード	ルートを通るプロセスサイクル (プロジェクト) のビジネスレコード。多くのレコードがルートを通過できます。プロセスマイニングでは、フィルターが適用されるとレコード数が変更される可能性があります。
繰り返し	繰り返されるステップ (アクティビティ) またはステップ セット (接続)。
ルーティング	一連のステップ内の少なくとも 1 つのアクティビティが、プロセスの他のすべてのオカレンスと異なるプロセスの発生。ルートには、最適に定義された成功ルートのほか、代替の成功パスまたは障害のある例外パスである可能性があるバリアント ルートまたは可能なルートを含めることができます。複数のルートをプロセスマップ上に同時に表示できます。
スライダー	プロセスステップを表示するためのプロセスマップ画面のアクティビティおよび接続スライダーツール。スライダーを使用すると、スライダー間の連続した接続を多かれ少なかれ詳細なビューで表示できます。
移行	アクティビティステータスの変更。

ドメインセパレーションと プロセスマイニング

ドメインセパレーションは プロセスマイニング でサポートされています。ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。その後、どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、ドメインセパレーションを完全にサポートしています。ドメインセパレーションには、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

概要

プロセスマイニング は、監査証跡の監視と有効性の分析からビジネスプロセスフローを生成する方法を提供するため、プロセスの非効率性をすばやく検出できます。これにより、成果を改善するためのビジネスプロセスの詳細な分析が可能になります。

プロセスマイニングにおけるドメインセパレーションの仕組み

プロジェクトがプロセスフローを生成するように構成されます。アクティビティ定義、ブレークダウン定義、子テーブル定義、データログの抽出、フィルターセット、メモ、CIM イニシアチブなど、プロセスモデル定義に関連するすべてのエンティティは、プロセスモデル定義と同じドメイン内に作成されます。

新しいプロジェクト定義を作成するときは、現在のユーザーのドメインにそのドメインを設定します。モデル定義のすべての関連エンティティを同じドメインに配置するため、ドメインセパレーションされたプロジェクト定義の関連エンティティを作成すると、エンティティはプロジェクト定義のドメインに割り当てられます。

プロジェクトは、その独自のドメインまたはグローバルドメインユーザーと共有できます。

プロセスマイニングスケジュール済みジョブには、対応するジョブのドメイン内のプロジェクト定義のみを含めることができます。

パフォーマンスアナリティクス KPI から起動されたプロジェクト定義は、現在のユーザーのドメインに作成されます。

プロセスマイニングワークスペースから追加された新しい CIM イニシアチブがプロジェクト定義のドメインに作成されます。

ユースケース

1. ACME ドメインで作成されたプロジェクト定義:ACME ドメイン、その親、またはグローバルドメインに属するユーザーは、プロジェクト定義を表示できます。
2. ACME ドメインで作成された プロセスマイニング スケジュール済みジョブ:ACME ドメイン、その親、またはグローバルドメインに属するユーザーは、 プロセスマイニング スケジュール済みジョブを表示できます。
3. ACME ドメインで作成された プロセスマイニング スケジュール済みジョブ:ユーザーは、ACME ドメインに属するプロジェクト定義のみを含めることができます。

注:
カスケードドメインの変更はサポートされていません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

プロジェクト定義フォーム

プロジェクト定義フォームを使用して、プロジェクトを作成します。

プロジェクト定義フォーム

フィールド	説明
番号	プロジェクト番号。この番号は、レコードが作成されると自動的に生成されます。
プロジェクトステータス	プロジェクトのステータス。 追加 プロジェクトは新規です。これは、新しく作成されたプロジェクトのデフォルトのステータスです。 Draft (ドラフト) まだ使用されていないセットアップフェーズのプロジェクト。 公開済み プロジェクトは、資格のあるユーザーが使用する準備ができています。 Retired (廃止) プロセスの分析に Project を使用しないでください。 プロセスアナリストユーザーは、プロジェクトのステータスを追跡するために、このフィールドを手動で更新する必要があります。これは、特定のプロセスに複数のプロジェクトがある場合に不可欠です。
名前	プロジェクトの名前
マイニング状況	このプロジェクトの現在のマイニングステータス。
簡単な説明	プロジェクトの簡単な説明。
最終マイニング日	プロジェクトが最後にマイニングされた日付。
ゴール	既存の目標レコードから選択された、このプロジェクトに関連付けられた目標。
自動廃止	指定した日数 (デフォルト: 90 日) の非アクティブに基づいてプロジェクトを自動的に廃止する場合は、[自動廃止] チェックボックスをオンにします。 さらに 90 日以内にバージョンがクリーンアップされる前に、公開済みまたはドラフトステータスに戻すことで廃止を延長できます (デフォルト)。 指定された日数内に廃止ステータスを変更しない場合、マイニングされたバージョンは完全に削除されます。ただし、プロジェクト定義は削除されません。このチェックボックスをオフにすると、自動廃止をオプトアウトできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	デフォルト値の 90 日は、アドミニストレーターが [システムのプロパティ] で変更できます。詳細については、「データクリーンアッププロパティ」を参照してください。
テンプレート	デフォルトテンプレートを作成するか、ワークフォース最適化テンプレートを作成するか。
ウォッチリスト	生成されたプロジェクトのステータスに関する通知を受け取るユーザー。
KPI ダッシュボード	このプロジェクトに関連付けられた PAR ダッシュボード [par_dashboard]。既存のダッシュボードを選択するか、プラス (+) アイコンを使用してダッシュボードを作成します。 これらのダッシュボードの作成の詳細については、「ダッシュボードの作成と使用」を参照してください **注:** このフィールドにダッシュボードを追加すると、プロジェクトレベルでダッシュボードがリンクされます。プロセス構成レベルでダッシュボードを追加するには、プロセス構成 [promin_process_def] レコードの同じフィールドを使用します。

新しいプロセス開始条件を作成

[新しいプロセス開始条件を作成] フォームを使用して、テーブル構成のカスタム開始条件を構成し、プロセスのどの部分を プロセスマイニング プロジェクトに含めて分析に使用できるようにするかを定義します。[新しいプロセス終了条件の作成] フォームにも同じフィールドがあります。

[新しいプロセス開始条件を作成] フォーム

フィールド	説明
名前	条件の名前。
テーブル	条件のテーブル。このフィールドには、テーブル設定レコードで選択したテーブルが自動的に入力されます。
条件タイプ	この条件に使用される条件タイプ。 • フィールド/値条件 • コンテキストフィールド/値条件 • 実施者 • AND • または • プロセス開始条件 • プロセスの停止条件
言語	条件の言語。このフィールドには、現在の言語が自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいプロセス開始条件を作成] フォーム (続く)

フィールド	説明
フィールド	条件に使用されるフィールド。これらは [テーブル] フィールドのテーブルのフィールドです。指定された開始および停止フィールドは、開始条件または停止条件を機能させるためのアクティビティ定義として構成する必要があります。
述語	条件の修飾子。 • 次の値に等しい (=) • 次の値と異なる (!=) • すべての値 • 次の値のいずれか • 次の値で始まる • 次の値で終わる • 次の値を含む • 次の値を含まない
フィールド値	この条件を定義するために述語とともに使用する値。フィールドが参照フィールドの場合は、参照アイコン ( ) を使用して値を選択できます。
一致する出現	この条件に一致する発生件数を選択します。 • すべて • 最初のみ • 最後のみ
コンテキスト条件	現在の条件がトリガーされたときに true でなければならない追加条件。 たとえば、レコードが [新規] ステータスのときにトリガーするように条件を設定します。[優先度] を [高] に指定する場合は、[コンテキスト条件] フィールドを使用して指定できます。

[アクティビティ定義] フォーム

[アクティビティ定義] フォームを使用して、ビジネスプロセス内で発生するステップについて報告します。

[アクティビティ定義] フォーム

フィールド	プロセスグラフにデータを表示するテーブルのフィールドまたは列を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ定義] フォーム (続く)

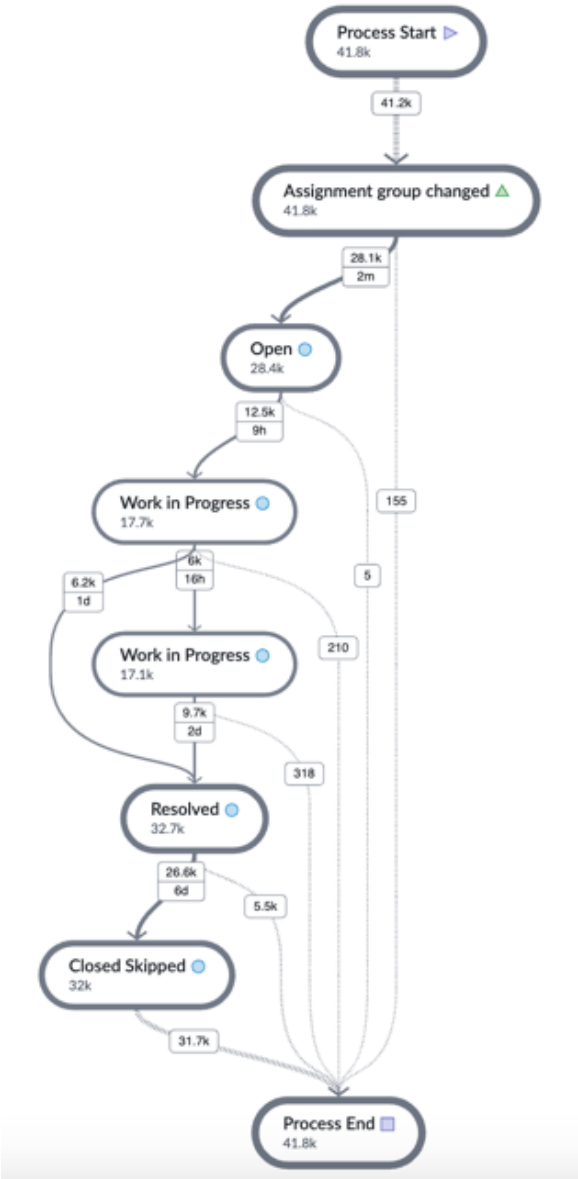
タイプ	マイニングする値のタイプ。 次の値があります。 • フィールド値 (デフォルト):これがデフォルトの選択です。このオプションは、アクティビティ定義を作成するたびに使用できます。 • 日時:監査履歴ではなく実際のレコードの日時値を使用し、プロセスマップにグループ化されたノードとして表示されます。 • 複合:監査履歴ではなく、実際のレコードの複数フィールド値の変更を表す 1 つのノードまたはプロセスグラフ。 • 添付された子:このオプションは、テーブル構成に 2 つのテーブルを選択し、子と親の関係を設定した場合に使用できます。このオプションは、親テーブル構成でのみ使用できます。視覚化では、プロセスで子がいつアタッチされたかがわかります。 • 親を添付:このオプションは、親レコードがいつ子に添付されたかを表すノードを子プロセスに作成します。
表示名 (オプション)	このアクティビティに表示する名前。名前を入力しない場合、アクティビティ名には [フィールド] に指定された値が表示されます。
アクティビティ値を選択	選択したフィールドの特定のアクティビティ値をマイニングすることを選択できます。
アクティビティの値	このフィールドは、[アクティビティ値の選択] フィールドを選択した場合にのみ使用できます。 このフィールドには、マイニングする選択したフィールドの値のリストが表示されます。 たとえば、 インシデント テーブルを選択したとします。ここで、アサイン先グループのサービスデスクとアサイン先グループのデータベースを経由したレコードを表示します。このデータを表示するには、[フィールド] として [アサイン先グループ] を選択し、[値のリスト] から [サービスデスク] と [データベース] を追加する必要があります。
グループアクティビティ	アクティビティをグループ化することを選択した場合、プロセスマップには、アクティビティの変更グループが 1 つの変更アイテムとして反映されます。たとえば、 アサイン先グループ をレポート対象に設定し、グループアクティビティを選択するとします。 • アサイン先グループの変更が発生し、監査ログにグループ A >グループ B > グループ C としてリストされます。 • 結果:プロセスマップのデータは、「アサイン先グループが変更されました」という 1 つの変更として反映されます。 このオプションがオフの場合、プロセスマップには変更の各インスタンスのレコードが個別に反映されます。例:レポート対象の アサイン先グループ を設定したが、アクティビティをグループ化するようには選択しない。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アサイン先グループの変更が発生し、監査ログにグループ A >グループ B > グループ C としてリストされます。
- 結果:プロセスマップには、行われた個々の変更が反映され、監査ログの標準の変更が引き続き反映されます:「変更:グループA>変更:グループB>変更:グループC」。

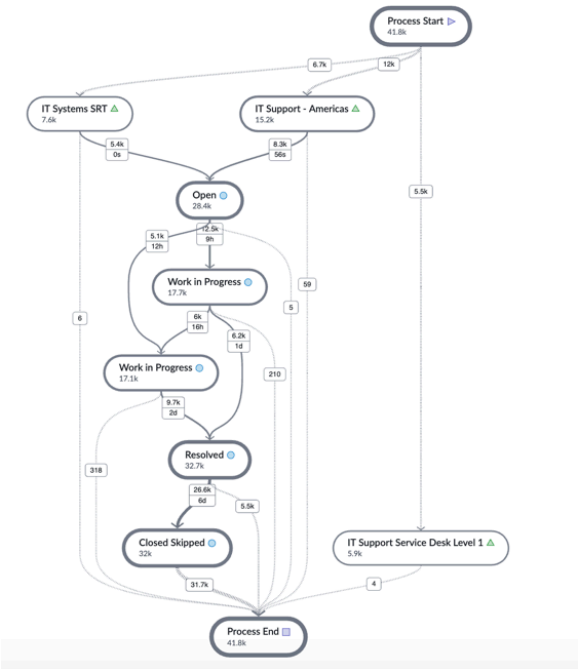
変更がグループ化される



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ定義] フォーム (続く)

	変更を標準として表示 
グループ化されたアクティビティ名	グループ化されたアクティビティに対して自動生成された名前。または、可視化に反映されるフィールドへの変更用に別の名前を入力することもできます。 **注:** このフィールドは、[グループアクティビティ] フィールドが選択されている場合にのみ使用できます。
対象のアクティビティ	フィールドの変更を Analyst Workbench に表示するかどうか。 **注:** このオプションを選択すると、フィールドの変更は Analyst Workbench に表示されませんが、移行または検索のコンテキスト条件で使用できます。
空の開始ノードを含める	レコード作成時に選択したアクティビティ定義フィールドが空の場合、プロセスグラフに空のノードを含めます。

検索ビルダーからの自動検索定義フォーム

[改善機会定義を作成] フォームを使用して、検索ビルダーから自動検索定義を作成します。

改善機会定義フォームを作成

フィールド	説明
名前	自動検索定義の名前を指定します。
パターンタイプ	このフィールドは自動入力されます。作成することを選択した自動検索定義がここに表示されます。 必要に応じて変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

改善機会定義フォームを作成 (続く)

フィールド	説明
パターンを検出するフィールド	このパターンを検出するテーブルから任意のフィールドを選択します。このフィールドでは、検索定義全体が機能します。
カテゴリ	自動検索定義が属するカテゴリを指定します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
アクティブ	この検索定義をアクティブにする場合は、フィールドを選択します。デフォルトではオンになっています。
テーブル	選択したテーブル名が表示されます。このフィールドは編集できません。
プロセスに適用	選択したテーブル名が表示されます。このフィールドは編集できません。
影響を受ける KPI	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、プロセスマイニングワークスペースのインサイトパネルで確認できます。

クラシックビューからの自動化検索定義フォーム

自動検索定義フォームを使用して、クラシックビューから検索定義を作成します。

自動検索定義フォーム

フィールド	説明
名前	改善の機会のタイトル。このテキストは、[サマリーとインサイト] ページのインサイトカードの上部に表示されます。
タイプ	検出結果のタイプ。利用可能なリストから選択できます。次の 3 つのオプションを使用できます。 • やり直し:プロセス内の繰り返しのステップまたはアクティビティを指します。プロセスステップをやり直すか、再検討する必要がある場合に発生します。 • ピンポン:レコードが 2 つのプロセスステップまたはアクティビティ間で中断なしにバウンスする繰り返しパターン (ループ) を指します。 • 追加ステップ:各ルートを比較して、1 つのステップでのみ逸脱するさまざまなルートの存

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動検索定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	在を識別し、不要な移行が発生したプロセスステップを特定します。 • 繰り返しパターン:ステップの不要な繰り返しシーケンスを検出します。 • 極端な期間:他の移行レコードと比較して移行時間が非常に長いレコードを検索します。 • 極端な繰り返し:同じアークの他のレコードと比較してアークの繰り返し回数が非常に多いレコードを検索します。 • 移行が遅い:同様の期間のレコードのクラスターがあり、このクラスターが他のレコードグループと比較して平均期間が高い状況を識別します。このディテクターは、特定されたクラスターの重要性の内訳も提供し、根本原因のさらなるインサイトを提供します。
カテゴリ	この検索定義のカテゴリ。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
フィールド	検索定義が使用されるフィールド。
アクティブ	検索定義がアクティブかどうか。
プロセスの構成	検索定義を作成するために選択したプロセステーブルの名前。
テーブル	テーブルの名前です。このフィールドは編集できません。
影響を受ける KPI の選択	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、プロセスマイニングワークスペースのインサイトパネルで確認できます。

検索ビルダーからのルールベースの検索定義フォーム

[改善機会定義を作成] フォームを使用して、検索ビルダーから検索定義を作成します。

改善機会定義フォームを作成

フィールド	説明
メッセージ	ルールベースの検索定義の説明を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

改善機会定義フォームを作成 (続く)

フィールド	説明
プロセスの構成	このフィールドは、プロセステーブルのルールベースの検索定義を作成するときに使用できます。 テーブル名が表示されます。このフィールドは編集できません。
プロジェクト	このフィールドは、プロジェクトのルールベースの検索定義を作成するときに使用できます。 プロジェクト名が表示されます。このフィールドは編集できません。
カテゴリ	自動検索定義が属するカテゴリを指定します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
アクティブ	この検索定義をアクティブにする場合は、フィールドを選択します。デフォルトではオンになっています。
テーブル	選択したテーブル名が表示されます。このフィールドは編集できません。
プロセス/プロジェクトに適用	選択したテーブル名またはプロジェクト名が表示されます。このフィールドは編集できません。
影響を受ける KPI	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、 プロセスマイニング ワークスペースの [インサイト] パネルで表示できます。

クラシックビューからのルールベースの検索定義フォーム

[検索定義] フォームを使用してルールベースの検索定義を設定し、検出されたインサイトを [サマリーとインサイト] ページに配信します。

検索定義フォーム

フィールド	説明
クラス	この検索定義が プロセス と プロジェクトのどちらに適用されるか。
アクティブ	検索定義がアクティブかどうか。
プロセスの構成	この検索定義に関連付けられたプロセス構成。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: このフィールドは、プロセステーブルの改善の機会を作成する場合にのみ表示されます。
プロジェクト	この検索定義に関連付けられたプロジェクト。 注: このフィールドは、プロジェクトの検索定義を作成する場合にのみ表示されます。
タイプ	検出結果のタイプ。利用可能なリストから選択できます。
カテゴリ	この検索定義のカテゴリ。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
メッセージ	インサイトのタイトル。このテキストは、[サマリーとインサイト] ページのインサイトカードの上部に表示されます。
影響を受ける KPI の選択	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、 プロセスマイニング ワークスペースの [インサイト] パネルで表示できます。

検索ルールフォーム

[検索ルール] フォームを使用して、検索定義の検索ルールを設定します。検索ルールは、検索定義をトリガーするレコード基準を定義します。

検索ルールフォーム

フィールド	**Description** (説明)
チェーン番号	この検索ルールが属するチェーン。 注: 検索ルールは、複数のチェーンで構成できます。
検索定義	この検索ルールに関連付けられた検索定義。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索ルールフォーム (続く)

フィールド	**Description** (説明)
順序	同じチェーン内のルールの実行順序。小さい値のルールは大きい値のルールより先に実行されます。
開始条件	検索ルールをトリガーするイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用してルールを作成できます。 **注:** 条件の作成の詳細については、「 詳細条件を構成」を参照してください。
関連	[開始条件] フィールドで定義されたイベントと [終了条件] フィールドで定義されたイベント間の接続。 • --何一つ-- • 次が直接続く • 最終的に次が続く • 次が直接続かない • 最終的に次が続かない **注:** 選択した関係に関連するルールセットの実行方法に合わせて、ルールシーケンスを適切に順序付けします。[なし] 以外のオプションを選択した場合は、目的の順序で式を完成させるルールを作成する必要があります。
終了条件	検索ルールを終了するイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用してルールを作成できます。 **注:** 条件の作成の詳細については、「 詳細条件を構成」を参照してください。
追跡期間	開始条件と終了条件の間の期間を追跡するかどうか。

検索制約フォーム

[検索制約] フォームを使用して、検索定義の検索制限を設定します。検索ルールに加えて、検索制約は、期間や関係制約などのメトリクスを使用して、検索定義の範囲をさらに絞り込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索制約フォーム

フィールド	説明
名前	検索制約の名前
検索定義	この検索制約に関連付けられた検索定義。このフィールドは、自動的に入力されます。
開始条件	検索制約をトリガーするイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用して新しいルールを作成できます。 注: 条件の作成の詳細については、「 詳細条件を構成」を参照してください。
終了条件	検索制約を終了するイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用して新しいルールを作成できます。 注: 条件の作成の詳細については、「 詳細条件を構成」を参照してください。
最小期間	[開始条件] フィールドで定義されたイベントと [終了条件] フィールドで定義されたイベントの間の最小期間。[終了条件] フィールドのイベントは、このフィールドで指定された時間の後に発生する必要があります。
関係制約	制約がトリガーされるタイミングをさらに詳細に定義するオプションの制約条件。 -- なし -- 関係制約なし が同じ レコードは、特定のフィールドで同じ値を持つ必要があります。このフィールドは、[関係制約フィールド] フィールドに指定します。 が異なる レコードは、特定のフィールドに異なる値を持つ必要があります。このフィールドは、[関係制約フィールド] フィールドに指定します。 同じユーザーが実行 開始条件と終了条件は、同じユーザーがトリガーする必要があります。 別のユーザーが実行

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索制約フォーム (続く)

フィールド	説明
	開始条件と終了条件は、異なるユーザーがトリガーする必要があります。 同じイベントである が異なるイベントである
関係制約フィールド	関係制約に関連付けられたフィールド。 このフィールドは、関係制約フィールドで「has **the same** or **has different**」が選択されている場合に表示されます。 注: 「 開始条件 」または 「終了条件 」フィールドが選択されていない場合、使用可能な関係制約フィールドは空で表示されます。
最大期間	[開始条件] フィールドで定義されたイベントと [終了条件] フィールドで定義されたイベントの間の最大期間。[終了条件] フィールドのイベントは、このフィールドで指定された時間より前に発生する必要があります。
関係制約フィールド	注: このフィールドは、[関係制約] フィールドが [同じ または 異なる] に設定されている場合にのみ表示されます。

のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア **UI**

レポートとパフォーマンスアナリティクスウィジェットを使用して、コア UIダッシュボードにアナリティクスを表示します。アナリティクスハブ上のパフォーマンスアナリティクスインジケーターを確認します。

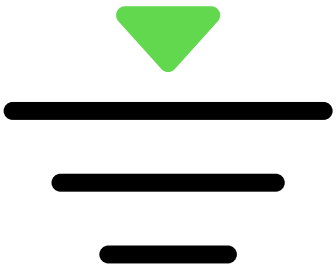
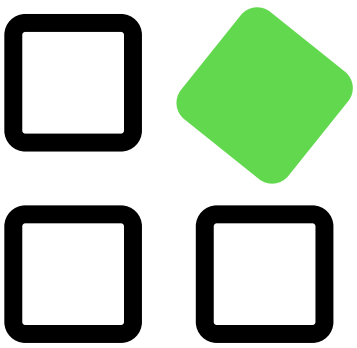
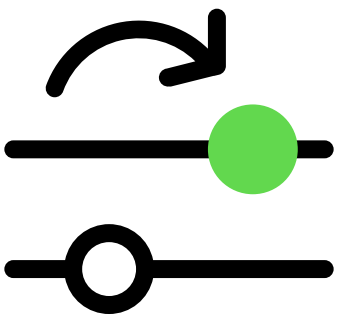
開始するには

コア UIツールの可視化には、ダッシュボード、レポート、アナリティクスハブなどがあります。これらの可視化により、アドミニストレーターやその他の関係者は、リアルタイムデータを使用してステータスに対処し、傾向を正しく評価できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
まったく新しいインスタンスの場合、コア UI内のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスは、Xanadu リリースで次のエクスペリエンス機能に置き換えられプラットフォームアナリティクス。

- のデータの可視化 プラットフォームアナリティクス
- のダッシュボード プラットフォームアナリティクス
- のフィルター プラットフォームアナリティクス

レポート  データの現在の状態を視覚化して、他のユーザーと共有します。	応答 ダッシュボード  ダッシュボードを使用して、組織全体で共有できるデータでストーリーを作成します。	インタラクティブ フィルター  ダッシュボード上のすべてのレポートをまとめて動的にフィルタリングします。
パフォーマンスアナリティクス ウィジェット  重要業績評価指標スコアの可視化を定義して、ダッシュボードで共有するデータの進化を示します。	アナリティクスハブ  アナリティクスハブを使用して KPI の詳細を掘り下げます。	インタラクティブアナリシス  テーブルレコードのリストビューでフィルタリングされた列のデータを分析します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート

テーブルデータを可視化して、 ServiceNow インスタンス内の情報の現在のステータスを表示します。可視化をエクスポートするか、ダッシュボードに追加して他のユーザーと共有します。

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

重要業績評価指標 (KPI) データを視覚的に表現します。 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは、傾向ライン、一連の列、円グラフなどの可視化にインジケーターを関連付けます。インジケータースコアをブレークダウンでフィルタリングし、時系列関数を適用してウィジェットを微調整します。

レスポンシブダッシュボード

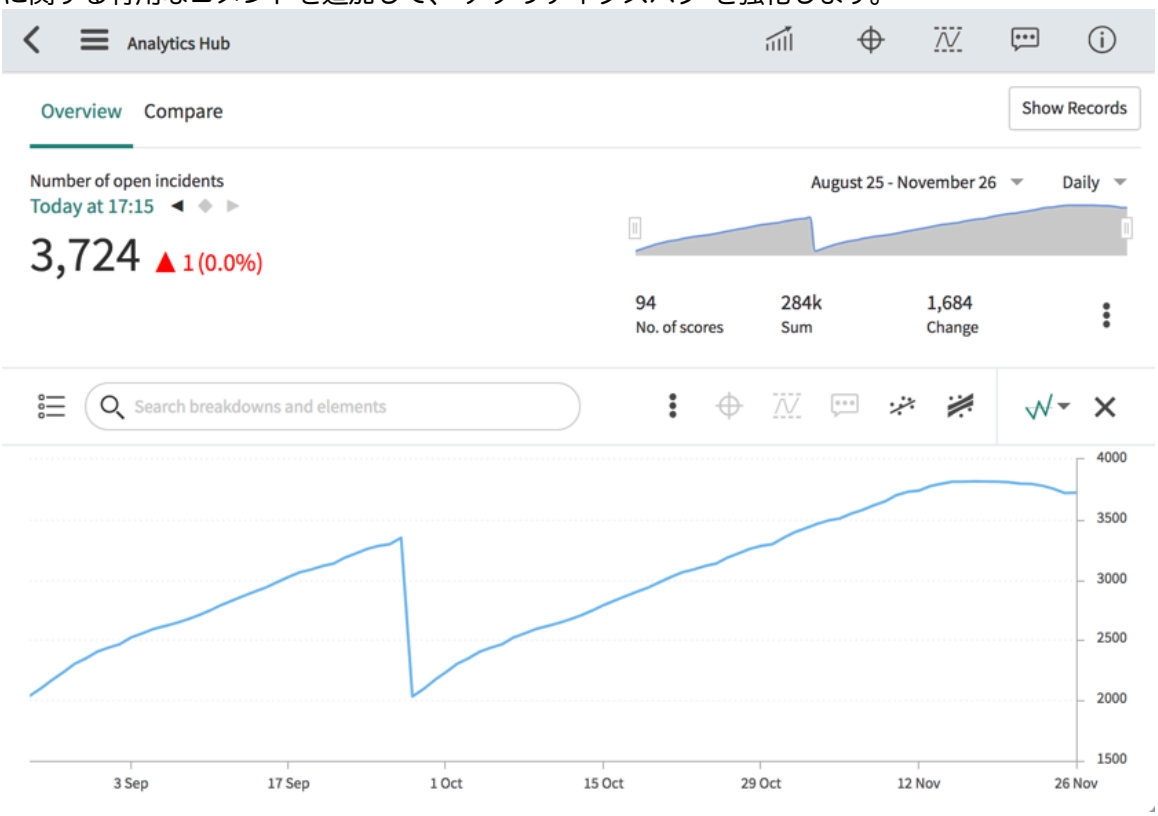
複数のレポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを 1 つの画面に表示して、ステークホルダーと共有できるデータを使用したストーリーを伝えます。

インタラクティブ フィルター

インタラクティブフィルターを使用すると、元のレポートを変更せずにダッシュボードですべてのレポートを動的にフィルタリングすることができます。

アナリティクスハブ

データの集計、スコアの比較、経時変化の表示によってインジケータースコアを分析し、ブレークダウンでスコアをフィルタリングします。ターゲット、しきい値、トレンドライン、および重要な変更に関する有用なコメントを追加して、 アナリティクスハブ を強化します。



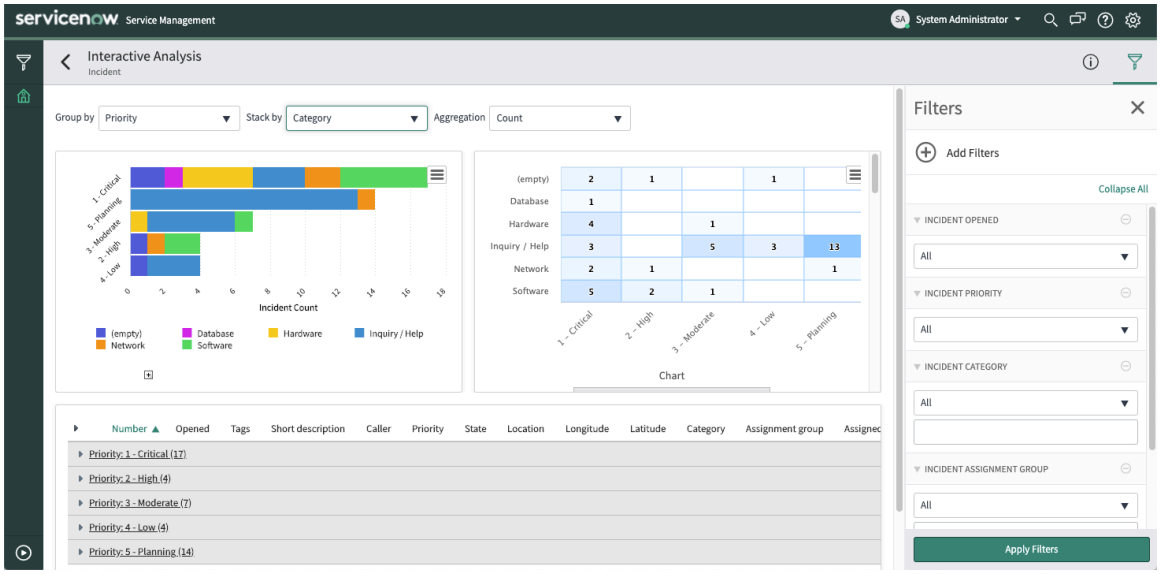
インタラクティブアナリシス

テーブル上の複数のレコードにわたってフィールド内のデータを動的に分析します。テーブル列のコンテキストメニューから、フィールドのデータの棒グラフとヒートマップ表現が表示されるインター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フェイスを開きます。データをグループ化する値と、分析するデータをフィルターする方法を対話形式で選択します。



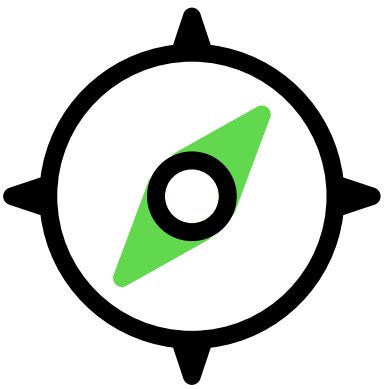
レポート

ServiceNow® レポート 各優先度のオープンインシデントの数など、インスタンスデータの現在のステータスを示したレポートを作成して配布できます。デフォルトでは、レポート機能はシステムテーブル以外のすべてのテーブルで利用できます。

https://player.vimeo.com/video/995179717?h=babfb51a74&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

開始するには

探索



ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。

使用



レポートを作成、実行、編集、表示、共有する方法の基本を学びます。

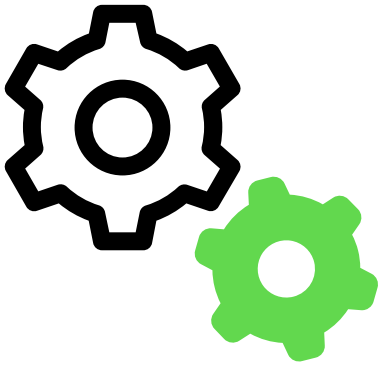
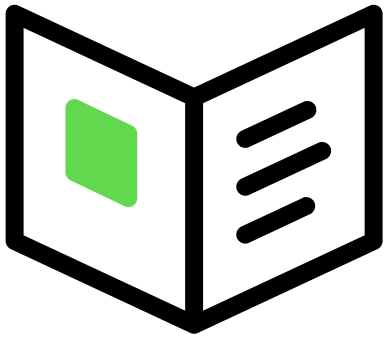
レポートタイプ



レポートの種類と、それぞれの具体的な作成方法の詳細について説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成と高度な使用法	管理	参照
		
変数に関するレポートを作成し、ドリルダウンを構成し、アドミンロールを必要としないその他の高度なトピックについて学習します。	権限の設定、統計情報の設定、および admin または report_admin ロールを必要とするその他のオプションの設定を行います。	データ集計のタイプ、ロール、プロパティ、およびキーボードショートカットを表示します。

トラブルシューティングとサポート

- パフォーマンスアナリティクスとレポートコミュニティで質問する/質問に答える
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

レポートの詳細

デフォルトでは、レポート機能はシステム テーブル以外のすべてのテーブルで利用できます。

レポート の概要

ServiceNow® 優先度別のオープンインシデントの数など、インスタンスデータの現在のステータスを示すレポートを作成して配布できます。

レポート ワークフロー

ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。レポートを作成、実行、編集、表示、および共有する方法を学びます。

レポート のメリット

メリット	機能	ユーザー
レポートを実行して、既存のレポートに現在のデータを表示します。	レポートの実行	itil、report_user、report_group、repo または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

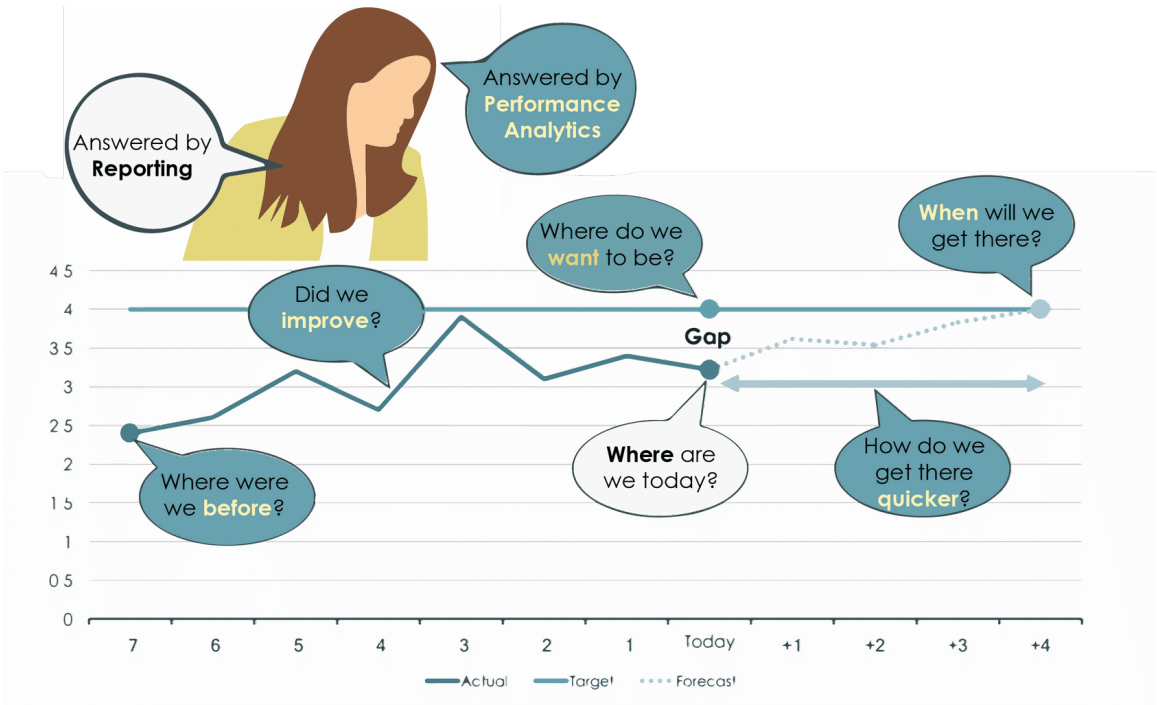
メリット	機能	ユーザー
インポートした現在のインスタンス データまたは一時データを可視化および分析するためのレポートを作成します。	レポートの作成	
レポートのリストを表示し、[レポート] リストからレポートを作成します。	[レポート] リストの表示	アドミン
独自のグローバル レポートを作成できないユーザーは、グローバル レポートを変更し、レポートの個人用バージョンを保存できます。	レポートのコピー	itil、report_user、report_group、repo または admin
使用しなくなったレポートを削除します。	レポートの削除	作成者、管理者、または削除するレポートの管理ロールを持つ
キーボード ショートカットを使用すると、マウスを使用せずにレポート デザイナーで特定の機能を実行できます。	レポート デザイナーのキーボード ショートカット	

レポートとパフォーマンス分析の比較

レポート と パフォーマンスアナリティクス は 2 つの異なるアプリケーションです。異なるユースケースに対応し、相互に補完します。

パフォーマンスアナリティクス は、定期的なスケジュールで継続的なスナップショットをキャプチャすることで、正確な履歴傾向を生成できます。次の図に示すように、 レポート は「現在の状況」という質問に答え、 パフォーマンスアナリティクス は時間の経過とともに何が起こっているかという質問に答えます。

レポートおよびプロセスインサイトに関する一般的な質問パフォーマンスアナリティクス



スナップショットから傾向を計算できるだけでなく、 パフォーマンスアナリティクス では次のことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ターゲットに対するパフォーマンスを追跡します。
- しきい値を満たしたときにアラートを出します。
- 将来のパフォーマンス予測
- 異なる時点でのパフォーマンスを比較します。
- ベストプラクティスの測定基準を使用して価値実現までの時間を短縮します。

パフォーマンスアナリティクス の使用に関する詳細については、パフォーマンスアナリティクス の詳細 を参照してください。

レポートの使用

ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。レポートを作成、実行、編集、表示、および共有する方法を学びます。

注:
ネクストエクスペリエンス が有効になっている場合、レポートデザイナーでレポートを作成し、分析センターでデータの可視化を作成できます。レポートデザイナーの詳細については、「レポートの作成」を参照してください。

レポート、レポートロール、およびレポートソースを管理するには、 レポート > 管理 をクリックし、管理するエリアを選択します。

ServiceNow システムには、インシデント管理やサービスカタログ要求などのアプリケーションや機能に関するデータを提供する一連の定義済みレポートが含まれています。独自のレポートを作成することもできます。ダッシュボードやランディングページにレポートを追加して、組織全体で情報を共有します。

関連情報

レポートの管理

レポートの実行

レポートを実行して、既存のレポートに現在のデータを表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

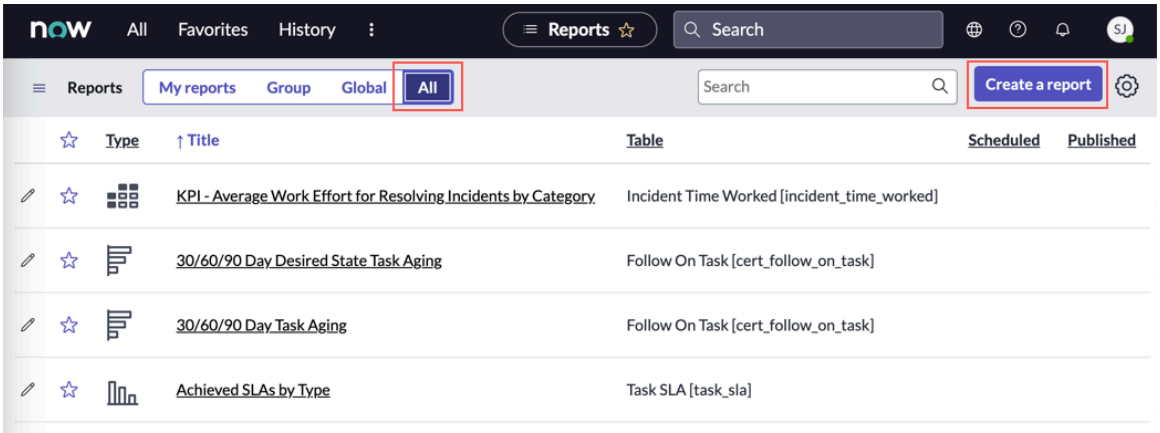
レポート、レポートロール、およびレポートソースを管理するには、 レポート > 管理 をクリックし、管理するエリアを選択します。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行 をクリックして、既存のレポートのリストを表示します。表示するレポートが表示されない場合は、[すべて] を選択してレポートの完全なリストを表示します。
2. 実行するレポートのタイトルを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. レポートのビジュアル化を作成する場合は、[レポートの作成] を選択します。[



タスクの結果
レポートがレポート デザイナーに表示されます。

次のタスク
レポートの作成

関連情報

レポートの管理

リストからのレポートの実行

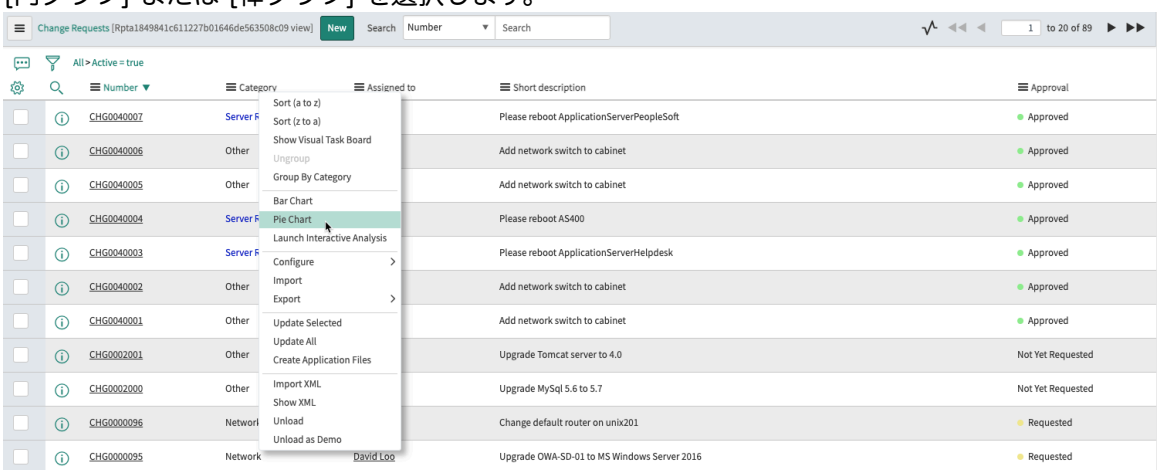
リストから直接円グラフまたは棒グラフのレポートを作成することができます。レポートのロールがある場合は、これらのレポートを保存、配布、およびエクスポートすることもできます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

別の種類のレポートを作成するには、「 レポートの作成」を参照してください。

手順

1. リストに移動します。
2. グラフの棒またはスライスとして表示する値を含む列の見出しを右クリックします。
3. [円グラフ] または [棒グラフ] を選択します。



レポート作成ツールでレポートが生成され、開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- レポート デザイナーを使用してレポートを共有します。
- 他のユーザーと共有するための URL を生成し、レポートを公開します。

関連情報

円グラフ

垂直および水平棒グラフ レポート

レポートの作成

インポートした現在のインスタンス データまたは一時データを可視化および分析するためのレポートを作成します。

始める前に

必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

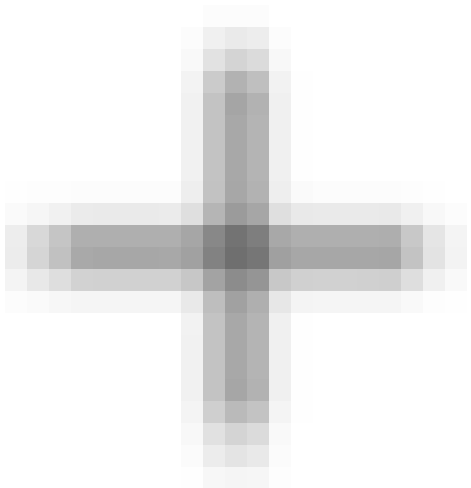
このタスクについて

レポートの生成、レポート デザイナーでのレポートの作成、レポートの共有とスケジュール設定については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

新しいレポートを生成する方法、レポート デザイナーでレポートを作成する方法、レポートを共有する方法、およびレポートをスケジュールする方法。

手順

1. これらのパスのいずれかに従います。

オプション	説明
レポートの作成	移動先 レポート > 新規作成.
既存のレポートの編集	移動先 レポート > 表示/実行 をクリックし、レポート名の横にある編集アイコン ( ) をクリックします。
ダッシュボードでのレポートの作成	レポートを追加するダッシュボードに移動し、[ウィジェットを追加] アイコン  ( ) を選択し、[レポート] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
ダッシュボードでのレポートの編集	レポートが存在するダッシュボードに移動し、[編集] をクリックします。レポートを編集するには、その編集アイコン ( ) をクリックします。

2. [設定] および [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力します。
3. [保存] をクリックします。

レポートが生成されます。

注:
特定のレポート タイプの作成の詳細については、「レポートタイプ」を参照してください。

アナリティクス **Q&A** でレポートを作成する

レポートデザイナーフォームに質問を入力すると、分析 Q&A によってレポートが生成されます。分析 Q&A では、データソースの選択肢が提供され、適切な可視化が選択されます。

始める前に
分析 Q&A には 自然言語クエリー (NLQ) が必要です。

NLQ も、 レポートのプロパティー でレポートデザイナーで使用するために有効にする必要があります。管理者に確認してください。

注:
Microsoft Internet Explorer を使用している場合、分析 Q&A は使用できません。

必要なロール：なし

このタスクについて
アナリティクス Q&A は、次の言語をサポートしています。

- English (英語)
- フランス語
- カナダフランス語
- スペイン語
- ドイツ語
- 日本語

この機能は、サポートされていない言語を使用するセッションでは使用できません。

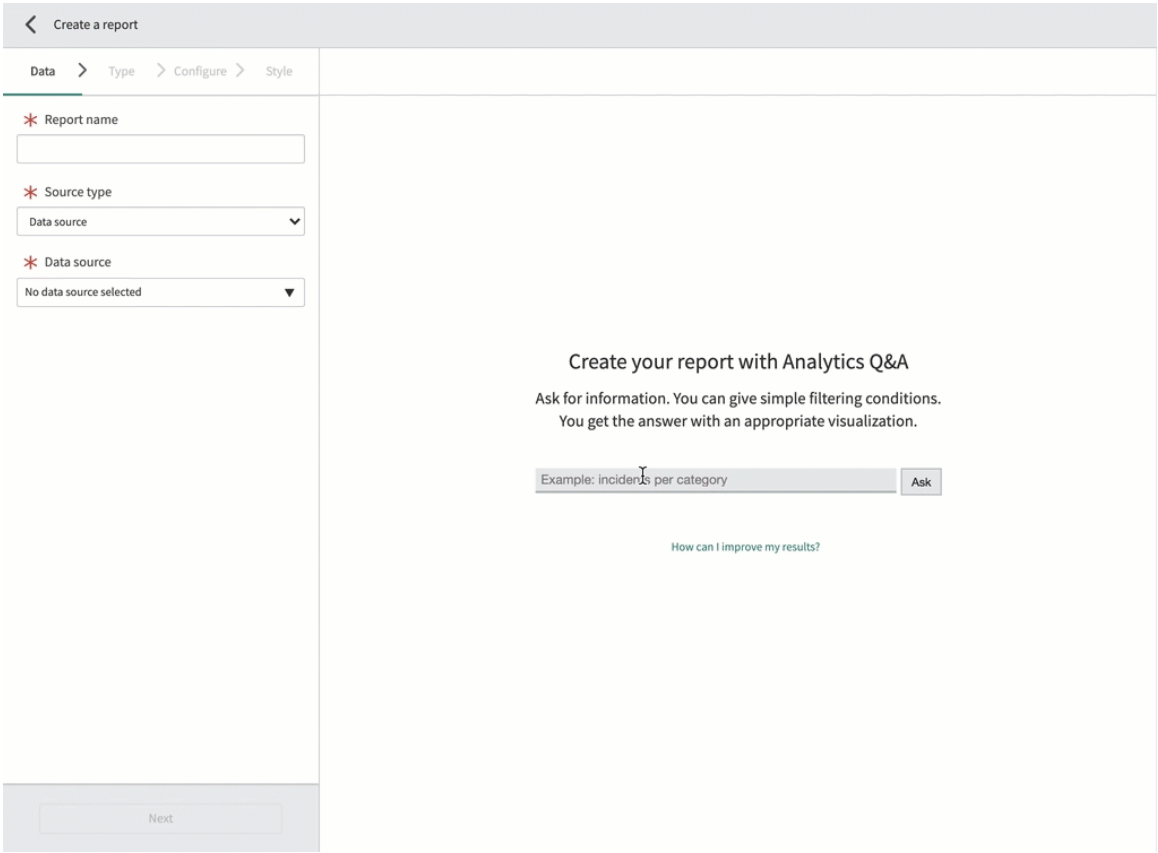
手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. レポートに必要な情報を [分析 Q&A] フィールドに入力します。
   分析 Q&A では、クエリ内のキーワードを使用して、探している情報の種類を判断します。これらのキーワードに基づいて、入力中に提案が表示されます。キーワードとその用途の完全なリストを表示するには、[結果を改善するにはどうすればよいですか?] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [**Ask**] をクリックします。
   分析 Q&A は、適切な可視化を含むレポートを生成しま



す。

次のタスク
左マージンのメニューで、チャート化の変更などのレポートを変更できます。新しいクエリを入力して **[Ask]** をクリックすると、新しいレポートが生成されます。追加したカスタム可視化はすべてクリアされますが、その他の設定は新しいレポートに保持されます。

関連情報

Analytics Q&A

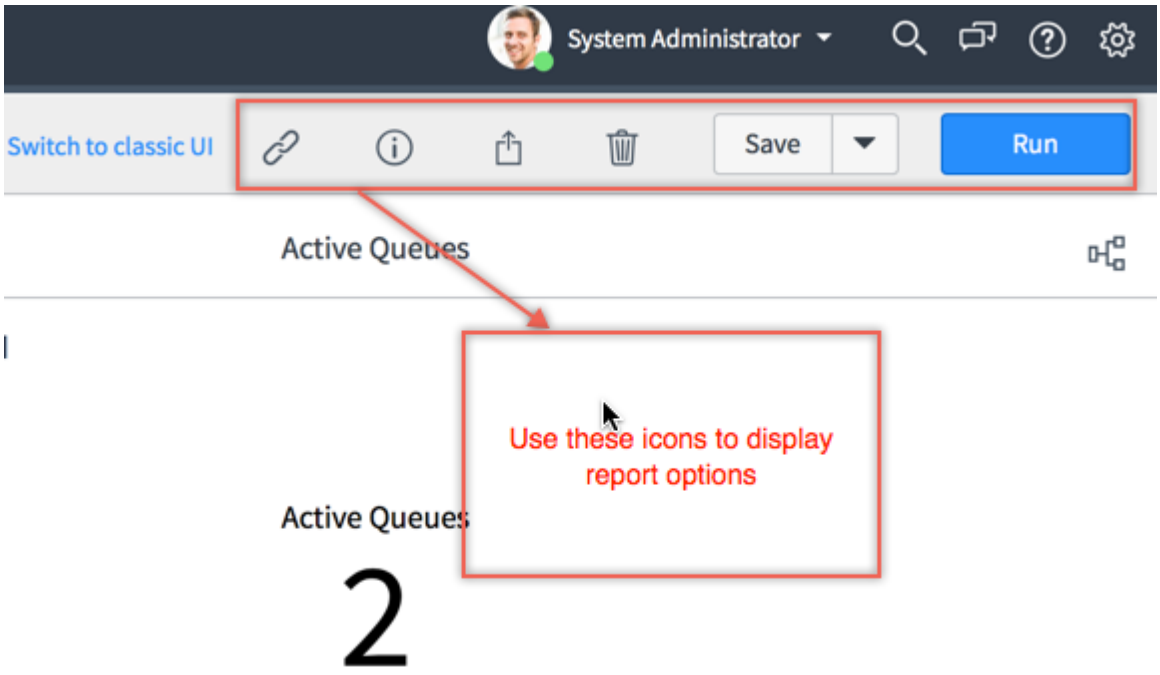
レポートのオプション

フォームの編集時には、レポートについて、保存、共有、実行、削除、または詳細情報を表示するように選択することもできます。

すべてのアクションは、フォームの右上にある [保存] と [共有] の各リスト、[情報]、[削除]、および [実行] の各ボタンから実行できます。使用可能なレポートのオプションは、レポートを操作するユーザーのロールによって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポートのオプション

名前	**Description** (説明)
リンク ( )	他の文書にコピーできる保存済みレポートの URL を表示します。
情報 ( )	レポートの一般情報と統計情報を表示します。一般情報には、ベース テーブル、タイプ、作成者、ユーザー、グループ、およびレポートの最終更新日が含まれます。統計情報には、レポートが最後に実行された日時、実行回数、および実行時間が含まれます。
共有 ( )	レポートの出力を共有するための複数のオプションを表示します。
共有	レポートの表示を設定できます。オプションは、[自分]、[全員]、および [グループとユーザー] です。共有の詳細については、「レポートの共有」を参照してください。 このオプションは、共有アイコン ( ) から利用できます。
スケジュール	レポートを実行するためのスケジュールを作成します。 注: カレンダー レポートをスケジュールすることはできません。
Add to Dashboard (ダッシュボードに追加)	現在のレポートをダッシュボードに追加します。レポートやその他のダッシュボードの内容を編集する方法の詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。
PDF にエクスポート	ダウンロードやメールで送信できる PDF を生成します。このオプションは、カレンダー レポートでは使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのオプション (続く)

名前	**Description** (説明)
	注: ドリルダウン レポートは PDF へエクスポートされません。ドリルダウンで **[PDF** にエクスポート] を選択した場合、トップレベルのレポートの PDF が生成されます。
公開	レポートの URL を作成し、レポート フォームの上に URL を表示します。この URL をメールで送信してレポートを共有できます。
削除	
削除 ( )	レポートを削除します。
保存	
保存	変更内容をレポートに保存し、フォームを開いたままにします。
更新	変更内容をレポートに保存し、[レポート] リストに戻ります。
挿入	レポート レコードを複製し、[レポート] リストに挿入し、[レポート] リストを開きます。既存のレポートの値を変更してレポートをすばやく作成するには、このオプションを使用します。新しいレポートには必ず一意の名前を付けてください。
挿入と維持	レポート レコードを複製し、[レポート] リストに挿入し、新しいレポートを開きます。既存のレポートの値を変更してレポートをすばやく作成するには、このオプションを使用します。新しいレポートには必ず一意の名前を付けてください。
データソースとして保存	[新しいレポートソースを作成します] ウィンドウを開きます。このウィンドウでは、レポート条件を他のレポートに再利用できるレポート ソースとして保存することができます。
実行	
実行	選択した条件とレイアウトに基づいてレポートを作成します。

関連情報

レポートの管理

[レポート] リストの表示

レポートのリストを表示し、[レポート] リストからレポートを作成します。

標準プラットフォームのアクセス制御リスト (ACL) は、レポートリスト内のレポートへのアクセスを管理します。レポートへのアクセスを制御するために使用される ACL の詳細については、「アクセス制御リスト ルール」を参照してください。

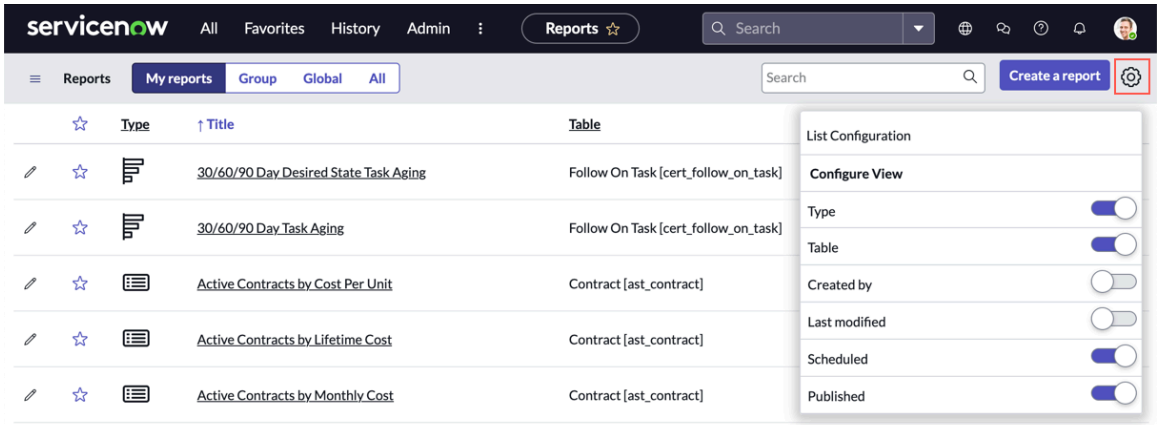
標準のレポートリストコントロールを使用して、タブ、列見出し、またはお気に入りアイコン( )を選択することで、検索結果をソートおよびフィルタリングできます。

移動先 レポート > 表示/実行 をクリックして [レポート] リストを開きます。[レポートを作成] ボタンの横にある歯車アイコン ( ) を選択して、[レポート] リストに表示される列を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[レポート] リスト構成ウィンドウ



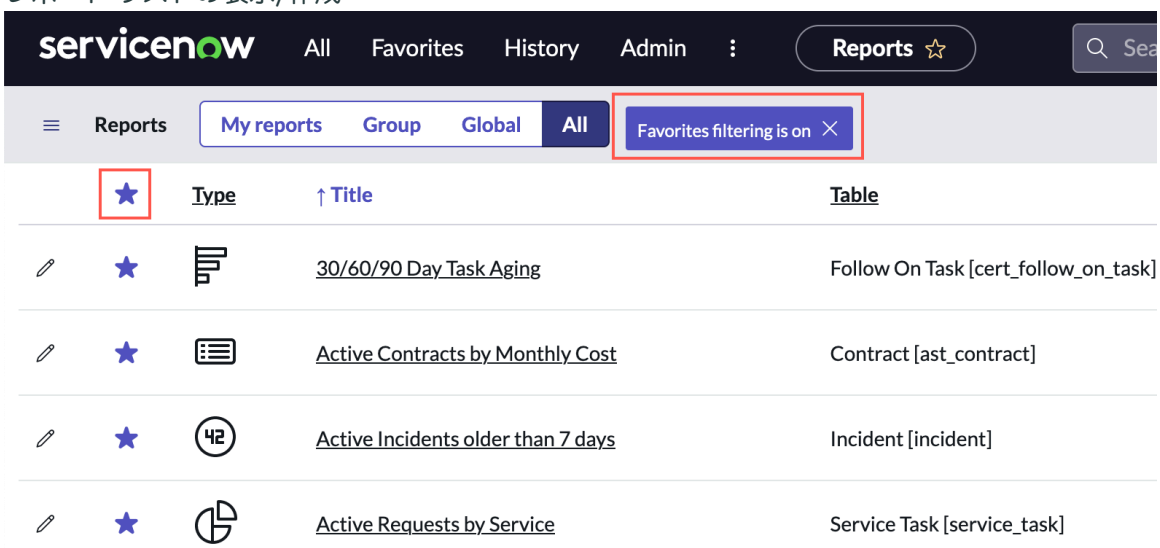
次のタブを使用して、[レポート] リストをフィルタリングできます。

[レポート] リスト

タブ	説明
自分のレポート	自分が作成したレポート。
グループ	自分と、自分がメンバーになっているグループに共有されたレポート。
グローバル	全員が利用できるレポート。
すべて	アクセスできるすべてのレポート (グローバル、グループ、および自分のレポート)。

星アイコン ( ) を選択すると、[レポート] リストに自分のお気に入りのみが表示されます。[お気に入りのフィルタリングがオン] の横にある X を選択すると、表示が許可されているすべてのレポートが表示されます。

レポート リストの表示/作成



report_admin または admin ロールを持っている場合は、これらの列も [レポート] リストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

追加の列

列	説明
[Scheduled (スケジュール済み)]	レポートが将来実行されるようにスケジュールされていることを示します。レポートの定期的なメール送信をスケジュールできます。
公開済み	レポートが公開されている場合、この列にはチェックマーク( )が表示されます。

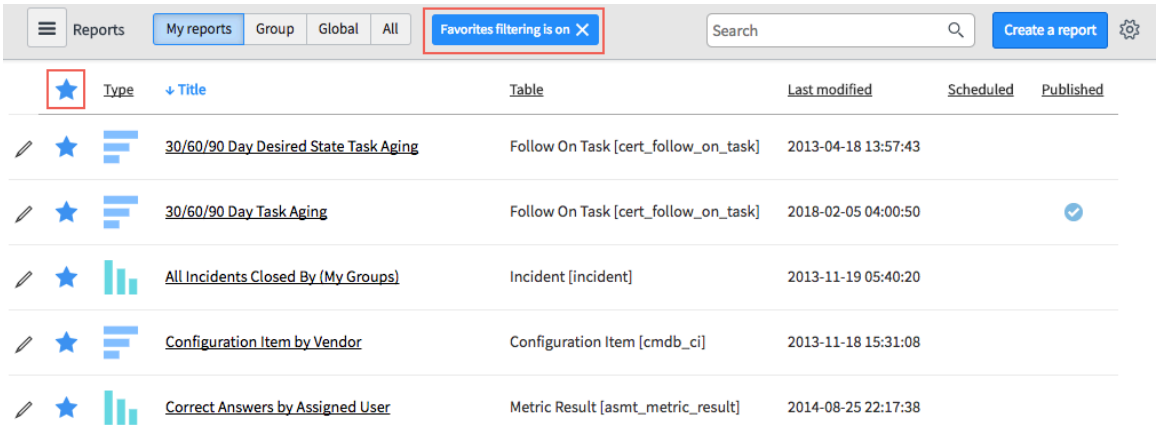
お気に入りのレポートの表示

すべてのレポートを表示するか、またはお気に入りとしてマークしたレポートのみを表示できます。レポートには、自動と手動の両方でお気に入りをマークすることができます。

お気に入りのレポートのみを表示するか、すべてのレポートを表示するかを切り替えるには、リスト見出しのお気に入りアイコン ( ) をクリックします。

注:
お気に入りのフィルタリングは有効なままになります。前回 [レポート] リストを表示したときにお気に入りだけを表示するように選択した場合は、次回もお気に入りのみが表示されます。お気に入りアイコンをクリックするか、または [お気に入りのフィルタリングはオンです] ボタンをクリックすると、選択したカテゴリで表示する権限を持っているすべてのレポートが表示されます。[自分のレポート] カテゴリは、[レポート] リストを開くとデフォルトで選択されます。

レポートのお気に入り



レポートを開くと、レポートは自動的にお気に入りとしてマークされます。レポートのタイトルの横にある星形アイコンをクリックすると、レポートをお気に入りとして手動でマークできます。

レポートのお気に入りとしての自動マークをオフにするには、ユーザー設定 `glide.ui.nav.auto_favorite`を無効にします。詳しくは、 ユーザー初期設定 を参照してください。

レポート所有者の表示

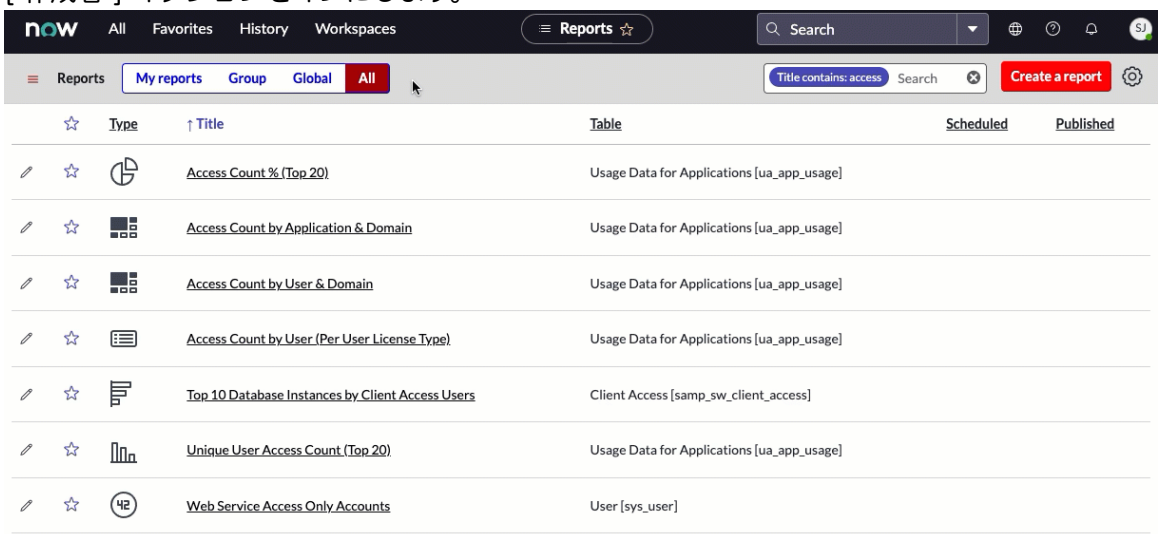
デフォルトでは、レポートオーナーはレポートリストに表示されませんが、列を追加してレポートを作成したユーザーを表示できます。通常、作成者は所有者です。

始める前に
必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. レポートの完全なリストを表示するには、[すべて] を選択します。
3. 歯車アイコン [ ] を選択して、[リスト構成] メニューを表示します。
4. [作成者] オプションをオンにします。



[レポート] リストの **URL** パラメータ

[レポート] リストの URL にパラメータを追加して、ロード前にリストをフィルタリングすることができます。

[レポート] リストの **URL** 構造

URL の構造は、https://<instance-name>.service-now.com/report_home.do?<parameter_name>=<parameter-value> となります。

たとえば、URL https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_selected_tab=MyReports は、[自分のレポート] タブを選択した状態で [レポート] リストを返します。

パラメータ

[レポート] リストの URL では、次のパラメータを使用できます。

パラメータ	可能な値
jvar_selected_tab	指定されたタブが選択された [レポート] リストを表示します。次の値を使用します。 • マイレポート • groupReports • globalReports • allReports
jvar_search_table	指定したテーブルに作成されたレポートをフィルタリングします。たとえば、パラメータ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメータ	可能な値
	jvar_search_table=incident は、インシデントテーブルで作成されたレポートのみを表示します。
jvar_list_order_by	次のいずれかの列で、リストをソートします。 • type • タイトル • テーブル • 変更日 • 予定 • published • createdBy たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_list_order_by=table は、レポートのソーステーブルでソートされたリストを返します。 **注:** 昇順または降順を指定するには、jvar_list_sort_direction を使用します。
jvar_list_sort_direction	ソートの方向を指定します。 • asc：リストを昇順でソートします • desc：リストを降順でソートします
sysparm_reportquery	指定した値を含む名前でレポートをフィルタリングします。たとえば、sysparm_reportquery=Active は、タイトルに文字列 Active を含むレポートを返します。
jvar_search_created_by	レポートを作成したユーザー。たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_selected_tab=allReports&jvar_search_created_by=itil は、ユーザー名 itil のユーザーが作成したレポートを返します。
sysparm_query	プラットフォーム条件ビルダ形式の任意の条件をフィルタリングできます。たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?sysparm_query=titleSTARTSWITHPRB&table!=incident です。 詳細については、「条件ビルダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのコピー

独自のグローバル レポートを作成できないユーザーは、グローバル レポートを変更し、レポートの個人用バージョンを保存できます。

始める前に
必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

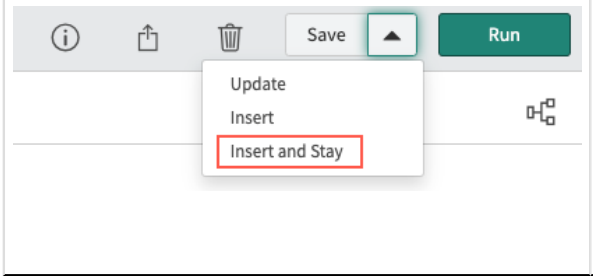
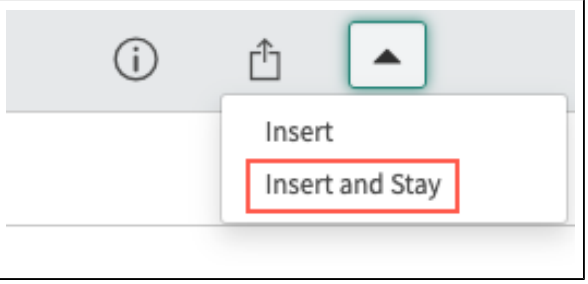
このタスクについて
グローバル レポートをグループまたは個人レポートとして保存すると、プラットフォームによってレポートがコピーされます。レポートのセキュリティ状態は変更されません。

注:

- 個人レポートを開き、グループまたはグローバルレポートとして保存しようとすると、セキュリティ状態のみが変更されます。レポート自体はコピーされません。
- [挿入と維持] を選択してレポートをコピーする場合、共有設定は新しいレポートにコピーされません。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. [保存]ボタンの横または[共有]アイコン( )の横にある矢印をクリックします。
   レポートを変更する権限がある場合は、[保存] ボタンが表示されます。矢印は、元のレポートを変更する権限がない場合にのみ表示されます。
3. **[Insert and Stay]** を選択します。

[保存] ボタンを使用	[保存] ボタンを使用しない
	

「挿入と維持」アクションは、変更可能なレポートのコピーを作成します。

4. レポートを変更します。
   「レポートタイプ」を参照してください。
5. オプション: レポートの可視化を変更します。
   レポート フォームの右上にある [共有] アイコン ( ) をクリックし、[共有] を選択します。

関連情報

レポートの共有

レポートの削除

使用しなくなったレポートを削除します。

始める前に
必要なロール:レポートを削除するには、作成者またはアドミニストレーターであるか、レポートの管理ロールを持っている必要があります。レポートを管理するロールがないユーザーにレポートが共有されている場合、そのユーザーがレポートを管理することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 削除するレポートを選択します。
3. レポートが開いたら、「 削除 」アイコン()をクリックします。
4. レポートを削除することを確認します。

タスクの結果
選択したレポートが削除され、共有、公開、または表示することはできなくなります。

関連情報

レポートの管理

複数のレポートの削除

使用しなくなった複数のレポートを削除します。

始める前に
必要なロール:レポートを削除するには、作成者またはアドミニストレーターであるか、レポートの管理ロールを持っている必要があります。レポートが共有されており、レポート管理ロールがない場合、そのレポートを削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > すべて.
2. 削除するレポートの横にあるチェックボックスをオンにします。
3. [選択した行のアクション] メニューから [削除] を選択します。
   削除が許可されていないレポートを選択した場合、メニューには、削除されるレポートの数が少なくなることが示されます。
4. レポートを削除することを確認します。

タスクの結果
選択したレポートが削除され、共有、公開、または表示することはできなくなります。

関連情報

レポートの管理

レポートの配布

レポートを配布して、他のユーザーにビジネス情報を提供します。

レポートのアクセス制御

セキュリティ状態を適用し、レポートを表示するユーザーを制御できます。次のようなレポートを作成できます。

- すべてのユーザーにグローバルに表示
- ユーザーがレポート作成者の場合にのみ表示。
- 特定の 1 つまたは複数のロールに表示
- 特定の 1 つまたは複数のユーザーまたはグループに表示

ユーザー、グループ、またはロール別での共有が、レポートを共有する主な方法です。アクセス制御リスト (ACL) を使用すると、基礎となるテーブルまたはデータベース ビューのデータへのアクセス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を制御できます。ユーザーは、レポートのデータソースまたはソース テーブル内のデータ レコードへのアクセス権がない場合、レポートを表示できます。ただし、レコードをリスト ビューまたはドリルダウン ビューで表示することはできません。データベースビューリストのレポートでは、リスト内のレコードを表示するために、レポートを実行するユーザーがターゲット データの ACL を満たす必要があります。十分な権限がないユーザーには、フィルタリングされたリストのレポートが表示されます。

注:
テーブルの ACL が、そのテーブルに基づくデータベース ビューを伝播するわけではありません。データベース ビューには個別の ACL が必要です。

円グラフや棒グラフなどの集計データを表示するレポートでは、レポートを表示するためにターゲット テーブルの ACL を満たす必要はありません。レポート表示方法の一部を選択する場合は、レコードリストを表示するために ACL が必要です。レポートへのアクセス権があってもレコードの一部にアクセスできない場合、そのレコードはレポートのデータのドリルダウン リストまたはリスト ビューに表示されません。ただし、データの表示方法には含まれます。

ユーザーがグローバル レポートをグループまたは個人レポートとして保存する場合、プラットフォームはセキュリティ状態を変更するのではなく、レポートをコピーします。レポートをコピーすると、独自のグローバル レポートを作成できないユーザーがグローバル レポートを変更して、レポートの個人用バージョンを保存できます。

ユーザーが個人レポートを開いてグループまたはグローバル レポートとして保存しようとすると、レポートをコピーするのではなく、セキュリティ状態が変更されます。

関連情報

- ACL トラブルシューティングリファレンス
- Managing roles
- Creating groups

レポートの共有

[レポート] リストでレポートを表示できるユーザーとグループを制御します。

始める前に

必要なロール:report_admin、report_global、または report_group

レポートを共有できるロールは次のとおりです。

ロール	レポートの共有権限
report_admin	ユーザー、グループ、または全員と共有されているレポートを共有できます。このロールでは、次を対象として共有できます。 • 任意のユーザー • 任意のグループ • everyone report_adminはレポートを編集することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	レポートの共有権限
report_global	• 全員と共有されているレポートを共有できます。このロールでは、全員を対象として共有できます。 • ユーザーまたはグループと共有されているレポートは共有できません report_globalユーザーは、全員と共有されているレポートを編集することもできます。
report_group	• ユーザーと共有されているレポート、またはユーザーが所属するグループと共有されているレポートを共有できます。このロールでは、次を対象としてレポートを共有できます。 ○ 任意のユーザー ○ 任意のグループ • 全員、またはユーザーが属していないグループと共有されているレポートを共有することはできません。 report_groupユーザーは、自分がメンバーであるグループと共有されているレポートを編集できます。
report_publisher	共有権限はありません。
report_scheduler	共有権限はありません。
report_user	共有権限はありません。

自動翻訳

このタスクについて
次のようにして、レポートを表示するユーザーを制御できます。

- すべてのユーザーにグローバルに表示
- ユーザーがレポート作成者の場合にのみ表示。
- 特定の 1 人または複数のユーザーに表示
- 特定の 1 つまたは複数のグループに表示

注:
レポートの権限によって、レポートを共有できるユーザーまたはグループの数が制限されることがあります。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」を参照してください。

レポートを共有するときに、レポートに対する編集権限を付与することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行 をクリックし、制御するレポートを選択します。
2. レポート フォームの右上にある [共有] アイコン ( ) をクリックし、[共有] を選択します。
3. [共有設定] ダイアログ ボックスで、フィールドに入力して **[OK]** をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有設定

フィールド	説明
表示対象	レポートを利用可能なユーザー。次のオプションを選択できます。 ○ 自分：ユーザーのみがレポートを表示できます。このオプションは、作成したレポートでのみ使用できます。 ○ 全員：すべてのユーザーがレポートを表示できます。ただし、必要なロールを選択でき、それらのロールの少なくとも 1 つを持つユーザーのみがレポートを表示できます。 ○ グループとユーザー：特定のグループとユーザーだけがレポートを表示できます。 [グループとユーザー] オプションは、report_group ロールを持つユーザーに表示されます。
ロールが必要	(オプション)ロール [sys_user_role] テーブルのロール。ロールを選択した場合、ユーザーがレポートを表示するには、少なくとも 1 つのロールが必要です。ロールを選択しない場合は、すべてのユーザーがレポートを表示できます。 必要なロールは、[すべてのユーザー] に表示されるレポートに対してのみ指定できます。特定のグループやユーザーと共有するようにこのようなレポートを変更すると、必要なロールは適用されなくなります。
グループ	メンバーがレポートを表示する権限を持つグループ。 このフィールドは、[グループとユーザー] オプションが選択されている場合に利用できます。
ユーザー	レポートを表示する権限を持つユーザー。 このフィールドは、[グループとユーザー] オプションが選択されている場合に利用できます。

4. [共有] アイコン ( )をクリックし、[ダッシュボードに追加] または [公開] を選択します。
5. ダッシュボードを共有するか、公開されたレポートの URL を共有します。
公開されたレポートの URL は、レポートを共有した任意のユーザー、ロール、またはグループと共有できます。

   レポートを公開するには、プロパティ *glide.report.published_reports.enabled*を有効にします。詳細については、「(レガシー)レポートの公開」を参照してください。

   レポートを共有するユーザーには、レポートのデータを表示する権限が必要です。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レポートの管理

レポートのメールのスケジュール設定

スケジュール済みレポートを生成し、メールで配布します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:report_scheduler、report_admin、admin

このタスクについて
スケジュール済みレポートは、PDF、CSV、または XLS 形式で配布できます。グラフィカルなレポートは、PNG または PDF 形式で配布することができます。マルチレベルピボットレポートは、PDF 形式でのみスケジュールすることができます。

注:

- カレンダー、マップ、単一スコアのレポートをスケジュールすることはできません。プラグイン *com.snc.whtp* が有効になっている場合にのみ、ピボットテーブルレポートをスケジュールできます。
- ユーザーアカウントが無効になっている個人が作成したレポートには、データが表示されない場合があります。目的のデータが表示されるようにするには、アクティブユーザーがスケジュール済みレポートを再作成する必要があります。
- Oracle DB インスタンスでは、レポートのフィルター条件の組み合わせが 4,000 文字を超えると、スケジュール設定済みメールは生成されません。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > スケジュール済みレポート.
2. [新規] を選択します。
3. 必要に応じて、フィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	スケジュールされているレポートの名前。
レポート	スケジュール設定しているレポートへの参照。検索アイコン を使用して、レポートを見つけることができます。 注: 自動メールサポートは、カレンダー、マップ、単一スコアレポートでは利用できません。
ユーザー	スケジュールされた日時にレポートを受信する個々のユーザー。レポートを受け取るためにユーザーレコードで [通知] が [有効] に設定されている必要があります。
グループ	スケジュールされた日時にレポートを受信するグループ。
メールアドレス	システムに属していないレポート受信者のメール アドレス。
アプリケーション	レポートを含むスコープ対象のアプリケーションの名前。レポートがグローバルスコープ内にある場合、[グローバル] が表示されます。
アクティブ	アクティブな場合、スケジュール済みレポートが配信されます。
実行	スケジュール済みジョブの実行に使用する時間間隔：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 日次：指定された時刻に毎日実行されます。 ○ 週次：指定された時刻と曜日に、毎週実行されます。 ○ 月次：指定された日の時刻に、毎月実行されます。 ○ 定期的：指定した繰り返し間隔で実行されます。 ○ **1**回：1 回のみ実行されます。 ○ オンデマンド：オンデマンドですぐに実行されます。 ○ ビジネスカレンダー：エントリ開始：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーのエントリ開始日に実行されます。ビジネスカレンダーに定義した各ビジネスエントリの開始日にスケジュール済みジョブが実行されます。 たとえば、ビジネスカレンダーが会計年度を表し、各エントリの開始日が会計月である場合、スケジュール済みジョブは毎月最初の日に実行されます。 ○ ビジネスカレンダー：エントリ終了：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーの終了日に対して実行されます。この選択は、[ビジネスカレンダー：エントリ開始] と同じ方法で実行されますが、関連するビジネスカレンダーエントリの終了日に対して実行されます。 **注:** [ビジネスカレンダー：エントリ開始 **(Business Calendar: Entry Start)]** または [ビジネスカレンダー：エントリ終了 **(Business Calendar: Entry End)]** を選択すると、オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの前または後にジョブを実行するようにスケジュールを設定できます。ビジネスカレンダーを選択し、そのすべてのビジネスカレンダースパンが過去のものである場合、これは無効な構成であるため、ジョブは実行されません。詳細については、[オフセットタイプ **(Offset Type)]** フィールドと [オフセット **(Offset)]** フィールドを参照してください。 ビジネスカレンダーの作成と使用、およびビジネスカレンダーエントリの定義の詳細については、「Creating business calendars」および「Define business calendar entries」を参照してください。
タイムゾーン	スケジュール済みジョブの実行時間を指定するときに [時間] フィールドエントリで使用するタイムゾーン。タイムゾーンエントリを次のように選択します。 ○ なし：スケジュール済みジョブを作成しているログインユーザーのデフォルトのタイムゾーンを使用します。 たとえば、ユーザーのアサインされたタイムゾーンが米国太平洋標準時であり、[時間] フィールドに `16:45` と入力した場合、スケジュール済みジョブは米国太平洋標準時の午後 4 時 45 分に実行されます。 ○ システムのタイムゾーンを使用：実行するインスタンスに指定されたデフォルトのシステムタイムゾーンを使用します。 たとえば、インスタンスのデフォルトのシステムタイムゾーンがヨーロッパ/ロンドンであり、[時間] フィールドに 22:15 と入力した場合、スケジュール済みジョブはロンドン時間の午後 10 時 15 分に実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 実際のタイムゾーン。 たとえば、[米国/東部] を選択し、[時間] フィールドに 13:30 と入力した場合、スケジュール済みジョブは米国東部標準時の午後 1 時 30 分に実行されます。
時刻	スケジュール済みジョブを実行する時刻。時間、分、秒を 24 時間形式で表します。[タイムゾーン] フィールドで選択した内容によって、このエントリのタイムゾーンが決まります。
日	スケジュール済みジョブを実行する日。 ○ [実行] が [週次] の場合は、曜日を選択します。たとえば、水曜日を選択します。 ○ [実行] が [月次] に設定されている場合は、月の日を選択します。たとえば、毎月 25 日の場合、25 を選択します。 このフィールドは、[実行] フィールドで [月次] または [週次] を選択した場合にのみ表示されます。
繰り返し間隔	スケジュール設定された各ジョブ実行の繰り返し間隔の期間。期間を日数、時間数、または分数で入力します。例： ○ 4 日ごとにスケジュール済みジョブを実行するには、[日数] フィールドに「04」と入力します。 ○ 26 時間ごとに実行するには、[時間] フィールドに「26」と入力します。 ○ 13:30:25 の間隔で繰り返す必要がある場合は、[時間] フィールドに「13」と入力し、その後のラベルのない 2 つのフィールドに「30」と「25」を入力します。
開始中	最初にスケジュール設定されたジョブ生成の日時。カレンダー日時を選択します。このフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。
ビジネスカレンダー	スケジュール済みジョブに対するビジネスカレンダーの開始日または終了日を決定するために使用しているビジネスカレンダーエントリ。このフィールドは、[時間] フィールドで [ビジネスエントリ：開始日 **(Business Entry: Start Date)]** または [ビジネスエントリ：終了日 **(Business Entry: End Date)]** を選択した場合にのみ表示されます。
オフセットタイプ (Offset type)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットのタイプ (存在する場合)。 ○ 過去 **(Past)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの開始前に実行するジョブをスケジュール設定します。 ○ 将来 **(Future)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの終了後に実行するジョブをスケジュール設定します。 ○ なし：このジョブのスケジュール設定に時間オフセットを適用しません。 オフセット係数を追加すると、次のユースケースに対するビジネスカレンダーで定義された正式な時間スパンの前または後にジョブの実行をスケジュール設定できます。
オフセット (OffSet)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットの量 (日、時間、分、秒)。たとえば、ビジネスカレンダーの開始日よりも 3 日、14 時間、10 分、45 秒前にジョブを開始するようにスケジュール設定する場合は、次のようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [オフセットタイプ **(Offset type)**] フィールドで [過去 **(Past)**] を選択します。 ○ [日数] フィールドに「**3**」と入力します。 ○ [時間] フィールドに「**14**」、「**10**」、「**45**」と入力します。 [オフセット日数 **(Offset days)**] フィールドと [時間] フィールドは、[実行] フィールドで [ビジネスカレンダー：エントリ開始] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了] を選択し、[オフセットタイプ] フィールドで [過去] または [予定] を選択した場合にのみ表示されます。
優先度	スケジュール済みジョブの数値の優先度： ○ 必須ジョブの優先度値を 100 未満に設定します。 ○ 必須でないジョブの優先度値を 100 より高く設定します。 ○ すべてのスケジュール済みジョブの 70 パーセント以上が [期限切れ] の場合、100 を超える値でマークされたジョブは実行されません。
条件付き	オンにすると、レポートを生成するためのスクリプト化された条件を指定します。
レコードがない場合は省略	オンにすると、空のレポートは配布されません。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)**] を選択した場合にのみ表示されます。ServiceNow プラットフォームのスクリプトの詳細については、「スクリプト」を参照してください。 ⚠ 警告: スケジュール済みレポートメールの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。
件名	配布メールの件名に表示されるテキスト。
導入メッセージ	(オプション) レポートにメッセージを追加します。 レポート出力タイプが埋め込み PNG の場合 ○ メッセージ本文でタグ `${report.png}` を使用して、メッセージ内にレポートを配置します。それ以外の場合、レポートはメッセージの下部に表示されます。 ○ タグ `${report.include_with}` を使用して、メールに含める他のレポートを配置します。それ以外の場合、これらのレポートはメッセージの下部に表示されます。
タイプ	レポートの出力タイプ。グラフィカルなレポートは、PNG または PDF ファイルにすることができます。リストレポートは、PDF、Excel、または CSV ファイルにすることができます。 グラフィカルレポートをスケジュールするときは、**[PDF]** または **[PDF - 横向き]** 出力タイプを選択し、チャートのグリッドデータを含めることができます。データレポートをスケジュールするときは、**[Excel]** または **[CSV]** 出力タイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポート可視化をメールの本文に埋め込むには、[埋め込み **PNG]** を選択します。大きな画像はメールに合わせてスケールされます。 詳細については、「レポート出力形式」セクションを参照してください。 **注:** PDF 出力では、マルチレベルピボットのレポートをスケジュールすることのみが可能です。
ZIP 出力	オンにすると、レポートは zip ファイルの添付ファイルとしてメールに送信されます。
一緒に含める	メールに含める 1 つ以上の追加レポート。メール内でレポートを並び替えることはできません。検索アイコン を使用して、他のレポートを見つけることができます。
ページサイズ (マルチレベルピボットのレポートのみ)	A3、A4、レター、リーガルのサイズの中から選択します。別の用紙サイズの寸法を指定するには、[カスタム] を選択し、[ページの高さ] および [ページの幅] をピクセル単位で入力します。
ページの高さ (ピクセル) (マルチレベルピボットのレポートのみ)	[ページサイズ] が [カスタム] に設定されている場合に表示されます。非標準の用紙サイズの場合は、インチ単位のページの高さに 72 をかけて、このフィールドに値を入力します。
ページの幅 (ピクセル) (マルチレベルピボットのレポートのみ)	[ページサイズ] が [カスタム] に設定されている場合に表示されます。非標準の用紙サイズの場合は、インチ単位のページの幅に 72 をかけて、このフィールドに値を入力します。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク

スケジュール済みメールレポートを編集するには、[スケジュール済みレポート] リストからレポートを開きます。レポートを削除するには、[スケジュール済みレポート(Scheduled Reports)] リストからその行を削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート出力形式

特定の出力形式でレポートをエクスポートできます。これらのレポートを定期的にエクスポートするようにスケジュールできます。

レポート出力形式

レポート形式	説明
PDF	縦または横向きで PDF を生成します。PDF レポートには、チャートグリッドデータが含まれます。マップレポートは PDF 形式にエクスポートできません。 **注:** マルチレベル ピボット テーブル を PDF にエクスポートするには、Webkit HTML to PDF プラグイン (com.snc.whtp) を有効にする必要があります。
Excel	レポートの表示方法は、Microsoft Excel (XLS) スプレッドシートとして表示されます。
PNG	レポートの表示方法は、ポータブルネットワークグラフィック (PNG) ファイルとして表示されます。「スケジュール済みレポートメールにレポートを画像として埋め込む方法」も参照してください。
CSV	レポートの表示方法は、カンマ区切り値 (CSV) のプレーンテキストファイルとして表示されます。

「別のユーザーとして実行」ユーザーとスケジュール済みレポートのメール

ドメインセパレーションインスタンスを使用している場合、スケジュールレポートは「別のユーザーとして実行」ユーザーの権限を使用して生成されます。

デフォルトでは、スケジュール設定済みメールレポートを設定するユーザーは「別のユーザーとして実行」ユーザーです。このユーザーのドメインアクセスと report_view ACL 権限は、スケジュール済みレポートの生成時に適用されます。

スケジュール済みレポート内のデータが予想と異なる場合、スケジュール済みレポートを設定したユーザーは適切な「実行ユーザー」ではありません。アドミンまたは report_admin は、別の「実行ユーザー」を指定できます。

警告:
「別のユーザーとして実行」ユーザーには、レポートをスケジュールするための適切な report_view ACL 権限が必要です。このユーザーの設定にはセキュリティ上のリスクがある可能性もあります。「別のユーザーとして実行」ユーザーを設定する場合は、カスタマーサービス & サポート に相談することを検討してください。

関連情報

report_view のアクセス制御

レポートを **PDF** にエクスポートする

レポートを PDF にエクスポートして、 ServiceNow インスタンスの外部で使用します。

始める前に

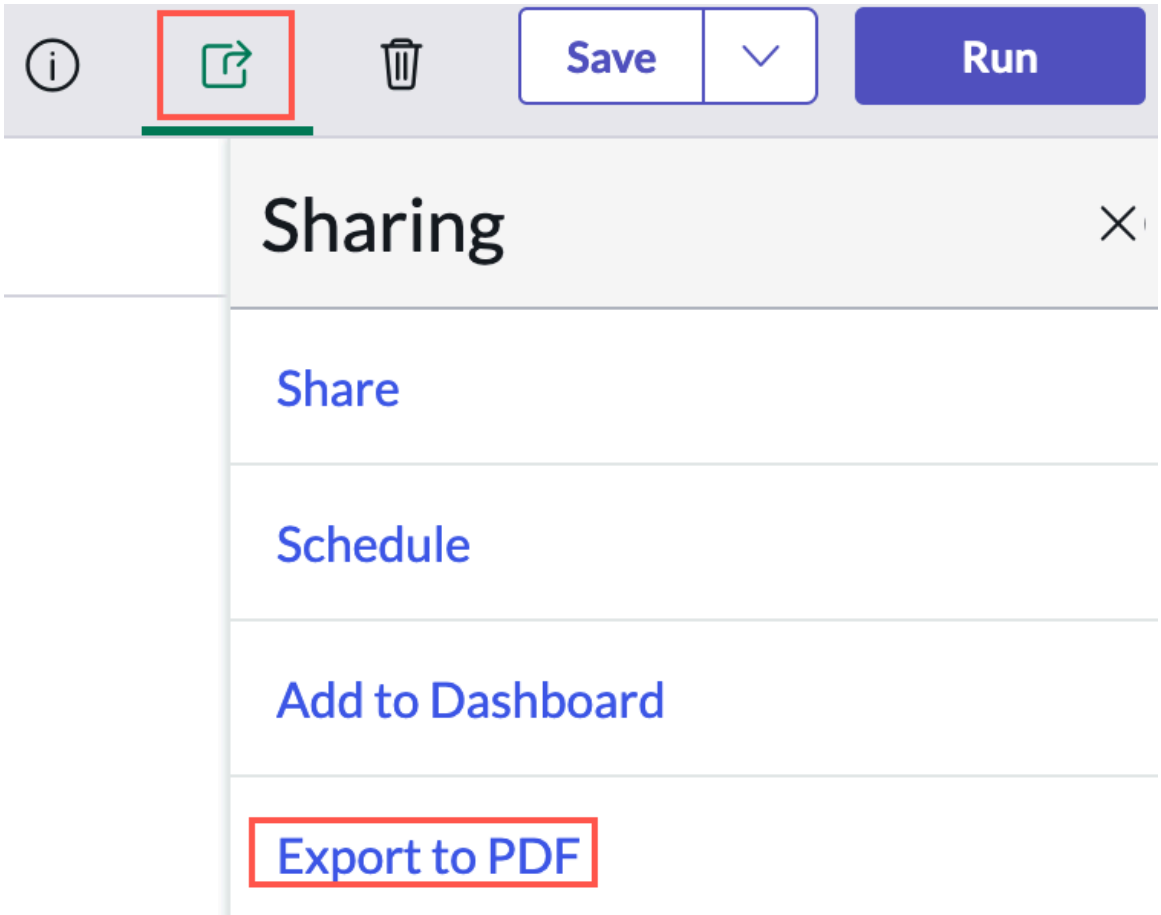
必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
エクスポートされたレポートの情報は、アクセス権を持つ情報のみです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行 をクリックし、エクスポートするレポートを選択します。
2. [共有] アイコン ( ) を選択し、[**PDF** にエクスポート] を選択します。



   a. PDF を生成するか、1 人の受信者にメールで送信するかを選択します。
3. PDF の向きを 縦向き または 横向きから選択します。
4. 配信方法を選択します。

   [今すぐ生成] を選択して PDF を作成し、ダウンロードを受け取ります。

   PDF を 1 人の受信者に送信するには、「メールで送信」を選択します。エクスポートされたレポートを複数のアドレスに配信するようにスケジュールするには、「 レポートのメールのスケジュール設定」を参照してください。
5. **[Export** (エクスポート)] を選択します。

タスクの結果
エクスポートが完了すると、ダウンロードリンクまたはエクスポートが受信者に配信されることを示すメッセージが表示されます。

レスポンシブ ダッシュボードへのレポートの追加

関連するレポートやウィジェットをダッシュボード上に組み合わせることで、アクション可能な意思決定が加速します。レポートやウィジェットに 1 つずつ移動すると時間がかかり、効率が良くありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:レポートを作成できるユーザーは、レポートをレスポンシブ ダッシュボードに追加できます。

レポートの生成、レポート デザイナーでのレポートの作成、レポートの共有とスケジュール設定については、この 6 分間のビデオをご覧ください。 新しいレポートを生成する方法、レポート デザイナーでレポートを作成する方法、レポートを共有する方法、およびレポートをスケジュールする方法。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 追加するレポートを選択します。
3. 「共有」アイコン( )をクリックし、「 ダッシュボードに追加」を選択します。
4. レポートをホームページに追加するのか、ダッシュボード (デフォルト) に追加するのかを選択します。
5. レポートを追加する [ダッシュボード] および [タブ] を選択します。
6. **[Add** (追加)] を選択します。
   上側にあるダッシュボードにウィジェットが追加され、ダッシュボードが開きます。
7. オプション: [編集] を選択して、ウィジェットを移動またはサイズ変更します。

(レガシー)レポートの公開

レポートを公開して、ユーザー以外の人を含め、誰でもレポートにアクセスできる URL を作成します。誰かがその URL に移動すると、インスタンスから現在のデータでレポートが生成されます。レポートは公開が中止されるまで利用可能です。

始める前に

危険:
権限のないユーザーにデータが公開されるリスクがあるため、この機能はデフォルトで非アクティブ化されています。

この機能を使用するには、システムプロパティ *glide.report.published_reports.enabled* を `true` に設定する必要があります。

必要なロール:report_publisher、report_admin、または admin

このタスクについて
ユーザーがレポートの公開 URL をたどるときに表示される内容には制限があります。

- グラフィック レポートとして表示され、ビジネスルールに制限されていないデータは、公開されたレポートに常に表示されます。リスト レポートを除くすべてのレポートは、グラフィック レポートです。
- 読み取り ACL はリスト レポートの内容を管理します。ユーザーは、アクセス権のないレコードを表示できません。
- 公開されたレポートへのアクセス権を持つ公開ロールは、ログインしていないときにレポートに表示される元のデータのごく一部が表示される場合があります。公開されたレポートで想定されるすべてのデータが表示されない場合の解決方法については、 KB 記事 KB0736982 を参照してください。

admin または report_admin ロールを持つユーザーは、レポートが公開されているかどうかを確認できます。移動先 レポート > 表示/実行をクリックし、レポートを開き、[共有] アイコン ( ) を

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリックします。[共有] メニューに [公開] オプションがある場合、レポートはまだ公開されていません。[共有] メニューに [公開を中止] オプションがある場合、レポートは公開されています。

> **注:**
> ログインしているユーザーのみがレポートを利用できるようにするには、 その [共有] 設定を [全員] に設定しますが、公開はしません。

手順

1. 移動先 レポート > 表示/実行.
2. 公開するレポートをクリックします。
3. レポート フォームの右上にある [共有] アイコン ( ) をクリックし、[公開] を選択します。

   リンクアイコン ( ) が [レポート] オプションアイコンのメッセージとともに表示されます。このアイコンをクリックし、公開されたレポートへのリンクを表示します。このリンクは、レポートが公開されている限り利用できます。

   > **注:**
   > ビジネスルールは、公開レポートのレコード収集方法に影響を与える可能性があります。

レポートの公開中止

公開されたレポートは、公開を中止するまで公開されている URL で利用できます。

始める前に
必要なロール:report_publisherとreport_userの両方、report_admin、または admin。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 公開を中止するレポートを選択します。
3. レポート フォームの右上にある [共有] アイコン ( ) をクリックし、[非公開] を選択します。

タスクの結果
レポートは公開されなくなり、公開が中止されたレポートのレポート デザイナーからリンク アイコン ( ) が削除されます。

サービスポータルに関するレポート

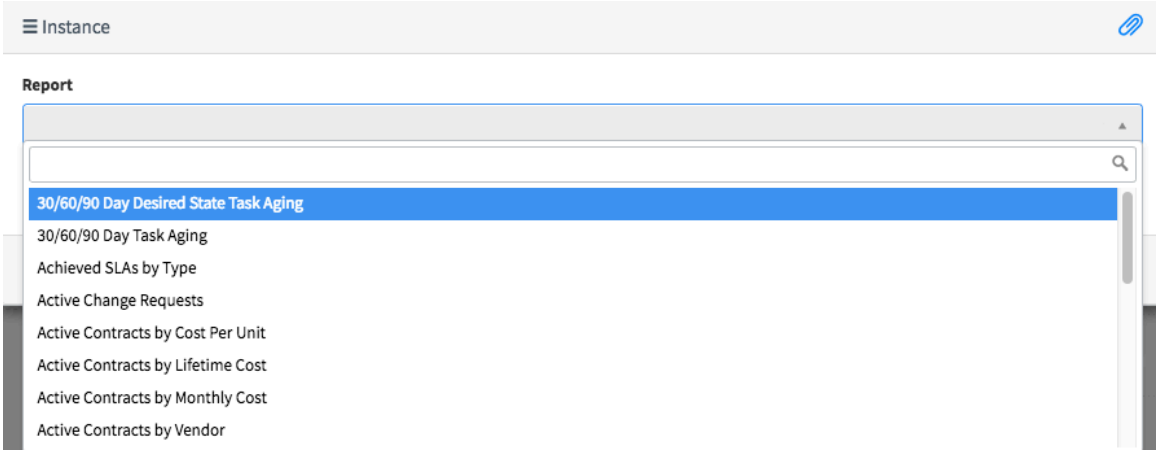
サービスポータルを使用してレポートを表示します。

ポータルを編集するときは、レポート ウィジェットを追加します。ウィジェットのオプションを使用して、サービスポータルに表示するレポートと、レポートのタイトルを表示するかどうかを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート ウィジェット



レポート ウィジェットを使用すると、リスト レポート以外のすべてのレポート タイプをポータルに表示できます。代わりに簡 易リストウィジェット を使用してください。

Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグインのアクティブ化

admin ロールがある場合は、Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグイン (com.snc.pa.sp.widget) を有効にすることができます。このプラグインにはデモ データが含まれ、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

始める前に
必須ロール：admin

このタスクについて
Service Portal Widget プラグインは、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

パフォーマンス分析とレポートのプラグイン - サービスポータルウィジェット

プラグイン	説明
サービスポータル [com.glide.service-portal]	サービスポータルのコア機能。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。

関連情報

プラグインのリスト

レポートタイプ

作成できるさまざまなタイプのレポート、作成するタイミングおよび作成方法について説明します。

レポートデザイナーでレポートを作成、スタイル設定、共有する方法

以下のタイプのレポートを生成してカテゴリ別に整理することができます。

- 棒グラフレポート：データ次元どうしでスコアを比較することができます。
- 円およびドーナツグラフレポート：円グラフなどの形状を使用して、データ セットの一部分と全体との関係を可視化します。
- 時系列レポート：データの経時変化を可視化します。時系列レポートでは、インスタンス内のデータやインポートしたデータ ソース内のデータだけでなく、MetricBase のデータを使用することもできます。詳細については、「MetricBase アプリケーション」を参照してください。
- マルチディメンション レポート：次元どうしでデータを 1 つの表またはグラフに可視化します。
- スコア：単一のデータ ポイントを、範囲全体にわたって、または単一の値として可視化します。
- 統計レポート：中央値や平均値などの統計値でデータを可視化します。
- その他のレポート：カレンダー、マップ、リストなどがあります。

レポートデザイナー内で自然言語クエリ (NLQ) を使用してレポートを生成することもできます。[NLQ] フィールドに質問を書き込むだけで、レポートデザイナーが適切なタイプのレポートを生成します。

棒グラフレポート

	レポート	説明
	垂直および水平棒グラフ レポート	垂直または水平の棒グラフが、それぞれの値に比例した長さで表示されます。
	パレート図レポート	棒グラフレポートと線グラフのレポートを組み合わせて、多数の要素の中で最も重要な要素を特定します。
	ヒストグラム レポート	値の範囲内にあるデータ ポイントの数を示すことによって、数値データを視覚的に解釈します。

円およびドーナツグラフレポート

	レポート	説明
	円グラフ	全体を表す円を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

円およびドーナツグラフレポート (続く)

	レポート	説明
	ドーナツ グラフ レポート	全体を表すドーナツ形を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。
	半ドーナツグラフレポート	全体を表す半ドーナツ形を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。半ドーナツグラフレポートでは、半分に分割されたドーナツ形を使用して全体を表します。

時系列レポート

	レポート	説明
	縦棒グラフ レポート	1 つまたは複数の値を割合を表す縦棒として表示し、値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	線グラフ レポート	一連のデータポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	ステップ ライン レポート	一連のデータポイントを横線と縦線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	面グラフ レポートとスプライン レポート	線グラフに似ていますが、一般に軸と線の間の面を色付けして強調します。
	面グラフ レポートとスプライン レポート	一連のデータ ポイントを滑らかな曲線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。スプラインレポートでは、既知のデータポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。

マルチディメンションレポート

	レポート	説明
	マルチレベル ピボット テーブル	複数の測定基準で分割された集計データを 1 つのグラフに表示します。
	ヒートマップ レポート	色を使用してさまざまな値を表現し、集計データをマトリクスで表示します。
	バブル レポート	1 つのグラフに複数の測定基準を表示します。

スコア

	レポート	説明
	スピードメーターレポート	現時点でのインジケーターのカウントの概要を円形のメーターの形で表示します。
	目盛りレポート	測定するインジケーターのカウントの概要を半円で表示します。スコアが表示される部分は色で塗りつぶされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコア (続く)

	レポート	説明
	単一スコア レポート	ビジネスにとって重要な単一の集計値を表示します。

統計分析の可視化

	レポート	説明
	コントロール レポート	データを一連の点のつながりとして表示し、ビジネスプロセスが統計管理の状態にあるかどうかを判断して、外れ値を特定します([その他のレポート] セクションにあります)。
	傾向レポート	1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。傾向レポートの横軸上の値は、時間測定値を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。傾向の直線または曲線によって、変化の一般的なパターンが明らかになります([その他のレポート] セクションにあります)。
	ボックス レポート	データセットの値の分布を示し、統計的な平均を強調します([その他のレポート] セクションにあります)。
	Trendbox レポート	データセット内の値の分布を示し、指定した期間の統計平均を強調します([その他のレポート] セクションにあります)。

その他のレポート

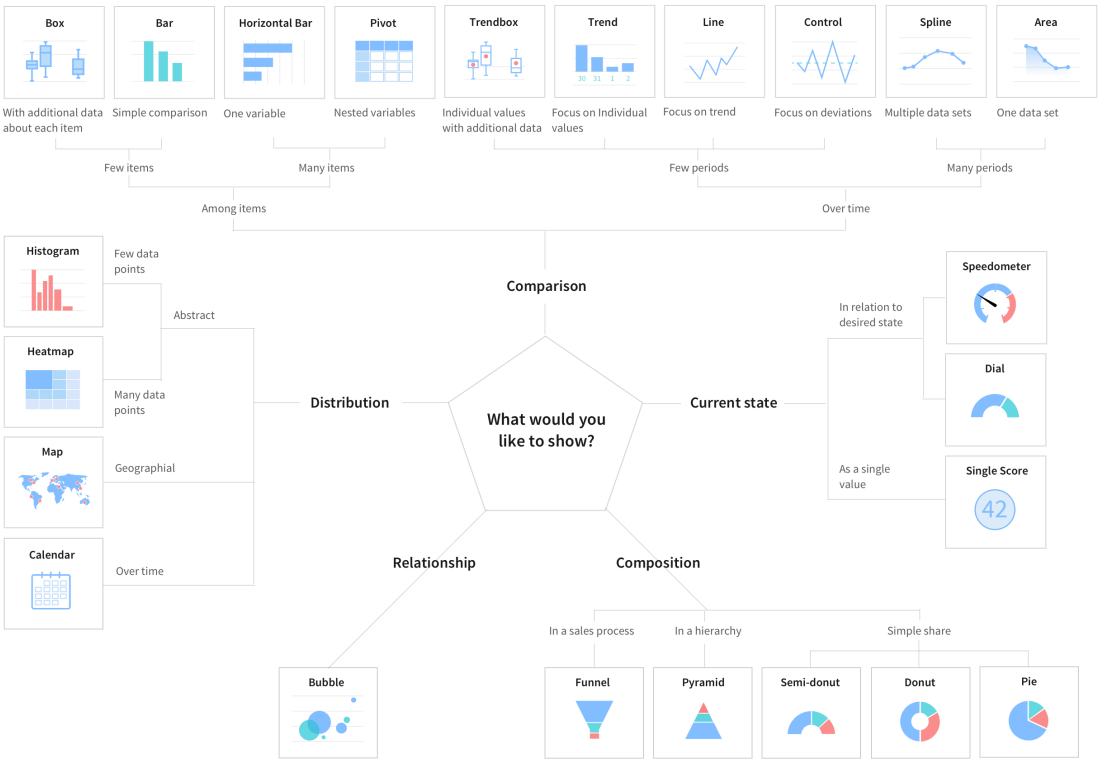
	レポート	説明
	じょうごおよびピラミッド グラフ レポート	値を、段階的に減少する割合として表示します。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します([その他のレポート] セクションにあります)。
	リストレポート	標準のServiceNow リストコンポーネント に似た拡張可能なリストの形式でデータを表示します。
	カレンダー レポート	データ駆動型のイベントをカレンダー形式で表示します。
	マップ レポート	データを地図画像に表示します。
	ピボットテーブル	表からデータを集計して、要約したデータのソースを表示します。この機能はマルチレベルピボットレポートに拡張されています。
	じょうごおよびピラミッド グラフ レポート	長方形の代わりにピラミッドの区分けを使用して、棒グラフレポート上での変動を可視化します([その他のレポート] セクションにあります)。

レポートタイプの選択

データで伝えるストーリーに基づいてレポートタイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



面グラフ レポートとスプライン レポート

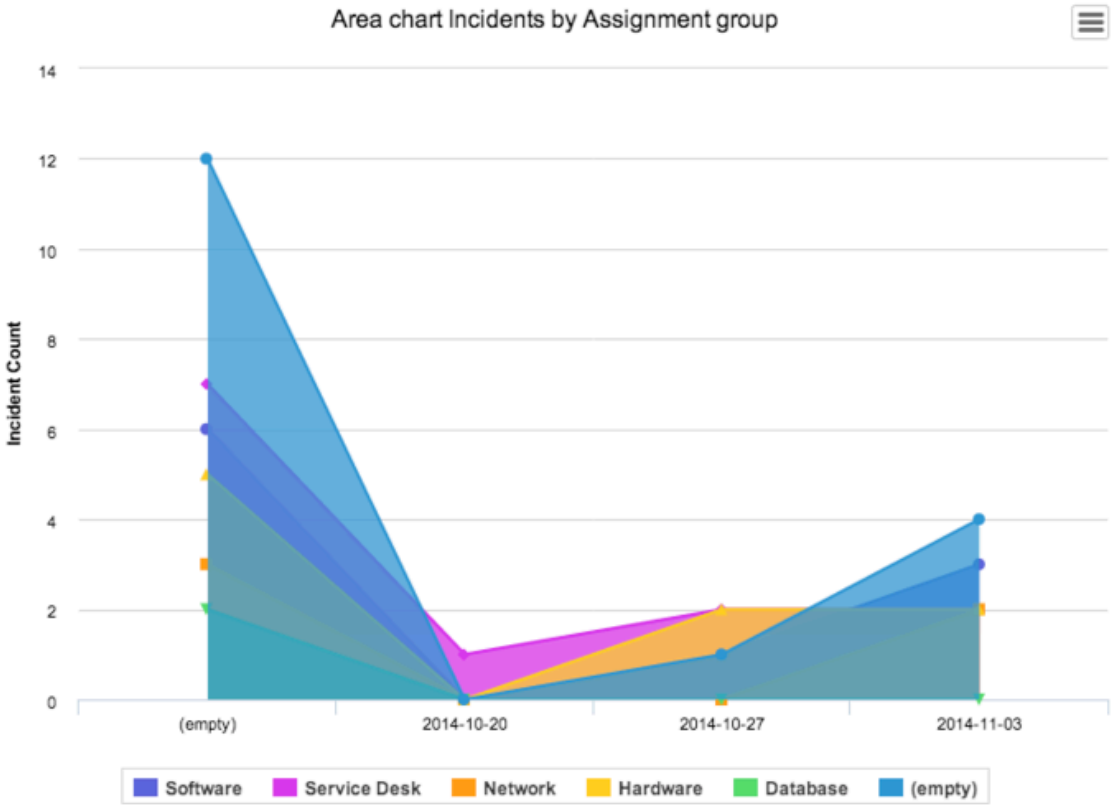
面グラフ レポートは、関連する属性の時間経過による傾向を示します。スプラインレポートは、一連の既知のデータ ポイントを曲線で結び、1 つ以上の値がどのように変化するかを示して、個々のデータ ポイントの傾向を強調します。

たとえば、インシデント数を表す面グラフ レポートやスプライン レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポート

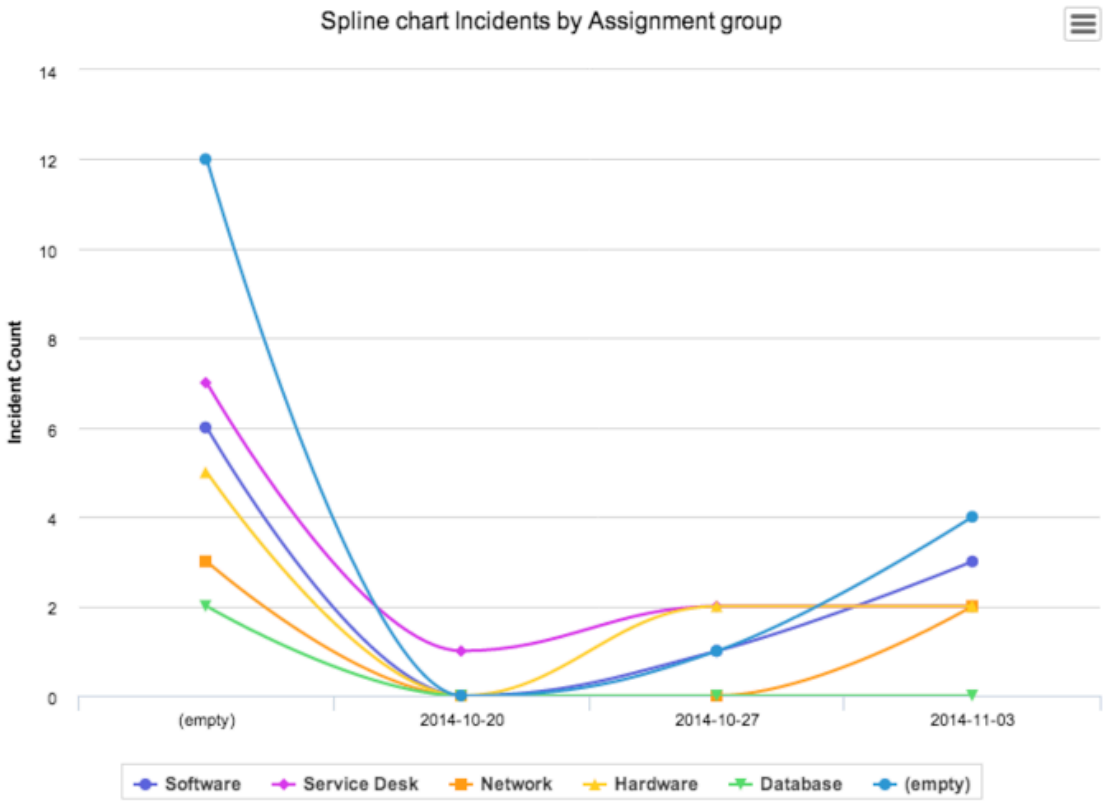


注:

複数のデータ セットを含む面グラフ レポートのセクションどうしが重なっている場合、個々のセクションにドリルダウンすることはできません。ドリルダウンするには、凡例内のアイテムをクリックしてレポートからクリアします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スプライン レポート



注:
このデータ可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Time series reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

面グラフ レポートまたはスプライン レポートを作成する

関連する属性の経時変化を表示する面グラフ レポートまたはスプライン レポートを作成します。

始める前に
必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「面」または「スプライン」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン ( ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。ビジネスカレンダーの設定に関する標準カレンダーまたは カスタマイズされたビジネスカレンダー のいずれかを選択します。
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 注: 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

注:
ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

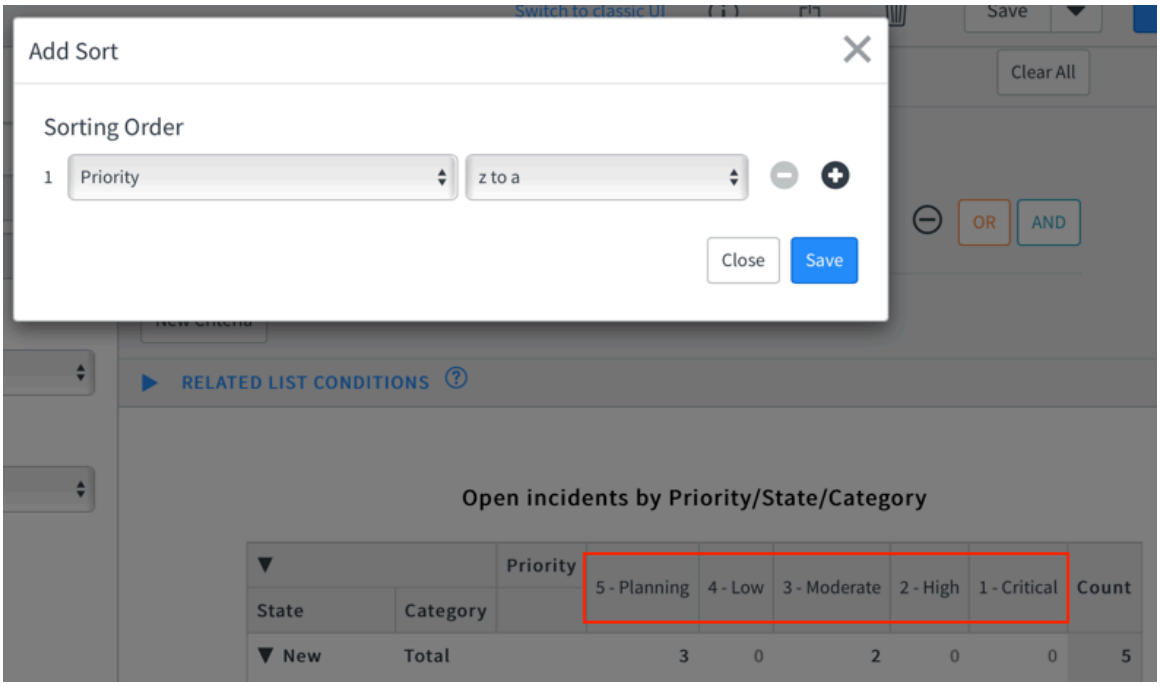
b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション

面グラフ レポートまたはスプライン レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム カラーを選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用する: 16 進コードを使用してカスタムの 色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポート内の事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[チャートのカラー スキーム] または [色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、または [カウント] または [個別のカウント] で集計されている場合には使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。 **注:** ソースがメトリックベースの場合、このプロパティは選択できません。
マーカーを表示	チェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントに記号が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

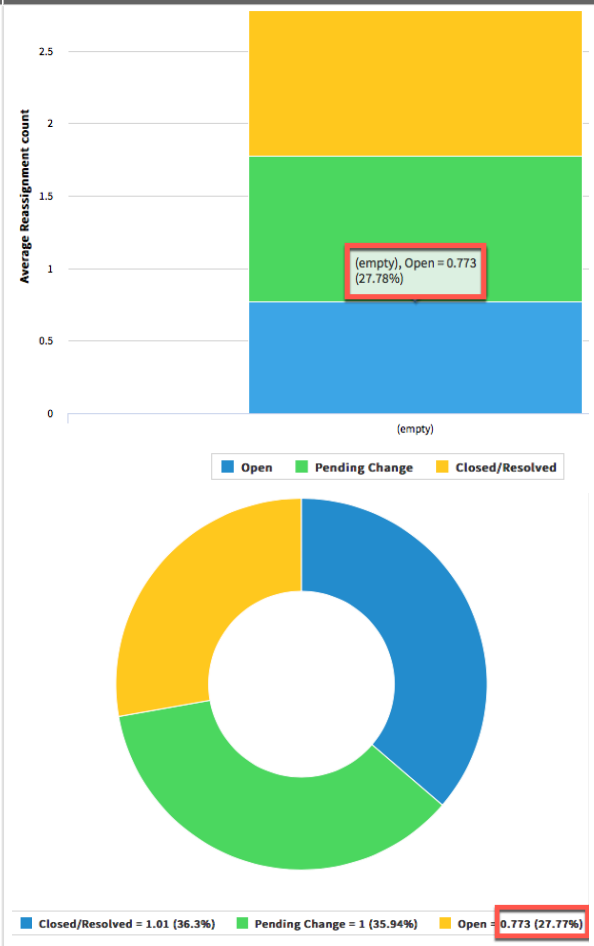
面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [構成] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (**Style** (スタイル) > **Y** 軸 秒単位です可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (**Configure** (構成) > **Set Value Formatting** (値の書式を設定))、開始/終了 (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ○ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定すると、ビジュアリゼーションでは Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] フィールドと [終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
ターゲット	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [構成] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (**Style** (スタイル) > **Y** 軸 秒単位です可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (**Configure** (構成) > **Set Value Formatting** (値の書式を設定))、開始/終了 (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ○ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定すると、ビジュアリゼーションでは Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] フィールドと [終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

垂直および水平棒グラフ レポート

縦棒グラフと水平棒グラフは、データ次元全体で個々のスコアまたは集計スコアを比較します。縦棒グラフ レポートの列の基準は X 軸で、水平棒グラフ レポートの列の基準は Y 軸です。

棒グラフは、データを横棒または縦棒の形式で表示します。棒はそれぞれ特定のカテゴリのデータを表します。棒グラフでは、1 つの色ですべてのカテゴリのデータを表すことも、カテゴリごとに異なる色で表すこともできます。

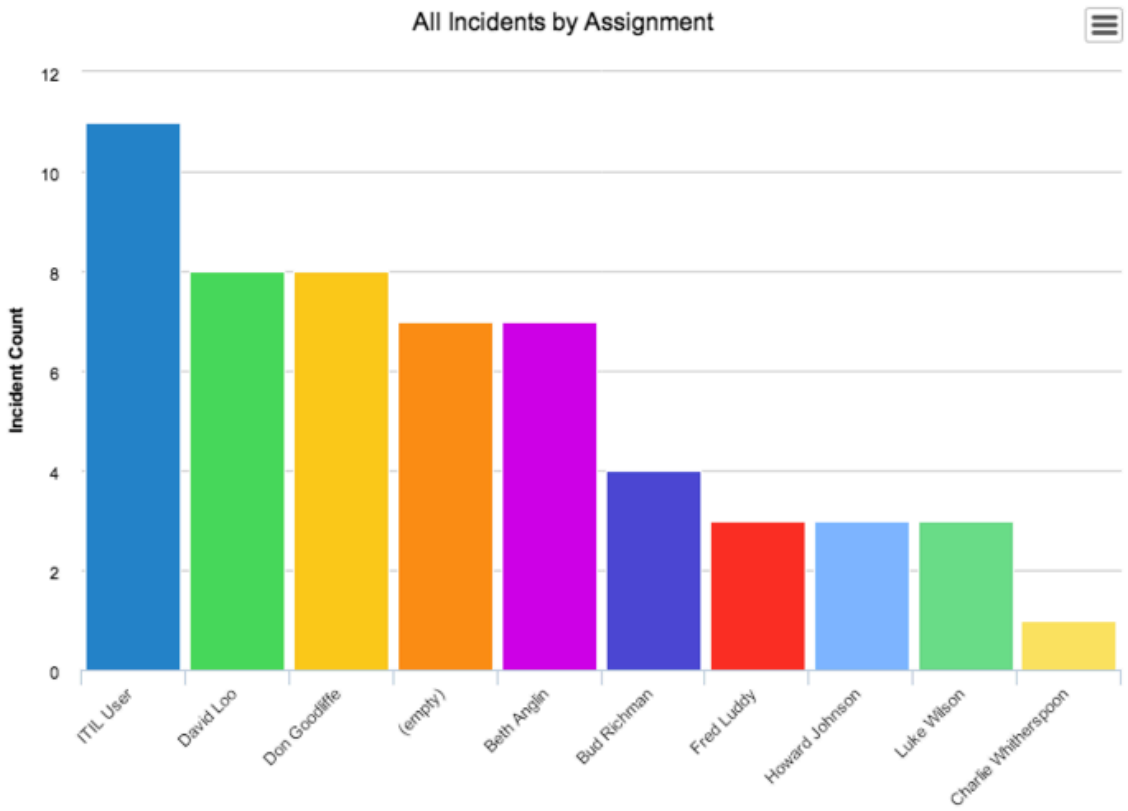
注:
モバイルプラットフォームでは、縦棒グラフレポートがサポートされています。詳細については、「Bar reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

次の図は、個別のカテゴリのデータを表示する棒グラフ レポートの例です。レポートには、レポートが生成されるまでに記録されたすべてのインシデントの「インシデント[incident]」テーブルのデータが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポート

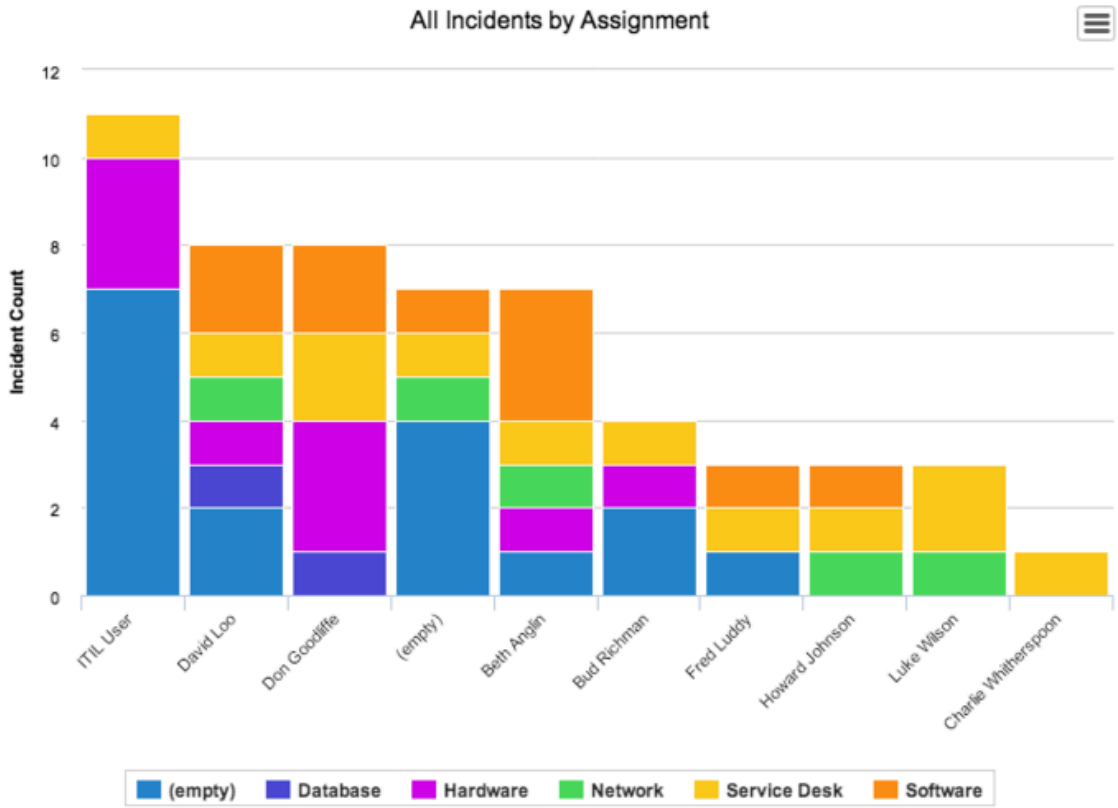


棒グラフ レポートを構成して、データを積み重ねて表示したり、棒の測定単位を変更したりすることができます。積み重ねバー グラフ レポートは、どの部分が合計に寄与しているか示します。次の図は、各ユーザーにアサインされたインシデントの数を示す棒グラフ レポートを示しています。また、このレポートでは各インシデントカテゴリからのインシデント数を積み重ねて表示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

積み重ねバー グラフ レポート



棒グラフ レポートを作成する

棒グラフ レポートを使用すると、それぞれの情報をその値に比例したセグメントに分けて表示できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「棒」または「水平バー」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン ( ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
積み重ね基準	このフィールドの値を使用し、各棒を分割します。拡張テーブルのフィールドごとにスタックする方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます 注: ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 カテゴリ別にソートされ、優先度で積み重ねられたインシデントの棒グラフでは、各カテゴリについての優先度の高、中、低の割合を見ることができます。 積み重ねられたフィールドを慎重に選択すると、レポートが乱れるのを防ぐことができます。大量のデータを積み重ねるのではなく、これらの関係を示す別のレポートを作成する方が良い場合もあります。棒グラフは、積み重ねたフィールドが選択

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	されている場合にのみ凡例を表示します。ブール、参照、および選択リストは、積み重ねフィールドとして使用できます。日付、日付/時刻、整数、ロング、文字列、テキスト フィールドは、積み重ねフィールドとして使用することはできません。 **注:** Report Charting v2 プラグインが導入されてからは、日付の種類が許可されなくなりました。 積み重ねたフィールドを 1 本の棒で表示するか棒の集まりとして表示するかを選択できます。 レポート フォームで [グループ] フィールドを選択すると、グループ化された棒として棒を表示することを選択できます。この場合、棒は、積み重ねられるのではなく、[グループ] フィールド (インシデントの状態など) ごとに互いに隣接して表示されます。 [他のグループ化] のフィールドを選択すると、これらのフィールドはレポートの下部の [積み重ね基準] コントロールでも利用できます。詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

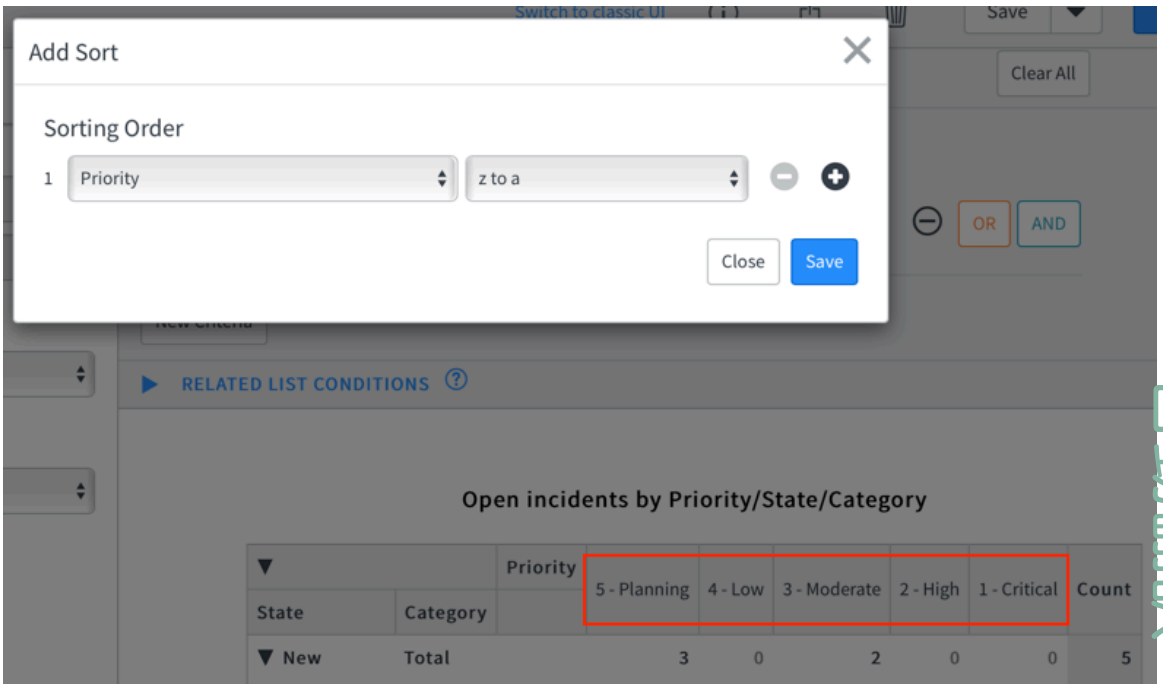
自動翻訳

> **注:**
> ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

棒グラフ レポートのスタイル オプション

棒グラフ レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

棒グラフ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。レポートをフィールド別に積み重ねていない場合は、次のいずれかのオプションを選択できます。 • **1** つの色を使用: [チャートの色] フィールドで定義済みの色を 1 つ選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. レポートをスタックする場合は、次のいずれかのオプションを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用する: 16 進コードを使用してカスタムの 色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポート内の事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン (🔍) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

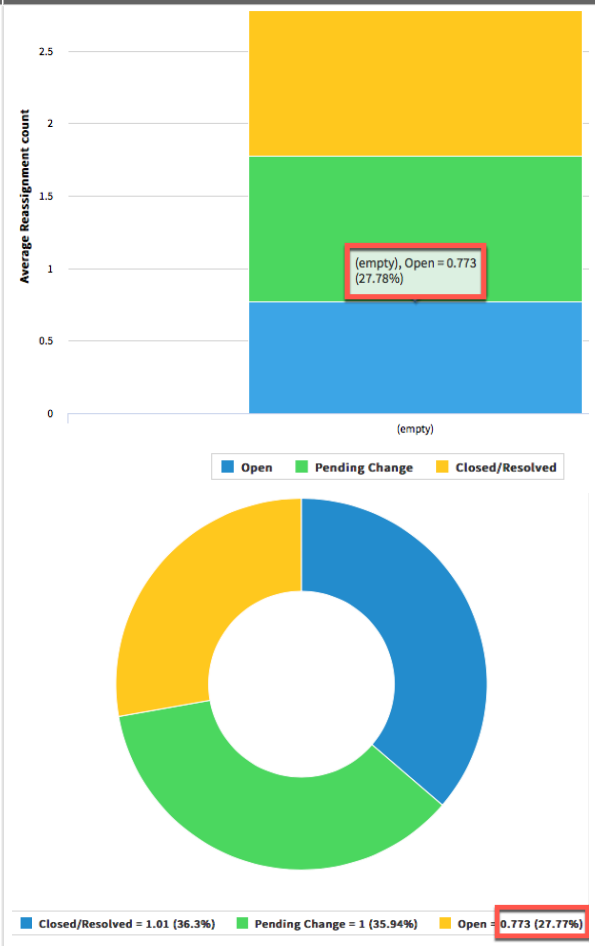
棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	• [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [構成] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (**Style** (スタイル) > **Y** 軸 秒単位です可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (**Configure** (構成) > **Set Value Formatting** (値の書式を設定))、開始/終了 (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ○ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定すると、ビジュアリゼーションでは Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] フィールドと [終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
ターゲット	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [構成] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (**Style** (スタイル) > **Y** 軸 秒単位です可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (**Configure** (構成) > **Set Value Formatting** (値の書式を設定))、開始/終了 (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ○ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定すると、ビジュアリゼーションでは Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] フィールドと [終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

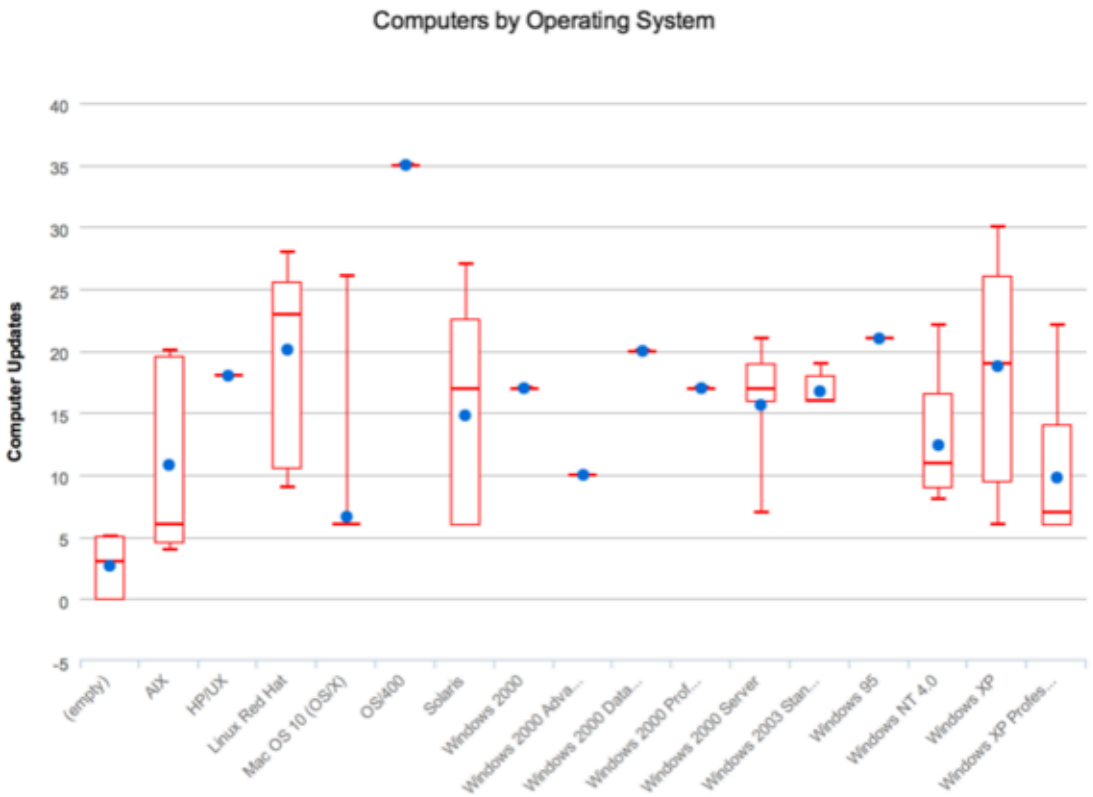
ボックス レポート

ボックス レポートはボックス プロットとも呼ばれ、データの分布 (最大、最小、四分位数、中央値、平均値など) を視覚化します。

ボックス チャートは、互いに関連するさまざまなソースから複数のデータ セットを抽出して表示する場合に使用します。

たとえば、ボックス チャートを使用して、コンベンションに参加したすべての顧客の年齢範囲を表示できます。ボックス チャートにより、最も多い年齢層を分類して特定できます。この結果を利用して、出席数の低い年齢層を広告のターゲットにし、それによって今後のイベントで出席数を増やすことができます。

ボックス チャート

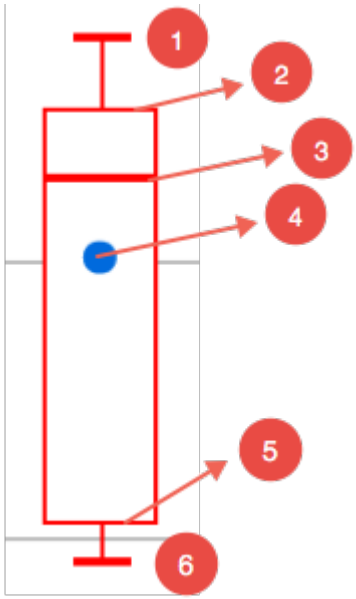


ボックス チャートでは、データ グループごとに次の情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボックス チャートのスケール



1. サンプルの最大値
2. 上位四分位数
3. 中央値
4. 平均
5. 下位四分位数
6. サンプルの最小値

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

ボックス レポートを作成する

ボックス レポートを作成して、データ セット内の値の分布を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

ボックス レポートを使用すると、データを統計平均別に整理して表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ボックス」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン () を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	注: ◦ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ◦ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
測定基準	データの測定値として使用するフィールド。ボックス チャートでは日付と時刻のフィールドはサポートされていません。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

自動翻訳

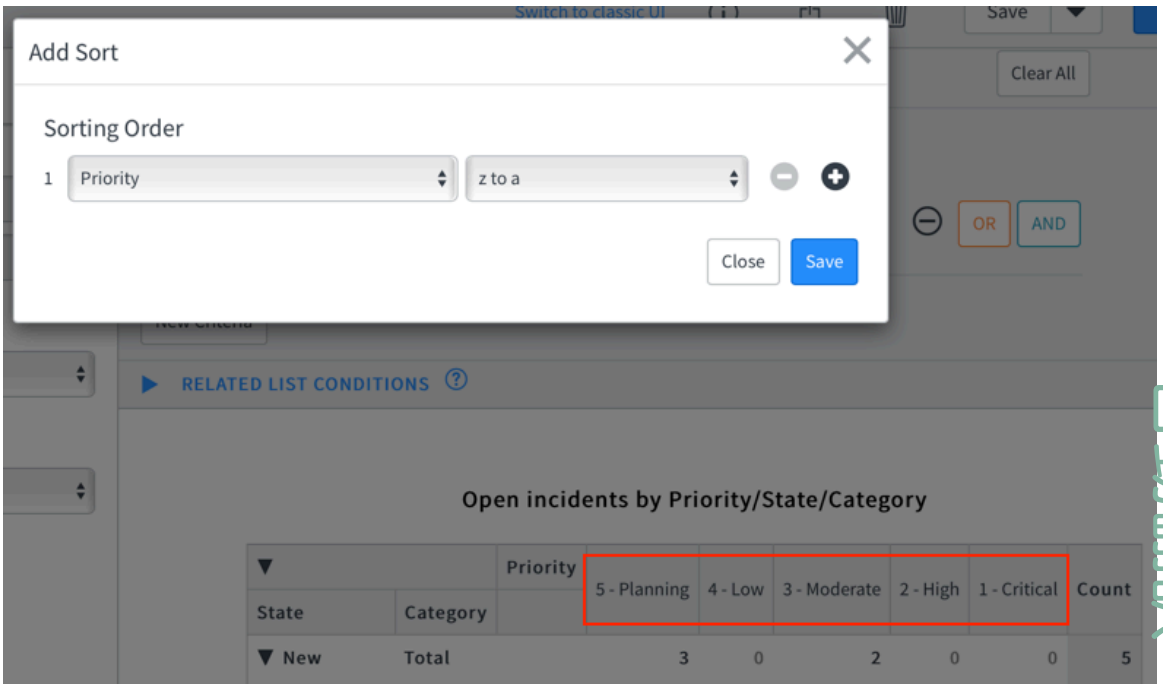
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ボックス レポートのスタイル オプション

ボックス レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

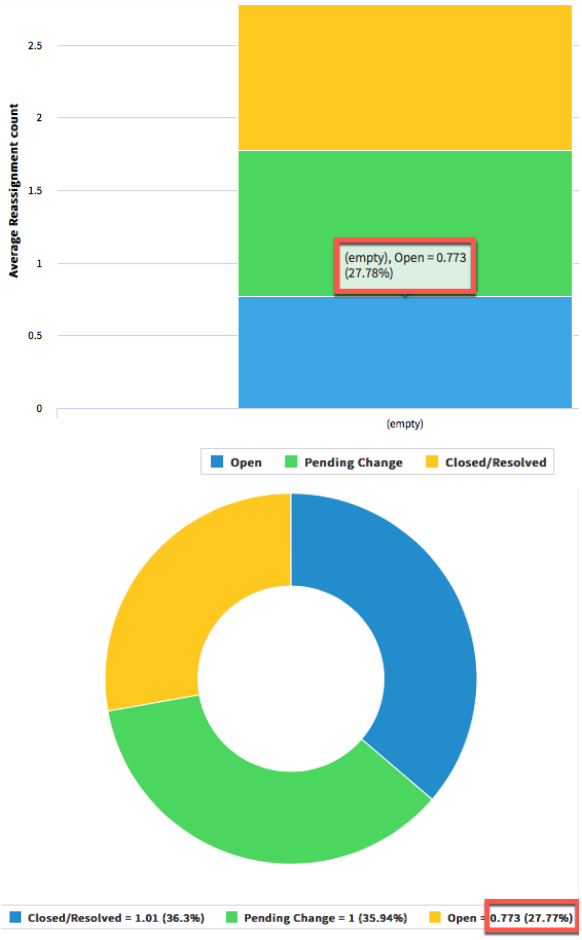
レポートのスタイルオプション

フィールド	説明
全般	
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
のカスタム位置	
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャートタイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャートタイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
差出人	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	注: 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。
ターゲット	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 **注:** 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。
X 軸/Y 軸のラベルサイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

バブル レポート

バブル レポートは、データ ポイントを x 軸と y 軸にプロットし、3 つ目の集計ディメンションを使用してバブルのサイズを定義します。

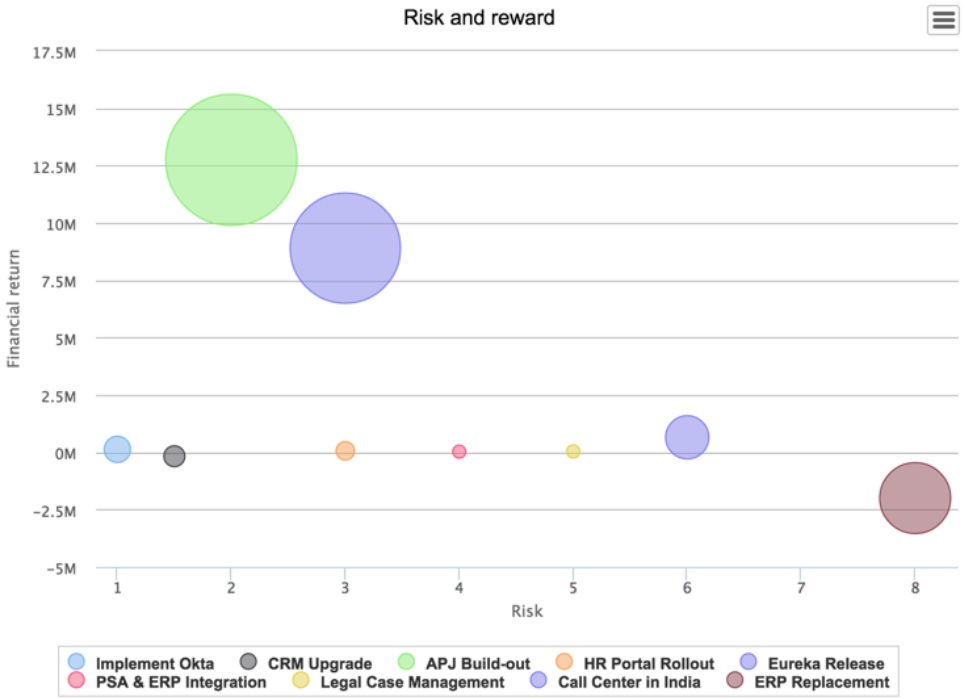
バブル レポートでは、数値を使用して X 軸と Y 軸を定義し、集計値を使用して各バブルの大きさを決定することができます。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

たとえば、デマンド管理を使用する場合に、「要求」テーブルにバブル レポートを作成して、さまざまな要求に対するリスクと報酬を比較することができます。バブルはそれぞれ 1 つの要求を表します。それぞれのバブルの位置はリスクと金銭的見返りによって決まり、一方で、バブルの大きさは要求に対する金銭的見返りの合計によって決まります。レポートの左上に大きなバブルがあることから、これを利用して、リスクが小さく見返りが大きい要求をすばやく特定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



バブル レポートを作成する

バブル レポートを作成して、1 つのチャートに複数の別々の評価指標を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

バブル レポートは、X 軸、Y 軸、およびバブル サイズを使用して、3 つの異なる評価指標の情報を集計します。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「バブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
グループ：	データをグループ化するための基準となるフィールド。値はそれぞれ、チャート上で一意のバブル カラーで表されます。 情報アイコン ( ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 **注:** レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン ( ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
行	Y 軸として使用する数値フィールド。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。
列	X 軸として使用する数値フィールド。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

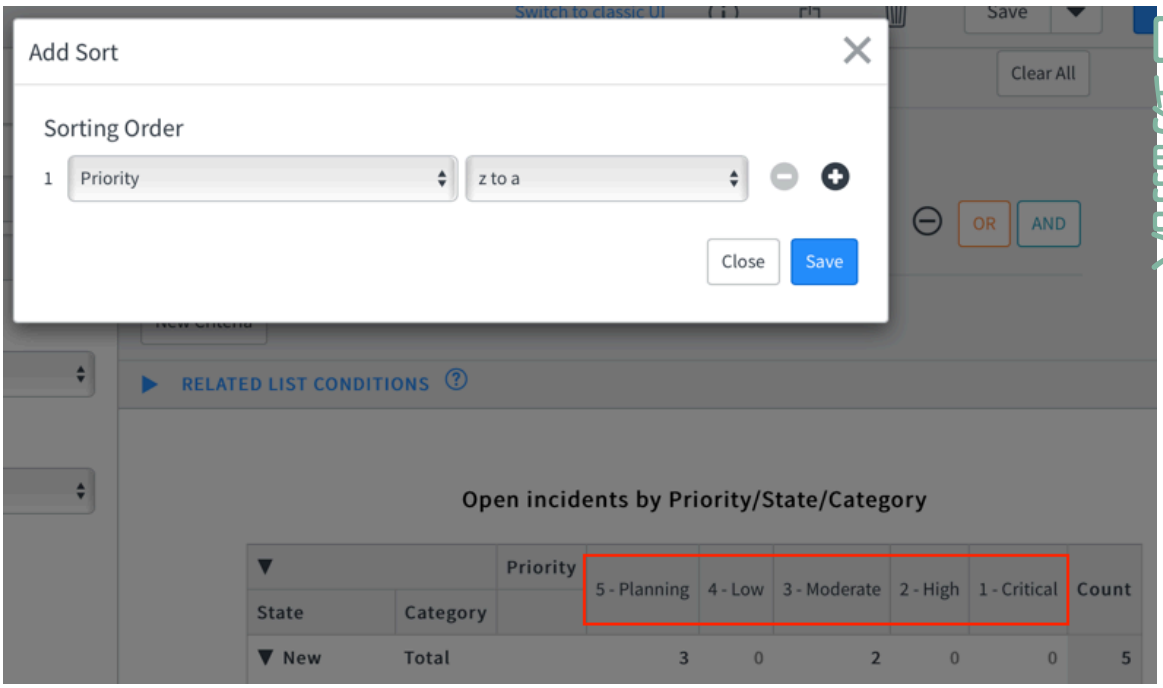
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

   c. [保存] を選択します。

   選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

バブル レポートのスタイル オプション

バブル レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

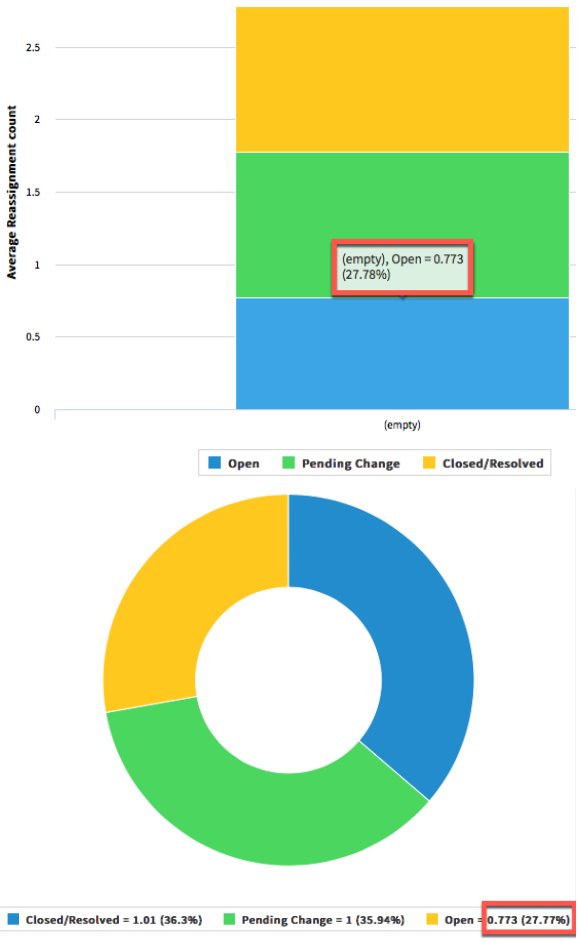
バブル レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バブル レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バブル レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

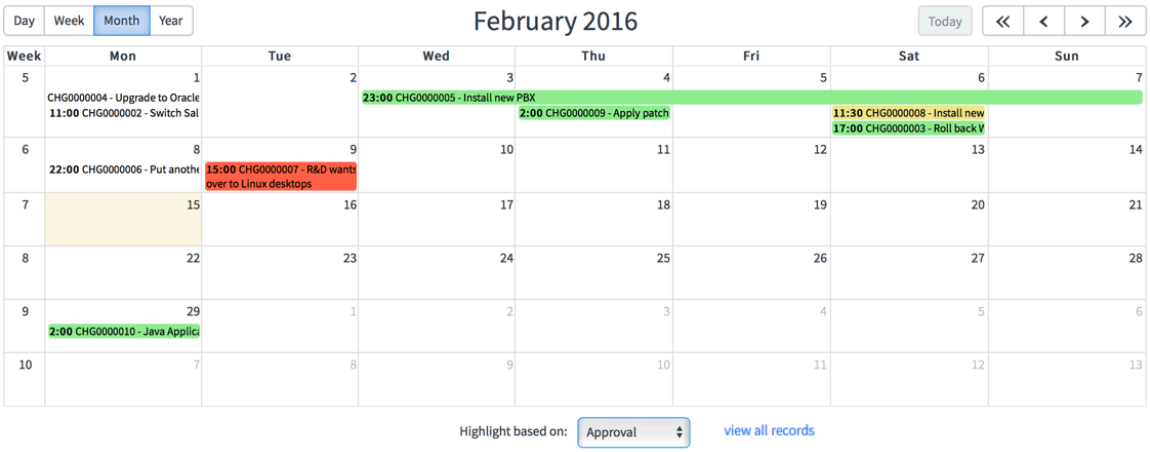
バブル レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

カレンダー レポート

カレンダー レポートは、日付駆動型のイベントをカレンダーに表示します。

カレンダー レポート



カレンダーのイベントは、優先度、ステータス、エスカレーションなどの関連する基準で強調表示できます。終了日のないイベントの期間は 1 時間です。

制限事項

- カレンダーの可視化を後方に参照したときに返されるイベントの数を制限できます。現在のカレンダービューの初日から過去 30 日間に制限されています。カレンダーに表示される最初の日の 30 日以上前に開始されるイベントは表示されません。[年] を選択した場合、カレンダーには前年の 12 月 1 日から今年の 12 月 31 日までに開始するイベントが含まれます。

  KB 記事「 週次カレンダービューにすべてのエントリが表示されない 」では、予期される一部のエントリが表示されないシナリオがカバーされています。

  表示する日数を増やすには、 *glide.report.calendar.max_days_back* プロパティを編集します。「レポートのプロパティー」を参照してください。

  注:
  この値が大きすぎるとパフォーマンスが低下することがあります。

- このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 選択した 1 つの基準 (優先度 など) を永続的に強調表示し、アドミニストレーターが設定できます。「カレンダー基準の永続的な強調表示の設定」を参照してください。
- 開始日フィールドのカレンダー レポートには、開始日から終了日までのフィールドの範囲が表示されます。終了日フィールドのカレンダー レポートには、終了日のみが表示されます。

カレンダー レポートを作成する

日付駆動型のイベントを表示および強調表示するカレンダー レポートを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「カレンダー」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

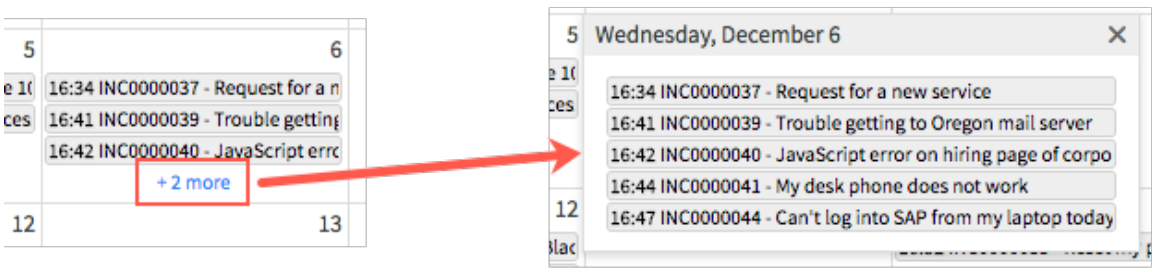
フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
次を表示するイベント：	カレンダーに表示する日付駆動型のイベント。このリストには、データ ソースまたはソース テーブルにある日付/時刻形式のフィールドが含まれています。情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したイベントの説明が表示されます。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。
8. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

注:
対象の日付で、カレンダー セルに収まるよりも多くのイベントがある場合は、追加のイベントを表示するためのリンクが表示されます。



イベントが 30 件を超える場合、セルには [+ 多数] が表示されます。このリンクをクリックすると、その日付のリスト ビューにすべてのイベントが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

新しいカレンダー レポートを無効にする

Helsinki 以前にリリースされたバージョンのカレンダーを使用する場合は 、新しいバージョンのカレンダーを無効にします。新しいカレンダーと互換性のないスクリプトがある場合や、以前のカレンダーのスタイル設定を望む場合などに、以前のカレンダーを使用します。最新のカレンダーは、Internet Explorer バージョン 7 および 8 でもサポートされていません。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > プロパティ.
2. *glide.report.new_calendar* システムプロパティを追加し、**false** に設定します。
   追加方法については、「レポートのプロパティー」を参照してください。

   注:

   このシステムプロパティが true に設定されている場合は、クラシック環境でのみサポートされます。レポート デザイナーで [以前の **UI** に切り替える] をクリックします。

縦棒グラフ レポート

縦棒グラフのレポートは、1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するか縦の棒で示します。

縦棒グラフの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。report_admin ロールを持つユーザーは、縦棒グラフ レポートで使用する範囲を定義できます。レポート範囲の作成については、「レポート範囲」を参照してください。

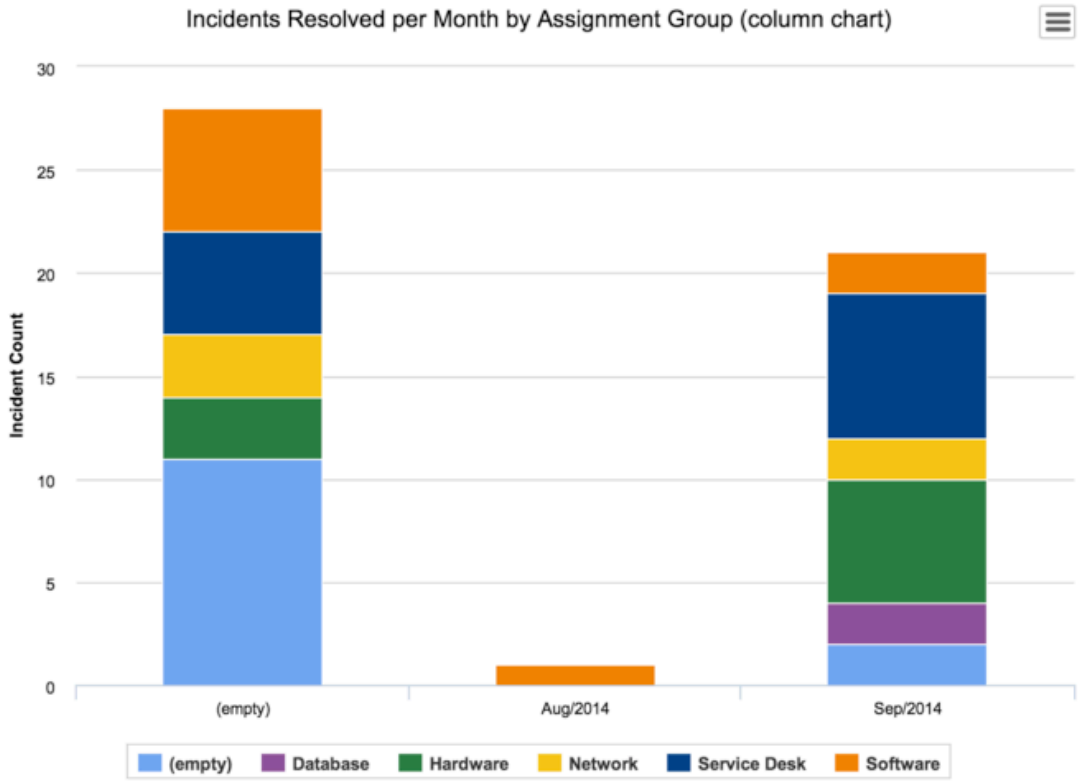
たとえば、インシデント数を表す縦棒グラフを作成して、インシデント数が時間の経過とともにどのように変化するかを表示できます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

この図は、カテゴリ別に積み上げられた解決済みのインシデントを示しています。凡例は、色が表しているカテゴリを示しています。

自動翻訳

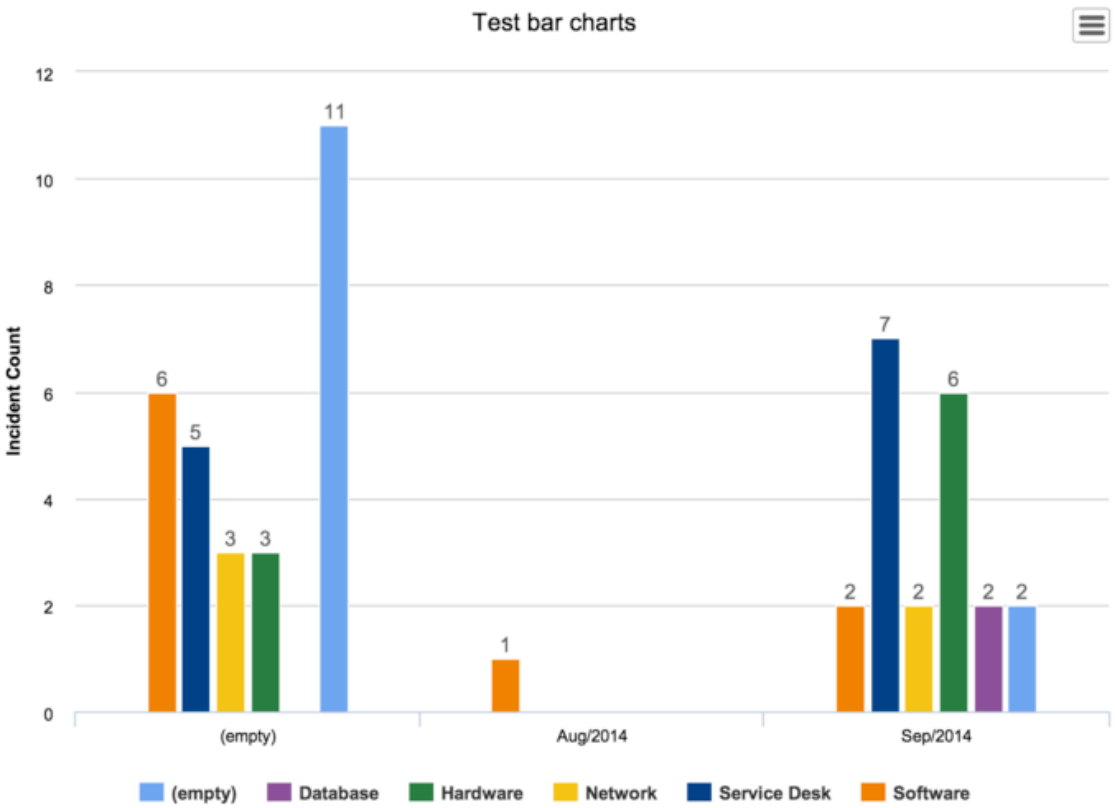
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

積み上げ縦棒グラフ



グループ化された縦棒グラフでは、1 本の棒に色を積み上げるのではなく、カテゴリを個々の棒として表示します。

グループ化された縦棒グラフ



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートを作成する

縦棒グラフ レポートを作成し、1 つ以上のデータ要素の値が時間の経過とともにどのように変化するかを表示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「縦棒」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
棒 (積み上げ)/グルー	選択したフィールドから得られる個々のアイテムの全体に対する関係を表示する方法。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プ化された棒	積み重ねフィールドを 1 本の棒で表示するか棒の集まりとして表示するかを選択できます。 [棒 (積み上げ)/] を選択すると、グラフの各棒の全体に対する寄与部分が示されます。 [グループ化された棒] を選択すると、個々の棒の全体に対する寄与部分が示されます。積み上げではなく、[グループ：] フィールド (たとえば、インシデントの状態) に従って、棒が隣り合って表示されます。
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。ビジネスカレンダーの設定に関する標準カレンダーまたは カスタマイズされたビジネスカレンダー のいずれかを選択します。
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

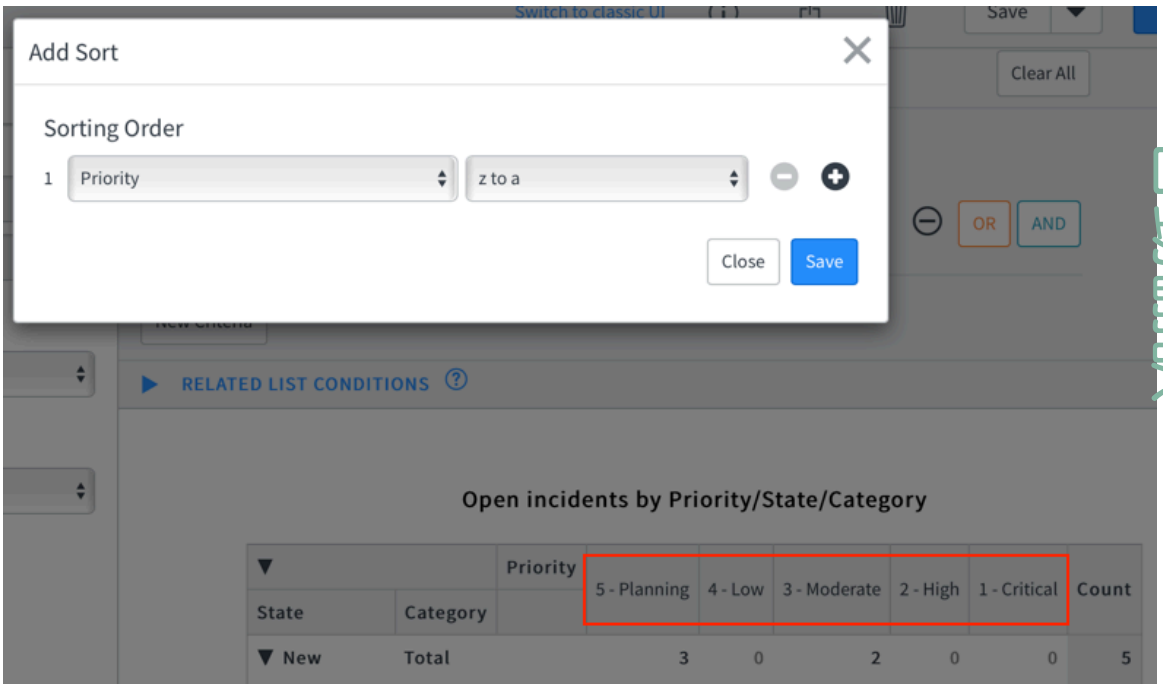
このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

> **注:**
> ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション

縦棒グラフ レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム カラーを選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用する: 16 進コードを使用してカスタムの 色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポート内の事前定義された色」を参照してください。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタムグラ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

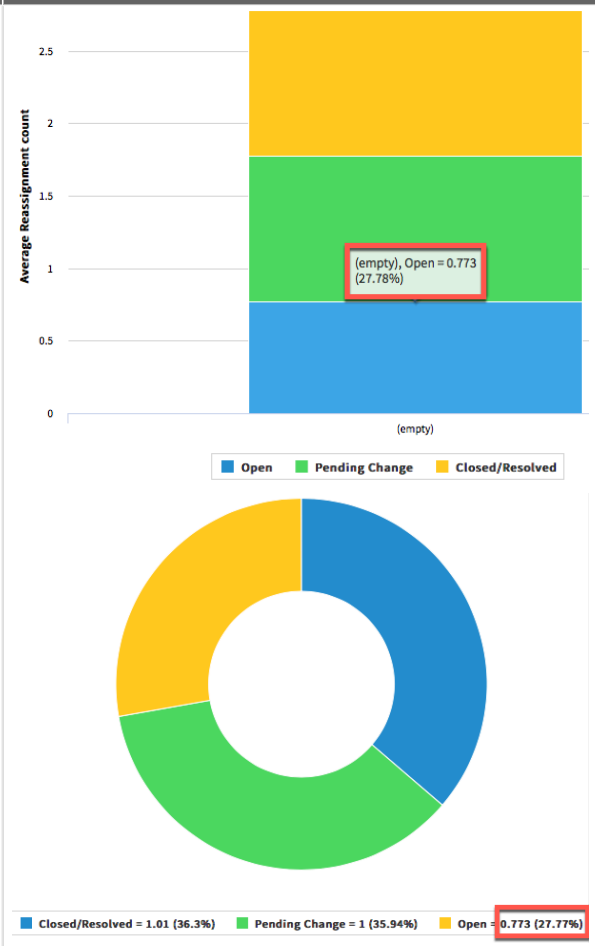
縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
フサイズ	注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [構成] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (**Style** (スタイル) > **Y** 軸 秒単位です可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (**Configure** (構成) > **Set Value Formatting** (値の書式を設定))、開始/終了 (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ○ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定すると、ビジュアリゼーションでは Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] フィールドと [終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
ターゲット	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [構成] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (**Style** (スタイル) > **Y** 軸 秒単位です可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (**Configure** (構成) > **Set Value Formatting** (値の書式を設定))、開始/終了 (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ○ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定すると、ビジュアリゼーションでは Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] フィールドと [終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

コントロール レポート

コントロール レポートは、データを経時的に可視化し、標準偏差を使用して統計尤度を示したり外れ値を特定したりします。

コントロール レポートは、データを一連の点のつながりとして表示します。レポートの中央にある青い線は平均値で描かれています。赤い線で表されるコントロールの上限および下限は、活動の可能性が統計的にほとんどないと考えられるしきい値を示しています。プロセスが管理下にある場合は、すべての点がコントロール限界内にプロットされます。これらの限界の範囲外となる活動を調べることもできます。

これらのレポートでは、Z スコアを使用して統計尤度を示します。

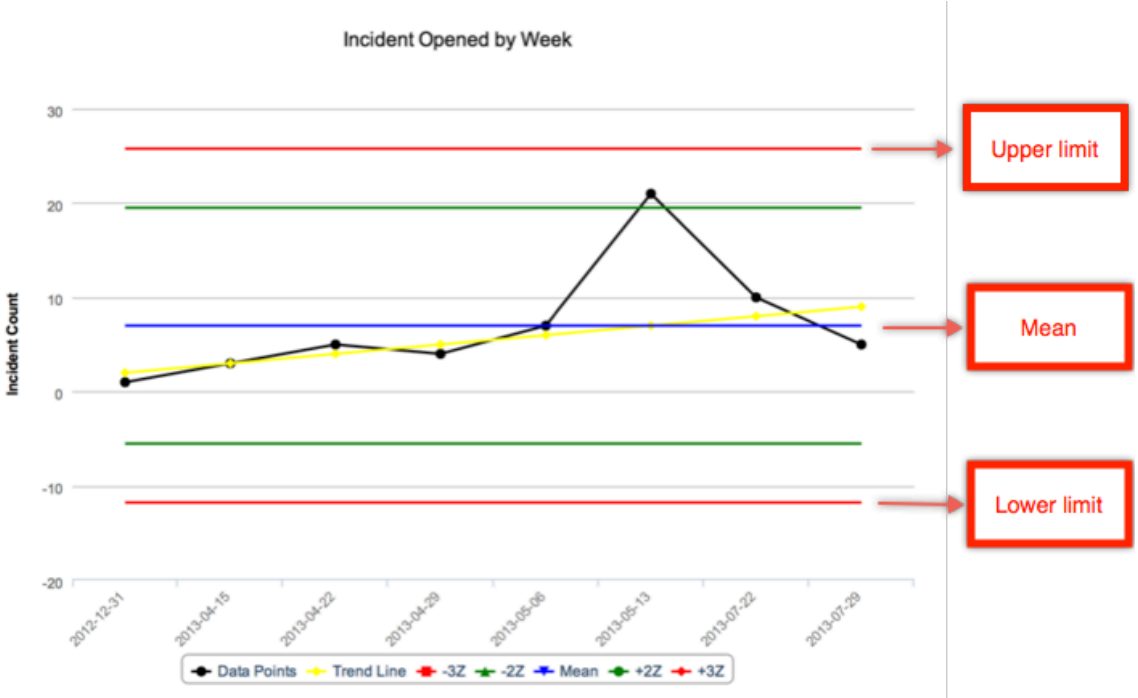
```
Z-score = (Observation - Mean) / Standard Deviation
```

上下の緑色の線は、Z スコアのプラスマイナスの 2 倍を示します。上下の赤い線は、Z スコアのプラスマイナスの 3 倍を示します。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール レポート



注:
平均は、 データポイント 線上のデータポイントの合計をポイント数で割ったものです。これらの値は集計 (カウント、平均、合計、または個別のカウント) に依存します。この平均は、同じデータに基づく他のレポートが異なる集計を使用している場合、他のレポートの平均とは異なる場合があります。たとえば、1 か月あたりの平均インシデント数 (カウント) は、同じインシデントの平均期間とは異なります。

自動翻訳

コントロール レポートを作成する

ビジネス プロセスが統計管理の状態にあるかどうかを判断するためのコントロール グラフを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「コントロール」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。情報アイコン ( ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 注: 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

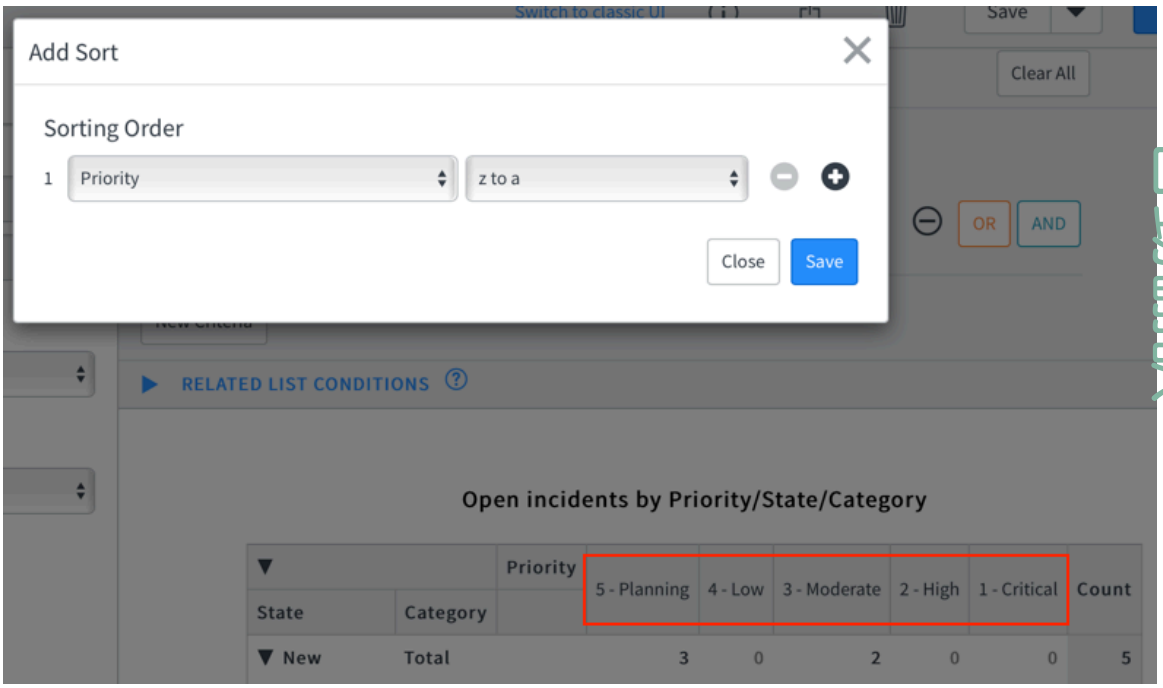
このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

> **注:**
> ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

10. [保存] をクリックしてレポートを生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

コントロール レポートのスタイル オプション

コントロール レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

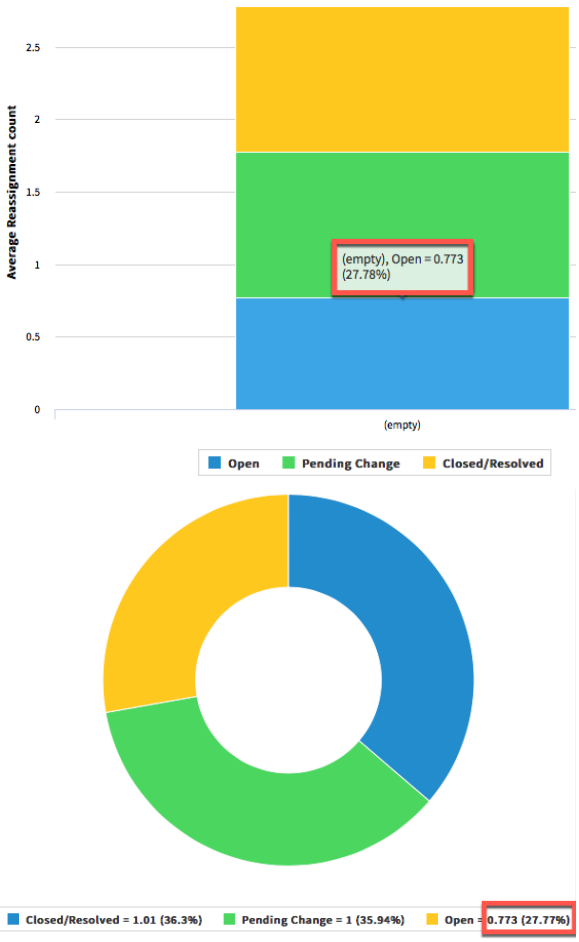
コントロール グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタム グラフ サイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャート サイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

目盛りレポートとスピードメーター レポート

目盛りとスピードメーターでは、インジケーターのカウントがリアルタイムで提供されます。これらのグラフには比較データや履歴データを含めることはできません。値が指定の範囲内にあることをひと目で確認できるように色を構成できます。

レポート作成者は、許容できない値の範囲を示すために赤を使用することがよくあります。月額売上では低い値の方が高い値より悪くなりますが、インシデント解決時間では低い値の方が高い値より良くなります。月次売上値が低い場合は赤を、インシデント解決値が高い場合は赤を構成できます。

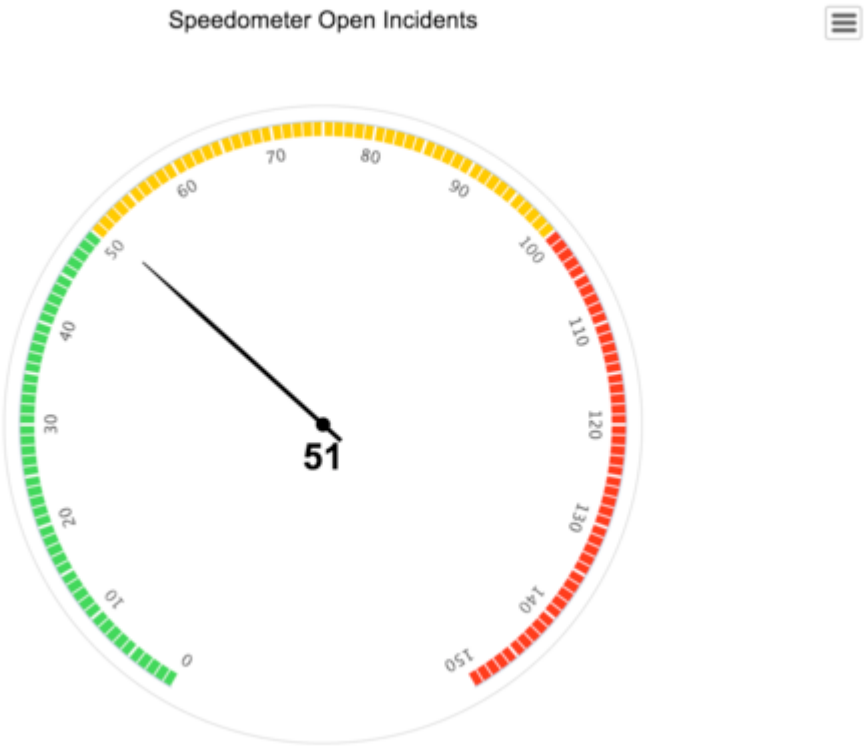
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りとスピードメーターは外観も異なります。

- スピードメーターには、定義された範囲を持つ円形のメーターの形で数字が表示されます。
- 目盛りには、範囲内に収まるスコアが半円の目盛りで表示されます。

Angular スピードメーター レポート



ソリッド ゲージ レポート



目盛りレポートまたはスピードメーター レポートを作成する

目盛りまたはスピードメーターを作成して、インジケーターのリアルタイムのカウントを提供し、値の範囲を色で示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「スピードメーター」または「目盛り」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。例えば、与えられたロール リストの中で、ロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートが必要だとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。[集計] の基準となるフィールドをこのリストから選択します。たとえば、[優先度] などの整数フィールドを選択した場合、データは 10 進数の数値で表されます。 [平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択すると、拡張テーブルのフィールドでさらに集計できる場合があります。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 **注:** 期間値の場合、集約軸に表示される測定単位をカスタマイズすることはできません。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

8. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りレポートとスピードメーター レポートのスタイル オプション

目盛りレポートまたはスピードメーター レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

目盛りチャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色 (目盛りチャートのみ)	目盛りの定義済みのシステム カラー。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン (🔍) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
方向	小さい方の値が好ましいか大きい方の値が好ましいかを選択します。小さい方の値が好ましい場合は、[最小化] を選択します。大きい方の値が好ましい場合は、[最大化] を選択します。この設定は [下限] および [上限] で有効です。これにより、目盛りまたはスピードメーターの領域の色が決まります。 • 緑色は、数字が許容範囲内にあることを示します。 • オレンジ色は、数字が変更されたが、依然として許容範囲内にあることを示します。 • 赤色は、数字が許容範囲ではないことを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

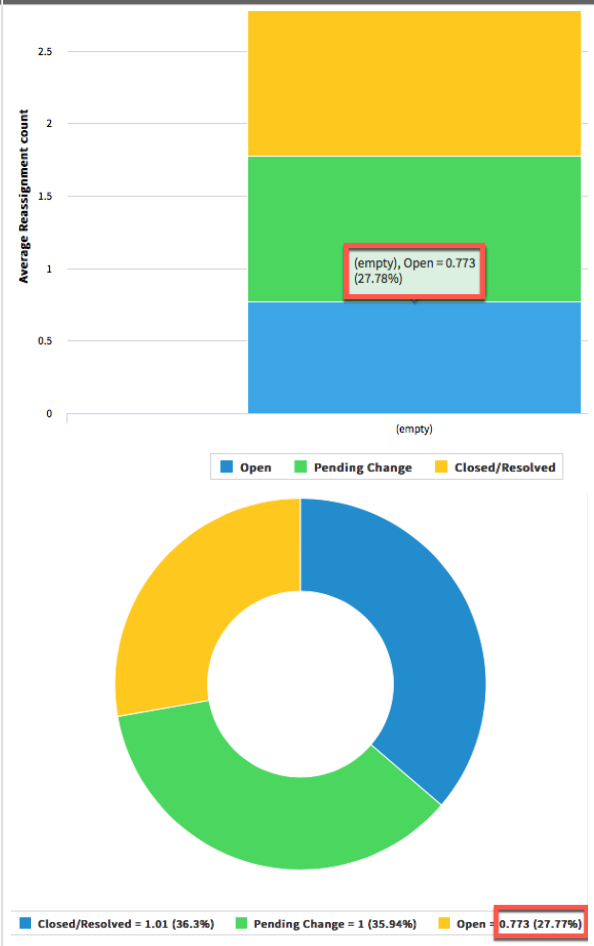
目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
下限	目盛りまたはスピードメーターの色変化の下限側のしきい値。2 色しか使用しない場合は、下限と上限の両方で同じ値を指定します。
上限	目盛りまたはスピードメーターの色変化の上限側のしきい値。2 色しか使用しない場合は、下限と上限の両方で同じ値を指定します。 たとえば、目盛りに含まれる現在のスコアが 50 で、[目盛りオートスケール] を選択します。[下限] を 50 に設定し、[上限] を 100 に設定し、方向を [最小化] とします。目盛りでは、0 ～ 50 の領域が緑色で、50 ～ 100 の領域がオレンジ色で、100 を超える領域が赤色で表示されます。 [下限] を 50 に設定し、[上限] を 100 に設定し、方向を [最大化] とした場合は、色が逆になります。 上限と下限を設定しない場合は、視覚化に色が使用されません。2 つのセクションまたは色しか持たせない場合は、上限と下限を同じ数に設定できます。
目盛りオートスケール	チェック ボックスをオンにすると、選択したデータに基づいて目盛りまたはスピードメーターの開始値と終了値が自動的に生成されます。
開始	目盛りまたはスピードメーターの左側に表示するカスタムの最小値。このフィールドは、[目盛りオートスケール] をクリアした場合に使用できます。
終了	目盛りまたはスピードメーターの左側に表示するカスタムの最大値。このフィールドは、[目盛りオートスケール] をクリアした場合に使用できます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

ドーナツ グラフ レポート

ドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートには、全体を構成する各部分の割合が表示されます。

ドーナツ グラフ レポートは円グラフ レポートに似ていますが、中心に空白があります。ドーナツと半ドーナツの違いは、半ドーナツはドーナツを半分に切った形状であることです。表示される情報は同じです。ドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートをダッシュボードに配置することで、表示された情報をすばやく把握できます。

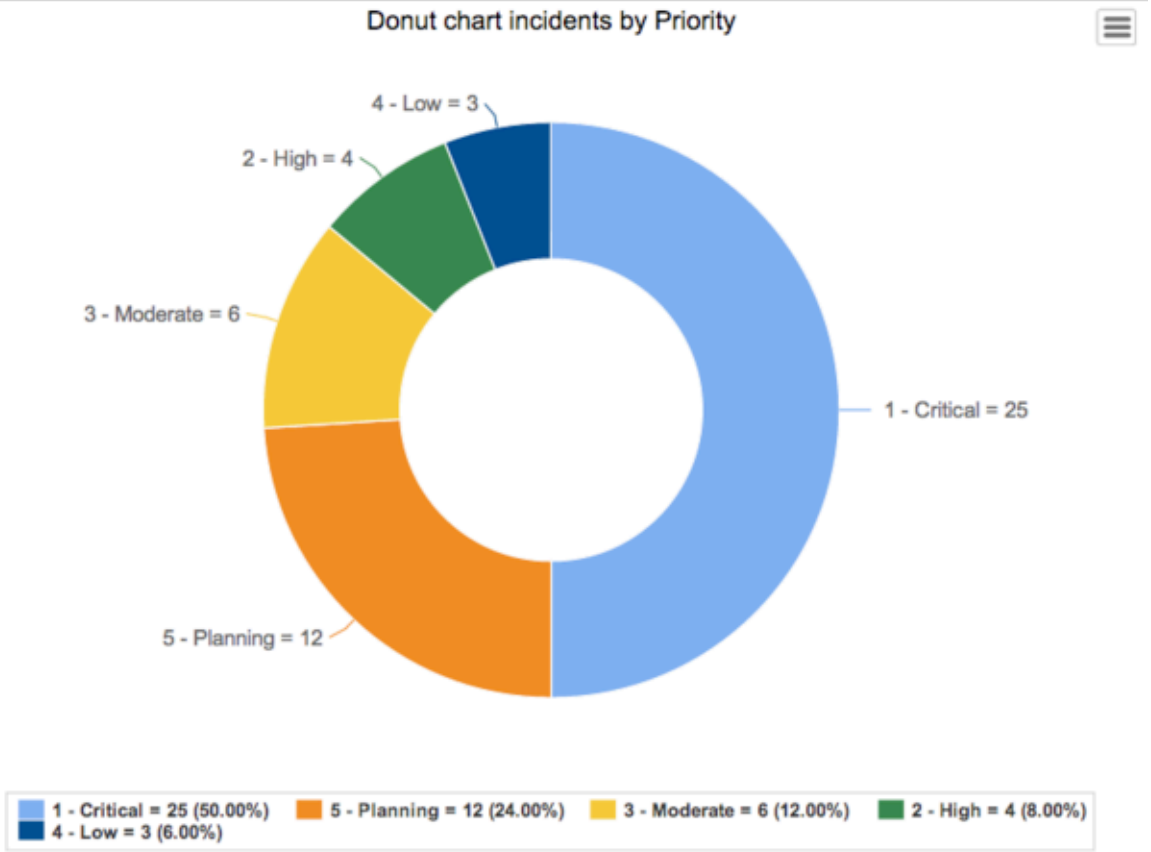
注:
このデータ可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Donut reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

たとえば、オープンのインシデントを優先度別に表示する場合にドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートを使用します。オープンのインシデントは、いつでもさまざまな優先度を持ちます。ドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートを使用すれば、さまざまな優先度のインシデント カウントが許容範囲内かどうかをすばやく確認できます。

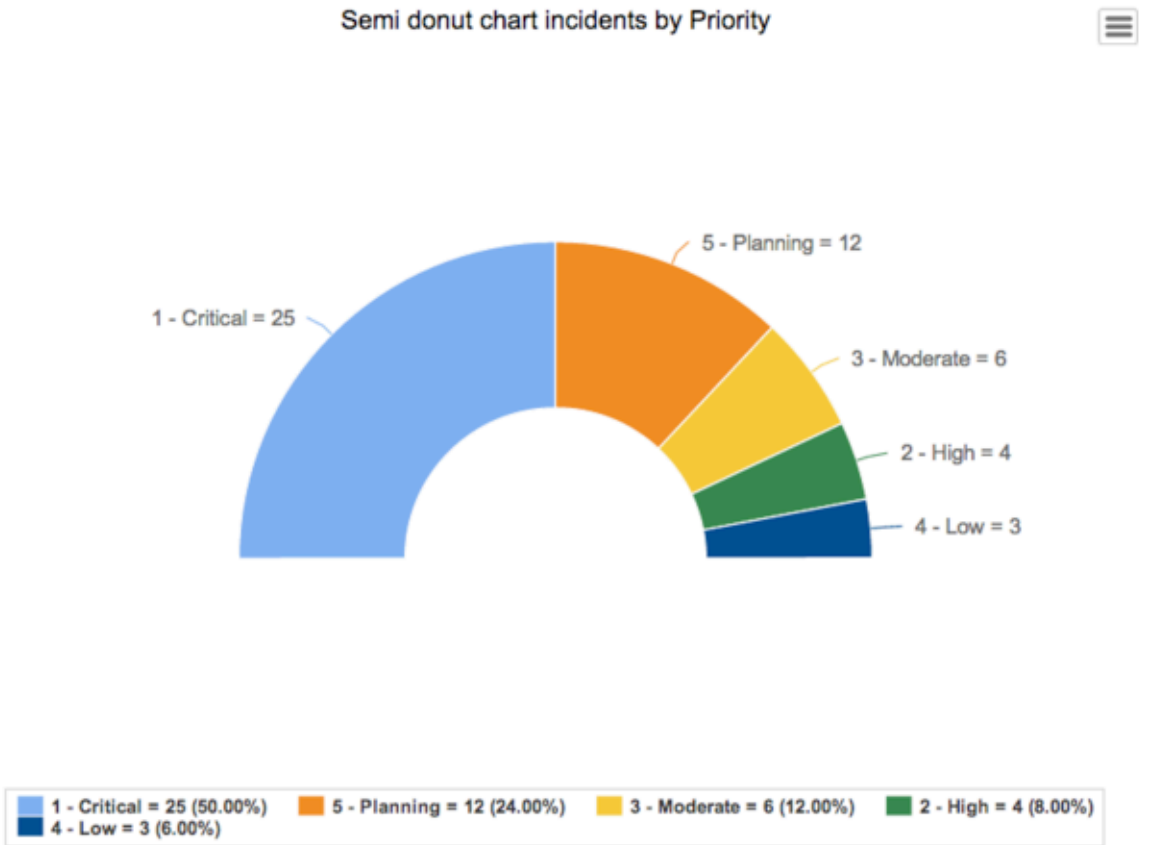
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントを優先度別に表示したドーナツ グラフ レポート



インシデントを優先度別に表示した半ドーナツ グラフ レポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフ レポートを作成する

ドーナツ グラフ レポートを作成して、各部分が全体に占める大きさを比較します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ドーナツ」と入力し、[ドーナツ] または [半ドーナツ] を選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

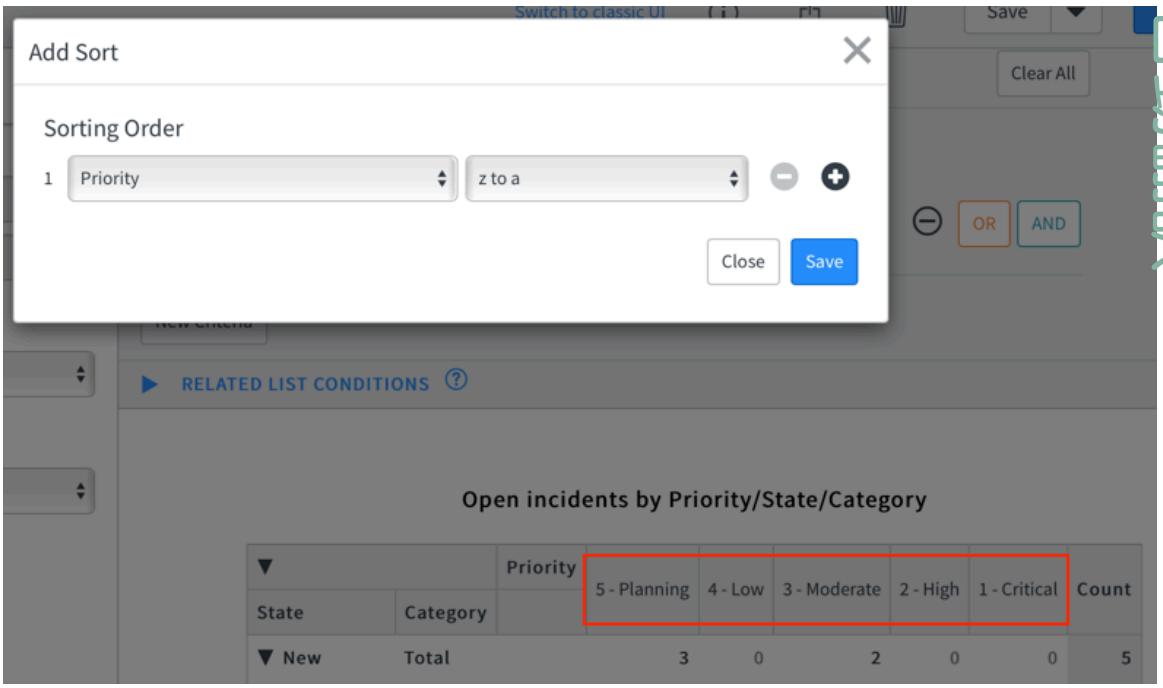
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

   c. [保存] を選択します。

   選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ドーナツ グラフのスタイル オプション

ドーナツ グラフまたは半ドーナツ グラフの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

ドーナツ グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ドーナツの幅	ドーナツまたは半ドーナツの幅の割合。範囲は 1 ～ 100% です。100% は円グラフと同じです。デフォルト値は 50 です。
合計を表示/凡例を非表示	チェック ボックスをオンにすると、ドーナツの中心に集計値の合計が表示されます。また、グラフの凡例が自動的に非表示になります。集計タイプが [平均] で、グループ化の基準となるフィールドを選択した場合、合計は各グループの平均の平均になります。
チャートの色	レポートで使用される色のソース。次から選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用する: 16 進コードを使用してカスタムの 色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

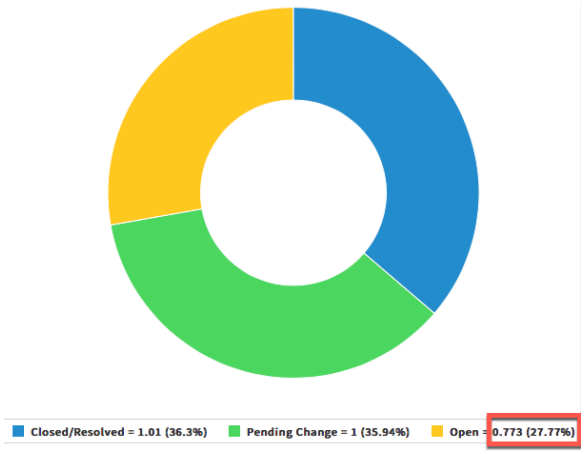
ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタム グラフ サイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャート サイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。このオプションは、平均集計で使用できます。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトル	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
の Y 位置	このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

じょうごおよびピラミッド グラフ レポート

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートは、データの分布を視覚化します。スライスまたはセクションのサイズは、すべての値の合計に占める割合を表します。

じょうごグラフ レポートは、セールス プロセスの各段階 (潜在顧客から取引成立まで) を表す場合や、プロセス内の潜在的な問題領域を特定する場合によく使用されます。じょうごグラフにネックを適用すると、合計値に占める割合が一定以下の値がすべてバーとして表されます。このバーは、それらの違いの重要度が同等であることを示します。

じょうごグラフ レポートは、割合が減少することでスライスが上から下に積み重なります。ピラミッド グラフは、割合が増加することでスライスが積み重なります。ピラミッド グラフ レポートは、組織の階層レベルを表現する場合によく使用されます。じょうごおよびピラミッド グラフ レポートをダッシュボードに配置することで、ユーザーは表示された情報をすばやく解釈できます。

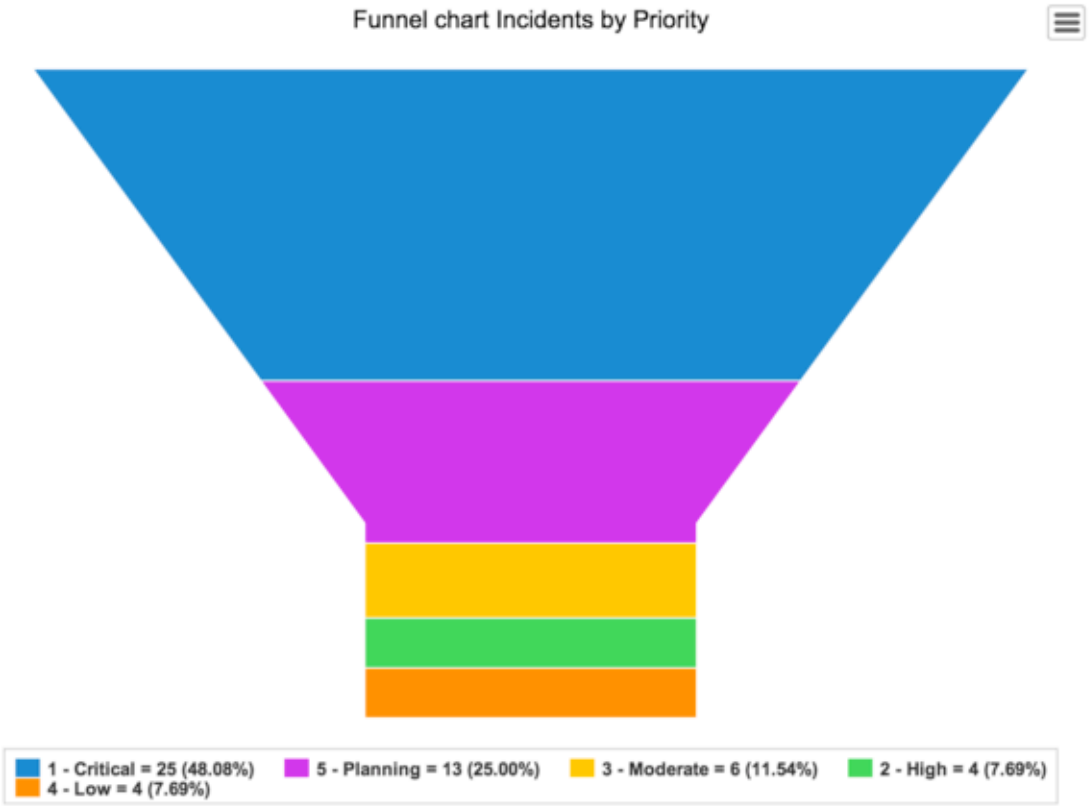
たとえば、オープンのインシデントを優先度別に表示する場合にじょうごおよびピラミッド グラフ レポートを使用します。オープンのインシデントは、いつでもさまざまな優先度を持ちます。たとえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ば組織が、P1 というインシデントがすべてのオープン インシデントの 40% を超えることは許されない、というポリシーを設けているとします。じょうごやピラミッド グラフによって、インシデント カウントが許容範囲内かどうかが示されます。

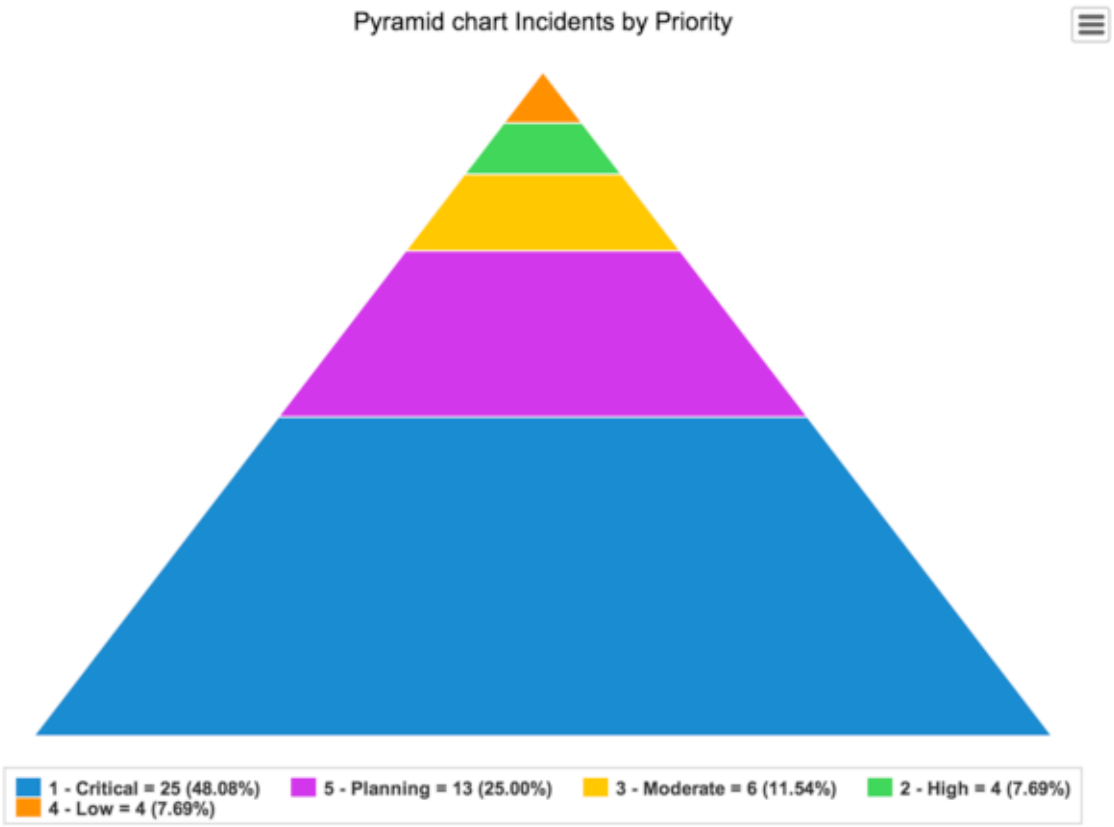
インシデントを優先度別に表示したじょうごグラフ レポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントを優先度別に表示したピラミッド グラフ レポート



じょうごおよびピラミッド グラフ レポートを作成する

各スライスのサイズが全体のパーセンテージを表すじょうごグラフ レポートを作成し、プロセス内のデータの分布を示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ピラミッド」または「じょうご」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   じょうごグラフ

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン ( ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ◦ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

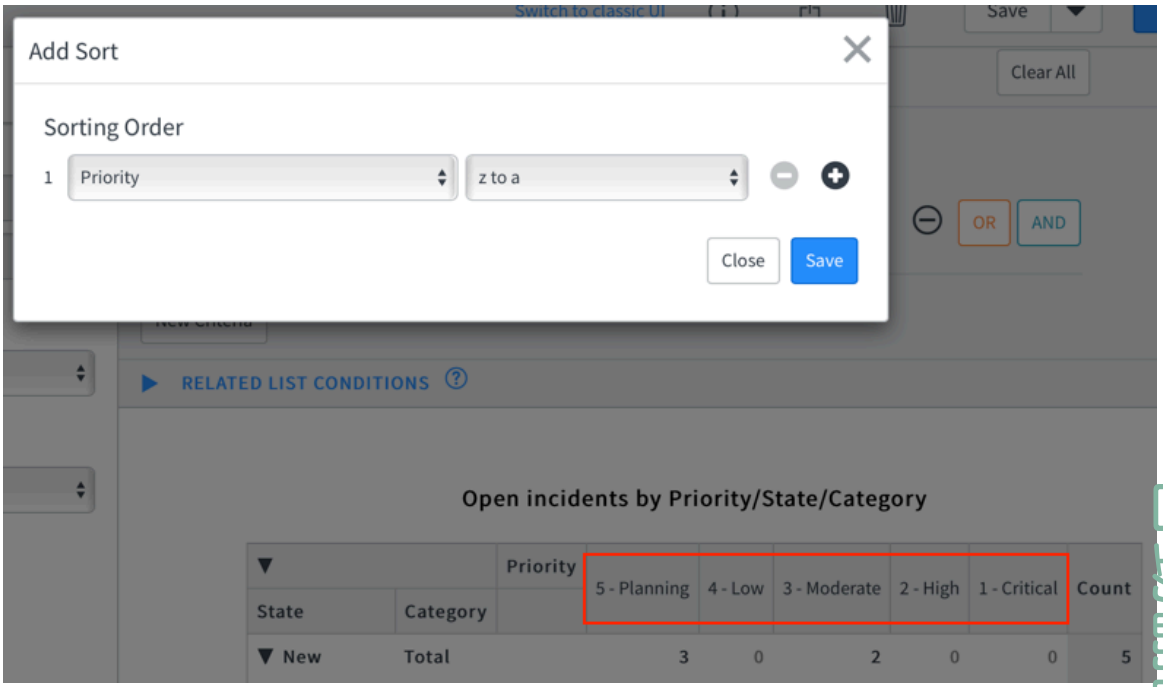
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートのスタイルオプション

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートの外観を変更します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

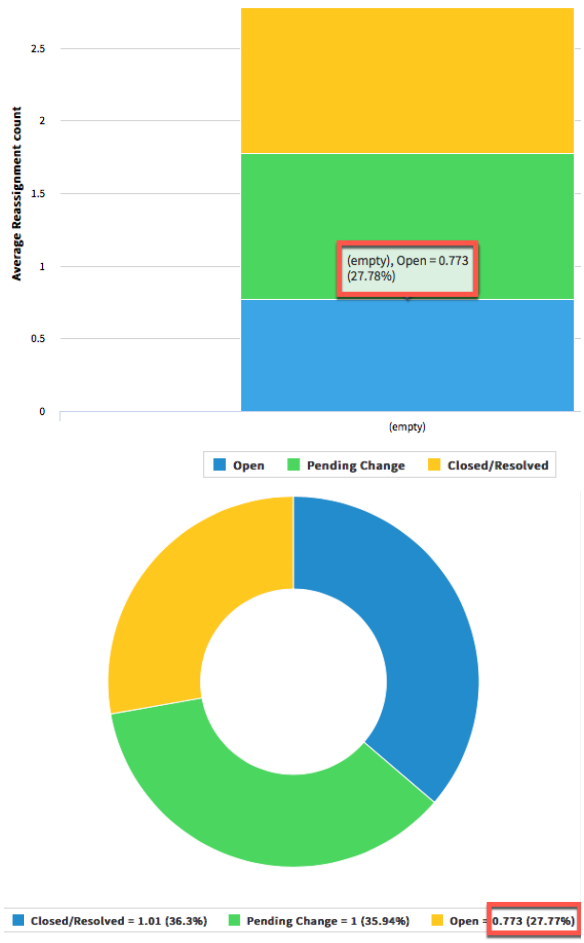
じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション

フィールド	説明
全般	
じょうごネックのサイズ	じょうごの幅の割合を 1 ～ 100% で入力します。1% は、じょうごネックの上で表現できる最小値です。1% 未満の値は、設定された幅のバーとしてネックの下に積み重ねられます。 100% は棒グラフと同じです。デフォルト値は 30 です。
チャートの色	次のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用する: 16 進コードを使用してカスタムの 色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

ヒートマップ レポート

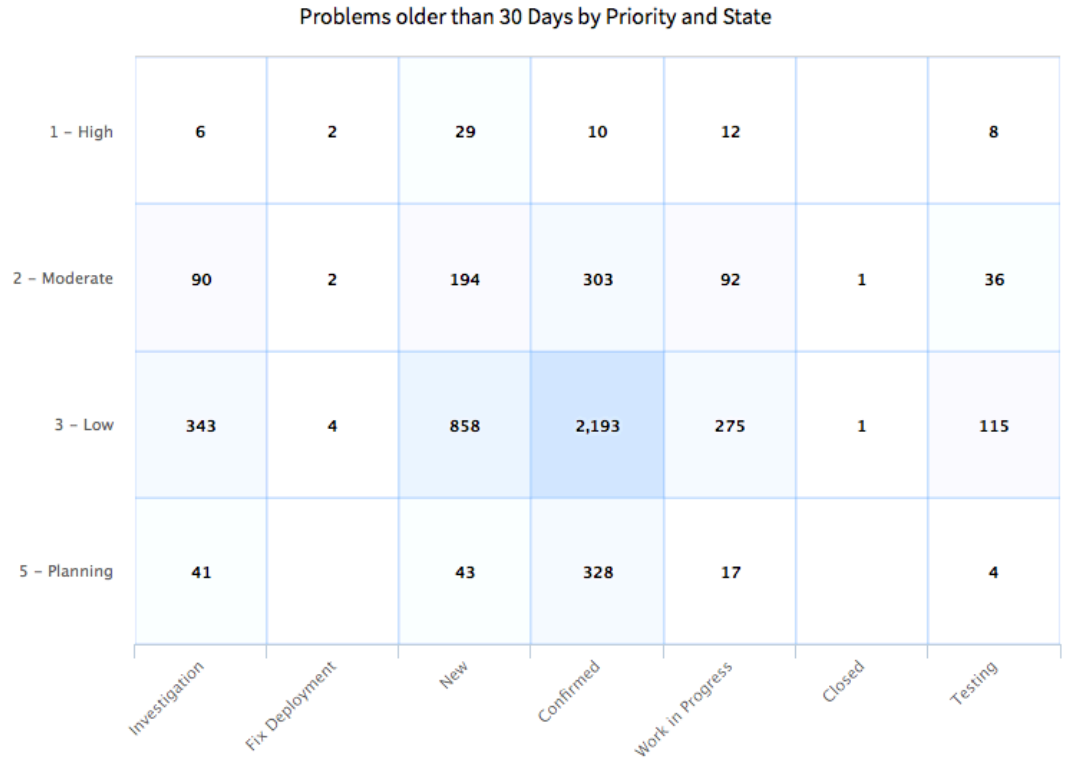
ヒートマップ レポートは、色を使用して集計データを視覚的に表示し、マトリクスのさまざまな値を表現します。ヒートマップ レポートで使用できるセルは最大 1000 個です。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この図では、優先度の低い確認済みの問題のセルを塗りつぶし、大きな値をハイライト表示していま



す。

ヒートマップ レポートを作成する

ヒートマップ レポートを作成し、色を使用して集計データを視覚的に表示し、マトリクスのさまざまな値を表現します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

注:

小さいサイズのヒートマップチャートでは、隣接する値と重なるゼロ以外の値は表示されません。これらの値の行ラベルも表示されません。空白値のセルにカーソルを合わせると、その値が表示され、チャートのサイズを拡大して値を表示することができます。この特定のグラフの種類の動作を理解すると、結果を解釈し、データの適切なサイズを決定するのに役立ちます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ヒートマップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. 必要に応じて、フィールドに値を入力します (表を参照)。

フィールド

フィールド	説明
行	ヒートマップ内の行データのソースとして使用するフィールド。拡張テーブルのソース フィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 情報アイコン ( ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 注: 20 文字を超えるラベル名は表示時または印刷時に切り捨てられることがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
列	ヒートマップ内の列データのソースとして使用するフィールド。拡張テーブルのソースフィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 **注:** 20 文字を超えるラベル名は表示時または印刷時に切り捨てられることがあります。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

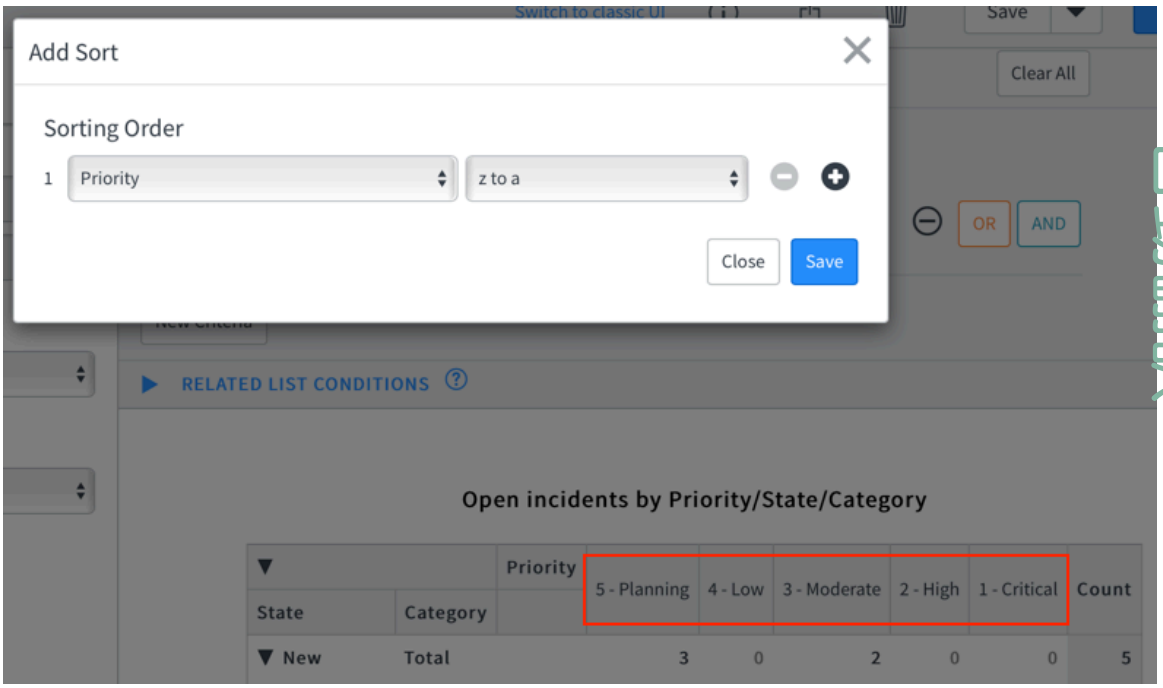
このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

> **注:**
> ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ヒートマップ レポートのスタイル オプション

ヒートマップ チャートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

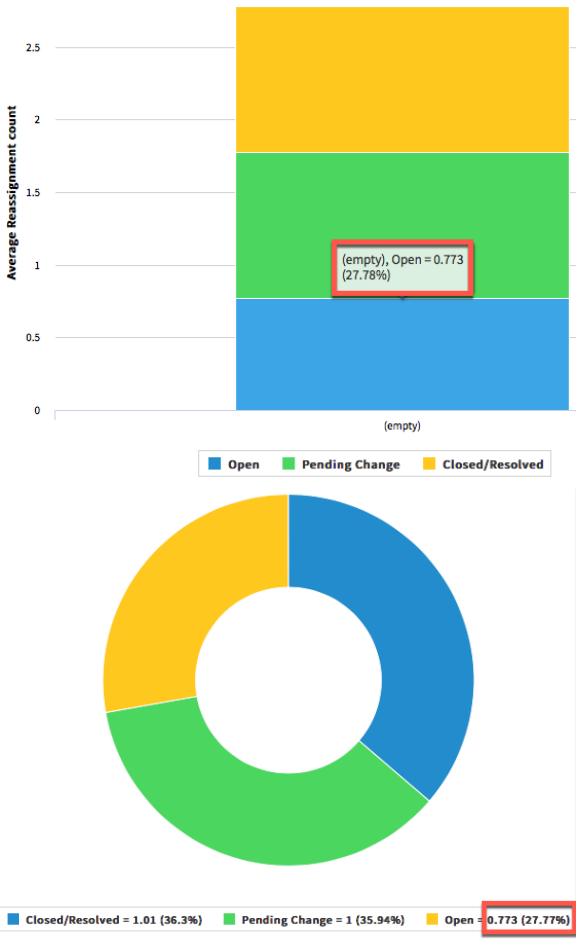
ヒートマップ チャートのスタイル オプション

全般	
ヒートマップ カラーを使用	チェック ボックスをオンにすると、値ごとに異なる色を使用します。
高スコア用の色	チャート上で高い値を示すために使用する色。
低スコア用の色	チャート上で低い値を示すために使用する色。
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
ゼロを表示	セルの値が 0 の場合に数値 **0** を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。セルの値が 0 の場合に空のセルを表示するには、このチェック ボックスをオフにします。
カスタム グラフ サイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャート サイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
	注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイ	レポートのチャート タイトルが表示される期間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
トルを表示	• 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
	glide.chart.label.legend.truncate_to.large を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

ヒストグラム レポート

ヒストグラムは、データ セット内の数値を範囲にグループ化します。ヒストグラムで使用するデータは連続するデータです。連続するデータを測定します。一方で、棒グラフで使用する離散データをカウントします。

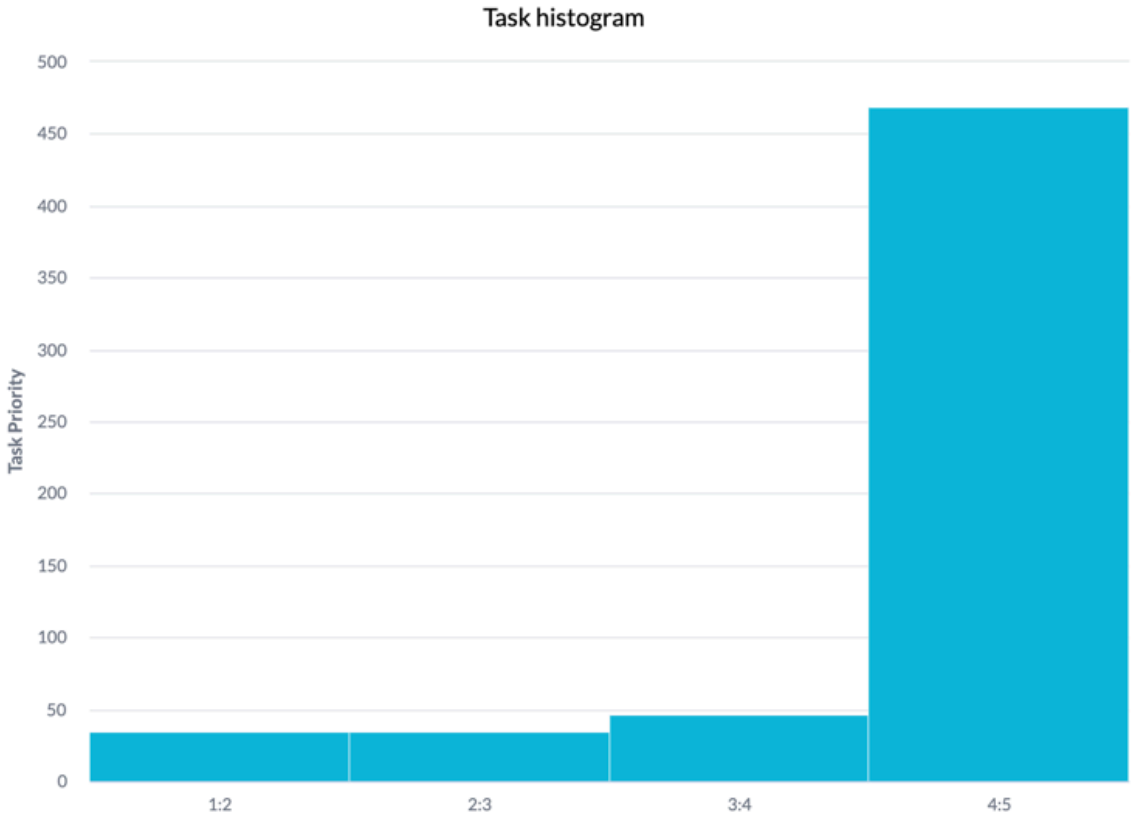
たとえば、ヒストグラムを使用して、製品のリリース後 4 週間にわたって記録した P1 というインシデントのパターンを表示できます。製品がリリースされてから最初の 1 週間は、ユーザーがまだ製品を十分理解しておらず、使用が少ないため、P1 インシデントは低くなっています。2 週目では、より多くのユーザーが製品の使用を開始し、P1 の問題が増加します。3 週目では、さらに多くのユーザーが製品の使用を開始するにつれて、P1 の問題がいっそう増加します。4 週目では、P1 の問題は 3 週目と同じ状態を保っています。こうした情報は、製品がリリースされてから 3 週目まではサポート スタッフを増やす必要がないことを示しています。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒストグラム レポート



ヒストグラム レポートを作成する

ヒストグラムにより、連続するデータ セット内の数値を範囲にグループ化します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ヒストグラム」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
測定基準	レポートを作成する対象のフィールドを選択します。このフィールドの値は、ヒストグラムの X 軸に表示され、バーの幅を決定します。 情報アイコン ( ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

8. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

線グラフ レポート

線グラフ レポートは、個々のデータ ポイントをプロットして、1 つまたは複数のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。

特定の日付または時刻のアイテムの値は、水平線で結ばれたデータ ポイントとして表示されます。線グラフの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。report_admin ロールを持つユーザーは、線グラフ レポートで使用する範囲を定義できます。

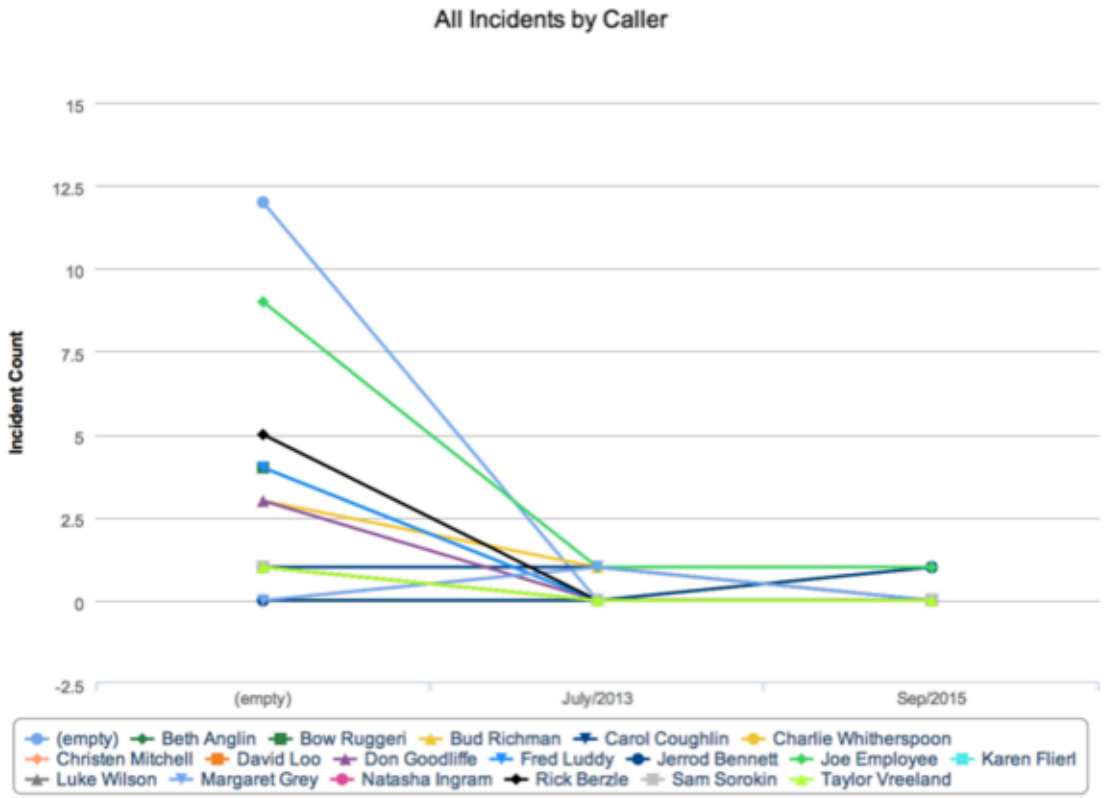
> **注:**
> このデータ可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Time series reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

たとえば、インシデント数を表す線グラフ レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。この図は、問い合わせユーザーあたりのインシデント数の経時変化を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフ レポート



線グラフ レポートを作成する

線グラフ レポートを作成して、1 つ以上のアイテムの経時的な値変化の傾向を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「線」と入力し、[時系列] セクションで線グラフ レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン ( ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。ビジネスカレンダーの設定に関する標準カレンダーまたは カスタマイズされたビジネスカレンダー のいずれかを選択します。
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 注: 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

注:
ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

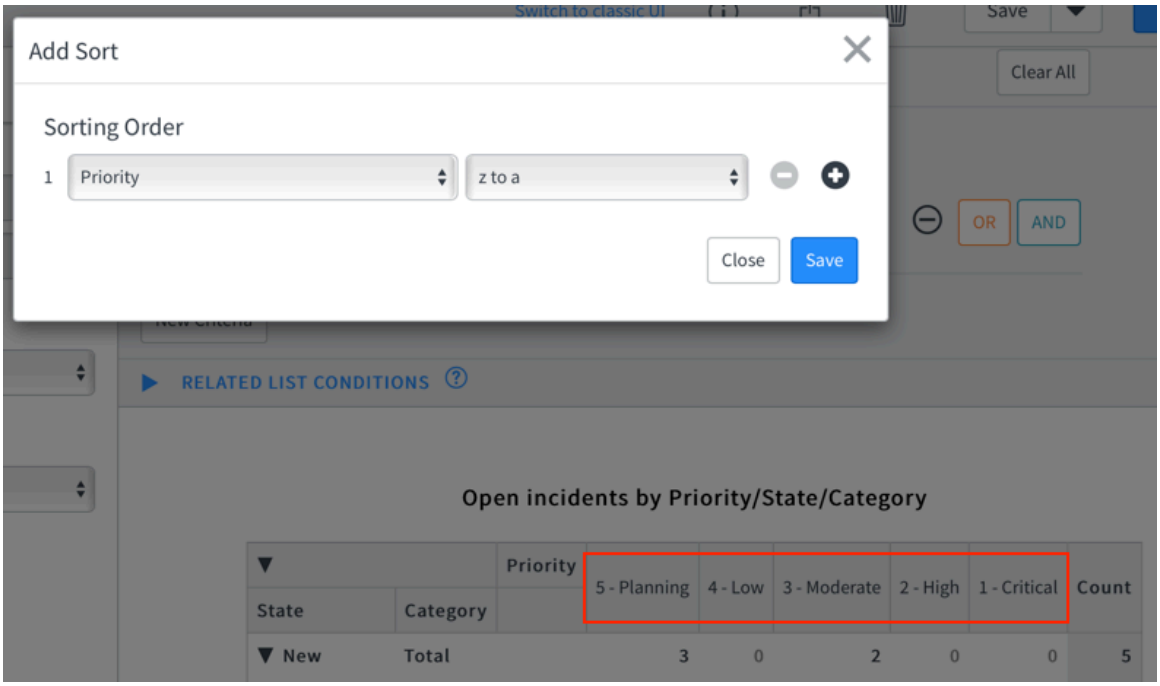
b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

線グラフ レポートのスタイル オプション

線グラフ レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム カラーを選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用する: 16 進コードを使用してカスタムの 色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポート内の事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、または [カウント] または [個別のカウント] で集計されている場合には使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。 **注:** ソースがメトリックベースの場合、このプロパティは選択できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

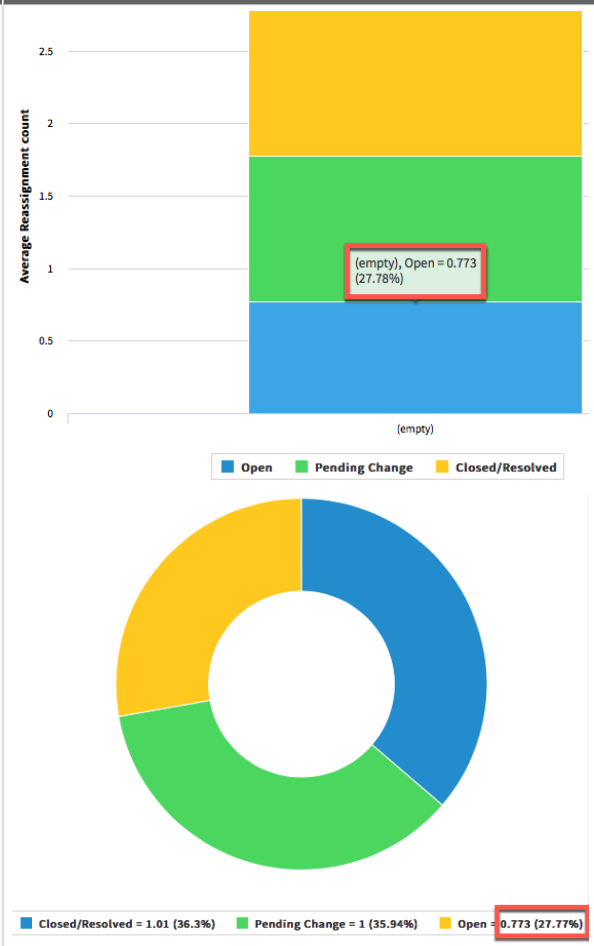
線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
マーカーを表示	チェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントに記号が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
差出人	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。
スケール最大値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

リストレポート

リスト レポートでは、拡張可能なリストの形でデータが表示されます。リストを展開表示するか折りたたみ表示するかを構成できます。リストは、インシデント数や変更数などの列挙によく使用されます。より詳細な情報 (簡単な説明、カテゴリ、ステータスなど) を表示する列が含まれています。

注：

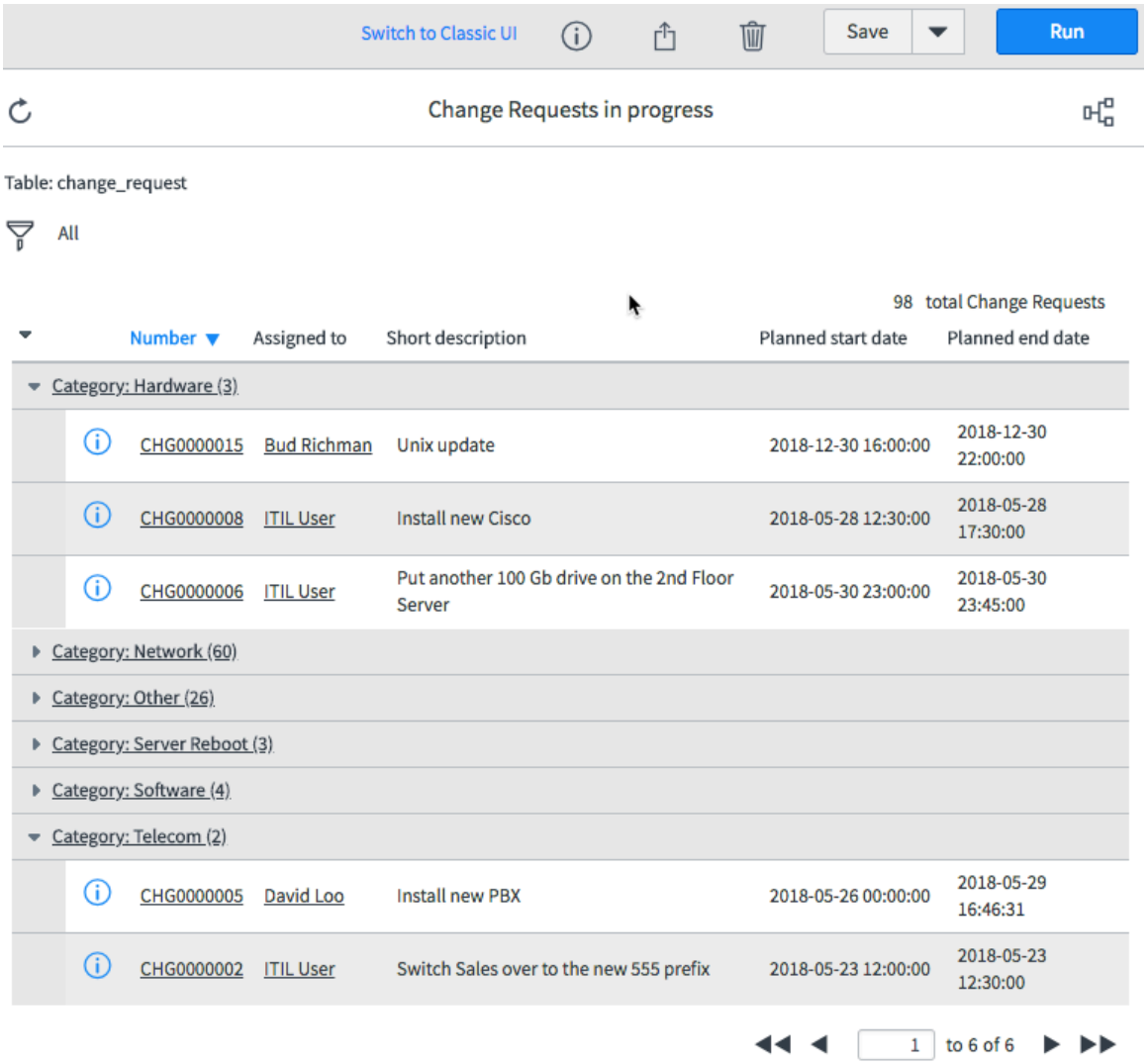
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リスト v3 を有効にしていても、リスト レポートはリスト v2 で表示されます。
- Kingston のリリースの時点では、レコード数と改ページ ボタンはリストの一番下にのみ表示されます。

このリストレポートの例では、問い合わせユーザー別にソートされたインシデントが表示されています。

リストレポート



リストレポートのタイプ

リスト レポートには 3 つのタイプがあります。

基本リストレポート

追加機能のないリストレポート

変数列を含むリスト レポート

サービスカタログデータソースなど、変数が関連付けられているデータソースまたはテーブルに基づいてレポートを一覧表示します。変数は、多くの場合、コンピューターのストレージ容量など、積のバリエーションです。

質問列を含むリスト レポート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

質問が関連付けられているデータ ソースまたはテーブルに基づいてレポートを一覧表示します。たとえば、フォームでユーザーに問題の特定の性質を選択するよう求めるプロンプトが表示された場合は、応答の列を含むリスト レポートを作成できます。

基本リスト レポートでは、レポート ソースとして、テーブル、データ ソース、インポートされた Excel スプレッドシート、または メトリックベース テーブルを使用できます。変数列と質問列を含むリスト レポートは、テーブルとデータ ソースのみを使用します。

質問列と変数列を構成するための追加の手順があります。

基本的なリスト レポートを作成する

リスト レポートでは、拡張可能なリストの形でデータが表示されます。たとえば、優先度別にグループ化されたインシデント レポートには、優先度の名前と、ユーザーが優先度をクリックした場合に表示されるレコード数だけが表示されます。リストを展開表示するか折りたたみ表示するかを構成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
列を選択	リスト レポートに列として表示するフィールド。[列を選択] をクリックすると [列] ウィンドウが開きます。その中の [利用可能] リストで、レポートに表示するフィールドを選択し、[選択済み] リストに移動します。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベース フィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

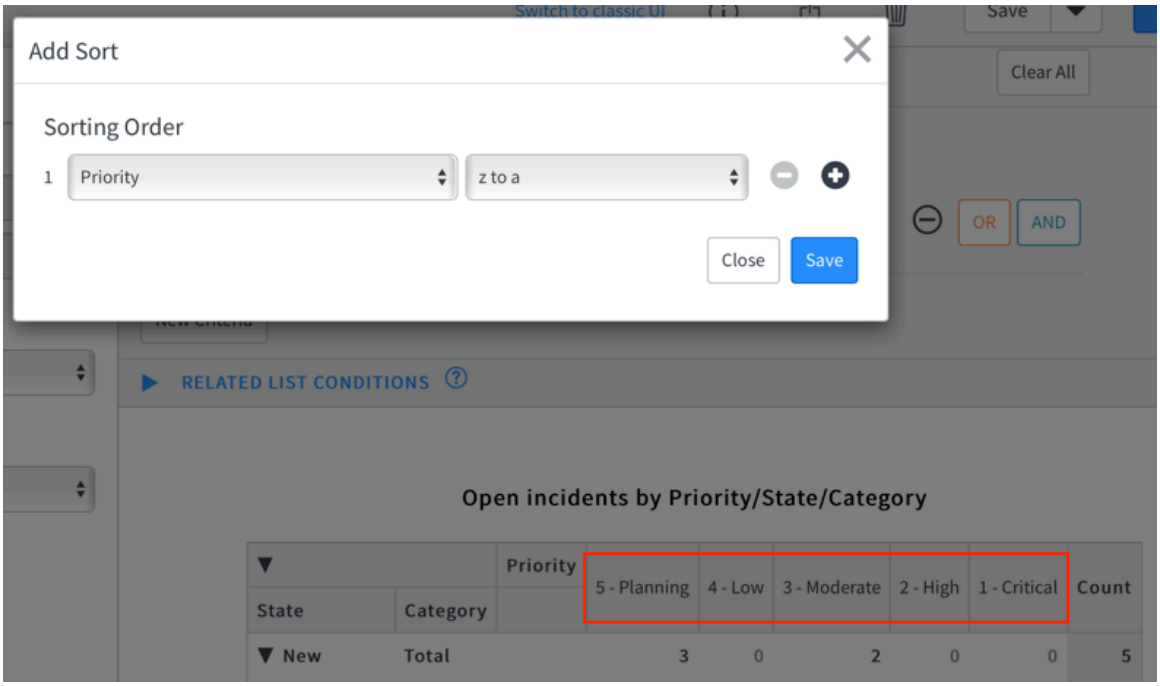
フィールド	説明
	注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。
   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

   選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. オプション: [スタイル] タブで、レポートタイトルを追加して構成します。
   「リスト レポートのスタイル オプション」を参照してください。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視化とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「レポートの共有」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳しくは、 システム・プロパティーの追加 を参照してください。
- リストのフィルタリングにもかかわらず、PDF 形式でエクスポートされた行は、エクスポート制限まですべてのレコード行を順番にカウントし、ACL によって制限されたデータを表示できないロールの場合は空白として表示されます。

- リスト機能の構成と使用

変数列を含むリスト レポートを作成する

変数が関連付けられたデータ ソースまたはテーブルに基づいて、変数列を含むリスト レポートを作成できます。たとえば、**Storage** という変数を持つアイテムの場合、この変数の値を表示するための列を持つリスト レポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポートソースには 2 種類あります。変数を含むリスト レポートの場合、レポート ソースは通常はサービス カタログ テーブルです。
4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

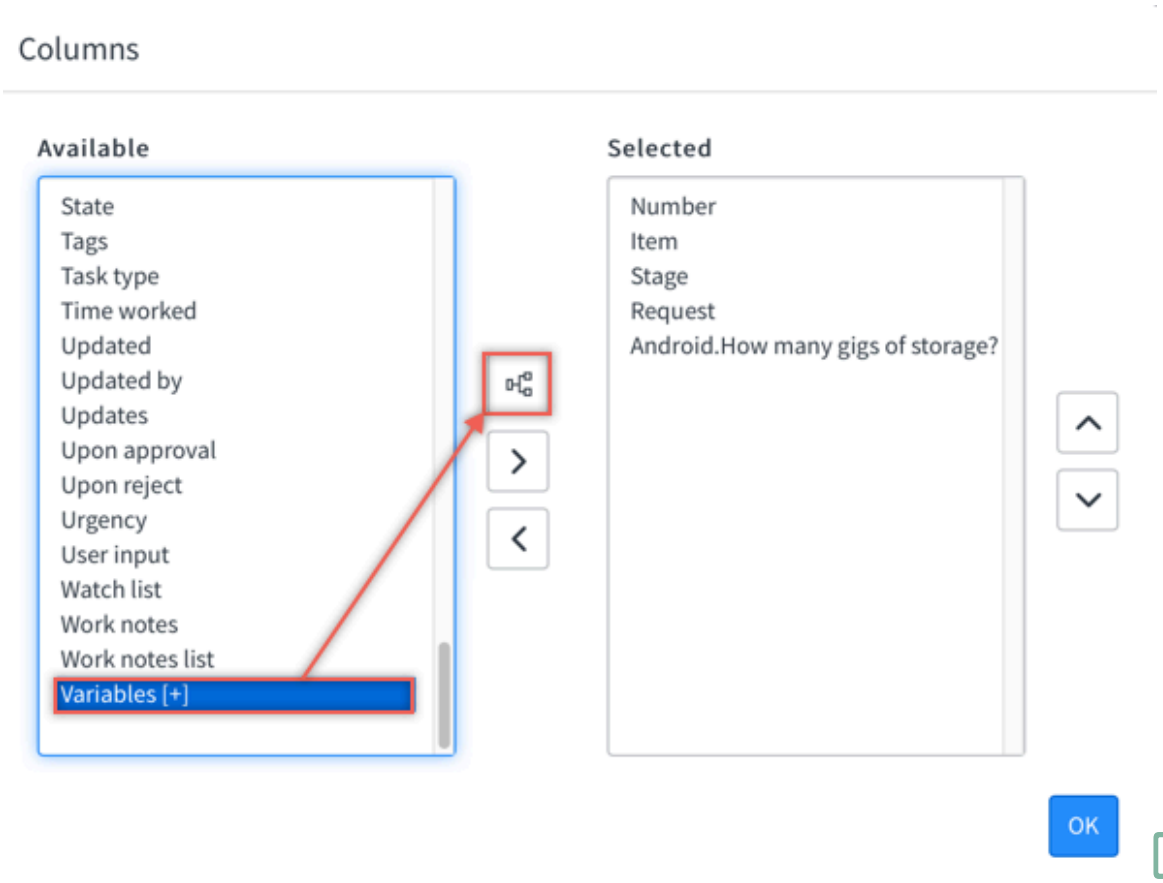
   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [設定] タブで [列を選択] をクリックし、開いた [列] ウィンドウで [変数 **[+]]** を選択します。

   [変数**[+]]** は、利用可能な列のリストの一番下にあります。

   システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
7. 構造アイコン ( ) をクリックしてアイテムを選択します。

自動翻訳

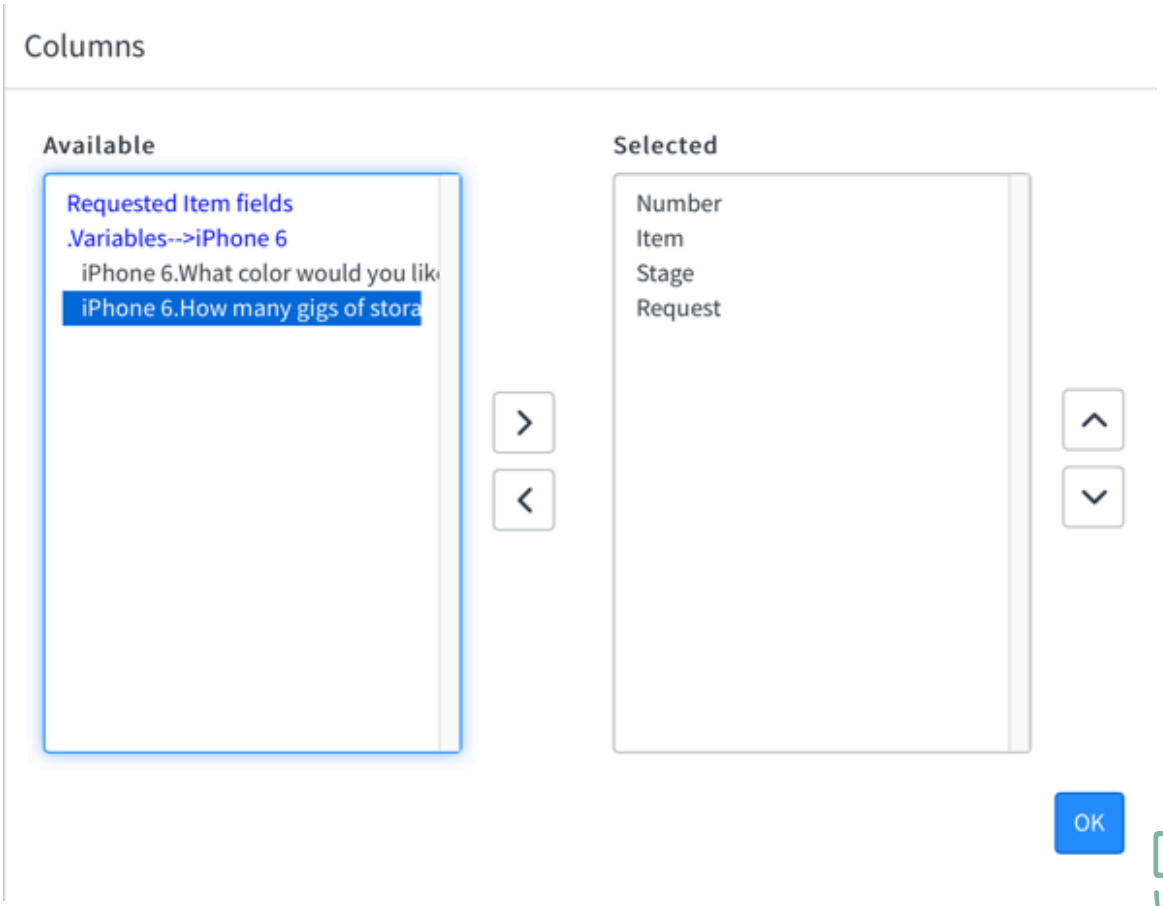
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. 表示される [カタログ アイテム] リストからアイテムを選択します。
選択したアイテムに関連付けられている変数が [列] ウィンドウに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 変数を選択して [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。
10. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	**Description** (説明)
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグ	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化で

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
ループ化	きるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
    フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
    a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

       このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

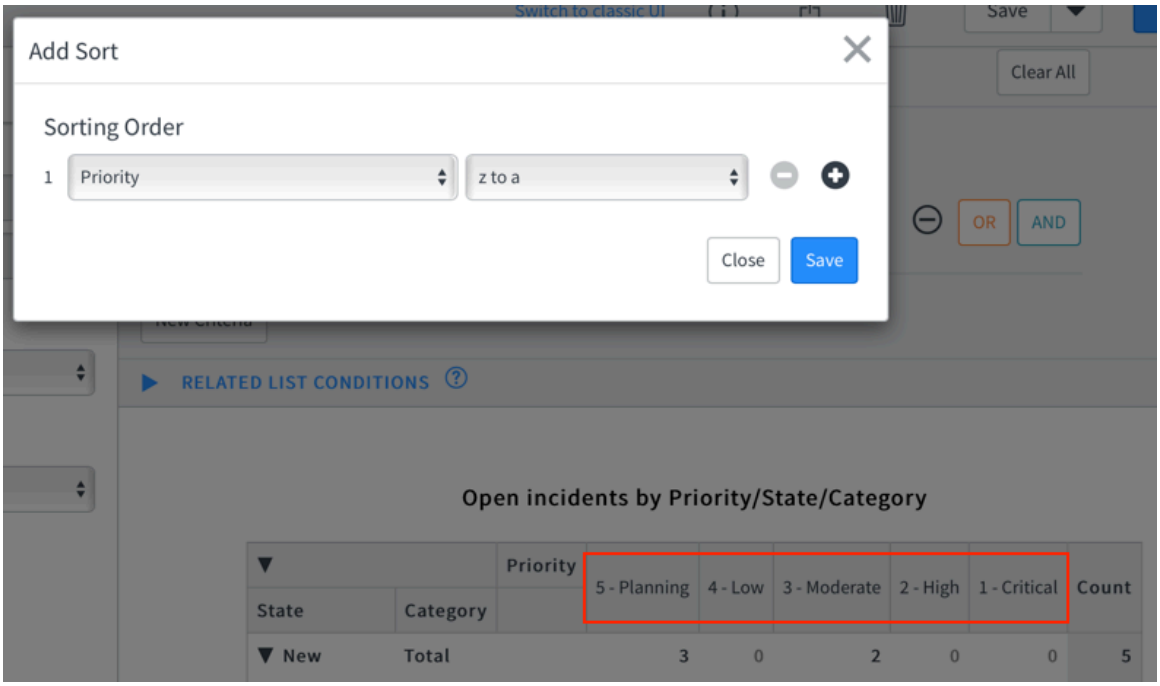
       注:
       ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

    b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
    c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

13. オプション: [スタイル] タブで、レポートタイトルを追加して構成します。
「リスト レポートのスタイル オプション」を参照してください。

14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視化とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「レポートの共有」を参照してください。

> **注:**
> - PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳しくは、 システム・プロパティーの追加 を参照してください。
> - リストのフィルタリングにもかかわらず、PDF 形式でエクスポートされた行は、エクスポート制限まですべてのレコード行を順番にカウントし、ACL によって制限されたデータを表示できないロールの場合は空白として表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

質問列のあるリスト レポートを作成する

質問が関連付けられているデータ ソースまたはテーブルに基づいた質問列を持つ、リスト レポートを作成することができます。たとえば、ユーザーに表示するフォームで、問題の特徴を選択するようユーザーに求める場合に、特徴に対応する値の列を一覧表示するリスト レポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポートソースには 2 種類あります。変数を含むリスト レポートの場合、レポート ソースは通常はサービス カタログ テーブルです。
4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

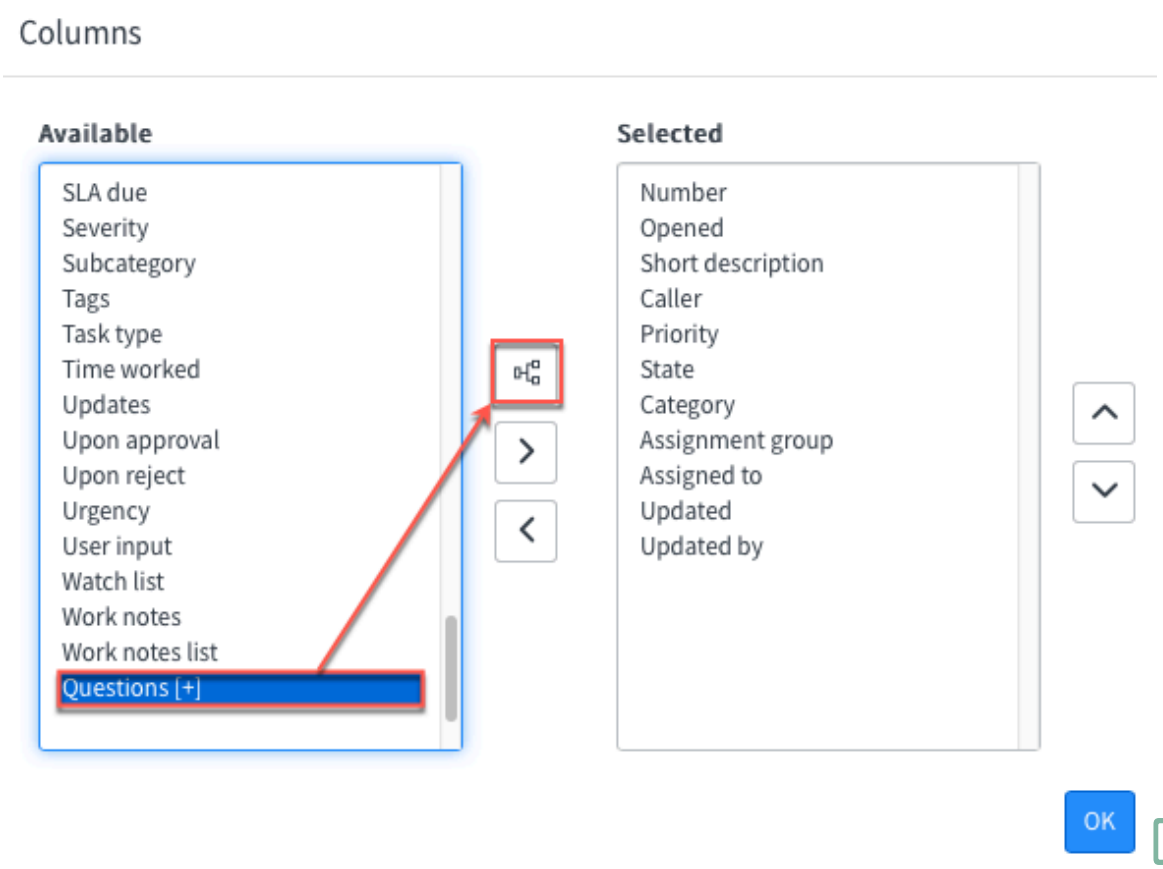
   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [設定] タブで [列を選択] をクリックし、開いた [列] ウィンドウで [質問 **[+]]** を選択します。

   [質問**[+]]** は、利用可能な列のリストの一番下にあります。

   システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
7. 構造アイコン ( ) をクリックしてアイテムを選択します。

自動翻訳

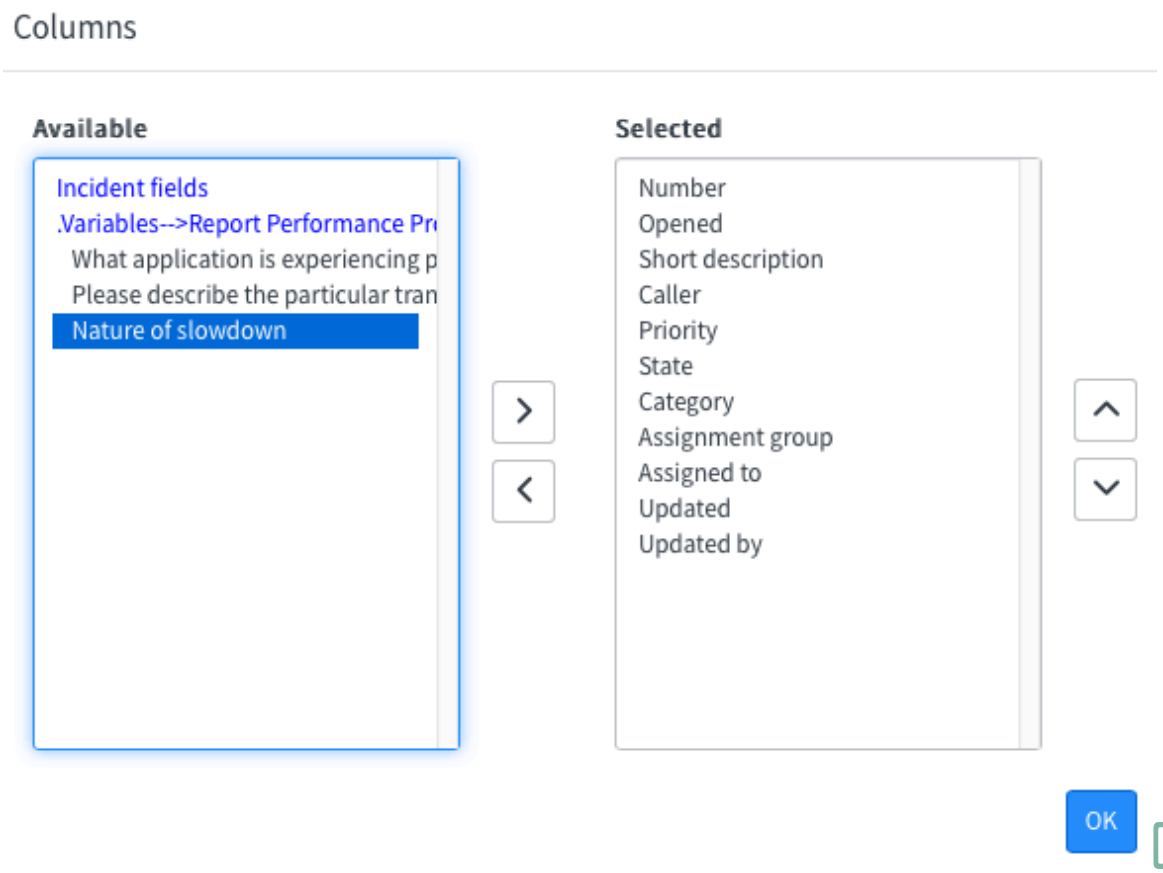
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. 表示される [カタログ アイテム] リストからアイテムを選択します。
   選択したアイテムに関連付けられている変数が [列] ウィンドウに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 質問を選択して [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。
10. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	**Description** (説明)
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグ	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化で

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
ループ化	きるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
    フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
    a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

       このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

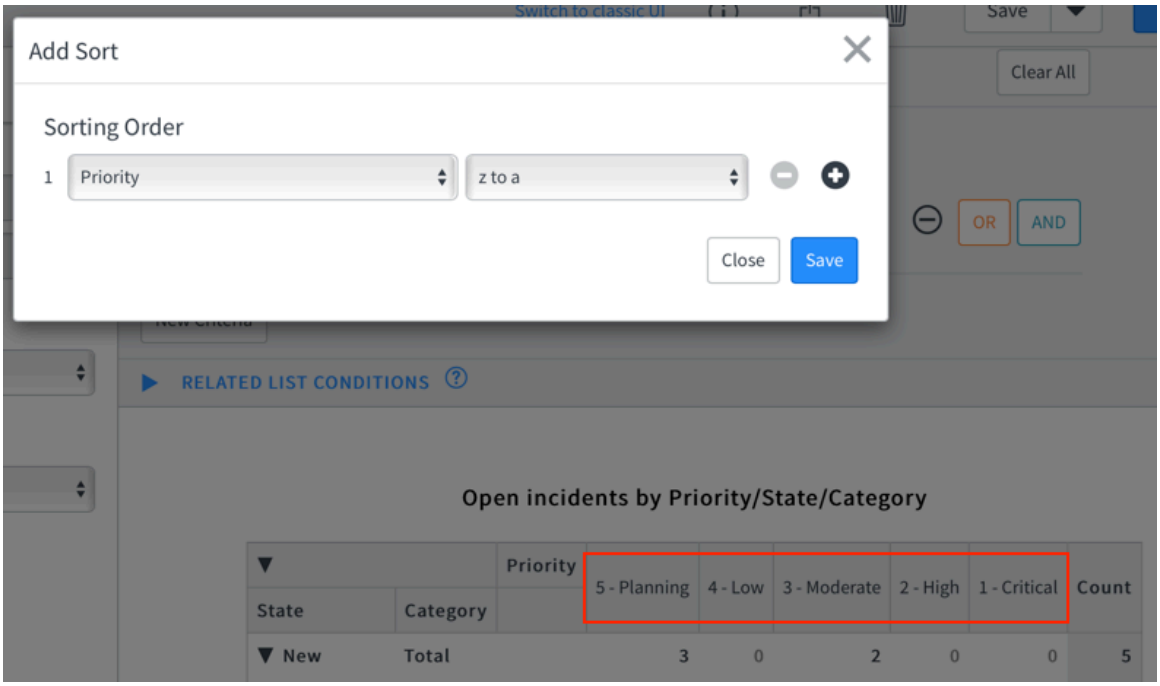
       注:
       ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

    b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
    c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

13. オプション: [スタイル] タブで、レポートタイトルを追加して構成します。
「リスト レポートのスタイル オプション」を参照してください。

14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視化とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「レポートの共有」を参照してください。

> **注:**
> PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳しくは、 システム・プロパティーの追加 を参照してください。

リスト レポートのスタイル オプション

リスト レポートにタイトルを追加する タイトルのサイズ、色、配置を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスト レポートを作成または編集するときに、[データ] タブで指定したレポート名を置き換えるタイトルを追加できます。レポートを共有するユーザーには、レポートの名前の代わりに新しいタイトルが表示されます。

リスト レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。

リストレポート内のグループレコード

グループ化されたリスト レポートでは、通常のリストに表示するように構成されたレコードのみを各グループに表示できます。リスト レポートの情報行を特定のフィールド別にグループ化できます。サービスカタログ変数別にリスト レポートをグループ化することはできません。

一度に 100 件のレコードを表示するように構成されたリストは、そのグループ内のレコード数に関係なく、最初の 100 件のレコードのみを表示できます。グループ内でページングを使用することはできず、グループ化されたリストから離れずに残りのレコードにアクセスすることはできません。グループ内のすべてのレコードにアクセスするには、次のようにします。

- リストの表示サイズを大きくします。
- グループ ヘッダーをクリックして、そのグループでページングが有効になっている通常のリストに戻ります。

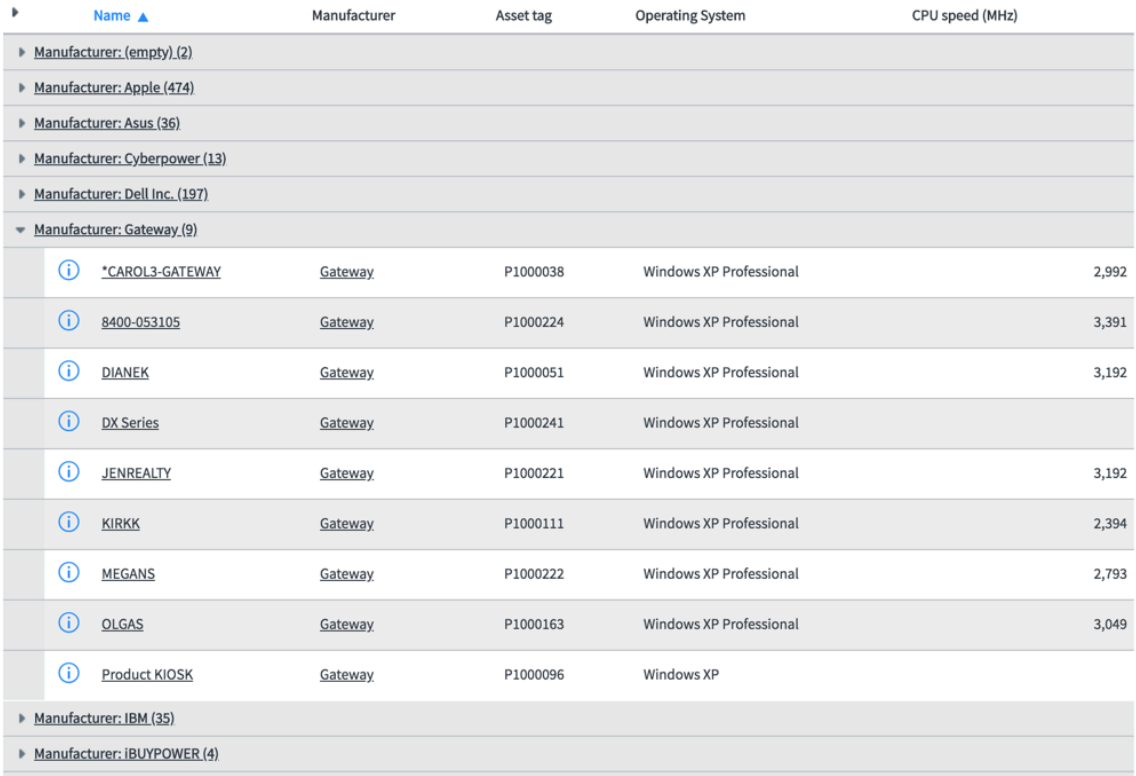
リスト レポートでは、グループ化されたレコードを自動的に展開するためのユーザー設定はサポートされていません。

デフォルトでは、レポートのセクションは折りたたまれています。この例では、製品のリストがメーカー別にグループ化され、Gateway に関連付けられたアイテムが展開されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ化されたリスト レポート



Name ▲	Manufacturer	Asset tag	Operating System	CPU speed (MHz)
Manufacturer: (empty) (2)				
Manufacturer: Apple (474)				
Manufacturer: Asus (36)				
Manufacturer: Cyberpower (13)				
Manufacturer: Dell Inc. (197)				
Manufacturer: Gateway (9)				
*CAROL3-GATEWAY	Gateway	P1000038	Windows XP Professional	2,992
8400-053105	Gateway	P1000224	Windows XP Professional	3,391
DIANEK	Gateway	P1000051	Windows XP Professional	3,192
DX Series	Gateway	P1000241	Windows XP Professional	
JENREALTY	Gateway	P1000221	Windows XP Professional	3,192
KIRKK	Gateway	P1000111	Windows XP Professional	2,394
MEGANS	Gateway	P1000222	Windows XP Professional	2,793
OLGAS	Gateway	P1000163	Windows XP Professional	3,049
Product KIOSK	Gateway	P1000096	Windows XP	
Manufacturer: IBM (35)				
Manufacturer: iBUYPOWER (4)				

リスト レポートをエクスポートする

レポートのエクスポートをスケジュールすると、リストレポートを Excel、PDF、または CSV にエクスポートできます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

注:
アドミニストレーターが作成した制限により、これらのロールを持つユーザーに [スケジュール] オプションが表示されなくなる場合があります。

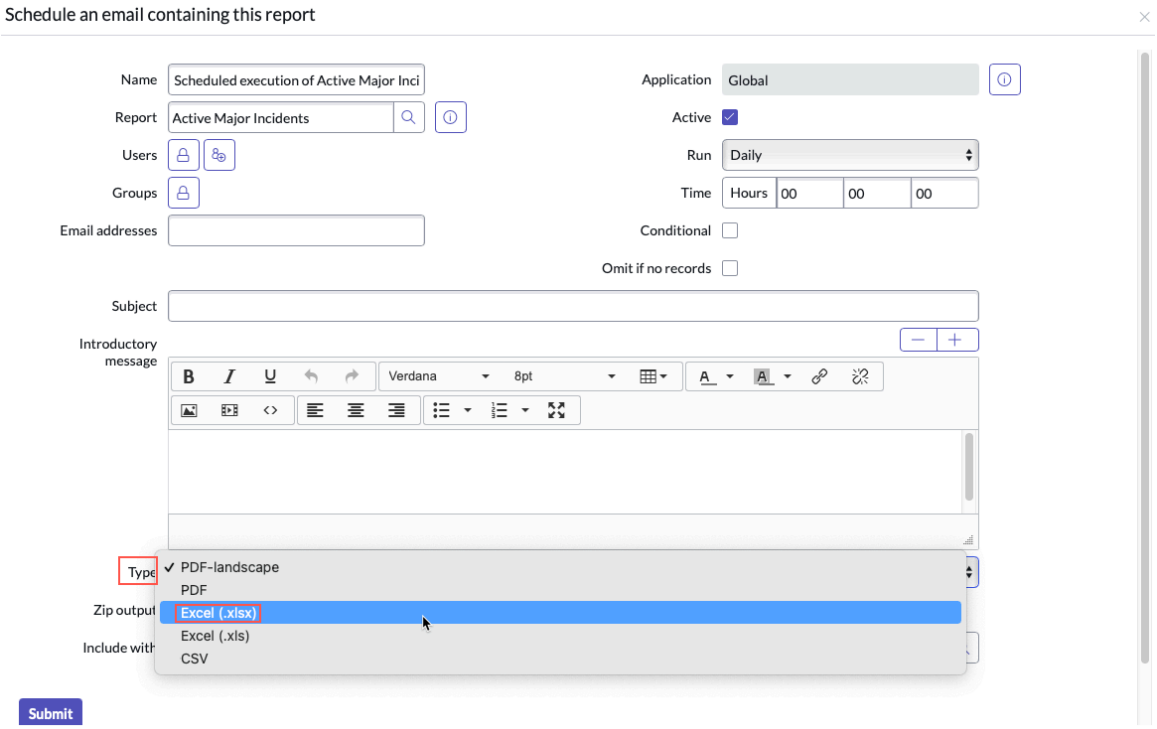
手順

1. 移動先 レポート > 表示/実行.
2. エクスポートするリストレポートを開きます。
3. [共有] アイコン ( ) を選択し、[スケジュール] を選択します。
4. 保存したリスト レポートを目的の形式でエクスポートするようにスケジュールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[タイプ] を [PDF]、[PDF - 横向き]、[Excel]、または [CSV] として指定します。Excel ではレポートの期間がミリ秒で表示されます。「<x> 日 <y> 時間」という形式では表示されません。詳細については、「レポートのメールのスケジュール設定」を参照してください。



タスクの結果

スケジュールされたレポートの受信者は、指定された形式でレポートを受信します。

プラットフォームリストを **Excel** にエクスポート

リストには、テーブルのレコードセットが表示されます。クラシック環境のリストからスプレッドシートに情報をエクスポートできます。

始める前に

必要なロール:なし。ただし、リストを表示するには権限が必要です。

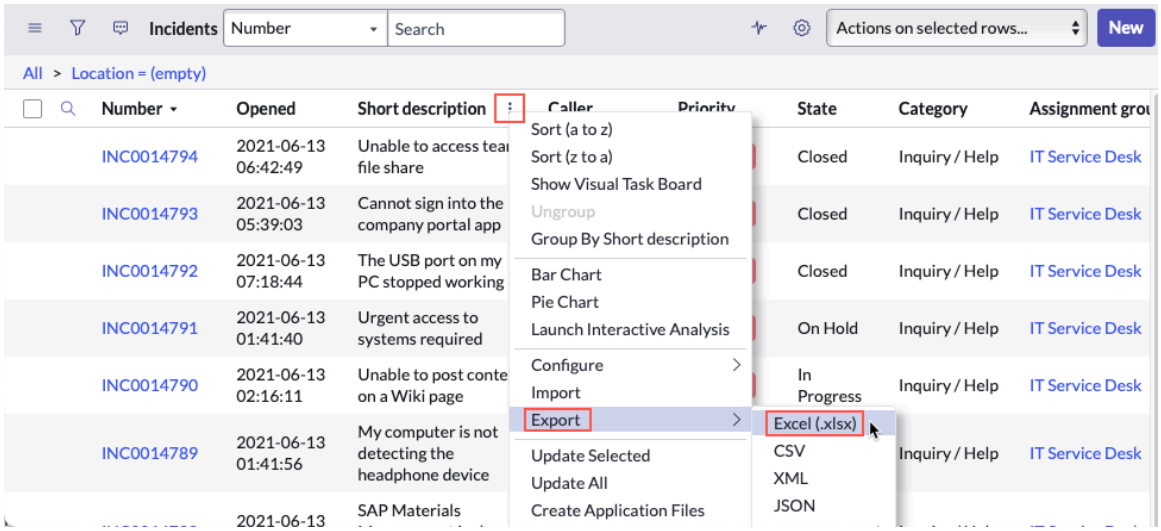
詳細については、「Lists in the classic environment」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. エクスポートするリストに移動します。
2. 任意の列見出しを右クリックし、 エクスポート > **Excel**.



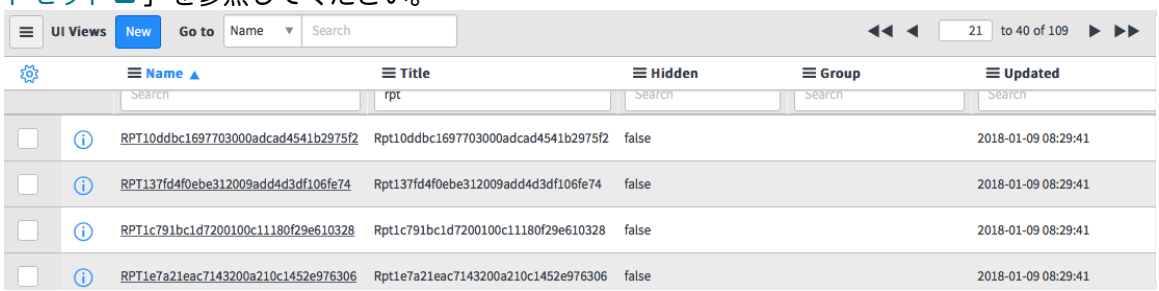
更新セットを使用したリストレポートの列構成の適用

リストレポートの構成済み列は、更新セットをコミットすることによって別のインスタンスに移動できます。

構成済みリストレポート列は、更新セットを収容するときにインスタンスに自動的に適用されません。リスト レポートは、レポートを保存するたびに作成される UI ビューを使用して表示されます。構成された列が別のインスタンスのリスト レポートまたはダッシュボード ウィジェットに表示されるようにするには、次の手順を実行します。

1. [UI ビュー] テーブルから、変更のレポート (RPT) ビューレコードのsys_idを検索します。
2. それを更新セットに追加します。

カスタマイズされた構成を更新セットに追加して適用する方法については、「システムアップデートセット」を参照してください。



マップ レポート

マップ レポートは、データをマップ (地図) 上に表示します。データを地理的なヒートマップとして表示したり ( )、特定のデータ ポイントを表示したりできます ( )。

マップを拡大すると、より詳細な画面が表示されます。ヒートマップ モードでは、データが含まれているマップ上の任意の地域をクリックして、マップにドリル ダウンすることができます。

注:
マップ レポートにドリル ダウンする場合はマップ レポートを保存してください。未保存のレポートにドリル ダウンすることはできません。

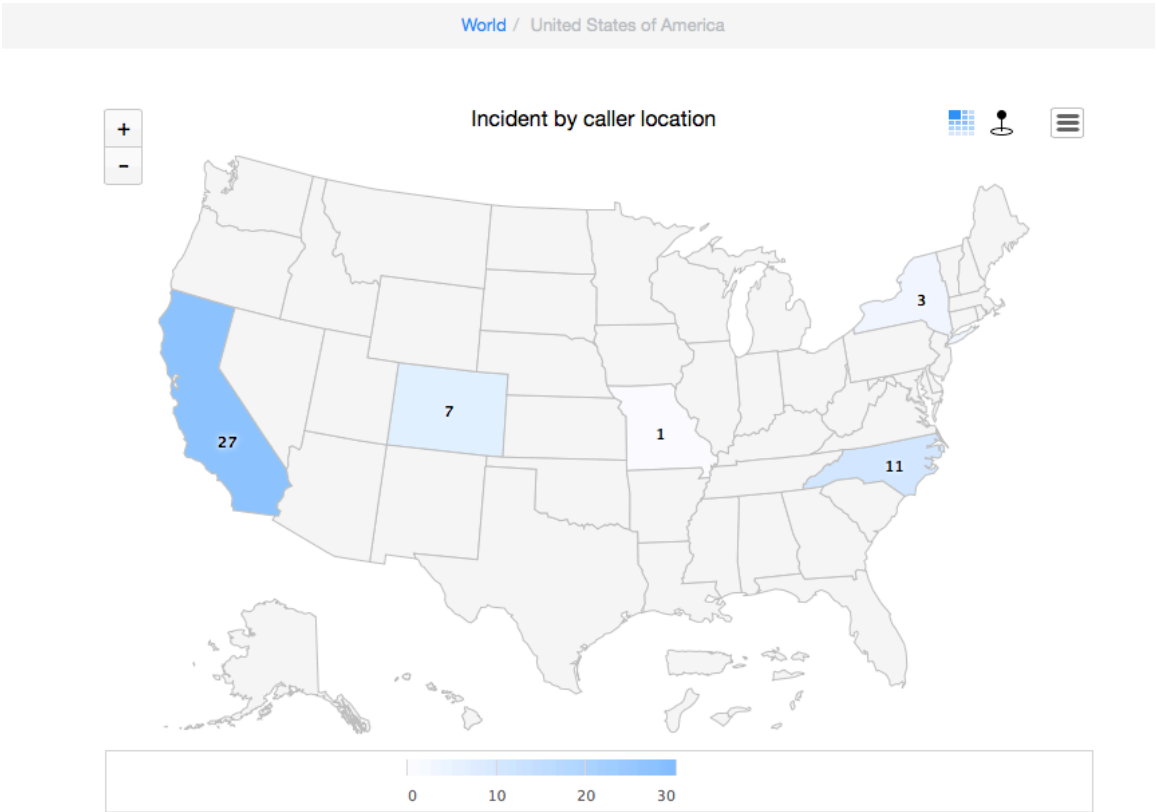
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ階層の最下層にはデータ ポイントのみ表示できます。この最下層のデータをクリックすると、データがリスト ビューまたはドリル ダウン ビュー (そのように構成している場合) に表示されます。

制限事項

- Internet Explorer バージョン 7 および 8 では、マップはサポートされていません。
- マップ レポートは、Internet Explorer バージョン 7 ～ 9、Firefox バージョン 31 ～ 37、Safari 5、またはすべてのバージョンの Edge ブラウザで、画像として保存することはできません。最良の結果を得るには、Chrome を使用してマップ レポートを操作してください。
- マップ レポートは PDF としてエクスポートすることはできませんが、画像として保存することはできます。
- このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。



マップ レポートを作成する

マップ レポートを作成して、地理的なヒートマップ上にデータをプロットするか、特定のデータ ポイントのピン位置でデータをプロットします。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「マップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

フィールド	説明
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
このデータをマップ	マップにプロットするデータ。レポート管理者がマップ ソースとして準備したデータのみ使用できます。
マップを設定	レポートの開始マップ。ズームインができますが、このマップからズームアウトすることはできません。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

8. [スタイル] タブで、レポートの外観を構成します。
必要に応じてフィールドを入力します。

マップ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ヒートマップ カラーを使用	チェック ボックスをオンにすると、マップ上の値ごとに異なる色を使用します。このチェック ボックスをオフにすると、データのあるすべての地理的な場所が同じ色で表示されます。
高スコア用の色	高い値を示す色。
低スコア用の色	低い値を示す色。
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
地理的ラベルを表示	チェック ボックスをオンにすると、マップ上の国、地域、州などの地理的オブジェクトの名前が表示されます。
カスタム グラフ サイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] が選択されている場合に利用できます。

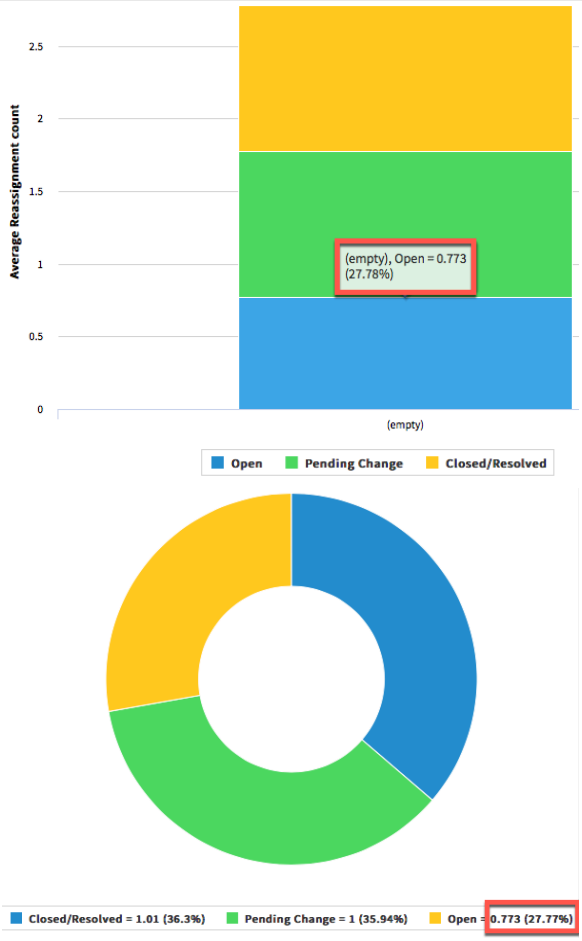
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 ○ 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 ○ レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 ○ 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルの	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カスタム位置	
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
[凡例] タブのフィールド (レポートで色が使用されている場合のみ使用可能)	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

マルチレベル ピボット テーブル

マルチレベル ピボット テーブルでは、集計データが複数のディメンションに分類されて 1 つの表に表示されます。行と列の値の組み合わせごとに別々のセルが表示され、第 1 レベルの行には列の小計が表示されます。集計情報は、チャートの左上に表示されます。

また、変数を含む列と行を持つマルチレベル ピボット テーブルを作成することもできます。「レポートでサービス・カタログ変数を使用する」を参照してください。

表の行を展開したり折りたたんだりして、グラフの詳細を表示したり、小計のみを表示したりできます。マルチレベル ピボット レポートの一番上の行は常に表示されます。

注:
- 行の構成によってはチャートに小計情報が表示されなくなります。たとえば、文字列の列のテキスト値が同じであっても文字の大文字と小文字が異なる場合などです。
- このレポートタイプは PDF としてのみスケジュールできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

小計と展開された行が表示されたマルチレベル ピボット

Multilevel Pivot Report Example

▼		Active	false				true	Count
		State	Closed	New	In Progress	On Hold	Resolved	
Last name	Name							
▼ (empty)	Total			5		1		6
	(empty)			5		1		6
▼ Anglin	Total		1		5			6
	Sales		1		5			6
▼ Goodliffe	Total		4		4			8
	Development		4		4			8
▼ Johnson	Total		1		1	1		3
	Sales		1		1	1		3
▼ Loo	Total		6		1	1		8
	Development		6		1	1		8
▶ Luddy	Total				2	1		3
▶ Richman	Total		1		1		2	4
▶ User	Total		3		6	2		11
▶ Whitherspoon	Total		1					1
▶ Wilson	Total		3					3
Count			20	5	20	6	2	53

マルチレベル ピボット レポートを作成する

マルチレベル ピボット テーブルを作成して、集計データを複数の評価指標に分類して 1 つの表に表示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「マルチレベル ピボット テーブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
列を選択	チャートの列として使用する 1 つ以上のフィールド。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。最大 3 つの列を選択できます。 情報アイコン () をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	注: [タグ] フィールド別にグループ分けすることはできません。
行を選択	チャートの行として使用する 1 つ以上のフィールド。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。最大 5 つの行を選択できます。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます 注: [タグ] フィールドはマルチレベル ピボット レポートではサポートされていません。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

注:
通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。

7. オプション: 行が展開された状態のレポートを表示するには、[デフォルトで展開] を選択します。選択しない場合は、すべての行が折りたたまれた状態でレポートが表示されます。

折りたたまれた行と展開された行を含むマルチレベル ピボット レポート

Open incidents by Priority/State/Category

Click here to expand or collapse all rows

Expanded rows

Collapsed rows

State	Category	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning	Count
▼ New	Total	0	0	2	0	3	5
	Inquiry / Help			1	0	2	3
	Software	0	0	1	0	0	1
	Network	0	0	0	0	1	1
▶ In Progress	Total			3	0	2	20
▶ On Hold	Total	4	0	1	1	0	6
Count		15	4	6	1	5	31

8. オプション: レポート内のセルを区切る行を表示するには、[行の線を表示] と [列の線を表示] をオンにします。

Open incidents by Priority/State/Category

▶ State	Priority Category	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning	Count
▶ New	Total	0	0	2	0	3	5
▶ In Progress	Total	11	4	3	0	2	20
▶ On Hold	Total	4	0	1	1	0	6
Count		15	4	6	1	5	31

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

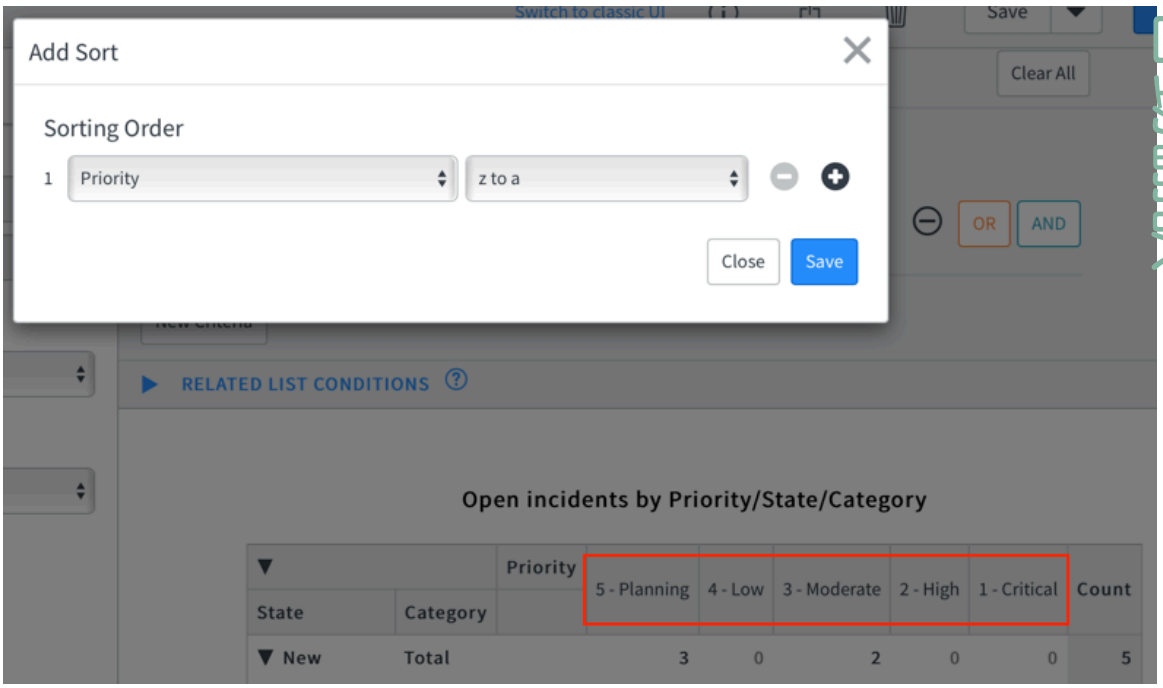
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

   c. [保存] を選択します。

   選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



10. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
    条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

    注:
    集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
12. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- コミュニティ サイトを検索して、マルチレベルピボットレポートの詳細やヘルプを確認してください。

可変の列と行を持つマルチレベル ピボット レポートを作成する

変数が関連付けられたデータ ソースまたはテーブルに基づいて、可変の列と行を含むマルチレベル ピボット レポートを作成できます。変数はカタログ アイテムの説明です。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「マルチレベル ピボット テーブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [設定] タブで、[列を選択] をクリックします。

   [マルチレベル ピボット列] ウィンドウの [利用可能] リストで、レポートで使用する列を選択し、[選択済み] リストに移動します。

   > **注:**
   > レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。

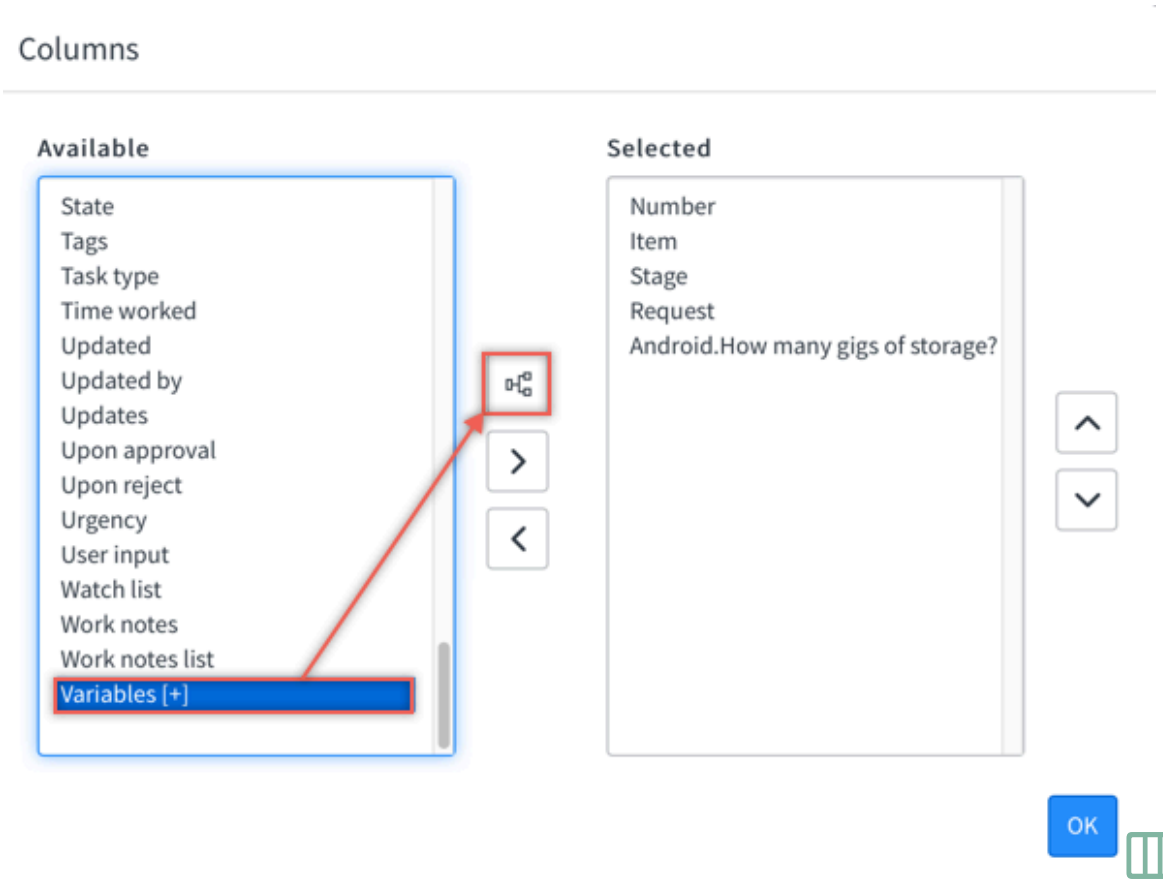
   システム構成によっては、レポート データ ソースとして選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
7. 列として使用する変数を選択します。

   a. レポートの列として使用するフィールドを 1 つ以上選択します。
   レポートの表示には、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。変数を含めて最大 3 つの列を選択できます。

   b. 変数 **[+]** を選択し、構造アイコン () をクリックしてアイテムを選択します。

自動翻訳

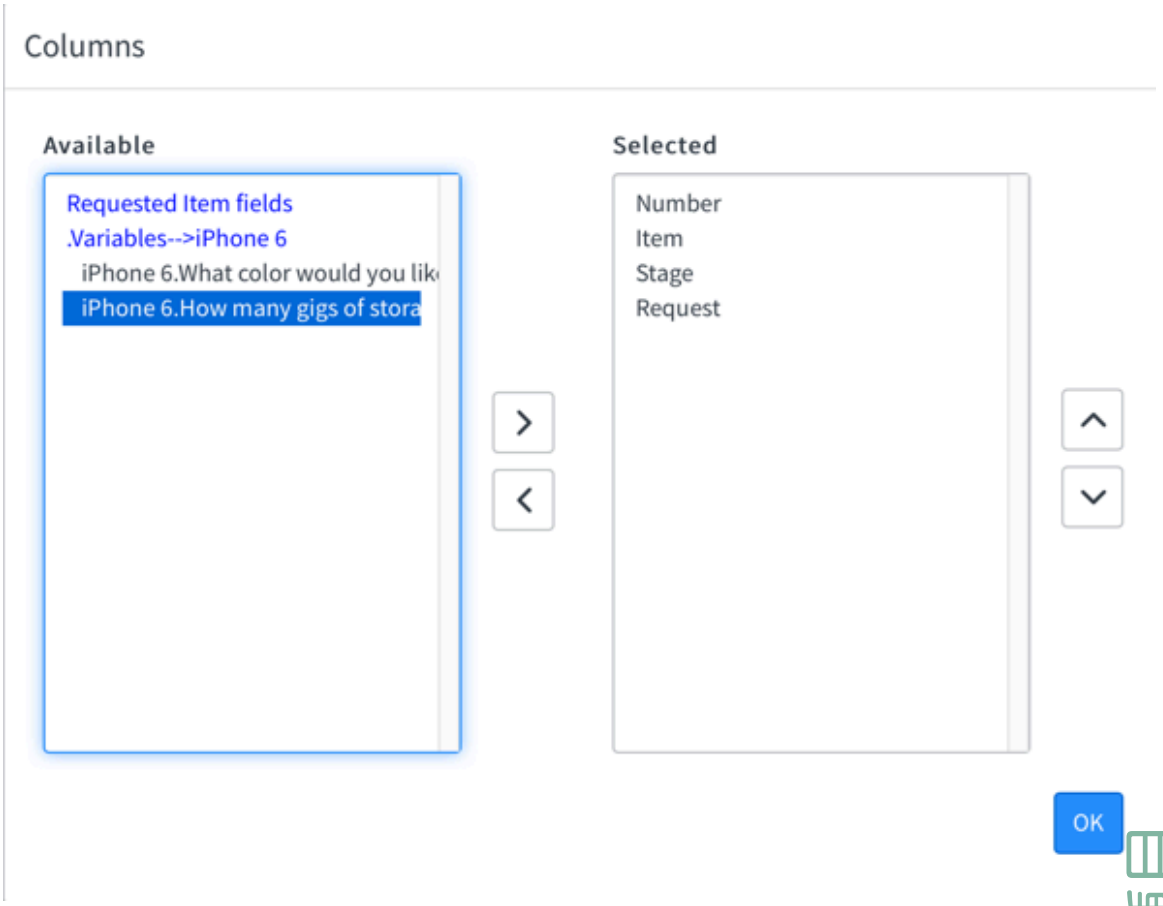
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. ポップアップ ウィンドウから [カタログ アイテム] を選択します。
アイテムに関連付けられた変数が [列] ウィンドウに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. 選択した変数を [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます

8. [行を選択] をクリックし、レポートの行として使用するフィールドを 1 つ以上選択します。

列の選択方法と同様に行を選択します。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます。

レポートの表示には、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。変数を含めて最大 5 つの行を選択できます。

> **注:**
> レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。

9. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

注:
通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。

10. オプション: レポート内のセルを区切る行を表示するには、[行の線を表示] と [列の線を表示] をオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Open incidents by Priority/State/Category

▶		Priority	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning	Count
State	Category							
▶ New	Total		0	0	2	0	3	5
▶ In Progress	Total		11	4	3	0	2	20
▶ On Hold	Total		4	0	1	1	0	6
Count			15	4	6	1	5	31

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

    フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

    a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

    このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

    注:
    ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

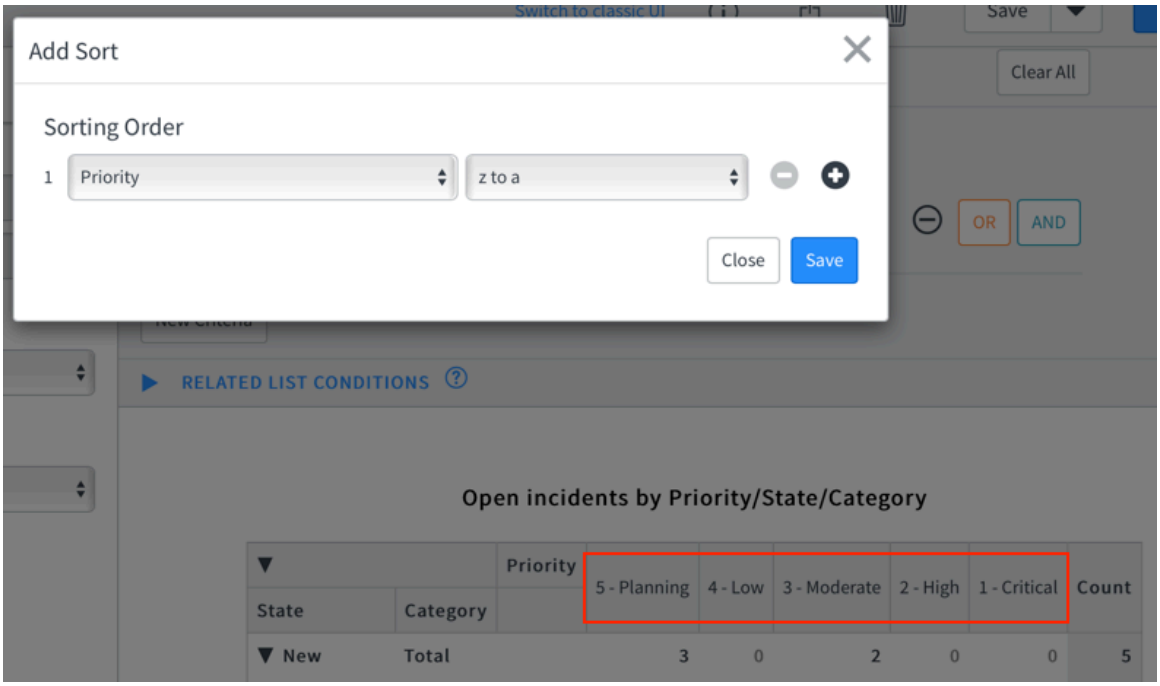
    b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

    c. [保存] を選択します。

    選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

13. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- コミュニティ サイトを検索して、マルチレベルピボットレポートの詳細やヘルプを確認してください。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション

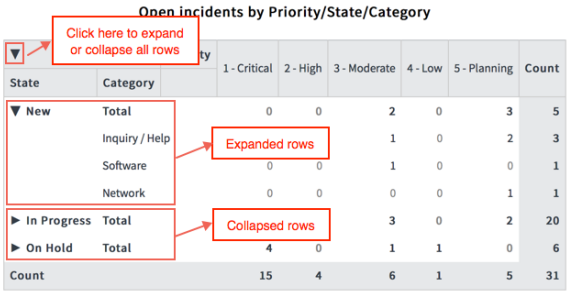
マルチレベル ピボット チャートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

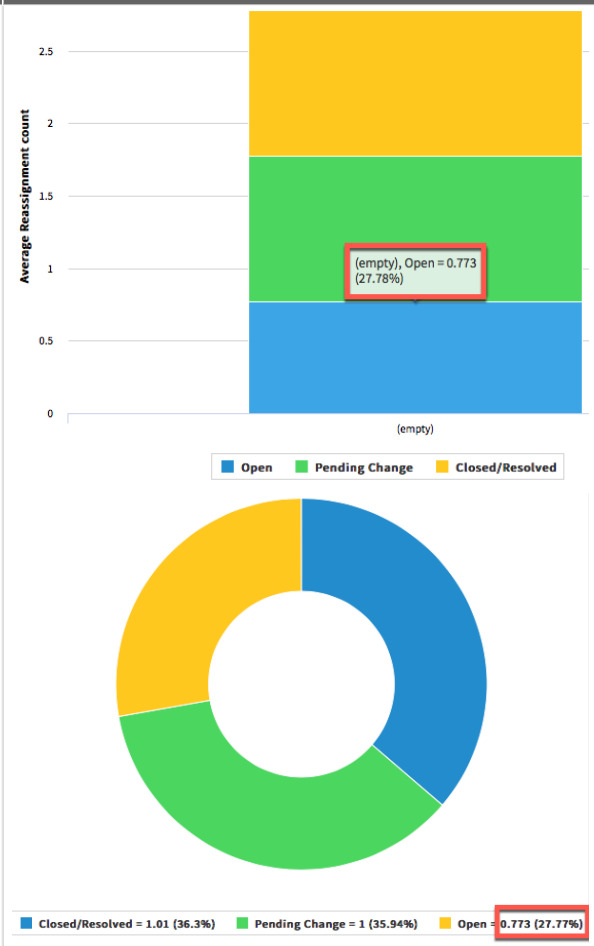
マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ゼロを表示	セルの値が 0 の場合に数値 **0** を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。セルの値が 0 の場合に空のセルを表示するには、このチェック ボックスをオフにします。[集計] が [カウント] または [個別のカウント] の際に適用可能です。
デフォルトで展開	レポートが表示されるときにすべての行を展開するには、このチェック ボックスをオンにします。レポートが表示されるときにすべての行を折りたたむには、このチェック ボックスをオフにします。 
行の線を表示	レポートの行間に線を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。
列の線を表示	レポートの列間に線を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
カラーリング ルールの編集	セルまたは数値のセル テキストをレポートでどのように色付けするかを構成するには、このハイパーリンクをクリックします。演算子と値に基づいてどの色を使用するかを定義するルールを作成できます。たとえば、5 より大きい値をすべて赤で表示するように指定できます。「マルチレベル ピボット レポートの色分けルールを作成する」を参照してください。 **注:** マルチレベル ピボット レポートの合計セルに色分けルールを適用することはできません。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

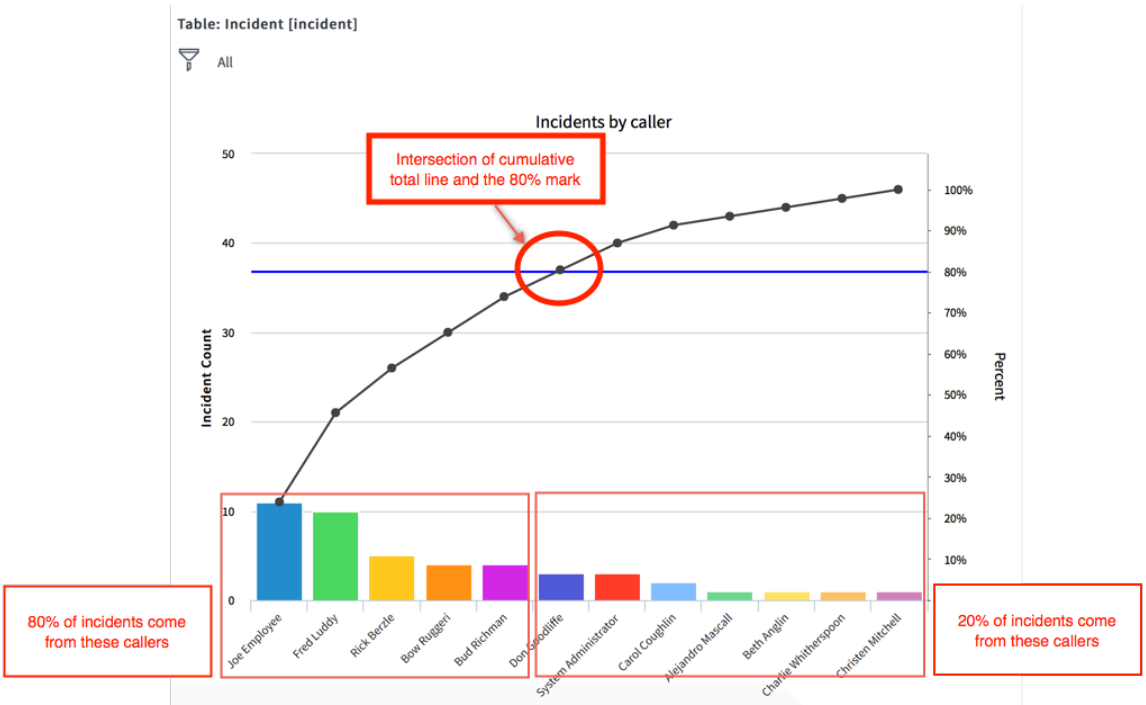
パレート図レポート

パレート図は、一連の大規模なディメンションの中で最も重要なディメンションを特定するのに役立ちます。棒グラフにはデータが降順で表示されます。線グラフは累積のパーセンテージを示します。

パレート図には棒グラフと線グラフの両方が含まれています。棒グラフには、データが左から右に向かって降順で表示されます。線グラフには、カテゴリごとの累積合計が同じ順序で表示されます。左側の Y 軸はレコード カウントです。右側の Y 軸は、評価対象のレコードの合計数に占める累積のパーセンテージです。80% のマークにある青い線は、どのデータがプロセスに最も影響を与えているかを判断するのに役立ちます。線グラフと 80% のマークとの交差点の左側にあるデータは、全体の結果に最も大きな影響を与えています。

下の図は、インシデント コールの 80% が 5 人の問い合わせユーザーで占められており、他の 20% が 7 人で占められていることを示しています。

パレート図レポートの例



パレート図レポートを作成する

大規模な要因群の中で最も重要な要因を特定するパレート図レポートを作成します。棒グラフにはデータが降順で表示されます。曲線は累積のパーセンテージを示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「パレート図」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

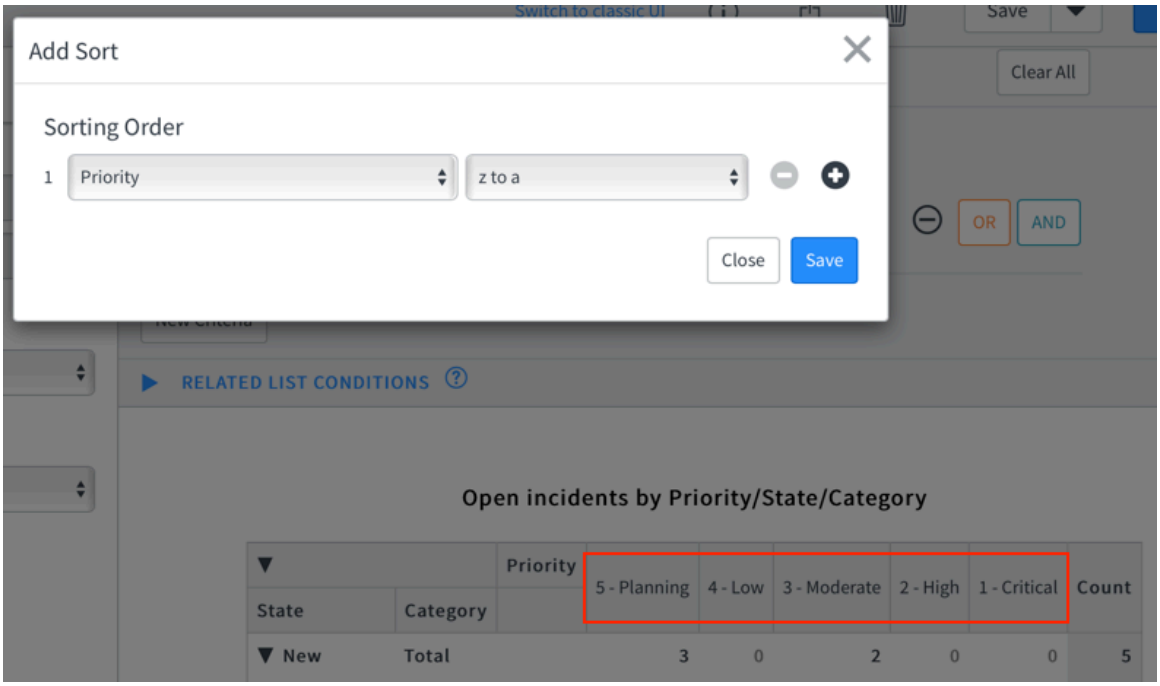
   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

   c. [保存] を選択します。

   選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

パレート図レポートのスタイル オプション

パレート図レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

注:
累積合計のパーセンテージの線は構成できません。無効にしたり、色を変更したりすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。レポートをフィールド別に積み重ねていない場合は、次のいずれかのオプションを選択できます。 • **1** つの色を使用: [チャートの色] フィールドで定義済みの色を 1 つ選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. レポートをスタックする場合は、次のいずれかのオプションを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用する: 16 進コードを使用してカスタムの 色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポート内の事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。 • [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。
カスタムグラ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
フサイズ	注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X 軸]** タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y 軸]** タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

円グラフ

円グラフには、全体を構成する割合が表示されます。

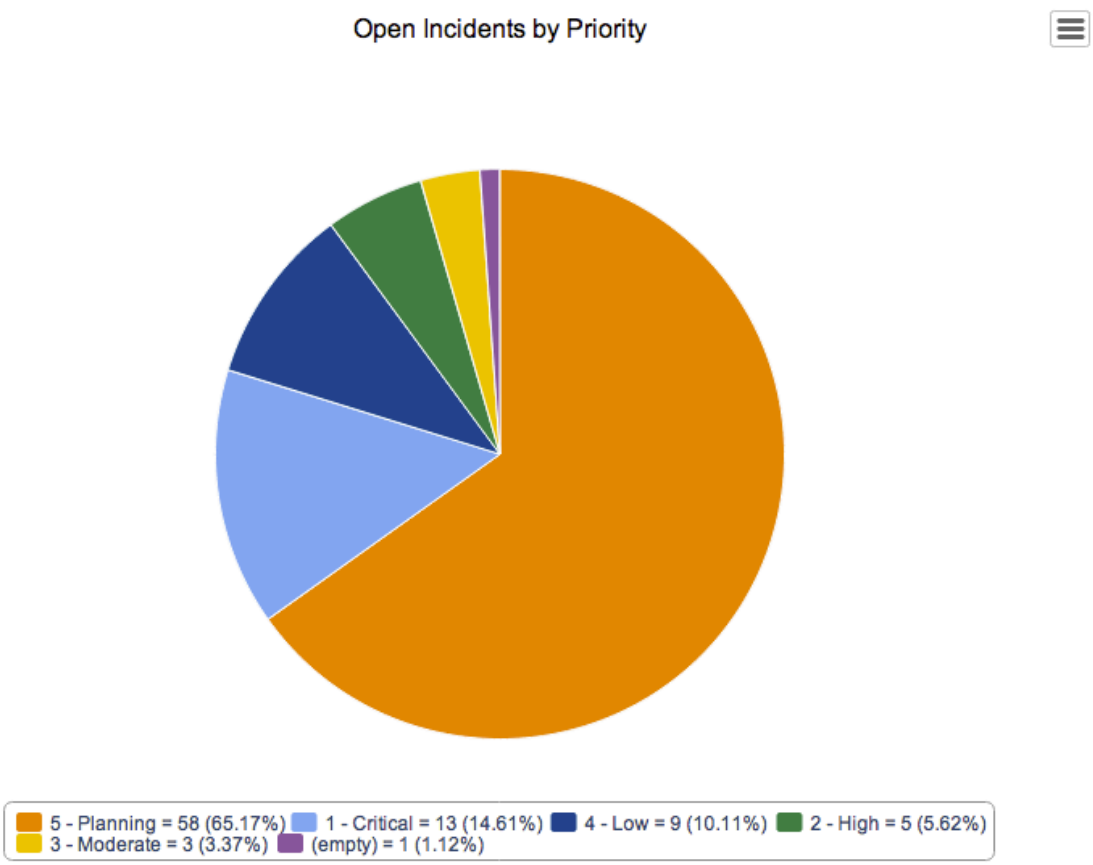
円グラフを使用して、オープンのインシデントなどを優先度別に表示することができます。たとえば組織が、重要なインシデントがすべてのオープン インシデントの 40% を超えることは許されない、というポリシーを設けているとします。オープンのインシデントには常にさまざまな優先度レベルがあるという状況において、インシデント数が許容範囲を超えたときに、円グラフですばやく確認することができます。この図は、オープンのインシデントの 14.61% が重要であることを示しています。

注:
このデータ可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Pie charts for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

円グラフ



円グラフの作成

個々のカテゴリのサイズを全体と比較する円グラフを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「円グラフ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン ( ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

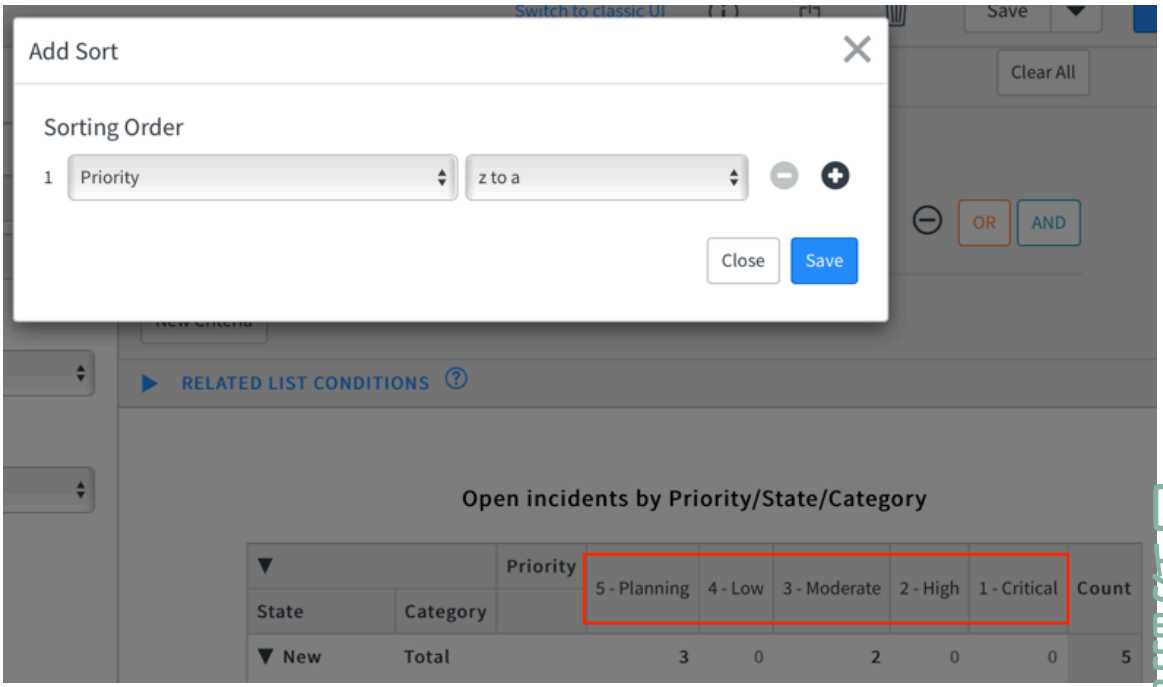
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

円グラフのスタイル オプション

円グラフの外観を変更します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

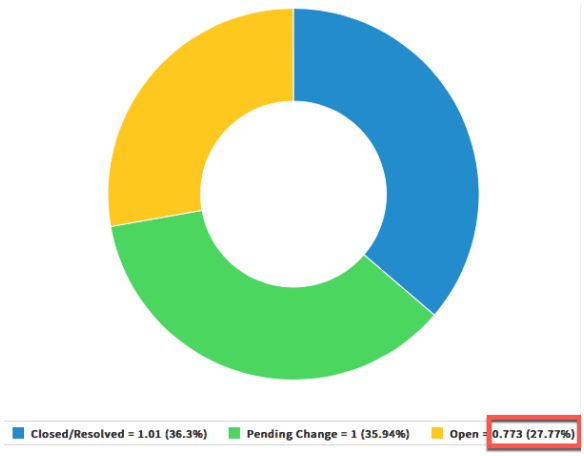
グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。次から選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用する: 16 進コードを使用してカスタムの 色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各スライスの値を表示するには、チェック ボックスをオンにします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。このオプションは、平均集計で使用できます。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

ピボットテーブル

ピボット テーブルは、表からデータを集計して、ユーザーが定義した列および行に配置します。ピボット テーブルは、要約されたデータのソースをすばやく調べるのに役立ちます。空でないセルには、セルが表すレコードの数を示すツールヒントが表示されます。空でないセルをクリックすると、それらのレコードの内訳が表示されます。

データをさらに絞り込むフィルターを構成して、集計値を選択できます。

注:
ピボット テーブル レポートは引き続き使用できますが、このレポートの機能拡張は予定されておらず、制限は修正されません。新しいレポートや問題のある古いレポートには、マルチレベル ピボット テーブル レポートを使用します。マルチレベルピボットテーブルは、ピボットテーブルよりも安定しており、より多くの機能を備えており、継続的にメンテナンスされています。詳細については、「 マルチレベル ピボット テーブル」を参照してください。

ピボット テーブル

Incident Breakdown

Assigned to	Category						
	Request	Inquiry / Help	Software	Hardware	Network	Database	Total
(empty)	0	0	1	0	1	0	2
Beth Anglin	0	2	1	1	1	0	5
Bow Ruggeri	0	1	0	0	0	0	1
Bud Richman	1	0	1	0	0	0	2
Charlie Whitherspoon	0	0	1	0	1	0	2
David Loo	0	4	1	3	0	1	9
Don Goodliffe	0	3	2	1	0	1	7
Fred Luddy	0	0	1	0	0	0	1
Howard Johnson	0	0	2	1	0	0	3
ITIL User	0	8	5	2	0	0	15
Luke Wilson	0	2	1	0	0	0	3
Total	1	20	16	8	3	2	50

ピボットテーブルを作成する

表からデータを集計して列と行に配置するピボット テーブルを作成します。ツールヒントは、値が何を表しているかを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ピボット」と入力し、[その他] セクションからピボット レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
行	チャートの行のフィールドを 1 つ選択します。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。拡張テーブルのソース フィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。
列	チャートの列のフィールドを 1 つ選択します。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。拡張テーブルのソース フィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

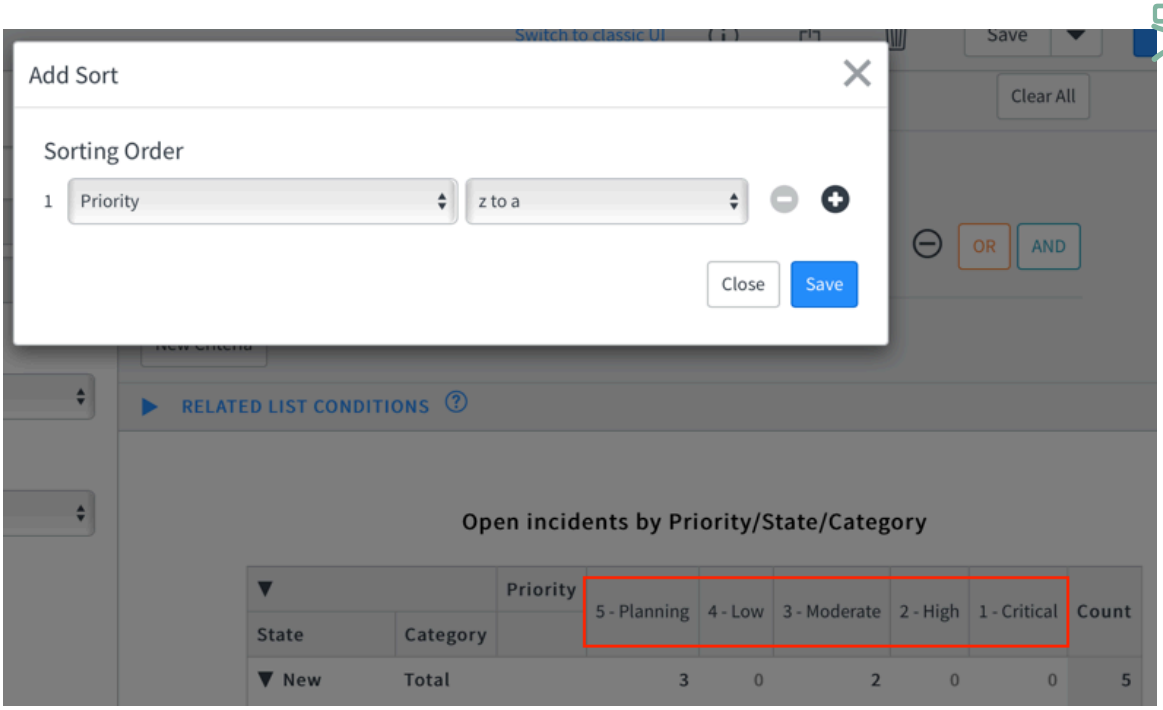
7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

   選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- コミュニティ サイトを検索して、ピボットレポートの詳細やヘルプを入手してください。

> **注:**
> インポート エクスポート プロパティ glide.pdf.max_rows は、プラットフォーム製品での PDF データ エクスポートの行制限に適用されますが、レポート製品から PDF にエクスポートされたピボット レポートでは、合計セルの最大数 (行と列の両方) が設定されます。

ピボット レポートのスタイル オプション

ピボット レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

ピボット レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。

単一スコア レポート

単一スコア レポートは、ビジネスにとって重要な単一の値を表示します。単一スコアレポートをダッシュボードに追加し、リアルタイムで更新するように構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
レポートレベルで追加された 動的条件 を含む単一スコアレポートは、手動で更新するかページを更新しない限り、ダッシュボードにリアルタイムの更新を表示しません。リアルタイムダッシュボードウィジェットは、Record Watcher に依存して、単一スコアウィジェットが自動更新するために更新が行われたことを認識します。ただし、Record Watcher の一部として動的条件はサポートされていません。詳細については、「スコア ウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成」を参照してください。

ダッシュボードに追加された単一スコア レポート



注:
このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。

このデータ可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Single score reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

単一スコア レポートを作成する

単一スコア チャートを作成して、ビジネスにとって重要な評価指標またはスコアを表示します。値はダッシュボードでリアルタイムに更新されます。

始める前に
必要なロール:itil、report_user

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「単一スコア」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [構成] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	レポート データを集計する計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** 単一スコアチャートには、集計値のみが表示されます。 [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択した場合は、選択した [テーブル] からのフィールドのリストが表示されます。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。例えば、[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間のフィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。 [優先度] などの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

注:
通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

注:
集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

8. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

単一スコア レポートのスタイル オプション

単一スコア レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一スコア チャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ゼロを表示	このチェック ボックスをオンにすると、レポートの値がゼロの場合に数値 **0** が表示されます。このチェック ボックスをオフにすると、セルの値が 0 の場合にエラー メッセージが表示されます。 [集計] が [カウント] または [個別のカウント] の際に適用可能です。
デフォルトの色	チャートのスコアの色。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
カラーリング ルールの編集	このハイパーリンクをクリックすると、レポートでの値の色付けを構成できます。演算子と値に基づいてどの色を使用するかを定義するルールを作成できます。たとえば、5 より大きい値をすべて赤で表示するように指定できます。「単一スコア レポートの色付けルールを作成する」を参照してください。
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポート

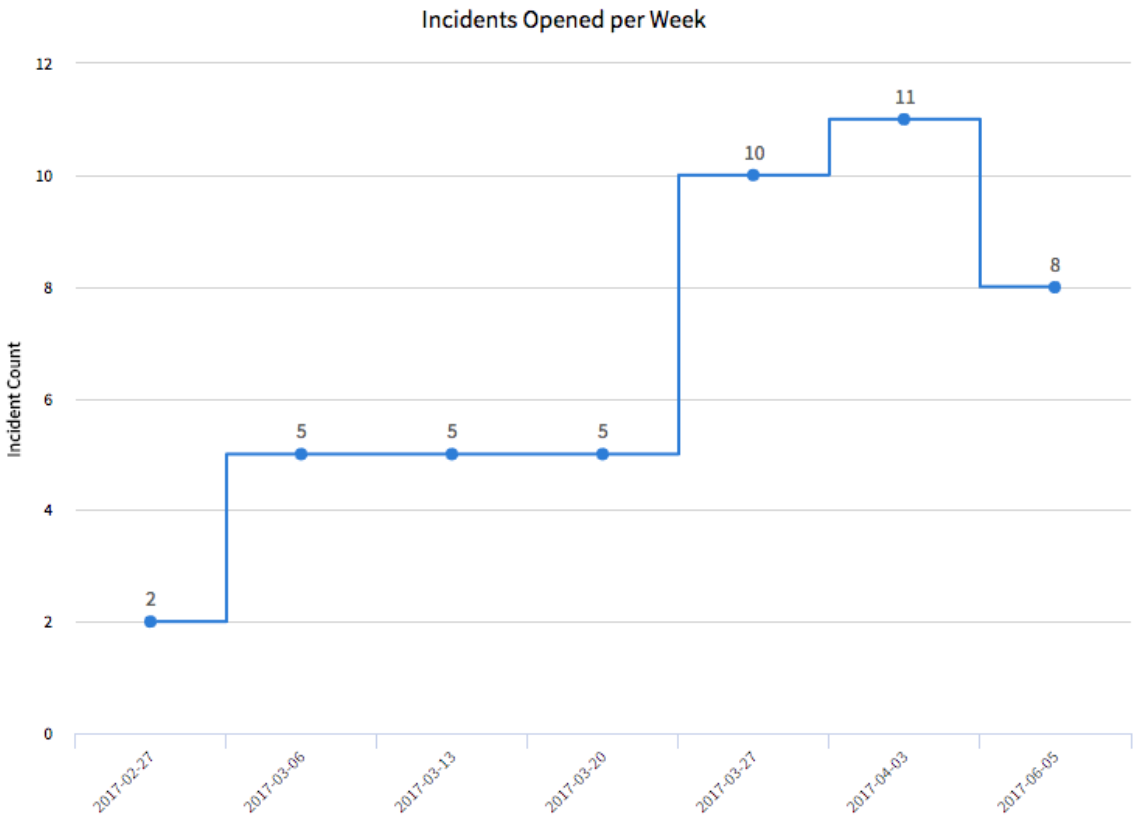
ステップ ライン レポートは、個々のデータ ポイントをプロットして、1 つ以上のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。ステップ レポートの横の線は変化の持続時間を示し、縦の線は変化の大きさを示します。

特定の日付または時刻のアイテムの値は、水平線で結ばれたデータ ポイントとして表示されます。ステップ ライン レポートの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化の大きさを表します。report_admin ロールを持つユーザーは、ステップ ライン レポートで使用する範囲を定義できます。

たとえば、インシデント数を表すステップ ライン レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。

注:
このデータ可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Time series reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

ステップ ライン レポート



ステップ ライン レポートを作成する

ステップ ライン レポートを作成して、1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するかを表示します。ステップ ライン レポートでは、変更の期間と大きさが強調されます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて
このタスクは、コア UI を使用した Xanadu リリースを参照します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ステップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。ビジネスカレンダーの設定に関する標準カレンダーまたは カスタマイズされたビジネスカレンダー のいずれかを選択します。
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

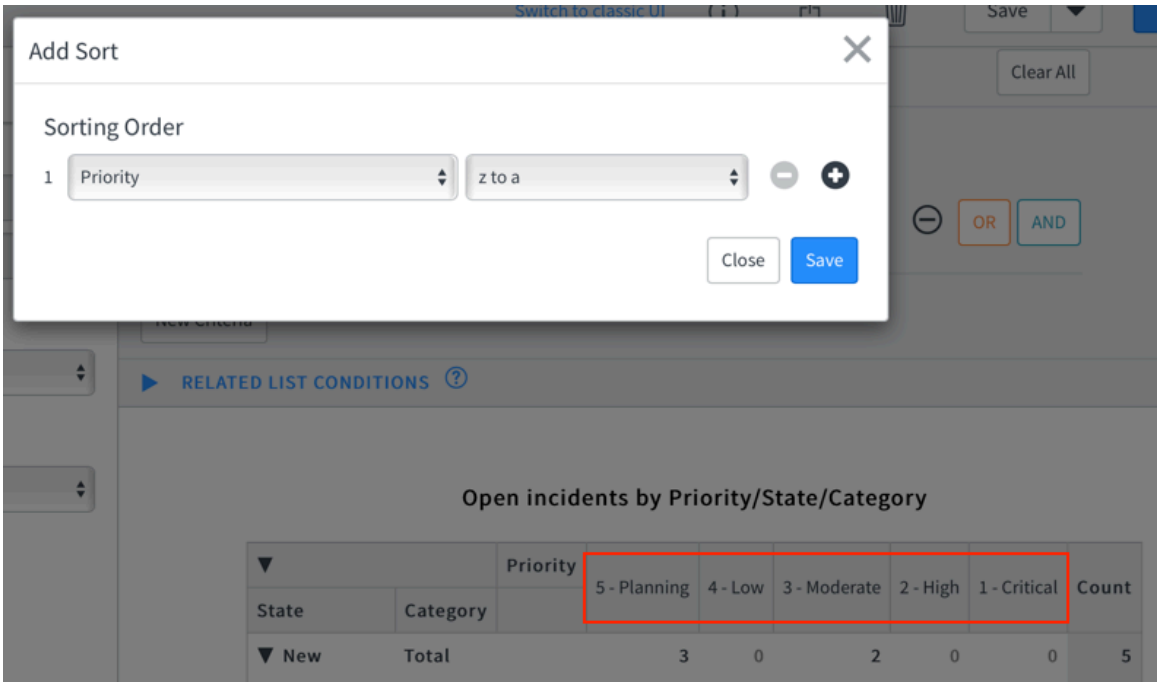
フィールド	説明
	FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ◦ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ◦ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。
   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション

ステップ ライン レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム カラーを選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用する: 16 進コードを使用してカスタムの 色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポート内の事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、または [カウント] または [個別のカウント] で集計されている場合には使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。 **注:** ソースがメトリックベースの場合、このプロパティは選択できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

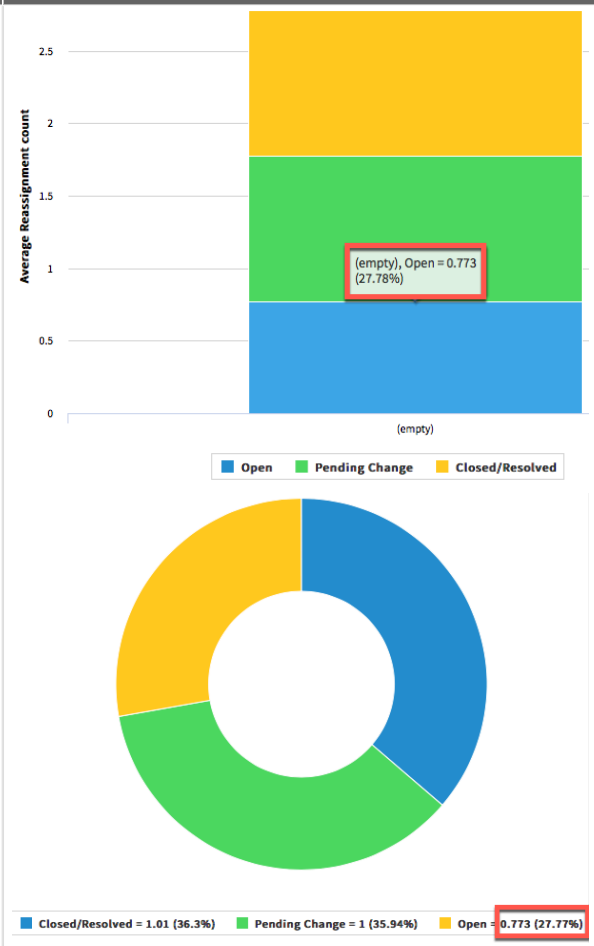
ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
マーカーを表示	チェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントに記号が表示されます。オンにすると、ステップの中央とレポートの視覚化の端点にマーカーが表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

傾向レポート

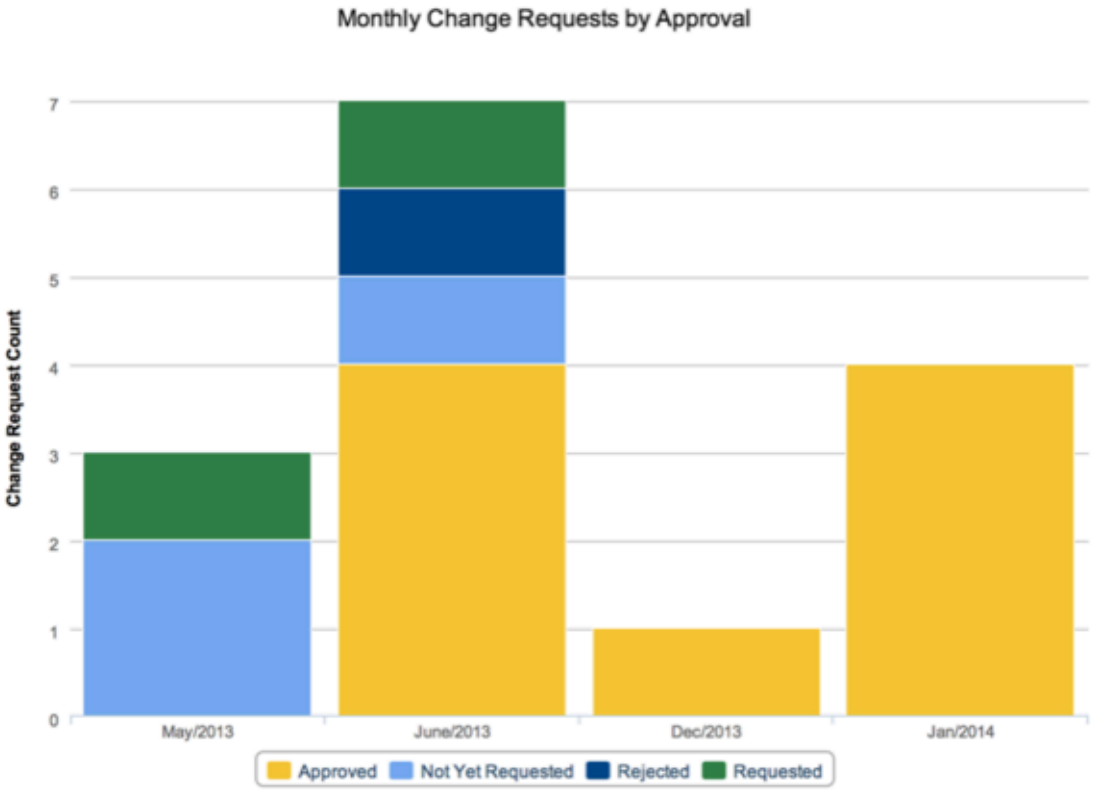
傾向レポートは、1 つ以上のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。傾向レポートの横軸上の値は、時間測定値を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。

report_admin ロールを持つユーザーは、傾向図レポートで使用する範囲を定義できます。レポート範囲の作成については、「レポート範囲」を参照してください。

時間の経過とともに変化するアイテムの例として、インシデント数があります。インシデント数は、製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加する可能性があります。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



傾向レポートを作成する

傾向レポートを作成して、1 つまたは複数のデータ要素の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「傾向」と入力し、[その他] セクションから傾向レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	**Description** (説明)
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン ( ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ [タグ] フィールド、または MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプによってレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type 」を参照してください。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
	注: 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Description** (説明)
Set Value Formatting (値の書式を設定)	小数点以下桁数、丸め、期間の最小値と最大単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	傾向の基準条件が返すグループの最大数。この制限は x 軸にのみ影響します。[グループ] 条件が Y 軸で返すグループの数は影響を受けません。 最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、グループ別の上位 50 件の 傾向 が X 軸に表示されます。グループが 50 を超える場合、残りは [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

注:
ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

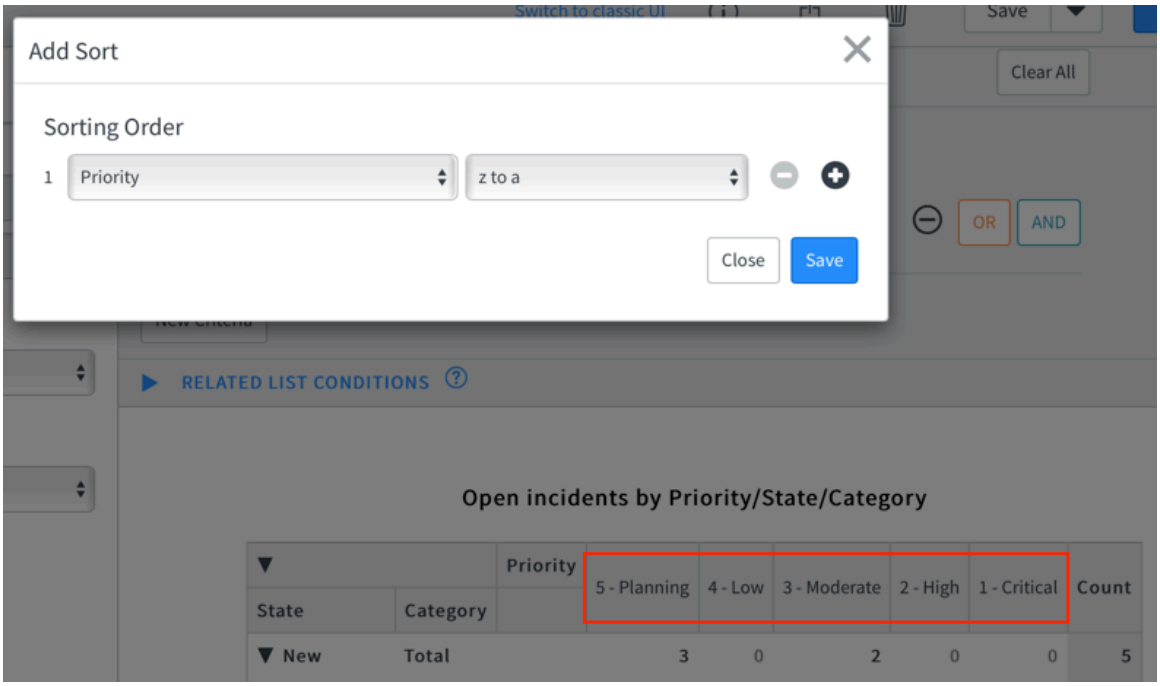
b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

傾向レポートのスタイル オプション

傾向レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム カラーを選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用する: 16 進コードを使用してカスタムの 色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用する: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポート内の事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。 • [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

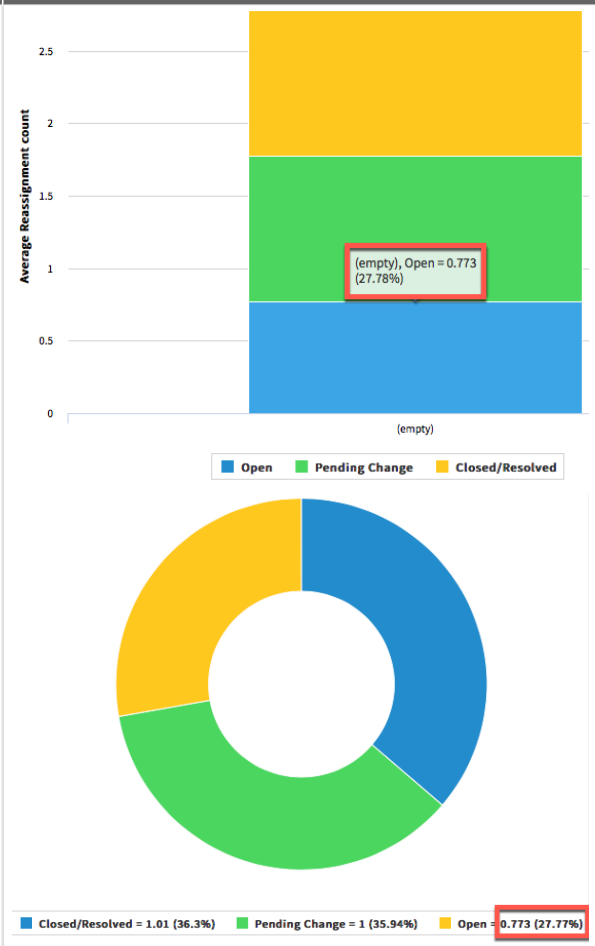
傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されています。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [構成] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (**Style** (スタイル) > **Y** 軸 秒単位です可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (**Configure** (構成) > **Set Value Formatting** (値の書式を設定))、開始/終了 (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ○ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定すると、ビジュアリゼーションでは Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] フィールドと [終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
ターゲット	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [構成] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (**Style** (スタイル) > **Y** 軸 秒単位です可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (**Configure** (構成) > **Set Value Formatting** (値の書式を設定))、開始/終了 (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ○ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定すると、ビジュアリゼーションでは Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] フィールドと [終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

Trendbox レポート

Trendbox レポートは、特定の期間におけるグループ間のデータの分布を可視化します。

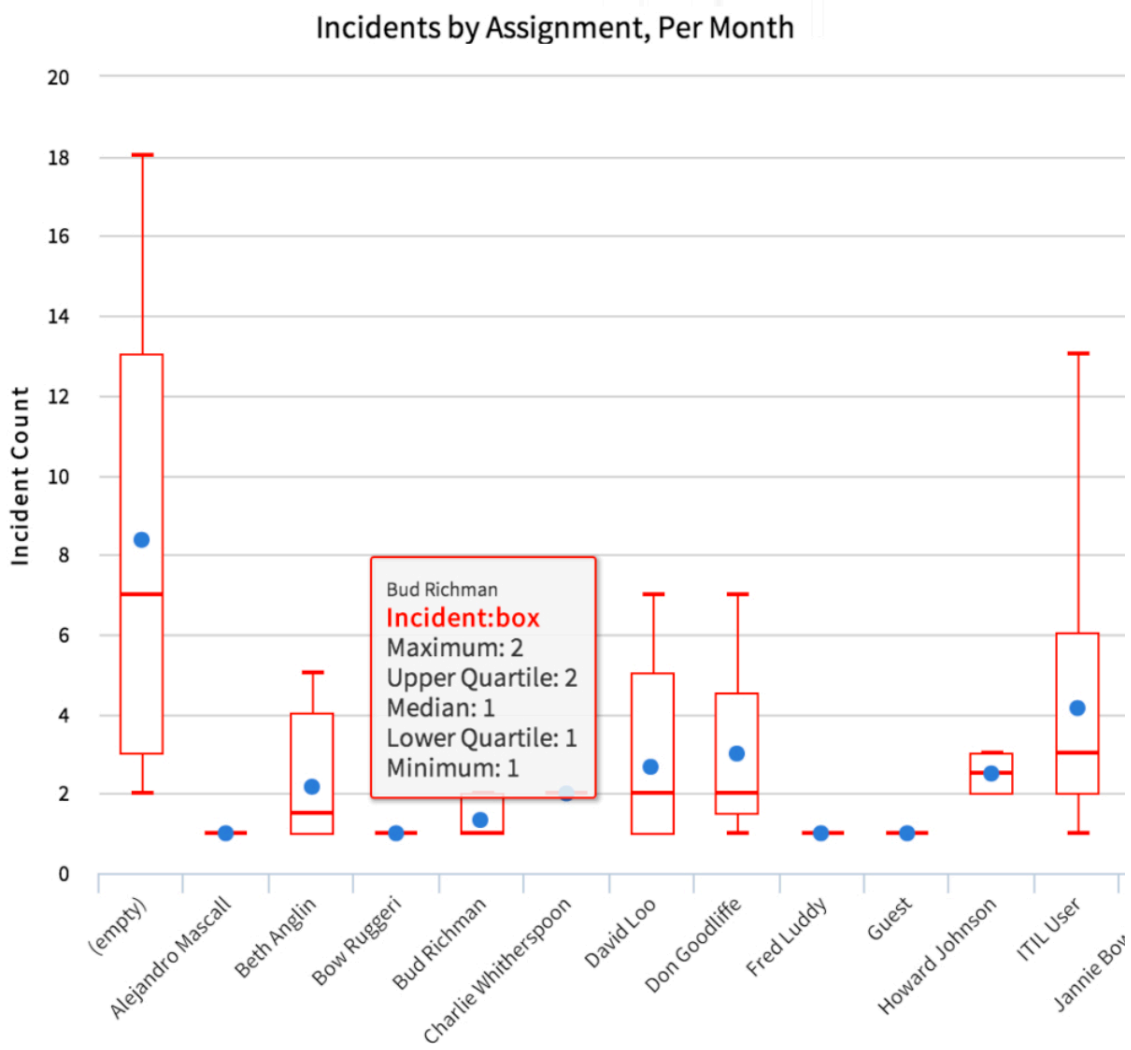
Trendbox レポートはボックス レポートに似ていますが、レポートの期間を指定することもできます。レポートを定義する際は、期間の使用を示すわかりやすいタイトルを使用します。互いに関連性のある異なるソースから複数の小さなデータ セットが得られる場合に、Trendbox レポートを使用します。例として、製品の機能ごとのインシデント解決時間、優先度が異なるインシデント解決時間などがあります。

たとえば、Trendbox レポートでは、サポートエージェントごとのインシデントを表示できます。Trendbox レポートでは、インシデントの数を従業員別に表示し、各エージェントが処理する件数が中央値と四分位数で分類される場所を表示できます。この情報を使用して、従業員ごとの処理されたインシデントを比較したり、将来のサポート スタッフ レベルを推定したりすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox レポート

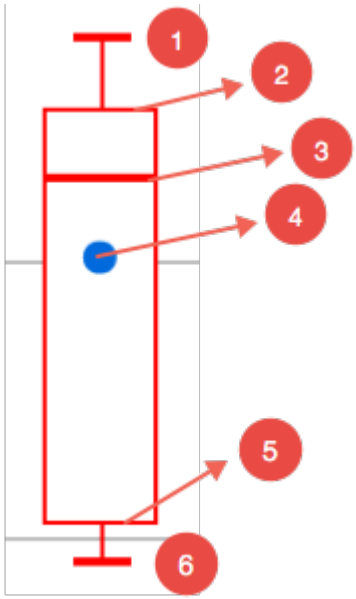


Trendbox レポートについて

Trendbox レポートのボックスにはそれぞれ、データ グループごとに次の情報が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボックス チャートのスケール



1 - サンプルの最大値	期間内に到達した最大数。
2:上位四分位数	データの上半分の中央値。
3:中央値	すべての区間カウントを最小値から最大値の順に並べると、中央値は中央端の値を表します。
4 - 平均	平均は青い点で可視化されます。これは、すべてのデータポイントの平均、またはカウントの合計を間隔の数で割った値です。
5:下位四分位数	データの下半分の中央値。
6 - サンプルの最小値	期間中に到達した最低数。

ボックスチャートスケールの読み方を理解するには、1 か月あたりの従業員にアサインされたインシデントについてレポートする次の理論上のトレンドボックスを参照してください。従業員は、月に次の数のインシデントを処理しました。

1か月目	2か月目	3か月目	4か月目	5か月目	6か月目
1 インシデント	3 インシデント	5 インシデント	2 インシデント	6 インシデント	5 インシデント

月ごとの傾向を示すこのレポートの例では、値は次のとおりです。

- 中央値: データセット 1,2,3,5,5,6 では、偶数のデータセット ((3+5)/2) であるため、中央値は 4 です。データセットが奇数の値の場合、中央値は正確な中心値になります。
- 上位四分位数:データが分割されている場合、5、5、6 は上半分のデータセットを表します。この例では、上位四分位数は 5 です。例のデータセットは偶数の値であるため、上位四分位数は正確な値です。データセットの値の数が奇数の場合、2 つの中心の値を平均化します。
- 最大値:従業員にアサインされたインシデントが最も多い月、または月 5 の 6 インシデント。
- 平均:(1+3+5+2+6+5)/6、つまり3.66。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 下位四分位数: データが分割されている場合、1、2、3 はデータの下半分の値のセットを表します。この例では、下位四分位数は 2 です。データセットの値は偶数であるため、下位四分位数は正確な値です。データセットの値の数が奇数の場合、2 つの中心の数値を平均化します。
- 最小:従業員にアサインされたインシデントの数が最も少ない月。この例では 1 インシデント。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

Trendbox レポートを作成する

Trendbox レポートを作成して、指定した期間におけるデータ セット内の値の分布を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データ ソースはレポート ソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、リモートテーブルを選択して、外部ソースから取得したデータをメモリ内に集約することもできます。次に、[傾向] フィールドの オプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
External import (外部インポート)	インポートされた既存のレポート ソースを選択するか、アップロード アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
MetricBase (メトリックベース)	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「メトリックベース」を参照してください。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「**Trendbox**」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

Trendbox レポートの構成オプション

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ◦ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「別のグループ化または積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。情報アイコン (ⓘ) を選択すると、選択したフィールドの説明が表示されます。 注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 注: 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

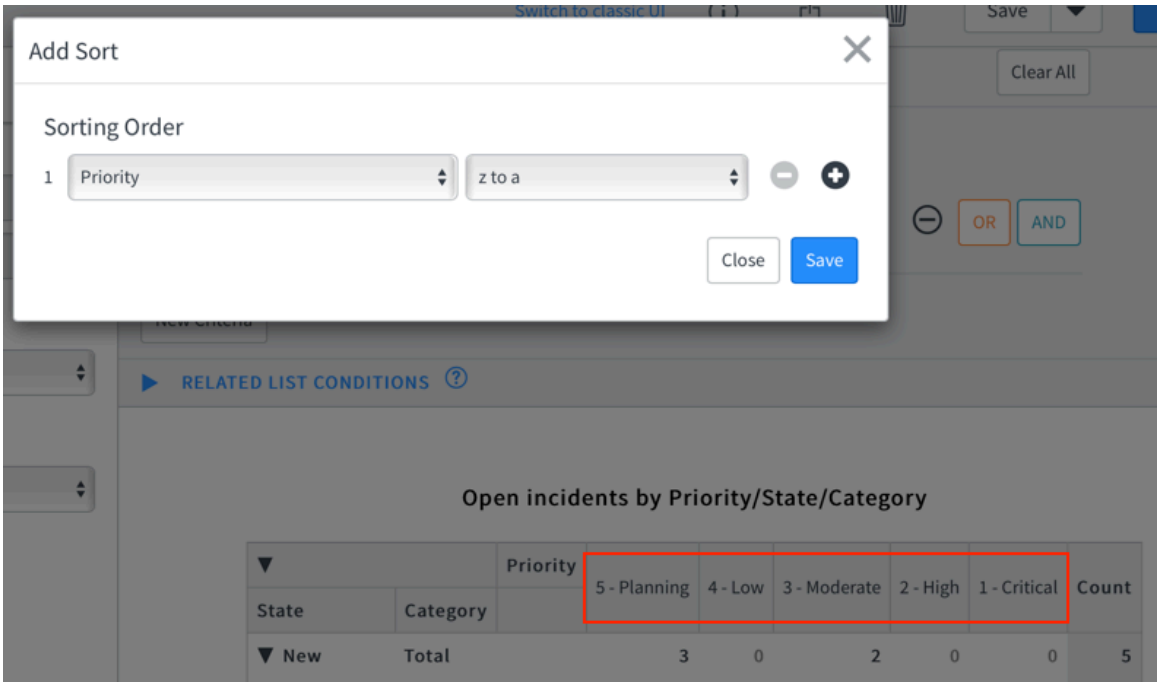
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

   選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

関連情報

レポートの共有

Trendbox レポートのスタイル オプション

Trendbox レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

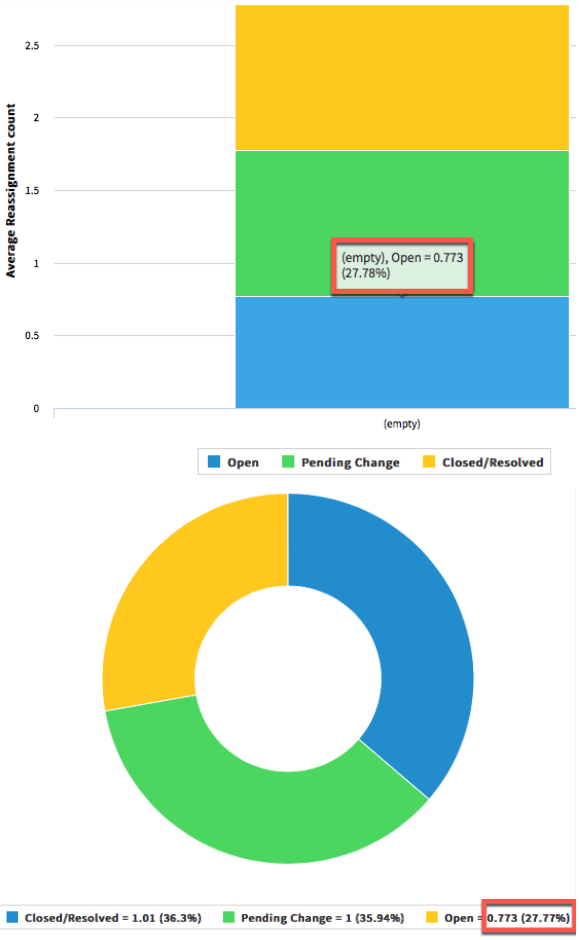
Trendbox チャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
カスタム グラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャート サイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
のカスタム位置	
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
差出人	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。
ターゲット	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

詳細レポートのトピック

レポートのビジュアル化とレポートするデータをカスタマイズする方法を学びます。

このセクションのトピックは、レポート作成の基本をすでによく知っているユーザーに適しています。ただし、このセクションで説明するように、レポートを構成するために管理者またはreport_adminである必要はありません。

レポート内のドリルダウン

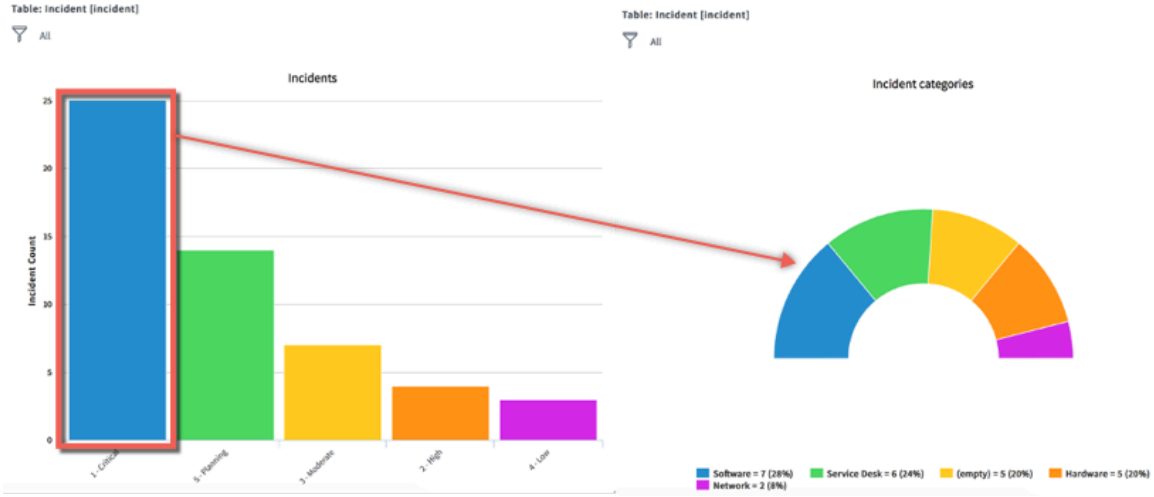
レポート内をドリルダウンして、データのサブセットをビジュアル化することができます。たとえば、優先度別にソートされたレポートの重大セクションをクリックすると、重大インシデントのカテゴリが表示されます。

ドリルダウンが定義されているレポートの場合、チャートの一部をクリックしてデータのサブセットを表示します。サブセットは、異なるチャートのタイプを使用することがあります。この例では、ユーザーが棒グラフの重大インシデントをクリックすると、重大インシデントのカテゴリが半ドーナツ グラフに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドリルダウンの例



リスト、ヒストグラム、カレンダー、コントロール、ボックス、およびトレンドボックス チャート以外のすべてのタイプのチャートはドリルダウンをサポートします。フォームに追加されたチャートや iFrame として埋め込まれたチャートではドリルダウンは使用できません。レポートに任意の数のドリルダウン レベルを定義できます。

注:
ドリルダウン レポートは PDF にエクスポートされません。ドリルダウンで **[PDF** にエクスポート] を選択した場合、トップ レベルのレポートの PDF が生成されます。

レポートのドリルダウンの定義

レポート ドリルダウンを定義して、レポート ユーザーがレポート データのサブセットを表示できるようにすることができます。レポート ドリルダウンを定義すると、定義したレポートにのみ適用されます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

ドリルダウンを定義するレポートが存在する必要があります。

注:
レポートと同じテーブル内のデータだけにドリルダウンできます。次のレポート タイプでは、ドリルダウン機能はサポートされていません。リスト、ヒストグラム、カレンダー、コントロール、ボックス、およびトレンドボックス。

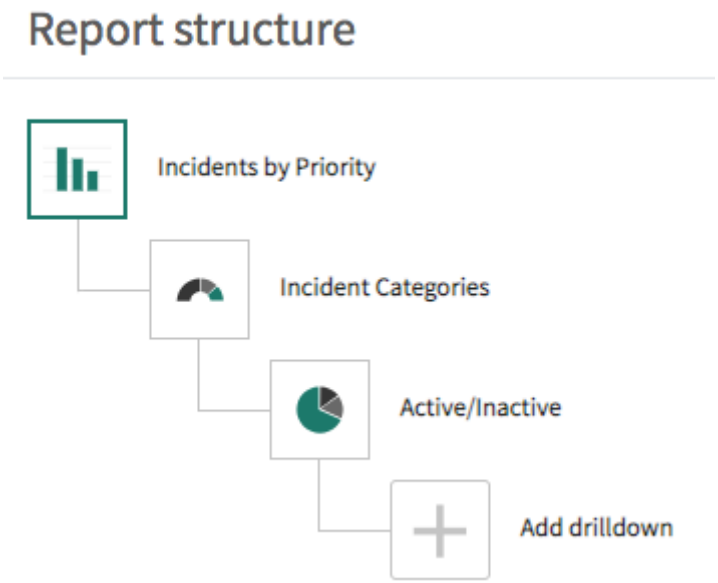
手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. ドリルダウンを追加するレポートを選択します。
3. [レポート構造を表示] アイコン ( ) をクリックします。
   レポート構造アイコンのバッジは、定義されたドリルダウンの数を表示します。
4. [ドリルダウンを追加] アイコンをクリックします( )。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドリルダウンの例



5. ドリルダウンの [タイトル] を入力して、[次へ] をクリックします。
6. データを表示するレポート タイプ を選択し、「 次へ」をクリックします。
   「レポートタイプ」を参照してください。ドリルダウン レポートのタイプは、親レポートとは異なる場合があります。
7. ドリルダウン レポートは、他のレポートと同じ方法で構成します。
   構成オプションは、選択したドリルダウン レポート のタイプによって異なります。
8. [ドリルダウンを保存] をクリックします。

タスクの結果
ユーザーは、トップレベルのレポートから、指定されたドリルダウンレポートのビジュアル化にドリルダウンできます。

注:
すべてのユーザーは、円グラフや縦棒グラフなどのビジュアル化されたレポートを表示できます。ただし、ドリルダウンの最後のレベルは常にリストです。プラットフォーム アクセス制御リストは、リスト情報へのユーザー アクセスを決定します。セキュリティ上の制約により、行がリストから削除されたことを示すメッセージがユーザーに表示される場合があります。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。

レポートのクリック時の動作を設定する

レポートのセクションを選択したときに URL が開くように設定できます。

始める前に
必要なロール：

- レポート作成時：任意
- 他者が作成したレポートを編集する場合：report_admin、report_global、または report_group

このタスクについて
構成済みのドリルダウンや、レポートの選択したセクションの基になるリストではなく、URL にユーザーをリダイレクトします。

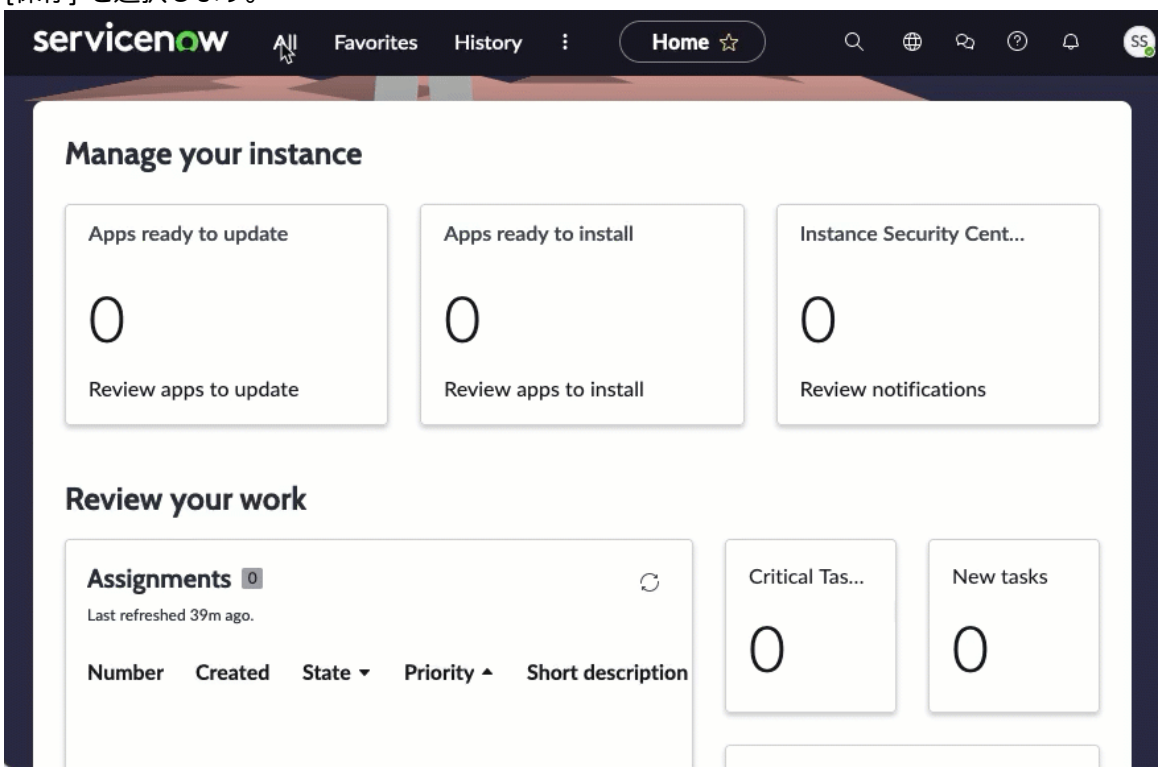
ドリルダウン機能をサポートしていないレポートタイプについては、「 レポートのドリルダウンの定義 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 構成するレポートを選択します。
3. [**Show report structure**] アイコン ([ ]) を選択します。
4. リンクアイコン ( ) を選択します。
5. [リダイレクト **URL** を設定] ダイアログボックスで、インスタンス内の相対リンク (/$knowledge.do など) を入力します。
   ユーザーがレポートをポインタすると、ツールヒントに「クリックして開く」というテキストが表示されます。
6. オプション: URL のラベルを入力します。
   ユーザーがレポートにポインタを合わせると、ツールヒントに「クリックして (ラベルのテキスト) を開く」と表示されます (例：「クリックしてナレッジ ベースを開く」)。
7. [保存] を選択します。



タスクの結果
レポートを選択すると、リダイレクト URL がドリルダウン機能を置き換えます。

レポートで複数のデータセットを使用する

1 つのレポートで最大 5 つのテーブルのデータセットを使用するレポートを作成できます。

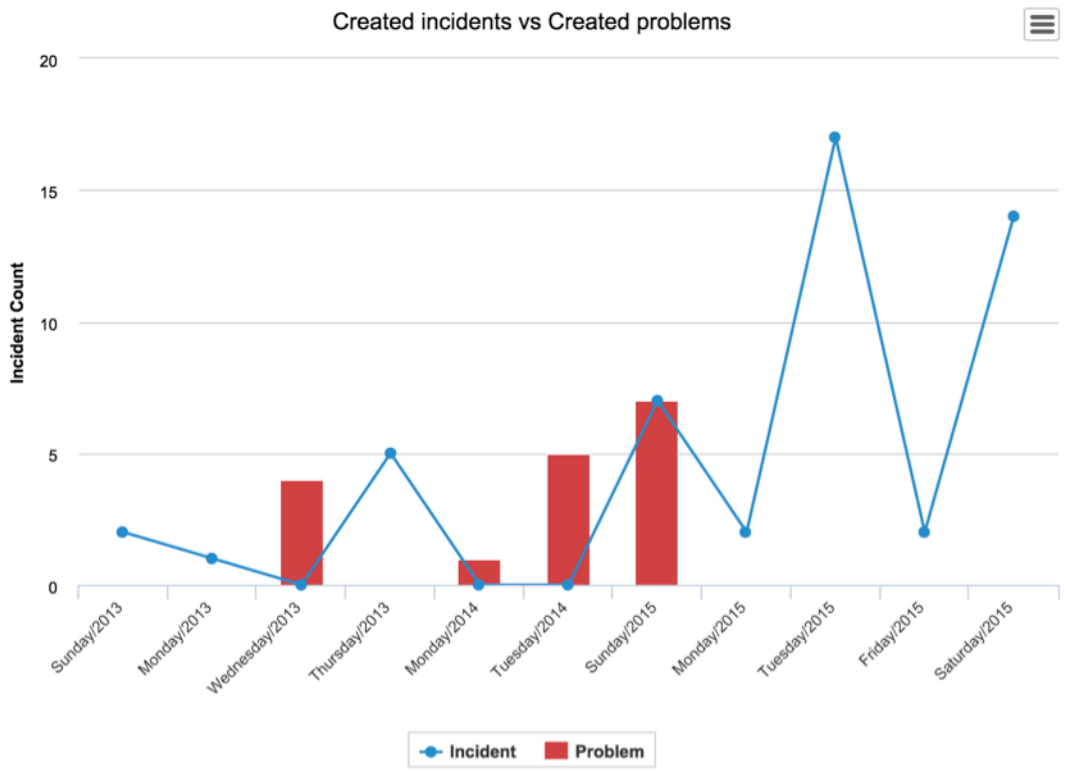
次のレポート タイプは、複数のデータセットをサポートしています:棒、水平棒、縦棒、線、ステップ ライン、面、スプライン。

複数のグループ化は、複数のデータセットではサポートされていません。複数のデータセットを使用する場合、レポートの凡例が常に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントと問題のデータを 1 つのレポートにまとめる



追加のデータセットをレポートに追加する

最大 5 つのデータセットを追加して、複数のソースからのデータを 1 つのレポートに視覚化します。

始める前に
必要なロール:itil、report_user プロパティ *glide.ui.doctype* を有効にする必要があります。

手順

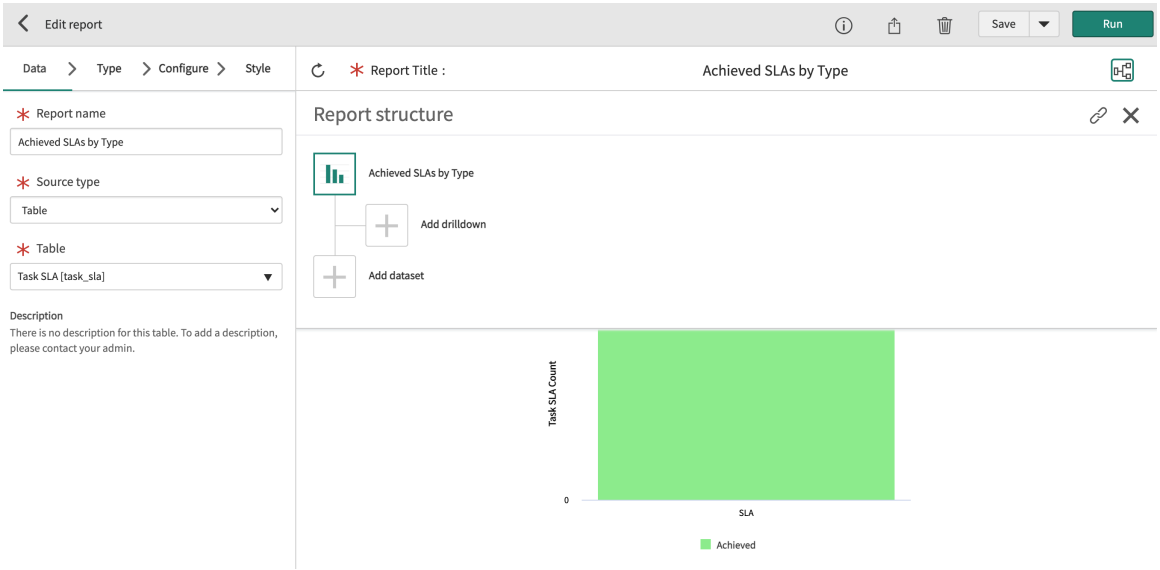
1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 複数のデータセットをサポートするタイプのレポートを選択します。

   棒、水平棒、線、縦棒、面、およびスプラインなどのレポートにさらにセットを追加できます。

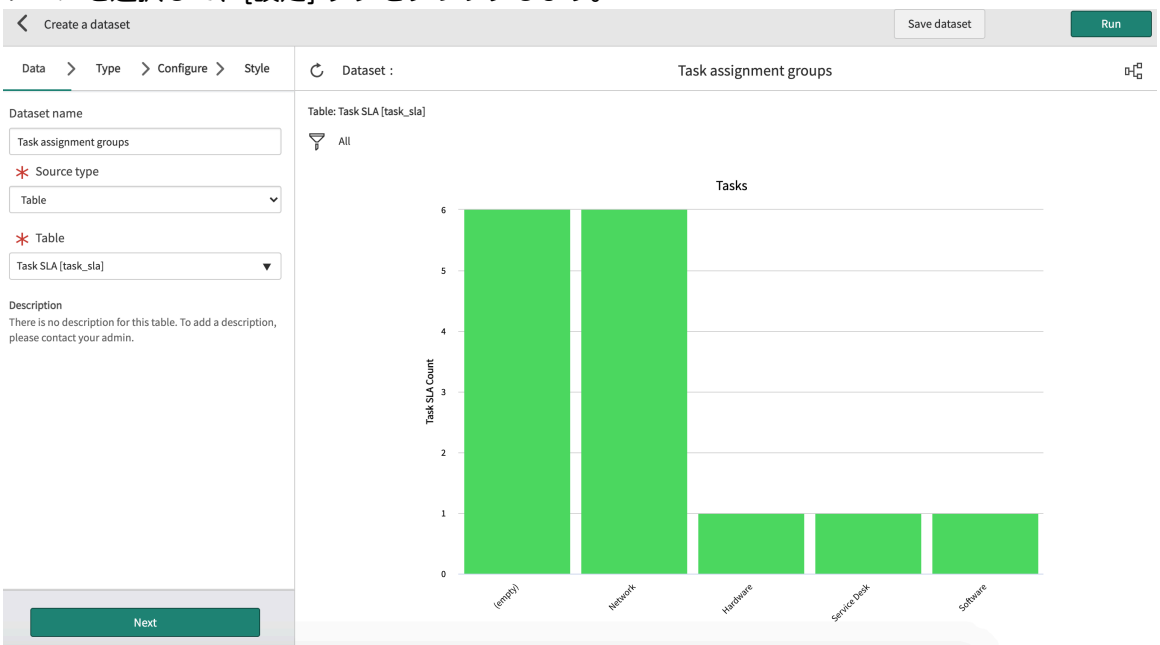
3. [レポート構造を表示] アイコン ( ) をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



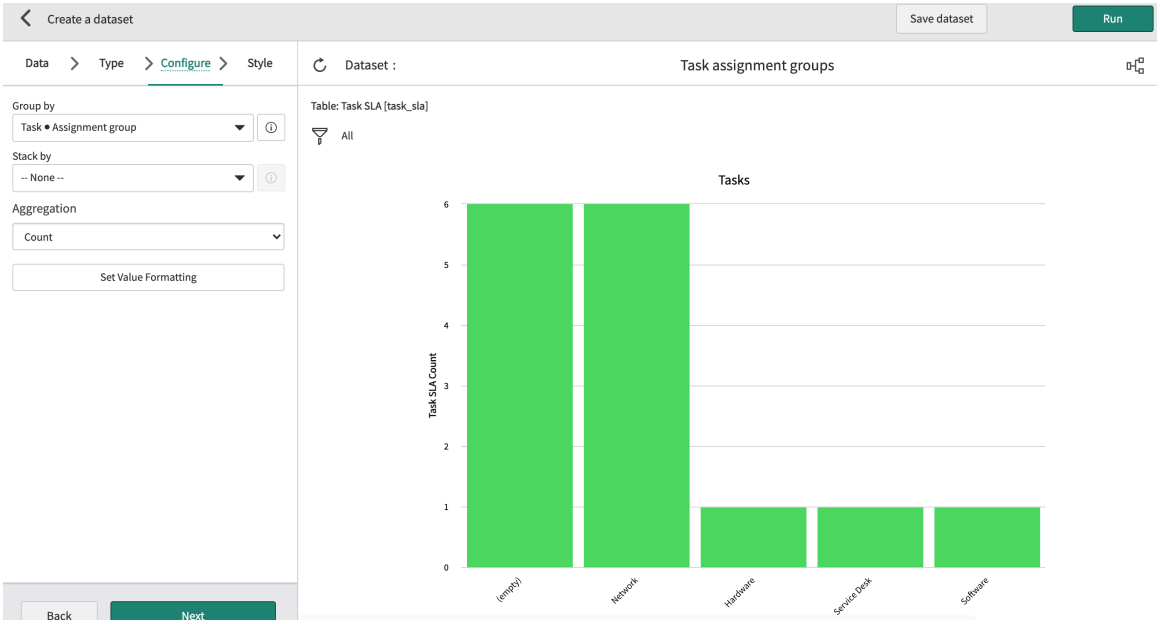
4. [データセットを追加] をクリックします。
5. [データ] タブで、レポートの凡例に表示する追加データセットのカスタム名を指定し、データソースを選択して、[設定] タブをクリックします。



6. [設定] タブで、スタンドアロン レポートを設定するのと同じ方法で該当するフィールドを指定します。

   該当するレポート タイプの次のフィールドに注意してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
[データ テーブルの表示] オプションは、[データセットの追加] モジュールからは使用できませんが、メインのレポート デザイナーの [構成] タブからのみ使用できます。[データ テーブルの表示] オプションを選択すると、最初のデータセットのみがデータ テーブルに表示されます。

7. [スタイル] タブで、スタンドアロン レポートを設定するのと同じ方法で次のフィールドを指定します。
8. [データセットを保存] をクリックします。

タスクの結果
このレポートは、追加のデータセットからの情報で生成されます。

別のグループ化または積み重ね基準を追加

ユーザーがグループ化とスタッキングを調整できるようにレポートを設定できます。

始める前に
必要なロール：itil、report_user

このタスクについて
ユーザーがグラフを表示するときに選択できる [追加のグループ化] と [積み重ね基準] の選択肢を構成します。グループをサポートする任意のレポート (棒グラフや円グラフなど) に別のグループを追加して、レポートを縦棒グラフとして一覧表示します。他のグループを棒グラフまたは水平棒グラフに設定すると、追加の積み重ね基準としても追加されます。変数と変数グループを他のグループ化として追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 利用可能な 積み重ね基準 フィールドは、カタログ変数、参照フィールド、選択リスト、およびブール値に制限されます。日付/時刻、整数、長整数、文字列、リスト、およびテキストフィールドは、積み重ねフィールドとして使用することはできません。
- メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。
- レポートで [追加のグループ化] フィールドを選択し、そのレポートをエクスポートすると、エクスポートにはレポートに設定された最初のグループ化のみが表示され、選択した追加のグループ化は表示されません。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. レポートを選択します。
3. [設定] タブで、[他のグループ化] をクリックします。
4. 1 つまたは複数のフィールドを [選択済み] リストに移動します。
5. オプション: 選択されたフィールドから全体に対して個々のアイテムの関係を示すために使用される [積み重ね基準] フィールドを選択します。

   (Optional) たとえば、インシデントの棒グラフをカテゴリ別にグループ化し、優先度別にスタックします。これにより、各カテゴリにおいて優先度の高い問題、中程度の問題、低い問題の割合を一目で判断できます。

   レポートを表示するユーザーは、これらのフィールドの 1 つを選択して、レポート データをグループ化またはスタックできます。レポートの [グループ] および [積み重ね基準] フィールド値がデフォルトの選択肢です。

   注:
   棒グラフと水平棒グラフのレポートでのみ積み重ねデータを使用します。他のレポート タイプでは、グループ化のみが可能です。

6. [選択済み] 列のフィールドをユーザーに表示する順序で配列します。
7. **[Close** (終了)] をクリックします。
8. [保存] を選択します。

インポートされた **Microsoft Excel** ドキュメントからレポートを作成する

インスタンスの外部で管理されているデータの Excel スプレッドシート (.xlsx ファイル) をインポートし、それらのファイルからレポートを作成できます。

始める前に
必要なロール:pa_admin、report_admin

インポートされたデータを使用してレポートを作成するには、パフォーマンス分析のサブスクリプションバージョンが必要です。「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
インポートされたデータには、次の制限が適用されます。

- 最大ファイル サイズは 2 MB です。
- 行の最大数は 10,000 です。列の最大数は 25 です。

  注:
  .xlsx ファイルを最大 50,000 行までインポートできますが、最初の 10,000 行だけがデータセットに表示されます。

- .xlsx ファイルの複数のシートの内、最初のシートだけがインポートされます。
- インポートされたファイルの最初の行と最初の列は空にできません。最初の行は、列名を識別するために使用されます。
- インポート後に列を結合したり、フィールドを計算したり、テーブルに他の変更を加えたりすることはできません。これらの変更は、インポートする前に行う必要があります。
- インポートされた .xlsx ファイルには、有効期限が指定されている必要があります。
- 所有者がインポート後にテーブルを削除すると、インポートされたテーブルに基づくレポートも削除されます。

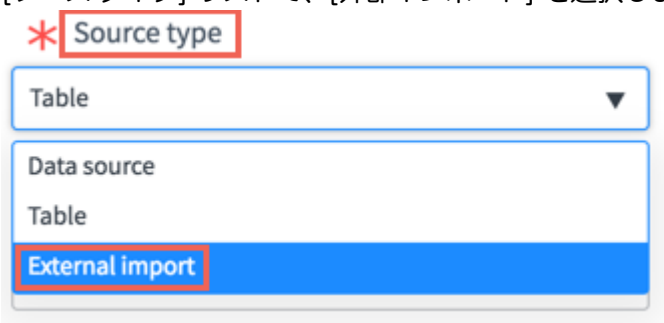
アクセス制御リストは、インポートされたデータに適用できます。詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

注:
インスタンスの外部で保持されている情報 (たとえば、定期的な第三者 データ) がある場合、この方法でレポート データをインポートすると便利です。外部データセットをインスタンスに永続的にインポートするには、「 インポートセットを使用したデータのインポート 」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. [ソース タイプ] リストで、[外部インポート] を選択します。



注:
[外部インポート] メニュー オプションは、パフォーマンスアナリティクスが有効な場合のみ使用できます。

4. インポートされた既存のレポートソースを選択するか、 アップロード アイコン ( ) アイコンを選択してファイルをインポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ファイルを選択してドロップゾーンにドラッグするか 、[ファイルの参照] を選択してファイルシステムから選択します。
b. アップロードしたファイルの名前を入力します。
c. ファイルの有効期限を設定します。この日付以降、インポートされたファイルは削除され、それに基づくレポートは使用できなくなります。
d. アップロードされたファイルの可視化 (すべてのユーザー、指定されたグループのユーザー、グループ、またはロール) を選択します。
e. [アップロード] を選択します。
f. [完了] を選択します。

5. [**Next** (次へ)] をクリックします。
6. **[** 種類] タブで、作成するレポートの種類を選択し、[次へ] を選択します。
特定のレポートの詳細については、「レポートタイプ」を参照してください。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

7. [設定] タブで、レポート タイプに適したフィールドに入力します。
8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

タスクの結果
レポートは外部ソースから作成されます。ダッシュボードのレポートには、レポートが一時的であり、外部データソースの有効期限が切れたときに期限切れになることを示すアイコンが表示されます。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

インポートされたデータソースを編集する

インスタンス外で保持されたデータを含むインポートされた Excel スプレッドシート (.xlsx ファイル) を編集できます。

始める前に
必要なロール:なし。ただし、データソースをインポートしたユーザーのみが編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. データソースのインポートに使用するレポートの名前をクリックして、レポート デザイナーでレポートを開きます。
3. [データ] タブで、外部インポートの名前の横にある鉛筆アイコン ( ) をクリックします。
4. [外部インポートを編集] ダイアログ ボックスで、これらの変更を加えることができます：

   ファイルを変更

   このオプションを選択して、同じ名前と構造の新しい .xlsx ファイルをアップロードします。

   名前

   外部インポートの新しい名前を指定します。この名前は、[外部インポート] リスト内のレポート デザイナーの [データ] タブに表示されます。

   有効期限

   外部インポートの新しい有効期限を設定します。

   この日付以降、インポートされたファイルは削除され、それに基づくレポートは使用できなくなります。

   表示対象

   アップロードされたファイルの可視化 (自分のみ、すべてのユーザー、またはカスタム) を変更します。[カスタム] を選択して、ユーザー、グループ、またはロールを指定します。

   [カスタム] を選択した場合 、[次へ] をクリックしてインポートしたファイルのデータを使用できるユーザーを選択し、[送信] をクリックします 。

5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
ファイルを変更した場合、インポートされたファイルに基づくレポートで、新しいファイルのデータが古いファイルのデータを置き換えます。変更された名前、有効期限、可視化がインポートされたファイルに適用されます。

メトリックベース時系列データからレポートを作成する

メトリックベースアプリケーションを使用して、メトリックベースデータから時系列レポートを作成します。

始める前に
メトリックベース 製品が必要です。これを取得するには、「 メトリックベース製品の要求 」を参照してください。メトリックベースの詳細については、「メトリックベース 」を参照してください。

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、レポートの情報を反映するレポート名を入力します。

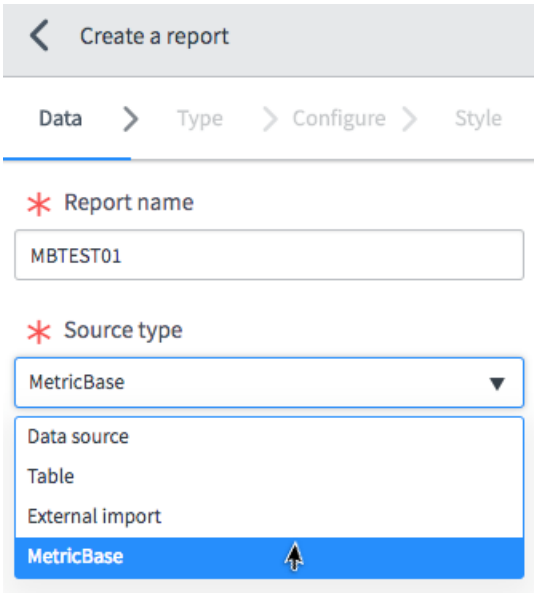
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [ソース タイプ] リストで、**[MetricBase]** を選択します。

   注:

   - [メトリックベース] メニューオプションは、インスタンスにメトリックベースがインストールされている場合にのみ使用できます。
   - データセットあたりの系列のデフォルトの最大数は 20 です。*glide.report.metric_max_series* システムプロパティを設定することで、最大値を 100 まで増やすことができます。ただし、10,000 個のデータ ポイントの制限により、データ セット内の系列の数を増やすと、系列あたりのデータ ポイントの数が少なくなります。
   - 系列ごとに表示できるデータ ポイントの合計数は、10,000 / (データセット内の実際の系列数 * データセットの数) です。例：
     - 20系列で使用された1つのデータセット:10K/(20 * 1)= 500
     - 20系列で2つのデータセットを使用: 10K / (20*2) = 250
     - 100系列で1つのデータセットを使用: 10K / (100*1) = 100
   - 系列内の実際のデータ ポイント数が制限を超えると、データがリサンプリングされます。



4. 既存の MetricBase テーブルを選択します。
5. [次へ] をクリックします。
6. 「 タイプ 」タブで、作成するレポートのタイプを選択し、「 次へ」をクリックします。時系列レポートのみを使用できます。特定のレポート タイプの詳細については、「レポートタイプ」を参照してください。更新されたレポートを表示するには、[実行] をクリックします。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[タブを構成] フォーム

フィールド	説明
Group By (グループ)	測定基準テーブルの該当するフィールドのいずれかでグループ化したレポートデータ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
メトリクス	メトリックベースデータベースで決定されたメトリクス。プラス アイコン (+) をクリックして、複数の測定基準を追加します。メトリクスごとに、1 つ以上の変換を設定できます。マイナス アイコン (-) をクリックして、測定基準を削除します。
変換	データが変更されます。 ○ レポートに生データを表示するには、変換なしを選択します。 ○ 変換を 1 つ選択します。 ○ 変換チェーンを作成するには、複数の変換を選択します。変換チェーンは、前の変換の結果に新しい変換を適用します。 詳細については、「MetricBase の変換」を参照してください。
時間範囲	レポートが対象とする期間。相対値は、現在時刻からの分、時間、日、月、または年の数です。絶対範囲では、レポートの開始時間と終了時間を指定できます。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポートの表示方法にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
詳細については、作成するレポートの [スタイル オプション] セクションを参照してください。
   - 面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション
   - 線グラフ レポートのスタイル オプション
   - ステップ ライン レポートのスタイル オプション
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

タスクの結果
レポートは MetricBase ソースから作成されます。レポートのビジュアル化が切り捨てられると、メッセージが表示されます。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MetricBase の変換

変換を使用すると、MetricBase データをさまざまな方法でビジュアル化できます。

利用可能な変換

ラベル変換以外のすべての変換は、測定基準データに適用できる数学関数です。複数の変換を適用して変換チェーンを作成します。

変換	Description (説明)
追加	データセットのデータ ポイントに指定された値を加算して結果を計算します。
Average (平均)	現在選択されているすべての測定基準の算術平均を計算します。
Bottom (下)	測定基準データセットに指定された値の最低数のみを表示します。
カイ 二乗	統計モデルがメトリクスデータセットにどの程度適合しているかを示します。
Count (カウント)	測定基準データセット内のデータ ポイントのカウントを示します。
分解する	予測モデルのコンポーネントを分離します。最小値と最大値の両方を分解して要求し、予測モデルの下限と上限を取得できます。
除算	データセット内のデータ ポイントを指定された値で除算して結果を計算します。
エンベロープ	測定基準データセットの最小値と最大値を表示します。
フィルター	指定された期間のスライドする時間枠中に、指定された集計関数を使用して計算された値を持つ新しい系列を生成します。スライドする 15 分の平均は、平均集計関数および 15 分の期間を活用して、フィルター変換を使用します。 サポートされているアグリゲーション関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
枠幅に合わせる (Fit)	モデルベースのトリガーで使用できる予測モデルを生成します。
変位値	基になるデータの指定された百分位数を表す値を持つ新しい系列を返します。たとえば、90 パーセンタイルと 99 パーセンタイルの応答時間を照会するには、[0.9,0.99] の配列を指定します。
補間	結果を計算するために指定された期間の新しいデータ ポイントを構築します。
ラベル	変換のラベルを設定できます。
最終	期間ウィンドウで最後に定義された値を返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変換	Description (説明)
ログ	データセット内のすべての値の自然対数を計算します。
最大	測定基準データセットの各時点での最大値を示します。
中央値	測定基準データセットの中央値を示します。中央値は、測定基準データセットの高い方の値と低い方の値を分離します。
最小	測定基準データセットの各時点での最小値を示します。
乗算	データセット内のデータ ポイントに指定された値を乗算して結果を計算します。
パーティション	指定された期間の固定期間にわたり指定された集計関数を使用して計算された値を持つ新しい系列を生成します。ベース (タイムスタンプ) を指定して、パーティションウィンドウを整列します。 サポートされているアグリゲーション関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
予測	メトリックベースモデルテーブル (mb_model) で選択した予測モデルによって生成された予測時系列データを実際のデータと比較します。予測データと実際のデータをグラフ化できます。予測トリガーは、予測値としきい値に基づいています。しきい値は、予測値の上下の値です。これらのしきい値から外れた実際のデータは、予測トリガーを実行します。
配置	時系列メトリクスを別の メトリックベース 時系列メトリクスにコピーします (例: `copyData('targetMetric').put()`)。
リサンプル	指定された期間に合わせてデータを展開または縮小します。期間を延長すると、集計関数が新しい期間に合わせてデータを結合するために使用されます。期間を短くすると、既存のデータが下位の期間に伝達されます。 サポートされているアグリゲーション関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
Standard Deviation (標準偏差)	基になるデータ間の標準偏差を計算します。測定基準データセット内の一連のデータ値の変動または分散を定量化するために使用されます。
減算	データセット内のデータ ポイントから指定された値を減算して結果を計算します。

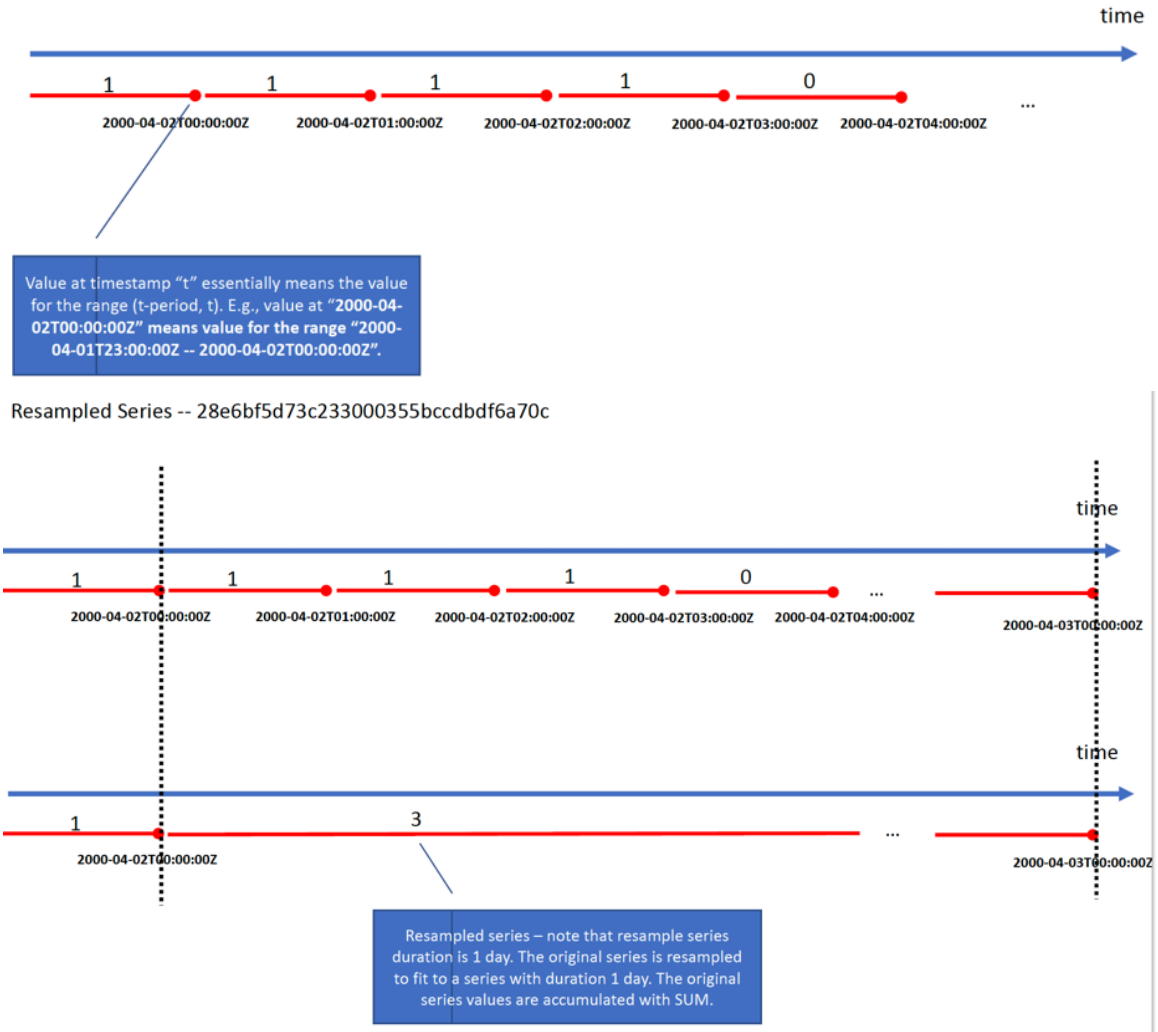
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変換	Description (説明)
合計	測定基準データセット内のデータ ポイントの合計を計算します。詳細については、「Sum 変換」を参照してください。
上	測定基準データセットに指定された値の最高数のみを表示します。

合計変換

タイムスタンプ "T" の値は、範囲 (T ピリオド、T) の値を示します。クエリでは、*sum()* は入力系列を与えます。系列が 1 つあり、元の系列を期間 = 1 日の新しい系列にリサンプリングします。元の系列を期間にリサンプリングすると、2 つのデータ ポイント (2000-04-02T00:00:00Z と 2000-04-03T00:00:00Z) が作成されます。データ ポイントが 1 つあるため、2000-04-02T00:00:00Z の値は 1 です。2000-04-03T00:00:00Z の値は、(2000-04-02T00:00:00Z, 2000-04-03T00:00:00Z) の範囲の値を集計することによって計算されます。値は 3 です。



この例では、

```
var startTime = new GlideDateTime('2000-04-02 00:00:00');
var endTime = new GlideDateTime('2000-04-02 23:00:00');
transformer.metric('u_cost').sum().resample('SUM', GlideDuration('1 00:00:00'))
```

は [4] ではなく [1, 3] です。

```
====== rest api result for GET ======
{
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
 "seriesRef": {
  "subject": "28e6bf5d73c233000355bccdbdf6a70c",
  "table": "sn_cld_intg_aws_cost_usage",
  "metric": "u_cost"
 },
 "label": "28e6bf5d73c233000355bccdbdf6a70c:sn_cld_intg_aws_cost_usage|u_cost",
 "values": [
  {
   "timestamp": "2000-04-02T00:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T01:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T02:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T03:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T04:00:00Z",
   "value": 0
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T05:00:00Z",
   "value": 0
  },
  ...
  {
   "timestamp": "2000-04-02T23:00:00Z",
   "value": 0
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-03T00:00:00Z",
   "value": 0
  }
 ]
}
```


フォームでグラフを設定する

変更要求などのフォームにレポートを追加し、レポートのビジュアル化を設定してフォームのユーザーに関連する情報を表示できます。設定は、現在のビューにのみ適用されます。

始める前に
必要なロール：admin

フォームでは、リスト、ピボット、マルチレベル ピボット、カレンダー、シングル スコアなどのレポート タイプはサポートされていません。

自動翻訳

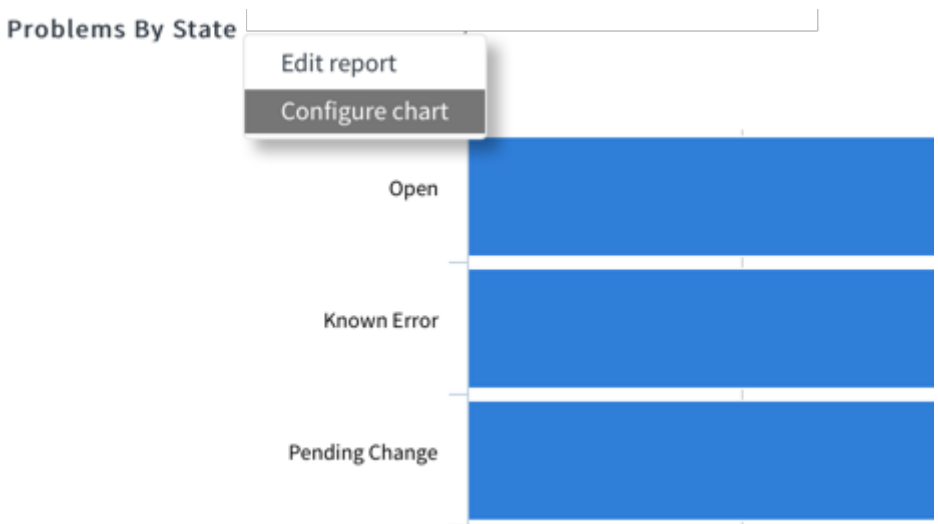
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. フィルター ナビゲータのレポートでフォームを設定するテーブルを選択し、レコードを選択します。
   たとえば、task.list からレコードを選択します。
2. コンテキストメニューから、 **Configure** (構成) > フォームレイアウト .
3. [利用可能] リストから、[選択済み] 列に *Chart を追加します。
   上向き矢印と下向き矢印を使用して、フォームにレポートを配置します。
4. オプション: チャートのラベルを指定します。
   ラベルは、フォームのレポートの横に表示されます。ラベルを指定しない場合は、「New Chart」というラベルが使用されます。
5. [保存] をクリックします。
   [チャートを構成] というテキスト付きの灰色のボックスが指定された位置のフォームに表示されます。
6. [チャートを構成] をクリックします。
7. 検索アイコン ( ) をクリックしてレポートを選択します。
8. オプション: チャートの高さを指定します。
   デフォルト値は 300 ピクセルです。
9. オプション: 選択したフィールドに基づいて、またはスクリプト化されたフィルターやエンコードされたクエリに基づいて、レポートのデータをフィルタリングできます。
   最初のフィールドはフォーム上に表示する必要があります。フォームにフィールドを追加するには、 **Configure** (構成) > フォームレイアウト [**Available Fields**] スラッシュバケットを使用します。

   [レポート条件拡張] タブで、レポートが更新されるフォーム フィールドと、フォーム フィールドが比較されるレポート ソース テーブルのフィールドを選択します。

   スクリプト化されたフィルターまたはエンコードされたクエリを指定するには、[高度な条件拡張] を選択し、[レポート品質] テキスト ボックスにスクリプトを貼り付けます。高度な条件拡張がある場合は、レポート条件拡張を上書きします。
10. [更新] をクリックします。
11. 設定を変更するには、ラベルを右クリックして [チャートを構成] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
選択したレポートは、選択したタイプと同じタイプのすべてのフォームに表示されます。これらのレポートは、レポート条件拡張に基づいてフィルタリングされます。

Jelly にレポートを埋め込む

UI ページなどの Jelly ベースの要素にレポートを埋め込むことができます。

埋め込みの有効化

Jelly にレポートを埋め込むには、次の要素を Jelly コードに追加します。

```
<g:inline template="reporting_includes.xml" />
```

このコードを追加した後、既存のレポートを埋め込むか、Jelly コード内でレポートを生成することができます。

既存のレポートを埋め込む

`embedReportById(targetSpan, reportId)` 関数を呼び出すことで、既存のレポートを埋め込むことができます。

たとえば、UI ページレコードの HTML/XML ブロックに以下を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    </j:jelly>
```

UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに以下を追加します。<report sys_id>をレポートの実際のsys_idに置き換えます。

```
var div = $j("#report_stuff");
embedReportById(div, <"report sys_id">);
```

または、JavaScript を HTML/XML ブロックの Jelly コード全体に埋め込むこともできます。クライアントスクリプトブロックのコードを <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    <script>
        var div = $j("#report_stuff");
        embedReportById(div, <"report sys_id">);
    </script>
    </j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
targetSpan	チャートを埋め込むための jQuery 要素。チャートはこの要素のサイズを使用します。
reportId	埋め込むレポートの sys_id。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの生成と埋め込み

embedReportByParams(targetSpan, parms) 関数を呼び出すことで、UI 内にレポートを埋め込むことができます。このようにレポートを埋め込む場合、パラメータを使用して新しいレポートを生成するか、レポート sys_id を指定してそのレポートを表示できます。

たとえば、UI ページレコードの HTML/XML ブロックに以下を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    </j:jelly>
```

UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに以下を追加します。

```
var params = {sysparm_title: "Average for all ratings", sysparm_field: "category", sysparm_type:
 "bar", sysparm_table: "asmt_category_result", sysparm_aggregate: "AVG", sysparm_sumfield:
 "rating"};
var div = $j("#report_stuff");
embedReportByParams(div, params);
```

または、JavaScript を Jelly コード内に埋め込むこともできます。クライアントスクリプトブロックのコードを <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    <script>
        var params = {sysparm_title: "Average for all ratings", sysparm_field: "category",
 sysparm_type: "bar", sysparm_table: "asmt_category_result", sysparm_aggregate: "AVG",
 sysparm_sumfield: "rating"};
        var div = $j("#report_stuff");
        embedReportByParams(div, params);
    </script>
    </j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
targetSpan	チャートを埋め込むための jQuery 要素。
parms	レポートを定義する JSON オブジェクト。利用可能なパラメータは、レポート タイプによって異なります。

リストレポートの生成と埋め込み

既存のリスト レポートを埋め込む場合、またはリスト レポートを生成して埋め込む場合は、もう 1 行のコードを入力する必要があります。

UI ページレコードの HTML/XML ブロックに以下を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <g:inline template="list2_js_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    </j:jelly>
```

UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに以下を追加します。<report sys_id>をレポートの実際のsys_idに置き換えます。

```
var div = $j("#report_stuff");
embedReportById(div, <"report sys_id">);
```

または、JavaScript を HTML/XML ブロックの Jelly コード全体に埋め込むこともできます。クライアントスクリプトブロックのコードを <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <g:inline template="list2_js_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    <script>
        var div = $j("#report_stuff");
        embedReportById(div, <"report sys_id">);
    </script>
    </j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
targetSpan	チャートを埋め込むための jQuery 要素。チャートはこの要素のサイズを使用します。
reportId	埋め込むレポートの sys_id。

埋め込みレポート パラメータ

Jelly 要素にレポートを埋め込む場合、パラメータを渡すことによっていつでもレポートを定義できます。

共通パラメータ

特定のパラメータは、複数のレポート タイプで使用されます。

共通パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
jvar_report_id	レポート レコードの sys_id。このパラメーターを渡す場合、他のパラメーターを指定しないでください。すべての値は、レポート レコードから取得されます。	
sysparm_report_id	レポート内に存在する他の sysparm パラメータを上書きする場合は、jvar_report_idの代わりにこのパラメータを使用します。	
sysparm_title	レポートのタイトル。	
sysparm_table	レポートするテーブル。この値または sysparm_report_source_id を指定しますが、両方を指定することはできません。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_report_source_id	レポート ソースの sys_id。この値または sysparm_table を指定しますが、両方を指定することはできません。両方を渡すと、sysparm_table の代わりにこの値が使用されます。	
sysparm_type	作成するレポートのタイプ。 可能な値:list、line、line_bar、area、spline、bar、horizontal_bar、pareto、hist、p および heat map。	線
sysparm_field	指定された表からデータをグループ化するためのフィールド。時系列、縦棒、棒、円、ドーナツ、じょうご、ピラミッド、ボックス、トレンド、およびトレンドボックスの各レポートに必要です。リストレポートの場合はオプションです。	
sysparm_query	レポートを生成する前にデータに適用するフィルター。この値にクエリ文字列を指定します。 特定のフィールドでクエリ結果をソートするには、 ^ORDERBY<field_name> または ^ORDERBYDES<field_name> をクエリ文字列の最後に追加します。ORDERBY は、クエリを昇順で並べ替えます。ORDERBYDES は、クエリを降順で並べ替えます。	
sysparm_aggregate	集計タイプ。 可能な値:AVG、COUNT、SUM、および COUNT_DISTINCT	COUNT (カウント)
sysparm_sumfield	データを集計するフィールド。このパラメータは、総数集計タイプを使用する場合は適用されません。	
sysparm_display_grid	レポートにデータグリッドを表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_show_other	その他のグループをレポートに表示するかどうかを制御する true/false 値。このグループは、グループ数が sysparm_others パラメータで指定された数を超えた場合にのみ表示されます。このパラメータは、棒、円、じょうご、ピラミッド、ピボット、ヒートマップなどのレポートに適用されます。	true
sysparm_others	表示する個々のデータ グループの最大数。追加のデータ グループは、他のグループに結合されます。このパラメータは、棒、円、じょうご、ピラミッド、ピボット、ヒート マップなどのレポートに適用されます。	
sysparm_source_type	埋め込みレポートのソース。オプション。 可能な値:table、metricbase、source、import	テーブル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_set_color	レポートの色設定。 可能な値:one_color、color_palette、several_colors	color_palette
sysparm_color_palette	レポートが使用するカラー パレット。このパラメータは、sysparm_set_color="color_palette" の場合に使用されます。 可能な値：カラー パレットの sys_id	デフォルト UI14
sysparm_color	レポートが使用する色。このパラメータは、sysparm_set_color="one_color" の場合に使用されます。 可能な値：色の sys_id	
sysparm_chart_colors	レポートが使用する一連のチャートの色。このパラメータは、sysparm_set_color="several_colors" の場合に使用されます。 可能な値：コンマで区切られた色の 16 進コードのリスト	
sysparm_show_marker	マーカーは、線の点またはグラフの別のグラフィック要素で表される値です。このパラメータは、マーカーを表示するかどうかを制御する true/false 値です。	true
sysparm_show_empty	空のグループ化値または傾向値を持つレコードをレポートに表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_stack_field	棒グラフおよび列レポートのスタッキングを制御するために使用されるフィールド。	
sysparm_bar_unstack	積み重ねデータが単一の棒グラフまたは列として表示されるか、複数の棒グラフとして表示されるかを制御する true/false 値。	false
sysparm_box_field	データを測定するために使用される数値フィールド。このパラメータは、ボックスおよびヒストグラムのレポートに必要です。	
sysparm_trend_field	傾向データを整理するために使用される日時フィールド。このパラメータは、時系列、トレンド、およびボックスのレポートに必要です。	
sysparm_trend_interval	トレンド値を測定する間隔。 可能な値:year、quarter、month、week、dayofweek、hour、および date。	年

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_compute_percent	レポートの割合を表示するときに使用する値。合計レコード数または指定された集計に基づいてパーセンテージを表示できます。 可能な値:aggregate と count	カウント
sysparm_funnel_neck_percent	1 ～ 100 の数字は、じょうごの首部であるじょうごレポートの割合を定義します。	30
sysparm_show_chart_data_label	レポートにデータ ラベルを表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_show_zero	マルチレベル ピボットおよびヒート マップ レポートにゼロを表示するかどうかを制御する true/false 値。	
sysparm_ct_row	ヒート マップおよびバブル レポートで行を定義するために使用されるフィールド。	
sysparm_ct_column	ヒート マップおよびバブル レポートで列を定義するために使用されるフィールド。	
sysparm_y_axis_category_fields	マルチレベル ピボット レポートの行を定義するために使用されるフィールド。コンマ区切りフィールド名を最大 5 つ指定します。	
sysparm_x_axis_category_fields	マルチレベル ピボット レポートで列を定義するために使用されるフィールド。コンマ区切りフィールド名を最大 3 つ指定します。	
sysparm_list_ui_view	ユーザーがレポートにドリルダウンする場合に使用するリスト ビューの sys_id。	
sysparm_show_marker	レポート上のプロットされたすべての点にマーカーを表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_apply_alias	構成済みエイリアスが埋め込みレポートに表示されるかどうかを制御する true/false 値。	

サービス カタログ パラメータ

特定のパラメータは、要求アイテム [sc_req_item] テーブルなど、サービス カタログ テーブルで作成されたレポートにのみ適用されます。これらのパラメータは、リストまたはカレンダー タイプのレポートでは使用できません。

サービス カタログ レポート パラメータ

パラメータ	説明
sysparm_sc_groupby_item_id	カタログ アイテムの sys_id。カタログ変数値に基づいてサービスカタログレポートをグループ化するには、このパラメーターを *sysparm_sc_groupby_variable_id* パラメーターと一緒に使用します。これらのパラメータは、サービスカタログ変数をグループ化するときに *sysparm_field* パラメータを置き換えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービス カタログ レポート パラメータ (続く)

パラメータ	説明
sysparm_sc_groupby_variable_id	レポート上のデータのグループ化方法を決定するために使用されるカタログ アイテム変数の sys_id。この変数は、*sysparm_sc_groupby_item_id* パラメーターで指定されたカタログ・アイテムに属している必要があります。
sysparm_sc_stackby_item_id	カタログ アイテムの sys_id。このパラメータを *sysparm_sc_stackby_variable_id* パラメータと一緒に使用して、カタログ変数値に基づいてサービス・カタログレポートをスタックします。これらのパラメータは、サービスカタログ変数をグループ化するときに*sysparm_stack_field* パラメータを置き換えます。棒グラフ レポートなどスタッキングをサポートするレポートのみがこれらのパラメータをサポートします。
sysparm_sc_stackby_variable_id	レポート上のデータのグループ化方法を決定するために使用されるカタログ アイテム変数の sys_id。この変数は、*sysparm_sc_stackby_item_id* パラメーターで指定されたカタログ・アイテムに属している必要があります。

MetricBase パラメータ

埋め込みレポートで MetricBase を使用するには、sysparm_source_type パラメータを「metricbase」に設定する必要があります。

MetricBase には次の構文を持つ sysparm_custom_configuration パラメータも必要です。

```
sysparm_custom_config:
 "{query_condition:\"\",transforms:[{transform:{transform:\"Reference\",name:\"chart-subje
cts\"},metric:\"mb_metricname\"}], group_by:\"\", table:\"mb_tablename\"}";
```

この構文では：

- 変換は、ネストされた一連の変換関数です。すべてのチェーンの最後の変換は、常に参照変換である必要があります。

  ```
  {transform:\"Reference\",name:\"chart-subjects\"}
  ```

- メトリクスは、メトリクステーブルのメトリクスフィールドです。
- group-by フィールドは、時系列がグループ化される、選択されたメトリクステーブルのフィールドです。
- テーブル はメトリクステーブルを参照します
- mb_... プレースホルダー名である

group-by を除き、すべての属性が必要です。

グラフ固有のパラメータ

特定のパラメータは特定のレポート タイプに対してのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ レポート パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_chart_total	グループ化されたドーナツの合計スコアをレポートの中央に表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_donut_width_percent	ドーナツ レポートの幅を制御する 1 ～ 100 の数値。	50

ヒートマップ パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_use_color_heatmap	ヒートマップがグラデーションを使用してレポートに色を付けるかどうかを制御する true/false 値。true の場合、sysparm_axis_max_color および sysparm_axis_min_color の値が使用されます。	true
sysparm_axis_max_color	ヒートマップ グラデーションで使用される色で、高い値を示します。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	UI14 青
sysparm_axis_min_color	ヒートマップ グラデーションで使用される色で、低い値を示します。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	白

ダイヤル パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_gauge_autoscale	ダイヤルがレポートの最小スケールと最大スケールを自動的に計算するかどうかを制御する true/false 値。この値を false に設定する場合、sysparm_from および sysparm_to の値を指定する必要があります。	true
sysparm_from	軸のスケールの最小値を定義する数値。	
sysparm_to	軸のスケールの最大値を定義する数値。	
sysparm_upper_limit	ダイヤルの上限しきい値を定義する数値。値を指定しない場合、ダイヤルには上限のしきい値がありません。	
sysparm_lower_limit	ダイヤルの下限しきい値を定義する数値。値を指定しない場合、ダイヤルには下限しきい値がありません。	
sysparm_direction	レポートでどちらの値が正の値であるか、低い値か高い値かを制御する値。 可能な値:minimize と maximize。	最小化

グラフ サイズ パラメータ

特定のパラメータは、レポートの幅と高さを制御します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズ パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_chart_size	レポート内のグラフのサイズ。有効な値は、small、medium、および large です。	大
sysparm_custom_chart_size	*sysparm_chart_size*パラメーターのサイズオプションを使用する代わりに、カスタムのチャートの高さと幅の値を指定するには、このパラメーターを有効にします。	false
sysparm_custom_chart_height	レポート内のグラフの高さ (ピクセル単位)。	
sysparm_custom_chart_width	レポート内のチャートの幅（ピクセル単位）。	

グラフ タイトル パラメータ

特定のパラメータは、タイトルを表示するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポートタイプには、時系列、棒、縦棒、円、ドーナツ、ダイヤル、トレンド、ボックス、トレンドボックス、ヒストグラム、ピラミッド、ヒートマップ、じょうご、およびコントロールのレポートが含まれます。

タイトル パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_report_title_size	タイトルのフォント サイズを定義する数値。	16
sysparm_report_title_color	タイトル テキストの色。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	黒
ysparm_title_horizontal_alignment	タイトルはレポートに対して水平に配置されます。この値は、sysparm_custom_report_title_position が false の場合にのみ使用されます。 可能な値は、left、center、および right です。	中心
sysparm_title_vertical_alignment	タイトルはレポートに対して垂直に配置されます。この値は、sysparm_custom_report_title_position が false の場合にのみ使用されます。 可能な値:top、middle、および bottom	上
sysparm_custom_report_title_position	相対的な配置ではなく、X 座標と Y 座標でレポート タイトルの位置を定義するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_report_title_x_position	レポート上のタイトルの X 位置を定義する数値。この値は、sysparm_custom_report_title_position が true の場合にのみ使用されます。	0
sysparm_report_title_y_position	レポート上のタイトルの Y 位置を定義する数値。この値	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
	は、sysparm_custom_report_title_position が true の場合にのみ使用されます。	

グラフの境界線のパラメータ

特定のパラメータは、境界線を表示するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポートタイプには、時系列、棒グラフ、縦棒グラフ、円グラフ、ドーナツグラフ、ダイヤルグラフ、トレンド、ボックス、トレンドボックス、ヒストグラム、ピラミッドグラフ、ヒートマップ、じょうご、およびコントロールレポートが含まれます。

境界線パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_report_border	レポートに境界線を表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_report_border_width	境界線の幅をピクセル単位で定義する数値。	1
sysparm_report_border_radius	境界線の角の半径サイズをピクセル単位で定義する数値。	0

凡例パラメータ

特定のパラメータは、凡例を表示するレポートでのみ使用できます。これらのレポートタイプには、円、ドーナツ、積み重ね棒、積み上げ縦棒、時系列、トレンド、ボックス、ヒストグラム、ピラミッド、コントロール、およびヒートマップのレポートが含まれます。

凡例パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_legend	レポートに凡例を表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_legend_horizontal_alignment	凡例はレポートに対して水平に配置されます。 可能な値:left、center、および right。	center
sysparm_legend_vertical_alignment	凡例は、レポートに対して垂直に配置されます。 可能な値:top、middle、および bottom	下
sysparm_show_legend_border	凡例に境界線を表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_legend_border_width	凡例の境界線の幅をピクセル単位で定義する数値。	1
sysparm_legend_border_radius	凡例境界線の角の半径のサイズをピクセル単位で定義する数値。	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

X 軸パラメータ

特定のパラメータは、X 軸を使用するレポートでのみ使用できます。これらのレポート タイプには、棒、水平棒、パレート、列、ライン エリア、スプライン、ボックス、トレンド ボックス、コントロール、およびトレンドのレポートが含まれます。

X 軸パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_x_axis_title	X 軸に表示する名前。	
sysparm_x_axis_title_size	X 軸タイトルのフォント サイズを定義する数値。	
sysparm_x_axis_title_bold	X 軸のタイトル テキストを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_x_axis_opposite	X 軸をレポートの上部に表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_display_grid	垂直グリッド線を X 軸から表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_grid_dotted	垂直グリッド線を点描するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_label_size	X 軸のインクリメント ラベルのフォント サイズを定義する数値。	11
sysparm_x_axis_label_bold	X 軸のインクリメントラベルを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	false

Y 軸パラメータ

特定のパラメータは、Y 軸を使用するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポートタイプには、棒、水平棒、パレート図、縦棒、ライン面、スプライン、ボックス、トレンドボックス、コントロール、およびトレンドのレポートが含まれます。

Y 軸パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_y_axis_title	Y 軸に表示する名前。	レポート集計の自動生成された説明
sysparm_y_axis_title_size	Y 軸タイトルのフォント サイズを定義する数値。	
sysparm_y_axis_title_bold	Y 軸のタイトル テキストを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_y_axis_opposite	Y 軸をレポートの左側に表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_y_axis_display_grid	水平グリッド線を Y 軸から表示するかどうかを制御する true/false 値。	true

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Y 軸パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_y_axis_grid_dotted	水平グリッド線を点描するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_y_axis_label_size	Y 軸のインクリメント ラベルのフォント サイズを定義する数値。	12
sysparm_y_axis_label_bold	Y 軸のインクリメント ラベルを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_y_axis_from	Y 軸に表示される最小値を定義する数値。	
sysparm_y_axis_to	Y 軸に表示される最高値を定義する数値。	

拡張テーブルに関するレポート

単一のレポートでタスク テーブルを拡張するテーブルからのフィールドを含める方法を学びます。たとえば、インシデントと問題の両方を単一のレポートに含めることができます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。拡張テーブルに固有の列をレポートに含めるには、admin ロールを持つユーザーがシステム プロパティ [glide.ui.list.allow_extended_fields] を有効にする必要があります。

1. 移動先 システムプロパティ > **UI** プロパティ.
2. [ベーステーブルリスト (タスク、cmdb_ciなど) に拡張テーブルフィールド (incident_state、os_version など) を含めることを許可し、拡張テーブルフィールド **(glide.ui.list.allow_extended_fields)** のフィルタリングを許可するプロパティを有効にします。
3. ページ下部の [保存] をクリックします。

必要なロール:report_admin

このタスクについて

親テーブルから始めて拡張テーブルのフィールドをレポートに含める方法については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

ドット連結では利用できない拡張テーブルにフィールドを含める方法

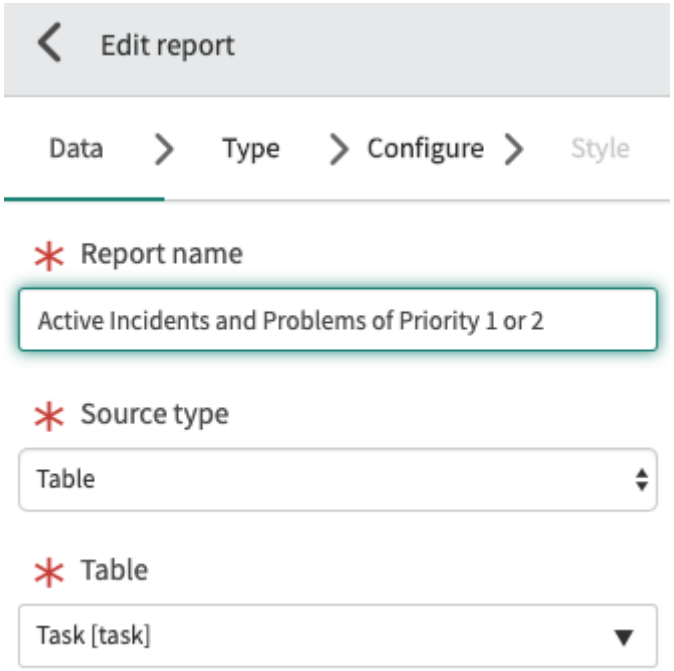
このビデオでは、レポート デザイナーを使用して複数のテーブルのデータでレポートを作成する方法を説明します。レポートには、タスクテーブルの子テーブルであるインシデントと問題の両方が含まれています。優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題レポートの作成方法は次のとおりです。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [Data] タブで、レポートに「 Active Incidents and Problems of Priority 1 or 2」という名前を付け、[Source type] テーブルを選択し、[Task [task]] というテーブルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

4. [構成] タブで、タスクタイプ別にグループ化し、[保存] をクリックします。
   リストレポートが更新され、すべてのタスクがそのタイプに折りたたまれます。

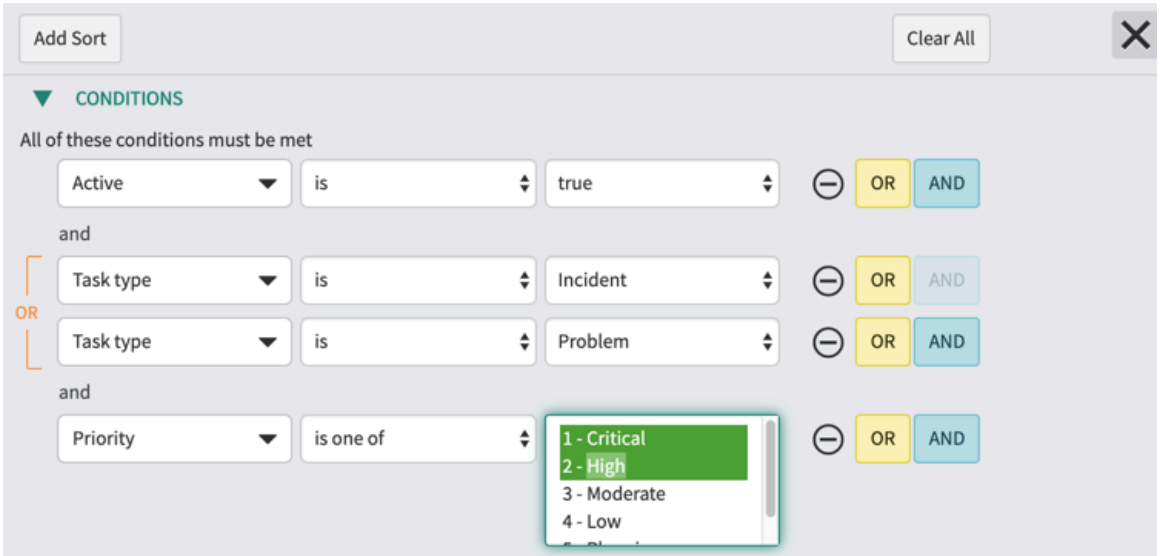


5. フィルターアイコン ( ) をクリックして、条件ビルダーを開きます。
   条件ビルダーを使用して、レポートの表示を必要な情報のみに制限します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 優先度が 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題のみを表示するには、これらの条件を設定して [保存] をクリックします。
   - [アクティブ] が true です。
   - タスクタイプがインシデント、またはタスクタイプが問題。
   - 優先度は [1 - 重大] または [2 - 高] のいずれかです。



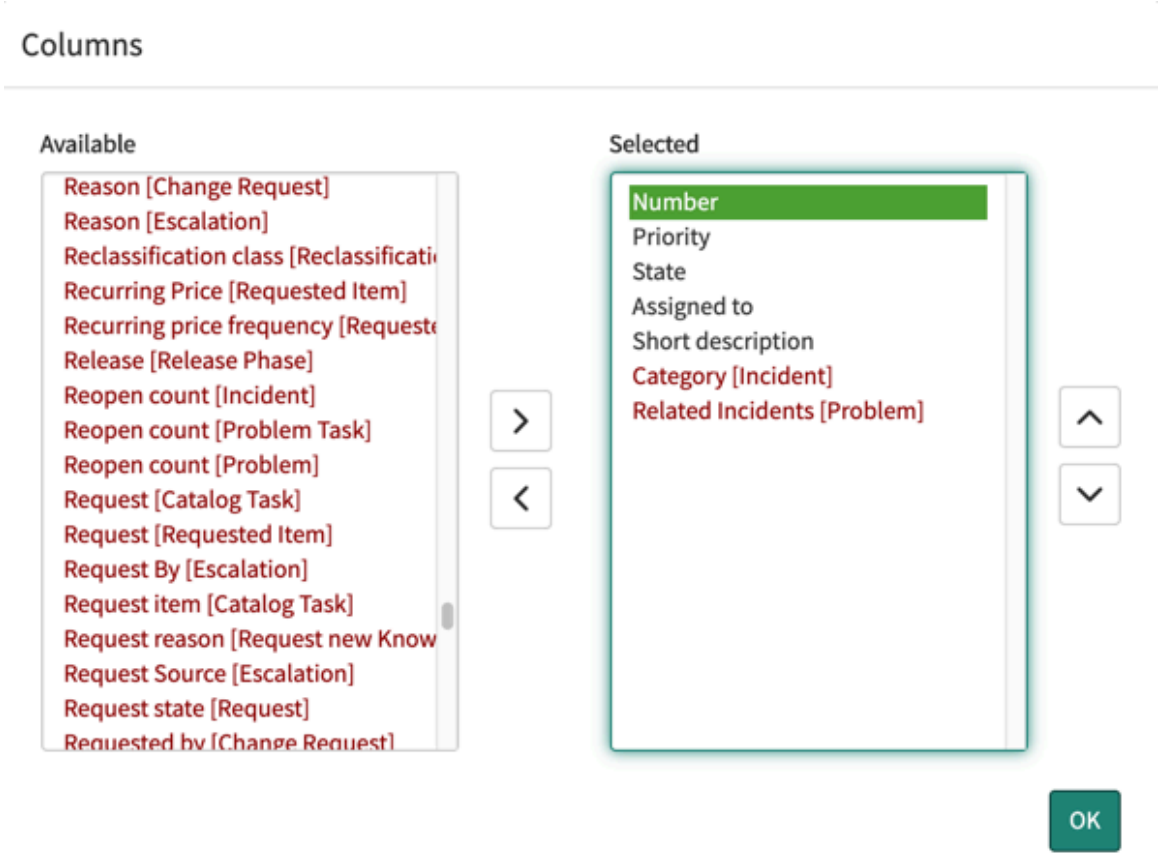
新しいレポートには、2 つのタスクタイプしかありません。アクティブなタスクのみを選択したため、各カテゴリのタスクの数も少なくなります。



7. カテゴリ [インシデント] および関連インシデント [問題] という拡張テーブルフィールドを含む、レポートに表示する列を選択し、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



カテゴリ [Incident] フィールドと関連インシデント [Problem] フィールドは、拡張テーブル (インシデントと問題) に固有です。これらは、[タスク] テーブルで使用可能な列のリストの一番下に表示されます。これらの 2 つのフィールドは、[ベーステーブルリストに拡張テーブルフィールドを含めることを許可する] プロパティと [拡張テーブルフィールドでのフィルタリングを許可する (glide.ui.list.allow_extended_fields)] を有効にしたために使用できます。
このレポートには、オープンインシデントとそのカテゴリ、およびオープンな問題とその関連インシデントの数が表示されます。

レポートの関連テーブル

ビデオを見て、ドット連結、動的フィルター、およびデータベース ビューを使用して拡張または関連テーブルのデータにアクセスする方法を学んでください。

ドット連結を使用して拡張テーブルまたは関連テーブルのデータをレポートに含める方法については、この 5 分間のビデオをご覧ください。このビデオでは、レポートでの動的フィルターの使用とデータベースビューのレポートについても説明します。 ドット連結とデータベース ビューを使用して、拡張または関連テーブルのデータをレポートに含める方法。

ドット連結を使用した拡張テーブル フィールドのレポート

ドット連結は、拡張または関連テーブルのフィールドへのアクセスを提供します。これにより、それらのテーブルのフィールドをレポートすることができます。

レポートを作成または編集するときは、[構成] タブの [グループ/積み重ね基準]、[列/行]、または [傾向] フィールドから拡張テーブルの参照にアクセスできます。[ソートを追加] オプションを使用すると、拡張テーブルに適用可能な参照フィールドのソート順を設定することもできます。他のテーブルを参照するテーブルには、矢印 ( ) アイコンが付きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

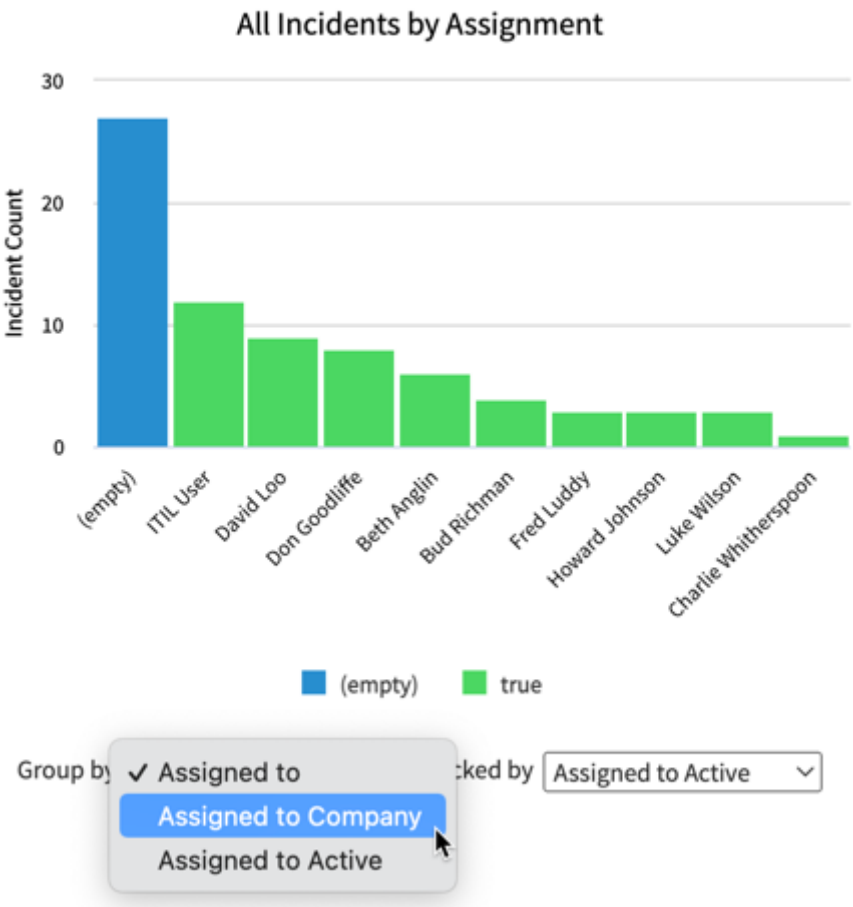
自動翻訳

ドット連結は、ドット (ピリオド) で区切られたフィールド名のチェーンを作成することによりフィールドを参照します。たとえば、 *incident.assigned_to.company* インシデントに割り当てられたユーザーの会社を参照します。チェーンの長さの上限は 3 レベルを推奨します。

1. インシデント テーブルのレポートで、[構成] タブの [他のグループ化] を選択します。
2. [アサイン先 [+]] を選択し、構造アイコン ( ) を選択します。

   ユーザーテーブルに関連フィールドが表示されます。
3. 会社 [+] を [選択済み] 列に移動し、 [**OK]** を選択します。
4. レポートを保存します。

   [Assigned to Company] は、レポートの [Group by] リストのオプションです。この例では、[Active (アクティブ)] フィールドが構成済みの [Stack by (積み重ね基準)] オプションであるため、[Assigned to Active (アクティブにアサイン済み)] と表示されます。



関連情報

ドット連結の例

レポートの **FX** 通貨値

FX (外国為替) 通貨を使用して、複数の通貨でプロジェクトを管理します。プロジェクトに関するレポートは、ユーザーが入力した通貨値、参照通貨、またはその両方で行うことができます。

注:
FX 通貨機能を使用するためにプラグインをインストールする必要はありません。この機能は、デフォルトで有効になっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FX 通貨機能の詳細については、「」を参照してください。レポートのコンテキストでは、他の通貨が換算される参照通貨で集計することが重要です。

> **注:**
> 複数の通貨がある場合、計算できない場合があります。集計ソースまたはフィルター条件を変更してレポートを表示します。

FX 通貨フィールドで [平均] または [合計] で集計する場合は、[集計ソース] を選択します。

FX 通貨構成の使用

FX 通貨構成テーブルに基づいて値を計算します。詳細については、「 FX 通貨フィールドの設定と操作 」を参照してください。

入力値として

ユーザーが入力した通貨値に基づいて値を計算します。

> **注:**
> このオプションを選択すると、異なる通貨で入力された金額を適切に集計できない場合があります。たとえば、米ドル、円、およびユーロの通貨金額があるとします。一度に 1 つの通貨でのみ値を集計できます。異なる通貨でレコードを集計すると、このエラーが表示されます:「レポートを生成できません。通貨コードが一致しません。「 通貨の不一致の例」を参照してください。

参照値

参照通貨に基づいて値を計算します。

FX 通貨フィールドに関するレポート

FX 通貨フィールドでレポートする場合、エラーを生成する可能性がある特定の制限があります。これらのエラーは集計に関連しています。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、レポートに名前を付け、FX 通貨フィールドを含むソース テーブルを選択して、[次へ] をクリックします。
   ソースには FX 通貨フィールドが必要です。FX 通貨フィールドの設定と操作 を参照してください。
3. [タイプ] タブで、使用するビジュアリゼーションタイプを選択します。
   「レポートタイプ」を参照してください。
4. [構成] タブで、レポートをグループ化、積み重ね、集計する方法を選択します。
   一度に 1 つの通貨でのみ値を集計できます。FX 通貨フィールドで異なる通貨でレコードを集計すると、このエラーが表示されます:「レポートを生成できません。通貨コードが一致しません。

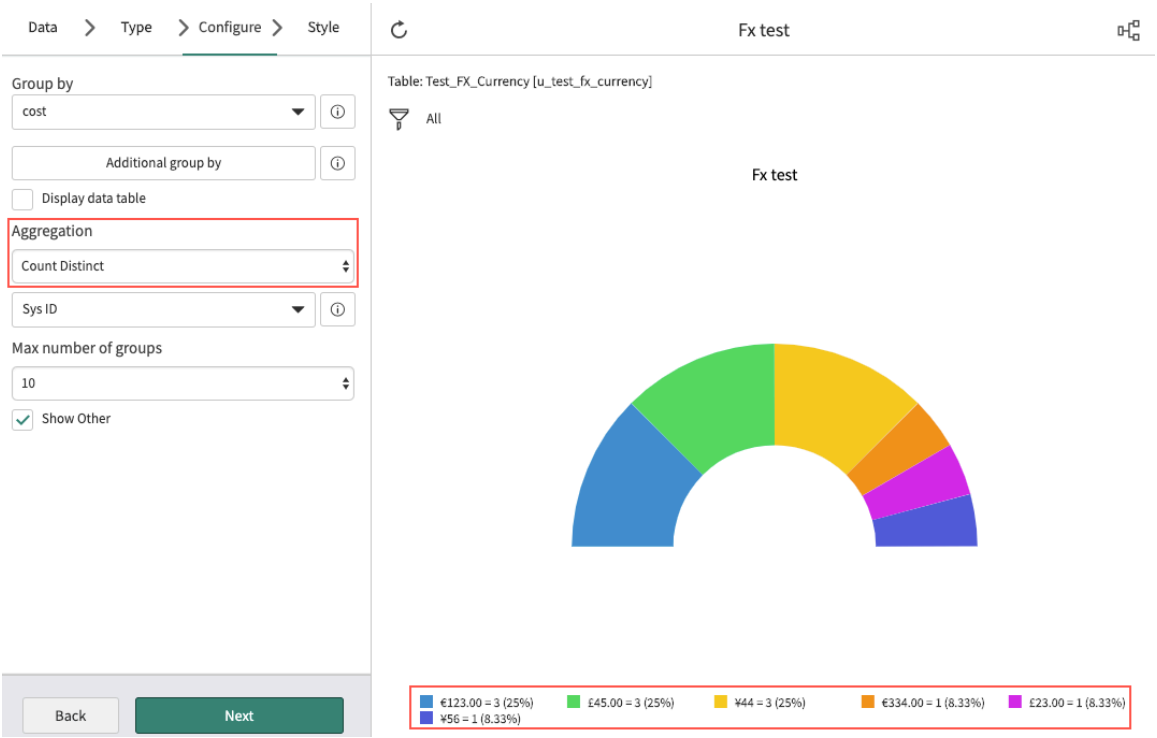
通貨の不一致の例

FX 通貨テーブルでレポートする場合、グループと集計タイプの一部の組み合わせは計算できません。これらの組み合わせでは、「レポートを生成できません。一致しない通貨コードがあります。アグリゲーションソースまたはフィルター条件を変更してください。

このレポートのソースには、ユーロ、日本円、および英国ポンドのコストがあります。この可視化では、個別のカウントごとにコストが集計されます。つまり、個々の値には独自のセグメントが与えられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



複数の通貨でコストを合計または平均して集計しようとすると、いくつかの結果が考えられます。

集計ソースは FX 通貨構成を使用

通貨が一致しないため、計算を実行できません。

集計ソースは入力値として

通常、入力された値も複数の通貨であり、計算を実行することはできません。

集計ソースは参照値

この場合、値は計算前に参照値に変換され、レポートが生成されます。詳細については、「フォームの FX 通貨値について」を参照してください。

[store-future: BEGIN review]

通貨の不一致に関する一般的なガイドライン

FX 通貨テーブルでレポートする場合、グループと集計タイプの一部の組み合わせは計算できません。これらの組み合わせはエラーメッセージを返します。

不一致通貨の概要

エラーメッセージが表示されると、「レポートを生成できません。一致しない通貨コードがあります。Change your aggregation source or filter conditions」をクリックすると、通貨の不一致の問題を修正できます。

複数の通貨でコストを合計または平均で集計しようとする場合、いくつかの理由が考えられます。

集計ソースは FX 通貨構成を使用

通貨が一致しないため、計算を実行できません。

集計ソースは入力値として

通常、入力された値も複数の通貨であり、計算を実行することはできません。

集計ソースは参照値

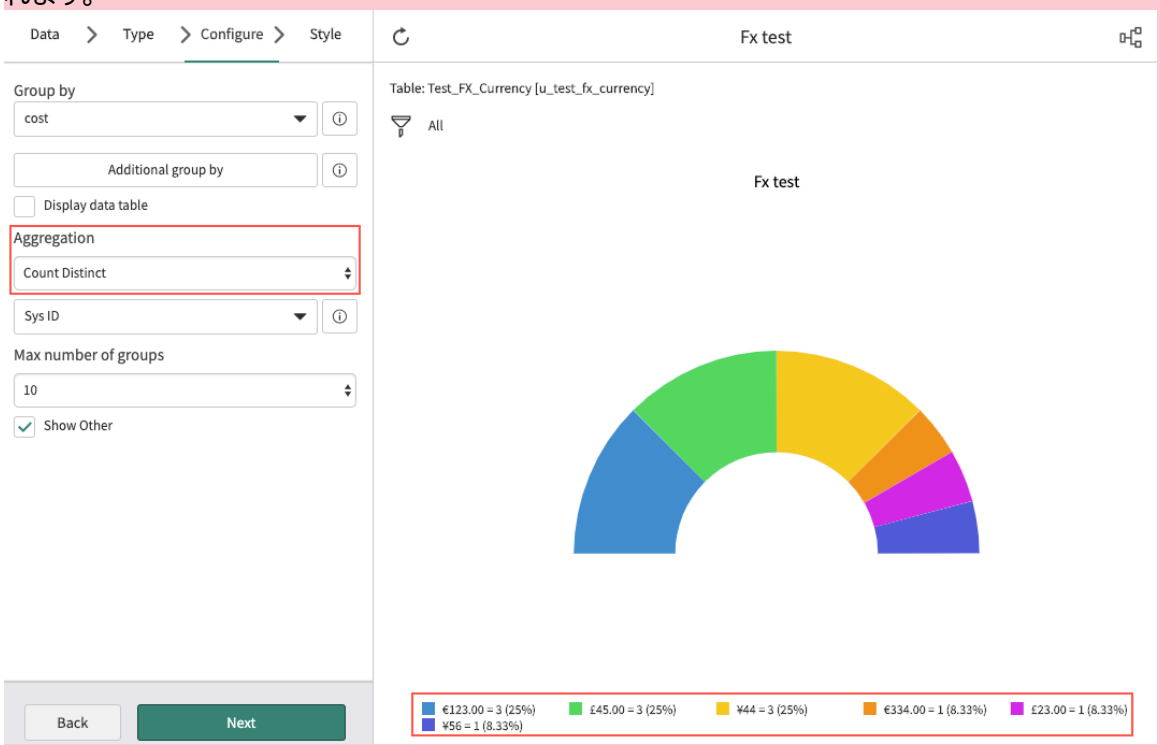
この場合、値は計算前に参照値に変換され、レポートが生成されます。詳細については、「フォームの FX 通貨値について」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例

このレポートのソースには、ユーロ、日本円、および英国ポンドのコストがあります。この可視化では、個別のカウントごとにコストが集計されます。つまり、個々の値には独自のセグメントが与えられます。



関連情報

https://nowlearning.servicenow.com/
[End]

自動翻訳

サービス カタログ変数のレポート

選択したサービス カタログ アイテムの変数別にグループ化されたレポートを作成します。同じ変数でフィルターを作成することもできます。

変数に関するレポートは、たとえば、特定のカタログアイテムがインスタンスで有用かどうかを判断するのに役立ちます。

また、同じ変数に対してフィルターを作成することもできます。たとえば、特定の携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GBのストレージを持つ電話機のみを表示するレポートを作成できます。

データベースビューでのカタログ変数のドット連結、フィルタリング、および使用に関する概要ビデオは、「 カタログ変数のレポート 」でご覧ください。

- 変数別にグループ化するには、「サービスカタログ変数によるレポートのグループ化」を参照してください。
- レポートをフィールドでグループ化し、変数でグループ化するには、「 他の変数別のグループをサービス カタログ レポートに追加する」を参照してください。
- 変数フィールドをリスト レポートに追加するには、「変数列を含むリスト レポートを作成する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコード・プロデューサの場合、レポートの作成中に質問にフィルターを指定することで、設定された条件に基づいてレコードがフィルタリングされるようにすることができます。次のタイプの質問は、条件ビルダーに表示されません。

- ラベル
- リッチテキストラベル
- マクロ
- コンテナ

可変質問のレポートについては、以下を参照してください。 質問に関するレポート

レポートでサービス・カタログ変数を使用する

サービス カタログ データのレポートでは、変数を積み重ねてグループ化し、リスト レポートでは列として、またマルチレベル ピボット テーブルでは列と行として変数を使用します。

始める前に

必要なロール:グローバル レポートの場合は itil、report_user、report_global、グループ レポートの場合は report_group。

report_adminロールを持つユーザーは、サービスカタログ変数についてレポートできます。オプション [sc_item_option]、変数所有権 [sc_item_option_mtom]、変数 [item_option_new] テーブルの ACL にreport_adminロールを追加します。

注:

- 変数を使用するレポートは、要求アイテムテーブル [sc_req_item] またはカタログタスクテーブル [sc_task] に基づいている必要があります。他のタイプの変数を使用すると、レポートを生成するときにエラーが発生します。
- Oracle Database CLOBフィールドには、レポート内の変数データを取得する機能はありません。4000 バイト未満の列文字列フィールドの場合は、列の型を varchar2 に変更できます。小さいサイズのCLOB列を比較するには、to_char()関数を使用します。サイズの CLOB が大きい場合は、dbms_lob.substr 関数を使用して比較用のサブストリングを取得する必要があります。

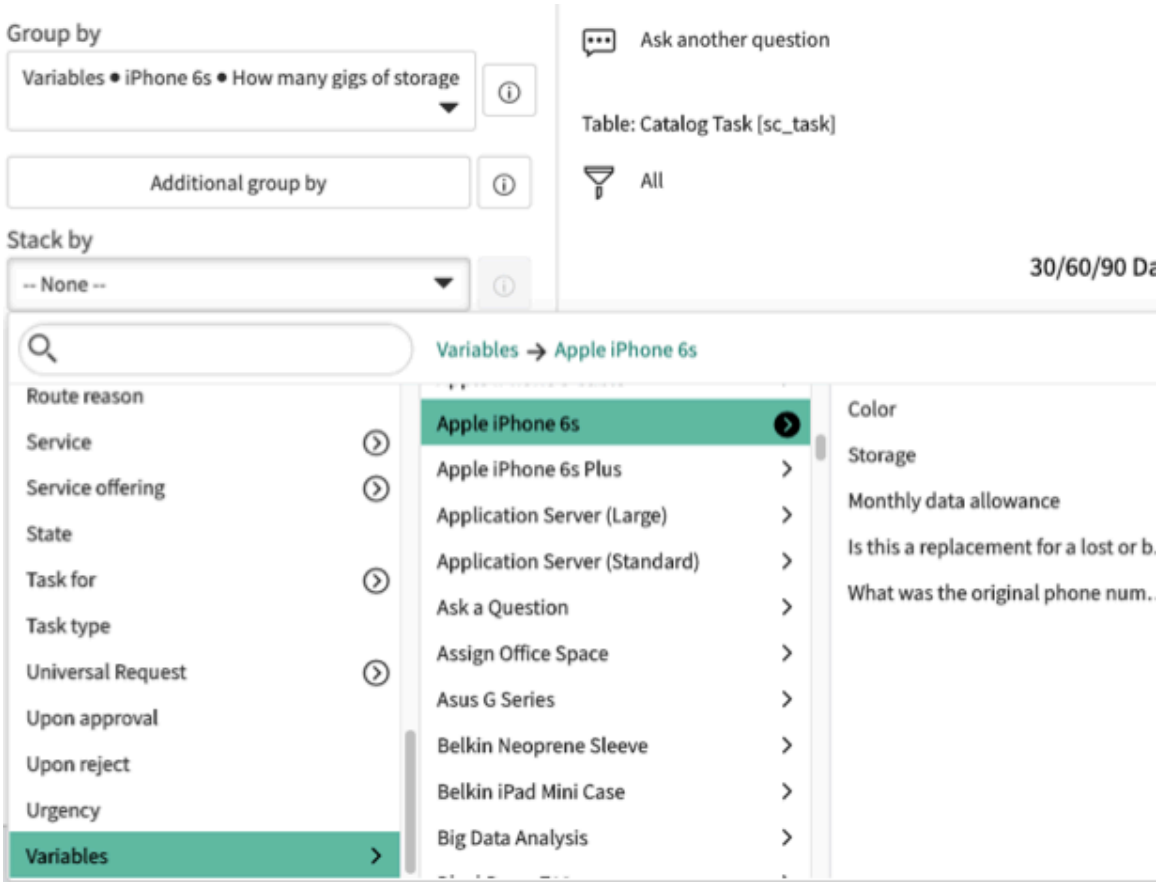
このタスクについて

プライマリの [グループ] と [積み重ね基準] の場合、これらの手順は直感的です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[グループ] フィールドと [積み重ね基準] フィールドでの変数の使用



注:
リスト、ボックス、トレンドボックス、およびピボットの各レポートは、サービス カタログ変数をプライマリまたはセカンダリの [グループ] として使用できません 。シングル スコア、カレンダー、コントロール、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも [グループ] をサポートしていません。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

変数は、追加の [グループ] として、リスト レポートの列として、またはマルチレベル ピボット テーブルの列または行として使用します。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/作成 をクリックし、変数を追加するレポートを開きます。
2. 次のいずれかを実行します。

オプション	説明
リスト レポートに列として追加する	[構成] タブで、[**Variables+]** を [選択済み] 列に移動します。
別のグループとして追加	[構成] タブで [追加のグループ化] をクリックし、[追加のグループ化] リストの [選択済み] の一番下にある [変数] **+** を移動します。
マルチレベルピボットテーブルに列または行として追加する	[列を選択] または [行を選択] をクリックし、リストの下部にある [変数**+**] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
	注: ○ 最初に変数をメインの [グループ] にしてレポートを作成した場合、レポートは常に内部結合として動作します。 ○ 最初にプライマリ グループ用の通常のフィールドと変数のセカンダリ グループを使用してレポートを作成すると、外部結合として機能します。

3. 構造アイコン ( ) をクリックし、表示されるプラス記号をクリックします。
   サービス カタログ アイテムのリストが表示されます。
4. 変数を含むカタログアイテムを選択します。
   そのアイテムの変数が [利用可能] リストに表示されます。
5. 使用する変数を [選択済み] 列に移動します。
6. レポートを [保存] します。

サービスカタログ変数によるレポートのグループ化

選択したサービス カタログ アイテムで変数別にグループ化されたレポートを作成できます。さらに、同じ変数でフィルターを作成することもできます。たとえば、携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、ストレージ容量が 32 GB の電話機のみを表示するレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

これらのステップは、レポート ソースに関連付けられた変数があるかぎり、任意のレポート タイプに適用できます。レポートソースに変数がない場合、[変数] オプションは [グループ] フィールドと [積み重ね基準] フィールドに表示されません。

注:
リスト、ボックス、Trendbox、およびピボットの各レポートでは、サービスカタログ変数をプライマリまたはセカンダリの [グループ化] として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも グループ化 をサポートしていません。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポートソースには 2 種類あります。

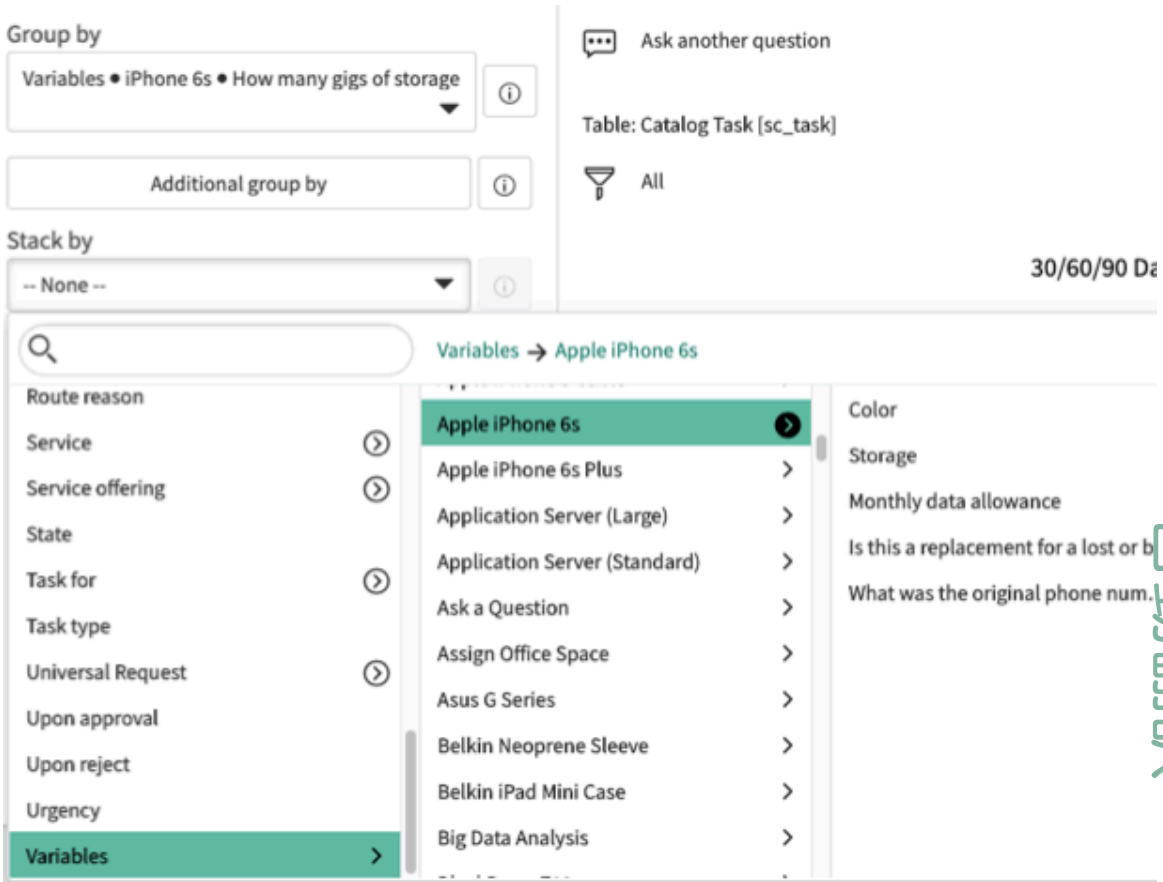
レポートソース	**Description** (説明)
データソース	すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されているテーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートソース	**Description** (説明)
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [種類] タブで、レポートの種類を選択し、[次へ] を選択します。
6. [設定] タブで、[グループ] または [積み重ね基準] フィルターから [変数] を選択します。



7. グループ化または積み重ねの基準となるアイテムに関連付けられた変数を検索して選択します。
8. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
   「レポートタイプ」を参照してください。

他の変数別のグループをサービス カタログ レポートに追加する

選択したサービス カタログ アイテムでは、他の変数別のグループを持つ任意のフィールドによりグループ化されたレポートを作成できます。さらに、同じ変数でフィルターを作成することもできます。たとえば、携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、ストレージ容量が 32 GB の電話機のみを表示するレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

これらのステップは、レポート ソースに関連付けられた変数があるかぎり、任意のレポート タイプに適用できます。レポートソースに変数がない場合、[変数] オプションは [他のグループ化基準] フィルターに表示されません。

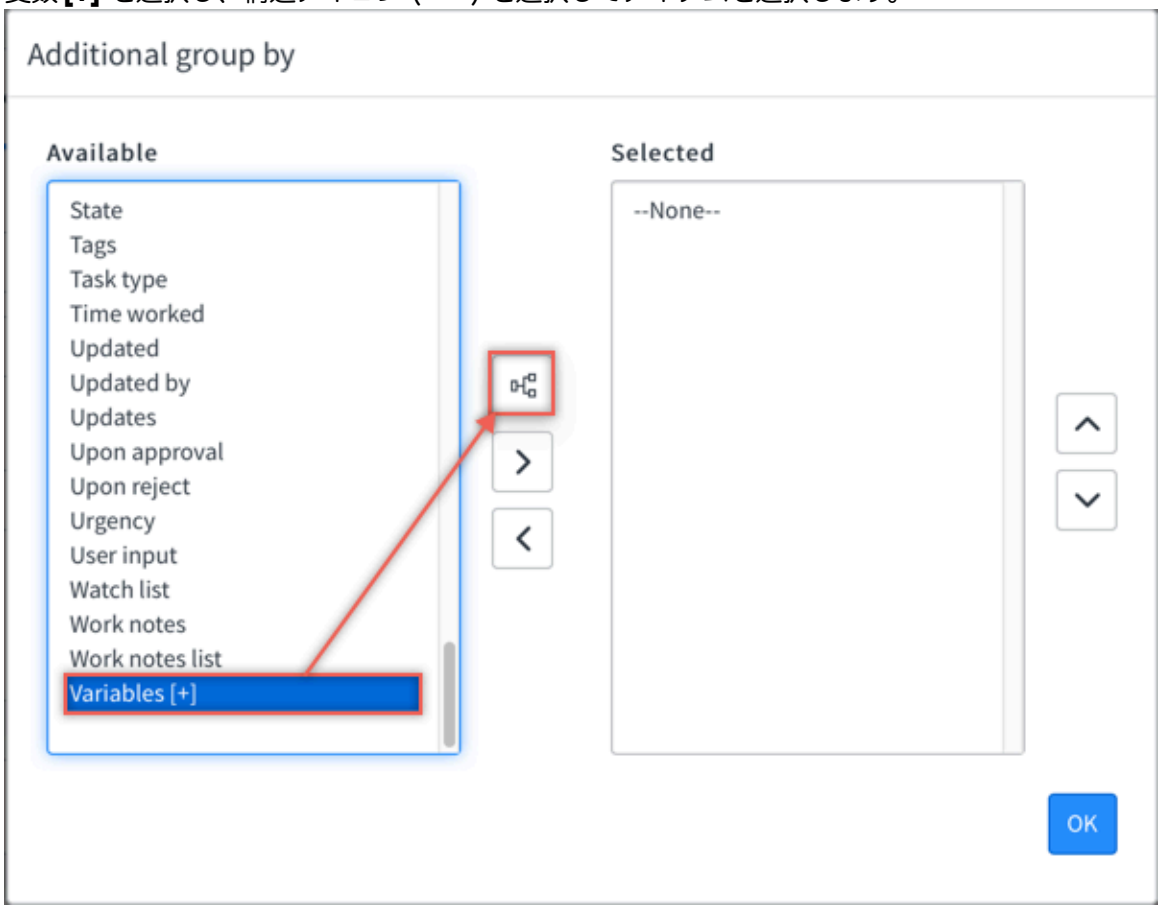
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポートソースには 2 種類あります。

レポートソース	**Description** (説明)
データソース	すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されているテーブル。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。

4. [**Next** (次へ)] をクリックします。
5. [種類] タブで、レポートの種類を選択し、[次へ] を選択します。
6. [設定] タブで、 [グループ] フィルターを選択します。
7. [**Additional group by**] をクリックします。
8. 変数 **[+]** を選択し、構造アイコン ( ) を選択してアイテムを選択します。

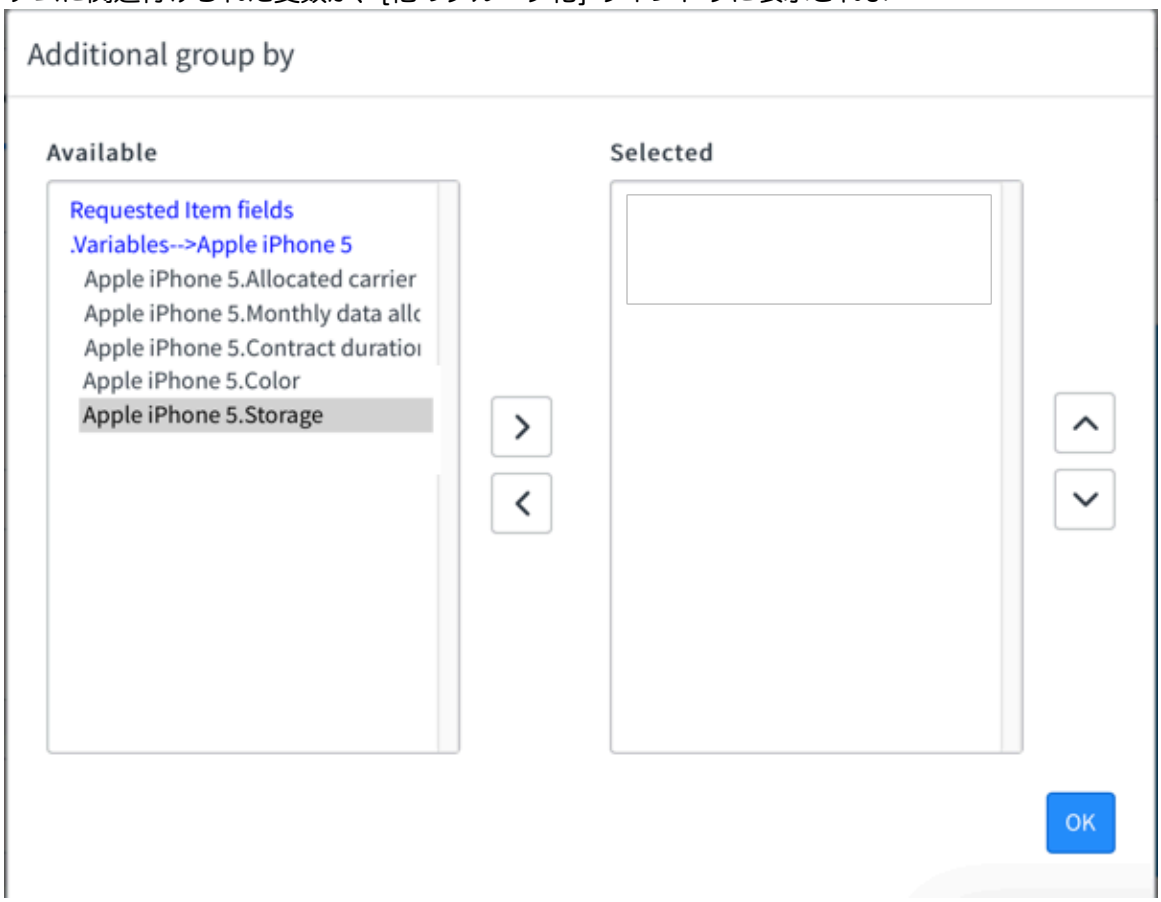


9. [カタログ アイテム] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテムに関連付けられた変数が、[他のグループ化] ウィンドウに表示されま



す。

10. 目的の変数を [選択済み] 列に追加し、[**OK]** を選択します。
11. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
「レポートタイプ」を参照してください。

関数フィールドに関するレポート

通常のフィールドはデータベースに値を格納しますが、関数フィールドはデータベースクエリの結果を表示します。関数フィールドは、他のフィールドと定数の計算に基づいて値を生成します。これらのフィールドは、他のフィールドと同様にレポートで使用できます。

関数フィールドの作成、編集、非アクティブ化の責任は、function_field_admin ロールを持つユーザーにあります。アップグレード時に、このロールを持つユーザーはいません。アドミンは、このロールをアドミン以外のユーザーに付与する必要があります。「ロールを作成する」を参照してください。

関数フィールドの詳細については、「関数フィールド」を参照してください。

関数フィールドの操作

機能フィールドでは、`glidefunction:<operation>` 構文を使用して次の操作を実行できます。

> **注:**
> 定数は一重引用符または二重引用符で囲んで指定します。`concat()`、`dayofweek()`、`position()`、および `substring()` 操作の例は、関数フィールドでの定数の使用を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

操作	説明	例
`add()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、これらを加算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:add(child_incidents, parent_incident)` インシデントに 5 つの子インシデントと 1 つの親インシデントがある場合は、6 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`subtract()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、1 つ目の数値から 2 つ目の数値を減算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:subtract(u_num1, u_num2)` num1 = 8 および num_2 = 6 の場合は 2 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`multiply()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、乗算を実行して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:multiply(u_num1, u_num2)` num1 = 8 および num_2 = 6 の場合は 48 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`divide()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、1 つ目の数値を 2 つ目の数値で除算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:divide(u_num2,u_num1)` num2 = 10 および num1 = 2 の場合は 5 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`concat()`	任意の数のカンマ区切りフィールドと定数を入力として取得し、入力を連結して、単一の文字列をフィールド値として返します。	`glidefunction:concat(incident_number, '/', short_description)` 数値フィールドの値が「INC0001」で、short_description が「クライアントに新しいラップトップが必要」である場合には、「INC0001 /クライアントに新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

(続く)

操作	説明	例
		しいラップトップが必要」を返します。 戻り値の型：テキスト
`datediff()`	2 つの日時フィールドを入力として取得し、日時の差を日、分、および秒の単位で計算して、結果を期間フィールド値として返します。	`glidefunction:datediff(closed_at, sys_created_on)` 作成日からクローズ日までのインシデントの期間を返します。結果の例：10 日、8 時間 23 分 11 秒 戻り値の型：期間
`dayofweek()`	日付フィールドと `'1'` (日曜日に週が開始) または `'2'` (月曜日に週が開始) の定数の、2 つの引数を取得します。曜日を表す整数値として結果を返します。 dayofweek() 関数は UTC 日付を使用しますが、インスタンスのタイムゾーンに基づいて比較値を調整します。	`glidefunction:dayofweek(resolved_at, '1')`. resolved_at が水曜日に発生した場合、整数が 1 の場合は 4 を返し、整数が 2 の場合は 3 を返します。 戻り値の型：整数
`length()`	文字列フィールドを入力として取得し、フィールド長を文字数単位で計算して、結果をフィールド値として返します。	`glidefunction:length(short_descriptio` short_description =「This application is performing a test」の場合は 37 を返します。 戻り値の型：整数
`coalesce()`	任意の数のカンマ区切りフィールドを入力として取得し、最初の空でない値を返します。	`glidefunction:coalesce(closed_at, resolved_at, sys_updated_on)` closed_at の値が空の場合、関数は値 [resolved_at] を返します。[resolved_at] の値も空の場合、関数は値 [sys_updated_on] を返します。 戻り値の型：テキスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

(続く)

操作	説明	例
`position()`	2 つのテキストフィールド、または 2 つのテキストフィールドと 1 つの整数を入力として取得します。テキストフィールドの一方または両方を文字列にすることもできます。 **1.** 2 つ目のものの最初のテキストフィールドの最初の文字列の位置を返します。 **2.** 整数を指定した場合、この関数は整数の位置の後の 2 番目のテキストフィールドの位置を返します。 最初のテキストフィールドが 2 番目に存在しない場合は、0 を返します (指定されている場合は整数の位置の後)。	• `glidefunction:position('e',short_de` short_description フィールドの値が「This computer is performing an upgrade」の場合は、12 を返します。 • `glidefunction:position('e',short_de` short_description フィールドの値が「This computer is performing an upgrade」の場合は、19 を返します。 戻り値の型：整数
`substring()`	テキストフィールドと 2 つの整数を入力として取得します。最初の整数の位置から始まり、2 番目の長さである文字列の最初のインスタンスを返します。	`glidefunction:substring(short_descrip '7', '2')` short_description フィールドの値が「We're going to the store」の場合は、「go」を返します。 戻り値の型：テキスト

自動翻訳

機能フィールドの構成

レポートデザイナーを使用したレポートで使用するために、テーブルごとに最大 20 個のアクティブな関数フィールドを設定できます。テーブルで関数フィールドを設定すると、関数の計算結果によってグループ化またはスタックできます。

必要なロール:admin、function_field_admin

通常のフィールドはデータベースに値を格納しますが、関数フィールドはデータベースクエリの結果を表示します。関数フィールドは、他のフィールドと定数の計算に基づいて値を生成します。これらのフィールドは、他のフィールドと同様にレポートで使用できます。

制限事項：

- レポートの機能フィールドはドット連結をサポートしていません。
- セキュリティは、機能のコンポーネントとフィールドの計算値で評価されます。可視化で使用する場合、ユーザーに表示が許可されていない情報を含むセクションは非表示になります。
- 機能フィールドの作成者またはプラットフォームアドミンのみが、そのフィールドを編集または非アクティブ化できます。プラットフォームアドミニストレーターは、任意の機能フィールドを非アクティブ化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フィールド機能名は一意である必要があります。
- 1 つのテーブルで一度にアクティブにできる関数フィールドは 20 個のみです。機能フィールドを追加するには、他のフィールドを非アクティブ化する必要があります。「機能フィールドの非アクティブ化」を参照してください。

関数フィールドを作成する

フィールドの計算結果によってレポートをグループ化および積み重ねることができるように、機能フィールドを作成します。

始める前に

必要なロール:admin、function_field_admin

各関数フィールドには、ラベル、戻り値の型、および定義が必要です。定義は、操作と、操作が実行される 1 つ以上のフィールドで構成されます。

> **注:**
> 関数フィールドを保存した後に、ラベルや戻り値の型を変更することはできません。必要に応じて、機能フィールドを非アクティブ化して、最初からやり直してください。

手順

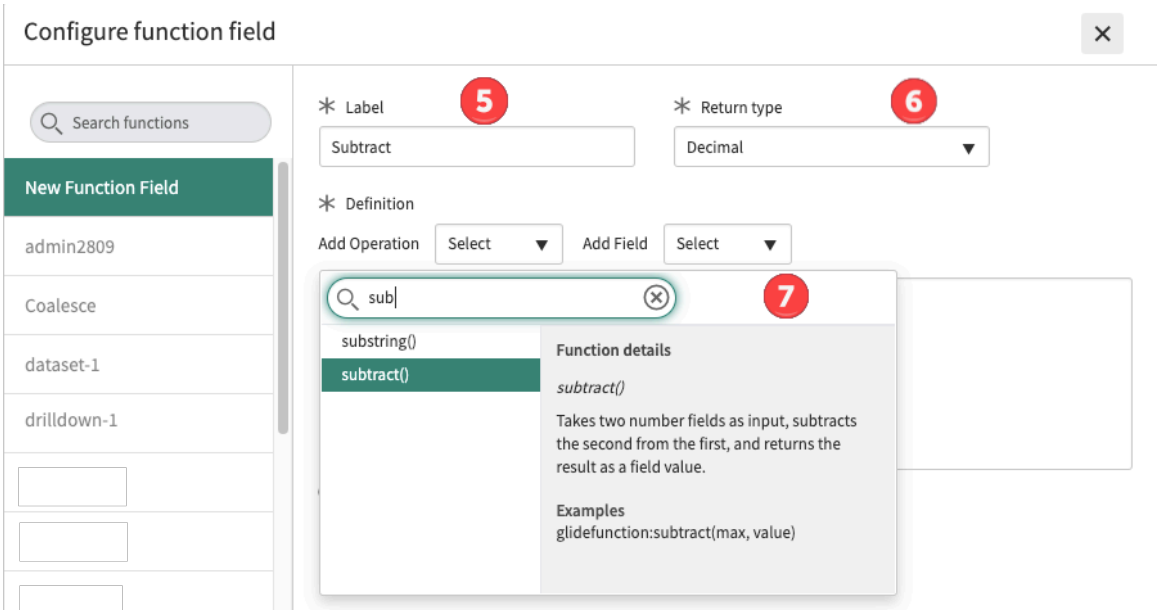
1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. 関数フィールドを追加するレポートを選択します。
   テーブルに関数フィールドを設定すると、同じテーブルのレポートを含め、 Now Platform上のテーブルを使用するすべての場所で使用できます。たとえば、オープン インシデントの経過時間を計算する関数フィールドは、インシデント テーブルのすべてのレポートで使用できます。
3. 「 構成 」タブを開き、「 関数フィールドの構成」をクリックします。
4. オプション: 検索バーにフィールド名を入力して、誰かが関数フィールドを既に作成しているかどうかを確認します。
   検索結果をポイントすると、関数の定義が表示されます。
5. [作成] をクリックします。
   レポートの基になるテーブルには、最大 20 個のアクティブな関数フィールドを設定できます。テーブルに既に 20 個の関数フィールドがある場合、フィールドの 1 つまたはplatform_adminの作成者は、フィールドを非アクティブ化または削除する必要があります。
6. ラベルを指定します。
   ラベルは、ユーザーがレポート内のデータをグループ化または積み重ねるときに表示される名前です。
7. [戻り値の型] を選択します。
   戻り値の型は、関数が生成する情報の種類です。たとえば、 `datediff()` 関数は 2 つの日付間の期間を計算するため、Duration 型を返します。

   > **注:**
   > 戻り値の型が関数の論理結果でない場合、メッセージは表示されません。

8. 操作を選択します。
   [構文] テキストボックスには、関数名の前に `glidefunction:` が表示されます。

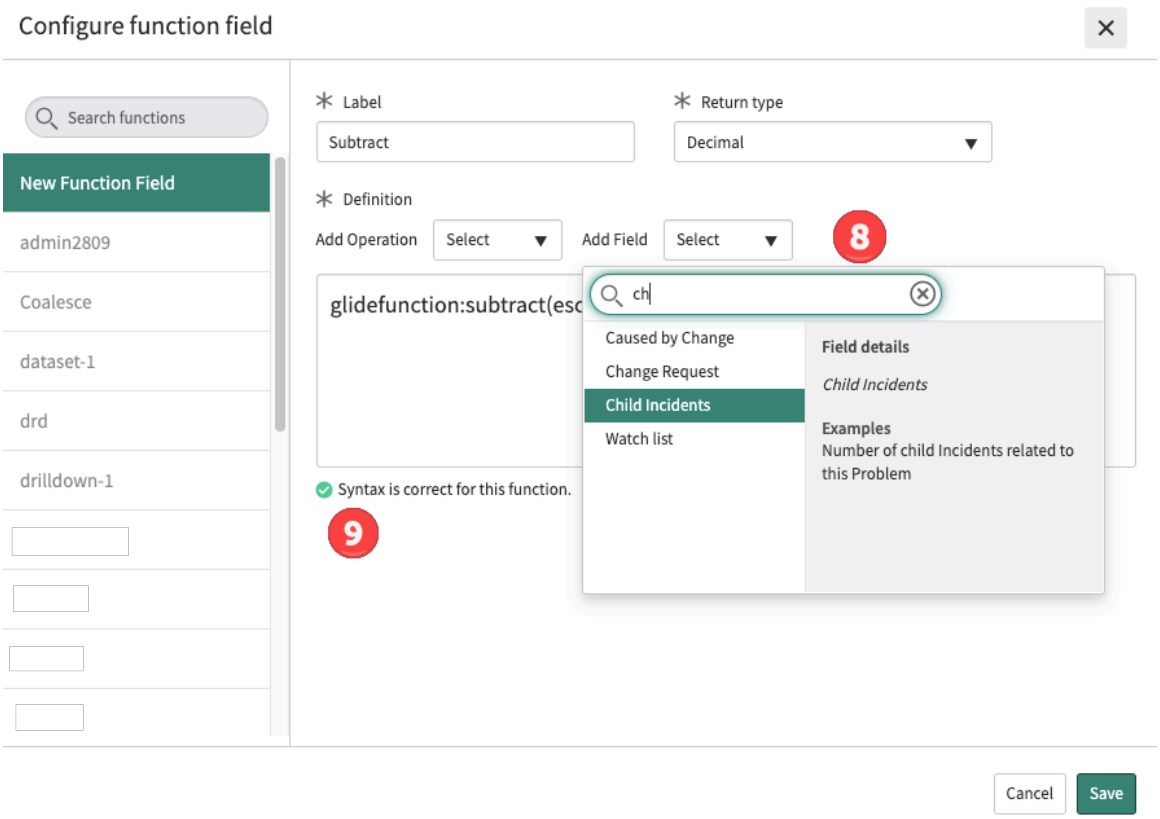
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 関数が動作するフィールドを選択します。
一部の関数には 1 つのフィールドしか必要ありません。2 つまたは 3 つのフィールドが必要なものもあります。「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。フィールドは必ずカンマで区切ってください。

10. 構文が正しければ、関数フィールドを保存できます。
構文が正しくない場合は、「 構文エラー:無効な式」というメッセージが表示されます。他のメッセージも表示される場合があります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

作成した関数フィールドをレポート構成で使用します。Now Platformの他の場所で関数フィールドを使用する方法については、「関数フィールド」を参照してください。

関数フィールドの編集

機能フィールドを作成したユーザーまたはplatform_adminロールを持つユーザーは、保存された機能フィールドの定義を編集できます。保存された関数フィールドのラベルまたは戻り値の型を編集することはできません。

始める前に
必要なロール:admin、function_field_admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. 関数フィールドを追加するテーブルに基づいてレポートを選択します。
   関数フィールドを設定すると、同じテーブル上のどのレポートでもそのフィールドを使用できます。たとえば、インシデントがオープンになっている期間を計算する関数フィールドは、インシデントテーブルのすべてのレポートで使用できます。
3. 「 構成 」タブを開き、「 機能の構成」フィールドをクリックします。
4. オプション: [検索関数] ボックスにテキストを入力して、編集する関数フィールドを見つけます。
   検索機能では、フィールドのラベル、フィールドの名前、および関数の定義が検索されます。
5. 新しい操作、関数が動作する新しいフィールド、またはその両方を選択します。
   編集した関数を検証すると、無効な結果が返される場合があります。
6. [保存] をクリックします。
   1 つ以上のレポートで機能フィールドが使用されている場合は、それらのレポートのリストへのリンクが表示されます。リストを確認するか、[保存] をクリックするか、[キャンセル] をクリックします。

タスクの結果
機能フィールドが使用されているすべてのレポートで、編集された機能フィールドの結果が古い結果に置き換わります。

機能フィールドの非アクティブ化

機能フィールドを作成したユーザーまたはplatform_adminロールを持つユーザーは、それを非アクティブ化できます。テーブルに 20 を超える機能フィールドがある場合、1 つ以上の既存の機能フィールドを非アクティブにしないと、新しい機能フィールドを作成することはできません。

始める前に
必要なロール:admin、function_field_admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. 非アクティブ化する機能フィールドを含むレポートを選択します。
3. 「 構成 」タブを開き、「 機能の構成」フィールドをクリックします。
4. オプション: [検索機能] ボックスにテキストを入力して、非アクティブ化する機能フィールドを見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 機能フィールドを選択し、[非アクティブ化] をクリックします。
   1 つ以上のレポートで機能フィールドが使用されている場合は、それらのレポートのリストへのリンクが表示されます。リストを確認するか、[非アクティブ化] をクリックするか、[キャンセル] をクリックすることができます。
6. 非アクティブ化を確定するか、キャンセルします。

タスクの結果
非アクティブ化された機能フィールドは、基になっていたテーブルのレポートで使用できなくなりました。

注:
フィールドを非アクティブ化すると、ユーザーリスト設定が削除されます。詳細については、「https://support.servicenow.com/kb?id=kb_article_view&sysparm_article=KB1116135」を参照してください。

関数フィールドを削除する

admin ロールを持つユーザーは、テーブルから機能フィールドを削除できます。これは、すでに存在するテーブルと同じ名前の関数フィールドをテーブルに作成する場合に便利です。

始める前に
必要なロール：admin

関数フィールドは、それらを作成したテーブルに列として格納されます。機能フィールドを削除するには、関連する列を削除します。

重要:
>削除時に機能フィールドが使用される場所はチェックされません。また、関数フィールドの削除は元に戻せません。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. 削除する機能フィールドを含むテーブルを選択します。
3. 列を選択してフォームを開きます。
4. [列の削除] を選択します。
   列名が `u_` または `x_` で始まる列のみを削除できます。列名が別の名前で始まる場合は、*ServiceNow*サポートによって作成されています。削除するには、サポートにお問い合わせください。

タスクの結果
関数フィールドが削除され、データの可視化で使用できなくなります。

機能フィールドの作成を無効にする

システムプロパティを構成して、レポートデザイナーで関数フィールドを作成する機能を削除します。

始める前に
必要なロール：admin。

手順

1. 移動先 すべて > **sys_properties.list**.
2. *glide.report.enable_function_field_ui* プロパティを検索します。
3. プロパティの名前を選択してフォームを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. プロパティの値を `false` に設定します。
5. [更新] を選択します。

タスクの結果
機能フィールドを構成するオプションは、どのユーザーのレポート デザイナーにも表示されません。

質問に関するレポート

グループ化またはフィルタリングして、選択した質問について報告します。

質問別にグループ化されたレポートを作成すると、次の場合に役立ちます。

- 顧客からの質問に対する回答が得られているかどうかを判断します。
- 要求プロセス中に顧客からより多くの情報を取得します。

次のフィールドをサポートするレポート タイプを使用して、質問に関するレポートを作成します。

- Group By (グループ)
- Stack by (積み重ね基準)
- 他のグループ化
- 列を選択
- 行を選択

注:

質問を使用するレポートは、質問が関連付けられているデータソースまたはサービスカタログ以外のテーブルに関するレポートである必要があります。レコードプロデューサーテーブル [sc_cat_item_producer]、またはタスク [task] テーブルから拡張されたテーブル ([incident] テーブルや [problem] テーブルなど) の質問についてレポートできます。レコードプロデューサーの詳細については、「レコードプロデューサー」を参照してください

条件ビルダーを使用して質問をフィルターすることもできます。

質問によるレポートのグループ化または積み重ね

質問ごとにグループ化または積み重ねてレポートを作成したり、同じ質問に対してフィルターを作成したりできます。たとえば、ヘルプを要求する理由に関する顧客の回答や問題の説明を表示するレポートを作成できます。

始める前に
必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて
これらのステップは、レポートソースに関連する質問があるかぎり、任意のレポートタイプに適用できます。レポート ソースに質問がない場合、[質問] オプションは [グループ] フィールドと [積み重ね基準] フィールドに 表示されません。

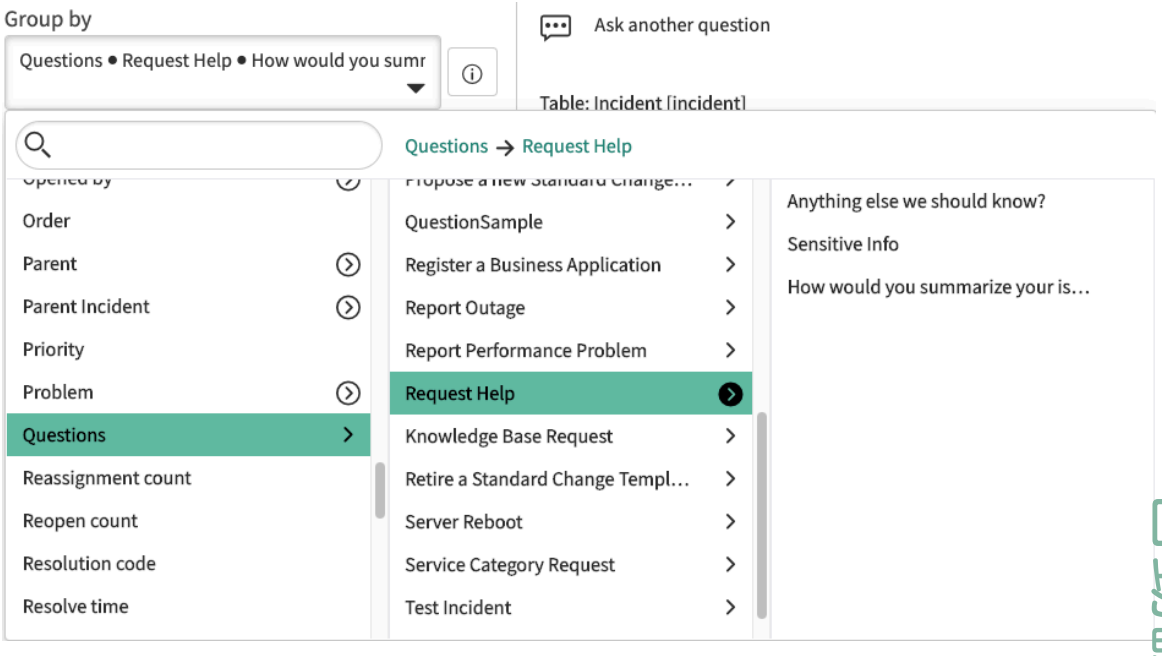
注:
リスト、ボックス、Trendbox、およびピボットの各レポートでは、質問をプライマリまたはセカンダリの [グループ] として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、ヒストグラム、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも グループ化 をサポートしていません。リスト レポートでは、質問を列として使用できます。マルチレベル ピボット レポートでは、質問を列および行として使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 質問が関連付けられているレポート ソースを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [タイプ] タブで、レポート タイプを選択して [次へ] をクリックします。
5. [構成] タブで、[グループ] または[積み重ね基準] フィルターから [質問] を選択します。



6. グループ化または積み重ね基準にするカテゴリに関連付けられた質問を検索して選択します。
7. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
   「レポートタイプ」を参照してください。

他のグループ別に質問をレポートに追加する

選択した質問別にさらにグループ化されたレポートを作成します。同じ質問に対してフィルターを作成することもできます。たとえば、ヘルプを要求する理由に関する顧客の回答や問題の説明を表示するレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

これらのステップは、レポートソースに関連する質問があるかぎり、任意のレポートタイプに適用できます。レポート ソースに質問がない場合、[質問] オプションは [他のグループ化基準] フィルターに表示されません。

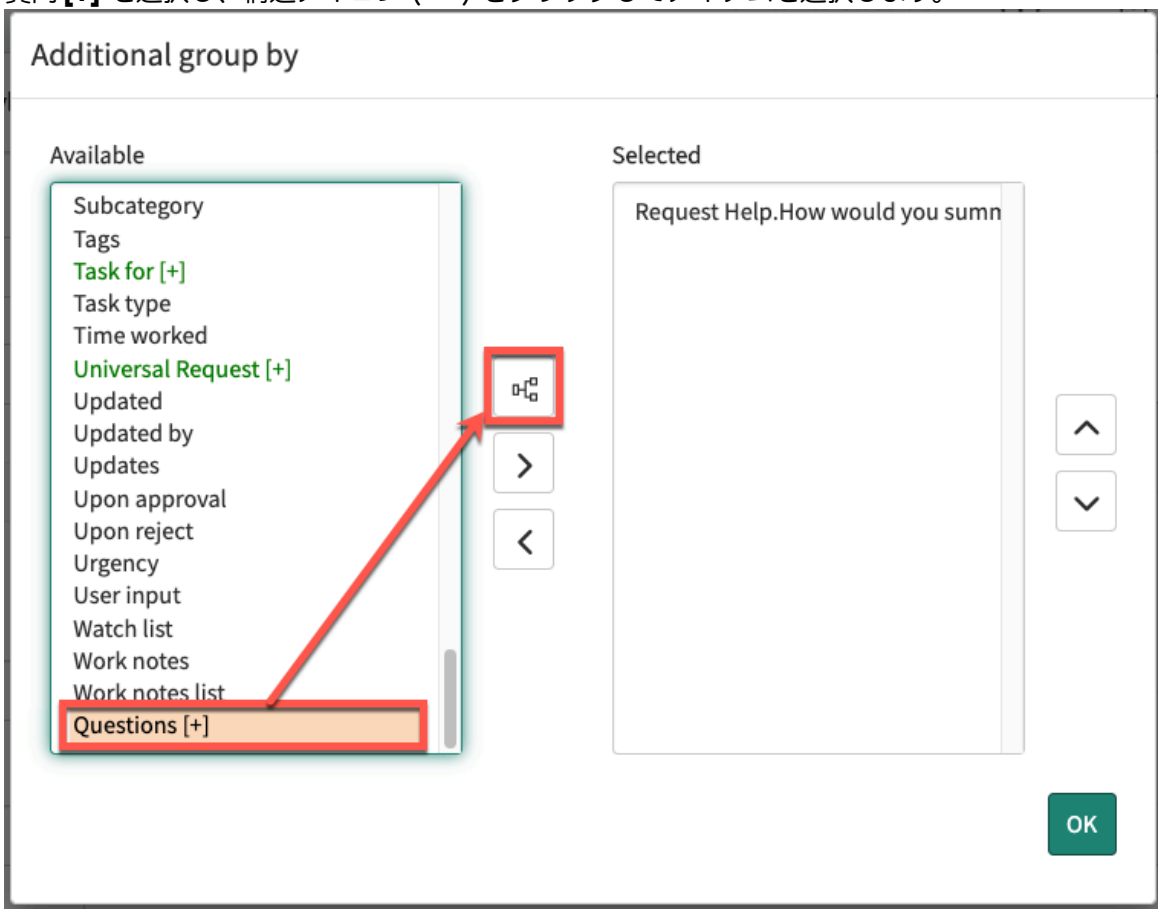
手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 質問が関連付けられているレポート ソースを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [タイプ] タブで、レポート タイプを選択して [次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [設定] タブで、 [グループ] フィルターを選択します。
6. [**Additional group by**] をクリックします。
7. 質問 **[+]** を選択し、構造アイコン ( ) をクリックしてアイテムを選択します。

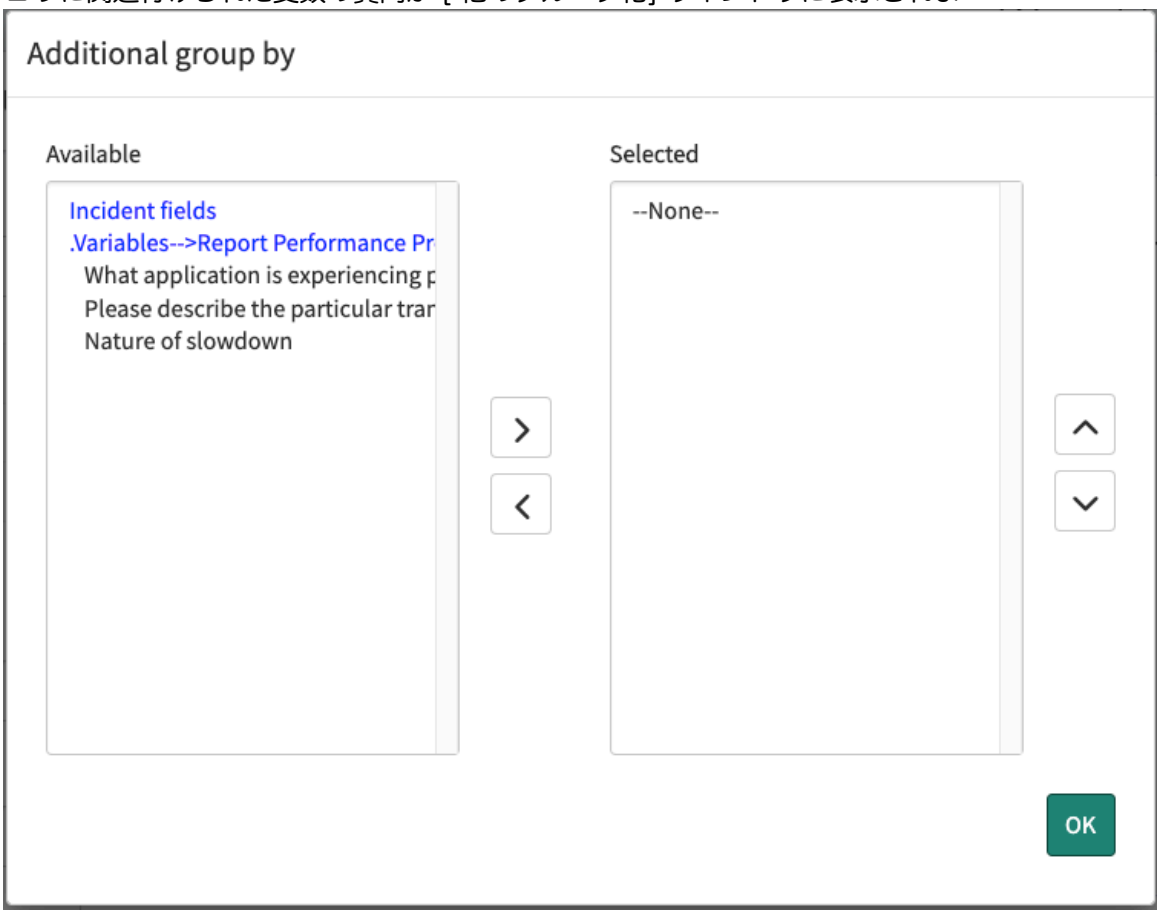


8. 質問のカテゴリを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリに関連付けられた変数の質問が [他のグループ化] ウィンドウに表示されま



す。

9. 目的の質問を 「選択済み 」列に追加し、「 OK」をクリックします。
10. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
「レポートの作成」を参照してください。

レポート内の事前定義された色

レポートのタイプと構成に応じて、1 つの色、定義済みのカラー パレット、または定義済みのチャートの色を選択できます。3 つのオプションはすべて、カスタマイズ可能な個々の色のセットに基づいて構築されています。

レポート内のデータをグループ化または積み重ねていない場合は、1 つの色を選択します。データをスタックまたはグループ化する場合、色には主に 2 つの選択肢があります。

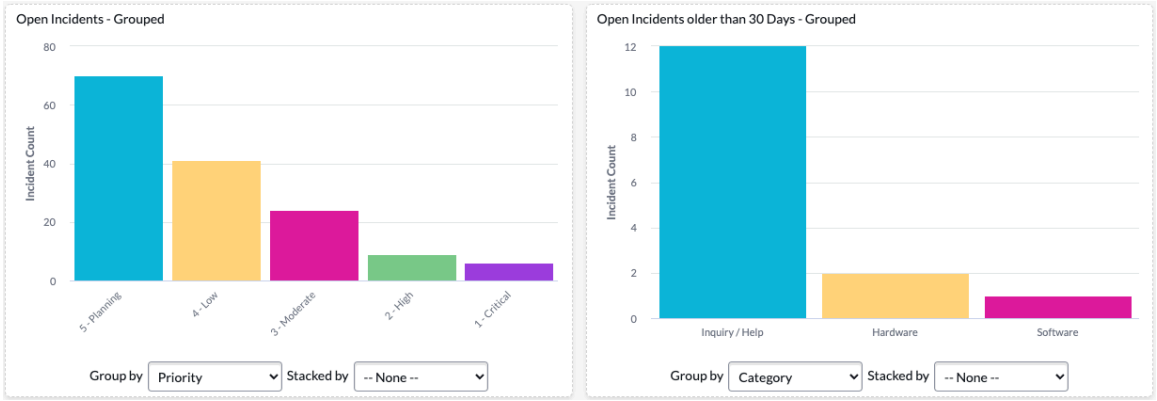
カラーパレット

グラフの要素に適用される一連の色。色は、値が大きいものから低いものの順に繰り返されます。レポートの色で順序を示す場合は、レポートのカラー パレットを使用します。同じパレットを使用するレポートは、表示されているデータに関係なく同じ色を使用します。

次の例では、[優先度] と [カテゴリ] という異なるフィールドでグループ化された、インシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートもデフォルトのカラー パレットを使用しており、どちらも同じ色で表示されます。

自動翻訳

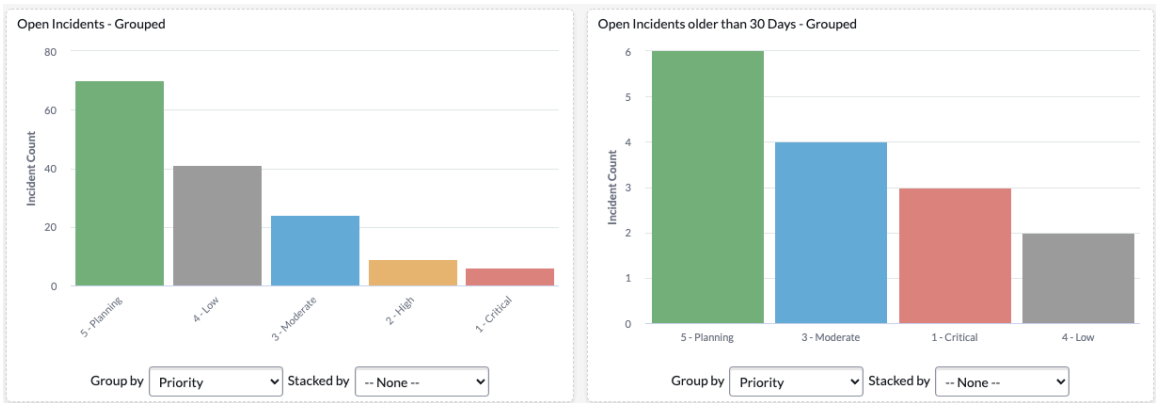
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



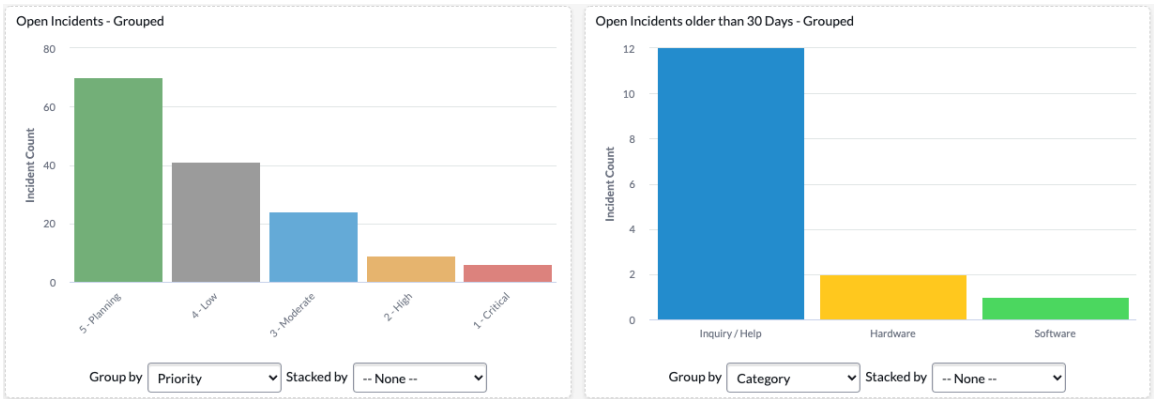
チャートの色

チャートの色は、常に同じグループ化または積み重ね値に同じ色を適用します。レポートによってグループ化や積み重ね値の色が異なります。たとえば、「優先度 > 1 - 重大」などの要素を常に同じ色にしたい場合は、チャートの色を使用します。

次の例では、同じフィールド [優先度] でグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートもチャートの色を使用しています。[優先度] の値が同じでも、順序は異なりますが、同じ色になります。



次の例では、レポートはさまざまなフィールドでグループ化され、チャートの色を使用しています。各要素には一意の色があるため、バーはさまざまな色で表示されます。



カラーパレットとチャートの色は、色定義 [sys_report_color] テーブルで定義された色を使用します。レポート管理者はさらに色を追加できます。

注:
カラーパレットもチャートの色もレポートに適していない場合は、16 進数のカラーコードのセットを入力できます。これらのコードは、定義された色とは無関係です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カラーパレット

カラーパレットは、チャート内の要素に適用される一連の色で、値が大きいものから低いものの順に並べられています。同じパレットを使用するレポートはすべて同じ色を使用します。

次のレポートでは、カラー パレットを使用できます。レポートデザイナーの [**Style**] タブでカラーパレットを選択します。

- 円グラフ
- [積み重ね基準] または [グループ] 値を持つ棒グラフと縦棒グラフ
- [積み重ね基準] または [グループ] 値を持つ線およびトレンド レポート

カラーパレットは、チャートの配色 [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。レポートアドミニストレーターには、このテーブルへの読み取りアクセス権があります。

> **ヒント:**
> Now Platformアドミンまたはパフォーマンスアナリティクスアドミンは、カスタムカラーパレットを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

San Diego から始まるデフォルトのカラースキームでは、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの定性的テーマ可能な色を使用した色定義が使用されます。ネクストエクスペリエンス を有効にすると、コア UI のカラーパレットの代わりにこれらの色が使用されます。

Example: カラーパレット

次の例では、[優先度] と [カテゴリ] という異なるフィールドでグループ化された、インシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートもデフォルトのカラー パレットを使用しており、どちらも同じ色で表示されます。



チャートの色

グラフの色は、レポートのグループ化または積み重ね値に一貫した色を割り当てます。色の値は、値の順序に関係なく、レポート全体で同じままです。

チャートの色のしくみ

チャートの色を使用するレポートにデータ カテゴリが初めて表示されると、レコードがチャートの色 [sys_report_chart_color] テーブルに自動的に追加されます。次のフィールドは、チャートの色レコードのデータカテゴリを定義します。

- データソース
- 要素の重ね合わせまたはグループ化

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 要素値
- アプリケーションスコープ

[チャートの色] レコードでも色が指定されます。チャートの色レコードが自動的に作成されると、UI 14 の色定義 [sys_report_color] レコードから色が割り当てられます。チャートの色を編集して、別の色定義または 16 進数のカラーコードを使用できます。チャートの色の編集の詳細については、「データカテゴリの色を定義する」セクションを参照してください。

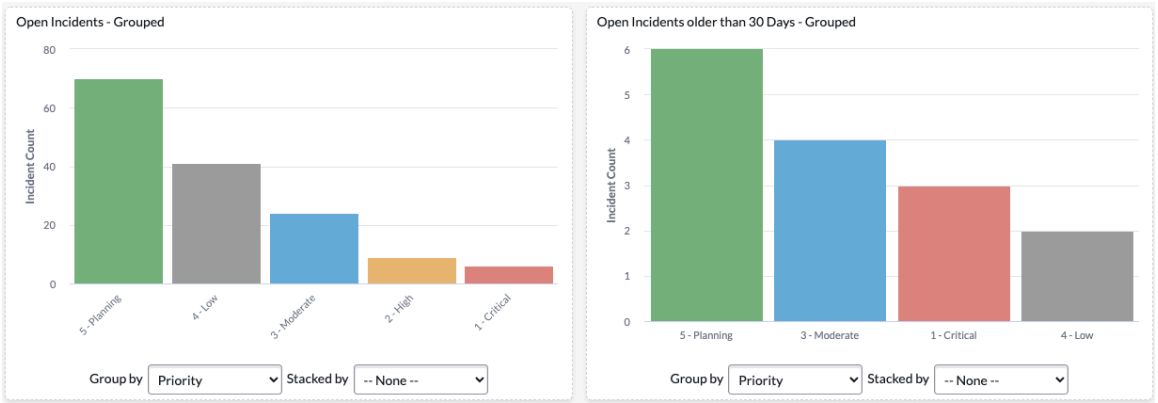
注:

- ベースシステムには、事前定義されたチャートの色がいくつか含まれています。プラットフォームアナリティクスソリューション、より多くのチャートの色を指定できます。
- UI 14 の色定義では、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの DataVis - 定性的テーマ可能色を使用します。これらの色を使用するには、 ネクストエクスペリエンス を有効にする必要があります。そうしない場合は、色定義の代替色が使用されます。

チャートの色を使用し、同じデータ カテゴリを表示する他のレポートは、同じチャートの色レコードを参照します。レポートは同じレコードを参照するため、同じデータ カテゴリを同じ色で表示します。たとえば、チャートの色を使用し、グローバル スコープの優先度 1 のインシデントを表示する最初のレポートを作成するとします。このようなインシデントを色に関連付けるために、チャートの色レコードが自動的に作成されます。チャート色を使用し、グローバルスコープで優先度 1 のインシデントを表示する他のすべてのレポートは、同じ色で表示されます。

Example: チャートの色

次の例では、同じフィールド [優先度] でグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートもチャートの色を使用しています。[優先度] の値が同じでも、順序は異なりますが、同じ色になります。



データカテゴリの色を定義する

最優先のインシデントなど、レポートのデータカテゴリのチャートの色を定義することができます。事前定義された色を選択するか、16 進コードを指定できます。

始める前に

必要なロール:report_admin

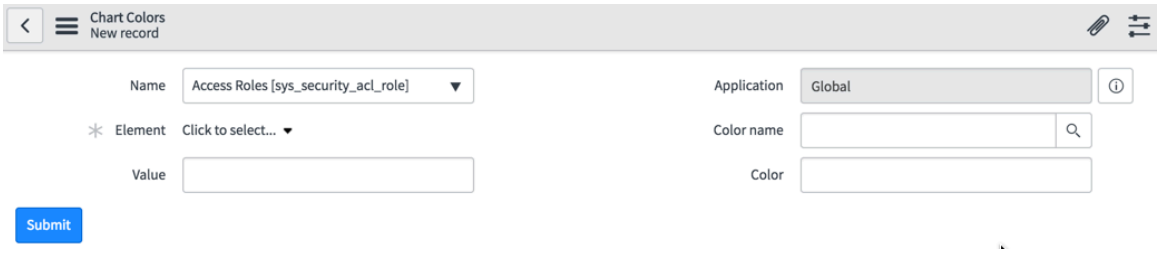
手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > チャートの色.

2. [新規] をクリックします。

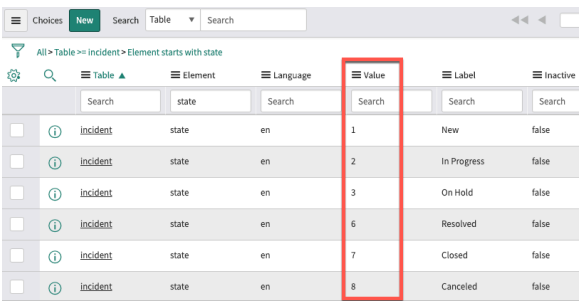
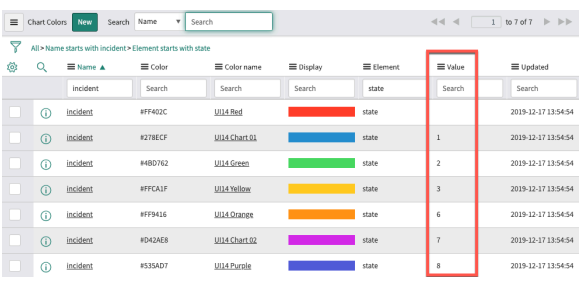
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいチャートの色のフォーム



3. 必要に応じてフィールドに入力します。

新しいチャートの色のフォーム

名前	説明
名前	レポートに使用されるテーブル。 **注:** リストには、チャートの色のレコード と同じスコープ内にある テーブルとデータベースビューのみが表示されます。
要素	選択したテーブルに固有の列名。
値	指定した色が適用される要素の値。値の大文字と小文字は区別されます。 参照タイプフィールドである要素の場合、Value は指定された色が適用される値のsys_idです。 次の例は、Choice [sys_choice] レコードの state 要素の値が Chart Color [sys_report_chart_color] レコードの state 要素の値とどのように一致するかを示しています。   レコードのsys_idを取得するさまざまな方法を理解するには、「 一意のレコード識別子 (sys_id)」 を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
色名	色定義 [sys_report_color] テーブルから選択された色。色定義を選択すると、[色] フィールドで指定した色が上書きされます。色の定義の詳細については、「 アナリティクスのシステムの色の定義」を参照してください。
色	[色定義] テーブルで定義されていない色を指定するために使用される 16 進値。 **注:** [色名] フィールドに値が含まれる場合、[色] フィールドは無視されます。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
[名前] フィールドのテーブルのために [要素] フィールドで選択された値が、指定された色で表示されます。

アナリティクスのシステムの色の定義

レポートや パフォーマンスアナリティクス ウィジェットで使用する色定義を作成します。

始める前に
必要なロール:report_admin

このタスクについて
次のビジュアリゼーションは、色定義 [sys_report_color] テーブルで定義した色を使用します。

- 1 色でレポート
- カラー パレットを使用したレポート
- チャートの色を使用したレポート
- パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンウィジェット
- パフォーマンスアナリティクス ウィジェットインジケーター付きの時系列ウィジェット
- 単色、カラーパレット、または固定要素の色 (チャートの色) を使用するデータ可視化ネクストエクスペリエンスのコンポーネント
- パフォーマンスアナリティクス ターゲットのカラースキーム

カラーパレットを使用するレポートやビジュアライゼーション、および パフォーマンスアナリティクス ウィジェットでは、これらの色がチャートのカラー スキームで使用されます。チャートの色は、色定義を直接参照します。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > 色定義.
2. [新規] をクリックします。
3. フィールドに入力します。

新しい色の定義フォーム

名前	説明
名前	新しい色の一意の名前を入力します。
色	「＃003366」のように、16 進数の値を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
テーマ可能な色	テーマの適用時に使用する UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの代替色を適用します。UX テーマプロパティテーブルの色は、UX テーマ [sys_ux_theme] テーブルのどのテーマバリアントがインスタンスに適用されているかに応じて異なる場合があります。テーマの詳細については、以下を参照してください。 のテーマ ネクストエクスペリエンス. テーマをオンにすると、データ可視化コンポーネントによって作成されたクラシックレポートと可視化にこの色が適用されます。テーマ可能な色が定義されていない場合、システムは [色] フィールドで定義された色を使用します。 テーマがオフになっている場合、この色はデータ可視化コンポーネントによって作成された可視化にのみ適用されます。[色] フィールドで定義された色がクラシック レポートに適用され、[テーマ可能な色] フィールドは無視されます。

4. [送信] をクリックします。

スコープ レポート

現在のスコープとは異なるアプリケーション スコープからレポートを編集する場合、元のレポートを変更するアクションは実行できません。

元のレポートを変更するには、現在のアプリケーション スコープをレポートのスコープに変更し、それからレポートを変更します。

レポート デザイナーで別のアプリケーション スコープからレポートを開いた後、[保存] メニューから次のアクションを実行できます。更新などの他のアクションは実行できません。

- 挿入
- 挿入と維持
- スケジュール
- ダッシュボードに追加
- PDF にエクスポート
- レポート履歴

既存のレポートに基づいて新しいレポートを作成できますが、[挿入] または [挿入と維持] オプションを使用する現在のアプリケーション スコープ内に限られます。

関連情報

アプリケーションスコープ

レポートの値の書式設定

ほとんどのレポートでは、レポートを公開するときの数値の表示方法を構成できます。

サポートされている値の形式

値の書式設定をサポートしている可視化タイプの数は限られています。

書式設定は集計値に適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

値の書式設定のタイプ

単位形式

時間フィールドの形式を d/h/m/s または日/時/分/秒として表示します。

最大/最小期間単位

表示する最大単位または最小単位を、日、時、分、秒から選択します。

単位が 1 分を超える場合は秒を非表示

期間値が 1 分を超える場合に秒表示を削除します。最小期間単位として [秒] を選択した場合にのみ使用できます。

小数点以下桁数

表示する小数点以下の桁数 (0 から 4 桁)。

> **注:**
> 通貨フィールドでは小数点以下はサポートされていません。

丸め

値が 1 分を超える場合は、数値をその値に近づけながら、丸めて数値を単純化します。「丸めオプション」を参照してください。

3 桁ごとの区切り文字を使用

1,000 以上の値はカンマまたはピリオドで区切ります。

略語を有効化

1 文字で 1000 以上の値を表示します。

> **注:**
> 通貨、価格、または FX 通貨の値の省略形はサポートされていません。

ツールヒントの値を非表示

丸められていない、省略されていない値はツールヒントに表示されません。

丸めオプション

1 分を超える値の場合、丸めオプションは数値を単純化しますが、数値をその値に近づけます。丸めオプションから選択します。

- Up - 正の場合は次に大きい整数まで、負の場合は次に小さい整数まで。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 2 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -1.6 は値 -2 を返します。
- 下 - 正の場合は次に小さい整数に、負の場合は次に大きい整数に移動します。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 1 を返します
  - -1.6 は値 -1 を返します。
- 天井 - 次に大きい整数に、正に向かって。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 2 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -1.6 は値 -1 を返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 床 - 負に向かって、次に小さい整数に。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 1 を返します
  - -1.6 は値 -2 を返します。
- 半分以上 - 最も近い隣接する整数まで。両方の隣接が等距離にある場合は、次に大きい整数に丸められます。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - 2.5 は値 3 を返します
- 半分下 - 最も近い隣接する整数まで。両方の近傍が等距離にある場合、次に小さい整数に丸められます。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - 2.5 は値 2 を返します
- 半偶数 - 最も近い整数まで。両方の近傍が等距離にある場合、最も近い偶数に丸めます。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -2.5 は値 -2 を返します。

丸めオプションの概要:

指定された丸めモードで入力を **1** 桁に丸めた結果

入力番号	稼働中	下	天井	フロア	半分以上切り上げ	半分以下切り捨て	最近接偶数丸め
5.5	6	5	6	5	6	5	6
2.5	3	2	3	2	3	2	2
1.6	2	1	2	1	2	2	2
1.1	2	1	2	1	1	1	1
1.0	1	1	1	1	1	1	1
-1.0	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1
-1.1	-2	-1	-1	-2	-1	-1	-1
-1.6	-2	-1	-1	-2	-2	-2	-2
-2.5	-3	-2	-2	-3	-3	-2	-2
-5.5	tinyint	-5	-5	tinyint	tinyint	-5	tinyint

レポートの書式設定された値の構成

既存のレポートでは、レポート デザイナーの [構成] タブで書式設定された値を構成できます。

始める前に

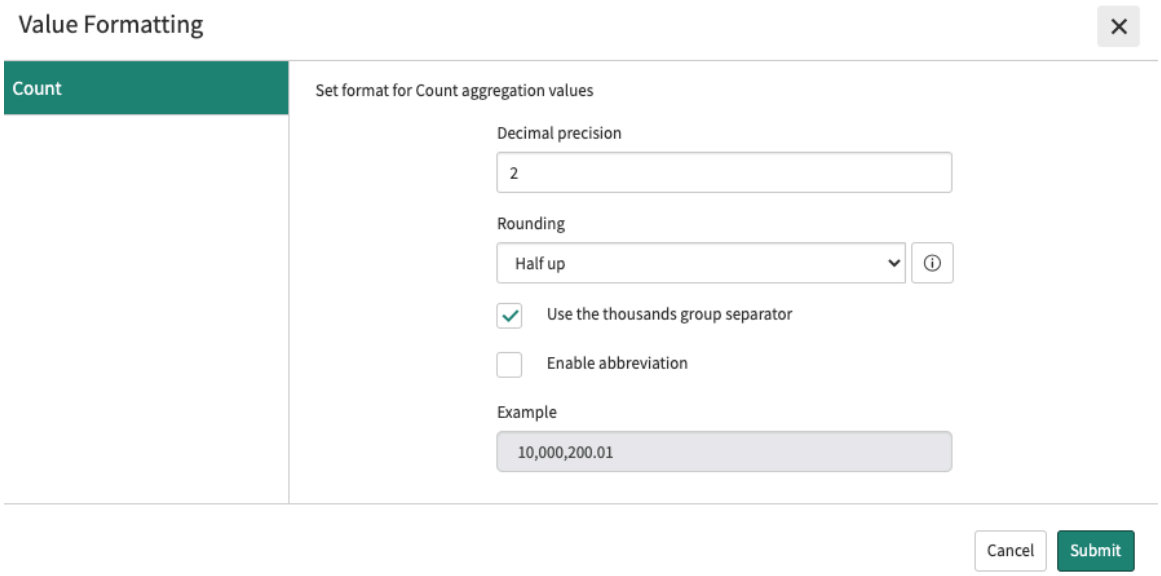
必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 書式設定する値を含むレポートを選択します。
3. [構成] タブを選択します。
4. [Set Value Formatting] をクリックします。
5. [値の書式設定] ウィンドウで、期間、小数点以下桁数、丸めオプション、単位区切り記号、および略語を構成します。
   カウント集計を使用する単一スコアレポートの値の書式設定オプション:



レポートの管理

レポート管理者が通常実行する作業、操作するオブジェクト、および適用されるロールとルールについて学習します。

レポート、レポートロール、およびレポートソースを管理するには、 レポート > 管理 をクリックし、管理するエリアを選択します。

レポートがシステムパフォーマンスに影響を与えずに意図した値を確実に提供するための管理プラクティスを提供します。

レポート ロール

注:

- アプリケーションナビゲーター (左側のナビゲーションペイン) に [レポート] モジュールを表示するにはユーザーは report_user ロールを持っている必要があります。
- 任意のレポート ロールまたは itil ロールを持つユーザーは、表示可能なすべてのレポートに対して [挿入]、[挿入と維持]、[ダッシュボードに追加]、および **[PDF** にエクスポート] のレポート オプションにアクセスできます。
- 以下の表では、「管理」という用語は、「設定の更新 (編集)」、「削除」、および「エクスポート」というレポートオプションへのアクセスを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート ロール

ロールのタイトル [名前]	説明
ロールなし	共有済みのレポートを表示できます。
ACL ベース	テーブルとフィールドのreport_viewアクセス制御により、レポートの読み取り、編集、および作成が制限されます。アドミニストレーターは他の ACL ルールを作成できます。レポートの対象であるデータへのアクセス権を付与するロールが必要です。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」と「report_view のアクセス制御」を参照してください。
レポートユーザー [report_user]、itil	レポートを作成でき、共有済みのレポートを表示できます。共有済みのレポートを共有、編集、または削除することはできません。
レポート スケジューラー [report_scheduler]	自分が管理できないレポートを含む、自分が表示できるすべてのレポートについて、それらのメール送信をスケジュール設定できます。このロールを持つユーザーには、レポートの作成、編集、共有の権限を付与する別のロールも必要です。
グループ レポート ユーザー [report_group]	自分がメンバーであるグループ ([グループ] に表示) と共有されているレポートを管理および共有できます。
グローバル レポート ユーザー [report_global]	全員と共有しているレポート ([グローバル] に表示) を管理できます。
レポート管理者 [report_admin]	すべてのレポートの管理、共有、公開、スケジュール設定を実行できます。アクセス可能 レポート > 管理 すべてのレポート関連オブジェクトを管理します。report_admin ロールは、他のすべてのレポート ロールを継承します。
レポートの説明 アドミニストレーター [report_description_admin]	レポートのテーブルとフィールドの説明を読み取って更新できます。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス ロール

ダッシュボード権限

ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する

アクセス制御リスト ルールを作成して、テーブル、データ ソース、またはデータベース ビューでレポートを作成できるユーザーを制限します。

始める前に

必要なロール：security_admin

注:
特定のテーブルの report_on ACL に加えて、[sys_report] テーブルの書き込み ACL は、すべてのレポートの書き込みアクセスを制御します。この ACL が原因で現在のレポートを保存できない場合、レポート デザイナーの [保存] ボタンは無効になります。たとえば、別のユーザーと共有しているレポートを表示する場合、セキュリティ設定が正しい場合は、 保存 > 挿入時 をクリックして、レポートの編集可能なコピーを保存します。

手順

1. 移動先 システムセキュリティ > アクセス制御 **(ACL)**.
2. 次の情報を含むアクセス制御レコードを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
タイプ	レコード
操作	report_on
[名前] (テーブル)	<select the table name>

3. ユーザーがテーブルのレポートを作成できるかどうかを決めるルールを定義します。
ユーザーがテーブルに対する report_on アクセス権を持っていない場合、ユーザーがレポートを作成するときにそのテーブルは [テーブル] フィールドに表示されません。ユーザーが report_on ACL に合格していないテーブルに基づくデータソースは、レポートデザイナーの [データソース] リストに表示されません。1 人または複数のユーザーに対して [レポート ソース] にデータソースが表示されないように制限するには、それらのユーザーを除外する新しい読み取り ACL を [sys_report_source] テーブルに作成します。

   注:

   - report_on ACL の制約のためにレポートを作成できない場合でも、ユーザーはテーブルでレポートを表示および実行できます。
   - デフォルトでは、システム テーブルではレポートを作成できません。システムテーブルに対するレポートを許可するために、アドミニストレーターは *glide.ui.permitted_tables* プロパティを設定できます。詳細については、「システム テーブルのレポート」を参照してください。
   - ACL report_on 操作は、ターゲットテーブルでレポートする権限を付与します。
   - データベース ビューは独自の ACL を持ちます。ユーザーがデータベース ビュー内のすべてのテーブルに対して report_on 権限を持っている場合でも、データベース ビューでレポートを作成するには、データベース ビューに対するreport_on権限が必要です。データベース・ビュー を参照してください。

関連情報

ACL ルールを作成する

アクセス制御ルール

report_view のアクセス制御

report_view 操作はレポートへのアクセスを制限するレコードタイプのアクセス制御リスト (ACL) です。必要なロールのいずれかを持つユーザーのみが制限付きリソースを含むレポートを表示できます。

report_view のアクセス制御リスト (ACL) には、report_view テーブル ACL と report_view フィールド ACL の 2 種類があります。report_view テーブル ACL では、ユーザーは、ACL で指定されたテーブルに基づいてレポート内容を表示できないようになります。report_view フィールド ACL では、ユーザーは、ACL で指定されたフィールドで使用するレポートをグループ、行、列、またはアグリゲーション別に表示できなくなります。

たとえば、report_view フィールド ACL は report_admin ロールに HR テーブルの給与フィールドへの表示アクセス権を付与します。itil または report_user ロールを持つユーザーが給与フィールドでグループ化されたレポートにアクセスすると、「report_view フィールド ACL に基づいて、このコンテンツへのアクセスが拒否されました」というメッセージが表示されます。

report_view 操作のデザインの検討

独自の report_view 操作のアクセス制御を作成する場合は、次のガイドラインに従ってください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロールによるレポートへのアクセス制限

report_view 操作は必要なロールに基づくアクセス制限のみをサポートしています。report_view アクセス制御はスクリプトまたは詳細条件をサポートしていません。

読み取り操作によるリストレポートへのアクセス制限

リストレポートは通常のレコードアクセス制御を使用して、テーブルまたはフィールドのデータにアクセスできるユーザーを決定します。report_view アクセス制御では、ユーザーが読み取りアクセス権を持つリストを非表示にすることはできません。リストおよびフォームのレコードデータへのアクセスを制限するには、読み取り操作アクセス制御を作成します。レコードのアクセス制御の詳細については、「アクセス制御リストのルール」を参照してください。

関連情報

ACL ルールのタイプ

ACL ルールの作成

レポート実行のセキュリティ

レポートを実行すると、レポートの基になるテーブルとテーブルフィールドでreport_viewアクセス制御リスト (ACL) が評価されます。report_view ACL が存在しない場合は、テーブルレベルの読み取り ACL ロールに対してフォールバックチェックがあります。

フォールバック読み取り ACL は、システムプロパティ *glide.report.report_view.read_acl* によって制御されます。

このプロパティには 3 つの値があります。Utahリリースのデフォルト値は [Force] です。

ignore

読み取り ACL に対する評価は行われず、すべてのユーザーがレポートを表示できます。

enforce

そのテーブルまたはテーブルフィールドのreport_view ACL が存在しない場合、評価は読み取り ACL に対して実行されます。ユーザーは、読み取り ACL に合格した場合にのみレポートを表示できます。

log

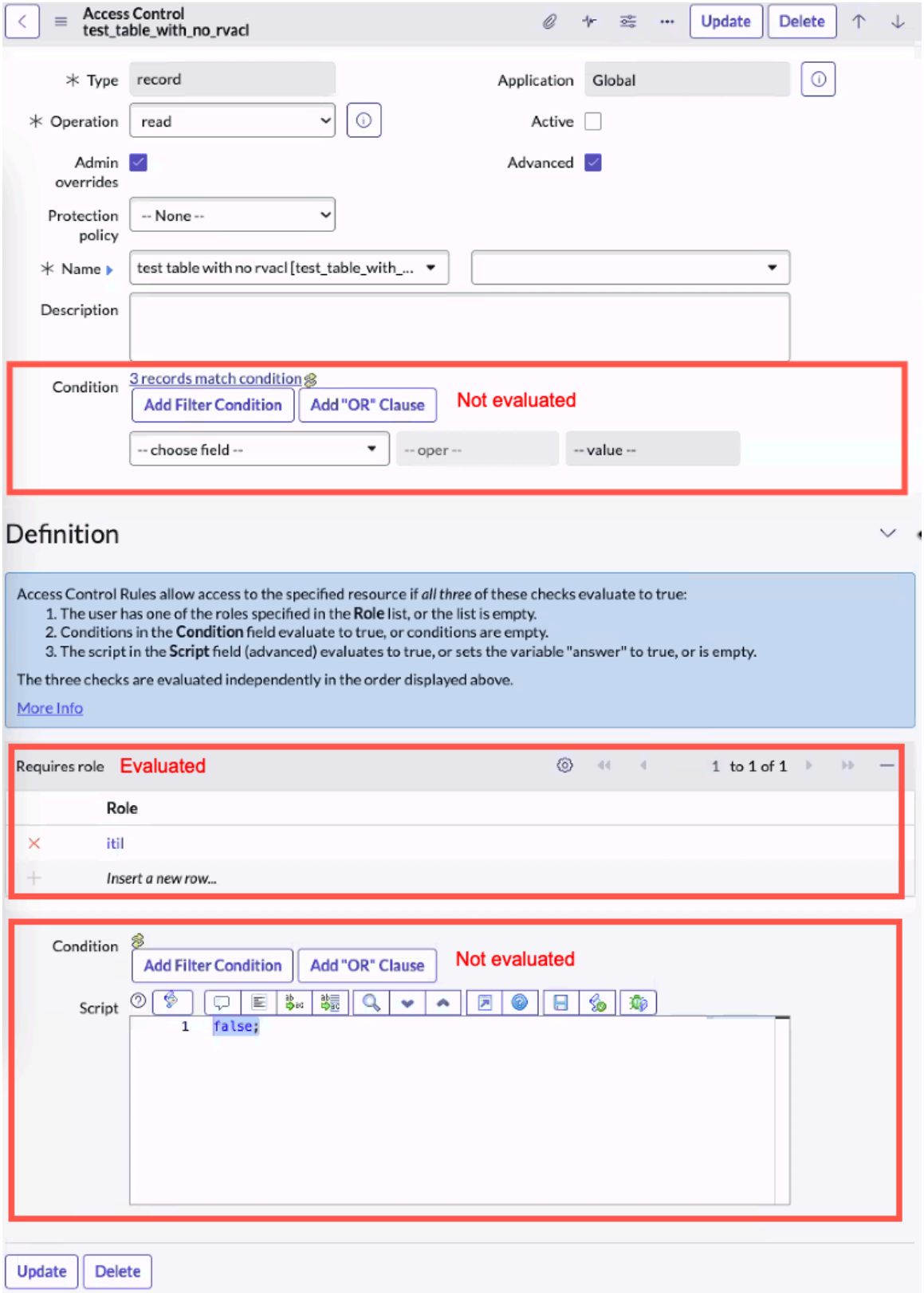
そのテーブルまたはテーブルフィールドに対する report_view ACL がない場合、読み取り ACL チェックは適用されませんが、アドミニストレーターは、セキュリティチェックが適用された場合にブロックされていたであろうユーザーをログで確認できます。

読み取り ACL フォールバックにより、レポートを表示するときに追加のレベルの保護が提供されるため、システムプロパティを無視またはログに変更することはお勧めしません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
フォールバックテーブルレベルの読み取り ACL チェックはロールにのみ適用され、スクリプトや条件には適用されません。テーブルレベルの読み取り ACL にロールとスクリプト、またはロールと条件、またはロール、スクリプト、条件がある場合は、ロールのみが評価されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの ACL アセスメント

ServiceNow レポートの ACL アセスメントを使用して、report_view ACL (アクセス制御リスト) でブロックされるレポートを特定します。

アプリケーションコンポーネント

レポート ACL ダッシュボードを使用して、ユーザーが表示できないレポートを特定します。所有者が ACL の制約を満たしていない場合、ACL はレポート作成者を自身のレポートからブロックすることもできます。すべての ITIL ユーザーと共有されるレポートを考えてみます。レポートの基になるテーブルまたはテーブル列では、admin ロールを持つユーザーへのアクセスが制限されます。この場合、itil ロールを持つほとんどのユーザーはレポートを表示できません。アプリケーションは、ユーザーとレポートの両方を識別します。アセスメントの情報を使用して、ユーザーとレポートを無視し、後で対処することができます。

スキャンでは、インスタンスの report_view ACL に対してすべてのレポートが評価されます。また、report_view ACL のないテーブルを識別し、どのユーザーがテーブルの READ ACL に合格しないか評価します。その後、ACL アセスメントにより、両方のカテゴリのユーザー、つまり report_view ACL に合格しないユーザーと、report_view ACL のないレポートの READ ACL に合格しないユーザーに対処できるようになります。

アプリケーションの外部では、レポートまたは可視化デザイナーで共有を変更したり、ユーザー、グループ、およびロールのアクセス権を変更したりすることができます。

アプリケーションには、次の 3 つのコンポーネントがあります。

- レポート ACL ダッシュボード

  ダッシュボード内からスキャンを実行します。

- 影響を受けるレポートのリスト

  影響を受けるすべてのレポートをプラットフォームリストで表示します。プラットフォームフィルタリング機能を使用して、ここでレポートを修正できます。

- 無視されたレポートおよびユーザーのリスト

  次回レポートをスキャンするときに表示されるように、このリストからユーザーとレポートを削除します。

注:
ServiceNow プラットフォームの一部のテーブルには、デフォルトでアクセス制御リストが作成されています。

レポートの ACL アセスメントのインストール

レポートの ACL アセスメントを使用すると、レポートにアクセスできないユーザーを特定し、必要に応じてアクセスを有効にすることができます。

始める前に

必要なロール:admin および security_admin

このタスクについて

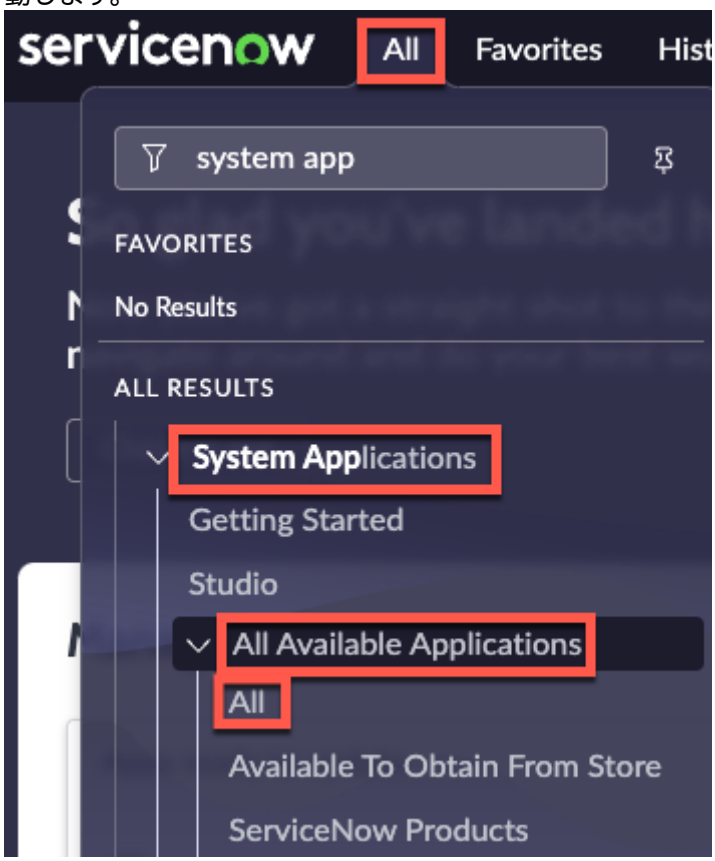
レポートの ACL アセスメントはストアアプリです。ストアアプリのインストールの詳細については、「ServiceNow Store アプリケーションのインストール」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. 検索バーに「 ACL assessment 」と入力します。
名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store から要求する必要がある場合があります。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

レポートビューアセスメントスキャンを実行する

インスタンスをスキャンして、既存のアクセス制御リスト (ACL) に基づいてユーザーが表示できないレポートを探します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin

このタスクについて
アセスメントスキャンは、影響を受けるレポートのリストを返します。report_view ACL のないテーブルに基づくレポートの場合、ユーザーが report_view ACL またはブロッキング READ ACL に基づいて表示できないレポートを表示すると、レポートが影響を受けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメントスキャンにかかる時間は、インスタンス内のレコードの数によって異なります。アセスメントを夜間に実行することを検討してください。また、アセスメントが適用されるレポートをフィルタリングすることも検討してください。詳細については、「レポートアセスメントスキャンをフィルターする」を参照してください。

手順

1. ロールを security_admin に昇格させます。
   詳細については、「 特権ロールへの昇格 」を参照してください。
2. 移動先 すべて > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > レポート **ACL** ダッシュボード.
3. [評価スキャンの実行] を選択します。
   多数のレポートがあるインスタンスでは、アセスメントスキャンに時間がかかることがあります。スキャンの進行中に部分的な結果を表示するか、スキャンの完了時に [結果の表示] を選択するかを選択できます。スキャンが完了すると、アセスメントを実行したユーザーと、アセスメントの開始時刻と終了時刻がメッセージに表示されます。

   > **注:**
   > スキャンでは、影響を受ける各レポートの実行回数が計算されます。プロパティ *`sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only`* が false の場合、[影響を受けるレポート] リストの [合計実行数] 列は常に空になり、*`process_reports_executed_within_X_days_ago`* は無視されます。

   最初のスキャンでは次の情報が表示されます。
   - スキャンを実行したユーザーとスキャンの開始時刻と終了時刻
   - 影響を受けるレポートの数
   - 影響を受けるインスタンスのレポートの割合
   - report_viewアクセス制御リストを持つテーブルの数
4. オプション: 影響を受けるレポートのリストが空の場合は、 **report_executions.list** に移動します。

   a. このテーブルが空の場合、ACL の問題はありません。

   b. **report_executions.list** にエントリがある場合は、システムプロパティ *`sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only`* を false に変更して、スキャンを再実行します。
   今回のスキャンでは、実行されたレポートだけでなく、影響を受けるすべてのレポートが表示されます。多くの場合、2 回目のスキャンの実行には時間がかかります。
5. 移動先 すべて > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト をクリックして 、影響を受けるレポートのリストを表示します。
   [影響を受けるレポート] リストには、ACL の影響を受けるレポートが表示されます。

影響を受けるレポートのリストの表示

レポートの ACL アセスメントによって特定された、影響を受けるすべてのレポートのリストを表示できます。このリストを使用して、影響を受けるレポートとユーザーを修復します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト.
   リストレポートには、影響を受けるレポートが表示されます。
2. レポート ACL アセスメントの管理の説明に従って、影響を受けるレポートとユーザーに対処します。

レポート **ACL** アセスメントの管理

レポート ACL (アクセス制御リスト) アセスメントスキャンを実行すると、影響を受けるレポートのリストが結果として表示されます。アセスメントでは、レポート作成者を含め、レポートを表示したユーザーの詳細が示されます。アセスメントには、レポートが制限されるロールと、それらのロールを含むグループも含まれます。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin

このタスクについて
テーブルレベルの読み取り ACL によってブロックされたレポートの場合、アセスメントには、ブロック ACL を含むテーブルとブロックされているユーザーが表示されます。アセスメントアプリケーションでは、それ以上の管理ツールは提供されません。report_view ACL も読み取り ACL もないためにブロックされたレポートの場合、レポートは影響を受けるものとしてマークされますが、影響を受けるユーザーは表示されません。

重要:
ブロッキングテーブルのアクセス制御リスト (ACL) とブロッキング列の ACL に関連付けられたロールは、sys_security_acl_roleテーブルに由来します。このテーブルにロールレコードがない ACL は、レポートビュー ACL リストにも、影響を受けるテーブル、列、および読み取り ACL のリストにも表示されません。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト.
2. 対処するレポートの横にある情報ボタン (ⓘ) を選択し、[レコードを開く] を選択して、レポートに関連付けられているオプションを表示します。
   この結果には、次の情報が表示されます。
   a. レポートオーナーが属し、レポートを共有しているユーザー、ロール、およびグループ。[グローバル] フィールドをオンにすると、レポートはすべてのユーザーと共有されます。それ以外の場合は、[ユーザーに共有]、[ロールに共有]、または [グループに共有] が選択されます。
   b. ユーザーがレポートを表示した回数。

      プロパティ *run_scan_based_on_report_execution_only* が false の場合、このフィールドは空です。

   c. レポートの基になっているテーブルに report_view ACL がないものの、読み取り ACL によってアクセスがブロックされる場合は、[読み取り **ACL** によりブロック] フィールドが選択されます。
   d. レポートに適用される読み取り ACL を含むテーブル。
   e. ACL 以外の理由でレポートがブロックされている場合は、[**RVA** なしでブロック] または **[ACL** の読み取り] フィールドが選択されます。
   f. レポートに適用されるテーブル ACL (およびテーブルのすべての列に適用される列 ACL)
   g. ブロッキングテーブル ACL に関連付けられたロール
   h. 関連するブロッキングテーブル ACL へのリンク

自動翻訳

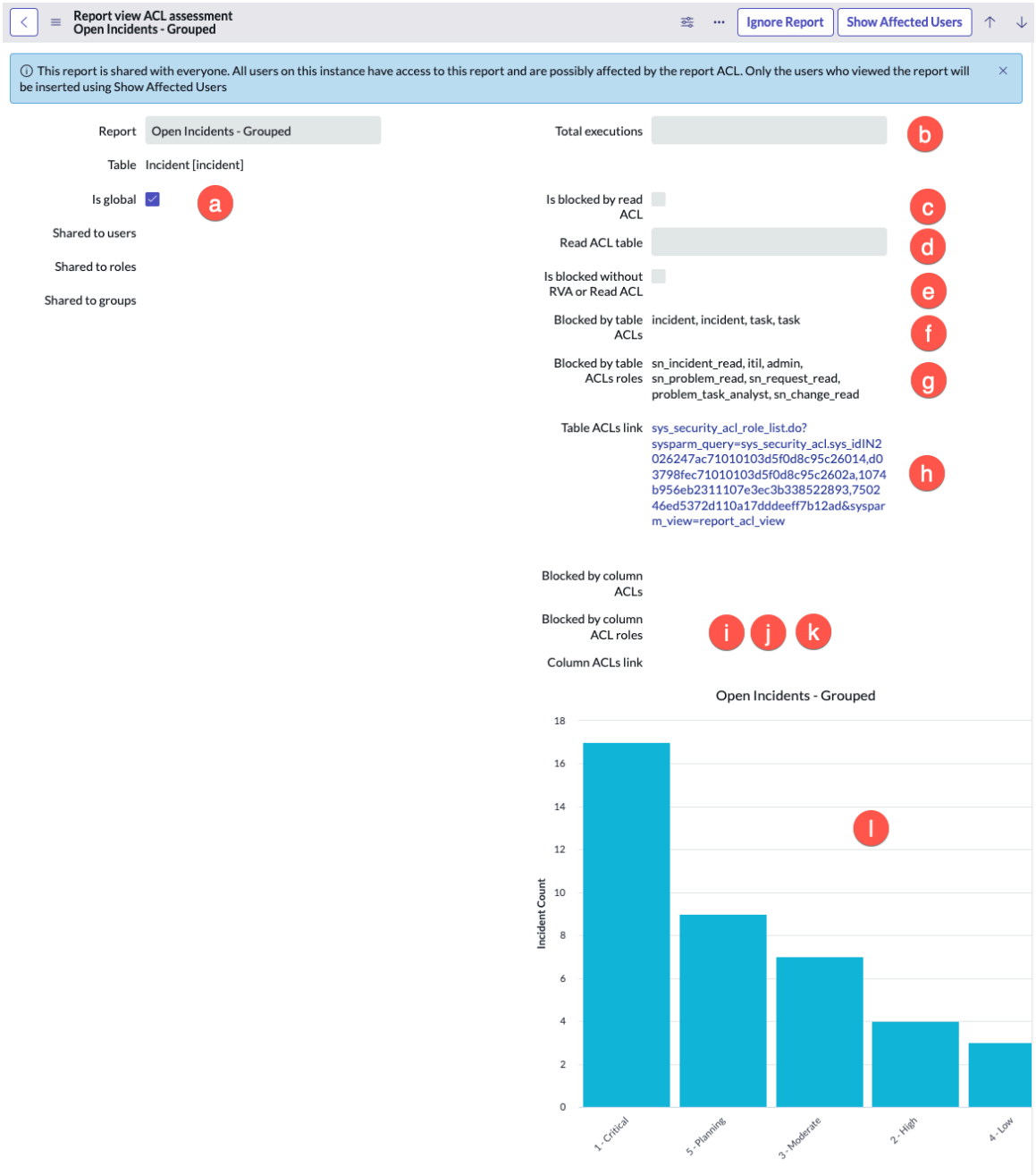
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

i. レポートに適用される列 ACL

j. ブロッキング列 ACL に関連付けられたロール

k. 関連するブロッキング列 ACL へのリンク

l. レポートのリアルタイムレンディション

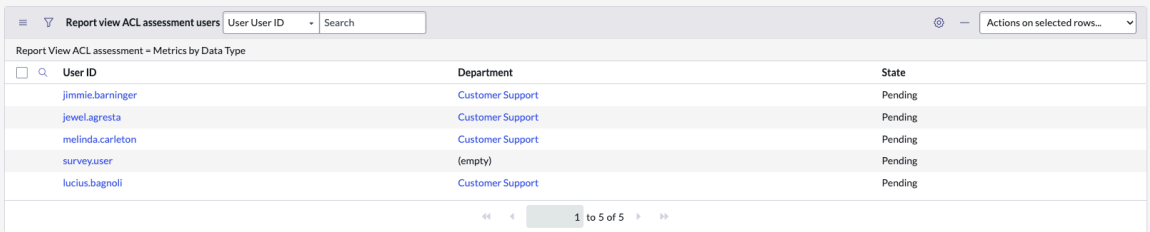


3. オプション: 今後のアセスメントからこのレポートを削除するには 、[レポートを無視] を選択します。
これらのレポートを後で確認するには、「 無視されたレポートの再評価」を参照してください。

4. [影響を受けるユーザーを表示]、[結果 の表示]の順に選択します。
影響を受ける最初の数人のユーザーが、レポートアセスメントの下の関連リストに表示されます。影響を受けるユーザーは、レポート所有者がレポートを共有しているが、report_view ACL に基づいてレポートを表示できないユーザーです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

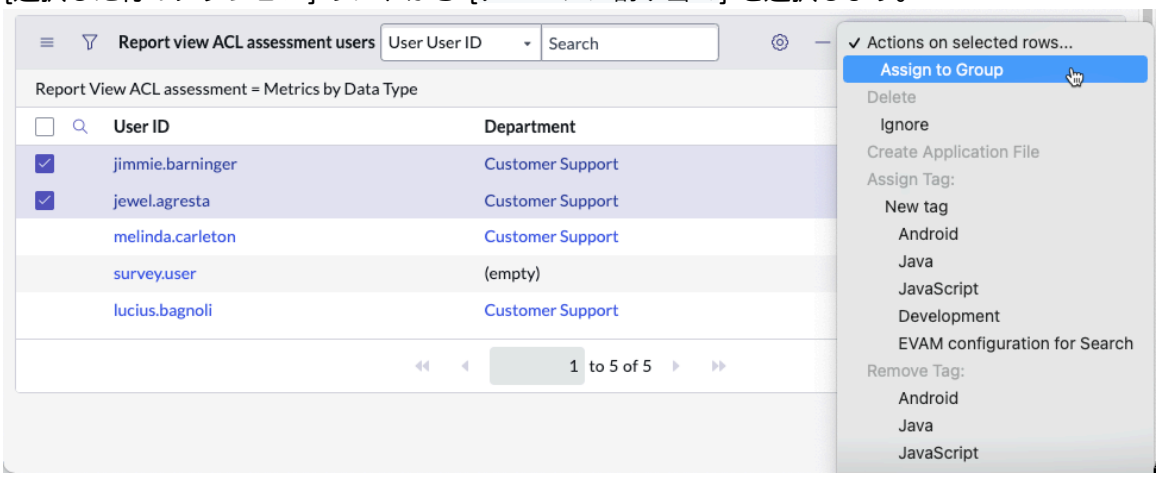
影響を受けるユーザーのデフォルトの数は 5 人です。さらに表示するには、プロパティ *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.max_affected_users*を設定します。詳細については、「レポートアセスメントスキャンをフィルターする」を参照してください。



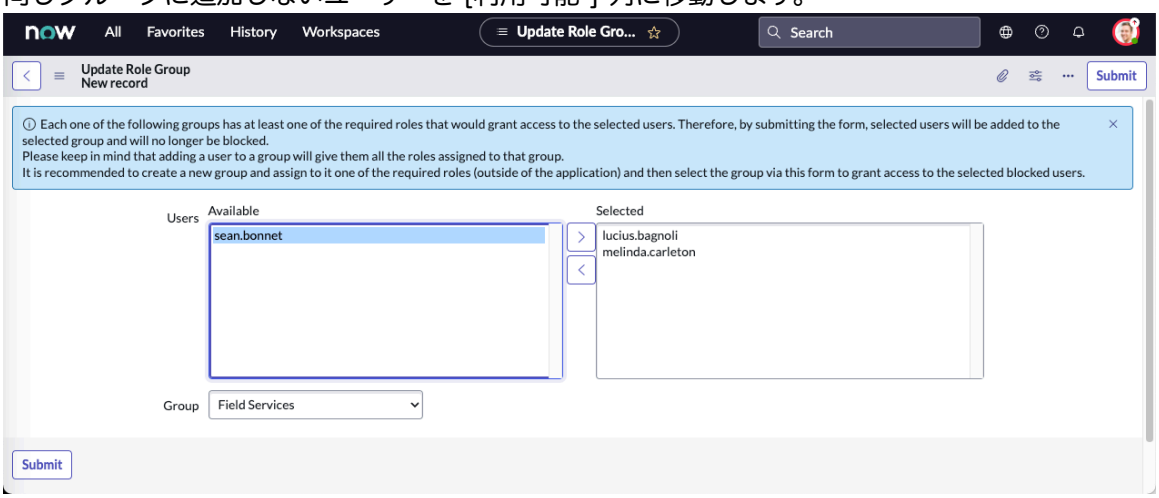
5. オプション: 影響を受ける 1 人以上のユーザーを選択し、 選択した行のアクション > 無視 をクリックして、レポートへのユーザーのアクセス権を変更せずに残します。
選択したユーザーは引き続きレポートを表示できませんが、次回アセスメントスキャンを実行したときに名前は表示されません。
6. グループにユーザーを追加します。

   a. 影響を受ける 1 人以上のユーザーを選択します。

   b. [選択した行のアクション] リストから [グループに割り当て] を選択します。



   c. 選択したユーザーを追加するグループとロール (利用可能な場合) を選択し、[送信] を選択します。
   同じグループに追加しないユーザーを [利用可能] 列に移動します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. 少なくとも 1 つのブロッキング ロールを持つグループがない場合、適切なグループを選択し、ブロッキング ロールの 1 つを追加します。
ユーザーに適したグループがない場合は、グループを作成し、アプリケーションの外部で必要なロールの 1 つをそのグループにアサインします。次に、アプリケーション内で、選択したブロックされたユーザーにアクセス権を付与します。グループの作成の詳細については、「ユーザーグループの作成」を参照してください。

e. [送信] を選択します。

タスクの結果
[影響を受けるユーザー] リストで、割り当てられたユーザーのステータスが [処理済み] に変わります。次回このリストを表示すると、これらのアサインされたユーザーはリストに表示されなくなります。

関連情報

グループへのロールのアサイン

拡張フィールドの **ACL** を使用してレポートを管理する

システムプロパティを追加して、ドット連結フィールドのreport_view ACL の影響を受けるレポートを特定します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin

手順

1. システムプロパティ *`sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk`* を作成し、 `true` に設定します。
システムのプロパティの作成については、「システムのプロパティを追加する」を参照してください。
2. レポートビューアセスメントスキャンを実行する.

タスクの結果
[Impacted Reports] リストに、[**Dot walk fields**] という新しい列が追加されました。この列は、影響を受けるレポートが拡張テーブルのフィールドの ACL に基づいて識別された場合にのみ表示されます。

関連情報

拡張テーブルに関するレポート

その他のレポート修復タスク

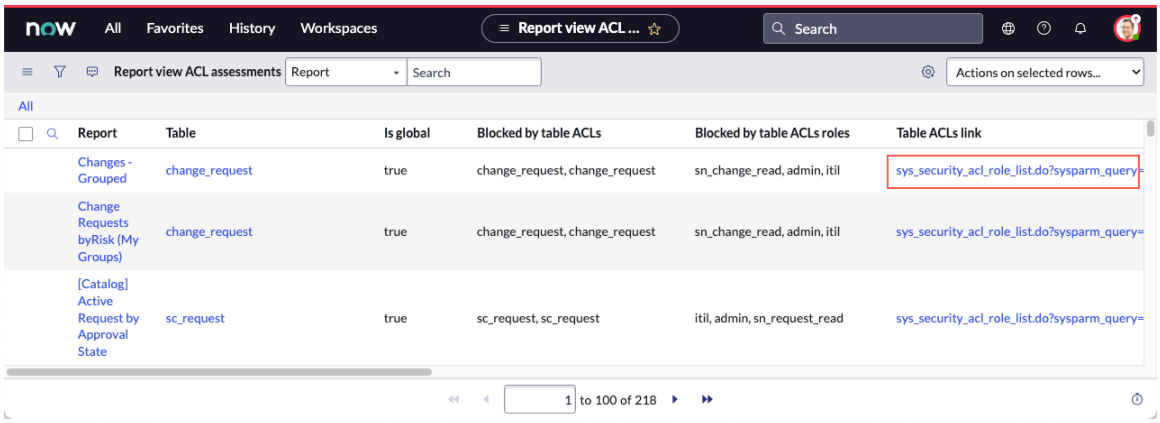
レポートアセスメントを実行した後、影響を受けるユーザーに対処できます。アクセス制御リスト (ACL) のロールを変更したり、レポートの共有オプションを変更したり、レポート ユーザーをグループに追加してブロッキング ロールを付与したりできます。

ACL ロールの編集

ロールを security_admin に昇格し、ブロッキング ACL に 1 つ以上のロールを追加します。[影響を受けるレポート] フォームで [テーブル **ACL]** リンク、[列 **ACL]** リンク、または **[ACL** の読み取り] リンク を選択して、関連する ACL ロールリストを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポート共有オプションを編集する

- クラシック環境で作成されたレポートの場合は、レポート デザイナーでレポートを開き、レポートの共有先を変更します。詳細については、「レポートの共有」を参照してください。
- 構成可能なワークスペースで作成されたレポートの場合は、Visualization Designer (可視化デザイナー) でレポートを開き、レポートの共有先を変更します。詳細については、「での可視化の共有 可視化デザイナー」を参照してください。

レポートアセスメントスキャンをフィルターする

特に大規模なインスタンスでは、レポートの ACL アセスメントに時間がかかることがあります。アセスメント時間を短縮するために、システムプロパティを使用して、アセスメントが適用されるレポートをフィルタリングできます。

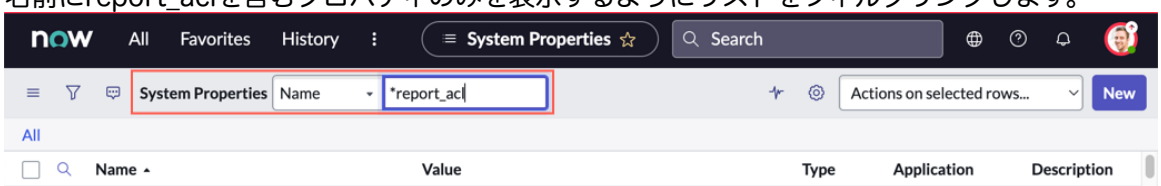
始める前に
必要なロール:admin および security_admin

レポートの ACL アセスメントでは、次の 2 つを除くすべてのプロパティを操作できます。

- *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.report_view.sys_ids*
- *sn_report_acl.glide.script.block.client.globals*

手順

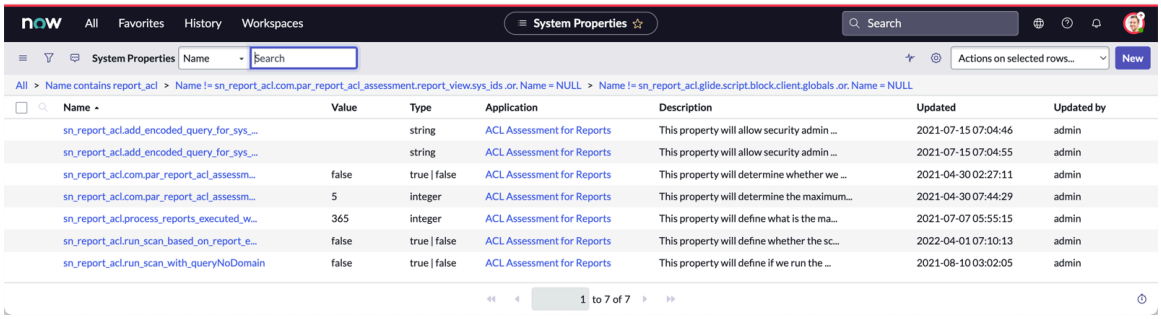
1. 移動先 すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. 名前にreport_aclを含むプロパティのみを表示するようにリストをフィルタリングします。



3. *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.report_view.sys_ids*プロパティと*sn_report_acl.glide.script.block.client.globals*プロパティを除外します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 残りのプロパティを使用して、アセスメントスキャンを構成します。

レポートアセスメントシステムプロパティ

これらのプロパティを使用して、レポートスキャンの ACL アセスメントを構成します。

システムプロパティを構成するには、 sys_properties.list に移動し、プロパティ名でフィルタリングします。

プロパティ	**Description** (説明)
sn_report_acl.run_scan_with_queryNoDomain	ドメインセパレーションされたインスタン 有効です。クエリの実行時にアプリがユー インを考慮するかどうかを定義します。fa 合、security_adminは自分が表示できるド 結果のみを取得します。グローバルsecuri は、プロパティを true に設定 のすべてのドメインの結果を取得できます security_adminsは、自分のドメインで収 を表示できます。詳細については、「レポ ントとドメインセパレーション」を参照し ドメインセパレーションされていないイン のプロパティを true に設定すると、アセ 常のクエリーとして実行されます。 このプロパティを削除すると、コードの既 になります。 タイプ：true/false デフォルト値：false
sn_report_acl.add_encoded_query_for_sys_report_table	セキュリティアドミンユーザーが、アセス ンがsys_reportテーブルで実行しているク コードされた AND クエリ条件を追加でき す。たとえば、指定したテーブルのレポー するエンコードされたクエリを追加できま エンコードされたクエリの有効性は、ユー です。パフォーマンス上の理由から、アプ コード内の追加のクエリを検証しません。 このプロパティを削除するか、値が空の場 ントスキャンは元の条件でのみ実行されま タイプ：文字列

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	Description (説明)
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk	影響を受けるレポートのドット連結フィー がチェックするかどうかを決定します。 false の場合、アプリのパフォーマンスは が、アプリは合計結果のサブセットのみを タイプ：true/false デフォルト値：false
sn_report_acl.add_encoded_query_for_sys_user_table	セキュリティアドミンユーザーが、アセス ンがsys_userテーブルで実行するクエリは ドされた AND クエリ条件を追加できるよ たとえば、指定したロールのみを評価する れたクエリを追加できます。 エンコードされたクエリの有効性は、ユー です。パフォーマンス上の理由から、アプ コード内の追加のクエリを検証しません。 このプロパティを削除した場合、またはフ が空の場合、アセスメントスキャンは元の 行されます。 タイプ：文字列
sn_report_acl.process_reports_executed_within_X_days_ago	アセスメントスキャンの実行時にアプリが ユーザーがレポートを最後に表示してから 定義します。 タイプ：整数 デフォルト:365
sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only	スキャンでは、影響を受ける各レポートの 実行回数が計算されます。このプロパティ が false の場合、[影響を受けるレポート] ストの [合計実行数] 列は常に空になり、 `process_reports_executed_within` は無視されます。 タイプ：true/false デフォルト：true
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.max_affected_users	[影響を受けるユーザーを表示] をクリック 取得される影響を受けるユーザーの最大数 ロールを持つユーザーが表示できるレポー べてのユーザーが表示できるレポートに適 グループ別に表示可能なレポートの場合、 ループごとに取得される影響を受けるユー です。 タイプ：整数

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	**Description** (説明)
	デフォルト：5
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk	レポートをブロックする原因となる拡張テ ポートフィールドをキャプチャします。こ は、ドット 連結フィールド 列を [影響を受 ト] テーブルに追加します (これらのフィー する場合)。 タイプ：true/false デフォルト：true

report_view ACL リスト

report_view ACL とそれに関連するロールのリスト全体を表示して、インスタンスのアクセス制御の概要を表示します。

各インスタンスには、異なる数の report_view ACL があります。この数は、インスタンスでアクティブ化されているプラグインによって異なります。

report_view ACL リストを表示するには、 すべて > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > レポートビュー **ACL** リスト.

report_view ACL リスト列

ACL は一度に 1 つのロールにのみ適用されます。ACL が適用されるロールが複数ある場合は、ACL のインスタンスが複数存在する可能性があります。たとえば、同じ ACL で、itil ユーザーよりも管理者の方が大きいレポートアクセス権が付与されます。

列	**Description** (説明)
ACL	report_view ACL の名前。
アクティブ	ACL がアクティブかどうかを示します。True/False。
アプリケーション	ACL が適用されるアプリケーション。
パッケージ	ACL に関連付けられたプラグイン。
Description (説明)	ACL によって、関連付けられたロールに対して阻止または許可されるもの。
ロール	ACL が適用されるロールの名前。
Description (説明)	ロールの説明。

無視されたレポートの再評価

レポートの ACL アセスメントに対処する場合は、どのレポートも無視できます。これらのレポートを表示して、ステータスを再度検討してください。

始める前に

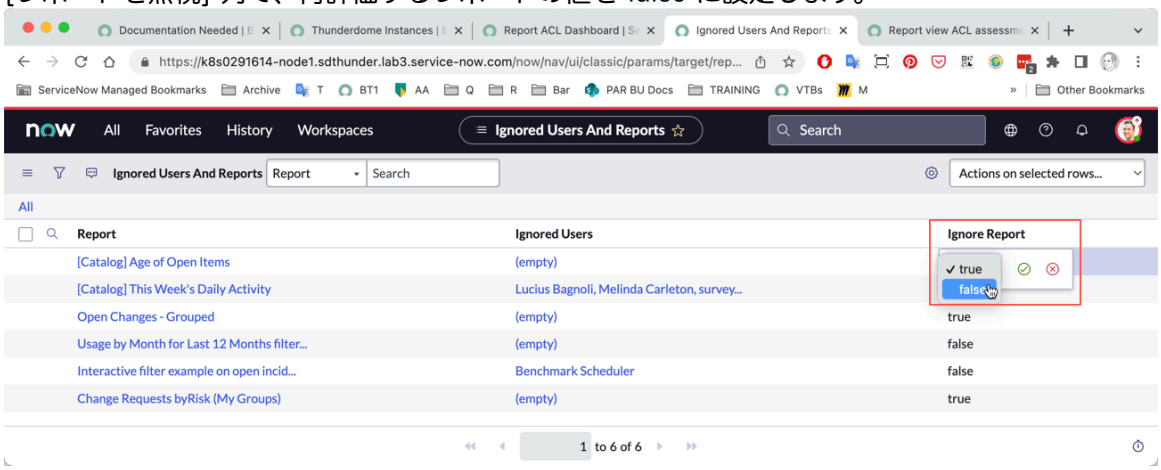
必要なロール:admin および security_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > 無視されたレポートおよびユーザーのリスト.
2. [レポートを無視] 列で、再評価するレポートの値を false に設定します。



タスクの結果
レポートの ACL アセスメントは、次回アセスメントを実行するときに 誤った レポートを評価します。

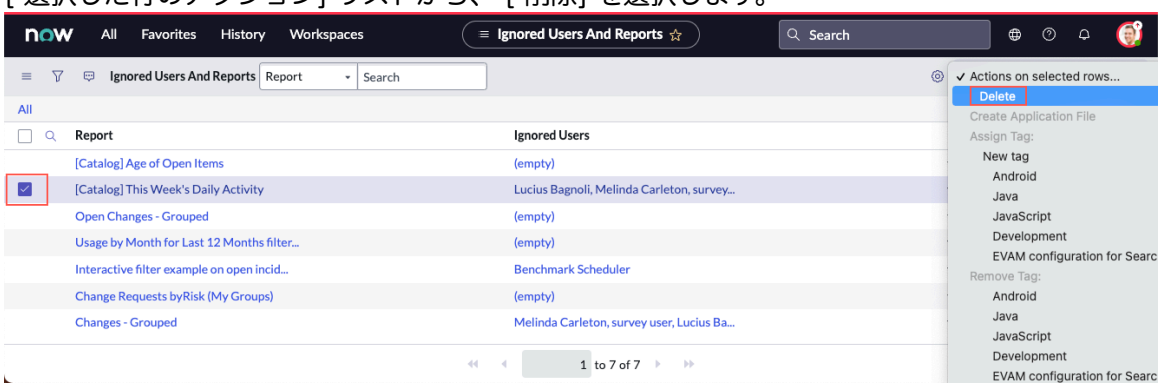
無視されたユーザーの再評価

レポートの ACL アセスメントに対処する場合は、個々のユーザーを無視できます。これらのユーザーを表示して、ステータスを再度検討します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > 無視されたレポートおよびユーザーのリスト.
2. 無視されたユーザーの行を選択します。
3. [選択した行のアクション] リストから、 [削除] を選択します。



タスクの結果
レポートの ACL アセスメントアプリケーションには、次回アセスメントを実行するときにこのレポートから削除したユーザーが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートアセスメントとドメインセパレーション

ドメインセパレーションされたインスタンスでは、レポートの ACL アセスメントに一定の制限があります。

ドメインセパレーションプロパティ

true/false プロパティ *sn_report_acl.run_scan_with_queryNoDomain* を構成して、アセスメントをインスタンス全体に適用するか、個々のドメインに適用するかを指定します。

このプロパティは、ドメインセパレーションされたインスタンスでのみ有効です。クエリの実行時にアプリがユーザー ドメインを考慮するかどうかを定義します。false の場合、security_admins は可視化のあるドメインの結果のみを取得します。

グローバルsecurity_adminは、プロパティを true に設定して、インスタンス上のすべてのドメインの結果を表示できます。個々のsecurity_adminsは、自分のドメインについて収集された結果を取得できます。詳細については、「レポートアセスメントスキャンをフィルターする」を参照してください。

単一のドメインインスタンスでこのプロパティが true に設定されている場合、アセスメントは通常のクエリとして実行されます。アプリケーションは、プロパティが削除された場合、プロパティが false であるかのようにアセスメントを扱います。

注:
グローバルsecurity_adminとしてアセスメントを実行する場合は、必ずプロパティを false に戻してください。true の場合、どのsecurity_adminでもインスタンス全体をクエリできます。他のsecurity_adminsは、表示する権限のないデータを表示できませんが、収集されたデータは上書きされます。

リストレポートの列ビューのアクセス制御

リストレポートの場合、 **glide.report.add_to_list_supported** システムプロパティにより、add_to_listアクセス制御リストが有効になります。このアクセス制御リスト (ACL) は、ユーザーが機密データを含むリストレポート列でレポートできないようにします。

たとえば、マネージャーは、レポートの作成時にユーザーが [アサイン先] 列でレポートできないようにすることができます。テーブルフィールドがユーザーに対して制限されている場合、[利用可能] 列には表示されません。したがって、ユーザーは作成するレポートでこれを選択できません。

注:
プロパティが有効になっている場合:列のadd_to_listアクセス制御リストを渡さないユーザーには、レポートに既に含まれている制限された列が [選択済み] 列に表示されます。このユーザーには、レポート内のこれらの列のデータも表示されます。ユーザーが [選択済み] 列から列を削除すると、[利用可能] 列に表示されなくなります。ユーザーが再度選択してレポートに含めることはできません。

add_to_list ACL は、レポートの基になっている最上位のテーブルにのみ適用されます。

このプロパティは、デフォルトでは無効になっています。有効にするには、 **sys_properties.list** (システムプロパティテーブル) に移動し、 **glide.report.add_to_list_supported** を **true** に設定します。admin ロールが必要です。

プロパティを有効にした後、既存のレポートは影響を受けません。列は、制限付きとして指定したフィールドを含む新しく作成されたリストレポートでのみ非表示になります。

関連情報

ACL ルールのタイプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

権限の問題を報告

レポートに表示される情報が予想よりも少ない場合や、データがまったく表示されない場合は、いくつかの理由が考えられます。これには、レポートに対する十分な権限がないことや、レポートが共有されていないことが含まれます。

レポートが共有されていません

レポートを表示できない一般的な理由は、レポートにアクセスしようとしているユーザーとレポートが共有されていないことです。デフォルトでは、新しく作成されたレポートは共有されないため、レポート作成者または admin ロールを持つユーザー以外はアクセスできません。レポートは、個々のユーザーや 1 つ以上のグループと共有することも、1 つ以上のロールに割り当てることもできます。

非共有レポートは、ユーザーがアクセスできるレポートのリストや、レポートを開いたり選択したりできるその他のオプションには表示されません。レポートが追加されたダッシュボードは表示できるが、レポート自体は表示できない場合、「レポートは特定のユーザーまたはグループにのみ表示されます」というメッセージが表示されます。

この問題を修正するには、レポートの所有者 (またはアドミニストレーター) が、そのレポートを表示してアクセスできる個人とレポートを共有できます。レポートの共有アイコンから直接レポートを共有できます。詳細については、「レポートの共有」を参照してください。

リストレポートに表示される行数が予想よりも少ない

もう 1 つのよくある問題は、リストレポートに表示される行数が、閲覧者が期待する行数よりも少ないことです。たとえば、あるユーザーにはリスト レポートに 100 行が表示されますが、別のユーザーに同じレポートを表示すると、表示される行数が少なくなったり、まったく表示されなかったりする場合があります。レポートから 1 つ以上の行が削除されると、セキュリティ上の制約により削除された行数を示すメッセージが表示されます。

通常の原因は、リストレポートの各行が、まずレポートのソーステーブルで定義されている読み取りアクセス制御リスト (ACL) と比較されることです。

ACL は、レポートに表示される可能性のあるリスト行ごとに考慮されます。詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

リスト以外のレポートに不完全なデータが表示される

グラフィカルなレポート (リスト以外のタイプのレポートとして定義) では、あるユーザーの不完全なデータ セットが、別のユーザーが同じレポートをレビューしているのと比べて表示されることがあります。

この問題は、レポートが生成されて表示される前に、ソーステーブルのデータに対してクエリ前ビジネスルールが実行されるという事実が原因で発生します。レポートのソーステーブルにあるビジネスルールは、権限または同様の基準に基づいてデータを制限します。ルールの基準を満たさないレコードは、レポートに含まれません。したがって、(主にグループまたはロールの権限が原因で) 権限レベルが異なるユーザーには、異なる結果を示す同じレポートが表示されます。詳細については、「「クエリー前」ビジネスルール (Before Query business rules)」を参照してください。

レポート統計情報

[レポート統計情報] リストでは、各コア UIレポートの実行頻度とレポートの実行時間を確認できます。

レポート統計情報を表示するには、次の場所に移動します。 すべて > レポート > 管理 > レポート統計情報. admin または report_admin ロールが必要です。デフォルトでは、[レポート統計情報] リストには、実行されたすべてのレポートが表示されます。実行されていないレポートを表示するには、コンテキスト メニュー アイコン (☰) を選択し、[未使用のレポートの追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:

- 特にインスタンスに多数のレポートがある場合は、未使用のレポートをこのリストに追加するには時間がかかります。
- [レポート統計情報] リストでは、最大 500 件のレポートがサポートされます。

ServiceNow 環境におけるレポートの管理方法の概要と推奨事項

[レポート統計情報] リストには次の列があります。

列	説明
レポート	レポートの名前。ハイパーリンクを選択すると、レポートのプロパティが表示されます。
前回の実行	レポートが最後に実行された日時。
実行	これまでにレポートが実行された回数。
ページで実行	ダッシュボードでレポートが実行された回数。
最新の実行時間	直前の 25 回の実行に基づくレポートの平均実行時間 (ミリ秒)。`glide.report.recent_executions_number`プロパティを編集して、この値の計算に使用する実行回数を変更します。
実行時間	レポートのすべての実行の平均実行時間 (ミリ秒)。
最新の実行回数	レポートが最近サーバーからロードされた回数。最近の実行の最大数は、プロパティ`glide.report.recent_executions_number`によって決まります。

自動翻訳

- 実行に最も時間がかかるレポートを表示するには、[最近の実行時間] を z-a 順にソートします。
- 使用されたレポートを表示するには、フィルターで [実行] 列から値 0 を除外します。
- 最も使用頻度の高いレポートを表示するには、[実行] 列を z-a 順にソートします。

レポートの使用率ダッシュボード

レポートの使用率ダッシュボードには、ServiceNow のインスタンスまたはドメインにおけるレポートの使用率の概要が表示されます。

レポート統計情報を表示するには、次の場所に移動します。 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > アドミンコンソール をクリックし、[使用状況] タイルで [レポートの使用状況] を選択します。

注:
report_admin ロールはこのコンソールを表示できません。admin または pa_admin ロールが必要です。

レポートの使用率ダッシュボードには次のウィジェットが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	タイプ	説明
レポートの数	単一のスコアと月別の割合の変化	インスタンス内のレポートの数。スコアをクリックするとダッシュボードが表示され、チャート、およびブレークダウン/レコード/スコアのリストが表示されます。
過去 6 か月間に表示されていないレポートの割合	単一のスコアと月別の割合の変化	過去 6 か月間に表示されなかったドメインまたはインスタンス内のレポートの割合。スコアをクリックすると詳細ダッシュボードにチャートが表示されます。チャートでは、期間、使用された計算、およびレポートに関する追加情報を調整できます。
上位 10 件のレポート テーブル	リスト	レポートで使用されている上位 10 件のテーブルのリスト。テーブルの名前をポイントするとその説明が表示されます。テーブルの名前またはレポートの数をクリックすると、拡大されたチャートがダッシュボードに表示され、テーブル内のレコードリスト、スコア、およびレポートに関する追加情報が表示されます。
表示方法タイプ別のレポート	棒グラフ (オプションで、他のいくつかのレポート タイプの 1 つに視覚化を変更可能)	レポートがダッシュボードで実行された回数。レポートのセグメントをクリックすると、拡大されたチャートがダッシュボードに表示され、テーブル内のレコードリスト、スコア、およびレポートに関する追加情報が表示されます。

レポートソース

レポート ソースは、レポートを作成するための事前定義されたデータ セットです。

レポート ソースは、レポートに同じ条件が含まれている場合に使用します。そのため、条件を何度も定義する必要はありません。レポート ソースを使用して、組織全体で同じ定義を実装することもできます。

可視化デザイナーでは、事前定義された条件でテーブルをフィルタリングするときにレポートソースを使用できます。

レポート ソースは、常にテーブルといくつかの条件で構成されます。新しいレポートを作成するときは、レポート ソースを使用するか、またはテーブルを選択することができます。レポート ソースの例としては、オープンのインシデント、クローズ済みの問題などがあります。

レポート ソースの作成。関連するテーブルのフィールドからのレポート データを使用する。関連するリストを使用する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

既存のレポートの条件に基づいてレポート ソースを作成するオプションを使用するか、追加した新しい条件に基づいてソースを作成する方法については、次の手順を参照してください。

レポート ソースの使用に関するその他のヒントについては、「 レポート ソースで時間を節約する方法 」を参照してください。

レポート ソースを作成する

レポートの作成に使用できるカスタムのデータセットを作成します。 レポート デザイナーでは、レポート ソースはデータ ソースと呼ばれます。

始める前に

必要なロール:report_admin

このタスクについて

レポート ソースの条件を更新すると、そのレポート ソースをベースとするすべてのレポートに、それらの条件が自動的に反映されます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > **Report Sources** (レポートソース).
   既存のレポートからレポート ソースを作成するには、レポートを開き、[保存] メニューから [データ ソースとして保存] を選択します。テーブルとタスク条件がレポートソースレコードに入力されます。
2. [新規] を選択します。
3. 必要に応じて、フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	レポート ソースの名前。たとえば、`オープン インシデント`などです。
テーブル	レポート ソースのベースとなるテーブル。たとえば、インシデント **[incident]** などです。
説明	レポート ソースの動作や目的の詳細な説明。
フィルター	レポート ソースに含めるテーブル レコードの条件。たとえば、オープン インシデントを含めるには、[インシデント] テーブルで「[ステータス] [は] [アクティブ]」を選択します。 **注:** 一部のレポート タイプでは、データ フィールドのソートにレポート内からアクセスできます。アクセス方法については、データをソートするレポートタイプのレポートタイプトピックで [ソートを追加] フィールドの説明を検索してください。 ○ OR 条件を含むレポートにレポート ソースを使用する場合は、レポートとレポート ソース条件の両方に一致するレコードのみが含まれます。 ○ レポートソースで 関連リスト条件 が指定されている場合、そのレポートソースに基づくレポートは、レポート内から指定された追加の関連リスト条件を無視します。 ○ レポートが、関連リスト条件 を指定するレポートソースに基づいており、ドット連結条件による追加の関連リスト条件も含まれている場合、レポートはエラーを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. レポートソースに基づいてレポートを表示するには、レポートソースレコードで [このレポートソースを使用したレポート] 関連リンクを選択します。
5. [送信] を選択します。

次のタスク
レポート ソースを使用してレポートを作成します。

注:
レポートソースはアクティブレポートで使用されますが、削除することはできません。

レポート範囲

レポート範囲は、棒グラフおよび円グラフで使用するデータ間隔の定義に使用します。

すべての結果を個別のスコアとして表示するのではなく、結果を範囲またはバケットにグループ化すると便利な場合があります。パーセンテージの結果を示す棒グラフや円グラフを考えてみましょう。既定では、0% から 100% までの個々の値は個別のデータ ポイントになり、不必要に混雑した外観のビジュアルが作成されます。ただし、結果をスコアの論理グループにセグメント化すると、コンテキストが追加され、対象者がどの範囲が良いか、悪いか、または懸念されるかを理解するのに役立ちます。レポート範囲は、棒グラフ、円グラフ、およびドーナツグラフのデータ間隔を定義するために使用されます。たとえば、SLA 内で十分に完了したタスクの数と、SLA 中に経過したタスクの数を把握することに関心がある場合などです。

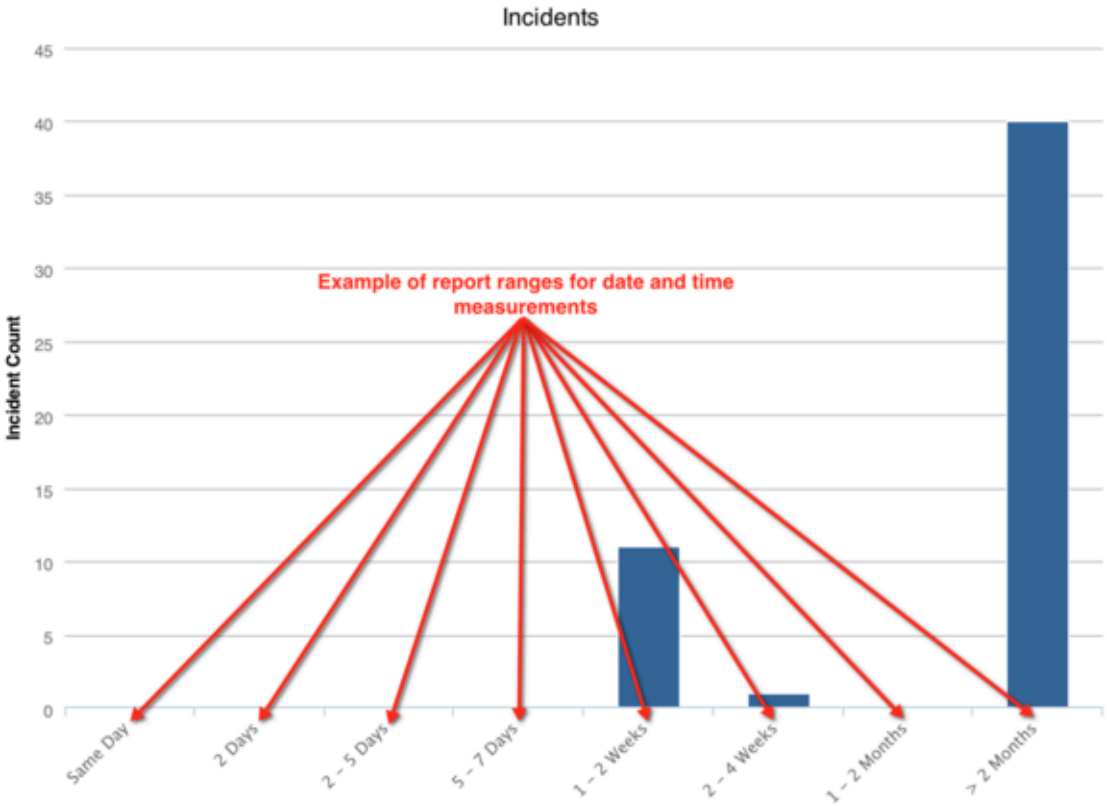
ユースケースの例:会社で SLA に違反するたびに、ビジネスに多大なコストがかかります。サービスマネージャーは、どの SLA が簡単に満たされ、どの SLA が違反しているか、または違反しそうになっているかを把握できます。この情報は、どの SLA を調整する必要があるかを特定するのに役立ちます。

注:
レポートには過去のデータのみが表示されます。未来の日付のレポート範囲を設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

範囲によるインシデント作成日



レポート範囲の仕組み

レポート範囲は、日付、リスト、または整数のみを保持する要素で有効です。

レポート範囲の要素の一覧

タイプ	例
日付	インシデントテーブルの [作成日時] フィールドを使用:同日、2 日、2 ～ 5 日、5 ～ 7 日、1 ～ 2 週間、2 ～ 2 週間、2 ～ 4 週間、1 ～ 2 か月>
リスト	インシデントテーブルの [優先度] フィールドを使用:[低]、[中]、[高]、[重大]、[計画中]
整数	インシデントテーブルの *[Count*] フィールドを使用：過負荷、最適化、未使用

レポート範囲は、すべての日付タイプ フィールド (日付、期日、期間、日時、日付時刻) にグローバルに適用することも、特定のテーブルに制限することもできます。

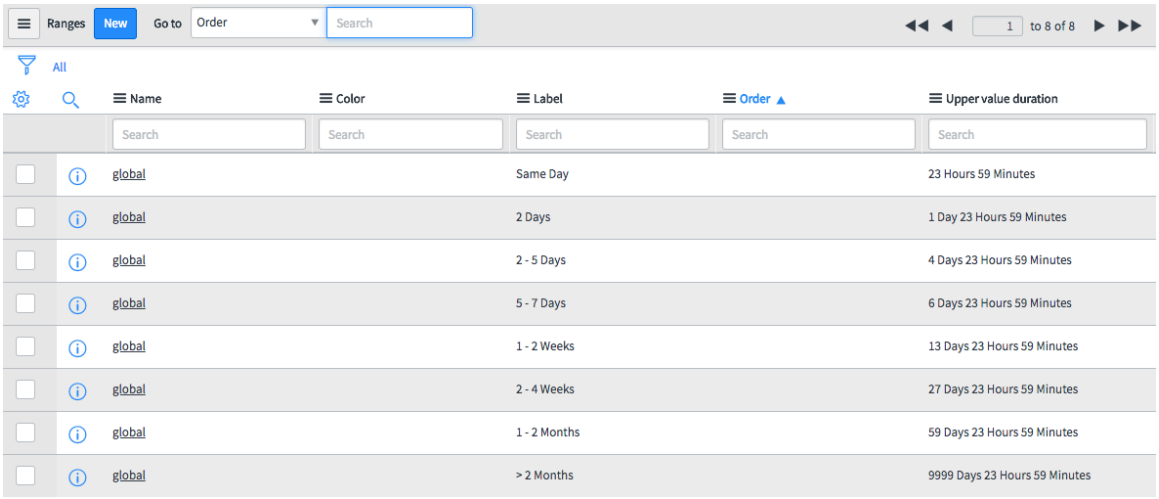
すべてのレポート範囲を表示する

現在構成されているすべてのレポート範囲を表示するには、 レポート > 管理 > レポート範囲.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート範囲リスト



重要な列と関連するデータタイプは次のとおりです。

レポート範囲リストのフィールド

フィールド	対応するデータ タイプ
期間最高値	日付 - 日付を格納する要素で有効です。
整数最高値	整数 - 数値を格納する要素で有効です。
値リスト	リスト - リスト アイテムを格納する要素で有効です。

レポート範囲を作成する

棒グラフおよび円グラフで使用するデータ間隔を定義するレポート範囲を作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

手順

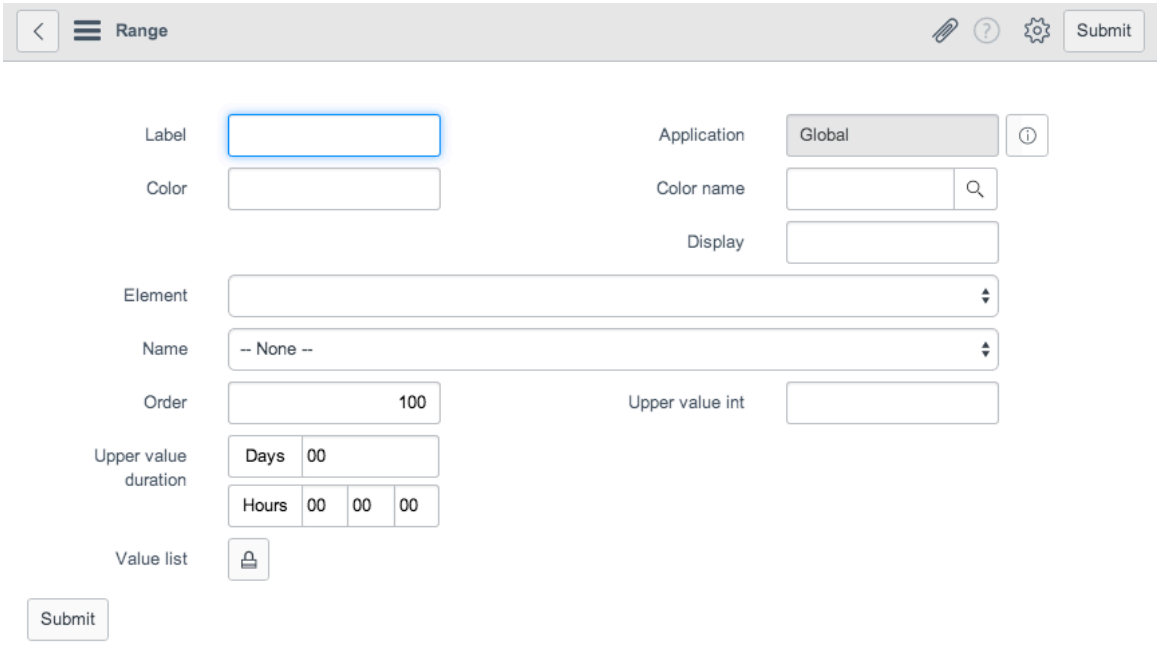
1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > レポート範囲.

2. [新規] を選択します。

3. フォームに記入します (表を参照)：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のフィールドを使用して、レポートに表示されるデータを絞り込み、レポートの表示方法をデザインします。

レポート範囲フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	値を抽出するテーブルの名前。 注: [要素] リストから選択する場合は先にこのフィールドが必要です。
要素	値を抽出するテーブルのフィールド。
ラベル	レポートに表示されるレポート範囲の名前。
値リスト	リスト要素の場合、このフィールドは範囲内となる値を定義します。 範囲が保存されると、値リストに要素の選択肢が入力されます。
色名	このレポート範囲を表示する際の色。 色は [表示] フィールドに表示されます。色名を入力する場合は、色値を入力する必要はありません。 注: レポートを作成する際、ドット連結で選択された [グループ] レポート フィールドの範囲に対して、指定された色が表示されないことがあります。適切に機能させるには、該当する [グループ] フィールドをベース テーブルからのみ選択してください。
色	このレポート範囲のレポートを表示する際の色を表す 16 進値。 色は [表示] フィールドに表示されます。色値を入力する場合は、色名を入力する必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: レポートを作成する際、ドット連結で選択された [グループ] レポート フィールドの範囲に対して、指定された色が表示されないことがあります。適切に機能させるには、該当する [グループ] フィールドをベース テーブルからのみ選択してください。
整数最高値	整数型要素の場合、このフィールドは範囲の上限を定義します。 この範囲の下限は、最も近い下限の [順番] を持つレポート範囲の上限値として定義されます。下限の [順番] を持つ範囲が存在しない場合には、下限はゼロになります。 例：1 つ目のレポート範囲の上限が 10 で、[順番] が 20 とします。2 つ目のレポート範囲の上限が 5 で、[順番] が 19 とします。5 ～ 10 の値は、この範囲で指定された書式で表示されます。
期間最高値	期間型要素の場合、このフィールドは範囲の上限を定義します。 この範囲の下限は、最も近い下限の [順番] を持つレポート範囲の上限値として定義されます。下限の [順番] を持つ範囲が存在しない場合には、下限はゼロになります。 例：1 つ目のレポート範囲の上限が 10 で、[順番] が 20 とします。2 つ目のレポート範囲の上限が 5 で、[順番] が 19 とします。5 ～ 10 の値は、この範囲で指定された書式で表示されます。
表示	読み取り専用。特定のレポート範囲で使用される色を示します。
順番	レポート範囲が使用される順番。値が複数のラベルの中で定義されている場合は、最も低い順番のレポート範囲で表示されます。

注:
設定が完了すると、レポートに利用可能なデータがない場合、レポート範囲は空として表示されます。設定されたレポート範囲に関連するデータラベルや凡例などのコンテキストフィールドは引き続き表示され、強調表示されます。

レポート範囲モジュールを有効にする

棒グラフと円グラフでレポート範囲を使用するには、レポート範囲モジュールを有効にする必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

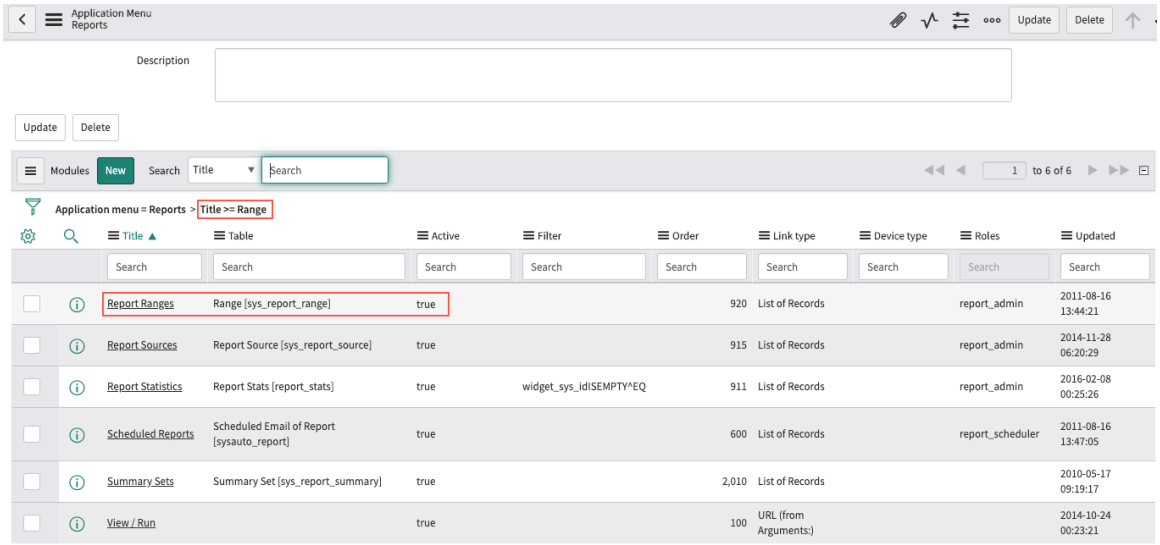
手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > アプリケーションメニュー.
2. [レポート] アプリケーションメニューを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [モジュール] 関連リストで、[レポート範囲] モジュールを有効にしま



す。

モジュール関連リストには、100 を超えるエントリが含まれる場合があります。単語範囲でフィルタリングして、検索を絞り込みます。

タスクの結果

円グラフと棒グラフのレポート範囲を定義できます。

インポートされたレポート データを使用する

インポートされた Excel スプレッドシートを使用すると、インスタンスの外部で管理されているデータに基づいてレポートを生成でき、それらのレポートを配布できます。

admin、sys_admin、report_admin、pa_admin、および pa_power_user のロールを持つユーザーは、.xlsx ファイルをアップロードできます。アップロードされたデータは一時的です。指定された有効期限があり、期限後は、それらのファイルに基づくレポートは利用できなくなります。

インポートされたデータを使用してレポートを作成するには、パフォーマンス分析のサブスクリプションバージョンが必要です。「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

注:
インスタンスの外部で情報が保持されている場合は、この方法でレポート データをインポートすると便利です。外部データセットをインスタンスに永続的にインポートするには、「 簡単インポート 」を参照してください。

システム テーブルのレポート

デフォルトでは、システム テーブルはレポート モジュールの制限を受けます。

これらのテーブルには次のものが含まれますが、これらに限定されません。

- システム監査 [sys_audit]
- ログ [syslog]
- トランザクション ログ [syslog_transaction]
- 添付ファイル [sys_attachment]
- メール [sys_email]

これは 、通常sys_audit どのインスタンスでも最大のテーブルであるためです。中規模のインスタンスでも監査テーブルが数ギガバイトになることは珍しいことではありません。大規模な環境では、このテーブルが 50 GB 以上に及ぶこともあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムから sys_audit テーブルにアクセスすると、クエリパターンがどのようになるかがわかるため、クエリに合わせて適切なデータインデックスを追加しました。たとえば、インシデントの履歴などを表示するときに、データベースでインデックスを使用することで、そのクエリに必要な数十行を効率的に取り出すことができます。

ただし、自由形式のレポートでは、クエリ パターンがどのようになるかを予測することはできません。フィールド名でグループ化したり、古い値で並べ替えたりしたい場合があります。したがって、クエリーがインデックス付きのクエリになることはありません。実質的な結果として、複数のギガバイトのファイルをスキャンするようデータベースに要求することになりますが、こうした操作は次の理由から適切ではありません。

- 処理が遅いため、レポートの実行に容認できないほどの長い時間がかかります。
- データベースがテーブルをスキャンしている間、他のクエリーが必要なリソースを取得できないため、インスタンスの速度が低下したり、インスタンスが使用できなくなることもあります。

システム テーブルのレポートを作成する必要がある場合は、 *glide.ui.permitted_tables* プロパティに追加できます。移動先 システムプロパティ > **UI** プロパティ をクリックし、 **List of system tables (beginning with "sys_, comma separated), that are reportable)** というラベルの付いたプロパティを見つけます。デフォルトでは、システム テーブルはレポート不可能です。」というラベルのプロパティーを探します。操作の際は十分注意してください。

マップ レポートの管理

マップ レポートで使用するさまざまなオブジェクトと、それらを作成および変更する方法について説明します。

マップ レポートのオブジェクト

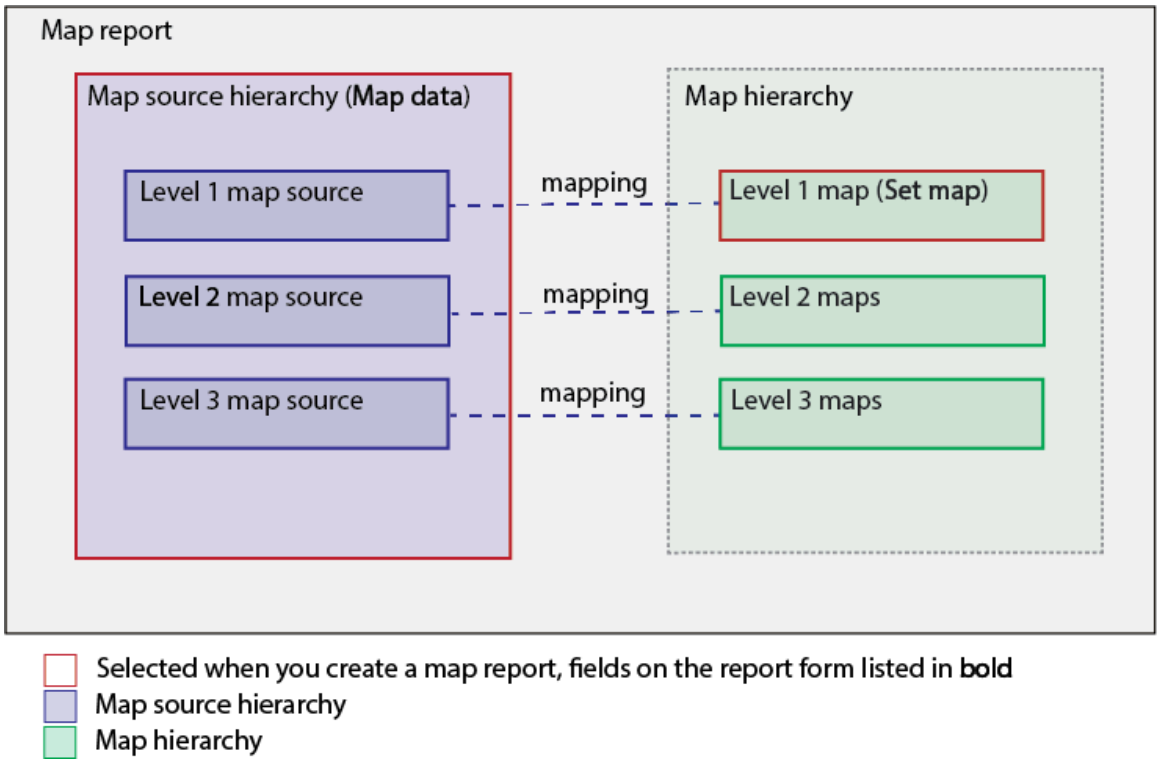
マップ オブジェクトは、ユーザーがマップレポートでドリル ダウンできるさまざまなレベルと、それらのレベルで表示されるデータを定義します。これらのオブジェクトは、アドミニストレーターが作成および管理できます。

マップ レポートにはそれぞれ、マップ レベルのデータを構成するマップ ソース階層が含まれています。また、マップのドリル ダウン レベルを定義するマップ階層も含まれています。これらの階層のレベルは、[レベル] フィールドによって結び付けられます。たとえば、レベル 1 のマップのデータは、レベル 1 のマップ オブジェクトに表示されます。

注:
デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



マップ オブジェクト

オブジェクト	説明
マップ ソース	マップ レポートに表示するデータのセットを定義します。 ユーザーがマップ レポートの作成時に [マップ データ] フィールドで選択するマップ ソースは、実際にはマップ ソース階層です。マップ上のドリル レベルごとにマップ ソース レベルが 1 つずつあります。階層内の最上位のマップ ソースはレベルではなく、他の階層レベルをまとめるラッパーです。マップ ソースにはそれぞれ、1 つのマップ階層ドリル レベルのデータが含まれており、どちらも同じレベルです。 どちらもレポートで使用されるデータを指定するため、マップ ソースはレポート ソースに似ています。ただし、マップ ソースではテーブルの代わりに、レポートを作成するためのフィールドを選択します。
マップ	データを表示するマップ。マップは、親子関係で定義された階層の中で設定されます。階層レベルはそれぞれ、マップ レポートのドリル レベルです。実際のマップ レイアウトは JSON 定義 (地図の場合は geoJSON 定義) により定義されます。 既存のマップを選択するか、新しいマップを作成します。必要に応じてマップの条件を定義し、マップに表示するデータをフィルターでさらに絞り込むことができます。
マッピング	マップ ソース内のデータをマップ上に表示できる値に変換します。 マッピングは、国および都道府県のマッピング グループに整理されます。マップ ソースの構成時に、ソースのデータを変換するためのマッピング グループを選択します。選択するマッピング グループは、すでに選択したフィールドに合わせる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ オブジェクト (続く)

オブジェクト	説明
	たとえば、マップ ソースの [フィールド] の値が [場所：国] の場合は、[国のマッピング] グループが使用されます。マップ ソースの [フィールド] の値が [場所：都道府県] の場合は、[地域と都道府県のマッピング] マッピング グループが使用されます。

マップ ソース階層を自動的に生成します。

マップ ソース階層は、マップ レポートの作成に使用されるデータ ソースです。最上位のラッパーを除いて、階層内のマップ ソース レベルはそれぞれ、1 つのマップ ドリル レベルのデータを定義します。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

このタスクについて

注:
デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > マップソース.
2. [新規] をクリックします。
3. フィールドに入力します。

マップ ソースのフィールド

フィールド	説明
名前	内容を端的に表す名前を入力します。たとえば、場所別のインシデントなどです。ユーザーは、マップ レポートの作成時に [マップ データ] フィールドでこの名前でマップ ソースを選択します。
テーブル	マップするフィールドが含まれているテーブルを選択します。階層内のすべてのマップ ソース レベルがこのテーブルを使用します。
フィールド	マップ レポートに表示するデータを持つフィールドを選択します。このフィールドは場所テーブルを参照する必要があります。たとえば、**incident.caller.location**、**incident.location** などです。このフィールドへのドット連結ができます。
アクティブ	マップ レポートの作成時にマップ ソースを使用できるようにするには、このチェック ボックスをオンにします。

4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. [マップ ソース レベルを生成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3 つのマップ ソース レベルが作成されます。レベル 1 のマップ ソースのみが [マップ ソース] 関連リストに表示されます。

> **注:**
> マップ ソースは最大 4 つのレベルを持つことができますが、自動的に生成されるのは 3 つのみです。使用するマップ階層で追加のドリル レベルが必要な場合は、4 つ目のレベルのマップ ソースを作成できます。

次のタスク
これで、マップ ソースをマップ レポートで使用する準備ができました。

マップ ソース レベルをカスタマイズする

マップ ソースでは、マップ レポートに表示するデータを構成します。 必要に応じて既存のマップ ソースをカスタマイズします。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

このタスクについて
> **注:**
> デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。

手順
1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > マップソース.
2. レベルをカスタマイズするマップ ソースを開き、[マップ ソース] 関連リストを使用して該当するレベルまで移動します。
   たとえば、レベル 1 のマップ ソース名をクリックしてマップ ソース フォームを再度開き、関連リストでレベル 2 のマップ ソースを選択するなどの操作を行います。
3. 必要に応じて以下のフィールドを変更します。

マップ ソースのフィールド

フィールド	説明
名前	マップ ソースの名前を入力します。マップ ソース レベルの名前にはレベルを含めます。たとえば、「場所別インシデント - レベル 2」などとします。
テーブル	同じテーブルがマップ ソース階層全体で使用され、最上位のマップ ソースで指定されます。
フィールド	マップ上に表示するデータを持つフィールドを選択します。他のフィールドへのドット連結ができます。データを表示するマップよりも詳細度が 1 レベル高いフィールドを選択します。 たとえば、世界地図に表示されるレベル 1 のマップ ソースのデータを構成する場合は、各国のデータを世界地図上に表示するため、[場所：国] を選択します。同様に、都道府県の地図に表示するデータを構成する場合は、[場所：都道府県] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 市ラベルは、マップ レポートにドリル ダウンするときに表示できる最も細かいレベルです。たとえば、都市内のさまざまな場所のレポートを作成して、最下位のマップ ソース フィールドの定義に location.name を含めた場合、マップ レポートには複数の場所が対応する市ラベルとして表示されます。その結果、同じ location.city の値を持つ複数の場所のレポートを作成すると、ラベルが同じで集計値が異なる複数のマップ ドットが表示され、異なる場所にドリル ダウンされます。 ほとんどのマップ ソースでは、場所テーブルのフィールドを使用します。
レベル	このマップ ソースの階層レベルを選択します。最大 4 つのレベルを持たせることができます。マップ ソース レベルはそれぞれ、マップ階層のドリル レベルに対応し、それらのレベルはほとんど一致しています。レベルはそれぞれ、必ず階層内に 1 回だけ出現します。
アクティブ	マップ レポートの作成時にこのマップ ソースを使用できないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。

4. [データ変換] セクションで、必要に応じて以下のフィールドを変更します。

フィールド	説明
データ	このマップ ソースでのデータの使用方法を選択します。 ○ [テーブルのデータを使用]：ServiceNow プラットフォームのデータを無変換で使用します。データがすでにマッピング先の JSON キー値と一致している場合は、このオプションを選択します。 ○ [マッピングを使用]：マッピング先の JSON キー値と一致するようにデータを変換します。hc キーの geoJSON キーを使用する地図のマップ ソースの場合は、常にこのオプションを選択します。 ○ [緯度と経度を使用]：緯度と経度の座標を使用してデータをプロットします。このオプションは、レベル 3 などの下位のマップ レベルでは常に選択してください。データに緯度と経度の値があることを確認してください。 **警告:** [緯度と経度を使用] オプションでは、このマップ ソースを使用しているマップのヒートマップとドリルが無効になります。そのため、階層の最下位であるマップ ソース レベルでのみ、このオプションを選択してください。
次のマッピングを使用	[マッピングを使用] を選択した場合は 、使用するマッピング グループを選択します。マッピング グループは、データを変換するキーと値のペアのマッピングの集まりです。マッピング グループ内のマッピングを確認するには、[場所マッピング] の [sys_report_map_source_mapping] テーブルに移動します。 たとえば、フィールド値 **[USA]** を hc キー値 **[us]** に変換する場合は、[国のマッピング] を選択します。これには、関連するキーと値のペアのマッピングが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[JSON** キー] セクションで、マップ ソース データをマップに結び付ける JSON キーを選択します。
   地図では通常、hc キーを使用します。

   レポート マップにはすべて JSON 定義があります。データのマップ先となる JSON のキーと値のペアを 1 つ選択します。マップに表示するデータは、JSON キー値と一致する必要があります。したがって、選択するキーによって、[データの使い方] セクションの設定でデータを変換する必要があるかどうかが決まります。すべてのデフォルトのプラットフォームマップとマッピングは、geoJSON hc キーと ISO 3166 標準値を使用します。カスタム マップでは、別の JSON キーを入力できます。

6. [更新] をクリックします。

キーと値のペアのマッピングを作成する

キーと値のペアのマッピングは、ServiceNow プラットフォームのデータを、マップ上にプロットできる値に変換するものです。データの変換が必要な場合は、マップ ソースの構成時にマッピングが使用されます。マッピングはそれぞれマッピング グループに存在します。

始める前に
必要なロール:report_admin または admin

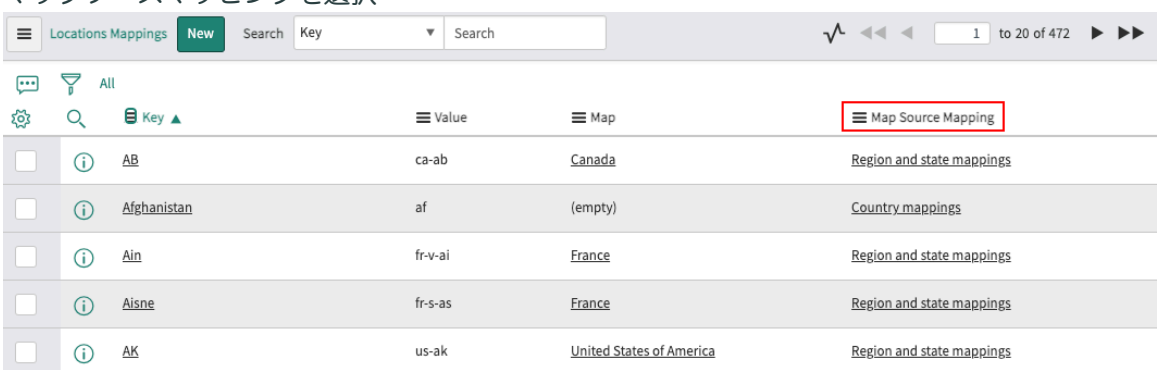
このタスクについて
デフォルトのシステムのキーと値のペアでは、データが geoJSON hc キー値にマップされます。hc キー値はすべて ISO 3166 規格に準拠しています。デフォルトのマッピングは、最も一般的に使用されるデータ値のために用意されています。データで異なる値を使用する場合は、キーと値のペアのマッピングを作成する必要があります。

たとえば、米国のデフォルトマッピングでは、キー USA を ISO 値 us にマップします。データに USA ではなく United States という値がある場合は、新しいキーと値のペアを作成して、 United States を ISO 値 us にマッピングする必要があります。

手順

1. 場所マッピング [sys_report_map_source_mappings] テーブルに移動します。
2. 「 マップ・ソース・マッピング 」列で、マッピングを追加するマッピング・グループを選択します。
   マッピングを作成する対象のオブジェクトのタイプに対応したマッピング グループを選択します。たとえば、フィールド値 United States のマッピングを作成する場合は、[国のマッピング] グループを選択します。マッピングのある行の [キー] と [マップ] の値は考慮されません。

マップソースマッピングを選択



3. [新規] を選択します。
4. フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

場所マッピング

フィールド	説明
キー	変換するフィールド値。たとえば、USA などです。
値	キーの変換先となる値。たとえば、us などです。この値は、通常は ISO 3166 規格の値です。値はそれぞれマップごとに 1 回のみ使用できます。
マップ	このマッピングに関連付けるマップ。このフィールドに記入しない場合、このマッピングは任意のマップで使用できます。

5. [送信] を選択して変更を保存します。

次のタスク
マッピングをレポート ソースに追加すると、マッピングを使用してそのソースからマップにデータをマップすることができます。

マップを作成する

マップ階層で使用できるマップを作成します。

始める前に
必要なロール:report_admin または admin

手順
1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > マップをクリックし、[新規] をクリックします。

2. 必要に応じて次のフィールドに入力します。

レポート マップ フォーム

フィールド	説明
キー	このマップを他のマップにリンクする一意のキーを指定します。デフォルトのマップの場合、キーは hc キー値です。キーは親マップの geoJSON に含める必要があります。
名前	マップの名前を入力します。
レベル	マップ階層におけるこのマップのレベルを指定します。
JSON 定義	マップの geoJSON を定義します。Highchartsから事前定義されたマップをダウンロード できます。
親	このマップの親マップを選択します。親子関係によって、マップ階層内のドリル レベルが定義されます。
アクティブ	マップ レポートの作成時にマップを使用できないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。
地理的地図	マップが地理的でない場合は、このチェック ボックスをオフにします。たとえば、フロア マップではこのチェック ボックスをオフにします。

3. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

4. マップのデータをフィルタリングする条件を追加するには：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [マップ条件] 関連リストで、[新規] をクリックします。

b. フィールドに入力します。

マップ条件フォーム

フィールド	説明
アクティブ	この条件を適用するには、このチェック ボックスをオンにします。
テーブル	これらの条件を適用するテーブルを指定します。テーブル間で条件を共有することはできません。
マップ ソース	条件を適用するマップ ソースを選択します。
条件	このマップに適用するフィルター条件を追加します。

c. [送信] をクリックします。

5. オプション: [レポート マップ] 関連リストで、マップ階層を拡張する子マップを作成します。

6. [更新] をクリックしてマップを保存します。

マップ レポートのデフォルトのマップを設定する

マップ レポートの作成時にデフォルトで [マップを設定] フィールドに表示されるマップを作成します。

始める前に
必要なロール：admin または report_admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > プロパティ.

2. [「マップ」タイプのレポートのデフォルト マップを設定します] フィールドに、デフォルトとして設定するマップのキーを入力します。
マップのリストは、 レポート > 管理 > マップ.

3. [保存] をクリックします。

テーブルとフィールドの説明の管理

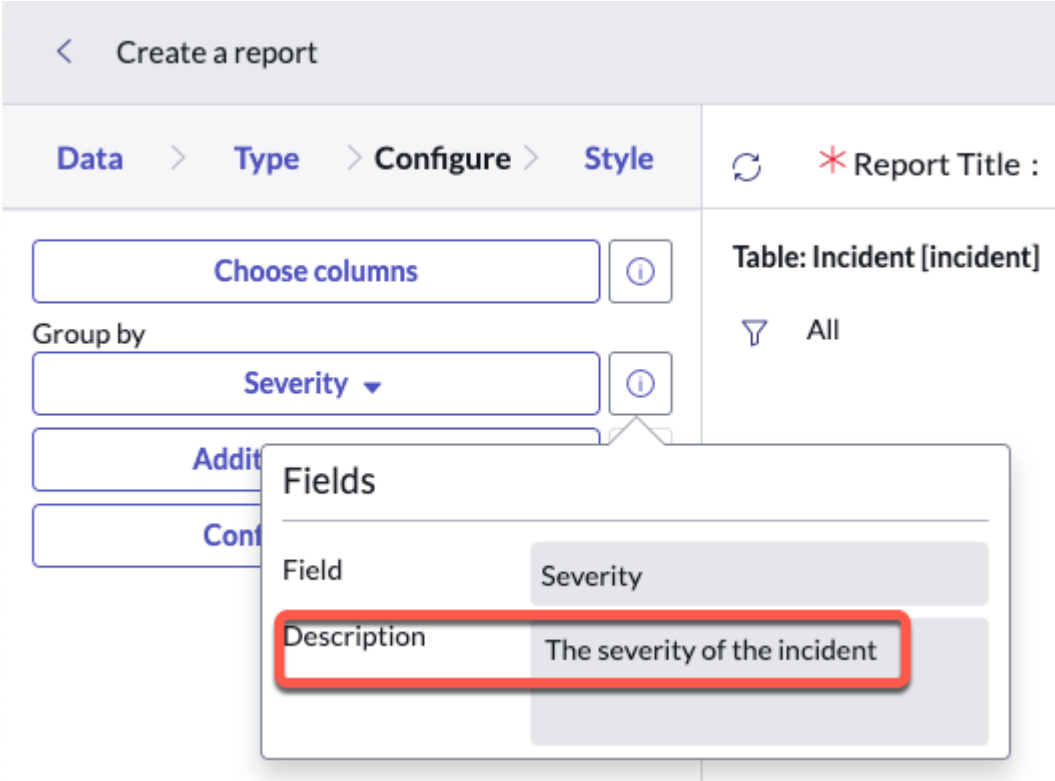
report_description_admin ロールを持つユーザーは、ユーザーがレポートを作成するときに表示されるテーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

admin ロールを持つユーザーは、report_description_admin ロールを有効にする必要があります。report_description_adminロールを持つユーザーは、フィールドとテーブルの説明を編集できます。レポートアドミニストレーターは、デフォルトでこのロールを継承します (有効化されている場合)。

レポート デザイナーの [データ] タブにテーブルの説明が表示されます。必要に応じて、[構成] タブにフィールドの説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポートの説明の **admin** ロールを有効にする

admin ロールを持つユーザーは、report_description_adminロールを有効にすることができます。このロールを持つユーザーは、テーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

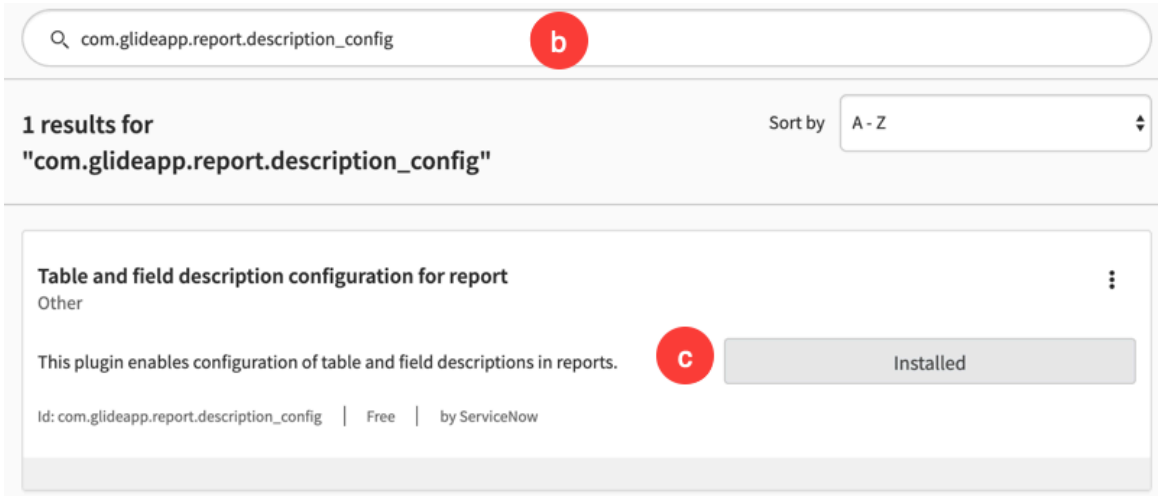
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プラグイン.

2. 検索バーに 「com.glideapp.report.description_config 」と入力します。

3. レポートプラグインのテーブルとフィールドの説明の構成をインストールします。



4. report_description_adminロールをアサインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「ユーザーへのロールのアサイン」および「グループへのロールのアサイン」を参照してください

report_adminロールを持つユーザーには、自動的に新しいロールが付与されます。

タスクの結果

レポート デザイナーの [**Data**] タブにテーブルの説明が表示され、必要に応じて [**Configure**] タブにフィールドの説明が表示されます。

テーブルとフィールドの説明を編集

report_description_admin ロールを持つユーザーは、ユーザーがレポートを作成するときに表示されるテーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

始める前に

必要なロール:report_description_admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > フィールドの説明.
   [フィールドラベル] リストには、次の 4 つの列があります。

   テーブル

   要素が関連付けられているテーブルを一覧表示します。この列には、テーブルの各フィールドに対して 1 つのエントリと、テーブル自体に対して 1 つのエントリがあります。

   要素

   説明が適用されるテーブル内のフィールド。[要素] の値が空の場合、説明はテーブルに適用されます。

   言語

   フィールドがローカライズされる言語の 2 文字のコード。読み取り専用です。

   > **注:**
   > 説明を追加する言語のコードを右クリックし、[この値で絞り込み] を選択します。このようにして、このタスクに必要なフィールドのみにテーブルを制限します。

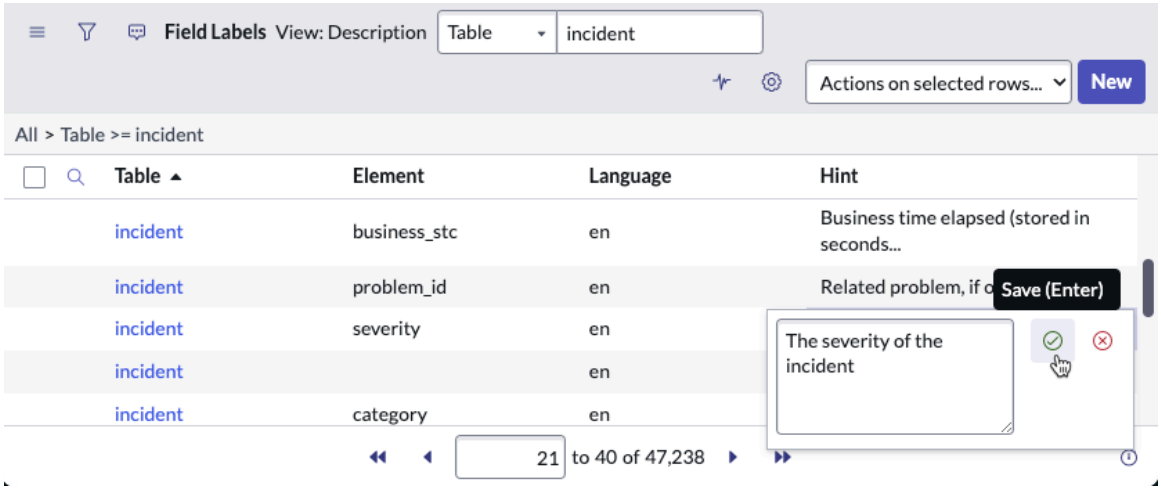
   ヒント

   レポート デザイナーでユーザーに表示されるテーブルとフィールドの説明が含まれています。

自動翻訳

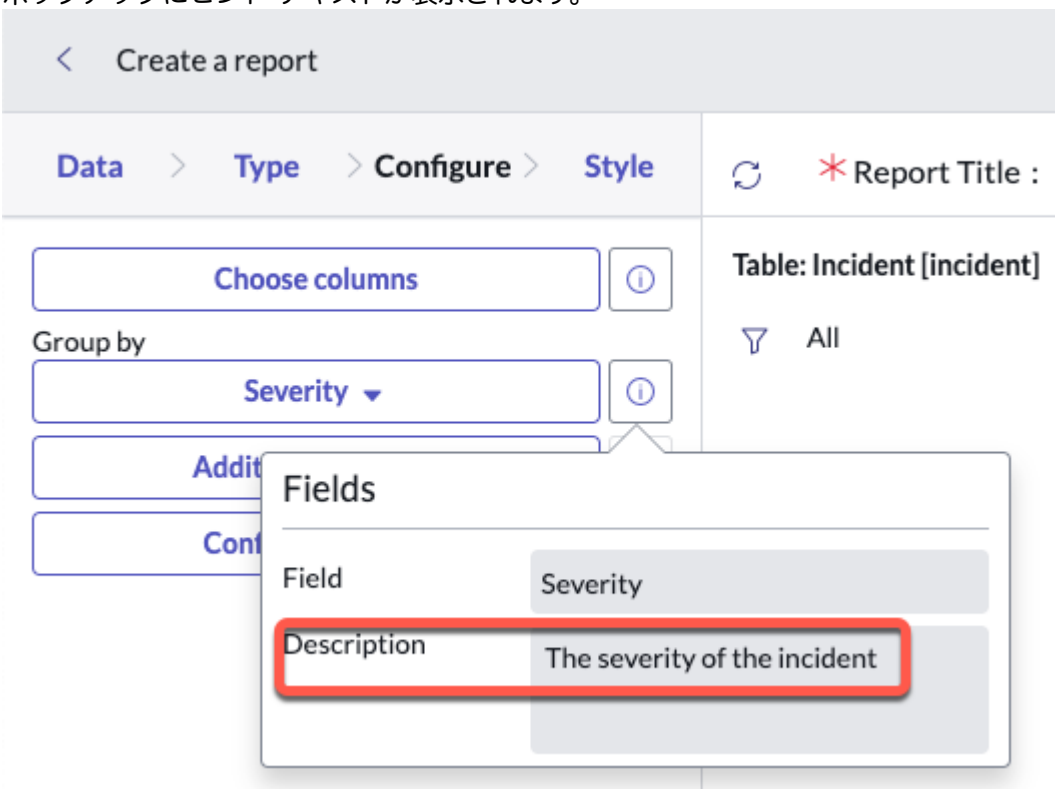
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [ヒント] 列のセルをダブルクリックし、説明を追加または編集します。
チェックアイコンをクリックして、説明を保存しま



す。

タスクの結果
レポート デザイナーで、ヒントを追加したフィールドでグループ化すると、そのフィールドの情報ポップアップにヒント テキストが表示されます。



マルチレベル ピボット レポートの色分けルールを作成する

マルチレベル ピボット テーブル レポートでの数値の表示方法に関するルールを構成します。カラーリング ルールを使用すると、より重要な値を簡単に強調表示できます。カラー ルールは、ピボット レポートのセルの内容に適用されます。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

注:
マルチレベル ピボット レポートの [合計] セルに色分けルールを適用することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. レポート デザイナーの [スタイル] タブで、[カラーリング ルールの編集] を選択します。
「セキュリティ制約により、要求されたページにはアクセスできません」というエラーメッセージが表示された場合は、アクセス制御リストによってアクセスが禁止されています。必要に応じて、security_adminロールを持つユーザーが、マルチレベルピボットルール [sys_report_mpivot_rule] テーブルに読み取りおよび書き込みのアクセス制御リスト (ACL) を作成する必要があります。
2. [マルチレベル ピボット ルール] ダイアログ ボックスで、[新しいルール] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

マルチレベルピボットルールのフィールド

フィールド	説明
演算子	セルの値を評価するときに使用する演算子 ([次の値を超える]、[次の間] など)。たとえば、セルのスタイルを 5 未満の値に設定するには、[未満] を選択し、[値 **1]** の値に 5 を指定します。
値 1	セル値を評価するための数値。[演算子] の値が [次の間] の場合、[値 **1]** フィールドには小さい方の値を入力します。 **注:** 期間値に基づくルールを作成する場合は、期間を秒単位で指定します。
値 2	このルールに一致するためにセルに含めることができる最大値。このフィールドは、[演算子] の値が [次の間] の場合にのみ表示されます。
フォントの色	このルールに一致するセルに適用するフォントの色。
背景色	このルールに一致するセルに適用する背景色。このオプションは、マルチレベル ピボット テーブル レポートにのみ適用されます。
ルール注文	ルールが適用される順序を決定する数値。ルール オーダーが高いルールほど後で適用され、オーダーが低いルールほどオーバーライド (無効化) されます。 たとえば、140 より大きい値のセルに一致するルールと、150 より小さい値のセルに一致するルールがあります。それらより高いオーダーのルールは 141 ～ 149 の値を持つセルに適用されます。

4. [送信] を選択してルールを保存し、別のルールを作成するか、[**OK**] を選択してルールを保存し、レポート デザイナーに戻ります。

単一スコア レポートの色付けルールを作成する

値が重要である理由を強調するために、単一スコア レポートでの数値の表示方法を決めるルールを構成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

この作業は、単一スコア レポートのスタイル オプションを構成する作業の一部です。

カラーリング ルールを実装する手順例については、 単一スコアの可視化の例 を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. レポート デザイナーの [スタイル] タブで、[カラーリング ルールの編集] をクリックします。
2. [マルチレベル ピボット ルール] の [単一スコアの色ルール ビュー] ダイアログ ボックスで、[新しいルール] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

単一スコアの色ルールフィールド

フィールド	説明
演算子	値を評価するときに使用する演算子 (「より大きい 」や 「次の間」など)。たとえば、5 未満の値をスタイル設定するには、[未満] を選択し、[値 **1**] の値を 5 に指定します。
値 1	セル値を評価するための数値。[演算子] の値が [次の間] の場合、[値 **1]** フィールドには小さい方の値を入力します。 注: ○ カラー ルールが集計値に適用されます。 ○ 期間値に基づくルールを作成する場合は、期間を秒単位で指定します。
値 2	このルールに一致する最大値。このフィールドは、[演算子] の値が [次の間] の場合にのみ表示されます。
フォントの色	このルールに一致する値に適用するフォントの色。検索アイコン ( ) を選択して、既存のリストから色を選択するか、16 進数の色の値を入力します。
ルール順序 (オプション)	カラールールが適用される順序を決定する数値。 ルールは最低値から最高値の順に評価されます。たとえば、1 つ目のルールで値 7 に青色を適用し、2 つ目のルールで 1 ～ 10 の値に赤色を適用したとします。7 を青色にするには、最初のルールの [ルール順序] 値を高くして、2 番目のルールによって上書きされないようにします。 ルールの順序を指定しない場合、カラーリング ルールは作成された順序で適用されます。

4. [送信] をクリックしてルールを保存し、新しいルールを作成するか、[**OK**] をクリックしてルールを保存し、レポート デザイナーに戻ります。

タスクの結果
ルールで指定した色は、編集中の単一スコア レポートに適用されます。

ドメインセパレーションとレポート

ドメインセパレーションはレポートでサポートされており、レポートの作成と管理に関連しています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルサポートを含みます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

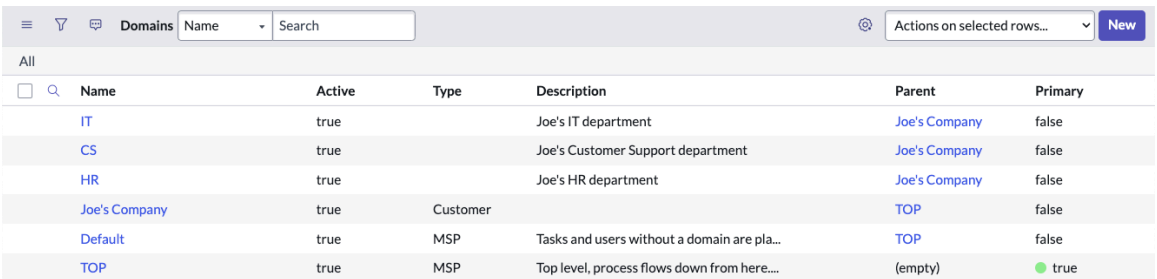
概要

ドメインセパレーションプラグインを有効にするには、「ドメインセパレーションの要求」を参照してください。

レポートでのドメインセパレーションの仕組み

レポートでは、分離されたデータにレポートのデザインとレポートの内容が含まれます。グローバルレベルで定義されたレポートは、すべての子ドメインのユーザーに表示されます。

- TOP ドメインで作成されたレポートは、Joe の会社ドメインと、Joe の会社の HR、CS、および IT の子ドメインのユーザーに表示されます。
- IT、CS、HR のいずれかの子ドメインで作成されたレポートは、他の子ドメインのユーザーには表示されませんが、親の Joe の会社ドメインのユーザーには表示されます。
- 親 (Joe の会社) ドメインで作成されたレポートは、そのドメイン内のユーザーのみが使用でき、子ドメインのユーザーは使用できません。



Name	Active	Type	Description	Parent	Primary
IT	true		Joe's IT department	Joe's Company	false
CS	true		Joe's Customer Support department	Joe's Company	false
HR	true		Joe's HR department	Joe's Company	false
Joe's Company	true	Customer		TOP	false
Default	true	MSP	Tasks and users without a domain are pla...	TOP	false
TOP	true	MSP	Top level, process flows down from here....	(empty)	true

あるドメインでレポートを作成して別のドメインにコピーした場合、レポート構造は変わりませんが、レポート データはドメインに合わせて調整されます。たとえば、アクティブなインシデントレポートは、親ドメイン内のユーザーにはすべてのアクティブなインシデントを表示しますが、IT ドメイン内のユーザーには IT インシデントのみを表示します。

関連情報

アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート

ドメインセパレーションの概要

レポートでドメインセパレーションを有効にする

ドメインセパレーションプラグインを有効にして、ログオンしたユーザー ドメインのデータ、ルール、および設定に基づいてレポートにコンテンツを表示できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：security_admin

このタスクについて
デフォルトでは、ドメイン サポート プラグインによって特定のテーブルのデータがドメイン別に分離されます。ただし、MSP 拡張プラグインがインストールされていない限り、レポートはドメイン別に分離されません。レポートにはユーザーのドメインのデータのみ表示されますが、ユーザーはすべてのレポートを表示できます。

MSP 拡張プラグインがインストールされていない場合は、次の手順に従ってレポートのドメインセパレーションを有効にします。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 をクリックし、ドメイン別に分離するレポートを選択します。
2. ヘッダーを右クリックし、 **Configure** (構成) > ディクショナリ.
3. [sys_domain] フィールドでディクショナリを設定し、[参照] フィールドにこのレポートのドメインを入力します。
   空白のままにすると、レポートはグローバルになります。
   [ドメイン] フィールドがレポートに表示され、このフィールドからテーブルが参照されます。
   フォームにドメイン フィールドが表示された後、テーブル内のすべてのレコードのドメイン フィールドが有効になります。デフォルトでは、これらのレコードはすべてグローバルです。

関連情報

ドメインセパレーションを要求する

レポート のクイックスタートテスト

アップグレードの適用などの構成変更を行った後も、 レポート が変わらず 動作 するかを検証します。インスタンス固有のデータを使用する際に合格するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

レポート クイックスタートテスト自動テストフレームワーク (ATF) - レポートプラグイン (com.glide.automated_testing_impl.report) は、デフォルトまたはインスタンスの再起動時にアクティブ化されます。

注:
レポート クイックスタートテストはダッシュボードからのレポートアクセスをテストしません。ダッシュボードをテストするには、「ダッシュボードのクイックスタートテスト」を参照してください。

レポート クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
レポートの可視化	レポートを共有しているユーザーにレポートが表示されるかどうかを確認します。	Madrid

関連情報

クイックスタートテスト

レポートヴィジビリティのテストステップ

これらの事前設定されたサンプルテストステップをカスタマイズできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
レポートヴィジビリティテストには、次の 2 種類のステップが含まれています。

代理操作

この手順を設定するときは、後続の確認手順を実行するときに代理操作するユーザーを選択します。アクセスをテストするロールを持つユーザーを選択します。

レポートの可視化

この手順を設定するときは、テストするレポートを選択します。また、テストが成功して陽性の結果が出るか、陰性の結果が出るかを選択します。つまり、ユーザーがレポートを表示できる場合と、ユーザーがレポートを表示できない場合のどちらでレポートの表示が成功するかを設定します。

プラグインに含まれるサンプルテストには、次の 3 つのステップが含まれています。

手順

1. ユーザーの代理操作を行います。
2. テストユーザーがテストレポートを表示できることを確認する。
3. テストユーザーがテストレポートを表示できないことを確認します。

次のタスク
ただし、テストをカスタマイズする場合は、2 つのタイプのステップを追加して設定することで、任意の論理順序でステップを組み合わせることができます。たとえば、レポートの可視化テストを次のように構成できます。

1. 「ユーザーの代理操作」を参照してください。
2. このユーザーがレポートを表示できることを確認します。
3. このユーザーが別のレポートを表示できることを確認します。
4. このユーザーが 3 番目のレポートを表示できないことを確認します。

自動翻訳

カレンダー レポートをカスタマイズする

カレンダー タスクに表示されるフィールドを指定できます。

デフォルトでは、 数値フィールドと **short_description** フィールドが表示されますが、この動作は構成可能です。さまざまなフィールドに対してレポートのラジオ ボタンを構成し、優先度や承認ステータスなどのプロパティーによってカレンダー エントリーをハイライト表示することができます。タスク プロパティーごとに固有のハイライト表示カラーを選択できます。

カレンダー エントリーの表示方法を構成する

テーブルのカレンダー エントリーの表示方法を構成するには、そのテーブルの「システム辞書」エントリーに calendar_elements 属性を追加します。

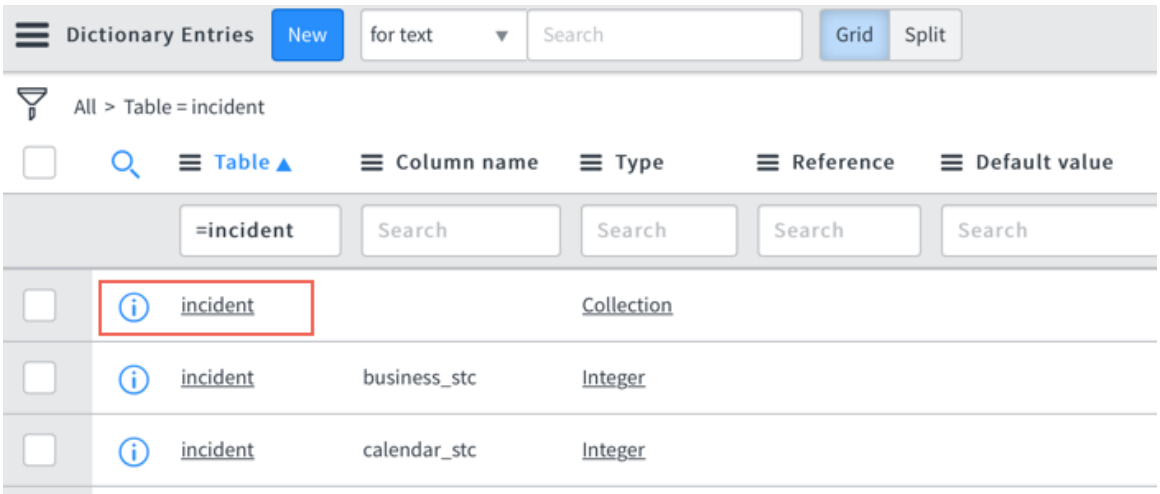
始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. テーブルの任意のレコード用のフォームを開きます。
2. フォームヘッダーを右クリックし、 **Configure** (構成) > ディクショナリ.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

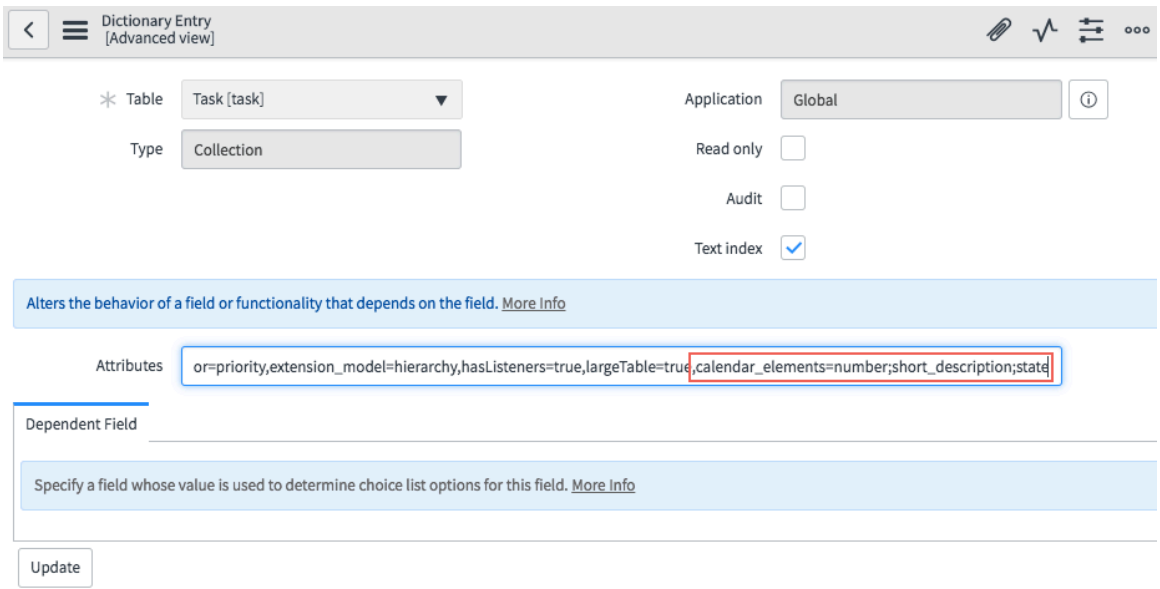
3. 表示されるレコード リストで、[列名] フィールドに値が存在しない最初のレコードを選択します。



4. [辞書エントリー] フォームを詳細ビューに切り替えます。
5. [属性] フィールドに*calendar_elements=<field name>;<field name>*を追加し、カレンダー レポートの各エントリに表示するフィールドをセミコロンで区切ってリストします。

> **注:**
> カレンダー要素の属性を定義すると、デフォルトの表示要素である **number** フィールドと **short_description** フィールドが、このフィールドに列挙した属性に置き換えられます。カレンダー エントリーにさらに属性を追加し、変更された番号と簡単な説明を保持するには、**number** フィールドと **short_description** フィールドを属性に含めます。たとえば、タスク カレンダーにステータス情報を追加するには、タスク テーブルに次の属性を追加します。

```
calendar_elements=number;short_description;state
```



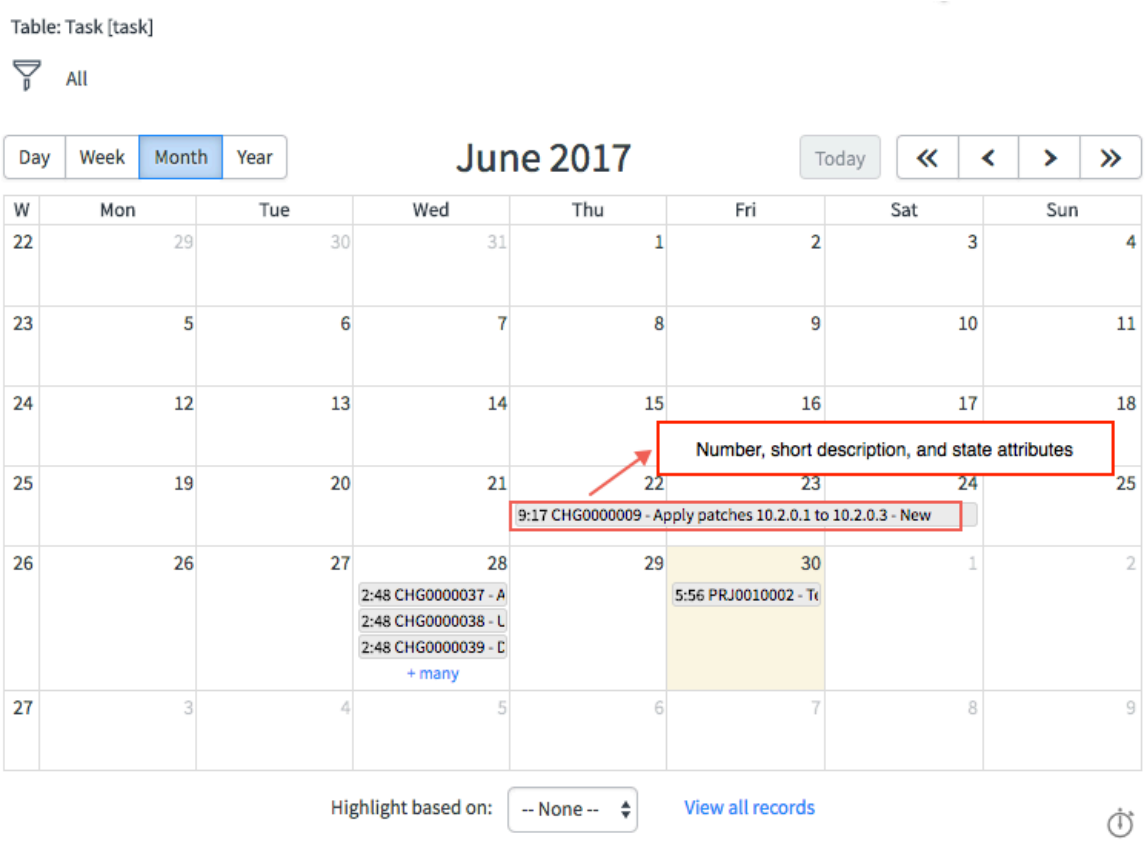
6. テーブルにすでに属性が存在する場合は、次の例のように、追加する属性をカンマで区切ります。

```
reference_index_include=active,calendar_elements=number;short_description;state
```

7. [更新] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
選択したテーブルに対して追加した属性が、カレンダー エントリーに表示されます。



カレンダー・レポートのシステム・プロパティーの変更と追加

システム プロパティーの値を指定して、カレンダー イベントでのタスク テーブルのハイライト表示を無効にしたり、カレンダー セル内のイベント数を制限したり、カレンダー週の開始日を変更したりすることができます。

カレンダー イベントがハイライト表示されるようにタスク テーブルのフィールド スタイルを上書きする

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示は、特定のテーブルに対して定義されるフィールド スタイルで構成されます。カレンダー レポートで、テーブルのフィールド スタイルを使用するか、またはレポートのベースになっているレポート ソースのフィールド スタイルを使用するかを構成できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
デフォルトでは、タスク [task] テーブルのフィールド スタイルがカレンダー レポートに適用されます。カレンダーレポートが、テーブルまたはレポート ソースのフィールド スタイルを使用するように構成されている場合は、これらのフィールド スタイルによってタスク テーブルのスタイルが上書きされます。

手順

1. フィルター ナビゲーターで、「sys_properties.list」と入力します。
2. *glide.ui.report.extend_calendar_choices*プロパティを選択して、カレンダーの強調表示中に使用するフィールドスタイルを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- False の場合、カレンダー レポートでは、カレンダーのハイライト表示のオプションを決定するときに、タスク テーブルのスタイルのみ使用されます。たとえば、変更要求 [change_request] のカレンダー レポートでは、タスク [task] テーブルのスタイルのみが使用され、2 つのテーブルの組み合わせによるスタイルは使用されません。
- True の場合、カレンダー レポートでは、カレンダー レポートのベースになっているテーブルのフィールド スタイルが使用されます。

3. [更新] をクリックします。

カレンダー日に表示されるイベントの数を制限する

カレンダー レポートでは、一部のカレンダー ビューに表示されるイベントの最大数を構成できます。

始める前に
必要なロール:report_admin、admin

このタスクについて
イベントの最大数を超えると、 **+ <数値>** リンクが表示され、ポップアップ ウィンドウが開き、追加のイベントが表示されます。このポップアップ ウィンドウに表示されるイベントの最大数を構成することもできます。この最大値を超えると **[+** 多数] リンクが表示され、ポップアップ ウィンドウの代わりにイベントのリストが開きます。

次のカレンダー ビューに対してこれらの設定を構成できます。

- カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるときのカレンダー日
- カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっているときのカレンダー日の一番上の「終日」セクション

手順

1. ナビゲーションフィルターで、「sys_properties.list」と入力します。
2. *glide.report.calendar.max_events_displayed_per_cell*と*glide.report.calendar.max_more_ev*プロパティを設定します。
3. [更新] をクリックします。

カレンダーの週の開始日を変更する

デフォルトでは、カレンダー レポートの週は月曜日から開始されます。代わりに、日曜日または別の日に週を開始するシステム プロパティーを追加できます。

始める前に
必要なロール：admin
glide.ui.date_format.first_day_of_week システムプロパティは、クエリで使用される生成された日付/時刻値を変更し、レンダリングされたカレンダーの週の開始日を設定します。

注:

glide.ui.filter.first_day_of_week また、設定日を正しく表示するには、*glide.ui.date_format.first_day_of_week* と同じ値に設定する必要があります。

パフォーマンスアナリティクススコアデータを収集した後に*glide.ui.filter.first_day_of_week*プロパティを変更すると、週次インジケーターのスコアを表示できなくなります。それらにアクセスするには、スコアを再度 収集 する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. *glide.ui.date_format.first_day_of_week* システムプロパティを追加します。
2. 次のいずれかの整数値を設定します。

オプション	説明
日曜日を週の開始日にする	[値] を 1 に設定します。
月曜日を週の開始日にする	[値] を 2 に設定します。
火曜日を週の開始日にする	値を3 に設定
水曜日を週の開始日	値を4 に設定
木曜日を週の開始日にする	値を5 に設定
金曜日を週の開始日	値を6 に設定
土曜日を週の開始日	値を7 に設定

> **注:**
> 日曜日と月曜日のみが明示的にサポートされています。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
システムプロパティ *glide.db.week_numbering* を構成して、週数の計算方法を指定します。詳細については、「カレンダー週のカスタマイズ」を参照してください。

カレンダー週のカスタマイズ

カレンダー週番号の決定方法を指定するシステムプロパティを設定します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. sys_properties.list に移動します。
2. *glide.db.week_numbering* システムプロパティを追加します。
   詳細については、「Add a system property」を参照してください。
3. 次のいずれかの文字列値を設定します。

オプション	説明
iso_week	第 1 週は、1 月 4 日、最初の営業日、またはその中の第 1 木曜日を含む週です。(これらは相互に同等です。Week 00 はありません。
sunday_week	第 1 週は、その年の最初の日曜日がある週です。その前の日数は第 0 週にあります。
monday_week	第 1 週は、その年の最初の月曜日がある週です。その前の日数は第 0 週にあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
jan1_week	1週目は1月1日から7日です。次の 7 日間は第 2 週、以下同様です。

4. [送信] を選択します。

カレンダー レコードの上限を設定する

デフォルトでは、カレンダー レポートには最大 10,000 件のレコードが保存されます。この制限を変更するには、 *glide.ui.max_calendar_records* システムプロパティを設定します。取得されるレコードの数がこの制限を超える場合は、データをフィルタリングしてレポートを再実行するよう求められます。

始める前に
必要なロール：admin。

手順

1. *glide.ui.max_calendar_records* システムプロパティを追加します。
2. フォームに次の値を入力します。

オプション	説明
名前	*glide.ui.max_calendar_records*
Description (説明)	プロパティーの機能を説明するフレーズ (「保存されたレンダー レコードの最大数」など) を入力します。
タイプ	整数
値	プラットフォームで保持されるレコード数の望ましい値を入力します。このプロパティーを構成しない場合のデフォルト値は 10,000 です。

3. [送信] をクリックします。

関連情報
システムプロパティを追加する

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示を変更する

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示は、フィールド スタイルによって制御されます。ハイライト表示の方法を変更するフィールド スタイルを管理します。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
カレンダーに対して、カレンダーのベースになっているテーブルのフィールド スタイルを適用するか、またはタスク [task] テーブルのフィールド スタイルを適用できます。カレンダーの強調表示に適用されるフィールドスタイルは、 *glide.ui.report.extend_calendar_choices* システムプロパティによって異なります。

変更できるのはカレンダー イベントの背景色のみです。その他の CSS はすべて無視されます。フィールド スタイルが定義されていないイベントには、カレンダー レポートにハイライトが適用されるときに白い背景が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:

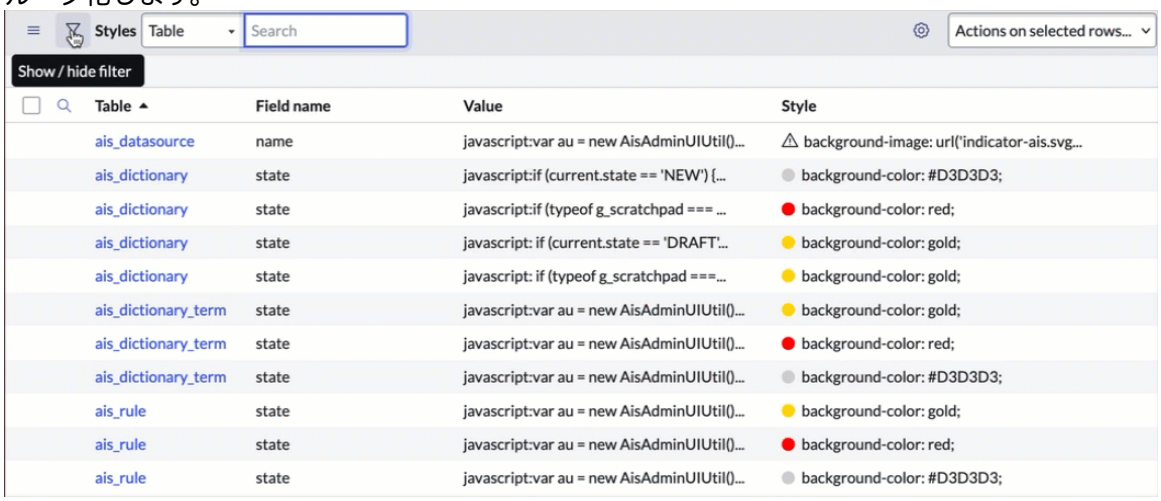
適切なテーブルのフィールドスタイルを定義します。

- すべてのカレンダー レポートのフィールド スタイルを定義するには、タスク [task] テーブルでスタイルを定義します。
- 特定のテーブルまたはレポート ソースに基づくカレンダーにのみ適用されるフィールド スタイルを定義するには、そのテーブルのフィールド スタイルを定義します。

カレンダーレポートが、テーブルまたはレポート ソースのフィールド スタイルを使用するように構成されている場合は、これらのフィールド スタイルによってタスク [task] テーブルのスタイルが上書きされます。

手順

1. 移動先 システム **UI** > フィールドスタイル.
2. アドレス指定するテーブルを表示するようにリストをフィルタリングし、結果をフィールド名でグループ化します。



3. 強調表示するフィールドと値の横にあるテーブルの名前を選択します。



4. 必要に応じて background-color の値を変更します。
色名と RGB 値はどちらも有効です。
5. [更新] を選択します。

カレンダー基準の永続的な強調表示の設定

カレンダーレポートとウィジェット基準のハイライト表示は、レポートまたはウィジェットを閉じると削除されます。選択した基準のハイライト表示を永続的に維持するように設定します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

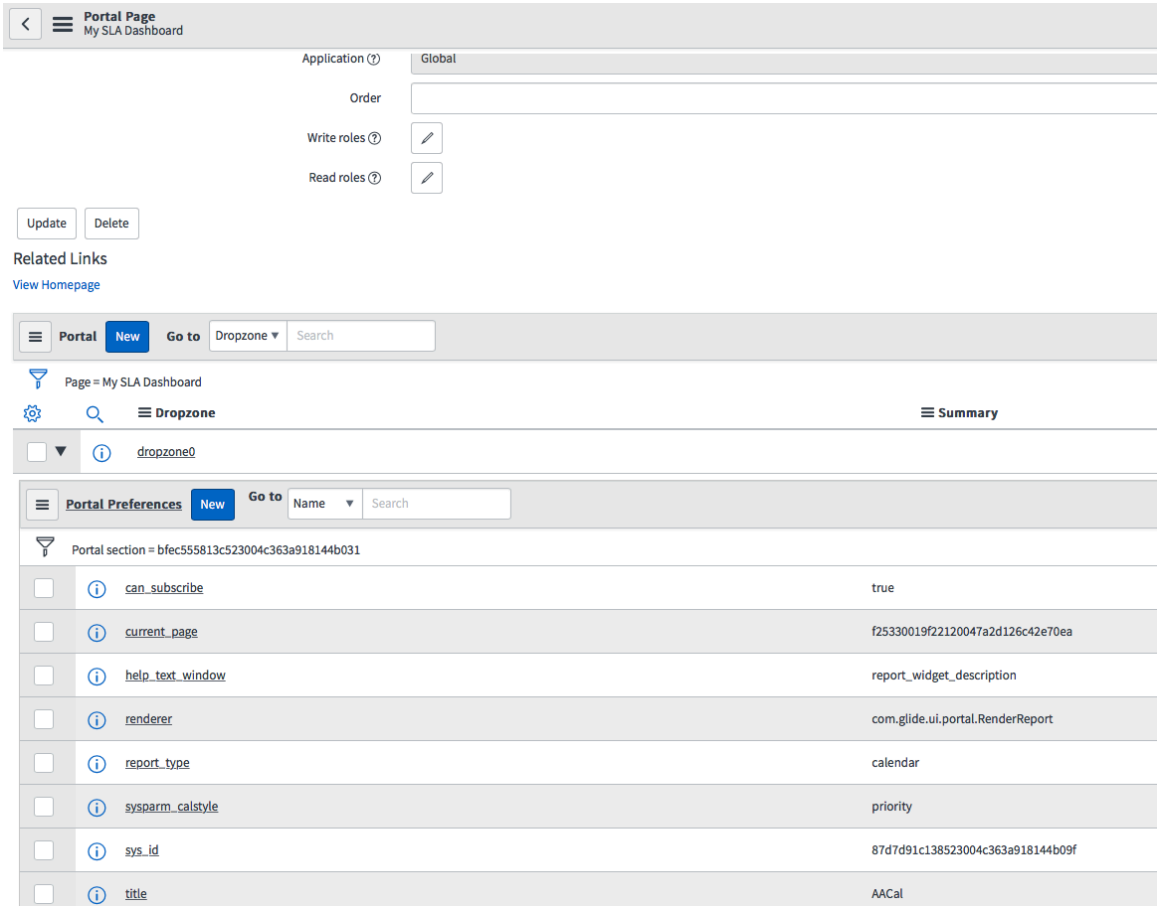
1. 移動先 すべて > ホームページアドミン > ページ.
2. カレンダー レポートが配置されているダッシュボードのタイトルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. カレンダーレポートタイプがリストされているドロップゾーンを選択します。
4. 新規 を選択して、新しいポータル設定を定義します。
5. これらのフィールドに入力します。

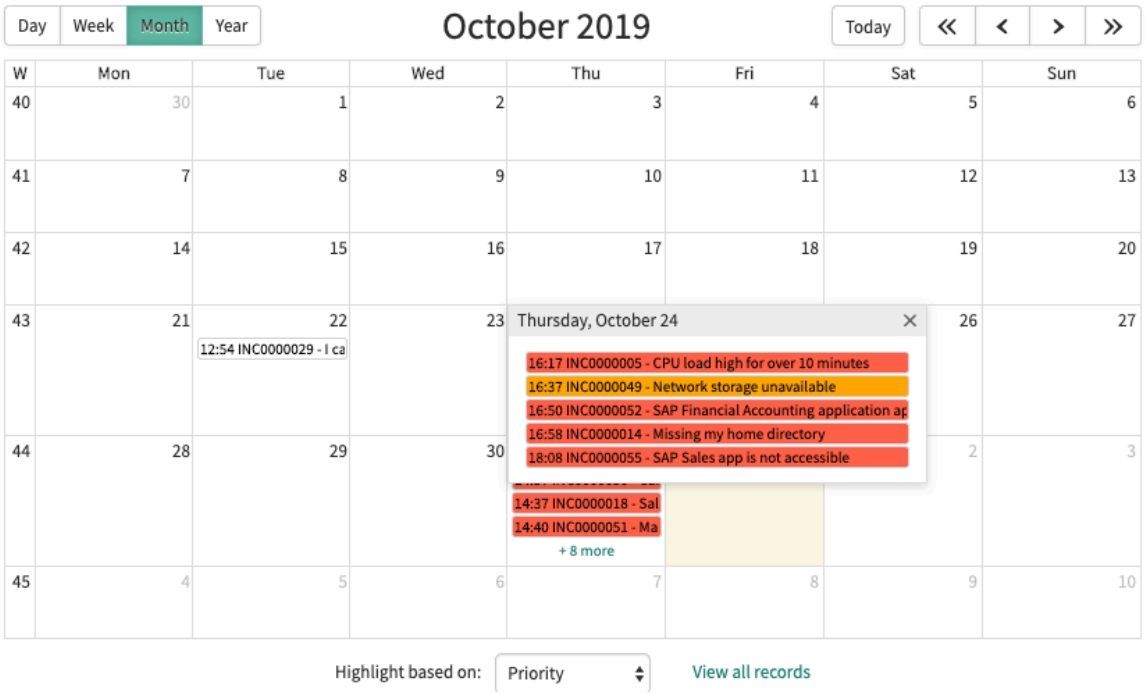
6. [更新] を選択して設定を保存し、ダッシュボードポータルページフォームに戻ります。



タスクの結果
レポートを開くたびに、選択した基準が強調表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



開始日と終了日のカスタマイズ

複数日のイベントが複数のカレンダー セルにわたるように、カレンダー レポートを構成することができます。

始める前に

必要なロール:dictionary admin または admin。

このタスクについて

[作業開始日時] が月曜日で [作業終了日時] が火曜日の変更要求は、[カレンダー] フィールドに表示されるときに両方の日に表示されます。ただし、 **First Date** と **Last Date** という名前の 2 つのユーザー設定フィールドを使用すると、同じ動作は発生しません。

コードでは、開始日時フィールドと同じ名前の終了フィールドが検索されますが、「開始」ではなく「終了」という語が使用されます。カスタム フィールドが [自分の開始日時] および [自分の終了日時] の場合には、「開始」と「終了」の語を除いて名前が同じであるため、これらのフィールドの意味は正しく解釈されます。

手順

1. 「テーブルのフィールドの追加とカスタマイズ」の手順に従います。
2. フォームに次の値を入力して、開始日のスパン フィールドを作成します。
3. 終了日のスパン フィールドについて、次の値を使用して別のフィールドを追加します。

レポートのグループ化ラベルを翻訳する

翻訳されたテキストフィールドで結果をグループ化するレポートを実行する場合、個々のフィールドのラベルと値が翻訳済みとして表示されるようにするには、translated_textタイプを使用します。

注:
レポートでは、タイプ translated_text の列のみがサポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[翻訳されたテキスト] フィールドで結果をグループ化するレポート (マルチレベル ピボットや棒グラフ レポートなど) を実行する場合、インスタンス言語を英語から別の言語に変更すると、一部のラベルが翻訳済みとして表示されないことがあります。これらのフィールドラベルは、 翻訳名/フィールドテーブル からのエントリです。

翻訳エラーは、レポートの最初の行または列を超える数を翻訳する場合、またはグループ化用のカスタムフィールドを作成する場合に発生する可能性があります。translated_textタイプを使用して、個々のフィールドのラベルと値を翻訳 します。特定のレポートタイプの [設定] タブで使用できるグループ化オプションについては、「 レポートタイプ 」を参照してください。

レポートのカスタム フィールドを作成しても、ラベルは自動的に追加されません。フィールドラベルテーブル にラベルを追加し、フィールドラベルを手動で翻訳 する必要があります。

関連情報

- 翻訳テーブル
- テキストフィールドを翻訳する
- インターナショナリゼーションサポート

レポート管理モジュール

を使用して ServiceNow プラットフォームでレポートを管理する方法を学習する レポート > 管理 移動します

このモジュールはデフォルトでは有効になっておらず、有効にする必要があります。ServiceNow プラットフォームで提供されるレポートロールのリストについては、「レポート ロール」を参照してください。

> **注:**
> レポートをロール別に制限すると、レポートを表示できるユーザーが制限されます。管理者ロールを持たないユーザーは、グローバル レポートを編集することはできません。管理者以外のユーザーがグローバル レポートを編集した場合、そのレポートを保存すると、そのユーザーに属するカスタマイズ バージョンが作成されます。

標準のレコード リスト コントロールのいずれかを使用してレポートをフィルタリング、表示、または変更するには、レコード リスト ビューを使用します。[新規] をクリックしてレポートを作成するか、または任意のレコードを選択してレポートをフォームとして表示します。ServiceNow のすべての標準のフォーム コントロールが適用されます。

レポートするテーブルとフィールド、およびレポート形式の特性を選択することができます。[フィルター] フィールドに条件を作成して、レポートに表示されるデータをさらに限定し、レポートを使用できるロールを選択します。

レポートのセキュリティー

レポートのセキュリティーのアクセス制御チェックの適用プラグインを使用すると、管理者はアクセス制御リスト (ACL) ルールを使用してレポート アクセスを制限できます。この機能により、権限のないユーザーは、UI または URL 構成を使用してレポートを編集、更新、または削除することができなくなります。詳細については、「 アクセス制御リストのルール 」を参照してください。

利用可能なレポート フィールド

次のフィールドを操作できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	入力値
タイトル	一意でわかりやすいレポートの名前。
テーブル	このレポートが実行される対象の ServiceNow テーブル。
フィールド名	group-by フィールドの名前。
タイプ	このレポートのレポート タイプ。
チャート サイズ	大、中、または小。
表示対象	レポートの表示を許可されたメンバーが属しているグループを選択します。すべてのユーザーにアクセス権を付与するには、[全員] を選択します。
ユーザー	グラフを表示できるユーザー。すべての人がレポートにアクセスできるようにするには、「GLOBAL」と入力します。
フィルター	レポート データに適用されるフィルター。
ロール	レポートの表示に必要なロール。
以下のフィールドは、フォームに追加された場合に使用できます。	
集計	レポートでのデータの集計方法を決定します。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択すると、データの集計に使用する値を持つ追加のフィールドのリストから選択できます。平均または合計として使用する典型的な値としては、[ビジネス継続時間] (日単位、時単位、分単位) や [解決時間] (秒単位) などの時間測定値があります。その他の [優先度] などのフィールドでは、数値がそのレベルに関連付けられており、集積者として使用することができます。 **注:** 平均は、すべてのフィールドの合計を、値を含むフィールドの数で除算することによって計算されます。空のフィールド、または明るい灰色のゼロを含むフィールドは、合計を除算する際に使用されるフィールド数には含まれません。
コンテンツ	レポートの内容を記述する HTML フィールド。レポートの生成では処理されません。
グリッドを表示	グラフの下に、要求されたデータの内訳を含むテーブルを表示する場合に選択します。集計単位は、[カウント]、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] です。それぞれの個別の部分によって表される合計データの割合が表示されます。
グループ	レポートの表示を許可されたメンバーが属しているグループを選択します。すべてのユーザーにアクセス権を付与するには、[全員] を選択します。
間隔	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、グラフに沿って測定する時間間隔。
グループはありません	グラフに表示される棒の数を制限するには、このリストの値を使用します。デフォルトでは、高い値から低い値までの 12 本の棒を表示し、残りのデータを [その他] カテゴリーに置きます。10 本、12 本、15 本、20 本、またはすべての棒を表示することを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	入力値
その他	レポートに [その他] グループを追加するには、このチェック ボックスをオンにします。
リストのフィールドを選択	リストレポートに表示するフィールド。
orderByのフィールドを選択	レポートに表示されるフィールドの順序。
空を表示	空のカテゴリーを表示するかどうか。
合計フィールド	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、合計を実行する対象のフィールド。
傾向フィールド	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、時間の経過とともに追跡するフィールド。

レポート参照

ロール、プロパティ、およびその他の情報のその他のテーブル。

このセクションでは、レポートのデータ集計タイプ、レポート ロール、プロパティ、およびレポート デザイナーのキーボード ショートカットについて説明する表を示します。

レポートでの集計

集計を使用すると、レポートに表示されるデータに計算を適用できます。

- カウント集計は、レポートの各要素のレコード数を示します。
- 個別のカウントは、指定されたフィールドの一意の値の数を示します。
- [平均] は、指定されたフィールドの値の算術平均を示します。
- [合計] には、集計値の合計が表示されます。
- [最小] と [最大] には、表示されている各カテゴリの最小値または最大値が表示されます。
- 標準偏差は、特定のフィールドの平均値からのデータのばらつきを示します。

[平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大]、または [標準偏差] を選択すると、拡張テーブルのフィールドで集計できる場合があります。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。

FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

注:
集計は、ヒストグラム、パレート図、単一スコア、ボックス、カレンダー、およびリストの各レポートではサポートされていません。

カウント集計

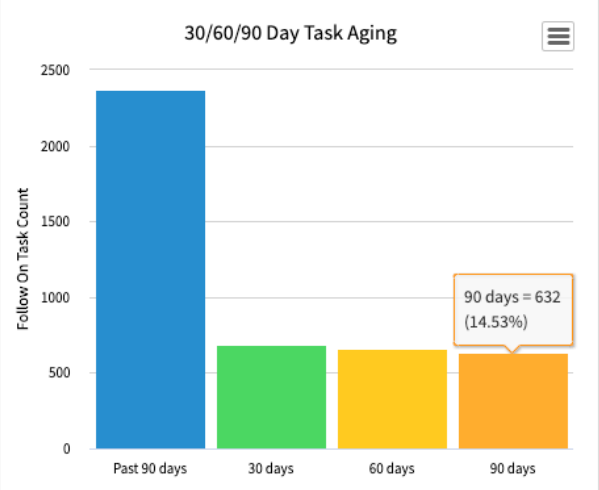
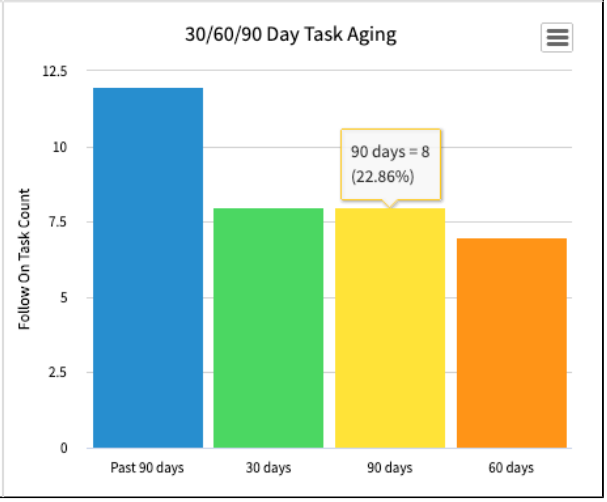
デフォルトの集計は **[Count** (カウント)] です。カウント集計は、選択したレコードの数を示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。たとえば、実行されているタスクタイプの個別の数の値を表示するとします。[個別のカウント] を使用しない限り、複数の顧客に対して実行されているタスクタイプは複数回カウントされます。

次の画像は、[カウント] と [個別のカウント] を比較したものです。1 つ目は、1 つの列の生のカウントが 632 であることを示しています。2 つ目は、同じ列の個別のカウントが 8 のみであることを示しています。

Count (カウント)	個別のカウント
	

Average (平均)

[平均] は、集計するフィールドの算術平均を示します。たとえば、期間フィールドを選択します。集計データは、日、時間、分、秒で表されます。(必要な詳細レベルを表示するように期間を構成できます。 [優先度] などの整数フィールドを選択した場合、データは 10 進数の数値で表されます。

平均集計を選択する場合は、[パーセンテージの計算] を指定することもできます [データ テーブルの表示] を選択すると、パーセンテージの計算が表示されます。

集約を使用

[平均の割合] という列に、平均の合計量の一部としてパーセンテージを表示します。たとえば、このデータテーブルでは、問い合わせ、ネットワーク、ソフトウェアのインシデントの平均期間は約 1 日と 16 時間で、平均ビジネス時間全体の 30% (または約) でした。ハードウェアインシデントの平均所要時間は 12 時間で、インシデントの合計平均ビジネス時間の約 9% に相当します。

Aggregation

Category	Average Business duration	Percentage of Average
Inquiry / Help	1 Day 16 Hours 52 Minutes 26 Seconds	30.63%
Network	1 Day 16 Hours 40 Minutes 27 Seconds	30.48%
Software	1 Day 15 Hours 54 Minutes 58 Seconds	29.91%
Hardware	12 Hours 0 Minutes 0 Seconds	8.99%
Total	**1 Day 9 Hours 21 Minutes 57 Seconds**	**100%**

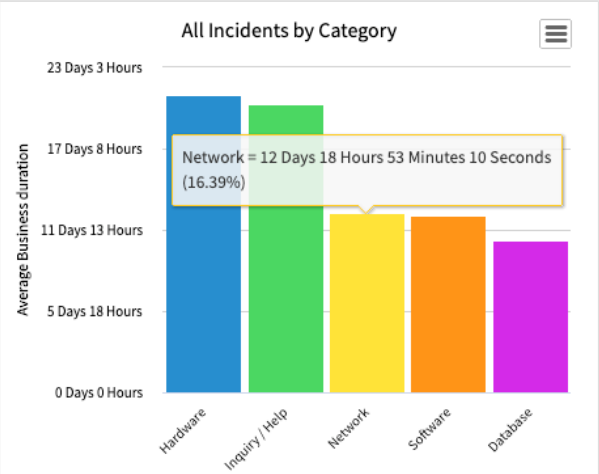
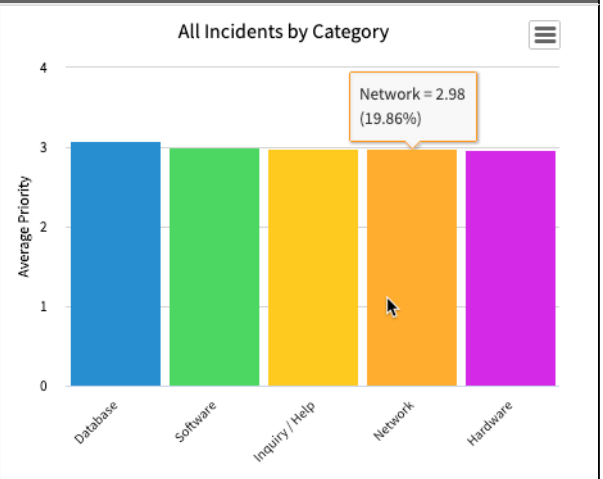
レコード数を使用

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各カテゴリのレコード数が、可視化内の合計レコード数に対する割合として、[インシデントの割合] という列に表示します。このデータテーブルでは、各カテゴリの平均ビジネス時間は同じですが、パーセンテージはそのカテゴリのインシデント数に対するものです。たとえば、問い合わせインシデントは全インシデントの約 17%、ソフトウェアインシデントは全インシデントの約 77% を占めていますが、これらのインシデントの平均解決時間は依然として 30% 程度です。一方、ハードウェア インシデントは全インシデントの 1% 未満ですが、平均期間は合計平均解決時間の 9% です。

Aggregation

Category	Average Business duration	Percentage of Incidents
Inquiry / Help	1 Day 16 Hours 52 Minutes 26 Seconds	16.69%
Network	1 Day 16 Hours 40 Minutes 27 Seconds	6.58%
Software	1 Day 15 Hours 54 Minutes 58 Seconds	76.67%
Hardware	12 Hours 0 Minutes 0 Seconds	0.06%
Total	**1 Day 9 Hours 21 Minutes 57 Seconds**	**100%**

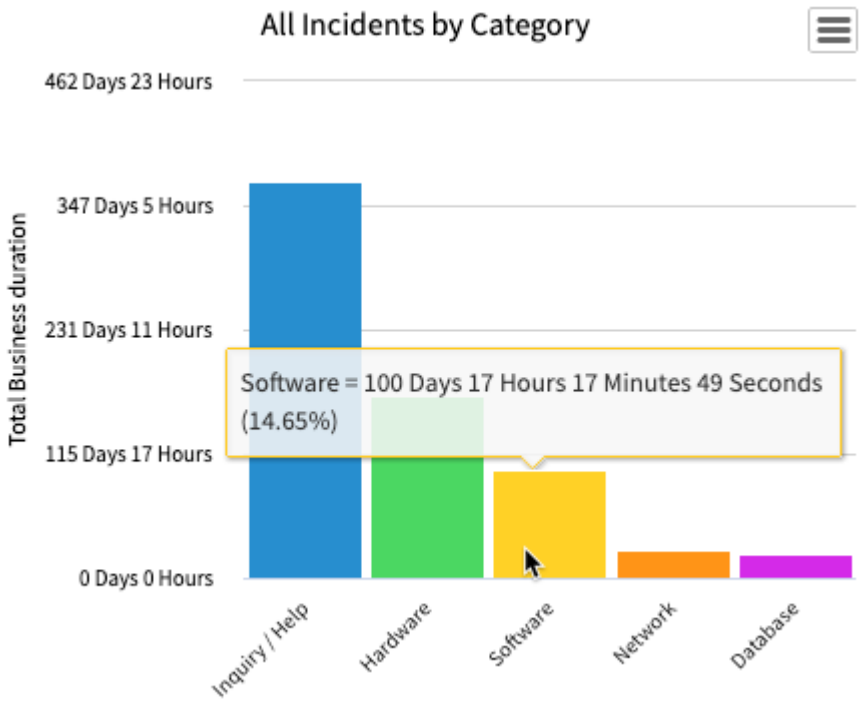
平均時間	平均優先度
	

合計

集計するフィールドの合計を表示するには 、[合計] を選択します。たとえば、期間フィールドを選択します。集計データは、日、時間、分、秒で表されます。(必要な詳細レベルを表示するように期間を構成できます。 [優先度] などの整数フィールドを選択すると、データは整数で表されます。

自動翻訳

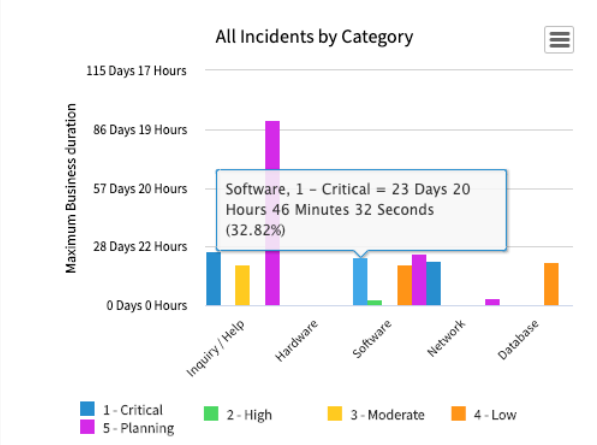
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



最小と最大

[最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。たとえば、優先度別にグループ化されたインシデントに最大集計を適用します。レポートには、ビジネス時間が最も長い優先度のインシデントが棒グラフで表示されます。

次の画像は、グループ化された棒グラフを使用して、インシデントの各カテゴリのさまざまな優先度を並べて表示する最大期間と最小期間を示しています。積み上げバーは、積み上げの一番上にある要素の値が大きいような錯覚を与えます。実際、バーには 2 つの要素の相対値のみが表示されています。

最大期間	最短期間
	

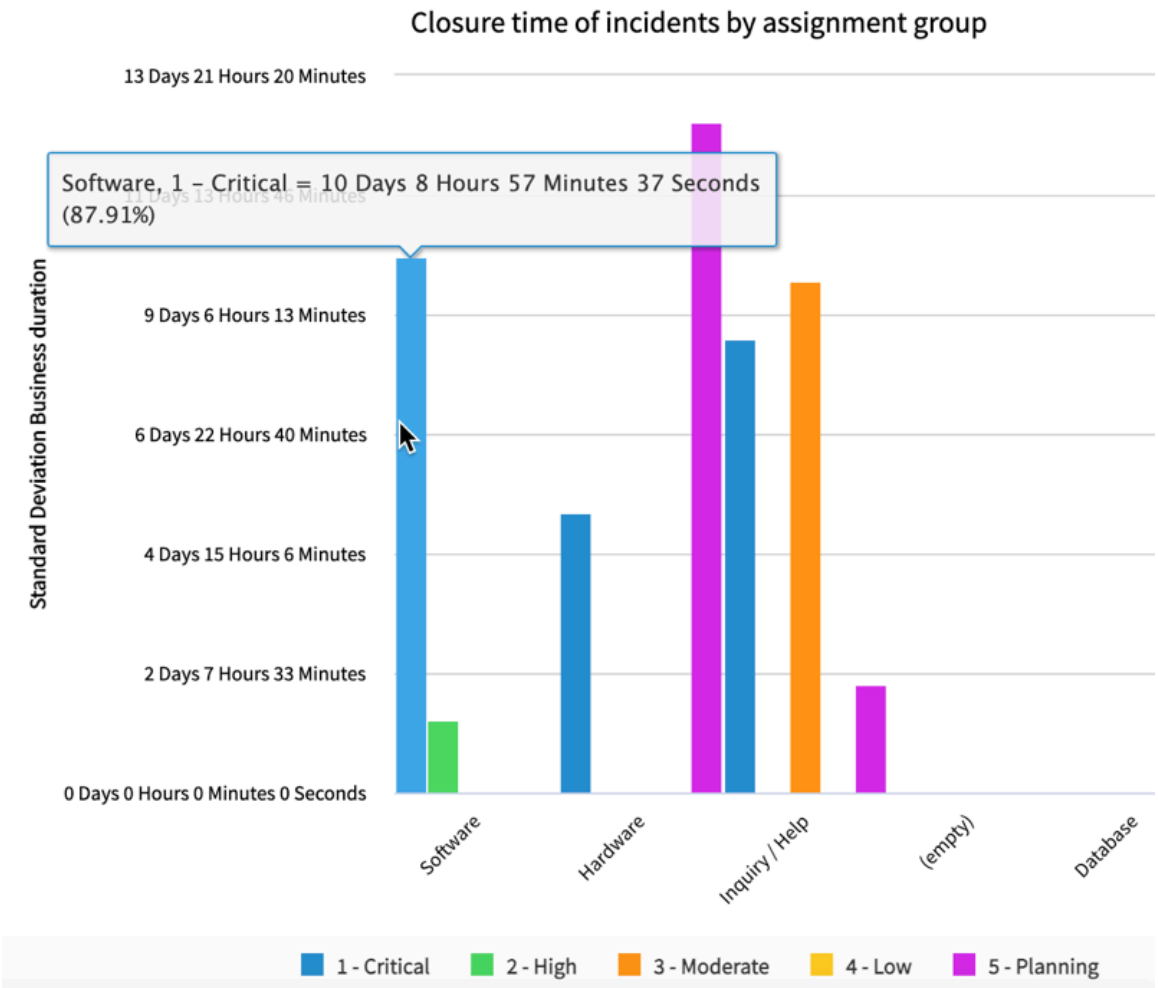
標準偏差

[標準偏差 (SD)] を選択して、期間または数値フィールドの平均値からの変動を確認します。たとえば、インシデントのビジネス時間に標準偏差集計を適用します。レポートには、各優先度のインシデントの平均ビジネス時間との偏差が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

標準偏差は、常にデータと同じ単位で表されます。次の例では、データは時間単位であり、SD も時間単位です。



カウントに関するレポートを集計

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。カウント集計は、可視化の各要素のレコード数を示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。たとえば、実行されているタスクタイプの個別の数の値を表示するとします。[個別のカウント] を使用しない限り、複数の顧客に対して実行されているタスクタイプは複数回カウントされます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [Configure] タブで、[**Aggregation**] リストから **[Count]** または **[Count Distinct]** を選択します。
4. **[Run** (実行)] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
可視化のセクションは、レコード数別にグループ化されます。

合計に関するレポートを集計する

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。合計集計には、集計するフィールドの合計が表示されます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [合計] を選択します。
4. 集計するフィールドを選択します。
5. **[Run** (実行)] をクリックします。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの合計によってグループ化されます。期間フィールドを選択すると、集計データが日、時、分、秒で表されます。[優先度] などの整数フィールドを選択すると、データは整数で表されます。

平均に関するレポートの集計

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。合計集計には、集計するフィールドの合計が表示されます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [平均] を選択します。
4. 集計するフィールドを選択します。
5. **[Run** (実行)] をクリックします。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの平均によってグループ化されます。

最小または最大でレポートを集計

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。最大および最小集計は、可視化の各セグメントの最大値または最小値を示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [最大] または [最小] を選択します。
4. **[Run** (実行)] をクリックします。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの最高値または最小値によってグループ化されます。

標準偏差に関するレポートを集計

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。標準偏差集計では、ビジュアライゼーション内の期間または数値フィールドの平均値からの変動量を示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [標準偏差] を選択します。
4. **[Run** (実行)] をクリックします。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの最高値または最小値によってグループ化されます。

レポート ロール

レポート は、レポートの作成を制限するロールとともにインストールされます。アクセス制御リスト (ACL) を使用して、レポートの表示と作成を制限することもできます。

注:

- アプリケーションナビゲーター (左側のナビゲーションペイン) に [レポート] モジュールを表示するにはユーザーは report_user ロールを持っている必要があります。
- 任意のレポート ロールまたは itil ロールを持つユーザーは、表示可能なすべてのレポートに対して [挿入]、[挿入と維持]、[ダッシュボードに追加]、および **[PDF** にエクスポート] のレポート オプションにアクセスできます。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

次の表では、「 管理 」という用語は、「 更新」、「 削除」、および 「エクスポート設定」というレポート オプションへのアクセスを示します。

ロールのないアクセス

共有済みのレポートを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ACL によるレポートアクセス

テーブルとフィールドのreport_viewアクセス制御により、レポートの読み取り、編集、および作成が制限されます。アドミニストレーターは他の ACL ルールを作成できます。レポートの対象であるデータへのアクセス権を付与するロールが必要です。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」と「report_view のアクセス制御」を参照してください。

> **注:**
> レポート公開者 [report_publisher] ロールとレポートエイリアス管理者 [report_alias_admin] ロールも存在しますが、非アクティブ化された機能をサポートしています。

レポートユーザー **[report_user]**

共有済みのレポートを作成および表示します。共有済みのレポートを共有、編集、または削除することはできません。itil ロールを持つユーザーには、次の制限もあります。

含まれるロール

レポートユーザー [report_user] ロールには、可視化作成者 [viz_creator] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

レポートスケジューラー **[report_scheduler]**

自分が管理できないレポートを含む、自分が表示できるすべてのレポートのメール送信をスケジュールします。このロールを持つユーザーには、レポートの作成、編集、共有の権限を付与する別のロールも必要です。

含まれるロール

レポートスケジューラー [report_scheduler] ロールには、レポートユーザー [report_user] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

グループレポートユーザー **[report_group]**

自分がメンバーであるグループ ([グループ] に表示) と共有されているレポートを管理および共有できます。

含まれるロール

report_groupロールには、レポートユーザー [report_user] ロールが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

グローバルレポートユーザー **[report_global]**

全員と共有されているレポートを共有できます。このロールでは、全員を対象として共有できます。ユーザーまたはグループと共有されているレポートを共有することはできません。

含まれるロール

report_globalロールには、レポートユーザー [report_user] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

レポートアドミニストレーター **[report_admin]**

すべてのレポートの管理、共有、公開、スケジュール設定を行います。アクセス レポート > 管理 すべてのレポート関連オブジェクトを管理します。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- report_scheduler
- analytics_filter_admin
- report_global
- report_group
- gauge_maker
- viz_admin

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート記述アドミニストレーター **[report_description_admin]**

レポートのテーブルとフィールドの説明を読んで更新します。レポート [com.glideapp.report.description_config] のプラグインテーブルとフィールドの説明構成に含まれています。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

詳細については、「テーブルとフィールドの説明の管理」を参照してください。

レポートのプロパティー

プロパティーを使用して、レポートの動作と外観を詳細に調整します。

はじめに

移動先 レポート > 管理 > プロパティ をクリックして、メインのレポートプロパティを設定します。他のレポート プロパティーを構成するには、フィルター ナビゲーターで、「sys_properties.list」と入力します。

レポートのプロパティー

自動翻訳

プロパティー	**Description** (説明)
レポートデザイナーでの自然言語クエリ (NLQ) を有効にします com.snc.par.nlq.report_designer.enabled	• タイプ：true | false • デフォルト値：true • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ
x 軸ラベルを 20 文字に切り捨てます。(グラフ作成 v2 プラグインで生成されたグラフにのみ適用されます) glide.chart.truncate.x_axis_labels	• タイプ：True | False • デフォルト値：true • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ
glide.ui.chart.bar.horiz.max_col_slant_labels	ラベルを傾ける前の水平棒グラフの列の最大数を設定しま • タイプ：整数 • デフォルト値： 5 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに ティを追加 します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	**Description** (説明)
グラフ作成 v2 プラグインで生成されたグラフについてアニメーションのオンとオフを切り替えます glide.chart.animation	アニメーションをサポートするレポートおよびパフォーマビジュアライゼーションで、アニメーションを有効にしま 注: マップ レポートはアニメーションをサポートしていなめ、このプロパティーは無効です。 • タイプ：True | False • デフォルト値：true • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ
切り捨てられた値のデフォルトの切り捨てを設定します。 glide.chart.data_labels.remove_leading	有効にすると、デフォルトの切り捨ては左側になります。ると、デフォルトは右側の切り捨てになります。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：false • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーは、glide.chart.truncate.data_labels ている場合にのみ適用されます。
ヒストグラム チャートのビンの数 (最小 1、最大 20) glide.chart.histogram.bins	ヒストグラムの Y 軸に表示されるセクションの数を指定し • タイプ：整数 • デフォルト値：10 (値の許容範囲は 1 ～ 20) • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーはヒストグラム レポートに適用されます
ボックス チャートおよび trendbox グラフの平均値の色。 glide.chart.box.mean.color	ボックス レポートまたは Trendbox レポートの平均値ド設定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：#2f7ed8 • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーはボックス レポートおよび Trendbox 適用されます。
glide.chart.drill.open_new_win	有効にすると、ドリルダウンが定義されていない場合に、トのリストドリルダウンが新しいタブで開きます。リストイプのレポートにのみ適用されます。 • タイプ：True | False • デフォルト値：false • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ
ボックス チャートのボックスおよびウィスカーの色。	ボックス レポートの色を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	**Description** (説明)
glide.chart.box.color	• タイプ：文字列 • デフォルト値：#FF0000 • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーはボックス レポートに適用されます。
各データセットのデフォルトの色リスト名 glide.ui.report.datasets.default_colors	1 つのグラフに複数のデータ セットを追加する場合に使用 フォルトの色を設定します。これらの値は、 [チャートの **[1** つの色を使用] の場合に使用されます。 チャートの色の [色名] の値のリストをカンマで区切って入 す。チャートの色 [sys_report_chart_color] テーブルで、 な色を確認でき、新しい色を定義することができます。 チャートにデータ セットを追加すると、それぞれの色がデ のチャートの色として順番に使用されます。デフォルトの 多くのデータ セットがある場合は、色が繰り返されます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：デフォルトの色 • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ
各データセットのデフォルト カラー パレットとして使用されるカラー パレット名のリスト glide.ui.report.datasets.default_palettes	単一のグラフに複数のデータ セットを追加する場合に使用 フォルトのパレットを設定します。これらの値は、 [チャー の値が [カラー パレットを使用] の場合に使用されます。 チャートのカラー スキームの [名前] の値のリストをカ ンマで区切って入力します。チャートのカラー スキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで使用可能なパレッ し、新しいパレットを定義できます。 チャートにデータ セットを追加すると、それぞれのパレッ フォルトのチャート パレットとして順番に使用されます。 トのパレットよりも多くのデータ セットがある場合は、パ 繰り返されます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：デフォルトの UI14 • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーは、円グラフ、棒グラフ、水平棒、ドー ドーナツの各レポートに適用されます。
「マップ」タイプのレポートのデフォルト マップを設定します glide.ui.report.map.default_map	マップ タイプのレポートを作成する場合に使用するデフォ マップを指定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：世界 • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	Description (説明)
	このプロパティーはマップ レポートに適用されます。
glide.ui.chart.color	グラフの色を指定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：#006DDA • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。
glide.ui.chart.use_full_color_palette	このプロパティを有効にすると、棒グラフおよびパレートとに異なる色の棒が生成されます。 • タイプ：true | false • デフォルト値：#False • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーは、棒グラフ、水平棒グラフ、パレートポートに適用されます。
glide.chart.label.legend.truncate_to	大規模なグラフを除くすべてのサイズのグラフで、凡例のたは右揃えでの凡例のラベルを切り捨てます。ラベルが長合にグラフが縮小するのを防ぎます。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 14 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.chart.label.legend.truncate_to.large	大規模なグラフのグラフで、凡例の左揃えまたは右揃えでラベルを切り捨てます。ラベルが長すぎる場合にグラフがのを防ぎます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.report.new_calendar	• タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.report.calendar.max_days_back	カレンダー レポートで前後にブラウズしたときに返される の日数を指定できます。レポート作成の [カレンダー担当ルドで評価されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：30 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	**Description** (説明)
	このプロパティーはカレンダー レポートに適用されます。
glide.report.calendar.default_event_duration	指定された終了日のないイベントのデフォルトの期間。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：01:00:00 (1 時間 0 分 0 秒) • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル このプロパティーはカレンダー レポートに適用されます。
glide.report.calendar.max_more_events_per_day	次の **[+ <数値>** ポップアップウィンドウに表示できるカレベントの最大数を定義します。 • カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるときダー日 • カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっているとンダー日の一番上の「終日」セクション この数を超えると、**+** 多数リンクが表示され、 ポップアップの代わりにイベントのリストが開 きます。詳細については、「システムプロパティ *glide.report.calendar.max_events_displayed_* を参照してください。 • タイプ：整数 • デフォルト値：30 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルティを追加 します。
glide.report.calendar.max_events_displayed_per_cell	以下のカレンダーレポートに表示できるイベントの最大数ます。 • カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるときダー日 • カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっているとンダー日の一番上の「終日」セクション この値を超えるイベントは、カレンダーセルの リンクを介して表示されます。詳細については、 「*glide.report.calendar.max_more_events_per_* 参照してください。 • タイプ：整数 • デフォルト値：3 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルティを追加 します。
glide.ui.report.extend_calendar_choices	カレンダーの強調表示の際に適用されるフィールド スタイントロールします。このプロパティが false に設定されては、[タスク] テーブルのフィールド スタイルが使用されのプロパティが true に設定されている場合、カレンダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	**Description** (説明)
	レポートの基になっているテーブルのフィールド スタイル ます。該当するスタイルがそのテーブルに存在しない場合 ダーは [タスク] テーブルのフィールド スタイルを使用し • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.ui.filter.first_day_of_week	会社の暦週の最初の日を示します。デフォルトでは週 の開始は月曜日なので、暦週は月曜日から始まり日曜 日で終わります。この動作を変更するには、プロパティ *glide.ui.filter.first_day_of_week* を整数プロパ てインスタンスに追加します。カレンダーの開始曜日に対 数を入力します。1 は日曜日、2 は月曜日のようになりま 機能により曜日がパラメーターとして使用されているすべ フや計算に影響を及ぼします。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。
glide.ui.chart.bar.horiz.max_col_slant_labels	ラベルを傾ける前の水平棒グラフの列の最大数を設定しま • タイプ：整数 • デフォルト値：5 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。 このプロパティーは水平棒グラフ レポートに適用されます
glide.ui.chart.pie.labels	円グラフのスライスのラベルを有効 (true) または無効 (fa ます。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル ティを追加 します。
glide.ui.chart.pie.labels.max_items	ラベルを表示するために返すことができる円グラフのスラ 大値を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：8 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル ティを追加 します。
glide.chart.data.label.truncate_to	グラフのデータ ラベルの最大長を設定します。これより長 ラベルは切り捨てられ、末尾に省略記号 (...) が付きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	Description (説明)
	注: このプロパティーは、積み上げ棒グラフのレポートに れません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：13 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.report.pivot.fixed_headers	無効にすると、マルチレベル ピボット テーブルのヘッダー 定が解除され、ユーザーがテーブルをスクロールすると枠 ロールします。 • タイプ：True | False • デフォルト値：true • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。 このプロパティーはマルチレベル ピボット テーブルに適用 す。
glide.report.metric_max_data_points	MetricBase レポートごとの最大データ ポイント数を構成 通常、この制限を必要とするだけの多くのデータが表示さ は、MetricBase の時系列レポートのみです。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2000 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。
glide.report.metric_max_series	MetricBase レポートのデータ セットあたりの系列数を設 す。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 最大値:100 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。
glide.report.report_view.read_acl	レポート実行時に READ レベルのセキュリティを構成しま • タイプ：文字列 • デフォルト値:enforce • 可能な値： ignore

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	Description (説明)
	読み取り ACL に対して評価は行われず、すべてのユーザーが ACL に合格したかのようにレポートを表示できます。 enforce 評価は読み取り ACL に対して行われます。ユーザーは、読み取り ACL に合格した場合にのみレポートを表示できます。 log 読み取り ACL チェックは適用されませんが、アミニストレーターは、セキュリティチェックが実された場合にブロックされていたであろうユーザを確認できます。 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルにプロパティを追加します 。

インタラクティブ フィルターのプロパティー

プロパティー	説明
glide.homepage_interactivity.ui_ctrls_max_display_options	ラジオボタンとチェックボックスのインタラクティブフィルターの選択肢の最大数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：25 • [Location (場所)]： レポート > 管理 > プロパティ カテゴリー：選択リスト、参照フィールド、日付、グループ

自動翻訳

レポート デザイナーのキーボード ショートカット

キーボード ショートカットを使用すると、マウスを使用せずにレポート デザイナーで特定の機能を実行できます。

次のキーボード ショートカットを使用できます。

関連情報

キーボードショートカット

コア UI のレスポンシブダッシュボード

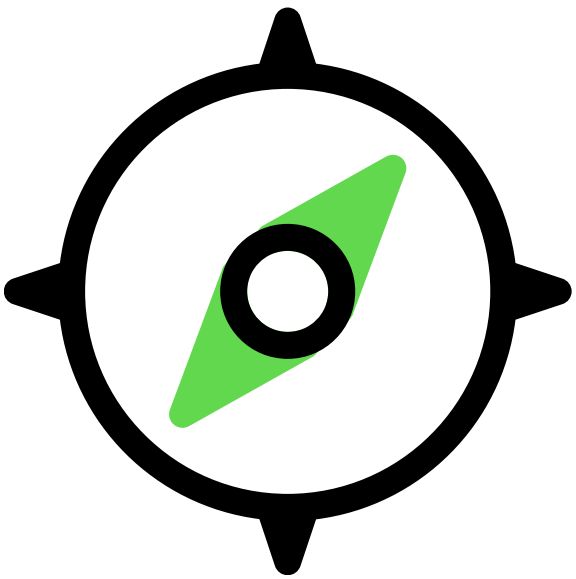
レスポンシブダッシュボードでは、1 つの画面に複数の Performance Analytics、レポート、およびその他ウィジェットを表示できます。ダッシュボードを使用して、複数のユーザーと共有できるデータを用いてストーリーを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始するには

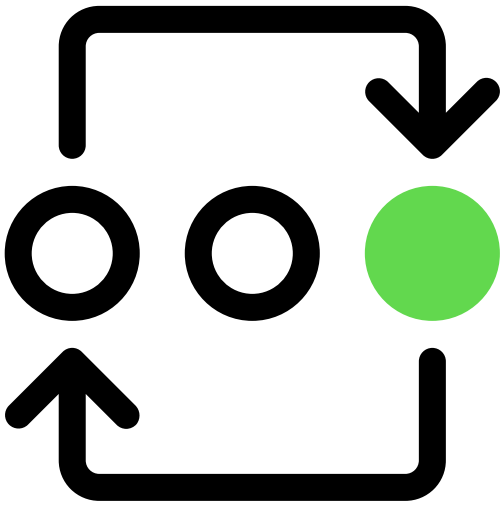
注:
コア UI (UI16) ダッシュボードを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行できます。詳細については、「プラットフォームアナリティクス移行センター」を参照してください。

探索



ServiceNow レスポンシブ ダッシュボードを使用すると、レポートやその他のデータの視覚化を共有したり、組織全体でユーザーを使用するためのフィルターを使用したりできます。

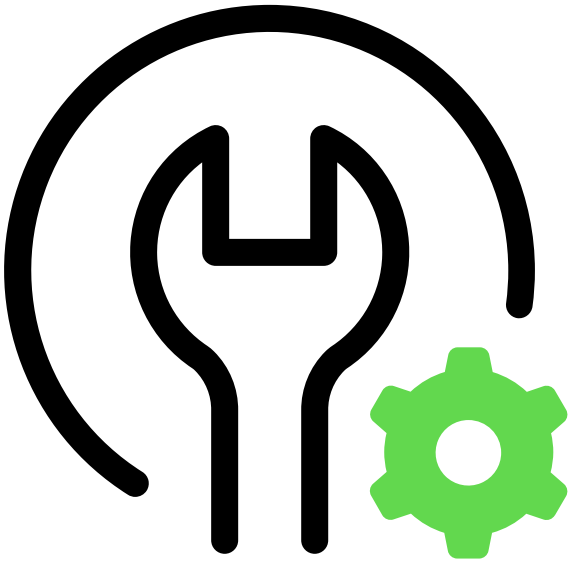
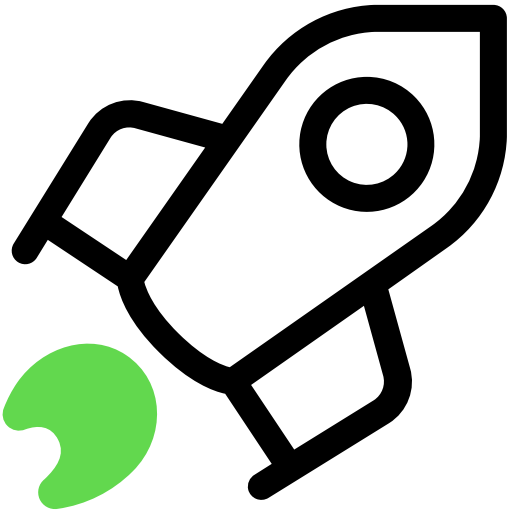
作成



ダッシュボードを作成、編集、表示、共有することで、データのストーリーを伝える方法について説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

管理	[Migrate (移行)]
	
ダッシュボードをグループ化する方法、更新セットを含むダッシュボードを移動する方法、権限のトラブルシューティング方法などについて説明します。	ダッシュボードを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行します。

レスポンシブダッシュボードの詳細

サンプルワークフローを使用して、ダッシュボードの詳細と、ダッシュボードがさまざまなユーザーにもたらすメリットについて説明します。

ダッシュボード の概要

ダッシュボード アプリケーションを使用すると、データの可視化、KPI の詳細、インタラクティブフィルター、およびインスタンス上のデータのストーリーの他の部分を表示するダッシュボードを作成および共有できます。

ダッシュボード のワークフロー

柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページのダッシュボードへの変換、レスポンシブダッシュボードの有効化の詳細については、この 7 分間のビデオをご覧ください。 柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページの変換、有効化を含むダッシュボード機能の概要。	この 7 分間のビデオでは、パフォーマンスアナリティクス によって各ダッシュボードがさまざまなユーザーにどのようなメリットをもたらすのかを説明します。 このビデオでは、ダッシュボードに関してさまざまな目標とニーズを持つ役員、プロセスオーナー、およびフロントラインワーカー向けの Performance Analytics ダッシュボードについて説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード のメリット

メリット	機能	ユーザー
ダッシュボードのリストを表示し、ダッシュボードを選択して、関連データのコンテキストでインスタンスに関する最新情報を表示します。	レスポンシブ ダッシュボードを見つける	ダッシュボードの操作に必要な特定の権限はありません。ダッシュボードの概要とダッシュボード ピッカーを表示するには、少なくとも 1 つのダッシュボードを表示する権限が必要です。
ダッシュボードを作成し、共有可能な現在のインスタンスデータを使用してストーリーを伝えます。	レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成	
ユーザーアクセスの削除、コピー、編集など、ダッシュボードを管理します。	レスポンシブ ダッシュボードの管理	ダッシュボードをコピー、削除、または権限を管理するには、ダッシュボードを所有しているか、アドミンである必要があります。
ダッシュボードを共有して、共同作業に使用できるデータの共有ビューを作成します。他のユーザーに対して、表示権限または表示と編集の両方の権限を付与できます。	レスポンシブ ダッシュボードの共有	ダッシュボードを共有するには、ダッシュボードを所有しているか、アドミンである必要があります。

ダッシュボードを作成および使用する

さまざまなタイプのダッシュボードとその使用方法について説明します。

柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページのダッシュボードへの変換、レスポンシブダッシュボードの有効化の詳細については、この 7 分間のビデオをご覧ください。	この 7 分間のビデオでは、パフォーマンスアナリティクス によって各ダッシュボードがさまざまなユーザーにどのようなメリットをもたらすのかを説明します。
柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページの変換、有効化を含むダッシュボード機能の概要。	このビデオでは、ダッシュボードに関してさまざまな目標とニーズを持つ役員、プロセスオーナー、およびフロントラインワーカー向けの Performance Analytics ダッシュボードについて説明します。

ダッシュボードを使用して、レポートやその他のデータの可視化、フィルター、およびその他のコンテンツを組織全体のユーザーと共有します。詳細については、「レポート」、「インタラクティブフィルター」、および「パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。

ダッシュボード の概要

レスポンシブダッシュボードを作成するには、「レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクスウィジェット、レポート、タブなどのダッシュボードのコンテンツを編集できます。ダッシュボードは共有されているため、変更した内容はすべてグローバルに適用されます。

始める前に

必要なロール：ユーザーは、所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「 ダッシュボード権限 」を参照してください。

> **注:**
> レスポンシブダッシュボードでは、Sticky Notes ウィジェットはサポートされていません。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボードピッカーから、編集するダッシュボードを選択します。
3. 次のいずれかのアクションを実行します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レスポンシブ ダッシュボードのレイアウトの構成

ウィジェットの外観を変更できます。ウィジェットのレイアウトを変更する。ウィジェットのタイトル、ヘッダー、および背景の色を変更します。ウィジェットヘッダーを表示または非表示にします。

始める前に

必要なロール:ユーザー。 所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

> **注:**
> レスポンシブダッシュボードでは、Sticky Notes ウィジェットはサポートされていません。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボードピッカーから、編集するダッシュボードを選択します。
3. プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
4. 次のいずれかのアクションを実行します。
5. オプション: コンテンツブロックを追加して、ダッシュボードのコンテンツを分割したり、他のコンテンツを提供したりします。
   [**Add Widgets**] リストから [Content Blocks] を選択します。静的コンテンツブロックの詳細については、「 静的 HTML ブロックの構成 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レスポンシブダッシュボードの操作

レスポンシブダッシュボードを使用すると、クラシック環境でレポートなどのウィジェットや パフォーマンスアナリティクス のビジュアル化を共有できます。使いやすいドラッグアンドドロップキャンバスを使用して、コンテンツを作成、編集、整理し、それを同僚と共有できます。

ダッシュボードを使用すると、次のことが可能です。

- パフォーマンスアナリティクス のビジュアル化やその他のウィジェットを、ダッシュボードから直接作成および編集できます。
- [ウィジェットを追加] ペインを使用して、ウィジェットをすばやく見つけてプレビューし、それをダッシュボードに追加できます。
- 統合された [共有] ペインから、ダッシュボードを他のユーザーと簡単に共有できます。
- 事前定義されたレイアウトにウィジェットをスナップし、必要に応じてレイアウトを調整します。
- 頻繁に使用する情報に簡単にアクセスできるように、ダッシュボードをホームとして設定できます。

柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページのダッシュボードへの変換、レスポンシブダッシュボードの有効化の詳細については、この 3 分間のビデオをご覧ください。(このビデオは Jakarta リリースを反映していますが、その情報は Xanadu正確です。 レスポンシブ ダッシュボードの使用を開始する方法

メリット

- 構成可能なウィジェットのロードにより、パフォーマンスを最適化できます。 構成可能なウィジェットをロードすることの利点についての詳細は、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。
- [ロールに制限] フィールドを使用して 、ダッシュボードへのアクセスに必要なロールを指定します。指定されたいずれかのロールを持つユーザーは、ダッシュボードの [共有] パネルへのアクセス権が付与されている場合、ダッシュボードにアクセスできます。

制限事項

ServiceNow ダッシュボードはモバイル画面サイズに合わせて最適化されていないため、モバイルアプリではダッシュボードへのアクセス権は付与されません。タブレットでは、標準の Web インターフェイスを使用してダッシュボードにアクセスできます。レポートを表示し、視覚化 パフォーマンスアナリティクス モバイル アプリを作成することは可能ですが、これらは完全なレスポンシブ ダッシュボードではありません。詳細については、「Configure an analytics UI section 」を参照してください。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードをホームとして設定

レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成

パフォーマンスアナリティクスウィジェットや頻繁に使用するその他のウィジェットを追加できるダッシュボードを作成します。作成したダッシュボードは、他のユーザーと共有できます。

始める前に

ダッシュボードを初めて使用する場合は、ServiceNow University Performance Analytics Essentials トレーニング の「ダッシュボードとウィジェット」セクションでこれらの機能の概要を説明しています。(登録・登録が必要です。

必要なロール：なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. [**Create a dashboard**] をクリックします。
3. 次のフィールドに入力します。

4. オプション: [ロールに制限] 編集アイコン ( ) を選択して、ユーザーがこのダッシュボードにアクセスするために必要なロールを指定します。
詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。
5. オプション: admin、pa_admin、および pa_power_user ロールを持つユーザーは、次の追加フィールドを設定できます。

6. [送信] を選択します。

タスクの結果
ダッシュボードはコンテンツなしで作成されます。最初のコンテンツを追加するには、ウィジェットタイプとウィジェットを選択して [追加] をクリックします。

次のタスク
新しいダッシュボードにコンテンツを追加します。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。

関連情報

- パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン
- ダッシュボードへのブレークダウンの追加
- ダッシュボードをグループに整理する

空のダッシュボードに関する問題の解決

ダッシュボードに空のダッシュボード セレクタがある空のページが表示される場合、ダッシュボード名に特殊文字が含まれることがあります。

始める前に
この問題は、ダッシュボード名にタブ文字、改行文字、または文字や数字ではない ASCII 文字が含まれている場合に発生します。

必要なロール：admin

手順

1. pa_dashboards_list.do に移動します。
2. 問題ダッシュボードのタイトルフィールドを編集して、特殊文字を削除します。

タスクの結果
ダッシュボードページには、想定されるコンテンツと入力されたダッシュボードセレクターが表示されます。

ダッシュボードの概要

ダッシュボードの概要では、アクセス権のあるダッシュボード、単一のグループに関連付けられたダッシュボード、またはすべてのダッシュボードのリストから選択できます。カードをクリックすると、ダッシュボードが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ダッシュボードの概要] の概要

ダッシュボードの概要の使用方法の詳細については、この短いビデオをご覧ください。

移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.

ダッシュボードの概要では、次のいずれかのカテゴリのダッシュボードを表示できます。デフォルトでは、[ダッシュボードの概要] にアクセスすると [最近] カテゴリが選択されます。

- [最近] には、最近訪問した最大 9 個のダッシュボードが表示されます。最新のダッシュボードが最初に表示されます。
- [自分が所有] には、自分が作成したダッシュボードと、自分に所有権がアサインされたダッシュボードが表示されます。
- [自分と共有] には、ユーザーとしての自分またはグループやロールのメンバーと共有されているダッシュボードが表示されます。
- [すべて] には、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードが表示されます。

注:
選択したカテゴリによって、[グループ] リストと [ダッシュボード ピッカー] 検索ボックスから選択したときに表示されるダッシュボード グループと個々のダッシュボードが制限されます。選択したグループ内に共有されているダッシュボードがない場合、概要に次のように表示されます 検索に一致するダッシュボードは共有されていません

[最近] タブを除くすべてのタブは、以下のように昇順にソートされます。

1. ダッシュボードグループ - 注文

   ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードグループのフォームで注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

2. ダッシュボードグループ - 名前
3. ダッシュボード - 注文

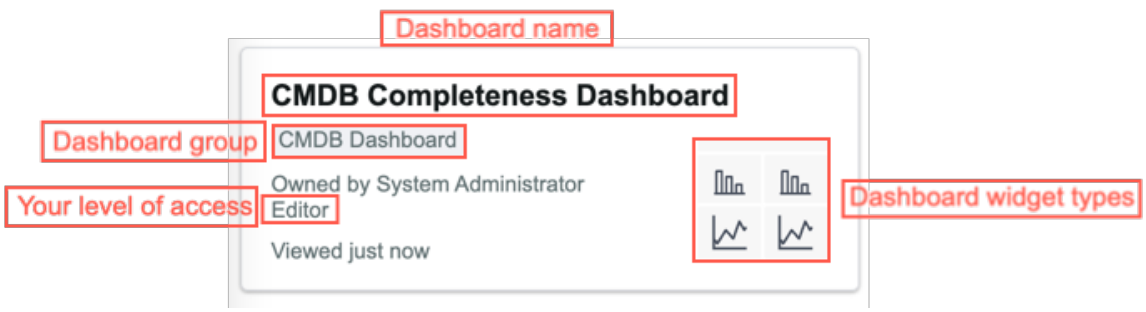
   ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードのフォームに注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

4. ダッシュボード - 名前

ダッシュボードの概要タイル

概要のタイルには、ダッシュボードのウィジェット、ダッシュボード グループ、アクセス レベル、ダッシュボード名、およびダッシュボード オーナーのサムネイルが表示されます。ダッシュボードのアクセスレベルには、オーナー、エディター、およびビューアがあります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。

ダッシュボードの概要タイルの例



自動翻訳

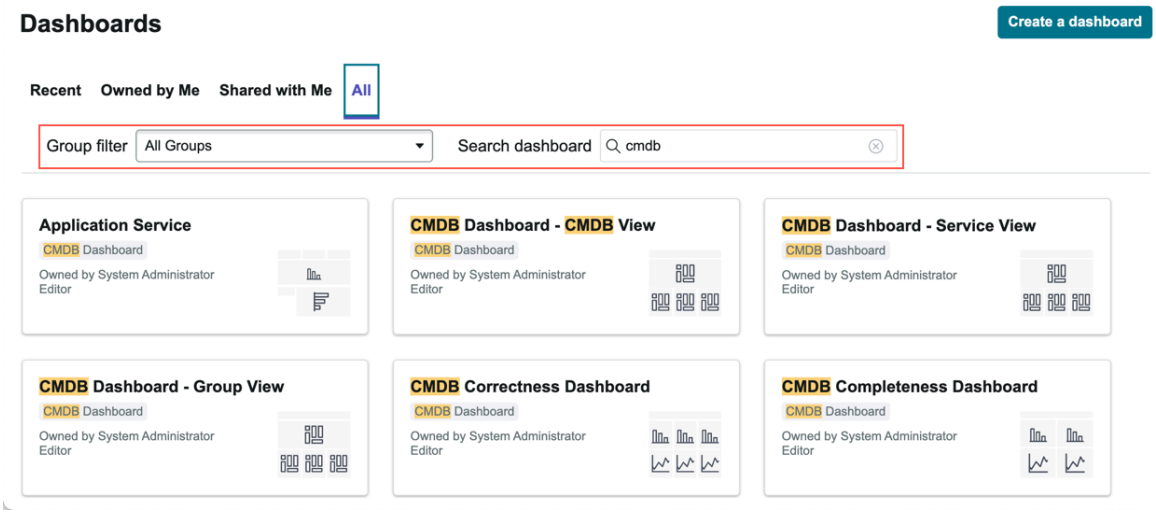
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
なんらかの理由でダッシュボードウィジェットを表示できない場合は、エラーに固有のメッセージが表示され、アドミニストレーターに連絡するように求められます。

ダッシュボードの概要グループリスト

これらのダッシュボードのみを 1 つのグループに表示するには、[グループ] リストを使用します。グループが指定されていないダッシュボードは、[その他] グループに分類されます。

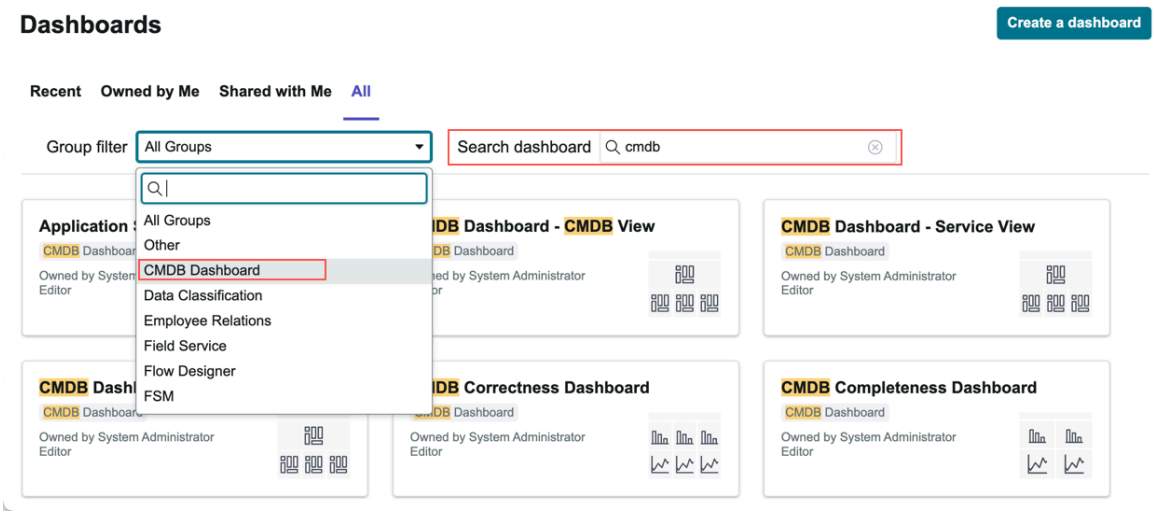
ダッシュボードの概要グループの例



ダッシュボードの概要の検索ボックス

検索ボックスを使用して、ダッシュボードを名前またはグループで検索します。

ダッシュボードの概要の検索の例



[新規] をクリックして、レスポンシブダッシュボードを作成します。

関連情報

レスポンシブダッシュボードの操作

レスポンシブ ダッシュボードを見つける

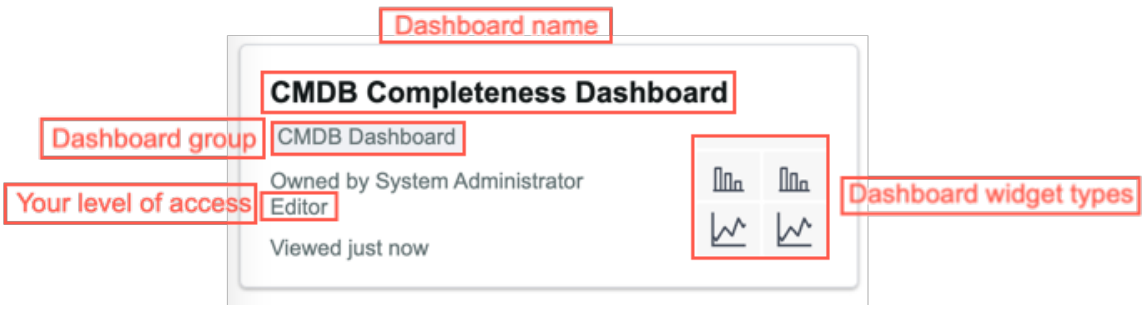
ダッシュボード カテゴリ、ダッシュボード グループ、およびダッシュボード リストを使用して、使用するダッシュボードを見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

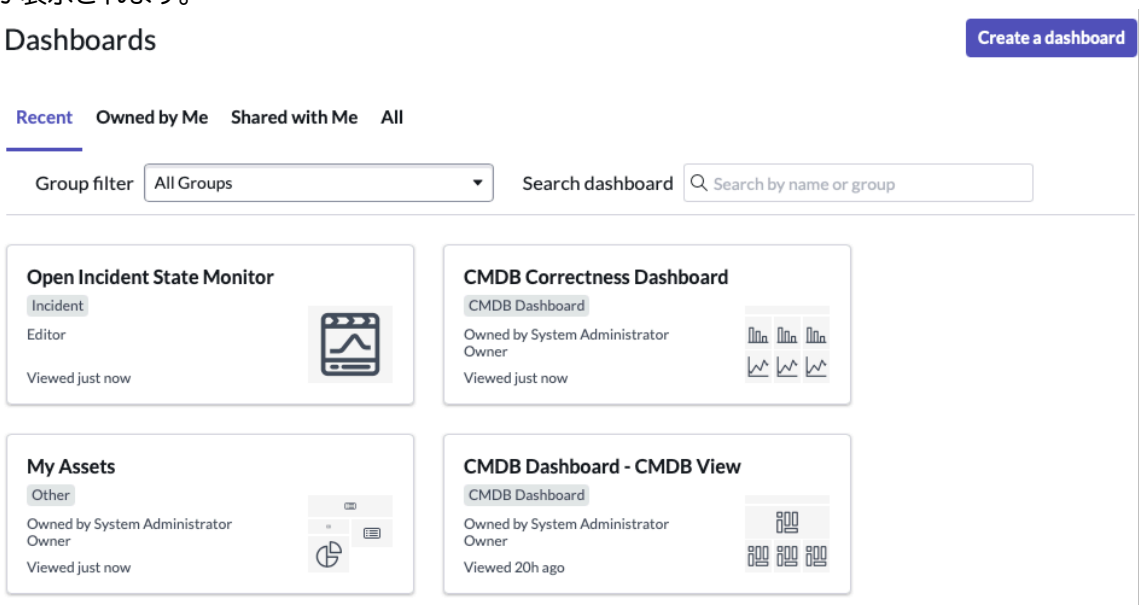
始める前に
必要なロール:ダッシュボードを表示するために必要な特定の権限はありません。ただし、ダッシュボードの概要とダッシュボード ピッカーを表示するには、少なくとも 1 つのダッシュボードを表示する権限が必要です。ダッシュボード権限の詳細については、「 レスポンシブダッシュボードでの権限の問題の解決」を参照してください。

このタスクについて
[ダッシュボードの概要] の各タイルには、ダッシュボード上のウィジェットのサムネイル、ダッシュボード グループ、ダッシュボードでのロール、ダッシュボードの名前、ダッシュボードの所有者など、ダッシュボードに関する情報が表示されます。作成者によってグループが割り当てられていないダッシュボードには、 グループ [その他] が割り当てられます。



手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード. ダッシュボードの概要には、最近アクセスしたダッシュボードを表すタイルが表示されます。



2. カテゴリを選択します。
   - [最近] には、最近訪問した最大 9 個のダッシュボードが表示されます。最新のダッシュボードが最初に表示されます。
   - [自分が所有] には、自分が作成したダッシュボードと、自分に所有権がアサインされたダッシュボードが表示されます。
   - [自分と共有] には、ユーザーとしての自分またはグループやロールのメンバーと共有されているダッシュボードが表示されます。
   - [すべて] には、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[最近] タブを除くすべてのタブは、以下のように昇順にソートされます。

a. ダッシュボードグループ - 注文

ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードグループのフォームで注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

b. ダッシュボードグループ - 名前

c. ダッシュボード - 注文

ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードのフォームに注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

d. ダッシュボード - 名前

3. [グループ] リストからグループを選択して、ダッシュボード グループに表示されているタイルをフィルタリングします。

カテゴリとグループの組み合わせに一致するダッシュボードがない場合は、「 検索に一致するダッシュボードは共有されていません」などのメッセージが表示されます。

4. [名前またはグループで検索] ボックスに文字列を入力して、ダッシュボードをさらにフィルタリングします。
たとえば、「 complete 」と入力すると、完全性ダッシュボードが検索されます。
5. ダッシュボード タイルをクリックすると、そのダッシュボードが開きます。
6. 開いているダッシュボードで、グリッド アイコン ( ) をクリックして [ダッシュボードの概要] に戻ります。
7. 別のダッシュボードを検索するには、ダッシュボード名の横にある矢印をクリックしてダッシュボード ピッカーを開きます。
以下のことを行うことができます。
   - [**Search by name or group**] ボックスに入力を開始して、リストをフィルタリングします。
   - グループ フィルターをクリックして、特定のダッシュボード グループでリストをフィルタリングします。

     グループ フィルターは、インスタンス内のすべてのダッシュボード グループを表示します。選択したグループ内のダッシュボードを表示する権限がない場合は、次のメッセージが表示されます。 検索に一致するダッシュボードは共有されていません
   - 開く権限のあるすべてのダッシュボードを、最近表示したものから順にスクロールします。



8. 現在のダッシュボードを新しいダッシュボードに置き換えるには、ダッシュボードの名前を選択します。

レスポンシブ ダッシュボードの共有

他のユーザーとダッシュボードを共有して、共同作業に使用できるデータの共有ビューを作成します。他のユーザーに対して、表示権限または表示と編集の両方の権限を付与できます。

始める前に
必要なロール：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 自分が所有するダッシュボードを他のグループやユーザーと共有できます。
- admin、dashboard_admin、pa_admin、または pa_power_user ロールを持つユーザーのみが、[共有] パネルでロールを表示できます。
- pa_admin または pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるダッシュボードを共有できます。
- admin ロールを持つユーザーは、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードを共有できます。

注:
スコープ対象アプリケーションのアクセス制御リスト (ACL) ルールは、スコープ対象アプリケーション内で作成されたダッシュボードに適用されます。スコープ対象のアプリ内のダッシュボードにpa_dashboard ACL を適用するには、「 スコープ対象のアプリケーションで pa_dashboardレコードを有効にする」を参照してください。

ダッシュボード上のレポートやその他のデータの可視化はreport_view ACL の対象であり、ダッシュボードを共有しているすべてのユーザーに表示されるわけではありません。詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

アドミニストレーターは、レスポンシブ ダッシュボードの共有方法に影響する 2 つのプロパティを設定できます。

glide.cms.share_dashboards.role

このシステムプロパティで、アドミンは自分のダッシュボードを共有できるロールのコンマ区切りリストを指定できます。

注:
このリストに含まれる 1 つのロールのスペルが間違っていると、そのロールはダッシュボードを共有できなくなります。このリストにロールが 1 つだけ指定され、そのロールのスペルが間違っている場合、このプロパティの値が修正されるまで、ユーザーはダッシュボードを共有できなくなります。

glide.cms.dashboards.sharing_with_secure_search

このシステムプロパティで、アドミンは、ユーザーがレスポンシブダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用するように指定できます。これらのロールのいずれかを持つユーザーのみが、[共有] パネル内でロールを見ることができます：アドミン、dashboard_admin、pa_admin、および pa_power_user

詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

このタスクについて

一般に、ダッシュボードを共有する場合、そのダッシュボード上のウィジェットに権限を付与することにはなりません。ただし、ほとんどのパフォーマンス分析ウィジェットは、追加されたダッシュボードからセキュリティルールを継承します。ダッシュボードを表示できる場合は、そのダッシュボード上のパフォーマンス分析ウィジェットを表示できます。

注:
パフォーマンスアナリティクス リストウィジェットは、読み取り権限のないインジケーターを表示しません。ダッシュボード権限は パフォーマンスアナリティクス リストウィジェット全体に適用されますが、ウィジェット内の個々のインジケーターはそれらのインジケーターの権限に従います。インジケーターのアクセス許可の詳細については、「 インジケーターへのアクセスの制御」を参照してください。

ドメインセパレーションが有効になっていて、システムプロパティ *glide.security.admin.override.accessterm* が選択されていない場合、アドミニストレーターはダッシュボードを共有するダッシュボードと同じドメインに属している必要があります。「アクセスレベルで管理者オーバーライドを評価する 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

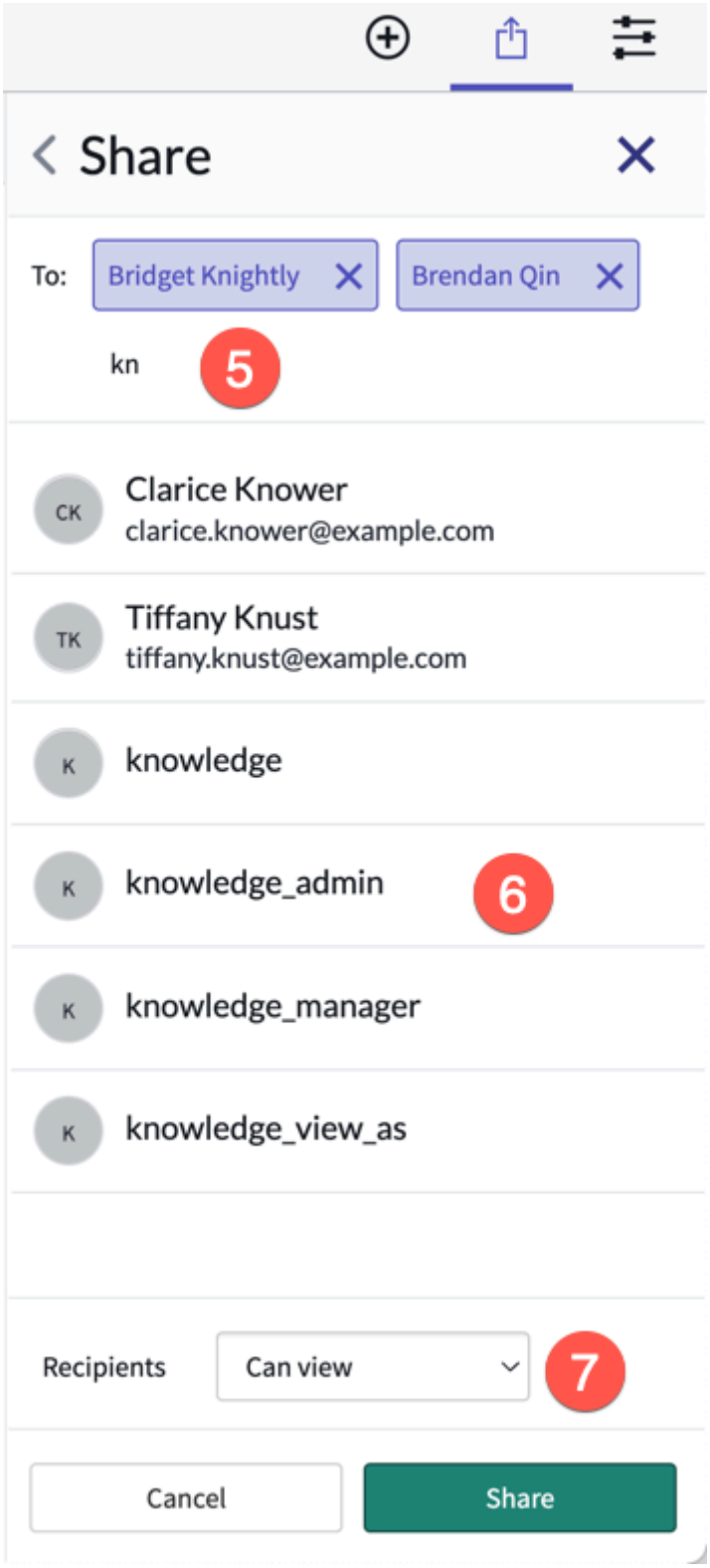
自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. [ダッシュボードの検索] ボックスを使用して、共有するダッシュボードを見つけます。
3. [共有] アイコン ( ) を選択して [共有] パネルを開きます。
4. [グループとユーザーの追加 ( )] を選択します。 アドミン、pa_admin、dashboard_admin、または pa_power_user のロールを持つユーザーは、[共有] パネルのロールを見ることもできます。
5. [宛先] フィールドに、名前の入力を開始します。
6. 表示されたリストからユーザー、グループ、またはロールを選択します。
7. [受信者] リストから、[表示可能] または [編集可能] を選択して、ユーザー、グループ、またはロールがダッシュボードに対して持つ権限を指定します。
ダッシュボードを共有しているユーザーが [ダッシュボードの概要] に移動すると、ダッシュボード上のロールとして [閲覧者] または [編集者] のいずれかが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
共有ダッシュボードを編集するには、ユーザーがダッシュボードと同じドメインに属している必要があります。書き込みアクセス権 (編集可能) でダッシュボードを共有しても、それは変わりません。[**Can edit** (編集可能)] オプションは、ダッシュボードがダッシュボードと同じドメイン内のユーザーと共有されている場合にのみ機能します。詳細については、「ドメインセパレーションとダッシュボード」を参照してください。

8. オプション: [招待メールを送信] チェック ボックスをオフにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メール メッセージを送信しないように選択できます。たとえば、ダッシュボードが共有されていることを受信者が既に知っている場合などです。

> **注:**
> インスタンス内からメールを送信するには、メールサーバーの設定が必要です。詳細については、「Basic email setup」を参照してください。

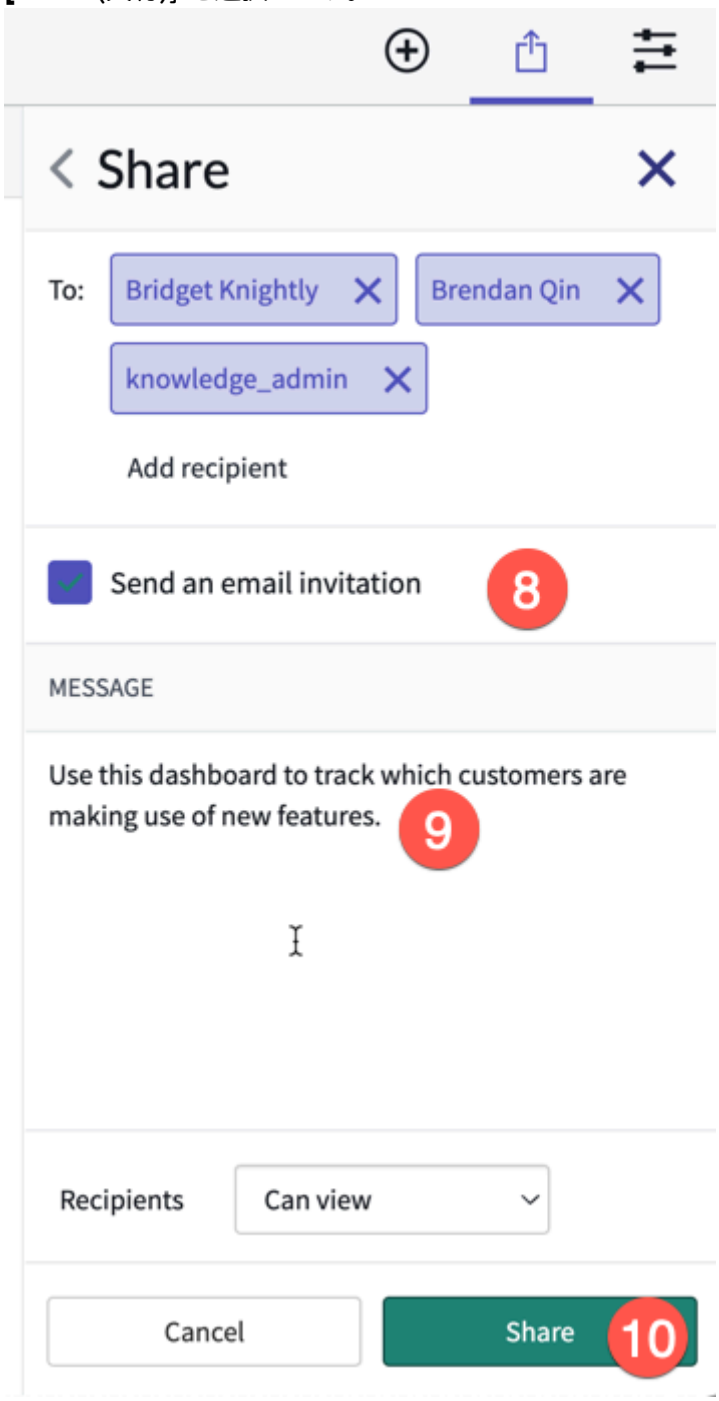
9. オプション: デフォルトの招待メールメッセージへの追加を書き込みます。
デフォルトのメール メッセージは、[The dashboard <Name of Dashboard> has been shared with you by <user role>.] (<ユーザー ロール> によって <ダッシュボード名> ダッシュボードが共有されています。) です。

   (Optional) admin ロールを持つユーザーは、デフォルトのメール メッセージを編集できます。移動先 システム通知 > メール > 通知 をクリックし、ダッシュボード共有通知を開きます。詳細については、「メール通知を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. **[Share** (共有)] を選択します。



タスクの結果
ダッシュボードが共有され、指定した場合は、招待されたユーザーに招待状が送信されます。

スコープ対象のアプリケーションで**pa_dashboard**レコードを有効にする

スコープ対象のアプリケーションに対してアプリケーション管理が有効になっている場合、スコープ対象のアプリケーションのアクセス制御リスト (ACL) ルールが適用されます。[pa_dashboards] テーブルで定義されている ACL をスコープで使用できるようにするには、スコープ対象のアプリ外でも、[pa_dashboards] ACL を継承します。

始める前に
必要なロール：admin。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なスコープ:アプリケーションのスコープ。

手順

1. システムプロパティ *glide.security.scoped_administration.honor_global_acl* を [true] に設定します。
   多くの場合、このプロパティはすでに true に設定されているため、追加の更新は必要ありません。詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。
2. スコープを、ダッシュボードが作成されているスコープに切り替えます。
   ユーザーは、そのスコープのアプリケーションアドミニストレーターである必要があります。
3. sys_scoped_admin_acl_inheritance_list.do に移動します。
4. PA ダッシュボード [pa_dashboards] テーブルのレコードを作成し、[送信] を選択します。
5. 次の各テーブルのレコードを作成します。
   - ポータルページ [sys_portal_page]
   - タブ [pa_tabs]
   - ダッシュボード権限 [pa_dashboards_permissions]
6. オプション: 複数のレポートに同じ問題がある場合は、次のテーブルごとにレコードを作成します。
   - レポート [sys_report]
   - レポートユーザーとグループ [sys_report_users_groups]

レスポンシブ ダッシュボードの管理

ユーザーは、ロールに応じて、レスポンシブ ダッシュボードを削除または複製したり、ダッシュボードからユーザーを削除することができます。すべてのユーザーは、ダッシュボードをお気に入りとしてマークできます。

レスポンシブ ダッシュボードの削除

使用しなくなったダッシュボードを削除します。削除したダッシュボードは復元できません。

始める前に
必要なロール：dashboard_admin、admin、またはダッシュボード オーナー。

ダッシュボードを共有しているすべてのユーザーに、ダッシュボードを削除することを通知します。ユーザーは、ダッシュボードをブックマークしたか、お気に入りとしてマークした可能性があります。これらのユーザーが削除されたダッシュボードにアクセスしようとすると、エラーが表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 削除するダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト メニュー (≡) をクリックし、[ダッシュボードの削除] を選択します。

タスクの結果
ダッシュボードを削除すると、他のダッシュボードで使用されていないダッシュボード タブも削除されます。

ダッシュボードタブの削除

ダッシュボードのタブが役に立たなくなった場合、そのタブを削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:dashboard_admin または admin ダッシュボードの所有者であるか、ダッシュボードの編集権限を持っている場合は、ダッシュボード タブを削除することもできます。

手順
1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 削除するタブを含むダッシュボードを選択します。
3. ダッシュボード タブを削除するには、タブをポイントし、ごみ箱アイコンをクリックします。

タスクの結果
ダッシュボード タブを削除すると、タブはダッシュボードから削除されます。他のダッシュボードで使用されていなければ、そのタブは完全に削除されます。

レスポンシブ ダッシュボードのコピー

レスポンシブ ダッシュボードを複製すると、そのウィジェット レイアウトは保持されます。ただし、共有権限は保持されません。複製されたダッシュボードに加えた変更は、元のダッシュボードには影響しません。

始める前に
プラットフォームアナリティクスソリューションに関連するダッシュボードをコピーするには、「アナリティクスおよびレポートソリューションダッシュボードの複製」を参照してください。

必要なロール:ダッシュボードを共有できるすべてのユーザーがコピーできます。

手順
1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 複製するダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー (≡) を選択し、[**Duplicate Dashboard** (ダッシュボードを複製)] を選択します。
   自分をオーナーとして、ダッシュボードのコピーが作成されます。コピーの名前は、[[元のダッシュボード名] のコピー] です。
4. オプション: ダッシュボードの名前を変更するには、コンテキスト メニュー (≡) をクリックし、[ダッシュボード プロパティ] を選択して [名前] フィールドを編集します。

タスクの結果
自分をオーナーとして、ダッシュボードのコピーが作成されます。

次のタスク
ダッシュボードを変更し、他のユーザーと共有します。

レスポンシブ ダッシュボードの名前変更

ダッシュボードの名前を変更して、よりわかりやすい名前を付けます。

始める前に
必要なロール：ユーザーは、所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「 ダッシュボード権限 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボード ピッカーから、名前を変更するダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト メニュー (≡) から、[ダッシュボード プロパティ] を選択します。
4. [名前] フィールドに、ダッシュボードの新しい名前を入力します。
5. [更新] を選択します。

> **注:**
> [オーナー] フィールドは必須です。このフィールドが空の場合は、ダッシュボードの所有者の名前を入力してこのタスクを完了します。

ダッシュボードからのユーザーの削除

ダッシュボードを特定のユーザー、グループ、またはロールと共有する必要がなくなった場合は、ダッシュボードへのアクセス権を削除できます。

始める前に
必要なロール：ダッシュボード オーナーは、自分が所有するダッシュボードからユーザーまたはグループを削除できます。

dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードからユーザー、グループ、またはロールを削除できます。

pa_admin または pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボードからユーザー、グループ、またはロールを削除できます。これらのダッシュボードには、ユーザーが所有するダッシュボードや、ユーザーが編集権限を付与されたダッシュボードが含まれます。

詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

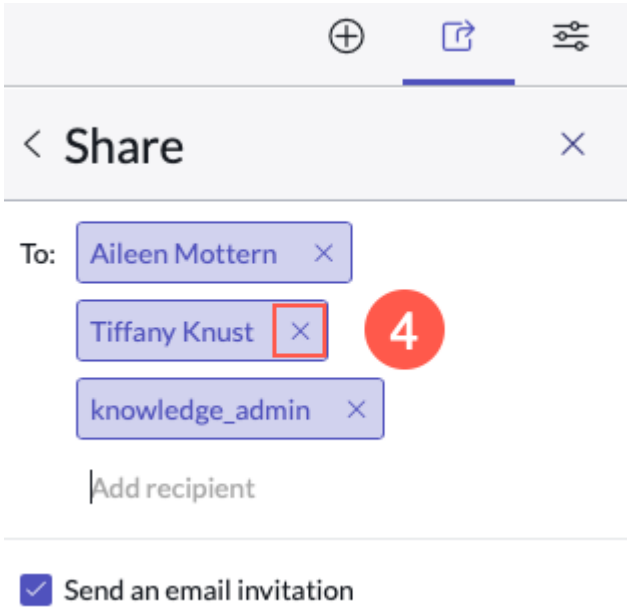
手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 変更するダッシュボードを選択します。
3. 共有アイコン ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [共有] パネルで、削除するユーザー、グループ、またはロールの名前の横にある [X] を選択します。



タスクの結果
削除されたユーザーには、共有ダッシュボードを表示する権限がなくなります。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限

レスポンシブ ダッシュボードをお気に入りとしてマークする

ナビゲーション ペインから簡単にアクセスできるように、ダッシュボードをお気に入りとしてマークできます。

始める前に
ダッシュボードにアクセスできるユーザーはいずれも、ダッシュボードをお気に入りとして設定できます。

必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボード ピッカーから、お気に入りとしてマークするダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー (≡) を選択し、[**Create Favorite**] を選択します。

タスクの結果
お気に入りのダッシュボードは、アプリケーションナビゲーターの [お気に入り] タブに表示されます。

ブレークダウン要素でダッシュボードをフィルタリング

一部のダッシュボードでは、1 つ以上の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウン要素を適用して、ダッシュボード全体をフィルタリングできます。たとえば、優先度の高い重要なアイテムのみを表示したり、特定のマネージャーに報告するチームのみを表示したりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ブレークダウン要素でフィルタリングする パフォーマンスアナリティクス で、ダッシュボードが既に作成されている必要があります。この方法で構成されたダッシュボードは、 ブレークダウン ダッシュボードと呼ばれます。

必要なロール：なし

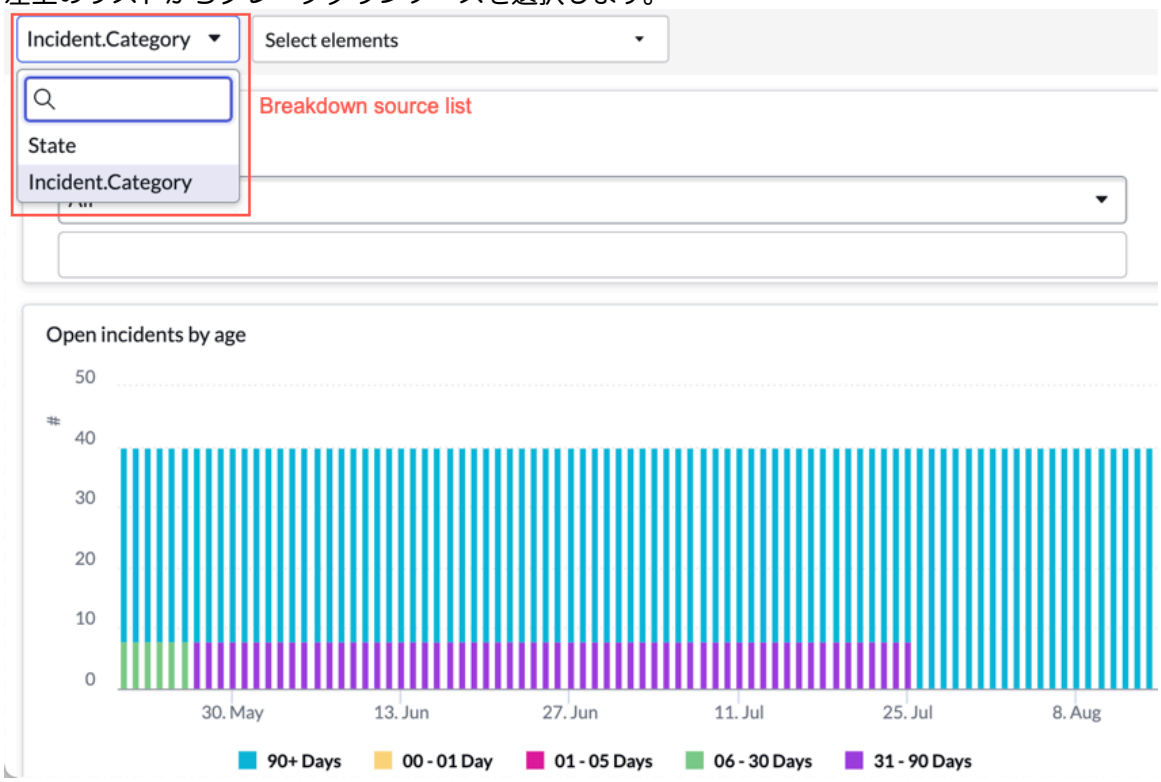
このタスクについて
優先度やカテゴリなどのブレークダウン要素でダッシュボードをフィルタリングするには、ブレークダウン ソースを選択し、そのブレークダウン ソース内の要素を選択します。レポートおよび適切に構成された パフォーマンスアナリティクス ウィジェットには、適用されたフィルターが反映されます。複数の要素を選択すると、各パフォーマンスアナリティクスウィジェットの構成方法に応じて、それらの要素に関連付けられた値が集計または個別の要素としてパフォーマンスアナリティクス表示されます。ブレークダウン ダッシュボードとそのウィジェットの構成の詳細については、「 ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

パフォーマンス上の理由から、すべてのブレークダウン要素を選択するオプションはありません。

注:
ブレークダウンが適用されていても要素がないブレークダウンダッシュボードを表示する場合、ウィジェットにはベースインジケータースコアが表示されます。ブレークダウンはスコアをフィルタリングしません。通常、これらのスコアは、ブレークダウンとすべての要素を選択した場合のスコアよりも高くなります。多くの場合、要素のセキュリティや要素フィルターが原因で、すべての要素が利用できるわけではありません。また、インジケータースコアに貢献する未アサインスコアも通常は選択できません。

手順

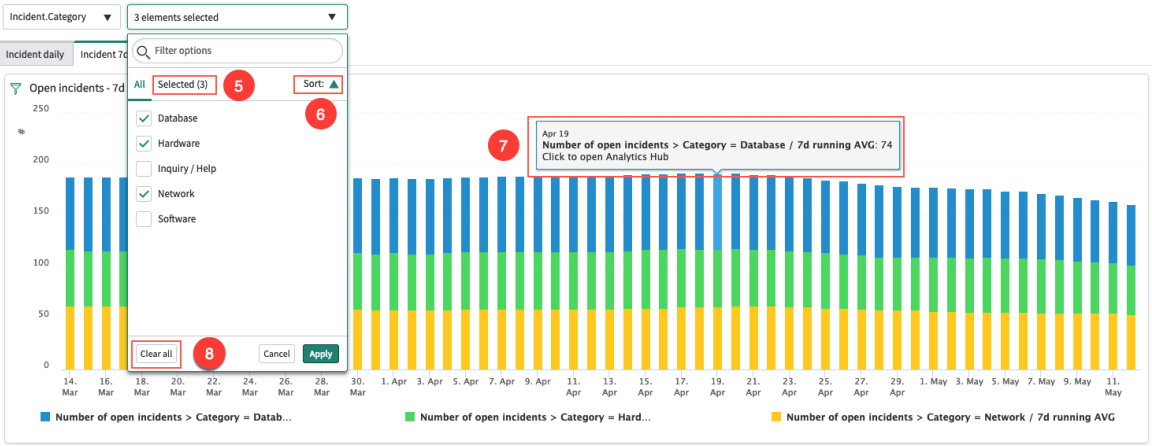
1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ブレークダウン要素でフィルタリングするダッシュボードを選択します。
3. 左上のリストからブレークダウンソースを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [要素を選択] リストで、フィルターを適用する要素を選択し、[適用] をクリックしま



す。
フィルタリング可能なダッシュボード上のウィジェットは、選択した要素でフィルタリングされます。フィルタリングされたウィジェットでは、タイトルの横にフィルターアイコンが表示されます が表示されます。

> **注:**
> 要素のセキュリティ設定により、選択した 1 つ以上の要素が表示されない場合は、警告が表示されます。

5. [選択済み] をクリックして、選択したブレークダウン要素のみを表示します。
[すべて] をクリックすると、リスト内のすべてのブレークダウン要素が表示されます。
6. 「 ソート 」をクリックして、要素のリストをアルファベット順にソートします。
三角形の方向は、a-zまたはz-aを示します。
7. データポイントを選択すると、 アナリティクスハブ にインジケーターとブレークダウン要素が表示されます。
アナリティクスハブ へのアクセスにはpa_viewerロールが必要です。

   アグリゲートビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。 ウィジェット内の複数の要素の集計ビューと個別ビューの詳細については、「 ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。
8. [すべてクリア] を選択すると、選択した要素が削除され、すべての要素を含むブレークダウンウィジェットが表示されます。

ダッシュボードでの複数要素の選択の無効化

ダッシュボードの所有者は、ブレークダウンダッシュボード全体で複数要素の選択を無効にすることができます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ブレークダウン ダッシュボードで複数要素の選択を無効にすると、そのダッシュボードのユーザーは、ブレークダウンの 1 つの要素でのみダッシュボードのウィジェットをフィルタリングできます。

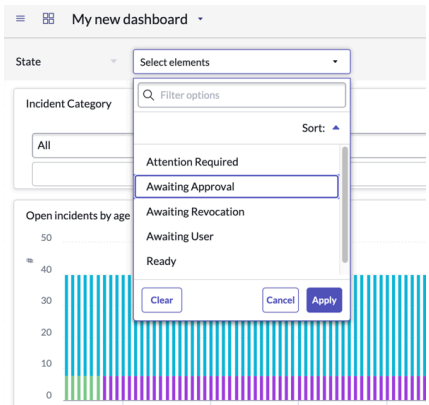
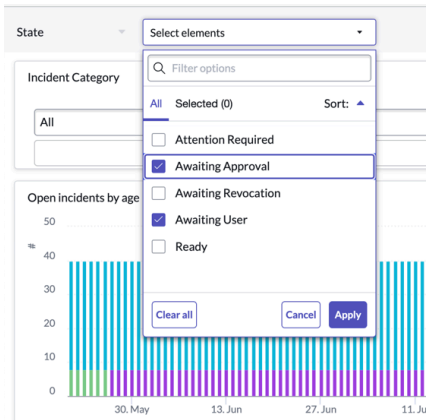
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 一度に 1 つのブレークダウン要素のみでフィルタリングするブレークダウンダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト メニューから、[ダッシュボード プロパティ] を選択します。
4. [複数要素の選択を無効にする] を選択します。
   このオプションは、ダッシュボードの [ブレークダウンソース] 関連リストに少なくとも 1 つのブレークダウンソースがある場合に使用できます。
5. [更新] をクリックします。

タスクの結果
ブレークダウン要素でダッシュボードをフィルタリングする場合、選択できるブレークダウン要素は 1 つだけです。ダッシュボードのウィジェットは、選択した単一のブレークダウン要素に従います。要素を選択する場合、または選択した要素をクリアする場合、この選択を行うには [適用] をクリックする必要があります。

ブレークダウン要素のリスト - 複数要素の選択は無効です	ブレークダウン要素のリスト - 複数要素の選択が有効
	

レスポンシブ ダッシュボードを **PDF** にエクスポート

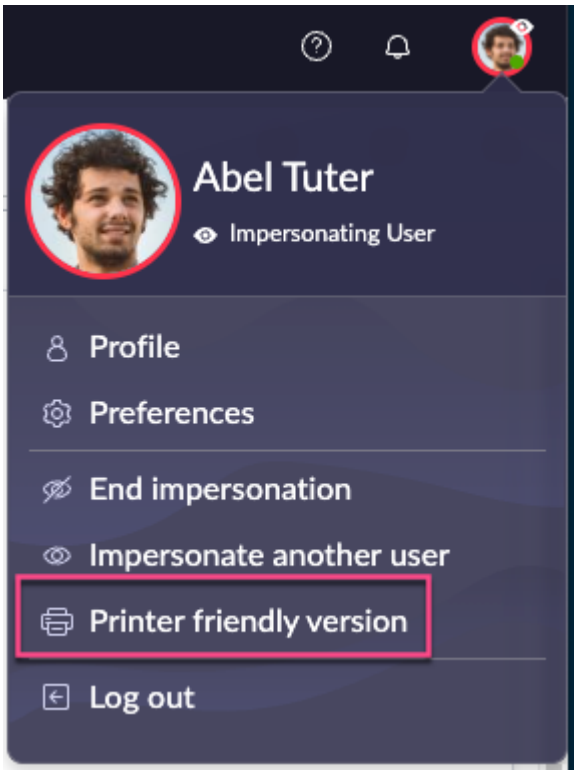
ダッシュボードを PDF としてエクスポートして、アーカイブ、印刷、または配布できるようにします。

始める前に
必要なロール:ダッシュボードを PDF にエクスポートするためにロールは必要ありませんが、アドミンが PDF エクスポート用にインスタンスを構成する必要があります。詳細については、「ダッシュボードの PDF エクスポートを有効にする」を参照してください。

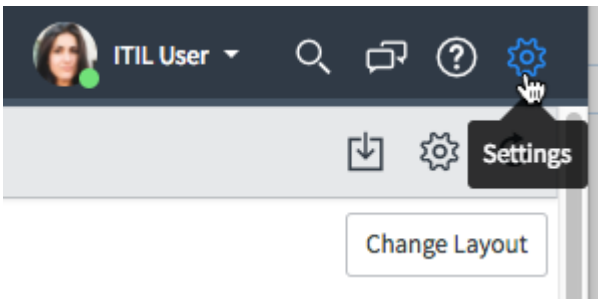
このタスクについて
ダッシュボードに適用されたインタラクティブ フィルターは、PDF にも適用されます。ただし、適用されたブレークダウンはエクスポートには含まれません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
PDF をローカルに生成するには、インタラクティブ フィルターを設定し、ユーザー アイコンをクリックして、[印刷対応版] を選択します。ダッシュボードが新しいウィンドウまたはタブで開きます。ブラウザーの印刷設定を使用して、ダッシュボードをエクスポートします。



ネクストエクスペリエンスをアクティブ化していない場合は、[設定]メニューから[印刷用バージョン]を選択します。



制限事項：

- PDF にエクスポートしたカスタム コンテンツは、予測どおりに生成されないことがあります。詳細については、「カスタム コンテンツの PDF エクスポートに関する制限事項」を参照してください。
- PDF にエクスポートされたダッシュボードには、ダッシュボードのレイアウトは含まれません。各ウィジェットは上下に重ねて表示され、全ページ幅を占めます。
- ウィジェットは、一定の高さにエクスポートされます。ワークベンチやリスト ウィジェットなどの大きなウィジェットは、切り捨てられます。
- カレンダー レポートの PDF へのエクスポートがサポートされていないため、ダッシュボードからエクスポートされたカレンダー レポートが切り捨てられることがあります。
- ダッシュボードに適用されたブレークダウンは、PDF には含まれません。
- ウィジェットは、ダッシュボードとは異なる順序で表示されることがあります。

自動翻訳

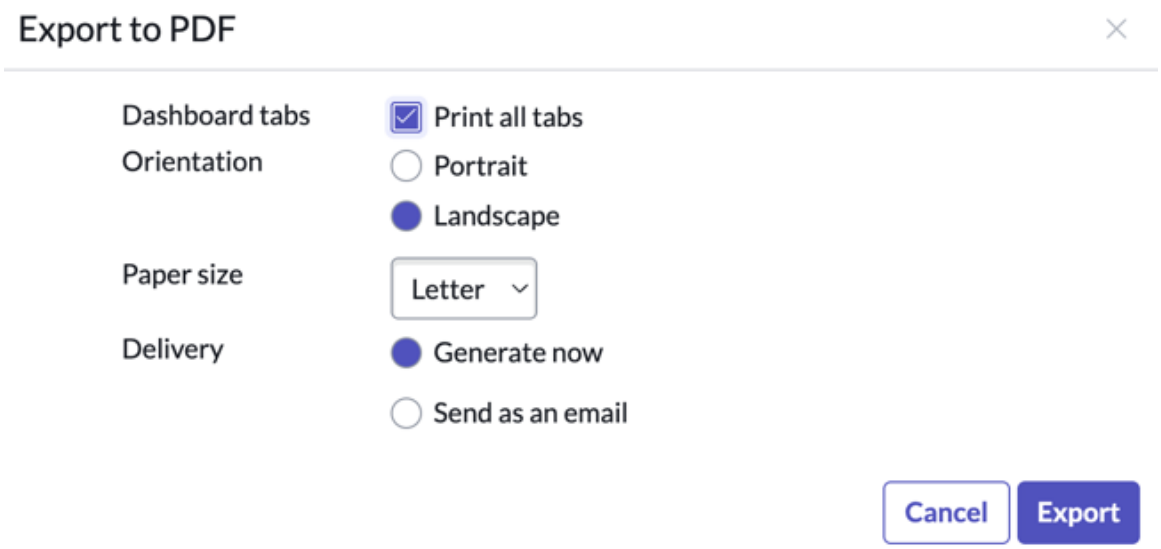
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットの凡例は表示されないことがあります。
- エクスポートには、レポートの可視化に関連付けられたデータテーブルは含まれません。個々のレポート (データテーブルを含む) を個別にエクスポートできます。スケジュール済みレポートにデータ テーブルを含めるには、レポート デザイナーのレポートの [構成] タブで [データ テーブルを表示] をオンにします。
- 単一スコア レポート ウィジェットのデルタ テキストの色設定は、保持されません。
- ウィジェットレベルで [日付範囲セレクターを表示] を選択すると、選択した期間が PDF に反映されません。
- レスポンシブ ダッシュボードをテンプレートとしてエクスポートすることはできません。

注:
メールで送信される PDF は、すぐに生成されないことがあります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 左上のダッシュボード ピッカーから、エクスポートするダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー ( ) をクリックし、[**PDF** にエクスポート] を選択します。
4. 印刷と配送のオプションを構成します。



5. [エクスポート] をクリックします。

タスクの結果
コンテンツは、印刷および配送のオプションに従って PDF にエクスポートされます。PDF が生成されない場合は、JavaScript エラーを特定して解決してください。

ブラウザーの印刷機能を使用したダッシュボードのエクスポート

ブラウザーの印刷機能を使用して、任意のダッシュボードまたはホームページを PDF にエクスポートできます。

始める前に
必要なロール:ブラウザーの印刷機能を使用してダッシュボードを PDF にエクスポートする場合、ロールは必要ありません。

自動翻訳

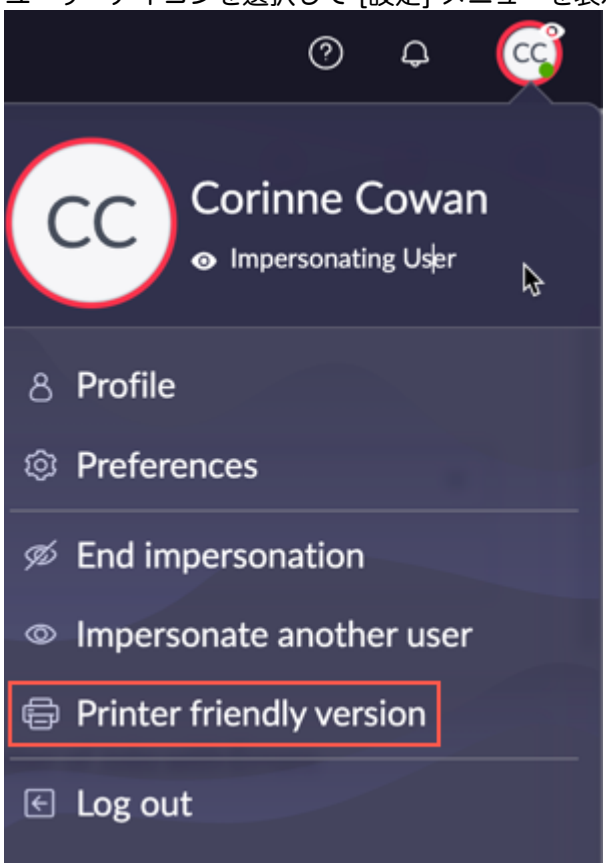
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

ブラウザーの印刷機能を使用して、オンデマンドで PDF をエクスポートしたり、ブレークダウンが適用された PDF をエクスポートしたりできます。スケジュール済み PDF では、ブレークダウンはデータに適用されません。

手順

1. エクスポートするダッシュボードを開きます。
2. インタラクティブ フィルターを設定します。
3. ユーザーアイコンを選択して [設定] メニューを表示します。



ブラウザータブが開き、ダッシュボードのウィジェットが 1 つずつ積み重ねられます。

4. 新しいブラウザタブで、印刷するタブ、ページサイズ、ページの向きを選択します。
5. [印刷] を選択します。
6. ブラウザーの [印刷] ダイアログで、印刷先または出力先として [PDF] を選択します。

タスクの結果

ダッシュボードタブが、選択したページサイズと向きで PDF にエクスポートされます。

レスポンシブ ダッシュボード **URL** のコピー

ブラウザからダッシュボード URL をコピーすることはできません。ただし、タブやブレークダウン要素などのダッシュボードの現在のビューを開く URL を作成することができます。リンクに続く場合、ServiceNow ダッシュボード周囲のプラットフォームフレームは含まれません。

始める前に

必要なロール:ダッシュボードにアクセスできる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. コピーする URL を含むレスポンシブダッシュボードを選択します。
3. オプション: タブ、ブレークダウン、およびブレークダウン要素を選択します。
4. コンテキストメニュー (☰) を選択し、[ダッシュボード **URL** のコピー] を選択します。

タスクの結果
ダッシュボード URL がクリップボードにコピーされます。一部のブラウザーでは、URL をクリップボードにコピーするように求められます。

次のタスク
URL を他のユーザーと共有します。

ダッシュボードの **URL** 形式

インスタンスから パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードにリンクできます。いくつかの URL パラメーターを使用すると、リンクをクリックしたときのダッシュボードのアスペクトを指定できます。

すべてのダッシュボード URL は、次の形式に従います。

```
https://<instance>.service-now.com/$dashboards.do?
```

.

注:
ダッシュボードはパフォーマンス分析のユーザーに限定されないため、

```
$dashboards.do
```

置換

```
$pa_dashboard
```

ただし、どちらの文字列もダッシュボード URL で機能します。

このベース URL の後には、いくつかのオプションの URL クエリパラメーターが続きます。

URL パラメーター

パラメーター	説明
sysparm_dashboard=<sys_id>	表示するダッシュボードの sys_id。
sysparm_tab=<sys_id>	表示するダッシュボード タブの sys_id。タブを指定しない場合、一番左のタブが表示されます。このパラメーターは、 *sysparm_dashboard* が存在する場合にのみ適用されます。
sysparm_breakdown_source=<sys_id>	表示するダッシュボード ブレークダウンの sys_id。
sysparm_element=<値>	表示するブレークダウン要素のsys_idまたは値。このパラメーターは、 *sysparm_breakdown_source* も存在する場合にのみ適用されます。値の大文字と小文字は区別されます。
sysparm_element_value=<値>	選択された要素値。この値は、参照されるレコードの sys_id、または選択リストの選択肢のデータベース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL パラメーター (続く)

パラメーター	説明
	値です。データベース値の大文字と小文字は区別されます。このパラメーターは、 *sysparm_element* と *syspartm_breakdown_source* も存在する場合にのみ適用されます。
sysparm_header=<値>	ダッシュボード ヘッダーを表示するかどうかを制御します。可能な値： • 表示：完全なヘッダーが表示されます。 • 非表示：完全なヘッダーは非表示になります。 • Embedded (埋め込み)：ヘッダーは表示されますが、[リフレッシュ]、[フィルターをリセット]、および **[PDF** にエクスポート] の各オプションのみが表示されます。
sysparm_breakdown=<値>	ダッシュボード ブレークダウンを表示するかどうかを制御します。可能な値： • 表示：ソースと要素の両方を含む完全なブレークダウンが表示されます。 • 非表示：完全なブレークダウンは非表示になります。 • Embedded (埋め込み)：ブレークダウン要素のみが表示されます。 • Readonly (読み込み専用)：ブレークダウンは表示されますが、ユーザーはフィルターの構成方法を変更できません。

自動翻訳

単一スコア レポート ウィジェットのリアルタイム更新の有効化

リアルタイム更新により、レスポンシブダッシュボードを表示しているユーザーには常に最新の情報が表示されます。

始める前に

必要なロール:ウィジェットが追加されたダッシュボードの編集権限が必要です。

単一スコア レポートでは、[カウント]、[平均]、[合計]、[個別のカウント] の 4 つのタイプの集計を使用できます。リアルタイム更新は、[カウント] 集計を使用する単一スコア ウィジェットでのみ使用可能です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
次の状況では、レスポンシブダッシュボードの単一スコアレポートウィジェットでリアルタイム更新は機能しません。

- レポート ソースがデータベース ビューの場合、スコアを更新するには、ウィジェットの [リフレッシュ] アイコン をクリックする必要があります。詳細については、「データベースビュー」を参照してください。
- ドメインの可視化は、リアルタイムレポートではサポートされていません。ユーザーに割り当てられたドメインとそのドメイン階層、およびグローバルドメインのみがサポートされます。
- 可視化にドット連結条件がある場合、拡張テーブルに関連する変更があっても単一スコアレポートは更新されません。Record Watcher は、レポートのベーステーブルでのみ更新を送信します。詳細については、 KB 記事 KB0868215 を参照してください。
- 挿入/更新時に current.update() メソッドを使用するビジネスルールが実行されると、単一スコアレポートは 1 つではなく 2 つ増えます。詳細については、 KB 記事 KB0693812 を参照してください。
- クエリービジネスルールによって追加または変更された条件は、リアルタイムレポートでは考慮されません。

  クエリビジネスルールは特定のユーザーのクエリ条件を臨機応変に変更するため、リアルタイム更新に使用される Record Watcher フレームワークはクエリビジネスルールをトリガーしません。

- ウィジェットでフィルター [アサイン先グループ - 次の値に一致 (動的) - 自分のグループの 1 つ (Assignment group - is (dynamic) - One of My Groups)] を使用している場合、ウィジェットはリアルタイムでは更新されません。詳細については、 KB 記事 KB0749987 を参照してください。
- 単一スコアレポート時間の更新は、ローテーションテーブルではサポートされていません。

このタスクについて
ダッシュボード上の単一スコア ウィジェットのリアルタイム更新を有効にすることができます。

手順
1. 単一スコア ウィジェットが追加されたダッシュボードに移動します。
2. [ウィジェットを追加] アイコン (⊕記号) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
3. ウィジェットをポイントし、歯車アイコン ( ) をクリックします。
4. [リアルタイム更新を表示] を選択し、[完了] をクリックします。
5. プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードの編集モードを終了します。
   リアルタイムアイコン ( ) がウィジェットに追加されます。スコアが変化していなくても、このアイコンは永続的に表示されます。

タスクの結果
単一スコアによるチャート化の値が変更されると、その変更がダッシュボードに反映されます。

レスポンシブ ダッシュボードのオーナーの変更

ダッシュボードのオーナーは、ダッシュボードを編集し、他のユーザーと共有できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

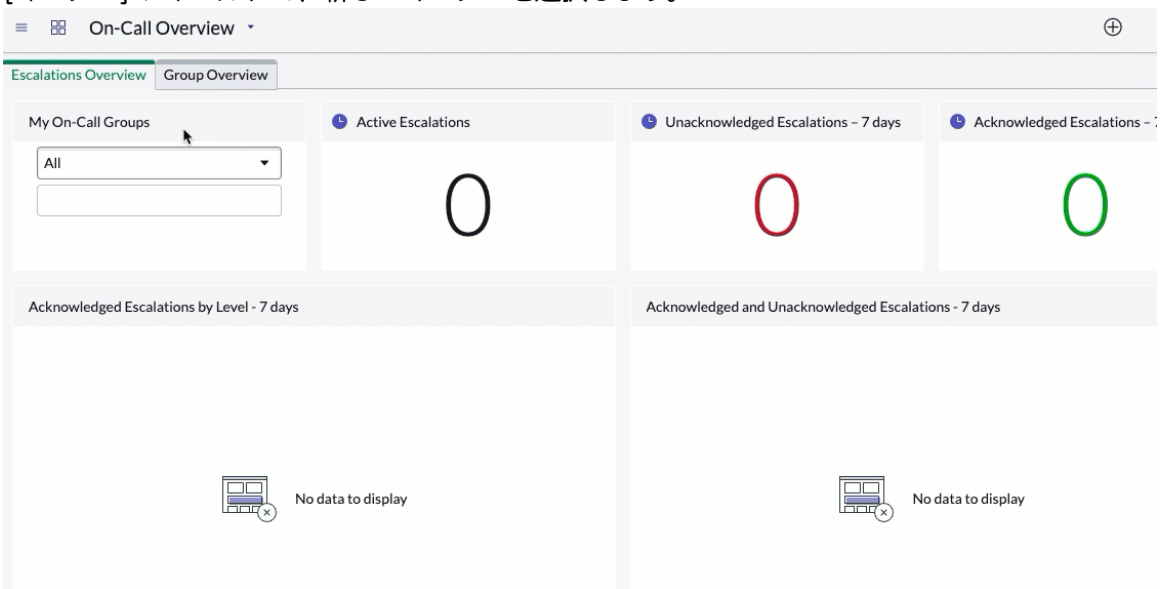
自動翻訳

始める前に
必要なロール：dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードオーナーを変更できます。

このタスクについて
ダッシュボードの所有者を確認するには、pa_dashboards_list.do に移動してダッシュボードを検索します。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 所有者を変更するダッシュボードを開きます。
3. コンテキスト メニュー (☰) をクリックし、[ダッシュボード プロパティ] を選択します。
4. [オーナー] フィールドで、新しいオーナーを選択します。



5. [更新] をクリックします。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードの共有
レスポンシブ ダッシュボードを編集する

レスポンシブでないダッシュボードの操作

Utah リリース以降、レスポンシブでないダッシュボードは使用できなくなりました。

アップグレード時に、レスポンシブでないダッシュボードは レスポンシブ ダッシュボードに変換されます。

レスポンシブ ダッシュボードをホームとして設定

ダッシュボードを ホームとして設定できます。この設定では、プラットフォームの左上隅にあるロゴを選択すると、最後に選択したダッシュボードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

注:
ネクストエクスペリエンスが有効になっている場合、このページの手順は適用されません。ネクストエクスペリエンスランディングページの詳細については、以下を参照してください。

- デフォルトのランディングページの詳細
- Configuring Next Experience start page options
- ユーザーが選択したスタートページを構成する

必要なロール:ユーザー。

重要:

インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。ネクストエクスペリエンス を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。

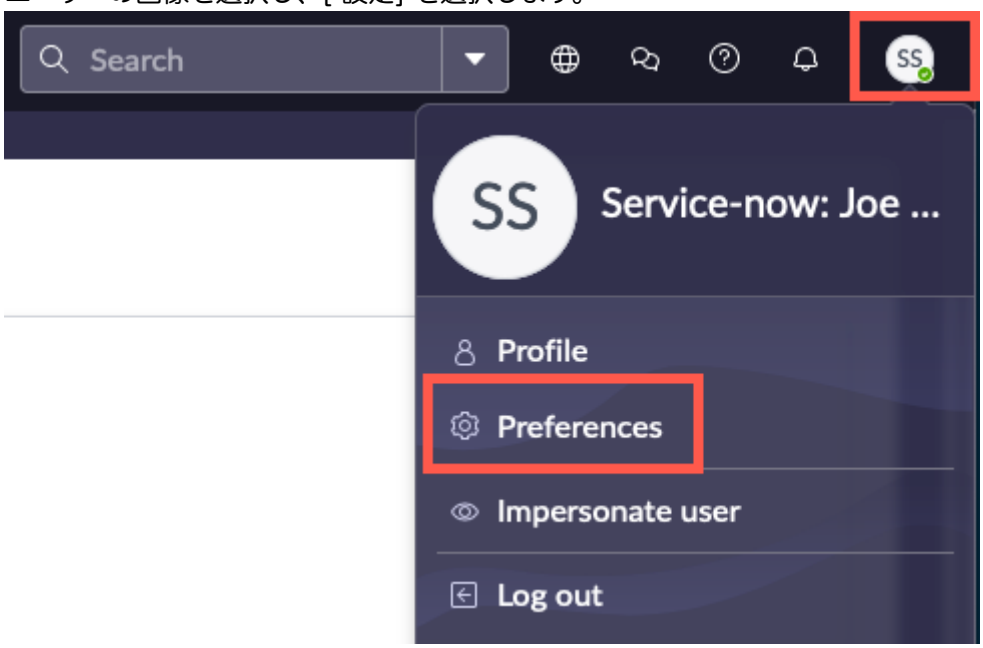
詳細については、以下を参照してください。

- アナリティクスセンターでのダッシュボード
- レスポンシブダッシュボードの操作。

ダッシュボードが ホームとして設定されている場合、常に最後に選択したダッシュボードがロードされます。ダッシュボードを ホームとして指定することはできません。ダッシュボードをお気に入りとしてマークすると、ダッシュボードに簡単に移動できます。

手順

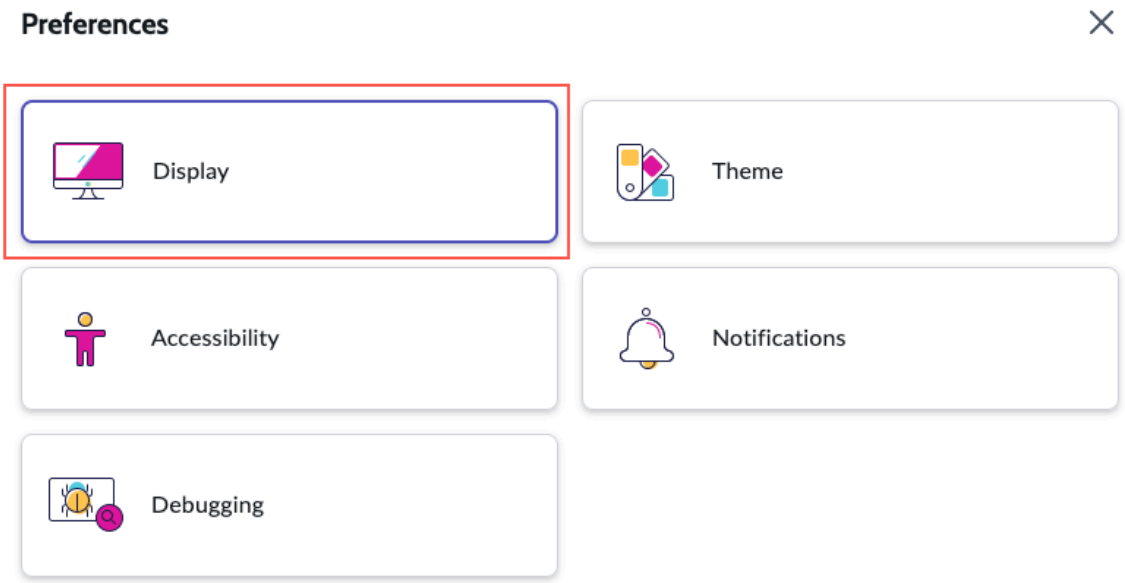
1. ユーザーの画像を選択し、[設定] を選択します。



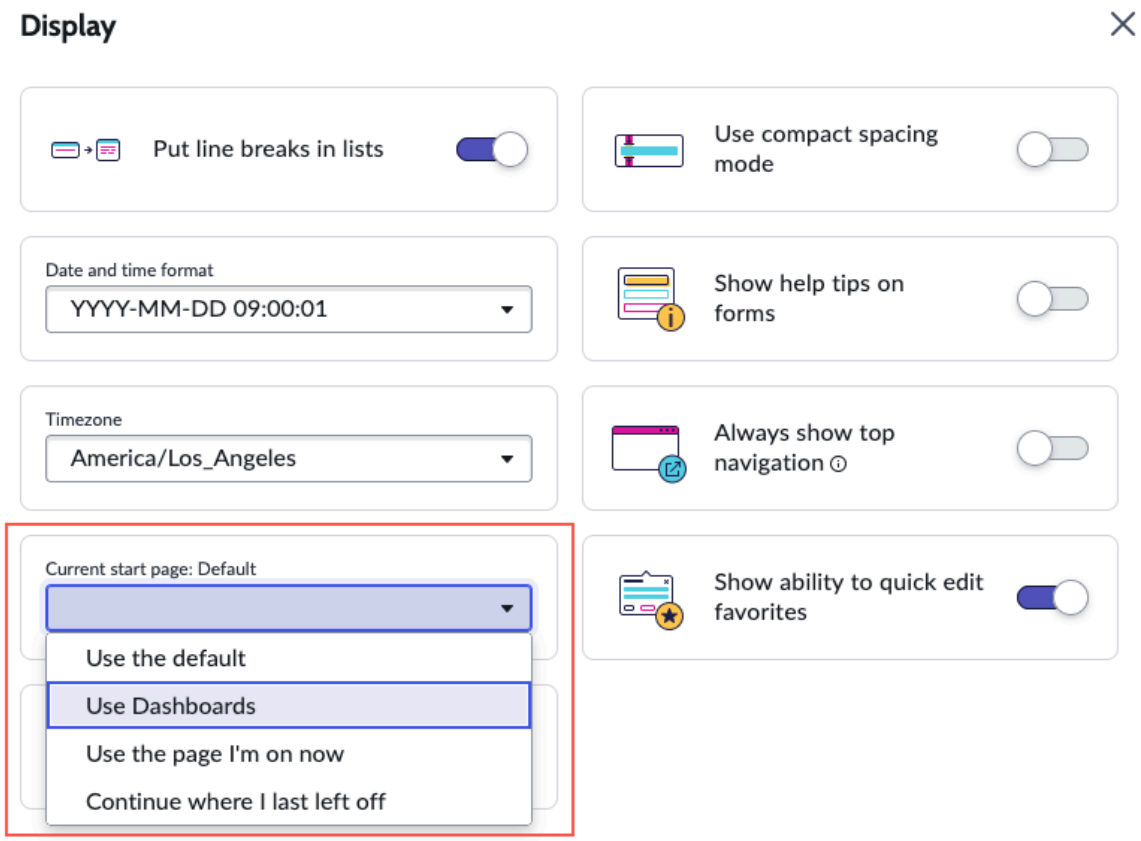
2. [表示] タイルを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



3. [表示] タブで、[ダッシュボードを使用] をスタート ページとして選択します。



タスクの結果
に移動すると セルフサービス > ダッシュボード または会社のロゴを選択すると、最後に選択したダッシュボードが表示されます。

分析サービスの要求

新しいダッシュボードの要求、既存のダッシュボードへのアクセスなど、ダッシュボードに関連するサービスを要求します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 次のいずれかに移動 すべて > セルフサービス > サービスカタログ または サービスポータル > サービスポータルホーム.
2. [サービス ポータル] に移動した場合は、[注文する] を選択します。
3. [何かお困りですか？] カテゴリーを選択します。
4. [分析要求] を選択します。
5. [要求タイプ] ([ダッシュボードへのアクセスを要求]、[ダッシュボードを編集]、[問題の報告] など) を選択します。
6. オプション: 別のユーザーの要求を送信する場合は、 **[Request on behalf of another user]** (別のユーザーの代わりに要求) チェック ボックスをオンにして、自分が代わりに要求するユーザーを選択します。
7. ダッシュボードの名前や変更の説明など、要求に関する追加の詳細を入力します。
   使用可能なフィールドは、要求タイプによって異なります。
   要求したユーザーに、通知が自動的に送信されます。

次のタスク
要求を送信した後は、分析チームが、要求された変更のレビューと実装を担当します。

分析要求の履行

分析サービス要求は、要求をレビューおよび履行できる分析グループにアサインされます。

始める前に
少なくとも 1 人のユーザーが分析グループのメンバーである必要があります。

必要なロール：

- 履行者：itil および pa_admin。履行者であるユーザーは、これらのロールを自動的に付与する分析グループのメンバーである必要があります。
- 承認者：itil および approver_user

手順

1. 移動先 すべて > サービスデスク > 自分のグループ作業.
2. 要求を選択します。
3. ダッシュボードへのアクセス権の付与を要求する場合は、この要求を適用するダッシュボードを選択します。
4. [要求承認者] として、1 人以上のユーザーを選択します。
   この承認者は、分析グループのメンバーでない人にする必要があります。

   注:
   要求タイプが [問題の報告] の場合、承認は必要ありません。

5. 承認者が要求を承認できるようになります。
   a. 移動先 セルフサービス > 自分の承認.
   b. [承認リクエスト] を選択します。
   c. [承認] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

承認者が承認を拒否した場合、要求は自動的にクローズします。承認者が [承認済み] または [却下] 以外のオプションを選択した場合、履行者ユーザーは、[状態] を [スキップしてクローズ] または [未完了でクローズ] に設定することによって要求をクローズできます。
要求が承認された場合、または承認の必要がなかった場合は、分析チームに対してタスクが作成されます。要求レコードの [タスク] 関連リストに移動して、タスクを表示します。メール通知が分析チームに送信されます。

6. 承認者が要求を承認した後、要求された変更を実行して、要求を履行します。
ダッシュボードおよびダッシュボード権限の変更手順については、ダッシュボードのドキュメントを参照してください。
7. タスクの [状態] を [完了してクローズ] に更新します。
タスクがクローズされると、要求の [状態] が自動的に更新されます。要求したユーザーに、要求された変更が完了したことを知らせるメール通知が送信されます。

関連情報

ダッシュボードを作成および使用する

レスポンシブ ダッシュボードの共有

分析用セルフサービス ポータル プラグインの有効化

admin ロールがある場合、分析用セルフサービス ポータル プラグイン (com.snc.pa.bi_service) を有効化できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
分析用セルフサービス ポータルは、これらの関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

分析用セルフサービス ポータルのプラグイン

プラグイン	説明
パフォーマンス分析 [com.snc.pa]	コア パフォーマンス分析機能

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。

関連情報

プラグインのリスト (Xanadu)

ダッシュボードの管理

ダッシュボードをグループ化する方法、更新セットを含むダッシュボードを移動する方法、権限のトラブルシューティングなど、ダッシュボードの管理について学びます。

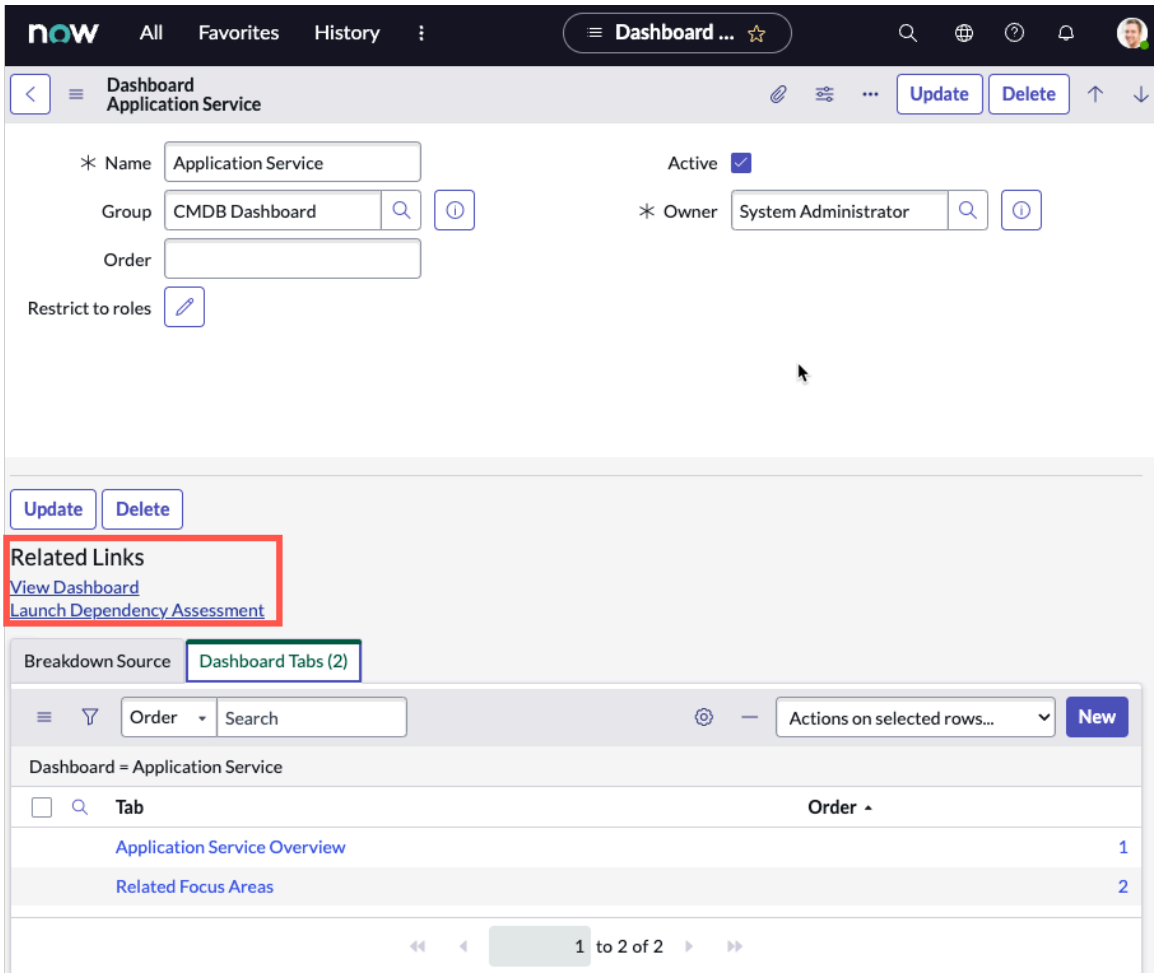
dashboard_admin ロールを持つユーザーは、インスタンス内のすべてのダッシュボード (すべての非アクティブ ダッシュボードを含む) に対する表示、編集、削除、および共有の権限を含む完全アクセス権を持ちます。インスタンス内のすべてのダッシュボードのリストを表示するには、次の場所に移動します。 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > システム > ダッシュボード管理. ダッシュボードの名前をクリックすると、そのフォームが表示されます。

ダッシュボードのフォームの各フィールドについては、「 レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成」で説明しています。関連リンクを使用して、次のことを行います。

- ダッシュボードメタデータを生成
- ダッシュボードを表示する
- 依存関係アセスメントを起動

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードの探索および管理

ダッシュボード、レポート、インジケーターなどのパフォーマンスアナリティクス要素間の関係をすばやく特定します。各ダッシュボード タブには、ダッシュボードに表示される情報を絞り込むためのカスタマイズされたインタラクティブ フィルターがあります。

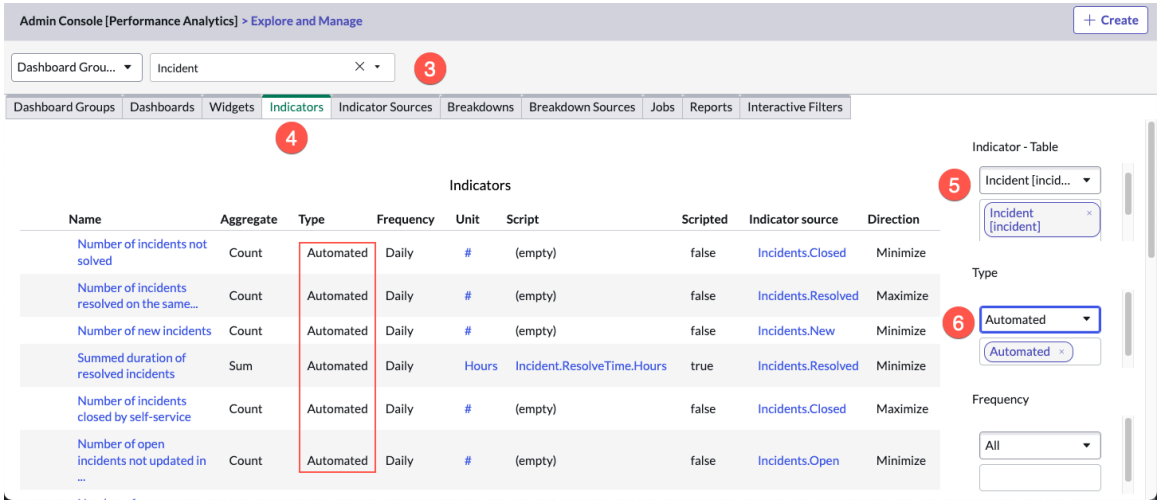
ダッシュボードの探索の例

インシデント テーブルに基づいて、インシデント ダッシュボード グループに関連するすべての自動インジケーターを表示するには：

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > アドミンコンソール
2. [探索と管理] タイルで [ダッシュボード] を選択します。
3. 最初の 2 つのリストから、[ダッシュボード グループ] と [インシデント] を選択します。
4. [インジケーター] タブを選択します。
5. **[Indicator - Table]** (インジケーター - テーブル) リストから [インシデント] を選択すると、インシデント テーブルのインジケーターのみが表示されます。
6. [タイプ] リストから [自動] を選択すると、インシデント テーブルの自動インジケーターのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードおよびダッシュボード グループ

[ダッシュボード] または [ダッシュボード グループ] をクリックすると、インスタンス内のすべてのパフォーマンス分析の要点に関する情報を提供するダッシュボードが表示されます。

ダッシュボードグループ

インスタンス内のすべてのダッシュボード グループのリスト。管理コンソールで [ダッシュボード グループ] を選択した場合は、このタブにフォーカスがあります。グループが指定されていないダッシュボードは、[その他] グループに分類されます。

[可視化] フィルターを使用して、すべてのダッシュボード グループ、すべてのユーザーに表示されるダッシュボード グループ、または指定したグループとユーザーのみに表示されるダッシュボード グループを表示します。

ダッシュボード

グループでソートされた、インスタンス内のすべてのダッシュボードのリスト。グループを展開して、個々のダッシュボードを表示します。ダッシュボード名をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。管理コンソールで [ダッシュボード] を選択した場合は、このタブにフォーカスがあります。

フィルタ：

- アクティブ：[すべて]、[Active=**True**]、または [Active=**False**] を選択します。
- ダッシュボード オーナー — [すべて] を選択するか、リストから 1 人以上のオーナーを選択します。

ウィジェット

インスタンスのダッシュボードで使用されるすべてのウィジェットのリスト。

フィルタ：

- タイプ：[すべて] を選択するか、1 つ以上のウィジェット タイプでフィルタリングします。「パフォーマンス分析ウィジェット」を参照してください。
- ビジュアライズ：[すべて] を選択するか、リスト内の 1 つ以上のレポート ビジュアライズ タイプでフィルタリングします。

インジケーター

インスタンスのダッシュボードで使用されるすべてのインジケーターのリスト。フィルター: インジケーターテーブル、 タイプ、 頻度、 インジケーターソース、 単位、 方向、 スクリプト化、および 集計タイプでリストをフィルタリングできます。[インジ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケーター] または [インジケーター ソース] の名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。

インジケーターソース

インスタンス内のすべてのインジケーターソースのリスト。[インジケーターテーブル] と [頻度] でリストをフィルタリングできます。[インジケーター ソース] の名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 インジケーターソース」を参照してください。

ブレークダウン

インスタンス内のすべてのブレークダウンのリスト。1 つ以上の ブレークダウンテーブルでリストをフィルタリングできます。ブレークダウンとブレークダウン ソースの名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 パフォーマンス分析のブレークダウン」を参照してください。

ブレークダウンソース

インスタンス内のすべてのブレークダウンソースのリスト。1 つ以上の ブレークダウンテーブルでリストをフィルタリングできます。ブレークダウン ソースの名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 ブレークダウン ソースの定義」を参照してください。

ジョブ

インスタンスで作成されたすべてのジョブのリスト。[実行] 列には、ジョブの実行頻度が表示されます。[時間] 列には、ジョブが最後に実行されたときにかかった時間が表示されます。また、リストには、ジョブがアクティブかどうかも示されます。ジョブの名前をクリックすると、その詳細が表示されます。詳細については、「 ジョブインジケーターの構成」を参照してください。

レポート

インスタンスで作成されたすべてのレポートのリスト。1 つ以上のレポートテーブルと 1 つ以上のレポートタイプでリストをフィルタリングできます。レポートのタイトルをクリックすると、その詳細が表示されます。詳細については、「 レポートのビジュアル化の作成」を参照してください。

インタラクティブフィルター

インスタンスに構成されているすべてのインタラクティブフィルターのリスト。インタラクティブ フィルターの基になるテーブルとフィールド、および 1 つ以上の UI コントロール タイプでフィルターを適用できます。[ルックアップ名] をクリックすると、インタラクティブ フィルターの詳細を表示して編集できます。詳細については、「インタラクティブ フィルター」を参照してください。

関連情報

ツリー ビュー ナビゲーション

レスポンシブダッシュボードへのカスタムメッセージの追加

レスポンシブ ダッシュボードの上部にメッセージを追加します (新しいページへのリンクの有無は問いません)。

始める前に

必要なロール:admin、またはメッセージを追加するダッシュボードの所有者。

手順

1. ダッシュボードでメッセージを有効にします。
   メッセージを有効にするには、admin ロールが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード.

b. 編集するダッシュボードを開きます。

c. ダッシュボード メニュー ( ) から [ダッシュボード プロパティ] を選択します。

d. ダッシュボードのフォームで、[Additional Properties] メニュー ([ ) を選択し、[**Configure** (構成) > フォームレイアウト.

e. これらのフィールドを [利用可能] から [選択済み] に移動し、[保存] を選択します。

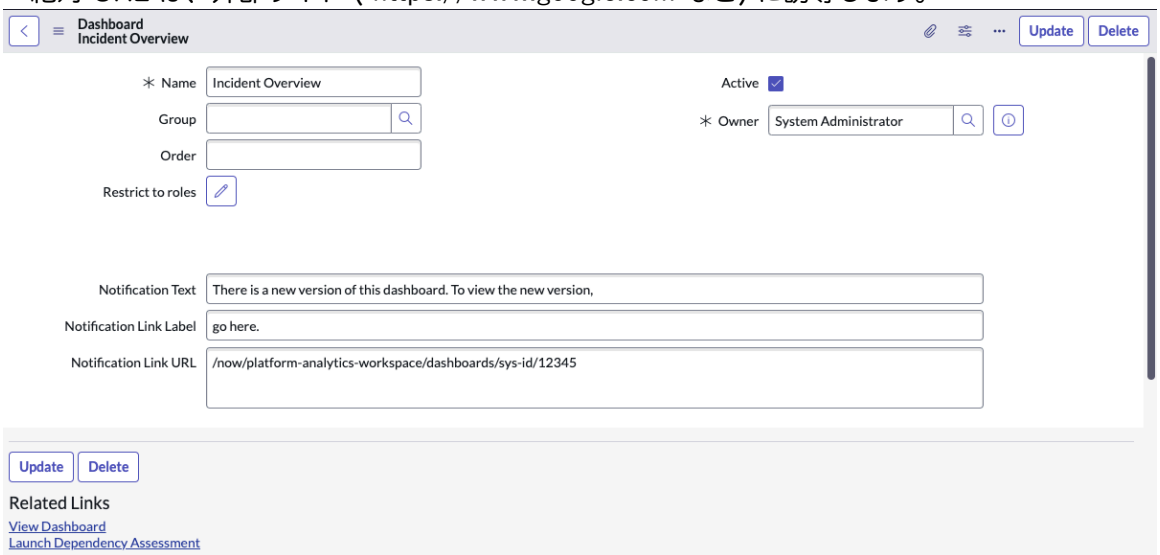
- 通知リンクラベル
- 通知リンクの URL
- 通知テキスト

2. [通知テキスト] フィールドにメッセージを追加します。
たとえば、 There is a new version of this dashboard. 新しいバージョンを表示するには、 します。

3. [通知リンクラベル] フィールドにハイパーリンク付きテキストを追加します。
たとえば、[ここに移動] などです。

4. ハイパーリンクされたページへの相対 URL または絶対 URL を指定します。

- 相対リンクは ServiceNow インスタンス内のページです。たとえば、 /now/platform-analytics-workspace/dashboards/sys-id/12345 は、sys_ID 12345 のダッシュボードを プラットフォームアナリティクス ライブラリで開きます。相対リンクはスラッシュで始まり、インスタンス名の後にパスが含まれます。
- 絶対 URL は、外部サイト (https://www.google.com など) に誘導します。



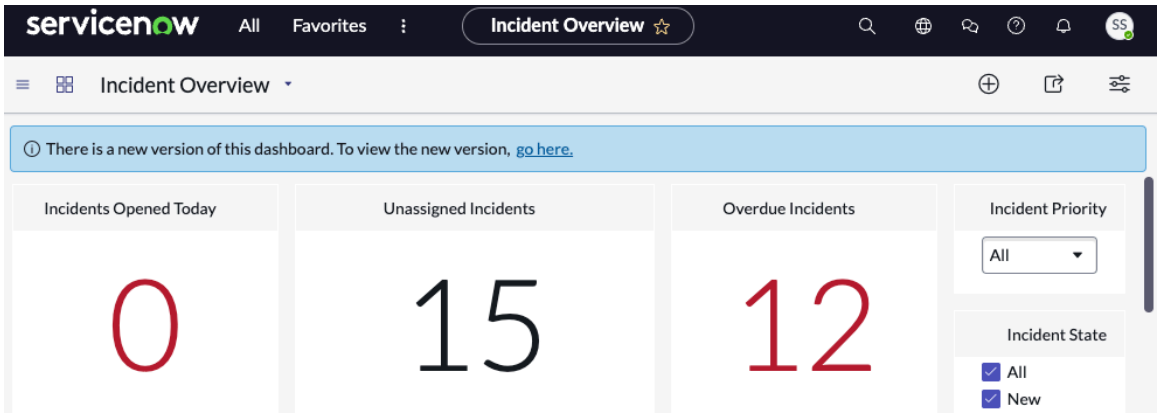
5. [更新] を選択します。

タスクの結果

ダッシュボードが開き、ダッシュボード名の下にカスタムメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定する

個々のユーザーがホームページではなくダッシュボードを設定することは可能ですが、ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定することもできます。デフォルトでは、ユーザーが ServiceNow にログインしたときに表示されるダッシュボードは、ユーザーが最後にアクセスしたダッシュボードです。

始める前に
必要なロール：admin

重要:

インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。ネクストエクスペリエンス を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。

詳細については、以下を参照してください。

- アナリティクスセンターでのダッシュボード
- レスポンシブダッシュボードの操作。

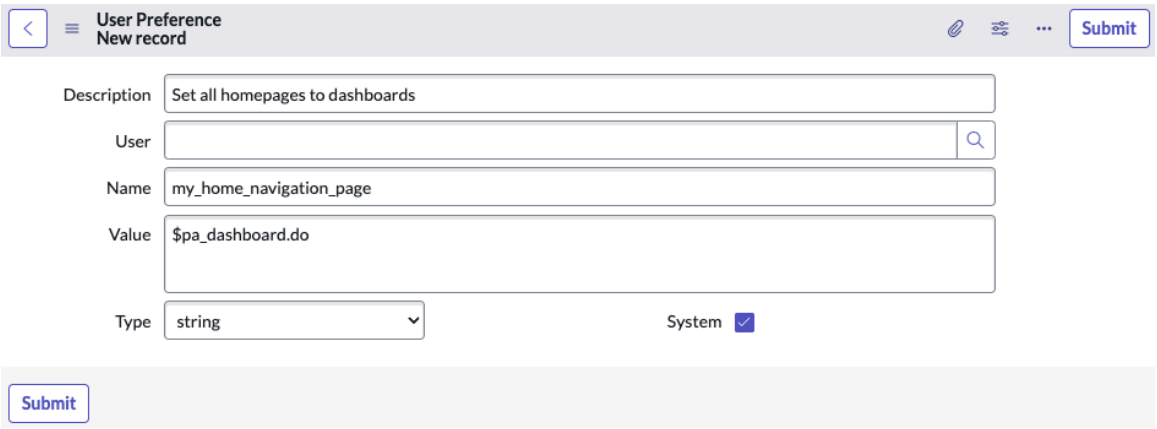
手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー設定.
2. 「my_home_navigation_page」という名前のユーザー設定を作成します。
3. 設定に 「Set all homepages to dashboards」という説明を付けます。
4. [システム] チェックボックスをオンにして、インスタンス全体のデフォルトを作成します。
5. **[User** (ユーザー)] フィールドは空のままにします。
   ステップ 4 と 5 により、設定がユニバーサルになります。
6. [タイプ] を [文字列] に設定します。
7. 値を $pa_dashboard.do に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [送信] を選択します。



タスクの結果
すべてのユーザーが ServiceNow にログインすると、最後にアクセスしたダッシュボードが表示されます。

次のタスク
特定のダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定する

特定のダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定する

すべてのユーザーがログインしたときに同じダッシュボードが表示されるように ServiceNow を構成します。

始める前に
必要なロール：admin

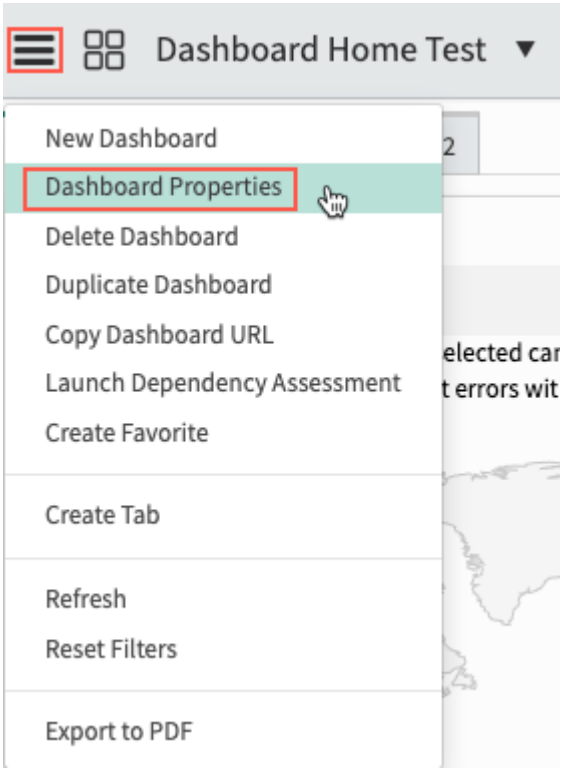
このタスクについて
構成したダッシュボードは、すべてのユーザーが利用できる必要があります。

手順

1. ユーザー設定 my_home_navigation_pageを構成します。
   詳細については、 ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定する の手順 1 ～ 5 を参照してください。
2. すべてのユーザーのホームとして設定するダッシュボードに移動します。
3. コンテキスト メニューから、[ダッシュボード プロパティ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [ダッシュボード プロパティ] フォームで、コンテキスト メニューをもう一度クリックし、[**sys_id**のコピー] を選択します。
sys_idをテキストファイルに貼り付けて、作成したプロパティにコピーできるようにします。
5. 移動先 ユーザー管理 > ユーザー設定.
6. 「com.snc.pa.ui.preferences_dashboards」という名前のユーザー設定を作成します。
7. 検索しやすいわかりやすい説明をプロパティに入力します。
8. 「 システム」というラベルの付いたボックスにチェックを入れます。
9. **[User** (ユーザー)] フィールドは空のままにします。
このステップにより、設定がユニバーサルになります。
10. [タイプ] を [文字列] に設定します。
11. [値] フィールドに「 {"last":"dashboard_sys_id"}」と入力しますが 、dashboard_sys_id を手順 4 でコピーしたsys_idに置き換えます。
12. [送信] を選択します。

タスクの結果
ServiceNowを開くと、すべてのユーザーに同じダッシュボードが表示されます。

ダッシュボードをグループに整理する

ダッシュボードをグループにアサインして、ユーザーが必要なダッシュボードをより簡単に見つけられるようにします。ダッシュボード グループにより、ダッシュボード ピッカーでのダッシュボードの表示方法が決まります。 セルフサービス > ダッシュボード. ダッシュボード グループに表示権限を追加することもできます。

始める前に
必要なロール:admin、pa_admin、または pa_power_user

このタスクについて
ダッシュボード グループに対する権限は、そのグループ内のすべてのダッシュボードに適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

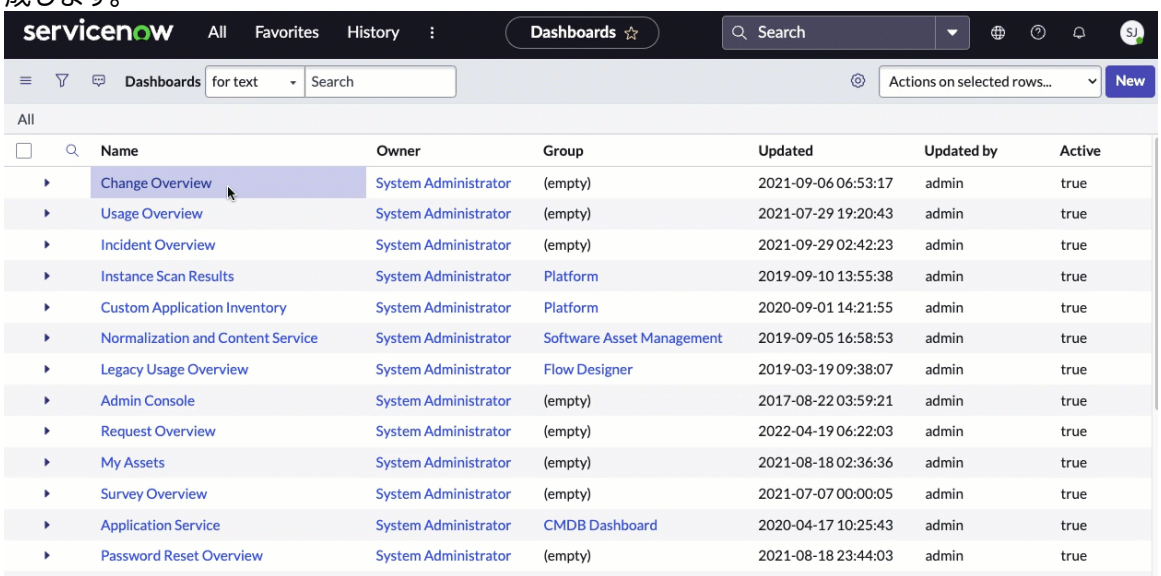
注:

- 個々のダッシュボードに対する表示権限は、ダッシュボード グループ レベルで設定された権限を上書きします。
- ダッシュボードに対する編集権限は、ダッシュボード グループ権限に影響を与えたり上書きしたりできます。
- ダッシュボード グループの権限は、ダッシュボードの [共有] パネルに表示されません。

ダッシュボード ピッカーに単一のグループを表示するには、ダッシュボード URL にパラメーター sysparm_group= を追加し、その後にグループ名を追加します。たとえば、incident という名前のダッシュボード グループのみを表示するには、URL https://<instance>/$dashboards.do?sysparm_group=incident を使用します。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > システム > ダッシュボード管理.
   [グループ] 列を使用して、現在のダッシュボード グループ設定をレビューします。グループが割り当てられていないダッシュボードは、[グループ] 列に (空) で表示されます。ダッシュボードの概要では、これらのダッシュボードは [その他] としてグループ化されます。
2. グループに追加するダッシュボードの名前を選択して、そのフォームを開きます。
3. [グループ] フィールドで、ルックアップアイコン (🔍) を使用して、ダッシュボードを追加するグループを選択します。
   既存のダッシュボード グループを選択するか、[新規] を選択してダッシュボード グループを作成します。



Name	Owner	Group	Updated	Updated by	Active
Change Overview	System Administrator	(empty)	2021-09-06 06:53:17	admin	true
Usage Overview	System Administrator	(empty)	2021-07-29 19:20:43	admin	true
Incident Overview	System Administrator	(empty)	2021-09-29 02:42:23	admin	true
Instance Scan Results	System Administrator	Platform	2019-09-10 13:55:38	admin	true
Custom Application Inventory	System Administrator	Platform	2020-09-01 14:21:55	admin	true
Normalization and Content Service	System Administrator	Software Asset Management	2019-09-05 16:58:53	admin	true
Legacy Usage Overview	System Administrator	Flow Designer	2019-03-19 09:38:07	admin	true
Admin Console	System Administrator	(empty)	2017-08-22 03:59:21	admin	true
Request Overview	System Administrator	(empty)	2022-04-19 06:22:03	admin	true
My Assets	System Administrator	(empty)	2021-08-18 02:36:36	admin	true
Survey Overview	System Administrator	(empty)	2021-07-07 00:00:05	admin	true
Application Service	System Administrator	CMDB Dashboard	2020-04-17 10:25:43	admin	true
Password Reset Overview	System Administrator	(empty)	2021-08-18 23:44:03	admin	true

4. オプション: ダッシュボード グループのフォームを開いて、その権限を変更します。

   (Optional) ダッシュボード グループに対する表示権限のみを設定できます。

   ダッシュボード グループでは、標準のプラットフォーム権限が使用されます。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。
5. [更新] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レスポンシブ ダッシュボードでのダッシュボード権限とダッシュボード グループの権限のインタラクション

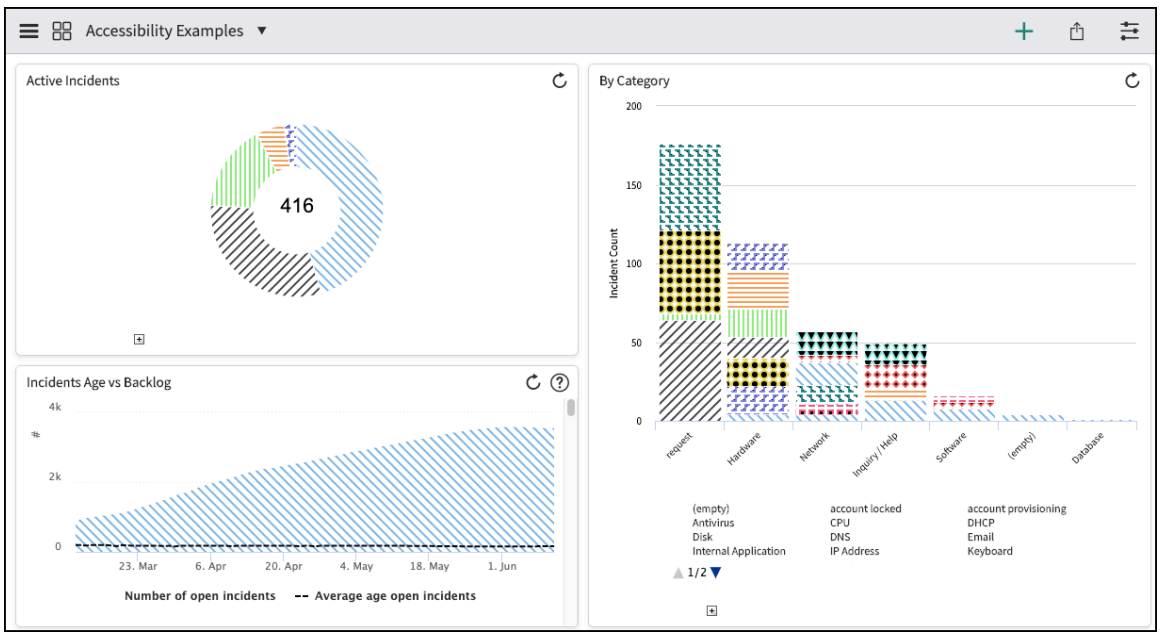
ダッシュボード グループ権限とダッシュボード権限は相加的ではありません。ダッシュボードの権限の定義によっては、ダッシュボード グループ権限が適用されないことがあります。

ダッシュボードがダッシュボード グループに属している場合、そのダッシュボードで定義された表示権限が、ダッシュボード グループのすべての表示権限を上書きします。ダッシュボード グループ レベルで定義された権限は、ダッシュボードの [共有] パネルには表示されません。グループ内のダッシュボードの表示権限を変更する場合は、ユーザーがアクセスを失わないように、必ずダッシュボード グループの権限を確認してください。詳細については、「ダッシュボード権限のシナリオ」を参照してください。

たとえば、ダッシュボード グループ Support Dashboards に、Open Incidents および Incident Metrics というダッシュボードが含まれているとします。このダッシュボード グループには、グループ Support に対する表示権限があります。Incident Metrics というダッシュボードに対する表示権限をユーザー John Dee に付与した場合、グループ Support にはこのダッシュボードが表示されなくなります。ダッシュボードに対する表示権限は、ダッシュボード グループに対するすべての表示権限を上書きします。

ダッシュボードのアクセシビリティオプション

アクセシビリティ設定がダッシュボードのレポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットにどのように影響するかを理解します。ワークスペース上のデータの可視化も影響を受けます。



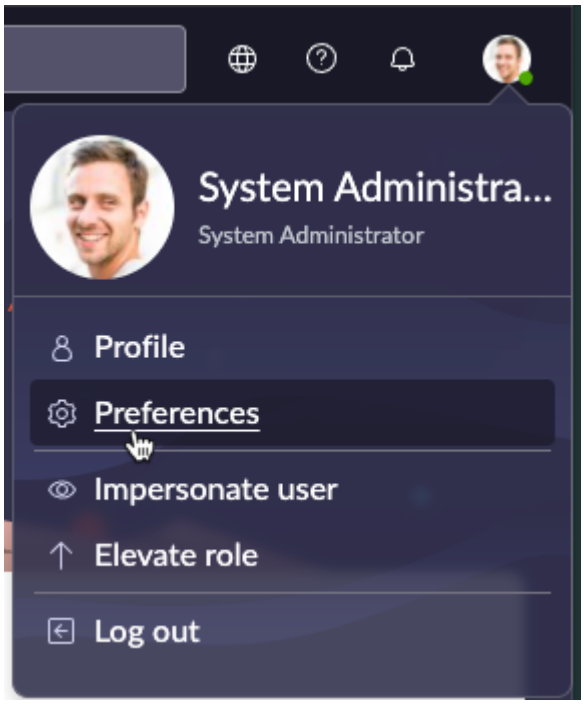
次のアクセシビリティオプションを有効または無効にすると、インスタンスでのエクスペリエンスをよりアクセシブルにすることができます。

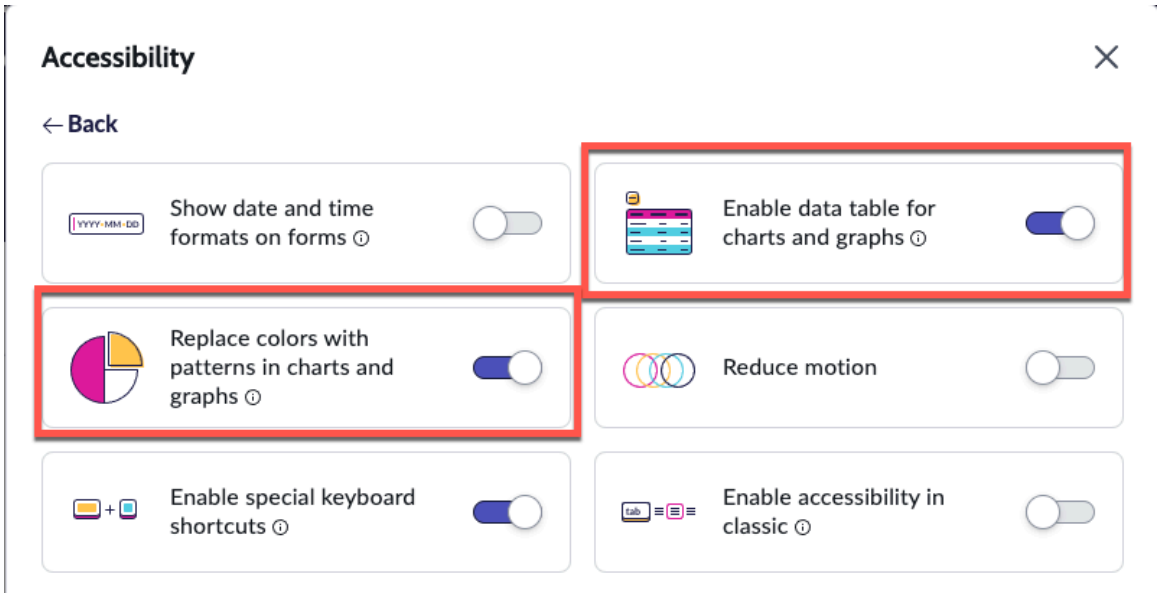
- チャートやグラフの色やパターンを置き換える
- チャートおよびグラフのデータテーブルを有効にする

[設定] を開いて [アクセシビリティ] オプションにアクセスします。詳細については、「Configure Next Experience accessibility preferences」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





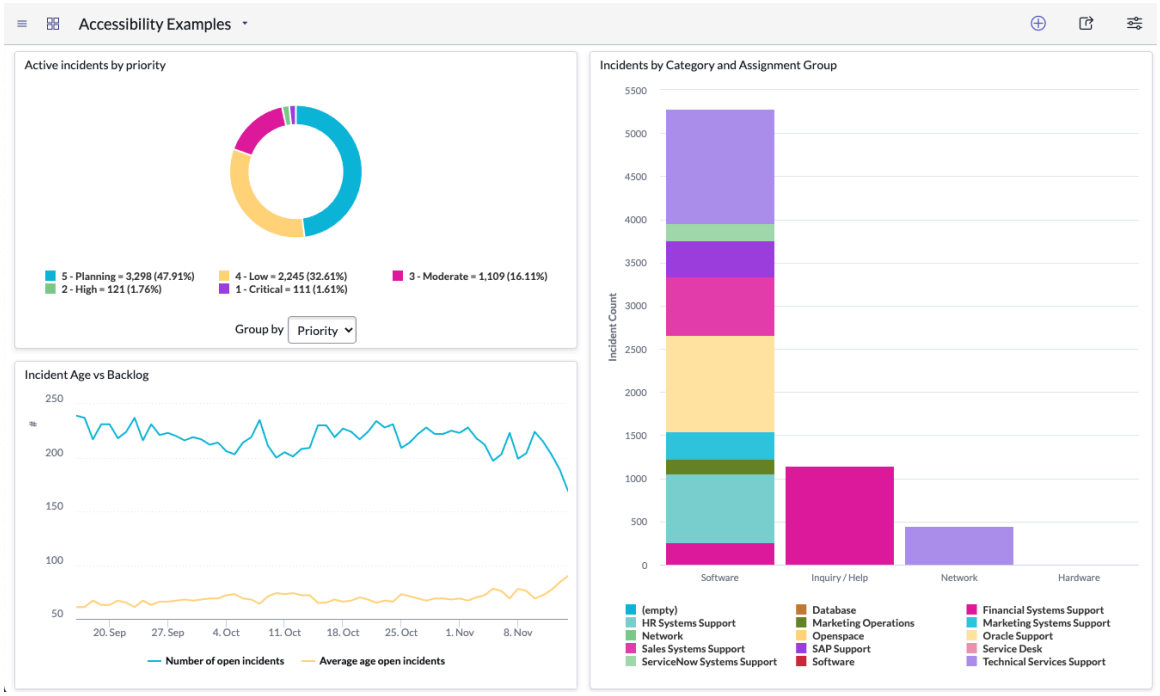
自動翻訳

データ可視化パターンを有効にする

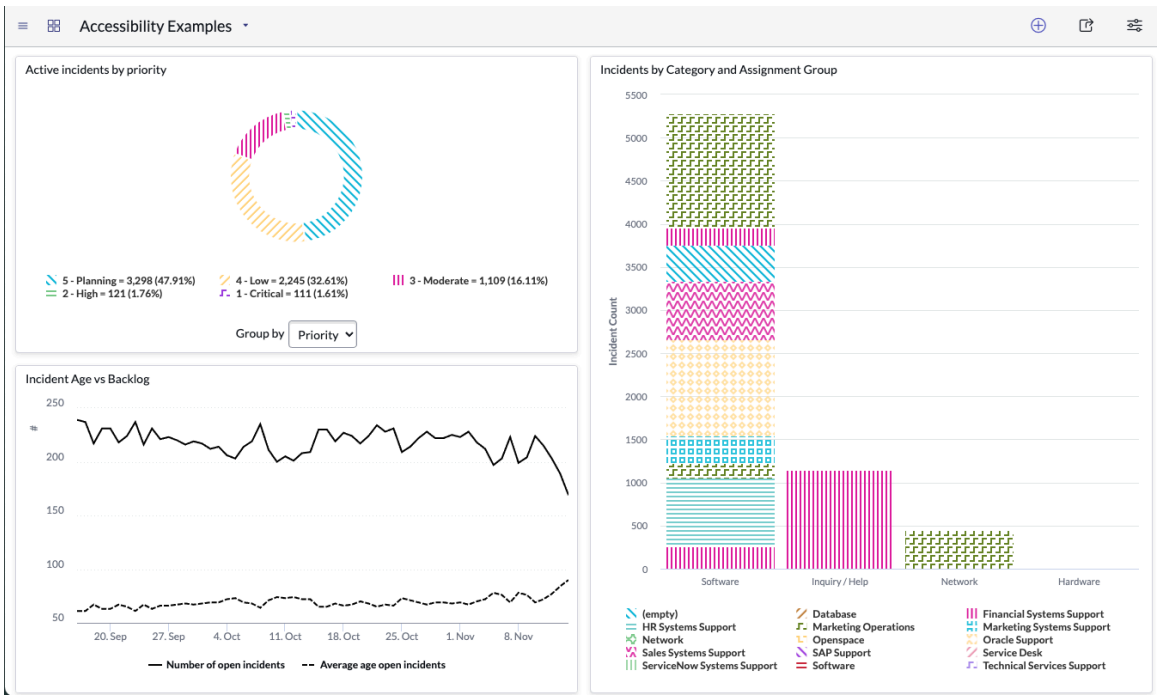
以下は、アクセシビリティを有効にしていない可視化を示すダッシュボードの例です。ダッシュボードには、次の可視化が表示されます。

- ドーナツ グラフ レポート
- 棒グラフレポート
- 時系列のパフォーマンス分析ウィジェット

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



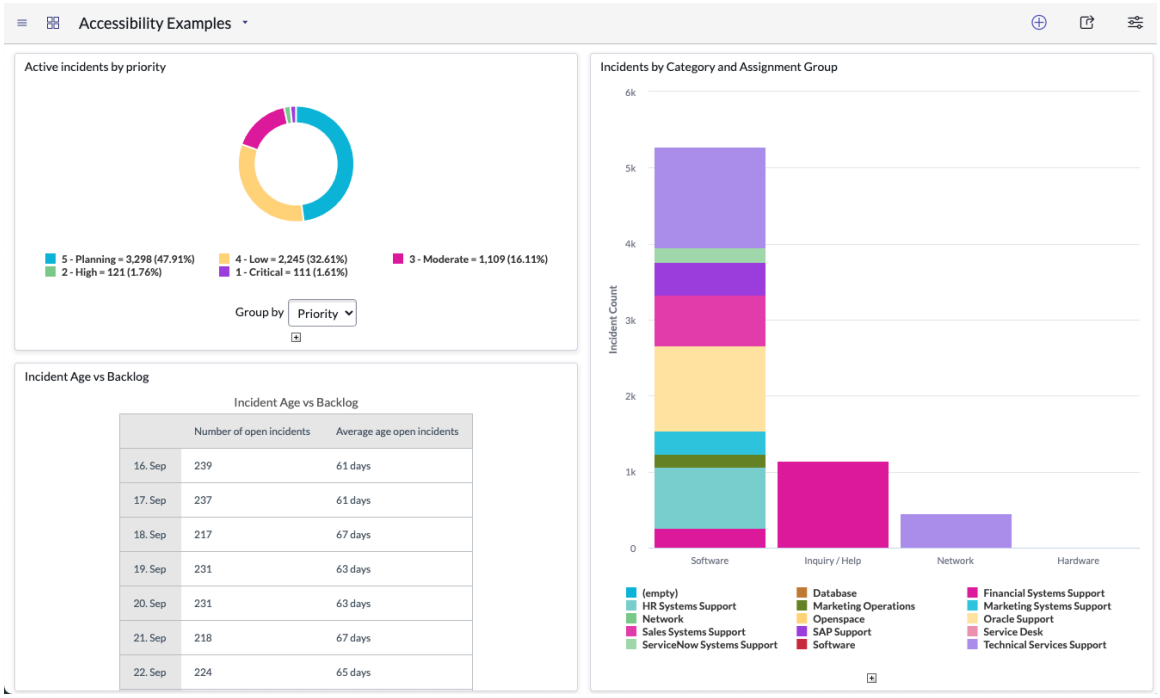
[チャートとグラフで色をパターンに置き換える] を選択すると、ビジュアリゼーションの単色のパターンが変わり、見やすくなる様子を確認できます。



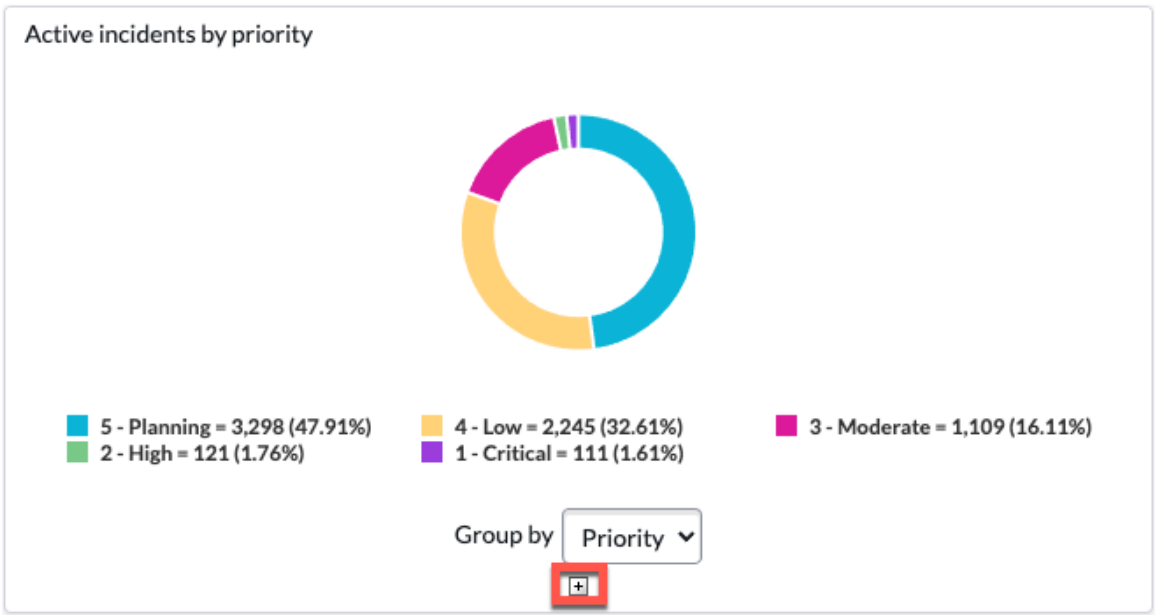
データテーブルが有効

[チャートとグラフのデータテーブルを有効にする] を選択すると、ウィジェットのチャートがデータテーブルパフォーマンスアナリティクス置き換えられます。レポートにプラス + アイコンが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

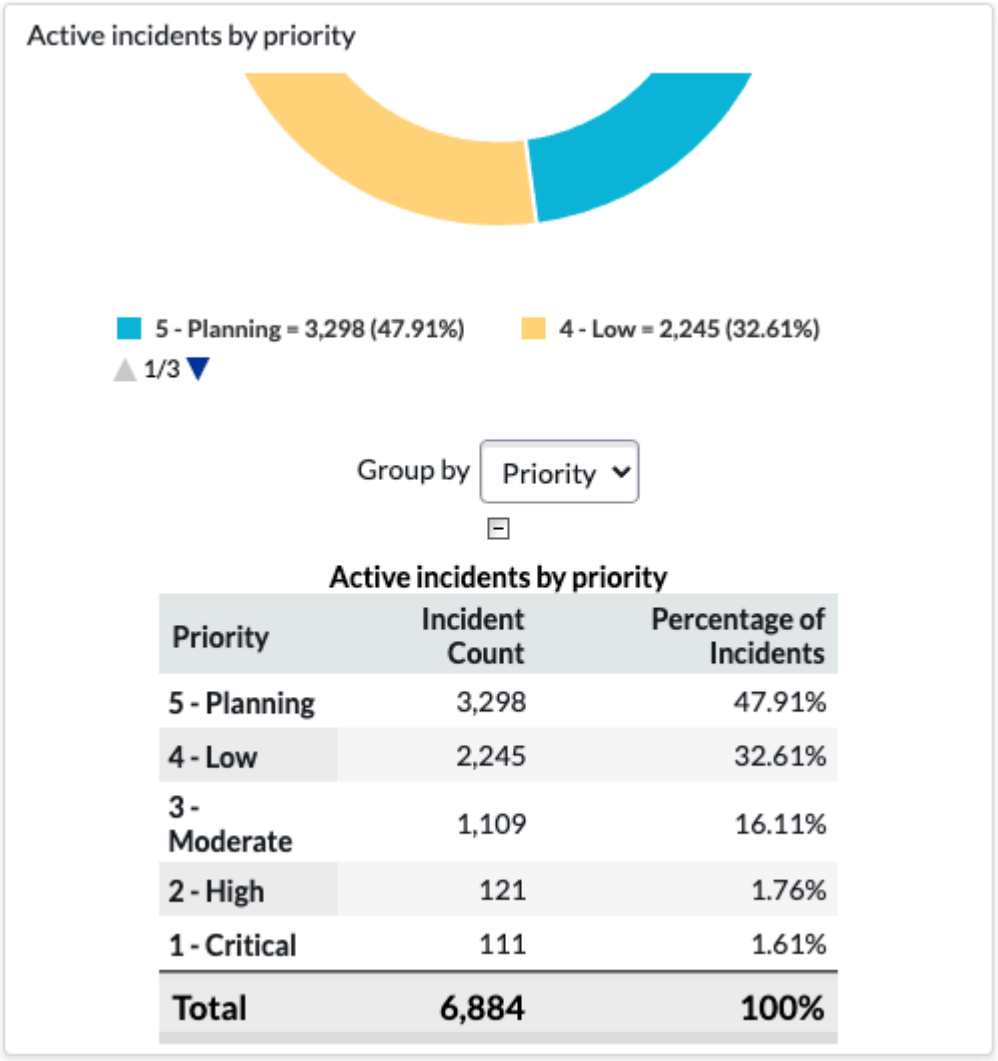


これは、プラスアイコンの拡大図です。プラスアイコンを有効にすると、個々のレポートに設定されたデータテーブル設定に関係なく表示されます。



プラスアイコンをクリックすると、対応するデータテーブルが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



更新セットを使用したコア **UI** ダッシュボードの移動

ダッシュボードタブに関連するポータルページは、更新セットで自動的には転送されません。ダッシュボードのアンロード機能を使用して、ダッシュボードレコードから更新セットにポータルページを追加できます。ダッシュボードのアンロード機能は、ポータルページを含むすべての関連タブを含むダッシュボード全体をアンロードします。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
この手順では、ダッシュボード構造を更新セットに移動する方法について説明します。ダッシュボード構造には、ダッシュボード自体、タブ、関連するセキュリティ構成、およびヘッダーの色や境界線などのダッシュボード固有のウィジェット設定が含まれます。

この手順では、ダッシュボードのコンテンツ (レポート、PA ウィジェット、コンテンツブロック、その他のウィジェットなど) は更新セットに移動しません。デフォルトのプラットフォーム機能を使用して、ダッシュボードコンテンツを更新セットに追加できます。

重要:
ダッシュボードの内容が、ダッシュボードレコードと同じ更新セット内にあるか、ターゲットインスタンスに既に存在することを確認してください。移動したダッシュボードがターゲットインスタンスに存在しないコンテンツを指している場合、エラーが発生します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象のアプリケーションでダッシュボードを移動する場合は、追加の手順が必要になることがあります。詳細については、「更新セット ID 「グローバル」が更新セットスコープ ID と異なります」を参照してください。

ヒント:
この手順に問題がある場合は、 カスタマーサービス & サポートに連絡してください。

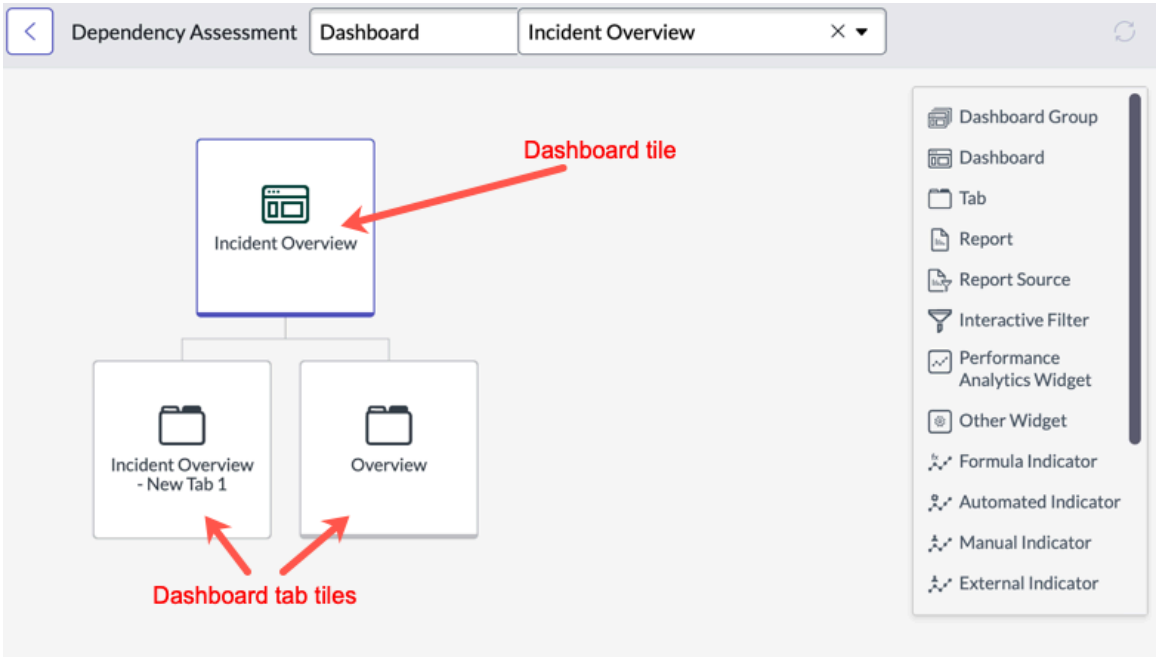
手順

1. ソースインスタンスで、アンロードするダッシュボードの場所に移動します。たとえば、 セルフサービス > ダッシュボード.
2. 更新セットにアンロードするダッシュボードを選択します。
3. 各タブに関連付けられたポータルページレコードがあることを確認します。

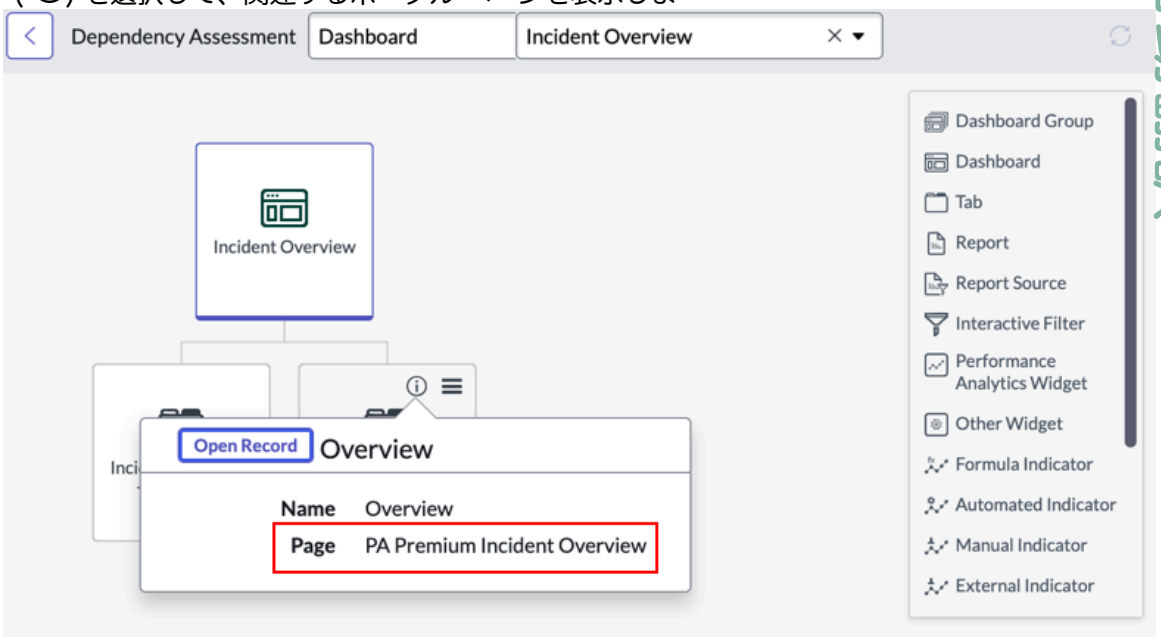
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. コンテキスト メニュー アイコン (≡) を選択し、[依存関係アセスメントの起動] を選択します。



b. 各ダッシュボード タブのタイルの隅をポイントし、情報アイコン (ⓘ) を選択して、関連するポータル ページを表示します。



4. ダッシュボードのタイルの隅をポイントし、情報アイコン(ⓘ)を選択します。

[レコードを開く] を選択してダッシュボード フォームを開きます。

ダッシュボードのタイルには、ダッシュボード自体と同じ名前が付けられています。

5. コンテキストメニューアイコン (≡) を選択し、[ダッシュボードのアンロード] を選択します。
この手順は、ダッシュボードをアンロードする準備ができた後、つまりすべてのコンテンツをタブに追加した後にのみ実行してください。

6. 更新セットを移動する準備ができたら、更新セットを完了としてマークします。

7. ターゲット インスタンスで、標準の更新セット機能を使用して更新を移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。
[リモートインスタンス] ページの [取得済み更新セット] 関連リストには、取得したすべての更新セットが表示されます。更新セットを選択して、エラーがあるかどうかを確認します。エラーは、[取得 済み更新セット] フォームの [更新セットプレビューの問題] という関連リストに表示されます。「更新セットとともに移動されたダッシュボードのエラーの解決」を参照してください。

8. ターゲット インスタンスで、ダッシュボードのすべてのタブに、関連付けられたポータル ページが含まれることを確認します。

   タブがターゲット ダッシュボードに移動されたことを検証 の手順に従ってください。

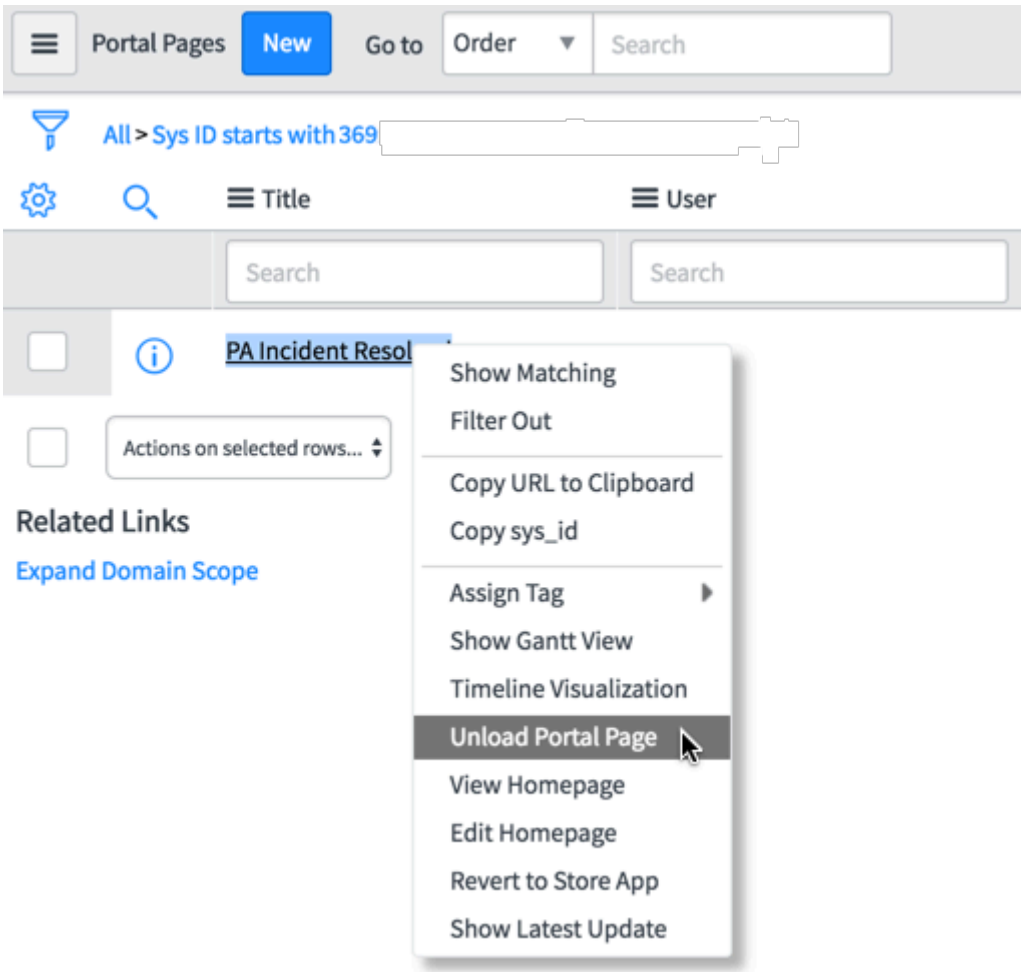
   [タブ] フォームにポータルページがない場合は、[ページ] フィールドの横にある検索アイコン (🔍) を選択して、関連するポータルページを検索します。

   注:
   ターゲット インスタンスで関連付けられたポータル ページが見つからない場合は、次の手順に従って、欠落している各ポータル ページを更新を通じて移動します。

   a. 移動先 ホームページアドミン > ページ.

   b. リストをフィルタリングして、「 タブがターゲット ダッシュボードに移動されたことを検証」の手順を実行したときにコピーしたsys_idのポータルページのみを表示します。

   c. レコードを右クリックし、[ポータルページのアンロード] を選択します。



   現在のタブのポータルページが現在の更新セットに追加されます。

   d. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットを別のインスタンスに移動します。詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
ダッシュボードとそのタブが、ターゲット インスタンスに移動されます。

タブがターゲット ダッシュボードに移動されたことを検証

更新セットを含むダッシュボードを移動するときに、タブがターゲット インスタンスに移動され、入力されていることを確認します。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
ダッシュボードを異なるインスタンス間で移動するには、ダッシュボード タブの sys_id の値を、関連付けられたポータル ページの sys_id の値に関連付ける必要があります。このタスクでは、ダッシュボードの移動に関する問題がある場合に、これらの値を見つけて相互にマップする方法について説明します。このタスクは、 更新セットを使用したコア UI ダッシュボードの移動の後で実行してください。

手順

1. ターゲット インスタンスで、移動したばかりのダッシュボードに移動します。
2. コンテキスト メニュー アイコン ( ) を選択し、[ダッシュボード プロパティ] を選択します。
3. タブ フォームの各タブに、必須フィールド [ページ (sys_portal_page 参照)] が存在することを確認します。
   すべてのタブに関連付けられたポータル ページがある場合、ダッシュボードは正常に移動されています。
4. ターゲットインスタンスのポータルページがいずれかのタブフォームにない場合は、次の手順を実行します。

   a. タブフォームでコンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[コピー **sys_id**] を選択します。

   b. ソース インスタンスのフィルター ナビゲーターで、`pa_tabs.list` と入力します。

   c. 手順 a でコピーした sys_id のタブのみが表示されるように、リストをフィルタリングします。

   d. タブの名前を選択してフォームを開きます。

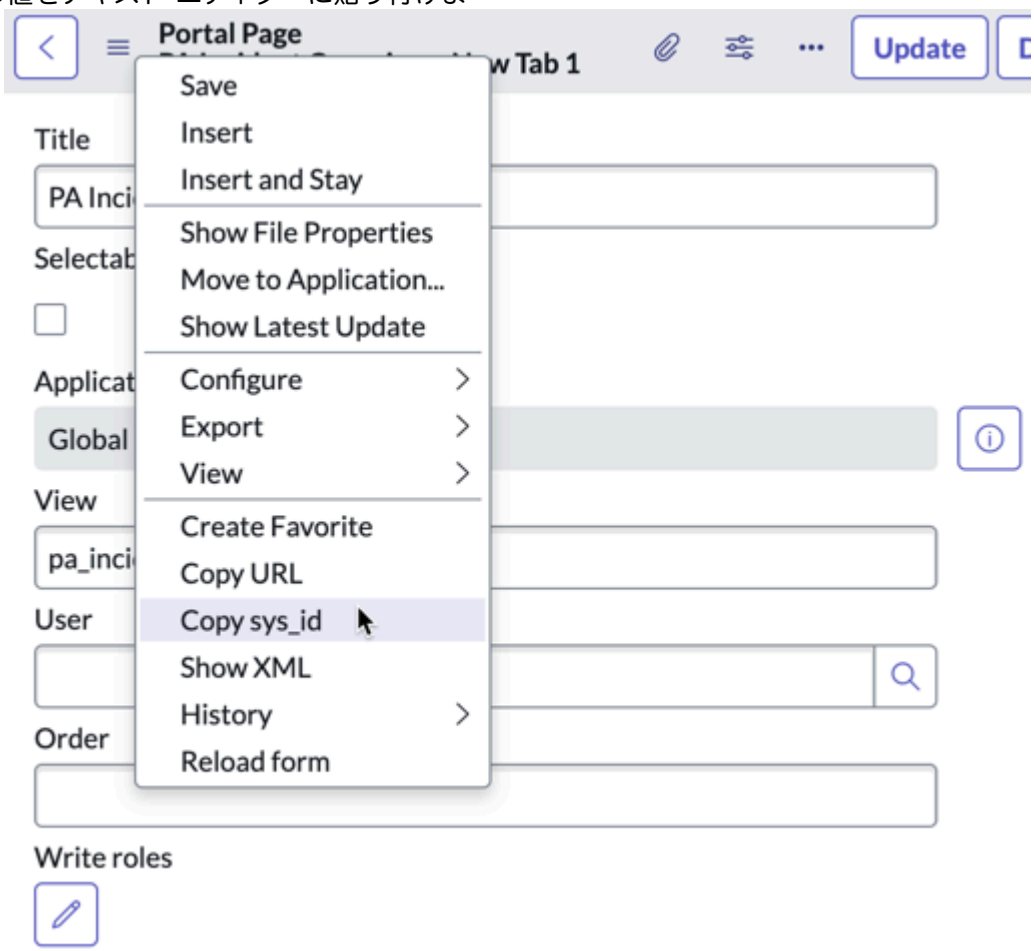
   e. そのタブの [ページ] 値の情報アイコン ( ) を選択します。

   f. ポータル ページで、コンテキスト メニュー アイコン ( ) を選択し、[**sys_id**のコピー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この値をテキスト エディターに貼り付けま



す。

この値は、ポータル ページの sys_id です。これは、すでに使用した、関連付けられたタブの sys_id とは異なります。これらの値は、タブをポータル ページにマップするために一緒に使用されます。

g. [ページ] フィールドに関連付けられた検索アイコン ( ) を選択します。

h. ポップアップ ウィンドウで、ポータル ページ sys_id でフィルタリングし、返されたクエリー結果を選択します。

i. タブフォームで [更新] を選択して、変更を保存します。

5. ウィジェット、データの可視化、コンテンツブロックなど、ダッシュボードで使用されているすべてのオブジェクトがターゲットインスタンスに移行されていることを確認します。
関連付けられたポータル ページが、ターゲット インスタンス内に表示されるはずです。

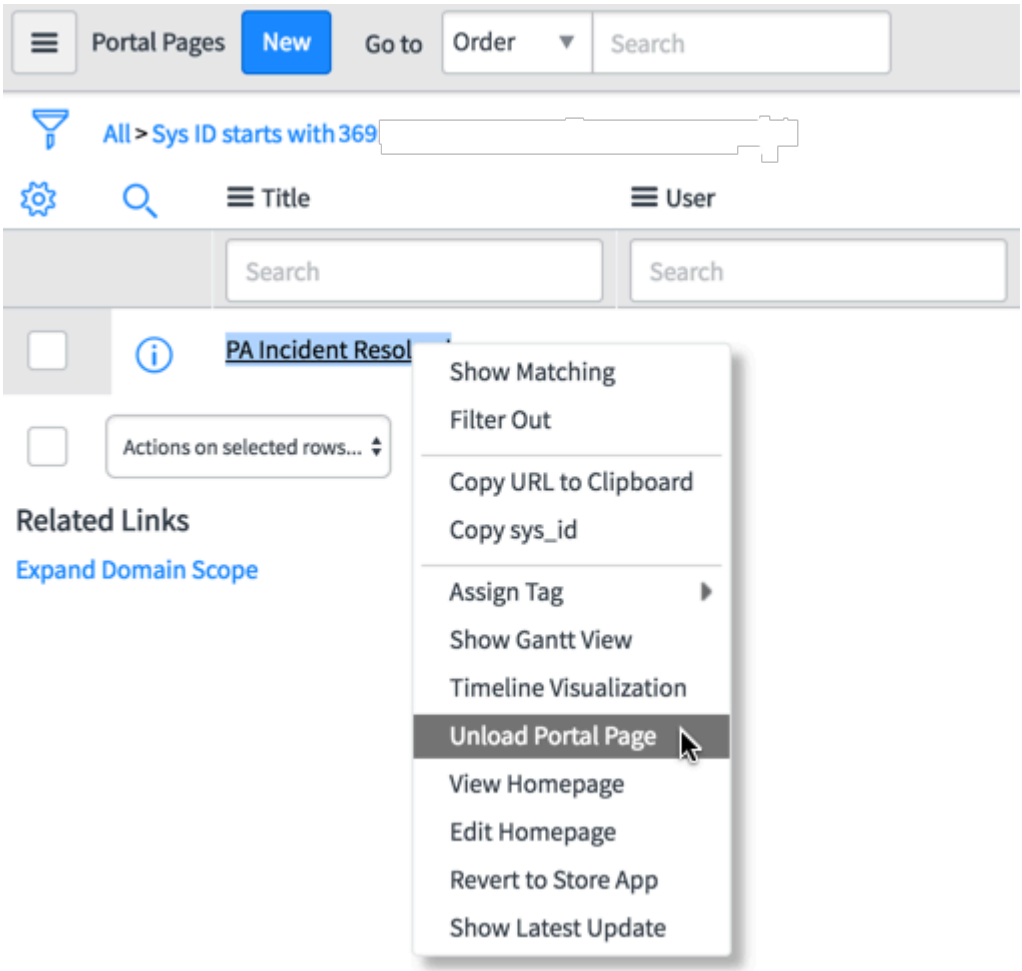
6. ターゲット内にポータル ページが見つからない場合は、次の手順を実行します。

a. ソースインスタンスで、 ホームページアドミン > ページ.

b. コピーした sys_id のポータル ページのみが表示されるように、リストをフィルタリングします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. レコードを右クリックし、[ポータルページのアンロード] を選択しま



す。

d. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットを別のインスタンスに移動します。
詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。

更新セットとともに移動されたダッシュボードのエラーの解決

更新セットを含むダッシュボードを移動するときに、[取得した更新セット] ページの [更新セットプレビューの問題] タブにエラーが表示される場合は、各エラーの指示に従ってこれらの問題を解決してください。

この更新で参照される列**canvas_page**のレコードが**sys_grid_canvas**に見つかりませんでした

更新セットを含むダッシュボードを移動すると、「この更新で参照されている列canvas_page sys_grid_canvasにレコードが見つかりませんでした」というエラーが発生することがあります。このエラーを解決するには、キャンバスページをソースインスタンスからターゲットインスタンスに移動します。

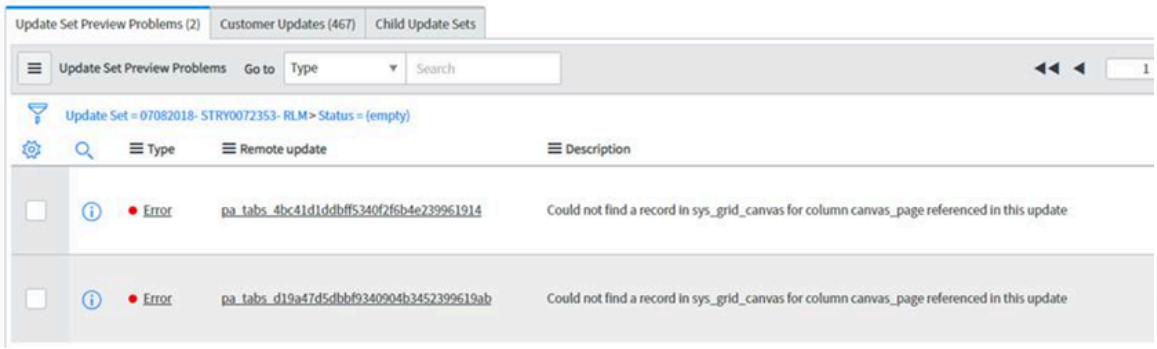
始める前に
必要なロール：admin。

自動翻訳

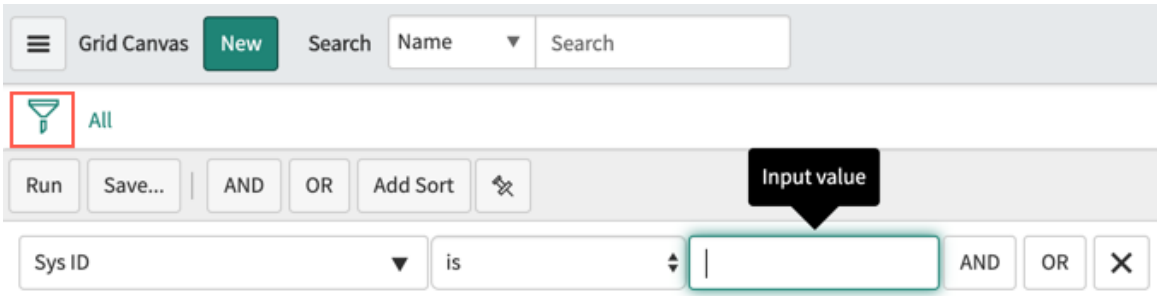
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [更新セットプレビューの問題] 関連リストで、エラーの横にある情報アイコン (ⓘ) をクリックします。



2. pa_tabsレコードペイロードで、canvas_pageフィールドに関連付けられたsys_idをコピーします。



3. ソースインスタンスで、sys_grid_canvas.list に移動します。
4. 手順 2 でコピーしたsys_idでリストをフィルタリングします。
5. 返されたレコードを右クリックし、[キャンバスページのアンロード] を選択して、このレコードを現在の更新セットに追加します。
6. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットをターゲットインスタンスに転送します。
詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。
7. このエラーが発生しているすべての更新セットプレビューの問題に対して、このタスクを繰り返します。

タスクの結果

欠落しているダッシュボードタブのコンテンツは、ターゲットインスタンスに移動されます。

更新セット **ID** 「グローバル」が更新セットスコープ **ID** と異なります

スコープ対象のアプリでダッシュボードを移動しようとすると、更新セットを取得しようとすると移動に失敗します。

始める前に

必要なロール：admin。

このタスクについて

ダッシュボードは複数のテーブルで構成されます。Now Platform® はこれらのテーブルをすべて追跡するわけではありません。追跡されないテーブルは、常にグローバルスコープ内にあります。グローバル スコープでダッシュボードを移動する場合、これらのテーブルは問題になりません。ただし、更新セット内のすべてのコンポーネントのスコープは同じでなければならないため、これらのテーブルは他のスコープでのダッシュボードの移動をブロックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. sys_update_xml、グローバル顧客アップデートレコードをグローバル更新セットに入れます。
2. この更新を独自の更新セットとして収容するか、元の更新セットの親にして両方を同時に収容します。

   1 つの更新セットには非グローバルスコープからのすべての顧客アップデートレコードが含まれ、もう 1 つの更新セットにはグローバルスコープからのsys_portal顧客アップデートレコードが含まれます。
3. 両方をエクスポートし、同時にターゲットインスタンスで取得します。
4. 順番にプレビューしてコミット:最初に非グローバル顧客アップデートレコードを含む更新セットをコミットし、次にグローバル顧客アップデートレコードを含む更新セットをコミットします。

ダッシュボード権限

ダッシュボードには、特殊で詳細な表示と編集の権限があり、これらは [共有] ペインから管理します。アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードに追加されたほとんどのウィジェットに適用されます。

- いずれのロールを持つユーザーも、ダッシュボードを作成し、自分が所有するダッシュボードをユーザーやグループと共有し、編集権限が付与されていればダッシュボードを編集できます。いずれのロールを持つユーザーも、自分が作成したダッシュボードに対して、ロールごとにアクセス権を制限できます。また、ユーザーには、ダッシュボード上の特定のデータにアクセスするために必要なロールも必要です。
- ロールを持たないユーザーは、共有しているダッシュボードを表示できますが、ダッシュボードの作成や編集はできません。
- pa_admin および pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボード上のユーザー、グループ、およびロールを管理できます。詳細については、「パフォーマンス アナリティクス ロール」を参照してください。
- dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードのユーザー、グループ、ロールを編集および管理できます。また、admin および dashboard_admin ユーザーは、いつでもダッシュボード オーナーを変更できます。
- ダッシュボード オーナーと、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーのみが、そのダッシュボードを削除できます。
- ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。
- 明示的ロールが有効化されている場合、ダッシュボードは内部リソースとして扱われます。snc_external ロールを持つユーザーは、デフォルトではダッシュボードを表示できません。詳細については、「 明示的なロール」 を参照してください。
- ドメインセパレーションは、共有されているダッシュボードをユーザーが編集する機能に影響を与える可能性があります。詳細については、「ドメインセパレーションとダッシュボード」を参照してください。

ダッシュボードの権限とロール

	表示	作成	編集	共有	削除
ロールなし	それらのユーザーと共有されているダッシュボードのみ。	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの権限とロール (続く)

	表示	作成	編集	共有	削除
任意のロール	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。少なくともpa_power_user権限のないパフォーマンスアナリティクス ウィジェットを追加または削除することはできません。	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。
admin	すべて	あり	ダッシュボードの所有者、ユーザー、グループ、およびロールを編集および管理します。	あり	任意のダッシュボード
dashboard_admin	すべて	あり	ダッシュボードの所有者、ユーザー、グループ、およびロールを編集および管理します。	あり	任意のダッシュボード
pa_admin	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。パフォーマンスアナリティクスウィジェットを追加または削除できます。	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの権限とロール (続く)

	表示	作成	編集	共有	削除
				については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	
pa_power_user	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。パフォーマンスアナリティクスウィジェットを追加または削除できます。	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。
ダッシュボードオーナー	あり	適用外	あり	はい。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが作成したダッシュボードのみ。

ウィジェットの ACL は、そのウィジェットがダッシュボードに追加されると適用されます (パフォーマンスアナリティクスウィジェットを除く)。ユーザーがダッシュボードを表示できるが、そのウィジェットの 1 つを表示するための ACL を持っていない場合は、空のウィジェット プレースホルダーが表示されます。ACL は、円グラフや棒グラフのレポートなど、データを集計するデータ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

表示には適用されません。ACL は常に、ウィジェットに表示されたリストデータに適用されます。ユーザーがアクセス権を持たないリスト内の行は、表示されません。

注:
ACL は、ダッシュボードに追加されたパフォーマンスアナリティクスウィジェットには適用されません。ダッシュボードを表示できるユーザーはいずれも、そのすべてのパフォーマンスアナリティクスウィジェットを表示できます。パフォーマンスアナリティクスウィジェットをダッシュボードに追加できるのは、pa_power_user、pa_admin、および admin ロールを持つユーザーのみです。

ただし、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットがリアルタイムスコアを表示する場合、ログインしている各ユーザーに表示されるスコアは、ユーザーのロールとファクトテーブルの ACL によって異なります。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

[ダッシュボード プロパティー] フォームの [ロールに制限] フィールドと、ダッシュボード グループ権限は、ダッシュボード権限に影響を与える場合があります。ダッシュボード オーナーと、pa_power_user、pa_admin、または admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボードのプロパティーを変更できます。pa_power_user、pa_admin、および admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボード グループ権限を変更できます。

たとえば、36 件のレコードを持つ円グラフ レポート ウィジェットを追加すると、そのダッシュボードおよびそのレポートにアクセスできるユーザーは、36 件すべてのレコードのレポートを表示できます。ただし、ユーザーがそのウィジェットのリスト ビューにドリルダウンすると、ユーザーがアクセスを許可されているレコードのみが表示されます。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限
- ダッシュボードをグループに整理する
- パフォーマンスアナリティクス ロール
- レポートの管理

レスポンシブダッシュボードでの権限の問題の解決

ダッシュボード権限は、いくつかの異なる場所で設定できます。

始める前に
レスポンシブ ダッシュボードの権限に関する問題が見つかった場合は、[ダッシュボードの共有] パネルの権限、グループ権限、およびダッシュボード プロパティを確認できます。

必要なロール:dashboard_admin、pa_admin

手順

- [Dashboard Sharing] (ダッシュボード共有) ペインで、権限を確認します。
  ダッシュボード オーナー、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザー、およびダッシュボードを編集できる pa_power_user または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。
- ダッシュボードが属するグループの権限を確認します。

  ダッシュボード グループの権限は、ダッシュボードの [共有] パネルに表示されません。

  dashboard_admin、admin、pa_power_user、または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。
- ダッシュボード権限とダッシュボード グループ権限を比較します。

  ダッシュボードに対する権限が指定された場合、ダッシュボード グループに対する権限は上書きされ、適用されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

dashboard_admin、admin、pa_power_user、または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。

- [ダッシュボード プロパティー] フォームで、 [ロールに制限] フィールドで指定されているロールをレビューします。

  このフィールドで指定されたロールの 1 つを持つユーザーのみが、ダッシュボードを表示できます。

  ダッシュボード オーナー、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザー、およびダッシュボードを編集できる pa_power_user または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。ダッシュボードを編集できる他のユーザーは、このフィールドを表示できますが、編集できません。

ダッシュボード権限のシナリオ

ダッシュボードに対する権限は、複雑になることもあります。たとえば、ダッシュボード グループに対する権限を設定した場合、その権限は、そのグループ内のダッシュボードに対して設定された権限によって上書きされます。このマトリクスは、権限のさまざまに組み合わせに基づいて表示される内容を示しています。

ダッシュボード権限のシナリオの表では、次の略語を使用しています。

- DB = ダッシュボード
- DG = ダッシュボード グループ
- RTR = ロールに制限

  詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限」を参照してください。

- X = 未指定

注:
admin および dashboard_admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードに対する完全な権限を持ちます。

ダッシュボード権限のシナリオ

シナリオ	DGの	DG 権限	DB 表示権限	DB 編集権限	RTRの	DB を表示できるユーザー
DG なし、DB 権限なし	X	X	X	X	X	オーナーのみ
RTR のみ	X	X	X	X	資産	オーナーのみ
DB 権限のみ	X	X	itil	X	X	itil ロールを持つユーザー
DB 権限および RTR	X	X	itil	X	資産	itil ロールと資産ロールの両方を持つユーザー
権限のない DG のみ	存在する	X	X	X	X	pa_admin ロールまたは

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード権限のシナリオ (続く)

シナリオ	DGの	DG 権限	DB 表示権限	DB 編集権限	RTRの	DB を表示できるユーザー
						pa_power_user ロールのいずれかを持つユーザー
権限のない DG および RTR	存在する	X	X	X	資産	資産ロールと、pa_admin ロールまたは pa_power_user ロールの両方を持つユーザー
DG および DG 権限のみ	存在する	itil	X	X	X	itil ロールまたは pa_admin ロールまたは pa_power_user ロールのいずれかを持つユーザー
DG、DG 権限、および RTR	存在する	itil	X	X	資産	資産ロールと、itil ロール、pa_admin ロール、pa_power_user ロールのいずれかを持つユーザー
DG、DG 権限、および DB 権限	存在する	itil	itil_admin	X	資産	itil_admin ロールと資産ロールの両方を持つユーザー
DG、DG 権限、DB 権限、および RTR	存在する	itil	itil_admin	X	X	itil_admin ロールを持つユーザー

ダッシュボード グループのデフォルトの権限は、pa_admin と pa_power_user です。ダッシュボード グループに itil などの権限が指定されている場合、この権限がデフォルト権限に追加されます。個々のダッシュボードに対する権限は、ダッシュボード グループの権限を上書きします。

レスポンシブダッシュボードの編集権限に関する問題の解決

レスポンシブ ダッシュボードに対する編集権限を持つユーザーは、そのタブが使用されている別のダッシュボードに対する編集権限も必要になる場合があります。

始める前に

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

ダッシュボードは、編集権限を持つユーザーと共有されます。一部のタブでは、ユーザーはウィジェットを追加できません。ユーザーが [ウィジェットを追加] を選択しても、何も起こりません。同じユーザーが他のタブやダッシュボードにウィジェットを追加できます。この問題の原因は、影響を受けるダッシュボードタブの作成方法に関連しています。ダッシュボード タブが レスポンシブでないダッシュボード で作成され、そのタブが別のダッシュボード タブにリンクされている場合、影響を受けるユーザーには、この他のリンクされたダッシュボードに対する編集権限が必要です。

手順

1. 影響を受けるダッシュボードに移動します。
2. コンテキスト メニュー ≡ から、[ダッシュボード プロパティ] を選択します。
3. [依存関係アセスメントの起動] を選択します。
   結果には、ダッシュボードと、ダッシュボードで使用されているすべてのタブが表示されます。
4. 影響を受けるタブを選択します。
5. コンテキストメニュー ≡ から、[使用者を表示]を選択します。
   結果には、タブが表示されるダッシュボードが表示されます。
6. 影響を受けるタブを使用する他のダッシュボードを開きます。
7. そのダッシュボードに対する共有権限を編集し、影響を受けるユーザーに編集アクセス権を付与します。

タスクの結果

影響を受けたユーザーは、レスポンシブダッシュボードのダッシュボードタブを編集できるようになりました。

非グローバルスコープでの共有ダッシュボードに関する問題の解決

スコープ対象のアプリケーションのダッシュボードは、アドミン以外のユーザーには表示されない場合があります。管理者以外のユーザーがダッシュボードを表示できないか、ダッシュボードのウィジェットがロードされない場合があります。

始める前に

必要なロール:関連付けられたスコープ対象のアプリケーションの admin

このタスクについて

ユーザーには、ロールのリストなしで「ダッシュボードはユーザーと共有されていません」または「このダッシュボードは次のロールに制限されています」というメッセージが表示される場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > **sys_properties.list**.
2. システムプロパティ glide.security.scoped_administration.honor_global_acl を true に設定します。
   このプロパティがすでに true に設定されている場合は、更新する必要はありません。
3. アプリケーションアドミニストレーターとして、スコープをダッシュボードが作成されたスコープに切り替えます。
4. ナビゲート すべて > **sys_scoped_admin_acl_inheritance.list**.
5. オプション: レポートに同じ問題がある場合は、次のテーブルのレコードを作成します。
   - レポート [sys_report]
   - レポートユーザーとグループ [sys_report_users_groups]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 次のテーブルのレコードを作成します。
   - ダッシュボード [pa_dashboards]
   - ポータルページ [sys_portal_page]
   - タブ [pa_tabs]
   - ダッシュボード権限 [pa_dashboards_permissions]

レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限

指定したユーザー、グループ、またはロールとダッシュボードを共有する場合、ダッシュボードへのアクセスに必要な追加のロールを指定します。ダッシュボードを共有され、指定されたいずれかのロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードにアクセスできます。

始める前に

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、admin、またはダッシュボード オーナー。ダッシュボードを編集する他のユーザーは、このフィールドを表示できますが、変更できません。

注:
ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限することは、ダッシュボードをそれらのロールと共有することとは異なります。アクセス権を指定のロールに制限する前に、ダッシュボードを共有しておく必要があります。ただし、ベスト プラクティスは、[共有] パネルを使用して、ユーザー、グループ、ロールと共有することです。ロールに制限することはお勧めしません。

[ロールに制限] フィールドは、レスポンシブ ダッシュボードが有効化された後に使用可能になります。レスポンシブ ダッシュボードが有効化されてから無効化されると、[ロールに制限] フィールドは使用可能なままですが、ダッシュボード アクセスに影響はありません。

このタスクについて

異なるリリース間でダッシュボードが移行された場合、移行前にダッシュボードにアクセスできていたユーザーのみが以降もダッシュボードにアクセスできるように、このフィールドには、pa_viewer ロールと pa_contributor ロールが自動的に入力されます。

手順

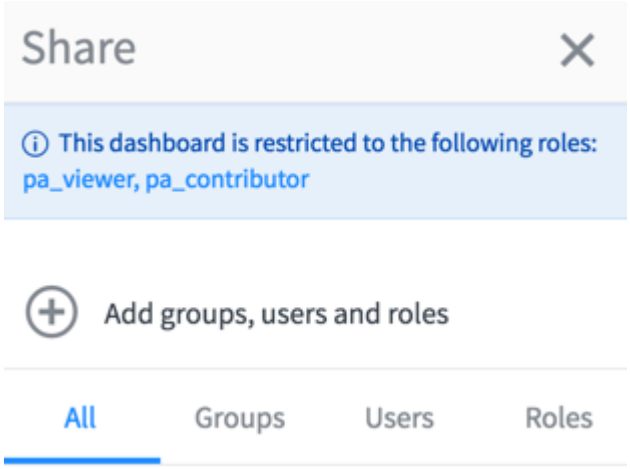
1. ダッシュボードに移動して、特定のロールに制限します。
2. コンテキスト メニュー (☰) をクリックし、[ダッシュボード プロパティ] を選択します。
3. [ロールに制限] フィールドで、ダッシュボードへのアクセスに必要な追加のロールを指定します。指定されたいずれかのロールを持つユーザーは、最初に [共有] パネルから共有されている場合にのみ、ダッシュボードにアクセスできます。詳細については、次のリンクを参照してください。

タスクの結果

制限されたロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードを表示できます。[共有] パネルのメッセージに、どのロールにアクセス権があるかが示されます。このメッセージに示されたロールをクリックすると、ダッシュボードのプロパティーが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。

レスポンシブダッシュボードの共有をロールごとに制限する

レスポンシブダッシュボードのプロパティを設定して、どのユーザーがレスポンシブダッシュボードを共有できるようにするかを制限できます。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
ダッシュボードプロパティを設定して、所有するダッシュボードを共有できるロールのカンマ区切りリストを指定します。これらのロールを持つユーザーは、レスポンシブ ダッシュボードに 共有 アイコン ( ) を表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ.
2. **[List of roles (comma-separated) that can share their own dashboards]** というラベルのフィールドに、ロールを入力します。

   たとえば、itil、asset、および pa_admin ロールを持つすべてのユーザーがダッシュボードを共有できる場合は 、「itil, asset, pa_admin」と入力します。このフィールドが空の場合、ユーザーはどのロールでも自分のダッシュボードを共有できます。

   注:
   このリストに含まれる 1 つのロールのスペルが間違っていると、そのロールはダッシュボードを共有できなくなります。このリストにロールが 1 つだけ指定され、そのロールのスペルが間違っている場合、このプロパティの値が修正されるまで、ユーザーはダッシュボードを共有できなくなります。

タスクの結果
指定されたロールを持つユーザーは、自分が所有するダッシュボードを表示するときに [共有] パネルを表示できます。他のロールを持つユーザーは [共有] パネルを表示できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ダッシュボードの共有を制限するプロパティは、アドミンと dashboard_admin ロールを持つユーザーには適用されません。これら 2 つのロールを持つユーザーは、いつでも任意のダッシュボードを共有できます。

次のタスク
[共有] パネルに表示される内容にセキュリティ ルールを適用するには、[ダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザー グループ、およびロールのリストにセキュリティ ルールを適用する] というラベルの付いたボックスをオンにします。詳細については、「セキュリティルールによるレスポンシブダッシュボードの共有の制限」を参照してください。

関連情報
レスポンシブ ダッシュボードの共有

セキュリティルールによるレスポンシブダッシュボードの共有の制限

レスポンシブダッシュボードを共有しているときに[共有]パネルに表示できるユーザー、ロール、およびグループを設定できます。

始める前に
必要なロール：admin。アクセス制御リストを変更するには、アドミンがsecurity_adminロールに昇格する必要があります。詳細については、「 特権ロールへの昇格 」を参照してください。

このタスクについて
自分のダッシュボードを共有できるロールのリスト (カンマ区切り) の構成に基づいて共有アイコンを表示できるユーザーは、[ダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用する] プロパティの構成に基づいて、[共有] パネルにコンテンツを表示できない場合があります。

手順
1. 移動先 すべて > システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ.
2. [ダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用する] というラベルの付いたボックスを選択して、[共有] パネルに表示される内容にセキュリティルールを適用します。
   ユーザー、ユーザーグループ、およびロールの既存のセキュリティルール構成は、プラットフォームレベルの関連する読み取りアクセス制御リストに記述されます。詳細については、「アクセス制御リストルール 」を参照してください。

タスクの結果
自分のダッシュボードを共有できるロールのリスト (カンマ区切り) というラベルの付いたフィールドにロールが指定されているユーザーのみが、自分のダッシュボードを共有できます。このプロパティが設定されていて、ユーザーのロールがプロパティで指定されていない場合、ユーザーには [共有] パネルが表示されません。[ダッシュボードの共有時に表示されるユーザー、ユーザー グループ、およびロールのリストにセキュリティ ルールを適用する] が有効になっている場合、セキュリティ ルールは、ユーザーが [共有] パネルでダッシュボードを共有できるユーザー、グループ、およびロールのリストに適用されます。

関連情報
レスポンシブ ダッシュボードの共有

レスポンシブ ダッシュボードのロールの例

ダッシュボードを作成、編集、表示、または共有できるかどうかは、ロールによって異なります。これらの例は、ロールに基づいてダッシュボードで何ができるかを示しています。

自動翻訳

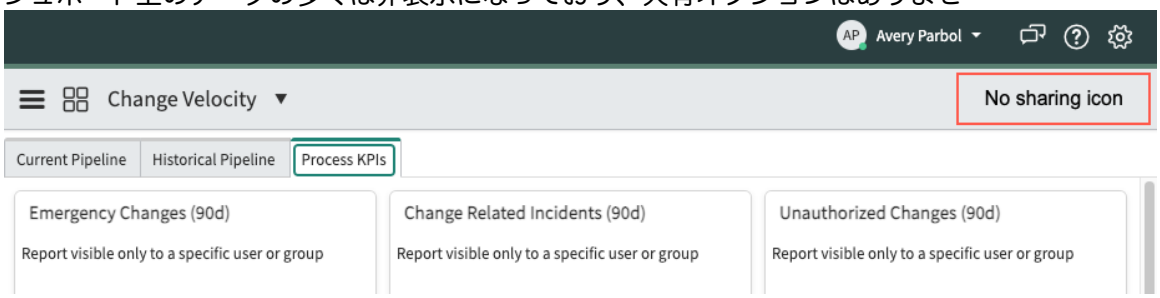
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのダッシュボード ロールの説明は、基本システム機能を前提としています。この機能を上書きするロールを作成し、権限を割り当てることができます。

ロールなし

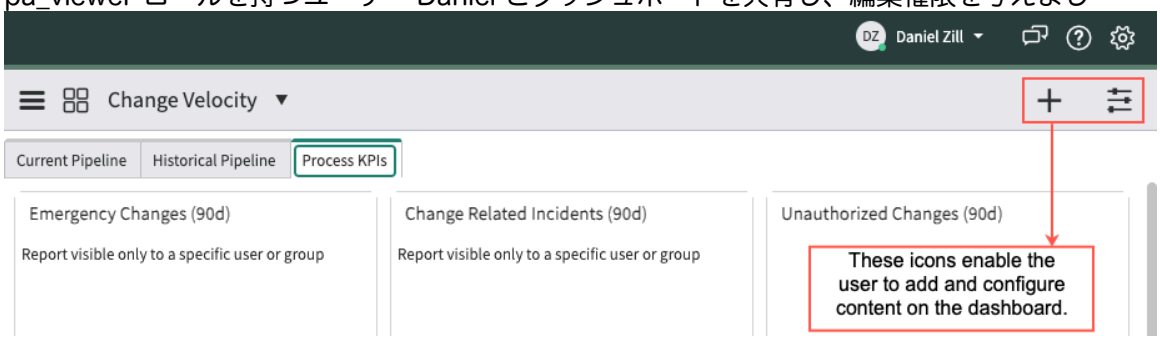
ロールを持たないユーザーには、別のユーザーが共有しているダッシュボードのみが表示されます。ダッシュボード上の情報 (特にリストの可視化) は、ACL に基づいてユーザーに表示されない場合があります。

ロールのないユーザーは、ダッシュボードを作成または共有できません。アドミンは、このダッシュボードをロールを持たないユーザーである Avery と共有しました。ダッシュボード上のデータの多くは非表示になっており、共有オプションはありません。

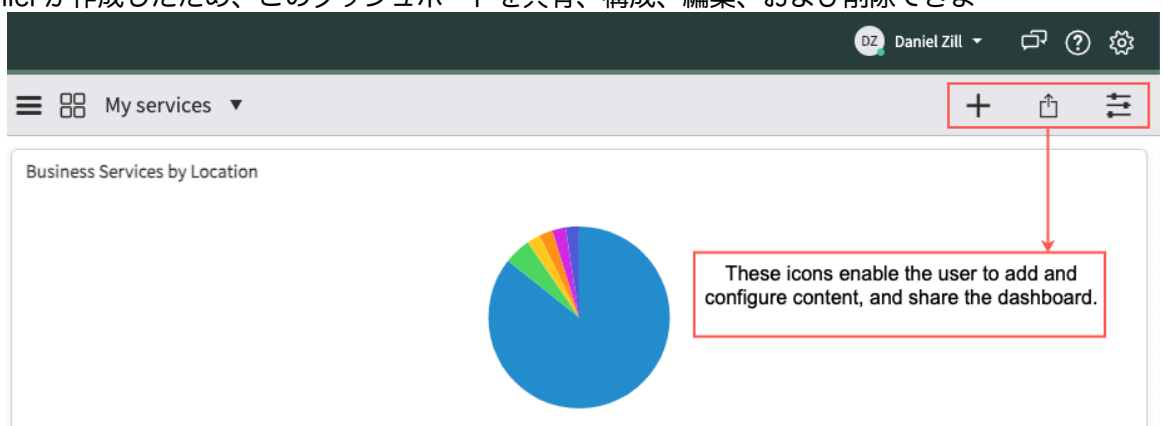


任意のロール

いずれのロールを持つユーザーもダッシュボードを作成でき、作成したダッシュボードを共有できます。[編集可能] 権限で共有されているダッシュボードを表示または表示および編集できます。ACL は、ダッシュボードで表示できる内容にも適用されます。アドミニストレーターが、pa_viewer ロールを持つユーザー Daniel とダッシュボードを共有し、編集権限を与えました。



Daniel が作成したため、このダッシュボードを共有、構成、編集、および削除できます。



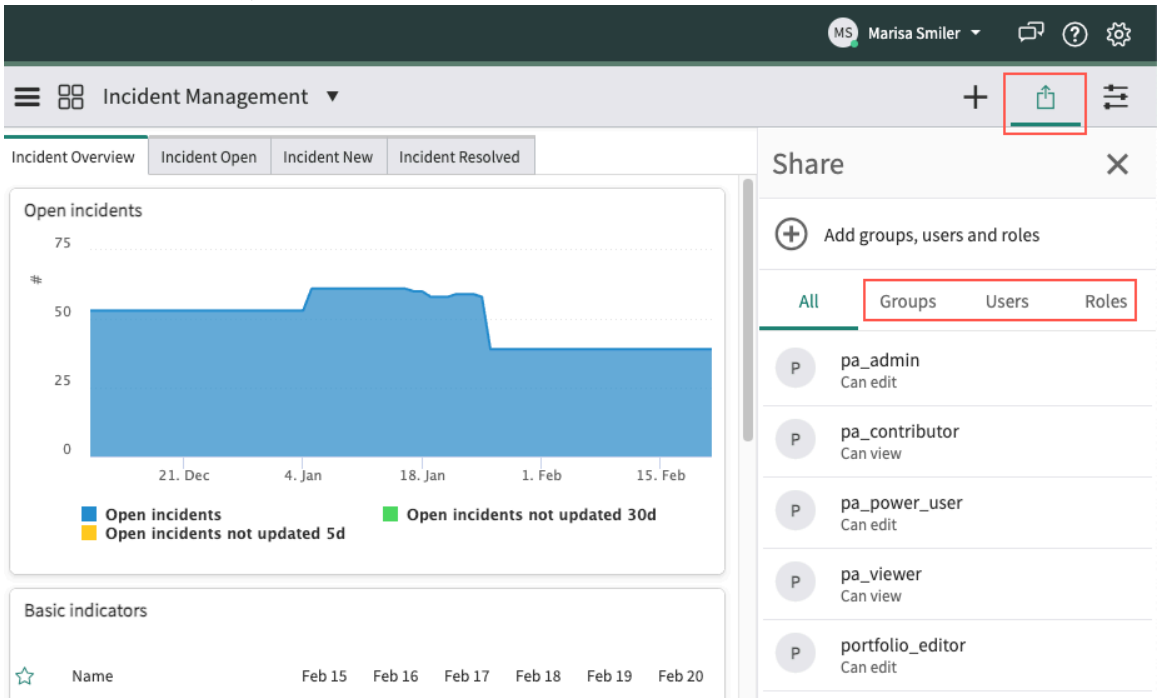
pa_adminとpa_power_user

pa_admin および pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボード上のユーザー、グループ、およびロールを管理で

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

きます。魔理沙はpa_power_user役です。共有アイコン ( ) をクリックすると、ダッシュボードを共有するための 3 つのオプションがすべて表示されます。

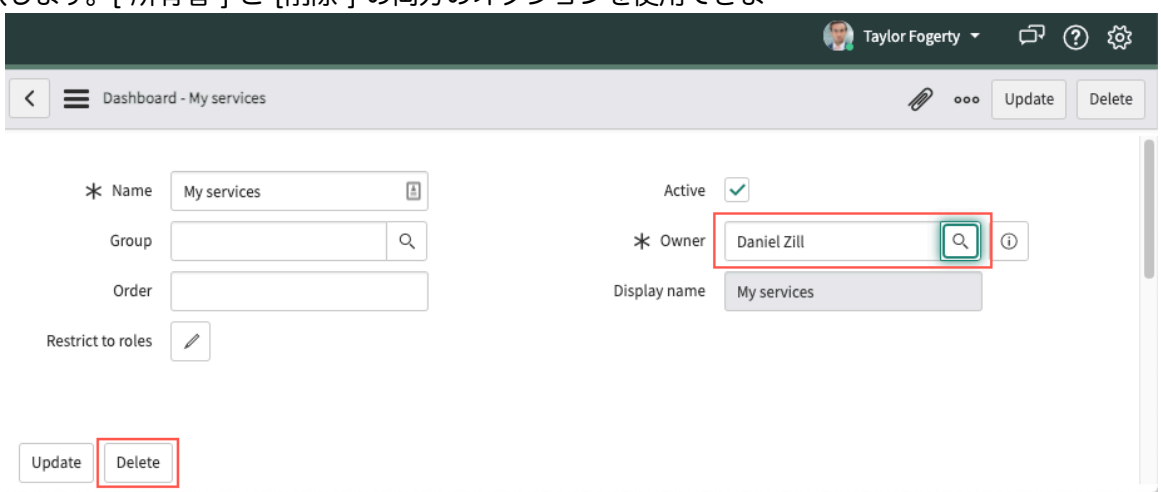


dashboard_adminまたはアドミン

dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーは、次のことができます。

- 任意のダッシュボードのユーザー、グループ、およびロールの編集と管理
- ダッシュボードのオーナーの変更
- ダッシュボードを削除

Taylor にはdashboard_adminロールがあり、コンテキストメニュー ( ) から **[Dashboard Properties** (ダッシュボードプロパティ)] を選択します。[所有者] と [削除] の両方のオプションを使用できます。



ダッシュボード統計情報

[ダッシュボード統計情報] リストでは、各 コア UI ダッシュボードの実行頻度と実行にかかる時間を確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの統計情報を表示するには、次の場所に移動します。 すべて > **dashboard_stats.list**. admin または dashboard_admin ロールが必要です。デフォルトでは、[ダッシュボード統計情報] リストには、表示されたすべてのダッシュボードが表示されます。インスタンスのダッシュボードごとに、このテーブルに 1 つのエントリがあります。

- [ダッシュボード統計情報] リストでは、各 コア UI ダッシュボードの実行頻度と実行にかかる時間を確認できます。
- ダッシュボードの実行リストには、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間と、ダッシュボードを起動したユーザーの ID が表示されます。
- ダッシュボード実行統計には、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間が一覧表示されます。リストには、ユーザーごとに各ダッシュボードの最新の起動のエントリが 1 つ含まれます。

[ダッシュボード統計情報] リストには、次の列があります。

列	**Description** (説明)
実行時間	ダッシュボードのすべての実行の平均実行時間 (ミリ秒)。(実行を実行時間で割った値)
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択すると、ダッシュボードのプロパティが表示されます。
実行	ダッシュボードが実行された合計回数。
最新の実行時間	直近の 25 回の実行に基づくダッシュボードの平均実行時間 (ミリ秒)。*glide.dashboard.recent_executions_number*プロパティを編集して、この値の計算に使用する実行回数を変更します。
最近の実行回数	最近の実行時間の計算に使用される値の数 (最大 *glide.dashboard.recent_executions_number* の値まで)。
実行時間	ダッシュボードのすべての実行における実行時間の合計。

- 実行に最も時間がかかるダッシュボードを表示するには、 最近の実行時間を z-a 順にソートします。
- 表示されたダッシュボードを表示するには、[実行] 列から値 0 を除外します。
- 最も表示されたダッシュボードを表示するには、[実行] 列を z-a から並べ替えます。

ダッシュボードの実行

[ダッシュボード実行] リストでは、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間と、ダッシュボードを起動したユーザーの ID を表示できます。リストには、ユーザーごとに各ダッシュボードの最新の起動のエントリが 1 つ含まれます。

ダッシュボードの実行統計を表示するには、次の場所に移動します。 すべて > **dashboard_executions.list**. admin または dashboard_admin ロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 特にインスタンスに多数のダッシュボードがある場合は、未使用のダッシュボードをこのリストに追加する際に時間がかかります。
- [ダッシュボード実行] リストは、ダッシュボードごとにユーザーごとに最新の 10 回の実行をサポートします。この値を変更するには、システムプロパティ *glide.dashboard.log.max_user_executions_x_dashboard* を編集します。

- ダッシュボード統計情報リストでは、各コア UIダッシュボードの実行頻度と実行時間を確認できます。
- ダッシュボード実行統計には、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間が一覧表示されます。リストには、ユーザーごとに各ダッシュボードの最新の起動のエントリが 1 つ含まれます。

デフォルトでは、[ダッシュボード実行] リストには次の列があります。

列	**Description** (説明)
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択すると、ダッシュボードのプロパティが表示されます。
実行期間	ダッシュボードの実行にかかった時間 (ミリ秒)。一意のユーザーごとに 1 つのエントリがあります。
実行タイムスタンプ	ダッシュボードを起動した日時。
ユーザー Sys ID	ダッシュボードを起動した Sys ID に関連付けられたユーザー。ユーザーを選択すると、そのユーザーの情報が表示されます。

実行に最も時間がかかるダッシュボードを表示するには、[実行期間] を z-a 順にソートします。

ダッシュボード実行統計

[ダッシュボード統計の実行] リストでは、 コア UI ダッシュボードのロードにかかる時間を確認できます。リストには、ダッシュボードの起動ごとに 1 つのエントリが含まれます。

ダッシュボードの実行統計を表示するには、次の場所に移動します。 すべて > **dashboard_stats_executions.list**. admin または dashboard_admin ロールが必要です。

注:

- 特にインスタンスに多数のダッシュボードがある場合は、未使用のダッシュボードをこのリストに追加する際に時間がかかります。
- [ダッシュボード統計の実行 **(Dashboard Stats Executions)**] リストは、ダッシュボードごとに*glide.dashboard.recent_executions_number*プロパティの値をサポートします。このプロパティのデフォルト値は 25 です。

- ダッシュボード統計情報リストでは、各コア UIダッシュボードの実行頻度と実行時間を確認できます。
- ダッシュボードの実行リストには、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間と、ダッシュボードを起動したユーザーの ID が表示されます。

デフォルトでは、[ダッシュボード統計の実行] リストには次の列があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

列	Description (説明)
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択すると、ダッシュボードのプロパティが表示されます。
実行期間	ダッシュボードの実行にかかった時間 (ミリ秒)。
実行タイムスタンプ	ダッシュボードを起動した日時。

実行に最も時間がかかるダッシュボードを表示するには、[実行期間] を z-a 順にソートします。

ダッシュボードの **PDF** エクスポートを有効にする

ダッシュボードを PDF にエクスポートするには、プラグインとプロパティが必要です。

始める前に
必要なロール：admin。

WebKit HTML To PDF プラグインをアクティブ化し、ホームページ、ダッシュボード、および一部のレポートを PDF ドキュメントとしてエクスポートするようにプラグインを設定します。

重要:

インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。ネクストエクスペリエンス を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。

詳細については、以下を参照してください。

- アナリティクスセンターでのダッシュボード
- レスポンシブダッシュボードの操作。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プラグイン.
2. 「WebKit **HTML to PDF**」を検索します。
   プラグインを選択してフォームを開きます。
3. [**Activate/Repair**] をクリックします。
   OAuth 2.0 プラグインがまだ有効でない場合、WebKit HTML To PDF プラグインはこのプラグインも有効にします。詳細については、「プラグインをアクティブ化する」を参照してください。

タスクの結果
ユーザーは、 ダッシュボードを PDF にエクスポートして、アーカイブ、印刷、または配布できます。

翻訳されたダッシュボードのガイドライン

ユーザーは、特定の構成でのみ翻訳されたダッシュボードを見つけることができます。ダッシュボード名を翻訳して検索可能にすることができます。言語プラグインを使用する場合は、これらのガイドラインを参照して、翻訳されたダッシュボードをユーザーが見つけられるようにしてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

翻訳されたダッシュボードの概要

言語プラグインが有効になっているインスタンスでは、アプリケーションはインスタンスのデータベースが MySQL であることを確認してから、ユーザーのセッション言語を検索し、翻訳されたダッシュボードを検索します。このトピックでは、少なくとも 1 つの追加の言語プラグインがアクティブ化されていることを前提としています。

検索機能は、インスタンスが MySQL データベースを使用し、ダッシュボードの翻訳が提供されている場合にのみ、翻訳されたダッシュボードに対して機能します。

詳細: 言語をアクティブ化 する。

ダッシュボードのタイトルの翻訳

ダッシュボードを開き、基本設定でターゲット言語を選択し、ダッシュボードのプロパティにダッシュボードの翻訳名を入力します。これで、他のユーザーがローカライズされた名前を使用してダッシュボードを検索できるようになりました。

詳細：翻訳されたダッシュボードの問題の解決

翻訳されたダッシュボードの問題の解決

ユーザーは、特定の構成でのみ翻訳されたダッシュボードを見つけることができます。ダッシュボード名を翻訳して検索可能にすることができます。

始める前に

言語プラグインが有効になっているインスタンスでは、アプリケーションは最初にインスタンスの背後にあるデータベースを決定します。データベースが MySQL の場合、ユーザーのセッション言語を検索し、翻訳されたダッシュボードを検索します。言語プラグインの詳細については、「 言語をアクティブ化 する」を参照してください。

検索機能は、インスタンスが MySQL データベースを使用し、ダッシュボードの翻訳が提供されている場合にのみ、翻訳されたダッシュボードに対して機能します。

必要なロール：admin

手順

1. ソース言語でインスタンスにログインします。
2. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ダッシュボード.
3. 翻訳するダッシュボードを開きます。
4. ユーザーアイコンを選択し、[設定] を選択します。
5. [言語と地域] タイルを選択します。
6. 「言語」メニューからターゲット言語を選択し、ダイアログを閉じます。
   インスタンスで有効な言語プラグインがある場合は、追加の言語を使用できます。
7. コンテキスト メニュー (≡) から、[ダッシュボード プロパティ] を選択します。
8. ダッシュボード名をターゲット言語に翻訳し、[更新] をクリックします。

タスクの結果

システムがターゲット言語に設定されている場合、ユーザーは翻訳された名前を使用してダッシュボードを検索できます。

ドメインセパレーションとダッシュボード

ドメインセパレーションは、ダッシュボードの作成と管理でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルサポートを含みます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

概要

ドメインセパレーションプラグインを有効にするには、「 ドメインセパレーションの要求 」を参照してください。

注:
子ドメインのユーザーが親ドメインのダッシュボードを表示するには、ドメインセパレーションと委任管理の両方を有効にする必要があります。

子ドメイン内のユーザーはダッシュボードを上書きできません。子ドメイン ユーザーには、ダッシュボードへの読み取りアクセス権のみがあります。

ダッシュボードにおけるドメインセパレーションの仕組み

前提：

- 共有されているダッシュボードのみが、他のユーザーに表示されます。「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。
- ダッシュボードに対する編集権限を付与されたユーザーは、ダッシュボードと同じドメインに属する場合にのみ、そのダッシュボードを編集できます。たとえば、HR ドメイン内のユーザーは、HR ドメインの親ドメイン内に作成されたダッシュボードを編集できません。

ドメインセパレーションされたダッシュボード データには、ダッシュボード レコード、ダッシュボード タブ、およびウィジェット コンテナーが含まれます。ウィジェットのコンテンツは、コンテンツ自体に適用されるドメインセパレーションによって統制されます。たとえば、管理者が、HR ドメイン内に作成されたレポートを IT ドメイン内のダッシュボードに追加したとします。このレポートは、IT ドメイン内のユーザーには表示されませんが、ウィジェットコンテナは表示されます。

グローバル レベルで定義されたダッシュボードは、それを共有しているすべてのユーザーに表示されます。親ドメイン内に作成された共有ダッシュボードは、親ドメインおよびそのすべての子ドメイン内のユーザーに表示されます。たとえば、TOP 社内に作成されたダッシュボードは、次に属するユーザーに表示されます。

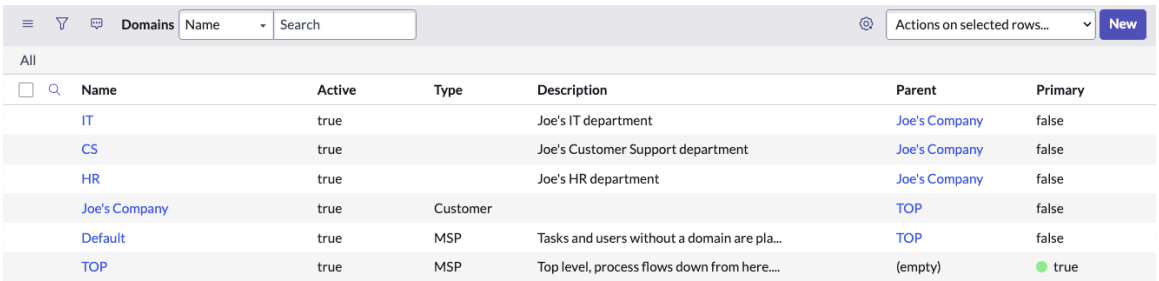
- Joe の会社
- TOP 社内の他の会社
- それらの会社内のすべての子ドメイン HR、CS、および IT (これらのユーザーが共有している場合)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の図では、IT、CS、および HR ドメインで作成されたダッシュボードは、他の子ドメインまたは親ドメインのユーザーには表示されません。

ドメインリストの例



注:
ダッシュボードに追加された内容は、分離されたドメイン内のユーザーには表示されないため、管理者は、ドメインセパレーションされたダッシュボードをグローバル ドメインから編集しないようにする必要があります。ダッシュボードを編集する際には、正しいドメインにログインしていることを確認してください。

関連情報

- ドメインセパレーションの概要
- サービスプロバイダー向けのドメインセパレーションの推奨プラクティス

ダッシュボード のクイックスタートテスト

アップグレードの適用などの構成変更を行った後も、ダッシュボードが変わらず正常に動作するかを検証します。インスタンス固有のデータを使用する際に合格するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

ダッシュボード クイックスタートテストでは、自動テストフレームワーク - レスポンシブダッシュボードプラグイン (com.glide.automated_testing_impl.dashboards) を有効にする必要があります。このプラグインはインスタンスの zBoot で有効になります。

ダッシュボード クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
レスポンシブダッシュボードの共有	代理操作をしているユーザーによるダッシュボードの共有を確認します。	Madrid
レスポンシブダッシュボードの可視化	代理操作をしているユーザーによるダッシュボードの可視化を確認します。	Madrid

関連情報

- クイックスタートテスト

ダッシュボードの **URL** パラメーター

ダッシュボードの URL パラメーターを使用すると、アプリケーション ページで使用されるダッシュボードのヘッダーおよびブレークダウン ソースの表示を制御できます。

ダッシュボード ヘッダー

この sysparm_header URL システム パラメーターは、ダッシュボードのヘッダーの表示を制御します。次の値があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- hidden：アプリケーション ページにヘッダーは表示されません。
- embedded：ダッシュボード ヘッダーは表示されますが、オプションに制限があります。コンテキスト メニューで、リフレッシュ、フィルターのリセット、および PDF へのエクスポートのオプションが使用可能です。
- visible (デフォルト)：アプリケーション ページに完全なヘッダーが表示されます。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_active_panel=false&sysparm_element=fed654&s
ysparm_element_value=def456&sysparm_breakdown_source=ghi789&sysparm_homepage_filte
rs=%7B%ihg789%22:%5B%7B
%22table%22:%22incident%22,%22filter%22:%22assignment_group%jkl212%22%7D%5D
%7D&sysparm_ignore_default_filter=true&sysparm_header=embedded
```

ダッシュボード ブレークダウン

sysparm_breakdown URL システム パラメーターは、ダッシュボード ブレークダウンの表示を制御します。次の値があります。

- visible (デフォルト)：ソースと要素を含む完全なブレークダウンが表示されます。
- hidden：完全なブレークダウンは非表示になります。
- embedded：ブレークダウン要素のみが表示されます。
- readonly：ブレークダウン要素は表示されますが、読み込み専用です。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_active_panel=false&sysparm_element=fed654&s
ysparm_element_value=def456&sysparm_breakdown_source=ghi789&sysparm_homepage_filte
rs=%7B%ihg789%22:%5B%7B
%22table%22:%22incident%22,%22filter%22:%22assignment_group%jkl212%22%7D%5D
%7D&sysparm_ignore_default_filter=true&sysparm_breakdown=hidden
```

ダッシュボード グループ

sysparm_group URL システム パラメーターを使用すると、[ダッシュボードの概要] ページのダッシュボード ピッカーに単一のダッシュボード グループを含めることができます。このパラメーターは、値としてダッシュボード グループの名前のみを取ります。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_group=incident
```

その他のダッシュボード **URL** パラメーター

sysparm_active_panel
: 編集パネルを表示するかどうかを示します。

sysparm_editable
: 編集パネルを表示できるかどうかを示します。

ダッシュボードの概要 **URL** パラメーター

sysparm_group パラメーターを使用して、[Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページのダッシュボード グループのデフォルト値を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード グループ

sysparm_group URL システム パラメーターを使用すると、[Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページ (pa_dashboards_overview.do) のすべてのタブを、指定したダッシュボード グループによりフィルタリングした状態で開くことができます。このパラメーターは、値としてダッシュボード グループの名前のみを取ります。

注:
URL に指定したダッシュボード グループが存在しない場合、URL は、[最近] タブが選択された [Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページを戻します。

この URL の例では、グループ CMDB Overview 内のダッシュボードのみが表示されます。

```
<your-servicenow-instance.com>nav_to.do?uri=%2F
$pa_dashboards_overview.do?sysparm_group=CMDB Overview
```

レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化

大きなダッシュボードは、特にウィジェットが複雑なクエリや大きなテーブルのクエリに依存している場合には、レンダリングに時間がかかることがあります。システム プロパティーを使用して、ウィジェットのロード方法を最適化できます。

始める前に

必要なロール：admin

注:
ウィジェットの表示は、レスポンシブ ダッシュボードでのみ最適化できます。

手順

1. これら 2 つのシステムプロパティーを使用して、ダッシュボードウィジェットのレンダリングを最適化します。
   これらのプロパティーに使用する値は、インスタンスのパフォーマンスおよびそのダッシュボードのコンテンツによって異なります。
2. トランザクションクォータのルールを設定する こともできます。
   トランザクションクォータのルールを使用すると、ウィジェットまたはダッシュボードの最大実行時間を設定できます。

   注:

   ウィジェットのロードに時間がかかる場合、次の 2 つのシナリオがあります。

   トランザクションクォータ値がパフォーマンスしきい値を下回っています

   トランザクションクォータに達する前にウィジェットがロードされない場合、ウィジェットはロードされません。次のメッセージが表示されます:ウィジェットがキャンセルされました - 最大実行時間を超えました。(Widget cancelled - maximum execution time exceeded.)

   パフォーマンスしきい値がトランザクションクォータを下回っています

   この動作は、トランザクションクォータが存在しない場合と同じです。ウィジェットのロードが停止し、メッセージが表示されます。ウィジェットを選択して再ロードできます。ただし、トランザクションクォータは引き続き適用され、レンダリングが停止する場合があります。

関連情報

利用可能なシステムプロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の管理コンソール ダッシュボード

パフォーマンスアナリティクス管理コンソールには、ダッシュボード管理用のいくつかの機能が含まれています。

探索および管理

移動先 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > アドミンコンソール.

[探索および管理] ダッシュボードには、ダッシュボードとインジケーター関連のレコードを検索、変更、作成するためのツールが含まれています。ダッシュボード グループとダッシュボードを管理するためのリンクをクリックします。

詳細設定

移動先 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > アドミンコンソール.

管理コンソールの [詳細設定] タイルに、[ダッシュボード プロパティー] へのリンクが表示されます。

ツリー ビュー

管理コンソールのツリー ビューでは、パフォーマンス分析エンティティとレポート エンティティの関係を階層内で識別して表示できます。ツリー ビューを使用すると、複数のページをふるいにかけなくても、ページが互いにどのように関連しているかを判断できます。詳細については、「依存関係アセスメント」を参照してください。

Admin Console の機能について詳しくは、「 パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソール」を参照してください。

レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

プロパティーを使用して、ダッシュボードの動作と外観を微調整します。

はじめに

移動先 システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ をクリックして、メインのレスポンシブダッシュボードプロパティを設定します。

レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

プロパティ	**Description** (説明)
統合アナリティクスワークスペースエクスペリエンスを有効にします。これにより、すべてのレスポンシブダッシュボードとネクストエクスペリエンスダッシュボードがアナリティクスセンターの同じ概要に表示されます。 com.glide.par.unified_analytics.enabled	• タイプ：true | false • デフォルト値：false • [Location (場所)]： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 有効にすると、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードとコア UI (レスポンシブ) ダッシュボードの両方がアナリティクスセンターに表示されます。ユーザーは、レスポンシブダッシュボードインジケーターのビジュアル化から KPI 詳細にドリルダウンすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	**Description** (説明)
セキュリティルールを、ダッシュボードを共有すると表示されるユーザーのリスト、ユーザーグループ、およびロールに適用します。 glide.cms.dashboards.sharing_with_secure_search	• タイプ：true | false • デフォルト値：false • [Location (場所)]： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 有効になっている場合、共有パネルに表示されるユーザー、ユーザーグループ、ロールのリストが制限されます。この制限は、sys_user、sys_user_group、および sys_user_role ACL の構成に基づいています。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。 このプロパティの有効化に関連付けられているパフォーマンスのペナルティがあります。パフォーマンスのデグレードは、インスタンスのビジネスルールと ACL の数と複雑さに基づいている場合があります。
所有するダッシュボードを共有できるロールのカンマ区切りリストを指定します。 glide.cms.share_dashboards.role	• タイプ：文字列 • デフォルト値：空 このプロパティが空白の場合、すべてのユーザーが自分のダッシュボードを共有できます。 • [Location (場所)]： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ **注:** ダッシュボードの共有を制限するプロパティは、アドミンと dashboard_admin ロールを持つユーザーには適用されません。これら 2 つのロールを持つユーザーは、いつでも任意のダッシュボードを共有できます。
レスポンシブ ダッシュボードにウィジェットを表示する最大秒数 glide.canvas.grid.widget_performance_threshold	• タイプ：整数 • デフォルト値：なし • [Location (場所)]： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 詳細については、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	Description (説明)
レスポンシブ ダッシュボードに同時に表示できるウィジェットの最大数 glide.canvas.grid.widget_render_concurrent_max	• タイプ：整数 • デフォルト値：3 • [Location (場所)]： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 詳細については、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。
レスポンシブ ダッシュボード ウィジェットがブラウザーにキャッシュされる秒数。 glide.canvas.grid.widget_cache_ttl	• タイプ：整数 • デフォルト値：2 • [Location (場所)]： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ

カスタム コンテンツの PDF エクスポートに関する制限事項

ダッシュボードとホームページにウィジェットとして配置するカスタム コンテンツを作成する場合は、コンテンツを PDF にエクスポートする前に、追加のテストを実行する必要があります。

ServiceNow サポートの対象外

カスタム実装と同様に、いくつかのアクションは、 ServiceNow制御できない場合、サポートが制限されるか、サポートされません。

- カスタムコンテンツブロック:ベースシステムまたはプラグインの一部ではないコンテンツブロック。
- カスタムコンテンツブロック:レポートの可視化を含むコンテンツブロックの数が、エクスポートの成功に影響を与える可能性があります。エクスポートが成功すると断続的になる場合もあります。
- カスタムのインタラクティブフィルター (動的コンテンツブロック)。
- 既存の UI ページおよびスクリプトに戻る Iframe を含む、カスタムの Iframe
- カスタム ウィジェット：ServiceNow によって作成されていないウィジェット
- カスタムグローバル UI スクリプト:ベースシステムに含まれていない UI スクリプト。
- カスタム UI ページ:ベースシステムに含まれていない UI ページ。
- カスタムスクリプトインクルード:ベースシステムに含まれていないスクリプトインクルード。

PDF エクスポート エンジンでのページの表示方法は、ブラウザーでの表示方法とは異なります。PDF エクスポート機能では、Web テクノロジーとして HTML 4、CSS2、および JavaScript 1.5 がサポートされています。コンテンツ ブロックの開発者は、PDF エクスポートに対してコードをテストし、その実装をこれらの制限事項に基づいて調整する責務があります。

ホームページ廃止ヘルプツール

ホームページ機能のサポートは段階的に廃止されており、 ネクストエクスペリエンス が有効になっている場合はホームページの作成や編集がまったくできません。すべてのホームページを 1 か所で検索し、ダッシュボードに変換したり、廃止したり、廃止したホームページをダッシュボードとして復元したりします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用すると、システム管理者とダッシュボード管理者が、ワークフローを使用してホームページを廃止したり、ホームページをレスポンシブダッシュボードに変換したりできます。移行ステータスを追跡し、ユーザーやグループにタスクを割り当てることができます。個人ホームページの廃止には、承認を得るために所有者に送信される要求が含まれます。ホームページの廃止ヘルプツールは、アドミンおよびdashboard_adminロールを持つユーザー向けのストアアプリです。このアプリケーションを使用するには、「ホームページ廃止ヘルプツールのインストール」を参照してください。

変換されたホームページのダッシュボードバージョンを見つけるには、 すべて > セルフサービス > ダッシュボード.

ホームページの廃止ダッシュボードにアクセスするには、 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要.

ホームページの廃止に関するヘルプツールの機能

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、すべてのホームページを 1 か所で検索し、ダッシュボードに変換したり、廃止したり、廃止したホームページをダッシュボードとして復元したりします。

ホームページの廃止ダッシュボードにアクセスするには、 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要.

ホームページ廃止ヘルプツールを使用する前に、次の 2 つの手順を実行します。admin ロールを持つユーザーは、システムプロパティを変更する必要があります。admin ロールを持つユーザー、または dashboard_admin ロールと flow_designer ロールの両方を持つユーザーが、ホームページの移行ステータステーブルに入力できます。

1. 新しいホームページの作成を無効にします：システムプロパティ *`com.glideapp.home.deprecate_homepages`* を true に設定します。

   重要:
   このプロパティを true に設定すると、新しいホームページの作成を無効にし、デフォルトの開始ページまたはランディングページをダッシュボードに設定します。ホームページを開くメニューアイテムと URL は、引き続きそれらのホームページをポイントします。それ以外の場合、ホームページは利用できないため、このツールを使用して移行する必要があります。

2. ホームページ移行ステータステーブルの入力。

ホームページの廃止ダッシュボードには、次の 4 つのタブがあります。

概要
: 概要を使用すると、廃止プロセスを開始し、インスタンスのホームページの一般的なステータスを表示できます。

個人ホームページ
: 非アクティブであるか、インスタンスからロックアウトされている個人によって所有されているすべてのホームページのリスト。個人ホームページは、すべてのユーザーがアクセスできるグローバルホームページとは異なります。

メニューとお気に入り
: 構成済みメニューに表示されるホームページ、およびユーザーによってお気に入りとしてマークされたホームページのリスト。最初のケースでは、変換されたダッシュボードを指すようにメニュー項目を再構成する必要があります。2 番目のケースでは、新しく変換されたダッシュボードをお気に入りとしてマークするようにユーザーに警告する必要があります。

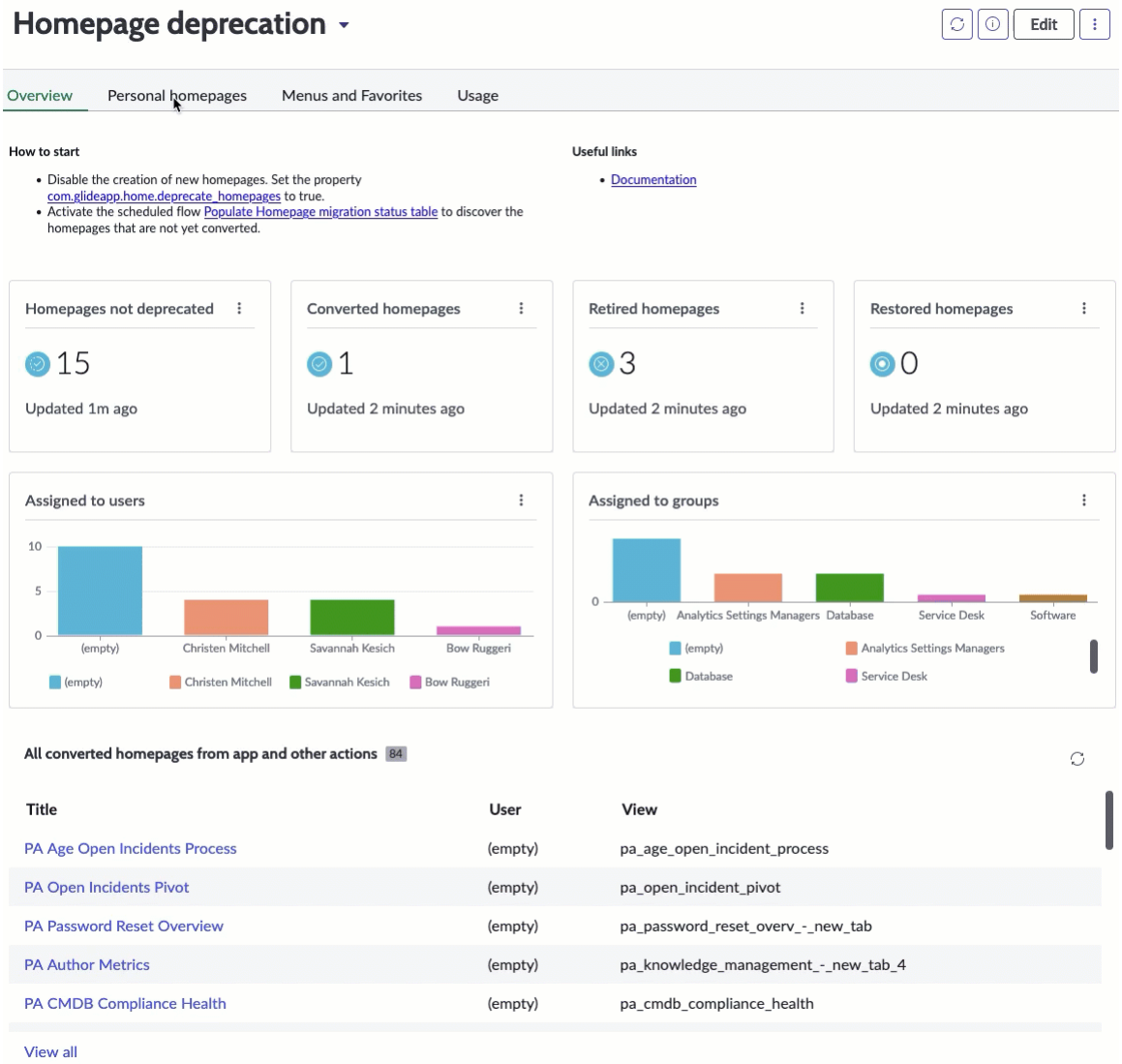
使用法

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

過去 30 日間表示されていないすべてのホームページのリスト。

ホームページ廃止ダッシュボード



[概要] タブ

[概要] タブには、開始するためのリンクと、注意が必要なホームページを選択できるいくつかのレポートが含まれています。

[開始方法] セクションには、アドミンが新しいホームページの作成を無効にし、ホームページの移行ステータステーブルに入力するためのリンクがあります。

個人ホームページ

このタブには、所有者が非アクティブであるか、ロックアウトされているホームページのリストが表示されます。これらのホームページは、廃止の有力な候補となる可能性があります。リンクを選択すると、廃止または変換する個人のホームページのみを含むフィルター済みリストが開きます。

メニューとお気に入り

[Menus and Favorites] タブには 3 つのリストがあります。

メニューに接続されたホームページ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターナビゲーターのメニューに接続されているホームページを表示します。これらのホームページを変換または廃止する場合は、変換後のダッシュボードにメニューアイテムを指定するか、メニュー アイテムを削除する必要があります。

お気に入りに接続されたホームページ

ユーザーがお気に入りとして識別するホームページを表示します。これらのホームページを変換または廃止する場合は、変換されたダッシュボードをお気に入りとしてマークする必要があることを伝えます。

ホームページに接続されたメニューとモジュール

フィルターナビゲーターにメニューアイテムまたはモジュールとして表示されるホームページを表示します。メニューとモジュールアイテムを編集して、変換されたダッシュボードを開きます。廃止されたホームページを開くメニューまたはモジュールアイテムを削除します。

使用法

[使用状況] タブには、過去 30 日間に表示されていないすべてのホームページのリストが表示されます。これらのホームページは、廃止の有力な候補となる可能性があります。

ホームページ廃止ヘルプツールのインストール

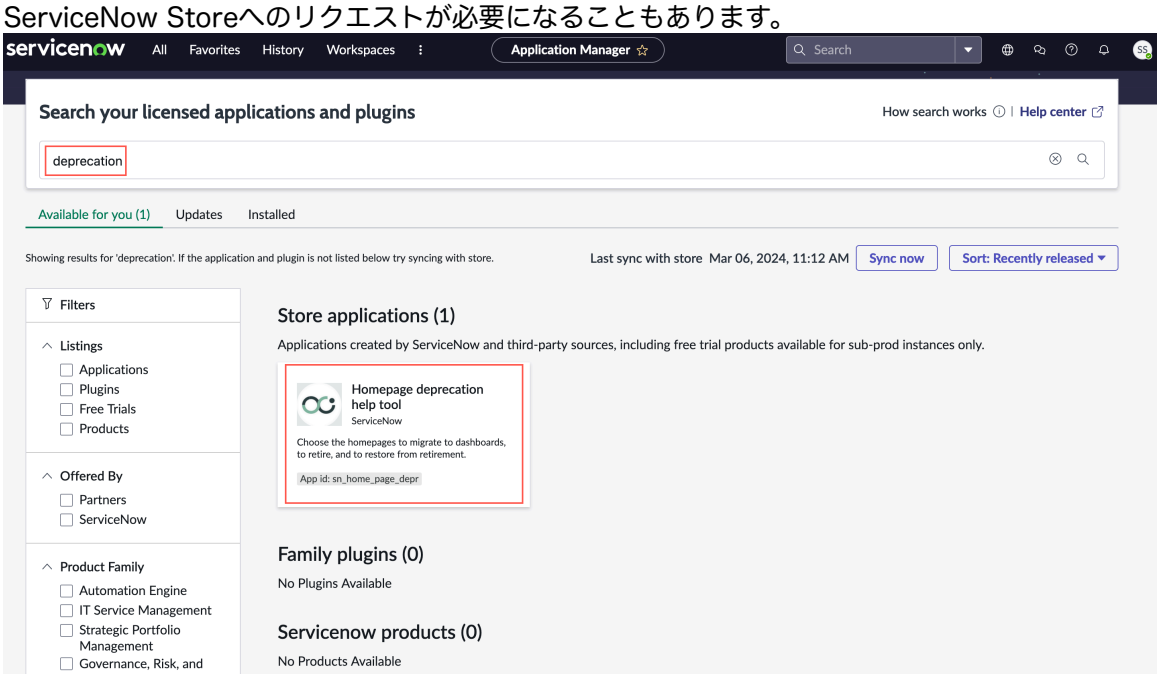
ホームページを変換、廃止、復元するには、ホームページ廃止ヘルプツールをインストールします。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
ホームページの廃止ヘルプツールはストアアプリです。ストアアプリのインストールの詳細については、「ServiceNow Store アプリケーションのインストール」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プラグイン.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、ホームページ廃止ヘルプツールアプリケーションを検索します。
   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Storeへのリクエストが必要になることもあります。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. ヘルプツールのボタンを選択して、アプリケーションの概要ページを開きます。
4. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

5. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
6. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

ホームページを個々のダッシュボードに変換する

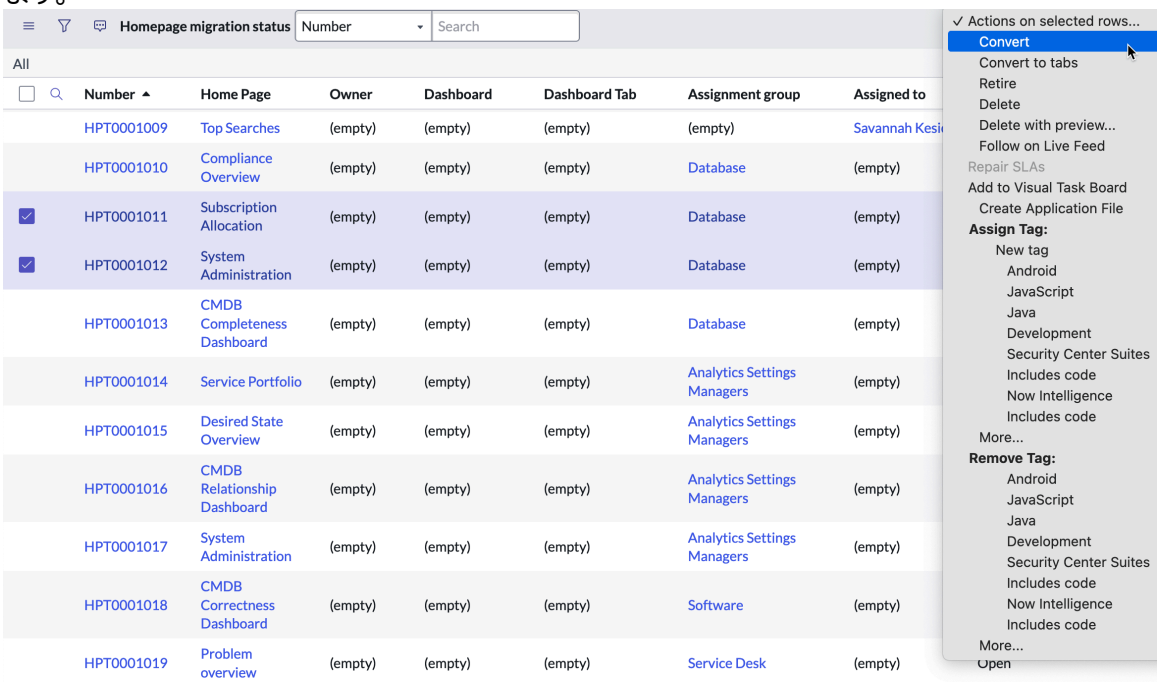
[ホームページの移行ステータス] テーブルに入力し、ダッシュボードに変換するホームページを決定します。ホームページを個々のダッシュボードに変換したり、複数のホームページを同じダッシュボード上のタブに変換したりできます。

始める前に

必要なロール:admin または dashboard_admin

手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページの移行ステータス.
   アドレス指定されていないすべてのホームページの状態は [オープン] になります。
2. 変換するホームページの横にあるボックスを選択します。
3. [**Actions on selected rows** (選択した行のアクション)] メニューから [Convert (変換)] を選択します。



   変換フローは、別のダッシュボードを作成するスクリプトをトリガーし、権限 canRead と canWrite をダッシュボードの権限に移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

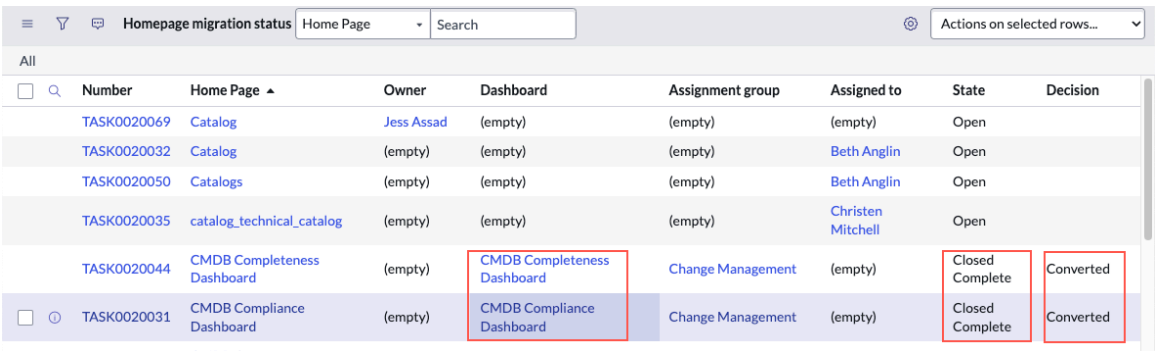
廃止フローでは、個人のホームページが自動的に廃止され、[選択可能] フィールドが false に設定され、アドミンユーザーに読み取り/書き込み権限が割り当てられます。

このフローでは、非個人ホームページを廃止する許可を、個人用ではないホームページの所有者に求めます。許可フローには、許可の 14 日間の待機期間が含まれています。

タスクの結果

ユーザーは変換されたホームページにアクセスできなくなります。ホームページのダッシュボードバージョンは、[ダッシュボードの概要] で確認できます。移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを選択して、表示権限を持つすべてのダッシュボードを表示します。

- [ダッシュボード] 列には、新しいダッシュボードの名前とダッシュボードのフォームへのリンクが入力されます。
- 変換されたダッシュボードの [状態] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- [決定] 列のエントリが [変換済み] に変更されます。



次のタスク

変換されたホームページを開くメニューを更新して、新しいダッシュボードを開きます。

移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを開くと、変換されたダッシュボードのタイルが表示されます。

ホームページの廃止.

ホームページをダッシュボードタブに変換

[ホームページ移行ステータス] テーブルに入力した後、1 つ以上のホームページを新規または既存のダッシュボードのタブに変換できます。

始める前に

必要なロール:admin または dashboard_admin

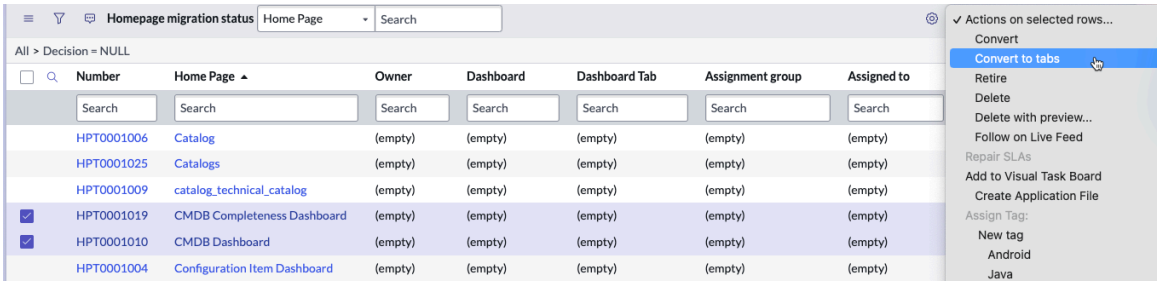
> **注:**
> 1 つ以上のホームページをダッシュボード タブに変換するには、それらのホームページの所有者が同じである必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページの移行ステータス.
   アドレス指定されていないすべてのホームページの状態は [オープン] になります。
2. 変換するホームページの横にあるボックスを選択します。
3. [選択した行のアクション] メニューから、[タブに変換] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



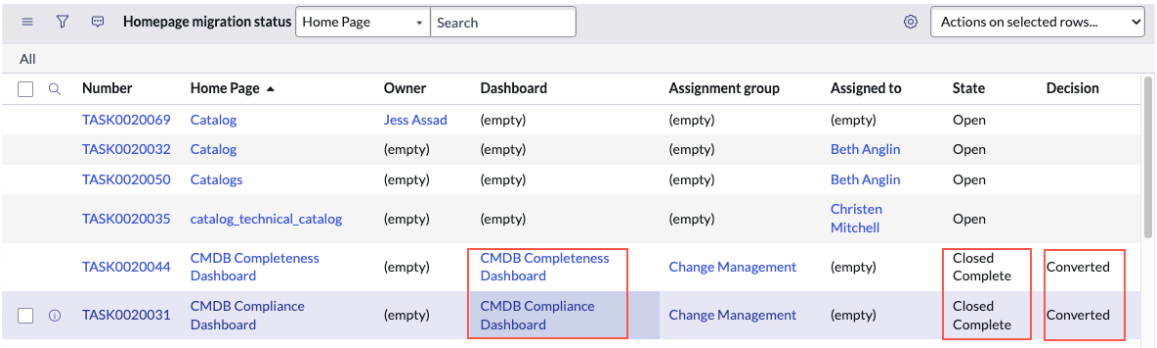
4. 既存のダッシュボードを選択するか、新しいダッシュボードのタイトルを設定します。
既存のダッシュボードを選択すると、ホームページは既存のタブの後にタブとして追加されます。新しいダッシュボードのタイトルを設定すると、新しいダッシュボードには、追加した各ホームページのタブが含まれます。

   変換フローは、スクリプトをトリガーして新しい独立したダッシュボードを作成し、権限 canRead と canWrite をダッシュボードの権限に移動します。

タスクの結果

ユーザーは変換されたホームページにアクセスできなくなります。ホームページのダッシュボードバージョンは、[ダッシュボードの概要] で確認できます。移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを選択して、表示権限を持つすべてのダッシュボードを表示します。

- [ダッシュボード] 列には、新しいダッシュボードの名前とダッシュボードのフォームへのリンクが入力されます。
- [ダッシュボード タブ] 列には、新しいダッシュボード タブの名前と、ダッシュボード タブのフォームへのリンクが入力されます。
- 変換されたダッシュボードの [状態] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- [決定] 列のエントリが [変換済み] に変更されます。



次のタスク

変換されたホームページを指すメニューを更新して、新しいダッシュボードをポイントします。

移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを開くと、変換されたダッシュボードのタイルが表示されます。

ホームページの廃止.

ホームページの廃止

ホームページを廃止するには、ホームページ移行ステータステーブルを使用します。ホームページを廃止すると、アドミン以外のすべてのユーザーから表示オプションと編集オプションが削除されます。

始める前に

必要なロール:admin または dashboard_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 新しいホームページの作成を無効にします：システムプロパティ *com.glideapp.home.deprecate_homepages* を true に設定します。

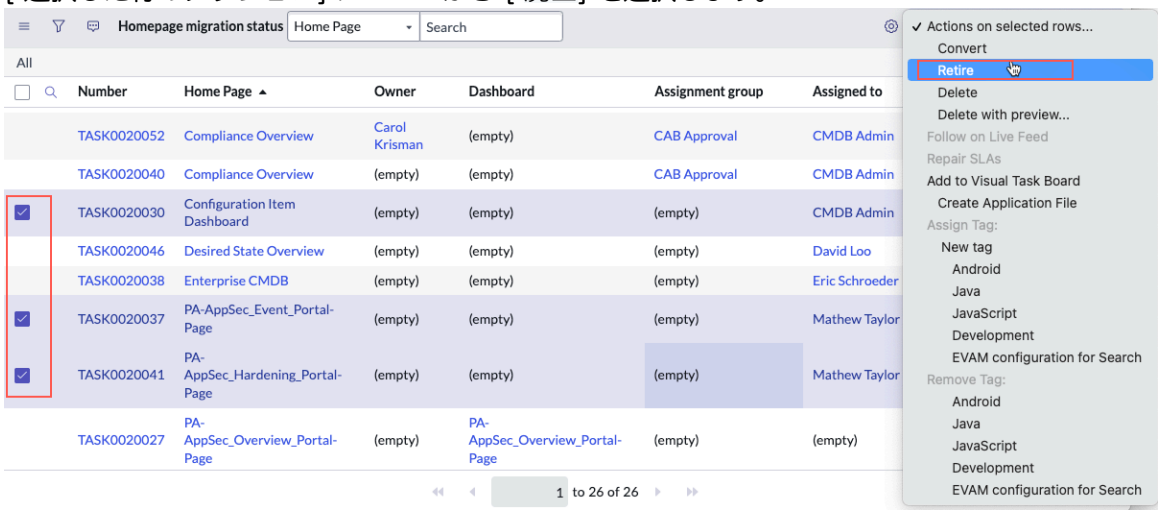
> **重要:**
> このプロパティを true に設定すると、新しいホームページの作成を無効にし、デフォルトの開始ページまたはランディングページをダッシュボードに設定します。ホームページを開くメニューアイテムと URL は、引き続きそれらのホームページをポイントします。それ以外の場合、ホームページは利用できないため、このツールを使用して移行する必要があります。

2. ホームページ移行ステータステーブルの入力。

> **注:**
>
> ホームページを廃止すると、ユーザーは関連するポータルページを選択できなくなり、アドミンのみがページに対する読み取りおよび書き込み権限を持ちます。
>
> 廃止要求に応答する時間制限を設定するには、システムプロパティ *sn_home_page_depr.approval_due_date*を編集します。

手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページの移行ステータス.
2. 廃止するホームページの横にあるチェックボックスをオンにします。
3. [選択した行のアクション] メニューから [廃止] を選択します。



   - ホームページがグローバルホームページ、つまり所有者が指定されていないホームページの場合、ホームページは廃止され、タスクステータスはすぐに [完了してクローズ] に設定されます。
   - 制限時間内に個人ホームページの所有者からの応答がない場合、ホームページは廃止され、タスクステータスは [完了してクローズ] に設定されます。
   - オーナーが廃止要求を却下した場合、ホームページはダッシュボードに変換されます。

タスクの結果
ホームページの移行ステータステーブルが変更されます。

- 変換されたホームページの [状態] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- 廃止されたホームページの [決定] 列のエントリは [廃止] に変更されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 所有者が廃止のために却下したホームページの [決定] 列のエントリは、[変換済み] に変更されます。
- 非アクティブまたはロックアウトされたユーザーの個人ホームページは、ホームページ廃止ダッシュボードの [個人ホームページ] タブに表示されなくなります。
- 廃止されたホームページの読み取りおよび書き込み権限は、アドミンに制限されています。

次のタスク
ホームページの復元

ホームページの復元

廃止されたホームページをダッシュボードとして復元します。

始める前に
廃止されたホームページのステークホルダーが、その情報をまだ必要としている場合があります。廃止したホームページをレスポンシブ ダッシュボードとして復元できます。

必要なロール:admin または dashboard_admin

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > サービスカタログ.
2. **[Can we help you]** を選択します。
3. [ホームページの復元] を選択します。
4. 廃止されたホームページの名前を入力するか、検索アイコン ( ) を使用して廃止されたホームページを検索します。
5. [送信] を選択します。

タスクの結果
廃止されたホームページはダッシュボードに変換されます。[ホームページの移行ステータス] テーブルにこれらの変更が表示されます。

- [ダッシュボード] 列に新しいダッシュボードの名前が入力されます。
- 復元されたホームページの [状態] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- [決定] 列のエントリが [復元済み] に変更されます。

ホームページ移行ステータステーブル

ホームページ移行ステータステーブルを使用して、ホームページの廃止と変換に対処します。

ホームページ移行ステータステーブルには、ダッシュボードまたはダッシュボードタブに関連付けられていないインスタンスのホームページが一覧表示されます。また、それぞれのステータスについて管理者が行った決定も表示されます。ホームページの移行ステータステーブルには、[概要] タブのほとんどの可視化からアクセスするか、 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページの移行ステータス. 詳細については、「ホームページ廃止ヘルプツール」を参照してください。

このテーブルには次の列が含まれています。

ホームページ移行ステータステーブルの入力

ホームページ移行ステータステーブルを使用すると、ホームページの廃止と変換に対処できます。スケジュール済みワークフローを実行して、インスタンスのホームページに関する情報をホームページ移行ステータステーブルに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

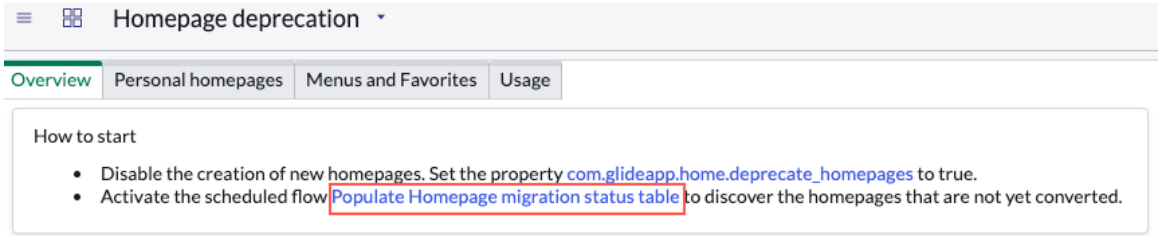
始める前に
必要なロール：admin

入力フローには、実行ごとに 1000 sys_portal_pages の制限があります。入力フローは数日間実行しておくことができます。フローでは、ホームページ移行ステータステーブルにレコードを 1000 単位で追加します。

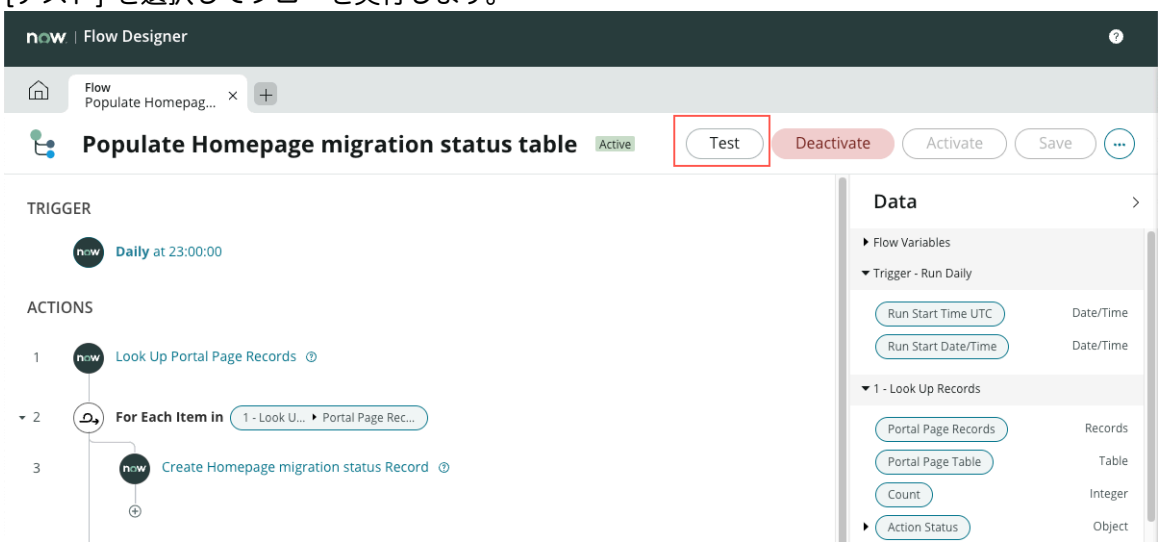
> **注:**
> ドメインセパレーションされたインスタンスでは、ホームページの移行ステータステーブルに入力するフローはグローバルインスタンスでのみ実行されます。

手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要.
2. [ホームページ移行ステータステーブルを入力] というラベルの付いたリンクを選択して、テーブルに入力するフローを開きます。



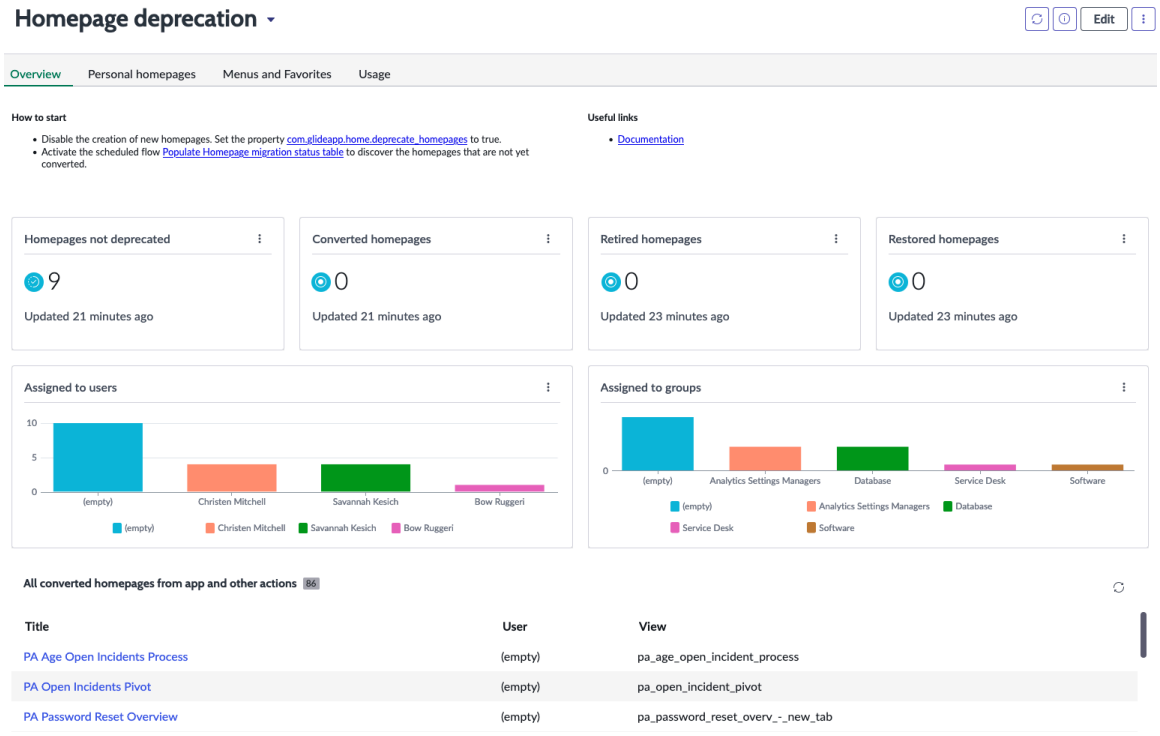
3. Flow Designer で、入力フローを実行するタイミングを指定するトリガーを選択します。デフォルトのトリガーは毎日 23:00:00 です。
4. [アクティブ化] を選択します。
5. [テスト] を選択してフローを実行します。



6. [テストを実行] を選択します。
[テストの実行が終了しました] というメッセージが表示されたら、[テストフロー] ウィンドウを閉じて [概要] タブに戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ホームページ廃止ヘルプツールの [概要] タブには、廃止されていないホームページの数が表示されていま



す。

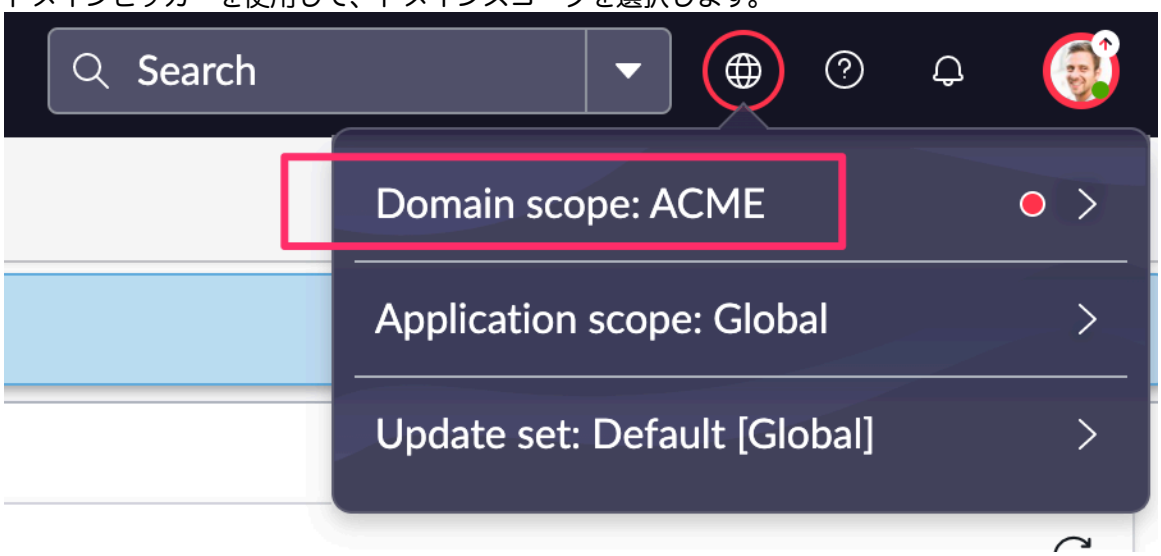
複数ドメインのホームページ移行ステータステーブルへの入力

デフォルトでは、ホームページの移行ステータステーブルに入力するフローは、グローバルドメインにのみ適用されます。インスタンス内の他のドメインに適用するフローを作成できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

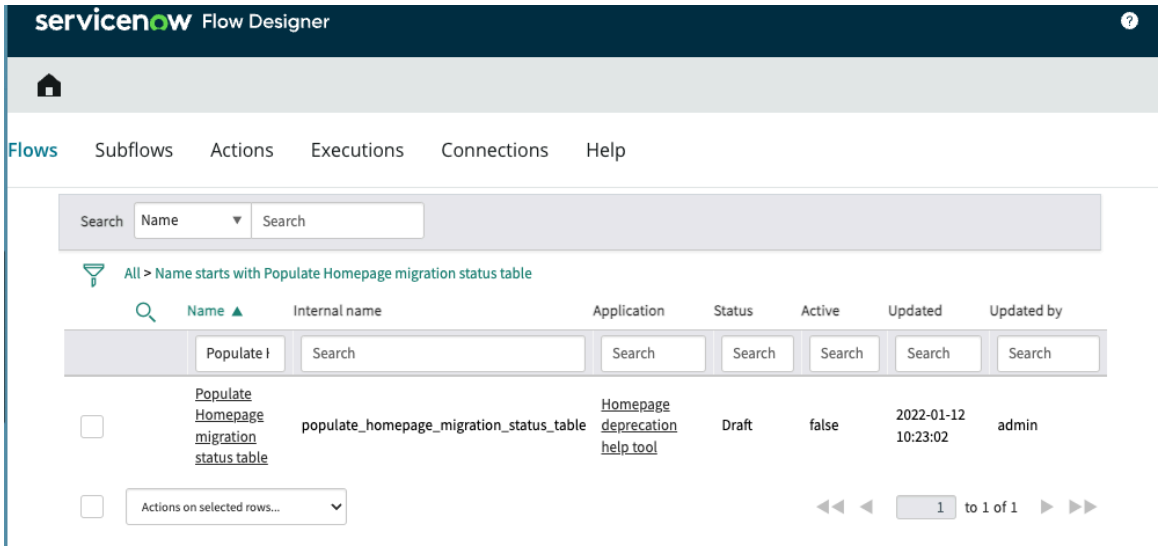
1. ドメインピッカーを使用して、ドメインスコープを選択します。



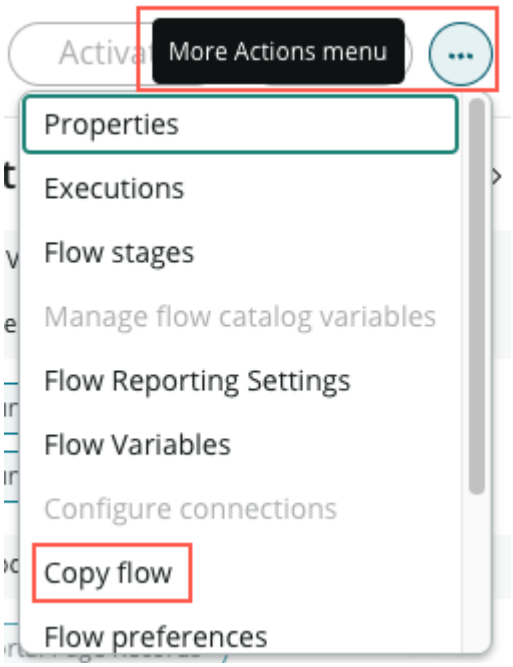
2. 移動先 すべて > **Flow Designer**.

3. ホームページ移行ステータステーブルの入力フローを見つけて開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 「 その他のアクション 」メニューを選択し、「 コピー・フロー」を選択します。



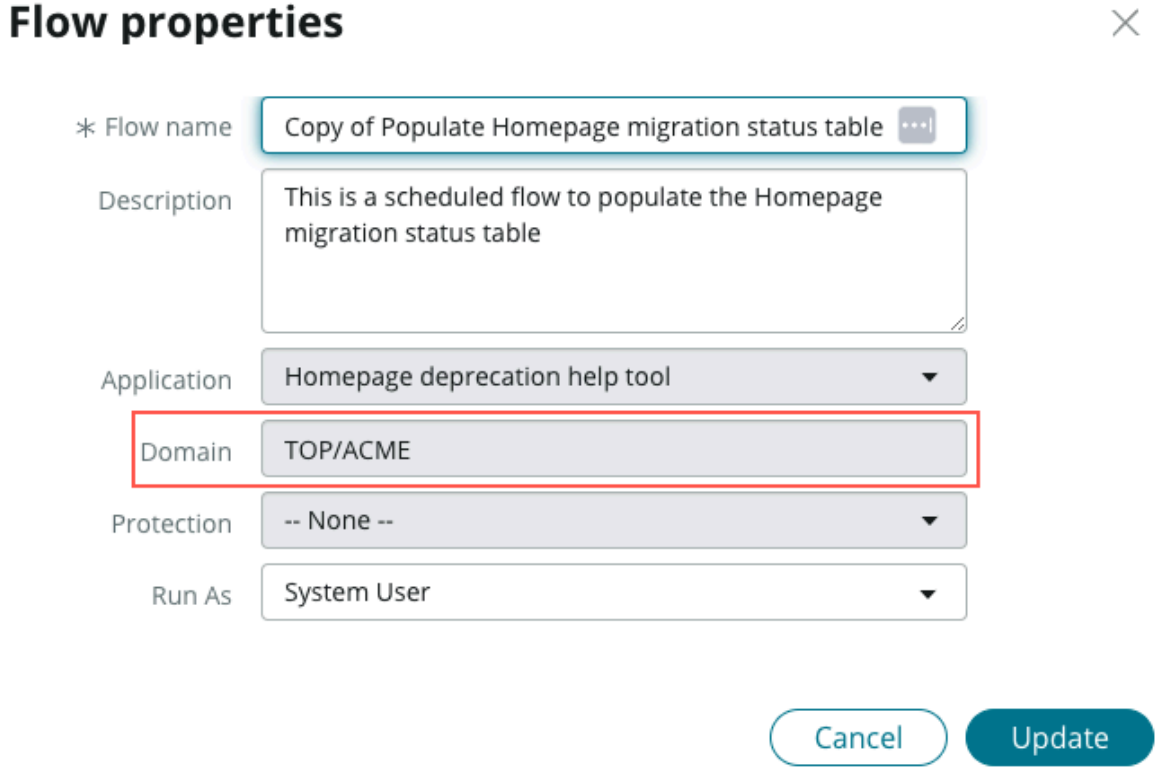
5. アプリケーションの [ホームページの廃止] ヘルプ ツール を選択し、[コピー] を選択します。

6. [その他のアクション] メニューを選択し、[フロープロパティ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フローは選択したドメインスコープを指します。



ウィジェット

クラシック環境のダッシュボードに追加されたオブジェクトは、ウィジェットと呼ばれます。ウィジェットを作成および管理できます。多くのアプリケーションは、独自のウィジェットを持ちます。アプリケーションに含まれるウィジェットの詳細については、アプリケーションのドキュメントを参照してください。

各ウィジェット タイプを使用すると、ダッシュボードで異なる操作を実行できます。各タイプのリンクをたどって、ダッシュボードでウィジェットを作成および編集する方法を学習します。 ウィジェットタイプには次のものがあります。

レポート

レポートのビジュアル化は、情報の状態をリアルタイムで表示するデータのスナップショットです。詳細については、「レポート」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは、経時的に収集されたインジケーターデータに基づいて情報をビジュアル化します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。

インタラクティブフィルター

インタラクティブフィルターを使用すると、元のレポートを変更せずにダッシュボードですべてのレポートを動的にフィルタリングすることができます。詳細については、「インタラクティブフィルター」を参照してください。

コンテンツブロック

コンテンツブロックは、インスタンス全体で再利用できる情報です。詳細については、「 コンテンツ ブロックの構成 」を参照してください。

ServiceNow UI ページを表示するウィジェットの作成

Web ページを表示する ServiceNow UI ページを作成できます。その後、その UI ページを、ダッシュボードに追加できるウィジェットに追加できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
UI ページとは、リストでもフォームでもない ServiceNowページのことです。すべての UI ページがウィジェットに収まるわけではありません。外部サイトのウィジェットやガジェットなどの一部の UI ページは、ダッシュボードに配置すると正しく表示されません。

フレームワーク ページ テンプレートを使用せずに UI ページを作成する方法については、ServiceNow コミュニティーの開発者による「フレームワーク ページ テンプレートを使用せずに UI ページを作成する」というブログ投稿を参照してください。

注:
この機能を使用するには、JavaScript のナレッジが必要です。

手順

1. ウィジェットとして表示する ServiceNow UI ページを作成または検索します。
   ステップ 4 で使用するこの UI ページの名前をメモします。UI ページ名は、UI ページのコンテンツを定義するフォームの name フィールドの値です。
2. 移動先 システム **UI** > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
   ウィジェット レコードは、個々のウィジェットのレコードではなく、ウィジェット カテゴリーのレコードです。ウィジェットをダッシュボードに追加する際は、まずカテゴリーを選択してから、ウィジェットを選択します。ステップ 4 で指定する JavaScript には、そのカテゴリに含めるウィジェットのリストが含まれます。
3. 次のフィールドに入力します。

4. 次の JavaScript を [スクリプト] フィールドに追加し、指定したとおりに置き換えます。
   return ステートメントには、このウィジェット カテゴリにリストされているウィジェットが含まれています。

   注:
   このステップのコードスニペットは、スコープ外のアプリケーションでも機能します。スコープ対象のアプリケーションには、ステップ 5 のコードスニペットを使用します。

widget_name	ウィジェットをダッシュボードに追加するときに、ユーザーがウィジェット ピッカーで選択するウィジェットの名前。この文字列は、ウィジェット ヘッダーにも表示されます。この値は、ステップ 3 で設定した名前です。
UI_page_name	ウィジェットに表示する手順 1 の UI ページの名前。

```
function sections() {
   return {
      'widget_name': { 'uiPageName' : 'UI_page_name'},
      'widget_name2': {'uiPageName': 'UI_page_name_2'}
   };
}

function render() {
   var uiPageName = renderer.getPreferences().get("uiPageName");
   return renderer.getRenderedPage(uiPageName);
}
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
function getEditLink() {
   var uiPageName = renderer.getPreference('uiPageName');
   return 'sys_ui_page.do?sysparm_query=' + encodeURIComponent('name=' +
 uiPageName);
}
```

5. オプション: スコープ対象のアプリケーションには、次のコード例を使用します。

```
function sections() {
   return {
   'Widget': {
   'type': 'widgetname'
   }
   };
}

function render() {
   var scope = gs.getCurrentScopeName();
   scope = (scope == "rhino.global" ? "" : scope + "_");
   var page = renderer.getPreference('type');
   return renderer.getRenderedPage(scope + page);
}

function getEditLink() {
   var scope = gs.getCurrentScopeName();
   scope = (scope == "rhino.global" ? "" : scope + "_");
   var page = renderer.getPreference('type');
   return "sys_ui_page.do?sysparm_query=name=" + scope + page;
}
```

6. [送信] をクリックします。

次のタスク
レスポンシブダッシュボードの編集

インタラクティブフィルター

インタラクティブフィルターを使用すると、元のレポートを変更せずにダッシュボードですべてのレポートを動的にフィルタリングすることができます。

インタラクティブ フィルターを作成し、ウィジェットとしてダッシュボードに追加できます。インタラクティブフィルターウィジェットで値を選択すると、ダッシュボード上のレポートのデータがフィルタリングされます。ダッシュボードでは、選択したフィルターがユーザーごとに保存され、そのユーザーが次回ダッシュボードを表示するときに自動的に適用されます。

インタラクティブ フィルターを作成するには、「 利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ 」を参照し、フィルターの種類を選択します。

ホームページの対話型フィルターは、デフォルト値を保持したり、ログインやページの更新をまたいで値を保持したりしません。この機能はダッシュボードで利用できます。詳細については、「ホームページを個々のダッシュボードに変換する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのウィジェットは、インタラクティブ フィルターに従いません。ブレークダウン ダッシュボード コントロールを使用して、同じブレークダウン ソースでこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」と「ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる」を参照してください。
- インタラクティブ フィルターは、 メトリックベース ソースに基づくレポートではサポートされていません。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスの統合フィルターの詳細については、「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ

複数のフィールドタイプに対してインタラクティブフィルターを作成および設定できます。

インタラクティブ フィルターのタイプ

タイプ	説明
選択リスト	特定の選択肢リストの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと選択リストのフィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
参照	1 つ以上の参照フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。参照先のテーブルと、他のテーブルの参照フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定した参照フィールドを持つテーブルのレポートに影響を与えます。 **注:** 参照インタラクティブ フィルターは文字列フィールドをサポートしていません。
日付	1 つ以上の日付フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと日付フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
ブール	特定の True/False フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと True/False フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
グループ	ダッシュボード上の 1 つのウィジェットに複数のインタラクティブ フィルターを表示できます。ダッシュボードを表示しているユーザーは、グループ化されたフィルターを選択して適用できます。
空/空でない	フィールドに値が含まれているかどうかに基づいてフィルターで絞り込みます。
カスケード	地域、国、都市など、階層内の複数の値に基づいてフィルターで絞り込むことができます。

選択リスト インタラクティブ フィルターを作成する

選択リスト インタラクティブ フィルターを使用すると、選択リストの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

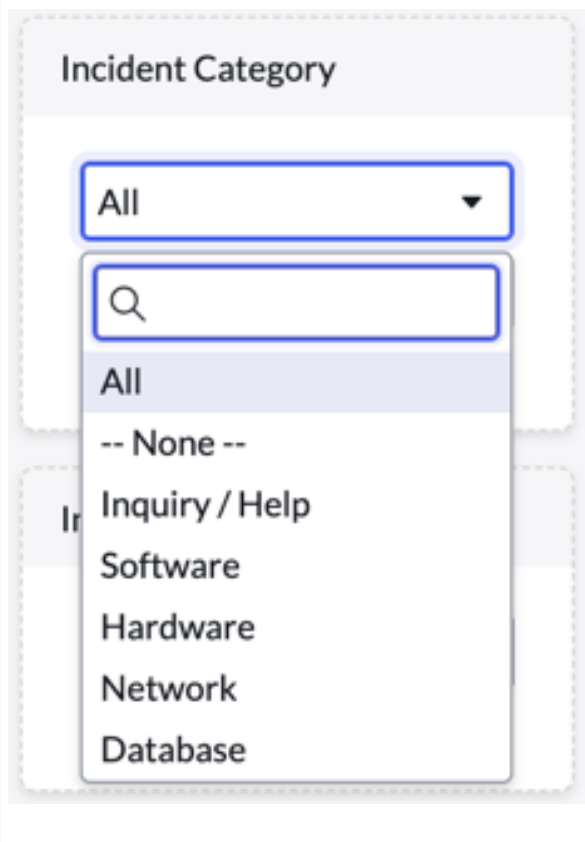
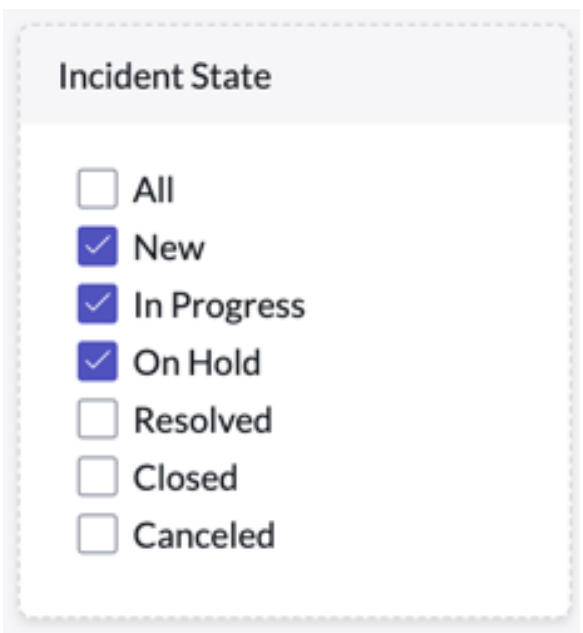
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

選択リストには、限られた数の指定された値から選択できます。ステータスと優先度は、選択リストの 2 つの例です。通常、ユーザーと場所は選択リストで選択されません。詳細については、「 選択リストのフィールドタイプ 」を参照してください。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。

選択リストフィルター:単一選択	選択リストフィルター - チェックボックス
	

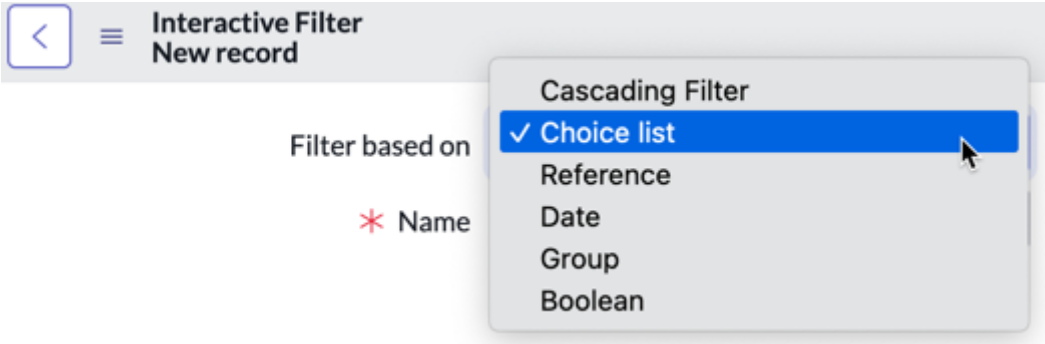
注:
インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > **Reports** (レポート) > 管理 > インタラクティブ フィルター をクリックし、フィルターを適用する同じテーブルに基づいてインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブ フィルター.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [新規] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[選択リスト] を選択します。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
7. オプション: データベース ビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、**[Apply filter to database views and tables]** (データベース ビューとテーブルにフィルターを適用) を選択します。

   注:
   データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. オプション: フィルターで特定の要素の表示を除外するには、[除外リスト] を使用します。ただし、インタラクティブ フィルターで [すべて] を選択するときは、除外された選択肢のデータも含まれます。
9. [テーブル] リストで、フィルターを適用する選択リストを含むテーブルを選択します。
10. [フィールド] リストで、フィルターを適用するフィールドを選択します。
11. オプション: フィルターから除外するリスト要素を [除外リスト] フィールドに追加します。
12. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロールタイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

> **注:**
> 50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

13. [送信] を選択します。

次のタスク

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従うダッシュボード上の各可視化で ウィジェットの編集 アイコン ( ) を選択し、[**Follow interactive filter** (インタラクティブフィルターに従う)] を選択します。

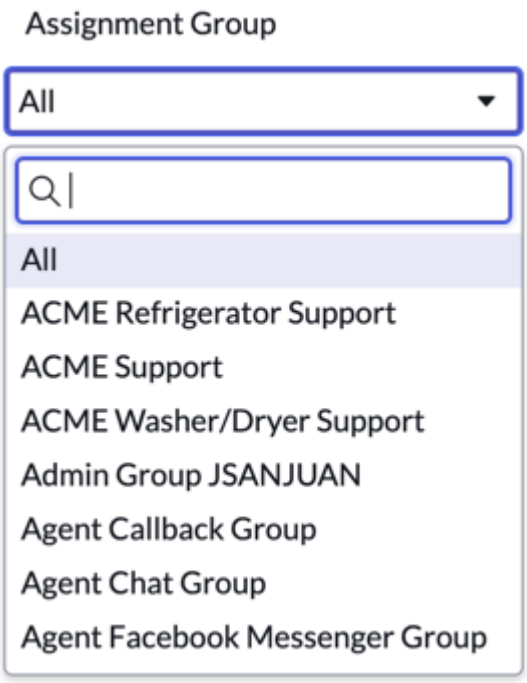
参照フィールド インタラクティブ フィルターを作成する

参照フィールド インタラクティブ フィルターを使用すると、参照フィールドの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 この参照フィルターの例では、グループ [sys_user_group] テーブルの [アサイン先グループ] フィールドのフィルターオプションを提供しています。



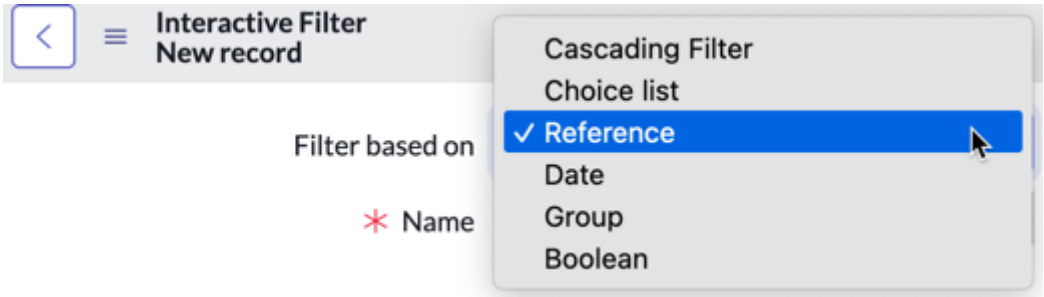
> **注:**
> インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > **Reports** (レポート) > 管理 > インタラクティブ フィルター をクリックし、フィルターを適用する同じテーブルに基づいてインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブ フィルター.
3. [新規] をクリックします。
4. [フィルター基準] リストで、[参照] を選択します。



5. [参照テーブル] リストで、フィルターを適用する参照レコードを格納しているテーブルを選択します。
6. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
   このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロールタイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

   注:
   50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

7. 次のフィールドを設定します。

名前	**Description** (説明)
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	クティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。
キーワードで始まる検索結果のみを表示	選択すると、検索用語で始まる結果のみが返されます。それ以外の場合、検索では任意の場所に検索用語を含む結果が返されます。何百万ものレコードを含むテーブルなど、非常に大きなテーブルに参照フィルターを設定する場合は、このオプションを検討してください。一般的な用語で検索すると、返されるレコードが多すぎて管理できない場合があります。

8. オプション: データベース ビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、**[Apply filter to database views and tables]** (データベース ビューとテーブルにフィルターを適用) を選択します。

   注:
   データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

9. フォームヘッダーを右クリックして、[**Save**] を選択します。
10. オプション: UI コントロールタイプが [単一入力を選択] の場合は、[すべて削除] オプション を選択して、[すべて] オプションなしでインタラクティブフィルターを構成します。
    ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。
11. [インタラクティブフィルター参照] 関連リストで、[新規] を選択します。
    この関連リストは、フィルターを保存するまで表示されません。
12. [参照テーブル] フィールドで、フィルタリングするレポートを含むテーブルを選択します。
13. フィルターを適用する [参照フィールド] を選択します。

    フィールドは、親フィルターの [参照テーブル] フィールドで指定されたテーブルを参照する必要があります。

    他のテーブルを参照するフィールドからドット連結することができます。たとえば、親フィルターの [参照テーブル] が部門 [cmn_department] の場合、参照の [参照テーブル] として [インシデント] を選択し、[参照フィールド] として [問い合わせユーザーの部門] を選択できます。

    注:
    参照インタラクティブ フィルターは文字列フィールドをサポートしていません。

14. オプション: 関連リスト条件を追加します。
    1 つの関連テーブルのレコードに基づいて、フィルターに条件を追加できます。

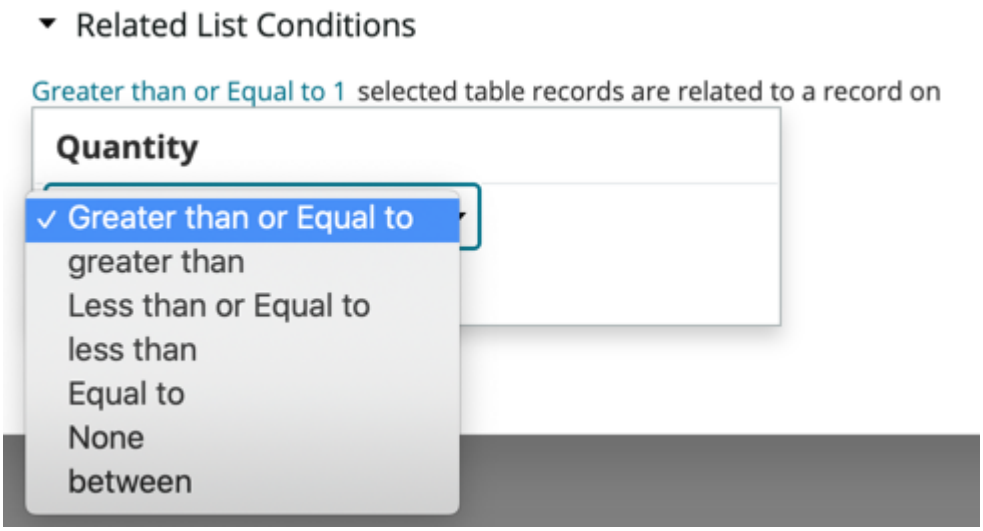
    a. [**1** 以上] というラベルのリンクをクリックします。
       リストから、ターゲットテーブルのレコードに関連付ける必要があるソーステーブルのレコードの数を選択します。

       オプションは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 次の値以上
- 次の値を超える
- 次の値以下
- 次の値未満
- 次の値に等しい (=)
- なし
- 次の間



b. 関連テーブルを選択します。

c. フィルターを有効にするために満たす必要のある条件をテーブルで指定します。

15. [送信] をクリックします。

次のタスク

フィルターを適用する参照フィールドごとに、必要に応じて手順 10 ～ 13 を繰り返します。フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

注:
パフォーマンス上の理由から、フィルターを [チェック ボックス] コントロール タイプから [複数の入力を選択] コントロール タイプに変換できます。

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

2. ダッシュボードで、フィルターに従うダッシュボード上の各可視化で ウィジェットの編集 アイコン ( ) を選択し、[**Follow interactive filter** (インタラクティブフィルターに従う)] を選択します。

関連情報

[参照] フィールドタイプ

利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ

関連リスト条件を追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

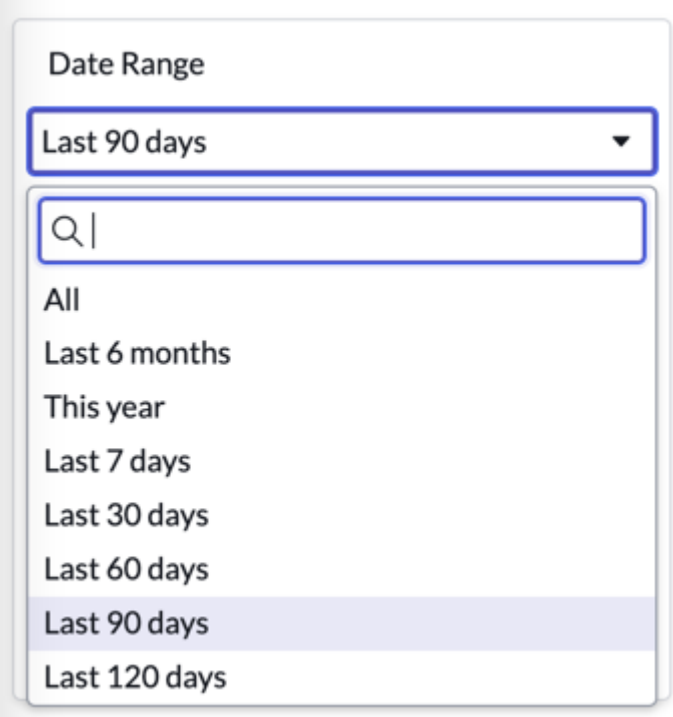
日付インタラクティブ フィルターを作成する

日付インタラクティブ フィルターを使用すると、日付フィールドの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 この日付フィルターの例では、フィルターできる日付範囲の数を示しています。



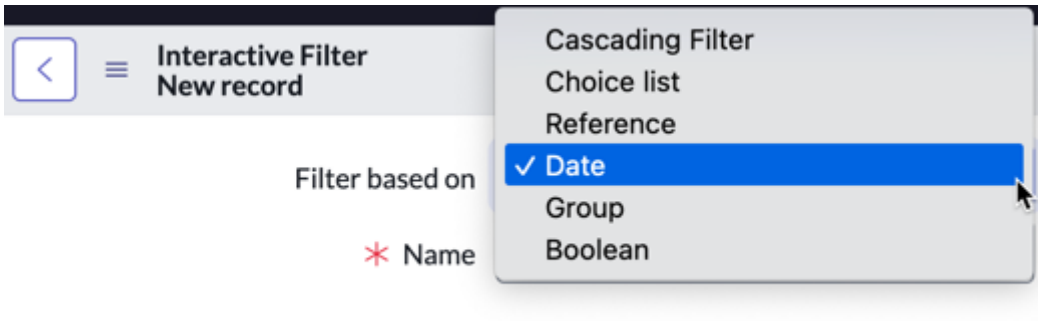
注:
インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > **Reports** (レポート) > 管理 > インタラクティブ フィルター をクリックし、フィルターを適用する同じテーブルに基づいてインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブ フィルター.
3. [新規] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[日付] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。

7. オプション: データベース ビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、**[Apply filter to database views and tables]** (データベース ビューとテーブルにフィルターを適用) を選択します。

> **注:**
> データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. [日付] セクションで、スラッシュバケットを使用して、ユーザーがフィルターを適用できる 1 つ以上の日付範囲を選択します。
使用可能な日付フィルターは、 *Get Date Filter options for Date Filters* ビジネス ルールで定義されます。このビジネス ルールをカスタマイズして、フィルター オプションを追加または削除します。

9. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロール タイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

10. フォームヘッダーを右クリックして、[**Save**] を選択します。
11. [インタラクティブフィルターの日付] 関連リストで、[新規] を選択します。
12. [テーブル] フィールドで、フィルターを適用するレポートがあるテーブルを選択します。
13. [フィールド] フィールドで、フィルターを適用する日付フィールドを選択します。
14. [送信] をクリックします。

次のタスク

フィルターを適用する日付フィールドごとに、必要に応じて手順 8 ～11 を繰り返します。

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従うダッシュボード上の各可視化で ウィジェットの編集 アイコン ( ) を選択し、[**Follow interactive filter** (インタラクティブフィルターに従う)] を選択します。

ブール型インタラクティブ フィルターを作成する

ブール インタラクティブ フィルターを使用すると、true/false フィールドの値に基づいてレポートウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 このブール フィルターの例では、フィルター処理できる 3 つのオプション (true、false、および All) が示されています。



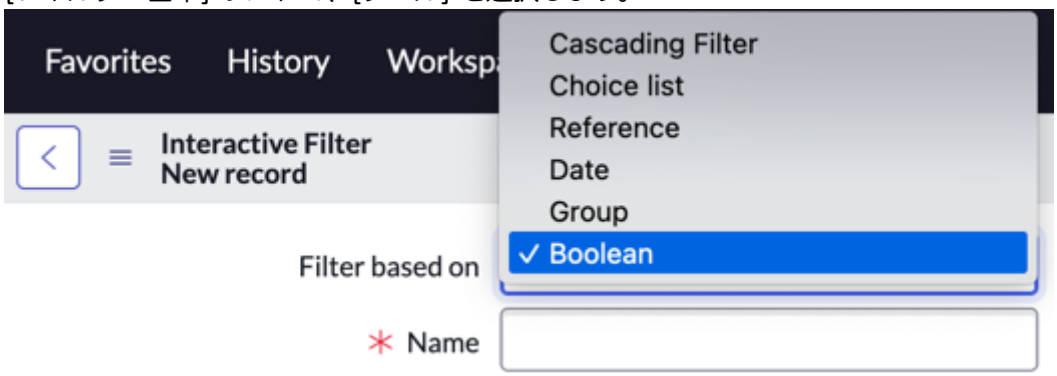
> **注:**
> インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > **Reports** (レポート) > 管理 > インタラクティブ フィルター をクリックし、フィルターを適用する同じテーブルに基づいてインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブ フィルター.
3. [新規] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[ブール] を選択します。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
7. オプション: データベース ビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、**[Apply filter to database views and tables]** (データベース ビューとテーブルにフィルターを適用) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. [テーブル] ボックスの一覧で、フィルターを適用する true/false フィールドを含むテーブルを選択します。
9. [フィールド] リストで、フィルターを適用する True/False フィールドを選択します。
10. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが別の値を選択した場合、その値はユーザーのデフォルトとして保存され、グローバルのデフォルト値よりも優先されます。
11. [送信] を選択します。

次のタスク

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従うダッシュボード上の各可視化で ウィジェットの編集 アイコン () を選択し、[**Follow interactive filter** (インタラクティブフィルターに従う)] を選択します。

グループ インタラクティブ フィルターを作成する

グループ インタラクティブ フィルターを使用すると、複数のインタラクティブ フィルターを選択してダッシュボード上のレポートに適用できます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

> **注:**
> インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

この手順を開始する前に、グループ化する複数の選択リスト、参照フィールド、ブール、または日付フィルターを作成します。

子フィルター用に選択したデフォルト値は、グループ フィルターを使用するときに適用されません。グループ フィルターで選択した値は、ダッシュボードを再読み込みするときに保存されません。

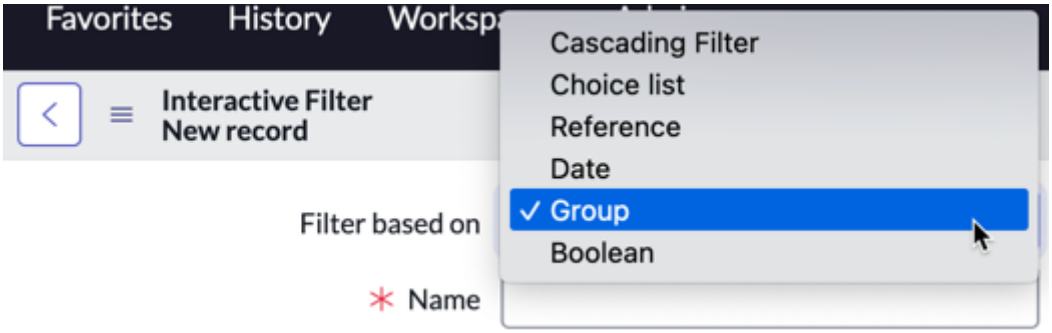
手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > **Reports** (レポート) > 管理 > インタラクティブ フィルター をクリックし、フィルターを適用する同じテーブルに基づいてインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブ フィルター.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [新規] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[グループ] を選択します。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。

6. [グループ] セクションで、[新しい行の挿入] を選択します。
7. このグループに追加するインタラクティブ フィルターを選択します。
   グループ フィルターを別のグループ フィルターに追加することはできません。
8. グループ化するフィルターごとに、必要に応じて前の 2 つの手順を繰り返します。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従うダッシュボード上の各可視化で ウィジェットの編集 アイコン ( ) を選択し、[**Follow interactive filter** (インタラクティブフィルターに従う)] を選択します。

フィールドが空であるか設定されているかを示すインタラクティブ フィルターを作成する

ブール インタラクティブ フィルターを作成して、特定のフィールドが空であるか設定されているかに基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

このタスクについて

指定されたフィールドが設定されているレコードの場合は [はい] フィルターを作成し、フィールドが空のレコードの場合は [いいえ] フィルターを作成します。フィルターには、この論理関係を表す名前を付けます。たとえば、インシデント テーブルと問題フィールドに基づくフィルタの場合、「インシデントから問題を生成」などの名前を使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > インタラクティブ フィルター.
2. [新規] を選択します。
3. [フィルター基準] リストで、[ブール] を選択します。
4. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

5. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
6. オプション: データベース ビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、**[Apply filter to database views and tables]** (データベース ビューとテーブルにフィルターを適用) を選択します。

> **注:**
> データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

7. [テーブル] リストで、フィルターを適用するフィールドを含むテーブルを選択します。
8. [フィールド] リストで、フィルターを適用するフィールドを選択します。
9. [送信] を選択します。

次のタスク

フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カスケード フィルターを作成する

カスケード フィルターを使用すると、階層内の複数の値 (地域、国、都市など) に基づいてフィルターを適用できます。下位レベルの選択肢は、上位レベルで選択された値によってフィルタリングされます。

始める前に

ユーザーがマネージャーのリストから選択し、そのマネージャーに報告するグループから選択できるようにするカスケード フィルターを作成できます。選択後、レポート データが絞り込まれ、そのグループにアサインされたレコードのみが表示されます。または、マネージャーのみを選択してグループを選択しないなど、フィルターの下位レベルを選択しないでおくこともできます。選択後、レポート データが絞り込まれ、そのマネージャーによって管理されているグループにアサインされたレコードが表示されます。カスケード フィルターでは、ダッシュボードで最後に選択した要素が保持されます。

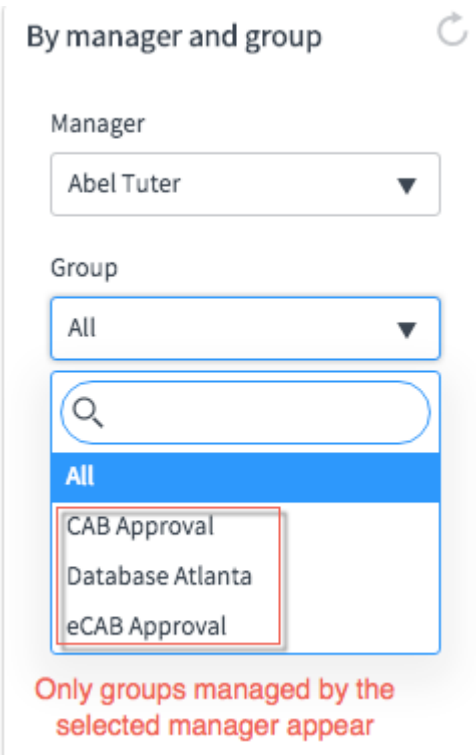
フィルターの作成に使用するデータの構造に一貫性があることを確認してください。たとえば、場所に基づくカスケード フィルターでは、最上位の選択肢がすべての地域であり、第 2 レベルの選択肢がすべての国であることを確認します。レベルごとに該当する選択肢のみを使用できるようにするフィルター条件を定義できます。

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

このタスクについて

この手順の例は、マネージャーとグループを使用するカスケードのインタラクティブ フィルターに基づいています。この例でユーザーは、最上位の選択肢ではマネージャーを選択でき、第 2 レベルの選択肢では、そのマネージャーによって管理されるユーザー グループを選択できます。

カスケード フィルターの例



注:
参照フィールドの値のみに基づいてレポートをフィルターで絞り込むことができます。カスケード フィルターでサポートされているのは、 単一選択 **UI** コントロール タイプのみです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブ フィルター.
2. [新規] をクリックします。
3. [フィルター基準] リストで、[カスケード フィルター] を選択します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. カスケード フィルターの第 1 レベルを定義します。

   a. [カスケード フィルター] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   b. [テーブル] と、フィルターの最上位の選択肢として使用する値が含まれているテーブルの [表示フィールド] を選択します。 [表示フィールド] は、ブール、選択、参照、および文字列のタイプに制限されています。
   マネージャとマネージャが管理するグループに基づいて階層の最上位を定義するには、[テーブル] として [グループ **[sys_user_group]]**、[表示] フィールドとして [マネージャ] を選択します。

   c. オプション: [フィルター] フィールドを使用して、ユーザーが使用できる選択肢を制限します。フィルター条件は、場所 [cmn_location] などの自己参照テーブルに基づいてカスケード フィルターを作成する場合に特に便利です。データをフィルター処理して、カスケード フィルターの各レベルにそのレベルに適したオプションのみが含まれるようにします。

   d. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

6. 階層の次のレベルを定義します。
   カスケード フィルターでは、上位のフィルターと下位のフィルターの間で 1 対多の関係が使用されます。1 つの上位フィルターが、任意の数の下位フィルターで使用できる選択肢に影響を与える可能性があります。

   a. マネージャーのフィルターの [カスケード フィルター] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   b. [テーブル] と、フィルターの第 2 レベルの選択肢として使用する値が含まれているテーブルの [表示フィールド] を選択します。 [表示フィールド] は、ブール、選択、参照、および文字列のタイプに制限されています。
   マネージャーとグループの例では、[テーブル] として [グループ **[sys_user_group]]** を選択し、[表示フィールド] として [名前] を選択します。

   c. [親参照フィールド] フィールドで、上位のフィルターから選択した値を含むフィールドを選択します。
   たとえば、グループ フィルターを作成する場合、[親参照フィールド] の値は [マネージャー] です。この例では、最初のフィルターで選択したマネージャーを使用し、各グループの [マネージャー] フィールドの値に基づいて、使用可能なグループのリストをフィルターで絞り込みます。

   d. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

   e. 追加するフィルターごとに、前述の下位の手順を繰り返します。
   フィルター階層に別のレベルを追加するには、最下位のフィルターの [カスケードフィルター] 関連リストに新しいレコードを追加します。たとえば、マネージャーフィルターなどのトップレベルのフィルターではなく、グループフィルターを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. それぞれのフィルター レベルでダッシュボード上のレポートにフィルターを適用する方法を定義します。

   a. [ターゲット テーブル] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   b. フィルターを適用するデータが含まれている [ターゲット テーブル] を選択します ([インシデント] など)。

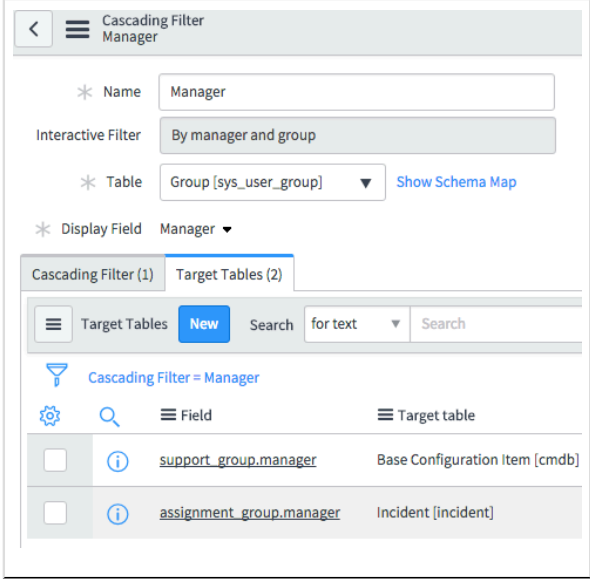
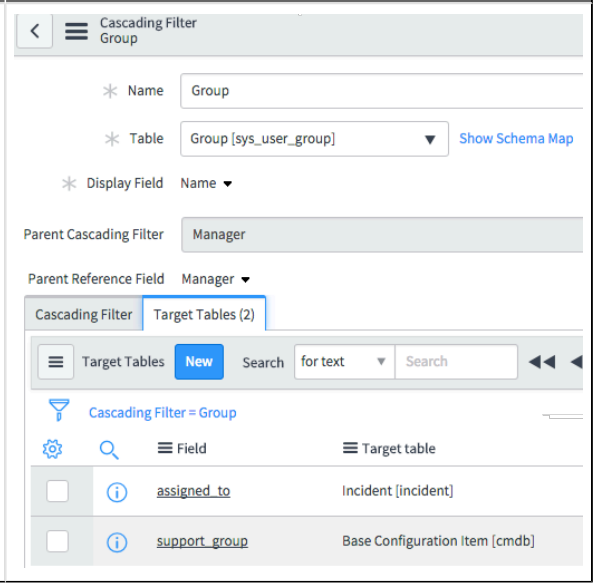
   c. フィルターを適用する [フィールド] を選択します。
   フィールドは、フィルターで指定されたテーブルを参照する必要があります。たとえば、インシデント データにフィルターを適用する場合、最上位のマネージャー フィルターの [フィールド] は **[Assignment group.Manager]** です。この例では、第 2 レベルのグループ フィルターの [フィールド] は [アサイン先グループ] です。

   d. [送信] をクリックします。

   e. 前述の下位の手順を繰り返して、フィルタの各レベルのターゲットを追加します。
   フィルターレベルごとに複数のターゲットを定義できます。たとえば、同じグループ [sys_user_group] フィルターを使用して、インシデントデータをアサイン先グループでフィルタリングしたり、CMDB CI をサポートグループでフィルタリングしたりします。

   > **注:**
   > カスケード フィルター階層ではターゲットを少なくとも 1 つ指定する必要があります。階層内のレベルをスキップするカスケード フィルターを定義したり、階層内の特定のレベルのターゲットのみを指定するカスケード フィルターを定義したりできます。たとえば、グループレベルのフィルターに対してのみターゲットを定義し、マネージャーレベルのフィルターに対してはターゲットを定義しないでください。この例では、ユーザーがマネージャーのみではなく特定のグループを選択した場合にのみ、レポートがフィルターで絞り込まれます。

次の図は、カスケード フィルターの例の詳細な構成を示しています。最上位のフィルターの [カスケード フィルター] 関連リスト (図示せず) には、第 2 レベルのフィルターが含まれています。

最上位のフィルター	第 2 レベルのフィルター
	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

1. フィルターのすべてのレベルを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従うダッシュボード上の各可視化で ウィジェットの編集 アイコン () を選択し、[**Follow interactive filter** (インタラクティブフィルターに従う)] を選択します。

カスケード フィルターの重複排除

[フィルター] パネルをクリーンアップする必要がないように、重複したフィルターは自動的に削除されます。

重複したフィルターは、次の基準に従って削除されます。

- 構成が同じ場合は、最後に編集したフィルタが保持されます。
- 一部のフィルタに 1 つのみのターゲットがあり、その他のフィルタに複数のターゲットが存在する場合を除き、構成が同じであれば、最新のフィルタのみが保持されます。
- 構成が同じでも、一部のフィルタの同じターゲット テーブルに複数のターゲット列がある場合は、すべてのフィルタが個別のフィルタとみなされて保持されます。同じターゲット テーブルの複数のターゲット列の例は、インシデント テーブルの[開いた日付] と [エスカレートされた日付] です。
- 構成と UI コントロールが同じでも、ベース条件が 2 つのフィルタで異なる場合は、別々のフィルタとみなされて保持されます。

データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター

拡張テーブルに適用するインタラクティブ フィルターを作成する場合は、フィルターをデータベース ビューと階層内の他のテーブルに適用することもできます。階層には、すべての親、子、および兄弟テーブルが含まれます。

インタラクティブ フィルターを作成すると、次のことを実行できます。

階層内のすべてのテーブルを選択する

ソーステーブルがインシデントの場合、インタラクティブフィルターはインシデントに適用されます。その親テーブル、タスク。そして、問題と変更を含むすべての兄弟テーブルに適用されます。

この選択が尊重されるように、[インタラクティブフィルター参照] セクションに可能なターゲットを指定します。

データベース ビューとテーブルの両方にフィルターを適用することを選択する

ソース テーブルがインシデントの場合、インタラクティブ フィルターは、インシデントと [incident_sla] などのデータベース ビューの両方に適用されます。

この選択が尊重されるように、[インタラクティブフィルター参照] セクションに可能なターゲットを指定します。

両方のチェック ボックスをオンにする

インタラクティブ フィルターは、階層内のすべてのテーブルとデータベース ビューに適用されます。

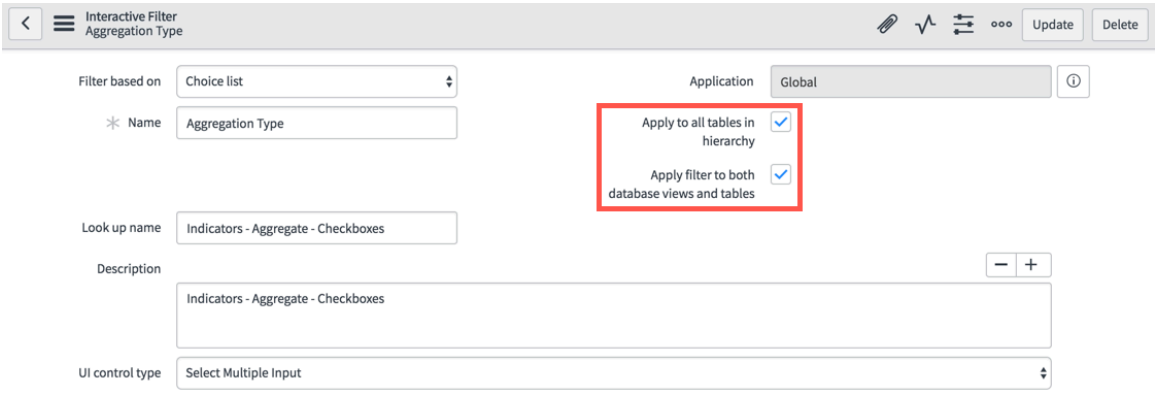
どちらのチェック ボックスもオンにしない

インタラクティブ フィルターは、インシデントなどのソース テーブルにのみ適用されます。

注:
これは、インタラクティブ フィルター作成時のデフォルト設定です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



拡張テーブルに適用されるインタラクティブ フィルターは、階層内の他のテーブルにも適用されます。

注:
データベース ビューに適用されるインタラクティブ フィルターは、データベース ビューのソース テーブルの兄弟テーブルに自動的には適用されません。たとえば、[problem_sla] が、[task_problem] テーブルに基づいて作成されたデータベース ビューの場合、[problem_sla] に適用されるインタラクティブ フィルターは、両方のオプションをオンにしている場合でも、[task_problem] の兄弟テーブルである [task_change] テーブルに基づくウィジェットに自動的には適用されません。

利用可能なインタラクティブ フィルターの **UI** コントロール タイプ

インタラクティブ フィルターの **[UI** コントロール タイプ] フィールドには、フィルターを表示するためのいくつかのオプションがあります。

利用可能な **UI** コントロール タイプ

UI コントロール タイプ	説明
ラジオ ボタン	各フィルター オプションをラジオ ボタンとして表示します。ユーザーはラジオ ボタンを一度に 1 つだけ選択できます。
チェック ボックス	各フィルター オプションをチェック ボックスとして表示します。ユーザーは一度に任意の数のチェック ボックスを選択できます。
単一の入力を選択	フィルター オプションを選択リストとして表示します。ユーザーは選択肢を一度に 1 つだけ選択できます。
複数の入力を選択	フィルター オプションを選択リストとして表示します。ユーザーは一度に任意の数の選択肢を選択できます。選択した選択肢の横にある X をクリックすると、その選択肢の選択が解除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

[チェック ボックス] または [複数の入力を選択] コントロール タイプを使用して複数の値を選択する場合、フィルターの動作はフィルターのタイプによって異なります。選択フィルターでは AND クエリが使用されます。つまり、レコードはすべての条件に一致する必要があります。日付および参照フィルターでは OR クエリが使用されます。つまり、レコードは指定された条件のうち少なくとも 1 つに一致する必要があります。

パフォーマンスに問題がある場合は、フィルターのコントロール タイプを [チェックボックス] から [複数の入力を選択] に変換することもできます。

ダッシュボードのインタラクティブフィルター

インタラクティブ フィルターをダッシュボードに追加することで、ユーザーがインタラクティブ フィルターを利用できるようにすることができます。

有効にするには、インタラクティブフィルターがフィルターを適用するレポートと同じテーブルに基づいている必要があります。たとえば、ユーザーテーブルに基づくレポートは、インシデントテーブルに基づくインタラクティブフィルターには従いません。詳細については、「インタラクティブフィルターに従ったレポートを作成する」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのウィジェットは、インタラクティブ フィルターに従いません。ブレークダウン ダッシュボード コントロールを使用して、同じブレークダウン ソースでこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

インタラクティブ フィルター ウィジェットをレスポンシブ ダッシュボードに追加する

インタラクティブ フィルターをダッシュボードに追加して、そのダッシュボードのレポートにフィルターを適用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user ウィジェットを追加するダッシュボードへの編集アクセス権が必要です。

このタスクについて

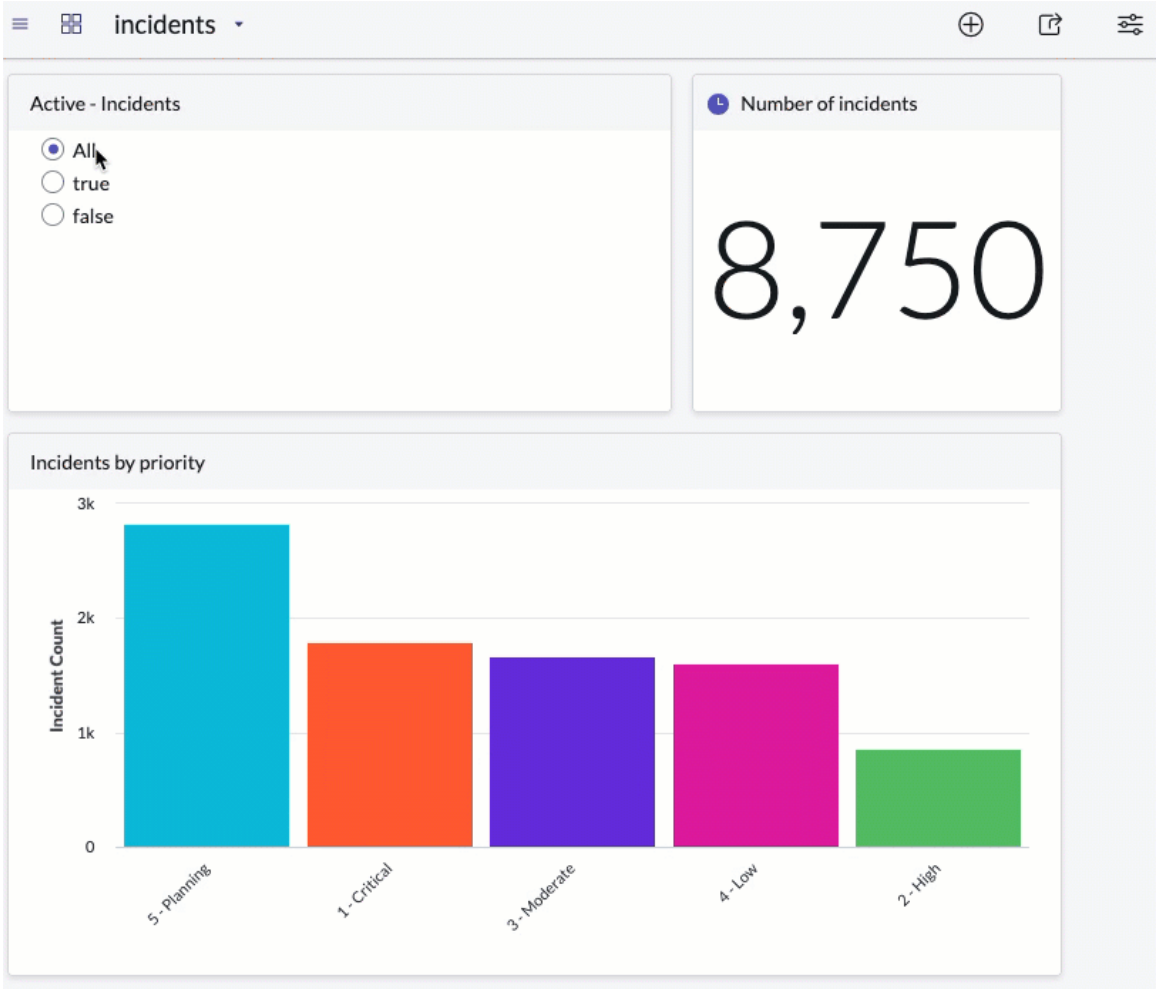
有効にするには、インタラクティブフィルターがフィルターを適用するレポートと同じテーブルに基づいている必要があります。たとえば、ユーザーテーブルに基づくレポートは、インシデントテーブルに基づくインタラクティブフィルターには従いません。詳細については、「インタラクティブフィルターに従ったレポートを作成する」を参照してください。

使用可能なインタラクティブ フィルターの詳細については、「 利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ」を参照してください。このトピックでは、さまざまなフィルターの作成と構成について詳しく知ることができます。

このアニメーションでは、2 つの可視化とインタラクティブ フィルターはすべてインシデント テーブルに基づいています。どちらの可視化もフィルターに従うように構成されています。フィルターオプションの 1 つを選択すると (この場合は、[アクティブ] が [true]、[アクティブ] が [False]、または [すべて])、両方の可視化がその選択に従って更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



手順

1. ダッシュボードに移動します。

2. コンテンツの追加アイコン (コンテンツ ＋) をクリックします。

3. [インタラクティブ フィルター] を選択します。

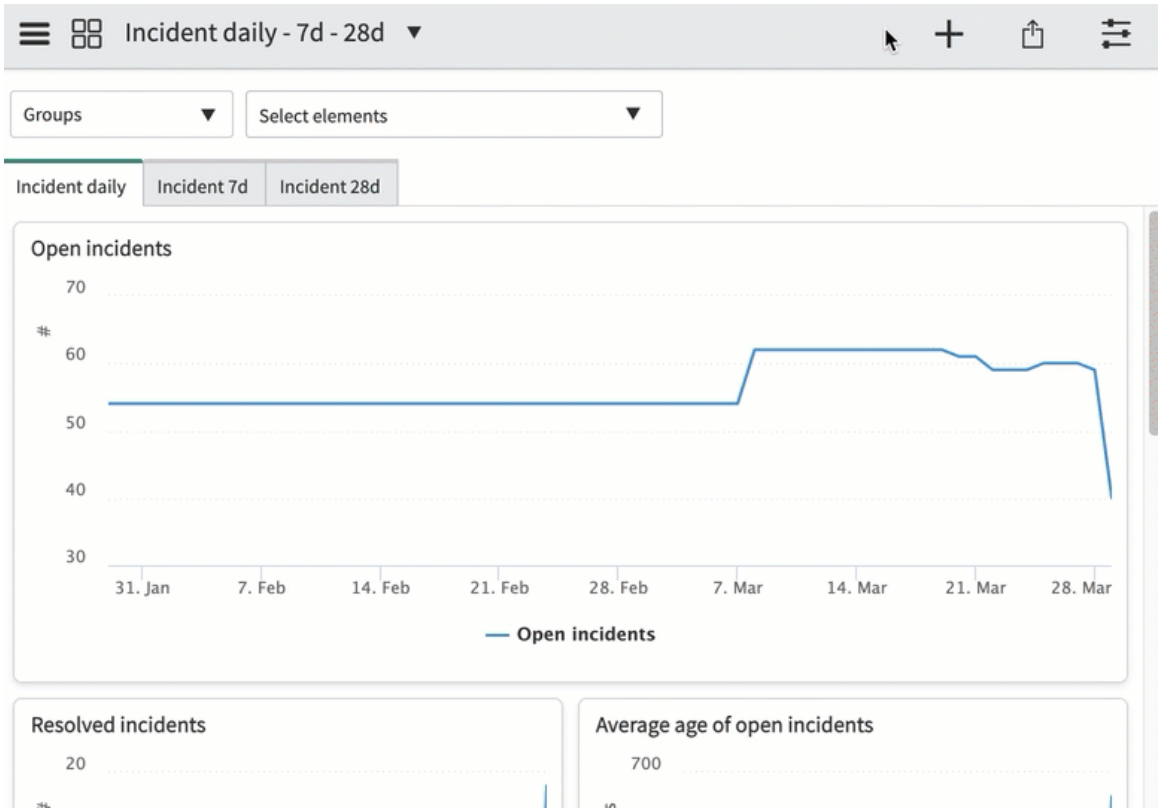
4. 追加するフィルターのタイプ ([選択リスト]、[参照]など) を選択します。

5. 追加するフィルターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [追加] をクリックするか、フィルターをダッシュボードにドラッグします。



ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる

ダッシュボード上の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンを、ダッシュボード上のレポートのインタラクティブフィルターとして機能するように構成することができます。ダッシュボードは、ブレークダウンダッシュボードとして構成する必要があります。

始める前に

ダッシュボードは、レポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの両方を使用して構成する必要があります。ダッシュボードへのブレークダウン ソースの追加で説明したように、パフォーマンスアナリティクスウィジェットがフォローするブレークダウン ソースが少なくとも 1 つ、ダッシュボードを構成する必要があります。最後に、ダッシュボードには、いずれかのブレークダウン ソースと同じテーブルに基づくインタラクティブ フィルターが必要です。

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

ダッシュボード上のブレークダウンおよびブレークダウン要素を選択するときは、その要素を使用して、インタラクティブ フィルターで定義されたフィルター ルールに基づいて、ダッシュボード上のレポートにフィルターを適用することができます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ダッシュボード.
2. インタラクティブ フィルターとして機能させるブレークダウンを含むダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト メニュー アイコン をクリックし、[ダッシュボード プロパティ] を選択します。
4. [ブレークダウンソース] 関連リストで、インタラクティブフィルターとして使用するブレークダウンソースを見つけます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. 各ブレークダウン ソースの [フィルターとして機能] フィールドで、そのブレークダウン ソースを使用するインタラクティブ フィルターを選択します。

   注:
   [ブレークダウンソース] リストに [フィルターとして機能] 列がない場合は、リストをカスタマイズして追加します。詳細については、「 v2 リストのカスタマイズ 」を参照してください。

   ブレークダウン ソースの [ファクト テーブル] は、インタラクティブ フィルターのベースとなっているテーブルに合わせる必要があります。

   たとえば、HR.Groups.Active というブレークダウン ソースの場合は、グループ [sys_user_group] テーブルの参照フィールドのインタラクティブ フィルターを使用します。ブレークダウン ソース HR.Groups.Active からのブレークダウン要素は、他のテーブルのインタラクティブ フィルター (選択肢や日付フィールドに基づくインタラクティブ フィルターなど) では有効な選択肢にはなりません。

   注:
   バケット グループに基づくブレークダウン ソースをインタラクティブ フィルターとして使用することはできません。

6. [更新] をクリックします。
7. ダッシュボードのレコードで、[**View Dashboard**] をクリックします。
8. [+] アイコンをクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
9. インタラクティブ フィルターをフォローする各レポートについて、次の手順を実行します。
   a. 歯車アイコン をクリックして、[ウィジェットの編集] ウィンドウを開きます。
   b. [インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。
   c. オプション: ウィジェットがインタラクティブフィルターに従っているときにウィジェットタイトルの横にフィルターアイコンを表示するには、[フィルターに従う場合に表示] を選択します。
10. [完了] をクリックします。

タスクの結果

選択したブレークダウンは、ダッシュボードのレポートでインタラクティブフィルターとして機能します。

注:
パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのウィジェットは、インタラクティブ フィルターに従いません。ブレークダウン ダッシュボード コントロールを使用して、同じブレークダウン ソースでこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

インタラクティブ フィルターに従ったレポートを作成する

インタラクティブフィルターをダッシュボードに追加すると、インタラクティブフィルターからの入力を受け入れるようにダッシュボード上のレポートを設定できます。たとえば、インシデントテーブルの [アクティブ] フィールドにフィルターを追加します。インシデントテーブルのレポートでは、そのフィルターからユーザーの選択を反映させることができます。

始める前に

必要なロール：itil、report_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

有効にするには、インタラクティブフィルターがフィルターを適用するレポートと同じテーブルに基づいている必要があります。たとえば、ユーザーテーブルに基づくレポートは、インシデントテーブルに基づくインタラクティブフィルターには従いません。詳細については、「インタラクティブフィルターに従ったレポートを作成する」を参照してください。

手順

1. ダッシュボードに移動します。
2. ダッシュボードを編集モードにします。
3. レポート ウィジェットで、[ウィジェットの編集] アイコン ([ ) を選択します。
4. [インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。
   このオプションは、すべてのレポートウィジェットで使用できます。[インタラクティブフィルターに従う] オプションが表示されない場合、ウィジェットはリスト、PA、またはその他の非レポートウィジェットです。
5. レポートが対話型フィルターに従っているときに、レポートの左上隅にフィルター アイコン ( ) を表示するには、[フォローしている場合に表示] を選択します。
6. [完了] を選択します。
7. 現在のブラウザー ページを更新して変更を適用します。

次のタスク

1 つまたは複数のインタラクティブフィルターをダッシュボードに追加します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

レポートをインタラクティブ フィルターとして機能させる

既存のレポート ウィジェットを構成して、同じダッシュボード上の他のレポート ウィジェットにフィルターを適用することができます。

始める前に

必要なロール:itil、report_user
インタラクティブ フィルターとして機能できるのは、[タイプ] の値が円グラフ、ドーナツ グラフ、半ドーナツ グラフ、じょうごグラフ、またはピラミッドのレポートのみです。

注:
レポートがインタラクティブフィルターとして機能している場合、レポートのセグメントにドリルダウンすることはできません。

手順

1. ダッシュボードに移動します。
2. ダッシュボードを編集モードにします。
   - レスポンシブでないダッシュボードで、[編集] を選択します。
   - レスポンシブ ダッシュボードで、共有アイコン ( ) をクリックします。
3. レポート ウィジェットの上部をポイントし、[ウィジェットの編集] アイコン ( ) をクリックします。
4. [インタラクティブ フィルターとして機能] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このフィールドは、フィルターとして機能できるレポートでのみ使用できます。[タイプ] の値が円グラフ、ドーナツ グラフ、半ドーナツ グラフ、じょうごグラフ、またはピラミッドのいずれかのレポートのみがフィルターとして機能できます。

> **注:**
> レスポンシブ キャンバス機能が非アクティブな場合、対話型フィルターとして機能するレポートのセグメントをユーザーがすばやく連続してクリックしても、フィルター処理に遅延は発生しません。

5. [完了] を選択します。
6. 現在のブラウザー ページを更新して変更を適用します。

次のタスク

同じテーブルのすべての登録者レポートにフィルターを適用するには、円グラフの円のスライスなど、レポート内のデータのサブセットを選択します。同じテーブルに基づくダッシュボード上のすべてのレポートには、そのデータのサブセットに関する情報のみが表示されます。

ダッシュボード タブですべてのインタラクティブ フィルターをリセットする

ダッシュボードタブで適用されているすべてのフィルターをリセットして、デフォルト値またはフィルター処理されていないデータを表示します。

始める前に

必要なロール：なしダッシュボードへのアクセス権が必要です。

このタスクについて

> **注:**
> フィルターにデフォルト値がある場合、フィルターをリセットすると、そのフィルターが完全にクリアされるのではなく、デフォルト設定に戻ります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード.
2. リセットするダッシュボードとタブを選択します。
3. コンテキストメニュー ( ) をクリックし、[フィルターのリセット] を選択します。

カスタムの インタラクティブ フィルター

管理者は、スクリプトによるインタラクティブ フィルター ウィジェットを作成して、ダッシュボード レポートに高度なフィルター オプションを提供することができます。

カスタムのインタラクティブフィルターを使用すると、フィルターインターフェイスとフィルターロジックを制御できます。特定のニーズに合ったフィルターを作成します。カスタムのインタラクティブフィルターには、1 回のクリックで複数の一般的なフィルタリング操作を実行するフィルターが含まれます。

カスタム フィルターは、`DashboardMessageHandler` JavaScript クラスを使用してレポート フィルターを定義および公開する、スクリプト化されたシステム **UI** ウィジェットです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
カスタムインタラクティブフィルターに公開される API には制限があり、標準インタラクティブフィルターと同等の機能はありません。カスタムのインタラクティブフィルターを実装する前に、 カスタムインタラクティブフィルターの制限事項を確認してください。

テーブル API のアクセス制御リストによって、ダッシュボードがフィルタリングされたときに表示されるレコードが制限される場合があります。この問題を軽減するには、テーブル API アクセス制御リストにユーザーまたはロールを追加します。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。

フィルターを公開するコードは、 `SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue()` メソッドを呼び出し、 `dashboardMessageHandler.publishFilter()` メソッドを呼び出してフィルターを公開する必要があります。

Jelly を使用して、利用可能なボタンなどのウィジェットの外観を定義します。

同じダッシュボードに複数のカスタムのインタラクティブ フィルターを追加できます。フィルターは、フィルターオブジェクトに一意の ID を持ち、 ダッシュボードメッセージハンドラーに対して一意の ID を持っている必要があります。

カスタムインタラクティブフィルターの例

管理者は、カスタムのインタラクティブ フィルター ウィジェットを作成して、ダッシュボードに高度なフィルター オプションを提供することができます。

ユースケース

この例では、タスクテーブルまたはその子テーブルのレポートをフィルタリングするカスタムフィルターを作成する方法について詳しく説明します。フィルターは、現在のユーザーが問い合わせユーザーであるレコードのみを表示します。フィルターにより、2 つのボタンがユーザーに公開されます。1 つはフィルターを追加するボタンで、1 つはフィルターを削除するボタンです。

関連情報

- コンテンツブロックを構成する
- UI スクリプト
- Jelly のタグ
- ダッシュボードメッセージハンドラー

カスタムのインタラクティブ フィルター ウィジェットの作成

カスタムのインタラクティブ フィルター ウィジェットを作成して、ダッシュボードに高度なフィルター オプションを提供します。

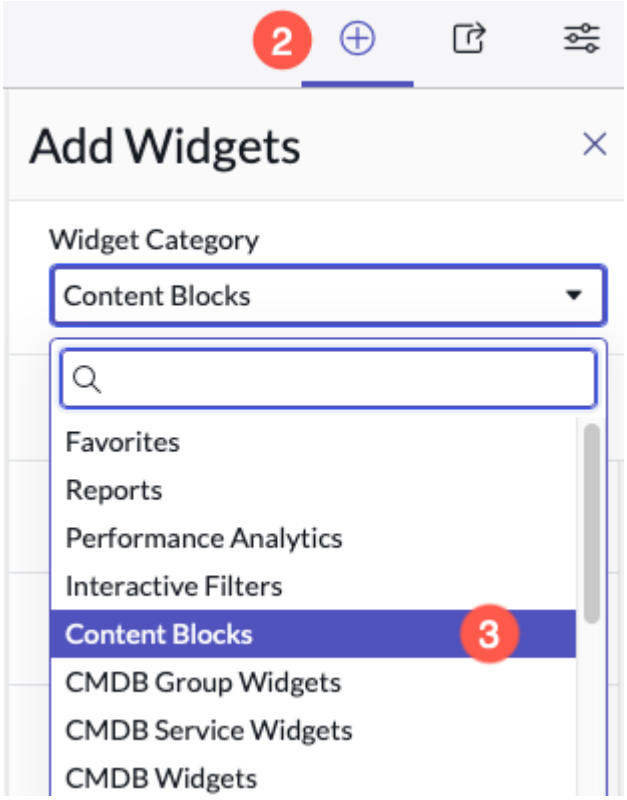
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. カスタムのインタラクティブ フィルターを追加するダッシュボードを開きます。
2. コンテンツの追加アイコン (⊕) をクリックします。
3. [ウィジェットカテゴリ] リストから [コンテンツブロック] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. コンテンツブロックのリストから、[新しい動的コンテンツ] を選択します。
5. 「新規ダイナミックコンテンツ」パネルで、「 追加」をクリックします。

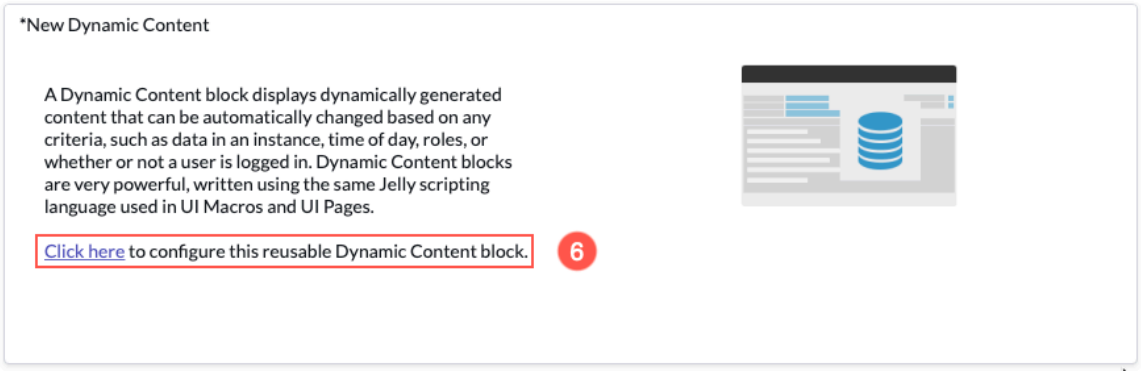


新しいダイナミックコンテンツブロックがダッシュボードに追加されます。

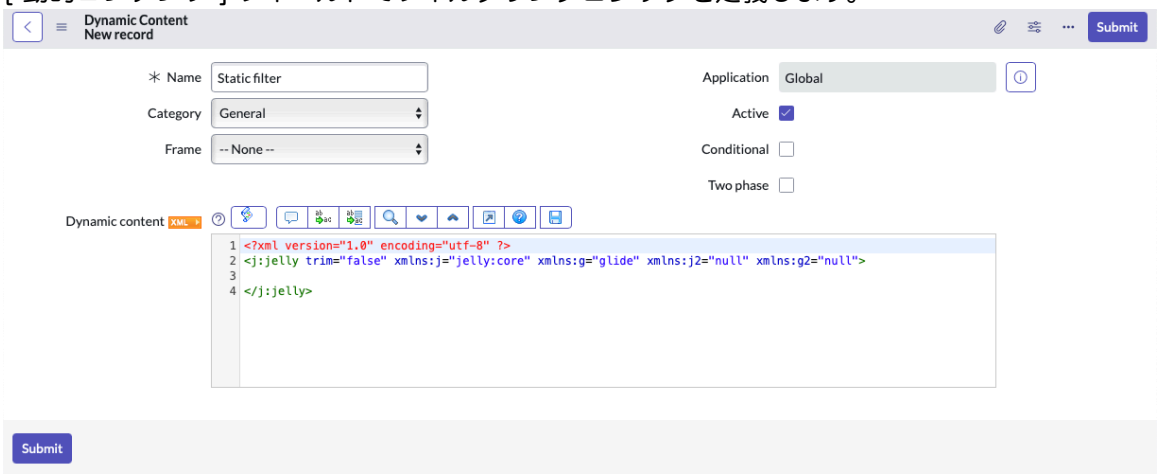
6. ダッシュボードで、[この再利用可能なダイナミックコンテンツブロックを設定するには、ここをクリックしてください] リンクをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [動的コンテンツ] フィールドでフィルタリングロジックを定義します。



次のタスク
フィルターロジックを定義します。

カスタムの日付/時刻フィルターオプションを作成する

日付/時刻フィルターオプションの標準的な選択がニーズに合わない場合は、カスタムオプションを作成できます。

始める前に

次の手順に従って、カスタムの日付/時刻フィルターオプションを作成し、ダッシュボードで使用するために日付/時刻ベースのインタラクティブフィルターに含めることができます。この例では、2 週間、2 週間の期間のフィルターオプションを作成します。

必要なロール：admin。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール.

2. ビジネスルール [日付フィルターの日付フィルターオプションを取得 (Get Date Filter Options for Date Filters)] を開きます。
このルールは、新規または既存の日付タイプインタラクティブフィルターのフォームで選択可能なオプションのリストを設定します。

3. [**Advanced**] タブで、[**Script**] フィールドを変更して、新しいオプションを追加するために必要な JavaScript を含めます。
次の行を追加します。

```
answer.add('<Time_Period_Name>@javascript:<Beginning_Time_Period>@javascript:<Ending_Time_Period>', gs.getMessage('<Textual_Representation_Of_Time_Period>'));
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 追加した行で、次の置換を行います。

オプション	説明
<Time_Period_Name>	選択した期間の一意の名前。この文字列は、オプションを識別するためにシステムによって内部的に使用され、記述された期間を説明できるものに設定されます。 値 112_Last Fortnight を入力します。
<Beginning_Time_Period>	このフィルターが開始される特定の日時。この値には、絶対値または相対値を使用できます。JavaScript の URL 構文を使用する相対値を使用する方がはるかに一般的です。 値 gs.daysAgoStart(14) を入力すると、この選択の時間間隔がちょうど 2 週間前になることを示します。
<Ending_Time_Period>	このフィルターオプションの期間が終了する特定の日時。この値には、絶対値または相対値を使用することもできます。*Beginning_Time_Period*と同様に、この値は通常、JavaScript URL 構文を使用する相対期間です。 期間が現在の日時に終了することを示すには、値 gs.daysAgoStart(0) を入力します。
<Textual_Representation_Of_Time_Period>	アルファベットの昇順で表示される、日付/時刻フィルターオプションのリストに表示される短いテキスト文字列。 「 Last fortnight」と入力すると、現在の日付と時刻の 1 週間前からの期間が指定されます。

これで、完全なステートメントは次のようになります。

```
answer.add('112_Last
 Fortnight@javascript:gs.daysAgoStart(14)@javascript:gs.daysAgoEnd(0)',
 gs.getMessage('Last fortnight'));
```

5. [更新] を選択して、ビジネスルールへの変更を保存します。

6. 日付/時刻フィルターを編集または作成するときに、新しいオプションが使用可能であることを確認します。

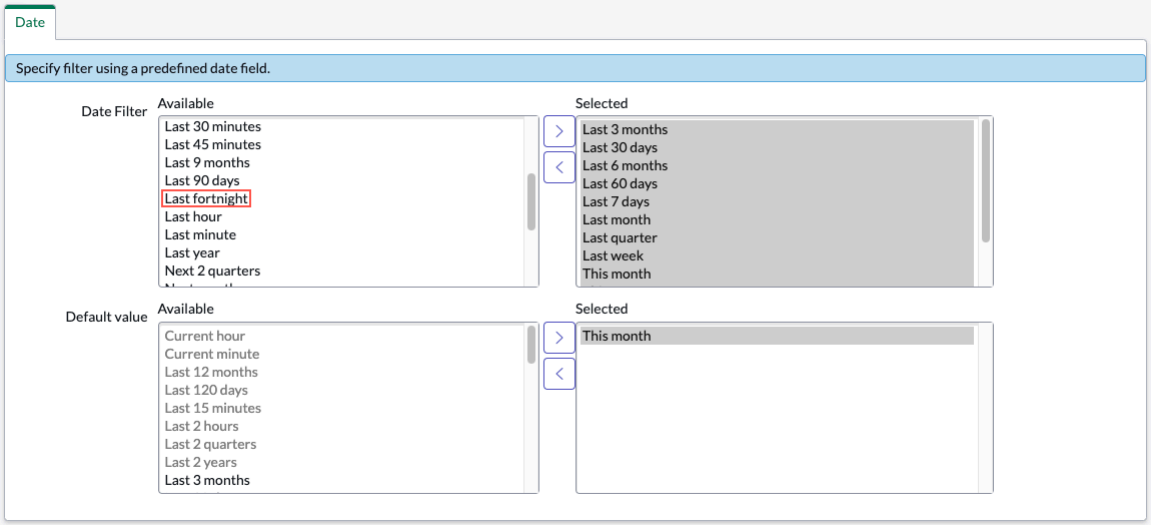
a. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター.

b. 日付フィルターを選択します。

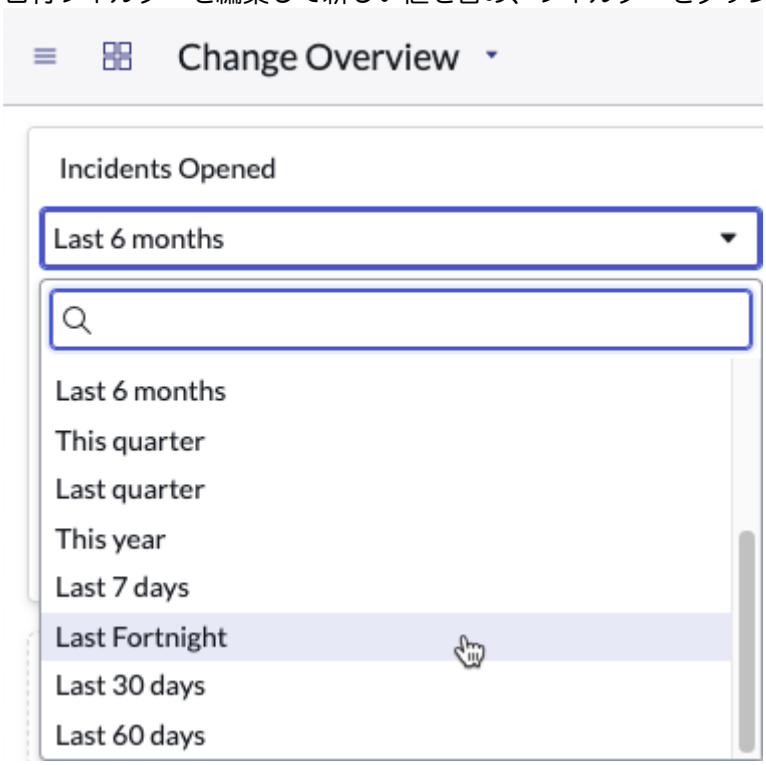
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能なフィルターには 、**[Last fortnight]** が含まれます。



7. 日付フィルターを編集して新しい値を含め、フィルターをダッシュボードに追加します。



フィルターロジックの定義 - 例

インタラクティブ フィルターを作成したら、フィルター ロジックを追加します。

始める前に

必要なロール：admin

フィルターは、 `DashboardMessageHandler` クラスを使用してアクティブなフィルターを管理します。一意の値を使用して `DashboardMessageHandler` をインスタンス化します。

> **注:**
> カスタムインタラクティブフィルターの ID は一意である必要があります。別のインタラクティブ フィルターまたはカスタム インタラクティブ フィルターと同じ ID を持つ場合、フィルターロジックは正しく機能します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ダイナミックコンテンツレコードで、ダイナミックコンテンツ XML ブロックにフィルタリングロジックを追加します。
2. [**Only mine** (マイニングのみ)] ボタンは、エンコードされたクエリ caller_idDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477feを使用してタスクテーブルレポートのフィルターを公開し ます。
   [すべてのタスク] ボタンは、フィルターを削除します。
3. その後、ボタンやその他のインターフェイス要素を動的コンテンツに追加できます。この例では、clearFilter() 関数とフィルターのボタンのコードが publishFilter() 関数の下に追加されます。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
 <script>
    var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");

   function publishFilter () {
      var filter_message = {};
      filter_message.id = "my_unique_id";
      filter_message.table = "task";

   <!--     Add your own filter query logic here -->
      filter_message.filter = "assigned_toDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477fe";
      SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
            id: filter_message.id,
            filters: [filter_message]
         }, false);
      my_dashboardMessageHandler.publishFilter(filter_message.table, filter_message.filter);
   }

   function clearFilter() {
      var filter_message = {};
      filter_message.id = "my_unique_id";
      filter_message.table = "task";
      filter_message.filter = "";
      SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
            id: filter_message.id,
            filters: [filter_message]
         }, false);
      my_dashboardMessageHandler.removeFilter();
   }
 </script>

Example of a filter that generates a static filter on 'task' table reports, or removes it <br/>
   <input id="allTasks" type="button" value="All tasks" onclick="clearFilter();" />
   <input id="onlyMine" type="button" value="Only mine" onclick="publishFilter();" />

</j:jelly>
```

4. [送信] を選択します。

タスクの結果

カスタムインタラクティブフィルターは、動的コンテンツブロックを追加したダッシュボードに表示されます。また、[ウィジェットを追加] パネルのコンテンツブロックのリストにもあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム インタラクティブ フィルターの例 - 複数のレポート

カスタムのインタラクティブフィルターを使用して、異なるテーブルを使用する複数のレポートをフィルターで絞り込むことができます。単一または複数のテーブルのインタラクティブフィルターを公開する API は 2 種類あります。この例では、カスタムのインタラクティブフィルターを使用して、インシデントテーブルと問題テーブルのレポートをアサイン先グループでフィルタリングします。

複数のテーブルに対するカスタムのインタラクティブフィルターについて

カスタムインタラクティブフィルターを作成するときは、次の点に注意してください。

- 1 つのテーブルにのみ適用されるカスタムインタラクティブフィルターは、 関数 `DashboardMessageHandler.publishFilter()` を使用します。
- 複数のテーブルに適用されるカスタムインタラクティブフィルターは、 関数 `DashboardMessageHandler.publishMessage()` を使用します。
- 公開する前に、 `SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue()` 関数のインタラクティブフィルター呼び出しが必要です。
- フィルターをリセットする前に、 `SNC.canvas.interactiveFilters.removeDefaultValue()` または `DashboardMessageHandler.removeFilter()` 関数を呼び出す必要があります。

`publishFilter()` メソッドを複数回呼び出すカスタムのインタラクティブフィルターは、関連するレポートを同じ回数だけリフレッシュします。このメソッドを繰り返し呼び出すと、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

カスタムインタラクティブフィルターを複数のテーブルに適用する方法

次の例では、インシデント [incident] テーブルと問題 [problem] テーブルのアサイン先グループでレポートをフィルタリングします。

`DashboardMessageHandler.publishMessage()` は、複数のフィルターを配列として受け入れます。フィルター配列を構築し、`DashboardMessageHandler.publishMessage([filters])` を呼び出す `DashboardMessageHandler` のインスタンスを 1 つ作成します。このメソッドは、ウィジェットを 1 回だけ更新します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<j:jelly xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:g2="null" xmlns:j2="null" trim="false">
  <script>
    var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");

function publishMultipleFilter() {
    <!-- Mutliple filters can be passed as an array -->
    var finalFilter =
 [{"table":"incident","filter":"assignment_group=6fcd3b573b331300ad3cc9bb34efc447"},
 {"table":"problem","filter":"assignment_group=6fcd3b573b331300ad3cc9bb34efc447"}];
    <!-- call setDefaultValue first -->
    SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
id: my_dashboardMessageHandler._unique_id,
filters: finalFilter,
}, false);
    <!-- then call Publishmessage to publish filters-->
    my_dashboardMessageHandler.publishMessage(finalFilter);
}

function clearFilter() {
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
SNC.canvas.interactiveFilters.removeDefaultValue(my_dashboardMessageHandler._unique_id,
 false);
my_dashboardMessageHandler.removeFilter();
}
  </script>

Example of a filter that filters incident and problem table where the assignment group is
 Problem solving
  <input id="allTasks" type="button" value="All" onclick="clearFilter();" />
  <input id="onlyMine" type="button" value="Assignment group is [Problem solving]"
 onclick="publishMultipleFilter();" />
</j:jelly>
```

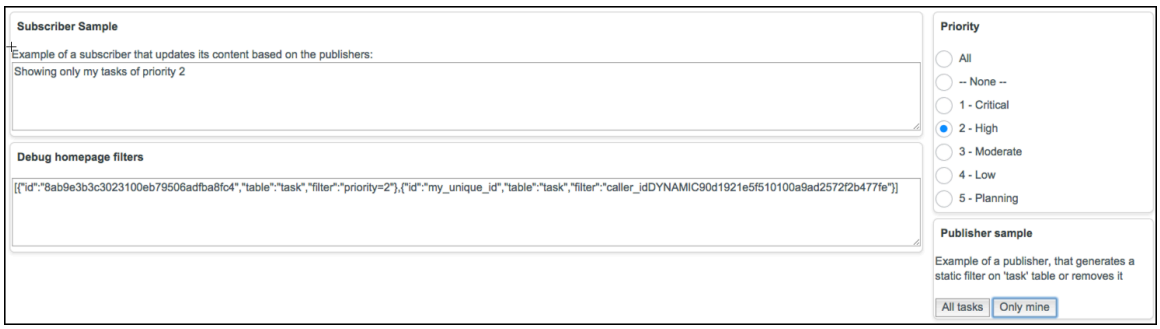
デバッグフィルターの使用

デバッグ インタラクティブ フィルターは、カスタム フィルターの作成に役立ちます。このフィルターは、ダッシュボード上のすべてのアクティブなフィルターの JSON 配列表現を表示します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
デバッグフィルターを使用するには、ダッシュボードにデバッグフィルターを追加します。デバッグフィルターは読み取り専用で、カスタムのインタラクティブ フィルターの設計と実装を支援するためのものです。

複数のフィルターがあるデバッグ フィルター



手順

1. ダッシュボードで、[ウィジェットを追加] ( ) アイコンをクリックします。
2. [ウィジェットの追加] パネルで、ウィジェット カテゴリの [インタラクティブ フィルター] とウィジェット **{Debug}** を選択します。
3. 「デバッグ・フィルター」リストで、「 ホームページ・フィルターのデバッグ 」を選択し、「 追加」をクリックします。

タスクの結果
デバッグウィジェットがダッシュボードに追加されます。

カスタムインタラクティブフィルターの制限事項

カスタムのインタラクティブ フィルターは、標準のインタラクティブ フィルターが特定の機能を提供しない場合に使用するための代替です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
カスタムのインタラクティブ フィルター用に公開されている DashboardMessageHandler API には制限があり、標準のインタラクティブ フィルターとのパリティは提供されません。API はこれらの機能をサポートしていません。

サポートされていないカスタムインタラクティブフィルター機能

デフォルトのフィルター値の設定

カスタムインタラクティブフィルターの作成者は、デフォルトのフィルター値を選択できません。

ウィジェットの更新時にフィルター値を保持します

ウィジェットの更新アイコン ( ) をクリックしてコンテンツを更新するか、コンテキスト メニュー ( ) から [更新] を選択すると、カスタムのインタラクティブ フィルター値は保持されません。

カスタムフィルター値/すべてのフィルター値のリセット

コンテキスト メニュー ( ) から [フィルターのリセット] を選択しても、カスタムのインタラクティブ フィルターは変更されず、引き続き適用されます。

ページロード時またはタブ切り替え時のフィルター値の設定

ユーザーがタブを切り替えたり、新しいダッシュボードを開いて最初のダッシュボードまたはダッシュボードタブに戻ったりした場合、カスタムのインタラクティブフィルター値は保持されません。

同じカスタムインタラクティブフィルターの複数のインスタンスをタブに追加する

タブに同じカスタムインタラクティブフィルターのインスタンスが複数ある場合、予期しない動作が発生する可能性があります。

注:
カスタムのインタラクティブフィルター値は、タブ間で保持されません。同じダッシュボードの複数のタブの値をフィルタリングするには、各タブにカスタムインタラクティブフィルターを追加する必要があります。

カスタムインタラクティブフィルターの削除に関するレポートを登録解除しています

ダッシュボードのカスタムインタラクティブフィルターに従うレポートは、フィルターがダッシュボードから削除されても引き続きそのフィルターに従います。

[PDF にエクスポート] のウィジェットのフィルタリング

ダッシュボードとホームページにウィジェットとして配置するカスタム コンテンツを作成する場合は、コンテンツを PDF にエクスポートする前に、追加のテストを実行する必要があります。 エクスポートされた PDF では、カスタムのインタラクティブフィルターを使用してフィルタリングされたレポートウィジェットが空白の正方形として表示されるか、ウィジェットのコンテンツがフィルターに従っていない場合があります。

カスタムのインタラクティブフィルターはブレークダウンダッシュボードでは使用できません

ブレークダウン ダッシュボードでは、ブレークダウン自体を使用してすべてのパフォーマンス分析ウィジェット データをフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

ダッシュボードメッセージハンドラー

インタラクティブ フィルターのカスタム フィルター ロジックを定義するメソッドを提供します。

インタラクティブ フィルターの詳細については、「 レポート と インタラクティブ フィルター」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

DashboardMessageHandler - DashboardMessageHandler(文字列 **ID)**

特定の一意の ID を使用して、DashboardMessageHandler オブジェクトのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	フィルターの一意の ID。レポートウィジェットでこの ID を使用して、どのフィルターがどのフィルターに適用されたのかを追跡できます。ID はすべてのダッシュボードで一意である必要はありませんが、各ダッシュボードで同じ ID を持つ複数のフィルターを使用することはできません。

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
```

DashboardMessageHandler - publishFilter(文字列 **table,** 文字列 **encodedQuery)**

DashboardMessageHandler オブジェクトは、それぞれ 1 つずつフィルターを公開できます。

同じオブジェクトから新しいフィルターを公開すると、元のフィルターが上書きされます。複数のフィルターを公開するには、複数の DashboardMessageHandler オブジェクトを使用します。

パラメータ

名前	タイプ	説明
table	文字列	フィルターを適用するテーブル (タスクなど)。
encodedQuery	文字列	公開するフィルターを指定するエンコードされたクエリー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
<input id="onlyMine" type="button" value="Only mine"
 onclick="my_dashboardMessageHandler.publishFilter('task','caller_idDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477fe');"/>
```

DashboardMessageHandler - publishMessage (配列フィルター)

カスタムインタラクティブフィルターを複数のテーブルに適用します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
フィルター	アレイ	フィルタリングするテーブルとフィルター基準を定義するフィルターオブジェクトのアレイ。 `[ { "table": String, "filter": String`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	**Description** (説明)
		}]
filters.table	文字列	フィルタリングするテーブルの名前。
filters.filter	文字列	テーブルに適用するフィルター基準を含むエンコードされたクエリ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この Jelly スクリプトは、インシデントテーブルと問題テーブルをフィルタリングして、アサイン先グループが [問題解決] であるレコードを返します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
<script>
 var dmh = new DashboardMessageHandler("aha_dmh");
 var filter = "cmdb_ci.sys_idINcdafbfc9db8f570466e0a345ca96198a";
 //this is the encoded query string
 var fullFilter = dmh.getFilterMessage('change_request',filter);
 //creates a JSON object

 SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({id: dmh.aha_dmh, filters:[fullFilter],}, false);
 var published = dmh.publishMessage([fullFilter]);
</script>

</j:jelly>
```

DashboardMessageHandler - removeFilter()

この DashboardMessageHandler オブジェクトによって公開されている現在のフィルターを、ダッシュボード上のすべてのレポートから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
<input id="removeFilter" type="button" value="Remove filter"
 onclick="my_dashboardMessageHandler.removeFilter();"/>
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

動的 JavaScript フィルター

JavaScript で動的条件を作成し、指定した値の代わりにレポートの可視化の基準の一部として設定できます。

動的な条件ステートメントを使用してレポートを作成するには、フィルターの条件値ステートメントに JavaScript URL を配置します。JavaScript コマンドをフィールドに直接入力することもできますが、複数のステートメントより長いスクリプトの場合は、スクリプトを独自のレコードに配置する必要があります。次に、レポート条件の値フィールドでそのレコードから関数を呼び出します。

動的 JavaScript フィルターを追加する

レポートのビジュアル化のフィルター基準の一部として、評価用の動的 JavaScript ステートメントを追加します。

始める前に

必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

JavaScript フィルターは、1 行のステートメントにすることも、長いスクリプトにすることもできます。長い JavaScript ステートメントの場合は、正しい形式とデータタイプを返し、レポートでフィルタリングする特定のデータに準拠し、クライアント呼び出し可能なスクリプトインクルードを作成します。詳細については、「スクリプトインクルード」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 動的フィルターを追加するレポートの可視化を開きます。
3. フィルターアイコン ( ) を選択して、条件ビルダーを展開します。
4. フィルター条件を作成します。
   これらのフィールドタイプと演算子の組み合わせにより、動的な JavaScript ステートメントを指定できます。

   注:
   - 「between」演算子は、同じまたは異なる JavaScript URL をサポートできる 2 つのフィールドを提供します。
   - 「is」演算子は、予想される型のデータ要素の配列を返すことができます。この場合、演算子は "is one of" 演算子として扱われます。

フィールドタイプ	許可された演算子	予想される戻り値のデータタイプ
Sys ID (GUID)	"is"、"is not"、"is one of"、"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"、"between"、"greater than or is"、"less than or is"。	sys_id値の全部または一部のテキスト表現。 "is one of" 演算子の場合、想定される戻り値の型は、sys_id値のコンマ区切りリスト、または結果に含める必要がある各sys_idを含む配列のいずれかになります。
フリーテキスト文字列	"is"、"is not"、"is one of"、"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not	1 文字以上のテキスト文字。「is one of」演算子の場合、想定される結果は、文字列値

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドタイプ	許可された演算子	予想される戻り値のデータタイプ
	contain"、"between"、"greater than or is"、"less than or is"	のカンマ区切りリストか、「is one of」検索値フィールドに含める各値を含むアレイのいずれかになります。
参照	「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」	テーブルまたはデータソースのこのフィールドで見つかった値の一部または値の一部を表す 1 つ以上のテキスト文字。
文字列 (別のテーブルを参照)	「含む」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含まない」	テーブルまたはデータソースのこのフィールドで見つかった値の一部または値の一部を表す 1 つ以上のテキスト文字。
ユーザー入力	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	テーブルまたはデータソース内のこのフィールドのあるレコードのフル値を表すことができるテキスト文字。
テーブル名	"is"、"is not"、"is one of"、"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"、"between"、"greater than or is"、"less than or is"	システム内のテーブル名全体または部分をテキストで表現したもの。"is one of" 演算子の場合、想定される戻り値の型は、テーブル名値のコンマ区切りリスト、または結果に含める必要がある各テーブル名を含む配列のいずれかになります。
テンプレート値	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	インスタンスで見つかったテンプレートに従って値を実行するテキスト文字。
ドメイン ID	「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」	テーブルまたはデータソースのドメインフィールドで見つかった値の一部または値の一部を表す 1 つ以上のテキスト文字。
ユーザーロール	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	ユーザーロールの文字列値のテキスト表現。
ドメインパス	"starts with", "ends with", "contains", "does not contain", "is", "is not", "is one of", "less than or is", "greater than or is", "between"	テーブルまたはデータソースのこのフィールドで見つかった値の一部または値の一部を表す 1 つ以上のテキスト文字。「is one of」演算子の場合は、テキスト値のカンマ区切りリスト、または含める必要がある各値を含むアレイオブジェクトのいずれかです。
翻訳されたテキスト 翻訳 (変換) 済みフィールド	"is"、"is not"、"is one of"、"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"、"between"、"greater than or is"、"less than or is"	テキスト値。 "is one of" 演算子の場合、想定される戻り値の型は、テキスト値のコンマ区切りリスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドタイプ	許可された演算子	予想される戻り値のデータタイプ
		またはテキスト値の配列のいずれかになります。
HTML HTML テンプレート	「含む」、「含まない」	このレポート基準で選択したフィールドのデータに対応する可能性があるテキスト値。
メールスクリプト	「含む」、「含まない」	[メールスクリプト] フィールドに含める必要がある (または含めない) 値を表すテキスト値。
スクリプト (平文) スクリプト (サーバー側) スクリプト	「含む」、「含まない」	[スクリプト] フィールドに含める必要がある (または含めない) 値を表すテキスト値。
短いテーブル名	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	テキスト値 (40 文字未満)。 「is one of」演算子の場合、想定される戻り値の型は、テキスト値のコンマ区切りリスト、または短いテーブル名を表す各テキスト文字を含む配列のいずれかです。
フィールド名	"is"、"is not"、"is one of"、"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"、"between"、"greater than or is"、"less than or is"	フィールド名値の全体または部分をテキストで表現したもの。 "is one of" 演算子の場合、想定される戻り値の型は、フィールド名値のコンマ区切りリスト、または結果に含める必要がある各フィールド名を含む配列のいずれかになります。

5. フィールドタイプと演算子を選択し、JavaScript ステートメントを入力します。
   - 1 行の JavaScript ステートメントの場合は、 `javascript:<JavaScript_Statement>` という形式を使用します。
   - スクリプトインクルードを呼び出す JavaScript ステートメントの場合は、 `javascript:new <Record_Name>().<Function_Name>();` という形式を使用します。 `Record_Name` はスクリプトインクルードのレコード名に対応し、 `Function_Name` はフィルタで比較された値を返すスクリプトインクルード内の関数を表します。

   注:
   Javascript URL には、計算を実行して結果を返す関数に渡される 1 つ以上のパラメーターを含めることもできます。たとえば、スクリプトインクルードレコードに 2 つのパラメーターを渡す JavaScript 関数は、 `javascript:new TextJSFilter().getGroupIDs("Professional Services","Sales");` と記述できます。

次のタスク
必要な JavaScript ステートメントと条件を追加し、レポートの残りの部分を構成したら、レポートをテストして、期待どおりの結果が返され、表示されることを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

ウィジェットを使用すると、インジケータースコアの可視化を定義できます。ウィジェットはダッシュボードに表示されます。

パフォーマンスアナリティクスウィジェットは、トレンドライン、一連の列、円グラフなどの可視化にインジケーターを関連付けます。ウィジェット内では、インジケータースコアをブレークダウンでフィルターまたはグループ化できます。また、7 日間の合計などの時系列関数をスコアに適用することもできます。

パフォーマンスアナリティクスウィジェットを作成または編集するには、pa_admin または pa_power_user ロールが必要です。これらのロールは、ウィジェットをダッシュボードに追加するためにも必要です。ただし、どのユーザーであってもダッシュボードに追加されたウィジェットを表示できます。

注:
ユーザーが可視化を表示できない場合は、アドミニストレーターに連絡するようにユーザーに警告メッセージが表示されます。

ダッシュボードがそのように構成されている場合は、ダッシュボード上のすべてのウィジェットに適用されるダッシュボードのブレークダウン要素を選択できます。ダッシュボードのウィジェットでスコアをクリックすると、そのインジケーターにフォーカスされたアナリティクスハブが開きます。

注:
時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効なアグリゲーションがあるという警告が表示される場合があります。

丸め

10,000 ～ 999,999 の値は、最も近い千単位に丸められ、K で省略されます (例：11,234 の場合は 11K)。100 万から 999,999,999 までの値は最も近い 100 万単位に丸められ、M で省略されます。10 億以上の値は、最も近い 10 億単位に丸められ、G で省略されます。

平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

ウィジェットのタイプと作成の詳細

ウィジェットを作成する最初のステップは、作成するウィジェットのタイプを選択することです。この決定は、ウィジェットで達成しようとしているビジネスゴールに基づきます。

ウィジェットタイプ	目的	一般的な可視化
時系列ウィジェット	インジケータースコアの経時変化を示します。	線グラフによる可視化が最も一般的です。他の可視化は、スプライン、ステップ、縦棒、積み上げ縦棒、面、および相対比較です。
ブレークダウンウィジェット	ブレークダウンの要素によってインジケータースコアをグループ化します。	スコアカード、円と類似のグラフ、じょうごとピラミッド、縦棒と類似のグラフ、相対比較、線、パレート図、ピボット スコアカード、およびツリーマップ。
スコアウィ	集計インジケータースコアを表示します。ターゲットに対してイン	最新スコア、角度ゲージ、リアルタイム スコア。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットタイプ	目的	一般的な可視化
ジェット	ジケータースコアを表示できます。	
リストウィジェット	複数のインジケーターのメトリクスをリストします。	スコアカード、スパイダー ウェブ。
ピボットウィジェット	1 つのインジケーターのスコアを 2 つのブレークダウンの要素でグループ化します。	ヒートマップ
テキストアナリティクス	ユーザーがフォームに入力するテキストの単語の頻度とグループ化をチャート化します	ワードクラウド
ワークベンチウィジェット	ワークフローやその他のプロセスを監視するために、複数のインジケーターとその関係を示します。	ワークベンチ

ウィジェットを表示するためのセキュリティ要件

Quebec 以降、ウィジェットはインジケーターとブレークダウンのアクセス制御リスト (ACL) に従います。ACL 以外では、ウィジェットを表示するためのロールは必要ありません。

ただし、Quebec より前のバージョンからインスタンスをアップグレードする場合、デフォルトでは Quebec より前のルールが適用されます。インジケーターとブレークダウンの ACL に従うのは、次の領域のみです。

- リストウィジェットはインジケーターの ACL に従います。
- ブレークダウンを表示する場合は、ブレークダウンの ACL が適用されます。

さらに、アップグレードされたインスタンスでは、次のウィジェットでユーザーに pa_viewer ロールが必要な場合があります。

- リストウィジェット
- テキストウィジェット
- ワークベンチウィジェットのブレークダウンセクション

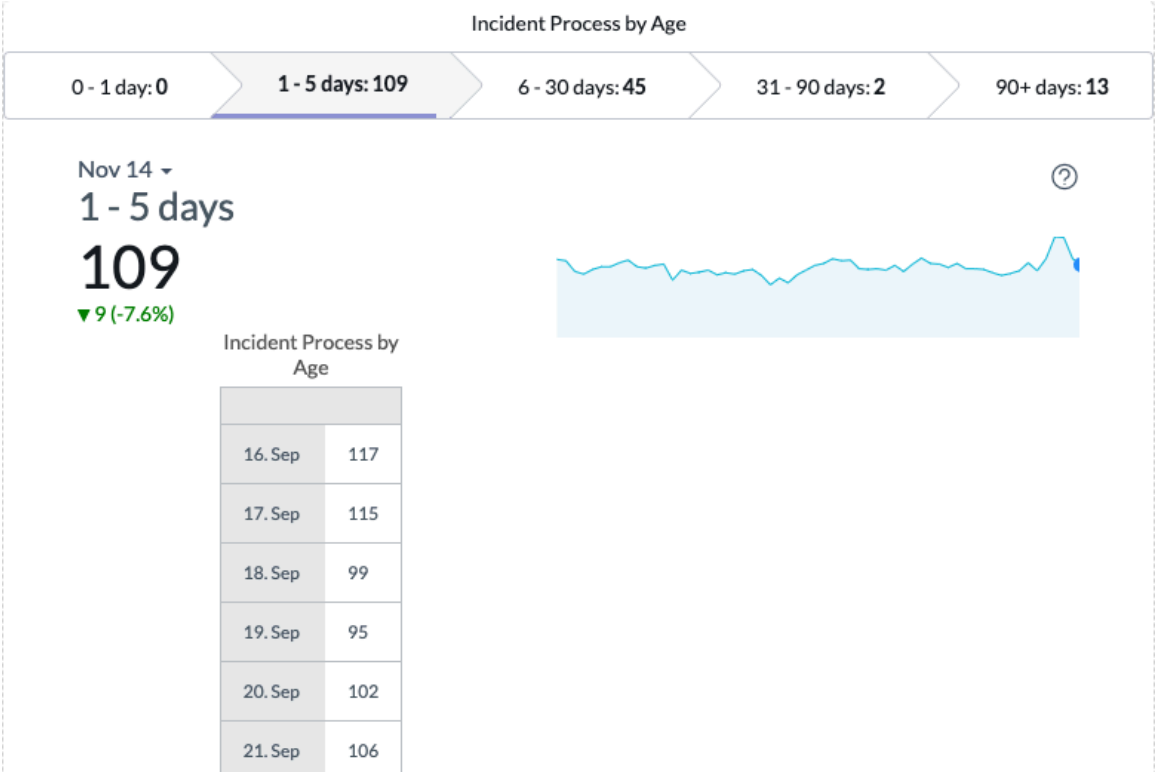
ACL の構成方法が異なるため、アップグレードされたインスタンスは Quebec で導入されたルールに自動的に従うことはできません。

ウィジェットのアクセシビリティのデータテーブル

[設定]で有効になっている場合 アクセシビリティ > チャートおよびグラフのデータテーブルを有効にするでは、インスタンス上のすべての パフォーマンスアナリティクス ウィジェットのグラフィカルチャートがテーブルに置き換えられます。ワークスペースウィジェットはチャートとテーブルの両方を表示するため、例外です。色をパターンに置き換える方法など、アクセシビリティとウィジェットの詳細については、「ダッシュボードのアクセシビリティオプション」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



時系列ウィジェット

時系列ウィジェットは、インジケーター スコアの経時変化を示します。さまざまなチャート化によって、スコアの傾向またはスコアそのものを強調します。1 つのインジケーターを表示したり、複数のインジケーターを比較したりすることができます。

時系列とは、時間の経過とともに連続的に取得された一連のメトリックを順序付けたものです。インジケーター スコアは、一定の間隔で経時測定され、時系列ウィジェットの適切な対象にします。以下のビジネス ケースは時系列ウィジェットを使用する一例です。

- インジケーター スコアの傾向、パターン、外れ値を特定する。
- 転換点 (ポリシーの変更がインジケーター スコアの変化につながったかどうかなど) を特定する。
- インジケーター間の関係を評価する。

時系列のチャート化を選択するときは、スコアの傾向を強調するのかスコアにおける特定の変化を強調したいのかを検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのかも検討します。

注:
他のウィジェット タイプでも一部のチャート化には時系列が含まれます。たとえば、ブレークダウン ウィジェットのチャート化である [積み上げ縦棒] と [列と合計] には、インジケーター スコアの時系列が含まれています。

時系列ウィジェットのチャート化

	可視化	説明とユースケース
インジケーターのスコアの傾向をチャート化する		

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列ウィジェットのチャート化 (続く)

	可視化	説明とユースケース
	Line	一連のデータ ポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。線グラフによるチャート化を使用して、スコアの傾向を強調します。 時系列を表示するときは、線グラフによるチャート化をデフォルトの選択としてください。使用する可視化が不明な場合は、線グラフを使用してください。
	スプライン	一連のデータ ポイントを滑らかな曲線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。スプライン グラフでは、既知のデータ ポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。
インジケーターのスコアを比較する		
	列	割合を表す縦棒として変化を表示し、スコアが時間の経過とともにどのように変化するかを示します。いずれかを使用して、1 つのインジケーターのスコア変化をチャート化するか、インジケーターを比較します。縦棒グラフによるチャート化でインジケーターを比較するには、インジケーターをウィジェットに追加するか、複数の縦棒グラフによるチャート化ウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。
	ステップ	分散した複数の時点におけるインジケーター スコアの変化を強調します。特に線グラフによるチャート化ではデータがはっきりしなくなる場合に、スコアの小さな増分変化を表示するために使用します。
インジケーター間のスコアまたは傾向を比較する		
	積み上げ縦棒	各縦棒は、さまざまなインジケーターを表すスライスに分割されて、スライスが積み上げられた状態になっています。複数のインジケーターを累積した結果を表示する場合に使用します。
	面グラフ	線グラフによるチャート化に似ていますが、軸と線の間の面を色付けして強調します。複数のインジケーターを使用して、各インジケーターが全体に占める相対的な割合を強調します。
	相対比較	時間の経過とともに複数のインジケーターがどのように発散するかを表示します。

時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

ビジネス目標を遂行する時系列ウィジェットを作成するには、いくつかの点に留意してください。

時系列ウィジェットを作成するときは、次の点を考慮してください。

- 時系列ウィジェットでフィルタされた一連のスコアを表示するには、ウィジェットにブレークダウンを適用します。ブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。
- 集計されたスコア (7 日間の平均値または合計など) を表示するには、ウィジェットに時系列を適用します。
- 同じタイム ラインでセカンダリ インジケーターのスコアを表示するには、既存のウィジェットにウィジェット インジケーターを追加します。詳細については、「ウィジェット インジケーターの追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 時系列のチャート化を選択するときは、スコアの傾向を強調するのかスコアにおける特定の変化を強調したいのかを検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのかも検討します。
- 平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成

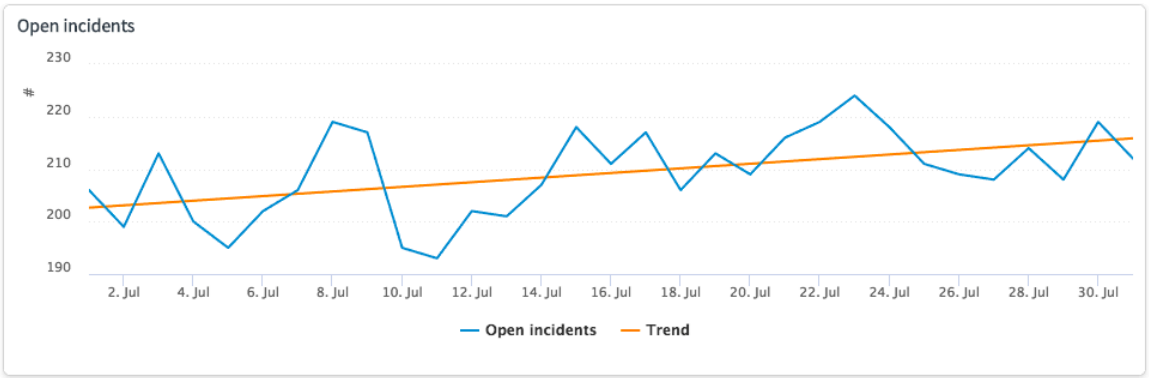
インジケーター スコアの経時傾向を示すには、線グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
線グラフによるチャート化は、1 つのインジケーターのスコアの傾向を時間の経過とともに示す最も簡単な方法です。時系列のデフォルトのチャート化としてください。時系列に使用するチャート化が不明な場合は、線グラフを使用してください。

次の例は、7 月 1 か月のオープン インシデント数を線グラフでチャート化したものです。オプションの [トレンドを含める] 表示設定が有効になっています。

線グラフによるチャート化 - 時系列



手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[線] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	前期のチャートをアクティブ化すると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義された既定のカラー スキームが適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

c. [複数の要素を表示] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットの可視化またはすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターでは、COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみが集計ビューをサポートしています。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されているすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ブレークダウン ウィジェットでの線グラフによるチャート化の作成

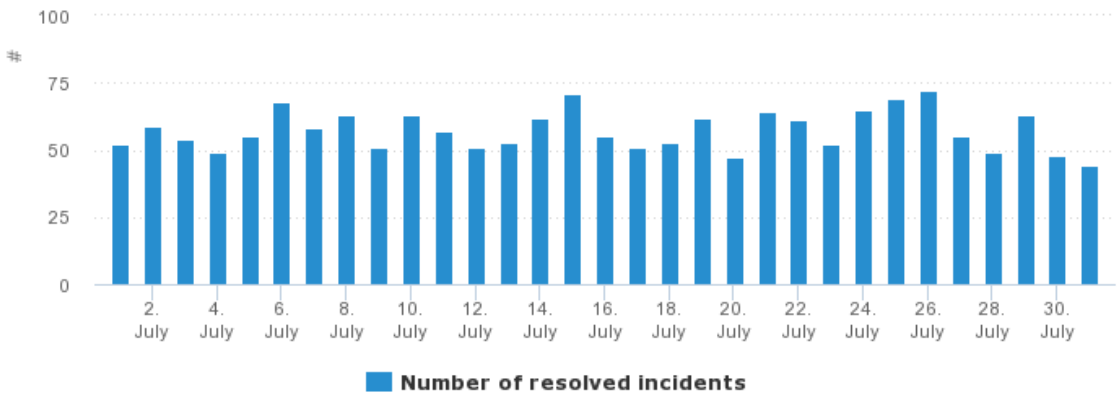
時系列ウィジェットの縦棒グラフによるチャート化の作成

スコアの傾向ではなくインジケーター スコアを時間の経過とともに示すには、縦棒グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。縦棒グラフによるチャート化を使用してインジケーターを比較することもできます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
スコアの傾向ではなくインジケーター スコアを時間の経過とともに協調するには、縦棒グラフによるチャート化を使用します。縦棒グラフによるチャート化は、複数のインジケーターのスコアを比較するのにも役立ちます。インジケーターを比較するには、インジケーターをウィジェットに追加するか、縦棒グラフによるチャート化を使用した複数のウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。

縦棒グラフによるチャート化

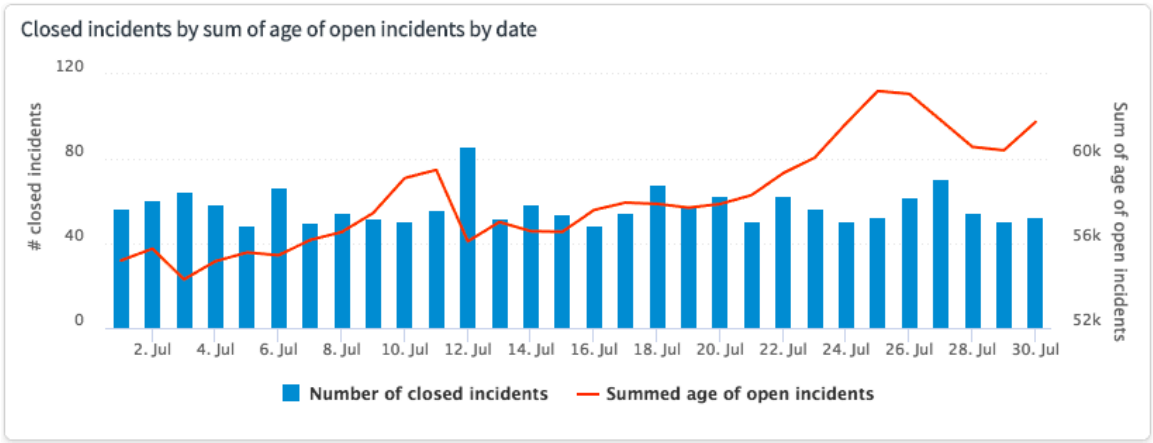


2 つのインジケーターの間に相関があるかどうかを確認するには、ウィジェットに 2 番目のインジケーターを追加します。最善の結果を得るには、主要なインジケーターとして離散値を持つインジケーター、セカンダリ インジケーターとして連続したデータ セットを持つインジケーターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

相関を調べる縦棒グラフによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前期のチャートをアクティブ化すると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義された既定のカラー スキームが適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

   c. [複数の要素を表示] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化またはすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターでは、COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみが集計ビューをサポートしています。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

   重要:
   ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されているすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク

インジケーターと他のインジケーターを比較するには、次のいずれかの操作を実行します。

- インジケーターを [ウィジェットインジケーター] 関連リストに追加します。それらのインジケーターに [列] のチャート化を使用します。
- 他の各インジケーターに [列] のチャート化を使用してウィジェットを作成します。これらのウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ウィジェット インジケーターの追加
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

時系列ウィジェットの面グラフによるチャート化の作成

1 つ以上のインジケーターの合計インジケーターに占める割合を調べるには、面グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

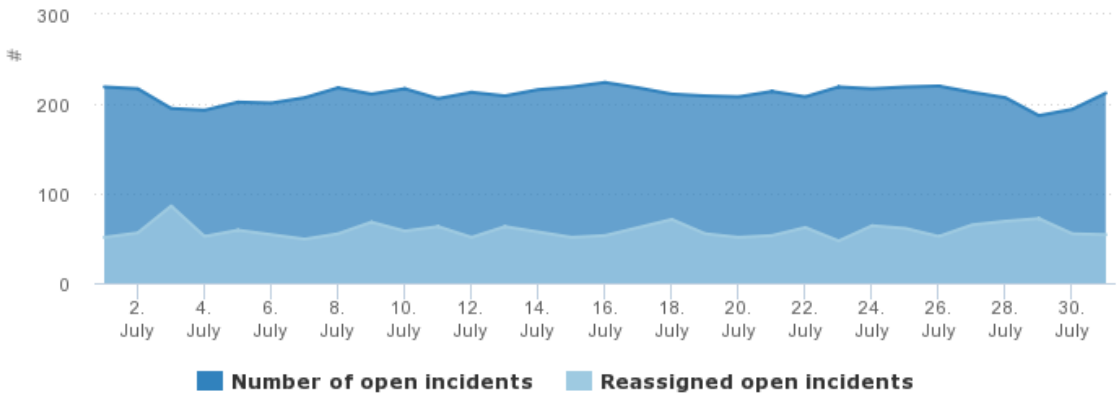
始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

1 つまたは複数のインジケーターがより包括的なインジケーターに与える影響を調べる場合は、面グラフによるチャート化を使用します。面グラフによるチャート化は、1 つ以上のコンポーネント インジケーターが全体的な傾向に対して相対的に占める割合を強調することができます。それと同時に、個々の傾向を見ることもできます。積み上げ縦棒グラフによるチャート化と比較してください。積み上げ縦棒グラフでは、インジケーター スコアを合計し、各スコアが合計に対する対して占める割合を強調します。

面グラフによるチャート化 - 時系列



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[エリア] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前期のチャートをアクティブ化すると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義された既定のカラー スキームが適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

自動翻訳

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [複数の要素を表示] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットの可視化またはすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターでは、COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみが集計ビューをサポートしています。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

> **重要:**
> ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されているすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 選択したインジケーターを他のインジケーターを比較するには、インジケーターを [ウィジェット インジケーター] 関連リストに追加します。それらのインジケーターに [エリア] のチャート化を使用します。
- ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

ウィジェット インジケーターの追加

時系列ウィジェットのスプライン グラフによるチャート化の作成

曲線調整を適用する必要があるときにインジケーター スコアの経時傾向を示すには、スプライン グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

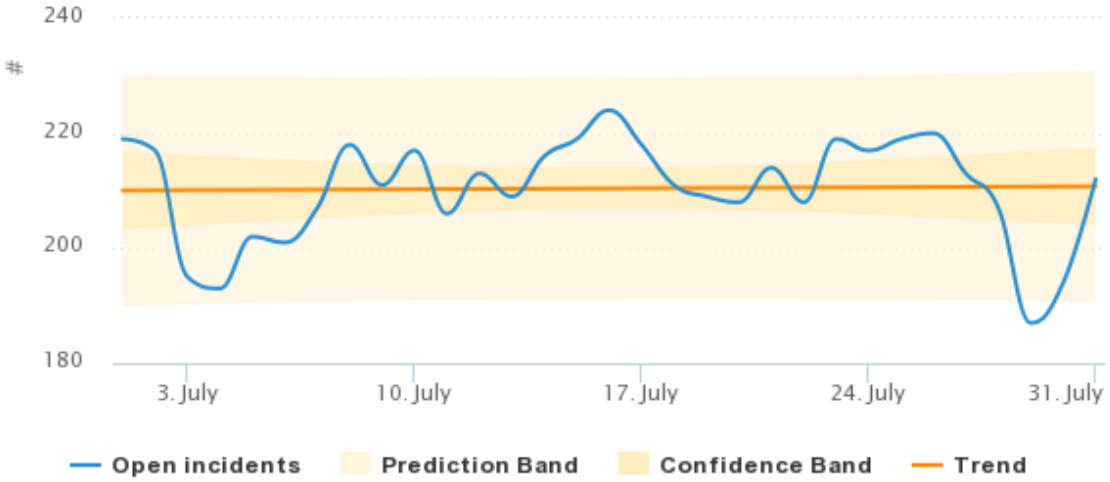
始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
スプライン グラフによるチャート化は、線グラフによるチャート化の直線を曲線に置き換えます。線グラフによるチャート化の場合と同様に、スプライン グラフによるチャート化を使用してインジケーター スコアの経時変化を表示します。インジケーター スコアに曲線を合わせる必要がある場合は、線の代わりにスプラインを使用します。

次の例では、オープン インシデント数のスプライン グラフによるチャート化を使用してトレンド ラインと 95% 信頼区間が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スプライン グラフによるチャート化 - 時系列



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[スプライン] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前期のチャートをアクティブ化すると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義された既定のカラー スキームが適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

   c. [複数の要素を表示] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化またはすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターでは、COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみが集計ビューをサポートしています。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

   重要:
   ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されているすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

時系列ウィジェットのステップ グラフによるチャート化の作成

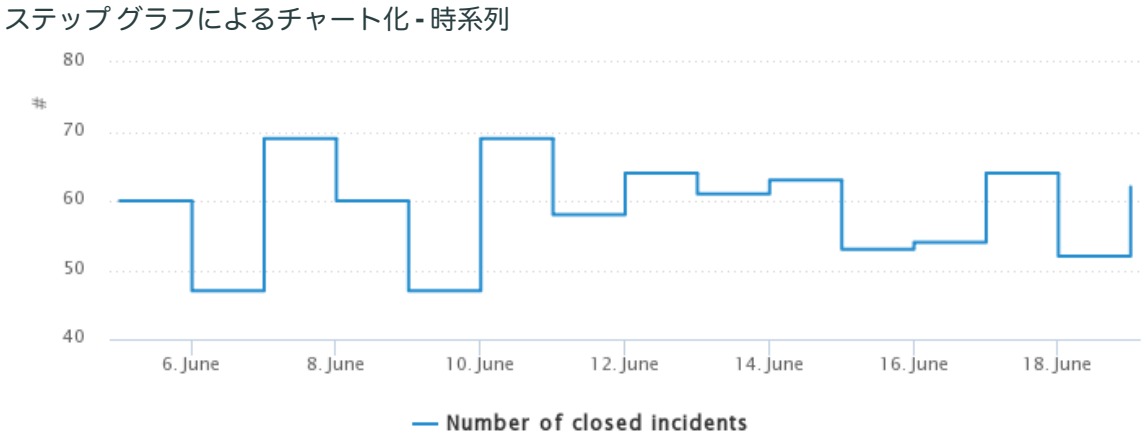
分散した複数の時点におけるインジケーター スコアの変化を強調するには、ステップ グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
次の状況でステップ グラフによるチャート化を使用することを検討してください。

- 時間経過に伴う傾向ではなく、特定の時点間のインジケーター スコアの変化を強調する場合。
- インジケーター スコアの変化が小さすぎて、線グラフによるチャート化では識別しにくい場合。

ステップ グラフによるチャート化のユース・ケースは、スプライン グラフによるチャート化のユース・ケースとは逆です。時間の経過によるデータの傾向や曖昧さを強調する場合はスプライン グラフを使用します。



手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ステップ] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前期のチャートをアクティブ化すると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義された既定のカラー スキームが適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

自動翻訳

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [複数の要素を表示] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットの可視化またはすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターでは、COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみが集計ビューをサポートしています。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

> **重要:**
> ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されているすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

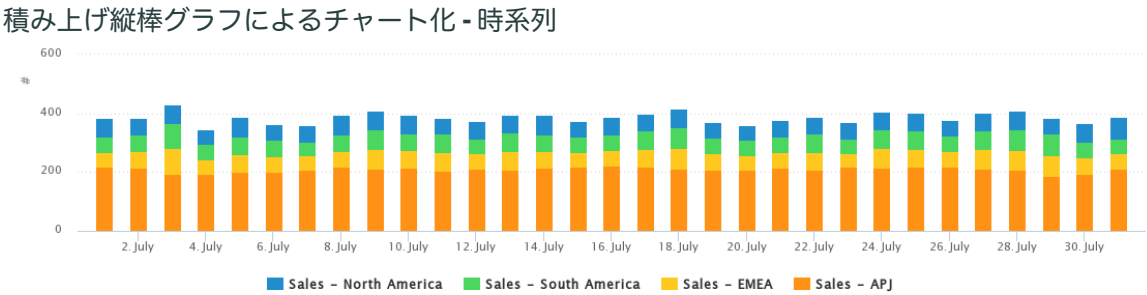
関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

時系列ウィジェットの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成
複数のインジケーターのスコアを比較および合計するには、積み上げ縦棒グラフによるチャート化による時系列としてウィジェットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
時間の経過に伴う複数のインジケーターのスコアの合計を表示したり、各インジケーターが合計に占める相対割合を表示するには、積み上げ縦棒グラフによるチャート化を使用します。

次の例では、各地域の販売センターに関するインジケーターが積み上げ縦棒グラフとなって、販売合計と各地域の相対割合の両方を示しています。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[積み上げ縦棒] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前期のチャートをアクティブ化すると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義された既定のカラー スキームが適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

   c. [複数の要素を表示] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化またはすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターでは、COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみが集計ビューをサポートしています。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

   重要:
   ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されているすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
10. [ウィジェットインジケーター] 関連リストにインジケーターを追加し、各インジケーターに [積み上げ縦棒] のチャート化を適用します。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ウィジェット インジケーターの追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成

複数のインジケーターの相対的な比率の経時変化を示すには、時系列の相対比較によるチャート化を使用します。

始める前に

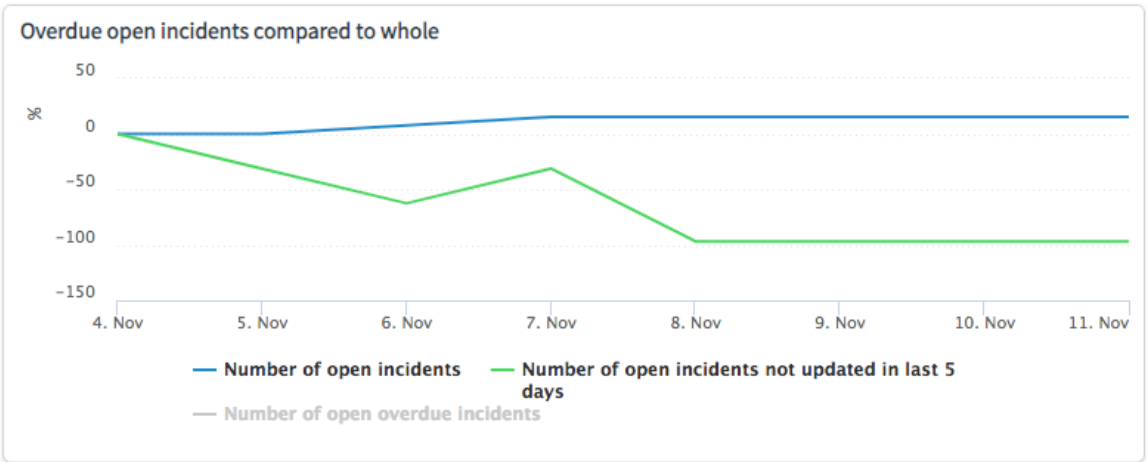
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

円グラフと同様に、相対比較によるチャート化はデータ ポイント間の相対的な比率を示しますが、時間とともにその比率がどのように変化するかを示すこともできます。相対比較によるチャート化は、従来より株価チャートや人口増加傾向を示すために使用されています。相対比較によるチャート化を作成するときは、ベースラインとして 0 を使用し、時間の経過とともにデータがどのように変化するかを示します。

たとえば、この可視化では、5 日間以上更新されていないオープン インシデントの数の変化と比較した、オープン インシデントの合計数の変化を示します。線をポイントすると、その日のインシデント数と変化率が表示されます。データ ポイントについて示される変化率は、他のほとんどの時系列のチャート化の場合と同様に、前のデータ ポイントではなくベースライン 0 から計算されます。

時系列の相対比較によるチャート化の例



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット.
2. [新規] をクリックします。
3. [タイプ] リストから [時系列] を選択します。
4. [チャート化] リストで、[相対比較] を選択します。
5. 次のいずれかのオプションを使用して、チャート化に含めるインジケーターを指定します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

7. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
8. 単一のインジケーターを選択する場合は、[ウィジェットインジケーター] 関連リストにインジケーターを追加します。
   インジケーターグループを選択した場合、追加のインジケーターは必要ありません。
9. [日付の設定] タブで [範囲セレクタの表示] チェック ボックスをオンにします。
   この設定により、ユーザーはチャート化で表示される時間を動的に変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

    a. [要素をフォロー] を選択します。

    このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

    b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
    ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

    (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

    c. [複数の要素を表示] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
    すべてのウィジェットの可視化またはすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターでは、COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみが集計ビューをサポートしています。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

    重要:
    ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されているすべての要素を上書きします。

11. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。
12. [更新] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットの追加設定
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ウィジェット インジケーターの追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

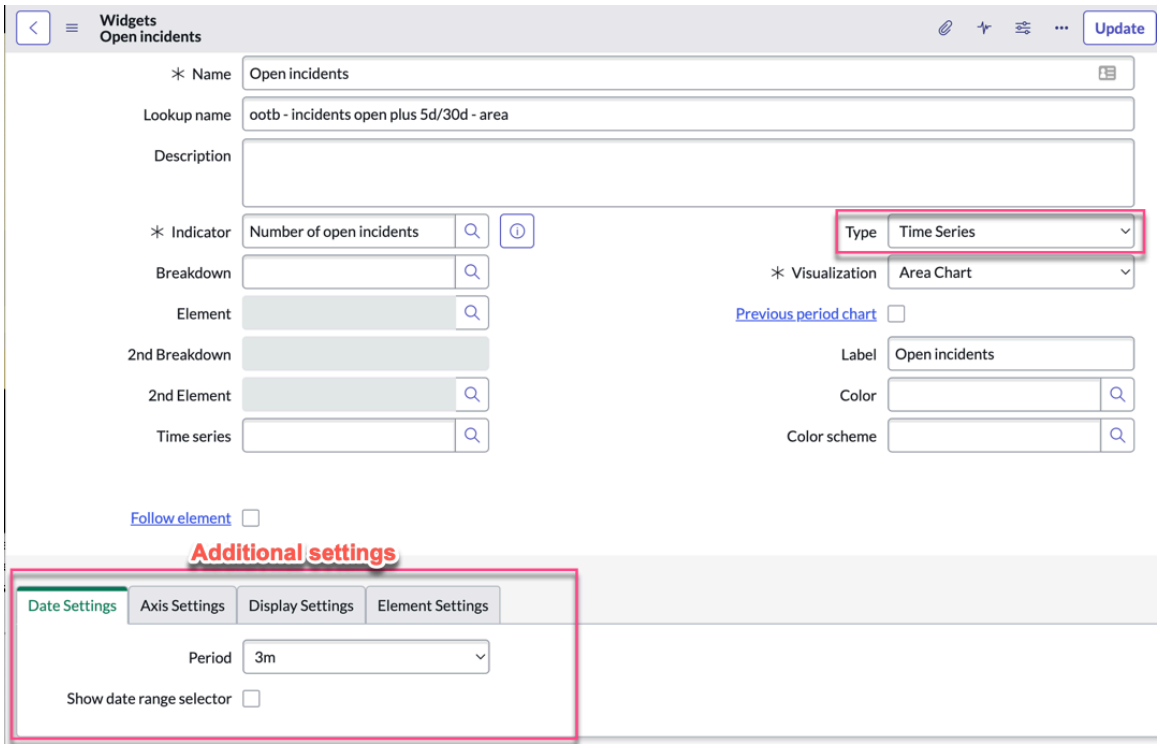
時系列ウィジェットの追加設定

時系列ウィジェットには、表示、日付範囲、および軸ラベルについて次のオプション設定があります。これらの設定を使用して、第 1 レベルのブレークダウン要素の代わりに要素フィルターを選択することもできます。

重要:
このトピックには、時系列ウィジェットの追加設定が含まれています。時系列ウィジェットを作成するためのガイドではありません。時系列ウィジェットの作成手順については、該当する「作成」トピックを参照してください。

- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの縦棒グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの面グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットのスプライン グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットのステップ グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成

使用可能な設定は、選択した可視化によって異なります。次の例は、面グラフによるビジュアリゼーション用です。



日付設定

日付の設定は、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。

設定	**Description** (説明)
期間	ウィジェットに表示する日付範囲を選択します。いくつかのオプションを利用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

設定	Description (説明)
	• 特定の時間範囲を選択します。デフォルトは **[3m]** (3 か月) です。 • 現在の日付までのスコアを使用する場合は [最大] を選択します。 • 期間を定義する場合は [次の間] を選択してから、[開始日付] フィールドと [終了日付] フィールドを入力します。 [期間] フィールドは、次の可視化でのみ使用できます。 • Line (線) • Spline (スプライン) • 列 • Area (エリア) • ステップ • 積み上げ縦棒 • 相対比較
日付範囲セレクタの表示	ウィジェットに日付範囲セレクタを表示します。ユーザーは、ダッシュボードでウィジェットを表示するときに選択した期間を変更できます。 **注:** • ウィジェットで日付範囲を選択してもトレンド ラインは更新されません。 • [月別合計] などの時系列集計を日付範囲セレクターと組み合わせると、ユーザーに表示される期間が予想よりも 1 つ多くなる場合があります。インスタンスは 3 分などの期間を 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示できます。 • 日付範囲セレクターは、ビジネスカレンダーに基づくインジケーターではサポートされていません。

軸設定

設定	Description (説明)
Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示するタイトルを指定します。
Y 軸の起点	チャートの縦軸の値の範囲の開始点を指定します。
Y 軸の終点	チャートの縦軸の値の範囲の終了点を指定します。
第 2 Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示する 2 番目のタイトルを指定します。
第 2 Y 軸の起点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の開始点を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	Description (説明)
	2 番目の Y 軸は、スコアが通常、限られた範囲間で移動する場合に使用できますが、いくつかの例外があり、そうしないとグラフが歪んでしまいます。たとえば、スコアは通常 40 から 60 ですが、1000 の例外があります。
第 2 Y 軸の終点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の終了点を指定します。

表示設定

設定	Description (説明)
ターゲットを表示	定義されている場合は、ターゲット スコアを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。
しきい値を含める	[常に高い]、[常に低い] などのしきい値を表示します。しきい値は、このインジケーターに対して定義されている場合にのみ表示されます。
データラベルを含める	円グラフの各スライスなど、各データ ポイントのスコアを表示します。
トレンドを含める	トレンド ラインを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。
信頼帯を含める	このチャートの信頼帯を表示します。信頼帯の計算方法については、「ウィジェットの信頼帯」を参照してください。
予測を含める	現在のトレンド データに基づいてチャートに予測データを表示します。予測は、インジケーターに設定しておく必要があります。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼範囲を表示します。[予測の選択] が有効な場合にのみ利用できます。
コメントを含める	チャートのデータ ポイントに追加されたコメントを表示します。

要素設定

設定	Description (説明)
要素フィルター	第 1 レベルのブレークダウン要素の代わりに要素フィルターを指定します。要素フィルターを使用して、ビューアーの特性に応じて表示する要素をカスタマイズします。たとえば、アサイン先グループブレークダウンの要素をフィルタリングして、ビューアーが属するグループのみを表示できます。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

前の期間の設定

前の期間の設定は、[前期のチャート] が選択されている場合にのみ利用できます。

設定	Description (説明)
期間の範囲	現在の期間と比較する期間の範囲を選択します。
期間の数	表示する前の期間の数を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットの信頼帯

信頼帯の計算には、トレンド ラインの可視点が使用されます。日付範囲を広げると、新しい日付範囲のトレンドを使用して信頼帯が再計算されます。

はじめに、トレンドの標準的なエラーを使用して信頼帯が算出されます。信頼帯の幅は、計算に含まれるポイントの数とスコアの平均によって異なります。標準的なエラーが低い場合は、トレンドラインが正確であることが示されます。ポイントの数が減少するか外れ値が記録されると、信頼帯が広がります。トレンドの信頼性は、データ ポイントが少ない場合やスコアが変わりやすい場合は確度が低くなります。

スコア ウィジェット

スコア ウィジェットは集計インジケーター スコアを表示します。

スコア ウィジェットのチャート化

	チャート化	**Description** (説明)
	最新スコア	単一のインジケーター スコアと、前の期間と比較したそのスコアの変更を表示します。スコアの時系列を表す線がバックグラウンドに表示されます。
	スピードメーター	ラウンド メーターのフォームでインジケーターの最新の収集スコアを表示します。インジケーターのターゲットとそのカラー スキームが目盛りに表示されます。
	目盛り	直近に収集されたインジケーターのスコアの概要を半円で表示します。
	リアルタイム スコア	現在のインジケーター スコアと、最後にスケジュールされた収集でのスコアと比較したそのスコアの変更を表示します。スコアの時系列を表す線がバックグラウンドに表示されます。

スコア ウィジェットでの最新スコアによるチャート化の作成

最新のスコアと前のスコアの変更を確認するには、スコア ウィジェットで最新スコアによるチャート化を使用します。スコアのトレンド ラインを表示することもできます。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

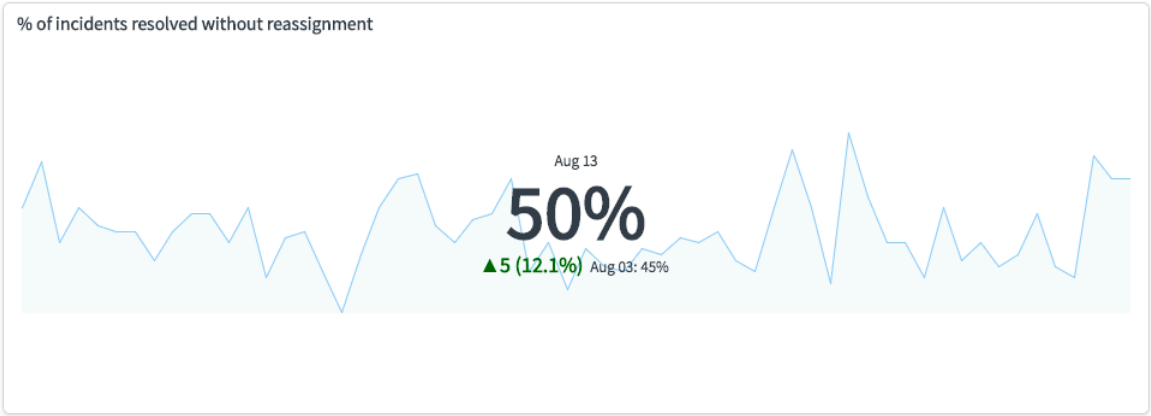
最新スコアによるチャート化では、最新のスコアと、このスコアと前のスコアの間の絶対値およびパーセンテージでの変更が表示されます。この可視化は、アナリティクスハブのチャート ビューに似ています。最新のスコアと比較するために遡るスコアの数を選択できます。また、スコアの変化の絶対値またはパーセンテージのトレンド ラインを表示することもできます。

注:
このデータ可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Displaying KPI Details for the mobile dashboard」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最新スコアによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドと [サブタイトル] フィールドで、表示されている情報を反映した名前とサブタイトルをウィジェットに付けます。
3. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[最新スコア] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

   (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ブレークダウン ダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコア ウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

8. オプション: テンプレートを選択します。
パーセンテージ値を返す式インジケーターは、デフォルトでテンプレート 2 を使用します。他のインジケーターは、デフォルトでテンプレート 1 を使用します。
9. [最新のスコア設定] タブの [スコアの比較対象] フィールドで、最新のスコアと比較する以前のスコアを選択します。

前回スコア	前回のデータ収集のスコア。この設定がデフォルトです。
期間を遡る	比較するスコアの、最新のスコアから遡るデータ収集期間の数を指定します。

10. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに、要素フィルターを選択できます。
このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルターを使用してウィジェットをカスタマイズする方法の詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
11. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- スコアと統計情報の表示

スコア ウィジェットでの角度ゲージまたは目盛りによるチャート化の作成
スコアの範囲と比較したインジケーターの最新のスコアを表示するには、スコアウィジェットで角度ゲージまたは目盛りによるチャート化を使用します。角度ゲージには、インジケーターのターゲットも表示されます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
角度ゲージによるチャート化では、最新のスコアが角度ゲージの針で表示されます。目盛りによるチャート化では、最新のスコアが半円形のセクションに色分けして表示されます。デフォルトでは、角度ゲージまたは目盛りには可能なスコアの範囲が表示されますが、独自の範囲を作成することもできます。

角度ゲージは、インジケーターにターゲットが設定されているときに特に便利です。インジケーターに方向が設定されている場合 (最小化または最大化)、チャート化によりターゲットとインジケーターに設定されている 3 色または 5 色の信号が再現されます。たとえば、次の角度ゲージでは、オープ

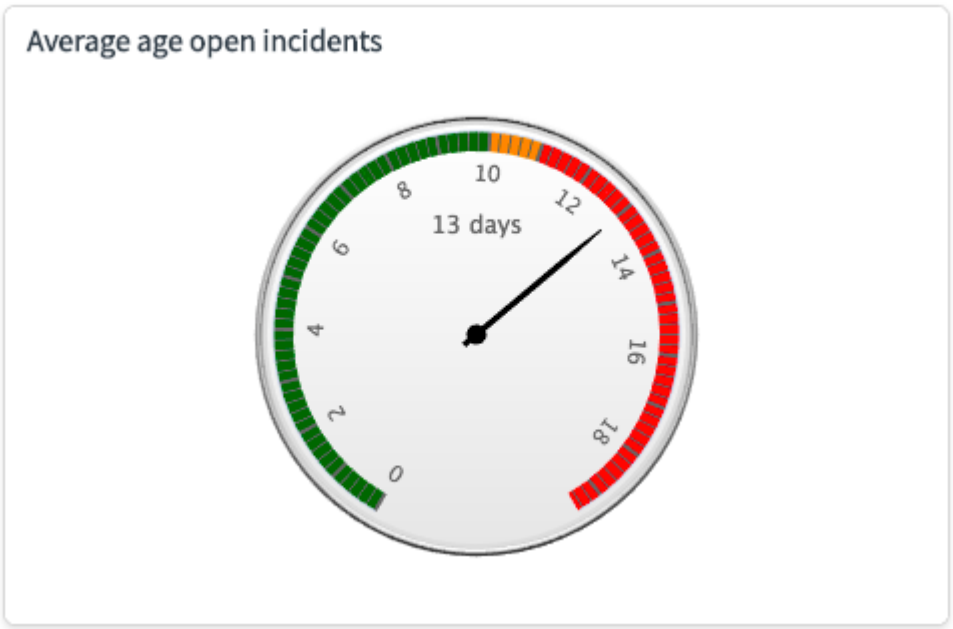
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ン インシデントの平均経過時間インジケーターが、最小化方向、ターゲット 10、3 色の信号で表示されています。

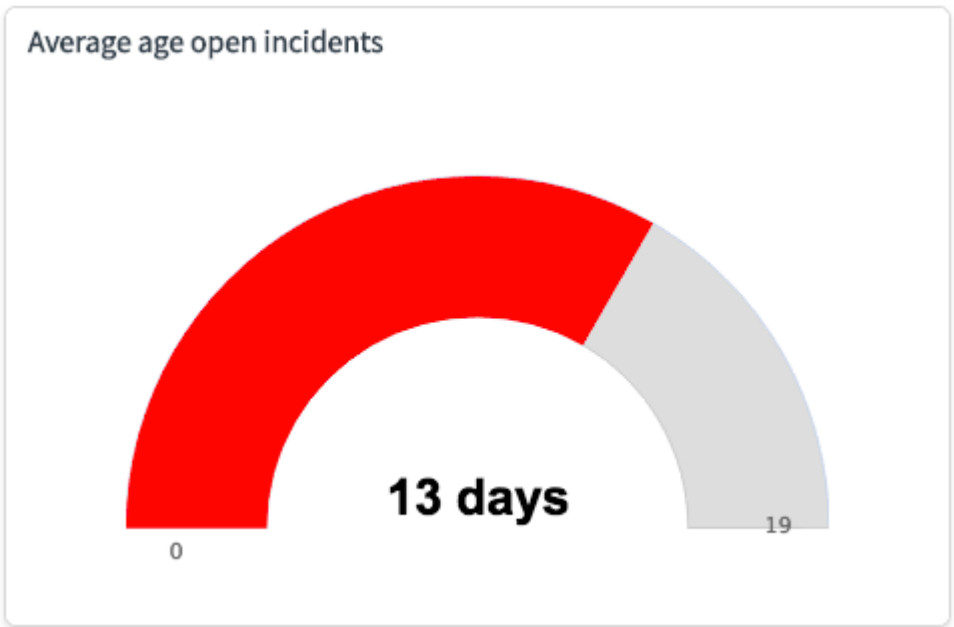
ターゲットのカラー スキームを作成するには、「 パフォーマンスアナリティクス ターゲット」を参照してください。

角度ゲージによるチャート化 - スコア ウィジェット



目盛りによるチャート化では、インジケーターのターゲットは表示されません。

目盛りによるチャート化 - スコア ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。

4. [チャート化] フィールドで、[スピードメーター] または [目盛り] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

      注:
      ブレークダウン ダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコア ウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

   詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

8. オプション: [スピードメーター/目盛り設定] タブで、角度ゲージに実際のスコアの範囲を表示する [自動スケール] を選択するか、別のスケールを指定します。
9. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに、要素フィルターを選択できます。
   このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルターを使用してウィジェットをカスタマイズする方法の詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- パフォーマンスアナリティクス ターゲット

スコア ウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成

現在のスコアを表示するには、スコア ウィジェットでリアルタイム スコアによるチャート化を使用します。スコアのトレンド ラインを表示することもできます。

始める前に

- リアルタイム スコアが必要なインジケーターでは、[リアルタイムスコアを表示] プロパティを有効にする必要があります。
- 必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

リアルタイム スコアによるチャート化では、現在のスコアと、このスコアと直前にスケジュールされたデータ収集時のスコアの間の絶対値およびパーセンテージ両方での変更が表示されます。スコアは、ダッシュボード ユーザーがウィジェットを含むダッシュボードを開いたときに計算されます。この可視化は、アナリティクスハブのチャート ビューに似ています。また、スコアの絶対値またはパーセンテージの変化のトレンド ラインを表示することもできます。

詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

⚠ 警告:

- リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。
- ウィジェットのデータ要素が多すぎると、リアルタイムで更新することはできません。この場合、ウィジェットを手動で更新するように指示するメッセージが表示されます。

リアルタイム スコアによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット.
2. [新規] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [名前] フィールドと [サブタイトル] フィールドで、表示されている情報を反映した名前とサブタイトルをウィジェットに付けます。
4. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[リアルタイムスコア] を選択します。
6. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。
7. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

8. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

注:
ブレークダウン ダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコア ウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

9. オプション: テンプレートを選択します。
リアルタイム スコアによるチャート化は、デフォルトでテンプレート 2 を使用します。
10. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに、要素フィルターを選択できます。
このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルターを使用してウィジェットをカスタマイズする方法の詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
11. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- リアルタイムスコア
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 自動インジケーターの作成

リストウィジェット

リストウィジェットには、複数のインジケーターのスコアが表示されます。

リスト ウィジェットのチャート化

	チャート化	**Description** (説明)
	スコアカード	いくつかのインジケーターには、次のいずれかの属性が表示されます。 • 複数の時点のスコア • 最後の 2 つのスコア間の変化 • % の変更 • トレンド • ブレットグラフ
	スパイダー	各インジケーターの最新スコアのプロットを、中心を 0 として始まる独自の軸に表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターを表示する権限

アップグレードされたインスタンスでは、リストウィジェットを表示するためにpa_viewerロールが必要な場合があります。さらに、リストウィジェットには、読み取り権限のないインジケーターは表示されません。

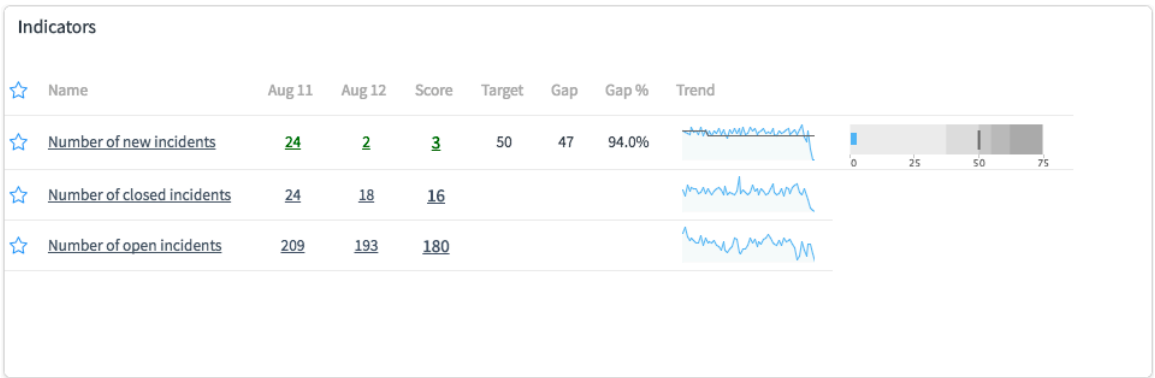
リスト ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

複数のインジケーターの測定基準を一覧表示するには、リスト ウィジェットでスコアカードによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
このチャート化を使用すると、スコア、スコアのトレンド、およびターゲットのコンプライアンスに関する複数の類似するインジケーターを比較するのに役立ちます。

スコアカードによるチャート化 - リスト ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット.
2. [新規] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[リスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[スコアカード] を選択します。
6. 次のいずれかの方法でインジケーターを選択します。
   - [インジケーターグループ] フィールドでグループを選択します。
   - [保存] をクリックしてから、「ウィジェット インジケーターの追加」で説明されているとおりにウィジェット インジケーターを追加します。
7. 7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のウィジェット データを集計するには、[時系列] フィールドの機能を選択します。

   注:
   ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

   (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

   c. [複数の要素を表示] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化またはすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターでは、COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみが集計ビューをサポートしています。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

9. オプション: [ソート] フィールドでデータをソートする属性を選択します。
10. [列の設定] タブで、表示するスコアと測定基準を選択します。

列の設定	説明
現在のスコア	最新のデータ収集のスコアを表示します。デフォルトで選択されています。
トレンド	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。デフォルトで選択されています。
ブレットグラフ	最新のスコアが最新のターゲット スコアにどれくらい近いかを示すグラフを表示します。このグラフは、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。
複数のスコア	[期間の数] フィールドに定義されているスコアの数を表示します。このフィールドは [複数のスコア] が選択されている場合に表示されます。 [現在のスコア] も選択されている場合、最新の期間に [スコア] と表示されます。それ以外の場合は、最新の期間に日付が表示されます。
期間の数	ウィジェットに含める追加期間の数を選択します。
期間のステップ	[期間の数] > 1 の場合、各期間の長さを選択します。単位は、最初のインジケーターの頻度に基づいています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列の設定	説明
	注: 日次、週次などの異なる頻度のインジケーターを含めると、インジケーターごとに異なる期間数が表示されます。たとえば、最初のインジケーターの頻度が日次で、別のインジケーターの頻度が週次である場合、週次インジケーター 1 スコアごとに、日次インジケーターは 7 つのスコアを表示します。
前回比	前のスコアからの値の変更を表示します。
前回比 (%)	前のスコアからのパーセンテージの変更を表示します。
ターゲット	インジケーターのターゲットを表示します。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。ターゲットと現在のスコアは、[ブレットグラフ] にグラフィカルに表示されます。
ギャップ	現在のスコアとターゲットの差を表示します。最大化方向のインジケーターの場合、ギャップの計算はスコア – ターゲットです。最小化方向のインジケーターでは、ターゲット – スコアで計算されます。したがって、正の値は常に良好であり、負の値は常に不良です。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。
ギャップ %	現在のスコアとターゲット スコアのパーセンテージの差を表示します。ギャップと同様に、インジケーターの方向に関係なく、正のギャップ%は常に良好であり、負のギャップ%は常に不良です。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。

11. オプション: [リスト設定] タブで表示するインジケーターをフィルタリングします。

リスト設定	説明
スコアカードオプション	[すべてのインジケーター]、[キー] とマークされたインジケーター、または [お気に入りのインジケーター] を選択して、これらのインジケーターのみをダッシュボードに表示します。
ページサイズ	リスト スコアカードに表示する行数を選択します。
フィルタ	[パフォーマンスが最高]、[パフォーマンスが最低]、[改善]、[拒否]、または [悪化] のスコアカード リストをフィルタリングします。フィルタと一致するインジケーター スコアのみが表示されます。

12. **[Submit** (送信)] または **[Update** (更新)] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

リスト ウィジェットでのスパイダーによるチャート化の作成

複数のインジケーターのスコアをプロットするには、リスト ウィジェットでスパイダーによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

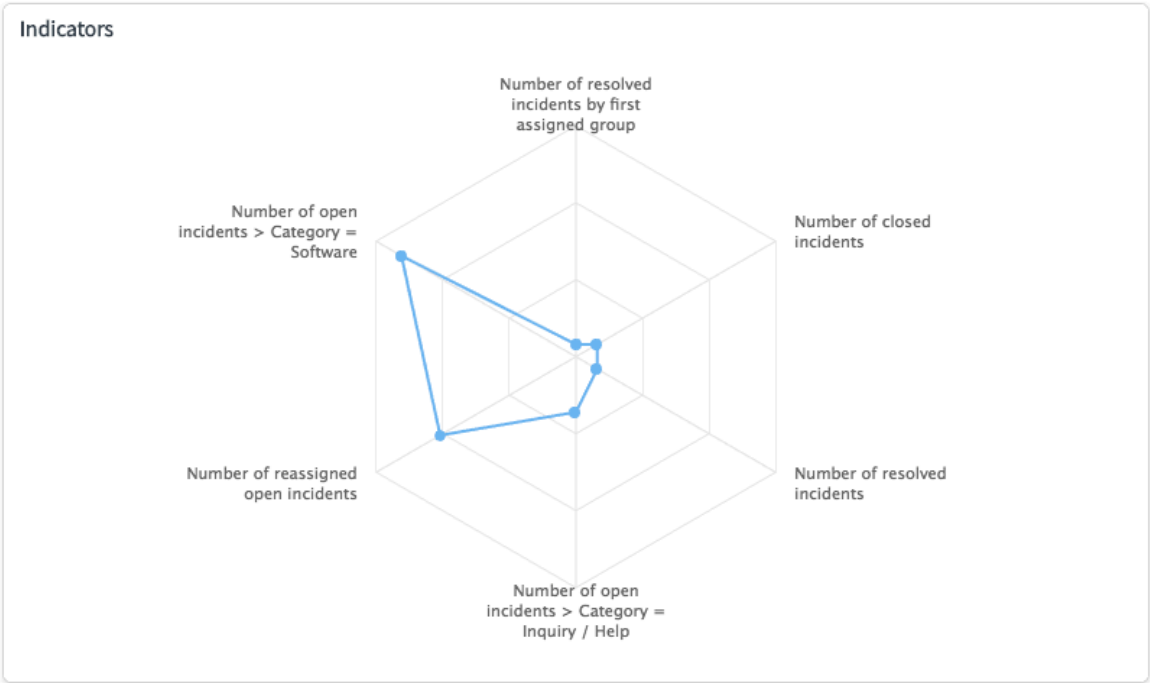
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
このチャート化を使用すると、複数の類似するインジケーターのスコアを比較するのに役立ちます。

注:
スパイダーの可視化では最大 10 個のインジケーターを比較できます。

スパイダーによるチャート化 - リスト ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット.
2. [新規] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[リスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[スパイダー] を選択します。
6. 次のいずれかの方法でインジケーターを選択します。
   - [インジケーターグループ] フィールドでグループを選択します。
   - [保存] をクリックしてから、「ウィジェット インジケーターの追加」で説明されているとおりにウィジェット インジケーターを追加します。
7. 7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のウィジェット データを集計するには、[時系列] フィールドの機能を選択します。

   注:
   ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

8. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [要素をフォロー] を選択します。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

c. [複数の要素を表示] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットの可視化またはすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターでは、COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみが集計ビューをサポートしています。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

9. オプション: [ソート] フィールドでデータをソートする属性を選択します。

10. オプション: [リスト設定] タブで表示するインジケーターをフィルタリングします。

リスト設定	**Description** (説明)
インジケーター オプション	[すべてのインジケーター]、[キー] とマークされたインジケーター、またはお気に入りのインジケーターを選択します。
ページサイズ	インジケーターリストに表示する行数を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

ブレークダウンウィジェット

ブレークダウン ウィジェットは、ブレークダウン要素別にグループ化されたインジケーター スコアを表示します。異なるチャート化を使用して、ブレークダウン要素の比率またはこれらの比率のトレンドを比較することができます。

ブレークダウン ウィジェットでのチャート化を選択するときは、ブレークダウン要素のトレンドと比率のどちらを比較するか検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのか、1 つのブレークダウンを表示するのか 2 つのブレークダウンを表示するのかも検討します。

ブレークダウン ウィジェットのチャート化

	チャート化	説明
ブレークダウン要素別に、インジケーターのスコアのトレンドをチャート化する		

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウン ウィジェットのチャート化 (続く)

	チャート化	説明
	スコアカード	単一のインジケーターの 1 つのブレークダウンのトレンドを表示します。
ブレークダウン要素の比率をチャート化する		
	列	ブレークダウン要素の比率を、比例する垂直列として表示することによって比較することができます。円グラフやじょうごグラフなどのチャート化が適切ではない場合に使用します。
	円グラフ	全体を表す円を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。
	ドーナツグラフ	全体を表すドーナツ型を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。
	半ドーナツ	全体を表す半ドーナツ型を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。半ドーナツ チャートでは、半分に分割されたドーナツ形を使用して全体を表します。
	じょうごグラフ	値を漸進的に減少する割合で表示することで、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します。
	ピラミッド	値を漸進的に増加する割合で表示することで、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します。
スコアのトレンドとブレークダウン要素の比率の両方をチャート化する		
	積み上げ縦棒	時系列とブレークダウン ウィジェットの機能を組み合わせます。X 軸は時間軸であり、チャート化で経時的なインジケーター スコアの開発を表示します。また、各列は、ブレークダウン要素に応じて積み上げられたスライスに分割されます。したがって、このチャート化は、時間の経過とともにブレークダウン要素の比率を表示します。
	列と合計	ブレークダウン要素の比率とインジケーター スコアのトレンドの両方を表示します。時間の経過とともに、ブレークダウン値ごとに個別の列とすべての値の合計を表す線を表示します。
	線	一連のデータ ポイントを直線で結ぶことによって、インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化を表示します。
	相対比較	時間の経過とともに複数のブレークダウンがどのように発散するかを表示します。
その他のチャート化		
	パレート図	列と線のチャート化を組み合わせて、多数の係数の中で最も重要な係数を特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン ウィジェットのチャート化 (続く)

	チャート化	説明
	ピボット スコアカード	複数のインジケーターに適用された 1 つのブレークダウンのブレークダウン要素を比較できるようにします。Y 軸は、インジケーターまたはブレークダウン要素にすることができます。
	ツリーマップ	ネストされた四角形をグラデーションで色付けしてツリーのように表示して、ポジティブからネガティブまでのスコアまたはスコアのトレンドを示します。

ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング

ブレークダウン ウィジェットでは、グループまたはフィルタ インジケーターのスコアをブレークダウンします。ウィジェットを作成すると、ブレークダウンのこの 2 つの目的がブレークダウン フィールドの機能に影響します。

ウィジェット フォームの [ブレークダウン] および [ブレークダウンレベル **2]** フィールドには、他のウィジェット タイプとは異なるブレークダウン ウィジェットの機能があります。他のほとんどのウィジェット タイプでは、これらのフィールドでフィルターを指定します。指定されたブレークダウン要素に対応するインジケーター スコアのみが表示されます。ただし、ブレークダウン ウィジェットを作成するときは、スコアをフィルタリングするのではなく、ブレークダウンによってグループ化します。ブレークダウン要素は、円グラフによるチャート化の異なる扇形、縦棒グラフによるチャート化の個別の列などとして表示されます。

デフォルトでは、ブレークダウン ウィジェットにはブレークダウンのすべての要素が表示されます。ただし、要素フィルターを適用することで、表示する要素を制限できます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

第 1 レベルのブレークダウンと要素でスコアをフィルタリングし、第 2 レベルのブレークダウンの要素を表示することができます。これを行うには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでブレークダウンと要素を指定します。次に、データのグループ化に使用するブレークダウンを **[2** 番目のブレークダウン] フィールドに指定します。第 **2** ブレークダウンを指定しない場合、[要素] フィールドは無視され、インジケータースコアをフィルタリングするのではなくグループ化するために最初のブレークダウンが使用されます。

ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

パフォーマンス分析のユーザーは、ダッシュボードで個々のブレークダウン ウィジェットとやり取りして、チャート化またはブレークダウンを変更できます。

[**Type** of **Breakdown**] のウィジェットを使用すると、ユーザーはダッシュボードでウィジェットを表示するときに可視化を選択できます。ユーザーは、ダッシュボードでウィジェットを表示するときに [チャート化] 選択リストから、ウィジェット タイプの任意のチャート化を選択できます。

> **注:**
> ダッシュボードから [ピボットスコアカード] のチャート化を選択することはできません。このチャート化を使用するには、ウィジェット レコードを構成します。

ブレークダウン ウィジェットを使用すると、複数のブレークダウンが利用可能な場合にユーザーにブレークダウンを選択させることもできます。ダッシュボードでウィジェットを表示すると、[ブレークダウン] 選択リストに [インジケーター] ウィジェットのすべての利用可能なブレークダウンが

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

表示されます。インジケーターに関連付けられたブレークダウンが 1 つしかない場合、[ブレークダウン] 選択リストはウィジェットに表示されません。

> **注:**
> ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードに追加されていて、ユーザーがウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウンを選択すると、ダッシュボードのブレークダウンは無視されます。しかし、ユーザーが他の組み合わせのブレークダウンをウィジェットとダッシュボードで選択すると、両方のブレークダウンが適用されます。

デフォルトでは、インタラクティブなブレークダウンが第 1 レベルのブレークダウンとして適用されます。ただし、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードにあり、ウィジェット フォームで [要素をフォロー] が選択されている場合、インタラクティブ ブレークダウンは第 2 レベルのブレークダウンとして適用されます (第 2 レベルのブレークダウンを適用するにはインジケーターで [ブレークダウンマトリクスを収集] が設定されている必要があります)。ウィジェットを含むダッシュボードに設定されているすべてのブレークダウンは、第 1 レベルのブレークダウンとして適用されます。

特定のウィジェットのこの機能を無効にするには、ウィジェット フォームで [表示方法セレクタを表示] または [ブレークダウンセレクタを表示] チェックボックスをオフにします。

ウィジェット レコードで選択されているチャート化またはブレークダウンがデフォルトとして使用されます。

関連情報

- パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン
- ダッシュボードでのブレークダウンの使用

ブレークダウン ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素のトレンドを表示するには、スコアカードによるチャート化を使用します。

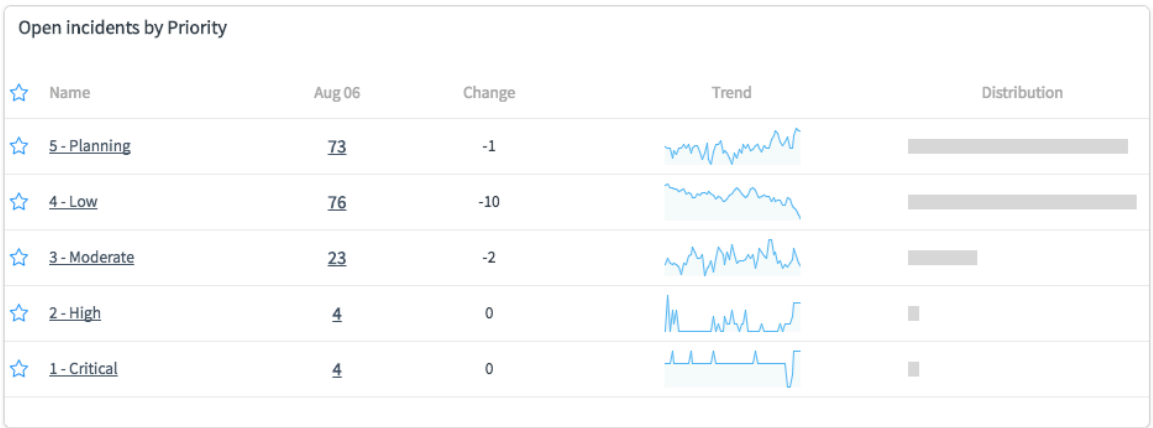
始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

スコアカードによるチャート化では、1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素別のトレンドを表示します。

スコアカードによるチャート化 - ブレークダウン



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[スコアカード] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットでブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて、ウィジェットに異なる要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2nd Breakdown**] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限ります。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 番目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

   重要:
   ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで、ブレークダウンの要素に別々の値を表示する [アサイン先] したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

c. [**Show multiple elements as**] では、[**Aggregated]** ビューのみを使用できます。

d. オプション: [フォローしているブレークダウンの関連付け] でブレークダウンの関連付けを選択します。
ウィジェットは、指定されたブレークダウンの関連付けをフォローするブレークダウン要素のみを表示します。ブレークダウン ダッシュボードで、関連するブレークダウン要素を選択する必要があります。それ以外の場合、ウィジェットはデータを表示しません。詳細な例については、「ダッシュボードのブレークダウン関係の表示」を参照してください。

注:

- フォローしているブレークダウンまたはフォローしているブレークダウンの関連付けのいずれかを指定できますが、両方を指定することはできません。
- 複数の要素の選択は、ブレークダウンの関連付けに従うウィジェットではサポートされていません。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	**Description** (説明)
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 注: システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウン ウィジェットの追加設定
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り
- アナリティクスハブ

ブレークダウン ウィジェットでの円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化の作成

ブレークダウンの要素の比率を表示するには、円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
ブレークダウン要素のパーセンテージや比率を比較する必要がある場合は、円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化を使用できます。特定のウィジェットにどれが最適かを確認するために、3 つすべてを検討してください。

これらのチャート化は、以下の場合には不明瞭になります。

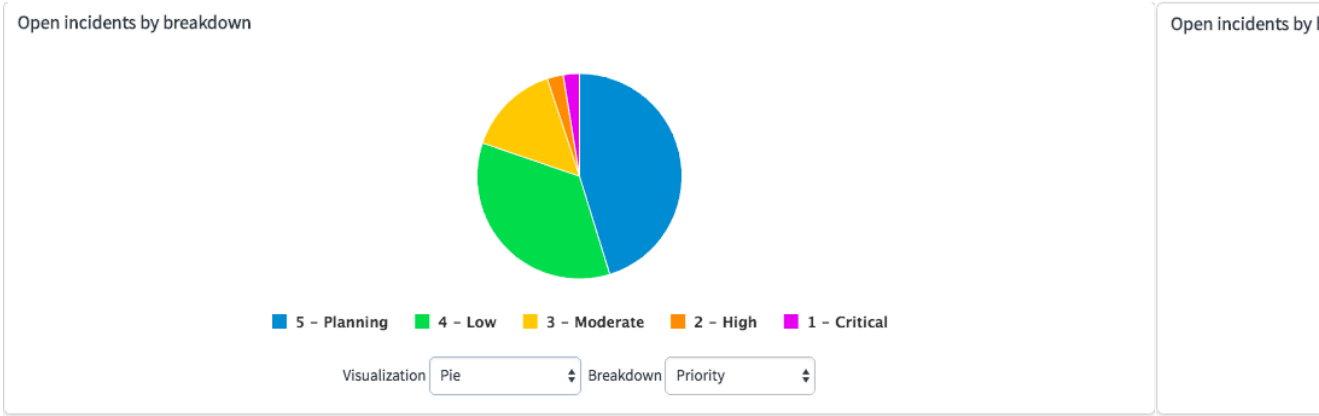
- ブレークダウンに含まれる要素が多すぎる。
- ブレークダウンのいくつかの要素が他の要素よりずっと小さい。

これらの場合、または割合ではなくスコアを比較するには、縦棒グラフによるチャート化の使用を検討してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

円グラフ、ドーナツ グラフ、半ドーナツ グラフによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[円グラフ]、[ドーナツグラフ]、または [半ドーナツグラフ] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットでブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて、ウィジェットに異なる要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2nd Breakdown**] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限ります。

   注:

   - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
   - 2 番目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

> **重要:**
> ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで、ブレークダウンの要素に別々の値を表示する [アサイン先] したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

c. [**Show multiple elements as**] では、[**Aggregated]** ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 注: システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでのピラミッド グラフまたはじょうごグラフによるチャート化の作成

ブレークダウンの要素の比率を表示するには、特に要素がプロセスのステージを表すときは、ピラミッド グラフまたはじょうごグラフによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

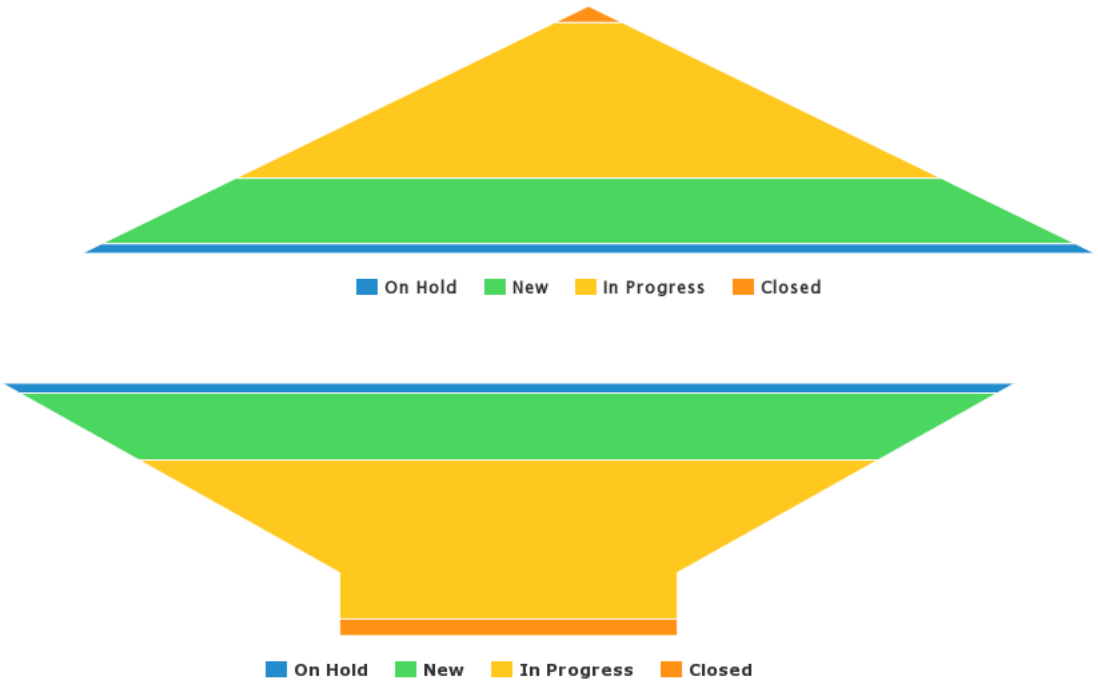
自動翻訳

このタスクについて
ブレークダウン要素のパーセンテージや比率を比較する必要がある場合は、円グラフによるチャート化の代わりにじょうごグラフまたはピラミッド グラフによるチャート化を使用することを検討してください。じょうごグラフおよびピラミッド グラフによるチャート化は、ブレークダウンの要素がプロセスのステージ (営業プロセスのリードから商談成立までなど) を表す場合に特に適しています。

じょうごグラフはパーセンテージを減少させることで、ピラミッド グラフはパーセンテージを増加させることで、上から下にスライスを積み重ねます。ピラミッド グラフは、組織の階層レベルを表すためによく使用されます。

ピラミッド グラフおよびじょうごグラフによるチャート化 - ブレークダウン

次の例では、オープン インシデントがそのステージに応じて表示されています。



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ピラミッドグラフ] または [じょうごグラフ] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットでブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
- ビューアの特性に応じて、ウィジェットに異なる要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
- あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2nd Breakdown**] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限ります。

  注:

  - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
  - 2 番目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で、ブレークダウンの要素に別々の値を表示する [アサイン先] したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

c. [**Show multiple elements as**] では、[**Aggregated]** ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

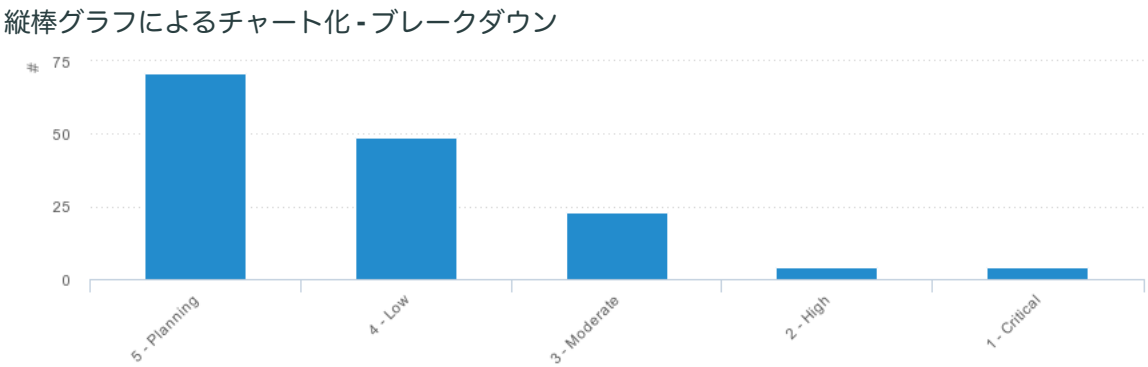
関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの縦棒グラフによるチャート化の作成

1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素を比較するには、縦棒グラフによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
ブレークダウン要素別にインジケーター スコアの比率を比較する場合で、円グラフによるチャート化が不適切な場合は、縦棒グラフによるチャート化を使用します。縦棒グラフによるチャート化は、多くの要素がある場合、いくつかの要素が他の要素よりもはるかに小さい場合、またはいくつかの要素の値が互いに近い場合に、明確になります。



手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。

- ウィジェットでブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
- ビューアの特性に応じて、ウィジェットに異なる要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
- あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2nd Breakdown**] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限ります。

  注:

  - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
  - 2 番目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で、ブレークダウンの要素に別々の値を表示する [アサイン先] したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

c. [**Show multiple elements as**] では、[**Aggregated]** ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

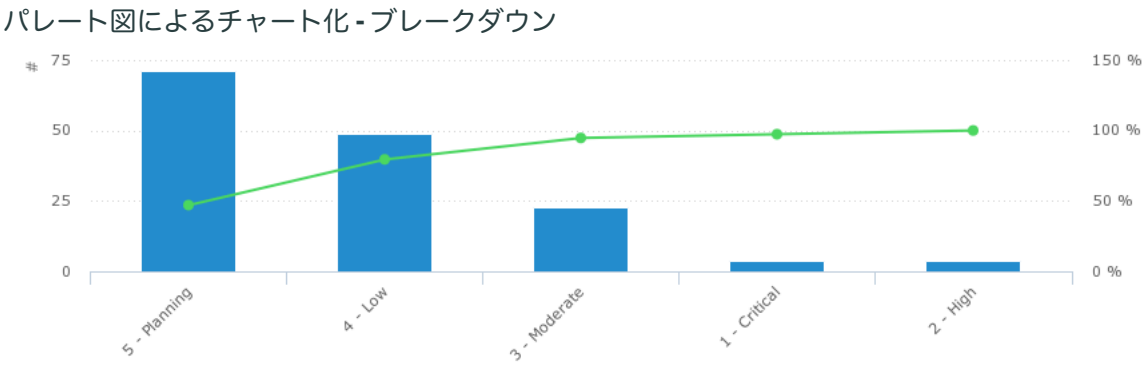
関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでのパレート図によるチャート化の作成

ブレークダウンに多くの要素が含まれているときに最も重要なブレークダウン要素を特定するには、パレート図によるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
パレート図によるチャート化には棒グラフと線グラフの両方が含まれます。棒グラフには、データが左から右に向かって降順で表示されます。線グラフには、カテゴリごとの累積合計が同じ順序で表示されます。左側の Y 軸はレコード カウントです。右側の Y 軸は、評価対象のレコードの合計数に占める累積のパーセンテージです。線グラフと 80% のマークとの交差点の左側にあるデータは、全体の成果に最も大きな影響を与えています。



手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[パレート図] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットでブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて、ウィジェットに異なる要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2nd Breakdown**] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限ります。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 番目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

   (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で、ブレークダウンの要素に別々の値を表示する [アサイン先] したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

c. [**Show multiple elements as**] では、[**Aggregated]** ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

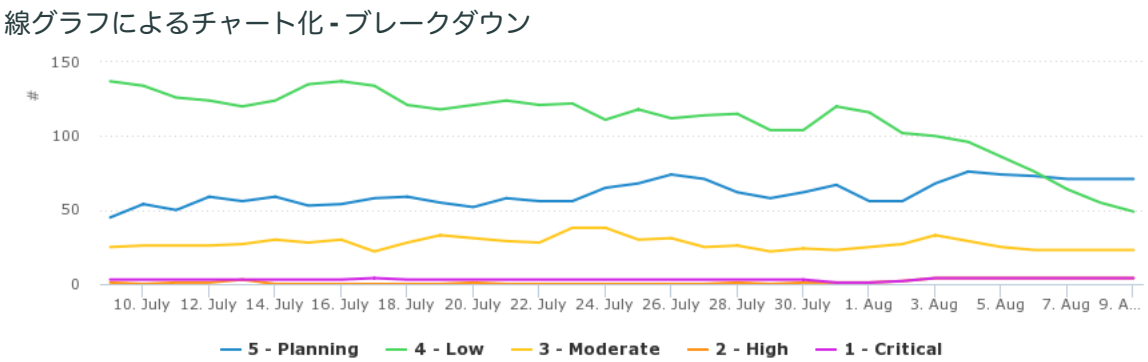
関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの線グラフによるチャート化の作成

インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで線グラフによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
ブレークダウン ウィジェットの線グラフによるチャート化では、異なるブレークダウン要素に属するインジケーター スコアの割合の経時変化を表示します。変化を追跡する期間を選択するには、[日付の設定] タブに移動します。



手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[線] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットでブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
- ビューアの特性に応じて、ウィジェットに異なる要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
- あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2nd Breakdown**] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限ります。

  注:

  - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
  - 2 番目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で、ブレークダウンの要素に別々の値を表示する [アサイン先] したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

c. [**Show multiple elements as**] では、[**Aggregated]** ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

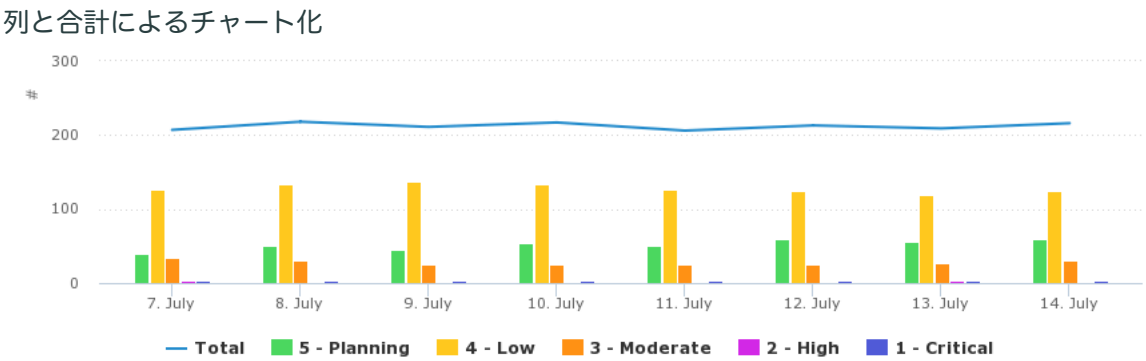
関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの列と合計によるチャート化の作成

インジケーターのスコアとそのインジケーターのブレークダウン要素の比率の両方の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで列と合計によるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
このチャート化は、時系列とブレークダウン ウィジェットを組み合わせます。インジケーター スコアには、線グラフによるチャート化によって従来の時系列が表示されます。この線は、インジケーター スコアが収集された各時点のブレークダウンの縦棒グラフによるチャート化と組み合わされます。このウィジェットを使用して、インジケーター スコアとそのインジケーターのブレークダウン要素の比率との関係を調べます。



手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列と合計] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットでブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて、ウィジェットに異なる要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2nd Breakdown**] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限ります。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 番目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで、ブレークダウンの要素に別々の値を表示する [アサイン先] したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

c. [**Show multiple elements as**] では、[**Aggregated]** ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

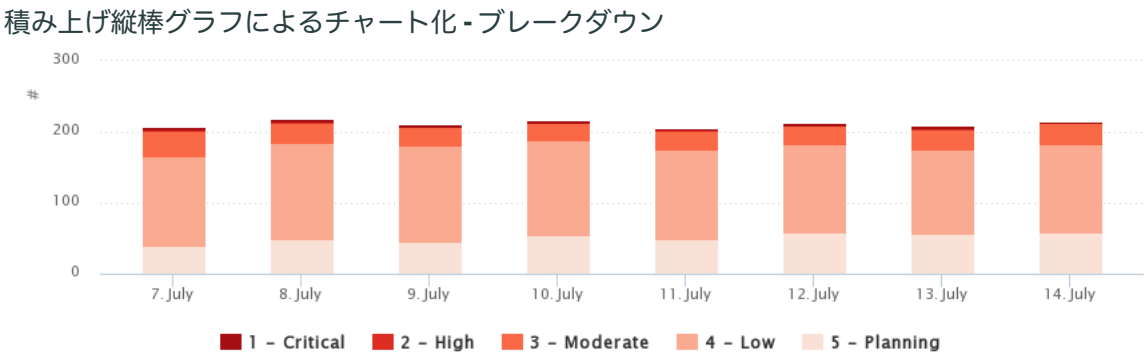
関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り
- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成

ブレークダウン ウィジェットでの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成

インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで積み上げ縦棒グラフによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
このチャート化は、単一の列でブレークダウン要素の比率を表示し、インジケーター スコアが収集される各時点の列を表示します。変化を追跡する期間を選択するには、[日付の設定] タブに移動します。



手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[積み上げ縦棒] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットでブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて、ウィジェットに異なる要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2nd Breakdown**] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限ります。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 番目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

   (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で、ブレークダウンの要素に別々の値を表示する [アサイン先] したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

c. [**Show multiple elements as**] では、[**Aggregated]** ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの相対比較によるチャート化の作成

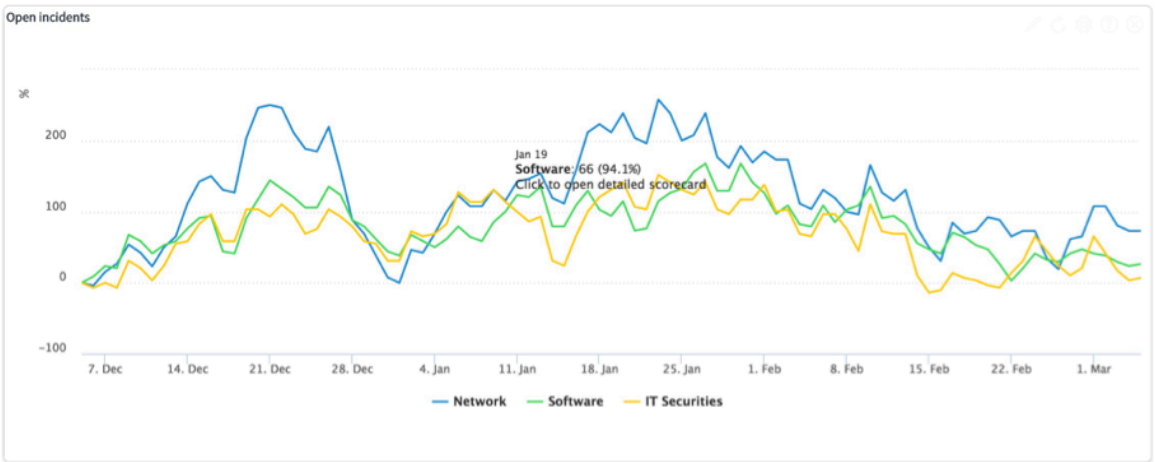
複数のインジケーターの相対的な比率の経時変化を示すには、時系列の相対比較によるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
円グラフと同様に、相対比較によるチャート化はデータ ポイント間の相対的な比率を示しますが、時間とともにその比率がどのように変化するかを示すこともできます。相対比較によるチャート化は、従来より株価チャートや人口増加傾向を示すために使用されています。相対比較によるチャート化を作成するときは、ベースラインとして 0 を使用し、時間の経過とともにデータがどのように変化するかを示します。

たとえばこのチャート化は、3 つの異なるインシデント タイプに対して、12 月から 3 月までのオープン インシデント数を示しています。線をポイントすると、その日のインシデント数と変化率が表示されます。データ ポイントについて示される変化率は、他のほとんどの時系列のチャート化の場合と同様に、前のデータ ポイントではなくベースライン 0 から計算されます。

相対比較によるチャート化の例



手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[相対比較] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットでブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて、ウィジェットに異なる要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2nd Breakdown**] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限ります。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 番目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで、ブレークダウンの要素に別々の値を表示する [アサイン先] したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

c. [**Show multiple elements as**] では、[**Aggregated]** ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

9. [日付の設定] タブで、[日付範囲インジケーターを表示] を選択します。
10. [設定] タブをレビューして、必要に応じて他の設定を調整します。
11. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウン ウィジェットの追加設定
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでのピボット スコアカードによるチャート化の作成

多くのインジケーター間でブレークダウン要素の比率を比較するには、ブレークダウン ウィジェットでピボット スコアカードによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
同じウィジェットの複数のインジケーターに同じブレークダウンを適用して表示する場合は、ピボット スコアカードを使用します。スコアカードを旋回させて、ブレークダウン要素とインジケーターの軸を逆にすることができます。

ピボット スコアカード - ブレークダウン

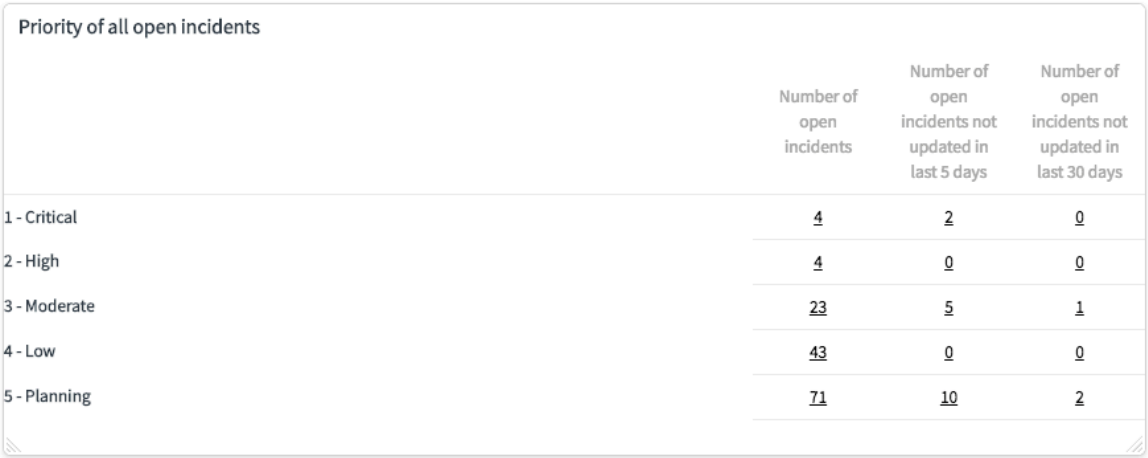
Priority of all open incidents

	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning
Number of open incidents	4	4	23	43	71
Number of open incidents not updated in last 5 days	2	0	5	0	10
Number of open incidents not updated in last 30 days	0	0	1	0	2

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピボット スコアカード **(Y** 軸がブレークダウン)



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ピボットスコアカード] を選択します。
5. [ピボットブレークダウン] フィールドで、複数のインジケーターにまたがって要素を表示するブレークダウンを選択します。
6. [保存] をクリックします。
   [インジケーター] 関連リストがフォームの下部に表示されます。
7. [インジケーター] 関連リストで、[新規] をクリックします。
8. 表示されるメニューで、ブレークダウン要素を比較するインジケーターを選択します。
9. [更新] をクリックします。

次のタスク

- ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。
- ウィジェットがダッシュボードに入ったら、ウィジェットを編集して [ブレークダウンを **Y** 軸に表示] 表示設定を試します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング

ブレークダウン ウィジェットでのツリーマップによるチャート化の作成

ブレークダウン要素の階層を表示するには、ツリーマップによるチャート化を使用します。

始める前に

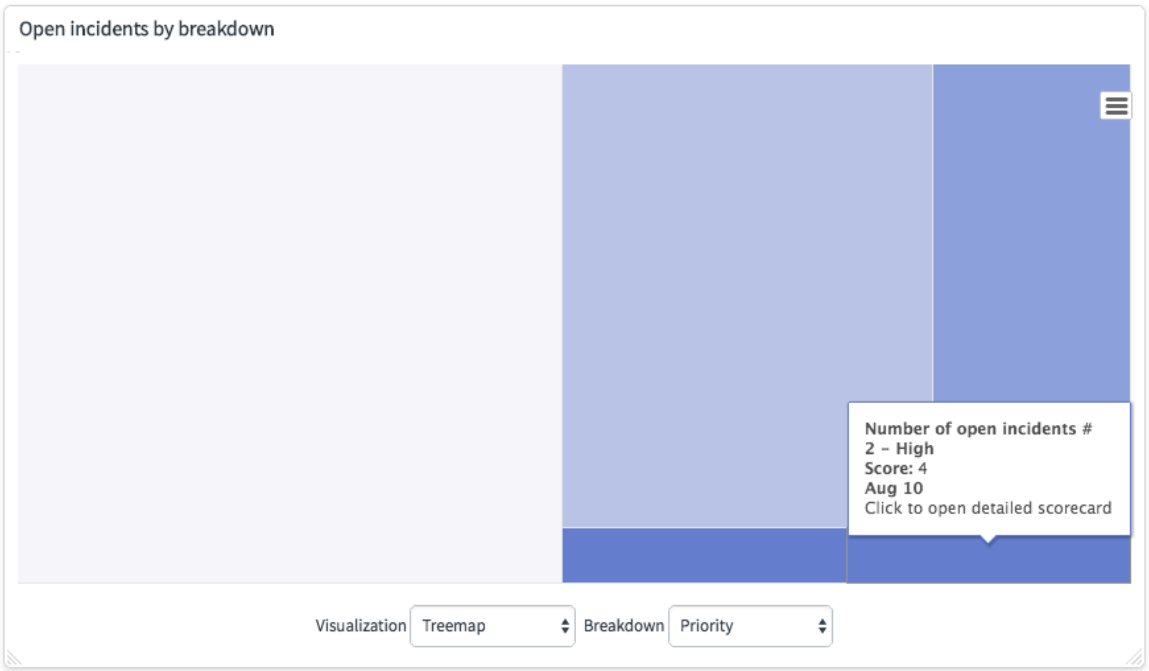
必要なロール：pa_power-user または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ブレークダウンの要素が好感度で異なる場合、または各ブレークダウン要素とインジケーター ターゲットを比較する場合は、ツリーマップを使用できます。ツリーマップでは、要素の比率を表すサイズと好感度を表す色のネストされた四角形を使用します。

ツリーマップによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ツリーマップ] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットでブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて、ウィジェットに異なる要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2nd Breakdown**] フィールド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限ります。

注:

- 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
- 2 番目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. [色分けの方法] フィールドで、好感度をスコア、スコアの変化、変化の割合、インジケーターターゲットのいずれに基づいてランク付けするかを選択します。
8. [正の色] フィールドで、肯定的であることを示す色を選択します。
9. [色分けの方法] によっては、[負の色] を選択する必要があります。
10. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

11. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
    詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
12. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

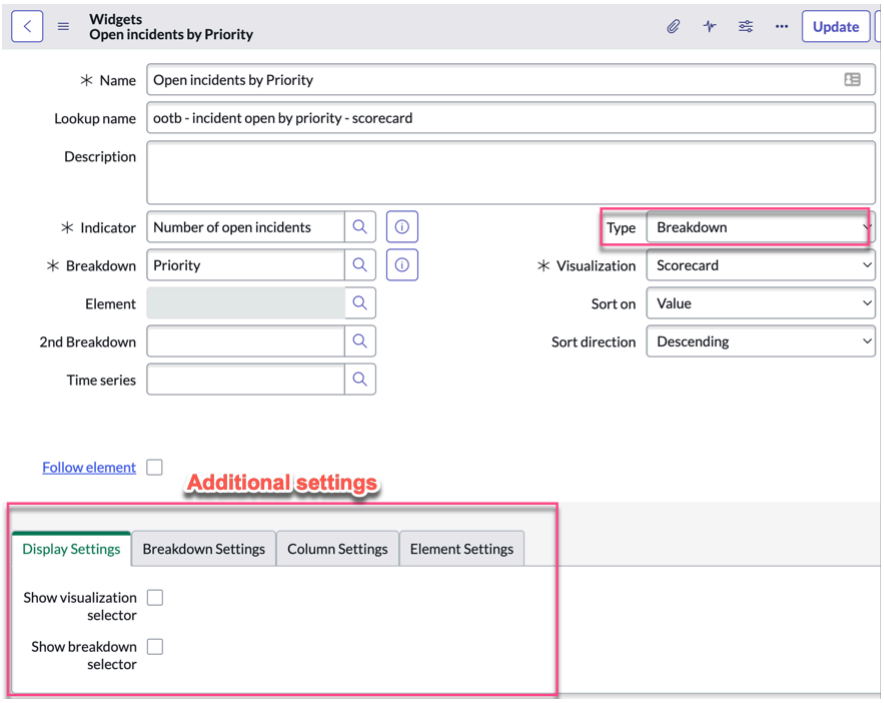
ブレークダウン ウィジェットの追加設定

ブレークダウン ウィジェットには、日付範囲、表示、グループ化ブレークダウン、および列の内容に関する次のオプション設定があります。すべてのオプションがすべてのチャート化で利用できるわけではありません。

使用可能な設定は、選択した可視化によって異なります。次の例は、スコアカードによるチャート化の場合です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



日付設定

設定	**Description** (説明)
期間	ウィジェットに表示する日付範囲を選択します。いくつかのオプションを利用できます。 • 特定の時間範囲を選択します。デフォルトは **[3m]** (3 か月) です。 • 現在の日付までのスコアを使用する場合は [最大] を選択します。 • 期間を定義する場合は [次の間] を選択してから、[開始日付] フィールドと [終了日付] フィールドを入力します。 [期間] フィールドは、[チャート化] として [線]、[列と合計]、または [積み上げ縦棒] を選択した場合にのみ利用できます。
範囲セレクタの表示	ダッシュボードにウィジェットを表示しているときに、選択した期間をユーザーが変更できるウィジェットに日付範囲セレクタを表示します。 **注:** • ウィジェットで日付範囲を選択してもトレンド ラインは更新されません。 • [月別合計] などの時系列集計を日付範囲セレクターと組み合わせると、ユーザーに表示される期間が予想よりも 1 つ多くなる場合があります。インスタンスは 3 か月などの期間を 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示する場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

軸設定

注:
[積み上げ縦棒] が可視化されている場合、軸の設定は利用できません。

設定	**Description** (説明)
Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示するタイトルを指定します。
Y 軸の起点	チャートの縦軸の値の範囲の開始点を指定します。
Y 軸の終点	チャートの縦軸の値の範囲の終了点を指定します。
第 2 Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示する 2 番目のタイトルを指定します。
第 2 Y 軸の起点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の開始点を指定します。 2 番目の Y 軸は、スコアが通常は限られた範囲内を移動する場合に使用できますが、それ以外の場合はチャートを歪ませる例外があります。たとえば、40 ～ 60 の範囲で 1000 は例外になります。
第 2 Y 軸の終点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の終了点を指定します。

表示設定

設定	**Description** (説明)
ターゲットを表示	定義されている場合は、ターゲット スコアを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。
しきい値を含める	[常に高い]、[常に低い] などのしきい値を表示します。しきい値は、このインジケーターに対して定義されている場合にのみ表示されます。
データラベルを表示	円グラフの各スライスなど、チャートの各部分のスコアを表示します。
トレンドを表示	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。
信頼帯を表示	このチャートの信頼帯を表示します。信頼帯の計算方法については、「 ウィジェットの信頼帯」を参照してください。
予測を含める	現在のトレンド データに基づいてチャートに予測データを表示します。予測は、インジケーターに設定しておく必要があります。
コメントを表示	チャートのデータ ポイントに追加されたコメントを表示します。
表示方法セレクタを表示	ユーザーがダッシュボードから選択したチャート化を変更できるように、ウィジェットに選択リストを表示します。 **注:** ダッシュボードから [ピボットスコアカード] のチャート化を選択することはできません。このチャート化を使用するには、ウィジェット レコードを構成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	**Description** (説明)
ブレークダウンセレクタを表示	ユーザーがダッシュボードから選択したブレークダウンを変更できるように、ウィジェットに選択リストを表示します。ウィジェットにブレークダウン選択リストを表示するには、利用できるブレークダウンが 1 つ以上存在する必要があります。
正の色	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、インジケーター [方向] の値に基づいて、目的の方向に移動するスコアを示すために使用する色を選択します。[色基準] が [ターゲット] に設定されている場合、正の色はターゲットにより近い値を示します。
負の色	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、インジケーター [方向] の値に基づいて、誤った方向に移動するスコアを示すために使用する色を選択します。[色基準] が [ターゲット] に設定されている場合、負の色はターゲットからより遠い値を示します。このフィールドは、[色基準] が [スコア] であるときは利用できません。
凡例を表示	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、このオプションを選択すると、正の色と負の色の凡例が表示されます。
凡例にデータのない要素を含める	ブレークダウンの要素に一致するレコードがない場合でも、ウィジェットの凡例にブレークダウン名を表示します。

ブレークダウン設定

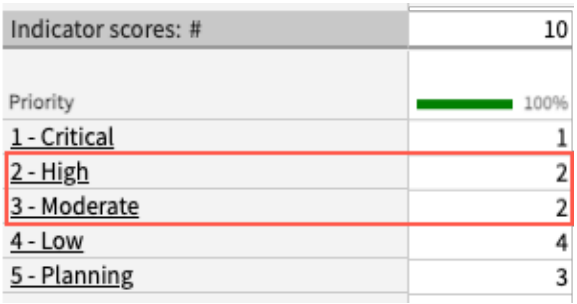
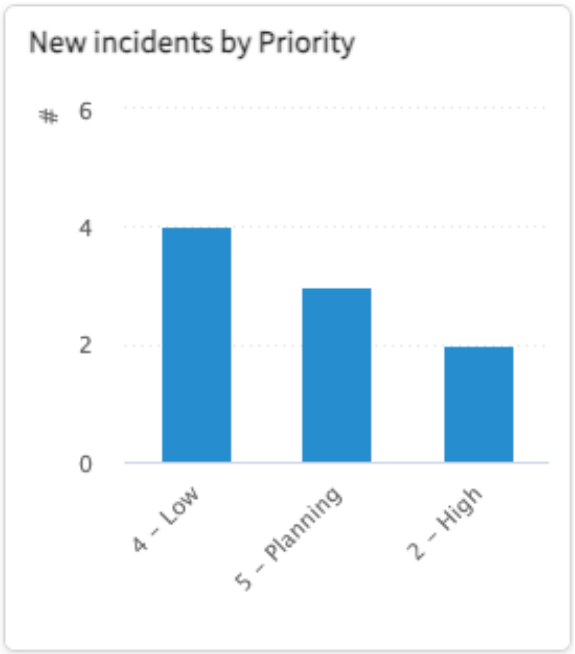
設定	**Description** (説明)
ブレークダウンを Y 軸に表示	デフォルトでは、ピボット アナリティクスハブ ブレークダウンウィジェットはブレークダウン要素を X 軸として、インジケーターを Y 軸として表示します。ブレークダウン要素を Y 軸として、インジケーターを X 軸として表示するには、このチェックボックスをオンにします。
合計の表示	[チャート化] フィールドで [スコアカード] を選択した場合、ブレークダウン チャートにすべての選択されたブレークダウンの合計を示す追加の行を含めることができます。
バーの表示	各インスタンスのスコアをバーで表します。

要素設定

設定	**Description** (説明)
要素フィルター	このウィジェットで特定のサブセットのブレークダウン要素のみを利用できるかどうかを指定します。デフォルトでは、すべての要素が利用可能です。 たとえば、ブレークダウン要素 [優先度] の要素は、[最重要]、[高]、[中]、[低]、または [計画] にすることができます。
手動の要素	ブレークダウン要素は自動または手動で選択できます。追加する要素の [ウィジェット要素] 関連リストを表示するには、[手動の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	Description (説明)
	要素] チェックボックスをオンにします。ブレークダウンに属する要素を自動的に使用するには、[手動の要素] チェックボックスをオフにします。
トップ X の表示	グラフを読みやすくするために、スコアが x 高い要素のみを表示します。 同点の場合は、スコアシートにリストされている最初の要素が表示されます。たとえば、[**Show top x]** が 3 で、[Priority] ブレークダウンの 3 番目に高い値が [High] と [Moderate] の間で同順位であるウィジェットがある場合、ウィジェットには [Moderate] ではなく [High] と表示されます。   スコアシートに要素がリストされる順序は、要素を含むテーブルによって異なります。たとえば、選択肢 [sys_choice] テーブルの要素の場合、この順序は [シーケンス] フィールドの値に従います。グループ [sys_group] テーブルの要素の場合、順序は [名前] フィールドに基づいてアルファベット順になります。 **注:** 最新のスコアから上位の要素が選択されます。ウィジェットに線グラフによるチャート化がある場合、表示されているタイムスパン全体の平均スコアが他の要素の方が高い場合でも、上位の要素は最新のスコアから選択されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	Description (説明)
パーセンテージ	[割合なし] を選択した場合、インスタンスのスコア パーセンテージは表示されません。[要素の割合] を選択した場合、各インスタンスのスコア パーセンテージが表示されます。たとえば、インシデントの総数の 6.4% が最重要、11.8% が高などです。

列の設定

設定	Description (説明)
現在のスコア	最新のデータ収集のスコアを表示します。
トレンド	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。
複数のスコア	アナリティクスハブにスコアを追加します。[期間の数] で、表示する追加スコアの数を選択します。[期間のステップ] で、各期間の長さを選択します。[現在のスコア] も選択されている場合、スコア列が最新の期間としてカウントされ、N-1 期間が追加されます。
前回比	前のスコアからの変更を表示します。
前回比 (%)	前のスコアからのパーセンテージの変化を表示します。
ターゲット	ターゲットが定義されている場合は、インジケーターのターゲットを表示します。
ギャップ	現在のスコアとターゲット スコアの差を表示します。ギャップは正 (ターゲットに向かって移動) か負 (ターゲットから離れて移動) のいずれかにできます。
ギャップ %	現在のスコアとターゲット スコアのパーセンテージの差を表示します。ギャップ % は正 (ターゲットに向かって移動) か負 (ターゲットから離れて移動) のいずれかにできます。

最新スコア設定

設定	Description (説明)
比較するスコア	このタブは、可視化タイプが [最新スコア] の場合に表示されます。前のスコアまたは期間を遡って選択します。前の期間はいくつでも指定することができます。

パーソナライズされたビジュアル

ダッシュボード、サービスポータル、またはワークスペースキャンバスでビジュアルを見るユーザーにのみ適用される情報を表示するように、動的要素を使用してビジュアルを構成します。

ビジュアルには、サポートエージェントにアサインされたチケットや、マネージャーのチームにアサインされたタスクの数などを表示できます。パーソナライズされたビジュアルから アナリティクスハブ に移動すると、アナリティクスハブ もパーソナライズされます。

パーソナライズされたビジュアルを使用して、パフォーマンスアナリティクス をマネージャーとライン作業者にプッシュします。これは、パーソナライズされたビジュアルのウィジェットをサービス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ポータルに追加するために特に便利です。ポータルにログインするマネージャーが、自分が所有するグループに属するレコードの分析のみを表示できるようにします。ポータルにログインしたライン作業者が、自分または自分のグループに属するレコードの分析のみを表示できるようにします。パフォーマンスアナリティクス には、[自分のグループの 1 つ]、[自分が管理するグループ]、および [自分] の要素フィルターがあり、このようなパーソナライズされたビジュアルを作成できます。

パーソナライズは、時系列、スコア、およびブレークダウンの各ウィジェットに適用されます。パーソナライズされたビジュアルを構成すると、ウィジェットが表示される場所 (ダッシュボード、ランディングページ、または Service Portal) にパーソナライズが適用されます。

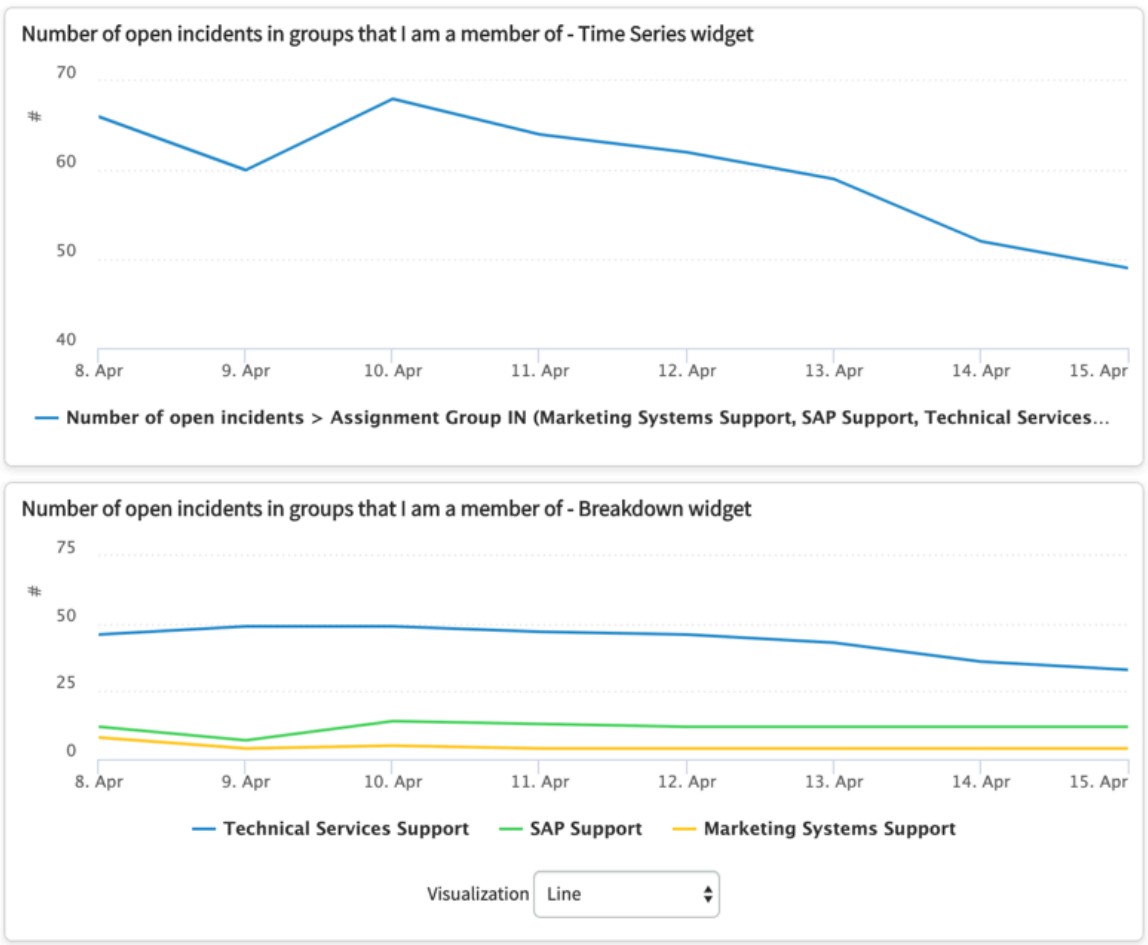
技術的には、ブレークダウン要素を指定するのではなく、要素フィルターをウィジェットに適用してビジュアルをパーソナライズします。パーソナライズは、[次の条件に一致] [自分] などのフィルターの動的条件を使用して行われます。

注:
パーソナライズされたビジュアルは、第 1 レベルのブレークダウンにのみ適用されます。

複数の要素を表示する

要素フィルターが複数の要素を返す場合、これらの要素のスコアはスコアウィジェットと時系列ウィジェットに集計値として表示されます。ただし、これらのスコアはブレークダウンウィジェットでは個別に表示されます。次の例は、同じパーソナライズされたビジュアルの時系列ウィジェットとブレークダウンウィジェットを示しています。ログインビューアーは、テクニカルサービスサポート、SAP サポート、およびマーケティングシステムサポートグループのメンバーです。上部の時系列ウィジェットにはこれらのグループの集計ビューが表示され、その下の [ブレークダウン] ウィジェットには個別のビューが表示されます。

パーソナライズされたビジュアルの時系列ウィジェットとブレークダウンウィジェット

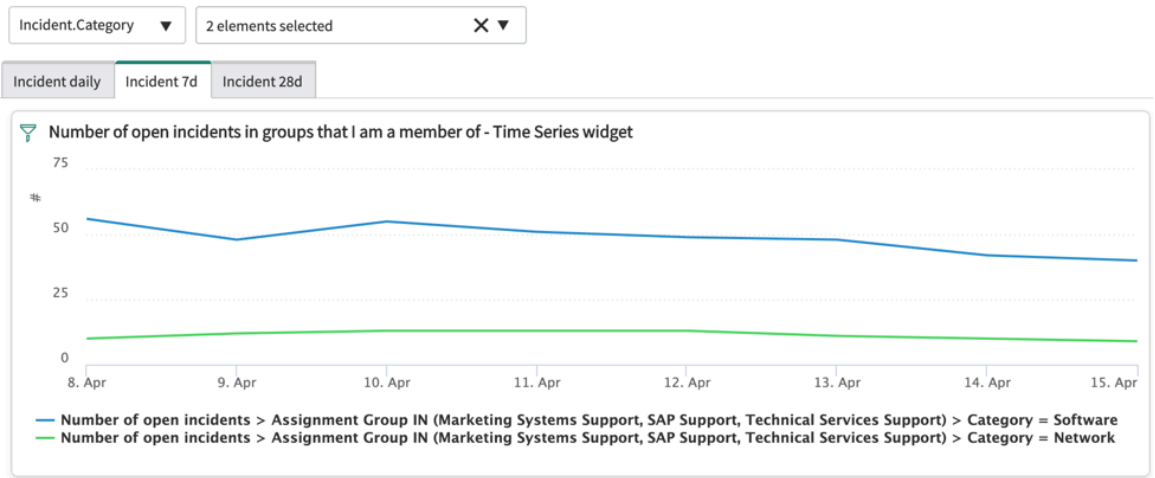


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするようにウィジェットを設定する場合は、複数の要素の [集計] または [独立] のビューを選択しても、パーソナライズされたビジュアルには影響しません。たとえば、ブレークダウンダッシュボードの次の時系列ウィジェットは、複数の要素を個別に表示するように構成されています。この構成は、ダッシュボード上のカテゴリブレークダウンの要素に適用されます。ただし、ウィジェットには、パーソナライズされたビジュアルのアサイン先グループの要素が集計として表示されます。

ブレークダウンダッシュボードのパーソナライズされたビジュアルを備えたウィジェット



詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

パーソナライズされたビジュアルを使用したウィジェットの構成

カスタマイズされたビジュアルを使用すると、ダッシュボードまたはキャンバスでビジュアルを使用するユーザーに最も関連性の高い情報を共有できます。ウィジェットのビジュアルをカスタマイズするには、要素フィルターを適用します。

始める前に

注:
パーソナライズされたビジュアルは、第 1 レベルのブレークダウンにのみ適用されます。

必要なロール:pa_admin、pa_power_user

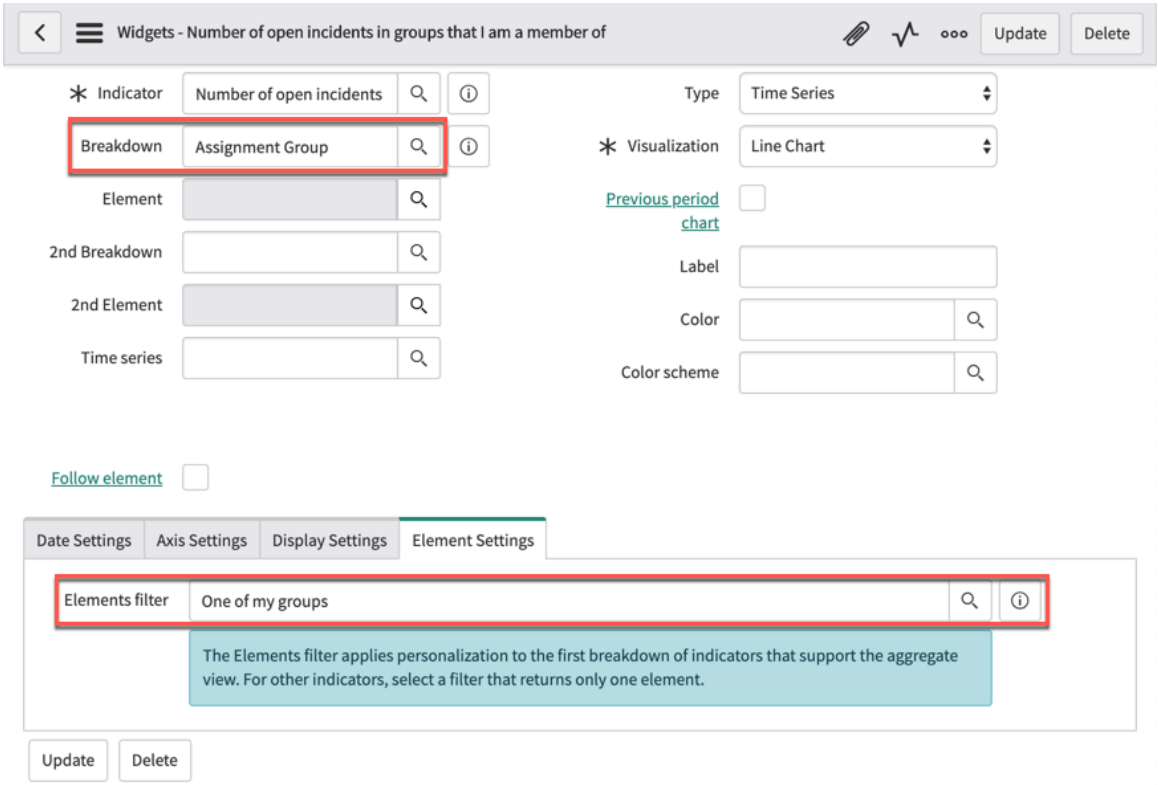
手順

1. [is (dynamic)] [me] などの動的条件を使用して、ブレーク ダウン要素フィルター を 1 つ以上作成します。
   要素フィルターを作成する前に、既存のフィルターを使用できるかどうかを確認してください。
2. 移動先 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット.
3. カスタマイズするウィジェットを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ウィジェットフォームで、[アサイン先] や [アサイン先グループ] など、パーソナライズに適用されるブレークダウンを選択します。



5. [要素設定] タブで、虫眼鏡をクリックして、ブレークダウンに適用し、ウィジェットをカスタマイズする要素フィルターを選択します。
6. [更新] をクリックします。

タスクの結果

このウィジェットを含むダッシュボード、サービスポータル、またはキャンバスでは、ビューアー用にフィルタリングされたブレークダウン要素がウィジェットに表示されます。

パーソナライズされたビジュアルの例

ビジュアルをパーソナライズするには、要素フィルターを作成し、同じフィルターを使用してパフォーマンス分析ウィジェットを構成します。この例では、ユーザーに属するインシデントのみを表示するフィルターを作成し、作成したフィルターを使用してスコアウィジェットを構成します。

始める前に

必要なロール:pa_admin、pa_power_user
要素フィルターは永続的です。要素フィルターを作成したら、複数のビジュアルに適用できます。

このタスクについて

この例では、 Users.Active ブレークダウン ソースを使用してウィジェットを表示するユーザーをフィルタリングする要素フィルターを作成します。次に、新しい要素フィルターを使用するようにウィジェットを構成し、ダッシュボードにウィジェットを表示します。

手順

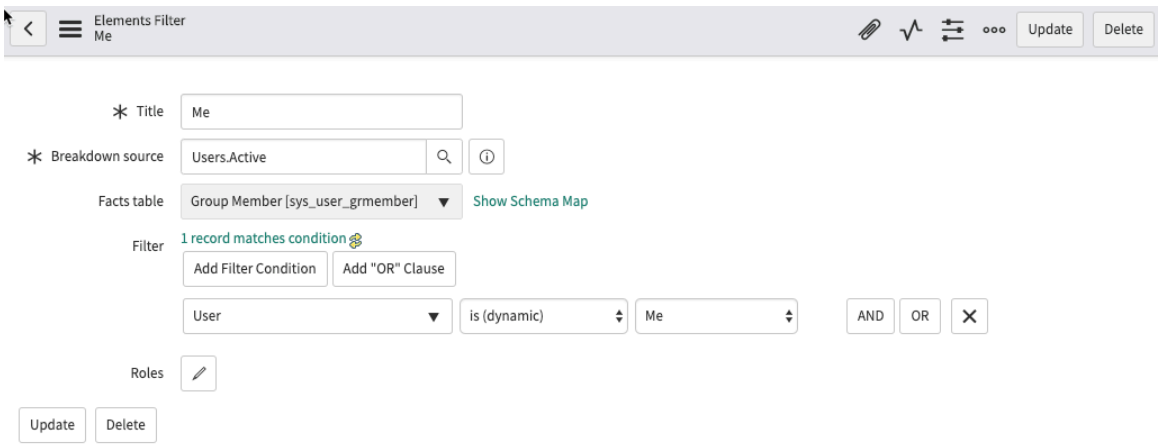
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > 要素フィルター をクリックし、[要素フィルターフィールド] テーブルの詳細を使用して新しい要素フィルターを作成します。
   詳細については、「要素フィルターを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素フィルタ フィールド

フィールド	説明
ブレークダウンソース	虫眼鏡をクリックし、[Users.Active] を選択します。要素フィルタは、このブレークダウン ソースに基づくブレークダウンに使用できます。
ファクトテーブル	ブレークダウン ソースのファクト テーブルを選択します。Users.Active のファクト テーブルはグループ メンバー **[sys_user_grmember]** です。
フィルター	使用可能な要素を制限するフィルタ条件を指定します。この要素フィルタを適用すると、これらの条件を満たす要素のみが表示されます。 この要素フィルターでは、[User][is (dynamic)][Me] を指定します。 パーソナライズされたビジュアル の場合、フィルター条件の演算子は [is (dynamic)] である必要があります。
ロール	ウィジェットフォームでこの要素フィルターを選択するためにユーザーが必要とするロールを選択します。ユーザーには、指定されたロールの少なくとも 1 つが必要です。ロールを指定しないと、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを編集できるすべてのユーザーがこの要素フィルターを追加できます。 この例では、フィルターを選択できるユーザーを制限しません。



2. ウィジェットフィールドテーブルの詳細を使用してスコアウィジェットを作成します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。知っておくべき重要なことは、要素フィルターがインジケーターの最初のレベルのブレークダウンに適用されることです。

ウィジェットフィールド

フィールド	説明
名前	自分のオープンインシデント (My open incidents)

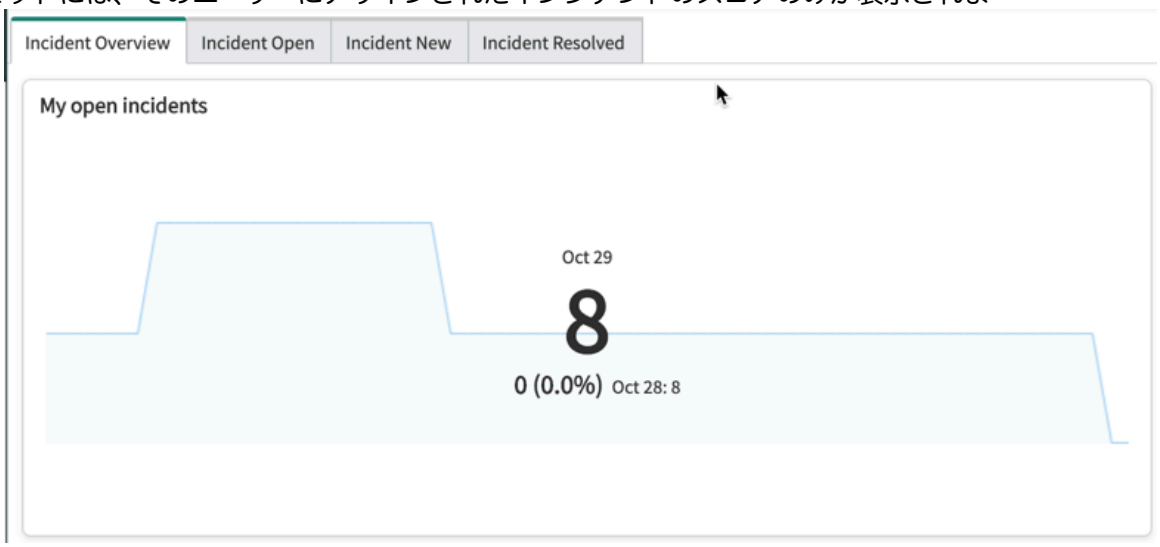
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
インジケーター	オープン中のインシデントの数
ブレークダウン	[アサイン先] を選択します。このブレークダウンが利用できない場合は、インジケーターに追加します。詳細については、「 ブレークダウンの割り当てとマップ」を参照してください。
タイプ	スコア
可視化	最新スコア

3. ウィジェットの [要素設定] タブで、手順 1 で作成した要素フィルターである [自分] を選択します。
   ウィジェット [自分のオープンインシデント] を表示できるユーザーには、自分にアサインされたインシデントのスコアのみが表示されます。
4. 自分のオープンインシデントウィジェットをダッシュボードに追加します。

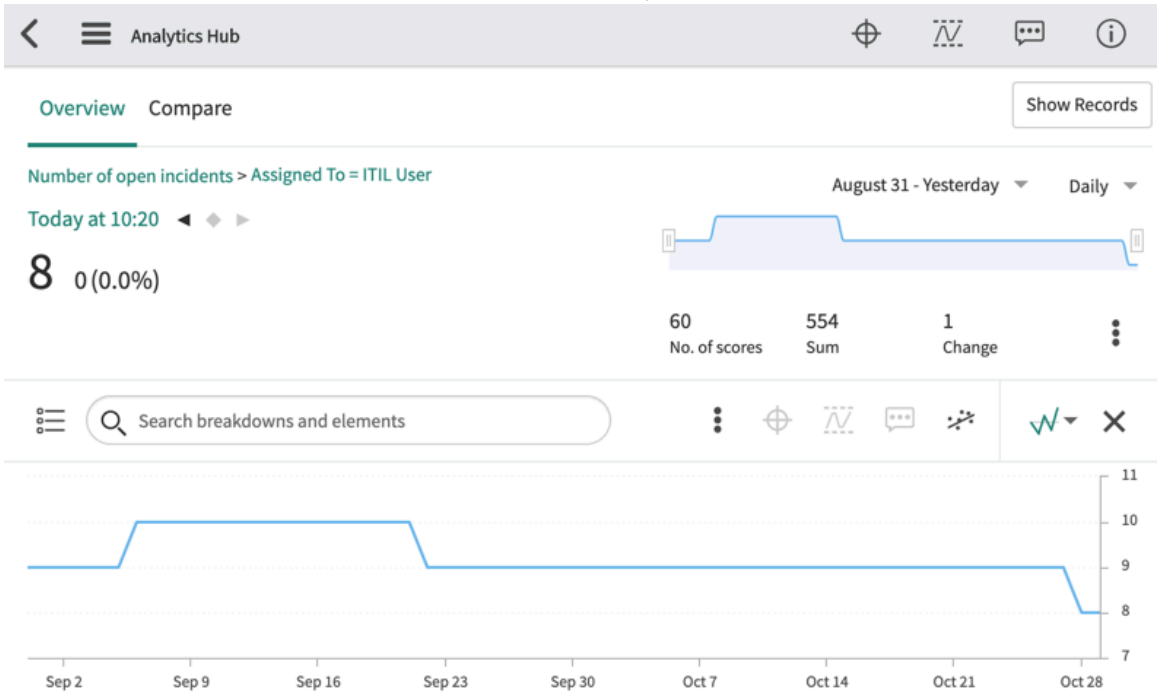
次のタスク
インシデントをアサインされたユーザーとしてログインし、[自分のオープンインシデント] ウィジェットを含むダッシュボードを開きます。[自分のオープンインシデント] ウィジェットには、そのユーザーにアサインされたインシデントのスコアのみが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアをクリックして、ダッシュボードを見ているユーザーでフィルターされたこのインジケーターのアナリティクスハブを開きます。



ピボット ウィジェットでのヒートマップによるチャート化の作成

インジケーターのスコアを 2 つのブレークダウンでグループ化するには、ピボット ウィジェットでヒートマップによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

インジケーターに 2 つのブレークダウンを適用する場合は、ブレークダウンをピボット テーブルの 2 つの軸として持つピボット ウィジェットを作成します。両方のスコアが高いときに色のグラデーションを使用して強調表示するヒートマップは、ピボット ウィジェットで使用できる唯一のチャート化です。

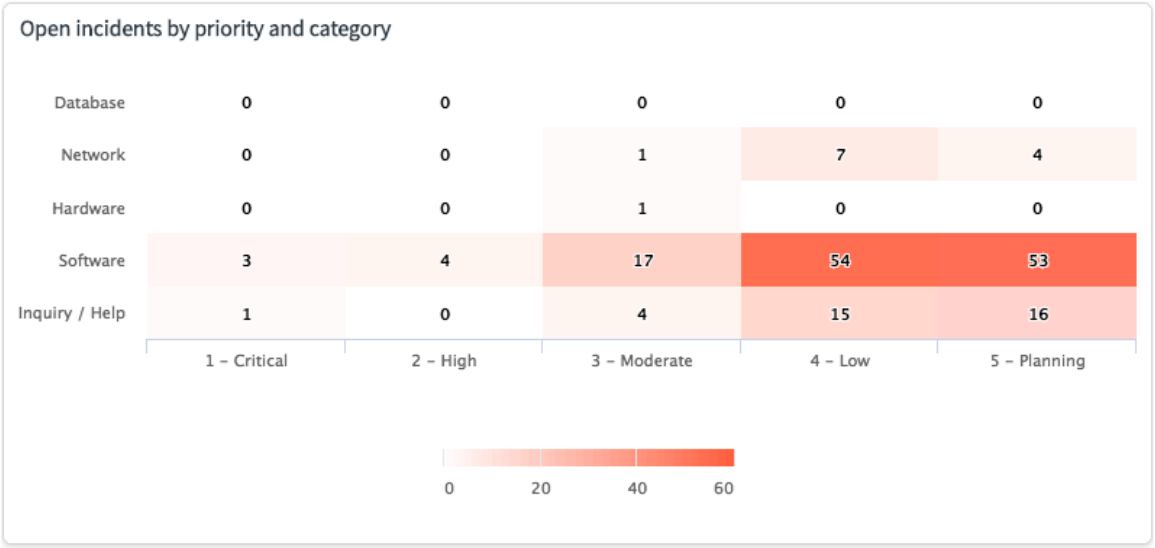
注:

- ピボット ウィジェット は、[要素をフォロー] 機能をサポートしていません。ダッシュボードのブレークダウンは、これらのウィジェットには適用できません。
- ヒートマップには 1000 個を超えるセルを表示できません。2 つのブレークダウンの要素の合計数が 1000 を超える場合、ヒートマップは表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップによるチャート化 - ピボット ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット.
2. [新規] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[ピボット] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[ヒートマップ] を選択します。
6. [インジケーター] フィールドで、分割するインジケーターを選択します。
7. [ブレークダウン] フィールドで、X 軸にするブレークダウンを選択します。
8. [ブレークダウンレベル **2]** フィールドで、Y 軸にするブレークダウンを選択します。
9. オプション: [表示設定] で、カラー スキームと、データ ラベルと凡例を表示するかどうかを設定します。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

テキスト分析とテキスト ウィジェット

テキスト分析では、ユーザーが入力したテキスト フィールドに存在するパターンを明らかにします。

テキスト分析では、ユーザーがフォームに入力したテキストを分析する視覚的なツールを使用できます。このような分析の利点として、顧客が苦痛と思っている点の早期警告、不正なアクティビティの発見、営業レポートやインシデント レポートに集められている特定のエンティティや概念の抽出などが考えられます。この構造化されていない、定性的なデータに含まれている有用な情報は、他のツールでは見つけられないことがあります。

注:
テキスト分析は、ライセンス版のパフォーマンスアナリティクスをお持ちの場合にのみ利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テキスト分析は、テキストのインデックスを作成することから始まります。テキストのインデックス作成は、多くのインジケーターが 1 つのインデックス構成を再利用できるように、インジケーターソースに定義します。

テキスト分析を設定するときは、次の項目を決定します。

- インデックスを作成するインジケーター ソースのフィールド。
- テキスト インデックス構成を適用するインジケーター。
- 分析から除外するストップワード。
- 1 つの単語以外に検索するフレーズ。
- デフォルト フィルタリングのキーワード。

テキスト分析を設定したら、テキストをチャート化するウィジェットを作成して、そのウィジェットをダッシュボードに組み込みます。

次のビデオは、テキスト分析の設定と表示のプロセスを示しています。

非構造化データまたは定性データを分析するパフォーマンスアナリティクスのテキストアナリティクスワードクラウドウィジェットを作成する方法また、テキスト分析ウィジェットのデータを設定および収集する方法も確認できます。

テキスト分析の設定

分析するテキスト フィールドと分析するインジケーターを選択します。

始める前に

テキスト分析は、データ収集ジョブの特定の手順に依存します。テキスト分析を収集するには、関連するジョブの [収集] パラメータを設定する必要があります。ジョブは、テキスト分析の対象となる同じインジケーターのデータを収集する場合、関連します。「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」を参照してください。

注:

ドメインセパレーションについて:特定のドメインのテキスト分析を収集するには、それらのドメインごとにテキスト分析を設定します。各ドメインの収集ジョブで、そのドメインへのアクセス権 を持つ実行ユーザー を指定します。収集ジョブのドメイン構成を指定しないでください。詳細については、「ドメインセパレーションを使用したパフォーマンス分析へのアプローチ」を参照してください。ハイブリッドアプローチを使用しています。

必要なロール：pa_power_user または pa_admin

手順

1. 移動先 すべて > テキストアナリティクス > セットアップ.
   - 新しいテキスト分析構成を作成するには、 新規 を選択します。
   - 既存のテキスト分析構成を編集するには、その行の情報アイコンを選択し、[レコードを開く] を選択します。インジケーターソース名を選択して、テキストアナリティクス構成ではなく、そのインジケーターソースのレコードを開きます。
2. 入力テキストを分析する [インジケーターソース] を選択します。
3. [分析するフィールド] のロックを解除して、入力テキストを分析するフィールドを選択します。少なくとも 1 つのフィールドを選択する必要があります。通常は、[簡単な説明] フィールドを含めます。

   次のフィールドは選択できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ドット連結フィールド
- [翻訳されたテキスト] フィールド
- 文字列以外のタイプのその他のフィールド

4. オプション: Zing ストップワードを含めるには、[システムのストップワードを使用] を選択します。
   デフォルトで選択されています。Zing グローバル ストップワードはインジケーター ソースに適用されます。Zing ストップワードを使用しない場合は、すべてのストップワードを自分で選択する必要があります。
5. テキスト インデックス構成を保存します。
   [インジケーター] 関連リストがフォームの下部に表示されます。
6. [インジケーター] リストで [編集] をクリックし、分析するインジケーターを選択します。
7. 関連する履歴データ収集ジョブを実行して、初期データを収集します。
   このフォームからジョブを実行できることがありますが、履歴データ収集ジョブを実行する必要があることもあります。詳細については、次のトピックを参照してください。

関連情報

Zing によるクエリからのストップワードの削除

初期テキスト分析データの収集

インジケーター ソースのテキスト分析を構成するときは、関連するデータ コレクタ ジョブが実行されるまで、データは使用できません。テキスト分析構成を新しく作成した場合は、特別な収集ジョブを実行します。既存のテキスト分析構成にインジケーターを追加した場合は、履歴データ収集ジョブを実行して、テキスト分析のみを収集します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

手順

- [フィールドの設定] フォームで、[保存]、[更新]、および [削除] の横にあるボタンが使用可能な場合は、[履歴収集の実行] をクリックします。
  このボタンは、テキスト インデックスのみを収集する 1 回限りの履歴ジョブを起動します。これは、テキスト分析構成を作成する場合にのみ利用できます。

  このジョブは、分析に含まれるいずれかのインジケーターのデータがある最短期間に等しい期間のデータを収集します。たとえば、5 つのインジケーターでテキスト分析を実行していて、そのうちの 4 つは 1 年分のデータがあり、5 つ目のインジケーターは 4 か月分のデータしかない場合、5 つのインジケーターすべてについて 4 か月分のテキスト分析が収集されます。

- 既存のテキスト分析構成にインジケーターを追加した場合は、履歴データ収集ジョブを構成して実行します。

  1. 移動先 データコレクション > ジョブ.
  2. 「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」で説明されているとおりに、以下の特性で、履歴データ収集ジョブを作成または編集します。
     - [収集] ジョブ パラメータを [テキストインデックスのみ] に設定します。
     - [実行] ジョブ パラメータを [オンデマンド] に設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [開始日（相対）]、[開始日指定（相対）]、[終了日（相対）]、および [終了日指定（相対）] にテキスト分析を実行するインジケーターに適した値を設定します。
- テキスト分析を実行するインジケーターが、収集ジョブのインジケーターと一致していることを確認します。

3. ジョブを実行します。

次のタスク
テキスト分析が構成され、初期データが収集されたので、選択したインジケーターのテキスト分析ウィジェットを作成できます。まず、テキスト分析のストップワードを設定することを検討してください。これらのストップワードと Zing ストップワードの両方を適用できます。

テキスト分析ストップワードの選択

テキスト分析から除外する単語を選択します。インジケーター ソースまたはインジケーター レベルのいずれかで単語を除外できます。

始める前に
必要なロール：pa_analyst または pa_admin

このタスクについて
インジケーター ソースまたはインジケーター レベルのいずれかに適用するストップワードを選択します。インジケーターのストップワードを選択すると、ストップワードが適用されるスコアをブレークダウンおよびブレークダウン要素でフィルタリングできます。インジケーター ソースのストップワードを選択すると、それらをデータ収集から除外します。その結果、インデックスに無駄がなくなります。

デフォルトでは、このフォームで選択したストップワードに加えて、Zing グローバル ストップワードが適用されます。この動作はテキスト インデックス構成で無効にすることができます。現在のストップワードのリストを見つけるには、インスタンス上の システム定義 > テキストインデックスのストップワード.

手順

1. 移動先 テキストアナリティクス > ストップワード をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [タイプ] フィールドで、[インジケーター] または [インジケーターソース] を選択します。
   インジケーターを指定すると、1 つまたは 2 つのレベルのブレークダウンでテキストをフィルタリングできます。

   インジケーターソースを指定すると、無駄のないインデックスを維持するために、ストップワードがデータ収集から削除されます。ただし、これらのストップワードは、[ストップワード] フィールドから削除しても、すぐにウィジェットに戻すことはできません。次のデータ収集まで表示されません。

   インジケーターで指定されたストップワードは、インデックスに残ります。これらのストップワードは、[ストップワード] リストから削除することですぐにウィジェットに戻すことができますが、インデックスのサイズがパフォーマンスに影響する可能性があります。
3. ストップワードの適用先として [インジケーター] または [インジケーターソース] を選択します。
4. オプション: ブレークダウンでテキストをフィルタリングするには、[ブレークダウン] フィールドと最初の [要素] フィールドで値を選択します。
   ブレークダウンを選択しても要素を選択しなかった場合、ウィジェットはブレークダウンの要素に関連付けられていないテキストのみを分析します。
5. オプション: ブレークダウンを選択し、2 番目のブレークダウンでテキストをフィルタリングする場合は、[ブレークダウンレベル **2]** フィールドと 2 番目の [要素] フィールドで値を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [ストップワード] フィールドで、テキスト分析から除外する単語をカンマで区切って入力します。
7. [送信] をクリックします。

フレーズのテキスト検索

最も頻繁に出現する個々の単語だけを検索するのではなく、テキスト分析が検索するフレーズを指定できます。

始める前に

必要なロール：pa_analyst、pa_power_user、または admin

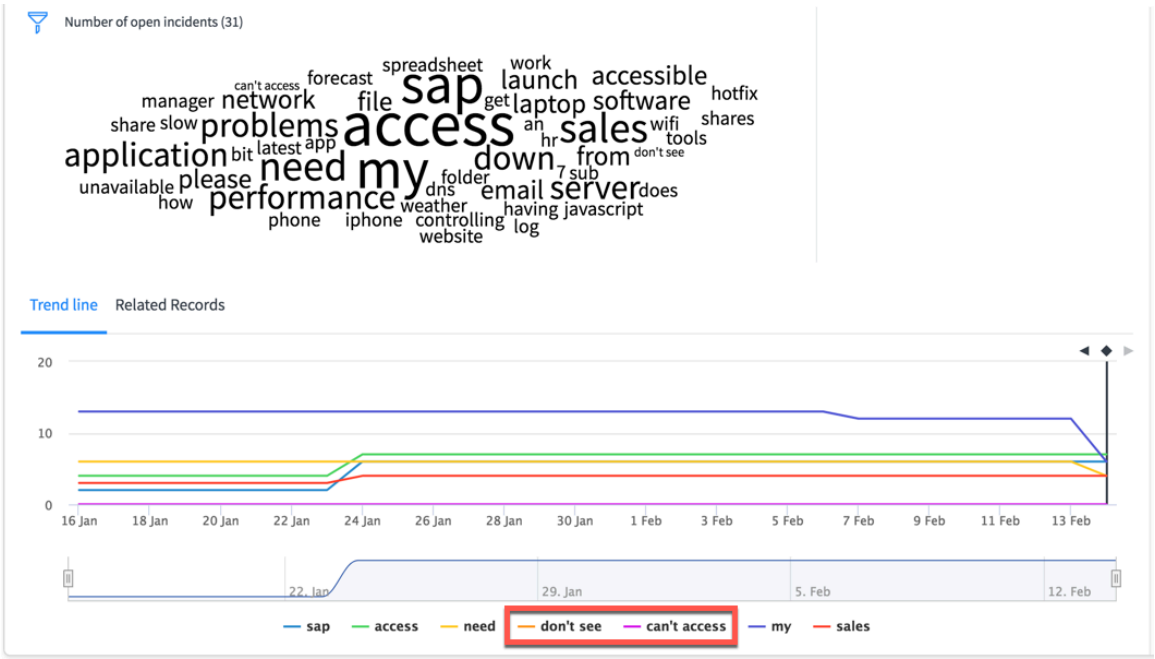
手順

1. 移動先 すべて > テキストアナリティクス > フレーズ をクリックし、[**New**] をクリックします。
   既存のテキスト インデックス フレーズ フォームを編集するには、そのフォームの情報アイコンをクリックしてから、プレビュー ウィンドウで [レコードを開く] を選択します。
2. フレーズを検索する [インジケーター] を選択します。
   このインジケーターに対してテキスト分析を設定する必要があります。
3. オプション: [ブレークダウン] または [要素] フィールドで、フレーズを検索するレコードをフィルタリングすることができます。
   ブレークダウンと要素の両方を指定します。レベル 2 の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドを入力すると、2 番目のレベルをフィルタリングすることができます。
4. カンマ区切りの一連のフレーズを [フレーズ] フィールドに入力します。
   たとえば、「can't access, don't see」と入力します。

タスクの結果

このインジケーターのテキスト ウィジェットをダッシュボードに含めると、指定したフレーズがトレンド ラインに表示されます。

「don't see」と「can't access」のフレーズが設定されたテキスト ウィジェット



テキスト ウィジェットの作成

アナリストがインジケーターのユーザー入力テキストのパターンをチャート化しやすいようにするには、テキスト ウィジェットでワード クラウドによるチャート化を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

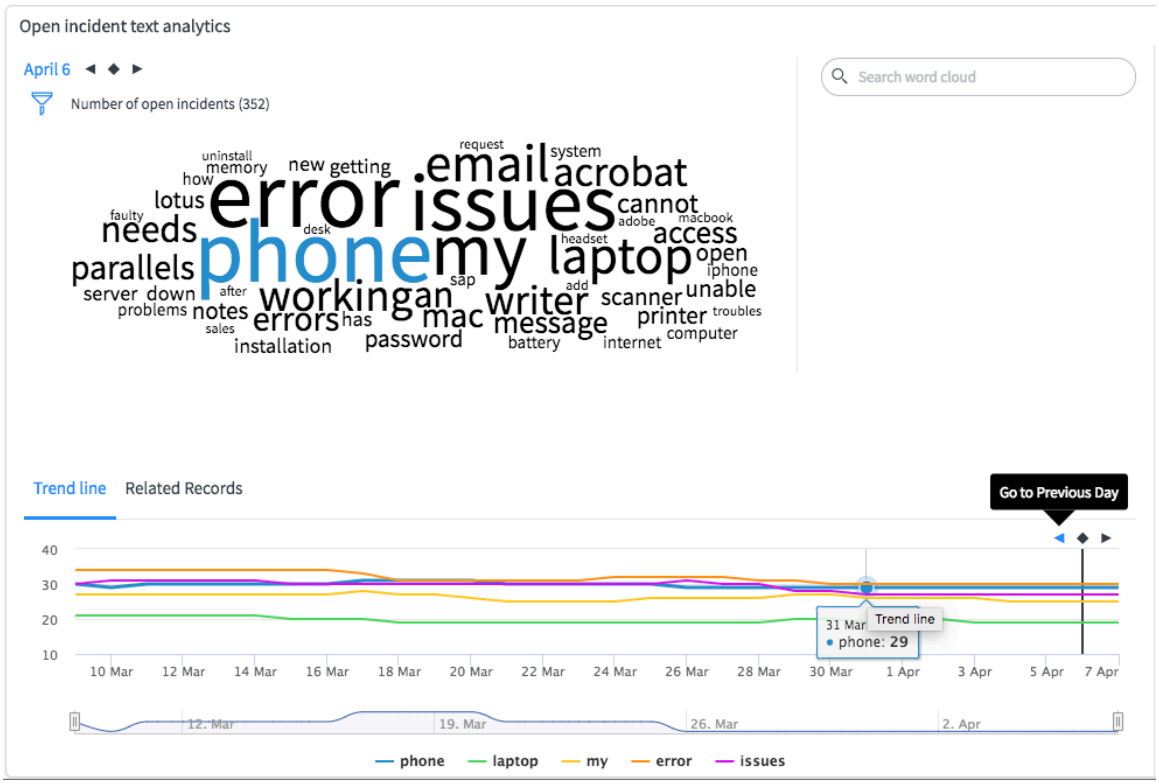
始める前に
テキストのインデックス作成は、関連するインジケーター ソースに対して構成する必要があります。この構成には、関連するインジケーターが含まれている必要があります。

テキスト分析は、ライセンス バージョンのパフォーマンスアナリティクスをお持ちの場合にのみ利用できます。

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
テキスト ウィジェットは、単語やフレーズの頻度をチャート化するためのワード クラウドを提供します。

ワード クラウドによるチャート化 - テキスト ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[テキスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
   [チャート化] として [ワードクラウド] が自動的に選択されています。
4. [インジケーター] フィールドで、テキストを分析するメイン インジケーターを選択します。
5. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	指定されたブレークダウンの指定された要素に関連付けられているテキストのみが分析されま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	す。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうしないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないテキストのみが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

6. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

      注:
      ブレークダウン ダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコア ウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

   詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

7. カットオフ値を設定します。カットオフ値は、フィールド内の単語またはフレーズの頻度に基づいてウィジェットに表示される単語やフレーズをフィルタリングします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [カットオフ] フィールドで、カットオフ値が数値カウントであるか、相対的なパーセンテージであるかを選択します。

- カウント は、フィールド内での単語またはフレーズの出現回数です。たとえば、カットオフ設定が [[カウント][以上][10]] の場合、ウィジェットには 10 回以上出現する単語やフレーズのみが表示されます。
- パーセンテージ とは、フィールド内のすべての単語が単語またはフレーズに出現する割合を指します。たとえば、フィールド内のすべての単語が合計 30 回出現し、カットオフ設定が [[パーセンテージ][以上][10]] の場合、ウィジェットには 3 回以上出現する単語またはフレーズのみが表示されます。

b. [カットオフ条件] フィールドで、カットオフ値が最小か最大かを選択します。

- [次の値以上] では、カットオフ値と少なくとも同じくらい一般的な単語またはフレーズがウィジェットに表示されます。
- [次の値以下] では 、カットオフ値よりも一般的でない場合に、ウィジェットに単語またはフレーズを表示します。

c. [カットオフ値] フィールドで、整数値を指定します。

8. オプション: 残りの表示設定を設定します。

フィールド	説明
デフォルトフィールド	テキスト インデックスの構成で複数のフィールドが選択されている場合、デフォルトでこのフィールドが表示されます。
単語の最大数	ワードクラウドに表示される単語の最大数
トレンドラインの最大数	ワードクラウドの下に表示される傾向ラインの最大数

自動翻訳

次のタスク

- ダッシュボードにウィジェットを追加します。
- アドミンまたはダッシュボード オーナーは、ウィジェットを含むダッシュボードをこれらのユーザーと共有します。
- テキスト分析では、データ収集ジョブの特別な手順を使用します。ウィジェット用のデータがない場合は、関連するデータ収集ジョブが実行され、ジョブがテキスト インデックスを収集していることを確認します。「初期テキスト分析データの収集」を参照してください。
- キーワードでワード クラウドをフィルタリングします。

テキスト分析用キーワードの保存

テキスト分析ウィジェットを常にフィルタリングするキーワードを保存することができます。ワード クラウドの単語から選択して、ダッシュボードのウィジェットに直接保存することができます。また、保存したキーワードのレコードを作成または編集することもできます。

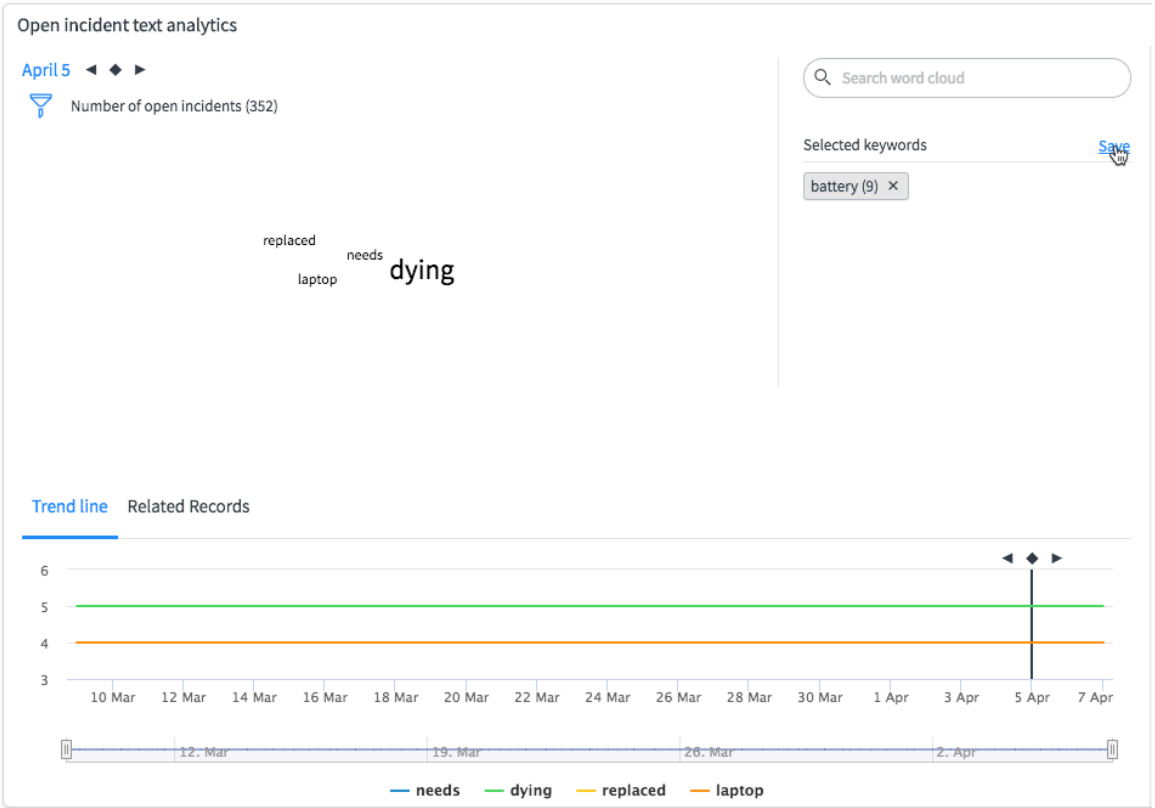
始める前に

必要なロール：pa_analyst または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
キーワードでワード クラウドをフィルタリングするには、クラウドの中の単語をクリックします。誰かがウィジェットを表示するたびに使用されるキーワードのリストを保存することができます。キーワードの各リストは、1 つのウィジェット内のインジケーターの 1 つのブレークダウンと要素の組み合わせに適用されます。次の例では、「battery」という単語がキーワードとして指定されています。[保存] をクリックすると、すべてのビューアに、このウィジェットが「battery」でフィルタリングされて表示されます。必要なロールを持つユーザーは、後で保存されたキーワードを削除できます。

キーワード「battery」でフィルタリングされたワード クラウド



また、キーワードが保存されたレコードを作成または編集することもできます。この方法では、選択するキーワードが既にワード クラウドに出現しているキーワードに限定されません。

手順

1. 移動先 すべて > テキストアナリティクス > キーワード をクリックし、[**New**] をクリックします。
2. [ウィジェット] フィールドに、キーワードを適用するウィジェットを指定します。
3. [インジケーター] フィールドに、キーワードを適用するインジケーターを指定します。
4. [フィールド] フィールドで、キーワードを適用するインジケーター フィールドを選択します。
5. オプション: [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでは、ブレークダウン要素によってキーワードを適用するレコードをフィルタリングすることができます。
   ブレークダウンと要素の両方を指定します。レベル 2 の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドを入力すると、2 番目のレベルをフィルタリングすることができます。

   ブレークダウンと要素の組み合わせを指定すると、その組み合わせがウィジェットで選択されたときにのみ、キーワードが適用されます。ブレークダウンと要素の組み合わせを指定しないと、キーワードが特に選択されていないすべてのブレークダウンと要素の組み合わせに、キーワードが適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [キーワード] フィールドに、カンマ区切りのキーワード リストを入力します。
7. [送信] をクリックします。

ワークベンチ プロセス ウィジェットによるワークフローの監視

ワークベンチプロセスウィジェットは、ストーリーを伝えるインジケーターのコレクションです。ウィジェットを使用すると、ドリルダウンせずに 1 つの画面で複数のインジケーターの複数のファセットを分析できます。このウィジェットは、ワークフローを持つプロセスまたはサービスを監視する場合に便利です。

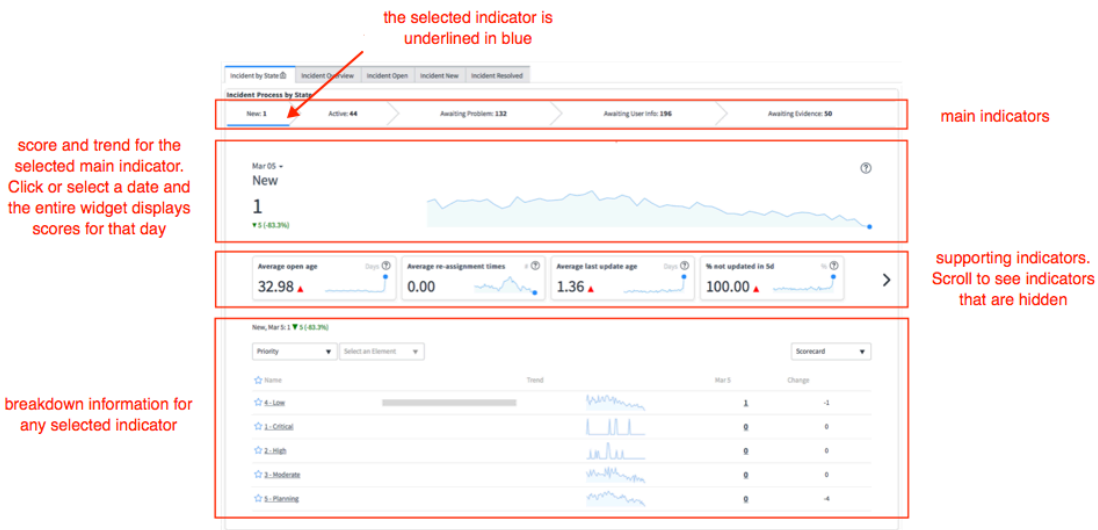
ウィジェット上部のメイン インジケーターを選択します。オプションで、各メインインジケーターは、独自のサポート インジケーターセットを持つことができます。

ウィジェットには、動的に更新される 4 つの相互接続されたセクションがあります。たとえば、メインインジケーターをクリックすると、そのスコア、トレンド、サポートインジケーター、およびブレークダウンの情報が表示されます。いずれかのチャート化の日付をクリックまたは選択すると、ウィジェット全体がその日のデータを表示します。

注:

- メインインジケーターとその適用されたブレークダウンでリアルタイムスコアがサポートされている場合は、リアルタイムスコアを表示できます。リアルタイム スコアを表示するには、日付セレクターで [リアルタイム] を選択します。リアルタイムスコアは、ワークベンチの上部ペインにのみ表示されます。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。
- 各スコアトレンドについてウィジェットに表示されるタイムスパンは、インジケーターの頻度によって異なります。タイムスパンは、日次が 60 日、週次および月次が 1 年、四半期が 3 年、年次が 12 年です。このタイムスパンを設定することはできません。ただし、ウィジェットで時系列集計を適用すると、それに応じて期間が変更されます。

ワークベンチ プロセス ウィジェット



ワークベンチプロセスウィジェットの下部セクションには、選択したインジケーターで利用可能なブレークダウンまたは収集されたレコードが表示されます。[ブレークダウン] または [レコード] タブをクリックして、どちらか一方を表示します。オープン インシデントの平均経過時間などの集計を指定するサポートインジケーターを選択している場合、[レコード] タブは表示されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークベンチ ウィジェットを作成するときは、メインおよびサポートインジケーターのみを選択します。ウィジェットのスコア、傾向、およびブレークダウンのセクションは自動的に構成され、変更することはできません。ただし、ウィジェットのインジケーターの順番と外観は変更できます。

ワークベンチ プロセス ウィジェットの作成

複数のインジケーターを使用してプロセスを監視するためのワークベンチ ウィジェットを作成します。

始める前に

- ワークベンチ ウィジェットの構造を理解している
- 含めるメインおよびサポート インジケーターを決めておく
- 必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンス分析 > ウィジェット をクリックし、[**New**] をクリックします。
   新しいウィジェット レコードが表示されます。
2. ウィジェットに名前を付けます。
3. [タイプ] フィールドで、[ワークベンチ] を選択します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   メイン ウィジェット インジケーター関連リストが表示されます。
5. ワークベンチ ウィジェットにメイン インジケーターを追加します。
   メイン インジケーターがウィジェットの上部に表示されます。追加可能なインジケーターの最大数は、com.snc.pa.widget.max_widget_indicators で指定します。ウィジェット インジケーターのデフォルトの最大数は 7 です。

   a. メイン ウィジェット インジケーター関連リストで [新規] をクリックします。

   b. [インジケーター] を選択します。

   c. [順番] を設定して、インジケーターの表示位置 (左から右) を定義します。

   d. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。

追加インジケーター構成オプション

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	ブレークダウン要素で、インジケーターに表示されるデータをフィルタリングします。ブレークダウンを選択する場合は、要素を選択する必要があります。 たとえば、インジケーターが [オープンインシデントの数] で、[状態] に [ブレークダウン]、[要素] に [有効] を選択した場合、有効状態のインシデントのスコアのみがウィジェットに含まれます。
ブレークダウン レベル 2 と要素	インジケーターに表示されるデータをフィルタリングする 2 つ目のブレークダウン要素を追加します。ブレークダウン レベル 2 を選択する場合は、要素を選択する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、インジケーターが [オープンインシデントの数] で、1 つ目のブレークダウン フィルタは有効状態に設定されているとします。そこで、[ブレークダウンレベル **2]** に [カテゴリ]、[要素] に [ソフトウェア] を選択します。インジケーターに、有効でソフトウェア カテゴリに含まれるオープン インシデントのスコアのみが表示されるようになります。
時系列	指定された期間と集計をウィジェットのトレンド チャート化に追加します。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターでは、時系列集計を設定することはできません。
要素をフォロー	ウィジェットが追加されたダッシュボードに適用されたブレークダウン要素をインジケーターにも適用することを指定します。 [ブレークダウンレベル 2] を指定すると、[要素をフォロー] は無視されます。
ブレークダウンをフォロー	このブレークダウンのみを [要素をフォロー] としてインジケーターに適用することを指定します。ウィジェットが追加されたダッシュボードに適用された他のすべてのブレークダウンは無視されます。 [ブレークダウンをフォロー] を指定しない場合は、ダッシュボードに適用されたすべてのブレークダウンがインジケーターに適用されます。
ラベル	ウィジェットでのインジケーターの名前を指定します。ラベルを指定しない場合は、インジケーターの名前が使用されます。

e. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
サポート ウィジェット インジケーター リストが表示されます。

6. オプション: サポート インジケーターを追加します。
メイン インジケーターをクリックすると、そのサポート インジケーターがウィジェットの中央に表示されます。サポート インジケーターは無制限に追加できます。

a. [サポートウィジェットインジケーター] 関連リストで [新規] をクリックします。

b. [インジケーター] を選択します。

c. [順番] を設定して、インジケーターの表示位置 (左から右) を定義します。

d. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。
サポート インジケーターは、メイン インジケーターと同じ方法で構成できます。「設定オプション」のステップ 5 を参照してください。

e. [送信] をクリックして、メイン インジケーター レコードに戻ります。

f. すべてのサポート インジケーターを追加するまで、ステップ 6 を繰り返します。

7. [更新] をクリックしてウィジェットレコードに戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. すべてのインジケーターを追加するまで、ステップ 5 ～ 7 を繰り返します。
9. オプション: メイン インジケーターの 1 つを [デフォルトインジケーター] として選択します。このデフォルトのインジケーターは、ユーザーがウィジェットを表示すると自動的に表示されます。デフォルトのインジケーターを指定しないと、ウィジェットには [順番] の値が最小のメインインジケーターが最初に表示されます。
10. [更新] をクリックして、ウィジェットを保存します。

次のタスク
ウィジェットをレビューして、新しいインジケーターが正しいことを確認します。ウィジェットをまだ追加していない場合は、ダッシュボードにウィジェットを追加して表示します。

ウィジェット インジケーターの追加

既存の時系列またはリスト ウィジェットに任意の数のセカンダリ インジケーターを追加します。

始める前に
ウィジェットが存在する必要があります。作成しているウィジェットにインジケーターを追加する場合は、ウィジェットを送信せずに保存します。フォームは開いたままになり、下部にウィジェットインジケーター関連リストが表示されます。

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
時系列ウィジェットを作成するときは、それを単一のメイン インジケーターに関連付けます。このインジケーターを同じウィジェットの別のインジケーターと比較する場合は、追加のインジケーターを既存のウィジェットに追加します。この手順は、時系列の積み上げ縦棒グラフによるチャート化を作成する場合に必要です。

リスト ウィジェットを作成するときは、インジケーター グループを指定するか、ウィジェット インジケーターを追加する必要があります。

注:
頻度の異なるメインインジケーターとウィジェットインジケーターを時系列ウィジェットに含める場合は、ウィジェットの X 軸に時間値がどのように表示されるかに注意してください。この動作の詳細については、「 KB0755757 」を参照してください。

ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従う場合、[複数の要素を表示] の値はメイン ウィジェットと任意のウィジェット インジケーターの両方に適用されます。[アグリゲート] が選択されていても、ウィジェットインジケーターの 1 つがアグリゲートビューをサポートしていない場合、そのインジケーターはブレークダウンダッシュボードの要素をフォローしません。代わりに、インジケーターは、ウィジェット構成で設定されている第 1 レベルのブレークダウンと要素に従います。他のインジケーターは、ブレークダウンダッシュボードの要素をフォローし、それらの値のアグリゲートを表示します。詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

警告:
前期のチャートとウィジェットインジケーターを同じ時系列ウィジェットに含めることはできません。既にウィジェットインジケーターが指定されている時系列で [前期のチャート] を有効にすると、ウィジェットインジケーターリストがクリアされます。

ユーザーがブレークダウンダッシュボードでブレークダウン要素を選択すると、ブレークダウンと要素名がウィジェットインジケーター名に追加されます。ウィジェットインジケーターのラベルには、ブレークダウンと要素の名前も追加されます。次の状況では、ブレークダウンと要素の名前はウィジェットインジケータの名前とラベルに追加されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットは複数の要素のアグリゲートビューを表示しますが、ウィジェットインジケーターはこのビューをサポートしていません。
- ウィジェットは要素をフォローしません。
- ウィジェットインジケーターは、選択したブレークダウン要素をサポートしていません。

手順

1. 作成しているウィジェットを保存するか、既存のウィジェットを開いて編集します。
   ウィジェットは次のいずれかから開くことができます。 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット またはダッシュボードから。詳細については、「レスポンシブダッシュボードを編集する」を参照してください。
2. フォームの一番下までスクロールし、[ウィジェットインジケーター] というラベルの関連リストを探します。
3. [新規] をクリックします。
4. [インジケーター] フィールドで、ウィジェットのセカンダリ インジケーターを選択します。
   選択したインジケーターが多すぎると、ウィジェットが読みにくくなる可能性があります。
5. [チャートの種類] フィールドで、インジケーターのチャート化を選択します。
   プライマリ インジケーターのチャート化とマッチするチャート化を選択します。たとえば、プライマリ インジケーターを列として表示し、セカンダリ インジケーターを線として表示します。時系列ウィジェットのプライマリ インジケーターに [積み上げ縦棒] のチャート化を使用している場合は、すべてのセカンダリ インジケーターでも [積み上げ縦棒] を使用するように設定します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	(Optional) このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** ウィジェットインジケーターが時系列ウィジェット上にある場合は、第 1 レベルの要素の代わりに要素フィルターを指定できます。ステップ 8 を参照してください。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
注文	ウィジェットに複数のセカンダリインジケーターがある場合の、このインジケーターが表示される順序。2 と 3 の代わりに 200 と 300 とするなど、余分な桁を追加することを検討します。この方法で、後でインジケーターを追加する場合に、新しいインジケーターの順番を指定するだけですみます。すべてのセカンダリ インジケーターの順番を再指定する必要はありません。
グラフのタイプ	ウィジェットインジケーターを表示するためのチャートのタイプ
第 2 Y 軸	このインジケーターの Y 軸を追加します。 (Optional) 1 つのセカンダリ インジケーターの Y 軸のみが表示されます。複数のセカンダリ インジケーターで第 2 Y 軸が選択されている場合、元々順番が先頭のインジケーターの軸だけが表示されます。
色	このインジケーターのスコアにのみ適用される単一の色。
ラベル	このインジケーターのカスタムラベル。

7. ウィジェットインジケーターをブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素に追従させるには、次の手順に従います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、これらのブレークダウンのどれをブレークダウン ダッシュボードに適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [作成者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合を考えてみましょう。ウィジェットで [Assigned to (アサイン先)] ブレークダウンの要素に別々の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン]項目で[担当者]を選択します。

ブレークダウン ダッシュボードの詳細については、「 ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

8. 時系列ウィジェットのみ:[要素フィルター] タブでは、[要素] フィールドで第 1 レベルの要素を選択する代わりに、使用する要素フィルターを選択できます。

「要素フィルタ」を参照してください。

このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルターを使用してウィジェットをカスタマイズする方法の詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

> **注:**
> ダッシュボードでは、要素フィルターが渡すすべての要素の名前が、ウィジェットインジケーターのインジケーター名またはラベルに追加されます。

9. [送信] をクリックします。

次のタスク
これらの設定を後で編集するには、[ウィジェットインジケーター] リストを表示して、インジケーターの名前ではなく情報アイコンをクリックします。

関連情報
関連リスト

KB0724552:時系列ウィジェットまたはリストウィジェットにセカンダリインジケーターを追加する方法

ウィジェットのクリック時の動作の設定

ユーザーがウィジェットをクリックしたときの処理を構成できます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
デフォルトでは、ユーザーがウィジェットをクリックすると、ウィジェットインジケーターの詳細 アナリティクスハブ が表示されます。代わりに別の URL にユーザーを誘導するようにウィジェットを構成することができます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット.
2. 構成するウィジェットを選択します。
3. [クリック時の動作] 関連リストで、[新規] をクリックして、新しいレコードを作成します。
   1 つのウィジェットに対して複数のクリック時の動作レコードを作成した場合、[順番] の値が最小のレコードのみが使用されます。

   a. [ラベル] フィールドに、ユーザーがウィジェットをクリックしたときにこのオプションに表示されるテキストを入力します。

   b. [タイプ] フィールドで、**[URL]** を選択します。

   c. [値] フィールドに、ユーザーがウィジェットをクリックしたときにユーザーを誘導する URL を入力します。
   インスタンス URL の相対 URL のみを入力できます。値は、/incident.do のように、/ 文字で始める必要があります。

   d. [送信] をクリックします。

カラースキーム

データの可視化が複数のインジケーター、ブレークダウン、またはテーブルフィールドを示す場合、異なる値の色はカラースキームに従うことができます。

カラースキームは、次のビジュアライゼーションに適用できます。

- 複数のインジケーターまたはブレークダウンを表示する時系列およびブレークダウンウィジェット
- 複数の要素が個別に表示される場合のブレークダウン ダッシュボードのウィジェット
- テーブルフィールド別にグループ化または積み重ねられるレポート
- プラットフォームアナリティクス テーブルフィールドでグループ化または積み重ねるデータ可視化コンポーネント

ウィジェットを作成するときに、[カラースキーム] フィールドでカラースキームを選択できます。例については、「ブレークダウン ウィジェットでの円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化の作成」を参照してください。独自の配色をデザインすることもできます。

配色を指定する必要はありません。この場合、プロパティ *com.snc.pa.chart_default_color_schema* で指定されているデフォルトの配色が必要に応じて適用されます。ベースシステムでは、このカラー スキームはデフォルト UI14 です。

すべてのカラースキームは、次の場所にあるチャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルにあります。 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > システム > チャートのカラースキーム.

San Diego から始まるデフォルトのカラースキームでは、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの定性的テーマ可能な色を使用した色定義が使用されます。ネクストエクスペリエンス を有効にすると、コア UI のカラーパレットの代わりにこれらの色が使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

レポート内の事前定義された色

レポートタイプ

配色を作成する

レポート、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット、および プラットフォームアナリティクス データ視覚化コンポーネントに使用できる再利用可能な色のセットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または pa_admin

このタスクについて

ヒント:
Now Platformまたはレポートアドミンは、カラースキームで使用するカスタム色を作成できます。詳細については、「アナリティクスのシステムの色の定義」を参照してください。

手順

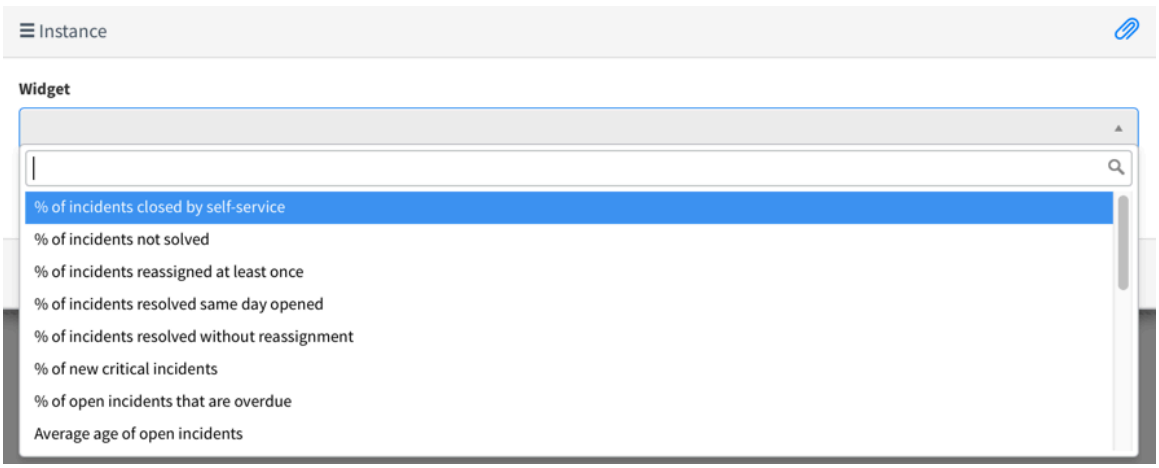
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > システム > チャートのカラースキーム.
2. [新規] をクリックします。
3. 内容を端的に表す名前を入力します。
4. [色 **1**] および [色 **2**] フィールドで色を選択します。
   カラー スキームには少なくとも 2 つの色を設定する必要があります。もっと使えます。
5. オプション: カラー スキームに含める色を最大 32 色選択します。
6. [送信] をクリックします。

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

パフォーマンスアナリティクスのインジケーターとブレークダウンはサービスポータルを使用して表示することができます。

ポータルを編集するときに、[パフォーマンス分析] ウィジェットを追加します。ウィジェット オプションを使用して、ポータルに表示する既存のパフォーマンスアナリティクスポータルと、そのタイトルを表示するかどうかを指定します。

パフォーマンス分析ウィジェット



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットを表示するためのセキュリティ要件

Quebec 以降、ウィジェットはインジケーターとブレークダウンのアクセス制御リスト (ACL) に従います。ACL 以外では、ウィジェットを表示するためのロールは必要ありません。

ただし、Quebec より前のバージョンからインスタンスをアップグレードする場合、デフォルトでは Quebec より前のルールが適用されます。インジケーターとブレークダウンの ACL に従うのは、次の領域のみです。

- リストウィジェットはインジケーターの ACL に従います。
- ブレークダウンを表示する場合は、ブレークダウンの ACL が適用されます。

さらに、アップグレードされたインスタンスでは、次のウィジェットでユーザーに pa_viewer ロールが必要な場合があります。

- リストウィジェット
- テキストウィジェット
- ワークベンチウィジェットのブレークダウンセクション

ACL の構成方法が異なるため、アップグレードされたインスタンスは Quebec で導入されたルールに自動的に従うことはできません。

関連情報

サービスポータル デザイナを使用したページの作成および編集

サービスポータルに関するレポート

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグインのアクティブ化

admin ロールがある場合は、Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグイン (com.snc.pa.sp.widget) を有効にすることができます。このプラグインにはデモ データが含まれ、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

始める前に

必須ロール：admin

このタスクについて

Service Portal Widget プラグインは、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

パフォーマンス分析とレポートのプラグイン - サービスポータルウィジェット

プラグイン	説明
サービスポータル [com.glide.service-portal]	サービスポータルのコア機能。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

> **注:**
> ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。

関連情報

プラグインのリスト

ウィジェット統計情報の表示

パフォーマンス分析ウィジェットの統計情報を表示して、ダッシュボードでのウィジェットのロードが遅いかどうかなどの、問題の特定と解決に役立てることができます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > ウィジェット統計情報.
2. 統計情報を表示するウィジェットを選択します。
3. 次のフィールドをレビューします。

レポート統計情報フィールド

フィールド	説明
ウィジェット	統計情報が示すウィジェット。
合計実行数	ウィジェットがサーバーからロードされた合計回数。
平均実行時間	このウィジェットのすべての実行でウィジェットをロードするのにかかった平均時間 (ミリ秒単位)。
最新の実行回数	ウィジェットが最近サーバーからロードされた回数。最近の実行の最大数は、プロパティ *glide.report.recent_executions_number*によって決まります。
最新の平均実行期間	最近の実行でウィジェットをロードするのにかかった平均時間 (ミリ秒単位)。最近の実行の最大数は、プロパティ *glide.report.recent_executions_number*によって決まります。
合計実行時間	ウィジェットのすべての実行の合計経過時間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット統計情報のプロパティ

次のプロパティで、ウィジェット統計情報の追跡および管理方法をコントロールします。

プロパティ

プロパティ	説明
glide.report.recent_executions_number	最近の平均経過時間の計算のために、最近と見なされるウィジェット実行数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：25 • 場所：プロパティを追加

アナリティクスハブ

アナリティクスハブ は、より詳細な分析に使用されるインジケーターの探索的ビューです。特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードを表示することができます。このアナリティクスハブ はスコアカードに置き換わります。

注:
Next Experience にアップグレードすると、 アナリティクスハブ 機能も [KPI 詳細] の下にあります。移動先 プラットフォームアナリティクス > **KPI**.プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行する場合は、KPI 詳細オプションのみを使用できます。

アナリティクスハブ の使用の概要。

アナリティクスハブ を使用してパフォーマンスアナリティクスインジケーターデータを分析、探索、および比較する方法については、この 5 分間のビデオをご覧ください。

アナリティクスハブでは、データの集計、スコアの比較、経時変化の表示によってインジケータースコアを分析し、ブレークダウンでスコアをフィルタリングします。ターゲット、しきい値、トレンドライン、および重要な変更に関する有用なコメントを追加して、 アナリティクスハブ を強化します。

インジケーターフォームで、インジケーターが自動的に アナリティクスハブ に含まれるように設定できます。

注:
10,000 ～ 999,999 の値は、最も近い千単位に丸められ、K で省略されます (例：11,234 の場合は 11K)。100 万から 999,999,999 までの値は最も近い 100 万単位に丸められ、M で省略されます。10 億以上の値は、最も近い 10 億単位に丸められ、G で省略されます。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

アナリティクスハブ インジケーターのリスト

アナリティクスハブには、インジケーターのリスト、そのスコア、およびその他の分析のカスタマイズ可能な選択肢が表示されます。インジケーターの名前をクリックすると、そのインジケーターの詳細が表示されます。アナリティクスハブ はスコアカードを置き換えます。

アナリティクスハブリストにアクセスするには、 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > アナリティクスハブ.

自動翻訳

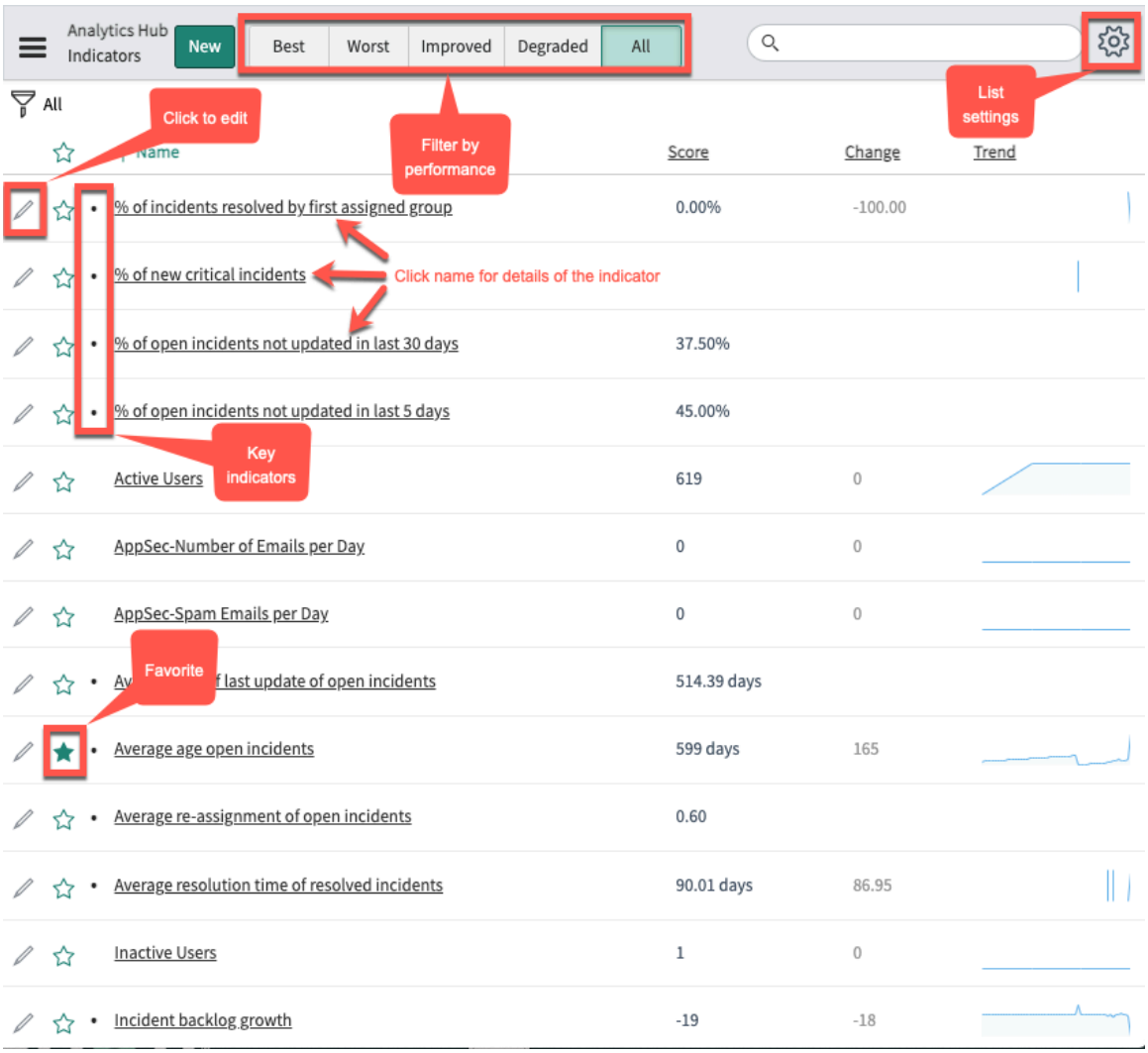
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターリストコントロール

インジケーターのリストには、次のコントロールが含まれています。

- インジケーターの名前をクリックすると、そのインジケーターにフォーカスしている アナリティクスハブ のビューが開きます。このビューでは、さまざまな分析ツールを使用できます。
- インジケーターの横にある鉛筆アイコンをクリックして、インジケーターレコードを編集用に開きます。このアイコンは、ロールによってインジケーターレコードへのアクセス権が付与されている場合にのみ使用できます。
- インジケーター名の横に緑色の星印が表示されている場合は、それがお気に入りであることを示します。インジケーターの横にある星をクリックして、お気に入りとしてマークします。
- インジケーター名の横にある黒い点は、キー インジケーターであることを示します。インジケーターをキーとしてマークするには、インジケーターを作成するときに [キー] チェック ボックスをオンにします。

インジケーターのリスト

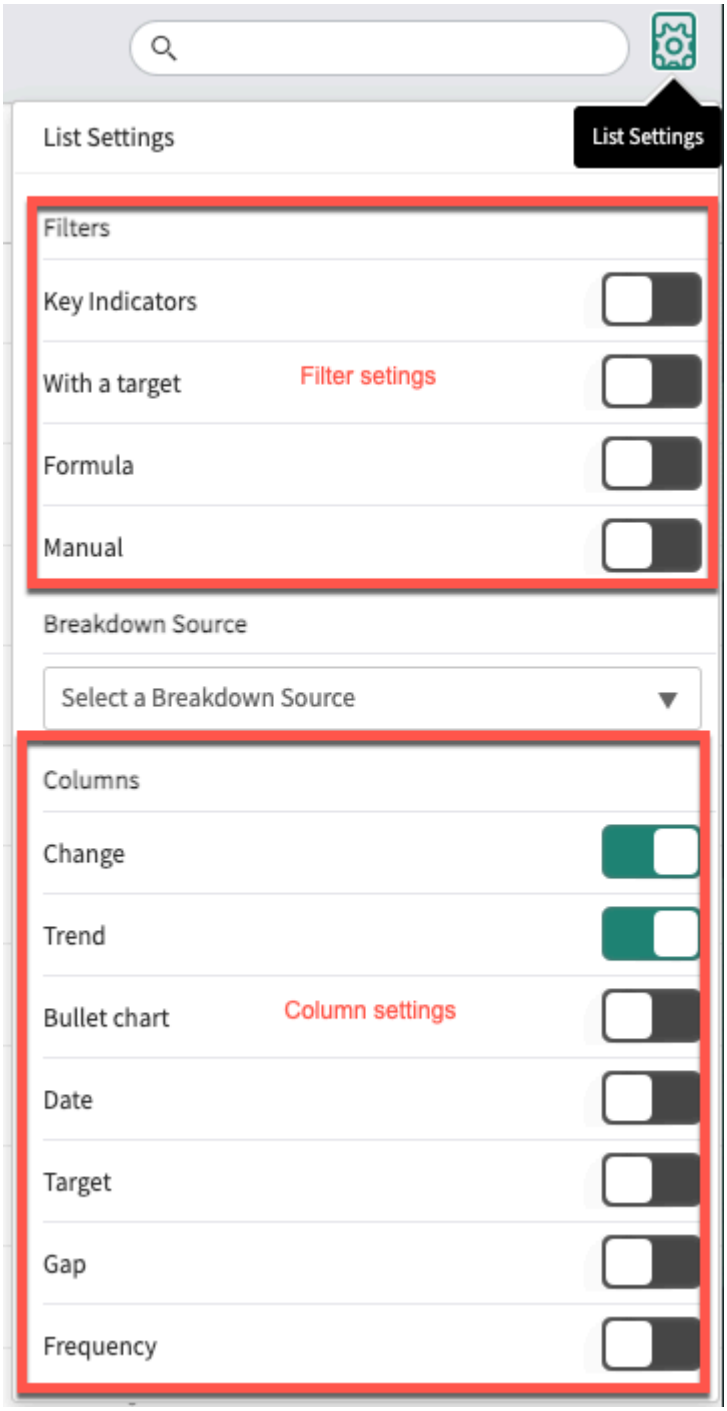


アナリティクスハブの表示内容をカスタマイズするには、検索ボックスの横にあるリスト設定アイコン ( ) をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーターリストの設定



リスト設定には、次のセクションが含まれます。

- フィルター設定
- ブレークダウンのソースと要素の設定
- 列の設定

フィルター設定

表示するインジケーターは、次の設定でフィルタリングできます。

キーインジケーター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターレコードでキーインジケーターとして定義されているインジケーターのみが表示されます。

ターゲットあり

ターゲットが定義されているインジケーターのみが表示されます。

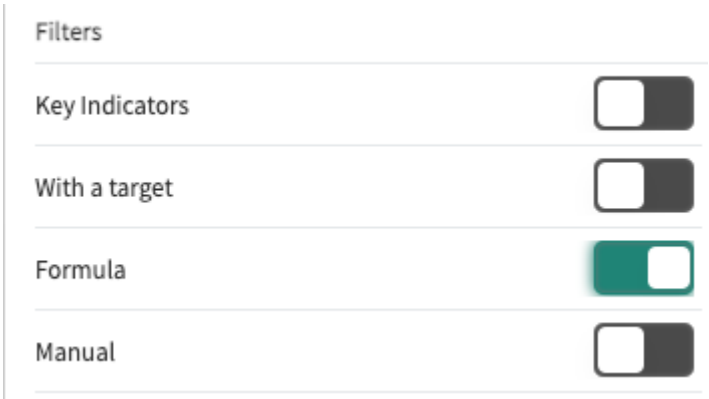
Formula (計算式)

式インジケーターのみが表示されます。

マニュアル

手動インジケーターのみが表示されます。

式インジケーターのみを表示するフィルター設定



ブレークダウンのソースと要素の設定

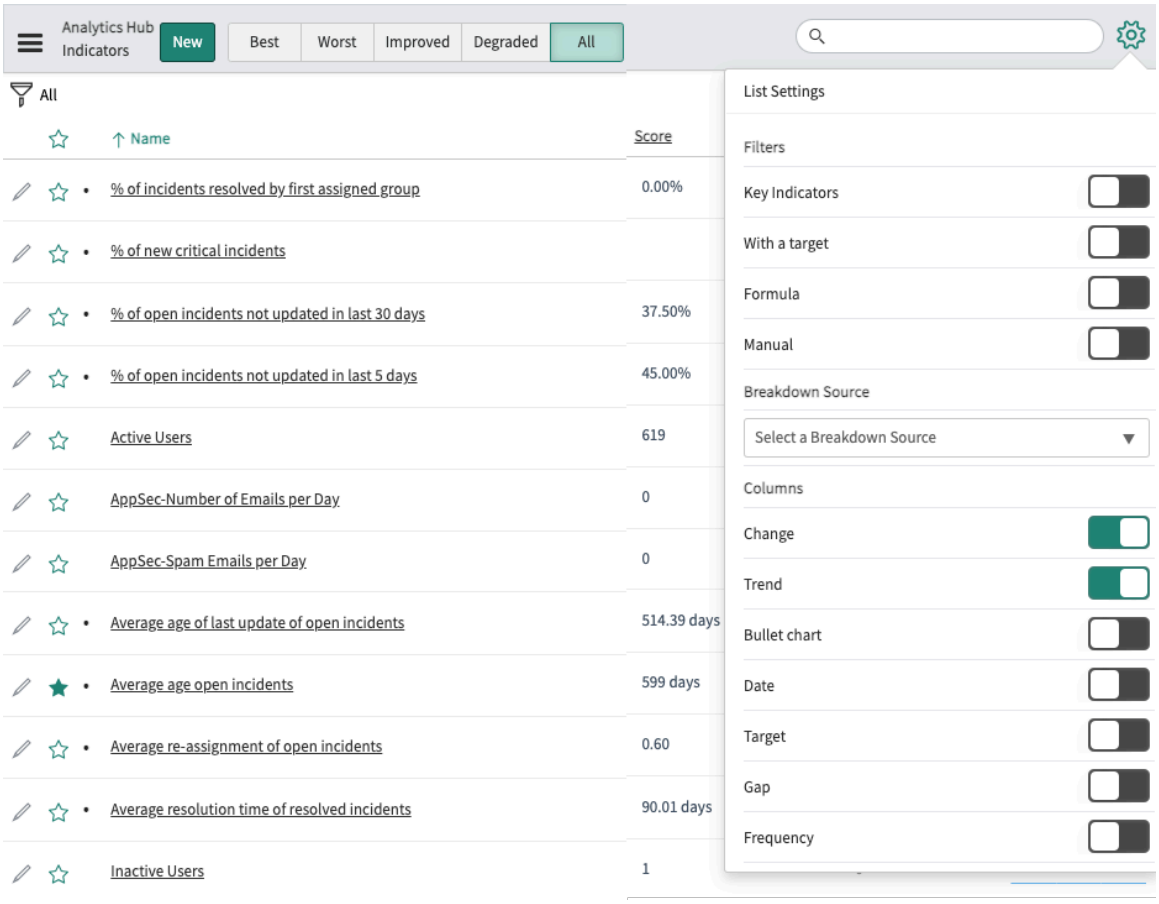
設定内で、ブレークダウンソースを選択することもできます。そのブレークダウンソースを使用するインジケーターのみが表示されます。ブレークダウンソースを選択した後、ブレークダウン要素を選択して、インジケーターのリストをさらにフィルタリングできます。その要素が適用されるインジケーターのみが表示されます。

次の例は、リストが Indicator.Priority ブレークダウンソースでフィルタリングされ、次に 1 - Critical 要素でフィルタリングされたときにスコアがどのように変化するかを示しています。

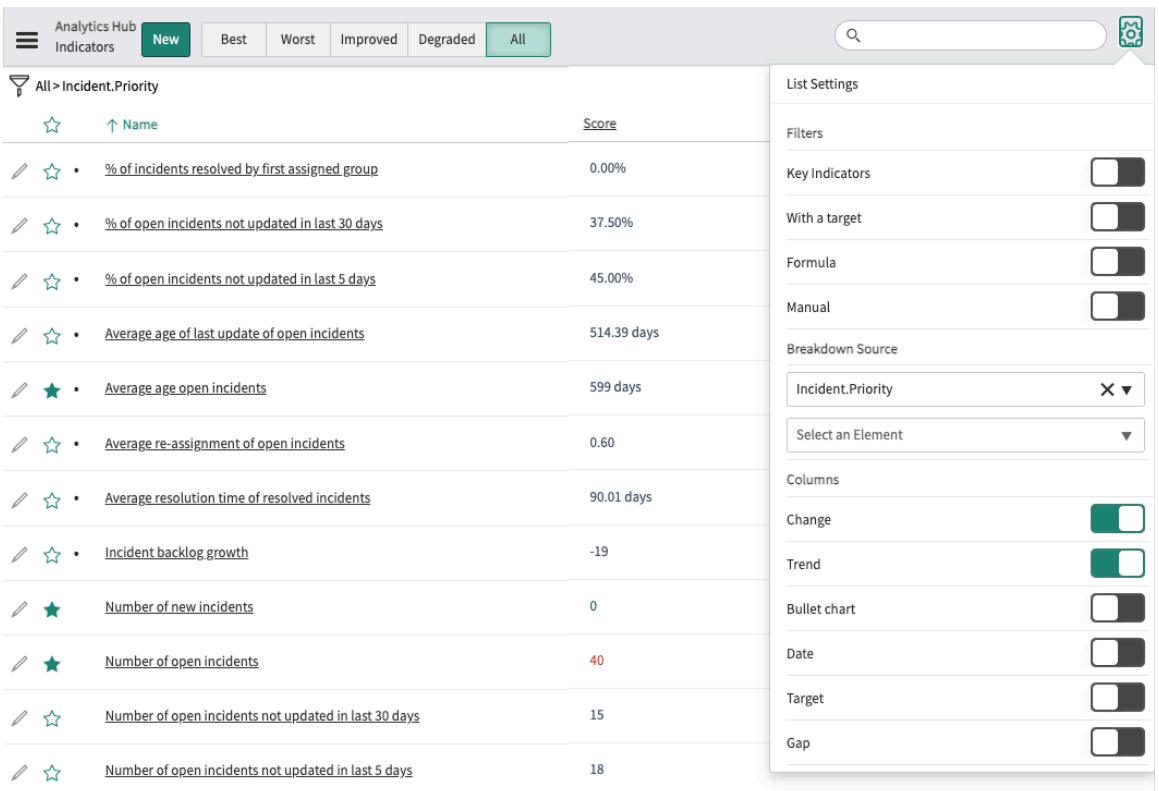
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンフィルターが適用されていないインジケーターリスト



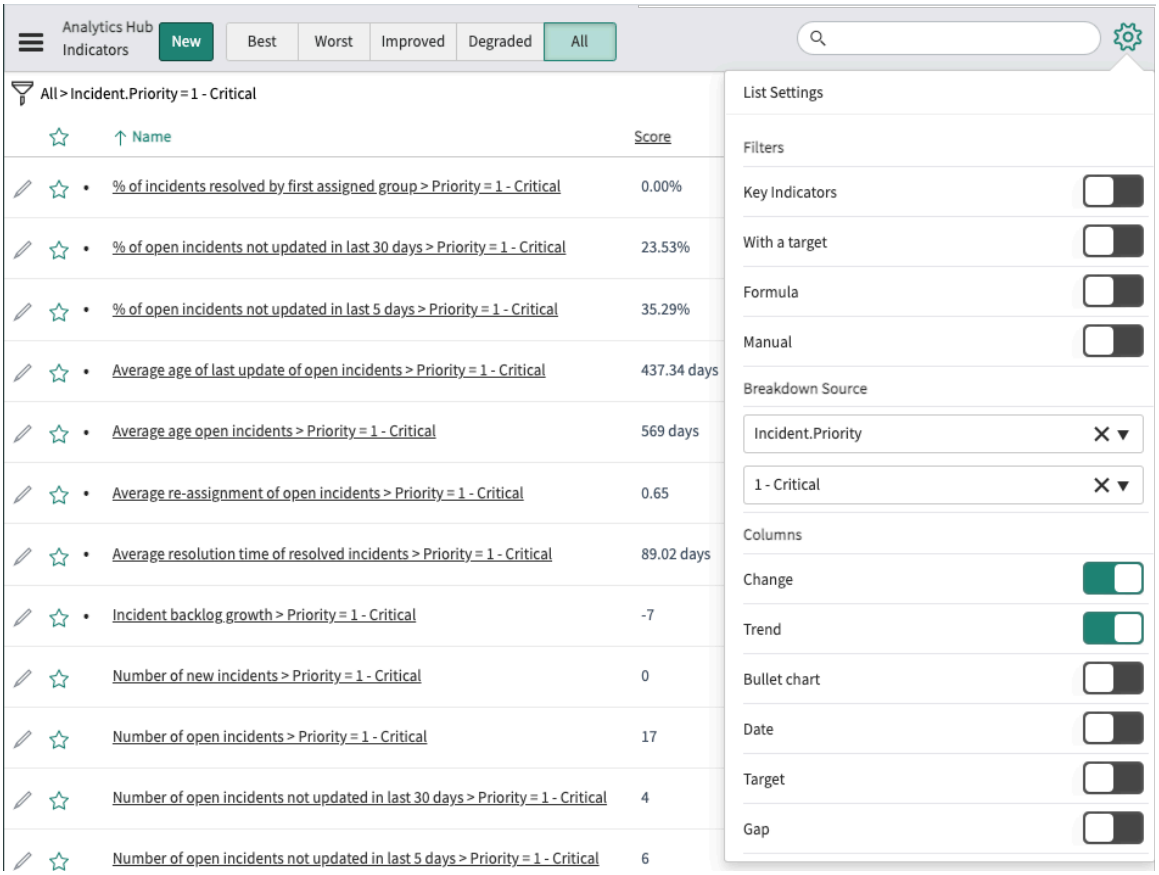
ブレークダウンソースフィルターが適用されたインジケーターリスト



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンソースと要素フィルターが適用されたインジケーターリスト



列の設定

インジケーターリストに表示するアナリティクスを選択します。インジケータースコアは常に表示されます。

変更

最新のデータ収集と前のデータ収集の間のスコアの絶対値での変化。

傾向図

データ収集の過程でのスコアのトレンドライン。このトレンドラインは、 アナリティクスハブ が特定のインジケーターに集中しているときに表示されるトレンドラインを縮小したものです。

ブレットグラフ

現在のスコアとターゲットを比較するグラフ。このチャートは、ターゲットが設定されているインジケーターに対してのみ表示されます。



日付

最新スコアが収集された日付。

ターゲット

インジケーターのターゲット (設定されている場合)。

ギャップ

最新スコアとターゲットのギャップ。値は、インジケーターにターゲットが設定されている場合にのみ表示されます。

周期

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターのスコアが計算される頻度。

Direction (方向)

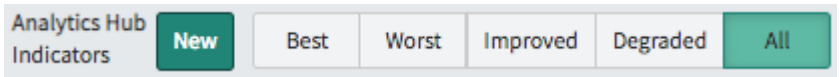
インジケーターのスコアを最小化するか、最大化するか、またはどちらにも設定しないか。

パーセンテージで表示

有効にすると、スコアの変化が絶対値ではなくパーセンテージで表示されます。

パフォーマンスでフィルター

設定でリストをフィルタリングするだけでなく、インジケーターのパフォーマンスに基づいてインジケーターのリストをフィルタリングできます。



- [最高]：ターゲット (緑) のパフォーマンスを上回るインジケーターをすべてギャップ (%) 順に表示します。(最も優れたものを一番上に表示)。
- [最低]：ターゲット (赤) のパフォーマンスを下回るインジケーターをすべてギャップ (%) 順に表示します (最も低いものを一番上に表示)。
- [改善]：以前のデータ収集と比較して改良されたインジケーターをすべて表示します (適切な方向に移動)。
- [悪化]：以前のデータ収集と比較してデグレードされたインジケーターをすべて表示します (不適切な方向に移動)。

アナリティクスハブ 特定のインジケーターの

アナリティクスハブを使用して、データの集計、スコアの比較、経時変化の表示などにより、インジケーターデータを詳細に分析します。

インジケーターの アナリティクスハブ にアクセスするには、次のいずれかの方法を選択します。

- 移動先 **Performance Analytics** (パフォーマンスアナリティクス) > アナリティクスハブをクリックし、インジケーターを選択します。
- 関連するインジケーターレコードの [インジケーターを探索] 関連リンクをクリックします。
- レスポンシブ ダッシュボードから、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの値を選択します。

注:

- プラットフォームアナリティクスダッシュボードからインジケーターデータの値を選択すると、アナリティクスハブではなくKPI 詳細にアクセスします。これはデフォルトの動作です。データの可視化は、さまざまなドリルダウン動作で構成できます。
- ブレークダウンダッシュボードのインジケータースコアが複数の要素で集計される場合、アナリティクスハブ は同じ要素で集計されます。詳細については、「複数の要素のアグリゲートスコアの表示」を参照してください。
- 時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効なアグリゲーションがあるという警告が表示される場合があります。

制限事項

アナリティクスハブはモバイル画面のサイズには最適化されていません。タブレットでは、標準の Web インターフェイスを使用して アナリティクスハブ にアクセスできます。

自動翻訳

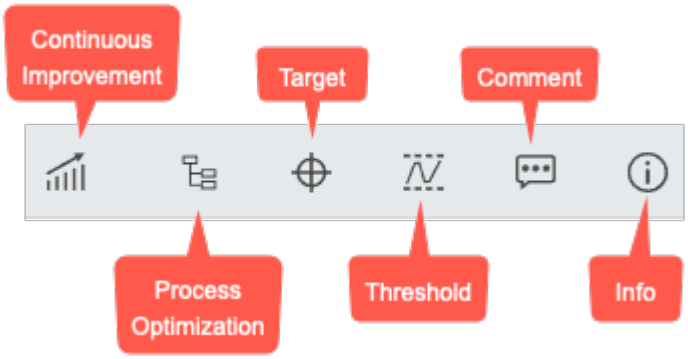
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲット、しきい値、コメント、および改善イニシアチブの追加

アナリティクスハブ内のすべてのタブの上部には、次のアクションを含むツールバーがあります。

- ターゲット
- しきい値
- コメントを追加
- 情報
- 改善イニシアチブを作成 (継続的改善管理アプリケーションが必要)

ツールチップは、ツールバーの各アイコンを識別します。



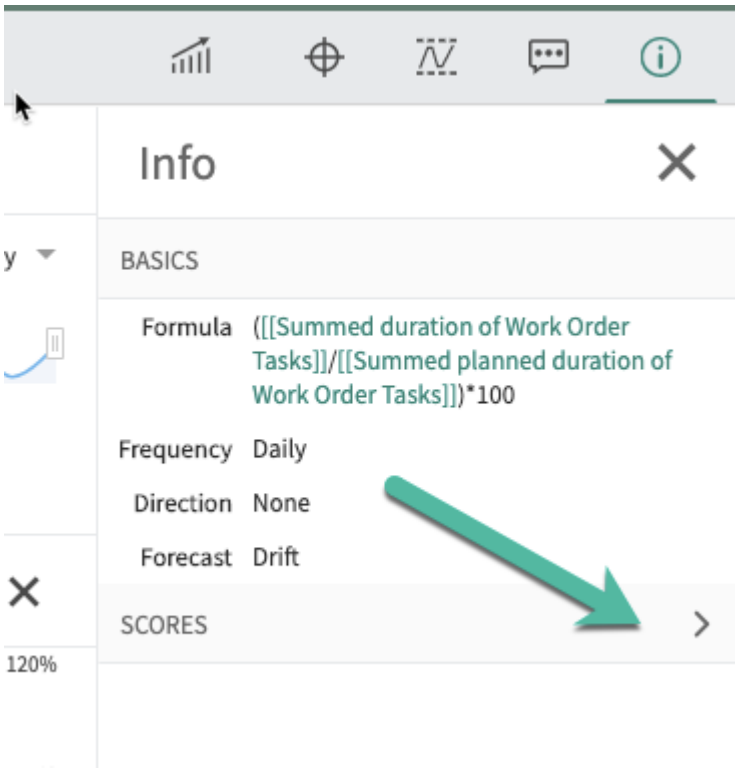
ツールバーには、常にスクリーンショットの右端の 4 つのアイコンがあります。これらのアイコンのいずれかをクリックすると、ターゲット、しきい値、またはコメントを表示または作成できるペインが開きます。このペインからインジケーターに関する基本情報を表示することもできます。

注:
インジケータースコアが複数の要素で集計されている場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは アナリティクスハブ ではサポートされません。

式インジケーターの場合、この基本情報には式が含まれます。情報パネルでは、インジケーターの日次スコアのリストを展開することもできます。式インジケーターの各コンポーネントインジケーターのスコアを表示するには、式のインジケーター名をクリックします。そうすることで、そのインジケーターに アナリティクスハブ が再び焦点を当てます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



継続的改善管理 アプリケーションと sn_cim.improvement_requester ロールを持っている場合は、改善イニシアティブを作成できます。改善イニシアチブの作成アイコン ( ) をクリックして、改善イニシアチブフォームを開きます。このフォームには、インジケーターと アナリティクスハブの詳細が自動的に入力されます。タイムラインでイニシアチブの開始日と終了日を確認するには、[概要] タブのチャートオプションで改善イニシアチブアイコンをクリックします。

プロセスマイニング アプリケーションと プロセスマイニング ロールがある場合は、プロセスマイニングダッシュボードでインジケーターを開くことができます。[移動]プロセスマイニング アイコン ( ) をクリックします。

インジケーターとスコアの編集、PDF または **CSV** へのエクスポート、グラフィックの生成

アナリティクスハブ上のすべてのインジケーターにはコンテキストメニューがあります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このメニューのオプションは、インジケーターのタイプとスコアがあるかどうかによって異なります。

オプション	存在する場合
インジケーターを編集	すべてのインジケーター
スコアを編集	スコア付きの自動インジケーター
お気に入りに追加/お気に入りから削除	すべてのインジケーター
PDF にエクスポート	スコアのあるすべてのインジケーター
CSV にスコアをエクスポート	スコアのあるすべてのインジケーター
グラフを PNG/JPEG として保存	スコアのあるすべてのインジケーター
依存関係アセスメントを起動	すべてのインジケーター

コンテキストメニューをもう一度クリックすると、選択せずに閉じます。

のさまざまなタブ アナリティクスハブ

特定のインジケーターの アナリティクスハブ には [概要] タブと [比較] タブがあり、それぞれ スコアと統計情報の表示 と スコアを比較 で説明されています。

関連情報

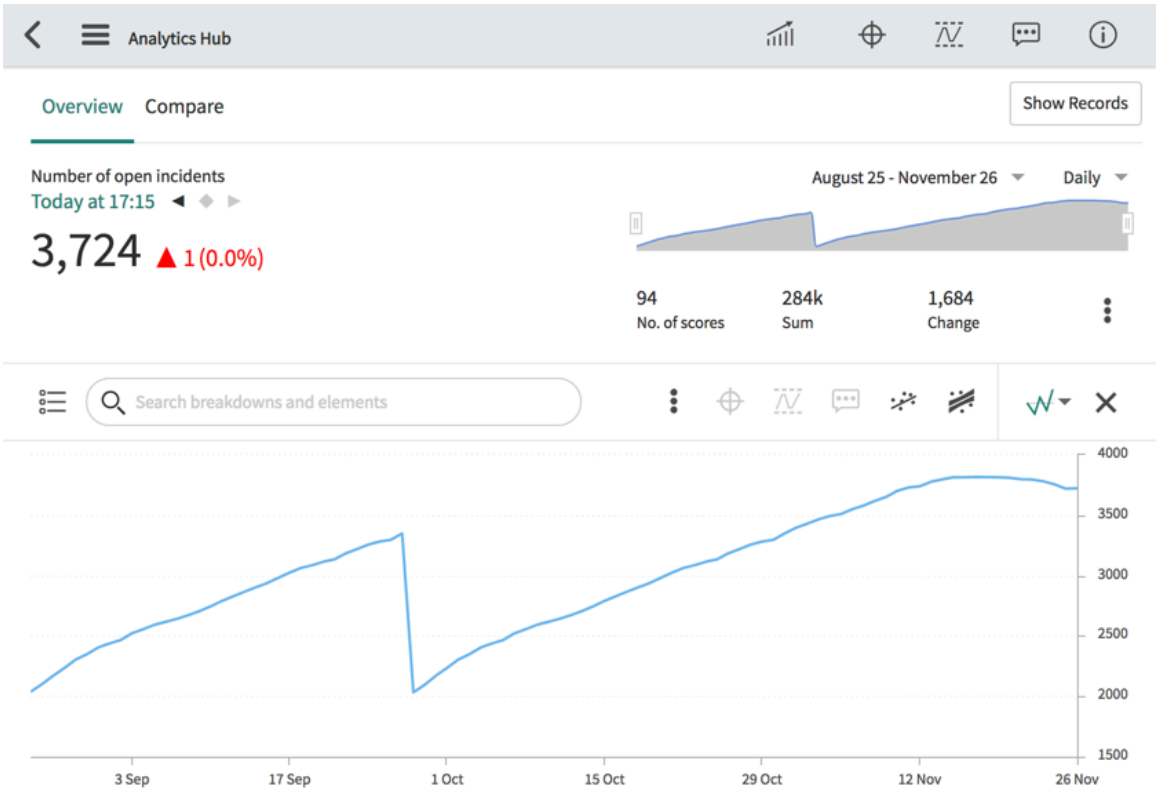
- パフォーマンスアナリティクス インジケーター
- パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値
- 依存関係アセスメント
- 継続的改善管理

スコアと統計情報の表示

[アナリティクスハブ の概要] タブには、期間、統計情報、および時系列のスコアが表示されます。統計と時系列の期間を設定できます。ブレークダウンと要素でスコアをフィルタリングすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブ



注:
Madrid前に詳細スコアカードで利用可能だった式インジケーター計算を表示する機能は、 アナリティクスハブ ではサポートされていません。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「Performance Analytics: Formula calculation is not shown for scores on Analytics Hub (パフォーマンスアナリティクス:分析ハブのスコアの計算式が表示されない) [KB0783438]」を参照してください。

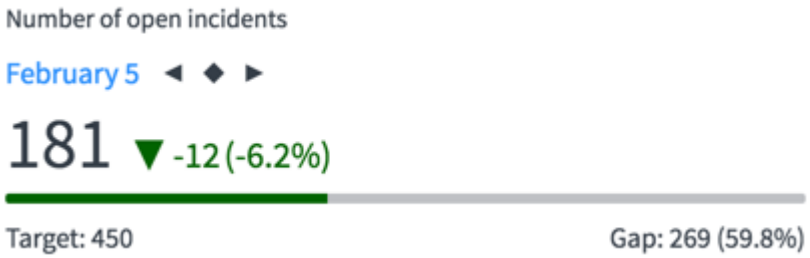
インジケーターのサマリー

[表示] タブの上部には、表示されているインジケーターに関する情報が要約されます。

タブの上部には、次の情報が表示されます。

- 選択した期間のスコア
- そのスコアと前の期間のスコアとの間の絶対値とパーセンテージの両方の変化
- ターゲットが設定されている場合、スコアとそのターゲットの差
- 前、次、または最後の期間に切り替えるためのコントロール
- 期間またはリアルタイムスコアを選択するためのカレンダー

ターゲットへの準拠を示すスコアセクション



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果は色分けされて好感度を示します。インジケーターの方向が [最大化] の場合、スコアの増加は緑で表示され、減少は赤で表示されます。インジケーターの方向が [最小化] の場合、スコアの増加は赤で表示され、減少は緑で表示されます。同様に、カラーバーはターゲットが達成されたかどうかを示します。色は、ターゲットに設定されているカラースキームによって異なります。詳細については、「ターゲットのカラー スキームの作成」を参照してください。

スコアに関連付けられている期間はスコアの上に表示されます。コントロールを使用すると、次の期間、前の期間、または最後の期間に移動できます。ここで選択した日付は、統計情報と時系列グラフに反映されます。選択した期間は、別のタブに切り替えたときに引き継がれます。期間の長さ (日、月、四半期など) は、インジケーターの周期と同じです。

時系列グラフをクリックして日付を選択することもできます。さらに、ウィジェットからこの アナリティクスハブ に移動すると、ウィジェットで選択した日付が アナリティクスハブを開いたときに保持されます。

アナリティクスハブでのリアルタイムスコアの表示

最後のスコアの代わりに表示するリアルタイム スコアを選択できます。

リアルタイムスコアは、次の状況で表示できます。

- インジケーターは自動インジケーターです。
- リアルタイムスコアを表示するように構成されています。
- インジケーターのアグリゲート関数はスクリプトを使用しません。
- インジケーターソースはデータベースビューを使用しません。
- インジケーターに適用されるブレークダウンは、スクリプト化されたブレークダウンソースを使用しません。

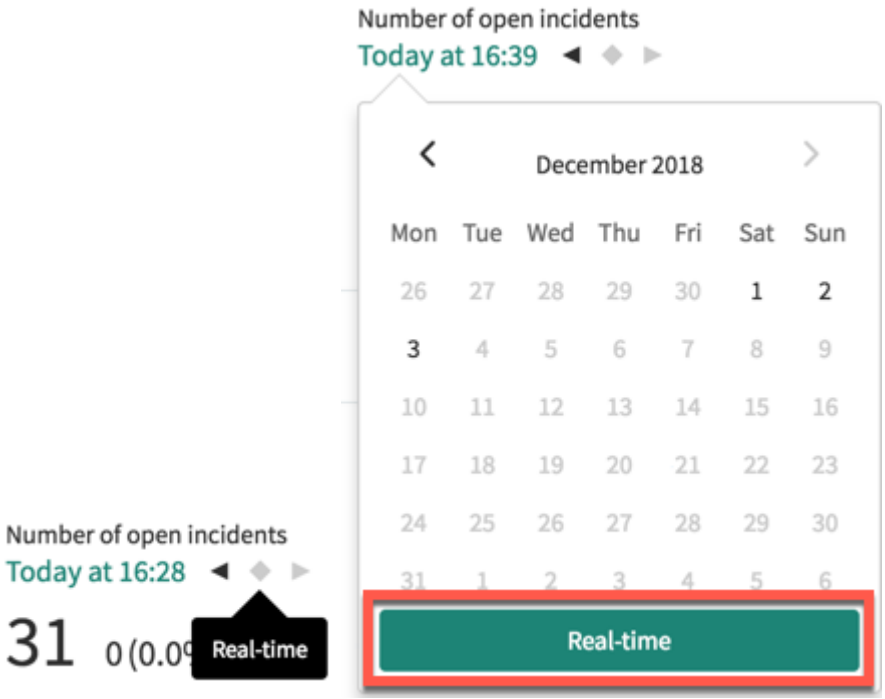
⚠ 警告:

- リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。
- アナリティクスハブ はリアルタイムスコアを自動的に更新しません。最新のスコアを取得するには、ブラウザーページを更新します。

リアルタイムスコアを選択できる場合は、日付セレクターで選択するか、 レコード ビューで現在の期間を選択して選択します。ただし、リアルタイム スコアを表示する場合、 レコード ビューのブレークダウン要素に一致しないレコードは表示されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リアルタイムスコアを表示する場合に選択



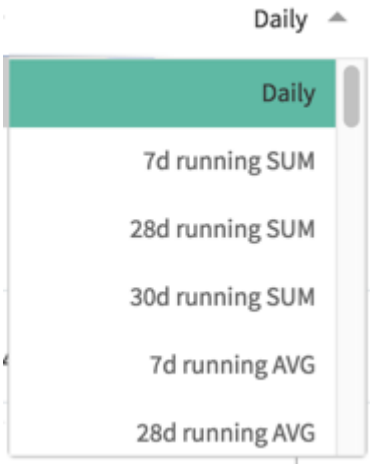
注:
一部のウィジェットでは、ダッシュボード ユーザーにリアルタイム スコアを表示できます。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

アナリティクスハブの時系列集計

アナリティクスハブでは、インジケーターの変化を個別の時間間隔に集計できます。

右上隅で、 アナリティクスハブの時系列集計を設定できます。

日次時系列集計のメニュー



時系列集計は、スコア、統計情報、時系列グラフ、および他のタブのチャートに反映されます。利用可能な時系列は、インジケーターの頻度によって異なります。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。インジケーターで時系列集計を使用する例と詳細については、この パフォーマンスアナリティクス Academy ビデオを参照してください。 での時系列の活用 パフォーマンスアナリティクス .

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

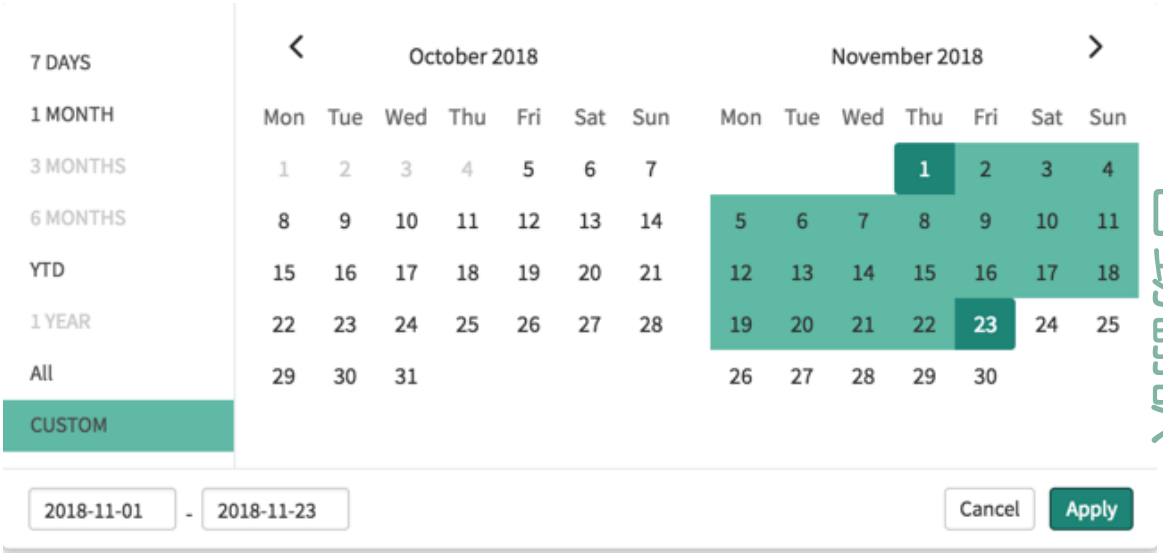
- ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターでは、時系列集計を設定することはできません。
- 時系列集計を選択すると、インジケーターに設定されている [実線を表示] オプションが上書きされます。このオプションを使用すると、特定の日付のデータがない場合でも、 アナリティクスハブ このインジケーターのデータ行が途切れることなく表示されます。
- 時系列集計を設定した場合、[比較] タブでレコードを比較することはできません。集計されたスコアを比較できます。

アナリティクスハブのスコアの日付範囲

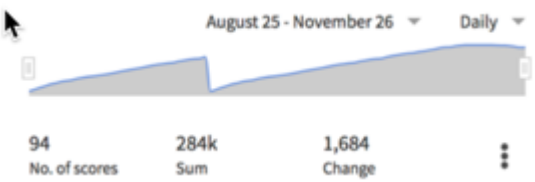
アナリティクスハブ が示すスコアの期間を設定できます。

日付範囲を選択するためのコントロールは、統計の上の時系列集計の左側にあります。選択した期間は、統計情報と時系列グラフに反映されます。期間を設定するには、次の 2 つの制御オプションがあります。

- 日付範囲カレンダー



- ナビゲーションバー付きスライダー:



注:
[月別合計] などの時系列集計で [3 か月] などの日付範囲を指定すると、予想よりも 1 つ多くの期間が表示される場合があります。インスタンスは、3 か月などの期間を 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示できます。

アナリティクスハブの統計情報

アナリティクスハブの [表示] タブでは、インジケータースコアに適用するさまざまな統計情報を設定できます。

アナリティクスハブの統計情報の表示をカスタマイズすることはできません。ただし、すべての統計情報がすべてのインジケーターに関連しているわけではないため、インジケーターレコードの統計を

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

除外できます。たとえば、スコアがパーセンテージで表されるインジケーターの変更 % を除外できます。詳細については、「自動インジケーターの作成」を参照してください。

ブレークダウン、要素、要素フィルター

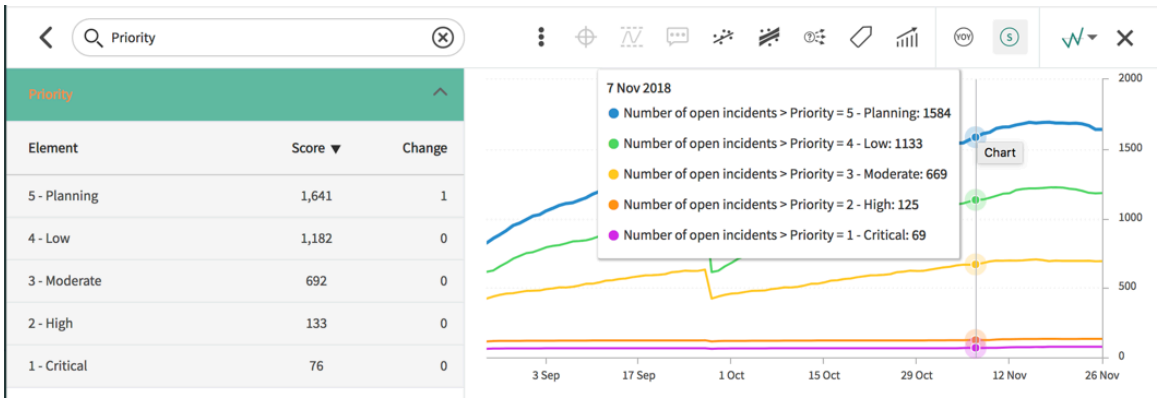
アナリティクスハブには、ブレークダウンとブレークダウン要素を表示するためのいくつかのオプションがあります。

ブレークダウンの要素ごとに、グラフに個別の線または列を表示できます。ブレークダウンと要素を選択してスコアをフィルタリングすることもできます。ブレークダウンと要素を名前で検索するか、ブレークダウンと要素の選択ダイアログを開くことができます。

ブレークダウンメニューと検索フィールド

要素ではなくブレークダウンを選択した場合、チャートにはブレークダウンの各要素が表示されます。

ブレークダウンのすべての要素を含むチャート

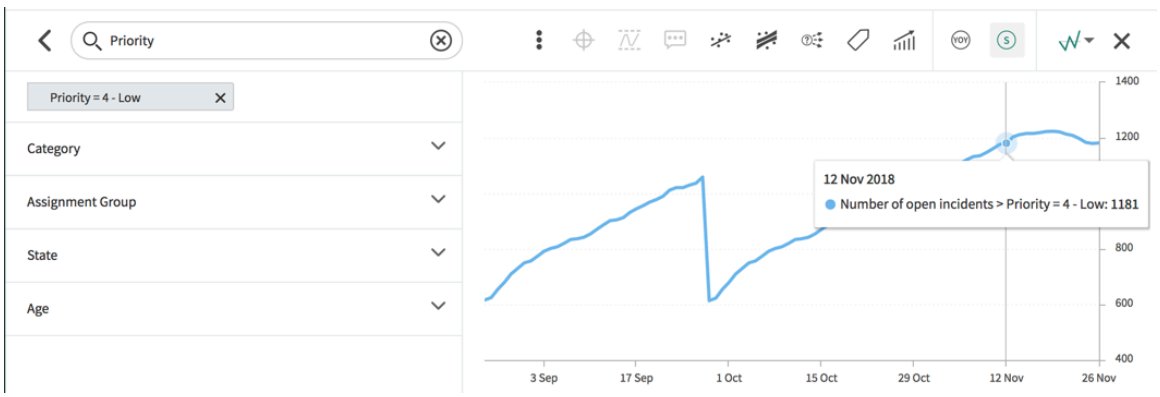


注:

- ブレークダウンの要素が適用されない場合、スコアは表示されません。このルールは、NULL_OVERRIDE で定義されたラベルが none の値を置き換える場合の選択肢 [sys_choice] テーブルブレークダウンにも適用されます。
- 式インジケーターにブレークダウンを適用しようとしても、すべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしているわけではない場合、ブレークダウンは適用されません。代わりに、ブレークダウンのない式インジケーターのスコアが表示されます。これが発生したことを知らせるメッセージが表示されます。

ブレークダウンと要素を選択した場合は、 アナリティクスハブ 全体がフィルタリングされ、そのブレークダウンと要素の値のみが表示されます。

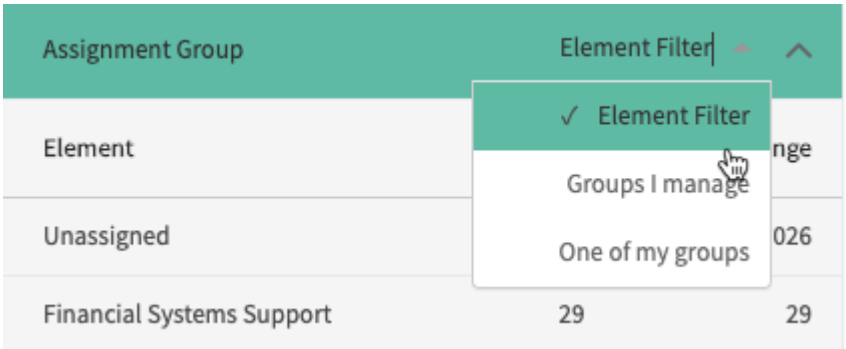
アナリティクスハブ 優先度の低いインシデントのみを表示するようにフィルタリングされている



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

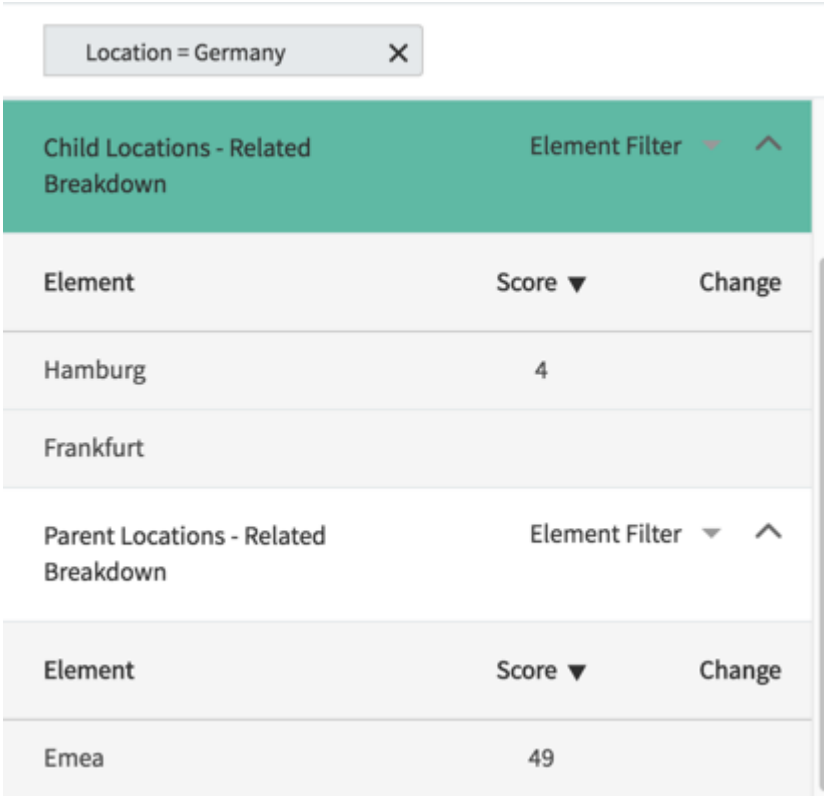
ブレークダウンに、ブレークダウン ソースに対して定義された要素フィルターがある場合は、それらの要素フィルターの 1 つを選択できます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

要素フィルタ



インジケーターにブレークダウンの関連付けが定義されている場合は、第 1 レベルのブレークダウンと要素を選択した後、関連する要素に移動できます。要素は、同じブレークダウンの親子関係にある場合もあれば、別のブレークダウンにある場合もあります。ブレークダウンの関連付けとその作成手順の詳細については、「 ブレークダウンの関連付けによるブレークダウン要素のナビゲーション」を参照してください。

ブレークダウンの関連付け

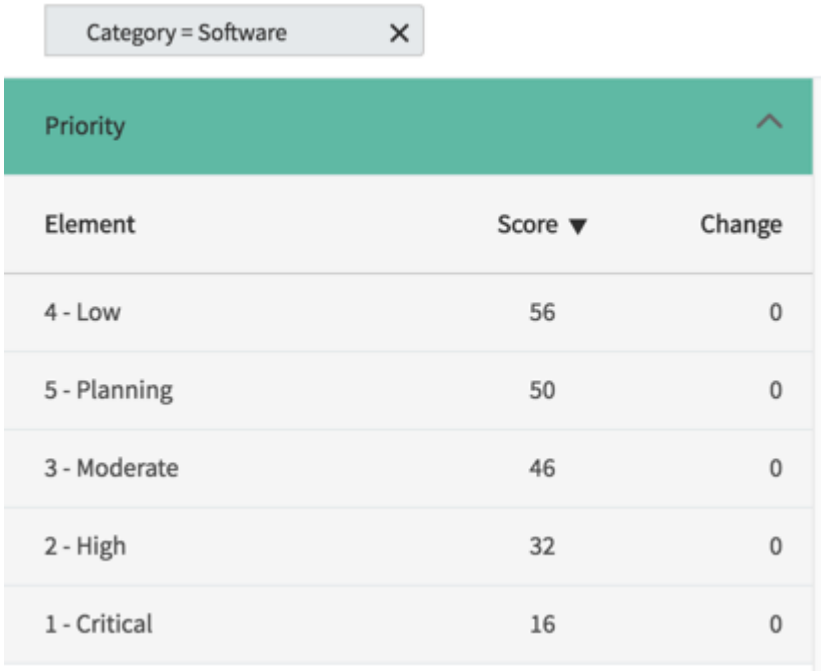


第 1 レベルのブレークダウンと要素を選択した後、第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択できます。合計で 3 レベルを超えるブレークダウンを選択することはできません。

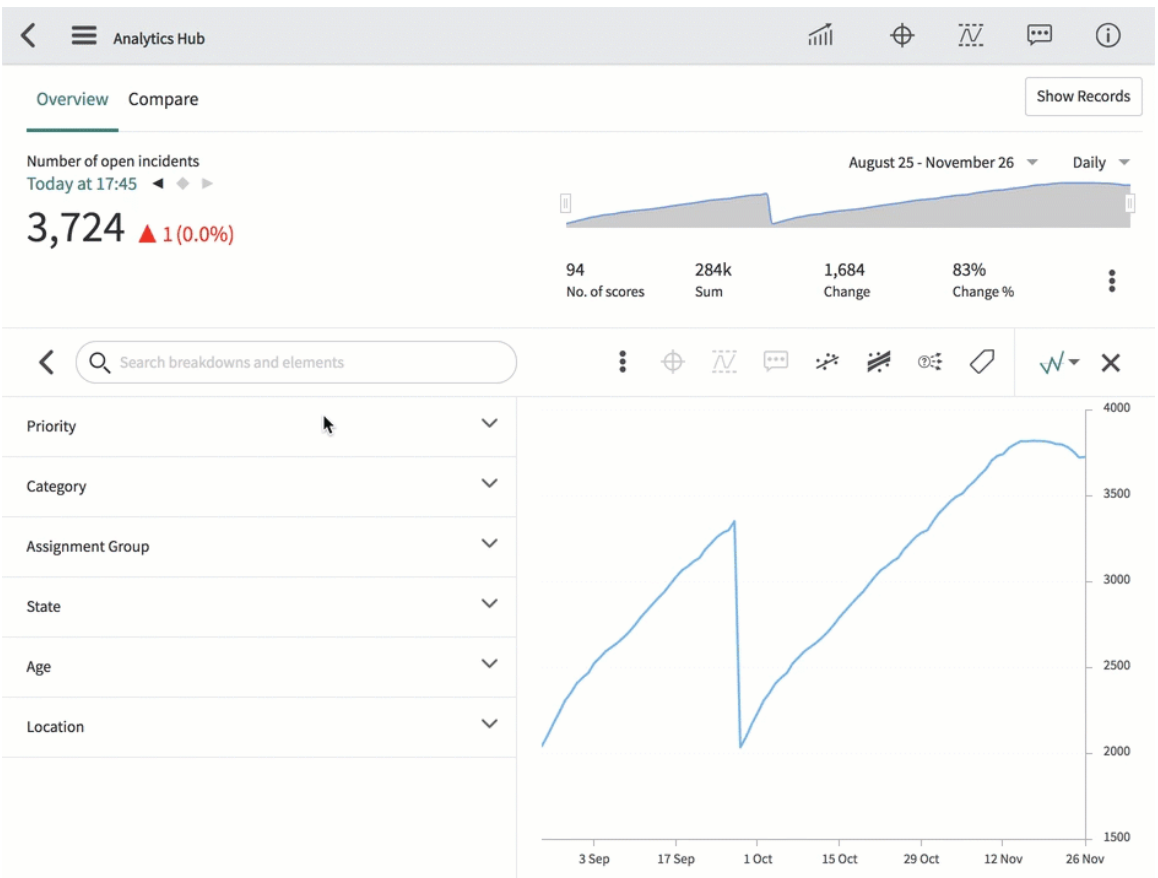
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンと要素の選択



次のアニメーションは、第 1 レベルと第 2 レベルのブレークダウンと要素の選択とクリアを示しています。



第 1 レベルまたは第 2 レベルのブレークダウンと要素の組み合わせをクリアするには、そのブレークダウン/要素のペアのタイルで [X] をクリックします。第 1 レベルのブレークダウン/要素をクリアすると、第 2 レベルのブレークダウン/要素が第 1 レベルのブレークダウン/要素になります。スコアの上にあるブレッドクラムをたどって選択をクリアすることもできます。

自動翻訳

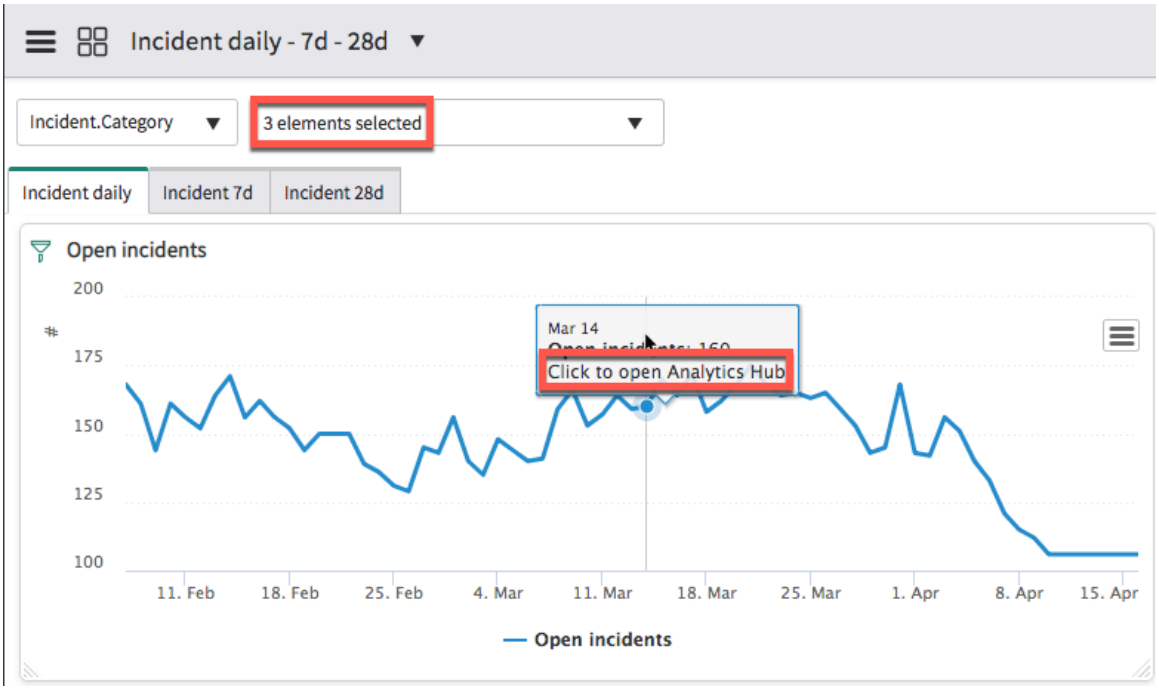
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素のアグリゲートスコアの表示

ダッシュボードのウィジェットでチャートの値をクリックすると、そのインジケーターの アナリティクスハブ が開きます。ブレークダウン ダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、ウィジェットにそれらの要素の集計が表示される場合、 アナリティクスハブ にはそれらの要素の集計も表示されます。

ダッシュボードで選択された複数の要素の集計ビューの詳細については、「 複数の要素を個別に表示するか、集計して表示する」を参照してください。

3 つの要素のアグリゲートスコアを持つアナリティクスハブ

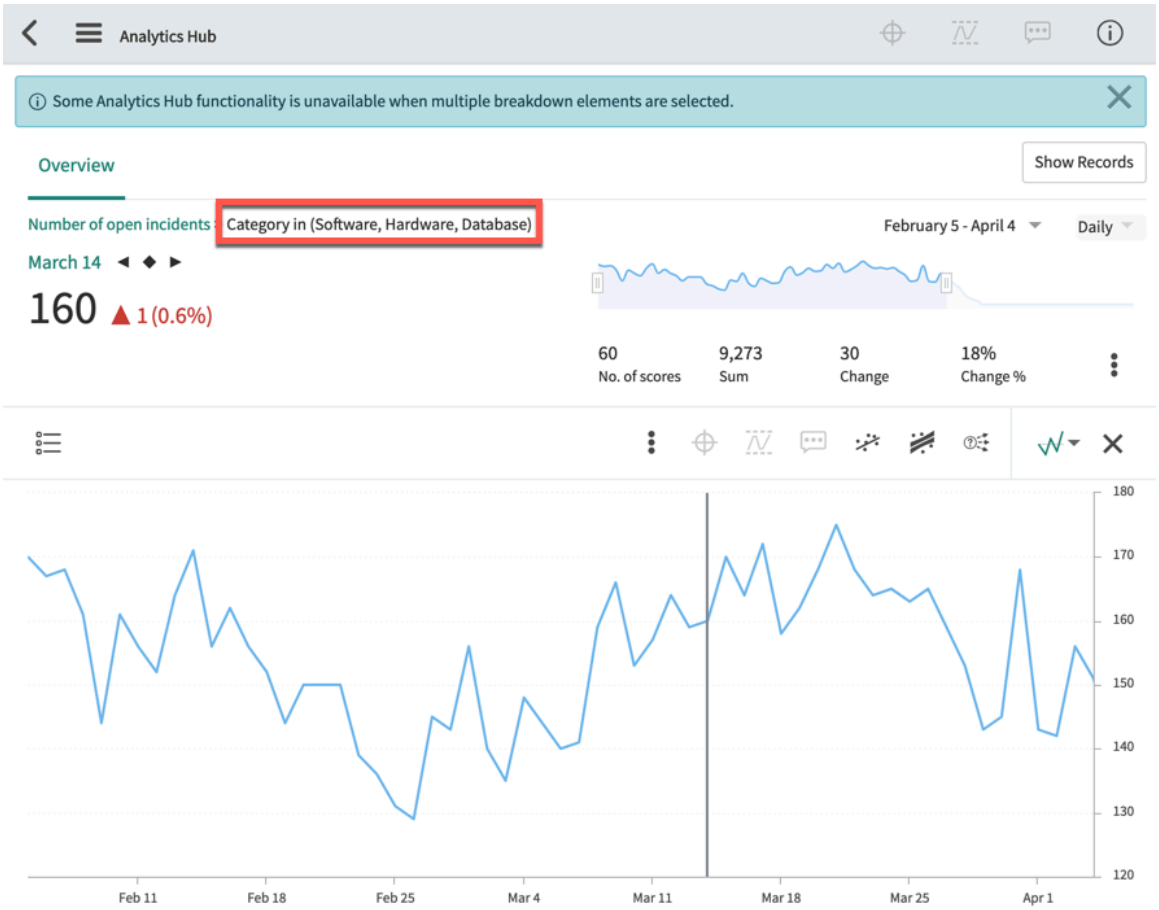


ウィジェットで選択した日付に アナリティクスハブ が開きます。複数の要素は、 **{Breakdown} in (element_1, element_2, element_3, +x more)** の形式で表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素を持つアナリティクスハブ



注:
アグリゲートビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。その後、アナリティクスハブで [レコードを表示] を選択すると、ダッシュボードで選択した要素のいずれかに一致するレコードが表示されます。

アナリティクスハブでのレコードの表示

インジケータースコアの時系列の表示と、それらのスコアの計算に使用されるレコードのリストの表示を切り替えることができます。

右上隅の [レコードを表示] または [レコードを非表示] をクリックして切り替えます。いずれの場合も、選択した期間のスコアまたはレコードがタブの上部に表示されます。スコアまたはレコードは、選択したブレークダウン/要素のペアによってもフィルタリングされます。

複数の要素が選択されているブレークダウン ダッシュボードから アナリティクスハブ を開いた場合、表示される内容はダッシュボード ウィジェットによって異なります。ウィジェットに各要素の値が個別に表示される場合は、選択した要素に一致するレコードが表示されます。ウィジェットに要素の集計スコアが表示されている場合は、それらの要素のいずれかに一致するレコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

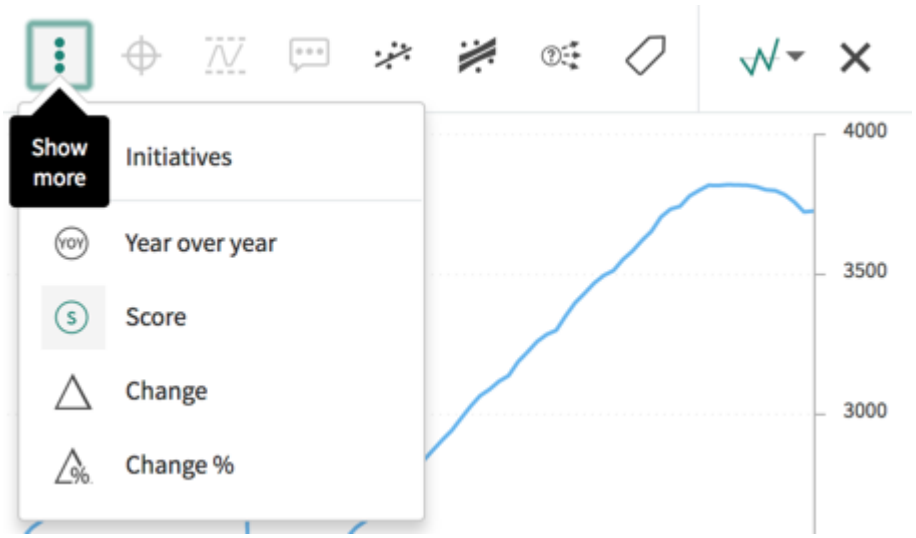
- レコードは自動インジケーターに対してのみ表示されます。
- [レコードを表示] 機能は、一致しないブレークダウン要素のリアルタイムスコアではサポートされていません。リアルタイムでスコアを表示している場合、ブレークダウン要素に割り当てられていないレコードは表示されません。
- ファクト テーブルで使用できるビューに応じて、[レコード] リストのコンテキスト メニューでレコード リストのビューを変更できます。デフォルトのビューはインジケーター ソースに設定されます。
- 場合によっては、第 2 レベルのブレークダウンを収集すると、スコアとレコード数が一致しないことがあります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「 KB0748969 」を参照してください。

アナリティクスハブのチャートオプション

アナリティクスハブの [表示] タブでチャートの表示内容を変更できます。

[さらに表示] アイコンをクリックすると、追加のアイコンのツールバーが表示されます。

チャートオプションのアイコン



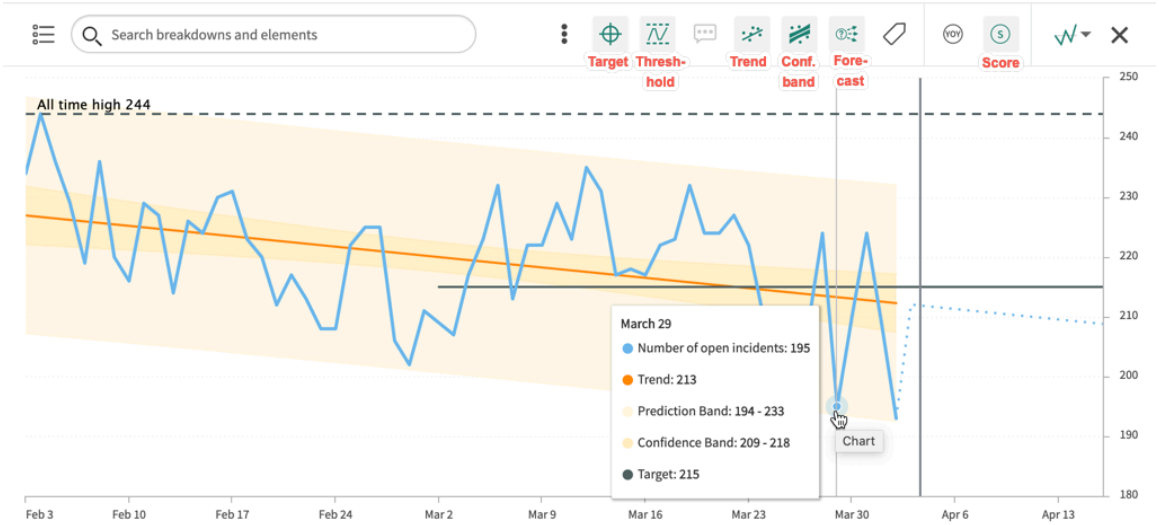
各アイコンのツールヒントは、アイコンがオンとオフを切り替えるチャートオプションを示します。チャートのオプションは次のとおりです。

- 表示される測定のタイプ。
- ラベルの表示
- インジケーターでの予測の設定に応じて、将来のスコアの予測を表示します。
- 信頼帯の表示
- 傾向ラインの表示
- コメントの表示
- しきい値の表示
- ターゲットの表示
- チャートの可視化の選択

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のオプションが選択されたことを示すチャート



継続的管理改善アプリケーションがインストールされている場合は、改善イニシアチブ ( ) を表示または非表示にするアイコンも表示されます。sn_cim.improvement_requester ロールも持っている場合は、「 アナリティクスハブ 特定のインジケーターの」で説明されているように、ツールバーの同じアイコンをクリックして改善イニシアティブを作成できます。

使用可能な測定値は次のとおりです。

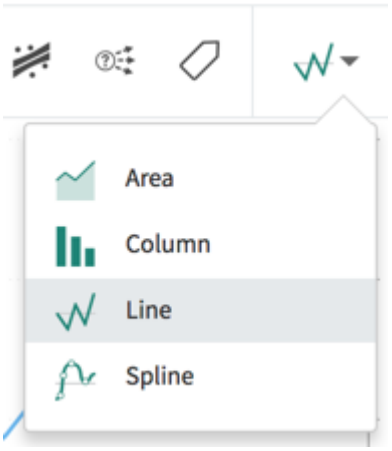
- 前年比
- 変更
- 変更割合
- スコア

スコアがデフォルトの測定値です。前年比を除くすべての測定タイプを一緒に表示できます。前年比は、スコアや変化など、一度に 1 つの他の測定にのみ適用できますが、両方に適用することはできません。前年比を有意義なものにするには、通年のデータが必要です。

Analytics Hub (アナリティクスハブ) の可視化

グラフに使用する可視化を変更するには、リストメニューから可視化を選択します。面グラフ、縦棒グラフ、線グラフ、スプライングラフによるチャート化を使用できます。

利用可能なチャートの可視化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスハブのユーザー設定

インジケーターごとに表示設定を設定し、そのインジケーターを表示するたびにその表示設定を保持することができます。

アナリティクスハブは、次のユーザー設定を追跡します。

- すべての表示設定
- チャートの可視化
- 期間

すべての設定はインジケーターとユーザーごとに保存されるため、各ユーザーは各アナリティクスハブを優先的に表示するように設定できます。

注:
アナリティクスハブではなくスコアカードを使用するバージョンからアップグレードする場合は、古いユーザー設定のテーブルが保持されます。ユーザーがインジケーターの アナリティクスハブ を初めて開くと、設定が古いテーブルからインポートされます。ユーザーがアナリティクスハブを開く前に、そのユーザーとインジケーターの設定が PA アナリティクスハブ設定 [pa_ds_preference] テーブルで手動で設定されている場合、このインポートは上書きされます。

アナリティクスハブでのドメインセパレーション

アナリティクスハブは、[システムの設定] で選択したドメインに従います。そのドメインで収集されたスコアのみが表示されます。

追加するターゲット、しきい値、またはコメントは、現在のドメインに自動的に関連付けられます。[スコアを編集] オプションは使用できません。

システム設定のほかに、一部のダッシュボードは、ダッシュボードでドメインを選択できるように構成されています。このようなダッシュボードのウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、そのドメインについて収集されたスコアのみが表示されます。詳細については、「ダッシュボードへのドメイン構成の関連付け」を参照してください。

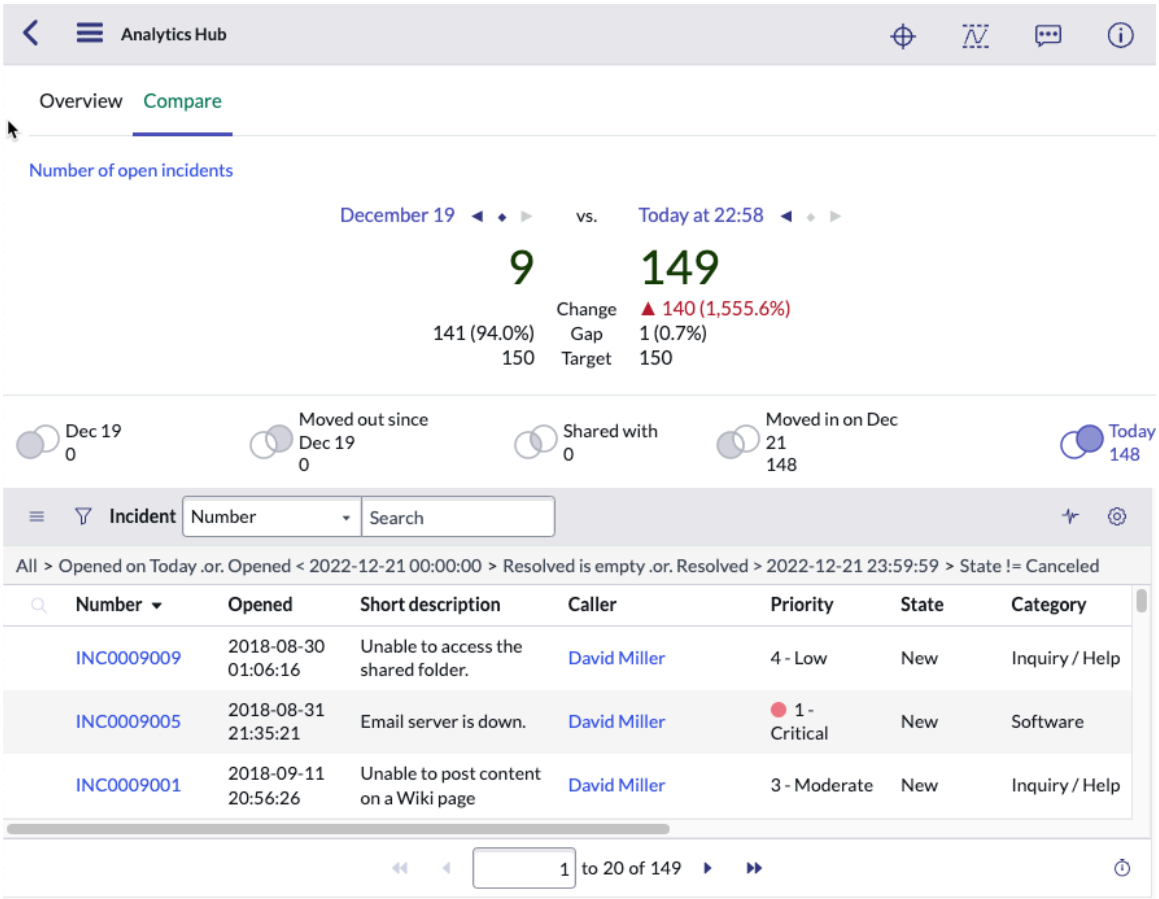
スコアを比較

[アナリティクスハブ 比較] タブで、任意の 2 つの日付のスコアを比較するか、リンクされたベンチマークスコアとスコアを比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[比較] タブ



注:
[比較] タブは、自動インジケーターでのみ使用できます。

2 つの日付の自動インジケーターのスコアを比較できます。日付の選択は、[概要] タブと同じように機能します。さらに、あるタブで選択した日付は、別のタブに変更しても保持されます。

スコアがカウントを参照する場合、スコアの下に、左から右に次の情報が表示されます。

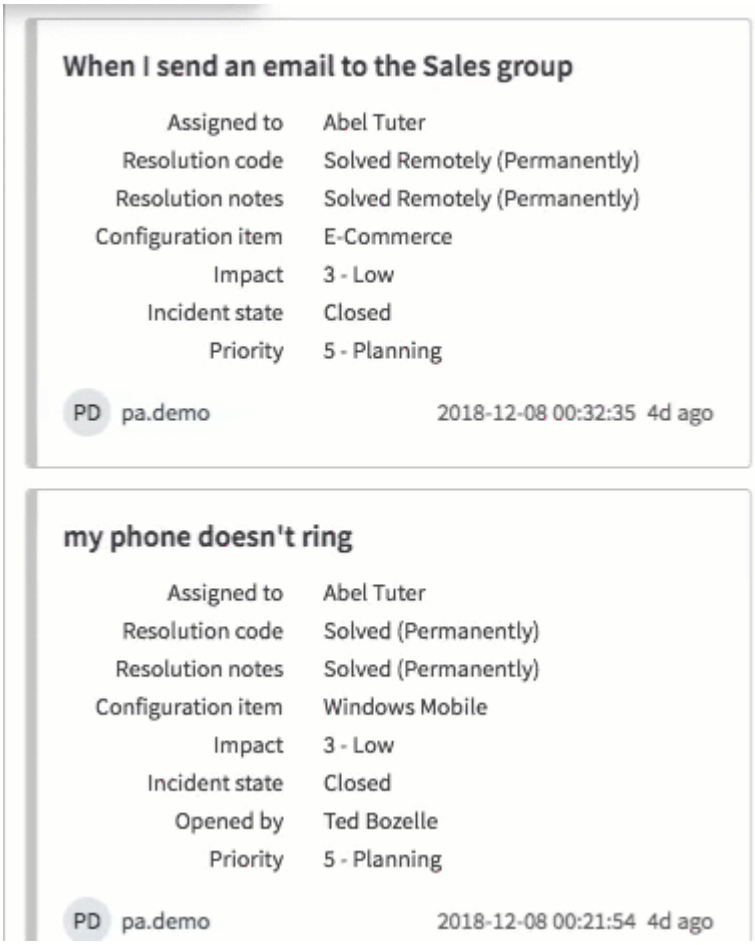
- 前の日付のスコア
- 以前の日付以降にインジケーターから移動した、またはインジケーターから離れたレコードの数
- 両方の日付でインジケーターによって共有されているレコードの数。つまり、レコードは前の日付と後の日付の両方でインジケーター内にあります
- 後日、インジケーターに移動したレコード、またはインジケーターに追加されたレコードの数
- 最新日付のレコード数

インジケーター内のレコードのリストが下部ペインに表示されます。日付を比較する場合は、グラフアイコン ( ) をクリックしてアクティビティストリームを開きます。アクティビティストリームには、各レコードについて、レコードの最新のアクティビティとその現在のステータスに最も関連性の高いフィールドが表示されます。アクティビティのタイムスタンプにカーソルを合わせると、[コメント] リンクが表示されます。このリンクをクリックするとダイアログが開き、追加コメントまたは作業メモを残すことができます。

注:
インジケーターに時系列集計を適用すると、レコードを比較できません。スコアは集計されますが、基礎となるレコードは集計されません。集計されたスコアを比較できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティストリーム



インジケーターがベンチマークインジケーターにリンクされている場合は、[ベンチマーク] を選択して 2 つのインジケーターを比較します。[概要] タブの場合と同様に、インジケーターを比較する日付範囲を選択します。

インジケーターとリンクされたベンチマークインジケーターとの比較



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

自動インジケーターをベンチマークにリンクする

アナリティクスハブの UUID

インジケーターに指定するブレークダウン、要素、時系列集計、およびドメインの組み合わせには、すべて一意の識別子 (UUID) があります。スクリプトを作成したり、 アナリティクスハブ がどのように機能するかを理解したりするには、これらの UUID がどのように構築されているかを理解する必要があります。

アナリティクスハブ とワークスペースの KPI 詳細でインジケーターを選択し、次のようにさらに指定できます。

- 最大 2 レベルのブレークダウン
- 要素フィルタ
- レベルごとに複数の要素を含む、最大 2 レベルのブレークダウン要素 (集計スコア)
- 時系列集計
- ドメインセパレーション

各組み合わせは、いわゆるUUIDで表されます。UUID は、インジケーターのsys_IDsとこれらの指定子のいずれかから、次の順序で連結されます (ドメイン ID の前のセミコロンに注意してください)。

<indicator_sys_id>:<breakdown_sys_id>:<elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<lvl-2 breakdown_sys_id>:<lvl-2 elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<aggregate_sys_id>;<domain_sys_id>

indicator_sys_id 以外のすべての指定子はオプションですが、1 つの例外があります: *breakdown_sys_id*を指定する場合は、少なくとも 1 つの*element_sys_id*でなければなりません。ブレークダウンを指定し、要素を指定しない場合 (たとえば、すべての要素のリストを取得する場合)、ブレークダウンsys_idは別のパラメーターに入力します。例については、この GET/now/pa/scorecards REST API の例を参照してください。指定されたブレークダウンのどの要素とも一致しないスコアを参照するために、*element_sys_id*の代わりに文字列 unmatched が入ります。

ターゲット、しきい値、およびその他の アナリティクスハブ および KPI 詳細機能は、UUID ごとに適用されます。つまり、インジケーター、ブレークダウン、要素と要素フィルター、時系列集計、およびドメインの一意の組み合わせに個別に適用されます。また、 KPI シグナル アプリケーションは、UUID ごとに完全に指定された各インジケーターを個別に監視します。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス の統合

KPI 詳細

インタラクティブアナリシス

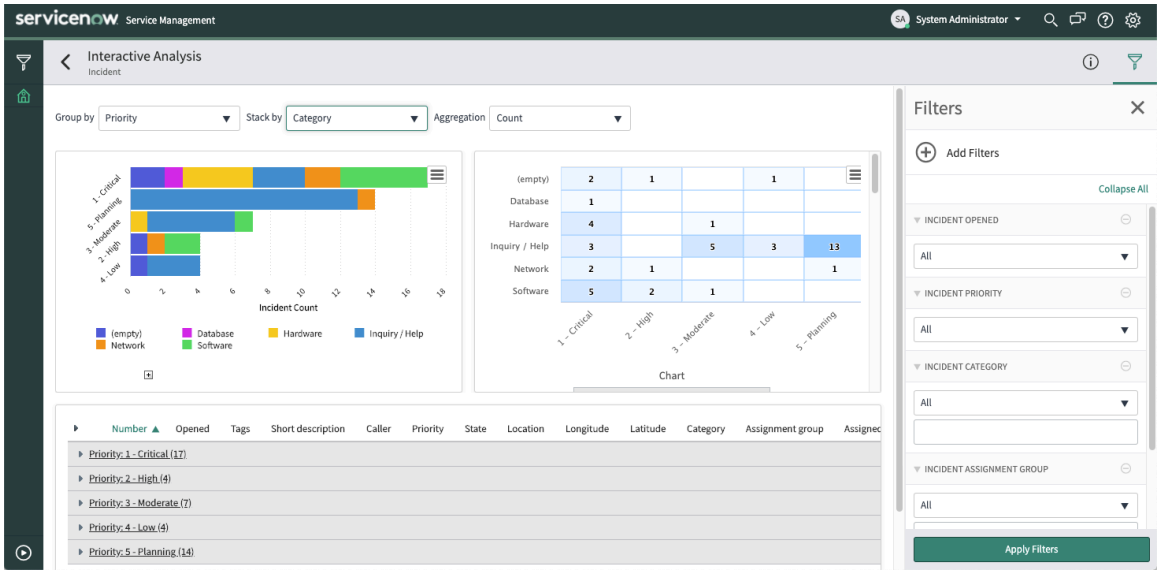
インタラクティブ分析を使用すると、レコードリストのデータをすばやく探索できます。

レコードの任意の コア UI リストから、リストデータに関するインタラクティブなレポートセットにアクセスできます。また、インタラクティブ フィルタをグループ化、スタッキング、集計、および適用することで、データを操作することもできます。チャート化をクリックし、データにドリルダウンします。情報アイコン ( ) をクリックしてソース フィルタを編集し、適用されたフィルタのリストを表示し、分析の URL をコピーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデント データのインタラクティブ分析



インタラクティブアナリシスの起動

リストからインタラクティブ分析を起動します。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 任意のリストに移動します。
2. オプション: リストに表示される列を設定します。
   インタラクティブ分析を起動する場合にリストに表示される列によって、分析に含まれるフィールドが決まります。含まれるフィールドによって、使用できる [グループ] と [積み重ね基準] オプションおよびデフォルトで表示されるインタラクティブ フィルタが決まります。
3. 参照、選択肢、日付/時刻、整数、またはブール フィールドの列ヘッダーを右クリックし、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
   インタラクティブ分析を起動する列は、デフォルトの [グループ] 値として使用されます。
4. オプション: [データ] と [積み重ね基準] に異なる値を選択することでデータの集計方法を変更するか、1 つ以上のインタラクティブ フィルタを適用してデータをフィルタリングします。
5. オプション: 棒グラフの棒やヒートマップのセルなど、チャート化をクリックしてデータのサブセットにドリルダウンします。

インタラクティブ分析情報パネル

[フィルタ情報] パネルでは、現在のフィルタの概要が表示されます。また、ソース フィルタ条件の編集、インタラクティブ分析のブックマーク、同僚とのインタラクティブ分析の共有を行うことができます。

インタラクティブ分析では、作業しているテーブルにインタラクティブフィルターがあることを前提としています。フィルターを作成するには、「 利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ」を参照してください。

情報アイコン ( ) をクリックして、 フィルタ情報 パネルを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報パネルには次の機能があります。

ソースフィルタ

フィルタに適用される条件を表示します。星をクリックして、このインタラクティブ分析をお気に入りに追加します。

ソースフィルタの編集

[ソースフィルタの編集] ボタンをクリックして条件ビルダを開きます。ソース フィルタは、インタラクティブ フィルタの定義ページを再度開かずにここで編集できます。

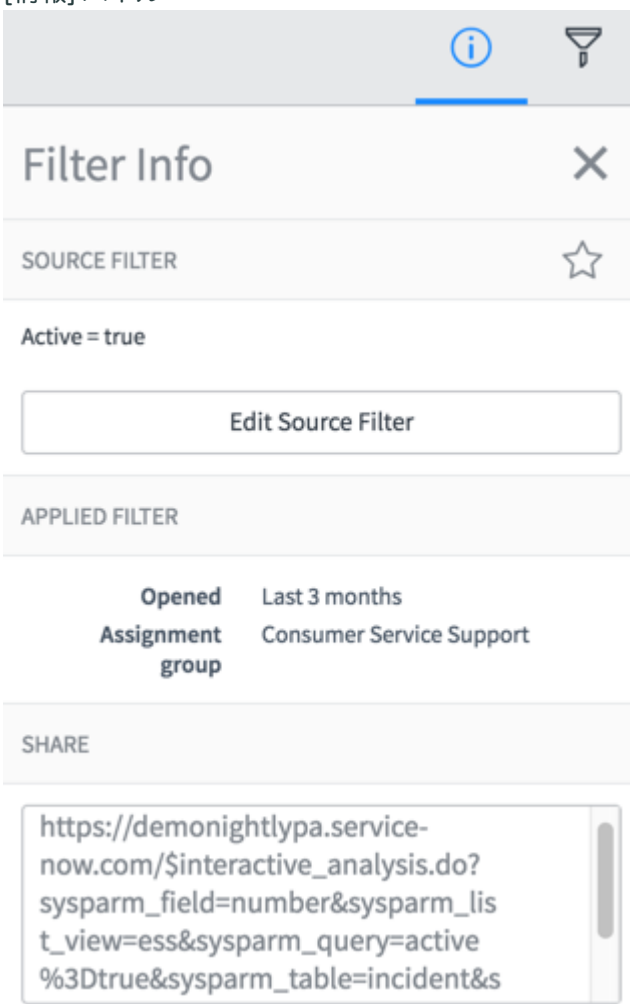
適用済みフィルタ

現在のインタラクティブ分析に適用されるフィルタの概要が表示されます。

共有

分析の完全な URL が表示されます。URL をクリックして強調表示します。詳細については、次のリンクを参照してください。

[情報] パネル



インタラクティブ分析のブックマーク

後で使用できるようにインタラクティブ分析を保存するには、お気に入りに追加してください。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. 情報アイコン ( ) をクリックして、 フィルタ情報 パネルを開きます。
4. インタラクティブ分析にフィルタを適用し、[フィルタを適用] をクリックします。
5. 星型のアイコンをクリックして、インタラクティブ分析をお気に入りに追加します。



タスクの結果
ナビゲーション パネルのお気に入りリストは、現在のインタラクティブ分析のブックマークで更新されます。

インタラクティブ分析の共有

インタラクティブ分析の URL は他のユーザーと共有することができます。

始める前に
必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

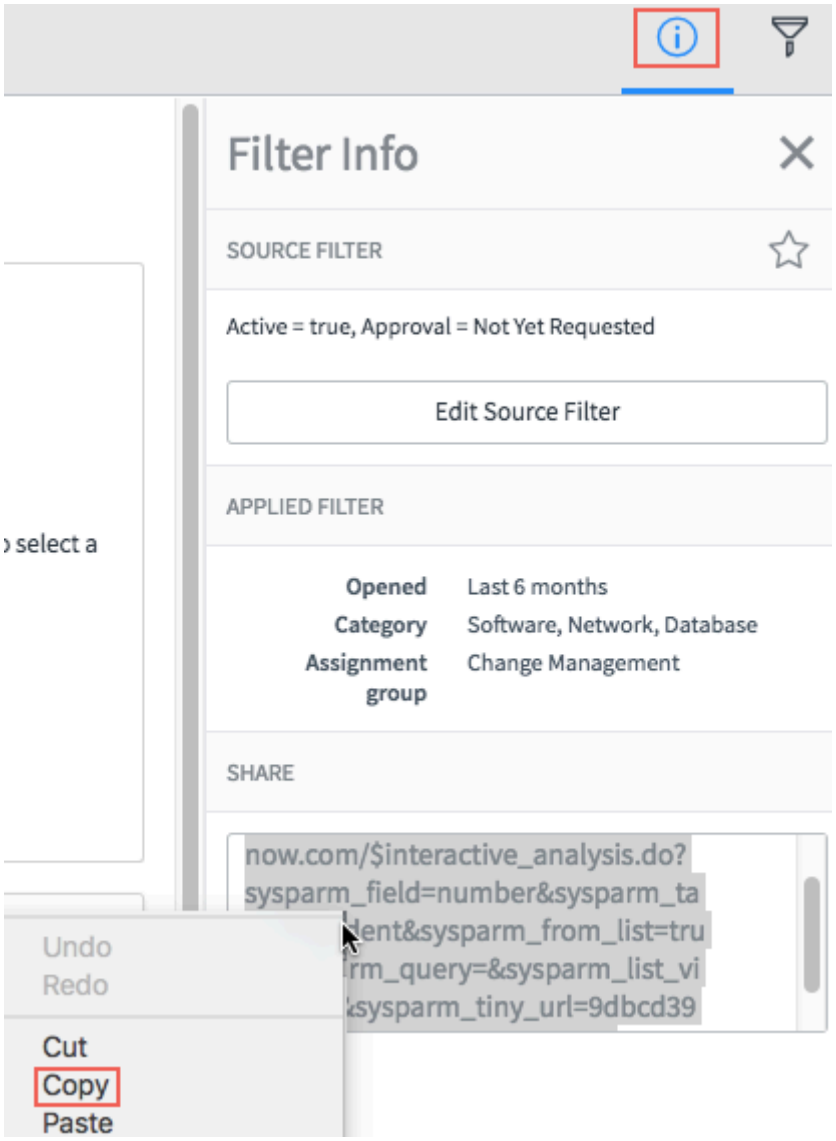
手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. フィルターアイコン ( ) をクリックして、インタラクティブフィルターを表示します。
4. フィルタを目的通りに変更し、 [フィルタを適用] をクリックします。
5. 情報アイコン ( ) をクリックして、 フィルタ情報 パネルを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [共有] セクションの URL を右クリックし、[コピー] を選択します 。



タスクの結果
インタラクティブ分析の URL は、分析の情報にアクセスできるユーザーとメールで共有できます。

インタラクティブ分析へのフィルタの追加

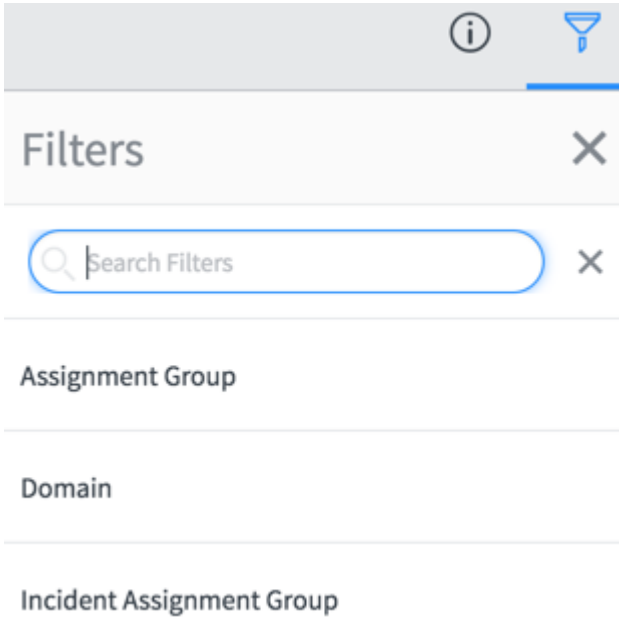
フィルタを追加して、より絞り込んだ情報をインタラクティブ分析に表示します。

始める前に
必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. フィルターアイコン ( ) をクリックし 、[フィルターを追加] をクリックします。
   [検索フィルタ] バーを使用して、表示されるフィルタの数を制限します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 追加するフィルタを選択します。
5. [フィルタを適用] をクリックします。

タスクの結果

新しいフィルタがインタラクティブ分析に適用されます。情報アイコン ( ) をクリックして、ソースフィルターの概要にフィルターを表示します。

インタラクティブ分析からのフィルタの削除

インタラクティブ分析からフィルタを削除し、分析内のグループリストと積み重ね基準リストからフィルタ要素を削除するかどうか指定できます。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 列見出しを右クリックして [インタラクティブ分析の起動] を選択するか、自分が所有するダッシュボードを開いてインタラクティブ フィルタを表示します。
3. フィルターアイコン ( ) をクリックして、インタラクティブフィルターを表示します。
4. 削除するフィルタをポイントし、 [フィルタを削除] アイコンをクリックします。

タスクの結果

フィルタがインタラクティブ分析から削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソース フィルタの編集

インタラクティブ分析の [フィルタ情報] パネルでソース フィルタを編集できます。

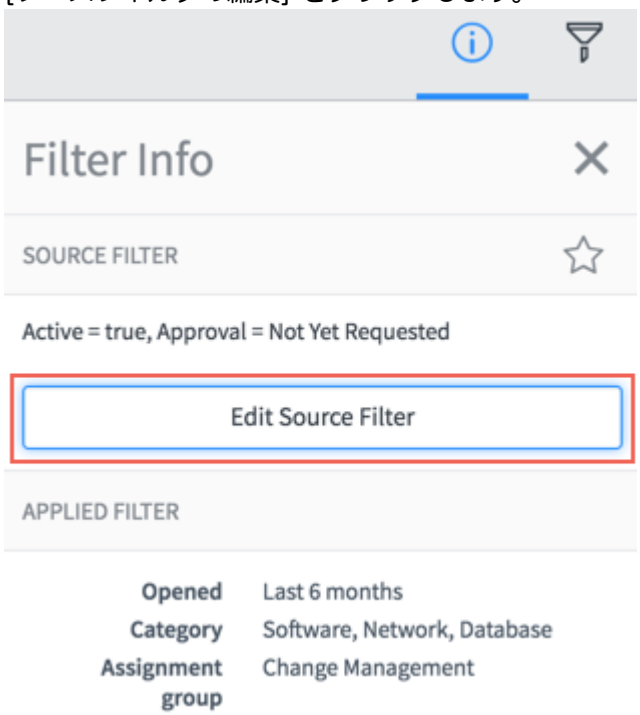
始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. 情報アイコン ( ) をクリックして、 フィルタ情報 パネルを開きます。
4. [ソースフィルタの編集] をクリックします。



5. [フィルタのロード] をクリックし、編集するフィルターを選択します。
6. 既存の条件を編集し、新しい条件を追加します。
7. [変更内容の保存] をクリックします。

タスクの結果

インタラクティブ分析が新しいソース フィルタで更新されます。[フィルタ情報] パネルに、更新された条件が表示されます。

関連情報

Condition Builder

インタラクティブ分析フィルタの重複排除

インタラクティブ分析を起動すると、重複したフィルタは [フィルタ] パネルから自動的に削除されます。フィルターパネルをクリーンアップする必要はありません。

重複したフィルターは、次の基準に従って削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 構成が同じである場合は、UI コントロールにより初期起動時に表示されるフィルタが決まります。優先度は複数の入力フィルタが最も高く、単一入力、チェック ボックス、ラジオ ボタンと続きます。フィルタを表示するための利用可能な UI コントロール タイプ フィールド オプションについては、「」を参照してください。
- 一部のフィルタに 1 つのみのターゲットがあり、その他のフィルタに複数のターゲットが存在する場合を除き、構成が同じであれば、最新のフィルタのみが保持されます。
- 構成と UI コントロールの両方が同じである場合は、最新のフィルタが保持されます。
- 構成が同じでも、一部のフィルタの同じターゲット テーブルに複数のターゲット列がある場合は、すべてのフィルタが個別のフィルタとみなされて保持されます。同じターゲット テーブルの複数のターゲット列の例は、インシデント テーブルの[開いた日付] と [エスカレートされた日付] です。
- 構成と UI コントロールが同じでも、ベース条件が 2 つのフィルタで異なる場合は、別々のフィルタとみなされて保持されます。

インタラクティブ分析の永続化

選択するフィルタは、各ビューとユーザーごとのインタラクティブ分析の使用において永続します。

ビュー (テーブルの特定の列) でインタラクティブ分析を初めて起動すると、すべてのフィルタがデフォルト値に設定されます。次回、同じビューでインタラクティブ分析を起動すると、フィルタ、フィルタの順番、グループ、積み重ね基準、集計パラメータは、前回使用したものが引き継がれます。

また、 [グループ] と [積み重ね基準] 要素は、フィルタが分析に追加されると更新されます。例えば、インタラクティブ分析ページにマネージャ フィルタを追加します。するとすぐに、マネージャ別にウィジェットをグループ化し、積み重ねできます。

フィルタの [グループ] と [積み重ね要素] の同期

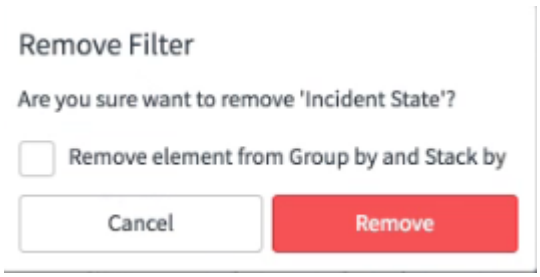
フィルタを [フィルタ] パネルに追加した時、および [フィルタ] パネルから削除した時は、インタラクティブ分析で [グループ] と [積み重ね基準] 要素を同期します。[グループ] と [積み重ね基準] 要素を同期せずに、フィルタを削除することもできます。

始める前に

必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. [フィルタ] パネルで、[フィルタを追加] をクリックして新しいフィルタを追加します。
4. [フィルタを適用] をクリックします。
   新しいフィルタ要素が [グループ] と [積み重ね基準] リストに表示されます。
5. インタラクティブ分析からフィルタを削除して、[フィルタ] パネルからフィルタを削除します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. オプション: [[グループ] および [積み重ね基準] から要素を削除] を選択します。
   オプションの「[グループ] および [積み重ね基準] から要素を削除」は、次の場合には表示されません。
   - 削除するフィルタと同じターゲット フィールドを持つ [フィルタ] パネルに、別のフィルタが存在する場合。
   - インタラクティブ分析を起動する前にソース リストをカスタマイズした場合。列がカスタマイズされたリストの一部である場合は、フィルタの追加または削除による [グループ] と [積み重ね基準] の要素の同期はできません。

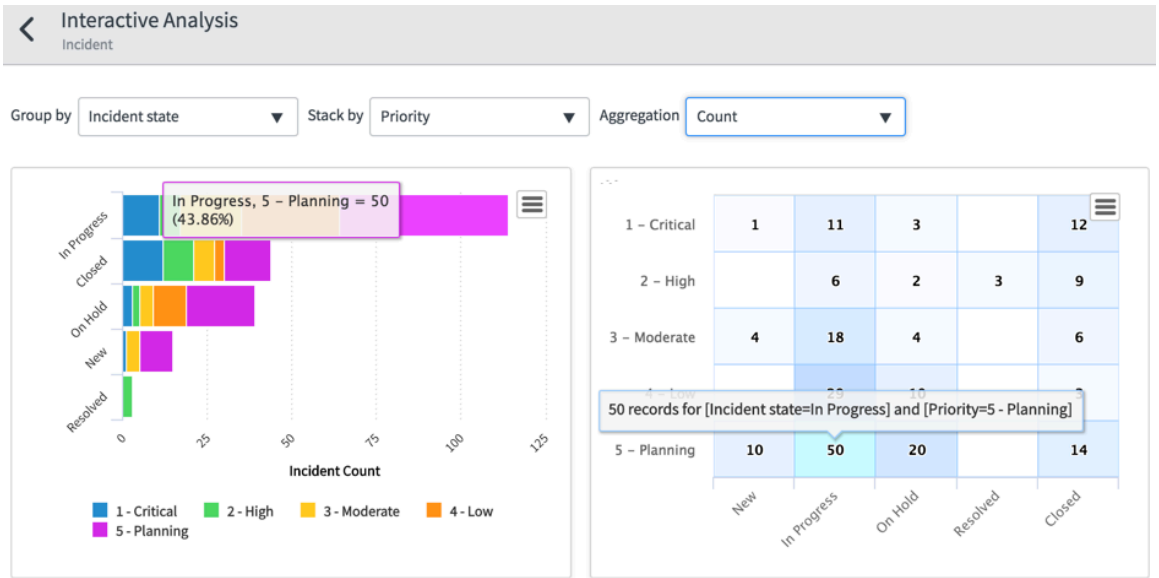
インタラクティブ分析の集計

インタラクティブ分析を使用すると、レコード カウントや、合計、平均、別個のカウントの観点でデータを表示できます。

集計タイプ

カウント

カウントはデフォルトの集計で、インタラクティブ分析を起動した際に表示されます。カウント集計は、選択したレコードの数を示します。例えば、状態ごとにグループ化されたインシデント、優先度別に積み重ねられたインシデント、カウント別に集計されたインシデントの分析は、ヒントの各カテゴリやマルチディメンションレポートのセルのインシデント数を示します。



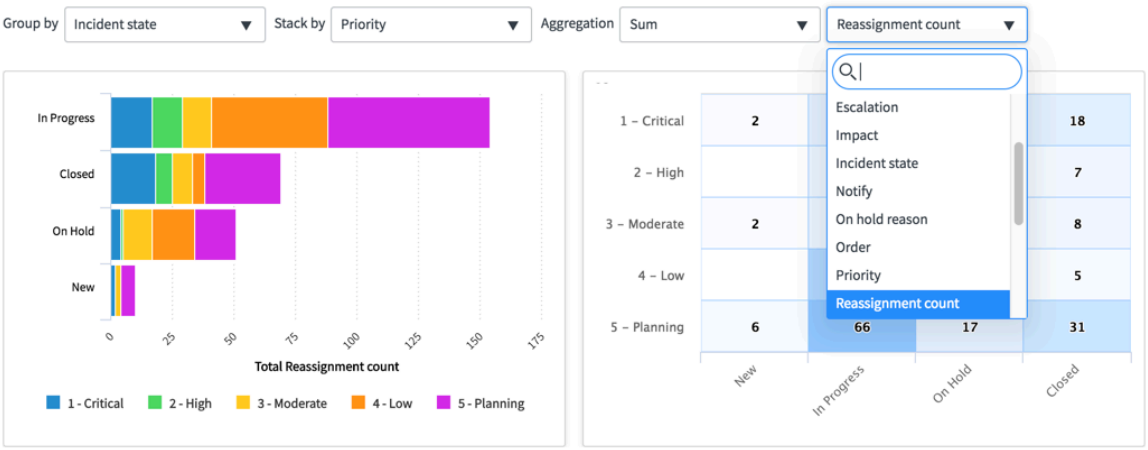
平均、合計、個別のカウント

選択したテーブルからフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、[個別のカウント] を選択します。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「 拡張テーブルでレポートする方法」を参照してください。このリストから集計するフィールドを選択します。例えば、[再アサイン回数] などの整数フィールドを選択すると、データは 10 進数で表示されます。詳細については、「縦棒グラフ レポート」を参照してください。

> **注:**
> 期間値だと、集計軸に表示される測定単位をカスタマイズすることはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。



Automation Discovery

ServiceNow® オートメーションディスカバリー は、ワークフローの自動化機会を特定するのに役立ちます。Discovery レポートを使用して、仮想エージェント (VA)、エージェントアシスト などの自動化ソリューションを実装または改善します。

使用方法の概要

Automation Discovery はレコードを分析して、自動化の機会を特定するのに役立ちます。

アプリを使用すると、構築済みの分類に対して指定されたレコードのデータセットを分析する検出レポートを実行できます。このモデルは、レコードから 180 を超える自動化の機会を特定します。機会は、システムがユーザーのクエリに自動的に応答できるインテントと考えてください。

レポートは、自動化の予測される機会別にレコードをグループ化します。未分類のレコードの場合、レポートはレコードを関連するクラスターにグループ化します。

仮想エージェント などのアプリケーションの場合、オートメーションディスカバリー は、回避と迅速なインシデント解決につながる自動化機会の実装に役立ちます。

インストール

オートメーションディスカバリー は ServiceNow Store から利用できます。詳細については、「オートメーションディスカバリーのインストール」を参照してください。

言語サポート

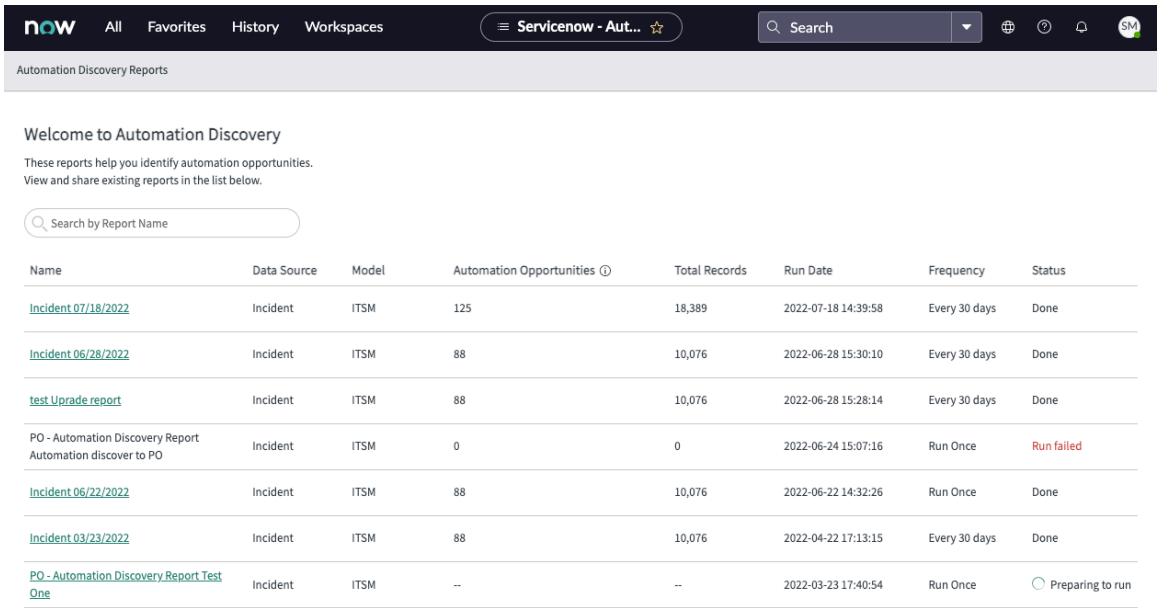
オートメーションディスカバリーは、 **ITSM** 分類を使用して作成されたレポートについて、英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、および日本語のインスタンスをサポートしています。

Predictive AIOps 分類を使用して作成されたレポートは、英語のみをサポートします。これは、モデルのトレーニングデータが英語のログメッセージで構成されているためです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Discovery レポート



[Automation Discovery レポート] ページに、作成したレポートが一覧表示されます。レポートごとに、次の情報が表示されます。

列	説明
名前	作成時にレポートに付けられた名前。
データソース	分析されたレコードのソース。
モデル	レポートを実行するための分類。
自動化機会	レコードと一致するさまざまな構築済みインテントの数。
未分類	構築済みのトピックと一致しない発言を含むクラスター化されたグループの数。
合計レコード	レポートで分析されたレコードの数。
実行日	最新の実行日時。
周期	レポートを実行する回数。
ステータス	レポートのステータス。

新しいレポートを作成するには、「オートメーションディスカバリーレポートの作成」を参照してください。

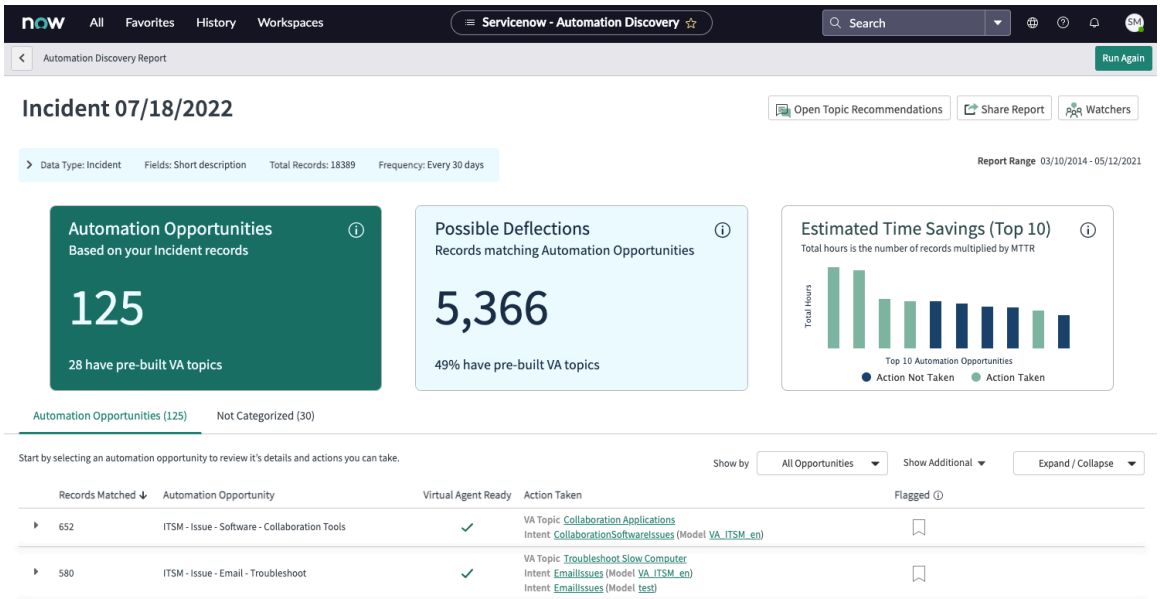
結果を表示するには、レポートの名前を選択します。

レポートのブレークダウン

成功したレポートごとに、レポートページに自動化機会に関する情報が表示されます。

自動翻訳

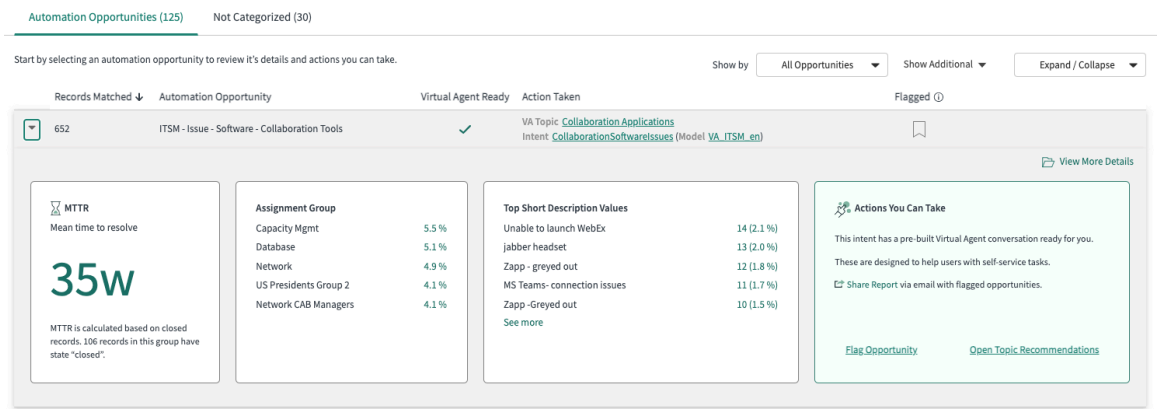
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポートは、一致するレコードを機会別にグループ化します。この例では、オートメーションディスカバリー が分析した数千件のインシデントから 125 件の自動化機会を見つけました。インシデントが同じインテントに一致するため、複数のレコードが同じ機会にグループ化されます。

回避は、自動化によってすぐに解決できた可能性のあるインシデントを参照します。オートメーションディスカバリー は、自動化機会に一致するすべてのレコードを合計して、[可能な回避] 数を取得します。一部の機会には、[仮想エージェント準備完了] としてマークされた、一致する構築済みの VA トピックがあります。

MTTR または平均解決時間は、インシデントの解決にかかる平均時間を参照します。このレポートは、一致するレコードの数に MTTR を掛けて、上位 10 件の機会の [推定削減時間] を取得します。



[自動化機会] タブには、データに一致する自動化機会が一覧表示されます。各行のリストアイコンを選択すると、その機会のレコードに関する詳細情報が表示されます。

[未分類] タブには、事前構築されたインテントと一致しないレコードのクラスターが表示されます。レポートは、類似性に基づいて未分類のレコードをクラスターにグループ化しようとします。各行のリストアイコンをクリックすると、そのクラスター内のレコードに関する詳細情報が表示されます。

トピックの推奨事項 への機会の追加

仮想エージェント トピックの推奨事項 は 仮想エージェント の自動化の改善に役立ちます。オートメーションディスカバリー レポートから トピックの推奨事項 に自動化機会を追加できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[実行できるアクション] カードには、レポートの自動化機会で実行できる内容が表示されます。**VA** 対応の機会の場合は、[**Open Topic Recommendations** (トピックの推奨事項を開く)] を選択して機会をトピックの推奨事項に追加します。

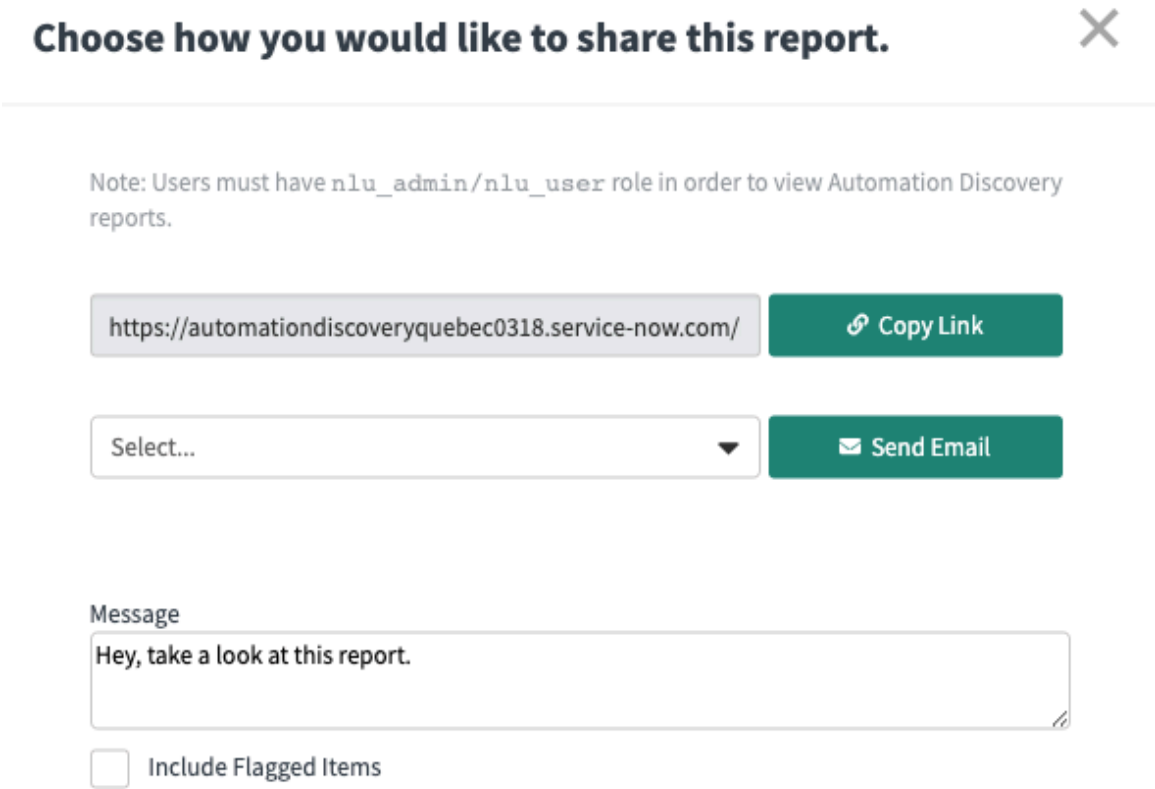
トピックの推奨事項 では、自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルと仮想エージェントにトピックを追加できます。モデルに機会を追加すると、[実行されたアクション] に対応するインテントまたはモデルが表示されます。

詳細については、「 仮想エージェントの使用:トピックの推奨事項 と NLU models 」を参照してください。

VA の準備ができていない機会のカスタムトピックを作成することもできます。カスタムトピックの作成の詳細については、ServiceNow 開発者サイトの「Creating Virtual Agent Topics (仮想エージェントトピックの作成) 」を参照してください。

共有とフラグ付け

検出レポートをチームの他のメンバーと共有できます。レポートページで、[レポートの共有] をクリックしてレポート共有ポップアップを開きます。



提供されたリンクを使用するか、メールでレポートを送信することで、レポートを共有できます。

注:
オートメーションディスカバリー レポートを表示するには、nlu_admin または nlu_user ロールが必要です。

強調表示する特定の自動化機会にフラグを設定することもできます。機会にフラグを設定するには、フラグアイコンをクリックします。レポートを共有するときにフラグ付きアイテムを含めるには、[フラグ付きアイテムを含める] チェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

Automation Discovery の [プロパティ] ページでは、Discovery レポートの設定を制御できます。

レコードの最小数と最大数を設定すると、分析するデータの量を制御できます。クラスタリングがレポートで機能するように、一意の一致しないレコードの数を設定することもできます。

クラスタリングを実行する前にデータのサンプリングをアクティブ化すると、レポートの生成を高速化できます。ただし、レポートは少量の一致しないレコードをクラスター化します。

関連情報

仮想エージェント

オートメーションディスカバリーのインストール

admin ロールを持っている場合は、 オートメーションディスカバリー アプリケーション® (sn_auto_discovery) をインストールできます。このアプリケーションは、関連する ServiceNow Store プラグインをインストールします (まだインストールされていない場合)。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、「ServiceNow 製品またはアプリケーションのエンタイトルメントの取得」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

オートメーションディスカバリーとともにインストールされるアイテムは、プラグイン、ロール、およびテーブルです。

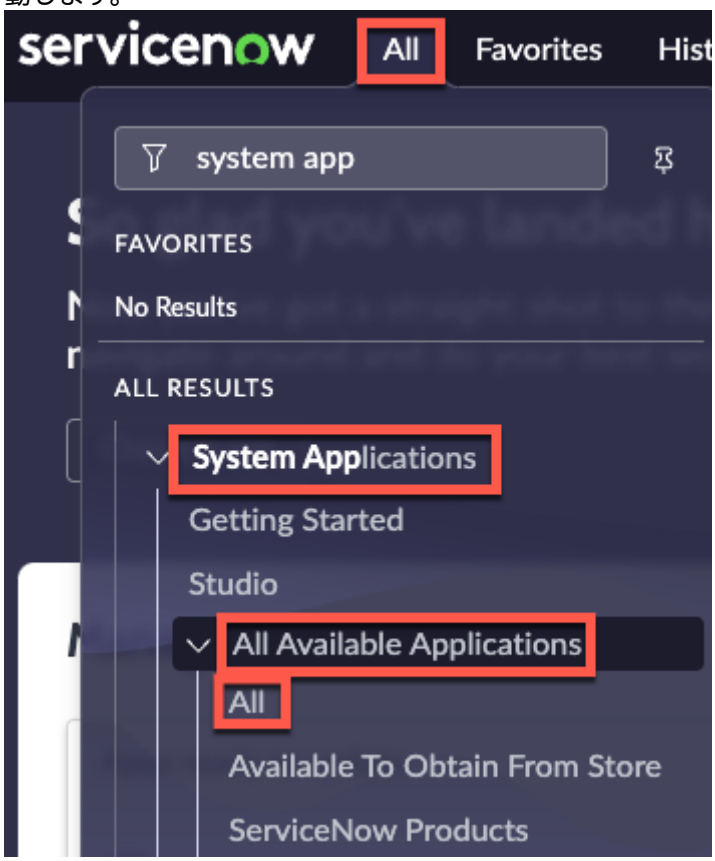
詳細については、「オートメーションディスカバリーとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準と検索バーを使用してオートメーション ディスカバリー アプリケーション (sn_auto_discovery) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、 オートメーションディスカバリーをインストールする前にインストールする必要があります。

4. [インストール] をクリックします。

次のタスク

最良の結果を得るには、ITSM の VA 会話 (sn_itsm_va) および NLU モデルビルダー (com.snc.nlu_studio) プラグインをインストールします。詳細については、「仮想エージェントと Activate the NLU Workbench の追加プラグイン」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オートメーションディスカバリーとともにインストールされるコンポーネント

テーブルとロールは、オートメーションディスカバリープラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるテーブル

テーブル	**Description** (説明)
オートメーションディスカバリーの処理済みメッセージ [sn_auto_discovery_processed_message]	元のデータソースレコードへの参照 (例:インシデント)。重複レコードは含まれません。
オートメーションディスカバリーパラメーター [sn_auto_discovery_param]	レポートのパラメータを含むテーブル。
オートメーションディスカバリーラベル [sn_auto_discovery_labelled_message]	レポートレコードへの参照。
オートメーションディスカバリーインテント [sn_auto_discovery_intent]	オートメーションディスカバリーレポートを含むテーブル。処理されたメッセージおよびレポートトレースによって参照されます。
オートメーションディスカバリーグループ [sn_auto_discovery_group]	レポート内の自動化機会を含むテーブル。
オートメーションディスカバリーメッセージコンテンツ [sn_auto_discovery_message_content]	元のデータソースレコード (例:インシデント) への参照。重複レコードが含まれます。
オートメーションディスカバリーレポート [sn_auto_discovery_report]	オートメーションディスカバリーを使用して以前に作成されたレポート。
オートメーションディスカバリージョブ [sn_auto_discovery_job]	オートメーションディスカバリーレポートジョブの実行を管理するテーブル。
オートメーションディスカバリーレポートトレース [sn_auto_discovery_report_trace]	レポートのインテントまたはクラスターによって追加された自然言語理解 (NLU) インテントの履歴。
オートメーションディスカバリーレポート定義 [sn_auto_discovery_report_definition]	レポートの実行方法とレポートのステータスを定義するテーブル。1 つのレポート定義から複数のレポートを実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	**Description** (説明)
オートメーションディスカバリークラスター [sn_auto_discovery_cluster]	レポートの未分類のレコードのクラスター。処理されたメッセージおよびレポートトレースによって参照されます。

インストールされるロール

ディスカバリー作成者 **[sn_auto_discovery.DiscoveryAuthor]**

オートメーションディスカバリーレポートを作成し、自動化機会にフラグを付け、それらに対してアクションを実行します。

含まれるロール

ディスカバリーの著者 [sn_auto_discovery.DiscoveryAuthor] ロールにはnlu_userロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

オートメーションディスカバリーレポートの作成

オートメーションディスカバリーレポートを作成して、自動化機会のレコードを分析します。

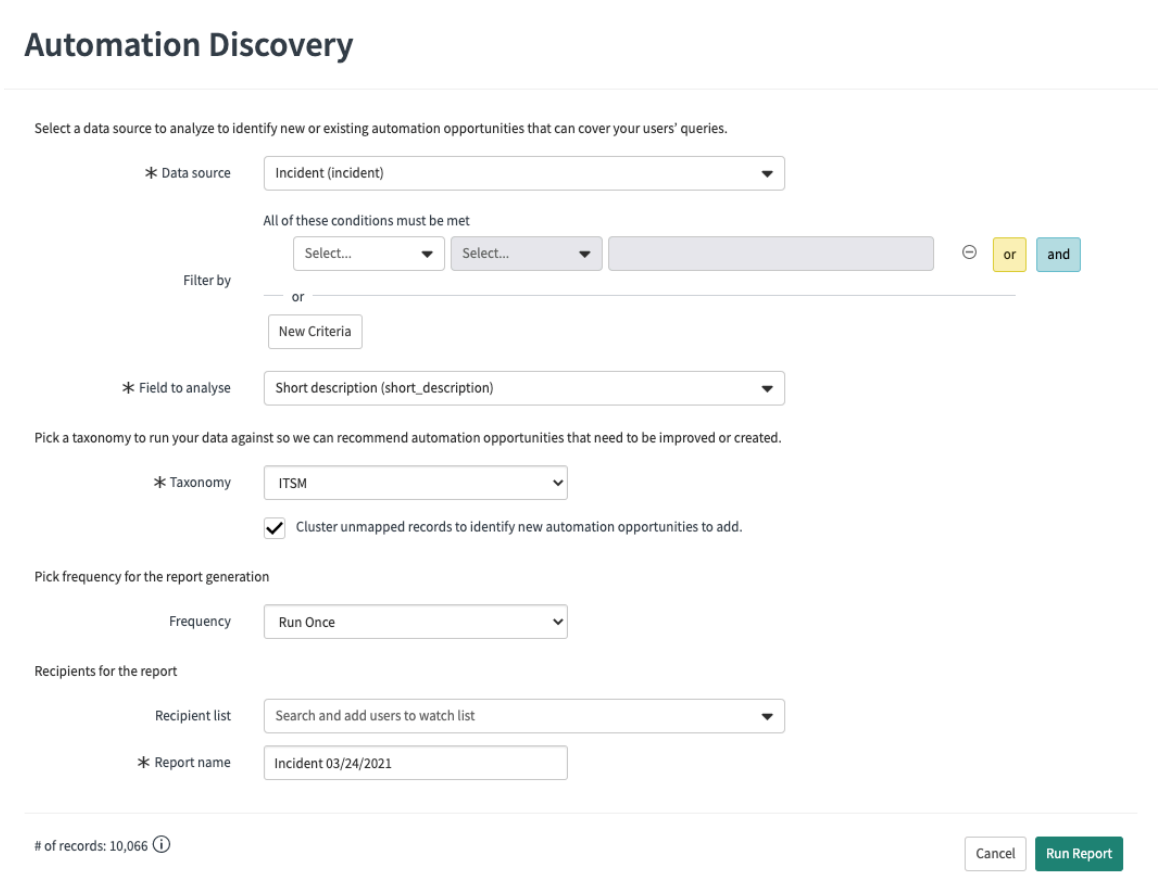
始める前に
必要なロール:admin、nlu_admin、または sn_auto_discoveryディスカバリー作成者

手順

1. 移動先 すべて > オートメーションディスカバリー > オートメーションディスカバリーレポート.
2. [新しいレポート] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. フォームフィールドに記入します。

フィールド	説明
データソース	分析するレコードのタイプ。 デフォルトは [インシデント **(incident)]** です。
フィルター基準	分析するレコードを選択するための基準。
分析するフィールド	オートメーションディスカバリーで分析するデータテーブルのフィールド。
分類	データの実行対象となるモデル。デフォルトは **ITSM** で、英語、フランス語、ドイツ語、日本語、スペイン語をサポートしています。**Predictive AIOps** 分類は英語のみをサポートしています。 一致しないレコードをグループ化するために同じ分類を使用するには、このチェックボックスをオンにします。
頻度	指定された条件でレポートが実行される頻度。 デフォルトは **[1** 回実行] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	モデルに改善を確認する機会を追加した後、レポートを継続的に実行することを選択できます。
受信者リスト	レポートをメールで受信するユーザー。
レポート名	レポートの名前。

注:
# of records number は、基準を満たすレコード数の推定値を示します。

4. [レポートの実行] を選択します。
レポートは、[ディスカバリーレポート] ページのリストの一番上に表示されます。ページに は、レポート のステータスが一覧表示されます。分析が完了したら、レポートを選択して結果を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。